

**2023年度  
ILAC科目/市ヶ谷基礎科目・総合科目  
200番台  
講義概要（シラバス）**



**法政大学**

# 科目一覧

[発行日: 2023/5/10] 最新版のシラバスは、法政大学 Web シラバス (<https://syllabus.hosei.ac.jp/>) で確認してください。

## 凡例 その他属性

〈他〉: 他学部公開科目	〈グ〉: グローバル・オープン科目
〈優〉: 成績優秀者の他学部科目履修制度対象科目	〈実〉: 実務経験のある教員による授業科目
〈S〉: サーティフィケートプログラム_SDGs	〈ア〉: サーティフィケートプログラム_アーバンデザイン
〈ダ〉: サーティフィケートプログラム_ダイバーシティ	〈未〉: サーティフィケートプログラム_未来教室

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (英語分野) 【E1806】 Intercultural Communication B [石原 紀子] 秋学期授業/Fall .....	1
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (英語分野) 【E1807】 Intercultural Communication A [BARRIGA MARIA] 秋学期授業/Fall .....	3
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (英語分野) 【E1809】 Intercultural Communication D [石原 紀子] 春学期授業/Spring .....	5
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【E3602】 Intercultural Communication E [コリンス ヴァリエンス] 秋学期授業/Fall .....	7
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【E3603】 Intercultural Communication F [STEVE CORBEIL] 春学期授業/Spring .....	8
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【E5337】 中国語補講 3 I [渋井 君也] 春学期授業/Spring .....	9
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【E5338】 中国語補講 3 II [渋井 君也] 秋学期授業/Fall .....	10
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【E5339】 中国語補講 3 I [渋井 君也] 春学期授業/Spring .....	11
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【E5340】 中国語補講 3 II [渋井 君也] 秋学期授業/Fall .....	12
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【E5343】 中国語補講 3 I [篠田 幸夫] 春学期授業/Spring .....	13
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【E5344】 中国語補講 3 II [篠田 幸夫] 秋学期授業/Fall .....	14
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【E6135】 スペイン語補講 3 I [若林 大我] 春学期授業/Spring .....	15
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【E6136】 スペイン語補講 3 II [若林 大我] 秋学期授業/Fall .....	16
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【E8062】 Intercultural Communication G [尾形 太郎] 秋学期授業/Fall .....	17
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【E8063】 Intercultural Communication H [山本 そのこ] 春学期授業/Spring .....	18
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【F7228】 朝鮮語 4 C-I [富所 明秀] 春学期授業/Spring .....	19
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【F7229】 朝鮮語 4 C-II [富所 明秀] 秋学期授業/Fall .....	20
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【P0633】 Career Development Skills [竹原 正篤] 春学期授業/Spring .....	21
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【P1303】 Humanities A [URBANOVA JANA] 春学期授業/Spring .....	23
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【P1305】 Humanities B [Richard.J.Burrows] 春学期授業/Spring .....	25
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【P2305】 Social Science B [ガエル バッソン] 春学期授業/Spring .....	26
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【P3605】 Natural Science B [西村 直美] 春学期授業/Spring .....	27

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_5 群 (保健体育分野) 【P5801】 Health and Physical Education [武井 敦彦] 春学期授業/Spring .....	28
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0102】 情報処理演習Ⅱ [吉岡 卓] 秋学期授業/Fall .....	30
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0104】 情報処理演習Ⅱ [吉岡 卓] 秋学期授業/Fall .....	31
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0106】 情報処理演習Ⅱ [吉岡 卓] 秋学期授業/Fall .....	32
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0108】 情報処理演習Ⅱ [吉岡 卓] 秋学期授業/Fall .....	33
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0110】 情報処理演習Ⅱ [中村 文隆] 秋学期授業/Fall .....	34
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0112】 情報処理演習Ⅱ [中村 文隆] 秋学期授業/Fall .....	35
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0114】 情報処理演習Ⅱ [河内谷 幸子] 秋学期授業/Fall .....	36
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0116】 情報処理演習Ⅱ [岡嶋 裕史] 秋学期授業/Fall .....	38
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0118】 情報処理演習Ⅱ [岡嶋 裕史] 秋学期授業/Fall .....	39
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0120】 情報処理演習Ⅱ [重定 如彦] 秋学期授業/Fall .....	40
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0122】 情報処理演習Ⅱ [重定 如彦] 秋学期授業/Fall .....	42
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0128】 情報処理演習Ⅱ [河内谷 幸子] 秋学期授業/Fall .....	44
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0130】 情報処理演習Ⅱ [河内谷 幸子] 秋学期授業/Fall .....	46
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0136】 情報処理演習Ⅱ [名見耶 厚] 秋学期授業/Fall .....	48
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0138】 情報処理演習Ⅱ [名見耶 厚] 秋学期授業/Fall .....	49
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0140】 情報処理演習Ⅱ [名見耶 厚] 秋学期授業/Fall .....	50
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0142】 情報処理演習Ⅱ [名見耶 厚] 秋学期授業/Fall .....	51
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0144】 情報処理演習Ⅱ [星 善光] 秋学期授業/Fall .....	52
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0146】 情報処理演習Ⅱ [星 善光] 秋学期授業/Fall .....	53
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0504】 法政学の探究 L A [高柳 俊男、北口 由望] 秋学期授業/Fall .....	54
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1301】 日本文学と文化 L A [阿部 真弓] 春学期授業/Spring .....	56
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1302】 日本文学と文化 L B [阿部 真弓] 秋学期授業/Fall .....	57
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1303】 日本文学と文化 L C [今泉 隆裕] 春学期授業/Spring .....	58
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1304】 日本文学と文化 L D [今泉 隆裕] 秋学期授業/Fall .....	60
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1305】 日本文学と文化 L E [伊海 孝充] 春学期授業/Spring .....	62
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1306】 日本文学と文化 L F [伊海 孝充] 秋学期授業/Fall .....	63
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1307】 日本文学と文化 L G [榎本 正樹] 春学期授業/Spring .....	64

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1308】 日本文学と文化 LH [榎本 正樹] 秋学期授業/Fall	66
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1309】 外国文学と文化 L A [鈴木 正道] 春学期授業/Spring	68
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1310】 外国文学と文化 L B [鈴木 正道] 秋学期授業/Fall	70
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1311】 外国文学と文化 L C [日原 傳] 春学期授業/Spring	72
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1312】 外国文学と文化 L D [日原 傳] 秋学期授業/Fall	73
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1313】 外国文学と文化 L E [大崎 さやの] 春学期授業/Spring	74
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1314】 外国文学と文化 L F [大崎 さやの] 秋学期授業/Fall	75
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1315】 文学と社会 L A [梶裕史] 春学期授業/Spring	76
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1316】 文学と社会 L B [梶裕史] 秋学期授業/Fall	78
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1319】 文学と社会 L C [白戸満喜子] 春学期授業/Spring	79
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1320】 文学と社会 L D [白戸満喜子] 秋学期授業/Fall	80
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1321】 文学と社会 L E [中澤忠之] 春学期授業/Spring	82
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1322】 文学と社会 L F [中澤忠之] 秋学期授業/Fall	83
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1323】 日本文学と文化 LG [榎本 正樹] 春学期授業/Spring	84
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1324】 日本文学と文化 LH [榎本 正樹] 秋学期授業/Fall	86
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1362】 音声学 L [副島 健作] 秋学期授業/Fall	88
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1381】 哲学 L I [大西 正人] 春学期授業/Spring	89
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1382】 哲学 L II [大西 正人] 秋学期授業/Fall	90
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1383】 哲学 L I [白根 裕里枝] 春学期授業/Spring	91
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1384】 哲学 L II [白根 裕里枝] 秋学期授業/Fall	92
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1391】 倫理学 L I [森村 修] 春学期授業/Spring	93
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1392】 倫理学 L II [森村 修] 秋学期授業/Fall	95
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1393】 倫理学 L I [佐藤 英明] 春学期授業/Spring	97
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1394】 倫理学 L II [佐藤 英明] 秋学期授業/Fall	98
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1395】 倫理学 L I [杉本 隆久] 春学期授業/Spring	99
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1396】 倫理学 L II [杉本 隆久] 秋学期授業/Fall	101
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1397】 倫理学 L I [伊藤 直樹] 春学期授業/Spring	103
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1398】 倫理学 L II [伊藤 直樹] 秋学期授業/Fall	104

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1399】 倫理学 L I [田島 樹 里奈] 春学期授業/Spring .....	105
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1400】 倫理学 L II [田島 樹 里奈] 秋学期授業/Fall .....	107
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1401】 倫理学 L I [吉永 明 弘] 春学期授業/Spring .....	109
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1402】 倫理学 L II [吉永 明 弘] 秋学期授業/Fall .....	110
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1411】 論理学 L I [佐々木 護] 春学期授業/Spring .....	111
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1412】 論理学 L II [佐々木 護] 秋学期授業/Fall .....	112
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1421】 東洋史 L I [齋藤 勝] 春学期授業/Spring .....	113
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1422】 東洋史 L II [齋藤 勝] 秋学期授業/Fall .....	114
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1423】 東洋史 L I [長谷部 圭彦] 春学期授業/Spring .....	115
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1424】 東洋史 L II [長谷部 圭彦] 秋学期授業/Fall .....	116
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1431】 西洋史 L A [内田 康 太] 春学期授業/Spring .....	117
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1432】 西洋史 L B [高澤 紀 恵] 秋学期授業/Fall .....	118
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1433】 西洋史 L A [新井 隆] 春学期授業/Spring .....	119
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1434】 西洋史 L B [新井 隆] 秋学期授業/Fall .....	121
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1435】 西洋史 L A [渡辺 知] 春学期授業/Spring .....	124
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1436】 西洋史 L B [内川 勇 海] 秋学期授業/Fall .....	125
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1437】 西洋史 L A [渡辺 知] 春学期授業/Spring .....	126
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1438】 西洋史 L B [内川 勇 海] 秋学期授業/Fall .....	127
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1441】 日本史 L I [森 朋久] 春学期授業/Spring .....	128
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1442】 日本史 L II [森 朋久] 秋学期授業/Fall .....	129
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1443】 日本史 L I [仁平 義 孝] 春学期授業/Spring .....	130
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1444】 日本史 L II [仁平 義 孝] 秋学期授業/Fall .....	131
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1445】 日本史 L I [貫井 裕 恵] 春学期授業/Spring .....	132
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1446】 日本史 L II [貫井 裕 恵] 秋学期授業/Fall .....	133
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1447】 日本史 L I [鈴木 多 聞] 春学期授業/Spring .....	134
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1448】 日本史 L II [鈴木 多 聞] 秋学期授業/Fall .....	135
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1451】 宗教論 L I [古澤 有 峰] 春学期授業/Spring .....	136
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群 (人文分野) 【Q1452】 宗教論 L II [古澤 有 峰] 秋学期授業/Fall .....	137

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2321】 経済学 L A [中平 千彦] 春学期授業/Spring.....	138
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2322】 経済学 L B [中平 千彦] 秋学期授業/Fall.....	140
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2323】 経済学 L A [鈴木 誠] 春学期授業/Spring.....	141
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2324】 経済学 L B [鈴木 誠] 秋学期授業/Fall.....	143
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2325】 経済学 L A [陳 文挙] 春学期授業/Spring.....	145
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2326】 経済学 L B [陳 文挙] 秋学期授業/Fall.....	147
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2327】 経済学 L A [水野 和夫] 春学期授業/Spring.....	148
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2328】 経済学 L B [水野 和夫] 秋学期授業/Fall.....	150
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2341】 心理学 L A [宇野 カオリ] 春学期授業/Spring.....	152
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2342】 心理学 L B [宇野 カオリ] 秋学期授業/Fall.....	154
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2343】 心理学 L A [宇野 カオリ] 春学期授業/Spring.....	156
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2344】 心理学 L B [宇野 カオリ] 秋学期授業/Fall.....	158
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2351】 地理学 L A [長沢 利明] 春学期授業/Spring.....	160
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2352】 地理学 L B [長沢 利明] 秋学期授業/Fall.....	161
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2353】 地理学 L C [片岡 義晴] 春学期授業/Spring.....	162
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2354】 地理学 L D [片岡 義晴] 秋学期授業/Fall.....	163
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2357】 地理学 L A [長沢 利明] 春学期授業/Spring.....	164
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2358】 地理学 L B [長沢 利明] 秋学期授業/Fall.....	165
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2359】 地理学 L C [前川 明彦] 春学期授業/Spring.....	166
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2360】 地理学 L D [前川 明彦] 秋学期授業/Fall.....	167
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2361】 社会学 L A [松下 優一] 春学期授業/Spring.....	168
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2362】 社会学 L B [松下 優一] 秋学期授業/Fall.....	169
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2363】 社会学 L C [徐 玄九] 春学期授業/Spring.....	170
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2364】 社会学 L D [徐 玄九] 秋学期授業/Fall.....	172
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2371】 政治学 L A [木村 正俊] 春学期授業/Spring.....	174
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2372】 政治学 L B [木村 正俊] 秋学期授業/Fall.....	175
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2382】 文化人類学 L [バル 裕紀] 秋学期授業/Fall.....	176
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2384】 文化人類学 L [渡辺 浩平] 秋学期授業/Fall.....	178

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2386】 文化人類学 L [北原卓也] 秋学期授業/Fall.....	179
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2388】 文化人類学 L [長沢利明] 秋学期授業/Fall.....	180
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2390】 文化人類学 L [ベル裕紀] 秋学期授業/Fall.....	181
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2392】 文化人類学 L [橋爪太作] 秋学期授業/Fall.....	183
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2394】 文化人類学 L [渡辺浩平] 秋学期授業/Fall.....	184
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2396】 文化人類学 L [廣田龍平] 秋学期授業/Fall.....	185
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2398】 文化人類学 L [橋爪太作] 秋学期授業/Fall.....	186
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2400】 文化人類学 L [石森大知] 秋学期授業/Fall.....	188
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2401】 社会思想 L A [阿部崇史] 春学期授業/Spring .....	189
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2402】 社会思想 L B [洪 貴義] 秋学期授業/Fall .....	190
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2403】 社会思想 L A [阿部崇史] 秋学期授業/Fall.....	191
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2404】 社会思想 L B [洪 貴義] 秋学期授業/Fall .....	192
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2411】 地理学 L E [呉羽 正昭] 春学期授業/Spring.....	193
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群 (社会分野) 【Q2412】 地理学 L F [加賀美雅弘] 春学期授業/Spring .....	194
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3201】 数学特講 L A [安東祐希] 春学期授業/Spring .....	195
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3202】 数学特講 L B [安東祐希] 秋学期授業/Fall.....	196
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3211】 発展数学 L I [池田宏一郎] 春学期授業/Spring.....	197
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3212】 発展数学 L II [池田宏一郎] 秋学期授業/Fall .....	198
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3213】 発展数学 L I [倉田俊彦] 春学期授業/Spring .....	199
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3214】 発展数学 L II [倉田俊彦] 秋学期授業/Fall.....	200
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3221】 教養物理学 L A [石川壮一] 春学期授業/Spring.....	201
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3222】 教養物理学 L A [石川壮一] 秋学期授業/Fall .....	202
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3223】 教養物理学 L B [吉田智] 春学期授業/Spring .....	203
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3224】 教養物理学 L B [吉田智] 秋学期授業/Fall.....	204
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3225】 教養物理学 L A [石川壮一] 秋学期授業/Fall .....	205
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3226】 教養物理学 L C [井坂政裕] 春学期授業/Spring.....	206
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3231】 教養生物学 L A [野崎久義] 春学期授業/Spring.....	207
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3232】 教養生物学 L B [野崎久義] 秋学期授業/Fall .....	209

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3233】 教養生物学 L A [野崎久義] 春学期授業/Spring .....	211
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3234】 教養生物学 L B [野崎久義] 秋学期授業/Fall .....	213
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3241】 教養生物学 L C [町田郁子] 春学期授業/Spring .....	215
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3242】 教養生物学 L D [町田郁子] 秋学期授業/Fall .....	217
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3243】 教養生物学 L C [町田郁子] 春学期授業/Spring .....	219
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3244】 教養生物学 L D [町田郁子] 秋学期授業/Fall .....	221
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3261】 教養化学 L A [向井知大] 春学期授業/Spring .....	223
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3262】 教養化学 L A [中島弘一] 秋学期授業/Fall .....	224
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3263】 教養化学 L B [中島弘一] 春学期授業/Spring .....	225
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3264】 教養化学 L B [西村直美] 秋学期授業/Fall .....	226
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3266】 教養化学 L A [中田和秀] 春学期授業/Spring .....	227
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3267】 教養化学 L C [中田和秀] 春学期授業/Spring .....	228
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3268】 教養化学 L D [中田和秀] 秋学期授業/Fall .....	229
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群 (自然分野) 【Q3269】 教養化学 L E [向井知大] 秋学期授業/Fall .....	230
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_5 群 (保健体育分野) 【Q5451】 健康の科学 L A [阿部 巧] 春学期授業/Spring .....	231
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_5 群 (保健体育分野) 【Q5452】 健康の科学 L B [藤平 杏子] 秋学期授業/Fall .....	232
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_5 群 (保健体育分野) 【Q5453】 健康の科学 L A [谷本 都栄] 春学期授業/Spring .....	233
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_5 群 (保健体育分野) 【Q5454】 健康の科学 L B [谷本 都栄] 秋学期授業/Fall .....	234
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R0801】 入門英語 (SSI) I [大厩 諒] 春学期授業/Spring .....	235
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R0802】 入門英語 (SSI) II [大厩 諒] 秋学期授業/Fall .....	236
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R0803】 入門英語 (SSI) I [須藤 祐二] 春学期授業/Spring .....	237
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R0804】 入門英語 (SSI) II [須藤 祐二] 秋学期授業/Fall .....	238
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R0805】 入門英語 (SSI) I [鈴木 眞奈美] 春学期授業/Spring .....	239
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R0806】 入門英語 (SSI) II [深谷 公宣] 秋学期授業/Fall .....	241
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R0831】 入門英語 (SSI) I [鈴木 理枝] 春学期授業/Spring .....	242
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R0832】 入門英語 (SSI) II [鈴木 理枝] 秋学期授業/Fall .....	243
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2001】 English 3 I [佐藤 陽子] 春学期授業/Spring .....	244
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2002】 English 3 II [佐藤 陽子] 秋学期授業/Fall .....	246



2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2003】 English 3 I [STEPHEN P MCINTYRE] 春学期授業/Spring .....	248
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2004】 English 3 II [STEPHEN P MCINTYRE] 秋学期授業/Fall .....	251
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2005】 English 3 I [岩 坪 友子] 春学期授業/Spring .....	254
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2006】 English 3 II [岩 坪 友子] 秋学期授業/Fall .....	256
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2007】 English 3 I [宇 野 毅] 春学期授業/Spring .....	258
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2008】 English 3 II [宇 野 毅] 秋学期授業/Fall .....	259
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2009】 English 3 I [高 井 美紀子] 春学期授業/Spring .....	260
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2010】 English 3 II [高 井 美紀子] 秋学期授業/Fall .....	262
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2011】 English 3 I [山 崎 暁子] 春学期授業/Spring .....	264
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2012】 English 3 II [山 崎 暁子] 秋学期授業/Fall .....	265
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2013】 English 3 I [STEPHEN P MCINTYRE] 春学期授業/Spring .....	267
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2014】 English 3 II [STEPHEN P MCINTYRE] 秋学期授業/Fall .....	270
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2015】 English 3 I [佐 藤 陽子] 春学期授業/Spring .....	273
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2016】 English 3 II [佐 藤 陽子] 秋学期授業/Fall .....	275
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2017】 English 3 I [高 井 美紀子] 春学期授業/Spring .....	277
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2018】 English 3 II [高 井 美紀子] 秋学期授業/Fall .....	279
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2019】 English 3 I [山 崎 暁子] 春学期授業/Spring .....	281
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2020】 English 3 II [山 崎 暁子] 秋学期授業/Fall .....	282
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2021】 English 3 I [TAMARA P ELDRIDGE] 春学期授業/Spring .....	284
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2022】 English 3 II [TAMARA P ELDRIDGE] 秋学期授業/Fall .....	285
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2023】 English 3 I [コー トランド・デイビッド・スミス] 春学期授業/Spring .....	287
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2024】 English 3 II [コー トランド・デイビッド・スミス] 秋学期授業/Fall .....	289
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2025】 English 3 I [ジョ ナサン・エイブル] 春学期授業/Spring .....	291
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2026】 English 3 II [ジョ ナサン・エイブル] 秋学期授業/Fall .....	292
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2027】 English 3 I [吉 川 直澄] 春学期授業/Spring .....	293
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2028】 English 3 II [吉 川 直澄] 秋学期授業/Fall .....	295
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2029】 English 3 I [大 曲 陽子] 春学期授業/Spring .....	297
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2030】 English 3 II [大 曲 陽子] 秋学期授業/Fall .....	299

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2031】 English 3 I [URBANOVA JANA] 春学期授業/Spring .....	301
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2032】 English 3 II [URBANOVA JANA] 秋学期授業/Fall .....	303
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2033】 English 3 I [利 根川 真紀] 春学期授業/Spring .....	305
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2034】 English 3 II [利 根川 真紀] 秋学期授業/Fall .....	306
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2035】 English 3 I [吉 江 秀和] 春学期授業/Spring .....	307
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2036】 English 3 II [吉 江 秀和] 秋学期授業/Fall .....	309
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2037】 English 3 I [吉 川 太恵子] 春学期授業/Spring .....	311
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2038】 English 3 II [吉 川 太恵子] 秋学期授業/Fall .....	313
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2039】 English 3 I [吉 田 季実子] 春学期授業/Spring .....	315
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2040】 English 3 II [吉 田 季実子] 秋学期授業/Fall .....	316
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2041】 English 3 I [TAMARA P ELDRIDGE] 春学期授業/Spring .....	317
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2042】 English 3 II [TAMARA P ELDRIDGE] 秋学期授業/Fall .....	319
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2043】 English 3 I [コー トランド・デイビッド・スミス] 春学期授業/Spring .....	321
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2044】 English 3 II [コー トランド・デイビッド・スミス] 秋学期授業/Fall .....	323
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2045】 English 3 I [吉 川 直澄] 春学期授業/Spring .....	325
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2046】 English 3 II [吉 川 直澄] 秋学期授業/Fall .....	327
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2047】 English 3 I [渡 辺 英依美] 春学期授業/Spring .....	329
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2048】 English 3 II [渡 辺 英依美] 秋学期授業/Fall .....	330
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2049】 English 3 I [URBANOVA JANA] 春学期授業/Spring .....	331
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2050】 English 3 II [URBANOVA JANA] 秋学期授業/Fall .....	333
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2051】 English 3 I [利 根川 真紀] 春学期授業/Spring .....	335
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2052】 English 3 II [利 根川 真紀] 秋学期授業/Fall .....	336
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2053】 English 3 I [吉 江 秀和] 春学期授業/Spring .....	337
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2054】 English 3 II [吉 江 秀和] 秋学期授業/Fall .....	339
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2055】 English 3 I [吉 田 季実子] 春学期授業/Spring .....	341
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2056】 English 3 II [吉 田 季実子] 秋学期授業/Fall .....	342
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2057】 English 3 I [大 和久 悌一郎] 春学期授業/Spring .....	343
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2058】 English 3 II [大 和久 悌一郎] 秋学期授業/Fall .....	344

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2059】 English 3 I [渡辺 英依美] 春学期授業/Spring .....	345
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2060】 English 3 II [渡辺 英依美] 秋学期授業/Fall .....	346
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2061】 English 3 I [猪俣 佳瑞美] 春学期授業/Spring .....	347
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2062】 English 3 II [猪俣 佳瑞美] 秋学期授業/Fall .....	349
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2063】 English 3 I [吉川 太恵子] 春学期授業/Spring .....	351
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2064】 English 3 II [吉川 太恵子] 秋学期授業/Fall .....	353
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2065】 English 3 I [猪俣 佳瑞美] 春学期授業/Spring .....	355
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2066】 English 3 II [猪俣 佳瑞美] 秋学期授業/Fall .....	357
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2067】 English 3 I [MARK E FIELD] 春学期授業/Spring .....	359
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2068】 English 3 II [MARK E FIELD] 秋学期授業/Fall .....	361
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2069】 English 3 I [URBANOVA JANA] 春学期授業/Spring .....	363
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2070】 English 3 II [石原 紀子] 秋学期授業/Fall .....	365
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2071】 English 3 I [Robert D. Hinton] 春学期授業/Spring .....	367
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2072】 English 3 II [Robert D. Hinton] 秋学期授業/Fall .....	368
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2073】 English 3 I [GENC BURCU] 春学期授業/Spring .....	369
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2074】 English 3 II [GENC BURCU] 秋学期授業/Fall .....	371
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2075】 English 3 I [Robert Durham] 春学期授業/Spring .....	373
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2076】 English 3 II [Robert Durham] 秋学期授業/Fall .....	375
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2077】 English 3 I [川澄 亜岐子] 春学期授業/Spring .....	377
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2078】 English 3 II [川澄 亜岐子] 秋学期授業/Fall .....	378
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2079】 English 3 I [RICHARD WILCOX] 春学期授業/Spring .....	379
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2080】 English 3 II [RICHARD WILCOX] 秋学期授業/Fall .....	381
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2081】 English 3 I [MICHAEL F.MURPHY] 春学期授業/Spring .....	383
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2082】 English 3 II [MICHAEL F.MURPHY] 秋学期授業/Fall .....	385
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2083】 English 3 I [小田井 勝彦] 春学期授業/Spring .....	386
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2084】 English 3 II [小田井 勝彦] 秋学期授業/Fall .....	387
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2085】 English 3 I [佐藤 陽子] 春学期授業/Spring .....	389
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2086】 English 3 II [佐藤 陽子] 秋学期授業/Fall .....	391

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2087】 English 3 I [今井 澄子] 春学期授業/Spring .....	393
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2088】 English 3 II [今井 澄子] 秋学期授業/Fall .....	395
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2089】 English 3 I [井上 紗央里] 春学期授業/Spring .....	397
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2090】 English 3 II [井上 紗央里] 秋学期授業/Fall .....	398
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2091】 English 3 I [TOBY TRAUB] 春学期授業/Spring .....	399
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2092】 English 3 II [TOBY TRAUB] 秋学期授業/Fall .....	401
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2093】 English 3 I [宮崎 早季] 春学期授業/Spring .....	403
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2094】 English 3 II [宮崎 早季] 秋学期授業/Fall .....	405
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2095】 English 3 I [猪俣 佳瑞美] 春学期授業/Spring .....	407
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2096】 English 3 II [猪俣 佳瑞美] 秋学期授業/Fall .....	409
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2097】 English 3 I [須藤 祐二] 春学期授業/Spring .....	411
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2098】 English 3 II [須藤 祐二] 秋学期授業/Fall .....	412
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2099】 English 3 I [萩原 眞一] 春学期授業/Spring .....	413
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2100】 English 3 II [萩原 眞一] 秋学期授業/Fall .....	415
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2101】 English 3 I [青山 恵子] 春学期授業/Spring .....	417
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2102】 English 3 II [青山 恵子] 秋学期授業/Fall .....	418
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2103】 English 3 I [MICHAEL F.MURPHY] 春学期授業/Spring .....	419
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2104】 English 3 II [MICHAEL F.MURPHY] 秋学期授業/Fall .....	421
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2105】 English 3 I [RICHARD WILCOX] 春学期授業/Spring .....	423
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2106】 English 3 II [RICHARD WILCOX] 秋学期授業/Fall .....	425
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2107】 English 3 I [井上 紗央里] 春学期授業/Spring .....	427
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2108】 English 3 II [井上 紗央里] 秋学期授業/Fall .....	428
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2109】 English 3 I [戸嶋 まゆみ] 春学期授業/Spring .....	429
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2110】 English 3 II [戸嶋 まゆみ] 秋学期授業/Fall .....	430
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2111】 English 3 I [佐藤 陽子] 春学期授業/Spring .....	431
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2112】 English 3 II [佐藤 陽子] 秋学期授業/Fall .....	433
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2113】 English 3 I [磯部 芳恵] 春学期授業/Spring .....	435
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2114】 English 3 II [磯部 芳恵] 秋学期授業/Fall .....	436

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2115】 English 3 I [今井 澄子] 春学期授業/Spring .....	437
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2116】 English 3 II [今井 澄子] 秋学期授業/Fall .....	439
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2117】 English 3 I [宮本 三恵子] 春学期授業/Spring .....	441
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2118】 English 3 II [宮本 三恵子] 秋学期授業/Fall .....	443
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2119】 English 3 I [大野 ロベルト] 春学期授業/Spring .....	445
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2120】 English 3 II [大野 ロベルト] 秋学期授業/Fall .....	446
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2121】 English 3 I [MARK E FIELD] 春学期授業/Spring .....	447
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2122】 English 3 II [MARK E FIELD] 秋学期授業/Fall .....	449
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2123】 English 3 I [Robert D. Hinton] 春学期授業/Spring .....	451
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2124】 English 3 II [Robert D. Hinton] 秋学期授業/Fall .....	452
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2125】 English 3 I [Kregg Johnston] 春学期授業/Spring .....	453
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2126】 English 3 II [Kregg Johnston] 秋学期授業/Fall .....	455
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2127】 English 3 I [Robert Durham] 春学期授業/Spring .....	457
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2128】 English 3 II [Robert Durham] 秋学期授業/Fall .....	459
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2129】 English 3 I [佐喜真 彩] 春学期授業/Spring .....	461
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2130】 English 3 II [佐喜真 彩] 秋学期授業/Fall .....	463
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2131】 English 3 I [Robert D. Hinton] 春学期授業/Spring .....	465
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2132】 English 3 II [Robert D. Hinton] 秋学期授業/Fall .....	466
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2133】 English 3 I [Robert Durham] 春学期授業/Spring .....	467
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2134】 English 3 II [Robert Durham] 秋学期授業/Fall .....	469
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2135】 English 3 I [川澄 亜岐子] 春学期授業/Spring .....	471
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2136】 English 3 II [川澄 亜岐子] 秋学期授業/Fall .....	472
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2137】 English 3 I [ELIKO M KOSAKA] 春学期授業/Spring .....	473
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2138】 English 3 II [ELIKO M KOSAKA] 秋学期授業/Fall .....	475
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2139】 English 3 I [岩下 弘史] 春学期授業/Spring .....	477
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2140】 English 3 II [岩下 弘史] 秋学期授業/Fall .....	478
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2141】 English 3 I [ウォルター・カズマー] 春学期授業/Spring .....	479
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2142】 English 3 II [ウォルター・カズマー] 秋学期授業/Fall .....	480

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2143】 English 3 I [CHIA-WEI KANG] 春学期授業/Spring.....	481
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2144】 English 3 II [CHIA-WEI KANG] 秋学期授業/Fall.....	483
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2145】 English 3 I [本 間 章郎] 春学期授業/Spring.....	485
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2146】 English 3 II [本 間 章郎] 秋学期授業/Fall.....	487
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2147】 English 3 I [GENC BURCU] 春学期授業/Spring.....	489
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2148】 English 3 II [GENC BURCU] 秋学期授業/Fall.....	491
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2149】 English 3 I [ジヨ ナサン・エイブル] 春学期授業/Spring.....	493
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2150】 English 3 II [ジヨ ナサン・エイブル] 秋学期授業/Fall.....	494
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2151】 English 3 I [余 田 剛] 春学期授業/Spring.....	495
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2152】 English 3 II [余 田 剛] 秋学期授業/Fall.....	496
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2153】 English 3 I [金 谷 優子] 春学期授業/Spring.....	497
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2154】 English 3 II [金 谷 優子] 秋学期授業/Fall.....	499
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2155】 English 3 I [川 澄 亜岐子] 春学期授業/Spring.....	501
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2156】 English 3 II [川 澄 亜岐子] 秋学期授業/Fall.....	502
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2157】 English 3 I [川 野 芽生] 春学期授業/Spring.....	503
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2158】 English 3 II [川 野 芽生] 秋学期授業/Fall.....	504
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2159】 English 3 I [岩 下 弘史] 春学期授業/Spring.....	505
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2160】 English 3 II [岩 下 弘史] 秋学期授業/Fall.....	507
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2161】 English 3 I [折 笠 真美] 春学期授業/Spring.....	509
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2162】 English 3 II [折 笠 真美] 秋学期授業/Fall.....	510
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2163】 English 3 I [TOBY TRAUB] 春学期授業/Spring.....	512
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2164】 English 3 II [TOBY TRAUB] 秋学期授業/Fall.....	514
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2165】 English 3 I [GENC BURCU] 春学期授業/Spring.....	516
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2166】 English 3 II [GENC BURCU] 秋学期授業/Fall.....	518
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2167】 English 3 I [STEPHEN P MCINTYRE] 春学期授業/Spring.....	520
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2168】 English 3 II [STEPHEN P MCINTYRE] 秋学期授業/Fall.....	523
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2169】 English 3 I [余 田 剛] 春学期授業/Spring.....	526
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2170】 English 3 II [余 田 剛] 秋学期授業/Fall.....	527

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2171】 English 3 I [金谷 優子] 春学期授業/Spring .....	528
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2172】 English 3 II [金谷 優子] 秋学期授業/Fall .....	530
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2173】 English 3 I [田口 清一] 春学期授業/Spring .....	532
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2174】 English 3 II [田口 清一] 秋学期授業/Fall .....	533
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2175】 English 3 I [川野 芽生] 春学期授業/Spring .....	534
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2176】 English 3 II [川野 芽生] 秋学期授業/Fall .....	535
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2177】 English 3 I [折笠 真美] 春学期授業/Spring .....	536
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2178】 English 3 II [折笠 真美] 秋学期授業/Fall .....	537
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2179】 English 3 I [岩崎 博] 春学期授業/Spring .....	539
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2180】 English 3 II [岩崎 博] 秋学期授業/Fall .....	541
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2181】 English 3 I [本間 章郎] 春学期授業/Spring .....	543
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2182】 English 3 II [本間 章郎] 秋学期授業/Fall .....	545
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2183】 English 3 I [猪俣 佳瑞美] 春学期授業/Spring .....	547
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2184】 English 3 II [猪俣 佳瑞美] 秋学期授業/Fall .....	549
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2185】 English 3 I [猪俣 佳瑞美] 春学期授業/Spring .....	551
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2186】 English 3 II [猪俣 佳瑞美] 秋学期授業/Fall .....	553
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2187】 English 3 I [本間 章郎] 春学期授業/Spring .....	555
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2188】 English 3 II [本間 章郎] 秋学期授業/Fall .....	557
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2201】 英語 7 [竹内 晶子] 春学期授業/Spring .....	559
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2202】 英語 7 [須藤 祐二] 春学期授業/Spring .....	560
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2203】 英語 7 [根本 怜奈] 春学期授業/Spring .....	561
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2204】 英語 7 [鹿子嶋 由佳] 春学期授業/Spring .....	562
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2205】 英語 7 [根本 怜奈] 春学期授業/Spring .....	564
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2206】 英語 7 [大野 口バルト] 春学期授業/Spring .....	565
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2207】 英語 7 [田中 邦佳] 春学期授業/Spring .....	566
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2208】 英語 8 [DONALD W WHYTE] 春学期授業/Spring .....	567
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2209】 英語 8 [JAMES D SHORT] 春学期授業/Spring .....	568
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2210】 英語 8 [MARK D BURNS] 春学期授業/Spring .....	570

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2211】 英語 8 [JAMES D SHORT] 春学期授業/Spring .....	571
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2212】 英語 8 [MARK D BURNS] 春学期授業/Spring .....	573
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2213】 英語 8 [ROBIN F WEICHERT] 春学期授業/Spring .....	574
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2214】 英語 8 [ROBIN F WEICHERT] 春学期授業/Spring .....	575
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2301】 英語オーラル・コミュニケーション I [ALAN M NICHOLLS] 春学期授業/Spring .....	576
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2302】 英語オーラル・コミュニケーション II [ALAN M NICHOLLS] 秋学期授業/Fall .....	578
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2303】 英語オーラル・コミュニケーション I [ELIKO M KOSAKA] 春学期授業/Spring .....	580
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2304】 英語オーラル・コミュニケーション II [ELIKO M KOSAKA] 秋学期授業/Fall .....	581
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2305】 英語オーラル・コミュニケーション I [LASSEGARD JAMES] 春学期授業/Spring .....	582
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2306】 英語オーラル・コミュニケーション II [LASSEGARD JAMES] 秋学期授業/Fall .....	583
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2351】 ビジネス・イングリッシュ I [JOHN REILLY] 春学期授業/Spring .....	584
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2352】 ビジネス・イングリッシュ II [JOHN REILLY] 秋学期授業/Fall .....	585
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2381】 English Reading and Vocabulary I [ウォルター・カズマー] 春学期授業/Spring .....	586
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2382】 English Reading and Vocabulary II [ウォルター・カズマー] 秋学期授業/Fall .....	587
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2383】 English Reading and Vocabulary I [ERIC J RITTER] 春学期授業/Spring .....	588
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2384】 English Reading and Vocabulary II [ERIC J RITTER] 秋学期授業/Fall .....	589
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2391】 English Academic Writing I [PAUL K KALLENDER] 春学期授業/Spring .....	590
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2392】 English Academic Writing II [PAUL K KALLENDER] 秋学期授業/Fall .....	592
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2393】 English Academic Writing I [MARK D BURNS] 春学期授業/Spring .....	594
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2394】 English Academic Writing II [MARK D BURNS] 秋学期授業/Fall .....	595
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2395】 English Academic Writing I [ALAN M NICHOLLS] 春学期授業/Spring .....	596
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2396】 English Academic Writing II [ALAN M NICHOLLS] 秋学期授業/Fall .....	598
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2401】 英語で学ぶ社会と文化 I [田中 邦佳] 春学期授業/Spring .....	600
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2402】 英語で学ぶ社会と文化 II [田中 邦佳] 秋学期授業/Fall .....	602
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2403】 英語で学ぶ社会と文化 I [根本 怜奈] 春学期授業/Spring .....	604
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2404】 英語で学ぶ社会と文化 II [根本 怜奈] 秋学期授業/Fall .....	605
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2405】 英語で学ぶ社会と文化 I [萩原 眞一] 春学期授業/Spring .....	606
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2406】 英語で学ぶ社会と文化 II [萩原 眞一] 秋学期授業/Fall .....	608



2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2407】 英語で学ぶ 社会と文化Ⅰ [余田 剛] 春学期授業/Spring .....	610
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2408】 英語で学ぶ 社会と文化Ⅱ [余田 剛] 秋学期授業/Fall .....	612
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2409】 英語で学ぶ 社会と文化Ⅰ [金谷 優子] 春学期授業/Spring .....	614
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2410】 英語で学ぶ 社会と文化Ⅱ [金谷 優子] 秋学期授業/Fall .....	616
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2411】 英語で学ぶ 社会と文化Ⅰ [大曲 陽子] 春学期授業/Spring .....	618
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2412】 英語で学ぶ 社会と文化Ⅱ [大曲 陽子] 秋学期授業/Fall .....	620
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2441】 English PresentationⅠ [NADER Jamelea] 春学期授業/Spring .....	622
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2442】 English PresentationⅡ [NADER Jamelea] 秋学期授業/Fall .....	624
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2443】 English PresentationⅠ [JOHN REILLY] 春学期授業/Spring .....	626
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2444】 English PresentationⅡ [JOHN REILLY] 秋学期授業/Fall .....	627
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2445】 English PresentationⅠ [コートランド・デイビッド・スミス] 春学期授業/Spring .....	628
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2446】 English PresentationⅡ [コートランド・デイビッド・スミス] 秋学期授業/Fall .....	630
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2447】 English PresentationⅠ [MARK D BURNS] 春学期授業/Spring .....	632
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2448】 English PresentationⅡ [MARK D BURNS] 秋学期授業/Fall .....	633
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2451】 英語アカデ ミック・リーディングⅠ [岩崎 博] 春学期授業/Spring .....	634
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2452】 英語アカデ ミック・リーディングⅡ [岩崎 博] 秋学期授業/Fall .....	636
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2481】 英語検定試 験対策Ⅰ [久慈 美貴] 春学期授業/Spring .....	638
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2482】 英語検定試 験対策Ⅱ [久慈 美貴] 秋学期授業/Fall .....	640
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2483】 英語検定試 験対策Ⅰ [青山 恵子] 春学期授業/Spring .....	642
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2484】 英語検定試 験対策Ⅱ [青山 恵子] 秋学期授業/Fall .....	643
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2485】 英語検定試 験対策Ⅰ [宮崎 早季] 春学期授業/Spring .....	644
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2486】 英語検定試 験対策Ⅱ [宮崎 早季] 秋学期授業/Fall .....	645
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2487】 英語検定試 験対策Ⅰ [高橋 佳江] 春学期授業/Spring .....	646
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2488】 英語検定試 験対策Ⅱ [高橋 佳江] 秋学期授業/Fall .....	648
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2601】 Oral CommunicationⅠ [板橋 美也] 春学期授業/Spring .....	650
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2602】 Oral CommunicationⅡ [板橋 美也] 秋学期授業/Fall .....	651
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2611】 English through Movies and DramaⅠ [井上 紗央里] 春学期授業/Spring .....	652
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2612】 English through Movies and DramaⅡ [井上 紗央里] 秋学期授業/Fall .....	653

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2613】 English through Movies and Drama I [舟橋 美香] 春学期授業/Spring .....	654
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2614】 English through Movies and Drama II [舟橋 美香] 秋学期授業/Fall .....	655
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2621】 TOEIC(R) I [井上 紗央里] 春学期授業/Spring .....	656
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2622】 TOEIC(R) II [井上 紗央里] 秋学期授業/Fall .....	657
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2623】 TOEIC(R) I [板橋 美也] 春学期授業/Spring .....	658
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2624】 TOEIC(R) II [板橋 美也] 秋学期授業/Fall .....	659
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2631】 英語検定試験対策 I [青山 恵子] 春学期授業/Spring .....	660
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2632】 英語検定試験対策 II [青山 恵子] 秋学期授業/Fall .....	661
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2641】 Business Communication I [今井 澄子] 春学期授業/Spring .....	662
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2642】 Business Communication II [今井 澄子] 秋学期授業/Fall .....	664
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2651】 ニュース英語 I [塩谷 幸子] 春学期授業/Spring .....	666
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2652】 ニュース英語 II [塩谷 幸子] 秋学期授業/Fall .....	667
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2701】 Practical English (オーラル・コミュニケーション) A-I [RICHARD SHEEHAN] 春学期授業/Spring .....	668
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2702】 Practical English (オーラル・コミュニケーション) A-II [RICHARD SHEEHAN] 秋学期授業/Fall .....	669
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2711】 Practical English (オーラル・コミュニケーション) B-I [RICHARD SHEEHAN] 春学期授業/Spring .....	670
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2712】 Practical English (オーラル・コミュニケーション) B-II [RICHARD SHEEHAN] 秋学期授業/Fall .....	671
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2721】 English for Study Abroad I [高井 美紀子] 春学期授業/Spring .....	672
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2723】 English for Study Abroad II [北 文美子] 春学期授業/Spring .....	674
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2731】 Practical English (ビジネス・コミュニケーション) A-I [戸嶋 まゆみ] 春学期授業/Spring .....	675
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2732】 Practical English (ビジネス・コミュニケーション) A-II [戸嶋 まゆみ] 秋学期授業/Fall .....	676
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2741】 Practical English (ビジネス・コミュニケーション) B-I [Kregg Johnston] 春学期授業/Spring .....	677
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2742】 Practical English (ビジネス・コミュニケーション) B-II [Kregg Johnston] 秋学期授業/Fall .....	679
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2751】 Practical English (英語検定試験対策) A-I [大和久 悌一郎] 春学期授業/Spring .....	681
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2752】 Practical English (英語検定試験対策) A-II [大和久 悌一郎] 秋学期授業/Fall .....	682
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2761】 Practical English (英語検定試験対策) B-I [光野 昭雄] 春学期授業/Spring .....	683
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2762】 Practical English (英語検定試験対策) B-II [光野 昭雄] 秋学期授業/Fall .....	684
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R3503】 日本語 1 I [尾形 太郎] 春学期授業/Spring .....	685
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R3504】 日本語 1 II [尾形 太郎] 秋学期授業/Fall .....	686

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R3601】 日本語 3 I [尾形 太郎] 春学期授業/Spring .....	688
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R3602】 日本語 3 II [尾形 太郎] 秋学期授業/Fall .....	689
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R3603】 日本語 3 I [尾形 太郎] 春学期授業/Spring .....	690
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R3604】 日本語 3 II [尾形 太郎] 秋学期授業/Fall .....	691
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R3605】 日本語 3 I [中沢 佐企子] 春学期授業/Spring .....	692
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R3606】 日本語 3 II [中沢 佐企子] 秋学期授業/Fall .....	693
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R3611】 日本語 4 I [戸村 佳代] 春学期授業/Spring .....	695
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R3612】 日本語 4 II [戸村 佳代] 秋学期授業/Fall .....	697
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R3613】 日本語 4 I [新谷 あゆり] 春学期授業/Spring .....	699
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R3614】 日本語 4 II [新谷 あゆり] 秋学期授業/Fall .....	700
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R3615】 日本語 4 I [板井 美佐] 春学期授業/Spring .....	701
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R3616】 日本語 4 II [板井 美佐] 秋学期授業/Fall .....	702
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R3621】 日本語の世界 L A [尾形 太郎] 春学期授業/Spring .....	703
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R3622】 日本語の世界 L B [尾形 太郎] 秋学期授業/Fall .....	705
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R3623】 日本の文化と社会 L A [尾形 太郎] 春学期授業/Spring .....	707
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R3624】 日本の文化と社会 L B [尾形 太郎] 秋学期授業/Fall .....	709
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4201】 ドイツ語 3 I [JENS OSTWALD] 春学期授業/Spring .....	711
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4202】 ドイツ語 3 II [JENS OSTWALD] 秋学期授業/Fall .....	712
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4205】 ドイツ語 3 I [岡本 雅克] 春学期授業/Spring .....	713
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4206】 ドイツ語 3 II [岡本 雅克] 秋学期授業/Fall .....	714
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4207】 ドイツ語 3 I [外山 知子] 春学期授業/Spring .....	715
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4208】 ドイツ語 3 II [外山 知子] 秋学期授業/Fall .....	716
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4211】 ドイツ語 3 I [小野間 亮 子] 春学期授業/Spring .....	717
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4212】 ドイツ語 3 II [小野間 亮 子] 秋学期授業/Fall .....	718
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4215】 ドイツ語 3 I [外山 知子] 春学期授業/Spring .....	719
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4216】 ドイツ語 3 II [外山 知子] 秋学期授業/Fall .....	720
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4217】 ドイツ語 3 I [日中 鎮朗] 春学期授業/Spring .....	721
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4218】 ドイツ語 3 II [日中 鎮朗] 秋学期授業/Fall .....	722

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4221】 ドイツ語 3 I [岡本 雅克] 春学期授業/Spring .....	723
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4222】 ドイツ語 3 II [岡本 雅克] 秋学期授業/Fall .....	724
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4223】 ドイツ語 3 I [D. ハイデ ンライヒ] 春学期授業/Spring .....	725
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4224】 ドイツ語 3 II [D. ハイデ ンライヒ] 秋学期授業/Fall .....	726
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4225】 ドイツ語 3 I [ADAM D JAMBOR] 春学期授業/Spring .....	727
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4226】 ドイツ語 3 II [ADAM D JAMBOR] 秋学期授業/Fall .....	728
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4227】 ドイツ語 3 I [児島 由理] 春学期授業/Spring .....	729
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4228】 ドイツ語 3 II [児島 由理] 秋学期授業/Fall .....	730
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R4241】 ドイツ語 4 I [日中 鎮朗] 春学期授業/Spring .....	731
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R4242】 ドイツ語 4 II [日中 鎮朗] 秋学期授業/Fall .....	733
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R4243】 ドイツ語 4 I [三ツ石 祐子] 春学期授業/Spring .....	735
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R4244】 ドイツ語 4 II [三ツ石 祐子] 秋学期授業/Fall .....	736
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R4245】 ドイツ語 4 I [丸山 達也] 春学期授業/Spring .....	737
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R4246】 ドイツ語 4 II [丸山 達也] 秋学期授業/Fall .....	739
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4251】 ドイツ語 (3) I [ADAM D JAMBOR] 春学期授業/Spring .....	740
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4252】 ドイツ語 (3) II [ADAM D JAMBOR] 秋学期授業/Fall .....	741
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4261】 ドイツ語 7 [林 志津江] 春学期授業/Spring .....	742
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4262】 ドイツ語 8 [熊田 泰章] 春学期授業/Spring .....	744
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4271】 ドイツ語 3-I [平松 英 人] 春学期授業/Spring .....	745
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4272】 ドイツ語 3-II [平松 英 人] 秋学期授業/Fall .....	746
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4273】 ドイツ語 3-I [辻 英史] 春学期授業/Spring .....	747
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R4274】 ドイツ語 3-II [辻 英史] 秋学期授業/Fall .....	748
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R4281】 ドイツ語コ ミュニケーション I [JENS OSTWALD] 春学期授業/Spring .....	749
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R4282】 ドイツ語コ ミュニケーション II [JENS OSTWALD] 秋学期授業/Fall .....	750
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R4283】 ドイツ語表現 法 I [Schmidt Ute] 春学期授業/Spring .....	751
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R4284】 ドイツ語表現 法 II [Schmidt Ute] 秋学期授業/Fall .....	752
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R4285】 ドイツ語視 聴覚 I [D. ハイデンライヒ] 春学期授業/Spring .....	753
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R4286】 ドイツ語視 聴覚 II [D. ハイデンライヒ] 秋学期授業/Fall .....	754

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R4287】 SDGs で学 ぶドイツ語 I [熊田 泰章] 春学期授業/Spring .....	755
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R4288】 SDGs で学 ぶドイツ語 II [熊田 泰章] 秋学期授業/Fall .....	757
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R4293】 入門ドイツ 語 (SSI) I [梶谷 雄二] 春学期授業/Spring .....	759
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R4294】 入門ドイツ 語 (SSI) II [梶谷 雄二] 秋学期授業/Fall .....	760
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R4295】 ドイツ語の世界 L A [Schmidt Ute] 春学期授業/Spring .....	761
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R4296】 ドイツ語の世界 L B [Schmidt Ute] 秋学期授業/Fall .....	762
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R4297】 ドイツの文化と社 会 L A [上田 知夫] 春学期授業/Spring .....	764
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R4298】 ドイツの文化と社 会 L B [上田 知夫] 秋学期授業/Fall .....	765
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5201】 フランス語 3 I [西川 純 子] 春学期授業/Spring .....	766
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5202】 フランス語 3 II [西川 純 子] 秋学期授業/Fall .....	767
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5203】 フランス語 3 I [中村 美 緒] 春学期授業/Spring .....	768
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5204】 フランス語 3 II [中村 美 緒] 秋学期授業/Fall .....	769
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5205】 フランス語 3 I [竹本 研 史] 春学期授業/Spring .....	770
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5206】 フランス語 3 II [竹本 研 史] 秋学期授業/Fall .....	771
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5207】 フランス語 3 I [柴崎 秀 穂] 春学期授業/Spring .....	772
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5208】 フランス語 3 II [柴崎 秀 穂] 秋学期授業/Fall .....	773
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5209】 フランス語 3 I [柴田 恵 美] 春学期授業/Spring .....	774
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5210】 フランス語 3 II [柴田 恵 美] 秋学期授業/Fall .....	775
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5211】 フランス語 3 I [稲垣 正 久] 春学期授業/Spring .....	776
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5212】 フランス語 3 II [稲垣 正 久] 秋学期授業/Fall .....	777
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5213】 フランス語 3 I [西川 純 子] 春学期授業/Spring .....	778
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5214】 フランス語 3 II [西川 純 子] 秋学期授業/Fall .....	779
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5215】 フランス語 3 I [山口 雅 敏] 春学期授業/Spring .....	780
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5216】 フランス語 3 II [山口 雅 敏] 秋学期授業/Fall .....	781
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5219】 フランス語 3 I [柴田 恵 美] 春学期授業/Spring .....	782
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5220】 フランス語 3 II [柴田 恵 美] 秋学期授業/Fall .....	783
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5221】 フランス語 3 I [柴田 恵 美] 春学期授業/Spring .....	784
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5222】 フランス語 3 II [柴田 恵 美] 秋学期授業/Fall .....	785

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5223】 フランス語 3 I (インテンシブ) [近江屋 志穂] 春学期授業/Spring .....	786
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5224】 フランス語 3 II (インテンシブ) [近江屋 志穂] 秋学期授業/Fall.....	787
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R5241】 フランス語 4 I [江澤 健一郎] 春学期授業/Spring .....	788
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R5242】 フランス語 4 II [江澤 健一郎] 秋学期授業/Fall .....	789
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R5243】 フランス語 4 I [廣松 勲] 春学期授業/Spring .....	790
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R5244】 フランス語 4 II [廣松 勲] 秋学期授業/Fall .....	792
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R5245】 フランス語 5 I [村松 マリ=エマニュエル] 春学期授業/Spring .....	793
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R5246】 フランス語 5 II [村松 マリ=エマニュエル] 秋学期授業/Fall .....	794
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R5247】 フランス語 4 I [中村 美緒] 春学期授業/Spring .....	795
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R5248】 フランス語 4 II [中村 美緒] 秋学期授業/Fall .....	796
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R5249】 フランス語 4 I [鈴木 正道] 春学期授業/Spring .....	797
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R5250】 フランス語 4 II [鈴木 正道] 秋学期授業/Fall .....	798
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5251】 フランス語 (3) I [コリンヌ ヴァリエンス] 春学期授業/Spring .....	799
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5252】 フランス語 (3) II [コリンヌ ヴァリエンス] 秋学期授業/Fall .....	800
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5257】 フランス語 7 [岡村 民夫] 春学期授業/Spring .....	801
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5258】 フランス語 8 [ル・ルー清野 ブレンダン] 春学期授業/Spring .....	802
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5261】 フランス語 3-I [柴崎 秀穂] 春学期授業/Spring .....	803
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5262】 フランス語 3-II [柴崎 秀穂] 秋学期授業/Fall.....	804
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5263】 フランス語 3-I [竹本 研史] 春学期授業/Spring .....	805
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R5264】 フランス語 3-II [竹本 研史] 秋学期授業/Fall.....	806
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R5271】 フランス語の世界 LA [廣松 勲] 春学期授業/Spring .....	807
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R5272】 フランス語の世界 LB [廣松 勲] 秋学期授業/Fall.....	809
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R5273】 フランス語 コミュニケーション (初級) I [ニコラ ガイヤール] 春学期授業/Spring .....	811
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R5274】 フランス語 コミュニケーション (初級) II [ニコラ ガイヤール] 秋学期授業/Fall.....	812
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R5279】 時事フランス語 I [大中 一彌] 春学期授業/Spring.....	813
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R5280】 時事フランス語 II [大中 一彌] 秋学期授業/Fall .....	815
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R5291】 フランスの文化と社会 LA [鈴木 正道] 春学期授業/Spring .....	818
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R5292】 フランスの文化と社会 LB [鈴木 正道] 秋学期授業/Fall .....	820

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R5293】 フランス生活文化論 L A [河村 英和] サマーセッション/Summer Session.....	822
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R5294】 フランス生活文化論 L B [河村 英和] 秋学期授業/Fall.....	824
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R5295】 フランス生活文化論 L A [梶谷 彩子] 春学期授業/Spring.....	826
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R5296】 フランス生活文化論 L B [梶谷 彩子] 秋学期授業/Fall.....	827
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R6201】 ロシア語 3 I [木部 敬] 春学期授業/Spring.....	828
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R6202】 ロシア語 3 II [木部 敬] 秋学期授業/Fall.....	829
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R6203】 ロシア語 3 I [小西 昌隆] 春学期授業/Spring.....	830
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R6204】 ロシア語 3 II [小西 昌隆] 秋学期授業/Fall.....	831
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R6205】 ロシア語 3 I [小西 昌隆] 春学期授業/Spring.....	832
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R6206】 ロシア語 3 II [小西 昌隆] 秋学期授業/Fall.....	833
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R6211】 ロシア語 4 I [木部 敬] 春学期授業/Spring.....	834
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R6212】 ロシア語 4 II [木部 敬] 秋学期授業/Fall.....	835
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R6213】 ロシア語 4 I [上野 理恵] 春学期授業/Spring.....	836
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R6214】 ロシア語 4 II [上野 理恵] 秋学期授業/Fall.....	837
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R6215】 ロシア語 5 I [エレナ 三神] 春学期授業/Spring.....	838
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R6216】 ロシア語 5 II [エレナ 三神] 秋学期授業/Fall.....	839
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R6221】 ロシア語 7 [佐藤 千登勢] 春学期授業/Spring.....	840
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R6222】 ロシア語 8 [上野 理恵] 春学期授業/Spring.....	841
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R6231】 ロシア語 3-I [木部 敬] 春学期授業/Spring.....	842
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R6232】 ロシア語 3-II [木部 敬] 秋学期授業/Fall.....	843
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R6241】 ロシア語の世界 L A [木部 敬] 春学期授業/Spring.....	844
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R6242】 ロシア語の世界 L B [木部 敬] 秋学期授業/Fall.....	845
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R6243】 ロシアの文化と社会 L A [佐藤 千登勢] 春学期授業/Spring.....	846
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R6244】 ロシアの文化と社会 L B [佐藤 千登勢] 秋学期授業/Fall.....	848
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7301】 中国語 3 I [李 維涛] 春学期授業/Spring.....	850
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7302】 中国語 3 II [李 維涛] 秋学期授業/Fall.....	852
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7303】 中国語 3 I [祝 振媛] 春学期授業/Spring.....	854
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7304】 中国語 3 II [祝 振媛] 秋学期授業/Fall.....	856

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7305】 中国語 3 I [劉 湯水] 春 学期授業/Spring .....	858
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7306】 中国語 3 II [劉 湯水] 秋 学期授業/Fall .....	859
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7307】 中国語 3 I [木村 佳代子] 春学期授業/Spring .....	860
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7308】 中国語 3 II [木村 佳代子] 秋学期授業/Fall .....	861
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7309】 中国語 3 I [陳 瀟瀟] 春 学期授業/Spring .....	862
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7310】 中国語 3 II [陳 瀟瀟] 秋 学期授業/Fall .....	863
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7311】 中国語 3 I [耿 函] 春学 期授業/Spring .....	864
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7312】 中国語 3 II [耿 函] 秋学 期授業/Fall .....	865
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7313】 中国語 3 I [李 維涛] 春 学期授業/Spring .....	866
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7314】 中国語 3 II [李 維涛] 秋 学期授業/Fall .....	868
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7315】 中国語 3 I [陳 瀟瀟] 春 学期授業/Spring .....	870
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7316】 中国語 3 II [陳 瀟瀟] 秋 学期授業/Fall .....	871
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7317】 中国語 3 I [桑島 道夫] 春学期授業/Spring .....	872
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7318】 中国語 3 II [桑島 道夫] 秋学期授業/Fall .....	873
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7319】 中国語 3 I [木村 佳代子] 春学期授業/Spring .....	874
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7320】 中国語 3 II [木村 佳代子] 秋学期授業/Fall .....	875
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7321】 中国語 3 I [王 翠莉] 春 学期授業/Spring .....	876
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7322】 中国語 3 II [王 翠莉] 秋 学期授業/Fall .....	878
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7323】 中国語 3 I [柴崎 公美子] 春学期授業/Spring .....	880
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7324】 中国語 3 II [柴崎 公美子] 秋学期授業/Fall .....	882
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7325】 中国語 3 I [王 翠莉] 春 学期授業/Spring .....	884
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7326】 中国語 3 II [王 翠莉] 秋 学期授業/Fall .....	886
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7327】 中国語 3 I [葉 進] 春学 期授業/Spring .....	888
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7328】 中国語 3 II [葉 進] 秋学 期授業/Fall .....	889
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7329】 中国語 3 I [周 重雷] 春 学期授業/Spring .....	890
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7330】 中国語 3 II [周 重雷] 秋 学期授業/Fall .....	891
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7331】 中国語 3 I [李 維涛] 春 学期授業/Spring .....	892
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7332】 中国語 3 II [李 維涛] 秋 学期授業/Fall .....	894



2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7333】 中国語 3 I [陳 瀟瀟] 春 学期授業/Spring .....	896
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7334】 中国語 3 II [陳 瀟瀟] 秋 学期授業/Fall .....	897
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7335】 中国語 3 I [ショウ イク テイ] 春学期授業/Spring .....	898
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7336】 中国語 3 II [ショウ イク テイ] 秋学期授業/Fall .....	899
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7337】 中国語 3 I [王 翠莉] 春 学期授業/Spring .....	900
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7338】 中国語 3 II [王 翠莉] 秋 学期授業/Fall .....	902
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7339】 中国語 3 I [康 鴻音] 春 学期授業/Spring .....	904
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7340】 中国語 3 II [康 鴻音] 秋 学期授業/Fall .....	905
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7341】 中国語 3 I [陳 瀟瀟] 春 学期授業/Spring .....	906
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7342】 中国語 3 II [陳 瀟瀟] 秋 学期授業/Fall .....	907
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7343】 中国語 3 I [葉 会] 春学 期授業/Spring .....	908
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7344】 中国語 3 II [葉 会] 秋学 期授業/Fall .....	909
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7345】 中国語 3 I [李 維涛] 春 学期授業/Spring .....	910
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7346】 中国語 3 II [李 維涛] 秋 学期授業/Fall .....	912
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7347】 中国語 3 I [後藤 淳一] 春学期授業/Spring .....	914
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7348】 中国語 3 II [後藤 淳一] 秋学期授業/Fall .....	915
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7349】 中国語 3 I [劉 湯水] 春 学期授業/Spring .....	916
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7350】 中国語 3 II [劉 湯水] 秋 学期授業/Fall .....	917
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7351】 中国語 3 I [渡部 れい子] 春学期授業/Spring .....	918
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7352】 中国語 3 II [渡部 れい子] 秋学期授業/Fall .....	919
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7353】 中国語 3 I [三田村 圭子] 春学期授業/Spring .....	920
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7354】 中国語 3 II [三田村 圭子] 秋学期授業/Fall .....	921
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7355】 中国語 3 I [王 安] 春学 期授業/Spring .....	922
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7356】 中国語 3 II [王 安] 秋学 期授業/Fall .....	924
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7371】 中国語 4 I [三田村 圭子] 春学期授業/Spring .....	926
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7372】 中国語 4 II [三田村 圭子] 秋学期授業/Fall .....	927
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7373】 中国語 4 I [葉 会] 春学期授業/Spring .....	929
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7374】 中国語 4 II [葉 会] 秋学期授業/Fall .....	930

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7375】 中国語 4 I [渋井 君也] 春学期授業/Spring .....	931
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7376】 中国語 4 II [渋井 君也] 秋学期授業/Fall .....	932
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7377】 中国語 4 I [余 瀾] 春学期授業/Spring .....	933
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7378】 中国語 4 II [余 瀾] 秋学期授業/Fall .....	934
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7379】 中国語 4 I [ショウ イクテイ] 春学期授業/Spring .....	935
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7380】 中国語 4 II [ショウ イクテイ] 秋学期授業/Fall .....	936
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7381】 中国語 4 I [祝 振媛] 春学期授業/Spring .....	937
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7382】 中国語 4 II [祝 振媛] 秋学期授業/Fall .....	939
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7383】 中国語 4 I [渋井 君也] 春学期授業/Spring .....	941
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7384】 中国語 4 II [渋井 君也] 秋学期授業/Fall .....	942
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7385】 中国語 (3) I [耿 函] 春 学期授業/Spring .....	943
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7386】 中国語 (3) II [耿 函] 秋 学期授業/Fall .....	944
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7387】 中国語 (3) I [耿 函] 春 学期授業/Spring .....	945
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7388】 中国語 (3) II [耿 函] 秋 学期授業/Fall .....	946
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7391】 中国語 7 [曾 士才] 春学 期授業/Spring .....	947
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7392】 中国語 8 [鈴木 靖] 春学 期授業/Spring .....	948
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7401】 中国語 3-I [日原 傳] 春 学期授業/Spring .....	949
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7402】 中国語 3-II [日原 傳] 秋 学期授業/Fall .....	950
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7403】 中国語 3-I [王 翠莉] 春 学期授業/Spring .....	951
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7404】 中国語 3-II [王 翠莉] 秋 学期授業/Fall .....	953
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7405】 中国語 3-I [三田村 圭 子] 春学期授業/Spring .....	955
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7406】 中国語 3-II [三田村 圭 子] 秋学期授業/Fall .....	956
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7407】 中国語 3-I [葉 進] 春学 期授業/Spring .....	957
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R7408】 中国語 3-II [葉 進] 秋学 期授業/Fall .....	958
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R7413】 中国語コ ミュニケーション初級 I [周 重雷] 春学期授業/Spring .....	959
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R7414】 中国語コ ミュニケーション初級 II [周 重雷] 秋学期授業/Fall .....	960
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7431】 中国語作文初 級 I [康 鴻音] 春学期授業/Spring .....	961
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7432】 中国語作文初 級 II [康 鴻音] 秋学期授業/Fall .....	962

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7433】 中国語視聴覚 初級 I [劉 渴水] 春学期授業/Spring .....	963
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7434】 中国語視聴覚 初級 II [劉 渴水] 秋学期授業/Fall .....	964
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R7437】 資格中国語 初級 I [青木 正子] 春学期授業/Spring .....	965
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R7438】 資格中国語 初級 II [青木 正子] 秋学期授業/Fall .....	966
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R7447】 中国の文化と社会 L A [山本 律] 春学期授業/Spring .....	967
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R7448】 中国の文化と社会 L B [山本 律] 秋学期授業/Fall .....	968
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8201】 スペイン語 3 I [若林 大 我] 春学期授業/Spring .....	969
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8202】 スペイン語 3 II [若林 大 我] 秋学期授業/Fall .....	970
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8203】 スペイン語 3 I [杉下 由 紀子] 春学期授業/Spring .....	971
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8204】 スペイン語 3 II [杉下 由 紀子] 秋学期授業/Fall .....	972
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8207】 スペイン語 3 I [塩崎 公 靖] 春学期授業/Spring .....	973
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8208】 スペイン語 3 II [塩崎 公 靖] 秋学期授業/Fall .....	974
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8209】 スペイン語 3 I [コルメナ ロメロ ロベルト] 春学期授業/Spring .....	975
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8210】 スペイン語 3 II [コルメナ ロメロ ロベルト] 秋学期授業/Fall .....	976
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8211】 スペイン語 3 I [コルメナ ロメロ ロベルト] 春学期授業/Spring .....	977
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8212】 スペイン語 3 II [コルメナ ロメロ ロベルト] 秋学期授業/Fall .....	978
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8213】 スペイン語 3 I [杉下 由 紀子] 春学期授業/Spring .....	979
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8214】 スペイン語 3 II [杉下 由 紀子] 秋学期授業/Fall .....	980
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8215】 スペイン語 3 I [塩崎 公 靖] 春学期授業/Spring .....	981
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8216】 スペイン語 3 II [塩崎 公 靖] 秋学期授業/Fall .....	982
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8217】 スペイン語 3 I [塩崎 公 靖] 春学期授業/Spring .....	983
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8218】 スペイン語 3 II [塩崎 公 靖] 秋学期授業/Fall .....	984
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8219】 スペイン語 3 I [コルメナ ロメロ ロベルト] 春学期授業/Spring .....	985
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8220】 スペイン語 3 II [コルメナ ロメロ ロベルト] 秋学期授業/Fall .....	986
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8221】 スペイン語 3 I [BARRIENTOS R J DAVID] 春学期授業/Spring .....	987
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8222】 スペイン語 3 II [BARRIENTOS R J DAVID] 秋学期授業/Fall .....	988
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8223】 スペイン語 3 I [OSNO I DE SASAKUBO H] 春学期授業/Spring .....	989
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8224】 スペイン語 3 II [OSNO I DE SASAKUBO H] 秋学期授業/Fall .....	990

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8225】 スペイン語 3 I [若林 大我] 春学期授業/Spring.....	991
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8226】 スペイン語 3 II [若林 大我] 秋学期授業/Fall.....	992
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8227】 スペイン語 3 I [コルメナ ロメロ ロベルト] 春学期授業/Spring.....	993
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8228】 スペイン語 3 II [コルメナ ロメロ ロベルト] 秋学期授業/Fall.....	994
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8231】 スペイン語 3 I [長谷川 悦夫] 春学期授業/Spring.....	995
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8232】 スペイン語 3 II [長谷川 悦夫] 秋学期授業/Fall.....	997
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R8261】 スペイン語 4 I [OSNO I DE SASAKUBO H] 春学期授業/Spring.....	998
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R8262】 スペイン語 4 II [OSNO I DE SASAKUBO H] 秋学期授業/Fall.....	999
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R8263】 スペイン語 4 I [OSNO I DE SASAKUBO H] 春学期授業/Spring.....	1000
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R8264】 スペイン語 4 II [OSNO I DE SASAKUBO H] 秋学期授業/Fall.....	1001
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R8265】 スペイン語 4 I [宮田 絵津子] 春学期授業/Spring.....	1002
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R8266】 スペイン語 4 II [宮田 絵津子] 秋学期授業/Fall.....	1003
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8271】 スペイン語 (3) I [宮田 絵津子] 春学期授業/Spring.....	1004
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8272】 スペイン語 (3) II [宮田 絵津子] 秋学期授業/Fall.....	1005
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8273】 スペイン語 (3) I [塩崎 公靖] 春学期授業/Spring.....	1006
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8274】 スペイン語 (3) II [塩崎 公靖] 秋学期授業/Fall.....	1007
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8281】 スペイン語 7 [大西 亮] 春学期授業/Spring.....	1008
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8282】 スペイン語 8 [佐々木 直美] 春学期授業/Spring.....	1009
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8291】 スペイン語 3-I [OSNO I DE SASAKUBO H] 春学期授業/Spring.....	1010
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8292】 スペイン語 3-II [OSNO I DE SASAKUBO H] 秋学期授業/Fall.....	1011
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8293】 スペイン語 3-I [大西 亮] 春学期授業/Spring.....	1012
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R8294】 スペイン語 3-II [大西 亮] 秋学期授業/Fall.....	1013
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R8301】 スペイン語 コミュニケーション I [瓜谷 アウロラ] 春学期授業/Spring.....	1014
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R8302】 スペイン語 コミュニケーション II [瓜谷 アウロラ] 秋学期授業/Fall.....	1015
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R8303】 現代のスペイン語 I [大西 亮] 春学期授業/Spring.....	1017
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R8304】 現代のスペイン語 II [久木 正雄] 秋学期授業/Fall.....	1018
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R8305】 スペイン語の世界 LA [塩崎 公靖] 春学期授業/Spring.....	1019
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R8306】 スペイン語の世界 LB [塩崎 公靖] 秋学期授業/Fall.....	1020



2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9245】 朝鮮語 4 A I [内山 政春] 春学期授業/Spring .....	1059
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9246】 朝鮮語 4 A II [内山 政春] 秋学期授業/Fall .....	1061
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R9251】 朝鮮語 (3) I [李 英美] 春学期授業/Spring .....	1063
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R9252】 朝鮮語 (3) II [李 英美] 秋学期授業/Fall .....	1064
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R9261】 朝鮮語 7 [内山 政春] 春 学期授業/Spring .....	1065
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R9262】 朝鮮語 8 [高柳 俊男] 春 学期授業/Spring .....	1066
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R9271】 朝鮮語 3-I [荻野 優子] 春学期授業/Spring .....	1067
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R9272】 朝鮮語 3-II [荻野 優子] 秋学期授業/Fall .....	1068
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R9273】 朝鮮語 3-I [新谷 あゆ り] 春学期授業/Spring .....	1069
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [必修] 諸外国語 【R9274】 朝鮮語 3-II [新谷 あゆ り] 秋学期授業/Fall .....	1070
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9283】 朝鮮語 4 B I (視聴覚) [新谷 あゆり] 春学期授業/Spring .....	1071
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9284】 朝鮮語 4 B II (視聴覚) [新谷 あゆり] 秋学期授業/Fall .....	1072
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R9285】 朝鮮語 5 A I (講読) [吉良 佳奈江] 春学期授業/Spring .....	1073
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R9286】 朝鮮語 5 A II (講読) [吉良 佳奈江] 秋学期授業/Fall .....	1075
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R9287】 朝鮮語 5 B I (表現法) [神谷 丹路] 春学期授業/Spring .....	1076
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R9288】 朝鮮語 5 B II (表現法) [神谷 丹路] 秋学期授業/Fall .....	1077
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R9289】 朝鮮の文化と社会 L A [李 英美] 春学期授業/Spring .....	1078
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群 (諸外国語分野) 【R9290】 朝鮮の文化と社会 L B [李 英美] 秋学期授業/Fall .....	1079
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9291】 朝鮮語 4 C I (コミュニケーション) [富所 明秀] 春学期授業/Spring .....	1080
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9292】 朝鮮語 4 C II (コミュニケーション) [富所 明秀] 秋学期授業/Fall .....	1081



LIN200LA

**Intercultural Communication B** 2017 年度以降入学者

サブタイトル：Intercultural understanding and multicultural identities

石原 紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：2 単位

定員制

その他属性：〈グ〉〈ダ〉

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

In today's globalization, we are increasingly required to interact internationally across cultural borders. Misunderstandings and conflicts are bound to occur, which calls for constructive dialogues and creative solutions. In this course, we will focus primarily on "invisible culture" to deepen your understanding of diversity in cultural orientations, values, behavior, and language uses. You will also reflect on your intercultural experiences and explore your multicultural identities while studying dynamic cultural dimensions.

**【到達目標】**

In this course, you will 1) cultivate your understanding of the relationships between culture and identity, 2) be able to analyze examples of and reasons for intercultural clashes and relate to others respectfully to come up with constructive solutions to intercultural issues and confusions, 3) be able to use concepts such as stereotypes, generalizations, othering, and marginalization in your analysis, 4) reflect on your intercultural experiences and multicultural mediation.

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

Before class you are required to work on reading and complete reading quizzes. In class we study relevant material, complete tasks in small groups, and share our discussions with the whole class. You are encouraged to actively participate in this problem-based learning (PBL). Feedback will be given orally in interaction throughout the course. Written feedback will be provided for your written assignments and class presentations within a week.

This course involves highly interactive activities. In order to reduce risks, depending on the pandemic situation class will be delivered through the combination of face-to-face and online instruction. Please check the announcement to be made on Hoppii before the start of the course.

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**  
あり/Yes

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし/No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	Self-introduction, course information, ice-breaking activity
2	What is culture?	Visible/invisible culture, 3Ps in understanding culture
3	3Ps of culture, Characteristics of culture	Perspectives of culture

4	Stereotypes and generalizations	Definitions and examples
5	Essentialization	The language of generalization, experiences of marginalization
6	Othering and marginalization	Case study discussion
7	Cultural diversity in academia and the workplace	Understanding diversity as an asset
8	Similarities and differences in cultural orientations-1	Analysis of cultural orientations (#1-3)
9	Similarities and differences in cultural orientations-2	Analysis of cultural orientations (#4-6)
10	Cultural case studies - 1	Analysis of use of time and group dynamics
11	Cultural case studies - 2	Application of Hofstede's Cultural Dimensions and other frameworks
12	Student-led discussions - 1	Intercultural case studies (group presentations)
13	Student-led discussions - 2	Intercultural case studies (group presentations)
14	Student-led discussions - 3, reflection	Intercultural case studies (group presentations), Wrap-up discussion

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

You should complete assigned reading and/or writing before coming to class. Come ready to discuss the material with your classmates coming from different (sub)cultures.

According to the university guidelines, the preparation and review time of approximately two hours a week is recommended for this course.

**【テキスト（教科書）】**

Weekly readings will be made accessible through the course website (Google Classroom). Become familiar with this online resource to do your readings and post your assignments. You are also expected to check your university email account daily to keep up with course announcements.

**【参考書】**

Handouts and resources related to the course content will be made available in Google Classroom.

**【成績評価の方法と基準】**

You will receive a formal evaluation of your work at the end of the term. The grade on a late assignment will be lowered. You will be graded on:

- 1) Participation (20%)
- 2) Reading assignments and quizzes (50%)
- 3) Intercultural case study discussion (10%)
- 4) Final group paper (20%) (tentative breakdown)

Regular attendance is essential in order to benefit from the interactive nature of this course. You will not be able to pass this course if you miss more than three class periods a semester except in extreme circumstances.

**【学生の意見等からの気づき】**

Because this course is to be conducted in English, students must be competent speakers/writers of English (e.g., native or proficient with TOEFL® iBT 81 or above). International and Japanese students of any majors are welcome as long as they are interested in diverse world cultures. Students should view each other's cultural experiences as an asset to this course and create a friendly and respectful learning community.



**【学生が準備すべき機器他】**

Be prepared to use Hoppii, Google Classroom, and Zoom with your university account and check your university email daily. You will need to use a headset with a microphone when you attend class on campus.



**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

Students are required to read all the assignments and be ready for class discussions and presentations. They will also write weekly one-page reaction papers. University guidelines suggest preparation and review should be around two hours a week for a two-credit course.

**【テキスト（教科書）】**

Weekly reading and viewing assignments will be made available in the reserve section of the library and/or uploaded to the course website (Hoppii - student information management system).

**【参考書】**

Eiichiro Azuma, *In Search of Our Frontier: Japanese America and Settler Colonialism in the Construction of Japan's Borderless Empire* (California: University of California Press, 2019).

Takashi Fujitani, *Race for Empire: Koreans as Japanese and Japanese as Americans during World War II* (Los Angeles: University of California Press, 2011).

Book Selection for the Final Presentation:

These books are purposefully outside the realm of the history of US-Japan relations, but they reflect the impact of it in the Asia-Pacific region.

a) Camacho, Keith. *Cultures of Commemoration: The Politics of War, Memory, and History in the Mariana Islands*. Hawaii: University of Hawaii Press, 2011.

b) Dvorak, Greg. *Coral and Concrete: Remembering Kwajalein Atoll between Japan, America, and the Marshall Islands*. Honolulu: University of Hawaii Press, 2018.

c) Serizawa, Takamichi. *Writing History in America's Shadow: Japan, the Philippines, and the Question of Pan-Asianism*. Kyoto: Kyoto University Press, 2020.

d) Chapman, David. *The Bonin Islanders, 1830 to the Present*. Lanham: Lexington Books, 2016.

e) Mire Koikari. *Cold War Encounters in US-Occupied Okinawa: Women, Militarized Domesticity, and Transnationalism in East Asia*. Cambridge: Cambridge University Press, 2015.

**【成績評価の方法と基準】**

10% - Class participation

50% - Short reaction papers

20% - Mid-term paper

20% - Final group presentation

Based on the grading criteria set by the instructor, students that successfully achieve 60% or more of course goals will be able to earn a passing grade for the course.

**【学生の意見等からの気づき】**

n/a

**【学生が準備すべき機器他】**

Gadgets such as laptops and tablets to read and view the assignments, write short reaction papers, and prepare the final presentations

**【その他の重要事項】**

Our class will most likely include students from different origins and speaking different languages. Please respect each other's cultures. Also, if the readings are difficult to understand due to differences in language proficiency, feel free to contact me.

LIN200LA

## Intercultural Communication D 2016 年度以前入学者

サブタイトル：Arts-Based Learning of Culture, Diversity, and Social Activism

石原 紀子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：2 単位

定員制

その他属性：〈グ〉〈ダ〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

In this course, we start by discussing how arts facilitate learning, especially of current social issues related to equity, diversity, and social justice in the globalized world today. You are invited to become part of this learning community sharing your cultural and social knowledge and experience while learning from others of all majors enrolled in this course. You will experience various forms of art incorporated into social activism calling for social and ecological justice. Through this experience, you will understand social, cultural, political, and historical backgrounds associated with the given activism. Your learning will be facilitated through the modeling by the instructor as well as through peer teaching. We will also collaboratively research, discuss, and learn about non-violent peace activists from various cultures and ethnic groups in the world. This will provide you with an opportunity to consider a method and option of acting and relating to others with respect, empathy, and compassion within and across cultural borders.

## 【到達目標】

In this course, you will: 1) understand and appreciate artistic expressions of equity and cultural diversity, 2) understand social activism behind artistic expressions, and 3) participate in an arts-based approach to social justice issues. You will also reflect on your own reactions to issues of equity and diversity and consider how this learning may influence your values, identities, and worldview in relation to your major field of study.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

Before class you are required to work on some reading assignments. In class we study new material, complete relevant tasks in pairs or small groups, and share your discussion with the class. You are encouraged to actively participate in group work and problem-based learning (PBL). Feedback will be given orally in interaction throughout the course. Written feedback will also be provided for your writing and oral presentations within a week of your assignment submission.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	Course information, getting to know each other
2	Learning language from/with art	Learning about social activism from poetry, Marshall Rosenberg

3	Poetry - 1, social activism	Developing multicultural identities through poetry, Mother Teresa
4	Poetry - 2, social activism	Appreciating poetry writing, Mahatma & Katurabai Gandhi
5	Film, social activism	Film for art and social justice, Nelson Mandela
6	Stories/Story-telling, social activism	Narratives for equity and diversity, Mairead Corrigan McGuire & Betty Williams
7	Artistic creativity in peace linguistics, social activism	Language and peace, H. H. The Dalai Lama
8	Music - 1, social activism	Social activism through music, social activist (TBA)
9	Music - 2, social activism	Social activism through music, Peter Benenson
10	Children's literature,	Art and social justice in picture books, Sister Chan Khong
11	Folk tales	Peace education via kamishibai theater, Cesar Chavez
12	Novels	Social/ecological justice through literature, Meena Keshwar Kamal
13	Speeches	Equity and diversity expressed in a speech, social activist (TBA)
14	Wrap-up	Reflection and your artistic expression

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

You should complete assigned reading and/or homework ahead of time and come to class ready for discussion. Review your lesson after class and complete reflective writing when assigned.

For your presentations, develop a peer teaching session on artistic expressions of diversity or equity issues (micro teaching) and creative multi-media talk on a social activist of your choice (mini-research presentation). Prepare a presentation and discussion appealing and engaging for your peers and rehearse it to be effective.

University guidelines suggest the preparation and review time of around two hours a week for a two-credit course like this one.

## 【テキスト（教科書）】

Censor, Meera. (2011). Humanitarians for justice, nonviolence, and peace. San Bernadino, California.

## 【参考書】

Other readings will be distributed through the course website, Google Classroom. Handouts and resources related to the course content are to be provided in class or made available in Google Classroom as well.

## 【成績評価の方法と基準】

You will receive a formal assessment of your work at the end of the term. The grade on a late assignment may be lowered. You will be graded on:

- 1) Attendance and participation (20%)
- 2) Micro teaching and mini research presentations (50%)
- 4) Online reactive writing (16%)
- 5) Final reflection (14%)

Regular attendance is essential in order to benefit from the interactive nature of this course. You will not be able to pass this course if you miss more than three class periods a semester except in extreme circumstances.

## 【学生の意見等からの気づき】

Message to the course participants:

This is a relatively new course that requires you to share your ideas, knowledge, and experiences. You will meet interesting peers from various cultures and learn from working with them as well as the instructor.

This course is conducted in English. Students must be competent speakers of English (native or proficient with TOEFL® iBT 81+ or equivalent). If your scores are TOEFL® iBT 81 - 100, you can take this course but be ready to make a little more thorough preparation each week.

I expect international and Japanese students of all majors to work collaboratively despite their different cultural and linguistic backgrounds. Come with an open mind and learn from each other!

**【学生が準備すべき機器他】**

Become familiar with the course website to download readings and post your work. You are also expected to check your university email on a daily basis to keep up with course announcements.

**【その他の重要事項】**

Depending on the pandemic situation and your preferences, the course delivery method may change. Please check announcements on Hoppii before the start of the course and Google Classroom during the semester.

ARSA200LA

Intercultural Communication E 2017 年度以降入学者

サブタイトル：

コリンヌ ヴァリエヌ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：2 単位

定員制

その他属性：〈グ〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

このクラスでは、ファッションと料理にフランス文化を発見しましょう。

In this class you will discover French culture in fashion and gastronomy. Intercultural part is also important and you will improve your knowledge about French culture.

## 【到達目標】

ファッションと料理の語彙や表現を発見。学生は、ファッションと料理のテーマについての会話を作ることができるようになります。you will be able to describe a fashion show and talk about stylists as well as to recognize regional dishes and chef. You will discover and improve your knowledge about French culture.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

フランスのファッションとグルメの文化についてのテキストとビデオを制作します。

We will study documents about French fashion and French Gastronomy. For example, you will discover famous French city, Chefs and Stylists. Intercultural part is very important in this class and you will have to think about your own habits and compare with your own culture. You'll have some reports (4 or 5) during the semester and a Final report.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	Presentation	program of the semester
第 2 回	French region	Lyon 1 - All about the beginning of French "cinema"
第 3 回	gastronomy	Lyon 2 - the specificity of Lyon cuisine
第 4 回	Culture	Lyon 3 - what about the cultural aspects of Lyon
第 5 回	Fashion	Coco Chanel -
第 6 回	Gastronomy	Do you know "Champagne" ? how to make champagne and the symbol of this famous drink
第 7 回	Gastronomy	Champagne 2 - What is the Champagne gastronomy ? Champagne is not only a drink, it is a famous region of France too.
第 8 回	Culture	What can you visit in Champagne ?
第 9 回	Gastronomy	Joël Robuchon, one of the famous French chef.

第 10 回	Culture	Paris 1 - Paris's secrets - Museum and places you don't know in Paris
第 11 回	Gastronomy	Paris 2 -What do Parisien eat ? Speciality of Paris
第 12 回	Gastronomy and culture	The art of eating from Middle age to XIXe century
第 13 回	Revision	Fashion and gastronomy revisions
第 14 回	Review and Exam	Review and Exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Preparatory study and review time for this class are 2 hours each. 本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

dictionary - 辞書

【参考書】

辞書- a dictionary will help you to understand some French sentences or expressions

【成績評価の方法と基準】

出席と参加 -HOMEWORK AND PARTICIPATION : 50%.

最終試験 - FINAL EXAM : 50 %

【学生の意見等からの気づき】

無い

ARSa200LA  
**Intercultural Communication F** 2017 年度以降入学者  
 サブタイトル：Quebec culture and society  
**STEVE CORBEIL**  
 開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5  
 単位数：2 単位  
 定員制  
 その他属性：〈ゲ〉

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

The goal of this class is to learn about the history and culture of French speakers living in the Canadian province of Quebec. Students will look at the very diverse cultural production of Quebec writers, intellectuals, and filmmakers from the 1960s to the present day. The class will focus on one important keyword in order to understand Quebec society and culture: the concept of sovereignty.

\*\*\* This class will be conducted online.

**【到達目標】**

Students will learn the basic theories surrounding the political concept of sovereignty. Then, they will apply these theories in order to better understand Quebec literature and films. They will be able to develop a critical approach to literary and film analysis that takes into account the cultural specificity of Quebec as well as its place in wider debates concerning political independence, minority language and intercultural communication.

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

This is a lecture class, but students will have to ask questions during class and give their opinion on many aspects of the lecture. After every class they will have to write comment papers.

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**  
あり / Yes

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**  
なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction to Quebec society from the 1960s	This class will be a survey of Quebec history from the Quiet Revolution to the present day.
2	Introduction to the concept of sovereignty	Students will learn about the concept of sovereignty through analysis of canonical texts.
3	Criticism regarding the concept of sovereignty and nationalism	We will look at the main criticism against sovereignty and nationalism as well as their impact on Quebec nationalist movement.
4	The importance of French language as the foundation of Quebec identity	We will try to understand why French is the cornerstone of Quebec identity.
5	Hockey, French language, and religion	We will watch and analyze a short film based on a novella by Roch Carrier: The Hockey Sweater

6	Personal sovereignty and political sovereignty	We will read and analyze excerpts from a novel by Hubert Aquin: Next Episode
7	Referendum and independence	We will look at the cultural production surrounding the first (1980) and second (1995) Quebec Referendum.
8	Post-referendum identity crisis	We will read and analyze songs and poems, as well as essays about the Referendum.
9	Immigration, identity, and interculturalism	We will look at the different steps taken by the Quebec government to create an inclusive society, and how it conflicts to a certain extent with the idea of sovereignty.
10	Current debates surrounding immigration and interculturalism	We will look at essays and opinion pieces written about immigration in Quebec.
11	Feminism in Quebec	Students will learn about the history of the feminist movement in Quebec.
12	Literature and migration	We will read a text by Kim Thuy and look at the situation of refugees in Quebec.
13	Literature and Quebec migration	We will read a text by Marco Micone.
14	Quebec and cinema	We will watch and analyze a film by Pierre Falardeau.

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

Students will be asked to read a series of texts by French writers and intellectuals in English translation. They will have to write short commentaries about the texts. Also, they will have to watch short films produced in Quebec. Preparatory study and review time for this class are 2 hours each.

**【テキスト（教科書）】**

There is no textbook for this class.

**【参考書】**

Jacques Derrida, *The Beast and the Sovereign*, Volume I (The Seminars of Jacques Derrida), University Of Chicago Press, 2011.  
 Jacques Derrida, *The Death Penalty*, Volume I (The Seminars of Jacques Derrida), University Of Chicago Press, 2013.  
 Hubert Aquin, *Next Episode*, New Canadian Library, 2010.  
 Roch Carrier, *The Hockey Sweater*, Tundra Books, 1985.  
 Gerard Bouchard, *Interculturalism: A View from Quebec*, University of Toronto Press, 2015.  
 Gerard Bouchard, *National Myths: Constructed Pasts, Contested Presents*, Routledge, 2013.

**【成績評価の方法と基準】**

Final exam (40%)  
 Short essays (40%)  
 Class participation (20%)

**【学生の意見等からの気づき】**

There has not been negative feedback for this class. I intend to put even more emphasis on interaction with students this year.

**【学生が準備すべき機器他】**

None

LANe200LA

## 中国語補講 3 I

2017 年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

定員制

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で学んだ中国語から一歩進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の内容を通して、中国とそこに住む人たちの生活や文化等についても学習します。

## 【到達目標】

準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課	新出単語とポイント（「一…就～」など6項目）の説明
2	第1課	「大学生的周末」本文の解説と練習問題
3	第2課	新出単語とポイント（「每…都～」など6項目）の説明
4	第2課	「食」本文の解説と練習問題
5	第3課	新出単語とポイント（「多/少」+動詞）など6項目の説明
6	第3課	「北京的交通」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第1課～第3課の内容の定着度チェック
8	第4課	新出単語とポイント（「兼語“有”」など6項目）の説明
9	第4課	「数字的喜好」本文の解説と練習問題
10	第5課	新出単語とポイント（「疑問詞の不定用法」など6項目）の説明
11	第5課	「大学生的打工状」本文の解説と練習問題
12	第6課	新出単語とポイント（「无…都/也～」など6項目）の説明
13	第6課	「集体生活的好」本文の解説と練習問題
14	期末試験	第4課～第6課の内容の定着度チェック

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

## 【テキスト（教科書）】

吉田泰謙・相原里美・葛靖『知っておきたい中国事情（改訂版・CD付）』、白水社

## 【参考書】

教場で指示します。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の態度や小テスト等）30%、中間試験30%、期末試験40%

## 【学生の意見等からの気づき】

特になし。

## 【Outline (in English)】

This is the Chinese course for middle-level learner. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.



LANe200LA

## 中国語補講 3 II

2017 年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

定員制

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で学んだ中国語から一步進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の内容を通して、中国とそこに住む人たちの生活や文化等についても学習します。

## 【到達目標】

準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第7課	新出単語とポイント（「只要…就～」など6項目）の説明
2	第7課	「 <input type="checkbox"/> 价 <input type="checkbox"/> 价」本文の解説と練習問題
3	第8課	新出単語とポイント（「疑問詞の連用」など6項目）の説明
4	第8課	「 <input type="checkbox"/> 送 <input type="checkbox"/> 礼 <input type="checkbox"/> 究」本文の解説と練習問題
5	第9課	新出単語とポイント（「 <input type="checkbox"/> …了」など6項目）の説明
6	第9課	「 <input type="checkbox"/> 中国 <input type="checkbox"/> 式 <input type="checkbox"/> 婚」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第7課～第9課の内容の定着度チェック
8	第10課	新出単語とポイント（「好在」など6項目）の説明
9	第10課	「 <input type="checkbox"/> 双 <input type="checkbox"/> 工家庭」本文の解説と練習問題
10	第11課	新出単語とポイント（「不是…而是～」など6項目）の説明
11	第11課	「 <input type="checkbox"/> 中国人的称呼」本文の解説と練習問題
12	第12課	新出単語とポイント（「 <input type="checkbox"/> 随着～」など6項目）の説明
13	第12課	「 <input type="checkbox"/> 理想 <input type="checkbox"/> 」本文の解説と練習問題
14	期末試験	第10課～第12課の内容の定着度チェック

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

## 【テキスト（教科書）】

吉田泰謙・相原里美・葛婧『知っておきたい中国事情（改訂版・CD付）』、白水社

## 【参考書】

教場で指示します。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の態度や小テスト等）30%、中間試験30%、期末試験40%

## 【学生の意見等からの気づき】

特になし。

## 【Outline (in English)】

This is the Chinese course for middle-level learner. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANe200LA

## 中国語補講 3 I

2017 年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 6/Fri.6

単位数：1 単位

定員制

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で学んだ中国語から一歩進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の内容を通して、中国とそこに住む人たちの生活や文化等についても学習します。

## 【到達目標】

準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課	新出単語とポイント（「一…就～」など6項目）の説明
2	第1課	「大学生的周末」本文の解説と練習問題
3	第2課	新出単語とポイント（「每…都～」など6項目）の説明
4	第2課	「 <input checked="" type="checkbox"/> 食 <input checked="" type="checkbox"/> 」本文の解説と練習問題
5	第3課	新出単語とポイント（「多/少」+動詞）など6項目の説明
6	第3課	「北京的交通」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第1課～第3課の内容の定着度チェック
8	第4課	新出単語とポイント（「兼語“有”」など6項目）の説明
9	第4課	「 <input checked="" type="checkbox"/> 数字的喜好」本文の解説と練習問題
10	第5課	新出単語とポイント（「疑問詞の不定用法」など6項目）の説明
11	第5課	「大学生的打工 <input checked="" type="checkbox"/> 状」本文の解説と練習問題
12	第6課	新出単語とポイント（「无 <input checked="" type="checkbox"/> …都/也～」など6項目）の説明
13	第6課	「集体生活的好 <input checked="" type="checkbox"/> 」本文の解説と練習問題
14	期末試験	第4課～第6課の内容の定着度チェック

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

## 【テキスト（教科書）】

吉田泰謙・相原里美・葛婧『知っておきたい中国事情（改訂版・CD付）』、白水社

## 【参考書】

教場で指示します。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の態度や小テスト等）30%、中間試験30%、期末試験40%

## 【学生の意見等からの気づき】

特になし。

## 【Outline (in English)】

This is the Chinese course for middle-level learner. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANe200LA

## 中国語補講 3 II

2017 年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 6/Fri.6

単位数：1 単位

定員制

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で学んだ中国語から一步進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の内容を通して、中国とそこに住む人たちの生活や文化等についても学習します。

## 【到達目標】

準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第7課	新出単語とポイント（「只要…就～」など6項目）の説明
2	第7課	「 <input type="checkbox"/> 价 <input type="checkbox"/> 价」本文の解説と練習問題
3	第8課	新出単語とポイント（「疑問詞の連用」など6項目）の説明
4	第8課	「 <input type="checkbox"/> 送 <input type="checkbox"/> 礼 <input type="checkbox"/> 究」本文の解説と練習問題
5	第9課	新出単語とポイント（「 <input type="checkbox"/> …了」など6項目）の説明
6	第9課	「 <input type="checkbox"/> 中国 <input type="checkbox"/> 式 <input type="checkbox"/> 婚」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第7課～第9課の内容の定着度チェック
8	第10課	新出単語とポイント（「好在」など6項目）の説明
9	第10課	「 <input type="checkbox"/> 双 <input type="checkbox"/> 工家庭」本文の解説と練習問題
10	第11課	新出単語とポイント（「不是…而是～」など6項目）の説明
11	第11課	「 <input type="checkbox"/> 中国人的称呼」本文の解説と練習問題
12	第12課	新出単語とポイント（「 <input type="checkbox"/> 随着～」など6項目）の説明
13	第12課	「 <input type="checkbox"/> 理想 <input type="checkbox"/> 」本文の解説と練習問題
14	期末試験	第10課～第12課の内容の定着度チェック

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

## 【テキスト（教科書）】

吉田泰謙・相原里美・葛婧『知っておきたい中国事情（改訂版・CD付）』、白水社

## 【参考書】

教場で指示します。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の態度や小テスト等）30%、中間試験30%、期末試験40%

## 【学生の意見等からの気づき】

特になし。

## 【Outline (in English)】

This is the Chinese course for middle-level learner. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANe200LA

## 中国語補講 3 I

2017 年度以降入学者

篠田 幸夫

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：1 単位

定員制

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

教科書には、会話体の文章が集められています。これらの文章を理解しながら、初級文法の復習を行うとともに、中級レベルより高度な文法と語彙を学習します。更に中国への関心と理解も深めるために、教科書で触れているトピックスに関連させながら中国の社会や文化についても紹介を行います。

## 【到達目標】

基礎的な中国語運用能力を伸ばし、とくに中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させることが目標です。具体的にはテキストの本文を何も見ないで聞き取れるようになることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

ペアワークを中心に音読（①すべて見る②ピンインを隠す③何も見ない）、和訳練習（何も見ない）、中訳練習（何も見ない）、会話、暗唱などの練習を繰り返し行い、中国語によるコミュニケーション能力を磨きます。課題等へのフィードバックは授業時に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業イントロダクション初級の復習
2	第1課	学習ポイント
3	第1課	本文
4	第1課	置き換え・リスニング&リーディング
5	第2課	学習ポイント
6	第2課	本文
7	第2課	置き換え・リスニング&リーディング
8	第3課	学習ポイント
9	第3課	本文
10	第3課	置き換え・リスニング&リーディング
11	第4課	学習ポイント
12	第4課	本文
13	第4課	置き換え・リスニング&リーディング
14	授業の総まとめとテスト	授業の総まとめと期末テスト

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

「もっと話そう 異文化おもしろ体験 中級中国語」 陳淑梅・胡興智・劉湯水  
(朝日出版社)

## 【参考書】

『WHY? にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂・石田知子・戸沼市子著 (同学社)

## 【成績評価の方法と基準】

授業への参加度 40 % ・小テスト 20 % ・期末試験 40 %

## 【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

## 【学生が準備すべき機器他】

対面を基本としますが状況によりオンライン授業を行う場合があります。受講するための通信環境、PC 等を準備して下さい。

## 【Outline (in English)】

Textbooks are a collection of conversational texts. While reading these sentences, you will review beginner grammar and learn more advanced grammar and vocabulary than the intermediate level.

At the end of the course, students should be able to do the followings:

- pronounce words and sentences accurately without “Hanyu Pinyin” (Romanization systems for Mandarin Chinese).
- acquire basic grammar and read the contents of short texts.
- recite a short sentences.
- understand and use simple conversational expressions.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content by practicing with audio materials (CD).

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 40%, Short tests : 20%, in class contribution: 40%.

LANe200LA

## 中国語補講 3 II

2017 年度以降入学者

篠田 幸夫

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：1 単位

定員制

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

教科書には、会話体の文章が集められています。これらの文章を理解しながら、初級文法の復習を行うとともに、中級レベルより高度な文法と語彙を学習します。更に中国への関心と理解も深めるために、教科書で触れているトピックスに関連させながら中国の社会や文化についても紹介を行います。

## 【到達目標】

基礎的な中国語運用能力を高めることを目標とする。特に中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させること、具体的にはテキスト本文を何も見ないで聞き取れるようになることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

ペアワークを中心に音読（①すべて見る②ピンインを隠す③何も見ない）、和訳練習（何も見ない）、中訳練習（何も見ない）、会話、暗唱などの練習を繰り返し行い、中国語によるコミュニケーション能力を磨きます。課題等へのフィードバックは授業時に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第5課	学習ポイント
2	第5課	本文
3	第5課	置き換え・リスニング&リーディング応用練習
4	第6課	学習ポイント
5	第6課	本文
6	第6課	置き換え・リスニング&リーディング
7	第7課	学習ポイント
8	第7課	本文
9	第7課	置き換え・リスニング&リーディング
10	第8課	学習ポイント
11	第8課	本文
12	第8課	置き換え・リスニング&リーディング
13	復習	第5～8課の復習
14	授業のまとめとテスト	授業のまとめと期末テスト

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

「もっと話そう 異文化おもしろ体験 中級中国語」 陳淑梅・胡興智・劉湯氷  
(朝日出版社)

## 【参考書】

『WHY? にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂・石田知子・戸沼市子著 (同学社)

## 【成績評価の方法と基準】

授業への参加度 40 % ・小テスト 20 % ・期末試験 40 %

## 【学生の意見等からの気づき】

特になし。

## 【学生が準備すべき機器他】

対面を基本としますが状況によりオンライン授業を行う場合があります。受講するための通信環境、PC等を準備して下さい。

## 【Outline (in English)】

Textbooks are a collection of conversational texts. While reading these sentences, you will review beginner grammar and learn more advanced grammar and vocabulary than the intermediate level.

At the end of the course, students should be able to do the followings:

- pronounce words and sentences accurately without “Hanyu Pinyin” (Romanization systems for Mandarin Chinese).
- acquire basic grammar and read the contents of short texts.
- recite a short sentences.
- understand and use simple conversational expressions.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content by practicing with audio materials (CD).

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 40%, Short tests : 20%, in class contribution: 40%.

LANs200LA

## スペイン語補講 3 I

2017 年度以降入学者

若林 大我

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：1 単位

定員制

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、1 年次の学習内容を踏まえ、中級のスペイン語文法を学んでいく。

## 【到達目標】

履修生は今学期終了時まで、スペイン語の直説法点過去形、線過去形、および過去完了形の文を理解し、また作文ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

受講生各自による復習と予習を踏まえ、所定のテキストに基づいて、毎週の講義で少しずつスペイン語の文法構造を学んでいく。講義のあと、学んだことの確認、および会話の練習のため、口頭での質疑応答も行なう。授業はできる限りゆっくり、かつ丁寧に進行するよう心がけるが、効果的な学習のためには各自の予習と復習、特に後者が必須である。このため学期の途中で一度、理解度の確認のための中間テストを行う。ただし初回の授業は予習の必要はない。受講にあたっては、下記のテキストの他、西和辞典も持参すること。課題が出題された場合は、学習支援システムを通じて提出するものとする。課題に対するフィードバックも、学習支援システムを通じて行う。

本授業は基本的に教室内での対面形式で実施するが、キャンパスの混雑を避けるため、初回授業に限り Zoom を通じたりアルタイムでのオンライン形式とする。Zoom の URL は学期開始前に学習支援システム上で公開するので、必ず確認すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 直説法現在形規則動詞	授業の形態、進め方、評価方法の説明 直説法現在形規則活用の復習 (テキスト: 第 1 課)
2	直説法現在形不規則動詞	直説法現在形不規則活用の復習 (テキスト: 第 1 課、第 2 課)
3	目的格代名詞	目的格代名詞の復習 (テキスト: 第 3 課)
4	gustar 型動詞 関係代名詞 que	gustar 型動詞の復習 関係代名詞 que の用法 (テキスト: 第 3 課)
5	直説法点過去形規則動詞 直説法点過去形不規則動詞 (1)	直説法点過去形の活用の復習 (テキスト: 第 4 課)
6	再帰動詞 se の受け身	再帰動詞の基本用法 再帰動詞を用いた受け身表現 (テキスト: 第 4 課)
7	直説法点過去形不規則動詞 (2)	直説法点過去形不規則活用の復習 (テキスト: 第 5 課)

8	中間試験 過去分詞 直説法現在完了形	中間試験 過去分詞の作り方と用法 直説法現在完了形の復習 (テキスト: 第 5 課)
9	直説法線過去形	直説法線過去形の復習 点過去形と線過去形の使い分け (テキスト: 第 6 課)
10	無人称文 感嘆文	再帰動詞および 3 人称複数形を用いた無人称文の作り方 感嘆文の作り方 (テキスト: 第 6 課)
11	直説法過去完了形	直説法過去完了形の意味と用法 (テキスト: 第 7 課)
12	ser 受動態	動詞 ser を用いた受け身表現 (テキスト: 第 7 課)
13	春学期の復習	期末試験に備えた春学期の学習内容の振り返り
14	授業内期末試験	試験・まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学学習の性質上、自宅での予習や復習が必要となる。特に授業で言及した単語については、辞書を用いて各自反復学習すること。また時間の都合上、授業中に教科書内の全ての練習問題に取り組むことはできない。このため、授業の進行に合わせて各自が自主的に問題に取り組み、理解度を把握することが必須となる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

西川喬『基礎から学ぼう！スペイン語 中級 (Aprendamos los fundamentos del idioma español: Curso intermedio)』(朝日出版)、2,300 円+税

## 【参考書】

外国語学習にあたっては、辞書が不可欠の要素である。本授業では特定の西和辞典の購入を義務付けないが、単語の正確な理解のためには『西和中辞典』(小学館)をお勧めする。真剣にスペイン語を身に付けたい受講生は、和西辞典も併用すると効果的である。また単語をスピーディに検索するには電子辞書も有用である。上記以外の西和辞典は、下記のウェブサイトでも探すことができる。  
<http://gaikoku.info/spanish/dictionary.htm>

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 30 %、中間テスト 30 %、期末テスト 40 %として総合的に評価する。

## 【学生の意見等からの気づき】

履修生諸君の理解度に合わせ、上記の授業計画は多少変更される可能性がある。

## 【Outline (in English)】

## 【Outline (in English)】

This course deals with the intermediate grammar of Spanish. By the end of the course, students should be able to understand and make Spanish sentences that include the following grammatical features:

- Indefinite past tense
  - Preterite past tense
  - Past perfect tense
- Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours in total to understand the course content. Final grade will be calculated according to the following process:
- In-class contribution (30%)
  - Mid-term exam (30%)
  - Term-end exam (40%)

LANs200LA

スペイン語補講 3 II

2017 年度以降入学者

若林 大我

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：1 単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、1 年次の学習内容を踏まえ、中級のスペイン語文法を学んでいく。

【到達目標】

履修者は今学期終了時まで、スペイン語の接続法現在形の文及び命令文を理解し、また作文ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

受講生各自による復習と予習を踏まえ、所定のテキストに基づいて、毎週の講義で少しずつスペイン語の文法構造を学んでいく。講義のあと、学んだことの確認、および会話の練習のため、口頭での質疑応答も行なう。授業はできる限りゆっくり、かつ丁寧に進行するよう心がけるが、効果的な学習のためには各自の予習と復習、特に後者が必須である。このため学期の途中で一度、理解度の確認のための中間テストを行う。ただし初回の授業は予習の必要はない。受講にあたっては、下記のテキストの他、西和辞典も持参すること。課題が出題された場合は、学習支援システムを通じて提出するものとする。課題に対するフィードバックも、学習支援システムを通じて行う。

本授業は基本的に教室内での対面形式で実施するが、キャンパスの混雑を避けるため、初回授業に限り Zoom を通じたりアルタイムでのオンライン形式とする。Zoom の URL は学期開始前に学習支援システム上で公開するので、必ず確認すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 直説法未来形 直説法過去未来形	授業の形態、進め方、評価方法の説明 直説法未来形の意味と用法 直説法過去未来形の意味と用法 (テキスト：第 2 課、第 8 課)
2	不定詞 + 目的格代名詞	不定詞と目的格代名詞および再帰代名詞の接続 (テキスト：第 8 課)
3	進行形	現在進行形、過去進行形、未来進行形の文の作り方 (テキスト：第 9 課)
4	命令法	命令文の作り方 (テキスト：第 9 課)
5	接続法現在形規則動詞 接続法現在形語幹母音変化動詞	接続法概念 接続法現在形の規則活用と語幹母音変化動詞 (テキスト：第 10 課)
6	接続法現在形の命令用法	命令文で用いられる接続法現在形 (テキスト：第 10 課)
7	接続法現在形不規則動詞	接続法現在形のその他の不規則活用 (テキスト：第 11 課)

8	中間試験 接続法現在形の用法①	中間試験 接続法現在形の名詞節での用法 (テキスト：第 12 課)
9	接続法現在形の用法②	接続法現在形の形容詞節での用法 (テキスト：第 13 課)
10	現在分詞構文	現在分詞構文の意味と用法 (テキスト：第 13 課)
11	接続法現在形の用法③	接続法現在形の副詞節での用法 (テキスト：第 14 課)
12	接続法過去形	接続法過去形の活用と用法 (テキスト：第 14 課)
13	秋学期の復習	期末試験に備えた秋学期の学習内容の振り返り
14	授業内期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学学習の性質上、自宅での予習や復習が必要となる。特に授業で言及した単語については、辞書を用いて各自反復学習すること。また時間の都合上、授業中に教科書内の全ての練習問題に取り組むことはできない。このため、授業の進行に合わせて各自が自主的に問題に取り組み、理解度を把握することが必須となる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

西川喬『基礎から学ぼう！スペイン語 中級 (Aprendamos los fundamentos del idioma español: Curso intermedio)』(朝日出版)、2,300 円+税

【参考書】

外国語学習にあたっては、辞書が不可欠の要素である。本授業では特定の西和辞典の購入を義務付けないが、単語の正確な理解のためには『西和中辞典』(小学館)をお勧めする。真剣にスペイン語を身に付けたい受講生は、和西辞典も併用すると効果的である。また単語をスピーディに検索するには電子辞書も有用である。上記以外の西和辞典は、下記のウェブサイトでも探すことができる。<http://gaikoku.info/spanish/dictionary.htm>

【成績評価の方法と基準】

平常点 30 %、中間テスト 30 %、期末テスト 40 %として総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

履修生諸君の理解度に合わせ、上記の授業計画は多少変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

This course deals with the intermediate grammar of Spanish. By the end of the course, students should be able to understand and make Spanish sentences that include the following grammatical features:

- Present tense of the subjunctive mood
- Imperative mood

Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours in total to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process:

- In-class contribution (30%)
- Mid-term exam (30%)
- Term-end exam (40%)

ARSe200LA

Intercultural Communication G 2017 年度以降入学者

サブタイトル：

尾形 太郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：2 単位

定員制

その他属性：〈グ〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The purpose of the course is to provide students with opportunities to broaden their knowledge of Japan, especially in the areas of geography, history, education, family, gender, culture and so on.

Through the course, students will deepen their knowledge of Japan, which may support communication with Japanese people inside and outside of the campus.

Materials of each class will be available from Hoppi.

Every class includes quizzes or/and assignments.

Students are required to answer quizzes after the class.

Feedbacks on each task will be given through Hoppi.

## 【到達目標】

Through the course, students will deepen their knowledge of Japan, which may support communication with Japanese people inside and outside of the campus.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

Materials of each class will be available from Hoppi.

Every class includes quizzes or/and assignments.

Students are required to answer quizzes after the class.

Feedbacks on each task will be given through Hoppi.

There is a possibility that the schedule may be modified.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Orientation	Class orientation
Week 2	Geography	Introduction to geographical variations in Japan
Week 3	Religion 1	Religions in modern Japan: an overview
Week 4	Religion 2	Shinto and shrine
Week 5	Religion 3 (Fieldwork)	Fieldwork in a shrine
Week 6	Culture 1	Introduction to Tea ceremony
Week 7	Culture 2	Introduction to Japanese garden
Week 8	Culture 3 (Fieldwork)	Fieldwork in a Japanese garden
Week 9	Social systems	Politics, Education etc.
Week 10	Demography	Demographic crisis
Week 11	Gender issues	Introduction to gender stratification in Japan today
Week 12	Family system	Concept of ie (家), marriage, birth, gender roles.

Week 13 Minority groups Ainu, Okinawans, and Zainichi Korean

Week 14 Conclusion Conclusion and further reading

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】  
1 hours a week(Quizzes and/or Mini report)

【テキスト（教科書）】

Original handouts

【参考書】

Lyon, V., Bestor, T.C. with Yamagata, A.(ed.), Routledge Handbook of Japanese culture and society, Routledge, 2011.

Sugimoto, Y., An Introduction to Japanese society 4th ed., Cambridge University Press, 2014.

【成績評価の方法と基準】

Quizzes and assignments 50%

Report 50%

【学生の意見等からの気づき】

Nothing special

【その他の重要事項】

There is a possibility that the schedule may be modified.



ARSe200LA

Intercultural Communication H 2017 年度以降入学者

サブタイトル：Japanese Culture

山本 そのこ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：2 単位

定員制

その他属性：〈グ〉

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

The objective of this course is to provide students with a brief survey of Japanese culture, covering both traditional and modern aspects. It also aims to raise students' awareness of the Japanese culture as well as their own, which will promote a better intercultural communication with local people. Classes will consist of lectures and various activities, including discussions, reaction paper writing, and student presentations.

**【到達目標】**

At the end of this course, the students are expected to have a clearer and deeper understanding of Japanese culture and people, which eventually facilitates intercultural communication with Japanese people.

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

This course will consist of primarily lectures, discussions and presentations. Students are expected to actively participate in class/group discussions and oral presentations. Class tasks, quiz, and students' reaction paper will be provided on the Google classroom. Feedback to the task and reaction paper (=students' feedback) will be given in the following class session in order to deepen the discussion.

The basic language used in class will be English, however, occasionally Japanese will be also used because of the nature of our topics.

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**  
あり / Yes

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**  
なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Class Orientation and Self-Introduction	[A selection process may occur.] ・ class-orientation ・ self-introduction ・ greetings(as a part of culture)
W 2	Stereotypes	・ What is a stereotype? ・ Image of Japan: Collectivism, homogeneity and vertically structured society.
W 3	Geography	・ Outline of Japanese geography.
W 4	Seasonal Events ①	・ Seasonal events from April to September.
W 5	Seasonal Events ②	・ Seasonal events from October to March.
W 6	Rituals	・ Common rituals in Japanese life.

W 7	Beliefs	・ Religions. ・ Taboos, superstitions, ghosts and the supernatural.
W 8	Foods	・ Japanese traditional foods and drinks, including home-cooking, bento, Kaiseki and Teas.
W 9	Theater	Noh, Kabuki, Bunraku
W 10	Communication ①	・ Characteristics of verbal communication.
W 11	Communication ②	・ Characteristics of non-verbal communication.
W 12	Architecture and Urban Planning	・ Housing ・ Brief history and characteristics of Edo/Tokyo. ・ Natural disasters and their influence on architecture.
W 13	People	・ History & varieties. ・ 'Minorities' ・ Political correctness issues.
W 14	Final Exam and Feedback	Review Check of the whole course.

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

- ・ Reading of assigned materials
- ・ Preparation for allotted presentation.
- ・ University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course.

**【テキスト（教科書）】**

Handouts

**【参考書】**

- ・ 日鉄住金総研『日本 その姿と心』NIPPON JAPAN THE LAND AND ITS PEOPLE 学生社 (2014) < DVD >
- ・ 松本美江『英語で日本紹介ハンドブック』アルク (2014) (MATSUMOTO Mie, An Introductory Handbook to Japan and Its People, ALC)
- ・ E. Meyer "The Culture Map : Breaking Through the Invisible Boundaries of Global Business" Public Affairs, 2014
- ・ Nisbett Ph.D., Richard "The Geography of Thought: How Asians and Westerners Think Differently...and Why" Free Press, 2004
- \*Additional relevant literature will be introduced in class as necessary.

**【成績評価の方法と基準】**

Class participation 30%  
Presentation 30 %  
Reaction paper writing 10%  
Final examination 30%

**【学生の意見等からの気づき】**

If the conditions permit, the students will have more discussions with their classmates who have various cultural backgrounds, concerning not only Japanese culture but also the cultures of their own. Also if the situation allows, face-to-face class and some fieldwork activities are to be planned, just as until 2019.

**【学生が準備すべき機器他】**

- ・ Device to access Google Classroom.

**【その他の重要事項】**

- ・ Be sure to join Google Classroom.
- ・ Check Hoppii and your Hosei account mail!
- ・ Do not miss the first class as the detailed syllabus will be handed out and a selection process may occur.
- ・ The schedule may be subject to change based on class size and other factors.

LANk200LA

## 朝鮮語 4 C - I

2017 年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

定員制 (30 名) /2022 年度までに「朝鮮語 3 C - I」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

朝鮮語 1・2 で学んだ文法の知識を生かして、自分の言いたいことを朝鮮語で口頭発表できるようにすることがこの授業の目的です。そのために語彙を増やし、教科書にある会話を正確な発音で言えるようにします。

## 【到達目標】

まず教科書にある会話を文法的に理解したうえで、これを正確な発音で話すことができ、また自分の言いたいことに置き換えることができるようにすることが目標となります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

## 【授業の進め方と方法】

授業開始時に筆記と口述の小テストを実施します。それから教科書の文法事項と語句を学び、次回的小テストに備えて会話文の発音の練習を行います。

オンライン授業は録画をしますので、繰り返し視聴することが可能です。

またオンライン授業終了後に個別に質問する時間を設けますので、わからないところがあれば遠慮なく質問してください。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】  
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 1 課	理由を表す語尾①
2	第 2 課	形容詞・指定詞の連体形
3	第 3 課	動詞・存在詞の連体形
4	第 4 課	逆接を表す語尾
5	第 5 課	未来連体形
6	第 1 課～第 5 課の復習	第 1 課～第 5 課の復習
7	第 6 課	「～したことがある」 「～することにする」
8	第 7 課	理由を表す語尾②
9	第 8 課	婉曲を表す語尾
10	第 9 課	「～し始める」 「～するなり」
11	第 10 課	「～しましょうか」
12	第 6 課～第 10 課の復習	第 6 課～第 10 課の復習
13	期末試験	筆記試験
14	期末試験	口述試験

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業では毎回筆記と口述の小テストを実施しますので、必ず復習してください。

授業の復習に要する時間は 40 分を標準としていますが、期末試験の口述試験のための原稿作成、筆記試験の準備には別途時間を要します。

## 【テキスト (教科書)】

『基礎から学ぶ韓国語講座中級改訂版』木内明著、国書刊行会、2015 年

## 【参考書】

『しくみで学ぶ初級朝鮮語改訂版』、内山政春著、白水社

## 【成績評価の方法と基準】

小テスト 30%

期末試験 70%

※小テスト、期末試験共に口述試験だけでは緊張してしまう人もいることを考慮し、それぞれ筆記試験も実施します。

## 【学生の意見等からの気づき】

音声教材の活用

## 【その他の重要事項】

・第 1 回の授業までに Hoppii に登録してください。お知らせやプリントを配布しますので、Hoppii はこまめにチェックしてください。  
・感染症や忌引きで小テストを受けられない場合は欠席した翌週に追試を受けられます。登校時 (欠席した翌週) の授業開始前に証明書を提出のうえ追試を申し出てください。

・5 回の欠席で評価対象外とします。3 回の遅刻で 1 回欠席としてカウントします。

・感染症などの公欠はこれに該当しません。

・シラバスは進捗状況によって変更される場合があります。

## 【Outline (in English)】

The purpose of this class is to make use of the knowledge of grammar learned in Korean 1 and 2 to be able to verbally present what you want to say in Korean. For that purpose, we will increase our vocabulary so that we can say the conversational sentences in the textbook with accurate pronunciation.

## 【Learning Objectives】

The goal is to first understand the grammar of the conversations in the textbook, then to be able to speak them with correct pronunciation and to be able to replace them with what you want to say.

## 【Learning activities outside of classroom】

There will be written and oral quizzes every class, so be sure to review them.

The standard time required for reviewing classes is 40 minutes, but extra time is required to prepare manuscripts for the oral examination of the final exam and to prepare for the written examination.

## 【Grading Criteria /Policy】

Quiz 30%

Final exam 70%

\* Considering that some students may get nervous just by taking the oral exam for both the quiz and the final exam, we will also conduct a written exam for each.

LANk200LA

## 朝鮮語 4 C - II

2017 年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

定員制 (30 名) /2022 年度までに「朝鮮語 3 C - II」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期に引き続き、朝鮮語 1・2 で学んだ文法の知識を生かして、自分の言いたいことを朝鮮語で口頭発表できるようにすることがこの授業の目的です。そのために語彙を増やし、教科書にある会話を正確な発音で言えるようにします。

## 【到達目標】

まず教科書にある会話を文法的に理解したうえで、これを正確な発音で話すことができ、また自分の言いたいことに置き換えることができるようにすることが目標となります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

## 【授業の進め方と方法】

授業開始時に筆記と口述の小テストを実施します。それから教科書の文法事項と語句を学び、次回的小テストに備えて会話文の発音の練習を行います。

オンライン授業は録画をしますので、繰り返し視聴することが可能です。

またオンライン授業終了後に個別に質問する時間を設けますので、わからないところがあれば遠慮なく質問してください。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】  
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】  
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 11 課	「～したらいいんだけど」 「～のために」
2	第 12 課	「～するとき」 「～したとき」
3	第 13 課	「～したと」 「～するように」
4	第 14 課	「～くなる」 「～すれば～するほど」
5	第 15 課	「～して以来」 「～なんですよ」
6	第 11 課～第 15 課の復習	復習
7	第 16 課	「～ように見える」「～するようだ」
8	第 17 課	「～なのか」 「～そうです」
9	第 18 課	「～してから」 「～しておく」
10	第 19 課	「～しろと言う」 「～するなと言う」
11	第 20 課	「～するなりすぐ」 「～するつもりだから」
12	第 16 課～第 20 課の復習	復習
13	期末試験 筆記	期末試験 筆記
14	期末試験 口述	期末試験 口述

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業では毎回筆記と口述の小テストを実施しますので、必ず復習してください。

授業の復習に要する時間は 40 分を標準としていますが、期末試験の口述試験のための原稿作成、筆記試験の準備には別途時間を要します。

## 【テキスト (教科書)】

『基礎から学ぶ韓国語講座中級改訂版』木内明著、国書刊行会、2015 年

## 【参考書】

『しくみで学ぶ初級朝鮮語改訂版』、内山政春著、白水社

## 【成績評価の方法と基準】

小テスト 30%

期末試験 70%

※小テスト、期末試験共に口述試験だけでは緊張してしまう人もいることを考慮し、それぞれ筆記試験も実施します。

## 【学生の意見等からの気づき】

音声教材の活用

## 【その他の重要事項】

・第 1 回の授業までに Hoppii に登録してください。お知らせプリントを配布しますので、Hoppii はこまめにチェックしてください。  
・感染症や忌引きで小テストを受けられない場合は欠席した翌週に追試を受けられます。登校時 (欠席した翌週) の授業開始前に証明書を提出のうえ追試を申し出てください。

・5 回の欠席で評価対象外とします。3 回の遅刻で 1 回欠席としてカウントします。

感染症などの公欠はこれに該当しません。

・シラバスは進捗状況によって変更される場合があります。

## 【Outline (in English)】

Continuing from the spring semester, the purpose of this class is to make use of the knowledge of grammar learned in Korean 1 and 2 to be able to verbally present what you want to say in Korean. For that purpose, we will increase our vocabulary so that we can say the conversational sentences in the textbook with accurate pronunciation.

## 【Learning Objectives】

The goal is to first understand the grammar of the conversations in the textbook, then to be able to speak them with correct pronunciation and to be able to replace them with what you want to say.

## 【Learning activities outside of classroom】

There will be written and oral quizzes every class, so be sure to review them.

The standard time required for reviewing classes is 40 minutes, but extra time is required to prepare manuscripts for the oral examination of the final exam and to prepare for the written examination.

## 【Grading Criteria /Policy】

Quiz 30%

Final exam 70%

\* Considering that some students may get nervous just by taking the oral exam for both the quiz and the final exam, we will also conduct a written exam for each.

CAR200LA

## Career Development Skills 2016 年度以前入学者

サブタイトル：

竹原 正篤

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：2 単位

定員制

その他属性：〈ゲ〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Career Development Skills offers students in English degree program the opportunity to acquire the mindset and knowledge they need to develop their careers. This course is intended for students who have taken Elementary Career Development in the fall semester and wish to further deepen their self-understanding and gather information about their own careers. In addition to reviewing various career theories, methods of self-understanding and job aptitude learned in Elementary Career Development, students will also learn about the latest trends in Japanese companies and overseas companies doing business in Japan. Moreover, the latest information on job hunting in Japan will be provided. By learning these wide-ranging topics, students will aim at raising their awareness of the profession and design their careers.

## 【到達目標】

Students will aim at:

- (1) understanding the significance of work and career and knowledge to design their own career.
- (2) deepening their understanding of personal profiles, values, aspirations, skills and lifestyles.
- (3) knowing skills and competencies required for careers that students want to explore.
- (4) exploring internships and job opportunities spontaneously.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

This course consists of lectures by the instructor, students' presentations and discussions. Students will occasionally work to create a worksheet during the class. All of the class activities will be conducted in English.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Orientation	Outline of the course. Introduction of instructor. Free discussion on "career" and career development.
Week 2	Significance of work and career design (1)	Understand the important points when considering future career paths
Week 3	Significance of work and career design (2)	Understand the importance of considering your career development throughout your entire life

Week 4	Know you better(1)	By reviewing and analyzing the life line charts that you worked on in Elementary Career Development, you can look back on your life and confirm the values you cherish
Week 5	Know you better(2)	Further deepen your career aptitude and preferences using frameworks such as the RIASEC model and the career anchors learned in Elementary Career Development
Week 6	Understand various occupations/jobs(1)	Understand that there are various occupations/jobs in society and many of them change as time passes
Week 7	Understand various occupations/jobs(2)	Understand that there are various occupations/jobs in society and many of them change as time passes
Week 8	Human resource management in organizations/companies (1)	Understand characteristics of human resource management in Japanese and other international organizations and their implications for students
Week 9	Human resource management in organizations/companies (2)	Understand that organizations/companies have their own organizational cultures which impact on their employees
Week 10	Recruitment activities of Japanese organizations/companies and students' job hunting activities("Shukatsu")	Understand how Japanese organizations/companies recruit university graduates and nurture them. Also, understand Japanese SME (small and medium sized enterprises) as job targets
Week 11	Introduction of industry analysis	Learn basics of industry analysis using models such as Porter's 5 Force model and value chain
Week 12	Guest Speaker sessions (1)	People who are active in various fields are invited to talk about their careers
Week 13	Guest Speaker sessions (2)	People who are active in various fields are invited to talk about their careers
Week 14	Wrap-up	Review major points students learned in the course and further deepen their understanding through wrap-up Q&A and discussions

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students taking this course should spend two hours each for preparation and review per week.

## 【テキスト（教科書）】

Handouts will be disseminated by the lecturer for each class.

## 【参考書】

References will be introduced in class.

## 【成績評価の方法と基準】

Grading will be decided based on the following criteria:

- (1) Active class participation:60%
- (2) Final writing assignments:40%

Details will be explained during the first class.

Please note that students who miss 4 classes or more without justification cannot receive credit.

**【学生の意見等からの気づき】**

N.A.This course will be newly launched in 2023.

ART200LA

Humanities A

2016 年度以前入学者

サブタイトル：Japanese Literature II.

URBANOVA JANA

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 1/Wed.1

単位数：2 単位

定員制

その他属性：〈ゲ〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course focuses on the major literary figures and their representative works of early modern, modern and contemporary Japanese literature. The works will be discussed with regard to the circumstances and background that shaped the authors' way of thinking. The course will also include a lesson introducing two significant works of medieval literature to shed light on one of the crucial concepts in Japanese culture - transience. There will also be a lesson introducing two major women poets of Okinawa.

## 【到達目標】

Goals:

1. to learn about the major literary figures of pre-modern, modern and contemporary Japanese literature
2. to gain an appreciation of the depth and atmosphere of their literary works as well as the beauty of the English translations

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

This course is based on lectures by the instructor featuring the use of written and audio-visual materials. In addition, every student will be required to deliver a class presentation on a given topic, to submit a short written summary of the presentation topic and an essay and to complete a short written exam at the end of the semester. The topics for the presentation will be distributed at the beginning of the course.

Comments and explanation about assignments and answers to questions from students are given at the end of each class.

This course is in principle a face-to-face course. However, the first lecture will be taught online on Zoom. Please see HOPP II for further instructions about how to join our Zoom session.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	Introduction	Introduction to course; brief self-introduction; scheduling of presentations
2.	Transience in Japanese poetry	The concept of transience as portrayed in <i>Essays in Idleness (Tsuzuregusa)</i> , written by Buddhist priest <i>Kenkō</i> the <i>waka</i> anthology <i>A Hundred Poems by a Hundred Poets (Hyakunin Isshu)</i> , compiled by <i>Fujiwara no Teika</i>

3.	<i>Haikai</i> poetry	Transition from comic <i>haikai</i> poetry to the mastering of <i>haiku</i> ; <i>Matsuo Bashō</i> ; Hints for appreciating and writing <i>haiku</i>
4.	Poetry of Okinawa	Two women poets of Okinawa: <i>Yoshiya Tsuru</i> and <i>Onna Nabe</i> and their <i>ryūka</i> poems
5.	Literature of the floating world	The rising merchant society during the <i>Edo</i> period; stories of the floating world ( <i>ukiyo zōshi</i> ); <i>Ihara Saikaku: The Life of an Amorous Man (Kōshoku Ichidai Otoko)</i> and <i>Five Women who Loved Love (Kōshoku Gonin Onna)</i>
6.	Tales of the supernatural in pre-modern literature	<i>Ueda Akinari</i> and his <i>Tales of Moonlight and Rain (Ugetsu Monogatari)</i>
7.	Tales of the supernatural in modern literature	<i>Akutagawa Ryūnosuke</i> and the influence of <i>Japanese Tales from Times Past (Konjaku Monogatari Shū)</i> ; short stories <i>In a Grove (Yabu no Naka)</i> and <i>Rashōmon</i>
8.	The world of fantasy and reality of <i>Miyazawa Kenji</i>	<i>Miyazawa Kenji</i> : fantasy novel <i>Milky Way Railroad (Ginga Tetsudō no Yoru)</i> , poem <i>Be not Defeated by the Rain (Ame ni mo makezu)</i>
9.	Modern novelists, Part 1	<i>Natsume Sōseki</i> : his life and literary works, particularly the novel <i>I Am a Cat (Wagahai wa Neko de aru)</i>
10.	Modern novelists, Part 2	<i>Mishima Yukio (Confessions of a Mask; Kamen no Kokuhaku)</i>
11.	Modern novelists, Part 3	<i>Tanizaki Junichirō</i> and his works <i>The Key (Kagi)</i> and <i>In Praise of Shadows (Inei Raisan)</i>
12.	Modern novelists, Part 4	Nobel Prize winner <i>Kawabata Yasunari</i> and his masterpiece <i>Snow Country (Yukiguni)</i>
13.	Contemporary literature	<i>Yoshimoto Banana</i> and <i>Haruki Murakami</i> and their representative works
14.	Course wrap up	Submit short summary of presentation and essay; final written exam

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Please prepare a short self-introduction for the first class. In addition, each student will be asked to deliver an oral presentation on a designated topic and to submit a short written summary of the presentation and essay at the end of the semester. Students are also expected to actively engage in class discussions and to revise all of the readings done in class, as they will form the basis for the discussions and questions on the final exam. Preparatory study and review time for this class are 2 hours each.

## 【テキスト（教科書）】

No textbooks will be used. Handouts and reading materials on each lesson's topic together with the specified sources will be distributed by the lecturer through HOPP II.

## 【参考書】

Selected references:

Keene, Donald. *Appreciations of Japanese Culture*. Tokyo, New York & London: Kodansha International, Ltd., 1971. First paperback edition, 1981.

Keene, Donald. *World Within Walls – Japanese Literature of the Pre-Modern Era, 1600-1867*. New York: Holt, Rinehart and Winston, 1976.

Petersen, Gwen Boardman. *The Moon in the Water – Understanding Tanizaki, Kawabata and Mishima*. Honolulu: The University Press of Hawaii, 1979.

Further references related to the topic of each class will be provided by the lecturer.

**【成績評価の方法と基準】**

Class attendance and oral participation are expected; failure to participate in class will result in the subtraction of marks from the total. Grading criteria: oral presentation and written summary (50%); final examination and essay (50%).

**【学生の意見等からの気づき】**

There are no student comments that would require major changes to the course.

**【学生が準備すべき機器他】**

Please check HOPP11 for further instructions about the course.

ARSe200LA

## Humanities B

2016 年度以前入学者

サブタイトル：America in the 20th Century

Richard.J.Burrows

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：2 単位

定員制

その他属性：〈グ〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Despite the rise of powers in Asia such as China & India, the US remains the pre-eminent global power and a key to understanding its prominence lies in an understanding of its rise as a superpower during the 20th century. Therefore, this course will focus on key political, economic & cultural developments during the latter half of that period, how they contributed to the rise of American power and continue to influence nations around the world, especially in Asia. Regular reading assignments will be set, analyzed & discussed during the lessons, allowing students to reflect on how the US continues to influence their nations as we enter a new century.

## 【到達目標】

Through a variety of media, this course seeks to firstly, give students a thorough understanding of key events in the US from the end of World War I to the close of the century. In addition, students will be able to comprehend how those events impacted not only on the course of modern US history, but their wider effect throughout the world, especially in the Asia-Pacific region.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

Regular reading assignments will be set, analyzed & discussed during the lessons, allowing students to reflect on how the US continues to influence their nations as we enter the 21st century. Furthermore, an audio-visual element will allow students to sharpen their listening skills and engage in comprehension activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Explanation	Course Introduction
Week 2	Course Assignments	Presentation Skills
Week 3	Innovation	The Wright Brothers
Week 4	The Pacific Conflict	US in World War II
Week 5	Post-War Settlement	Bombing of Hiroshima
Week 6	Technology	Breaking the Sound Barrier
Week 7	The Fight Against Communism	The Vietnam War
Week 8	The Civil Rights Movement	Martin Luther King
Week 9	A Divided Nation	The Anti-War Movement
Week 10	Civil Unrest & Violence	The Assassination of JFK

Week 11	Watergate	The End of Nixon
Week 12	The Space Race	The Apollo Landings
Week 13	Domestic Terrorism	Oklahoma Bombing
Week 14	Course Review	The 20th Century Influence on the Present Day

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students will be expected to make a presentation and submit a report on a relevant theme during the semester. In addition, regular reading assignments will be set with comprehension & vocabulary questions, which will require 4 hours each week. No more than 3 absences will be permitted. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course.

## 【テキスト（教科書）】

None, but students are required to download & prepare the required material before class.

## 【参考書】

An electronic or smart phone English dictionary, or dictionary app is required at every class

## 【成績評価の方法と基準】

Evaluation will be based on the following criteria:

Classwork & Participation 30%

Homework 30%

Presentation 20%

Report 20%

In principle, no more than 3 absences are permitted

## 【学生の意見等からの気づき】

New & updated topics have been added to the course. In addition, online access to the course materials will allow to students to both preview & review class work.

## 【学生が準備すべき機器他】

Since all materials will be available online, students need to either download & print the necessary file, or download and have it ready on their laptop or tablet device, before the start of each class. In addition, students need to have access to a pc in order to prepare their presentation & report

## 【その他の重要事項】

Please join this class if you have an interest in this topic, a desire to improve your English skills, and are willing to attend classes on a regular basis and submit all homework & other assignments on time.

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None



POL200LA

Social Science B

2016 年度以前入学者

サブタイトル：Japanese Constitutional Case Law : Comparative approach

ガエル ベッソン

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：2 単位

定員制

その他属性：〈ゲ〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Constitutional law is now a trans-disciplinary field that connect to every branches of law, whether it is family law, commercial law, penal law... At the core of it is the protection of fundamental rights. But, even if one of the wonders of the Japanese legal system is to provide the texts of the great legal decisions in English, the vocabulary that the judge uses to make or justify his decision can look frightening for the non-specialist. The class will accompany the student in acquiring the tools to read and understand in English, some of the most important constitutional cases in Japan. We will see the influence of French, German and US doctrines, and the very specific Japanese ones on Japanese constitutional law, compare with solutions in other countries, and see that, contrary to the idea that Japan is always a country of consensus, that there have been strong debates between Justice especially because some defend a very national concept of Law when the other want to promote human rights protection with the same standards as others countries do.

【到達目標】

By the end of the course, it is expected that students have acquired :

1. Specific vocabulary to be able to read legal decisions.
2. Overview of some of the most important cases in Japan.
3. A robust knowledge of the structural doctrines that ensure or limit fundamental rights protection.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Classes consist in discussion, documents study, and lecture. Students will be required to apply analytical frameworks they learned during class by conducting a research on an decision or judge of their choice that will result in a presentation and a written report to be submitted at the end of the semester. This will be performed collectively or individually depending on the number of students attending the course. Feedback by peers and the instructor will be given in class. Course contents will vary depending on the number of students' presentations to be performed in class.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	Introduction : Judicial power in Japan	Explanation of the class, elements of the Japanese legal system, National Police reserve case ; independence of Japanese judges.
2.	Limits of judicial power I. The political problem	Sunagawa case; Tomabechi case : avoiding political issues.
3.	II. The divided society	Yonaiyama case : Justices Tanaka and Mano on the separation of powers. Infra-state pluralism theory.
4.	Access to court : I. The standing to sue	Naganuma case / Comparison with US case law.
5.	II. The mootness	Asahi case, Ienaga case, May day parade Case.
6.	Debate, (field trip, visit a tribunal) if possible to organize due to COVID restriction.	What is the role of the judge ? A Supreme court judge ?
7.	Judicial review : I. Purpose and effect	Nationality act case; Hyakuri case, Reapportionment cases. Vote at Home case.
8.	II. Application of fundamentals rights	Mitsubishi resin case

9.	III. Presumption of constitutionality	Thayer-Holmes-Franfurter and Ashibe argument.
10.	IV. Legislative and administrative discretion	Parricide cases, Pharmaceutical act case, MacLean case, Tamagushiryō case.
11.	Debate	What do you think of fundamental rights protection in Japan ? In U.S ?
12.	Human rights protection Changes in the Japanese family structure	Art. 14 of the Japanese Constitution and the rationality test.
13.	Presentation I	Example of subjects : Woman and LGBT rights protection...
14.	Presentation II	Nature rights, workers rights ...

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

In addition to the research project to be presented in class, students will be required to prepare the class by familiarizing themselves with the documents handed out for this purpose. Preparatory study and review time for this class are 2 hours each.

【テキスト (教科書)】

None. Historical and contemporary cases translations in English will be given to students.

【参考書】

Shigenori MATSUI, The Constitution of Japan : A Contextual Analysis (Constitutional Systems of the World). 2011, Hart. ISBN 13 978-1841137926. Hiroshi ITOH, The Supreme Court and Benign Elite Democracy in Japan, 2020, Routledge, ISBN 13 : 978-0367602680. Kyoko INOUE, Macarthur's Japanese Constitution : A Linguistic and Cultural Study of Its Making, 1991, University of Chicago, ISBN-13 : 978-0226383910

【成績評価の方法と基準】

Participation in class (including homework and discussions): 50%; research project: 50% (presentation in class: 20%; written report: 30%).

【学生の意見等からの気づき】

Contents and slides updated.

【学生が準備すべき機器他】

A pen and some paper.

BSC200LA

Natural Science B

2016 年度以前入学者

サブタイトル：Chemistry for environmental issues

西村 直美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 3/Tue.3

単位数：2 単位

定員制

その他属性：〈ゲ〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

One of the most pressing issues the Earth is facing is environmental problems. Such environmental problems are universal issues, so all the people on the earth should cooperate to solve these problems. At the beginning of this course, each environmental problem will be focused from the chemical viewpoint. Then, the students with different backgrounds will delve into the matters. The ultimate goal of this course is that we think about these problems deeply by sharing possible solutions with each other.

## 【到達目標】

The goal of this course is for students to lean environmental problems through chemistry. The objective 1) entirely environmental problems in the world; 2) to learn them you understand basic chemistry; 3) they think about solving the imminent problems by themselves.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

Students will be tested on their knowledge of chemistry at the beginning of the course, and the contents for the first three weeks of the course will be decided, based on the test results. After that, many different environmental problems are explained each week.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】  
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	Overview of the course and explanation of some terminology. Test your chemistry level.
2	Basic chemistry 1	Learning the chemical skills to study this course.
3	Basic chemistry 2	Learning the chemical skills to study this course.
4	Mini test-1	Review learning.
5	Environmental problems overview	Small topics of environmental problems.
6	Ozone holes	Stratospheric air chemistry. Especially ozone holes.
7	Air pollution	Tropospheric air chemistry and effect of air pollution on our health.
8	Greenhouse effect	Climates change
9	Greenhouse effect-DVD	Watching DVD about climates change.
10	Mini test-2	Review learning.

11	Solid, toxic, and hazardous wastes	What do we do with the wastes?
12	Water pollution and water shortage	The basic chemistry of natural water.
13	Energy and fuels	Current energy system and alternative energy sources.
14	Final test	Overall review.

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

After each class, students are expected to spend time understanding each topic.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

## 【テキスト（教科書）】

None. Reading materials will be distributed as needed.

## 【参考書】

None.

## 【成績評価の方法と基準】

Class participation (20%), Weekly assignment (40%), mini-tests (20%), final examination (20%)

## 【学生の意見等からの気づき】

Students often say that chemistry is hard! I try to teach chemistry as clearly as possible.

## 【学生が準備すべき機器他】

none

## 【none】

none

HSS200LA

Health and Physical Education 2016 年度以前入学者

サブタイトル：

武井 敦彦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：2 単位

定員制

その他属性：〈グ〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

【到達目標】

By the end of the course, students should be able to do the followings:

1. Deepen understanding of the significance and role of physical activity from various perspectives.
2. Acquire the ability to use sports activities to establish a prosperous and healthy student and social life.
3. Acquire basic knowledge and develop attitudes that contribute to self-management.
4. To acquire the ability to demonstrate leadership and solve problems through communication with others, which is considered to be extremely important for playing an active role in the real world after graduation.
5. Aim to acquire various skills that lead to the development of employment ability (ability to build relationships of trust, ability to act jointly, etc.).

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

If the Method(s) is changed, we will announce the details of any changes.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class.

This class has comprised both lectures and practical lessons, and students are expected to learn and understand elementary health and physical education. Also, the class schedule may be changed due to COVID-19 and the university guidelines.

Due to the coronavirus pandemic, if too many students are registered for this class, we may have to choose students via random selection to avoid a large group gathering. Further details of this will be announced through Hoppii before the first lesson starts.

When students submit reaction papers, the teacher will comment or give feedback on those reaction papers at the beginning of the next session.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Guidance	Introduction of the course, 1st Presentation (Lecture)
2	Physical Fitness Test	Implementing of the physical fitness test (Practical Lesson)
3	Learning the Individual Sports 1	Building the relationship with classmates through badminton (Practical Lesson)
4	Learning the Individual Sports 2	Facilitating the mutual understanding with classmates through badminton (Practical Lessons)
5	Learning the Individual Sports 3	Building the relationship with classmates through table tennis (Practical Lesson)
6	Learning the Individual Sports 4	Facilitating mutual understanding with classmates through table tennis (Practical Lessons)
7	Strength & Conditioning 1	Implementing and collecting the data of the strength and conditioning (Practical Lesson)
8	Strength & Conditioning 2	Learning the theory of strength and conditioning (Lecture)
9	Learning the Team Sports 1	Building the relationship with classmates through the futsal (Practical Lesson)
10	Learning the Team Sports 2	Facilitating the mutual understanding with classmates through the futsal (Practical Lesson)
11	Health & Fitness 1	Leaning the proper physical function to improve the QOL (quality of life) (Lecture)
12	Health & Fitness 2	Implementing the stability and mobility exercises (Practical Lesson)
13	Learning the Warm-Ups	Learning the basic principle and implementing the proper warm-ups, 2nd Presentation (Lecture & Practical Lesson)
14	Summarizing the Course	Overview of the course and compile a report (Lecture)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

This class's standard preparatory study and review time is 2 hours each. The purpose of this class is to understand that sports activities contribute to the promotion of physical and mental health and interpersonal relationships through lectures and practical training. Therefore, record the time spent on daily physical activity, meals, sleep time, etc., look back on the contents, and record the effects and future tasks. Also, get in the habit of looking at various sports-related information sent from TV, newspapers, the Web, etc. This work will deepen your understanding of the contents of this class.

【テキスト（教科書）】

No textbook will be used.

【参考書】

Reference books may be introduced as and if necessary.

【成績評価の方法と基準】

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

1. Participation status for activities during class / Reaction paper 60%,
2. Assignments / Reports 40%.

In principle, this grade evaluation method is used, and students who have difficulty in normal activities will be treated and evaluated individually.

**【学生の意見等からの気づき】**

None (due to a newly appointed teacher).

**【学生が準備すべき機器他】**

1. Students must bring their proper sportswear and indoor shoes for practical lessons.
2. Students must bring their own personal computer or mobile device to create and submit assignments.

**【その他の重要事項】**

1. The order and content of each class can be changed/modified due to the number of participants and available facilities, as well as the situation of COVID-19 and university guidelines.
2. This class is planned to be held offline (face to face); therefore, please follow the university guidelines carefully when participating in classes (e.g., sanitizing your hands before participation).
3. If students have any issues, including health, before, during, and after the class, students must inform their condition to the teacher.

PRI200LA

## 情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

吉岡 卓

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2023 年 4 月 3 日（月）10：00～5 日（水）17：00、結果発表は 4 月 6 日（木）22：00（予定）です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2023/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします。

## 【到達目標】

本科目では、主に Excel2010（表計算ソフト）と PowerPoint2010（プレゼンテーションソフト）の操作方法を学びます。基本的な操作方は情報処理演習Ⅰで学んだ Word と同様なので、特に本授業では、表の作成と簡単な計算・オートフィル・関数の利用・最適化問題を解く・プレゼンテーション資料の作成・発表方法などが身に付きます。

授業では Excel と PowerPoint を使用する際のテクニカルな面を講義しますが、本科目の目標はあくまでも「計算式を書く」事と「自らの主張をプレゼンテーションにつなげる」事です。なお、前者では、数学的な思考はあまり必要ありません。数式を解くのではなく、数式を立てるほうを重要視しますので、論理的な思考が身に付きます。後者では、プレゼンテーション資料を作る際の様々なルール（一般的な文字数や図表の規則など）が身に付きます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

## 【授業の進め方と方法】

本科目は対面授業を基本とします。毎回 1 人 1 台コンピュータを使って実習を行います。そのため、学内パソコンにログインする際の ID とパスワード（統合認証 ID 等）を必ず確認しておいてください。

初心者を前提として、表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、ホームページ作成の初歩、情報倫理や情報理論についての考え方を深めます。

課題のフィードバックは授業中に行います。また授業資料・課題等は Hoppii 上にてお知らせします。詳細は初回授業時に告知しますので、初回授業は必ず出席してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 01 回	Excel 導入	セルの挿入・結合・装飾などを通して、Microsoft Excel の利用方法を学習する
第 02 回	関数の利用	Microsoft Excel の自動計算機能を用いる
第 03 回	関数の応用	Microsoft Excel の様々な関数を利用する
第 04 回	詳細な表示形式の変更	Microsoft Excel の条件付き書式を利用する
第 05 回	非線形な問題を解く	Microsoft Excel のソルバーやゴールシーク機能を用いて非線形な問題を解く

第 06 回 条件分岐に関する関数を用いる Microsoft Excel の IF 関数などを用いる事で、論理的思考をやしなう

第 07 回 Power Point 導入 Microsoft PowerPoint の基本操作や箇条書き・スライド装飾について学習する

第 08 回 図表の挿入・アニメーション設定 Microsoft PowerPoint の図表利用やアニメーションの設定により、視覚的効果の得られるスライド作成を目標とする

第 09 回 動画の挿入・拡張子 Microsoft PowerPoint に動画を挿入する場合の注意や、Windows における拡張子の扱いについて学習する

第 10 回 マイテンプレート Microsoft PowerPoint で、自分なりのテンプレートを作成し、特色あるスライド作成を目標とする

第 11 回 スライドの作成 Microsoft PowerPoint を用いて個別にスライドを作成し、情報発信能力の向上を目標とする

第 12 回 スライドの発表 第 11 回で作成したスライドを発表する。自らの主張を効果的に伝える手法を学習する

第 13 回 スライド発表時の諸注意と応用 第 11 回で作成したスライドをもとに、プレゼンテーションの注意点やスライド作成の応用例を概観する

第 14 回 ネットワークの基礎 サーバ・クライアントの関係を概観し、コンピュータネットワークに関する理解を深める

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

第 1 回の授業の前に、ログイン ID とパスワードを確認しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

実習 情報リテラシ [第 3 版]、重定如彦・河内谷幸子 共著、サイエンス社、1980 年

## 【参考書】

適時指示。なお、講義で使用したスライドは授業支援システム Hoppii にアップします。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 (20%)、レポート課題 (80%) を総合して評価します。特に課題が出た時は必ず指定の方法で提出し、期限を守る事。3~4 回ほどを予定。

## 【学生の意見等からの気づき】

パソコンに慣れていない人と慣れていない人が混在するため、出来るだけどちらにも興味をもってもらえるよう、授業スピードや内容に心がけるつもりです。

## 【学生が準備すべき機器他】

授業支援システムを利用します。履修決定後、参照できることを各自確認してください。

## 【その他の重要事項】

「情報処理演習Ⅰ」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。

上記【授業の進め方と方法】を良く読み、初回授業は必ず出席すること。

出席が不可能な場合は、授業支援システムから連絡すること。

## 【Outline (in English)】

This is an introductory Information Processing course. It covers key productivity software Excel and Powerpoint with Microsoft Office 2013.

In this course, I will show you what we need to use Excel is not to solve mathematical expressions, but to make mathematical expressions.

That is, you will able to acquire logical thinking.

And also, with PowerPoint, you can easily create slideshow.

Basic keyboarding skills are strongly recommended.

PRI200LA

## 情報処理演習 II

2017 年度以降入学者

吉岡 卓

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2023 年 4 月 3 日（月）10：00～5 日（水）17：00、結果発表は 4 月 6 日（木）22：00（予定）です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2023/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします。

## 【到達目標】

本科目では、主に Excel2010（表計算ソフト）と PowerPoint2010（プレゼンテーションソフト）の操作方法を学びます。基本的な操作方は情報処理演習 I で学んだ Word と同様なので、特に本授業では、表の作成と簡単な計算・オートフィル・関数の利用・最適化問題を解く・プレゼンテーション資料の作成・発表方法などが身に付きます。

授業では Excel と PowerPoint を使用する際のテクニカルな面を講義しますが、本科目の目標はあくまでも「計算式を書く」事と「自らの主張をプレゼンテーションにつなげる」事です。なお、前者では、数学的な思考はあまり必要ありません。数式を解くのではなく、数式を立てるほうを重要視しますので、論理的な思考が身に付きます。後者では、プレゼンテーション資料を作る際の様々なルール（一般的な文字数や図表の規則など）が身に付きます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

## 【授業の進め方と方法】

本科目は対面授業を基本とします。毎回 1 人 1 台コンピュータを使って実習を行います。そのため、学内パソコンにログインする際の ID とパスワード（統合認証 ID 等）を必ず確認しておいてください。

初心者を前提として、表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、ホームページ作成の初歩、情報倫理や情報理論についての考え方を深めます。

課題のフィードバックは授業中に行います。また授業資料・課題等は Hoppii 上にてお知らせします。詳細は初回授業時に告知しますので、初回授業は必ず出席してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 01 回	Excel 導入	セルの挿入・結合・装飾などを通して、Microsoft Excel の利用方法を学習する
第 02 回	関数の利用	Microsoft Excel の自動計算機能を用いる
第 03 回	関数の応用	Microsoft Excel の様々な関数を利用する
第 04 回	詳細な表示形式の変更	Microsoft Excel の条件付き書式を利用する
第 05 回	非線形な問題を解く	Microsoft Excel のソルバーやゴールシーク機能を用いて非線形な問題を解く

第 06 回	条件分岐に関する関数を用いる	Microsoft Excel の IF 関数などを用いる事で、論理的思考をやしなう
第 07 回	Power Point 導入	Microsoft PowerPoint の基本操作や箇条書き・スライド装飾について学習する
第 08 回	図表の挿入・アニメーション設定	Microsoft PowerPoint の図表利用やアニメーションの設定により、視覚的効果の得られるスライド作成を目標とする
第 09 回	動画の挿入・拡張子	Microsoft PowerPoint に動画を挿入する場合の注意や、Windows における拡張子の扱いについて学習する
第 10 回	マイテンプレート	Microsoft PowerPoint で、自分なりのテンプレートを作成し、特色あるスライド作成を目標とする
第 11 回	スライドの作成	Microsoft PowerPoint を用いて個別にスライドを作成し、情報発信能力の向上を目標とする
第 12 回	スライドの発表	第 11 回で作成したスライドを発表する。自らの主張を効果的に伝える手法を学習する
第 13 回	スライド発表時の諸注意と応用	第 11 回で作成したスライドをもとに、プレゼンテーションの注意点やスライド作成の応用例を概観する
第 14 回	ネットワークの基礎	サーバ・クライアントの関係を概観し、コンピュータネットワークに関する理解を深める

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

第 1 回の授業の前に、ログイン ID とパスワードを確認しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

実習 情報リテラシ [第 3 版]、重定如彦・河内谷幸子 共著、サイエンス社、1980 年

## 【参考書】

適時指示。なお、講義で使用したスライドは授業支援システム Hoppii にアップします。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 (20%)、レポート課題 (80%) を総合して評価します。特に課題が出た時は必ず指定の方法で提出し、期限を守る事。3~4 回ほどを予定。

## 【学生の意見等からの気づき】

パソコンに慣れていない人と慣れていない人が混在するため、出来るだけどちらにも興味をもってもらえるよう、授業スピードや内容に心がけるつもりです。

## 【学生が準備すべき機器他】

授業支援システムを利用します。履修決定後、参照できることを各自確認してください。

## 【その他の重要事項】

「情報処理演習 I」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。

上記【授業の進め方と方法】を良く読み、初回授業は必ず出席すること。

出席が不可能な場合は、授業支援システムから連絡すること。

## 【Outline (in English)】

This is an introductory Information Processing course. It covers key productivity software Excel and Powerpoint with Microsoft Office 2013.

In this course, I will show you what we need to use Excel is not to solve mathematical expressions, but to make mathematical expressions.

That is, you will able to acquire logical thinking.

And also, with PowerPoint, you can easily create slideshow.

Basic keyboarding skills are strongly recommended.

PRI200LA

## 情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

吉岡 卓

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2023 年 4 月 3 日（月）10：00～5 日（水）17：00、結果発表は 4 月 6 日（木）22：00（予定）です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2023/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします。

## 【到達目標】

本科目では、主に Excel2010（表計算ソフト）と PowerPoint2010（プレゼンテーションソフト）の操作方法を学びます。基本的な操作方は情報処理演習Ⅰで学んだ Word と同様なので、特に本授業では、表の作成と簡単な計算・オートフィル・関数の利用・最適化問題を解く・プレゼンテーション資料の作成・発表方法などが身に付きます。

授業では Excel と PowerPoint を使用する際のテクニカルな面を講義しますが、本科目の目標はあくまでも「計算式を書く」事と「自らの主張をプレゼンテーションにつなげる」事です。なお、前者では、数学的な思考はあまり必要ありません。数式を解くのではなく、数式を立てるほうを重要視しますので、論理的な思考が身に付きます。後者では、プレゼンテーション資料を作る際の様々なルール（一般的な文字数や図表の規則など）が身に付きます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

## 【授業の進め方と方法】

本科目は対面授業を基本とします。毎回 1 人 1 台コンピュータを使って実習を行います。そのため、学内パソコンにログインする際の ID とパスワード（統合認証 ID 等）を必ず確認しておいてください。

初心者を前提として、表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、ホームページ作成の初歩、情報倫理や情報理論についての考え方を深めます。

課題のフィードバックは授業中に行います。また授業資料・課題等は Hoppii 上にてお知らせします。詳細は初回授業時に告知しますので、初回授業は必ず出席してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 01 回	Excel 導入	セルの挿入・結合・装飾などを通して、Microsoft Excel の利用方法を学習する
第 02 回	関数の利用	Microsoft Excel の自動計算機能を用いる
第 03 回	関数の応用	Microsoft Excel の様々な関数を利用する
第 04 回	詳細な表示形式の変更	Microsoft Excel の条件付き書式を利用する
第 05 回	非線形な問題を解く	Microsoft Excel のソルバーやゴールシーク機能を用いて非線形な問題を解く

第 06 回 条件分岐に関する関数を用いる Microsoft Excel の IF 関数などを用いる事で、論理的思考をやしなう

第 07 回 Power Point 導入 Microsoft PowerPoint の基本操作や箇条書き・スライド装飾について学習する

第 08 回 図表の挿入・アニメーション設定 Microsoft PowerPoint の図表利用やアニメーションの設定により、視覚的効果の得られるスライド作成を目標とする

第 09 回 動画の挿入・拡張子 Microsoft PowerPoint に動画を挿入する場合の注意や、Windows における拡張子の扱いについて学習する

第 10 回 マイテンプレート Microsoft PowerPoint で、自分なりのテンプレートを作成し、特色あるスライド作成を目標とする

第 11 回 スライドの作成 Microsoft PowerPoint を用いて個別にスライドを作成し、情報発信能力の向上を目標とする

第 12 回 スライドの発表 第 11 回で作成したスライドを発表する。自らの主張を効果的に伝える手法を学習する

第 13 回 スライド発表時の諸注意と応用 第 11 回で作成したスライドをもとに、プレゼンテーションの注意点やスライド作成の応用例を概観する

第 14 回 ネットワークの基礎 サーバ・クライアントの関係を概観し、コンピュータネットワークに関する理解を深める

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

第 1 回の授業の前に、ログイン ID とパスワードを確認しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

実習 情報リテラシ [第 3 版]、重定如彦・河内谷幸子 共著、サイエンス社、1980 年

## 【参考書】

適時指示。なお、講義で使用したスライドは授業支援システム Hoppii にアップします。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 (20%)、レポート課題 (80%) を総合して評価します。特に課題が出た時は必ず指定の方法で提出し、期限を守る事。3~4 回ほどを予定。

## 【学生の意見等からの気づき】

パソコンに慣れていない人と慣れていない人が混在するため、出来るだけどちらにも興味をもってもらえるよう、授業スピードや内容に心がけるつもりです。

## 【学生が準備すべき機器他】

授業支援システムを利用します。履修決定後、参照できることを各自確認してください。

## 【その他の重要事項】

「情報処理演習Ⅰ」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。

上記【授業の進め方と方法】を良く読み、初回授業は必ず出席すること。

出席が不可能な場合は、授業支援システムから連絡すること。

## 【Outline (in English)】

This is an introductory Information Processing course. It covers key productivity software Excel and Powerpoint with Microsoft Office 2013.

In this course, I will show you what we need to use Excel is not to solve mathematical expressions, but to make mathematical expressions.

That is, you will able to acquire logical thinking.

And also, with PowerPoint, you can easily create slideshow.

Basic keyboarding skills are strongly recommended.

PRI200LA

## 情報処理演習 II

2017 年度以降入学者

吉岡 卓

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2023 年 4 月 3 日（月）10：00～5 日（水）17：00、結果発表は 4 月 6 日（木）22：00（予定）です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2023/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします。

## 【到達目標】

本科目では、主に Excel2010（表計算ソフト）と PowerPoint2010（プレゼンテーションソフト）の操作方法を学びます。基本的な操作方は情報処理演習 I で学んだ Word と同様なので、特に本授業では、表の作成と簡単な計算・オートフィル・関数の利用・最適化問題を解く・プレゼンテーション資料の作成・発表方法などが身に付きます。

授業では Excel と PowerPoint を使用する際のテクニカルな面を講義しますが、本科目の目標はあくまでも「計算式を書く」事と「自らの主張をプレゼンテーションにつなげる」事です。なお、前者では、数学的な思考はあまり必要ありません。数式を解くのではなく、数式を立てるほうを重要視しますので、論理的な思考が身に付きます。後者では、プレゼンテーション資料を作る際の様々なルール（一般的な文字数や図表の規則など）が身に付きます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

## 【授業の進め方と方法】

本科目は対面授業を基本とします。毎回 1 人 1 台コンピュータを使って実習を行います。そのため、学内パソコンにログインする際の ID とパスワード（統合認証 ID 等）を必ず確認しておいてください。

初心者を前提として、表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、ホームページ作成の初歩、情報倫理や情報理論についての考え方を深めます。

課題のフィードバックは授業中に行います。また授業資料・課題等は Hoppii 上にてお知らせします。詳細は初回授業時に告知しますので、初回授業は必ず出席してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 01 回	Excel 導入	セルの挿入・結合・装飾などを通して、Microsoft Excel の利用方法を学習する
第 02 回	関数の利用	Microsoft Excel の自動計算機能を用いる
第 03 回	関数の応用	Microsoft Excel の様々な関数を利用する
第 04 回	詳細な表示形式の変更	Microsoft Excel の条件付き書式を利用する
第 05 回	非線形な問題を解く	Microsoft Excel のソルバーやゴールシーク機能を用いて非線形な問題を解く

第 06 回	条件分岐に関する関数を用いる	Microsoft Excel の IF 関数などを用いる事で、論理的思考をやしなう
第 07 回	Power Point 導入	Microsoft PowerPoint の基本操作や箇条書き・スライド装飾について学習する
第 08 回	図表の挿入・アニメーション設定	Microsoft PowerPoint の図表利用やアニメーションの設定により、視覚的効果の得られるスライド作成を目標とする
第 09 回	動画の挿入・拡張子	Microsoft PowerPoint に動画を挿入する場合の注意や、Windows における拡張子の扱いについて学習する
第 10 回	マイテンプレート	Microsoft PowerPoint で、自分なりのテンプレートを作成し、特色あるスライド作成を目標とする
第 11 回	スライドの作成	Microsoft PowerPoint を用いて個別にスライドを作成し、情報発信能力の向上を目標とする
第 12 回	スライドの発表	第 11 回で作成したスライドを発表する。自らの主張を効果的に伝える手法を学習する
第 13 回	スライド発表時の諸注意と応用	第 11 回で作成したスライドをもとに、プレゼンテーションの注意点やスライド作成の応用例を概観する
第 14 回	ネットワークの基礎	サーバ・クライアントの関係を概観し、コンピュータネットワークに関する理解を深める

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

第 1 回の授業の前に、ログイン ID とパスワードを確認しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

実習 情報リテラシ [第 3 版]、重定如彦・河内谷幸子 共著、サイエンス社、1980 年

## 【参考書】

適時指示。なお、講義で使用したスライドは授業支援システム Hoppii にアップします。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 (20%)、レポート課題 (80%) を総合して評価します。特に課題が出た時は必ず指定の方法で提出し、期限を守る事。3~4 回ほどを予定。

## 【学生の意見等からの気づき】

パソコンに慣れていない人と慣れていない人が混在するため、出来るだけどちらにも興味をもってもらえるよう、授業スピードや内容に心がけるつもりです。

## 【学生が準備すべき機器他】

授業支援システムを利用します。履修決定後、参照できることを各自確認してください。

## 【その他の重要事項】

「情報処理演習 I」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。

上記【授業の進め方と方法】を良く読み、初回授業は必ず出席すること。

出席が不可能な場合は、授業支援システムから連絡すること。

## 【Outline (in English)】

This is an introductory Information Processing course. It covers key productivity software Excel and Powerpoint with Microsoft Office 2013.

In this course, I will show you what we need to use Excel is not to solve mathematical expressions, but to make mathematical expressions.

That is, you will able to acquire logical thinking.

And also, with PowerPoint, you can easily create slideshow.

Basic keyboarding skills are strongly recommended.



PRI200LA

## 情報処理演習 II

2017 年度以降入学者

中村 文隆

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 2/Wed.2

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2023 年 4 月 3 日（月）10：00～5 日（水）17：00、結果発表は 4 月 6 日（木）22：00（予定）です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2023/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のテーマは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し、自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。また、高校の科目「情報」の取り組みが学校によって異なるため、不足分を補充し、さらに情報科学の理論へと導いていきます。

秋学期の情報処理演習 II では、情報処理演習 I で学んだ内容を元に、表計算ソフト、プレゼンテーション、インターネットといった内容を学びます。

## 【到達目標】

情報のタイプに応じて様々な情報の表現形式（情報メディア）が存在する事を理解する。また、その上で文書作成、表計算、プレゼンテーションを用いた複合的な情報の受信、発信技術を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

## 【授業の進め方と方法】

授業の前半は説明を行い、後半は課題実施と質疑応答、の進め方を基本とする。実習のある回は前半で課題の具体的な進め方を説明し、後半で各自課題を作成しながら質問などを受け付ける。座学の回は後半で各自小レポートを作成する。

なお、コロナの状況によっては、座学の回をオンラインで行う可能性もある。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	インターネットとメ ディアリテラシ	インターネットの歴史と仕組み、 電子メールについて学ぶ
第 2 回	エクセルその 1	Excel の概要と用語、基本的な使 い方について学ぶ
第 3 回	エクセルその 2	データの移動・コピーと数式の使 い方を学ぶ
第 4 回	エクセルその 3	関数の使い方と条件分岐について 学ぶ
第 5 回	エクセルその 4	グラフの描画とデータ処理の基本 を学ぶ
第 6 回	エクセルその 5	総合課題を通して関数の応用を学 ぶ
第 7 回	エクセルその 6	総合課題の続きとして、フィルタ とデータの自動生成について学ぶ
第 8 回	World Wide Web	WWW(ホームページ)の仕組みと サーチエンジンについて学ぶ
第 9 回	パワーポイントその 1	PowerPoint の基本的な使い方と 発表操作について学ぶ
第 10 回	パワーポイントその 2	アニメーションや表、グラフの扱 い方について学ぶ
第 11 回	パワーポイントその 3	総合課題を通じ、実用的なスライ ドの作成について学ぶ

第 12 回	インターネットとメ ディアリテラシその 1	インターネットの安全性につい て、匿名性や情報の保護について 学ぶ
第 13 回	インターネットとメ ディアリテラシその 2	インターネットにおける著作権や ウィルス、ネット犯罪について学 ぶ
第 14 回	総括	I・II を通して学んだ内容につい て総括する

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

授業中に指示します。

## 【参考書】

「キーワードで理解する最新情報リテラシー 第 2 版」久野、辰巳、  
佐藤 監修 日経 BP ソフトプレス  
「実習 Word」 入野、重定、児玉、河内谷 著 サイエンス社

## 【成績評価の方法と基準】

授業中の提出物 (80%) と平常点 (20%) で評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

一人一人の進度に応じたフォローを心がけています

## 【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を中心として進める予定であり、インターネットに  
アクセス可能なパーソナルコンピュータを準備してください

## 【その他の重要事項】

情報処理演習 II は春学期の情報処理演習 I とセットになる科目です。  
情報処理演習 II を受講する方は必ず春学期の情報処理演習 I を受講  
して下さい。

## 【Outline (in English)】

Objectives of this class are to acquire the ability to collect  
necessary information from various information, and to  
process the collected information to original form, and to process  
them to other people. In Autumn, themes of this class are, word  
processing, spreadsheet, and presentation.

PRI200LA

## 情報処理演習 II

2017 年度以降入学者

中村 文隆

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2023 年 4 月 3 日（月）10：00～5 日（水）17：00、結果発表は 4 月 6 日（木）22：00（予定）です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2023/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のテーマは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し、自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。また、高校の科目「情報」の取り組みが学校によって異なるため、不足分を補充し、さらに情報科学の理論へと導いていきます。

秋学期の情報処理演習 II では、情報処理演習 I で学んだ内容を元に、表計算ソフト、プレゼンテーション、インターネットといった内容を学びます。

## 【到達目標】

情報のタイプに応じて様々な情報の表現形式（情報メディア）が存在する事を理解する。また、その上で文書作成、表計算、プレゼンテーションを用いた複合的な情報の受信、発信技術を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

## 【授業の進め方と方法】

授業の前半は説明を行い、後半は課題実施と質疑応答、の進め方を基本とする。実習のある回は前半で課題の具体的な進め方を説明し、後半で各自課題を作成しながら質問などを受け付ける。座学の回は後半で各自小レポートを作成する。

なお、コロナの状況によっては、座学の回をオンラインで行う可能性もある。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	インターネットとメ ディアリテラシ	インターネットの歴史と仕組み、 電子メールについて学ぶ
第 2 回	エクセルその 1	Excel の概要と用語、基本的な使 い方について学ぶ
第 3 回	エクセルその 2	データの移動・コピーと数式の使 い方を学ぶ
第 4 回	エクセルその 3	関数の使い方と条件分岐について 学ぶ
第 5 回	エクセルその 4	グラフの描画とデータ処理の基本 を学ぶ
第 6 回	エクセルその 5	総合課題を通して関数の応用を学 ぶ
第 7 回	エクセルその 6	総合課題の続きとして、フィルタ とデータの自動生成について学ぶ
第 8 回	World Wide Web	WWW(ホームページ)の仕組みと サーチエンジンについて学ぶ
第 9 回	パワーポイントその 1	PowerPoint の基本的な使い方と 発表操作について学ぶ
第 10 回	パワーポイントその 2	アニメーションや表、グラフの扱 い方について学ぶ
第 11 回	パワーポイントその 3	総合課題を通じ、実用的なスライ ドの作成について学ぶ

第 12 回	インターネットとメ ディアリテラシその 1	インターネットの安全性につい て、匿名性や情報の保護について 学ぶ
第 13 回	インターネットとメ ディアリテラシその 2	インターネットにおける著作権や ウィルス、ネット犯罪について学 ぶ
第 14 回	総括	I・II を通して学んだ内容につい て総括する

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

授業中に指示します。

## 【参考書】

「キーワードで理解する最新情報リテラシー 第 2 版」久野、辰巳、  
佐藤 監修 日経 BP ソフトプレス  
「実習 Word」 入野、重定、児玉、河内谷 著 サイエンス社

## 【成績評価の方法と基準】

授業中の提出物 (80%) と平常点 (20%) で評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

一人一人の進度に応じたフォローを心がけています

## 【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を中心として進める予定であり、インターネットに  
アクセス可能なパーソナルコンピュータを準備してください

## 【その他の重要事項】

情報処理演習 II は春学期の情報処理演習 I とセットになる科目です。  
情報処理演習 II を受講する方は必ず春学期の情報処理演習 I を受講  
して下さい。

## 【Outline (in English)】

Objectives of this class are to acquire the ability to collect  
necessary information from various information, and to  
process the collected information to original form, and to process  
them to other people. In Autumn, themes of this class are, word  
processing, spreadsheet, and presentation.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

河内谷 幸子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 3/Tue.3

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2023 年 4 月 3 日（月）10：00～5 日（水）17：00、結果発表は 4 月 6 日（木）22：00（予定）です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2023/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「情報処理演習Ⅰ」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします。

Word, Excel, PowerPoint, パソコンの仕組みを学びます。初心者でも Word や Excel の資格試験合格レベルまで上達できます。当科目は、専門科目の情報科目（情報学入門等）と両方履修できます。両方履修すると相乗効果で上達が期待できます。

【到達目標】

他科目のレポート作成、ゼミの資料や卒論作成、社会に出てからの書類作成、などに役立つ実践的な内容の習得が到達目標です。

文書作成ソフト Word において、レポートや卒業論文の作成に必要な技術として、表紙付与、目次、脚注、引用文献、索引などの機能を習得します。また、共同作業に必要な技術として、履歴・コメント・パスワード付与などの機能を習得します。

表計算ソフト Excel において、条件処理、アンケート集計に便利なピボットテーブル、連続する操作を登録するマクロ機能などを習得します。

データベースソフト ACCESS の使い方を体験します。プレゼンテーションソフト PowerPoint を利用して発表ができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

この授業は秋学期科目ですが、履修するためには情報処理演習Ⅱ(春学期科目)と同じタイミングで4月上旬(春学期の授業開始前)の抽選に当選する必要があります。大学 HP の授業関連の項目を参照して抽選に申し込んで下さい。

基本的には対面授業で、対面授業科目にカウントされますが、数回オンライン授業の日があります。授業の前日には必ず学習支援システム Hoppii の「お知らせ」を読んで、対面かオンラインかを確認して下さい。

対面授業では、ボアソナードタワー内にあるパソコン実習室で、毎回 1 人 1 台コンピュータを使って実習を行います。表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、コンピュータの知識や情報倫理や情報科学の理論についての考え方を深めます。

課題のフィードバックは学習支援システムに掲示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】  
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習 秋学期ガイダンス 情報倫理	春学期に学んだ文書作成と表計算の内容を復習する実習を行う。

2	文書作成 1	文書作成ソフト Word を使って、文字スタイル、高度な検索・置換、クイックパーツ、段組み、透かしなどの機能の実習を行う。
3	文書作成 2	文書作成ソフト Word を使って、表紙付与、目次、脚注、引用文献、索引、差し込み印刷などの機能の実習を行う。
4	文書作成 3	文書作成ソフト Word を使って、文章校正、変更履歴、コメント、テンプレート、ユーザーの編集制限、パスワード付与、図番の付与、画像編集などの機能の実習を行う。
5	文書作成 4	文書作成に関するこれまでのまとめ演習を行う。
6	データベースソフト	データベースソフト Access を使って、リレーショナルデータベースについて理論を学び、実習する。
7	コンピュータのしくみ IT 時事問題	コンピュータの基礎知識を学ぶ。また、IT 時事問題を紹介し、それについて考え、まとめる。
8	表計算 1	表計算ソフト Excel を利用して、条件処理を学ぶ。関数 IF、SUMIF、AVERAGEIF、COUNTIF などを使った実習を行う。また条件付き書式の実習を行う。
9	表計算 2	アンケート処理を目的として、表計算ソフト Excel のピボットテーブル機能について実習する。また、効果的なグラフを書くことを目的として、Excel のグラフテンプレートについて実習する。
10	表計算 3	EXCEL のマクロを入門体験する。
11	表計算 4	表計算に関するこれまでのまとめ演習を行う。
12	文書作成と表計算の連携	Word の差し込み印刷機能と、Excel で作成した住所録を利用して、ラベル作成およびハガキ作成を実習する。
13	プレゼンテーションソフト 1	プレゼンテーションソフト PowerPoint の入力、デザイン、アニメーション、スライドショーなどについて実習する。
14	プレゼンテーションソフト 2	PowerPoint を使って発表資料を作成する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業中の指示に従って前回の授業の復習を行います。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業中に指示します。

【参考書】

実習 情報リテラシ [第 3 版]  
著者：重定如彦・河内谷幸子 共著  
出版：サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

学習支援システム Hoppii への提出物（100%）で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

一人一人の席をまわって個別にわからない点を指導する点に高い評価をいただきましたので、今年度も丁寧に個別指導をしていきたいと思ひます。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業の備えて、Word・Excel・PowerPoint・Zoom が使用できるパソコンを自宅に準備する。

**【その他の重要事項】**

コンピュータが苦手でも履修可能です。

この授業は秋学期科目ですが、履修するためには情報処理演習 I(春学期科目)と同じタイミングで4月上旬(春学期の授業開始前)の抽選に当選する必要があります。大学 HP の授業関連の項目を参照して抽選に申し込んで下さい。

授業の前日には必ず学習支援システム Hoppii の「お知らせ」を読んで、対面かオンラインかを確認して下さい。

**【Outline (in English)】**

This course targets students who completed the "Information Processing Exercise I" course or has equivalent basic skills.

This course teaches various techniques to express your information better and helps you acquire the attitude to proactively study future new-type software. Advanced lectures of PC internals are included in this course.

The goal of this course is to master the advanced technique of Word, Excel and PowerPoint.

It takes 2 hours to prepare/review.

You will get grades with your submissions from learning-support system "Hoppii".

PRI200LA

## 情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

岡嶋 裕史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2023 年 4 月 3 日（月）10：00～5 日（水）17：00、結果発表は 4 月 6 日（木）22：00（予定）です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2023/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「情報処理演習Ⅰ」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことと、社会に出た際に利用するであろう主要アプリケーションの操作技能、応用技能を習得することです。また、将来的に新種の技術やアプリケーションが普及しても柔軟に対応できるリテラシを身につけることも目標とします。

## 【到達目標】

大学の講義を受講するに際して、あるいは社会人として職務に就くときに困らない程度度のアプリケーション操作技能習得を目標としています。Excel の応用レベルを修了し、実務で困らない運用ができる水準に到達します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

## 【授業の進め方と方法】

1 人 1 台コンピュータを使って実習を行います。表計算ソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、コンピュータの知識や情報倫理、情報科学についての考え方を深めます。課題のフィードバックは授業中に行います。

なお、大学の行動方針レベルが 2 となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。詳細は学習支援システムで伝達します。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	表計算ソフト応用 1	ブックの活用
2	表計算ソフト応用 2	高度な関数
3	表計算ソフト応用 3	シートの分析と入力規則
4	表計算ソフト応用 4	グラフの応用
5	表計算ソフト応用 5	データベース機能の活用
6	表計算ソフト応用 6	ピボットテーブル
7	表計算ソフト応用 7	マクロによる作業の自動化
8	プレゼンテーションソフト 1	スライドの基本操作
9	プレゼンテーションソフト 2	プレゼンテーションの編集
10	プレゼンテーションソフト 3	整列した図の作成
11	プレゼンテーションソフト 4	オブジェクトの挿入
12	プレゼンテーションソフト 5	スライドショーと特殊効果の追加
13	プログラミング初歩、もしくはデータベース（受講者のスキルによって決定します）	足し算ゲームなどの簡単なプログラミング、もしくはデータベースソフトの操作
14	期末試験	試験・まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストを読んで、当日実施する実技内容の手順を確認してください。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

複数の教科書を使いますので、初回授業で詳しく指示します。

## 【参考書】

実習情報リテラシ（サイエンス社）

Microsoft Excel 応用 セミナーテキスト（日経 BP 社）など

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 30%、期末試験 70%を合わせた成績により評価します。平常点は授業内課題への取り組み、提出物によって判定を行います。すべての講義への出席が前提です。期末試験は主要アプリケーションの操作技能を中心にした実技試験を行い、到達度を判定します。

## 【学生の意見等からの気づき】

I・II がセットになっている講義ですが、II 期で急に難しくなったと感じる方が多いようです。主に Excel の関数を扱うのが原因です。対策として、この時期は問題演習の時間を多く取るなどいたしますが、受講生の方も是非復習をしてください。

## 【その他の重要事項】

教員に連絡が必要な場合は、以下のメールアドレスをご利用ください。  
okajima@tamacc.chuo-u.ac.jp  
<http://researchers.chuo-u.ac.jp/Profiles/4/0000383/profile.html>  
教員は総合研究所での勤務経験を活かし、実務に即した技術を中心にお話します。

## 【Outline (in English)】

The aim of this lesson is to learn how to express your own information. To master the operation skills and applied skills of the main application that you will use when you get a job.

PRI200LA

## 情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

岡嶋 裕史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 5/Tue.5

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2023 年 4 月 3 日（月）10：00～5 日（水）17：00、結果発表は 4 月 6 日（木）22：00（予定）です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2023/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「情報処理演習Ⅰ」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことと、社会に出た際に利用するであろう主要アプリケーションの操作技能、応用技能を習得することです。また、将来的に新種の技術やアプリケーションが普及しても柔軟に対応できるリテラシを身につけることも目標とします。

## 【到達目標】

大学の講義を受講するに際して、あるいは社会人として職務に就くときに困らない程度 of アプリケーション操作技能習得を目標としています。Excel の応用レベルを修了し、実務で困らない運用ができる水準に到達します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

## 【授業の進め方と方法】

1 人 1 台コンピュータを使って実習を行います。表計算ソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、コンピュータの知識や情報倫理、情報科学についての考え方を深めます。課題のフィードバックは授業中に行います。

なお、大学の行動方針レベルが 2 となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。詳細は学習支援システムで伝達します。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	表計算ソフト応用 1	ブックの活用
2	表計算ソフト応用 2	高度な関数
3	表計算ソフト応用 3	シートの分析と入力規則
4	表計算ソフト応用 4	グラフの応用
5	表計算ソフト応用 5	データベース機能の活用
6	表計算ソフト応用 6	ピボットテーブル
7	表計算ソフト応用 7	マクロによる作業の自動化
8	プレゼンテーションソフト 1	スライドの基本操作
9	プレゼンテーションソフト 2	プレゼンテーションの編集
10	プレゼンテーションソフト 3	整列した図の作成
11	プレゼンテーションソフト 4	オブジェクトの挿入
12	プレゼンテーションソフト 5	スライドショーと特殊効果の追加
13	プログラミング初歩、もしくはデータベース（受講者のスキルによって決定します）	足し算ゲームなどの簡単なプログラミング、もしくはデータベースソフトの操作
14	期末試験	試験・まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストを読んで、当日実施する実技内容の手順を確認してください。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

複数の教科書を使いますので、初回授業で詳しく指示します。

## 【参考書】

実習情報リテラシ（サイエンス社）

Microsoft Excel 応用 セミナーテキスト（日経 BP 社）など

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 30%、期末試験 70%を合わせた成績により評価します。平常点は授業内課題への取り組み、提出物によって判定を行います。すべての講義への出席が前提です。期末試験は主要アプリケーションの操作技能を中心にした実技試験を行い、到達度を判定します。

## 【学生の意見等からの気づき】

I・II がセットになっている講義ですが、II 期で急に難しくなったと感じる方が多いようです。主に Excel の関数を扱うのが原因です。対策として、この時期は問題演習の時間を多く取るなどいたしますが、受講生の方も是非復習をしてください。

## 【その他の重要事項】

教員に連絡が必要な場合は、以下のメールアドレスをご利用ください。

okajima@tamacc.chuo-u.ac.jp

<http://researchers.chuo-u.ac.jp/Profiles/4/0000383/profile.html>

教員は総合研究所での勤務経験を活かし、実務に即した技術を中心にお話します。

## 【Outline (in English)】

The aim of this lesson is to learn how to express your own information. To master the operation skills and applied skills of the main application that you will use when you get a job.

PRI200LA

## 情報処理演習 II

2017 年度以降入学者

重定 如彦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2023 年 4 月 3 日（月）10：00～5 日（水）17：00、結果発表は 4 月 6 日（木）22：00（予定）です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2023/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のテーマは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し、自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。また、高校の科目「情報」の取り組みが学校によって異なるため、不足分を補充し、さらに情報科学の理論へと導いていきます。

秋学期の情報処理演習 II では、情報処理演習 I で学んだ内容を元に文書作成、表計算ソフト、プレゼンテーションといった内容を学びます。

## 【到達目標】

情報のタイプに応じて様々な情報の表現形式（情報メディア）が存在する事を理解する。また、その上で文書作成、表計算、プレゼンテーションを用いた複合的な情報の受信、発信技術を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

## 【授業の進め方と方法】

基本的に毎回の授業の前半に講義を行い、後半に一人一台のコンピュータを使った演習を行います。コンピュータを学ぶ上で、実際に手を動かすことは非常に重要です。授業では後半の演習の時間に様々な実習課題をこなすことで実践を通じて学びます。

授業は後述のテキストを使って行います。また、課題もテキストから出しますので、必ず購入して授業に持参して下さい。

資料の配布、アンケート、課題の提出などは学習支援システムを使って行います。各回の授業の冒頭で、必要に応じてアンケートの中からいくつかを取り上げてコメントを行います。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ワードプロセッサその 1	テキストエディタとワードプロセッサの基本について学ぶ ワープロと、HTML による文章の構造化について学ぶ
第 2 回	ワードプロセッサその 2	段落、タブ、ルーラー、文章の検索、置換、校正について学ぶ
第 3 回	ワードプロセッサその 3	表紙、ヘッダーとフッター、表の挿入と編集について学ぶ
第 4 回	ワードプロセッサその 4	図形、描画キャンパスの挿入と編集について学ぶ
第 5 回	ワードプロセッサその 5	画像、SmartArt、スクリーンショットの挿入と編集について学ぶ レポートを作成する上で必要となる機能（目次、参考文献、脚注の挿入など）について学ぶ

第 6 回	表計算ソフトその 1	表計算ソフトウェアの概念、データの入力、セルの操作、データの種類と式、セルの修飾について学ぶ
第 7 回	表計算ソフトその 2	セルの表示形式、カットアンドペースト、オートフィルなどによるデータのコピー、式によるデータの計算、時系列データについて学ぶ
第 8 回	表計算ソフトその 3	式のコピーと相対参照、絶対参照、セルに名前を付ける方法、関数の基礎について学ぶ
第 9 回	表計算ソフトその 4	条件分岐について学び、条件分岐を使った応用例として実用的な表の作成方法について学ぶ
第 10 回	表計算ソフトその 5	グラフについて学ぶ
第 11 回	表計算ソフトその 6	データベース機能（並べ替え、検索、フィルター）、串刺し集計、Word への表やグラフの貼り付け、エラー表記について学ぶ
第 12 回	プレゼンテーション 1	プレゼンテーションとは何か、プレゼンテーションソフトの概念、スライド作成について学ぶ
第 13 回	プレゼンテーション 2	図形、画像、グラフなどの利用方法、画面切り替え効果について学ぶ
第 14 回	プレゼンテーション 3	アニメーション、スライドショー、発表練習、質疑応答について学ぶ

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。また、課題が出されている場合は、締め切りに間に合うように課題を行い、学習支援システムに指示に従って提出すること。なお、教科書にある、課題としなかった練習問題や章末問題も、余裕があれば行うことが望ましい。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

「実習情報リテラシ 第 3 版」 重定、河内谷 著 サイエンス社  
第 2 版の「実習情報リテラシ」は内容が古く、大学のパソコンにインストールされている Windows 10 や Microsoft Office に対応していないので、間違えてそちらを購入しないように注意すること。

## 【参考書】

「キーワードで理解する最新情報リテラシー 第 2 版」久野、辰巳、佐藤 監修 日経 BP ソフトプレス  
「実習 Word」 入戸野、重定、児玉、河内谷 著 サイエンス社

## 【成績評価の方法と基準】

「配分」  
平常点 10 %、レポート 70 %、タッチタイピングのテスト 20 %  
「評価基準」  
平常点は授業の参加態度で評価します。また、4 回以上欠席した場合は成績の上限を B とします。6 回以上欠席した場合は成績を E とします。  
レポートは内容および表現の適切さを評価します。  
タッチタイピングのテストは入力する文字の量と正確さを評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

講義の時間が長く、実習の時間を増やしてほしいとの要望があったので、実習の時間をなるべく多くとるようにしたい。

## 【学生が準備すべき機器他】

情報実習室で各自 1 台のコンピュータを用いて授業を行う。

## 【その他の重要事項】

情報処理演習 II は春学期の情報処理演習 I とセットになる科目です。情報処理演習 II を受講する方は必ず春学期の情報処理演習 I を受講して下さい。

**【Outline (in English)】**

Objectives of this class are to acquire the ability to collect necessary information from various information, and to process the collected information to original form, and to process them to other people. In Autumn, themes of this class are, word processing, spreadsheet, and presentation.

Each student is expected to prepare and review the textbook before and after the class.

If assignments are given, do them in time for the deadline, and submit them according to the instructions on the learning support system.

It is also recommended to do the exercises and end-of-chapter problems in the textbook that are not assigned, if you have time. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Distribution.

10% of ordinary points, 70% of reports, 20% of touch typing test  
Evaluation Criteria

Ordinary points will be evaluated based on class participation. If you are absent more than four times, your grade will be capped at B. If you are absent more than six times, your grade will be capped at E.

Reports will be evaluated on the appropriateness of content and expression.

The touch-typing test will be graded on the amount and accuracy of the typed text.



PRI200LA

## 情報処理演習 II

2017 年度以降入学者

重定 如彦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2023 年 4 月 3 日（月）10：00～5 日（水）17：00、結果発表は 4 月 6 日（木）22：00（予定）です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2023/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のテーマは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し、自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。また、高校の科目「情報」の取り組みが学校によって異なるため、不足分を補充し、さらに情報科学の理論へと導いていきます。

秋学期の情報処理演習 II では、情報処理演習 I で学んだ内容を元に文書作成、表計算ソフト、プレゼンテーションといった内容を学びます。

## 【到達目標】

情報のタイプに応じて様々な情報の表現形式（情報メディア）が存在する事を理解する。また、その上で文書作成、表計算、プレゼンテーションを用いた複合的な情報の受信、発信技術を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

## 【授業の進め方と方法】

基本的に毎回の授業の前半に講義を行い、後半に一人一台のコンピュータを使った演習を行います。コンピュータを学ぶ上で、実際に手を動かすことは非常に重要です。授業では後半の演習の時間に様々な実習課題をこなすことで実践を通じて学びます。

授業は後述のテキストを使って行います。また、課題もテキストから出しますので、必ず購入して授業に持参して下さい。

資料の配布、アンケート、課題の提出などは学習支援システムを使って行います。各回の授業の冒頭で、必要に応じてアンケートの中からいくつかを取り上げてコメントを行います。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ワードプロセッサその 1	テキストエディタとワードプロセッサの基本について学ぶ ワープロと、HTML による文章の構造化について学ぶ
第 2 回	ワードプロセッサその 2	段落、タブ、ルーラー、文章の検索、置換、校正について学ぶ
第 3 回	ワードプロセッサその 3	表紙、ヘッダーとフッター、表の挿入と編集について学ぶ
第 4 回	ワードプロセッサその 4	図形、描画キャンパスの挿入と編集について学ぶ
第 5 回	ワードプロセッサその 5	画像、SmartArt、スクリーンショットの挿入と編集について学ぶ レポートを作成する上で必要となる機能（目次、参考文献、脚注の挿入など）について学ぶ

第 6 回	表計算ソフトその 1	表計算ソフトウェアの概念、データの入力、セルの操作、データの種類と式、セルの修飾について学ぶ
第 7 回	表計算ソフトその 2	セルの表示形式、カットアンドペースト、オートフィルなどによるデータのコピー、式によるデータの計算、時系列データについて学ぶ
第 8 回	表計算ソフトその 3	式のコピーと相対参照、絶対参照、セルに名前を付ける方法、関数の基礎について学ぶ
第 9 回	表計算ソフトその 4	条件分岐について学び、条件分岐を使った応用例として実用的な表の作成方法について学ぶ
第 10 回	表計算ソフトその 5	グラフについて学ぶ
第 11 回	表計算ソフトその 6	データベース機能（並べ替え、検索、フィルター）、串刺し集計、Word への表やグラフの貼り付け、エラー表記について学ぶ
第 12 回	プレゼンテーション 1	プレゼンテーションとは何か、プレゼンテーションソフトの概念、スライド作成について学ぶ
第 13 回	プレゼンテーション 2	図形、画像、グラフなどの利用方法、画面切り替え効果について学ぶ
第 14 回	プレゼンテーション 3	アニメーション、スライドショー、発表練習、質疑応答について学ぶ

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。また、課題が出されている場合は、締め切りに間に合うように課題を行い、学習支援システムに指示に従って提出すること。なお、教科書にある、課題としなかった練習問題や章末問題も、余裕があれば行うことが望ましい。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

「実習情報リテラシ 第 3 版」 重定、河内谷 著 サイエンス社  
第 2 版の「実習情報リテラシ」は内容が古く、大学のパソコンにインストールされている Windows 10 や Microsoft Office に対応していないので、間違えてそちらを購入しないように注意すること。

## 【参考書】

「キーワードで理解する最新情報リテラシー 第 2 版」久野、辰巳、佐藤 監修 日経 BP ソフトプレス  
「実習 Word」 入戸野、重定、児玉、河内谷 著 サイエンス社

## 【成績評価の方法と基準】

「配分」  
平常点 10 %、レポート 70 %、タッチタイピングのテスト 20 %  
「評価基準」  
平常点は授業の参加態度で評価します。また、4 回以上欠席した場合は成績の上限を B とします。6 回以上欠席した場合は成績を E とします。  
レポートは内容および表現の適切さを評価します。  
タッチタイピングのテストは入力する文字の量と正確さを評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

講義の時間が長く、実習の時間を増やしてほしいとの要望があったので、実習の時間をなるべく多くとるようにしたい。

## 【学生が準備すべき機器他】

情報実習室で各自 1 台のコンピュータを用いて授業を行う。

## 【その他の重要事項】

情報処理演習 II は春学期の情報処理演習 I とセットになる科目です。情報処理演習 II を受講する方は必ず春学期の情報処理演習 I を受講して下さい。

**【Outline (in English)】**

Objectives of this class are to acquire the ability to collect necessary information from various information, and to process the collected information to original form, and to process them to other people. In Autumn, themes of this class are, word processing, spreadsheet, and presentation.

Each student is expected to prepare and review the textbook before and after the class.

If assignments are given, do them in time for the deadline, and submit them according to the instructions on the learning support system.

It is also recommended to do the exercises and end-of-chapter problems in the textbook that are not assigned, if you have time. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Distribution.

10% of ordinary points, 70% of reports, 20% of touch typing test  
Evaluation Criteria

Ordinary points will be evaluated based on class participation. If you are absent more than four times, your grade will be capped at B. If you are absent more than six times, your grade will be capped at E.

Reports will be evaluated on the appropriateness of content and expression.

The touch-typing test will be graded on the amount and accuracy of the typed text.

PRI200LA

## 情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

河内谷 幸子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2023 年 4 月 3 日（月）10：00～5 日（水）17：00、結果発表は 4 月 6 日（木）22：00（予定）です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2023/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「情報処理演習Ⅰ」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします。

Word, Excel, PowerPoint, パソコンの仕組みを学びます。初心者でも Word や Excel の資格試験合格レベルまで上達できます。当科目は、専門科目の情報科目（情報学入門等）と両方履修できます。両方履修すると相乗効果で上達が期待できます。

## 【到達目標】

他科目のレポート作成、ゼミの資料や卒論作成、社会に出てからの書類作成、などに役立つ実践的な内容の習得が到達目標です。

文書作成ソフト Word において、レポートや卒業論文の作成に必要な技術として、表紙付与、目次、脚注、引用文献、索引などの機能を習得します。また、共同作業に必要な技術として、履歴・コメント・パスワード付与などの機能を習得します。

表計算ソフト Excel において、条件処理、アンケート集計に便利なピボットテーブル、連続する操作を登録するマクロ機能などを習得します。

データベースソフト ACCESS の使い方を体験します。プレゼンテーションソフト PowerPoint を利用して発表ができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

## 【授業の進め方と方法】

この授業は秋学期科目ですが、履修するためには情報処理演習Ⅱ(春学期科目)と同じタイミングで4月上旬(春学期の授業開始前)の抽選に当選する必要があります。大学 HP の授業関連の項目を参照して抽選に申し込んで下さい。

基本的には対面授業で、対面授業科目にカウントされますが、数回オンライン授業の日があります。授業の前日には必ず学習支援システム Hoppii の「お知らせ」を読んで、対面かオンラインかを確認して下さい。

対面授業では、ボアソナードタワー内にあるパソコン実習室で、毎回 1 人 1 台コンピュータを使って実習を行います。表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、コンピュータの知識や情報倫理や情報科学の理論についての考え方を深めます。

課題のフィードバックは学習支援システムに掲示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】  
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習 秋学期ガイダンス 情報倫理	春学期に学んだ文書作成と表計算の内容を復習する実習を行う。

2	文書作成 1	文書作成ソフト Word を使って、文字スタイル、高度な検索・置換、クイックパーツ、段組み、透かしなどの機能の実習を行う。
3	文書作成 2	文書作成ソフト Word を使って、表紙付与、目次、脚注、引用文献、索引、差し込み印刷などの機能の実習を行う。
4	文書作成 3	文書作成ソフト Word を使って、文章校正、変更履歴、コメント、テンプレート、ユーザの編集制限、パスワード付与、図番の付与、画像編集などの機能の実習を行う。
5	文書作成 4	文書作成に関するこれまでのまとめ演習を行う。
6	データベースソフト	データベースソフト Access を使って、リレーショナルデータベースについて理論を学び、実習する。
7	コンピュータのしくみ IT 時事問題	コンピュータの基礎知識を学ぶ。また、IT 時事問題を紹介し、それについて考え、まとめる。
8	表計算 1	表計算ソフト Excel を利用して、条件処理を学ぶ。関数 IF、SUMIF、AVERAGEIF、COUNTIF などを使った実習を行う。また条件付き書式の実習を行う。
9	表計算 2	アンケート処理を目的として、表計算ソフト Excel のピボットテーブル機能について実習する。また、効果的なグラフを書くことを目的として、Excel のグラフテンプレートについて実習する。
10	表計算 3	EXCEL のマクロを入門体験する。
11	表計算 4	表計算に関するこれまでのまとめ演習を行う。
12	文書作成と表計算の連携	Word の差し込み印刷機能と、Excel で作成した住所録を利用して、ラベル作成およびハガキ作成を実習する。
13	プレゼンテーションソフト 1	プレゼンテーションソフト PowerPoint の入力、デザイン、アニメーション、スライドショーなどについて実習する。
14	プレゼンテーションソフト 2	PowerPoint を使って発表資料を作成する。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業中の指示に従って前回の授業の復習を行います。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

授業中に指示します。

## 【参考書】

実習 情報リテラシ [第 3 版]  
著者：重定如彦・河内谷幸子 共著  
出版：サイエンス社

## 【成績評価の方法と基準】

学習支援システム Hoppii への提出物（100%）で評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

一人一人の席をまわって個別にわからない点を指導する点に高い評価をいただきましたので、今年度も丁寧に個別指導をしていきたいと思ひます。

## 【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業の備えて、Word・Excel・PowerPoint・Zoom が使用できるパソコンを自宅に準備する。

**【その他の重要事項】**

コンピュータが苦手でも履修可能です。

この授業は秋学期科目ですが、履修するためには情報処理演習 I(春学期科目)と同じタイミングで4月上旬(春学期の授業開始前)の抽選に当選する必要があります。大学 HP の授業関連の項目を参照して抽選に申し込んで下さい。

授業の前日には必ず学習支援システム Hoppii の「お知らせ」を読んで、対面かオンラインかを確認して下さい。

**【Outline (in English)】**

This course targets students who completed the "Information Processing Exercise I" course or has equivalent basic skills.

This course teaches various techniques to express your information better and helps you acquire the attitude to proactively study future new-type software. Advanced lectures of PC internals are included in this course.

The goal of this course is to master the advanced technique of Word, Excel and PowerPoint.

It takes 2 hours to prepare/review.

You will get grades with your submissions from learning-support system "Hoppii".

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

河内谷 幸子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 4/Thu.4

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2023 年 4 月 3 日（月）10：00～5 日（水）17：00、結果発表は 4 月 6 日（木）22：00（予定）です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2023/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「情報処理演習Ⅰ」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします。

Word, Excel, PowerPoint, パソコンの仕組みを学びます。初心者でも Word や Excel の資格試験合格レベルまで上達できます。当科目は、専門科目の情報科目（情報学入門等）と両方履修できます。両方履修すると相乗効果で上達が期待できます。

【到達目標】

他科目のレポート作成、ゼミの資料や卒論作成、社会に出てからの書類作成、などに役立つ実践的な内容の習得が到達目標です。

文書作成ソフト Word において、レポートや卒業論文の作成に必要な技術として、表紙付与、目次、脚注、引用文献、索引などの機能を習得します。また、共同作業に必要な技術として、履歴・コメント・パスワード付与などの機能を習得します。

表計算ソフト Excel において、条件処理、アンケート集計に便利なピボットテーブル、連続する操作を登録するマクロ機能などを習得します。

データベースソフト ACCESS の使い方を体験します。プレゼンテーションソフト PowerPoint を利用して発表ができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

この授業は秋学期科目ですが、履修するためには情報処理演習Ⅱ(春学期科目)と同じタイミングで4月上旬(春学期の授業開始前)の抽選に当選する必要があります。大学 HP の授業関連の項目を参照して抽選に申し込んで下さい。

基本的には対面授業で、対面授業科目にカウントされますが、数回オンライン授業の日があります。授業の前日には必ず学習支援システム Hoppii の「お知らせ」を読んで、対面かオンラインかを確認して下さい。

対面授業では、ボアソナードタワー内にあるパソコン実習室で、毎回 1 人 1 台コンピュータを使って実習を行います。表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、コンピュータの知識や情報倫理や情報科学の理論についての考え方を深めます。

課題のフィードバックは学習支援システムに掲示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】  
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習 秋学期ガイダンス 情報倫理	春学期に学んだ文書作成と表計算の内容を復習する実習を行う。

2	文書作成 1	文書作成ソフト Word を使って、文字スタイル、高度な検索・置換、クイックパーツ、段組み、透かしなどの機能の実習を行う。
3	文書作成 2	文書作成ソフト Word を使って、表紙付与、目次、脚注、引用文献、索引、差し込み印刷などの機能の実習を行う。
4	文書作成 3	文書作成ソフト Word を使って、文章校正、変更履歴、コメント、テンプレート、ユーザーの編集制限、パスワード付与、図番の付与、画像編集などの機能の実習を行う。
5	文書作成 4	文書作成に関するこれまでのまとめ演習を行う。
6	データベースソフト	データベースソフト Access を使って、リレーショナルデータベースについて理論を学び、実習する。
7	コンピュータのしくみ IT 時事問題	コンピュータの基礎知識を学ぶ。また、IT 時事問題を紹介し、それについて考え、まとめる。
8	表計算 1	表計算ソフト Excel を利用して、条件処理を学ぶ。関数 IF、SUMIF、AVERAGEIF、COUNTIF などを使った実習を行う。また条件付き書式の実習を行う。
9	表計算 2	アンケート処理を目的として、表計算ソフト Excel のピボットテーブル機能について実習する。また、効果的なグラフを書くことを目的として、Excel のグラフテンプレートについて実習する。EXCEL のマクロを入門体験する。
10	表計算 3	表計算に関するこれまでのまとめ演習を行う。
11	表計算 4	Word の差し込み印刷機能と、Excel で作成した住所録を利用して、ラベル作成およびハガキ作成を実習する。
12	文書作成と表計算の連携	プレゼンテーションソフト PowerPoint の入力、デザイン、アニメーション、スライドショーなどについて実習する。
13	プレゼンテーションソフト 1	PowerPoint を使って発表資料を作成する。
14	プレゼンテーションソフト 2	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業中の指示に従って前回の授業の復習を行います。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業中に指示します。

【参考書】

実習 情報リテラシ [第 3 版]  
著者：重定如彦・河内谷幸子 共著  
出版：サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

学習支援システム Hoppii への提出物（100%）で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

一人一人の席をまわって個別にわからない点を指導する点に高い評価をいただきましたので、今年度も丁寧に個別指導をしていきたいと思ひます。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業の備えて、Word・Excel・PowerPoint・Zoom が使用できるパソコンを自宅に準備する。

**【その他の重要事項】**

コンピュータが苦手でも履修可能です。

この授業は秋学期科目ですが、履修するためには情報処理演習 I(春学期科目)と同じタイミングで4月上旬(春学期の授業開始前)の抽選に当選する必要があります。大学 HP の授業関連の項目を参照して抽選に申し込んで下さい。

授業の前日には必ず学習支援システム Hoppii の「お知らせ」を読んで、対面かオンラインかを確認して下さい。

**【Outline (in English)】**

This course targets students who completed the "Information Processing Exercise I" course or has equivalent basic skills.

This course teaches various techniques to express your information better and helps you acquire the attitude to proactively study future new-type software. Advanced lectures of PC internals are included in this course.

The goal of this course is to master the advanced technique of Word, Excel and PowerPoint.

It takes 2 hours to prepare/review.

You will get grades with your submissions from learning-support system "Hoppii".

PRI200LA

## 情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

名児耶 厚

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2023 年 4 月 3 日（月）10：00～5 日（水）17：00、結果発表は 4 月 6 日（木）22：00（予定）です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2023/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

大学での学習・社会の様々な分野で必要とされる情報利活用のため、現代社会で必要な ICT 関連や情報技術のスキル・知識の習得を、さらに深めることを目指します。PC 操作の実習を中心に、情報リテラシーやその活用、集計・データ処理について習得していきます。

## 【到達目標】

事務作業などを想定した一般的な情報系の知識・スキルを習得し、活用できる。応用的な文書作成・調査・集計・管理などにて必要となる基盤的な技術を習得し、実践できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

## 【授業の進め方と方法】

PC 操作の実習を中心に講義・関連説明を交えて進め、結果や成果物を提出していく形式となります。授業内の実習も提出物の範囲に含めることで、授業への参加がそのまま提出物にもつながるようにします。提出や解答例の解説等のフィードバックは学習支援システムを通じて行います。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	説明と確認	授業の説明、準備、機材の確認
第 2 回	確認と復習	これまでの確認と復習
第 3 回	表計算の応用例	一利用例としての統計分析
第 4 回	書類の構成・構造	総合的な書類作成・応用
第 5 回	グラフや図表の利用	表計算の利用例、集計資料作成
第 6 回	Web ページ作成基礎	Web の基本と作成実習
第 7 回	文書作成総合	書式に従った文書の作成
第 8 回	Web ページ応用知識	Web サイト作成と情報発信
第 9 回	検索とデータ取込	表からの検索、外部データ利用
第 10 回	複雑な文書の作成	集計・計算等を含む文書の作成
第 11 回	条件分岐と判定	条件判断、結果の更新と変更
第 12 回	情報の蓄積と管理	データベースの基礎と体験
第 13 回	情報処理と文書管理	情報や文書の逐次・自動処理
第 14 回	まとめ・総合演習	これまでの知識に基づく総合演習

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

学習内容の多くが連続しているため、過去の内容を把握・理解しておくことが必要です。授業内での実習に続けて課題も行い、授業時に不十分と感じた項目の復習をしてください。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

実習 情報リテラシ [第 3 版]、重定 如彦・河内谷 幸子、サイエンス社、¥1,950 + 税。  
実習室の環境と合わせるため、詳細は初回授業で説明します。

## 【参考書】

基礎的な情報リテラシー系の書籍や同類授業・講座での教科書等が広く該当します。

## 【成績評価の方法と基準】

各回・単元ごとに設定する課題（40%）、授業内実習と平常点（60%）。提出物は授業内実習と課題を両方兼ね、それらを元に到達目標への達成状況を判断します。

## 【学生の意見等からの気づき】

授業内容や資料作成、丁寧な説明は継続して皆が理解できるようにしつつ、意見を聞く機会を広げて進捗状況の調整へとつなげたいと思います。

## 【学生が準備すべき機器他】

情報実習室で行う授業のため情報機器（PC）を使用し、配布・提出には学習支援システムを使います。

## 【その他の重要事項】

この科目は春学期・秋学期を通じて履修することを勧めます。

## 【Outline (in English)】

This course introduces ICT and related technologies to students taking this course. The goals of this course are to improve skills and knowledge of information literacy. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the followings: Short reports: 40% and in-class practical work and contribution: 60%.

PRI200LA

## 情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

名児耶 厚

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2023 年 4 月 3 日（月）10：00～5 日（水）17：00、結果発表は 4 月 6 日（木）22：00（予定）です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2023/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

大学での学習・社会の様々な分野で必要とされる情報利活用のため、現代社会で必要な ICT 関連や情報技術のスキル・知識の習得を、さらに深めることを目指します。PC 操作の実習を中心に、情報リテラシーやその活用、集計・データ処理について習得していきます。

## 【到達目標】

事務作業などを想定した一般的な情報系の知識・スキルを習得し、活用できる。応用的な文書作成・調査・集計・管理などにて必要となる基盤的な技術を習得し、実践できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

## 【授業の進め方と方法】

PC 操作の実習を中心に講義・関連説明を交えて進め、結果や成果物を提出していく形式となります。授業内の実習も提出物の範囲に含めることで、授業への参加がそのまま提出物にもつながるようにします。提出や解答例の解説等のフィードバックは学習支援システムを通じて行います。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	説明と確認	授業の説明、準備、機材の確認
第 2 回	確認と復習	これまでの確認と復習
第 3 回	表計算の応用例	一利用例としての統計分析
第 4 回	書類の構成・構造	総合的な書類作成・応用
第 5 回	グラフや図表の利用	表計算の利用例、集計資料作成
第 6 回	Web ページ作成基礎	Web の基本と作成実習
第 7 回	文書作成総合	書式に従った文書の作成
第 8 回	Web ページ応用知識	Web サイト作成と情報発信
第 9 回	検索とデータ取込	表からの検索、外部データ利用
第 10 回	複雑な文書の作成	集計・計算等を含む文書の作成
第 11 回	条件分岐と判定	条件判断、結果の更新と変更
第 12 回	情報の蓄積と管理	データベースの基礎と体験
第 13 回	情報処理と文書管理	情報や文書の逐次・自動処理
第 14 回	まとめ・総合演習	これまでの知識に基づく総合演習

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

学習内容の多くが連続しているため、過去の内容を把握・理解しておくことが必要です。授業内での実習に続けて課題も行い、授業時に不十分と感じた項目の復習をしてください。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

実習 情報リテラシ [第 3 版]、重定 如彦・河内谷 幸子、サイエンス社、¥1,950 + 税。  
実習室の環境と合わせるため、詳細は初回授業で説明します。

## 【参考書】

基礎的な情報リテラシー系の書籍や同類授業・講座での教科書等が広く該当します。

## 【成績評価の方法と基準】

各回・単元ごとに設定する課題（40%）、授業内実習と平常点（60%）。提出物は授業内実習と課題を両方兼ね、それらを元に到達目標への達成状況を判断します。

## 【学生の意見等からの気づき】

授業内容や資料作成、丁寧な説明は継続して皆が理解できるようにしつつ、意見を聞く機会を広げて進捗状況の調整へとつなげたいと思います。

## 【学生が準備すべき機器他】

情報実習室で行う授業のため情報機器（PC）を使用し、配布・提出には学習支援システムを使います。

## 【その他の重要事項】

この科目は春学期・秋学期を通じて履修することを勧めます。

## 【Outline (in English)】

This course introduces ICT and related technologies to students taking this course. The goals of this course are to improve skills and knowledge of information literacy. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the followings: Short reports: 40% and in-class practical work and contribution: 60%.



PRI200LA

## 情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

名児耶 厚

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2023 年 4 月 3 日（月）10：00～5 日（水）17：00、結果発表は 4 月 6 日（木）22：00（予定）です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2023/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

大学での学習・社会の様々な分野で必要とされる情報利活用のため、現代社会で必要な ICT 関連や情報技術のスキル・知識の習得を、さらに深めることを目指します。PC 操作の実習を中心に、情報リテラシーやその活用、集計・データ処理について習得していきます。

## 【到達目標】

事務作業などを想定した一般的な情報系の知識・スキルを習得し、活用できる。応用的な文書作成・調査・集計・管理などにて必要となる基盤的な技術を習得し、実践できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

## 【授業の進め方と方法】

PC 操作の実習を中心に講義・関連説明を交えて進め、結果や成果物を提出していく形式となります。授業内の実習も提出物の範囲に含めることで、授業への参加がそのまま提出物にもつながるようにします。提出や解答例の解説等のフィードバックは学習支援システムを通じて行います。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	説明と確認	授業の説明、準備、機材の確認
第 2 回	確認と復習	これまでの確認と復習
第 3 回	表計算の応用例	一利用例としての統計分析
第 4 回	書類の構成・構造	総合的な書類作成・応用
第 5 回	グラフや図表の利用	表計算の利用例、集計資料作成
第 6 回	Web ページ作成基礎	Web の基本と作成実習
第 7 回	文書作成総合	書式に従った文書の作成
第 8 回	Web ページ応用知識	Web サイト作成と情報発信
第 9 回	検索とデータ取込	表からの検索、外部データ利用
第 10 回	複雑な文書の作成	集計・計算等を含む文書の作成
第 11 回	条件分岐と判定	条件判断、結果の更新と変更
第 12 回	情報の蓄積と管理	データベースの基礎と体験
第 13 回	情報処理と文書管理	情報や文書の逐次・自動処理
第 14 回	まとめ・総合演習	これまでの知識に基づく総合演習

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

学習内容の多くが連続しているため、過去の内容を把握・理解しておくことが必要です。授業内での実習に続けて課題も行い、授業時に不十分と感じた項目の復習をしてください。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

実習 情報リテラシ [第 3 版]、重定 如彦・河内谷 幸子、サイエンス社、¥1,950 + 税。  
実習室の環境と合わせるため、詳細は初回授業で説明します。

## 【参考書】

基礎的な情報リテラシー系の書籍や同類授業・講座での教科書等が広く該当します。

## 【成績評価の方法と基準】

各回・単元ごとに設定する課題（40%）、授業内実習と平常点（60%）。提出物は授業内実習と課題を両方兼ね、それらを元に到達目標への達成状況を判断します。

## 【学生の意見等からの気づき】

授業内容や資料作成、丁寧な説明は継続して皆が理解できるようにしつつ、意見を聞く機会を広げて進捗状況の調整へとつなげたいと思います。

## 【学生が準備すべき機器他】

情報実習室で行う授業のため情報機器（PC）を使用し、配布・提出には学習支援システムを使います。

## 【その他の重要事項】

この科目は春学期・秋学期を通じて履修することを勧めます。

## 【Outline (in English)】

This course introduces ICT and related technologies to students taking this course. The goals of this course are to improve skills and knowledge of information literacy. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the followings: Short reports: 40% and in-class practical work and contribution: 60%.

PRI200LA

## 情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

名児耶 厚

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2023 年 4 月 3 日（月）10：00～5 日（水）17：00、結果発表は 4 月 6 日（木）22：00（予定）です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2023/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

大学での学習・社会の様々な分野で必要とされる情報利活用のため、現代社会で必要な ICT 関連や情報技術のスキル・知識の習得を、さらに深めることを目指します。PC 操作の実習を中心に、情報リテラシーやその活用、集計・データ処理について習得していきます。

## 【到達目標】

事務作業などを想定した一般的な情報系の知識・スキルを習得し、活用できる。応用的な文書作成・調査・集計・管理などにて必要となる基盤的な技術を習得し、実践できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

## 【授業の進め方と方法】

PC 操作の実習を中心に講義・関連説明を交えて進め、結果や成果物を提出していく形式となります。授業内の実習も提出物の範囲に含めることで、授業への参加がそのまま提出物にもつながるようにします。提出や解答例の解説等のフィードバックは学習支援システムを通じて行います。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	説明と確認	授業の説明、準備、機材の確認
第 2 回	確認と復習	これまでの確認と復習
第 3 回	表計算の応用例	一利用例としての統計分析
第 4 回	書類の構成・構造	総合的な書類作成・応用
第 5 回	グラフや図表の利用	表計算の利用例、集計資料作成
第 6 回	Web ページ作成基礎	Web の基本と作成実習
第 7 回	文書作成総合	書式に従った文書の作成
第 8 回	Web ページ応用知識	Web サイト作成と情報発信
第 9 回	検索とデータ取込	表からの検索、外部データ利用
第 10 回	複雑な文書の作成	集計・計算等を含む文書の作成
第 11 回	条件分岐と判定	条件判断、結果の更新と変更
第 12 回	情報の蓄積と管理	データベースの基礎と体験
第 13 回	情報処理と文書管理	情報や文書の逐次・自動処理
第 14 回	まとめ・総合演習	これまでの知識に基づく総合演習

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

学習内容の多くが連続しているため、過去の内容を把握・理解しておくことが必要です。授業内での実習に続けて課題も行い、授業時に不十分と感じた項目の復習をしてください。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

実習 情報リテラシ [第 3 版]、重定 如彦・河内谷 幸子、サイエンス社、¥1,950 + 税。  
実習室の環境と合わせるため、詳細は初回授業で説明します。

## 【参考書】

基礎的な情報リテラシー系の書籍や同類授業・講座での教科書等が広く該当します。

## 【成績評価の方法と基準】

各回・単元ごとに設定する課題（40%）、授業内実習と平常点（60%）。提出物は授業内実習と課題を両方兼ね、それらを元に到達目標への達成状況を判断します。

## 【学生の意見等からの気づき】

授業内容や資料作成、丁寧な説明は継続して皆が理解できるようにしつつ、意見を聞く機会を広げて進捗状況の調整へとつなげたいと思います。

## 【学生が準備すべき機器他】

情報実習室で行う授業のため情報機器（PC）を使用し、配布・提出には学習支援システムを使います。

## 【その他の重要事項】

この科目は春学期・秋学期を通じて履修することを勧めます。

## 【Outline (in English)】

This course introduces ICT and related technologies to students taking this course. The goals of this course are to improve skills and knowledge of information literacy. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the followings: Short reports: 40% and in-class practical work and contribution: 60%.

PRI200LA

## 情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

## 星 善光

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2023 年 4 月 3 日（月）10：00～5 日（水）17：00、結果発表は 4 月 6 日（木）22：00（予定）です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2023/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

情報処理演習Ⅰに引き続き、様々なソフトウェアや情報機器を効果的に利用できるように、身の回りに溢れる「情報」を取り扱うために必要な基礎力を習得することを目的とする。

## 【到達目標】

一般的な表計算ソフトウェアである Microsoft Excel を使うことができる。HTML、JavaScript、PHP を用いた Web ページを作成することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

## 【授業の進め方と方法】

情報処理演習Ⅰと同様に、授業と実習の組み合わせで進めていきます。パソコンを使用した実習を行います。表計算や様々なアプリケーションソフトウェアを利用します。また、ホームページの作成、簡単なプログラム作成も行います。課題のフィードバックは授業中に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	Microsoft Excel の基礎／計算式・関数・書式	Microsoft Excel の基礎を学ぶ。Excel で利用する計算式・関数・書式を学ぶ。
第 2 回	ページレイアウト・データツール	Microsoft Excel のページレイアウトやデータツールを学ぶ。
第 3 回	グラフ	Microsoft Excel のグラフ作成機能を学ぶ。
第 4 回	外部データの処理	Microsoft Excel を用いて外部データの処理を行う方法を学ぶ。
第 5 回	CEATEC 見学	日本を代表するテクノロジー展示会である CEATEC を見学して ICT 技術の最先端を学ぶ。
第 6 回	VBA	Microsoft Excel 用 Visual Basic for Application(VBA) の機能を学ぶ。
第 7 回	課題発表会	情報処理演習Ⅰで作成したプレゼンテーション資料を用いた発表会を開催する。
第 8 回	アプリケーションソフトウェア③	パソコンで利用する様々なアプリケーションソフトウェアについて学び、統計解析に役立つ R の機能を体験する。
第 9 回	コンピュータネットワークとセキュリティの基礎	コンピュータネットワーク及びセキュリティの基礎知識を学ぶ。

第 10 回 コンピュータの未来 コンピュータの進歩や未来の応用について学び、グループディスカッションを通じて理解を深める。

第 11 回 HTML の基礎 HTML を用いたホームページ作成の基礎を学ぶ。

第 12 回 JavaScript とスタイルシート JavaScript とスタイルシートの基礎を学ぶ。

第 13 回 PHP の基礎 HTML 自動生成に役立つ PHP 言語についての基礎を学ぶ。

第 14 回 まとめ 講義内容をまとめる。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

第 1 回の授業の前に、ログイン ID とパスワードを確認しておくこと。宿題を出すことがあります。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。

## 【参考書】

適時指示します。必要に応じてプリントを配布します。また、ホームページでパワーポイント資料を閲覧できます。

## 【成績評価の方法と基準】

課題（70%）、小テスト（30%）として評価します。課題に積極的に取り組み、提出して下さい。

## 【学生の意見等からの気づき】

可能な限り多くの基礎的な課題を用意し、楽しみながら授業を進められるようにしていきます。

## 【学生が準備すべき機器他】

演習室のパソコンを利用します。

## 【Outline (in English)】

You learn how to use various application software including Microsoft Excel, various information devices effectively. You learn about web development related languages such as HTML, JavaScript, PHP and learn about network structure too.

PRI200LA

## 情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

## 星 善光

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2023 年 4 月 3 日（月）10：00～5 日（水）17：00、結果発表は 4 月 6 日（木）22：00（予定）です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2023/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

情報処理演習Ⅰに引き続き、様々なソフトウェアや情報機器を効果的に利用できるように、身の回りに溢れる「情報」を取り扱うために必要な基礎力を習得することを目的とする。

## 【到達目標】

一般的な表計算ソフトウェアである Microsoft Excel を使うことができる。HTML、JavaScript、PHP を用いた Web ページを作成することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

## 【授業の進め方と方法】

情報処理演習Ⅰと同様に、授業と実習の組み合わせで進めていきます。パソコンを使用した実習を行います。表計算や様々なアプリケーションソフトウェアを利用します。また、ホームページの作成、簡単なプログラム作成も行います。課題のフィードバックは授業中に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	Microsoft Excel の基礎／計算式・関数・書式	Microsoft Excel の基礎を学ぶ。Excel で利用する計算式・関数・書式を学ぶ。
第 2 回	ページレイアウト・データツール	Microsoft Excel のページレイアウトやデータツールを学ぶ。
第 3 回	グラフ	Microsoft Excel のグラフ作成機能を学ぶ。
第 4 回	外部データの処理	Microsoft Excel を用いて外部データの処理を行う方法を学ぶ。
第 5 回	CEATEC 見学	日本を代表するテクノロジー展示会である CEATEC を見学して ICT 技術の最先端を学ぶ。
第 6 回	VBA	Microsoft Excel 用 Visual Basic for Application(VBA) の機能を学ぶ。
第 7 回	課題発表会	情報処理演習Ⅰで作成したプレゼンテーション資料を用いた発表会を開催する。
第 8 回	アプリケーションソフトウェア③	パソコンで利用する様々なアプリケーションソフトウェアについて学び、統計解析に役立つ R の機能を体験する。
第 9 回	コンピュータネットワークとセキュリティの基礎	コンピュータネットワーク及びセキュリティの基礎知識を学ぶ。

第 10 回 コンピュータの未来 コンピュータの進歩や未来の応用について学び、グループディスカッションを通じて理解を深める。

第 11 回 HTML の基礎 HTML を用いたホームページ作成の基礎を学ぶ。

第 12 回 JavaScript とスタイルシート JavaScript とスタイルシートの基礎を学ぶ。

第 13 回 PHP の基礎 HTML 自動生成に役立つ PHP 言語についての基礎を学ぶ。

第 14 回 まとめ 講義内容をまとめる。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

第 1 回の授業の前に、ログイン ID とパスワードを確認しておくこと。宿題を出すことがあります。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。

## 【参考書】

適時指示します。必要に応じてプリントを配布します。また、ホームページでパワーポイント資料を閲覧できます。

## 【成績評価の方法と基準】

課題（70%）、小テスト（30%）として評価します。課題に積極的に取り組み、提出して下さい。

## 【学生の意見等からの気づき】

可能な限り多くの基礎的な課題を用意し、楽しみながら授業を進められるようにしていきます。

## 【学生が準備すべき機器他】

演習室のパソコンを利用します。

## 【Outline (in English)】

You learn how to use various application software including Microsoft Excel, various information devices effectively. You learn about web development related languages such as HTML, JavaScript, PHP and learn about network structure too.

IDN200LA

法政学の探究 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

高柳 俊男、北口 由望

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、「大学を知ろう <法政学>への招待」（旧科目名「法政学への招待」）をすでに受講し、法政大学が経てきた 140 余年の歴史と現状について一通りの理解をもつ学生を主対象にして、本学ゆかりの特定の人物を媒介に、法政大学についてより深く考える場を提供する発展科目として設定しました。

「大学を知ろう <法政学>への招待」における学習を前提に、本授業では、法政大学で教えた教員や、学んだ学生を具体的に取り上げます。教員の場合なら、その人物が法政大学でどういう教育研究に携わったのか、そのことで本学や社会の発展にいかに関与したか、などを追います。卒業生の場合なら、本学で何を学んだのか、あるいは学んだことをその後の本人の人生や、社会に向けてどう役立てたかなどについて、探究することになるでしょう。

法政大学ゆかりの特定の人物を詳しく追うことで、「自由と進歩」の理念や、時代のフロントランナー養成を掲げる本学の歴史と現在が、より具体性を帯びて理解できるようになるはずです。

【到達目標】

本学の経てきた道を、具体的な人物に即して、実証的・実感的に把握できることを目指します。時代の大きな流れの中で、本学ゆかりのその人物が何に興味をもち、どんな活動をし、何を目指し、何に悩んだかなど、時代の潮流や雰囲気を受講生個々人の知性と感性で感じられるようにします。それを、自分の学生生活や将来像へとつなげて考える契機を得るよう努めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

科目責任者の教員 2 名が毎回同席し、授業をコーディネートします。講義は、毎回のテーマに最適な本学内外の講師陣（科目責任者を含む）が、分担して担当します。

授業の最後に毎回、リアクションペーパーを書いていただきます。受講生の声を反映した参加型・双方向型授業になるよう努めます。なお、質問やリアクションペーパーに対するフィードバックは授業中に行います。

対面を基本としますが、講師の都合等により他の形式で行う回が生じた場合は、事前にお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	この授業の狙いや、全体の構成について説明する。 あわせて、本学の経てきた歴史の概略を復習する。（科目責任者=高柳俊男、北口由望）

2	本学草創期を支えた日本近代法の父・ボアソナードとその門人たち	1873 年に政府顧問として来日したフランス人法学者ボアソナードは、刑法・民法などの近代法典の整備のかたわら、法学教育にも尽力した。その門人の薩埵正邦に焦点を当てて、明治初期の法典整備・法学教育の意義を考える。（岡孝）
3	世界を知りつくした本学の祖 箕作麟祥	本学の前身である和仏法律学校の初代校長の箕作麟祥は、明治期の有数の啓蒙家であった。彼は、洋学を学んで、西洋の法律や歴史を日本に紹介し、日本の「民権」のために活躍した。彼の仕事を振り返って、そこから学ぶものを探りたい。（南塚信吾）
4	「民法の父」・和仏法律学校初代総理 梅謙次郎	日本民法典起草者の一人であり、帝国大学法学部教授、法政大学の初代総理（総長）であった梅謙次郎について、韓国（大韓帝国、1897～1910 年）政府の法律顧問として活動していた頃の足跡を辿る。（李英美）
5	能楽研究の開拓者である野上豊一郎	法政大学は古典芸能の「能楽」と深い結びつきがあるが、その縁は、戦後間もなく総長を務めた野上豊一郎が創出したものである。今回は、野上と能楽との出会いから、彼が残した功績を概観する。（伊海孝充）
6	夏目漱石門下生たちに学んで作家になった椋鳩十	伊那谷出身の椋鳩十（本名：久保田彦穂）は、とくに動物物語の作者として広く知られる。初の詩集を出し、学生結婚もした法政大学時代をはじめ、戦前戦後にわたる椋の歩みを時代の中で振り返る。（高柳俊男）
7	作家井本健作とその日記	野上豊一郎の推挙で本学教員になり、戦前・戦後にかけて、予科長、第二中学校長（初代）、図書館長を歴任するなど大学運営にも深くかかわった作家・俳人の井本健作。井本が長年にわたり書き残した日記（「自省録」）を紐解き、知られざる戦前期法政大学の歴史を明らかにする。（北口由望）
8	戦争の中を生きた学友たち～久納好学を例に	終戦直前のわずか 10 ヶ月足らずの間に 5,845 名もの戦死者を出した「特攻」。その第一号となったのが、本学に学んだ学友の一人・久納好学であった。彼はなぜ「特攻」を志願したのか。その短い生涯を辿りながら、戦前戦中の本学の歴史と学友たちの生きざまを追体験してみたい。（鈴木靖）
9	城戸幡太郎、波多野完治、宮原誠一、乾孝～生涯学習の時代を切り拓いた人々	戦前の法政大学高等師範部教授の城戸幡太郎、波多野完治、宮原誠一らは、本学を舞台に教育科学研究会や保育問題研究会を組織したが、そのねらいは現場の教員と研究者とが共同して教育実践を研究することにあった。キャリアデザイン学部へと引き継がれるこの伝統を明らかにしたい。（笹川孝一）

- 10 南北朝鮮と日本の狭間に生きた尹学準 尹学準は朝鮮戦争最中に韓国から日本に密航し、法政大学の小田切秀雄ゼミで近代文学を学んだ。晩年、母校の教授となり、現役のまま亡くなった尹学準の波乱万丈の歩みを追いながら、その一生が投げかけるものを考えたい。(高柳俊男)
- 11 「女性である前にまず人間であれ」野上弥生子と法政大学 日本を代表する作家野上弥生子。法政大学女子高等学校名誉校長もつとめた弥生子は、同校の生徒たちに「女性である前にまず人間であれ」という言葉をのこした。弥生子の思想と人物像を探るとともに、その日記に記された法政大学の逸話を紹介する。(古侯達郎)
- 12 法政スポーツの伝統を探る 法政スポーツは 100 年以上の歴史をもつ。HOSEI ミュージアムで開催された展示「HOSEI スポーツの原点」をもとに、その歴史と伝統を振り返る。(北口由望)
- 13 校舎と建築学科の礎を築いた建築家 大江宏 法政大学の幾つもの校舎を設計し、また教育者として建築学科の礎を築いた建築家・大江宏(1913~89年)。残された建築と資料を参照しながら、その思想と足跡に迫る。(藤本貴子)
- 14 学生の目と教員の目から見る法政大学 学生として本学で学び、のちに本学で教えるに至った方を授業にお招きし、2つの立場から見た法政大学について体験的に語っていただき、授業全体のまとめとする。(根崎光男、明田川融)

#### 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の講師が授業内で言及した文献は、積極的に参照してください。また、2020年に開館したHOSEIミュージアムの展示、および同ミュージアムデジタルアーカイブ(<https://museum.hosei.ac.jp/archives/Users/Top>)には、授業で取り上げた人物や事象に関するコンテンツが豊富に含まれていますので、準備学習・復習に活用してください。

その他、授業に関連する特別展示などが学内外で開催される場合には、随時お知らせしますので、極力足を運んでみましょう。

なお、本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

#### 【テキスト（教科書）】

特定のテキストはありません。講義担当者が適宜、プリント配付やパワーポイント提示を行います。それらを基本的に、学習支援システム上にアップします。

#### 【参考書】

各担当教員が、その都度お知らせします。

本学の歴史を通史的にまとめた書籍には、『法政大学 1880-2000：そのあゆみと展望』のほか、『法政大学参拾年史』『法政大学八十年史』『法政大学百年史』『法政大学と戦後五〇年』などがあります。図書館などで適宜参照してください。

#### 【成績評価の方法と基準】

毎回のリアクションペーパーに反映された授業に取り組む姿勢 40%、学期末のレポート 60%を基準にして、総合的に評価します。受講者数によっては若干の変更があるかもしれませんが、その場合は授業の場（もしくは学習支援システム上）でお知らせします。この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の60%以上を達成した者を合格とします。

なお、レポートの作成に際しては、典拠となる文献に必ず当たり、実証的な内容になるよう心がけてください。

#### 【学生の意見等からの気づき】

学術的でありながら、同時に本学で学ぶ自分自身の生き方の参考になるような、興味深い授業を目指します。

#### 【学生が準備すべき機器他】

とくにありません。学習支援システムを積極的に活用します。

#### 【その他の重要事項】

上述のように、「大学を知ろう <法政学>への招待」で学んだ内容を前提に進めます。したがって、原則として同科目の既修者か、それと同程度の前提知識がある方が受講対象者になります。無い方の受講も認めますが、この授業と並行して、自ら積極的に補うよう努めてください。

「大学を知ろう <法政学>への招待」とこの「法政学の探究 LA」を履修し、さらに学びを深めたい方には、より演習に近い少人数の科目として、「法政学の探究 LB」(春学期)も用意されています。ただし、2023年度に限り、休講です。

#### 【Outline (in English)】

This intermediate class aims to explore the history and the spirit of Hosei University, by following the achievements and personality of several specific individuals.

Please refer to the documents mentioned by the lecturer in the class. Also, please make use of the newly opened HOSEI Museum and Digital Archives for preparation and review.

Final grade will be calculated according to the following process. Reaction papers for each class 40%, and term-end report 60%.

LIT200LA

## 日本文学と文化 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

阿部 真弓

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

絵巻の鑑賞方法等について解説した後、院政期に作られたとされる国宝『源氏物語絵巻』について講義します。種々の源氏絵、また現代のマンガ等とも比較しながら、『源氏物語』がどのように解釈され、絵画化されてきたかを考察します。『源氏物語絵巻』を学ぶことを通し、日本の古典文学や美術に関する理解を深めます。

## 【到達目標】

- ① 絵巻に関する基礎的な知識を習得する。
- ② 『国宝 源氏物語絵巻』の特質を理解する。
- ③ 平安時代の人々が『源氏物語』をどのように解釈し、イメージしたかについて理解する。
- ④ 現代に至るまで、『源氏物語』がどのように絵画化されてきたか、源氏絵の様相を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

パワーポイントを使い、講義します。授業のはじめに、学習支援システムにアップロードされた受講生からの質問や意見を取り上げてフィードバックし、前回授業の振り返りを行います。現代語訳のプリントを用いる等、古典文学の読解が苦手な人に配慮しつつ、授業を進めます。

なお、状況によって、オンライン授業となる可能性があります。その際は、学習支援システムを通じて、連絡します。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の概要
第 2 回	絵巻とは (1)	絵巻の歴史について
第 3 回	絵巻とは (2)	絵巻に見られる技法について
第 4 回	絵巻とは (3)	絵巻の鑑賞方法について
第 5 回	『源氏物語絵巻』(1)	『源氏物語絵巻』概説
第 6 回	『源氏物語』第一部概説	『源氏物語』第一部の解説
第 7 回	『源氏物語』第一部概要	『源氏物語』第一部のあらすじ
第 8 回	『源氏物語絵巻』(2)	『源氏物語絵巻』蓬生巻について
第 9 回	『源氏物語』第二部概説	『源氏物語』第二部の解説およびあらすじ
第 10 回	『源氏物語絵巻』(3)	『源氏物語絵巻』柏木巻 (一) について
第 11 回	『源氏物語絵巻』(4)	『源氏物語絵巻』柏木巻 (三) について
第 12 回	『源氏物語絵巻』(5)	『源氏物語絵巻』横笛巻について
第 13 回	『源氏物語絵巻』(6)	『源氏物語絵巻』鈴虫巻 (二) について
第 14 回	総括	授業のまとめ、試験

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

授業内容を復習し、理解した上で、次の授業に臨むようにすること。

## 【テキスト（教科書）】

プリントを配布します。

## 【参考書】

参考文献は授業中に紹介します。

## 【成績評価の方法と基準】

学期末レポート (70%)、平常点 (30%) によって評価します。レポートは【到達目標】①～④に照らして採点します。また平常点については、毎回、学習支援システムに提出してもらった課題によって、授業の理解度を確認します。

## 【学生の意見等からの気づき】

パワーポイントのスライドのプリントアウトにノートを取ってもらう形を、今年度も継続します。学習支援システムにアップロードされた質問やコメントは、次週の講義でできる限り紹介・回答し、疑問点を残さないようにしていきます。

## 【Outline (in English)】

This course deals with *The Tale of Genji illustrated Scrolls* (源氏物語絵巻, designated a National Treasure) and the other works (including Manga) painted *The Tale of Genji*.

The aim of this course is to help students acquire an understanding of Japanese classical literature and art.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end report : 70%, Short reports : 30%.

LIT200LA

## 日本文学と文化 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

## 阿部 真弓

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

安珍・清姫伝説として知られる、道成寺にまつわる説話について講義します。絵巻や能・歌舞伎の題材として有名なこの説話が、これまで人々にどのように享受されてきたのかについて学び、日本の古典文学や古典芸能に関する理解を深めます。

## 【到達目標】

- ① 説話文学の特質について理解する。
- ② 絵巻に関する基礎的な知識を習得する。
- ③ 能、歌舞伎など古典芸能に関する基礎的な知識を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

パワーポイントを使い、講義します。授業のはじめに、学習支援システムにアップロードされた受講生からの質問や意見を取り上げてフィードバックし、前回授業の振り返りを行います。現代語訳のプリントを用いる等、古典文学の読解が苦手な人に配慮しつつ、授業を進めます。

なお、状況によって、オンライン授業となる可能性があります。その際は、学習支援システムを通じて、連絡します。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の概要
第 2 回	説話について	説話文学に関する解説
第 3 回	道成寺にまつわる説話	説話集に収められた道成寺説話
第 4 回	絵巻について	絵巻の鑑賞方法に関する解説
第 5 回	道成寺縁起絵巻 (1)	『道成寺縁起絵巻』鑑賞
第 6 回	道成寺縁起絵巻 (2)	『道成寺縁起絵巻』解説
第 7 回	道成寺縁起絵巻 (3)	熊野信仰について
第 8 回	道成寺縁起絵巻 (4)	『道成寺縁起絵巻』の異本について
第 9 回	能について	能の歴史・鑑賞の仕方に関する解説
第 10 回	能『道成寺』(1)	能『道成寺』を読む
第 11 回	能『道成寺』(2)	能『道成寺』解説
第 12 回	能『道成寺』(3)	能『道成寺』鑑賞
第 13 回	道成寺物について	日本伝統芸能における「道成寺」の解説
第 14 回	総括	授業のまとめ

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。  
授業内容を復習し、理解した上で、次の授業に臨んでください。

## 【テキスト（教科書）】

適宜、プリントを配布します。

## 【参考書】

参考文献は授業中に紹介します。

## 【成績評価の方法と基準】

学期末締切のレポート（70%）、平常点（30%）によって評価します。レポートは【到達目標】①～③に照らして採点します。また平常点については、毎回、学習支援システムに提出された課題によって、授業の理解度を確認します。

## 【学生の意見等からの気づき】

授業に関する質問やコメントは、次以降の講義でできる限り紹介・回答し、疑問点を残さないようにしていきます。

## 【Outline (in English)】

This course deals with the picture scrolls *Dojoji Engi* and the Noh program *Dojoji*.

The aim of this course is to help students acquire an understanding of Japanese classical literature and art and performing arts.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end report : 70%, Short reports : 30%.



LIT200LA

## 日本文学と文化 L C

2017 年度以降入学者

サブタイトル：中世日本文学と仏教

今泉 隆裕

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義では能（謡曲）とその周辺事項について、とくに日本仏教とのかかわりについて考える。

俳句や短歌が固定した形式をもつゆえに、かえって人々の想像力を刺激するように、能もいくつかの決まった形式をもっている。しかも、この形式（話の枠）に、この芸能が胎動した当時の時代状況や、人々の期待が反映されていることはいうまでもない。どのような状況下で、どのようなことがこの芸能に要請されたのか。どのような歴史社会の影響を受けたためにそれらの形式が確立され、その形式からどのような想像力が新たに促がされたのか。ここでは、とくに能と宗教文化（おもに日本仏教）との関連を紹介しながら、その一端を垣間見たいと考える。

とはいえ、能に関する知識はそれほど一般的ではない。はじめの数回、能楽に関する入門の内容をふまえることになる。そののち勸進興行と能という視点から、一般的に「夢幻能」といわれるもの、なかでも幽霊を主人公（シテ）とする曲を主に扱う。や、離ればなれになった親子の再開を描く、いわゆる「親子物狂能」を取り上げ、その周辺の事柄を紹介する。

また、時間に余裕があれば、近代における能楽の動向を紹介しつつ、文化がいかに歴史社会とのかかわりの中で存続するのか（あるいは消滅するのか）を考える機会も持ちたい。

※夢幻能に関する講義が「日本文学と文化（前期）」（旧「文学Ⅰ」）、おもに親子物狂能に関する講義が「日本文学と文化（後期）」（旧「文学Ⅱ」）となる予定である。ただし、講義内容はその都度変更する場合がある。

## 【到達目標】

文芸作品が歴史社会とのかかわりのなかで、いかに規制されるのか、また、その規制された視点がどのような想像を促し、どのような表現を創造するのか、その一端を垣間見る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業形態は、講義形式とする。

フィードバックするためにも毎回リアクションペーパーを記入させる。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	能楽入門①	能楽の歴史、基本的な用語などについて解説する（5 回程度）。
2	能楽入門②	上記、能楽入門（つづき）VTR で能にふれ、都度入門的な内容に言及する。
3	能楽入門③	上記、能楽入門（つづき）舞台について説明する。
4	能楽入門④	上記、能楽入門（つづき）演者について説明する。

5	能楽入門⑤	上記、能楽入門（つづき）曲種について説明する。
6	夢幻能について① （幽霊能について）	夢幻能のなかでも幽霊を主人公（シテ）とするものを取り上げ、その特徴について論じる（9 回程度）。 ここでは以下のような項目を取り上げる予定である。 ・鑑賞 ・本説（典拠）と能との比較検討 ・夢幻能（幽霊能）の特徴とその機能について ・シテ（幽霊）とワキ（僧ワキ）との関係 ・宗教学からみた能の幽霊の特殊性 ・僧ワキの機能についてなど
7	夢幻能について② （幽霊能について）	上記、夢幻能について（つづき） 〈求塚〉①概要
8	夢幻能について③ （幽霊能について）	上記、夢幻能について（つづき） 〈求塚〉②本説（典拠）について
9	夢幻能について④ （幽霊能について）	上記、夢幻能について（つづき） 〈求塚〉③鑑賞
10	夢幻能について⑤ （幽霊能について）	上記、夢幻能について（つづき） 〈鶴飼〉①概要
11	夢幻能について⑥ （幽霊能について）	上記、夢幻能について（つづき） 〈鶴飼〉②典拠について説明する。
12	夢幻能について⑦ （幽霊能について）	上記、夢幻能について（つづき） 〈船橋〉①概要
13	夢幻能について⑧ （幽霊能について）	上記、夢幻能について（つづき） 〈船橋〉②本説（典拠）について説明する
14	夢幻能について⑨ （幽霊能について）	上記、夢幻能について（つづき） 前期まとめ

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業内で指示した課題にしっかり取り組む。

本講義ではいくつかの曲を取り上げる予定である。

その際には【参考書】『謡曲集』『謡曲百番』等で本文を事前に確認することが望ましい。

本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

特に指定しない。必要な際は授業内で指示する。

## 【参考書】

本文

『謡曲集』上・下（表章日本古典文学大系、岩波書店）

『謡曲百番』（新日本古典文学大系、岩波書店）

『謡曲集』一・二（日本古典文学全集、小学館）など

入門書

西野春雄『能・狂言・風姿花伝』（新潮社、1992 年）など

ほかは授業内で指示する。

## 【成績評価の方法と基準】

出席状況と、学期末の授業内レポートを持って評価する。目安としてはレポート 80 %、平常 20 % とする。ただし、出席状況だけでは判断しない。したがって、レポートを提出しないものは評価できないと考えて下さい。出席はあくまでレポートの評価を補うものとなります。

講義内容の曲解や、また講義内容に言及しないレポートの評価は低くなることは言うまでもありません。到達目標を参照し、それを加味したレポートを作成して下さい。

## 【学生の意見等からの気づき】

試験解答をみていると、そもそも質問の意味を了解していないものが散見される。能に関する知識は、あまり一般的ではないので、図書館等を積極的に活用し、理解を深めてほしい。

## 【学生が準備すべき機器他】

使用しません

## 【その他の重要事項】

※それぞれのテーマを何回講義するかは未定である。

※取り上げるテーマは進捗等、都合により変更されることがあります。

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【Outline (in English)】

In this lecture, we will think about Noh (Kayo) and its surroundings, especially concerning Japanese Buddhism.

Haiku and Tanka have a fixed form, so they stimulate the imagination of people. It is needless to say that this form (the framework of the story) reflects the circumstances and expectations of people when this entertainment is created.

Under such circumstances, what was expected for this entertainment? what kind of historical society did affect the establishment of the form? What kind of imagination from that form was newly promoted?

The goals of this course are to Understand Nogaku.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process term-end examination (80%), and in-class contribution (20 %).

LIT200LA

## 日本文学と文化 L D

2017 年度以降入学者

サブタイトル：中世日本文学と仏教

今泉 隆裕

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義では能（謡曲）とその周辺事項について、とくに日本仏教とのかかわりについて考える。

俳句や短歌が固定した形式をもつゆえに、かえって人々の想像力を刺激するように、能もいくつかの決まった形式をもっている。この形式（話の枠）に、この芸能が胎動した当時の時代状況や、人々の期待が反映されていることはいうまでもない。どのような状況下で、どのようなことがこの芸能に要請されたのか。どのような歴史社会の影響を受けたためにそれらの形式が確立され、その形式からどのような想像力が新たに促がされたのか。

本講義では、とくに能と宗教文化（おもに日本仏教）との関連を紹介しながら、その一端を垣間見たいと考える。

とはいえ、能に関する知識はそれほど一般的ではない。はじめの数回、能楽に関する入門的内容をふまえることになる。また時間に余裕があれば、近代における能楽の動向を紹介しつつ、文化がいかに歴史社会とのかかわりの中で存続するのか（あるいは消滅するのか）を考える機会も持ちたい。

そのうち勸進興行と能という視点から、一般的に「夢幻能」といわれるもの、なかでも幽霊を主人公（シテ）とする曲を主に扱う。また、離ればなれになった親子の再開を描く、いわゆる「親子物狂能」を取り上げ、その周辺の事柄を紹介する。

※夢幻能に関する講義が「日本文学と文化 L C」（旧「文学 I」）、おもに親子物狂能に関する講義が「日本文学と文化 L D」（旧「文学 II」）となる予定である。ただし、講義内容はその都度変更する場合がある。

## 【到達目標】

能楽に関する基本的な知識を身につけることを目指す。と同時に、文芸作品が歴史社会とのかかわりのなかで、いかに規制されるのか、また、その規制された視点がどのような想像を促し、どのような表現を創造するのか、その一端を垣間見る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業形態は、講義形式とする。

フィードバックするため毎回アクションペーパーを記入させる。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	能楽入門（補足①）	入門的事項の補足説明と「日本文学と文化（前期）」（旧「文学 I」）の内容をおさらいする（2 回程度）。ただし、連続して講義を受けていない学生が多い場合は、内容を変更して対応したい。
2	能楽入門（補足②）	上記、能楽入門 舞台についてほか歴史についても言及したい。

3	夢幻能について① （神能について）	夢幻能のなかでも神を主人公（シテ）とするものを取り上げ、その特徴について論じる（4 回程度）。ここでは以下のような項目を取り上げる予定である。 ・鑑賞 ・本説（典拠）と能との比較検討 ・夢幻能（神能）の特徴とその機能について ・シテ（神）とワキ（大臣ワキ）との関係 ・宗教学からみた能の神の特殊性 ・大臣ワキの機能について など
4	夢幻能について② （神能について）	上記、夢幻能、とくに神能について（つづき）〈高砂〉①概要
5	夢幻能について③ （神能について）	上記、夢幻能、とくに神能について（つづき）〈高砂〉②本説（典拠）について説明する
6	夢幻能について④ （神能について）	上記、夢幻能、とくに神能について（つづき）〈高砂〉③鑑賞
7	親子物狂能について①	春学期でみた勸進興行との関連で寺社の霊験譚として、離ればなれになった親子の再開を描く親子物狂能とその特色などについて論じる（6 回程度）。 ここでは以下のような項目を取り上げる予定である。 ・鑑賞 ・本説（典拠）と能との比較検討 ・〈弱法師〉と俊徳丸説話、さらにその淵源 など
8	親子物狂能について②	上記、親子物狂能について（つづき） 〈隅田川〉①概要
9	親子物狂能について③	上記、親子物狂能について（つづき） 〈隅田川〉②本説（典拠）について説明する。
10	親子物狂能について④	上記、親子物狂能について（つづき） 〈隅田川〉③鑑賞
11	親子物狂能について⑤	上記、親子物狂能について（つづき） そのほかの親子物狂能①〈百万〉ほか
12	親子物狂能について⑥	上記、親子物狂能について（つづき） そのほかの親子物狂能②〈柏崎〉ほか
13	能楽の近代について①	近代化の中で一時期廃れていた能楽がいかに復活したかについて論じ、文化がいかに歴史社会とのかかわりの中で存続するのか（あるいは消滅するのか）を考える（2 回程度）。
14	能楽の近代について②	上記、能楽の近代について（つづき）

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業内で指示した課題にしっかり取り組む。

本講義ではいくつかの曲を取り上げる予定である。

その際には【参考書】『謡曲集』『謡曲百番』等で本文を事前に確認することが望ましい。

本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

特に指定しない。必要の際は授業内で指示する。

## 【参考書】

本文

『謡曲集』上・下（表章日本古典文学大系、岩波書店）

『謡曲百番』（新日本古典文学大系、岩波書店）  
 『謡曲集』一・二（日本古典文学全集、小学館）など  
 入門書  
 西野春雄『能・狂言・風姿花伝』（新潮社、1992年）など  
 ほかは授業内で指示する。

**【成績評価の方法と基準】**

出席状況と、学期末の授業内レポートを持って評価する。目安としてはレポート 80%、平常 20%とする。ただし、出席状況だけでは判断しない。したがって、レポートを提出しないものは評価できないと考えて下さい。出席はあくまでレポートの評価を補うものとなります。

講義内容の曲解や、また講義内容に言及しないレポートの評価は低くなることは言うまでもありません。到達目標を参照し、それを加味したレポートを作成して下さい。

**【学生の意見等からの気づき】**

試験解答をみていると、そもそも質問の意味を了解していないものが散見される。能に関する知識は、あまり一般的ではないので、図書館等を積極的に活用し、理解を深めてほしい。

**【学生が準備すべき機器他】**

特にありません

**【その他の重要事項】**

※それぞれのテーマを何回講義するかは未定である。  
 ※取り上げるテーマは進度等、都合により変更されることがあります。

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

**【Outline (in English)】**

In this lecture, we will think about Noh (Kayo) and its surroundings, especially concerning Japanese Buddhism. Haiku and Tanka have a fixed form, so they stimulate the imagination of people. It is needless to say that this form (the framework of the story) reflects the circumstances and expectations of people when this entertainment is created. Under such circumstances, what was expected for this entertainment? what kind of historical society did affect the establishment of the form? What kind of imagination from that form was newly promoted?

The goals of this course are to Understand Nogaku.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process term-end examination (80%), and in-class contribution (20%).

LIT200LA

## 日本文学と文化 L E

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

伊海 孝充

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本の幽霊に纏わる伝承・物語について学ぶ。幽霊の物語はその話が生まれた時代や伝播した環境によって、その姿には大きな隔りがある。この授業では、物語が生まれた土壌について学ぶのと同時に、幽霊が何を表現しているのかを考えていく。

## 【到達目標】

授業内容は、専門的な文学研究の領域にも及ぶが、専門外の学生にもわかるように説明していく。本講義では、日本の物語がどのような土壌で生まれ、どのような媒介を通して現代まで伝わってきたのかを知ることを目標としている。単に「昔話」の一言では括れない、豊潤な世界を体感してほしい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

まず作品を受講者に分析してもらい、その後解説を加える。授業開始日は5月4日とする。詳しくは学習支援システムを参照すること。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方について具体例をもとに説明する。
第 2 回	日本の幽霊の特徴	日本の幽霊の伝承・物語について概説する。
第 3 回	「耳なし芳一」の概要	話の概要と様々な話柄を紹介する。
第 4 回	「耳なし芳一」と小泉八雲	『怪談』を中心に「耳なし芳一」話の広がりを考える。
第 5 回	「耳なし芳一」と琵琶法師	阿弥陀寺の伝承について解説する。
第 6 回	源融と河原院」の概説	話の概要と様々な話柄を紹介する。
第 7 回	怪談話の歴史	説話文学の中の幽霊
第 8 回	幽霊の屋敷の歴史	「場所」の重要性を考える。
第 9 回	「鵜飼いのゆうれい」の概説	話の概要と能「鵜飼」との関係について紹介する。
第 10 回	鵜飼と殺生	殺生にかかわる物語を参看し、漁師の罪を考える。
第 11 回	「鵜飼いの幽霊」と日蓮宗	物語成立の背景とその伝播について考える。
第 12 回	「百物語」の概説	話の概要と百物語に関わる物語を紹介する。
第 13 回	百物語の座	百物語が行われた場と作法について考える。
第 14 回	まとめ	幽霊譚を形成と展開を確認する。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。授業にのぞむ前に、扱う話を一読していただくことが望ましい。

## 【テキスト（教科書）】

毎回プリントを配布する。

## 【参考書】

授業内で指示する。

## 【成績評価の方法と基準】

授業内の課題 70%

学期末レポート 30%

## 【学生の意見等からの気づき】

難解な古文を扱う場合は、専門外の学生も授業についていけるよう心がける。

## 【Outline (in English)】

This course introduces Japanese ghost traditions and stories to students taking this course. The goals of this course are to understand how those were formed. Students will be expected to read my works before classes. Your study time will be more than four hours for a class. Grading will be decided based on reaction papers (70%), and Term-end report (30%).

LIT200LA

## 日本文学と文化 L F

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

伊海 孝充

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本の狐・狸に纏わる伝承・物語について学ぶ。狐と狸は昔話でよく登場する動物だが、人間に災いをもたらすモノとして描かれる一方で、人間に親近性があるモノとして描かれることもある。本講義では、その狐と狸の両義性を学ぶと同時に、人間はこれらの動物に何を投影してきたのかを考えていく。

## 【到達目標】

授業内容は、専門的な文学研究の領域にも及ぶが、専門外の学生にもわかるように説明していく。本講義では、日本の狸・狐の物語がどのような形成され、どのような媒介を通して現代まで伝わってきたのかを知ることを目標としている。昔話の本質を知り、それを後代へ伝えてほしい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業は講義形式に進める。ただし、基本的な話柄を確認するために「まんが日本昔ばなし」などのビデオを用いる。さらに文学作品の広がりを確認するため、視聴覚資料を多用する。鑑賞に際しては、話の疑問点を探しながら集中して観ることが望まれる。また、毎回コメントカードを配布し、それに授業内容に関する疑問点を書いてもらう。それに対する回答は、適宜授業冒頭で行なう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方について具体例をもとに説明する。
第 2 回	「カチカチ山」の概説	話の概要と様々な話柄を紹介する。
第 3 回	残酷な昔話	狸と罪と罰を考える。
第 4 回	「ぶんぶく茶釜」の概説	話の概要と様々な話柄を紹介する。
第 5 回	茂林寺・茶釜	物語の要素と背景を考え。
第 6 回	「たぬきの腹鼓」	狸と腹鼓の結びつきの背景
第 7 回	「きつね女房」の概説	話の概要と様々な話柄を紹介する。
第 8 回	異類婚姻譚	狐と特殊能力
第 9 回	「玉藻の前」の概説	話の概要と様々な話柄を紹介する。
第 10 回	国家を揺るがす狐	狐と災いの関係
第 11 回	「稲荷の物語」の概説	話の概要と様々な話柄を紹介する。
第 12 回	稲荷信仰の多重性	狐への信仰の背景
第 13 回	狐・狸の物語の類似点と相違点	狐・狸の伝承・物語について整理する。
第 14 回	まとめ	狐と狸の物語の展開を確認する。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。授業にのぞむ前に、扱う話を一読していただくことが望ましい。

## 【テキスト（教科書）】

毎回プリントを配布する。

## 【参考書】

授業内で指示する。

## 【成績評価の方法と基準】

授業内のコメントカード 70%

学期末レポート 30%

## 【学生の意見等からの気づき】

映像などの視聴覚資料を用いて、専門外の人にもわかりやすく講義を行なう。

## 【Outline (in English)】

This course introduces the traditions and stories of Japanese foxes and raccoons to students taking this course. The goals of this course are to understand how those were formed. Students will be expected to read my works before classes. Your study time will be more than four hours for a class. Grading will be decided based on reaction papers (70%), and Term-end report(30 %).

LIT200LA

## 日本文学と文化 LG

2017 年度以降入学者

サブタイトル：新海誠の文学世界

## 榎本 正樹

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 3/Tue.3

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2023 年 4 月 3 日（月）10：00～5 日（水）17：00、結果発表は 4 月 6 日（木）22：00（予定）です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2023/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

新海誠監督のアニメーション映画『君の名は。』（2016 年）は、アニメーション界や映画界を超えた近年の日本映画最大のヒット作品として、多くの観客の支持と共感をえました。国内観客動員数 1,900 万人を突破、興行収入 250 億円を超える大ヒットとなり、邦画興行収入歴代 3 位、アジア圏では 7 冠達成を記録し、日本のみならず世界各国の記録を塗り替えました。

2019 年には『天気の子』、2022 年には最新作『すずめの戸締まり』が封切られ、アニメファンだけでなく多くの観客に迎え入れられました。

新海誠というクリエイターの名前を、『君の名は。』で初めて知った人が多いかもしれませんが、新海監督のキャリアは 2000 年代初頭にまで遡ることができます。新海作品の根底にあるのは「言葉」に重きを置いた世界造形、言い換えれば「文学」への強い視線です。人と人の繊細なコミュニケーションを、精緻な言葉と独自の映像美学によって表現するその姿勢は、「アニメーションという表現手段を用いた文学」と形容可能なものです。アニメーションというジャンルの枠を越えた同時代の重要な表現者として、新海誠という存在をとりえ直す必要があります。

新海誠は「アニメーション監督」であるとともに「小説家」でもあります。新海は自身の手で代表作のノベライズ（小説化）を手がけていますが、それらは単に映像作品を言葉に置き換えたものではなく、小説作品として自立しています。同一の作者の手による映画と小説を比較検討することで、映像表現と小説表現の違いを検証することが可能です。

本講義では、新海誠の初期作品から最新作まで入手可能な映像作品を参観しつつ、「新海誠の文学世界」を紐解いていきます。国民的アニメーション作家としての地位を築きつつある、同時代の先端的な表現者である新海誠の主要作品を「網羅的に」観賞し、かつ「分析的」に解説する経験を通して、作品批評のための技術を獲得します。

## 【到達目標】

映像作品であるアニメーションをシーンごとに分析的に解説する技術を身に付け、アニメ固有の表現方法や仕掛けや物語構造などについて、自分の力で読み解き、論述できるレベルを目指します。関連資料を参照し、他者の意見やコメントに目を通し、作品のモデルとなった場所に実際に赴くことで、作品の背景にある文化的、社会的、歴史的、地理的背景について深く学び、作品を客観的に論じる力を得ます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業はプレゼンテーションと講義を合わせた形で行います。新海誠監督作品を初期から最新作まで観賞し（時間的な制約から一部となります）、重要なシーンについて解説と分析を加えていきます。アニメーションで重要なのは、シーンを構成する一つひとつのカットです。カットにはクリエイターの「世界そのものへの純粋な視線」が投影されています。

もう一つ重要なのは、言葉（ナレーション、モノログ、対話）です。本授業では新海作品の言葉の要素に特に注目し、物語の中で言葉がどのように作用し、コミュニケーションの主題を提示していくのかを細かく見ていきます。

さらに新海監督自身の言葉、関連資料の紹介や他の論者の考察など、作品をめぐる多様な言説を紹介する機会も設けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	新海誠、その人と作品について
2	『遠い世界』『彼女と彼女の猫』	最初期作品を概観する
3	『ほしのこえ』	物理的な「距離」と精神的な「距離」
4	『雲のむこう、約束の場所』	装置としての SF
5	『秒速 5 センチメートル』	風景と速度をめぐる物語
6	『星を追う子ども』前半	「物語」への接近
7	『星を追う子ども』後半	異界への移動と帰還
8	『言の葉の庭』	映像美学を支える文学性
9	『君の名は。』前半	「入れ替わり」と「すれ違い」の趣向
10	『君の名は。』後半	「共苦」する魂のゆくえ
11	『天気の子』前半	人身御供譚としての構成
12	『天気の子』後半	「規範」を逸脱するということ
13	『すずめの戸締まり』前半	移動と出会いの物語
14	『すずめの戸締まり』後半	震災アニメとしての評価

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

アニメーションを観たり小説を読む際に、受動的に観賞するのではなく、物語の細部について自分の言葉で客観的に書いたり話したりする習慣をつけましょう。授業で取りあげる映像作品や小説を繰り返し観たり読んだりして、その中で得た「気づき」をメモにとったり、疑問点や重要なポイントと思われる箇所についてまとめる作業を随時行ってください。

機会があれば、作品の中に登場する場所に赴く「聖地巡礼」に挑戦してみてください。なぜその場所が選ばれたのか、その場所が物語の各シーンでどのような意味を与えられているのか、体験的に学習してください。本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

榎本正樹『新海誠の世界 時空を超えて響きあう魂のゆくえ』（KADOKAWA、2021 年）

## 【参考書】

授業で扱う新海誠のノベライズ作品は参考書とします。必要に応じて、個人で入手してください。『小説 秒速 5 センチメートル』『小説 言の葉の庭』『小説 君の名は。』『小説 天気の子』『小説 すずめの戸締まり』とも（以下リンク参照）、角川文庫で入手可能です（電子書籍版もあります）。

<http://www.kadokawa.co.jp/product/321510000146/>

<http://www.kadokawa.co.jp/product/321510000145/>

<http://www.kadokawa.co.jp/product/321603000121/>

<https://www.kadokawa.co.jp/product/321903000333/>

<https://www.kadokawa.co.jp/product/322203001170/>

その他の参考書・参考文献や参考サイトは別途指示します。

## 【成績評価の方法と基準】

レポートで評価します（100%）。

試験や小テストはありません。

レポートのテーマは、「授業で取りあげた新海監督作品の中から、一作品または複数の作品を選び、作品論を展開する」というものです。授業内容を踏まえ、自分が選んだ作品について、自分で設定したテーマに基づき、自分の言葉で論を展開してください。

分析の鋭さ、考察の深さ、文章の正確さ、構成の巧みさなどを中心に採点します。詳細は、初回のガイダンス授業時に説明します。

## 【学生の意見等からの気づき】

専門用語など難易度が高いタームの使用を控え、初級者にも理解しやすい授業を心がけます。

可能な限り映像作品を観る機会を増やします。

## 【その他の重要事項】

アニメーションや現代日本文学、同時代の表現に関心をもつ学生の履修を歓迎します。

榎本のプロフィールや研究・評論活動は、サイト (<http://enmt.jp>) で確認できます。ツイッター (@enmt) での情報発信も行っていますので、履修時の参考にしてください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Shinkai Makoto is Japanese animation director. His animation film is highly acclaimed not only in Japan but also overseas. In 2019, his latest work "Weathering With You" was released. And a new film "Suzume no Tojimari" was released last year. I decode Shinkai's all animation works from various viewpoints.

**[Learning Objectives]**

The goal of this course is for students to acquire the skills to analytically decipher Makoto Shinkai animations as a visual works, scene by scene, and to be able to discuss in their own words the unique expression methods and narrative structure of animation.

**[Learning activities outside of classroom]**

When watching animations or reading novels, develop the habit of objectively writing and talking about the details of the story in your own words, rather than just passively watching the film or reading the novel. Your study time will be more than four hours for a class.

**[Grading Criteria /Policy]**

Grade will be based on reports 100%.

There will be no examinations.

The theme of the report is "Select one or more of Shinkai's works discussed in class and wrapping up the report". Based on the content of the class, develop your own argument in your own words about the work you have chosen, based on the theme you have set for yourself.



LIT200LA

## 日本文学と文化 LH

2017 年度以降入学者

サブタイトル：現代日本文学と映像表現

## 榎本 正樹

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 3/Tue.3

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2023 年 4 月 3 日（月）10：00～5 日（水）17：00、結果発表は 4 月 6 日（木）22：00（予定）です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2023/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代日本文学を原作として映画化された作品の一部を解説を加えながら観賞し、原作小説を講読します。2022 年に劇場公開された以下の作品から 6 作品を選んで取り上げる予定です。

小説（文学表現）と映画（映像表現）を比較対照し、分析を行うことで、言葉と映像それぞれのメディア固有の表現方法について考えを深めるとともに、「文学固有の表現とは何か？」という視点から小説を解説する力の獲得を目指します。

風良ゆう『流浪の月』（李相日監督）

辻村深月『ハケンアニメ！』（吉野耕平監督）

今村夏子『こちらあみ子』（森井勇佑監督）

東野圭吾『沈黙のパレード』（西谷弘監督）

平野啓一郎『ある男』（石川慶監督）

湊かなえ『母性』（廣木隆一監督）

佐藤正午『月の満ち欠け』（廣木隆一監督）

辻村深月『かがみの狐城』（原恵一監督）

\*劇場公開順。作品は変更の可能性があります。

## 【到達目標】

現代日本文学を代表する多様なジャンルの小説を読む経験を重ねることで、複雑な言語構成体としてのテキストから様々な要素を抽出し、整理し、分析し、自分の言葉で批評的に表現することができるようになります。

加えて、個人、社会、性、生、死、ジェンダー、家族、事件、歴史などの諸問題について思考する力を養います。言語表現と映像表現を比較対照することで、メディア固有の表現やメディア間の相互接続性についても理解を深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

講義形式をとります。原作小説を精読し、作品分析を行った後、映画の一部を解説を加えながら観賞します。映像メディアである映画と言語メディアである小説を比較検討することによって、情報提示、叙述、人物設定、構成など、表現上の相違点を明らかにしていきます。

履修者には、現代日本文学の多様な表現世界や作品固有の表現に触れ、作品について深く思考し、考えをまとめ、批評的な言葉でアウトプットする力が求められます。小説を事前に読んでいなくても理解できる形で授業を進めていきますが、取り上げる作品はすべて文庫化されていますので、事前に読んで上で授業に臨む形がベストです。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	ガイダンス授業
2	原作小説の講読 (1)	小説の講読・分析・考察
3	映画観賞 (1)	原作の映画鑑賞と解説・考察
4	原作小説の講読 (2)	小説の講読・分析・考察
5	映画観賞 (2)	原作の映画鑑賞と解説・考察

6	原作小説の講読 (3)	小説の講読・分析・考察
7	映画観賞 (3)	原作の映画鑑賞と解説・考察
8	原作小説の講読 (4)	小説の講読・分析・考察
9	映画観賞 (4)	原作の映画鑑賞と解説・考察
10	原作小説の講読 (5)	小説の講読・分析・考察
11	映画観賞 (5)	原作の映画鑑賞と解説・考察
12	原作小説の講読 (6)	小説の講読・分析・考察
13	映画観賞 (6)	原作の映画鑑賞と解説・考察
14	秋学期授業のまとめ	秋学期授業のまとめと、レポート提出について

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に原作小説を読んでいなくても理解できる形で授業を進めていきますが、物語内容や人物関係を把握する上でも、小説を読んで授業に臨むのがベストです。授業で取りあげた小説や映像作品は、授業外の環境で、もう一度読み直し観賞し直すことで、作品の理解を深めるよう努めてください。

レポート提出のための事前準備として、対象作品を精読し、その中で得た「気づき」をメモにとったり、疑問点や重要なポイントと思われる箇所についてまとめる作業を随時行ってください。

本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

授業で扱う予定の以下の文庫本。

- ・風良ゆう『流浪の月』（創元文芸文庫）
- ・辻村深月『ハケンアニメ！』（マガジンハウス文庫）
- ・今村夏子『こちらあみ子』（ちくま文庫）
- ・東野圭吾『沈黙のパレード』（文春文庫）
- ・平野啓一郎『ある男』（文春文庫）
- ・湊かなえ『母性』（新潮文庫）
- ・佐藤正午『月の満ち欠け』（岩波文庫）
- ・辻村深月『かがみの狐城』（ポプラ文庫）

## 【参考書】

参考書・参考文献は、教室で指示します。

必要な資料はプリントで配付します。

## 【成績評価の方法と基準】

レポートで評価します（100 %）。

試験や小テストはありません。

レポートのテーマは、「授業でとりあげた小説の中から一作品を選び、作品論を展開する」というものです。授業内容を踏まえ、自分が選んだ小説について、自分で設定したテーマに基づき、自分の言葉で「論」を展開してください。

分析の鋭さ、考察の深さ、文章の正確さ、構成の巧みさなどを見て採点します。詳細は、初回のガイダンス授業時に説明します。

## 【学生の意見等からの気づき】

専門科目ではないので、現代日本文学になじみのない学生にも分かりやすい言葉で、分析と解説を行うよう心がけます。

## 【その他の重要事項】

現代日本文学のみならず、映像メディアに関心をもつ学生の履修を歓迎します。

榎本のプロフィールや研究・評論活動は、サイト (<http://enmt.jp>) で確認できます。ツイッター (@enmt) での情報発信も行っていますので、履修時の参考にしてください。

## 【Outline (in English)】

## 【Course outline】

We read the original novel after having watched movie works that followed as "Contemporary Japanese literature". I select from the following 6 works in 2022.

We compare movie expression with the literature expression including the same story contents, we are analyzing peculiar expressin words and movies.

## 【Learning Objectives】

We will read through the original novels after watching films based on contemporary Japanese literature. We plan to highlight the following 6 titles after carefully selecting from the works released in 2022.

By comparing and analyzing literary expressions and visual expressions of the same story events, we will deepen our thoughts about specific expressions and techniques of the book and film media. Our aim to acquire the ability to read novels from the perspective of what is literature-specific expression.

## 【Learning activities outside of classroom】

Although the class will be conducted in a manner that can be understood without having read the original novel beforehand, it is best to read the novel in order to grasp the content of the story and the relationships between the characters. Students are encouraged to re-read and re-watch the novels and films discussed in class outside of class to deepen their understanding of the works. Your study time will be more than four hours for a class.

**[Grading Criteria /Policy]**

Grade will be based on reports 100%.

There will be no examinations.

The theme of the report is "Select one of the novels discussed in class and wrapping up the report". Based on the content of the class, develop a "theory" in your own words about the novel you have chosen, based on the theme you have set for yourself.

LIT200LA

## 外国文学と文化 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：西洋文学と音楽

鈴木 正道

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2023 年 4 月 3 日 (月) 10 : 00~5 日 (水) 17 : 00、結果発表は 4 月 6 日 (木) 22 : 00 (予定) です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2023/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業は、西洋の文学、特に音楽とかかわりの深い作品を扱います。音声や文字という記号の表現である文学と、直接感性に訴える音の連なりである音楽は、元来切っても切れない関係にあります。「詩」は「うたふ」ものであり、かつて物語は韻律をとまない楽器にのせて語られました。

春学期では、ミュージカルの名作として愛され続けている『レ・ミゼラブル』を、原作を参照しつつ分析します。さらに最も人気の高いオペラの一つである『カルメン』を扱います。次にシェークスピアの名高い『ロミオとジュリエット』を取り上げます。この作品は様々な作曲家により音楽化されています。さらにこの現代への翻案として創られたミュージカル『ウエストサイド物語』を扱います。

## 【到達目標】

芸術作品を観賞しつつ、批評、分析し、それを表現する手法を学びます。

「文学」のようなものは「実用性がない」ように言われがちですが、「衣食足りて」「モノ」から「コト」へと消費が移ってきた現在において、さまざまな知識を身に着けることで、今後の職業生活に必要な「ネタ」を蓄え、さらには自ら探り当てる習慣を身に着けることは大切でしょう。

この授業を履修することで、出版、メディア、教育などの分野で働くうえで必要な基礎的な知識と表現力や探求力を身につけることができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

教材や資料は学習支援システムに載せます。

まずはヴィクトル・ユゴーによる『レ・ミゼラブル』の原作を概観したうえで、ミュージカルやテレビドラマ版を鑑賞し、分析します。次にほぼ同時期に書かれた小説かつ戯曲をもとに創られたオペラ『カルメン』を扱います。さらに『ロミオとジュリエット』を概観し、鍵となる場面を詳しく検討します。そのうえで音楽家によるさまざまな作品を鑑賞し、分析します。さらに『ロミオとジュリエット』の現代への翻案として創られたミュージカル『ウエストサイド物語』を、元ネタとのかかわりを含めて鑑賞し、分析します。2021 年にスピルバーグ監督による映画が公開されましたが、この授業では主に 1961 年の映画版を取り上げます。時代も背景も異なる状況で書かれた物語にも、シェイクスピアの名高い作品の影が映っていることを見ます。

各作品の鑑賞と分析が一区切りついた時点で、400 字ほどの書き物を学習支援システムの「課題」を通して出させていただきます。やはり学習支援システムを通じてお返しします。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業の説明、 『レ・ミゼラブル』1 そもそもこれはどのような作品か	ヴィクトル・ユゴー：ロマン主義運動の総帥 小説『レ・ミゼラブル』
2	『レ・ミゼラブル』2 ぶつかる二人の主要人物	ミュージカル： ジャン・ヴァルジャンとジャヴェール
3	『レ・ミゼラブル』3 ハッピーエンドのカップルともう一人 (two others)	コゼットとマリウス エポニヌという存在 ジャン・ヴァルジャンという存在
4	『レ・ミゼラブル』4 『カルメン』1	フランスのテレビ局製作：ジェラルド・ドバルデュー主演 原作はメリメの中編小説。書いたのは役人。 オペラを作曲したのはフランス人ビゼー。
5	『カルメン』2 スペインという異郷	序曲と冒頭 「ハバナラ」 「ミカエラの歌」 Femme fatale (運命の/致命的な女) VS 清纯派 「アルカラの竜騎兵」：ロマの踊りが圧巻 歌手も踊る (というよりも踊れない歌手はお呼びでない)：「鈴を打ち鳴らす」
6	『カルメン』3 闘牛場の外で	「闘牛士の歌」 「行進曲」 最終場面：中の祝祭と外の破局 ウィリアム・シェイクスピアの戯曲：元ネタと著作権という考え方 映画版：ゼフィレリ監督 1968 年 冒頭とバルコニーの場面
7	『ロミオとジュリエット』1 誰もが聞いたことのあるあの作家、あの作品、 誰もが見たことのあるあの場面	「騎士たちの踊り」 (シンセサイザーなどによる ELP 版) 決闘の場面/最終場面 シャルル・グノーのオペラ： 冒頭とバルコニーの場面
8	『ロミオとジュリエット』2 どう描くか、演出による違い	決闘の場面 最終場面
9	『ロミオとジュリエット』3 バレエ：セリフがない シェイクスピア演劇	冒頭 「騎士たちの踊り」 (シンセサイザーなどによる ELP 版) 決闘の場面/最終場面 シャルル・グノーのオペラ： 冒頭とバルコニーの場面
10	『ウエストサイド物語』1 誰もが見たことのあるあの振り付け	現代への翻案 『ロミオとジュリエット』との比較： 登場人物と設定の共通点と違い ジャズの表現：裏拍： 冒頭場面 "Tonight" "America" (The Nice による編曲)
11	『ウエストサイド物語』2 移民グループの対立	悪魔の? 魅惑の? 減 5 度 (増 4 度) 決闘場面 "Cool"

- 14 『ウエストサイド物語』 最終場面  
3 永遠のテーマ  
どこが、そしてなぜ  
「原作」と異なるのか

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

扱われる作品の原作をあらかじめ読んでおいて下さい。さらに AV ライブラリなどで借りて映像作品をみておくといいかと思えます。ただし現在の状況ではそれもなかなか難しいことだと考えられます。インターネットで視聴できるものは私のほうからも紹介しますが、皆さんも独自にいろいろ探してみてください。

1-4:原作の小説『レ・ミゼラブル』を読む。主要登場人物についてまとめる。映画版やドラマ版を選んで視聴する。

5-7：原作の小説『カルメン』を読む。オペラ版を選んで視聴する。

8-11：原作の演劇『ロミオとジュリエット』を読む。映画版やバレエ版を選んで視聴する。

12-14：映画版を視聴する。舞台版を選んで視聴する。

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

**【テキスト（教科書）】**

決まった教科書はありません。資料、教材を学習支援システムでお配りします。

**【参考書】**

**【参考書 / References】**

『大学生のためのレポート・論文術』小笠原喜康、講談社現代新書 1603.

『論文レポートの文章作法』古郡廷治、有斐閣新書 C164

『著作権とは何か』、福井建築、集英社新書 0924A

他にも随時紹介します。

**【成績評価の方法と基準】**

各作品の鑑賞と分析が一区切りついた時点で、400 字ほどの書き物を学習支援システムの「課題」を通して出していただき、その評価の合計で成績を出します（100 %）。

**【学生の意見等からの気づき】**

課題の趣旨が伝わりにくいことがあったようです。わかりやすく示すようにします。

**【その他の重要事項】**

教室の定員を超える受講希望者があった場合には抽選を行いますので「お知らせ」等をよく確認してください。

**【Outline (in English)】**

This course deals with occidental literature, especially works adapted for music. Literature, which expresses its objects by signs, and music, which appeals to sentiments by way of sequences of sounds, are closely related to each other. Stories were, in effect, once sung accompanied by musical instruments.

The works dealt with during the spring term will be:

"Les Misérables" (musical), "Carmen"(opera), "Romeo and Juliet" (movie, ballet, opera), "West Side Story" (musical).

Through this course students are expected to get knowledge to appreciate analytically and critically literary and musical works.

Students should read beforehand relevant works. They need also to submit an assignment after having studied each work, for which they must spend at least two hours.

Final grade will be calculated according to the total score of their assignments (100%).

LIT200LA

外国文学と文化 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：西洋文学と音楽

鈴木 正道

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2023 年 4 月 3 日（月）10：00～5 日（水）17：00、結果発表は 4 月 6 日（木）22：00（予定）です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2023/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、西洋の文学、特に音楽とかかわりの深い作品を扱います。モーツァルトとサリエリのライヴァル関係を描いた演劇および映画『アマデウス』を軸に、モーツァルトの『フィガロの結婚』、『ドン・ジョヴァンニ』、サリエリの『タラール』といったオペラ、モリエールの『ドン・ジュアン』、ボーマルシェの『フィガロの結婚』などの戯曲を分析します。その次に、ミュージカルとして人気を博しているルルー原作の『オペラ座の怪人』を扱います。

【到達目標】

芸術作品を鑑賞しつつ、批評、分析し、それを表現する手法を学びます。

「文学」のようなものは「実用性がない」ように言われがちですが、「衣食足りて」「モノ」から「コト」へと消費が移ってきた現在において、さまざまな知識を身に着けることで、今後の職業生活に必要な「ネタ」を蓄え、さらには自ら探り当てる習慣を身に着けることは大切でしょう。

この授業を履修することで、出版、メディア、教育などの分野で働くうえで必要な基礎的な知識と表現力や探求力を身につけることができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教材や資料は学習支援システムに載せます。

秋学期には、イギリスの劇作家ピーター・シェファアの『アマデウス』を軸に、その中に登場するヨーロッパの 17 世紀から 18 世紀の文学作品、またそれにちなむ音楽作品を扱います。『アマデウス』は作者自身が脚色して映画化されて多くの人々に評価されたので、知っている方も多いことでしょう。まず、この作品の概要を見渡し、それからこの作品の中に登場する音楽、その原作となった文学作品を概観し、分析します。分析の方法論も学びます。

『オペラ座の怪人』は 20 世紀の初めにフランスのミステリー作家ガストン・ルルーによって発表された小説作品ですが、英語によるミュージカルで今では人気を博しています。美と醜、歴史的な建物に潜む謎など、ある意味では定番の数々のテーマを分析します。

各作品の鑑賞と分析が一区切りついた時点で、400 字ほどの書き物を学習支援システムの「課題」を通して出させていただきます。やはり学習支援システムを通じてお返しします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業の説明、 『アマデウス』とは	演劇と映画; 「神に愛されたる者」の物語

2	『アマデウス』 衝撃の出会い	モーツァルトとサリエリのライヴァル関係
3	『フィガロの結婚』 1 原作者はどんな人か オペラへの翻案	ボーマルシェの戯曲：政治的な意味合い ダ・ポンテの台本とモーツァルトのオペラ： 序曲と冒頭
4	『フィガロの結婚』 2 ケルビーノというトリックスター	「自分で自分がわからない」「もう飛ぶまいぞこの蝶々」 映画『アマデウス』におけるサリエリの行進曲の変奏
5	『フィガロの結婚』 3 『アマデウス』版と譜面	第 2 幕の最終場面の 7 重唱 結婚式の場面 第 3 幕の山場と急転換 第 4 幕のどんでん返し 最終場面
6	『タラール』とはどんな作品か	ボーマルシェ自身が台本を書いたサリエリのオペラは当時のお手本オペラ
7	ドン・ファン伝説 モリエールの『ドン・ジュアン』 1 唯物論者にして快楽主義者？	女たらしの伝説 無神論の誘惑者？ モリエールの演劇：フランス古典主義の時代 冒頭の場面 貧者との対話の場面
8	『ドン・ジュアン』 2 父親という法、掟	騎士隊長の像 亡霊 晩餐 最終場面
9	オペラ『ドン・ジョヴァンニ』 1 グロテスク：おぞましくも滑稽	ダ・ポンテの台本とモーツァルトのオペラ：序曲、 「女のリスト」
10	『ドン・ジョヴァンニ』 2 超自然をどう演出するか	村の娘の誘惑 騎士隊長の像
11	『ドン・ジョヴァンニ』 3 再び『アマデウス』 歴史上の謎をどう演出するか	晩餐 最終場面のさまざまな演出： 映画『アマデウス』版とロゼー版 精神分析：科学か 20 世紀の骨相学か 『アマデウス』の最終場面
12	『オペラ座の怪人』 1 これはオペラではない、オペラ劇場を舞台とした作品。	原作者のガストン・ルルーとは？ 小説『オペラ座の怪人』 2004 年の映画版ミュージカル
13	『オペラ座の怪人』 2 読み手／観客を惹きつける設定	ミュージカル： 人気スターと新進の歌手、 謎と恐怖
14	『オペラ座の怪人』 3 捕り物という定番クライマックスと余韻を残す最終場面	ミュージカル： 表の二枚目と裏のヒーロー

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

扱われる作品の原作をあらかじめ読んでおいて下さい。さらに AV ライブラリなどで借りて映像作品をみておくといいかと思います。ただし現在の状況ではそれなかなか難しいことだと考えられます。インターネットで視聴できるものは私のほうからも紹介しますが、皆さんも独自にいろいろ探してみてください。

1-2：原作の演劇を読む。

3-5：原作の演劇を読む。オペラ版を選んで視聴する。

6：サリエリについて調べる。

7-10：ドン・ファンの伝説について調べる。モリエールの『ドン・ジュアン』を読む。オペラ『ドン・ジョヴァンニ』を選んで視聴する。

11：モーツァルトの晩年について調べる。

12-14：原作の小説を読む。映画版、ミュージカル版を選んで視聴する。

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

**【テキスト（教科書）】**

指定した教科書はありません。学習支援システムの「教材」を通して資料などを配ります。

**【参考書】**

『大学生のためのレポート・論文術』小笠原喜康、講談社現代新書 1603.

『論文レポートの文章作法』古郡廷治、有斐閣新書 C164

『著作権とは何か』、福井建築、集英社新書 0924A

他にも随時紹介します。

**【成績評価の方法と基準】**

各作品の鑑賞と分析が一区切りついた時点で、400字ほどの書き物を学習支援システムの「課題」を通して出していただき、その評価の合計で成績を出します（100％）。

**【学生の意見等からの気づき】**

課題の趣旨が伝わりにくいことがあったようです。わかりやすく示すようにします。

**【その他の重要事項】**

教室の定員を超える受講希望者があった場合には抽選を行いますので「お知らせ」等をよく確認してください。

**【Outline (in English)】**

As in the spring semester, this course deals with occidental literature, especially works adapted for music.

The works dealt with during the fall term will be : "The Marriage of Figaro", "Tarare", "Don Giovanni" (opera works presented in Peter Shaffer's "Amadeus", which will be also treated in this course ); "Le Fantôme de l'opéra", one of the most popular musicals, originally written by a French novelist, Gaston Leroux.

Through this course students are expected to get knowledge to appreciate analytically and critically literary and musical works.

Students should read beforehand relevant works. They need also to submit an assignment after having studied each work, for which they must spend at least two hours.

Final grade will be calculated according to the total score of their assignments (100%).

LIT200LA

## 外国文学と文化 L C

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

日原 傳

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初心者に漢詩の実作を指導する授業です。最初に漢詩の中でも最も厳格な規則に基づく「近体詩」の作り方について解説します。その上で漢詩（七言絶句）の実作に挑み、「近体詩」の規則についての理解を深めます。実作の参考になるように、実作と並行して四季の風物を詠じた漢詩（歳時詩）を季節に沿って鑑賞します。

## 【到達目標】

- ・漢詩の読解・創作に必要な基本的知識の習得を目指す。
- ・近体詩の規則を理解し、それによって漢詩の実作をする。
- ・日本の古典文学の世界で大きな位置を占める「漢文学」の存在を再認識する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

開講時から3回ほどを使って、漢詩の歴史、さまざまな詩形、近体詩の規則について説明する。その後は漢詩の実作指導を中心に据える。実作の参考になるように、一回ごとに異なるテーマを設け、毎回数首の漢詩を鑑賞する。日本人の作った漢詩もできるだけ紹介したい。日本の先人が中国に起源をもつ「漢詩」という定型詩と取り組み、各自の思いを表現していったことを知ってほしい。

※第1回目の授業はオンラインで行ないます。

※第2回目以降は対面授業の予定ですが、状況によってオンライン授業に移行する可能性もあります。授業方法を変更する場合は、学習支援システムでその都度提示します。

※提出課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行ないます。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	漢詩の詩形、古体詩と近体詩、歳時詩について、／梅の詩鑑賞	漢詩の歴史、さまざまな詩形、古体詩と近体詩の説明。「歳時詩」「二十四節気」／林逋「山園小梅」などを鑑賞。
第2回	近体詩の規則①／桜の詩鑑賞	正岡子規「聞子規」を例に作詩法を解説。平仄図式・押韻の説明。／藤井竹外「芳野」などを鑑賞。
第3回	近体詩の格律②／春遊の詩鑑賞	二四不同二六対、反法・粘法の説明。／杜牧「江南春」、永井荷風「墨上春遊」などを鑑賞。
第4回	近体詩の格律③／晩春の詩鑑賞／実作指導	いくつかの禁忌（下三連、孤平、冒韻、同字の重複）について。／白居易「三月三十日題慈恩寺」、吳錫麒「送春」などを鑑賞。／実作（七言一句を作る）
第5回	ほととぎすの詩鑑賞／実作指導	杜甫「子規」、嵯峨波響「聞鶉」などを鑑賞。／実作

第6回	牡丹・薔薇・石榴の詩鑑賞／実作指導	皮日休「牡丹」、石川丈山「白牡丹」、高駢「山亭夏日」、柏木如亭「石榴」などを鑑賞。／実作
第7回	山行の詩鑑賞／実作指導	王安石「鍾山」、広瀬淡窓「彦山」などを鑑賞。／実作
第8回	梅雨の詩鑑賞／実作指導	趙師秀「約客」、篠崎小竹「梅雨」などを鑑賞。／実作
第9回	蓮の花の詩鑑賞／実作指導	白居易「池上」、菅茶山「夏日雜詩」などを鑑賞。／実作
第10回	螢・蟬・蠅・蚊の詩鑑賞／実作指導	杜甫「螢火」、北條霞亭「観螢」、蘇軾「溪陰堂」、韓愈「雜詩」などを鑑賞。／実作
第11回	苦熱・避暑・昼寝の詩鑑賞／実作指導	柳宗元「夏昼偶作」、袁枚「銷夏」、野田笛浦「昌平橋納涼」などを鑑賞。／実作
第12回	夏の江村・舟行・滝の詩鑑賞／実作指導	杜甫「江村」、李白「望廬山瀑布」などを鑑賞。／実作
第13回	夕立の詩鑑賞／実作指導	蘇軾「六月二十七日、望湖樓醉書」、大窪詩仏「急雨」などを鑑賞。／実作
第14回	授業の総まとめと期末試験	筆記試験、まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

漢詩関連の書籍を読み、漢詩に親しむ。  
本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

担当者作成の資料を配布する。

## 【参考書】

石川忠久『漢詩を作る』（大修館書店）  
石川忠久『漢詩の稽古』（大修館書店）  
石川忠久監修『漢詩創作のための詩語集』（大修館書店）  
鷲野正明『初めての漢詩創作』（白帝社）  
鈴木健一編『漢文のルール』（笠間書院）  
小川環樹『唐詩概説』（岩波文庫）  
前野直彬『唐詩選』全三冊（岩波文庫）  
村上哲見『三体詩』全四冊（朝日文庫）  
目加田誠『唐詩三百首』全三冊（平凡社）  
山田勝美『中国名詩鑑賞辞典』（角川書店）  
猪口篤志『日本漢詩鑑賞辞典』（角川書店）  
石川忠久『日本人の漢詩 風雅の過去へ』（大修館書店）  
石川忠久『漢詩をよむ 春の詩 100選』  
同 『漢詩をよむ 夏の詩 100選』  
同 『漢詩をよむ 秋の詩 100選』  
同 『漢詩をよむ 冬の詩 100選』（以上、NHK 出版）

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の取り組み姿勢・授業中に作って提出する漢詩の実作）50%  
期末試験またはそれに代わる最終レポート 50%

## 【学生の意見等からの気づき】

実作指導の時間を多くとれるように工夫する。

## 【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students acquire the necessary skills and knowledge needed to write Chinese poems. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Term-end examination (or Term-end report): 50%, Short reports: 50%

LIT200LA

## 外国文学と文化 L D

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

## 日原 傳

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

江戸時代に日本で刊行された『唐詩選画本』をテキストとして唐詩を読む。『唐詩選画本』は絵と詩の本文、その訓み下し文、日本語による解説文によって構成されている。はじめに『唐詩選画本』を含む唐詩のテキストについて概説する。以後は五言絶句から始めて徐々に長い詩に進むかたちで具体的な作品を鑑賞してゆく。「歳時詩」「辺塞詩」「閨怨詩」「唱酬詩」「詠物詩」「詠史詩」といった漢詩のテーマについても折をみて解説を加えるつもりである。なお、『唐詩選画本』の訓み下し文、解説文は「変体仮名」で記されているので、変体仮名を読む訓練にもなるであろう。

## 【到達目標】

- ・中国古典文学の基盤をなす考え方を知るとともに漢詩の読解に必要な基本的知識の習得を目指す。
- ・変体仮名に慣れる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

講義形式。第一回目の授業で、漢詩の歴史、さまざまな詩形、近体詩の規則について概説する。第二回目の授業では「変体仮名」について説明した上で、『唐詩選画本』の具体的な作品を鑑賞する。第三回目以降の授業は作品鑑賞が中心になる。日本の先人が中国に起源をもつ「漢詩」という定型詩をどのように読み解いていたかを具体的に知ってほしい。

※第 1 回目の授業はオンラインで行ないます。

※第 2 回目以降は対面授業の予定ですが、状況によってオンライン授業に移行する可能性もあります。授業方法を変更する場合は、学習支援システムでその都度提示します。

※提出課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行ないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】  
なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	漢詩の形式について	漢詩の形式の解説。『全唐詩』『三唐詩のテキストについて
	て	体詩』『唐詩選』『唐詩三百首』『唐詩選画本』等の説明。
第 2 回	鑑賞（五言絶句）	賀知章「題袁氏別業」
第 3 回	鑑賞（五言絶句）	駱賓王「易水送別」
第 4 回	鑑賞（五言絶句）	李白「静夜思」、王維「班婕妤」
第 5 回	鑑賞（七言絶句）	王勃「蜀中九日」
第 6 回	鑑賞（七言絶句）	王翰「涼州詞」
第 7 回	鑑賞（七言絶句）	李白「峨眉山月歌」、王昌齡「閨怨」
第 8 回	鑑賞（五言律詩）	杜甫「旅夜書懷」
第 9 回	鑑賞（五言律詩）	張謂「同王徵君洞庭有懷」
第 10 回	鑑賞（七言律詩）	崔顥「黃鶴樓」
第 11 回	鑑賞（五言古詩）	李白「子夜吳歌」
第 12 回	鑑賞（七言古詩）	杜甫「貧交行」
第 13 回	鑑賞（七言古詩）	劉廷芝「代悲白頭翁」

第 14 回 授業の総まとめと期末 筆記試験、まとめと解説試験

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

漢詩関連の書籍を読み、漢詩に親しむ。

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

担当者がプリントを用意する。

## 【参考書】

前野直彬注解『唐詩選』全三冊（岩波文庫）

村上哲見『三体詩』全四冊（朝日文庫）

目加田誠『唐詩三百首』全三冊（平凡社）

山田勝美『中国名詩鑑賞辞典』（角川書店）

猪口篤志『日本名詩鑑賞辞典』（角川書店）

小川環樹『唐詩概説』（岩波文庫）

石川忠久『漢詩をよむ 春の詩 100 選』

同 『漢詩をよむ 夏の詩 100 選』

同 『漢詩をよむ 秋の詩 100 選』

同 『漢詩をよむ 冬の詩 100 選』（以上、NHK 出版）

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の取り組み姿勢・授業支援システムを使って提出する課題）50 %

期末試験またはそれに代わる最終レポート 50 %

## 【学生の意見等からの気づき】

変体仮名を読む訓練の時間を多くとれるように工夫する。

## 【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students acquire the necessary skills and knowledge needed to appreciate Chinese poems. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Term-end examination (or Term-end report) : 50%, Short reports : 50%



LIT200LA

## 外国文学と文化 L E

2017 年度以降入学者

サブタイトル：イタリア・オペラに親しむ (1)

大崎 さやの

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：集中・その他/intensive・other courses

単位数：2 単位

定員制 (40 名)

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

オペラは 16 世紀末にイタリアで生まれた舞台芸術形式です。本講義では、イタリア・オペラの代表的な作品をとりあげ、さまざまな演出により上演された舞台を映像で鑑賞、オペラという舞台芸術の歴史を学びつつ、現代におけるあり方を考えます。日本では比較的馴染みが薄いオペラですが、特にイタリア・オペラはありふれた内容のものが多く、肩肘張って見るような難しいものでは決してありません。楽しみながらヨーロッパ文化の神髄であるオペラに親しんでいきましょう。

## 【到達目標】

イタリアの文化と社会について理解を深めることにより、ヨーロッパの文化や社会全般に関する教養を身につけることが本講義の目標です。さまざまな興味を持つみなさんの参加を期待しています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

オペラの誕生したルネサンスから 18 世紀までのオペラを講義形式で扱います。配布 PDF・音声ファイルの他、視聴覚教材を用います。また毎回課題を提出してもらいます。フィードバックは授業内で行います。

授業はオンデマンド方式で行います。

## 【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
①	イントロダクション	授業紹介 ルネサンスの舞台芸術
	(1)	ルネサンスと宮廷音楽劇
②	ルネサンスの舞台芸術	コンメディア・デッラルテとマドリガル・コメディ
	(2)	
③	オペラの誕生 (1)	カメラータ・フィオレンティーナとオペラの誕生、モンテヴェルディの生涯
④	オペラの誕生 (2)	モンテヴェルディ作曲、ストリッジョ台本のオペラ
⑤	バロック・オペラ (1)	ヴェネツィア・オペラとカストラートの隆盛
⑥	バロック・オペラ (2)	モンテヴェルディ作曲、プゼネッロ台本のオペラ
⑦	バロック・オペラ (3)	ヘンデルの生涯と作品
⑧	バロック・オペラ (4)	ヘンデル作曲、ハイム台本のオペラ
⑨	オペラ・ブッフアとオペラ・セーリア (1)	アルカーディア・アカデミーとオペラ
⑩	オペラ・ブッフアとオペラ・セーリア (2)	メタスタージオ台本、ヴィンチ作曲のオペラ

⑪	オペラ・セーリアの改革 (1)	グルックとカルツァーベージについて
⑫	オペラ・セーリアの改革 (2)	グルック作曲、カルツァーベージ台本のオペラ
⑬	オペラ・ブッフアとインテルメッツ	ベルゴレージ作曲のインテルメッツ
⑭	授業のまとめ	期末課題

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

GoogleClassroom で指示します。GoogleClassroom のコードは、授業支援システム (Hoppii) で指示します。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト (教科書)】

GoogleClassroom で資料を配布します。教科書は使用しません。

## 【参考書】

GoogleClassroom で紹介します。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 (期限内に提出された課題含む) (約 70 %) と期末課題 (約 30 %) により評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

わかりやすい授業をこころがけます。

## 【学生が準備すべき機器他】

パソコン、タブレット、スマートフォンのいずれか、インターネットに接続できる機器

【重要】対面授業のみの場合と異なり、課題のレポートを作成し、オンラインで提出するにあたり、ワード等のワープロ機能 (大学の Office 365 に入っています) を使用します。また、授業では映像を多用しますので、オンライン授業受講の際は通信容量が多く必要となります。

## 【Outline (in English)】

Opera is a performing art form born in Italy at the end of the sixteenth century. In this class, I will take up representative works of Italian opera and give a lecture on its history.

Instructions will be given in class or via GoogleClassroom; GoogleClassroom codes will be given via the class support system (Hoppii). The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Students will be graded on the basis of their normal scores (including assignments submitted on time) (70%) and the final assignment (30%).

LIT200LA

## 外国文学と文化 L F

2017 年度以降入学者

サブタイトル：イタリア・オペラに親しむ (2)

大崎 さやの

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：集中・その他/intensive・other courses

単位数：2 単位

定員制 (40 名)

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

オペラは 16 世紀末にイタリアで生まれた舞台芸術形式です。本講義では、イタリア・オペラの代表的な作品をとりあげ、さまざまな演出により上演された舞台を映像で鑑賞、オペラという舞台芸術の歴史を学びつつ、現代におけるあり方を考えます。外国文学と文化 F では、春学期の外国文学と文化 E に引き続き、19 世紀から 20 世紀にかけての爛熟期のイタリア・オペラを扱います。

## 【到達目標】

イタリアの文化と社会について理解を深めることにより、ヨーロッパの文化や社会全般に関する教養を身につけることが本講義の目標です。さまざまな興味を持つみなさんの参加を期待しています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業では 18 世紀から 20 世紀にかけてのイタリア・オペラを扱います。配布 PDF・音声ファイルの他、視聴覚教材を用います。また毎回課題を提出してもらいます。フィードバックは授業内で行います。授業はすべてオンデマンド方式で行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】  
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】  
なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
①	オペラ・ブッファ	18 世紀までのオペラの簡単な歴史とオペラ・ブッファについて
②	古典派オペラ (1)	モーツァルト作曲のオペラ (1) 生涯と作品 作品解説
③	古典派オペラ (2)	モーツァルト作曲のオペラ (2) 作品鑑賞
④	古典派オペラ (3)	モーツァルト作曲のオペラ (3) 作品解説
⑤	古典派オペラ (4)	モーツァルト作曲のオペラ (4) 作品鑑賞
⑥	ロマン派オペラ (3)	ロッシーニ作曲のオペラ (1) 生涯と作品 作品解説
⑦	ロマン派オペラ (4)	ロッシーニ作曲のオペラ (2) 作品鑑賞
⑧	ロマン派オペラ (5)	ドニゼッティ作曲のオペラ (1) 生涯と作品 作品解説
⑨	ロマン派オペラ (6)	ドニゼッティ作曲のオペラ (2) 作品鑑賞
⑩	ロマン派オペラ (7)	ヴェルディ作曲のオペラ (1) 生涯と作品
⑪	ロマン派オペラ (8)	ヴェルディ作曲のオペラ (2) 作品鑑賞
⑫	ロマン派オペラ (9)	ヴェルディ作曲のオペラ (3) 作品解説

⑬ 世紀末から 20 世紀に プッチーニ作曲のオペラ 作品鑑賞  
かけてのオペラ (2) 賞

⑭ 授業のまとめ 期末課題

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

GoogleClassroom で指示します。GoogleClassroom のコードは、授業支援システム (Hoppii) で指示します。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

GoogleClassroom で資料を配布します。教科書は使用しません。

【参考書】

GoogleClassroom で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (期限内に提出された課題含む) (70 %) と期末課題 (30 %) により評価します。

【学生の意見等からの気づき】

分かり易い授業を心がけます。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン、タブレット、スマートフォンのいずれか、インターネットに接続できる機器

【重要】対面授業のみの場合と異なり、課題のレポートを作成し、オンラインで提出するにあたり、ワード等のワープロ機能 (大学の Office 365 に入っています) を使用します。また、授業では映像を多用しますので、オンライン授業受講の際は通信容量が多く必要となります。

【Outline (in English)】

Opera is a performing art form born in Italy at the end of the sixteenth century. In this class, I will take up representative works of Italian opera and give a lecture on its history.

Instructions will be given in class or via GoogleClassroom; GoogleClassroom codes will be given via the class support system (Hoppii). The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Students will be graded on the basis of their normal scores (including assignments submitted on time) (about 70%) and the final assignment (about 30%).

LIT200LA

## 文学と社会 L A

2017 年度以降入学者

## 梶 裕史

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テーマ（副題）：日本文学と民俗

「民俗」（民間伝承）とは、ある地域社会、特定のコミュニティのごくふつうの人々の暮らしの中で集団的に形づくられ、時代を超えて伝えられてきた暮らしぶりや心の持ち方を指します。

「地域（ローカル）」の範囲は、小さくは一つの集落、大きくは世界（グローバル）の中の日本という「地域」といったように、さまざま設定できます。この授業では世界の中の日本、という視野のもと、こうした「民間伝承」を研究対象とする「民俗学」を採り入れた日本文学研究の世界を、『万葉集』『古事記』『日本書紀』『風土記』『古今和歌集』『源氏物語』等、主として上代・中古の文学の中から事例を選んで紹介します。民俗学的な日本文学研究とは、個々の作者・作品の個性や創意、時代性を超えて、現代の私たちの心の底にまで伝わっていると考えられるような集団的心性を、残された言語表現を通じて探ろうとするものである、といえるでしょう。このような性格のため、「個」（一作者や作品）の芸術性の追究といったことを期待する人には、不向きと思われるます。

## 【到達目標】

・一般的な文学研究に比べて、民俗学的に文学を見る方法の特色・意義を知り、視野を広げられること。

・科目名が示すように、人文科学と社会科学の融合領域を扱う分野に触れ、学際的なアプローチの一例を学べること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

教室での対面授業を基本とする、ふつうの講義形式です。（事情がある場合は、オンライン参加も可とします。）小説の構成に喩えれば、テーマに沿って2～3回で完結する例題を並べていく「短編小説集」のような構成と思って下さい。

気軽な質疑応答の時間や、（時々）リアクションペーパーにより感想を記す時間を十分に採り入れます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	民俗学的な日本文学研究について、概説
第 2 回	桜の文学と民俗（1）	季節感と古典文学との関わり、またその源流と考えられる民俗について
第 3 回	桜の文学と民俗（2）	前回の続きとまとめ
第 4 回	「女歌」の特色と源流（1）	男女の恋の贈答歌における女性の歌の特色と、その源と考えられる「歌垣」の習俗について
第 5 回	「女歌」の特色と源流（2）	前回の続きとまとめ
第 6 回	恋歌の虚構性	万葉集・額田王の蒲生野の恋歌を例に
第 7 回	古代女性の巫女的性格と文学（1）	古代女性の「神」に仕える役割と古典文学、歴史との関係：「代作歌人」、卑弥呼、神功皇后

第 8 回	古代女性の巫女的性格と文学（2）	前回の続き：采女、斎宮、大津皇子と大伯皇女、伊勢物語など
第 9 回	古代女性の巫女的性格と文学（3）	前回の続き：文学の女性像の表裏一体の二類型、逃げ回る花嫁、「いろごのみ」など／まとめ
第 10 回	「恋（こひ）」の生活と靈魂信仰（1）	「魂乞い」・名前の民俗ほか、和歌や物語から恋愛・結婚に関わる靈魂信仰（生命観）を探る
第 11 回	「恋（こひ）」の生活と靈魂信仰（2）	前回の続きとまとめ
第 12 回	「誕生」「成人」——年齢通過儀礼と文学（1）	昔の日本人にとっての「誕生」「成人」の意義と文学への反映
第 13 回	「誕生」「成人」——年齢通過儀礼と文学（2）	前回の続きとまとめ
第 14 回	総括と授業内試験	話してきた例題のポイントを振り返ったあと、まとめのテストを行う

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

古典文学に高校までの授業のイメージを持たずに、現代語訳でもいいので、日頃からその世界に親しんでほしいと思います。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

不要。学習支援システムに掲載するスライド教材を持って替えます。

## 【参考書】

授業の中で紹介します。

## 【成績評価の方法と基準】

期末試験 85 %。その他（質問や、時々行うリアクションペーパーの内容等）15 %

## 【学生の意見等からの気づき】

文章の説明入りのオンデマンド対応のスライド教材であるため、体調不良で教室授業に出られない場合でも自宅で自習できることへの評価がありました。

## 【学生が準備すべき機器他】

特になし

## 【その他の重要事項】

特になし

## 【Outline (in English)】

Theme: Japanese literature and folklore

"Folk" (folklore) refers to the way of life and mindset that has been collectively formed in the lives of ordinary people in a certain community or a specific community and has been passed down through the ages.

increase. The range of "region (local)" can be set in various ways, such as one village for small and Japan in the world (global) for large. In this class, from the perspective of Japan in the world, the world of Japanese literature research that incorporates "folklore" that targets such "folklore" will be discussed in "Manyoshu," "Kojiki," and "Nihonshoki." We will introduce examples mainly from the literature of the upper generation and used, such as "Fudoki," "Kokin Wakashū," and "Genji Monogatari". Folklore Japanese literature research transcends the individuality, creativity, and timeliness of individual authors and works, and is the bottom of our hearts today.

Folklore Japanese literature research leaves behind a collective spirit that is thought to be transmitted to the bottom of our hearts today, transcending the individuality, creativity, and timeliness of individual authors and works. It can be said that it is an attempt to explore through the linguistic expressions that have been made. Because of this personality, it seems unsuitable for those who expect to pursue the artistry of "individuals" (one author or work).

## Goal

This lecture aims at the following two goals

- Compared to general literary research, students can broaden your horizons by learning about the characteristics and significance of folklore-based methods of viewing literature.
- As the subject name indicates, students can learn an example of an interdisciplinary approach by touching on fields dealing with the integrated area of the humanities and social sciences.

Work to be done outside of class

The standard preparatory study and review time for this class is 2 hours each. I would like you to become familiar with the world on a daily basis, as you can use a modern translation without having the image of a class up to high school in classical literature.

Grading criteria

Final exam 85%. Others (questions, content of reaction papers sometimes asked, etc.) 15%

LIT200LA

## 文学と社会 L B

2017 年度以降入学者

## 梶 裕史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テーマ（副題）：日本文学と民俗

梶「文学と社会 LA」と同じです。ただし具体的な内容は「授業計画」に記す通り、異なります。A よりも「民俗」（＝民間伝承）の部分に重点を置いた内容になります。「文学」発生の母胎としての性格を未だによく保持しており、日本文学の「古代性」を考える上で重要なヒントになるとされる沖縄離島の祭事・信仰をクローズアップして紹介する回が多くなり、時間があればそれを材料に、伝統文化を活かした持続可能な地域形成に祭事や言語伝承が果たす役割なども考察したいと思っています。

## 【到達目標】

- ・一般的な文学研究に比べて、民俗学的に文学を見る方法の特色・意義を知り、視野を広げられること。
- ・科目名が示すように、人文科学と社会科学の融合領域を扱う分野に触れ、学際的なアプローチの一例を学べること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

教室での対面授業を基本とし、オンライン参加も可能にする予定の、ふつうの講義形式です。小説の構成に喩えれば、テーマに沿って2～3回で完結する例題を並べていく「短編小説集」のような構成と思って下さい。気軽な質疑応答の時間や、(時々)リアクションペーパーにより感想を記す時間を十分に採り入れます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	日本文学の民俗学的な見方について、概説
第 2 回	季節行事と文学（1）	具体例として、古典文学における七夕と、七夕関連行事・民俗について
第 3 回	季節行事と文学（2）	日本固有のタナバタ説話について／2回のみまとめ
第 4 回	古代文学に表現された異郷「妣（はは）の異郷」(1)	古事記の用例をめぐって、語の意味・由来、背景に考えられる民族移動・渡来の歴史など
第 5 回	古代文学に表現された異郷「妣（はは）の異郷」(2)	別視点：「異族結婚」が多かった時代の記憶の反映／2回のみまとめ
第 6 回	古代文学に表現された異郷「常世（とこよ）」(1)	万葉集・記紀・風土記などに見える用例（浦島伝説等）／明・暗両面性
第 7 回	古代文学に表現された異郷「常世（とこよ）」(2)	比較事例として、沖縄・奄美等の来訪神の祭事を紹介：「ニライカナイ」の心象
第 8 回	古代文学に表現された異郷「常世（とこよ）」(3)	明暗両面性の由来の考察（日本の「神」とは何か）—自然観・祖霊観念との関わりなど

第 9 回 古代文学に表現された トコヨからの来訪者／まとめ  
異郷「常世（とこよ）」(4)

第 10 回 「貴種流離譚」(1) 神（またはそれに近い高貴な存在）がさすらう物語の類型をめぐって

第 11 回 「貴種流離譚」(2) 古代的な生命観・靈魂信仰や異郷意識（他界観念）との関わり／2回のみまとめ

第 12 回 「神話」が生きる島 (1) 祭事・信仰などに古代的要素が残っている日本の離島の例を紹介前回の続き

第 13 回 「神話」が生きる島 (2)

第 14 回 総括の授業と授業内試験 話してきた例題のポイントを振り返ったあと、まとめのテストを行う

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

古典文学と「民俗」との関連を知ることをきっかけに、地域の伝統行事を見学することなども奨励します。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

不要。学習支援システムに掲載するスライド教材をもって替えます。

## 【参考書】

授業の中で紹介します。

## 【成績評価の方法と基準】

期末試験 85 %。その他（質問、リアクションペーパー等）15 %。

## 【学生の意見等からの気づき】

春学期の「LA」の授業と同様、文章の説明入りのオンデマンド対応のスライド教材であるため、体調不良で教室授業に出られない場合でも自宅で自習できることへの評価のほか、伝統祭事についての豊富な動画で実感を持たせたという声もありました。

## 【学生が準備すべき機器他】

特になし

## 【Outline (in English)】

Theme: Japanese literature and folklore

This class is same as "Literature and Society LA" by Kaji. However, the specific content is different as described in the "Class Plan". The content focuses on the "folk" (= folklore) part rather than A. A close-up introduction to the festivals and beliefs of the remote islands of Okinawa, which still retains the character of the mother of "literature" and is considered to be an important hint when considering the "ancientity" of Japanese literature. If I have more time, I would like to consider the role of festivals and linguistic tradition in the sustainable regional formation that make use of traditional culture.

## Goal

This lecture aims at the following two goals

- ・ Compared to general literary research, students can broaden your horizons by learning about the characteristics and significance of folklore-based methods of viewing literature.

- ・ As the subject name indicates, students can learn an example of an interdisciplinary approach by touching on fields dealing with the integrated area of the humanities and social sciences.

Work to be done outside of class

The standard preparatory study and review time for this class is 2 hours each. We also encourage you to visit traditional events in the area by learning about the relationship between classical literature and "folklore".

## Grading criteria

Final exam 85%. Others (questions, content of reaction papers sometimes asked, etc.) 15%

LIT200LA

## 文学と社会 L C

2017 年度以降入学者

サブタイトル：江戸の印刷・出版物

白戸 満喜子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では江戸時代の文学作品『御存商売物』を通読します。作品を通して江戸の出版文化の多様性に触れていきます。江戸という地域・時代に暮らした人々が手にしていた、読んでいた、眼にしていた、時には聴いていたさまざまなメディアを、実際に読んだり聴いたりすることで江戸を体感します。

## 【到達目標】

江戸時代の特徴的な文化や慣習・感覚をテキスト『御存商売物』を通じて理解することが目標。

くずし字（変体仮名）で書かれた簡単な出版・印刷物を判読できるようになることがもう一つの目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業は『御存商売物』という江戸時代の印刷・出版物を人物になぞらえた作品を通読しながら講義を行います。あわせて作品の中に登場人物として描かれている印刷・出版物を読解する演習形式を取り入れます。意匠絵本（デザイン集）・暦など、簡単な読み物の翻字（くずし字を現代仮名遣いにすること）のノウハウを解説します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	・江戸時代の文学について ・テキスト『御存商売物』について ・外国人から見た江戸
2	テキスト『御存商売物』の解説	・日本の書物 ・江戸後期の文学作品 ・江戸の出版
3	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の紋様 ・大坂と江戸
4	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の人気小説 ・江戸の食べ物
5	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の絵画 ・江戸時代までの紙 ・江戸の流行歌
6	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・「見立（みたて）」という表現 ・小道具と物語の関係 ・絵と文の関係を読み取る
7	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の慣習 ・江戸の街並み
8	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の繁華街「吉原」 ・浮世絵と鑑賞の基礎知識

- 9 テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解  
・現在と異なる暦  
・江戸の教養を支えた書物の読解
- 10 テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解  
・江戸の土産物  
・江戸時代の夫婦喧嘩の読解
- 11 テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解  
・江戸の占い  
・江戸のおまじないの読解
- 12 テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解  
・江戸の学問書  
・江戸時代の情報伝達の読解
- 13 テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解  
・江戸時代の流行り廃り  
・江戸の刑罰の読解
- 14 授業のまとめ  
・江戸時代の豊かな出版文化

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業中に随時、レポートに関する情報を話しますので、その情報を参考にしながら江戸に関する知識を広げて下さい。

くずし字の読解に必要な資料（配布プリント）は毎回持参し、授業前には一読しておくこと。くずし字読解の準備として2時間、復習に2時間、計4時間を必要とします。

## 【テキスト（教科書）】

授業中にプリントを配布します

## 【参考書】

くずし字読解のための参考文献は以下の2冊ですが、読解に必要なプリントは別途授業中に配布します。

- ・笠間影印叢刊行会『字かな』笠間書院
- ・松尾聡編『変体平仮名演習』笠間書院

## 【成績評価の方法と基準】

レポート 40 % 筆記試験（最後の授業時に一回） 40 % 平常点（授業への取り組み・発言） 20 % として評価します。

詳細は開講時にお知らせします。

## 【学生の意見等からの気づき】

「高校までは学んでこなかった、非常に興味深い内容だった」という感想が寄せられています。古典文学でもなく、現在の小説とも異なる、江戸の大人の娯楽と教養を『御存商売物』という作品を通じて楽しんで下さい。

## 【学生が準備すべき機器他】

授業における「AI くずし字認識アプリ」の使用を推奨しています。インストール可能な機器を使用してください。

## 【Outline (in English)】

In this class, we read through the literary work "Gozonji-no-shobaimono" in the Edo Period. Through the work we can touch on the diversity of Edo's publishing culture. You will experience Edo by actually reading and listening to various media that people were living in in the region & the era of Edo. Sometimes you can listen the audible media.

The main goal of this course is to understand the characteristic culture, customs, and sensations of the Edo period through the textbook "Gozonji-no-shobaimono".

Another goal is to be able to read simple publications and printed matter written in cursive script (Hentaigana).

Bring the materials (distributed prints) necessary for reading the cursive script every time, and read them before class. It takes 2 hours to prepare for reading comprehension and 2 hours to review, for a total of 4 hours.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Short reports 40 %, Term-end examination 40 %, in class contribution 20 %

LIT200LA

## 文学と社会 L D

2017 年度以降入学者

サブタイトル：江戸の絵入り本で読む百人一首

白戸 満喜子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

浮世絵が添えられた絵本『錦百人一首あづま織』（国立国会図書館所蔵）<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2533227> を受講生全員で分担し、読解・解釈をします。最近では競技としての知名度が上がってきた百人一首が、いつ、どのようにして成立し、また現在まで人々に愛されてきたのか。江戸時代の人々が楽しんだ百人一首を読み解き、和歌の解釈と描かれた歌人について学んでいきます。

## 【到達目標】

くずし字で書かれた和歌（ひらかなの部分とその字母）を判読し、解釈することが各受講生の目標です。

各自の担当する和歌について、1：字母を確認しながら翻字をする、2：解釈（意味や技法）する、という 2 点から考察・発表をし、『錦百人一首あづま織』という絵本の成立を理解し、和歌の知識を深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

はじめは百人一首と『錦百人一首あづま織』について講義を行います。その後は受講生がそれぞれ分担する和歌についての読解・解釈を順番に発表します。発表者以外はそれぞれの読解・解釈を準備しておき、発表内容に対して授業内掲示板で意見交換をします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	テキスト『錦百人一首あづま織』百人一首とは何かの発表順番決定
	くずし字読解の方法と解釈	
2	テキスト『錦百人一首あづま織』の構成について解説	テキストに関する講義
3	テキスト『錦百人一首あづま織』の読解方法	テキストの翻字・解釈の具体的な方法・内容
4	勅撰和歌集に関する講義 1 および受講者による発表 1 回目	・勅撰和歌集とは何か：八代集 ・担当者による発表
5	勅撰和歌集に関する講義 2 および受講者による発表 2 回目	・勅撰和歌集にまつわる逸話 ・担当者による発表
6	歌合に関する講義 1 および受講者による発表 3 回目	・歌合とは何か ・担当者による発表
7	歌合に関する講義 2 および受講者による発表 4 回目	・歌合に賭けた歌人たち ・担当者による発表
8	歌道に関する講義および受講者による発表 5 回目	・歌道とは何かー和歌の変化 ・担当者による発表

- 9 百人一首の中世写本に 関する講義および受講者による発表 6 回目
- 10 百人一首の近世写本に 関する講義および受講者による発表 7 回目
- 11 百人一首版本に関する 講義 1 および受講者による発表 8 回目
- 12 百人一首版本に関する 講義 2 および受講者による発表 9 回目
- 13 百人一首版本に関する 講義 3 および受講者による発表 1 0
- 14 テキスト『錦百人一首あづま織』のまとめ

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

履修者にはこちらから発表分担となる和歌を指定します。受講生は各自が分担する和歌の翻字と読解・解釈を指定日までに提出してください。分担以外の和歌については、それぞれ読解しておいてください。各自の読解に基づいて発表内容に対する意見交換をします。くずし字の読解に必要な資料（配布プリント）は毎回持参し、授業前には一読しておくこと。テキストのくずし字読解として 2 時間、授業で扱った和歌の字母確認・復習に 2 時間を毎回必要とします。

## 【テキスト（教科書）】

『錦百人一首あづま織』（国立国会図書館所蔵）<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2533227>

## 【参考書】

くずし字を読むための参考文献は以下の 2 冊ですが、読解用のプリントは教材にアップロードします。文学と社会 L C 既習者は同じプリントになります。  
・笠間影印叢刊行会『字典かな』笠間書院  
・松尾聡編『変体平仮名演習』笠間書院

## 【成績評価の方法と基準】

分担発表の内容 30 % 平常点（授業内での意見内容）40 % 期末レポート 30 % として評価します。分担する和歌の翻字と読解・解釈の未提出、発表内容に関する意見交換がない場合は評価対象となりません。

## 【学生の意見等からの気づき】

「江戸時代の文字を翻字すること、内容を読み解くこと、どちらも読解きのように楽しかった」という感想が寄せられています。くずし字の読解は、昔の日本人たちと時空を越えたコミュニケーションをするようなもの。語学習得に似ているものの、ひと味異なる独特の達成感を味わってください。

## 【学生が準備すべき機器他】

授業における「AI くずし字認識アプリ」の使用を推奨しています。インストール可能な機器を使用してください。

## 【その他の重要事項】

関連部分があるので文学と社会 L C を履修していることが望ましいものの、前向きな性格・柔軟な思考・気合などのどれかがあれば秋学期のみの履修も可能。

## 【Outline (in English)】

In this class, we read the original book of "Nishiki Hyakunin Isshu Azuma Ori" <https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2533227> with ukiyo-e. Hyakunin Isshu has been loved by people, and recently it has gained recognition as a sport. We will read Hyakunin Isshu which was made in the Edo period, and learn about the interpretation of waka and the singer drawn.

The main goal of this lesson is to read and interpret waka (the hirakana part and its character) written in cursive script. About the waka poems that each person is in charge of

- 1: Transliterate while checking the character
  - 2: Interpret (meaning and technique),
- We will consider and present from these two points, understand the formation of the text, and deepen our knowledge of waka.

Students will be assigned a waka poem to be shared by the instructor. Students are requested to submit the transliteration, reading comprehension, and interpretation of the waka poems that they share by the designated date. Please read each of the waka poems other than the division. We will exchange opinions on the content of the presentation based on each person's reading comprehension.

Bring the materials (distributed prints) necessary for reading the cursive script every time and read them before class. It takes 2 hours to read the text and 2 hours to check and review the waka characters used in the class.

Final grade will be calculated according to the following process  
Mid-term report (30 %), in-class contribution (40 %), and term-end examination (30 %)

However, if there is no transliteration of the shared waka poem, unsubmitted reading comprehension / interpretation, and no exchange of opinions regarding the content of the presentation, it will not be evaluated.



LIT200LA

## 文学と社会 L E

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

中澤 忠之

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

小説を読むとき、私たちはどんなところを重視するでしょう。たとえば、泣けるかどうかとか、感情移入できるかどうか、とかいったところでしょうか。実際、これまで中学校や高校の現国の授業では、主人公の心情を素直に読み取るトレーニングを受けてきたはずですが。しかし、小説の書き方・読み方は一様ではありません。この講義は、小説の書き方・読み方には多様性があることを知り（夏目漱石とライトノベルを優劣関係ではなく多様性の一つとして捉えること）、それを身に付ける土台作りとなるでしょう。そのためにはまず、小説の成り立ちをおさらいすることからはじめます。そして文学史にしたがって、小説の書き方・読み方が変化し、新たな書き方・読み方の発見が文学史を豊かに形成してきたことを確認します。戦前の文学史がメインですが、最近の文学史にも積極的にふれます。マンガや映画、美術など、文学に隣接するジャンルにもしばしば言及したい。

## 【到達目標】

創作物を単に主観的に受容するのではなく、対象化して評価する技術と教養を身に付け、作品受容の許容範囲が広がることを目指します。文学に関心がある学生はもちろん、ポップカルチャーやサブカルチャーのジャンルに関心がある学生も歓迎します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

配布する資料をもとに講義するスタイルです。

必要に応じてリアクションペーパーを書いてもらいます（3 回程度）。

【重要】初回のみオンライン授業（Zoom）とします。授業にエントリーするための URL は、Hoppii の「お知らせ」にて掲示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	講義の概要説明および導入。
第 2 回	現在の文学が置かれた状況	最近の文学事情を、他のジャンルとの関係から明らかにする。
第 3 回	文学作品の読み方	文学の仕組みを解説して、高校時代までの読み方を相対化する。
第 4 回	近代文学の誕生①	言文一致（いわゆる近代日本語）を中心に、近代文学が形になったプロセスを解説。 言文一致形成の全体像を確認する。
第 5 回	近代文学の誕生②	言文一致形成の初期（明治 10 から 20 年代）の状況を作品を参照しながら確認する。
第 6 回	近代文学の誕生③	言文一致形成の後期（明治 30 から 40 年代）の状況を作品を参照しながら確認する。

第 7 回	文学史第 1 期（明治 20～40 年の文学）	リアリズム（写実主義）は近代に確立した表現法だが、そのリアリズムが確立した時代の表現パターンを解説。
第 8 回	文学史第 2 期（大正時代の文学）	私小説がはやった時代の表現パターンを解説。文学における自己表現を問題にしたい。
第 9 回	文学史第 3 期（1920 年代）①	社会が大衆化したモダニズムの時代の表現パターンを解説。
第 10 回	文学史第 3 期（1920 年代）②	具体的な文学作品を参照する。
第 11 回	文学史第 4 期（1930 年代）①	文学表現が成熟した時代の表現パターンを解説。現代の表現とも関係させる。
第 12 回	文学史第 4 期（1930 年代）②	具体的な文学作品を参照する。
第 13 回	現在の文学との接点	過去の文学を参照することで現代文学の読み書きにいかに応用できるのかを考察する。
第 14 回	まとめと試験	これまでの講義の総括。今後の現代文学の読み方についても触れる。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

少しでも文学作品に触れてください。しかし闇雲に読むのではなく、ジャンルを意識しながら読むことをおすすめします。ジャンルが分からなければ、大きめの本屋に行って書棚がどういう配置になっているのか、どういう本が収まっているのかを確認してみるのもよいです。たとえば、映画をよく観る人は TSUTAYA の棚陳列がどういうジャンル区分に従っているのかよくわかっているはず。AKB48 のファンは、素人目には同じように見える顔が、それぞれ個性を持ち、ジャンル分けできることを知っているはず。文学も同じです。小説を全く読まない人は、まず『ノルウェイの森』（村上春樹）と『時をかける少女』（筒井康隆）と『涼宮ハルヒの憂鬱』（谷川流）の 3 冊を読み比べてみてください。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

随時プリントを配布します。

## 【参考書】

なし。

## 【成績評価の方法と基準】

最後の試験が評価の主要な対象となります。3 回予定のリアクションペーパー（400 字程度）も評価したい。評価の割合は最後の試験が 70 %、リアクションペーパーを 30 %とします。

## 【学生の意見等からの気づき】

基本的に口述と板書が多いので、「授業の概要を示すプリントがあればよい」という意見がありました。重要なポイントとなるころではプリントで示すことも考慮に入れようと思います。

## 【Outline (in English)】

## 【Course outline and Learning objectives】

This lecture aims to give techniques and cultures to read novels, using the work of modern Japanese literature.

How to write and read novels is not single. In this lecture, you can learn that diversity exists in how to write and read novels. Let's begin by reviewing the origins of the novel. And according to the history of literature, We confirm that the way of writing and reading the novel has changed.

## 【Learning activities outside of classroom】

Please read even a little literary work. I recommend reading while being aware of the genre. If you don't know the genre, check the shelves in the bookstore.

## 【Grading Criteria / Policy】

The final report is the main subject of evaluation. I also want to evaluate the short reports (about 400 characters) for each session. The evaluation rate is 70% for the final report and 30% for short reports.

LIT200LA

## 文学と社会 L F

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

中澤 忠之

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2023 年 4 月 3 日 (月) 10 : 00~5 日 (水) 17 : 00、結果発表は 4 月 6 日 (木) 22 : 00 (予定) です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2023/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

普段何気なく読んでいる小説が、きわめて政治的で社会的なものであるということ考えたことがあるでしょうか。文学作品は、人畜無害な単なるフィクションではありません。ときに世の中の差別や偏見を生み出し助長するものであり、特定の個人や集団を傷つけるものでもあります。あるいはまた、社会秩序を乱すとして批判される過激な暴力や性表現も無視できないでしょう。もちろんその一方で、社会の差別や偏見と戦ってきた歴史も、文学にはあります。文学作品における、こういった政治的かつ社会的な側面を、本講義では取り上げます。素材は性表現と差別表現がメインです。メディア環境が激変している昨今の事情に対応させて、取り上げる表現は文学のみならず、映画やマンガなど多岐にわたる予定です。現在進行形の話も積極的に扱います。

## 【到達目標】

これまでなんとなくイメージしてきた表現の自由や表現の暴力性といった概念を、法規制や表現史を通して具体的に捉えられる教養の獲得を到達目標とします。文学に関心がある学生のみならず、法律等社会の制度設計に関心のある学生も歓迎します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

配布する資料をもとに講義するスタイルです。必要に応じてリアクションペーパーを書いてもらいます (3 回程度)。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】  
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】  
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	講義の概要説明および導入。
第 2 回	文学が置かれた社会状況	表現規制の最近の動向を解説。
第 3 回	性表現・暴力表現と規制①	性・暴力表現とその規制の歴史を振り返る。
第 4 回	性表現・暴力表現と規制②	「わいせつ罪」を中心に、現代社会における性・暴力表現を考える。
第 5 回	性表現・暴力表現と規制③	「青少年保護」を中心に、現代社会における性・暴力表現を考える。
第 6 回	性表現・暴力表現と規制④	「児童ポルノ」を中心に、現代社会における性・暴力表現を考える。
第 7 回	性表現・暴力表現と規制⑤	ネット社会における性・暴力表現について解説する。
第 8 回	差別表現と規制①	差別表現とその規制の概要を解説する。
第 9 回	差別表現と規制②	差別の仕組みを知るために、具体的な作品を参照する。

第 10 回	差別表現と規制③	戦後の日本における差別の歴史を振り返る。
第 11 回	差別表現と規制④	差別には複数のパターンがあるので、それらを分節化して解説する。
第 12 回	差別表現と規制⑤	差別表現とその規制の現在。特にネット社会における差別表現 (Metoo 運動など) を考える。
第 13 回	差別表現と規制⑥	最近話題になる嫌韓・嫌中のな「ヘイトスピーチ」について考察する。
第 14 回	まとめと試験	これまでの講義の総括。表現の自由とその規制の社会的バランスを考える。 また、補足として、著作権やプライバシーの問題から表現の社会性をにも言及したい。

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

まず何より活字や映像作品に触れてください。そして、表現規制の話題は常時ニュースになるので、そのつど気にかけて、新聞やウェブでの議論に触れてほしい。たとえば、昨今話題になっている性表現なり差別表現に対する規制強化の動き、あるいはネット上で盛んに行われている著作物の無断コピーや二次創作等について考えてみるのもよいでしょう。ここ数年は、美術家の性的な表現物がわいせつ罪に問われたり、また差別的なヘイトスピーチがメディアで盛んに取り扱われています。文学作品にとらわれず、こういった表現にかかわる社会的問題に注目してください。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト (教科書)】

随時プリントを配布します。

## 【参考書】

なし。

## 【成績評価の方法と基準】

最後の試験が評価の主要な対象となります。3 回予定のリアクションペーパー (400 字程度) も評価したい。評価の割合は最後の試験が 70 %、リアクションペーパーを 30 % とします。

## 【学生の意見等からの気づき】

基本的に口述と板書が多いので、「授業の概要を示すプリントがあればよい」という意見がありました。重要なポイントとなるところではプリントで示すことも考慮に入れようと思います。映像を積極的に導入し、時事的な話題も取り入れました。

## 【Outline (in English)】

## 【Course outline】 【Learning objectives】

The novel has a very political and social part. Literary works are not mere fiction. They sometimes produce discrimination and prejudice of the world, and they also hurt certain individuals and groups. Or you can not ignore radical violence or sexual expression that is criticized as disturbing the social order.

On the other hand, literature also has a history of fighting social discrimination and prejudice. This lecture will cover these political and social aspects of literary works. Sexual expression and discrimination are the main material.

Our goal is to acquire a culture that allows us to understand topics such as freedom of expression and violence of expression through legal regulations and the history of expression.

## 【Learning activities outside of classroom】

Please contact literary works and video works. And since the topic of freedom of expression and expression regulation is always news, please contact the discussion in newspapers and the web.

## 【Grading Criteria /Policy】

The final report is the main subject of evaluation. I also want to evaluate the short reports (about 400 characters) for each session. The evaluation rate is 70% for the final report and 30% for short reports.

LIT200LA

## 日本文学と文化 LG

2017 年度以降入学者

サブタイトル：新海誠の文学世界

## 榎本 正樹

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2023 年 4 月 3 日（月）10：00～5 日（水）17：00、結果発表は 4 月 6 日（木）22：00（予定）です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2023/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

新海誠監督のアニメーション映画『君の名は。』（2016 年）は、アニメーション界や映画界を超えた近年の日本映画最大のヒット作品として、多くの観客の支持と共感をえました。国内観客動員数 1,900 万人を突破、興行収入 250 億円を超える大ヒットとなり、邦画興行収入歴代 3 位、アジア圏では 7 冠達成を記録し、日本のみならず世界各国の記録を塗り替えました。

2019 年には『天気の子』、2022 年には最新作『すずめの戸締まり』が封切られ、アニメファンだけでなく多くの観客に迎え入れられました。

新海誠というクリエイターの名前を、『君の名は。』で初めて知った人が多いかもしれませんが、新海監督のキャリアは 2000 年代初頭にまで遡ることができます。新海作品の根底にあるのは「言葉」に重きを置いた世界造形、言い換えれば「文学」への強い視線です。人と人の繊細なコミュニケーションを、精緻な言葉と独自の映像美学によって表現するその姿勢は、「アニメーションという表現手段を用いた文学」と形容可能なものです。アニメーションというジャンルの枠を越えた同時代の重要な表現者として、新海誠という存在をとりえ直す必要があります。

新海誠は「アニメーション監督」であるとともに「小説家」でもあります。新海は自身の手で代表作のノベライズ（小説化）を手がけていますが、それらは単に映像作品を言葉に置き換えたものではなく、小説作品として自立しています。同一の作者の手による映画と小説を比較検討することで、映像表現と小説表現の違いを検証することが可能です。

本講義では、新海誠の初期作品から最新作まで入手可能な映像作品を参観しつつ、「新海誠の文学世界」を紐解いていきます。国民的アニメーション作家としての地位を築きつつある、同時代の先端的な表現者である新海誠の主要作品を「網羅的に」観賞し、かつ「分析的」に解説する経験を通して、作品批評のための技術を獲得します。

## 【到達目標】

映像作品であるアニメーションをシーンごとに分析的に解説する技術を身に付け、アニメ固有の表現方法や仕掛けや物語構造などについて、自分の力で読み解き、論述できるレベルを目指します。関連資料を参照し、他者の意見やコメントに目を通し、作品のモデルとなった場所に実際に赴くことで、作品の背景にある文化的、社会的、歴史的、地理的背景について深く学び、作品を客観的に論じる力を得ます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業はプレゼンテーションと講義を合わせた形で行います。新海誠監督作品を初期から最新作まで観賞し（時間的な制約から一部となります）、重要なシーンについて解説と分析を加えていきます。アニメーションで重要なのは、シーンを構成する一つひとつのカットです。カットにはクリエイターの「世界そのものへの純粋な視線」が投影されています。

もう一つ重要なのは、言葉（ナレーション、モノログ、対話）です。本授業では新海作品の言葉の要素に特に注目し、物語の中で言葉がどのように作用し、コミュニケーションの主題を提示していくのかを細かく見ていきます。

さらに新海監督自身の言葉、関連資料の紹介や他の論者の考察など、作品をめぐる多様な言説を紹介する機会も設けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	新海誠、その人と作品について
2	『遠い世界』『彼女と彼女の猫』	最初期作品を概観する
3	『ほしのこえ』	物理的な「距離」と精神的な「距離」
4	『雲のむこう、約束の場所』	装置としての SF
5	『秒速 5 センチメートル』	風景と速度をめぐる物語
6	『星を追う子ども』前半	「物語」への接近
7	『星を追う子ども』後半	異界への移動と帰還
8	『言の葉の庭』	映像美学を支える文学性
9	『君の名は。』前半	「入れ替わり」と「すれ違い」の趣向
10	『君の名は。』後半	「共苦」する魂のゆくえ
11	『天気の子』前半	人身御供譚としての構成
12	『天気の子』後半	「規範」を逸脱するということ
13	『すずめの戸締まり』前半	移動と出会いの物語
14	『すずめの戸締まり』後半	震災アニメとしての評価

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

アニメーションを観たり小説を読む際に、受動的に観賞するのではなく、物語の細部について自分の言葉で客観的に書いたり話したりする習慣をつけましょう。授業で取りあげる映像作品や小説を繰り返し観たり読んだりして、その中で得た「気づき」をメモにとったり、疑問点や重要なポイントと思われる箇所についてまとめる作業を随時行ってください。

機会があれば、作品の中に登場する場所に赴く「聖地巡礼」に挑戦してみてください。なぜその場所が選ばれたのか、その場所が物語の各シーンでどのような意味を与えられているのか、体験的に学習してください。本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

榎本正樹『新海誠の世界 時空を超えて響きあう魂のゆくえ』（KADOKAWA、2021 年）

## 【参考書】

授業で扱う新海誠のノベライズ作品は参考書とします。必要に応じて、個人で入手してください。『小説 秒速 5 センチメートル』『小説 言の葉の庭』『小説 君の名は。』『小説 天気の子』『小説 すずめの戸締まり』とも（以下リンク参照）、角川文庫で入手可能です（電子書籍版もあります）。

<http://www.kadokawa.co.jp/product/321510000146/>

<http://www.kadokawa.co.jp/product/321510000145/>

<http://www.kadokawa.co.jp/product/321603000121/>

<https://www.kadokawa.co.jp/product/321903000333/>

<https://www.kadokawa.co.jp/product/322203001170/>

その他の参考書・参考文献や参考サイトは別途指示します。

## 【成績評価の方法と基準】

レポートで評価します（100%）。

試験や小テストはありません。

レポートのテーマは、「授業で取りあげた新海監督作品の中から、一作品または複数の作品を選び、作品論を展開する」というものです。授業内容を踏まえ、自分が選んだ作品について、自分で設定したテーマに基づき、自分の言葉で論を展開してください。

分析の鋭さ、考察の深さ、文章の正確さ、構成の巧みさなどを中心に採点します。詳細は、初回のガイダンス授業時に説明します。

## 【学生の意見等からの気づき】

専門用語など難易度が高いタームの使用を控え、初級者にも理解しやすい授業を心がけます。

可能な限り映像作品を観る機会を増やします。

## 【その他の重要事項】

アニメーションや現代日本文学、同時代の表現に関心をもつ学生の履修を歓迎します。

榎本のプロフィールや研究・評論活動は、サイト (<http://enmt.jp>) で確認できます。ツイッター (@enmt) での情報発信も行っていますので、履修時の参考にしてください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Shinkai Makoto is Japanese animation director. His animation film is highly acclaimed not only in Japan but also overseas. In 2019, his latest work "Weathering With You" was released. And a new film "Suzume no Tojimari" was released last year. I decode Shinkai's all animation works from various viewpoints.

**[Learning Objectives]**

The goal of this course is for students to acquire the skills to analytically decipher Makoto Shinkai animations as a visual works, scene by scene, and to be able to discuss in their own words the unique expression methods and narrative structure of animation.

**[Learning activities outside of classroom]**

When watching animations or reading novels, develop the habit of objectively writing and talking about the details of the story in your own words, rather than just passively watching the film or reading the novel. Your study time will be more than four hours for a class.

**[Grading Criteria /Policy]**

Grade will be based on reports 100%.

There will be no examinations.

The theme of the report is "Select one or more of Shinkai's works discussed in class and wrapping up the report". Based on the content of the class, develop your own argument in your own words about the work you have chosen, based on the theme you have set for yourself.

LIT200LA

## 日本文学と文化 LH

2017 年度以降入学者

サブタイトル：現代日本文学と映像表現

## 榎本 正樹

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2023 年 4 月 3 日（月）10：00～5 日（水）17：00、結果発表は 4 月 6 日（木）22：00（予定）です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2023/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代日本文学を原作として映画化された作品の一部を解説を加えながら観賞し、原作小説を講読します。2022 年に劇場公開された以下の作品から 6 作品を選んで取り上げる予定です。

小説（文学表現）と映画（映像表現）を比較対照し、分析を行うことで、言葉と映像それぞれのメディア固有の表現方法について考えを深めるとともに、「文学固有の表現とは何か？」という視点から小説を解説する力の獲得を目指します。

風良ゆう『流浪の月』（李相日監督）

辻村深月『ハケンアニメ！』（吉野耕平監督）

今村夏子『こちらあみ子』（森井勇佑監督）

東野圭吾『沈黙のパレード』（西谷弘監督）

平野啓一郎『ある男』（石川慶監督）

湊かなえ『母性』（廣木隆一監督）

佐藤正午『月の満ち欠け』（廣木隆一監督）

辻村深月『かがみの狐城』（原恵一監督）

\*劇場公開順。作品は変更の可能性があります。

## 【到達目標】

現代日本文学を代表する多様なジャンルの小説を読む経験を重ねることで、複雑な言語構成体としてのテキストから様々な要素を抽出し、整理し、分析し、自分の言葉で批評的に表現することができるようになります。

加えて、個人、社会、性、生、死、ジェンダー、家族、事件、歴史などの諸問題について思考する力を養います。言語表現と映像表現を比較対照することで、メディア固有の表現やメディア間の相互接続性についても理解を深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

講義形式をとります。原作小説を精読し、作品分析を行った後、映画の一部を解説を加えながら観賞します。映像メディアである映画と言語メディアである小説を比較検討することによって、情報提示、叙述、人物設定、構成など、表現上の相違点を明らかにしていきます。

履修者には、現代日本文学の多様な表現世界や作品固有の表現に触れ、作品について深く思考し、考えをまとめ、批評的な言葉でアウトプットする力が求められます。小説を事前に読んでいなくても理解できる形で授業を進めていきますが、取り上げる作品はすべて文庫化されていますので、事前に読んで上で授業に臨む形がベストです。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	ガイダンス授業
2	原作小説の講読 (1)	小説の講読・分析・考察
3	映画観賞 (1)	原作の映画鑑賞と解説・考察
4	原作小説の講読 (2)	小説の講読・分析・考察
5	映画観賞 (2)	原作の映画鑑賞と解説・考察

6	原作小説の講読 (3)	小説の講読・分析・考察
7	映画観賞 (3)	原作の映画鑑賞と解説・考察
8	原作小説の講読 (4)	小説の講読・分析・考察
9	映画観賞 (4)	原作の映画鑑賞と解説・考察
10	原作小説の講読 (5)	小説の講読・分析・考察
11	映画観賞 (5)	原作の映画鑑賞と解説・考察
12	原作小説の講読 (6)	小説の講読・分析・考察
13	映画観賞 (6)	原作の映画鑑賞と解説・考察
14	秋学期授業のまとめ	秋学期授業のまとめと、レポート提出について

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に原作小説を読んでいなくても理解できる形で授業を進めていきますが、物語内容や人物関係を把握する上でも、小説を読んで授業に臨むのがベストです。授業で取りあげた小説や映像作品は、授業外の環境で、もう一度読み直し観賞し直すことで、作品の理解を深めるよう努めてください。

レポート提出のための事前準備として、対象作品を精読し、その中で得た「気づき」をメモにとったり、疑問点や重要なポイントと思われる箇所についてまとめる作業を随時行ってください。

本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

授業で扱う予定の以下の文庫本。

- ・風良ゆう『流浪の月』（創元文芸文庫）
- ・辻村深月『ハケンアニメ！』（マガジンハウス文庫）
- ・今村夏子『こちらあみ子』（ちくま文庫）
- ・東野圭吾『沈黙のパレード』（文春文庫）
- ・平野啓一郎『ある男』（文春文庫）
- ・湊かなえ『母性』（新潮文庫）
- ・佐藤正午『月の満ち欠け』（岩波文庫）
- ・辻村深月『かがみの狐城』（ポプラ文庫）

## 【参考書】

参考書・参考文献は、教室で指示します。

必要な資料はプリントで配付します。

## 【成績評価の方法と基準】

レポートで評価します（100 %）。

試験や小テストはありません。

レポートのテーマは、「授業でとりあげた小説の中から一作品を選び、作品論を展開する」というものです。授業内容を踏まえ、自分が選んだ小説について、自分で設定したテーマに基づき、自分の言葉で「論」を展開してください。

分析の鋭さ、考察の深さ、文章の正確さ、構成の巧みさなどを見て採点します。詳細は、初回のガイダンス授業時に説明します。

## 【学生の意見等からの気づき】

専門科目ではないので、現代日本文学になじみのない学生にも分かりやすい言葉で、分析と解説を行うよう心がけます。

## 【その他の重要事項】

現代日本文学のみならず、映像メディアに関心をもつ学生の履修を歓迎します。

榎本のプロフィールや研究・評論活動は、サイト (<http://enmt.jp>) で確認できます。ツイッター (@enmt) での情報発信も行っていますので、履修時の参考にしてください。

## 【Outline (in English)】

## 【Course outline】

We read the original novel after having watched movie works that following as "Contemporary Japanese literature". I select from the following 6 works in 2022.

We compare movie expression with the literature expression including the same story contents, we are analyzing peculiar expressin words and movies.

## 【Learning Objectives】

We will read through the original novels after watching films based on contemporary Japanese literature. We plan to highlight the following 6 titles after carefully selecting from the works released in 2022.

By comparing and analyzing literary expressions and visual expressions of the same story events, we will deepen our thoughts about specific expressions and techniques of the book and film media. Our aim to acquire the ability to read novels from the perspective of what is literature-specific expression.

## 【Learning activities outside of classroom】

Although the class will be conducted in a manner that can be understood without having read the original novel beforehand, it is best to read the novel in order to grasp the content of the story and the relationships between the characters. Students are encouraged to re-read and re-watch the novels and films discussed in class outside of class to deepen their understanding of the works. Your study time will be more than four hours for a class.

**[Grading Criteria /Policy]**

Grade will be based on reports 100%.

There will be no examinations.

The theme of the report is "Select one of the novels discussed in class and wrapping up the report". Based on the content of the class, develop a "theory" in your own words about the novel you have chosen, based on the theme you have set for yourself.

LIN200LA

**音声学Ⅰ**

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

副島 健作

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 1/Wed.1

単位数：2 単位

定員制

その他属性：〈優〉

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

「言語」は、音声の形式という表現面と意味の形式という内容面が結びついた言語記号が単位であるようなシステムであり、このシステムの解明を対象とする学問分野は「言語学」と呼ばれています。この「言語」の表現面である「音声を使ったコミュニケーション」のあらゆる側面を研究するのが音の科学、すなわち「音声学」です。

音そのものがある特定のイメージを喚起する現象を「音象徴」といいます。この授業では、音象徴という現象を題材に、「音声学」をできるだけ分かりやすく解説することを目指します。

**【到達目標】**

1. ヒトが音声を使って話すときに何が起きているか、個々の音（子音・母音）とその連続を発音するしくみを理解する。
2. 音がどのような音響振動として現れるか、阻害音、共鳴音、圧力変化などの概念から理解する。
3. 音象徴の例を通して、母音や濁音の調音と音響を理解する。
4. 身近な音象徴の例を自ら発見し、分析する方法を身につける。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

まず「言語学」は言語をどういふものとして見ているかを概説し、表現面の形式である「音韻」が実質である「音声」によって実現されているという発想に慣れ、「音象徴」と呼ばれる現象の分析に入ります。具体的には、音声がある振る舞いをする時に「なぜそのような振る舞いをするのか」を、音声学で必要になる概念や道具立てを使って分析・研究・理解していきます。

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**  
あり/Yes

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**  
なし/No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入 1	言語とは
2	導入 2	音声とは
3	優しい音、ツンツンした音	どこでどのように発音するか
4	阻害音、共鳴音、圧力変化	阻害音、共鳴音の物理学的な定義
5	大きな音、小さい音	聞き取ってみる 調音してみる
6	母音の調音と音響	母音の発音の仕方と「大きさのイメージ」
7	濁音と向かい合う	聞き取ってみる 調音してみる
8	濁音の調音と音響	母音の発音の仕方と「大きい」イメージ
9	その他の音象徴	音象徴の具体例の「音声学」の概念による理解
10	音象徴研究の実際	音象徴研究の例

11	音象徴・音声学とその関連分野	より広い視点から音象徴・音声学を考える
12	気になる音象徴についての発表 1	受講生が自ら音象徴について調べたことを発表 1
13	気になる音象徴についての発表 2	受講生が自ら音象徴について調べたことを発表 2
14	最終試験	試験・まとめと解説

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

音声学はスポーツと同じです。できない発音があっても、訓練すればだれでもできるようになります。発音するしくみを理解し、再現できるように努めてください。

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

**【テキスト（教科書）】**

決まったテキストを使う予定はありません。

**【参考書】**

川原繁人 (2017) 『「あ」は「い」より大きい!?』 ひつじ書房

川原繁人 (2018) 『ビジュアル発音が』 三省堂

J.C. キャットフォード, 竹林滋 ほか (訳) (2006) 『実践音声学入門』 大修館書店

国際音声学会 (編), 竹林滋・神山孝夫 (訳) (2003) 『国際音声記号ガイドブック-国際音声学会案内-』 大修館書店

**【成績評価の方法と基準】**

課題：20%

平常点：20%

発表：20%

期末試験：40%で評価します。

**【学生の意見等からの気づき】**

特になし。

**【Outline (in English)】**

**【Course outline】**

Language is a system of linguistic symbols that combines the expressive aspect of the form of speech with the content aspect of the form of meaning. The academic field that focuses on the clarification of this system is called "linguistics". The science of sound, or phonetics, studies all aspects of communication using speech, the expressive aspect of language.

The phenomenon in which sound itself evokes a certain image is called "sound symbolism". In this class, we aim to explain phonetics as clearly as possible using the phenomenon of sound symbolism as a subject.

**【Learning Objectives】**

By the end of the course, students should be able to do the followings:

1. To understand what happens when humans speak using speech sounds, and how individual sounds (consonants and vowels) and their sequences are pronounced.
2. To understand how sounds appear as acoustic vibrations, based on concepts such as inhibitory sounds, resonant sounds, and pressure changes.
3. To understand the articulation and acoustics of vowels and murmurs through examples of sound symbols.
4. To learn how to discover and analyze examples of familiar sound symbols.

**【Learning activities outside of classroom】**

Phonetics is just like sports. Even if you can't pronounce something, you can learn to do it with practice. Please try to understand the mechanism of pronunciation and try to reproduce it.

The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

**【Grading Criteria / Policy】**

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 50%, Assignments : 30%, in class contribution: 20%

PHL200LA

## 哲学 L I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

大西 正人

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 5/Tue.5

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

哲学の基本的性格と歴史と基本問題を概観します。この概観によって、教養知の原理を理解し、現代人が直面する諸問題を、広くて新しい視野から考え、解決すること目的とします。特にこの I の講義は、人間とは何か、その本質に迫ろうとする哲学的人間論です。新技術の開発などによってこれまで考えられもしなかった人間の新しいあり方について選択と決断を迫られる現代においてこそ、人間らしさとは何かが切実に問われます。なお、日本の哲学や 20 世紀以降の思想にも焦点を当てます。

## 【到達目標】

基本的性格と歴史と基本問題の探究を通して教養知の原理としての哲学を理解できるようにします。到達目標は、受講生が実際に名著の思想世界に触れてみる体験をし、またその体験を表現できるようにすることです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

講義形式により進めます。一人の思想家ごとに、その作品を二三週間に分けて集中的に読みます。毎週授業後、その回の内容について問うグーグルフォーム上の小テストを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	哲学とは？
2	プラトン (1)	「アイデアの萌芽」としての人間存在
3	プラトン (2)	『饗宴』アリストファネスの話
4	プラトン (3)	『饗宴』ソクラテスの話
5	西田幾多郎 (1)	『善の研究』-『知即愛』の命題
6	西田幾多郎 (2)	「主客合一」としての人間存在
7	和辻哲郎 (1)	『倫理学』-「問柄」としての人間存在
8	和辻哲郎 (2)	「矛盾的统一」としての人間存在
9	和辻哲郎 (3)	『風土』-「風土」のうちに己を見出す人間存在
10	和辻哲郎 (4)	主体としての風土
11	ブーバー (1)	『我と汝』
12	ブーバー (2)	「汝」としての世界
13	ブーバー (3)	「本質行為」としての人間
14	まとめ	ふりかえり

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講義で取り上げられ、その一部が教材プリントとして授業内でも配布される下記の文献は、すべて岩波文庫で入手できるので、学生は、授業計画に合わせてこれらの文献を読むことが推奨される。プラトン『饗宴』、西田幾多郎『善の研究』、和辻哲郎『倫理学』(一)、和辻哲郎『風土』、マルティン・ブーバー『我と汝・対話』

本授業の準備・復習として、返却された前回の小テストの模範解答をチェックし、間違えた個所があればその点を中心にノートやプリントを振り返り、特に疑問などは次の時間に質問できるようにしておくこと。

復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

こちらでプリントを用意します。

## 【参考書】

授業中に指示します。

## 【成績評価の方法と基準】

原則、授業後に行われる上記小テストの合計点 100 % で評価。

## 【学生の意見等からの気づき】

毎回行っている前回小テストの解説を工夫し、これまでの復習や定着がより効率的にできるようにしたい。

## 【学生が準備すべき機器他】

グーグルフォーム上の小テストを受けるためのデバイス。PC が望ましい。

## 【その他の重要事項】

ノートをとることが大切です。

## 【Outline (in English)】

This lecture is a philosophical human theory trying to think about human nature. In modern times where we are forced to make choices and decisions about the new way of human beings that we have never considered before, such as through the development of new technologies, something is being deeply questioned about humanness. We will also focus on Japanese philosophy and ideas after the 20th century.



PHL200LA

## 哲学ⅠⅡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

大西 正人

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 5/Tue.5

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

古代から現代に到る哲学の根本問題を、古代から現代の主要学説を手がかりにしながらできるだけ平明に解説します。哲学が古い常識を批判し、新しい常識をクリエートすることであることをテーマとします。西洋哲学は、万物の根源を人間の理性の力で探り、そうして捉えられた全体としての世界の中に自分を位置づけたいという人間的欲求とともに始まりました。講義では、こうした「形而上学的」な欲求が、世界を全体として非常に生き生きとした自己形成的なものとする自己形成的世界観として、現代にいたるまでの様々な知的探求の背景になっている様子を見ます。

## 【到達目標】

主要な哲学説の根本問題を学習することを通して常識批判としての哲学を理解することを到達目標とします。受講生が実際に名著の思想世界に触れてみる体験をし、またその体験を表現できるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

講義形式により進めます。一人の思想家ごとに、その作品を二三週間に分けて集中的に読みます。毎週授業後、その回の内容について問うグーグルフォーム上の小テストを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	哲学への導入
2	今西錦司	生命的自然観－自己形成的存在論の前哨として
3	その 2	今西錦司『生物の世界』を読む
4	アリストテレス	自己形成的存在論としての形而上学
5	その 2	アリストテレス『形而上学』を読む
6	自己形成的存在論の展開としての近代哲学	近代化の原理としての主観客観二元論
7	デカルトの近代的世界観	近代的主客二元論とは？
8	デカルト (2)	『省察』を読む
9	デカルト (3)	デカルトの機械論的自然観-「近代的分裂」の予告としての近代的 主客二元論
10	「近代的分裂」の予告としての近代的 主客二元論	近代哲学の分裂－合理論と経験論
11	カントとヘーゲル	カントによる近代哲学の分裂克服の試み
12	カントとヘーゲル (2)	カントのアンチノミー論
13	カントとヘーゲル (3)	ヘーゲルの弁証法的世界観
14	カントとヘーゲル (4)	ヘーゲルの弁証法的世界観その 2

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講義で扱われる下記の文献などは事前に読むことが推奨される。今西錦司『生物の世界』、アリストテレス『形而上学』、デカルト『省察』復習として、返却された前回の小テストの模範解答をチェックし、間違えた箇所があればその点を中心にノートやプリントを振り返り、特に疑問などは次の時間に質問できるようにしておくこと。本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

こちらでプリントを用意します。

## 【参考書】

授業中に指示します。

## 【成績評価の方法と基準】

原則、授業後に行われる上記小テストの合計点 100 % で評価。

## 【学生の意見等からの気づき】

毎回行っている前回小テストの解説を工夫し、これまでの復習や定着がより効率的にできるようにしたい。

## 【学生が準備すべき機器他】

グーグルフォーム上の小テストを受けるためのデバイス。PC が望ましい。

## 【その他の重要事項】

ノートをとることが大切です。

## 【Outline (in English)】

Western philosophy began with human desire to explore the root of all things with the power of human reason and to position himself in the whole world captured as such. In the lecture, we see how these metaphysical needs are behind various intellectual explorations up to the present age, becoming a self-organizing-world-view that the world as a whole is very vivid and self-organizing.

PHL200LA

## 哲学 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

白根 裕里枝

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：集中・その他/intensive・other courses

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2023 年 4 月 3 日（月）10：00～5 日（水）17：00、結果発表は 4 月 6 日（木）22：00（予定）です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2023/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

哲学というと難しいという印象があるかもしれないが、何も特別のことではない。私たちは生きてゆく上で、常に様々な行為を選んで、様々な幸せを目指しているが、善く生きて幸福になるためには、よりよく、正しく考えること、つまり哲学が必要なのである。人間の尊厳は考えるということにある。誰もが、正しく考えるために、哲学を学ぶことが必要なのである。

哲学はあらゆる学問の基礎である。学生は、何を学ぶにしても、哲学がその根本に関わることを知るだろう。さらには他の学問、とりわけ、今日、絶大なる信頼を持ってその地位の確立されている近代科学のあり方を振り返ることで、哲学の重要性も再確認できるだろう。その上で、哲学を学ぶことで、私たちが幸せによく生きるためにはどうしたらよいかを考えてみたい。哲学とは、本来、学ぶものではなく、自分で考えるものなのだから。

## 【到達目標】

この授業では西洋の哲学の基礎を学ぶ。哲学は古代ギリシアに誕生した。どのような考えのもとで、哲学が生まれたのか、その後、どのような変遷を辿ったのか、そもそも哲学が問題としたことは何であるのか、古代ギリシアの源流から探りたい。

哲学（I）では、哲学の源である古代ギリシア哲学に遡って、哲学とは何か、その根本的な特徴を捉えた上で、哲学はその他の学問や科学とはどう異なるのか、また、なぜ哲学が必要とされるのかなどを探ってみたい。

学生は、まずはオーソドックスな哲学の基礎を学ぶことで、哲学のそもそもの誕生の現場を知ることができる。それは学問の誕生の場でもあるから、すべての学問を学ぶ上での基本的な見取り図を手に入れることができるだろう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業は基本的にプリントを用いた講義形式である。哲学者たちの生き方をめぐるエピソードなども交えながら、オーソドックスな哲学の考え方をわかりやすく講義してゆく。補助資料によって著名な哲学者たちの言葉に直接に触れることで、理解を深めてゆきたい。できるだけ、わかりやすい授業を目指す。毎回の課題の提出を重視する。課題のコメントの提出によって、自分の考えを確認する機会にもなるだろう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	序論	足の裏に影はあるか？
2	哲学とは何か	「哲学」という語の由来

3	ギリシアにおける「哲「哲学」という語の用例学」の誕生	
4	哲学の出発点 1	無知の自覚と愛知 ソクラテスの哲学
5	哲学の出発点 2	ソクラテスの無知の自覚と愛知
6	哲学の出発点 3	驚き、懐疑、絶望…（デカルト～ヤスパース）
7	哲学の究極	愛についての考察・アイデア論とプラトニックラブ
8	哲学とは何か・まとめ	愛の3つの対象と知への愛
9	哲学と科学 1	知についての考察——哲学と学問知
10	哲学と科学 2	対象の違い——部分と全体、本質と現象
11	哲学と科学 3	方法の違い——仮説と真理、分析と反省
12	哲学と科学 4	事実と価値・目的と手段
13	哲学と科学・まとめ	主体知と客体知・相補性
14	哲学 I まとめと学期末試験	授業内試験・まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で取り上げた著作を、実際に手に取って読んでみる。本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

受講者は、下記を必ず読むこと。

『哲学のすすめ』岩崎武雄、講談社現代新書、1966 年、¥ 814

## 【参考書】

『西洋哲学史 古代・中世編—フィロソフィアの源流と伝統』内山勝利、中川 純男、ミネルヴァ書房

『哲学の歴史』1～5、中央公論新社

『はじめて学ぶ哲学』渡辺二郎、ちくま学芸文庫

## 【成績評価の方法と基準】

毎回の課題の提出などの平常点（40％）と、学期末試験（レポート）（60％）によって評価する。試験のレポートは、授業で扱った内容について自分の考えを書くという論述形式である。

## 【学生の意見等からの気づき】

難しくするという印象の哲学だったが、授業は分かりやすく、楽しく哲学を学ぶことができたということなので、引き続き、哲学の面白さ、素晴らしさをじっくり伝えてゆきたい。生きて行く上で、哲学をますます身近なものとしてもらいたい。対面授業の場合、授業中の私語には厳しく対処し、板書の写メ、スマホも禁止してゆく。オンラインの場合、酷似したレポートはどちらも減点の対象とする。

## 【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students understand how important philosophy is, by studying the philosophical thoughts in ancient Greece and their relation to science.

PHL200LA

## 哲学Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

白根 裕里枝

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：集中・その他/intensive・other courses

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2023 年 4 月 3 日（月）10：00～5 日（水）17：00、結果発表は 4 月 6 日（木）22：00（予定）です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2023/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

哲学（Ⅱ）では、「Ⅲ. 哲学と宗教」、「Ⅳ. 哲学と幸福」について考察する。宗教というと嫌いだとか怖いと思う人もいるかも知れないが、ユダヤ教、イスラム教、キリスト教はどれも同じ神を信じながら、今日、様々な問題を引き起こしているのも事実である。まずは、その思想と歴史的事実をよりよく知ることが重要である。宗教の成立過程を見ることで、宗教の思索の持つ素晴らしい面や意義を知ることができ、また逆に、その問題点や危険性を知ることでもできるだろう。哲学の観点から、今日における宗教の問題を考え、哲学の意義を再考してみたい。

他方で、哲学は人間の真の幸福を探求する。幸福、つまり、善き生とは何か。われわれは誰もが幸福になりたいと願っているが、たとえば、科学だけで、あるいは、宗教によって、幸福になれるのだろうか？ 幸福になるには何よりも哲学が必要である。幸福になるための条件とは何であり、そもそも幸福とは何なのだろうか。哲学の観点から幸福について考えてみたい。

## 【到達目標】

西洋の文化や思想、芸術に大きな影響を与えてきたキリスト教だが、その教義の形成にはギリシア哲学が大きな影響を与えてきた。学生は、哲学との対比を通して、キリスト教やその他の宗教について、付かず離れずに見る視点を確保することができるだろう。偉大な宗教は、人間の弱さ、惨めさをとことん見つけようとする。哲学は、人間の知の可能性を可能な限り追求する。「信じる」ことと「知る」こととの緊張関係において、哲学と宗教の接点を考えてみたい。

また、幸福とは何か？ どうしたらわれわれは幸福な生を送ることができるのか？ 古代ギリシア・ローマの幸福論をみることで、私たちの幸福について考え直してみたい。幸福になるには、よく知ることがいかに大事か、真の幸福の鍵が哲学にあることが理解されるだろう。愚かさこそが、私たちの不幸の原因なのだから。

## 【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業は基本的にプリント配信を用いた講義形式で進める。まずは、哲学と宗教の根本的相違点である知と信の問題に触れる。その上で、ユダヤ教、キリスト教、ギリシア哲学者たちの神観などについて、補助プリントなども用いて概要を把握した上で、哲学と宗教との関わりについて考えたい。また、補助資料によって、哲学者たちの生き方をめぐるユニークなエピソードなども交えながら、著名な哲学者たちの言葉に直接に触れることで、オーソドックスな哲学の考え方をわかりやすく講義して理解を深めてゆきたい。できるだけ、分かりやすい授業を目指す。毎回の課題の提出やコメントを重視する。課題やコメントの提出によって、自分の考えを確認する機会にもなるだろう。なるべく哲学Ⅰから取るようにして下さい。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	序論	哲学とは何か？哲学と科学と宗教
2	学と宗教の相違点	知の立場と信の立場
3	ユダヤ人とユダヤ教	旧約聖書とメソポタミア
4	キリスト教とは	キリスト教——愛の宗教
5	ギリシア哲学とキリスト教	知と信の葛藤
6	現代における宗教の存在理由	人間知性の偉大さとその限界
7	宗教心の源泉	パスカルとアウグスティヌス・自由意志と悪の問題
8	哲学と宗教	自力と他力——人間の強さと弱さについて
9	哲学と幸福（善き生）	幸福論——哲学とよき生について
10	哲学と幸福（善き生）	意志の弱さと選択の問題・ソクラテスのアクラシアー否定論
11	哲学と幸福（善き生）	『ゴルギアス』のカリクレス説・『国家』の国政の変遷と独裁者の幸・不幸
12	哲学と幸福（善き生）	正義と幸福——ソクラテスの場合
13	哲学と幸福（善き生）	ソクラテスの後継者たち——禁欲主義と快楽主義
14	哲学と幸福（善き生）・まとめ	授業内試験・まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で触れて、興味を持った哲学者の著作を、自分で手に取って読んでみて下さい。本授業の準備・復習時間は、各々 2 時間程度を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

受講者は、下記を必ず読むこと。

『哲学のすすめ』岩崎武雄、講談社現代新書、1966 年、¥ 814

## 【参考書】

『西洋哲学史 古代・中世編—フィロソフィアの源流と伝統』

内山 勝利、中川 純男著、ミネルヴァ書房

『哲学の歴史』1～5、中央公論新社

『はじめて学ぶ哲学』渡辺二郎、ちくま学芸文庫

## 【成績評価の方法と基準】

毎回の課題の提出などの平常点（40％）と、学期末試験（レポート）（60％）によって評価する。毎回の課題を提出済みであること。学期末試験のレポートは、授業で扱った内容について自分の考えを書くという論述形式である。

## 【学生の意見等からの気づき】

難しそうという印象の哲学だったが、授業は分かりやすく、じっくり楽しく哲学を学ぶことができたということなので、引き続き、哲学の面白さ、素晴らしさを伝えてゆきたい。生きて行く上で、哲学をますます身近なものとしてもらいたい。対面授業の場合、授業中の私語には厳しく対処し、板書の写メ、スマホも禁止してゆく。オンラインの場合、酷似したレポートはどちらも減点の対象とする。

## 【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students understand how important philosophy is, by studying the philosophical thoughts in ancient Greece and their relation to religion. And also this course introduces the philosophical theory of eudaemonics (happiness) to students taking this course.

PHL200LA

## 倫理学 L I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

森村 修

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

## 《授業の概要》

2020 年から 2022 年にかけて、新型コロナウイルス感染の爆発的流行（パンデミック pandemic）に、全世界が巻き込まれた。2023 年になっても収束する決定的な要因を見出せず、世界では感染は増え続けている。それに対して、各国の医療は感染者の治療に間に合っているとはいえない状況にある。

生死を分ける「トリアージ（どの患者から治療するかという優先順位づけ）」が日常的に行われ、「生命の線引き」が後を絶たない。また、若年層には重篤化する傾向が少なく、感染しても無症状の可能性が高いのに対して、中高年層や持病を持った患者は死に至るケースが多い。これらのことから、年齢差別的な事態も引き起こされかねない。

コロナウイルスのパンデミックによって、私たちの社会の「道徳性」の弱さが露呈し、個人主義的というよりも利己主義的な個人の倫理観や社会道徳の意味などが問われているように思われる。自己中心的な価値観に基づくあまり、誰もが自分以外の他者に対して〈優しく〉雰囲気を出しているといえよう。

本授業では、「ケアの倫理」という立場から、「自己をケアすること」・「他者をケアすること」から出発し、いかに社会や国家だけでなく、世界や地球全体を守り、ケアするかという大きな問いにまで視野を広げていく。

そこで本授業では、自分の個人的な行為が、見ず知らずの多数の人に影響を与えかねない現代社会の倫理性の問題を、「ケア」という角度から哲学的・倫理的に分析する。

## 《授業の目的》

本科目は、1980 年代に始まった比較的新しい「ケアの倫理」を学んでいく科目である。「ケアの倫理」では、「ケアとは何か」、「誰が誰をケアするのか」、「グローバル・エシックスにおけるケアとは何か」などの様々な問いを検討することを通じて、「ケア」という概念が私たちが生きている現場で必要不可欠な概念であることを明らかにする。また、「他者をケアすることの意味」や「自己へのケアの重要性」を考察することの重要性を学んでいく。

さらに「グローバル社会におけるケアの意味」、「正義の倫理」と「ケアの倫理」との対比を考察しながら、「愛とケア」に重点を置く、新しい「愛とケアのグローバル倫理」を構築することが、本授業の最終的なテーマである。

## 【到達目標】

- (1) 「倫理学」という学問について、近隣諸学（哲学、法学、宗教学、政治学など）との違いを説明することができる。
- (2) 「応用倫理学」のなかで、「生命倫理学」と「ケアの倫理学」との異同について比較することができる。
- (3) 「正義の倫理」と「ケアの倫理」についての歴史的経緯について、具体的に述べることができる。
- (4) 「ケア」概念を包括的に理解し、学際的な立場から、科学と倫理学の学問性の違いについて説明することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

## 【授業の方法】

基本的に、授業は「講義形式」で行う。場合によっては、リアクションペーパーを用いて、受講生の皆さんと討論することも考えている。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	・履修上の注意 ・「ケアの倫理」についての概要説明
2	第 1 章 生きることの倫理①	・生きることの質（QOL）
3	第 1 章 生きることの倫理②	・健康であることの意味
4	第 1 章 生きることの倫理③	・死ぬことの意味
5	第 1 章 生きることの倫理④	・死に立ち会うこと
6	第 1 章 生きることの倫理⑤	・ペットロス
7	第 1 章 生きることの倫理⑥	・死への準備教育（Death Education）
8	第 2 章 「ケア」の倫理①	・「ケア」の思想①——メイヤロフ『ケアの本質』
9	第 2 章 「ケア」の倫理②	・「ケア」の思想②——ギリガン『もう一つの声で』
10	第 2 章 「ケア」の倫理③	・〈心〉が傷ついた人のケア
11	第 2 章 「ケア」の倫理④	・スピリチュアルケア（spiritual care）——〈いたみ〉を分かち合うこと
12	第 3 章 支え合うこととの倫理	・ケア意識の発達
13	第 3 章 支え合うこととの倫理	・ケアする人を支えるために
14	まとめ	・「自己へのケア」から「他者へのケア」へ、そして「支え合いとしてのケア」へ

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業内で触れたことについて、様々な書籍、雑誌、新聞やインターネットで確認し、自分の知識を増やすように心がけること。倫理学は、生き方に関わる学問である。座学では何も身につかない。積極的に、倫理的な問題を考え、自ら主体的に学ぶように日頃から気をつける必要がある。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

- ・森村修『ケアの倫理』（大修館書店、2000 年）
- ・森村修『ケアの形而上学』（大修館書店、2020 年）
- ・キャロル・ギリガン『もうひとつの声で——心理学の理論とケアの倫理』（風行社、2022）
- ・Virginia Held, *The Ethics of Care: Personal, Political, and Global*, Oxford University Press, 2006.

## 【参考書】

- 竹田純郎・伊坂青司・森秀樹編『生と死の現在——家庭・学校・地域のなかのデス・エデュケーション』（ナカニシヤ出版、2002 年）

## 【成績評価の方法と基準】

毎回のリアクションペーパーや授業内で行う小テストなど（70 %）と期末試験（30 %）によって、総合的に評価する。

## 〈要注意〉

・リアルタイム・オンライン授業の場合には、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業内や学習支援システムで提示する。

初回授業日に、その時点での成績評価の方針について、「学習支援システム」で受講者に通知する。

## 【学生の意見等からの気づき】

特になし

**【学生が準備すべき機器他】**

ビデオ、DVD など AV 機器を用いる場合がある。

**【その他の重要事項】**

「ケアの倫理」は、単に授業ですわってれば自然と身につくものではない。自らの主体的な実践を伴わない「ケア」や「〈癒しと救い〉」は、単なる「絵に描いた餅」でしかなく、生きるためには何の役にも立たない。受講生各自が、自らの日々の生活のなかで、「ケアとは何か」「何をケアするのか」「ケアするためには何が必要なのか」「ケアとは何をしなければならないことなのか」などという問いを自らに問いかけ、それに答える努力を欠かさないようにしてもらいたい。

**【Outline (in English)】**

In this course, we examine the question "What is care?" from the perspective of "Global Ethics of Care and Justice". At that time, in this subject, we will consider the problem of care labor by examining the specific question of "who cares who". In addition, we will ask the contemporary significance of the previously controversial issue of the conflict between care and justice. From there, As described above, we will examine the question of "What is care ethics in global ethics" in the 21st century from various angles.

PHL200LA

## 倫理学Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

森村 修

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

## 【授業の概要】

2020 年から 2023 年にかけて、新型コロナウイルス感染の爆発的流行（パンデミック pandemic）に、全世界が巻き込まれた。2022 年になっても収束する決定的な要因を見出せず、世界では感染は増え続けている。それに対して、各国の医療は感染者の治療に間に合っていないとはいえない状況にある。

生死を分ける「トリアージ（どの患者から治療するかという優先順位づけ）」が日常的に行われ、「生命の線引き」が後を絶たない。また、若年層には重篤化する傾向が少なく、感染しても無症状の可能性が高いのに対して、中高年層や持病を持った患者は死に至るケースが多い。これらのことから、年齢差別的な事態も引き起こされかねない。

コロナウイルスのパンデミックによって、私たちの社会の「道徳性」の弱さが露呈し、個人主義的というよりも利己主義的な個人の倫理観や社会道徳の意味などが問われているように思われる。自己中心的な価値観に基づくあまり、誰もが自分以外の他者に対して〈優しく〉雰囲気醸成しているといえよう。

本授業では、「ケアの倫理」という立場から、「自己をケアすること」・「他者をケアすること」から出発し、いかに社会や国家だけでなく、世界や地球全体を守り、ケアするかという大きな問いにまで視野を広げていく。

そこで本授業では、自分の個人的な行為が、見ず知らずの多数の人に影響を与えかねない現代社会の倫理性の問題を、「ケア」という角度から哲学的・倫理的に分析する。

## 【授業の目的】

本科目は、1980 年代に始まった比較的新しい「ケアの倫理」を学んでいく科目である。「ケアの倫理」では、「ケアとは何か」、「誰が誰をケアするのか」、「グローバル・エシックスにおけるケアとは何か」などの様々な問いを検討することを通じて、「ケア」という概念が私たちが生きている現場で必要不可欠な概念であることを明らかにする。また、「他者をケアすることの意味」や「自己へのケアの必要性」を考察することの重要性を学んでいく。

さらに「グローバル社会におけるケアの意味」、「正義の倫理」と「ケアの倫理」との対比を考察しながら、「愛とケア」に重点を置く、新しい「愛とケアのグローバル倫理」を構築することが、本授業の最終的なテーマである。

## 【到達目標】

- (1) 「倫理学」という学問について、近隣諸学（哲学、法学、宗教学、政治学など）との違いを説明することができる。
- (2) 「応用倫理学」のなかで、「生命倫理学」と「ケアの倫理学」との異同について比較することができる。
- (3) 「正義の倫理」と「ケアの倫理」についての歴史的経緯について、具体的に述べることができる。
- (4) 「ケア」概念を包括的に理解し、学際的な立場から、科学と倫理学の学問性の違いについて説明することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

## 【授業の方法】

基本的に、授業は「講義形式」で行う。場合によっては、リアクションペーパーを用いて、受講生の皆さんと討論することも考えている。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	・受講上の注意 ・「ケアの倫理」入門
2	第 1 章 暴力被害者のケア①	・〈生き残ること〉と〈生き延びること〉 ・「こども虐待」という〈社会・政治的暴力〉
3	第 1 章 暴力被害者のケア②	・「新たな傷つきし者」の出現——「社会・政治的トラウマ」の問題 ・〈情動を抱える生〉の〈ケアの倫理〉
4	第 2 章 「生き延びる者」へのケア——長寿高齢社会の現実①	・哲学的課題としての「認知症」 ・「認知症」が問いかけるもの
5	第 2 章 「生き延びる者」へのケア——長寿高齢社会の現実②	・「社会的疾患」としての「認知症」 ・「認知症」における〈こころ〉と脳
6	第 2 章 「生き延びる者」へのケア——長寿高齢社会の現実③	・認知症ケアの倫理
7	第 3 章 〈社会的孤立者〉へのケア——「孤独死」社会における倫理①	・「孤独死」の現在 ・「ひとりて死ぬこと」の意味
8	第 3 章 〈社会的孤立者〉へのケア——「孤独死」社会における倫理②	・「何も共有していない者たちの共同体」の倫理 ・〈他者としての死者〉を抱えて〈生き延びる〉こと
9	第 3 章 〈社会的孤立者〉へのケア——「孤独死」社会における倫理③	・アボリアの経験 ・喪の倫理
10	第 4 章 〈からだ〉と〈ことば〉のケア倫理①	・〈からだ〉という問題圏 ・東洋の心身論の試み
11	第 4 章 〈からだ〉と〈ことば〉のケア倫理②	・富士谷御杖の思想 ・〈身〉と〈言〉 ・〈身〉と〈こころ〉 ・「言霊」の〈力〉
12	第 5 章 「生存の美学」としてのケア①	・アウトサイダーとアーと・セラピー ・ヘンリー・ダーガーの世界
13	第 5 章 「生存の美学」としてのケア②	・他者への配慮 ・レベッカ・ブラウンの「贈与」
14	第 5 章 「生存の美学」としてのケア③	・デヴィッド・グレーバーの価値論について ・贈与としてのケア

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

森村修『ケアの形而上学』、大修館書店、2020 年

## 【参考書】

森村修『ケアの倫理』、大修館書店、2000 年

## 【成績評価の方法と基準】

毎回のリアクションペーパー（40%）、小テスト（30%）と期末試験あるいはレポート（30%）によって、総合的に評価する。

※リアルタイム・オンライン授業の場合は、変更の可能性がある。

**【学生の意見等からの気づき】**

特になし

**【学生が準備すべき機器他】**

オンライン授業の場合には、インターネットなどの必要な設備が必要である。

**【Outline (in English)】**

**【Course outline】**

In this course, we examine the question "What is care?" from the perspective of "Global Ethics of Care and Justice". At that time, in this subject, we will consider the problem of care labor by examining the specific question of "who cares who". In addition, we will ask the contemporary significance of the previously controversial issue of the conflict between care and justice. From there, the aim of this course is to help students examine the question of what is care ethics in global ethics in the 21st century from various angles.

**【Learning Objectives】**

At the end of the course, students are expected to describe the differences between ethics of justice and ethics of care in detail and to understand the concept of care comprehensively.

**【Learning activities outside of classroom】**

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

**【Grading Criteria /Policy】**

Final grade will be calculated according to the following process  
Mid-term report (30%), term-end examination (30%), and in-class contribution(40 %).

PHL200LA

## 倫理学 L I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

佐藤 英明

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4  
単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この講義では、おもに人の生命誕生に関わる生命倫理問題に目を向けながら、倫理学の基本的な概念を学ぶ。

## 【到達目標】

いま何が問われ、それに対してどのような倫理学上の立場が存在するのかを学ぶことを通して、倫理学の基本的な知識を身につけるとともに、具体的な生命倫理問題を通じて自ら思索を深めることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

講義を中心に進めるが、授業中にとりあげた問題に対して受講者自身の意見を求めることもある。原則として毎回リアクションペーパー（課題）の提出を求める。授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

大学の行動方針レベルが1の場合は、オンライン授業と対面授業を併用する。レベルが2となった場合は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	倫理学の基本概念	倫理学とはどのようなことを研究対象とする学問なのか、倫理学全般に関して説明する。
第 2 回	規範倫理学・記述倫理学・メタ倫理学	倫理学の 3 つのレベルについて、その概要を説明する。
第 3 回	バイオエシックスの誕生	1970 年代に米国においてバイオエシックスが誕生した背景を解説する。
第 4 回	バイオエシックスの諸問題	バイオエシックスにおいて取り扱われるテーマを解説する。
第 5 回	倫理的価値としての生命	生命や健康は価値あるものとされているが、それはいかなる理由からかを考える。
第 6 回	生命の誕生と人工妊娠中絶の問題	生殖に関する生命倫理問題を考察する。
第 7 回	人口抑制と環境問題	生殖に関する生命倫理問題と人口問題や環境問題との関係を考察する。
第 8 回	「自然」とは何か	倫理問題を考えるうえで「自然」という概念がいかなる意味を持つのかを解説する。
第 9 回	優生思想	優秀な子孫を残し劣った子孫の出生を防止するという「優生思想」に関する問題を解説する。

第 10 回	社会ダーウィニズムと人種主義	優生思想と社会ダーウィニズムとの関係を解説し、ナチズムにおける位置づけを考察する。
第 11 回	人工授精と体外受精	具体的な生殖医療における生命倫理問題を概観する。
第 12 回	ウォーノック報告と自由主義	英国のウォーノック報告の基本的考え方を解説し、生命倫理学における自由主義について考察する。
第 13 回	凍結保存の倫理的意味	配偶子や受精卵の凍結保存の持つ意味とそれによってもたらされる倫理的問題を考察する。
第 14 回	まとめ ※別途定期試験を実施する	これまでの授業全体を振り返り、理解を深める。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次回の授業内容に関するテキストの該当箇所を一読しておくこと。またプリントやノートを用いて授業内容について復習し、自分自身の思索を深めること。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とする。

## 【テキスト（教科書）】

テキストとして今井道夫『生命倫理学入門 [第 4 版]』（産業図書）を使用し、他に資料を配付する。

## 【参考書】

授業内で提示する。

## 【成績評価の方法と基準】

授業内小テスト（70 %）期末レポート（30 %）

## 【学生の意見等からの気づき】

受講生からの意見を授業に反映させるために、さらにリアクションペーパーの活用を工夫すること。

## 【Outline (in English)】

In this lecture, we will focus on bioethical issues concerning the birth of people and learn the basic concepts of ethics.

The goals of this course are to acquire basic knowledge of ethics and to deepen your thoughts through specific bioethical issues. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Short reports:50,Term-end examination:50.



PHL200LA

倫理学Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

佐藤 英明

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この講義では、おもに人の死に関わる生命倫理問題に目を向けながら、倫理学の基本的な概念を学ぶ。

【到達目標】

いま何が問われ、それに対してどのような倫理学上の立場が存在するのかを学ぶことを通じて、倫理学の基本的な知識を身につけるとともに、具体的な生命倫理問題を通じて自らの思索を深めることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義を中心に進めるが、授業中にとりあげた問題に対して受講者自身の意見を求めることもある。原則として毎回アクションペーパー（課題）の提出を求める。授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】  
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	倫理的観点から見た「人の死」	人の死とはどのようなことかをあらためて生命倫理学の視点から考察する。
第 2 回	脳死に関する倫理的諸問題	脳死とはどのような状態かを確認し、生命倫理学においてどのような問題を孕んでいるのかを概観する。
第 3 回	臓器移植と功利主義	臓器移植という医療が、功利主義的な考え方によってどのように正当化されるかを具体的に考察する。
第 4 回	功利主義の問題	功利主義とはどのような考え方を確認し、その問題点を明らかにする。
第 5 回	義務論と目的論	功利主義を義務論と対比し、義務論的な考え方について概観する。
第 6 回	幸福加算の可能性	「最大多数の最大幸福」を原則とする功利主義が前提とする幸福計算の可能性について考察する。
第 7 回	社会的コンセンサスの倫理的意味	合意形成の可能性について倫理的視点から考察する。
第 8 回	安楽死・尊厳死・自然死	安楽死とはどのようなことかを解説し、安楽死に関する生命倫理問題を概観する。
第 9 回	生命の質	安楽死容認の根拠とされる考え方を考察する。
第 10 回	パターナリズム	自律原理に基づく医療とは対置されるパターナリズムの内容とその問題点を明らかにする。

第 11 回	自己決定の問題	安楽死の根拠とされる自律原理に関わる問題を明らかにする。
第 12 回	「判断能力」の有無	自己決定権行使の前提となる「判断能力」について、その内容を考察するとともに、問題とされる具体的事例を考察する。
第 13 回	「人格」概念	人間とはいかなる存在かをパーソン論の観点から考察する。
第 14 回	まとめ ※別途定期試験を実施する	これまでの授業全体を振り返り、理解を深める。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次回の授業内容に関するテキストの該当箇所を一読しておくこと。また授業内容について復習し、自分自身の思索を深めること。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストとして今井道夫『生命倫理学入門 [第 4 版]』（産業図書）を使用し、他に資料を配付する。

【参考書】

授業内で提示する。

【成績評価の方法と基準】

授業内小テスト（70 %）期末レポート（30 %）

【学生の意見等からの気づき】

受講生からの意見を授業に反映させるために、さらにリアクションペーパーの活用を工夫すること。

【Outline (in English)】

In this lecture, we will focus on bioethical issues concerning human death and learn basic concepts of ethics.

The goals of this course are to acquire basic knowledge of ethics and to deepen your thoughts through specific bioethical issues. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Short reports:50,Term-end examination:50.

PHL200LA

## 倫理学 L I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：情報社会の倫理

杉本 隆久

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

情報社会の倫理は、現代の情報社会の中で起こる具体的な倫理的問題に対して、理論的な知をさらに深め、応用していくための倫理学です。そのため、この授業では、グローバルな情報社会において生じている具体的な倫理的問題をいくつも取り上げながら、その問題に対して倫理的にどのように対応していくべきかを各学生がそれぞれの立場で考察できるようにします。

倫理学 L I では、情報社会における倫理的問題の中でも、特に「ネットにおけるコミュニケーション」、「メディア・リテラシー」、「情報技術とセキュリティ」、「インターネットと犯罪」「個人情報と知的財産」、「SNS と情報モラル」などインターネット社会を生きるための情報倫理に関連する諸問題を取り上げます。

## 【到達目標】

この授業では、現代に生きる私たちが、グローバルな情報社会の中で、一個の人間としてどのように生きるべきかを倫理的に考察することを目指します。その中で、様々な倫理的問題を解決する実践的・応用的な知を獲得することを目標とします。また、様々な倫理的問題と対峙した際に必要となる思考力と判断力を養うことを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

この授業は、講義形式の授業です。今年度は大学の授業実施方針に則り、原則対面授業を行います。初回授業は受講希望者数が不明なため、着席できない受講者が発生することを回避する目的で「オンライン」または「ハイフレックスを用いた対面」授業を行う予定です。なお、「オンライン授業による教育効果が高い場合」の条件に該当する授業回に限り、全授業回の半数を超えない範囲（7 回以下）で、オンライン授業を実施する場合があります。また、入国できない外国人留学生や基礎疾患等における配慮を必要とする学生が履修した場合は、Zoom を利用したハイフレックス授業を行います。

授業は講義形式で進めますが、授業内でディスカッションを行ったり、受講生から意見を述べてもらうなど、積極的に授業に参加してもらうように配慮するつもりです。また、リアクションペーパーを提出してもらうなどして、受講生の考えを授業に反映させていきたいと考えています。

なお授業の変更及び伝達事項等のお知らせに関しては、Hoppii（学習支援システム）より通知します。課題や期末レポートは、学習支援システム上で提出してもらうことを考えています。毎回の授業の資料に関しても、授業開始までに学習支援システムで配信する予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	情報と情報社会と情報倫理	授業ガイダンスを行う。また、情報と情報社会と情報倫理についての概説も行います。

第 2 回	情報通信社会とインターネット	情報通信社会とインターネットの進化と変遷を概観し、その中で生じてきた倫理的問題について検討します。
第 3 回	ネット時代のコミュニケーション	ネットにおけるコミュニケーションとマナーについて倫理的に検討します。
第 4 回	メディアの変遷とメディア・リテラシー	メディアの変遷とメディア・リテラシーについて倫理的に検討します。
第 5 回	情報技術とセキュリティ	情報セキュリティとネット被害の問題を倫理的に検討します。
第 6 回	インターネットと犯罪	ネット社会におけるトラブルと犯罪について倫理的に検討します。
第 7 回	個人情報とプライバシー	個人情報の流出と保護の問題について倫理的に検討します。
第 8 回	知的所有権とコンテンツ	知的財産の問題と知的財産権について倫理的に検討します。
第 9 回	企業と情報倫理	企業の社会的責任や企業倫理について倫理的に検討します。
第 10 回	科学技術と倫理	科学技術と倫理の問題や技術者倫理について検討します。
第 11 回	デジタルデバイスとユニバーサルデザイン	デジタルデバイスの問題とユニバーサルデザインについて倫理的に検討します。
第 12 回	SNS と情報モラル	ソーシャルネットワークサービス（SNS）と情報モラルについて倫理的に検討します。
第 13 回	情報社会とリテラシー	情報社会を生き抜くリテラシーについて倫理的に検討します。
第 14 回	まとめ	まとめを行います。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に配布した資料を読み、分からなかった部分についてはノートに抜き書きするなどして、問題意識を持った上で授業に臨んでください。

受講後は、不明点を理解できたかどうか復習してください。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

基本的にテキストは使用しません。授業のテーマに関係するプリントを配付します。

## 【参考書】

- ・高橋慈子他著『情報倫理—ネット時代のソーシャル・リテラシー』（技術評論社）
- ・情報教育学研究会『インターネット社会を生きるための情報倫理（改訂版）』（実務出版）
- ・勢力尚雅編著『科学技術時代の倫理学』（梓出版社）
- ・大黒岳彦『情報社会の〈哲学〉—グーグル・ビッグデータ・人工知能』（勁草書房）

## 【成績評価の方法と基準】

毎回の授業後に、課題としてリアクションペーパーを提出してもらいます（Hoppii を利用することを考えています）。また期末レポートを提出してもらいます。以上の 2 点を総合して評価します。評価の比率は、課題 60%、期末レポート 40%とします。

## 【学生の意見等からの気づき】

一方的な講義ではなく、ディスカッションを行ったり、受講生から意見を述べてもらうようにしていきます。またリアクションペーパーを活用することで、受講生からの意見を授業に反映させるようにします。

## 【学生が準備すべき機器他】

授業の変更及び伝達事項等のお知らせに関しては、Hoppii（学習支援システム）より通知します。課題や期末レポートは、学習支援システム上で提出してもらうことを考えています。毎回の授業の資料に関しても、授業開始までに学習支援システムで配信する予定です。

## 【その他の重要事項】

積極的・意欲的な態度で授業に臨んでもらいたいです。倫理学 L II も併せて受講していただくことが望ましいです。

**【Outline (in English)】**

Ethics of information society is ethics to deepen and apply theoretical knowledge to specific ethical problems occurring in modern information society. From this reason, in this class, we will take up a variety of ethical issues arising from global information society, and consider a ethical reaction to those.

In this class, we aim to ethically consider how we, who live in the present age, should live as one person in the global information society.

Study times outside classroom is 1 hour for preparatory study and 1 hour for review.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Report : 40%、 Short reports : 60%

PHL200LA

## 倫理学 L II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：情報社会の倫理

杉本 隆久

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

情報社会の倫理は、現代の情報社会の中で起こる具体的な倫理的問題に対して、理論的な知をさらに深め、応用していくための倫理学です。そのため、この授業では、グローバルな情報社会において生じている具体的な倫理的問題をいくつも取り上げながら、その問題に対して倫理的にどのように対応していくべきかを各学生がそれぞれの立場で考察できるようにします。

倫理学 L II では、〈身体〉というパースペクティブから、特に「人工知能 (AI)」、「ロボット、アンドロイド、サイボーグ」という問題を中心に、他にも「技術的特異点 (テクノロジカル・シンギュラリティ)」、「2045 年問題」、「Google」、「ビッグデータ」、「SNS」、「ウェアラブル」など現代を生きるための情報社会に関連する様々な倫理的問題を取り上げます。

## 【到達目標】

この授業では、現代に生きる私たちが、グローバルな情報社会の中で、一個の人間としてどのように生きるべきかを倫理的に考察することを目指します。その中で、様々な倫理的問題を解決する実践的・応用的な知を獲得することを目標とします。また、様々な倫理的問題と対峙した際に必要となる思考力と判断力を養うことを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

この授業は、講義形式の授業です。今年度は大学の授業実施方針に則り、原則対面授業を行います。初回授業は受講希望者数が不明なため、着席できない受講者が発生することを回避する目的で「オンライン」または「ハイフレックスを用いた対面」授業を行う予定です。なお、「オンライン授業による教育効果が高い場合」の条件に該当する授業回に限り、全授業回の半数を超えない範囲（7 回以下）で、オンライン授業を実施する場合があります。また、入国できない外国人留学生や基礎疾患等における配慮を必要とする学生が履修した場合は、Zoom を利用したハイフレックス授業を行います。

授業は講義形式で進めますが、授業内でディスカッションを行った後、受講生から意見を述べてもらうなど、積極的に授業に参加してもらうように配慮するつもりです。また、リアクションペーパーを提出してもらうなどして、受講生の考えを授業に反映させていきたいと考えています。

なお授業の変更及び伝達事項等のお知らせに関しては、Hoppii（学習支援システム）より通知します。課題や期末レポートは、学習支援システム上で提出してもらうことを考えています。毎回の授業の資料に関しても、授業開始までに学習支援システムで配信する予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	情報社会と 2045 年問題	授業ガイダンスを行う。また、情報社会と技術的特異点の問題についての概説も行います。

第 2 回	技術的特異点という倫理学的問題 (1) 一切の状況と指数関数的な爆発	技術的特異点という倫理学的問題について検討します。
第 3 回	技術的特異点という倫理学的問題 (2) 来るべき未来と終末論	技術的特異点という倫理学的問題について検討します。
第 4 回	マスメディアの終焉とメディア史観	マスメディアの終焉とメディア史観について倫理的に検討します。
第 5 回	グーグルによる「汎知」の企図と哲学の終焉	「汎知」の思想史を概観しながら、「グーグル」という問題について倫理的に検討します。
第 6 回	ビッグデータの社会学的位置	ビッグデータをめぐる倫理的問題について検討します。
第 7 回	SNS によるコミュニケーションの変様と社会システム論	SNS によるコミュニケーションの変様について、社会システム論的見地を踏まえ、倫理的に検討します。
第 8 回	ロボットから倫理を考える	ロボットをめぐる倫理的問題について検討します。
第 9 回	人間をつくり変える？	クローン、サイボーグ、アンドロイドをめぐる倫理的問題について検討します。
第 10 回	人工知能とロボットの新たな次元	人工知能とロボットの展開（未来）について、「身体」というパースペクティブから倫理的に検討します。
第 11 回	情報社会において倫理は可能か？	情報社会において倫理は可能かどうかを、「身体」というパースペクティブから倫理的に検討します。
第 12 回	メルロ＝ポンティと身体哲学	メルロ＝ポンティと身体哲学について倫理的に検討します。
第 13 回	ニヒリズムと人間の終焉とポスト・ヒューマンの倫理学	ニヒリズムと人間の終焉とポスト・ヒューマンの倫理学について検討します。
第 14 回	まとめ	まとめを行います。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に配布した資料を読み、分からなかった部分についてはノートに抜き書きするなどして、問題意識を持った上で授業に臨んでください。

受講後は、不明点を理解できたかどうか復習してください。

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

基本的にテキストは使用しません。授業のテーマに関係するプリントを配付します。

## 【参考文献】

- ・ニック・ポストロム著『スーパーインテリジェンス 超絶 AI と人類の命運』（日本経済新聞出版社）
- ・レイ・カーツワイル著『ポスト・ヒューマン誕生 コンピュータが人類の知性を超えるとき』（NHK 出版）
- ・大黒岳彦著『情報社会の〈哲学〉—グーグル・ビッグデータ・人工知能』（勁草書房）
- ・ジャン＝ガブリエル・ガナシア著『そろそろ、人工知能の真実を話そう』（早川書房）
- ・三宅陽一郎著『人工知能のための哲学塾』（BNN 新社）
- ・久木田水生他著『ロボットからの倫理学入門』（名古屋大学出版会）
- ・岡本裕一郎著『12 歳からの現代思想』（ちくま新書）
- ・松田卓也著『2045 年問題 コンピュータが人類を超える日』（廣済堂新書）
- ・松尾豊著『人工知能は人間を超えるか ディープラーニングの先にあるもの』（角川 EPUB 選書）
- ・弥永真生他編『ロボット・AI と法』（有斐閣）
- ・岡本裕一郎著『人工知能に哲学を教えたなら』（SB 新書）

## 【成績評価の方法と基準】

毎回の授業後に、課題としてリアクションペーパーを提出してもらいます（Hoppii を利用することを考えています）。また期末にレポートを提出してもらいます。以上の 2 点を総合して評価します。

評価の比率は、課題 60%、期末レポート 40%とします。

**【学生の意見等からの気づき】**

一方的な講義ではなく、ディスカッションを行ったり、受講生から意見を述べてもらうようにしていきます。またリアクションペーパーを活用することで、受講生からの意見を授業に反映させるようにします。

**【学生が準備すべき機器他】**

授業の変更及び伝達事項等のお知らせに関しては、Hoppii（学習支援システム）より通知します。課題や期末レポートは、学習支援システム上で提出してもらうことを考えています。毎回の授業の資料に関しても、授業開始までに学習支援システムで配信する予定です。

**【その他の重要事項】**

積極的・意欲的な態度で授業に臨んでもらいたいです。  
倫理学 L I も併せて受講していただくことが望ましいです。

**【Outline (in English)】**

Ethics of information society is ethics to deepen and apply theoretical knowledge to specific ethical problems occurring in modern information society. From this reason, in this class, we will take up a variety of ethical issues arising from global information society, and consider a ethical reaction to those.

In this class, we aim to ethically consider how we, who live in the present age, should live as one person in the global information society.

Study times outside classroom is 1 hour for preparatory study and 1 hour for review.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Report : 40%、Short reports : 60%

PHL200LA

## 倫理学 L I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

伊藤 直樹

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義では、倫理の基底である自己と他者との関わりを学んでゆく。とくに他者とはなにかということの問題とし、他者と自己との関わりを考察してゆくことになる。

私はたった一人で生きているのではなく、私の前や隣には人がいて、その私以外の他人とともに生きているという、このあたりまえのことに、あらためて気づくためである。

## 【到達目標】

講義を終えた後、受講生が、上記の諸問題について自分なりに考えてゆくことができるようになることが、到達目標である。具体的には、学期末のテストにおいて、それを行なってもらおう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

対面授業で行う。資料を配付し、それに沿って講義をする。講義終了後、コメントカードを書いてもらう。次回の授業では、最初にそのコメントカードに対してリアクションしながら復習をして、当日の内容に入ってゆく。このパターンで授業を進める。

学期中に2度ほど「哲学対話」を取り入れる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	はじめに：問題設定	単位取得方法、および講義の概要についての説明；他者という問題。なぜ「他者」が問題なのか。
第 2 回	デカルトの他者論（その 1）	デカルト哲学の紹介
第 3 回	デカルトの他者論（その 2）	デカルトの他者論（コギト、神の存在証明）
第 4 回	デカルトの他者論（その 3）	それまでの議論を振り返りつつ、あらためてデカルトにおける他者の不在について考察する。
第 5 回	フッサールの他者論（その 1）	フッサール哲学の紹介
第 6 回	フッサールの他者論（その 2）	フッサールの他者論へ 問主観性・共現前という問題
第 7 回	フッサールの他者論（その 3）	フッサールの他者論の問題点と可能性（自己移入論、超越論的問主観性という立論）
第 8 回	デイルタイの他者論（その 1）	デイルタイの思想の紹介
第 9 回	デイルタイの他者論（その 2）	デイルタイの解釈学
第 10 回	デイルタイの他者論（その 3）	デイルタイの他者論
第 11 回	サルトルの他者論（その 1）	サルトル哲学の紹介

第 12 回 サルトルの他者論（その 2） サルトルの他者論（対他存在について）

第 13 回 サルトルの他者論（その 3） サルトルの他者論から見た人間存在の諸相

第 14 回 レポートについての説明 レポートの書き方、内容について説明します。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

前回の講義内容に関して、自分なりの理解をまとめておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

内容が多岐にわたるため、特定のテキストは用いない。授業毎に、資料を配付する。

## 【参考書】

参考文献等は、そのつどの講義で紹介する。

## 【成績評価の方法と基準】

出席は、授業形態に関わらず 2 / 3 以上参加してください。

学期末のレポート（65 %）と授業への積極的な貢献度 [コメントカードの記述など]（35 %）によって評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

毎回コメントペーパーを書いてもらい、授業冒頭でそれに応答をします。

コメントペーパーを見ていると、4 月のはじめに書かれたものと最後の講義時に書いているコメントペーパーでは、ずいぶん内容が変わってきている印象をもちます。

「L」の付いている授業なので、内容は発展的で、やや高度な場合があります。受講のさい、その点は注意してください。

## 【Outline (in English)】

This course deals with the relation between self and the Other. Specifically, we inquire will analyze the concept of the Other. By taking this course, students acquire an understanding of the knowledge about the significance of the Other in ethics. Students will submit comments on the class content after attending the lecture. These comments will be used to review the previous class. Final grade will be calculated according to the following process term-end report (65%), and in-class contribution (35%)

PHL200LA

## 倫理学Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

伊藤 直樹

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義では、倫理の基底である自己と他者との関わりを学んでゆく。とくに他者とはなにかということの問題とし、他者と自己との関わりを考察してゆくことになる。

私はたった一人で生きているのではなく、私の前や隣には人がいて、その私以外の他人とともに生きているという、このあたりまえのことに、あらためて気づくためである。

## 【到達目標】

講義を終えた後、受講生が、上記の諸問題について自分なりに考えてゆくことができるようになることが、到達目標である。具体的には、学期末のテストにおいて、それを行なってもらおう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

まず、他者論の問題設定の発生を明らかにして、そのうえで、サルトル、和辻哲郎、M・ブーバー、E・レヴィナスなどが、その問題をどのように考えているかを見てゆく。

基本的に講義形式を取るが、内容に応じて映像資料なども用いる。また、受講者からの質問、コメントをもとに、それに答えるかたちで講義内容を補足してゆく。

2回ほど「哲学対話」を取り入れる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	はじめに	単位取得方法、および講義の概要についての説明
第 2 回	問題設定	他者という問題（デカルト、カント、フッサールの問題設定）
第 3 回	和辻哲郎の倫理学（その 1）	和辻哲郎という人物、「面とペルソナ」について
第 4 回	和辻哲郎の倫理学（その 2）	和辻倫理学の主要論点（個と全体、二人共同体）
第 5 回	和辻哲郎の倫理学（その 3）	和辻倫理学の問題点
第 6 回	M・ブーバーの思想（その 1）	ブーバーという人物、「わたし-きみ」「わたし-それ」
第 7 回	M・ブーバーの思想（その 2）	ブーバーの人間観
第 8 回	M・ブーバーの思想（その 3）	ブーバーの思想の問題点、E・レヴィナスによる批判
第 9 回	ハイデガーの他者論（その 1）	ハイデガー哲学の紹介
第 10 回	ハイデガーの他者論（その 2）	顧慮的気遣い、本来的な他者
第 11 回	E・レヴィナスの他者論（その 1）	レヴィナス哲学の紹介
第 12 回	E・レヴィナスの他者論（その 2）	レヴィナスの他者論（顔、他者）

第 13 回 アーレントの他者論 アーレントの他者論

第 14 回 レポートについての説明 レポートのテーマ、書き方についての説明

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

前回の講義内容に関して、自分なりの理解をまとめておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

内容が多岐にわたるため、特定のテキストは用いない。授業毎に、資料を配付する。

## 【参考文献】

参考文献等は、そのつどの講義で紹介する。

## 【成績評価の方法と基準】

出席は、授業形態に関わらず 2 / 3 以上参加してください。

学期末のレポート（70 %）と授業への積極的な貢献度 [コメントカードの記述など]（30 %）によって評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

毎回コメントペーパーを書いてもらい、授業冒頭でそれに応答をします。

コメントペーパーを見ていると、9 月のはじめに書かれたものと最後の講義時に書いているコメントペーパーでは、ずいぶん内容が変わってきている印象をもちます。

「L」の付いている授業なので、内容は発展的で、やや高度な場合もあります。受講のさい、その点に注意してください。

## 【Outline (in English)】

This course deals with the relation between self and the Other. Specifically, we inquire will analyze the concept of the Other. By taking this course, students acquire an understanding of the knowledge about the significance of the Other in ethics. Students will submit comments on the class content after attending the lecture. These comments will be used to review the previous class. Final grade will be calculated according to the following process term-end report (65%), and in-class contribution (35%).

PHL200LA

## 倫理学 L I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

田島 樹里奈

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 2/Wed.2

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、生命倫理学という応用倫理学の一分野を通じて、人間にとって生（生命、人生、生活）（life）とは何であるかを中心に、生きること・死ぬことについて考察することを目的とする。とりわけ本授業では、「幸福とは何か」を出発点としながら、人間の生/死、人格、医療（技術）に焦点を当てながら、私たち人間とはどのような存在であるかをじっくり倫理的な視点から考え直していきたい。現代では、自然界に生まれた生命に人間の科学技術が介入することは当たり前であるが、人工授精・体外受精、デザイナーベビー、新型出生前診断、人工妊娠中絶、臓器移植、延命治療など、現代社会でよく耳にするこれらの人工的な生命操作は、自然の摂理という観点から見れば反自然的な行為と言いうる。だからと言って、簡単に善悪の判断を下すことはできない。私たちの日常生活においては、こうした論理や合理性だけでは解決し難い問題がたくさんある。「いのち」の問題は、私たちが生きていく中で、いずれどこかで関わる身近な問題であり、避けては通ることのできない重要な問題である。本授業では、具体的な事例や現代的な問題を取り上げながら、命（生と死）・医療・科学技術などについて、今一度考え直すきっかけを提供していきたい。

## 【到達目標】

- ① 生命、死、存在、医療、QOL などの言葉を相互に関連づけながら思考する力を身につける。
  - ② 生命倫理学の多様な価値観を学ぶことで、様々な立場の考え方を多角的に把握する力を身につける。
  - ③ 学問的な理論の構築法を学ぶことで、各自の問題意識を学問的に分析する力を身につける。
- 本授業では、生命倫理学について、たんなる知識を身につけるだけに終わらせることなく、複雑な現代を生きる一人の人間として、より広い視野を培い、深い思考力を持つことを最終的な目標としている。

(1) Acquire the ability to think about life, death, existence, medical care, QOL, and other terms while relating them to each other.

(2) By learning the various values of bioethics, students will acquire the ability to grasp the ideas of various positions from multiple perspectives.

(3) Learn how to construct academic theories, and acquire the ability to academically analyze their own awareness of issues. The ultimate goal of this class is not only to acquire knowledge of bioethics, but also to cultivate a broader perspective and deep thinking skills as an individual.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

基本的には講義形式で行なう。場合によっては、グループディスカッションをしたり、学生の皆さんに質問を投げかけたり、リアクションペーパーなどを用いながら、受講者が主体的に考えられるような授業にしたい。

◆ 本授業では、多角的な視野でじっくりと物事を考える力を身につけて貰いたいと考えているため、以下のように授業を進める。

\* 講義

\* 毎回、授業後にコメントシートを提出。

\* 適宜、授業内で学生からのコメントを紹介。

→ これらの繰り返しをすることで、同じ講義内容を聞いていても、自分とは異なる様々な意見があることを知り、少しずつ多角的な視野を得られるようになって考えている。また講義形式であっても、教員からの一方的な教えではなく、双方向性を生み出し、お互いに刺激し合い、学び合えるような授業にしていきたいと考えている。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業内容の説明 生命倫理学とは？ 自然界の生命に医学（医療）が介入すること
第 2 回	倫理学の基礎理論①— —幸福とは何か	「幸福」はどのように決まるか？ 善く生きるの「善い」とは？
第 3 回	バイオエシックスの成 立	医療と倫理 バイオエシックス/生命倫理はど のような背景から出てきたか
第 4 回	倫理学の基礎理論②— —功利主義	「最大多数の最大幸福」 平等原理は存在するか？
第 5 回	人間の生命と人格①	生物学的生命と人格的生命 人格とは何か？
第 6 回	人間の生命と人格②	人格と責任能力 胎児に人格はあるか？ 自己意識と生存の権利
第 7 回	人間の生命と人格③	パーソン論とは 人工妊娠中絶は殺人か？
第 8 回	生存の義務と死ぬ権利	私たちは死ぬ権利をもつことがで きるか 自己決定権と生命 医療と人体実験
第 9 回	伝える義務と知る権利	医療とインフォームド・コンセ ント 情報開示と自己決定権
第 10 回	命は誰のものか？	医療とパターンリズム 患者の権利と医師の義務——生命 の維持と自己決定権
第 11 回	医療と倫理と法	看護業務と医療事故 様々な医療事故の裁判例
第 12 回	誰が生/死を決定する のか	患者の自己決定権 宗教・信条と生命
第 13 回	医療の倫理と法	医療技術の進歩と医療現場 医療事故と医療過誤
第 14 回	まとめ	生きることと死ぬことの倫理

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の授業の復習をよくすること。とくに授業内で気付いたことや疑問に思ったことは各自で調べたり掘り下げて考えてみる。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

Review each class carefully. In particular, you are expected to research and think in-depth about any questions you notice or have in the class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

## 【テキスト（教科書）】

特になし

## 【参考書】

塩野寛、清水恵子『生命倫理への招待』南山堂、2012 年。  
曾我英彦、棚橋實、長島隆編『生命倫理のキーワード』理想社、1999 年。  
H・T・エンゲルハート『バイオエシックスの基礎』東海大学出版会、1988/2005。

## 【成績評価の方法と基準】

毎授業ごとのリアクションペーパー（50%）、期末試験またはレポート（50%）



リアクションペーパーの提出をもって出席扱いとしますが、ただ提出しているだけの人は評価対象とならない場合があります。主体的に考えながら受講することを重視しています。(リアクションペーパーは、レポートのような大変なものではありません。受講して各自で考えたことを毎回書いてもらうことにより、考える力を養い、自分の考えを文字化する訓練のために行っています)

**Reaction papers for each class (50%), final exam or report (50%)**  
Submission of reaction papers will count as attendance, but those who just submit them may not be evaluated. In this course, the emphasis is on taking the class while thinking proactively.(The reaction paper is not as hard as a report, but is designed to develop your ability to think and to train you to put your thoughts into words by asking you to write what you have thought about each time you take the course.)

**【学生の意見等からの気づき】**

基礎から学ぶので、倫理学を受けたことのない人でも関心を持って受講することで、少しずつ理解でき、視野が広がってくると思います。また、受講者のコメントシートを紹介することで、同世代の人たちの色々な考え方を知ることができ、良い刺激になると思います。

Even if you are new to the subject of ethics, don't worry because you can gradually deepen your understanding and get used to it in each class. (Basically, this class is for first-time students)

**【その他の重要事項】**

受講生の希望や状況に応じて、シラバスの内容が前後したり、多少変更する場合があります。

**【Outline (in English)】**

This course is an introduction and survey course in Bioethics. The purpose of this course is introduce students to bioethics through critical thinking contemporary issues. Through this course, students will be given not only the knowledge and comprehension of relationship between biotechnology and ethics, but also the opportunity to focus on their life and death. Students will first be introduced the history of ethics, foundational theories in bioethics, and the basic concepts and theoretical framework of bioethics.

Topics will include: what is happiness, health-care, responsibility, system of value, informed consent, death and dying, and the issue of beginning of life( on abortion, designer baby, prenatal testing etc.).

Through this course, students will be able to think carefully and to express their own views more clearly through their own positions on bioethical/ medical issues.

PHL200LA

## 倫理学Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

田島 樹里奈

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 2/Wed.2

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、生命倫理学という応用倫理学の一分野を通じて、人間にとって生（生命、人生、生活）(life)とは何であるかを中心に、生きること・死ぬことについて考察することを目的とする。とりわけ本授業の後半では、宗教の視点から生命倫理を考察することにより、様々な宗教的思想を背景にした死生観と生命倫理観を学んでいく。そもそも宗教は生死と密接に関わり、それぞれの仕方で「あの世／この世」「現世／来世」を語ってきた。本授業ではこれら全てを網羅することはできないが、私たちが今・ここで生きることの意義や、死や死後を考察するための手掛かりとして、それぞれの宗教的思想の意義を検討していきたい。

倫理学という学問領域は、私たちの日常生活や生きること・死ぬことに直接関わる部分を含んでいる。それゆえ、本授業を通じて、受講生各自が関心を持ったテーマに対して、積極的にアプローチをすることで、それぞれの興味・関心を深めていきながら、死生観や生命観を構築し、さらに倫理的問題意識を持って学問的に掘り下げてもらいたい。

以上の観点をもって、受講生各自が本授業を通して、私たち人間とはどのような存在であるか、生きるとは、死ぬとはどういうことなのかをじっくり倫理的な視点から考え直していくきっかけを提供していきたい。

## 【到達目標】

- ① 生命、死、人格、医学、宗教などの言葉を、自分の頭の中で相互に関連づけながら思考する力を身につける。
- ② 多様な生命の在り方や、宗教的思想を背景とした多様な価値観を学ぶことで、様々な立場から生命倫理を考える力を身につける。
- ③ 学問的な理論の構築法を学ぶことで、各自の問題意識を学問的に分析する力を身につける。

本授業では、生命倫理学について、たんなる知識を身につけるだけに終わらせることなく、複雑な現代を生きる一人の人間として、より広い視野を培い、深い思考力を持てることを最終的な目標としている。

1) Acquire the ability to think about life, death, personality, medicine, religion, and other terms while relating them to each other in one's mind.

2) To acquire the ability to think about bioethics from various perspectives by learning about various ways of life and various values based on religious thought.

(3) Learn how to construct academic theories, and acquire the ability to academically analyze their own awareness of the issues.

The ultimate goal of this class is not only to acquire knowledge of bioethics, but also to cultivate a broader perspective and deep thinking ability as an individual.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

基本的には講義形式で行なう。場合によっては、グループディスカッションをしたり、学生の皆さんに質問を投げかけたりしながら、受講者が主体的に考えられるような授業にしたい。

◆ 本授業では、多角的な視野でじっくりと物事を考える力を身につけて貰いたいと考えているため、以下のように授業を進める。

\* 講義

\* 毎回、授業後にコメントシートを提出。

\* 適宜、授業内で学生からのコメントを紹介。

→ これらの繰り返しをすることで、同じ講義内容を聞いていても、自分とは異なる様々な意見があることを知り、少しずつ多角的な視野を得られるようになって考えている。また講義形式であっても、教員からの一方的な教えではなく、双方向性を生み出し、お互いに刺激し合い、学び合えるような授業にしていきたいと考えている。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	生命倫理学とは何か？
第 2 回	生命の誕生と倫理①	生殖医療の倫理——生殖技術の発展と拡大 人工授精の歴史と現状
第 3 回	生命の誕生と倫理②	生殖医療の倫理——体外受精と卵子の老化
第 4 回	生命の誕生と倫理③	生殖技術の倫理——代理母の在り方
第 5 回	生命の誕生と倫理④	生殖技術の倫理——精子バンクとインターネット
第 6 回	生命の誕生と倫理⑤	SNS と生命倫理
第 7 回	生命と医学①	再生医療とクローン技術
第 8 回	生命と医学②	遺伝子技術と生命倫理 デザイナーベビーとは
第 9 回	生命と医学③	遺伝子とゲノム ゲノム解析とは
第 10 回	生命と医学④	性転換手術と医療倫理 自然界の性転換と人工的性転換、 LBGTQIA+
第 11 回	宗教と生命倫理①	宗教とは何か？ 宗教的価値観と倫理的判断
第 12 回	宗教と生命倫理②	神道における死後観と人間観
第 13 回	宗教と生命倫理③	ヒンドゥー教の死生観
第 14 回	まとめ	宗教／非宗教から生命倫理を考える

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の授業の復習をよくすること。とくに授業内で気付いたことや疑問に思ったことは各自で調べたり掘り下げて考えてみる。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

Review each class carefully. In particular, you are expected to research and think in-depth about any questions you notice or have in the class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

## 【テキスト（教科書）】

特になし

## 【参考書】

曾我英彦、柳橋實、長島隆編『生命倫理のキーワード』理想社、1999 年。  
小松美彦、土井健司編『宗教と生命倫理』ナカニシヤ出版、2005 年。

## 【成績評価の方法と基準】

毎授業ごとのリアクションペーパー（50%）、期末試験またはレポート（50%）

リアクションペーパーの提出をもって出席扱いとしますが、ただ提出しているだけの人は評価対象とならない場合があります。主体的に考えながら受講することを重視しています。（リアクションペーパーは、レポートのような大変なものではありません。受講して各自で考えたことを毎回書いてもらうことにより、考える力を養い、自分の考えを文字化する訓練のために行っています）

Reaction papers for each class (50%), final exam or report (50%)

Submission of reaction papers will count as attendance, but those who just submit them may not be evaluated. In this course, the emphasis is on taking the class while thinking proactively.(The reaction paper is not as hard as a report, but is designed to develop your ability to think and to train you to put your thoughts into words by asking you to write what you have thought about each time you take the course.)

**【学生の意見等からの気づき】**

倫理学 L 1 から継続して受講すると理解しやすく、知識も深まります。

(倫理学 L2 を受講した後に、次年度の倫理学 L1 を受講することも可能です。)

ただし倫理学が初めての人でも、分かりやすく説明するので受講することは可能です。

It is recommended that students take Ethics LI before taking this course for better understanding.

We do not recommend this course to those who just want to get credits. This class should be taken by anyone who is willing to learn properly as a university student.

**【その他の重要事項】**

学生の要望や状況により、シラバスの内容が一部前後したり変更する場合があります。

**【Outline (in English)】**

This course is intended to develop student's understanding of ethical issues of bioethics and medical care. Especially, this course will focus upon major bioethical issues which related to artificial insemination, genetic testing and human right. In addition, the second half of this course, we will explore various ethical problems within several religious traditions. Through comparison of bioethical perspectives on selected themes, students will be able to recognize the interconnections between bioethical issues and religious system. This course will help students to develop the ability to analyze diverse perspective and to recognize the importance of ethical considerations.

PHL200LA

## 倫理学 L I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

吉永 明弘

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

倫理学の基礎知識を学び、応用倫理学の内容に親しむとともに、具体的な倫理問題について議論する。

## 【到達目標】

倫理学の基本的な考え方や主要な理論（功利主義、義務論、徳倫理学、社会契約論、正義論）および応用倫理学の内容を把握し、それをもとに具体的な倫理問題について議論することができることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

講義とコメントペーパーへの応答。

連絡は学習支援システムで行います。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	倫理学を学ぶ意味	なぜ倫理学を学ぶ必要があるのかについて説明する
2	倫理学の三大理論（1） 功利主義	ミルの自由論を基軸に功利主義について説明する
3	倫理学の三大理論（2） 義務論	カントの倫理学の概要を紹介する
4	倫理学の三大理論（3） 徳倫理学	アリストテレスと現代の徳倫理学の概要を紹介する
5	倫理学と政治哲学（1） 社会契約論	ホブズ、ロック、ルソーらの社会契約論を概説する
6	倫理学と政治哲学（2） 正義論	ロールズ、ノージック、サンデルらの正義論を紹介する
7	倫理学と公共哲学	公共性について倫理学の視点から論じる
8	中間チェックテスト	ここまでの内容を確認する
9	応用倫理学（1）生命倫理学	脳死と臓器移植、医師・患者関係 フォームドコンセントを中心に説明する
10	応用倫理学（2）情報倫理学	情報化社会の倫理問題について紹介する
11	応用倫理学の多様な広がり	技術者倫理、研究倫理、脳神経倫理、宇宙倫理などを紹介する
12	対話型講義（1）内部告発	内部告発について議論する
13	対話型講義（2）21 世紀の労働倫理	IT・AI の時代がもたらす新たな労働倫理について議論する

14 対話型講義（3） 21 IT・AI の時代の教育のあり方について議論する  
世紀の教育

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

参考文献をよく読んでおくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

テキストは使用しない。

## 【参考書】

加藤尚武『現代倫理学入門』講談社学術文庫、1997 年  
新田孝彦『入門講義 倫理学の視座』世界思想社、2000 年  
宇都宮芳明『倫理学入門』ちくま学芸文庫、2019 年  
川本隆史『現代倫理学の冒険』創文社、1994 年  
國分功一郎『近代政治哲学』ちくま新書、2015 年  
児玉聡『功利と直観』勁草書房、2010 年  
梅津光弘『ビジネスの倫理学』丸善、2002 年

## 【成績評価の方法と基準】

中間チェックテスト（40 %）、書評レポート（60 %）。

## 【学生の意見等からの気づき】

学生から意見がありませんでした。

## 【Outline (in English)】

This course deals with ethics and applied ethics. At the end of the course, students are expected to get an overview on ethics and applied ethics. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following, book review:50%, term-end examination:50%.

PHL200LA

**倫理学Ⅱ**

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

吉永 明弘

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

**【Outline (in English)】**

This course deals with environmental ethics. At the end of the course, students are expected to get an overview on ethics and applied ethics. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following, book review:50%, term-end examination:50%.

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

環境倫理学の基本的文献の内容を紹介する。このなかから各自の興味のある文献を読み、レポートを書いてもらう。

**【到達目標】**

環境倫理学の基本的文献の内容を把握し、それをもとに現実の環境問題に対する自分なりの構えをもつことができる。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

講義形式で行う。適宜、ディスカッションを取り入れる。

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**

あり / Yes

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし / No

**【授業計画】 授業形態：対面/face to face**

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	この授業の進め方を説明する
2	現代倫理学の射程	現代倫理学の基本文献を紹介する
3	欧米の環境倫理	欧米の環境倫理について紹介する
4	グローバルな環境倫理	グローバルな環境倫理について紹介する
5	ローカルな環境倫理	ローカルな環境倫理について紹介する
6	科学技術の倫理	科学技術の倫理について紹介する
7	公害と環境正義	公害と環境正義について紹介する
8	中間チェックテスト	ここまでの内容を確認する
9	動物倫理	動物倫理について紹介する
10	生物多様性と倫理	生物多様性と倫理に関する議論を紹介する
11	気候変動と気候工学	気候変動と気候工学に関する議論を紹介する
12	場所論と風土論	場所論と風土論について紹介する
13	景観保全と観光	景観保全と観光に関する議論を紹介する
14	都市の環境倫理	都市の環境倫理の構想を紹介する

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

教科書のなかで紹介している文献を読むこと。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

**【テキスト（教科書）】**

吉永明弘・寺本剛編『環境倫理学（3STEP シリーズ）』昭和堂、2020 年

**【参考書】**

吉永明弘『都市の環境倫理』勁草書房、2014 年

吉永明弘・福永真弓編『未来の環境倫理学』勁草書房、2018 年

吉永明弘『はじめて学ぶ環境倫理』ちくまプリマー新書、2021 年

**【成績評価の方法と基準】**

中間チェックテスト（40 %）と書評レポート（60 %）。

**【学生の意見等からの気づき】**

学生からの意見がありません。

PHL200LA

## 論理学 L I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

## 佐々木 護

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

論点が明確で、筋の通った議論や文章は「論理的」と言われます。この授業では、分野を問わず多様な文章を論理的に把握し、それを吟味検討したうえで、自分の見解を論理的に表現する訓練を行います。論理的読解力や論述力を身につけることは、みなさんが今後研究活動や社会生活を送る上で大いに役立つはずですが。

## 【到達目標】

本授業の到達目標は以下の2点です。

- (1) 新聞記事や新書レベルの文章を読み、そこから論証構造を抽出し、内容をよく理解した上で、的確な要約を行うことができる。
- (2) 上記の文章を吟味検討し、自分の見解を論理的に展開することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業前半は講義形式ですが、後半は問題演習とその検討が中心となります。そのため、受講者には主体的な参加を求めます。また、論述力の向上を図るため、定期的に小論文を作成する回を設けます。提出答案是添削・評価の上、翌週返却・解説します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス／論理学とは	論理学には分析論と弁証術の2つの流れがあることを理解する。
第 2 回	論理的説明と論証	ツールミン・モデルなどを参照しつつ、論理的な説明には、根拠の提示が不可欠であることを理解する。
第 3 回	論理的読解と論証	論理的読解には、文章全体を論証と捉え、結論とそれを支える根拠を見きわめることが有効であることを理解する。
第 4 回	論証の構造	論証図の作成を通じて、論証構造を的確に把握する仕方を身につける。
第 5 回	要約の技法	文章から論証構造を取り出し、それを軸に要約する技法を身につける。
第 6 回	隠れた前提	論証を論理的に理解するには、隠れた前提を自覚的に取り出すことが必要な場合があることを理解する。
第 7 回	論証の評価（1）	論証の適切さや妥当性を評価するにあたって着目すべきポイントを理解する。
第 8 回	論証の評価（2）	論証を検討する仕方を実践的に身につける。

第 9 回	誤った論証	論証の誤りの代表的なパターンを理解する。
第 10 回	論証への反論（1）	現代の社会問題に関連した論証に対する反論を作成する。
第 11 回	論証への反論（2）	前回作成答案を基にして、発展的検討を行う。
第 12 回	文章読解と見解論述（1）	現代の社会問題に関連した文章を読み、それに対する見解論述を作成する。
第 13 回	文章読解と見解論述（2）	前回作成答案を基にして、発展的検討を行う。
第 14 回	試験日	試験・まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。毎回、講義内容に関連した課題が課されます。毎回返信する資料にはよく目を通しておいてください。

## 【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。

## 【参考書】

荻谷剛彦『知的複眼思考法』（講談社プラスアルファ文庫、2002 年）  
野矢茂樹『新版・論理トレーニング』（産業図書、2006 年）

## 【成績評価の方法と基準】

通常回の課題成績（50%）および最終回の試験の成績（50%）で評価します。

評価基準については、授業中に何度か実施する小論文課題の評価基準を参考にしてください。

## 【学生の意見等からの気づき】

「他の学生の答案を見て、意見や表現方法を学ぶことができたのが良かった」「文章を読むときにどういうところに気をつければよいか分かってきた」「授業を通して、少しずつ自分の文章力がついてきたと実感した」などの感想がありました。

今まで文章を書く機会の少なかった受講者の場合、最初は小論文作成に時間がかかり、難しく感じることもあるようです。しかし、書き続けるうちに徐々に慣れていきますので、その点についてあまり心配する必要はありません。

## 【Outline (in English)】

We call a reasonable argument as "logical". In this course, we will practice to logically read various texts regardless of the field, examine them, and express your own view logically. If you acquire the ability of logical reading and argumentation, it will be useful for your future academic activities and social life. The standard preparatory study and review time for this class is 2 hours each. The grading are evaluated based on the results of regular assignments (50%) and the final exam (50%).

PHL200LA

## 論理学Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：批判的思考のトレーニング

佐々木 護

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

批判的思考（クリティカル・シンキング）教育の一環として、複数の視点から仮説を立てたり、対立する意見も視野に入れつつ望ましい問題解決策を見出す訓練を行います。自分が自明とする考えからいったん距離を置き、異なる他者の考えにも目を向ける態度を身につけることは、みなさんが今後研究活動や社会生活を送る上でも大いに役立つはずですよ。

## 【到達目標】

本授業の到達目標は以下の2点です。

- (1) 統計資料などを手がかりに仮説を立て、それに基づく解決策を提示することができる。
- (2) 与えられたテーマに関して、対立する意見も視野に入れつつ、説得力ある見解論述を展開することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業前半は講義形式ですが、後半は問題演習とその検討が中心となります。そのため、受講者には主体的な参加を求めます。また、論述力の向上を図るため、定期的に小論文を作成する回を設けます。提出答案是添削・評価の上、翌週返却・解説します。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス／推論の分類	演繹、帰納、仮説推量という推論の3つのタイプを概観する。
第2回	演繹と仮説推量	演繹と仮説推量の関連性と相違点を理解したうえで、新たな発想やアイデアを導く上で仮説推量が果たす意義を押さえる。
第3回	統計資料の分析と仮説推量	統計資料の分析の基本を理解し、資料からどのような仮説を立てることができるかを考える。
第4回	相関関係と因果関係	2つの現象の間に何らかの関係が認められる場合に、どんな仮説が立てられるのかを理解する。
第5回	原因分析と対策提言	ある仮説に基づくならば、どのような対策が必要かを考える。仮説が異なれば、必要な対策も大きく異なることを理解する。
第6回	価値前提	それぞれの論証がどのような価値判断や価値基準を前提としているかに注目することで、議論の争点を整理する仕方を身につける。
第7回	対策提言の評価（1）	現代の社会問題に関連した論証に対する検討を行う。
第8回	対策提言の評価（2）	前回作成答案を基に、発展的検討を行う。

第9回 立論・批判・異論（1） 対立する意見を視野に入れつつ、それに対する批判や異論を展開する仕方を身につける。

第10回 立論・批判・異論（2） 批判と異論の違いを見きわめる。

第11回 立論・批判・異論（3） あるテーマに対し、立論・批判・異論から構成される小論文を作成する。

第12回 立論・批判・異論（4） 前回作成答案を基に、発展的検討を行う。

第13回 誤った二分法 二分法が陥りがちな罠を理解する。

第14回 試験日 試験・まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

配信された資料にはよく目を通しておいください。

また、日頃から政治や経済、社会等のニュースに関心を持ち、批判的にチェックする習慣を身につけていきましょう。

## 【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。

## 【参考書】

荻谷剛彦『知的複眼思考法』（講談社プラスアルファ文庫、2002年）

野矢茂樹『新版・論理トレーニング』（産業図書、2006年）

## 【成績評価の方法と基準】

通常回の課題成績（50%）および最終回の試験の成績（50%）で評価します。

評価基準については、授業中に何度か実施する小論文課題の評価基準を参考にしてください。

## 【学生の意見等からの気づき】

「文章の書き方などを学べたことはもちろん、毎回の授業や課題においてテーマとなる社会問題について考え文章にすることが、自分の意見を持つ大変いい機会となった」「ただ論理の立て方を学ぶだけでなく時事を用いて学ぶことができ大変勉強になった」などの感想がありました。

テーマに関連したアウトプットを繰り返す授業形式を通して、考えて書く力がアップしたと感じる受講者が多かったようです。

## 【Outline (in English)】

As part of the critical thinking education, we will make hypotheses from multiple perspectives, and practice to find solutions while taking into account the opposite opinion. If you learn how to think critically, you will be of great help in your future academic activities and social life. The standard preparatory study and review time for this class is 2 hours each. The grading are evaluated based on the results of regular assignments (50%) and the final exam (50%).

HIS200LA

**東洋史 L I**

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

齋藤 勝

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 5/Tue.5

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

**【Outline (in English)】**

Course outline: Students will survey the history of Taiwan.

Learning objectives: At the end of the course, students are expected to consider how history have affected the life of people in Taiwan.

Learning activities outside of classroom: Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading criteria/policy: Term-end report or test(100%)

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

台湾の歴史と現在

歴史の学習を通じて台湾への理解を深め、日本・中国との関わりについて考えていく。

**【到達目標】**

歴史を辿りながら、現在の台湾が抱える国際問題、政治問題、民族問題の根源を理解し、その歴史の当事者の一人であった日本人の責任についても認識を深めていく。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

台湾の歴史について通史的に講ずるとともに、現代の台湾を描いた映画を通して台湾への理解を深めていく。

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**

なし/No

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし/No

**【授業計画】 授業形態：対面/face to face**

回	テーマ	内容
第 1 回	台湾と日本	日台関係と台湾人の日本人観
第 2 回	台湾の現勢	台湾の民族構成と経済
第 3 回	先史時代と大航海時代	原住民とオランダ支配
第 4 回	清朝と台湾	鄭氏政権から清朝の支配へ
第 5 回	日本の台湾支配 (1)	日清戦争から前期武官総督時代
第 6 回	日本の台湾支配 (2)	文官総督時代から終戦まで
第 7 回	国民党の支配へ	光復から二・二八事件
第 8 回	台湾人と支配者達 (1)	『悲情城市』と二・二八事件 (1)
第 9 回	台湾人と支配者達 (2)	『悲情城市』と二・二八事件 (2)
第 10 回	蒋介石の時代	台湾の中華民国化
第 11 回	蔣経国の時代	台湾の孤立と転換
第 12 回	李登輝の時代	台湾の民主化と台湾化
第 13 回	陳水扁の時代	台湾の分裂
第 14 回	馬英九～蔡英文の時代	台湾の現在と中国

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。プリントによって事前に知識を深めてきてもらいます。

**【テキスト（教科書）】**

特になし。

授業に必要な資料は配布しますが、配布方法は履修者数を見て考えます。

**【参考書】**

随時、紹介していきます。

**【成績評価の方法と基準】**

レポート（もしくは期末試験）100 %

講義で扱ったテーマについて論述してもらいます。講義の内容の理解とまとめ方を評価の対象とするつもりです。

**【学生の意見等からの気づき】**

本年度新規科目につきアンケートを実施していません。



HIS200LA

## 東洋史Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

齋藤 勝

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 5/Tue.5

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

唐代における土地・税制度の変容

均田・租庸調制度から両税法へという土地・税制度の変容を通して、中国前近代における国家と人民の関係について考える。

## 【到達目標】

唐宋変革期と言われる時代において土地・税制度がどのように変化してきたのかを知り、中国前近代において国家と人民の関係がどのように変化してきたのかについて理解を深めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

体面による講義形式で行っていきます。

質問等は授業後に受けつけます。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	唐宋変革論と時代区分	内藤湖南の唐宋変革論論①
第 2 回	唐宋変革論と時代区分	唐中世説論②
第 3 回	唐宋変革論と時代区分	唐古代説論③
第 4 回	北朝の均田・均賦制①	北朝の均田・均賦制の沿革・内容
第 5 回	北朝の均田・均賦制②	北朝の均田・均賦制の理念・変遷
第 6 回	唐の均田・租庸調制①	唐朝の均田・租庸調制の内容・特徴
第 7 回	唐の均田・租庸調制②	唐朝の均田・租庸調制の実態
第 8 回	唐の均田・租庸調制③	均田制と佃人・租佃
第 9 回	均田・租庸調制から両税法へ①	荘園の普及
第 10 回	均田・租庸調制から両税法へ②	逃戸と括戸
第 11 回	均田・租庸調制から両税法へ③	藩鎮とその自立化
第 12 回	均田・租庸調制から両税法へ④	両税法の成立
第 13 回	均田・租庸調制から両税法へ⑤	両税法の特徴・歴史的意義
第 14 回	唐宋変革と土地・税制	唐代における国家と人民の関係の度 変化

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

指定した参考文献等による準備学習・復習。

## 【テキスト（教科書）】

特になし。

授業に必要な資料は配布しますが、配布方法は履修者数を見て考えます。

## 【参考書】

随時、紹介していきます。

## 【成績評価の方法と基準】

レポート 100 %（授業内テスト等に変更する場合があります）

講義で扱ったテーマについて論述してもらいます。講義の内容の理解とまとめ方を評価の対象にするつもりです。

## 【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

## 【Outline (in English)】

Course outline: Students will survey the history of the change of systems of land and taxation in the Tang dynasty.

Learning objectives: At the end of the course, students are expected to consider how the relation between state and people had been changed in the Tang dynasty.

Learning activities outside of classroom: Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading criteria/policy: Term-end report or test(100%)

HIS200LA

## 東洋史 L I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

長谷部 圭彦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 2/Thu.2

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本科目では、イスラームが誕生した 7 世紀から、オスマン帝国がビザンツ帝国を滅ぼす 15 世紀までの「中東・イスラーム地域」の歴史を概観する。また、イスラームの教義や戒律、そして世界秩序観などについても解説する。受講者が、当該地域への理解を深めつつ、他の地域との比較や連関ができるようになることを目的とする。

## 【到達目標】

本科目の目標は、受講者が、15 世紀までの「中東・イスラーム地域」の歴史と、イスラームの教義に関する基礎的な知識を習得し、それを論理的に表現できるようになることである。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

講義形式で行う。毎週質問用紙を配布するので、質問や意見を記入してほしい。それには翌週、可能な限り回答する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	講義概要	講義の目的、成績評価方法等を確認する。
第 2 回	預言者ムハンマド	ムハンマドの生涯を概観する。
第 3 回	六信五行	イスラームの信仰箇条と行為義務を概観する。
第 4 回	聖典『クルアーン』	イスラームの聖典を概観する。
第 5 回	スンナ派とシーア派	イスラームの宗派を概観する。
第 6 回	ウマイヤ朝とアッバース朝	7 世紀から 8 世紀までのイスラーム地域を概観する。
第 7 回	シャリーアとフィクフ	イスラームの法と法学を概観する。
第 8 回	ウラマーとマドラサ	イスラームの法の担い手とその養成方法を概観する。
第 9 回	マムルークとイクター制	9 世紀から 11 世紀までのイスラーム地域を概観する。
第 10 回	スーフィーと聖者	イスラームの神秘主義と聖者を概観する。
第 11 回	スンナ派の時代	12 世紀のイスラーム地域を概観する。
第 12 回	モンゴルの時代	13 世紀のイスラーム地域を概観する。
第 13 回	オスマン朝とティムール朝	14 世紀から 15 世紀までのイスラーム地域を概観する。
第 14 回	イスラームの普及	アフリカ、インド、東南アジア、中国へのイスラームの普及を概観する。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とする。  
準備学習：レジュメに記載されている参考文献を読むこと。  
復習：講義内容を、自身の専門と比較したり関連付けたりすること。

## 【テキスト（教科書）】

教科書は使用しない。レジュメおよび資料を配付する。

## 【参考書】

大塚和夫他編『岩波イスラーム辞典』岩波書店、2002 年。  
東長靖『イスラームのとらえ方』山川出版社、1996 年。  
屋形禎亮・佐藤次高『西アジア』上巻、朝日新聞社、1993 年。

## 【成績評価の方法と基準】

100%: 期末レポート

悪質な剽窃が確認された場合、本科目は E 評価となり、停学（3 か月未満）となる。

## 【学生の意見等からの気づき】

ある受講生から、「レジュメは概要だけでなく、それだけでも分かるように作ってほしかった」との意見があったが、それでは授業に出席しない受講生が出てくる可能性があるため、簡潔なレジュメのままとする。

## 【学生が準備すべき機器他】

念のため、オンライン授業に備えておくこと。

## 【その他の重要事項】

秋学期に開講される「東洋史 LII（イスラーム史 2）」も受講することが望ましい。

## 【Outline (in English)】

We survey a history of Islamic area from 7th to 15th century and review the Islamic technical terms. We aim to understand the area and to compare and connect it with another. Before / after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end report 100%.

HIS200LA

## 東洋史Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

長谷部 圭彦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 2/Thu.2

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本科目では、オスマン・サファヴィー・ムガルの三王朝が並び立った 16 世紀から現代までの「中東・イスラーム地域」の歴史を概観する。とくに、この地域の大部分を支配したオスマン帝国（1300 頃～1922）に焦点をあてる。受講者が、オスマン帝国への理解を深めつつ、他の政治体との比較や連関ができるようになることを目的とする。

## 【到達目標】

本科目の目標は、受講者が、オスマン帝国の歴史に関する基礎的な知識を習得し、それを論理的に表現できるようになることである。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

講義形式で行う。毎週質問用紙を配布するので、質問や意見を記入してほしい。それには翌週、可能な限り回答する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	講義概要	講義の目的、成績評価方法等を確認する。
第 2 回	オスマン史の全体像	オスマン史の時代区分（形成、拡張、変容、刷新、崩壊）を紹介する。
第 3 回	形成の時代 1—戦士集団から君侯国へ	13 世紀から 15 世紀中葉までのオスマン史を概観する。
第 4 回	形成の時代 2—コンスタンティノープルの征服	コンスタンティノープルの征服を概観する。
第 5 回	拡張の時代 1—世界帝国への道	15 世紀中葉から 16 世紀前半までのオスマン史を概観する。
第 6 回	拡張の時代 2—スレイマンの時代	16 世紀中葉のオスマン史を概観する。
第 7 回	拡張の時代 3—支配組織の確立	16 世紀の支配組織を概観する。
第 8 回	変容の時代 1—兵制と税制の変容	16 世紀後半から 17 世紀前半までのオスマン史を概観する。
第 9 回	変容の時代 2—対外関係の変容	17 世紀後半から 18 世紀までのオスマン史を概観する。
第 10 回	刷新の時代 1—改革の序章	19 世紀前半のオスマン史を概観する。
第 11 回	刷新の時代 2—二つのナショナリズム	オスマン帝国のナショナリズムを概観する。
第 12 回	刷新の時代 3—社会秩序の変容	19 世紀中葉のオスマン史を概観する。
第 13 回	崩壊の時代 1—専制と革命	19 世紀後半から 20 世紀初頭までのオスマン史を概観する。
第 14 回	崩壊の時代 2—帝国の終焉	20 世紀前半のオスマン史を概観する。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とする。  
準備学習：レジュメに記載されている参考文献を読むこと。  
復習：講義内容を、自身の専門と比較したり関連付けたりすること。

## 【テキスト（教科書）】

教科書は使用しない。レジュメおよび資料を配布する。

## 【参考書】

新井政美『トルコ近現代史』みすず書房、2001 年。  
大塚和夫他編『岩波イスラーム辞典』岩波書店、2002 年。  
小笠原弘幸『オスマン帝国』中央公論新社、2018 年。  
鈴木董『オスマン帝国』講談社、1992 年。  
鈴木董『オスマン帝国の解体』筑摩書房、2000 年。  
永田雄三・羽田正『成熟のイスラーム社会』中央公論社、1998 年。  
林佳世子『オスマン帝国の時代』山川出版社、1997 年。  
林佳世子『オスマン帝国 500 年の平和』講談社、2008 年。

## 【成績評価の方法と基準】

100%: 期末レポート  
悪質な剽窃が確認された場合、本科目は E 評価となり、停学（3 カ月未満）となる。

## 【学生の意見等からの気づき】

ある受講生から、「レジュメは概要だけでなく、それだけ見ても分かるように作ってほしかった」との意見があったが、それでは授業に出席しない（オンライン授業の場合は動画を視聴しない）受講生が出てくる可能性があるため、簡潔なレジュメのままとする。

## 【学生が準備すべき機器他】

念のため、オンライン授業に備えておくこと。

## 【その他の重要事項】

春学期に開講される「東洋史Ⅱ（イスラーム史 1）」も受講することが望ましい。

## 【Outline (in English)】

We survey a history of the Ottoman Empire. We aim to understand it and to compare and connect it with another political body. Before / after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end report 100%.

HIS200LA

## 西洋史 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

内田 康太

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

古代地中海世界に成立した諸国家のうち、アテナイ民主政とローマ共和政の国制について概説する。個々に独立した分析だけではなく、両者の比較という方法でそれぞれの特質を把握することにより、歴史研究における比較史の有用性も学ぶ。

## 【到達目標】

この授業の到達目標は以下のとおり。

- ・アテナイ民主政とローマ共和政の国制について基礎的知識を習得する。
- ・両者の国制について、類似点と相違点を説明できる。
- ・両者の国制を比較することの意義を理解できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

この授業は講義形式で行うが、授業時間内に質疑応答の機会を設ける。さらに、講義内容の区切りの良いところでリアクションペーパーを提出してもらうことで、受講生の理解度、関心事項、疑問点等を確認しながら授業を進めていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】  
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	国制について考える
第 2 回	アテナイ民主政の歴史	アテナイ民主政の誕生から終焉まで
第 3 回	アテナイ民主政の国制	参政権 (1)
第 4 回	アテナイ民主政の国制	投票 (2)
第 5 回	アテナイ民主政の国制	民会 (3)
第 6 回	アテナイ民主政の国制	役人・公職者 (4)
第 7 回	アテナイ民主政の国制	裁判 (5)
第 8 回	ローマ共和政の歴史	ローマ共和政の誕生から終焉まで
第 9 回	ローマ共和政の国制	参政権 (1)
第 10 回	ローマ共和政の国制	投票 (2)
第 11 回	ローマ共和政の国制	民会 (3)
第 12 回	ローマ共和政の国制	役人・公職者 (4)
第 13 回	ローマ共和政の国制	裁判 (5)
第 14 回	試験・まとめと解説	到達度の確認

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とする。参考書として挙げた書籍などを用いて、自主的に学習することが求められる。

## 【テキスト（教科書）】

特になし。担当教員が作成したレジュメ・資料を配布する。

## 【参考書】

橋場弦『古代ギリシアの民主政』、岩波新書、2022 年。  
島田誠『世界史リブレット 3 古代ローマの市民社会』、山川出版社、1997 年。

## 【成績評価の方法と基準】

期末の筆記試験（80 %）

リアクションペーパーや質問等、授業への積極的参加度（20 %）

## 【学生の意見等からの気づき】

本年度新規担当のためフィードバックできない。

## 【Outline (in English)】

**Course outline:** This course outlines the constitution of the Athenian democracy and the Roman republic. Not only analyzing them individually but also comparing each other to identify their characteristics, it also helps students learn the usefulness of comparative history.

**Learning Objectives:** The followings are the goals of this course.

- Students are able to acquire fundamental knowledge concerning the constitution of the Athenian democracy and the Roman republic.
- Students are able to explain similarities and differences between them.
- Students are able to understand the significance of comparing them each other.

**Learning activities outside of classroom:** Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. They are required to read relevant books, such as those listed in the reference section, and learn by themselves.

**Grading Criteria:** Grading will be decided based on term-end examination (80%) and in-class contribution (20%).

HIS200LA

## 西洋史 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

高澤 紀恵

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 1/Thu.1

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

歴史家たちはヨーロッパの過去に対してどのような問いを投げかけ、どのように歴史を描こうとしてきたのでしょうか。この授業は、二宮宏之『マルク・ブロックを読む』を共通テキストに、フランスと日本の歴史家たちの営みから、この問題を考えたいと思います。ヨーロッパの歴史に親しむだけでなく、歴史を学ぶ意味、歴史を捉える方法について一緒に学んでいきましょう。

## 【到達目標】

歴史が過去に問いかける人の営みによって描かれ、伝えられることを、ひとりのフランス人歴史家（マルク・ブロック）とひとりの日本人歴史家（二宮宏之）との知的対話を通して学びましょう。それはまた、中・近世のヨーロッパについての知見を深め、日本・フランスの二〇世紀史について学ぶことに繋がるでしょう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業の開始までにテキストを読んできてください。

第一回目に担当を決め、二回目以降は担当者による発表、質疑、議論によって授業を進めます。レジュメは、必ず前日までに学習支援システムにアップしてください。レジュメの書き方などは初回授業で説明します。人数が多い場合は、グループ報告になります。毎回、出席をとり、リアクションペーパーを提出してもらいます。そこで出された質問などへの応答（フィードバック）は、次の授業の冒頭で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の進め方の紹介 報告グループの割り当て
第 2 回	第一講「時代に立ち向かうブロック」(1)	講読・質疑・解説 (テキスト p.1~p.28)
第 3 回	第一講「時代に立ち向かうブロック」(2)	講読・質疑・解説 (テキスト p.28~p.52)
第 4 回	レジスタンスを考える	ディスカッション
第 5 回	第二講「学問史のなかのブロック」(1)	講読・質疑・解説 (テキスト p.52~p.69)
第 6 回	第二講「学問史のなかのブロック」(2)	講読・質疑・解説 (テキスト p.69~p.92)
第 7 回	第三講「作品の仕組みを読む」(1)	講読・質疑・解説 (テキスト p.93~p.128)
第 8 回	第三講「作品の仕組みを読む」(2)	講読・質疑・解説 (テキスト p.129~p.161)
第 9 回	第四講「作品の仕組みを読む(つづき)」(1)	講読・質疑・解説 (テキスト p.162~p.192)
第 10 回	第四講「作品の仕組みを読む(つづき)」(2)	講読・質疑・解説 (テキスト p.193~p.219)
第 11 回	第五講「生きられた歴史」(1)	講読・質疑・解説 (テキスト p.220~p.238)

第 12 回	第五講「生きられた歴史」(2)	講読・質疑・解説 (テキスト p.238~p.264)
第 13 回	20 世紀の学問を考える	ディスカッション
第 14 回	総括	小エッセイの作成

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

学生に割り当てて、テキストの概要を報告してもらいますので、事前にテキストを入手し、読んできて下さい。

自分はどの箇所を担当したいかを考えながら、疑問をもちながら読むことをおすすめします。

本授業の予習・復習時間は、各二時間以上を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

二宮宏之『マルク・ブロックを読む』岩波書店、(岩波現代文庫版) 2016 年。

## 【参考書】

高澤紀恵「高橋・ルフェーブル・二宮——「社会史誕生」の歴史的位相」『思想』1048 号、2011 年 10 月号。

## 【成績評価の方法と基準】

担当箇所の発表 (40%)

議論への参加 (20%)

最終回におけるエッセイ (40%)

## 【学生の意見等からの気づき】

昨年度は受講生が少なかったので、毎回、じっくりと議論ができました。提出されたレポートに対してフィードバックをしっかりと行う時間を取ることができました。

## 【Outline (in English)】

(Course Outline and Learning Objectives)

This course aims to understand how historians have treated and described the past of Europe. We will focus on the struggle of Japanese and French historians in the 20th century and today like Marc Bloch, Hiroyuki Ninomiya and so on.

Students are expected to read assignments in advance.

(Learning activities outside of the classroom)

I expect students to have completed the required assignment before the class. Your study time will be more than four hours for a class at least.

(Grading Criteria)

I will decide your overall grade in the class based on the following:

Presentation (40%), the quality of the performance in the class (20%), and a final essay (40%).

HIS200LA

## 西洋史 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：西洋世界による太平洋認識

新井 隆

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 5/Tue.5

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

19 世紀末から 20 世紀前半にかけて、欧米列強による植民地獲得競争が激化し、アフリカやアジアなど世界各地に欧米列強や日本が勢力を拡大させていきました。さらに、植民地支配の流れは、太平洋の島々にも押し寄せていきました。欧米諸国や日本と太平洋世界の関わりには、植民地化以前にも、探検航海や捕鯨船、貿易商人、宣教師などによるものがあり、時代を経ながら羨望と侮蔑が入り混じっていったのです。本授業では、これら太平洋の島々に対する欧米諸国や日本の認識について、俯瞰的な視野で学習していきます。

## 【到達目標】

太平洋世界に対する欧米諸国や日本の認識の変遷について、歴史的な背景を踏まえながら自らの理解が深まることを目標とします。西洋や日本の「他者」に対するイメージは、しばしば羨望と侮蔑が入り混じるものでしたが、そうした他者認識の方法は太平洋の島々に対しても顕著なものでした。この授業では、太平洋に関する映像や図像などに注目することで、西洋世界の他者認識の変遷が掴めるようになることを目指します。

## 【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

この授業では内容理解の確認とフィードバックのために、適宜ワークシートを配布するので、各自授業内容のポイントを振り返りながら適宜気づいた点や気になった点を書き込んで提出してもらいます。ワークシートの記載内容は、授業のフィードバックに活用すると同時に、期末レポートの際に参照可とするので、各自その点を踏まえた上で取り組むこと。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	本授業の概要説明ならびに簡単なアイスブレイク
第 2 回	西洋と太平洋の邂逅 (I)	接触以前における太平洋世界の概要に触れながら、西洋側の太平洋世界に対するイメージがはじめは曖昧なかつしか持っていなかったことを確認します。
第 3 回	西洋と太平洋の邂逅 (II)	大航海時代をきっかけに太平洋と関わりを持つようになった西洋世界が数々の航海を通して、この大洋の概要を掴もうとしたことを理解します。
第 4 回	浮き彫りになる太平洋の全体像と探検航海 (I)	ようやく太平洋横断が可能になった西洋が数々の探検航海を通じて、さらに明確な太平洋像を作り上げていったことを抑えます。
		探検航海の意味

第 5 回	浮き彫りになる太平洋の全体像と探検航海 (II)	クックによる科学的知見を求める探検航海を期期として、西洋世界の太平洋認識がアンヴィヴァレント（二律背反的）に変容していく様子を概観します。
第 6 回	強まる西洋と太平洋世界のつながり (I)	探検航海後に登場した捕鯨船や貿易、キリスト教伝道が進展するにつれて、西洋から見た太平洋世界には、羨望と侮蔑が入り混じっていたことを理解します。
第 7 回	強まる西洋と太平洋世界のつながり (II)	西洋が太平洋世界と関わる中で形成されたヒトやモノの動きは、確かに双方の世界の結びつきを強めました。しかし、その裏には前者による後者の搾取という側面があったことを改めて確認します。
第 8 回	西洋諸国による太平洋の分割	19 世紀末から 20 世紀はじめにかけて、欧米列強は世界各地で植民地獲得競争に明け暮れ、その波は太平洋世界をも飲み込んでいきました。ここでは、欧米諸国による本格的な太平洋進出が現地社会の在り方を大きく変容させたことを理解します。
第 9 回	南洋をまなざす日本の眼	植民地支配の潮流が世界を覆う中で、日本は国際連盟の C 式委任統治領として南洋群島を支配下に置くことになります。ここでは、欧米諸国の太平洋認識にも触れつつ、日本の認識にも太平洋に対する羨望と侮蔑が入り混じっていた様子を確認します。
第 10 回	軍事衝突の舞台となった太平洋	欧米列強や日本が太平洋にも勢力を伸張させる中で、やがて軍事的対立を深めていく過程を太平洋認識との関わりで理解します。
第 11 回	太平洋に対する列強諸国の軍事的まなざしの系譜 (I)	第二次世界大戦後の太平洋（ミクロネシア）では、アメリカが国際連合下の戦略的信託統治領として、同地域を管轄していました。ここでは、太平洋の島々が日米を中心とする各国から軍事的な要衝として認識されてきたことの歴史的系譜を掴みます。
第 12 回	太平洋に対する列強諸国の軍事的まなざしの系譜 (II)	戦後アメリカやフランス、イギリスなどが太平洋の島々で多くの核実験を実施しました。その影響は実際の被害だけでなく、映像作品などを通じた太平洋認識にも及ぶものであったことを理解します。
第 13 回	南国の楽園としての太平洋イメージ (I)	欧米諸国による太平洋イメージの系譜を眺めてみると、憧憬・羨望と侮蔑が隣り合わせになって登場してきます。そうした認識は植民地化や戦争を通じて醸成されるとともに、観光化によってさらに強化されていることを確認します。
第 14 回	南国の楽園としての太平洋イメージ (II)	太平洋の観光化には、しばしば「南国の楽園」という他者イメージが強く作用しています。ここではハワイやグアムの事例を取り上げながら、特に日米による太平洋認識の一端を確認します。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各 3 時間を標準とします。参考書の欄にあげた文献や授業中に紹介した文献などを自主的に読み、授業で取り上げるテーマについての理解を深めましょう。

## 【テキスト（教科書）】

特に指定しません。

### 【参考書】

- ・石川榮吉『日本人のオセアニア発見』平凡社、1992年 5,600円
- ・石森大知・丹羽典生編著『エリア・スタディーズ 176 太平洋諸島の歴史を知るための 60 章—日本とのかかわり』明石書店、2019年 税別 2,000円
- ・印東道子編著『エリア・スタディーズ 51 ミクロネシアを知るための 60 章【第 2 版】』明石書店、2015年 税別 2,000円
- ・春日直樹編『太平洋世界叢書 2 オセアニア・ポストコロニアル』国際書院、2002年 税別 2,800円
- ・金澤周作監修・藤井崇ほか編著『論点・西洋史学』ミネルヴァ書房、2020年 税別 3,200円
- ・ジェームズ・クック（増田義郎訳）『クック 太平洋探検 1～6』岩波文庫、2004～2005年 税別各 800円
- ・小山哲ほか編著『大学で学ぶ西洋史【近現代】』ミネルヴァ書房、2011年 税別 2,800円
- ・佐藤幸男編『太平洋世界叢書 1 世界史のなかの太平洋』国際書院、1998年 税別 2,800円
- ・塩田光喜『太平洋文明航海記—キャプテン・クックから米中の制海権をめぐる争いまで』明石書店、2014年 税別 2,200円
- ・エティエンヌ・タイユミット（増田義郎監修、中村健一訳）『知の再発見双書 33 太平洋探検史—幻の大陸を求めて』創元社、1993年 1,359円
- ・瀧田佳子編『変貌するアメリカ太平洋世界 6 太平洋世界の文化とアメリカ—多文化主義・土着・ジェンダー』彩流社、2005年 税別 3,800円
- ・中山京子編著『エリア・スタディーズ 105 グラム・サイパン・マリアナ諸島を知るための 54 章』明石書店、2012年 税別 2,000円
- ・増田義郎『太平洋—開かれた海の歴史』集英社新書、2004年 税別 700円
- ・矢口祐人『ハワイの歴史と文化—悲劇と誇りのモザイクの中で』中公新書、2002年 税別 840円
- 『憧れのハワイ—日本人のハワイ観』中央公論新社、2011年 税別 2,000円
- ・山内昌之・古田元夫編『日本イメージの交錯—アジア太平洋のトボス』東京大学出版会、1997年 税別 1,800円
- ・山口誠『グラムと日本人—戦争を埋立てた楽園』岩波新書、2007年 税別 740円
- ・山中速人『イメージの「楽園」—観光ハワイの文化史』筑摩書房、1992年 税別 1,359円
- 『ハワイ』岩波新書、1993年 税別 620円
- 『世界史リブレット 64 ヨーロッパからみた太平洋』山川出版社、2004年 税別 729円
- ・吉岡政徳・石森大知編著『エリア・スタディーズ 82 南太平洋を知るための 58 章』明石書店、2010年 税別 2,000円
- ・和田光弘編著『大学で学ぶアメリカ史』ミネルヴァ書房、2014年 税別 3,000円

### 【成績評価の方法と基準】

成績評価の方法と基準は、平常点（毎回のワークシートの提出状況・記述状況、受講態度）30%ならびに期末レポート 70%の割合で、(1) 毎回の授業に積極的に参加しているかどうか (2) 太平洋をめぐる欧米諸国や日本の認識について関心と理解が深められているかどうかを判断します。

### 【学生の意見等からの気づき】

写真や映像資料を用いることで授業内容の理解を促すとともに、ワークシートのやり取りによるフィードバックを実施しています。

### 【その他の重要事項】

本授業は西洋史 LB との関わりが大きいので、関心のある学生は西洋史 LB の受講も勧めます。

### 【Outline (in English)】

授業概要 (Course outline)

From the end of the 19th century to the first half of the 20th century, the race to acquire colonies by Western powers intensified, and Western powers and Japan expanded their power in Africa, Asia, and other parts of the world. The involvement of Western nations and Japan with the Pacific world, even before colonization, was through exploratory voyages, whaling ships, traders, and missionaries, and over the ages, envy and contempt were mixed together. The aim of this course is to help students acquire a bird's-eye view about Western and Japanese perceptions of these Pacific islands.

到達目標 (Learning Objectives)

The goal of this course is to deepen our own understanding of the change of Western and Japanese perceptions toward the Pacific world in the context of historical background. Western and Japanese images of the “other” have often been a mixture of envy and contempt, and this way of perceiving the other has also been evident in the Pacific islands. At the end of the course, students are expected to grasp a part of the change of the Western world's perception of the “other”.

授業時間外の学習 (Learning activities outside of classroom)

Before/after each class meeting, students will be expected to spend three hours to understand the course content. Students are encouraged to deepen their understanding of the topics to be covered in the class by independently reading the references listed in the reference section and other literature introduced in the class.

成績評価の方法と基準 (Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end report: 70%, in class contribution (submission and description of worksheets at each session, and course attitude): 30%

HIS200LA

## 西洋史 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：西洋世界と太平洋地域形成

## 新井 隆

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 5/Tue.5

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

19 世紀末から 20 世紀前半にかけて、欧米列強による植民地獲得競争が激化し、アフリカやアジアなど世界各地に欧米列強や日本が勢力を拡大させていきました。その結果生じた列強間の対立はやがて二度の世界大戦につながり、太平洋の島々にも植民地支配と戦争が大きな影響を与えることになりました。本授業ではこれらの歴史的背景を踏まえた上で、太平洋の地域形成について、特に 19-20 世紀における日米との関わりを中心に学習します。

## 【到達目標】

19-20 世紀における太平洋地域形成の流れについて、歴史的な背景を踏まえながら、自らの理解が深まることを目標とします。現在太平洋に関する名称については、オセアニアやミクロネシア、ポリネシア、メラネシアなどいくつかの呼称が用いられています。これらの呼び名が用いられるようになった背景には、欧米諸国や日本による植民地支配や戦争の影響が色濃く見られます。この授業では、太平洋をめぐる各国の相剋の事例をいくつか取り上げながら、太平洋地域形成の流れが掴めるようになることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

この授業では内容理解の確認とフィードバックのために、適宜ワークシートを配布するので、各自授業内容のポイントを振り返りながら適宜気づいた点や疑問点を書き込んで提出してもらいます。ワークシートの記載内容は、授業のフィードバックに活用すると同時に、期末レポート作成の際に参照可とするので、各自その点を踏まえた上で取り組むこと。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	本授業の概要説明ならびに簡単なアイスブレイク
第 2 回	西洋と太平洋の関わり (I) 一西洋世界の太平洋認識のはじまり	大航海時代からクックらによる探検航海の進展までを通じて、西洋世界が太平洋を認識するようになり、関わりを深めていく過程を概観します。
第 3 回	西洋と太平洋の関わり (II) 一西洋世界による太平洋像の把握	数々の探検航海により太平洋の全体像を把握していった西洋世界が捕鯨船、貿易、キリスト教伝道、植民地化などを通じて、一つの地域として太平洋を認識していく過程を押さえます。

第 4 回	西洋諸国による太平洋進出の論理 一列強による世界分割の論理と太平洋の地域形成	19 世紀末から 20 世紀はじめにかけて、欧米列強は世界各地で植民地獲得競争に明け暮れ、太平洋地域でも各国の勢力争いが繰り広げられました。ここでは欧米諸国や日本が太平洋に各々の勢力を伸張させたねらいを押さえながら、太平洋の地域形成の流れを確認します。
第 5 回	アメリカによる太平洋進出の論理 (I) 一マニフェスト・デスティニー（明白なる天命）と西漸運動の拡大	アメリカ合衆国の領土拡大と密接な関わりを持っていたマニフェスト・デスティニーが太平洋への進出にもつながっていったことを確認します。
第 6 回	アメリカによる太平洋進出の論理 (II) 一太平洋におけるアメリカの覇権拡大の端緒	19 世紀末の米西戦争やハワイ王国の転覆・併合を通して、海外領土の獲得に踏み切っていくアメリカ合衆国の太平洋との関わりについて、軍事的政治的な観点を踏まえて理解します。
第 7 回	日本による太平洋進出の論理 (I) 一日本のミクロネシア占領と南洋群島	日本は第一次世界大戦を契機にミクロネシア地域を軍事占領し、のちに「南洋群島」として支配下に置きます。ここでは、日本が南洋群島として同地域を規定していく過程を概観します。
第 8 回	日本による太平洋進出の論理 (II) 一日本の南洋群島支配と太平洋地域形成	植民地支配の潮流が世界を覆う中で、日本は国際連盟の C 式委任統治領として南洋群島を支配下に置くことになります。ここでは、日米の政治的な緊張関係の醸成が太平洋の地域形成に与えた影響を理解します。
第 9 回	日米の軍事的相剋と太平洋地域形成の変容 一太平洋における日米の軍事的なせめぎ合い	日米が互いに太平洋に勢力を伸張させる中で、やがて軍事的対立を深めていく過程を太平洋地域形成との関わりで理解します。
第 10 回	戦後太平洋世界における地域形成 (I) 一戦略的信託統治領としての太平洋	第二次世界大戦後の太平洋（ミクロネシア）では、アメリカが国際連合下の戦略的信託統治領として、同地域を管轄していました。ここでは、冷戦対立が深まる戦後世界における太平洋地域形成について理解を深めます。
第 11 回	戦後太平洋世界における地域形成 (II) 一冷戦下における太平洋の島々と核実験	戦後アメリカやフランス、イギリスなどが太平洋の島々で多くの核実験を実施しました。その影響について、戦後における太平洋地域形成との関わりで理解します。
第 12 回	太平洋島嶼国の「独立」と地域形成 (I) 一太平洋における脱植民地化の進展と課題	1970 年代から 90 年代にかけて、太平洋地域でも脱植民地化の流れが進み、「独立」を達成する国も登場してきます。しかし、その独立に至る過程を眺めてみると、大国との関係構築が決して一筋縄ではいかなかった様子が見えてきます。ここでは、主に戦後におけるアメリカと太平洋島嶼国・地域との関係構築の変遷を追っていきます。
第 13 回	太平洋島嶼国の「独立」と地域形成 (II) 一軍事化・観光化された「南国の楽園」	太平洋の島々では、しばしば「南国の楽園」という他者イメージが強く作用することで観光化が進んだり、主に米軍による島の軍事化が推進されたりしてきました。ここではハワイやグアムの事例を取り上げながら、太平洋地域における軍事化・観光化と地域形成のつながりを理解します。



第 14 回 太平洋をめぐる地域形成の系譜とオセアニア・オリエンタリズム—太平洋を語る主体とは

太平洋をめぐっては、これまでに欧米諸国や日本から様々な名称で呼ばれてきました。ここでは、太平洋をめぐる呼称の裏に、植民地支配や戦争など様々な歴史的背景が絡んでいたことを改めて確認するとともに、そうした呼称の主体が太平洋の地域形成と密接に関わっていたことを理解します。

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

本授業の準備学習・復習時間は、各 3 時間を標準とします。参考書の欄にあげた文献や授業中に紹介した文献などを自主的に読み、授業で取り上げるテーマについての理解を深めましょう。

**【テキスト（教科書）】**

教科書は特に指定しません。

**【参考書】**

・麻田貞雄『両大戦間の日米関係—海軍と政策決定過程』東京大学出版会、1993 年 定価 7,828 円

・麻田貞雄編・訳『マハン海上権力論集』講談社学術文庫、2010 年 税別 920 円

※同書は『アメリカ古典文庫 8 アルフレッド・T・マハン』研究社出版、1977 年をもとに「解説」などの加筆修正を行い、再編集されたものである

・浅野豊美編『南洋群島と帝国・国際秩序』慈学社出版、2007 年 税別 6,000 円

・ロニー・アレキサンダー『大きな夢と小さな島々—太平洋島嶼国の非核化にみる新しい安全保障観』国際書院、1992 年 3,200 円

・池上大祐『アメリカの太平洋戦略と国際信託統治—米國務省の戦後構想 1942~1947』法律文化社、2014 年 税別 3,700 円

・石森大知・丹羽典生編著『エリア・スタディーズ 176 太平洋諸島の歴史を知るための 60 章』明石書店、2019 年 税別 2,000 円

・今泉裕美子「日本の軍政期南洋群島統治（1914-22）」『国際関係学研究』（17）（別冊）、1990 年

—「日本軍による支配の実態と民衆の抵抗—ミクロネシア」『歴史評論』（508）、1992 年

—「南洋群島委任統治政策の形成」大江志乃夫・浅田喬二ほか編『岩波講座 近代日本と植民地 4 統合と支配の論理』岩波書店、1993 年

—「太平洋の「地域」形成と日本—日本の南洋群島統治から考える」大津透・桜井英治・藤井謙二ほか編『岩波講座 日本歴史 第 20 巻 地域論（テーマ巻 1）』岩波書店、2014 年

・印東道子編著『エリア・スタディーズ 51 ミクロネシアを知るための 60 章【第 2 版】』明石書店、2015 年 税別 2,000 円

・遠藤泰生・油井大三郎編『変貌するアメリカ太平洋世界 1 太平洋世界の中のアメリカ—対立から共生へ』彩流社、2004 年 税別 3,800 円

・大庭三枝『アジア太平洋地域形成への道程—境界国家日豪のアイデンティティ模索と地域主義』ミネルヴァ書房、2004 年 税別 6,000 円

・春日直樹編『太平洋世界叢書 2 オセアニア・ポストコロニアル』国際書院、2002 年 税別 2,800 円

・春日直樹編『オセアニア・オリエンタリズム』世界思想社、1999 年 税別 3,500 円

・金澤周作監修・藤井崇ほか編著『論点・西洋史学』ミネルヴァ書房、2020 年 税別 3,200 円

・キース・L・カマチョ（西村明・町泰樹訳）『戦禍を記念する—グアム・サイパンの歴史と記憶』岩波書店、2016 年 税別 5,400 円

・紀平英作・油井大三郎編著『シリーズ・アメリカ研究の越境 第 5 巻 グローバリゼーションと帝国』ミネルヴァ書房、2006 年 税別 3,500 円

・ジェームズ・クック（増田義郎訳）『クック 太平洋探検 1~6』岩波文庫、2004~2005 年 税別各 800 円

・熊谷圭知・塩田光喜編『マタンギ・パシフィック—太平洋島嶼国の政治・社会変動』アジア経済研究所、1994 年 4,800 円

・小林泉『アメリカ極秘文書と信託統治の終焉—ソロモン報告・ミクロネシアの独立』東信堂、1994 年 定価 3,811 円

・小山哲ほか編著『大学で学ぶ西洋史【近現代】』ミネルヴァ書房、2011 年 税別 2,800 円

・酒井一臣『近代日本外交とアジア太平洋秩序』昭和堂、2009 年 税別 4,700 円

・佐藤幸男編『太平洋世界叢書 1 世界史のなかの太平洋』国際書院、1998 年 税別 2,800 円

・塩田光喜編『海洋島嶼国家の原像と変貌』アジア経済研究所、1997 年 定価 4,738 円

・塩田光喜『太平洋文明航海記—キャプテン・クックから米中の海権をめぐる争いまで』明石書店、2014 年 税別 2,200 円

・清水昭俊・吉岡政徳編『オセアニア 3 近代に生きる』東京大学出版会、1993 年 3,090 円

・エティエンヌ・タイユミット（増田義郎監修、中村健一訳）『知の再発見双書 33 太平洋探検史—幻の大陸を求めて』創元社、1993 年 税別 1,359 円

・高橋章『アメリカ帝国主義成立史の研究』名古屋大学出版会、1999 年 税別 5,800 円

・田所昌幸・阿川尚之編『海洋国家としてのアメリカ—バクス・アメリカ—ナへの道』千倉書房、2013 年 税別 3,400 円

・等松春夫『日本帝国と委任統治—南洋群島をめぐる国際政治 1914-1947』名古屋大学出版会、2011 年 税別 6,000 円

・長島伶央『アメリカとグアム—植民地主義、レイシズム、先住民』有信堂高文社、2015 年 税別 6,000 円

・中野聡『歴史経験としてのアメリカ帝国—米比関係史の群像』岩波書店、2007 年 税別 3,500 円

・原貴美恵『サンフランシスコ平和条約の盲点—アジア太平洋地域の冷戦と「戦後未解決の諸問題」』淡水社、2005 年 税別 3,500 円

・藤原帰一『デモクラシーの帝国—アメリカ・戦争・現代世界』岩波新書、2002 年 税別 740 円

・古矢旬『アメリカニズム—「普遍国家」のナショナリズム』東京大学出版会、2002 年 5,800 円

—『アメリカ 過去と現在の間』岩波新書、2004 年 税別 740 円

・古矢旬・山田史郎編著『シリーズ・アメリカ研究の越境 第 2 巻 権力と暴力』ミネルヴァ書房、2007 年 税別 3,500 円

・ジョン・C・ペリー（北太平洋国際関係史研究会訳）『西へ！—アメリカ人の太平洋開拓史』PHP 研究所、1998 年 3,780 円

・増田義郎『太平洋—開かれた海の歴史』集英社新書、2004 年 税別 700 円

・松島泰勝『ミクロネシア—小さな島々の自立への挑戦』早稲田大学出版部、2007 年

・矢崎幸生『ミクロネシア信託統治の研究』御茶の水書房、1999 年 8,000 円

・矢野暢『「南進」の系譜：日本の南洋史観』千倉書房、2009 年（新版） 税別 5,000 円

※初版は、『「南進」の系譜』1975 年ならびに『日本の南洋史観』1979 年として、いずれも中公新書から出版されている

・山中速人『世界史リブレット 64 ヨーロッパからみた太平洋』山川出版社、2004 年 税別 729 円

・山本吉宣編『変貌するアメリカ太平洋世界 3 アジア太平洋の安全保障とアメリカ』彩流社、2005 年 税別 3,800 円

・油井大三郎『好戦の共和国—アメリカ戦争の記憶をたどる』岩波新書、2008 年 税別 780 円

・渡辺昭夫『アジア・太平洋の国際関係と日本』東京大学出版会、1992 年 定価 3,708 円

**【成績評価の方法と基準】**

成績評価の方法と基準は、平常点（毎回のワークシートの提出状況・記述状況、受講態度）30%ならびに期末レポート 70%の割合で、(1) 毎回の授業に積極的に参加しているかどうか (2) 欧米諸国や日本との歴史的な関わりを踏まえつつ、太平洋地域形成の変容について各自の関心と理解が深められているかどうかを判断します。

**【学生の意見等からの気づき】**

写真や映像資料を用いることで授業内容の理解を促すとともに、ワークシートのやり取りによるフィードバックを実施しています。

**【その他の重要事項】**

本授業は西洋史 LA との関わりが深いため、同授業も受講しておく、より理解が深まります。

**【Outline (in English)】**

授業概要 (Course outline)

From the end of the 19th century to the first half of the 20th century, the race to acquire colonies by Western powers intensified, and Western powers and Japan expanded their power in Africa, Asia, and other parts of the world. As a result, the conflict between the powers eventually led to two world wars, and colonial rule and warfare had a major impact on the Pacific islands. Based on these historical backgrounds, the aim of this course is to help students acquire their own understanding of the regional formation in the Pacific Ocean, especially its relationship with Japan and the U.S. in the 19th and 20th centuries.

到達目標 (Learning Objectives)

The goal of this course is to deepen their own understanding of the formation of the Pacific region in the 19th and 20th centuries, while providing historical background. Currently, several names are used to refer to the Pacific Ocean, including Oceania, Micronesia, Polynesia, and Melanesia. The background to the use of these names is strongly influenced by the colonial rule and wars waged by Western countries and Japan. At the end of the course, students are expected to grasp the flow of the formation of the Pacific region by discussing several examples of conflicts among countries over the Pacific Ocean.

授業時間外の学習 (Learning activities outside of classroom)

Before/after each class meeting, students will be expected to spend three hours to understand the course content. Students are encouraged to deepen their understanding of the topics to be covered in the class by independently reading the references listed in the reference section and other literature introduced in the class.

成績評価の方法と基準 (Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end report: 70%, in class contribution (submission and description of worksheets at each session, and course attitude): 30%

HIS200LA

## 西洋史 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

## 渡辺 知

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 1/Thu.1

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

16 世紀以降、イギリス人は積極的に海外に進出し、一大帝国を築くに至ります。近年のイギリス史研究では帝国の存在がイギリスの歴史を強く規定してきたことを強調する傾向にあります。また、イギリス帝国への関心はその経済的側面に留まらず、文化や社会のあり方にまで広がっています。この授業では、こうしたイギリス帝国の多様なあり方を見ていくこととします。

## 【到達目標】

ただ、過去の事実の確認にとどまらず、それがなぜ起きたのか、また、過去の出来事が現在のイギリスの社会といかに関係するのか、あるいは、イギリスの動向が世界のその他の地域の動向といかに密接に結びついているのかといった点に力点を置きつつ、歴史学における多様なものの捉え方をあわせて提示できればと希望します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

講義を行います。リアクションペーパー等でのコメント、質問は随時授業内で紹介し、さらなる議論に活かします。大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。詳細は学習支援システムで伝達します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	授業内容の紹介	16 世紀から 19 世紀にかけてのイギリスの歴史の流れを概観します。
第 2 回	16 世紀のイギリス 1	パラ戦争や宗教改革、ウェールズとの合同を通じて国家統合が進む過程を説明します。
第 3 回	16 世紀のイギリス 2	16 世紀のイギリス経済が停滞していたこと、それに伴って浮浪者問題など社会が混乱していたことを説明します。
第 4 回	イギリス帝国の形成 1	15 世紀末からの初期の海外進出から 17 世紀初頭の海外進出が軌道に乗るまでの過程を説明します。
第 5 回	イギリス帝国の形成 2	17 世紀ヘゲモニー国家として繁栄したオランダと対立する中、航海法体制を確立する過程を説明します。
第 6 回	イギリス帝国の形成 3	17 世紀末からのフランスとの対立の中 18 世紀中頃に第一帝国を完成させる過程を説明します。
第 7 回	イギリス商業革命 1	イギリス帝国の形成がイギリスの経済にどのような影響を与えたのか貿易面に焦点をあて説明します。

第 8 回 イギリス商業革命 2 イギリス帝国の形成が貿易に留まらず、経済全般に影響を与え、結果、産業革命をもたらした過程を説明します。

第 9 回 イギリス生活革命 イギリス帝国の形成がイギリスの生活文化に与えた影響について説明します。

第 10 回 砂糖と西インド諸島 イギリス商業革命、イギリス生活革命で重要な役割を果たしたのが砂糖ですが、その生産を行っていた西インド諸島がその結果低開発の道を進むことになったことを説明します。

第 11 回 大西洋黒人奴隷貿易 イギリスは植民地経営に必要な労働力を獲得する手段として大西洋黒人奴隷貿易を盛んに行いました。この貿易がイギリス帝国およびアフリカに与えた影響について説明します。

第 12 回 13 植民地の独立 13 植民地の独立の過程と独立がイギリスに与えた影響について説明します。

第 13 回 産業革命と帝国 産業革命の展開と帝国が果たした役割について説明します。

第 14 回 試験・まとめと解説 第一イギリス帝国の形成がイギリスの内外に与えた影響について総括します

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講義の前に前回のノートを読み返して下さい。また、紹介する参考文献を積極的に読むようにして下さい。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

特に使用しません。

## 【参考書】

授業中に適宜紹介します。

## 【成績評価の方法と基準】

授業の区切りにリアクションペーパー等を書いて頂き、この提出をもって平常点とします。これら平常点と学期末の試験の総合評価とします（平常点 20 %、学期末の試験 80 %）。

## 【学生の意見等からの気づき】

視覚教材を積極的に活用したいと思います。

## 【Outline (in English)】

< Course outline >

British History from the 16th century to the 19th century

In this lecture, the formation of the British Empire and the influence of the empire on Britain and her dependencies will be discussed.

< Learning objectives >

- 1) Students are able to acquire basic knowledge about modern and contemporary British history
- 2) Students are able to understand British history in view of its interaction with the rest of the world.
- 3) Students are able to learn diverse perspectives in history.

< Learning activities outside of classroom >

Students have to spend at least two hours on preparation for and review of each class respectively. They are expected to read relevant books and learn by themselves.

< Grading policy >

Class participation and assignments: 20% Final examination: 80%

HIS200LA

## 西洋史 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：『古代アテナイの法と社会-殺人訴訟を中心に-』

内川 勇海

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 1/Thu.1

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

都市国家アテナイでは、紀元前 6 世紀末から前 4 世紀後半まで、高度に発達した民主政の下で人々が生活していた。民主政アテナイにおいては様々な行政制度が精緻に整備され、司法制度も例外ではなかった。本講義では、アテナイ民主政の成立と発展を概観したのち、アテナイの司法制度、特に殺人訴訟の事例に注目することで、当時の司法制度運用の実態と、殺人事件への人々の対応について考察する。その際、法制度の枠に留まらず、当時の倫理規範や宗教観念が、殺人訴訟に対してどのような影響を与えたのかという点についても論じる。

## 【到達目標】

古代アテナイ民主政の仕組みを理解するとともに、アテナイで行われた殺人訴訟の事例の検討を通じて、アテナイの司法制度の運用実態に関する知見を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

プリントを用いて講義形式を進める。必要に応じて授業内で質問やリアクションペーパーの記入を求めることもある。質問は主なものを取り上げ、次回授業でコメントする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】  
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	本講義の目的と概要について説明する。
第 2 回	アテナイ民主政の成立と発展①	アテナイの司法制度を理解するための前提として、アテナイ民主政の成立と発展について説明する。
第 3 回	アテナイ民主政の成立と発展②	第 2 回に引き続き、アテナイ民主政の成立と発展について説明する。
第 4 回	アテナイ司法制度概観①	アテナイの法律と裁判制度について説明する。
第 5 回	アテナイ司法制度概観②	第 4 回に引き続き、アテナイの法律と裁判制度について説明する。
第 6 回	アテナイ殺人法概観①	古代アテナイの殺人関連の法律や訴訟手続について説明する。
第 7 回	アテナイ殺人法概観②	第 6 回に引き続き、古代アテナイの殺人関連の法律や訴訟手続について説明する。
第 8 回	アテナイの殺人訴訟① — 有罪殺人・殺意を有する傷害・毒殺・放火	アレオス・バゴス評議会で裁かれた殺人事件について説明する。
第 9 回	アテナイの殺人訴訟② — 無意志殺人・殺人計画・在留外人、外国人、奴隷の殺害	パッラディオンの神域で裁かれた殺人事件について説明する。

第 10 回	アテナイの殺人訴訟③ — 合法殺人	デルフィニオンの神域で裁かれた殺人事件について説明する。
第 11 回	アテナイの殺人訴訟④ — 国外追放中の殺人犯が犯した別の殺人に対する訴訟	プレアトスの神域で裁かれた殺人事件について説明する。
第 12 回	アテナイの殺人訴訟⑤ — 犯人不明、動物、無生物による殺人	プリュタネイオンで裁かれた殺人事件について説明する。
第 13 回	アテナイの殺人訴訟⑥ — 特殊事例	民衆法廷で裁かれた殺人事件、および殺人に関連した罪について説明する。
第 14 回	全体のまとめ	半年間の講義を振り返り、全体のまとめを行う。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とする。必要に応じて参考書や配布プリントを読み、予習・復習を行うこと。

## 【テキスト（教科書）】

特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。

## 【参考書】

『民主主義の源流』、橋場弦、講談社学術文庫、2016 年  
他の文献は授業内で適宜指示する。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 50 % \* 毎授業後のリアクションペーパーの内容によって評価する。  
最終レポート 50 %

## 【学生の意見等からの気づき】

図像資料の提供を増やす。適宜休憩をはさむ。

## 【学生が準備すべき機器他】

第 1 回の授業はオンライン形式で行うため、オンライン授業を履修するために必要なデバイスおよび通信環境。

## 【その他の重要事項】

第 2 回以降は対面形式を予定しているが、新型コロナウイルス感染症の流行状況により、一部オンライン形式に変更する可能性がある。その際は前日までにアナウンスする。

## 【Outline (in English)】

< Course outline > After overviewing the development of ancient Athenian democracy, we will focus on Athenian legal system and how it works. In particular, homicide trials will be discussed in detail.

< Learning objectives > Students are able to understand ancient Athenian legal system and how it works.

< Learning activities outside of classroom > Students have to spend at least two hours on preparation for and review of each class respectively. They are expected to read relevant books, such as those listed in the reference section, and learn by themselves. They also have to work on assignments given by the instructor.

< Grading policy > Class participation and assignments: 50%  
Final examination or report  
(TBA): 50%

HIS200LA

## 西洋史 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

## 渡辺 知

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 2/Thu.2

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

16 世紀以降、イギリス人は積極的に海外に進出し、一大帝国を築くに至ります。近年のイギリス史研究では帝国の存在がイギリスの歴史を強く規定してきたことを強調する傾向にあります。また、イギリス帝国への関心はその経済的側面に留まらず、文化や社会のあり方にまで広がっています。この授業では、こうしたイギリス帝国の多様なあり方を見ていくこととします。

## 【到達目標】

ただ、過去の事実の確認にとどまらず、それがなぜ起きたのか、また、過去の出来事が現在のイギリスの社会といかに関係するのか、あるいは、イギリスの動向が世界のその他の地域の動向といかに密接に結びついているのかといった点に力点を置きつつ、歴史学における多様なものの捉え方をあわせて提示できればと希望します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

講義を行います。リアクションペーパー等でのコメント、質問は随時授業内で紹介し、さらなる議論に活かします。大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。詳細は学習支援システムで伝達します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	授業内容の紹介	16 世紀から 19 世紀にかけてのイギリスの歴史の流れを概観します。
第 2 回	16 世紀のイギリス 1	パラ戦争や宗教改革、ウェールズとの合同を通じて国家統合が進む過程を説明します。
第 3 回	16 世紀のイギリス 2	16 世紀のイギリス経済が停滞していたこと、それに伴って浮浪者問題など社会が混乱していたことを説明します。
第 4 回	イギリス帝国の形成 1	15 世紀末からの初期の海外進出から 17 世紀初頭の海外進出が軌道に乗るまでの過程を説明します。
第 5 回	イギリス帝国の形成 2	17 世紀ヘゲモニー国家として繁栄したオランダと対立する中、航海法体制を確立する過程を説明します。
第 6 回	イギリス帝国の形成 3	17 世紀末からのフランスとの対立の中 18 世紀中頃に第一帝国を完成させる過程を説明します。
第 7 回	イギリス商業革命 1	イギリス帝国の形成がイギリスの経済にどのような影響を与えたのか貿易面に焦点をあて説明します。

第 8 回	イギリス商業革命 2	イギリス帝国の形成が貿易に留まらず、経済全般に影響を与え、結果、産業革命をもたらした過程を説明します。
第 9 回	イギリス生活革命	イギリス帝国の形成がイギリスの生活文化に与えた影響について説明します。
第 10 回	砂糖と西インド諸島	イギリス商業革命、イギリス生活革命で重要な役割を果たしたのが砂糖ですが、その生産を行っていた西インド諸島がその結果低開発の道を進むことになったことを説明します。
第 11 回	大西洋黒人奴隷貿易	イギリスは植民地経営に必要な労働力を獲得する手段として大西洋黒人奴隷貿易を盛んに行いました。この貿易がイギリス帝国およびアフリカに与えた影響について説明します。
第 12 回	13 植民地の独立	13 植民地の独立の過程と独立がイギリスに与えた影響について説明します。
第 13 回	産業革命と帝国	産業革命の展開と帝国が果たした役割について説明します。
第 14 回	試験・まとめと解説	第一イギリス帝国の形成がイギリスの内外に与えた影響について総括します

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講義の前に前回のノートを読み返して下さい。また、紹介する参考文献を積極的に読むようにして下さい。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

特に使用しません。

## 【参考書】

授業中に適宜紹介します。

## 【成績評価の方法と基準】

授業の区切りにリアクションペーパー等を書いて頂き、この提出をもって平常点とします。これら平常点と学期末の試験の総合評価とします（平常点 20 %、学期末の試験 80 %）。

## 【学生の意見等からの気づき】

視覚教材を積極的に活用したいと思います。

## 【Outline (in English)】

< Course outline >

British History from the 16th century to the 19th century

In this lecture, the formation of the British Empire and the influence of the empire on Britain and her dependencies will be discussed.

< Learning objectives >

- 1) Students are able to acquire basic knowledge about modern and contemporary British history
- 2) Students are able to understand British history in view of its interaction with the rest of the world.
- 3) Students are able to learn diverse perspectives in history.

< Learning activities outside of classroom >

Students have to spend at least two hours on preparation for and review of each class respectively. They are expected to read relevant books and learn by themselves.

< Grading policy >

Class participation and assignments: 20% Final examination: 80%

HIS200LA

## 西洋史 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：『古代アテナイの法と社会-殺人訴訟を中心に-』

内川 勇海

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 2/Thu.2

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

都市国家アテナイでは、紀元前 6 世紀末から前 4 世紀後半まで、高度に発達した民主政の下で人々が生活していた。民主政アテナイにおいては様々な行政制度が精緻に整備され、司法制度も例外ではなかった。本講義では、アテナイ民主政の成立と発展を概観したのち、アテナイの司法制度、特に殺人訴訟の事例に注目することで、当時の司法制度運用の実態と、殺人事件への人々の対応について考察する。その際、法制度の枠に留まらず、当時の倫理規範や宗教観念が、殺人訴訟に対してどのような影響を与えたのかという点についても論じる。

## 【到達目標】

古代アテナイ民主政の仕組みを理解するとともに、アテナイで行われた殺人訴訟の事例の検討を通じて、アテナイの司法制度の運用実態に関する知見を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

プリントを用いて講義形式で進める。必要に応じて授業内で質問やリアクションペーパーの記入を求めることもある。質問は主なものを取り上げ、次回授業でコメントする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】  
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	本講義の目的と概要について説明する。
第 2 回	アテナイ民主政の成立と発展①	アテナイの司法制度を理解するための前提として、アテナイ民主政の成立と発展について説明する。
第 3 回	アテナイ民主政の成立と発展②	第 2 回に引き続き、アテナイ民主政の成立と発展について説明する。
第 4 回	アテナイ司法制度概観①	アテナイの法律と裁判制度について説明する。
第 5 回	アテナイ司法制度概観②	第 4 回に引き続き、アテナイの法律と裁判制度について説明する。
第 6 回	アテナイ殺人法概観①	古代アテナイの殺人関連の法律や訴訟手続について説明する。
第 7 回	アテナイ殺人法概観②	第 6 回に引き続き、古代アテナイの殺人関連の法律や訴訟手続について説明する。
第 8 回	アテナイの殺人訴訟① 一有意思殺人・殺意を有する傷害・毒殺・放火	アレイオス・バゴス評議会で裁かれた殺人事件について説明する。
第 9 回	アテナイの殺人訴訟② 一無意志殺人・殺人計画・在留外人、外国人、奴隷の殺害	パッラディオンの神域で裁かれた殺人事件について説明する。

第 10 回	アテナイの殺人訴訟③ 一合法殺人	デルフィニオンの神域で裁かれた殺人事件について説明する。
第 11 回	アテナイの殺人訴訟④ 一国外追放中の殺人犯が犯した別の殺人に対する訴訟	プレアトスの神域で裁かれた殺人事件について説明する。
第 12 回	アテナイの殺人訴訟⑤ 一犯人不明、動物、無生物による殺人	ブリュタネイオンで裁かれた殺人事件について説明する。
第 13 回	アテナイの殺人訴訟⑥ 一特殊事例	民衆法廷で裁かれた殺人事件、および殺人に関連した罪について説明する。
第 14 回	全体のまとめ	半年間の講義を振り返り、全体のまとめを行う。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とする。必要に応じて参考書や配布プリントを読み、予習・復習を行うこと。

## 【テキスト（教科書）】

特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。

## 【参考書】

『民主主義の源流』、橋場弦、講談社学術文庫、2016 年  
他の文献は授業内で適宜指示する。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 50 % \*出席の他、リアクションペーパーの内容によって評価する。  
最終レポート 50 %

## 【学生の意見等からの気づき】

図像資料の提供を増やす。適宜休憩をはさむ。

## 【学生が準備すべき機器他】

第 1 回の授業はオンライン形式で行うため、オンライン授業を履修するために必要なデバイスおよび通信環境。

## 【その他の重要事項】

第 2 回以降は対面形式を予定しているが、新型コロナウイルス感染症の流行状況により、一部オンライン形式に変更する可能性がある。その際は前日までにアナウンスする。

## 【Outline (in English)】

< Course outline > After overviewing the development of ancient Athenian democracy, we will focus on Athenian legal system and how it works. In particular, homicide trials will be discussed in detail.

< Learning objectives > Students are able to understand ancient Athenian legal system and how it works.

< Learning activities outside of classroom > Students have to spend at least two hours on preparation for and review of each class respectively. They are expected to read relevant books, such as those listed in the reference section, and learn by themselves. They also have to work on assignments given by the instructor.

< Grading policy > Class participation and assignments: 50%  
Final examination or report  
(TBA): 50%

HIS200LA

## 日本史 L I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

森 朋久

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テーマ：日本の耕地と集落（村）の史的展開

日本の歴史のうち、日本の原風景、伝統的な景観であり、主に耕地と集落で成り立つ、村（ムラ）の歴史について、各時代の政治と経済を背景としながら、通史的に学習することができる。特に、現在の市町村の基盤となる村が成立する、近世・近代が重点となる。耕地と集落は、棚田に代表されるように、人間と自然との共同作品で、文化的景観として近年注目されている。世界的に優良なその景観は、世界遺産の選定項目となり、日本でも優良な景観は、文化財保護法、農林水産業の重要文化的景観に選定されており、文化財としての意義がある。授業では前提として、日本史研究の基礎資料である歴史資料（古文書）を読み、その重要性を理解するとともに、耕地や集落が文化財としてどのような意義があるのかを学ぶことができる。（学問分野：日本史、日本地域史、日本村落史、環境歴史学、文化財学）

## 【到達目標】

日本史研究の基礎資料である歴史資料（古文書）や耕地と集落の文化財的な意義を踏まえ、日本の農林水産業の地域基礎単位である村（ムラ）に関する通史的な学習を通じ、教科書的な理解を越え日本史に対する新たな歴史観と問題意識を形成することを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業は、基本的に対面授業の講義形式で行うが、状況に応じてハイフレックス授業を組み込む。なお、変更が生じた場合は、速やかに対面授業の場および学習支援システムの「お知らせ」機能を用いて連絡する。各回の授業は主として適宜配信または配布した資料により、シラバス通りに進める。授業内レポート提出後の授業、または学習支援システムにおいて、提出された課題からいくつかポイントを取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】  
なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	日本史における耕地と集落の意義 日本史研究の基礎
第 2 回	日本史学入門	歴史資料の提示、解説、歴史資料の内容解説、背景
第 3 回	文化財保護法と耕地と集落	文化財・重要文化的景観からみた村（耕地と集落）
第 4 回	弥生・古墳時代の村	縄文・弥生移行期、弥生・古墳時代の耕地と集落
第 5 回	古代の政治と経済	古代の村と領主支配との関係
第 6 回	古代の村	古代の開発、条里と村、荘園と村、初期武士団の村
第 7 回	中世の政治と経済	中世の村と領主支配との関係
第 8 回	中世の村	村の景観、惣村と在家、開発と経営、近世の村との関係
第 9 回	近世の村の景観	村の基本構成要素、様々な村のかたち

第 10 回	近世の村の機能	村で作成される様々な文書、ムラの運営
第 11 回	幕藩領主の農政と近世の村（1）	近世中期までの領主財政と年貢収奪
第 12 回	幕藩領主の農政と近世の村（2）	吉宗政権の年貢増徴策と新田開発、土地政策
第 13 回	近代の村	地租改正、戸長制、大区小区制、地方三新法、地方改良運動と村
第 14 回	現代の村	農地改革、昭和の市町村合併と村、高度成長下の耕地と集落

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

〈1〉準備学習：あらかじめ配信または配布した資料を一読、一覧しておくこと。各授業の時代背景を、日本史年表で調べておくことが望ましい。

〈2〉復習：日本各地の地名が出てくるので、馴染みがない地名は地名辞典などで調べておくこと。授業内レポートに備えて、授業の内容を各回まとめておくこと。

〈3〉本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とする。

## 【テキスト（教科書）】

特に定めない。適宜配信・配布した資料に沿って授業を行う。

## 【参考書】

〈1〉『村の語る日本の歴史 古代・中世編』、『村の語る日本の歴史 近世編①』、『村の語る日本の歴史 近世編②』木村礎著（1983 年 そしえて）

〈2〉『日本の農業 150 年 1850～2000 年』暉峻衆三編著（2003 年 有斐閣）

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（授業内小レポート 20%）と期末レポート（80%）で、評価を決める。

授業内レポートは授業内容の理解度に応じて、また期末レポートは課題に対する豊富な内容に応じて評価する。

## 【学生の意見等からの気づき】

オンデマンド授業資料（音声付属）を利用する場合は、形式的になる説明部分に関しては、口頭で追加の情報資源を伝える予定である。

## 【Outline (in English)】

## 【Course outline】

This course deals with the historical explores the features of the Japanese village society from the perspective of people's life and an abundant historical and geographic image.

## 【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to understand the historical features of the Japanese village society.

## 【Learning activities outside of classroom】

Before and after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

## 【Grading Criteria / Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 80%, Short class reports : 20%.

HIS200LA

## 日本史Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

森 朋久

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テーマ：江戸時代転換期における政治・経済・社会

日本の江戸時代の歴史のうち、おもに転換期となる享保改革期から田沼政治期の政治・経済・社会（農村・都市）について、地域環境の変化に留意しながら学ぶことができる。具体的には、最近の成果を取り入れながら、一般的に知られているこの時期の諸事象と諸政策が歴史上どのような意義をもつのかを理解することを学習・教育目標とする。また、江戸時代における地域の諸相や地域基礎単位であり、町人や武家の生業生活の場である「都市」および農民の生産生活の場である「村」に注目しながら、日本近世史を学ぶことができる。（学問分野：日本近世史、日本地域史、日本都市史、日本都市近郊農村史）

## 【到達目標】

江戸時代研究の重要な情報資源である近世文書や江戸時代の政治（幕政・藩政）・経済・社会（都市江戸および江戸近郊・周辺農村）に関する学習などを通し、教科書的な理解を越え当該期に対する新たな歴史観と問題意識を形成することを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業は、対面授業の講義形式で行うことを基本とするが、状況に応じてハイフレックス授業も組み込む。なお、変更が生じた場合は、速やかに対面授業の場および学習支援システムの「お知らせ」機能を用いて連絡する。各回の授業は、主として資料の配信または配付によりシラバス通りに進める。授業内レポート提出後の授業、または学習支援システムにおいて、提出された課題からいくつかポイントを取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

今年、大河ドラマの主演となった、徳川家康、その妻子（築山殿・松平信康など）も話題とする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の内容と進め方についての説明
第 2 回	吉宗政権の成立	家康～吉宗の時代推移と地域 吉宗政権の性格
第 3 回	行政機構の改革と法令の整備	老中制度及び勘定所機構の整備 法令集の編さん
第 4 回	享保改革期の農政	農政の特徴
第 5 回	都市政策の前提	都市江戸の成立と河川 武家屋敷の展開
第 6 回	都市政策の展開	江戸の防火政策 経済政策 風俗・出版統制
第 7 回	田沼政権の成立	家重政権時代の意次 意次権力の拡大
第 8 回	通貨制度の改革	江戸時代の通貨の特徴 田沼政権発行の貨幣

第 9 回	間接税の導入	百姓一揆と財政窮乏策 株仲間の役割
第 10 回	幕政と藩政 (1)	幕府の銅貨貿易と秋田藩の産銅政策
第 11 回	幕政と藩政 (2)	幕府の通貨政策と秋田藩の銭製造
第 12 回	江戸近郊の地域史	江戸の青物市場 江戸近郊農村における野菜生産と下肥流通
第 13 回	江戸周辺の地域史	利根川の歴史と流域住民の共生
第 14 回	日本通史、地域史における享保改革・田沼政治期の意義	享保改革・田沼政権期はなぜ転換期と呼ばれるのか、江戸と近郊・周辺地域との関係は如何なるものなのかを、総体的に考えていきます。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

常にノートを整理し、配信または配布した資料などを改めて読みなおすなど、次回に備えるようにしてもらいたい。なお、本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とする。

## 【テキスト（教科書）】

テキストは指定しない。適宜資料を配信・配布する。

## 【参考書】

- 〈1〉『幕藩体制の展開と動揺 上（日本歴史大系 10）』井上光貞ほか著（山川出版社）  
 〈2〉『大江戸歴史の風景』加藤貴編著（山川出版社）  
 その他、参考となる文献は、講義の中で適宜紹介する。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（授業内小レポート 20%）と期末レポート（80%）で、評価を決める。授業内レポートは授業内容の理解度に応じて、また期末レポートは課題に対する豊富な内容に応じて評価する。

## 【学生の意見等からの気づき】

一昨年度、授業で利用する資料を、対面授業教室のみではなく、オンラインでの配布を求める意見があり、昨年度は実行した。今年度も実行する予定である。

## 【Outline (in English)】

## 【Course outline】

This course deals with the historical explores the administration, the economy and the society of Japan in the early modern period including the social system of Edo and its surrounding areas.

## 【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to understand the economy and the society of Japan in the early modern period.

## 【Learning activities outside of classroom】

Before and after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

## 【Grading Criteria /Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 80%, Short class reports : 20%,



HIS200LA

## 日本史 L I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

仁平 義孝

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

鎌倉時代の幕府政治史を概観する。幕府内部で繰り返された内紛と、幕府の政治意志決定のあり方を中心に、関連する史料を読みながら検討していく。

## 【到達目標】

鎌倉幕府政治史の流れを理解し、史料に基づく検証方法を学ぶことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

この授業は講義形式で行う。講義資料を学習支援システムにて配布するので、受講生は各自でプリントアウトして受講すること。

学期内（2回の予定）と学期末にレポートを提出してもらう。レポートはすべて期限内に提出することを必須とする。学期内に課すレポートについては、最終授業で解説する。

質問は授業終了後や、学習支援システムの掲示板などで受け付ける。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業概要の説明。
2	源頼朝執政期の幕府政治 (1)	寿永 2 年 10 月宣旨、文治勅許など。
3	源頼朝執政期の幕府政治 (2)	頼朝上洛、建久 7 年の政変、頼朝執政期の評定など。
4	将軍源頼家・実朝、北条政子期の幕府政治 (1)	比企氏事件、頼家・実朝期の評定など。
5	将軍源頼家・実朝、北条政子期の幕府政治 (2)	和田合戦、承久の乱、政子期の評定など。
6	執権北条泰時・経時期の幕府政治 (1)	伊賀氏事件、連署制など。
7	執権北条泰時・経時期の幕府政治 (2)	評定、御成敗式目など。
8	執権北条泰時・経時期の幕府政治 (3)	経時の訴訟制度改革など。
9	執権北条時頼・長時期の幕府政治 (1)	寛元の政変、宝治合戦など。
10	執権北条時頼・長時期の幕府政治 (2)	引付、得宗時頼など。
11	得宗北条時宗・貞時・高時期の幕府政治 (1)	引付廃止・再設置、寄合、二月騒動など。
12	得宗北条時宗・貞時・高時期の幕府政治 (2)	霜月騒動、平禅門の乱など。
13	得宗北条時宗・貞時・高時期の幕府政治 (3)	貞時の訴訟制度改革、評定・寄合など。
14	まとめ	授業内容のまとめと学期内レポートの解説。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

参考書や授業時に紹介する文献を読む。

本授業の準備・復習時間は各 2 時間を標準とする。

## 【テキスト（教科書）】

なし。講義資料を学習支援システムにて配布する。

## 【参考書】

本郷恵子『京・鎌倉 ふたつの王権』（小学館、2008 年）  
川合 康『源平の内乱と公武政権』（吉川弘文館、2009 年）  
小林一岳『元寇と南北朝の動乱』（吉川弘文館、2009 年）  
近藤成一『鎌倉幕府と朝廷』（岩波新書、2016 年）  
その他、授業時に紹介する。

## 【成績評価の方法と基準】

学期内・学期末のレポートで総合評価する（100 %）。

## 【学生の意見等からの気づき】

講義資料のわかりにくい表現を改める。

## 【Outline (in English)】

(Course Outline)

This course studies political history of the Kamakura Shogunate.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to acquisition of the study method of the Kamakura era.

(Learning activities outside of classroom)

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

(Grading Criteria/Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following

2 mid-term reports and 1 term-end report:100%

HIS200LA

## 日本史Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

仁平 義孝

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

鎌倉幕府の基本法である御成敗式目を読む。その内容は多岐にわたるが、ここでは犯罪や訴訟手続きに関する条文を読み、鎌倉幕府法の特徴を考えていく。

## 【到達目標】

鎌倉幕府法の特徴を理解し、史料に基づく検証方法を学ぶことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

この授業は講義形式で行う。講義資料を学習支援システムにて配布するので、受講生は各自でプリントアウトして受講すること。

学期内（2回の予定）と学期末にレポートを提出してもらう。レポートはすべて期限内に提出することを必須とする。学期内に課すレポートについては、最終授業で解説する。

質問は授業終了後や、学習支援システムの掲示板などで受け付ける。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	御成敗式目について (1)	御成敗式目制定の目的などの解説。
2	御成敗式目について (2)	御成敗式目の条文構成などの解説。
3	御成敗式目第 9 条	謀叛の罪について。
4	御成敗式目第 10 条	殺害・刃傷の罪について。
5	御成敗式目第 11 条	夫の罪科の妻への縁坐について。
6	御成敗式目第 21・24 条	離婚・再婚と女性所領について。
7	御成敗式目第 32 条	盗賊・悪党を所領内に隠し置く事について。
8	御成敗式目第 33 条	強盗・窃盗・放火の罪について。
9	御成敗式目第 12 条	悪口の罪について。
10	御成敗式目第 13・14 条	段人の罪および地頭代の罪について。
11	御成敗式目第 15 条	謀書の罪について。
12	御成敗式目第 51 条	問状狼藉について。
13	御成敗式目第 35 条	召文違背の罪について。
14	まとめ	授業内容のまとめと学期内レポートの解説。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

参考書や授業時に紹介する文献を読む。

本授業の準備・復習時間は各 2 時間を標準とする。

## 【テキスト（教科書）】

なし。講義資料を学習支援システムにて配布する。

## 【参考書】

『中世政治社会思想 上』（日本思想大系 21、岩波書店、1972 年）

笠松宏至編『中世を考える 法と訴訟』（吉川弘文館、1992 年）

水林彪・大津透・新田一郎・大藤修編『法社会史』（新体系日本史 2、山川出版社、2001 年）

その他、授業時に紹介する。

## 【成績評価の方法と基準】

学期内・学期末のレポートで総合評価する（100 %）。

## 【学生の意見等からの気づき】

講義資料のわかりにくい表現を改める。

## 【Outline (in English)】

(Course Outline)

This course studies law of the Kamakura shogunate.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to acquisition of the study method of the Kamakura era.

(Learning activities outside of classroom)

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

(Grading Criteria/Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following

2 mid-term reports and 1 term-end report:100%

HIS200LA

日本史 L I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：日本中世社会をまなぶ

貫井 裕恵

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ユネスコ「世界の記憶」に採択されている国宝「東寺百合文書」をおもな題材として、歴史を学ぶための基本的な考え方を習得し、史料読解の方法を学びます。「東寺百合文書」は寺院社会のみならず、朝廷・公家・武家・民衆といったあらゆる階層の人々のすがたをいまに伝える貴重な文書群です。「東寺百合文書」を通じて日本中世社会への理解を深めましょう。\*日本史 L II もあわせて受講することを推奨します。

【到達目標】

- ・「東寺百合文書」を通じて、日本中世社会への理解を深める。
- ・歴史史料から歴史像を浮かび上がらせる醍醐味を味わう。
- ・歴史研究における論理展開の発想と、文献に基づく議論構築の手法を学ぶ。
- ・文化財のもつ多様な価値とさまざまな見方を学ぶ。
- ・くずし字に親しみ、解読できるようになる。
- ・国際社会において日本の歴史文化や文化財の魅力を説明できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に対面授業で実施しますが、大学の方針に従い、適宜柔軟に対応します。学習支援システムを通じてお知らせします。毎回の講義ごとに、レビューシート（リアクションペーパー）の提出を求めます。次の授業で、レビューシートに寄せられた疑問や質問、気づきに回答するかたちで復習を行います。授業期間内に、任意の美術館・博物館へ見学に行ってください、感想の提出を求めます（オンラインミュージアムや文化財データベースでの代替も可）。上記のレビューシート同様に、授業内で共有します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	本授業の目的と課題、評価方法などの説明
2	歴史学の流れと日本中世史	歴史学の発展と、そのなかでの日本中世史研究の大きな流れを学ぶ
3	中世社会と東寺	日本中世社会の構造と、そのなかでの東寺の位置づけなど、本授業のおおまかな流れや前提となる知識を学ぶ
4	東寺百合文書について	東寺百合文書の特徴と採択されているユネスコ「世界の記憶」について学ぶ
5	寺院組織	東寺をはじめとする中世寺院の組織と構造を学ぶ
6	史料管理（アーカイブズ）	中世寺院における史料管理のありかたを学ぶ

7	芸能	能・狂言の淵源となった、中世寺院周辺で行われた様々な芸能を学ぶ
8	喫茶文化	中世寺院における僧侶や民間における喫茶文化を学ぶ
9	寺誌・縁起	寺院における歴史叙述のありかたを学ぶ
10	絵巻	『弘法大師行状絵巻』など寺院における絵巻作成の背景や利用方法などを学ぶ
11	荘園の構造・荘園絵図の世界	中世荘園制社会について学び、荘園絵図も紹介しつつ、中世社会の諸問題を学ぶ
12	文化財を守り伝える	文化財が現代まで守り伝えられてきた意義を学ぶ
13	現代社会と歴史学研究	現代社会において歴史学を学ぶ意義を学び、受講者と討論する
14	まとめ	受講者の質疑応答とレポート内容の報告会および講評、本講義のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

適宜配布します。

【参考書】

- ・佐藤進一『新版 古文書学入門』法政大学出版局、2003 年
- ・京都府立総合資料館編『東寺百合文書にみる日本の中世』京都新聞出版センター、1998 年

【成績評価の方法と基準】

レポート 60 %、平常点 40 % で評価する。ただし、平常点には、毎回提出を求めるレビューシートでの意見・感想の内容を含む。

【学生の意見等からの気づき】

毎回提出を求めているレビューシートに基づき、次回の授業の冒頭でレビューシートの内容を紹介しながら復習を行い、授業内容のフォローアップを実施する。

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【その他の重要事項】

- ・日本史 L II もあわせて受講することを推奨します。
- ・日本の古代・中世に関心のある方はもちろん、日本の文化、美術館や博物館、文化財に興味を抱く学生の履修をとおくにお待ちしております。
- ・高校で日本史を学んでいなくても、受講に支障はありません。
- ・日本の歴史と文化、文化財の魅力を自分の言葉で海外に発信できるようにしましょう。

【Outline (in English)】

【Course outline】 The Outline of this class is learning of the medieval history of Japan. 【Learning Objectives】 The aim of this course is to help students acquire the necessary skills and knowledge needed to understand the medieval history of Japan. 【Learning activities outside of classroom】 You spend 2hours preparing and reviewing each class. 【Grading Criteria /Policy】 You need to hand over review sheets each class and reports last class.

HIS200LA

## 日本史Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：中世寺院と文化財

貫井 裕恵

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ユネスコ世界記憶遺産に採択された国宝「東寺百合文書」をおもな題材として、歴史を学ぶための基本的な考え方を習得し、史料読解の方法を身につけます。「東寺百合文書」は寺院社会のみならず、朝廷・公家・武家・民衆といったあらゆる階層の人々のすがたをいまに伝える貴重な文書群です。「東寺百合文書」を通じて日本中世社会への理解を深めましょう。\*日本史Ⅱもあわせて受講することを推奨します。同授業の発展的内容になります。

## 【到達目標】

- ・「東寺百合文書」を通じて日本中世社会への理解を深める。
- ・歴史研究における論理展開の発想と、文献に基づく議論構築の手法を学ぶ。
- ・歴史史料から歴史像を浮かび上がらせる醍醐味を味わう。
- ・文化財のもつ多様な価値と読み解き方を学ぶ。
- ・くずし字に親しみ、解読できるようになる。
- ・国際社会において日本の歴史文化や文化財の魅力を説明できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

基本的に対面授業で実施しますが、大学の方針に従い、適宜柔軟に対応します。学習支援システムを通じてお知らせします。毎回の講義ごとに、レビューシート（リアクションペーパー）の提出を求めます。次の授業で、レビューシートに寄せられた疑問や質問、気づきに回答するかたちで復習を行います。授業期間内に、任意の美術館・博物館へ見学に行ってください、感想の提出を求めます（オンラインミュージアムや文化財データベースでの代替も可）。上記のレビューシート同様に、授業内で共有します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	本授業の概要や評価方法を知る
2	歴史学と日本中世史	日本における歴史学の流れと、中世史の歩みを学ぶ
3	寺院史料論	中世寺院における史料（聖教・古文書等）とその社会について学ぶ
4	寺院史料と東寺百合文書	中世寺院における史料群の形成と伝来を概観し、東寺百合文書の特徴を探る
5	中世寺院・東寺の誕生	古代から鎌倉初期に至る東寺の歴史を学ぶ
6	鎌倉幕府と東寺	建久年間の文覚上人による東寺復興事業や蒙古襲来をとりあげながら、寺院と武家の関わりを学ぶ

7	本末相論	鎌倉中～末期における東大寺・醍醐寺の本末相論との関わりに焦点をあてながら、同時期の東寺の宗教環境を学ぶ
8	アーカイブズの形成と伝来	中世寺院における文書・聖教群の形成と管理のありかたを学ぶ
9	東寺領荘園の展開	鎌倉末期から南北朝期にかけて拡充した東寺領荘園とその展開を学ぶ
10	東寺の伽藍修造事業	東寺大勧進職が推進した室町期における修造事業について学ぶ
11	弘法大師信仰の展開	東寺御影堂を中心に展開した弘法大師信仰とその社会的意義を学ぶ
12	寺院の芸能	古典芸能に通じる、室町期に発達した寺院における芸能について学ぶ
13	応仁・文明の乱	応仁・文明の乱という大乱に際して、人びとがどのように対応したのかを学ぶ
14	まとめ	現代社会において歴史学研究の果たす役割を学ぶ

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・使用テキストは事前に予習しておく。（各回 2 時間程度。予習の仕方については教場で説明します。）
- ・プリントやノートをを用いた復習を行う。（各回 2 時間程度。復習の仕方については教場で説明します。）
- ・本授業の最終にレポートをまとめて提出する。（テーマや執筆方法については、教場でお伝えします。）

## 【テキスト（教科書）】

適宜配布します。

## 【参考書】

- ・佐藤進一『新版 古文書学入門』法政大学出版社、2003 年
- ・京都府立総合資料館編『東寺百合文書にみる日本の中世』京都新聞出版センター、1998 年

このほか、授業の進行状況に応じてお伝えします。

## 【成績評価の方法と基準】

レポート 60 %、平常点 40 % で評価する。ただし、平常点には、毎回提出を求めるレビューシートでの意見・感想の内容を含む。

## 【学生の意見等からの気づき】

毎回提出を求めているレビューシートに基づき、次回の授業の冒頭でレビューシートの内容を紹介しながら復習を行い、授業内容のフォローアップを実施する。

## 【学生が準備すべき機器他】

特になし

## 【その他の重要事項】

- ・日本史Ⅱもあわせて受講することを推奨します。
- ・日本の古代・中世に関心のある方はもちろん、日本の文化、美術館や博物館、文化財に興味を抱く学生の履修を多くお待ちしております。
- ・高校で日本史を学んでいなくても、受講に支障はありません。
- ・日本の歴史と文化、文化財の魅力を自分の言葉で海外に発信できるようにしましょう。

## 【Outline (in English)】

【Course outline】 The Outline of this class is learning of the medieval history of Japan. 【Learning Objectives】 The aim of this course is to help students acquire the necessary skills and knowledge needed to understand the medieval history of Japan. 【Learning activities outside of classroom】 You spend 2hours preparating and reviewing each class. 【Grading Criteria /Policy】 You need to hand over review sheets each class and reports last class.

HIS200LA

日本史 L I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

鈴木 多聞

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義は日本近代史（政治史、社会史）に関する知識を身につけるとともに、歴史学、政治学の基礎的概念を理解することを目的としています。史料やデータを正確に解釈し、全体像をバランスよく把握する能力は、現代社会を生きていく上でも重要です。

【到達目標】

日本近代史に関する基礎的な知識を習得し、簡単な文章を書けるようになることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義においては、双方向的なやりとりを重視する。課題の中で優秀な小レポートについては、その都度、授業内において取り上げ、講評を行う。また、授業の最後に寄せられたコメントについても、次週の授業において取り上げる。新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては、内容に若干の変更を伴うこともある。オンライン、対面授業等などの実施予定にともなう、各回の授業計画の変更については、本講義の開始日に説明する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	日本近代史を考える	日本近代史の見方や解釈について、先行研究の論点を整理し、考察を深める。
2	空襲と国民	空襲の残した爪痕について「戦後」も含めて考察する。
3	日本近代史の中の病気	「流感」やその他の病気が、日本近代史に与えた社会的影響について考える。
4	明治憲法と戦前の日本	いわゆる明治憲法体制の形成と崩壊について考える。
5	皇族と戦前の日本	皇族たちの近代史について考える。
6	第一次世界大戦と日本	近年の研究動向をふまえ、100 年以上前の戦争の記憶について考える。
7	皇族と三種の神器	三種の神器や賢所、宮中の制度などについて考える。
8	満州事変と日本外交	「満州事変」が日本の国内政治をどのように変容させたのかについて考える。
9	戦争と捕虜	「捕虜」「俘虜」などの定義などについて考える。
10	二・二六事件と陸軍	二・二六事件とその思想的背景について考える。

11	日独伊三国同盟と重臣	いわゆる「三国同盟」について、当時の史料を読みながら、この問題について考察を深める。また、同盟理論についても考察を深める。
12	「アジア・太平洋戦争」の時代	戦前の朝鮮・台湾・アジアとの関係について考える。
13	シベリア抑留と日ソ関係	近衛文隆や宇野宗佑、三波春夫など、多くの人が抑留されました。抑留中に歌われた音楽やナヴォイ劇場にまつわる言説についても取り上げます。
14	原爆投下について考える	原爆投下についての論争などについて整理し「戦後」の問題も考える。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

開講時に指示する。

【参考書】

開講時に指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（各回のコメント）30%  
簡単な小レポート（複数回）50%  
テスト 20 %

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

(Course outline) This course will help students understand modern Japanese history, especially political and social history. Students will also gain a general understanding of the disciplines of history and political science. The ability to analyze historical materials and data to obtain a balanced view of a topic is a critical skill for modern life.

(Learning Objectives) Students will acquire a basic understanding of modern Japanese history while also learning how to write short essays.

(Learning activities outside of classroom)

Preparation time: 2 hours per class

Review time: 2 hours per class

(Grading Criteria /Policy)

Short reports 50%

Class participation (weekly comments) 30%

Final test 20%

HIS200LA

## 日本史Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

鈴木 多聞

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義は日本現代史（政治史）に関する知識を身につけるとともに、歴史学、政治学の基礎的概念を理解することを目的としています。史料やデータを正確に解釈し、全体像をバランスよく把握する能力は、現代社会を生きていく上でも重要です。

## 【到達目標】

日本現代史に関する基礎的な知識を習得し、簡単な文章を書けるようになることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

講義においては、双方向的なやりとりを重視する。課題の中で優秀な小レポートについては、その都度、授業内において取り上げ、講評を行う。また、授業の最後に寄せられたコメントについても、次週の授業において取り上げる。新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては、内容に若干の変更を伴うこともある。オンライン、対面授業等などの実施予定にともなう、各回の授業計画の変更については、本講義の開始日に説明する。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	日本現代史について考える	「戦前」と「戦後」について考えます。
2	老病死の「終戦史」	「病気」「身体」といった要因が政治に与えた影響を考える。
3	日露戦争と鈴木貫太郎	近年の研究動向をふまえ、日露戦争のインパクトについて考える。
4	真珠湾攻撃と日米戦争	2021 年の 80 周年にあたってのメディアや記憶について考える。
5	新憲法の制定過程	日本国憲法の制定過程について概観します。
6	東条英機と「東京裁判」	国際政治の文脈から「東京裁判」を考えます。
7	昭和天皇と平沼騏一郎	平沼騏一郎とその政治グループの位置づけについて考えます。
8	55 年体制の成立と岸信介	岸信介とその政治グループの位置づけについて考えます。
9	占領政策の転換と吉田茂	吉田茂とその政治グループの位置づけについて考えます。
10	風化する戦争体験と「五感」	五感を歴史学の文脈で語ることは難しいです。空襲警報の音や、戦争における「匂い」などについて考えます。
11	政治とシンボル	「国家」「陸軍」「海軍」は見えなくても、シンボルは目に見えます。国旗、軍旗、軍艦、日本刀、石碑、いろいろなものについて考えてみたいと思います。

- 12 日中国交正常化と高度成長 戦後の日中・日台関係について概観します。
- 13 冷戦の終結と日米関係 日米関係を長期的視点から考察します。
- 14 21 世紀の日本外交 相互理解にむけて 日本の内政と外交がどのような関連性を持っているのかを理解します。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

開講時に指示する。

## 【参考書】

開講時に指示する。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（各回のコメント）30%

小レポート（複数回）50%

テスト 20%

## 【学生の意見等からの気づき】

特になし。

## 【Outline (in English)】

(Course outline) This course will help students understand modern Japanese history, especially political and social history. Students will also gain a general understanding of the disciplines of history and political science. The ability to analyze historical materials and data to obtain a balanced view of a topic is a critical skill for modern life.

(Learning Objectives) Students will acquire a basic understanding of modern Japanese history while also learning how to write short essays.

(Learning activities outside of classroom)

Preparation time: 2 hours per class

Review time: 2 hours per class

(Grading Criteria /Policy)

Short reports 50%

Class participation (weekly comments) 30%

Final test 20%

PHL200LA

**宗教論 L I**

2017 年度以降入学者

サブタイトル：国際社会の中の宗教：グローバルな視点からみた「宗教・公共・中立性」

古澤 有峰

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 4/Thu.4

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

グローバルな視点から、宗教の社会貢献や中立性、利他等について再考する。

**【到達目標】**

国際社会の中の宗教をめぐる課題や問題点（宗教の社会貢献や公共における宗教的中立性など）について、具体例の検証などを通じて学習・理解を深める。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

講義形式。教科書は使用せず、配布資料に沿って授業を進めていく。初回レポートおよび中間レポートの提出を求める。コメントに対するフィードバックは資料配信によって行う。

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**

なし / No

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし / No

**【授業計画】 授業形態：対面/face to face**

回	テーマ	内容
1	導入	「宗教」を取り巻く諸問題について、国際社会の中の宗教という観点から再考する
2	理論編	宗教・中立・公共性—講義理解のための“理論入門”
3	国際社会の中の宗教①	赤十字の思想と実践を例に
	災害支援は誰のためか（1）	
4	国際社会の中の宗教①	阪神大震災を例に
	災害支援は誰のためか（2）	
5	国際社会の中の宗教①	東日本大震災を例に
	災害支援は誰のためか（3）	
6	国際社会の中の宗教②	中絶論争を例に
	あなたのからだは誰のものか（1）	
7	国際社会の中の宗教②	臓器移植を例に
	あなたのからだは誰のものか（2）	
8	国際社会の中の宗教②	終末期医療を例に
	あなたのからだは誰のものか（3）	
9	国際社会の中の宗教③	心のケア、その課題と問題点
	心と魂のケアは何のためか（1）	
10	国際社会の中の宗教③	スピリチュアルケアの功罪：理念
	心と魂のケアは何のためか（2）	と実際
11	国際社会の中の宗教③	スピリチュアルケアの功罪：歴史
	心と魂のケアは何のためか（3）	的背景

- 12 国際社会の中の宗教③ スピリチュアルケアの功罪：中立心と魂のケアは何のためか（4）
- 13 国際社会の中の宗教③ 音楽と癒しを例に心と魂のケアは何のためか（5）
- 14 まとめ 全体を振り返る

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とする。配布資料やノート、指示される参考書を使って授業内容をよく理解するよう努め、わからない点があれば質問すること。

**【テキスト（教科書）】**

教科書は使用しない。

**【参考書】**

授業で適宜指示する。

**【成績評価の方法と基準】**

授業への参加度が 40%、最終レポートが 60%。前者は初回レポートと中間レポートの内容、後者は上記「到達目標」がどの程度達成されているかによって評価する。

**【学生の意見等からの気づき】**

学生の興味関心や理解度に配慮した授業を心がける。

**【Outline (in English)】**

In this course, we will reconsider religions' contributions, neutrality, and altruism towards society from a global standpoint.

PHL200LA

## 宗教論Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：ジェンダーからみた「キリスト教・宗教」論再考

古澤 有峰

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 4/Thu.4

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ジェンダーの視点からキリスト教と宗教を捉えなおす。

## 【到達目標】

理論と実際の両方を検証する事を通じて、ジェンダーとキリスト教および宗教をめぐる問題や課題について学習・理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

講義形式。教科書は使用せず、配布資料に沿って授業を進めていく。初回レポートおよび中間レポートの提出を求める。コメントに対するフィードバックは資料配信によって行う。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	ジェンダーの視点からキリスト教と宗教を捉えなおす
2	基礎知識編	ジェンダーの視点からキリスト教における「聖書」「神」を再考する
3	ジェンダーとキリスト教・宗教からみた性的マイノリティ（1）	世界における宗教の歴史的動向と、キリスト教における性的マイノリティ
4	ジェンダーとキリスト教・宗教からみた性的マイノリティ（2）	ジェンダーの定義と歴史的背景
5	ジェンダーとキリスト教・宗教からみた性的マイノリティ（3）	ライフヒストリーから考える
6	ジェンダーとキリスト教・宗教からみた生命倫理（1）	キリスト教の体系化の歴史と中絶論争
7	ジェンダーとキリスト教・宗教からみた生命倫理（2）	脳死・臓器移植・生殖医療・再生医療
8	ジェンダーとキリスト教・宗教からみた生命倫理（3）	看取り・終末期医療
9	ジェンダーとキリスト教・宗教からみたスピリチュアルケア（1）	心と魂のケア、その課題と問題点
10	ジェンダーとキリスト教・宗教からみたスピリチュアルケア（2）	スピリチュアルケアの功罪：理念と実際
11	ジェンダーとキリスト教・宗教からみたスピリチュアルケア（3）	スピリチュアルケアの功罪：歴史的背景
12	ジェンダーとキリスト教・宗教からみたスピリチュアルケア（4）	スピリチュアルケアの功罪：中立性をめぐって

- 13 ジェンダーとキリスト 音楽と癒しを例に  
教・宗教からみたスピ  
リチュアルケア（5）
- 14 まとめ 全体を振り返る

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とする。配布資料やノート、指示される参考書を使って授業内容をよく理解するよう努め、わからない点があれば質問すること。

## 【テキスト（教科書）】

教科書は使用しない。

## 【参考書】

授業で適宜指示する。

## 【成績評価の方法と基準】

授業への参加度が 40%、最終レポートが 60%。前者は初回レポートと中間レポートの内容、後者は上記「到達目標」がどの程度達成されているかによって評価する。

## 【学生の意見等からの気づき】

学生の興味関心や理解度に配慮した授業を心がける。

## 【Outline (in English)】

The purpose of this course is to revisit Christianity and religion from the perspective of gender.



ECN200LA

経済学 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：ミクロ (マイクロ) 経済学とマクロ経済学の基礎理論を速習する

中平 千彦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：2 単位

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

\*第 1 回講義の形態は学習支援システム (Hoppii) にログインして『経済学 LA』(担当:中平)内にある「お知らせ」で確認してください。第 2 回からは、通常の教室講義になります。

この講義は、春学期開講『経済学 LA』(担当:中平)です。この講義で学んだ内容は、秋学期開講『経済学 LB』(担当:中平)に接続されます。

受講生の皆さんは、「経済学」に対してどのような印象を持っているでしょうか? 経済学は、我々の形成する社会で観察される、経済主体の活動や相互依存関係によって導かれた多様な経済問題を分析し、その中に存在する経済法則を究明することによって、望ましい社会的経済厚生を研究する学問です。あるいは、希少性を有する財・サービスの最適な選択と配分を、相互に競合する目的を考慮しながら決定し、また、その決定を行うための方法を研究する学問です。

春学期開講『経済学 LA』では、「ミクロ (マイクロ) 経済学」と「マクロ経済学」の基礎をコンパクトに解説し、受講生にそれらを速習してもらうことを目指します。

【到達目標】

・ミクロ (マイクロ) 経済学とマクロ経済学の理論的基礎を説明できるようになる。

・ミクロ (マイクロ) 経済学とマクロ経済学に関する基本的問題を、社会科学的に思考・表現することができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

経済理論を大別すると、「ミクロ (マイクロ) 経済学」と「マクロ経済学」に分類できます。「ミクロ (マイクロ) 経済学」は、個々の経済主体における最適化された行動を前提に、市場における経済主体間の相互関係、資源配分と所得分配の決定における市場機構の役割などを分析する、あるいは、いくつかの代表的な公理に依拠した最適化行動に基づき、個から市場、そして経済全体へとアプローチする研究分野です。一方、「マクロ経済学」は、消費者部門における消費、企業部門における投資と生産物供給、政府部門における財政支出と貨幣供給、貿易バランス、そして、それらの相互連関によって決定される国民所得、インフレーションと失業、景気変動などに着目し、経済全体についての集計変数における均衡水準と決定経路を分析する研究分野です。これらの 2 分野は相互補完的な関係にあります。例えば、「ミクロ (マイクロ) 経済学」において、個々の経済主体の最適な行動がマクロ経済にいかなる影響を与えるかを分析するには、「マクロ経済学」の理論が必要となります。また、「現代マクロ経済学」にとって「マクロ経済学のミクロ (マイクロ) 的基礎」は不可欠な要素となっています。

この講義では「ミクロ (マイクロ) 経済学」と「マクロ経済学」の基礎理論を学びますが、講義時間に余裕があれば、「ミクロ (マイクロ) 経済学」の理論と現実との関係、また、マクロ経済学や公共政策学のミクロ (マイクロ) 的基礎などのトピックも採り入れるよう努力します。

我々には、講義回数 14 回という厳しい時間制約が課されていますが、担当教員は、受講生諸氏が要領よくミクロ (マイクロ) 経済学とマクロ経済学の基礎項目を学ぶことができるよう努力し、また、この講義が、受講生各位における将来の発展的学習・研究に役立つものとなることを願っています。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

なし/No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 01 回	経済学の基本問題と経済システム	経済学の基本問題と市場の仕組み、経済システム
第 02 回	消費者と生産者の行動 (I)	選好と効用関数、需要関数
第 03 回	消費者と生産者の行動 (II)	生産技術と費用関数 (1)
第 04 回	消費者と生産者の行動 (III)	生産技術と費用関数 (2)、供給関数
第 05 回	市場均衡 (I)	完全競争市場と調整過程、余剰と比較静学
第 06 回	市場均衡 (II)	部分均衡と一般均衡、独占市場と独占的競争市場

第 07 回	経済厚生	市場の失敗、パレート効率性、厚生経済学の基本定理
第 08 回	国民所得分析の基礎	SNA、マクロ経済指標
第 09 回	消費関数	消費と消費関数
第 10 回	投資関数	投資と投資関数
第 11 回	有効需要と乗数理論	有効需要の原理、乗数効果
第 12 回	IS・LM 曲線と総需要曲線・総供給曲線	IS 曲線・LM 曲線および総需要曲線・総供給曲線による経済分析
第 13 回	インフレ需要曲線	インフレ需要曲線による経済分析
第 14 回	インフレ供給曲線	インフレ供給曲線による経済分析

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

・本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。  
・受講後にテキストやノートによって講義内容を復習してください。また、必要に応じて予習を行ってください。

【テキスト (教科書)】

・塩澤修平 (著)『基礎コース 経済学 (第 2 版)』新世社、2011 年。

【参考書】

・浅田統一郎 (著)『マクロ経済学基礎講義 (第 4 版)』中央経済社、2022 年。  
・浅田統一郎 (著)『ミクロ経済学の基礎 (第 2 版)』中央経済社、2017 年。  
・井原哲夫/桜本光/辻村和佑/牧厚志 (著)『経済学入門 - 現実の経済を理解するために (第 2 版)』日本評論社、2008 年。  
・井堀利宏 (著)『入門経済学 (第 4 版)』新世社、2021 年。  
・スティグリッツ、ジョセフ・E. /ウォルシュ、カール・E. (著)、藪下史郎/秋山太郎/齋川靖浩/大久博/木立力/宮田亮/清野一治 (訳)『スティグリッツ入門経済学 (第 4 版)』東洋経済新報社、2012 年。  
・福岡正夫 (著)『ゼミナール経済学入門 (第 4 版)』日本経済新聞出版社、2008 年。  
・マンキュー、N. グレゴリー (著)、足立英之/石川城太/小川英治/地主敏樹/中馬宏之/柳川隆 (訳)『マンキュー入門経済学 (第 3 版)』東洋経済新報社、2019 年。  
・Bade, Robin and Michael Parkin, *Foundation of Economics* (9th ed.)(global edition, pap.), Pearson, 2022.  
・Hirshleifer, Jack, Amihai Glazer and David Hirshleifer, *Price Theory and Applications: Decisions, Markets, and Information* (7th ed.)(pap.), Cambridge Univ. Press, 2005.  
・Hubbard, R. Glenn and Anthony Patrick O'Brien, *Essentials of Economics* (6th ed.), Pearson, 2018.  
・Hubbard, R. Glenn and Anthony Patrick O'Brien, *Economics* (8th ed.), Pearson, 2021.  
・Krugman, Paul and Robin Wells, *Essentials of Economics* (6th ed.), Macmillan Learning, 2023.

【成績評価の方法と基準】

・[定期試験点 (90 %) + 平常点 (10 %) = 総合点 (100 %)] の評点配分で成績が決定されます。  
・単位認定には規定数以上の出席が必要です。  
・公式行事の参加や疾病などによるやむを得ない欠席は、原則として出席扱いとします。

【学生の意見等からの気づき】

・受講生による講義アンケートの結果は、講義内容を改善するための参考資料とします。

【学生が準備すべき機器他】

・特別な指定はありません。

【その他の重要事項】

・出席確認を行いますので注意してください。  
・テキストは購入し、参考文献の購入は、必要性に応じて判断してください。  
・本講義の趣旨は、アカデミックな経済学の基礎理論を平易に解説することですが、公務員、国税専門官、公認会計士、不動産鑑定士、中小企業診断士、ファイナンシャル・プランナーなどの、各種資格・就職試験で経済学を受験科目として選択する受講生にも配慮した解説を行います。

【オフィス・アワー】

・講義終了後、または、相談により個別の日程を設定。

【関連科目】

・秋学期のリベラルアーツ科目『経済学 LB』(担当:中平)、また、リベラルアーツ科目、あるいは各学部で開講されている科目で、経済学、統計学に関わるもの。

【Outline (in English)】

【Course outline】

\* This course is designed to provide the student with an opportunity to understand the basic theory of microeconomics and macroeconomics. Generally, economic theory broadly divided into two parts - microeconomics and macroeconomics. Microeconomics focuses on decision making at the individual level, while macroeconomics studies the economy as a whole.

\* This course is a comprehensive guide on how to get started with microeconomics and macroeconomics.

【Learning Objectives】

\* Through this course, the students will be able to:  
- explain the basic theories of microeconomics and macroeconomics;  
- think and express basic issues of economics from the aspect of social science.

【Learning activities outside of classroom】

\* Students will have normally 2 hours of preparation and review for each class.

\* Students are expected to prepare for a class and to review what was learned in each class by the textbook or the lecture note as necessary.

【Grading Criteria/Policy】

\*Final examination(90%) + Active Participation(10%) = Evaluation Score(100 %).

\*Students must meet the minimum attendance requirements to get course credits.

\*Absence due to unavoidable circumstances is regarded as equivalent to attendance in general.

ECN200LA

## 経済学 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：応用経済学としての観光経済学を学ぶ

中平 千彦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：2 単位

その他属性：〈他〉〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義では、応用経済学の一分野としての「観光経済学」を学びます。観光経済学のトピックの中で、特に基本的フレームワークを形成する主要な項目を、ミクロ（マイクロ）経済学とマクロ経済学の理論に立脚して理解することを目指します。

## 【到達目標】

・観光経済学の基礎的事項を説明できるようになる。  
・観光経済学に関する基本的問題をミクロ（マイクロ）・マクロ経済学理論に基づいて思考・表現することができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

観光経済学は、経済学理論に基づき、また、経済学の関連領域に属する学問を包含し、広義の観光活動を分析する、応用経済学の一種と位置付けられるものです。さらに、現代における広義の観光経済学は、観光客の支出決定、観光市場の構造、観光行動における意思決定、観光企業間の連携、観光による外貨発生効果と範囲、観光資源の貢献可能性、観光政策などを包括的に研究する分野となっています。

本講義では、観光の現状と課題、観光統計、投資理論、消費理論、消費者行動と観光、観光需要、観光サービス供給、観光市場の機能、観光市場の失敗、経済成長と観光、世界遺産と観光、我が国の観光と課題などの項目を学びます。なお、必要に応じて、公共経済学などの知識を補充し、学習内容の拡充を試みます。

我々には、講義回数 14 回という厳しい時間制約が課されていますが、担当教員は、受講生諸氏が要領よく観光経済学の基礎項目を学ぶことができるよう努力し、また、この講義が、受講生各位における将来の発展的学習・研究に役立つものとなることを願っています。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 01 回	観光の現状と課題、SNA と観光統計 (1)	観光のもたらす課題、SNA の概念と観光統計
第 02 回	SNA と観光統計 (2)	SNA の基本構造、サテライト勘定の意義と分類
第 03 回	観光市場の機能	市場需要曲線と市場供給曲線、市場均衡と市場調整、観光財・サービスの価格決定メカニズム
第 04 回	消費理論と観光 (1)	消費と消費関数、消費関数における短期と長期
第 05 回	消費理論と観光 (2)	消費決定の仮説、観光消費の性質
第 06 回	投資理論と観光 (1)	投資と投資の決定要因、限界効率と投資判断
第 07 回	投資理論と観光 (2)	投資の限界効率表と投資量の決定
第 08 回	消費者行動と観光 (1)	消費者行動と需要曲線、観光サービスの対象と選択
第 09 回	消費者行動と観光 (2)、観光需要	観光需要と弾力性、観光需要の実際
第 10 回	観光サービス供給	観光サービス供給、観光市場の構造
第 11 回	観光市場の失敗	市場の失敗と観光分析
第 12 回	公共財とコモンプール財	公共財、コモンプール財と資源の過剰利用
第 13 回	観光成長と観光	インバウンド市場とアウトバウンド市場、観光発展の将来
第 14 回	世界遺産とエコツーリズム、観光の課題と将来	世界遺産の基礎知識、エコツーリズムの事例と課題

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。  
・受講後にテキストやノートによって講義内容を復習してください。また、必要に応じて予習を行ってください。

## 【テキスト（教科書）】

・中平千彦／藪田雅弘（編著）『観光経済学の基礎講義』九州大学出版会、2017 年。

## 【参考書】

・M.T. シンクレア／M. スタブラー（著）、小沢健市（監訳）『観光の経済学』学文社、2001 年。  
・ジェームズ・マック（著）、瀧口／藤井（監訳）『観光経済学入門』日本評論社、2005 年。  
・スティーブン・J. ページ（著）、木谷／松下／図師（訳）『交通と観光の経済学』日本経済評論社、2001 年。  
・A. ブル（著）、諸江／吉岡／菊池／小沢／原田／池田／和久井（訳）『旅行・観光の経済学』文化書房博文社、1998 年。  
・山内／山本／山崎／川口（編）『観光経済学：理論とデータで学ぶ』有斐閣、2022 年。  
・Bull, Adrian(1995), *The Economics of Travel and Tourism* (2nd revised ed.), Longman.  
・Dwyer, Larry, Forsyth, Peter, and Wayne Dwyer(2020), *Tourism Economics and Policy* (2nd ed.), Channel View Books.  
・Hall, C. Michael and Allan M. Williams(2019), *Tourism and Innovation* (2nd ed.), Routledge.  
・Sharpley, Richard(2006), *Travel and Tourism*, SAGE Publications.  
・Stabler, Mike J., Papatheodorou, Andreas., and M. Thea Sinclair(2009), *The Economics of Tourism* (2nd ed.), Routledge.  
・Sullivan, Charlotte(ed.)(2016), *Leisure and Tourism Economics*, Willford Press.  
・Tribe, John(2020), *The Economics of Recreation, Leisure and Tourism* (6th ed.), Routledge.  
・Vanhove, Norbert(2022), *The Economics of Tourism Destinations* (4th ed.), Routledge.

## 【成績評価の方法と基準】

・[定期試験点 (90 %) + 平常点 (10 %) = 総合点 (100 %)] の評点配分で成績が決定されます。  
・単位認定には規定数以上の出席が必要です。  
・公式行事の参加や疾病などによるやむを得ない欠席は、原則として出席扱いとします。

## 【学生の意見等からの気づき】

・受講生による講義アンケートの結果は、講義内容を改善するための参考資料とします。

## 【学生が準備すべき機器他】

・特別な指定はありません。

## 【その他の重要事項】

・出席確認を行いますので注意してください。  
・テキストは購入し、参考文献の購入は、必要性に応じて判断してください。

## 【オフィス・アワー】

・講義終了後、または、相談により個別の日程を設定。

## 【関連科目】

・春学期のリベラルアーツ科目『経済学 LA』（担当：中平）、また、リベラルアーツ科目、あるいは各学部で開講されている科目で、経済学、統計学に関わるもの。

## 【Outline (in English)】

## 【Course outline】

\*The aim of the course is to provide students with an opportunity to gain and enhance the knowledge of tourism economics. Namely, this course is designed to provide a basic understanding of the scientific approaches to economics of tourism, particularly in the field of economic theory.

\*In this course, you will learn how the microeconomics and macroeconomics are applied to the analysis of tourism.

## 【Learning Objectives】

\* Through this course, the students will be able to:  
- explain the fundamental problems of tourism economics;  
- think and express basic issues of tourism economics from the aspect of microeconomics and macroeconomics.

## 【Learning activities outside of classroom】

\* Students will have normally 2 hours of preparation and review for each class.

\* Students are expected to prepare for a class and to review what was learned in each class by the textbook or the lecture note as necessary.

## 【Grading Criteria/Policy】

\*Final examination(90%) + Active Participation(10%) = Evaluation Score(100 %).

\*Students must meet the minimum attendance requirements to get course credits.

\*Absence due to unavoidable circumstances is regarded as equivalent to attendance in general.

ECN200LA

## 経済学 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

## 鈴木 誠

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：2 単位

その他属性：〈他〉〈優〉〈未〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は金融をこれまで学んだことのない学生向けに、経済学における金融に焦点を当てた授業を行う。大学生として、卒業後の社会人として、金融に触れずに過ごすことは困難である。春学期の授業では、経済学における金融の意味と金融で利用される言葉やその意味、さらに計算方法などを身に付け、生活の上で、金融のリテラシーを身に付けることを目指す。

## 【到達目標】

この授業では、金融リテラシーを身に付けるために、1、歴史的な金融の発展、2、身近な金融活動の発見、3、金融の意義と意味、4、自ら金融取引を確認する、ことを学ぶ。金融の知識は不要と考える人もいだろう、しかし、卒業後、家を購入する、保険に入る、ローンを組む、年金資産運用するなど、金融知識がすぐにも必要となってくる。必要な時に備えて、今、これらの知識を準備する。春学期の目標は、一般の新聞に書かれている経済面の金融に関する記事を読んで、理解できる水準への到達である。

ただし、金融は奥が深く、春学期の授業はその入り口に立ったに過ぎない、さらに、一歩踏み出した議論は、秋学期に行いたいと考えているので、履修する学生には春と秋の履修を勧めたい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

感染がおちついてきたので対面による授業として実施する。ただし、履修生の皆さんには資料を配信し、各自で理解を深めてもらうように配慮する。なお、配布する資料は教科書と合致しない部分がある。理解する目的は同じであっても、履修する皆さんにとって理解のしやすい方法で、あるいは、理解できる段階から説明することを心掛けて作成しているためである。また、皆さんには出席に代えた「クイズ」を出して、重要点の理解を図るようにしたいと考えている。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業内容の紹介、歴史的な経済活動の発展	本授業の進め方、評価についての解説、人類の経済活動の発展と経済行動における工夫や発明
2	身近にみる金融商品や金融活動	日ごろの生活で利用される金融商品や金融活動について詳しく学ぶ
3	金融取引と必要な知識	銀行における取引について考える、また、その際に必要とされる知識について学ぶ
4	評価する、価値を測る（第 1 章、第 2 章）	金融活動において、将来の価値や現在の価値を測ることが重要となる。その方法を学ぶ
5	企業における金融取引、債券と株式の発行と投資	企業が発行する債券と株式について学ぶ。特にその違いについて理解を深める。
6	債券の評価（第 3 章）	債券の価格をどのように求めるか、その方法を学ぶ

7	債券投資の理論（第 10 章）	債券を運用する際の基礎となるデュレーションについて意味と計算方法を学ぶ。
8	債券投資の理論（第 10 章）続き	債券ポートフォリオのデュレーションとイミュニゼーションについて学ぶ
9	中間テスト	第 1 講から第 8 講までの内容の理解を確認する。
10	確率変数の基礎知識（第 11 章）とポートフォリオ理論（第 12 章）	期待値や標準偏差など統計値の計算方法を確認する。ポートフォリオ理論の導入を図る。
11	投資理論（第 12 章と第 13 章）	2 資産からなる危険資産によるポートフォリオを構築する。ポートフォリオ理論を発展させ CAPM について学習する
12	コーポレートファイナンス①（第 7 章）	企業の資金調達について検討する。
13	コーポレートファイナンス②（第 7 章）	企業の資金調達におけるモジリアニニミラーの定理（MM 理論）を学習する。
14	期末試験	Hoppi 上でこれまで学習した範囲の試験を行う

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。特に力を入れてほしいのは、復習と日ごろの生活での習慣である。復習はしっかりと自分の頭で考えたり、計算をしてほしい。目で見ただけでは利用することはできない。日々の生活では、ニュースを見る、新聞を読む、30 分でも日々の生活で経済事象を知ることが、授業を受ける上で大きなきっかけとなる。

## 【テキスト（教科書）】

手嶋宜之著「基本から本格的に学ぶ人のためのファイナンス入門」ダイヤモンド社  
ISBN:978-4-478-01630-5

## 【参考書】

必要に応じて授業内で紹介する。

## 【成績評価の方法と基準】

成績評価は次の 3 つの項目に基づいて行う。1、各回の授業に付随するクイズ（20%）、2、第 8 回に実施する中間テスト（40%）、3、第 15 回に実施する期末テスト（40%）である。中間試験と期末試験は授業期間内で行う。また、各回のクイズは Hoppi 上で提示される。なお、クイズは毎回実施するとは限らない。成績評価は以下の通りである。S:特に優れた成績である者、概ね 90%以上、A:優れた成績であるもの、概ね 80%以上、B:秀でた成績である者、概ね 70%以上、C:平均的な水準である者、概ね 60%以上、D:基準に満たない者。

## 【学生の意見等からの気づき】

資料配布だけでは関心が希薄となりがちであるので、必要に応じてオンデマンド映像を作成して、要点を理解できるようにしたい。

## 【学生が準備すべき機器他】

関数電卓があるとよい。ない場合にはスマートフォンに付帯されている計算機能（関数電卓）を利用するとよい。ただし、中間と期末試験の際にはスマホの計算機能は利用できないので注意。

## 【その他の重要事項】

新聞やニュースを通して、日々、経済や金融の情報に触れることが望ましい。なお、本授業の講師はファイナンスの実務経験を通算 20 余年有している。うち、10 年は米国ニューヨークで勤務し、ノーベル経済学受賞者との共同研究、米国著名大学大学院修了（MBA）している。実務経験を授業に反映させる予定である。

**【Outline (in English)】**

This class focuses on finance in economics for students who have never studied finance before. As a university student and a member of society after graduation, it is difficult to spend time without touching finance. In the spring semester class, students will learn the meaning of finance in economics, the words used in finance, their meanings, and calculation methods, and aim to acquire financial literacy in their daily lives.

A "Finance" is indispensable in daily transactions. In the class, we study theories and systems related to financial transactions, but it is also very important to learn about the relationship between finance and the economy through daily news and newspaper reports. I hope that students will pay attention to financial information outside of class hours.

Grading for students will consist of two parts: 80% will be based on mid-term and final exams. 80% will be based on mid-term and final exams, and 20% will be based on class participation and quizzes/assignments. A grade of "S" is given to students who have achieved 90% or more in all grades, "A" is given to students who have achieved 80% or more, "B" is given to students who have achieved 70% or more, and "C" is given to students who have exceeded the minimum passing grade. Students who fail the course will receive a grade of "D". This evaluation method is in accordance with the Hosei University evaluation standards.

ECN200LA

## 経済学 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

## 鈴木 誠

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：2 単位

その他属性：〈他〉〈優〉〈未〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は主として金融の「入門レベル（経済学 LA）」を学んだ学生向けに、広く、深く金融を学習することを目的としている。したがって、金融システム、金融制度など幅広く経済学における金融に焦点を当てた授業を行う。大学生として、卒業後の社会人として、金融に触れずに過ごすことは困難である。しっかりと金融知識を身に付けてほしい。

## 【到達目標】

この授業では、金融リテラシーを身に着けるために、1、歴史的な金融の発展、2、身近な金融活動の発見、3、金融の意義と意味、4、自ら金融取引を確認する、ことを学ぶ。金融の知識は不要と考える人もいるだろう、しかし、卒業後、家を購入する、保険に入る、ローンを組む、年金資産運用するなど、金融知識がすぐにでも必要となってくる。必要な時に備えて、今、これらの知識を準備する。秋学期の目標は、経済専門の新聞に書かれている経済面の金融に関する記事が読んで、記事の内容が概ね理解できることを目標とした。経済専門紙の記事を完璧に理解できる水準は金融業界に身を置かない限り、困難である。本講座は、入門レベル（経済学 LA）を経て、金融基礎知識を固める初級レベルの水準に達することを目標に掲げたい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

原則として対面で授業を実施する。ただし、感染状況によりオンライン（オンデマンド）で実施する場合もある。対面授業ではあるが、履修生の皆さんには資料を Hoppii 経由で配信し授業で教科書とともに使用する予定である。ファイナンスは自分で理解する上で問題を解くことが重要である。そこで、授業内容により学習後にクイズ（試験ではない）を行い、理解を深めるようにしたい。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	利率率、将来価値、現在価値（第 1 章）	単利と複利、現在価値・将来価値を計算する、複利利回りの種類を知る。今学期から参加した学生にも理解しやすいように経済学 LA の内容を一部復習する。
2	債券入門（第 2 章）、債券分析の基礎（第 3 章）①	最終利回り、債券投資のリスクについて学ぶ。（経済学 LA の復習、一部あり）
3	債券分析の基礎（第 3 章）②	デュレーション分析、イールドカーブ分析、債券の投資方法について学習する。
4	ポートフォリオ理論入門①（第 8 章）	経済学 LA においてファイナンスで利用する基礎統計学は学習しているので、その前提で 2 つの危険資産によるポートフォリオを作成する。

5	ポートフォリオ理論入門②（第 8 章）	安全資産を組み入れた場合のドミナントな組み合わせを考える。CAPM の導出を行う。（一部経済学 LA の復習あり）
6	株式入門（第 4 章）①	株式とは、株式発行市場、流通市場、配当割引モデルの紹介
7	株式入門（第 4 章）②	配当割引モデル応用、株価評価の指標、
8	中間試験	これまでに学習した内容をテストする。60 分間。
9	デリバティブズ	先渡し取引、先物取引の市場、取引の仕組み、価格の計算方法と利用について学習する
10	先物入門（第 5 章）	先物取引の仕組みと裁定取引を学習する。
11	オプション入門①（第 6 章）	オプションの基本的な仕組みと性質の紹介、オプション市場、オプション取引の仕組みを学習する。
12	オプション入門②（第 6 章）	オプションを用いた投資戦略、バイノミアル（二項価格評価）モデルによるオプション価値の推定する。
13	効率的市場仮説（第 11 章）	市場モデルと CAPM の類似点と相違点を整理する。市場の効率性について学習する。
14	期末試験	学習した範囲（第 1 回から第 13 回まで）の試験を行う。授業内で実施する。60 分間

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。春学期より少しだけレベルが上がった内容となるので、授業の資料を読む前に関連する該当箇所を読んでおくと、理解の助けとなる。さらに、授業後に、もう一度同じ箇所を読み直すことで理解が深まる。また、必要な計算は必ず手を動かしてやってほしい。資料やテキストを読んでいても、自分の力にはならない。また、日常的に新聞やニュースに触れて、金融に関する言葉を利用する場面を知ってほしい。

## 【テキスト（教科書）】

岸本直樹、池田正幸「入門・証券投資論」有斐閣ブックス、ISBN:978-4-641-18447-3

## 【参考書】

手嶋宣之「ファイナンス入門」ダイヤモンド社、ISBN:978-4-478-01630-5

大村敬一・俊野雅司「証券論」有斐閣、ISBN:978-4-461-16427-7

## 【成績評価の方法と基準】

成績評価は次の 3 つの項目に基づいて行う。

- 1、授業における貢献などの平常点と授業に関連したクイズ（試験ではない）（20 %）、
  - 2、第 8 回に実施する中間テスト（40 %）、
  - 3、第 15 回に実施する期末テスト（40 %）である。
- 中間試験と期末試験は原則教室で実施する予定であるが、感染状況により Hoppii 上で行う場合もある。実施予告の指示に従って受験してほしい。

成績評価は法政大学の基準に従って行う。概ね、以下の通りである。S:特に優れた成績である者、概ね 90 % 以上、A:優れた成績であるもの、概ね 80 % 以上、B:秀でた成績である者、概ね 70 % 以上、C:平均的な水準である者、概ね 60 % 以上、D:基準に満たない者。

## 【学生の意見等からの気づき】

経済学 LB(秋学期)は経済学 LA 同様、対面授業の予定となっている。対面授業ではあるが、スライドで利用する資料等は Hoppii 上に掲示（授業開始から 1 週間のみダウンロード可）する予定である。昨年度は、経済学 LA の未履修者対応として復習の部分にウエイトを掛け過ぎたため、今年度は振り返り部分のウエイトを軽減することとし、経済学 LA の未修者は自学自習により対応を促すこととしたい。

## 【学生が準備すべき機器他】

関数電卓があるとよい。ない場合にはスマートフォンに付帯されている計算機能（関数電卓）を利用するとよい。ただし、中間・期末試験においてスマホの計算機能を利用することはできないので、留意してほしい。

**【その他の重要事項】**

配布する資料は指定した教科書を理解しやすくするために作成したものである。資料だけでは、教科書の内容を理解することは不可能であるので、必ず、指定した教科書を用意してほしい。ただし、参考図書はその限りではない。また、新聞やニュースを通して、日々、経済や金融の情報に触れることがファイナンスの理解の早道でもある。なお、本授業の講師はファイナンスの実務経験を通算 20 余年有している。うち、10 年は米国ニューヨークで勤務し、ノーベル経済学受賞者との共同研究、米国著名大学大学院修了 (MBA) している。実務経験を授業に反映させる予定である。

**【Outline (in English)】**

The purpose of this course is to provide a broad and deep study of finance for students who have studied finance at an introductory level (Economics LA). Therefore, the class will focus on finance in economics, including financial systems and financial institutions. As a undergraduate student and a member of society after graduation, it is difficult to spend time to finance. I would recommend you to acquire a financial literacy for your life.

A "Finance" is indispensable in daily transactions. In the class, we study theories and systems related to financial transactions, but it is also very important to learn about the relationship between finance and the economy through daily news and newspaper reports. I hope that students will pay attention to financial information outside of class hours.

Grading for students will consist of two parts: 80% will be based on mid-term and final exams. 80% will be based on mid-term and final exams, and 20% will be based on class participation and quizzes/assignments. A grade of "S" is given to students who have achieved 90% or more in all grades, "A" is given to students who have achieved 80% or more, "B" is given to students who have achieved 70% or more, and "C" is given to students who have exceeded the minimum passing grade. Students who fail the course will receive a grade of "D". This evaluation method is in accordance with the Hosei University evaluation standards.

ECN200LA

## 経済学 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：東アジア経済学入門

## 陳 文學

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：2 単位

その他属性：〈他〉〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

21 世紀はアジアの時代であり、中国やアジア新興国の台頭によって東アジア地域の存在感は増している。東アジア経済の動向は世界政治経済、安全保障、資源エネルギー等に大きな影響を与えている。本講義は東アジア経済の発展に焦点を合わせ、経済発展の歴史、過程、経験と教訓等について経済学の基礎原理やリベラルアーツの視点から研究する。また、新型コロナウイルス感染症の拡大によって東アジア地域経済、そして世界経済が一変しており、東アジア経済を分析することを通じて学生諸君の地域的突発問題や危機管理に対する分析力を向上させる。

## 【到達目標】

現在、国際関係における一国主義やアンチグローバル的な考え方が強まる中、東アジア地域の多様性、複雑性、可能性について立体的な視点から考察する力が必要になる。当該授業を聴講して、学生諸君の考察力、思考力、分析力を高めることができる。また、中国武漢で発生した新型コロナウイルスによる東アジア地域の経済社会の混乱に対してどう対応すればよいかを考える機会も提供し、危機対応型思考力を鍛えることもできる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

1. 大学の授業計画に従って対面式で開講する。ただし、新型コロナウイルスの感染状況により一時的にオンライン（Zoom 方式）開講の可能性もあるが、その場合、事前に学習支援システム（Hoppii）内で知らせる。
2. 一回の講義で基本的に1つの話題を中心に議論、展開、検証、まとめる。
3. 情報時代のニーズに応えるために図表や統計資料、事例分析を多く用いる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業紹介	東アジア経済入門基礎、講義概要、成績評価等説明
2	現代経済社会の仕組み	家計、企業、政府；資本、労働、技術進歩；市場の原理；経済成長と経済発展の原動力分析
3	東アジア経済近代化の始まり	商業とシルクロード、産業革命、国際貿易と植民地の歴史、アヘン戦争
4	日中近代工業化の歴史比較研究	清王朝近代化の失敗と日本明治維新ならびに日本近代化成功の比較分析
5	国際貿易とグローバルゼーションの形成	アダム・スミスの絶対優位性仮説とリカードの比較優位性仮説の検証
6	農業の発展と人口問題	「マルサスの罠」と人口問題の本質を検証する

7	中間進捗状況確認	前半復習、「機会費用」と人口問題の両面性
8	農業の発展と様々な制約	「豊作貧乏」現象と需要の価格弾力性
9	東アジア地域の工業化と労働移動	都市化とインフォーマル部門、スラム街の形成
10	東アジア地域の工業化と国際化	「輸入代替」政策の失敗から「輸出振興」政策の成功まで
11	東アジア地域の産業移行	ベティ・クラークの法則と「雁行形態」、「世界の工場」の形成と産業空洞化
12	経済成長と所得格差	クズネットの「逆 U 字仮説」から「エレファントカーブ」まで
13	さまざまな格差と計測	ジニ係数の計算を通じて地域間経済格差を考える
14	まとめ：東アジア地域経済統合の行方は	半期の復習、まとめ、期末レポート作成要領説明

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

指定参考書、配布資料等を参考し、予習復習を行う。講義内容に応じて宿題として課題レポートを完成する。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

なし。

## 【参考書】

『アジア経済とは何か—躍進のダイナミズムと日本の活路』、後藤健太（著）、中公新書。  
『アジア経済論』、小林尚朗、山本博史、矢野修一、春日尚雄（著、編集）、文眞堂。  
『東アジアの論理—日中韓の歴史から読み解く』、岡本隆司（著）、中公新書。

## 【成績評価の方法と基準】

1. 授業参加状況
  2. リアクションペーパーや課題の提出状況
  3. 期末レポートの完成状況
- 等によって総合的に評価する。詳しくは、初回の授業時に確認、説明する。

## 【学生の意見等からの気づき】

1. 学生皆さんの関心事、質問等についてよく聞く、確認する。
2. 課題や質問に対してできるだけ早く対応する。

## 【学生が準備すべき機器他】

特になし。

ただし、オンライン（Zoom 方式）授業の場合は Zoom 視聴、Hoppii 上の課題、レポート、メール等のやり取りに必要な通信機器（パソコンなど）の用意が必要。

## 【その他の重要事項】

秋期『経済学 LB：中国経済入門』の継続履修を勧める。

## 【Outline (in English)】

The 21st century is said to be the age of Asia. The rapid growth of China and some other developing countries of Asia has increased the presence of the East-Asia in the world. The economy of East-Asia has been greatly affecting the world's politics and economy, security, and resources energy for these years.

This lecture focuses on the development of East-Asia economy, aims at studying the history, process, experiences and teachings of the economic development in this region from the viewpoints of basic theory of economics and Liberal Arts.

## 【Learning Objectives】

This lecture will help to improve students' ability of analyzing regional economy about its variability and complexity in east-Asia from various viewpoints.

## 【Learning activities outside of classroom】

Before/after each class meeting, you should be expected to spend four hours in preparing/ reviewing to understand the course content.

## 【Grading Criteria /Policy】

You overall grade in the class will be decided based on the following:



- 1, in-class contribution (30%)
- 2, Reaction paper or homework (40%)
- 3, Term-end report (30%)

ECN200LA

## 経済学 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：中国経済入門

## 陳 文挙

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：2 単位

その他属性：〈他〉〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国の経済規模は 2010 年に日本に追い付き、追い越し、アメリカに次ぐ世界第 2 位に上り詰めた。2022 年に中国の GDP は日本の約 4 倍に拡大し、アメリカの 5 分の 4 までに迫っていた。本講義では前期授業で学習した東アジア経済発展の基礎を元に、計画経済期から市場経済移行期まで中国経済の発展を研究し、失敗の教訓と成功の要因を明らかにする。その上、「新常态」（ニューノーマル）にある現在の中国経済について事例研究等を通じて考察し、中国経済発展の未来像について考える。

## 【到達目標】

現在、国際関係における一国主義やアンチグローバル的な考え方が強まる中、東アジア地域の多様性、複雑性、可能性について、特に世界第 2 位の経済規模を持つ中国の経済動向について立体的な視点から考察することによって学生諸君の考察力、思考力、分析力を高めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

1. 大学の授業計画に従って対面式で開講する。ただし、新型コロナウイルスの感染状況によって一時的にオンライン（Zoom 方式）開講の可能性もある。その場合は学習支援システム（Hoppii）内で事前に知らせる。

2. 一回の講義で基本的に 1 つの話題を中心に議論、検証、まとめる。

3. 情報時代のニーズに応えるため、事例や図表、統計を多く用いる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業紹介	中国経済の基礎、講義概要、中国最新経済情報、成績評価等
2	近代中国革命運動①	アヘン戦争から太平天国、日清戦争、辛亥革命、日中戦争、国共内戦
3	近代中国革命運動②	中国共産党の誕生、武力闘争から政権の奪取、中国人民共和国の樹立
4	朝鮮戦争と社会主義国家建設	戦後処理と冷戦、朝鮮戦争と日中両国に与える影響：ソ連の対中援助と「朝鮮特需」
5	計画経済期の中国経済と政治	大躍進、人民公社と文化大革命：経済建設から政治闘争へ
6	計画経済の行き詰まりと改革開放の始まり	農村地域の「下剋上」と郷鎮企業の発展：「世界工場」礎の形成
7	中国の経済発展戦略研究	鄧小平氏の「先富論」と成長と格差：先発地域と後発地域との格差拡大問題
8	中間進捗状況確認	前半の復習：「効率」か「平等」か = 「共同富裕」ができるのか

9	企業改革と工業の発展	世界最大白物家電メーカーハイアール（Haier）社の事例研究
10	対外開放：国際貿易と外資導入	日本企業の中国進出と日中貿易
11	情報技術革新とネットビジネスの興隆	ネット通販巨人アリババの事例、BATH（百度、アリババ、テンセント、華為）研究
12	中国の「新経済」とニュービジネス：S 級 B 級論	経済のサービス化、デジタル化、スマホ決済、シェア経済、EV、自動運転など
13	これからの中国、東アジア、そして世界	「新冷戦」、米中貿易戦争、デカウプリング、世界経済の先行き
14	復習とまとめ	中国経済再考、期末レポート作成要領

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

指定参考書、配布資料等を参考し、予習復習を行う。講義内容に応じて課題、宿題もあり、期末にはレポートの提出がある。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

指定なし

## 【参考書】

『現代中国経済』（新版）、丸川知雄、有斐閣アルマ。  
『幸福な監視国家・中国』、梶谷懐・高口康太、NHK 出版新書。  
『中国 S 級 B 級論—発展途上と最先端が混在する国』、高口康太・伊藤亜聖他著、さくら舎。

## 【成績評価の方法と基準】

1. 授業参加状況；  
2. リアクションペーパーや課題の提出状況；  
3. 期末レポートの完成状況  
等によって総合的に評価する。詳しくは、初回の授業時に確認、説明する。

## 【学生の意見等からの気づき】

1. 学生皆さんの関心事、意見などをよく聞く、確認する。  
2. 課題や質問等に対してできるだけ早く対応する。

## 【学生が準備すべき機器他】

特になし。  
ただし、オンライン（Zoom 方式）授業の場合は Zoom 視聴、Hoppii 上の課題、レポート、メール等のやり取りに必要な通信機器（パソコンなど）の用意が必要。

## 【その他の重要事項】

1. 前期の『経済学 LA：東アジア経済入門』とのセットにして履修してほしいが、特に必要事項ではない。  
2. 中国経済の話題が中心だが、政治、社会、歴史、文化、企業経営等の話もあり、興味があればぜひ取ってほしい。

## 【Outline (in English)】

This lecture aims at clearing up the success factors and lessons of failure by studying the development of China economy of the period transforming from the planned economy to the market economy, based on the basic knowledge about the development of the East-Asia economy, which students learned in the first semester. Furthermore, this lecture will examine the current China economy, so-called new-normal economy through case-study and consider the future image of China economy.

## 【Learning Objectives】

This lecture will help to improve students' ability of analyzing China economy about its variability and complexity from various viewpoints.

## 【Learning activities outside of classroom】

Before/after each class meeting, you should be expected to spend four hours in preparing/ reviewing to understand the course content.

## 【Grading Criteria /Policy】

You overall grade in the class will be decided based on the following:

- 1, in-class contribution (30%)
- 2, Reaction paper or homework (40%)
- 3, Term-end report (30%)

ECN200LA

経済学 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：利子と資本 I

水野 和夫

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：2 単位

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

経済学がどのような考え方に基づいて理論を構築しているかを身に着けることで、現在起きている様々な経済現象のどこに問題があるかを理解することができる。21 世紀が抱える課題、具体的には春学期の経済学 LA ではゼロ金利となった背景とそれに伴って起きた金融経済の肥大化現象、秋学期では利子と資本の関係について学び、近代経済学の知見から現実の課題にどのように対処したらよいかを学ぶことができる。

ところが、現実には近代経済学はこれらの問題に対してこれまでのところ有効な処方箋を提示できないでいる。「近代経済学」を再検討することで、経済学にとって何が求められているのかを理解できるようにする。

春学期と秋学期を通じて履修することで、資本の本質を理解することができる。

【到達目標】

18 世紀後半に誕生した経済学の基本的概念は、そのときどきの時代環境とともに変化してきたことを学ぶことで、ゼロ金利やグローバル化が経済・社会に及ぼす影響、米中新冷戦や日本やドイツのゼロ金利の背景を考えることができる。

なぜ、20 年にわたる長期停滞が続いているのか、ゼロ金利は何を意味しているのか、また労働生産性が緩やかではあるが上昇しているにもかかわらず実質賃金が下落しているのかといった現象をどう変革したらいいのか、自ら考える能力を身に着けることができる。

秋学期の「経済学 LB」と合わせて受講することで、春学期の到達目標がさらに高まる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義中心の対面授業で行う（ただし大学の方針に従う）。授業支援システムやリアクションペーパーを通じて、質問をうけ、回答をすることで双方向のコミュニケーションを図る。

『次なる 100 年 歴史の危機から学ぶこと』（東洋経済新報社、水野和夫、2022 年）の「序章」と第 1 章「ゼロ金利と『蒐集』」を中心に授業を進める。必ずしもこの本を購入する必要はない。授業は購入していないことを前提に行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	春学期と秋学期を通じて、講義全体の流れを説明	経済学の考え方とはなにかについて、概略の説明、社会の下部構造としての経済
第 2 回	ゼロ金利と「蒐集」（コレクション）① 「蒐集」の概念はいつ誕生したのか、その目的と対象は何か	西欧史はコレクションの歴史であり、コレクションの歴史は金銭の歴史である。目的は社会秩序の維持、対象は土地、霊魂、資本。 『次なる 100 年』の「はじめに」を参照

第 3 回	ゼロ金利と「蒐集」（コレクション）②例外と常態	ゼロ金利は常態か例外か—近代では例外、ポスト近代では常態。 『次なる 100 年』の「序章」を参照
第 4 回	ゼロ金利と「蒐集」（コレクション）③ 「蒐集」できなると何が起きるか	歴史の危機（ブルクハルト）—過去 3 回の危機と第 4 回目の 21 世紀。 『次なる 100 年』の第 1 章第 1 節を参照
第 5 回	ゼロ金利と「蒐集」（コレクション）④ ゼロ金利と「異次元金融緩和」	金融自由化と電子・金融空間の誕生、金融経済の肥大化現象。 『次なる 100 年』の第 2 章第 2 節を参照
第 6 回	21 世紀の「歴史の危機」①「中心」と「周辺」の関係	ニクソンショック（1971）とコペルニクスの宇宙論（1543）。 『次なる 100 年』の第 1 章第 2 節を参照
第 7 回	21 世紀の「歴史の危機」② 米中新冷戦について	欧米の支配基準は何か—キリスト教と非キリスト教徒、文明国と非文明国、債権国と債務国。 『次なる 100 年』の第 2 章第 3 節を参照
第 8 回	21 世紀の「歴史の危機」③ 国際収支発展段階説	対外純債権と所得収支の関係。債権国の定義とは。債権国が債務国を支配する。 『次なる 100 年』の第 2 章第 3 節を参照
第 9 回	21 世紀の「歴史の危機」④ GAF A と米国の絶望死とサハラ砂漠以南での児童労働	アダム・スミスの「共感」は 21 世紀も通用しているか。 『次なる 100 年』の第 2 章第 3 節を参照
第 10 回	米中新冷戦の背景	帝国と覇権国の違い。 『次なる 100 年』の第 2 章第 3 節を参照
第 11 回	国民国家と帝国	インターナショナル化とグローバル化。 『次なる 100 年』の第 1 章第 2 節と第 2 章第 1 節
第 12 回	債権国と債務国—所得収支と対外純資産の関係	米国と中国のねじれ現象。2030 年代に米中で所得収支が逆転する可能性はありか。 『次なる 100 年』の第 2 章第 3 節を参照
第 13 回	公式の帝国と非公式の帝国	「帝国主義に免疫性のある社会経済構成体などは皆無」（リヒトハイム）。 『次なる 100 年』の第 1 章第 2 節を参照
第 14 回	まとめ	春学期全体のまとめ、リアクションペーパーへの回答

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は各 2 時間が理想であるが、講義で使用したレジメ（授業支援システムに掲載）を教科書と照らし合わせながら、復習をしっかりとすること。

【テキスト（教科書）】

事前に Hoppii に、授業で使用するパワーポイント資料をアップ。授業は下記の本を購入していることを前提とはしないが、春学期の授業は下記の本の序章と 1 章を中心に進める。

『次なる 100 年 歴史の危機から学ぶこと』水野和夫、東洋経済新報社、2022

<https://str.toyokeizai.net/books/9784492444658/>

【参考書】

『経済学の考え方』宇沢弘文、岩波新書、1989

<https://www.iwanami.co.jp/book/b267872.html>

『経済学とは何だろうか』佐和隆光、岩波新書、1982

<https://www.iwanami.co.jp/book/b267615.html>

【成績評価の方法と基準】

受講態度 40 % + 期末試験（感染状況次第では期末レポート）60 %  
受講態度は 3 回程度提出したリアクションペーパーの内容で評価（リアクションペーパーの提出時期は 14 回の授業のうち各自任意に選択）

【学生の意見等からの気づき】

授業支援システムや質問票の配布を通じて学生からの意見を取り入れ、授業内容の改善を図る。

**【学生が準備すべき機器他】**

事前に PC などにて授業支援システムにアクセスして、レジメをダウンロードできる環境を整えることが望ましい。

**【その他の重要事項】**

必ずしも経済学Ⅰ、経済学Ⅱを履修している必要はない。  
内閣府（内閣府大臣官房審議官）および内閣官房（内閣審議官）での実務経験がある教員が、政府月例経済報告、経済財政白書などで養った経済分析、および政策立案のプロセスなどを授業で解説する

**【Outline (in English)】**

(Course outline and Learning Objectives) Why should you, as a student in the 21st century, embark on the study of economics?

There are three reasons. The first reason to study economics is that it will help you understand the world in which you live. The second reason to study economics is that it will make you a more astute participant in the economy. The third reason to study economics is that it will give you a better understanding of both the potential and limits of economic policy.

(Learning activities outside of classroom) Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

(Grading Criteria /Policy) Students are graded by attendance (40%) and the Term-end examination (60%).

ECN200LA

経済学 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：利子と資本Ⅱ

水野 和夫

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：2 単位

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

経済学がどのような考え方に基づいて理論を構築しているかを身に着けることで、現在起きている様々な経済現象のどこに問題があるかを理解することができる。21 世紀が抱える課題、具体的には秋学期の経済学 LB ではグローバリゼーションの功罪について学び、近代経済学の知見から現実の課題にどのように対処したらよいかを学ぶことができる。

ところが、現実には近代経済学はこれらの問題に対してこれまでのところ有効な処方箋を提示できない。「近代経済学」を再検討することで、経済学にとって何が求められているのかを理解できるようになる。

なお、春学期ではゼロ金利となった背景とそれに伴って起きた金融経済の肥大化現象などについて学ぶことができる。

春学期と秋学期を通じて履修することで、ゼロ金利とグローバリゼーションがいかに密接に絡み合っていることが理解できる。

【到達目標】

18 世紀後半に誕生した経済学の基本的概念は、そのときどきの時代環境とともに変化してきたことを学ぶことで、ゼロ金利やグローバリゼーションが経済・社会に及ぼす影響、米中新冷戦や日本やドイツのゼロ金利の背景を考えることができる。

なぜ、20 年にわたる長期停滞が続いているのか、ゼロ金利は何を意味しているのか、2016 年にトランプ大統領が誕生し、その後バイデン大統領がトランプに勝利したことでグローバリゼーションは曲がり角を迎えているのか否かを、自ら考える能力を身に着けることができる。

春学期の「経済学 LA」と合わせて受講することで、秋学期の到達目標がさらに高まる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義中心の対面授業を行う（ただし大学の方針に従う）。授業支援システムやリアクションペーパーを通じて、質問をうけ、回答をすることで双方向のコミュニケーションを図る。

『次なる 100 年 歴史の危機から学ぶこと』（東洋経済新報社、水野和夫、2022 年）の第 2 章「グローバリゼーションと帝国」、第 3 章「利子と資本」を中心に授業を進める。必ずしもこの本を購入する必要はない。授業は購入していないことを前提に行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	秋学期授業の全体の流れを説明	利子、貨幣、資本、グローバリゼーションの概念を考える

第 2 回 貨幣と資本の関係

元手（貨幣 G）が商品（W）に投資され、増加した貨幣（G'）となる。このプロセスを永続的に繰り返すことで貨幣は資本となる。W~W' の過程、W の増加が経済成長であり、G~G' にお

ける G の増加が利潤、従来パラレルに動いていた W の増加と G の増加がグローバリゼーションによって崩壊

第 3 回 イコンとコインの関係

イコン（硬貨）とは、政治的ないし美的意味を備えた刻印と、経済的に価値のある材料との結合、資本という概念を最初に作り出したのは利潤を美的に表す抽象概念、近代社会になると貨幣が容易に神の座へ、

聖書に代わって「私的な利益こそ、すべての人間を導く主」へ唯物論者の資本 vs. 資金主義者の資本、生産能力としての資本 vs. 内部留保金

第 4 回 資本の二つの機能

第 5 回 リアルエコノミー vs. シンボリックエコノミー

資本移動、為替レート、金融というシンボリックエコノミーが、財・サービスの流れというリアルエコノミーにかわって、しかもこの実物経済からほとんど独立して、世界経済のペースメーカーへ、シンボリックエコノミーがリアルエコノミーを圧倒するようになったのは、財政赤字や雇用などの国内問題の是正に取り組むことを放棄した結果

第 6 回 不平等が殺人を犯している（OXFAM レポート）

不平等が原因で少なくとも 4 秒に一人が亡くなっている。その一方で、ビリオネア（2660 人）はコロナ禍で純資産を増やした、民主主義の危機と国家主義の台頭社会の経済的進歩（資本の増大、人口増、生産技術の進歩）の先の社会を考える、

第 7 回 ミルの定常状態

第 8 回 グローバリゼーションの起源—中世が呼び寄せた資本主義、

13 世紀の数量革命と都市化、インターナショナルイゼーションよりも起源は古いグローバリゼーション—「住まいはせまくとも、思いは広し」（『次なる 100 年』の第 2 章第 1 節）、東方貿易、胡椒、金持ちの誕生（『次なる 100 年』の第 2 章第 1 節）

第 9 回 21 世紀のグローバリゼーションと近代システム—近代と機械化—進歩とは

近代は持続性を欠き、かつ矛盾に満ちたシステム（『次なる 100 年』の第 2 章第 2 節）、あらゆるものを機械（マシーン、メカニズム）に見立てる近代社会（『次なる 100 年』の第 2 章第 2 節）

第 10 回 グローバリゼーションの定義とイデオロギー—性—GAF A はマモンか

「グローバリゼーションは 21 世紀の妖怪である」（『次なる 100 年』の第 2 章第 2 節）、海賊ドレイク（イギリスの資本家第 1 号）vs.GAF A（『次なる 100 年』の第 2 章第 2 節）

第 11 回	帝国とは一支配と被支配の関係、所有権と国際収支発展段階説	国民国家における私的所有権と国際関係における「全世界の債権者」(『次なる 100 年』の第 2 章第 3 節) ラ・フォンテーヌ「財産を失った守銭奴」、ジョン・ロック『統治二論』、トルストイ「ホルストメー」(『次なる 100 年』の「終章」)
第 12 回	グローバリゼーションの暴力性	「ショック・ドクトリン」(惨事便乗型資本主義)、パンデミック、「絶望死」、エレファントカーブ、(Oxfam レポート) (『次なる 100 年』の第 2 章第 3 節)
第 13 回	日米の IS バランスー投資の日本と消費の米国	1985 年のプラザ合意と 1995 年の「強いドル」政策、弾けさせるためにつくられるバブル (『次なる 100 年』の第 2 章第 3 節)
第 14 回	まとめ	春学期・秋学期のまとめ、リアクションペーパーへの回答

#### 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

#### 【テキスト (教科書)】

事前に Hoppii に、授業で使用するパワーポイント資料をアップ。授業は下記の本を購入していることを前提とはしないが、秋学期の授業は下記の本の 2 章を中心に進める。

『次なる 100 年 歴史の危機から学ぶこと』水野和夫、東洋経済新報社、2022

<https://str.toyokeizai.net/books/9784492444658/>

#### 【参考書】

『経済学の考え方』宇沢弘文、岩波新書、1989

<https://www.iwanami.co.jp/book/b267872.html>

『経済学とは何だろうか』佐和隆光、岩波新書、1982

<https://www.iwanami.co.jp/book/b267615.html>

#### 【成績評価の方法と基準】

受講態度 40 % + 期末レポート (感染状況次第では期末レポート) 60 %  
受講態度は 3 回程度提出したリアクションペーパーの内容で評価 (リアクションペーパーの提出時期は 14 回の授業のうち各自任意に選択)

#### 【学生の意見等からの気づき】

授業支援システムや質問票の配布を通じて学生からの意見を取り入れ、授業内容の改善を図る。

#### 【学生が準備すべき機器他】

事前に PC などで授業支援システムにアクセスして、レジメをダウンロードできる環境を整えることが望ましい。

#### 【その他の重要事項】

必ずしも経済学 I、経済学 II を履修している必要はない。

内閣府 (内閣府大臣官房審議官) および内閣官房 (内閣審議官) での実務経験がある教員が、政府月例経済報告、経済財政白書などで養った経済分析、および政策立案のプロセスなどを授業で解説する

#### 【Outline (in English)】

(Course outline and Learning Objectives) Why should you, as a student in the 21st century, embark on the study of economics?

There are three reasons. The first reason to study economics is that it will help you understand the world in which you live. The second reason to study economics is that it will make you a more astute participant in the economy. The third reason to study economics is that it will give you a better understanding of both the potential and limits of economic policy.

(Learning activities outside of classroom) Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

(Grading Criteria /Policy) Students are graded by attendance attitude (40%) and the Term-end examination (60%).

PSY200LA

心理学 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

宇野 カオリ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：集中・その他/intensive・other courses

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

心理学の科学的手法に基づく知見や方法論を、現代の成熟社会に生きる私たちが抱える諸問題の解決に向けてどのように活用できるのか。この課題を念頭に置き、自らの体験や実践を通して、心理学の各理論や発見を押さえられるような授業を展開します。「心理学 I / II」などを通して、基礎心理学の諸領域（知覚心理学、認知心理学、感情心理学、パーソナリティ心理学など）を履修していることが望ましいですが、本授業から初めて心理学を学ぶという学生も歓迎します（基礎心理学の知識は、本授業の受講条件としては必須ではありません）。

【到達目標】

「心」は目には見えないものでありながら、「心が壊れる」「心が折れる」というような言い方をします。果たして「心」とは何か？そして、「心」を扱う心理学とはどのような学問なのか？これらの問いに答えるための具体的な手掛かりを得るとともに、人間の健全な心の働きや発達を様々な切り口から捉えることのできる能力を身につけること、また、心理学的な視点で、自分のこと、周りの人々のことを考えられるようになることを本授業の到達目標とします。具体的には、心理学 LA では「自分のレジリエンスを高める」、心理学 LB では「自分のウェルビーイングを高める」という具体目標を掲げます。通年で受講することで、両目標に対して統合的な効果が得られることが期待されます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

学期を通して、「曜日時限なし」のオンライン（オンデマンド型）授業となります。ただし、前年度までの同授業形態の履修者の多くが、学習ペースの自己管理に困難を来したことから、授業動画の視聴および課題提出については定期的な期日を設けながら進めます。オンデマンド型学習のために、学習支援システム（掲示板は使用しません）と Google クラスルームを併用します。学期中の連絡手段は主にメールと Google クラスルームになりますので、必ず確認するようにしてください。その他の詳細については第 1 回授業のガイダンスでお伝えします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業概要 授業の進め方と方法
第 2 回	レジリエンスとは何か	レジリエンス研究の歴史 認知心理学、発達心理学ほか
第 3 回	ABC で世界をとらえる私たち（「ABC 分析」で自分を知る 第 1 回）	認知行動療法ほか 〔テキスト レジリエンスワーク①〕

第 4 回	解釈と世界観の関係（「ABC 分析」で自分を知る 第 2 回）	認知行動療法ほか 〔テキスト レジリエンスワーク①〕
第 5 回	自分の「反応パターン」を見つける（「ABC 分析」で自分を知る 第 3 回）	認知行動療法ほか 〔テキスト レジリエンスワーク①〕
第 6 回	「思考のワナ」から抜け出す	学習心理学ほか 〔テキスト レジリエンスワーク②〕
第 7 回	「氷山思考」を探り当てる	深層心理学ほか 〔テキスト レジリエンスワーク③〕
第 8 回	中間レポート講評	第 2 回～第 7 回授業の振り返り
第 9 回	思考の柔軟性を奪う「思い込み」（自分の「思い込み」に挑む 第 1 回）	認知行動療法ほか 〔テキスト レジリエンスワーク④〕
第 10 回	思考の正確性を獲得する（自分の「思い込み」に挑む 第 2 回）	認知行動療法ほか 〔テキスト レジリエンスワーク④〕
第 11 回	未来の「シナリオ」を書き直す	臨床心理学ほか 〔テキスト レジリエンスワーク⑤〕
第 12 回	一瞬で心を静める	マインドフルネス 〔テキスト レジリエンスワーク⑥〕
第 13 回	窮地で自分の思考に反論する	総合 〔テキスト レジリエンスワーク⑦〕
第 14 回	期末レポート説明	第 9 回～第 13 回授業の振り返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で扱うテーマについて、授業を離れても日常的に意識して過ごしてみることをお勧めします。本授業の準備学習・復習時間は各 2 時間を標準としますが、各自でペース調整をしてください。

【テキスト（教科書）】

『折れない心のつくりかた：はじめてのレジリエンスワークブック』（日本ポジティブ心理学協会著、すばる舎、2016 年）  
<https://www.subarusya.jp/book/b251379.html>

【参考書】

特に指定しませんが、テーマに応じて有益と思われる書籍は授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

中間レポート 25%、期末レポート 25%、授業に関係するアクティビティ 50%  
中間レポート・期末レポート共に、暗記による知識ではなく、理解度を確認するものとなります。授業に関係するアクティビティの具体的な内容を含め、成績評価に関する詳細についてはガイダンスで説明します。

【学生の意見等からの気づき】

< 授業内容について >  
・授業に関する意見のなかで、最も励みとなったのは、「これからの人生を生きていく上でとても為になる」という言葉でした。  
・「授業がおもしろい」というコメントも多くいただきます。皆さんの学生生活に即役に立つようなテーマを取り上げますが、楽しんで学習することによる学習効率についても念頭に置いています。  
・かなり多くの方が、「自分はネガティブだと自覚しているが、ポジティブに振る舞っている」という悩みを抱えていることが、リアクションペーパー（オンラインで提出）を通して分かりました。ポジティブ心理学では、人間は生来、ネガティブになる傾向があることが指摘されています。「授業を通して、自分がなぜネガティブなのか分かって救われた」との声が多量に寄せられました。  
・総じて、毎回の授業内容について、リアクションペーパーでしっかりと自分の考えを述べたり、自己内省をして授業から学び取ったことを書いてくれたりした方がほとんどでした。  
< 授業形式について >

- ・本授業は加点方式か、それとも減点方式か、という質問が、学期を通して寄せられましたが、本授業は基本的に加点方式です。
- ・諸事情により、動画配信を逃してしまった、課題が期日までに提出できなかった、という方も少なくありません。動画の再視聴期間や、課題の遅延提出期間を設けることで、支障なく学習を進められるよう、便宜を図ります。

#### 【学生が準備すべき機器他】

スマホよりはパソコンでの受講が望ましいです。(課題は Google フォームで提出してもらいますが、スマホから提出を続けていたところ、受付となっておらず、それまでの提出が無効となった、という事例が発生しました。)

#### 【その他の重要事項】

- ・抽選や単位数の都合で、心理学 LA か心理学 LB いずれかのみを受講となる場合もあると思います。履修上は問題ありませんが、連続して受講していただくと、一年間を通して本授業から得られると期待される実践的な効果をより体得できるかもしれません。
- ・日本語よりも英語を得意とする方は、リアクションペーパーやレポートを英語で書いて提出していただいても構いません。

#### 【Outline (in English)】

##### 【授業の概要 (Course Outline)】

Is there any way to apply the findings and methodologies in psychological science when working towards solving various issues in our society? With such a question in mind, students are expected to understand and articulate key concepts and findings in psychology through your own experiences and practices. A certain basic knowledge of psychology (e.g., perception, cognition, emotion, personality, etc.) is desirable but not a prerequisite for this course. Any student is welcome to this course to get to know psychology for the first time.

##### 【到達目標 (Learning Objectives)】

What is the "mind"? Psychology is the scientific study of the mind and behavior, according to APA (American Psychological Association). The general goals of this course are to provide certain clues to respond to these questions, to acquire the ability to understand from various perspectives how a healthy human mind functions and develops, and to be able to give compassion to yourself and to others from a psychological perspective. In the spring semester, the classes are specifically designed to "build your resilience" and the fall semester to "promote your well-being," respectively. The year-long endeavor should have an integrated effect on both specific goals.

##### 【授業時間外の学習 (Learning Activities Outside of Classroom)】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be around two hours before and after each class meeting.

##### 【成績評価の方法と基準 (Grading Criteria/Policy)】

Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term report (25%), term-end report (25%), and class-related activities (50%). More details will be explained in the first lecture of each semester.



PSY200LA

## 心理学 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

宇野 カオリ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：集中・その他/intensive・other courses

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

心理学の科学的手法に基づく知見や方法論を、現代の成熟社会に生きる私たちが抱える諸問題の解決に向けてどのように活用できるのか。この課題を念頭に置き、自らの体験や実践を通して、心理学の各理論や発見を押さえられるような授業を展開します。「心理学 I/II」などを通して、基礎心理学の諸領域（知覚心理学、認知心理学、感情心理学、パーソナリティ心理学など）を履修していることが望ましいですが、本授業から初めて心理学を学ぶという学生も歓迎します（基礎心理学の知識は、本授業の受講条件としては必須ではありません）。

## 【到達目標】

「心」は目には見えないものでありながら、「心が壊れる」「心が折れる」というような言い方をします。果たして「心」とは何か？そして、「心」を扱う心理学とはどのような学問なのか？これらの問いに答えるための具体的な手掛かりを得るとともに、人間の健全な心の働きや発達を様々な切り口から捉えることのできる能力を身につけること、また、心理学的な視点で、自分のこと、周りの人々のことを考えられるようになることを本授業の到達目標とします。具体的には、心理学 LA では「自分のレジリエンスを高める」、心理学 LB では「自分のウェルビーイングを高める」という具体目標を掲げます。通年で受講することで、両目標に対して統合的な効果が得られることが期待されます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

学期を通して、「曜日時限なし」のオンライン（オンデマンド型）授業となります。ただし、前年度までの同授業形態の履修者の多くが、学習ペースの自己管理に困難を来したことから、授業動画の視聴および課題提出については定期的な期日を設けながら進めます。オンデマンド型学習のために、学習支援システム（掲示板は使用しません）と Google クラウドを併用します。学期中の連絡手段は主にメールと Google クラウドになりますので、必ず確認するようにしてください。その他の詳細については第 1 回授業のガイダンスでお伝えします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業概要、授業の進め方と方法
第 2 回	ウェルビーイング (Well-Being) とは何か	ポジティブ心理学/ウェルビーイング研究の歴史 (臨床心理学、社会心理学、文化心理学ほか)
第 3 回	ポジティブ心理学/ウェルビーイング研究で解明されたこと	「こころの健康」を理解しよう [テキスト 第 1 章]

第 4 回	(ネガティブな感情も大切にしながら) ポジティブな感情を増やそう	「こころの健康」を高めよう 第 1 回 [テキスト 第 2 章 Part 1]
第 5 回	エンゲージメントを高めよう	「こころの健康」を高めよう 第 2 回 [テキスト 第 2 章 Part 2]
第 6 回	良好な人間関係を築こう	「こころの健康」を高めよう 第 3 回 [テキスト 第 2 章 Part 3]
第 7 回	人生の意味を創造しよう	「こころの健康」を高めよう 第 4 回 [テキスト 第 2 章 Part 4]
第 8 回	達成感を味わおう	「こころの健康」を高めよう 第 5 回 [テキスト 第 2 章 Part 5]
第 9 回	中間レポート講評	第 3 回～第 8 回授業の振り返り
第 10 回	活力を高めよう	「こころの健康」を高めよう 第 6 回 [テキスト 第 2 章 プラス a]
第 11 回	幸福感を高めよう (ポジティブ心理学介入)	「こころの健康」を支援しよう 第 1 回 [テキスト 第 3 章]
第 12 回	「心理資本」を豊かにしよう (ポジティブ心理学介入)	「こころの健康」を支援しよう 第 2 回 [テキスト 第 3 章]
第 13 回	「徳性の強み」で自分も世の中もよくしよう (ポジティブ心理学介入)	「こころの健康」を支援しよう 第 3 回 [テキスト 第 3 章]
第 14 回	期末レポート	第 10 回～第 13 回授業の振り返り

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で扱うテーマについて、授業を離れても日常的に意識して過ごしていただくことをお勧めします。本授業の準備学習・復習時間は各 2 時間を標準としますが、各自でペース調整をしてください。

## 【テキスト（教科書）】

『人生を豊かにするウェルビーイングノート：ポジティブサイコロジー × 解決志向アプローチでこころの健康を育てる』（松隈信一郎著、金剛出版、2022 年）

<https://www.kongoshuppan.co.jp/book/b596381.html>

## 【参考書】

特に指定しませんが、テーマに応じて有益と思われる書籍は授業内で紹介します。

## 【成績評価の方法と基準】

中間レポート 25%、期末レポート 25%、授業に関係するアクティビティ 50%

中間レポート・期末レポート共に、暗記による知識ではなく、理解度を確認するものとなります。授業に関係するアクティビティの具体的な内容を含め、成績評価に関する詳細についてはガイダンスで説明します。

## 【学生の意見等からの気づき】

< 授業内容について >

- ・授業に関する意見のなかで、最も励みとなったのは、「これからの人生を生きていく上でとても為になる」という言葉でした。
- ・「授業がおもしろい」というコメントも多くいただきます。皆さんの学生生活に即役に立つようなテーマを取り上げますが、楽しんで学習することによる学習効率についても念頭に置いています。
- ・かなり多くの方が、「自分はネガティブだと自覚しているが、ポジティブに振る舞っている」という悩みを抱えていることが、リアクションペーパー（オンラインで提出）を通して分かりました。ポジティブ心理学では、人間は生来、ネガティブになる傾向があることが指摘されています。「授業を通して、自分がなぜネガティブなのか分かって救われた」との声が非常に多く寄せられました。
- ・総じて、毎回の授業内容について、リアクションペーパーでしっかりと自分の考えを述べたり、自己内省をして授業から学び取ったことを書いてくれたりした方がほとんどでした。

< 授業形式について >

- ・本授業は加点方式か、それとも減点方式か、という質問が、学期を通して寄せられましたが、本授業は基本的に加点方式です。
- ・諸事情により、動画配信を逃してしまった、課題が期日までに提出できなかった、という方も少なくありません。動画の再視聴期間や、課題の遅延提出期間を設けることで、支障なく学習を進められるよう、便宜を図ります。

**【学生が準備すべき機器他】**

スマホよりはパソコンでの受講が望ましいです。(課題は Google フォームで提出してもらいますが、スマホから提出を続けていたところ、受付となっておらず、それまでの提出が無効となった、という事例が発生しました。)

**【その他の重要事項】**

- ・抽選や単位数の都合で、心理学 LA か心理学 LB いずれかのみを受講となる場合もあると思います。履修上は問題ありませんが、連続して受講していただくと、一年間を通して本授業から得られると期待される実践的な効果をより体得できるかもしれません。
- ・日本語よりも英語を得意とする方は、リアクションペーパーやレポートを英語で書いて提出していただいても構いません。

**【Outline (in English)】**

**【授業の概要 (Course Outline)】**

Is there any way to apply the findings and methodologies in psychological science when working towards solving various issues in our society? With such a question in mind, students are expected to understand and articulate key concepts and findings in psychology through your own experiences and practices. A certain basic knowledge of psychology (e.g., perception, cognition, emotion, personality, etc.) is desirable but not a prerequisite for this course. Any student is welcome to this course to get to know psychology for the first time.

**【到達目標 (Learning Objectives)】**

What is the "mind"? Psychology is the scientific study of the mind and behavior, according to APA (American Psychological Association). The general goals of this course are to provide certain clues to respond to these questions, to acquire the ability to understand from various perspectives how a healthy human mind functions and develops, and to be able to give compassion to yourself and to others from a psychological perspective. In the spring semester, the classes are specifically designed to "build your resilience" and the fall semester to "promote your well-being," respectively. The year-long endeavor should have an integrated effect on both specific goals.

**【授業時間外の学習 (Learning Activities Outside of Classroom)】**

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be around two hours before and after each class meeting.

**【成績評価の方法と基準 (Grading Criteria/Policy)】**

Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term report (25%), term-end report (25%), and class-related activities (50%). More details will be explained in the first lecture of each semester.

PSY200LA

心理学 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

宇野 カオリ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：集中・その他/intensive・other courses

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

心理学の科学的手法に基づく知見や方法論を、現代の成熟社会に生きる私たちが抱える諸問題の解決に向けてどのように活用できるのか。この課題を念頭に置き、自らの体験や実践を通して、心理学の各理論や発見を押さえられるような授業を展開します。「心理学 I/II」などを通して、基礎心理学の諸領域（知覚心理学、認知心理学、感情心理学、パーソナリティ心理学など）を履修していることが望ましいですが、本授業から初めて心理学を学ぶという学生も歓迎します（基礎心理学の知識は、本授業の受講条件としては必須ではありません）。

【到達目標】

「心」は目には見えないものでありながら、「心が壊れる」「心が折れる」というような言い方をします。果たして「心」とは何か？そして、「心」を扱う心理学とはどのような学問なのか？これらの問いに答えるための具体的な手掛かりを得るとともに、人間の健全な心の働きや発達を様々な切り口から捉えることのできる能力を身につけること、また、心理学的な視点で、自分のこと、周りの人々のことを考えられるようになることを本授業の到達目標とします。具体的には、心理学 LA では「自分のレジリエンスを高める」、心理学 LB では「自分のウェルビーイングを高める」という具体目標を掲げます。通年で受講することで、両目標に対して統合的な効果が得られることが期待されます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

学期を通して、「曜日時限なし」のオンライン（オンデマンド型）授業となります。ただし、前年度までの同授業形態の履修者の多くが、学習ペースの自己管理に困難を来したことから、授業動画の視聴および課題提出については定期的な期日を設けながら進めます。オンデマンド型学習のために、学習支援システム（掲示板は使用しません）と Google クラスルームを併用します。学期中の連絡手段は主にメールと Google クラスルームになりますので、必ず確認するようにしてください。その他の詳細については第 1 回授業のガイダンスでお伝えします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業概要 授業の進め方と方法
第 2 回	レジリエンスとは何か	レジリエンス研究の歴史 認知心理学、発達心理学ほか
第 3 回	ABC で世界をとらえる私たち（「ABC 分析」で自分を知る 第 1 回）	認知行動療法ほか 〔テキスト レジリエンスワーク①〕

第 4 回	解釈と世界観の関係（「ABC 分析」で自分を知る 第 2 回）	認知行動療法ほか 〔テキスト レジリエンスワーク①〕
第 5 回	自分の「反応パターン」を見つける（「ABC 分析」で自分を知る 第 3 回）	認知行動療法ほか 〔テキスト レジリエンスワーク①〕
第 6 回	「思考のワナ」から抜け出す	学習心理学ほか 〔テキスト レジリエンスワーク②〕
第 7 回	「氷山思考」を探り当てる	深層心理学ほか 〔テキスト レジリエンスワーク③〕
第 8 回	中間レポート講評	第 2 回～第 7 回授業の振り返り
第 9 回	思考の柔軟性を奪う「思い込み」（自分の「思い込み」に挑む 第 1 回）	認知行動療法ほか 〔テキスト レジリエンスワーク④〕
第 10 回	思考の正確性を獲得する（自分の「思い込み」に挑む 第 2 回）	認知行動療法ほか 〔テキスト レジリエンスワーク④〕
第 11 回	未来の「シナリオ」を書き直す	臨床心理学ほか 〔テキスト レジリエンスワーク⑤〕
第 12 回	一瞬で心を静める	マインドフルネス 〔テキスト レジリエンスワーク⑥〕
第 13 回	窮地で自分の思考に反論する	総合 〔テキスト レジリエンスワーク⑦〕
第 14 回	期末レポート説明	第 9 回～第 13 回授業の振り返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で扱うテーマについて、授業を離れても日常的に意識して過ごしてみることをお勧めします。本授業の準備学習・復習時間は各 2 時間を標準としますが、各自でペース調整をしてください。

【テキスト（教科書）】

『折れない心のつくりかた：はじめてのレジリエンスワークブック』（日本ポジティブ心理学協会著、すばる舎、2016 年）  
<https://www.subarusya.jp/book/b251379.html>

【参考書】

特に指定しませんが、テーマに応じて有益と思われる書籍は授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

中間レポート 25%、期末レポート 25%、授業に関係するアクティビティ 50%  
中間レポート・期末レポート共に、暗記による知識ではなく、理解度を確認するものとなります。授業に関係するアクティビティの具体的な内容を含め、成績評価に関する詳細についてはガイダンスで説明します。

【学生の意見等からの気づき】

< 授業内容について >  
・授業に関する意見のなかで、最も励みとなったのは、「これからの人生を生きていく上でとても為になる」という言葉でした。  
・「授業が面白い」というコメントも多くいただきます。皆さんの学生生活に即役に立つようなテーマを取り上げますが、楽しんで学習することによる学習効率についても念頭に置いています。  
・かなり多くの方が、「自分はネガティブだと自覚しているが、ポジティブに振る舞っている」という悩みを抱えていることが、リアクションペーパー（オンラインで提出）を通して分かりました。ポジティブ心理学では、人間は生来、ネガティブになる傾向があることが指摘されています。「授業を通して、自分がなぜネガティブなのか分かって救われた」との声が非常に多く寄せられました。  
・総じて、毎回の授業内容について、リアクションペーパーでしっかりと自分の考えを述べたり、自己内省をして授業から学び取ったことを書いてくれたりした方がほとんどでした。  
< 授業形式について >  
・本授業は加点方式か、それとも減点方式か、という質問が、学期を通して寄せられましたが、本授業は基本的に加点方式です。

・諸事情により、動画配信を逃してしまった、課題が期日までに提出できなかった、という方も少なくありません。動画の再視聴期間や、課題の遅延提出期間を設けることで、支障なく学習を進められるよう、便宜を図ります。

**【学生が準備すべき機器他】**

スマホよりはパソコンでの受講が望ましいです。(課題は Google フォームで提出してもらいますが、スマホから提出を続けていたところ、受付となっておらず、それまでの提出が無効となった、という事例が発生しました。)

**【その他の重要事項】**

・抽選や単位数の都合で、心理学 LA か心理学 LB いずれかのみを受講となる場合もあると思います。履修上は問題ありませんが、連続して受講していただくと、一年間を通して本授業から得られると期待される実践的な効果をより体得できるかもしれません。  
・日本語よりも英語を得意とする方は、リアクションペーパーやレポートを英語で書いて提出していただいても構いません。

**【Outline (in English)】**

**【授業の概要 (Course Outline)】**

Is there any way to apply the findings and methodologies in psychological science when working towards solving various issues in our society? With such a question in mind, students are expected to understand and articulate key concepts and findings in psychology through your own experiences and practices. A certain basic knowledge of psychology (e.g., perception, cognition, emotion, personality, etc.) is desirable but not a prerequisite for this course. Any student is welcome to this course to get to know psychology for the first time.

**【到達目標 (Learning Objectives)】**

What is the "mind"? Psychology is the scientific study of the mind and behavior, according to APA (American Psychological Association). The general goals of this course are to provide certain clues to respond to these questions, to acquire the ability to understand from various perspectives how a healthy human mind functions and develops, and to be able to give compassion to yourself and to others from a psychological perspective. In the spring semester, the classes are specifically designed to "build your resilience" and the fall semester to "promote your well-being," respectively. The year-long endeavor should have an integrated effect on both specific goals.

**【授業時間外の学習 (Learning Activities Outside of Classroom)】**

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be around two hours before and after each class meeting.

**【成績評価の方法と基準 (Grading Criteria/Policy)】**

Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term report (25%), term-end report (25%), and class-related activities (50%). More details will be explained in the first lecture of each semester.

PSY200LA

## 心理学 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

宇野 カオリ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：集中・その他/intensive・other courses

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

心理学の科学的手法に基づく知見や方法論を、現代の成熟社会に生きる私たちが抱える諸問題の解決に向けてどのように活用できるのか。この課題を念頭に置き、自らの体験や実践を通して、心理学の各理論や発見を押さえられるような授業を展開します。「心理学 I/II」などを通して、基礎心理学の諸領域（知覚心理学、認知心理学、感情心理学、パーソナリティ心理学など）を履修していることが望ましいですが、本授業から初めて心理学を学ぶという学生も歓迎します（基礎心理学の知識は、本授業の受講条件としては必須ではありません）。

## 【到達目標】

「心」は目には見えないものでありながら、「心が壊れる」「心が折れる」というような言い方をします。果たして「心」とは何か？そして、「心」を扱う心理学とはどのような学問なのか？これらの問いに答えるための具体的な手掛かりを得るとともに、人間の健全な心の働きや発達を様々な切り口から捉えることのできる能力を身につけること、また、心理学的な視点で、自分のこと、周りの人々のことを考えられるようになることを本授業の到達目標とします。具体的には、心理学 LA では「自分のレジリエンスを高める」、心理学 LB では「自分のウェルビーイングを高める」という具体目標を掲げます。通年で受講することで、両目標に対して統合的な効果が得られることが期待されます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

学期を通して、「曜日時限なし」のオンライン（オンデマンド型）授業となります。ただし、前年度までの同授業形態の履修者の多くが、学習ペースの自己管理に困難を来したことから、授業動画の視聴および課題提出については定期的な期日を設けながら進めます。オンデマンド型学習のために、学習支援システム（掲示板は使用しません）と Google クラスルームを併用します。学期中の連絡手段は主にメールと Google クラスルームになりますので、必ず確認するようにしてください。その他の詳細については第 1 回授業のガイダンスでお伝えします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業概要、授業の進め方と方法
第 2 回	ウェルビーイング (Well-Being) とは何か	ポジティブ心理学/ウェルビーイング研究の歴史 (臨床心理学、社会心理学、文化心理学ほか)
第 3 回	ポジティブ心理学/ウェルビーイング研究	「こころの健康」を理解しよう [テキスト 第 1 章] で解明されたこと

第 4 回	(ネガティブな感情も大切にしながら) ポジティブな感情を増やそう	「こころの健康」を高めよう 第 1 回 [テキスト 第 2 章 Part 1]
第 5 回	エンゲージメントを高めよう	「こころの健康」を高めよう 第 2 回 [テキスト 第 2 章 Part 2]
第 6 回	良好な人間関係を築こう	「こころの健康」を高めよう 第 3 回 [テキスト 第 2 章 Part 3]
第 7 回	人生の意味を創造しよう	「こころの健康」を高めよう 第 4 回 [テキスト 第 2 章 Part 4]
第 8 回	達成感を味わおう	「こころの健康」を高めよう 第 5 回 [テキスト 第 2 章 Part 5]
第 9 回	中間レポート講評	第 3 回～第 8 回授業の振り返り
第 10 回	活力を高めよう	「こころの健康」を高めよう 第 6 回 [テキスト 第 2 章 プラス a]
第 11 回	幸福感を高めよう (ポジティブ心理学介入)	「こころの健康」を支援しよう 第 1 回 [テキスト 第 3 章]
第 12 回	「心理資本」を豊かにしよう (ポジティブ心理学介入)	「こころの健康」を支援しよう 第 2 回 [テキスト 第 3 章]
第 13 回	「徳性の強み」で自分も世の中もよくしよう (ポジティブ心理学介入)	「こころの健康」を支援しよう 第 3 回 [テキスト 第 3 章]
第 14 回	期末レポート	第 10 回～第 13 回授業の振り返り

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で扱うテーマについて、授業を離れても日常的に意識して過ごしてみることをお勧めします。本授業の準備学習・復習時間は各 2 時間を標準としますが、各自でペース調整をしてください。

## 【テキスト（教科書）】

『人生を豊かにするウェルビーイングノート：ポジティブサイコロジー × 解決志向アプローチでこころの健康を育てる』（松隈信一郎著、金剛出版、2022 年）

<https://www.kongoshuppan.co.jp/book/b596381.html>

## 【参考書】

特に指定しませんが、テーマに応じて有益と思われる書籍は授業内で紹介します。

## 【成績評価の方法と基準】

中間レポート 25%、期末レポート 25%、授業に関係するアクティビティ 50%

中間レポート・期末レポート共に、暗記による知識ではなく、理解度を確認するものとなります。授業に関係するアクティビティの具体的な内容を含め、成績評価に関する詳細についてはガイダンスで説明します。

## 【学生の意見等からの気づき】

< 授業内容について >

- ・授業に関する意見のなかで、最も励みとなったのは、「これからの人生を生きていく上でとても為になる」という言葉でした。
- ・「授業がおもしろい」というコメントも多くいただきます。皆さんの学生生活に即役に立つようなテーマを取り上げますが、楽しんで学習することによる学習効率についても念頭に置いています。
- ・かなり多くの方が、「自分はネガティブだと自覚しているが、ポジティブに振る舞っている」という悩みを抱えていることが、リアクションペーパー（オンラインで提出）を通して分かりました。ポジティブ心理学では、人間は生来、ネガティブになる傾向があることが指摘されています。「授業を通して、自分がなぜネガティブなのか分かって救われた」との声が非常に多く寄せられました。
- ・総じて、毎回の授業内容について、リアクションペーパーでしっかりと自分の考えを述べたり、自己内省をして授業から学び取ったことを書いてくれたりした方がほとんどでした。

< 授業形式について >

- ・本授業は加点方式か、それとも減点方式か、という質問が、学期を通して寄せられましたが、本授業は基本的に加点方式です。
- ・諸事情により、動画配信を逃してしまった、課題が期日までに提出できなかった、という方も少なくありません。動画の再視聴期間や、課題の遅延提出期間を設けることで、支障なく学習を進められるよう、便宜を図ります。

#### 【学生が準備すべき機器他】

スマホよりはパソコンでの受講が望ましいです。(課題は Google フォームで提出してもらいますが、スマホから提出を続けていたところ、受付となっておらず、それまでの提出が無効となった、という事例が発生しました。)

#### 【その他の重要事項】

- ・抽選や単位数の都合で、心理学 LA か心理学 LB いずれかのみを受講となる場合もあると思います。履修上は問題ありませんが、連続して受講していただくと、一年間を通して本授業から得られると期待される実践的な効果をより体得できるかもしれません。
- ・日本語よりも英語を得意とする方は、リアクションペーパーやレポートを英語で書いて提出していただいても構いません。

#### 【Outline (in English)】

##### 【授業の概要 (Course Outline)】

Is there any way to apply the findings and methodologies in psychological science when working towards solving various issues in our society? With such a question in mind, students are expected to understand and articulate key concepts and findings in psychology through your own experiences and practices. A certain basic knowledge of psychology (e.g., perception, cognition, emotion, personality, etc.) is desirable but not a prerequisite for this course. Any student is welcome to this course to get to know psychology for the first time.

##### 【到達目標 (Learning Objectives)】

What is the "mind"? Psychology is the scientific study of the mind and behavior, according to APA (American Psychological Association). The general goals of this course are to provide certain clues to respond to these questions, to acquire the ability to understand from various perspectives how a healthy human mind functions and develops, and to be able to give compassion to yourself and to others from a psychological perspective. In the spring semester, the classes are specifically designed to "build your resilience" and the fall semester to "promote your well-being," respectively. The year-long endeavor should have an integrated effect on both specific goals.

##### 【授業時間外の学習 (Learning Activities Outside of Classroom)】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be around two hours before and after each class meeting.

##### 【成績評価の方法と基準 (Grading Criteria/Policy)】

Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term report (25%), term-end report (25%), and class-related activities (50%). More details will be explained in the first lecture of each semester.

GEO200LA

**地理学 L A**

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

長沢 利明

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 3/Tue.3

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

地理学の基本的な研究方法、考え方、方法論などについて学ぶ。さまざまなテーマを取り上げてそれを考えていく。特に環境問題に重点を置いて、授業を進めていく。

**【到達目標】**

さまざまなテーマと話題を取り上げながら、地理学の方法論や考え方を学び、身につけることを到達目標とする。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

本授業では、毎回プリントを配布して講義をおこなう。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**

なし / No

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし / No

**【授業計画】 授業形態：対面/face to face**

回	テーマ	内容
1	プロローグ	授業内容の説明、成績評価の方法などを解説する。
2	文化・生態・環境	地理学と生態・環境問題との関係について解説する。
3	都市の生態環境①	都市の生態環境の特色について解説する。
4	都市の生態環境②	都市の生態環境の特色について解説する。
5	都市の生態環境③	都市の生態環境の特色について解説する。
6	日本の野生動物相①	日本の野生動物相の特色について解説する。
7	日本の野生動物相②	日本の野生動物相の特色について解説する。
8	日本の植生①	日本の植生の特色について解説する。
9	日本の植生②	日本の植生の特色について解説する。
10	生業条件と生態環境	生業経済と生態環境との関係について解説する。
11	森林問題①	都市の森林問題、里山林の問題などについて解説する。
12	森林問題②	都市の森林問題について解説する。
13	調査とレポート	フィールドワークの方法について解説する。
14	全体的な補足	全体的な補足をおこなう。

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

準備学習および復習を自宅でおこなうことががぞましい。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

**【テキスト（教科書）】**

特にありません。授業内で必要に応じてプリントを配布します。

**【参考書】**

随時、授業内で紹介します。

**【成績評価の方法と基準】**

授業内試験 (100%) で評価します。

**【学生の意見等からの気づき】**

アンケート調査結果などを参照し、授業内容の改善につとめる。

**【学生が準備すべき機器他】**

特になし。

**【Outline (in English)】**

(Outline) This course introduces general theories of cultural geography to students taking this course.

(Goal) The goal of this course is to understand of general theories on cultural geography.

(Learning activities outside of classroom) Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours to understand the course content.

(Grading criteria/policy) Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Term-end examination:100%.

GEO200LA

## 地理学 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

長沢 利明

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 3/Tue.3

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

地理学の基本的な考え方、研究方法などを学ぶために、さまざまな話題を取り上げ、解説をおこなう。特に環境問題に重点を置いて講義をおこなう。

## 【到達目標】

地理学的な物の見方とは、どういうことをいっているのか、あるいはその視点・立脚点とはどのようなものか、などを身につけることが到達目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

毎回異なったテーマを取り上げる。プリントを配布し、それをテキストとして用いながら授業を進めていく。

課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	プロローグ	授業の進め方や注意事項などについて解説する。
2	文化・生態・環境	授業を構成する文化・生態・環境の三つのキーワードについて解説する。
3	焼畑農業	焼畑農業の持つ諸課題について解説する。
4	農業の起源と赤米①	日本における農業の起源と赤米の問題について解説する。
5	農業の起源と赤米②	日本における農業の起源と赤米の問題について解説する。
6	海辺の環境①	海辺の環境の特色について解説する。
7	海辺の環境②	海辺の環境の特色について解説する。
8	海辺の環境③	海辺の環境の特色について解説する。
9	海辺の環境④	海辺の環境の特色について解説する。
10	海辺の環境⑤	海辺の環境と漁業問題について解説する。
11	森林問題	森林問題、里山林の環境的特性などについて解説する。
12	調査とレポート	フィールドワークの方法などについて解説する。
13	まとめ	全体的なまとめをおこない、総括する。
14	補足	補足的なテーマを適宜選んで取り上げる。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

自宅での予習・復習をおこなうことが望ましい。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

特に指定はありません。必要に応じて、授業内でプリントを配布します。

## 【参考書】

授業内で適宜紹介します。

## 【成績評価の方法と基準】

授業内試験 (100%) で評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

地理学の基本から学びますので、高校時代に地理を選択していなかった学生も遠慮なく履修してください。

## 【Outline (in English)】

(Outline) This course introduces general theories of cultural geography to students talking this course.

(Goal) The goal of this course is to understand of general theories on cultural geography.

(Learning activities outside of classroom) Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours to understand the course content.

(Grading criteria/policy) Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Term-end examination:100%.



GEO200LA

## 地理学 L C

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

片岡 義晴

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 4/Thu.4

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代世界、とりわけ低開発諸国、地域の地域問題について学んでいきます。

## 【到達目標】

食料、人口、貧困問題などを手がかりにして、現代世界の地域・社会問題を学んでいきます。低開発諸国、地域のそれら問題は先進諸国との関係性の中で生じており、授業を通して先進諸国と低開発諸国、諸地域の関係を理解できるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

## 【授業の進め方】

「発展」から取り残されている地域・国を事例にして、現代世界の地域・社会問題を考えていきます。主としてアジア諸地域を例に挙げて、「発展」の仕組みを、その「裏側」から考えていくつもりです。取り扱うテーマは世界の食料、人口、貧困にかかわる諸問題です。それらの出来事は個別に存在するわけではなく、相互に関連し、問題を複雑化させています。したがって結論や解決策を単純に見いだすことはできません。現実の「構造」を知ることができるようにしていきたいと思えます。

## 【課題等に対するフィードバック方法】

授業の初めに、前回までの授業で提出されたりアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。

## 【授業の方法】

講義形式で授業していきます。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	世界の食糧問題 (1)	先進国と途上国の食料自給率
第 2 回	世界の食糧問題 (2)	食糧輸出国と輸入国
第 3 回	世界の食糧問題 (3)	農業生産性の向上 - 「緑の革命」 -
第 4 回	世界の人口 (1) - 人口の趨勢 -	人口爆発とその後 - 70 億人突破 -
第 5 回	世界の人口 (2) - 二つの人口論 -	マルサスとマルクス
第 6 回	世界の人口 (3) - 死亡率・出生率変化の検討 -	死亡率の急減と出生率低下の緩慢さ
第 7 回	世界の人口 (4)	人口問題と人権
第 8 回	貧困と援助・協力 (1)	世界の貧困 - 先進国、途上国それぞれに貧困 -
第 9 回	貧困と援助・協力 (2)	衛生問題 - 乳児死亡率の地域差と女性の権利 -
第 10 回	貧困と援助協力 (3)	教育の不平等 - 教育と識字率 -
第 11 回	貧困と援助協力 (4)	難民問題の拡大と日本
第 12 回	貧困と援助協力 (5)	ODA と日本、世界の児童労働
第 13 回	貧困と飢饉	飢饉発生の構造的要因

第 14 回 まとめ

まとめ

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

「食料」「人口」「貧困」に関わる報道に目を向けて下さい。それら問題は「なぜ」生じているか、さらにそれら問題が私たちと如何に関連しているのか、それを考えようとして下さい。時間をとって机に向かうことも重要ですが、それら問題を普段から意識することがより重要です。

なお、本授業の準備学習・復習時間は各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。資料プリントを配布します。場合によっては PowerPoint を使用します。

## 【参考書】

西川 潤 (2008) 『データブック 食料』、同『データブック 人口』、同『データブック 貧困』いずれも岩波ブックレット。その他は授業時に適宜指示します。

## 【成績評価の方法と基準】

学期末試験 100 % で成績評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

2022 年度、慣れない PowerPoint を使って授業したためか、教材提示の順番が前後してわかりにくいという意見がありました。また PowerPoint に誤字脱字が散見されるとの意見も頂戴しました。これらは改善しなければならぬと痛感しています。

## 【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

## 【その他の重要事項】

特にありません。

## 【Outline (in English)】

【Course Outline】 This course is aimed at broadening students' basic knowledge of the current factors of underdeveloped countries and regions. It has three focuses: 1) food problems, 2) population problems, 3) poverty problems in underdeveloped countries and regions.

【Learning Objectives】 The goal of this course is to help students understand the structural relationships (political and economic relationships) between developed countries and underdeveloped countries and regions.

## 【Learning activities outside of classroom】

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

## 【Grading Criteria / Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on Term-end examination (100 %).

GEO200LA

## 地理学 L D

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

片岡 義晴

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 4/Thu.4

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本の地域問題に関して、様々な問題群、その構造的要因について学んでいきます。具体的には第一次～第五次全国総合開発計画に代表される地域開発政策、同時期に生じた公害問題、地域格差等を指標として検討していきます。

## 【到達目標】

日本の高度経済成長期における全国総合開発計画に代表される地域開発政策、公害問題、地域格差等を手がかりにして、日本の地域問題の構造的要因に迫っていきます。多くの場合、それら問題は地域開発政策に代表される政治、経済に関わる要因に規定されています。授業を通して、日本の地域問題は構造的であることが理解できるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

## 【授業の進め方】

国籍の如何に関わらず、日本居住者は日本のことを「知っている」と思い込んでいます。しかし現代日本の地域・社会問題を「知っている」「理解している」人がどれくらい居るでしょうか。地域居住者の「権利」を侵害するような問題は、いつの時代も、どの地域でも発生していますし、発生するように「仕組まれ」ているといわなければなりません。具体例を挙げ、日本の「裏側」から日本の地域・社会問題に迫っていきましょうと思います。

## 【課題等に対するフィードバック方法】

授業の初めに、前回までの授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。

## 【授業の方法】

講義形式で授業していきます。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	日本の地域性 (1)	「裏日本」の形成
第 2 回	日本の地域性 (2)	「裏日本」の役割
第 3 回	戦後日本の経済と地域	経済成長の内実
第 4 回	地域格差とその指標 (1)	格差の指標
第 5 回	地域格差とその指標 (2)	経済格差と指標
第 6 回	様々な地域格差	様々な地域格差－女性、高齢者、若者、外国人等－
第 7 回	日本の地域開発 (1)	地域開発前史
第 8 回	日本の地域開発 (2)	全国総合開発計画（全総、新全総、三全総、四全総、グランドデザイン）
第 9 回	地域経済の実態	経済の地域間相互依存
第 10 回	公害と地域 (1)	イタイイタイ病と神岡鉱山
第 11 回	公害と地域 (2)	イタイイタイ病訴訟
第 12 回	公害と地域 (3)	水俣病の「発見」とチッソ

第 13 回 公害と地域 (4)

水俣病訴訟

第 14 回 まとめ

まとめ

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

日本の「地域問題」「社会問題」に関わる報道に目を向けて下さい。それら問題は「なぜ」生じているか、それら問題が私たちと如何に関連しているのか、それを考えて下さい。それら問題は「身近」に存在しています。それら問題について普段から関心を持って下さい。なお、本授業の準備学習・復習時間は各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。授業時に資料プリントを配布します。

## 【参考書】

政野淳子（2013）『四大公害病』中公新書

その他は授業時に適宜指示します。

## 【成績評価の方法と基準】

学期末試験 100 % で成績評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

2022 年度、慣れない PowerPoint を使って授業したためか、教材提示の順番が前後してわかりにくいという意見がありました。また PowerPoint に誤字脱字が散見されるとの意見も頂戴しました。これらは改善しなければならないと痛感しています。

## 【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

## 【その他の重要事項】

特にありません。

## 【Outline (in English)】

## 【Course outline】

The aim of this course is to help students acquire the regional problems in Japan. It has two main focuses; 1) regional development policies in Japan's highest economic growth, 2) as a result environmental pollution problems and regional disparities in Japan.

## 【Learning Objectives】

The goal of this course is to help students understand the structural factors (political and economic factors) of regional problems during the period of Japan's high economic growth.

## 【Learning activities outside of classroom】

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

## 【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on Term-end examination (100 %).

GEO200LA

**地理学 L A**

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

長沢 利明

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

さまざまなテーマを毎回ひとつずつ取り上げ、解説していく。全体を通して地理学的な物の見方や考え方を学ぶ。

**【到達目標】**

授業を通し、地理学的な物の見方と考え方をつかんでいくことがのぞましい。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

毎回、プリントを配布して授業を進めていくことにする。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**

なし / No

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	プロローグ	授業の進め方、おおまかな計画について解説する。
2	文化・生態・環境	授業の基本的なテーマである三つのキーワードについて解説する。
3	都市の生態環境（1）	都市の生態環境の特色をとらえるため、タンポポの生態について注目してみる。
4	都市の生態環境（2）	都市の生態環境の特色をとらえるため、河川環境について考えてみる。
5	都市の生態環境（3）	都市の生態環境の特色をとらえるため、河川環境について考えてみる。
6	日本の野生動物相（1）	日本の野生動物の特色について解説する。
7	日本の野生動物（2）	日本の野生動物、とくにオオカミについて注目してみる。
8	日本の植生（1）	日本の植生のうち、特に落葉広葉樹林帯について解説する。
9	日本の植生（2）	日本の植生のうち、特に照葉樹林帯について解説する。
10	補足（1）	全体的な補足をおこなう。
11	補足（2）	全体的な補足をおこなう。
12	調査とレポート	地理学的な調査方法と成果のまとめ方について解説する。
13	まとめ（1）	全体のまとめと総括をおこなう。
14	まとめ（2）	全体のまとめと総括をおこなう。

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

自宅での予習と復習をおこなうことがのぞましい。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

**【テキスト（教科書）】**

特になし。

**【参考書】**

授業時間内に適宜、紹介する。

**【成績評価の方法と基準】**

試験の成績（100%）によって評価をおこなう。

**【学生の意見等からの気づき】**

学生からの要望を極力取り入れて授業内容の改善につとめる。

**【学生が準備すべき機器他】**

特になし。

**【その他の重要事項】**

特になし。

**【Outline (in English)】**

(Outline) This course introduces general theories of cultural geography to students talking this course.

(Goal) The goal of this course is to understand of general theories on cultural geography.

(Learning activities outside of classroom) Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours to understand the course content.

(Grading criteria/policy) Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Term-end examination :100%.

GEO200LA

**地理学 L B**

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

長沢 利明

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

授業では毎回ひとつずつ異なったテーマを取り上げて解説する。

**【到達目標】**

全体を通して地理学的な物の見方と考え方を学んでいく。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

授業では、毎回、プリントを配布して解説をおこなう。

課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**

なし/No

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし/No

**【授業計画】 授業形態：対面/face to face**

回	テーマ	内容
1	プロローグ	授業の進め方や注意事項などを解説する。
2	文化・生態・環境	授業の基本テーマであるこの三つのキーワードについて解説する。
3	日本の焼畑農業	日本の農業問題、特に焼畑農業について解説する。
4	稲作農業と赤米（1）	日本の稲作農業、特に赤米をめぐる諸問題を解説する。
5	稲作農業と赤米（2）	日本の稲作農業、特に赤米をめぐる諸問題解説する。
6	生業条件と資源	生業条件と資源環境の問題について注目する。
7	海岸の環境（1）	海をめぐる環境問題について解説する。
8	海岸の環境（2）	海をめぐる環境問題について解説する。
9	海岸の環境（3）	海をめぐる環境問題について解説する。
10	海岸の環境（4）	海をめぐる環境問題について解説する。
11	里山の環境	里山環境と人間生活の歴史について解説する。
12	補足	全体の補足をおこなう。
13	調査とレポート	地理学的な調査方法とそのまとめ方について解説する。
14	まとめ・試験	全体的なまとめと試験をおこなう。

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

自宅での予習と復習をおこなうことががましい。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

**【テキスト（教科書）】**

特になし。

**【参考書】**

授業時間内に適宜紹介する。

**【成績評価の方法と基準】**

試験のみによって成績評価をおこなう。

**【学生の意見等からの気づき】**

学生からの要望は極力取り入れ、授業内容の改善につとめる。

**【学生が準備すべき機器他】**

特になし。

**【その他の重要事項】**

特になし。

**【Outline (in English)】**

(Outline) This course introduces general theories of cultural geography to students taking this course.

(Goal) The goal of this course is to understand of general theories on cultural geography.

(Learning activities outside of classroom) Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours to understand the course content.

(Grading criteria/Policy) Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Term-end examination:100%.

GEO200LA

地理学 L C

2017 年度以降入学者

サブタイトル：身近なグローバル社会を地理学で考える

前川 明彦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この講義は世界や日本の身近な課題を地理学をとおして発見や問題意識の醸成などを旨とするを目的としている。そして、秋学期の LD でそうした課題の解決方法の一端を共に考えるという方向を考えている。具体的にはコロナで顕在化した世界や日本の格差や DX、AI など社会的課題を身近なところから一緒に地理学で考えます。これは、学生自身が課題や問題意識を考え、多様なものの考え方ができることを目的としています。

【到達目標】

皆さんが、身近なことから論理的に課題を見つけ、その背景や要因などを自ら多様性の中で考え、解決の方向性に活用できることを目標としたい。グローバル化やコロナの影響等から社会が格差・分断、また不寛容になりつつあります。また、日本が世界から様々な視点で遅れたり、異なっていたこともあらためて理解されたかもしれません。今後のアフターコロナ下の AI 時代において皆さんはどうすべきでしょうか。問題の解決には知識だけでなく自分の目でみつけ、考えるという必要性が突きつけられている気がします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本講義は対面授業の予定である。コロナ下で日本は様々な課題が顕在化、表面化した。こうしたマクロ的な課題や問題を概観しながら、高校までの授業とは違った視点、学際的に広がった地理学的視点から考えていく。この授業が自分のプラスになるかは自分次第かもしれませんが、一方的な授業ではない、知識からの応用である AL の GD/GW を可能な段階などで試みたい。なお、教材等は授業支援システムなどで指示しますので、注意してください。場合により、支援システム以外で Googleclassroom を併用する可能性があります

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	地域とは、グローバルとは何かを身近なことから考える
2	グローバル化と産業	コロナで大きく変化した世界と 21 世紀
3	21 世紀のボーダレス化と地域社会	大量生産社会からの変貌と 21 世紀型産業 サプライチェーン
4	世界から遅れた日本	GAF A・国際分業・市場
5	世界の課題を日本から見る 1	先進国か 様々な分野で遅れていることが・・・日本
6	世界の課題を日本から見る 2	若者の格差・貧困と地域社会 ブラックバイト
7		子ども・女性の貧困格差と連鎖 社会的弱者

8	世界の課題を日本から見る 3	少子高齢化の課題と格差貧困
9	グローバル化と産業の課題 1	AI/第 4 次産業革命と格差社会・・・立地や仕事が変わる
10	グローバル化と産業の課題 2	AI/IoT/Big Data 社会とこれまで
11	グローバル化と産業の課題 3	世界の分断と今後の社会
12	グローバル化と産業の課題 4	環境か経済か カarbonニュートラルで産業が生まれるか
13	グローバル化と産業の課題 5	分断と共生 世界各国の分断やウクライナ問題などから考えてみよう
14	試験	まとめと解説 授業内試験(持ち込み可)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

アフターコロナ以降は世界は大きく変わる可能性があります。普段から何事にも興味・関心を持ち、最初の一步を踏み出してください。内外のことを新聞、TV、ネットなどで調べ知識化し、自ら問題を考え応用できるようにしてください。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

基本的になし

【参考書】

授業時や支援システム等に指示

【成績評価の方法と基準】

原則的には、中間・期末レポート（70%）授業での平常点（コメント、GD 等）30%を考えています。

【学生の意見等からの気づき】

コロナ下で、学生は孤独感や孤立感、ストレス等からコミュニケーションの重要性が問われた気がします。対面中心を予定していますから、授業を居場所としてコミュニティの重要性をフルに発揮するためにも GD・GWなどを試みたいと思います。そして、授業でたくさんの知り合いを、違う学年や他学部から増やし、ネットワークを広げてみてください。

【学生が準備すべき機器他】

授業支援システム等や映像を多用するため、これらや事前、事後に関連性のある情報、資料等を各自調べるなど活用してもらいたい。ほかの科目でも予想されるが、WEB 授業等に係るものは用意されたほうが・・・

【その他の重要事項】

秋学期の地理学 LD と合わせて受講することを勧める。通年でなくとも構わないが、先に春学期の LC での問題意識や問題の発見を基礎や理論を理解し、秋学期の LD で知識の応用を目指し、課題解決型講義の方向をともに目指したい。学生の授業アシスタントも予定していますので相談してみてください。

あまり一方的な授業は避けたいのでみんなで楽しみましょう。支援システムの掲示板などをみんなで使いましょ。人数次第で Googleclassroom を開設する場合もあります。添付ファイル参考

【Outline (in English)】

Course outline: This course is to discover familiar issues in the world and Japan through geography, and to foster an awareness of these issues.

Learning objectives: The goal is to be able to find issues logically from familiar things, to think about the background and factors of the issues in a diverse context, and to apply this to the direction of solutions.

Learning activities outside of classroom: Total is 4 hours

Grading Criteria: Term-end exam: 70% Contribution to class: 30%

GEO200LA

## 地理学 L D

2017 年度以降入学者

サブタイトル：都市・地域再生を地理学で考える

前川 明彦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

講義では、地域の課題解決の方向性を考えます。具体的には、グローバル化などで衰退する日本を地域再生論やコミュニティデザインなど地理学の視点を中心に考えます。解決策モデル等を紹介しながら、その糸口や方法論を地理学ロジックで学びます。そこから学生自身が多様性のある社会の実現を模索、検討できることを目的としています。対面形式中心ですのでインプット型の学ぶではなく、むしろ地理学を材料に、アクティブに一緒に考えることを目指します。

## 【到達目標】

秋学期には春学期の問題意識や地域的課題を解決方向へと踏み出したい。このため、街づくり、地域再生を主なテーマとし、学生が、地域社会に関連するコミュニティデザインやソーシャルビジネスなどから多様性のある様々な問題解決の方向性を示せることを到達目標とした。そして、学生が自らの考えをもち行動し、将来的には世界の地域社会を解決する一員になることを到達目標にしている。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

対面授業の利点を如何にいかすかが問われます。地域再生を軸とした解決方法の事例紹介も含めて、一部講義形式となる可能性があります。ただそれならオンデマンドで十分かもしれません。多様な意見や価値観の認識、コミュニケーションスキル等のために皆さんと考えていきたいと思っています。初めての受講でも心配ありません。教材等は授業支援システムを使う予定です。感染予防対策のため、授業資料の紙での配布はいたしません（すべて学習支援システムにアップします）。また、授業アシスタントの人も予定していますので、不安な場合は相談してみてください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	AI の判断する 2050 の日本・TOKYO か地方
2	日本の課題再考	極点社会という少子高齢化社会
3	課題再考 2 ITS は DX は	TOKYO からの脱出 移住とリモートワーク・ワーケーション
4	解決の方向 1 問題の可視化	ビックデータ・オープンデータ RESAS・GIS でマーケティング
5	解決の方向 2 具体化	工夫をする地域社会 ソーシャルと人
6	都市再生 1	AKIBA というコミュニティと場の重要性
7	都市再生 2	タワーマンションとコミュニティ論
8	都市再生 3	失敗から学ぶ コンパクト・スパーシティの試み

9	地域再生 1	ハロウィンなどイベントとコミュニティ
10	地域再生 2	情報発信と人を呼ぶ
11	地域再生 3	関係人口と地域へのかかわりかた コミュニティ再考
12	地域再生 4	新たな試み 仮想空間の地域再生
13	地域再生 5	震災から 復興ができたのか
14	試験 まとめと解説	今後の日本

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

ネットやニュースなどから多様な考え方を学んでください。問題をどう解決するかは、さまざまな方法があり、必ずしも 1 つの方法が正解ではありません。日本はどんどん世界から遅れ始めていることに気が付いていますか。将来の自分が想像できますか、自ら考え、行動する意欲を常に持ち、失敗を恐れずむしろ失敗から学び、前向きになる自分を想像してください。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

基本的にはないが使用する場合は、授業時に指示

## 【参考書】

授業時に指示

## 【成績評価の方法と基準】

中間・期末のレポート試験（80%）、授業での平常点（20%）で総合的に評価する予定でいる。状況により変更の場合などもあり得るかもしれません。

## 【学生の意見等からの気づき】

コロナ下で、学生は孤独感や孤立感、ストレス等からコミュニケーションの重要性が問われた気がします。今年度は、対面中心を予定していますから、授業を居場所としてコミュニティの重要性をフルに発揮していきたいと思います。むしろ、授業でたくさんの知り合いを、違う学年や他学部から増やし、ネットワークを広げてみてください。今期も前向きに考えてやってみましょう。

## 【学生が準備すべき機器他】

通信環境と、スマホよりはパソコン使用を。このため、この授業以外のためにも大学からの貸し出しなどは積極的に申し込んでください。授業支援システム等をかなり利用するので仕様の仕方等に習熟してほしい。

## 【その他の重要事項】

授業開始日までに、内容の詳細や要点をまとめて授業支援システムに上げておきたいと思えます。必ずご確認ください。（仮登録すれば見れるようになります）状況次第ですが、あまり一方的な授業は避けたいのでみんなで楽しみましょう。また、できれば地理学 LC と合わせて受講することを勧める。通年でなくとも構わない。楽かどうかは皆さん次第ですが、アフターコロナで生き残るためには、知識だけではなく自ら考え行動することが必要な気がします。なお、学生アシスタント等の協力で大学の情報なども充実させていきたい。添付ファイル参考に

## 【Outline (in English)】

Course outline: The lecture will consider the direction of solutions to local issues.

Learning objectives: We would like to make it an attainable goal for students to be able to indicate the direction of various problem solving with diversity from community design and social business related to the local community.

Learning activities outside of classroom: Total is 4 hours

Grading Criteria: Term-end exam: 70% Contribution to class: 30%

SOC200LA

## 社会学 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：文化の社会学

松下 優一

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

- understand key concepts in cultural theory and fundamental approaches of the sociology of culture.

- analyze artworks(artists, cultural production/distribution/reception, and so on) in its social context.

[Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

[Grading Criteria/Policy] Grading will be decided based on Term-end report(50%) and Short reports(50%).

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、文化社会学、特に表象文化を対象とする社会学について学ぶ。文化を研究するためには、それを対象として捉え、記述するための概念・視角（＝文化理論）についての理解が不可欠となる。国内外の文化社会学や文化研究の古典とされる重要文献を取り上げながら、文化を社会学するための視座・着眼点の獲得を目指す。

## 【到達目標】

・文化を社会的に考察するのに役立つ理論（基本的な着眼点や問題設定など）について理解できる。  
・文化的作品（または作家の営み、生産・流通・受容など）の具体的な特徴を捉え、その社会的文脈性を考察することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

基本的に配布資料（レジュメ）を用いて講義形式で進める。毎回のテーマに関するリアクションペーパーや課題の提出を課す。提出物へのフィードバックは、次回授業の冒頭やまとめの回でいくつかピックアップする形で行う。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	文化社会学へのイントロダクション
第 2 回	遊戯	井上俊『遊戯の社会学』を中心に
第 3 回	欲望	作田啓一『個人主義の運命』を中心に
第 4 回	記号	R・バルト『神話作用』を中心に
第 5 回	表象とイデオロギー	マルクス主義的アプローチの系譜
第 6 回	文化テキストの分析（1）	『君の名は。』の構造分析
第 7 回	文化テキストの分析（2）	『ゴジラ』と『シン・ゴジラ』の比較分析
第 8 回	文化テキストの分析（3）	『この世界の片隅に』が描く戦争
第 9 回	文化テキストの分析（4）	『スワロウテイル』と 1990 年代
第 10 回	メディア文化	ベンヤミン「複製技術時代の芸術作品」を中心に
第 11 回	文化と卓越化	ブルデュー『ディスタクシオン』および『芸術の規則』について
第 12 回	受容と流用	カルチュラルスタディーズの展開
第 13 回	コンヴァージェンス・カルチャー	参加型文化の時代
第 14 回	まとめ	授業の振り返りと補足、および課題

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。課題に取り組むとともに、授業で紹介するテキストや作品を熟読・鑑賞し、自分なりに理解を深めてください。

## 【テキスト（教科書）】

特に指定しない。

## 【参考書】

・井上俊／長谷正人編『文化社会学入門』（ミネルヴァ書房、2010 年）  
・栗谷佳司／太田健二編『表現文化の社会学入門』（ミネルヴァ書房、2019 年）

## 【成績評価の方法と基準】

授業内課題（50％）＋期末レポート（50％）  
記述の具体性・独自性・妥当性などにより評価する。

## 【学生の意見等からの気づき】

受講生の反応を見る限り概ね好評であった。今後も研鑽を重ねたい。

## 【Outline (in English)】

[Course outline] This course introduces students to the key concepts in sociology of culture and to the ways of thinking about culture in the contemporary world.

[Learning Objectives] By the end of the course, students should be able to do the followings:

SOC200LA

## 社会学 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：現代社会論

松下 優一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

- think about social issues (cultural phenomena and so on) in contemporary context.

[Learning activities outside of classroom]

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

[Grading Criteria/Policy]

Grading will be decided based on Term-end report(50%) and Short reports(50%).

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、様々な現代社会論を学ぶ。現代日本社会に生起する諸々の現象・問題について、歴史的・構造的な視点をもって、分析・記述・考察するための社会学的視野の獲得を目指す。

## 【到達目標】

・基本的な現代社会の理論について理解し、具体的な事象に応用し、考察できる。

・現代社会において生起する具体的な事象を取り上げ、その背景・帰結を含めて分析・考察できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

基本的に配布資料（レジュメ）を用いた講義形式を進める。毎回リアクションペーパー記入ないし提出課題（小レポート）を課す。フィードバックは、次回授業冒頭やまとめの回にて、いくつかの答案をピックアップする形で行う。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の概要説明、初回アンケートほか
第 2 回	リスク社会論	ベックのリスク社会論の要点と応用
第 3 回	消費社会論	ボードリヤールの記号消費論の要点と応用
第 4 回	格差社会論	〈格差〉から考える現代社会
第 5 回	監視社会論	管理／監視の技術から考える現代社会
第 6 回	情報社会論	インターネットが切り拓いた社会的地平
第 7 回	再帰的近代化論	ギデンズのモダニティ論を中心に
第 8 回	昭和ノスタルジア	『ALWAYS 三丁目の夕日』から考える現代社会
第 9 回	ポスト・トゥルース	陰謀論の時代
第 10 回	排除型社会	J・ヤングの著作を中心に
第 11 回	コンプライアンス社会	フラット化する文化と社会
第 12 回	平成史	平成とはいかなる時代だったのか
第 13 回	アフター・コロナ	コロナ禍から考える現代日本社会
第 14 回	まとめ	授業の振り返りと補足

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とする。各回のテーマに沿った具体的事例の収集、考察、まとめに取り組んでください。

## 【テキスト（教科書）】

特に使用しない。

## 【参考書】

・長谷川公一ほか『社会学 [新版]』（有斐閣、2019 年）  
・本田由紀編『現代社会論—社会学で探る私たちの生き方』（有斐閣、2015 年）

## 【成績評価の方法と基準】

授業内課題（50%）+期末レポート（50%）。  
記述の具体性・妥当性・独自性を基準に評価する。

## 【学生の意見等からの気づき】

「社会情勢や思想に触れて面白かった」「知っておくべき知識が多く勉強になった」（受講生のコメントより）。随時取り上げる現代社会論や事象を広げていきたい。

## 【Outline (in English)】

## [Course outline]

This course introduces students to the key concepts of contemporary social theories and to the ways of thinking about current social changes.

## [Learning Objectives]

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- understand fundamental approaches and theoretical arguments of contemporary social theories.



SOC200LA

社会学 L C

2017 年度以降入学者

サブタイトル：政治と社会における「問題の発見」

徐 玄九

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

授業では政治と社会に関わる様々な事例を取り上げながら、政治と社会を動かしている原理を理解するとともに隠れている問題の発見に努める。できるだけ具体的な事例を取り上げながら基本的な概念や理論を学び、これらをもとに社会や政治、広くは時代の問題に気づき、その意味を理解し、その解決に向けて考える力を付けることを目指す。問題解決能力は問題を発見する能力とそれを解決する能力に区分できる。問題解決能力の中心は「問題の発見」にある。診断ができなければ治療することもできない医師のように、多くの領域において「問題解決」の主題は「問題の発見」である。この「問題の発見」こそが創造的な問題解決の出発点である。

【到達目標】

- ・基本的な概念や理論を論理的に発表、論述することができる。
- ・具体的な社会現象を複数の概念や理論を駆使して論理的に説明できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・対面授業で実施する。可能なかぎり双方向的な授業を心がける。とくに、テーマごとの関連性を重視しながら、具体的で身近なものから抽象的なものへと話題を進める。理解を深めるために、絵画や詩、映像資料などの教材も取り入れて視覚的な理解も図る。
- ・授業資料（PDF ファイル）は Hoppii で配布する。
- ・リアクションペーパー課題の提出を求める予定であり、課題等のフィードバックは Hoppii を通じて行う予定である。
- ・講義のはじめと終わりに意見交換や質疑応答の時間を設ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要および受講時の注意点、成績評価の方法
2	「社会学的想像力」	ライト・ミルズ『社会学的想像力』を手がかりに「社会学的想像力」の意義について学ぶ
3	批判と統治	フーコー「批判と何か」の一部講読
4	社会的暴力と個人の身体	市村弘正「『社会的失明の時代』の一部講読、ドキュメンタリー映画『薬に病む—クロロキン網膜症』（小池征人監督、1980）の視聴
5	何が私たちの行動を規制するのか	道徳的圧力と同調圧力、山本七平『空気の研究』の一部講読
6	差別と解放について	市村弘正「人間の場所」の一部講読、ドキュメンタリー映画『人間の街—大阪・被差別部落』（小池征人監督、1986 年）の視聴

7	感情と規範	マーサ・ヌスバウム『感情と法—現代アメリカ社会の政治的リベラリズム』の一部講読
8	政治と正義	正義論の系譜と争点を学ぶ
9	権力と自由	市村弘正「選択と選別の間」の一部講読、ドキュメンタリー映画『日本鉄道員物語 1987』（小池征人監督、1987）の視聴
10	公共性とメディア	ハーバーマス『公共性の構造転換』の一部講読
11	システムによる生活世界の植民地化	ハーバーマス『公共性の構造転換』の一部講読
12	メディアとナショナリズム	ベネディクト・アンダーソン『想像の共同体』の一部講読
13	メディアと世論	山腰修三『ニュースの政治社会学』の一部講読
14	期末テストおよび総括	期末テスト（60 分）、講評・まとめ（40 分）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- レジュメや参考文献などの資料を事前に配布するので、予習として授業内容を把握し、授業後は復習をすること。
- ・事前学修 2 時間：概念の調べ、教科書や参考文献を事前に読んでおく。
- ・事後学修 2 時間：ノートの整理、教科書の他、関連する文献を調べて読む。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用せず、配布資料（レジュメ、参考文献の抜粋）を用いる。

【参考書】

- 市村弘正・杉田敦（2005）『社会の喪失』中公新書。
- 杉田敦（2009）『政治への想像力』岩波書店。
- ミシェル・フーコー（2004=2008）『私は花火師です』ちくま学芸文庫。
- ベネディクト・アンダーソン（1991=1997）『増補版 想像の共同体』NTT 出版。
- 山本七平（2018）『「空気」の研究』文春文庫。

【成績評価の方法と基準】

- 期末テスト（50 %）、リアクションペーパー課題（30 %）、平常点（質疑応答やグループディスカッションへの参加：20 %）
- 詳細な評価基準は以下の通りである。
- 〈期末テスト〉
- 40-50 点：以下の条件を満たしたうえで到達目標を達成できたと認められる場合
- 30-39 点：以下の条件を満たしたうえで、明確な論点の提示、論理的な論述がなされている場合
- 10-29 点：授業内容の理解、概念の正しい使用が認められている場合
- 1-9 点：不十分ながら最低限の理解と論点が提示されている場合
- 〈リアクションペーパー課題〉
- 12~15 点：授業内容の十分な理解が認められ、自分の意見が自分の言葉で論理的に述べられている場合
- 5~11 点：不十分ながら授業内容を理解していると認められる場合
- 1~4 点：最低限の理解は認められる場合

【学生の意見等からの気づき】

- ・質疑応答の時間を増やす。
- ・アクティブラーニングの時間を増やす。

【Outline (in English)】  
(Course outline)

In the class, students take up various cases related to politics and society and try to understand the principles that drive politics and society and discover hidden problems. Through these efforts, we aim to become more aware of social, political and, more broadly, contemporary issues, understand their meaning, and develop the ability to think about solutions. Problem solving ability can be divided into the ability to discover a problem and the ability to solve it. The center of problem-solving ability lies in "finding a problem.". In many areas, the subject of "problem solving" is "finding a problem," as in a doctor who cannot be treated without being diagnosed. This "discovery of problems" is the starting point for creative problem solving.

(Learning Objectives)

- You can discover the principles and problems that drive politics and society.
- You can logically present and describe problems you find in your own words.

(Learning activities outside of classroom)

Since materials such as resumes and reference materials are distributed in advance, grasp the content of the lesson as a preparatory lesson and review it after the lesson.

- Two hours of advanced study: study concepts and read textbooks and references in advance.
- 2 hours of post-course learning: Organize notes, look up textbooks, and read related literature.

(Grading Criteria /Policy)

Final exams (50%), preparation and review tasks (30%) and participation in biweekly group discussions (20%).

SOC200LA

## 社会学 L D

2017 年度以降入学者

サブタイトル：国家と市民の役割

徐 玄九

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

国家の本質、機能、市民の役割などについて学ぶ。具体的には、マックス・ウェーバーによって定義された支配と服従、国家などの概念を手掛かりに、歴史上登場した国家論の変遷と共に「市民」や政治制度の「民主主義」に関する理論を取り上げる。これらを通して受講者自らの「国家」と「市民」、「民主主義」に関する見解と比較してみることで、自らの考え方を少しでも明瞭にすることが目的である。

## 【到達目標】

- 政治社会学の基本的な概念を自分の言葉に置き換えて論理的に発表、論述することができる。
- 国家論の変遷を歴史的な文脈で説明できる。
- 市民の自由と権利の意義と限界を受講生の経験を踏まえて具体的に説明できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

- 対面授業で実施する。可能なかぎり双方向的な授業を心がける。とくに、テーマごとの関連性を重視しながら、具体的に身近なものから抽象的なものへと話題を進める。理解を深めるために、絵画や詩、映像資料などの教材も取り入れて視覚的な理解も図る。
- 授業資料（PDF ファイル）は Hoppii で配布する。
- リアクションペーパー課題の提出を求める予定であり、課題等のフィードバックは Hoppii を通じて行う予定である。
- 講義のはじめと終わりに意見交換や質疑応答の時間を設ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要および受講時の注意点、成績評価の方法
2	基礎概念の理解	マックス・ウェーバー『職業としての政治』を手がかりに基礎概念を学ぶ
3	統治術の変化	「誰が統治すべきか」から「如何に統治すべきか」へ
4	国家主義国家論	トマス・ホブズ『リヴァイアサン』の一部講読
5	自由主義国家論①	ジョン・ロック『統治二論』の一部講読
6	自由主義国家論②	アダム・スミス『国富論』の一部講読
7	自由と平等	ジャン＝ジャック・ルソー『人間不平等起源論』、『社会契約論』の一部講読
8	階級国家論、国家消滅論	カール・マルクス『共産党宣言』の一部講読、アニメーション映画『動物農場』の一部視聴

9	重荷としての自由	オルテガ・イガセット『大衆の反逆』、エリック・フロム『自由からの逃走』の一部講読、映画『1984』の一部視聴
10	自由と権利について	ジョン・スチュアート・ミル『自由論』、イェーリング『権利のための闘争』の一部講読
11	市民的不服従について	市民的不服従について—ソポクレス『アンティゴネ』、ヘンリー・デイヴィッド・ソロー『市民的不服従』の一部講読
12	民主主義について①	杉田敦『デモクラシーの論じ方』、同『境界線の政治学』の一部講読
13	民主主義について②	宇野重規『〈私〉時代のデモクラシー』の一部講読
14	期末テストおよび総括	期末テスト（60分）、講評・まとめ（40分）

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

レジュメや参考文献などの資料を事前に配布するので、予習として授業内容を把握し、授業後は復習をすること。  
 ・事前学修 2 時間：概念の調べ、参考文献を事前に読んでおく。  
 ・事後学修 2 時間：ノートの整理、関連する文献を調べて読む。

## 【テキスト（教科書）】

教科書は使用せず、配布資料（レジュメ、参考文献の抜粋）を用いる。

## 【参考書】

マックス・ウェーバー（1919 = 2018）野口雅弘訳「仕事としての政治」『仕事としての学問・仕事としての政治』講談社。  
 ・加藤秀治郎・岩渕美克（2013）『政治社会学 第5版』一藝社。  
 ジグムント・バウマン（2016）奥井智之訳『社会学の考え方（第2版）』ちくま学芸文庫。

## 【成績評価の方法と基準】

期末テスト（50%）、リアクションペーパー課題（30%）、平常点（質疑応答やグループディスカッションへの参加：20%）  
 詳細な評価基準は以下の通りである。

〈期末テスト〉

40-50 点：以下の条件を満たしたうえで到達目標を達成できたと認められる場合

30-39 点：以下の条件を満たしたうえで、明確な論点の提示、論理的な論述がなされている場合

10-29 点：授業内容の理解、概念の正しい使用が認められている場合

1-9 点：不十分ながら最低限の理解と論点が提示されている場合  
 〈リアクションペーパー課題〉

12-15 点：授業内容の十分な理解が認められ、自分の意見が自分の言葉で論理的に述べられている場合

5-11 点：不十分ながら授業内容を理解していると認められる場合

1-4 点：最低限の理解は認められる場合

## 【学生の意見等からの気づき】

- 質疑応答の時間を増やす。
- アクティブラーニングの時間を増やす。

## 【Outline (in English)】

(Course outline)

Learn about the nature, function, and role of the nation. Specifically, this paper takes up the theory on "democracy" of "citizen" and political system as well as the transition of state theory which has appeared in history, taking into consideration the concepts of rule, obedience and nation defined by Max Weber. The purpose of this study is to clarify the students' views by comparing them with their own views on "nation," "citizen," and "democracy".

(Learning Objectives)

- The basic concepts of political sociology can be logically presented and discussed in one's own words.

- The transition of the theory of nation in modern times can be understood in the historical context.

- To enhance sociological understanding of political conflicts.

(Learning activities outside of classroom)

Since materials such as resumes and reference materials are distributed in advance, grasp the content of the lesson as a preparatory lesson and review it after the lesson.

· Two hours of advanced study: study concepts and read textbooks and references in advance.

· 2 hours of post-course learning: Organize notes, look up textbooks, and read related literature.

(Grading Criteria /Policy)

Final exams (50%), preparation and review tasks (30%) and participation in biweekly group discussions (20%).

POL200LA

**政治学 L A**

2017 年度以降入学者

サブタイトル：国際政治の理論

木村 正俊

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

国際政治学／国際関係論の諸理論を紹介して、国際政治／国際関係についての様々な見方を学ぶ。

**【到達目標】**

学生は以下のことが可能になります。

－国際政治の歴史と国際政治学の基本的な知識の習得。

－現在の世界的問題について自ら考察できる能力の習得。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

講義形式で行う。

授業の初めに、前回授業時の個別質問に対する回答や、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**

なし / No

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし / No

**【授業計画】 授業形態：対面/face to face**

回	テーマ	内容
#1	Intro.	講義の概要と学習の仕方と、参考文献の紹介
#2	国際政治の歴史（1）	国際政治の世界の登場と展開
#3	国際政治の歴史（2）	20 世紀の二つの世界大戦
#4	国際政治の歴史（3）	冷戦とその後
#5	リアリズム（1）	古典的リアリズムについて
#6	リアリズム（2）	構造的リアリズムについて
#7	リベラリズム	リベラリズムの思想と国際政治について
#8	コンストラクティヴィズム	コンストラクティヴィズムの特徴と国際政治学への適用について
#9	ディスコース分析と国際政治	安全保障に関するディスコース分析について
#10	フーコーの理論と国際政治（1）	フーコーの権力論について
#11	フーコーの理論と国際政治（2）	フーコーの権力論による国際政治の分析について
#12	資本主義と国際政治（1）	帝国主義論と世界システム論について
#13	資本主義と国際政治（2）	資本主義と戦争の関係について
#14	Outro.	講義のまとめと最終課題について

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

毎回配布するプリントを授業の前に目を通し、授業後に復習する。

紹介された参考文献を読む。

本授業の準備学習・復習時間は各 2 時間を標準とする。

**【テキスト（教科書）】**

プリントを配布する。

**【参考書】**

John Baylis, Steve Smith and Patricia Owens, *The Globalization of World Politics, Eighth Edition* (Oxford University Press, 2020).

中西寛・石田淳・田所昌幸『国際政治学』（有斐閣、2013 年）

吉川直人・野口和彦 編 第 2 版『国際関係理論』（勁草書房、2015 年）

藤原帰一『国際政治』（放送大学教育振興会、2007 年）

ジョセフ・S. ナイ ジュニア 他『国際紛争－理論と歴史 原書第 10 版』（有斐閣、2017 年）

小川浩之、板橋 拓己、青野 利彦『国際政治史－主権国家体系のあゆみ』（有斐閣、2018 年）

**【成績評価の方法と基準】**

授業の内容に関するレポートのみで評価。

小レポート 20 %、期末レポート 80 %

**【学生の意見等からの気づき】**

授業時間外の質問はメールで対応します。

必要であれば個別に ZOOM によるミーティングを行います。

**【学生が準備すべき機器他】**

学習支援システムにアクセスできること

**【Outline (in English)】****【Course outline】**

This course deals with theories of international relations.

**【Learning Objectives】**

By the end of the course, students should be able to do the followings:

To acquire basic knowledge of international history and international relations.

To get a lens through which present world affairs can be viewed on their own.

**【Learning activities outside of classroom】**

Read the prints distributed each time before class and review after class.

Read references.

Your study time will be more than four hours for a class.

**【Grading Criteria /Policy】**

Final grade will be calculated according to short reports(20%) and term-end report(80%).

POL200LA

## 政治学 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：音楽と政治

木村 正俊

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テーマ：ボブ・ディランと政治

ボブ・ディランと US 政治の関係について考察する。

ボブ・ディランと US 政治の関係について考察することによって現代政治に関する見方を養うことを目指します。

## 【到達目標】

WW II 以降の US の政治と社会についての基本的知識を得ること。音楽を通して政治について考えるようになること。

ボブ・ディランの信仰を考察することによって、ユダヤ教とキリスト教についての基本的な知識を得ること、宗教と政治の関係について理解すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

講義形式で行う。

対面授業は最低 7 回以上行う。

授業の初めに、前回授業時の個別質問に対する回答や、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
# 1	Intro.	講義の概要とやり方について
# 2	戦間期のフォークミュージック	フォークミュージックと政治の交錯
# 3	本当のフォークミュージックの追求	ローマックス親子とレッド・ベリ
# 4	プロテスト・フォークミュージックの登場	ウディ・ガスリーを中心に
# 5	マッカーシズムとフォーク・リヴァイバル	ピート・シガーを中心に
# 6	古くて奇妙なアメリカ	ハリー・スミスとコラージュの政治学
#7	ボブ・ディランの登場	プロテスト・フォークミュージックの政治学
# 8	1965 年	US のニュー・レフトとボブ・ディラン
# 9	ピート・ジュネレーション	文学による政治の変容
#10	カウンターカルチャー	カウンターカルチャーの時代とその後
#11	The Basement Tapes	Bob Dylan の「古くて奇妙なアメリカ」あるいは「見えない共和国」
# 12	Slow Train Coming	Bob Dylan の改宗と US の政治と社会

# 13 Things Have Changed. 終末論と US の政治と社会

#14 Outro. 秋学期の講義のまとめ

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回配布するプリントを授業の前に目を通し、授業後に復習する。紹介された参考文献を読む。

本授業の準備学習・復習時間は各 2 時間を標準とする。

## 【テキスト（教科書）】

プリントを配布する。

## 【参考書】

湯浅学『ボブ・ディラン ロックの精霊』（岩波新書、2013 年）

北中正和『ボブ・ディラン』（新潮新書、2023 年）

他の文献・音源・映像は、必要に応じて紹介する。

## 【成績評価の方法と基準】

授業の内容に関するレポートのみで評価。

小レポート 20 %、期末レポート 80 %

出席は当然であるが、欠席に由来する不利益に関しては何の対応もありません。

## 【学生の意見等からの気づき】

ポピュラー・ミュージックやロックについての授業ではないことに注意してください。

洋楽についての知識がなくてもかまいませんが、興味・関心を持っていることは必要です。

授業時間外の質問はメールで対応します。

必要であれば個別に ZOOM によるミーティングを行います。

## 【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムにアクセスできる機器。

映像・音楽を視聴できる機器。

## 【その他の重要事項】

ボブ・ディランや「洋楽」についての知識がなくても受講可能です。政治や音楽に関する基本的知識は学生によって差があるので、すべてを授業で提供できません。そこでわからないことや知らないことは教員に尋ねる、あるいは、自分で文献やネットで調べるようにしてください。

大学における講義、シラバスの内容、予習・復習に 2 時間を要することなどに関して興味のある人は、佐藤郁哉『大学改革の迷走』（ちくま新書、2019 年）を参照してください。

## 【Outline (in English)】

Theme: Bob Dylan and Politics

## 【Course outline】

This course deals with the political world of Bob Dylan.

## 【Learning Objectives】

The fundamental aim of this course is to acquire lens through which contemporary politics can be viewed by considering the political world of Bob Dylan.

By the end of the course, students should be able to do the followings:

To acquire basic knowledge of politics and society of the United States since the Second World War

To acquire basic knowledge of Judaism and Christianity and to understand relationships between politics and religion by considering the religious belief of Bob Dylan.

## 【Learning activities outside of classroom】

Read the prints distributed each time before class and review after class.

Read references.

Your study time will be more than four hours for a class.

## 【Grading Criteria /Policy】

Final grade will be calculated according to short reports(20%) and term-end report(80%).

CUA200LA

## 文化人類学 L

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

ベル 裕紀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

我々が生きる社会を特徴づける、近代という時代が生み出した政治システムとしての国民国家や人権イデオロギー、労働集約型の産業、統治技法としての人口の管理、あるいはケアと教育のための全制的施設といったテーマについて、様々な対象を取り上げて、人類学的な研究を参照しながら考えていく。それを通じて現代社会についてのみならず、人類学的な社会の見方についてより深い理解に到達することを目的とする。

## 【到達目標】

学生は、授業で取り上げた人類学的な考え方や理論を理解するのみならず、様々な事象について、人類学的な考え方や概念を用いて説明することができるようになる。また、そうした学習を通じて、現代社会に対する理解も今まで以上に深めることになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

講義を基本とするが、受講者の積極的な参加を期待する。授業後に毎回リアクションペーパーの提出を課し、次の回の冒頭で可能な限り紹介し、授業内容に反映させる。

また授業に臨むにあたり、比較的短い文章を読んでくるなどの予習課題を課す。受講者には積極的な発言を期待する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第一回	人類学の射程	人類学は「未開社会」と呼ばれた国家を持たない社会を含む、非西欧社会を対象として発展してきた。しかし、これら古典期的研究は、近代国家や西欧との接触の事実を捨象した形で「伝統」や「文化」を抽出し、それらを本質化してきたと 80 年代以降、鋭く批判されてきた。現在の人類学は、こうした批判の上に存在する。こうした人類学の歴史を踏まえつつ、同時代を眼差す視点を提示する。
第二回	「負い目」の政治学	D. グレーバーや小田亮の議論を手掛かりに、シェアリングや贈与、市場交換、再分配というモノやサービスの流通を「負い目」という観点から捉えなおす。
第三回	法と政治と人類学と	法人類学における法の捉え方、諸研究を概観し、とりわけ規範と制裁をめぐる議論に焦点を当てる。
第四回	暴力の人類学	暴力や戦争を扱った人類学的な研究を取りあげ、集団の境界や関係について、考察を深めていく。

第五回 ことばと政治

言語および発話行為と政治に着目した人類学的な研究の展開を概観し、理解を深める。

第六回 病とケアと身体

P. ファーマーの「構造的暴力」と病の関係性の指摘や田辺繁治のタイのエイズ患者の自助組織を対象とした研究などを例にしながら、病とケアのあり方について理解を深める。

第七回 機械と産業の人類学

工場は労働力と機械とモノの流通の結節点として捉えることができる。工場で作られる製品はそうした流通と生産のネットワークの中で捉えることができる。この授業では、人類学における科学技術論などを参照しながら、製品のオーサーシップやあるいは機械そのものに対する理解を深める。

第八回 都市人類学

都市人類学において発展したネットワーク論や都市における集団形成の意味とその形式について学習する。

第九回 グローバル化の人類学

人類学のみならず、社会科学におけるグローバル化の理論を概観した上で、グローバル化という現象を政治人類学の文脈に沿って理解する。

第十回 社会運動論と人類学

人類学における社会運動研究を概観し、集合的アイデンティティの形成、生活と運動との乖離、「歴史性」といったトピックを学習する。

第十一 人権と人類学

1945 年以降の人類学における人権の捉え方を通時的に把握した上で、近年の人権に関する議論について学習する。

第十二 難民の人類学

難民という存在を H. アーレントを手がかりに、国民国家を基本とした国際秩序の枠組みの中で捉えた上で、人類学的な難民研究を紹介する。

第十三 移住労働の人類学

第十回に引き続き、移住をテーマに学習する。東アジアでは、移民がホスト社会に定着し、永住につながるような受け入れ方ではなく、在留期間と活動に制限を加え、定着しないような形での労働力移入政策を取ることが一般的である。この講義ではその特徴と、その下での移住労働者たちの活動について紹介する。

第十四 文化と権利

文化と権利という視点から、グローバル化、多文化主義、アイデンティティ、人権といった、これまで授業で取り扱ってきた問題を捉え直す。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課題を通じた復習と、翌週の授業の準備に概ね 2 時間程度の時間をかけるものとする。また、それに加えて授業内で紹介する参考文献を、各自の関心に応じて読みこみ、理解と思考を深めることが望ましい。

## 【テキスト（教科書）】

なし。毎回の授業で、事前に学習支援システムを通じて講義レジュメを配布する。

## 【参考書】

授業時間内に適宜紹介する。

## 【成績評価の方法と基準】

期末レポート 50 %、毎回のリアクションペーパー 42 %、授業への参加度 8 % で評価する。

**【学生の意見等からの気づき】**

毎回の授業の内容に関する課題を出す。毎回の授業の冒頭に前回の学生回答の紹介および応答を行うことで、学生の理解を深めていく。

**【学生が準備すべき機器他】**

提出物は学習支援システムを通じて提出してもらおうつもりである。また、学習支援システムを通じ、授業のレジюмеや参考となる文書を事前に学生に配布する（レジюмеに関しては授業当日にプリントしたものを配布する）。

**【Outline (in English)】****【Outline and Goal】**

This course introduce students several anthropological perspectives on modern society, such as Nation-states as a political system, human rights as a modern ideology, population control as technology of governance, and total institutions for educations and health care. Students should understand modern societies as well as anthropological perspectives on societies in general, through this course.

**【Requirements】**

Students are expected to study about 2 hours for a week for preparation and review of classes. Each students will submit written comments on contents of each lectures(45%) and be expected to oral comments on class(5%), as well. The final writing assignment is also required for confirm students achieve the goal of this course(50%).



CUA200LA

## 文化人類学 L

2017 年度以降入学者

サブタイトル：宗教人類学

渡辺 浩平

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

世界には私たちにはいっけん不思議に思える多様な宗教実践がある。この授業では、世界各地の多様な宗教実践の事例や、宗教実践を理解するための概念を紹介しながら、「宗教的なもの」について人類学的に考察する。また、私たちの日常生活の様々な側面から宗教を考える。それらを通じて、多様な宗教実践と自身の日常的な体験の間の連続性をとらえる。

## 【到達目標】

宗教人類学の基本的な視座を習得し、宗教実践の多様性と類似性をとらえる方法を身につける。  
世界各地の事例を知り、別の生き方の可能性を想像する力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

講義形式。学習支援システムを利用して資料を配布する。毎回の授業でリアクションペーパーの提出を課す。毎回の授業のはじめに、リアクションペーパーのコメントや質問等に応答する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の進め方と評価方法について説明
第 2 回	宗教人類学	宗教的なものについて
第 3 回	呪術	日常生活と呪術の密接なつながり
第 4 回	アニミズム	アニミズムと自然
第 5 回	シャーマニズム	自と他
第 6 回	身体①	儀礼とインタラクション
第 7 回	身体②	儀礼と認識の変容
第 8 回	生と死	境界づける
第 9 回	呪物	モノから宗教を考える
第 10 回	科学と宗教	現実とはなにか
第 11 回	経済	資本主義と宗教
第 12 回	政治	国家と宗教
第 13 回	偶然性	現代世界の宗教的なもの
第 14 回	総括	授業のまとめ

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で取り上げられる事例の詳細を調べることで理解を深める。人類学の概念を用いて身の回りの出来事を解釈する。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

特に定めない。授業内で資料を配布する。

## 【参考書】

毎回の授業で適宜紹介する。

## 【成績評価の方法と基準】

授業内課題（40%）と期末レポート（60%）をもとに評価する。60 点以上を合格とする。

## 【学生の意見等からの気づき】

授業時間外の学習のための参考書・文献・資料情報を充実させる。

## 【学生が準備すべき機器他】

資料配布・課題提出等のために学習支援システムを利用する。

## 【その他の重要事項】

授業計画は、受講生の関心に応じて変更される可能性がある。

## 【Outline (in English)】

There is a wide variety of religious practices that seem strange to us at first glance. This course aims to help students understand the continuity between various religious practices and daily experiences. This course discusses "the religious" from an anthropological perspective, introducing examples of diverse religious practices and concepts for understanding religious practices. At the end of the course, students are expected to acquire a fundamental perspective of anthropology of religion. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours reading reference materials. Grading will be decided based on the term-end report (60%) and in-class contribution (short reports) (40%).

CUA200LA

## 文化人類学 L

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

北原 卓也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義は、文化人類学で扱われる現在の我々の生活に密接な医療、スポーツ、観光といったトピックについて考える。また、オセアニアという地域に焦点をあて、地域から文化的な事象をみていく。普段、何気なく接している事柄を新たな視点から捉えられるようになることを目指す。

## 【到達目標】

本講義の到達目標は下記の通り。

- (1) 文化人類学で扱われるトピックについて理解する。
- (2) 他者の文化との比較から自身の「あたりまえ」を認識し言語化する。
- (3) 自身の「あたりまえ」にとらわれない新たな視点を獲得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

この授業は、以下の授業計画に基づき対面とオンラインを組み合わせて行います。

配布するレジュメに沿って講義を行い、扱うトピックによってディスカッションを行うことがあります。

また、映像を視聴することで理解を深める場合もあります。

毎回授業後にはコメントシートの提出していただきます。

提出されたコメントシートは次回授業の冒頭でいくつか紹介します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方や目的について確認した後、担当教員の研究フィールドの紹介や文化人類学という学問分野について説明する
2	医療	医療を文化の視点から捉えられるようになる
3	スポーツ	スポーツを文化の視点から捉えられるようになる
4	観光	文化現象としての観光を理解する
5	贈与	贈与という行為について身近な事例と世界の事例を比較しながら理解する
6	開発	開発と文化をめぐる諸問題について考察する視点を獲得
7	中間のまとめ	これまでの講義の理解度を確認するため課題に取り組む
8	オセアニアの人類学 1: オセアニアとはどこか	オセアニアの地理と歴史について概観し、各地域の文化の背景を理解する
9	オセアニアの人類学 2: タトゥーを入れる人々	身体変工についてポリネシア地域で見られるタトゥー文化の事例から理解する

- 10 オセアニアの人類学 3 オセアニアからの移民について理解する人々
- 11 オセアニアの人類学 4 ニュージーランドの映画の事例から、文化の表象について理解する映画
- 12 オセアニアの人類学 5 祝祭についてトンガ王国の戴冠式の事例から理解する
- 13 オセアニアの人類学 6 これまでの授業を踏まえてオセアニア出身のゲストスピーカーから話を聞く
- 14 まとめと確認（試験） 今期のまとめとして教場試験を行います

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の準備として、指定する文献や配布するプリントまたは映像作品に目を通しておくこと。授業後は配布するレジュメを復習し、内容をきちんと理解しておくこと。1 回の授業につき、準備・復習は各 3 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。必要に応じてレジュメや資料を配布します。

## 【参考書】

『よくわかる文化人類学』、綾部恒雄・桑山敬己（編）、ミネルヴァ書房、2010 年。

『オセアニア史』山本真鳥（編）、山川出版会、2000 年。

『オセアニアの人類学-海外移住・民主化・伝統の政治』須藤健一、風響社、2008 年。

『太平洋諸島の歴史を知るための 60 章-日本とのかかわり』石森大地・丹羽典生（編）、明石書店、2019 年。

## 【成績評価の方法と基準】

中間のまとめ：30%、期末試験（またはレポート）：40%、平常点（コメントシート）：30%

2/3 以上の出席で評価対象となります。

## 【学生の意見等からの気づき】

他の履修生のコメントシートが気になるという声があったので、復習を兼ねて毎回授業の冒頭に前回のコメントシートの内容を振り返る時間を設ける。

## 【Outline (in English)】

This course introduce the concept of Cultural Anthropology and its research method as tools to understand different cultures.

The goal of this course are:

- (1) to understand the topics of Cultural Anthropology
- (2) to compare cultures and explain differences between your culture and other culture
- (3) to gain the new point of view

Before/after each class meeting, students will be expected to spend three hours to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process  
Mid-term exam (30%), term-end examination or report (40%), and in-class contribution through comment sheets you should submit after each class(30%).

CUA200LA

文化人類学 L

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

長沢 利明

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

文化人類学の基礎について学ぶ。人間と文化との関係の構造的な理解をめざし、さまざまなテーマからそれを見ていく。

【到達目標】

文化人類学のもっとも基本的な研究課題としての「人間と文化との関係」を、さまざまな具体的テーマを提示しながら、考えていく。特に、文化の変容面・動態的側面に注目しつつ、生態環境・生活空間・儀礼構造・民間信仰・民族問題などの諸側面から、この問題を検討して試みることにする。この作業を通じて、文化人類学的な物の考え方や研究方法、分析視角などを学んでいくことにし、極力わかりやすい形で、それを講義して試みたい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回ひとつずつ基本テーマを取り上げ、それに関する詳細情報やデータ類を提示しつつ、解説と検討をおこなう。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	プロローグ	受講にあたっての注意事項、授業の全体計画などについて解説。
②	焼畑と植生 I	日本の焼畑農業の実態を長野県秋山郷を例に解説する。
③	焼畑と植生 II	日本の焼畑農業の実態を山梨県奈良田を例に解説する。
④	住居と生活空間	住居と居住空間の多様性、その文化的背景などについて学ぶ。
⑤	年中行事の構造	日本の年中行事の特色を、その構造分析の側面から開設する。
⑥	民間信仰と文化変容	宗教人類学および日本の民間信仰の特性について学ぶ。
⑦	台湾の社会と民族問題	台湾における多民族社会の実情と問題点について学ぶ。
⑧	アミ族の社会変化	母系制社会の変容の実態をアミ族を例に解説する。
⑨	ブヌン族の社会変化	父系制社会の変容の実態をブヌン族を例に解説する。
⑩	東京のムスリム	日本におけるイスラム教徒の実情を、タタール人社会を例に解説する。
⑪	沖縄文化の特色	沖縄の固有文化の特色とその国際性について学ぶ。
⑫	冬季フィールドワーク解説	冬休みのフィールドワークとレポート作成について解説。

- ⑬ 文化人類学の将来 全体の補足解説として、これからの文化人類学研究の課題・方向性を述べる。
- ⑭ 秋学期授業のまとめ 秋学期授業の全体的な総括をおこなう。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

自宅での復習をおこない、配布されたプリント資料などを通読し、整理しておくこと。教員への質問事項なども用意しておくことがのぞましい。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は特に使用せず、そのかわりに毎回、教室でプリント資料を配布する。それが、いわばテキストがわりとなる。

【参考書】

必要な文献資料や読んでおくべき参考書類は、授業時間内に適宜紹介していく。

【成績評価の方法と基準】

学期末授業時間内試験によって成績評価をおこなう（100%）。

【学生の意見等からの気づき】

授業改善アンケート結果を尊重し、極力受講者からの要望を取り入れ、つねに授業内容の改善につとめていく。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

Course outline: about general theory of cultural anthropology, basic problems on cross cultural and environmental facts.

Learning objectives: We will consider the "relationship between humans and culture" as the most fundamental research question of cultural anthropology, presenting a variety of specific themes.

Learning activities outside of classroom: The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading criteria/policies: Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 100%.

CUA200LA

## 文化人類学 L

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

ベル 裕紀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

我々が生きる社会を特徴づける、近代という時代が生み出した政治システムとしての国民国家や人権イデオロギー、労働集約型の産業、統治技法としての人口の管理、あるいはケアと教育のための全制的施設といったテーマについて、様々な対象を取り上げて、人類学的な研究を参照しながら考えていく。それを通じて現代社会についてのみならず、人類学的な社会の見方についてより深い理解に到達することを目的とする。

## 【到達目標】

学生は、授業で取り上げた人類学的な考え方や理論を理解するのみならず、様々な事象について、人類学的な考え方や概念を用いて説明することができるようになる。また、そうした学習を通じて、現代社会に対する理解も今まで以上に深めることになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

講義を基本とするが、受講者の積極的な参加を期待する。授業後に毎回リアクションペーパーの提出を課し、次の回の冒頭で可能な限り紹介し、授業内容に反映させる。

また授業に臨むにあたり、比較的短い文章を読んでくるなどの予習課題を課す。受講者には積極的な発言を期待する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第一回	人類学の射程	人類学は「未開社会」と呼ばれた国家を持たない社会を含む、非西欧社会を対象として発展してきた。しかし、これら古典期的研究は、近代国家や西欧との接触の事実を捨象した形で「伝統」や「文化」を抽出し、それらを本質化してきたと 80 年代以降、鋭く批判されてきた。現在の人類学は、こうした批判の上に存在する。こうした人類学の歴史を踏まえつつ、同時代を眼差す視点を提示する。
第二回	「負い目」の政治学	D. グレーバーや小田亮の議論を手掛かりに、シェアリングや贈与、市場交換、再分配というモノやサービスの流通を「負い目」という観点から捉えなおす。
第三回	法と政治と人類学	法人類学における法の捉え方、諸研究を概観し、とりわけ規範と制裁をめぐる議論に焦点を当てる。
第四回	暴力の人類学	暴力や戦争を扱った人類学的な研究を取りあげ、集団の境界や関係について、考察を深めていく。

第五回	ことばと政治	言語および発話行為と政治に着目した人類学的な研究の展開を概観し、理解を深める。
第六回	病とケアと身体	P. ファーマーの「構造的暴力」と病の関係性の指摘や田辺繁治のタイのエイズ患者の自助組織を対象とした研究などを例にしながら、病とケアのあり方について理解を深める。
第七回	機械と産業の人類学	工場は労働力と機械とモノの流通の結節点として捉えることができる。工場で作られる製品はそうした流通と生産のネットワークの中で捉えることができる。この授業では、人類学における科学技術論などを参照しながら、製品のオーナーシップやあるいは機械そのものに対する理解を深める。
第八回	都市人類学	都市人類学において発展したネットワーク論や都市における集団形成の意味とその形式について学習する。
第九回	グローバル化の人類学	人類学のみならず、社会科学におけるグローバル化の理論を概観した上で、グローバル化という現象を政治人類学の文脈に沿って理解する。
第十回	社会運動論と人類学	人類学における社会運動研究を概観し、集合的アイデンティティの形成、生活と運動との乖離、「歴史性」といったトピックを学習する。
第十一回	人権と人類学	1945 年以降の人類学における人権の捉え方を通時的に把握した上で、近年の人権に関する議論について学習する。
第十二回	難民の人類学	難民という存在を H. アーレントを手がかりに、国民国家を基本とした国際秩序の枠組みの中で捉えた上で、人類学的な難民研究を紹介する。
第十三回	移住労働の人類学	第十回に引き続き、移住をテーマに学習する。東アジアでは、移民がホスト社会に定着し、永住につながるような受け入れ方ではなく、在留期間と活動に制限を加え、定着しないような形での労働力移入政策を取ることが一般的である。この講義ではその特徴と、その下での移住労働者たちの活動について紹介する。
第十四回	文化と権利	文化と権利という視点から、グローバル化、多文化主義、アイデンティティ、人権といった、これまで授業で取り扱ってきた問題を捉え直す。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課題を通じた復習と、翌週の授業の準備に概ね 2 時間程度の時間をかけるものとする。また、それに加えて授業内で紹介する参考文献を、各自の関心に応じて読みこみ、理解と思考を深めることが望ましい。

## 【テキスト（教科書）】

なし。毎回の授業で、事前に学習支援システムを通じて講義レジュメを配布する。

## 【参考書】

授業時間内に適宜紹介する。

## 【成績評価の方法と基準】

期末レポート 50 %、毎回のリアクションペーパー 42 %、授業への参加度 8 % で評価する。

**【学生の意見等からの気づき】**

毎回の授業の内容に関する課題を出す。毎回の授業の冒頭に前回の学生回答の紹介および応答を行うことで、学生の理解を深めていく。

**【学生が準備すべき機器他】**

提出物は学習支援システムを通じて提出してもらうつもりである。また、学習支援システムを通じ、授業のレジюмеや参考となる文書を事前に学生に配布する（レジюмеに関しては授業当日にプリントしたものを配布する）。

**【Outline (in English)】**

**【Outline and Goal】**

This course introduce students several anthropological perspectives on modern society, such as Nation-states as a political system, human rights as a modern ideology, population control as technology of governance, and total institutions for educations and health care. Students should understand modern societies as well as anthropological perspectives on societies in general, through this course.

**【Requirements】**

Students are expected to study about 2 hours for a week for preparation and review of classes. Each students will submit written comments on contents of each lectures(45%) and be expected to oral comments on class(5%), as well. The final writing assignment is also required for confirm students achieve the goal of this course(50%).

CUA200LA

## 文化人類学 L

2017 年度以降入学者

サブタイトル：人新世における人間と自然

## 橋爪 太作

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 3/Tue.3

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

2000 年に化学者パウル・クルツェンが提唱した「人新世」という新たな地質学的年代は、産業革命以降の人間活動によって地球規模の気候変動が引き起こされ、人間と自然が至るところで識別不能になりつつある現代世界を体現する概念として、自然科学のみならず人文社会科学においても最大のトピックとなりつつあります。人為的に放出された二酸化炭素が巨大な嵐となって都市を襲い、放射性物質とプラスチックが新しい地層となるとき、これまで自然とは区別される文化的存在として「人間」を定義してきた文化人類学にも、根本的な自己変容が要求されています。この授業では人類学のみならず哲学、科学、SF、アニメ、現代アートなどさまざまな領域を横断して、人新世を生き延びるためのヒントを考えたいと思います。

## 【到達目標】

- ・SDGs、脱炭素など現代の我々が直面する環境問題に対し、数万～数億年単位の人類史・自然史を視野に入れた広く深い理解を育てる。
- ・不安定で不確実な現代世界を生き抜くヒントを、人類学が明らかにしてきた人々と自然の多様な関係から学ぶ。
- ・文理の区分がゆらぐ 21 世紀における、人文学的思考の新たな可能性に触れる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

講義は写真・映像などのヴィジュアルな資料を随時活用します。さらに途中いくつかの講義では、これらの資料に対しこちらからいくつかの「問い」を投げかけ、グループディスカッションを行います。ディスカッションへの参加とその後のリアクションペーパー提出は平常点の一部として評価に含まれます。また授業中にリアクションペーパーへのフィードバックを行います

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	講義の概要説明と成績評価の説明。
第 2 回	ロジスティクス曲線の彼方	地球温暖化をはじめとする現在の環境危機を招いた産業革命以降の近代化のプロセスを、生物としての人類とその生息環境という自然史的な視点から考えます。
第 3 回	人新世と向き合う人文社会科学	気候変動は科学や政治にとっての問題というだけではなく、「人間とは何か？」を問うてきた人文社会科学に対しても新たな課題を突きつけています。主に今世紀以降の欧米圏を中心とした研究の動向をレビューします。
第 4 回	自然と人間の中動態	人間は自然とは本質的に違う特別な存在なのか、それとも自然の一部なのか。パプアニューギニア・セピック川流域の人々と環境の間で営まれている驚くべき関係から、こうした自然と人間についての私たちの想像力を拡張します。
第 5 回	講義+ディスカッション 1：自然と人間のキワを考える	前回の授業を受けつつ、私たち自身（近代社会）における自然との関わりを、両者の「キワ」に着目して考えます。
第 6 回	映像視聴：『もののけ姫』	中世日本を舞台に自然と人間の対立と破局、再生を描いた宮崎駿監督のアニメ『もののけ姫』（1997）を観ます。
第 7 回	講義+ディスカッション 2：『もののけ姫』のメッセージを解説する	『もののけ姫』に秘められた現代社会に対する宮崎駿監督のメッセージを解説し、その意義を考えます。

第 8 回 森を切り開く人々

南太平洋ソロモン諸島マライタ島では、現地の人々が祖先伝来の熱帯雨林を切り開き、原木を中国・東南アジアに輸出しています。なぜ彼ら・彼女らはこのような破壊へと突き動かされるのか？ マライタ島の人々の幾重にもねじれた歴史とアイデンティティを紐解き、この問いを考察します。

第 9 回 技術とは何か？

技術とは人間が自然を征服する手段であるという技術観は、現在でも私たちの中に根強くあります。他方、それとはまったく異なる技術の捉え方が、哲学や人類学では提出されてきました。人新世を生きていく上で不可欠な技術についての新たな想像力を養います。

第 10 回 破局の後で

自然の上に築き上げられた人間の世界は、ひとたび破局が起これば脆くも崩れ去る一方、廃墟の上に新たな世界が始まります。この「破局」という事態が持つ両義性を、日本人におなじみの「マツタケ」から考察した人類学者アナ・ツインの議論を学びます。

第 11 回 講義+ディスカッション 3：自分の「マツタケ」を探せ！

マツタケを通じて不安定な現代世界とそこでの希望を見出すアナ・ツインに学びながら、私たちの日常における「マツタケ」的なものを発見します。

第 12 回 再野生化する地球

欧米を中心に新たな環境再生の取り組みとして注目を集めている「再野生化」から、人間のコントロールを離れつつある現在の自然との向き合い方を考えます。

第 13 回 星の時間

最新の自然科学が明らかにしつつある過去数万年～数億年の地球の気候は、自然についての私たちの常識を大きく覆す可能性を秘めています。過去実際に起きた途方もない規模の気候変動に学びつつ、現在進行中の人新世を非人間中心的に捉え直します。

第 14 回 おわりに

私たち自身を遠くから見るという人類学の伝統的な営みは、「人間が地球の地層となる」人新世のヴィジョンとどのように響き合い、新しい視点を生成するのでしょうか。これまでの授業内容を振り返りつつ考えます。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は各 2 時間を標準とします。授業で使用する資料はあくまで概略的なものです。授業中に説明されたことを自身の頭で理解するためにも、毎回ノートを取りましょう。また回によっては事前資料を配布しますので、次回までに必ず読んでおくようにしてください。

## 【テキスト（教科書）】

授業内で適宜紹介します。

## 【参考書】

授業内で適宜紹介します。

## 【成績評価の方法と基準】

出席点+小レポート：50%  
最終レポート：50%

## 【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

## 【学生が準備すべき機器他】

本授業では、資料配布、お知らせ配信、定期試験、リアクションペーパー提出は全て Hoppii と Google クラスルームを通して行うため、各学生はネット環境およびパソコン等の端末の準備をお願いします。

## 【Outline (in English)】

The new geological age of the "Anthropocene," proposed by chemist Paul Crutzen in 2000, is becoming one of the biggest topics not only in the natural sciences but also in the humanities and social sciences, as a concept that embodies the modern world in which human activities since the Industrial Revolution have caused global climate change and humans and nature have become indistinguishable in many areas. It is becoming one of the biggest topics not only in the natural sciences, but also in the humanities and social sciences. When a huge storm hits cities and plastic becomes the new stratum, cultural anthropology, which has defined "human" as a cultural being that is separate from nature, is required to undergo a fundamental self-transformation. In this class, we would like to think together with you about what a new anthropology facing the Anthropocene might be like.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Grading will be decided based on the term-end report (50%) and in class participation (50%).

CUA200LA

## 文化人類学 L

2017 年度以降入学者

サブタイトル：宗教人類学

渡辺 浩平

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

世界には私たちにはいっけん不思議に思える多様な宗教実践がある。この授業では、世界各地の多様な宗教実践の事例や、宗教実践を理解するための概念を紹介しながら、「宗教的なもの」について人類学的に考察する。また、私たちの日常生活の様々な側面から宗教を考える。それらを通じて、多様な宗教実践と自身の日常的な体験の間の連続性をとらえる。

## 【到達目標】

宗教人類学の基本的な視座を習得し、宗教実践の多様性と類似性をとらえる方法を身につける。  
世界各地の事例を知り、別の生き方の可能性を想像する力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

講義形式。学習支援システムを利用して資料を配布する。毎回の授業でリアクションペーパーの提出を課す。毎回の授業のはじめに、リアクションペーパーのコメントや質問等に応答する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の進め方と評価方法について説明
第 2 回	宗教人類学	宗教的なものについて
第 3 回	呪術	日常生活と呪術の密接なつながり
第 4 回	アニミズム	アニミズムと自然
第 5 回	シャーマニズム	自と他
第 6 回	身体①	儀礼とインタラクション
第 7 回	身体②	儀礼と認識の変容
第 8 回	生と死	境界づける
第 9 回	呪物	モノから宗教を考える
第 10 回	科学と宗教	現実とはなにか
第 11 回	経済	資本主義と宗教
第 12 回	政治	国家と宗教
第 13 回	偶然性	現代世界の宗教的なもの
第 14 回	総括	授業のまとめ

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で取り上げられる事例の詳細を調べることで理解を深める。人類学の概念を用いて身の回りの出来事を解釈する。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

特に定めない。授業内で資料を配布する。

## 【参考書】

毎回の授業で適宜紹介する。

## 【成績評価の方法と基準】

授業内課題（40%）と期末レポート（60%）をもとに評価する。60 点以上を合格とする。

## 【学生の意見等からの気づき】

授業時間外の学習のための参考書・文献・資料情報を充実させる。

## 【学生が準備すべき機器他】

資料配布・課題提出等のために学習支援システムを利用する。

## 【その他の重要事項】

授業計画は、受講生の関心に応じて変更される可能性がある。

## 【Outline (in English)】

There is a wide variety of religious practices that seem strange to us at first glance. This course aims to help students understand the continuity between various religious practices and daily experiences. This course discusses "the religious" from an anthropological perspective, introducing examples of diverse religious practices and concepts for understanding religious practices. At the end of the course, students are expected to acquire a fundamental perspective of anthropology of religion. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours reading reference materials. Grading will be decided based on the term-end report (60%) and in-class contribution (short reports) (40%).

CUA200LA

## 文化人類学 L

2017 年度以降入学者

サブタイトル：妖怪・怪異と存在論的転回

廣田 龍平

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 5/Tue.5

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、現代の文化人類学において重要な潮流の一つである、いわゆる「存在論的転回」について、妖怪・怪異や幽霊などの非日常的な存在と人間との関係性をおして学んでいきます。私たちが生きる現代社会は、自然と文化、知識と信念、合理性と非合理性など、物事にさまざまな区分をすることによって成り立っていますが、世界には、そのような区分とは大きく違ったかたちで自分たちの環境を生きている人々の社会もあります（アニミズムなど）。この授業では、日本に限らず、妖怪や幽霊など現代社会では実在しないとされるものの事例をおして、世界のさまざまな生き方を学んでいきます。

## 【到達目標】

現代の文化人類学で展開しているさまざまな理論や概念を学ぶことにより、異文化のみならず自文化についても基礎的なレベルから理解する方法を身につける。さらに、妖怪や幽霊など、実在しないとされる対象がどのように扱われているのかを学ぶことにより、大衆文化の表象や身近な経験について、文化人類学的な側面から表現できるようにすることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

毎回の授業は、パワーポイントのスライド資料にもとづく講義形式で実施する。各回授業ごとにテーマを設定し、必要に応じて映像資料なども交えながら関連する方法論と事例を解説していく。

毎回、授業終了後に短いコメントを Hoppii に提出してもらう。コメントは、次回授業の冒頭でいくつかを取り上げてフィードバックをおこなう。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	日本の妖怪研究史①	1970 年代までの妖怪研究について学ぶ。
2	日本の妖怪研究史②	1980 年代から 2020 年代までの妖怪研究について学ぶ。
3	アニミズムと化ける動物たち	異類婚姻譚や妖狐譚など、生き物が人間に変身する話を、アニミズム理論を用い、世界的な視野から理解する。
4	トーテミズムと動物の祖先	オーストラリア先住民にとっての、人間と人間以外の存在との関係のあり方を学ぶ。
5	アナロジズムと万物照応の世界	古代・中世のヨーロッパや日本などの社会で、権力が古いや怪異と結びついていた実態を説明する。
6	自然と文化からハイブリッドへ	文化人類学の基礎にある「自然と文化」という二分法の成り立ちや、それに対する批判を解説する。

7	アクターネットワーク理論	存在論的転回にとって重要な理論を学ぶ。
8	科学と俗信と民俗学	アクターネットワーク理論などを用い、科学と俗信の関係や、俗信を研究してきた民俗学的実践を理解する。
9	都市伝説と学校の怪談	20 世紀後半の日本やアメリカの都市社会における妖怪や怪異の展開を学ぶ。
10	ネットロアとクリーピーパスタ	21 世紀、インターネットの時代におけるグローバルな妖怪や怪異のあり方を学ぶ。
11	比較妖怪学	これまでの授業を踏まえ、日本の妖怪を中心として、国外の怪物や妖精と比較する人類学的視点を説明する。
12	心霊主義と超常現象	近現代の妖怪・怪異を支えてきた思想が非近代的なものとのように違うのかを理解する。
13	合理性と非合理性、文明と未開、自己と他者	妖怪を語るとき使われる合理性と非合理性という二分法を考え直していく。
14	全体のまとめ	存在論的転回と妖怪の関係についてまとめる。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。授業では見られない考え方が多く登場するので、授業外でも、まずは自分がどのように世界を認識していたのかを考え、授業中に紹介した事例に加えて、聞いたことのある神話伝説や妖怪・怪異などと比べることをおして、これまで知らなかった世界の認識方法や生き方を理解すること。

## 【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。毎回の授業で関連する文献を紹介するので、各自の関心に合わせて読み進めてください。

## 【参考書】

フィリップ・デスコラ 2020 年『自然と文化を越えて』水声社  
 ブリュノ・ラトゥール 2019 年『社会的なものを組み直す』法政大学出版局  
 マイケル・ディラン・フォスター 2017 年『日本妖怪考』森話社  
 香川雅信 2022 年『日本妖怪史』河出書房新社  
 廣田龍平 2022 年『妖怪の誕生』青弓社

## 【成績評価の方法と基準】

毎回提出するレポート（60%）

期末レポート（40%）

## 【学生の意見等からの気づき】

概念や理論を中心とした、抽象的な解説が多くなり、難易度が高くなっていったため、もう少し具体的事例を増やした講義内容にする。映像資料を増やす。

## 【Outline (in English)】

This course introduces the ontological turn in cultural anthropology to students taking this course. In doing so, this course takes cases primarily from relationships of human with nonhuman beings around the world, especially with ghosts and mysterious beings in Japan (so-called *yōkai*).

By the end of the course, students should be able to do the followings:

-A. Understanding other cultures by applying concepts and theories of contemporary anthropology.

-B. Explaining various representations of nonhuman beings in popular culture as well as your personal experiences through anthropological concepts.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end paper: 40%、Short reports : 60%



CUA200LA

文化人類学 L

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

橋爪 太作

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

2000 年に化学者パウル・クルツェンが提唱した「人新世」という新たな地質学的年代は、産業革命以降の人間活動によって地球規模の気候変動が引き起こされ、人間と自然が至るところで識別不能になりつつある現代世界を体現する概念として、自然科学のみならず人文社会科学においても最大のトピックとなりつつあります。人為的に放出された二酸化炭素が巨大な嵐となって都市を襲い、放射性物質とプラスチックが新しい地層となると、これまで自然とは区分される文化的存在として「人間」を定義してきた文化人類学にも、根本的な自己変容が要求されています。この授業では人類学のみならず哲学、科学、SF、アニメ、現代アートなどさまざまな領域を横断して、人新世を生き延びるためのヒントを考えたいと思います。

【到達目標】

- ・SDGs、脱炭素など現代の我々が直面する環境問題に対し、数万年～数億年単位の人類史・自然史を視野に入れた広く深い理解を育てる。
- ・不安定で不確実な現代世界を生き抜くヒントを、人類学が明らかにしてきた人々と自然の多様な関係から学ぶ。
- ・文理の区分がゆらぐ 21 世紀における、人文学的思考の新たな可能性に触れる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義は写真・映像などのヴィジュアルな資料を随時活用します。さらに途中いくつかの講義では、これらの資料に対しこちらからいくつかの「問い」を投げかけ、グループディスカッションを行います。ディスカッションへの参加とその後のリアクションペーパー提出は平常点の一部として評価に含まれます。また授業中にリアクションペーパーへのフィードバックを行います

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	講義の概要説明と成績評価の説明。
第 2 回	ロジスティクス曲線の彼方	地球温暖化をはじめとする現在の環境危機を招いた産業革命以降の近代化のプロセスを、生物としての人類とその生息環境という自然史的な視点から考えます。
第 3 回	人新世と向き合う人文社会科学	気候変動は科学や政治にとっての問題というだけでなく、「人間とは何か？」を問うてきた人文社会科学に対しても新たな課題を突きつけています。主に今世紀以降の欧米圏を中心とした研究の動向をレビューします。

第 4 回	自然と人間の中動態	人間は自然とは本質的に違う特別な存在なのか、それとも自然の一部なのか。バブアニューギニア・セビック川流域の人々と環境の間で営まれている驚くべき関係から、こうした自然と人間についての私たちの想像力を拡張します。
第 5 回	講義+ディスカッション 1：自然と人間のキワを考える	前回の授業を受けつつ、私たち自身（近代社会）における自然との関わりを、両者の「キワ」に着目して考えます。
第 6 回	映像視聴：『もののけ姫』	中世日本を舞台に自然と人間の対立と破局、再生を描いた宮崎駿監督のアニメ『もののけ姫』（1997）を観ます。
第 7 回	講義+ディスカッション 2：『もののけ姫』のメッセージを解説する	『もののけ姫』に秘められた現代社会に対する宮崎駿監督のメッセージを解説し、その意義を考えます。
第 8 回	森を切り開く人々	南太平洋ソロモン諸島マライタ島では、現地の人々が祖先伝来の熱帯雨林を切り開き、原木を中国・東南アジアに輸出しています。なぜ彼ら・彼女らはこのような破壊へと突き動かされるのか？ マライタ島の人々の幾重にもねじれた歴史とアイデンティティを紐解き、この問いを考察します。
第 9 回	技術とは何か？	技術とは人間が自然を征服する手段であるという技術観は、現在でも私たちの中に根強くあります。他方、それとはまったく異なる技術の捉え方が、哲学や人類学では提出されてきました。人新世を生きていく上で不可欠な技術についての新たな想像力を養います。
第 10 回	破局の後で	自然の上に築き上げられた人間の世界は、ひとたび破局が起これば脆くも崩れ去る一方、廃墟の上に新たな世界が始まります。この「破局」という事態が持つ両義性を、日本人におなじみの「マツタケ」から考察した人類学者アナ・ツインの議論を学びます。
第 11 回	講義+ディスカッション 3：自分の「マツタケ」を探せ！	マツタケを通じて不安定な現代世界とそこでの希望を見出すアナ・ツインに学びながら、私たちの日常における「マツタケ」的なものを発見します。
第 12 回	再野生化する地球	欧米を中心に新たな環境再生の取り組みとして注目を集めている「再野生化」から、人間のコントロールを離れつつある現在の自然との向き合い方を考えます。
第 13 回	星の時間	最新の自然科学が明らかにしつつある過去数万年～数億年の地球の気候は、自然についての私たちの常識を大きく覆す可能性を秘めています。過去実際に起きた途方もない規模の気候変動に学びつつ、現在進行中の人新世を非人間中心的に捉え直します。
第 14 回	おわりに	私たち自身を遠くから見るという人類学の伝統的な営みは、「人間が地球の地層となる」人新世のヴィジョンとどのように響き合い、新しい視点を生成するのでしょうか。これまでの授業内容を振り返りつつ考えます。

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

本授業の準備学習・復習時間は各 2 時間を標準とします。授業で使用する資料はあくまで概略的なものです。授業中に説明されたことを自身の頭で理解するためにも、毎回ノートを取りましょう。また回によっては事前資料を配付しますので、次回までに必ず読んでおくようにしてください。

**【テキスト（教科書）】**

授業内で適宜紹介します。

**【参考書】**

授業内で適宜紹介します。

**【成績評価の方法と基準】**

出席点+小レポート：50 %

最終レポート：50 %

**【学生の意見等からの気づき】**

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

**【学生が準備すべき機器他】**

本授業では、資料配布、お知らせ配信、定期試験、リアクションペーパー提出は全て Hoppii と Google クラスルームを通して行うため、各学生はネット環境およびパソコン等の端末の準備をお願いします。

**【Outline (in English)】**

The new geological age of the "Anthropocene," proposed by chemist Paul Crutzen in 2000, is becoming one of the biggest topics not only in the natural sciences but also in the humanities and social sciences, as a concept that embodies the modern world in which human activities since the Industrial Revolution have caused global climate change and humans and nature have become indistinguishable in many areas. It is becoming one of the biggest topics not only in the natural sciences, but also in the humanities and social sciences. When a huge storm hits cities and plastic becomes the new stratum, cultural anthropology, which has defined "human" as a cultural being that is separate from nature, is required to undergo a fundamental self-transformation. In this class, we would like to think together with you about what a new anthropology facing the Anthropocene might be like.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Grading will be decided based on the term-end report (50%) and in class participation (50%).

CUA200LA

## 文化人類学 L

2017 年度以降入学者

サブタイトル：開発と文化の人類学

石森 大知

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 1/Wed.1

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、開発人類学、すなわち開発援助および国際協力のテーマを文化人類学の視点から取り上げる。現在、世界の各地で、2015年に国連で定められた「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向けたさまざまな取り組みが実施され、その成果や有効性に関する調査・研究も進んでいる。21世紀において人類に課せられた課題は数多くあるが、貧困撲滅、健康向上（国際保健）、環境問題などへの対処は重要である。本授業では、これらの同時代的なグローバル・イシューを通して、開発とローカルな社会・文化・環境の持続的共存関係について考察する。

## 【到達目標】

- ・文化人類学、とくに開発人類学の専門的な概念や理論を習得する。
- ・ものごとを相対的に捉えることによって得られる他者理解の洞察を身に付ける。
- ・同時代的なグローバル・イシューを理解するとともに、開発とローカルな社会・文化・環境の持続的共存関係について自らの視点から考察・検討を行う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

- ・授業の理解度や平常の取り組みを評価するため、基本的に毎回、授業コメントや質問・疑問を求めるリアクションペーパーを課します。
- ・リアクションペーパー等における興味深いコメントや質問等を授業内で取り上げ、全体に対してフィードバックを行うとともに、さらなる議論に活かします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要、成績評価方法の説明
第2回	開発概念と関連理論①	開発の誕生
第3回	開発概念と関連理論②	社会開発への転換
第4回	開発援助と ODA, その他	開発援助とのかかわり方として人類学者
第5回	貧困撲滅の取り組み①	貧しい／豊かとは何か
第6回	貧困撲滅の取り組み②	マイクロファイナンス
第7回	健康な生活①	プライマリヘルスケア
第8回	健康な生活②	感染症対策と DOTS
第9回	森林開発と環境問題①	近代化と環境破壊
第10回	森林開発と環境問題②	ソロモン諸島の植林事業
第11回	温暖化と環境言説①	ツバルの「海面上昇」
第12回	温暖化と環境言説②	ツバルの浸水被害と海岸浸食
第13回	観光開発と自然環境	エコツーリズムを考える
第14回	総括	授業のまとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・授業内で紹介する文化人類学や開発人類学の関連文献を読み、授業の理解を深める。
- ・図書館などで関連文献を調べ、自らの興味関心を広げる。
- ・本授業の準備学習・復習時間は各2時間を標準とする。

## 【テキスト（教科書）】

教科書はとくに指定せず、必要に応じて関連資料を配布する。

## 【参考書】

授業中に適宜紹介するが、以下のものを挙げておく。  
 信田敏宏ほか編『グローバル支援の人類学—変貌する NGO・市民活動の現場から』昭和堂、2017年。  
 佐藤寛・藤掛洋子編『開発援助と人類学—冷戦・蜜月・パートナーシップ』明石書店、2011年。  
 佐藤寛『開発援助の社会学』世界思想社、2005年。  
 青柳まちこ編『開発の文化人類学』古今書院、2000年。

## 【成績評価の方法と基準】

学期末レポート:40%、平常点（リアクションペーパー、出席状況等）:60%として総合的に評価する。この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の60%以上を達成した者を合格とする（ただし、平常点だけでは合格とはなりません。学期末レポートを提出しなかった場合、E評価とします）。

## 【学生の意見等からの気づき】

文字や音声などの情報だけではなく、できるだけ多くの写真や映像資料を用いることで授業内容の理解を促すようにする。

## 【学生が準備すべき機器他】

資料配布・課題提出等のために学習支援システムを利用します。

## 【その他の重要事項】

- ・学期末レポートを提出しなかった場合、原則 E 評価となります。
- ・対面をオンラインで同時配信するハイフレックス型授業は実施しません。
- ・シラバス内容や授業計画に変更が生じた場合は授業内もしくは学習支援システムで周知します。

## 【Outline (in English)】

This course introduces the fundamentals of development anthropology, which seeks to apply anthropological perspectives to the multidisciplinary field of development studies. The aims of the course are to provide a basic knowledge of development anthropology and to understand the impact of development on local culture, environment and society. By the end of the course, students will have an understanding of global issues and their own opinions on the sustainable coexistence of development and local societies, cultures and environments. Students are expected to spend four hours before/after each class meeting to understand the course content. Grading will be based on the end of term report (40%) and class participation (60%).

SOS200LA

## 社会思想 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：能力主義を問う

阿部 崇史

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、M. サンドル著『実力も運のうち：能力主義は正義か？』を手がかりに、能力主義（メリトクラシー）について検討します。能力主義——地位や報酬は能力の発揮に応じて与えられるべきだ——は、現代社会において魅力的な考え方だとされています。それは、能力の獲得と発揮を通じて自らの人生を切り開く自由を、人々に与えるからです。他方で、能力主義は、経済的格差の拡大と貧困、「負け組」とされた人たちの承認の欠如、「勝ち組」と「負け組」との社会的分断、といった現代社会の問題を生む原因だとも考えられています。本授業では、現代の規範的な政治理論——自由、平等、公正さといった、政治や政策に関わる価値ないし理念を扱う学問——の観点から、このような能力主義を検討します。それを通じて、能力主義や関連する社会的課題について、みなさん自身の意見を提示できるようになることが、この授業の目的になります。

## 【到達目標】

本授業における具体的な到達目標は、以下の3つになります。(1) テキストの読解と講義を通じて、能力主義の魅力と問題点について理解する。(2) グループディスカッションや期末レポートを通じて、能力主義や関連する社会的課題への意見を提示できるようになる。(3) グループディスカッションを通じて、社会的課題について他者と議論できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

本授業は、グループディスカッションを中心にした、講義と演習の中間的な形態で行います。具体的には、以下のように進めます。(1) 前回のコメントペーパーへの応答：20 分程度、(2) テキストの該当範囲への解説：15 分程度、(3) グループディスカッション：40 分程度、(4) テキストの議論の背景に関する説明：15 分程度、(5) コメントペーパーの作成：10 分程度。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業全体の概要や能力主義というテーマについて説明します。
第 2 回	プロローグ、序論：入学すること	能力主義の魅力と問題点を概観します。
第 3 回	第 1 章：勝者と敗者	能力主義がもたらす社会問題について検討します。
第 4 回	第 3 章 出世のレトリック	能力主義について、その基本的な特徴を検討します。
第 5 回	第 4 章：学歴偏重主義（前半）	能力主義において学歴がい果たしている役割を検討します。
第 6 回	第 4 章：学歴偏重主義（後半）	能力主義的な統治のあり方（テクノクラシー）について検討します。
第 7 回	第 5 章：成功の倫理学（前半）	能力主義の規範的な主張について検討します。
第 8 回	第 5 章：成功の倫理学（後半）	能力主義的な市場経済の捉え方について検討します。
第 9 回	第 6 章：選別装置（前半）	能力主義に基づく現在の教育システムについて、その問題点を検討します。
第 10 回	第 6 章：選別装置（後半）	教育システムの適切なあり方について検討します。
第 11 回	第 7 章：労働を承認する	人々の労働をどのように承認すべきか、検討します。
第 12 回	結論：能力と共通善およびレポート課題の説明	テキストの結論部分を扱います。その後、期末レポートの書き方や採点ポイントを説明します。
第 13 回	期末レポートの検討（1）	期末レポートで扱う問いや、問いに答えるための論点整理について、グループディスカッションを通じた検討を行います。
第 14 回	期末レポートの検討（2）	期末レポートで提示する各自の主張について、グループディスカッションを通じた検討を行います。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- 毎回の授業前に、テキストの該当範囲を読んだ上で、事前に提示するディスカッション課題に対する意見を考えてきてください（1 時間～2 時間程度が目安になります）。
  - 負担が重くならないように、毎回の授業で扱うテキストの分量は短くしてあります（30 ページ程度）。
  - 毎回の授業後に、コメントペーパーを提出していただきます。
- ※大学設置基準に鑑みた場合、本授業の準備・復習時間は、各 2 時間が標準となります。

## 【テキスト（教科書）】

M. サンドル、鬼澤忍（訳）『実力も運のうち：能力主義は正義か？』早川書房、2021 年、2420 円。

## 【参考書】

- ※参考書として、規範的な政治理論の教科書を 4 冊挙げておきます。
- ※内容の詳しさは (1) → (4) の順、読みやすさは (4) → (1) の順になります。
- (1) W. キムリッカ、千葉真・岡崎晴輝（訳）『現代政治理論』日本経済評論社、2005 年
- (2) 宇佐美誠・児玉聡・井上彰・松元雅和『正義論：ベーシックスからフロンティアまで』法律文化社、2019 年
- (3) 川崎修・杉田敦（編）『現代政治理論』有斐閣、2012 年
- (4) 田村哲樹・松元雅和・乙部延剛・山崎望『ここから始める政治理論』有斐閣、2017 年
- ※その他、各回の授業のテーマに関連する文献を、授業中に挙げます。

## 【成績評価の方法と基準】

満点である 100 点のうち、平常点が 50 %、期末レポートが 50 % になります。平常点は、グループディスカッションへの参加とコメントペーパーに基づいて判断します。

## 【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

## 【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムに授業のための資料をアップロードします。そのため、学習支援システムを利用するための情報通信環境が必要となります。

## 【その他の重要事項】

- 一学期で一冊の本を読み切るため、ハードルが高く感じるかもしれません。
  - ですが、各回で読む分量（30 ページ程度）は多くないため、大きな負担にはならないはず。
  - また、グループディスカッションについても、学生のみなさん同士の議論になりますので、身構える必要はありません。
  - 積極的に履修していただければ嬉しいです。
- ※担当者は、社会思想 I（春学期）および社会思想 II（秋学期）も開講しています。
- これらの授業も現代の規範的な政治理論の議論を扱っているため、併せて履修していただくと、理解がより深まると思います。

## 【Outline (in English)】

## 《Course outline》

In this course, we examine meritocracy through the critical reading of *The Tyranny of Merit* by Michael Sandel. On the one hand, meritocracy is appealing because it gives us the freedom to realize our life plans as long as we foster our talents and contribute to our society. On the other hand, meritocracy has brought about many social problems, such as great inequality and poverty, the misrecognition of "losers," and the social division between "winners" and "losers." We examine appeals and problems of meritocracy from the perspective of modern political philosophy (normative political philosophy). After the course, students can construct their own views on meritocracy and related social issues.

## 《Learning objectives》

The goals of this course are the followings:

- 1. To understand appeals and problems of meritocracy.
- 2. To construct your own (normative) view on meritocracy and related social problems.
- 3. To become able to discuss social issues with others.

## 《Learning activities outside the classroom》

Students will be expected to read the text and construct their own views on discussion questions before each class. Completing the required assignments after each class meeting is also expected. You are recommended to study more than four hours for each class by the standard set by the Japanese government.

## 《Grading Criteria/Policies》

Your overall grade in the class will be decided based on the following standards:

- 1. Group discussions and Required assignments: 50%
- 2. Term-end report: 50%

SOS200LA

**社会思想 L B**

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

**洪 貴義**

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

この授業では在日朝鮮人の歴史と文化を学ぶことを目的とする。日本と朝鮮半島（南北）の近現代史の諸関係から生み出され、この 3ヶ国のはざまにあって日本で存在しているコリアンが在日朝鮮人という存在である。この授業では 3ヶ国の近現代史をふまえながら、在日朝鮮人のアイデンティティーのありかた、その詩や文学、映画や音楽、芸能などの作品世界を学ぶことを目的としている。

**【到達目標】**

テキストや講義を通して日本や朝鮮半島の近現代史を理解することができる。  
 テキストや講義を通して在日朝鮮人に対する正確な理解を持つことができる。  
 テキストや講義を通して考えたことをコメントやレポートに表現することができる。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

授業は講義形式で行う。各回の授業を進めるごとに毎週コメントを提出してもらい、それに対して授業の中でフィードバックしていく。（基本的には対面授業だが、特別な事情が生じた場合のみオンライン授業を行うこともある。）

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**  
あり / Yes

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**  
なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要と目的、進め方、受講の仕方、成績評価の方法などについて説明
2	導入（1）	在日朝鮮人という存在
3	導入（2）	歴史的背景
4	1960年代（1）	民族の問題
5	1960年代（2）	民族責任
6	日本のジュネ（1）	李珍宇の犯罪
7	日本のジュネ（2）	李珍宇の手紙
8	在日三世のカフカ（1）	カフカという存在
9	在日三世のカフカ（2）	弱さに向き合う
10	詩と文学（1）	金時鐘と金石範
11	詩と文学（2）	鷺沢萌・柳美里・崔実
12	映画（1）	崔洋一と大島渚
13	映画（2）	浦山桐郎と井筒和幸
14	音楽	在日音楽の百年

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とする。具体的には準備学習としてテキストの指定した箇所を事前に読んでおくこと、また復習としては講義内容を振り返り、参考文献を読み進めるなどのことができる。

**【テキスト（教科書）】**

第 1 回のガイダンス時に説明する。

**【参考書】**

その他の参考資料については授業中に指定、配布する。

**【成績評価の方法と基準】**

各授業後に提出するコメント 10 回分（50%）と  
 期末レポート 1 回分（50%）によって成績評価を行う。

**【学生の意見等からの気づき】**

特になし。

**【Outline (in English)】**

This class aims to learn about the history and culture of Koreans in Japan. In this class, students will learn about the identity of Koreans in Japan and the world of works such as poetry, literature, movies, music, and performing arts, based on the modern history of Korea and Japan relation.

The standard time for preparation and review for taking classes is two hours each. Specifically, it is possible to read the specified parts of the text in advance as preparation study, and to review the lecture contents and read the reference materials as review.

Grades will be evaluated based on 10 comments (50%) submitted after each class, plus one final report (50%).

SOS200LA

## 社会思想 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：能力主義を問う

## 阿部 崇史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、M. サンドル著『実力も運のうち：能力主義は正義か？』を手がかりに、能力主義（メリトクラシー）について検討します。能力主義——地位や報酬は能力の発揮に応じて与えられるべきだ——は、現代社会において魅力的な考え方だとされています。それは、能力の獲得と発揮を通じて自らの人生を切り開く自由を、人々に与えるからです。他方で、能力主義は、経済的格差の拡大と貧困、「負け組」とされた人たちの承認の欠如、「勝ち組」と「負け組」との社会的分断、といった現代社会の問題を生む原因だとも考えられています。本授業では、現代の規範的な政治理論——自由、平等、公正さといった、政治や政策に関わる価値ないし理念を扱う学問——の観点から、このような能力主義を検討します。それを通じて、能力主義や関連する社会的課題について、みなさん自身の意見を提示できるようになることが、この授業の目的になります。

## 【到達目標】

本授業における具体的な到達目標は、以下の3つになります。(1) テキストの読解と講義を通じて、能力主義の魅力と問題点について理解する。(2) グループディスカッションや期末レポートを通じて、能力主義や関連する社会的課題への意見を提示できるようになる。(3) グループディスカッションを通じて、社会的課題について他者と議論できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

本授業は、グループディスカッションを中心にした、講義と演習の中間的な形態で行います。具体的には、以下のように進めます。(1) 前回のコメントペーパーへの応答：20 分程度、(2) テキストの該当範囲への解説：15 分程度、(3) グループディスカッション：40 分程度、(4) テキストの議論の背景に関する説明：15 分程度、(5) コメントペーパーの作成：10 分程度。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業全体の概要や能力主義というテーマについて説明します。
第 2 回	プロローグ、序論：入学すること	能力主義の魅力と問題点を概観します。
第 3 回	第 1 章：勝者と敗者	能力主義がもたらす社会問題について検討します。
第 4 回	第 3 章 出世のレトリック	能力主義について、その基本的な特徴を検討します。
第 5 回	第 4 章：学歴偏重主義（前半）	能力主義において学歴がい果たしている役割を検討します。
第 6 回	第 4 章：学歴偏重主義（後半）	能力主義的な統治のあり方（テクノクラシー）について検討します。
第 7 回	第 5 章：成功の倫理学（前半）	能力主義の規範的な主張について検討します。
第 8 回	第 5 章：成功の倫理学（後半）	能力主義的な市場経済の捉え方について検討します。
第 9 回	第 6 章：選別装置（前半）	能力主義に基づく現在の教育システムについて、その問題点を検討します。
第 10 回	第 6 章：選別装置（後半）	教育システムの適切なあり方について検討します。
第 11 回	第 7 章：労働を承認する	人々の労働をどのように承認すべきか、検討します。
第 12 回	結論：能力と共通善およびレポート課題の説明	テキストの結論部分を扱います。その後、期末レポートの書き方や採点ポイントを説明します。
第 13 回	期末レポートの検討（1）	期末レポートで扱う問いや、問いに答えるための論点整理について、グループディスカッションを通じた検討を行います。
第 14 回	期末レポートの検討（2）	期末レポートで提示する各自の主張について、グループディスカッションを通じた検討を行います。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- 毎回の授業前に、テキストの該当範囲を読んだ上で、事前に提示するディスカッション課題に対する意見を考えてきてください（1 時間～2 時間程度が目安になります）。
  - 負担が重くならないように、毎回の授業で扱うテキストの分量は短くしてあります（30 ページ程度）。
  - 毎回の授業後に、コメントペーパーを提出していただきます。
- ※大学設置基準に鑑みた場合、本授業の準備・復習時間は、各 2 時間が標準となります。

## 【テキスト（教科書）】

M. サンドル、鬼澤忍（訳）『実力も運のうち：能力主義は正義か？』早川書房、2021 年、2420 円。

## 【参考書】

- ※参考書として、規範的な政治理論の教科書を 4 冊挙げておきます。
- ※内容の詳しさは (1) → (4) の順、読みやすさは (4) → (1) の順になります。
- (1) W. キムリッカ、千葉真・岡崎晴輝（訳）『現代政治理論』日本経済評論社、2005 年
- (2) 宇佐美誠・児玉聡・井上彰・松元雅和『正義論：ベーシックスからフロンティアまで』法律文化社、2019 年
- (3) 川崎修・杉田敦（編）『現代政治理論』有斐閣、2012 年
- (4) 田村哲樹・松元雅和・乙部延剛・山崎望『ここから始める政治理論』有斐閣、2017 年
- ※その他、各回の授業のテーマに関連する文献を、授業中に挙げます。

## 【成績評価の方法と基準】

満点である 100 点のうち、平常点が 50 %、期末レポートが 50 % になります。平常点は、グループディスカッションへの参加とコメントペーパーに基づいて判断します。

## 【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

## 【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムに授業のための資料をアップロードします。そのため、学習支援システムを利用するための情報通信環境が必要となります。

## 【その他の重要事項】

- 一学期で一冊の本を読み切るため、ハードルが高く感じるかもしれません。
  - ですが、各回で読む分量（30 ページ程度）は多くないため、大きな負担にはならないはず。
  - また、グループディスカッションについても、学生のみなさん同士の議論になりますので、身構える必要はありません。
  - 積極的に履修していただければ嬉しいです。
- ※担当者は、社会思想 I（春学期）および社会思想 II（秋学期）も開講しています。
- これらの授業も現代の規範的な政治理論の議論を扱っているため、併せて履修していただくと、理解がより深まると思います。

## 【Outline (in English)】

## 《Course outline》

In this course, we examine meritocracy through the critical reading of *The Tyranny of Merit* by Michael Sandel. On the one hand, meritocracy is appealing because it gives us the freedom to realize our life plans as long as we foster our talents and contribute to our society. On the other hand, meritocracy has brought about many social problems, such as great inequality and poverty, the misrecognition of "losers," and the social division between "winners" and "losers." We examine appeals and problems of meritocracy from the perspective of modern political philosophy (normative political philosophy). After the course, students can construct their own views on meritocracy and related social issues.

## 《Learning objectives》

The goals of this course are the followings:

- 1. To understand appeals and problems of meritocracy.
- 2. To construct your own (normative) view on meritocracy and related social problems.
- 3. To become able to discuss social issues with others.

## 《Learning activities outside the classroom》

Students will be expected to read the text and construct their own views on discussion questions before each class. Completing the required assignments after each class meeting is also expected. You are recommended to study more than four hours for each class by the standard set by the Japanese government.

## 《Grading Criteria/Policies》

Your overall grade in the class will be decided based on the following standards:

- 1. Group discussions and Required assignments: 50%
- 2. Term-end report: 50%

SOS200LA

**社会思想 L B**

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

**洪 貴義**

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

この授業では在日朝鮮人の歴史と文化を学ぶことを目的とする。日本と朝鮮半島（南北）の近現代史の諸関係から生み出され、この 3ヶ国のはざまにあって日本で存在しているコリアンが在日朝鮮人という存在である。この授業では 3ヶ国の近現代史をふまえながら、在日朝鮮人のアイデンティティーのありかた、その詩や文学、映画や音楽、芸能などの作品世界を学ぶことを目的としている。

**【到達目標】**

テキストや講義を通して日本や朝鮮半島の近現代史を理解することができる。

テキストや講義を通して在日朝鮮人に対する正確な理解を持つことができる。

テキストや講義を通して考えたことをコメントやレポートに表現することができる。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

授業は講義形式で行う。各回の授業を進めるごとに毎週コメントを提出してもらい、それに対して授業の中でフィードバックしていく。（基本的には対面授業だが、特別な事情が生じた場合のみオンライン授業を行うこともある。）

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**  
あり / Yes

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**  
なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要と目的、進め方、受講の仕方、成績評価の方法などについて説明
2	導入（1）	在日朝鮮人という存在
3	導入（2）	歴史的背景
4	1960年代（1）	民族の問題
5	1960年代（2）	民族責任
6	日本のジュネ（1）	李珍宇の犯罪
7	日本のジュネ（2）	李珍宇の手紙
8	在日三世のカフカ（1）	カフカという存在
9	在日三世のカフカ（2）	弱さに向き合う
10	詩と文学（1）	金時鐘と金石範
11	詩と文学（2）	鷺沢萌・柳美里・崔実
12	映画（1）	崔洋一と大島渚
13	映画（2）	浦山桐郎と井筒和幸
14	音楽	在日音楽の百年

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とする。具体的には準備学習としてテキストの指定した箇所を事前に読んでおくこと、また復習としては講義内容を振り返り、参考文献を読み進めるなどのことができる。

**【テキスト（教科書）】**

第 1 回のガイダンス時に説明する。

**【参考書】**

その他の参考資料については授業中に指定、配布する。

**【成績評価の方法と基準】**

各授業後に提出するコメント 10 回分（50%）と  
期末レポート 1 回分（50%）によって成績評価を行う。

**【学生の意見等からの気づき】**

特になし。

**【Outline (in English)】**

This class aims to learn about the history and culture of Koreans in Japan. In this class, students will learn about the identity of Koreans in Japan and the world of works such as poetry, literature, movies, music, and performing arts, based on the modern history of Korea and Japan relation.

The standard time for preparation and review for taking classes is two hours each. Specifically, it is possible to read the specified parts of the text in advance as preparation study, and to review the lecture contents and read the reference materials as review.

Grades will be evaluated based on 10 comments (50%) submitted after each class, plus one final report (50%).

GEO200LA

## 地理学 L E

2017 年度以降入学者

呉羽 正昭

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

観光・ツーリズムに関する地理学の一般的概念を学びます。観光地理学を理解するために必要な諸概念（観光・ツーリズムの概念や構造など）、さまざまな地域的スケールでツーリズムに関する特徴について詳説します。加えて、ツーリズムの時間的・地域的展開みられる諸特徴と問題点、将来の課題について、日本における具体的な地域事例を示しながら解説します。

## 【到達目標】

この授業は、観光の概念および観光地理学の方法論を習得すること、環境と観光・ツーリズムとの関係について、日本におけるツーリズムの地域的特徴について理解することを目標とします。ツーリズムやさらにそれを取り巻く生活・文化に関する地域的特色の理解を通じて、広い視野で現代社会を主体的に考察する視点を獲得することを目指します。

## 【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業は講義形式です。理解を深めてもらうために、リアクションペーパーを活用します。準備学習のまとめに使用するとともに、意見・質問の記入も含めて講義内容に関する課題をまとめてもらい、不明点を次回以降の講義で説明することを通じて理解度を確認していきます。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	講義テーマの概説
第 2 回	観光の概念 — 観光やツーリズムとは何か？	観光やツーリズムとは何かを解説します
第 3 回	観光・ツーリズムの構造 — 観光・ツーリズムの要素と構造	観光・ツーリズムの要素や構造を解説します
第 4 回	観光地理学の概念 — 概念および方法論	観光地理学の概念および方法論を解説します
第 5 回	観光地域の変容プロセス — モデルの解説	モデルに基づいて観光地域の変容プロセスを解説します
第 6 回	観光・ツーリズムの変遷 — 古代～マストゥーリズム時代～新しいツーリズムの出現	ツーリズムの変遷について解説します
第 7 回	エコツーリズムの発展プロセス	エコツーリズムの発展プロセスを解説します
第 8 回	エコツーリズムの特徴と展望 — 西表島や屋久島などにおけるエコツーリズム	西表島や屋久島などの事例をもとにエコツーリズムの特徴や課題を解説します
第 9 回	日本の避暑ツーリズムの地域的展開	避暑の地域的展開に関して解説します
第 10 回	日本の湯治・温泉ツーリズムの地域的展開	湯治・温泉ツーリズムの地域的展開に関して解説します

第 11 回	日本のルーラル・ツーリズムの地域的展開	ルーラル・ツーリズムの地域的展開に関して解説します
第 12 回	日本のスキー・ツーリズムの地域的展開	明治期から高度経済成長期までのスキー・ツーリズムの地域的展開に関して解説します
第 13 回	日本のスキー・ツーリズムの地域的展開	バブル期以降のスキー・ツーリズムの地域的展開に関して解説します
第 14 回	まとめ	全体のまとめと総括をします

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講義中に教員から示された参考文献等で講義内容の理解を深めます。また、次回講義のトピックについて、既存文献やインターネットなどで自ら予習して準備します。回によっては次回講義内容に関する課題に対応します。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。授業中の説明で使用する図表が印刷された資料を配布します。参考文献は講義の中でトピックに応じて随時紹介します。

## 【参考書】

岡本伸之編 2001『観光学入門』有斐閣。  
溝尾良隆編 2009『観光学の基礎』原書房。  
(財)日本交通公社編 2004『観光読本第 2 版』東洋経済新報社。  
真板昭夫・石森秀三・海津ゆりえ編 2011『エコツーリズムを学ぶ人のために』世界思想社。  
ピアス, D. 著, 内藤嘉昭訳 2001『現代観光地理学』明石書店。  
江口信清・藤巻正己編 2011『観光研究レファレンスデータベース』ナカニシヤ出版。  
呉羽正昭 2017『スキーリゾートの発展プロセス：日本とオーストラリアの比較研究』二宮書店。  
矢ヶ崎典隆・山下清海・加賀美雅弘編 2018『グローバリゼーション縮小する世界』朝倉書店。

## 【成績評価の方法と基準】

この講義の目標に達したかどうかを期末試験と平常点で評価します。期末試験の評価割合は全体の 60 % で、毎時間の講義内容の理解度を問うミニレポートや次回の講義内容に関する課題等の記載内容を合わせて平常点（全体の 40 %）とします。

## 【学生の意見等からの気づき】

パワーポイントのスライド進行の速さについて注意します。

## 【Outline (in English)】

Students can study basic concept of geography related to tourism. Instructor will explain various concepts necessary for understanding geography of tourism (concepts and structures of tourism and sightseeing, etc.) and features related to tourism on various regional scales. In addition, the instructor will explain various features, problems and future challenges of tourism that encompasses it, while showing specific regional examples in Japan.

At the end of the course, students are expected to understand the methodology of tourism geography and the regional characteristics of tourism in Japan.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination: 60% and Short reports: 40%.



GEO200LA

## 地理学 L F

2017 年度以降入学者

加賀美 雅弘

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 4/Thu.4

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この講義は、東ヨーロッパにおける国境の変化と民族集団の動向を明らかにし、これをもとにヨーロッパ地誌を考える。具体的には、東ヨーロッパにおける近代以降の国家形成とそれに連動して生じてきた少数民族問題を背景にして、「民族の景観」と「経済の地域間格差」に着目しつつ現代ヨーロッパの民族問題に関する考察を行う。

## 【到達目標】

近代以降のヨーロッパにおける国家と民族集団の動向に着目し、地域統合を進める EU における地域的課題について考察することによって、ヨーロッパを動的に理解することを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業は講義形式で行われる。基本的にはパワーポイントを使用し、配布プリントとあわせて講義内容の理解をはかる。また、毎時間に課すリアクションペーパーで学習内容の理解度を確認し、その総括を次回の授業で解説する。また、出された質問に対する回答も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】  
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	授業の全体像および進め方を説明する。また、地理学の基本的な視点を解説する。
第 2 回	EU の国境 (1)	EU の拡大とそれに伴う国境の変化について解説する。
第 3 回	EU の国境 (2)	フランスとドイツの国境が変更を繰り返してきた歴史とその影響について解説する。
第 4 回	EU の国境 (3)	フランスとドイツの国境が EU 域内で開放された影響について解説する。
第 5 回	東西分断の旧国境	現在のドイツにおける旧東西ドイツ国境の影響について解説する。
第 6 回	東ヨーロッパの国境 (1)	東ヨーロッパにおける国家と民族の関係について解説する。
第 7 回	東ヨーロッパの国境 (2)	ドイツとチェコの国境の過去と現在について解説する。
第 8 回	東ヨーロッパの国境 (3)	旧ユーゴスラヴィアの解体とボスニア・ヘルツェゴヴィナの変化について解説する。
第 9 回	東ヨーロッパの国境 (4)	東ヨーロッパにおける民族の移動と景観について解説する。
第 10 回	ヨーロッパの経済格差と民族問題 (1)	ヨーロッパの民族集団ロマについて解説する。
第 11 回	ヨーロッパの経済格差と民族問題 (2)	東ヨーロッパに住むロマの社会的状況について解説する。
第 12 回	ヨーロッパの経済格差と民族問題 (3)	経済格差とロマ問題について解説する。
第 13 回	ヨーロッパの地域構造	国境に着目したヨーロッパの地域構造について解説する。

第 14 回 まとめ（試験を含む） 授業内容を整理し、ヨーロッパの地域的特性についての理解を確認する。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習として、テキストを読んで内容を整理しておく。復習として、授業で学んだ内容をテキストを読み直してまとめる作業を行う。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とする。

## 【テキスト（教科書）】

『国境で読み解くヨーロッパー境界の地理紀行』 加賀美雅弘著、朝倉書店、3000 円

## 【参考書】

授業中に適宜紹介する。

## 【成績評価の方法と基準】

最終時限に実施する試験：40%、授業中に課すリアクションペーパーの内容：60%

## 【学生の意見等からの気づき】

授業内で行うリアクションペーパーに授業に関する質問や意見を記載することによって、その内容をできるだけ次回の授業に反映させる。

## 【Outline (in English)】

For the study on regional geography of Europe we will grasp change of borders and trend of the ethnic groups in Eastern Europe. Specifically, with attention to the nation formation since modern Europe and the ethnic minority problems that have arisen on borders, we will consider the actual situation of Eastern Europe, focusing on "ethnic landscape" and "regional disparity of economy". The goal of this lecture is systematical understanding of Europe with geographical contexts. Your overall grade in the class will be decided based on the following, examination taken in the last class (40%), reaction paper in every class (60%)

MAT200LA

## 数学特講 L A

2017 年度以降入学者

安東 祐希

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

線型代数学－大人のための鶴亀算その 1

線型（形）代数学の基礎を学ぶ。線型代数学は、微分積分学と並び、数学の基礎を成し、社会科学などを含めて様々な分野で応用されている。データサイエンスにおいても重要な役割を持つ。

線型代数学を標語的にはツルカメ算の一般化と表現できる。鶴と亀あわせて 10 匹いて足は全部で 26 本、それぞれ何匹いるのか、というあの鶴亀算である。全部亀だったら足が 40 本のはずで…などと考えれば小学生でもできる。

次に、頭が二つで足は五本、翼が二つの竜 A がいたとして、鶴と亀と竜 A をあわせて頭は 9、足は 25、翼は 8 だったらどうか。これも中学生なら連立一次方程式を解いてそれぞれ何匹いるかわかる。では、竜 B は頭三つ、足八本、翼四つとして、鶴と亀と竜 B をあわせて頭は 17、足は 48、翼は 20 の場合は。さっきと同じことだ、と思うかもしれないが、違うのである。さっきより少々難しい。何がどう違うのか、どのように解くことができるのか、線型代数学を学ぶと、図形的な把握のもとに理解することができる。

この春期授業では、線型代数の基本的な道具である行列と行列式に関し、計算方法を学んでゆく。

## 【到達目標】

- ・行列の定義を理解し、行列演算に関する計算ができる。
- ・行列式の定義を理解し、行列式に関する計算ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

毎回、授業中にいくつかの例題を解く。例題を考える際、わからない点などは積極的に質問してほしい。なお、内容を理解するためには、自ら問題練習に取り組むことが重要である。また、授業のはじめには前回の復習問題を解く時間があり、その解答は解説に従って自己添削のうえ、授業内レポートとして提出をする。（「課題」である授業内レポートは、次の授業時間に個別返却することで「フィードバック」する。）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	線型代数の第一歩	鶴亀算
第 2 回	ベクトルとは	数ベクトル
第 3 回	ベクトルと図形	幾何ベクトル
第 4 回	行列とは	行列の定義
第 5 回	行列演算	行列の積
第 6 回	行列演算の性質	結合律、非可換性
第 7 回	行列を用いた表現	連立一次方程式
第 8 回	行列の逆演算	正則性と逆行列
第 9 回	簡単な行列式	低次の行列式

第 10 回	行列式の性質	多重線型、交代性
第 11 回	一般の行列式	行列式の定義
第 12 回	行列式の計算	行展開、列展開
第 13 回	行列式と逆行列	余因子行列
第 14 回	半期のまとめ	総復習の問題

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。なお、予復習時間の標準は 4 時間である。

## 【テキスト（教科書）】

指定しない。例題などは印刷したものを授業中に配布する。

## 【参考書】

線型代数（線形代数）に関する書籍は実に沢山あり、おそらくそのいずれもが本授業の参考となるものと思う。次の三つはそれらの中の例である。

・松坂和夫『線型代数入門』（岩波書店）1980 年、新装版 2018 年  
 ・川久保勝夫『線形代数学』（日本評論社）1999 年、新装版 2010 年  
 ・H. アントン [山下純一 訳]『アントンのやさしい線型代数』（現代数学社）1980 年、新装版 2020 年

## 【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（60%）において、また、演習問題への取り組み具合を授業内レポート（40%）において評価する。

## 【学生の意見等からの気づき】

質問に答える時間をより多くとれるようにしたい。

## 【その他の重要事項】

秋期科目「数学特講 L B」の予備知識となる内容を含む。

## 【Outline (in English)】

## 【Course outline】

This course deals with basic concepts and tools of linear algebra, especially matrices and determinants.

## 【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to do calculations on matrices and determinants.

## 【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to do exercises with many sheets of paper. Your study time will be more than four hours for a class.

## 【Grading Criteria/Policies】

Final grade will be calculated according to the following process:

Term-end examination (60%) and quizzes in class (40%).

MAT200LA

## 数学特講 L B

2017 年度以降入学者

安東 祐希

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

線型代数学－大人のための鶴亀算その2

線型（形）代数学の基礎を学ぶ。線型代数学は、微分積分学と並び、数学の基礎を成し、社会科学などを含めて様々な分野で応用されている。データサイエンスにおいても重要な役割を持つ。

線型代数学を標語的にはツルカメ算の一般化と表現できる。鶴と亀あわせて 10 匹いて足は全部で 26 本、それぞれ何匹いるのか、というあの鶴亀算である。全部亀だったら足が 40 本のはずで…などと考えれば小学生でもできる。

次に、頭が二つで足は五本、翼が二つの竜 A がいたとして、鶴と亀と竜 A をあわせて頭は 9、足は 25、翼は 8 だつたらどうか。これも中学生なら連立一次方程式を解いてそれぞれ何匹いるかわかる。では、竜 B は頭三つ、足八本、翼四つとして、鶴と亀と竜 B をあわせて頭は 17、足は 48、翼は 20 の場合は。さっきと同じことだ、と思うかもしれないが、違うのである。さっきより少々難しい。何がどう違うのか、どのように解くことができるのか、線型代数学を学ぶと、図形的な把握のもとに理解することができる。

この秋期授業では、連立一次方程式の線型代数による一般の解法や、線型空間の理論を学んでゆく。

## 【到達目標】

- ・階数の定義を理解し、連立一次方程式を一般に解くことができる。
- ・線型写像の定義を理解し、固有値・固有ベクトルを求めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

毎回、授業中にいくつかの例題を解く。例題を考える際、わからない点などは積極的に質問してほしい。なお、内容を理解するためには、自ら問題練習に取り組むことが重要である。また、授業のはじめには前回の復習問題を解く時間があり、その解答は解説に従って自己添削のうえ、授業内レポートとして提出をする。（「課題」である授業内レポートは、次の授業時間に個別返却することで「フィードバック」する。）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	線型代数の応用	鶴亀算再考
第 2 回	基本変形とは	行と列の基本変形
第 3 回	基本変形の行列表現	基本行列
第 4 回	基本変形と方程式	連立一次方程式の解法
第 5 回	基本変形と逆行列	逆行列の計算
第 6 回	階数とは	階数と基本変形
第 7 回	階数の別定義	階数と行列式
第 8 回	階数再考の準備	一次独立、一次従属

第 9 回	階数再考	階数と一次独立性
第 10 回	線型空間とは	線型空間とその基底
第 11 回	線型写像とは	線型写像と表現行列
第 12 回	線型写像を見やすく	固有値・固有ベクトル
第 13 回	線型写像の繰り返し	行列の冪
第 14 回	半期のまとめ	総復習の問題

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。なお、予復習時間の標準は 4 時間である。

## 【テキスト（教科書）】

指定しない。例題などは印刷したものを授業中に配布する。

## 【参考書】

線型代数（線形代数）に関する書籍は実に沢山あり、おそらくそのいずれもが本授業の参考となるものと思う。次の三つはそれらの中の例である。

・松坂和夫『線型代数入門』（岩波書店）1980 年、新装版 2018 年  
 ・川久保勝夫『線形代数学』（日本評論社）1999 年、新装版 2010 年  
 ・H. アントン [山下純一 訳]『アントンのやさしい線型代数』（現代数学社）1980 年、新装版 2020 年

## 【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（60%）において、また、演習問題への取り組み具合を授業内レポート（40%）において評価する。

## 【学生の意見等からの気づき】

質問に答える時間をより多くとれるようにしたい。

## 【その他の重要事項】

春期科目「数学特講 L A」で扱う内容を既知として授業を進める。

## 【Outline (in English)】

## 【Course outline】

This course deals with basic concepts and tools of linear algebra, especially linear equations and linear mappings.

## 【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to solve linear equations and eigenvalue problems.

## 【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to do exercises with many sheets of paper. Your study time will be more than four hours for a class.

## 【Grading Criteria/Policies】

Final grade will be calculated according to the following process:

Term-end examination (60%) and quizzes in class (40%).

MAT200LA

**発展数学 L I**

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

池田 宏一郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 4/Thu.4

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

～ 社会科学に必要不可欠な数学（1 変数関数の微積分）～

さまざまな社会現象が 1 変数関数で表現され、それらをより深く分析する手段が微分と積分である。微積分は、数理解析を行うための基本的かつ重要な道具であり、応用も極めて広い。

**【到達目標】**

いろいろな微分法を用いて、導関数を求めることができる。さらに微分を用いて、関数のさまざまな性質（グラフの形など）を調べることができる。積分の定義を理解し、不定積分や定積分の計算ができる。さらに積分を用いて、面積・体積・長さを求めることができる。また、2 変数関数の微分を扱う秋学期科目「発展数学 II」を履修する際に必要となる手法を身につけることができる。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞いたり板書を写したりするだけでなく、自ら問題を解いてみるものが求められる。フィードバックは、学習支援システム等を通じて行う。

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**

あり / Yes

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	導入	授業概要の説明
第 2 回	微分 1	微分の定義と基本性質
第 3 回	微分 2	積の微分、商の微分、合成関数の微分
第 4 回	微分 3	陰関数の微分
第 5 回	微分 4	曲線の傾きと極値
第 6 回	微分の応用 1	曲線の凹凸と変曲点
第 7 回	微分の応用 2	テイラー展開
第 8 回	微分の応用 3	マクローリン展開
第 9 回	微分の応用 4	近似計算
第 10 回	積分 1	定積分と不定積分
第 11 回	積分 2	リーマン積分
第 12 回	積分 3	微分積分法の基本定理
第 13 回	積分の応用 1	図形の面積
第 14 回	積分の応用 2	立体の体積

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とする。

**【テキスト（教科書）】**

特に指定しない。例題などは印刷したものを授業中に配布する。

**【参考書】**

「基礎数学 I・II」の教科書である、藤田岳彦ほか『Primary 大学ノート よくわかる微分積分』実教出版 (2011) は参考になる。さらに学習する際は、微積分学を主題とした書物であれば参考となる。

**【成績評価の方法と基準】**

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（80 %）において、また、演習問題への取り組み具合を課題提出（20 %）において評価する。

**【学生の意見等からの気づき】**

双方向の授業になるよう心がける。

**【その他の重要事項】**

この科目を履修するためには、「基礎数学 I・II」で取り扱う内容について、おおよそ理解していることが必要である。

**【Outline (in English)】**

[Course outline] This course deals with basic concepts and tools of mathematics especially from a viewpoint of single variable functions.

[Learning objectives] At the end of this course, students should be able to obtain basic knowledge concerning differentiation and integration of single variable functions with respect to their applications to answer various problems appearing in our lives.

[Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for each class meeting.

[Grading criteria/policy] Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 80%, Short reports 20%.

MAT200LA

## 発展数学ⅠⅡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

池田 宏一郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 4/Thu.4

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

## ～ 社会科学に必要不可欠な数学（2変数関数の微分）～

社会現象を解析するために、複数の量の変化を調べる必要がでてくる。その際の基本的な道具が多変数関数であり、多変数関数の性質をより深く知るための手段が偏微分である。ここでは特に2変数関数を扱うが、この授業で学んだ内容は、多くの社会現象を網羅するはすである。

## 【到達目標】

与えられた2変数関数に対して、そのグラフの概形を理解できる。偏導関数の基本的な計算ができる。さらに、偏微分を用いて、グラフの正確な形を把握し、極値を求めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞いたり板書を写したりするだけでなく、自ら問題を解いてみるものが求められる。フィードバックは、学習支援システム等を通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	導入	授業概要の説明
第2回	2変数関数1	多変数関数とは
第3回	2変数関数2	平面のグラフ
第4回	2変数関数3	曲面のグラフ
第5回	偏微分1	偏微分とは
第6回	偏微分2	極限值
第7回	偏微分3	偏導関数の計算
第8回	偏微分4	合成関数の微分
第9回	偏微分5	全微分と接平面
第10回	偏微分の応用1	極値問題
第11回	偏微分の応用2	陰関数の微分法
第12回	偏微分の応用3	条件付極値問題
第13回	重積分1	重積分とは
第14回	重積分2	体積

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

## 【テキスト（教科書）】

特に指定しない。例題などは印刷したものを学習支援システムで配布する。

## 【参考書】

「基礎数学Ⅰ・Ⅱ」の教科書である、藤田岳彦ほか『Primary 大学ノート よくわかる微分積分』実教出版(2011)は参考になる。さらに学習する際は、微積分学を主題とした書物であれば参考となる。

## 【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（80%）において、また、演習問題への取り組み具合を課題提出（20%）において評価する。

## 【学生の意見等からの気づき】

双方向の授業になるよう心がける。

## 【その他の重要事項】

この科目を履修するためには、「発展数学ⅠⅡ」で取り扱う内容について、おおそ理解していることが必要である。

## 【Outline (in English)】

[Course outline] This course deals with basic concepts and tools of mathematics especially from a viewpoint of multivariable functions.

[Learning objectives] At the end of this course, students should be able to obtain basic knowledge concerning differentiation and integration of multivariable functions with respect to their applications to answer various problems appearing in our lives. [Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for each class meeting.

[Grading criteria/policy] Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 80%, Short reports 20%.

MAT200LA

**発展数学 L I**

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

倉田 俊彦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

## ～ 社会科学に必要不可欠な数学（1 変数関数の微積分）～

さまざまな社会現象が 1 変数関数で表現され、それらをより深く分析する手段が微分と積分である。微積分は、数理解析を行うための基本的かつ重要な道具であり、応用も極めて広い。

**【到達目標】**

いろいろな微分法を用いて、導関数を求めることができる。さらに微分を用いて、関数のさまざまな性質（グラフの形など）を調べることができる。積分の定義を理解し、不定積分や定積分の計算ができる。さらに積分を用いて、面積・体積・長さを求めることができる。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞くだけでなく、自ら問題を解いてみるのが求められる。課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**  
あり / Yes

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**  
なし / No

**【授業計画】 授業形態：対面/face to face**

回	テーマ	内容
第 01 回	導入	授業概要の説明
第 02 回	微分の導入 1	導関数と曲線の傾き
第 03 回	微分の導入 2	直線によるグラフの近似
第 04 回	微分の導入 3	ニュートン法
第 05 回	関数の形式と微分 1	合成関数の微分
第 06 回	関数の形式と微分 2	陰関数と微分
第 07 回	関数の形式と微分 3	媒介変数表示と微分
第 08 回	高階導関数 1	2 階導関数と曲線のしなり
第 09 回	高階導関数 2	放物線によるグラフの近似
第 10 回	高階導関数 3	マクローリン展開
第 11 回	高階導関数 4	社会科学への応用例
第 12 回	積分 1	積分と微分の関係
第 13 回	積分 2	積分と面積の関係
第 14 回	試験・まとめと解説	課題等に関する総括

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

練習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。（計算ミスなどは誰でもよくある話ですので、気にする必要は全くありません。分からない時は、むしろ、自分の弱点を一步改善する良い機会だと思って、気軽に相談頂けたらと思います。）本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

**【テキスト（教科書）】**

指定しない。印刷した資料を授業で配布する。（資料配付等は授業支援システムからも入手できるようにします。）

**【参考書】**

微積分学を主題とした数多くの書籍が出版されているので、説明が自分に合っていると思うものを利用するとよい。

**【成績評価の方法と基準】**

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（30%）において、また、平常点（10%）と共に演習問題への取り組み具合を課題提出（60%）において評価する。

**【学生の意見等からの気づき】**

紹介した応用例は専門科目の中でも扱われる機会がある様子です。履修者にとって、その後の学習で得ができるような内容を充実させていきたいと思います。

**【その他の重要事項】**

「基礎数学 I・II」で取り扱う内容について、おおよその理解があると履修に有益である。

**【Outline (in English)】**

[Course outline] This course deals with basic concepts and tools of mathematics especially from a viewpoint of single variable functions.

[Learning objectives] At the end of this course, students should be able to obtain basic knowledge concerning differentiation and integration of single variable functions with respect to their applications to answer various problems appearing in our lives.

[Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for each class meeting.

[Grading criteria/policy] Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 30%, Class contribution 10%, Short reports 60%.

MAT200LA

## 発展数学ⅠⅡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

倉田 俊彦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

## ～ 社会科学に必要不可欠な数学（2変数関数の微分）～

社会現象を解析するために、複数の量の変化を調べる必要がでてくる。その際の基本的な道具が多変数関数であり、多変数関数の性質をより深く知るための手段が偏微分である。ここでは特に2変数関数を扱うが、この授業で学んだ内容は、多くの社会現象を網羅するはずである。

## 【到達目標】

与えられた2変数関数に対して、そのグラフの概形を理解できる。偏導関数の基本的な計算ができる。さらに、偏微分を用いて、グラフの正確な形を把握し、極値を求めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞くだけでなく、自ら問題を解いてみるのが求められる。課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第01回	導入	授業概要の説明
第02回	空間の数学1	空間ベクトルの基礎
第03回	空間の数学2	2変数の1次式と平面
第04回	偏微分1	偏微分とその意味
第05回	偏微分2	偏導関数の計算
第06回	偏微分3	全微分と接平面
第07回	偏微分4	社会科学での活用事例
第08回	極値の計算1	2階偏導関数
第09回	極値の計算2	2変数関数の極値計算
第10回	極値の計算3	公務員試験の問題例
第11回	極値の計算4	制約条件付きの極値問題
第12回	データサイエンスへの応用例1	データの傾向を学習して予想する
第13回	データサイエンスへの応用例2	4次元データを見える化する
第14回	試験・まとめと解説	課題等に関する総括

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

練習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙を書きながら考えること。（計算ミスなどは誰でもよくある話ですので、気にする必要は全くありません。分からない時は、むしろ、自分の弱点を一步改善する良い機会だと思って、気軽に相談頂けたらと思います。）本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

指定しない。印刷した資料を授業で配布する。（資料配付等は授業支援システムからも入手できるようにします。）

## 【参考書】

微積分学を主題とした数多くの書籍が出版されているので、説明が自分に合っていると思うものを利用するとよい。

## 【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（30%）において、また、平常点（10%）と共に演習問題への取り組み具合を課題提出（60%）において評価する。

## 【学生の意見等からの気づき】

紹介した応用例は専門科目の中でも扱われる機会がある様子です。履修者にとって、その後の学習で得ができるような内容を充実させていきたいと思います。

## 【その他の重要事項】

「基礎数学Ⅰ・Ⅱ」で取り扱う内容について、おおよその理解があると履修に有益である。

## 【Outline (in English)】

[Course outline] This course deals with basic concepts and tools of mathematics especially from a viewpoint of multivariable functions.

[Learning objectives] At the end of this course, students should be able to obtain basic knowledge concerning differentiation and integration of multivariable functions with respect to their applications to answer various problems appearing in our lives. [Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for each class meeting.

[Grading criteria/policy] Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 30%, Class contribution 10%, Short reports 60%.

PHY200LA

**教養物理学 L A**

2017 年度以降入学者

サブタイトル：宇宙と地球

石川 壮一

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

サブタイトルを「宇宙と地球」とする。

我々が住んでいる地球という惑星がどのような存在であるのか、地球を含む宇宙に関する理解がどのように進んでいるのか、地球と宇宙との関りがどのようになっているのか、というようなテーマについて、物理学の視点から理解を深める。

**【到達目標】**

- ・最近の観測により得られた宇宙や地球に関する知見への理解を深める。
- ・自然現象を基本法則から理解する態度を身につけ、基礎法則の応用力を養う。
- ・宇宙の中における地球の位置付けについて理解を深める。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

- ・学習支援システムで配布する資料を用いて講義を行う。
- ・適時、理解度を確認するための課題を出題する。
- ・課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**

なし / No

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし / No

**【授業計画】 授業形態：対面/face to face**

回	テーマ	内容
第 1 回	はじめに	各回の講義概要
第 2 回	世界観の変遷	我々の住む世界（宇宙）に関する理解の歴史
第 3 回	我々の住む地球 (1)	地球の形と大きさ、表面（大気圏、海）の概要
第 4 回	我々の住む地球 (2)	地球の内部構造を調べる方法とその結果わかったこと
第 5 回	我々の住む地球 (3)	大気圏外、オーロラ、地球に対する太陽の影響
第 6 回	色々な天体	地上から観測できる天体の種類とその階層性について
第 7 回	天体の光	天体の光の観測から何がわかるか
第 8 回	宇宙観の広がり	宇宙はどこまで広がっているか
第 9 回	星の一生と元素合成 (1)	恒星の誕生、星の中で行われている元素合成
第 10 回	星の一生と元素合成 (2)	恒星の死、超新星爆発、中性子星、パルサー、ブラックホール
第 11 回	太陽系 (1)	太陽系のあらまし
第 12 回	太陽系 (2)	太陽系の誕生（太陽、地球の誕生）、太陽系外惑星の探査
第 13 回	太陽系 (3)	誕生後の地球で起こったこと
第 14 回	宇宙の謎	現代の宇宙の謎である暗黒物質、暗黒エネルギー

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

・毎回、学習支援システムで提示する講義資料を用いて講義内容の予習と復習をしておくこと。また、別途提示する小テスト問題を解いておくこと。

・本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とする。

**【テキスト（教科書）】**

テキストは特に設けないが、講義資料は学習支援システムを用いて提示する。

**【参考書】**

- ・「物理学入門」大西直毅著（東京大学出版会、1996）
- ・「物理学への招待」大槻義彦著（培風館、1989）
- ・シップマン・自然科学入門「新物理学」（増補改訂版）J. T. Shipman 著、勝守寛監訳（学術図書出版社、2002）
- （その他、必要に応じて授業中に紹介する。）

**【成績評価の方法と基準】**

期末試験、平常点（演習問題を含む）を総合して評価する。配分は、平常点を 30%、期末試験の結果を 70%とする

**【学生の意見等からの気づき】**

予習・復習のための参考資料や課題をもう少し充実させたい。

**【学生が準備すべき機器他】**

資料配布・課題提出等のために学習支援システムを利用する。

**【Outline (in English)】**

This class introduces physics point of view to understand various phenomena about the earth and the universe.

The goals of this course are to have a deeper understanding of the universe and the earth as well as relations between them, and to have an attitude to understand natural phenomena from the fundamental laws.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend totally four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination (70%) and in class contribution including short reports (30%).



PHY200LA

**教養物理学 L A**

2017 年度以降入学者

サブタイトル：宇宙と地球

石川 壮一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

サブタイトルを「宇宙と地球」とする。

我々が住んでいる地球という惑星がどのような存在であるのか、地球を含む宇宙に関する理解がどのように進んでいるのか、地球と宇宙との関りがどのようになっているのか、というようなテーマについて、物理学の視点から理解を深める。

**【到達目標】**

- ・最近の観測により得られた宇宙や地球に関する知見への理解を深める。
- ・自然現象を基本法則から理解する態度を身につけ、基礎法則の応用力を養う。
- ・宇宙の中における地球の位置付けについて理解を深める。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

- ・学習支援システムで配布する資料を用いて講義を行う。
- ・適時、理解度を確認するための課題を出題する。
- ・課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**

なし / No

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし / No

**【授業計画】 授業形態：対面/face to face**

回	テーマ	内容
第 1 回	はじめに	各回の講義概要
第 2 回	世界観の変遷	我々の住む世界（宇宙）に関する理解の歴史
第 3 回	我々の住む地球 (1)	地球の形と大きさ、表面（大気圏、海）の概要
第 4 回	我々の住む地球 (2)	地球の内部構造を調べる方法とその結果わかったこと
第 5 回	我々の住む地球 (3)	大気圏外、オーロラ、地球に対する太陽の影響
第 6 回	色々な天体	地上から観測できる天体の種類とその階層性について
第 7 回	天体の光	天体の光の観測から何がわかるか
第 8 回	宇宙観の広がり	宇宙はどこまで広がっているか
第 9 回	星の一生と元素合成 (1)	恒星の誕生、星の中で行われている元素合成
第 10 回	星の一生と元素合成 (2)	恒星の死、超新星爆発、中性子星、パルサー、ブラックホール
第 11 回	太陽系 (1)	太陽系のあらまし
第 12 回	太陽系 (2)	太陽系の誕生（太陽、地球の誕生）、太陽系外惑星の探査
第 13 回	太陽系 (3)	誕生後の地球で起こったこと
第 14 回	宇宙の謎	現代の宇宙の謎である暗黒物質、暗黒エネルギー

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

・毎回、学習支援システムで提示する講義資料を用いて講義内容の予習と復習をしておくこと。また、別途提示する小テスト問題を解いておくこと。

・本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とする。

**【テキスト（教科書）】**

テキストは特に設けないが、講義資料は学習支援システムを用いて提示する。

**【参考書】**

- ・「物理学入門」大西直毅著（東京大学出版会、1996）
- ・「物理学への招待」大槻義彦著（培風館、1989）
- ・シップマン・自然科学入門「新物理学」（増補改訂版）J. T. Shipman 著、勝守寛監訳（学術図書出版社、2002）
- （その他、必要に応じて授業中に紹介する。）

**【成績評価の方法と基準】**

期末試験、平常点（演習問題を含む）を総合して評価する。配分は、平常点を 30%、期末試験の結果を 70%とする

**【学生の意見等からの気づき】**

予習・復習のための参考資料や課題をもう少し充実させたい。

**【学生が準備すべき機器他】**

資料配布・課題提出等のために学習支援システムを利用する。

**【Outline (in English)】**

This class introduces physics point of view to understand various phenomena about the earth and the universe.

The goals of this course are to have a deeper understanding of the universe and the earth as well as relations between them, and to have an attitude to understand natural phenomena from the fundamental laws.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend totally four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination (70%) and in class contribution including short reports (30%).

PHY200LA

## 教養物理学 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

吉田 智

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

様々な物理学的な発見はどのようにしてなされてきたのか。物理学上の幾つかの事柄について、歴史的な経緯を踏まえつつ紹介する。また、内容の理解を深めると共に、他の分野に与えた影響についても紹介したい。最新の研究も合わせて紹介する予定である。

## 【到達目標】

単に結果のみでなく、そこに至るプロセスや社会への影響等を学ぶことによって、様々な現象に対して自分自身で判断する能力を身に付けることができるようにすることを目標としている。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

スライドと共に、資料を配付する講義形式で行います。難しい数式はできるだけ避け、時にはビデオ・実験装置を使用する予定です。随時最新の話題を取り入れながら、物理の基礎知識がなくても理解してもらえるように進めていきます。適宜、授業内での課題や質問に対する解説も行う予定です。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	はじめに	講義全体について紹介する。
第 2 回	万有引力：ガリレオ研究	ガリレオ・ガリレイの研究について紹介する。
第 3 回	万有引力：ケプラーの研究	ヨハネス・ケプラーの研究について紹介する。
第 4 回	万有引力：万有引力の法則	万有引力の法則、それに付随してキャベンディッシュの研究についても紹介する。
第 5 回	万有引力：万有引力の証明	ハレー彗星や惑星の運動について紹介する。
第 6 回	宇宙：太陽系	第 5 回に関連して、地球を含めた太陽系の天体について紹介する。
第 7 回	宇宙：アポロ計画	アポロ計画を中心に、当時の宇宙開発について紹介する。
第 8 回	宇宙：スペースシャトルと国際宇宙ステーション	スペースシャトル、更には国際宇宙ステーションを含めた現在の宇宙開発について紹介する。
第 9 回	宇宙：冥王星探査	冥王星・エッジワースカイパーベルト天体探査について紹介する。
第 10 回	宇宙：彗星・小惑星探査	地球上の生命はどこから来たのか。小惑星・彗星探査等について紹介する。
第 11 回	ラジウム：原子核	原子核について簡単に紹介する。
第 12 回	ラジウム：マリ・キュリーの研究	マリ・キュリーたちの研究について紹介する。
第 13 回	ラジウム：ラジウム狂詩曲	ラジウム発見による当時の騒動について紹介する。

第 14 回 ラジウム：原子核の応用について  
マリ・キュリーが目指した応用等について紹介する。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次回以降の講義内容の理解を助けるためにも、内容を復習しておく必要があります。本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

教科書は使用せず、資料を配布します。

## 【参考書】

授業内で適宜紹介する予定です。

## 【成績評価の方法と基準】

学習支援システムを利用した、各回の課題 (70%) と期末レポート (30%) で評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

改善アンケートの記載は特にありませんでしたが、授業内容の質問には授業内や「学習支援システム」を使用して対応したいと思います。

## 【Outline (in English)】

This course introduces the gravitation, the universe, and the radium with historical episodes. In this course, goals are not only to deepen the knowledge about physics but also to acquire the ability to judge various scientific phenomena by yourself. After each class, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Grading will be decided based on term-end examination (30%), and short examinations in every class (70%).

PHY200LA

## 教養物理学 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

吉田 智

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 5/Tue.5

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

様々な物理学的な発見はどのようにしてなされてきたのか。物理学上の幾つかの事柄について、歴史的な経緯を踏まえつつ紹介する。また、内容の理解を深めると共に、他の分野に与えた影響についても紹介したい。最新の研究も合わせて紹介する予定である。

## 【到達目標】

単に結果のみでなく、そこに至るプロセスや社会への影響等を学ぶことによって、様々な現象に対して自分自身で判断する能力を身に付けることができるようにすることを目標としている。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

スライドと共に、資料を配付する講義形式で行います。難しい数式はできるだけ避け、時にはビデオ・実験装置を使用する予定です。随時最新の話題を取り入れながら、物理の基礎知識がなくても理解してもらえるように進めていきます。適宜、授業内での課題や質問に対する解説も行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】  
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	はじめに	講義全体について紹介する。
第 2 回	万有引力：ガリレオ研究	ガリレオ・ガリレイの研究について紹介する。
第 3 回	万有引力：ケプラーの研究	ヨハネス・ケプラーの研究について紹介する。
第 4 回	万有引力：万有引力の法則	万有引力の法則、それに付随してキャベンディッシュの研究についても紹介する。
第 5 回	万有引力：万有引力の証明	ハレー彗星や惑星の運動について紹介する。
第 6 回	宇宙：太陽系	第 5 回に関連して、地球を含めた太陽系の天体について紹介する。
第 7 回	宇宙：アポロ計画	アポロ計画を中心に、当時の宇宙開発について紹介する。
第 8 回	宇宙：スペースシャトルと国際宇宙ステーション	スペースシャトル、更には国際宇宙ステーションを含めた現在の宇宙開発について紹介する。
第 9 回	宇宙：冥王星探査	冥王星・エッジワースカイパーベルト天体探査について紹介する。
第 10 回	宇宙：彗星・小惑星探査	地球上の生命はどこから来たのか。小惑星・彗星探査等について紹介する。
第 11 回	ラジウム：原子核	原子核について簡単に紹介する。
第 12 回	ラジウム：マリ・キュリーの研究	マリ・キュリーたちの研究について紹介する。
第 13 回	ラジウム：ラジウム狂詩曲	ラジウム発見による当時の騒動について紹介する。

第 14 回 ラジウム：原子核の応用  
マリ・キュリーが目指した応用等について紹介する。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次回以降の講義内容の理解を助けるためにも、内容を復習しておく必要があります。本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

教科書は使用せず、資料を配布します。

## 【参考書】

授業内で適宜紹介する予定です。

## 【成績評価の方法と基準】

学習支援システムを利用した、各回の課題 (70%) と期末レポート (30%) で評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

改善アンケートの記載は特にありませんでしたが、授業内容の質問には授業内や「学習支援システム」を使用して対応したいと思います。

## 【Outline (in English)】

This course introduces the gravitation, the universe, and the radium with historical episodes. In this course, goals are not only to deepen the knowledge about physics but also to acquire the ability to judge various scientific phenomena by yourself. After each class, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Grading will be decided based on term-end examination (30%), and short examinations in every class (70%).

PHY200LA

**教養物理学 L A**

2017 年度以降入学者

サブタイトル：宇宙と地球

石川 壮一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

サブタイトルを「宇宙と地球」とする。

我々が住んでいる地球という惑星がどのような存在であるのか、地球を含む宇宙に関する理解がどのように進んでいるのか、地球と宇宙との関りがどのようになっているのか、というようなテーマについて、物理学の視点から理解を深める。

**【到達目標】**

- ・最近の観測により得られた宇宙や地球に関する知見への理解を深める。
- ・自然現象を基本法則から理解する態度を身につけ、基本法則の応用力を養う。
- ・宇宙の中における地球の位置付けについて理解を深める。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

- ・学習支援システムで配布する資料を用いて講義を行う。
- ・適時、理解度を確認するための課題を出題する。
- ・課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**

なし / No

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし / No

**【授業計画】 授業形態：対面/face to face**

回	テーマ	内容
第 1 回	はじめに	各回の講義概要
第 2 回	世界観の変遷	我々の住む世界（宇宙）に関する理解の歴史
第 3 回	我々の住む地球 (1)	地球の形と大きさ、表面（大気圏、海）の概要
第 4 回	我々の住む地球 (2)	地球の内部構造を調べる方法とその結果わかったこと
第 5 回	我々の住む地球 (3)	大気圏外、オーロラ、地球に対する太陽の影響
第 6 回	色々な天体	地上から観測できる天体の種類とその階層性について
第 7 回	天体の光	天体の光の観測から何がわかるか
第 8 回	宇宙観の広がり	宇宙はどこまで広がっているか
第 9 回	星の一生と元素合成 (1)	恒星の誕生、星の中で行われている元素合成
第 10 回	星の一生と元素合成 (2)	恒星の死、超新星爆発、中性子星、パルサー、ブラックホール
第 11 回	太陽系 (1)	太陽系のあらまし
第 12 回	太陽系 (2)	太陽系の誕生（太陽、地球の誕生）、太陽系外惑星の探査
第 13 回	太陽系 (3)	誕生後の地球で起こったこと
第 14 回	宇宙の謎	現代の宇宙の謎である暗黒物質、暗黒エネルギー

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

・毎回、学習支援システムで提示する講義資料を用いて講義内容の予習と復習をしておくこと。また、別途提示する小テスト問題を解いておくこと。

・本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とする。

**【テキスト（教科書）】**

テキストは特に設けないが、講義資料は学習支援システムを用いて提示する。

**【参考書】**

- ・「物理学入門」大西直毅著（東京大学出版会、1996）
- ・「物理学への招待」大槻義彦著（培風館、1989）
- ・シップマン・自然科学入門「新物理学」（増補改訂版）J. T. Shipman 著、勝守寛監訳（学術図書出版社、2002）
- （その他、必要に応じて授業中に紹介する。）

**【成績評価の方法と基準】**

期末試験、平常点（演習問題を含む）を総合して評価する。配分は、平常点を 30%、期末試験の結果を 70%とする

**【学生の意見等からの気づき】**

予習・復習のための参考資料や課題をもう少し充実させたい。

**【学生が準備すべき機器他】**

資料配布・課題提出等のために学習支援システムを利用する。

**【Outline (in English)】**

This class introduces physics point of view to understand various phenomena about the earth and the universe.

The goals of this course are to have a deeper understanding of the universe and the earth as well as relations between them, and to have an attitude to understand natural phenomena from the fundamental laws.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend totally four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination (70%) and in class contribution including short reports (30%).

PHY200LA

教養物理学 L C

2017 年度以降入学者

サブタイトル：放射線の性質と利用

井坂 政裕

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 5/Thu.5

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

放射線は我々の身近に存在している。自然界では、放射線は宇宙から降り注いでいるだけでなく、地殻や大気、さらには食品中にも放射線を出す物質がごく微量ながら含まれている。また、放射線は、社会において広く利用されている。例えば医学では、放射線の性質を利用したがんの治療などが代表例である。他にも様々なところで放射線は利用されており、放射線を理解することは、現代の科学技術を理解する上でも非常に重要である。一方、放射線と聞くと、人体への影響を心配するかも知れない。人体にどのような影響があり、どのようにコントロールすれば良いのか。それを理解するためにも、放射線の性質を科学的に理解することが重要である。本授業を通して、学生は、現代物理学の知見に基づいて放射線を理解するとともに、社会での利用例について、放射線の性質と関連付けて理解する。

**【到達目標】**

- ・放射線がどのような性質を持つのか、その発生原理とともに理解できる。
- ・原子炉や加速器の原理を理解することができる。
- ・放射線の利用例について、放射線の性質と関連付けて理解できる。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

スライドを使用した講義形式で行う。この授業は原則として対面授業として実施するが、初回授業はリアルタイムオンライン授業として実施する。各回の授業内容に関して、学習支援システム上で選択式問題による小テストを実施する。最終授業で、13回までの講義内容のまとめや復習だけでなく、授業内で実施した小テストに対する講評や解説も行う。講義では、高校で物理を履修していなくても理解できるよう平易に説明する。

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**

なし / No

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし / No

**【授業計画】 授業形態：対面/face to face**

回	テーマ	内容
第 1 回	序章	放射線とは何かを説明するとともに、授業内容の概観を示す。
第 2 回	物理学の基礎知識 (1) ~力学~	放射線を学ぶ上で必要な物理学の基礎知識として、力学の基礎について解説する。
第 3 回	物理学の基礎知識 (2) ~光~	放射線を学ぶ上で必要な物理学の基礎知識として、光の性質について解説する。
第 4 回	原子の構造	原子がどのような構造を持つのか解説する。
第 5 回	原子核	原子核の性質や構造について解説する。
第 6 回	放射性崩壊	原子核の崩壊について解説する。

第 7 回	特殊相対論と質量エネルギー	放射線を学ぶ上で必要な知識として特殊相対論の概略を紹介するとともに、質量エネルギーについて解説する。
第 8 回	X 線の発生	これまでの内容を踏まえ、X 線の発生原理を解説する。
第 9 回	放射線と物質に当たると何が起る？ (1) ~荷電粒子線~	主に荷電粒子線と物質の相互作用について説明する。
第 10 回	放射線と物質に当たると何が起る？ (2) ~X 線~	主に X 線と物質の相互作用について説明する。
第 11 回	放射線と物質に当たると何が起る？ (3) ~中性子線~	主に中性子と物質の相互作用について解説する。
第 12 回	原子炉	原子炉の原理や原子炉内で起こる核反応について説明する。
第 13 回	加速器	加速器について紹介するとともに、その原理や利用例を説明する。
第 14 回	社会における放射線	放射線の人体への影響や放射線の検出方法などを説明するとともに、放射線の社会における利用についても紹介する。また、全体のまとめや、これまでの実施した小テストの講評と解説を行う。

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

- ・身の回りの自然現象や科学・技術に関連するニュースに関心を持つこと。
- ・授業内容と関連する自然現象や科学技術などの具体例が何か考えること。
- ・配布資料などをもとに、各回の学習内容の復習を行うこと。
- ・本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とする。

**【テキスト（教科書）】**

テキストは使用しない。

**【参考書】**

必要に応じて授業中に紹介する。

**【成績評価の方法と基準】**

期末レポート(約 50%)と小テスト(約 50%)により評価する。毎回の授業内容に関して、小テストを学習支援システム上で実施する。期末レポートは、授業内容に関する課題を出題する。期末試験は実施しない。

**【学生の意見等からの気づき】**

わかりやすい説明を心がけます。

**【Outline (in English)】**

Course outline: This course introduces basic knowledge of the radiation physics. It also helps students acquire understand how to use the radiation and the related techniques in the modern society.

Learning Objectives: By the end of the course, students should be able to do the following:

- ・ Explain properties of radiation and radiation sources
- ・ Explain the principle and utilization of nuclear reactor and accelerator

Learning activities outside of classroom: Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading Criteria/Policy: Grading will be decided based on mini-exam in each class meeting (50%) and term-end report (50%).

BIO200LA

## 教養生物学 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：異なる細胞が合体して真核細胞が誕生・進化する

野崎 久義

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2023 年 4 月 3 日 (月) 10 : 00~5 日 (水) 17 : 00、結果発表は 4 月 6 日 (木) 22 : 00 (予定) です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rihuguide2023/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

### 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

バクテリアからヒトまで「生物」とよく言うが、両者の細胞構造は基本的に異なり、バクテリアではミトコンドリアが細胞中になく、更に植物はヒトのような動物とは異なり、細胞の中に光合成を行う葉緑体をもつ。この授業では、このような「真核細胞」内のオルガネラが「細胞内共生」という異なる生物の合体で誕生し、多様化していることへの理解を目的とする。このためには現在地球上に存在する生物の多様性と細胞内部の構造と遺伝物質 DNA の存在状態を理解する必要がある。また、オルガネラ (ミトコンドリアと葉緑体) が持つ独自の DNA とその遺伝様式を理解する。自分の体を構成する細胞に 10-20 億年前のバクテリアの「細胞内共生」という歴史がある。さらにそのバクテリアの末裔が現在でも細胞内のオルガネラとして生きていて、顕微鏡で観察することができ、オルガネラの DNA を系統解析することでその生い立ちを辿ることができることを理解してもらいたい。随時、関連する野崎の研究内容も紹介する。

### 【到達目標】

地球上に存在する多様な生物が細胞内のオルガネラのどのような基本的特徴でどのように分類されるか、オルガネラのミトコンドリアと葉緑体が「細胞内共生」で誕生したことがどのようにして分かるか、ミトコンドリアと葉緑体はどのような様式で遺伝するか、オルガネラの DNA をどのように系統解析してそれらの起源が探れるかを理解する。ミトコンドリアと葉緑体の細胞内共生による誕生は 10-20 億年前と言われているが、それから現在に至るまでに更なる細胞内共生が起きて細胞が大きく進化・多様化していること、現在でも新しい細胞内共生が起きていて生物の細胞が刻々と進化していることも理解する。生命の最小単位である細胞について、その多様性と進化史的について、理解を深める。また、現在地球上の生物の DNA・ゲノム情報はインターネットを通じて無償で入手することができ、これらの情報を取得し、系統解析する手法についても学ぶ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

### 【授業の進め方と方法】

基本的に講義室でオンサイト (対面) の授業を進める。随時、質疑応答を行い、学生諸君が積極的に授業に参加できるようにする。授業の最後に課題を出し、授業内容理解の向上を目指す。課題と同時に授業に関する質問やコメントの提出を求める。

課題、質問、コメント等に対するフィードバックは次回の授業で行う。

### 【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

なし / No

### 【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

### 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	生物学における基本的な 3 学説の紹介	細胞説、遺伝学説、進化学説についてそれらの基本と歴史を解説する。

2	細胞の基本的な特徴と多様性および進化	生物の多様性と進化を細胞の基本的な特徴から解説する。
3	生物全体の多様性と分類	生物と呼ばれているものの多様性と大まかな分類の概要と歴史を解説する。
4	細胞内共生説: 異なる起源の細胞が合体して新たな細胞が誕生する	異なる起源の細胞が合体して我々ヒトのような生物の細胞 (真核細胞) が誕生したという「細胞内共生説」について解説する。
5	細胞内共生による動物や植物の細胞の起源	動物や植物の細胞内に存在するミトコンドリアと葉緑体は太古 (10-20 億年前) に起きた細胞内共生に起源すると考えられている。これらを解説する。
6	細胞内に残存する太古の細胞内共生の構造的痕跡	細胞内共生を細胞内の構造から理解する。
7	細胞内共生の証拠としてのオルガネラ (ミトコンドリアと葉緑体) の DNA	オルガネラ (ミトコンドリアと葉緑体) の DNA について解説する。
8	ミトコンドリアと葉緑体の DNA の遺伝	メンデルの法則とは異なるミトコンドリアと葉緑体の DNA の遺伝様式について解説する。
9	オルガネラ DNA の系統解析でわかるオルガネラの起源	系統解析とこれを用いたオルガネラの起源の推定について説明する。
10	細胞内共生したオルガネラの起源の生物の DNA は宿主細胞 (ホスト) に奪われてゆく	細胞内共生の結果誕生したオルガネラの DNA はホストの核に移動してゆく「細胞内共生遺伝子水平伝達」という現象があり、これを説明し、系統解析から理解してもらおう。
11	くり返して起きた細胞内共生	植物細胞で見られる葉緑体の 2 回目の細胞内共生は「二次共生」といい、その結果誕生した「二次植物」について解説する。
12	ミドリムシは昔紅かった	単細胞生物のミドリムシが昔は紅かったという仮説を細胞内共生から解説します。
13	現在でも進行する細胞内共生 1 : 他人の細胞内で生きる細菌	オルガネラではないが、動植物 (真核生物) の細胞内に住み着いているバクテリア「細胞内共生細菌」について紹介する。
14	現在でも進行する細胞内共生 2 : ホスト側からの捕獲	光合成する植物細胞を食べることで自分の体に入れて光合成させる単細胞生物や海産動物を紹介します。

### 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。授業で使う資料を学習支援システムの教材欄に事前に提示するので、十分予習すること。授業内で示した課題は、授業内容を十分復習して間違えの無いように解答すること。予習復習には 1 回の授業につき 4 時間以上かけて下さい。

### 【テキスト (教科書)】

特定の教科書は使用しない。

### 【参考書】

参考書は必要に応じて学習支援システムを通じて提示します。

### 【成績評価の方法と基準】

授業の後に課題を出す。14 回の課題の評価点で成績評価を行う。1 回の課題は 10 点満点とし、14 回分合計して 140 点満点で成績評価を行う。

### 【学生の意見等からの気づき】

本年度から始める授業になります。

### 【学生が準備すべき機器他】

特にないが、インターネットが可能な PC があると系統解析が実際に自分で行える。

**【その他の重要事項】**

授業中における質問は大歓迎であるが、授業中の私語は厳禁である。

**【Outline (in English)】**

**【Course outline】**

Although we often speak of "organisms" from bacteria to humans, their cellular structures are fundamentally different: bacteria do not have mitochondria in their cells. Furthermore, unlike animals such as humans, plants have chloroplasts in their cells. The purpose of this lecture is to understand that these intracellular organelles originate from "ancient endosymbiosis", which was established by the union of different organisms from 1 to 2 billion years ago. For this purpose, it is necessary to understand the diversity of organisms that currently exist on the earth, as well as the morphology inside the cell and the state and distribution of the genetic material DNA. We will also understand the unique DNA and mode of inheritance of the organelles. The cells that make up our own bodies have a history of "intracellular symbiosis" with bacteria from 1 to 2 billion years ago. Furthermore, the students should understand that the descendants of those bacteria still live as organelles in our cells, which can be observed under a microscope, and that the origin of the organelles can be traced by phylogenetic analysis of their DNA. From time to time, we will also introduce results of Nozaki's original research.

**【Learning Objectives】**

To understand how the diversity of organisms on earth can be classified by the basic characteristics of their intracellular organelles, how the mitochondria and chloroplasts of organelles came into being in "intracellular symbiosis," what mode of inheritance mitochondria and chloroplasts have, and how the DNA of organelles can be phylogenetically analyzed to find their origin. The students will also understand that further intracellular symbiosis has occurred since then and that cells have evolved and diversified greatly, and that new intracellular symbiosis is still occurring and the cells of living organisms are evolving moment by moment. Students will deepen their understanding of the cell, the smallest unit of life, and its diversity and evolutionary history. In addition, DNA and genome information on living organisms on the earth is currently available free of charge via the Internet, and students will learn about methods for obtaining this information and conducting phylogenetic analysis.

**【Learning activities outside of classroom】** The standard preparation and review time for this class is 2 hours each. Materials to be used in class will be presented in the "Teaching Materials" section of the Learning Support System in advance, so students are expected to prepare well in advance. Students are expected to review the contents of the class and answer the assignments given in the class without making mistakes. Please spend at least 4 hours per class on preparation and review.

**【Grading Criteria /Policy】**

An assignment/inquiry will be given after each class, and grading will be based on the evaluation score of 14 assignments, each assignment is worth 10 points, and the total score for 14 assignments is 140 points.

BIO200LA

## 教養生物学 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：メス・オスと老死の起源を緑藻ボルボックスの仲間から探る

野崎 久義

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

### 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

我々ヒトの一生は両親にあたる「メスとオス」の出会いに始まり、成長の後また両親と同じようなことを繰り返すが、成長した個体はやがて「老死」という運命を迎える。しかし、生物全体を見渡せば単純な体制をした単細胞生物等では分裂で増殖するので「老死」もなければ「メスとオスの差異」も存在しない。従って、生命が誕生した初期では「老死」もなければ「メスとオス」の差異も存在しない単細胞の段階があり、多細胞生物に進化する段階で両者が出現したと考えられる。これらの進化を探るのには真核生物が誕生した 10-20 億年前の状況を調査する必要があるとも考えられるが、これは不可能である。しかし、緑藻類のボルボックスの仲間（ボルボックス系列）は単細胞性のものから「老死」と「メスとオス」を持つ複雑な体制をしたものまで様々な進化段階の生物が現存しているため、現存の生物の比較でこれらの進化が研究できる。そのために、これらの生物を採集して培養株を確立し、最先端の生物学的手法を用いた研究が進展している。この授業では、このような「老死」と「メスとオス」に関連する多様性と進化を緑藻類のボルボックス系列に着目して理解することを目的とする。このためには自然界に生育するボルボックスの仲間をどのように採集して培養株とするか、ボルボックス系列の生物がどのようなものかを理解する必要がある。また、老死とメス・オスの進化は「多細胞化」に関連しており、ボルボックス系列を用いた多細胞化に関連する研究も紹介する。ヒトの様な多細胞の動物が進化した 10 億年以上も昔の我々の祖先が「老死」も「メスとオス」もないものであったかという歴史があるが、直接的に探れない。しかし、ボルボックスの仲間を用いた研究からこの歴史が推測できることを理解してもらいたい。随時、関連する野崎の緑藻ボルボックスの仲間の研究内容も紹介する。

### 【到達目標】

ヒトの一生で避けることのできない重大な 2 個の過程、「メスとオスの出会い」と「老死」が太古の祖先の多細胞生物に進化する段階で獲得されたものであり、これらを持たない単細胞生物が現存することを理解する。さらに、性（sex）進化と多細胞化の研究のモデル生物群である緑藻ボルボックスの仲間（ボルボックス系列）に焦点をあててこれらの 2 個の進化に関連する研究内容を紹介するが、基本的にボルボックス系列がどのような生物であるか、さらにこれらの生物のフィールドでの採集と実験室における培養株の確立の方法も理解する。また、ボルボックス系列の代表的な種の全ゲノム情報は公開されているので、ゲノム情報はインターネットを通じて無償で調査することができる。従って、着目する生物に目的の遺伝子があるかどうか検索する基本的な手法についても学ぶ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

### 【授業の進め方と方法】

基本的に講義室でオンサイト（対面）の授業を進める。随時、質疑応答を行い、学生諸君が積極的に授業に参加できるようにする。授業の最後に課題を出し、授業内容理解の向上を目指す。課題と同時に授業に関する質問やコメントの提出を求める。

課題、質問、コメント等に対するフィードバックは次回の授業で行う。

### 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

### 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

### 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	メスとオスの出会いと老死	メスとオスの出会いと老死、それらの存在意義を解説する。
2	メスとオスの差も老死もない単細胞生物	メスとオスの差も老死もない単細胞生物であるクラミドモナスを解説する。
3	メスとオスの差と老死が認められる多細胞生物ボルボックス	ボルボックスにおけるメスとオスの差と老死を解説する。ここで性（sex）と雌雄は異なるものであることも理解してもらいます。
4	性進化と多細胞化研究のモデル生物群ボルボックス系列、世界最小の多細胞生物”シアワセモ”	ボルボックス系列の生物がどのようなものかについて解説する。また、世界最小の多細胞生物シアワセモも紹介します。
5	多細胞化と老死の不一致、“永遠の命”を得た多細胞生物ボルボックス	ボルボックス系列を用いて多細胞化と老死の進化は一致しないことを解説する。また、老死細胞を決定する遺伝子を失ったボルボックスの突然変異体を紹介します。
6	性（sex）と雌雄性	性（sex）と雌雄性（メスとオスに分化すること）は異なる概念であることをボルボックス系列を用いて説明する。
7	メスとオスの未分化な生物からメスとオスの明瞭な生物への進化の鍵遺伝子“OTOKOGI”	ボルボックスの仲間における雌雄性の進化の鍵遺伝子”OTOKOGI”の発見の経緯について解説する。ボルボックス系列におけるフィールド調査と培養株の確立についても紹介します。
8	琵琶湖のフィールド調査から始まったボルボックスの性の多様性進化	琵琶湖のフィールド調査から始まったボルボックスの性の多様性と進化の研究を解説する。
9	熱帯に未知なるボルボックス系列を求めて	熱帯、特にタイとアフリカにおけるボルボックス系列のフィールド調査とその研究成果を解説します。
10	再び相模湖・津久井湖に戻る	3種類の性表現型をもつ生物種（トリオシー）について、神奈川県相模湖・津久井湖における藻類のトリオシー種の発見の経緯について解説する。
11	全ゲノム解読による多細胞化の研究	緑藻ボルボックス系列を用いた全ゲノム解読の実際と関連する多細胞化の研究成果について解説する。
12	全ゲノム解読による性進化の研究	緑藻ボルボックス系列を用いた全ゲノム解読による性進化の研究成果について解説する。
13	赤の女王仮説と性が知られていなかった原生生物における性の発見	性に関する有名な仮説「赤の女王仮説」とこれまで「性」がないと思われていた原生生物のエリ鞭毛虫（2013年）と単細胞紅藻（2022年）で「性」の存在が明らかになった研究とその進化的重要性を解説します。
14	20 億年前から存在する性とメスとオスの原型	真核生物の起源から性とメスとオスの原型が存在していた可能性について紹介する。

### 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で使う資料を学習支援システムの教材欄に事前に提示するので、十分予習すること。授業内で示した課題は、授業内容を十分復習して間違えの無いように解答すること。予習復習には 1 回の授業につき 4 時間以上かけて下さい。

### 【テキスト（教科書）】

特定の教科書は使用しない。



**【参考書】**

参考書は必要に応じて学習支援システムを通じて提示しますが、以下をダウンロードして参考にして下さい。」

[http://sourui.org/publications/sorui/list/Sourui\\_PDF/Sourui70\(1\)\\_1.pdf](http://sourui.org/publications/sorui/list/Sourui_PDF/Sourui70(1)_1.pdf)

[https://www.jstage.jst.go.jp/article/plmorphol1989/19and20/1/19and20\\_1\\_55/pdf-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/plmorphol1989/19and20/1/19and20_1_55/pdf-char/ja)

[https://www.jstage.jst.go.jp/article/plmorphol1989/19and20/1/19and20\\_1\\_55/pdf-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/plmorphol1989/19and20/1/19and20_1_55/pdf-char/ja)

**【成績評価の方法と基準】**

授業の後に課題を出す。14回の課題の評価点で成績評価を行う。1回の課題は10点満点とし、14回分合計して140点満点で成績評価を行う。

**【学生の意見等からの気づき】**

本年度から始める授業になります。

**【学生が準備すべき機器他】**

特にないが、インターネットが可能なPCがあるとゲノム情報の探索が実際に自分で行える。

**【その他の重要事項】**

授業中における質問は大歓迎であるが、授業中の私語は厳禁である。

**【Outline (in English)】**

**【Course outline】**

The life of a human being begins with the encounter between the "male" and "female," which are the parents, and after growing up, the human being repeats the same process as the parents, but the grown individual eventually meets the fate of "aging death." However, if we look at all living organisms, we find that single-celled organisms, which have a simple structure, multiply by division, so there is no "aging death" and no "male and female differentiation". Therefore, it is thought that in the early stages of life, there was a unicellular stage in which there was neither aging death or male and female differentiation, and that both appeared during the evolution of multicellular organisms. One could argue that exploring these evolutionary processes would require investigating conditions 1 to 2 billion years ago, when eukaryotes emerged, but this is not possible. However, since there are extant organisms of various evolutionary stages in the green algal group "volvocine lineage" (Volvox and its related species), ranging from unicellular ones to complex multicellular bodies with "aging death" and "male and female genders," these evolutions can be studied by comparing the extant organisms. To this end, research is progressing by collecting these organisms from natural fields, establishing culture strains, and using cutting-age biological techniques. The aim of this class is to understand such diversity and evolution related to "aging death" and "sex" by focusing on members of the volvocine lineage. For this purpose, it is necessary to understand how to collect naturally growing members of volvocine species and what kind of organisms the volvocine species are. In addition, the evolution of "aging death" and "male and female genders" is related to "multicellularity," and studies related to multicellularity using the volvocine species will also be presented. The history of our ancestors more than a billion years ago, when multicellular organisms evolved, is that they had neither "aging death" nor "male and female differentiation," but this cannot be directly explored. However, we hope you will understand that this history can be inferred from studies using organisms belonging to the volvocine lineage. From time to time, we will also introduce related studies by Nozaki's group.

**【Learning Objectives】**

We will understand that two critical processes that cannot be avoided in the human life span, "female-male encounter" and "old age and death," were acquired during the evolution of our ancient ancestors into multicellular organisms, and that unicellular organisms without these processes exist today. In addition, we will focus on the green algal group "volvocine lineage" (Volvox and its related species), which is a model organism group for the study of sex evolution and multicellularity, and introduce research related to these two evolutionary events, but we will also explain what the volvocine lineage is basically like, and how to collect these organisms in the field and establish laboratory cultures. The course will also provide an understanding of the field collection of these organisms and how to establish culture strains in the laboratory. In addition, the genome information of representative species of the volvocine lineage is publicly available, and genome information can be researched free of charge via the Internet. Therefore, students will also learn basic methods to search for the presence of target genes in the organisms of interest.

**【Learning activities outside of classroom】**

The standard preparation and review time for this class is 2 hours each. Materials to be used in class will be presented in the "Teaching Materials" section of the Learning Support System in advance, so students are expected to prepare well in advance. Students are expected to review the contents of the class and answer the assignments given in the class without making mistakes. Please spend at least 4 hours per class on preparation and review.

**【Grading Criteria /Policy】**

An assignment/inquiry will be given after each class, and grading will be based on the evaluation score of 14 assignments, each assignment is worth 10 points, and the total score for 14 assignments is 140 points.

BIO200LA

## 教養生物学 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：異なる細胞が合体して真核細胞が誕生・進化する

野崎 久義

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2023 年 4 月 3 日（月）10：00～5 日（水）17：00、結果発表は 4 月 6 日（木）22：00（予定）です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2023/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

### 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

バクテリアからヒトまで「生物」とよく言うが、両者の細胞構造は基本的に異なり、バクテリアではミトコンドリアが細胞中になく、更に植物はヒトのような動物とは異なり、細胞の中に光合成を行う葉緑体をもつ。この授業では、このような「真核細胞」内のオルガネラが「細胞内共生」という異なる生物の合体で誕生し、多様化していることへの理解を目的とする。このためには現在地球上に存在する生物の多様性と細胞内部の構造と遺伝物質 DNA の存在状態を理解する必要がある。また、オルガネラ（ミトコンドリアと葉緑体）が持つ独自の DNA とその遺伝様式を理解する。自分の体を構成する細胞に 10-20 億年前のバクテリアの「細胞内共生」という歴史がある。さらにそのバクテリアの末裔が現在でも細胞内のオルガネラとして生きていて、顕微鏡で観察することができ、オルガネラの DNA を系統解析することでその生い立ちを辿ることができることを理解してもらいたい。随時、関連する野崎の研究内容も紹介する。

### 【到達目標】

地球上に存在する多様な生物が細胞内のオルガネラのどのような基本的特徴でどのように分類されるか、オルガネラのミトコンドリアと葉緑体が「細胞内共生」で誕生したことがどのようにして分かるか、ミトコンドリアと葉緑体はどのような様式で遺伝するか、オルガネラの DNA をどのように系統解析してそれらの起源が探れるかを理解する。ミトコンドリアと葉緑体の細胞内共生による誕生は 10-20 億年前と言われているが、それから現在に至るまでに更なる細胞内共生が起きて細胞が大きく進化・多様化していること、現在でも新しい細胞内共生が起きていて生物の細胞が刻々と進化していることも理解する。生命の最小単位である細胞について、その多様性と進化史的について、理解を深める。また、現在地球上の生物の DNA・ゲノム情報はインターネットを通じて無償で入手することができ、これらの情報を取得し、系統解析する手法についても学ぶ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

### 【授業の進め方と方法】

基本的に講義室でオンサイト（対面）の授業を進める。随時、質疑応答を行い、学生諸君が積極的に授業に参加できるようにする。授業の最後に課題を出し、授業内容理解の向上を目指す。課題と同時に授業に関する質問やコメントの提出を求める。

課題、質問、コメント等に対するフィードバックは次回の授業で行う。

### 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

### 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

### 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	生物学における基本的な 3 学説の紹介	細胞説、遺伝学説、進化学説についてそれらの基本と歴史を解説する。

2	細胞の基本的な特徴と多様性および進化	生物の多様性と進化を細胞の基本的な特徴から解説する。
3	生物全体の多様性と分類	生物と呼ばれているものの多様性と大まかな分類の概要と歴史を解説する。
4	細胞内共生説：異なる起源の細胞が合体して新たな細胞が誕生する	異なる起源の細胞が合体して我々ヒトのような生物の細胞（真核細胞）が誕生したという「細胞内共生説」について解説する。
5	細胞内共生による動物や植物の細胞の起源	動物や植物の細胞内に存在するミトコンドリアと葉緑体は太古（10-20 億年前）に起きた細胞内共生に起源すると考えられている。これらを解説する。
6	細胞内に残存する太古の細胞内共生の構造的痕跡	細胞内共生を細胞内の構造から理解する。
7	細胞内共生の証拠としてのオルガネラ（ミトコンドリアと葉緑体）の DNA	オルガネラ（ミトコンドリアと葉緑体）の DNA について解説する。
8	ミトコンドリアと葉緑体の DNA の遺伝	メンデルの法則とは異なるミトコンドリアと葉緑体の DNA の遺伝様式について解説する。
9	オルガネラ DNA の系統解析でわかるオルガネラの起源	系統解析とこれを用いたオルガネラの起源の推定について説明する。
10	細胞内共生したオルガネラの起源の生物の DNA は宿主細胞（ホスト）に奪われてゆく	細胞内共生の結果誕生したオルガネラの DNA はホストの核に移動してゆく「細胞内共生遺伝子水平伝達」という現象があり、これを説明し、系統解析から理解してもらおう。
11	くり返して起きた細胞内共生	植物細胞で見られる葉緑体の 2 回目の細胞内共生は「二次共生」といい、その結果誕生した「二次植物」について解説する。
12	ミドリムシは昔紅かった	単細胞生物のミドリムシが昔は紅かったという仮説を細胞内共生から解説します。
13	現在でも進行する細胞内共生 1：他人の細胞内で生きる細菌	オルガネラではないが、動植物（真核生物）の細胞内に住み着いているバクテリア「細胞内共生細菌」について紹介する。
14	現在でも進行する細胞内共生 2：ホスト側からの捕獲	光合成する植物細胞を食べることで自分の体に入れて光合成させる単細胞生物や海産動物を紹介します。

### 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。授業で使う資料を学習支援システムの教材欄に事前に提示するので、十分予習すること。授業内で示した課題は、授業内容を十分復習して間違えの無いように解答すること。予習復習には 1 回の授業につき 4 時間以上かけて下さい。

### 【テキスト（教科書）】

特定の教科書は使用しない。

### 【参考書】

参考書は必要に応じて学習支援システムを通じて提示します。

### 【成績評価の方法と基準】

授業の後に課題を出す。14 回の課題の評価点で成績評価を行う。1 回の課題は 10 点満点とし、14 回分合計して 140 点満点で成績評価を行う。

### 【学生の意見等からの気づき】

本年度から始める授業になります。

### 【学生が準備すべき機器他】

特にないが、インターネットが可能な PC があると系統解析が実際に自分で行える。

**【その他の重要事項】**

授業中における質問は大歓迎であるが、授業中の私語は厳禁である。

**【Outline (in English)】**

**【Course outline】**

Although we often speak of "organisms" from bacteria to humans, their cellular structures are fundamentally different: bacteria do not have mitochondria in their cells. Furthermore, unlike animals such as humans, plants have chloroplasts in their cells. The purpose of this lecture is to understand that these intracellular organelles originate from "ancient endosymbiosis", which was established by the union of different organisms from 1 to 2 billion years ago. For this purpose, it is necessary to understand the diversity of organisms that currently exist on the earth, as well as the morphology inside the cell and the state and distribution of the genetic material DNA. We will also understand the unique DNA and mode of inheritance of the organelles. The cells that make up our own bodies have a history of "intracellular symbiosis" with bacteria from 1 to 2 billion years ago. Furthermore, the students should understand that the descendants of those bacteria still live as organelles in our cells, which can be observed under a microscope, and that the origin of the organelles can be traced by phylogenetic analysis of their DNA. From time to time, we will also introduce results of Nozaki's original research.

**【Learning Objectives】**

To understand how the diversity of organisms on earth can be classified by the basic characteristics of their intracellular organelles, how the mitochondria and chloroplasts of organelles came into being in "intracellular symbiosis," what mode of inheritance mitochondria and chloroplasts have, and how the DNA of organelles can be phylogenetically analyzed to find their origin. The students will also understand that further intracellular symbiosis has occurred since then and that cells have evolved and diversified greatly, and that new intracellular symbiosis is still occurring and the cells of living organisms are evolving moment by moment. Students will deepen their understanding of the cell, the smallest unit of life, and its diversity and evolutionary history. In addition, DNA and genome information on living organisms on the earth is currently available free of charge via the Internet, and students will learn about methods for obtaining this information and conducting phylogenetic analysis.

**【Learning activities outside of classroom】** The standard preparation and review time for this class is 2 hours each. Materials to be used in class will be presented in the "Teaching Materials" section of the Learning Support System in advance, so students are expected to prepare well in advance. Students are expected to review the contents of the class and answer the assignments given in the class without making mistakes. Please spend at least 4 hours per class on preparation and review.

**【Grading Criteria /Policy】**

An assignment/inquiry will be given after each class, and grading will be based on the evaluation score of 14 assignments, each assignment is worth 10 points, and the total score for 14 assignments is 140 points.

BIO200LA

## 教養生物学 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：メス・オスと老死の起源を緑藻ボルボックスの仲間から探る

野崎 久義

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2023 年 4 月 3 日（月）10：00～5 日（水）17：00、結果発表は 4 月 6 日（木）22：00（予定）です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rihuguide2023/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

我々ヒトの一生は両親にあたる「メスとオス」の出会いに始まり、成長の後また両親と同じようなことを繰り返すが、成長した個体はやがて「老死」という運命を迎える。しかし、生物全体を見渡せば単純な体制をした単細胞生物等では分裂で増殖するので「老死」もなければ「メスとオスの差異」も存在しない。従って、生命が誕生した初期では「老死」もなければ「メスとオス」の差異も存在しない単細胞の段階があり、多細胞生物に進化する段階で両者が出現したと考えられる。これらの進化を探るのには真核生物が誕生した 10-20 億年前の状況を調査する必要があるとも考えられるが、これは不可能である。しかし、緑藻類のボルボックスの仲間（ボルボックス系列）は単細胞性のもから「老死」と「メスとオス」を持つ複雑な体制をしたものまで様々な進化段階の生物が現存しているため、現在の生物の比較でこれらの進化が研究できる。そのために、これらの生物を採集して培養株を確立し、最先端の生物学的手法を用いた研究が進展している。この授業では、このような「老死」と「メスとオス」に関連する多様性と進化を緑藻類のボルボックス系列に着目して理解することを目的とする。このためには自然界に生育するボルボックスの仲間をどのように採集して培養株とするか、ボルボックス系列の生物がどのようなものかを理解する必要がある。また、老死とメス・オスの進化は「多細胞化」に関連しており、ボルボックス系列を用いた多細胞化に関連する研究も紹介する。ヒトの様な多細胞の動物が進化した 10 億年以上も昔の我々の祖先が「老死」も「メスとオス」もないものであったというという歴史があるが、直接的に探れない。しかし、ボルボックスの仲間を用いた研究からこの歴史が推測できることを理解してもらいたい。随時、関連する野崎の緑藻ボルボックスの仲間の研究内容も紹介する。

## 【到達目標】

ヒトの一生で避けることのできない重大な 2 個の過程、「メスとオスの出会い」と「老死」が太古の祖先の多細胞生物に進化する段階で獲得されたものであり、これらを持たない単細胞生物が現存することを理解する。さらに、性（sex）進化と多細胞化の研究のモデル生物群である緑藻ボルボックスの仲間（ボルボックス系列）に焦点をあててこれらの 2 個の進化に関連する研究内容を紹介するが、基本的にボルボックス系列がどのような生物であるか、さらにこれらの生物のフィールドでの採集と実験室における培養株の確立の方法も理解する。また、ボルボックス系列の代表的な種の全ゲノム情報は公開されているので、ゲノム情報はインターネットを通じて無償で調査することができる。従って、着目する生物に目的の遺伝子があるかどうかを検索する基本的な手法についても学ぶ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

基本的に講義室でオンサイト（対面）の授業を進める。随時、質疑応答を行い、学生諸君が積極的に授業に参加できるようにする。授業の最後に課題を出し、授業内容理解の向上を目指す。課題と同時に授業に関する質問やコメントの提出を求める。

課題、質問、コメント等に対するフィードバックは次の授業で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	メスとオスの出会いと老死	メスとオスの出会いと老死、それらの存在意義を解説する。
2	メスとオスの差も老死もない単細胞生物	メスとオスの差も老死もない単細胞生物であるクラミドモナスを解説する。
3	メスとオスの差と老死が認められる多細胞生物ボルボックス	ボルボックスにおけるメスとオスの差と老死を解説する。ここで性（sex）と雌雄は異なるものであることも理解してもらいます。
4	性進化と多細胞化研究のモデル生物群ボルボックス系列、世界最小の多細胞生物”シアワセモ”	ボルボックス系列の生物がどのようなものかについて解説する。また、世界最小の多細胞生物シアワセモも紹介します。
5	多細胞化と老死の不一致、“永遠の命”を得た多細胞生物ボルボックス	ボルボックス系列を用いて多細胞化と老死の進化は一致しないことを解説する。また、老死細胞を決定する遺伝子を失ったボルボックスの突然変異体を紹介します。
6	性（sex）と雌雄性	性（sex）と雌雄性（メスとオスに分化すること）は異なる概念であることをボルボックス系列を用いて説明する。
7	メスとオスの未分化な生物からメスとオスの明瞭な生物への進化の鍵遺伝子“OTOKOGI”	ボルボックスの仲間における雌雄性の進化の鍵遺伝子”OTOKOGI”の発見の経緯について解説する。ボルボックス系列におけるフィールド調査と培養株の確立についても紹介します。
8	琵琶湖のフィールド調査から始まったボルボックスの性の多様性進化	琵琶湖のフィールド調査から始まったボルボックスの性の多様性進化の研究を解説する。
9	熱帯に未知なるボルボックス系列を求めて	熱帯、特にタイとアフリカにおけるボルボックス系列のフィールド調査とその研究成果を解説します。
10	再び相模湖・津久井湖に戻る	3 種類の性表現型をもつ生物種（トリオシー）について、神奈川県相模湖・津久井湖における藻類のトリオシー種の発見の経緯について解説する。
11	全ゲノム解読による多細胞化の研究	緑藻ボルボックス系列を用いた全ゲノム解読の実際と関連する多細胞化の研究成果について解説する。
12	全ゲノム解読による性進化の研究	緑藻ボルボックス系列を用いた全ゲノム解読による性進化の研究成果について解説する。
13	赤の女王仮説と性が知られていなかった原生生物における性の発見	性に関する有名な仮説「赤の女王仮説」とこれまで「性」がなかったと思われていた原生生物のエリ鞭毛虫（2013 年）と単細胞紅藻（2022 年）で「性」の存在が明らかになった研究とその進化的重要性を解説します。
14	20 億年前から存在する性とメスとオスの原型	真核生物の起源から性とメスとオスの原型が存在していた可能性について紹介する。

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

授業で使う資料を学習支援システムの教材欄に事前に提示するので、十分予習すること。授業内で示した課題は、授業内容を十分復習して間違えの無いように解答すること。予習復習には1回の授業につき4時間以上かけて下さい。

**【テキスト（教科書）】**

特定の教科書は使用しない。

**【参考書】**

参考書は必要に応じて学習支援システムを通じて提示しますが、以下をダウンロードして参考にして下さい。」

[http://sourui.org/publications/sorui/list/Sourui\\_PDF/Sourui70\(1\)\\_1.pdf](http://sourui.org/publications/sorui/list/Sourui_PDF/Sourui70(1)_1.pdf)

[https://www.jstage.jst.go.jp/article/plmorphol1989/19and20/1/19and20\\_1\\_55/pdf-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/plmorphol1989/19and20/1/19and20_1_55/pdf-char/ja)

**【成績評価の方法と基準】**

授業の後に課題を出す。14回の課題の評価点で成績評価を行う。1回の課題は10点満点とし、14回分合計して140点満点で成績評価を行う。

**【学生の意見等からの気づき】**

本年度から始める授業になります。

**【学生が準備すべき機器他】**

特にないが、インターネットが可能なPCがあるとゲノム情報の探索が実際に自分で行える。

**【その他の重要事項】**

授業中における質問は大歓迎であるが、授業中の私語は厳禁である。

**【Outline (in English)】**

**【Course outline】**

The life of a human being begins with the encounter between the "male" and "female," which are the parents, and after growing up, the human being repeats the same process as the parents, but the grown individual eventually meets the fate of "aging death." However, if we look at all living organisms, we find that single-celled organisms, which have a simple structure, multiply by division, so there is no "aging death" and no "male and female differentiation". Therefore, it is thought that in the early stages of life, there was a unicellular stage in which there was neither aging death or male and female differentiation, and that both appeared during the evolution of multicellular organisms. One could argue that exploring these evolutionary processes would require investigating conditions 1 to 2 billion years ago, when eukaryotes emerged, but this is not possible. However, since there are extant organisms of various evolutionary stages in the green algal group "volvocine lineage" (Volvox and its related species), ranging from unicellular ones to complex multicellular bodies with "aging death" and "male and female genders," these evolutions can be studied by comparing the extant organisms. To this end, research is progressing by collecting these organisms from natural fields, establishing culture strains, and using cutting-age biological techniques. The aim of this class is to understand such diversity and evolution related to "aging death" and "sex" by focusing on members of the volvocine lineage. For this purpose, it is necessary to understand how to collect naturally growing members of volvocine species and what kind of organisms the volvocine species are. In addition, the evolution of "aging death" and "male and female genders" is related to "multicellularity," and studies related to multicellularity using the volvocine species will also be presented. The history of our ancestors more than a billion years ago, when multicellular organisms evolved, is that they had neither "aging death" nor "male and female differentiation," but this cannot be directly explored. However, we hope you will understand that this history can be inferred from studies using organisms belonging to the volvocine lineage. From time to time, we will also introduce related studies by Nozaki's group.

**【Learning Objectives】**

We will understand that two critical processes that cannot be avoided in the human life span, "female-male encounter" and "old age and death," were acquired during the evolution of our ancient ancestors into multicellular organisms, and that unicellular organisms without these processes exist today. In addition, we will focus on the green algal group "volvocine lineage" (Volvox and its related species), which is a model organism group for the study of sex evolution and multicellularity, and introduce research related to these two evolutionary events, but we will also explain what the volvocine lineage is basically like, and how to collect these organisms in the field and establish laboratory cultures. The course will also provide an understanding of the field collection of these organisms and how to establish culture strains in the laboratory. In addition, the genome information of representative species of the volvocine lineage is publicly available, and genome information can be researched free of charge via the Internet. Therefore, students will also learn basic methods to search for the presence of target genes in the organisms of interest.

**【Learning activities outside of classroom】**

The standard preparation and review time for this class is 2 hours each. Materials to be used in class will be presented in the "Teaching Materials" section of the Learning Support System in advance, so students are expected to prepare well in advance. Students are expected to review the contents of the class and answer the assignments given in the class without making mistakes. Please spend at least 4 hours per class on preparation and review.

**【Grading Criteria /Policy】**

An assignment/inquiry will be given after each class, and grading will be based on the evaluation score of 14 assignments, each assignment is worth 10 points, and the total score for 14 assignments is 140 points.

BIO200LA

## 教養生物学 L C

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

町田 郁子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2023 年 4 月 3 日 (月) 10 : 00~5 日 (水) 17 : 00、結果発表は 4 月 6 日 (木) 22 : 00 (予定) です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2023/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業は、『命とはなにか?』という問いをテーマに掲げて、生物学の立場から生物に共通する生命機能に対する理解を深め、命について考えることを目的として展開します。地球上に存在する多種多様な生物は、すべて細胞から構成されており、生物の遺伝形質は細胞内に収納されている遺伝子によって決定されています。この、細胞・遺伝子について学ぶことによって、「生命はなにからできているのか?」、「命はどのようにしてこの世に誕生するのか?」、「なぜ病気になるのか?」などの問いに対する答えを見つけていきます。また、この非常に複雑で精巧な生命のしくみに手を加える技術が近年急速に発展していますが、再生医療等の分野へどのように応用されているのか、またどのような倫理的課題をもたらしているのかについても考えます。

## 【到達目標】

生命現象を理解する上で必要とされる知識を会得し、命のしくみについて理解を深めるとともに、命というものの存在意義について自分なりの考えを持てるようになることを目標とします。また、頭の中で理解した事柄や自身の考えを、自分の言葉として発信して人に伝える力を高めることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業形態は、対面です。ただし、初回を含めて一部オンライン授業となります。

授業は、パワーポイント資料やビデオ映像等を用いた講義形式で行います。

授業は、生物学初学者でも理解できるように展開します。

課題等の提出・フィードバックは、授業時間内もしくは「学習支援システム」にて行う予定です。

授業に関する種々の連絡事項は「学習支援システム」の『お知らせ』に掲載しますので、随時ご確認ください。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方についてのガイダンスおよび授業のテーマに関する導入。
第 2 回	命ある生物とは?	命ある生物とはどんな特徴をもつのか、そしてその生物を対象とする生物学とはどんな学問なのかについて概説します。

第 3 回	命の材料とは?	生物体はどんな物質からできているのか、そして生命の最小単位である細胞とはなにかについて概説します。
第 4 回	命の設計図とは?	生命活動を営むための情報をもつ DNA とはどのような働きをしているのかについて、その構造および複製のしくみ、また遺伝情報に基づいてタンパク質が作られるしくみを概説します。
第 5 回	命をつくる細胞の一生とは?	細胞の分裂や分化のしくみ、また細胞死やがん化について概説します。
第 6 回	命の誕生とは?	命はどのようにして誕生するのかについて、ひとつの受精卵から個体が形成されるまでの過程を、細胞の分裂・分化に着目しながら概説します。
第 7 回	命の要、タンパク質とは?	生体内において様々な役割を担うタンパク質の構造や機能について概説します。
第 8 回	命を支える細胞膜の機能とは?	生命活動に欠かせない細胞の機能について、細胞膜に発現している種々のタンパク質の働きに着目して概説します。
第 9 回	命を守るしくみとは?	体内に侵入した異物に対する防御のシステムについて概説します。
第 10 回	命のしくみを利用した新しい医療とは?	細胞・遺伝子を扱う技術を用いた新たな治療法である再生医療について概説します。
第 11 回	命に手を加えるとは?	生命科学分野の技術発展がもたらす倫理的課題について、歴史的背景とともに、実験動物の扱いや、遺伝子・幹細胞に関する技術などを例にあげながら概説します。
第 12 回	命を操作する技術とは?	細胞・遺伝子を利用した研究の実情について概説します。
第 13 回	命とはなにか?	授業で扱った各回の内容を振り返り、個々の事柄の結びつきを考えながら整理し直すことによって、本授業のテーマに対する考察を深めます。
第 14 回	授業のまとめ・試験	最終回に授業のまとめをして、試験を実施します。

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。授業は、基礎的な事項からスタートして土台を作り上げてゆくことにより、徐々に複雑な内容の理解が可能となるように構成されています。そのため、毎回の授業内容をしっかり復習して、不明点をなくした状態で翌週の授業に臨むようにしてください。また、新聞等で日々とりあげられる生物学に関する事柄をチェックすることにより、授業で学ぶ内容をより深く理解するように心がけてください。

## 【テキスト (教科書)】

テキストは使用しません。

## 【参考書】

必要に応じてお知らせします。

## 【成績評価の方法と基準】

授業時に提出する課題 (50%) および期末試験 (50%)。

## 【学生の意見等からの気づき】

生物学に関する事柄を、できるだけ身近に感じられるように、理解しやすく整理して教えるように努めます。

## 【Outline (in English)】

(Course outline)

This course introduces the basis of biological science, focusing on the principle of life. The aim of this course is to help students acquire an understanding of the mechanism of life phenomenon. Lectures will also discuss current technologies related to cells and genes.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to acquire the knowledge necessary to understand life phenomena, to have your own ideas about the significance of life, and to improve your ability to communicate what you have learned and your own ideas to others.

(Learning activities outside of classroom)

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

(Grading Criteria /Policy)

The final grade will be determined as follows: Short tests to be submitted in class (50%) and term-end exam (50%).

BIO200LA

## 教養生物学 L D

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

町田 郁子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：2 単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。抽選エントリー期間は 2023 年 4 月 3 日 (月) 10 : 00~5 日 (水) 17 : 00、結果発表は 4 月 6 日 (木) 22 : 00 (予定) です。履修ガイド (<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2023/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業は、『人間とはなにか?』という問いをテーマに掲げて、地球上に存在する多種多様な生物の関係性について理解を深め、その中でヒトの特徴について生物学の立場から考えることを目的として展開します。地球上に生息するすべての生物は、自らを取り巻く環境と相互作用することにより生命活動を営んでおり、私たちヒトも例外ではありません。自分自身を知るためにも、まずは自分がどのような環境でどのようなものに囲まれて生きているのかを知る必要があるでしょう。「どうして地球上にはたくさんの種類の生物がいるのか?」、「ヒトと他の動物にはどんな共通点・相違点があるのか?」などの問いに対する答えを探りながら、ヒト (皆さん自身) が地球環境の中で他の生物と共生していくとはどのようなことなのかについて様々な側面から考えます。

## 【到達目標】

ヒトを含めた地球上の多種多様な生物に関する知識を会得し、生物と周囲の環境との関係性について理解を深めるとともに、ヒト (自分自身) のあり方について自分なりの考えを持てるようになることを目標とします。

また、頭の中で理解した事柄や自身の考えを、自分の言葉として発信して人に伝える力を高めることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業形態は、対面です。ただし、初回を含めて一部オンライン授業となります。

授業は、パワーポイント資料やビデオ映像等を用いた講義形式で行います。

授業は、生物学初学者でも理解できるように展開します。

課題等の提出・フィードバックは、授業時間内もしくは「学習支援システム」にて行う予定です。

授業に関する種々の連絡事項は「学習支援システム」の『お知らせ』に掲載しますので、随時ご確認ください。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】なし/No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方についてのガイダンスおよび授業のテーマに関する導入。
第 2 回	多種多様な生物とは?	地球上にはどれほどの種の生物が存在し、どのような特徴をもつのかについて、動物の分類方法を学びながら概説します。

第 3 回	生態系の中のヒトとは?	地球上の多くの生物がどのような関係性の上に存在しているのかについて、ヒトの関わりをふれながら概説します。
第 4 回	生物と地球環境のつながりとは?	ヒトを含めた全ての生物を構成している物質とは何なのか、またそれらの物質と地球環境とはどのような関わりをもつのかについて概説します。
第 5 回	生物、そしてヒトの起源とは?	地球上に生命が誕生した背景、そして生物の進化とヒトの誕生について概説します。
第 6 回	進化学とは?	ヒトはどのようにして生物の進化の謎をひも解いてきたのかについて、進化学分野の研究手法等を概説します。
第 7 回	行動の進化とは?	生物の行動と進化の関係について、また進化論がヒトの社会にどのような影響を及ぼしてきたかについて概説します。
第 8 回	生物の行動にみられる特徴とは?	ヒトを含めた生物の様々な行動が引き起こされるしくみや意味について概説します。
第 9 回	種の存続とは?	生物のオスとメスの特性、また種の存続に際しヒトを含む様々な生物の配偶者選びにはどのような特徴があるのかについて概説します。
第 10 回	ヒトによる動物の家畜化とは?	地球上に存在する動物の中で、ヒトの管理下で生きる家畜化された動物に着目し、ヒトと動物の関わりについて概説します。
第 11 回	ヒトの動物観とは?	ヒトは他の動物をどのように見てきたのか、そしてヒトと他の動物の共生とはどのようなことなのかについて概説します。
第 12 回	ヒトの食とは?	自然界にある「食う・食われる」という関係の中で、現代のヒトは他の生物をどのように食しているのか、命を食べるとはどのようなことなのかについて概説します。
第 13 回	人間とはなにか?	授業で扱った各回の内容を振り返り、個々の事柄の結びつきを考えながら整理し直すことによって、本授業のテーマに対する考察を深めます。
第 14 回	授業のまとめ・試験	最終回に授業のまとめをして、試験を実施します。

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

授業は、基礎的な事項からスタートして土台を作り上げてゆくことにより、徐々に複雑な内容の理解が可能となるように構成されています。そのため、毎回の授業内容をしっかり復習して、不明点をなくした状態で翌週の授業に臨むようにしてください。また、新聞等で日々とりあげられる生物学に関する事柄をチェックすることにより、授業で学ぶ内容をより深く理解するように心がけてください。

## 【テキスト (教科書)】

テキストは使用しません。

## 【参考書】

必要に応じてお知らせします。

## 【成績評価の方法と基準】

授業時に提出する課題 (50%) および期末試験 (50%)。

## 【学生の意見等からの気づき】

生物学に関する事柄を、できるだけ身近に感じられるように、理解しやすく整理して教えるように努めます。

## 【Outline (in English)】

(Course outline)



This course introduces the basis of biological science, focusing on biodiversity. The aim of this course is to help students acquire an understanding of the characteristics of human beings compared to other living things. Lectures will also discuss harmonious symbiosis of nature and humans from many points of view.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to acquire knowledge about biodiversity, to develop your own ideas about how humans should live, and to improve your ability to communicate what you have learned and your own ideas to others.

(Learning activities outside of classroom)

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

(Grading Criteria /Policy)

The final grade will be determined as follows: Short tests to be submitted in class (50%) and term-end exam (50%).

BIO200LA

## 教養生物学 L C

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

町田 郁子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、『命とはなにか?』という問いをテーマに掲げて、生物学の立場から生物に共通する生命機能に対する理解を深め、命について考えることを目的として展開します。地球上に存在する多種多様な生物は、すべて細胞から構成されており、生物の遺伝形質は細胞内に収納されている遺伝子によって決定されています。この、細胞・遺伝子について学ぶことによって、「生命はなにかからできているのか?」、「命はどのようにしてこの世に誕生するのか?」、「なぜ病気になるのか?」などの問いに対する答えを見つけていきます。また、この非常に複雑で精巧な生命のしくみに手を加える技術が近年急速に発展していますが、再生医療等の分野へどのように応用されているのか、またどのような倫理的課題をもたらししているのかについても考えます。

## 【到達目標】

生命現象を理解する上で必要とされる知識を会得し、命のしくみについて理解を深めるとともに、命というものの存在意義について自分なりの考えを持てるようになることを目標とします。

また、頭の中で理解した事柄や自身の考えを、自分の言葉として発信して人に伝える力を高めることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業形態は、対面です。ただし、初回を含めて一部オンライン授業となります。

授業は、パワーポイント資料やビデオ映像等を用いた講義形式で行います。

授業は、生物学初学者でも理解できるように展開します。

課題等の提出・フィードバックは、授業時間内もしくは「学習支援システム」にて行う予定です。

授業に関する種々の連絡事項は「学習支援システム」の『お知らせ』に掲示しますので、随時ご確認ください。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方についてのガイダンスおよび授業のテーマに関する導入。
第 2 回	命ある生物とは？	命ある生物とはどんな特徴をもつのか、そしてその生物を対象とする生物学とはどんな学問なのかについて概説します。
第 3 回	命の材料とは？	生物体はどんな物質からできているのか、そして生命の最小単位である細胞とはなにかについて概説します。

第 4 回	命の設計図とは？	生命活動を営むための情報をもつ DNA とはどのような働きをしているのかについて、その構造および複製のしくみ、また遺伝情報に基づいてタンパク質が作られるしくみを概説します。
第 5 回	命をつくる細胞の一生とは？	細胞の分裂や分化のしくみ、また細胞死やがん化について概説します。
第 6 回	命の誕生とは？	命はどのようにして誕生するのかについて、ひとつの受精卵から個体が形成されるまでの過程を、細胞の分裂・分化に着目しながら概説します。
第 7 回	命の要、タンパク質とは？	生体内において様々な役割を担うタンパク質の構造や機能について概説します。
第 8 回	命を支える細胞膜の機能とは？	生命活動に欠かせない細胞の機能について、細胞膜に発現している種々のタンパク質の働きに着目して概説します。
第 9 回	命を守るしくみとは？	体内に侵入した異物に対する防御のシステムについて概説します。
第 10 回	命のしくみを利用した新しい医療とは？	細胞・遺伝子を扱う技術を用いた新たな治療法である再生医療について概説します。
第 11 回	命に手を加えるとは？	生命科学分野の技術発展がもたらす倫理的課題について、歴史的背景とともに、実験動物の扱いや、遺伝子・幹細胞に関する技術などを例にあげながら概説します。
第 12 回	命を操作する技術とは？	細胞・遺伝子を利用した研究の実情について概説します。
第 13 回	命とはなにか？	授業で扱った各回の内容を振り返り、個々の事柄の結びつきを考えながら整理し直すことによって、本授業のテーマに対する考察を深めます。
第 14 回	授業のまとめ・試験	最終回に授業のまとめをして、試験を実施します。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

授業は、基礎的な事項からスタートして土台を作り上げてゆくことにより、徐々に複雑な内容の理解が可能となるように構成されています。そのため、毎回の授業内容をしっかり復習して、不明点をなくした状態で翌週の授業に臨むようにしてください。また、新聞等で日々とりあげられる生物学に関する事柄をチェックすることにより、授業で学ぶ内容をより深く理解するように心がけてください。

## 【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。

## 【参考書】

必要に応じてお知らせします。

## 【成績評価の方法と基準】

授業時に提出する課題（50%）および期末試験（50%）。

## 【学生の意見等からの気づき】

生物学に関する事柄を、できるだけ身近に感じられるように、理解しやすく整理して教えるように努めます。

## 【Outline (in English)】

## (Course outline)

This course introduces the basis of biological science, focusing on the principle of life. The aim of this course is to help students acquire an understanding of the mechanism of life phenomenon. Lectures will also discuss current technologies related to cells and genes.

## (Learning Objectives)

The goals of this course are to acquire the knowledge necessary to understand life phenomena, to have your own ideas about the significance of life, and to improve your ability to communicate what you have learned and your own ideas to others.

(Learning activities outside of classroom)

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

(Grading Criteria /Policy)

The final grade will be determined as follows: Short tests to be submitted in class (50%) and term-end exam (50%).

BIO200LA

## 教養生物学 L D

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

町田 郁子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、『人間とはなにものか?』という問いをテーマに掲げて、地球上に存在する多種多様な生物の関係性について理解を深め、その中でヒトの特徴について生物学の立場から考えることを目的として展開します。地球上に生息するすべての生物は、自らを取り巻く環境と相互作用することにより生命活動を営んでおり、私たちヒトも例外ではありません。自分自身を知るためにも、まずは自分がどのような環境でどのようなものに囲まれて生きているのかを知る必要があるでしょう。「どうして地球上にはたくさんの種類の生物がいるのか?」、「ヒトと他の動物にはどんな共通点・相違点があるのか?」などの問いに対する答えを探りながら、ヒト（皆さん自身）が地球環境の中で他の生物と共生していくとはどのようなことなのかについて様々な側面から考えます。

## 【到達目標】

ヒトを含めた地球上の多種多様な生物に関する知識を会得し、生物と周囲の環境との関係性について理解を深めるとともに、ヒト（自分自身）のあり方について自分なりの考えを持てるようになることを目標とします。

また、頭の中で理解した事柄や自身の考えを、自分の言葉として発信して人に伝える力を高めることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業形態は、対面です。ただし、初回を含めて一部オンライン授業となります。

授業は、パワーポイント資料やビデオ映像等を用いた講義形式で行います。

授業は、生物学初学者でも理解できるように展開します。

課題等の提出・フィードバックは、授業時間内もしくは「学習支援システム」にて行う予定です。

授業に関する種々の連絡事項は「学習支援システム」の『お知らせ』に掲載しますので、随時ご確認ください。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方についてのガイダンスおよび授業のテーマに関する導入。
第 2 回	多種多様な生物とは?	地球上にはどれほどの種の生物が存在し、どのような特徴をもつのかについて、動物の分類方法を学びながら概説します。
第 3 回	生態系の中のヒトとは?	地球上の多くの生物がどのような関係性の上に存在しているのかについて、ヒトの関わりについて概説します。

第 4 回	生物と地球環境のつながりとは?	ヒトを含めた全ての生物を構成している物質とは何なのか、またそれらの物質と地球環境とはどのような関わりをもつのかについて概説します。
第 5 回	生物、そしてヒトの起源とは?	地球上に生命が誕生した背景、そして生物の進化とヒトの誕生について概説します。
第 6 回	進化学とは?	ヒトはどのようにして生物の進化の謎をひも解いてきたのかについて、進化学分野の研究手法等を概説します。
第 7 回	行動の進化とは?	生物の行動と進化の関係について、また進化論がヒトの社会にどのような影響を及ぼしてきたかについて概説します。
第 8 回	生物の行動にみられる特徴とは?	ヒトを含めた生物の様々な行動が引き起こされるしくみや意味について概説します。
第 9 回	種の存続とは?	生物のオスとメスの特性、また種の存続に際しヒトを含む様々な生物の配偶者選びにはどのような特徴があるのかについて概説します。
第 10 回	ヒトによる動物の家畜化とは?	地球上に存在する動物の中で、ヒトの管理下で生きる家畜化された動物に着目し、ヒトと動物の関わりについて概説します。
第 11 回	ヒトの動物観とは?	ヒトは他の動物をどのように見てきたのか、そしてヒトと他の動物の共生とはどのようなことなのかについて概説します。
第 12 回	ヒトの食とは?	自然界にある「食う・食われる」という関係の中で、現代のヒトは他の生物をどのように食しているのか、命を食べるとはどのようなことなのかについて概説します。
第 13 回	人間とはなにものか?	授業で扱った各回の内容を振り返り、個々の事柄の結びつきを考えながら整理し直すことによって、本授業のテーマに対する考察を深めます。
第 14 回	授業のまとめ・試験	最終回に授業のまとめをして、試験を実施します。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

授業は、基礎的な事項からスタートして土台を作り上げてゆくことにより、徐々に複雑な内容の理解が可能となるように構成されています。そのため、毎回の授業内容をしっかり復習して、不明点をなくした状態で翌週の授業に臨むようにしてください。また、新聞等で日々とりあげられる生物学に関する事柄をチェックすることにより、授業で学ぶ内容をより深く理解するように心がけてください。

## 【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。

## 【参考書】

必要に応じてお知らせします。

## 【成績評価の方法と基準】

授業時に提出する課題（50%）および期末試験（50%）。

## 【学生の意見等からの気づき】

生物学に関する事柄を、できるだけ身近に感じられるように、理解しやすく整理して教えるように努めます。

## 【Outline (in English)】

## (Course outline)

This course introduces the basis of biological science, focusing on biodiversity. The aim of this course is to help students acquire an understanding of the characteristics of human beings compared to other living things. Lectures will also discuss harmonious symbiosis of nature and humans from many points of view.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to acquire knowledge about biodiversity, to develop your own ideas about how humans should live, and to improve your ability to communicate what you have learned and your own ideas to others.

(Learning activities outside of classroom)

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

(Grading Criteria /Policy)

The final grade will be determined as follows: Short tests to be submitted in class (50%) and term-end exam (50%).

CHM200LA

**教養化学 L A**

2017 年度以降入学者

サブタイトル：エネルギーの科学

向井 知大

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

物質の変化には、エネルギーの出入りが伴います。社会や生命はこれらを上手に利用することで活動しています。エネルギーを題材にして身の回りの現象や物質について理解を深め、現在の我々の生活を支えている技術に対する興味を持って下さい。

**【到達目標】**

エネルギーについて原子核や電子の振る舞いをもとに理解し、科学的な思考で物事を説明する能力を高めることを目標とします。エネルギー問題に関する近年の話題について、自分なりの考察ができるようになることを目標にして下さい。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

資料をプロジェクトで投影して解説していきます。投影する資料と簡単な解説文の pdf ファイルを授業支援システムにアップロードする予定です。

高校などにおける理系科目の履修の有無にかかわらず理解できるように進めます。

授業毎に出題する正誤問題や質問について、次回授業冒頭で解説をします。

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**

なし / No

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし / No

**【授業計画】 授業形態：対面/face to face**

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	講義計画と概要についての説明
第 2 回	エネルギーの基礎	エネルギーの定義やエネルギー変換についての概説
第 3 回	電子の発見	ふたつの原子を結びつける電子の働きについて
第 4 回	電子と電気	電磁誘導と発電機の仕組みについて
第 5 回	同位体と原子の壊変	原子核の壊変と放射線について
第 6 回	原子力発電	核分裂連鎖反応について
第 7 回	原子爆弾と核融合	ウラン濃縮や臨界について
第 8 回	光と電子のエネルギー	電磁波の性質と光子仮説について
第 9 回	化学結合のエネルギー	化学結合が形成されるしくみと、物質の持つエネルギーについて
第 10 回	有機化合物	炭素原子を含む化学物質の構造
第 11 回	エネルギー物質	燃焼によって発生するエネルギーと、爆薬の化学構造、爆発事故について
第 12 回	燃料電池	水素分子と酸素分子から得られるエネルギーについて
第 13 回	元素の循環	物質変化に伴うエネルギーの吸収と放出について
第 14 回	まとめ	これまでの内容の復習

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

講義の内容に関連すると考えられる現象や用語について、各自が興味を持って書籍や Web 検索などで調査してみてください。本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

**【テキスト（教科書）】**

使用しません。授業毎に資料を配布します。

**【参考書】**

使用しません。

**【成績評価の方法と基準】**

学習支援システムに毎回 5 問程度の正誤問題を出题します。この成績を平常点とします（配分 40%）。期末試験の結果（配分 60%）と平常点をあわせて成績評価します。

**【学生の意見等からの気づき】**

化学の学習に不安を持つ学生のために、高校の学習範囲を予備知識として必要としない内容を心掛けています。また、高校で理系科目を多く履修した人も気づきが得られるように、なるべく身の回りの現象を題材にしています。今年度は、学生自身の手を動かす機会を増やすように考えています。

**【Outline (in English)】**

This course introduces fundamental principles of familiar natural phenomena. The goals of this course are to understand about energy and to improve your scientific literacy.

Your required study time is at least two hours for each class meeting.

Your overall grade in the class will be decided based on the usual performance score (40%) and term-end examination (60%).

CHM200LA

## 教養化学 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：エネルギーと化学

中島 弘一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業ではエネルギーと環境をテーマに、エネルギーを作り出す仕組みとそれに伴う環境問題について取り上げます。

原子の構造から放射能や原子力を学び、化学結合からなぜ燃えると熱が発生するのか、太陽電池や燃料電池も原子や分子の中の電子の動きで理解することができます。

原子力は事故があったときの放射能漏れだけが問題なのではありません。温室効果ガスと地球温暖化の関係も理解しておく必要があります。太陽電池や燃料電池もそのメリット、デメリットを知っておく必要があります。社会の一員として今後のエネルギー利用を、問題点を理解したうえで、自らが適切に判断できる理解力を養います。

## 【到達目標】

原子力エネルギーとは何か、利用に際してどういう問題があるのかという知識が身につく。石油や石炭を燃やしてどのように電気に変換されるのか？温暖化とどうリンクしているのかを理解できる。自然エネルギーが抱える問題点とは何か？水素を利用した燃料電池の特徴に関する知識が得られる。また、個々のエネルギー源が現状抱えている課題を知識として得ることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

エネルギーに関して化学の基礎から講義形式で解説し、あわせて社会的な問題も考察したいと考えています。原則として教室での対面授業とし、必要に応じてリアルタイムでの Zoom 配信も行う予定です。なお、毎回、理解度を確認する目的で簡単な課題を出します。課題の解説は翌週の講義の中で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	化学の基礎（1）	原子の構造と電子配置について振り返ります。
第 2 回	化学の基礎（2）	原子量と質量数、モルの考え方を理解します。
第 3 回	原子力エネルギーとその源は何か	質量がエネルギーに変換されること、どういう核変化がエネルギーを生み出すのかを学びます。
第 4 回	放射能とは何か	どういう物質が放射能を持つのか、放射能の特質と核分裂反応との関係性を学びます。
第 5 回	放射能の人体に与える影響について	過去に日本や海外で起こった原子力関連の事故を振り返り、人体への影響を学びます。
第 6 回	原子力発電の構造と種類	原子力発電の構造を理解し、その特徴を学びます。
第 7 回	原子力の問題点	プルトニウムやその他の放射性廃棄物の処理について考察します。
第 8 回	化石燃料の種類と分子構造の違い	石油、石炭、天然ガスの特徴を学びます。

第 9 回 燃焼による発熱の仕組み  
共有結合の考え方、酸素との反応によるエネルギーの発生の仕組みを学びます。

第 10 回 化石燃料の問題点  
化石燃料の利用に伴う問題点（二酸化炭素による温暖化を含む）を考察します。

第 11 回 既存のエネルギーシステムの問題点  
原子力、火力、水力発電のエネルギー変換効率の低さや電力の貯蔵が難しいなどその問題点を整理します。

第 12 回 自然エネルギーの利用と問題点  
太陽光、風力、地熱発電などの自然エネルギーの特徴を学びます。

第 13 回 水素エネルギーと燃料電池  
エネルギー源として水素の利用に伴う問題点を学びます。

第 14 回 まとめ  
授業全体の振り返りを行う。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。テーマや内容に記載のある項目について、中学校や高校の教科書の関連のあるところを復習してくるとともに、インターネットでの検索によって事前に学習する。

## 【テキスト（教科書）】

授業内で適宜プリントを配布します。

## 【参考書】

この分野は日々新しい技術が生まれていて、適当な書籍は見当たりません。授業内で配布する資料で不明なことは授業内での質問やメール等を通じていつでも問い合わせてください。

## 【成績評価の方法と基準】

課題の提出内容（30%）と期末試験の成績（70%）をもとに評価する。

## 【学生の意見等からの気づき】

2011 年 3 月の大震災のため特に興味を持って授業に臨む学生さんが多く、原子力に関しては今年もできるだけ詳しく解説したいと考えています。

## 【学生が準備すべき機器他】

使いません。

## 【その他の重要事項】

専門用語がいろいろ出てきます。もちろん、始めに説明をしますが、同じ説明は二度も行いません。従って、欠席や遅刻があれば、それ以降の内容が理解できなくなることが予想されます。

## 【Outline (in English)】

This course introduces the mechanism of producing energy from atomic energy and fossil fuels and also environmental issues related with them to students taking this course. It also deals with performance of new energy sources such as solar, wind, geothermal energies, and especially hydrogen energy. Study time of students will be more than two hours for a class. A grade point will be evaluated from a score of term-end examination (70%), and in-class contribution (30%).

CHM200LA

## 教養化学 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：環境と化学

中島 弘一

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

科学技術の発達によって、人類は着実に生命のなぞを解き明かしつつあります。そして不完全ながらもその知識をもとに、多種多様な薬品、食品添加物、日用品などの製品化、あるいは技術が生み出され応用されて来ています。ホルモンの仕組みから筋肉増強剤や避妊薬の開発、遺伝子操作による害虫や農薬に強い作物への改良、倫理的な問題が不透明なまま利用されているものも少なくありません。この授業では、はじめに過去の公害事例についてその原因等を概説した後、日用品や食品など、身の回りの化学物質を取り上げながら、生命を構成する物質（糖質、脂質、たんぱく質、核酸）の働きなどとの関連を解説します。

## 【到達目標】

過去の公害問題の概要を理解する。

生命に関係する物質がどういう分子構造をもち、どのような働きを持って機能しているかを理解することができる。例えば、食事を取って、それがエネルギーに変換される、あるいは、身体そのものに変化する仕組みを理解できる。

体の中での物質の認識の仕組みを理解できる。例えば、免疫反応の仕組みや、でんぷんを消化できて、セルロースを消化できない理由を理解できる。

合成品が生命に与える影響を理解できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

原則として教室での対面による講義形式での授業とします。

なお、毎回、理解度を確認する目的で簡単な課題を出します。課題の解説は翌週の講義の中で行います。質問等は適宜授業内で受け付けますが、メールでの対応も可能です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	講義概要、授業の進め方など	この講義の概要と、これからの授業の進め方、注意点等について説明します。
第 2 回	日本の過去の公害事例（1）	明治に始まる鉱山、精錬からの環境問題について解説します。
第 3 回	日本の過去の公害事例（2）	昭和の高度成長期にあった工場廃液、排ガスによる環境問題について解説します。
第 4 回	有機化合物の基礎	有機化合物の結合と構造、反応性について解説します。
第 5 回	日本の過去の公害事例（3）	有機塩素系化合物による環境汚染について学びます。
第 6 回	糖質（1）	エネルギー源としての利用だけではない糖質の多様性を学びます。
第 7 回	糖質（2）	砂糖の歴史や合成甘味料などの食品添加物の紹介と味覚についての話題を紹介いたします。

第 8 回	脂質（1）	脂質の特徴と洗剤のしくみについて学びます。
第 9 回	脂質（2）	コレステロールや、ステロイドなどのドーピングの話題を紹介いたします。
第 10 回	窒素化合物の働きと代謝（1）	生命にとって重要な働きのあるアミノ酸とタンパク質の働きを学び、老化との関係について解説します。
第 11 回	窒素化合物の働きと代謝（2）	核酸と核酸塩基の多様な働き、呼吸によるエネルギーの獲得について学びます。
第 12 回	体内での物質認識	アレルギー、免疫反応の仕組みを学びます。
第 13 回	薬物汚染	大麻、覚せい剤、麻薬など、その危険性について学びます。
第 14 回	まとめ	全般的な振り返りを行う。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。テーマや内容に関係する項目について、中学校や高校の教科書の関連のあるところを復習するとともに、インターネットでの検索によって事前に学習する。

## 【テキスト（教科書）】

特に使いません、適宜プリントを配布します。

## 【参考書】

取り上げる項目が多岐にわたるため、適当な参考書が見当たりません。気になるキーワードを使用して図書館で検索してみてください。必要に応じて授業内で紹介することも可能です。

## 【成績評価の方法と基準】

基本的には期末試験の成績（70 %）をもとにしますが、毎回科す課題の取り組み（30 %）も勘案します。

## 【学生の意見等からの気づき】

できるだけ身近な物質を例に挙げて説明をしていますが、網羅的になりすぎて、その関係の理解が難しいと感じる人が多いようです。ポイントをもっと明確にする必要があると考えています。

## 【Outline (in English)】

This course introduces the functions of chemical compounds related with life and also the risk of synthetic chemicals applied to foods, cosmetics or drugs to students taking this course. It also enhances the mechanism of material recognition in our body. Study time of students will be more than two hours for a class. A grade point will be evaluated from a score of term-end examination (70%), and in-class contribution (30%).



CHM200LA

## 教養化学 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：環境問題を考えるための化学

西村 直美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 3/Tue.3

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

地球が直面している環境問題はとても深刻だと報道されています。これらの環境問題について皆さんはどのくらい知識がありますか？例えば地球温暖化問題に関して「二酸化炭素の排出を削減しましょう」ということはほとんどの人が知っていることだと思います。では、温暖化を引き起こしていると言われる温室効果ガスには二酸化炭素以外にどのようなガスがあるか知っている人はどのくらいいるのでしょうか？ 空気中には約 78 % 窒素ガスが存在しますが、なぜ窒素ガスは温室効果ガスではないのでしょうか？ この授業では環境問題を題材として化学を使って深く掘り下げていくことを試みます。一緒に楽しく学んでいきましょう。

## 【到達目標】

最終的には現在地球が直面している問題点を理解してもらい、その解決策を探るために必要な知識としての化学を理解してもらうことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

昨年度はオンデマンド授業でしたが、今年度は対面で行います。授業は丁寧に進めていきます。毎回の授業中に出席確認を兼ねた課題を課します。この内容が成績に一番影響しますので、真剣に取り組んでください。

理解が及ばないことは課題の中に質問として記入してください。いただいた質問を受講生全員と授業中に共有して、皆で理解を深めていきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】  
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
No.1	イントロダクション	授業全体の説明をします。その後で個人がどれだけの知識があるかのミニテストを行います。このテストは成績には入りません。
No.2	化学基礎 1	これからの講義で必要な化学の基礎を集中学習
No.3	化学基礎 2	これからの講義で必要な化学の基礎を集中学習
No.4	化学基礎 3	これからの講義で必要な化学の基礎を集中学習
No.5	小テスト	これまでの学習を振り返る。試験範囲は化学基礎 1,2,3。
No.6	世界の環境問題	昨年度までにいただいた質問の中で次週からの授業中に話す予定が無いけれども、皆さんにとって有益であろうと思ったトピックを取り上げます。
No.7	オゾン層破壊	オゾン層とは何か。オゾン層破壊のメカニズムについて学びます。

No.8	大気汚染の健康への影響	大気汚染全般と酸性雨について。さらにその汚染物質の人体への影響についても学びます。
No.9	温室効果ガス	温室効果ガスとは何かについて学習した後、温室効果ガスの気候変動に及ぼす影響について
No.10	小テスト	これまでの学習を振り返る。試験範囲は世界の環境問題から温室効果ガスまで。
No.11	ゴミ問題から土壌汚染まで	なぜゴミの分別が必要なのか。環境を破壊するゴミ問題に関して。
No.12	水質汚染と水質浄化	汚染水に含まれる化学物質の種類と水質浄化法について。
No.13	エネルギー	現行の発電をメインに説明し、新エネルギー等も学習する。さらに、私たちの未来について。
No.14	テスト	最終テスト 試験範囲は化学基礎を含む全授業範囲です。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習する必要はありません。授業後に興味を持った内容を自分で調べて学習した内容の理解を深めてもらいたいと思っています。この復習に 2 時間程度充てることが望ましいです。

## 【テキスト（教科書）】

ありません。必要に応じて資料となる PDF ファイルを Hoppii に UP します。

## 【参考書】

なし

## 【成績評価の方法と基準】

毎週の課題 (50 %)、テスト (30 %)、授業態度 (20 %) を総合的に評価します。テストには紙類の持ち込みは可とします。

## 【学生の意見等からの気づき】

「私たち文系なので、わかりやすく教えてください」とコメントいただくので、わかりやすく、急がずに授業を進めていきます。

## 【Outline (in English)】

One of the most pressing issues the Earth is facing is environmental problems. Such environmental problems are universal issues, so all the people on the earth should cooperate to solve these problems. At the beginning of this course, each environmental problem will be focused from the chemical viewpoint. Then, the students with different backgrounds will delve into the matters. The ultimate goal of this course is that we think about these problems deeply by sharing possible solutions with each other.

You don't need to prepare for the class, but I hope students deepen their understanding of what they have learned by doing their own research on topics of interest to them after class. It is advisable to devote about 2 hours to this review.

Weekly assignments (50%), tests (30%), and class attitude (20%) will be evaluated comprehensively.

CHM200LA

## 教養化学 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：エネルギーの科学

中田 和秀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 3/Tue.3

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

近年、現代文明の成長や持続性への関心から、各種エネルギー資源について注目が集まっています。それらの話題を理解するためには、科学的な考察が必要不可欠です。本授業では、現代文明が大きく依存している化石燃料について利用の実態を学習し、それらが枯渇の危機に瀕していることを理解します。また、新たなエネルギー社会構築の可能性について議論します。これらの話題を化学の視点から理解することが本授業の目的です。

## 【到達目標】

本授業では、化石燃料である石炭、石油、天然ガスについて、その構造、性質、燃焼反応、燃焼熱等について学習します。また、新しいエネルギー社会として提唱されている水素経済社会やメタノール経済社会について学習します。これらの話題を的確に理解するために必要な化学理論（化学結合論、熱力学、結合エネルギー等）を合わせて習得することが到達目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

本授業は、板書や資料のプロジェクトによるスクリーンへの投影を行いながら、講義形式で進めます。漫然と板書をノートに写すのではなく、自分で調べたことなどを書き加え、わかりやすくまとめてください。ノートは、ルーズリーフではなく、綴じたノートを購入して使用してください。また、化学の知識が無くても授業を理解できるように配慮いたします。時々、練習問題や宿題を課しますので、それらを通してより理解が深まることでしょう。課題内容については、次回の講義にて解説などのフィードバックを行います。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業計画と学習の仕方について講義する。
第 2 回	物質とは？	物質の基本単位である分子について学習する。
第 3 回	化学反応	物質の変化、すなわち、化学反応について学習する。
第 4 回	反応熱・エネルギー	化学反応にともなって反応系から出入りする反応熱について学習する。また、その他のエネルギー形態についても解説する。
第 5 回	石炭	現代文明で大きな役割を演じている石炭の性質や用途について学習する。
第 6 回	石油（1）	現代文明で大きな役割を演じている石油の性質や精製について学習する。
第 7 回	石油（2）	現代文明で大きな役割を演じている石油の用途について学習する。
第 8 回	天然ガス	現代文明で大きな役割を演じている天然ガスの性質や用途について学習する。

第 9 回	その他の化石燃料	オイルサンドやオイルシェール等、その他の化石燃料について性質や用途を学習する。
第 10 回	水素経済社会（1）	将来のエネルギー資源の候補である水素について、性質や用途を学習する。
第 11 回	水素経済社会（2）	水素を利用する社会システム（水素経済社会）について、その長所と短所を学習する。
第 12 回	メタノール経済社会（1）	将来のエネルギー資源の候補であるメタノールおよびジメチルエーテルについて、性質や用途を学習する。
第 13 回	メタノール経済社会（2）	メタノールを利用する社会システム（メタノール経済社会）について学習する。
第 14 回	まとめ	本授業のまとめを行う。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。できるだけ早い段階で、教科書を通読して学習に臨んでください。各回終了後は、発展的な読書を行うと共に、指示にしたがって課題作成を行ってください。

## 【テキスト（教科書）】

下記書籍を教科書として使用しますので、各自購入してください。教科書は、法政大学生協 Web サイトにて購入することができます。

書名：新版 エネルギーの科学（第 2 版）

著者名：安井伸郎

出版社：三共出版

## 【参考書】

参考書として下記書籍を推薦します。他の参考書については授業中に適宜紹介します。

書名：メタノールエコノミー：CO<sub>2</sub> をエネルギーに変える逆転の発想

著者名：G.A. オラー, A. ゲッペールト, G.K.S. プラカーシュ

訳者名：小林四郎, 齋藤彰久, 西村晃尚

出版者名：化学同人

## 【成績評価の方法と基準】

成績は、期末試験（教科書、プリント、およびノート持ち込み可）により評価します。（100%）

## 【学生の意見等からの気づき】

昨年度の授業内容について概ね好評であったので今年度も同様に授業を進めます。

## 【学生が準備すべき機器他】

状況に応じてオンライン授業を行うことがありますので、PC やタブレット端末等、オンデマンド授業に必要な機器を準備しておく必要があります。

## 【その他の重要事項】

基盤科目（100 番台）の「入門化学 A・B」（1 年生はクラス指定有り）、および、リベラルアーツ科目（200 番台）の「教養化学 LC・LD」も担当しております。合わせての履修をご検討いただければ幸いです。

第 1 回授業は、Zoom を利用したオンライン授業となります。Zoom のアクセス情報は、授業開始までに学習支援システム（HOPPII）の「お知らせ」欄に掲載します。

## 【Outline (in English)】

In recent years, various kinds of energy resources are attracting attention in connection with the interest in the growth and sustainability of modern civilization. To understand such topics, natural sciences play crucial roles. In this lecture, the actual state of use of fossil fuels on which modern civilization largely depend will be discussed to understand that such the fuels are on the crisis of exhaustion. In addition, some ideas that may bring sustainable civilization will be presented. Understanding chemistry fundamental to such topics is the aim of this lecture. Students should read the textbook as early as possible before a class and are encouraged advanced reading on the basis of their own interest after a class. The study time will be more than two hours. The overall grade in the class will be decided based on the term-end examination (100 %).

CHM200LA

## 教養化学 L C

2017 年度以降入学者

サブタイトル：細菌の化学

中田 和秀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国で発生した新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）は、2020 年に入って急速に世界中に拡散し、世界各国で感染者数を増加させています。このウイルスの感染によって引き起こされる症状は深刻である一方、新規に発生したウイルスであるため有効な治療法は確立されていません。そのため、我々の生活様式から企業の経済活動にいたるまで、現代社会は COVID-19 から大きな影響を受けています。したがって、今、ウイルスや関連する事項について学習することは、将来の社会を担う学生にとって最も重要なテーマであるといえます。本授業では、まず、生体を構成する種々の有機化合物についてご紹介します。それらが集合して構成される生体の最小単位である細胞について学習し、細菌や細菌によって引き起こされる疾病について学びます。ウイルスが増殖する舞台である細胞について化学的に理解することが本授業の目的です。

## 【到達目標】

我々の生命活動の舞台である細胞、我々に病気をもたらす細菌やウイルスについて、種類、構造、性質、および、活動について化学的に理解することを目標とします。なお、これまで化学を学習したことが無い学生でも授業を理解することができるように配慮します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

本授業は、板書や資料のプロジェクターによるスクリーンへの投影を行いながら、講義形式で進めます。漫然と板書をノートに写すのではなく、自分で調べたことなどを書き加え、わかりやすくまとめてください。ノートは、ルーズリーフではなく、綴じたノートを購入して使用してください。また、化学の知識が無くても授業を理解できるように配慮いたします。時々、練習問題や宿題を課しますので、それらを通してより理解が深まることでしょう。課題内容については、次回の講義にて解説などのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	講義計画と学習の仕方について解説する。
第 2 回	原子	原子を構成する素粒子や原子が結合して生成する分子について解説し、原子に関する理解を深める。
第 3 回	化学結合論	原子がどのようなルールによって結合し分子を形成するかを学習する。
第 4 回	多重結合	化学結合論に基づいて形成される様々な化学結合の種類について学習する。
第 5 回	生体を構成する有機化合物	生体を構成するタンパク質、脂質、糖質、および、核酸について学習する。
第 6 回	分子の立体構造	種々の化学結合がなす角度と結合距離について学習し、分子の立体構造について理解を深める。
第 7 回	分子の立体構造と物質の性質（1）	物質の性質が分子の立体構造によって決まることを、いくつかの例を通して学習する。

第 8 回	分子の立体構造と物質の性質（2）	物質の性質が分子の立体構造によって決まることを、いくつかの例を通して学習する。
第 9 回	生体分子の立体構造（1）	タンパク質の立体構造について学習する。
第 10 回	生体分子の立体構造（2）	脂質や糖質の立体構造について学習する。
第 11 回	生体分子の立体構造（3）	核酸の立体構造について学習する。
第 12 回	細胞	生物とウイルスの違いや生体の基本単位である細胞について学習する。
第 13 回	細菌	細菌の種類や細菌によって引き起こされる疾病について学習する。
第 14 回	まとめ	本授業のまとめを行う。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。授業終了後、各自の興味関心に基づいた発展的な読書や調査を行うと共に、指示にしたがって課題作成を行ってください。

## 【テキスト（教科書）】

使用しません。

## 【参考書】

参考書として下記書籍を推薦します。他の参考書については授業中に適宜紹介します。

書名：ヴォート生化学

著者名：Donald Voet, Judith G. Voet

訳者名：田宮信雄 ほか

出版者名：東京化学同人

## 【成績評価の方法と基準】

成績は、期末試験（教科書、プリント、およびノート持ち込み可）により評価します。（100%）

## 【学生の意見等からの気づき】

昨年度の授業内容について概ね好評であったので今年度も同様に授業を進めます。

## 【学生が準備すべき機器他】

状況に応じてオンライン授業を行うことがありますので、PC やタブレット端末等、オンライン授業に必要な機器を準備しておく必要があります。

## 【その他の重要事項】

秋学期に開講される「教養化学 L D」を合わせて受講することをお勧めします。

第 1 回授業は、Zoom を利用したオンライン授業となります。Zoom のアクセス情報は、授業開始までに学習支援システム（HOPPII）の「お知らせ」欄に掲載します。

## 【Outline (in English)】

The new-type coronavirus (SARS-CoV-2) originated in China had rapidly spread worldwide last year to increase the number of infected patients in every country. While the symptoms generated from this virus are serious, an effective treatment has not yet been established. This situation brings severe influence to many things such as our lifestyles and economic activities of industries. Therefore, learning about virus and its related things is one of the most important subjects for university students who will lead the next generation. In this lecture, various organic compounds that comprise living organisms will be presented. Then, students will learn about the cell that is the minimum unit of the living organisms, and bacteria and its related diseases. The purpose of this lecture is to understand the properties and activities of cell that is the place of multiplication of virus from the viewpoint of chemistry. Students are encouraged advanced learning after a class using relevant books and the internet on the basis of their own interest. The study time will be more than two hours. The overall grade in the class will be decided based on the term-end examination (100 %).

CHM200LA

## 教養化学 L D

2017 年度以降入学者

サブタイトル：ウイルスの化学

中田 和秀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国で発生した新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）は、2020 年に入って急速に世界中に拡散し、世界各国で感染者数を増加させています。このウイルスの感染によって引き起こされる症状は深刻である一方、新規に発生したウイルスであるため有効な治療法は確立されていません。そのため、我々の生活様式から企業の経済活動にいたるまで、現代社会は COVID-19 から大きな影響を受けています。したがって、今、ウイルスや関連する事項について学習することは、将来の社会を担う学生にとって最も重要なテーマであるといえます。本授業では、まず、生体を構成する最小単位である細胞がどのような活動をおこなっているかを学習します。次に、ウイルスがその細胞に侵入して増殖するメカニズムなどを学習します。ウイルスの性質や活動について化学的に理解することが本授業の目的です。

## 【到達目標】

我々の生命活動の舞台である細胞、我々に病気をもたらす細菌やウイルスについて、種類、構造、性質、および、活動について化学的に理解することを目標とします。なお、これまで化学を学習したことが無い学生でも授業を理解することができるように配慮します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

本授業は、板書や資料のプロジェクターによるスクリーンへの投影を行いながら、講義形式で進めます。漫然と板書をノートに写すのではなく、自分で調べたことなどを書き加え、わかりやすくまとめてください。ノートは、ルーズリーフではなく、綴じたノートを購入して使用してください。また、化学の知識が無くても授業を理解できるように配慮いたします。時々、練習問題や宿題を課しますので、それらを通してより理解が深まることでしょう。課題内容については、次回の講義にて解説などのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	講義計画と学習の仕方について解説する。
第 2 回	化学結合論と分子の立体構造	化学結合論によって原子同士が繋がって分子が生成すること、および、分子の立体構造によって物質の性質が決まることを学習する。
第 3 回	生体を構成する有機化合物	生体を構成する種々の有機化合物について学習し、それらの分子構造について理解を深める。
第 4 回	遺伝情報の発現（1）	生物の遺伝子 DNA を RNA に転写する過程について学習する。
第 5 回	遺伝情報の発現（2）	mRNA が持つ遺伝情報をタンパク質に翻訳する過程について学習する。
第 6 回	遺伝情報の発現（3）	細胞分裂の際に行われる遺伝子 DNA の複製について学習する。
第 7 回	生化学の研究手法	生化学を学習する際の研究手法について学習する。

第 8 回	ウイルスの構造	種々のウイルスについて基本的な構造を理解する。
第 9 回	λファージ	λファージの生活環について学習する。
第 10 回	HIV	ヒト免疫不全ウイルス（HIV）の生活環について学習する。
第 11 回	インフルエンザウイルス	インフルエンザウイルスの構造や増殖過程について学習する。
第 12 回	新型コロナウイルス	新型コロナウイルスについて最新の研究成果を学習する。
第 13 回	ウイルス治療薬	ウイルス治療薬開発の概要について学習する。
第 14 回	まとめ	本授業のまとめを行う。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。授業終了後、各自の興味関心に基づいた発展的な読書や調査を行うと共に、指示にしたがって課題作成を行ってください。

## 【テキスト（教科書）】

使用しません。

## 【参考書】

参考書として下記書籍を推薦します。他の参考書については授業中に適宜紹介します。

書名：ヴォート生化学

著者名：Donald Voet, Judith G. Voet

訳者名：田宮信雄 ほか

出版者名：東京化学同人

## 【成績評価の方法と基準】

成績は、期末試験（教科書、プリント、およびノート持ち込み可）により評価します。（100%）

## 【学生の意見等からの気づき】

昨年度の授業内容について概ね好評であったので今年度も同様に授業を進めます。

## 【学生が準備すべき機器他】

状況に応じてオンライン授業を行うことがありますので、PC やタブレット端末等、オンライン授業に必要な機器を準備しておく必要があります。

## 【その他の重要事項】

春学期に開講される「教養化学 L C」を合わせて受講することをお勧めします。

第 1 回授業は、Zoom を利用したオンライン授業となります。Zoom のアクセス情報は、授業開始までに学習支援システム（HOPPII）の「お知らせ」欄に掲載します。

## 【Outline (in English)】

The new-type coronavirus (SARS-CoV-2) originated in China had rapidly spread worldwide last year to increase the number of infected patients in every country. While the symptoms generated from this virus are serious, an effective treatment has not yet been established. This situation brings severe influence to many things such as our lifestyles and economic activities of industries. Therefore, learning about virus and its related things is one of the most important subjects for university students who will lead the next generation. In this lecture, students will learn the processes of expression and transmission of genetic information that is fundamental for living organisms, and then that of multiplication of viruses utilizing such the processes of the host cell. The purpose of this lecture is to understand the properties and activities of viruses from the viewpoint of chemistry. Students are encouraged advanced learning after a class using relevant books and the internet on the basis of their own interest. The study time will be more than two hours. The overall grade in the class will be decided based on the term-end examination (100 %).

CHM200LA

## 教養化学 L E

2017 年度以降入学者

サブタイトル：薬の科学

向井 知大

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：2 単位

その他属性：〈優〉

### 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

薬の開発は人類の寿命を大きく伸ばし、医学の発展に大きく寄与してきました。この授業では、薬とはどのようなものか、人体にどのような働きをするのか、薬はどのように開発されるか、など、薬の原理について有機化学を用いて紹介していきます。

### 【到達目標】

薬の働きについての学習を通して、タンパク質や低分子有機化合物の構造式を身近なものにし、有機化合物の性質を左右する構造的特徴について理解することを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

### 【授業の進め方と方法】

資料をプロジェクタで投影して解説していきます。投影する資料と簡単な解説文を授業支援システムにアップロードする予定です。高校などにおける自然科学系科目（理系科目）の履修の有無にかかわらず理解できるように進めます。

授業毎に出題する正誤問題や質問について、次回授業冒頭で解説をします。

### 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

### 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

### 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	講義計画と概要について説明
第 2 回	薬の歴史	古代から現代までの薬、薬の働き方の簡単な概説
第 3 回	化学の基礎	原子と分子、化学結合について
第 4 回	有機化合物	有機化合物の構造と表記方法について
第 5 回	DNA とタンパク質	アミノ酸の化学構造と、タンパク質や DNA の立体構造について
第 6 回	酵素と代謝	タンパク質や炭水化物などを分解する酵素について
第 7 回	生活習慣病の薬	糖尿病や高脂血症の薬について
第 8 回	抗炎症薬①	非ステロイド薬とステロイド薬の作用機序について
第 9 回	抗炎症剤②	花粉症などアレルギーの薬、抗ヒスタミン薬の分子設計と、副作用改善について
第 10 回	化学療法薬と抗生物質	病原細菌に強く作用する薬と、その作用機序について
第 11 回	抗ウイルス薬	インフルエンザやエイズ、新型コロナウイルスの特徴と、その薬について
第 12 回	がんの薬	様々な抗がん薬の働きと副作用、標的物質について。
第 13 回	うつの薬と危険ドラッグ	脳で働く分子について。
第 14 回	まとめ	これまでの内容の復習

### 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講義の内容に関連すると考えられる現象や用語について、各自が興味を持って書籍や web 検索などで調査してみてください。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

### 【テキスト（教科書）】

使用しません。授業で使用する資料を授業支援システムで配布します。

### 【参考書】

使用しません。

### 【成績評価の方法と基準】

学習支援システムに毎回 5 問程度の正誤問題を出題します。この成績を平常点とします（配分 40%）。期末試験の結果（配分 60%）と平常点をあわせて成績評価します。

### 【学生の意見等からの気づき】

理解度を確かめながら進めていく予定です。

### 【Outline (in English)】

Pharmaceutics has extended the human lifespan and has greatly contributed to the development of medical science. This course introduces the basic principles of medical supplies using organic chemistry.

The goals of this course are to understand about organic compounds and to improve your scientific literacy.

Your required study time is at least two hours for each class meeting.

Your overall grade in the class will be decided based on the usual performance score (40%) and term-end examination (60%).

HSS200LA

## 健康の科学 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

## 阿部 巧

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：2 単位

定員制

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「高齢期の健康づくり」を主要テーマとして学習する。現在の日本は世界でも類を見ない超高齢社会を迎えている。本授業を通して、日本が直面している少子・高齢化問題に対して、どのように貢献できるかについて考える。また、健康問題に関する考え方について理解する。

## 【到達目標】

1. 高齢期に生じる健康問題とその基本的な予防・対処法について多角的な視点から考えることができる。
2. 健康関連情報を適切に解釈できる。
3. 学習したことを自身や家族の健康づくりに役立てる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

講義を中心に各テーマの学習を進める。2-3 回に 1 回程度の頻度で全 5 回、授業終了時にテーマに関する自身の考えや意見を問うミニレポート課題を出す。課題の提出締め切り後の授業にて、各学生が提出したレポートにどのような考えや意見が書かれていたかを集約し、紹介・解説する形で全体にフィードバックをおこなう。また、テーマに沿って自身の考えを他者と共有する機会を授業内で作る。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の概要説明
第 2 回	本邦の高齢化の現状	高齢化の実態と課題
第 3 回	高齢期の健康 1	高齢期の生活機能と体力
第 4 回	高齢期の健康 2	老年期の転倒、外出・閉じこもり、自動車運転
第 5 回	高齢期の健康 3	低栄養の現状と予防
第 6 回	高齢期の健康 4	認知症の現状と予防
第 7 回	高齢期の健康 5	フレイルの現状と予防
第 8 回	高齢期の健康 6	サルコペニアとロコモティブシンドロームの現状と予防
第 9 回	健康づくりの三本柱：運動、栄養、社会参加 1	高齢期の運動
第 10 回	健康づくりの三本柱：運動、栄養、社会参加 2	高齢期の食習慣と社会参加
第 11 回	地域・職域での健康づくり	地域に介護予防の取り組みを広げる方法と事例の紹介
第 12 回	高齢期の健康行動	高齢者の行動特性
第 13 回	高齢期の課題への対応	実社会で高齢期の課題にどう取り組むかの立案
第 14 回	まとめ	今後の健康づくり・介護予防の方向性

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次の授業に向けての準備や授業後におこなうべき課題や復習等は、教員からの指示に従って実践するものとし、各 2 時間を標準とする。また、日ごろから高齢者および日本と世界の健康に関連する話題に目を向けることも準備学習となりうる。

## 【テキスト（教科書）】

特に指定しない。授業テーマに合わせた資料を配布する。

## 【参考書】

適宜、関連する書籍などを授業内で紹介する。

## 【成績評価の方法と基準】

ミニレポート課題（50%：10%×5）、最終レポート課題（50%）

## 【学生の意見等からの気づき】

講義だけではなく、健康づくりの課題について考える機会を設ける。

## 【学生が準備すべき機器他】

特になし。

## 【その他の重要事項】

授業の進捗状況および授業実施方法（対面・オンライン）について若干の変更をおこなう可能性がある。その場合、適宜、授業内およびシステム上で通知する。

## 【Outline (in English)】

## 【Outline】

The Health Science LA aims to learn about health promotion among older adults. Japan has been a super-aged society. This class provides the opportunity to understand public issues related to a declining birth rate and an aging population in Japan. This will help students comprehend how to think about health-related ones.

## 【Goals】

1. Students come to think about age-related health issues and strategies to prevent and address them from multiple perspectives.
2. Students come to interpret health-related information appropriately.
3. Students use what they learn from this class for themselves and their family's health promotion.

## 【Work to be done outside of class】

Students will know what they need to prepare for the next class and the tasks they need to do at the end of each class. This class requires students to take 2 hours to do them. It is good to pay attention to health-related news in preparation for this class.

## 【Grading criteria】

This class evaluates students' performance based in the following ways: 5 mini-reports (1 report = 10 points) and the final report (50 points).

HSS200LA

## 健康の科学 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

藤平 杏子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：2 単位

定員制

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「健康の科学 LB」では、「生涯にわたる健康づくり」を主要テーマとして学習する。本授業を通して、健康長寿に必要な食事・運動・休養・社会参加に関する基礎的な事項を理解できるようにする。

## 【到達目標】

1. 健康の維持・増進に興味を持ち、健康づくりに関する基礎的な知識を習得する。
2. 本授業で学習したことを自身や家族の健康づくりに役立てる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

スライドを用いた講義を中心に各テーマの学習を進める。毎回の授業終了時に、テーマに関する自身の考えや意見・質問などをまとめた小レポートの提出を求める。授業の初めに、前回の授業で提出された小レポートからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。適宜、グループディスカッションを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	本授業の内容や進め方についてのオリエンテーション
2	日本の健康問題	日本の医療や健康に関わる背景、生活習慣病
3	生活習慣病の概要	生活習慣病の予防、日本で行われているヘルスプロモーション
4	肥満とメタボリックシンドローム	肥満の定義とメタボリックシンドロームの概論
5	高血圧	高血圧の診断、要因と予防法
6	糖尿病と脂質異常症	糖尿病、脂質異常症の診断、要因と予防法
7	骨や歯の疾患	骨粗鬆症や歯周病などの要因と予防法
8	メンタルヘルス	ストレスの捉え方、鬱と対処法
9	健康づくりのための食事	エネルギー収支、健康づくりに必要な食事方法
10	健康づくりのための運動	健康づくりに必要な運動方法、身体活動基準
11	健康づくりのための休養	健康づくりに必要な休養方法、睡眠、ストレスへの対処
12	健康づくりのための社会参加	健康づくりに必要な人との関わり
13	生涯にわたる健康づくり	年代別の健康問題、予防法
14	まとめ	ディスカッション、授業全体の総括

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とする。

## 【テキスト（教科書）】

本授業では教科書を使用しない。授業に必要なスライドは適宜、配布もしくは配信する。

## 【参考書】

授業の中で参考になる図書等は紹介するが、購入が必須ではない。

## 【成績評価の方法と基準】

毎回の授業終了時に小レポートの提出を求める。小レポートの内容と提出状況で成績評価の 5 割、最終レポートの内容と提出状況が残りの 5 割とする。小レポートおよび最終レポートの内容は、知識の習得状況と日常生活への応用について考えられているかを鑑みて評価する。

## 【学生の意見等からの気づき】

授業やディスカッションを通して自身や家族の健康について見直すきっかけとなった、という授業改善アンケート結果から、学生の生活に関わるトピックを授業時間内に取り上げ、課題学習に使用する予定である。

## 【Outline (in English)】

【Course Outlin】 The main theme of this course is "lifelong health promotion". By taking this course, students will be able to understand the basic issues related to diet, exercise, rest, and social participation necessary for healthy longevity.

【Learning Objectives】 By the end of this course, students should be able to: 1. Develop an interest in the maintenance and promotion of health and acquire basic knowledge about health promotion. 2. To be able to use what they have learned in this class to improve the health of themselves and their families.

【Learning activities outside of classroom】 Students are expected to follow the lecturer's instructions regarding assignments to be done after class and preparation for the next class. The standard time for preparation and review for this class is 2 hours each.

【Grading Criteria/Policy】 In this course, students will be asked to submit a short report at the end of each class. The content and submission status of the small report will account for 50% of the grade, and the content and submission status of the final report will account for the remaining 50%. The content of the short report and the final report will be evaluated in view of knowledge acquisition and consideration of its application to daily life.

HSS200LA

## 健康の科学 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

谷本 都栄

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：2 単位

定員制

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

人生 100 年時代を迎え人々の生き方が多様化する中で、身体的な健康だけでなく、生きがいや人間の尊厳をも含めたホリスティック・ヘルス（包括的健康）の視点が重要になってきている。本講義では、バイオ・サイコ・ソーシャル・ヘルスに関わる様々なトピックスから個人の健康や社会の健康について考え、ウェルネスの確立に向けて自ら実践に結びつけていくことを目指す。

## 【到達目標】

- 健康の概念や健康観の変遷から、健康とは何かについて理解を深める。
- 包括的健康の視点から、自己の生活の質や地域の課題について考える。
- 個人及び社会におけるウェルネスの確立に向けて主体的に行動できるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

- オリジナルテキストや各種資料を用いて、身近な題材を交え分かり易く解説する。
- セルフチェックや時事的な問題を取り上げ、具体的に考えられるようにする。
- 毎回のワークシートやリアクションペーパーにより、随時フィードバックしていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】  
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の概要、授業の進め方
第 2 回	健康観・健康概念の多様化	世界における健康観・健康概念がどのように多様化してきたかについて理解を深める。
第 3 回	日本における健康観の変遷	日本における健康観・健康概念の変遷について、時代背景を踏まえて理解を深める。
第 4 回	ホリスティック・ヘルスとは	ホリスティック・ヘルスの視点から現代人の心身の健康について考える。
第 5 回	心身の健康とストレス特性	自己の身体的・精神的・社会的ストレス度を測り、ストレス特性を知る。
第 6 回	ストレスマネジメント	自己のストレス特性に応じたストレス対処、セルフマネジメントについて学ぶ。
第 7 回	ストレスマネジメント実践編	日常生活で実践しやすいストレスマネジメントの方法を学ぶ。
第 8 回	日本人の生活と健康	我が国の健康政策から日本人の生活と健康課題について理解を深める。

第 9 回	0 次予防とは	0 次予防、健康のための環境づくりの考え方について学ぶ。
第 10 回	健康のための環境づくり	健康のための環境づくりの先進事例から地域の課題について考える。
第 11 回	ライフサイクルと健康	ライフサイクル、各ライフステージにおける健康課題について理解を深める。
第 12 回	ライフスタイルと健康	ライフコース、ライフスタイルの多様化とワークライフバランスについて考える。
第 13 回	人生 100 年時代をどう生きるか	超高齢社会におけるウェルビーイングについて考える。
第 14 回	まとめ	全体の振り返りと総括

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- 本授業の準備・復習時間は、関連する記事や文献を読む、学んだことを実践する等、各 2 時間を標準とする。
- レポート課題は、複数の文献を読み込み、授業で学んだ知識も含めて総合的に論じるための準備が必要である。

## 【テキスト（教科書）】

- 毎回オリジナルプリントを使用する。

## 【参考書】

- 適宜テーマに関連する文献等を紹介する。

## 【成績評価の方法と基準】

- 平常点（ワークシート、リアクションペーパー）70 %
- 期末レポート 30 %

## 【学生の意見等からの気づき】

- 各種資料を用いるなどして具体的に把握できるようにする。
- ワークシートにより各自が考えながら取り組めるようにする。
- リアクションペーパーを活用し、インタラクティブな授業になるよう工夫する。

## 【Outline (in English)】

## 【Course outline】

With the 100-Year Life, a life-course has become increasingly dynamic and diversified. Regarding the quality of individual lives, not only physical health but also perspective of holistic health including "ikigai" and human dignity is becoming an important concept. Health Sciences for ways of living is based on the biopsychosocial model, which posits that biological, psychological and social well-being are interactively.

## 【Learning Objectives】

The program has the following objectives.

1. Introduce students to the field of Health Sciences of body, mind, and spirit
2. Provide a basic understanding of the theory and specific issues of biopsychosocial health
3. Encourage students to practice for health promotion in their life and community

## 【Learning activities outside of classroom】

1. Get information on current health issues from newspapers and news

2. Read books related to what you learned in class

## 【Grading Criteria /Policy】

- Normal points (worksheets, reaction paper) 70%
- Year-end report 30%



HSS200LA

健康の科学 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

谷本 都栄

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：2 単位

定員制

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

健康はいきいきと生きていくための資源であり、自ら健康をコントロールし、改善していくことは重要なライフスキルである。本講義では、ヘルスプロモーションの視点から、栄養・運動・休養に関わる基礎的知識、健康的な生活習慣や環境づくりについて学び、各自の生活における意識の向上、具体的な実践に結びつけていくことを目指す。

【到達目標】

- ・栄養・運動・休養に関わる基礎的知識を身に付け、自己の生活習慣を見直す。
- ・健康的なライフスタイルを意識して、学んだことを日々の生活に活かす。
- ・個人や社会のウェルビーイングについて考え、行動する機会をつくる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・オリジナルテキストや各種資料を用いて、身近な題材を交え分かり易く解説する。
- ・セルフチェックや時事的な問題を取り上げ、具体的に考えられるようにする。
- ・毎回のワークシートやリアクションペーパーにより、随時フィードバックしていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】  
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の概要、授業の進め方
第 2 回	生活習慣・健康度チェック	チェックシートにより自己の生活習慣や健康度を確認する。
第 3 回	健康的なウエイトコントロール	適正体重やボディイメージを知り、健康的なウエイトコントロールについて学ぶ。
第 4 回	エネルギー必要量と摂取量	エネルギー必要量と摂取量を算出してエネルギー収支を確認する。
第 5 回	食生活のセルフチェック	食事バランスガイドにより食生活を振り返り、改善点を意識する。
第 6 回	生活習慣病の予防	メタボリックシンドローム、生活習慣病とその予防について学ぶ。
第 7 回	食と健康	スポーツ栄養、食の安全やサプリメント等のトピックから、食と健康について考える。
第 8 回	運動・スポーツの意義と役割	現代社会における運動・スポーツの重要性について理解を深める。
第 9 回	運動・スポーツによるトレーニング効果	人間の身体の特徴、運動・スポーツによるトレーニング効果について学ぶ。

第 10 回	適切な運動量と運動内容	適切な運動量と運動内容を知り、運動習慣の改善点を意識する。
第 11 回	生体リズムと健康	生体リズムと健康の関係について理解を深める。
第 12 回	日本人の生活と健康	経済格差と健康、企業の健康経営など時事的なトピックから、日本人の生活と健康について考える。
第 13 回	ウェルエイジング	加齢による心身の変化を知り、老いをどう生きるかについて考える。
第 14 回	まとめ	全体の振り返りと総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・本授業の準備・復習時間は、関連する記事や文献を読む、学んだことを実践する等、各 2 時間を標準とする。
- ・レポート課題は、複数の文献を読み込み、授業で学んだ知識も含めて総合的に論じるための準備が必要である。

【テキスト（教科書）】

- ・毎回オリジナルプリントを使用する。

【参考書】

- ・適宜テーマに関連する文献等を紹介する。

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点（ワークシート、リアクションペーパー）70 %
- ・期末レポート 30 %

【学生の意見等からの気づき】

- ・各種資料を用いるなどして具体的に把握できるようにする。
- ・ワークシートにより各自が考えながら取り組めるようにする。
- ・リアクションペーパーを活用し、インタラクティブな授業になるよう工夫する。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Health promotion is the process of enabling people to increase control over, and to improve, their health. It moves beyond a focus on individual behaviour towards a wide range of social and environmental interventions. (WHO) To maintain a healthy body and mind is an essential life skill improving a quality of life. Developing healthy habits are needed not only to keep your life long but enhance your happiness and vitality.

【Learning Objectives】

The program has the following objectives.

1. Provide students the foundational knowledge and skills required for healthy lifestyle
2. Encourage students to practice for health promotion in their life

【Learning activities outside of classroom】

1. Get information on current health issues from newspapers and news
2. Read books related to what you learned in class

【Grading Criteria /Policy】

- ・ Normal points (worksheets, reaction paper) 70%
- ・ Year-end report 30

LANe100LA

## 入門英語 (SSI) I

2017 年度以降入学者

## 大 概 諒

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 1/Thu.1

単位数：1 単位

レベル共通／定員制 (48 名)

その他属性：

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

英文法の基本を学ぶことを中心とし、基礎的なリーディングやリスニングも行いながら、総合的な英語力の向上を目指す。

## 【到達目標】

1. テキストの英文法を学び、関連する練習問題を解くことにより、文法力を高めることを目指す。
2. テキストの英文を読解し、練習問題を解くことにより、英文の読解力を高めることを目指す。
3. テキストのリスニング問題を通して、リスニング力を高めることを目指す。
4. テキストの問題を解くことを通して、語彙力を高めることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

テキストに沿って進める。文法のポイントを確認後、練習問題を解く。適宜小テストを実施するので、復習をしっかりとすることが望まれる。テキストで扱われた文法事項を用いて簡単な英作文を作成する課題も適宜実施する。課題の提出やフィードバックは学習支援システムを通じて行う。

## 【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり / Yes

## 【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の概要と方法の説明 必要であれば、受講者の選抜をする
第 2 回	Chapter 1	基本 3 時制
第 3 回	Chapter 2	進行形
第 4 回	Chapter 3	完了形
第 5 回	Chapter 4	受動態
第 6 回	Chapter 5	使役
第 7 回	Chapter 6	5 文型
第 8 回	Chapter 7	文の種類
第 9 回	Chapter 8	不定詞
第 10 回	Chapter 9	動名詞
第 11 回	Chapter 10	分詞
第 12 回	Chapter 11	句と節
第 13 回	Chapter 12	前置詞
第 14 回	学期末試験	筆記試験・まとめと解説

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

前回の授業の復習をして授業に参加すること。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

## 【テキスト (教科書)】

Access to Simple English (『英文法基礎力マスター』) 石井隆之他著、成美堂、2090 円

## 【参考書】

英和辞書 (電子辞書でも紙媒体でも可)

## 【成績評価の方法と基準】

期末試験 50 %

授業態度・授業内に課した課題や小テストを含む平常点 50 %

4 回以上欠席した場合は、成績評価の対象にならない。

授業開始から 30 分以上の遅刻は欠席となる。

授業内での取り組みが著しく不十分であると判断した場合は、欠席と見なす。

## 【学生の意見等からの気づき】

昨年度は担当していない。

## 【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

オンライン授業で使用する PC もしくはタブレット端末

## 【その他の重要事項】

授業に関する連絡は、学習支援システムを通じておこないます。適宜チェックするようにしてください。

## 【Outline (in English)】

This course is held based on the textbook. The flow of the class is learning the grammar point, reading the sentence, explaining the sentence, and answering some questions. Mini test is held to review every lesson.

Some of the objectives of the course are:

1. Improve grammatical skill
2. Improve reading skill
3. Improve listening skill
4. Increase vocabulary.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook and completed the required assignment. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grading will be decided based on the following:

Term-end examination (50%),

Class participation including in-class attitude, assignment, and mini test (50%).

LANe100LA

## 入門英語 (SSI) II

2017 年度以降入学者

## 大 概 諒

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 1/Thu.1

単位数：1 単位

レベル共通／定員制 (48 名)

その他属性：

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

英文法の基本を学ぶことを中心とし、基礎的なリーディングやリスニングも行いながら、総合的な英語力の向上を目指す。

## 【到達目標】

1. テキストの英文法を学び、関連する練習問題を解くことにより、文法力を高めることを目指す。
2. テキストの英文を読解し、練習問題を解くことにより、英文の読解力を高めることを目指す。
3. テキストのリスニング問題を通して、リスニング力を高めることを目指す。
4. テキストの問題を解くことを通して、語彙力を高めることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

テキストに沿って進める。文法のポイントを確認後、練習問題を解く。適宜小テストを実施するので、復習をしっかりとすることが望まれる。テキストで扱われた文法事項を用いて簡単な英作文を作成する課題も適宜実施する。課題の提出やフィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】  
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】  
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の概要の説明
第 2 回	Chapter 13	接続詞
第 3 回	Chapter 14	話法
第 4 回	Chapter 15	関係代名詞
第 5 回	Chapter 16	関係副詞
第 6 回	Chapter 17	助動詞
第 7 回	Chapter 18	仮定法
第 8 回	Chapter 19	冠詞と名詞
第 9 回	Chapter 20	代名詞
第 10 回	Chapter 21	形容詞と副詞
第 11 回	Chapter 22	比較
第 12 回	Chapter 23	否定
第 13 回	Chapter 24	特殊構文
第 14 回	学期末試験	筆記試験・まとめと解説

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

前回の授業の復習をして授業に参加すること  
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

## 【テキスト (教科書)】

Access to Simple English (『英文法基礎力マスター』) 石井隆之他著、成美堂、2090 円

## 【参考書】

英和辞書 (電子辞書でも紙媒体でも可)

## 【成績評価の方法と基準】

期末試験 50 %  
授業態度・授業内に課した課題や小テストを含む平常点 50 %

4 回以上欠席した場合は、成績評価の対象にならない。

授業開始から 30 分以上の遅刻は欠席となる。

授業内での取り組みが著しく不十分であると判断した場合は、欠席と見なす。

## 【学生の意見等からの気づき】

昨年度は担当していない。

## 【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

オンライン授業で使用する PC もしくはタブレット端末

## 【その他の重要事項】

授業に関する連絡は、学習支援システムを通じておこないます。適宜チェックするようにしてください。

## 【Outline (in English)】

This course is held based on the textbook. The flow of the class is learning the grammar point, reading the sentence, explaining the sentence, and answering some questions. Mini test is held to review every lesson.

Some of the objectives of the course are:

1. Improve grammatical skill
2. Improve reading skill
3. Improve listening skill
4. Increase vocabulary.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook and completed the required assignment. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grading will be decided based on the following:

Term-end examination (50%),

Class participation including in-class attitude, assignment, and mini test (50%).

LANe100LA

入門英語 (SSI) I

2017 年度以降入学者

須藤 祐二

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：1 単位

レベル共通／定員制 (48 名)

その他属性：

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

SSI の学生のなかで、英語を苦手とする学生が英語の基本文法や表現を習得することを目的とする。英語のレベルは基礎的なものから始めるが、徐々にさまざまな場面で使用可能な表現の解説に移る。

## 【到達目標】

受講生は英語の基本的な構造を理解できるようにする。また、挨拶や自己紹介など、身の回りの日常会話のための表現を身につけるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

予習をして授業に参加すること。まずテキストの演習と解説を行う。その後、テキストのテーマの発展問題を行うこともある。さらに、口頭表現に養うための演習を行う。受講生には積極的に演習を行うことが求められる。

提出された課題のフィードバックは授業中および「学習支援システム」(Hoppii)で行う。

授業方法の変更等の重要な連絡は Hoppii で行う。授業日の朝に Hoppii を確認してください。

## 【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

## 【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	導入	春学期の授業の進め方を紹介する。必要であれば、受講者の選抜をする
第 2 回	Unit1-1	Unit1 の前半を演習する
第 3 回	Unit1-2	Unit1 の後半を演習する
第 4 回	Unit2-1	Unit2 の前半を演習する
第 5 回	Unit2-2	Unit2 の後半を演習する
第 6 回	Unit3-1	Unit3 の前半を演習する
第 7 回	Unit3-2	Unit3 の後半を演習する
第 8 回	Unit4-1	Unit4 の前半を演習する
第 9 回	Unit4-2	Unit4 の後半を演習する
第 10 回	Unit5-1	Unit5 の前半を演習する
第 11 回	Unit5-2	Unit5 の後半を演習する
第 12 回	Unit6-1	Unit6 の前半を演習する
第 13 回	Unit6-2	Unit6 の後半を演習する
第 14 回	春学期のまとめ	春学期に学んだ英語表現や文法の再確認をする

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

予習をして授業に参加すること。課題が出された場合には、遅れることなく提出すること。本授業の準備・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト (教科書)】

English Booster!(ストーリー&必須文法で学ぶ大学生の英語基礎力 スタートアップ)

Robert Hickling 著、金星堂

英和・和英辞書を必ず持参すること

## 【参考書】

特に指定しない。

## 【成績評価の方法と基準】

学期末試験 50 %、授業時の応答や参加度 50 %。

4 回以上欠席した者は成績評価の対象から外れる。遅刻 2 回を欠席 1 回に換算する。

授業に出ていても、予習を行っていない、または、演習に積極的に参加しない受講生は出席として認めないことがある。

## 【学生の意見等からの気づき】

ひきつづき、受講生の英語のレベルに合わせてながら進度を調節する。

## 【Outline (in English)】

This course is designed for SSI students. They will learn basic English grammar and vocabulary, starting off by learning the basics of English, including developing a knowledge of English phrases and vocabulary used on a daily basis.

The goal of this course is to acquire the basics of English mentioned above.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grade will be calculated according to the following process:

Term-end examination (50%), and in-class contribution (50%).

LANe100LA

## 入門英語 (SSI) II

2017 年度以降入学者

須藤 祐二

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：1 単位

レベル共通／定員制 (48 名)

その他属性：

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

SSI の学生のうち英語を苦手とする学生に、英語の基本から解説と演習を行う。春学期よりも多少難しい文法項目まで範囲に収め、基礎的な英語の運用能力の習得を目指す。

## 【到達目標】

受講生は英語の基本的な構造を理解できるようにする。また、挨拶や自己紹介だけでなく、時制や適切な語句の選択等を通じて、春学期よりも多少高い英語表現能力を身につけるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

予習をして授業に参加すること。まずテキストの演習と解説を行う。その後、テキストのテーマの発展問題を行うこともある。さらに、口頭表現に養うための演習を行う。受講生には積極的に演習を行うことが求められる。

提出された課題のフィードバックは授業中および「学習支援システム」(Hoppii)で行う。

授業方法の変更等の重要な連絡は Hoppii で行う。授業日の朝に Hoppii を確認してください。

## 【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

## 【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	春学期の振り返り	春学期に学んだ文法項目等の再確認を行う
第 2 回	Unit7-1	Unit7 の前半を演習する
第 3 回	Unit7-2	Unit7 の後半を演習する
第 4 回	Unit8-1	Unit8 の前半を演習する
第 5 回	Unit8-2	Unit8 の後半を演習する
第 6 回	Unit9-1	Unit9 の前半を演習する
第 7 回	Unit9-2	Unit9 の後半を演習する
第 8 回	Unit10-1	Unit10 の前半を演習する
第 9 回	Unit10-2	Unit10 の後半を演習する
第 10 回	Unit11-1	Unit11 の前半を演習する
第 11 回	Unit11-2	Unit11 の後半を演習する
第 12 回	Unit12-1	Unit12 の前半を演習する
第 13 回	Unit12-2	Unit12 の後半を演習する
第 14 回	秋学期のまとめ	秋学期に学んだ英語表現や文法の再確認をする

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

各回、予習をして授業に参加すること。課題が出された場合には、遅れることなく提出すること。本授業の準備・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト (教科書)】

English Booster!(ストーリー&必須文法で学ぶ大学生の英語基礎力 スタートアップ)

Robert Hickling 著、金星堂

英和・和英辞書を必ず持参すること

## 【参考書】

特に指定しない。

## 【成績評価の方法と基準】

学期末試験 50 %、授業時の応答や参加度 50 %。

4 回以上欠席した者は成績評価の対象から外れる。遅刻 2 回を欠席 1 回に換算する。

授業に出ていても、予習を行っていない、または、演習に積極的に参加しない受講生は出席と認めないことがある。

## 【学生の意見等からの気づき】

ひきつづき、受講生の英語のレベルに合わせてながら進度を調節する。

## 【Outline (in English)】

This course is designed for SSI students. They will learn basic English grammar and vocabulary, starting off by learning the basics of English, including developing a knowledge of English phrases and vocabulary used on a daily basis.

The goal of this course is to acquire the basics of English mentioned above.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grade will be calculated according to the following process:

Term-end examination (50%), and in-class contribution (50%)

LANe100LA

## 入門英語 (SSI) I

2017 年度以降入学者

鈴木 眞奈美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

レベル共通／定員制 (48 名)

その他属性：

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業の目的は5つあります。1) 基本的英語文法の習得、2) 英語で日常会話を行う練習、3) 英語で自分の考えを表現する練習、4) 統合的な英語学習、5) 英語学習を通して自らの人生を振り返り、将来について考察すること。

## 【到達目標】

この授業では、以下の目標到達を目指します。1) 基本的英語文法の習得、2) 英語で日常会話を行うこと、3) 英語で話したり、書いたりして自分の考えを表現できること、4) 英語のスピーキング、リスニング、リーディング、ライティングを統合的に学習すること、5) 英語学習を通して自らの人生を振り返り将来について考察すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

この授業では、身近な題材を用いて基本的英語文法を学習しながら、英語で表現 (スピーキング・ライティング) する練習を行います。このためペアワークやグループワークを通じて共同学習を行います。授業は日本語で行いますが、徐々に英語でコミュニケーションする機会を増やしていきますので、積極的な授業の参加が求められます。授業ではより良い学習環境の構築・楽しく英語を学習することを目指します。また課題へのフィードバックは授業内、あるいは各個人の提出課題にフィードバックします。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】  
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】  
なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の紹介 担当教員の紹介 自己紹介の準備
2	スピーキング：自己紹介 ライティング・スピーキング：今学期の目標設定	英語で自己紹介をします。 今学期の目標を英語で設定し、発表します。
3	品詞について (1)	英語の品詞とくに名詞、動詞、形容詞、副詞について学習します。
4	品詞について (2)、 5 W 1 H	品詞の復習 疑問詞を使った疑問文
5	文型について (第1、2文型)	第1文型、第2文型の学習 (be, become, feel を用いた文の学習)
6	プレゼンテーション準備	効果的なプレゼンテーションに関して学習します。 プレゼンテーションの準備をします。
7	プレゼンテーション (1)	プレゼンテーションをします。
8	プレゼンテーション (2)	プレゼンテーションをします。

9	プレゼンテーション (3)	プレゼンテーションをします。
10	プレゼンテーション (4)	プレゼンテーションをします。
11	プレゼンテーション (5)	プレゼンテーションをします。
12	文型について (第3文型・第4文型)	第1文型、第2文型の復習 第3文型、第4文型の学習 (give, teach, tell, send, show, buy を用いた文の学習)
13	文型について (第5文型)	第1～第4文型の復習 第5文型の学習 (call, name, make を用いた文の学習)
14	全体の復習 リフレクション	今学期の復習をします。 今学期の学習を振り返り、夏季休暇中、来学期の目標を設定します。

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業外では以下の学習が求められます。

1) 課題を行い、提出期限に提出すること

2) 英語番組を定期的に視聴すること

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

## 【テキスト (教科書)】

適宜資料を配布します。

## 【参考書】

英和辞典、和英辞典

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 (20%)、課題 (10%)、プレゼンテーション (30%)、期末テスト (40%)

\*各学期欠席4回以上の場合は、原則として単位修得は認められません。またプレゼンテーションを行わなかった場合、定期試験を受けなかった場合も単位修得は認められません。

## 【学生の意見等からの気づき】

適宜みなさんの御希望を伺いながら授業を進めていきたいと思えます。

## 【学生が準備すべき機器他】

Hoppii, Zoom, WORD, PowerPoint を使用します。

## 【その他の重要事項】

1) 積極的に授業に参加することが求められます。

2) マナーを守り、協力して授業に参加することが求められます。

3) 課題の提出期限を遵守することが求められます。

4) 授業に欠席する場合は、担当教員に必ず連絡することが必要です。

5) COVID 19 の状況によっては一部の対面授業 (予定) がオンラインで実施になる場合もあります。

6) 受講希望者は、必ず最初のオンラインの授業に参加して下さい。

## 【Outline (in English)】

[Course outline] You will learn English to achieve these five goals: 1) to acquire basic English grammar; 2) to have daily conversation in English; 3) to express your thoughts through speaking and writing in English; 4) to learn English holistically and 5) to reflect on your life and plan for your future career through learning English.

[Learning Objectives] You will try to achieve these five goals in this English class: 1) to acquire basic English grammar; 2) to have daily conversation in English; 3) to express your thoughts through speaking and writing in English; 4) to learn English holistically and 5) to reflect on your life and plan for your future career through learning English.

[Learning activities outside of classroom] You are expected: 1) to do assignments, submit them, and meet the deadline; 2) to watch or listen to an English program regularly/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

[Grading Criteria/Policy] class participation (20%), assignments (10%), presentation (30%), and final examination (40%)

\*If you have four absences per semester without permission, do not make a presentation, or do not take a term examination, you cannot receive a credit for this course.

LANe100LA

## 入門英語 (SSI) II

2017 年度以降入学者

深谷 公宣

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

レベル共通／定員制 (48 名)

その他属性：

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

基礎的な英語の語彙・表現に触れながら、リーディングとライティングのスキルを修得します。

## 【到達目標】

学期の終わりにまでに次のことができるようになるのが目標です。  
・辞書を引き、単語の意味だけでなく品詞や用法を理解することができる。

- ・基本的な文法の知識に基づき、英文を読むことができる。
- ・簡単な英語で自分の考えを書くことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

・授業形態：教科書に沿って演習・解説をします。予習をして臨むこと。

・授業内課題：授業の終わりにライティングを行い、提出してもらいます。毎回辞書を持参してください。

・レポート課題：学期中に、教科書に出てくる都市について調べるレポート課題を出します。

・フィードバック方法：提出物は添削のうえ、返却します。

## 【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり / Yes

## 【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	be 動詞
	Unit1	Welcome to Vancouver
2	Unit2	一般動詞現在形 Ryo Loves San Francisco
3	Unit3	代名詞 A British City in Canada?
4	Unit4	進行形 L. A. Style
5	Unit5	時・場所の前置詞 The Canadian Rockies
6	Unit6	可算名詞・不可算名詞 The Grand Canyon
7	Unit7	一般動詞の過去形 T.O. — Tronto, Ontario
8	Unit8	疑問詞 Big Texas
9	Unit9	接続詞 Ottawa — The Capital
10	Unit10	動名詞・不定詞 Funky New Orleans
11	Unit11	未来形 Charming Quebec City
12	Unit12	現在完了形 Florida Sunshine
13	Unit13	比較級・最上級 A Taste of P.E.I

## 14 Unit14

助動詞

N.Y.C. — The Big Apple

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

・授業前には予習を行ってください。

・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。  
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

## 【テキスト (教科書)】

English Missions! Starter Robert Hicling, 白倉美里著、金星堂。

## 【参考書】

授業の中で指示します。

## 【成績評価の方法と基準】

- ・平常点：40%
- ・授業内課題：30%
- ・レポート課題：30%
- ・4 回以上欠席した受講生は単位取得を認めません。

## 【学生の意見等からの気づき】

特になし。

## 【Outline (in English)】

・ Course outline: This course is designed to develop reading and writing skills in English using basic words and sentences.

・ Learning Objectives: By the end of this course, students will be an active English learner who tries to look up a dictionary to understand not only the meaning of a word, but also its collocation, and uses the skills they acquired for the act of reading and writing.

・ Learning activities outside of the classroom: Preparation for exercises in the textbook.

・ Grading Criteria/Policy: Class participation 40%, In class assignments 30%, Research paper 30%.

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.



LANe100LA

入門英語 (SSI) I

2017 年度以降入学者

鈴木 理枝

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：1 単位

定員制 (48 名)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、英語の基礎力に自信のない学生を対象にしています。基礎文法力、語彙力、リスニング力を身につけ、社会で使用できる実践力を身につけることを目的としています。

【到達目標】

総合的な英語基礎力を身につける。

- (1) 基礎文法力を身につける
- (2) 基礎読解力を身につける
- (3) リスニング力、日常会話力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業形式は、テキストを中心に演習授業になります。ペアワーク中心に進めます。英語が苦手な学生が、英語をまず好きになってもらうように双方向の楽しい授業を心がけます。授業内での課題、発表後、毎回アドバイスする。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション・自己紹介ゲーム	授業内容、授業の進め方、成績のつけ方、出欠について説明する。自己紹介ゲームをする。
2	Unit 1 ① Pleased to Meet You! At a party	Parts of Speech 日常生活で使用される英語表現を身につける
3	Unit 1 ② Pleased to Meet You! At a party	Parts of Speech 通訳演習・発表
4	Unit 2 ① By Air or Surface Mail?	The Constituent Parts of Sentences 日常生活で使用される英語表現を身につける
5	Unit 2 ② By Air or Surface Mail?	The Constituent Parts of Sentences 通訳演習・発表
6	Unit 3 ① What's the Trouble?	Sentence Patterns ① 日常会話で使用される英語表現を身につける。
7	Unit 3 ② What's the Trouble?	Sentence Patterns ① 通訳演習・発表
8	Unit 4 ① Why? Tell Me the Reason.	Sentence Patterns ② 日常生活で使用される英語表現を身につける
9	Unit 4 ② Why? Tell Me the Reason.	Sentence Patterns ② 通訳演習・発表
10	Unit 5 ① We're Sorry for the Inconvenience	Tense ① 日常生活で使用される英語表現を身につける

11	Unit 5 ② We're Sorry for the Inconvenience	Tense ② 通訳演習・発表
12	Unit 6 ① I haven't had an Opportunity	Progressive Form/Perfect Tense ① 日常生活で使用される英語表現を身につける
13	Unit 6 ② I haven't had an Opportunity	Progressive Form/Perfect Tense ② 通訳演習・発表
14	期末試験	まとめ・期末試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。  
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

準備学習：分からない語彙、訳があれば辞書を引き予習しておくこと。CD を聞き、発音を確認しておくこと。練習問題を予習しておくこと。

復習：授業内で習得した内容について、復習して下さい。

【テキスト (教科書)】

『Building English Essentials』「伝えるための英語力」Toshio Kimura, Rie Suzuki, Yoshie Isobe, Rie Owaku, Reika Kokufukata, 南雲堂、2017, 980 円+税、ISBN978-4-523-17836-1

【参考書】

履修者に応じて、授業内で必要な場合は、参考書を指定する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験：50 %

平常点：50 % (授業への参加度、態度、発表、小テスト) 評価の基準

- (1) 基礎文法力、語彙力が身につけているか
  - (2) リスニング力が身につけているか
  - (3) 読解力が身につけているか
- 欠席 4 回以上で、単位取得不可。

【学生の意見等からの気づき】

発表中心の双方向の授業に対して、学生からの高評価をもらい、今後も英語力と同時に積極性を身につける授業を展開していく。また、英語が苦手な学生に対して、楽しい授業を心掛ける。

【Outline (in English)】

This class is for students who are not confident in their basic English proficiency. Acquire basic grammar, vocabulary, and listening skills, and acquire practical skills that can be used in society.

Goal: Acquire comprehensive basic English

- (1) Acquire basic grammar skills
- (2) Acquire basic reading comprehension
- (3) Acquire listening skills and daily English conversation Preparatory learning

For vocabulary and translations that you do not understand, look up the dictionary and prepare. Listen to the CD and check the pronunciation. Do text exercises.

Review

Review that what you learned in class.

Grading Criteria/Policy

Final exam: 50%

Normal point: 50%(Participation in class, attitude, presentation)

Grade evaluation criteria

- (1) Understanding the contents
- (2) Acquire the daily English Conversation
- (3) Acquire listening skills and interpretation

Credits can not be earned if absent 4 times or more.

LANe100LA

## 入門英語 (SSI) II

2017 年度以降入学者

鈴木 理枝

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：1 単位

定員制 (48 名)

その他属性：

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期に続き、この授業では、基礎的な英語に自信のない学生を対象にしています。基礎文法力、語彙力、リスニング力を身につけ、社会で使用できる実践力を身につけます。発表中心の授業になります。

## 【到達目標】

総合的な英語基礎力を身につける。

- (1) 基礎文法力を身につける
- (2) 基礎読解力を身につける
- (3) リスニング力、日常会話力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業形式は、テキストを中心に演習授業になります。各学生は予習をして授業に臨むことを原則とします。文法の解説、語彙力、リスニング力向上のための訓練を行い、実践力を身につけていきます。発表後、毎回アドバイスする。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション・Unit 7 ① Sightseeing in Kamakura	Passive Voice/Active Voice ① 日常生活で使用される英語表現を身につける
2	Unit 7 ② Sightseeing in Kamakura	Passive Voice/Active Voice ② 通訳演習・発表
3	Unit 8 ① You should ask Koji	Auxiliary Verbs ① 日常生活で使用される英語表現を身につける
4	Unit 8 ② You should ask Koji	Auxiliary Verbs ② 通訳演習・発表
5	Unit 9 ① Are you busy tomorrow morning?	Infinitives ① 日常生活で使用される英語表現を身につける
6	Unit 9 ② Are you busy tomorrow morning?	Infinitives ② 通訳演習・発表
7	Unit 10 ① I'd like to check in.	Participles ① 日常生活で使用される英語表現を身につける
8	Unit 10 ② I'd like to check in.	Participles ② 通訳演習・発表
9	Unit 11 ① Have you tried looking online?	Gerunds ① 日常生活で使用される英語表現を身につける
10	Unit 11 ② Have you tried looking on line?	Gerunds ② 通訳演習・発表

11	Unit 12 ① I'd like a smaller one	Comparatives ① 日常生活で使用される英語表現を身につける
12	Unit 13 ② Are you ready to order?	Relative Pronouns 日常生活で使用される英語表現を身につける
13	Unit 14 Walk eight blocks, and you'll see it on your right	Relative Adverbs 通訳演習・発表
14	期末試験	まとめ・期末試験

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。  
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

準備学習：分からない語彙、訳があれば辞書を引き予習しておくこと。CD を聞き、発音を確認しておくこと。練習問題を予習しておくこと。

復習：授業内で習得した内容について、復習して下さい。

## 【テキスト (教科書)】

『Building English Essentials』「伝えるための英語力」Toshio Kimura, Rie Suzuki, Yoshie Isobe, Rie Owaku, Reika Kokufukata, 南雲堂、2017, 980 円+税、ISBN978-4-523-17836-1

## 【参考書】

学生のレベルや状況を鑑みて、授業内で指定する。

## 【成績評価の方法と基準】

期末試験：50 %

平常点：50 % (授業への参加度、態度、発表、小テスト)

評価の基準

- (1) 基礎文法力、語彙力が身につけているか
  - (2) リスニング力が身につけているか
  - (3) 読解力が身につけているか
- 欠席 4 回以上で単位取得不可。

## 【学生の意見等からの気づき】

発表中心の双方向の授業に対して、学生からの高評価をもらい、今後も英語力と同時に積極性を身につける授業を展開していく。

## 【Outline (in English)】

This class is for students who are not confident in their basic English proficiency. Acquire basic grammar, vocabulary, and listening skills, and acquire practical skills that can be used in society.

Goal: Acquire comprehensive basis English

- (1) Acquire basic grammar skills
- (2) Acquire basic reading comprehension
- (3) Acquire listening skills and daily conversation skills

Preparatory learning

For vocabulary and translations that you do not understand, look up the dictionary and prepare. Listen to the CD and check the pronunciation. Do text exercises.

Review

Review that what you learned in class.

Grading Criteria/Policy

Final exam: 50%

Normal point: 50%(Participation in class, attitude, presentation)

Grade evaluation criteria

- (1) Understanding the contents
- (2) Acquire the daily English Conversation
- (3) Acquire listening skills and interpretation

Credits can not be earned if absent 4 times or more.

LANe200LA  
**English 3 I** 2017 年度以降入学者  
 サブタイトル：Current Issues in the English-Speaking World  
**佐藤 陽子**  
 開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3  
 単位数：1 単位  
 上級／英語  
 その他属性：

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

**【到達目標】**

- 1) Students will read and understand English texts and become familiar with relevant writing styles and vocabulary items.
- 2) Students will critically evaluate the reading and listening materials by paying attention to the style and conducting research.
- 3) Students will learn to express their own opinions in speech and in writing, including group discussions and presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

This is a learner-centred course. Students participate in a variety of activities that involves the four skills of reading, writing, listening and speaking. Each class centres around pair and group work based on reading and/or listening homework on current affairs and/or cultural issues. The overall class atmosphere is friendly and informal. The lessons will be given in English and online via Zoom given the on-going Covid-19 crisis. Important information will be distributed via HOPPIL, and the notifications will be sent to your \*Hosei email address\*. Students have opportunities to ask questions, give opinions, and voice concerns etc both in class and in a post-lesson questionnaire conducted after each lesson. Feedback on these will be typically given in the next lesson. Feedback on the homework and presentations will be given in class and/or via HOPPIL.

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**  
あり / Yes

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**  
なし / No

**【授業計画】** 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	Introduction, getting to know each other, course descriptions, Q & A	Communicative activities, course descriptions, plans for the semester, homework, Q & A
2	Basics of oral communication, planned speech, understanding Current Issue 1	Show & Tell 1, comprehension check on reading HW on Topic 1, homework, Q & A

3	Vocabulary quiz 1, unplanned speech, basics of group discussion, discussing Current Issue 1 (1)	Vocabulary quiz 1, conversation, group discussion (1) on Topic 1, homework, Q & A
4	Planned speech, Discussing Current Issue 1 (2)	Story of my name, group discussion (2) on Topic 1, homework, Q & A
5	Vocabulary quiz 2, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (3), basics of group presentation (1)	Vocabulary quiz 2, conversation, group discussion (2) on Topic 1, basics of group presentation (1), homework, Q & A
6	Planned speech, basics of group presentation (2), preparing for Presentation 1	Show & Tell 2, basics of group presentation (2), preparation for the group presentation on Topic 1, homework, Q & A
7	Presenting on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1, homework, Q & A
8	Unplanned speech, feedback on Presentation 1, understanding Current Issue 2	Conversation, peer- and teacher feedback on Presentation 1, comprehension check on Topic 2 material, homework, Q & A
9	Vocabulary quiz 3, unplanned speech, discussing Current Issue 2 (1)	Vocabulary quiz 3, conversation, group discussion on Topic 2 (1), homework, Q & A
10	Planned speech, discussing Current Issue 2 (2)	Show & Tell 3, group discussion on Topic 2 (2), homework, Q & A
11	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (3), basics of group presentation (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (3), basics of group presentation (3), homework, Q & A
12	Unplanned speech, basics of group presentation (4), preparing for Presentation 2	Conversation, basics of group presentation (4), preparation for the group presentation on Topic 2, homework, Q & A
13	Presenting on Current Issue 2	Group presentations on Topic 2, homework, Q & A
14	Unplanned speech, feedback on Presentation 2, recap of the semester & student feedback	Conversation, peer- and teacher feedback on presentation 2, recap of the semester, student feedback

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

Students are expected to complete homework assignments and prepare for regular vocabulary quizzes and presentations. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

**【テキスト（教科書）】**

No textbook is assigned. Materials and homework information will be distributed via HOPPIL.

**【参考書】**

Good dictionaries that suit your level and need

**【成績評価の方法と基準】**

Students will be assessed based on the following criteria:  
 Class participation: 25%  
 Homework and quizzes: 35%  
 Presentations: 40%

Please note that any student who misses the equivalent of more than 3 classes will not pass this course except in extreme circumstances. Please also note that absence does not excuse students from doing homework. When absent, students are also responsible for obtaining information etc by contacting the teacher and/or other students and for coming back to class in the following week with all the preparation done.

**【学生の意見等からの気づき】**

Although conducted online, this course seems to have enabled students to enjoy "talking" to each other in English, make friends, and develop a sense of community through its many communicative activities. Students also felt discussion and presentation skills very useful, and the topics interesting.

**【学生が準備すべき機器他】**

A computer (preferable) or a mobile phone is necessary to attend our Zoom lessons. A headset is needed to avoid audio feedback if you take the lesson/s on campus. Students are also required to use slides (e.g. PowerPoint) for their presentations and to submit written assignments using word-processing software (e.g. Word).

**【Outline (in English)】**

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current Issues in the English-Speaking World

佐藤 陽子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

上級／英語

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course builds upon the skills and knowledge gained from English 3 I, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

【到達目標】

- 1) Students will read and understand English texts and become familiar with relevant writing styles and vocabulary items.
- 2) Students will conduct research on current issues and critically evaluate the reading and audio-visual materials by paying attention to the style and the source.
- 3) Students will learn to express their own opinions in speech and in writing, including group discussions and presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This is a learner-centred course. Students participate in a variety of activities that involves the four skills of reading, writing, listening and speaking. Each class centres around pair and group work based on reading and/or listening homework on current affairs and/or cultural issues. The overall class atmosphere is friendly and informal. The lessons will be given in English and online via Zoom given the on-going Covid-19 crisis. Important information will be distributed via HOPPII, and the notifications will be sent to your \*Hosei email address\*. Students have opportunities to ask questions, give opinions, and voice concerns etc both in class and in a post-lesson questionnaire conducted after each lesson. Feedback on these will be typically given in the next lesson. Feedback on the homework and presentations will be given in class and/or via HOPPII.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	Welcome back, plans for the semester	Communicative activities, plans for the semester, homework, Q & A
2	Planned speech 1, understanding Current Issue 1	Show & Tell 1, comprehension check on reading material on Topic 1, homework, Q & A
3	Vocabulary quiz 1, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (1), basics of essay writing (1)	Vocabulary quiz 1, conversation, group discussion (1) on Topic 1, basics of essay writing (1)

4	Vocabulary quiz 2, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (2), basics of essay writing (2)	Vocabulary quiz 2, conversation, group discussion (2) on Topic 1, basics of essay writing (2), homework, Q & A
5	Planned speech, discussing Current Issue 1 (3), preparing for Presentation 1	Show & Tell 2, group discussion (2) on Topic 1, preparation for the group presentation on Topic 1, homework, Q & A
6	Presenting on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1, homework, Q & A
7	Unplanned speech, feedback on Presentation 1, brainstorming on Current Issue 2	Conversation, peer- and teacher feedback on presentation 1, 2, brainstorming on Topic 2, homework, Q & A
8	Planned speech, discussing Current Issue 2 (1)	Show & Tell 3, group discussion on Topic 2 (1), homework, Q & A
9	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (2), basics of essay writing (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (2), basics of essay writing (3), homework, Q & A
10	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (3), homework, Q & A
11	Unplanned speech, preparing for Presentation 2	Conversation, preparation for the group presentation on Topic 2, homework, Q & A
12	Presenting on Current Issue 2	Group presentations on Topic 2, homework, Q & A
13	Feedback on Presentation 2, discussing essay drafts	Peer- and teacher feedback on presentation 2, share & discuss essay drafts, homework, Q & A
14	Unplanned speech, discussing essay drafts, recap of the semester, student feedback	Conversation, discuss essay drafts, recap of the semester, student feedback, homework, Q & A

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students are expected to complete homework assignments and prepare for regular vocabulary quizzes and presentations. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

No textbook is assigned. Materials and homework information will be distributed via HOPPII.

【参考書】

Good dictionaries that suit your level and need

【成績評価の方法と基準】

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 25%

Homework and quizzes: 35%

Presentations & an essay: 40%

Please note that any student who misses the equivalent of more than 3 classes will not pass this course except in extreme circumstances. Please also note that absence does not excuse students from doing homework. When absent, students are also responsible for obtaining information etc by contacting the teacher and/or other students and for coming back to class in the following week with all the preparation done.

**【学生の意見等からの気づき】**

Although conducted online, this course seems to have enabled students to enjoy "talking" to each other in English, make friends, and develop a sense of community through its many communicative activities. Students also felt discussion, presentation, and essay writing skills very useful, and the topics interesting.

**【学生が準備すべき機器他】**

A computer (preferable) or a mobile phone is necessary to attend our Zoom lessons. A headset is needed to avoid audio feedback if you take the lesson/s on campus. Students are also required to use slides (e.g. PowerPoint) for their presentations and to submit written assignments using word-processing software (e.g. Word).

**【Outline (in English)】**

This course builds upon the skills and knowledge gained from English 3 I, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Japan in the World (People, Movement, and Japan)

STEPHEN P MCINTYRE

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

上級／英語

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Through reading, listening and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge and experience both verbally and in writing. Students will participate in pair and group discussions, and present information to a group. This class focuses in particular on issues relating to migration and work in modern world and particularly in Japan. Students will be encouraged to think critically about issues related to migrants, work, and the movement and influence of language, ideas, goods, and services across borders.

The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary to better meet the needs of students.

【到達目標】

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics related to current issues. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The class will be based on themes emerging from the textbook and expanded on with additional material provided by the teacher related to migration, work, and the movement of people, and of ideas, products, and companies. Students are expected to participate in class discussions and complete exercises during class. In particular they will be required to engage with topics, conduct their own research, and present this to their peers in class discussions, and through presentations. Students will also be instructed on academic essay writing for the purpose of writing on a specific topic with correct referencing. Regular feedback will be given to students during class on their discussions and on completed exercises. Some written feedback will also be provided online via the online learning system on their written work. Feedback on final presentations and essays will be provided mainly in written form through the online learning system (Hoppi).

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Thinking about work, migration, and movement in Japan through English language media. Introduce yourself, and mention one thing that you think of when you here the world "economic migrant".
Week 2	Economic Migrants in Sales and Marketing	Unit 1 Sales Can Be Like Acting Complete exercises in textbook. Watch video Tommy Lee Jones Write down some impressions that you have of famous Hollywood stars like Tommy Lee Jones who appear in commercials in Japan. Share these ideas in discussions in pairs.
Week 3	Economic migrants.	People like David White (from Unit One) can be classified as economic migrants however they are usually not referred to as such. Others who migrate for work are called economic migrants and may be even considered to be a "social problem". Based on materials in class and students own research, discuss the various types of "economic migrants" living and working in Japan.
Week 4	Air Travel Tourism: A world that is open and accessible?	Unit 2 Travel Opens Up the World (Turkey) Exercises from textbook. Discussion: write down some ideas about travel in the world today and how this has connected Japan and the rest of the world. Share your ideas in pairs. Homework: read articles on issues related to the ease of travel for some and the difficulty in traveling for those such as refugees.
Week 5	Air travel passports and refugees in Japan (Kurdish refugees from Turkey)	For refugees: travel can provide Freedom and Safety, but at a cost. Look at video and News articles about Kurdish and other refugees in Japan. Write down some notes regarding this situation, and share it in discussions with 3 or 4 students.

Week 6	Multinational Corporations and their International Staff	Unit 3 Love Sells Cars Tiziana Alamprese (Italian), Marketing Director, Fiat Chrysler Japan Corporate responsibility? Corporate Greed: Fiat Chrysler corruption scandal. Discuss the issue of corporate social responsibility and making a profit from the text. Read additional material provided and write down 2 or 3 sentences reflecting on these readings.	Week 9	The migration of ideas through translation.	Unit 4 Translating is more than words (Migrant from the USA) Famous Anime become famous through translation: "Attack on Titan" "Battle Angel Alita" Translation and communication Critical thinking activity: Translation and the movement of ideas. What ideas have been translated from Japanese and become famous abroad? Write down ideas in class for discussion in groups. Home work: The migration of ideas through translation. Do your own research on text translated from English to Japanese, or from Japanese to English (write 1 or 2 paragraphs)
Week 7	Immigration Detention	Many of the migrant workers introduced in the textbook are from "Western" countries such as Italy or the UK. But migrants and refugees can face problems with immigration control. Italian man death in custody. Students introduced to text relating to immigration control, immigration detention. Class discussion in groups of 3 or 4. Homework: Write a 2 paragraphs about immigration detention referring to information about those detained.	Week 10	Migrants working in the service and other sectors of the economy(Unit 5 Textbook)	Exercises from the textbook: Providing good service and marketing. Reading task: Articles on migrant workers working in the service industry in Japan. (konbini gaikokujin) Homework: Find out about migrants working in Convenience stores in Japan. What challenges do they face? Toast Your Success (Unit 6)
Week 8	Essay workshop/ Research activity	Thinking about issues in the world and Japan today. Economic migrants/ refugees: why do people move between countries? Why do migrants come to Japan (or why do Japanese move abroad?) Topic: Think about why people move between countries for economic reasons or why some are forced to move because they face danger and become refugees. Can someone be both? Choosing a topic/ answering an essay question. Finding sources/ creating a thesis outline/ having a thesis statement/ structuring your essay. Homework: Find two articles on a topic related to economic migrants or refugees, or mixed migrants (in Japan) (In the world today)	Week 11	Movement of Products Around the World	In class exercises from textbook. Think Global, Act Local. How does globalization affect people in Japan? How do Japan (the government and companies) affect the world?
			Week 12	English Teachers in Japan / Australian's working in Japan (Unit 7)	English speakers as English teacher living and working in Japan Other Australian's working in Japan — Ski resort operators. Critical thinking: What are the reasons people around the world learn English? Homework: Prepare for discussions and presentations in groups on language learning and immigrants and their children.
			Week 13	English Teachers in Japan / Australian's working in Japan (Unit 7)	Language teaching and immigrants and refugees. Japanese classes for new arrivals and their children. Why is language important? What about other languages? Should Japanese people study other languages?
			Week 14	Final Presentations and Reflections	Presentation on a chosen topic discussed in class, or based on original researched by student during the semester. Essay submitted on the same topic as presentation.



**【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】**

Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

**【テキスト (教科書)】**

Working in Japan: Video Interviews with 14 Professionals  
Alice Gordenker & John Rucynski  
Cengage Learning, pp128 with DVD, ¥2550,

**【参考書】**

English to English dictionary:

<https://dictionary.cambridge.org/>

W. Strunk Jr. & White, E. B. 1999. The Elements of Style, Fourth Edition (4th ed.). Allyn and Bacon. Boston.

Neumann, D. J. (2016). A Professor's Guide to Writing Essays: The No-Nonsense Plan for Better Writing. Jacob Neumann

Further references will be provided by the instructor during the class.

**【成績評価の方法と基準】**

Students are assessed based on the following criteria

In class reading and listening comprehension, discussions, and writing exercises. 20%

Presentations in groups and the submitted presentation notes. 40%

Final essay and other written home work submitted during the semester. 40%

Attendance policy: In principle, no more than three absences per term are allowed.

**【学生の意見等からの気づき】**

Since the course is being led by the current instructor for the first time, there are no student comments.

The end of term reflection will include student assessment of the course. (Students are invited to comment on the course at any time)

**【学生が準備すべき機器他】**

- Textbook.
- Additional resources for writing (dictionaries etc).
- Students should also prepare a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.
- Students are expected to have access to a computer and the Internet for homework and assessment submission. It would be beneficial for students to bring smartphones, iPads, or Laptops to the class for ease of searching for and sharing information. (Let your instructor know if this is difficult.)

**【その他の重要事項】**

Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester. The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary. Students are expected to purchase and bring the textbook to each class. They are also expected to have access to a computer and the internet for homework and assessment submission. Paper submission will generally not be accepted.

**【Outline (in English)】**

The purpose English 3 is to further develop student's English proficiency in this course and to provide participants with an active approach to increasing their speaking, listening, reading and writing skills.

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Japan in the World (People, Movement, and Japan)

STEPHEN P MCINTYRE

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

上級／英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 II builds upon the various English language skills and knowledge gained in English 3 I.

Through reading, listening and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge and experience both verbally and in writing. Students will participate in pair and group discussions, and present information within a group. This class focuses in particular on issues relating to migration and work in the modern world, particularly in Japan. Students will be encouraged to think critically about issues related to migrants, work, and the movement and influence of language, ideas, goods, and services across borders.

The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary to better meet the needs of students.

## 【到達目標】

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics related to current issues. There will be a particular focus on migration, work, and refugee related issues. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

The class will be based on themes emerging from the textbook and expanded on with additional material provided by the teacher related to migration, work, and the movement of people, and of ideas, products, and companies. Students are expected to participate in class discussions and complete exercises during class. In particular they will be required to engage with topics, conduct their own research, and present this to their peers in class discussions, and through presentations. Students will also be instructed on academic essay writing for the purpose of writing on a specific topic with correct referencing. Regular feedback will be given to students during class on their discussions and on completed exercises. Some written feedback will also be provided online via the online learning system on their written work. Feedback on final presentations and essays will be provided mainly in written form through the online learning system (Hoppi).

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Lesson 1	Introductions	Course syllabus explained. Write a paragraph introducing your self. Interview your neighbor and then introduce them in 1 minute to the class.
Lesson 2	Designing Buildings in Japan	Build a Happy Life! Astrid Klein Architect (Units 8) Exercises from Textbook. Critical thinking: What features do Japanese buildings have that may be very beneficial in other countries? Pecha kucha presentation style Home work: make a "pecha kucha" slide show related to architecture, the environment and people. More
Lesson 3	Freelance work, Trainees, and Precarious work	Presentations in groups on where people live etc. Life is like Riding a Bicycle (Unit 9) Opportunities/ finding a career you like/ Internships / exploitation of/ precarious work Critical thinking: Trying out a job sounds like a good idea, but when does the trial become exploitation?
Lesson 4	Internships, Trainees, and Precarious Work in Japan	Trainees (jishusei) / interns working for free/ the need to have wealthy parents to start a career? Homework: Find an article on the situation faced by foreign workers in Japan in precarious work, such as the trainees. Write 2 paragraphs describing their situation.
Lesson 5	Business and the Environment.	Trade Ideas for Positive Change (Unit 10 ) Business and the environment. Upper class or corporate migrants, global elites are able to travel freely around the world. Mitsui Japanese corporations in the world. Environmental and social impacts? Discuss how corporations in a globalized world impact different regions of the world. Homework: Challenge to find two articles. one that is positive one that is critical about the same corporation and the impact it has on the environment.

Lesson 6	Globalization and the "Harvest of Empire"	Look at material showing the impact of corporations across the world and how economic connections between countries can lead to the movement of people between countries, including refugees. Engage with material in class and participate in discussion and write notes on ideas learned in class. How have Japanese corporations affected other countries?	Lesson 12	Volunteering in Japan/ Volunteers from Japan	Help Animals for a Better Society [volunteer work] (Unit 14) Elizabeth Oliver (England) [Animal refuge] Complete exercises in the textbook in class. Discuss in groups of 3 or 4 about volunteering both in Japan and abroad. Critical thinking: Should some work done by volunteers be paid work? Homework: What kind of volunteering opportunities are there in your local area with migrants and refugees, or for other causes?
Lesson 7	IT workers and "highly skilled" Migrant Workers	Connect Workers with Companies (Unit 11 ) IT and migration/ virtual migration (Body shopping) Exercises from the Textbook completed in class. Look at Japan's attempt to attract IT workers. "highly skilled migrants" kodo gino imin" Homework: Find out about The attempt to bring IT Professionals to Japan as workers.	Lesson 13	Volunteer work and humanitarian work. Doing good?	Students present opportunities they found for volunteer work in their local communities. (small groups of 4 or 5) Volunteers in Japan are active in many areas. In relation to migrants in Japan there are many volunteers teaching Japanese, visiting detainees, etc. Is volunteer work a good thing? Can there be negative effects of volunteering? "Voluntourism"
Lesson 8	Indian Migrants in Japan and around the World	Necessity is the Mother of Invention (Unit 12) Indian IT professionals in Japan and around the world. Homework: Prepare presentation on IT and highly skilled workers or the internet and our connected world. "Virtual migration".	Lesson 14	Final Presentations and Reflection	Final presentations of research assignment and submission of final essay.
Lesson 9	Presentations and research/essay writing instruction.	Presentations on highly skilled migrants in Japan. Instruction on collecting information, presenting information, making an argument, citations.	【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】 Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.		
Lesson 10	Migrant Niche Businesses (Foreign/"Ethnic" Restaurants)	What's the Recipe for Success? (Unit 13) Restrains run by foreigners in Japan/ refugees in Japan and restaurants Complete exercises from the text book. Additional information from provided reading material on restaurants run by migrants and refugees in Japan. Eg Burmese restaurants run by refugees/ Kurdish kebab shops. Homework: Find an articles about migrants in Japan who have started their own businesses in Japan. Write a short description (2 or 3 paragraphs) in English and bring to next class.	【テキスト (教科書)】 Working in Japan: Video Interviews with 14 Professionals Alice Gordenker & John Rucynski Cengage Learning, pp128 with DVD, ¥2550, 【参考書】 English to English dictionary: <a href="https://dictionary.cambridge.org/">https://dictionary.cambridge.org/</a> 英文ライティング虎の巻 【改訂版】 Strunk Jr., W., & White, E. B. (1999). "The Elements of Style, Fourth Edition" (4th ed.). Allyn and Bacon. Neumann, D. J. (2016). "A Professor's Guide to Writing Essays: The No-Nonsense Plan for Better Writing". Jacob Neumann.		
Lesson 11	Migrant Niche Businesses	Presentations on migrant niche businesses in Japan.	【成績評価の方法と基準】 Students are assessed based on the following criteria In class reading and listening comprehension, discussions, and writing exercises. 20% Presentations in groups and the submitted presentation notes. 40% Final essay and other written home work submitted during the semester. 40% Attendance policy: In principle, no more than three absences per term are allowed. 【学生の意見等からの気づき】 Since the course is being led by the current instructor for the first time, there are no student comments. The end of term reflection will include student assessment of the course. (Students are invited to comment on the course at any time)		

**【学生が準備すべき機器他】**

- Textbook.
- Additional resources for writing (dictionaries etc).
- Students should also prepare a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.
- Students are expected to have access to a computer and the Internet for homework and assessment submission. It would be beneficial for students to bring smartphones, iPads, or Laptops to the class for ease of searching for and sharing information. (Let your instructor know if this is difficult.)

**【その他の重要事項】**

Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester. The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary. Students are expected to purchase and bring the textbook to each class. They are also expected to have access to a computer and the internet for homework and assessment submission. Paper submission will generally not be accepted.

**【Outline (in English)】**

The purpose English 3 is to further develop student's English proficiency in this course and to provide participants with an active approach to increasing their speaking, listening, reading and writing skills.

This course is for second year students with a strong desire to communicate in English in countries that support English as a native or foreign language.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：英語で考える社会と文化の動向

岩坪 友子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

上級/日本語

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次に習得した英語 4 技能の総合的な向上を目的として、社会・文化の動向を考察する英文とそれに関連したリスニングも含む各種練習問題に取り組み、学期末にはプレゼンテーションを行います。批判的思考力を鍛えながら、幅広い問題意識・理解力・表現力・継続的学習習慣を身につけていくことを目指します。

【到達目標】

- (1) 教材レベルの英語の文章について、構成・内容を理解し、日本語や英語で要約・コメントできる
- (2) 教材レベルの英語の音声聞いて内容を理解できるとともに、伝わりやすいイントネーションで発音・音読できる
- (3) 教材に関連したトピックについて、情報収集・多面的考察を行い、自分の知識や意見を論理的なパラグラフ構成の英語で書くことができる
- (4) 自分の知識や意見を、英語で聞き手に伝わりやすく表現し、他の人の説明や意見に質問やコメントができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

予習を前提として、授業では教科書に沿って（語彙・リスニングを含む）各種問題・英文の内容確認・意見交換や音読練習を行います。リーディングでは批判的思考も意識しつつ全体および各パラグラフの構成・要旨の把握を主眼とし、必要に応じて細部の確認も行います。また、英文を論理的な文章のモデルとして意識することで、使う目線から便利な語彙や構文などを参考にし論理的な表現方法を身につけることを目指します。付属音声は、単語の強勢・抑揚・間の取り方に留意して、リスニング力と読解力の向上に役立てるとともに、スピーキングや音読のモデルとして音読練習に活用し、内容を理解した上での自然で明瞭な発話を目指します。ペア・グループ・クラス全体で、日本語や英語での要約・説明・意見交換や音読練習を行います。予習・復習や理解・考察などについて、口頭や小テスト、期末テスト等で確認します。質問や小テスト等へのフィードバックやアドバイスを授業内で行います。必要に応じて補助教材を活用することがあります。学期末プレゼンテーションは指示に沿って原稿を期日までに提出し、リハーサル・推敲を経て実施します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション。 Unit 1 The Arts: Multisensory Art 導 入	授業の概要説明。ウォームアップ・語彙・大意把握・意見交換
2	Multisensory Art 理 解と考察	要約・精読・意見交換。リスニングほか練習問題
3	Unit 2 Identity: Personality and Inner Growth 導入	ウォームアップ・語彙・大意把握・意見交換

4	Personality and Inner Growth 理解と 考察	要約・精読・意見交換。リスニングほか練習問題
5	Unit 3 Nature and Humanity: The Subterranean World 導入	ウォームアップ・語彙・大意把握・意見交換
6	The Subterranean World 理解と考察	要約・精読・意見交換。リスニングほか練習問題
7	Unit 4 Achievement: Elements of Genius 導入	ウォームアップ・語彙・大意把握・意見交換
8	Elements of Genius 理解と考察	要約・精読・意見交換。リスニングほか練習問題
9	Unit 5 Careers: Sports Medicine 導 入	ウォームアップ・語彙・大意把握・意見交換
10	Sports Medicine 理 解と考察。プレゼン テーション・リハーサ ル導入	要約・精読・意見交換。リスニングほか練習問題
11	Unit 6 Culture: Cultural Awareness 導入。プレゼンテー ション・リハーサル導 入	ウォームアップ・語彙・大意把握・意見交換
12	Cultural Awareness 理解と考察。プレゼン テーション・リハーサ ル導入	要約・精読・意見交換。リスニングほか練習問題
13	期末テスト。プレゼン テーション・リハーサ ルと春学期の復習	春学期末テスト。プレゼンテーションの準備・練習・アドバイスの総復習
14	プレゼンテーション。 春学期のまとめ	発表・質疑応答・意見交換・講評。学期の振り返りと今後の展望

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。  
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

※予習 → 授業 → 復習を基本のセットとし、準備学習して積極的に授業に臨み、復習で理解を深め定着させ、苦手克服・実力向上を目指すとともに、発展的な自習の意欲・習慣の構築を目指します

①予習：(1) テキストの問題を解き、根拠も準備 (2) 文章の主旨を把握。未知の語句は文脈から類推し、続いて辞書で確認 (3) 文章構成を意識して、パラグラフごとの要約 (1~2 文程度) を日本語と英語で練習 (4) ダウンロード音声の区切り・抑揚などに留意して音読練習

②復習：(1) テキストを再読。復習用資料を活用し重要表現は書いたり声に出して定着 (2) ダウンロード音声を（テキストを見ながら／見ないで）リピート／シャドーイング (3) テキストで使われているキーワードや表現を使って内容の要約を言う／書く (4) 主題についての自分の意見を言う／書く (5) 書籍やウェブサイト等で関連情報を収集し視野を広げる

③プレゼンテーション準備：プレゼン用資料を参考に少しずつ準備、原稿を指示に沿って期限内に提出、リハーサル・推敲する  
※指示されたリスニング教材：(1) スクリプトなしで大意の把握を目指して聞く (2) スクリプトを見て細部の確認しながら繰り返し聞く (3) 音読練習

【テキスト（教科書）】

Andrew E. Bennett, *Reading Fusion 3* 南雲堂、2,420 円（本体 2,200 円＋税）※必要に応じてその他の教材や資料を活用する際は配布または指示します

【参考書】

随時授業中に紹介・指示します

【成績評価の方法と基準】

平常点（毎回の授業への取り組み・課題・小テストなど）50%、期末テスト 25%、プレゼンテーション 25%の割合で、上記到達目標 (1)(2)(3)(4) の達成度に照らして評価します。※欠席が 3 回を超過すると原則として単位取得の資格を失いますので注意してください

**【学生の意見等からの気づき】**

クラスメートの多様な意見を聞いて興味が広がった、スキルが伸びたり英語が好きになったなどの声が聞かれましたので、みなさんの取り組みをサポートしていけるよう、内容・手法の充実を図りたいと思います

**【学生が準備すべき機器他】**

辞書を持参してください

**【その他の重要事項】**

授業の連絡事項・課題・資料配布などに学習支援システムを使います。各自の大学メール・アカウントとともに、こまめにチェックしてください

**【Outline (in English)】**

The aim of this course is to further develop students' English proficiency by drawing on what they have learned in English 1 and English 2, integrating the four skills of reading, writing, speaking and listening. The course is designed to help students to read essays on a wide range of issues and listen to short talks and conversations on a variety of related topics, thinking critically about the important issues in the world today and developing the ability to effectively express and exchange their own thoughts and opinions. Students will give a short presentation, integrating skills and knowledge acquired during the course and developing their confidence in English communication.

The goals are to develop the abilities to read, summarize and comment on the essays, grasp the main points of spoken materials, read aloud effectively, and communicate one's thoughts and opinions on various topics in speech and writing. Completing assignments (preparation for the class, including reading the text, listening to a recording and answering questions) before each class meeting is essential. Students are expected to spend at least one hour per week preparing for and reviewing each class.

Grading criteria: active class participation, assignments and quizzes (50%), final examination (25%), final presentation (25%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：英語で考える社会と文化の動向

岩坪 友子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

上級/日本語

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次および春学期に習得した英語 4 技能の総合的な向上を目的として、社会・文化の動向を考察する英文とそれに関連したリスニングも含む各種練習問題に取り組み、学期末にはプレゼンテーションを行います。批判的思考力を鍛えながら、幅広い問題意識・理解力・表現力・継続的学習習慣を身につけていくことを目指します。

【到達目標】

- (1) 教材レベルの英語の文章について、構成・内容を理解し、日本語や英語で要約・コメントできる
- (2) 教材レベルの英語の音声聞いて内容を理解できるとともに、伝わりやすいイントネーションで発音・音読できる
- (3) 教材に関連したトピックについて、情報収集・多面的考察を行い、自分の知識や意見を論理的なパラグラフ構成の英語で書くことができる
- (4) 自分の知識や意見を、英語で聞き手に伝わりやすく表現し、他の人の説明や意見に質問やコメントができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

予習を前提として、授業では教科書に沿って（語彙・リスニングを含む）各種問題・英文の内容確認・意見交換や音読練習を行います。リーディングでは批判的思考も意識しつつ全体および各パラグラフの構成・要旨の把握を主眼とし、必要に応じて細部の確認も行います。また、英文を論理的な文章のモデルとして意識することで、使う目線から便利な語彙や構文などを参考に論理的な表現方法を身につけることを目指します。付属音声は、単語の強勢・抑揚・間の取り方に留意して、リスニング力と読解力の向上に役立てるとともに、スピーキングや音読のモデルとして音読練習に活用し、内容を理解した上で自然で明瞭な発話を目指します。ペア・グループ・クラス全体で、日本語や英語での要約・説明・意見交換や音読練習を行います。予習・復習や理解・考察などについて、口頭や小テスト、期末テスト等で確認します。質問や小テスト等へのフィードバックやアドバイスを授業内で行います。必要に応じて補助教材を活用することがあります。学期末プレゼンテーションは指示に沿って原稿を期日までに提出し、リハーサル・推敲を経て実施します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 7 Lifestyles: Living off the Grid 導入	ウォームアップ・語彙・大意把握・意見交換
2	Living off the Grid 理解と考察	要約・精読・意見交換。リスニングほか練習問題
3	Unit 8 The Performing Arts: The Actor's Craft 導入	ウォームアップ・語彙・大意把握・意見交換

4	The Actor's Craft 理解と考察	要約・精読・意見交換。リスニングほか練習問題
5	Unit 9 Conservation: Eco-Packaging 導入	ウォームアップ・語彙・大意把握・意見交換
6	Eco-packaging 理解と考察	要約・精読・意見交換。リスニングほか練習問題
7	Unit 10 Business Trends: Pop-up Shops 導入	ウォームアップ・語彙・大意把握・意見交換
8	Pop-up Shops 理解と考察	要約・精読・意見交換。リスニングほか練習問題
9	Unit 11 Growing Up: Screen Time 導入	ウォームアップ・語彙・大意把握・意見交換
10	Screen Time 理解と考察。プレゼンテーション・リハーサル導入	要約・精読・意見交換。リスニングほか練習問題
11	Unit 12 Wealth and Giving: The World of the Super Rich 導入。プレゼンテーション・リハーサル導入	ウォームアップ・語彙・大意把握・意見交換
12	The World of the Super Rich 理解と考察。プレゼンテーション・リハーサル導入	要約・精読・意見交換。リスニングほか練習問題
13	期末テスト。プレゼンテーション・リハーサル。秋学期の復習	秋学期末テスト。プレゼンテーションの準備・練習・アドバイス。秋学期の総復習
14	プレゼンテーション。秋学期のまとめ	発表・質疑応答・意見交換・講評。学期の振り返りと今後の展望

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。  
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

※予習 → 授業 → 復習を基本のセットとし、準備学習して積極的に授業に臨み、復習で理解を深め定着させ、苦手克服・実力向上を目指すとともに、発展的な自習の意欲・習慣の構築を目指します

①予習：(1) テキストの問題を解き、根拠も準備 (2) 文章の主旨を把握。未知の語句は文脈から類推し、続いて辞書で確認 (3) 文章構成を意識して、パラグラフごとの要約 (1~2 文程度) を日本語と英語で練習 (4) ダウンロード音声の区切り・抑揚などに留意して音読練習

②復習：(1) テキストを再読。復習用資料を活用し重要表現は書いたり声に出して定着 (2) ダウンロード音声を (テキストを見ながら/見ないで) リピート/シャドーイング (3) テキストで使われているキーワードや表現を使って内容の要約を言う/書く (4) 主題についての自分の意見を言う/書く (5) 書籍やウェブサイト等で関連情報を収集し視野を広げる

③プレゼンテーション準備：プレゼン用資料を参考に少しずつ準備、原稿を指示に沿って期限内に提出、リハーサル・推敲する

※指示されたリスニング教材：(1) スクリプトなしで大意の把握を目指して聞く (2) スクリプトを見て細部の確認しながら繰り返し聞く (3) 音読練習

【テキスト（教科書）】

Andrew E. Bennett 著、Reading Fusion 3 南雲堂、2,420 円（本体 2,200 円 + 税）※必要に応じてその他の教材や資料を使用する際は配布または指示します

【参考書】

随時授業中に紹介・指示します

【成績評価の方法と基準】

平常点（毎回の授業への取り組み・課題・小テストなど）50%、期末テスト 25%、プレゼンテーション 25%の割合で、上記到達目標 (1)(2)(3)(4) の達成度に照らして評価します。※欠席が 3 回を超過すると原則として単位取得の資格を失いますので注意してください

**【学生の意見等からの気づき】**

クラスメートの多様な意見を聞いて興味が広がった、スキルが伸びたり英語が好きになったなどの声が聞かれましたので、みなさんの取り組みをサポートしていけるよう、内容・手法の充実を図りたいと思います

**【学生が準備すべき機器他】**

辞書を持参してください

**【その他の重要事項】**

授業の連絡事項や課題・資料配布などに学習支援システムを使います。各自の大学メール・アカウントとともに、こまめにチェックしてください

**【Outline (in English)】**

The aim of this course is to further develop students' English proficiency by drawing on what they have learned in English 1 and English 2, integrating the four skills of reading, writing, speaking and listening. The course is designed to help students to read essays on a wide range of issues and listen to short talks and conversations on a variety of related topics, thinking critically about the important issues in the world today and developing the ability to effectively express and exchange their own thoughts and opinions. Students will give a short presentation, integrating skills and knowledge acquired during the course and developing their confidence in English communication.

The goals are to develop the abilities to read, summarize and comment on the essays, grasp the main points of spoken materials, read aloud effectively, and communicate one's thoughts and opinions on various topics in speech and writing. Completing assignments (preparation for the class, including reading the text, listening to a recording and answering questions) before each class meeting is essential. Students are expected to spend at least one hour per week preparing for and reviewing each class.

Grading criteria: active class participation, assignments and quizzes (50%), final examination (25%), final presentation (25%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.



LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：英文を通してイギリス社会を知る

宇野 毅

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

上級/日本語

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

- ・現代英語の総合的学力向上
- ・平易な英文を読んで、背後にある文化的な事柄を的確に理解する。
- ・併せて、英語の 4 技能の実際的な向上

【到達目標】

- ・平易な英文で書かれたイギリス文化に関する文章を読み、併せて現代イギリス社会の理解に努める。英語が解っても、その背後にある文化の理解なくしては、本当に理解したとは言えないであろう。
- ・本講義では、英語を通してその背後にある社会や文化を修得して、グローバルな異文化の世界に対応できるようになることが、究極的な到達目標といえるであろう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・受講生諸君は、必ず予習をして忘れずに辞書を持参する事。次週の学習範囲の予習が毎週の宿題である。出席は極めて重要であるが、教室に在るだけでは出席にはならないので、注意が必要である。
- ・授業範囲を予め予習して、単元が終了したら課題を提出する。
- ・対面授業を基本とするが、状況によって変わることがあり得る。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり/Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	Introduction Chapter 1 Britain and Europe (前半)	イギリスとヨーロッパ 本文の理解と文化的背景の解説
第 2 回	Chapter 1 Britain and Europe (後半)	イギリスの EU 離脱 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第 3 回	Chapter 2 The Memories of Empire (前半)	大英帝国の繁栄 本文の理解と文化的背景の解説
第 4 回	Chapter 2 The Memories of Empire (後半)	大英帝国の名残 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第 5 回	Chapter 3 Who Are the British? (前半)	イギリス人とは？ 本文の理解と文化的背景の解説
第 6 回	Chapter 3 Who Are the British? (後半)	スコットランドや北アイルランドの歴史的推移 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第 7 回	Chapter 4 British Business and the Strange Case of Doctor Death (前半)	イギリスの経営 本文の理解と文化的背景の解説
第 8 回	Chapter 4 British Business and the Strange Case of Doctor Death (後半)	経営の日英比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ

第 9 回	Chapter 5 The Salaryman (前半)	イギリスのサラリーマン事情 本文の理解と文化的背景の解説
第 10 回	Chapter 5 The Salaryman (後半)	本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第 11 回	Chapter 6 The Worship of the Individual (前半)	イギリスの個人主義 本文の理解と文化的背景の解説
第 12 回	Chapter 6 The Worship of the Individual (後半)	個人主義の日英比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第 13 回	Chapter 7 The Battle for the Schools (前半)	イギリスの教育 本文の理解と文化的背景の解説
第 14 回	Chapter 7 The Battle for the Schools (後半)	日英教育比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ 試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・授業出席には、必ず予習が必須である。
- ・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて【最低でも】2 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

The View from the Brits『生まれ変わるイギリス』（金星堂）

【参考書】

授業開講時に教室で指示する

【成績評価の方法と基準】

- ・期末試験等 70 点・平常点 30 点（計 100 点）で、60 点以上を合格基準として評価する。
- ・原則として、欠席が 4 回以上の場合は、単位修得を認めない事になっている。

【学生の意見等からの気づき】

- ・真面目にきちんと努力した人が報われる。

【Outline (in English)】

- ・Course outline : Improvement of the English 4 skills
- ・Learning Objectives : Perfect understanding of English Language and culture
- ・Learning activities outside of classroom : Before each class meeting, students are expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one and a half hours for each class meeting.
- ・Grading Criteria /Policy : Final grade will be calculated according to the following process : term-end examination (70%), Mid-term reports (30%), and in-class contributions

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：英文を通してイギリス社会を知る

## 宇野 毅

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

上級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

- ・現代英語の総合的学力向上
- ・平易な英文を読んで、背後にある文化的な事柄を的確に理解する。
- ・併せて、英語の 4 技能の実際的な向上

## 【到達目標】

- ・平易な英文で書かれたイギリス文化に関する文章を読み、併せて現代イギリス社会の理解に努める。英語が解っても、その背後にある文化の理解なくしては、本当に英語を理解したとは言えないであろう。
- ・本講義では、英語を通してその背後にある社会や文化を修得して、グローバルな異文化の世界に対応できるようになることが、究極的な到達目標といえるであろう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

- ・受講生諸君は、必ず予習をして忘れずに辞書を持参する事。次週の学習範囲の予習が毎週の宿題である。出席は極めて重要であるが、教室にいるだけでは出席にはならないので、注意が必要である。
- ・授業範囲を予め予習して、単元が終了したら課題を提出する。
- ・対面授業を基本とするが、状況によって変わることがあり得る。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	Chapter 8 Is British Politics Based on Cricket? (前半)	イギリス政治 本文の理解と文化的背景の解説
第 2 回	Chapter 8 Is British Politics Based on Cricket? (後半)	日英政治比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第 3 回	Chapter 9 Changing Fashions (前半)	イギリスのファッション 本文の理解と文化的背景の解説
第 4 回	Chapter 9 Changing Fashions (後半)	日英ファッション比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第 5 回	Chapter 10 The Changing Media (前半)	イギリスのメディア 本文の理解と文化的背景の解説
第 6 回	Chapter 10 The Changing Media (後半)	日英メディア比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第 7 回	Chapter 11 The British Discover Food (前半)	イギリスの食事情 本文の理解と文化的背景の解説
第 8 回	Chapter 11 The British Discover Food (後半)	日英食文化比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ

第 9 回	Chapter 12 Cars with Personality (前半)	イギリスの車事情 本文の理解と文化的背景の解説
第 10 回	Chapter 12 Cars with Personality (後半)	日英車事情比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第 11 回	Chapter 13 The Love Affair with Gardens (前半)	イギリスのガーデニング 本文の理解と文化的背景の解説
第 12 回	Chapter 13 The Love Affair with Gardens (後半)	日英ガーデニング事情比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第 13 回	Chapter 14 The Battle for the Countryside (前半)	イギリスの田園 本文の理解と文化的背景の解説
第 14 回	Chapter 14 The Battle for the Countryside (後半)	日英田園比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ 試験

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・授業出席には、必ず予習が必須である。
- ・本授業の準備学習・復習時間は、【最低でも】2 時間を標準とする。

## 【テキスト（教科書）】

The View from the Brits『生まれ変わるイギリス』（金星堂）

## 【参考書】

授業開講時に教室で指示する

## 【成績評価の方法と基準】

- ・期末試験等 70 点・平常点 30 点（計 100 点）で、60 点以上を合格基準として評価する。
- ・原則として、欠席が 4 回以上の場合は、単位修得を認めない事になっている。

## 【学生の意見等からの気づき】

- ・真面目にきちんと努力した人が報われる。

## 【Outline (in English)】

- ・ Course outline : Improvement of the English 4 skills
- ・ Learning Objectives : Perfect understanding of English Language and culture
- ・ Learning activities outside of classroom : Before each class meeting, students are expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one and a half hours for each class meeting.
- ・ Grading Criteria /Policy : Final grade will be calculated according to the following process : term-end examination (70%), Mid-term reports (30%), and in-class contributions

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：イギリス文化論を通して学ぶイメージとしての  
国と国民性

高井 美紀子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

上級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

国というものはフィクションであり、国民とは心の中でイメージされたものであると言われます。一方で、国家は現実的な機構として私たちを保護し規定し支配します。それゆえイメージと機構とは深く結びついています。良く知られているようにイギリスは国内に 4 つの国を抱えた連合王国であり、イギリス帝国時代の旧植民地からなる海外のコモンウェルスの首長を務める国でもあります。第二次世界大戦後はコモンウェルスからの移民の流入により、多文化共多民族国家への道を歩み始めました。このような複雑な成り立ちを持った国を、イギリス人自身はどのようなとらえているのでしょうか？本授業では、長年海外特派員を務めたイギリス人ジャーナリストによるイギリス文化論エッセイ **Realise Britain** をメインテキストに、新聞記事やニュース記事、ビデオクリップなど様々な英語素材を用いて、現代世界においてイギリスが形成しているイメージをとらえます。テキストの英文は 1 Unit あたり 850 語程度のやや長めの英文です。この英文読解により、速読に必要な英文の論理展開に慣れます。扱った素材をもとに英語でのディスカッションも行います。学期末には授業で触れた素材から学生が自分で興味を持ったテーマをリサーチして英語でのプレゼンテーションを行います。これらの学習を通して、英語による思考方法に馴染み、英語の実践能力を高めると同時に、国や国民のイメージ形成に寄与する諸要素について理解を深めます。

## 【到達目標】

本授業を通して、学生は以下の能力を身に着けます。

- ①英文速読のためのスキル（接続詞、指示語、二項対立、比喩など、読解に必要な論理展開に馴染む）
- ②ジャーナリズム記事読解、聴解に必要な語彙力。
- ③英語で論理構築する力
- ④プレゼンテーションにおいて、英語で発表して英語で質疑応答する力。
- ⑤イギリスのイメージがどのように形成され構築されてきたのかについて理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

テキストリーディングの授業は、学生が各自で予習をして授業に臨んでいることを前提に進めます。1 回の授業でテキストの 1 チャプターの英文を読解し内容を確認したうえで、エクササイズやディスカッションに取り組みます。必要であれば文法の解説も行います。メディア視聴の授業では、BBC Learning English や BBC ニュース、CNN ニュース YouTube などを用いてイギリスにまつわる様々な記事や、映画などにも触れ、その内容をもとにディスカッションを行います。学期末のプレゼンテーションでは、同じ関心を持つ学生同士でグループを組んで、グループごとにテーマを決め調査を行い、英語で発表をします。授業内で終わらなかったエクササイズは、hoppii の授業支援システムを通してレポートなどの形で課題として提出を求めることもあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
4 月 10 日	ガイダンス	授業の方針説明
4 月 17 日	1. A Fortunate Accident	テキスト読解 ディスカッション
4 月 24 日	2. Britain's Best Ride	テキスト読解 ディスカッション
5 月 8 日	3. The Meaning of Bond	テキスト読解 ディスカッション
5 月 15 日	4. The Changing High Street	テキスト読解 ディスカッション
5 月 22 日	5. Mild and Cloudy with a Chance of Rain	テキスト読解 ディスカッション
5 月 29 日	6. Expressive Expression	テキスト読解 ディスカッション
6 月 5 日	7. A Woman of Some Importance	テキスト読解 ディスカッション
6 月 12 日	ジャーナリズム記事、メディア視聴①	リスニング ディスカッション
6 月 19 日	ジャーナリズム記事、メディア視聴②	リスニング ディスカッション
6 月 26 日	ジャーナリズム記事、メディア視聴③	リスニング ディスカッション
	プレゼンテーション準備	プレゼンテーションの担当、グループ決め
7 月 3 日	プレゼンテーション①	学生による英語での口頭発表
7 月 10 日	プレゼンテーション②	学生による英語での口頭発表
7 月 17 日	学期末筆記試験	授業理解度確認のための筆記試験

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。  
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

テキストの文章は、授業前に読んでおくことが前提です。わからない語は辞書で引くなどして調べておいてください。予習時間の目安は 30~1 時間です。

授業内で終わらなかったアクティビティなどは、レポート課題として出題することがあります。授業支援システムを通して提出してください。これらのレポート課題は、評価の対象となります。

## 【テキスト（教科書）】

【テキスト】Realise Britain

【著者】Colin Joyce, Yasushi Mano

【出版社】金星堂

【出版年】2014 年

【価格】1800 円（税抜き）

## 【参考書】

コリン・ジョイス著

Let's England-A Foreign Correspondent Comes Home (NHK 出版)

How to Japan-A Tokyo Correspondent's Take (NHK 出版)

『驚きの英国史』(NHK 出版)

『「イギリス社会」入門—日本人に伝えたい本当の英国』(NHK 出版)

『「ニッポン社会」入門—英国人記者の抱腹レポート』(NHK 出版)  
ベネディクト・アンダーソン著

『定本 想像の共同体—ナショナリズムの起源と流行』(書籍工房早山)

リンダ・コリー著

『イギリス国民の誕生』(名古屋大学出版会)

## 【成績評価の方法と基準】

成績は以下の内容を評価します。

平常点 20%（リーディングやディスカッションへの貢献度）  
レポート課題 20%（授業支援システムを通して出す課題）

プレゼンテーション 30% (学期末のプレゼンテーション)  
 学期末筆記試験 30% (授業内で **Vocaburaly** などの筆記試験を行います)

合計 100 点満点で、60 点以上で合格となります。

正当な理由のない欠席が 4 回を超えると単位取得不可となります。  
 病欠や部活動の試合、就職活動、忌引き等の欠席は公欠となりますので、メール等で連絡をください。

#### 【学生の意見等からの気づき】

前年度はテキスト読解の授業に時間がかかり、予定が後ろ倒しになりプレゼンテーションの時間がせわしなくなっていました。力のこもった面白い発表してくれた学生が多く、質疑応答に十分な時間を取れなかったことが残念でした。その反省に基づき、本年度は、授業内で読解の時間はとらずに、すぐに読解の演習を行います。そのため予習が必須となります。

#### 【学生が準備すべき機器他】

レポートなどの課題の受け渡しは、**Hoppii** の学習支援システムを利用して行います。また初回授業を **Zoom** で行います。授業は基本的に対面授業で行いますが、場合に応じて **Zoom** 授業を行うことがあります。その場合、授業支援システムを通じて授業前に連絡しますので、授業支援システムのチェックをお願いします。パソコン、インターネット環境の準備をしてください。

#### 【その他の重要事項】

特になし。

#### 【Outline (in English)】

Students in this course consider how some images of modern Britain and the stereotypical image of British nationality are formed and work in the present world through various English materials from authorized publications, news articles, columns on online journals to YouTube, movies and other video clips. The main text of this course is "Realise Britain", an Essay about British Culture and Society written by a British foreign correspondent who lived overseas (Japan and the US) for 17 years. This text has 15 chapters, and each chapter consists of a reading text with around 850 words and following exercises. These contents enhances the development of students'skill in rapid reading. Watching video clips or movies helps student develop their skill in listening.

At the end of the course, students are expected to read each English article, correctly understand it, and discuss the theme with other students in English. Furthermore, at the end of the term, students are expected to give an English presentation on the theme which they become interested in through the course. Before each class meeting, students will be expected to have read through a reading text in each chapter. After each class meeting, students will be expected to write a report and submit it through Hoppii. Your required study time is at least an hour for each class meeting.

Grading will be decided based on Term-end examination: 30%, Presentation: 30%, Short reports: 20%, in class contribution: 20%.

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：イギリス文化論を通して学ぶイメージとしての  
国と国民性

高井 美紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

上級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

国というものはフィクションであり、国民とは心の中でイメージされたものであると言われます。一方で、国家は現実的な機構として私たちを保護し規定し支配します。それゆえイメージと機構とは深く結びついています。良く知られているようにイギリスは国内に 4 つの国を抱えた連合王国であり、イギリス帝国時代の旧植民地からなる海外のコモンウェルスの首長を務める国でもあります。第二次世界大戦後はコモンウェルスからの移民の流入により、多文化共多民族国家への道を歩み始めました。このような複雑な成り立ちを持った国を、イギリス人自身はどのようなとらえているのでしょうか？本授業では、長年海外特派員を務めたイギリス人ジャーナリストによるイギリス文化論エッセイ **Realise Britain** をメインテキストに、新聞記事やニュース記事、ビデオクリップなど様々な英語素材を用いて、現代世界においてイギリスが形成しているイメージをとらえます。テキストの英文は 1 Unit あたり 850 語程度のやや長めの英文です。この英文読解により、速読に必要な英文の論理展開に慣れます。扱った素材をもとに英語でのディスカッションも行います。学期末には授業で触れた素材から学生が自分で興味を持ったテーマをリサーチして英語でのプレゼンテーションを行います。これらの学習を通して、英語による思考方法に馴染み、英語の実践能力を高めると同時に、国や国民のイメージ形成に寄与する諸要素について理解を深めます。

## 【到達目標】

本授業を通して、学生は以下の能力を身に着けます。

- ①英文速読のためのスキル（接続詞、指示語、二項対立、比喩など、読解に必要な論理展開に馴染む）
- ②やジャーナリズム記事読解、聴解に必要な語彙力。
- ③英語で論理構築する力
- ④プレゼンテーションにおいて、英語で発表して英語で質疑応答する力。
- ⑤イギリスのイメージがどのように形成され構築されてきたのかについて理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

テキストリーディングの授業は、学生が各自で予習をして授業に臨んでいることを前提に進めます。1 回の授業でテキストの 1 チャプターの英文を読解し内容を確認したうえで、エクササイズやディスカッションに取り組みます。必要であれば文法の解説も行います。メディア視聴の授業では、BBC Learning English や BBC ニュース、CNN ニュース YouTube などを用いてイギリスにまつわる様々な記事や、映画などにも触れ、その内容をもとにディスカッションを行います。学期末のプレゼンテーションでは、同じ関心を持つ学生同士でグループを組んで、グループごとにテーマを決め調査を行い、英語で発表をします。

授業内で終わらなかったエクササイズは、hoppii の授業支援システムを通してレポートなどの形で課題として提出を求めることもあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
9 月 25 日	8. Shakespeare Lives on	テキスト読解 ディスカッション
10 月 2 日	9. British Food: Better Than Awful	テキスト読解 ディスカッション
10 月 9 日	10. A Complicated Country	テキスト読解 ディスカッション
10 月 16 日	11. The Quite Fab Four	テキスト読解 ディスカッション
10 月 23 日	12. A Vulgar Custom	テキスト読解 ディスカッション
10 月 30 日	13. The "Invention" of Sport	テキスト読解 ディスカッション
11 月 6 日	14. Changing Classes	テキスト読解 ディスカッション
11 月 13 日	15. The Little Plane That "Won" the War	テキスト読解 ディスカッション
11 月 20 日	ジャーナリズム記事、メディア視聴①	リスニング ディスカッション
11 月 27 日	ジャーナリズム記事、メディア視聴②	リスニング ディスカッション
12 月 4 日	ジャーナリズム記事、メディア視聴③	リスニング ディスカッション
12 月 11 日	プレゼンテーション準備	プレゼンテーションの担当、グループ決め
12 月 18 日	プレゼンテーション①	学生による英語での口頭発表
12 月 18 日	プレゼンテーション②	学生による英語での口頭発表
1 月 15 日	学期末筆記試験	授業理解度確認のための筆記試験

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。  
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

テキストの文章は、授業前に読んでおくことが前提です。わからない語は辞書で引くなどして調べておいてください。予習時間の目安は 30～1 時間です。

授業内で終わらなかったアクティビティなどは、レポート課題として出題することがあります。授業支援システムを通して提出してください。これらのレポート課題は、評価の対象となります。

## 【テキスト（教科書）】

【テキスト】Realise Britain

【著者】Colin Joyce, Yasushi Mano

【出版社】金星堂

【出版年】2014 年

【価格】1800 円（税抜き）

## 【参考書】

コリン・ジョイス著

Let's England-A Foreign Correspondent Comes Home (NHK 出版)

How to Japan-A Tokyo Correspondent's Take (NHK 出版)

『驚きの英国史』(NHK 出版)

『「イギリス社会」入門—日本人に伝えたい本当の英国』(NHK 出版)

『「ニッポン社会」入門—英国人記者の抱腹レポート』(NHK 出版)

ベネディクト・アンダーソン著

『定本 想像の共同体—ナショナリズムの起源と流行』(書籍工房早山)

リンダ・コリー著

『イギリス国民の誕生』(名古屋大学出版会)

## 【成績評価の方法と基準】

成績は以下の内容を評価します。

平常点 20% (リーディングやディスカッションへの貢献度)

レポート課題 20% (授業支援システムを通して出す課題)

プレゼンテーション 30% (学期末のプレゼンテーション)

学期末筆記試験 30%（授業内で Vocaburaly などの筆記試験を行います）

合計 100 点満点で、60 点以上で合格となります。

正当な理由のない欠席が 4 回を超えると単位取得不可となります。病欠や部活動の試合、就職活動、忌引き等の欠席は公欠となりますので、メール等で連絡をください。

#### 【学生の意見等からの気づき】

前年度はテキスト読解の授業に時間がかかり、予定が後ろ倒しになりプレゼンテーションの時間がせわしなくなっていました。力のこもった面白い発表をしてくれた学生が多く、質疑応答に十分な時間を取れなかったことが残念でした。その反省に基づき、本年度は、授業内で読解の時間はとらずに、すぐに読解の演習を行います。そのため予習が必須となります。

#### 【学生が準備すべき機器他】

レポートなどの課題の受け渡しは、Hoppii の学習支援システムを利用して行います。授業は基本的に対面授業で行いますが、場合に応じて Zoom 授業を行うことがあります。その場合、授業支援システムを通じて授業前に連絡しますので、授業支援システムのチェックをお願いします。パソコン、インターネット環境の準備をください。

#### 【その他の重要事項】

特になし。

#### 【Outline (in English)】

Students in this course consider how some images of modern Britain and the stereotypical image of British nationality are formed and work in the present world through various English materials from authorized publications, news articles, columns on online journals to YouTube, movies and other video clips. The main text of this course is "Realise Britain", an Essay about British Culture and Society written by a British foreign correspondent who lived overseas (Japan and the US) for 17 years. This text has 15 chapters, and each chapter consists of a reading text with around 850 words and following exercises. These contents enhances the development of students'skill in rapid reading. Watching video clips or movies helps student develop their skill in listening.

At the end of the course, students are expected to read each English article, correctly understand it, and discuss the theme with other students in English. Furthermore, at the end of the term, students are expected to give an English presentation on the theme which they become interested in through the course. Before each class meeting, students will be expected to have read through a reading text in each chapter. After each class meeting, students will be expected to write a report and submit it through Hoppii. Your required study time is at least an hour for each class meeting.

Grading will be decided based on Term-end examination: 30%, Presentation: 30%, Short reports: 20%, in class contribution: 20%.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：現代の世界における日本

山崎 暁子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

上級/日本語

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 1 と English 2 で学んだ、読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の能力をさらに発展させる。また、この 4 技能を総合的に駆使して、あるテーマについて英語で情報を得る能力、その情報を批判的に考察して自分の意見を英語で発信する能力を養成する。

【到達目標】

- ・英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読解することができる。
- ・自然なスピードの英語を聴き、必要な情報を得ることができる。
- ・英語で自分の意見を述べるとともに、他人の意見に対して適切に反応し質問することができる。
- ・文法的に正確で、形式の整った英語のパラグラフを書くことができる。
- ・現代の世界について学ぶことを通して、日本に対する客観的な視点を獲得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

動画に基づいて構成されたテキストから"Sustainable relationships"に関連するユニットを扱う。動画と関連する内容の短編小説も読む。動画とテキストを通して現代の世界について学び、日本と世界の関係について考察する。

学習支援システムのテスト機能で予習問題を出題し、授業では事前に配布するワークシートを使ってグループディスカッションをおこなう。

予習テストや課題は、学習支援システムから出題・フィードバックする。

対面授業を基本とするが、必要に応じてオンライン授業の回を設ける可能性がある。毎回の授業形態は事前に学習支援システムから通知する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】  
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】  
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	導入	授業の進め方と成績評価について 説明、自己紹介
第 2 回	Unit 1: Nicknames: Is It Hazing? (1)	読解
第 3 回	Unit 1: Nicknames: Is It Hazing? (2)	リスニング、スピーキング
第 4 回	Unit 1: Nicknames: Is It Hazing? (3)	ライティング
第 5 回	Unit 8: Emerging Forms of Family (1)	読解
第 6 回	Unit 8: Emerging Forms of Family (2)	リスニング、スピーキング
第 7 回	Unit 8: Emerging Forms of Family (3)	ライティング
第 8 回	"No One" (1)	短編小説の読解 (冒頭)
第 9 回	"No One" (2)	短編小説の読解 (展開)

第 10 回 "No One" (3) 短編小説の読解 (結末)

第 11 回 Unit 9: The Dark 読解

Side of Robots with  
Common Sense (1)

第 12 回 Unit 9: The Dark リスニング、スピーキング

Side of Robots with  
Common Sense (2)

第 13 回 Unit 9: The Dark ライティング

Side of Robots with  
Common Sense (3)

第 14 回 まとめ 期末試験と解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

- ・テキストの動画を繰り返し視聴する。
- ・学習支援システムのテスト機能で出題される問題に解答する。
- ・学習支援システムから配布するワークシートの指示に従ってディスカッションの準備をする。
- ・学習支援システムから出題される課題を期限までに提出する。

【テキスト (教科書)】

*Integrity: Advanced* (金星堂、2023 年、2500 円+税)

第 8 回～第 10 回のテキストはプリントを配布する。

【参考書】

授業で指示する。辞書は必ず授業に持参すること。

【成績評価の方法と基準】

平常点 20 %、予習 10 %、課題 30 %、期末試験 40 %

欠席が 4 回以上の場合、原則として単位修得の資格を失う。遅刻・早退は減点の対象になる。

【学生の意見等からの気づき】

引き続きグループワークを取り入れ、タイムリーなフィードバックを心がける。

【学生が準備すべき機器他】

連絡、ワークシートの配布、予習問題・課題の出題などに学習支援システムを使用する。

必要に応じて、Google Document や Zoom を使う可能性がある。Zoom の週には、受講環境により、ヘッドセットが必要となる場合がある。

【その他の重要事項】

テキストは必ず買うこと。

学習支援システムに掲載する情報は大学から付与されたメールアドレスに届く。メールで個別の連絡をすることもあるので、法政 Gmail を随時チェックすること。

【Outline (in English)】

[Course outline]

Students will further develop their English proficiency drawing on what they have learned in English 1 (reading, listening, and summarizing) and English 2 (speaking and writing).

[Learning objectives]

Students will improve their ability to learn about important issues from English sources, to think critically about them, and to express their own thoughts and opinions in English. Specifically, they will have chance to observe Japan in the global context.

[Learning activities outside of classroom]

Before each class meeting, students will be expected to have watched the relevant video on the Internet and submitted a test to check the understanding. They will also be given writing and speaking assignments during the semester. The required study time is at least one hour for each class meeting.

[Grading criteria/Policy]

Grading will be decided based on in-class contribution (20%), preparation (10%), writing assignments (30%) and final test (40%).

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：現代の世界における日本

山崎 暁子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

上級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 1 と English 2 で学んだ、読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の能力をさらに発展させる。また、この 4 技能を総合的に駆使して、あるテーマについて英語で情報を得る能力、その情報を批判的に考察して自分の意見を英語で発信する能力を養成する。

## 【到達目標】

- ・英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読解することができる。
- ・自然なスピードの英語を聴き、必要な情報を得ることができる。
- ・英語で自分の意見を述べるとともに、他人の意見に対して適切に反応し質問することができる。
- ・文法的に正確で、形式の整った英語のパラグラフを書くことができる。
- ・現代の世界について学ぶことを通して、日本に対する客観的な視点を獲得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

動画に基づいて構成されたテキストから"Sustainable society"に関連するユニットを扱う。動画とテキストを通して現代の世界について学び、日本と世界の関係について考察する。

学習支援システムのテスト機能で予習問題を出題し、授業では事前に配布するワークシートを使ってグループ・ディスカッションをおこなう。

予習テストや課題は、学習支援システムから出題・フィードバックする。

対面授業を基本とするが、必要に応じてオンライン授業の回を設ける可能性がある。毎回の授業形態は事前に学習支援システムから通知する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	授業の説明	授業の進め方と成績評価について確認する。 プレゼンテーション導入
第 2 回	Unit 5: Bike Helmets: Are They Safe? (1)	読解
第 3 回	Unit 5: Bike Helmets: Are They Safe? (2)	リスニング (前半)、スピーキング
第 4 回	Unit 5: Bike Helmets: Are They Safe? (3)	リスニング (後半)、スピーキング
第 5 回	Unit 5: Bike Helmets: Are They Safe? (4)	ライティング、プレゼンテーション

第 6 回	Unit 6: Green Fabrics: Toward a Sustainable Fashion Industry (1)	読解
第 7 回	Unit 6: Green Fabrics: Toward a Sustainable Fashion Industry (2)	リスニング (前半)、スピーキング
第 8 回	Unit 6: Green Fabrics: Toward a Sustainable Fashion Industry (3)	リスニング (後半)、スピーキング
第 9 回	Unit 6: Green Fabrics: Toward a Sustainable Fashion Industry (4)	ライティング、プレゼンテーション
第 10 回	Unit 10: Mission to Make Space Exploration Sustainable (1)	読解
第 11 回	Unit 10: Mission to Make Space Exploration Sustainable (2)	リスニング (前半)、スピーキング
第 12 回	Unit 10: Mission to Make Space Exploration Sustainable (3)	リスニング (後半)、スピーキング
第 13 回	Unit 10: Mission to Make Space Exploration Sustainable (4)	ライティング、プレゼンテーション
第 14 回	まとめ	期末試験と解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

- ・テキストの動画を繰り返し視聴する。
- ・学習支援システムのテスト機能で出題される問題に解答する。
- ・学習支援システムから配布するワークシートの指示に従ってディスカッションの準備をする。
- ・学習支援システムから出題される課題を期限までに提出する。

## 【テキスト（教科書）】

*Integrity: Advanced* (金星堂、2023 年、2500 円＋税)

## 【参考書】

授業で指示する。辞書は必ず授業に持参すること。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 20 %、予習 10 %、課題・プレゼンテーション 30 %、期末試験 40 %  
欠席が 4 回以上の場合、原則として単位修得の資格を失う。遅刻・早退は減点の対象になる。

## 【学生の意見等からの気づき】

引き続きグループワークを取り入れ、タイムリーなフィードバックを心がける。

## 【学生が準備すべき機器他】

連絡、ワークシートの配布、予習問題・課題の出題などに学習支援システムを使用する。  
必要に応じて、Google Document や Zoom を使う可能性がある。Zoom の週には、受講環境により、ヘッドセットが必要となる場合がある。

## 【その他の重要事項】

テキストは必ず買うこと。  
学習支援システムに掲載する情報は大学から付与されたメールアドレスに届く。メールで個別の連絡をすることもあるので、法政 Gmail を随時チェックすること。

## 【Outline (in English)】

## [Course outline]

Students will further develop their English proficiency drawing on what they have learned in English 1 (reading, listening, and summarizing) and English 2 (speaking and writing).



[Learning objectives]

Students will improve their ability to learn about important issues from English sources, to think critically about them, and to express their own thoughts and opinions in English. Specifically, they will have chance to observe Japan in the global context.

[Learning activities outside of classroom]

Before each class meeting, students will be expected to have watched the relevant video on the Internet and submitted a test to check the understanding. They will also be given writing and speaking assignments during the semester. The required study time is at least one hour for each class meeting.

[Grading criteria/Policy]

Grading will be decided based on in-class contribution (20%), preparation (10%), writing assignments & presentations (30%) and final test (40%).

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current Affairs (Migration and Work in the Modern World)

STEPHEN P MCINTYRE

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

上級／英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Through reading, listening and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge and experience both verbally and in writing. Students will participate in pair and group discussions, and present information within a group. This class focuses in particular on issues relating to migration and work in the modern world. Students will be encouraged to think critically about issues related to migrants, work, and the movement and the influence of language, ideas, goods, and services across borders.

The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary to better meet the needs of students.

## 【到達目標】

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics related to current issues. There will be a particular focus on migration, work, and refugee related issues. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

The class will be based on themes emerging from the textbook and expanded on with additional material provided by the teacher related to migration, work, and the movement of people, and of ideas, products, and companies. Students are expected to participate in class discussions and complete exercises during class. In particular they will be required to engage with topics, conduct their own research, and present this to their peers in class discussions, and through presentations. Students will also be instructed on academic essay writing for the purpose of writing on a specific topic with correct referencing. Regular feedback will be given to students during class on their discussions and on completed exercises. Some written feedback will also be provided online via the online learning system on their written work. Feedback on final presentations and essays will be provided mainly in written form through the online learning system (Hoppi).

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Lesson 1	Introductions	Thinking about work, migration, and movement around the world today through English language media. Introduce yourself, and mention one thing that you think of when you here the world "economic migrant".
Lesson 2	Economic Migrants in Sales and Marketing	Unit 1 Sales Can Be Like Acting Complete exercises in textbook. Watch video Tommy Lee Jones Write down some impressions that you have of famous Hollywood stars like Tommy Lee Jones who appear in commercials in Japan or around the world. Think about how stars sell their image around the world even if they don't "migrate". Share these ideas in discussions in pairs.
Lesson 3	Economic migrants.	People like David White (from Unit One) can be classified as economic migrants however they are usually not referred to as such. Others who migrate for work are called economic migrants and may be even considered to be a "social problem". Based on materials in class and students own research, discuss the various types of "economic migrants" and how they are perceived in different countries. Critical thinking: How are "refugees" and "economic migrants" differentiated and even demonized? Homework: Find an article with the words "economic migrant", "asylum seeker" and/or "refugee" in the body of the article.
Lesson 4	Air Travel Tourism: A world that is open and accessible?	Unit 2 Travel Opens Up the World (Turkey) Exercises from textbook. Discussion: write down some ideas about travel in the world today and how this has connected Japan and the rest of the world. What are current issues in the news relating to tourism? How did COVID 19 affect global tourism? Share your ideas in pairs. Homework: read articles on issues related to the ease of travel for some and the difficulty in traveling for those such as refugees.

Lesson 5	Air travel passports and refugees	<p>For refugees: travel can provide Freedom and Safety, but at a cost.</p> <p>Look at video and News articles about refugees and the dangerous journeys they take to reach countries in Europe, North America, and Australia. Write down some notes regarding this situation, and share it in discussions with 3 or 4 students.</p> <p>Homework: Write 2 paragraphs of reflection on the ease of travel for some and the difficulties faced by others.</p>	Lesson 8	Essay workshop/ Research activity	<p>Thinking about issues in the world today.</p> <p>Economic migrants/ refugees: why do people move between countries? Why do migrants and refugees try to move from their own country to wealthier or safer countries?</p> <p>Topic: Think about why people move between countries for economic reasons or why some are forced to move because they face danger and become refugees. Can someone be both?</p> <p>Choosing a topic/ answering an essay question.</p> <p>Finding sources/ creating a thesis outline/ having a thesis statement/ structuring your essay.</p> <p>Homework: Find two articles on a topic related to economic migrants or refugees, or mixed migrants (In the world today)</p>
Lesson 6	Multinational Corporations and their International Staff	<p>Unit 3 Love Sells Cars Tiziana Alamprese (Italian), Marketing Director, Fiat Chrysler Japan</p> <p>Corporate responsibility? Corporate Greed: Fiat Chrysler corruption scandal in the US.</p> <p>Discuss the issue of corporate social responsibility and making a profit from the text. Read additional material provided and write down 2 or 3 sentences reflecting on these readings.</p>	Lesson 9	The migration of ideas through translation.	<p>Unit 4 Translating is more than words (Migrant from the USA)</p> <p>Famous Anime become famous through translation: "Attack on Titan" "Battle Angel Alita"</p> <p>Translation and communication</p> <p>Critical thinking activity: Translation and the movement of ideas.</p> <p>What ideas have been translated from Japanese and become famous abroad?</p> <p>Write down ideas in class for discussion in groups of 3 or 4.</p> <p>Home work: The migration of ideas through translation. Do your own research on text translated from English to Japanese, or from Japanese to English (write 1 or 2 paragraphs)</p>
Lesson 7	Immigration Detention	<p>Many of the migrant workers introduced in the textbook are from "Western" countries such as Italy or the UK. But migrants and refugees can face problems with immigration control.</p> <p>Italian man death in custody in Japan. Detention of asylum seekers in offshore detention centers near Australia.</p> <p>Keeping refugees in camps. Students introduced to text relating to immigration control, immigration detention. Class discussion in groups of 3 or 4.</p> <p>Homework: Write a 2 paragraphs about immigration detention or refugee camps referring to information about those detained.</p>	Lesson 10	Migrants working in the service and other sectors of the economy(Unit 5 Textbook)	<p>Exercises from the textbook: Providing good service and marketing.</p> <p>Reading task: Articles on migrant workers working in the service industry in Japan. Additional articles about migrants in various countries engaged in the service sector. Sometimes as undocumented migrants (in the USA).</p> <p>Homework: Find out about migrants working in the service sector of the economy in Japan or other countries. What challenges do they face?</p>

Lesson 11	Movement of Products Around the World	Toast Your Success (Unit 6) In class exercises from textbook. Think Global, Act Local. Critical thinking: How does globalization affect people in Japan? How do Japan (the government and companies) affect the world?	Attendance policy: In principle, no more than three absences per term are allowed. 【学生の意見等からの気づき】 Since the course is being led by the current instructor for the first time, there are no student comments. The end of term reflection will include student assessment of the course. (Students are invited to comment on the course at any time)
Lesson 12	“Native” English Teachers Around the World — Global Englishes.	English speakers as English teacher living and working in Japan and other countries. Critical thinking: What are the reasons people around the world learn English? What pressure do migrants in English speaking countries face to learn English? What pressure do migrants in Japan face to learn Japanese? Homework: Prepare for discussions and presentations in groups on teaching and learning English/ English as a global language/ pressure for migrants to learn English (in English speaking countries).	【学生が準備すべき機器他】 ● Textbook. ● Additional resources for writing (dictionaries etc). ● Students should also prepare a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested. ● Students are expected to have access to a computer and the Internet for homework and assessment submission. It would be beneficial for students to bring smartphones, iPads, or Laptops to the class for ease of searching for and sharing information. (Let your instructor know if this is difficult.)
Lesson 13	Presentations and Essay preparation.	Critical thinking: Discussions/presentations in groups on different kinds of English. Reflect on presentations and discussions. Peer marking. Research time for final essays and presentations. Questions on research and writing essays.	【その他の重要事項】 Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester. The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary. Students are expected to purchase and bring the textbook to each class. They are also expected to have access to a computer and the internet for homework and assessment submission. Paper submission will generally not be accepted. 【Outline (in English)】 The purpose English 3 is to further develop student’s English proficiency in this course and to provide participants with an active approach to increasing their speaking, listening, reading and writing skills. This course is for second year students with a strong desire to communicate in English in countries that support English as a native or foreign language.
Lesson 14	Final Presentations and Reflections	Presentation on a chosen topic discussed in class, or based on original researched by student during the semester. Essay submitted on the same topic as presentation.	

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

**【テキスト（教科書）】**

Working in Japan: Video Interviews with 14 Professionals  
Alice Gordenker & John Rucynski  
Cengage Learning, pp128 with DVD, ¥2550,

**【参考書】**

English to English dictionary:

<https://dictionary.cambridge.org/>

英文ライティング虎の巻【改訂版】

Strunk Jr., W., & White, E. B. (1999). "The Elements of Style, Fourth Edition" (4th ed.). Allyn and Bacon.

Neumann, D. J. (2016). "A Professor’s Guide to Writing Essays: The No-Nonsense Plan for Better Writing". Jacob Neumann.

**【成績評価の方法と基準】**

Students are assessed based on the following criteria

In class reading and listening comprehension, discussions, and writing exercises. 20%

Presentations in groups and the submitted presentation notes. 40%

Final essay and other written home work submitted during the semester. 40%

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current Affairs (Migration and Work in the Modern World)

STEPHEN P MCINTYRE

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

上級／英語

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 II builds upon the various English language skills and knowledge gained in English 3 I.

Through reading, listening and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge and experience both verbally and in writing. Students will participate in pair and group discussions, and present information within a group. This class focuses in particular on issues relating to migration and work in the modern world. Students will be encouraged to think critically about issues related to migrants, work, and the movement and influence of language, ideas, goods, and services across borders.

The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary to better meet the needs of students.

【到達目標】

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics related to current issues. There will be a particular focus on migration, work, and refugee related issues. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The class will be based on themes emerging from the textbook and expanded on with additional material provided by the teacher related to migration, work, and the movement of people, and of ideas, products, and companies. Students are expected to participate in class discussions and complete exercises during class. In particular they will be required to engage with topics, conduct their own research, and present this to their peers in class discussions, and through presentations. Students will also be instructed on academic essay writing for the purpose of writing on a specific topic with correct referencing. Regular feedback will be given to students during class on their discussions and on completed exercises. Some written feedback will also be provided online via the online learning system on their written work. Feedback on final presentations and essays will be provided mainly in written form through the online learning system (Hoppi).

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Lesson 1	Introduction	Course syllabus explained. Write a paragraph introducing your self. Interview your neighbor and then introduce them in 1 minute to the class. What do you know about migration/ immigration in the world today? What do you know about refugees?
Lesson 2	Designing Buildings.	Build a Happy Life! Astrid Klein Architect (Units 8) Exercises from Textbook. Critical thinking: What features do Japanese buildings have that may be very beneficial in other countries? Recent earthquake in Turkey as an example. Pecha kucha presentation style Home work: make a "pecha kucha" slide show related to architecture, the environment and people.
Lesson 3	Freelance work, Trainees, and Precarious work	Presentations in groups on where people live etc. Life is like Riding a Bicycle (Unit 9) Opportunities/ finding a career you like/ Internships / exploitation of/ precarious work Critical thinking: Trying out a job sounds like a good idea, but when does the trial become exploitation?
Lesson 4	Internships, Trainees, and Precarious Work in the world today.	Trainees (jishusei) / interns working for free/ the need to have wealthy parents to start a career? Homework: Find an article on the situation faced by foreign workers in Japan in precarious work, such as the trainees. Write 2 paragraphs describing their situation.
Lesson 5	Business and the Environment.	Trade Ideas for Positive Change (Unit 10) Business and the environment. Upper class or corporate migrants, global elites are able to travel freely around the world. Mitsui Japanese corporations in the world. Environmental and social impacts? Discuss how corporations in a globalized world impact different regions of the world. Homework: Challenge to find two articles. one that is positive one that is critical about the same corporation and the impact it has on the environment.

Lesson 6	Globalization and the “Harvest of Empire”	Look at material showing the impact of corporations across the world and how economic connections between countries can lead to the movement of people between countries, including refugees. Engage with material in class and participate in discussion and write notes on ideas learned in class. How have multinational corporations affected other countries? How have such impacts cause people to move?	Lesson 11	Migrant Niche Businesses	Presentations on migrant niche businesses in Japan or other countries. Additional instruction on writing essays and making presentations.
Lesson 7	T workers and “highly skilled” Migrant Workers	Connect Workers with Companies (Unit 11 ) IT and migration/ virtual migration (Body shopping) Exercises from the Textbook completed in class. Critical thinking: Japan and other countries such as the US attempt to attract IT workers. “highly skilled migrants “kodo gino imin” But these migrants can also be exploited. Homework: Find out about The attempt to bring IT Professionals to Japan or in other “developed” countries as workers.	Lesson 12	Volunteering in Japan/ Volunteers from Japan	Help Animals for a Better Society [volunteer work] (Unit 14) Elizabeth Oliver (England) [Animal refuge] Complete exercises in the textbook in class. Discuss in groups of 3 or 4 about volunteering both in Japan and abroad. Critical thinking: Should some work done by volunteers be paid work? Homework: What kind of volunteering opportunities are there in your local area with migrants and refugees, or for other causes?
Lesson 8	Indian Migrants in Japan and around the World	Indian Migrants in Japan and around the World Necessity is the Mother of Invention (Unit 12) Indian IT professionals in Japan and around the world. Homework: Prepare presentation on IT and highly skilled workers or the internet and our connected world. “Virtual migration”.	Lesson 13	Volunteer work and humanitarian work. Doing good?	Students present opportunities they found for volunteer work in their local communities. (small groups of 4 or 5) Volunteers in Japan are active in many areas. In relation to migrants in Japan there are many volunteers teaching Japanese, visiting detainees, etc. Is volunteer work a good thing? Can there be negative effects of volunteering? “Voluntourism”
Lesson 9	Presentations and research/essay writing instruction.	Presentations on highly skilled migrants around the world. Instruction on collecting information, presenting information, making an argument, citations.	Lesson 14	Final Presentations and Reflection	Final presentations of research assignment and submission of final essay. Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
Lesson 10	Migrant Niche Businesses (Foreign/“Ethnic” Restaurants)	What’s the Recipe for Success? (Unit 13) Restraints run by foreigners in Japan/ refugees in Japan and restaurants Complete exercises from the text book. Additional information from provided reading material on restaurants run by migrants and refugees in developed countries. How have these changed tastes in different countries (Curry as a “British” or “Japanese” dish). Homework: Find an articles about migrants who have started their own businesses in a country of immigration. Write a short description (2 or 3 paragraphs) in English and bring to next class.			【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.  【テキスト（教科書）】 Working in Japan: Video Interviews with 14 Professionals Alice Gordenker & John Rucynski Cengage Learning, pp128 with DVD, ¥2550,  【参考書】 English to English dictionary: <a href="https://dictionary.cambridge.org/">https://dictionary.cambridge.org/</a> 英文ライティング虎の巻【改訂版】 Strunk Jr., W., & White, E. B. (1999). "The Elements of Style, Fourth Edition" (4th ed.). Allyn and Bacon. Neumann, D. J. (2016). "A Professor's Guide to Writing Essays: The No-Nonsense Plan for Better Writing". Jacob Neumann.

**【成績評価の方法と基準】**

Students are assessed based on the following criteria  
In class reading and listening comprehension, discussions, and writing exercises. 20%

Presentations in groups and the submitted presentation notes. 40%

Final essay and other written home work submitted during the semester. 40%

Attendance policy: In principle, no more than three absences per term are allowed.

**【学生の意見等からの気づき】**

Since the course is being led by the current instructor for the first time, there are no student comments.

The end of term reflection will include student assessment of the course. (Students are invited to comment on the course at any time)

**【学生が準備すべき機器他】**

- Textbook.
- Additional resources for writing (dictionaries etc).
- Students should also prepare a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.

- Students are expected to have access to a computer and the Internet for homework and assessment submission. It would be beneficial for students to bring smartphones, iPads, or Laptops to the class for ease of searching for and sharing information. (Let your instructor know if this is difficult.)

**【その他の重要事項】**

Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester. The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary. Students are expected to purchase and bring the textbook to each class. They are also expected to have access to a computer and the internet for homework and assessment submission. Paper submission will generally not be accepted.

**【Outline (in English)】**

The purpose English 3 is to further develop student's English proficiency in this course and to provide participants with an active approach to increasing their speaking, listening, reading and writing skills.

This course is for second year students with a strong desire to communicate in English in countries that support English as a native or foreign language.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current Issues in the English-Speaking World

佐藤 陽子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

上級/英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

## 【到達目標】

- 1) Students will read and understand English texts and become familiar with relevant writing styles and vocabulary items.
- 2) Students will critically evaluate the reading and listening materials by paying attention to the style and conducting research.
- 3) Students will learn to express their own opinions in speech and in writing, including group discussions and presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

This is a learner-centred course. Students participate in a variety of activities that involves the four skills of reading, writing, listening and speaking. Each class centres around pair and group work based on reading and/or listening homework on current affairs and/or cultural issues. The overall class atmosphere is friendly and informal. The lessons will be given in English and online via Zoom given the on-going Covid-19 crisis. Important information will be distributed via HOPPIL, and the notifications will be sent to your \*Hosei email address\*. Students have opportunities to ask questions, give opinions, and voice concerns etc both in class and in a post-lesson questionnaire conducted after each lesson. Feedback on these will be typically given in the next lesson. Feedback on the homework and presentations will be given in class and/or via HOPPIL.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	Introduction, getting to know each other, course descriptions, Q & A	Communicative activities, course descriptions, plans for the semester, homework, Q & A
2	Basics of oral communication, planned speech, understanding Current Issue 1	Show & Tell 1, comprehension check on reading HW on Topic 1, homework, Q & A

3	Vocabulary quiz 1, unplanned speech, basics of group discussion, discussing Current Issue 1 (1)	Vocabulary quiz 1, conversation, group discussion (1) on Topic 1, homework, Q & A
4	Planned speech, Discussing Current Issue 1 (2)	Story of my name, group discussion (2) on Topic 1, homework, Q & A
5	Vocabulary quiz 2, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (3), basics of group presentation (1)	Vocabulary quiz 2, conversation, group discussion (2) on Topic 1, basics of group presentation (1), homework, Q & A
6	Planned speech, basics of group presentation (2), preparing for Presentation 1	Show & Tell 2, basics of group presentation (2), preparation for the group presentation on Topic 1, homework, Q & A
7	Presenting on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1, homework, Q & A
8	Unplanned speech, feedback on Presentation 1, understanding Current Issue 2	Conversation, peer- and teacher feedback on Presentation 1, comprehension check on Topic 2 material, homework, Q & A
9	Vocabulary quiz 3, unplanned speech, discussing Current Issue 2 (1)	Vocabulary quiz 3, conversation, group discussion on Topic 2 (1), homework, Q & A
10	Planned speech, discussing Current Issue 2 (2)	Show & Tell 3, group discussion on Topic 2 (2), homework, Q & A
11	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (3), basics of group presentation (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (3), basics of group presentation (3), homework, Q & A
12	Unplanned speech, basics of group presentation (4), preparing for Presentation 2	Conversation, basics of group presentation (4), preparation for the group presentation on Topic 2, homework, Q & A
13	Presenting on Current Issue 2	Group presentations on Topic 2, homework, Q & A
14	Unplanned speech, feedback on Presentation 2, recap of the semester & student feedback	Conversation, peer- and teacher feedback on presentation 2, recap of the semester, student feedback

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete homework assignments and prepare for regular vocabulary quizzes and presentations. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

## 【テキスト（教科書）】

No textbook is assigned. Materials and homework information will be distributed via HOPPIL.

## 【参考書】

Good dictionaries that suit your level and need

## 【成績評価の方法と基準】

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 25%

Homework and quizzes: 35%

Presentations: 40%



Please note that any student who misses the equivalent of more than 3 classes will not pass this course except in extreme circumstances. Please also note that absence does not excuse students from doing homework. When absent, students are also responsible for obtaining information etc by contacting the teacher and/or other students and for coming back to class in the following week with all the preparation done.

**【学生の意見等からの気づき】**

Although conducted online, this course seems to have enabled students to enjoy "talking" to each other in English, make friends, and develop a sense of community through its many communicative activities. Students also felt discussion and presentation skills very useful, and the topics interesting.

**【学生が準備すべき機器他】**

A computer (preferable) or a mobile phone is necessary to attend our Zoom lessons. A headset is needed to avoid audio feedback if you take the lesson/s on campus. Students are also required to use slides (e.g. PowerPoint) for their presentations and to submit written assignments using word-processing software (e.g. Word).

**【Outline (in English)】**

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current Issues in the English-Speaking World

佐藤 陽子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

上級／英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course builds upon the skills and knowledge gained from English 3 I, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

## 【到達目標】

- 1) Students will read and understand English texts and become familiar with relevant writing styles and vocabulary items.
- 2) Students will conduct research on current issues and critically evaluate the reading and audio-visual materials by paying attention to the style and the source.
- 3) Students will learn to express their own opinions in speech and in writing, including group discussions and presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

This is a learner-centred course. Students participate in a variety of activities that involves the four skills of reading, writing, listening and speaking. Each class centres around pair and group work based on reading and/or listening homework on current affairs and/or cultural issues. The overall class atmosphere is friendly and informal. The lessons will be given in English and online via Zoom given the on-going Covid-19 crisis. Important information will be distributed via HOPPII, and the notifications will be sent to your \*Hosei email address\*. Students have opportunities to ask questions, give opinions, and voice concerns etc both in class and in a post-lesson questionnaire conducted after each lesson. Feedback on these will be typically given in the next lesson. Feedback on the homework and presentations will be given in class and/or via HOPPII.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	Welcome back, plans for the semester	Communicative activities, plans for the semester, homework, Q & A
2	Planned speech 1, understanding Current Issue 1	Show & Tell 1, comprehension check on reading material on Topic 1, homework, Q & A
3	Vocabulary quiz 1, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (1), basics of essay writing (1)	Vocabulary quiz 1, conversation, group discussion (1) on Topic 1, basics of essay writing (1)

4	Vocabulary quiz 2, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (2), basics of essay writing (2)	Vocabulary quiz 2, conversation, group discussion (2) on Topic 1, basics of essay writing (2), homework, Q & A
5	Planned speech, discussing Current Issue 1 (3), preparing for Presentation 1	Show & Tell 2, group discussion (2) on Topic 1, preparation for the group presentation on Topic 1, homework, Q & A
6	Presenting on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1, homework, Q & A
7	Unplanned speech, feedback on Presentation 1, brainstorming on Current Issue 2	Conversation, peer- and teacher feedback on presentation 1, 2, brainstorming on Topic 2, homework, Q & A
8	Planned speech, discussing Current Issue 2 (1)	Show & Tell 3, group discussion on Topic 2 (1), homework, Q & A
9	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (2), basics of essay writing (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (2), basics of essay writing (3), homework, Q & A
10	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (3), homework, Q & A
11	Unplanned speech, preparing for Presentation 2	Conversation, preparation for the group presentation on Topic 2, homework, Q & A
12	Presenting on Current Issue 2	Group presentations on Topic 2, homework, Q & A
13	Feedback on Presentation 2, discussing essay drafts	Peer- and teacher feedback on presentation 2, share & discuss essay drafts, homework, Q & A
14	Unplanned speech, discussing essay drafts, recap of the semester, student feedback	Conversation, discuss essay drafts, recap of the semester, student feedback, homework, Q & A

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete homework assignments and prepare for regular vocabulary quizzes and presentations. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

## 【テキスト（教科書）】

No textbook is assigned. Materials and homework information will be distributed via HOPPII.

## 【参考書】

Good dictionaries that suit your level and need

## 【成績評価の方法と基準】

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 25%

Homework and quizzes: 35%

Presentations & an essay: 40%

Please note that any student who misses the equivalent of more than 3 classes will not pass this course except in extreme circumstances. Please also note that absence does not excuse students from doing homework. When absent, students are also responsible for obtaining information etc by contacting the teacher and/or other students and for coming back to class in the following week with all the preparation done.

**【学生の意見等からの気づき】**

Although conducted online, this course seems to have enabled students to enjoy "talking" to each other in English, make friends, and develop a sense of community through its many communicative activities. Students also felt discussion, presentation, and essay writing skills very useful, and the topics interesting.

**【学生が準備すべき機器他】**

A computer (preferable) or a mobile phone is necessary to attend our Zoom lessons. A headset is needed to avoid audio feedback if you take the lesson/s on campus. Students are also required to use slides (e.g. PowerPoint) for their presentations and to submit written assignments using word-processing software (e.g. Word).

**【Outline (in English)】**

This course builds upon the skills and knowledge gained from English 3 I, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：イギリス文化論を通して学ぶイメージとしての  
国と国民性

高井 美紀子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

上級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

国というものはフィクションであり、国民とは心の中でイメージされたものであると言われます。一方で、国家は現実的な機構として私たちを保護し規定し支配します。それゆえイメージと機構とは深く結びついています。良く知られているようにイギリスは国内に 4 つの国を抱えた連合王国であり、イギリス帝国時代の旧植民地からなる海外のコモンウェルスの首長を務める国でもあります。第二次世界大戦後はコモンウェルスからの移民の流入により、多文化共多民族国家への道を歩み始めました。このような複雑な成り立ちを持った国を、イギリス人自身はどのようなとらえているのでしょうか？本授業では、長年海外特派員を務めたイギリス人ジャーナリストによるイギリス文化論エッセイ **Realise Britain** をメインテキストに、新聞記事やニュース記事、ビデオクリップなど様々な英語素材を用いて、現代世界においてイギリスが形成しているイメージをとらえます。テキストの英文は 1 Unit あたり 850 語程度のやや長めの英文です。この英文読解により、速読に必要な英文の論理展開に慣れます。扱った素材をもとに英語でのディスカッションも行います。学期末には授業で触れた素材から学生が自分で興味を持ったテーマをリサーチして英語でのプレゼンテーションを行います。これらの学習を通して、英語による思考方法に馴染み、英語の実践能力を高めると同時に、国や国民のイメージ形成に寄与する諸要素について理解を深めます。

## 【到達目標】

本授業を通して、学生は以下の能力を身に着けます。

- ①英文速読のためのスキル（接続詞、指示語、二項対立、比喩など、読解に必要な論理展開に馴染む）
- ②やジャーナリズム記事読解、聴解に必要な語彙力。
- ③英語で論理構築する力
- ④プレゼンテーションにおいて、英語で発表して英語で質疑応答する力。
- ⑤イギリスのイメージがどのように形成され構築されてきたのかについて理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

テキストリーディングの授業は、学生が各自で予習をして授業に臨んでいることを前提に進めます。1 回の授業でテキストの 1 チャプターの英文を読解し内容を確認したうえで、エクササイズやディスカッションに取り組みます。必要であれば文法の解説も行います。メディア視聴の授業では、BBC Learning English や BBC ニュース、CNN ニュース YouTube などを用いてイギリスにまつわる様々な記事や、映画などにも触れ、その内容をもとにディスカッションを行います。学期末のプレゼンテーションでは、同じ関心を持つ学生同士でグループを組んで、グループごとにテーマを決め調査を行い、英語で発表をします。授業内で終わらなかったエクササイズは、hoppii の授業支援システムを通してレポートなどの形で課題として提出を求めることもあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
4 月 10 日	ガイダンス	授業の方針説明
4 月 17 日	1. A Fortunate Accident	テキスト読解 ディスカッション
4 月 24 日	2. Britain's Best Ride	テキスト読解 ディスカッション
5 月 8 日	3. The Meaning of Bond	テキスト読解 ディスカッション
5 月 15 日	4. The Changing High Street	テキスト読解 ディスカッション
5 月 22 日	5. Mild and Cloudy with a Chance of Rain	テキスト読解 ディスカッション
5 月 29 日	6. Expressive Expression	テキスト読解 ディスカッション
6 月 5 日	7. A Woman of Some Importance	テキスト読解 ディスカッション
6 月 12 日	ジャーナリズム記事、メディア視聴①	リスニング ディスカッション
6 月 19 日	ジャーナリズム記事、メディア視聴②	リスニング ディスカッション
6 月 26 日	ジャーナリズム記事、メディア視聴③	リスニング ディスカッション
	プレゼンテーション準備	プレゼンテーションの担当、グループ決め
7 月 3 日	プレゼンテーション①	学生による英語での口頭発表
7 月 10 日	プレゼンテーション②	学生による英語での口頭発表
7 月 17 日	学期末筆記試験	授業理解度確認のための筆記試験

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。  
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

テキストの文章は、授業前に読んでおくことが前提です。わからない語は辞書で引くなどして調べておいてください。予習時間の目安は 30~1 時間です。

授業内で終わらなかったアクティビティなどは、レポート課題として出題することがあります。授業支援システムを通して提出してください。これらのレポート課題は、評価の対象となります。

## 【テキスト（教科書）】

【テキスト】Realise Britain

【著者】Colin Joyce, Yasushi Mano

【出版社】金星堂

【出版年】2014 年

【価格】1800 円（税抜き）

## 【参考書】

コリン・ジョイス著

Let's England-A Foreign Correspondent Comes Home (NHK 出版)

How to Japan-A Tokyo Correspondent's Take (NHK 出版)

『驚きの英国史』(NHK 出版)

『「イギリス社会」入門—日本人に伝えたい本当の英国』(NHK 出版)

『「ニッポン社会」入門—英国人記者の抱腹レポート』(NHK 出版)

ベネディクト・アンダーソン著

『定本 想像の共同体—ナショナリズムの起源と流行』(書籍工房早山)

リンダ・コリー著

『イギリス国民の誕生』(名古屋大学出版会)

## 【成績評価の方法と基準】

成績は以下の内容を評価します。

平常点 20% (リーディングやディスカッションへの貢献度)

レポート課題 20% (授業支援システムを通して出す課題)

プレゼンテーション 30% (学期末のプレゼンテーション)  
学期末筆記試験 30% (授業内で **Vocaburaly** などの筆記試験を行います)

合計 100 点満点で、60 点以上で合格となります。  
正当な理由のない欠席が 4 回を超えると単位取得不可となります。  
病欠や部活動の試合、就職活動、忌引き等の欠席は公欠となりますので、メール等で連絡をください。

#### 【学生の意見等からの気づき】

前年度はテキスト読解の授業に時間がかかり、予定が後ろ倒しになりプレゼンテーションの時間がせわしなくなっていました。力のこもった面白い発表してくれた学生が多く、質疑応答に十分な時間を取れなかったことが残念でした。その反省に基づき、本年度は、授業内で読解の時間はとらずに、すぐに読解の演習を行います。そのため予習が必須となります。

#### 【学生が準備すべき機器他】

レポートなどの課題の受け渡しは、**Hoppii** の学習支援システムを利用して行います。また初回授業を **Zoom** で行います。授業は基本的に対面授業で行いますが、場合に応じて **Zoom** 授業を行うことがあります。その場合、授業支援システムを通じて授業前に連絡しますので、授業支援システムのチェックをお願いします。パソコン、インターネット環境の準備をしてください。

#### 【その他の重要事項】

特になし。

#### 【Outline (in English)】

Students in this course consider how some images of modern Britain and the stereotypical image of British nationality are formed and work in the present world through various English materials from authorized publications, news articles, columns on online journals to YouTube, movies and other video clips. The main text of this course is "Realise Britain", an Essay about British Culture and Society written by a British foreign correspondent who lived overseas (Japan and the US) for 17 years. This text has 15 chapters, and each chapter consists of a reading text with around 850 words and following exercises. These contents enhances the development of students'skill in rapid reading. Watching video clips or movies helps student develop their skill in listening.

At the end of the course, students are expected to read each English article, correctly understand it, and discuss the theme with other students in English. Furthermore, at the end of the term, students are expected to give an English presentation on the theme which they become interested in through the course. Before each class meeting, students will be expected to have read through a reading text in each chapter. After each class meeting, students will be expected to write a report and submit it through Hoppii. Your required study time is at least an hour for each class meeting.

Grading will be decided based on Term-end examination: 30%, Presentation: 30%, Short reports: 20%, in class contribution: 20%.

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：イギリス文化論を通して学ぶイメージとしての  
国と国民性

高井 美紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

上級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

国というものはフィクションであり、国民とは心の中でイメージされたものであると言われます。一方で、国家は現実的な機構として私たちを保護し規定し支配します。それゆえイメージと機構とは深く結びついています。良く知られているようにイギリスは国内に 4 つの国を抱えた連合王国であり、イギリス帝国時代の旧植民地からなる海外のコモンウェルスの首長を務める国でもあります。第二次世界大戦後はコモンウェルスからの移民の流入により、多文化共多民族国家への道を歩み始めました。このような複雑な成り立ちを持った国を、イギリス人自身はどのようなとらえているのでしょうか？本授業では、長年海外特派員を務めたイギリス人ジャーナリストによるイギリス文化論エッセイ **Realise Britain** をメインテキストに、新聞記事やニュース記事、ビデオクリップなど様々な英語素材を用いて、現代世界においてイギリスが形成しているイメージをとらえます。テキストの英文は 1 Unit あたり 850 語程度のやや長めの英文です。この英文読解により、速読に必要な英文の論理展開に慣れます。扱った素材をもとに英語でのディスカッションも行います。学期末には授業で触れた素材から学生が自分で興味を持ったテーマをリサーチして英語でのプレゼンテーションを行います。これらの学習を通して、英語による思考方法に馴染み、英語の実践能力を高めると同時に、国や国民のイメージ形成に寄与する諸要素について理解を深めます。

## 【到達目標】

本授業を通して、学生は以下の能力を身に着けます。

- ①英文速読のためのスキル（接続詞、指示語、二項対立、比喩など、読解に必要な論理展開に馴染む）
- ②やジャーナリズム記事読解、聴解に必要な語彙力。
- ③英語で論理構築する力
- ④プレゼンテーションにおいて、英語で発表して英語で質疑応答する力。
- ⑤イギリスのイメージがどのように形成され構築されてきたのかについて理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

テキストリーディングの授業は、学生が各自で予習をして授業に臨んでいることを前提に進めます。1 回の授業でテキストの 1 チャプターの英文を読解し内容を確認したうえで、エクササイズやディスカッションに取り組みます。必要であれば文法の解説も行います。メディア視聴の授業では、BBC Learning English や BBC ニュース、CNN ニュース YouTube などを用いてイギリスにまつわる様々な記事や、映画などにも触れ、その内容をもとにディスカッションを行います。学期末のプレゼンテーションでは、同じ関心を持つ学生同士でグループを組んで、グループごとにテーマを決め調査を行い、英語で発表をします。

授業内で終わらなかったエクササイズは、hoppii の授業支援システムを通してレポートなどの形で課題として提出を求めることもあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
9 月 25 日	8. Shakespeare Lives on	リーディング ディスカッション
10 月 2 日	9. British Food: Better Than Awful	リーディング ディスカッション
10 月 9 日	10. A Complicated Country	リーディング ディスカッション
10 月 16 日	11. The Quite Fab Four	リーディング ディスカッション
10 月 23 日	12. A Vulgar Custom	リーディング ディスカッション
10 月 30 日	13. The "Invention" of Sport	リーディング ディスカッション
11 月 6 日	14. Changing Classes	リーディング ディスカッション
11 月 13 日	15. The Little Plane That "Won" the War	リーディング ディスカッション
11 月 20 日	ジャーナリズム記事、メディア視聴①	リスニング ディスカッション
11 月 27 日	ジャーナリズム記事、メディア視聴②	リスニング ディスカッション
12 月 4 日	ジャーナリズム記事、メディア視聴③	リスニング ディスカッション
	プレゼンテーション準備	プレゼンテーションの担当、グループ決め
12 月 11 日	プレゼンテーション①	学生による英語での口頭発表
12 月 18 日	プレゼンテーション②	学生による英語での口頭発表
1 月 15 日	学期末筆記試験	授業理解度確認のための筆記試験

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。  
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

テキストの文章は、授業前に読んでおくことが前提です。わからない語は辞書で引くなどして調べておいてください。予習時間の目安は 30～1 時間です。

授業内で終わらなかったアクティビティなどは、レポート課題として出題することがあります。授業支援システムを通して提出してください。これらのレポート課題は、評価の対象となります。

## 【テキスト（教科書）】

【テキスト】Realise Britain

【著者】Colin Joyce, Yasushi Mano

【出版社】金星堂

【出版年】2014 年

【価格】1800 円（税抜き）

## 【参考書】

コリン・ジョイス著

Let's England-A Foreign Correspondent Comes Home (NHK 出版)

How to Japan-A Tokyo Correspondent's Take (NHK 出版)

『驚きの英国史』(NHK 出版)

『「イギリス社会」入門—日本人に伝えたい本当の英国』(NHK 出版)

『「ニッポン社会」入門—英国人記者の抱腹レポート』(NHK 出版)

ベネディクト・アンダーソン著

『定本 想像の共同体—ナショナリズムの起源と流行』(書籍工房早山)

リンダ・コリー著

『イギリス国民の誕生』(名古屋大学出版会)

## 【成績評価の方法と基準】

成績は以下の内容を評価します。

平常点 20% (リーディングやディスカッションへの貢献度)

レポート課題 20% (授業支援システムを通して出す課題)

プレゼンテーション 30% (学期末のプレゼンテーション)

学期末筆記試験 30%（授業内で **Vocaburaly** などの筆記試験を行います）

合計 100 点満点で、60 点以上で合格となります。

正当な理由のない欠席が 4 回を超えると単位取得不可となります。病欠や部活動の試合、就職活動、忌引き等の欠席は公欠となりますので、メール等で連絡をください。

**【学生の意見等からの気づき】**

前年度はテキスト読解の授業に時間がかかり、予定が後ろ倒しになりプレゼンテーションの時間がせわしなくなっていました。力のこもった面白い発表をしてくれた学生が多く、質疑応答に十分な時間を取れなかったことが残念でした。その反省に基づき、本年度は、授業内で読解の時間はとらずに、すぐに読解の演習を行います。そのため予習が必須となります。

**【学生が準備すべき機器他】**

レポートなどの課題の受け渡しは、**Hoppii** の学習支援システムを利用して行います。授業は基本的に対面授業で行いますが、場合に応じて **Zoom** 授業を行うことがあります。その場合、授業支援システムを通じて授業前に連絡しますので、授業支援システムのチェックをお願いします。パソコン、インターネット環境の準備をしてください。

**【その他の重要事項】**

特になし。

**【Outline (in English)】**

Students in this course consider how some images of modern Britain and the stereotypical image of British nationality are formed and work in the present world through various English materials from authorized publications, news articles, columns on online journals to YouTube, movies and other video clips. The main text of this course is "Realise Britain", an Essay about British Culture and Society written by a British foreign correspondent who lived overseas (Japan and the US) for 17 years. This text has 15 chapters, and each chapter consists of a reading text with around 850 words and following exercises. These contents enhances the development of students'skill in rapid reading. Watching video clips or movies helps student develop their skill in listening.

At the end of the course, students are expected to read each English article, correctly understand it, and discuss the theme with other students in English. Furthermore, at the end of the term, students are expected to give an English presentation on the theme which they become interested in through the course. Before each class meeting, students will be expected to have read through a reading text in each chapter. After each class meeting, students will be expected to write a report and submit it through Hoppii. Your required study time is at least an hour for each class meeting.

Grading will be decided based on Term-end examination: 30%, Presentation: 30%, Short reports: 20%, in class contribution: 20%.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：現代の世界における日本

山崎 暁子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

上級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 1 と English 2 で学んだ、読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の能力をさらに発展させる。また、この 4 技能を総合的に駆使して、あるテーマについて英語で情報を得る能力、その情報を批判的に考察して自分の意見を英語で発信する能力を養成する。

## 【到達目標】

- ・英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読解することができる。
- ・自然なスピードの英語を聴き、必要な情報を得ることができる。
- ・英語で自分の意見を述べるとともに、他人の意見に対して適切に反応し質問することができる。
- ・文法的に正確で、形式の整った英語のパラグラフを書くことができる。
- ・現代の世界について学ぶことを通して、日本に対する客観的な視点を獲得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

動画に基づいて構成されたテキストから"Sustainable relationships"に関連するユニットを扱う。動画と関連する内容の短編小説も読む。動画とテキストを通して現代の世界について学び、日本と世界の関係について考察する。

学習支援システムのテスト機能で予習問題を出題し、授業では事前に配布するワークシートを使ってグループディスカッションをおこなう。

予習テストや課題は、学習支援システムから出題・フィードバックする。

対面授業を基本とするが、必要に応じてオンライン授業の回を設ける可能性がある。毎回の授業形態は事前に学習支援システムから通知する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	導入	授業の進め方と成績評価について 説明、自己紹介
第 2 回	Unit 1: Nicknames: Is It Hazing? (1)	読解
第 3 回	Unit 1: Nicknames: Is It Hazing? (2)	リスニング、スピーキング
第 4 回	Unit 1: Nicknames: Is It Hazing? (3)	ライティング
第 5 回	Unit 8: Emerging Forms of Family (1)	読解
第 6 回	Unit 8: Emerging Forms of Family (2)	リスニング、スピーキング
第 7 回	Unit 8: Emerging Forms of Family (3)	ライティング
第 8 回	"No One" (1)	短編小説の読解（冒頭）
第 9 回	"No One" (2)	短編小説の読解（展開）

第 10 回 "No One" (3) 短編小説の読解（結末）

第 11 回 Unit 9: The Dark 読解

Side of Robots with  
Common Sense (1)

第 12 回 Unit 9: The Dark リスニング、スピーキング

Side of Robots with  
Common Sense (2)

第 13 回 Unit 9: The Dark ライティング

Side of Robots with  
Common Sense (3)

第 14 回 まとめ 期末試験と解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

- ・テキストの動画を繰り返し視聴する。
- ・学習支援システムのテスト機能で出題される問題に解答する。
- ・学習支援システムから配布するワークシートの指示に従ってディスカッションの準備をする。
- ・学習支援システムから出題される課題を期限までに提出する。

## 【テキスト（教科書）】

*Integrity: Advanced*（金星堂、2023 年、2500 円＋税）

第 8 回～第 10 回のテキストはプリントを配布する。

## 【参考書】

授業で指示する。辞書は必ず授業に持参すること。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 20 %、予習 10 %、課題 30 %、期末試験 40 %

欠席が 4 回以上の場合、原則として単位修得の資格を失う。遅刻・早退は減点の対象になる。

## 【学生の意見等からの気づき】

引き続きグループワークを取り入れ、タイムリーなフィードバックを心がける。

## 【学生が準備すべき機器他】

連絡、ワークシートの配布、予習問題・課題の出題などに学習支援システムを使用する。

必要に応じて、Google Document や Zoom を使う可能性がある。Zoom の週には、受講環境により、ヘッドセットが必要となる場合がある。

## 【その他の重要事項】

テキストは必ず買うこと。

学習支援システムに掲載する情報は大学から付与されたメールアドレスに届く。メールで個別の連絡をすることもあるので、法政 Gmail を随時チェックすること。

## 【Outline (in English)】

## [Course outline]

Students will further develop their English proficiency drawing on what they have learned in English 1 (reading, listening, and summarizing) and English 2 (speaking and writing).

## [Learning objectives]

Students will improve their ability to learn about important issues from English sources, to think critically about them, and to express their own thoughts and opinions in English. Specifically, they will have chance to observe Japan in the global context.

## [Learning activities outside of classroom]

Before each class meeting, students will be expected to have watched the relevant video on the Internet and submitted a test to check the understanding. They will also be given writing and speaking assignments during the semester. The required study time is at least one hour for each class meeting.

## [Grading criteria/Policy]

Grading will be decided based on in-class contribution (20%), preparation (10%), writing assignments (30%) and final test (40%).



LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：現代の世界における日本

山崎 暁子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

上級/日本語

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 1 と English 2 で学んだ、読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の能力をさらに発展させる。また、この 4 技能を総合的に駆使して、あるテーマについて英語で情報を得る能力、その情報を批判的に考察して自分の意見を英語で発信する能力を養成する。

【到達目標】

- ・英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読解することができる。
- ・自然なスピードの英語を聴き、必要な情報を得ることができる。
- ・英語で自分の意見を述べるとともに、他人の意見に対して適切に反応し質問することができる。
- ・文法的に正確で、形式の整った英語のパラグラフを書くことができる。
- ・現代の世界について学ぶことを通して、日本に対する客観的な視点を獲得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

動画に基づいて構成されたテキストから"Sustainable society"に関連するユニットを扱う。動画とテキストを通して現代の世界について学び、日本と世界の関係について考察する。

学習支援システムのテスト機能で予習問題を出題し、授業では事前に配布するワークシートを使ってグループ・ディスカッションをおこなう。

予習テストや課題は、学習支援システムから出題・フィードバックする。

対面授業を基本とするが、必要に応じてオンライン授業の回を設ける可能性がある。毎回の授業形態は事前に学習支援システムから通知する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	授業の説明	授業の進め方と成績評価について確認する。 プレゼンテーション導入
第 2 回	Unit 5: Bike Helmets: Are They Safe? (1)	読解
第 3 回	Unit 5: Bike Helmets: Are They Safe? (2)	リスニング (前半)、スピーキング
第 4 回	Unit 5: Bike Helmets: Are They Safe? (3)	リスニング (後半)、スピーキング
第 5 回	Unit 5: Bike Helmets: Are They Safe? (4)	ライティング、プレゼンテーション

第 6 回	Unit 6: Green Fabrics: Toward a Sustainable Fashion Industry (1)	読解
第 7 回	Unit 6: Green Fabrics: Toward a Sustainable Fashion Industry (2)	リスニング (前半)、スピーキング
第 8 回	Unit 6: Green Fabrics: Toward a Sustainable Fashion Industry (3)	リスニング (後半)、スピーキング
第 9 回	Unit 6: Green Fabrics: Toward a Sustainable Fashion Industry (4)	ライティング、プレゼンテーション
第 10 回	Unit 10: Mission to Make Space Exploration Sustainable (1)	読解
第 11 回	Unit 10: Mission to Make Space Exploration Sustainable (2)	リスニング (前半)、スピーキング
第 12 回	Unit 10: Mission to Make Space Exploration Sustainable (3)	リスニング (後半)、スピーキング
第 13 回	Unit 10: Mission to Make Space Exploration Sustainable (4)	ライティング、プレゼンテーション
第 14 回	まとめ	期末試験と解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

- 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。
- ・テキストの動画を繰り返し視聴する。
  - ・学習支援システムのテスト機能で出題される問題に解答する。
  - ・学習支援システムから配布するワークシートの指示に従ってディスカッションの準備をする。
  - ・学習支援システムから出題される課題を期限までに提出する。

【テキスト (教科書)】

Integrity: Advanced (金星堂、2023 年、2500 円+税)

【参考書】

授業で指示する。辞書は必ず授業に持参すること。

【成績評価の方法と基準】

平常点 20 %、予習 10 %、課題・プレゼンテーション 30 %、期末試験 40 %  
欠席が 4 回以上の場合、原則として単位修得の資格を失う。遅刻・早退は減点の対象になる。

【学生の意見等からの気づき】

引き続きグループワークを取り入れ、タイムリーなフィードバックを心がける。

【学生が準備すべき機器他】

連絡、ワークシートの配布、予習問題・課題の出題などに学習支援システムを使用する。  
必要に応じて、Google Document や Zoom を使う可能性がある。Zoom の週には、受講環境により、ヘッドセットが必要となる場合がある。

【その他の重要事項】

テキストは必ず買うこと。  
学習支援システムに掲載する情報は大学から付与されたメールアドレスに届く。メールで個別の連絡をすることもあるので、法政 Gmail を随時チェックすること。

【Outline (in English)】

[Course outline]

Students will further develop their English proficiency drawing on what they have learned in English 1 (reading, listening, and summarizing) and English 2 (speaking and writing).

[Learning objectives]

Students will improve their ability to learn about important issues from English sources, to think critically about them, and to express their own thoughts and opinions in English. Specifically, they will have chance to observe Japan in the global context.

[Learning activities outside of classroom]

Before each class meeting, students will be expected to have watched the relevant video on the Internet and submitted a test to check the understanding. They will also be given writing and speaking assignments during the semester. The required study time is at least one hour for each class meeting.

[Grading criteria/Policy]

Grading will be decided based on in-class contribution (20%), preparation (10%), writing assignments & presentations (30%) and final test (40%).

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current News 1

TAMARA P ELDRIDGE

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

中級／英語

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to consolidate basic communication skills in English and to further foster critical thinking skills, learning to summarize ideas and generate arguments in English independently. Activities will be balanced across 4 skills designed to improve both the receptive and productive skills in discussing course topics, centering around contemporary and current issues.

【到達目標】

The goal of this course is to focus on developing learners' four language skills of reading, writing, listening and speaking for general communication. The four foundational skills of language learning and will be a combination of both content-based as well as task-based activities, with a focus on specific information through communicative and cognitive processes. In addition, the course aims to improve learners' fluency with English; learners' ability to engage in meaningful communicative interaction, and also further learners' knowledge of the formal aspects of the English language, such as vocabulary, grammar and pronunciation. At the same time, learners will engage with a variety of content topics and themes, developing their ability to discuss issues and think critically.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

It will be discussion based and in-class activities will mostly have an emphasis on discussion and listening, with reading and writing being done at home prior to the following class. I will also be doing dictoglosses which is an intensive listening which will help to facilitate your listening, vocabulary, accuracy and discussion skills. I want to make this class as interactive as possible, so it is student centered.

Students are expected to be active participants in class discussion and activities. I expect that our class sessions will consist of active discussion, debate, critique, and exploration. For this format to be successful, it is critical that students read and think about the weekly readings before coming to class sessions. Follow-up discussions to each reading/research assigned will be done in the following class and students will receive feedback and comments on homework assignments and in class activities throughout the term.

This is an online class, and all weeks will be taught on ZOOM. Please see HOPPII, the university's Learning Management System for details.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Class orientation/self-introductions/news and views	Spring Break catch-up/News Headlines/Discussion
Week 2	Conversation Strategies	Follow-up questions
Week 3	Dictogloss	Travel/Culture

Week 4	News Article	Transparent Toilets in Tokyo
Week 5	Video Report	Something New for 30 Days
Week 6	News and Views	News Headlines Presentations
Week 7	Mid-term Presentations	Pre-assigned group presentations Probability
Week 8	Conversation Strategies	
Week 9	Dictogloss	Clean Plate Campaign
Week 10	News Article	Reversal of Aging Process
Week 11	Video Report	How Much Sleep Do We Need
Week 12	News and Views	News Headlines/presentations
Week 13	Review and Follow-up	Activities to review previous material
Week 14	Final Project/Presentation	Pre-assigned group presentations

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Preparation, review and assignments are required. There will be readings(news articles), reports and research for class discussions. Students are expected to complete weekly reading assignments to be ready for class discussions. Approximately 1-2 hours a week will be needed for preparation, review and follow-up.

【テキスト（教科書）】

There will be no textbook for this class. I will be using news reports/articles/dictations-which will lead into class discussions.

【参考書】

None will be used.

【成績評価の方法と基準】

"In principle, no more than 3 absences per term are allowed."

Discussion, debates, participation, and attendance (60%)

Mid-term presentation (20%)

Final presentation (20%)

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable.

【学生が準備すべき機器他】

English-English Dictionary

Computer with camera/mic

Headset

ZOOM

【その他の重要事項】

None

[None]

【Outline (in English)】

This class will be discussion based. In-class activities will mostly have an emphasis on discussion and listening, with reading and writing being done at home prior to the following class. I will also be doing dictoglosses which is an intensive listening which will help to facilitate your listening, vocabulary, accuracy, and discussion skills. I want to make this class as interactive as possible, so it will mostly be student-centered, but teacher facilitated.

There will be presentations, news discussions, debates, dictations, topic-based video reports and dictoglosses. These activities will be done in pair and small groups and based on the materials provided by the instructor or student generated. Homework assignments must be done before class begins. In order to succeed in the class, please prepare well for class, do homework/research, and actively participate.

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current News II

TAMARA P ELDRIDGE

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

中級／英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to consolidate basic communication skills in English and to further foster critical thinking skills, learning to summarize ideas and generate arguments in English independently. Activities will be balanced across the 4 skills designed to improve both the receptive and productive skills in discussing course topics, centering around contemporary and current issues.

## 【到達目標】

The goal of this course is to focus on developing learners' four language skills of reading, writing, listening and speaking for general communication-the four foundational skills of language learning and will be a combination of both content-based as well as task-based activities, with a focus on specific information through communicative and cognitive processes. In addition, the course aims to improve learners' fluency with English; learners' ability to engage in meaningful communicative interaction, and also further learners' knowledge of the formal aspects of the English language, such as vocabulary, grammar and pronunciation. At the same time, learners will engage with a variety of content topics and themes, developing their ability to discuss issues and think critically.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

It will be discussion based and in-class activities will mostly have an emphasis on discussion and listening, with reading and writing being done at home prior to the following class. I will also be doing dictoglosses which is an intensive listening which will help to facilitate your listening, vocabulary, accuracy and discussion skills. I want to make this class as interactive as possible, so it is student centered.

Students are expected to be active participants in class discussion and activities. I expect that our class sessions will consist of active discussion, debate, critique, and exploration. For this format to be successful, it is critical that students read and think about the weekly readings before coming to class sessions. Follow-up discussions to each reading/research assigned will be done in the following class and students will receive feedback and comments on homework assignments and in class activities throughout the term.

This is an online class, and all weeks will be taught on ZOOM. Please see HOPPII, the university's Learning Management System for details.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Summer Break	Summer break catch-up/News
	Discussions/News and Views	Headlines/Discussion
Week 2	Conversation Strategies	Solicitors
Week 3	Dictogloss	Stress Factor/Unconscious Bias
Week 4	News Article	Eco-Anxiety/Global Warming
Week 5	Video Report	Starbucks Diversity
Week 6	News and Views	News Headlines/presentations
Week 7	Mid-term project/presentations	Pre-assigned group presentations
Week 8	Conversation Strategies	Expressing Opinions
Week 9	Dictogloss	Social Media
Week 10	Video Report	Social Media Influencers
Week 11	Video Report	Social Media Influencers
Week 12	News and Views	News Headlines/presentations
Week 13	Review and Follow-up	Exercises reviewing previous material
Week 14	Final Project/presentations	Pre-assigned group presentations

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Preparation, review and assignments are required. There will be readings(news articles), reports and research for class discussions. Students are expected to complete weekly reading assignments to be ready for class discussions. Approximately 1-2 hours a week will be needed for preparation, review and follow-up.

## 【テキスト（教科書）】

I will be using news reports/articles/dictations-which will lead into class discussions.

## 【参考書】

None required.

## 【成績評価の方法と基準】

Discussion, debates, participation, and attendance (60%)

Mid-term presentation (15%)

Final presentation (25%)

"In principle, no more than 3 absences per term are allowed."

## 【学生の意見等からの気づき】

Not applicable.

## 【学生が準備すべき機器他】

English-English Dictionary

Computer with camera/mic

Headset

ZOOM

## 【その他の重要事項】

None

## 【Outline (in English)】

This class will be discussion based. In-class activities will mostly have an emphasis on discussion and listening, with reading and writing being done at home prior to the following class. I will also be doing dictoglosses which is an intensive listening which will help to facilitate your listening, vocabulary, accuracy and discussion skills. I want to make this class as interactive as possible, so it will mostly be student-centered, but teacher-facilitated.

There will be presentations, news discussions, debates, dictations, topic-based video reports and dictoglosses. These activities will be done in pair and small-groups and based on the materials provided by the instructor or student generated. Homework assignments must be done before class begins. In order to succeed in the class, please prepare well for class, do homework/research and actively participate.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：International Relations/Global Issues

コートランド・デイビッド・スミス

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

中級／英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Welcome to this class. This course will integrate all language skill areas; listening and reading will be used to familiarize students with the content of global issue topics, speaking and writing will be employed to enable students to organize content, their ideas and opinions and communicate these to other members of the class; providing the basis for discussion and debate during class sessions.

## 【到達目標】

The goal of this course is to enable students to learn about various social and cultural practices from around the world. Students should be able to contextualize their own culture within diverse cultural frameworks. Through the use of various authentic materials offered in English, students should learn how to think critically about the important issues that surround them today, and develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions. Furthermore, this course should enable students to further develop their English proficiency by drawing on the skills they have learned in English 1&2. To achieve this goal, all four language skills of reading, writing, speaking and listening will be integrated into the curriculum.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたなどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

Weekly listening homework will be assigned. This involves listening to a recording, and completing a transcript of its content. In class, students will review the listening assignments, do a pair-work dictation exercise and briefly review vocabulary and grammatical structures contained therein, and ask and answer questions relating to the assignment. Grammatical accuracy, vocabulary expansion, improvement of fluency and pronunciation are the objectives of homework assignments.

Students will perform multimedia presentations individually or in groups on a variety of global issues topics. The content of these presentations will provide the basis for subsequent debate and discussion. The focus of these presentations will be finding solutions to the problems or conflicts presented. Students viewing presentations will be required to complete an information form, noting the key points included in each presentation. Selected members of the class will also evaluate the presentations, providing written feedback to presenters so they may improve their delivery technique.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1. Introductions HW/L1	Getting started
2	2. Tips on effective presentations HW/L2	Presentation DVD. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
3	3. Choose presentation topics HW/L3	Scheduling presentations. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
4	4. Japan's territorial disputes HW/L4	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
5	5. Nuclear power issue HW/L5	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
6	6. Climate change HW/L6	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
7	7. Women's rights HW/L7	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
8	8. Aging society HW/L8	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
9	9. Refugee problem HW/L9	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
10	10. Immigration/migration HW/L10	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
11	11. Problems of EU HW/L11	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
12	12. Threats to world peace/N. Korea issue HW/L12	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
13	Threats to world peace/Nuclear weapons. HW/None	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
14	Review	Review

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do listening homework, which involves completing a transcription sheet. In addition, students will research a variety of topics and selected students will prepare and perform multimedia presentations on a similar topic each week. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

## 【テキスト（教科書）】

There is no textbook for this class. Instructor will distribute handouts for homework each week.

## 【参考書】

Students will use online information resources to research and prepare presentations. These include:  
www.bbc.co.uk/learningenglish/ www.ted.com www.npr.com www.rt.com/documentary and English Wikipedia.

**【成績評価の方法と基準】**

Grading will be based on three criteria: Class participation, 25%; Presentations, 50%; Tests, quizzes, written work, 25%. Unexplained/unjustified absences exceeding three class sessions may disqualify students from obtaining credit for the course. Lateness exceeding 15 minutes without justification will count as one-third absence.

**【学生の意見等からの気づき】**

None.

**【学生が準備すべき機器他】**

Students should bring their presentation slides to class on a memory stick. They can also download these files from their email accounts or dropbox.

**【Outline (in English)】**

Most class activities will consist of reading and writing, grammar drills, delivering presentations and discussion.

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：International Relations/Global Issues

コートランド・デイビッド・スミス

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

中級／英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Welcome to this class. This course will integrate all language skill areas; listening and reading will be used to familiarize students with the content of global issue topics, speaking and writing will be employed to enable students to organize content, their ideas and opinions and communicate these to other members of the class; providing the basis for discussion and debate during class sessions.

## 【到達目標】

The goal of this course is to enable students to learn about various social and cultural practices from around the world. Students should be able to contextualize their own culture within diverse cultural frameworks. Through the use of various authentic materials offered in English, students should learn how to think critically about the important issues that surround them today, and develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions. Furthermore, this course should enable students to further develop their English proficiency by drawing on the skills they have learned in English 1&2. To achieve this goal, all four language skills of reading, writing, speaking and listening will be integrated into the curriculum.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

Weekly listening homework will be assigned. This involves listening to a recording, and completing a transcript of its content. In class, students will review the listening assignments, do a pair-work dictation exercise and briefly review vocabulary and grammatical structures contained therein, and ask and answer questions relating to the assignment. Grammatical accuracy, vocabulary expansion, improvement of fluency and pronunciation are the objectives of homework assignments.

Students will perform multimedia presentations individually or in groups on a variety of global issues topics. The content of these presentations will provide the basis for subsequent debate and discussion. The focus of these presentations will be finding solutions to the problems or conflicts presented. Students viewing presentations will be required to complete an information form, noting the key points included in each presentation. Selected members of the class will also evaluate the presentations, providing written feedback to presenters so they may improve their delivery technique.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】  
なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1. Summer vacation/choose presentation topics HW/L13	Getting started. Students choose topics and schedule their presentations.
2	2. Japan/China relations HW/L14	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
3	3. Food safety/GMO foods HW/L15	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
4	4. US military in Japan HW/L16	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
5	5. Religious extremism HW/L17	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
6	6. Globalization/free trade HW/L18	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
7	7. Death penalty HW/L19	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
8	8. Japan economic problems/debt HW/L20	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
9	9. Illegal drugs/legalization HW/L21	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
10	10. Smartphones/social networking dangers-health and mental illness risk HW/L22	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
11	11. Globalization/social and economic inequality HW/L23	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
12	12. Cultural/linguistic uniformity vs diversity HW/none	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
13	13. Automation/robotization and structural unemployment HW/none	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
14	14 Review/summary	Finish the term. Review and evaluation.

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do listening homework, which involves completing a transcription sheet. In addition, students will research a variety of topics and selected students will prepare and perform multimedia presentations on a similar topic each week. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

## 【テキスト（教科書）】

There is no textbook for this class. Instructor will distribute handouts for listening homework each week.

## 【参考書】

Students will use online information resources to research and prepare presentations. These include:



[www.bbc.co.uk/learningenglish/](http://www.bbc.co.uk/learningenglish/) [www.ted.com](http://www.ted.com) [www.npr.com](http://www.npr.com)  
[www.rt.com/documentary](http://www.rt.com/documentary) and English Wikipedia. The homework listening recordings can be streamed or downloaded from <http://groups.yahoo.com/group/aief56/> Students will have to create a yahoo.com email address, join the group, and download the mp3 recordings from 'files' labeled 'NT2 Listening'.

**【成績評価の方法と基準】**

Grading will be based on three criteria: Class participation, 25%; Presentations, 50%; Tests, quizzes, written work, 25%. Unexplained/unjustified absences exceeding three class sessions may disqualify students from obtaining credit for the course. Lateness exceeding 15 minutes without justification will count as one-third absence.

**【学生の意見等からの気づき】**

None.

**【Outline (in English)】**

Most class activities will consist of reading and writing, grammar drills, delivering presentations and discussion.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Japan In The World

## ジョナサン・エイブル

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

中級／英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

## 【到達目標】

Students will read, write, hear and speak about topics relevant to their lives, studies and futures. The main sources will be in British English, but cultures across the world - not only Anglophone - will be included in the sources used.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

In each class reading and listening materials will be the starting point for discussion and information processing. In alternate weeks a writing exercise will be included with an emphasis on accurate self-expression. This work will be returned individually with corrections and comments.

There will also be a group presentation exercise which will focus on cooperative communication and public speaking.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction.	Class methods and familiarisation with types of material.
2	A Place in the World 1	Global Perspectives.
3	A Place in the World 2	How Japan is Viewed Abroad.
4	Tradition 1	How History Informs our Present.
5	Tradition 2	Tradition Across the English Speaking World.
6	Popular Culture 1	The Fast Pace of Fashion.
7	Popular Culture 2	How Japanese Popular Culture Influences Others
8	Presentation Preparation	Topics, Groups and Ideas.
9	Presentations	Group Presentations In Class.
10	Media 1	Where We Get our News.
11	Media 2	Advertising and Commercial Communication.

12	Media 3	Movies and TV. How Entertainment Works.
13	Hello and Goodbye.	How We Meet and Take Our Leave.
14	Final Examination.	Self-assessment and Interviews.

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Text Previews and Preparation for Presentations in class will be expected. The task will be set each week as required.(本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。)University guidelines suggest preparation and review are around 4

hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

## 【テキスト（教科書）】

Materials will be provided. See references.

## 【参考書】

NHK/NHK Educational

Japan Times

BBC News

British Council online resources (Word on the Street et al.)

Channel 4 News (UK)

CNN

Newspapers, Magazines and Periodicals as relevant.

## 【成績評価の方法と基準】

Writing 25%

Presentation 15%

Class Participation 30%

Final Interview Test 30%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

## 【学生の意見等からの気づき】

N/A

## 【Outline (in English)】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Japan In The World

ジョナサン・エイブル

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

中級／英語

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English. In part II we will continue this journey through intercultural exploration.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

【到達目標】

Students will read, write, hear and speak about topics relevant to their lives, studies and futures. The main sources will be in British English, but cultures across the world - not only Anglophone - will be included in the sources used.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This class will be conducted online. All scheduled classes will be held on Zoom. Assignments will be conducted mostly through Google Classrooms. Details will be posted on the HOPPII class management system in due course.

In each class reading and listening materials will be the starting point for discussion and information processing. In alternate weeks a writing exercise will be included with an emphasis on accurate self-expression. This work will be returned individually with corrections and comments.

There will also be a group presentation exercise which will focus on cooperative communication and public speaking.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction to Part II	Review and Look Forward.
2	Language.	How Languages Feed Each Other in a Globalising World.
3	Art.	Historical and Modern Views of Japanese Visual Art.
4	Performance.	How Japanese Performing Arts Influence the Worlds of Theatre and Dance.
5	Film.	Cross-cultural Storytelling.
6	Food 1.	What we Eat and Why.
7	Food 2.	Where and How we Eat.
8	Presentation Preparation.	Topics Groups and Planning.
9	Presentation.	Group Presentations in Class.
10	Travel.	From Commuters to Tourists.

11	Transport.	How Mobility Shapes Social Behaviour.
12	Social issues 1.	Ageing and Booming Populations
13	Social Issues 2.	Crime and Punishment.
14	Final Examination.	Self-assessment and Interview.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Text reading and review and presentation preparation will be required. Tasks will be set each week as appropriate. (本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。) University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Materials will be provided. See References.

【参考書】

NHK/NHK Educational.  
Japan Times.  
BBC News  
British Council online resources (Word on the Street et al.)  
Channel 4 News (UK)  
CNN  
Newspapers, Magazines and Periodicals as relevant.

【成績評価の方法と基準】

Writing 25%  
Presentation 15%  
Class Participation 30%  
Final Interview Test 30%  
In principle, no more than 3 absences per term are allowed

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【Outline (in English)】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English. In part II we will continue this journey through intercultural exploration.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：映像文化と現代社会

吉川 直澄

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 1 と English 2 で身に着けた読む、書く、聞く、話すという四技能の英語運用能力を用いて、English 3 では、国際語としての英語を通じて、世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力や多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を学習目標とします。本授業では、こうした作業を行いながら、いくつかのキーワードを探求し、日本とイギリスの現代社会における文化的アイコンと政治・経済の関係について考えてみようと思います。教科書に加えて論文の抜粋を読み、イギリス映画や英語吹き替え版のアニメ映画を視聴し、顕著で大きな文化的な差異、微妙で小さな差異に注目し、可能であれば質疑応答を行うことで、上記の技能を向上させることを目指します。

## 【到達目標】

受講生は、英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読めるようになる。英語の文章のある程度の速度を持って読み、目的とする情報を読み取ることができるようになる。専門知識を要さない英米映画であれば、字幕なしでも重要な情報を聞き取り、それなりに楽しむことができるようになる。英語吹き替え版の日本製アニメを見ながら、異文化コミュニケーションにおいて、起こり得る問題への解決のヒントを学ぶことができる。英語のリスニングに慣れ、リスニング学習の習慣を身につけることができる。文法的に正確で、形式の整った英文パラグラフを書けるようになる。英語である程度まとまった自分の意見を表明できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

この授業は指示や課題を「学習支援システム」で配信するオンデマンド（資料型）を使用しつつ、対面授業を行う予定です。基本的には、教科書を使用する課題演習を行います。また、英語文献・資料等の抜粋を読む回とインターネット等で調べて論評してもらう回があります。学期末には、1つのテーマについてレポートを提出してもらいます。課題の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行います。フィードバックは提出された課題レポートの中から（匿名で）実例を挙げ、問題点を指摘し、全体に対して行います。各授業では、授業の前半は教科書、後半はDVDを使用した演習を行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス/課題の提示	授業テーマの確認と授業方法の説明を行い、第 1 回課題を提示します。
第 2 回	Unit 1. A Fortunate Accident	前回のフィードバック・課題レポートの指示：コミュニケーションにおいてどんなことが「アイヌ・ブレイカー」となるのか学習します。

第 3 回	Unit 2. Britain's Best Ride	前回のフィードバック・課題レポートの指示：ロンドン名物の旧式ダブルデッカー「ルートマスター」について調べてみましょう。
第 4 回	Unit 3. The Meaning of Bond	前回のフィードバック・課題レポートの指示：文化的アイコンとしてのジェイムズ・ボンドの役割を考えます。
第 5 回	Unit 4. The Changing High Street	前回のフィードバック・課題レポートの指示：日英の商店街の盛衰を比較します。チャリティーショップについて調べてみましょう。
第 6 回	Unit 5. Mild and Cloudy with a Chance of Rain	前回のフィードバック・課題レポートの指示：イギリスの天気に関するステレオタイプを考察します。
第 7 回	マンガ・アニメの中のイギリス	前回のフィードバック・課題レポートの指示：英語資料の理解と分析、英訳されたコンテンツ（『黒執事』・『憂国のモリアーティ』『魔法使いの嫁』・『絢爛たるグランドセーンズ』）の中で描かれるイギリス像を考察します。但しインターネット上のコンテンツの状況により教材を変更せざる得ない場合があります。
第 8 回	Unit 6. Expressive Expressions	前回のフィードバック・課題レポートの指示：日英のイディオムを比較します。
第 9 回	Unit 7. A Woman of Some Importance	前回のフィードバック・課題レポートの指示：昨年亡くなられたエリザベス二世の文化的アイコンとしての役割と今後のイギリス王室のあり方について考えます。
第 10 回	Unit 8. Shakespeare Lives On	前回のフィードバック・課題レポートの指示：シェークスピアが英語の日常表現に与えた影響について、さらに現代の文化産業としてのシェークスピアの意義について調べてみましょう。
第 11 回	マンガとマイノリティ	前回のフィードバック・課題レポートの指示：英語資料の精読と理解、マイノリティの生活史を描いたマンガ『ゴールデンカムイ』を取り上げ、アイヌ工芸作家の貝沢徹氏の大英博物館「マンガ展」のためのこの作品の推薦文とドキュメンタリー映画『Future is Mine:アイヌ、私の声』（2020）と共に考察します。
第 12 回	アニメとシンパシーとエンパシー	前回のフィードバック・課題レポートの指示：英語吹き替え版のアニメーション映画『聲の形』（A Silent Voice）をアメリカ映画 Coda (2022) と比較しながら考察します。
第 13 回	復習課題と学期末課題レポートの説明	前回のフィードバック・課題レポートの指示：これまでの課題の復習・まとめを行い、学期末レポート課題の説明をします。
第 14 回	学期末文法・語彙確認テスト/学期末レポートの提示/まとめと解説	学期末文法・語彙確認テストを実施し、学期末レポート課題を提示し、提出期限をお知らせします。

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

予習と復習。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。教科書を何度も音読すること。教科書と同様に英語のプリントもよく予習しておいてください。英語の専用ノートを作成し、表現や語彙を書き出し必ず例文も記入しておいてください。

**【テキスト（教科書）】**

Realise Britain, Colin Joyce, 金星堂, 2014年, 1800円, ISBN978-4-7647-3982-6.

**【参考書】**

Nicole Coolidge Rousmaiere, (2019) Manga マンガ, London: Thames & Hudson. ただし購入する必要はありません。

**【成績評価の方法と基準】**

全13回の課題レポートの提出(45%)、三段階評価する学期末レポート課題の提出(30%)と学期末に行う文法・語彙確認テスト(25%)を総合して評価します。毎回の課題レポートの提出期限は翌週の授業日までとします。総合評価には授業への出席・積極的な参加と貢献も含まれます。授業の欠席が4回以上ある方、未提出課題が5回以上になった方は原則として単位習得の資格を失います。

**【学生の意見等からの気づき】**

学生の皆さんの期待に沿えるように努力します。

**【学生が準備すべき機器他】**

この授業は「学習支援システム」を使用します。

**【Outline (in English)】**

(Course outline)

The aims of this course are:

1. To encourage students to further develop their English proficiency by drawing on what they have learned in English 1 and English 2.
2. To train students to learn how to think critically by examining closely various authentic materials offered in English, and thus to develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions.
3. To introduce students to the connections between cultural icons and their social, economic and political context, focusing on specific keywords like 'Manga' and 'Anime'.
4. To provide students with an opportunity to participate in discussion, improving their presentational skills on a group or individual basis.

(Learning Objective)

By the end of the course, students will be able to:

- acquire their basic skills and strategies for reading passages with accuracy.
- improve their reading speed and accuracy.
- develop their listening skills for watching most of popular American and British movies without subtitles.
- reinforce their writing skills for organizing thoughts and opinions logically.

(Learning activities outside of classroom)

Students are expected to:

- spend at least one hour doing preparation and review of every course content.
- extend vocabulary more effectively by making their own vocabulary notebook.

(Grading Criteria /Policy)

Final grade will be calculated according to the following process:

13 weekly class assignments: 45%, final term assignment (Essay): 30%, and final term test: 25%.

Students will not be able to pass this course if they miss submitting more than 4 weekly class assignments except in extreme circumstances.

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：映像文化と現代社会

吉川 直澄

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 1 と English 2 で身に着けた読む、書く、聞く、話すという四技能の英語運用能力を用いて、English 3 では、国際語としての英語を通じて、世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力や多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を学習目標とします。本授業では、こうした作業を行いながら、イギリスの EU 離脱を巡るいくつかのキーワードを探求し、日本とイギリスの現代社会における文化的アイコンと政治・経済の関係について考えてみようと思います。教科書に加えて論文の抜粋を読み、イギリス映画を視聴し、可能であれば質疑応答・ディスカッションを行うことで、上記の技能を向上させることを目指します。

## 【到達目標】

受講生は、英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読めるようになる。英語の文章をある程度の速度を持って読み、目的とする情報を読み取ることができるようになる。専門知識を要さない英米映画であれば、字幕なしでも重要な情報を聞き取り、それなりに楽しむことができるようになる。英語のリスニングに慣れ、リスニング学習の習慣を身につけることができる。文法的に正確で、形式の整った英文パラグラフを書けるようになる。英語である程度まとまった自分の意見を表明できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

この授業は指示や課題を「学習支援システム」で配信するオンデマンド（資料型）を使用しつつ、対面授業を行う予定です。基本的には、教科書を使用する課題演習を行います。また、英文学・資料等の抜粋を読む回とインターネット等で調べて論評してもらう回があります。学期末には、1つのテーマについてレポートを提出してもらいます。課題の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行います。フィードバックは提出された課題レポートの中から（匿名で）実例を挙げ、問題点を指摘し、全体に対して行います。各授業では、授業の前半は教科書、後半はDVDを使用した演習を行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	学期末レポート課題のフィードバックと第 1 回レポート課題の指示	春学期の学期末レポート課題の全体に対するフィードバックを行い、問題点があれば指摘し、解説します。第 1 回レポート課題を指示します。
第 2 回	Unit 9. British Food: Better Than Awful	前回のフィードバック・レポート課題の指示：現代のイギリスの食文化について学びます。日本の食文化と比較した時、何が見えてくるのでしょうか。

第 3 回	Unit 10. A Complicated Country	前回のフィードバック・レポート課題の指示：イギリスの正式の国名や国歌について学びます。
第 4 回	Unit 11. The Quite Fab Four	前回のフィードバック・レポート課題の指示：ビートルズについて調べてみましょう。
第 5 回	Unit 12. A Vulgar Custom	前回のフィードバック・レポート課題の指示：現代イギリスの若者文化と入れ墨の普及について考えます。
第 6 回	The Establishment (1)	前回のフィードバック・レポート課題の指示：精読、オーウェン・ジョーンズの著作 The Establishment (2015) の抜粋を読み、炭鉱労働者ストライキを背景とするイギリス映画『リトル・ダンサー』（2000）を鑑賞し、警察とエスタブリッシュメントの関係を考察します。
第 7 回	The Establishment (2)	前回のフィードバック・レポート課題の指示：精読、引き続きオーウェン・ジョーンズの著作の抜粋を読みます。資料として公共サービス民営化やゼロ時間契約を描いたイギリス映画『家族を想うとき』（2019）を鑑賞します。
第 8 回	The Establishment (3)	前回のフィードバック・レポート課題の指示：精読、引き続きオーウェン・ジョーンズの著作の抜粋を読みます。資料として移民問題を扱った 2 つのイギリス映画『ベッカムに恋して』（2002）と『エンパイア・オブ・ライト』（2002）を鑑賞します。
第 9 回	Unit 13. The "Invention" of Sport	前回のフィードバック・レポート課題の指示：イギリス発祥のスポーツについて調べてみましょう。
第 10 回	Unit 14 Changing Classes	前回のフィードバック・レポート課題の指示：階級制度について学びます。
第 11 回	Unit 15 The Little Plane That "Won" the War	前回のフィードバック・レポート課題の指示：文化的アイコンとしてのスピットファイアについて考察します。バトルオブブリテンについて調べてみましょう。
第 12 回	Films as cultural and political representations	前回のフィードバック・レポート課題の指示：教科書でこれまで議論されてきた様々な論点と本講義で取り上げたイギリス映画との関連性について考察します。
第 13 回	復習とまとめ、学期末レポート課題の説明	前回のフィードバック・レポート課題の指示：教科書のまとめと第 13 回レポート課題の指示、それから学期末レポート課題の説明をします。
第 14 回	学期末文法・語彙確認テスト/学期末レポートの提示/まとめと解説	学期末文法・語彙確認テストを実施し、学期末レポート課題を提示します。提出期限を指示します。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習と復習。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。教科書を何度も音読すること。教科書と同様に英語のプリントもよく予習しておいてください。英語の専用ノートを作成し、表現や語彙を書き出し必ず例文も記入しておいてください。

## 【テキスト（教科書）】

春学期のテキストを引き続き使用します。

## 【参考書】

Owen Jones.(2015)The Establishment.London:Penguin. ただし購入する必要はありません。

**【成績評価の方法と基準】**

全 13 回の課題レポートの提出 (45%)、三段階評価する学期末レポート課題 (30%) と学期末に実施する文法・語彙確認テスト (25%) を総合して評価を行います。毎回の課題レポートを提出していれば、問題はないと思いますが、欠席が 4 回以上ある場合、5 回以上未提出課題がある場合は、原則として、単位習得の資格を失います。勿論、秋学期の学習内容を総括する学期末レポート課題の提出もお忘れなく。

**【学生の意見等からの気づき】**

学生の皆さんの期待に沿えるように努力します。

**【Outline (in English)】**

(Course outline)

The aims of this course are:

1. To encourage students to further develop their English proficiency by drawing on what they have learned in English 1 and English 2.
2. To train students to learn how to think critically by examining closely various authentic materials offered in English, and thus to develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions.
3. To introduce students to the connections between cultural icons and their social, economic and political context, focusing on specific keywords like 'Brexit' and 'the Establishment'.
4. To help students to get access to interpretations of contemporary social and cultural issues and events through training their skills in linguistic and cultural competencies as well as stimulating the imagination.
5. To provide students with an opportunity to participate in discussion, improving their presentational skills on a group or individual basis.

(Learning Objective)

By the end of the course, students will be able to:

- acquire their basic skills and strategies for reading passages with accuracy.
- improve their reading speed and accuracy.
- develop their listening skills for watching most of popular American and British movies without subtitles.
- reinforce their writing skills for organizing thoughts and opinions logically.

(Learning activities outside of classroom)

Students are expected to:

- spend at least one hour doing preparation and review of every course content.
- extend vocabulary more effectively by making their own vocabulary notebook.

(Grading Criteria/Policy)

Final grade will be calculated according to the following process:

13 weekly class assignments: 45%, final term assignment (Essay): 30%, and final term test: 25%.

Students will not be able to pass this course if they miss submitting more than 4 weekly class assignments except in extreme circumstances.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：社会と文化の諸相を知る

大曲 陽子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CNN International シリーズ 2023 年版を教材として、経済不況や震災、ウクライナ情勢といった世界的な混乱の中にあつての世界情勢を、ナマのニュース英語で理解していく。

6 回のオンライン授業は授業動画を配信するオンデマンド型とする。

## 【到達目標】

タイムリーなトピックを取り上げ、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング学習を通して、英語資格試験のためではなく、変化する社会情勢を的確に把握し、異なる意見を持つ人たちと対等に渡り合える英語力、批判的な視点の持ち方を身につけていく。高い英語力だけでなく、社会的教養を身につけることも目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

本授業は全 14 回中 8 回を対面型授業、6 回をオンライン授業（授業動画を配信するオンデマンド型）とする。

ほぼ 2 回の授業で 1 つの Unit を学習する。1 回目の授業では授業動画を視聴し、各自 Definition と Examples を完成させ、かつニュースの音声を開いてディクテーションして空欄を埋め、配布の Answer sheet に解答して Hoppii を通して締め切り日までに提出する。2 回目の授業（対面）では、全員がニューススクリプトを完成させていることを前提に内容理解を行い、内容に関連したプリント教材を学習する。

Unit 一つ終了ごとに語彙の小テストを行う。

適時グループワークを行い意見をまとめる課題がある。

課題等に対するフィードバック方法

毎週課題の提出があるので、オンラインの時は Hoppii を通して指定の締め切り日までに提出し、それは Hoppii を通して返却される。対面授業の課題はその都度提出し、次回授業時に返却される。

小テストは採点返却される。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 4/10	ガイダンス	時事問題プリント教材
2	Unit 1 ウクライナ ゼレンスキー大統領の 奇跡をたどる	オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前に Words&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を 視聴する。 Examples の課題を提出する。
3	Unit 1 ウクライナ ゼレンスキー大統領の 奇跡をたどる	スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容の TF 問題

4	Unit 2 ウクライナで置き去りの ペットを救うポーランド 獣医師たち	オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前に Words&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を 視聴する。 Examples の課題を提出する。
5	Unit 2 ウクライナで置き去りの ペットを救うポーランド 獣医師たち	Unit 1 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容の TF 問題 オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前に Words&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を 視聴する。 Examples の課題を提出する。
6	Unit 3 NY 初の女性知事！ キャシー・ホークル氏 とは？	Unit 2 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容の TF 問題 オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前に Words&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を 視聴する。 Examples の課題を提出する。
7	Unit 3 NY 初の女性知事！ キャシー・ホークル氏 とは？	Unit 3 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容の TF 問題 オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前に Words&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を 視聴する。 Examples の課題を提出する。
8	Unit 4 NY 初の女性知事！ キャシー・ホークル氏 とは？	Unit 3 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容の TF 問題 オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前に Words&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を 視聴する。 Examples の課題を提出する。
9	Unit 4 NY 初の女性知事！ キャシー・ホークル氏 とは？	Unit 4 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容の TF 問題 オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前に Words&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を 視聴する。 Examples の課題を提出する。
10	Unit 5 先進諸国で最低レベル 女性の政治参加が進ま ない日本	Unit 5 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容の TF 問題 オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前に Words&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を 視聴する。 Examples の課題を提出する。
11	Unit 5 先進諸国で最低レベル 女性の政治参加が進ま ない日本	Unit 4 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容の TF 問題 オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前に Words&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を 視聴する。 Examples の課題を提出する。
12	Unit 6 「半導体チップ」の危 機的不足で世界の自動 車業界が窮地に	Unit 5 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容の TF 問題 オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前に Words&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を 視聴する。 Examples の課題を提出する。
13	Unit 6 「半導体チップ」の危 機的不足で世界の自動 車業界が窮地に	Unit 5 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容の TF 問題 オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前に Words&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を 視聴する。 Examples の課題を提出する。
14 7/17	これまでのまとめと期 末試験	Unit 6 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容の TF 問題 これまでのまとめと期末試験

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。  
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.  
授業動画を配信するオンデマンド型授業では、授業動画を視聴し、ニュース音声をしっかりと聞いてディクテーションを行う。テキストの Definition をしっかりと調べて完成させ、指定の締め切り日までに提出する。Examples 部分は採点し返却される。



対面授業の際にはニューススクリプトが完成されていることを前提として内容理解の授業を行うので未知の語彙などがあれば調べておく。オンラインの週の学習時間をしっかり取って行う。

**【テキスト (教科書)】**

CNN ビデオで見る世界のニュース (24)  
朝日出版社 2200 円 (税込)

**【参考書】**

特になし  
辞書必携

**【成績評価の方法と基準】**

授業課題の提出

●授業動画配信オンデマンド型授業時 課題提出 10% . . .

Examples は採点する。1 点 × 10 問 = 10 点

(Answer Sheet の空欄が全て解答されていることを条件とする)

●対面時 授業内課題提出 10%

●対面時小テスト 10 点 × 5 回分 50 点 30%

●期末試験 50%

\*欠席 4 回以上で、単位の修得は認められない。

\*オンライン授業の出欠規定 . . . 毎回 Answer Sheet の回答欄が全て記載されている (空欄の内容全て解答している)、及び毎回指定された課題提出締め切り日までに必ず提出されていて、その回を「出席」とする。

**【学生の意見等からの気づき】**

Unit に関連したプリント教材を配布する。

**【学生が準備すべき機器他】**

パソコン、スマートフォン使用。

課題にリスニングが含まれるので、教科書の QR コードから音声をスマートフォンにダウンロードして聞くことになる。

**【その他の重要事項】**

欠席は 3 回までとする。

オンライン授業は授業動画を配信するオンデマンド型とする。

担当教員に質問などの連絡がある場合は、LMS の質問を利用するか、または以下のアドレスにメールで連絡をください。

yohko.ohmagari.3n@hosei.ac.jp

**【Outline (in English)】**

**【Course outline】**

The aim of this course is help students acquire an understanding the international situation, an environmental problem, natural disasters, culture and so on through CNN original English.

**【Learning Objectives】**

The goals of this course are to acquire high English proficiency, critical thinking and social skills through listening, reading, writing and speaking.

**【Learning activities and outside of classroom】**

Before each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content and have read the relevant chapter and completed the assignments.

**【 Grading Criteria】**

Your overall grade in the class will be decided based on the following

submission assignments 10%

class contribution 10%

classroom quiz 30%

term-end examination 50%

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：社会と文化の諸相を知る

大曲 陽子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CNN International シリーズ 2023 年版を教材として、経済不況や震災、ウクライナ情勢といった世界的な混迷の中にあつての世界情勢を、ナマのニュース英語で理解していく。

6 回のオンライン授業は授業動画を配信するオンデマンド型とする。

## 【到達目標】

タイムリーなトピックを取り上げ、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング学習を通して、英語資格試験のためではなく、変化する社会情勢を的確に把握し、異なる意見を持つ人たちと対等に渡り合える英語力、批判的な視点の持ち方を身につけていく。高い英語力だけでなく、社会的教養を身につけることも目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

本授業は全 14 回中 8 回を対面型授業、6 回をオンライン授業（授業動画を配信するオンデマンド型）とする。

ほぼ 2 回の授業で 1 つの Unit を学習する。1 回目の授業では授業動画を視聴し、各自 Definition と Examples を完成させ、かつニュースの音声を開いてディクテーションして空欄を埋め、配布の Answer sheet に解答して Hoppii を通して締め切り日までに提出する。2 回目の授業（対面）では、全員がニューススクリプトを完成させていることを前提に内容理解を行い、内容に関連したプリント教材を学習する。

Unit 一つ終了ごとに語彙の小テストを行う。

適時グループワークを行い意見をまとめる課題がある。

課題等に対するフィードバック方法

毎週課題の提出があるので、オンラインの時は Hoppii を通して指定の締め切り日までに提出し、それは Hoppii を通して返却される。対面授業の課題はその都度提出し、次回授業時に返却される。

小テストは採点返却される。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Warming Up	時事問題プリント教材
2	Unit 7 癒やされパンダの保護活動 個体数回復の背景に中国巨大企業	オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前に Words&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examples の課題を提出する。
3	Unit 7 癒やされパンダの保護活動 個体数回復の背景に中国巨大企業	スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容の TF 問題

4	Unit 8 台湾の起業家が世界の建築を変える？ 廃棄物を建材に使用	オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前に Words&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examples の課題を提出する。
5	Unit 8 台湾の起業家が世界の建築を変える？ 廃棄物を建材に使用	Unit 8 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容の TF 問題
6	Unit 9 「ミルクティー同盟」アジアの若者たちが反権威主義掲げ結束	オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前に Words&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examples の課題を提出する。
7	Unit 9 「ミルクティー同盟」アジアの若者たちが反権威主義掲げ結束	Unit 9 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容の TF 問題
8	Unit 10 世界の指導者たちの秘密取引を暴く「バンドラ文書」公開	オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前に Words&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examples の課題を提出する。
9	Unit 10 世界の指導者たちの秘密取引を暴く「バンドラ文書」公開	Unit 10 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容の TF 問題
10	Unit 11 「デジタル証明書」で旅行需要回復へ期待	オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前に Words&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examples の課題を提出する。
11	Unit 11 「デジタル証明書」で旅行需要回復へ期待	Unit 11 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容の TF 問題
12	Unit 12 下半身麻痺の男性 脊髄インプラントで再び歩行可能に	オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前に Words&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examples の課題を提出する。
13	Unit 12 下半身麻痺の男性 脊髄インプラントで再び歩行可能に	Unit 12 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容の TF 問題
14 1/15	これまでのまとめと期末試験	これまでのまとめと期末試験

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。  
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.  
授業動画を配信するオンデマンド型授業では、授業動画を視聴し、ニュース音声をしっかりと聞いてディクテーションを行う。テキストの Definition をしっかりと調べて完成させ、指定の締め切り日までに提出する。Examples 部分は採点し返却される。

対面授業の際にはニューススクリプトが完成されていることを前提として内容理解の授業を行うので未知の語彙などがあれば調べておく。オンラインの週の学習時間をしっかり取って行う。

**【テキスト（教科書）】**

CNN ビデオで見る世界のニュース（24）  
朝日出版社 2200 円（税込）

**【参考書】**

特になし。  
辞書必携

**【成績評価の方法と基準】**

授業課題の提出

●授業動画配信オンデマンド授業時 課題提出 10%・・・Examples は採点する。1 点×10 問 = 10 点 (Answer Sheet の空欄が全て解答されていることを条件とする)  
●対面時 授業内課題提出 10%

●対面時小テスト 10 点×5 回分 50 点 30%

●期末試験 50%

\*欠席 4 回以上で、単位の修得は認められない。

\*オンライン授業の出欠規定・・・毎回 Answer Sheet の回答欄が全て記載されている（空欄の内容全て解答している）、及び毎回指定された課題提出締め切り日までに必ず提出されていて、その回を「出席」とする。

**【学生の意見等からの気づき】**

Unit に関連したプリント教材を配布する。

**【学生が準備すべき機器他】**

パソコン、スマートフォン使用。

課題にリスニングが含まれるので、教科書の QR コードから音声スマートフォンにダウンロードして聞くことになる。

**【その他の重要事項】**

欠席は 3 回までとする。

オンライン授業は授業動画を配信するオンデマンド型とする。

担当教員に質問などの連絡がある場合は、LMS の質問を利用するか、または以下のアドレスにメールで連絡をください。

yohko.ohmagari.3n@hosei.ac.jp

**【Outline (in English)】**

**【Course outline】**

The aim of this course is help students acquire an understanding the international situation, an environmental problem, natural disasters, culture and so on through CNN original English.

**【Learning Objectives】**

The goals of this course are to acquire high English proficiency, critical thinking and social skills through listening, reading, writing and speaking.

**【Learning activities and outside of classroom】**

Before each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content and have read the relevant chapter and completed the assignments.

**【Grading Criteria】**

Your overall grade in the class will be decided based on the following

submission assignments 10%

class contribution 10%

classroom quiz 30%

term-end examination 50%

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Speaking English in the global world

URBANOVA JANA

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

今まで皆さんが学んできた英語の「聞く」「読む」「書く」「話す」という 4 技能の能力をレベルアップすることによって、国際環境における知識の獲得や、各自の意見を英語で述べることができる自信を身に付けることを目指します。

This course focuses on enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment.

## 【到達目標】

- 1) 様々なトピックに関するリーディング、リスニング、スピーキングやライティングの練習を通じて、自分の意見を英語で自在に表現できる
- 2) 発表の練習を通じて、プレゼンテーションスキルや英語能力を身に付ける
- 3) ディスカッション、ペアワーク、グループワークなどで英語のコミュニケーション能力や自由考察を高める

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge in discussions, group&pair work and through delivering presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

- 1) ペアワーク、会話、グループワーク、グループディスカッション（スピーキング練習）
- 2) 発表（プレゼンテーション練習）
- 3) リーディング、リスニング、ライティング、自由考察の練習  
課題に対する説明やコメント等は授業の最後に行います。そこでは受講生からの質問も受け付けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Explanation of course requirements, tasks and goals; Getting to know each other
Week 2	Unit 1 Conservation - Introduction to the topic of endangered animals	Listening and speaking exercise: talking about endangered animals; Grammar explanation and practice: present simple and present continuous

Week 3	Unit 1 Conservation - Vultures and their charm	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Homework: reading with comprehension
Week 4	Unit 2 Family connections - Introduction to the topic	Listening and speaking exercise: talking about family; Grammar used when talking about future plans
Week 5	Unit 2 Family connections - Importance of genealogy	Watching video (TED Talk); Vocabulary review; Reading exercise: A passion for genealogy
Week 6	Unit 3 Global stories - Describing books	Explanation of presentation No. 1 (parroting); Speaking exercise: talking about books; Grammar: defining relative clauses
Week 7	Unit 3 Global stories - Importance of literature	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Writing exercise: writing a book review
Week 8	Presentation No. 1	Students' presentations No. 1: parroting; Explaining requirements for presentation No. 2
Week 9	Unit 4 Music - Different genres	Listening and speaking: talking about music; Grammar explanation and practice: countable and uncountable nouns
Week 10	Unit 4 Music - Effects of music	Watching video (TED Talk); Key words review; Reading exercise: Music and the brain
Week 11	Unit 5 Good design - Describing shapes and colours	Listening and speaking: talking about design; Grammar explanation and practice: prepositions and adverbs of place
Week 12	Unit 5 Good design - Importance of good design	Watching video (TED Talk); Vocabulary review; Reading with comprehension: Chicago's much loved flag
Week 13	Presentation No. 2	Students' presentations No. 2 on the chosen topic
Week 14	Course wrap up	Final test; Students' feedback; Let's enjoy a song

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

## 【テキスト（教科書）】

David Bohlke and Stephanie Parker: Keynote Pre-Intermediate, Cengage Learning, 2018. Student's Book ISBN: 978-1-337-27392-3

## 【参考書】

English to English dictionary:

<https://dictionary.cambridge.org/>

その他の参考書については授業中に紹介します。

## 【成績評価の方法と基準】

積極的な授業への参加が期待される。また、発表、宿題、最終テストなどを勘案して成績を評価する。なお、4 回以上欠席した場合は、原則として単位の取得を認めない。

- Active participation in class: 20%

- Writing assignments, homework and tests: 40%

- Presentations: 40%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

**【学生の意見等からの気づき】**

There are no student comments that would require major changes to the course. (特になし)

The instructor is always happy to receive feedback on how to make learning more enjoyable and effective.

**【学生が準備すべき機器他】**

- 指定の教科書
- 授業内容を見返すためのノート
- 辞書／電子辞書

(英和・和英辞典の他に、English-English dictionary も必要。【参考書】に記載されたホームページをご参考ください。)

**【その他の重要事項】**

授業を登録した学生の英語レベルに応じて実際の授業内容はシラバスの内容と異なることもある。

**【Outline (in English)】**

Enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Speaking English in the global world

URBANOVA JANA

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

今まで皆さんが学んできた英語の「聞く」「読む」「書く」「話す」という 4 技能の能力をレベルアップすることによって、国際環境における知識の獲得や、各自の意見を英語で述べることができる自信を身に付けることを目指します。

This course focuses on enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment.

## 【到達目標】

- 1) 様々なトピックに関するリーディング、リスニング、スピーキングやライティングの練習を通じて、自分の意見を英語で自在に表現できる
- 2) 発表の練習を通じて、プレゼンテーションスキルや英語能力を身に付ける
- 3) ディスカッション、ペアワーク、グループワークなどで英語のコミュニケーション能力や自由考察を高める

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge in discussions, group&pair work and through delivering presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

- 1) ペアワーク、会話、グループワーク、グループディスカッション（スピーキング練習）
- 2) 発表（プレゼンテーション練習）
- 3) リーディング、リスニング、ライティング、自由考察の練習  
課題に対する説明やコメント等は授業の最後に行います。そこでは受講生からの質問も受け付けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Explanation of course requirements, tasks and goals; Review of the main points studied in the spring semester
Week 2	Unit 6 Inspiring people	Speaking exercise: talking about an inspirational person; Grammar explanation and practice: reported speech

Week 3	Unit 6 Inspiring people - Your role models	Watching video (TED Talk); Key words; Writing assignment: describing an inspiring person
Week 4	Unit 7 Ethical choices - Thinking about the environment	Listening and speaking exercise: talking about ethical choices; Grammar: predictions
Week 5	Unit 7 Ethical choices - Treating animals	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Presentation skills
Week 6	Unit 8 Better cities - Describing a city	Explanation of presentation No. 1 (parroting); Listening: Living abroad; Grammar: phrasal verbs
Week 7	Unit 8 Better cities - Thinking about your city	Watching video (TED Talk); Key vocabulary; Reading with comprehension: Having a say about your city
Week 8	Presentation No. 1	Students' presentations No. 1: parroting; Explaining requirements and introducing topics for presentation No. 2
Week 9	Unit 9 Giving - Charity and fundraising	Listening and speaking: talking about good causes; Grammar explanation and practice: <i>will</i> for offers and first conditionals
Week 10	Unit 9 Giving - How can we help	Watching video (TED Talk); Key words review; Communication: choosing a charity
Week 11	Unit 10 Mind and machine - The brain and its functions	Vocabulary related to brain functions; Speaking: talking about a game; Grammar: adverbs and adverbial phrases
Week 12	Unit 10 Mind and machine - Advanced technology	Watching video (TED Talk); Key words review; Reading with comprehension: The power of the mind
Week 13	Presentation No. 2	Students' presentations No. 2 on the chosen topic
Week 14	Course wrap up	Final test; Students' feedback

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

## 【テキスト（教科書）】

David Bohlke and Stephanie Parker: Keynote Pre-Intermediate, Cengage Learning, 2018. Student's Book ISBN: 978-1-337-27392-3

## 【参考書】

English to English dictionary:

<https://dictionary.cambridge.org/>

その他の参考書については授業中に紹介します。

## 【成績評価の方法と基準】

積極的な授業への参加が期待される。また、発表、宿題、最終テストなどを勘案して成績を評価する。なお、4 回以上欠席した場合は、原則として単位の取得を認めない。

Students are expected to actively participate in class, prepare short presentations, complete writing assignments and pass the final test.

- Active participation in class: 20%

(In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course)

- Writing assignments, homework and tests: 40%
- Presentations: 40%

**【学生の意見等からの気づき】**

There are no student comments that would require major changes to the course. (特になし)

The instructor is always happy to receive feedback on how to make learning more enjoyable and effective.

**【学生が準備すべき機器他】**

- 指定の教科書
- 授業内容を見返すためのノート
- 辞書／電子辞書

(英和・和英辞典の他に、**English-English dictionary** も必要。【参考書】に記載されたホームページをご参考ください。)

**【その他の重要事項】**

授業を登録した学生の英語レベルに応じて実際の授業内容はシラバスの内容と異なることもある。

**【Outline (in English)】**

Enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：アメリカの文化と社会から考える

利根川 真紀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1 年次に習得した 4 技能の英語運用能力を用いて、アメリカ文化や社会について書かれたり話されたりした情報を理解し、様々な角度から考察し、また自らの意見を発信する練習を行います。さらに、雑誌や新聞の記事やビデオクリップなどのインターネット上の情報を利用することにより、身の回りにある教科書でない英語にもなるべく多く触れるようにしていきます。

## 【到達目標】

- 1 アクセントや発音にも注意を払いつつ、語彙力を高める
- 2 英語で発信された情報を理解する
- 3 自分の意見を英語で表現できるようにする
- 4 アメリカ文化・社会についての知識を身につける

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

パワーポイントを適宜利用し、予習してわからなかった部分の解説をするほか、ペアワークやグループワークも取り入れて、内容理解の確認や英語表現の練習を行います。英語の発音やアクセントにも注意を払うことによって、リスニングやスピーキングの力も同時につけていきます。効果的なプレゼンテーションになるよう工夫したり、根拠を示して意見を述べるライティングの力もつけていきます。授業の初めに、前回授業で提出された小テストにフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	イントロダクション	授業内容・進め方の説明
2 回目	家族 ①	<i>The New York Times</i> ビデオクリップとスクリプト
3 回目	家族 ②	Lesson 12: Good Question
4 回目	家族 ③	関連資料、ディスカッション
5 回目	銃規制 ①	Lesson 11: "Don't Shoot"
6 回目	銃規制 ②	<i>The Japan Times</i> 記事
7 回目	銃規制 ③	関連資料、ライティング
8 回目	新聞・雑誌記事	各自が探した記事の提出、内容確認、プレゼン準備
9 回目	食生活、健康 ①	Lesson 2: A Spreading Problem
10 回目	食生活、健康 ②	TED ビデオクリップとスクリプト
11 回目	記事のプレゼンテーション (1-8)	クラスメートへのフィードバック (プレゼン方法と記事内容)
12 回目	記事のプレゼンテーション (9-17)	振り返り、クラスメートへのフィードバック
13 回目	記事のプレゼンテーション (18-24)	クラスメートへのフィードバック、効果的な英語プレゼンのまとめ
14 回目	食生活、健康 ③	関連資料、リスニング

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。授業は予習を前提に進みますので、予習として、本文を少なくとも 3 回は音読し、わからない単語は調べ、段落ごとに 1 行程度に要約し、練習問題を解きます。また、各レッスン（記事）から内容的に一番印象に残る 1 文、英語として一番難しい 1 文をそれぞれ選んでから、授業に出席するようにします。復習に関しては、翌週の授業開始時のチェックに備えて取り組みます。プレゼンテーションに向けて、各自が関心のある記事を探して読み、提出課題を作成します。

## 【テキスト（教科書）】

『U.S.A. Update（いま、アメリカを読む）』、Jim Knudsen 著、南雲堂

## 【参考書】

辞書等は初回の授業で紹介いたします。

## 【成績評価の方法と基準】

授業への取り組み (35%)、課題提出と毎週の小テスト (35%)、プレゼンテーション関連 (30%)。欠席が 4 回以上になると、原則として単位修得の資格を失います。遅刻・早退は減点の対象とします。

## 【学生の意見等からの気づき】

授業開始時の復習チェックにより語彙が定着したという意見が多かったので、続ける予定です。

## 【Outline (in English)】

This course aims to introduce various aspects of American society and its culture while using and improving 4 skills of English, reading, writing, listening and speaking. Through pair work practices and group activities, the course will help students to expand their active vocabulary and get used to expressing their opinions in written and spoken English and responding to others. In addition to studying the textbook, students will also familiarize themselves with authentic materials offered in English. Besides, each student will search independently for an interesting article on a current topic in American life found in English newspapers and magazines and then will give a presentation on it. Students' required study time for each class meeting is at least one hour. Grading will be based on class participation (35%), assignments & weekly quizzes (35%), presentations (30%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive an academic credit for the course.



LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：アメリカの文化と社会から考える

利根川 真紀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1 年次に習得した 4 技能の英語運用能力を用いて、アメリカ文化や社会について書かれたり話されたりした情報を理解し、様々な角度から考察し、また自らの意見を発信する練習を行ないます。さらに、雑誌や新聞の記事やビデオクリップなどのインターネット上の情報を利用することにより、身の回りにある教科書でない英語にもなるべく多く触れるようにしていきます。

【到達目標】

- 1 アクセントや発音にも注意を払いつつ、語彙力を高める
- 2 英語で発信された情報を理解する
- 3 自分の意見を英語で表現できるようにする
- 4 アメリカ文化・社会についての知識を身につける

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

パワーポイントを適宜利用し、予習してわからなかった部分の解説をするほか、ペアワークやグループワークも取り入れて、内容理解の確認や英語表現の練習を行ないます。英語の発音やアクセントにも注意を払うことによって、リスニングやスピーキングの力も同時につけていきます。根拠を示して意見を述べるライティングの力もつけていきます。なお、春学期の終わりに詳しく説明しますが、夏休み中に洋書を一冊読んでおいてください。秋学期の授業で、読んだ本について各自がプレゼンテーションを行ないます。授業の初めに、前回授業で提出された小テストにフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	イントロダクション	授業内容・進め方の説明、効果的なプレゼンテーションの準備
2 回目	裁判制度 ①	Lesson 14: And Justice for All
3 回目	裁判制度 ②	The New York Times 記事
4 回目	裁判制度 ③	関連資料、ディスカッション
5 回目	ブック・パッセージ	パッセージの提出、内容確認、プレゼン練習
6 回目	移民、人種、ホリデイ ①	Lesson 3: Juneteenth
7 回目	移民、人種、ホリデイ ②	Lesson 7: Illegal
8 回目	移民、人種、ホリデイ ③	関連資料、ライティング
9 回目	ブック・プレゼンテーション (1~8)	夏休みに読んだ洋書のプレゼンとクラスメートへのレスポンス
10 回目	ブック・プレゼンテーション (9~17)	振り返り、夏休みに読んだ洋書のプレゼンとレスポンス
11 回目	ブック・プレゼンテーション (18~24)	夏休みに読んだ洋書のプレゼンとレスポンス、効果的なプレゼンのまとめ

12 回目	環境問題、地域的多様性 ①	Lesson 6: A New York State of Mind
13 回目	環境問題、地域的多様性 ②	TED ビデオクリップとスクリプト
14 回目	環境問題、地域的多様性 ③	関連資料、リスニング

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。授業は予習を前提として進みますので、予習として、本文を少なくとも 3 回は音読し、わからない単語は調べ、段落ごとに 1 行程度に要約し、練習問題を解きます。また、各レッスン（記事）から内容的に一番印象に残る 1 文、英語として一番難しい 1 文をそれぞれ選んでから、授業に出席するようにします。復習に関しては、翌週の授業開始時のチェックに備えて取り組みます。プレゼンテーションに向けて、クラスメートが選んだパッセージにもすべて目を通して課題を提出します。

【テキスト（教科書）】

『U.S.A. Update（いま、アメリカを読む）』、Jim Knudsen 著、南雲堂

【参考書】

辞書等は初回の授業で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

授業への取り組み（35 %）、課題提出と毎週の小テスト（35 %）、プレゼンテーション関連（30 %）。欠席が 4 回以上になると、原則として単位修得の資格を失います。遅刻・早退は減点の対象とします。

【学生の意見等からの気づき】

授業開始時の復習チェックにより語彙が定着したという意見が多かったため、続ける予定です。

【Outline (in English)】

This course aims to introduce various aspects of American society and its culture while using and improving 4 skills of English, reading, writing, listening and speaking. Through pair work practices and group activities, the course will help students to expand their active vocabulary and get used to expressing their opinions in written and spoken English and responding to others. In addition to studying the textbook, students will also familiarize themselves with authentic materials offered in English. Besides, each student will give a 5-minute presentation on an English book of his or her own choice. Students' required study time for each class meeting is at least one hour. Grading will be based on class participation (35%), assignments & weekly quizzes (35 %), presentations (30%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive an academic credit for the course.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：日本が抱える問題

吉江 秀和

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本の現代社会が抱える問題点を取り上げたテキスト『考えよう日本の論点 15 Japan's Dilemmas and Solutions』を中心とした英文の精読と、内容に関連する問題を解くことで、English 1 と English 2 で学んだ、「読む」「書く」「聞く」「話す」の 4 技能の能力を包括的に高めていきます。その際に、構文を意識したより正確な英文読解力を身につけていくことを軸とし、その読解で得た情報を批判的に考察し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英語で発信する土台を構築していきます。

## 【到達目標】

テキストなどの読解や問題を通じて以下のことを目標とする。

- ①英文を読む際に構文を意識して一文ずつ丁寧に読むことを身につける。
- ②英文を確実に理解するための語彙や表現を覚えて、文法事項の理解を深める。
- ③テキストなどの英文を繰り返し聞いたり音読したりすることにより、英語のリスニング力やスピーキング力を鍛えていく。
- ④テキストの問題を活用しながら、トピックに関する自分の意見を英語で書く力を鍛えていく。
- ⑤自分の意見を英語で他者に伝え、聞き手はその意見を聞き取る能力をつけていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

テキスト『考えよう日本の論点 15 Japan's Dilemmas and Solutions』を事前に精読し、その内容に関連するテキストの問題を解いてきてもらいます。その際に、文章理解の正確性を高めるために構文を意識してもらって作業してもらいます。授業では、構文や英文内容理解の確認とともに、テキストの問題の答え合わせを指名しながらおこないます。テキスト内容の解説・確認の終了後、説明した内容を中心に作成した確認テストをおこないます。また、授業内で扱ってきたトピックから選択し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英文でまとめたものでプレゼンテーションをおこないます。聞き手には、各発表者の発言の聞き取りをおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	予習のやり方や授業の進め方など、授業を受けるうえでの注意の説明をします。
2	Chapter 1	Educational Sakoku
3	Chapter 2	Impact of Lowering the Age of "Adulthood"
4	Chapter 3	Remote or In-person? Benefits and Disadvantages
5	英文講読	日本に関する英文の講読、リスニング

6	英文講読	日本に関する英文の講読、リスニング
7	プレゼンテーション	Chapter 1～Chapter 3 に関連するトピックによるプレゼンテーション
8	Chapter 4	Gender Equality
9	Chapter 5	Freedom of Speech and Its Implications
10	Chapter 6	Position of the Self Defense Force in Japan
11	Chapter 7	Should Nuclear Power Dependency Be Halted?
12	英文講読	日本に関する英文の講読、リスニング
13	期末試験・まとめ	これまで学習してきた内容を期末試験で確認します。試験・まとめと解説
14	プレゼンテーション	Chapter 4～Chapter 7 に関連するトピックによるプレゼンテーション

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず予習をおこなってください。予習のやり方については最初の授業で説明します。英文を単に訳すのではなく構文の読み取りを意識しておこない、授業中に発問された際に、できる限りスムーズに答えられるように準備をしてきてください。また、授業内では単なる英語に関する発問だけでなく、テキスト内容に関する追加的な発問もおこないますので、内容に関連する用語や背景などを自分で調べてきてください。授業中におこなうプレゼンテーションのためにもテキストの英文のリスニングや音読を普段からおこなうことを心がけてください。

英文や言及していることについて予習の段階でわからないところがあるのは仕方ありませんが、それらも解決の糸口だけでも見つけられるように努力をしてください。その予習の状況も踏まえて平常点が付けられます。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

## 【テキスト（教科書）】

James M. Vardaman, KAMATA Akiko, OKADA Hiroki, KOBAYASHI Ryoichiro 『考えよう日本の論点 15 Japan's Dilemmas and Solutions: 15 Topics You Need to Consider』 鶴見書店, 2023 年, 2,000 円+税

## 【参考書】

必要な際には授業内で指示します。

## 【成績評価の方法と基準】

確認テストや予習の状況などで判断する授業への取り組み（20%）とライティングおよび記述したものを基にしたプレゼンテーションとそのリスニング（40%）、そして期末試験（40%）から総合的に評価。欠席が 4 回以上の場合には原則として単位取得資格を失うため、欠席回数に注意してください（欠席回数が 4 回に満たなくても欠席回数が多くなればその分、授業への取り組みの評価に影響します。また、予習が不十分であったり、授業への取り組みが芳しくなかったりする場合は、授業への出席とみなさない可能性があります）。また、期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失いますので注意願います。

## 【学生の意見等からの気づき】

構文や日本語訳などの確認についてはできる限り時間をかけておこなっていきます。

テキストの内容を理解するために、テキスト以外のものを参照する必要がある場合もあります。その際には、できる限りの情報を提示します。

予習をしてきていない学生の答えを待つと時間のロスが発生するため、そのような場合には当該学生の平常点を減点します。

## 【学生が準備すべき機器他】

辞書を必ず持参してください。その際には、インターネット辞書にあるような単語の意味を拾うだけのものではなく、例文が示されていたり、その単語がどのような文型や構文で使われるものなのかが分かったりするものを用意してください（主要な動詞がどの文型をとるのかが示されている『ジーニアス英和辞典』が望ましいです）。

**【その他の重要事項】**

春学期と秋学期の両方を通年科目として履修することが望ましいです。

**【Outline (in English)】**

Through reading stories and doing exercises in the textbook “15 Japan’s Dilemmas and Solutions”, which consists of 15 topics about Japan, students study how to read the sentences correctly, how to think about the topics critically and how to express their own opinions. When students read the sentences, they try to analyse sentence structures as precisely as possible. After completing each chapter, students have an achievement test on reading comprehension, English compositions and analysing the sentences in the chapter. During this term, students will have one or two presentations on the topics in the textbook. At the end of the course, students will be expected to improve their proficiency in reading, composition, speaking and listening, and to have a wider vocabulary of English. Students will be expected to spend at least 1 hour to prepare and review lessons. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end exam 40%, presentation and dictation 40%, exams for each unit and in-class contribution, 20%.

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：日本が抱える問題

吉江 秀和

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

中級／日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本の現代社会が抱える問題点を取り上げたテキスト『考えよう日本の論点 15 Japan's Dilemmas and Solutions』を中心とした英文の精読と、内容に関連する問題を解くことで、English 1 と English 2 で学んだ、「読む」「書く」「聞く」「話す」の 4 技能の能力を包括的に高めていきます。その際に、構文を意識したより正確な英文読解力を身につけていくことを軸とし、その読解で得た情報を批判的に考察し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英語で発信する土台を構築していきます。

## 【到達目標】

テキストなどの読解や問題を通じて以下のことを目標とする。

- ①英文を読む際に構文を意識して一文ずつ丁寧に読むことを身につける。
- ②英文を確実に理解するための語彙や表現を覚えて、文法事項の理解を深める。
- ③テキストなどの英文を繰り返し聞いたり音読したりすることにより、英語のリスニング力やスピーキング力を鍛えていく。
- ④テキストの問題を活用しながら、トピックに関する自分の意見を英語で書く力を鍛えていく。
- ⑤自分の意見を英語で他者に伝え、聞き手はその意見を聞き取る能力をつけていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

テキスト『考えよう日本の論点 15 Japan's Dilemmas and Solutions』を事前に精読し、その内容に関連するテキストの問題を解いてきてもらいます。その際に、文章理解の正確性を高めるために構文を意識してもらって作業してもらいます。授業では、構文や英文内容理解の確認とともに、テキストの問題の答え合わせを指名しながらおこないます。テキスト内容の解説・確認の終了後、説明した内容を中心に作成した確認テストをおこないます。また、授業内で扱ってきたトピックから選択し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英文でまとめたものでプレゼンテーションをおこないます。聞き手には、各発表者の発言の聞き取りをおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter 8	Fertility Decline and Initiative
2	Chapter 9	Digitization and Public Administration
3	Chapter 10	Covid Measures and National Character
4	Chapter 11	Foreign Technical Intern Trainees
5	英文講読	日本に関する英文の講読、リスニング
6	英文講読	日本に関する英文の講読、リスニング

7	プレゼンテーション	Chapter 8～Chapter 11 に関連するトピックによるプレゼンテーション
8	Chapter 12	Financial Literacy
9	Chapter 13	Heading to the Country
10	Chapter 14	Does Dedication Require Overtime?
11	Chapter 15	Refugee Status
12	英文講読	日本に関する英文の講読、リスニング
13	期末試験・まとめ	これまで学習してきた内容を期末試験で確認します。試験・まとめと解説
14	プレゼンテーション	Chapter 12～Chapter 15 に関連するトピックによるプレゼンテーション

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず予習をおこなってください。予習のやり方については最初の授業で説明します。英文を単に訳すのではなく構文の読み取りを意識しておこない、授業中に発問された際に、できる限りスムーズに答えられるように準備をしてきてください。また、授業内では単なる英語に関する発問だけでなく、テキスト内容に関する追加的な発問もおこないますので、内容に関連する用語や背景などを自分で調べてきてください。授業中におこなうプレゼンテーションのためにもテキストの英文のリスニングや音読を普段からおこなうことを心がけてください。

英文や言及していることについて予習の段階でわからないところがあるのは仕方ありませんが、それらも解決の糸口だけでも見つけられるように努力をしてください。その予習の状況も踏まえて平常点が付けられます。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

## 【テキスト（教科書）】

James M. Vardaman, KAMATA Akiko, OKADA Hiroki, KOBAYASHI Ryoichiro 『考えよう日本の論点 15 Japan's Dilemmas and Solutions: 15 Topics You Need to Consider』 鶴見書店, 2023 年, 2,000 円 + 税

## 【参考書】

必要な際には授業内で指示します。

## 【成績評価の方法と基準】

確認テストや予習の状況などで判断する授業への取り組み (20%) とライティングおよび記述したものを基にしたプレゼンテーションとそのリスニング (40%)、そして期末試験 (40%) から総合的に評価。欠席が 4 回以上の場合は原則として単位取得資格を失うため、欠席回数に注意してください (欠席回数が 4 回に満たなくても欠席回数が多くなればその分、授業への取り組みの評価に影響します。また、予習が不十分であったり、授業への取り組みが芳しくなかったりする場合は、授業への出席とみなさない可能性があります)。また、期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失いますので注意願います。

## 【学生の意見等からの気づき】

構文や日本語訳などの確認についてはできる限り時間をかけておこなっていきます。

テキストの内容を理解するために、テキスト以外のものを参照する必要がある場合もあります。その際には、できる限りの情報を提示します。

予習をしてきていない学生の答えを待つと時間のロスが発生するため、そのような場合には当該学生の平常点を減点します。

## 【学生が準備すべき機器他】

辞書を必ず持参してください。その際には、インターネット辞書にあるような単語の意味を拾うだけのものではなく、例文が示されていたり、その単語がどのような文型や構文で使われるものなのかが分かっていたりするものを用意してください (主要な動詞がどの文型をとるのかが示されている『ジーニアス英和辞典』が望ましいです)。

## 【その他の重要事項】

春学期と秋学期の両方を通年科目として履修することが望ましいです。

**【Outline (in English)】**

Through reading stories and doing exercises in the textbook “15 Japan’s Dilemmas and Solutions”, which consists of 15 topics about Japan, students study how to read the sentences correctly, how to think about the topics critically and how to express their own opinions. When students read the sentences, they try to analyse sentence structures as precisely as possible. After completing each chapter, students have an achievement test on reading comprehension, English compositions and analysing the sentences in the chapter. During this term, students will have one or two presentations on the topics in the textbook. At the end of the course, students will be expected to improve their proficiency in reading, composition, speaking and listening, and to have a wider vocabulary of English. Students will be expected to spend at least 1 hour to prepare and review lessons. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end exam 40%, presentation and dictation 40%, exams for each unit and in-class contribution, 20%.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Eye on America selected 「日本の立ち位置は？  
アメリカ文化との比較を通して

吉川 太恵子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 では、「読む・聞く・書く・話す」の 4 技能をさらに伸ばすことが目的である。この授業では「日本や日本文化が世界からどのように見られているか」について、教科書だけでなくビデオや新聞、ネットなど様々な媒体を使用して考察する。具体的には、日本の学生が国際的な視野を身につけるには、海外で「一般的」や「常識」とされる事柄を知る必要がある。それは、日本で「当たり前」や「常識」と思われていることが、海外では異なって捉えられていることが多々あるからである。そうしたギャップをアメリカ文化の諸相を通じて、日本人の視点とアメリカ人の視点の両方から検証し、世界における日本の立ち位置をみていく。

## 【到達目標】

「英文読解」のように、逐次文の途中や文末まで戻って日本語に訳すのをやめるのが大きな目標となる。原文を文章の頭から英語でそのまま理解することで、読解速度が速くなり、英文全体の要旨を早くつかめるようになる。

知らない単語があっても、前後の内容で推察することができる。リスニング力、スピーキング力を高める。高校までの学習であまり重点が置かれてこなかった発音は、実はリスニングやスピーキングに大きな影響を与える。自分の思い込みで「正しい」と思っていた発音が、実際はそう聞こえることは少なく、そのためにリスニングに苦手意識をもつことになってしまう。また、正しい発音を身につけていないと、相手に理解してもらうのは困難であることを理解する。

毎週出される課題を英文で書き、授業中の発話を通じてある程度の内容を的確に表現できる。

外国の文化や考え方を知ることによって日本についての理解を深め、自らの考えを発信することが可能になる。

文化間の違いについて見識を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

各ユニットを基本的に 2 回の授業でカバーする。1 回目の授業では、日本人とアメリカ人著者の考えを読み、内容の理解をチェックする。2 回目は理解力をチェックし、ディスカッションを通じて発話を促す。また、折々にトピックスに関連する英語のビデオを観る。さらに不定期ではあるが、時事問題記事を扱うこともあるため、シラバス通りに授業が運ばない場合がある。教科書・プリント類の予習をしっかりと行うことを必須とする。（成績に影響する。）

学生からの質問や英文の添削は、クラスでのレポート提出の場合はレポートに、毎回提出を必須としているリアクション・ペーパーにおいては、Hoppi を通じてオンライン上でフィードバックを行っている。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	自己紹介、授業の進め方、教科書について、出欠の扱い、単位取得条件、課題の提出回数も成績として記録されることなどについて
2	Unit 1-1 The GPA System	The Authors' views, Comprehension Quizzes
3	Unit 1-2 The GPA System	Supplemental readings on the topic, Discussion, and Video
4	Unit 2-1 Potluck Party	The Authors' views, Comprehension Quizzes
5	Unit 2-2 Potluck Party	Supplemental readings on the topic, Discussion, and Video
6	Unit 3-1 Selling Textbooks After Exams	The Authors' views, Comprehension Quizzes
7	Unit 3-2 Selling Textbooks After Exams	Supplemental readings on the topic, Discussion, and Video
8	Mid-term vocabulary test Unit 4-1 The Rules of Introduction	In-class test(from the textbook and other materials used in class.) ***** The Authors' views, Comprehension Quizzes
9	Unit 4-2 The Rules of Introduction	Supplemental readings on the topic, Discussion, and Video
10	Unit 5-1 Holding The Door For Other People	The Authors' views, Comprehension Quizzes
11	Unit 5-2 Holding The Door For Other People	Supplemental readings on the topic, Discussion, and Video
12	Unit 6-1 Never Letting Anyone Cut In Line	The Authors' views, Comprehension Quizzes
13	Unit 6-2 Never Letting Anyone Cut In Line	Supplemental readings on the topic, Discussion, and Video
14	春学期末試験・まとめ	教科書・授業で取り上げたプリントなどから出題する試験を行う。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間が標準とされているが、それではとても十分とは言えない。各自が自分に必要な勉強時間を確保してほしい。最低でも予習・復習に 2 時間は最低限必要だと考える。

授業中は頻繁に当たるため、授業準備は必須である。特に Eng.3 以降に英語のクラスを選択しない学生は、今後まとまった時間を英語学習に当てることが少なくなるため、今年度は真剣に準備して授業に臨んで欲しい。

リアクション・ペーパーの提出を Hoppi を通じて行っている（必須）。提出回数は記録され、成績に結び付けているので、必ず期限内の提出を求める。【内容はその日の授業の感想、疑問、質問、問題の回答などで、教師は英文の添削や質問に答えて学生に戻している。】

## 【テキスト（教科書）】

*Eye on America: selected*, Toshihiko KOBAYASHI, 三修社, 2020 年, 1800 円, ISBN: 978-4-384-33459-3 C1082

プリント類は、その都度教室で配布するか、事前に Hoppi にアップされたものを各自プリントアウトして持参してもらう場合がある。

## 【参考書】

これまで使用してきた文法書を使用してほしい。授業中は電子辞書、紙製辞書のみ使用可能で、携帯電話アプリの辞書は、教師が指示した時以外は認めない。また、授業外に Web 上の Cambridge Dictionary や、Merriam-Webster Dictionary などの英英辞典の使用を強く推奨する。

## 【成績評価の方法と基準】

● 平常点: (授業中の受け答え、ペアワークやグループワークへの参加度や課題提出状況):32%

● Reaction Paper の提出 ( Hoppi を通じて)  $2 \times 14 = 28\%$

● Mid-term Vocabulary test : 20%

● 春学期末試験: 20%

単位取得のための最低合格レベル : 60%

4 回以上欠席した場合には単位取得資格を失う (公欠を除く)

授業開始時間から 15 分以上遅れた場合は、遅刻としてカウントし 2 回で欠席 1 回とみなす。30 分以上遅刻した場合は、出席しても欠席扱いとなる。体調が悪い、通院するなどの場合は事前に教師宛にメールで知らせること。

#### 【学生の意見等からの気づき】

1. 新聞や雑誌記事、トピックスに関連するビデオなどを適宜授業に取り入れているのは全体的な理解を深めると好評である。また、ディスカッションにおいて英語で自分の意見を相手にわかりやすく説明することを毎回積み重ねていくことで、英語での発表に自信がつき、違った考え方を知る機会になったという感想を学生から得ている。

2. 授業後に提出を義務付けているリアクション・ペーパーを通じて、学生との意思疎通を図っている。

3. 年間を通じてクラスの席を時折変更しているため、席の位置が固定化するのを防ぎ、多くのクラスメートと話す機会を得ていると好評である。

#### 【学生が準備すべき機器他】

英語の辞書 (紙製・電子辞書)、携帯電話のアプリ使用は認めない。

#### 【その他の重要事項】

コロナの規制が緩んできたとはいえ、場合によっては zoom によるオンライン授業に変える用意がある。

#### 【Outline (in English)】

##### ● Course outline

The purpose of this course is to enhance students' skills in reading, listening, writing, and speaking. Each unit provides two different perspectives on the same topic written by a non-Japanese author and a Japanese author, respectively.

By reading the textbook, students will learn what is "standard" for people in Western countries such as the United States. Thereby, it would help students learn how Japan and Japanese people are viewed by non-Japanese people in the world.

##### ● Learning Objectives

(1) By understanding English texts as they are without translating them into Japanese, you will be able to speed up your reading comprehension and quickly grasp the gist of the text. (2) You will be able to understand the meaning of sentences accurately, even if you come across unknown words without referring to a dictionary. (3) You will be able to express your own opinion in well-formed paragraphs. (4) You will be able to ask questions in English smoothly. (5) Your listening skills will be improved by learning the right pronunciation and how to pronounce words properly. (6) In addition to learning English, you may be able to learn cultural differences and recognize how Japan is viewed by non-Japanese people in the world.

##### ● Learning activities outside of class room

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. However, students are required to spend at least two hours before and after the class. Students are frequently asked to answer questions, so preparation is essential. **In addition, submission of a reaction paper through the Hoppi system is mandatory every time, which affects the grades.** The reaction paper will be used as a communication tool between the student and the teacher. The teacher will check the submission, make any corrections or answer questions and return it to the student as feedback through Hoppi.

##### ● Grading Criteria/Policy

Reaction paper (through the Hoppi system)  $2 \times 14 = 28\%$

In-class participation: 32% (pair work, group work)

Mid-term vocabulary test: 20%

Term-end examination: 20%

**The minimum passing grade: 60%**

#### Maximum absences per semester: 4 times

More than 15 minutes delay will be recorded as a late mark, and two late marks will be counted as one absence. If students have poor health conditions, they must notify the teacher before the class starts.

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Eye on America selected 「日本の立ち位置は？  
アメリカ文化との比較を通して」

吉川 太恵子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

サブタイトルにあるようにこの授業では「日本や日本文化が世界からどのように見られているか」について春学期に引き続き考察する。教科書のトピックについて、日本人とアメリカ人著者が展開する考えをもとに、ビデオや新聞、インターネットの記事など様々な媒体を使用して多面的にみていく。日本の学生が国際的な視野を身につけるには、海外で「一般的」や「常識」とされる事柄を知る必要がある。つまり日本で「当たり前」や「常識」とされていることが、海外では異なって捉えられていることが多々あるからである。そうしたギャップをアメリカ文化の諸相を通じて、日本人の視点とアメリカ人の視点の両方から検証し、世界における日本の立ち位置を見出していく。

## 【到達目標】

(1) 逐次英文を日本語に訳すのではなく、英文をそのまま理解することで、読解速度が上がり、要旨を早く捉えることが可能になる。(2) 文の大意を的確に捉えることが出来ると、知らない単語があっても、辞書を使わずに前後関係から内容を推察することができるようになる。(3) 自分の意見がある程度整ったパラグラフで表現できる。(4) 英語で質問することができる。(5) 英語を学ぶだけでなく、国際問題や時事問題についての知識を深める。(6) 外国の文化や考え方を理解することで、日本についての理解を深め、自分の意見を発信することが可能になる。(4) 文化間の違いについて見識が深まる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

各ユニットを基本的に 2 回の授業でカバーする。1 回目の授業では、日本人とアメリカ人著者の考えを読み、内容の理解をチェックする。2 回目は理解力をチェックし、ディスカッションを通じて発話を促す。学期の後半では、授業のスピードを上げて全トピックスをカバーするために、1 回の授業で 1 ユニットの学習する。また、折々にトピックスに関連する英語のビデオを観る。さらに不定期ではあるが、時事問題記事を扱うこともあるため、シラバス通りに授業が運ばない場合がある。教科書・プリント類の予習をしっかり行うことを必須とする。(平常点に加味する。)

学生は授業中にほぼ 1 回はランダムに当たるので、準備は欠かせない。授業後に毎回必須となっているリアクション・ペーパーの提出は、Hoppi から提出期限内に出すことが求められ、質問に対するコメントや英文の添削をして学生に戻すことにしている。これはその日の授業の理解度や意見、教師との意思疎通を図るために自由形式で行われ、提出回数は成績に影響する。

学生からの質問や英文の添削は、クラスでのレポート提出の場合はレポートに、リアクション・ペーパーにおいては、Hoppi を通じてオンラインでフィードバックを行っている。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 7-1 Attitudes Toward Smoking	The authors' views, Comprehension Quizzes

2	Unit 7-2 Attitudes Toward Smoking	Supplemental readings on the topic, Discussion, and Video
3	Unit 8-1 Intolerance of Drunks	The authors' views, Comprehension Quizzes
4	Unit 8-2 Intolerance of Drunks	Supplemental readings on the topic, Discussion, and Video
5	Unit 9-1/9-2 Scary Public Restrooms	The authors' views, Comprehension Quizzes, Discussion and Video
6	Unit 10-1/10-2 Impolite Store Clerks	The authors' views, Comprehension Quizzes, Discussion and Video
7	Unit 11-1/11-2 The Troublesome Custom of Tipping	The authors' views, Comprehension Quizzes, Discussion and Video
8	Mid-term Vocabulary test	The authors' views, Comprehension Quizzes, Discussion and Video
9	Unit 12-1/12-2 Hotel Room Charges: How Many Rooms? Not How Many Guests	The authors' views, Comprehension Quizzes, Discussion and Video
10	Unit 13-1/13-2 Independent-Minded Children	The authors' views, Comprehension Quizzes, Discussion and Video
11	Unit 14-1/14-2 Husband Controlling the Family Budget	The authors' views, Comprehension Quizzes, Discussion and Video
12	Unit 15-1/15-2 Protecting the Family with Guns	The authors' views, Comprehension Quizzes, Discussion and Video
13	Additional readings 1	Comprehension Quizzes and Video
14	Additional readings 2	Comprehension Quizzes and Video
15	Fall Term-end examination	教科書、授業でやったプリント類などから出題する試験・まとめ

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

●本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間が標準とされているが、これでは十分とは決して言えない。各々が自分に必要な勉強時間を確保してほしいが、予習・復習を合わせて最低 2 時間が必要である。

●学生は授業中にほぼ 1 回はランダムに当たるので、準備は欠かせない。

●学生からの質問や英文の添削は、クラスでのレポート提出の場合はレポートに、毎回提出を必須としているリアクション・ペーパーにおいては、Hoppi を通じてオンラインでフィードバックを行っている。

## 【テキスト（教科書）】

*Eye on America, selected*, Toshihiko KOBAYASHI, 三修社, 2020 年, ¥1800. ISBN: 978-4-384-33459-3-C1082  
プリント類はその都度配布するか、事前に Hoppi にアップするので各々が印刷して授業に持ってきてもらう場合がある。

## 【参考書】

これまで使用してきた文法書を使用してほしい。授業中は電子辞書、紙製辞書のみ使用可能で、携帯電話アプリの辞書は、教師が指示した時以外は認めない。また、授業外に Web 上の Cambridge Dictionary や、Merriam-Webster Dictionary などの英英辞典の使用を強く推奨する。

## 【成績評価の方法と基準】

●平常点：(授業中の受け答え、ペアワークやグループワークへの参加度や課題提出状況):32%

●Reaction Paper の提出 (Hoppi を通じて) 2 x 14 = 28%

●Mid-term Vocabulary test : 20%

●春学期末試験: 20%

単位取得のための最低合格レベル：60%

4 回以上欠席した場合には単位取得資格を失う(公欠を除く)



授業開始時間から 15 分以上遅れた場合は、遅刻としてカウントし、2 回で欠席 1 回とみなす。30 分以上遅刻した場合は、出席しても席扱いとなる。体調が悪い、通院するなどの場合は事前に教師宛にメールで知らせること。

#### 【学生の意見等からの気づき】

1. 新聞や雑誌記事、トピックスに関連するビデオなどを適宜授業に取り入れているのは全体的な理解を深めると好評である。また、ディスカッションにおいて英語で自分の意見を相手にわかりやすく説明することを毎回積み重ねていくことで、英語での発表に自信がつき、違った考え方を知る機会になったという感想を学生から得ている。
2. 授業後に提出を義務付けているリアクション・ペーパーを通じて、学生との意思疎通を図っている。
3. 年間を通じてクラスの席を時折変更しているため、席の位置が固定化するのを防ぎ、多くのクラスメートと話す機会を得ていると好評である。

#### 【学生が準備すべき機器他】

英語の辞書（紙製・電子辞書）携帯電話のアプリ使用は教師が許可した場合を除き、通常は禁止している。

#### 【その他の重要事項】

必要な場合は zoom によるオンライン授業に切り替えることができる。

#### 【Outline (in English)】

##### ● Course outline

Following the Spring-term, the purpose of this course is to enhance students'skills in reading, listening, writing, and speaking. Each unit providestwo different perspectives on the same topic written by a non-Japanese author and a Japanese author, respectively.

By reading the textbook, students will learn what is "standard" for people in Western countries such as the United States. Thereby, it would help students learn how Japan and Japanese people are viewed by non-Japanese people in the world.

##### ● Learning Objectives

(1) By understanding English texts as they are without translating them into Japanese, you will be able to speed up your reading comprehension and quickly grasp the gist of the text. (2) You will be able to understand the meaning of sentences accurately, even if you come across unknown words without referring to a dictionary. (3) You will be able to express your own opinion in well-formed paragraphs. (4) You will be able to ask questions in English smoothly. (5) Your listening skills will be improved by learning the right pronunciation and how to pronounce words properly. (6) In addition to learning English, you may be able to learn cultural differences and recognize how Japan is viewed by non-Japanese people in the world.

##### ● Learning activities outside of class room

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. This is not sufficient, so students are required to spend at least two hours before and after the class. Students are frequently asked to answer questions, therefore, preparation is essential. In addition, submission of a reaction paper through the Hoppi system is mandatory every time, which affects the grades. The reaction paper will be used as a communication tool between the student and the teacher. The teacher will check the submission, make any corrections or answer questions and return it to the student as feedback through Hoppi.

##### ● Grading Criteria/Policy

Reaction paper (through the Hoppi system) 2 x 14 = 28%

In-class participation: 32% (pair work, group work)

Mid-term vocabulary test: 20%

Term-end examination: 20%

**The minimum passing grade: 60%**

**Maximum absences per semester: 4 times**

More than 15 minutes delay will be recorded as a late mark,

and two late marks will be counted as one absence. If students have poor health conditions, they must notify the teacher before the class starts.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：英字紙で読む日本の現代

吉田 季実子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

中級／日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英字紙の記事を通して現代日本に関する表現を学び、同時に英語の技能（Writing, Reading, Listening, Speaking）を伸ばすことを目標とする。

## 【到達目標】

英字紙の記事を辞書を引ながら精読し、内容を日本語で要約できるようにする。

現代日本の諸相に関する語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

テキストに沿って語彙の確認と精読を行う。また章末の問題でリスニング、ライティングについても確認を行う。

精読や英文解釈については毎回授業内で都度確認、説明を行うので必ず予習をすること。

課題に関しても小テストとは別に提出を必要とする

なお、感染症拡大の状況によってはオンライン授業、あるいはハイブリッド形式での授業とする可能性もあるので担当教員からは hoppelii を通して随時連絡する予定

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	授業の進め方や評価についての説明
2	Chapter1	Chapter1 の語彙と精読
3	Chapter1	精読の続きと章末の問題
4	Chapter1&2	Chapter1 の小テストと Chapter2 の語彙と精読
5	Chapter2	精読の続きと章末の問題
6	Chapter2&3	Chapter2 の小テストと Chapter3 の語彙と精読
7	Chapter3	精読の続きと章末の問題
8	UChapter3&4	Chapter2 の小テストと Chapter3 の語彙と精読
9	Chapter4	精読の続きと章末の問題
10	Chapter4&5	Chapter4 の小テストと Chapter5 の語彙と精読
11	Chapter5	精読の続きと章末の問題
12	Chapter5&6	Chapter5 の小テストと Chapter6 の語彙と精読
13	Chapter6	精読の続きと章末の問題
14	Chapter6	Chapter6 の小テスト

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教材の予習のところに適宜指示に従って解き、新出単語の確認をすること。

小テストに向けての復習をすること。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

"Cool Japan and the World - Reading Newspapers Today"

『英字紙で読む日本と世界』

浦部尚志、大須賀寿子 編著

音羽書房鶴見書店

2015 年発行

2000 円+税

## 【参考書】

指定なし

## 【成績評価の方法と基準】

小テスト 70%

授業中の問題演習等 30%

各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

## 【学生の意見等からの気づき】

空調音響照明などの授業環境への配慮をする

題材に関連する事柄を適宜紹介する

## 【Outline (in English)】

In this course, we will learn 5 skills through text. The interesting topics from Newspaper's articles will give you information about Japanese culture.

The goal of this course are to read, listen to, and summarize English articles, and speak and write the students' views on the issues.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Short test 70%, in class contribution 15%, assignments 15%

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：英字紙で読む日本の現代

吉田 季実子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英字紙の記事を通して現代日本に関する表現を学び、同時に英語の技能（Writing, Reading, Listening, Speaking）を伸ばすことを目標とする。

【到達目標】

英字紙の記事を辞書を引きながら精読し、内容を日本語で要約できるようにする。

現代日本の諸相に関する語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って語彙の確認と精読を行う。また章末の問題でリスニング、ライティングについても確認を行う。

精読や英文解釈については毎回授業内で都度確認、説明を行うので必ず予習をすること。

課題に関しても小テストとは別に提出を必要とする

なお、感染症拡大の状況によってはオンライン授業、あるいはハイブリッド形式での授業とする可能性もあるので担当教員からは hoppelii を通して随時連絡する予定

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter7	Chapter7 の語彙と精読
2	Chapter7	精読の続きと章末の問題
3	Chapter7&8	Chapter7 の小テストと Chapter8 の語彙と精読
4	Chapter8	精読の続きと章末の問題
5	chapter8&9	Chapter8 の小テストと Chapter9 の語彙と精読
6	Chapter9	精読の続きと章末の問題
7	Chapter9&10	Chapter9 の小テストと Chapter10 の語彙と精読
8	Chapter10	精読の続きと章末の問題
9	chapter10&11	Chapter10 の小テストと Chapter11 の語彙と精読
10	Chapter11	精読の続きと章末の問題
11	Chapter11&12	Chapter11 の小テストと Chapter12 の語彙と精読
12	Chapter12	精読の続きと章末の問題
13	Chapter12&13	Chapter12 の小テストと Chapter13 の語彙と精読
14	Chapter13	精読の続きと章末の問題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教材の予習のところに適宜指示に従って解き、新出単語の確認をすること。

小テストに向けての復習をすること。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。  
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

"Cool Japan and the World - Reading Newspapers Today"

『英字紙で読む日本と世界』

浦部尚志、大須賀寿子 編著

音羽書房鶴見書店

2015 年発行

2000 円+税

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

小テスト 70%

授業中の問題演習等 30%

各学期欠席が 4 回以上の場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

空調音響照明などの授業環境への配慮をする

題材に関連する事柄を適宜紹介する

【学生が準備すべき機器他】

辞書、オンライン授業実施時は対応機材

【Outline (in English)】

In this course, we will learn 5 skills through text. The interesting topics from Newspaper's articles will give you information about Japanese culture.

The goal of this course are to read, listen to, and summarize English articles, and speak and write the students' views on the issues.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Short test 70%, in class contribution 15%, assignments 15%

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current News 1

TAMARA P ELDRIDGE

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

中級／英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to consolidate basic communication skills in English and to further foster critical thinking skills, learning to summarize ideas and generate arguments in English independently. Activities will be balanced across 4 skills designed to improve both the receptive and productive skills in discussing course topics, centering around contemporary and current issues.

## 【到達目標】

The goal of this course is to focus on developing learners' four language skills of reading, writing, listening and speaking for general communication-the four foundational skills of language learning and will be a combination of both content-based as well as task-based activities, with a focus on specific information through communicative and cognitive processes. In addition, the course aims to improve learners' fluency with English; learners' ability to engage in meaningful communicative interaction, and also further learners' knowledge of the formal aspects of the English language, such as vocabulary, grammar and pronunciation. At the same time, learners will engage with a variety of content topics and themes, developing their ability to discuss issues and think critically.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

It will be discussion based and in-class activities will mostly have an emphasis on discussion and listening, with reading and writing being done at home prior to the following class. I will also be doing dictoglosses which is an intensive listening which will help to facilitate your listening, vocabulary, accuracy and discussion skills. I want to make this class as interactive as possible, so it is student centered.

Students are expected to be active participants in class discussion and activities. I expect that our class sessions will consist of active discussion, debate, critique, and exploration. For this format to be successful, it is critical that students read and think about the weekly readings before coming to class sessions. Follow-up discussions to each reading/research assigned will be done in the following class and students will receive feedback and comments on homework assignments and in class activities throughout the term.

This is an online class, and all weeks will be taught on ZOOM. Please see HOPPII, the university's Learning Management System for details.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Class Orientation/self-introductions	Getting to know you/news headlines handout
Week 2	Conversation Strategies	Follow-up Questions
Week 3	Dictogloss	Travel/Culture
Week 4	News Article	Transparent Toilets in Tokyo
Week 5	Video Report	Something New for 30 Days
Week 6	News and Views	News headlines/presentations
Week 7	Mid-term project/presentations	Pre-assigned group presentations
Week 8	Conversation Strategies	Probability
Week 9	Dictogloss	Clean Plate Campaign
Week 10	News Article	Reversal of Aging Process
Week 11	Video Report	How Much Sleep Do We Need
Week 12	News and Views	News Headlines/presentations
Week 13	Review and Follow-up	Activities to review previous material
Week 14	Final Presentations	Pre-assigned group presentations

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Preparation, review and assignments are required. There will be readings(news articles), reports and research for class discussions. Students are expected to complete weekly reading assignments to be ready for class discussions. Approximately 1-2 hours a week will be needed for preparation, review and follow-up.

## 【テキスト（教科書）】

There will be no textbook for this class. I will be using news reports/articles/dictations-which will lead into class discussions.

## 【参考書】

None will be used.

## 【成績評価の方法と基準】

Discussion, debates, participation, and attendance (60%)

Mid-term presentation (20%)

Final presentation (20%)

"In principle, no more than 3 absences per term are allowed."

## 【学生の意見等からの気づき】

Not applicable.

## 【学生が準備すべき機器他】

English-English Dictionary

Computer with camera/mic

Headset

ZOOM

## 【その他の重要事項】

None

## 【Outline (in English)】

This class will be discussion based. In-class activities will mostly have an emphasis on discussion and listening, with reading and writing being done at home prior to the following class. I will also be doing dictoglosses which is an intensive listening which will help to facilitate your listening, vocabulary, accuracy, and discussion skills. I want to make this class as interactive as possible, so it will mostly be student-centered, but teacher facilitated.

There will be presentations, news discussions, debates, dictations, topic-based video reports and dictoglosses. These activities will be done in pair and small groups and based on the materials provided by the instructor or student generated. Homework assignments must be done before class begins. In order to succeed in the class, please prepare well for class, do homework/research, and actively participate.

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current News II

TAMARA P ELDRIDGE

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

中級／英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to consolidate basic communication skills in English and to further foster critical thinking skills, learning to summarize ideas and generate arguments in English independently. Activities will be balanced across the 4 skills designed to improve both the receptive and productive skills in discussing course topics, centering around contemporary and current issues.

## 【到達目標】

The goal of this course is to focus on developing learners' four language skills of reading, writing, listening and speaking for general communication-the four foundational skills of language learning and will be a combination of both content-based as well as task-based activities, with a focus on specific information through communicative and cognitive processes. In addition, the course aims to improve learners' fluency with English; learners' ability to engage in meaningful communicative interaction, and also further learners' knowledge of the formal aspects of the English language, such as vocabulary, grammar and pronunciation. At the same time, learners will engage with a variety of content topics and themes, developing their ability to discuss issues and think critically.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

It will be discussion based and in-class activities will mostly have an emphasis on discussion and listening, with reading and writing being done at home prior to the following class. I will also be doing dictoglosses which is an intensive listening which will help to facilitate your listening, vocabulary, accuracy and discussion skills. I want to make this class as interactive as possible, so it is student centered.

Students are expected to be active participants in class discussion and activities. I expect that our class sessions will consist of active discussion, debate, critique, and exploration. For this format to be successful, it is critical that students read and think about the weekly readings before coming to class sessions. Follow-up discussions to each reading/research assigned will be done in the following class and students will receive feedback and comments on homework assignments and in class activities throughout the term.

This is an online class, and all weeks will be taught on ZOOM. Please see HOPPII, the university's Learning Management System for details.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Summer Break	Summer break catch up/News
	Discussion/News and Views	Headlines discussions
Week 2	Conversation Strategies	Solicitors
Week 3	Dictogloss	Stress Factor
Week 4	News Article	Eco-anxiety/Global Warming
Week 5	Video Report	Starbucks Diversity
Week 6	News and Views	News Headlines/presentations
Week 7	Mid-term project/presentations	Pre-assigned group presentations
Week 8	Conversation Strategies	Expressing Opinions
Week 9	Dictogloss	Social Media
Week 10	Video Report	Social Media Influencers
Week 11	Video Report	Social Media Influencers
Week 12	News and Views	News Headlines/Presentations
Week 13	Review and Follow-up	Exercises reviewing previous material
Week 14	Final Project/Presentations	Pre-assigned group presentations

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Preparation, review and assignments are required. There will be readings(news articles), reports and research for class discussions. Students are expected to complete weekly reading assignments to be ready for class discussions. Approximately 1-2 hours a week will be needed for preparation, review and follow-up.

## 【テキスト（教科書）】

I will be using news reports/articles/dictations-which will lead into class discussions.

## 【参考書】

None required.

## 【成績評価の方法と基準】

Discussion, debates, participation, and attendance (60%)

Mid-term presentation (15%)

Final presentation (25%)

"In principle, no more than 3 absences per term are allowed."

## 【学生の意見等からの気づき】

Not applicable.

## 【学生が準備すべき機器他】

English-English Dictionary

Computer with camera/mic

Headset

ZOOM

## 【その他の重要事項】

None

## 【Outline (in English)】

This class will be discussion based. In-class activities will mostly have an emphasis on discussion and listening, with reading and writing being done at home prior to the following class. I will also be doing dictoglosses which is an intensive listening which will help to facilitate your listening, vocabulary, accuracy and discussion skills. I want to make this class as interactive as possible, so it will mostly be student-centered, but teacher-facilitated.

There will be presentations, news discussions, debates, dictations, topic-based video reports and dictoglosses. These activities will be done in pair and small-groups and based on the materials provided by the instructor or student generated. Homework assignments must be done before class begins. In order to succeed in the class, please prepare well for class, do homework/research and actively participate.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：International Relations/Global Issues

コートランド・デイビッド・スミス

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

中級／英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Welcome to this class. This course will integrate all language skill areas; listening and reading will be used to familiarize students with the content of global issue topics, speaking and writing will be employed to enable students to organize content, their ideas and opinions and communicate these to other members of the class; providing the basis for discussion and debate during class sessions.

## 【到達目標】

The goal of this course is to enable students to learn about various social and cultural practices from around the world. Students should be able to contextualize their own culture within diverse cultural frameworks. Through the use of various authentic materials offered in English, students should learn how to think critically about the important issues that surround them today, and develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions. Furthermore, this course should enable students to further develop their English proficiency by drawing on the skills they have learned in English 1&2. To achieve this goal, all four language skills of reading, writing, speaking and listening will be integrated into the curriculum.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたなどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

Weekly listening homework will be assigned. This involves listening to a recording, and completing a transcript of its content. In class, students will review the listening assignments, do a pair-work dictation exercise and briefly review vocabulary and grammatical structures contained therein, and ask and answer questions relating to the assignment. Grammatical accuracy, vocabulary expansion, improvement of fluency and pronunciation are the objectives of homework assignments.

Students will perform multimedia presentations individually or in groups on a variety of global issues topics. The content of these presentations will provide the basis for subsequent debate and discussion. The focus of these presentations will be finding solutions to the problems or conflicts presented. Students viewing presentations will be required to complete an information form, noting the key points included in each presentation. Selected members of the class will also evaluate the presentations, providing written feedback to presenters so they may improve their delivery technique.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】  
なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1. Introductions HW/L1	Getting started
2	2. Tips on effective presentations HW/L2	Presentation DVD. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
3	3. Choose presentation topics HW/L3	Scheduling presentations. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
4	4. Japan's territorial disputes HW/L4	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
5	5. Nuclear power issue HW/L5	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
6	6. Climate change HW/L6	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
7	7. Women's rights HW/L7	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
8	8. Aging society HW/L8	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
9	9. Refugee problem HW/L9	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
10	10. Immigration/migration HW/L10	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
11	11. Problems of EU HW/L11	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
12	12. Threats to world peace/N. Korea issue HW/L12	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
13	Threats to world peace/Nuclear weapons. HW/None	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
14	Review	Review

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do listening homework, which involves completing a transcription sheet. In addition, students will research a variety of topics and selected students will prepare and perform multimedia presentations on a similar topic each week. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

## 【テキスト（教科書）】

There is no textbook for this class. Instructor will distribute handouts for homework each week.

## 【参考書】

Students will use online information resources to research and prepare presentations. These include:  
www.bbc.co.uk/learningenglish/ www.ted.com www.npr.com  
www.rt.com/documentary and English Wikipedia.



**【成績評価の方法と基準】**

Grading will be based on three criteria: Class participation, 25%; Presentations, 50%; Tests, quizzes, written work, 25%. Unexplained/unjustified absences exceeding three class sessions may disqualify students from obtaining credit for the course. Lateness exceeding 15 minutes without justification will count as one-third absence.

**【学生の意見等からの気づき】**

None.

**【学生が準備すべき機器他】**

Students should bring their presentation slides to class on a memory stick. They can also download these files from their email accounts or dropbox.

**【Outline (in English)】**

Most class activities will consist of reading and writing, grammar drills, delivering presentations and discussion.

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：International Relations/Global Issues

コートランド・デイビッド・スミス

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

中級／英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Welcome to this class. This course will integrate all language skill areas; listening and reading will be used to familiarize students with the content of global issue topics, speaking and writing will be employed to enable students to organize content, their ideas and opinions and communicate these to other members of the class; providing the basis for discussion and debate during class sessions.

## 【到達目標】

The goal of this course is to enable students to learn about various social and cultural practices from around the world. Students should be able to contextualize their own culture within diverse cultural frameworks. Through the use of various authentic materials offered in English, students should learn how to think critically about the important issues that surround them today, and develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions. Furthermore, this course should enable students to further develop their English proficiency by drawing on the skills they have learned in English 1&2. To achieve this goal, all four language skills of reading, writing, speaking and listening will be integrated into the curriculum.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

Weekly listening homework will be assigned. This involves listening to a recording, and completing a transcript of its content. In class, students will review the listening assignments, do a pair-work dictation exercise and briefly review vocabulary and grammatical structures contained therein, and ask and answer questions relating to the assignment. Grammatical accuracy, vocabulary expansion, improvement of fluency and pronunciation are the objectives of homework assignments.

Students will perform multimedia presentations individually or in groups on a variety of global issues topics. The content of these presentations will provide the basis for subsequent debate and discussion. The focus of these presentations will be finding solutions to the problems or conflicts presented. Students viewing presentations will be required to complete an information form, noting the key points included in each presentation. Selected members of the class will also evaluate the presentations, providing written feedback to presenters so they may improve their delivery technique.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】  
なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1. Summer vacation/choose presentation topics HW/L13	Getting started. Students choose topics and schedule their presentations.
2	2. Japan/China relations HW/L14	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
3	3. Food safety/GMO foods HW/L15	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
4	4. US military in Japan HW/L16	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
5	5. Religious extremism HW/L17	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
6	6. Globalization/free trade HW/L18	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
7	7. Death penalty HW/L19	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
8	8. Japan economic problems/debt HW/L20	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
9	9. Illegal drugs/legalization HW/L21	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
10	10. Smartphones/social networking dangers-health and mental illness risk HW/L22	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
11	11. Globalization/social and economic inequality HW/L23	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
12	12. Cultural/linguistic uniformity vs diversity HW/none	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
13	13. Automation/robotization and structural unemployment HW/none	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
14	14 Review/summary	Finish the term. Review and evaluation.

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do listening homework, which involves completing a transcription sheet. In addition, students will research a variety of topics and selected students will prepare and perform multimedia presentations on a similar topic each week. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

## 【テキスト（教科書）】

There is no textbook for this class. Instructor will distribute handouts for listening homework each week.

## 【参考書】

Students will use online information resources to research and prepare presentations. These include:

[www.bbc.co.uk/learningenglish/](http://www.bbc.co.uk/learningenglish/) [www.ted.com](http://www.ted.com) [www.npr.com](http://www.npr.com)  
[www.rt.com/documentary](http://www.rt.com/documentary) and English Wikipedia. The homework listening recordings can be streamed or downloaded from <http://groups.yahoo.com/group/aief56/> Students will have to create a yahoo.com email address, join the group, and download the mp3 recordings from 'files' labeled 'NT2 Listening'.

**【成績評価の方法と基準】**

Grading will be based on three criteria: Class participation, 25%; Presentations, 50%; Tests, quizzes, written work, 25%. Unexplained/unjustified absences exceeding three class sessions may disqualify students from obtaining credit for the course. Lateness exceeding 15 minutes without justification will count as one-third absence.

**【学生の意見等からの気づき】**

None.

**【Outline (in English)】**

Most class activities will consist of reading and writing, grammar drills, delivering presentations and discussion.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：映像文化と現代社会

吉川 直澄

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 1 と English 2 で身に着けた読む、書く、聞く、話すという四技能の英語運用能力を用いて、English 3 では、国際語としての英語を通じて、世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力や多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を学習目標とします。本授業では、こうした作業を行いながら、いくつかのキーワードを探求し、日本とイギリスの現代社会における文化的アイコンと政治・経済の関係について考えてみようと思います。教科書に加えて論文の抜粋を読み、イギリス映画や英語吹き替え版のアニメ映画を視聴し、顕著で大きな文化的な差異、微妙で小さな差異に注目し、可能であれば質疑応答を行うことで、上記の技能を向上させることを目指します。

## 【到達目標】

受講生は、英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読めるようになる。英語の文章のある程度の速度を持って読み、目的とする情報を読み取ることができるようになる。専門知識を要さない英米映画であれば、字幕なしでも重要な情報を聞き取り、それなりに楽しむことができるようになる。英語吹き替え版の日本製アニメを見ながら、異文化コミュニケーションにおいて、起こり得る問題への解決のヒントを学ぶことができる。英語のリスニングに慣れ、リスニング学習の習慣を身につけることができる。文法的に正確で、形式の整った英文パラグラフを書けるようになる。英語である程度まとまった自分の意見を表明できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

この授業は指示や課題を「学習支援システム」で配信するオンデマンド（資料型）を使用しつつ、対面授業を行う予定です。基本的には、教科書を使用する課題演習を行います。また、英語文献・資料等の抜粋を読む回とインターネット等で調べて論評してもらう回があります。学期末には、1つのテーマについてレポートを提出してもらいます。課題の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行います。フィードバックは提出された課題レポートの中から（匿名で）実例を挙げ、問題点を指摘し、全体に対して行います。各授業では、授業の前半は教科書、後半はDVDを使用した演習を行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス/課題の提示	授業テーマの確認と授業方法の説明を行い、第 1 回課題を提示します。
第 2 回	Unit 1. A Fortunate Accident	前回のフィードバック・課題レポートの指示：コミュニケーションにおいてどんなことが「アイヌ・ブレイカー」となるのか学習します。

第 3 回	Unit 2. Britain's Best Ride	前回のフィードバック・課題レポートの指示：ロンドン名物の旧式ダブルデッカー「ルートマスター」について調べてみましょう。
第 4 回	Unit 3. The Meaning of Bond	前回のフィードバック・課題レポートの指示：文化的アイコンとしてのジェイムズ・ボンドの役割を考えます。
第 5 回	Unit 4. The Changing High Street	前回のフィードバック・課題レポートの指示：日英の商店街の盛衰を比較します。チャリティーショップについて調べてみましょう。
第 6 回	Unit 5. Mild and Cloudy with a Chance of Rain	前回のフィードバック・課題レポートの指示：イギリスの天気に関するステレオタイプを考察します。
第 7 回	マンガ・アニメの中のイギリス	前回のフィードバック・課題レポートの指示：英語資料の理解と分析、英訳されたコンテンツ（『黒執事』・『憂国のモリアーティ』『魔法使いの嫁』・『絢爛たるグランドセーンズ』）の中で描かれるイギリス像を考察します。但しインターネット上のコンテンツの状況により教材を変更せざる得ない場合があります。
第 8 回	Unit 6. Expressive Expressions	前回のフィードバック・課題レポートの指示：日英のイデオロムを比較します。
第 9 回	Unit 7. A Woman of Some Importance	前回のフィードバック・課題レポートの指示：昨年亡くなられたエリザベス二世の文化的アイコンとしての役割と今後のイギリス王室のあり方について考えます。
第 10 回	Unit 8. Shakespeare Lives On	前回のフィードバック・課題レポートの指示：シェークスピアが英語の日常表現に与えた影響について、さらに現代の文化産業としてのシェークスピアの意義について調べてみましょう。
第 11 回	マンガとマイノリティ	前回のフィードバック・課題レポートの指示：英語資料の精読と理解、マイノリティの生活史を描いたマンガ『ゴールデンカムイ』を取り上げ、アイヌ工芸作家の貝沢徹氏の大英博物館「マンガ展」のためのこの作品の推薦文とドキュメンタリー映画『Future is Mine:アイヌ、私の声』（2020）と共に考察します。
第 12 回	アニメとシンパシーとエンパシー	前回のフィードバック・課題レポートの指示：英語吹き替え版のアニメーション映画『聲の形』（A Silent Voice）をアメリカ映画 Coda (2022) と比較しながら考察します。
第 13 回	復習課題と学期末課題レポートの説明	前回のフィードバック・課題レポートの指示：これまでの課題の復習・まとめを行い、学期末レポート課題の説明をします。
第 14 回	学期末文法・語彙確認テスト/学期末レポートの提示/まとめと解説	学期末文法・語彙確認テストを実施し、学期末レポート課題を提示し、提出期限をお知らせします。

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

予習と復習。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。教科書を何度も音読すること。教科書と同様に英語のプリントもよく予習しておいてください。英語の専用ノートを作成し、表現や語彙を書き出し必ず例文も記入しておいてください。

**【テキスト（教科書）】**

Realise Britain, Colin Joyce, 金星堂, 2014年, 1800円, ISBN978-4-7647-3982-6.

**【参考書】**

Nicole Coolidge Rousmaiere, (2019) Manga マンガ, London: Thames & Hudson. ただし購入する必要はありません。

**【成績評価の方法と基準】**

全13回の課題レポートの提出(45%)、三段階評価する学期末レポート課題の提出(30%)と学期末に行う文法・語彙確認テスト(25%)を総合して評価します。毎回の課題レポートの提出期限は翌週の授業日までとします。総合評価には授業への出席・積極的な参加と貢献も含まれます。授業の欠席が4回以上ある方、未提出課題が5回以上になった方は原則として単位習得の資格を失います。

**【学生の意見等からの気づき】**

学生の皆さんの期待に沿えるように努力します。

**【学生が準備すべき機器他】**

この授業は「学習支援システム」を使用します。

**【Outline (in English)】**

(Course outline)

The aims of this course are:

1. To encourage students to further develop their English proficiency by drawing on what they have learned in English 1 and English 2.
2. To train students to learn how to think critically by examining closely various authentic materials offered in English, and thus to develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions.
3. To introduce students to the connections between cultural icons and their social, economic and political context, focusing on specific keywords like 'Manga' and 'Anime'.
4. To provide students with an opportunity to participate in discussion, improving their presentational skills on a group or individual basis.

(Learning Objective)

By the end of the course, students will be able to:

- acquire their basic skills and strategies for reading passages with accuracy.
- improve their reading speed and accuracy.
- develop their listening skills for watching most of popular American and British movies without subtitles.
- reinforce their writing skills for organizing thoughts and opinions logically.

(Learning activities outside of classroom)

Students are expected to:

- spend at least one hour doing preparation and review of every course content.
- extend vocabulary more effectively by making their own vocabulary notebook.

(Grading Criteria /Policy)

Final grade will be calculated according to the following process:

13 weekly class assignments: 45%, final term assignment (Essay): 30%, and final term test: 25%.

Students will not be able to pass this course if they miss submitting more than 4 weekly class assignments except in extreme circumstances.

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：映像文化と現代社会

吉川 直澄

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 1 と English 2 で身に着けた読む、書く、聞く、話すという四技能の英語運用能力を用いて、English 3 では、国際語としての英語を通じて、世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力や多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を学習目標とします。本授業では、こうした作業を行いながら、イギリスの EU 離脱を巡るいくつかのキーワードを探求し、日本とイギリスの現代社会における文化的アイコンと政治・経済の関係について考えてみようと思います。教科書に加えて論文の抜粋を読み、イギリス映画を視聴し、可能であれば質疑応答・ディスカッションを行うことで、上記の技能を向上させることを目指します。

## 【到達目標】

受講生は、英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読めるようになる。英語の文章をある程度の速度を持って読み、目的とする情報を読み取ることができるようになる。専門知識を要さない英米映画であれば、字幕なしでも重要な情報を聞き取り、それなりに楽しむことができるようになる。英語のリスニングに慣れ、リスニング学習の習慣を身につけることができる。文法的に正確で、形式の整った英文パラグラフを書けるようになる。英語である程度まとまった自分の意見を表明できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

この授業は指示や課題を「学習支援システム」で配信するオンデマンド（資料型）を使用しつつ、対面授業を行う予定です。基本的には、教科書を使用する課題演習を行います。また、英作文・資料等の抜粋を読む回とインターネット等で調べて論評してもらう回があります。学期末には、1つのテーマについてレポートを提出してもらいます。課題の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行います。フィードバックは提出された課題レポートの中から（匿名で）実例を挙げ、問題点を指摘し、全体に対して行います。各授業では、授業の前半は教科書、後半はDVDを使用した演習を行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	学期末レポート課題のフィードバックと第 1 回レポート課題の指示	春学期の学期末レポート課題の全体に対するフィードバックを行い、問題点があれば指摘し、解説します。第 1 回レポート課題を指示します。
第 2 回	Unit 9. British Food: Better Than Awful	前回のフィードバック・レポート課題の指示：現代のイギリスの食文化について学びます。日本の食文化と比較した時、何が見えてくるのでしょうか。

第 3 回	Unit 10. A Complicated Country	前回のフィードバック・レポート課題の指示：イギリスの正式の国名や国歌について学びます。
第 4 回	Unit 11. The Quite Fab Four	前回のフィードバック・レポート課題の指示：ビートルズについて調べてみましょう。
第 5 回	Unit 12. A Vulgar Custom	前回のフィードバック・レポート課題の指示：現代イギリスの若者文化と入れ墨の普及について考えます。
第 6 回	The Establishment (1)	前回のフィードバック・レポート課題の指示：精読、オーウェン・ジョーンズの著作 The Establishment (2015) の抜粋を読み、炭鉱労働者ストライキを背景とするイギリス映画『リトル・ダンサー』（2000）を鑑賞し、警察とエスタブリッシュメントの関係を考察します。
第 7 回	The Establishment (2)	前回のフィードバック・レポート課題の指示：精読、引き続きオーウェン・ジョーンズの著作の抜粋を読みます。資料として公共サービス民営化やゼロ時間契約を描いたイギリス映画『家族を想うとき』（2019）を鑑賞します。
第 8 回	The Establishment (3)	前回のフィードバック・レポート課題の指示：精読、引き続きオーウェン・ジョーンズの著作の抜粋を読みます。資料として移民問題を扱った 2 つのイギリス映画『ベッカムに恋して』（2002）と『エンパイア・オブ・ライト』（2002）を鑑賞します。
第 9 回	Unit 13. The "Invention" of Sport	前回のフィードバック・レポート課題の指示：イギリス発祥のスポーツについて調べてみましょう。
第 10 回	Unit 14 Changing Classes	前回のフィードバック・レポート課題の指示：階級制度について学びます。
第 11 回	Unit 15 The Little Plane That "Won" the War	前回のフィードバック・レポート課題の指示：文化的アイコンとしてのスピットファイアについて考察します。バトルオブブリテンについて調べてみましょう。
第 12 回	Films as cultural and political representations	前回のフィードバック・レポート課題の指示：教科書でこれまで議論されてきた様々な論点と本講義で取り上げたイギリス映画との関連性について考察します。
第 13 回	復習とまとめ、学期末レポート課題の説明	前回のフィードバック・レポート課題の指示：教科書のまとめと第 13 回レポート課題の指示、それから学期末レポート課題の説明をします。
第 14 回	学期末文法・語彙確認テスト/学期末レポートの提示/まとめと解説	学期末文法・語彙確認テストを実施し、学期末レポート課題を提示します。提出期限を指示します。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習と復習。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。教科書を何度も音読すること。教科書と同様に英語のプリントもよく予習しておいてください。英語の専用ノートを作成し、表現や語彙を書き出し必ず例文も記入しておいてください。

## 【テキスト（教科書）】

春学期のテキストを引き続き使用します。

## 【参考書】

Owen Jones.(2015)The Establishment.London:Penguin. ただし購入する必要はありません。

**【成績評価の方法と基準】**

全 13 回の課題レポートの提出 (45%)、三段階評価する学期末レポート課題 (30%) と学期末に実施する文法・語彙確認テスト (25%) を総合して評価を行います。毎回の課題レポートを提出していれば、問題はないと思いますが、欠席が 4 回以上ある場合、5 回以上未提出課題がある場合は、原則として、単位習得の資格を失います。勿論、秋学期の学習内容を総括する学期末レポート課題の提出もお忘れなく。

**【学生の意見等からの気づき】**

学生の皆さんの期待に沿えるように努力します。

**【Outline (in English)】**

(Course outline)

The aims of this course are:

1. To encourage students to further develop their English proficiency by drawing on what they have learned in English 1 and English 2.
2. To train students to learn how to think critically by examining closely various authentic materials offered in English, and thus to develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions.
3. To introduce students to the connections between cultural icons and their social, economic and political context, focusing on specific keywords like 'Brexit' and 'the Establishment'.
4. To help students to get access to interpretations of contemporary social and cultural issues and events through training their skills in linguistic and cultural competencies as well as stimulating the imagination.
5. To provide students with an opportunity to participate in discussion, improving their presentational skills on a group or individual basis.

(Learning Objective)

By the end of the course, students will be able to:

- acquire their basic skills and strategies for reading passages with accuracy.
- improve their reading speed and accuracy.
- develop their listening skills for watching most of popular American and British movies without subtitles.
- reinforce their writing skills for organizing thoughts and opinions logically.

(Learning activities outside of classroom)

Students are expected to:

- spend at least one hour doing preparation and review of every course content.
- extend vocabulary more effectively by making their own vocabulary notebook.

(Grading Criteria/Policy)

Final grade will be calculated according to the following process:

13 weekly class assignments: 45%, final term assignment (Essay): 30%, and final term test: 25%.

Students will not be able to pass this course if they miss submitting more than 4 weekly class assignments except in extreme circumstances.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：現代のイギリス文化と社会

渡辺 英依美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業の目的は、英語の四技能を磨くと共に、現代のイギリス文化と社会についてニュースを通して学ぶことにある。なお、Brexit 後も英語は EU の重要な公用語のままであり、その基盤を成しているのはイギリス英語である。教科書に加えて、BBC などの映像メディアも使用する。

## 【到達目標】

この授業を履修することにより、以下の技能の獲得が期待される。

- (1) 四技能にわたる総合的な英語の運用力を身につける。
- (2) 現代イギリス文化と社会について理解する。
- (3) 英語資料を批判的に読解・分析し、自分の意見を英語で述べる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

[授業の進め方と方法]

反転授業を行うので学生は必ず事前に英文テキストを予習が必須となる。授業では各自の英文解釈を確認し、さらに理解を深める。各学生は毎週授業で発表を求められる。この授業では狭義の読解を超えて、自ら英語で発信する力も育成する。各課題や中間テストの結果は翌週の授業で講評する。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Guidance	Outlining course content
2	Unit 1: An Award for an Unsung Hero	Starting Off, Watching the News
3	Unit 1: An Award for an Unsung Hero	Moving On
4	Unit 2: Treasures of the Society of Antiquaries	Starting Off, Watching the News
5	Unit 2: Treasures of the Society of Antiquaries	Moving On
6	Unit 3: Changing Careers in the Pandemic	Starting Off, Watching the News
7	Unit 3: Changing Careers in the Pandemic	Moving On
8	Mid-semester Examination	Mid-semester exam
	Unit 4: The Climate Change Threat to Heritage Sites	Starting Off, Watching the News

9	Review of the exam Unit 4: The Climate Change Threat to Heritage Sites	Review of the exam Moving On
10	Unit 6: Return of the Red Kites	Starting Off, Watching the News
11	Unit 6: Return of the Red Kites	Moving On
12	Unit 7: All Cars to Be Electric	Starting Off, Watching the News
13	Unit 7: All Cars to Be Electric	Moving On
14	Summary and Final Exam	Review and final examination

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習が必須。個々の単語を理解するだけでなく、構文・論旨を正確に把握し、設問等にも答えられるよう準備しておくこと。本授業の予復習は 1 時間を標準とする。

## 【テキスト（教科書）】

Knowles, T., Tanaka, M., Nakamura M., & Moue, S. (2022). *British News Update 4*. Kinseido.

## 【参考書】

必要に応じて授業内で指示する。

## 【成績評価の方法と基準】

授業中の発表・課題の提出 25 %

中間試験 35%

期末試験 40 %

欠席が 4 回以上の場合、原則として単位を修得できない。

## 【学生の意見等からの気づき】

アクティブラーニングとグループワークが好評のため、積極的に取り入れる。

## 【Outline (in English)】

## 【Course outline】

Students will learn social and cultural issues of the United Kingdom (UK), while developing English communication skills of reading, writing, speaking and listening. Video clips will be used in addition to written materials. Based on a flipped learning model, students will prepare for each chapter prior to attending the class.

## 【Learning Objectives】

By the end of the course, students will be able to:

- (1) Enhance the four skills of reading, writing, speaking and listening.
- (2) Understand the social and cultural issues of present-day UK.
- (3) Critically read and analyze English texts and present their thoughts and opinions on related issues in English.

## 【Learning activities outside of classroom】

Students are required to prepare for each class so that they can actively participate in class discussions. University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

## 【Grading Criteria /Policy】

Evaluation will be based on the following criteria:

Class participation/assignments 25 %

Mid-semester examination 35%

Final examination 40 %

More than 3 absences will result in failure of the course.



LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：現代のイギリス文化と社会

渡辺 英依美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業の目的は、英語の四技能を磨くと共に、現代のイギリス文化と社会についてニュースを通して学ぶことにある。なお、Brexit 後も英語は EU の重要な公用語のままであり、その基盤を成しているのはイギリス英語である。教科書に加えて、BBC などの映像メディアも使用する。

【到達目標】

この授業を履修することにより、以下の技能の獲得が期待される。

- (1) 四技能にわたる総合的な英語の運用力を身につける。
- (2) 現代イギリス文化と社会について理解する。
- (3) 英語資料を批判的に読解・分析し、自分の意見を英語で述べる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

[授業の進め方と方法]

反転授業を行うので学生は必ず事前に英文テキストを予習が必須となる。授業では各自の英文解釈を確認し、さらに理解を深める。各学生は毎週授業で発表を求められる。この授業では狭義の読解を超えて、自ら英語で発信する力も育成する。

各課題や中間テストの結果は翌週の授業で講評する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Guidance	Outlining course content
2	Unit 8: Mend More and Buy Less: London Repair Shops	Starting Off, Watching the News
3	Unit 8: Mend More and Buy Less: London Repair Shops	Moving On
4	Unit 9: Swimming to Cure Dementia	Starting Off, Watching the News
5	Unit 9: Swimming to Cure Dementia	Moving On
6	Unit 10: A Special Pop-up Shop on Carnaby Street	Starting Off, Watching the News
7	Unit 10: A Special Pop-up Shop on Carnaby Street	Moving On
8	Mid-semester Examination	Mid-semester exam
	Unit 11: School Laptops for All	Starting Off, Watching the News

9	Review of the exam Unit 11: School Laptops for All	Review of the exam Moving On
10	Unit 12: A New Nuclear Power Station	Starting Off, Watching the News
11	Unit 12: A New Nuclear Power Station	Moving On
12	Unit 14: Cardiff, the First Carbon Neutral City in Wales	Starting Off, Watching the News
13	Unit 14: Cardiff, the First Carbon Neutral City in Wales	Moving On
14	Summary and Final Exam	Review and final examination

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習が必須。個々の単語を理解するだけではなく、構文・論旨を正確に把握し、設問等にも答えられるよう準備しておくこと。本授業の予復習は 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Knowles, T., Tanaka, M., Nakamura M., & Moue, S. (2022). *British News Update 4*. Kinseido.

【参考書】

必要に応じて授業内で指示する。

【成績評価の方法と基準】

授業中の発表・課題の提出 25 %

中間試験 35%

期末試験 40 %

欠席が 4 回以上の場合、原則として単位を修得できない。

【学生の意見等からの気づき】

アクティブラーニングとグループワークが好評のため、積極的に取り入れる。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Students will learn social and cultural issues of the United Kingdom (UK), while developing English communication skills of reading, writing, speaking and listening. Video clips will be used in addition to written materials. Based on a flipped learning model, students will prepare for each chapter prior to attending the class.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students will be able to:

- (1) Enhance the four skills of reading, writing, speaking and listening.
- (2) Understand the social and cultural issues of present-day UK.
- (3) Critically read and analyze English texts and present their thoughts and opinions on related issues in English.

【Learning activities outside of classroom】

Students are required to prepare for each class so that they can actively participate in class discussions. University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

【Grading Criteria /Policy】

Evaluation will be based on the following criteria:

Class participation/assignments 25 %

Mid-semester examination 35%

Final examination 40 %

More than 3 absences will result in failure of the course.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Speaking English in the global world

URBANOVA JANA

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

今まで皆さんが学んできた英語の「聞く」「読む」「書く」「話す」という 4 技能の能力をレベルアップすることによって、国際環境における知識の獲得や、各自の意見を英語で述べることができる自信を身に付けることを目指します。

This course focuses on enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment.

## 【到達目標】

- 1) 様々なトピックに関するリーディング、リスニング、スピーキングやライティングの練習を通じて、自分の意見を英語で自在に表現できる
- 2) 発表の練習を通じて、プレゼンテーションスキルや英語能力を身に付ける
- 3) ディスカッション、ペアワーク、グループワークなどで英語のコミュニケーション能力や自由考察を高める

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge in discussions, group&pair work and through delivering presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

- 1) ペアワーク、会話、グループワーク、グループディスカッション（スピーキング練習）
- 2) 発表（プレゼンテーション練習）
- 3) リーディング、リスニング、ライティング、自由考察の練習  
課題に対する説明やコメント等は授業の最後に行います。そこでは受講生からの質問も受け付けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Explanation of course requirements, tasks and goals; Getting to know each other
Week 2	Unit 1 Conservation - Introduction to the topic of endangered animals	Listening and speaking exercise: talking about endangered animals; Grammar explanation and practice: present simple and present continuous

Week 3	Unit 1 Conservation - Vultures and their charm	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Homework: reading with comprehension
Week 4	Unit 2 Family connections - Introduction to the topic	Listening and speaking exercise: talking about family; Grammar used when talking about future plans
Week 5	Unit 2 Family connections - Importance of genealogy	Watching video (TED Talk); Vocabulary review; Reading exercise: A passion for genealogy
Week 6	Unit 3 Global stories - Describing books	Explanation of presentation No. 1 (parroting); Speaking exercise: talking about books; Grammar: defining relative clauses
Week 7	Unit 3 Global stories - Importance of literature	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Writing exercise: writing a book review
Week 8	Presentation No. 1	Students' presentations No. 1: parroting; Explaining requirements for presentation No. 2
Week 9	Unit 4 Music - Different genres	Listening and speaking: talking about music; Grammar explanation and practice: countable and uncountable nouns
Week 10	Unit 4 Music - Effects of music	Watching video (TED Talk); Key words review; Reading exercise: Music and the brain
Week 11	Unit 5 Good design - Describing shapes and colours	Listening and speaking: talking about design; Grammar explanation and practice: prepositions and adverbs of place
Week 12	Unit 5 Good design - Importance of good design	Watching video (TED Talk); Vocabulary review; Reading with comprehension: Chicago's much loved flag
Week 13	Presentation No. 2	Students' presentations No. 2 on the chosen topic
Week 14	Course wrap up	Final test; Students' feedback; Let's enjoy a song

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

## 【テキスト（教科書）】

David Bohlke and Stephanie Parker: Keynote Pre-Intermediate, Cengage Learning, 2018. Student's Book ISBN: 978-1-337-27392-3

## 【参考書】

English to English dictionary:

<https://dictionary.cambridge.org/>

その他の参考書については授業中に紹介します。

## 【成績評価の方法と基準】

積極的な授業への参加が期待される。また、発表、宿題、最終テストなどを勘案して成績を評価する。なお、4 回以上欠席した場合は、原則として単位の取得を認めない。

- Active participation in class: 20%

- Writing assignments, homework and tests: 40%

- Presentations: 40%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

**【学生の意見等からの気づき】**

There are no student comments that would require major changes to the course. (特になし)

The instructor is always happy to receive feedback on how to make learning more enjoyable and effective.

**【学生が準備すべき機器他】**

- 指定の教科書
- 授業内容を見返すためのノート
- 辞書／電子辞書

(英和・和英辞典の他に、**English-English dictionary** も必要。【参考書】に記載されたホームページをご参考ください。)

**【その他の重要事項】**

授業を登録した学生の英語レベルに応じて実際の授業内容はシラバスの内容と異なることもある。

**【Outline (in English)】**

Enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Speaking English in the global world

URBANOVA JANA

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

今まで皆さんが学んできた英語の「聞く」「読む」「書く」「話す」という 4 技能の能力をレベルアップすることによって、国際環境における知識の獲得や、各自の意見を英語で述べることができる自信を身に付けることを目指します。

This course focuses on enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment.

## 【到達目標】

- 1) 様々なトピックに関するリーディング、リスニング、スピーキングやライティングの練習を通じて、自分の意見を英語で自在に表現できる
- 2) 発表の練習を通じて、プレゼンテーションスキルや英語能力を身に付ける
- 3) ディスカッション、ペアワーク、グループワークなどで英語のコミュニケーション能力や自由考察を高める

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge in discussions, group&pair work and through delivering presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

- 1) ペアワーク、会話、グループワーク、グループディスカッション（スピーキング練習）
- 2) 発表（プレゼンテーション練習）
- 3) リーディング、リスニング、ライティング、自由考察の練習  
課題に対する説明やコメント等は授業の最後に行います。そこでは受講生からの質問も受け付けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Explanation of course requirements, tasks and goals; Review of the main points studied in the spring semester
Week 2	Unit 6 Inspiring people	Speaking exercise: talking about an inspirational person; Grammar explanation and practice: reported speech

Week 3	Unit 6 Inspiring people - Your role models	Watching video (TED Talk); Key words; Writing assignment: describing an inspiring person
Week 4	Unit 7 Ethical choices - Thinking about the environment	Listening and speaking exercise: talking about ethical choices; Grammar: predictions
Week 5	Unit 7 Ethical choices - Treating animals	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Presentation skills
Week 6	Unit 8 Better cities - Describing a city	Explanation of presentation No. 1 (parroting); Listening: Living abroad; Grammar: phrasal verbs
Week 7	Unit 8 Better cities - Thinking about your city	Watching video (TED Talk); Key vocabulary; Reading with comprehension: Having a say about your city
Week 8	Presentation No. 1	Students' presentations No. 1: parroting; Explaining requirements and introducing topics for presentation No. 2
Week 9	Unit 9 Giving - Charity and fundraising	Listening and speaking: talking about good causes; Grammar explanation and practice: <i>will</i> for offers and first conditionals
Week 10	Unit 9 Giving - How can we help	Watching video (TED Talk); Key words review; Communication: choosing a charity
Week 11	Unit 10 Mind and machine - The brain and its functions	Vocabulary related to brain functions; Speaking: talking about a game; Grammar: adverbs and adverbial phrases
Week 12	Unit 10 Mind and machine - Advanced technology	Watching video (TED Talk); Key words review; Reading with comprehension: The power of the mind
Week 13	Presentation No. 2	Students' presentations No. 2 on the chosen topic
Week 14	Course wrap up	Final test; Students' feedback

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

## 【テキスト（教科書）】

David Bohlke and Stephanie Parker: Keynote Pre-Intermediate, Cengage Learning, 2018. Student's Book ISBN: 978-1-337-27392-3

## 【参考書】

English to English dictionary:

<https://dictionary.cambridge.org/>

その他の参考書については授業中に紹介します。

## 【成績評価の方法と基準】

積極的な授業への参加が期待される。また、発表、宿題、最終テストなどを勘案して成績を評価する。なお、4 回以上欠席した場合は、原則として単位の取得を認めない。

Students are expected to actively participate in class, prepare short presentations, complete writing assignments and pass the final test.

- Active participation in class: 20%

(In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course)

- Writing assignments, homework and tests: 40%
- Presentations: 40%

**【学生の意見等からの気づき】**

There are no student comments that would require major changes to the course. (特になし)

The instructor is always happy to receive feedback on how to make learning more enjoyable and effective.

**【学生が準備すべき機器他】**

- 指定の教科書
- 授業内容を見返すためのノート
- 辞書／電子辞書

(英和・和英辞典の他に、**English-English dictionary** も必要。【参考書】に記載されたホームページをご参考ください。)

**【その他の重要事項】**

授業を登録した学生の英語レベルに応じて実際の授業内容はシラバスの内容と異なることもある。

**【Outline (in English)】**

Enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：アメリカの文化と社会から考える

利根川 真紀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1 年次に習得した 4 技能の英語運用能力を用いて、アメリカ文化や社会について書かれたり話されたりした情報を理解し、様々な角度から考察し、また自らの意見を発信する練習を行います。さらに、雑誌や新聞の記事やビデオクリップなどのインターネット上の情報を利用することにより、身の回りにある教科書でない英語にもなるべく多く触れるようにしていきます。

## 【到達目標】

- 1 アクセントや発音にも注意を払いつつ、語彙力を高める
- 2 英語で発信された情報を理解する
- 3 自分の意見を英語で表現できるようにする
- 4 アメリカ文化・社会についての知識を身につける

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

パワーポイントを適宜利用し、予習してわからなかった部分の解説をするほか、ペアワークやグループワークも取り入れて、内容理解の確認や英語表現の練習を行います。英語の発音やアクセントにも注意を払うことによって、リスニングやスピーキングの力も同時につけていきます。効果的なプレゼンテーションになるよう工夫したり、根拠を示して意見を述べるライティングの力もつけていきます。授業の初めに、前回授業で提出された小テストにフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	イントロダクション	授業内容・進め方の説明
2 回目	家族 ①	<i>The New York Times</i> ビデオクリップとスクリプト
3 回目	家族 ②	Lesson 12: Good Question
4 回目	家族 ③	関連資料、ディスカッション
5 回目	銃規制 ①	Lesson 11: "Don't Shoot"
6 回目	銃規制 ②	<i>The Japan Times</i> 記事
7 回目	銃規制 ③	関連資料、ライティング
8 回目	新聞・雑誌記事	各自が探した記事の提出、内容確認、プレゼン準備
9 回目	食生活、健康 ①	Lesson 2: A Spreading Problem
10 回目	食生活、健康 ②	TED ビデオクリップとスクリプト
11 回目	記事のプレゼンテーション (1-8)	クラスメートへのフィードバック (プレゼン方法と記事内容)
12 回目	記事のプレゼンテーション (9-17)	振り返り、クラスメートへのフィードバック
13 回目	記事のプレゼンテーション (18-24)	クラスメートへのフィードバック、効果的な英語プレゼンのまとめ
14 回目	食生活、健康 ③	関連資料、リスニング

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。授業は予習を前提に進みますので、予習として、本文を少なくとも 3 回は音読し、わからない単語は調べ、段落ごとに 1 行程度に要約し、練習問題を解きます。また、各レッスン（記事）から内容的に一番印象に残る 1 文、英語として一番難しい 1 文をそれぞれ選んでから、授業に出席するようにします。復習に関しては、翌週の授業開始時のチェックに備えて取り組みます。プレゼンテーションに向けて、各自が関心のある記事を探して読み、提出課題を作成します。

## 【テキスト（教科書）】

『U.S.A. Update（いま、アメリカを読む）』、Jim Knudsen 著、南雲堂

## 【参考書】

辞書等は初回の授業で紹介いたします。

## 【成績評価の方法と基準】

授業への取り組み (35%)、課題提出と毎週の小テスト (35%)、プレゼンテーション関連 (30%)。欠席が 4 回以上になると、原則として単位修得の資格を失います。遅刻・早退は減点の対象とします。

## 【学生の意見等からの気づき】

授業開始時の復習チェックにより語彙が定着したという意見が多かったので、続ける予定です。

## 【Outline (in English)】

This course aims to introduce various aspects of American society and its culture while using and improving 4 skills of English, reading, writing, listening and speaking. Through pair work practices and group activities, the course will help students to expand their active vocabulary and get used to expressing their opinions in written and spoken English and responding to others. In addition to studying the textbook, students will also familiarize themselves with authentic materials offered in English. Besides, each student will search independently for an interesting article on a current topic in American life found in English newspapers and magazines and then will give a presentation on it. Students' required study time for each class meeting is at least one hour. Grading will be based on class participation (35%), assignments & weekly quizzes (35%), presentations (30%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive an academic credit for the course.

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：アメリカの文化と社会から考える

利根川 真紀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1 年次に習得した 4 技能の英語運用能力を用いて、アメリカ文化や社会について書かれたり話されたりした情報を理解し、様々な角度から考察し、また自らの意見を発信する練習を行ないます。さらに、雑誌や新聞の記事やビデオクリップなどのインターネット上の情報を利用することにより、身の回りにある教科書でない英語にもなるべく多く触れるようにしていきます。

## 【到達目標】

- 1 アクセントや発音にも注意を払いつつ、語彙力を高める
- 2 英語で発信された情報を理解する
- 3 自分の意見を英語で表現できるようにする
- 4 アメリカ文化・社会についての知識を身につける

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

パワーポイントを適宜利用し、予習してわからなかった部分の解説をするほか、ペアワークやグループワークも取り入れて、内容理解の確認や英語表現の練習を行ないます。英語の発音やアクセントにも注意を払うことによって、リスニングやスピーキングの力も同時につけていきます。根拠を示して意見を述べるライティングの力もつけていきます。なお、春学期の終わりに詳しく説明しますが、夏休み中に洋書を一冊読んでおいてください。秋学期の授業で、読んだ本について各自がプレゼンテーションを行ないます。授業の初めに、前回授業で提出された小テストにフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	イントロダクション	授業内容・進め方の説明、効果的なプレゼンテーションの準備
2 回目	裁判制度 ①	Lesson 14: And Justice for All
3 回目	裁判制度 ②	The New York Times 記事
4 回目	裁判制度 ③	関連資料、ディスカッション
5 回目	ブック・パッセージ	パッセージの提出、内容確認、プレゼン練習
6 回目	移民、人種、ホリデイ ①	Lesson 3: Juneteenth
7 回目	移民、人種、ホリデイ ②	Lesson 7: Illegal
8 回目	移民、人種、ホリデイ ③	関連資料、ライティング
9 回目	ブック・プレゼンテーション (1~8)	夏休みに読んだ洋書のプレゼンとクラスメートへのレスポンス
10 回目	ブック・プレゼンテーション (9~17)	振り返り、夏休みに読んだ洋書のプレゼンとレスポンス
11 回目	ブック・プレゼンテーション (18~24)	夏休みに読んだ洋書のプレゼンとレスポンス、効果的なプレゼンのまとめ

12 回目	環境問題、地域的多様性 ①	Lesson 6: A New York State of Mind
13 回目	環境問題、地域的多様性 ②	TED ビデオクリップとスクリプト
14 回目	環境問題、地域的多様性 ③	関連資料、リスニング

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。授業は予習を前提として進みますので、予習として、本文を少なくとも 3 回は音読し、わからない単語は調べ、段落ごとに 1 行程度に要約し、練習問題を解きます。また、各レッスン（記事）から内容的に一番印象に残る 1 文、英語として一番難しい 1 文をそれぞれ選んでから、授業に出席するようにします。復習に関しては、翌週の授業開始時のチェックに備えて取り組みます。プレゼンテーションに向けて、クラスメートが選んだパッセージにもすべて目を通して課題を提出します。

## 【テキスト（教科書）】

『U.S.A. Update（いま、アメリカを読む）』、Jim Knudsen 著、南雲堂

## 【参考書】

辞書等は初回の授業で紹介します。

## 【成績評価の方法と基準】

授業への取り組み（35 %）、課題提出と毎週の小テスト（35 %）、プレゼンテーション関連（30 %）。欠席が 4 回以上になると、原則として単位修得の資格を失います。遅刻・早退は減点の対象とします。

## 【学生の意見等からの気づき】

授業開始時の復習チェックにより語彙が定着したという意見が多かったため、続ける予定です。

## 【Outline (in English)】

This course aims to introduce various aspects of American society and its culture while using and improving 4 skills of English, reading, writing, listening and speaking. Through pair work practices and group activities, the course will help students to expand their active vocabulary and get used to expressing their opinions in written and spoken English and responding to others. In addition to studying the textbook, students will also familiarize themselves with authentic materials offered in English. Besides, each student will give a 5-minute presentation on an English book of his or her own choice. Students' required study time for each class meeting is at least one hour. Grading will be based on class participation (35%), assignments & weekly quizzes (35 %), presentations (30%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive an academic credit for the course.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：日本が抱える問題

吉江 秀和

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本の現代社会が抱える問題点を取り上げたテキスト『考えよう日本の論点 15 Japan's Dilemmas and Solutions』を中心とした英文の精読と、内容に関連する問題を解くことで、English 1 と English 2 で学んだ、「読む」「書く」「聞く」「話す」の 4 技能の能力を包括的に高めていきます。その際に、構文を意識したより正確な英文読解力を身につけていくことを軸とし、その読解で得た情報を批判的に考察し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英語で発信する土台を構築していきます。

## 【到達目標】

テキストなどの読解や問題を通じて以下のことを目標とする。

- ①英文を読む際に構文を意識して一文ずつ丁寧に読むことを身につける。
- ②英文を確実に理解するための語彙や表現を覚えて、文法事項の理解を深める。
- ③テキストなどの英文を繰り返し聞いたり音読したりすることにより、英語のリスニング力やスピーキング力を鍛えていく。
- ④テキストの問題を活用しながら、トピックに関する自分の意見を英語で書く力を鍛えていく。
- ⑤自分の意見を英語で他者に伝え、聞き手はその意見を聞き取る能力をつけていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

テキスト『考えよう日本の論点 15 Japan's Dilemmas and Solutions』を事前に精読し、その内容に関連するテキストの問題を解いてきてもらいます。その際に、文章理解の正確性を高めるために構文を意識してもらって作業してもらいます。授業では、構文や英文内容理解の確認とともに、テキストの問題の答え合わせを指名しながらおこないます。テキスト内容の解説・確認の終了後、説明した内容を中心に作成した確認テストをおこないます。また、授業内で扱ってきたトピックから選択し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英文でまとめたものでプレゼンテーションをおこないます。聞き手には、各発表者の発言の聞き取りをおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	予習のやり方や授業の進め方など、授業を受けるうえでの注意点の説明をします。
2	Chapter 1	Educational Sakoku
3	Chapter 2	Impact of Lowering the Age of "Adulthood"
4	Chapter 3	Remote or In-person? Benefits and Disadvantages
5	英文講読	日本に関する英文の講読、リスニング

6	英文講読	日本に関する英文の講読、リスニング
7	プレゼンテーション	Chapter 1～Chapter 3 に関連するトピックによるプレゼンテーション
8	Chapter 4	Gender Equality
9	Chapter 5	Freedom of Speech and Its Implications
10	Chapter 6	Position of the Self Defense Force in Japan
11	Chapter 7	Should Nuclear Power Dependency Be Halted?
12	英文講読	日本に関する英文の講読、リスニング
13	期末試験・まとめ	これまで学習してきた内容を期末試験で確認します。試験・まとめと解説
14	プレゼンテーション	Chapter 4～Chapter 7 に関連するトピックによるプレゼンテーション

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず予習をおこなってください。予習のやり方については最初の授業で説明します。英文を単に訳すのではなく構文の読み取りを意識しておこない、授業中に発問された際に、できる限りスムーズに答えられるように準備をしてきてください。また、授業内では単なる英語に関する発問だけでなく、テキスト内容に関する追加的な発問もおこないますので、内容に関連する用語や背景などを自分で調べてきてください。授業中におこなうプレゼンテーションのためにもテキストの英文のリスニングや音読を普段からおこなうことを心がけてください。

英文や言及していることについて予習の段階でわからないところがあるのは仕方ありませんが、それらも解決の糸口だけでも見つけられるように努力をしてください。その予習の状況も踏まえて平常点が付けられます。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

## 【テキスト（教科書）】

James M. Vardaman, KAMATA Akiko, OKADA Hiroki, KOBAYASHI Ryoichiro 『考えよう日本の論点 15 Japan's Dilemmas and Solutions: 15 Topics You Need to Consider』 鶴見書店, 2023 年, 2,000 円+税

## 【参考書】

必要な際には授業内で指示します。

## 【成績評価の方法と基準】

確認テストや予習の状況などで判断する授業への取り組み（20%）とライティングおよび記述したものを基にしたプレゼンテーションとそのリスニング（40%）、そして期末試験（40%）から総合的に評価。欠席が 4 回以上の場合には原則として単位取得資格を失うため、欠席回数に注意してください（欠席回数が 4 回に満たなくても欠席回数が多くなればその分、授業への取り組みの評価に影響します。また、予習が不十分であったり、授業への取り組みが芳しくなかったりする場合は、授業への出席とみなさない可能性があります）。また、期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失いますので注意願います。

## 【学生の意見等からの気づき】

構文や日本語訳などの確認についてはできる限り時間をかけておこなっていきます。

テキストの内容を理解するために、テキスト以外のものを参照する必要がある場合もあります。その際には、できる限りの情報を提示します。

予習をしてきていない学生の答えを待つと時間のロスが発生するため、そのような場合には当該学生の平常点を減点します。

## 【学生が準備すべき機器他】

辞書を必ず持参してください。その際には、インターネット辞書にあるような単語の意味を拾うだけのものではなく、例文が示されていたり、その単語がどのような文型や構文で使われるものなのかが分かったりするものを用意してください（主要な動詞がどの文型をとるのかが示されている『ジーニアス英和辞典』が望ましいです）。



**【その他の重要事項】**

春学期と秋学期の両方を通年科目として履修することが望ましいです。

**【Outline (in English)】**

Through reading stories and doing exercises in the textbook “15 Japan’s Dilemmas and Solutions”, which consists of 15 topics about Japan, students study how to read the sentences correctly, how to think about the topics critically and how to express their own opinions. When students read the sentences, they try to analyse sentence structures as precisely as possible. After completing each chapter, students have an achievement test on reading comprehension, English compositions and analysing the sentences in the chapter. During this term, students will have one or two presentations on the topics in the textbook. At the end of the course, students will be expected to improve their proficiency in reading, composition, speaking and listening, and to have a wider vocabulary of English. Students will be expected to spend at least 1 hour to prepare and review lessons. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end exam 40%, presentation and dictation 40%, exams for each unit and in-class contribution, 20%.

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：日本が抱える問題

吉江 秀和

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

中級／日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本の現代社会が抱える問題点を取り上げたテキスト『考えよう日本の論点 15 Japan's Dilemmas and Solutions』を中心とした英文の精読と、内容に関連する問題を解くことで、English 1 と English 2 で学んだ、「読む」「書く」「聞く」「話す」の 4 技能の能力を包括的に高めていきます。その際に、構文を意識したより正確な英文読解力を身につけていくことを軸とし、その読解で得た情報を批判的に考察し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英語で発信する土台を構築していきます。

## 【到達目標】

テキストなどの読解や問題を通じて以下のことを目標とする。

- ①英文を読む際に構文を意識して一文ずつ丁寧に読むことを身につける。
- ②英文を確実に理解するための語彙や表現を覚えて、文法事項の理解を深める。
- ③テキストなどの英文を繰り返し聞いたり音読したりすることにより、英語のリスニング力やスピーキング力を鍛えていく。
- ④テキストの問題を活用しながら、トピックに関する自分の意見を英語で書く力を鍛えていく。
- ⑤自分の意見を英語で他者に伝え、聞き手はその意見を聞き取る能力をつけていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

テキスト『考えよう日本の論点 15 Japan's Dilemmas and Solutions』を事前に精読し、その内容に関連するテキストの問題を解いてきてもらいます。その際に、文章理解の正確性を高めるために構文を意識してもらい作業をしてもらいます。授業では、構文や英文内容理解の確認とともに、テキストの問題の答え合わせを指名しながらおこないます。テキスト内容の解説・確認の終了後、説明した内容を中心に作成した確認テストをおこないます。また、授業内で扱ってきたトピックから選択し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英文でまとめたものでプレゼンテーションをおこないます。聞き手には、各発表者の発言の聞き取りをおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter 8	Fertility Decline and Initiative
2	Chapter 9	Digitization and Public Administration
3	Chapter 10	Covid Measures and National Character
4	Chapter 11	Foreign Technical Intern Trainees
5	英文講読	日本に関する英文の講読、リスニング
6	英文講読	日本に関する英文の講読、リスニング

7	プレゼンテーション	Chapter 8～Chapter 11 に関連するトピックによるプレゼンテーション
8	Chapter 12	Financial Literacy
9	Chapter 13	Heading to the Country
10	Chapter 14	Does Dedication Require Overtime?
11	Chapter 15	Refugee Status
12	英文講読	日本に関する英文の講読、リスニング
13	期末試験・まとめ	これまで学習してきた内容を期末試験で確認します。試験・まとめと解説
14	プレゼンテーション	Chapter 12～Chapter 15 に関連するトピックによるプレゼンテーション

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず予習をおこなってください。予習のやり方については最初の授業で説明します。英文を単に訳すのではなく構文の読み取りを意識しておこない、授業中に発問された際に、できる限りスムーズに答えられるように準備をしてください。また、授業内では単なる英語に関する発問だけでなく、テキスト内容に関する追加的な発問もおこないますので、内容に関連する用語や背景などを自分で調べてきてください。授業中におこなうプレゼンテーションのためにもテキストの英文のリスニングや音読を普段からおこなうことを心がけてください。

英文や言及していることについて予習の段階でわからないところがあるのは仕方ありませんが、それらも解決の糸口だけでも見つけられるように努力をしてください。その予習の状況も踏まえて平常点が付けられます。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

## 【テキスト（教科書）】

James M. Vardaman, KAMATA Akiko, OKADA Hiroki, KOBAYASHI Ryoichiro 『考えよう日本の論点 15 Japan's Dilemmas and Solutions: 15 Topics You Need to Consider』 鶴見書店, 2023 年, 2,000 円 + 税

## 【参考書】

必要な際には授業内で指示します。

## 【成績評価の方法と基準】

確認テストや予習の状況などで判断する授業への取り組み（20%）とライティングおよび記述したものを基にしたプレゼンテーションとそのリスニング（40%）、そして期末試験（40%）から総合的に評価。欠席が 4 回以上の場合は原則として単位取得資格を失うため、欠席回数に注意してください（欠席回数が 4 回に満たなくても欠席回数が多くなればその分、授業への取り組みの評価に影響します。また、予習が不十分であったり、授業への取り組みが芳しくなかったりする場合は、授業への出席とみなさない可能性があります）。また、期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失いますので注意願います。

## 【学生の意見等からの気づき】

構文や日本語訳などの確認についてはできる限り時間をかけておこなっていきます。

テキストの内容を理解するために、テキスト以外のものを参照する必要がある場合もあります。その際には、できる限りの情報を提示します。

予習をしてきていない学生の答えを待つと時間のロスが発生するため、そのような場合には当該学生の平常点を減点します。

## 【学生が準備すべき機器他】

辞書を必ず持参してください。その際には、インターネット辞書にあるような単語の意味を拾うだけのものではなく、例文が示されていたり、その単語がどのような文型や構文で使われるものなのかが分かっていたりするものを用意してください（主要な動詞がどの文型をとるのかが示されている『ジーニアス英和辞典』が望ましいです）。

## 【その他の重要事項】

春学期と秋学期の両方を通年科目として履修することが望ましいです。

**【Outline (in English)】**

Through reading stories and doing exercises in the textbook “15 Japan’s Dilemmas and Solutions”, which consists of 15 topics about Japan, students study how to read the sentences correctly, how to think about the topics critically and how to express their own opinions. When students read the sentences, they try to analyse sentence structures as precisely as possible. After completing each chapter, students have an achievement test on reading comprehension, English compositions and analysing the sentences in the chapter. During this term, students will have one or two presentations on the topics in the textbook. At the end of the course, students will be expected to improve their proficiency in reading, composition, speaking and listening, and to have a wider vocabulary of English. Students will be expected to spend at least 1 hour to prepare and review lessons. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end exam 40%, presentation and dictation 40%, exams for each unit and in-class contribution, 20%.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：英字紙で読む日本の現代

吉田 季実子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

中級／日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英字紙の記事を通して現代日本に関する表現を学び、同時に英語の技能（Writing, Reading, Listening, Speaking）を伸ばすことを目標とする。

## 【到達目標】

英字紙の記事を辞書を引きながら精読し、内容を日本語で要約できるようにする。

現代日本の諸相に関する語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

テキストに沿って語彙の確認と精読を行う。また章末の問題でリスニング、ライティングについても確認を行う。

精読や英文解釈については毎回授業内で都度確認、説明を行うので必ず予習をすること。

課題に関しても小テストとは別に提出を必要とする

なお、感染症拡大の状況によってはオンライン授業、あるいはハイブリッド形式での授業とする可能性もあるので担当教員からは hoppelii を通して随時連絡する予定

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	授業の進め方や評価についての説明
2	Chapter1	Chapter1 の語彙と精読
3	Chapter1	精読の続きと章末の問題
4	Chapter1&2	Chapter1 の小テストと Chapter2 の語彙と精読
5	Chapter2	精読の続きと章末の問題
6	Chapter2&3	Chapter2 の小テストと Chapter3 の語彙と精読
7	Chapter3	精読の続きと章末の問題
8	UChapter3&4	Chapter2 の小テストと Chapter3 の語彙と精読
9	Chapter4	精読の続きと章末の問題
10	Chapter4&5	Chapter4 の小テストと Chapter5 の語彙と精読
11	Chapter5	精読の続きと章末の問題
12	Chapter5&6	Chapter5 の小テストと Chapter6 の語彙と精読
13	Chapter6	精読の続きと章末の問題
14	Chapter6	Chapter6 の小テスト

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教材の予習のところに適宜指示に従って解き、新出単語の確認をすること。

小テストに向けての復習をすること。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

"Cool Japan and the World - Reading Newspapers Today"

『英字紙で読む日本と世界』

浦部尚志、大須賀寿子 編著

音羽書房鶴見書店

2015 年発行

2000 円+税

## 【参考書】

指定なし

## 【成績評価の方法と基準】

小テスト 70%

授業中の問題演習等 30%

各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

## 【学生の意見等からの気づき】

空調音響照明などの授業環境への配慮をする

題材に関連する事柄を適宜紹介する

## 【Outline (in English)】

In this course, we will learn 5 skills through text. The interesting topics from Newspaper's articles will give you information about Japanese culture.

The goal of this course are to read, listen to, and summarize English articles, and speak and write the students' views on the issues.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Short test 70%, in class contribution 15%, assignments 15%

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：英字紙で読む日本の現代

吉田 季実子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英字紙の記事を通して現代日本に関する表現を学び、同時に英語の技能（Writing, Reading, Listening, Speaking）を伸ばすことを目標とする。

【到達目標】

英字紙の記事を辞書を引きながら精読し、内容を日本語で要約できるようにする。

現代日本の諸相に関する語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って語彙の確認と精読を行う。また章末の問題でリスニング、ライティングについても確認を行う。

精読や英文解釈については毎回授業内で都度確認、説明を行うので必ず予習をすること。

課題に関しても小テストとは別に提出を必要とする

なお、感染症拡大の状況によってはオンライン授業、あるいはハイブリッド形式での授業とする可能性もあるので担当教員からは hoppel を通して随時連絡する予定

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter7	Chapter7 の語彙と精読
2	Chapter7	精読の続きと章末の問題
3	Chapter7&8	Chapter7 の小テストと Chapter8 の語彙と精読
4	Chapter8	精読の続きと章末の問題
5	chapter8&9	Chapter8 の小テストと Chapter9 の語彙と精読
6	Chapter9	精読の続きと章末の問題
7	Chapter9&10	Chapter9 の小テストと Chapter10 の語彙と精読
8	Chapter10	精読の続きと章末の問題
9	chapter10&11	Chapter10 の小テストと Chapter11 の語彙と精読
10	Chapter11	精読の続きと章末の問題
11	Chapter11&12	Chapter11 の小テストと Chapter12 の語彙と精読
12	Chapter12	精読の続きと章末の問題
13	Chapter12&13	Chapter12 の小テストと Chapter13 の語彙と精読
14	Chapter13	精読の続きと章末の問題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教材の予習のところに適宜指示に従って解き、新出単語の確認をすること。

小テストに向けての復習をすること。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。  
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

"Cool Japan and the World - Reading Newspapers Today"

『英字紙で読む日本と世界』

浦部尚志、大須賀寿子 編著

音羽書房鶴見書店

2015 年発行

2000 円+税

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

小テスト 70%

授業中の問題演習等 30%

各学期欠席が 4 回以上の場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

空調音響照明などの授業環境への配慮をする

題材に関連する事柄を適宜紹介する

【学生が準備すべき機器他】

辞書、オンライン授業実施時は対応機材

【Outline (in English)】

In this course, we will learn 5 skills through text. The interesting topics from Newspaper's articles will give you information about Japanese culture.

The goal of this course are to read, listen to, and summarize English articles, and speak and write the students' views on the issues.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Short test 70%, in class contribution 15%, assignments 15%

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：世界の中の日本

大和久 梯一郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

国際社会の中で、専門的な学問領域のみならず、一般的な時事問題・日常生活においても英語読解は、現在、重要になってきている。そうした社会の中で用いられている英語に対応するために必要な英語読解能力の習得を目的として、語彙力や文法の理解をより確実に身につけるとともに、ニュースを素材とした教科書を用い、読解・リスニング・ライティング・スピーキングの4技能の習熟を行う。またそれを通して海外の社会のあり方についての理解も深めながら、英語運用能力の充実を進めていきたい。

## 【到達目標】

- ・TOEIC レベルのリーディングで用いられる文法事項の基礎を理解する。
- ・TOEIC レベルのリーディングで用いられる語彙の基礎を身につける。
- ・英語時事ニュースの要旨を把握できる、基礎力を身につける。
- ・英語で自分の考えを表現できるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

日本のニュースについて英語で発信されたテキストを用いて、テキストのリーディング・リスニングと、英語での質疑応答やディスカッションを行う。基本的にテキスト1章分を2回の授業で扱う。また補助資料として、適宜プリントで、時事問題やエッセイ、短編小説など、英語の新聞雑誌記事を読むこととする。毎回出欠の確認をする。授業にあたっては該当ページについての予習をおこなうこと。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第一回	ガイダンス	授業の進め方等の確認。
第二回	Chapter 1	Chapter 1 Washoku on the rise 和食が人気に（リーディング及びリスニング）
第三回	Chapter 1	Chapter 1 Washoku on the rise 和食が人気に（テキストの問題解答、文法事項の確認）
第四回	Chapter 2	Chapter 2 Female android helps men become fashionistas 女性型アンドロイドが男性をファッションistaに（テキストのリーディング及びリスニング）
第五回	Chapter 2	Chapter 2 Female android helps men become fashionistas 女性型アンドロイドが男性をファッションistaに（テキストの問題解答、文法事項の確認）

第六回	Chapter 3	Chapter 3 Quarter of high schoolers net-dependent: study 高校生の4分の1がネット依存（テキストのリーディング及びリスニング）
第七回	Chapter 3	Chapter 3 Quarter of high schoolers net-dependent: study 高校生の4分の1がネット依存（テキストの問題解答、文法事項の確認）
第八回	Chapter 4	Chapter 4 Japan local products 日本の地産品を世界へ（テキストのリーディング及びリスニング）
第九回	Chapter 4	Chapter 4 Japan local products 日本の地産品を世界へ（テキストの英作文問題解答）
第十回	Chapter 5	Chapter 5 Hachiko finally reunited with master ついに飼い主に会えたハチ公（テキストのリーディング及びリスニング）
第十一回	Chapter 5	Chapter 5 Hachiko finally reunited with master ついに飼い主に会えたハチ公（テキストについての英文要旨作成）
第十二回	Chapter 6	Chapter 6 Hi-tech handrail aims to ease passage for the elderly 高齢者のですり（テキストのリーディング及びリスニング）
第十三回	Chapter 6	Chapter 6 Hi-tech handrail aims to ease passage for the elderly 高齢者のですり（テキストについてのディスカッション）
第十四回	まとめ	試験・まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキスト内にある英文に事前に目を通し、知らない語彙等はあらかじめ調べておくこと。リスニング、講読を終えた後は、授業内で指定された語彙、表現等を復習しておき、後のパラグラフライティングで活用すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

津田晶子、金志佳代子、Kelly MacDonald 著『NTV News24 English 一日テレ News24 English で考える日本事情』英宝社、2017年

## 【参考書】

例文の多い英和・和英辞典（『ジーニアス英和・和英辞典』（大修館）など）  
英英辞典（『ロングマン現代英英辞典』（OUP）など）

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（出席・予習・小テスト等）60%、期末試験40%で評価します。30分以上の遅刻は欠席とみなし、また3回の遅刻は1回の欠席とみなします。4回以上の欠席者は成績評価の対象から外すので注意すること。

## 【学生の意見等からの気づき】

特になし

## 【Outline (in English)】

[Learning Objectives] To develop abilities to read, listen to, speak, and write in English in every day life, such as reading newspapers, listening to and discussing news broadcasting. [Learning activities outside of classroom] reading and listening textbook before and after class. [Grading Criteria/Policy] Activities in class (attendance, question, and discussion): 60%, Term-end exam : 40%.

LANe200LA  
**English 3 II** 2017 年度以降入学者  
 サブタイトル：世界の中の日本  
 大和久 悌一郎  
 開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5  
 単位数：1 単位  
 中級/日本語  
 その他属性：

**【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】**

国際社会の中で、専門的な学問領域のみならず、一般的な時事問題・日常生活においても英語読解は、現在、重要になってきている。そうした社会の中で用いられている英語に対応するために必要な英語読解能力の習得を目的として、語彙力や文法の理解をより確実に身につけるとともに、ニュースを素材とした教科書を用い、読解・リスニング・ライティング・スピーキングの4技能の習熟を進める。またこれらを通して海外の社会のあり方についての理解も深めながら、英語運用能力の充実を進めていきたい。

**【到達目標】**

- ・TOEIC レベルのリーディングで用いられる文法事項の基礎を理解する。
- ・TOEIC レベルのリーディングで用いられる語彙の基礎を身につける。
- ・英語時事ニュースの要旨を把握できる、基礎力を身につける。
- ・英語で自分の考えを表現できる。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

日本のニュースについて英語で発信されたテキストを用いて、テキストのリーディング・リスニングと、英語での質疑応答やディスカッションを行う。基本的にテキスト1章分を2回の授業で扱う。また補助資料として、適宜プリントで、時事問題やエッセイ、短編小説など、英語の新聞雑誌記事を読むこととする。毎回出欠の確認をする。授業にあたっては該当ページについての予習をおこなうこと。

**【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】**  
あり/Yes

**【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】**  
なし/No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第一回	Chapter 7	Chapter 7 26-year-old designs Honda's new sports car 26歳がスポーツカーをデザイン (テキストのリーディング及びリスニング)
第二回	Chapter 8	Chapter 8 Flight attendants compete to be Master of Hospitality 客室乗務員のおもてなしコンテスト (テキストのリーディング及びリスニング)
第三回	Chapter 8	Chapter 8 Flight attendants compete to be Master of Hospitality 客室乗務員のおもてなしコンテスト (テキストの英文問題解答)
第四回	Chapter 9	Chapter 9 Japan unveils rescue robot 日本の災害救助ロボット (テキストのリーディング及びリスニング)

第五回	Chapter 9	Chapter 9 Japan unveils rescue robot 日本の災害救助ロボット (テキストの英文問題解答)
第六回	Chapter 10	Chapter 10 Japanese tea ceremony celebrates peace at UN 国連でお茶会 (テキストのリーディング及びリスニング)
第七回	Chapter 10	Chapter 10 Japanese tea ceremony celebrates peace at UN 国連でお茶会 (テキストについてのディスカッション)
第八回	Chapter 11	Chapter 11 Nation's workers to undergo stress tests 全国の労働者にストレステスト (テキストのリーディング及びリスニング)
第九回	Chapter 11	Chapter 11 Nation's workers to undergo stress tests 全国の労働者にストレステスト (テキストについてのグループ・ディスカッション)
第十回	Chapter 12	Chapter 12 New high-rise to tower over 都心に新構想のビルの発表 (テキストのリーディング及びリスニング)
第十一回	Chapter 12	Chapter 12 New high-rise to tower over 都心に新構想のビルの発表 (テキストについてのグループ・ディスカッション)
第十二回	Chapter 13	Chapter 13 Historic festival kicks off In Nagasaki 長崎のおくんち、始まる (テキストについてのグループ・ディスカッション)
第十三回	Chapter 14	Chapter 14 UN Women opens Japan office 国連女性事務所を東京に開設 (テキストについてのグループ・ディスカッション)
第十四回	まとめ	試験・まとめと解説

**【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】**

テキスト内にある英文に事前に目を通し、知らない語彙等はあらかじめ調べておくこと。リスニング、リーディングを終えた後は、授業内で指定された語彙、表現等を復習しておき、後のパラグラフライティングで活用すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

**【テキスト (教科書)】**

津田晶子、金志佳代子、Kelly MacDonald 著『NTV News24 English 一日テレ News24 English で考える日本事情』英宝社、2017年

**【参考書】**

例文の多い英和・和英辞典 (『ジーニアス英和・和英辞典』(大修館) など)  
 英英辞典 (『ロングマン現代英英辞典』(OUP) など)

**【成績評価の方法と基準】**

平常点 (出席・予習・小テスト等) 60%、学期末試験 40%で評価します。30分を過ぎた場合は遅刻とみなし、また3回の遅刻は1回の欠席とみなします。4回以上の欠席者は成績評価の対象から外すので注意すること。

**【学生の意見等からの気づき】**

特になし

**【Outline (in English)】**

[Learning Objectives] To develop abilities to read, listen to, speak, and write in English in every day life, such as reading newspapers, listening to and discussing news broadcasting. [Learning activities outside of classroom] reading and listening textbook before and after class. [Grading Criteria/Policy] Activities in class (attendance, question, and discussion) : 60%, Term-end exam : 40%.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：現代のイギリス文化と社会

渡辺 英依美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

初級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業の目的は、英語の四技能を磨くと共に、現代のイギリス文化と社会についてニュースを通して学ぶことにある。なお、Brexit 後も英語は EU の重要な公用語のままであり、その基盤を成しているのはイギリス英語である。教科書に加えて、BBC などの映像メディアも使用する。

## 【到達目標】

この授業を履修することにより、以下の技能の獲得が期待される。

- (1) 四技能にわたる総合的な英語の運用力を身につける。
- (2) 現代イギリス文化と社会について理解する。
- (3) 英語資料を批判的に読解・分析し、自分の意見を英語で述べる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

[授業の進め方と方法]

反転授業を行うので学生は必ず事前に英文テキストを予習が必須となる。授業では各自の英文解釈を確認し、さらに理解を深める。各学生は毎週授業で発表を求められる。この授業では狭義の読解を超えて、自ら英語で発信する力も育成する。各課題や中間テストの結果は翌週の授業で講評する。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Guidance	Outlining course content
2	Unit 1: An Award for an Unsung Hero	Starting Off, Watching the News
3	Unit 1: An Award for an Unsung Hero	Moving On
4	Unit 2: Treasures of the Society of Antiquaries	Starting Off, Watching the News
5	Unit 2: Treasures of the Society of Antiquaries	Moving On
6	Unit 3: Changing Careers in the Pandemic	Starting Off, Watching the News
7	Unit 3: Changing Careers in the Pandemic	Moving On
8	Mid-semester Examination	Mid-semester exam
	Unit 4: The Climate Change Threat to Heritage Sites	Starting Off, Watching the News

9	Review of the exam Unit 4: The Climate Change Threat to Heritage Sites	Review of the exam Moving On
10	Unit 6: Return of the Red Kites	Starting Off, Watching the News
11	Unit 6: Return of the Red Kites	Moving On
12	Unit 7: All Cars to Be Electric	Starting Off, Watching the News
13	Unit 7: All Cars to Be Electric	Moving On
14	Summary and Final Exam	Review and final examination

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習が必須。個々の単語を理解するだけでなく、構文・論旨を正確に把握し、設問等にも答えられるよう準備しておくこと。本授業の予復習は 1 時間を標準とする。

## 【テキスト（教科書）】

Knowles, T., Tanaka, M., Nakamura M., & Moue, S. (2022). *British News Update 4*. Kinseido.

## 【参考書】

必要に応じて授業内で指示する。

## 【成績評価の方法と基準】

授業中の発表・課題の提出 25 %

中間試験 35%

期末試験 40 %

欠席が 4 回以上の場合、原則として単位を修得できない。

## 【学生の意見等からの気づき】

アクティブラーニングとグループワークが好評のため、積極的に取り入れる。

## 【Outline (in English)】

## 【Course outline】

Students will learn social and cultural issues of the United Kingdom (UK), while developing English communication skills of reading, writing, speaking and listening. Video clips will be used in addition to written materials. Based on a flipped learning model, students will prepare for each chapter prior to attending the class.

## 【Learning Objectives】

By the end of the course, students will be able to:

- (1) Enhance the four skills of reading, writing, speaking and listening.
- (2) Understand the social and cultural issues of present-day UK.
- (3) Critically read and analyze English texts and present their thoughts and opinions on related issues in English.

## 【Learning activities outside of classroom】

Students are required to prepare for each class so that they can actively participate in class discussions. University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

## 【Grading Criteria /Policy】

Evaluation will be based on the following criteria:

Class participation/assignments 25 %

Mid-semester examination 35%

Final examination 40 %

More than 3 absences will result in failure of the course.



LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：現代のイギリス文化と社会

渡辺 英依美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

初級/日本語

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業の目的は、英語の四技能を磨くと共に、現代のイギリス文化と社会についてニュースを通して学ぶことにある。なお、Brexit 後も英語は EU の重要な公用語のままであり、その基盤を成しているのはイギリス英語である。教科書に加えて、BBC などの映像メディアも使用する。

【到達目標】

この授業を履修することにより、以下の技能の獲得が期待される。

- (1) 四技能にわたる総合的な英語の運用力を身につける。
- (2) 現代イギリス文化と社会について理解する。
- (3) 英語資料を批判的に読解・分析し、自分の意見を英語で述べる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

[授業の進め方と方法]

反転授業を行うので学生は必ず事前に英文テキストを予習が必須となる。授業では各自の英文解釈を確認し、さらに理解を深める。各学生は毎週授業で発表を求められる。この授業では狭義の読解を超えて、自ら英語で発信する力も育成する。

各課題や中間テストの結果は翌週の授業で講評する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Guidance	Outlining course content
2	Unit 8: Mend More and Buy Less: London Repair Shops	Starting Off, Watching the News
3	Unit 8: Mend More and Buy Less: London Repair Shops	Moving On
4	Unit 9: Swimming to Cure Dementia	Starting Off, Watching the News
5	Unit 9: Swimming to Cure Dementia	Moving On
6	Unit 10: A Special Pop-up Shop on Carnaby Street	Starting Off, Watching the News
7	Unit 10: A Special Pop-up Shop on Carnaby Street	Moving On
8	Mid-semester Examination	Mid-semester exam
	Unit 11: School Laptops for All	Starting Off, Watching the News

9	Review of the exam Unit 11: School Laptops for All	Review of the exam Moving On
10	Unit 12: A New Nuclear Power Station	Starting Off, Watching the News
11	Unit 12: A New Nuclear Power Station	Moving On
12	Unit 14: Cardiff, the First Carbon Neutral City in Wales	Starting Off, Watching the News
13	Unit 14: Cardiff, the First Carbon Neutral City in Wales	Moving On
14	Summary and Final Exam	Review and final examination

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習が必須。個々の単語を理解するだけではなく、構文・論旨を正確に把握し、設問等にも答えられるよう準備しておくこと。本授業の予復習は 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Knowles, T., Tanaka, M., Nakamura M., & Moue, S. (2022). *British News Update 4*. Kinseido.

【参考書】

必要に応じて授業内で指示する。

【成績評価の方法と基準】

授業中の発表・課題の提出 25 %

中間試験 35%

期末試験 40 %

欠席が 4 回以上の場合、原則として単位を修得できない。

【学生の意見等からの気づき】

アクティブラーニングとグループワークが好評のため、積極的に取り入れる。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Students will learn social and cultural issues of the United Kingdom (UK), while developing English communication skills of reading, writing, speaking and listening. Video clips will be used in addition to written materials. Based on a flipped learning model, students will prepare for each chapter prior to attending the class.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students will be able to:

- (1) Enhance the four skills of reading, writing, speaking and listening.
- (2) Understand the social and cultural issues of present-day UK.
- (3) Critically read and analyze English texts and present their thoughts and opinions on related issues in English.

【Learning activities outside of classroom】

Students are required to prepare for each class so that they can actively participate in class discussions. University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

【Grading Criteria /Policy】

Evaluation will be based on the following criteria:

Class participation/assignments 25 %

Mid-semester examination 35%

Final examination 40 %

More than 3 absences will result in failure of the course.

LANe200LA					
English 3 I	2017 年度以降入学者				
サブタイトル：身近な文化を英語で議論					
猪俣 佳瑞美					
開講時期：春学期授業/Spring   曜日・時限：月 4/Mon.4					
単位数：1 単位					
初級/日本語					
その他属性：					
<b>【授業の概要と目的（何を学ぶか）】</b>					
English1,2 での学びを踏まえ、4 技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。	3	Unit 2 Studying in a Café vs. Home	学習を効率的に行う場所として「自宅」と「カフェ」を比較する。テーマに関する意見を英語で聞き、情報を整理した上で、各自の経験や意見をペアやグループで英語で発表する。		
<b>【到達目標】</b>					
講義の到達目標は、以下である。 ・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。 ・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。 ・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。 ・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。 ・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。	4	Unit 3 Gakuran vs. Blazer	高校の制服デザインについて考える。代表的なものとして「学ラン」と「ブレザー」を取り上げるが、現代社会における多様性という面からも、制服に求められる社会的役割を各自が考え、英語で意見をまとめる演習を行う。		
<b>【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】</b>					
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1	5	Unit 4 Coming-of-Age Ceremonies	成人式の必要性について考える。また、海外には日本の「成人式」に該当する行事は無いため、その概要や存在意義を英語で説明できるようにする。最後に、各自の成人式に対する意見交換を英語で行う。		
<b>【授業の進め方と方法】</b>					
各 Unit を 1 回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。大学の行動方針レベルが 2 となった場合、この授業は原則としてオンデマンド授業（資料型）で行う。詳細は学習支援システムで伝達する。	6	Unit 5 24/7 Convenience Stores	コンビニの 24 時間営業について考える。各学生が 24 時間営業に「賛成」なのか「反対」なのか、各自の立場を明確にした上で、ペアやグループに分かれ、理論的に意見を述べる練習を行う。		
<b>【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】</b>					
あり / Yes	7	Unit 6 Japanese Era Names	「元号」について考える。2019 年 5 月に導入された新元号「令和」。元号が変わる時を体験した学生同士だからこそ可能な、元号の必要性や意義に関する意見を英語で交換したい。また世界でも珍しい「元号」の英語による説明方法も取り上げる。		
<b>【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】</b>					
なし / No	8	Unit 7 Point Cards	購入した額によって与えられる「ポイント」や「ポイントカード」について考える。このサービスを受ける側からだけでなく、与える側からも考察し、存在意義を考えたい。身近なトピックであることから、各自が実体験を踏まえ、わかりやすく自分の考えを英語で相手に伝える練習を行う。		
<b>【授業計画】</b> 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など			
2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批評的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。			
			9	Unit 8 Disaster Volunteers	自然災害時のボランティアについて考える。特に「ボランティア」と「報酬」に関する英文を読んだ上で、各自の考えを論理的にまとめ、説得力ある意見にする練習を行う。
			10	Unit 9 Domestic Trip vs. Abroad	「旅行」をテーマに取り上げる。「国内旅行」と「海外旅行」を比較し、10 万円あったら「国内」「海外」どちらを旅行したいか英語で意見を述べ合う。各自、その理由を明確にできるよう、具体的な旅行案も考えた上で授業に参加してほしい。
			11	Unit 10 Studying English Abroad	「留学」をテーマに取り上げる。最近、人気の高いアジア諸国への留学に関する英文を読んだ上で、各自が、語学留学するなら、どここの国へ行きたいか、その理由などを明確にした上で、意見交換を行う。
			12	プレゼンテーション準備と確認	13、14 回めの講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。

- 13 プレゼンテーション 1 各学生が今までに講義で扱ったトピックから1つを選び、クラス全体に発表する1回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
- 14 プレゼンテーション 2 各学生が今までに講義で扱ったトピックから1つを選び、クラス全体に発表する2回目。  
小テストとまとめ 春学期に扱った語彙を中心とする小テストも実施。学びを総括する。

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定された Unit を事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。

**Listening Dictation** 問題は講義内で行うので予習不要。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

**【テキスト（教科書）】**

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion  
2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020 年 1,900 円（税込 2,090 円）

**【参考書】**

特になし

**【成績評価の方法と基準】**

平常点 40 % 発表 40 % 小テスト 20 % 遅刻は厳禁。授業開始時刻から 30 分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4 回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

**【学生の意見等からの気づき】**

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

**【Outline (in English)】**

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay. Students are required to work outside class on assignments (reading, writing, vocabulary and short reports, etc.) given regularly in class. They are expected to spend more than one hour per week on preparation and review for each class. Grades will be based on the following criteria: participation and performance in classroom activities (40%), final presentation (40%) and short reports (20%).

LANe200LA	English 3 II	2017 年度以降入学者	3	Unit 12 New Year's Eve Fireworks	「年越しイベントとしての花火大会」の実施を考える。日本では、夏に行われる花火大会だが、海外では大晦日のイベントとして人気が高い。その理由を考えながら、日本文化として花火大会が持つ意味を英語で伝える練習も行う。
サブタイトル: 身近な文化を英語で議論			4	Unit 13 April Fools' Day in Japan	「エイプリルフール」について考える。海外と日本のエイプリルフールを比較し、日本人の傾向を述べた英文を読んだ上で、各自がエイプリルフールに関して考えていることを英語でまとめ、意見交換を行う。
猪俣 佳瑞美			5	Unit 14 Summer-Vacation Assignments	「夏休みの宿題」について考える。日本の小中学校における夏休みの宿題に関する英文を読んだ上で、各自が自身の体験を踏まえ、その功罪を客観的に分析し、英語での意見交換を行う。
開講時期: 秋学期授業/Fall   曜日・時限: 月 4/Mon.4			6	Unit 15 Halloween Is Best!	日本で楽しまれている「外国のお祭り」について考える。特に昨今、広く浸透し、時に問題点も指摘されているハロウィーンを取り上げ、各自の意見を理論的にまとめ、意見交換を行う。
単位数: 1 単位			7	Unit 16 Valentine's Day in Japan	「日本のバレンタインデー」について考える。海外との習慣の違いなどを踏まえた英文を読んだ上で、日本独自に発展したバレンタインデーを英語で説明できるように練習を行う。最後には、各自のバレンタインデーに対する見解を英語で述べ合う。
初級/日本語			8	Unit 17 Smartphone Lock Screens	「スマートフォンのロック」及び「ロック解除方法」について考える。日常で行っている行為を英語で表現するために必要な語彙を増やし、個人情報を守るために必要だと考えていることを英語で伝える練習を行う。
その他属性:			9	Unit 18 YouTube vs. Normal TV	「テレビ番組」と「YouTube」について考える。2つのメディアを比較した英文を読んだ上で、各自がそれぞれのメディアに対して感じていることを述べ合い、それぞれのメディアをどのように利用しているのか情報交換を行う。
【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】			10	Unit 19 Internet vs. Bricks-and-Mortar	「買い物」について考える。特にオンラインショップと実店舗を比較した英文を読んだ上で、各自が買い物をするとき重視していることや注意していることなど、身近な内容をわかりやすく英語で説明する練習を行う。
English1,2 での学びを踏まえ、4 技能 (英語を読み、聞き、書き、話す力) の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。			11	Unit 20 Translation Software	「翻訳ソフト」について考える。英語の宿題に翻訳ソフトを使用するべきか否かを取り上げた英文を読んだ上で、各自が立場を明らかにした上で、賛成または反対の意見を客観的に述べ、議論を行う。
【到達目標】			12	プレゼンテーション 1	各学生が今までに講義で扱ったトピックから 1 つを選び、クラス全体に発表する 1 回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
講義の到達目標は、以下である。 ・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。 ・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。 ・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。 ・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。 ・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。			13	プレゼンテーション 2	各学生が今までに講義で扱ったトピックから 1 つを選び、クラス全体に発表する 2 回目。
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】					
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1					
【授業の進め方と方法】					
各 Unit を 1 回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。大学の行動方針レベルが 2 となった場合、この授業は原則としてオンデマンド授業 (資料型) で行う。詳細は学習支援システムで伝達する。					
【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】					
あり / Yes					
【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】					
なし / No					
【授業計画】 授業形態: 対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	秋学期スタートにあたって	夏休みにあったことを英語で話したって			
2	Unit 11 More Foreign Visitors	夏休みにあったことを英語で話したって 次講義の事前学習範囲の確認 インバウンドについて考える。 日本を訪れる外国人観光客に関する英文を読んだ上で、東京オリンピックも踏まえ、各学生が感じていることを英語でまとめ、意見交換する。			

— 349 —

- 14 小テストとまとめ 秋学期に扱った語彙などを中心とする小テストを実施。学びを総括する。

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4

hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定された Unit を事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。

Listening Dictation 問題は講義内で行うので予習不要。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

**【テキスト（教科書）】**

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion 2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020 年 1,900 円（税込 2,090 円）

**【参考書】**

特になし

**【成績評価の方法と基準】**

平常点 40 % 発表 40 % 小テスト 20 % 遅刻は厳禁。授業開始時刻から 30 分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4 回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

**【学生の意見等からの気づき】**

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違いを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

**【Outline (in English)】**

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay. Students are required to work outside class on assignments (reading, writing, vocabulary and short reports, etc.) given regularly in class. They are expected to spend more than one hour per week on preparation and review for each class. Grades will be based on the following criteria: participation and performance in classroom activities (40%), final presentation (40%) and short reports (20%).

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：「現代の諸相」文化間理解を通して

吉川 太恵子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

初級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 では、4 技能をさらに高めることを目的とする。学生は文化、経済、社会、健康、旅行、教育、芸術、コンピューター、戦争、グローバル化などの多様な問題について英語で読むことで、英語力を伸ばすだけでなく現代の多様な社会問題やグローバルな事象について、世界の様々な文化を通して知識を得ることが出来る。ソ連のウクライナ侵攻によるウクライナ難民の受け入れや、外国人技術実習生の増加などにより、日本もますます複言語複文化の意識(plurilingual and pluricultural awareness)が高まってきており、多様な文化に対応できる意識が必要になってきている。この授業では、教科書に加えて、新聞や雑誌、ウェブサイト、ビデオなど様々な媒体を使い学生の理解を深め、知識と語彙を増やすことが出来るよう指導する。こうして自分の考えをディスカッションやクラス内で発言することで、英語で考えをまとめることが出来るようになる。

## 【到達目標】

●高校までの「英文読解」のように、逐次文の途中や文末まで戻って日本語に訳すことをやめるのが大きな目標である。「スラッシュ・リーディング」と「チャック・リーディング」呼ばれる方法で、英文を文頭から後ろに戻ることなく英語の語順のままに理解する手法を身につけることである。これにより読解速度が速くなり、英文全体の要旨を早くつかめるようになる。このような読み方を会得すると、知らない単語があっても、辞書を使わずに文章の前後関係から内容を推察することが可能になる。

●受験勉強ではあまり注意が払われなかった発音についてであるが、自分が正しいと思っている音が聞こえてこないと困惑してしまい、リスニングに苦手意識をもってしまいう学生がかなり存在する。正しい発音を知ることはリスニング力を上げるのにも相手に理解してもらおうのにも必要不可欠であり、積極的に英語を話すモチベーションを上げることにつながる。また、正しい発音でないと、相手に理解してもらおうのが困難であることを理解し、発音を矯正するよう努力することが求められる。

●ある程度の分量で自分の考えを英語で表現できる。(writing & speaking)

●英語力を伸ばすだけでなく、現代社会で起きているさまざまな事象を深く理解することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

各ユニットを基本的に 2 回の授業でカバーする。1 回目は、各ユニットにある Word info 1 & Word info 2 をやり、内容のチェックをする。1 回目・2 回目を通じて関連するビデオを観てディスカッションにつなげる。折々に時事問題についての英語の文書やビデオを使用するため、シラバスに書いたスケジュールはあくまで目安であって、その通りには運ばないことを理解してほしい。

学習する Unit の順番は、初めの 2 つのユニットは番号順に学習するが、その後は教科書通りではない計画なので、予習する際は気を付けること。順次、Hoppi にて注意を促す。

学生は授業中にほぼ 1 回はランダムに当たるので、準備は欠かせない。授業後に毎回必須となっているリアクション・ペーパーの提出は、Hoppi から提出期限内に出すことが求められ、質問に対するコメントや英文の添削をして学生に戻すことにしている。これはその日の授業の理解度や意見、教師との意思疎通を図るために自由形式で行われ、提出回数は成績に影響する。

学生からの質問や英文の添削は、クラスでのレポート提出の場合にはレポートに、リアクション・ペーパーにおいては、Hoppi を通じてオンラインでフィードバックを行っている。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	自己紹介、授業の進め方、教科書について、出欠の扱い、単位取得条件、課題の提出が必須であるなどについて説明する。
2	Unit 1-1 Develop Your Intercultural Awareness	1. Brainstorming 2. Word info 1 3. Word info 2 4. Discussion 5. Video
3	Unit 1-2 Develop Your Intercultural Awareness	1. Reading graphs & charts 1 2. Reading graphs & charts 2 3. Discussion 4. (Video)
4	Unit 2-1 Understand Intercultural Diversity in Peoples and Places	1. Brainstorming 2. Word info 1 3. Word info 2 4. Discussion 5. Video
5	Unit 2-2 Understand Intercultural Diversity in Peoples and Places	1. Reading graphs & charts 1 2. Reading graphs & charts 2 3. Discussion 4. (Video)
6	Unit 4-1 Learn about Food, Culture and Society	1. Brainstorming 2. Word info 1 3. Word info 2 4. Discussion 5. Video
7	Unit 4-2 Learn about Food, Culture and Society	1. Reading graphs & charts 1 2. Reading graphs & charts 2 3. Discussion 4. (Video)
8	Unit 5-1 Have Better Lifestyles in Different Cultures	1. Brainstorming 2. Word info 1 3. Word info 2 4. Discussion 5. Video
9	Unit 5-2 Have Better Lifestyles in Different Cultures	1. Reading graphs & charts 1 2. Reading graphs & charts 2 3. Discussion 4. (Video)
10	Mid-term vocabulary test Unit 7-1 Cultivate Global Citizenship	1. Brainstorming 2. Word info 1 3. Word info 2 4. Discussion 5. Video
11	Unit 7-2 Cultivate Global Citizenship	1. Reading graphs & charts 1 2. Reading graphs & charts 2 3. Discussion 4. (Video)
12	Unit 13-1 Pray for No More Wars and Just Peace	1. Brainstorming 2. Word info 1 3. Word info 2 4. Discussion 5. Video

13	Unit 13-2 Pray for No More Wars and Just Peace	1. Reading graphs & charts 1 2. Reading graphs & charts 2 3. Discussion 4. (Video)
14	Spring Term-end Examination	教科書、授業で使ったプリントなどから出題する試験・まとめ。

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

●本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間が標準とされているが、これでは十分とは言えない。各々が自分に必要な勉強時間を確保してほしいが、予習・復習を合わせて**最低2時間が必要**である。

●学生は授業中にほぼ1回はランダムに当たるので、準備は欠かせない。

**【テキスト（教科書）】**

*Intercultural Awareness CLIL* で培う文化間意識、笹島茂&その他、三修社、2020年、2000円、ISBN:978-4-384-33494-4 C1082 プリント類はその都度教室で配布するか、Hoppi にアップロードされたものは各自プリントアウトして持参すること。

**【参考書】**

これまで使用してきた文法書などを使用してほしい。また、英英辞典の使用を強く推奨する。ウェブ上にある Cambridge Dictionary や、Merriam-Webster Dictionary がお勧めである。

**【成績評価の方法と基準】**

●平常点：(授業中の受け答え、ペアワークやグループワークへの参加度や課題提出状況):32%

● Reaction Paper の提出 ( Hoppi を通じて)  $2 \times 14 = 28\%$

● Mid-term Vocabulary test : 20%

● Spring term-end Examination: 20%

単位取得のための最低合格レベル：60%

4 回以上欠席した場合には単位取得資格を失う(公欠を除く。)

授業開始時間から15分以上遅れた場合は、遅刻としてカウントし2回で欠席1回とみなす。30分以上遅刻した場合は、出席しても欠席扱いとなる。体調が悪い、通院するなどの場合は事前に教師宛にメールで知らせること。

**【学生の意見等からの気づき】**

1. 新聞や雑誌記事、トピックス関連のビデオなどを適宜授業に取り入れているのは、全体的な理解を深めるとして好評である。また、ディスカッションにおいて英語で自分の意見を相手にわかりやすく説明することを積み重ねていくことで、英語での発表に自信が付き、違った考え方を知る機会になっているという感想を学生から得ている。

2. 授業後に提出を義務付けているリアクション・ペーパーを通じて、学生との意思疎通を図っている。

3. 年間を通じてクラスの席を時折または毎回変更しているため、席が固定化することなく多くのクラスメートと話す機会を得たと高評価を得ている。

**【学生が準備すべき機器他】**

英語の辞書(紙製・電子辞書) 携帯電話アプリの辞書の使用は認めない。

**【その他の重要事項】**

コロナの規制が緩んできたとはいえ、場合によっては zoom によるオンライン授業に切り替える用意がある。

**【Outline (in English)】**

● **Course Outline**

This course aims to further improve the students' English four skills. Through the textbook, students will be able to gain knowledge and a critical understanding of world politics, law, human rights, culture, religions, sustainability, etc. This will help students improve their vocabulary, and they will be able to obtain knowledge about phenomena by learning about various cultures of the world.

Due to the acceptance of Ukrainian refugees after the Soviet Union's invasion of Ukraine and the increase in the number of foreign technical trainees, Japan's plurilingual and pluricultural awareness is increasing more than ever.

In addition to the textbook, we will use various media such as newspapers, magazines, websites, and videos to help students deepen their understanding and increase their knowledge and vocabulary. Students would be able to summarize their thoughts in English.

● **Learning Objectives**

(1) By understanding English texts as they are without translating them into Japanese, students will be able to speed up their reading comprehension and quickly grasp the gist of the text. (2) Students will be able to understand the meaning of sentences accurately, even if they come across unknown words without referring to a dictionary. (3) Students will be able to express their thoughts in English smoothly. (4) Students will be able to deepen their knowledge of international problems and current affairs through cultural issues.

● **Learning activities outside of class room**

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. This is not sufficient, so **students are required to spend at least two hours before and after the class**. Students are frequently asked to answer questions in class; therefore, preparation is essential. In addition, submission of a reaction paper through the Hoppi system is mandatory every time, which affects the grades. The reaction paper will be used as a communication tool between the student and the teacher. The teacher will check the submission, make any corrections or answer questions and return it to the student as feedback through Hoppi.

● **Grading Criteria/Policy**

Reaction paper (through the Hoppi system)  $2 \times 14 = 28\%$

In-class participation: 32% (pair work, group work)

Mid-term vocabulary test: 20%

Term-end examination: 20%

**The minimum passing grade: 60%**

**Maximum absences per semester: 4 times**

More than 15 minutes delay will be recorded as a late mark, and two late marks will be counted as one absence. If students have poor health conditions, they must notify the teacher before the class starts.

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：「現代の諸相」文化間理解を通して

吉川 太恵子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

初級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期に引き続き、ますます複雑化する世界情勢において、現代の多様な社会問題やグローバルな事象を、“intercultural”(互いの文化を意識して理解する)な視点で考察する。経済、社会、健康、旅行、教育、芸術、コンピューター、戦争、グローバル化などの多様な問題について英語で読むことで、英語力を伸ばすだけでなく現代の多様な社会問題やグローバルな事象についての知識を得ることを目指す。ソ連のウクライナ侵攻によるウクライナ難民の受け入れや、外国人実習生や労働者の増加、外国人観光客の増加により、日本もますます複言語複文化の意識 (plurilingual and pluricultural awareness) が高まり、多様な文化に対応できる意識が必要になってきている。この授業では、教科書に加えて、新聞や雑誌、ウェブサイト、ビデオなどの様々な媒体を使い学生の理解を深め、知識と語彙を増やすことが出来るよう指導する。こうして自分の考えをディスカッションやクラス内で発言することで、英語で考えをまとめることが出来るようになる。

## 【到達目標】

- 高校までの「英文読解」のように、逐次文の途中や文末まで戻って日本語に訳すことをやめるのが大きな目標である。原文を文章の頭から英語でそのまま理解することで、読解速度が速くなり、英文全体の要旨を早くつかめるようになる。このような読み方を会得すると、知らない単語があっても、辞書を使わずに文章の前後関係から内容を推察することが可能になる。
- リスニング力、スピーキング力を伸ばす。発音についてあまり注意を払わなかった学生が多く、自分の思い込みで「正しい」と思っていた発音が、実際そのように発音されず異なる発音に困惑してしまい、リスニングに苦手意識をもつことになってしまう。また、正しい発音でないと、相手に理解してもらおうのが困難であることを理解し、発音を矯正するよう努力することが求められる。
- ある程度の分量で自分の考えを英語で表現できる。(writing & speaking)
- 英語力を伸ばすだけでなく、現代社会で起きているさまざまな事象を深く理解することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

各ユニットを基本的に2回の授業でカバーする。1回目は、各ユニットにある Word info 1 & Word info 2 をやり、内容のチェックをする。1回目・2回目を通じて関連するビデオを観てディスカッションにつなげる。折々に時事問題についての英語の文書やビデオを使用するため、シラバスに書いたスケジュールはあくまで目安であって、その通りには運ばないことを理解してほしい。

学習する Unit の順番は、初めの2つのユニットは番号順に学習するが、その後は教科書通りではない計画なので、予習する際は気を付けること。順次、Hoppi にて注意を促す。

学生は授業中にほぼ1回はランダムに当たるので、準備は欠かせない。授業後に毎回必須となっているリアクション・ペーパーの提出は、Hoppi から提出期限内に出すことが求められ、質問に対するコメントや英文の添削をして学生に戻すことにしている。これはその日の授業の理解度や意見、教師との意思疎通を図るために自由形式で行われ、提出回数は成績に影響する。

学生からの質問や英文の添削は、クラスでのレポート提出の場合にはレポートに、リアクション・ペーパーにおいては、Hoppi を通じてオンラインでフィードバックを行っている。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】  
あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 8-1 Study the Education System	1. Brainstorming 2. Word info 1 3. Word info 2 4. Discussion 5. Video
2	Unit 8-2 Study the Education System	1. Reading graphs & charts 1 2. Reading graphs & charts 2 3. Discussion 4. (Video)
3	Unit 2-1 Be a Good Consumer	1. Brainstorming 2. Word info 1 3. Word info 2 4. Discussion 5. Video
4	Unit 2-2 Be a Good Consumer	1. Reading graphs & charts 1 2. Reading graphs & charts 2 3. Discussion 4. (Video)
5	Unit 10-1 See the Potential of Artificial Intelligence (AI)	1. Brainstorming 2. Word info 1 3. Word info 2 4. Discussion 5. Video
6	Unit 10-2 See the Potential of Artificial Intelligence (AI)	1. Reading graphs & charts 1 2. Reading graphs & charts 2 3. Discussion 4. (Video)
7	Unit 12-1 Live Well in a Cashless Society	1. Brainstorming 2. Word info 1 3. Word info 2 4. Discussion 5. Video
8	Unit 12-2 Live Well in a Cashless Society	1. Reading graphs & charts 1 2. Reading graphs & charts 2 3. Discussion 4. (Video)
9	Mid-term Vocabulary Test	1. Brainstorming 2. Word info 1 3. Word info 2 4. Discussion 5. Video
10	Unit 11-1 Change Your Attitude toward Gender Roles	1. Reading graphs & charts 1 2. Reading graphs & charts 2 3. Discussion 4. (Video)
11	Unit 6-1 Be an Intercultural Traveler	1. Brainstorming 2. Word info 1 3. Word info 2 4. Discussion 5. Video
12	Unit 6-2 Be an Intercultural Traveler	1. Reading graphs & charts 1 2. Reading graphs & charts 2 3. Discussion 4. (Video)
13	Unit 15 Engage a Lot More in Globalization	1. Brainstorming 2. Word info 1 3. Word info 2 4. Discussion 5. Video



14 Fall Term-end Examination 教科書、授業で使ったプリントなどから出題する試験・まとめ

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間が標準とされているが、これでは十分とは決して言えない。各々が自分に必要な勉強時間を確保してほしいが、**予習・復習を合わせて最低2時間が必要である**。学生は授業中にはほぼ1回はランダムに当たるので、準備は欠かせない。

**【テキスト（教科書）】**

*Intercultural Awareness CLIL* で培う文化間意識、笹島茂&その他、三修社、2020年、2000円、ISBN:978-4-384-33494-4 C1082 プリント類はその都度教室で配布するか、Hoppi にアップロードされたものは各自プリントアウトして持参すること。

**【参考書】**

これまで使用してきた文法書などを使用してほしい。また、英英辞典の使用を強く推奨する。ウェブ上にある Cambridge Dictionary や、Merriam-Webster Dictionary がお勧めである。

**【成績評価の方法と基準】**

● 平常点：(授業中の受け答え、ペアワークやグループワークへの参加度や課題提出状況):32%

● Reaction Paper の提出 (Hoppi を通じて)  $2 \times 14 = 28\%$

● Mid-term Vocabulary Test : 20%

● Fall Term-end Examination: 20%

単位取得のための最低合格レベル：60%

4回以上欠席した場合には単位取得資格を失う(公欠を除く。)

授業開始時間から15分以上遅れた場合は、遅刻としてカウントし2回で欠席1回とみなす。30分以上遅刻した場合は、出席しても欠席扱いとなる。体調が悪い、通院するなどの場合は事前に教師宛にメールで知らせること。

**【学生の意見等からの気づき】**

1. 新聞や雑誌記事、トピックス関連のビデオなどを適宜授業に取り入れているのは、全体的な理解を深めるとして好評である。また、ディスカッションにおいて英語で自分の意見を相手にわかりやすく説明することを積み重ねていくことで、英語での発表に自信が付き、違った考え方を知る機会になっているという感想を学生から得ている。

2. 授業後に提出を義務付けているリアクション・ペーパーを通じて、学生との意思疎通を図っている。

3. 年間を通じてクラスの席を時折または毎回変更しているの、席が固定化することなく多くのクラスメートと話す機会を得たと高評価を得ている。

**【学生が準備すべき機器他】**

英語の辞書(紙製・電子辞書)

授業中は電子辞書か紙製辞書のみ使用可能で、携帯電話アプリの辞書は、教師が許可した時以外は認めない。

**【その他の重要事項】**

コロナの規制が緩んできたとはいえ、場合によっては zoom によるオンライン授業に切り替える用意がある。

**【Outline (in English)】**

● **Course Outline**

Following the Spring Semester, this course aims to further improve the students' English four skills. Through the textbook, students will be able to gain knowledge and a critical understanding of world politics, law, human rights, culture, religions, sustainability, etc. This will help students improve their vocabulary, and they will be able to obtain knowledge about phenomena by learning about various cultures of the world.

Due to the acceptance of Ukrainian refugees after the Soviet Union's invasion of Ukraine and the increase in the number of foreign technical trainees, Japan's plurilingual and pluricultural awareness is increasing more than ever.

In addition to the textbook, we will use various media such as newspapers, magazines, websites, and videos to help students deepen their understanding and increase their knowledge and vocabulary. Students would be able to summarize their thoughts in English more smoothly.

● **Learning Objectives**

(1) By understanding English texts as they are without translating them into Japanese, students will be able to speed up their reading comprehension and quickly grasp the gist of the text. (2) Students will be able to understand the meaning of sentences accurately, even if they come across unknown words without referring to a dictionary. (3) Students will be able to express their thoughts in English smoothly. (4) Students will be able to deepen their knowledge of international problems and current affairs through cultural issues.

● **Learning activities outside classroom**

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course, but this is by no means sufficient. At least two hours should be devoted to preparation and review. Students are frequently asked to answer questions in class, so preparation is essential.

In addition, **submission of a reaction paper through the Hoppi system is mandatory every time, which will affect the grades. The reaction paper will be used as a communication tool between the student and the teacher. The teacher will check the submission, make any corrections or answer questions and return it to the student as feedback through Hoppi.**

● **Grading Criteria/Policy**

Reaction paper (through the Hoppi system)  $2 \times 14 = 28\%$

In-class participation: 32% (pair work, group work)

Mid-term vocabulary test: 20%

Term-end examination: 20%

**The minimum passing grade: 60%**

**Maximum absences per semester: 4 times**

More than 15 minutes delay will be recorded as a late mark, and two late marks will be counted as one absence. If students have poor health conditions, they must notify the teacher before the class starts.

LANe200LA					
English 3 I	2017 年度以降入学者				
サブタイトル：身近な文化を英語で議論					
猪俣 佳瑞美					
開講時期：春学期授業/Spring   曜日・時限：月 5/Mon.5					
単位数：1 単位					
初級/日本語					
その他属性：					
<b>【授業の概要と目的（何を学ぶか）】</b>					
English1,2 での学びを踏まえ、4 技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。					
<b>【到達目標】</b>					
講義の到達目標は、以下である。 ・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。 ・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。 ・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。 ・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。 ・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。					
<b>【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】</b>					
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1					
<b>【授業の進め方と方法】</b>					
各 Unit を 1 回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。大学の行動方針レベルが 2 となった場合、この授業は原則としてオンデマンド授業（資料型）で行う。詳細は学習支援システムで伝達する。					
<b>【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】</b>					
あり / Yes					
<b>【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】</b>					
なし / No					
<b>【授業計画】</b> 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など	3	Unit 2 Studying in a Café vs. Home	学習を効率的に行う場所として「自宅」と「カフェ」を比較する。テーマに関する意見を英語で聞き、情報を整理した上で、各自の経験や意見をペアやグループで英語で発表する。
2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批評的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。	4	Unit 3 Gakuran vs. Blazer	高校の制服デザインについて考える。代表的なものとして「学ラン」と「ブレザー」を取り上げるが、現代社会における多様性という面からも、制服に求められる社会的役割を各自が考え、英語で意見をまとめる演習を行う。
			5	Unit 4 Coming-of-Age Ceremonies	成人式の必要性について考える。また、海外には日本の「成人式」に該当する行事は無いため、その概要や存在意義を英語で説明できるようにする。最後に、各自の成人式に対する意見交換を英語で行う。
			6	Unit 5 24/7 Convenience Stores	コンビニの 24 時間営業について考える。各学生が 24 時間営業に「賛成」なのか「反対」なのか、各自の立場を明確にした上で、ペアやグループに分かれ、理論的に意見を述べる練習を行う。
			7	Unit 6 Japanese Era Names	「元号」について考える。2019 年 5 月に導入された新元号「令和」。元号が変わる時を体験した学生同士だからこそ可能な、元号の必要性や意義に関する意見を英語で交換したい。また世界でも珍しい「元号」の英語による説明方法も取り上げる。
			8	Unit 7 Point Cards	購入した額によって与えられる「ポイント」や「ポイントカード」について考える。このサービスを受ける側からだけでなく、与える側からも考察し、存在意義を考えたい。身近なトピックであることから、各自が実体験を踏まえ、わかりやすく自分の考えを英語で相手に伝える練習を行う。
			9	Unit 8 Disaster Volunteers	自然災害時のボランティアについて考える。特に「ボランティア」と「報酬」に関する英文を読んだ上で、各自の考えを論理的にまとめ、説得力ある意見にする練習を行う。
			10	Unit 9 Domestic Trip vs. Abroad	「旅行」をテーマに取り上げる。「国内旅行」と「海外旅行」を比較し、10 万円あったら「国内」「海外」どちらを旅行したいか英語で意見を述べ合う。各自、その理由を明確にできるよう、具体的な旅行案も考えた上で授業に参加してほしい。
			11	Unit 10 Studying English Abroad	「留学」をテーマに取り上げる。最近、人気の高いアジア諸国への留学に関する英文を読んだ上で、各自が、語学留学するなら、どこへ行きたいか、その理由などを明確にした上で、意見交換を行う。
			12	プレゼンテーション準備と確認	13、14 回めの講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。

- 13 プレゼンテーション 1 各学生が今までに講義で扱ったトピックから1つを選び、クラス全体に発表する1回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
- 14 プレゼンテーション 2 各学生が今までに講義で扱ったトピックから1つを選び、クラス全体に発表する2回目。  
小テストとまとめ 春学期に扱った語彙を中心とする小テストも実施。学びを総括する。

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定された Unit を事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。

**Listening Dictation** 問題は講義内で行うので予習不要。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

**【テキスト（教科書）】**

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion  
2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020 年 1,900 円（税込 2,090 円）

**【参考書】**

特になし

**【成績評価の方法と基準】**

平常点 40 % 発表 40 % 小テスト 20 % 遅刻は厳禁。授業開始時刻から 30 分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4 回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

**【学生の意見等からの気づき】**

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

**【Outline (in English)】**

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay. Students are required to work outside class on assignments (reading, writing, vocabulary and short reports, etc.) given regularly in class. They are expected to spend more than one hour per week on preparation and review for each class. Grades will be based on the following criteria: participation and performance in classroom activities (40%), final presentation (40%) and short reports (20%).

LANe200LA	
English 3 II	2017 年度以降入学者
サブタイトル：身近な文化を英語で議論	
猪俣 佳瑞美	
開講時期：秋学期授業/Fall   曜日・時限：月 5/Mon.5	
単位数：1 単位	
初級/日本語	
その他属性：	

### 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English1,2 での学びを踏まえ、4 技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。

### 【到達目標】

講義の到達目標は、以下である。

- ・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。
- ・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。
- ・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。
- ・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。
- ・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

### 【授業の進め方と方法】

各 Unit を 1 回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。大学の行動方針レベルが 2 となった場合、この授業は原則としてオンデマンド授業（資料型）で行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

### 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	秋学期スタートにあたって	夏休みにあったことを英語で話す 秋学期の講義進め方確認 次講義の事前学習範囲の確認
2	Unit 11 More Foreign Visitors	インバウンドについて考える。 日本を訪れる外国人観光客に関する英文を読んだ上で、東京オリンピックも踏まえ、各学生が感じていることを英語でまとめ、意見交換する。

3	Unit 12 New Year's Eve Fireworks	「年越しイベントとしての花火大会」の実施を考える。日本では、夏に行われる花火大会だが、海外では大晦日のイベントとして人気が高い。その理由を考えながら、日本文化として花火大会が持つ意味を英語で伝える練習も行う。
4	Unit 13 April Fools'Day in Japan	「エイプリルフール」について考える。海外と日本のエイプリルフールを比較し、日本人の傾向を述べた英文を読んだ上で、各自がエイプリルフールに関して考えていることを英語でまとめ、意見交換を行う。
5	Unit 14 Summer-Vacation Assignments	「夏休みの宿題」について考える。日本の小中学校における夏休みの宿題に関する英文を読んだ上で、各自が自身の体験を踏まえ、その功罪を客観的に分析し、英語での意見交換を行う。
6	Unit 15 Halloween Is Best!	日本で楽しまれている「外国のお祭り」について考える。特に昨今、広く浸透し、時に問題点も指摘されているハロウィーンを取り上げ、各自の意見を理論的にまとめ、意見交換を行う。
7	Unit 16 Valentine's Day in Japan	「日本のバレンタインデー」について考える。海外との習慣の違いなどを踏まえた英文を読んだ上で、日本独自に発展したバレンタインデーを英語で説明できるように練習を行う。最後には、各自のバレンタインデーに対する見解を英語で述べ合う。
8	Unit 17 Smartphone Lock Screens	「スマートフォンのロック」及び「ロック解除方法」について考える。日常で行っている行為を英語で表現するために必要な語彙を増やし、個人情報を守るために必要だと考えていることを英語で伝える練習を行う。
9	Unit 18 YouTube vs. Normal TV	「テレビ番組」と「YouTube」について考える。2つのメディアを比較した英文を読んだ上で、各自がそれぞれのメディアに対して感じていることを述べ合い、それぞれのメディアをどのように利用しているのか情報交換を行う。
10	Unit 19 Internet vs. Bricks-and-Mortar	「買い物」について考える。特にオンラインショップと実店舗を比較した英文を読んだ上で、各自が買い物をするとき重視していることや注意していることなど、身近な内容をわかりやすく英語で説明する練習を行う。
11	Unit 20 Translation Software	「翻訳ソフト」について考える。英語の宿題に翻訳ソフトを使用するべきか否かを取り上げた英文を読んだ上で、各自が立場を明らかにした上で、賛成または反対の意見を客観的に述べ、議論を行う。
12	プレゼンテーション 1	各学生が今までに講義で扱ったトピックから 1 つを選び、クラス全体に発表する 1 回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
13	プレゼンテーション 2	各学生が今までに講義で扱ったトピックから 1 つを選び、クラス全体に発表する 2 回目。

- 14 小テストとまとめ 秋学期に扱った語彙などを中心とする小テストを実施。学びを総括する。

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4

hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定された Unit を事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。

Listening Dictation 問題は講義内で行うので予習不要。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

**【テキスト（教科書）】**

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion 2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020 年 1,900 円（税込 2,090 円）

**【参考書】**

特になし

**【成績評価の方法と基準】**

平常点 40 % 発表 40 % 小テスト 20 % 遅刻は厳禁。授業開始時刻から 30 分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4 回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

**【学生の意見等からの気づき】**

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違いを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

**【Outline (in English)】**

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay. Students are required to work outside class on assignments (reading, writing, vocabulary and short reports, etc.) given regularly in class. They are expected to spend more than one hour per week on preparation and review for each class. Grades will be based on the following criteria: participation and performance in classroom activities (40%), final presentation (40%) and short reports (20%).

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Expanding Your World View Through TED Talks

MARK E FIELD

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

上級／英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using authentic English. To that end, in this course students will spend time using English to learn about new developments in Technology, Entertainment and Design from a number of diverse perspectives.

Students will learn about Current Affairs through various current topics and will incorporate a variety of information about which they will express their opinions. In addition, students will practice the fundamental English skills that are necessary to accomplish the above.

## 【到達目標】

Student will listen to real-world people talk about live changing topics. Then they will develop their speaking confidence with model conversations and speaking tasks.

Students will learn key words, phrases, and grammar structures as they build language and visual literacy skills with real-life information. So they can express their own opinions speaking and in writing, including how to examine content from a critical-thinking perspective.

Students will not only learn about new real-world events, which continue to impact our lives, but also reflect and apply that knowledge while improving themselves and their English skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

As a warm up activity, students will watch a brief segment of a TED Talk and then answer a basic question about the situation described. Vocabulary used in the Talk will be explored followed by listening and speaking activities that expand on the theme. Different target language objectives will be emphasized during each class. For example, when an English text is read, the emphasis will not only be placed on building vocabulary and comprehension, but also classifying facts and opinions and reflecting on content to develop critical thinking. Video presentations will be used to develop vocabulary in context and as basis to inspire spoken communication, and finally written reflection and personalization.

Instructional opportunities will be provided for students to develop their own ideas and expand on the TED Talk themes, discuss, write papers, and time permitting make presentations synthesizing their views on the content studied.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	Course	Explanation of the course topics and classroom methods
2 回	Making a Difference: Listening practice using DVD video	Inspiring Dreams and talking about ways to help others
3 回	Making a Difference: Helping your audience visualize	TED Talk: A Life Lesson from a Volunteer Firefighter
4 回	Making a Difference: Reading on Food Rescue Missions	Speaking activity about people who make a difference, Writing assignment about "Someone who has made a difference in your life"
5 回	Short Presentations:	Students will prepare and give short presentations on "How I Can Make a Difference"
6 回	Trends: Listening practice using DVD video	Analyzing Trends and talking about trends
7 回	Trends: Commenting on Visuals	TED Talk: How to Start a Movement
8 回	Trends: Reading on Identifying Trends	Talking about Consumer Trends, Writing assignment on Making Predictions
9 回	Short Presentations:	Students will prepare and give short presentations on "Current Trend"
10 回	Improving Lives: Listening practice using DVD video	Analyzing Healthcare and talking about cause and effect
11 回	Improving Lives: Opening with Interesting Facts	TED Talk: My Simple Invention, Designed to Keep My Grandfather Safe
12 回	Improving Lives: Reading on the Challenges of Alzheimer's	Speaking activity about Innovative Healthcare Solutions
13 回	Review Session	Comprehensive Review of Vocabulary & Skills
14 回	Final Examination	Examination based on content, vocabulary, and skills Students should have mastered during the semester.

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students will be expected to do some weekly pre-class textbook preparation, and post-class follow-up study with the My Keynote Online website, complete two medium length writing assignments, and prepare and make short individual presentations.

## 【テキスト（教科書）】

Keynote 3 Student Book and Online Workbook, Cengage Learning, Japan. ISBN: 978-1-337-10412-8  
Students should bring an English-Japanese/Japanese-English dictionary (paper or electronic) to every class session, but should always ask the instructor about the meaning of words first before looking in their dictionaries.

## 【参考書】

Keynote 3 Online Workbook  
Material Posted on HOPPII

**【成績評価の方法と基準】**

40% Ongoing Evaluation (Participation, Discussions, Homework, etc.)

20% Short Presentations

40% Final Examination

NOTE: Class attendance is a course requirement. Students who are absent for more than three classes per semester will not receive credit for this course. Students' attendance and tardiness will also affect their final grade in the course.

**【学生の意見等からの気づき】**

No data is currently available since this is the first year the instructor has taught this course. Students are always welcome to make comments and suggestions to improve the class anytime.

**【その他の重要事項】**

Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester. The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary.

**【Outline (in English)】**

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using authentic English. To that end, in this course students will spend time using English to learn about new developments in Technology, Entertainment and Design from a number of diverse perspectives.

Students will learn about Current Affairs through various current topics and will incorporate a variety of information about which they will express their opinions. In addition, students will practice the fundamental English skills that are necessary to accomplish the above.

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Expanding Your World View Through TED Talks

MARK E FIELD

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

上級／英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3-II is a continuation of the English 3-I held the spring semester. In general, English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using authentic English. To that end, in this course students will spend time using English to learn about new developments in Technology, Entertainment and Design from a number of diverse perspectives.

Students will learn about Current Affairs through various current topics and will incorporate a variety of information about which they will express their opinions. In addition, students will practice the fundamental English skills that are necessary to accomplish the above.

## 【到達目標】

Student will listen to real-world people talk about live changing topics. Then they will develop their speaking confidence with model conversations and speaking tasks.

Students will learn key words, phrases, and grammar structures as they build language and visual literacy skills with real-life information. So they can express their own opinions speaking and in writing, including how to examine content from a critical-thinking perspective.

Students will not only learn about new real-world events, which continue to impact our lives, but also reflect and apply that knowledge while improving themselves and their English skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

As a warm up activity, students will watch a brief segment of a TED Talk and then answer a basic question about the situation described. Vocabulary used in the Talk will be explored followed by listening and speaking activities that expand on the theme. Different target language objectives will be emphasized during each class. For example, when an English text is read, the emphasis will not only be placed on building vocabulary and comprehension, but also classifying facts and opinions and reflecting on content to develop critical thinking. Video presentations will be used to develop vocabulary in context and as basis to inspire spoken communication, and finally written reflection and personalization.

Instructional opportunities will be provided for students to develop their own ideas and expand on the TED Talk themes, discuss, write papers, and time permitting make presentations synthesizing their views on the content studied.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	Getting Reacquainted:	Talking about recent experiences and future goals
2 回	Identity: Listening practice using DVD video	Living abroad and words to talk about your identity
3 回	Identity: Using stories to personalize your message	TED Talk: Where is Home?
4 回	Identity: Reading on Global Migration	Speaking activity about about ongoing activities and event, Writing assignment about factors that contribute to your Identity
5 回	Short Presentations:	Students will prepare and give short presentations on “Describing people or places”
6 回	Clear Communication: Listening practice using DVD video	Explaining Communication Styles
7 回	Clear Communication: Engaging Your Audience	TED Talk: Talk Nerdy to Me
8 回	Clear Communication: Reading on Communication in the Digital Age	Talking about communication methods, Writing assignment on how you would run a company
9 回	Short Presentations:	Students will prepare and give short presentations on “Communication and Leadership”
10 回	Wellbeing: Listening practice using DVD video	Analyzing and describing your ideal lifestyle
11 回	Wellbeing: Using Humor	TED Talk: How to Succeed? Get More Sleep!
12 回	Wellbeing Unit 12 Reading on Achieving Work-life Balance	Speaking activity: Debate on work-life balance
13 回	Review Session	Comprehensive Review of Vocabulary & Skills
14 回	Final Examination	Examination based on content, vocabulary, and skills Students should have mastered during the semester.

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students will be expected to do some weekly pre-class textbook preparation, and post-class follow-up study with the My Keynote Online website, complete two medium length writing assignments, and prepare and make short individual presentations.

## 【テキスト（教科書）】

Keynote 3 Student Book and Online Workbook, Cengage Learning, Japan. ISBN: 978-1-337-10412-8

Students should bring an English-Japanese/Japanese-English dictionary (paper or electronic) to every class session, but should always ask the instructor about the meaning of words first before looking in their dictionaries.

## 【参考書】

Keynote 3 Online Workbook



Material Posted on HOPPII

**【成績評価の方法と基準】**

40% Ongoing Evaluation (Participation, Discussions, Homework, etc.)

20% Short Presentations

40% Final Examination

NOTE: Class attendance is a course requirement. Students who are absent for more than three classes per semester will not receive credit for this course. Students' attendance and tardiness will also affect their final grade in the course.

**【学生の意見等からの気づき】**

No data is currently available since this is the first year the instructor has taught this course. Students are always welcome to make comments and suggestions to improve the class anytime.

**【その他の重要事項】**

Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester. The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary.

**【Outline (in English)】**

English 3-II is a continuation of the English 3-I held the spring semester. In general, English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using authentic English. To that end, in this course students will spend time using English to learn about new developments in Technology, Entertainment and Design from a number of diverse perspectives.

Students will learn about Current Affairs through various current topics and will incorporate a variety of information about which they will express their opinions. In addition, students will practice the fundamental English skills that are necessary to accomplish the above.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Speaking English in the global world

URBANOVA JANA

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

上級／英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course focuses on enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment.

## 【到達目標】

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge in discussions, group & pair work and through delivering presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

This course will be conducted entirely in English. Students will develop speaking skills by participating in a variety of activities, such as pair & group work, delivering a presentation and practicing parrotting. They will be given the opportunity to converse on a variety of topics related to each unit and to present their own ideas. There will also be regular listening and reading exercises, as well as writing assignments based on the topics discussed in class.

Comments, feedback, explanations about assignments and answers to questions from students are given at the end of each class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Explanation of course requirements, tasks and goals; Getting to know each other
Week 2	Unit 1 Protectors - Introduction to the topic of endangered animals	Listening and speaking exercise: talking about endangered animals; Grammar explanation and practice: present simple and present continuous
Week 3	Unit 1 Protectors - Expanding on the topic of endangered animals	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Homework: reading with comprehension
Week 4	Unit 2 Family connections - Introduction to the topic	Listening and speaking exercise: talking about family; Grammar used when talking about future plans

Week 5	Unit 2 Family connections - How we are related	Watching video (TED Talk); Vocabulary review; Reading exercise: A passion for genealogy
Week 6	Unit 3 Global stories - Love of books	Interview with a writer; Speaking exercise: talking about books; Grammar: defining relative clauses; Explanation of presentation No. 1 (parrotting)
Week 7	Unit 3 Global stories - Importance of literature	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Writing exercise: writing a book recommendation
Week 8	Presentation No. 1	Students' presentations No. 1: parrotting; Explaining requirements for presentation No. 2
Week 9	Unit 4 Music - Different genres	Listening and speaking: talking about music; Grammar explanation and practice: countable and uncountable nouns
Week 10	Unit 5 Good design - Shapes and colours	Listening and speaking: talking about design; Grammar explanation and practice: prepositions and adverbs of place
Week 11	Presentation No. 2	Students' presentations No. 2 on the chosen book
Week 12	Unit 6 Inspiration - Inspiring people	Speaking exercise: talking about an inspirational person; Grammar explanation and practice: reported speech
Week 13	Unit 6 Inspiration - Your role models	Watching video (TED Talk); Key words; Writing assignment: describing an inspiring person
Week 14	Course wrap up	Final test; Students' feedback;

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

## 【テキスト（教科書）】

David Bohlke and Eunice Yeates: Keynote 2A:Combo Split, Cengage Learning, 2018. ISBN-13: 978-1-337-10894-2

## 【参考書】

English to English dictionary:  
<https://dictionary.cambridge.org/>  
Further references will be provided by the instructor during the class.

## 【成績評価の方法と基準】

Students are expected to actively participate in class, prepare presentations, complete writing assignments and homework and pass the final test.

- Active participation in class: 20%
- Writing assignments, homework and tests: 40%
- Presentations: 40%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

## 【学生の意見等からの気づき】

There are no student comments that would require major changes to the course.

The instructor is always happy to receive feedback on how to make learning more enjoyable and effective.

**【学生が準備すべき機器他】**

● Textbook

● Dictionary (online English-English dictionary will be introduced and used in class)

● Students should also prepare a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.

**【その他の重要事項】**

The content of lessons may differ from the syllabus depending on the needs and language level of the students taking this class.

**【Outline (in English)】**

Enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment.

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Aspects of the English-Speaking World: Art-Based Learning of Social Activism

石原 紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

上級／英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

While exercising the four skills of listening, speaking, reading, and writing in English in an integrated manner, you will be exposed to artistic expressions of social activism in the world. You will learn the language presented in the works as well as the messages conveyed through the activism and its social, historical, and political backgrounds. You will also have a chance to consider the relationship between art and social activism, namely, the role that various forms of art play in maintaining, restoring, regaining, or enhancing social justice in the world.

## 【到達目標】

This course is designed to develop your English proficiency further as you learn about various cultural and social practices of the world. You will also learn to think critically about important issues that surround us today and develop the ability to effectively express your own ideas, feelings, and opinions. The main goal is communication, not translation or accuracy. You will become aware of some issues related to human rights and able to express your ideas and questions about them in English. You will also gain an enhanced understanding of global cultures.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたなどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

In class you will have a chance to appreciate artistic expressions of social messages. You will also be asked to exchange your ideas and feelings and discuss relevant issues in pairs or small groups. You will also give presentations about your chosen humanitarian activist(s). You are encouraged to actively participate in the task/problem-based learning (TBL/PBL) and group work. Oral feedback will be provided in interaction throughout the course. Written feedback will be offered for your reflective writing and class presentations within a week of submission.

This class involves a number of highly interactive activities. Depending on the pandemic situation, class may be delivered through a combination of face-to-face and online instruction. Please check the announcement to be made on Hoppii before the start of the course.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	Course information, getting to know each other
2	Poetry, Marshall Rosenberg	Learning language from poetry, Nonviolent communication

3	Poetry, Mother Teresa	Developing language identities through poetry
4	Poetry or film, Mahatma & Kasturabai Gandhi	Poetry or film for art and social justice
5	Story-telling, H.H. The Dalai Lama	Learning language through narratives
6	Paintings, Nelson Mandela	Language learning and peace
7	Music, Mairead Corrigan McGuire & Bettyn Williams	Learning language through music
8	Music	Social activism through music
9	Children's literature, Chief Joseph	Social justice education in picture books and kamishibai theater
10	Literature, Cesar Chavez	Learning language through literature
11	Novels, Meena Keshwar Kamal	Learning language through literature
12	Film, Danilo Dolci	Learning language through (documentary) film
13	Public speeches, Peter Benson	Learning language through the art of speech
14	Wrap-up	Reflection on the future

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

You must finish assigned reading or listening tasks and other creative assignments before coming to class. As you will be discussing your ideas, reactions, and questions, you are expected to become familiar with the topic of the week and come ready for discussion. Work before and after the class for at least one hour each week.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

Censor, Meera. (2011). Humanitarians for justice, nonviolence, and peace. San Bernadino, California.

Purchase a copy of this textbook in the Sanseido bookstore on campus. Handouts related to the course content may be provided in class. Bring a notebook or loose sheets of paper.

## 【参考書】

Meera Censor website: <https://www.meeracensor.com/>

The Center for Nonviolent Communication: <https://www.cnvc.org/>

Amnesty International: <https://www.amnesty.org/en/>

Amnesty International in Japanese: <https://www.amnesty.or.jp/>

## 【成績評価の方法と基準】

You will receive a formal evaluation of your work at the end of the term. The grade on a late assignment will be lowered. You will be graded on:

- 1) Attendance and participation (20%)\*
- 2) Group presentation (25%)
- 3) Individual presentation (25%)
- 4) Reflective writing (15%)
- 5) Final paper (15%)

\* Regular attendance is essential in order to benefit from the interactive nature of this course. You will not be able to pass this course if you miss more than three class periods a semester except in extreme circumstances.

## 【学生の意見等からの気づき】

Most students have very little opportunity to use English outside of class. In order to maximize the chance, this class will be taught as much as possible in English. It's all right to make mistakes; focus on communication! Participate actively and express your ideas openly.

**【学生が準備すべき機器他】**

Be prepared to use Hoppii, Google Classroom, and Zoom with your university account and check your university email daily. You will need to use a headset with a microphone when you attend class on campus.

**【その他の重要事項】**

この授業では履修者同士のインタラクションを含む活動を数多く行いますので、感染状況など社会情勢により授業形態を柔軟に変更する可能性があります。詳細は授業開始前に授業支援システムにより周知します。

**【Outline (in English)】**

While exercising the four skills of listening, speaking, reading, and writing in English in an integrated manner, you will be exposed to artistic expressions of social activism in the world. You will learn the language presented in the works as well as the messages conveyed through the activism and its social, historical, and political backgrounds. You will also have a chance to consider the relationship between art and social activism, namely, the role that various forms of art play in maintaining, restoring, regaining, or enhancing social justice in the world. Feedback will be provided in interaction throughout the course and for your reflective writing and class presentations within a week of submission. Your work will be assessed through participation, group and individual presentations, and reflective writings.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：English Culture via Reality TV

Robert D. Hinton

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

上級／英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture and society.

## 【到達目標】

The goal of this course is to increase fluency, accuracy and confidence in the areas of speaking, listening, reading and writing. Students will also learn about the inner workings of American businesses and companies from the viewpoint of the workers and their CEOs and how those businesses impact American culture and society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

At the beginning of each class, feedback will be given in the form of written comments on assignments. Each week, students will see "real life" business dealings by way of "Undercover Boss", an American reality show. As they watch, students will complete a listening comprehension worksheet and take notes about different aspects of the company, the workers and the CEO. After each program, students will participate in discussions and do activities related to that specific episode. This class incorporates Active Learning and task based activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introductions, explanations	Information about the course and survey questions
Week 2	The Beginning of Undercover Boss - 7-11	Research 20 interesting facts about 7-11 - group discussion
Week 3	Roto Rooter	Review the Roto Rooter website and a comparable Japanese company - present findings
Week 4	CSI Commerce	Writing about shopping/buying habits
Week 5	Herschend Entertainment	Writing about a favorite entertainment venue
Week 6	Waste Management	Report about an ecological issue
Week 7	Loehman's	Fashion report
Week 8	Menchies	Writing about favorite fast food outlet

Week 9	Alfred Angelo	Unique wedding customs in the world
Week 10	Hudson Group	Design dream vacation
Week 11	Cinnabon	Report about women in business
Week 12	Mohecan Sun	Minority group report
Week 13	Dutch Brother's Coffee	Coffee facts and figures
Week 14	Utah Jazz	Report about a sport

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Each week, students will be asked to prepare for the upcoming class. This will include activities such as: researching a specific topic, brainstorming, writing a report and/or preparing for discussions and presentations.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No text will be used in this course.

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

Weekly homework (40%), classroom participation (40%), and presentations (20%). No more than three absences will be permitted.

【学生の意見等からの気づき】

The instructor appreciates student feedback and alters materials and procedures based on that feedback.

【Outline (in English)】

This course will allow students to play an active role in language learning including activities focused on listening, speaking, reading and writing.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：English Culture via Reality TV

Robert D. Hinton

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

上級／英語

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture and society.

【到達目標】

The goal of this course is to increase fluency, accuracy and confidence in the areas of speaking, listening, reading and writing. Students will also learn about the inner workings of American businesses and companies from the viewpoint of the workers and their CEOs and how those businesses impact American culture and society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

At the beginning of each class, feedback will be given in the form of written comments on assignments. Each week, students will see "real life" business dealings by way of "Undercover Boss", an American reality show. As they watch, students will complete a listening comprehension worksheet and take notes about different aspects of the company, the workers and the CEO. After each program, students will participate in discussions and do activities related to that specific episode. This class incorporates Active Learning and task based activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Summer	An interactive communication activity
Week 2	Baha Fresh	Write a restaurant review/critique
Week 3	Stella and Dot	Discussion of retail outlets
Week 4	Maaco	Discussion of on-line shopping and websites
Week 5	Family Dollar	Dealing with customer service/employee complaints
Week 6	Retro Fitness	Discussion about exercise and health
Week 7	CEO/Owner presentation planning	Group work for CEO or owner presentation
Week 8	Student PowerPoint presentations	Student presentations and note taking sessions
Week 9	Student PowerPoint presentations	Student presentations and note taking sessions

Week 10	Popeye's Louisiana Kitchen	Share research findings of fast food retail outlets - small group discussion
Week 11	Build A Bear	Recalling childhood memories
Week 12	Peavey Electronics	Discussion of Robotics and the future
Week 13	Clean Harbors	Ecology quiz and group brainstorming
Week 14	Club Med	Partner interview sheet - "dream vacation"

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Each week, students will be asked to prepare for the upcoming class. This will include activities such as: researching a specific topic, brainstorming, writing a report and/or preparing for discussions and presentations.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No text will be used in this course.

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

Weekly homework (40%), classroom participation (40%), and presentations (20%). No more than three absences will be permitted.

【学生の意見等からの気づき】

The instructor appreciates student feedback and alters materials and procedures based on that feedback.

【Outline (in English)】

This course will allow students to play an active role in language learning including activities focused on listening, speaking, reading and writing.

LANe200LA	4	Reading Content 1: Consumption and Creating Spectacles	A quiz will be given in this class to test student knowledge on the topic so far. This will be followed by a discussion on aspects which need more clarification.
English 3 I			
サブタイトル: Consumption and Culture in the English Speaking World: Part I			
GENC BURCU	5	Reading Content 2: Spectacular Object and Ecological Crisis	Quiz results will be revealed with correct answers. Following this, second reading article will be covered with an additional emphasis on the already-learned aspects of consumerism.
開講時期: 春学期授業/Spring   曜日・時限: 金 3/Fri.3			
単位数: 1 単位			
上級/英語			
その他属性:			
<b>【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】</b>	6	Reading Content 2: Spectacular Objects and Ecological Crisis of Fashion	Class debate will be done on a given question by drawing ideas and examples from the main reading content assigned for the class.
This is a course aiming to assist students in becoming fluent English speakers by sharing their ideas on cultural and social content popularly discussed in the English speaking world.			
<b>【到達目標】</b>	7	Group Presentations Round 1 Reading Content 2: Spectacular Objects and Ecological Crisis of Wrong "Monotzukuri"	Class will start with presentations. Following this, students will discuss what "monotzukuri" is to develop an in-depth understanding of the reading article. Finally, the article will be summarized. A written homework will be assigned on the main topic of discussion.
In this course, students will read a variety of content-based articles, and readings will be supplemented with listening exercises to help them improve their fluency in English. The classes are designed for pair and group discussions to provide the students with a friendly environment to express themselves in English. Students will also be required to complete some writing tasks such as paragraphs and short essays to express their ideas in a more organized way.			
<b>【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】</b>	8	Reading Content 3: Consumption and Art	To prepare for the second round of group presentations, consumption and Art relation will be discussed. Following this, students will start reading the assigned article and watch some related content to develop deeper perspective on the subject.
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1			
<b>【授業の進め方と方法】</b>	9	Reading Content 3: Consumption and Art	Video content will be revised. Following this, topic will be analyzed in greater detail.
Students will participate in a variety of activities that involve all four skills, but with a special emphasis on reading and speaking. They will be asked to read short articles, and prepare for pair or group discussions. Feedback will be mostly provided during class. Written feedback might also be provided when it is deemed necessary.			
<b>【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】</b>	10	Group Presentations Round 2 Reading Content 4: Spectacular Objects in Art and Art Learning	Class will start with presentations. Following this, last article will be covered with a class discussion on the main topic. Some important terminologies will also be introduced.
あり/Yes			
<b>【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】</b>	11	Reading Content 4: Spectacular Objects in Art and Art Learning	Reading content will be analyzed in greater detail. Students will be provided useful tips and supportive questions to understand the subject in focus. Students will be also reminded that there will be a written quiz in the following class.
なし/No			
<b>【授業計画】</b> 授業形態: 対面/face to face	12	Reading Content 4: Spectacular Objects in Art and Art Learning	Class will start with quiz. Following this, reading content will be revised, and answers of the quiz will be discussed.
回 テーマ 内容			
1 Course orientation Introduction to the notion of consumerism as understood in the English speaking world			
2 Reading Content 1: Consumption and Creating Spectacles	13	Group Presentations Round 3 A Final Review and Discussion on Consumerism	Last group of presenters will complete their presentations. Following this, main topic of the course will be summarized as a discussion session.
To warm up, students will make some discussion on the main topic of the class. They will start reading the assigned article. Important terms and will be introduced and explained.			
3 Reading Content 1: Consumption and Creating Spectacles	14	Final Exam	Final exam of the semester will be conducted
Topic will be analyzed in greater detail. Students will be provided useful tips and supportive questions to understand the subject in focus.			



**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

Students are expected to complete assignments every week in preparation for discussion. The assignments might require research.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

**【テキスト（教科書）】**

No textbook is required. All materials will be provided by the professor.

**【参考書】**

These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.

<https://japantoday.com/>

<https://www.japantimes.co.jp/news/>

<https://www.yahoo.com/news/>

<http://www.bbc.com/news>

<https://news.google.com/news/>

**【成績評価の方法と基準】**

Class participation: 20%

Group Presentation: 30%

Writing assignments: 10%

Final Exam: 40%

More than 3 absences will result in automatic failure of the course.

**【学生の意見等からの気づき】**

Not applicable

**【Outline (in English)】**

In this course, students will improve their confidence and skills in overall English communication while familiarizing themselves with the contemporary cultural and social concerns of the English speaking world.

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Consumption and Culture in the English Speaking World: Part II

GENC BURCU

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

上級／英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is the second part of “Consumption and Culture in the English Speaking World.” The aim of the course is to continue assisting students in becoming fluent English speakers by sharing their ideas on cultural and social content popularly discussed in the West.

## 【到達目標】

In this course, students will read a variety of content-based articles, and readings will be supplemented with listening exercises to help them improve their fluency in English. The classes are designed for pair and group discussions to provide the students with a friendly environment to express themselves in English. Students will also be required to complete some writing tasks such as paragraphs and short essays to express their ideas in a more organized way.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

Students will participate in a variety of activities that involve all four skills, but with a special emphasis on reading and speaking. They will be asked to read short articles, and prepare for pair or group discussions. Feedback will be mostly provided during class. Written feedback might also be provided when it is deemed necessary.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course orientation Discussion Session on the Main Subject	Syllabus introduction & class guidelines.
2	Reading Content 1: Consumption and History	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the class. They will start reading the assigned article.
3	Reading Content 1: Consumption and History	Open-book quiz will be conducted for a deeper analysis of the subject. This will be followed by a class discussion to share ideas and develop understanding.
4	Reading Content 2: History of Architecture and Le Corbusier	New reading material will be covered. Some visuals will be provided for understanding and discussion.

5	Reading Content 2: Consumption of Architecture and “Gemütlich”	A new idea will be introduced to students to deepen perspective regarding architectural forms. Students will be supported with appropriate visual for the purpose.
6	Reading Content 2: Message-Saturated Spatial Forms and Urban Architecture	To prepare for the first round of group presentations, another important aspect will be discussed in relation to the previous class contents and forms commonly observed around us.
7	Reading Content 2: Consumption of Architecture and “Free Plan”	Last important aspect of the article will be discussed. Unforeseen limits of “Free Plan” and reasons behind Le Corbusier’s choice will be the main focus of discussion.
8	Group Presentations Round 1	Class will be spared for mini-presentations. Debate questions will be assigned for the presenters.
9	Reading Content 3: Historical Figures and Biography Publications	Assigned article will be read and examined by means of the questions provided by the teacher. Students will work in pairs first.
10	Reading Content 3: Biography Reading and Consuming the Past	An open-book quiz question will be given to students so that they can map out their ideas on the subject. This will be helpful for the discussion which will follow subsequently in a debate style.
11	Group Presentations Round 2	Class will be spared for mini-presentations. Debate questions will be assigned for presenters.
12	Reading Content 3: History and Narrativization	Students will understand the importance of narrative constructed in autobiography in this class.
13	Group Presentations Round 3 A Final Review and Discussion on Consumerism	Last mini-presentation session will be held. Following this, main topic of the course will be summarized.
14	Final Exam	Final exam of the semester will be conducted

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete assignments every week in preparation for discussion. The assignments might require research.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

## 【テキスト（教科書）】

No textbook is required. All materials will be provided by the professor.

## 【参考書】

Students are required to consult dictionaries and other materials provided by the professor to complete their weekly course preparations.

## 【成績評価の方法と基準】

Class participation: 20%

Group Presentation: 30%

Writing assignments: 10%

Final Exam: 40%

More than 3 absences will result in automatic failure of the course.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable

【Outline (in English)】

In this course, students will improve their confidence and skills in overall English communication while familiarizing themselves with the contemporary cultural and social concerns of the English speaking world.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Modern English for Discussion, Presentation, Debate

Robert Durham

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

上級/英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a Spring semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

## 【到達目標】

Students will learn about cultures & social practices from around the English-speaking world; and will also learn how to explain Japanese culture to English-speaking people in this Global Society. Students will have to learn how to think critically [in-depth] about important Global Issues; and will have to effectively express their own thoughts and opinions in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

Students will be challenged to integrate their skills in English listening, speaking, reading, & writing in an advanced manner, via exposure to authentic English materials such as English News videos & audio, and inspirational video/audio talks (including TED Talks). Students will then be required to practice their English communication skills Online, via pair practice conversations with their classmates & professor. Feedback will be given to students by spoken word, in Real Time, in classes; sometimes via e-mail messages; and also via class Grade.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 回	[All SCHEDULE items are tentative...& might change, depending on class level(s); student abilities; & recent world events.] Introductions, in smoothly, natural, friendly English. News video #1/TED Talk video #1.	Introduction vocabulary; & 'EQ' responses thereto. Students will be asked to express English opinions, re: News video and/or TED Talk #1.
第 2 回	News or TED video #1, part 2: asking students to express active opinions in English.	How to say your own opinions, in English...and how to EXPLAIN them.

第 3 回	Using the Future tense in English, to explain your Golden Week plans.	Active English spoken expressions, re: Golden Week future plans. News video/TED video #2.
第 4 回	Actively explaining your Golden Week activities, in spoken English.	Actively speaking about Golden Week, in spoken English, using the Past Tense. News video/TED Talk #2 (continued).
第 5 回	"How are you?"	Pairwork will be used to practice many, various ways to reply dynamically in English, to questions such as "How's it going?" News video/TED Talk #3, part 1.
第 6 回	Expressing your opinions about Current Affairs News videos/TED Talks, in active, dynamic spoken English.	Pair practice: speaking your opinions about News videos/TED Talks, in active English.
第 7 回	Video documentary or News clips, with questions about it.	Students will learn how to speak their opinions (in English) to classmates, about a Current Affairs topic.
第 8 回	News or TED Talk video #4, part 1.	Pair practice in spoken English, to explain student opinions about the topics raised by the video.
第 9 回	News or TED Talk video #4, part 2.	Explaining, in spoken English, student opinions about the topics in the video.
第 10 回	Use of many different English adjectives, to explain opinions and comments.	Students will explain their opinions about many current topics to classmates, in smooth, Modern English.
第 11 回	News or TED Talk video #5, part 1.	Students will watch the News or TED video clip...and will be asked to discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English.
第 12 回	News or TED Talk video #5, part 2./ Review & practice (for the Exam) of topics studied and discussed during the Spring 2022 semester.	Students will watch the News or TED video clip; will be asked to answer questions about it; and will then discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English./ Review & practice (for the Exam) of topics studied and discussed during the Spring 2022 semester.
第 13 回	Exam (preferably SPEAKING exam), re: topics studied and discussed during the Spring 2022 semester.	Exam (preferably SPEAKING exam), re: topics studied and discussed during the Spring 2022 semester.
第 14 回	Discussion of correct Exam answers...and of students' plans for the Summer Break.	Students will find out exam answers; and will be invited to discuss (in English) their plans for the Summer Break.

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Please do homework well before the deadline [NOT "ichiyazukke"]; please learn to wake up early, and to arrive in class ON TIME [not late]; and please keep a weekly notebook/binder for this class, using pen.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

**【テキスト (教科書)】**

A textbook might be chosen, depending on students levels & requirements. Also, some handouts will be distributed to students. In addition, some News videos & TED Talks may be assigned as in-class or at-home viewing (with questions about those videos).

**【参考書】**

—

**【成績評価の方法と基準】**

Tentatively, grading may depend on in-class responses (approximately 25%); speaking exams spoken replies (approximately 25%); attendance/on-time arrival (approximately 15%); class participation/motivation (20%); and homework (15%).

**\*IMPORTANT: A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE.\***

**【学生の意見等からの気づき】**

—

**【学生が準備すべき機器他】**

Every student should A.S.A.P. set up: a recent PC or Mac computer (with a working Microphone, Camera, and typing Keyboard); a **\*FAST\*** Campus/Home Wi-Fi connection; headphones; an e-mail address that displays your Full Name in ENGLISH characters; and a QUIET place (where the student can study quietly, and can participate in Online realtime audio/video 'chats).

Please bring to each class: a notebook/binder; a black pen; a red pen; an English-Japanese/Japanese-English dictionary [paper or electronic]; an English language LARGE namecard; and a daily planner/schedule book [a 'techo', in Nihongo].

**【その他の重要事項】**

Classes will be ONLINE.

**\* EVERY** e-mail message that you send to your teacher (tonydur2020@gmail.com) **MUST** always contain: your First Name; your Family Name; your School's name; your Student number; your class Day & Period; class Code/Name; today's DATE; and the REASON for your e-mail message.

**\* Please make 100% sure that the recipient of your e-mail messages sees your name displayed in 'Romaji'. (In other words: in his 'INBOX', the teacher should see your name displayed as 'Taro Tanaka' (for example)—NOT in Kanji characters.)**

**\* Please make sure that you have an Internet-enabled COMPUTER (NOT only a Smartphone/Tablet); a real keyboard to type on; headphones/earphones; & FAST, RELIABLE Home or Campus Internet/Wi-Fi. Please upgrade your Home Internet connection, IF your Wi-Fi connection is too slow. (Internet via a Docomo, Au, Softbank phone connection, Cafe, restaurant is NOT fast enough.) We will see/check to see if Zoom or Skype or Google Meet work best for our class. Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed.**

**\* Please find a QUIET place (where each student can study quietly, and can participate in Online realtime audio/video chats).**

**\* Please participate ACTIVELY in class; & speak together with all other students, in class. If you're not sure about how to answer, please speak up and GUESS...instead of reflexively answering "I don't know".**

**\* A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE.\***

**【Outline (in English)】**

This is a Spring semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Modern English for Discussion, Presentation, Conversation, Debate

Robert Durham

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

上級／英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a Fall semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

## 【到達目標】

Students will learn about cultures & social practices from around the English-speaking world; and will also learn how to better explain Japanese culture to English-speaking people in this Global Society. Students will have to learn how to think critically [in-depth] about important Global Issues; and will have to effectively express their own thoughts and opinions in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

Students will be challenged to integrate their skills in English listening, speaking, reading, & writing in an advanced manner, via exposure to authentic English materials such as English News videos & audio, and inspirational video/audio talks (including TED Talks). Students will then be required to practice their English communication skills Online, via pair practice conversations with their classmates & professor. Feedback will be given to students by spoken word, in Real Time, in classes; sometimes via e-mail messages; and also via class Grade.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 回	[All SCHEDULE items are tentative...& might change, depending on class level(s); student abilities; & recent world events/Pandemic issues.] "How was your Summer Break?"[Discussing Summer events in smooth, Modern English, using the English Past tense.] News video #1/TED Talk video #1.	Summer Past Tense practice and vocabulary (a range of adjectives); with 'EQ' responses thereto. Students will be asked to express English opinions, re: News video and/or TED Talk #1.

第 2 回	News or TED video #1, part 2: asking students to express active opinions in English. Students will introduce themselves to each other in modern English, via Online video/audio 'chat'.	How to write and speak your own opinions, in English...and how to EXPLAIN them.
第 3 回	Asking & answering about subway/train directions, in English.	Students will learn and practice how to reply to requests for subway/train directions, in spoken English.
第 4 回	Hallowe'en, part 1: what are Hallowe'en customs; and in what countries has Hallowe'en traditionally been celebrated? [Using the FUTURE Tense, in English.]	Students will be asked to investigate, write down, and discuss Hallowe'en traditions, in English, using the FUTURE Tense.
第 5 回	Hallowe'en, part 2: Using 'would' & 'will'.	Students will pair-practice correct use of 'would' + past tense, & 'will' + future tense, to describe possible Hallowe'en costumes & activities.
第 6 回	News video/TED video #2. Expressing your opinions about Current Affairs News videos, in English.	News/TED Talk #2: students will be asked to say their views/opinions, in active, dynamic spoken English.
第 7 回	News video/TED Talk #2 (continued), with questions about it.	Students will continue to speak their opinions (in English) to classmates, about a Current Affairs topic/TED Talk.
第 8 回	"The Seven W's": (Questions about Who...? /What...? /When...? /Where...? /Why...? /Which...? /How...?)	Students will learn how to verbally ask others, and to reply in smooth English, to questions about "the Seven W's".
第 9 回	Thanksgiving customs (& discussion in English), re: Thanksgiving customs in the U.S.A./Canada.	Students will be asked to suss out traditional Thanksgiving customs in the U.S. & Canada...& to explain them in spoken English.
第 10 回	Thanksgiving (continued); and possibly a video/audio exercise about Thanksgiving.	Students may be asked to answer questions about a video/audio exercise about Thanksgiving...and to pair-practice in spoken English, five things that they are thankful for.
第 11 回	What are your plans for Christmas and OhShoGatsu? Also: English video/song exercise about Christmas.	Pair practice: students will be asked to write down & then practice verbally (in English) their Future plans for Christmas/ OhShoGatsu.

- 第 12 回 Discussing answers to the Christmas video/song exercise...and to Christmas/OhShoGatsu plans. Students will answer video/song questions; and will actively speak about Christmas/OhShoGatsu plans, using polite FUTURE Tense English.
- 第 13 回 Online SPEAKING exam, re: topics studied and discussed during the Fall 2022 semester. Online speaking exam. Students will be asked to reply, in smooth spoken English, to questions about the topics that we learned & practiced in the Fall semester.
- 第 14 回 "How was your OhShoGatsu?" + Students will be asked to speak about their Winter Break plans. Students will speak about their recent OhShoGatsu activities...and about their future Winter Break plans.

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

Please do homework well before the deadline [NOT "ichiyazukke"]; please learn to wake up early, and to arrive in class ON TIME [not late]; and please keep a weekly notebook/binder for this class, using pen.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

**【テキスト（教科書）】**

A textbook might be chosen, depending on students' levels & requirements. Also, some handouts will be distributed to students. In addition, some News videos & TED Talks may be assigned as in-class or at-home viewing (with questions about those videos).

**【参考書】**

—

**【成績評価の方法と基準】**

Tentatively, grading may depend on in-class responses (approximately 25%); speaking exams and spoken replies (approximately 25%); attendance/on-time arrival (approximately 15%); class participation/motivation (20%); and homework (15%).

\*IMPORTANT: A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE.\*

**【学生の意見等からの気づき】**

—

**【学生が準備すべき機器他】**

Every student should A.S.A.P. set up: a recent PC or Mac computer (with a working Microphone, Camera, and typing Keyboard); a \*FAST\* Campus/Home Wi-Fi connection; headphones; an e-mail address that displays your Full Name in ENGLISH characters; and a QUIET place (where the student can study quietly, and can participate in Online realtime audio/video 'chats).

Please bring to each class: a notebook/binder; a black pen; a red pen; an English-Japanese/Japanese-English dictionary [paper or electronic]; an English language LARGE namecard; and a daily planner/schedule book [a 'techo', in Nihongo].

**【その他の重要事項】**

Classes will be ONLINE.

\* EVERY e-mail message that you send to your teacher (tonydur2020@gmail.com) MUST always contain: your First Name; your Family Name; your School's name; your Student number; your class Day & Period; class Code/Name; today's DATE; and the REASON for your e-mail message.

\* Please make 100% sure that the recipient of your e-mail messages sees your name displayed in 'Romaji'. (In other words: in his 'INBOX', the teacher should see your name displayed as 'Taro Tanaka' (for example)—NOT in Kanji characters.)

\* Please make sure that you have an Internet-enabled COMPUTER (NOT only a Smartphone/Tablet); a real keyboard to type on; headphones/earphones; & FAST, RELIABLE Home or Campus Internet/Wi-Fi. Please upgrade your Home Internet connection, IF your Wi-Fi connection is too slow. (Internet via a Docomo, Au, Softbank phone connection, Cafe, restaurant is NOT fast enough.) We will see/check to see if Zoom or Skype or Google Meet work best for our class. Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed.

\* Please find a QUIET place (where each student can study quietly, and can participate in Online realtime audio/video chats).

\* Please participate ACTIVELY in class; & speak together with all other students, in class. If you're not sure about how to answer, please speak up and GUESS...instead of reflexively answering "I don't know".

\* A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. \*

【—】

—

**【Outline (in English)】**

This is a Fall semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：News from the English-Speaking World

川澄 亜岐子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

上級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1 年次に習得した英語の運用能力を用いて、国際語としての英語を学びます。英語圏で報道されるニュースの記事を読むことを通して、世界の文化を理解し、尊重する態度とともに、自文化を相対化し、批判的に分析する力を養います。春学期はとくに、自分の意見を英語でわかりやすく伝えたり、相手の意見を理解したりすることを目指します。

## 【到達目標】

1. 英語で書かれたニュース記事を読み、要点を英語で説明できるようになる。
2. 英語で書かれたニュース記事を読み、自分の意見や考えを英語で説明できるようになる。
3. ニュース形式の教材を視聴し、要点を正確に理解できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業は、講義とグループまたはペアワークを組み合わせて対面形式で行います。提出されたリアクションペーパーや課題は、個別または全体にフィードバックする方法を採ります。授業中に課題を取り組む際は、個別指導の時間をとります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	授業についての説明
2	Getting to know your newspaper (1)	世界の英字新聞を知る
3	Getting to know your newspaper (2)	英字新聞を読む
4	The structure of a newspaper (1)	英字新聞の構成を調べる
5	The structure of a newspaper (2)	ニュースのカテゴリを調べる
6	News story structure (1)	新聞記事の情報を整理する
7	News story structure (2)	新聞記事を要約する
8	Headlines (1)	Headline とは何か
9	Headlines (2)	Headline の規則を知る
10	Headlines (3)	Headline に使われる略語を調べる
11	What make a story news? (1)	何がニュースになるのか
12	What make a story news? (2)	新聞記事を分析する
13	Writing a news story (1)	ニュース記事を書いてみる

14 Writing a news story (2) ニュース記事を編集する

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業は予習を前提に進めます。準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。詳細は、初回授業で説明します。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

## 【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。授業中に資料を配布します。

## 【参考書】

1. BBC Learning English <http://www.bbc.co.uk/learningenglish/>
2. The Flatmates <http://www.bbc.co.uk/worldservice/learningenglish/flatmates/>
3. VOA Learning English <https://learningenglish.voanews.com/>
4. News in Levels <https://www.newsinlevels.com/>
5. CNN 10 <https://edition.cnn.com/cnn10>
6. TED <https://www.ted.com>
7. NPR <https://www.npr.org/>
8. ABC News video <https://abcnews.go.com/Video>
9. CBS 60 Minutes [https://www.cbs.com/shows/60\\_minutes/](https://www.cbs.com/shows/60_minutes/)
10. NHK ワールド TV <https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/ja/world/>
11. NHK ワールド・ラジオ日本 <https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/ja/radio/>

## 【成績評価の方法と基準】

- 平常点 70%

(小テスト 20%、授業中の活動への参加 20%、提出物 30%)

- 学期末課題 30%

\* 4 回以上欠席した場合、原則として単位の取得が認められません。

\* 欠席や早退は 2 回で 1 回の欠席と見なします。

\* 著しい私語や居眠り、授業とは関係のない調べものなど、授業に参加する意欲が見られない場合、出席していても早退/遅刻または欠席と同等に見なすことがあります。

## 【学生の意見等からの気づき】

定期的にニュースをチェックする習慣ができました。受講生同士でニュースを調べたり、話し合ったりするので、いろいろな人の意見を知ることができ、視野が広がります。

## 【Outline (in English)】

In this course, students will read various news stories reported in the English-speaking world. They will be encouraged to express their opinions in English and share them with other students. They will develop critical thinking skills by taking part in activities in class. In the spring semester, students will study the structures of English newspapers.

Through the course, students will be able to:

- catch the main ideas of news articles
- express their opinions in English about topics mentioned in the article
- understand the points of audiovisual materials

Students need to prepare in advance for each lesson. Preparation is designed to take one hour approximately. In addition to preparation, students will be given assignments to review.

Evaluation will be based on Hosei University grading criteria, as follows:

Quiz 20%, participation in class activities 20%, assignment and submission 30%, final assignment 30%



LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：News from the English-Speaking World

川澄 亜岐子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

上級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1 年次に習得した英語の運用能力を用いて、国際語としての英語を学びます。英語圏で報道されるニュースの記事を読むことを通して、世界の文化を理解し、尊重する態度とともに、自文化を相対化し、批判的に分析する力を養います。秋学期は、春学期に学んだことを踏まえううえで、メディアやそれを取り巻く環境についても広く学びます。

## 【到達目標】

1. 英語で書かれたニュース記事を読み、英語で要点を説明したり、自分の意見を論理的な文章でまとめたりすることができるようになる。
2. ニュース形式の教材を視聴し、要点を正確に理解できるようになる。
3. メディアの特性を理解し、ニュース記事を批判的に分析できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業は、講義とグループまたはペアワークを組み合わせて対面形式で行います。提出されたリアクションペーパーや課題は、個別または全体にフィードバックする方法を採ります。授業中に課題を取り組む際は、個別指導の時間をとります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	授業についての説明
2	News Point	新聞記事の「時間」について分析する
3	Media bias (1)	バイアスとは何か？
4	Media bias (2)	新聞記事に見るバイアス：写真の場合
5	Media bias (3)	新聞記事に見るバイアス：文字テキストの場合
6	Opinion articles (1)	社説や読者投稿欄の記事を読む
7	Opinion articles (2)	社会的な問題について自分の意見を考える
8	Opinion articles (3)	社説の記事を分析する
9	Electronic media (1)	さまざまなメディアの特性を知る
10	Electronic media (2)	さまざまなメディアのニュース記事を分析する
11	Journalist's job (1)	ジャーナリズムの仕事について知る
12	Journalist's job (2)	ジャーナリストの仕事に関するテキストを鑑賞する
13	Journalist's job (3)	ジャーナリストの仕事について話し合う
14	Writing an opinion article	社会問題について自分の意見を書く

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業は予習を前提に進めます。準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。詳細は、初回授業で説明します。

## 【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。授業中に資料を配布します。

## 【参考書】

1. BBC Learning English <http://www.bbc.co.uk/learningenglish/>
2. The Flatmates <http://www.bbc.co.uk/worldservice/learningenglish/flatmates/>
3. VOA Learning English <https://learningenglish.voanews.com/>
4. News in Levels <https://www.newsinlevels.com/>
5. CNN 10 <https://edition.cnn.com/cnn10>
6. TED <https://www.ted.com>
7. NPR <https://www.npr.org/>
8. ABC News video <https://abcnews.go.com/Video>
9. CBS 60 Minutes [https://www.cbs.com/shows/60\\_minutes/](https://www.cbs.com/shows/60_minutes/)
10. NHK ワールド TV <https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/ja/world/>
11. NHK ワールド・ラジオ日本 <https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/ja/radio/>

## 【成績評価の方法と基準】

- 平常点 60%

(小テスト 20%、授業中の活動への参加 30%、提出物 10%)

- 学期末課題 40%

\* 4 回以上欠席した場合、原則として単位の取得が認められません。

\* 欠席や早退は 2 回で 1 回の欠席と見なします。

\* 著しい私語や居眠り、授業とは関係のない調べものなど、授業に参加する意欲が見られない場合、出席していても早退/遅刻または欠席と同等に見なすことがあります。

## 【学生の意見等からの気づき】

定期的にニュースをチェックする習慣ができました。受講生同士でニュースを調べたり、話し合ったりするので、いろいろな人の意見を知ることができ、視野が広がります。

## 【Outline (in English)】

In this course, students will read various news stories reported in the English-speaking world. They will be encouraged to express their opinions in English and share them with other students. They will develop their critical thinking skills by taking part in class activities. In the fall semester, the course will cover the features of various medium and journalistic jobs. In this course students will learn to:

- grasp the main ideas of news articles
- express their opinions about news stories in English
- understand the audiovisual materials

Students need to prepare in advance for each week's lesson. Preparation is designed to take approximately one hour. In addition to preparation, students will be given assignments to review.

Evaluation will be based on Hosei University grading criteria, as follows:

Quiz 20%, participation in class activity 30%, assignment and submission 10%, final assignment 40%

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current Issues: Culture, Environment and Politics I

RICHARD WILCOX

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

中級／英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

## 【到達目標】

Media and Culture: Communicating In English To Explain Japan To The World

Students will find this course useful for building their English and academic abilities and broadening their understanding of the world. Topics may include: media and culture; women's empowerment in social and economic life; career goals; modern Japanese culture and subcultures; nature and environment; human health, nutrition and exercise; global economic development and international relations. Students will use graded reader books, journals, a textbook and practical English conversation handouts to improve their communication skills. Tests will include written and oral types and informal and power point presentation formats.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

In Person Class.

Textbook, English Conversation Practice handouts, Written assignments and tests, Journals, Graded Readers, Viewing educational DVDs; Teacher explanations

Handouts:

English Conversation Practice

Excerpts "From Paragraph to Essay"

Research Proposal Outline

Designing Research: Surveys

Designing a Survey Outline

Analyzing Data Outline

Describing Graphs

DVD Discussion Outline

Internet Search Techniques

Speech Outline

Audience Q &amp; A Outline

Presentation Slides

Powerpoint Outline

Presentation Delivery

Presentation Evaluation Form

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Self Introduction; Topic: Physical fitness	Orientation; English Conversation Practice (ECP) Handouts;
2	Asking questions; Topic: Blood types	Graded Reader (GR); ECP Handouts; Text Unit 2
3	Giving opinion; Topic: Dreams	GR; ECP Handouts; Text Unit 3
4	Debating topics; Topic: Speed dating	GR Discussion; Written Test on Textbook
5	Narratives; Topic: Pets in Japan	Return test results; GR 2; ECP Handouts: Unit 5
6	Describing things; Topic: Stress	GR 2; ECP Handouts: Unit 6
7	Ecology; Topic: Listening and taking note_	DVD: Queen of the Sun (30 min.); Discussion
8	Problems and Solutions: Topic: Fast food	GR 2; ECP Handouts; Unit 7
9	Comparisons: Topic: Shopping trends	GR 2; ECP Handouts; Unit 8
10	Discussions; Topic: Women and work	GR 2 Discussion (students hand in final GR reports); ECP Handouts; Text Unit 9
11	Group organization; Topic: Student choice	Return GR reports; Prepare Informal Group Presentation
12	Presentations; Topic: Course related topics	Informal Group Presentations (Individuals present in small groups) Student Q & A
13	Choice of test topics	GR Discussion; Written Test on Textbook
14	Student peer review and feedback	Course Review

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Pre-reading of assignments; completion of textbook homework assignments; preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

No more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed.

## 【テキスト（教科書）】

Life Topics (Advanced)

## 【参考書】

Wilcox Handouts

Google Scholar

Wikipedia

## 【成績評価の方法と基準】

Participation 20%; Written assignments 10%; 2 Written Tests 30%; Informal Group Presentation 20%; Final Individual Powerpoint Presentation 20%;

Students should be aware that no more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed otherwise they will fail the course.

The teacher will respond to questions in class from students or by email. I will check your reports, papers or projects to help you to write better quality work.

## 【学生の意見等からの気づき】

Adjustment to length of devotion to various topics based on student interest

## 【学生が準備すべき機器他】

Bring textbook and notebook and clear folder to keep handouts in class; laptop computers are recommended.

**【その他の重要事項】**

Please arrive at class on time and attend regularly. As noted above, students who are often late or absent will suffer lowering of grades and possibility of class failure.

**【Outline (in English)】**

1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current Issues: Culture, Environment and Politics II

RICHARD WILCOX

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

中級／英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

## 【到達目標】

Media and Culture: Communicating In English To Explain Japan To The World

Students will find this course useful for building their English and academic abilities and broadening their understanding of the world. Topics may include: media and culture; women's empowerment in social and economic life; career goals; modern Japanese culture and subcultures; nature and environment; human health, nutrition and exercise; global economic development and international relations. Students will use graded reader books, journals, a textbook and practical English conversation handouts to improve their communication skills. Tests will include written and oral types and informal and power point presentation formats.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

Textbook, English Conversation Practice handouts, Written assignments and tests, Journals, Graded Readers, Viewing educational DVDs; Teacher explanations

Handouts:

English Conversation Practice

Excerpts "From Paragraph to Essay"

Research Proposal Outline

Designing Research: Surveys

Designing a Survey Outline

Analyzing Data Outline

Describing Graphs

DVD Discussion Outline

Internet Search Techniques

Speech Outline

Audience Q &amp; A Outline

Presentation Slides

Powerpoint Outline

Presentation Delivery

Presentation Evaluation Form

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Self Introduction; Topic: The Internet	Journal; ECP Handouts; Text Unit 9 Women and Work
2	Asking questions; Topic: Kawaii	Journal; ECP Handouts; Text Unit 10 The Internet
3	Giving opinion; Topic: Dressing Casually	Journal; ECP Handouts; Text Unit 11 Kawaii
4	Debating topics: Topic: World happiness	18. ECP Handouts; Unit 12; Homework: Read "Fukushima" DVD transcript; Write report for pages 1 - 4
5	Listening and taking notes 1; Topic: Environment	Watch "Fukushima" (20 min); Discussion; Homework: Write report 5 - 8
6	Observing and taking notes; Topic: Technology	Watch "Fukushima" (21 - 40 min); Discussion; Write report 9 - 11
7	Summarizing Opinions; Topic: Energy issues	Watch "Fukushima" (41 - 60); Discussion; Hand in Fukushima reports
8	Narratives; Topic: The right to die	Journal; ECP Handouts: Unit 13 Same Sex Marriage
9	Describing things; Topic: Pet cloning	Journal; ECP Handouts; Unit 14 World Happiness
10	Choice of test topics	Hand in Journals; Written Test on Textbook
11	Problems and Solutions / Comparisons; Topic: Lecture on powerpoint techniques	Return journals and test results; Prepare Final Individual Powerpoint Presentations
12	Powerpoint presentations	Power Point Presentations (Group 1) Student Q & A
13	Powerpoint presentations	Power Point Presentations (Group 2) Student Q & A
14	Course Review	Course Review

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Pre-reading of assignments; completion of textbook homework assignments; preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

No more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed.

## 【テキスト（教科書）】

Life Topics (Advanced)

## 【参考書】

Wilcox Handouts

Google Scholar

Wikipedia

## 【成績評価の方法と基準】

Participation 20%; Written assignments 10%; 2 Written Tests 30%; Informal Group Presentation 20%; Final Individual Powerpoint Presentation 20%; Students should be aware that no more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed otherwise they will fail the course.

## 【学生の意見等からの気づき】

Adjust lessons according to student interest.

## 【学生が準備すべき機器他】

Bring textbook and notebook and clear folder to keep handouts in class; laptop computers are recommended.

**【その他の重要事項】**

Please arrive at class on time and attend regularly. Students who are often late or absent will suffer lowering of grades and possibility of class failure.

**【Outline (in English)】**

1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Topics in American Culture

MICHAEL F.MURPHY

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

中級／英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. In this course students will spend time using English to learn about American culture from a number of diverse perspectives. Students will learn about American culture through various sources of information and will incorporate a variety of topics about which they will express their opinion. In addition, students will also practice the fundamental English skills necessary to accomplish the above.

## 【到達目標】

Students will read and understand rather simple English texts without relying too much on dictionaries for understanding.

Students will learn to express their own opinion in speaking and writing, including how to examine content from a critical thinking perspective.

Students will not only learn about American culture, which continues to have a large impact on the world, but will also be able to apply that knowledge while improving their English skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたなどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

Warm Up activities will include listening practice from various English websites. Various target language objectives will be emphasized during each class period. For example, while reading from text, an emphasis may be placed on building vocabulary as well as the comprehension of passages. When presentations are the focus, an emphasis will be placed on using the appropriate posture and body language.

In Week 13, comments and explanations are given for assignments, reports and oral dictation quizzes for the classes held to that point.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction to English 3	Course overview: policies, procedures and student expectations.
2	American Food and Wine	Reading and Listening practice using DVD video.
3	American food and wine	Reading and Writing practice using the expressions from the textbook.

4	American Food and Culture.	Listening and Vocabulary Quiz; Preparation for Presentation 1.
5	American Food Culture.	Group presentations 1: Images of American food culture and products; Student reactions.
6	Sports in the United States	Listening and Reading practice from DVD and text.
7	Sports in the United States: Baseball	Reading and Writing practice using expressions from the textbook.
8	Sports in the U.S.	Listening and Vocabulary Quiz 2. Practice and Preparation for Sports Presentations.
9	Sports in the U.S. and Japan	Group Presentations 2: Sports in the U.S. and Japan. Student reactions.
10	The World of Disney	Listening practice from DVD; Reading comprehension from text.
11	The World of Disney	Reading and Writing practice using expressions from the textbook
12	Disney Movies and Gender.	Discussion of how gender is depicted in scenes from Disney movies. Listening and Reading practice from Unit 4.
13	Entertainment: Hollywood, California	Group presentations on chosen topics from Disney and Hollywood entertainment; Student reactions.
14	Term end review.	Review Test on Units 1-4: Listening, Reading and Writing.

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete weekly reading assignments from either the textbook or other supplemental sources as well as doing periodic research on a topic for the following class.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and about an hour a week for a one-credit course.

## 【テキスト（教科書）】

American Dream: Video Reading and Listening in American culture. (Asahi Press, Japan)

## 【参考書】

An English-Japanese/Japanese-English dictionary is highly recommended for each class session. Other supplemental readings and handouts will be provided at the discretion of the instructor.

## 【成績評価の方法と基準】

Grading criteria for this course will be based on the following:  
\*Class participation: 25% (including the timely completion of homework assigned in the previous class.)

Individual and small group presentations: 25%

Oral dictation quizzes, Mid-Term and Final Semester Test: 50%

\*Please note that in principle no more than three absences are permitted throughout the term. Without a valid reason (i.e. medical emergency/family problem) a fourth absence will result in failure for the term.

## 【学生の意見等からの気づき】

N/A

**【Outline (in English)】**

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. In this course students will spend time using English to learn about American culture from a number of diverse perspectives. Students will learn about American culture through various sources of information and will incorporate a variety of topics about which they will express their opinion. In addition, students will also practice the fundamental English skills necessary to accomplish the above.

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Topics in American Culture

MICHAEL F.MURPHY

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

中級／英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 II builds upon the skills and knowledge gained from English 1,2 and the first semester of English 3. It will continue to aim to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. Students will spend time using English to learn about American culture from a number of diverse perspectives. Students will learn about American culture through various sources of information and will incorporate a variety of topics about which they will express their opinion. In addition, students will also practice the fundamental English skills necessary to accomplish the above.

## 【到達目標】

Students will read and understand rather simple English texts without relying too much on dictionaries for understanding. Students will learn to express their own opinion in speaking and writing, including how to examine content from a critical thinking perspective.

Students will not only learn about American culture, which continues to have a large impact on the world, but also be able to apply that knowledge while improving their English skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

Various target language objectives will be emphasized during each class period. For example, while reading from text, an emphasis may be placed on building vocabulary as well as the comprehension of passages. When presentations are the focus, an emphasis will be placed on using the appropriate posture and body language.

In Week 13, comments and explanations are given for all assignments, reports and oral dictation quizzes given during the term.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction to the Fall term.	Review of class policies and procedures; student expectations for Fall term. assignment for next class.
2	Unit 5: The Statue of Liberty.	Reading and Listening practice using DVD video.
3	The Statue of Liberty.	Readings and Writing practice using the expressions from the textbook.
4	The Statue of Liberty	Unit 5 Listening and Vocabulary Quiz. Preparation for first group presentations.

5	The Melting Pot	Group Presentations on the meaning of freedom and student reactions. Introduction to Unit 6.
6	The Melting Pot	Practice reading and listening using the text and DVD video
7	The Melting Pot	Practice reading and writing using the expressions and vocabulary in the textbook.
8	Unit 6 Review	Unit 6: Listening and Vocabulary Quiz; preparation for Presentations
9	Cultural Diversity	Group presentations on chosen topics of culture; student reactions.
10	Jazz, Gospel, Blues and Rock n Roll	Reading and Listening practice using the text and DVD video.
11	Jazz, Gospel, Blues and Rock n Roll	Practice reading and writing using the expressions and vocabulary in the textbook.
12	Cars and Planes	Listening and Vocabulary Quiz on Unit 7; Introduction to Unit 9 Reading and Listening practice using the text and DVD video.
13	Cars and Planes	Final Group presentations on chosen topics from Units 7,8 and 9.
14	Term End Review	Units 5-9 Final Test: Listening, Reading and Writing.

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to come to class fully prepared, having completed any readings, writings or listening tasks assigned from the previous week. This is of utmost importance in order to fully participate in class activities ( see Grading criteria below ) and for the benefit of the class as a whole.

## 【テキスト（教科書）】

American Dream: Video Reading and Listening in American Culture.( Asahi Press, Japan)

## 【参考書】

An English-Japanese/Japanese-English dictionary is highly recommended for each class session. Other supplemental readings will be provided at the discretion of the instructor.

## 【成績評価の方法と基準】

Grading criteria for this course will be based on the following:  
\*Class participation: 25% ( including the timely completion of homework assigned in the previous class)

Presentations: 25%

Oral dictation quizzes, Mid Term and Final semester test: 50%

\*Please be aware that in principle no more than three absences are permitted throughout the term. Without a valid reason ( i.e. medical emergency/ family problem ) a fourth absence will result in a failing grade for the term.

## 【学生の意見等からの気づき】

N/A

## 【Outline (in English)】

This course will continue to aim to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. Students will learn about American culture through various sources of information and will incorporate a variety of topics about which they will express their opinion. In addition, students will also practice the fundamental English skills necessary to accomplish the above.



LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：現代社会の諸相を学ぶ

小田井 勝彦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1 年次に習得した四技能の英語運用能力をさらに伸張し、現代社会の様々なテーマを扱った文章や会話の読解・聴解をすることで、現代社会についての理解を深めて批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を目指します。

【到達目標】

- ・英語でのコミュニケーションに必要な語彙・文法を習得する。
- ・社会問題など高度な内容のディスカッションに必要な英語のリーディング能力を身につける
- ・情報収集に必要な英語のリーディング能力を身につける
- ・私たちが生きる現代社会について理解し、正しい批評態度で英語での発信ができるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各 unit を 2 回のペースで進めていきます。教科書の本文については事前に予習が必要です。授業は教科書に沿って Vocabulary Warm-up、本文の読解、Reading for General Information、Reading for Specific Information、Comprehension Check、Expressing Your Own Ideas の順で進めていきます。随時、話題と関連する動画を視聴したり意見を書くなどリスニングやライティングの演習も行います。授業内で回収した英作文など、中間テストに関しては随時返却し、フィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	教科書、授業の進め方、成績評価について説明
第 2 回	Unit 1 Manga in Malaysia <前半>	マレーシアの漫画ブームについての文章を読みます。
第 3 回	Unit 1 Manga in Malaysia <後半>	前回到引き続き、マレーシアの漫画ブームについての文章を読みます。その後教科書の Exercise、Writing を行ないます。
第 4 回	Unit 2 Hosteling in New Zealand <前半>	ニュージーランドのホステル事情についての文章を読みます。
第 5 回	Unit 2 Hosteling in New Zealand <後半>	前回到引き続き、ニュージーランドのホステル事情についての文章を読みます。その後教科書の Exercise、Writing を行ないます。
第 6 回	Unit 3 Sweden <前半>	デザイン大国スウェーデンについての文章を読みます。

第 7 回	Unit 3 Sweden <後半>	前回到引き続き、デザイン大国スウェーデンについての文章を読みます。その後教科書の Exercise、Writing を行ないます。
第 8 回	中間テスト	unit 1～unit3 を試験範囲とし、試験および解説をします
第 9 回	Unit 4 The Past, Present, and Future of Sakhalin <前半>	サハリンについての記事を読みます。
第 10 回	Unit 4 The Past, Present, and Future of Sakhalin <後半>	前回到引き続き、サハリンについての記事を読みます。その後教科書の Exercise、Writing を行ないます。
第 11 回	Unit 5 Gardens by the Bay <前半>	シンガポールの植物園についての記事を読みます。
第 12 回	Unit 5 Gardens by the Bay <後半>	前回到引き続き、シンガポールの植物園についての記事を読みます。その後教科書の Exercise、Writing を行ないます。
第 13 回	これまでのまとめ	Unit 1～5 の総復習をします。
第 14 回	期末テスト	Unit 4～unit 5 を試験範囲とし、試験・まとめと解説を行ないます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本文に関して、わからない単語は辞書を引き、事前に読んでおくこと。授業後には聞き取れなかった箇所をもう一度聞き直す、文章の解釈を間違えた箇所を再度確認して下さい。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

吉田国子ほか『World Report』（金星堂、2016）

【参考書】

『ジーニアス英和辞典』など学習用英和辞典（電子辞書も可）を各自用意して下さい

【成績評価の方法と基準】

中間テスト 35%、期末テスト 35%、平常点 30%で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

単調な授業とならないように心がけたいと思います

【その他の重要事項】

欠席が 4 回以上の場合には原則単位認定は行わない。

【Outline (in English)】

This class is aimed at improving comprehensive communication skills in This class is aimed at improving English skills acquired in freshmen's courses. Students will read articles and listen to conversations about various aspects of modern society. Through these language activities, students will deepen their understanding of our society and learn to express their opinions critically.

[Learning Objectives]

1. Students can listen to English passages accurately
2. Students can master necessary vocabularies and expressions for listening to English passages.
3. Student understand English grammar.
4. Students get the knowledge about a variety of social problems.

[Learning activities outside of classroom]

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

[Grading Criteria / Policy]

- ・ mid-term test 35%
- ・ term test 35%
- ・ activities in class 30%

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：現代社会の諸相を学ぶ

小田井 勝彦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1 年次に習得した四技能の英語運用能力をさらに伸張し、現代社会の様々なテーマを扱った文章や会話の読解・聴解をすることで、現代社会についての理解を深めて批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を目指します。

## 【到達目標】

- ・英語でのコミュニケーションに必要な語彙・文法を習得する。
- ・社会問題など高度な内容のディスカッションに必要な英語のリーディング能力を身につける
- ・情報収集に必要な英語のリーディング能力を身につける
- ・私たちが生きる現代社会について理解し、正しい批評態度で英語での発信ができるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

各 unit を 2 回のペースで進めていきます。教科書の本文については事前に予習が必要です。授業は教科書に沿って Vocabulary Warm-up、本文の読解、Reading for General Information、Reading for Specific Information、Comprehension Check、Expressing Your Own Ideas の順で進めていきます。随時、話題と関連する動画を視聴したり意見を書くなどリスニングやライティングの演習も行います。

授業内で回収した英作文など、中間テストに関しては随時返却し、フィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	Unit 6 A Jobless Generation < 前半 >	不況にあえぐイタリアの若者たちについての記事を読みます。
第 2 回	Unit 6 A Jobless Generation < 前半 >	前回に引き続き、不況にあえぐイタリアの若者たちについての記事を読みます。その後教科書の Exercise、Writing を行ないます。
第 3 回	Unit 7 Gun Control vs. Gun Rights < 前半 >	アメリカの銃問題についての文章を読みます。
第 4 回	Unit 7 Gun Control vs. Gun Rights < 後半 >	前回に引き続き、アメリカの銃問題についての文章を読みます。その後教科書の Exercise、Writing を行ないます。
第 5 回	Unit 8 The Olympic Games Leave Their Mark on Rio de Janeiro < 前半 >	オリンピックはブラジルの街をどう変えたかについての文章を読みます。

第 6 回 Unit 8 The Olympic Games Leave Their Mark on Rio de Janeiro < 後半 > 前回に引き続き、オリンピックはブラジルの街をどう変えたかについての文章を読みます。その後教科書の Exercise、Writing を行ないます。

第 7 回 中間テスト unit 6～unit8 を試験範囲とし、試験および解説をします

第 8 回 Unit 9 The Sky's the Limit < 前半 > フランクフルトの高層ビル事情についての文章を読みます。

第 9 回 Unit 9 The Sky's the Limit < 後半 > 前回に引き続き、フランクフルトの高層ビル事情についての文章を読みます。その後教科書の Exercise、Writing を行ないます。

第 10 回 Unit 10 Water of Death < 前半 > インド、バングラデシュの水問題についての文章を読みます。

第 11 回 Unit 10 Water of Death < 後半 > 前回に引き続き、インド、バングラデシュの水問題についての文章を読みます。その後教科書の Exercise、Writing を行ないます。

第 12 回 Unit 11 Salzburg and The Sound of Music < 前半 > ザルツブルクの街についての文章を読みます。

第 13 回 Unit 11 Salzburg and The Sound of Music < 後半 > 前回に引き続き、ザルツブルクの街についての文章を読みます。その後教科書の Exercise、Writing を行ないます。

第 14 回 期末テスト Unit 9～unit 11 を試験範囲とし、試験・まとめと解説を行ないます。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本文に関して、わからない単語は辞書を引き、事前に読んでおくこと。授業後には聞き取れなかった箇所をもう一度聞き直す、文章の解釈を間違えた箇所を再度確認して下さい。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

## 【テキスト（教科書）】

吉田国子ほか『World Report』（金星堂、2016）

## 【参考書】

『ジーニアス英和辞典』など学習用英和辞典（電子辞書も可）を各自用意して下さい

## 【成績評価の方法と基準】

中間テスト 35%、期末テスト 35%、平常点 30%で評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

単調な授業とならないように心がけたいと思います

## 【その他の重要事項】

欠席が 4 回以上の場合には原則単位認定は行わない。

## 【Outline (in English)】

This class is aimed at improving English skills acquired in freshmen's courses. Students will read articles and listen to conversations about various aspects of modern society. Through these language activities, students will deepen their understanding of our society and learn to express their opinions critically.

## [Learning Objectives]

1. Students can listen to English passages accurately
2. Students can master necessary vocabularies and expressions for listening to English passages.
3. Student understand English grammar.
4. Students get the knowledge about a variety of social problems.

## [Learning activities outside of classroom]

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

## [Grading Criteria / Policy]

- ・ mid-term test 35%

- term test 35%
- activities in class 30%

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current Issues in the English-Speaking World

佐藤 陽子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 では、English 1 と 2 で学んだことをもとに、様々な英語の素材を批判的に吟味し、それぞれのトピックについて自分の意見を述べる力を養います。具体的には、新聞やニュースに取り上げられた英語圏の時事問題を理解したのち、**group discussion** や **group presentation** の中で自分の意見を英語で表現する練習をします。

## 【到達目標】

- 1) 英語の素材の理解を通して、時事問題、文化、文体、発音、単語などを学びます。
- 2) 関連情報を調べ分析することによって、情報収集能力や素材を批判的に吟味する力をつけます。
- 3) ディスカッションやプレゼンテーションを通して、英語で意見を表現する方法を学びます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

「学習者中心型」の授業で、いわゆる 4 技能 (reading, writing, listening, speaking) を用いたペア、グループ・アクティビティやタスクが中心となります。具体的には、宿題の読み物やオーディオ/ビジュアル・クリップで学んだトピックについて **group discussion** を行い、結果を **group presentation** として発表します。授業の雰囲気は **informal & friendly** です。現在のコロナの感染状況を鑑み、Zoom によるオンラインでの開講となります。課題等のお知らせの配信には HOPPII (授業支援システム) を使いますので、\*法政のメールアドレスに\*通知が届きます。毎回の授業中および授業後のアンケートで質問、意見、トラブルなど遠慮せずに伝えてください。これらおよび宿題や **presentations** へのフィードバックは、授業および HOPPII で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	Introduction, getting to know each other, course descriptions, Q & A	Communicative activities, course descriptions, plans for the semester, homework, Q & A
2	Basics of oral communication, planned speech, understanding Current Issue 1	Show & Tell 1, comprehension check on reading HW on Topic 1, homework, Q & A
3	Vocabulary quiz 1, unplanned speech, basics of group discussion, discussing Current Issue 1 (1)	Vocabulary quiz 1, conversation, group discussion (1) on Topic 1, homework, Q & A

4	Planned speech, Discussing Current Issue 1 (2)	Story of my name, group discussion (2) on Topic 1, homework, Q & A
5	Vocabulary quiz 2, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (3), basics of group presentation (1)	Vocabulary quiz 2, conversation, group discussion (2) on Topic 1, basics of group presentation (1), homework, Q & A
6	Planned speech, basics of group presentation (2), preparing for Presentation 1	Show & Tell 2, basics of group presentation (2), preparation for the group presentation on Topic 1, homework, Q & A
7	Presenting on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1, homework, Q & A
8	Unplanned speech, feedback on Presentation 1, understanding Current Issue 2	Conversation, peer- and teacher feedback on Presentation 1, comprehension check on Topic 2 material, homework, Q & A
9	Vocabulary quiz 3, unplanned speech, discussing Current Issue 2 (1)	Vocabulary quiz 3, conversation, group discussion on Topic 2 (1), homework, Q & A
10	Planned speech, discussing Current Issue 2 (2)	Show & Tell 3, group discussion on Topic 2 (2), homework, Q & A
11	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (3), basics of group presentation (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (3), basics of group presentation (3), homework, Q & A
12	Unplanned speech, basics of group presentation (4), preparing for Presentation 2	Conversation, basics of group presentation (4), preparation for the group presentation on Topic 2, homework, Q & A
13	Presenting on Current Issue 2	Group presentations on Topic 2, homework, Q & A
14	Unplanned speech, feedback on Presentation 2, recap of the semester & student feedback	Conversation, peer- and teacher feedback on presentation 2, recap of the semester, student feedback

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回出される宿題を完璧にこなすこと、単語の豆テストや **discussion** や **presentations** の準備をすることが必須です。宿題に基づくグループワークが主になるので、宿題をしていないと他のメンバーに迷惑をかけることになります。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

市販の教科書はありませんが、英語で書かれた教材（授業のスライドを含む）と関連情報は授業支援システム Hoppii から配信されます。

## 【参考書】

みなさんの英語能力にあった大学生レベルの辞書が必要です。

## 【成績評価の方法と基準】

成績は以下の基準で評価されます。

授業への積極的参加:25%

宿題と単語の豆テスト: 35%

Presentations: 40%

注意事項:授業 4 回分相当をのがした場合は原則として単位取得はできません。また、欠席は予習・宿題をしていない言い訳にはなりません。

**【学生の意見等からの気づき】**

2022 年度も全て Zoom で行いましたが、ペア、グループ・ワークが多い **communicative** な授業だったため、「友達ができた」「クラスを受講している気持ちになれた」「毎週クラスメイトに会えるこの授業が救いになった」という声をいただきました。また、英会話が楽しかった、トピックが興味深かった、**discussion** や **presentation** の練習が非常にためになった、という声も多くいただきました。

**【学生が準備すべき機器他】**

Zoom 授業のため、パソコン (望ましい) か携帯が必要です。また、大学で受講する場合はハウリング防止のため、ヘッドセット (マイク付きイヤホン) が必要です。プレゼンテーションにはスライド (e.g. PowerPoint) が、提出課題にはワープロソフト (e.g. Word) が必要です。授業は静かな環境で受けてください。

**【Outline (in English)】**

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 25%

Homework and quizzes: 40%

Presentations: 35%

Please note that any student who misses the equivalent of more than 3 classes will not pass this course except in extreme circumstances. Please also note that absence does not excuse students from doing homework. When absent, students are also responsible for obtaining information etc by contacting the teacher and/or other students and for coming back to class in the following week with all the preparation done.

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current Issues in the English-Speaking World

佐藤 陽子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3II では、English 3I で学んだことをもとに、様々な英語の素材を批判的に吟味し、それぞれのトピックについて自分の意見を述べる力を養います。具体的には、新聞やニュースに取り上げられた英語圏の時事問題を理解したのち、**group discussion**、**group presentation** そして **essay** の中で自分の意見を英語で表現する練習をします。

## 【到達目標】

- 1) 英語の素材の理解を通して、時事問題、文化、文体、発音、単語などを学びます。
- 2) 関連情報を調べ分析することによって、情報収集能力や素材を批判的に吟味する力をつけます。
- 3) ディスカッション、プレゼンテーション、エッセイ（小論文）を通して、英語で意見を表現する方法を学びます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

「学習者中心型」の授業で、いわゆる 4 技能 (reading, writing, listening, speaking) を用いたペア、グループ・アクティビティやタスクが中心となります。具体的には、宿題の読み物やオーディオ/ビジュアル・クリップで学んだトピックについて **group discussion** を行い、結果を **group presentation** として発表します。授業の雰囲気は **informal & friendly** です。現在のコロナの感染状況を鑑み、Zoom によるオンラインでの開講となります。課題等のお知らせの配信には HOPPII (授業支援システム) を使いますので、\*法政のメールアドレスに\*通知が届きます。毎回の授業中および授業後のアンケートで質問、意見、トラブルなど遠慮せずに伝えてください。これらおよび宿題や **presentations** へのフィードバックは、授業および HOPPII で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	Welcome back, plans for the semester	Communicative activities, plans for the semester, homework, Q & A
2	Planned speech 1, understanding Current Issue 1	Show & Tell 1, comprehension check on reading material on Topic 1, homework, Q & A
3	Vocabulary quiz 1, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (1), basics of essay writing (1)	Vocabulary quiz 1, conversation, group discussion (1) on Topic 1, basics of essay writing (1)
4	Vocabulary quiz 2, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (2), basics of essay writing (2)	Vocabulary quiz 2, conversation, group discussion (2) on Topic 1, basics of essay writing (2), homework, Q & A

5	Planned speech, discussing Current Issue 1 (3), preparing for Presentation 1	Show & Tell 2, group discussion (2) on Topic 1, preparation for the group presentation on Topic 1, homework, Q & A
6	Presenting on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1, homework, Q & A
7	Unplanned speech, feedback on Presentation 1, brainstorming on Current Issue 2	Conversation, peer- and teacher feedback on presentation 1, 2, brainstorming on Topic 2, homework, Q & A
8	Planned speech, discussing Current Issue 2 (1)	Show & Tell 3, group discussion on Topic 2 (1), homework, Q & A
9	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (2), basics of essay writing (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (2), basics of essay writing (3), homework, Q & A
10	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (3), homework, Q & A
11	Unplanned speech, preparing for Presentation 2	Conversation, preparation for the group presentation on Topic 2, homework, Q & A
12	Presenting on Current Issue 2	Group presentations on Topic 2, homework, Q & A
13	Feedback on Presentation 2, discussing essay drafts	Peer- and teacher feedback on presentation 2, share & discuss essay drafts, homework, Q & A
14	Unplanned speech, discussing essay drafts, recap of the semester, student feedback	Conversation, discuss essay drafts, recap of the semester, student feedback, homework, Q & A

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回出される宿題を完璧にこなすこと、単語の豆テストや **discussion** や **presentations** の準備をすることが必須です。宿題に基づくグループワークが主になるので、宿題をしていないと他のメンバーに迷惑をかけることになります。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

市販の教科書はありませんが、英語で書かれた教材（授業のスライドを含む）と関連情報は授業支援システム Hoppii から配信されます。

## 【参考書】

みなさんの英語能力にあった大学生レベルの辞書が必要です。

## 【成績評価の方法と基準】

成績は以下の基準で評価されます。

授業への積極的参加: 25%

宿題と単語の豆テスト: 35%

Presentations & an essay: 40%

注意事項: 授業 4 回分相当のものがした場合は原則として単位取得はできません。また、欠席は予習・宿題をしていない言い訳にはなりません。

## 【学生の意見等からの気づき】

2022 年度も全て Zoom で行いましたが、ペア、グループ・ワークが多い **communicative** な授業だったため、「友達ができた」「クラスを受講している気持ちになれた」「毎週クラスメイトに会えるこの授業が救いになった」という声をいただきました。また、トピックが興味深かった、**essay writing** が非常にためになった、という声も多くいただきました。

## 【学生が準備すべき機器他】

Zoom 授業のため、パソコン (望ましい) が携帯が必要です。また、大学で受講する場合はハウリング防止のため、ヘッドセット (マイク付きイヤホン) が必要です。プレゼンテーションにはスライド (e.g. PowerPoint) が、提出課題にはワープロソフト (e.g. Word) が必要です。静かな環境で受講してください。

**【Outline (in English)】**

This course builds upon the skills and knowledge gained from English 3 I, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 25%

Homework and quizzes: 40%

Presentations: 35%

Please note that any student who misses the equivalent of more than 3 classes will not pass this course except in extreme circumstances. Please also note that absence does not excuse students from doing homework. When absent, students are also responsible for obtaining information etc by contacting the teacher and/or other students and for coming back to class in the following week with all the preparation done.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：世界の中の日本

今井 澄子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English1 および 2 で習得した英語運用能力である読む、書く、聴く、話すの四技能を使い、国際語である英語を通じて日本文化を世界的文脈の中で相対化し、英語資料を理解して批判的に分析したうえで英語による意見の発信ができる能力を養成する。

## 【到達目標】

- ・英語資料により世界における日本文化受容について理解を持つ
- ・日本文化に関する一般の英文を読み、コメントを英語で書く
- ・日本文化に関するアカデミックな英文を精読し、読解力を上げる
- ・日本に関する語彙の知識により英語の聴解力を上げる
- ・大学レベルのアカデミック・スキル (Writing, Presentation) を身につける
- ・Oxford English Dictionary をデータベースとして使えるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業始めにリスニング小テスト、その後 DVD 視聴または英文読解、学習内容に関するコメントを英語で書いて提出、添削して返却する。DVD 視聴のないときは英文読解を行い、音読・日本語訳等が課される。今期は日本文化の世界での受容をテーマとするため、Oxford English Dictionary 見出し語となった日本語を調べ、英語プレゼンテーションを行うので、学内 PC による辞書検索、Writing、Presentation が課される。これら課題のうち、リスニング、ディクテーション、DVD および英文理解に関わる課題は授業内で解答する。プレゼンテーション原稿 Writing は添削指導、終了後にスライド、Speaking 音声（単語の発音、アクセント、イントネーション）、元にした OED データ等について、各自にコメントしてフィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	世界の日本文化受容 OED 採録の日本語	授業内容や課題の説明 データベース OED 利用案内
第 2 回	世界の中の日本文化 (Office) Long-Established Business *( ) 内は Listening 小 テストテーマ	(Listening 小テスト 1) Unit 1 DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 3 回	世界の中の日本文化 (Restaurant) Uniforms and Identity	(Listening 小テスト 2) Unit 2 DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 4 回	世界の中の日本文化 (Department Store) Volunteer Work and Helping Others	(Listening 小テスト 3) Unit 3 DVD 視聴 Short Reading Comment writing

第 5 回	世界の中の日本文化 (Airport) High-Tech Living [Automobiles]	(Listening 小テスト 4) Unit 4 DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 6 回	世界の中の日本文化 (Bank) Japanese Tableware	(Listening 小テスト 5) Unit 5 DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 7 回	世界の中の日本文化 (Duty-free Shop) Homemakers of Japan	(Listening 小テスト 6) Unit 6 DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 8 回	世界の中の日本文化 (Travel) Voice Actors	(Listening 小テスト 7) Unit 7 DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 9 回	日本社会と文化 (Rent-a-Car) Approaches to the Japanese History	(Listening 小テスト 8) Reading Essay R.J.Davis. Japanese Culture の 記事
第 10 回	日本文化の背景 (Fitness Center) 日本文学作品の英語訳	(Listening 小テスト 9) Reading Essay 英語版冒頭部分を読み、原作日本語と比較
第 11 回	日本文化の背景 (Job Training) Lonely Planet	(Listening 小テスト 10) Reading Essay 3 Ch.Rawthorn. Japan: Understand Japan の記事
第 12 回	Writing 試験	Presentation の原稿 Writing
第 13 回	Presentation 試験	OED にある日本語の英語説明
第 14 回	期末試験	試験・まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。  
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.  
テキストの音声は Web ストリーミングで視聴可能。Part I と II があるが、テキストには II のスクリプトしかないため I については Dictation 用の冊子を配布する。授業では Dictation と要所の説明を行い、スクリプトの和訳も一部取り入れるため、より理解するには予め目を通してくとよい。Reading は速読用の比較的易しいものから Web 上の記事、学術文などさまざまなものを用意する。内容や英文の質の高度なものを扱うときは、自宅での十分な予習が必要。また、Writing や Presentation に用いる Oxford English Dictionary を調べた資料は期日までに必ず準備する。準備できていないと授業中に Writing、Presentation が行えず、試験未受験扱いとなる。Listening 小テストは準備の必要なし。

## 【テキスト（教科書）】

Discovering Cool Japan (2019). 成美堂 (Part I の Dictation 用スクリプトはコピー冊子を配布)  
Listening Promoter for the TOEIC® Test. 成美堂  
Reading 教材はコピーを配布。

## 【参考書】

Oxford English Dictionary.  
R.J. Davies. Japanese Culture: The Religious and Philosophical Foundations. 2016.  
<https://blogs.wsj.com/japanrealtime/>  
<https://www.japantimes.co.jp/>  
<https://www.bbc.co.uk/>  
<https://edition.cnn.com/>



**【成績評価の方法と基準】**

期末試験 60%、平常点 40%。平常点は授業参加度 10%、リスニング小テスト平均点 10%、Writing・Presentation・Speaking10%、その他授業内での課題 10%が原則。よって、評価点は試験 60 点、平常点 40 点の合計 100 点で、60 %以上の得点で合格。授業初めのリスニング小テスト終了後は遅刻と認めず欠席とし、リスニング小テストも 0 点となる。学期末の Presentation、原稿作成 Writing は授業内試験として扱い、単位取得に必須。このほか授業中の課題を遂行しない、あらかじめ割り当てられた担当課題があるのに無断欠席などは評価点がマイナスされる。授業では全員が担当をこなすため出席状況の良いことが必須で、欠席 4 回以上の者は原則として単位修得の資格を失う。

**【学生の意見等からの気づき】**

試みに日本文学英訳冒頭部分と原作日本語を比較する課題を取り入れたところも好評だった。今年度はさらにバージョンアップした教材を作成し、同様に実施したい。

**【学生が準備すべき機器他】**

英和辞書。

**【Outline (in English)】**

This class aims to provide students with further opportunities to improve their English proficiency acquired in English 1 and 2 classes. Students will read, write, hear and speak about various topics of Japan, especially Japanese culture in the world in English in order fully to have an academic skill. The spring semester focuses on understanding how Japan and Japanese culture are recognized, accepted, or sometimes criticized in the world. The various reading and listening materials can give students a lot of information, and based on these, they try to write a comment or speak his/her opinion in English. To see the acceptance of Japanese culture, students will look into an entry of Japanese words in Oxford English Dictionary. Analyzing the definition and quotations of these words contributes to students' understanding Japanese culture. Concerning the class procedure, students take a listening test at the beginning, try to read a short English passage and write a comment after watching DVD. They also read an English essay on the background of Japanese culture and characteristics in class. It is essential for students to take three kinds of exams — writing, presentation, and final reading & listening. The required study time is at least one hour for each class meeting. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant part from the text. However, they need not to prepare for the listening-mini test and all the writing tasks are performed only in class. Every student's overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60%, mini-listening test average score 10%, writing & presentation score 10%, and in class contribution 20%.

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：世界の中の日本

今井 澄子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English1 および 2 で習得した英語運用能力である読む、書く、聴く、話すの四技能を使い、国際語である英語を通じて日本文化を世界的文脈の中で相対化し、英語資料を理解して批判的に分析したうえで英語による意見の発信ができる能力を養成する。

## 【到達目標】

- ・英語資料により世界における日本文化受容について理解を持つ
- ・日本文化に関する一般の英文を読み、コメントを英語で書く
- ・日本文化に関するアカデミックな英文を精読し、読解力を上げる
- ・日本に関する語彙の知識により英語の聴解力を上げる
- ・大学レベルのアカデミック・スキル (Writing, Presentation) を身につける
- ・Oxford English Dictionary をデータベースとして使えるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業始めにリスニング小テスト、その後 DVD 視聴または英文読解、学習内容に関するコメントを英語で書いて提出、添削して返却する。DVD 視聴のないときは英文読解を行い、音読・日本語訳等が課される。今期は日本文化の世界での受容をテーマとするため、Oxford English Dictionary 見出し語となった日本語を調べ、英語プレゼンテーションを行うので、学内 PC による辞書検索、Writing、Presentation が課される。これら課題のうち、リスニング、ディクテーション、DVD および英文理解に関わる課題は授業内で解答する。プレゼンテーション原稿 Writing は添削指導、終了後にスライド、Speaking 音声 (単語の発音、アクセント、イントネーション)、元にした OED データ等について、各自にコメントしてフィードバックする。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	世界の中の日本文化 (Business Trip) Seafood-Japanese Cuisine	(Listening 小テスト 1) Unit 8 DVD 視聴 Short Reading Comment writing
	*( ) 内は Listening 小テストテーマ	
第 2 回	世界の中の日本文化 (Vacation) Japanized Foreign Dishes	(Listening 小テスト 2) Unit 9 DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 3 回	世界の中の日本文化 (Pay) Bag-Culture	(Listening 小テスト 3) Unit10DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 4 回	世界の中の日本文化 (Exhibition) Senior Citizens [Medical Checkups]	(Listening 小テスト 4) Unit11DVD 視聴 Short Reading Comment writing

第 5 回	世界の中の日本文化 (Shopping) Money	(Listening 小テスト 5) Unit12DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 6 回	世界の中の日本文化 (Hospital) Zodiac	(Listening 小テスト 6) Unit13DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 7 回	日本人とは何か (Train Station) What is a Japanese?	(Listening 小テスト 7) Reading Essay 1 R. Pulvers. Delighting in Cultures の記事
第 8 回	現代日本に残るサムライ (Presentation) Samurai Spirit	(Listening 小テスト 8) Reading Essay 2 Wall Street Journal の記事
第 9 回	Inbound Japan (Lecture) 英語で説明する日本史	(Listening 小テスト 9) Reading Essay 3 日本史の主要事項について説明する英文読解
第 10 回	Outbound Japan (Contract) 英文世界史に登場する日本史	(Listening 小テスト 10) Reading Essay 4 英語で書かれた世界史の中の日本についての記述を読む
第 11 回	日本語を英語にする方法 引用元表記のしかた	英語における外来語表記 外来語 + 言い換え MLA または APA による参考文献
第 12 回	Writing 試験	Presentation の原稿 Writing
第 13 回	Presentation 試験	日本史の事象を英語で説明
第 14 回	期末試験	試験・まとめと解説

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。  
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

テキストの音声は Web ストリーミングで視聴可能。PartI と II があるが、テキストには II のスクリプトしかないため I については Dictation 用の冊子を配布する。授業では Dictation と要所の説明を行い、スクリプトの和訳も一部取り入れるため、より理解するには予め目を通してとよい。Reading は速読用の比較的易しいものから Web 上の記事、学術文などさまざまなものを用意する。内容や英文の質の高度なものを扱うときは、自宅での十分な予習が必要。また、Writing や Presentation に用いる資料は期日までに必ず準備する。準備できていないと授業中に Writing、Presentation が行えず、試験未受験扱いとなる。Listening 小テストは準備の必要なし。

## 【テキスト (教科書)】

Discovering Cool Japan (2019). 成美堂 (PartI の Dictation 用スクリプトはコピー冊子を配布)

Listening Promoter for the TOEIC® Test. 成美堂

Reading 教材はコピーを配布。

## 【参考書】

Oxford English Dictionary.

R.J.Davies & Osamu Ikeno. The Japanese Mind: Understanding Contemporary Japanese Culture. 2002.

<https://blogs.wsj.com/japanrealtime/>

<https://www.japantimes.co.jp/>

<https://www.bbc.co.uk/>

<https://edition.cnn.com/>

Vardaman, James M. Japanese History in Simple English. 2015.

Hashiba, Yuzuru et al. World History for High School. 2019.

**【成績評価の方法と基準】**

期末試験 60%、平常点 40%。平常点は授業参加度 10%、リスニング小テスト平均点 10%、Writing・Presentation・Speaking10%、その他授業内での課題 10%が原則。よって、評価点は試験 60 点、平常点 40 点の合計 100 点で、60 %以上の得点で合格。授業初めのリスニング小テスト終了後は遅刻と認めず欠席とし、リスニング小テストも 0 点となる。学期末の Presentation、原稿作成 Writing は授業内試験として扱い、単位取得に必須。このほか授業中の課題を遂行しない、あらかじめ割り当てられた担当課題があるのに無断欠席などは評価点がマイナスされる。授業では全員が担当をこなすため出席状況の良いことが必須で、欠席 4 回以上の者は原則として単位修得の資格を失う。

**【学生の意見等からの気づき】**

日本史の主要事象が英語でどう説明され、世界史の中ではどう位置付けられているかを調べる課題を取り入れたところ好評だった。今年度も同様に実施したい。

**【学生が準備すべき機器他】**

英和辞書

**【Outline (in English)】**

This class aims to provide students with further opportunities to improve their English proficiency acquired in English 1 and 2 classes. Students will read, write, hear and speak about various topics of Japan, especially Japanese culture in the world in English in order fully to have an academic skill. The spring semester focuses on understanding how Japan and Japanese culture are recognized, accepted, or sometimes criticized in the world. The various reading and listening materials can give students a lot of information, and based on these, they try to write a comment or speak his/her opinion in English. To see the acceptance of Japanese culture, students will look into an entry of Japanese words in Oxford English Dictionary. Analyzing the definition and quotations of these words contributes to students' understanding Japanese culture. Concerning the class procedure, students take a listening test at the beginning, try to read a short English passage and write a comment after watching DVD. They also read an English essay on the background of Japanese culture and characteristics in class. It is essential for students to take three kinds of exams — writing, presentation, and final reading & listening. The required study time is at least one hour for each class meeting. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant part from the text. However, they need not to prepare for the listening-mini test and all the writing tasks are performed only in class. Every student's overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60%, mini-listening test average score 10%, writing & presentation score 10%, and in class contribution 20%.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：世界の中の日本

井上 紗央里

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

国内企業のグローバル化に着目した英文記事の読解を通して、国内、国際社会への意識を高め、自分の意見を英語でアウトプットすることを目標とします。

## 【到達目標】

1. ディクテーションやシャドーイングを通じて英語の音声に慣れリスニング力を強化する。
2. 英文記事の読解を通して英語の文法、語彙を強化する。
3. 日本の社会、特に国内企業のグローバル化への取り組みについての理解を深め、自分の意見を英語でアウトプットできるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

テキスト Global Leadership (金星堂) を使用し、テキスト内の演習問題、英文読解、リスニングのディクテーション、リアクションペーパーの作成を行います。春学期はテキストの奇数 Unit を使用します。授業では予習箇所について学生を指名し発言を求めます。各ユニットごとにテキスト内の演習問題を授業内課題として出題します。フィードバックは授業内での解説や授業支援システム (Hoppii)、E-mail を使用して行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション、Case 1 ① プレ授業	授業の説明、Unit 1 のプレ授業、受講生同士での簡単な自己紹介
2	Case 1 ②	Case 1 の Reading, Listening, Assignment
3	Case 3 ①	Case 3 の vocabulary, Reading 前半
4	Case 3 ②, Case 5 ①	Case 3 の Reading 後半, Listening, Assignment, Case 5 の Vocabulary, Reading 前半
5	Case 5 ②	Case 5 の Reading 後半, Listening, Assignment
6	Case 7 ①	Case 7 の vocabulary, Reading 前半
7	Case 7 ②, Case 9 ①	Case 7 の Reading 後半, Listening, Assignment, Case 9 の Vocabulary, Reading 前半
8	Case 9 ②	Case 9 の Reading 後半, Listening, Assignment
9	Case 11 ①	Case 11 の vocabulary, Reading 前半
10	Case 11 ②, Case 13 ①	Case 11 の Reading 後半, Listening, Assignment, Case 13 の Vocabulary, Reading 前半
11	Case 13 ②	Case 12 の Reading 後半, Listening, Assignment

12	Case 15 ①	Case 15 の Vocabulary, Reading 前半
13	Case 15 ②	Case 15 の Reading 後半, Listening, Assignment
14	最終試験とまとめ	第 1 回から第 13 回までの授業を試験範囲として最終試験を実施。全体のまとめ。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に指定したテキストの演習問題を解き、Reading の英文を読んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

Global Leadership - 2nd Revised Edition, Case Studies of Business Leaders in Japan 「ビジネスケースで学ぶグローバル人材の条件 [改訂第 2 版]」著者 中谷安男 / Ryan Smithers (金星堂 2022) 1900 円 (+税) ISBN: 978-4-7647-4154-6

## 【参考書】

特になし

## 【成績評価の方法と基準】

授業内試験 50 %、平常点（予習、授業内での発言などの貢献度、課題提出）50 % で評価します。欠席回数が 4 回を超えた学生は単位認定の資格を失います。遅刻、早退も減点対象となります。

## 【学生の意見等からの気づき】

英語で自分の意見をアウトプットする時間を多く作りたいと思います。

## 【学生が準備すべき機器他】

授業連絡、課題の出題、フィードバック等はすべて学習支援システムを通じて行います。課題提出の際に PC、タブレット PC、スマートフォン等インターネットに接続できるデバイスが必要です。

## 【Outline (in English)】

The aim of this course is to improve students' reading, writing, and listening skills through reading current affairs in English. At the end of the course, participants are expected to acquire basic English skills and enlarge knowledge of current events. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting. Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination (50%), In-class contribution and assignment submissions (50%).

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：世界の中の日本

井上 紗央里

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

国内企業のグローバル化に着目した英文記事の読解を通して、国内、国際社会への意識を高め、自分の意見を英語でアウトプットすることを目標とします。

【到達目標】

1. ディクテーションやシャドーイングを通じて英語の音声に慣れリスニング力を強化する。
2. 英文記事の読解を通して英語の文法、語彙を強化する。
3. 日本の社会、特に国内企業のグローバル化への取り組みについての理解を深め、自分の意見を英語でアウトプットできるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

指定テキスト Global Leadership (金星堂) を使用し、テキスト内の演習問題、英文読解、リスニングのディクテーション、リアクションペーパーの作成を行います。秋学期はテキストの偶数 Unit を使用します。授業では予習箇所について学生を指名し発言を求めます。各ユニットごとにテキスト内の演習問題を授業内課題として出題します。フィードバックは授業内での解説や授業支援システム (Hoppii)、E-mail を使用して行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション, Case 2 ① プレ授業	授業の説明、Unit 2 のプレ授業、受講生同士での簡単な自己紹介
2	Case 2 ②	Case 2 の Reading, Listening, Assignment
3	Case 4 ①	Case 4 の vocabulary, Reading 前半
4	Case 4 ②	Case 4 の Reading 後半, Listening, Assignment
5	Case 6 ①	Case 6 の vocabulary, Reading 前半
6	Case 6 ②	Case 6 の Reading 後半, Listening, Assignment
7	Case 8 ①	Case 8 の vocabulary, Reading 前半
8	Case 8 ②	Case 8 の Reading 後半, Listening, Assignment
9	Case 10 ①	Case 10 の vocabulary, Reading 前半
10	Case 10 ②	Case 10 の Reading 後半, Listening, Assignment
11	Case 12 ①	Case 12 の vocabulary, Reading 前半
12	Case 12 ② Case 14 ①	Case 12 の Reading 後半, Listening, Assignment. Case 14 の Vocabulary, Reading 前半

13	Case 14 ②	Case 14 の Reading 後半, Listening, Assignment
14	最終試験とまとめ	第 1 回から第 13 回までの授業を試験範囲として最終試験を実施。全体のまとめ。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に指定したテキストの演習問題を解き、Reading の英文を読んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Global Leadership – 2nd Revised Edition, Case Studies of Business Leaders in Japan 「ビジネスケースで学ぶグローバル人材の条件 [改訂第 2 版]」著者 中谷安男 / Ryan Smithers (金星堂 2022) 1900 円 (+税) ISBN: 978-4-7647-4154-6

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

授業内試験 50 %、平常点（予習、授業内での発言などの貢献度、課題提出）50 % で評価します。欠席回数が 4 回を超えた場合単位認定の資格を失います。遅刻、早退も減点対象となります。

【学生の意見等からの気づき】

英語で意見をアウトプットする機会を増やしたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

授業連絡、課題の出題、フィードバック等はすべて学習支援システムを通じて行います。課題提出の際に PC、タブレット PC、スマートフォン等インターネットに接続できるデバイスが必要です。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to improve students' reading, writing, and listening skills through reading current affairs in English. At the end of the course, participants are expected to acquire basic English skills and enlarge knowledge of current events. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting. Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination (50%), In-class contribution and assignment submissions (50%).

<p>LANe200LA</p> <p>English 3 I</p> <p>サブタイトル：Aspects of the English Speaking World</p> <p>TOBY TRAUB</p> <p>開講時期：春学期授業/Spring   曜日・時限：金 3/Fri.3 単位数：1 単位 中級／英語 その他属性：</p>	4	The Way we Live Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.												
<p>【授業の概要と目的（何を学ぶか）】 Learning English for communicating in a global society.</p> <p>【到達目標】 This course is designed to develop language skills necessary for students to express themselves in English. The emphasis is on oral communication, and we will practice listening and speaking skills. Students will also practice writing paragraphs and short essays.</p> <p>【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1</p>	5	Unit 2 Technology: Friend or Foe Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.												
<p>【授業の進め方と方法】 Students will participate in a variety of activities that involve all four skills of reading, writing, listening and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion by briefly writing their opinions, and then participate in discussions, usually in pairs. Reading comprehension will be checked, and new vocabulary will be reviewed after matching activities.</p> <p>【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】 あり / Yes</p> <p>【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】 あり / Yes</p>	6	Unit 2 Political Refugees Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.												
<p>【授業計画】 授業形態：対面/face to face</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>テーマ</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Course orientation</td> <td>Getting to know each other; student introductions &amp; class guidelines. handout discussion activities</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Unit 1: Getting to Know Each Other Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions</td> <td>Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment..</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Unit 1 Environmental Issues Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment</td> <td>Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.</td> </tr> </tbody> </table>	回	テーマ	内容	1	Course orientation	Getting to know each other; student introductions & class guidelines. handout discussion activities	2	Unit 1: Getting to Know Each Other Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment..	3	Unit 1 Environmental Issues Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.	7	Protests and dissent Research report/ mini- Presentations Connecting the dots Love and Loss Death	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
回	テーマ	内容													
1	Course orientation	Getting to know each other; student introductions & class guidelines. handout discussion activities													
2	Unit 1: Getting to Know Each Other Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment..													
3	Unit 1 Environmental Issues Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.													
	8	Music and Art Unit 3: Global thinking Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.												
	9	Unit 3: Seize the day Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.												

10	Unit 3: Swim against the stream. Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.	<b>【学生が準備すべき機器他】</b> Always bring a dictionary to class (paper or electronic OK). Translation software is strictly forbidden. You may use your phone in class ONLY for a dictionary app. Or, on a rare occasion, they could be used for purposes related to the class. I recommend using a dedicated electronic dictionary. <b>【その他の重要事項】</b> This is a challenging course, but you will learn a lot, and improve your English a lot. Because the course is challenging, you will have a proud sense of accomplishment when you have finished the course. This syllabus is subject to revision, and likely will change based on the students' needs, and topics will be based on relevant social issues of the moment. <b>【Outline (in English)】</b> This is a content based course with the objective of helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of the world with an emphasis on American social, political, and popular culture.
11	Unit 4: What will your verse be? Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.	
12	The road less traveled. Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment. Tips for the Quiz	
13	Meritocracy and Theocracy Quiz Song lesson	Quiz Song lesson	
14	Wrap-up	Go over quiz Speaking activity	

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

Students are expected to complete a writing assignment every week in preparation for discussion. This writing assignment will usually require research. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course

**【テキスト（教科書）】**

There is no textbook. Handouts will be given in class. However, ALL students will be required to buy a subscription to an online reading software. This should cost roughly about 2,750 yen for a whole year, unless the bookstore increases the price. I will tell you the details on the first day of class

**【参考書】**

These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.

<https://japantoday.com/>

<https://www.japantimes.co.jp/news/>

<https://www.yahoo.com/news/>

<http://www.bbc.com/news>

<https://news.google.com/news/>

**【成績評価の方法と基準】**

Class participation: 40%

Quizzes, writing assignments, presentations:60%

Departmental guidelines state that more than three absences will result in automatic failure of the course.

Obviously, when you are absent, it will hurt your class participation grade.

**【学生の意見等からの気づき】**

Not applicable

LANe200LA	4	Human Compassion	Check homework, engage in discussion of prepared
English 3 II		Current	homework topic. Handout.
サブタイトル：Aspects of the English Speaking World		Events/Writing	Read article, check
TOBY TRAUB		skills/Reading	comprehension, prepare for
開講時期：秋学期授業/Fall   曜日・時限：金 3/Fri.3		skills/discussions	in-class discussion.
単位数：1 単位		writing assignment	Discussion
中級／英語			Textbook activities
その他属性：			Homework: Conversation

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

Learning English for communicating in a global society.

**【到達目標】**

This course is designed to develop language skills necessary for students to express themselves in English. The emphasis is on oral communication, and we will practice listening and speaking skills. Students will also practice writing paragraphs and short essays.

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

Students will participate in a variety of activities that involve all four skills of reading, writing, listening and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion by briefly writing their opinions, and then participate in discussions, usually in pairs. Reading comprehension will be checked, and new vocabulary will be reviewed after matching activities.

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**  
あり / Yes

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

あり / Yes

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Welcome back	What I did over summer break. Recent happenings in the news. Research and writing assignment.
2	Homelessness Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment..
3	Art and War Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.

4	Human Compassion Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
5	Is telling lies bad? Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.
6	Immigration good, or bad? Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.
7	How neighborhoods happen. Introduce big presentation. Create teams. Go over expectations.	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.
8	Rules versus freedom Presentation topics due. Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.
9	Japan surveillance state. Outline of presentations due. Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.



10	Fabulous Japan Draft of words of presentations due. Current events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.	<b>【Outline (in English)】</b> This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture.
11	Christmas and holidays. 5 Powerpoints due Christmas/holiday comprehension skill building activity. Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.	
12	Presentation Day.	Tips for the Quiz	
13	Song lesson My Winter break Pandemics	Song lesson Discussion activity. No homework except to study for big quiz.	
14	Big quiz	Quiz Games Puzzle	

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

Preparations will include, but are not limited to a writing assignment almost every week, study for quizzes, prepare for presentation, and etc.

**【テキスト（教科書）】**

There is no textbook. Handouts will be given in class. However, ALL students will be required to buy a subscription to an online reading software. This should cost roughly about 2,750 yen for a whole year, unless the bookstore increases the price. I will tell you the details on the first day of class

**【参考書】**

These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.

<https://japantoday.com/>

<https://www.japantimes.co.jp/news/>

<https://www.yahoo.com/news/>

<http://www.bbc.com/news>

<https://news.google.com/news/>

**【成績評価の方法と基準】**

Class participation: 40%

Quizzes, writing assignments, presentations:60%

Departmental guidelines state that more than three absences will result in automatic failure of the course.

Obviously, when you are absent, it will hurt your class participation grade.

**【学生の意見等からの気づき】**

Not applicable

**【学生が準備すべき機器他】**

Always bring a dictionary to class (paper or electronic OK). Translation software is strictly forbidden. You may use your phone in class ONLY for a dictionary app. Or, on a rare occasion, they could be used for purposes related to the class. I recommend using a dedicated electronic dictionary.

**【その他の重要事項】**

This is a challenging course, but you will learn a lot, and improve your English a lot. Because the course is challenging, you will have a proud sense of accomplishment when you have finished the course.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：英語でハワイを学ぶ

宮崎 早季

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 の授業では、1 年次の英語科目で習得した英語運用能力を活かして、世界のさまざまな文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力、また、多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力を養います。この授業ではハワイの社会と歴史についてのテキストやニュース動画を教材として用い、ハワイ社会が抱える問題について英語で学び考えます。英文を読み、英語のニュース動画を聞き取り、英語で自分の意見を書き、話す練習をすることで、四技能のスキルを養うことを目的とします。

In the English 3 class, students will use the English skills acquired in the first-year English courses to develop their ability to understand and respect various cultures around the world, to relate their own culture to the global context, and to communicate their opinions in English after understanding and critically analyzing English materials on a variety of topics. In this class, students will use textbooks and news videos on Hawaiian society and history as teaching materials to learn and think about issues facing Hawaiian society in English.

## 【到達目標】

- ・学生は英語で書かれた学術的文章を読み、その内容を理解することができる。
- ・学生は理解した学術的英文に書かれていた内容（コンテキスト）を批判的に分析することができる。
- ・学生はコンテキストを批判的に分析し、自分の意見をまとめ、発信することができる。

By taking this course, students will be able to

- read and understand academic texts written in English.
- analyze the context of academic texts they have understood critically.
- critically analyze the context, formulate their own opinions, and exchange them with others.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

この授業は、対面で行います。毎週、課題が課され、授業中に課題に対するフィードバックがなされます。授業中にグループで課題についてのディスカッションを行い、理解を深めます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Orientation	自己紹介・目標設定
Week 2	Where is Hawaii?	ハワイの歴史を学び、ディスカッションを行う
Week 3	Hawaiian Issues 1	ハワイの主権回復運動について読み、ディスカッションを行う

Week 4	Hawaiian Issues 2	ハワイの主権回復運動について読み、ディスカッションを行う
Week 5	Hawaiian Issues 3	ハワイの主権回復運動について読み、自分の考えをまとめる
Week 6	The Military 1	アメリカ軍とハワイについて読み、ディスカッションを行う
Week 7	The Military 2	アメリカ軍とハワイについて読み、ディスカッションを行う
Week 8	The Military 3	アメリカ軍とハワイについて読み、自分の考えについてまとめる
Week 9	Water 1	ハワイにおける水の問題について視聴し、ディスカッションを行う
Week 10	Water 2	ハワイにおける水の問題について視聴し、ディスカッションを行う
Week 11	Water 3	ハワイにおける水の問題について視聴し、ディスカッションを行う
Week 12	Preparation for the presentation 1	期末プレゼンテーションの準備
Week 13	Preparation for the presentation 2	期末プレゼンテーションの準備
Week 14	The Presentation	グループプレゼンテーション

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

リーディング課題が課され、次の授業までに完了することが求められます。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

## 【テキスト（教科書）】

教科書は使用せず、適宜資料を配布する。

## 【参考書】

Howes, Craig, and Jonathan Kay Kamakawiwo'ole Osorio. The Value of Hawai'i: Knowing the Past, Shaping the Future. Honolulu: University of Hawaii Press, 2010.

Yamashiro, Aiko, and Noelani Goodyear-Ka'opua. The Value of Hawai'i 2: Ancestral Roots, Oceanic Visions. Honolulu, Hawai'i: Published for the Biographical Research Center by the University of Hawai'i Press, 2014.

## 【成績評価の方法と基準】

- ・平常点 50 %（課題+ディスカッション）
- ・最終プレゼンテーション 50%

各学期欠席が 4 回以上の場合、原則として単位修得を認めない。Regular points 50% (Assignment + Discussion), Final presentation 50%.

In principle, no credits will be granted for absences of four or more per semester.

## 【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

## 【学生が準備すべき機器他】

教材は Google classroom で配布します。タブレットやラップトップ、スマホなど、Google classroom が確認できるデバイスが必要です。

## 【Outline (in English)】

【授業の概要（Course outline）】 In the English 3 class, students will use the English skills acquired in the first-year English courses to develop their ability to understand and respect various cultures around the world, to relate their own culture to the global context, and to communicate their opinions in English after understanding and critically analyzing English materials on a variety of topics. In this class, students will use textbooks and news videos on Hawaiian society and history as teaching materials to learn and think about issues facing Hawaiian society in English.

【到達目標（Learning Objectives）】 By taking this course, students will be able to

- read and understand academic texts written in English.
- analyze the context of academic texts they have understood critically.

- critically analyze the context, formulate their own opinions, and exchange them with others.

【授業時間外の学習 (Learning activities outside of the classroom)】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【成績評価の方法と基準 (Grading Criteria /Policy)】

Regular points 50% (Assignment + Discussion), Final presentation 50%.

In principle, no credits will be granted for absences of four or more per semester.

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：英語でハワイを学ぶ

宮崎 早季

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 の授業では、1 年次の英語科目で習得した英語運用能力を活かして、世界のさまざまな文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力、また、多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力を養います。この授業ではハワイの社会と歴史についてのテキストやニュース動画を教材として用いることで、ハワイ社会が抱える問題について英語で学び考えます。英文を読み、英語のニュース動画を聞き取り、英語で自分の意見を書き、話す練習をすることで、四技能のスキルを養うことを目的とします。

In the English 3 class, students will use the English skills acquired in the first-year English courses to develop their ability to understand and respect various cultures around the world, to relate their own culture to the global context, and to communicate their opinions in English after understanding and critically analyzing English materials on a variety of topics. In this class, students will use textbooks and news videos on Hawaiian society and history as teaching materials to learn and think about issues facing Hawaiian society in English.

## 【到達目標】

- ・学生は英語で書かれた学術的文章を読み、その内容を理解することができる。
- ・学生は理解した学術的英文に書かれていた内容（コンテキスト）を批判的に分析することができる。
- ・学生はコンテキストを批判的に分析し、自分の意見をまとめ、発信することができる。

By taking this course, students will be able to

- read and understand academic texts written in English.
- analyze the context of academic texts they have understood critically.
- critically analyze the context, formulate their own opinions, and exchange them with others.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

この授業は、対面で行います。毎週、課題が課され、授業中に課題に対するフィードバックがなされます。授業中にグループで課題についてのディスカッションを行い、理解を深めます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Orientation	自己紹介・目標設定
Week 2	Who is Hawaiian?	「ハワイアン」とは誰だろう？
Week 3	Voyaging 1	ハワイの航海技術について読み、ディスカッションを行う
Week 4	Voyaging 2	ハワイの航海技術について読み、ディスカッションを行う

Week 5	Voyaging 3	ハワイの航海技術について読み、自分の意見をまとめる
Week 6	Tourism 1	ハワイと観光業について読み、ディスカッションを行う
Week 7	Tourism 2	ハワイと観光業について読み、ディスカッションを行う
Week 8	Tourism 3	ハワイと観光業について読み、自分の意見をまとめる
Week 9	Language 1	ハワイとハワイ語について視聴し、ディスカッションを行う
Week 10	Language 2	ハワイとハワイ語について視聴し、ディスカッションを行う
Week 11	Language 3	ハワイとハワイ語について視聴し、自分の意見をまとめる
Week 12	Preparation for the presentation 1	期末プレゼンテーションの準備
Week 13	Preparation for the presentation 2	期末プレゼンテーションの準備
Week 14	The Presentation	グループプレゼンテーション

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

リーディング課題が課され、次の授業までに完了することが求められます。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

## 【テキスト（教科書）】

教科書は使用せず、適宜資料を配布する。

## 【参考書】

Howes, Craig, and Jonathan Kay Kamakawiwo'ole Osorio. *The Value of Hawai'i: Knowing the Past, Shaping the Future*. Honolulu: University of Hawaii Press, 2010.

Yamashiro, Aiko, and Noelani Goodyear-Ka'opua. *The Value of Hawai'i 2: Ancestral Roots, Oceanic Visions*. Honolulu, Hawai'i: Published for the Biographical Research Center by the University of Hawai'i Press, 2014.

## 【成績評価の方法と基準】

- ・平常点 50 %（課題+ディスカッション）
- ・最終プレゼンテーション 50%

各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。Regular points 50% (Assignment + Discussion), Final presentation 50%.

In principle, no credits will be granted for absences of four or more per semester.

## 【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

## 【学生が準備すべき機器他】

教材は Google classroom で配布します。タブレットやラップトップ、スマホなど、Google classroom が確認できるデバイスが必要です。

## 【Outline (in English)】

【授業の概要（Course outline）】 In the English 3 class, students will use the English skills acquired in the first-year English courses to develop their ability to understand and respect various cultures around the world, to relate their own culture to the global context, and to communicate their opinions in English after understanding and critically analyzing English materials on a variety of topics. In this class, students will use textbooks and news videos on Hawaiian society and history as teaching materials to learn and think about issues facing Hawaiian society in English.

【到達目標（Learning Objectives）】 By taking this course, students will be able to

- read and understand academic texts written in English.
- analyze the context of academic texts they have understood critically.
- critically analyze the context, formulate their own opinions, and exchange them with others.

**【授業時間外の学習 (Learning activities outside of the classroom)】**  
University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

**【成績評価の方法と基準 (Grading Criteria /Policy)】**

Regular points 50% (Assignment + Discussion), Final presentation 50%.

In principle, no credits will be granted for absences of four or more per semester.

<p>LANe200LA English 3 I サブタイトル：身近な文化を英語で議論</p>	<p>2017 年度以降入学者</p>	<p>3 Unit 2 Studying in a Café vs. Home 学習を効率的に行う場所として「自宅」と「カフェ」を比較する。テーマに関する意見を英語で聞き、情報を整理した上で、各自の経験や意見をペアやグループで英語で発表する。</p>									
<p>猪俣 佳瑞美 開講時期：春学期授業/Spring   曜日・時限：金 3/Fri.3 単位数：1 単位 中級／日本語 その他属性：</p>		<p>4 Unit 3 Gakuran vs. Blazer 高校の制服デザインについて考える。代表的なものとして「学ラン」と「ブレザー」を取り上げるが、現代社会における多様性という面からも、制服に求められる社会的役割を各自が考え、英語で意見をまとめる演習を行う。</p>									
<p><b>【授業の概要と目的（何を学ぶか）】</b> English1,2 での学びを踏まえ、4 技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。</p> <p><b>【到達目標】</b> 講義の到達目標は、以下である。 ・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。 ・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。 ・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。 ・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。 ・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。</p> <p><b>【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】</b> 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1</p> <p><b>【授業の進め方と方法】</b> 各 Unit を 1 回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。大学の行動方針レベルが 2 となった場合、この授業は原則としてオンデマンド授業（資料型）で行う。詳細は学習支援システムで伝達する。</p> <p><b>【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】</b> あり / Yes</p> <p><b>【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】</b> なし / No</p> <p><b>【授業計画】</b> 授業形態：対面/face to face</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>テーマ</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション</td> <td>授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone</td> <td>若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批評的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。</td> </tr> </tbody> </table>	回	テーマ	内容	1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など	2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批評的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。		<p>5 Unit 4 Coming-of-Age Ceremonies 成人式の必要性について考える。また、海外には日本の「成人式」に該当する行事は無いため、その概要や存在意義を英語で説明できるようにする。最後に、各自の成人式に対する意見交換を英語で行う。</p> <p>6 Unit 5 24/7 Convenience Stores コンビニの 24 時間営業について考える。各学生が 24 時間営業に「賛成」なのか「反対」なのか、各自の立場を明確にした上で、ペアやグループに分かれ、理論的に意見を述べる練習を行う。</p> <p>7 Unit 6 Japanese Era Names 「元号」について考える。2019 年 5 月に導入された新元号「令和」。元号が変わる時を体験した学生同士だからこそ可能な、元号の必要性や意義に関する意見を英語で交換したい。また世界でも珍しい「元号」の英語による説明方法も取り上げる。</p>
回	テーマ	内容									
1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など									
2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批評的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。									
<p>8 Unit 7 Point Cards 購入した額によって与えられる「ポイント」や「ポイントカード」について考える。このサービスを受ける側からだけでなく、与える側からも考察し、存在意義を考えたい。身近なトピックであることから、各自が実体験を踏まえ、わかりやすく自分の考えを英語で相手に伝える練習を行う。</p>		<p>9 Unit 8 Disaster Volunteers 自然災害時のボランティアについて考える。特に「ボランティア」と「報酬」に関する英文を読んだ上で、各自の考えを論理的にまとめ、説得力ある意見にする練習を行う。</p>									
<p>10 Unit 9 Domestic Trip vs. Abroad 「旅行」をテーマに取り上げる。「国内旅行」と「海外旅行」を比較し、10 万円あったら「国内」「海外」どちらを旅行したいか英語で意見を述べ合う。各自、その理由を明確にできるよう、具体的な旅行案も考えた上で授業に参加してほしい。</p>		<p>11 Unit 10 Studying English Abroad 「留学」をテーマに取り上げる。最近、人気の高いアジア諸国への留学に関する英文を読んだ上で、各自が、語学留学するなら、どここの国へ行きたいか、その理由などを明確にした上で、意見交換を行う。</p>									
		<p>12 プレゼンテーション準備と確認 13、14 回めの講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。</p>									

- 13 プレゼンテーション 1 各学生が今までに講義で扱ったトピックから1つを選び、クラス全体に発表する1回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
- 14 プレゼンテーション 2 各学生が今までに講義で扱ったトピックから1つを選び、クラス全体に発表する2回目。  
小テストとまとめ 春学期に扱った語彙を中心とする小テストも実施。学びを総括する。

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定された Unit を事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。

**Listening Dictation** 問題は講義内で行うので予習不要。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

**【テキスト（教科書）】**

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion  
2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020 年 1,900 円（税込 2,090 円）

**【参考書】**

特になし

**【成績評価の方法と基準】**

平常点 40 % 発表 40 % 小テスト 20 % 遅刻は厳禁。授業開始時刻から 30 分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4 回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

**【学生の意見等からの気づき】**

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

**【Outline (in English)】**

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay. Students are required to work outside class on assignments (reading, writing, vocabulary and short reports, etc.) given regularly in class. They are expected to spend more than one hour per week on preparation and review for each class. Grades will be based on the following criteria: participation and performance in classroom activities (40%), final presentation (40%) and short reports (20%).

LANe200LA	English 3 II	2017 年度以降入学者	3	Unit 12 New Year's Eve Fireworks	「年越しイベントとしての花火大会」の実施を考える。日本では、夏に行われる花火大会だが、海外では大晦日のイベントとして人気が高い。その理由を考えながら、日本文化として花火大会が持つ意味を英語で伝える練習も行う。									
サブタイトル：身近な文化を英語で議論	猪俣 佳瑞美	開講時期：秋学期授業/Fall   曜日・時限：金 3/Fri.3	4	Unit 13 April Fools'Day in Japan	「エイプリルフール」について考える。海外と日本のエイプリルフールを比較し、日本人の傾向を述べた英文を読んだ上で、各自がエイプリルフールに関して考えていることを英語でまとめ、意見交換を行う。									
単位数：1 単位	中級／日本語	その他属性：	5	Unit 14 Summer-Vacation Assignments	「夏休みの宿題」について考える。日本の小中学校における夏休みの宿題に関する英文を読んだ上で、各自が自身の体験を踏まえ、その功罪を客観的に分析し、英語での意見交換を行う。									
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】	English1,2 での学びを踏まえ、4 技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。													
【到達目標】	講義の到達目標は、以下である。 ・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。 ・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。 ・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。 ・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。 ・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。													
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】	各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1													
【授業の進め方と方法】	各 Unit を 1 回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。大学の行動方針レベルが 2 となった場合、この授業は原則としてオンデマンド授業（資料型）で行う。詳細は学習支援システムで伝達する。													
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】	あり / Yes													
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】	なし / No													
【授業計画】 授業形態：対面/face to face	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="145 1706 164 1731">回</th> <th data-bbox="236 1706 300 1731">テーマ</th> <th data-bbox="448 1706 512 1731">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="145 1733 164 1758">1</td> <td data-bbox="236 1733 416 1783">秋学期スタートにあたって</td> <td data-bbox="448 1733 759 1812">夏休みにあったことを英語で話したって 秋学期の講義進め方確認 次講義の事前学習範囲の確認</td> </tr> <tr> <td data-bbox="145 1814 164 1839">2</td> <td data-bbox="236 1814 392 1863">Unit 11 More Foreign Visitors</td> <td data-bbox="448 1814 759 1980">インバウンドについて考える。 日本を訪れる外国人観光客に関する英文を読んだ上で、東京オリンピックも踏まえ、各学生が感じていることを英語でまとめ、意見交換する。</td> </tr> </tbody> </table>					回	テーマ	内容	1	秋学期スタートにあたって	夏休みにあったことを英語で話したって 秋学期の講義進め方確認 次講義の事前学習範囲の確認	2	Unit 11 More Foreign Visitors	インバウンドについて考える。 日本を訪れる外国人観光客に関する英文を読んだ上で、東京オリンピックも踏まえ、各学生が感じていることを英語でまとめ、意見交換する。
回	テーマ	内容												
1	秋学期スタートにあたって	夏休みにあったことを英語で話したって 秋学期の講義進め方確認 次講義の事前学習範囲の確認												
2	Unit 11 More Foreign Visitors	インバウンドについて考える。 日本を訪れる外国人観光客に関する英文を読んだ上で、東京オリンピックも踏まえ、各学生が感じていることを英語でまとめ、意見交換する。												
11	Unit 20 Translation Software	「翻訳ソフト」について考える。英語の宿題に翻訳ソフトを使用すべきか否かを取り上げた英文を読んだ上で、各自が立場を明らかにした上で、賛成または反対の意見を客観的に述べ、議論を行う。												
12	プレゼンテーション 1	各学生が今までに講義で扱ったトピックから 1 つを選び、クラス全体に発表する 1 回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。												
13	プレゼンテーション 2	各学生が今までに講義で扱ったトピックから 1 つを選び、クラス全体に発表する 2 回目。												



- 14 小テストとまとめ 秋学期に扱った語彙などを中心とする小テストを実施。学びを総括する。

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4

hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定された Unit を事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。

Listening Dictation 問題は講義内で行うので予習不要。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

**【テキスト（教科書）】**

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion 2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020 年 1,900 円（税込 2,090 円）

**【参考書】**

特になし

**【成績評価の方法と基準】**

平常点 40 % 発表 40 % 小テスト 20 % 遅刻は厳禁。授業開始時刻から 30 分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4 回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

**【学生の意見等からの気づき】**

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違いを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

**【Outline (in English)】**

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay. Students are required to work outside class on assignments (reading, writing, vocabulary and short reports, etc.) given regularly in class. They are expected to spend more than one hour per week on preparation and review for each class. Grades will be based on the following criteria: participation and performance in classroom activities (40%), final presentation (40%) and short reports (20%).

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：NHK ニュースで現代社会を考察する

須藤 祐二

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

初級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次に習得した 4 技能の英語運用能力に基づき、NHK で報道されたさまざまなニュースを題材にしながら、英語資料の理解や英語で批判的に意見を発信する能力の向上を目指す。

## 【到達目標】

受講生は簡単な英語記事やニュースであれば、辞書にあまり頼らなくてもある程度正確に読めるようにする。

受講生は発信された内容を英語でまとめ、論点を批判的にくみ取りながら、自分の意見を口頭または文書で述べられるようにする。現代のさまざまな事象について学び、批判的な自分なりの考えを構築する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

受講生のレベルに合わせながら、ウォーム・アップとしてリスニングを行う。各回の授業に、リーディング、ライティング、スピーキングなどの技能の演習を割り当てる。例えば、テキストを読む回では、語彙力の養成や構文の理解を重視する。内容理解の確認は内容を日本語でまとめることを通して行う。ディスカッションの回では、英語表現や構成の適切な使用だけでなく、発表時の姿勢やボディ・ランゲージなども指導する。ライティングの指導機会を作り、そこで確認したルールに従ってレポートを提出してもらう。

提出された課題のフィードバックは授業中および「学習支援システム」(Hoppii)で行う。

基本的に対面で授業を行う。ただし、感染症対策や外気温とマスクの関係などを鑑みて、適切な授業環境を確保するためにオンライン授業をすることがある。

授業方法の変更は Hoppii で周知する。そのため、受講生は授業日の朝に Hoppii を確認すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	授業のテーマの確認と授業方法の説明
2	Unit 1 のニュース映像の理解とリスニング演習	現代の英語教育の試みについてのニュースから学ぶ
3	Unit 1 のニュースのスク립トの速読とリスニング演習	現代の英語教育についての記事を読み解く。リスニング演習を行う
4	Unit 2 のニュース映像の理解とリスニング演習	火災後の首里城と高校生ボランティアについてのニュースから学ぶ
5	Unit 2 のニュースのスク립トの速読とリスニング演習	火災後の首里城と高校生ボランティアについての記事を読み解く。リスニング演習を行う

6	Unit 3 のニュース映像の理解とリスニング演習	環境に優しいレジ袋の開発についてのニュースから学ぶ
7	Unit 3 のニュースのスク립トの速読とリスニング演習	環境に優しいレジ袋の開発についての記事を読み解く。リスニング演習を行う
8	Unit 4 のニュース映像の理解とリスニング演習	省人化ロボットと食品産業についてのニュースから学ぶ
9	Unit 4 のニュースのスク립トの速読とリスニング演習	省人化ロボットと食品産業についての記事を読み解く。リスニング演習を行う
10	Unit 5 のニュース映像の理解とリスニング演習	公共衛生施設についてのニュースから学ぶ
11	Unit 5 のニュースのスク립トの速読とリスニング演習	公共衛生施設についての記事を読み解く。リスニング演習を行う
12	ディスカッション	Unit 1～5 の英語で書かれた設題について、自分の意見を口頭で述べる練習をする
13	ライティング演習	第 12 回で述べた意見をエッセイ・ライティングの形式でまとめる
14	試験とまとめ	この授業で学んだことのまとめと振り返りを行う

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの指定箇所および配布する資料の予習が必須となる。あらかじめ辞書を使って読み解き、分からないところを明確にしてから授業に参加すること。

本授業の準備学習・復習時間は合計で 1 時間を標準とする。

## 【テキスト（教科書）】

NHK Newline 6. 山崎達朗, Stella M. Yamazaki 著、金星堂 必ず英和・和英辞書を持参すること。

PC、タブレット、スマートフォン等の辞書アプリの使用は認めない。

## 【参考書】

特に指定しない。

## 【成績評価の方法と基準】

期末試験 50 %、スピーキングとライティングの課題 25 %、授業の参加度合 25 %。4 回以上欠席した者は単位を認定しない。欠席回数や遅刻による減点がある。

## 【学生の意見等からの気づき】

ひきつづき映像資料を積極的に用いる。

## 【Outline (in English)】

Based on the English proficiency developed in the first year and by using various NHK English news as educational material, students improve their English proficiency to comprehend information and present their critical opinions.

At the end of the course, students are expected to issue their opinions in English after reading articles about cultural or social issues.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grade will be calculated according to the following process:

Term-end examination (50%), speaking and writing tasks (25%), and in-class contribution (25%).

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：NHK ニュースで現代社会を考察する

須藤 祐二

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

初級/日本語

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次に習得した 4 技能の英語運用能力に基づき、NHK で報道されたさまざまなニュースを題材にしながら、英語資料の理解や英語で批判的に意見を発信する能力の向上を目指す。

【到達目標】

受講生は簡単な英語記事やニュースであれば、辞書にあまり頼らなくてもある程度正確に読めるようにする。

受講生は発信された内容を英語でまとめ、論点を批判的にくみ取りながら自分の意見を口頭または文書で述べられるようにする。

現代のさまざまな事象について学び、批判的な自分なりの考えを構築する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

受講生のレベルに合わせながら、ウォーム・アップとしてリスニングを行う。各回の授業にリーディング、ライティング、スピーキングなどの技能の演習を割り当てる。例えば、テキストを読む回では、語彙力の養成や構文の理解を重視する。内容理解の確認は内容を日本語でまとめることを通して行う。ディスカッションの回では、英語表現や構成の適切な使用だけでなく、発表時の姿勢やボディ・ランゲージなども指導する。ライティングの指導機会を作り、そこで確認したルールに従って、レポートを提出してもらう。

提出された課題のフィードバックは授業中および「学習支援システム」(Hoppii)で行う。

基本的に対面で授業を行う。ただし、感染症対策や外気温とマスクの関係などを鑑みて、適切な授業環境を確保するためにオンラインで授業をすることがある。

授業方法の変更は授業支援システム (Hoppii) で周知する。そのため、受講生は授業日の朝に Hoppii を確認すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習と秋学期の授業の概要説明	春学期に学んだことの振り返りを、秋学期の授業でなにを学ぶかを説明する
2	Unit 6 のニュース映像の理解とリスニング演習	テレワーク時代の働き方についてのニュースから学ぶ
3	Unit 6 のニュースのスク립トの速読とリスニング演習	テレワーク時代の働き方についての記事を読み解く。リスニング演習を行う
4	Unit 7 のニュース映像の理解とリスニング演習	語学学校と地方活性化についてのニュースから学ぶ
5	Unit 7 のニュースのスク립トの速読とリスニング演習	語学学校と地方活性化についての記事を読み解く。リスニング演習を行う

6	Unit 8 のニュース映像の理解とリスニング演習	草の根運動についてのニュースから学ぶ
7	Unit 8 のニュースのスク립トの速読とリスニング演習	草の根運動についての記事を読み解く。リスニング演習を行う
8	Unit 9 のニュース映像の理解とリスニング演習	地方発の造形芸術についてのニュースから学ぶ
9	Unit 9 のニュースのスク립トの速読とリスニング演習	地方発の造形芸術についての記事を読み解く。リスニング演習を行う
10	Unit10 のニュース映像の理解とリスニング演習	宇宙開発とボードゲームについてのニュースから学ぶ
11	Unit10 のニュースのスク립トの速読とリスニング演習	宇宙開発とボードゲームについての記事を読み解く。リスニング演習を行う
12	ディスカッション	Unit 6～10 の設題について、自分の意見を口頭で英語を使って述べる練習をする
13	ライティング演習	第 12 回で述べた意見をエッセイ・ライティングの形式でまとめる
14	試験とまとめ	この授業で学んだことのまとめと振り返りを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの指定箇所および配布する資料の予習が必須となる。あらかじめ辞書を使って読み解き、分からないところを明確にしてから授業に参加すること。

本授業の準備学習・復習時間は合計で 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

NHK Newslines 6. 山崎達明, Stella M. Yamazaki 著、金星堂 必ず英和・和英辞書を持参すること。

PC、タブレット、スマートフォン等の辞書アプリの使用は認めない。

【参考書】

特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 50 %、スピーキングとライティングの課題 25 %、授業の参加度合 25 %。4 回以上欠席した者は単位を認定しない。欠席回数や遅刻による減点がある。

【学生の意見等からの気づき】

ひきつづき、映像資料を積極的に活用する。

【Outline (in English)】

Based on the English proficiency developed in the first year and by using various NHK English news as educational material, students improve their English proficiency to comprehend information and present their critical opinions.

At the end of the course, students are expected to issue their opinions in English after reading articles about cultural or social issues.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grade will be calculated according to the following process:

Term-end examination (50%), speaking and writing tasks (25%), and in-class contribution (25%).

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：イギリスと世界の「今」を学ぶ

萩原 眞一

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

初級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

大学生として必要とされる標準的な英語力を堅固なものにしながら、さらに向上させることを目標とします。

授業は 4 技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の学習を中心に行います。春学期と秋学期のリーディング、リスニングおよびスピーキングの教科書としては、3 分程度の BBC（英国放送協会）の映像ニュースから 15 本精選され、それぞれに Understanding Check や Making a Summary などの設問が付けられた総合英語教材を使用します。毎回授業中に DVD を視聴してもらい、母語話者が自然に話す英語に数多く触れてもらうことによって、リーディングとリスニングの能力の向上を図ります。適宜、Follow Up の設問を活用してスピーキングの能力を養成します。

また、春学期・秋学期を通じて、人文科学系の論文を書く上で役立つ表現法を習得してもらい、ライティングの能力の涵養も目指します。

## 【到達目標】

学生が教科書の英文記事および付属問題を容易に聴解できること。学生が教科書の英文記事を、パラグラフと文の構造に留意しながら、正確に読解できること。最終的には学生が 100 点満点に換算した成績評価の基準点において 60 点以上を獲得できること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

毎授業、講義と演習を繰り返します。適宜、課題を出して遂行度を点検し、必要に応じて指導します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】  
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	Unit 1 "The Windows of Canterbury Cathedral"[歴史を彩るステンドグラス] ①	DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実なものとし、す。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第 2 回	Unit 1 "The Windows of Canterbury Cathedral"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。
第 3 回	Unit 2 "West London's Community Garden" [パンデミックで地域菜園が人気] ①	DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実なものとし、す。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第 4 回	Unit 2 "West London's Community Garden"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。

第 5 回	Unit 3 "Two Generations Sharing a House"[若者と高齢者をつなぐ異世代ホームシェア] ①	DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実なものとし、す。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第 6 回	Unit 3 "Two Generations Sharing a House"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。
第 7 回	中間的な総括・試験	主に教科書に準拠した試験を実施し、聴解力・読解力・文法力・語彙力・作文力の到達度を測定します。
第 8 回	Unit 4 "Cornwall's Lithium Mines"[地下に眠る国産の金属を探せ！] ①	DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実なものとし、す。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第 9 回	Unit 4 "Cornwall's Lithium Mines"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。
第 10 回	Unit 5 "How to Be Happy on Blue Monday"[ブルーな気分を吹き飛ばす方法] ①	DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実なものとし、す。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第 11 回	Unit 5 "How to Be Happy on Blue Monday"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。
第 12 回	Unit 6 "The New Brixham Banking Hub"[銀行の無い町を救うバンキング・ハブ] ①	DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実なものとし、す。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第 13 回	Unit 6 "The New Brixham Banking Hub"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。
第 14 回	全体的な総括・試験	主に教科書に準拠した試験を実施し、聴解力・読解力・文法力・語彙力・作文力の到達度を測定します。まとめと解説を行います。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次回に行われる授業範囲を予習してください。授業中に強調した重要事項は必ず復習してください。適宜、課題を出します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

Timothy Knowles 他編著『British News Update 5—映像で学ぶイギリス公共放送の最新ニュース 5』（金星堂、2023 年）2800 円（税別）

## 【参考書】

なし

## 【成績評価の方法と基準】

中間試験（45 点）と期末試験（45 点）を実施し、学期末に課す英語小エッセー（10 点）を勘案した上で、100 点満点に換算した基準点を割り出し、60 点以上を獲得した場合、合格とします。小エッセーに関しては初回授業などで説明します。各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めません。

## 【学生の意見等からの気づき】

直近の授業アンケートを踏まえながら、分かりやすい授業を行なうよう心がけます。

## 【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムを利用するための機器（パソコン、スマホ、iPad 等）

**【Outline (in English)】**

The purpose of this course is to encourage participants to develop their reading, listening, and speaking abilities by use of the interesting news given by the British Broadcasting Corporation. Participants can view the videos accessible online, gain an insight into the life and culture of Britain, and speak on various subject matters. This course also aims to improve participants' academic writing skill they will be asked to acquire as undergraduates.

By the end of the course, participants are expected to view the videos easily, comprehend the text accurately, and write in English their short essays in clear paragraphs.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Grading will be decided based on mid-term examination (45%), term-end examination (45%), and short essay (10%).

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：イギリスと世界の「今」を学ぶ

萩原 眞一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

初級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

大学生として必要とされる標準的な英語力を堅固なものにしながら、さらに向上させることを目標とします。

授業は 4 技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の学習を中心に行います。春学期と秋学期のリーディング、リスニングおよびスピーキングの教科書としては、3 分程度の BBC（英国放送協会）の映像ニュースから 15 本精選され、それぞれに Understanding Check や Making a Summary などの設問が付けられた形式のものを使用します。毎回授業中に DVD を視聴してもらい、母語話者が自然に話す英語に数多く触れてもらうことによって、リーディングとリスニングの能力の向上を図ります。適宜、Follow Up の設問を活用してスピーキングの能力を養成します。

また、春学期・秋学期を通じて、人文科学系の論文を書く上で役立つ表現法を習得してもらい、ライティングの能力の涵養も目指します。

## 【到達目標】

学生が教科書の英文記事および付属問題を容易に聴解できること。学生が教科書の英文記事を、パラグラフと文の構造に留意しながら、正確に読解できること。最終的には学生が 100 点満点に換算した成績評価の基準点において 60 点以上を獲得できること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

毎授業、講義と演習を繰り返します。適宜、課題を出して遂行度を点検し、必要に応じて指導します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】  
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	Unit 7 "Call to Clean Up London's Diesel Trains"	DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実なものとしす。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第 2 回	Unit 7 "Call to Clean Up London's Diesel Trains"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。
第 3 回	Unit 8 "The Impact of Covid on the Brain"[新型コロナウィルスで脳が縮む?] ①	DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実なものとしす。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第 4 回	Unit 8 "The Impact of Covid on the Brain"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。
第 5 回	Unit 9 "Women Learning Skills for Life after Prison"[再犯を防ぐ女性刑務所の取り組み] ①	DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実なものとしす。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。

第 6 回	Unit 9 "Women Learning Skills for Life after Prison"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。
第 7 回	中間的な総括・試験	主に教科書に準拠した試験を実施し、聴解力・読解力・文法力・語彙力・作文力の到達度を測定します。
第 8 回	Unit 10 "A Space for Green Businesses"	DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実なものとしす。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第 9 回	Unit 10 "A Space for Green Businesses"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。
第 10 回	Unit 11 "Diversity in the Workplace"	DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実なものとしす。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第 11 回	Unit 11 "Diversity in the Workplace"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。
第 12 回	Unit 12 "Bringing Back Scottish Wetlands"[海面上昇の意外な活用法] ①	DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実なものとしす。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第 13 回	Unit 12 "Bringing Back Scottish Wetlands"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。
第 14 回	全体的な総括・試験	主に教科書に準拠した試験を実施し、聴解力・読解力・文法力・語彙力・作文力の到達度を測定します。まとめと解説を行います。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次回に行われる授業範囲を予習してください。授業中に強調した重要事項は必ず復習してください。適宜、課題を出します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

Timothy Knowles 他編著『British News Update 5 一映像で学ぶイギリス公共放送の最新ニュース 5』（金星堂、2023 年）2800 円（税別）

## 【参考書】

なし

## 【成績評価の方法と基準】

中間試験（45 点）と期末試験（45 点）を実施し、学期末に課す英語小エッセー（10 点）を勘案した上で、100 点満点に換算した基準点を割り出し、60 点以上を獲得した場合、合格とします。小エッセーに関しては初回授業などで説明します。各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めません。

## 【学生の意見等からの気づき】

直近の授業アンケートを踏まえながら、分かりやすい授業を行なうよう心がけます。

## 【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムを利用するための機器（パソコン、スマホ、iPad 等）

## 【Outline (in English)】

The purpose of this course is to encourage participants to develop their reading, listening, and speaking abilities by use of the interesting news given by the British Broadcasting Corporation. Participants can view the videos accessible online, gain an insight into the life and culture of Britain, and speak on various subject matters. This course also aims to improve participants' academic writing skill they will be asked to acquire as undergraduates.

By the end of the course, participants are expected to view the videos easily, comprehend the text accurately, and write in English their short essays in clear paragraphs. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Grading will be decided based on mid-term examination (45%), term-end examination (45%), and short essay (10%).

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Global Issues and Japan

青山 恵子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

初級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業の目的は「英語を読み聞く」を「英語で考え発信する」へと発展させていくことにあります (learning four skills of reading, listening, speaking and writing)。現在の日本が直面する様々な課題と将来の展望について学び考えます。

## 【到達目標】

1. 音読が適切にできるようになること
2. テキストの内容を正確に理解し英語で要約できるようになること
3. 授業で学んだトピックについての解説と意見を英語で表現できるようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing:

- (1) Reading: paragraph reading
- (2) Listening: listening to mini-talks and global news
- (3) Writing: summary and paragraph writing
- (4) Speaking: preparation for presentation

Feedback for assignments and reaction papers will be given in each class. (この授業の形態は演習です。授業毎に課題やリアクションペーパーに対するフィードバックを行います)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction / Educational Sakoku 教育鎖国 #1	1. orientation オリエンテーション 2. reading the first paragraph of Chapter 1
2	Educational Sakoku 教育鎖国 #2	Understanding issue: 1.listening & reading aloud 2.paragraph reading
3	Educational Sakoku 教育鎖国 #3	Exercise 1.Comprehension Check 2.Dictation 3.Vocabulary Check
4	Impact of Lowering the Age of "Adulthood" 成人年齢 #1	Understanding issue: 1.listening & reading aloud 2.paragraph reading
5	Impact of Lowering the Age of "Adulthood" 成人年齢 #2	Exercise 1.Comprehension Check 2.Dictation 3.Vocabulary Check
6	Remote or In-person? Benefits and Disadvantages リモートと対面 #1	Understanding issue: 1.listening & reading aloud 2.paragraph reading

7	Remote or In-person? Benefits and Disadvantages リモートと対面 #2	Exercise 1.Comprehension Check 2.Dictation 3.Vocabulary Check
8	Gender Equality 男女格差 #1	Understanding issue: 1.listening & reading aloud 2.paragraph reading
9	Gender Equality 男女格差 #2	Exercise 1.Comprehension Check 2.Dictation 3.Vocabulary Check
10	Freedom of Speech and Its Implications 言論の自由とその影響 #1	Understanding issue: 1.listening & reading aloud 2.paragraph reading
11	Freedom of Speech and Its Implications 言論の自由とその影響 #2	Exercise 1.Comprehension Check 2.Dictation 3.Vocabulary Check
12	Should Nuclear Power Dependency Be Halter? 原発依存 #1	Understanding issue: 1.listening & reading aloud 2.paragraph reading
13	Should Nuclear Power Dependency Be Halter? 原発依存 #2	Exercise 1.Comprehension Check 2.Dictation 3.Vocabulary Check
14	Review and Test	Reviewing the topics and test

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は合わせて授業 1 回あたり 1 時間を標準とします)

- 1 Weekly reading, listening or writing home assignments
- 2 Weekly reading aloud and speaking practicing

## 【テキスト（教科書）】

James M. Vardaman, Japan's Dilemmas and Solutions: 15 Topics You Need to Consider (『考えよう日本の論点 15』, 音羽書房鶴見書店, 2023 年) ¥ 2,000 + 税

## 【参考書】

Provided during sessions

## 【成績評価の方法と基準】

Final test (40%)

Home assignment (30%)

In-class contribution (30%)

In principle, no more than 3 absences per semester are allowed (春学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

## 【学生の意見等からの気づき】

I hope your enthusiastic participation will make this course exciting. みなさんの積極的な授業参加が授業の質を高めてくれたと実感しています。本年度の授業もそうあることを期待しています。

## 【学生が準備すべき機器他】

Hoppii (学習支援システム)

Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

## 【Outline (in English)】

This is a content-based English learning class focusing on social issues in Japan from a global perspective. Students will also develop reading, listening, speaking and writing skills. The goal is for students to be able to read aloud fluently and to write a well-organized paragraph about their own opinions. You will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class. The overall grade of the course will be determined by the final examination (40%), the home assignment (30%) and the in-class contribution (30%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.



LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Global Issues and Japan

青山 恵子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

初級/日本語

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

日本が直面する課題をグローバルな視点から学び考えます。English 3 Iに引き続き「英語を読み聞く」「英語で考え発信する」へと発展させていくことを目的とします (learning four skills of reading, listening, speaking and writing)。

【到達目標】

- 1 音読が適切にできるようになること
- 2 学んだトピックについての意見のやりとりを正確に聞き取ることができるようになること
- 3 学んだトピックについての解説と意見を論理的に英語で表現できるようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing:

- (1) Reading: paragraph reading
- (2) Listening: listening to mini-talks and global news
- (3) Writing: summary and paragraph writing
- (4) Speaking: preparation for presentation

Feedback for assignments and reaction papers will be given in each class. (この授業の形態は演習です。授業毎に課題やりアクションペーパーに対するフィードバックを行います)

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Fertility Decline and Initiatives 少子化対策 #1	1 Explaining the course of this semester 2 Reading and listening practices
2	Fertility Decline and Initiatives 少子化対策 #2	Understanding issue: 1.listening & reading aloud 2.paragraph reading
3	Fertility Decline and Initiatives 少子化対策 #3	Exercise 1.Comprehension Check 2.Dictation 3.Vocabulary Check
4	Digitization and Public Administration デジタル化と行政 #1	Understanding issue: 1.listening & reading aloud 2.paragraph reading
5	Digitization and Public Administration デジタル化と行政 #2	Exercise 1.Comprehension Check 2.Dictation 3.Vocabulary Check
6	Foreign Technical Intern Trainees 外国人技能実習生 #1	Understanding issue: 1.listening & reading aloud 2.paragraph reading

7	Foreign Technical Intern Trainees 外国人技能実習生 #2	Exercise 1.Comprehension Check 2.Dictation 3.Vocabulary Check
8	Heading to the Country 地方移住 #1	Understanding issue: 1.listening & reading aloud 2.paragraph reading
9	Heading to the Country 地方移住 #2	Exercise 1.Comprehension Check 2.Dictation 3.Vocabulary Check
10	Does Dedication Require Overtime? 仕事への献身 #1	Understanding issue: 1.listening & reading aloud 2.paragraph reading
11	Does Dedication Require Overtime? 仕事への献身 #2	Exercise 1.Comprehension Check 2.Dictation 3.Vocabulary Check
12	Refugee Status 難民認定 #1	Understanding issue: 1.listening & reading aloud 2.paragraph reading
13	Refugee Status 難民認定 #2	Exercise 1.Comprehension Check 2.Dictation 3.Vocabulary Check
14	Review and Test	Reviewing the topics and test.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は合わせて授業 1 回あたり 1 時間を標準とします)

- 1 Weekly reading, listening, or writing home assignments
- 2 Weekly reading aloud and speaking practicing

【テキスト (教科書)】

James M. Vardaman, Japan's Dilemmas and Solutions: 15 Topics You Need to Consider (『考えよう日本の論点 15』, 音羽書房鶴見書店, 2023 年) ¥ 2,000 + 税

【参考書】

Provided during sessions

【成績評価の方法と基準】

Final test (40%)  
Home assignment (30%)  
In-class contribution (30%)  
In principle, no more than 3 absences per semester are allowed (秋学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】

Your classmates' encouragement will keep you motivated. 語学学習は継続が重要です。互いに励ましあいながらさらなるレベルアップを目指しましょう。

【学生が準備すべき機器他】

Hoppii (学習支援システム)  
Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline (in English)】

This English course is designed to improve the four skills of reading, listening, speaking and writing while learning about Japan in the international society. The goal is for students to be able to read aloud fluently, to accurately listen to discussions on a given topic and to write well-structured paragraphs expressing their own opinions on the topic. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class. The overall grade of the course will be determined by the final examination (40%), the home assignment (30%) and the in-class contribution (30%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Topics in American Culture

MICHAEL F.MURPHY

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

中級／英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. In this course students will spend time using English to learn about American culture from a number of diverse perspectives. Students will learn about American culture through various sources of information and will incorporate a variety of topics about which they will express their opinion. In addition, students will also practice the fundamental English skills necessary to accomplish the above.

## 【到達目標】

Students will read and understand rather simple English texts without relying too much on dictionaries for understanding.

Students will learn to express their own opinion in speaking and writing, including how to examine content from a critical thinking perspective.

Students will not only learn about American culture, which continues to have a large impact on the world, but will also be able to apply that knowledge while learning and improving their English skills in reading, writing, listening and speaking.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

Warm up activities will include listening practice from various English websites. Various target language objectives will be emphasized during each class period. For example, while reading from text, an emphasis may be placed on building vocabulary as well as the comprehension of passages. When presentations are the focus, an emphasis will be placed on using the appropriate posture and body language.

In week 13, comments and explanations are given for all assignments, reports and oral dictation quizzes given during the term.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction to English 3	Course overview: policies, procedures and student expectations.
2	American Food and Wine	Reading and Listening practice using DVD video.
3	American food and wine	Reading and Writing practice using the expressions from the textbook.

4	American Food and Culture.	Listening and Vocabulary Quiz; Preparation for Presentation 1.
5	American Food Culture.	Group presentations 1: Images of American food culture and products; Student reactions.
6	Sports in the United States	Listening and Reading practice from DVD and text.
7	Sports in the United States: Baseball	Reading and Writing practice using expressions from the textbook.
8	Sports in the U.S.	Listening and Vocabulary Quiz 2. Practice and Preparation for Sports Presentations.
9	Sports in the U.S. and Japan	Group Presentations 2: Sports in the U.S. and Japan. Student reactions.
10	The World of Disney	Listening practice from DVD; Reading comprehension from text.
11	The World of Disney	Reading and Writing practice using expressions from the textbook
12	Disney Movies and Gender.	Discussion of how gender is depicted in scenes from Disney movies. Listening and Reading practice from Unit 4.
13	Entertainment: Hollywood, California	Group presentations on chosen topics from Disney and Hollywood entertainment; Student reactions
14	Term end review.	Review Test on Units 1-4: Listening, Reading and Writing.

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete weekly reading assignments from either the text or other supplemental sources as well as doing periodic research on a topic for the following class.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

## 【テキスト（教科書）】

American Dream: Video Reading and Listening in American culture. (Asahi Press, Japan)

## 【参考書】

An English-Japanese/Japanese-English dictionary is highly recommended for each class session. Other supplemental readings and handouts will be provided at the discretion of the instructor.

## 【成績評価の方法と基準】

Grading criteria for this course will be based on the following:  
\*Class participation: 25% (including the timely completion of assignments)

Presentations (group and individual) 25%

Oral dictation and vocabulary quizzes, mid-term and final end of term test: 50%

\*Please note that in principle no more than three absences are permitted throughout the term. Without a valid reason (i.e. medical emergency/family problem) a fourth absence will result in failure for the term.

## 【学生の意見等からの気づき】

N/A

**【Outline (in English)】**

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. In this course students will spend time using English to learn about American culture from a number of diverse perspectives. Students will learn about American culture through various sources of information and will incorporate a variety of topics about which they will express their opinion. In addition, students will also practice the fundamental English skills necessary to accomplish the above.

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Topics in American Culture

MICHAEL F.MURPHY

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

中級／英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 II builds upon the skills and knowledge gained from English 1,2 and the first semester of English 3. It will continue to aim to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. Students will spend time using English to learn about American culture from a number of diverse perspectives. Students will learn about American culture through various sources of information and will incorporate a variety of topics about which they will express their opinion. In addition, students will also practice the fundamental English skills of listening, speaking, reading and writing necessary to accomplish the above.

## 【到達目標】

Students will read and understand rather simple English texts without relying too much on dictionaries for understanding.

Students will learn to express their own opinion in speaking and writing, including how to examine content from a critical thinking perspective.

Students will not only learn about American culture, which continues to have a large impact on the world, but also be able to apply that knowledge while improving their English skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたなどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

Various target language objectives will be emphasized during each class period. For example, while reading from text, an emphasis may be placed on building vocabulary as well as the comprehension of passages. When presentations are the focus, an emphasis will be placed on using the appropriate posture and body language.

In week 13, comments and explanations are given for all assignments, reports and oral dictation quizzes given.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction to the Fall term.	Review of class policies and procedures; student expectations for Fall term. assignment for next class.
2	Unit 5: The Statue of Liberty.	Reading and Listening practice using DVD video.
3	The Statue of Liberty.	Readings and Writing practice using the expressions from the textbook.
4	The Statue of Liberty	Unit 5 Listening and Vocabulary Quiz. Preparation for first group presentations.

5	The Melting Pot	Group Presentations on the meaning of freedom and student reactions. Introduction to Unit 6.
6	The Melting Pot	Practice reading and listening using the text and DVD video
7	The Melting Pot	Practice reading and writing using the expressions and vocabulary in the textbook.
8	Unit 6 Review	Unit 6: Listening and Vocabulary Quiz; preparation for Presentations
9	Cultural Diversity	Group presentations on chosen topics of culture; student reactions.
10	Jazz, Gospel, Blues and Rock n Roll	Reading and Listening practice using the text and DVD video.
11	Jazz, Gospel, Blues and Rock n Roll	Practice reading and writing using the expressions and vocabulary in the textbook.
12	Native American Indians	Listening and Vocabulary Quiz on Unit 7; Introduction to Unit 9 Reading and Listening practice using the text and DVD video.
13	Native American Indians	Final Group presentations on chosen topics from Units 7,8 and 9.
14	Term End Review	Final Test, Units 5-9: Listening, Reading and Writing

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to come to class fully prepared, having completed any readings, writings or listening tasks assigned from the previous week. This is of utmost importance in order to fully participate in class activities ( see Grading criteria below ) and for the benefit of the class as a whole.

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

## 【テキスト（教科書）】

American Dream: Video Reading and Listening in American culture.( Asahi Press, Japan)

## 【参考書】

An English-Japanese/Japanese-English dictionary is highly recommended for each class session. Other supplemental readings will be provided at the discretion of the instructor.

## 【成績評価の方法と基準】

Grading criteria for this course will be based on the following:

\*Class participation: 25% ( including the timely completion of homework assigned in the previous class)

Presentations ( individual and small group ) 25%

Oral dictation quizzes, mid-term and final test: 50%

\*Please be aware that in principle no more than three absences are permitted throughout the term. Without a valid reason ( i.e. medical emergency/ family problem ) a fourth absence will result in a failing grade for the term.

## 【学生の意見等からの気づき】

N/A

**【Outline (in English)】**

English 3 II builds upon the skills and knowledge gained from English 1,2 and the first semester of English 3. It will continue to aim to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. Students will spend time using English to learn about American culture from a number of diverse perspectives. Students will learn about American culture through various sources of information and will incorporate a variety of topics about which they will express their opinion. In addition, students will also practice the fundamental English skills of listening, speaking, reading and writing necessary to accomplish the above.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Japan And The World: Global Communication

I

RICHARD WILCOX

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

中級／英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

## 【到達目標】

Media and Culture: Communicating In English To Explain Japan To The World

Students will find this course useful for building their English and academic abilities and broadening their understanding of the world. Topics may include: media and culture; women's empowerment in social and economic life; career goals; modern Japanese culture and subcultures; nature and environment; human health, nutrition and exercise; global economic development and international relations. Students will use graded reader books, journals, a textbook and practical English conversation handouts to improve their communication skills. Tests will include written and oral types and informal and power point presentation formats.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

Textbook, English Conversation Practice handouts, Written assignments and tests, Journals, Graded Readers, Viewing educational DVDs; Teacher explanations

Handouts:

English Conversation Practice

Excerpts "From Paragraph to Essay"

Research Proposal Outline

Designing Research: Surveys

Designing a Survey Outline

Analyzing Data Outline

Describing Graphs

DVD Discussion Outline

Internet Search Techniques

Speech Outline

Audience Q &amp; A Outline

Presentation Slides

Powerpoint Outline

Presentation Delivery

Presentation Evaluation Form

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Self Introduction; Topic: Physical fitness	Orientation; English Conversation Practice (ECP) Handouts; Text Unit 1
2	Asking questions; Topic: Blood types	Graded Reader (GR); ECP Handouts; Text Unit 2
3	Giving opinion; Topic: Dreams	GR; ECP Handouts; Text Unit 3
4	Debating topics: Topic: Speed dating	GR; ECP Handouts; Unit 4
5	Narratives; Topic: Pets in Japan	GR Discussion; Written Test on Textbook
6	Describing things; Topic: Stress	Return test results; GR 2; ECP Handouts: Unit 5
7	Ecology; Topic: Listening and taking notes	GR 2; ECP Handouts: Unit 6
8	Problems and Solutions: Topic: Fast food	DVD: Queen of the Sun (30 min.); Discussion
9	Comparisons: Topic: Shopping trends	Queen of the Sun (30 - 60 min.); Discussion
10	Discussions; Topic: Women and work	GR 2; ECP Handouts; Unit 7
11	Group organization; Topic: Student choice	GR 2; ECP Handouts; Unit 8
12	Presentations; Topic: Course related topics	GR 2 Discussion (students hand in final GR reports); ECP Handouts; Text Unit 9
13	Choice of test topics	Return GR reports; Prepare Informal Group Presentation
14	Student peer review and feedback	Informal Group Presentations (Individuals present in small groups)

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Pre-reading of assignments; completion of textbook homework assignments; preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

No more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed.

## 【テキスト（教科書）】

Life Topics (Advanced)

## 【参考書】

Wilcox Handouts

Google Scholar

Wikipedia

## 【成績評価の方法と基準】

Participation 20%; Written assignments 10%; 2 Written Tests 30%; Informal Group Presentation 20%; Final Individual Powerpoint Presentation 20%;

Students should be aware that no more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed otherwise they will fail the course.

## 【学生の意見等からの気づき】

Adjustment to length of devotion to various topics based on student interest

## 【学生が準備すべき機器他】

Bring textbook and notebook and clear folder to keep handouts in class; laptop computers are recommended.

## 【その他の重要事項】

Please arrive at class on time and attend regularly. As noted above, students who are often late or absent will suffer lowering of grades and possibility of class failure.

**【Outline (in English)】**

1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Japan And The World: Global Communication II

RICHARD WILCOX

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

中級／英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

## 【到達目標】

Media and Culture: Communicating In English To Explain Japan To The World

Students will find this course useful for building their English and academic abilities and broadening their understanding of the world. Topics may include: media and culture; women's empowerment in social and economic life; career goals; modern Japanese culture and subcultures; nature and environment; human health, nutrition and exercise; global economic development and international relations. Students will use graded reader books, journals, a textbook and practical English conversation handouts to improve their communication skills. Tests will include written and oral types and informal and power point presentation formats.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

Textbook, English Conversation Practice handouts, Written assignments and tests, Journals, Graded Readers, Viewing educational DVDs; Teacher explanations

Handouts:

English Conversation Practice

Excerpts "From Paragraph to Essay"

Research Proposal Outline

Designing Research: Surveys

Designing a Survey Outline

Analyzing Data Outline

Describing Graphs

DVD Discussion Outline

Internet Search Techniques

Speech Outline

Audience Q &amp; A Outline

Presentation Slides

Powerpoint Outline

Presentation Delivery

Presentation Evaluation Form

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Self Introduction; Topic: The Internet	Journal; ECP Handouts; Text Unit 9 Women and Work
2	Asking questions; Topic: Kawaii	Journal; ECP Handouts; Text Unit 10 The Internet
3	Giving opinion; Topic: Dressing Casually	Journal; ECP Handouts; Text Unit 11 Kawaii
4	Debating topics: Topic: World happiness	18. ECP Handouts; Unit 12; Homework: Read "Fukushima" DVD transcript; Write report for pages 1 - 4
5	Listening and taking notes 1; Topic: Environment	Watch "Fukushima" (20 min); Discussion; Homework: Write report 5 - 8
6	Observing and taking notes; Topic: Technology	Watch "Fukushima" (21 - 40 min); Discussion; Write report 9 - 11
7	Summarizing Opinions; Topic: Energy issues	Watch "Fukushima" (41 - 60); Discussion; Hand in Fukushima reports
8	Narratives; Topic: The right to die	Journal; ECP Handouts: Unit 13 Same Sex Marriage
9	Describing things; Topic: Pet cloning	Journal; ECP Handouts; Unit 14 World Happiness
10	Choice of test topics	Hand in Journals; Written Test on Textbook
11	Problems and Solutions / Comparisons; Topic: Lecture on powerpoint techniques	Return journals and test results; Prepare Final Individual Powerpoint Presentations
12	Powerpoint presentations	Power Point Presentations (Group 1) Student Q & A
13	Powerpoint presentations	Power Point Presentations (Group 2) Student Q & A
14	Course Review	Course Review

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Pre-reading of assignments; completion of textbook homework assignments; preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

No more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed.

## 【テキスト（教科書）】

Life Topics (Advanced)

## 【参考書】

Wilcox Handouts

Google Scholar

Wikipedia

## 【成績評価の方法と基準】

Participation 20%; Written assignments 10%; 2 Written Tests 30%; Informal Group Presentation 20%; Final Individual Powerpoint Presentation 20%; Students should be aware that no more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed otherwise they will fail the course.

## 【学生の意見等からの気づき】

Adjust lessons according to student interest

## 【学生が準備すべき機器他】

Bring textbook and notebook and clear folder to keep handouts in class; laptop computers are recommended.



**【その他の重要事項】**

Please arrive at class on time and attend regularly. Students who are often late or absent will suffer lowering of grades and possibility of class failure.

**【Outline (in English)】**

1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：現代の諸相

井上 紗央里

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

海外のニュースを音声と映像で理解し、ニュースを通して国際社会への意識を高め、自分の意見を英語でアウトプットすることを目標とします。

## 【到達目標】

1. 海外のニュースを使用して英語の音声に慣れリスニング力を強化する。
2. ニュースのスキプトの読解を通して英語の文法、語彙を強化する。
3. 自分の意見を英語でアウトプットできるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業形態 講義と演習形式。テキストの演習問題を使用して、語彙の確認、リスニング練習を行います。その後ニュースの内容を受講者全員で確認します。テキストの内容理解の問題を提出課題として学習支援システム（Hoppii）から出題します。フィードバックは授業内での解説や学習支援システム、E-mail を使用して行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション Unit 1 The Windows of Canterbury Cathedral ①	授業の進め方の説明 リスニング
2	Unit 1 The Windows of Canterbury Cathedral ②	テキスト P6 Summary のリスニング テキスト P1-6 の解説、提出課題の確認
3	Unit 2 A Skateboarding School for Women ①	Unit2 News Story のディクテーション、テキスト P7-12 解説前半
4	Unit 2 A Skateboarding School for Women ②	テキスト P7-12 の解説後半、P12 Summary のリスニング、提出課題の確認
5	Unit 3 West London's Community Gardens ①	Unit3 News Story のディクテーション、テキスト P13-18 解説前半
6	Unit 3 West London's Community Gardens ②	テキスト P13-18 の解説後半、P18 Summary のリスニング、提出課題の確認
7	Unit 4 The Climate Change Threat to Heritage Sites ①	Unit4 News Story のディクテーション、テキスト P19-24 解説前半
8	Unit 4 Two Generations Sharing a Home ②	テキスト P19-24 の解説後半、P24 Summary のリスニング、提出課題の確認

9	Unit 5 Cornwall's Lithium Mines ①	Unit5 News Story のディクテーション、テキスト P25-30 解説前半
10	Unit 5 Cornwall's Lithium Mines ②	テキスト P25-30 の解説後半、P30 Summary のリスニング、提出課題の確認
11	Unit 6 How to Be Happy on Blue Monday ①	Unit6 News Story のディクテーション、テキスト P31-36 解説前半
12	Unit 6 How to Be Happy on Blue Monday ②	テキスト P31-36 の解説後半、P36 Summary のリスニング、提出課題の確認
13	Unit 7 The New Brixham Banking Hub	Unit7 News Story のディクテーション、テキスト解説、P37-42 Summary のリスニング、提出課題の確認
14	期末試験とまとめ	第 1 回から 13 回までの授業内容を試験範囲とします。春学期全体のまとめ

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストにニュース映像閲覧用のパスワードと URL が記載されているので、それを使用して事前にニュース映像を見て、News Story の英文を読んできて下さい。受講者が予習をしていることを前提にスキプトのディクテーション、内容解説、演習問題の答え合わせなどを進めていきます。各ユニットの内容理解の演習問題の解答を課題として学習支援システムから提出してもらいます。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

British News Update 5（金星堂 2023）Timothy Knowles / 中村美帆子 / 田中みんね / 馬上紗矢香 著 ¥2,800（+ Tax）ISBN 978-4-7647-4172-0

## 【参考書】

なし

## 【成績評価の方法と基準】

試験 50 %、平常点（予習、授業内での発言等の貢献度、授業支援システムの課題提出）50 % で評価します。欠席が 4 回以上になった受講生は原則として単位取得の資格を失います。遅刻、早退も減点対象となります。

## 【学生の意見等からの気づき】

英作文や会話で自分の意見をアウトプットできる機会を増やしていきます。

## 【学生が準備すべき機器他】

授業連絡、課題の出題、フィードバック等はすべて学習支援システムを通じて行います。課題提出の際に PC、タブレット PC、スマートフォン等インターネットに接続できるデバイスが必要です。

## 【その他の重要事項】

学習支援システムの授業ページに教員のメールアドレスを掲載するので連絡や質問がある場合はメールで連絡をお願いします。メールを送る際は法政のメールアドレスを使用し「授業曜日、時限、学籍番号、氏名」を本文に明記してください。

## 【Outline (in English)】

The aim of this course is to improve students' reading, writing, and listening skills through watching and reading current affairs in English. At the end of the course, participants are expected to acquire basic English skills and enlarge knowledge of current events. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting. Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination (50%), In-class contribution and assignment submissions (50%).

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：現代の諸相

井上 紗央里

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

海外のニュースを音声と映像で理解し、ニュースを通して国際社会への意識を高め、自分の意見を英語でアウトプットすることを目標とします。

【到達目標】

1. 海外のニュースを使用して英語の音声に慣れリスニング力を強化する。
2. ニュースのスキプトの読解を通して英語の文法、語彙を強化する。
3. 自分の意見を英語でアウトプットできるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたなどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業形態 講義と演習形式で実施。テキストの演習問題を使用して、語彙の確認、リスニング練習を行います。その後ニュースの内容を受講者全員で確認します。テキストの内容理解の問題を提出課題として学習支援システムから出題します。フィードバックは授業内での解説や授業支援システム (Hoppii)、E-mail を使用して行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション Unit 8 Call to Clean Up London's Diesel Trains ①	授業の進め方の説明 Unit 8 Building Language, News Story リスニング
2	Unit 8 Call to Clean Up London's Diesel Trains ② Unit 9 The Fair Shot Café ①	Unit 8 News Story, Summary 解説, 演習問題 Unit 9 Building Language, News Story リスニング
3	Unit 9 The Fair Shot Café ②	Unit 9 News Story 解説, Summary 解説, 演習問題
4	Unit 10 The Impact of Covid on the Brain ①	Unit 10 Building Language, News Story リスニング
5	Unit 10 The Impact of Covid on the Brain ② Unit 11 Women Learning Skills for Life after Prison ①	Unit 10 News Story 解説, Summary 解説, 演習問題 Unit 11 Building Language, News Story リスニング
6	Unit 11 Women Learning Skills for Life after Prison ②	Unit 12 News Story 解説, Summary 解説, 演習問題
7	Unit 12 A Space for Green Businesses ①	Unit 12 Building Language, News Story リスニング, 解説

8	Unit 12 A Space for Green Businesses ②	Unit 12 Summary 解説, 演習問題
9	Unit 13 Diversity in the Workplace ①	Unit 13 Building Language, News Story リスニング
9	Unit 13 Diversity in the Workplace ②	Unit 13 News Story 解説, Summary 解説, 演習問題
10	Unit 14 Repayment of Student Loans ①	Unit 14 Building Language, News Story リスニング, 解説前半
11	Unit 14 Repayment of Student Loans ②	Unit 14 News Story 解説 後半, Summary 解説, 演習問題
12	Unit 15 Bringing Back Scottish Wetlands ①	Unit 15 Building Language, News Story リスニング, 解説前半
13	Unit 15 Bringing Back Scottish Wetlands ②	Unit 15 News Story 解説 後半, Summary 解説, 演習問題
14	期末試験とまとめ	第 1 回から 13 回までの授業内容を試験範囲とします。秋学期全体のまとめ

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

テキストにニュース映像閲覧用のパスワードと URL が記載されているので、それを使用して事前にニュース映像を見て、News Story の英文を読んできて下さい。受講者が予習をしていることを前提にスキプトのディクテーション、内容解説、演習問題の答え合わせなどを進めていきます。各ユニットの内容理解の演習問題の解答を課題として学習支援システムから提出してもらいます。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

British News Update 5 (金星堂 2023) Timothy Knowles / 中村美帆子 / 田中みんね / 馬上紗矢香 著 ¥2,800 (+ Tax) ISBN 978-4-7647-4172-0

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

試験 50 %、平常点 (予習、授業内での発言等の貢献度、学習支援システムの課題提出) 50 % で評価します。欠席が 4 回以上になった受講生は原則として単位取得の資格を失います。遅刻、早退も減点対象となります。

【学生の意見等からの気づき】

英作文や会話で自分の意見をアウトプットできる機会を増やしていきます。

【学生が準備すべき機器他】

授業連絡、課題の出題、フィードバック等はすべて学習支援システムを通じて行います。課題提出の際に PC、タブレット PC、スマートフォン等インターネットに接続できるデバイスが必要です。

【その他の重要事項】

学習支援システムの授業ページに教員のメールアドレスを掲載するので連絡や質問がある場合はメールでご連絡をお願いします。メールを送る際は法政のメールアドレスを使用し「授業曜日、時限、学籍番号、氏名」を本文に明記してください。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to improve students' reading, writing, and listening skills through watching and reading current affairs in English. At the end of the course, participants are expected to acquire basic English skills and enlarge knowledge of current events. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting. Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 50%, In-class contribution and Assignment submissions: 50%.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：世界の中での日本の歴史

戸嶋 まゆみ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この講座では、日本の歴史について知り、日本のことを英語でアウトプットする力を伸ばすトレーニングを行います。簡単な文章を理解し、英語でアウトプットできることが目的です。本授業では、すべて網羅した総合的な学習を目標としています。本授業では、「4 技能」（英語を読み、聞き、書き、話す）の学習を行います。

## 【到達目標】

日本についてより深く知り、日本のことを英語でアウトプットする力を伸ばすトレーニングを行います。簡単な文章を理解し、英語でアウトプットできることが目的です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

テキストを読み、得た知識の発表を個人及びグループで行います。グループ・ワーク及びグループ・プレゼンテーションを行い、アウトプットのトレーニングをします。課題等に対するフィードバックは、授業時に口頭あるいはプリント等を用いて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 講	ガイダンス	ガイダンス
第 2 項	発音練習	発音練習
第 3 講	Chapter 1 The Jomon Period	縄文時代について
第 4 講	Chapter 2 The Yayoi Period	弥生時代について
第 5 講	Chapter 3 The Tumulus Period	古墳時代について
第 6 講	Chapter 4, 5 The Asuka Period 1,2	飛鳥時代について
第 7 講	Chapter 6 The Nara Period	奈良時代について
第 8 講	Chapter 7 The Heian Period	平安時代について
第 9 講	Chapter 8 The End of the Heian Period and the Rise of the Bushi	平安時代の終焉
第 10 講	プレゼンテーション 1	プレゼンテーション 1
第 11 講	プレゼンテーション 2	プレゼンテーション 2
第 12 講	プレゼンテーション 3	プレゼンテーション 3
復習	復習	復習
総括	総括	総括

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

○予習及びグループ学習のための時間が必要です。具体的には、テキストを読んで、内容を日本語と英語でまとめておくことと、グループ発表のための計画をし、グループで集まり、発表の内容を考え、発表の練習をすることです。

○本授業の準備・復習時間は、1 時間を標準とします

## 【テキスト（教科書）】

The General History of Japan 五十嵐昭人著 南雲堂 2016 年 ISBN 978-4-523-17824-8

## 【参考書】

辞書等

## 【成績評価の方法と基準】

授業のための準備・予習等 (20%)、グループ・プレゼンテーション (30%)、提出物 (10%)、ペーパーテスト (40%) の総合点で評価します。尚、欠席が 4 回以上になった物は原則として単位取得の資格を失います。

## 【学生の意見等からの気づき】

クラス人数が比較的多い場合は、一人一人の発言の機会が少ないという意見がでます。積極的な参加をしてもらえるような采配をするつもりです。

## 【学生が準備すべき機器他】

辞書

## 【その他の重要事項】

プレゼンテーションでは、グループ性と一人 1 分程度かつ原稿なしでの英語での発言が求められます。

## 【Outline (in English)】

## 【Course Outline】

The target of this course will be to improve students ability in English reading and outputting about Japanese history. It is going to be quite important for university students nowadays to improve their English reading and outputting skills in order to function in the future global society. I hope that this course will help guide you to a new 'you' with efficient English skills.

## 【Learning Objectives】

The goal of this course is to know well about Japanese History through English.

## 【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each.

## 【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

In-class contribution: 20%, Presentations: 30%, Reports: 10%, Term-end examination: 40%.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：世界の中での日本の歴史

戸嶋 まゆみ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この講座では、日本の歴史について知り、日本のことを英語でアウトプットする力を伸ばすトレーニングを行います。簡単な文章を理解し、英語でアウトプットできることが目的です。本授業では、すべて網羅した総合的な学習を目標としています。「4 技能」(英語を読み、聞き、書き、話す)の学習を行います。

【到達目標】

日本についてより深く知り、日本のことを英語でアウトプットする力を伸ばすトレーニングを行います。簡単な文章を理解し、英語でアウトプットできることが目的です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストを読み、得た知識の発表を個人及びグループで行います。グループ・ワーク及びグループ・プレゼンテーションを行い、アウトプットのトレーニングをします。課題等に対するフィードバックは、授業時に口頭あるいはプリント等を用いて行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 講	ガイダンス	ガイダンス
第 2 項	発音練習	発音練習
第 3 講	Chapter 9,10 The Kamakura Period 1,2	鎌倉時代について
第 4 講	Chapter 11,12 The Muromachi Period	室町時代について
第 5 講	Chapter 13, 14 The Azuchi-Momoyama Period	安土桃山時代について
第 6 講	Chapter 15,16 The Edo Period 1,2	江戸時代について
第 7 講	Chapter 17,18 The Edo Period 3,4	江戸時代について
第 8 講	Chapter 19,20 The Meiji Period 1,2	明治時代について
第 9 講	Chapter 21 The Meiji Period	明治時代の終焉
第 10 講	プレゼンテーション 4	プレゼンテーション 4
第 11 講	プレゼンテーション 5	プレゼンテーション 5
第 12 講	プレゼンテーション 6	プレゼンテーション 6
復習	復習	復習
総括	総括	総括

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

○予習及びグループ学習のための時間が必要です。具体的には、テキストを読んで、内容を日本語と英語でまとめておくことと、グループ発表のための計画をし、グループで集まり、発表の内容を考え、発表の練習をすることです。

○本授業の準備・復習時間は、1 時間を標準とします

【テキスト (教科書)】

The General History of Japan 五十嵐昭人著 南雲堂 2016 年 ISBN 978-4-523-17824-8

【参考書】

辞書等

【成績評価の方法と基準】

授業のための準備・予習等 (20%)、グループ・プレゼンテーション (30%)、提出物 (10%)、ペーパーテスト (40%) の総合点で評価します。尚、欠席が 4 回以上になった者は原則として単位取得の資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】

クラス人数が比較的多い場合は、一人一人の発言の機会が少ないという意見がでます。積極的な参加をしてもらえようような采配をするつもりです。

【学生が準備すべき機器他】

辞書

【その他の重要事項】

プレゼンテーションでは、グループ性と一人 1 分程度かつ原稿なしでの英語での発言が求められます。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The target of this course will be to improve students ability in English reading and outputting about Japanese history. It is going to be quite important for university students nowadays to improve their English reading and outputting skills in order to function in the future global society. I hope that this course will help guide you to a new 'you' with efficient English skills.

【Learning Objectives】

The goal of this course is to know well about Japanese History through English.

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

In-class contribution: 20%, Presentations: 30%, Reports: 10%, Term-end examination: 40%.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current Issues in the English-Speaking World

佐藤 陽子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 では、English 1 と 2 で学んだことをもとに、様々な英語の素材を批判的に吟味し、それぞれのトピックについて自分の意見を述べる力を養います。具体的には、新聞やニュースに取り上げられた英語圏の時事問題を理解したのち、**group discussion** や **group presentation** の中で自分の意見を英語で表現する練習をします。

## 【到達目標】

- 1) 英語の素材の理解を通して、時事問題、文化、文体、発音、単語などを学びます。
- 2) 関連情報を調べ分析することによって、情報収集能力や素材を批判的に吟味する力をつけます。
- 3) ディスカッションやプレゼンテーションを通して、英語で意見を表現する方法を学びます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

「学習者中心型」の授業で、いわゆる 4 技能 (reading, writing, listening, speaking) を用いたペア、グループ・アクティビティやタスクが中心となります。具体的には、宿題の読み物やオーディオ/ビジュアル・クリップで学んだトピックについて **group discussion** を行い、結果を **group presentation** として発表します。授業の雰囲気は **informal & friendly** です。現在のコロナの感染状況を鑑み、Zoom によるオンラインでの開講となります。課題等のお知らせの配信には HOPPII (授業支援システム) を使いますので、\*法政のメールアドレスに\*通知が届きます。毎回の授業中および授業後のアンケートで質問、意見、トラブルなど遠慮せずに伝えてください。これらおよび宿題や **presentations** へのフィードバックは、授業および HOPPII で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	Introduction, getting to know each other, course descriptions, Q & A	Communicative activities, course descriptions, plans for the semester, homework, Q & A
2	Basics of oral communication, planned speech, understanding Current Issue 1	Show & Tell 1, comprehension check on reading HW on Topic 1, homework, Q & A
3	Vocabulary quiz 1, unplanned speech, basics of group discussion, discussing Current Issue 1 (1)	Vocabulary quiz 1, conversation, group discussion (1) on Topic 1, homework, Q & A

4	Planned speech, Discussing Current Issue 1 (2)	Story of my name, group discussion (2) on Topic 1, homework, Q & A
5	Vocabulary quiz 2, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (3), basics of group presentation (1)	Vocabulary quiz 2, conversation, group discussion (2) on Topic 1, basics of group presentation (1), homework, Q & A
6	Planned speech, basics of group presentation (2), preparing for Presentation 1	Show & Tell 2, basics of group presentation (2), preparation for the group presentation on Topic 1, homework, Q & A
7	Presenting on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1, homework, Q & A
8	Unplanned speech, feedback on Presentation 1, understanding Current Issue 2	Conversation, peer- and teacher feedback on Presentation 1, comprehension check on Topic 2 material, homework, Q & A
9	Vocabulary quiz 3, unplanned speech, discussing Current Issue 2 (1)	Vocabulary quiz 3, conversation, group discussion on Topic 2 (1), homework, Q & A
10	Planned speech, discussing Current Issue 2 (2)	Show & Tell 3, group discussion on Topic 2 (2), homework, Q & A
11	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (3), basics of group presentation (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (3), basics of group presentation (3), homework, Q & A
12	Unplanned speech, basics of group presentation (4), preparing for Presentation 2	Conversation, basics of group presentation (4), preparation for the group presentation on Topic 2, homework, Q & A
13	Presenting on Current Issue 2	Group presentations on Topic 2, homework, Q & A
14	Unplanned speech, feedback on Presentation 2, recap of the semester & student feedback	Conversation, peer- and teacher feedback on presentation 2, recap of the semester, student feedback

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回出される宿題を完璧にこなすこと、単語の豆テストや **discussion** や **presentations** の準備をすることが必須です。宿題に基づくグループワークが主になるので、宿題をしていないと他のメンバーに迷惑をかけることになります。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

市販の教科書はありませんが、英語で書かれた教材（授業のスライドを含む）と関連情報は授業支援システム Hoppii から配信されます。

## 【参考書】

みなさんの英語能力にあった大学生レベルの辞書が必要です。

## 【成績評価の方法と基準】

成績は以下の基準で評価されます。

授業への積極的参加:25%

宿題と単語の豆テスト: 35%

Presentations: 40%

注意事項:授業 4 回分相当をのがした場合は原則として単位取得はできません。また、欠席は予習・宿題をしていない言い訳にはなりません。

**【学生の意見等からの気づき】**

2022 年度も全て Zoom で行いましたが、ペア、グループ・ワークが多い **communicative** な授業だったため、「友達ができた」「クラスを受講している気持ちになれた」「毎週クラスメイトに会えるこの授業が救いになった」という声をいただきました。また、英会話が楽しかった、トピックが興味深かった、**discussion** や **presentation** の練習が非常にためになった、という声も多くいただきました。

**【学生が準備すべき機器他】**

Zoom 授業のため、パソコン (望ましい) か携帯が必要です。また、大学で受講する場合はハウリング防止のため、ヘッドセット (マイク付きイヤホン) が必要です。プレゼンテーションにはスライド (e.g. PowerPoint) が、提出課題にはワープロソフト (e.g. Word) が必要です。授業は静かな環境で受けてください。

**【Outline (in English)】**

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 25%

Homework and quizzes: 40%

Presentations: 35%

Please note that any student who misses the equivalent of more than 3 classes will not pass this course except in extreme circumstances. Please also note that absence does not excuse students from doing homework. When absent, students are also responsible for obtaining information etc by contacting the teacher and/or other students and for coming back to class in the following week with all the preparation done.

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current Issues in the English-Speaking World

佐藤 陽子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3II では、English 3I で学んだことをもとに、様々な英語の素材を批判的に吟味し、それぞれのトピックについて自分の意見を述べる力を養います。具体的には、新聞やニュースに取り上げられた英語圏の時事問題を理解したのち、**group discussion**、**group presentation** そして **essay** の中で自分の意見を英語で表現する練習をします。

## 【到達目標】

- 1) 英語の素材の理解を通して、時事問題、文化、文体、発音、単語などを学びます。
- 2) 関連情報を調べ分析することによって、情報収集能力や素材を批判的に吟味する力をつけます。
- 3) ディスカッション、プレゼンテーション、エッセイ（小論文）を通して、英語で意見を表現する方法を学びます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

「学習者中心型」の授業で、いわゆる 4 技能 (reading, writing, listening, speaking) を用いたペア、グループ・アクティビティやタスクが中心となります。具体的には、宿題の読み物やオーディオ/ビジュアル・クリップで学んだトピックについて **group discussion** を行い、結果を **group presentation** として発表します。授業の雰囲気は **informal & friendly** です。現在のコロナの感染状況を鑑み、Zoom によるオンラインでの開講となります。課題等のお知らせの配信には HOPPII (授業支援システム) を使いますので、\*法政のメールアドレスに\*通知が届きます。毎回の授業中および授業後のアンケートで質問、意見、トラブルなど遠慮せずに伝えてください。これらおよび宿題や **presentations** へのフィードバックは、授業および HOPPII で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	Welcome back, plans for the semester	Communicative activities, plans for the semester, homework, Q & A
2	Planned speech 1, understanding Current Issue 1	Show & Tell 1, comprehension check on reading material on Topic 1, homework, Q & A
3	Vocabulary quiz 1, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (1), basics of essay writing (1)	Vocabulary quiz 1, conversation, group discussion (1) on Topic 1, basics of essay writing (1)
4	Vocabulary quiz 2, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (2), basics of essay writing (2)	Vocabulary quiz 2, conversation, group discussion (2) on Topic 1, basics of essay writing (2), homework, Q & A

5	Planned speech, discussing Current Issue 1 (3), preparing for Presentation 1	Show & Tell 2, group discussion (2) on Topic 1, preparation for the group presentation on Topic 1, homework, Q & A
6	Presenting on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1, homework, Q & A
7	Unplanned speech, feedback on Presentation 1, brainstorming on Current Issue 2	Conversation, peer- and teacher feedback on presentation 1, 2, brainstorming on Topic 2, homework, Q & A
8	Planned speech, discussing Current Issue 2 (1)	Show & Tell 3, group discussion on Topic 2 (1), homework, Q & A
9	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (2), basics of essay writing (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (2), basics of essay writing (3), homework, Q & A
10	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (3), homework, Q & A
11	Unplanned speech, preparing for Presentation 2	Conversation, preparation for the group presentation on Topic 2, homework, Q & A
12	Presenting on Current Issue 2	Group presentations on Topic 2, homework, Q & A
13	Feedback on Presentation 2, discussing essay drafts	Peer- and teacher feedback on presentation 2, share & discuss essay drafts, homework, Q & A
14	Unplanned speech, discussing essay drafts, recap of the semester, student feedback	Conversation, discuss essay drafts, recap of the semester, student feedback, homework, Q & A

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回出される宿題を完璧にこなすこと、単語の豆テストや **discussion** や **presentations** の準備をすることが必須です。宿題に基づくグループワークが主になるので、宿題をしていないと他のメンバーに迷惑をかけることになります。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

市販の教科書はありませんが、英語で書かれた教材（授業のスライドを含む）と関連情報は授業支援システム Hoppii から配信されます。

## 【参考書】

みなさんの英語能力にあった大学生レベルの辞書が必要です。

## 【成績評価の方法と基準】

成績は以下の基準で評価されます。

授業への積極的参加:25%

宿題と単語の豆テスト: 35%

Presentations & an essay: 40%

注意事項:授業 4 回分相当ののがした場合は原則として単位取得はできません。また、欠席は予習・宿題をしていない言い訳にはなりません。

## 【学生の意見等からの気づき】

2022 年度も全て Zoom で行いましたが、ペア、グループ・ワークが多い **communicative** な授業だったため、「友達ができた」「クラスを受講している気持ちになれた」「毎週クラスメイトに会えるこの授業が救いになった」という声をいただきました。また、トピックが興味深かった、**essay writing** が非常にためになった、という声も多くいただきました。

## 【学生が準備すべき機器他】

Zoom 授業のため、パソコン (望ましい) が携帯が必要です。また、大学で受講する場合はハウリング防止のため、ヘッドセット (マイク付きイヤホン) が必要です。プレゼンテーションにはスライド (e.g. PowerPoint) が、提出課題にはワープロソフト (e.g. Word) が必要です。静かな環境で受講してください。



**【Outline (in English)】**

This course builds upon the skills and knowledge gained from English 3 I, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 25%

Homework and quizzes: 40%

Presentations: 35%

Please note that any student who misses the equivalent of more than 3 classes will not pass this course except in extreme circumstances. Please also note that absence does not excuse students from doing homework. When absent, students are also responsible for obtaining information etc by contacting the teacher and/or other students and for coming back to class in the following week with all the preparation done.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：アメリカの多文化性

## 磯部 芳恵

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

中級／日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course builds upon skills on knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with opportunities to have critical thinking skills and express their opinions on different topics in English, using the textbook and authentic materials.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures, while building their communication skills in all aspects.

## 【到達目標】

The first goal of this course is to enable students to learn about various cultural aspects from around the world. The second goal is for students to develop discussion and critical thinking skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

Exercises will be done both in class and as homework. There will be a quiz at the end of the semester.

The first language of the classroom is English.

Classroom methods include:

1. The textbook includes various activities
2. short lectures and explanations by the teacher
3. pair and group discussions
4. presentations

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】  
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introductions	Student introductions Course outline Getting started: reading an article
2	Unit 1 Mail by Drone	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
3	Try this, one more time!	Summary Discussion
4	Unit 2 History of General Electric	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
5	Try this, one more time!	Summary Discussion
6	Unit 3 Foxes	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion

7	Try this, one more time!	Summary Discussion
8	Unit 4 Air Taxi	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
9	Try this, one more time!	Summary Discussion
10	Unit 5 Youngest Female Pilot	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
11	Try this, one more time!	Summary Discussion
12	Review	Unit 1-5 Vocabulary
13	Presentation	Review Unit 1-5
14	Wrap up and feed back	End of term review and Q & A

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do listening homework, which involves completing a transcript exercise. In addition, students will research a variety of topics and prepare and perform presentations on a similar topic at the end of the semester.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

## 【テキスト（教科書）】

CNN 10 Vol.11 - Student News - < 2023 年 > (朝日出版社)

## 【参考書】

Students will use online information resources to research and prepare presentations. These include:

<http://www.bbc.co.uk/learningenglish>  
<https://learningenglish.voanews.com/>  
<https://www.newsinlevels.com/>  
<https://breakingnewsenglish.com>

## 【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on participation in class activities(40%), homework(20%), quizzes and tests(30%), and a presentation(10%).

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

## 【学生の意見等からの気づき】

Not applicable

## 【学生が準備すべき機器他】

Students should bring their presentation slide to class on a memory stick.

## 【Outline (in English)】

This course builds upon skills on knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with opportunities to have critical thinking skills and express their opinions on different topics in English, using the textbook and authentic materials.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures, while building their communication skills in all aspects.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：アメリカの多文化性

磯部 芳恵

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course builds upon skills on knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with opportunities to have critical thinking skills and express their opinions on different topics in English, using the textbook and authentic materials.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures, while building their communication skills in all aspects. Therefore they will acquire four skills, reading, listening, speaking and writing skills.

【到達目標】

The first goal of this course is to enable students to learn about various cultural aspects from around the world. The second goal is for students to develop discussion and critical thinking skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This is a hybrid class, we will meet some weeks in person and some weeks on Zoom.

Exercises will be done both in class and as homework. There will be a quiz at the end of the semester.

The first language of the classroom is English.

Classroom methods include:

1. The textbook includes various activities
2. short lectures and explanations by the teacher
3. pair and group discussions
4. presentations

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】  
あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】  
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Reading an article	Breaking News English Vocabulary Summary Discussion
2	Unit 6 Flashfood App	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
3	Try this, one more time!	Summary Discussion
4	Unit 7 China's Video Game Restrictions	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
5	Try this, one more time!	Summary Discussion

6	Unit 8 Giant Sequoia Trees	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
7	Try this, one more time!	Summary Try this, one more time!
8	Unit 9 Magellan Telescope	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
9	Try this, one more time!	Summary Discussion
10	Unit 10 India's Pollution	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
11	Try this, one more time!	Summary Discussion
12	Review	Unit 6-10
13	Presentation	Choose a topic from Unit 6-10 and give a presentation
14	Wrap up and feed back	End of the term review and Q & A

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students are required to do listening homework, which involves completing a transcript exercise. In addition, students will research a variety of topics and prepare and perform presentations on a similar topic at the end of the semester.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

CNN 10 Vol.11 - Student News - < 2023 年 > (朝日出版社) 1800 円。

【参考書】

Students will use online information resources to research and prepare presentations. These include:

<http://www.bbc.co.uk/learningenglish>  
<https://learningenglish.voanews.com/>  
<https://www.newsinlevels.com/>  
<https://breakingnewsenglish.com>

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on participation in class activities(40%), homework(20%), quizzes and tests(30%), and a presentation(10%).

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

リアクションペーパーを活用して、活用できるものは授業で紹介する。

【学生が準備すべき機器他】

Students should bring their presentation slides to class on a memory stick.

【Outline (in English)】

This course builds upon skills on knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with opportunities to have critical thinking skills and express their opinions on different topics in English, using the textbook and authentic materials.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures, while building their communication skills in all aspects. Furthermore they will learn to give a presentation.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：世界の中の日本

今井 澄子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English1 および 2 で習得した英語運用能力である読む、書く、聴く、話すの四技能を使い、国際語である英語を通じて日本文化を世界的文脈の中で相対化し、英語資料を理解して批判的に分析したうえで英語による意見の発信ができる能力を養成する。

## 【到達目標】

- ・英語資料により世界における日本文化受容について理解を持つ
- ・日本文化に関する一般の英文を読み、コメントを英語で書く
- ・日本文化に関するアカデミックな英文を精読し、読解力を上げる
- ・日本に関する語彙の知識により英語の聴解力を上げる
- ・大学レベルのアカデミック・スキル (Writing, Presentation) を身につける
- ・Oxford English Dictionary をデータベースとして使えるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業始めにリスニング小テスト、その後 DVD 視聴または英文読解、学習内容に関するコメントを英語で書いて提出、添削して返却する。DVD 視聴のないときは英文読解を行い、音読・日本語訳等が課される。今期は日本文化の世界での受容をテーマとするため、Oxford English Dictionary 見出し語となった日本語を調べ、英語プレゼンテーションを行うので、学内 PC による辞書検索、Writing、Presentation が課される。これら課題のうち、リスニング、ディクテーション、DVD および英文理解に関わる課題は授業内で解答する。プレゼンテーション原稿 Writing は添削指導、終了後にスライド、Speaking 音声（単語の発音、アクセント、イントネーション）、元にした OED データ等について、各自にコメントしてフィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	世界の日本文化受容 OED 採録の日本語	授業内容や課題の説明 データベース OED 利用案内
第 2 回	世界の中の日本文化 (Office) Long-Established Business *( ) 内は Listening 小 テストテーマ	Unit 1 DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 3 回	世界の中の日本文化 (Restaurant) Uniforms and Identity	(Listening 小テスト 2) Unit 2 DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 4 回	世界の中の日本文化 (Department Store) Volunteer Work and Helping Others	(Listening 小テスト 3) Unit 3 DVD 視聴 Short Reading Comment writing

第 5 回	世界の中の日本文化 (Airport) High-Tech Living [Automobiles]	(Listening 小テスト 4) Unit 4 DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 6 回	世界の中の日本文化 (Bank) Japanese Tableware	(Listening 小テスト 5) Unit 5 DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 7 回	世界の中の日本文化 (Duty-free Shop) Homemakers of Japan	(Listening 小テスト 6) Unit 6 DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 8 回	世界の中の日本文化 (Travel) Voice Actors	(Listening 小テスト 7) Unit 7 DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 9 回	日本社会と文化 (Rent-a-Car) Approaches to the Japanese History	(Listening 小テスト 8) Reading Essay R.J.Davis. Japanese Culture の 記事
第 10 回	日本文化の背景 (Fitness Center) 日本文学作品の英語訳	(Listening 小テスト 9) Reading Essay 英語版冒頭部分を読み、原作日本語と比較
第 11 回	日本文化の背景 (Job Training) Lonely Planet	(Listening 小テスト 10) Reading Essay 3 Ch.Rawthorn. Japan: Understand Japan の記事
第 12 回	Writing 試験	Presentation の原稿 Writing
第 13 回	Presentation 試験	OED にある日本語の英語説明
第 14 回	期末試験	試験・まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。  
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

テキストの音声は Web ストリーミングで視聴可能。Part I と II があるが、テキストには II のスクリプトしかないため I については Dictation 用の冊子を配布する。授業では Dictation と要所の説明を行い、スクリプトの和訳も一部取り入れるため、より理解するには予め目を通してとよい。Reading は速読用の比較的易しいものから Web 上の記事、学術文などさまざまなものを用意する。内容や英文の質の高度なものを扱うときは、自宅での十分な予習が必要。また、Writing や Presentation に用いる Oxford English Dictionary を調べた資料は期日までに必ず準備する。準備できていないと授業中に Writing、Presentation が行えず、試験未受験扱いとなる。Listening 小テストは準備の必要なし。

## 【テキスト（教科書）】

Discovering Cool Japan (2019). 成美堂 (Part I の Dictation 用スクリプトはコピー冊子を配布)  
Listening Promoter for the TOEIC® Test. 成美堂  
Reading 教材はコピーを配布。

## 【参考書】

Oxford English Dictionary.  
R.J. Davies. Japanese Culture: The Religious and Philosophical Foundations. 2016.  
<https://blogs.wsj.com/japanrealtime/>  
<https://www.japantimes.co.jp/>  
<https://www.bbc.co.uk/>  
<https://edition.cnn.com/>

**【成績評価の方法と基準】**

期末試験 60%、平常点 40%。平常点は授業参加度 10%、リスニング小テスト平均点 10%、Writing・Presentation・Speaking10%、その他授業内での課題 10%が原則。よって、評価点は試験 60 点、平常点 40 点の合計 100 点で、60 %以上の得点で合格。授業初めのリスニング小テスト終了後は遅刻と認めず欠席とし、リスニング小テストも 0 点となる。学期末の Presentation、原稿作成 Writing は授業内試験として扱い、単位取得に必須。このほか授業中の課題を遂行しない、あらかじめ割り当てられた担当課題があるのに無断欠席などは評価点がマイナスされる。授業では全員が担当をこなすため出席状況の良いことが必須で、欠席 4 回以上の者は原則として単位修得の資格を失う。

**【学生の意見等からの気づき】**

試みに日本文学英訳冒頭部分と原作日本語を比較する課題を取り入れたところ、好評だった。今年度はさらにバージョンアップした教材を作成し、同様に実施したい。

**【学生が準備すべき機器他】**

英和辞書。

**【Outline (in English)】**

This class aims to provide students with further opportunities to improve their English proficiency acquired in English 1 and 2 classes. Students will read, write, hear and speak about various topics of Japan, especially Japanese culture in the world in English in order fully to have an academic skill. The spring semester focuses on understanding how Japan and Japanese culture are recognized, accepted, or sometimes criticized in the world. The various reading and listening materials can give students a lot of information, and based on these, they try to write a comment or speak his/her opinion in English. To see the acceptance of Japanese culture, students will look into an entry of Japanese words in Oxford English Dictionary. Analyzing the definition and quotations of these words contributes to students' understanding Japanese culture. Concerning the class procedure, students take a listening test at the beginning, try to read a short English passage and write a comment after watching DVD. They also read an English essay on the background of Japanese culture and characteristics in class. It is essential for students to take three kinds of exams — writing, presentation, and final reading & listening. The required study time is at least one hour for each class meeting. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant part from the text. However, they need not to prepare for the listening-mini test and all the writing tasks are performed only in class. Every student's overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60%, mini-listening test average score 10%, writing & presentation score 10%, and in class contribution 20%.

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：世界の中の日本

今井 澄子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English1 および 2 で習得した英語運用能力である読む、書く、聴く、話すの四技能を使い、国際語である英語を通じて日本文化を世界的文脈の中で相対化し、英語資料を理解して批判的に分析したうえで英語による意見の発信ができる能力を養成する。

## 【到達目標】

- ・英語資料により世界における日本文化受容について理解を持つ
- ・日本文化に関する一般の英文を読み、コメントを英語で書く
- ・日本文化に関するアカデミックな英文を精読し、読解力を上げる
- ・日本に関する語彙の知識により英語の聴解力を上げる
- ・大学レベルのアカデミック・スキル (Writing, Presentation) を身につける
- ・Oxford English Dictionary をデータベースとして使えるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業始めにリスニング小テスト、その後 DVD 視聴または英文読解、学習内容に関するコメントを英語で書いて提出、添削して返却する。DVD 視聴のないときは英文読解を行い、音読・日本語訳等が課される。今期は日本文化の世界での受容をテーマとするため、Oxford English Dictionary 見出し語となった日本語を調べ、英語プレゼンテーションを行うので、学内 PC による辞書検索、Writing、Presentation が課される。これら課題のうち、リスニング、ディクテーション、DVD および英文理解に関わる課題は授業内で解答する。プレゼンテーション原稿 Writing は添削指導、終了後にスライド、Speaking 音声 (単語の発音、アクセント、イントネーション)、元にした OED データ等について、各自にコメントしてフィードバックする。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	世界の中の日本文化 (Business Trip) Seafood-Japanese Cuisine	(Listening 小テスト 1) Unit 8 DVD 視聴 Short Reading Comment writing *( ) 内は Listening 小テストテーマ
第 2 回	世界の中の日本文化 (Vacation) Japanized Foreign Dishes	(Listening 小テスト 2) Unit 9 DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 3 回	世界の中の日本文化 (Pay) Bag-Culture	(Listening 小テスト 3) Unit10DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 4 回	世界の中の日本文化 (Exhibition) Senior Citizens [Medical Checkups]	(Listening 小テスト 4) Unit11DVD 視聴 Short Reading Comment writing

第 5 回	世界の中の日本文化 (Shopping) Money	(Listening 小テスト 5) Unit12DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 6 回	世界の中の日本文化 (Hospital) Zodiac	(Listening 小テスト 6) Unit13DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 7 回	日本人とは何か (Train Station) What is a Japanese?	(Listening 小テスト 7) Reading Essay 1 R. Pulvers. Delighting in Cultures の記事
第 8 回	現代日本に残るサムライ (Presentation) Samurai Spirit	(Listening 小テスト 8) Reading Essay 2 Wall Street Journal の記事
第 9 回	Inbound Japan (Lecture) 英語で説明する日本史	(Listening 小テスト 9) Reading Essay 3 日本史の主要事項について説明する英文読解
第 10 回	Outbound Japan (Contract) 英文世界史に登場する日本史	(Listening 小テスト 10) Reading Essay 4 英語で書かれた世界史の中の日本についての記述を読む
第 11 回	日本語を英語にする方法 引用元表記のしかた	英語における外来語表記 外来語 + 言い換え MLA または APA による参考文献
第 12 回	Writing 試験	Presentation の原稿 Writing
第 13 回	Presentation 試験	日本史の事象を英語で説明
第 14 回	期末試験	試験・まとめと解説

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。  
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

テキストの音声は Web ストリーミングで視聴可能。PartI と II があるが、テキストには II のスクリプトしかないため I については Dictation 用の冊子を配布する。授業では Dictation と要所の説明を行い、スクリプトの和訳も一部取り入れるため、より理解するには予め目を通してとよい。Reading は速読用の比較的易しいものから Web 上の記事、学術文などさまざまなものを用意する。内容や英文の質の高度なものを扱うときは、自宅での十分な予習が必要。また、Writing や Presentation に用いる資料は期日までに必ず準備する。準備できていないと授業中に Writing、Presentation が行えず、試験未受験扱いとなる。Listening 小テストは準備の必要なし。

## 【テキスト (教科書)】

Discovering Cool Japan (2019). 成美堂 (PartI の Dictation 用スクリプトはコピー冊子を配布)

Listening Promoter for the TOEIC® Test. 成美堂  
Reading 教材はコピーを配布。

## 【参考書】

Oxford English Dictionary.  
R.J.Davies & Osamu Ikeno. The Japanese Mind: Understanding Contemporary Japanese Culture. 2002.  
<https://blogs.wsj.com/japanrealtime/>  
<https://www.japantimes.co.jp/>  
<https://www.bbc.co.uk/>  
<https://edition.cnn.com/>  
Vardaman, James M. Japanese History in Simple English. 2015.  
Hashiba, Yuzuru et al. World History for High School. 2019.

**【成績評価の方法と基準】**

期末試験 60%、平常点 40%。平常点は授業参加度 10%、リスニング小テスト平均点 10%、Writing・Presentation・Speaking10%、その他授業内での課題 10%が原則。よって、評価点は試験 60 点、平常点 40 点の合計 100 点で、60 %以上の得点で合格。授業初めのリスニング小テスト終了後は遅刻と認めず欠席とし、リスニング小テストも 0 点となる。学期末の Presentation、原稿作成 Writing は授業内試験として扱い、単位取得に必須。このほか授業中の課題を遂行しない、あらかじめ割り当てられた担当課題があるのに無断欠席などは評価点がマイナスされる。授業では全員が担当をこなすため出席状況の良いことが必須で、欠席 4 回以上の者は原則として単位修得の資格を失う。

**【学生の意見等からの気づき】**

日本史の主要事象が英語でどう説明され、世界史の中ではどう位置付けられているかを調べる課題を取り入れたところ好評だった。今年度も同様に実施したい。

**【学生が準備すべき機器他】**

英和辞書

**【Outline (in English)】**

This class aims to provide students with further opportunities to improve their English proficiency acquired in English 1 and 2 classes. Students will read, write, hear and speak about various topics of Japan, especially Japanese culture in the world in English in order fully to have an academic skill. The spring semester focuses on understanding how Japan and Japanese culture are recognized, accepted, or sometimes criticized in the world. The various reading and listening materials can give students a lot of information, and based on these, they try to write a comment or speak his/her opinion in English. To see the acceptance of Japanese culture, students will look into an entry of Japanese words in Oxford English Dictionary. Analyzing the definition and quotations of these words contributes to students' understanding Japanese culture. Concerning the class procedure, students take a listening test at the beginning, try to read a short English passage and write a comment after watching DVD. They also read an English essay on the background of Japanese culture and characteristics in class. It is essential for students to take three kinds of exams — writing, presentation, and final reading & listening. The required study time is at least one hour for each class meeting. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant part from the text. However, they need not to prepare for the listening-mini test and all the writing tasks are performed only in class. Every student's overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60%, mini-listening test average score 10%, writing & presentation score 10%, and in class contribution 20%.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：英字新聞・洋画・英語の歌を使って学ぶ

宮本 三恵子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

初級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English1 と 2 で学んだ「読む、書く、聴く、話す」という英語の 4 技能をさらに身に着けることを目的の一つとします。その際、「英語圏の文化と社会」も理解するための材料として英字新聞、映画、音楽が役立つでしょう。

## 【到達目標】

英字新聞では英語の文章を構文・語彙を理解して正確に読解できるようにしましょう。

映画では英会話のせりふが聞き取れるように努力し、自分で使えるようにもしましょう。

英語の歌でもリスニングの努力をして意味をつかめるようにしましょう。主に英語のプロテストソングを使って文化と社会を学びます。自分の考えを英語で表現したり、書いたりもできるようにしましょう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

英字新聞ではヘッドラインを読み取ることから始めて徐々に本文の文章にも触れていきます。そのために必要な文法的特徴も学んでいきます。

映画では、自分で選んだ映画を観て聞き取りの練習などします。映画についての報告などもします。その中で覚えた英語の会話を実際に使ってみます。字幕についても考えてみます。

音楽は指定された曲を使って各自聞き取りの練習をします。脚韻についても学びます。いくつかの日本語訳をみて考察します。

映画や音楽の背景から文化・社会についても考察します。これらに関連して課題を出すので、報告を提出してもらいます。

フィードバックとして次の授業で解説をします。提出の中から参考になる解答例を挙げたり、間違えやすい例を挙げます。理解できない場合、同じような問題を出してさらに解説するので、身につくまで頑張りましょう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業のテーマと授業の進め方を説明します。この
第 2 回	英字新聞について学ぶ。	英字新聞の種類や特徴を学びます。
第 3 回	映画を観る。	選んだ映画についての情報を調べて報告してもらいます。
第 4 回	音楽を聴く。	歌詞を検索して書きます。単語調べなどもします。曲は "Imagine" の予定です。
第 5 回	英字新聞を読む。	紙の英字新聞全体をながめた感想を書きます。
第 6 回	映画を観る。	映画のあらすじや内容について英語で書いてみます。
第 7 回	音楽を聴く。	歌詞の背景も調べ、脚韻についても調べます。

第 8 回	英字新聞を読む。	理解できるヘッドラインを選んで解説します。
第 9 回	映画を観る。	聞き取りに適切なシーンを選んで聞き取りの報告をします。
第 10 回	音楽を聴く。	歌詞の日本語訳について調べ、考察します。
第 11 回	英字新聞を読む。	別のヘッドラインを選んで解説し、本文も読んでみます。
第 12 回	映画を観る。	日本語字幕について考察し、言葉や文化の違いなどを学びます。
第 13 回	音楽を聴く。	歌詞の日本語訳 2 つ以上を選んで比較します。英語と日本語の違いを通して文化の違いなども学びます。
第 14 回	英字新聞を読む。	ヘッドラインを選んで解説し、ニュースの内容について本文を読んで、ニュースから文化や社会について考察します。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各自用意した紙の英字新聞全体をながめて授業で出す課題の問題に備えてください。

選んだ映画を観て、聞き取りの練習をしたり字幕の書き取りなどして課題の準備をしてください。

授業で扱う曲を聴いて聞き取りしたり歌詞を書き取って課題に備えてください。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

University guidelines suggest preparation and review are around 4

hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

## 【テキスト（教科書）】

紙の英字新聞を各自用意してもらいます。ネット上の英字新聞も活用します。

学習する映画を各自選びます。英語字幕・日本語字幕両方出るものを。英和・和英・国語辞書を積極的に使しましょう。

## 【参考書】

本やネットで調べて解答する場合があります。

各自で本を探したり、ネットで検索したりしましょう。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 100% のうち 60% 以上で合格です。

平常点の内容は、授業中の課題に対しての提出です。

大学の欠欠に関するルール：欠席が 4 回以上の場合、原則として単位修得を

認められません。

## 【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

## 【学生が準備すべき機器他】

紙の英字新聞（駅の売店やコンビニで売ってます）。

映画のビデオや DVD、レンタルも利用しましょう。

英語字幕・日本語字幕両方でならネットで観てもいいでしょう。

## 【その他の重要事項】

質問などは、メールでもいいです。

miekamimi@ybb.ne.jp (PC メール)

必ず件名に学科と名前を。

## 【Outline (in English)】

Course outline:

The aim of English 3 is to further develop students' English proficiency which they acquired in English 1 (reading and listening) and English 2 (speaking and writing).

Learning Objectives:

Thinking "Culture and Society," the students in this class will be able to read English newspapers, watch the movies(in English), and listen to the English music.

Learning activities outside of classroom:

The students should read through English newspapers which they bought, watch the movies in English they selected and listen to the music which is specified. They also should look up English words in a dictionary.



University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

Grading Criteria /Policy:

The students pass at 60 % of 100 % of normal points.

The content of the normal point is the submission for the assignment.

All submissions are a condition of credit.

I accept up to 3 times of non-submission, but if you do not submit, be sure to write the reason in the next task and do the unsubmitted part.

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：英語圏の新聞・映画・音楽を使って学ぶ

宮本 三恵子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

初級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 1 と 2 で学んだ「読む、書く、聴く、話す」という英語の 4 技能をさらに身に付けることを目的の一つとします。その際、「英語圏の文化と社会」も学ぶための材料として、英字新聞、映画、音楽などが役立つでしょう。

春学期で学んだことを基礎にさらに発展させます。

## 【到達目標】

英字新聞では英語の文章を構文や語彙を理解して正確に読解できるようにしましょう。映画では英会話のせりふが聞き取れるように努力し自分で使えるようにしましょう。英語の歌でもリスニングの努力をして意味をつかめるようにしましょう。

脚韻が把握できるようにしましょう。

主に英語のプロテストソングを使って文化・社会を学びます。

自分の考えを英語で表現したり書いたりできるようにしましょう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

英字新聞では春学期でヘッドラインの特徴を学び読み取れることを学んだので、本文の文章により多く触れていきます。そのために必要な文法的特徴も学んでいきます。

映画では春学期と同様、自分で選んだ映画を使って聴き取り力をより高めていきます。映画の背景も調べて文化・社会も学びます。原作があれば比較などもします。

日本語字幕についても考察し、言語の違いなども学びます。

音楽は指定された曲を使って聴き取り力をより高め、背景なども調べて文化・社会を学びます。脚韻の理解もいっそう深めます。いろいろな日本語訳を調べて言語の違いなども学びます。

これらに関連して課題を出していくので、報告を提出してもらいます。

フィードバックとして次の授業で解説をします。

提出の中から参考になる解答例を挙げたり、間違えやすい例をあげます。

習得できない場合、同じような問題を出してさらに解説するので、身に付くまで頑張りましょう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業のテーマと授業の進め方を説明します。
第 2 回	英字新聞について学ぶ。	英字新聞の種類や特徴を復習します。
第 3 回	映画を観る。	映画についての情報を報告します。英語や字幕についても。
第 4 回	音楽を聴く。	指定された曲の歌詞を調べて書きます。単語や脚韻なども調べます。曲は未定です。

第 5 回 英字新聞を読む。 春学期で学んだ headline の特徴を復習し本文も読んでみます。

第 6 回 映画を観る。 映画のあらすじや内容について英語で書いてみます。

第 7 回 音楽を聴く。 曲の背景を調べて当時の社会状況や文化を考察します。

第 8 回 英字新聞を読む。 通信社について学び、2 種類の新聞の記事を比較します。

第 9 回 映画を観る。 シーンを選んで聴き取りの勉強をして字幕についても考察します。

第 10 回 音楽を聴く。 歌詞の日本語訳 2 つ以上を選んで比較し、言語の違いなどを学びます。

第 11 回 英字新聞を読む。 同じニュースで 2 種類以上の英字新聞のヘッドラインを比較します。

第 12 回 映画を観る。 映画のテーマをもとに、英米の文化・社会を考察します。シーンの聴き取りもします。

第 13 回 音楽を聴く。 アーティストについて調べたり、今まで学んだことをまとめ、改めて聴き取りをしてみます。

第 14 回 英字新聞を読む。 同じニュースでヘッドラインの比較および本文も比較します。ニュースから文化・社会を考察します。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各自用意した紙の英字新聞全体をながめて、課題の報告の準備をしてください。

選んだ映画を観て聴き取りしたり、字幕の書き取りなどで課題に備えてください。

指定された曲を聴いて、聴き取りしたり歌詞の書き取りなどで課題に備えてください。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。 University guidelines suggest preparation and review are around 4

hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

## 【テキスト（教科書）】

紙の英字新聞を各自用意してもらいます。ネット上の英字新聞も活用します。

映画を選んでおきます。英語字幕・日本語字幕両方でものを。

吹き替え版があるものはいっそう便利。

英和・和英・国語辞書を積極的に使いましょう。

## 【参考書】

本やネットで調べて解答する場合があります。

各自で本を探したり、ネットで検索したりしましょう。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 100% のうち 60% 以上で合格です。

平常点の内容は、授業中の課題に対する提出です。

大学の欠欠に関するルール：欠席が 4 回以上の場合原則として単位修得は

認められません。

## 【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

## 【学生が準備すべき機器他】

紙の英字新聞（駅の売店やコンビニなどで買えます）。

映画のビデオや DVD、レンタルも利用しましょう。

英語字幕・日本語字幕両方でならネットで観てもいいでしょう。

## 【その他の重要事項】

質問などは課題内に書くか、メールでもいいです。

miekamimi@ybb.ne.jp (PC メール)

必ず件名に学科と名前を。

## 【Outline (in English)】

Course outline:

The aim of English 3 is to further develop students' English proficiency which they acquired in English 1 (reading and listening) and English 2 (speaking and writing).

Learning Objectives:

Thinking "Culture and Society,"the students in this class will be able to read English newspapers,watch movies(in English)and listen to English music.

Learning activities outside of classroom:

The students should read through English newspapers which they bought,watch the movies in English they selected and listen to the English music which is specified. They should also look up English words in a dictionary.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

Grading Criteria /Policy:

The students pass at 60 % of 100 % of normal points.

The content of the normal point is the submission for the assignment.

All submissions are a condition of credit.

I accept up to 3 times of non-submission, but if you do not submit, be sure to write the reason in the next task and do the unsubmitted part.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：英語で読む日本文学

大野 口ベルト

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

初級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ある言語を「モノにする」ためには、その言語で書かれた小説を読むことも有効な手段である。だがそこに「ハードルの高さ」がつかまとうことは否定できない。そこでこの授業では、受講生にとって身近な、日本の有名作家によって書かれた日本文学の名作を、英語に翻訳された形で読むことに挑戦する。原典との比較などを行うのではなく、あくまで英語で書かれた小説としてテキストと格闘することになるが、そこに描かれる文化がまざれもなく日本のそれであるという事実は、テキストを読み解くうえで大きなモチベーションとなるはずである。春学期には、いくつかの作品を読み通したのち、各自の推薦する作家について英語でプレゼンテーションを行う。

## 【到達目標】

小説を構成する多彩な文章を読みとくことで高度な読解能力を身につける。英語の資料を用いた講義を通じて、日本文学に関する知識を深化させる。小説や作家の魅力を言語化し、他者に伝える力にも磨きをかける。そして当然ながら、翻訳という行為についての実践的な知識を獲得する。学期を通じて、読む・書く・話す・聞く能力を、可能なかぎりバランスよく涵養する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

対面授業を行う。ただし大学の行動方針レベルが2となった場合には、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。毎回の授業では最低でも1回、担当箇所の音読と翻訳をせらう。進捗を確認するための小テストを適宜実施する。学期末には授業のテーマに沿った発表を個人で、英語で行う。毎週、授業内にフィードバックの時間を設ける。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	授業の進め方や評価基準について説明し、自己紹介を行う。
2	Soseki	夏目漱石「夢十夜」を読み、漱石について講義する。
3	Akutagawa (1)	芥川龍之介「藪の中」を読む。
4	Akutagawa (2)	引き続き「藪の中」を読み、ディスカッションを行う。
5	Akutagawa (3)	引き続き「藪の中」を読み、芥川について講義する。
6	Kajii (1)	梶井基次郎「檸檬」を読み、ディスカッションを行う。
7	Kajii (2)	引き続き「檸檬」を読み、梶井について講義する。
8	Kafu (1)	永井荷風「牡丹の客」を読み、ディスカッションを行う。
9	Kafu (2)	引き続き「牡丹の客」を読み、荷風について講義する。
10	Tanizaki (1)	谷崎潤一郎「刺青」を読む。
11	Tanizaki (2)	引き続き「刺青」を読み、ディスカッションを行う。

12	Tanizaki (3)	引き続き「刺青」を読み、谷崎について講義する。
13	Presentation	個別プレゼンテーションを行う。
14	Review	講評および学期のまとめを行う。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回のテキストを事前に丁寧に読み、とくに担当箇所については厳密に解釈しておく。復習を怠らず、日頃から英語の文献を積極的に読む習慣をつける。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

使用しない。資料は必要に応じて教員が配布する。

## 【参考書】

授業中に折に触れて紹介する。

## 【成績評価の方法と基準】

発表 40 %、小テスト 30 %、平常点 30 %  
成績評価は 100 点満点とし、60 点以上が合格となる。欠席回数が 4 回以上の受講者は、原則として単位を認定しない。

## 【学生の意見等からの気づき】

英文での精読は体力を要するので、適宜アクティビティなどを挟んで緊張をほぐしたい。

## 【Outline (in English)】

This course invites students to read famous Japanese stories from the Taisho and Showa periods in English translation.

The goal of this course is to give students the opportunity of close-reading, bearing in mind how aspects of Japanese culture is rendered in English Language. Students will also present about their favorite author to the rest of the class.

The standard preparation and review time for this class is one hour per week.

Grading criteria is as follows: 40% Presentation, 30% Quiz, 30% Class Participation. Based on the grading criteria set by the instructor, students that successfully achieve 60% or more of course goals will be able to earn a passing grade for the course.

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：英語で読む日本文学

大野 口ベルト

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

初級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ある言語を「モノにする」ためには、その言語で書かれた小説を読むことも有効な手段である。だがそこに「ハードルの高さ」がつかまとうことは否定できない。そこでこの授業では、受講生にとって身近な、日本の有名作家によって書かれた日本文学の名作を、英語に翻訳された形で読むことに挑戦する。原典との比較などを行うのではなく、あくまで英語で書かれた小説としてテキストと格闘することになるが、そこに描かれる文化がまざりもなく日本のそれであるという事実は、テキストを読み解くうえで大きなモチベーションとなるはずである。秋学期には、いくつかの作品を読み通したのち、各自の関心ある作家について英語でレポートを仕上げる。

## 【到達目標】

小説を構成する多彩な文章を読みとくことで高度な読解能力を身につける。英語の資料を用いた講義を通じて、日本文学に関する知識を深化させる。小説や作家の魅力を言語化し、他者に伝える力にも磨きをかける。そして当然ながら、翻訳という行為についての実践的な知識を獲得する。学期を通じて、読む・書く・話す・聞く能力を、可能なかぎりバランスよく涵養する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

対面授業を行う。ただし大学の行動方針レベルが2となった場合には、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。毎回の授業では最低でも1回、担当箇所の音読と翻訳をしてもらう。進捗を確認するための小テストを適宜実施する。学期末には授業のテーマに沿った英文レポートを仕上げ、提出する。毎週、授業内にフィードバックの時間を設ける。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	授業の進め方について説明し、前期をふりかえる。
2	Kawabata (1)	川端康成「水月」を読む。
3	Kawabata (2)	引き続き「水月」を読み、ディスカッションを行う。
4	Kawabata (3)	引き続き「水月」を読み、川端について講義する。
5	Dazai (1)	太宰治「メロイクリスマス」を読む。
6	Dazai (2)	引き続き「メロイクリスマス」を読み、ディスカッションを行う。
7	Dazai (3)	引き続き「メロイクリスマス」を読み、太宰について講義する。
8	Nakajima (1)	中島敦「名人伝」を読む。
9	Nakajima (2)	引き続き「名人伝」を読み、中島について講義する。
10	Miyazawa (1)	宮沢賢治「なめとこ山の熊」を読む。
11	Miyazawa (2)	引き続き「なめとこ山の熊」を読み、ディスカッションを行う。
12	Miyazawa (3)	引き続き「なめとこ山の熊」を読み、宮沢について講義する。

13 Presentation 各自のレポートの内容についてミニ・プレゼンを行う。

14 Review 講評および学期のまとめを行う。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回のテキストを事前に丁寧に読み、とくに担当箇所については厳密に解釈しておく。復習を怠らず、日頃から英語の文献を積極的に読む習慣をつける。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

使用しない。資料は必要に応じて教員が配布する。

## 【参考書】

授業中に折に触れて紹介する。

## 【成績評価の方法と基準】

レポート 40%、小テスト 30%、平常点 30%  
成績評価は 100 点満点とし、60 点以上が合格となる。欠席回数が 4 回以上の受講者は、原則として単位を認定しない。

## 【学生の意見等からの気づき】

英文での精読は体力を要するので、適宜アクティビティなどを挟んで緊張をほぐしたい。

## 【Outline (in English)】

This course invites students to read famous Japanese stories from the Taisho and Showa periods in English translation.

The goal of this course is to give students the opportunity of close-reading, bearing in mind how aspects of Japanese culture is rendered in English Language. Students will also write a paper on their favorite author.

The standard preparation and review time for this class is one hour per week.

Grading criteria is as follows: 40% Paper, 30% Quiz, 30% Class Participation. Based on the grading criteria set by the instructor, students that successfully achieve 60% or more of course goals will be able to earn a passing grade for the course.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Expanding Your World View Through TED Talks

MARK E FIELD

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

上級／英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using authentic English. To that end, in this course students will spend time using English to learn about new developments in Technology, Entertainment and Design from a number of diverse perspectives.

Students will learn about Current Affairs through various current topics and will incorporate a variety of information about which they will express their opinions. In addition, students will practice the fundamental English skills that are necessary to accomplish the above.

## 【到達目標】

Student will listen to real-world people talk about live changing topics. Then they will develop their speaking confidence with model conversations and speaking tasks.

Students will learn key words, phrases, and grammar structures as they build language and visual literacy skills with real-life information. So they can express their own opinions speaking and in writing, including how to examine content from a critical-thinking perspective.

Students will not only learn about new real-world events, which continue to impact our lives, but also reflect and apply that knowledge while improving themselves and their English skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

As a warm up activity, students will watch a brief segment of a TED Talk and then answer a basic question about the situation described. Vocabulary used in the Talk will be explored followed by listening and speaking activities that expand on the theme. Different target language objectives will be emphasized during each class. For example, when an English text is read, the emphasis will not only be placed on building vocabulary and comprehension, but also classifying facts and opinions and reflecting on content to develop critical thinking. Video presentations will be used to develop vocabulary in context and as basis to inspire spoken communication, and finally written reflection and personalization.

Instructional opportunities will be provided for students to develop their own ideas and expand on the TED Talk themes, discuss, write papers, and time permitting make presentations synthesizing their views on the content studied.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	Course	Explanation of the course topics and classroom methods
2 回	Making a Difference: Listening practice using DVD video	Inspiring Dreams and talking about ways to help others
3 回	Making a Difference: Helping your audience visualize	TED Talk: A Life Lesson from a Volunteer Firefighter
4 回	Making a Difference: Reading on Food Rescue Missions	Speaking activity about people who make a difference, Writing assignment about "Someone who has made a difference in your life"
5 回	Short Presentations:	Students will prepare and give short presentations on "How I Can Make a Difference"
6 回	Trends: Listening practice using DVD video	Analyzing Trends and talking about trends
7 回	Trends: Commenting on Visuals	TED Talk: How to Start a Movement
8 回	Trends: Reading on Identifying Trends	Talking about Consumer Trends, Writing assignment on Making Predictions
9 回	Short Presentations:	Students will prepare and give short presentations on "Current Trend"
10 回	Improving Lives: Listening practice using DVD video	Analyzing Healthcare and talking about cause and effect
11 回	Improving Lives: Opening with Interesting Facts	TED Talk: My Simple Invention, Designed to Keep My Grandfather Safe
12 回	Improving Lives: Reading on the Challenges of Alzheimer's	Speaking activity about Innovative Healthcare Solutions
13 回	Review Session	Comprehensive Review of Vocabulary & Skills
14 回	Final Examination	Examination based on content, vocabulary, and skills Students should have mastered during the semester.

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students will be expected to do some weekly pre-class textbook preparation, and post-class follow-up study with the My Keynote Online website, complete two medium length writing assignments, and prepare and make short individual presentations.

## 【テキスト（教科書）】

Keynote 3 Student Book and Online Workbook, Cengage Learning, Japan. ISBN: 978-1-337-10412-8

Students should bring an English-Japanese/Japanese-English dictionary (paper or electronic) to every class session, but should always ask the instructor about the meaning of words first before looking in their dictionaries.

## 【参考書】

Keynote 3 Online Workbook  
Material Posted on HOPPII

**【成績評価の方法と基準】**

40% Ongoing Evaluation (Participation, Discussions, Homework, etc.)

20% Short Presentations

40% Final Examination

NOTE: Class attendance is a course requirement. Students who are absent for more than three classes per semester will not receive credit for this course. Students' attendance and tardiness will also affect their final grade in the course.

**【学生の意見等からの気づき】**

No data is currently available since this is the first year the instructor has taught this course. Students are always welcome to make comments and suggestions to improve the class anytime.

**【その他の重要事項】**

Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester. The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary.

**【Outline (in English)】**

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using authentic English. To that end, in this course students will spend time using English to learn about new developments in Technology, Entertainment and Design from a number of diverse perspectives.

Students will learn about Current Affairs through various current topics and will incorporate a variety of information about which they will express their opinions. In addition, students will practice the fundamental English skills that are necessary to accomplish the above.

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Expanding Your World View Through TED Talks

## MARK E FIELD

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

上級／英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3-II is a continuation of the English 3-I held the spring semester. In general, English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using authentic English. To that end, in this course students will spend time using English to learn about new developments in Technology, Entertainment and Design from a number of diverse perspectives.

Students will learn about Current Affairs through various current topics and will incorporate a variety of information about which they will express their opinions. In addition, students will practice the fundamental English skills that are necessary to accomplish the above.

## 【到達目標】

Student will listen to real-world people talk about live changing topics. Then they will develop their speaking confidence with model conversations and speaking tasks.

Students will learn key words, phrases, and grammar structures as they build language and visual literacy skills with real-life information. So they can express their own opinions speaking and in writing, including how to examine content from a critical-thinking perspective.

Students will not only learn about new real-world events, which continue to impact our lives, but also reflect and apply that knowledge while improving themselves and their English skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

As a warm up activity, students will watch a brief segment of a TED Talk and then answer a basic question about the situation described. Vocabulary used in the Talk will be explored followed by listening and speaking activities that expand on the theme. Different target language objectives will be emphasized during each class. For example, when an English text is read, the emphasis will not only be placed on building vocabulary and comprehension, but also classifying facts and opinions and reflecting on content to develop critical thinking. Video presentations will be used to develop vocabulary in context and as basis to inspire spoken communication, and finally written reflection and personalization.

Instructional opportunities will be provided for students to develop their own ideas and expand on the TED Talk themes, discuss, write papers, and time permitting make presentations synthesizing their views on the content studied.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	Getting Reacquainted:	Talking about recent experiences and future goals
2 回	Identity: Listening practice using DVD video	Living abroad and words to talk about your identity
3 回	Identity: Using stories to personalize your message	TED Talk: Where is Home?
4 回	Identity: Reading on Global Migration	Speaking activity about about ongoing activities and event, Writing assignment about factors that contribute to your Identity
5 回	Short Presentations:	Students will prepare and give short presentations on “Describing people or places”
6 回	Clear Communication: Listening practice using DVD video	Explaining Communication Styles
7 回	Clear Communication: Engaging Your Audience	TED Talk: Talk Nerdy to Me
8 回	Clear Communication: Reading on the Digital Age	Talking about communication methods, Writing assignment on how you would run a company
9 回	Short Presentations:	Students will prepare and give short presentations on “Communication and Leadership”
10 回	Wellbeing: Listening practice using DVD video	Analyzing and describing your ideal lifestyle
11 回	Wellbeing: Using Humor	TED Talk: How to Succeed? Get More Sleep!
12 回	Wellbeing Unit 12 Reading on Achieving Work-life Balance	Speaking activity: Debate on work-life balance
13 回	Review Session	Comprehensive Review of Vocabulary & Skills
14 回	Final Examination	Examination based on content, vocabulary, and skills Students should have mastered during the semester.

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students will be expected to do some weekly pre-class textbook preparation, and post-class follow-up study with the My Keynote Online website, complete two medium length writing assignments, and prepare and make short individual presentations.

## 【テキスト（教科書）】

Keynote 3 Student Book and Online Workbook, Cengage Learning, Japan. ISBN: 978-1-337-10412-8

Students should bring an English-Japanese/Japanese-English dictionary (paper or electronic) to every class session, but should always ask the instructor about the meaning of words first before looking in their dictionaries.

## 【参考書】

Keynote 3 Online Workbook



Material Posted on HOPPII

**【成績評価の方法と基準】**

40% Ongoing Evaluation (Participation, Discussions, Homework, etc.)

20% Short Presentations

40% Final Examination

NOTE: Class attendance is a course requirement. Students who are absent for more than three classes per semester will not receive credit for this course. Students' attendance and tardiness will also affect their final grade in the course.

**【学生の意見等からの気づき】**

No data is currently available since this is the first year the instructor has taught this course. Students are always welcome to make comments and suggestions to improve the class anytime.

**【その他の重要事項】**

Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester. The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary.

**【Outline (in English)】**

English 3-II is a continuation of the English 3-I held the spring semester. In general, English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using authentic English. To that end, in this course students will spend time using English to learn about new developments in Technology, Entertainment and Design from a number of diverse perspectives.

Students will learn about Current Affairs through various current topics and will incorporate a variety of information about which they will express their opinions. In addition, students will practice the fundamental English skills that are necessary to accomplish the above.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：English Culture via Reality TV

Robert D. Hinton

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

上級/英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture and society.

## 【到達目標】

The goal of this course is to increase fluency, accuracy and confidence in the areas of speaking, listening, reading and writing. Students will also learn about the inner workings of American businesses and companies from the viewpoint of the workers and their CEOs and how those businesses impact American culture and society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

At the beginning of each class, feedback will be given in the form of written comments on assignments. Each week, students will see "real life" business dealings by way of "Undercover Boss", an American reality show. As they watch, students will complete a listening comprehension worksheet and take notes about different aspects of the company, the workers and the CEO. After each program, students will participate in discussions and do activities related to that specific episode. This class incorporates Active Learning and task based activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり/Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introductions, explanations	Information about the course and survey questions
Week 2	The Beginning of Undercover Boss - 7-11	Research 20 interesting facts about 7-11 - group discussion
Week 3	Roto Rooter	Review the Roto Rooter website and a comparable Japanese company - present findings
Week 4	CSI Commerce	Writing about shopping/buying habits
Week 5	Herschend Entertainment	Writing about a favorite entertainment venue
Week 6	Waste Management	Report about an ecological issue
Week 7	Loehman's	Fashion report
Week 8	Menchies	Writing about favorite fast food outlet

Week 9	Alfred Angelo	Unique wedding customs in the world
Week 10	Hudson Group	Design dream vacation
Week 11	Cinnabon	Report about women in business
Week 12	Mohecan Sun	Minority group report
Week 13	Dutch Brother's Coffee	Coffee facts and figures
Week 14	Utah Jazz	Report about a sport

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Each week, students will be asked to prepare for the upcoming class. This will include activities such as: researching a specific topic, brainstorming, writing a report and/or preparing for discussions and presentations.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No text will be used in this course.

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

Weekly homework (40%), classroom participation (40%), and presentations (20%). No more than three absences will be permitted.

【学生の意見等からの気づき】

The instructor appreciates student feedback and alters materials and procedures based on that feedback.

【Outline (in English)】

This course will allow students to play an active role in language learning including activities focused on listening, speaking, reading and writing.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：English Culture via Reality TV

Robert D. Hinton

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

上級／英語

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture and society.

【到達目標】

The goal of this course is to increase fluency, accuracy and confidence in the areas of speaking, listening, reading and writing. Students will also learn about the inner workings of American businesses and companies from the viewpoint of the workers and their CEOs and how those businesses impact American culture and society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

At the beginning of each class, feedback will be given in the form of written comments on assignments. Each week, students will see "real life" business dealings by way of "Undercover Boss", an American reality show. As they watch, students will complete a listening comprehension worksheet and take notes about different aspects of the company, the workers and the CEO. After each program, students will participate in discussions and do activities related to that specific episode. This class incorporates Active Learning and task based activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Summer	An interactive communication activity
Week 2	Baha Fresh	Write a restaurant review/critique
Week 3	Stella and Dot	Discussion of retail outlets
Week 4	Maaco	Discussion of on-line shopping and websites
Week 5	Family Dollar	Dealing with customer service/employee complaints
Week 6	Retro Fitness	Discussion about exercise and health
Week 7	CEO/Owner presentation planning	Group work for CEO or owner presentation
Week 8	Student PowerPoint presentations	Student presentations and note taking sessions
Week 9	Student PowerPoint presentations	Student presentations and note taking sessions

Week 10	Popeye's Louisiana Kitchen	Share research findings of fast food retail outlets - small group discussion
Week 11	Build A Bear	Recalling childhood memories
Week 12	Peavey Electronics	Discussion of Robotics and the future
Week 13	Clean Harbors	Ecology quiz and group brainstorming
Week 14	Club Med	Partner interview sheet - "dream vacation"

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Each week, students will be asked to prepare for the upcoming class. This will include activities such as: researching a specific topic, brainstorming, writing a report and/or preparing for discussions and presentations.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No text will be used in this course.

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

Weekly homework (40%), classroom participation (40%), and presentations (20%). No more than three absences will be permitted.

【学生の意見等からの気づき】

The instructor appreciates student feedback and alters materials and procedures based on that feedback.

【Outline (in English)】

This course will allow students to play an active role in language learning including activities focused on listening, speaking, reading and writing.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Aspects of the English Speaking World

Kregg Johnston

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

上級／英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

To develop students' ability to think critically and express their own thoughts and opinions on current issues and topics observed in the English speaking world

## 【到達目標】

Students will further develop their English communication proficiency by integrating the four skills of reading, writing, speaking, and listening in the communication tasks undertaken during the course.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

The course will utilize pair work and group work for discussion activities. There will also be regular presentations made by students on topics covered throughout the course.

Feedback on submitted assignments and quizzes will be given at the beginning of the following class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Chapter 1 Embrace stress	Vocabulary and listening development Introduction of Response Journals (RJ)
Week 2	Reading: The stressed-out generation TED talks: How to make stress your friend	Involving the audience Gerund/infinitives
Week 3	Quiz chapter 1 Chapter 2 Media influences	Vocabulary and listening development
Week 4	Reading: Superheros as role models TED talks: How movies teach manhood	Relative clauses Effect of Media Knowing your audience
Week 5	Quiz chapter 2 Ch 3 Development	Vocabulary and listening development
Week 6	Reading: The economics of happiness TED talks: Global population growth	Describing goals and ambitions Adding points to an explanation Present perfect simple/continuous

Week 7 Quiz chapter 3  
Presentation: Favorite fictional character/Wealth distribution in a country

Week 8 Ch 4 Secrets & lies  
Vocabulary and listening development

Week 9 Reading: Lies we need to tell  
TED talks: How to spot a liar  
Modals of deduction & speculation

Week 10 Quiz chapter 4  
Ch 5 To the edge  
Vocabulary and listening development

Week 11 Reading: Magic man  
TED talks: How I held my breath for 17 minutes  
Time expressions  
Stating challenges and successes  
Explaining technical words

Week 12 Quiz chapter 5  
Ch 6 Money matters  
Vocabulary and listening development

Week 13 Reading: Giving something back  
TED talks: Giving away wealth  
Collocations  
Listening for main ideas  
Phrasal verbs

Authenticity  
Presentation: Explain your most significant achievement

Week 14 Quiz chapter 6  
Presentation: Explaining a significant achievement

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students should prepare for the class by completing the assigned exercises in the textbook & completing and submitting assignments posted in Google Classroom. Students should check Google classroom every week to confirm the assigned exercises.

Students should prepare for quizzes by reviewing exercises in the textbook and what we have covered in class.

All writing assignments will be given and collected in Google Classroom

## 【テキスト（教科書）】

Dummett, Stephenson, Lansford; Keynote 4, Cengage Learning, ISBN: 978-1-305-96505-5

## 【参考書】

[www.vocabularysize.com](http://www.vocabularysize.com)

<https://quizlet.com/KreggJ/folders>

<https://owl.english.purdue.edu/owl/section/1/>

## 【成績評価の方法と基準】

Homework 10%

Writing 15%

Class participation 15%

Quizzes/Tests 50%

Speech/Presentation 10%

\* In principle, no more than three absences per term are allowed.

## 【学生の意見等からの気づき】

Increased emphasis on listening strategies vocabulary development & communication & discussion skills.

## 【学生が準備すべき機器他】

Students should purchase the textbook

Students should join Google Classroom for this course. Information for joining the Google Classroom for this course will be posted on HOPII(学習支援システム)

## 【Outline (in English)】

Course outline:

This course deals with the development English communication in written and spoken forms as it relates to aspects of the English speaking world.

Learning Objectives:

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- Further develop knowledge and skills gained in English 1 & 2 classes.
- Develop critical thinking skills on important current issues.
- More effectively integrate usage of the four skill areas (reading, listening, speaking, and writing) in a variety of English communication situations

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to have completed the assigned homework exercises after each class meeting and review before each in-class quiz given. Your study time will be more than four hours for a class.

Grading Criteria:

Homework 10%

Writing 15%

Class participation 15%

Quizzes/Tests 50%

Speech/Presentation 10%

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Aspects of the English Speaking World

Kregg Johnston

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

上級／英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

To develop students' ability to think critically and express their own thoughts and opinions on current issues and topics observed in the English speaking world

## 【到達目標】

Students will further develop their English communication proficiency by integrating the four skills of reading, writing, speaking, and listening in the communication tasks undertaken during the course.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

The course will utilize pair work and group work for discussion activities. There will also be regular presentations made by students on topics covered throughout the course.

Feedback on submitted assignments and quizzes will be given at the beginning of the following class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Chapter 7 Medical frontiers	Vocabulary and listening development
Week 2	Reading: Just press print TED talks: Problem of prosthetic limbs	Modals of probability Signpost language Body movement & gestures
Week 3	Quiz chapter 7 Chapter 8 Life decisions	Vocabulary and listening development
Week 4	Reading: The defining decade TED talks: Why the 30's is not the new 20's	Future perfect/future perfect progressive Listing for opinions Describing milestones
Week 5	Quiz chapter 8 Ch 9 Technology & innovation	Vocabulary and listening development
Week 6	Reading: Drones TED talks: Robots that can fly and cooperate	Clues from context 1st & 2nd conditional Referring to visuals Debating
Week 7	Quiz chapter 9 Presentation: Robotic surgery: for or against	Presentations whether robotic surgery should be allowed
Week 8	Ch 10 Connections	Vocabulary and listening development

Week 9	Reading: The lost art of listening TED talks: 5 ways to listen better	Reported speech Identifying cause & effect Summarizing with acronyms
Week 10	Quiz chapter 10 Ch 11 Life in the slow lane	Vocabulary and listening development
Week 11	Reading: Your brain on nature TED talks: Cloudy w/ a chance of joy	Articles & quantifiers Repeating main ideas Showing enthusiasm
Week 12	Quiz chapter 11 Ch 12 Make yourself heard	Vocabulary and listening development
Week 13	Reading: Whistle blowers TED talks: Dare to disagree	3rd & mixed conditionals Listen for stressed words Using pauses
Week 14	Quiz chapter 12 Presentation: A vacation spot where people can slow down and enjoy nature	Presentation on a place where people can slow down and enjoy nature

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students should prepare for the class by completing the assigned exercises in the textbook & completing and submitting assignments posted in Google Classroom. Students should check Google classroom every week to confirm the assigned exercises.

Students should prepare for quizzes by reviewing exercises in the textbook and what we have covered in class.

All writing assignments will be given and collected in Google Classroom

## 【テキスト（教科書）】

Dummett, Stephenson, Lansford; Keynote 4, Cengage Learning, ISBN: 978-1-305-96505-5

## 【参考書】

www.vocabularysize.com

https://quizlet.com/KreggJ/folders

https://owl.english.purdue.edu/owl/section/1/

## 【成績評価の方法と基準】

Homework 10%

Writing 15%

Class participation 15%

Quizzes/Tests 50%

Speech/Presentation 10%

\* Students must attend class regularly in order to pass. Excessive absences and tardiness will result in failure of the course

In principle, no more than three absences per term are allowed.

## 【学生の意見等からの気づき】

Increased emphasis on listening strategies vocabulary development & communication & discussion skills.

## 【学生が準備すべき機器他】

Students should purchase the textbook

Students should join Google Classroom for this course. Information for joining the Google Classroom for this course will be posted on HOPII(学習支援システム)

## 【Outline (in English)】

Course outline:

This course deals with the development English communication in written and spoken forms as it relates to aspects of the English speaking world.

Learning Objectives:

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- Further develop knowledge and skills gained in English 1 & 2 classes.
- Develop critical thinking skills on important current issues.
- More effectively integrate usage of the four skill areas (reading, listening, speaking, and writing) in a variety of English communication situations

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to have completed the assigned homework exercises after each class meeting and review before each in-class quiz given. Your study time will be more than four hours for a class.

Grading Criteria:

Homework 10%

Writing 15%

Class participation 15%

Quizzes/Tests 50%

Speech/Presentation 10%

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Modern English for Discussion, Presentation, Conversation, Debate

Robert Durham

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

上級／英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a Spring semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

## 【到達目標】

Students will learn about cultures & social practices from around the English-speaking world; and will also learn how to better explain Japanese culture to English-speaking people in this Global Society. Students will have to learn how to think critically [in-depth] about important Global Issues; and will have to effectively express their own thoughts and opinions in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

Students will be challenged to integrate their skills in English listening, speaking, reading, & writing in an advanced manner, via exposure to authentic English materials such as English News videos & audio, and inspirational video/audio talks (including TED Talks). Students will then be required to practice their English communication skills Online, via pair practice conversations with their classmates & professor. Feedback will be given to students by spoken word, in Real Time, in classes; sometimes via e-mail messages; and also via class Grade.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 回	[All SCHEDULE items are tentative...& might change, depending on class level(s); student abilities; & recent world events.] Introductions, in smoothly, natural, friendly English. News video #1/TED Talk video #1.	Introduction vocabulary; & 'EQ' responses thereto. Students will be asked to express English opinions, re: News video and/or TED Talk #1.
第 2 回	News or TED video #1, part 2: asking students to express active opinions in English.	How to say your own opinions, in English...and how to EXPLAIN them.

第 3 回	Using the Future tense in English, to explain your Golden Week plans.	Active English spoken expressions, re: Golden Week future plans. News video/TED video #2.
第 4 回	Actively explaining your Golden Week activities, in spoken English.	Speaking about Golden Week, in spoken English, using the Past Tense. News video/TED Talk #2 (continued).
第 5 回	"How are you?"	Pairwork will be used to practice many, various ways to reply dynamically in English, to questions such as "How's it going?" News video/TED Talk #3, part 1.
第 6 回	Expressing your opinions about Current Affairs News videos/TED Talk #3 part 2, in active, dynamic spoken English.	Pair practice: speaking your opinions about News videos/TED Talks, in active English.
第 7 回	Video documentary or News clips, with questions about it.	Students will learn how to speak their opinions (in English) to classmates, about a Current Affairs topic.
第 8 回	News or TED Talk video #4, part 1.	Pair practice in spoken English, to explain student opinions about the topics raised by the video.
第 9 回	News or TED Talk video #4, part 2.	Explaining, in spoken English, student opinions about the topics in the video.
第 10 回	Use of many different English adjectives, to explain opinions and comments.	Students will explain their opinions about many current topics to classmates, in smooth, Modern English.
第 11 回	News or TED Talk video #5, part 1.	Students will watch the News or TED video clip...and will be asked to discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English.
第 12 回	News or TED Talk video #5, part 2./ Exam, re: topics studied and discussed during the Spring 2022 semester.	Students will watch the News or TED video clip; will be asked to answer questions about it; and will then discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English./ Speaking exam. Students will be asked to reply, in smooth spoken English, to questions about the topics that we learned & practiced in the Spring semester.
第 13 回	Speaking exam, re: topics studied and discussed during the Spring 2022 semester.	Speaking exam. Students will be asked to reply, in smooth spoken English, to questions about the topics that we learned & practiced in the Spring semester.
第 14 回	Students might be asked to speak about their Summer Break plans.	Students will speak about their future Summer Break plans.

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Please do homework well before the deadline [NOT "ichiyazukke"]; please learn to wake up early, and to arrive in class ON TIME [not late]; and please keep a weekly notebook/binder for this class, using pen.



University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

**【テキスト (教科書)】**

A textbook might be chosen, depending on students' levels & requirements. Also, some handouts will be distributed to students. In addition, some News videos & TED Talks may be assigned as in-class or at-home viewing (with questions about those videos).

**【参考書】**

—

**【成績評価の方法と基準】**

Tentatively, grading may depend on in-class responses (approximately 25%); speaking exams spoken replies (approximately 25%); in-class performance (approximately 15%); class participation/motivation (20%); and homework (15%).

**\*IMPORTANT: A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE.\***

**【学生の意見等からの気づき】**

—

**【学生が準備すべき機器他】**

Every student should A.S.A.P. set up: a recent PC or Mac computer (with a working Microphone, Camera, and typing Keyboard); a **\*FAST\*** Campus/Home Wi-Fi connection; headphones; an e-mail address that displays your Full Name in ENGLISH characters; and a QUIET place (where the student can study quietly, and can participate in Online realtime audio/video 'chats).

Please bring to each class: a notebook/binder; a black pen; a red pen; an English-Japanese/Japanese-English dictionary [paper or electronic]; an English language LARGE namecard; and a daily planner/schedule book [a 'techo', in Nihongo].

**【その他の重要事項】**

Classes will be ONLINE.

\* EVERY e-mail message that you send to your teacher (tonydur2020@gmail.com) MUST always contain: your First Name; your Family Name; your School's name; your Student number; your class Day & Period; class Code/Name; today's DATE; and the REASON for your e-mail message.

\* Please make 100% sure that the recipient of your e-mail messages sees your name displayed in 'Romaji'. (In other words: in his 'INBOX', the teacher should see your name displayed as 'Taro Tanaka' (for example)—NOT in Kanji characters.)

\* Please make sure that you have an Internet-enabled COMPUTER (NOT only a Smartphone/Tablet); a real keyboard to type on; headphones/earphones; & FAST, RELIABLE Home or Campus Internet/Wi-Fi. Please upgrade your Home Internet connection, IF your Wi-Fi connection is too slow. (Internet via a Docomo, Au, Softbank phone connection, Cafe, restaurant is NOT fast enough.) We will see/check to see if Zoom or Skype or Google Meet work best for our class. Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed.

\* Please find a QUIET place (where each student can study quietly, and can participate in Online realtime audio/video chats).

\* Please participate ACTIVELY in class; & speak together with all other students, in class. If you're not sure about how to answer, please speak up and GUESS...instead of reflexively answering "I don't know".

**\* A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. \***

**【-】**

—

**【Outline (in English)】**

This is a Spring semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Modern English for Discussion, Presentation, Conversation, Debate

Robert Durham

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

上級／英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a Fall semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

## 【到達目標】

Students will learn about cultures & social practices from around the English-speaking world; and will also learn how to better explain Japanese culture to English-speaking people in this Global Society. Students will have to learn how to think critically [in-depth] about important Global Issues; and will have to effectively express their own thoughts and opinions in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

Students will be challenged to integrate their skills in English listening, speaking, reading, & writing in an advanced manner, via exposure to authentic English materials such as English News videos & audio, and inspirational video/audio talks (including TED Talks). Students will then be required to practice their English communication skills Online, via pair practice conversations with their classmates & professor. Feedback will be given to students by spoken word, in Real Time, in classes; sometimes via e-mail messages; and also via class Grade.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 回	*[All SCHEDULE items are tentative...& might change, depending on class level(s); student abilities; & recent world events/Pandemic issues.] "How was your Summer Break?"[Discussing Summer events in smooth, Modern English, using the English Past tense.] News video #1/TED Talk video #1.	Summer Past Tense practice and vocabulary (a range of adjectives); with 'EQ' responses thereto. Students will be asked to express English opinions, re: News video and/or TED Talk #1.

第 2 回	News or TED video #1, part 2: asking students to express active opinions in English. Students will introduce themselves to each other in modern English, via Online video/audio 'chat'.	How to write and speak your own opinions, in English...and how to EXPLAIN them.
第 3 回	Asking & answering about subway/train directions, in English.	Students will learn and practice how to reply to requests for subway/train directions, in spoken English.
第 4 回	Hallowe'en, part 1: what are Hallowe'en customs; and in what countries has Hallowe'en traditionally been celebrated? [Using the FUTURE Tense, in English.]	Students will be asked to investigate, write down, and discuss Hallowe'en traditions, in English, using the FUTURE Tense.
第 5 回	Hallowe'en, part 2: Using 'would' & 'will'.	Students will pair-practice correct use of 'would' + past tense, & 'will' + future tense, to describe possible Hallowe'en costumes & activities.
第 6 回	News video/TED video #2. Expressing your opinions about Current Affairs News videos, in English.	News/TED Talk #2: students will be asked to say their views/opinions, in active, dynamic spoken English.
第 7 回	News video/TED Talk #2 (continued), with questions about it.	Students will continue to speak their opinions (in English) to classmates, about a Current Affairs topic/TED Talk.
第 8 回	"The Seven W's": (Questions about Who...? /What...? /When...? /Where...? /Why...? /Which...? /How...?)	Students will learn how to verbally ask others, and to reply in smooth English, to questions about "the Seven W's".
第 9 回	Thanksgiving customs (& discussion in English), re: Thanksgiving customs in the U.S.A./Canada.	Students will be asked to suss out traditional Thanksgiving customs in the U.S. & Canada...& to explain them in spoken English.
第 10 回	Thanksgiving (continued); and possibly a video/audio exercise about Thanksgiving.	Students may be asked to answer questions about a video/audio exercise about Thanksgiving...and to pair-practice in spoken English, five things that they are thankful for.
第 11 回	What are your plans for Christmas and OhShoGatsu? Also: English video/song exercise about Christmas.	Pair practice: students will be asked to write down & then practice verbally (in English) their Future plans for Christmas/ OhShoGatsu.

- 第 12 回 Discussing answers to the Christmas video/song exercise...and to Christmas/OhShoGatsu plans. Students will answer video/song questions; and will actively speak about Christmas/OhShoGatsu plans, using polite FUTURE Tense English.
- 第 13 回 Online SPEAKING exam, re: topics studied and discussed during the Fall 2022 semester. Online speaking exam. Students will be asked to reply, in smooth spoken English, to questions about the topics that we learned & practiced in the Fall semester.
- 第 14 回 "How was your OhShoGatsu?" + Students will be asked to speak about their Winter Break plans. Students will speak about their recent OhShoGatsu activities...and about their future Winter Break plans.

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

Please do homework well before the deadline [NOT "ichiyazukke"]; please learn to wake up early, and to arrive in class ON TIME [not late]; and please keep a weekly notebook/binder for this class, using pen.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

**【テキスト（教科書）】**

A textbook might be chosen, depending on students' levels & requirements. Also, some handouts will be distributed to students. In addition, some News videos & TED Talks may be assigned as in-class or at-home viewing (with questions about those videos).

**【参考書】**

—

**【成績評価の方法と基準】**

Tentatively, grading may depend on in-class responses (approximately 25%); speaking exams and spoken replies (approximately 25%); attendance/on-time arrival (approximately 15%); class participation/motivation (20%); and homework (15%).

\*IMPORTANT: A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE.\*

**【学生の意見等からの気づき】**

—

**【学生が準備すべき機器他】**

Every student should A.S.A.P. set up: a recent PC or Mac computer (with a working Microphone, Camera, and typing Keyboard); a \*FAST\* Campus/Home Wi-Fi connection; headphones; an e-mail address that displays your Full Name in ENGLISH characters; and a QUIET place (where the student can study quietly, and can participate in Online realtime audio/video 'chats).

Please bring to each class: a notebook/binder; a black pen; a red pen; an English-Japanese/Japanese-English dictionary [paper or electronic]; an English language LARGE namecard; and a daily planner/schedule book [a 'techo', in Nihongo].

**【その他の重要事項】**

Classes will be ONLINE.

\* EVERY e-mail message that you send to your teacher (tonydur2020@gmail.com) MUST always contain: your First Name; your Family Name; your School's name; your Student number; your class Day & Period; class Code/Name; today's DATE; and the REASON for your e-mail message.

\* Please make 100% sure that the recipient of your e-mail messages sees your name displayed in 'Romaji'. (In other words: in his 'INBOX', the teacher should see your name displayed as 'Taro Tanaka' (for example)—NOT in Kanji characters.)

\* Please make sure that you have an Internet-enabled COMPUTER (NOT only a Smartphone/Tablet); a real keyboard to type on; headphones/earphones; & FAST, RELIABLE Home or Campus Internet/Wi-Fi. Please upgrade your Home Internet connection, IF your Wi-Fi connection is too slow. (Internet via a Docomo, Au, Softbank phone connection, Cafe, restaurant is NOT fast enough.) We will see/check to see if Zoom or Skype or Google Meet work best for our class. Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed.

\* Please find a QUIET place (where each student can study quietly, and can participate in Online realtime audio/video chats).

\* Please participate ACTIVELY in class; & speak together with all other students, in class. If you're not sure about how to answer, please speak up and GUESS...instead of reflexively answering "I don't know".

\* A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. \*

【-】

—

**【Outline (in English)】**

This is a Fall semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：世界の中の日本ー日本は世界からどう見られているか

佐喜真 彩

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

上級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 では、English1 と English2 で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の能力を更に深めます。またこれら 4 技能を総合的に駆使し、あるテーマについて英語で情報を得、その情報を批判的に考察し、さらに自分の意見を英語で発信していく能力を養成します。

本授業では、英米のニュースメディアにおける日本についての情報を読み、聴くことを通して上記の力を伸ばしていきます。

## 【到達目標】

- ・複雑に見える英語の正確な読解ができること。
- ・英文記事全体の要旨を正確に把握できること。
- ・ニュースの英語が聞き取れるようになること。
- ・正確な英語で作文が出来るようになること。
- ・英語でニュース記事について発表そして質疑応答が出来るようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

担当教員の選んだニュース記事の精読、学生による特定のトピックについての発表、英作文、ニュース英語のリスニング練習という内容で進めていきます。

（フィードバック方法について）リアクションペーパーに書かれた質問は全て次回の授業で取り上げて回答、コメントはクラス全体で共有します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロ	席決め、授業の説明、ウォームアップ。
2	"Soil to build new US airbase on Okinawa 'contains remains of war dead'" ( <i>The Guardian</i> ) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
3	"The Guardian view on the Tokyo Olympics: must the show go on?" ( <i>The Guardian</i> ) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。

4	"Banning same-sex marriage is unconstitutional, says Japanese court" ( <i>The Times</i> ) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
5	学生によるプレゼン	学生による発表。ニュース英語のリスニング。
6	"A Sports Event Shouldn't Be a Superspreader. Cancel the Olympics." ( <i>The New York Times</i> ) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
7	"Japan Is Shaken After a Detainee, Wasting Away, Dies Alone in Her Cell" ( <i>The New York Times</i> ) (1) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
8	"Japan Is Shaken After a Detainee, Wasting Away, Dies Alone in Her Cell" ( <i>The New York Times</i> ) (2) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
9	学生によるプレゼン	学生による発表。ニュース英語のリスニング。
10	"Opinion: Naomi Osaka's silence speaks volumes" ( <i>The Washington Post</i> ) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
11	"Why Asia, the Pandemic Champion, Remains Miles Away From the Finish Line" ( <i>The New York Times</i> ) (1) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
12	"Why Asia, the Pandemic Champion, Remains Miles Away From the Finish Line" ( <i>The New York Times</i> ) (2) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
13	学生によるプレゼン	学生による発表。ニュース英語のリスニング。
14	試験・まとめと解説	試験・まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講読では、辞書とネットを駆使して不明な単語、表現を下調べして準備しておくこと。発表は、資料の準備、そして必ずリハーサルしておくこと。課題作文では与えられたトピックについて英語でまとめて提出します。毎回課題提出が必須です。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

**【テキスト（教科書）】**

扱う記事の入手方法（URL 等）は前週までに指示します。

**【参考書】**

『リーダーズ英和辞典』（東京：研究社, 1999）, および専門用語についてはネットでの検索が役に立ちます。

**【成績評価の方法と基準】**

課題を含む平常点 (30%) と試験 (70%) から総合的に評価します。あらかじめ割り当てられた発表の準備を怠った場合、正当な理由なく発表日に欠席するなどした場合は不合格となります。病気などのやむを得ない事情を除いて、原則として全授業出席及び課題提出する必要があります。

病欠も含めた欠席回数が 4 回を数えた時点で単位取得の資格を失います。未予習での出席は欠席扱いとし、授業中に雑談など受講の意志が見られない者もその場で退席を指示し、その日は欠席扱いとします。遅刻は授業開始の合図から 20 分以内に入室した者だけ認めますが、2 回の遅刻につき 1 回の欠席と見なします。

**【学生の意見等からの気づき】**

学生の発表に対するフィードバックにも重点を置きたいと思います。ニュース英語のリスニングを苦手とする学生が多いので内容と同時に聞き取りのコツを説明します。

**【Outline (in English)】**

In this course, students learn how Japan is viewed from outside through US or UK media and try to express their own opinion in English.

The goal of this course is to acquire the above-mentioned knowledge and ability to discuss it.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end exam: 80%, assignments: 20%

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：世界の中の日本—日本は世界からどう見られているか

佐喜真 彩

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

上級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 では、English1 と English2 で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の能力を更に深めます。またこれら 4 技能を総合的に駆使し、あるテーマについて英語で情報を得、その情報を批判的に考察し、さらに自分の意見を英語で発信していく能力を養成します。

本授業では、英米のニュースメディアにおける日本についての情報を読み、聴くことを通して上記の力を伸ばしていきます。

## 【到達目標】

- ・複雑に見える英語の正確な読解ができること。
- ・英文記事全体の要旨を正確に把握できること。
- ・ニュースの英語が聞き取れるようになること。
- ・正確な英語で作文が出来るようになること。
- ・英語でニュース記事について発表そして質疑応答が出来るようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

担当教員の選んだニュース記事の精読、学生による特定のトピックについての発表、英作文、ニュース英語のリスニング練習という内容で進めていきます。

（フィードバック方法について）リアクションペーパーに書かれた質問は全て次回の授業で取り上げて回答、コメントはクラス全体で共有します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロ	席決め、授業の説明、ウォームアップ。
2	"Replacing Suga as prime minister will do little to resolve Japan's political crisis" ( <i>The Guardian</i> ) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
3	"In Japan's anime universe, 'Belle' seeks to rewrite script on female power" ( <i>The Washington Post</i> ) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。

4	"Japan's ruling party appoints 'Mr status quo' Fumio Kishida as next leader" ( <i>The Financial Times</i> ) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
5	学生によるプレゼン	学生による発表。ニュース英語のリスニング。
6	"Back from the brink: how Japan became a surprise Covid success story" ( <i>The Guardian</i> ) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
7	"As Japan's yakuza mob weakens, former gangsters struggle to find a role outside crime" ( <i>The Washington Post</i> ) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
8	"Japan election: rightwing populists sweep vote in Osaka" ( <i>The Guardian</i> ) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
9	学生によるプレゼン	学生による発表。ニュース英語のリスニング。
10	"Last rites rights of condemned around the world" ( <i>BBC</i> ) (1) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
11	"Last rites rights of condemned around the world" ( <i>BBC</i> ) (2) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
12	"Why it costs 37 cents to make Japan's bullet trains run on time" ( <i>The Financial Times</i> ) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
13	学生によるプレゼン	学生による発表。ニュース英語のリスニング。
14	試験・まとめと解説	試験・まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講読では、辞書とネットを駆使して不明な単語、表現を下調べして準備しておくこと。発表は、資料の準備、そして必ずリハーサルしておくこと。課題作文では与えられたトピックについて英語でまとめて提出します。毎回課題提出が必須です。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

扱う記事の入手方法（URL 等）は前週までに指示します。

**【参考書】**

『リーダーズ英和辞典』（東京：研究社，1999），および専門用語についてはネットでの検索が役に立ちます。

**【成績評価の方法と基準】**

課題を含む平常点 (30%) と試験 (70%) から総合的に評価します。あらかじめ割り当てられた発表の準備を怠った場合、正当な理由なく発表日に欠席するなどした場合は不合格となります。病気などのやむを得ない事情を除いて、原則として全授業出席及び課題提出する必要があります。

病欠も含めた欠席回数が 4 回を数えた時点で単位取得の資格を失います。未予習での出席は欠席扱いとし、授業中に雑談など受講の意志が見られない者もその場で退席を指示し、その日は欠席扱いとします。遅刻は授業開始の合図から 20 分以内に入室した者だけ認めますが、2 回の遅刻につき 1 回の欠席と見なします。

**【学生の意見等からの気づき】**

学生の発表に対するフィードバックにも重点を置きたいと思います。ニュース英語のリスニングを苦手とする学生が多いので内容と同時に聴き取りのコツを説明します。

**【Outline (in English)】**

In this course, students learn how Japan is viewed from outside through US or UK media and try to express their own opinion in English.

The goal of this course is to acquire the above-mentioned knowledge and ability to discuss it.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end exam: 80%, assignments: 20%

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：English Culture via Reality TV

Robert D. Hinton

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

上級／英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture and society.

## 【到達目標】

The goal of this course is to increase fluency, accuracy and confidence in the areas of speaking, listening, reading and writing. Students will also learn about the inner workings of American businesses and companies from the viewpoint of the workers and their CEOs and how those businesses impact American culture and society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

At the beginning of each class, feedback will be given in the form of written comments on assignments. Each week, students will see "real life" business dealings by way of "Undercover Boss", an American reality show. As they watch, students will complete a listening comprehension worksheet and take notes about different aspects of the company, the workers and the CEO. After each program, students will participate in discussions and do activities related to that specific episode. This class incorporates Active Learning and task based activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introductions, explanations	Information about the course and survey questions
Week 2	The Beginning of Undercover Boss - 7-11	Research 20 interesting facts about 7-11 - group discussion
Week 3	Roto Rooter	Review the Roto Rooter website and a comparable Japanese company - present findings
Week 4	CSI Commerce	Writing about shopping/buying habits
Week 5	Herschend Entertainment	Writing about a favorite entertainment venue
Week 6	Waste Management	Report about an ecological issue
Week 7	Loehman's	Fashion report
Week 8	Menchies	Writing about favorite fast food outlet

Week 9	Alfred Angelo	Unique wedding customs in the world
Week 10	Hudson Group	Design dream vacation
Week 11	Cinnabon	Report about women in business
Week 12	Mohecan Sun	Minority group report
Week 13	Dutch Brother's Coffee	Coffee facts and figures
Week 14	Utah Jazz	Report about a sport

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Each week, students will be asked to prepare for the upcoming class. This will include activities such as: researching a specific topic, brainstorming, writing a report and/or preparing for discussions and presentations.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No text will be used in this course.

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

Weekly homework (40%), classroom participation (40%), and presentations (20%). No more than three absences will be permitted.

【学生の意見等からの気づき】

The instructor appreciates student feedback and alters materials and procedures based on that feedback.

【Outline (in English)】

This course will allow students to play an active role in language learning including activities focused on listening, speaking, reading and writing.



LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：English Culture via Reality TV

Robert D. Hinton

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

上級／英語

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture and society.

【到達目標】

The goal of this course is to increase fluency, accuracy and confidence in the areas of speaking, listening, reading and writing. Students will also learn about the inner workings of American businesses and companies from the viewpoint of the workers and their CEOs and how those businesses impact American culture and society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

At the beginning of each class, feedback will be given in the form of written comments on assignments. Each week, students will see "real life" business dealings by way of "Undercover Boss", an American reality show. As they watch, students will complete a listening comprehension worksheet and take notes about different aspects of the company, the workers and the CEO. After each program, students will participate in discussions and do activities related to that specific episode. This class incorporates Active Learning and task based activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Summer	An interactive communication activity
Week 2	Baha Fresh	Write a restaurant review/critique
Week 3	Stella and Dot	Discussion of retail outlets
Week 4	Maaco	Discussion of on-line shopping and websites
Week 5	Family Dollar	Dealing with customer service/employee complaints
Week 6	Retro Fitness	Discussion about exercise and health
Week 7	CEO/Owner presentation planning	Group work for CEO or owner presentation
Week 8	Student PowerPoint presentations	Student presentations and note taking sessions
Week 9	Student PowerPoint presentations	Student presentations and note taking sessions

Week 10	Popeye's Louisiana Kitchen	Share research findings of fast food retail outlets - small group discussion
Week 11	Build A Bear	Recalling childhood memories
Week 12	Peavey Electronics	Discussion of Robotics and the future
Week 13	Clean Harbors	Ecology quiz and group brainstorming
Week 14	Club Med	Partner interview sheet - "dream vacation"

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Each week, students will be asked to prepare for the upcoming class. This will include activities such as: researching a specific topic, brainstorming, writing a report and/or preparing for discussions and presentations.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No text will be used in this course.

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

Weekly homework (40%), classroom participation (40%), and presentations (20%). No more than three absences will be permitted.

【学生の意見等からの気づき】

The instructor appreciates student feedback and alters materials and procedures based on that feedback.

【Outline (in English)】

This course will allow students to play an active role in language learning including activities focused on listening, speaking, reading and writing.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Modern English for Discussion, Presentation, Conversation, Debate

Robert Durham

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

上級／英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a Spring semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

## 【到達目標】

Students will learn about cultures & social practices from around the English-speaking world; and will also learn how to better explain Japanese culture to English-speaking people in this Global Society. Students will have to learn how to think critically [in-depth] about important Global Issues; and will have to effectively express their own thoughts and opinions in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

Students will be challenged to integrate their skills in English listening, speaking, reading, & writing in an advanced manner, via exposure to authentic English materials such as English News videos & audio, and inspirational video/audio talks (including TED Talks). Students will then be required to practice their English communication skills Online, via pair practice conversations with their classmates & professor. Feedback will be given to students by spoken word, in Real Time, in classes; sometimes via e-mail messages; and also via class Grade.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 回	[All SCHEDULE items are tentative...& might change, depending on class level(s); student abilities; & recent world events.]	Introduction vocabulary; & 'EQ' responses thereto. Students will be asked to express English opinions, re: News video and/or TED Talk #1.
第 2 回	News or TED video #1, part 2: asking students to express active opinions in English.	How to say your own opinions, in English...and how to EXPLAIN them.

第 3 回	Using the Future tense in English, to explain your Golden Week plans.	Active English spoken expressions, re: Golden Week future plans. News video/TED video #2.
第 4 回	Actively explaining your Golden Week activities, in spoken English.	Actively speaking about Golden Week, in spoken English, using the Past Tense. News video/TED Talk #2 (continued).
第 5 回	"How are you?"	Pairwork will be used to practice many, various ways to reply dynamically in English, to questions such as "How's it going?" News video/TED Talk #3, part 1.
第 6 回	Expressing your opinions about Current Affairs News videos/TED Talk #3 part 2, in active, dynamic spoken English.	Pair practice: speaking your opinions about News videos/TED Talks, in active English.
第 7 回	Video documentary or News clips, with questions about it.	Students will learn how to speak their opinions (in English) to classmates, about a Current Affairs topic.
第 8 回	News or TED Talk video #4, part 1.	Pair practice in spoken English, to explain student opinions about the topics raised by the video.
第 9 回	News or TED Talk video #4, part 2.	Explaining, in spoken English, student opinions about the topics in the video.
第 10 回	Use of many different English adjectives, to explain opinions and comments.	Students will explain their opinions about many current topics to classmates, in smooth, Modern English.
第 11 回	News or TED Talk video #5, part 1.	Students will watch the News or TED video clip...and will be asked to discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English.
第 12 回	News or TED Talk video #5, part 2./ Preparation & practice, for Exam (topics studied and discussed during the Spring 2022 semester).	Students will watch the News or TED video clip; will be asked to answer questions about it; and will then discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English./ Prep & practice for Speaking exam.
第 13 回	Speaking exam, re: topics studied and discussed during the Spring 2022 semester.	Speaking exam. Students will be asked to reply, in smooth spoken English, to questions about the topics that we learned & practiced in the Spring semester.
第 14 回	Students might be asked to speak about their Summer Break plans.	Students will speak about their future Summer Break plans.

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Please do homework well before the deadline [NOT "ichiyazukke"]; please learn to wake up early, and to arrive in class ON TIME [not late]; and please keep a weekly notebook/binder for this class, using pen. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

**【テキスト (教科書)】**

A textbook might be chosen, depending on students levels & requirements. Also, some handouts will be distributed to students. In addition, some News videos & TED Talks may be assigned as in-class or at-home viewing (with questions about those videos).

**【参考書】**

—

**【成績評価の方法と基準】**

Tentatively, grading may depend on in-class responses (approximately 25%); speaking exams spoken replies (approximately 25%); in-class performance (approximately 15%); class participation/motivation (20%); and homework (15%).

\* IMPORTANT: A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. \*

**【学生の意見等からの気づき】**

—

**【学生が準備すべき機器他】**

Every student should A.S.A.P. set up: a recent PC or Mac computer (with a working Microphone, Camera, and typing Keyboard); a \*FAST\* Campus/Home Wi-Fi connection; headphones; an e-mail address that displays your Full Name in ENGLISH characters; and a QUIET place (where the student can study quietly, and can participate in Online realtime audio/video 'chats).

Please bring to each class: a notebook/binder; a black pen; a red pen; an English-Japanese/Japanese-English dictionary [paper or electronic]; an English language LARGE namecard; and a daily planner/schedule book [a 'techo', in Nihongo].

**【その他の重要事項】**

Classes will be ONLINE.

\* EVERY e-mail message that you send to your teacher (tonydur2020@gmail.com) MUST always contain: your First Name; your Family Name; your School's name; your Student number; your class Day & Period; class Code/Name; today's DATE; and the REASON for your e-mail message.

\* Please make 100% sure that the recipient of your e-mail messages sees your name displayed in 'Romaji'. (In other words: in his 'INBOX', the teacher should see your name displayed as 'Taro Tanaka' (for example)—NOT in Kanji characters.)

\* Please make sure that you have an Internet-enabled COMPUTER (NOT only a Smartphone/Tablet); a real keyboard to type on; headphones/earphones; & FAST, RELIABLE Home or Campus Internet/Wi-Fi. Please upgrade your Home Internet connection, IF your Wi-Fi connection is too slow. (Internet via a Docomo, Au, Softbank phone connection, Cafe, restaurant is NOT fast enough.) We will see/check to see if Zoom or Skype or Google Meet work best for our class. Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed.

\* Please find a QUIET place (where each student can study quietly, and can participate in Online realtime audio/video chats).

\* Please participate ACTIVELY in class; & speak together with all other students, in class. If you're not sure about how to answer, please speak up and GUESS...instead of reflexively answering "I don't know".

\* A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. \*

**【-】**

—

**【Outline (in English)】**

This is a Spring semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Modern English for Discussion, Presentation, Conversation, Debate

Robert Durham

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

上級／英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a Fall semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

## 【到達目標】

Students will learn about cultures & social practices from around the English-speaking world; and will also learn how to better explain Japanese culture to English-speaking people in this Global Society. Students will have to learn how to think critically [in-depth] about important Global Issues; and will have to effectively express their own thoughts and opinions in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

Students will be challenged to integrate their skills in English listening, speaking, reading, & writing in an advanced manner, via exposure to authentic English materials such as English News videos & audio, and inspirational video/audio talks (including TED Talks). Students will then be required to practice their English communication skills Online, via pair practice conversations with their classmates & professor. Feedback will be given to students by spoken word, in Real Time, in classes; sometimes via e-mail messages; and also via class Grade.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 回	*[All SCHEDULE items are tentative...& might change, depending on class level(s); student abilities; & recent world events/Pandemic issues.] "How was your Summer Break?"[Discussing Summer events in smooth, Modern English, using the English Past tense.] News video #1/TED Talk video #1.	Summer Past Tense practice and vocabulary (a range of adjectives); with 'EQ' responses thereto. Students will be asked to express English opinions, re: News video and/or TED Talk #1.

第 2 回	News or TED video #1, part 2: asking students to express active opinions in English. Students will introduce themselves to each other in modern English, via Online video/audio 'chat'.	How to write and speak your own opinions, in English...and how to EXPLAIN them.
第 3 回	Asking & answering about subway/train directions, in English.	Students will learn and practice how to reply to requests for subway/train directions, in spoken English.
第 4 回	Hallowe'en, part 1: what are Hallowe'en customs; and in what countries has Hallowe'en traditionally been celebrated? [Using the FUTURE Tense, in English.]	Students will be asked to investigate, write down, and discuss Hallowe'en traditions, in English, using the FUTURE Tense.
第 5 回	Hallowe'en, part 2: Using 'would' & 'will'.	Students will pair-practice correct use of 'would' + past tense, & 'will' + future tense, to describe possible Hallowe'en costumes & activities.
第 6 回	News video/TED video #2. Expressing your opinions about Current Affairs News videos, in English.	News/TED Talk #2: students will be asked to say their views/opinions, in active, dynamic spoken English.
第 7 回	News video/TED Talk #2 (continued), with questions about it.	Students will continue to speak their opinions (in English) to classmates, about a Current Affairs topic/TED Talk.
第 8 回	"The Seven W's": (Questions about Who...? /What...? /When...? /Where...? /Why...? /Which...? /How...?)	Students will learn how to verbally ask others, and to reply in smooth English, to questions about "the Seven W's".
第 9 回	Thanksgiving customs (& discussion in English), re: Thanksgiving customs in the U.S.A./Canada.	Students will be asked to suss out traditional Thanksgiving customs in the U.S. & Canada...& to explain them in spoken English.
第 10 回	Thanksgiving (continued); and possibly a video/audio exercise about Thanksgiving.	Students may be asked to answer questions about a video/audio exercise about Thanksgiving...and to pair-practice in spoken English, five things that they are thankful for.
第 11 回	What are your plans for Christmas and OhShoGatsu? Also: English video/song exercise about Christmas.	Pair practice: students will be asked to write down & then practice verbally (in English) their Future plans for Christmas/ OhShoGatsu.

- 第 12 回 Discussing answers to the Christmas video/song exercise...and to Christmas/OhShoGatsu plans.
- 第 13 回 Speaking exam, re: topics studied and discussed during the Fall 2022 semester.
- 第 14 回 "How was your OhShoGatsu?" + Students might be asked to speak about their Winter Break plans.

**【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】**

Please do homework well before the deadline [NOT "ichiyazukke"]; please learn to wake up early, and to arrive in class ON TIME [not late]; and please keep a weekly notebook/binder for this class, using pen.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

**【テキスト (教科書)】**

A textbook might be chosen, depending on students' levels & requirements. Also, some handouts will be distributed to students. In addition, some News videos & TED Talks may be assigned as in-class or at-home viewing (with questions about those videos).

**【参考書】**

—

**【成績評価の方法と基準】**

Tentatively, grading may depend on in-class responses (approximately 25%); speaking exams and spoken replies (approximately 25%); attendance/on-time arrival (approximately 15%); class participation/motivation (20%); and homework (15%).

\*IMPORTANT: A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE.\*

**【学生の意見等からの気づき】**

—

**【学生が準備すべき機器他】**

Every student should A.S.A.P. set up: a recent PC or Mac computer (with a working Microphone, Camera, and typing Keyboard); a \*FAST\* Campus/Home Wi-Fi connection; headphones; an e-mail address that displays your Full Name in ENGLISH characters; and a QUIET place (where the student can study quietly, and can participate in Online realtime audio/video 'chats).

Please bring to each class: a notebook/binder; a black pen; a red pen; an English-Japanese/Japanese-English dictionary [paper or electronic]; an English language LARGE namecard; and a daily planner/schedule book [a 'techo', in Nihongo].

**【その他の重要事項】**

Classes will be ONLINE.

\* EVERY e-mail message that you send to your teacher (tonydur2020@gmail.com) MUST always contain: your First Name; your Family Name; your School's name; your Student number; your class Day & Period; class Code/Name; today's DATE; and the REASON for your e-mail message.

\* Please make 100% sure that the recipient of your e-mail messages sees your name displayed in 'Romaji'. (In other words: in his 'INBOX', the teacher should see your name displayed as 'Taro Tanaka' (for example)—NOT in Kanji characters.)

\* Please make sure that you have an Internet-enabled COMPUTER (NOT only a Smartphone/Tablet); a real keyboard to type on; headphones/earphones; & FAST, RELIABLE Home or Campus Internet/Wi-Fi. Please upgrade your Home Internet connection, IF your Wi-Fi connection is too slow. (Internet via a Docomo, Au, Softbank phone connection, Cafe, restaurant is NOT fast enough.) We will see/check to see if Zoom or Skype or Google Meet work best for our class. Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed.

\* Please find a QUIET place (where each student can study quietly, and can participate in Online realtime audio/video chats).

\* Please participate ACTIVELY in class; & speak together with all other students, in class. If you're not sure about how to answer, please speak up and GUESS...instead of reflexively answering "I don't know".

\* A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. \*

**【Outline (in English)】**

This is a Fall semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Social Issues through News Stories

川澄 亜岐子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

上級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1 年次に習得した英語の運用能力を用いて、国際語としての英語を学びます。国内外のニュースを英語の記事で読むことを通して、世界の文化を理解し、尊重する態度とともに、自文化を相対化し、批判的に分析する力を養います。春学期はとくに、自分の意見を英語でわかりやすく伝えたり、相手の意見を理解したりすることを目指します。

## 【到達目標】

1. 英語で書かれたニュース記事を読み、要点を英語で説明できるようになる。
2. 英語で書かれたニュース記事を読み、自分の意見や考えを英語で説明できるようになる。
3. ニュース形式の教材を視聴し、要点を正確に理解できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業は、講義とグループまたはペアワークを組み合わせて対面形式で行います。提出されたリアクションペーパーや課題は、個別または全体にフィードバックする方法を採ります。授業中に課題を取り組む際は、個別指導の時間をとります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	授業についての説明
2	Getting to know your newspaper (1)	世界の英字新聞を知る
3	Getting to know your newspaper (2)	英字新聞を読む
4	The structure of a newspaper (1)	英字新聞の構成を調べる
5	The structure of a newspaper (2)	ニュースのカテゴリを調べる
6	News story structure (1)	新聞記事の情報を整理する
7	News story structure (2)	新聞記事を要約する
8	Headlines (1)	Headline とは何か
9	Headlines (2)	Headline の規則を知る
10	Headlines (3)	Headline に使われる略語を調べる
11	What make a story news? (1)	何がニュースになるのか
12	What make a story news? (2)	新聞記事を分析する
13	Writing a news story (1)	ニュース記事を書いてみる

14 Writing a news story (2) ニュース記事を編集する

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業は予習を前提に進めます。準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。詳細は、初回授業で説明します。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

## 【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。授業中に資料を配布します。

## 【参考書】

1. BBC Learning English <http://www.bbc.co.uk/learningenglish/>
2. The Flatmates <http://www.bbc.co.uk/worldservice/learningenglish/flatmates/>
3. VOA Learning English <https://learningenglish.voanews.com/>
4. News in Levels <https://www.newsinlevels.com/>
5. CNN 10 <https://edition.cnn.com/cnn10>
6. TED <https://www.ted.com>
7. NPR <https://www.npr.org/>
8. ABC News video <https://abcnews.go.com/Video>
9. CBS 60 Minutes [https://www.cbs.com/shows/60\\_minutes/](https://www.cbs.com/shows/60_minutes/)
10. NHK ワールド TV <https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/ja/world/>
11. NHK ワールド・ラジオ日本 <https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/ja/radio/>

## 【成績評価の方法と基準】

- 平常点 70%
- (小テスト 20%、授業中の活動への参加 20%、提出物 30%)
- 学期末課題 30%
- \* 4 回以上欠席した場合、原則として単位の取得が認められません。
- \* 欠席や早退は 2 回で 1 回の欠席と見なします。
- \* 著しい私語や居眠り、授業とは関係のない調べものなど、授業に参加する意欲が見られない場合、出席していても早退/遅刻または欠席と同等に見なすことがあります。

## 【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

## 【Outline (in English)】

In this course, students will read domestic and international news stories written in English. They will be encouraged to express their opinions in English and share them with other students. They will develop critical thinking skills by taking part in class activities. In the spring semester, students will read English newspapers and study their structures.

In this course, students will be able to:

- catch the main ideas of news articles
  - express their opinions about various social issues in English
  - understand the audiovisual materials
- Students need to do weekly preparation for each class. Preparation is designed to take approximately one hour. In addition to preparation, students will be given assignments to review.

Evaluation will be based on Hosei University grading criteria, as follows:

Quiz 20%, participation in class activity 20%, assignment and submission 30%, final assignment 30%

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Social Issues through News Stories

川澄 亜岐子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

上級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1 年次に習得した英語の運用能力を用いて、国際語としての英語を学びます。国内外のニュースを英語の記事で読むことを通して、世界の文化を理解し、尊重する態度とともに、自文化を相対化し、批判的に分析する力を養います。秋学期は、春学期に学んだことを踏まえたうえで、メディアやそれを取り巻く環境についても広く学びます。

## 【到達目標】

1. 英語で書かれたニュース記事を読み、英語で要点を説明したり、自分の意見を論理的な文章でまとめたりすることができるようになる。
2. ニュース形式の教材を視聴し、要点を正確に理解できるようになる。
3. メディアの特性を理解し、ニュース記事を批判的に分析できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業は、講義とグループまたはペアワークを組み合わせて対面形式で行います。提出されたリアクションペーパーや課題は、個別または全体にフィードバックする方法を採ります。授業中に課題を取り組む際は、個別指導の時間をとります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	授業についての説明
2	News Point	新聞記事の「時間」について分析する
3	Media bias (1)	バイアスとは何か？
4	Media bias (2)	新聞記事に見るバイアス：写真の場合
5	Media bias (3)	新聞記事に見るバイアス：文字テキストの場合
6	Opinion articles (1)	社説や読者投稿欄の記事を読む
7	Opinion articles (2)	社会的な問題について自分の意見を考える
8	Opinion articles (3)	社説の記事を分析する
9	Electronic media (1)	さまざまなメディアの特性を知る
10	Electronic media (2)	さまざまなメディアのニュース記事を分析する
11	Journalist's job (1)	ジャーナリズムの仕事について知る
12	Journalist's job (2)	ジャーナリストの仕事に関するテキストを鑑賞する
13	Journalist's job (3)	ジャーナリストの仕事について話し合う
14	Writing an opinion article	社会問題について自分の意見を書く

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業は予習を前提に進めます。準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。詳細は、初回授業で説明します。

## 【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。授業中に資料を配布します。

## 【参考書】

1. BBC Learning English <http://www.bbc.co.uk/learningenglish/>
2. The Flatmates <http://www.bbc.co.uk/worldservice/learningenglish/flatmates/>
3. VOA Learning English <https://learningenglish.voanews.com/>
4. News in Levels <https://www.newsinlevels.com/>
5. CNN 10 <https://edition.cnn.com/cnn10>
6. TED <https://www.ted.com>
7. NPR <https://www.npr.org/>
8. ABC News video <https://abcnews.go.com/Video>
9. CBS 60 Minutes [https://www.cbs.com/shows/60\\_minutes/](https://www.cbs.com/shows/60_minutes/)
10. NHK ワールド TV <https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/ja/world/>
11. NHK ワールド・ラジオ日本 <https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/ja/radio/>

## 【成績評価の方法と基準】

- 平常点 60%

(小テスト 20%、授業中の活動への参加 30%、提出物 10%)

- 学期末課題 40%

\* 4 回以上欠席した場合、原則として単位の取得が認められません。

\* 欠席や早退は 2 回で 1 回の欠席と見なします。

\* 著しい私語や居眠り、授業とは関係のない調べものなど、授業に参加する意欲が見られない場合、出席していても早退/遅刻または欠席と同等に見なすことがあります。

## 【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

## 【Outline (in English)】

In this course, students will read domestic and international news stories written in English. They will be encouraged to express their opinion in English and to share them with other students. They will also develop critical thinking skills by taking part in class activities. In the fall semester, students will write their own news report.

In this course, students will be able to:

- catch the main ideas of news articles
- express their opinions about news stories in English
- understand audiovisual materials

Students need to do weekly preparation for each class. Preparation is designed to take approximately one hour. In addition to preparation, students will be given assignments to review.

Evaluation will be based on Hosei University grading criteria, as follows:

Quiz 20%, participation in class activity 30%, assignment and submission 10%, final assignment 40%

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：English Speaking Countries in the Precarious Age of Pandemic and Technology

ELIKO M KOSAKA

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

上級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CNN ニュースを用いて、リスニング力、語彙力、読解力を向上させることを目的とする。

更に英語発音を上達させ、パラグラフやエッセイライティングについての基礎を補強し、さらに多様なスタイルについて学ぶ。

## 【到達目標】

役に立つような英語運用能力を習得することが出来る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

- ①各 Unit で使用される難解な語彙の用法などを確認し、その語彙を用いた例文などを口頭・文章で表現する。
- ②ニュースの英語を効果的に聞き取り、内容を把握する。
- ③ニュース内容の要約・あるいは自分の意見をまとめ、複数のパラグラフからなる短いレポートを書き、口頭発表等を行う。
- ④予習をしていることを前提に授業を進めて行く。
- ⑤授業内で指示された課題のフィードバックは、課題提出後におこなう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	①音読と発音の指導 ② CNN Unit 1 ③ Words and Phrases to Study ④ Examples ⑤ Blanks to Fill in ⑥ Reading Comprehension
第 2 回	Unit 1, cont.	① Judgments to Make ② Vocabulary exercise ③ Paragraph writing 指導
第 3 回	Unit 2	①単語テスト ②音読 ③ Paragraph writing workshop ④ Start Unit 2: Words and phrases to study
第 4 回	Unit 2, cont.	① Examples ② Blanks to Fill in ③ Reading Comprehension ④ Vocabulary exercises
第 5 回	Unit 3	① Judgements to Make ② Vocabulary exercises ③ Paragraph writing exercise ④ Start Unit 3 Words and phrases to study

第 6 回 Unit 3, cont.  
目

- ①単語テスト
  - ②音読
  - ③ Examples
  - ④ Blanks to Fill in
  - ⑤ Reading Comprehension
  - ⑥ Paragraph writing workshop
- まとめと解説

第 7 回 中間試験

第 8 回 Unit 4  
目

- ① Start Unit 2: Words and phrases to study
- ② Examples
- ③ Blanks to Fill in
- ④ Reading Comprehension
- ① Vocabulary exercises
- ② Paragraph writing exercise
- ③ Judgements to make

第 9 回 Unit 4, cont.  
目

第 10 回 Unit 5  
目

- ①音読
- ②単語テスト
- ③ Paragraph writing workshop
- ④ Start Unit 5: Word and phrases to study
- ① Examples
- ② Blanks to Fill in
- ③ Reading Comprehension
- ④ Vocabulary exercises
- ⑤ Judgements to make

第 11 回 Unit 5, cont.  
目

第 12 回 Unit 6  
目

- ① Start Unit 6: Word and phrases to study
- ② Examples
- ③ Blanks to Fill in
- ④ Reading Comprehension
- ①音読
- ②単語テスト
- ③ Vocabulary exercises
- ④ Judgements to make
- ⑤ Paragraph writing exercise

第 13 回 Unit 6, cont.  
目

第 14 回 期末試験  
目

- ① Examples
  - ② Blanks to Fill in
  - ③ Reading Comprehension
  - ④ Vocabulary exercises
  - ⑤ Judgements to make
  - ⑥ Paragraph writing exercise
- まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。  
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

## 【テキスト（教科書）】

教科書『CNN:ビデオで見る世界のニュース 2 3』English for the Global Age with CNN, Vol 23.

著者関西大学 CNN 英語研究会

出版者：朝日出版社

出版年 2022 年

価格：1900 円

## 【参考書】

なし

## 【成績評価の方法と基準】

授業への積極的な参加 20%、中間試験・期末試験 20%、提出課題 20%、小テスト 20%、音読・グループライティング 20%  
Active class participation 20%, Midterm and Finals 20%, Homework 20%, Quizzes 20%, recitations and group work 20%  
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

## 【学生の意見等からの気づき】

学生と教員がお互いに協調して、有意義な授業時間を実現するために積極的かつ生産的にコミュニケーションを取ることが肝心である。



**【Outline (in English)】**

Using the CNN textbook as a base point, the aim of the course is to improve the learner's pronunciation through various in-class exercises, establish a stronger foundation for understanding and using vocabulary, and strengthen the learner's skills in critical reading and writing. Once this is established, the learner will be given the opportunity to learn a few different writing styles.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Active class participation 20%, Midterm and Finals 20%, Homework 20%, Quizzes 20%, recitations and group work 20%

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：English Speaking Countries in the Precarious Age of Pandemic and Technology

ELIKO M KOSAKA

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

上級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CNN ニュースを用いて、リスニング力、語彙力、読解力を向上させることを目的とする。

更に英語発音を上達させ、パラグラフやエッセイライティングについての基礎を補強し、さらに多様なスタイルについて学ぶ。

## 【到達目標】

①役に立つような英語運用能力を習得することが出来る。

ディプロマポリシー

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

①各 Unit で使用される難解な語彙の用法などを確認し、その語彙を用いた例文などを口頭・文章で表現する。

②ニュースの英語を効果的に聞き取り、内容を把握する。

③ニュース内容の要約・あるいは自分の意見をまとめ、複数のパラグラフからなる短いレポートを書き、口頭発表等を行う。

④予習をしていることを前提に授業を進めて行く。

⑤授業内で指示された課題のフィードバックは、課題提出後におこなう。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	CNN Unit 7 目	① Words and Phrases to Study ② Examples ③ Blanks to Fill in ④ Reading Comprehension
第 2 回	Unit 7, cont. 目	① Judgments to Make ② Vocabulary exercise ③ Paragraph writing exercise
第 3 回	Unit 8 目	① 単語テスト ② 音読 ③ Paragraph writing workshop ④ Start Unit 8: Words and phrases to study
第 4 回	Unit 8, cont. 目	① Examples ② Blanks to Fill in ③ Reading Comprehension ④ Vocabulary exercises
第 5 回	Unit 9 目	① Judgments to Make ② Vocabulary exercises ③ Paragraph writing exercise ④ Start Unit 9 Words and phrases to study

第 6 回 Unit 9, cont.

目

- ① 単語テスト
  - ② 音読
  - ③ Examples
  - ④ Blanks to Fill in
  - ⑤ Reading Comprehension
  - ⑥ Paragraph writing workshop
- まとめと解説

第 7 回 中間試験

目

第 8 回 Unit 10

目

- ① Start Unit 10: Words and phrases to study
- ② Examples
- ③ Blanks to Fill in
- ④ Reading Comprehension

第 9 回 Unit 10, cont.

目

- ① Vocabulary exercises
- ② Paragraph writing exercise
- ③ Judgements to make

第 10 回 Unit 11

目

- ① 音読
- ② 単語テスト
- ③ Paragraph writing workshop
- ④ Start Unit 11: Word and phrases to study

第 11 回 Unit 11, cont.

目

- ① Examples
- ② Blanks to Fill in
- ③ Reading Comprehension
- ④ Vocabulary exercises
- ⑤ Judgements to make

第 12 回 Unit 12

目

- ① Start Unit 12: Word and phrases to study
- ② Examples
- ③ Blanks to Fill in
- ④ Reading Comprehension

第 13 回 Unit 12, cont.

目

- ① 音読
- ② 単語テスト
- ③ Vocabulary exercises
- ④ Judgements to make
- ⑤ Paragraph writing exercise

第 14 回 期末試験

目

まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。  
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

## 【テキスト（教科書）】

教科書『CNN:ビデオで見る世界のニュース 2 3』English for the Global Age with CNN, Vol 23.

著者関西大学 CNN 英語研究会

出版者：朝日出版社

出版年 2022 年

価格：1900 円

## 【参考書】

なし

## 【成績評価の方法と基準】

授業への積極的な参加 20%、中間試験・期末試験 20%、提出課題 20%、小テスト 20%、音読・グループライティング 20%

Active participation 20%, Midterm and Finals 20%, homework 20%, quizzes 20%, recitations and group work 20%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

## 【学生の意見等からの気づき】

学生と教員がお互いに協調して、有意義な授業時間を実現するために積極的かつ生産的にコミュニケーションを取ることが肝心である。

**【Outline (in English)】**

Outline in English: Using the CNN textbook as a base point, the aim of the course is to improve the learner's pronunciation through various in-class exercises, establish a stronger foundation for understanding and using vocabulary, and strengthen the learner's skills in critical reading and writing. Once this is established, the learner will be given the opportunity to learn a few different writing styles.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Active Participation 20%, Midterm and Finals 20%, homework 20%, quizzes 20%, recitations and group work 20%

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Global Issues

岩下 弘史

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

上級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 では、English1 と English2 で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の能力をさらに向上させていきます。これら 4 技能を総合的に駆使し、英語で書かれたある主題についてテーマについて正しく理解し、それを批判的に考察したうえで自分の意見を英語で発信していく能力を養成します。

本授業では特に世界情勢について英語で書かれたニュース記事を読み、関連する音声を聴き、それについての適切なまとめや自らの意見を発信できることを目指します。

## 【到達目標】

- ・英語ニュース記事のスタイルに親しむ。
- ・テキスト内に出てきた単語をしっかりと暗記しボキャブラリーを増やす。
- ・辞書を使いながら英文の構造をしっかりと理解して読めるようになる。
- ・リスニング学習を通して英語の音、リズム、イントネーションに親しむ。
- ・文法的に正確な英文を書くことができるようになる。
- ・ニュース記事に関して自らの意見を発信できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業は基本的には以下の手順で進めます。

- ・前回の授業のリアクションペーパーに関するコメント
  - ・読解解説（指名して英文を音読し訳読をしてもらうので予習が必要です）
  - ・読んだテキストのリスニング（ディクテーション含む）
  - ・リアクションペーパーに学んだニュースの内容等について英語でコメント（場合によってはスピーキング）
- ただし、理解度や進度によっては授業内容を柔軟に変更します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	具体的な授業の進め方について説明します。
2	Unit1-1	Unit1 前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング（スピーキング）
3	Unit1-2	Unit1 後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング（スピーキング）
4	Unit2-1	Unit2 前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング（スピーキング）
5	Unit2-2	Unit2 後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング（スピーキング）

6	Unit3-1	Unit3 前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング（スピーキング）
7	Unit3-2	Unit3 後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング（スピーキング）
8	Unit4-1	Unit4 前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング（スピーキング）
9	Unit4-2	Unit4 後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング（スピーキング）
10	Unit5-1	Unit5 前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング（スピーキング）
11	Unit5-2	Unit5 後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング（スピーキング）
12	Unit6-1	Unit6 前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング（スピーキング）
13	Unit6-2	Unit6 後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング（スピーキング）
14	まとめ（期末試験）	試験範囲、詳しい内容については授業内で説明します。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。  
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

詳しくはガイダンス時に説明しますが、精読していただくことは必須です。分量は決して多くないですがその分辞書を引いて構造にも気を配り日本語訳を作ってきてください。リスニングの練習を行うことも求められます。

## 【テキスト（教科書）】

『15 章版：ニュースメディアの英語—演習と解説 2023 年度版—』（朝日出版社、2023 年）

## 【参考書】

「ジーニアス英和辞典」（大修館）

他の辞書でも構いませんが、このレベルのものは必要です（初回の授業で説明します）。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（授業態度や予習状況、出席、リアクションペーパーの内容など）35%  
期末試験 65%

公欠を除いて 4 回以上の欠席があった場合は、ガイドラインに基づき原則として単位を認定しません。また、特段の理由のない 45 分以上の遅刻や早退は欠席扱いとします。

## 【学生の意見等からの気づき】

スクリーンや板書の文字の大きさには注意したいと思います。

## 【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムで諸々の連絡をします。

## 【Outline (in English)】

The aim of this course is to help the students to understand global issues through reading some English news on them. The students are also expected to develop the ability to speak and write their opinions about them.

The goal of this course for students is to acquire basic academic skills.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Their study time will be more than four hours for a class.

Their overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 65%, In-class contribution: 35%

LANe200LA  
**English 3 II** 2017 年度以降入学者  
 サブタイトル：Global Issues  
**岩下 弘史**  
 開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5  
 単位数：1 単位  
 上級/日本語  
 その他属性：

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

English 3 では、English1 と English2 で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の能力をさらに向上させていきます。これら 4 技能を総合的に駆使し、英語で書かれたある主題についてテーマについて正しく理解し、それを批判的に考察したうえで自分の意見を英語で発信していく能力を養成します。本授業では特に世界情勢について英語で書かれたニュース記事を読み、関連する音声を聴き、それについての適切なまとめや自らの意見を発信できることを目指します。

**【到達目標】**

- ・英語ニュース記事のスタイルに親しむ。
- ・テキスト内に出てきた単語をしっかりと暗記しボキャブラリーを増やす。
- ・辞書を使いながら英文の構造をしっかりと理解して読めるようになる。
- ・リスニング学習を通して英語の音、リズム、イントネーションに親しむ。
- ・文法的に正確な英文を書くことができるようになる。
- ・ニュース記事に関して自らの意見を発信できるようになる。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

授業は基本的には以下の手順で進めます。  
 ・前回の授業のリアクションペーパーに関するコメント  
 ・読解解説（指名して英文を音読し訳読をしてもらうので予習が必要です）  
 ・読んだテキストのリスニング（ディクテーション含む）  
 ・リアクションペーパーに学んだニュースの内容等について英語でコメント（場合によってはスピーキング）  
 ただし、理解度や進度によっては授業内容を柔軟に変更します。

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**  
 あり/Yes

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**  
 なし/No

**【授業計画】 授業形態：対面/face to face**

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	具体的な授業の進め方について説明します。
2	Unit7-1	Unit7 前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング（スピーキング）
3	Unit7-2	Unit7 後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング（スピーキング）
4	Unit8-1	Unit8 前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング（スピーキング）
5	Unit8-2	Unit8 後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング（スピーキング）

6	Unit9-1	Unit9 前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング（スピーキング）
7	Unit9-2	Unit9 後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング（スピーキング）
8	Unit10-1	Unit10 前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング（スピーキング）
9	Unit10-2	Unit10 後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング（スピーキング）
10	Unit11-1	Unit11 前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング（スピーキング）
11	Unit11-2	Unit11 後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング（スピーキング）
12	Unit12-1	Unit12 前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング（スピーキング）
13	Unit12-2	Unit12 後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング（スピーキング）
14	まとめ（期末試験）	試験範囲、詳しい内容については授業内で説明します。

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。  
 /University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

詳しくはガイダンス時に説明しますが、精読していただくことは必須です。分量は決して多くないですがその分辞書を引いて構造にも気を配り日本語訳を作ってきてください。リスニングの練習を行うことも求められます。

**【テキスト（教科書）】**

『15 章版：ニュースメディアの英語—演習と解説 2023 年度版—』（朝日出版社、2023 年）

**【参考書】**

「ジーニアス英和辞典」（大修館）  
 他の辞書でも構いませんが、このレベルのものは必要です（初回の授業で説明します）。

**【成績評価の方法と基準】**

平常点（授業態度や予習状況、出席、リアクションペーパーの内容など）35%  
 期末試験 65%  
 公欠を除いて 4 回以上の欠席があった場合は、ガイドラインに基づき原則として単位を認定しません。また、特段の理由のない 45 分以上の遅刻や早退は欠席扱いとします。

**【学生の意見等からの気づき】**

スクリーンや板書の文字の大きさには注意したいと思います。

**【学生が準備すべき機器他】**

学習支援システムで諸々の連絡をします。

**【Outline (in English)】**

The aim of this course is to help the students to understand global issues through reading some English news on them. The students are also expected to develop the ability to speak and write their opinions about them.

The goal of this course for students is to acquire basic academic skills.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Their study time will be more than four hours for a class.

Their overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 65%, In-class contribution: 35%

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Exploring the world through critical issues

ウォルター・カズマー

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

中級／英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

To expand on skills gained in English 1 or 2

## 【到達目標】

Students will gain additional skills in reading, writing, listening, and speaking.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された  
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針  
に明示された学習成果との関連）】各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学  
部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：  
DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

Reading skills- skimming, scanning, and summarizing

Writing- structuring paragraphs

Speaking- giving speeches and presentations

Listening- listening for gist and details

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Introduction	Introduction of syllabus	Cover syllabus and basic ground rules for regular classes and tests.
community I	Community values Teaching tips I	Examining social values for societies. Exploring cultural bonds. class activities
community II	Written Community rules Teaching tips II	Deepening understanding of social boundaries and possible conflicts. time flow, use of variety
Community III	Why some communities collapse teaching tips 3	Discussion of taboos and social misdeeds
responsibility I	Tourism barbs and unintended consequences	Discuss tourism negatives and positive outcomes
Responsibility II	Value brought by tourism	Tourism effects on our lives in both positive and negative ways.
Responsibility III	Rise of ecotourism and fair trade	Tourist initiatives to improve local lifestyles
World heritage I	Looking at historical buildings and the events they show	Why are these buildings important for remembering history?
World heritage II	Protecting our cultural artifacts	How buildings are preserved and design shows our history

World heritage III	Zoning and how it affects heritage buildings	Zoning code- the balance between modern life and showing our historical roots
Engineer food I	Science and side effects	Science and its end goals and how they might ruin our health
Engineer food II	Health influences of diet	Researching food sources and why variety is important
Engineer food III	Benefits of science engineered food	How radiation and mutations shape our diet
Summary	summary of course themes	Discuss various course themes

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Prepare for teaching lessons by submitting lesson plan 1 week before.

Review reading for further discussion.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

## 【テキスト（教科書）】

Issues that matter - Kinseido

ISBN 9784764740617 or 1921082018006

## 【参考書】

N/a

## 【成績評価の方法と基準】

Class participation 33%

Teaching lesson reviews 34%

Homework 33%

In principle, no more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed.

## 【学生の意見等からの気づき】

Additional time given for take home quizzes.

## 【学生が準備すべき機器他】

PC or smartphone, writing instrument, paper

## 【その他の重要事項】

email

walter.kasmer.y4@hosei.ac.jp

or

kasmersensei@gmail.com

## 【Outline (in English)】

Students will improve their English in 4 skill areas (writing, reading, listening, and speaking).

Students will particularly focus on discussions and short essay writing.

LANe200LA  
**English 3 II** 2017 年度以降入学者  
 サブタイトル：Continuing to explore the world through critical issues  
 ウォルター・カズマー  
 開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 3/Fri.3  
 単位数：1 単位  
 中級／英語  
 その他属性：

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**  
 To expand on skills gained in English 1 or 2

**【到達目標】**  
 Students will gain additional skills in reading, writing, listening, and speaking.

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**  
 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**  
 Reading skills- skimming, scanning, and summarizing  
 Writing- structuring paragraphs  
 Speaking- giving speeches and presentations  
 Listening- listening for gist and details

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**  
 あり / Yes

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**  
 なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Introduction	Introduction of syllabus	Cover syllabus and basic ground rules for regular classes and tests.
Food	Food and politics	How do we combat global food changes? class activities
Food II	Food and politics	Positives and negatives of climate change with food time flow, use of variety
Recycling	Recycling	Recycling- reducing waste class work vs. homework
recycling	recycling	Show and discuss government regulations that try to reduce waste
II	government regulation	
waste	waste and its effects on society	Look at how inequalities affect waste
in-		
equal-		
ity		
whistle	Blowing whistles	whistle blowing vs leaking
blow-		
ing		
Whistle	Government security	Look at government security and other related problems
blow-		
ing		
II		
Protesting	ooking at protests and effects on society	Social issues with government and laws
Protesting	Are all protests the same?	Explore types of protests
II		
Breaking	Handling legal the law issues	Where do laws come from?
I		

BreakingChanging laws the law  
 II  
 Fake Dealing with fake newsI information  
 SummarySummary of course themes  
 Discussion of course themes

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**  
 Review reading for further discussion  
 University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

**【テキスト（教科書）】**  
 Issues that matter - Kinseido  
 ISBN 9784764740617 or 1921082018006

**【参考書】**  
 N/a

**【成績評価の方法と基準】**  
 Class participation 33%  
 review quizzes 34%  
 Homework 33%  
 In principle, no more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed.

**【学生の意見等からの気づき】**  
 Allow more time for take home quizzes to be completed.

**【学生が準備すべき機器他】**  
 PC or smartphone, paper, writing instrument

**【その他の重要事項】**  
 email  
 kasmersensei@gmail.com  
 or  
 walter.kasmer.y4@hosei.ac.jp

**【Outline (in English)】**  
 Students will improve discussion and short essay writing skills.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Perspectives on Different Topics

CHIA-WEI KANG

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

中級／英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 is a 4-Skills required course for 2nd-year Students. The course materials and activities are meant to help students learn about many cultural and social practices from different parts of the world and try to understand their society in the context of other cultures. By reading and listening to different themes and topics in English, students can learn how to think critically about current events and how to express their thoughts and opinions through discussions, presentations, and writing.

## 【到達目標】

The goals of the course are for students to:

- 1.Acquire and apply strategic listening skills to aid listening comprehension
- 2.Deepen knowledge of vocabulary and common expressions
- 3.Develop speaking skills and practice new expressions through output activities
- 4.Learn how to use skimming and scanning to identify main ideas and supporting details
- 5.Familiarize themselves with how to express effectively through writing activities and assignments
- 6.Become better independent language learners

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

The course instructor will create a “safe” learning environment for students. “Safe” means that students are able to voice their perspectives and attempt to comprehend those of others without feeling judged. The overall class vibe is informal. Students participate in various activities involving reading, writing, listening, and speaking. In group discussions, students are expected to listen to each other and talk with them. While presenting their topics, students should use audiovisual aids.

Regarding the feedback on class assignments, the instructor will give oral feedback during in-class discussions. Students will get graded rubrics for presentations and essays, along with comments from the teacher.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Lesson 1	Course Orientation/Unit 2	Course Orientation/Unit 2
Lesson 2	Unit 2 Family Connections	Family Connections: Listening and Speaking
Lesson 3	Unit 2 Family Connections	Reading “Genealogy,” Discussions

Lesson 3	Unit 2 Family Connections	Ted Talk “The World’s Largest Family Reunion,” Presentation Skills
Lesson 4	Unit 3 Global Stories	Unit 3 Global Stories: Listening and Speaking
Lesson 5	Unit 3 Global Stories	Reading “Top Picks,” Discussions
Lesson 6	Unit 3 Global Stories	Ted Talk “My Year Reading A Book From Every Country,” Presentation Skills
Lesson 7	Presentation Task 1	Presentation Task 1
Lesson 8	Unit 4 Music	Unit 4 Music: Listening and Speaking
Lesson 9	Unit 4 Music	Reading “Music And The Brain,” Discussions
Lesson 10	Unit 4 Music	Ted Talk “Why I Take The Piano On The Road ... And In The Air,” Presentation Skills
Lesson 11	Unit 6 Inspiration	Unit 6 Inspiration: Listening and Speaking
Lesson 12	Unit 6 Inspiration	Reading “Inspiring Lives,” Discussions
Lesson 13	Unit 6 Inspiration	Ted Talk “How A Boy Became An Artist,” Presentation Skills
Lesson 14	Presentation Task 2/ Final Task	Presentation Task 2/ Final Task

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around one hour a week for a one-credit course; as a result, students are expected to work on homework assignments (listening, reading, and writing) and prepare for vocabulary quizzes, discussions, and presentations.

## 【テキスト（教科書）】

Cengage’s Keynote Book 2  
Title: Keynote 2 (Student book)  
Publisher: Cengage Learning  
ISBN: 978-1-305-96504-1  
Price: ¥ 3,185

## 【参考書】

Bring your dictionary to class. (Either paper or electronic dictionary is acceptable.)

## 【成績評価の方法と基準】

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 20%  
Four Quizzes: 40% (10% each),  
Two Presentations 24% (12% each)  
One Final Task: 16%

Attendance policy: In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

## 【学生の意見等からの気づき】

The course has not received any comments from the previous term.

## 【学生が準備すべき機器他】

Students are required to use slides (e.g., PowerPoint, Google Slides) for their presentations and to submit written assignments using word-processing software (e.g., Word, Google Doc). Some important information will be distributed via HOPPII.



**【Outline (in English)】**

English 3 is a 4-Skills required course for 2nd-year Students. The course materials and activities are meant to help students learn about many cultural and social practices from different parts of the world and try to understand their society in the context of other cultures. By reading and listening to different themes and topics in English, students can learn how to think critically about current events and how to express their thoughts and opinions through discussions, presentations, and writing.

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Perspectives on Different Topics

CHIA-WEI KANG

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

中級／英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 is a 4-Skills required course for 2nd-year Students. The course materials and activities are meant to help students learn about many cultural and social practices from different parts of the world and try to understand their society in the context of other cultures. By reading and listening to different themes and topics in English, students can learn how to think critically about current events and how to express their thoughts and opinions through discussions, presentations, and writing.

## 【到達目標】

The goals of the course are for students to:

- 1.Acquire and apply strategic listening skills to aid listening comprehension
- 2.Deepen knowledge of vocabulary and common expressions
- 3.Develop speaking skills and practice new expressions through output activities
- 4.Learn how to use skimming and scanning to identify main ideas and supporting details
- 5.Familiarize themselves with how to express effectively through writing activities and assignments
- 6.Become better independent language learners

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

The course instructor will create a “safe” learning environment for students. “Safe” means that students are able to voice their perspectives and attempt to comprehend those of others without feeling judged. The overall class vibe is informal. Students participate in various activities involving reading, writing, listening, and speaking. In group discussions, students are expected to listen to each other and talk with them. While presenting their topics, students should use audiovisual aids.

Regarding the feedback on class assignments, the instructor will give oral feedback during in-class discussions. Students will get graded rubrics for presentations and essays, along with comments from the teacher.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Lesson 1	Course Orientation/Unit 7	Course Orientation/ Unit 7 Ethical Choices: Listening and Speaking
Lesson 2	Unit 7 Ethical Choices	Reading “Leather from a Lab,” Discussions

Lesson 3	Unit 7 Ethical Choices	Ted Talk “Leather And Meat Without Killing Animals,” Presentation Skills
Lesson 4	Unit 8 Better Cities	Unit 8 Better Cities: Listening and Speaking
Lesson 5	Unit 8 Better Cities	Reading “Connecting Citizens,” Discussions
Lesson 6	Unit 8 Better Cities	Ted Talk “It’s Our City. Let’s Fix It,” Presentation Skills Presentation Task 1
Lesson 7	Presentation Task 1	Presentation Task 1
Lesson 8	Unit 9 Giving	Unit 9 Giving: Listening and Speaking
Lesson 9	Unit 9 Giving	Reading “Donation Revolution,” Discussions
Lesson 10	Unit 9 Giving	Ted Talk “Should You Donate Differently?,” Presentation Skills
Lesson 11	Unit 11 Nature	Unit 11 Nature: Listening and Speaking
Lesson 12	Unit 11 Nature	Reading “The Miracle of Pollen,” Discussions
Lesson 13	Unit 11 Nature	Ted Talk “The Hidden Beauty of Pollination,” Presentation Skills
Lesson 14	Presentation Task 2/ Final Task	Presentation Task 2/ Final Task

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around one hour a week for a one-credit course; as a result, students are expected to work on homework assignments (listening, reading, and writing) and prepare for vocabulary quizzes, discussions, and presentations.

## 【テキスト（教科書）】

Cengage’s Keynote Book 2  
Title: Keynote 2 (Student book)  
Publisher: Cengage Learning  
ISBN: 978-1-305-96504-1  
Price: ¥ 3,185

## 【参考書】

Bring your dictionary to class. (Either paper or electronic dictionary is acceptable.)

## 【成績評価の方法と基準】

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 20%  
Four Quizzes: 40% (10% each),  
Two Presentations 24% (12% each)  
One Final Task: 16%

Attendance policy: In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

## 【学生の意見等からの気づき】

The course has not received any comments from the previous term.

## 【学生が準備すべき機器他】

Students are required to use slides (e.g., PowerPoint, Google Slides) for their presentations and to submit written assignments using word-processing software (e.g., Word, Google Doc). Some important information will be distributed via HOPPII.

**【Outline (in English)】**

English 3 is a 4-Skills required course for 2nd-year Students. The course materials and activities are meant to help students learn about many cultural and social practices from different parts of the world and try to understand their society in the context of other cultures. By reading and listening to different themes and topics in English, students can learn how to think critically about current events and how to express their thoughts and opinions through discussions, presentations, and writing.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：アメリカ社会

## 本間 章郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ニュースを通して、アメリカ社会について学びます。

English 3 では、English 1 と English 2 に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の 4 技能の練習を通して、アメリカに対して理解を深めていきます。

## 【到達目標】

授業の到達目標としては、英語の 4 技能の運用能力の向上を目指して次の 4 つの目標を意識してもらいたいと思います。

- (1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
- (2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
- (3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
- (4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。提出した英作文は、内容を確認の上、適宜、返却します。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進捗と受講者の教科書の内容への理解に応じて、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。また、小テスト等は、適宜、受講者に返却します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	授業の説明	授業の目標と進め方の説明
第 2 回	Unit 1: Young Boy Seeks to Spread His Love of Literacy	リスニング及び内容理解
第 3 回	Unit 1: Young Boy Seeks to Spread His Love of Literacy	読解及び問題演習
第 4 回	Unit 2: Graduation Day Surprise	リスニング及び内容理解
第 5 回	Unit 2: Graduation Day Surprise	読解及び問題演習
第 6 回	Unit 3: A Mission to Help the Homeless	リスニング及び内容理解
第 7 回	Unit 3: A Mission to Help the Homeless	読解及び問題演習

第 8 回	Unit 4: Fly Me to the Moon: Space X to Fly Japanese Billionaire to Moon	リスニング及び内容理解
第 9 回	Unit 4: Fly Me to the Moon: Space X to Fly Japanese Billionaire to Moon	読解及び問題演習
第 10 回	Unit 5: A Man on the Bench by the Beach	リスニング及び内容理解
第 11 回	Unit 5: A Man on the Bench by the Beach	読解及び問題演習
第 12 回	Unit 6: COVID Vaccine Inequalities	リスニング及び内容理解
第 13 回	Unit 6: COVID Vaccine Inequalities	読解及び問題演習
第 14 回	試験・まとめと解説	授業の内容の確認

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の終わりに、次の授業で前もってやっておいてほしい内容を指示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

CBS NewsBreak 6 (CBS ニュースブレイク 6)  
熊井信弘他著 成美堂 2023 年 2600 円

## 【参考書】

参考書は特にありません。

## 【成績評価の方法と基準】

学期末テスト (50%)、英作文 (15%)、発表 (15%)、小テスト (20%) から成績を評価します。主に到達目標の (1) と (2) を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3) を英作文から、(4) を発表から判断します。

なお、各学期の欠席が 4 回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。

オンライン授業の場合も、授業の始めに点呼によって出席を確認します。但し、授業中、問題を当てて名前を呼んでも何の応答もない場合、あるいは課題などの提出がない場合は欠席 1 回となります。

## 【学生の意見等からの気づき】

コロナの感染状況を踏まえて、実施に当たっては慎重に考慮したいと思いますが、昨年度よりも対面による発表の下書き及び相互評価にもっと時間を取りたいと思います。

## 【Outline (in English)】

(Course outline)

In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through CBS news. The topics ranges from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society better. I know many students are interested in some aspects of America such as Walt Disney World in Florida or American Major League Baseball. But CBS news can help students realize various aspects of American society. Through various topics of news reports, student will find common issues such as ecology, gender equality or health and know how American people feel about them. I hope students can compare it with Japanese society and have a deeper understanding of it. And watching the news reports, students can improve their listening. The news videos are useful to get the gist of them. Then by reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society. (Learning Objectives)

The goals of this course are to comprehend news in English properly, express your own opinion and improve English writing & listening.

(Learning activities outside of classroom)

Before each class meeting, students will be expected to have reviewed and read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

(Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 50%, writing : 15%, speaking: 15%. quizzes: 20%.

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：アメリカ社会

## 本間 章郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ニュースを通して、アメリカ社会について学びます。

English 3 では、English 1 と English 2 に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の 4 技能の練習を通して、アメリカに対して理解を深めていきます。

## 【到達目標】

授業の到達目標としては、英語の 4 技能の運用能力の向上を目指して次の 4 つの目標を意識してもらいたいと思います。

- (1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
- (2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
- (3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
- (4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。提出した英作文は、内容を確認の上、適宜、返却します。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進捗と受講者の教科書の内容への理解に応じて、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。また、小テスト等は、適宜、受講者に返却します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	授業の説明	授業の目標と進め方の説明
第 2 回	Unit 7: Surfing in Japan	リスニング及び内容理解
第 3 回	Unit 7: Surfing in Japan	読解及び問題演習
第 4 回	Unit 8: A New Beat: High School Students Learn the Music Business	リスニング及び内容理解
第 5 回	Unit 8: A New Beat: High School Students Learn the Music Business	読解及び問題演習

第 6 回	Unit 9: Vintage Office Gear Making a Comeback During Pandemic	リスニング及び内容理解
第 7 回	Unit 9: Vintage Office Gear Making a Comeback During Pandemic	読解及び問題演習
第 8 回	Unit 10: Virtual Tutors: Teens Offer Free Tutoring to Kids	リスニング及び内容理解
第 9 回	Unit 10: Virtual Tutors: Teens Offer Free Tutoring to Kids	読解及び問題演習
第 10 回	Unit 11: Thanksgiving: A Time of Gratitude and Reflection	リスニング及び内容理解
第 11 回	Unit 11: Thanksgiving: A Time of Gratitude and Reflection	読解及び問題演習
第 12 回	Unit 12: You've Got a Friend: New York Woman Starts Movement to Unite Strangers	リスニング及び内容理解
第 13 回	Unit 12: You've Got a Friend: New York Woman Starts Movement to Unite Strangers	読解及び問題演習
第 14 回	試験・まとめと解説	授業の内容の確認

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の終わりに、次の授業で前もってやっておいてほしい内容を指示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

CBS NewsBreak 6 (CBS ニュースブレイク 6)  
熊井信弘他著 成美堂 2023 年 2600 円

## 【参考書】

参考書は特にありません。

## 【成績評価の方法と基準】

学期末テスト (50%)、英作文 (15%)、発表 (15%)、小テスト (20%) から成績を評価します。主に到達目標の (1) と (2) を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3) を英作文から、(4) を発表から判断します。

なお、各学期の欠席が 4 回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。

オンライン授業の場合も、授業の始めに点呼によって出席を確認します。但し、授業中、問題を当てて名前を呼んでも何の応答もない場合、あるいは課題などの提出がない場合は欠席 1 回となります。

## 【学生の意見等からの気づき】

コロナの感染状況を踏まえて、実施に当たっては慎重に考慮したいと思いますが、昨年度よりも対面による発表の下書き及び相互評価にもっと時間を取りたいと思います。

## 【Outline (in English)】

(Course outline)

In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through CBS news. The topics ranges from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society better. I know many students are interested in some aspects of America such as Walt Disney World in Florida or American Major League Baseball. But CBS news can help students realize various aspects of American society. Through various topics of news reports, student will find common issues such as ecology, gender equality or health and know how American people feel about them. I hope students can compare it with Japanese society and have a deeper understanding of it. And watching the news reports, students can improve their listening. The news videos are useful to get the gist of them. Then by reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to comprehend news in English properly, express your own opinion and improve English writing & listening.

(Learning activities outside of classroom)

Before each class meeting, students will be expected to have reviewed and read the relevant unit(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

(Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 50%, writing : 15%, speaking: 15%. quizzes: 20%.

LANe200LA	5	Unit 2: Fragile Forests	Writing assignment feedback will be provided to the students in group work. They will start reading the supplemental article prepared and provided by the teacher.
English 3 I			
サブタイトル：English Speaking World: From Science to Business I			
GENC BURCU	6	Group Presentations Unit 3: Bright Ideas	First group will deliver their presentations. Following this, the supplemental article distributed in the previous class will be explored in more depth. In the remaining time, students will start the discussion of unit 3 ideas.
開講時期：春学期授業/Spring   曜日・時限：金 4/Fri.4			
単位数：1 単位			
中級／英語			
その他属性：			
<b>【授業の概要と目的（何を学ぶか）】</b>	7	Group Presentations Unit 3: Bright ideas	Second group will deliver their presentations. This will be followed by an analytical reading and discussion of the unit's reading passage. There will be an emphasis on the key vocabulary.
This is a course aiming to assist students in becoming fluent English speakers by sharing their ideas on socioeconomic and popular science content widely discussed in the English speaking world.			
<b>【到達目標】</b>	8	Group Presentations Unit 3: Bright Ideas	Last group will deliver their presentations. Following this, listening content of the unit will be watched to practice note-taking and answer the questions. An additional reading material similar to the unit topic will be provided to the students by the teacher.
In this course, students will read a variety of content-based articles, and readings will be supplemented with listening exercises to help students improve their fluency in English. The classes are designed for pair and group discussions to provide them with a friendly environment to express themselves in English. Students will also be required to complete some writing tasks such as paragraphs and short essays to express their ideas in a more organized way.			
<b>【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】</b>	9	Unit 3: Bright Ideas	Additional reading article will be explored in depth with an emphasis on key vocabulary in this class.
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1			
<b>【授業の進め方と方法】</b>	10	Unit 5: Engaging Learners	Students will start the class with a group discussion on unit 5 ideas. Students will start with the reading passage of the unit through an overall discussion. Reading passage of the unit will be explored in depth. Key vocabulary will be emphasized.
Students will participate in a variety of activities that involve all four skills, but with a special emphasis on reading and speaking. They will be asked to read short articles, prepare for discussion, usually conducted in pairs or groups. Feedback for the assignments will be provided in the classroom. Online feedback might also be provided for students when necessary.			
<b>【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】</b>	11	Unit 5: Engaging Learners	Students will start the class with a group discussion on unit 5 ideas. Students will start with the reading passage of the unit through an overall discussion. Reading passage of the unit will be explored in depth. Key vocabulary will be emphasized.
あり / Yes			
<b>【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】</b>	12	Unit 5: Engaging Learners	Students will start the class with a short revision of the reading passage to warm up to the writing assignment. Then, they will be provided with the necessary instructions. They will also practice some in-class writing.
なし / No			
<b>【授業計画】</b> 授業形態：対面/face to face	13	Unit 5: Engaging Learners	Listening exercises will be completed by practicing note-taking method, which is followed by a group discussion. Writing feedback will be provided by group work. The teacher will take an active role by joining the groups and covering some important points on the board.
回 テーマ 内容			
1 Course orientation Getting to know each other; student introductions & class guidelines.			
2 Unit 2: Fragile Forests To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.			
3 Unit 2: Fragile Forests Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.			
4 Unit 2: Fragile Forests Listening exercises will be completed and a writing assignment will be given to students.			



14 Final Exam Final exam of the semester  
will be conducted

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

Students are expected to complete assignments every week in preparation for discussion. The assignments might require research.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

**【テキスト（教科書）】**

21st Century Reading: Creative thinking and reading with TED talks 2, Cengage Publishing and written by Laurie Blass, and Jessica Williams. ¥ 2840

Additional articles will also be provided by the instructor in class.

**【参考書】**

These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.

<https://japantoday.com/>

<https://www.japantimes.co.jp/news/>

<https://www.yahoo.com/news/>

<http://www.bbc.com/news>

<https://news.google.com/news/>

**【成績評価の方法と基準】**

Class participation: 20%

Group Presentation: 30%

Writing assignments: 10%

Final Exam: 40%

More than 3 absences will result in automatic failure of the course.

**【学生の意見等からの気づき】**

Students would like to build up more vocabulary. This will be achieved through additional articles whose vocabulary level is slightly higher than the textbook provided by the instructor.

**【学生が準備すべき機器他】**

No need for equipment preparation. However, students might be occasionally asked to bring their laptops, or notepads to the class for some activities.

**【Outline (in English)】**

In this course, students will improve their confidence and skills in overall English communication while familiarizing themselves with contemporary socioeconomic and popular science topics which hold importance in the English speaking world.

LANe200LA	5	Unit 6: Food for Life Food Businesses and Social Media	Students will explore the supplemental article in more depth with an emphasis on the key vocabulary. This will be followed by a writing assignment instructions on the topic.
<b>English 3 II</b>			
サブタイトル：English Speaking World: From Science to Business II			
GENC BURCU	6	Group Presentations Unit 7: Body Signs Power Poses and Leadership	First group of presenters will deliver their presentations. This will be followed by a group work on the main ideas of unit 7 and reading of the unit's passage.
開講時期：秋学期授業/Fall   曜日・時限：金 4/Fri.4	7	Group Presentations Unit 7: Body Signs Non-verbal Communication in Business Context	Second group of presenters will deliver their presentations. Reading questions will be answered, and listening exercises will be completed by practicing note-taking in groups.
単位数：1 単位	8	Group Presentations Unit 7: Body Signs	Last group of presenters will deliver their presentations. This will be followed by a feedback session conducted in groups. The teacher will take an active role and join each group for discussion, which will be followed by general class discussion on important points shared on the board. The teacher will distribute a supplemental article on a relevant topic as an assignment.
中級／英語	9	Unit 7: Body Signs Branding Strategies and Language	Students will explore the supplemental article in more depth with an emphasis on the key vocabulary. They will work in groups.
その他属性：	10	Unit 8: Energy Builders Innovative Ideas	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.
<b>【授業の概要と目的（何を学ぶか）】</b>	11	Unit 8: Energy Builders Innovative Ideas	Students will explore the reading passage in depth with an emphasis on key vocabulary. This will be followed by an in-class writing task on a relevant topic. In this way, students will both practice writing their ideas in an organized way but also expand their ideas on the main topic.
This is the second part of the course, "English Speaking World: From Science to Business" aiming to continue helping students to gain fluency in English and express their ideas on popular science and business related content widely discussed in the English speaking world.	12	Unit 8: Energy Builders Engineers of the Future	Listening exercises of the unit will be completed by practicing note-taking in groups. This will be followed by a class discussion on the topic as well as the answers. Additional speaking questions will be provided to encourage students.
<b>【到達目標】</b>			
In this course, students will read a variety of content-based articles, and readings will be supplemented with listening exercises to help students improve their fluency in English. The classes are designed for pair and group discussions to provide the students with a friendly environment to express themselves in English. Students will also be required to complete some writing tasks such as paragraphs and short essays to express their ideas in a more organized way.			
<b>【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】</b>			
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1			
<b>【授業の進め方と方法】</b>			
Students will participate in a variety of activities that involve all four skills, but with a special emphasis on reading and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion, usually in pairs or groups. Feedback for the assignments will be provided in the classroom. Online feedback might also be provided for students when necessary.			
<b>【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】</b>			
あり / Yes			
<b>【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】</b>			
なし / No			
<b>【授業計画】</b> 授業形態：対面/face to face			
回 テーマ 内容			
1 Course orientation introductions & class guidelines.			
2 Unit 6: Food for Life Food Revolution To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.			
3 Unit 6: Food for Life Food Revolution Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.			
4 Unit 6: Food for Life Teaching Children about Food Listening exercises will be completed by practicing note-taking in groups. Following this, students will be distributed a supplemental article prepared by the teacher.			

13	Unit 8: Energy Builders Harnessing the Wind	Students will work in groups to improve their writings. The teacher will take an active role and join the groups. This will be followed by a general discussion on some important points. Finally, some significant topics will be revised before the final exam. The teacher will provide handouts.
14	Final Exam	Final exam of the semester will be conducted

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

Students are expected to complete assignments every week in preparation for discussion. The assignments might require research.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

**【テキスト（教科書）】**

21st Century Reading: Creative thinking and reading with TED talks 2, Cengage Publishing and written by Laurie Blass, and Jessica Williams (The same textbook from part I). ¥ 2840  
Additional newspaper articles will also be provided by the instructor in class.

**【参考書】**

These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.

<https://japantoday.com/>

<https://www.japantimes.co.jp/news/>

<https://www.yahoo.com/news/>

<http://www.bbc.com/news>

<https://www.theguardian.com/international>

**【成績評価の方法と基準】**

Class participation: 20%

Group Presentation: 30%

Writing assignments: 10%

Final Exam: 40%

More than 3 absences will result in automatic failure of the course.

**【学生の意見等からの気づき】**

Not applicable

**【Outline (in English)】**

In this course, students will improve their confidence and skills in overall English communication while familiarizing themselves with contemporary socioeconomic and popular science concerns of the English speaking world.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Japan In The World

## ジョナサン・エイブル

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

中級／英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

## 【到達目標】

Students will read, write, hear and speak about topics relevant to their lives, studies and futures. The main sources will be in British English, but cultures across the world - not only Anglophone - will be included in the sources used.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

In each class reading and listening materials will be the starting point for discussion and information processing. In alternate weeks a writing exercise will be included with an emphasis on accurate self-expression. This work will be returned individually with corrections and comments.

There will also be a group presentation exercise which will focus on cooperative communication and public speaking.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction.	Class methods and familiarisation with types of material.
2	A Place in the World 1	Global Perspectives.
3	A Place in the World 2	How Japan is Viewed Abroad.
4	Tradition 1	How History Informs our Present.
5	Tradition 2	Tradition Across the English Speaking World.
6	Popular Culture 1	The Fast Pace of Fashion.
7	Popular Culture 2	How Japanese Popular Culture Influences Others
8	Presentation Preparation	Topics, Groups and Ideas.
9	Presentations	Group Presentations In Class.
10	Media 1	Where We Get our News.
11	Media 2	Advertising and Commercial Communication.

12	Media 3	Movies and TV. How Entertainment Works.
13	Hello and Goodbye.	How We Meet and Take Our Leave.
14	Final Examination.	Self-assessment and Interviews.

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Text Previews and Preparation for Presentations in class will be expected. The task will be set each week as required.(本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。)University guidelines suggest preparation and review are around 4

hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

## 【テキスト（教科書）】

Materials will be provided. See references.

## 【参考書】

NHK/NHK Educational

Japan Times

BBC News

British Council online resources (Word on the Street et al.)

Channel 4 News (UK)

CNN

Newspapers, Magazines and Periodicals as relevant.

## 【成績評価の方法と基準】

Writing 25%

Presentation 15%

Class Participation 30%

Final Interview Test 30%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

## 【学生の意見等からの気づき】

N/A

## 【Outline (in English)】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Japan In The World

ジョナサン・エイブル

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

中級／英語

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English. In part II we will continue this journey through intercultural exploration.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

【到達目標】

Students will read, write,hear and speak about topics relevant to their lives, studies and futures. The main sources will be in British English, but cultures across the world - not only Anglophone - will be included in the sources used.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This class will be conducted online. All scheduled classes will be held on Zoom. Assignments will be conducted mostly through Google Classrooms. Details will be posted on the HOPPII class management system in due course.

In each class reading and listening materials will be the starting point for discussion and information processing. In alternate weeks a writing exercise will be included with an emphasis on accurate self-expression. This work will be returned individually with corrections and comments.

There will also be a group presentation exercise which will focus on cooperative communication and public speaking.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction to Part II	Review and Look Forward.
2	Language.	How Languages Feed Each Other in a Globalising World.
3	Art.	Historical and Modern Views of Japanese Visual Art.
4	Performance.	How Japanese Performing Arts Influence the Worlds of Theatre and Dance.
5	Film.	Cross-cultural Storytelling.
6	Food 1.	What we Eat and Why.
7	Food 2.	Where and How we Eat.
8	Presentation Preparation.	Topics Groups and Planning.
9	Presentation.	Group Presentations in Class.
10	Travel.	From Commuters to Tourists.

11	Transport.	How Mobility Shapes Social Behaviour.
12	Social issues 1.	Ageing and Booming Populations
13	Social Issues 2.	Crime and Punishment.
14	Final Examination.	Self-assessment and Interview.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Text reading and review and presentation preparation will be required. Tasks will be set each week as appropriate.(本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。)University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Materials will be provided. See References.

【参考書】

NHK/NHK Educational.  
Japan Times.  
BBC News  
British Council online resources (Word on the Street et al.)  
Channel 4 News (UK)  
CNN  
Newspapers, Magazines and Periodicals as relevant.

【成績評価の方法と基準】

Writing 25%  
Presentation 15%  
Class Participation 30%  
Final Interview Test 30%  
In principle, no more than 3 absences per term are allowed

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【Outline (in English)】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English. In part II we will continue this journey through intercultural exploration.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：メディアを通して見る現代アメリカの文化と社会

余田 剛

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CBS で配信されたニュースを素材として扱ったテキストを主教材とし、アメリカを主とした現代の様々な諸問題を扱いながら、英語の情報を的確に理解・分析し、問題点を考察した上で自らの意見を発信する力を身に付けることを目指し、インプットとアウトプットのバランスを取りながら英語の総合的な語学の学習をすることをテーマとする。

## 【到達目標】

1) 英語の運用能力

English 1 と English2 で学んだことをベースとして、英語の 4 技能をさらに向上させる。

2) 文化理解

ホームレスの支援策、ワクチン配布の世界的不平等、ビジネスと学校教育のつながり方などに関する、現代社会の様々な問題について見聞を広め、独自の分析ができる。

3) 分からないことを調べる姿勢

さらなる語学力獲得と文化理解につなげるために、自分の分からないことがあれば謙虚に、意欲的に、辞書や辞典や本やインターネットなどを調べながら、自力で情報を理解しようとする姿勢を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

テキストは、各 Unit がニュースのスク립トと内容把握を目的とした問題から成っている。スク립トは、ある程度のまとまりで一人ずつあてて基本的には逐語訳をしてもらい、確認が必要な場合はこちらから質問をし、問題もあてて答えてもらう形式で進めていく。その為受講者は各授業で進む全ての範囲を予習しておく必要がある。内容理解の後、英文のある箇所を別の易しい英文に言い換える作業も行う。また、テキストで扱ったテーマに基づいて、プレゼンテーションを行う。さらに、テキストには欠けている政治問題について扱った記事等を準備し、演習を行う予定である。

予習を課題とし、問題や訳し方の解答や解説をフィードバックとして口頭で示す。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の概要を説明
2	テキスト Unit3 前半	リスニング、リーディング
3	テキスト Unit3 後半	リーディング、ライティング
4	テキスト Unit6 前半	リスニング、リーディング
5	テキスト Unit6 後半	リーディング、ライティング
6	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
7	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ1）
8	テキスト Unit8 前半	リスニング、リーディング
9	テキスト Unit8 後半	リーディング、ライティング
10	テキスト Unit9 前半	リスニング、リーディング

11	テキスト Unit9 後半	リーディング、ライティング
12	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
13	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ2）
14	試験	授業で扱った内容を範囲とした授業内試験あるいはレポート・まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。授業前に必ずテキストの予習をしてください。テキスト中のスク립トは、Web 動画を各自で観て穴埋めをして完成させたいうえで、分からない単語などを調べてしっかり読み、また、問題は、あらかじめ指定された箇所を解いてくること。

## 【テキスト（教科書）】

CBS NewsBreak 6, Nobuhiro Kumai 他著, (成美堂, 2023 年), ¥2,600 + tax

## 【参考書】

なし

## 【成績評価の方法と基準】

期末試験（あるいはレポート）の成績（40%）、プレゼンテーション（20%）、授業参加度（40%）とから総合的に評価する。欠席が 4 回に達した者は単位取得の資格を失う。遅刻は 3 回に達するごとに 1 回の欠席とカウントする。また、授業開始のチャイムから 30 分以降の遅刻は欠席と見なす。

## 【学生の意見等からの気づき】

授業外学習の時間を少しでも増やしてもらえよう、復習や予習についてより具体的に働きかけるよう心がけます。

## 【Outline (in English)】

・ This course aims to improve students' four core English language skills – reading, writing, listening, and speaking – using a textbook made up of news stories drawn from CBS News shows that feature various current topics, especially in the US. Students will develop their abilities to accurately understand the information, think critically about the important current issues, and effectively express their ideas. The goals of this course are also to help students cultivate their understanding of various aspects of the world and acquire the habit of showing a diligent attitude toward more complex written or spoken information while trying to deal with what seems difficult for them to understand by referring to dictionaries or other necessary sources.

・ Before each class meeting, students will be expected to have watched the relevant news, read its transcript, and answered the questions in the textbook. Required study time is at least one hour for each class meeting.

・ Final grade will be decided based on term-end examination (40%), presentation (20%), and in-class contribution (40%). In principle, four and more absences will not be permitted per semester to receive academic credit for the course. Students 30 minutes or more late will be considered absent. If they will come late three times, they will be considered absent one time.

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：メディアを通して見る現代アメリカの文化と社会

余田 剛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CBS で配信されたニュースを素材として扱ったテキストを主教材とし、アメリカを主とした現代の様々な諸問題を扱いながら、英語の情報を的確に理解・分析し、問題点を考察した上で自らの意見を発信する力を身に付けることを目指し、インプットとアウトプットのバランスを取りながら英語の総合的な語学の学習をすることをテーマとする。

【到達目標】

1) 英語の運用能力

English 1 と English2 で学んだことをベースとして、英語の 4 技能をさらに向上させる。

2) 文化理解

コロナ禍における教育や連帯感や就職活動の在り方、ユニークな日本の自動販売機などに関する、現代社会の様々な問題について見聞を広め、独自の分析ができる。

3) 分からないことを調べる姿勢

さらなる語学力獲得と文化理解につなげるために、自分の分からないことがあれば謙虚に、意欲的に、辞書や辞典や本やインターネットなどを調べながら、自力で情報を理解しようとする姿勢を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストは、各 Unit がニュースのスク립トと内容把握を目的とした問題から成っている。スク립トは、ある程度のまとまりで一人ずつあてて基本的には逐語訳をしてもらい、確認が必要な場合はこちらから質問をし、問題もあてて答えてもらう形式で進めていく。その為受講者は各授業で進む全ての範囲を予習しておく必要がある。内容理解の後、英文のある箇所を別の易しい英文に言い換える作業も行う。また、テキストで扱ったテーマに基づいて、プレゼンテーションを行う。さらに、テキストには欠けている政治問題について扱った記事等を準備し、演習を行う予定である。

予習を課題とし、問題や訳し方の解答や解説をフィードバックとして口頭で示す。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の概要を説明
2	テキスト Unit10 前半	リスニング、リーディング
3	テキスト Unit10 後半	リーディング、ライティング
4	テキスト Unit12 前半	リスニング、リーディング
5	テキスト Unit12 後半	リーディング、ライティング
6	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
7	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ1）
8	テキスト Unit13 前半	リスニング、リーディング
9	テキスト Unit13 後半	リーディング、ライティング
10	テキスト Unit14 前半	リスニング、リーディング

11	テキスト Unit14 後半	リーディング、ライティング
12	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
13	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ2）
14	試験	授業で扱った内容を範囲とした授業内試験あるいはレポート・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。授業前に必ずテキストの予習をしてください。テキスト中のスク립トは、Web 動画を各自で観て穴埋めをして完成させたいうえで、分からない単語などを調べてしっかり読み、また、問題は、あらかじめ指定された箇所を解いてくること。

【テキスト（教科書）】

CBS NewsBreak 6, Nobuhiro Kumai 他著, (成美堂, 2023 年), ¥2,600 + tax

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

期末試験（あるいはレポート）の成績（40%）、プレゼンテーション（20%）、授業参加度（40%）とから総合的に評価する。欠席が 4 回に達した者は単位取得の資格を失う。遅刻は 3 回に達するごとに 1 回の欠席とカウントする。また、授業開始のチャイムから 30 分以降の遅刻は欠席と見なす。

【学生の意見等からの気づき】

授業外学習の時間を少しでも増やしてもらえよう、復習や予習についてより具体的に働きかけよう心がけます。

【Outline (in English)】

・ This course aims to improve students' four core English language skills – reading, writing, listening, and speaking – using a textbook made up of news stories drawn from CBS News shows that feature various current topics, especially in the US. Students will develop their abilities to accurately understand the information, think critically about the important current issues, and effectively express their ideas. The goals of this course are also to help students cultivate their understanding of various aspects of the world and acquire the habit of showing a diligent attitude toward more complex written or spoken information while trying to deal with what seems difficult for them to understand by referring to dictionaries or other necessary sources.

・ Before each class meeting, students will be expected to have watched the relevant news, read its transcript, and answered the questions in the textbook. Required study time is at least one hour for each class meeting.

・ Final grade will be decided based on term-end examination (40%), presentation (20%), and in-class contribution (40%). In principle, four and more absences will not be permitted per semester to receive academic credit for the course. Students 30 minutes or more late will be considered absent. If they will come late three times, they will be considered absent one time.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：TED TALKS で知る現代社会:英語四技能を学ぶ

金谷 優子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、TED TALKS のプレゼンテーションで繰り広げられた種々の独創的なアイデアに触れつつ、英語の 4 技能：読み、聴き、話し、書くを総合的に身につけることを目標とします。グローバル化によって、ヒトやモノがますます流動的になっていくなか、世界中で様々な人々が独自の視点で現代社会を捉えて、自らの置かれた社会、そして人生と取り組んでいることを知ることは非常に重要です。本授業では、TED TALKS の英語のプレゼンテーションを聞き、理解を試みることによって英語コミュニケーションについての基本的な事柄の習得を目指す一方で、それぞれのプレゼンテーションの論理の組み立て方、独創性、着眼点について確認しつつ、受講者自らが現代社会について自分なりの考察を進めてゆくことを促します。

## 【到達目標】

- ・まとまった長さの英文の論理展開を正確に把握すること
- ・複雑な構文や語句を理解すること
- ・英文パラグラフの構造を読解を通じて学び、その知識を生かして、みずから論理的な文章が書けるようになること
- ・英語の音声を聴いて、必要な情報を得ること
- ・さまざまな意見を英語で理解し、それに対する自分の考えを英語で表現すること
- ・沢山の人の独自の考えを聞いて、世界のありようについて自分なりの見解を持つようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

【授業は Zoom にて行われます。また、毎回の授業についての詳細は Hoppii に掲示しますので、必ず確認して Zoom 授業に参加して下さい。】

各トピックについてそれぞれを 3 部構成とします。第 1 部では、扱われたトピックについての基礎知識、読解についての重要な技術 (Reading Skills) について学びます。第 2 部では、実際に TED TALK の発表を聴き、またその script を読んで、プレゼンテーションの概要や詳しい内容についての理解がなされたかを確認します。また、第 3 部では、学習事項の確認テストを行い、各トピックについて更にリサーチを進め、TED での発表に関する自分の考えを英語で表現します。受講者は第 1 部から第 3 部を通しての学習事項をチェックシートに書き、トピック毎に提出し、フィードバックを受けます。

【第一部】

第 2 週 Topic: Interdisciplinary

第 5 週 Topic: Business/ Leadership

第 8 週 Topic: Life Science

第 11 週 Topic: Sociology/ Fashion

【第二部】

第 3 週：TED TALK by Matt Cutts : Try Something New for 30 days

[https://www.ted.com/talks/matt\\_cutts\\_try\\_something\\_new\\_for\\_30\\_days?language=ja](https://www.ted.com/talks/matt_cutts_try_something_new_for_30_days?language=ja)

第 6 週：TED TALK by Tom Wujec : Build a Tower

[https://www.ted.com/talks/tom\\_wujec\\_build\\_a\\_tower?language=ja](https://www.ted.com/talks/tom_wujec_build_a_tower?language=ja)

第 9 週：TED TALK by David Gallo: Underwater Astonishments

[https://www.ted.com/talks/david\\_gallo\\_shows\\_underwater\\_astonishments/transcript](https://www.ted.com/talks/david_gallo_shows_underwater_astonishments/transcript)

第 12 週：TED TALK by Jessi Arrington : Wearing Nothing New

[https://www.ted.com/talks/jessi\\_arrington\\_wearing\\_nothing\\_new?language=ja](https://www.ted.com/talks/jessi_arrington_wearing_nothing_new?language=ja)

【第三部】：各 Unit テストと自己表現 第 4,7,10,13 週

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第一週	Introduction	What is TED?
第二週	Unit 1: Life Changes	Topic: Interdisciplinary Reading Skills: Understanding sequence words,... etc.
第 3 週	Unit 1: Life Changes	TED TALK by Matt Cutts Academic Skills: Understanding main ideas,...etc.
第 4 週	Review Unit 1	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第 5 週	Unit 2: Team Power	Topic: Business Leadership Reading Skills: Identifying main ideas in paragraphs,...etc.
第 6 週	Unit 2: Team Power	TED TALK by Tom Wujec Academic Skills: Understanding stages in a process, ...etc.
第 7 週	Review Unit 2	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第 8 週	Unit 3: Ocean Wonders	Topic: Life Science Reading Skills: Identifying purpose/ referents
第 9 週	Unit 3: Ocean Wonders	TED TALK by David Gallo Academic Skills: Understanding main ideas and key details,... etc.
第 10 週	Review Unit 3	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第 11 週	Unit 4: What We Wear	Topic: Sociology/ Fashion Reading Skills: Making connections/ Understanding a process



第 12 週	Unit 4: What We Wear	TED TALK by Jessi Arrington Academic Skills: Recognizing point of view
第 13 週	Review Unit 4	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第 14 週	期末テスト	期末テスト

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

準備学習：学生は、各 Unit で扱う TED Talk をインターネット上で聞き、また、テキスト巻末のスク립トを参照し、理解しにくかった語彙、表現、文章などを特定し、**checksheet** に記入しておく。

復習：**checksheet** に記入した事項を習得することができたか、確認する。

宿題：授業で扱った TED Talk 関連で、適宜、授業時に示される課題を提出する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

**【テキスト（教科書）】**

TED TALKS 21st Century Reading 1 (Cengage Learning), ISBN 978-1-305-26459-5

その他、プリント配布

**【参考書】**

<https://www.ted.com/>

**【成績評価の方法と基準】**

評価基準：授業参加度（授業内での発言および **checksheet** の提出）40 %、小テスト 30 %、期末テスト 30 %

4 回以上の欠席で単位取得資格は失われます。3 回遅刻あるいは早退すると、1 回欠席としてカウントされます。30 分以上の遅刻は欠席とみなされます。また、Zoom の授業に参加せずに課題のみの提出は出席と認められません。

**【学生の意見等からの気づき】**

英語を用いる場をなるべく多く設けます。

**【学生が準備すべき機器他】**

この授業は Zoom で行われますので、大学の教室で受講の際には、パソコン等の端末及びマイク付きのヘッドセットが必要です。

**【Outline (in English)】**

This online English course is designed to increase the student's ability to develop their overall English Language skills while learning about specific topics of TED Talks. Students are expected to improve their reading/listening skills as well as to broaden their understanding of current issues.

**[Overall Objectives]**

To help students

- increase vocabulary
- improve their reading/listening comprehension skills
- understand speeches without translating into Japanese
- identify main ideas
- clarify the structure of a speech
- develop global and cross-cultural awareness
- develop creative and critical thinking skills
- effectively express their opinions on current issues

**[Learning activities outside of classroom]**

Students are expected to participate in the class fully prepared, having completed the vocabulary preview, listening, reading or writing tasks assigned the previous week.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

**[Grading Criteria /Policy]**

Grading criteria for this course will be based on the following:  
Class participation: 40% (Zoom meeting activities + Unit quizzes) / assignment : 30 % / Final test: 30%

Every week students are required to attend the zoom session and submit an assignment to Hoppii. Just submitting the assignment (without participating in the Zoom session) will be counted as absence.

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：TED TALKS で知る現代社会:英語四技能を学ぶ

金谷 優子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期同様に本授業では、TED TALKS のプレゼンテーションで繰り広げられた種々の独創的なアイデアに触れつつ、英語の 4 技能：読み、聴き、話し、書くを総合的に身につけることを目標とします。グローバル化によって、ヒトやモノがますます流動的になっていくなか、世界中で様々な人々が独自の視点で現代社会を捉えて、自らの置かれた社会、そして人生と取り組んでいることを知ることは非常に重要です。本授業では、TED TALKS の英語のプレゼンテーションを聞き、理解を試みることによって英語コミュニケーションについての基本的な事柄の習得を目指す一方で、それぞれのプレゼンテーションの論理の組み立て方、独創性、着眼点について確認しつつ、受講者自らが現代社会について自分なりの考察を進めてゆくことを促します。

## 【到達目標】

- ・まとまった長さの英文の論理展開を正確に把握すること
- ・複雑な構文や語句を理解すること
- ・英文パラグラフの構造を読解を通じて学び、その知識を生かして、みずから論理的な文章が書けるようになること
- ・英語の音声を聴いて、必要な情報を得ること
- ・さまざまな意見を英語で理解し、それに対する自分の考えを英語で表現すること
- ・沢山の人の独自の考えを聞いて、世界のありようについて自分なりの見解を持つようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

[授業は Zoom にて行われます。また、毎回の授業についての詳細は Hoppii に掲示しますので、必ず確認して Zoom 授業に参加して下さい。]

各トピックについてそれぞれを 3 部構成とします。第 1 部では、扱われたトピックについての基礎知識、読解についての重要な技術 (Reading Skills) について学びます。第 2 部では、実際に TED TALK の発表を聴き、またその script を読んで、プレゼンテーションの概要や詳しい内容についての理解がなされたかを確認します。また、第 3 部では、学習事項の確認テストを行い、各トピックについて更にリサーチを進め、TED での発表に関する自分の考えを英語で表現します。受講者は第 1 部から第 3 部を通しての学習事項をチェックシートに書き、トピック毎に提出し、フィードバックを受けます。

[第一部] 第 2 週 Topic: Architecture and Design 第 5 週 Topic: Conservation/ Engineering 第 8 週 Topic: Visual Arts/ Sociology

[第二部] 第 3 週: TED TALK by Iwan Baan : Ingenious Homes in Un- expected Places [https://www.ted.com/talks/iwan\\_baan\\_ingenious\\_homes\\_in\\_unexpected\\_places?language=ja](https://www.ted.com/talks/iwan_baan_ingenious_homes_in_unexpected_places?language=ja) 第 6 週: TED TALK by Kevin Allocca: Why Videos Go Viral [https://www.ted.com/talks/kevin\\_allocca\\_why\\_videos\\_go\\_viral?language=ja](https://www.ted.com/talks/kevin_allocca_why_videos_go_viral?language=ja) 第 9 週: TED TALK by Candy Chang: Before I die, I want to ... [https://www.ted.com/talks/candy\\_chang\\_before\\_i\\_die\\_i\\_want\\_to?language=ja](https://www.ted.com/talks/candy_chang_before_i_die_i_want_to?language=ja)

[第三部]: 各 Unit テストと自己表現 第 4,7,10,11,12,13 週

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 週	Introduction	授業進行、テキスト、評価方法についての説明
第 2 週	Unit6: Building Solutions	Topic:Architecture and Design Reading Skills: Organizing supporting details,... etc.
第 3 週	Unit6: Building Solutions	TED TALK by Iwan Baan Academic Skills: Understanding main ideas,summarizing ideas using a concept map,...etc.
第 4 週	Unit6: Review	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第 5 週	Unit 7: Roads to Fame	Topic:Communication/ Sociology Reading Skills: Scanning for numbers,...etc.
第 6 週	Unit 7: Roads to Fame	TED TALK by Kevin Allocca
第 7 週	Unit 7: Review	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第 8 週	Unit 9: Community Voices	Topic:Visual Arts / Sociology Reading Skills: Understanding a paragraph's purpose
第 9 週	Unit 9: Community Voices	TED TALK by Candy Chang Academic Skills: Understanding main ideas and key details/making predictions,...etc.
第 10 週	Unit 9: REview	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第 11 週	Your favorite TED talk	Finding your own favorite TED talk
第 12 週	Your favorite TED talk	The Summary of the talk
第 13 週	Your favorite TED talk	Your own idea on the talk
第 14 週	期末テスト	Final test

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習：学生は、各 Unit で扱う TED Talk をインターネット上で聞き、また、テキスト巻末のスクリプトを参照し、理解しにくかった語彙、表現、文章などを特定し、checksheet に記入しておく。復習：checksheet に記入した事項を習得することができたか、確認する。

宿題：授業で扱った TED Talk 関連で、適宜、授業時に示される課題を提出する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

TED TALKS 21st Century Reading 1 (Cengage Learning), ISBN 978-1-305-26459-5

その他、参考資料配布

## 【参考書】

<https://www.ted.com/>

**【成績評価の方法と基準】**

授業参加度（授業内での発言および **checksheet** の提出）40 %、小テスト 30 %、期末テスト 30 %

4 回以上の欠席で単位取得資格は失われます。3 回遅刻あるいは早退すると、1 回欠席としてカウントされます。30 分以上の遅刻は欠席とみなされます。また、Zoom の授業に参加せずに課題のみの提出は出席と認められません。

**【学生の意見等からの気づき】**

英語を用いる場をなるべく多く持ちます。

**【学生が準備すべき機器他】**

この授業は Zoom で行われますので、大学の教室で受講の際には、パソコン等の端末及びマイク付きのヘッドセットが必要です。

**【Outline (in English)】**

This online English course is designed to increase the students' ability to develop their overall English Language skills while learning about specific topics of TED Talks. Students are expected to improve their reading/listening skills as well as to broaden their understanding of current issues.

**[Overall Objectives]**

To help students

- increase vocabulary
- improve their reading/listening comprehension skills
- understand speeches without translating into Japanese
- identify main ideas
- clarify the structure of a speech
- develop global and cross-cultural awareness
- develop creative and critical thinking skills
- effectively express their opinions on current issues

**[Learning activities outside of classroom]**

Students are expected to participate in the class fully prepared, having completed the vocabulary preview, listening, reading or writing tasks assigned the previous week.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

**[Grading Criteria /Policy]**

Grading criteria for this course will be based on the following:  
Class participation: 40% (Zoom meeting activities + Unit quizzes) / assignment : 30 % / Final test: 30%

Every week students are required to attend the zoom session and submit an assignment to Hoppii. Just submitting the assignment (without participating in the Zoom session) will be counted as absence.

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：News from the English-Speaking World

川澄 亜岐子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1 年次に習得した英語の運用能力を用いて、国際語としての英語を学びます。英語圏で報道されるニュースの記事を読むことを通して、世界の文化を理解し、尊重する態度とともに、自文化を相対化し、批判的に分析する力を養います。春学期はとくに、自分の意見を英語でわかりやすく伝えたり、相手の意見を理解したりすることを目指します。

## 【到達目標】

1. 英語で書かれたニュース記事を読み、要点を英語で説明できるようになる。
2. 英語で書かれたニュース記事を読み、自分の意見や考えを英語で説明できるようになる。
3. ニュース形式の教材を視聴し、要点を正確に理解できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業は、講義とグループまたはペアワークを組み合わせて対面形式で行います。提出されたリアクションペーパーや課題は、個別または全体にフィードバックする方法を採ります。授業中に課題を取り組む際は、個別指導の時間をとります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	授業についての説明
2	Getting to know your newspaper (1)	世界の英字新聞を知る
3	Getting to know your newspaper (2)	英字新聞を読む
4	The structure of a newspaper (1)	英字新聞の構成を調べる
5	The structure of a newspaper (2)	ニュースのカテゴリを調べる
6	News story structure (1)	新聞記事の情報を整理する
7	News story structure (2)	新聞記事を要約する
8	Headlines (1)	Headline とは何か
9	Headlines (2)	Headline の規則を知る
10	Headlines (3)	Headline に使われる略語を調べる
11	What make a story news? (1)	何がニュースになるのか
12	What make a story news? (2)	新聞記事を分析する
13	Writing a news story (1)	ニュース記事を書いてみる

14 Writing a news story (2) ニュース記事を編集する

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業は予習を前提に進めます。準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。詳細は、初回授業で説明します。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

## 【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。授業中に資料を配布します。

## 【参考書】

1. BBC Learning English <http://www.bbc.co.uk/learningenglish/>
2. The Flatmates <http://www.bbc.co.uk/worldservice/learningenglish/flatmates/>
3. VOA Learning English <https://learningenglish.voanews.com/>
4. News in Levels <https://www.newsinlevels.com/>
5. CNN 10 <https://edition.cnn.com/cnn10>
6. TED <https://www.ted.com>
7. NPR <https://www.npr.org/>
8. ABC News video <https://abcnews.go.com/Video>
9. CBS 60 Minutes [https://www.cbs.com/shows/60\\_minutes/](https://www.cbs.com/shows/60_minutes/)
10. NHK ワールド TV <https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/ja/world/>
11. NHK ワールド・ラジオ日本 <https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/ja/radio/>

## 【成績評価の方法と基準】

- 平常点 70%

(小テスト 20%、授業中の活動への参加 20%、提出物 30%)

- 学期末課題 30%

\* 4 回以上欠席した場合、原則として単位の取得が認められません。

\* 欠席や早退は 2 回で 1 回の欠席と見なします。

\* 著しい私語や居眠り、授業とは関係のない調べものなど、授業に参加する意欲が見られない場合、出席していても早退/遅刻または欠席と同等に見なすことがあります。

## 【学生の意見等からの気づき】

定期的にニュースをチェックする習慣ができました。受講生同士でニュースを調べたり、話し合ったりするので、いろいろな人の意見を知ることができ、視野が広がります。

## 【Outline (in English)】

In this course, students will read various news stories reported in the English-speaking world. They will be encouraged to express their opinions in English and share them with other students. They will develop critical thinking skills by taking part in activities in class. In the spring semester, students will study the structures of English newspapers.

Through the course, students will be able to:

- catch the main ideas of news articles
- express their opinions in English about topics mentioned in the article
- understand the points of audiovisual materials

Students need to prepare in advance for each lesson. Preparation is designed to take one hour approximately. In addition to preparation, students will be given assignments to review.

Evaluation will be based on Hosei University grading criteria, as follows:

Quiz 20%, participation in class activities 20%, assignment and submission 30%, final assignment 30%

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：News from the English-Speaking World

川澄 亜岐子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1 年次に習得した英語の運用能力を用いて、国際語としての英語を学びます。英語圏で報道されるニュースの記事を読むことを通して、世界の文化を理解し、尊重する態度とともに、自文化を相対化し、批判的に分析する力を養います。秋学期は、春学期に学んだことを踏まえううえで、メディアやそれを取り巻く環境についても広く学びます。

## 【到達目標】

1. 英語で書かれたニュース記事を読み、英語で要点を説明したり、自分の意見を論理的な文章でまとめたりすることができるようになる。
2. ニュース形式の教材を視聴し、要点を正確に理解できるようになる。
3. メディアの特性を理解し、ニュース記事を批判的に分析できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業は、講義とグループまたはペアワークを組み合わせて対面形式で行います。提出されたリアクションペーパーや課題は、個別または全体にフィードバックする方法を採ります。授業中に課題を取り組む際は、個別指導の時間をとります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	授業についての説明
2	News Point	新聞記事の「時間」について分析する
3	Media bias (1)	バイアスとは何か？
4	Media bias (2)	新聞記事に見るバイアス：写真の場合
5	Media bias (3)	新聞記事に見るバイアス：文字テキストの場合
6	Opinion articles (1)	社説や読者投稿欄の記事を読む
7	Opinion articles (2)	社会的な問題について自分の意見を考える
8	Opinion articles (3)	社説の記事を分析する
9	Electronic media (1)	さまざまなメディアの特性を知る
10	Electronic media (2)	さまざまなメディアのニュース記事を分析する
11	Journalist's job (1)	ジャーナリズムの仕事について知る
12	Journalist's job (2)	ジャーナリストの仕事に関するテキストを鑑賞する
13	Journalist's job (3)	ジャーナリストの仕事について話し合う
14	Writing an opinion article	社会問題について自分の意見を書く

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業は予習を前提に進めます。準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。詳細は、初回授業で説明します。

## 【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。授業中に資料を配布します。

## 【参考書】

1. BBC Learning English <http://www.bbc.co.uk/learningenglish/>
2. The Flatmates <http://www.bbc.co.uk/worldservice/learningenglish/flatmates/>
3. VOA Learning English <https://learningenglish.voanews.com/>
4. News in Levels <https://www.newsinlevels.com/>
5. CNN 10 <https://edition.cnn.com/cnn10>
6. TED <https://www.ted.com>
7. NPR <https://www.npr.org/>
8. ABC News video <https://abcnews.go.com/Video>
9. CBS 60 Minutes [https://www.cbs.com/shows/60\\_minutes/](https://www.cbs.com/shows/60_minutes/)
10. NHK ワールド TV <https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/ja/world/>
11. NHK ワールド・ラジオ日本 <https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/ja/radio/>

## 【成績評価の方法と基準】

- 平常点 60%

(小テスト 20%、授業中の活動への参加 30%、提出物 10%)

- 学期末課題 40%

\* 4 回以上欠席した場合、原則として単位の取得が認められません。

\* 欠席や早退は 2 回で 1 回の欠席と見なします。

\* 著しい私語や居眠り、授業とは関係のない調べものなど、授業に参加する意欲が見られない場合、出席していても早退/遅刻または欠席と同等に見なすことがあります。

## 【学生の意見等からの気づき】

定期的にニュースをチェックする習慣ができました。受講生同士でニュースを調べたり、話し合ったりするので、いろいろな人の意見を知ることができ、視野が広がります。

## 【Outline (in English)】

In this course, students will read various news stories reported in the English-speaking world. They will be encouraged to express their opinions in English and share them with other students. They will develop their critical thinking skills by taking part in class activities. In the fall semester, the course will cover the features of various medium and journalistic jobs. In this course students will learn to:

- grasp the main ideas of news articles
- express their opinions about news stories in English
- understand the audiovisual materials

Students need to prepare in advance for each week's lesson. Preparation is designed to take approximately one hour. In addition to preparation, students will be given assignments to review.

Evaluation will be based on Hosei University grading criteria, as follows:

Quiz 20%, participation in class activity 30%, assignment and submission 10%, final assignment 40%

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：英語圏の映画と社会

川野 芽生

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会の諸問題を扱った映画を鑑賞することを通して、英語圏の社会と文化について学ぶ。英語を使って社会問題と文化・芸術に触れ、教養と思考力を養う。社会の多様性を理解し、自分の意見を持つことができるようになる。英語で自分の考えを表現することができるようになる。英語の四技能を伸ばし、英語で情報を取り入れるとともにみずから発信できるようになる。

## 【到達目標】

- ・複数のパラグラフからなる文章を正確に読み取ることができるようになる。
- ・英文を聞き取り、意味を掴むことができるようになる。
- ・語彙力を高める。
- ・芸術・文化や社会問題に対する理解を深める。
- ・英語で自分の考えを表現することができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

2～3回の授業で1unitを扱う。1回目では、映画に関する説明文のリスニングとリーディングを行い、映画の一部を解説とともに視聴する。2回目では、映画の続きを解説とともに視聴する。3回目では、テキストの内容をもとにしたライティング問題を事前に解いてきてもらい、それを題材としてディスカッションを行う。1 Unitごとにリアクションペーパーを提出してもらう。

リアクションペーパーの提出・フィードバックは、Google フォームを通して行う。

最終的に、授業で扱った映画のうち好きなものを選び、英語でエッセイを書いて提出する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 1	『スリー・ビルボード』テキストのリーディングとリスニング
2	Unit 1	『スリー・ビルボード』映画鑑賞と解説
3	Unit 1	『スリー・ビルボード』解説とディスカッション
4	Unit 2	『ムーンライト』テキストのリーディング・リスニング
5	Unit 2	『ムーンライト』映画鑑賞と解説
6	Unit 2	『ムーンライト』解説とディスカッション
7	Unit 3	『ドリーム』テキストのリーディングとリスニング
8	Unit 3	『ドリーム』映画鑑賞と解説
9	Unit 3	『ドリーム』解説とディスカッション
10	Unit 4	『それでも夜は明ける』テキストのリーディングとリスニング

11	Unit 4	『それでも夜は明ける』映画鑑賞と解説
12	Unit 4	『それでも夜は明ける』解説とディスカッション
13	Unit 8	『マダム・イン・ニューヨーク』テキストのリーディングとリスニング、映画鑑賞
14	Unit 8	『マダム・イン・ニューヨーク』解説とディスカッション

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。事前にその回で扱うUnitのReadingの文章を、辞書を引き、文法を調べて読んでおくこと。ノートに日本語訳を用意し、授業中に淀みなく答えられるように準備しておくこと。わからない点は、辞書や文法書を調べた上で、なおわからないことは質問できるように用意しておくこと。

ディスカッションの回までに、Unitのライティング問題に取り組むこと。

## 【テキスト（教科書）】

Joseph Tabolt, 森永弘司/Our Society, Our Diversity, Our Movies (映画に観る多文化社会のかたち) 金星堂、2020年、1900円

## 【参考書】

なし

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 10%

リアクションペーパー 10%

最終レポート 80%

4回以上欠席した者は原則として単位修得の資格を失う。

## 【学生の意見等からの気づき】

学生が発言しやすい雰囲気を心がける。

## 【Outline (in English)】

In this course students will learn about cultures and societies in English-speaking countries through watching movies dealing with various social problems.

By the end of the course, students should be able to do the followings:

-Read essays consisting of several paragraphs and comprehend what they say.

-Improve listening comprehension.

-Enrich your vocabulary.

-Learn about art, culture and social problems.

-Express your opinions in English.

Before each class meeting, students will be expected to have read the reading passage and do the exercises of the relevant chapter from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grade will be calculated according to the following process: reaction paper (10%), term-end report (80%), and in-class contribution (10%).

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：英語圏の映画と社会

川野 芽生

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会の諸問題を扱った映画を鑑賞することを通して、英語圏の社会と文化について学ぶ。英語を使って社会問題と文化・芸術に触れ、教養と思考力を養う。社会の多様性を理解し、自分の意見を持つことができるようになる。英語で自分の考えを表現することができるようになる。英語の四技能を伸ばし、英語で情報を取り入れるとともにみずから発信できるようになる。

【到達目標】

- ・複数のパラグラフからなる文章を正確に読み取ることができるようになる。
- ・英文を聞き取り、意味を掴むことができるようになる。
- ・語彙力を高める。
- ・芸術・文化や社会問題に対する理解を深める。
- ・英語で自分の考えを表現することができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

2～3回の授業で1unitを扱う。1回目では、映画に関する説明文のリスニングとリーディングを行い、映画の一部を解説とともに視聴する。2回目では、映画の続きを解説とともに視聴する。3回目では、テキストの内容をもとにしたライティング問題を事前に解いてきてもらい、それを題材としてディスカッションを行う。1 Unitごとに関アクションペーパーを提出してもらう。

リアクションペーパーの提出・フィードバックは、Google フォームを通して行う。

最終的に、授業で扱った映画のうち好きなものを選び、英語でエッセイを書いて提出する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 7	『扉をたたく人』 テキストのリーディングとリスニング
2	Unit 7	『扉をたたく人』 映画鑑賞と解説
3	Unit 7	『扉をたたく人』 解説とディスカッション
4	Unit 10	『わたしは、ダニエル・ブレイク』 テキストのリーディングとリスニング
5	Unit 10	『わたしは、ダニエル・ブレイク』 映画鑑賞と解説
6	Unit 10	『わたしは、ダニエル・ブレイク』 解説とディスカッション
7	Unit 11	『博士と彼女のセオリー』 テキストのリーディングとリスニング
8	Unit 11	『博士と彼女のセオリー』 映画鑑賞と解説
9	Unit 11	『博士と彼女のセオリー』 解説とディスカッション

10	Unit 12	『ダラス・バイヤーズ・クラブ』 テキストのリーディングとリスニング、映画鑑賞
11	Unit 12	『ダラス・バイヤーズ・クラブ』 解説とディスカッション
12	Unit 15	『シンドラーのリスト』 テキストのリーディングとリスニング
13	Unit 15	『シンドラーのリスト』 映画鑑賞と解説
14	Unit 15	『シンドラーのリスト』 解説とディスカッション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。事前にその回で扱う Unit の Reading の文章を、辞書を引き、文法を調べて読んでおくこと。ノートに日本語訳を用意し、授業中に淀みなく答えられるように準備しておくこと。わからない点は、辞書や文法書を調べた上で、なおわからないことは質問できるように用意しておくこと。

ディスカッションの回までに、Unit のライティング問題に取り組むこと。

【テキスト（教科書）】

Joseph Tabolt, 森永弘司/Our Society, Our Diversity, Our Movies (映画に観る多文化社会のかたち) 金星堂、2020年、1900円

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点 10%

リアクションペーパー 10%

最終レポート 80%

4回以上欠席した者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】

学生が発言しやすい雰囲気心がける。

【Outline (in English)】

In this course students will learn about cultures and societies in English-speaking countries through watching movies dealing with various social problems.

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- Read essays consisting of several paragraphs and comprehend what they say.
- Improve listening comprehension.
- Enrich your vocabulary.
- Learn about art, culture and social problems.
- Express your opinions in English.

Before each class meeting, students will be expected to have read the reading passage and do the exercises of the relevant chapter from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grade will be calculated according to the following process: reaction paper (10%), term-end report (80%), and in-class contribution (10%).

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：ニュース記事で見る世界から見た日本

岩下 弘史

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 では、English1 と English2 で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の能力をさらに向上させていきます。これら 4 技能を総合的に駆使し、英語で書かれたある主題についてテーマについて正しく理解し、それを批判的に考察したうえで自分の意見を英語で発信していく能力を養成します。

本授業では特に日本について書かれたニュース記事を読み、関連する音声を聴き、それについての適切なまとめや自らの意見を発信できることを目指します。

## 【到達目標】

- ・英語ニュース記事のスタイルに親しむ。
- ・テキスト内に出てきた単語をしっかりと暗記しボキャブラリーを増やす。
- ・辞書を使いながら英文の構造をしっかりと理解して読めるようになる。
- ・リスニング学習を通して英語の音、リズム、イントネーションに親しむ。
- ・文法的に正確な英文を書くことができるようになる。
- ・ニュース記事に関して自らの意見を発信できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業は基本的には以下の手順で進めます。

- ・前回の授業のリアクションペーパーに関するコメント
  - ・読解解説（指名して英文を音読し訳読をしてもらうので予習が必要です）
  - ・読んだテキストのリスニング（ディクテーション含む）
  - ・リアクションペーパーに学んだニュースの内容等について英語でコメント（場合によってはスピーキング）
- ただし、理解度や進度によっては授業内容を柔軟に変更します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	具体的な授業の進め方について説明します。
2	日本の英語教育についてのニュース①	ニュース前半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
3	日本の英語教育についてのニュース②	ニュース後半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
4	日本のコロナ対策についてのニュース①	ニュース前半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）

5	日本のコロナ対策についてのニュース②	ニュース後半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
6	東京五輪についてのニュース①	ニュース前半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
7	東京五輪についてのニュース②	ニュース後半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
8	日本のポップカルチャーについてのニュース①	ニュース前半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
9	日本のポップカルチャーについてのニュース②	ニュース後半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
10	日本経済についてのニュース①	ニュース前半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
11	日本経済についてのニュース②	ニュース後半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
12	日本の外交政策についてのニュース①	ニュース前半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
13	日本の外交政策についてのニュース②	ニュース後半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
14	まとめ（期末試験）	試験範囲、詳しい内容については授業内で説明します。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。  
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

詳しくはガイダンス時に説明しますが、精読してくることは必須です。分量は決して多くないですがその分辞書を引いて構造にも気を配り日本語訳を作ってきてください。リスニングの練習を行うことも求められます。

## 【テキスト（教科書）】

日本に関連するニュース記事を配布しますので、教科書はありません。

## 【参考書】

「ジーニアス英和辞典」（大修館）

他の辞書でも構いませんが、このレベルのものは必要です（初回の授業で説明します）。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（授業態度や予習状況、出席、リアクションペーパーの内容など）35%

期末試験 65%

公欠を除いて 4 回以上の欠席があった場合は、ガイドラインに基づき原則として単位を認定しません。また、特段の理由のない 45 分以上の遅刻や早退は欠席扱いとします。

## 【学生の意見等からの気づき】

スクリーンや板書の文字の大きさには注意したいと思います。

## 【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムで諸々の連絡をします。

## 【Outline (in English)】

The aim of this course is to help the students to understand Japan through reading some English news on it. The students are also expected to develop the ability to speak and write their opinions about it.



The goal of this course for students is to acquire basic academic skills.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Their study time will be more than four hours for a class.

Their overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 65%, In-class contribution: 35%

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：ニュース記事で見る世界から見た日本

岩下 弘史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 では、English1 と English2 で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の能力をさらに向上させていきます。これら 4 技能を総合的に駆使し、英語で書かれたある主題についてテーマについて正しく理解し、それを批判的に考察したうえで自分の意見を英語で発信していく能力を養成します。

本授業では特に日本について書かれたニュース記事を読み、関連する音声を聴き、それについての適切なまとめや自らの意見を発信できることを目指します。

## 【到達目標】

- ・英語ニュース記事のスタイルに親しむ。
- ・テキスト内に出てきた単語をしっかりと暗記しボキャブラリーを増やす。
- ・辞書を使いながら英文の構造をしっかりと理解して読めるようになる。
- ・リスニング学習を通して英語の音、リズム、イントネーションに親しむ。
- ・文法的に正確な英文を書くことができるようになる。
- ・ニュース記事に関して自らの意見を発信できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業は基本的には以下の手順で進めます。

- ・前回の授業のリアクションペーパーに関するコメント
  - ・読解解説（指名して英文を音読し訳読をしてもらうので予習が必要です）
  - ・読んだテキストのリスニング（ディクテーション含む）
  - ・リアクションペーパーに学んだニュースの内容等について英語でコメント（場合によってはスピーキング）
- ただし、理解度や進度によっては授業内容を柔軟に変更します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	具体的な授業の進め方について説明します。
2	『鬼滅の刃』についてのニュース①	ニュース前半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
3	『鬼滅の刃』についてのニュース②	ニュース前後半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
4	福島原発についてのニュース①	Unit8 前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング（スピーキング）

5	福島原発についてのニュース②	ニュース後半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
6	日本の社会問題についてのニュース①	ニュース前半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
7	日本の社会問題についてのニュース②	ニュース後半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
8	日本のエネルギー問題についてのニュース①	ニュース前半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
9	日本のエネルギー問題についてのニュース②	ニュース後半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
10	天皇家に関するニュース①	ニュース前半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
11	天皇家に関するニュース②	ニュース後半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
12	村上春樹についてのニュース①	ニュース前半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
13	村上春樹についてのニュース②	ニュース後半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング（スピーキング）
14	まとめ（期末試験）	試験範囲、詳しい内容については授業内で説明します。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。  
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

詳しくはガイダンス時に説明しますが、精読してくることは必須です。分量は決して多くないですがその分辞書を引いて構造にも気を配り日本語訳を作ってきてください。リスニングの練習を行うことも求められます。

## 【テキスト（教科書）】

日本に関連するニュース記事を配布しますので、教科書はありません。

## 【参考書】

「ジーニアス英和辞典」（大修館）

他の辞書でも構いませんが、このレベルのものは必要です（初回の授業で説明します）。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（授業態度や予習状況、出席、リアクションペーパーの内容など）35%

期末試験 65%

公欠を除いて 4 回以上の欠席があった場合は、ガイドラインに基づき原則として単位を認定しません。また、特段の理由のない 45 分以上の遅刻や早退は欠席扱いとします。

## 【学生の意見等からの気づき】

スクリーンや板書の文字の大きさには注意したいと思います。

## 【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムで諸々の連絡をします。

## 【Outline (in English)】

The aim of this course is to help the students to understand Japan through reading some English news on it. The students are also expected to develop the ability to speak and write their opinions about it.

The goal of this course for students is to acquire basic academic skills.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Their study time will be more than four hours for a class.

Their overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 65%, In-class contribution: 35%

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：英語ニュースで日本を知る

折笠 真美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds on skills and knowledge learned in English 1 and English 2 and is designed to further develop students' English proficiency. This course is content-based and utilizes authentic materials to deepen the understanding of current issues surrounding Japan and the world and to critically analyze those issues from local and global perspectives. The objective of the course is to help students reinforce skills and strategies to communicate effectively in the English language through individual and group work. The course will provide students with an opportunity to (1) be exposed to varieties of English, (2) read and discuss various topics in a pair/group, (3) give presentations, and (4) develop academic writing skills. Furthermore, this course will also aim to reinforce vocabulary through class activities.

## 【到達目標】

By the end of the course, students will:

- be able to critically analyze issues from local and global perspectives.
- be able to articulate their ideas and opinions about different topics, both in speech and writing.
- be able to summarize the main points of discussion.
- be able to give presentations on topics of their choice.
- be able to write summaries in an organized and logical manner.
- learn about plagiarism and how to avoid it.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

Each class will have reading, listening, oral and written activities (individual, pair and group work) as well as a short lecture on the contents of the textbook. Homework will be given regularly. Your attendance and active participation in class is essential. Feedback on class activities and assignments will be given in class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Overview	Introduction
2	Unit 1: Invention Needed: The Sillier the Better	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
3	Unit 2: Artisan from Abroad Protects Tradition	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
4	Unit 3: World Traveler, Starting by Accident	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing

5	Short Presentations	Presentation
6	Unit 4: International Volunteers Help Children in Need	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
7	Unit 5: Public Servant Goes Private	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
8	Unit 6: Hiroshima Hibakusha Determined to Share Story	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
9	Unit 7: Building Playgrounds in Disaster-Hit Communities	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
10	Writing News Summaries	Outline, First Draft, Feedback, Revision
11	Project (Prepare for Presentation 1)	Research and Search for Articles
12	Project (Prepare for Presentation 2)	Prepare for Slides and Scripts
13	Group Presentations	Presentation
14	Review / Final Exam	Exam

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

## 【テキスト（教科書）】

Tatsuroh Yamazaki & Stella M. Yamazaki (2023). NHK Newline 6 - 映像で学ぶ NHK 英語ニュースが伝える日本 6. KINSEIDO. ISBN: 978-4-7647-4170-6 (¥2400 + 税)  
Additional materials used in class will be posted on Google Classroom.

## 【参考書】

TBA

## 【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quizzes and Homework (30%); Presentation (25%); Final Assignments/Exam (30%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

## 【学生の意見等からの気づき】

プレゼン等のグループワークは授業内で準備時間を設けます。

## 【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子または紙媒体）を必ず持参してください。携帯電話を用いることは不可。  
必要に応じて Zoom も使用する可能性があります。Zoom の授業では、マイク付きのヘッドセットを各自用意してください。  
課題提出や資料閲覧は Google Classroom を使用する予定です。

## 【その他の重要事項】

Academic Honesty (学問的誠実性) を遵守してください。  
様々な不正行為（例えば、【Plagiarism 剽窃】 - 出典元を適切に引用せず使用すること）など。防止について授業内でも説明します。

## 【Outline (in English)】

English 3 is content-based and aims to help students further develop their English skills required to communicate effectively in the English language. The course will provide students with an opportunity to critically look at current issues surrounding Japan and the world, share ideas and opinions through discussions and presentations, and to reinforce vocabulary through class activities. For class preparation and review, there will be required assignments including reading and vocabulary learning outside of class. Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quizzes and Homework (30%); Presentation (25%); Final Assignments/Exam (30%).

LANe200LA

English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：英語ニュースで日本を知る

折笠 真美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 3 builds on skills and knowledge learned in English 1 and English 2 and is designed to further develop students' English proficiency. The course is content-based and utilizes authentic materials to deepen the understanding of current issues surrounding Japan and the world and to critically analyze those issues from local and global perspectives. The objective of the course is to help students reinforce skills and strategies to communicate effectively in the English language through individual and group work. The course will provide students with an opportunity to (1) be exposed to varieties of English, (2) read and discuss various topics in a pair/group, (3) give presentations, and (4) develop academic writing skills. Furthermore, this course will also aim to reinforce vocabulary through class activities.

【到達目標】

By the end of the course, students will:

- (a) be able to critically analyze issues from local and global perspectives.
- (b) be able to articulate their ideas and opinions about different topics, both in speech and writing.
- (c) be able to summarize the main points of discussion.
- (d) be able to give presentations on topics of their choice.
- (e) be able to write summaries and essays in an organized and logical manner.
- (f) learn about plagiarism and how to avoid it.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Each class will have reading, listening, oral and written activities (individual, pair and group work) as well as a short lecture on the contents of the textbook. Homework will be given regularly. Your attendance and active participation in class is essential. Feedback on class activities and assignments will be given in class.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】  
あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】  
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Overview	Introduction
2	Unit 8: Climate Change Activist Comes of Age	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
3	Unit 9: Tech for Pets Takes Off	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing

4	Unit 10: Hairdressers Given a Shot at Independence	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
5	Unit 11: Japanese Tradition Reinvented to Help Global Farming	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
6	Unit 12: Green Tea Shochu Hits the Spot with overseas Connoisseurs	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
7	Unit 13: Looking to the Future in 'Jeans Town'	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
8	Unit 14: A Recollection of Courage	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
9	Unit 15: Indoor Farms Sprouting Up in Cities	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
10	Essay Writing	Outline, Draft, Feedback, Revision
11	Project (Prepare for Presentation 1)	Research and Search for Articles
12	Project (Prepare for Presentation 2)	Prepare for Slides and Scripts
13	Group Presentations	Presentation
14	Review / Final Exam	Exam

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Tatsuroh Yamazaki & Stella M. Yamazaki (2023). NHK Newline 6 - 映像で学ぶ NHK 英語ニュースが伝える日本 6. KINSEIDO. ISBN: 978-4-7647-4170-6 (¥2400 + 税)  
Additional materials used in class will be posted on Google Classroom.

【参考書】

TBA

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quizzes and Homework (30%); Presentation (25%); Final Assignments/Exam (30%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

プレゼン等のグループワークは授業内で準備時間を設けます。

【学生が準備すべき機器他】

辞書 (電子または紙媒体) を必ず持参してください。携帯電話を用いることは不可。

必要に応じて Zoom も使用する可能性があります。Zoom の授業では、マイク付きのヘッドセットを各自用意してください。課題提出や資料閲覧は Google Classroom を使用する予定です。

【その他の重要事項】

Academic Honesty (学問的誠実性) を遵守してください。様々な不正行為 (例えば、【Plagiarism 剽窃】 - 出典元を適切に引用せず使用すること) など、防止について授業内でも説明します。

**【Outline (in English)】**

English 3 is content-based and aims to help students further develop their English skills required to communicate effectively in the English language. The course will provide students with an opportunity to critically look at current issues surrounding Japan and the world, share ideas and opinions through discussions and presentations, and to reinforce vocabulary through class activities. For class preparation and review, there will be required assignments including reading and vocabulary learning outside of class. Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quizzes and Homework (30%); Presentation (25%); Final Assignments/Exam (30%).

<p>LANe200LA</p> <p><b>English 3 I</b> <span style="float: right;">2017 年度以降入学者</span></p> <p>サブタイトル：Aspects of the English Speaking World</p> <p><b>TOBY TRAUB</b></p> <p>開講時期：春学期授業/Spring   曜日・時限：金 5/Fri.5                  単位数：1 単位                  中級／英語                  その他属性：</p>	4	<p>The Way we Live Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment</p>	<p>Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.</p>												
<p><b>【授業の概要と目的（何を学ぶか）】</b> Learning English for communicating in a global society.</p> <p><b>【到達目標】</b> This course is designed to develop language skills necessary for students to express themselves in English. The emphasis is on oral communication, and we will practice listening and speaking skills. Students will also practice writing paragraphs and short essays.</p> <p><b>【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】</b> 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1</p>	5	<p>Unit 2 Technology: Friend or Foe Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment</p>	<p>Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.</p>												
<p><b>【授業の進め方と方法】</b> Students will participate in a variety of activities that involve all four skills of reading, writing, listening and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion by briefly writing their opinions, and then participate in discussions, usually in pairs. Reading comprehension will be checked, and new vocabulary will be reviewed after matching activities.</p> <p><b>【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】</b> あり / Yes</p> <p><b>【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】</b> あり / Yes</p>	6	<p>Unit 2 Political Refugees Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment</p>	<p>Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.</p>												
<p><b>【授業計画】</b> 授業形態：対面/face to face</p> <table border="1" data-bbox="137 1276 766 2058"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>テーマ</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Course orientation</td> <td>Getting to know each other; student introductions &amp; class guidelines. handout discussion activities</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Unit 1: Getting to Know Each Other Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions</td> <td>Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment..</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Unit 1 Environmental Issues Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment</td> <td>Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.</td> </tr> </tbody> </table>	回	テーマ	内容	1	Course orientation	Getting to know each other; student introductions & class guidelines. handout discussion activities	2	Unit 1: Getting to Know Each Other Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment..	3	Unit 1 Environmental Issues Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.	7	<p>Protests and dissent Research report/ mini- Presentations Connecting the dots Love and Loss Death</p>	<p>Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.</p>
回	テーマ	内容													
1	Course orientation	Getting to know each other; student introductions & class guidelines. handout discussion activities													
2	Unit 1: Getting to Know Each Other Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment..													
3	Unit 1 Environmental Issues Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.													
	8	<p>Music and Art Unit 3: Global thinking Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions</p>	<p>Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.</p>												
	9	<p>Unit 3: Seize the day Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions</p>	<p>Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.</p>												

10	Unit 3: Swim against the stream. Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.	<b>【学生が準備すべき機器他】</b> Always bring a dictionary to class (paper or electronic OK). Translation software is strictly forbidden. You may use your phone in class ONLY for a dictionary app. Or, on a rare occasion, they could be used for purposes related to the class. I recommend using a dedicated electronic dictionary. <b>【その他の重要事項】</b> This is a challenging course, but you will learn a lot, and improve your English a lot. Because the course is challenging, you will have a proud sense of accomplishment when you have finished the course. This syllabus is subject to revision, and likely will change based on the students' needs, and topics will be based on relevant social issues of the moment. <b>【Outline (in English)】</b> This is a content based course with the objective of helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of the world with an emphasis on American social, political, and popular culture.
11	Unit 4: What will your verse be? Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.	
12	The road less traveled. Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment. Tips for the Quiz	
13	Meritocracy and Theocracy Quiz Song lesson	Quiz Song lesson	
14	Wrap-up	Go over quiz Speaking activity	

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

Preparations will include, but are not limited to a writing assignment almost every week, study for quizzes, prepare for presentation, and etc.

**【テキスト（教科書）】**

There is no textbook. Handouts will be given in class. However, ALL students will be required to buy a subscription to an online reading software. This should cost roughly about 2,750 yen for a whole year, unless the bookstore increases the price. I will tell you the details on the first day of class

**【参考書】**

These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.

<https://japantoday.com/>  
<https://www.japantimes.co.jp/news/>  
<https://www.yahoo.com/news/>  
<http://www.bbc.com/news>  
<https://news.google.com/news/>

**【成績評価の方法と基準】**

Class participation: 40%  
 Quizzes, writing assignments, presentations: 60%  
 Departmental guidelines state that more than three absences will result in automatic failure of the course.  
 Obviously, when you are absent, it will hurt your class participation grade.

**【学生の意見等からの気づき】**

Not applicable





10	Fabulous Japan Draft of words of presentations due. Current events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.	<b>【Outline (in English)】</b> This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture.
11	Christmas and holidays. 5 Powerpoints due Christmas/holiday comprehension skill building activity. Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.	
12	Presentation Day.	Tips for the Quiz	
13	Song lesson My Winter break Pandemics	Song lesson Discussion activity. No homework except to study for big quiz.	
14	Big quiz	Quiz Games Puzzle	

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

Preparations will include, but are not limited to a writing assignment almost every week, study for quizzes, prepare for presentation, and etc.

**【テキスト（教科書）】**

There is no textbook. Handouts will be given in class. However, ALL students will be required to buy a subscription to an online reading software. This should cost roughly about 2,750 yen for a whole year, unless the bookstore increases the price. I will tell you the details on the first day of class

**【参考書】**

These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.

<https://japantoday.com/>

<https://www.japantimes.co.jp/news/>

<https://www.yahoo.com/news/>

<http://www.bbc.com/news>

<https://news.google.com/news/>

**【成績評価の方法と基準】**

Class participation: 40%

Quizzes, writing assignments, presentations:60%

Departmental guidelines state that more than three absences will result in automatic failure of the course.

Obviously, when you are absent, it will hurt your class participation grade.

**【学生の意見等からの気づき】**

Not applicable

**【学生が準備すべき機器他】**

Always bring a dictionary to class (paper or electronic OK). Translation software is strictly forbidden. You may use your phone in class ONLY for a dictionary app. Or, on a rare occasion, they could be used for purposes related to the class. I recommend using a dedicated electronic dictionary.

**【その他の重要事項】**

This is a challenging course, but you will learn a lot, and improve your English a lot. Because the course is challenging, you will have a proud sense of accomplishment when you have finished the course.

LANe200LA		5	Unit 2: Fragile Forests	Writing assignment feedback will be provided to the students in group work. They will start reading the supplemental article prepared and provided by the teacher.
English 3 I				
サブタイトル：English Speaking World: From Science to Business I				
GENC BURCU		6	Group Presentations Unit 3: Bright Ideas	First group will deliver their presentations. Following this, the supplemental article distributed in the previous class will be explored in more depth.
開講時期：春学期授業/Spring   曜日・時限：金 5/Fri.5				
単位数：1 単位				
中級／英語				
その他属性：				
<b>【授業の概要と目的（何を学ぶか）】</b>				
This is a course aiming to assist students in becoming fluent English speakers by sharing their ideas on socioeconomic and popular science content widely discussed in the English speaking world.				
<b>【到達目標】</b>				
In this course, students will read a variety of content-based articles, and readings will be supplemented with listening exercises to help students improve their fluency in English. The classes are designed for pair and group discussions to provide them with a friendly environment to express themselves in English. Students will also be required to complete some writing tasks such as paragraphs and short essays to express their ideas in a more organized way.				
<b>【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】</b>				
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1				
<b>【授業の進め方と方法】</b>				
Students will participate in a variety of activities that involve all four skills, but with a special emphasis on reading and speaking. They will be asked to read short articles, prepare for discussion, usually conducted in pairs or groups. Feedback for the assignments will be provided in the classroom. Online feedback might also be provided for students when necessary.				
<b>【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】</b> あり / Yes				
<b>【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】</b> なし / No				
<b>【授業計画】</b> 授業形態：対面/face to face				
回	テーマ	内容		
1	Course orientation	Getting to know each other; student introductions & class guidelines.	11	Unit 5: Engaging Learners
2	Unit 2: Fragile Forests	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.	12	Unit 5: Engaging Learners
3	Unit 2: Fragile Forests	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.	13	Unit 5: Engaging Learners
4	Unit 2: Fragile Forests	Listening exercises will be completed and a writing assignment will be given to students.		

14 Final Exam Final exam of the semester will be conducted

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

Students are expected to complete assignments every week in preparation for discussion. The assignments might require research.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

**【テキスト（教科書）】**

21st Century Reading: Creative thinking and reading with TED talks 2, Cengage Publishing and written by Laurie Blass, and Jessica Williams. ¥ 2840

Additional articles will also be provided by the instructor in class.

**【参考書】**

These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.

<https://japantoday.com/>

<https://www.japantimes.co.jp/news/>

<https://www.yahoo.com/news/>

<http://www.bbc.com/news>

<https://news.google.com/news/>

**【成績評価の方法と基準】**

Class participation: 20%

Group Presentation: 30%

Writing assignments: 10%

Final Exam: 40%

More than 3 absences will result in automatic failure of the course.

**【学生の意見等からの気づき】**

Students would like to build up more vocabulary. This will be achieved through additional articles whose vocabulary level is slightly higher than the textbook provided by the instructor.

**【学生が準備すべき機器他】**

No need for equipment preparation. However, students might be occasionally asked to bring their laptops, or notepads to the class for some activities.

**【Outline (in English)】**

In this course, students will improve their confidence and skills in overall English communication while familiarizing themselves with contemporary socioeconomic and popular science topics which hold importance in the English speaking world.

LANe200LA		5	Unit 6: Food for Life Food Businesses and Social Media	Students will explore the supplemental article in more depth with an emphasis on the key vocabulary. This will be followed by a writing assignment instructions on the topic.
<b>English 3 II</b>				
サブタイトル：English Speaking World: From Science to Business II				
GENC BURCU				
開講時期：秋学期授業/Fall   曜日・時限：金 5/Fri.5		6	Group Presentations Unit 7: Body Signs Power Poses and Leadership	First group of presenters will deliver their presentations. This will be followed by a group work on the main ideas of unit 7 and reading of the unit's passage.
単位数：1 単位				
中級／英語		7	Group Presentations Unit 7: Body Signs Non-verbal Communication in Business Context	Second group of presenters will deliver their presentations. Reading questions will be answered, and listening exercises will be completed by practicing note-taking in groups.
その他属性：				
<b>【授業の概要と目的（何を学ぶか）】</b>				
This is the second part of the course, "English Speaking World: From Science to Business" aiming to continue helping students to gain fluency in English and express their ideas on popular science and business related content widely discussed in the English speaking world.				
<b>【到達目標】</b>				
In this course, students will read a variety of content-based articles, and readings will be supplemented with listening exercises to help students improve their fluency in English. The classes are designed for pair and group discussions to provide the students with a friendly environment to express themselves in English. Students will also be required to complete some writing tasks such as paragraphs and short essays to express their ideas in a more organized way.				
<b>【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】</b>				
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1				
<b>【授業の進め方と方法】</b>				
Students will participate in a variety of activities that involve all four skills, but with a special emphasis on reading and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion, usually in pairs or groups. Feedback for the assignments will be provided in the classroom. Online feedback might also be provided for students when necessary.				
<b>【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】</b>				
あり / Yes				
<b>【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】</b>				
なし / No				
<b>【授業計画】</b> 授業形態：対面/face to face				
回	テーマ	内容		
1	Course orientation	introductions & class guidelines.		
2	Unit 6: Food for Life Food Revolution	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.		
3	Unit 6: Food for Life Food Revolution	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.		
4	Unit 6: Food for Life Teaching Children about Food	Listening exercises will be completed by practicing note-taking in groups. Following this, students will be distributed a supplemental article prepared by the teacher.		
			12	Unit 8: Energy Builders Engineers of the Future
			11	Unit 8: Energy Builders Innovative Ideas
			10	Unit 8: Energy Builders Innovative Ideas
			9	Unit 7: Body Signs Branding Strategies and Language

13	Unit 8: Energy Builders Harnessing the Wind	Students will work in groups to improve their writings. The teacher will take an active role and join the groups. This will be followed by a general discussion on some important points. Finally, some significant topics will be revised before the final exam. The teacher will provide handouts.
14	Final Exam	Final exam of the semester will be conducted

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

Students are expected to complete assignments every week in preparation for discussion. The assignments might require research.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

**【テキスト（教科書）】**

21st Century Reading: Creative thinking and reading with TED talks 2, Cengage Publishing and written by Laurie Blass, and Jessica Williams (The same textbook from part I). ¥ 2840  
Additional newspaper articles will also be provided by the instructor in class.

**【参考書】**

These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.

<https://japantoday.com/>

<https://www.japantimes.co.jp/news/>

<https://www.yahoo.com/news/>

<http://www.bbc.com/news>

<https://www.theguardian.com/international>

**【成績評価の方法と基準】**

Class participation: 20%

Group Presentation: 30%

Writing assignments: 10%

Final Exam: 40%

More than 3 absences will result in automatic failure of the course.

**【学生の意見等からの気づき】**

Not applicable

**【Outline (in English)】**

In this course, students will improve their confidence and skills in overall English communication while familiarizing themselves with contemporary socioeconomic and popular science concerns of the English speaking world.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Japan in the World (People, Movement, and Japan)

STEPHEN P MCINTYRE

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

中級／英語

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Through reading, listening and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge and experience both verbally and in writing. Students will participate in pair and group discussions, and present information to a group. This class focuses in particular on issues relating to migration and work in modern world and particularly in Japan. Students will be encouraged to think critically about issues related to migrants, work, and the movement and influence of language, ideas, goods, and services across borders.

The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary to better meet the needs of students.

【到達目標】

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics related to current issues. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The class will be based on themes emerging from the textbook and expanded on with additional material provided by the teacher related to migration, work, and the movement of people, and of ideas, products, and companies. Students are expected to participate in class discussions and complete exercises during class. In particular they will be required to engage with topics, conduct their own research, and present this to their peers in class discussions, and through presentations. Students will also be instructed on academic essay writing for the purpose of writing on a specific topic with correct referencing. Regular feedback will be given to students during class on their discussions and on completed exercises. Some written feedback will also be provided online via the online learning system on their written work. Feedback on final presentations and essays will be provided mainly in written form through the online learning system (Hoppi).

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Thinking about work, migration, and movement in Japan through English language media. Introduce yourself, and mention one thing that you think of when you here the world "economic migrant".
Week 2	Economic Migrants in Sales and Marketing	Unit 1 Sales Can Be Like Acting Complete exercises in textbook. Watch video Tommy Lee Jones Write down some impressions that you have of famous Hollywood stars like Tommy Lee Jones who appear in commercials in Japan. Share these ideas in discussions in pairs.
Week 3	Economic migrants.	People like David White (from Unit One) can be classified as economic migrants however they are usually not referred to as such. Others who migrate for work are called economic migrants and may be even considered to be a "social problem". Based on materials in class and students own research, discuss the various types of "economic migrants" living and working in Japan.
Week 4	Air Travel Tourism: A world that is open and accessible?	Unit 2 Travel Opens Up the World (Turkey) Exercises from textbook. Discussion: write down some ideas about travel in the world today and how this has connected Japan and the rest of the world. Share your ideas in pairs. Homework: read articles on issues related to the ease of travel for some and the difficulty in traveling for those such as refugees.
Week 5	Air travel passports and refugees in Japan (Kurdish refugees from Turkey)	For refugees: travel can provide Freedom and Safety, but at a cost. Look at video and News articles about Kurdish and other refugees in Japan. Write down some notes regarding this situation, and share it in discussions with 3 or 4 students.

Week 6	Multinational Corporations and their International Staff	Unit 3 Love Sells Cars Tiziana Alamprese (Italian), Marketing Director, Fiat Chrysler Japan Corporate responsibility? Corporate Greed: Fiat Chrysler corruption scandal. Discuss the issue of corporate social responsibility and making a profit from the text. Read additional material provided and write down 2 or 3 sentences reflecting on these readings.	Week 9	The migration of ideas through translation.	Unit 4 Translating is more than words (Migrant from the USA) Famous Anime become famous through translation: "Attack on Titan" "Battle Angel Alita" Translation and communication Critical thinking activity: Translation and the movement of ideas. What ideas have been translated from Japanese and become famous abroad? Write down ideas in class for discussion in groups. Home work: The migration of ideas through translation. Do your own research on text translated from English to Japanese, or from Japanese to English (write 1 or 2 paragraphs)
Week 7	Immigration Detention	Many of the migrant workers introduced in the textbook are from "Western" countries such as Italy or the UK. But migrants and refugees can face problems with immigration control. Italian man death in custody. Students introduced to text relating to immigration control, immigration detention. Class discussion in groups of 3 or 4. Homework: Write a 2 paragraphs about immigration detention referring to information about those detained.	Week 10	Migrants working in the service and other sectors of the economy(Unit 5 Textbook)	Exercises from the textbook: Providing good service and marketing. Reading task: Articles on migrant workers working in the service industry in Japan. (konbini gaikokujin) Homework: Find out about migrants working in Convenience stores in Japan. What challenges do they face? Toast Your Success (Unit 6)
Week 8	Essay workshop/ Research activity	Thinking about issues in the world and Japan today. Economic migrants/ refugees: why do people move between countries? Why do migrants come to Japan (or why do Japanese move abroad?) Topic: Think about why people move between countries for economic reasons or why some are forced to move because they face danger and become refugees. Can someone be both? Choosing a topic/ answering an essay question. Finding sources/ creating a thesis outline/ having a thesis statement/ structuring your essay. Homework: Find two articles on a topic related to economic migrants or refugees, or mixed migrants (in Japan) (In the world today)	Week 11	Movement of Products Around the World	In class exercises from textbook. Think Global, Act Local. How does globalization affect people in Japan? How do Japan (the government and companies) affect the world?
			Week 12	English Teachers in Japan / Australian's working in Japan (Unit 7)	English speakers as English teacher living and working in Japan Other Australian's working in Japan — Ski resort operators. Critical thinking: What are the reasons people around the world learn English? Homework: Prepare for discussions and presentations in groups on language learning and immigrants and their children.
			Week 13	English Teachers in Japan / Australian's working in Japan (Unit 7)	Language teaching and immigrants and refugees. Japanese classes for new arrivals and their children. Why is language important? What about other languages? Should Japanese people study other languages?
			Week 14	Final Presentations and Reflections	Presentation on a chosen topic discussed in class, or based on original researched by student during the semester. Essay submitted on the same topic as presentation.



**【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】**

Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

**【テキスト (教科書)】**

Working in Japan: Video Interviews with 14 Professionals  
Alice Gordenker & John Rucynski  
Cengage Learning, pp128 with DVD, ¥2550,

**【参考書】**

English to English dictionary:

<https://dictionary.cambridge.org/>

W. Strunk Jr. & White, E. B. 1999. The Elements of Style, Fourth Edition (4th ed.). Allyn and Bacon. Boston.

Neumann, D. J. (2016). A Professor's Guide to Writing Essays: The No-Nonsense Plan for Better Writing. Jacob Neumann

Further references will be provided by the instructor during the class.

**【成績評価の方法と基準】**

Students are assessed based on the following criteria

In class reading and listening comprehension, discussions, and writing exercises. 20%

Presentations in groups and the submitted presentation notes. 40%

Final essay and other written home work submitted during the semester. 40%

Attendance policy: In principle, no more than three absences per term are allowed.

**【学生の意見等からの気づき】**

Since the course is being led by the current instructor for the first time, there are no student comments.

The end of term reflection will include student assessment of the course. (Students are invited to comment on the course at any time)

**【学生が準備すべき機器他】**

- Textbook.
- Additional resources for writing (dictionaries etc).
- Students should also prepare a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.
- Students are expected to have access to a computer and the Internet for homework and assessment submission. It would be beneficial for students to bring smartphones, iPads, or Laptops to the class for ease of searching for and sharing information. (Let your instructor know if this is difficult.)

**【その他の重要事項】**

Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester. The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary. Students are expected to purchase and bring the textbook to each class. They are also expected to have access to a computer and the internet for homework and assessment submission. Paper submission will generally not be accepted.

**【Outline (in English)】**

The purpose English 3 is to further develop student's English proficiency in this course and to provide participants with an active approach to increasing their speaking, listening, reading and writing skills.

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Japan in the World (People, Movement, and Japan)

STEPHEN P MCINTYRE

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

中級／英語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 II builds upon the various English language skills and knowledge gained in English 3 I.

Through reading, listening and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge and experience both verbally and in writing. Students will participate in pair and group discussions, and present information within a group. This class focuses in particular on issues relating to migration and work in the modern world, particularly in Japan. Students will be encouraged to think critically about issues related to migrants, work, and the movement and influence of language, ideas, goods, and services across borders.

The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary to better meet the needs of students.

## 【到達目標】

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics related to current issues. There will be a particular focus on migration, work, and refugee related issues. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

The class will be based on themes emerging from the textbook and expanded on with additional material provided by the teacher related to migration, work, and the movement of people, and of ideas, products, and companies. Students are expected to participate in class discussions and complete exercises during class. In particular they will be required to engage with topics, conduct their own research, and present this to their peers in class discussions, and through presentations. Students will also be instructed on academic essay writing for the purpose of writing on a specific topic with correct referencing. Regular feedback will be given to students during class on their discussions and on completed exercises. Some written feedback will also be provided online via the online learning system on their written work. Feedback on final presentations and essays will be provided mainly in written form through the online learning system (Hoppi).

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Lesson 1	Introductions	Course syllabus explained. Write a paragraph introducing your self. Interview your neighbor and then introduce them in 1 minute to the class.
Lesson 2	Designing Buildings in Japan	Build a Happy Life! Astrid Klein Architect (Units 8) Exercises from Textbook. Critical thinking: What features do Japanese buildings have that may be very beneficial in other countries? Pecha kucha presentation style Home work: make a "pecha kucha" slide show related to architecture, the environment and people. More
Lesson 3	Freelance work, Trainees, and Precarious work	Presentations in groups on where people live etc. Life is like Riding a Bicycle (Unit 9) Opportunities/ finding a career you like/ Internships / exploitation of/ precarious work Critical thinking: Trying out a job sounds like a good idea, but when does the trial become exploitation?
Lesson 4	Internships, Trainees, and Precarious Work in Japan	Trainees (jishusei) / interns working for free/ the need to have wealthy parents to start a career? Homework: Find an article on the situation faced by foreign workers in Japan in precarious work, such as the trainees. Write 2 paragraphs describing their situation.
Lesson 5	Business and the Environment.	Trade Ideas for Positive Change (Unit 10 ) Business and the environment. Upper class or corporate migrants, global elites are able to travel freely around the world. Mitsui Japanese corporations in the world. Environmental and social impacts? Discuss how corporations in a globalized world impact different regions of the world. Homework: Challenge to find two articles. one that is positive one that is critical about the same corporation and the impact it has on the environment.

Lesson 6	Globalization and the "Harvest of Empire"	Look at material showing the impact of corporations across the world and how economic connections between countries can lead to the movement of people between countries, including refugees. Engage with material in class and participate in discussion and write notes on ideas learned in class. How have Japanese corporations affected other countries?	Lesson 12	Volunteering in Japan/ Volunteers from Japan	Help Animals for a Better Society [volunteer work] (Unit 14) Elizabeth Oliver (England) [Animal refuge] Complete exercises in the textbook in class. Discuss in groups of 3 or 4 about volunteering both in Japan and abroad. Critical thinking: Should some work done by volunteers be paid work? Homework: What kind of volunteering opportunities are there in your local area with migrants and refugees, or for other causes?
Lesson 7	IT workers and "highly skilled" Migrant Workers	Connect Workers with Companies (Unit 11 ) IT and migration/ virtual migration (Body shopping) Exercises from the Textbook completed in class. Look at Japan's attempt to attract IT workers. "highly skilled migrants" kodo gino imin" Homework: Find out about The attempt to bring IT Professionals to Japan as workers.	Lesson 13	Volunteer work and humanitarian work. Doing good?	Students present opportunities they found for volunteer work in their local communities. (small groups of 4 or 5) Volunteers in Japan are active in many areas. In relation to migrants in Japan there are many volunteers teaching Japanese, visiting detainees, etc. Is volunteer work a good thing? Can there be negative effects of volunteering? "Voluntourism"
Lesson 8	Indian Migrants in Japan and around the World	Necessity is the Mother of Invention (Unit 12) Indian IT professionals in Japan and around the world. Homework: Prepare presentation on IT and highly skilled workers or the internet and our connected world. "Virtual migration".	Lesson 14	Final Presentations and Reflection	Final presentations of research assignment and submission of final essay.
Lesson 9	Presentations and research/essay writing instruction.	Presentations on highly skilled migrants in Japan. Instruction on collecting information, presenting information, making an argument, citations.	【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】 Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.		
Lesson 10	Migrant Niche Businesses (Foreign/"Ethnic" Restaurants)	What's the Recipe for Success? (Unit 13) Restrains run by foreigners in Japan/ refugees in Japan and restaurants Complete exercises from the text book. Additional information from provided reading material on restaurants run by migrants and refugees in Japan. Eg Burmese restaurants run by refugees/ Kurdish kebab shops. Homework: Find an articles about migrants in Japan who have started their own businesses in Japan. Write a short description (2 or 3 paragraphs) in English and bring to next class.	【テキスト (教科書)】 Working in Japan: Video Interviews with 14 Professionals Alice Gordenker & John Rucynski Cengage Learning, pp128 with DVD, ¥2550, 【参考書】 English to English dictionary: <a href="https://dictionary.cambridge.org/">https://dictionary.cambridge.org/</a> 英文ライティング虎の巻【改訂版】 Strunk Jr., W., & White, E. B. (1999). "The Elements of Style, Fourth Edition" (4th ed.). Allyn and Bacon. Neumann, D. J. (2016). "A Professor's Guide to Writing Essays: The No-Nonsense Plan for Better Writing". Jacob Neumann.		
Lesson 11	Migrant Niche Businesses	Presentations on migrant niche businesses in Japan.	【成績評価の方法と基準】 Students are assessed based on the following criteria In class reading and listening comprehension, discussions, and writing exercises. 20% Presentations in groups and the submitted presentation notes. 40% Final essay and other written home work submitted during the semester. 40% Attendance policy: In principle, no more than three absences per term are allowed. 【学生の意見等からの気づき】 Since the course is being led by the current instructor for the first time, there are no student comments. The end of term reflection will include student assessment of the course. (Students are invited to comment on the course at any time)		

**【学生が準備すべき機器他】**

- Textbook.
- Additional resources for writing (dictionaries etc).
- Students should also prepare a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.
- Students are expected to have access to a computer and the Internet for homework and assessment submission. It would be beneficial for students to bring smartphones, iPads, or Laptops to the class for ease of searching for and sharing information. (Let your instructor know if this is difficult.)

**【その他の重要事項】**

Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester. The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary. Students are expected to purchase and bring the textbook to each class. They are also expected to have access to a computer and the internet for homework and assessment submission. Paper submission will generally not be accepted.

**【Outline (in English)】**

The purpose English 3 is to further develop student's English proficiency in this course and to provide participants with an active approach to increasing their speaking, listening, reading and writing skills.

This course is for second year students with a strong desire to communicate in English in countries that support English as a native or foreign language.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：メディアを通して見る現代アメリカの文化と社会

余田 剛

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CBS で配信されたニュースを素材として扱ったテキストを主教材とし、アメリカを主とした現代の様々な諸問題を扱いながら、英語の情報を的確に理解・分析し、問題点を考察した上で自らの意見を発信する力を身に付けることを目指し、インプットとアウトプットのバランスを取りながら英語の総合的な語学の学習をすることをテーマとする。

【到達目標】

1) 英語の運用能力

English 1 と English2 で学んだことをベースとして、英語の 4 技能をさらに向上させる。

2) 文化理解

ホームレスの支援策、ワクチン配布の世界的不平等、ビジネスと学校教育のつながり方などに関する、現代社会の様々な問題について見聞を広め、独自の分析ができる。

3) 分からないことを調べる姿勢

さらなる語学力獲得と文化理解につなげるために、自分の分からないことがあれば謙虚に、意欲的に、辞書や辞典や本やインターネットなどを調べながら、自力で情報を理解しようとする姿勢を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストは、各 Unit がニュースのスク립トと内容把握を目的とした問題から成っている。スク립トは、ある程度のまとまりで一人ずつあてて基本的には逐語訳をしてもらい、確認が必要な場合はこちらから質問をし、問題もあてて答えてもらう形式で進めていく。その為受講者は各授業で進む全ての範囲を予習しておく必要がある。内容理解の後、英文のある箇所を別の易しい英文に言い換える作業も行う。また、テキストで扱ったテーマに基づいて、プレゼンテーションを行う。さらに、テキストには欠けている政治問題について扱った記事等を準備し、演習を行う予定である。

予習を課題とし、問題や訳し方の解答や解説をフィードバックとして口頭で示す。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の概要を説明
2	テキスト Unit3 前半	リスニング、リーディング
3	テキスト Unit3 後半	リーディング、ライティング
4	テキスト Unit6 前半	リスニング、リーディング
5	テキスト Unit6 後半	リーディング、ライティング
6	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
7	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ1）
8	テキスト Unit8 前半	リスニング、リーディング
9	テキスト Unit8 後半	リーディング、ライティング
10	テキスト Unit9 前半	リスニング、リーディング

11	テキスト Unit9 後半	リーディング、ライティング
12	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
13	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ2）
14	試験	授業で扱った内容を範囲とした授業内試験あるいはレポート・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。授業前に必ずテキストの予習をしてください。テキスト中のスク립トは、Web 動画を各自で観て穴埋めをして完成させたいうえで、分からない単語などを調べてしっかり読み、また、問題は、あらかじめ指定された箇所を解いてくること。

【テキスト（教科書）】

CBS NewsBreak 6, Nobuhiro Kumai 他著, (成美堂, 2023 年), ¥2,600 + tax

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

期末試験（あるいはレポート）の成績（40%）、プレゼンテーション（20%）、授業参加度（40%）とから総合的に評価する。欠席が 4 回に達した者は単位取得の資格を失う。遅刻は 3 回に達するごとに 1 回の欠席とカウントする。また、授業開始のチャイムから 30 分以降の遅刻は欠席と見なす。

【学生の意見等からの気づき】

授業外学習の時間を少しでも増やしてもらえよう、復習や予習についてより具体的に働きかけるよう心がけます。

【Outline (in English)】

・ This course aims to improve students' four core English language skills – reading, writing, listening, and speaking – using a textbook made up of news stories drawn from CBS News shows that feature various current topics, especially in the US. Students will develop their abilities to accurately understand the information, think critically about the important current issues, and effectively express their ideas. The goals of this course are also to help students cultivate their understanding of various aspects of the world and acquire the habit of showing a diligent attitude toward more complex written or spoken information while trying to deal with what seems difficult for them to understand by referring to dictionaries or other necessary sources.

・ Before each class meeting, students will be expected to have watched the relevant news, read its transcript, and answered the questions in the textbook. Required study time is at least one hour for each class meeting.

・ Final grade will be decided based on term-end examination (40%), presentation (20%), and in-class contribution (40%). In principle, four and more absences will not be permitted per semester to receive academic credit for the course. Students 30 minutes or more late will be considered absent. If they will come late three times, they will be considered absent one time.

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：メディアを通して見る現代アメリカの文化と社会

余田 剛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CBS で配信されたニュースを素材として扱ったテキストを主教材とし、アメリカを主とした現代の様々な諸問題を扱いながら、英語の情報を的確に理解・分析し、問題点を考察した上で自らの意見を発信する力を身に付けることを目指し、インプットとアウトプットのバランスを取りながら英語の総合的な語学の学習をすることをテーマとする。

## 【到達目標】

1) 英語の運用能力

English 1 と English2 で学んだことをベースとして、英語の 4 技能をさらに向上させる。

2) 文化理解

コロナ禍における教育や連帯感や就職活動の在り方、ユニークな日本の自動販売機などに関する、現代社会の様々な問題について見聞を広め、独自の分析ができる。

3) 分からないことを調べる姿勢

さらなる語学力獲得と文化理解につなげるために、自分の分からないことがあれば謙虚に、意欲的に、辞書や辞典や本やインターネットなどを調べながら、自力で情報を理解しようとする姿勢を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

テキストは、各 Unit がニュースのスク립トと内容把握を目的とした問題から成っている。スク립トは、ある程度のまとまりで一人ずつあてて基本的には逐語訳をしてもらい、確認が必要な場合はこちらから質問をし、問題もあてて答えてもらう形式で進めていく。その為受講者は各授業で進む全ての範囲を予習しておく必要がある。内容理解の後、英文のある箇所を別の易しい英文に言い換える作業も行う。また、テキストで扱ったテーマに基づいて、プレゼンテーションを行う。さらに、テキストには欠けている政治問題について扱った記事等を準備し、演習を行う予定である。

予習を課題とし、問題や訳し方の解答や解説をフィードバックとして口頭で示す。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の概要を説明
2	テキスト Unit10 前半	リスニング、リーディング
3	テキスト Unit10 後半	リーディング、ライティング
4	テキスト Unit12 前半	リスニング、リーディング
5	テキスト Unit12 後半	リーディング、ライティング
6	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
7	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ1）
8	テキスト Unit13 前半	リスニング、リーディング
9	テキスト Unit13 後半	リーディング、ライティング
10	テキスト Unit14 前半	リスニング、リーディング

11	テキスト Unit14 後半	リーディング、ライティング
12	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
13	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ2）
14	試験	授業で扱った内容を範囲とした授業内試験あるいはレポート・まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。授業前に必ずテキストの予習をしてください。テキスト中のスク립トは、Web 動画を各自で観て穴埋めをして完成させたいうえで、分からない単語などを調べてしっかり読み、また、問題は、あらかじめ指定された箇所を解いてくること。

## 【テキスト（教科書）】

CBS NewsBreak 6, Nobuhiro Kumai 他著, (成美堂, 2023 年), ¥2,600 + tax

## 【参考書】

なし

## 【成績評価の方法と基準】

期末試験（あるいはレポート）の成績（40%）、プレゼンテーション（20%）、授業参加度（40%）とから総合的に評価する。欠席が 4 回に達した者は単位取得の資格を失う。遅刻は 3 回に達するごとに 1 回の欠席とカウントする。また、授業開始のチャイムから 30 分以降の遅刻は欠席と見なす。

## 【学生の意見等からの気づき】

授業外学習の時間を少しでも増やしてもらえよう、復習や予習についてより具体的に働きかけるよう心がけます。

## 【Outline (in English)】

・ This course aims to improve students' four core English language skills – reading, writing, listening, and speaking – using a textbook made up of news stories drawn from CBS News shows that feature various current topics, especially in the US. Students will develop their abilities to accurately understand the information, think critically about the important current issues, and effectively express their ideas. The goals of this course are also to help students cultivate their understanding of various aspects of the world and acquire the habit of showing a diligent attitude toward more complex written or spoken information while trying to deal with what seems difficult for them to understand by referring to dictionaries or other necessary sources.

・ Before each class meeting, students will be expected to have watched the relevant news, read its transcript, and answered the questions in the textbook. Required study time is at least one hour for each class meeting.

・ Final grade will be decided based on term-end examination (40%), presentation (20%), and in-class contribution (40%). In principle, four and more absences will not be permitted per semester to receive academic credit for the course. Students 30 minutes or more late will be considered absent. If they will come late three times, they will be considered absent one time.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：TED TALKS で知る現代社会:英語四技能を学ぶ

金谷 優子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

**【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】**

本授業では、TED TALKS のプレゼンテーションで練り広げられた種々の独創的なアイデアに触れつつ、英語の 4 技能：読み、聴き、話し、書く-を総合的に身につけることを目標とします。グローバル化によって、ヒトやモノがますます流動的になっていくなか、世界中で様々な人々が独自の視点で現代社会を捉えて、自らの置かれた社会、そして人生と取り組んでいることを知ることは非常に重要です。本授業では、TED TALKS の英語のプレゼンテーションを聞き、理解を試みることによって英語コミュニケーションについての基本的な事柄の習得を目指す一方で、それぞれのプレゼンテーションの論理の組み立て方、独創性、着眼点について確認しつつ、受講者自らが現代社会について自分なりの考察を進めてゆくことを促します。

**【到達目標】**

- ・まとまった長さの英文の論理展開を正確に把握すること
- ・複雑な構文や語句を理解すること
- ・英文パラグラフの構造を読解を通じて学び、その知識を生かして、みずから論理的な文章が書けるようになること
- ・英語の音声を聴いて、必要な情報を得ること
- ・さまざまな意見を英語で理解し、それに対する自分の考えを英語で表現すること
- ・沢山の人の独自の考えを聞いて、世界のありようについて自分なりの見解を持つようになること

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

[授業は Zoom にて行われます。また、毎回の授業についての詳細は Hoppii に掲示しますので、必ず確認して Zoom 授業に参加して下さい。]

各トピックについてそれぞれを 3 部構成とします。第 1 部では、扱われたトピックについての基礎知識、読解についての重要な技術 (Reading Skills) について学びます。第 2 部では、実際に TED TALK の発表を聴き、またその script を読んで、プレゼンテーションの概要や詳しい内容についての理解がなされたかを確認します。また、第 3 部では、学習事項の確認テストを行い、各トピックについて更にリサーチを進め、TED での発表に関する自分の考えを英語で表現します。受講者は第 1 部から第 3 部を通しての学習事項をチェックシートに書き、トピック毎に提出し、フィードバックを受けます。

[第一部]

- 第 2 週 Topic: Interdisciplinary
- 第 5 週 Topic: Business/ Leadership
- 第 8 週 Topic: Life Science
- 第 11 週 Topic: Sociology/ Fashion

[第二部]

第 3 週： TED TALK by Matt Cutts : Try Something New for 30 days  
[https://www.ted.com/talks/matt\\_cutts\\_try\\_something\\_new\\_for\\_30\\_days?language=ja](https://www.ted.com/talks/matt_cutts_try_something_new_for_30_days?language=ja)

第 6 週： TED TALK by Tom Wujec : Build a Tower  
[https://www.ted.com/talks/tom\\_wujec\\_build\\_a\\_tower?language=ja](https://www.ted.com/talks/tom_wujec_build_a_tower?language=ja)

第 9 週： TED TALK by David Gallo: Underwater Astonishments  
[https://www.ted.com/talks/david\\_gallo\\_shows\\_underwater\\_astonishments/transcript](https://www.ted.com/talks/david_gallo_shows_underwater_astonishments/transcript)

第 12 週： TED TALK by Jessi Arrington : Wearing Nothing New  
[https://www.ted.com/talks/jessi\\_arrington\\_wearing\\_nothing\\_new?language=ja](https://www.ted.com/talks/jessi_arrington_wearing_nothing_new?language=ja)

[第三部]：各 Unit テストと自己表現 第 4,7,10,13 週

**【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施]**  
あり / Yes

**【フィールドワーク (学外での実習等) の実施]**  
なし / No

**【授業計画】** 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第一週	Introduction	What is TED?
第二週	Unit 1: Life Changes	Topic:Interdisciplinary Reading Skills: Understanding sequence words,... etc.
第 3 週	Unit 1: Life Changes	TED TALK by Matt Cutts Academic Skills: Understanding main ideas,...etc.
第 4 週	Review Unit 1	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第 5 週	Unit 2: Team Power	Topic:Business Leadership Reading Skills: Identifying main ideas in paragraphs,...etc.
第 6 週	Unit 2: Team Power	TED TALK by Tom Wujec Academic Skills: Understanding stages in a process, ...ets.
第 7 週	Review Unit 2	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第 8 週	Unit 3: Ocean Wonders	Topic: Life Science Reading Skills: Identifying purpose/ referents
第 9 週	Unit 3: Ocean Wonders	TED TALK by David Gallo Academic Skills:Understanding main ideas and key details,... etc.
第 10 週	Review Unit 3	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第 11 週	Unit 4: What We Wear	Topic:Sociology/ Fashion Reading Skills: Making connections/ Understanding a process

第 12 週	Unit 4: What We Wear	TED TALK by Jessi Arrington Academic Skills: Recognizing point of view
第 13 週	Review Unit 4	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第 14 週	期末テスト	期末テスト

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

準備学習：学生は、各 Unit で扱う TED Talk をインターネット上で聞き、また、テキスト巻末のスクリプトを参照し、理解しにくかった語彙、表現、文章などを特定し、**checksheet** に記入しておく。

復習：**checksheet** に記入した事項を習得することができたか、確認する。

宿題：授業で扱った TED Talk 関連で、適宜、授業時に示される課題を提出する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

**【テキスト（教科書）】**

TED TALKS 21st Century Reading 1 (Cengage Learning), ISBN 978-1-305-26459-5

その他、プリント配布

**【参考書】**

<https://www.ted.com/>

**【成績評価の方法と基準】**

評価基準：授業参加度（授業内での発言および **checksheet** の提出）40 %、小テスト 30 %、期末テスト 30 %

4 回以上の欠席で単位取得資格は失われます。3 回遅刻あるいは早退すると、1 回欠席としてカウントされます。30 分以上の遅刻は欠席とみなされます。また、Zoom の授業に参加せずに課題のみの提出は出席と認められません。

**【学生の意見等からの気づき】**

英語を用いる場をなるべく多く設けます。

**【学生が準備すべき機器他】**

この授業は Zoom で行われますので、大学の教室で受講の際には、パソコン等の端末及びマイク付きのヘッドセットが必要です。

**【Outline (in English)】**

This online English course is designed to increase the student's ability to develop their overall English Language skills while learning about specific topics of TED Talks. Students are expected to improve their reading/listening skills as well as to broaden their understanding of current issues.

**[Overall Objectives]**

To help students

- increase vocabulary
- improve their reading/listening comprehension skills
- understand speeches without translating into Japanese
- identify main ideas
- clarify the structure of a speech
- develop global and cross-cultural awareness
- develop creative and critical thinking skills
- effectively express their opinions on current issues

**[Learning activities outside of classroom]**

Students are expected to participate in the class fully prepared, having completed the vocabulary preview, listening, reading or writing tasks assigned the previous week.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

**[Grading Criteria /Policy]**

Grading criteria for this course will be based on the following:  
Class participation: 40% (Zoom meeting activities + Unit quizzes) / assignment : 30 % / Final test: 30%

Every week students are required to attend the zoom session and submit an assignment to Hoppii. Just submitting the assignment (without participating in the Zoom session) will be counted as absence.



LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：TED TALKS で知る現代社会:英語四技能を学ぶ

金谷 優子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期同様に本授業では、TED TALKS のプレゼンテーションで繰り広げられた種々の独創的なアイデアに触れつつ、英語の 4 技能：読み、聴き、話し、書くを総合的に身につけることを目標とします。グローバル化によって、ヒトやモノがますます流動的になっていくなか、世界中で様々な人々が独自の視点で現代社会を捉えて、自らの置かれた社会、そして人生と取り組んでいることを知ることは非常に重要です。本授業では、TED TALKS の英語のプレゼンテーションを聞き、理解を試みることによって英語コミュニケーションについての基本的な事柄の習得を目指す一方で、それぞれのプレゼンテーションの論理の組み立て方、独創性、着眼点について確認しつつ、受講者自らが現代社会について自分なりの考察を進めてゆくことを促します。

## 【到達目標】

- ・まとまった長さの英文の論理展開を正確に把握すること
- ・複雑な構文や語句を理解すること
- ・英文パラグラフの構造を読解を通じて学び、その知識を生かして、みずから論理的な文章が書けるようになること
- ・英語の音声を聴いて、必要な情報を得ること
- ・さまざまな意見を英語で理解し、それに対する自分の考えを英語で表現すること
- ・沢山の人の独自の考えを聞いて、世界のありようについて自分なりの見解を持つようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

[授業は Zoom にて行われます。また、毎回の授業についての詳細は Hoppii に掲示しますので、必ず確認して Zoom 授業に参加して下さい。]

各トピックについてそれぞれを 3 部構成とします。第 1 部では、扱われたトピックについての基礎知識、読解についての重要な技術 (Reading Skills) について学びます。第 2 部では、実際に TED TALK の発表を聴き、またその script を読んで、プレゼンテーションの概要や詳しい内容についての理解がなされたかを確認します。また、第 3 部では、学習事項の確認テストを行い、各トピックについて更にリサーチを進め、TED での発表に関する自分の考えを英語で表現します。受講者は第 1 部から第 3 部を通しての学習事項をチェックシートに書き、トピック毎に提出し、フィードバックを受けます。

[第一部] 第 2 週 Topic: Architecture and Design 第 5 週 Topic: Conservation/ Engineering 第 8 週 Topic: Visual Arts/ Sociology

[第二部] 第 3 週: TED TALK by Iwan Baan : Ingenious Homes in Un- expected Places [https://www.ted.com/talks/iwan\\_baan\\_ingenious\\_homes\\_in\\_unexpected\\_places?language=ja](https://www.ted.com/talks/iwan_baan_ingenious_homes_in_unexpected_places?language=ja) 第 6 週: TED TALK by Kevin Allocca: Why Videos Go Viral [https://www.ted.com/talks/kevin\\_allocca\\_why\\_videos\\_go\\_viral?language=ja](https://www.ted.com/talks/kevin_allocca_why_videos_go_viral?language=ja) 第 9 週: TED TALK by Candy Chang: Before I die, I want to ... [https://www.ted.com/talks/candy\\_chang\\_before\\_i\\_die\\_i\\_want\\_to?language=ja](https://www.ted.com/talks/candy_chang_before_i_die_i_want_to?language=ja)

[第三部]: 各 Unit テストと自己表現 第 4,7,10,11,12,13 週

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 週	Introduction	授業進行、テキスト、評価方法についての説明
第 2 週	Unit6: Building Solutions	Topic:Architecture and Design Reading Skills: Organizing supporting details,... etc.
第 3 週	Unit6: Building Solutions	TED TALK by Iwan Baan Academic Skills: Understanding main ideas,summarizing ideas using a concept map,...etc.
第 4 週	Unit6: Review	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第 5 週	Unit 7: Roads to Fame	Topic:Communication/ Sociology Reading Skills: Scanning for numbers,...etc.
第 6 週	Unit 7: Roads to Fame	TED TALK by Kevin Allocca
第 7 週	Unit 7: Review	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第 8 週	Unit 9: Community Voices	Topic:Visual Arts / Sociology Reading Skills: Understanding a paragraph's purpose
第 9 週	Unit 9: Community Voices	TED TALK by Candy Chang Academic Skills: Understanding main ideas and key details/making predictions,...etc.
第 10 週	Unit 9: REview	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第 11 週	Your favorite TED talk	Finding your own favorite TED talk
第 12 週	Your favorite TED talk	The Summary of the talk
第 13 週	Your favorite TED talk	Your own idea on the talk
第 14 週	期末テスト	Final test

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習：学生は、各 Unit で扱う TED Talk をインターネット上で聞き、また、テキスト巻末のスクリプトを参照し、理解しにくかった語彙、表現、文章などを特定し、checksheet に記入しておく。復習：checksheet に記入した事項を習得することができたか、確認する。

宿題：授業で扱った TED Talk 関連で、適宜、授業時に示される課題を提出する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

TED TALKS 21st Century Reading 1 (Cengage Learning), ISBN 978-1-305-26459-5

その他、参考資料配布

## 【参考書】

<https://www.ted.com/>

**【成績評価の方法と基準】**

授業参加度（授業内での発言および **checksheet** の提出）40 %、小テスト 30 %、期末テスト 30 %

4 回以上の欠席で単位取得資格は失われます。3 回遅刻あるいは早退すると、1 回欠席としてカウントされます。30 分以上の遅刻は欠席とみなされます。また、Zoom の授業に参加せずに課題のみの提出は出席と認められません。

**【学生の意見等からの気づき】**

英語を用いる場をなるべく多く持ちます。

**【学生が準備すべき機器他】**

この授業は Zoom で行われますので、大学の教室で受講の際には、パソコン等の端末及びマイク付きのヘッドセットが必要です。

**【Outline (in English)】**

This online English course is designed to increase the students' ability to develop their overall English Language skills while learning about specific topics of TED Talks. Students are expected to improve their reading/listening skills as well as to broaden their understanding of current issues.

**【Overall Objectives】**

To help students

- ・ increase vocabulary
- ・ improve their reading/listening comprehension skills
- ・ understand speeches without translating into Japanese
- ・ identify main ideas
- ・ clarify the structure of a speech
- ・ develop global and cross-cultural awareness
- ・ develop creative and critical thinking skills
- ・ effectively express their opinions on current issues

**【Learning activities outside of classroom】**

Students are expected to participate in the class fully prepared, having completed the vocabulary preview, listening, reading or writing tasks assigned the previous week.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

**【Grading Criteria /Policy】**

Grading criteria for this course will be based on the following:  
Class participation: 40% (Zoom meeting activities + Unit quizzes) / assignment : 30 % / Final test: 30%

Every week students are required to attend the zoom session and submit an assignment to Hoppii. Just submitting the assignment (without participating in the Zoom session) will be counted as absence.

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：イギリスの歴史と伝統

田口 清一

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

English3 では、English1 と English2 で身に付けた英語の 4 技能（読む・書く・聞く・話す）を更に深めることを目的とする、また、この 4 技能を有機的に関連させながら、知的内容を英語で理解し、英語で発信する能力を高めていく。

**【到達目標】**

- \* 知的内容を持った英文を文法的に正確に読解できるようにする。
- \* 英文の内容について常に批判的に読む習慣を身に付ける。
- \* 日々の英語学習においてリスニングを習慣化し、英語の耳を養う。
- \* 文法的に正確できちんとした英語の体を成すセンテンスとパラグラフが書けるようになる。
- \* 知的内容を持った意見を英語で発表できるようにする。
- \* 英語の根本的論理を理解し、「日本語モード」ではなく「英語モード」で英語を捉えられるようにする。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

授業はオンラインにて行う。各 Chapter において、本文の読解、リスニング、ライティング（センテンス・レヴェル）、スピーキングはテキストに沿って行ない、ライティング（補充問題とパラグラフ・レヴェル）に関しては別途課題を提示する。読解に関しては、語彙・文法・背景知識（一般教養）が三位一体となった精読を行い、テーマであるイギリスの歴史や文化に対する認識を深めていく。4 技能全てにおいて、無味乾燥な「暗記語学」ではなく、「知的に考える語学」というものを実践する。

課題の提示と提出は「学習支援システム」を通して行い、毎回の課題に対する次回の授業での解説によってフィードバックを行う。最終回には春学期全体の講評も行う。

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**  
なし/No

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**  
なし/No

**【授業計画】 授業形態：オンライン/online**

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	年間の授業についての説明
第 2 回	英語の論理と考え方	名詞を中心とした論理（可算と不可算）
第 3 回	英語の論理と考え方	名詞を中心とした論理（冠詞と限定詞）
第 4 回	Chapter1(ケルト時代のイギリス)①	読解、リスニング、スピーキング
第 5 回	Chapter1(ケルト時代のイギリス)②	読解、リスニング、スピーキング
第 6 回	Chapter1(ケルト時代のイギリス)③ Chapter2(ローマ時代のイギリス)①	ライティング 読解、リスニング、スピーキング
第 7 回	Chapter2(ローマ時代のイギリス)②	読解、リスニング、スピーキング

第 8 回	Chapter2(ローマ時代のイギリス)③	リスニング、ライティング
第 9 回	Chapter3(アングロ・サクソン時代のイギリス)①	読解、リスニング、スピーキング
第 10 回	Chapter3(アングロ・サクソン時代のイギリス)②	読解、リスニング、スピーキング
第 11 回	Chapter3(アングロ・サクソン時代イギリス)③ Chapter4(ノルマン人による征服)①	ライティング 読解、リスニング、スピーキング
第 12 回	Chapter4(ノルマン人による征服)②	読解、リスニング、スピーキング
第 13 回	chapter4(ノルマン人による征服)③	リスニング、ライティング
第 14 回	学期末の課題 学期末の講評	パラグラフレヴェルのライティング 学期末の講評 春学期の課題の総評とまとめ

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

各回の課題に対して、しっかりした予習・復習が必須である。本文演習においては、リスニングを行った後に必ず英文を数回音読した上で精読すること。その際に辞書を調べる場合には用例も含めて必ずその項目を全て読むこと。また、文法・構文的にあやふやな場合には必ず文法書を調べる。問題演習（ライティング）においては必ず自分の解答を用意して臨み、授業の解説で自ら添削すること。各回の授業のポイントは必ず次回までに復習しておくこと。尚、予習・復習に必要な時間は個人差があると思われるが、合わせて最低でも 1 時間は割くことが必須である。

**【テキスト（教科書）】**

Facets of Britain(珠玉の英国) 朝日出版社

**【参考書】**

特に指定はしないが、必ず文法書（体系的にある程度詳しく記述されたもの）を最低一冊は備え、予習・復習の際や自分で英文を読み書きする際には、辞書だけではなく必ず文法書も参照することが重要である。

**【成績評価の方法と基準】**

オンライン授業となるので、「平常点」のみで評価する。具体的には、毎回の課題提出 40 %、その出来 60 % で評価する。課題に取り組む際に、【到達目標】に掲げた項目をどの程度意識して行っているかを重視する。

尚、課題提出が出席に相当するので、原則として未提出の課題が 4 回以上ある場合は、単位修得の資格を失うものとする。

**【学生の意見等からの気づき】**

英語の背景として重要なイギリスの歴史や文化に関する知識が身に付けられて良かったという意見があったので、今年度も広い観点からの英語力を高められるような授業にしたい。

**【その他の重要事項】**

年間を通してのレヴェル・アップを目指すので、春学期・秋学期を通しての履修を原則とする。

**【Outline (in English)】**

**[Course Outline]**

The main purpose of English3 is to improve the four skills of reading, writing, listening and speaking in English acquired in English1 and English2. Furthermore, with these four skills connected organically, the ability to understand and express intellectual content in English will be cultivated.

**[Learning Objectives]**

The final objective of this course is to understand English in the English modes of thinking, not in the Japanese ones.

**[Learning Activities Outside of Classroom]**

Students will be expected to spend at least an hour in preparing for and reviewing each class.

**[Grading Criteria]**

Each student's final grade will be decided, based on his or her submissions of the required assignments(40%) and their results(60%).

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：イギリスの歴史と伝統

田口 清一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English3 では、English1 と English2 で身に付けた英語の 4 技能（読む・書く・聞く・話す）を更に深めることを目的とする。また、この 4 技能を有機的に関連させながら、知的内容を英語で理解し、英語で発信する能力を高めていく。

## 【到達目標】

- \* 知的内容を持った英文を文法的に正確に読解できるようにする。
- \* 英文の内容について常に批判的に読む習慣を身に付ける。
- \* 日々の英語学習においてリスニングを習慣化し、英語の耳を養う。
- \* 文法的に正確できちんとした英語の体を成すセンテンスとパラグラフが書けるようになる。
- \* 知的内容を持った意見を英語で発表できるようにする。
- \* 英語の根本的論理を理解し、「日本語モード」ではなく「英語モード」で英語を捉えられるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業はオンラインにて行う。各 Chapter において、本文の読解、リスニング、ライティング（センテンス・レヴェル）、スピーキングはテキストに沿って行い、ライティング（補充問題とパラグラフ・レヴェル）は別途課題を提示する。読解に関しては、語彙・文法・背景知識（一般教養）が三位一体となった精読を行い、テーマであるイギリスの歴史や文化に対する認識を深めていく。4 技能全てにおいて、無味乾燥な「暗記語学」ではなく、「知的に考える語学」というものを実践する。

課題の提示と提出は「学習支援システム」を通して行い、毎回の課題に対する次回の授業での解説によりフィードバックを行う。最終回には年間を通しての総評も行う。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 回	日本語と英語の相違	文圧縮（名詞構文）
第 2 回	日本語と英語の相違	人称代名詞
第 3 回	Chapter5(中世のイギリス)①	読解、リスニング、スピーキング
第 4 回	Chapter5(中世のイギリス)②	読解、リスニング、スピーキング
第 5 回	Chapter5(中世のイギリス)③	ライティング 読解、リスニング、スピーキング
	Chapter6(キリスト教の到来)①	
第 6 回	Chapter6(キリスト教の到来)②	読解、リスニング、スピーキング
第 7 回	Chapter6(キリスト教の到来)③	リスニング、ライティング
第 8 回	Chapter7(教会・国家・修道院の解体)①	読解、リスニング、スピーキング

第 9 回	Chapter7(教会・国家・修道院の解体)②	読解、リスニング、スピーキング
第 10 回	Chapter7(教会・国家・修道院の解体)③	読解、リスニング、スピーキング
	Chapter8(産業革命)①	
第 11 回	Chapter8(産業革命)②	読解、リスニング、スピーキング
第 12 回	Chapter8(産業革命)③	リスニング、ライティング
第 13 回	年間の仕上げ	Writing an Essay
第 14 回	今年度の総括	年間の課題に対する総評とまとめ

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各回の課題に対して、しっかりした予習・復習が必須である。本文読解においては、リスニングを行った後に必ず英文を数回音読した上で精読すること。その際に辞書を調べる場合には用例も含めて必ずその項目を全て読むこと。また、文法・構文的にあやふやな場合には必ず文法書を調べる。問題演習（ライティング）においては必ず自分の解答を用意して臨み、授業の解説で自ら添削すること。各回の授業のポイントは必ず次回までに復習しておくこと。尚、予習・復習に必要な時間は個人差があると思われるが、合わせて最低でも 1 時間は割くことが必須である。

## 【テキスト（教科書）】

Facets of Britain(珠玉の英国) 朝日出版社

## 【参考書】

特に指定はしないが、必ず文法書（体系的にある程度詳しく記述されたもの）を一冊は備え、予習・復習の際や自分で英文を読み書きする際には、辞書だけではなく必ず文法書も参照することが重要である。

## 【成績評価の方法と基準】

オンライン授業となるので、「平常点」のみで評価する。具体的には、毎回の課題提出 40 %、その出来 60 % で評価する。課題に取り組む際に、【到達目標】に掲げた項目をどの程度意識して行っているかを重視する。秋学期は春学期からの習熟度も考慮に入れる。

尚、課題提出が出席に相当するので、原則として未提出の課題が 4 回以上ある場合は、単位修得の資格を失うものとする。

## 【学生の意見等からの気づき】

英語の背景として重要なイギリスの歴史や文化に関する知識が身に付けられて良かったという意見があったので、今年度も幅広い観点から英語力を高められるような授業にしたい。

## 【その他の重要事項】

年間を通してのレヴェル・アップを目指すので、春学期・秋学期を通しての履修を原則とする。

## 【Outline (in English)】

## 【Course Outline】

The main purpose of English3 is to improve the four skills of reading, writing, listening and speaking in English acquired in English1 and English2. Furthermore, with these four skills connected organically, the ability to understand and express intellectual content in English will be cultivated.

## 【Learning Objectives】

The final objective of this course is to understand English in the English modes of thinking, not in the Japanese ones.

## 【Learning Activities Outside of Classroom】

Students will be expected to spend at least an hour in preparing for and reviewing each class.

## 【Grading Criteria】

Each student's final grade will be decided, based on his or her submissions of the required assignments(40%) and their results(60%).

LANe200LA	
English 3 I	2017 年度以降入学者
サブタイトル：英語圏の映画と社会	
川野 芽生	
開講時期：春学期授業/Spring   曜日・時限：金 5/Fri.5	
単位数：1 単位	
中級/日本語	
その他属性：	

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

現代社会の諸問題を扱った映画を鑑賞することを通して、英語圏の社会と文化について学ぶ。英語を使って社会問題と文化・芸術に触れ、教養と思考力を養う。社会の多様性を理解し、自分の意見を持つことができるようになる。英語で自分の考えを表現することができるようになる。英語の四技能を伸ばし、英語で情報を取り入れるとともにみずから発信できるようになる。

**【到達目標】**

- ・複数のパラグラフからなる文章を正確に読み取ることができるようになる。
- ・英文を聞き取り、意味を掴むことができるようになる。
- ・語彙力を高める。
- ・芸術・文化や社会問題に対する理解を深める。
- ・英語で自分の考えを表現することができるようになる。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

2～3回の授業で1unitを扱う。1回目では、映画に関する説明文のリスニングとリーディングを行い、映画の一部を解説とともに視聴する。2回目では、映画の続きを解説とともに視聴する。3回目では、テキストの内容をもとにしたライティング問題を事前に解いてきてもらい、それを題材としてディスカッションを行う。1 Unitごとにリアクションペーパーを提出してもらう。リアクションペーパーの提出・フィードバックは、Google フォームを通して行う。最終的に、授業で扱った映画のうち好きなものを選び、英語でエッセイを書いて提出する。

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**  
あり/Yes

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**  
なし/No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 1	『スリー・ビルボード』テキストのリーディングとリスニング
2	Unit 1	『スリー・ビルボード』映画鑑賞と解説
3	Unit 1	『スリー・ビルボード』解説とディスカッション
4	Unit 2	『ムーンライト』テキストのリーディング・リスニング
5	Unit 2	『ムーンライト』映画鑑賞と解説
6	Unit 2	『ムーンライト』解説とディスカッション
7	Unit 3	『ドリーム』テキストのリーディングとリスニング
8	Unit 3	『ドリーム』映画鑑賞と解説
9	Unit 3	『ドリーム』解説とディスカッション
10	Unit 4	『それでも夜は明ける』テキストのリーディングとリスニング

11	Unit 4	『それでも夜は明ける』映画鑑賞と解説
12	Unit 4	『それでも夜は明ける』解説とディスカッション
13	Unit 8	『マダム・イン・ニューヨーク』テキストのリーディングとリスニング、映画鑑賞
14	Unit 8	『マダム・イン・ニューヨーク』解説とディスカッション

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。事前にその回で扱うUnitのReadingの文章を、辞書を引き、文法を調べて読んでおくこと。ノートに日本語訳を用意し、授業中に淀みなく答えられるように準備しておくこと。わからない点は、辞書や文法書を調べた上で、なおわからないことは質問できるように用意しておくこと。ディスカッションの回までに、Unitのライティング問題に取り組むこと。

**【テキスト（教科書）】**

Joseph Tabolt, 森永弘司/Our Society, Our Diversity, Our Movies (映画に観る多文化社会のかたち) 金星堂、2020年、1900円

**【参考書】**

なし

**【成績評価の方法と基準】**

平常点 10 %  
リアクションペーパー 10 %  
最終レポート 80 %

4回以上欠席した者は原則として単位修得の資格を失う。

**【学生の意見等からの気づき】**

学生が発言しやすい雰囲気を心がける。

**【Outline (in English)】**

In this course students will learn about cultures and societies in English-speaking countries through watching movies dealing with various social problems.

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- Read essays consisting of several paragraphs and comprehend what they say.
- Improve listening comprehension.
- Enrich your vocabulary.
- Learn about art, culture and social problems.
- Express your opinions in English.

Before each class meeting, students will be expected to have read the reading passage and do the exercises of the relevant chapter from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grade will be calculated according to the following process: reaction paper (10%), term-end report (80%), and in-class contribution (10%).

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：英語圏の映画と社会

川野 芽生

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会の諸問題を扱った映画を鑑賞することを通して、英語圏の社会と文化について学ぶ。英語を使って社会問題と文化・芸術に触れ、教養と思考力を養う。社会の多様性を理解し、自分の意見を持つことができるようになる。英語で自分の考えを表現することができるようになる。英語の四技能を伸ばし、英語で情報を取り入れるとともにみずから発信できるようになる。

## 【到達目標】

- ・複数のパラグラフからなる文章を正確に読み取ることができるようになる。
- ・英文を聞き取り、意味を掴むことができるようになる。
- ・語彙力を高める。
- ・芸術・文化や社会問題に対する理解を深める。
- ・英語で自分の考えを表現することができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

2～3回の授業で1unitを扱う。1回目では、映画に関する説明文のリスニングとリーディングを行い、映画の一部を解説とともに視聴する。2回目では、映画の続きを解説とともに視聴する。3回目では、テキストの内容をもとにしたライティング問題を事前に解いてきてもらい、それを題材としてディスカッションを行う。1 Unitごとリアクションペーパーを提出してもらう。

リアクションペーパーの提出・フィードバックは、Google フォームを通して行う。

最終的に、授業で扱った映画のうち好きなものを選び、英語でエッセイを書いて提出する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 7	『扉をたたく人』テキストのリーディングとリスニング
2	Unit 7	『扉をたたく人』映画鑑賞と解説
3	Unit 7	『扉をたたく人』解説とディスカッション
4	Unit 10	『わたしは、ダニエル・ブレイク』テキストのリーディングとリスニング
5	Unit 10	『わたしは、ダニエル・ブレイク』映画鑑賞と解説
6	Unit 10	『わたしは、ダニエル・ブレイク』解説とディスカッション
7	Unit 11	『博士と彼女のセオリー』テキストのリーディングとリスニング
8	Unit 11	『博士と彼女のセオリー』映画鑑賞と解説
9	Unit 11	『博士と彼女のセオリー』解説とディスカッション

10	Unit 12	『ガラス・パイヤーズ・クラブ』テキストのリーディングとリスニング、映画鑑賞
11	Unit 12	『ガラス・パイヤーズ・クラブ』解説とディスカッション
12	Unit 15	『シンドラのリスト』テキストのリーディングとリスニング
13	Unit 15	『シンドラのリスト』映画鑑賞と解説
14	Unit 15	『シンドラのリスト』解説とディスカッション

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。事前にその回で扱う Unit の Reading の文章を、辞書を引き、文法を調べて読んでおくこと。ノートに日本語訳を用意し、授業中に淀みなく答えられるように準備しておくこと。わからない点は、辞書や文法書を調べた上で、なおわからないことは質問できるように用意しておくこと。

ディスカッションの回までに、Unit のライティング問題に取り組むこと。

## 【テキスト（教科書）】

Joseph Tabolt, 森永弘司/Our Society, Our Diversity, Our Movies (映画に観る多文化社会のかたち) 金星堂、2020年、1900円

## 【参考書】

なし

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 10%

リアクションペーパー 10%

最終レポート 80%

4回以上欠席した者は原則として単位修得の資格を失う。

## 【学生の意見等からの気づき】

学生が発言しやすい雰囲気心がける。

## 【Outline (in English)】

In this course students will learn about cultures and societies in English-speaking countries through watching movies dealing with various social problems.

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- Read essays consisting of several paragraphs and comprehend what they say.
- Improve listening comprehension.
- Enrich your vocabulary.
- Learn about art, culture and social problems.
- Express your opinions in English.

Before each class meeting, students will be expected to have read the reading passage and do the exercises of the relevant chapter from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grade will be calculated according to the following process: reaction paper (10%), term-end report (80%), and in-class contribution (10%).

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：英語ニュースで日本を知る

折笠 真美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 3 builds on skills and knowledge learned in English 1 and English 2 and is designed to further develop students' English proficiency. This course is content-based and utilizes authentic materials to deepen the understanding of current issues surrounding Japan and the world and to critically analyze those issues from local and global perspectives. The objective of the course is to help students reinforce skills and strategies to communicate effectively in the English language through individual and group work. The course will provide students with an opportunity to (1) be exposed to varieties of English, (2) read and discuss various topics in a pair/group, (3) give presentations, and (4) develop academic writing skills. Furthermore, this course will also aim to reinforce vocabulary through class activities.

【到達目標】

By the end of the course, students will:

- (a) be able to critically analyze issues from local and global perspectives.
- (b) be able to articulate their ideas and opinions about different topics, both in speech and writing.
- (c) be able to summarize the main points of discussion.
- (d) be able to give presentations on topics of their choice.
- (e) be able to write summaries in an organized and logical manner.
- (f) learn about plagiarism and how to avoid it.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Each class will have reading, listening, oral and written activities (individual, pair and group work) as well as a short lecture on the contents of the textbook. Homework will be given regularly. Your attendance and active participation in class is essential. Feedback on class activities and assignments will be given in class.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】  
あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】  
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Overview	Introduction
2	Unit 1: Invention Needed: The Sillier the Better	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
3	Unit 2: Artisan from Abroad Protects Tradition	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
4	Unit 3: World Traveler, Starting by Accident	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing

5	Short Presentations	Presentation
6	Unit 4: International Volunteers Help Children in Need	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
7	Unit 5: Public Servant Goes Private	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
8	Unit 6: Hiroshima Hibakusha Determined to Share Story	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
9	Unit 7: Building Playgrounds in Disaster-Hit Communities	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
10	Writing News Summaries	Outline, First Draft, Feedback, Revision
11	Project (Prepare for Presentation 1)	Research and Search for Articles
12	Project (Prepare for Presentation 2)	Prepare for Slides and Scripts
13	Group Presentations	Presentation
14	Review / Final Exam	Exam

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Tatsuroh Yamazaki & Stella M. Yamazaki (2023). NHK Newline 6 - 映像で学ぶ NHK 英語ニュースが伝える日本 6. KINSEIDO. ISBN: 978-4-7647-4170-6 (¥2400 + 税)  
Additional materials used in class will be posted on Google Classroom.

【参考書】

TBA

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quizzes and Homework (30%); Presentation (25%); Final Assignments/Exam (30%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

プレゼン等のグループワークは授業内で準備時間を設けます。

【学生が準備すべき機器他】

辞書 (電子または紙媒体) を必ず持参してください。携帯電話を用いることは不可。

必要に応じて Zoom も使用する可能性があります。Zoom の授業では、マイク付きのヘッドセットを各自用意してください。

課題提出や資料閲覧は Google Classroom を使用する予定です。

【その他の重要事項】

Academic Honesty (学問的誠実性) を遵守してください。様々な不正行為 (例えば、【Plagiarism 剽窃】 - 出典元を適切に引用せず使用すること) など。防止について授業内でも説明します。

【Outline (in English)】

English 3 is content-based and aims to help students further develop their English skills required to communicate effectively in the English language. The course will provide students with an opportunity to critically look at current issues surrounding Japan and the world, share ideas and opinions through discussions and presentations, and to reinforce vocabulary through class activities. For class preparation and review, there will be required assignments including reading and vocabulary learning outside of class. Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quizzes and Homework (30%); Presentation (25%); Final Assignments/Exam (30%).

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：英語ニュースで日本を知る

折笠 真美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

中級／日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds on skills and knowledge learned in English 1 and English 2 and is designed to further develop students' English proficiency. The course is content-based and utilizes authentic materials to deepen the understanding of current issues surrounding Japan and the world and to critically analyze those issues from local and global perspectives. The objective of the course is to help students reinforce skills and strategies to communicate effectively in the English language through individual and group work. The course will provide students with an opportunity to (1) be exposed to varieties of English, (2) read and discuss various topics in a pair/group, (3) give presentations, and (4) develop academic writing skills. Furthermore, this course will also aim to reinforce vocabulary through class activities.

## 【到達目標】

By the end of the course, students will:

- be able to critically analyze issues from local and global perspectives.
- be able to articulate their ideas and opinions about different topics, both in speech and writing.
- be able to summarize the main points of discussion.
- be able to give presentations on topics of their choice.
- be able to write summaries and essays in an organized and logical manner.
- learn about plagiarism and how to avoid it.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

Each class will have reading, listening, oral and written activities (individual, pair and group work) as well as a short lecture on the contents of the textbook. Homework will be given regularly. Your attendance and active participation in class is essential. Feedback on class activities and assignments will be given in class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Overview	Introduction
2	Unit 8: Climate Change Activist Comes of Age	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
3	Unit 9: Tech for Pets Takes Off	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing

4	Unit 10: Hairdressers Given a Shot at Independence	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
5	Unit 11: Japanese Tradition Reinvented to Help Global Farming	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
6	Unit 12: Green Tea Shochu Hits the Spot with overseas Connoisseurs	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
7	Unit 13: Looking to the Future in 'Jeans Town'	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
8	Unit 14: A Recollection of Courage	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
9	Unit 15: Indoor Farms Sprouting Up in Cities	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
10	Writing Essays	Outline, First Draft, Feedback, Revision
11	Project (Prepare for Presentation 1)	Research and Search for Articles
12	Project (Prepare for Presentation 2)	Prepare for Slides and Scripts
13	Group Presentations	Presentation
14	Review / Final Exam	Exam

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

## 【テキスト（教科書）】

Tatsuroh Yamazaki & Stella M. Yamazaki (2023). NHK Newline 6 - 映像で学ぶ NHK 英語ニュースが伝える日本 6. KINSEIDO. ISBN: 978-4-7647-4170-6 (¥2400 + 税)  
Additional materials used in class will be posted on Google Classroom.

## 【参考書】

TBA

## 【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quizzes and Homework (30%); Presentation (25%); Final Assignments/Exam (30%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

## 【学生の意見等からの気づき】

プレゼン等のグループワークは授業内で準備時間を設けます。

## 【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子または紙媒体）を必ず持参してください。携帯電話を用いることは不可。

必要に応じて Zoom も使用する可能性があります。Zoom の授業では、マイク付きのヘッドセットを各自用意してください。課題提出や資料閲覧は Google Classroom を使用する予定です。

## 【その他の重要事項】

Academic Honesty (学問的誠実性) を遵守してください。

様々な不正行為（例えば、【Plagiarism 剽窃】 - 出典元を適切に引用せず使用すること）など、防止について授業内でも説明します。



**【Outline (in English)】**

English 3 is content-based and aims to help students further develop their English skills required to communicate effectively in the English language. The course will provide students with an opportunity to critically look at current issues surrounding Japan and the world, share ideas and opinions through discussions and presentations, and to reinforce vocabulary through class activities. For class preparation and review, there will be required assignments including reading and vocabulary learning outside of class. Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quizzes and Homework (30%); Presentation (25%); Final Assignments/Exam (30%).

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：アメリカ文化との比較によって日本を考察する

岩崎 博

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

中級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本あるいは日米比較を扱うエッセイ、ニュース・ストーリー、ニュース映像を教材に使い、読み、聴き、話し、書くという4技能を総合的に身につけることを目標とする。英文エッセイを読み、ニュース映像を聴くことによって読解力とリスニング能力を高める。教材の内容を理解したうえで、自分の意見を口頭で、そして文章で表現することによって、発話能力と書く技術を身につける。日本を表象する様々な情報を批判的に受容することによって、日本的なものに対する自分の立場を明らかにして自らの考えを発信できるようにしたい。

## 【到達目標】

基本的な英語ニュース・ストーリーが聴き取れるようになる。  
英語らしい発音ができるようになる。  
パラグラフ・リーディングができるようになる。  
自分の考えを英語で口頭で表現できるようになる。  
4パラグラフからなるエッセイを作成し、自分の考えを論理的に表現できるようになる。  
英和辞典が適切に使えるようになる。  
英語の文章作成にあたり、必要な辞書を使いこなすことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

## ①リーディング

テキストのエッセイのパラグラフ構造に注目してパラグラフ・リーディングする。学生は理解した内容を口頭で発表する。

## ②スピーキング

エッセイの内容を理解した後、他の学生と英語で意見を交換し、授業後の意見をまとめ、翌週にそれを口頭で発表する。

## ③ライティング

学期中に一度、学習した内容から好きなトピックを選び、4パラグラフから成るエッセイを作成する。

## ④リスニング

テキストの音声教材またはニュース映像を用いてリスニングを行う。英語の音声上の特徴を理解し、自分で英語らしい発音ができるようにするために、シャドーイングという音声学習を行う。

## ⑤フィードバック

リーディングに関しては授業中に口頭でコメント・評価をする。口頭による発表とエッセイに関しては、提出されたペーパーを添削し、コメントを添えて返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業の説明	授業説明の後、各自英語で自己紹介する
2	Unit 1 College Life リーディングを中心に	日米の大学生活における違いに関するエッセイをパラグラフリーディングする。特に日本の建前と本音について考察する。

3	Unit 1 College Life スピーキング・リスニングを中心に	前回読んだエッセイの内容に関して、特に日本人間関係について意見を英語で発表し話し合う。テキストのリスニング教材（またはニュース映像）を使い、内容を聞き取り理解した後にシャドーイングを実践する。また /θ/ /ð/ の発音の仕方を習得する。
4	Unit 2 Family Life リーディングを中心に	日米の家族形態の違いに関するエッセイをパラグラフリーディングする。特に、日本で標準的家族形態とされる父母と子供二人が全く実態を反映していないこと、日本の家族形態もアメリカのように多様になっていることを理解する。
5	Unit 2 Family Life スピーキング・リスニングを中心に	前回読んだエッセイの内容に関して、特に家族のあるべき姿について意見を英語で発表し話し合う。テキストのリスニング教材（またはニュース映像）を使い、内容を聞き取り理解した後にシャドーイングを実践する。また /f/ /v/ の発音の仕方を習得する。
6	Unit 3 Food Culture リーディングを中心に	日米の料理を比較するエッセイをパラグラフリーディングする。特に日米の食に関するステレオタイプの観念が如何に事実を反するかを理解する。
7	Unit 3 Food Culture スピーキング・リスニングを中心に	前回読んだエッセイの内容と関連して、「和食」と日本の伝統的料理の違いを英語で説明する。テキストのリスニング教材（またはニュース映像）を使い、内容を聞き取り理解した後にシャドーイングを実践する。また破裂音の発音の仕方を習得する。
8	Unit 5 Individualism リーディングを中心に	日米の個の自立を比較するエッセイをパラグラフ・リーディングする。同調圧力が強いとされる日本における個人主義とは何かを考える。
9	Unit 5 Individualism スピーキング・リスニングを中心に	前回読んだエッセイの内容について、特に個の自立について自分の意見を発表し話し合う。テキストのリスニング教材（またはニュース映像）を使い、内容を聞き取り理解した後にシャドーイングを実践する。また、/s/ /z/ が日本語の「す」「ず」と全く違う音だということを理解しそれらの発音を習得する。
10	Unit 6 Socializing at Parties リーディングを中心に	日米の社交生活の違いに関するエッセイをパラグラフ・リーディングする。日本人が世界の場で良い人間関係を築くにはどうしたらよいか考える。
11	Unit 6 Socializing at Parties スピーキング・リスニングを中心に	前回読んだエッセイとの関連で、日本人が外国人とうまい人間関係を作るためにはどうしたら良いか英語で話し合う。
12	アカデミック・ライティング1（4パラグラフからなるエッセイの構造）	自分の意見を主張する4パラグラフからなるエッセイの構造を理解し、エッセイプランを作成する。
13	アカデミック・ライティング2（エッセイプランから英文作成へ）	エッセイプランから英文を作成する方法を学ぶ。特に辞書の使い方詳しく学習する。

- 14 提出したエッセイの  
フィードバック
- 添削しコメントを添えてエッセイを返却する。  
添削・コメントというフィードバックから、学生はエッセイライティングの技法を学び直す。  
学生が作成したエッセイの代表的な間違いを辞書を活用しながら正しく書き直す。

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。ただし、エッセイ作成には最低で8時間は必要。

リスニングで聴いた教材のシャドーイングの復習を行い、次の授業でその成果を披露する。

リーディング教材の指定箇所を読んで意味を理解できるようにしておく。辞書を引いて単語の定義を決定する場合、何故その定義がふさわしいのか、その根拠を説明できるように準備する。

記事を読み終わったら、それに関する意見を英語で発表できるように準備する。

春学期に一度4パラグラフからなるエッセイを作成する。

**【テキスト（教科書）】**

Justin Charlebois 他、『Culture Portraits: Japan and the US』、金星堂

**【参考書】**

特に無し。

**【成績評価の方法と基準】**

授業参加 40 パーセント、レポート・スピーチ・試験 60 パーセントの比率で評価する。授業参加点は事前に指示された課題の発表の回数によって決まる。

一度休むごとに平常点から2点ずつ引いていく。

4回以上欠席した場合は、原則として単位修得を認めない。

原則的に遅刻は認めない。

オンライン授業では課題の提出をもって出席とする。

**【学生の意見等からの気づき】**

アウトプットの比重を高めたい。

**【その他の重要事項】**

この授業は演習中心なので、出席を重視しています。遅刻・欠席に関しては厳しく対処します。また、授業中私語をするなど、常識的におかしいと思われる行為は慎んで下さい。必ず英和・和英辞書を持参して下さい。教師と学生の対話を通して、適度に楽しくて為になる双方向の授業を目指したいと思っています。みなさんの積極的な参加、質問、発言を期待しています。

**【Outline (in English)】**

This course is to help students improve their skills of reading, listening, speaking, and writing. In order to acquire better listening and speaking skills, participants learn distinctive sounds of English and are expected to be able to pronounce them correctly. Participants are required to make presentations about what they have read or heard in class. Regarding writing, participants learn the basic structure of the academic essay and how to make an essay composed of four paragraphs on what they have read or heard in class by making good use of various kinds of dictionaries useful for writing good English.

Students are expected to spend one hour completing assignments before the class and reviewing what they have learn after the class.

Final grade will be decided based on class-participation 40 % and essays/term-end examination 60 %.

LANe200LA	
English 3 II	2017 年度以降入学者
サブタイトル：アメリカ文化との比較によって日本を考察する	
岩崎 博	
開講時期：秋学期授業/Fall   曜日・時限：金 5/Fri.5	
単位数：1 単位	
中級/日本語	
その他属性：	

### 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本あるいは日米比較を扱うエッセイ、ニュース・ストーリー、ニュース映像を教材に使い、読み、聴き、話し、書くという4技能を総合的に身につけることを目標とする。英文エッセイを読み、ニュース映像を聴くことによって読解力とリスニング能力を高める。教材の内容を理解したうえで、自分の意見を口頭で、そして文章で表現することによって、発話能力と書く技術を身につける。日本を表象する様々な情報を批判的に受容することによって、日本的なものに対する自分の立場を明らかにして自らの考えを発信できるようにしたい。

### 【到達目標】

基本的な英語ニュース・ストーリーが聴き取れるようになる。  
英語らしい発音ができるようになる。  
パラグラフ・リーディングができるようになる。  
自分の考えを英語で口頭で表現できるようになる。  
4パラグラフからなるエッセイを作成し、自分の考えを論理的に表現できるようになる。  
英和辞典が適切に使えるようになる。  
英語の文章作成にあたり、必要な辞書を使いこなすことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

### 【授業の進め方と方法】

#### ①リーディング

テキストのエッセイのパラグラフ構造に注目してパラグラフ・リーディングする。学生は理解した内容を口頭で発表する。

#### ②スピーキング

エッセイの内容を理解した後、他の学生と英語で意見を交換し、授業後の意見をまとめ、翌週にそれを口頭で発表する。

#### ③ライティング

学期中に一度、学習した内容から好きなトピックを選び、4パラグラフから成るエッセイを作成する。

#### ④リスニング

テキストの音声教材またはニュース映像を用いてリスニングを行う。英語の音声上の特徴を理解し、自分で英語らしい発音ができるようにするために、シャドーイングという音声学習を行う。

#### ⑤フィードバック

リーディングに関しては授業中に口頭でコメント・評価をする。口頭による発表とエッセイに関しては、提出されたペーパーを添削し、コメントを添えて返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】  
なし/No

### 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 7 Dating and Romance	日米の男女関係の違いに関するエッセイをパラグラフ・リーディングを中心に

2	Unit 7 Dating and Romance	スピーキング・リスニングを中心に 前回読んだエッセイとの関連で、日本はどういう点でジェンダーギャップが世界最悪レベルなのか、またジェンダーギャップを小さくするためには何を変えなくてはならないのか英語で話し合う。
3	Unit 8 Pluralistic Society	リーディングを中心に 人種に関して多角的な米国と一元的な日本を比較対照するエッセイをパラグラフ・リーディングする。特に、日本における人種差別について考察する。
4	Unit 8 Pluralistic Society	スピーキング・リスニングを中心に 前回読んだエッセイとの関連で、日本が移民を受け入れる際にどんな問題が生じるのか英語で議論する。 テキストのリスニング教材（またはニュース映像）を使い、内容を聞き取り理解した後にシャドーイングを実践する。また、/r/の発音を習得する。
5	Unit 9 Degree of Formality	リーディングを中心に 形式にとらわれない米国と形式を重んじる日本を比較対照したエッセイをパラグラフ・リーディングする。
6	Unit 9 Degree of Formality	スピーキング・リスニングを中心に 前回読んだエッセイとの関連で、日本における様々な formality の是非を英語で議論する。 テキストのリスニング教材（またはニュース映像）を使い、内容を聞き取り理解した後にシャドーイングを実践する。また、次に母音を伴わない/l/の発音を習得する。
7	Unit 10 Volunteerism	リーディングを中心に 日米のボランティア活動を論じるエッセイをパラグラフ・リーディングする。ボランティアの意義について考える。
8	Unit 10 Volunteerism	スピーキング・リスニングを中心に 前回読んだエッセイとの関連で、ボランティアをより盛んにする上での問題点について英語で話し合う。 テキストのリスニング教材（またはニュース映像）を使い、内容を聞き取り理解した後にシャドーイングを実践する。また、/ʃ / /ʒ / の発音を習得する。
9	Unit 11 Context and Communication	リーディングを中心に 日米のコミュニケーションにおけるコンテキスト依存の違いに関するエッセイをパラグラフ・リーディングする。英語でコミュニケーションを円滑に行うためには、日本人同士なら言う必要のない当たり前のことを言葉で説明しなくてはならないことを学ぶ。
10	Unit 11 Context and Communication	スピーキング・リスニングを中心に 前回読んだエッセイとの関連で、英語でのコミュニケーションの難しさに関して、またどうすればいいのかを英語で話し合う。 テキストのリスニング教材（またはニュース映像）を使い、内容を聞き取り理解した後にシャドーイングを実践する。また、/tʃ / /dʒ / の発音を習得する。
11	Unit 13 Debate	リーディングを中心に 意見が対立する相手を論破することが重視される米国社会と、相手との歩み寄りが重視される日本社会を比較するエッセイをパラグラフ・リーディングする。
12	アカデミック・ライティング1	原因から結果へ向かう4パラグラフからなるエッセイの構造を学び、エッセイプランを作成する。

- |    |                                 |  |
|----|---------------------------------|--|
| 13 | アカデミック・ライティング2 (エッセイプランから英文作成へ) | エッセイプランから英文を作成する方法を再度学ぶ。特に辞書の使い方を再度詳しく学習する。  |
| 14 | 提出したエッセイのフィードバック                | 教師が添削しコメントを添えたエッセイを返却する。学生は添削・コメントを見て何故間違ったのかを確認し、正しいエッセイ作成法を学習する。学生が作成したエッセイの代表的な間違いを辞書を活用しながら正しく書き直す練習をする。 |

**【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】**

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。ただし、エッセイ作成には最低で8時間は必要。

リスニングで聴いた教材のシャドーイングの復習を行い、次の授業でその成果を披露する。

リーディング教材の指定箇所を読んで意味を理解できるようにしておく。辞書を引いて単語の定義を決定する場合、何故その定義がふさわしいのか、その根拠を説明できるように準備する。

記事を読み終わったら、それに関する意見を英語で発表できるように準備する。

秋学期に一度4パラグラフからなるエッセイを作成する。

**【テキスト (教科書)】**

Justin Charlebois 他、『Culture Portraits: Japan and the US』、金星堂

**【参考書】**

特に無し。

**【成績評価の方法と基準】**

授業参加 40 パーセント、レポート・スピーチ・試験 60 パーセントの比率で評価する。授業参加点は事前に指示された課題の発表の回数によって決まる。

一度休むごとに平常点から2点ずつ引いていく。

4回以上欠席した場合は、原則として単位修得を認めない。

原則的に遅刻は認めない。

オンライン授業では課題の提出をもって出席とする。

**【学生の意見等からの気づき】**

ペアワークによる演習を増やす。

**【その他の重要事項】**

この授業は演習中心なので、出席を重視しています。遅刻・欠席に関しては厳しく対処します。また、授業中私語をするなど、常識的におかしいと思われる行為は慎んで下さい。必ず英和・和英辞書を持参して下さい。教師と学生の対話を通して、適度に楽しくて為になる双方向の授業を目指したいと思っています。みなさんの積極的な参加、質問、発言を期待しています。

**【Outline (in English)】**

This course is to help students improve their skills of reading, listening, speaking, and writing. In order to acquire better listening and speaking skills, participants learn distinctive sounds of English and are expected to be able to pronounce them correctly. Participants are required to make presentations about what they have read or heard in class. Regarding writing, participants learn the basic structure of the academic essay and how to make an essay composed of four paragraphs on what they have read or heard in class by making good use of various kinds of dictionaries useful for writing good English.

Students are expected to spend one hour completing assignments before the class and reviewing what they have learn after the class.

Final grade will be decided based on class-participation 40 % and essays/term-end examination 60 %.

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：アメリカ社会

## 本間 章郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

初級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ニュースを通して、アメリカ社会について学びます。

English 3 では、English 1 と English 2 に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の 4 技能の練習を通して、アメリカに対して理解を深めていきます。

## 【到達目標】

授業の到達目標としては、英語の 4 技能の運用能力の向上を目指して次の 4 つの目標を意識してもらいたいと思います。

- (1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
- (2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
- (3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
- (4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。提出した英作文は、内容を確認の上、適宜、返却します。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進捗と受講者の教科書の内容への理解に応じて、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。また、小テスト等は、適宜、受講者に返却します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	授業の説明	授業の目標と進め方の説明
第 2 回	Unit 1: Language Lessons	リスニング及び内容理解
第 3 回	Unit 1: Language Lessons	読解及び問題演習
第 4 回	Unit 2: US Consumers Waste Food	リスニング及び内容理解
第 5 回	Unit 2: US Consumers Waste Food	読解及び問題演習
第 6 回	Unit 3: Keeping eSports Athletes in the Game	リスニング及び内容理解

第 7 回 Unit 3: Keeping eSports Athletes in the Game 読解及び問題演習

第 8 回 Unit 4: Adulting Classes for Millennials リスニング及び内容理解

第 9 回 Unit 4: Adulting Classes for Millennials 読解及び問題演習

第 10 回 Unit 5: Is Your Bottled Water Safe? リスニング及び内容理解

第 11 回 Unit 5: Is Your Bottled Water Safe? 読解及び問題演習

第 12 回 Unit 6: Sleepless in Japan リスニング及び内容理解

第 13 回 Unit 6: Sleepless in Japan 読解及び問題演習

第 14 回 試験・まとめと解説 授業の内容の確認

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の終わりに、次の授業で前もってやってほしい内容を指示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

CBS NewsBreak 5 (CBS ニュースブレイク 5)

熊井信弘他著 成美堂 2021 年 2400 円

## 【参考書】

参考書は特にありません。

## 【成績評価の方法と基準】

学期末テスト (50%)、英作文 (15%)、発表 (15%)、小テスト (20%) から成績を評価します。主に到達目標の (1) と (2) を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3) を英作文から、(4) を発表から判断します。

なお、各学期の欠席が 4 回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。

オンライン授業の場合も、授業の始めに点呼によって出席を確認します。但し、授業中、問題を当てて名前を呼んでも何の応答もない場合、あるいは課題などの提出がない場合は欠席 1 回となります。

## 【学生の意見等からの気づき】

コロナの感染状況を踏まえて、実施に当たっては慎重に考慮したいと思いますが、昨年度よりも対面による発表の下書き及び相互評価にもっと時間を取りたいと思います。

## 【Outline (in English)】

(Course outline)

In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through CBS news. The topics ranges from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society better. I know many students are interested in some aspects of America such as Walt Disney World in Florida or American Major League Baseball. But CBS news can help students realize various aspects of American society. Through various topics of news reports, student will find common issues such as ecology, gender equality or health and know how American people feel about them. I hope students can compare it with Japanese society and have a deeper understanding of it. And watching the news reports, students can improve their listening. The news videos are useful to get the gist of them. Then by reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society. (Learning Objectives)

The goals of this course are to comprehend news in English properly, express your own opinion and improve English writing & listening.

(Learning activities outside of classroom)

Before each class meeting, students will be expected to have reviewed and read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.  
(Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 50%, writing : 15%, speaking: 15%. quizzes: 20%.

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：アメリカ社会

## 本間 章郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

初級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ニュースを通して、アメリカ社会について学びます。

English 3 では、English 1 と English 2 に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の 4 技能の練習を通して、アメリカに対して理解を深めていきます。

## 【到達目標】

授業の到達目標としては、英語の 4 技能の運用能力の向上を目指して次の 4 つの目標を意識してもらいたいと思います。

- (1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
- (2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
- (3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
- (4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。提出した英作文は、内容を確認の上、適宜、返却します。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進捗と受講者の教科書の内容への理解に応じて、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。また、小テスト等は、適宜、受講者に返却します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	授業の説明	授業の目標と進め方の説明
第 2 回	Unit 7: Alarming New Climate Report	リスニング及び内容理解
第 3 回	Unit 7: Alarming New Climate Report	読解及び問題演習
第 4 回	Unit 8: Cracking the Dress Code: #Ku Too Movement	リスニング及び内容理解
第 5 回	Unit 8: Cracking the Dress Code: #Ku Too Movement	読解及び問題演習
第 6 回	Unit 9: Grammar Table Lady Offers Advice	リスニング及び内容理解

第 7 回 Unit 9: Grammar 読解及び問題演習

Table Lady Offers  
Advice

第 8 回 Unit 10: Halloween リスニング及び内容理解

Treats For Kids  
with Disabilities

第 9 回 Unit 10: Halloween 読解及び問題演習

Treats For Kids  
with Disabilities

第 10 回 Unit 11: A Tax on リスニング及び内容理解

Tourism?

第 11 回 Unit 11: A Tax on 読解及び問題演習

Tourism?

第 12 回 Unit 12: Japan リスニング及び内容理解

Really Loves Kit  
Kat Bars

第 13 回 Unit 12: Japan 読解及び問題演習

Really Loves Kit  
Kat Bars

第 14 回 試験・まとめと解説 授業の内容の確認

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の終わりに、次の授業で前もってやってほしい内容を指示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

CBS NewsBreak 5 (CBS ニュースブレイク 5)

熊井信弘他著 成美堂 2021 年 2400 円

## 【参考書】

参考書は特にありません。

## 【成績評価の方法と基準】

学期末テスト (50%)、英作文 (15%)、発表 (15%)、小テスト (20%) から成績を評価します。主に到達目標の (1) と (2) を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3) を英作文から、(4) を発表から判断します。

なお、各学期の欠席が 4 回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。

オンライン授業の場合も、授業の始めに点呼によって出席を確認します。但し、授業中、問題を当てて名前を呼んでも何の応答もない場合、あるいは課題などの提出がない場合は欠席 1 回となります。

## 【学生の意見等からの気づき】

コロナの感染状況を踏まえて、実施に当たっては慎重に考慮したいと思いますが、昨年度よりも対面による発表の下書き及び相互評価にもっと時間を取りたいと思います。

## 【Outline (in English)】

(Course outline)

In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through CBS news. The topics ranges from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society better. I know many students are interested in some aspects of America such as Walt Disney World in Florida or American Major League Baseball. But CBS news can help students realize various aspects of American society. Through various topics of news reports, student will find common issues such as ecology, gender equality or health and know how American people feel about them. I hope students can compare it with Japanese society and have a deeper understanding of it. And watching the news reports, students can improve their listening. The news videos are useful to get the gist of them. Then by reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society. (Learning Objectives)



The goals of this course are to comprehend news in English properly, express your own opinion and improve English writing & listening.

(Learning activities outside of classroom)

Before each class meeting, students will be expected to have reviewed and read the relevant unit(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

(Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 50%, writing : 15%, speaking: 15%. quizzes: 20%.

LANe200LA					
English 3 I	2017 年度以降入学者				
サブタイトル：身近な文化を英語で議論					
猪俣 佳瑞美					
開講時期：春学期授業/Spring   曜日・時限：金 4/Fri.4					
単位数：1 単位					
初級/日本語					
その他属性：					
<b>【授業の概要と目的（何を学ぶか）】</b>					
English1,2 での学びを踏まえ、4 技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。					
<b>【到達目標】</b>					
講義の到達目標は、以下である。 ・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。 ・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。 ・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。 ・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。 ・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。					
<b>【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】</b>					
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1					
<b>【授業の進め方と方法】</b>					
各 Unit を 1 回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンデマンド授業（資料型）で行う。詳細は学習支援システムで伝達する。					
<b>【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】</b>					
あり/Yes					
<b>【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】</b>					
なし/No					
<b>【授業計画】</b> 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など	3	Unit 2 Studying in a Café vs. Home	学習を効率的に行う場所として「自宅」と「カフェ」を比較する。テーマに関する意見を英語で聞き、情報を整理した上で、各自の経験や意見をペアやグループで英語で発表する。
2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批評的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。	4	Unit 3 Gakuran vs. Blazer	高校の制服デザインについて考える。代表的なものとして「学ラン」と「ブレザー」を取り上げるが、現代社会における多様性という面からも、制服に求められる社会的役割を各自が考え、英語で意見をまとめる演習を行う。
			5	Unit 4 Coming-of-Age Ceremonies	成人式の必要性について考える。また、海外には日本の「成人式」に該当する行事は無いため、その概要や存在意義を英語で説明できるようにする。最後に、各自の成人式に対する意見交換を英語で行う。
			6	Unit 5 24/7 Convenience Stores	コンビニの 24 時間営業について考える。各学生が 24 時間営業に「賛成」なのか「反対」なのか、各自の立場を明確にした上で、ペアやグループに分かれ、理論的に意見を述べる練習を行う。
			7	Unit 6 Japanese Era Names	「元号」について考える。2019 年 5 月に導入された新元号「令和」。元号が変わる時を体験した学生同士だからこそ可能な、元号の必要性や意義に関する意見を英語で交換したい。また世界でも珍しい「元号」の英語による説明方法も取り上げる。
			8	Unit 7 Point Cards	購入した額によって与えられる「ポイント」や「ポイントカード」について考える。このサービスを受ける側からだけでなく、与える側からも考察し、存在意義を考えたい。身近なトピックであることから、各自が実体験を踏まえ、わかりやすく自分の考えを英語で相手に伝える練習を行う。
			9	Unit 8 Disaster Volunteers	自然災害時のボランティアについて考える。特に「ボランティア」と「報酬」に関する英文を読んだ上で、各自の考えを論理的にまとめ、説得力ある意見にする練習を行う。
			10	Unit 9 Domestic Trip vs. Abroad	「旅行」をテーマに取り上げる。「国内旅行」と「海外旅行」を比較し、10 万円あったら「国内」「海外」どちらを旅行したいか英語で意見を述べ合う。各自、その理由を明確にできるよう、具体的な旅行案も考えた上で授業に参加してほしい。
			11	Unit 10 Studying English Abroad	「留学」をテーマに取り上げる。最近、人気の高いアジア諸国への留学に関する英文を読んだ上で、各自が、語学留学するなら、どこへ行きたいか、その理由などを明確にした上で、意見交換を行う。
			12	プレゼンテーション準備と確認	13、14 回めの講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。

- 13 プレゼンテーション 1 各学生が今までに講義で扱ったトピックから1つを選び、クラス全体に発表する1回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
- 14 プレゼンテーション 2 各学生が今までに講義で扱ったトピックから1つを選び、クラス全体に発表する2回目。  
小テストとまとめ 春学期に扱った語彙を中心とする小テストも実施。学びを総括する。

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定された Unit を事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。

**Listening Dictation** 問題は講義内で行うので予習不要。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

**【テキスト（教科書）】**

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion  
2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020 年 1,900 円（税込 2,090 円）

**【参考書】**

特になし

**【成績評価の方法と基準】**

平常点 40 % 発表 40 % 小テスト 20 % 遅刻は厳禁。授業開始時刻から 30 分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4 回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

**【学生の意見等からの気づき】**

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

**【Outline (in English)】**

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay. Students are required to work outside class on assignments (reading, writing, vocabulary and short reports, etc.) given regularly in class. They are expected to spend more than one hour per week on preparation and review for each class. Grades will be based on the following criteria: participation and performance in classroom activities (40%), final presentation (40%) and short reports (20%).

LANe200LA					
English 3 II	2017 年度以降入学者				
サブタイトル：身近な文化を英語で議論					
猪俣 佳瑞美					
開講時期：秋学期授業/Fall   曜日・時限：金 4/Fri.4					
単位数：1 単位					
初級/日本語					
その他属性：					
<b>【授業の概要と目的（何を学ぶか）】</b>					
English1,2 での学びを踏まえ、4 技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。					
<b>【到達目標】</b>					
講義の到達目標は、以下である。					
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。					
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。					
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。					
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。					
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。					
<b>【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】</b>					
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1					
<b>【授業の進め方と方法】</b>					
各 Unit を 1 回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。大学の行動方針レベルが 2 となった場合、この授業は原則としてオンデマンド授業（資料型）で行う。詳細は学習支援システムで伝達する。					
<b>【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】</b>					
あり/Yes					
<b>【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】</b>					
なし/No					
<b>【授業計画】</b> 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	秋学期スタートにあたって	夏休みにあったことを英語で話す 秋学期の講義進め方確認 次講義の事前学習範囲の確認			
2	Unit 11 More Foreign Visitors	インバウンドについて考える。 日本を訪れる外国人観光客に関する英文を読んだ上で、東京オリンピックも踏まえ、各学生が感じていることを英語でまとめ、意見交換する。	3	Unit 12 New Year's Eve Fireworks	「年越しイベントとしての花火大会」の実施を考える。日本では、夏に行われる花火大会だが、海外では大晦日のイベントとして人気が高い。その理由を考えながら、日本文化として花火大会が持つ意味を英語で伝える練習も行う。
			4	Unit 13 April Fools'Day in Japan	「エイプリルフール」について考える。海外と日本のエイプリルフールを比較し、日本人の傾向を述べた英文を読んだ上で、各自がエイプリルフールに関して考えていることを英語でまとめ、意見交換を行う。
			5	Unit 14 Summer-Vacation Assignments	「夏休みの宿題」について考える。日本の小中学校における夏休みの宿題に関する英文を読んだ上で、各自が自身の体験を踏まえ、その功罪を客観的に分析し、英語での意見交換を行う。
			6	Unit 15 Halloween Is Best!	日本で楽しまれている「外国のお祭り」について考える。特に昨今、広く浸透し、時に問題点も指摘されているハロウィーンを取り上げ、各自の意見を理論的にまとめ、意見交換を行う。
			7	Unit 16 Valentine's Day in Japan	「日本のバレンタインデー」について考える。海外との習慣の違いなどを踏まえた英文を読んだ上で、日本独自に発展したバレンタインデーを英語で説明できるよう練習を行う。最後には、各自のバレンタインデーに対する見解を英語で述べ合う。
			8	Unit 17 Smartphone Lock Screens	「スマートフォンのロック」及び「ロック解除方法」について考える。日常で行っている行為を英語で表現するために必要な語彙を増やし、個人情報を守るために必要だと考えていることを英語で伝える練習を行う。
			9	Unit 18 YouTube vs. Normal TV	「テレビ番組」と「YouTube」について考える。2つのメディアを比較した英文を読んだ上で、各自がそれぞれのメディアに対して感じていることを述べ合い、それぞれのメディアをどのように利用しているのか情報交換を行う。
			10	Unit 19 Internet vs. Bricks-and-Mortar	「買い物」について考える。特にオンラインショップと実店舗を比較した英文を読んだ上で、各自が買い物をするとき重視していることや注意していることなど、身近な内容をわかりやすく英語で説明する練習を行う。
			11	Unit 20 Translation Software	「翻訳ソフト」について考える。英語の宿題に翻訳ソフトを使用するべきか否かを取り上げた英文を読んだ上で、各自が立場を明らかにした上で、賛成または反対の意見を客観的に述べ、議論を行う。
			12	プレゼンテーション 1	各学生が今までに講義で扱ったトピックから 1 つを選び、クラス全体に発表する 1 回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
			13	プレゼンテーション 2	各学生が今までに講義で扱ったトピックから 1 つを選び、クラス全体に発表する 2 回目。

- 14 小テストとまとめ 秋学期に扱った語彙などを中心とする小テストを実施。学びを総括する。

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4

hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定された Unit を事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。

Listening Dictation 問題は講義内で行うので予習不要。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

**【テキスト（教科書）】**

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion 2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020 年 1,900 円（税込 2,090 円）

**【参考書】**

特になし

**【成績評価の方法と基準】**

平常点 40 % 発表 40 % 小テスト 20 % 遅刻は厳禁。授業開始時刻から 30 分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4 回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

**【学生の意見等からの気づき】**

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違いを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

**【Outline (in English)】**

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay. Students are required to work outside class on assignments (reading, writing, vocabulary and short reports, etc.) given regularly in class. They are expected to spend more than one hour per week on preparation and review for each class. Grades will be based on the following criteria: participation and performance in classroom activities (40%), final presentation (40%) and short reports (20%).

LANe200LA	2017 年度以降入学者	3 Unit 2 Studying in a Café vs. Home	学習を効率的に行う場所として「自宅」と「カフェ」を比較する。テーマに関する意見を英語で聞き、情報を整理した上で、各自の経験や意見をペアやグループで英語で発表する。									
English 3 I		4 Unit 3 Gakuran vs. Blazer	高校の制服デザインについて考える。代表的なものとして「学ラン」と「ブレザー」を取り上げるが、現代社会における多様性という面からも、制服に求められる社会的役割を各自が考え、英語で意見をまとめる演習を行う。									
サブタイトル：現代の日本を英語で議論		5 Unit 4 Coming-of-Age Ceremonies	成人式の必要性について考える。また、海外には日本の「成人式」に該当する行事は無いため、その概要や存在意義を英語で説明できるようにする。最後に、各自の成人式に対する意見交換を英語で行う。									
猪俣 佳瑞美		6 Unit 5 24/7 Convenience Stores	コンビニの 24 時間営業について考える。各学生が 24 時間営業に「賛成」なのか「反対」なのか、各自の立場を明確にした上で、ペアやグループに分かれ、理論的に意見を述べる練習を行う。									
開講時期：春学期授業/Spring   曜日・時限：金 5/Fri.5		7 Unit 6 Japanese Era Names	「元号」について考える。2019 年 5 月に導入された新元号「令和」。元号が変わる時を体験した学生同士だからこそ可能な、元号の必要性や意義に関する意見を英語で交換したい。また世界でも珍しい「元号」の英語による説明方法も取り上げる。									
単位数：1 単位		8 Unit 7 Point Cards	購入した額によって与えられる「ポイント」や「ポイントカード」について考える。このサービスを受ける側からだけでなく、与える側からも考察し、存在意義を考えたい。身近なトピックであることから、各自が実体験を踏まえ、わかりやすく自分の考えを英語で相手に伝える練習を行う。									
初級/日本語		9 Unit 8 Disaster Volunteers	自然災害時のボランティアについて考える。特に「ボランティア」と「報酬」に関する英文を読んだ上で、各自の考えを論理的にまとめ、説得力ある意見にする練習を行う。									
その他属性：		10 Unit 9 Domestic Trip vs. Abroad	「旅行」をテーマに取り上げる。「国内旅行」と「海外旅行」を比較し、10 万円あったら「国内」「海外」どちらを旅行したいか英語で意見を述べ合う。各自、その理由を明確にできるよう、具体的な旅行案も考えた上で授業に参加してほしい。									
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】		11 Unit 10 Studying English Abroad	「留学」をテーマに取り上げる。最近、人気の高いアジア諸国への留学に関する英文を読んだ上で、各自が、語学留学するなら、どここの国へ行きたいか、その理由などを明確にした上で、意見交換を行う。									
English1,2 での学びを踏まえ、4 技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、現代社会に存在する様々な事柄を身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。		12 プレゼンテーション準備と確認	13、14 回めの講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。									
【到達目標】												
講義の到達目標は、以下である。 ・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。 ・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。 ・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。 ・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。 ・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。												
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】												
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1												
【授業の進め方と方法】												
各 Unit を 1 回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。大学の行動方針レベルが 2 となった場合、この授業は原則としてオンデマンド授業（資料型）で行う。詳細は学習支援システムで伝達する。												
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】												
あり/Yes												
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】												
なし/No												
【授業計画】 授業形態：対面/face to face												
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="145 1713 159 1742">回</th> <th data-bbox="236 1713 316 1742">テーマ</th> <th data-bbox="459 1713 539 1742">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="145 1742 159 1771">1</td> <td data-bbox="236 1742 427 1771">オリエンテーション</td> <td data-bbox="459 1742 759 1771">授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など</td> </tr> <tr> <td data-bbox="145 1783 159 1812">2</td> <td data-bbox="236 1783 427 1872">Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone</td> <td data-bbox="459 1783 759 2002">若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批評的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。</td> </tr> </tbody> </table>	回	テーマ	内容	1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など	2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批評的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。			
回	テーマ	内容										
1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など										
2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批評的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。										

— 551 —

- 13 プレゼンテーション 1 各学生が今までに講義で扱ったトピックから1つを選び、クラス全体に発表する1回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
- 14 プレゼンテーション 2 各学生が今までに講義で扱ったトピックから1つを選び、クラス全体に発表する2回目。  
小テストとまとめ 春学期に扱った語彙を中心とする小テストも実施。学びを総括する。

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定された Unit を事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。

**Listening Dictation** 問題は講義内で行うので予習不要。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

**【テキスト（教科書）】**

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion  
2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020 年 1,900 円（税込 2,090 円）

**【参考書】**

特になし

**【成績評価の方法と基準】**

平常点 40 % 発表 40 % 小テスト 20 % 遅刻は厳禁。授業開始時刻から 30 分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4 回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

**【学生の意見等からの気づき】**

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

**【Outline (in English)】**

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay. Students are required to work outside class on assignments (reading, writing, vocabulary and short reports, etc.) given regularly in class. They are expected to spend more than one hour per week on preparation and review for each class. Grades will be based on the following criteria: participation and performance in classroom activities (40%), final presentation (40%) and short reports (20%).

<p>LANe200LA</p> <p><b>English 3 II</b></p> <p>サブタイトル：現代の日本を英語で議論</p> <p>猪俣 佳瑞美</p> <p>開講時期：秋学期授業/Fall   曜日・時限：金 5/Fri.5</p> <p>単位数：1 単位</p> <p>初級/日本語</p> <p>その他属性：</p>	<p>2017 年度以降入学者</p>	<p>3 Unit 12 New Year's Eve Fireworks</p> <p>4 Unit 13 April Fools' Day in Japan</p> <p>5 Unit 14 Summer-Vacation Assignments</p> <p>6 Unit 15 Halloween Is Best!</p> <p>7 Unit 16 Valentine's Day in Japan</p> <p>8 Unit 17 Smartphone Lock Screens</p> <p>9 Unit 18 YouTube vs. Normal TV</p> <p>10 Unit 19 Internet vs. Bricks-and-Mortar</p> <p>11 Unit 20 Translation Software</p> <p>12 プレゼンテーション 1</p> <p>13 プレゼンテーション 2</p>	<p>「年越しイベントとしての花火大会」の実施を考える。日本では、夏に行われる花火大会だが、海外では大晦日のイベントとして人気が高い。その理由を考えながら、日本文化として花火大会が持つ意味を英語で伝える練習も行う。</p> <p>「エイプリルフール」について考える。海外と日本のエイプリルフールを比較し、日本人の傾向を述べた英文を読んだ上で、各自がエイプリルフールに関して考えていることを英語でまとめ、意見交換を行う。</p> <p>「夏休みの宿題」について考える。日本の小中学校における夏休みの宿題に関する英文を読んだ上で、各自が自身の体験を踏まえ、その功罪を客観的に分析し、英語での意見交換を行う。</p> <p>日本で楽しまれている「外国のお祭り」について考える。特に昨今、広く浸透し、時に問題点も指摘されているハロウィーンを取り上げ、各自の意見を理論的にまとめ、意見交換を行う。</p> <p>「日本のバレンタインデー」について考える。海外との習慣の違いなどを踏まえた英文を読んだ上で、日本独自に発展したバレンタインデーを英語で説明できるように練習を行う。最後には、各自のバレンタインデーに対する見解を英語で述べ合う。</p> <p>「スマートフォンのロック」及び「ロック解除方法」について考える。日常で行っている行為を英語で表現するために必要な語彙を増やし、個人情報を守るために必要だと考えていることを英語で伝える練習を行う。</p> <p>「テレビ番組」と「YouTube」について考える。2つのメディアを比較した英文を読んだ上で、各自がそれぞれのメディアに対して感じていることを述べ合い、それぞれのメディアをどのように利用しているのか情報交換を行う。</p> <p>「買い物」について考える。特にオンラインショップと実店舗を比較した英文を読んだ上で、各自が買い物をするとき重視していることや注意していることなど、身近な内容をわかりやすく英語で説明する練習を行う。</p> <p>「翻訳ソフト」について考える。英語の宿題に翻訳ソフトを使用すべきか否かを取り上げた英文を読んだ上で、各自が立場を明らかにした上で、賛成または反対の意見を客観的に述べ、議論を行う。</p> <p>各学生が今までに講義で扱ったトピックから1つを選び、クラス全体に発表する1回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。</p> <p>各学生が今までに講義で扱ったトピックから1つを選び、クラス全体に発表する2回目。</p>
<p><b>【授業の概要と目的（何を学ぶか）】</b></p>			
<p>English1,2での学びを踏まえ、4技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、現代社会に存在する様々な事柄を身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。</p>			
<p><b>【到達目標】</b></p>			
<p>講義の到達目標は、以下である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。</li> <li>・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。</li> <li>・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。</li> <li>・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。</li> <li>・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。</li> </ul>			
<p><b>【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】</b></p>			
<p>各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1</p>			
<p><b>【授業の進め方と方法】</b></p>			
<p>各 Unit を1回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンデマンド授業（資料型）で行う。詳細は学習支援システムで伝達する。</p>			
<p><b>【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】</b></p> <p>あり/Yes</p>			
<p><b>【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】</b></p> <p>なし/No</p>			
<p><b>【授業計画】</b> 授業形態：対面/face to face</p>			
回	テーマ	内容	
1	秋学期スタートにあたって	夏休みにあったことを英語で話す 秋学期の講義進め方確認 次講義の事前学習範囲の確認	
2	Unit 11 More Foreign Visitors	インバウンドについて考える。 日本を訪れる外国人観光客に関する英文を読んだ上で、東京オリンピックも踏まえ、各学生が感じていることを英語でまとめ、意見交換する。	



- 14 小テストとまとめ 秋学期に扱った語彙などを中心とする小テストを実施。学びを総括する。

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4

hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定された Unit を事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。

Listening Dictation 問題は講義内で行うので予習不要。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

**【テキスト（教科書）】**

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion 2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020 年 1,900 円（税込 2,090 円）

**【参考書】**

特になし

**【成績評価の方法と基準】**

平常点 40 % 発表 40 % 小テスト 20 % 遅刻は厳禁。授業開始時刻から 30 分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4 回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

**【学生の意見等からの気づき】**

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違いを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

**【Outline (in English)】**

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay. Students are required to work outside class on assignments (reading, writing, vocabulary and short reports, etc.) given regularly in class. They are expected to spend more than one hour per week on preparation and review for each class. Grades will be based on the following criteria: participation and performance in classroom activities (40%), final presentation (40%) and short reports (20%).

LANe200LA

## English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：アメリカ社会

## 本間 章郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

初級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ニュースを通して、アメリカ社会について学びます。

English 3 では、English 1 と English 2 に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の 4 技能の練習を通して、アメリカに対して理解を深めていきます。

## 【到達目標】

授業の到達目標としては、英語の 4 技能の運用能力の向上を目指して次の 4 つの目標を意識してもらいたいと思います。

- (1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
- (2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
- (3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
- (4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。提出した英作文は、内容を確認の上、適宜、返却します。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進捗と受講者の教科書の内容への理解に応じて、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。また、小テスト等は、適宜、受講者に返却します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	授業の説明	授業の目標と進め方の説明
第 2 回	Unit 1: Language Lessons	リスニング及び内容理解
第 3 回	Unit 1: Language Lessons	読解及び問題演習
第 4 回	Unit 2: US Consumers Waste Food	リスニング及び内容理解
第 5 回	Unit 2: US Consumers Waste Food	読解及び問題演習
第 6 回	Unit 3: Keeping eSports Athletes in the Game	リスニング及び内容理解

第 7 回 Unit 3: Keeping eSports Athletes in the Game 読解及び問題演習

第 8 回 Unit 4: Adulting Classes for Millennials リスニング及び内容理解

第 9 回 Unit 4: Adulting Classes for Millennials 読解及び問題演習

第 10 回 Unit 5: Is Your Bottled Water Safe? リスニング及び内容理解

第 11 回 Unit 5: Is Your Bottled Water Safe? 読解及び問題演習

第 12 回 Unit 6: Sleepless in Japan リスニング及び内容理解

第 13 回 Unit 6: Sleepless in Japan 読解及び問題演習

第 14 回 試験・まとめと解説 授業の内容の確認

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の終わりに、次の授業で前もってやってほしい内容を指示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

CBS NewsBreak 5 (CBS ニュースブレイク 5)  
熊井信弘他著 成美堂 2021 年 2400 円

## 【参考書】

参考書は特にありません。

## 【成績評価の方法と基準】

学期末テスト (50%)、英作文 (15%)、発表 (15%)、小テスト (20%) から成績を評価します。主に到達目標の (1) と (2) を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3) を英作文から、(4) を発表から判断します。

なお、各学期の欠席が 4 回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。

オンライン授業の場合も、授業の始めに点呼によって出席を確認します。但し、授業中、問題を当てて名前を呼んでも何の応答もない場合、あるいは課題などの提出がない場合は欠席 1 回となります。

## 【学生の意見等からの気づき】

コロナの感染状況を踏まえて、実施に当たっては慎重に考慮したいと思いますが、昨年度よりも対面による発表の下書き及び相互評価にもっと時間を取りたいと思います。

## 【Outline (in English)】

(Course outline)

In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through CBS news. The topics ranges from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society better. I know many students are interested in some aspects of America such as Walt Disney World in Florida or American Major League Baseball. But CBS news can help students realize various aspects of American society. Through various topics of news reports, student will find common issues such as ecology, gender equality or health and know how American people feel about them. I hope students can compare it with Japanese society and have a deeper understanding of it. And watching the news reports, students can improve their listening. The news videos are useful to get the gist of them. Then by reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society. (Learning Objectives)

The goals of this course are to comprehend news in English properly, express your own opinion and improve English writing & listening.

(Learning activities outside of classroom)

Before each class meeting, students will be expected to have reviewed and read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.  
(Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 50%, writing : 15%, speaking: 15%. quizzes: 20%.

LANe200LA

## English 3 II

2017 年度以降入学者

サブタイトル：アメリカ社会

## 本間 章郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

初級/日本語

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ニュースを通して、アメリカ社会について学びます。

English 3 では、English 1 と English 2 に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の 4 技能の練習を通して、アメリカに対して理解を深めていきます。

## 【到達目標】

授業の到達目標としては、英語の 4 技能の運用能力の向上を目指して次の 4 つの目標を意識してもらいたいと思います。

- (1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
- (2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
- (3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
- (4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。提出した英作文は、内容を確認の上、適宜、返却します。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進捗と受講者の教科書の内容への理解に応じて、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。また、小テスト等は、適宜、受講者に返却します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	授業の説明	授業の目標と進め方の説明
第 2 回	Unit 7: Alarming New Climate Report	リスニング及び内容理解
第 3 回	Unit 7: Alarming New Climate Report	読解及び問題演習
第 4 回	Unit 8: Cracking the Dress Code: #Ku Too Movement	リスニング及び内容理解
第 5 回	Unit 8: Cracking the Dress Code: #Ku Too Movement	読解及び問題演習
第 6 回	Unit 9: Grammar Table Lady Offers Advice	リスニング及び内容理解

第 7 回 Unit 9: Grammar 読解及び問題演習

Table Lady Offers  
Advice

第 8 回 Unit 10: Halloween リスニング及び内容理解

Treats For Kids  
with Disabilities

第 9 回 Unit 10: Halloween 読解及び問題演習

Treats For Kids  
with Disabilities第 10 回 Unit 11: A Tax on  
Tourism? リスニング及び内容理解第 11 回 Unit 11: A Tax on  
Tourism? 読解及び問題演習

第 12 回 Unit 12: Japan リスニング及び内容理解

Really Loves Kit  
Kat Bars

第 13 回 Unit 12: Japan 読解及び問題演習

Really Loves Kit  
Kat Bars

第 14 回 試験・まとめと解説 授業の内容の確認

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の終わりに、次の授業で前もってやってほしい内容を指示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

CBS NewsBreak 5 (CBS ニュースブレイク 5)

熊井信弘他著 成美堂 2021 年 2400 円

## 【参考書】

参考書は特にありません。

## 【成績評価の方法と基準】

学期末テスト (50%)、英作文 (15%)、発表 (15%)、小テスト (20%) から成績を評価します。主に到達目標の (1) と (2) を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3) を英作文から、(4) を発表から判断します。

なお、各学期の欠席が 4 回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。

オンライン授業の場合も、授業の始めに点呼によって出席を確認します。但し、授業中、問題を当てて名前を呼んでも何の応答もない場合、あるいは課題などの提出がない場合は欠席 1 回となります。

## 【学生の意見等からの気づき】

コロナの感染状況を踏まえて、実施に当たっては慎重に考慮したいと思いますが、昨年度よりも対面による発表の下書き及び相互評価にもっと時間を取りたいと思います。

## 【Outline (in English)】

(Course outline)

In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through CBS news. The topics ranges from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society better. I know many students are interested in some aspects of America such as Walt Disney World in Florida or American Major League Baseball. But CBS news can help students realize various aspects of American society. Through various topics of news reports, student will find common issues such as ecology, gender equality or health and know how American people feel about them. I hope students can compare it with Japanese society and have a deeper understanding of it. And watching the news reports, students can improve their listening. The news videos are useful to get the gist of them. Then by reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society. (Learning Objectives)

The goals of this course are to comprehend news in English properly, express your own opinion and improve English writing & listening.

(Learning activities outside of classroom)

Before each class meeting, students will be expected to have reviewed and read the relevant unit(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

(Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 50%, writing : 15%, speaking: 15%. quizzes: 20%.

LANe200LA

## 英語 7

2017 年度以降入学者

竹内 晶子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、文法・語彙・構文をしっかりとおさえながら、アメリカのみならず世界各地で読まれている **The New York Times** の実際の記事を読んでいきます。「日本人学生向けに易しく書き直された英語文章」ではない本当の「生の英語」に慣れ親しむばかりでなく、整形、結婚、宗教など、現代社会の様々な問題への理解も深めていきます。

## 【到達目標】

- ・英語ニュース記事のスタイルに慣れ、記事概要を容易に把握できるようになる。
- ・構文把握に慣れ、複雑な内容の長文を的確に理解できるようになる。
- ・現代社会の様々な問題をめぐる議論を英語で理解し、またその問題に関する自分の意見を英語で発信できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

教科書を和訳してノートに書く → 学習支援システム上の予習テストに回答する → 授業に出席する → 学習支援システム上の復習テストに回答する、という流れで毎週の学習を行います。授業内ではアトランダムに訳をあて、内容理解とともに構文把握を確認していきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業紹介
2	Unit 4 (1)	reading Older Women, Too, Struggle with a Dangerous Secret
3	Unit 4 (2)	reading and listening Older Women, Too, Struggle with a Dangerous Secret
4	Unit 5 (1)	reading A Lovelier You, with Off-the-Shelf Parts
5	Unit 5 (2)	reading and listening A Lovelier You, with Off-the-Shelf Parts
6	Unit 5 (3)	reading and critical thinking A Lovelier You, with Off-the-Shelf Parts exercise
7	Unit 7 (1)	reading Culture or Chromosomes?
8	Unit 7 (2)	reading and listening Culture or Chromosomes?
9	Unit 8 (1)	reading For Better or Worse: Marriage's Stormy Future

10 Unit 8 (2) reading and listening

For Better or Worse:  
Marriage's Stormy  
Future

11 Unit 8 (3) reading and critical thinking

For Better or Worse:  
Marriage's Stormy  
Future  
exercise

12 Unit 10 (1) reading

Holiday Wars:  
Merry Whatever

13 Unit 10 (2) reading and listening

Holiday Wars:  
Merry Whatever

14 まとめ final exam

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教科書の指定テキスト全訳をノートに書き、予習テストに期限内に回答することが必須の予習です。あてられたその場で辞書をひいたり訳を作ったりしている際は、予習をしてこなかったとみなします。授業後は復習テストに期限内に回答すること。大学設置基準に鑑みて、準備・復習時間は毎週一時間以上が標準となります。

## 【テキスト（教科書）】

喜多留女・細川祐子『World Graffiti ニューヨークタイムズで世界を知る』英宝社、2006年。

## 【参考書】

『リーダーズ・リーダーズプラス英和辞典』研究社。

## 【成績評価の方法と基準】

予習テスト：20%

復習テスト：20%

授業内活動への参加：30%

期末テスト:30%

## 【学生の意見等からの気づき】

文化的背景を丁寧に説明します。

## 【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムを用います。

感染状況が悪化してオンライン授業になった場合には、zoom 授業中に発言できる環境を確保すること。

## 【その他の重要事項】

原則として、四回以上の欠席をした場合、単位修得の権利を失います。

## 【Outline (in English)】

## 【Course Outline】

In this course, students will read various articles from The New York Times, on such controversial social issues as immigrants, plastic surgery, marriage, and religion.

## 【Learning Objectives】

Students will learn different views on several pressing issues in the contemporary American society, and will also learn to read English newspaper articles with more ease.

## 【Learning Activities outside of Classroom】

Students are required to read the assigned articles before each class with the use of dictionaries. Almost every week, there are small tests to check the students' preparation as well as their comprehension of the previous class.

## 【Grading Criteria/Policy】

Students who miss more than 3 classes won't get a credit.

weekly preparatory exam : 20%

weekly review exam : 20%

active class participation : 30%

final exam:30%

LANe200LA

## 英語 7

2017 年度以降入学者

須藤 祐二

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

SA 前に「英語を読むこと」を中心とした最後の授業になるので、移民や多文化主義について書かれた論説文の講読を行う。これらの教材は英語学習者用に書かれたものではないが、専門的な内容を扱う割には平易に書かれている。この授業によって、専門的な内容のものでも読めるという自信を SA 前に身につけてもらいたい。また、読み取った内容を英語で表現する練習も取り入れる。英語圏 SA 先の社会は多様な人種背景をもった人々で成り立っているため、異文化体験を意義あるものにするためにも、こうした社会について、きちんとした基礎知識を身につけてほしい。

## 【到達目標】

学生は、簡単な英語で書かれたものであれば、専門的な内容でも読めるようにする。

専門的見地から書かれた論点を批判的にくみ取り、自分の意見を英語で表現できるようにする。英語運用能力の強化はもちろんとして、SA 前の学生が身につけるべき国際社会についての基礎知識の獲得も目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

段落ごとに内容を日本語で要約する。難しい内容や表現の箇所については訳読も取り入れて理解を促す。また、読み取った内容を基に自分の意見を英語で表現するための演習も取り入れる。

提出された課題のフィードバックは授業中だけでなく、学習支援システム (Hoppii) を通じて行う。

基本的に対面で授業を行う。ただし、感染症対策や外気温とマスクの関係などを鑑みて、適切な授業環境を確保するためにオンライン授業をすることがある。

授業方法の変更は Hoppii で周知する。そのため、受講生は授業日の朝に Hoppii を確認すること。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業テーマの確認をする。
第 2 回	移民の歴史	移民の歴史について書かれた論説文を読む。
第 3 回	移民と現代社会	移民と現代社会の多様なかわり方を考える。
第 4 回	強制移住とは	強制移住の定義と歴史を考える。
第 5 回	自発的な移民とは	自発的な移民の特徴を考える。
第 6 回	グローバリゼーションと移民	移民とグローバリゼーションの関係を考える。
第 7 回	グローバリゼーション下の移民と多様性	グローバリゼーションと多様性下の移民と多様性関係を考える。
第 8 回	移民と経済発展	移住先の国の開発・経済発展と移民の関係を考える。
第 9 回	移民と開発支援	移民の出身国の開発支援と移民の関係を考える。
第 10 回	欧州と移民	欧州における非合法移民を考える。
第 11 回	アメリカと移民	アメリカにおける非合法移民を考える。

第 12 回 難民とは  
第 13 回 難民と統合

難民の現状と定義を考える。  
亡命先社会への難民の統合と課題を考える。

第 14 回 学期のまとめ

学習した内容の復習とまとめを行う

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回、指定範囲を予習をして授業に参加すること。

有用と思われる資料を紹介した場合には、その読解や視聴を行ってから授業に出席すること。リスニング・ハンドブックに掲載のサイトを指定するので、各自でリスニングの練習をすること。本授業の準備・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

配布する。

必ず英和・和英辞書を持参して、授業に参加すること。

## 【参考書】

特に指定しない。

## 【成績評価の方法と基準】

期末試験を 70 %、授業内に課した課題を含む平常評価を 30 % とする。4 回以上欠席した者は単位を認定しない。欠席回数や遅刻による減点もあるので注意すること。

## 【学生の意見等からの気づき】

受講生の英語力に配慮しながら、進む速度を調整することがある。

## 【Outline (in English)】

Since English 7 is the last course focusing on developing reading skills in English before students embark on their Study Abroad programs, emphasis will be put on reading articles related to immigrants and multiculturalism. The materials chosen for this course are level-appropriate for students, though they are written in academic style. Reading academic articles will enable students to develop confidence in their reading skills. Practices will also be given to make summaries of the articles. Since students will go to SA campuses in multiethnic countries, this course also aims to help them acquire knowledge about some characteristic aspects of their host countries in order to make their SA experiences fruitful.

Students should be able to read academic contents on international immigrants and multiculturalism as long as it is written in plain English. Students will be able to critically assess the arguments written from a professional perspective and express their own opinions in English. In addition to strengthening their English language skills, they will also acquire the basic knowledge of international society that pre-SA students should have.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grade will be calculated according to the following process:

Term-end examination (70%), and in-class contribution (30%).

LANe200LA

## 英語 7

2017 年度以降入学者

## 根本 怜奈

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会の日常生活に関わる、「ネット文化」・「メディア」・「自然環境」・「テクノロジー」などをトピックとした英文を読み、SA に必要な英語の読解力を身につける。テキストで扱われているトピックについて、批評的な視点を持ちつつ、自分の意見や考えをまとめ、基本的な英語で表現する。

## 【到達目標】

1. テキストの英文を読解し、関連する練習問題を解くことにより、英文の読解力、語彙力を高めることを目指す。
2. テキストの練習問題を通して、文法力を高めることを目指す。
3. テキストのリスニング問題を通して、リスニング力を高めることを目指す。
4. テキストの英文について自身の考えや意見をまとめ、基本的な英語で表現する力を身につけることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

テキストに沿って進める。英文を読んだ後に、テキストの練習問題を通して全体の内容を確認し、英文についての理解を深める。適宜小テストを実施するので、予習と復習をしっかりとすることが望まれる。Chapter が 6 つ～8 つ終わるごとに、ライティング演習を行う。自分が興味を持ったトピックについて基本的な英語でライティングし、提出する。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である。適宜授業内でもフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の概要と方法の説明
第 2 回	Chapter 1 / Chapter 2	Going Viral / Tourist Traps
第 3 回	Chapter 3 / Chapter 4	Deal Me In / Full Contact
第 4 回	Chapter 5 / Chapter 6	Fake News / Dead as a Dodo
第 5 回	Chapter 1 ~ Chapter 6 のまとめ	Chapter 1 ~ Chapter 6 の中のいずれかについて、ライティング
第 6 回	Chapter 7 / Chapter 8	It's a Dry Heat / Man's Best Friend
第 7 回	Chapter 9 / Chapter 10	The Wild West / Man versus Beast
第 8 回	Chapter 11 / Chapter 12	A Perfect World / Modern Frankenstein
第 9 回	Chapter 13 / Chapter 14	Tinted Lenses / Get Well Soon
第 10 回	Chapter 7 ~ Chapter 14 のまとめ	Chapter 7 ~ Chapter 14 の中のいずれかについて、ライティング
第 11 回	Chapter 15 / Chapter 16	The Need for Speed / Time Travel
第 12 回	Chapter 17 / Chapter 18	The Great Unknown / The Endgame
第 13 回	Chapter 19 / Chapter 20	Heads Up / Destination Mars

第 14 回 学期末課題

期末課題の提出と期末のまとめ

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各 Chapter の英文について、必ず予習をすること。適宜小テストを実施するので、復習もしっかりすること。語彙ノートを作成し、単語・熟語の定着を目指す。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

## 【テキスト（教科書）】

Getting Ready to Change the World (『グローバル時代を生き抜く変革への視点』) (François de Soete 他著、成美堂、2,000 円 (税別)) 配布プリントで授業を行うことがある。

英和・和英辞書を持参すること。

## 【参考書】

英和・和英辞書（電子辞書でも紙媒体でも可）

## 【成績評価の方法と基準】

期末課題 (50%)、授業態度・授業内に課した課題 (ライティング課題の提出を重視) や小テストと各回のコメントを含む平常点 (50%) によって総合的に評価する。

4 回以上欠席した場合は、成績評価の対象にならない。

授業開始から 30 分以上の遅刻は欠席となる。遅刻 2 回は欠席 1 回分としてカウントする。

スマートフォンの不適切な使用や居眠りなど、授業中の不適切な態度によっては、減点もしくは程度により、出席していても出席と認めない場合がある。

## 【学生の意見等からの気づき】

昨年度は担当していない。

## 【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

## 【その他の重要事項】

授業形態のオンラインか対面かは、状況に応じて変わる可能性があります。その際は、予め「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示します。また、授業の初回にて、授業日用の課題や宿題についての詳細な「授業計画」を「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示するので、必ず初回の授業時に確認をしてください。各 Chapter の本文は 900words 程で、それを基本的に自力で読み解きます。課題の締め切りや提出条件を守ること、自主的な学習への姿勢が求められます。宿題も含めて、毎週 2 つの Chapter を読解します。状況に応じて、ペースを変える可能性もありますが、計画的に課題・宿題を行い、SA に向けて多読を心がけてください。テキストにもリスニング問題はありますが、大学が指定している「リスニング・ハンドブック」も自主学習の習慣化に役立ててください。

## 【Outline (in English)】

This course is held based on the textbook. The flow of the class is reading the sentence, explaining the sentence, answering some questions and making comments about the sentence. Mini test is held to review every lesson.

Some of the objectives of the course are:

1. Increase vocabulary
2. Improve grammatical skill
3. Improve listening skill
4. Learn to express your own opinions.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook and completed the required assignment. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grading will be decided based on the following:

Term-end examination (50%),

Class participation including in-class attitude, assignment, and mini test (50%).



LANe200LA

## 英語 7

2017 年度以降入学者

鹿子嶋 由佳

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 3/Tue.3

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、日常生活や現代社会の様々なトピックについての英文を素早く正確に読む力を養います。授業内でのリーディングの練習の他に、SA 英語圏留学の際に生かせるように、情報収集と意見を述べることに必要な語彙力の向上を目指します。

## 【到達目標】

1. テキスト内の英文を素早く正確に読解することが出来るようになる。
2. 既習事項を踏まえ、テキスト以外の様々なトピックについての英文を可能な限り速く読み、内容を正確に把握出来るようになる。
3. テキスト内の語彙や表現を理解し、情報収集や表現をする際に使えるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業では 1 回につき 1 つの Chapter を進めていきます。1 つの Chapter は、「Pre-reading Preparation」「Vocabulary」「Reading Analysis」「Information Organization」「Short Summary」「Critical Thinking」で構成されています。流れとして、まずは予習範囲である「Pre-reading Preparation」と「Vocabulary」の確認を行います。次に、Appendix 1 にある「Full Passage」を読み、その後、「Reading Analysis」に沿って段落ごとに理解を深めます。授業後は、授業で学習したことの確認とリーディングスキルの向上のための復習をしてください。授業中には、素早く正確に読解できるようにすることを目指しますので、リーディングにかかった時間を記録していきます。学期中には学習進捗状況を確認するために、小テストを行います。また、リスニング・ハンドブックで紹介されているサイトを使った課題を出します。各課題のフィードバックは、授業中に各受講生または全体に向けて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業概要の理解、アクティビティー
2	Chapter 1: The Birth-Order Myth	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイントを学習する。
3	Chapter 2: My Husband, the Outsider	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイントを学習する。
4	Chapter 3: Hop, Skip ... and Software?	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイントを学習する。
5	Chapter 4: Highs and Lows in Self-Esteem	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイントを学習する。
6	Chapter 5: Who Lives Longer?	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイントを学習する。

7	Chapter 6: Are Gifted Children Born or Made?	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイントを学習する。小テストで学習進捗度を把握する。
8	Chapter 7: Students Dig into Sustainable Farming at Vermont College	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイントを学習する。
9	Chapter 8: Wilder Places for Wild Things	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイントを学習する。
10	Chapter 9: Antarctica: Whose Continent Is It Anyway?	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイントを学習する。
11	Chapter 10: Matters of Life and Death	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイントを学習する。
12	Chapter 11: Switched at Birth: Women Learn the Truth 56 Years Later	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイントを学習する。小テストで学習進捗度を把握する。
13	Chapter 12: Saving Her Sister's Life	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイントを学習する。
14	まとめ・期末テスト	リーディングや語彙に関するテストを行う。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。受講生は、予習として授業前に「Pre-reading Preparation」と「Vocabulary」の解答を行います。授業後には、既習 Chapter の語彙、文法、読み方のポイントを復習し、音読も行いましょう。

## 【テキスト（教科書）】

テキスト名：Reading Dynamics - Skills for Academic Success  
 編著者：山科美和子/横山三鶴/沖野泰子  
 出版社：Cengage Learning  
 出版年：2016 年  
 価格：2200 円+税  
 ISBN: 9784863122871

## 【参考書】

特になし

## 【成績評価の方法と基準】

1. 平常点 30 %（授業中の活動・小テスト）
2. 課題 20%（リーディング、「リスニング・ハンドブック」）
3. 期末試験 50%
  - ・欠席回数が 4 回以上の場合、原則として単位取得資格を失います。
  - ・3 回の遅刻（授業開始時刻から 10 分を超える場合）で 1 回の欠席とします。
  - ・遅刻や欠席に関して、証明できるもの（交通機関の遅延証明書等）がある場合は必ず担当者に渡してください。
  - ・授業に関係のない私語、携帯電話の使用、居眠り、教科書・辞書の不携帯は減点対象となります。

## 【学生の意見等からの気づき】

受講生の学習状況をみながら、基礎的な事項から応用的な事項まで確認していきます。

## 【学生が準備すべき機器他】

- ・授業に関する連絡は授業支援システムを使用します。
- ・授業中に使用する辞書は、書籍または電子辞書とします。通信可能な電子辞書やスマートフォン等のアプリケーションの辞書を使用する場合は、その旨を担当者に伝えること。
- ・テキストの音声はダウンロード形式（無料）です。テキストの 7 ページに案内がありますので、テキスト購入後にダウンロードをしてください。
- ・「リスニング・ハンドブック」をいつでも参照できるようにしておきましょう。

**【その他の重要事項】**

授業に関する質問がある場合、授業前後に教室にて受け付けます。メールで質問する場合は、授業支援システムにて、この授業の「お知らせ」を参照してください。

**【Outline (in English)】**

## &lt; Course outline &gt;

The aim of this course is to help students acquire skills for reading accurately and fluently based on several daily and modern social topics in English. It also enhances students' vocabulary knowledge needed to gather information and express their ideas. It will help students prepare for assignments when studying abroad.

## &lt; Learning Objectives &gt;

1. Students will be able to read passages quickly and accurately in the textbook.
2. Based on what students learned, they will be able to read and understand passages on several topics at an advanced level outside of the textbook.
3. Students will be able to understand all the vocabulary and expressions in the textbook, and use them when they gather information or express their ideas.

## &lt; Learning activities outside of classroom &gt;

In this course, students should prepare for class and review what they have learned in one hour. Before class, students have to answer "Pre-reading Preparation" and "Vocabulary" in the textbook. After class, students have to review the vocabulary, grammar, and reading tips they learned, and practice reading the passage they read in the classroom out loud.

## &lt; Grading Criteria/Policy &gt;

1. Class activities (small tests and writing assignments) 30%
2. Assignments (Reading and "Listening Handbook") 20%
3. Final test 50%
  - ・ Students will fail the course if they are absent four times or more during the entire unit.
  - ・ If a student is late three times, it is counted as one absence.
  - ・ Students should show proof of their delay and absence.
  - ・ Students who talk in class, use a phone, doze/sleep, or come to class without the textbook will be get a black mark.

LANe200LA

## 英語 7

2017 年度以降入学者

## 根本 怜奈

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 3/Tue.3

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会の日常生活に関わる、「ネット文化」・「メディア」・「自然環境」・「テクノロジー」などをトピックとした英文を読み、SA に必要な英語の読解力を身につける。テキストで扱われているトピックについて、批評的な視点を持ちつつ、自分の意見や考えをまとめ、基本的な英語で表現する。

## 【到達目標】

1. テキストの英文を読解し、関連する練習問題を解くことにより、英文の読解力、語彙力を高めることを目指す。
2. テキストの練習問題を通して、文法力を高めることを目指す。
3. テキストのリスニング問題を通して、リスニング力を高めることを目指す。
4. テキストの英文について自身の考えや意見をまとめ、基本的な英語で表現する力を身につけることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

テキストに沿って進める。英文を読んだ後に、テキストの練習問題を通して全体の内容を確認し、英文についての理解を深める。適宜小テストを実施するので、予習と復習をしっかりとすることが望まれる。Chapter が 6 つ～8 つ終わるごとに、ライティング演習を行う。自分が興味を持ったトピックについて基本的な英語でライティングし、提出する。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である。適宜授業内でもフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の概要と方法の説明
第 2 回	Chapter 1 / Chapter 2	Going Viral / Tourist Traps
第 3 回	Chapter 3 / Chapter 4	Deal Me In / Full Contact
第 4 回	Chapter 5 / Chapter 6	Fake News / Dead as a Dodo
第 5 回	Chapter 1 ～ Chapter 6 のまとめ	Chapter 1 ～ Chapter 6 の中のいずれかについて、ライティング
第 6 回	Chapter 7 / Chapter 8	It's a Dry Heat / Man's Best Friend
第 7 回	Chapter 9 / Chapter 10	The Wild West / Man versus Beast
第 8 回	Chapter 11 / Chapter 12	A Perfect World / Modern Frankenstein
第 9 回	Chapter 13 / Chapter 14	Tinted Lenses / Get Well Soon
第 10 回	Chapter 7 ～ Chapter 14 のまとめ	Chapter 7 ～ Chapter 14 の中のいずれかについて、ライティング
第 11 回	Chapter 15 / Chapter 16	The Need for Speed / Time Travel
第 12 回	Chapter 17 / Chapter 18	The Great Unknown / The Endgame
第 13 回	Chapter 19 / Chapter 20	Heads Up / Destination Mars

第 14 回 学期末課題

期末課題の提出と期末のまとめ

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各 Chapter の英文について、必ず予習をすること。適宜小テストを実施するので、復習もしっかりすること。語彙ノートを作成し、単語・熟語の定着を目指す。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

## 【テキスト（教科書）】

Getting Ready to Change the World (『グローバル時代を生き抜く変革への視点』) (François de Soete 他著、成美堂、2,000 円 (税別)) 配布プリントで授業を行うことがある。

英和・和英辞書を持参すること。

## 【参考書】

英和・和英辞書（電子辞書でも紙媒体でも可）

## 【成績評価の方法と基準】

期末課題 (50%)、授業態度・授業内に課した課題 (ライティング課題の提出を重視) や小テストと各回のコメントを含む平常点 (50%) によって総合的に評価する。

4 回以上欠席した場合は、成績評価の対象にならない。授業開始から 30 分以上の遅刻は欠席となる。遅刻 2 回は欠席 1 回分としてカウントする。

スマートフォンの不適切な使用や居眠りなど、授業中の不適切な態度によっては、減点もしくは程度により、出席していても出席と認めない場合がある。

## 【学生の意見等からの気づき】

昨年度は担当していない。

## 【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

## 【その他の重要事項】

授業形態のオンラインか対面かは、状況に応じて変わる可能性があります。その際は、予め「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示します。また、授業の初回にて、授業日用の課題や宿題についての詳細な「授業計画」を「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示するので、必ず初回の授業時に確認をしてください。各 Chapter の本文は 900words 程で、それを基本的に自力で読み解きます。課題の締め切りや提出条件を守ること、自主的な学習への姿勢が求められます。宿題も含めて、毎週 2 つの Chapter を読解します。状況に応じて、ペースを変える可能性もありますが、計画的に課題・宿題を行い、SA に向けて多読を心がけてください。テキストにもリスニング問題はありますが、大学が指定している「リスニング・ハンドブック」も自主学習の習慣化に役立ててください。

## 【Outline (in English)】

This course is held based on the textbook. The flow of the class is reading the sentence, explaining the sentence, answering some questions and making comments about the sentence. Mini test is held to review every lesson.

Some of the objectives of the course are:

1. Increase vocabulary
2. Improve grammatical skill
3. Improve listening skill
4. Learn to express your own opinions.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook and completed the required assignment. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grading will be decided based on the following:

Term-end examination (50%),

Class participation including in-class attitude, assignment, and mini test (50%).

LANe200LA

## 英語 7

2017 年度以降入学者

大野 口ベルト

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 3/Tue.3

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英語圏 SA 留学での授業履修に求められるレベルの英語力を「読む力」を中心に身につけることを目的として、主に外国人による日本文化論をとりあげる。

## 【到達目標】

高度な内容について、ときに複雑な構文で書かれた長文を効率的に読解できるようになる。読み取った内容を整理し、自らの意見を添え、成人らしい英語で他者に伝えることができるようになる。異文化コミュニケーションの産物であるテキストに触れることで、自文化について反省し、同時に異文化に身を置く準備を整えることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

毎週の課題となるテキストの読解を全員で行う。パラグラフごとに担当者を割り振り、内容の理解を共有した上で、重要表現などをおさらいする。その後、テキストを書いた人物や時代背景についての簡単な講義を経て、主題に即したディスカッションなどのアクティビティを行う。テキストの主題や語彙に関する小テストも、随時実施する。毎回の授業の最後には質問や意見を募り、次回の授業などで必要に応じたフィードバックを行う。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の内容や進め方について説明する。
2	日本開国	Perry - Narrative of the Expedition
3	旅人たち 1	Morse - Japan Day by Day (part 1)
4	旅人たち 2	Morse - Japan Day by Day (part 2)
5	旅人たち 3	Bird - Unbeaten Tracks in Japan (part 1)
6	旅人たち 4	Bird - Unbeaten Tracks in Japan (part 2)
7	ミニ・プレゼン	日本文化について紹介する
8	ジャポニズム	Chamberlain - Things Japanese
9	日本人による日本論	Okakura - Book of Tea
10	日本論と戦争	Benedict - The Chrysanthemum and the Sword
11	現代の日本論	Maloney - It's Not All Raw Fish
12	アカデミックな日本論 1	Steele - The Speedy Feet of the Nation
13	アカデミックな日本論 2	Nosco - Individuality in Modern Japan
14	まとめとふりかえり	授業内容をふりかえり、筆記試験を行う

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各週の復習の後、次週の課題テキストを精読し、単語などの下調べを欠かさないこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

## 【テキスト（教科書）】

特定の教科書は用いない。必要な資料は教員が配布する。

## 【参考書】

授業中に随時紹介する。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（テキスト担当箇所の読解、ディスカッションへの積極的な参加）50 %、試験（随時実施する小テストおよび期末に行う筆記試験）50 %。成績評価は 100 点満点とし、60 点以上が合格となる。欠席回数が 4 回以上の受講者は、原則として単位を認定しない。

## 【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケート未実施。

## 【Outline (in English)】

This course offers students an opportunity to acquire necessary skills, especially reading academic English, before studying abroad. Most of the materials will be articles written on Japan by foreigners who have visited, resided, or even migrated to Japan during the Meiji, Taisho, and Showa periods. The objective is to attain high competence in reading comprehension, to obtain basic knowledge on cultural exchange between Japan and Western nations, and to get familiarized with college level vocabulary and expressions. Students are expected to complete required assignments after each class meeting and to prepare thoroughly for the following. The required study time is at least one hour for each class meeting. The final grade will be determined based on in-class contribution (50%) and regular examinations (50%).

LANe200LA

英語 7

2017 年度以降入学者

田中 邦佳

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 4/Tue.4  
 単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

様々なテーマの英文記事の読解をします。授業のテーマの1つ目は、難解な英文になると把握が難しくなる文の主部・述部など英語のセンテンスの文法的構造を理解することです。2つ目のテーマは、パラグラフ全体の内容をコンパクトにまとめて説明することです。1文ずつの内容の把握だけではなく、より長い単位で記事の内容を把握し、他の人に説明できるようになることが授業の目標となります。

【到達目標】

- ・一文が長い英文や複雑な構造の英文を読解する
- ・ある程度まとまった量の英文の内容をコンパクトにして説明する
- ・様々な分野で用いられる英語の語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストは目安として毎回の授業で1つの記事というペースを進めることを目標とします。記事毎に内容確認の小テストを実施する予定です。特に難解な文については解説を行います。一字一句全て訳していくようなことはしません。可能であればグループワークを行い、参加者が自ら語彙・フレーズ・文法について確認し、パラグラフの要旨のまとめ方、提示された課題について考察します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。授業計画は授業の展開によって若干、変更する可能性があります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	Introduction	授業の進め方と評価の方法の説明をします。
第 2 回	Is it in your blood?	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第 3 回	An unpunished crime	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第 4 回	Extensive reading Q & A with Julian Bamford	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第 5 回	Money matters	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第 6 回	Is netspeak harming the English language?	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第 7 回	課題の振り返り	これまでの課題から見られる困難点についてフィードバックを行う。
第 8 回	Language and the world	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第 9 回	Population crisis	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第 10 回	The greatest show on earth	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第 11 回	Consumer beware: advertising techniques	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。

- 第 12 回 For an effective interview 単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
- 第 13 回 まとめ方を考察する 記事の内容をシンプルにまとめる方法を考察する。
- 第 14 回 試験・まとめと解説 試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。具体的には、授業の前に予習として記事を読んでくる必要があります。わからない単語や表現があれば辞書などで調べることが必要です。また、記事で扱われている内容について馴染みがなければその分野について調べる必要があります。記事の内容について把握し、他の授業参加者と議論できる程度の予習が必要です。

【テキスト（教科書）】

・Essential Reading Second Edition Level 3, ゴフ クリス/マカボイ ジャッキー/マイルズ スコット, マクミラン ランゲージハウス。(¥2,600 円+税)

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

以下の配分で評価する。  
 平常点および課題 (60%)  
 期末テスト (40%)  
 欠席回数が通算 4 回に達した者は原則として単位取得の資格を失う。授業開始のチャイムから 30 分以降の遅刻は欠席と見なす。遅刻の回数が 3 回に達するごとに 1 回の欠席とする。未予習で出席した場合、私語など授業に積極的に参加する姿勢がみられない場合、その日を欠席と同等の扱いとする。

【学生の意見等からの気づき】

単純な英文の読解からは達成感が得られにくいことがわかりました。英文の意味の把握を課題にするだけでなく、特に重点的に考えるべき項目を明示的に提示しようと考えています。

【Outline (in English)】

Course outline: The aim of this course is to help students improve skills for English reading comprehension and for summarizing the contents of paragraphs.  
 Learning Objectives: At the end of the course, students are expected to understand the contents and intentions of English articles and briefly explain contents of articles.  
 Learning activities outside of classroom: University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course  
 Grading Criteria /Policy: Class Assignments 60%, Final Assignment (exam) 40%

LANe200LA

## 英語 8

2017 年度以降入学者

DONALD W WHYTE

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The aim of this course is to give students the opportunity to consider current affairs, controversial topics, and other relevant topics in their environment. Students will think about both sides of an issue and how to structure an opinion. With particular focus on writing, the skills needed for clear communication will be examined.

## 【到達目標】

The goal of this course is to improve all aspects of English study with a focus on writing skills. Reading skills will be introduced to improve comprehension. Vocabulary exercises will aid in all aspects. There will be discussion in pairs and groups to share ideas and opinions. The basic structure of a paragraph will be studied so that students are able to organize their thoughts in a logical way. This will lead on to essay writing and then to a final paper. This will help students to prepare for a final presentation.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

In pairs and in groups, students will read, discuss and write about a variety of topics.

Homework will be given to prepare students for the following class.

Submission of assignments and individual feedback will be on the Learning Management System.

General feedback on assignments will be given in class.

If we cannot meet in the classroom, real time Zoom meetings will be arranged. In both cases, active participation is essential.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
week 1	Introduction to the course and the FIC Writing Handbook.	Students to write on a given topic for evaluation purposes
week 2	The basic structure of a paragraph.	A model paragraph will be discussed.
week 3	A breakdown of the components of a paragraph.	From topic sentence, through transition signals to the concluding sentence.
week 4	The variety of paragraphs.	How to write Time Order, List Order, Space Order and Contrast/Compare paragraphs.
week 5	TEST 1	Students will be tested on their skill in writing a paragraph.
week 6	From paragraph to essay.	Using models, the difference between a paragraph and essay will be discussed.
week 7	Using facts for support.	Facts give the writing more impact and validity than mere opinions.

week 8	Appropriate topics. Considering both sides of an issue.	Brainstorming in groups to share ideas and opinions.
week 9	TEST 2	Students will be tested on their skill in writing an essay.
week 10	From essay to final paper.	A model paper will be discussed.
week 11	Research and references.	The need for a wide variety of sources and acknowledgement.
week 12	Plagiarism.	How to summarize and paraphrase.
week 13	Submit final paper.	A hard copy to be submitted.
week 14	Presentation of final paper.	Students will give a presentation on their work plus actively listen to others by writing a short response to each presentation.

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

The writing process can be time consuming. There are many steps, such as thinking of a suitable topic, deciding on content, researching, note taking, writing, and finally editing. Using time outside of class will be necessary to produce good work.

## 【テキスト（教科書）】

FIC-Writing Handbook

## 【参考書】

Students are required to refer to various sources when researching for writing and presentation assignments. Most of which will be on the internet.

## 【成績評価の方法と基準】

Homework/classroom assignments 10%

Test 1 Paragraph - 20%

Test 2 Essay - 20%

Final paper - 40%

Presentation - 10%

Total - 100%

## 【学生の意見等からの気づき】

Nothing in particular.

## 【Outline (in English)】

The aim of this course is to give students the opportunity to consider current affairs, controversial topics, and other relevant topics in their environment. Students will think about both sides of an issue and how to structure an opinion. With particular focus on writing, the skills needed for clear communication will be examined.

LANe200LA

英語 8

2017 年度以降入学者

JAMES D SHORT

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 3/Thu.3  
 単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course is for second year students who have strong motivation to improve their speaking and writing skills in preparation for studying abroad in an English-speaking country in the subsequent semester. Through extensive discussion and writing practice it will enhance students' abilities to function effectively in an all English-speaking academic and social environment.

【到達目標】

Building upon English language competencies acquired during the first year of study, the goal of this course is to enable students to become responsible international students who are capable of unsupervised independent learning in an all-English environment.

As a result of studying this this course students will gain enhanced abilities to:

1. Approach issues systematically in order to understand them clearly.
2. Conduct meaningful research in order to deepen understanding.
3. Produce appropriate and considered oral and written responses in English in relation to these issues.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1. Instruction by the teacher will be conducted as much as possible in English.
2. Classroom activities and discussions will generally be based on readings and exercises from the course textbook. Students are expected to use English to participate in classroom discussions and group activities.
3. Special emphasis will be placed upon developing listening and note-taking skills, as well as discussion and presentation skills necessary for successful completion of the students' study abroad programs in the next semester.
4. Students will receive feedback and comments on classroom activities and written assignments directly from the teacher throughout the term.
5. Timekeeping, participation in classroom activities, and submission of written assignments are very important and will be evaluated.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】  
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】  
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Class Orientation	Explanation of the course and required study methods
2	Discussion Book Two Unit 1: Technology	Describing the ways that new technology affects our lives

3	Unit 1: Communication, education, medicine, transportation, entertainment	Presentations about technological advancements in particular areas
4	Unit 2: Travel	Describing personal experiences about foreign and domestic travel
5	Unit 2: Traveling on guided tours	Role-play debate: Guided tours vs. traveling independently
6	Unit 3: Culture	Investigating aspects of the culture of an unknown country
7	Written Assignment 1	Write a 1 page essay about aspects of the culture of an unknown country that interests you
8	Unit 4: Volunteering	Discussion about the advantages and disadvantages of volunteering
9	Unit 4: Japanese volunteerism	Presentations about the activities of a Japanese volunteer organization
10	Unit 5: Beliefs	Discussion about things that people believe in strongly
11	Unit 5: Controversial phenomena	Presentations about a controversial phenomenon
12	Unit 6: Ads and Commercials	Discussion about the ways that commercials affect our lives
13	Unit 7: The News	Discussion about sources of information about the world
14	Written Assignment 2	Write a 2 page essay describing a recent news event and your opinions about it

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around 1 hour a week for a one-credit course.

1. Be sure to read the class materials beforehand for advance learning. Students will be called upon in each class and are expected to be prepared.
2. Each week students should prepare for the next class by reading written materials, completing assigned homework, reviewing notes and materials from previous classes.
3. When participating in a discussion, students should summarize their thoughts beforehand and mull over other students' opinions and indications afterwards in order to deepen their thinking.
4. Students are expected to find and analyze information from various forms of English media independently as a means of increasing their vocabulary and general knowledge.

【テキスト (教科書)】

“The English Course Discussion Book Two”, Gary Ireland and Max Woolerton, Kabushikigaisha The English Company, 2019. ISBN: 978-4-9902962-6-1; price 2500 yen.

【参考書】

Students are recommended to have an electronic English-Japanese dictionary.

【成績評価の方法と基準】

Assessment will consist of classroom participation (40%), group presentations (30%), and 2 written assignments (30%).

\*\*Class attendance is a course requirement.

Students are allowed no more than three absences in the semester.

【学生の意見等からの気づき】

In consideration of student responses in the class evaluation, more emphasis will be placed upon the preparation and creation of the first written assignment in class 7.

**【その他の重要事項】**

The instructor reserves the right to modify this course syllabus if necessary.

**【Outline (in English)】**

In order to prepare second year students for their extended period of study in an English-speaking country in the subsequent semester, this course aims to enhance students' abilities to understand and analyze a variety of materials in English and form sophisticated opinions around them which are expressed both orally and in writing. The course will be run as an ongoing, varied discussion, from time to time facilitated by the students themselves. The instructor will introduce a variety of issues and discussion topics, in relation to which students will have discussions and then produce considered oral and written responses in the target language of English.



LANe200LA

英語 8

2017 年度以降入学者

MARK D BURNS

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 1/Thu.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The primary objective of this class is to develop both spoken and written communication skills, and confidence to prepare them for study abroad placement. The course provides practice in conversation, essay writing, and presentation in clear communicative English. Students will engage with a wide range of subjects but communicative activities will be based around the students' own experiences and ambitions.

【到達目標】

This subject aims to improve learners' overall confidence in communicating in English through a wide range of communicative activities. It will review useful grammar and provide ample opportunity to practice both spoken and written language.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Classes will be conducted in English and will cover each unit of the textbook. Students will be expected to participate fully in weekly conversational activities. Students will also be required submit the occasional written assignment and prepare a presentation. Submission of assignments and feedback will be on the Learning Management System.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】  
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Orien- tation	Overview of the course and warm up	Overview of the English 8 subject and explaining rules for participation and assignment submissions.
Unit 1a	Life Experiences 1	Review the use of present perfect and simple past tenses
Unit 1b	Life Experiences 2	Presentations focusing on old hobbies or club activities
Unit 2a	Events 1	Review the use of simple past and past continuous
Unit 2b	Events 2	Writing a 2-paragraph story about how you met a good friend
Unit 3a	Opinions 1	Review the use of too and enough with adjectives and nouns
Unit 3b	Opinions 2	Presentations focusing on suggestions for new rules
Unit 4a	Customs 1	Review the use of it & infinitives and gerunds as subjects
Unit 4b	Customs 2	Writing a 3-paragraph essay on customs

Unit 5a	Professions and skills 1	Review the use of how long, since and for with present perfect tense
Unit 5b	Professions and skills 2	Presentations focusing on your ideal job
Unit 6a	Recent activities 1	Review the use of the present perfect continuous tense
Unit 6b	Recent activities 2	Writing an instructional article
End- term Pre- sen- ta- tions	Final presentations	Final presentations

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. Students will be expected to complete weekly homework (prepare for six short in-class unit review tests, and submit three short written assignments in addition to the academic written assignment and final presentation preparation.)

【テキスト（教科書）】

Stretch Multi-pack 3A Susan Stempleski Oxford University Press ISBN 978-0-19-460330-0

【参考書】

A good Japanese-English dictionary and the Hosei English 8 Academic Writing Guide (which will be provided)

【成績評価の方法と基準】

Assessment will consist of in-class participation (40%), academic written assignment (30%) and final presentation (30%)

【学生の意見等からの気づき】

The three short presentations have been dropped so more time can be spent on the final presentations. Students can participate via Zoom in emergencies.

【学生が準備すべき機器他】

Please bring a laptop.

【その他の重要事項】

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【Outline (in English)】

The primary objective of this class is to develop both spoken and written communication skills, and confidence to prepare them for study abroad placement. The course provides practice in conversation, essay writing, and presentation in clear communicative English. Students will engage with a wide range of subjects but communicative activities will be based around the students' own experiences and ambitions.

LANe200LA

## 英語 8

2017 年度以降入学者

JAMES D SHORT

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 4/Thu.4

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is for second year students who have strong motivation to improve their speaking and writing skills in preparation for studying abroad in an English-speaking country in the subsequent semester. Through extensive discussion and writing practice it will enhance students' abilities to function effectively in an all English-speaking academic and social environment.

## 【到達目標】

Building upon English language competencies acquired during the first year of study, the goal of this course is to enable students to become responsible international students who are capable of unsupervised independent learning in an all-English environment.

As a result of studying this this course students will gain enhanced abilities to:

1. Approach issues systematically in order to understand them clearly.
2. Conduct meaningful research in order to deepen understanding.
3. Produce appropriate and considered oral and written responses in English in relation to these issues.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

1. Instruction by the teacher will be conducted as much as possible in English.
2. Classroom activities and discussions will generally be based on readings and exercises from the course textbook. Students are expected to use English to participate in classroom discussions and group activities.
3. Special emphasis will be placed upon developing listening and note-taking skills, as well as discussion and presentation skills necessary for successful completion of the students' study abroad programs in the next semester.
4. Students will receive feedback and comments on classroom activities and written assignments directly from the teacher throughout the term.
5. Timekeeping, participation in classroom activities, and submission of written assignments are very important and will be evaluated.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Class Orientation	Explanation of the course and required study methods
2	Discussion Book Two Unit 1: Technology	Describing the ways that new technology affects our lives

3	Unit 1: Communication, transportation, entertainment	Presentations about technological advancements in education, medicine, particular areas
4	Unit 2: Travel	Describing personal experiences about foreign and domestic travel
5	Unit 2: Traveling on guided tours	Role-play debate: Guided tours vs. traveling independently
6	Unit 3: Culture	Investigating aspects of the culture of an unknown country
7	Written Assignment 1	Write a 1 page essay about aspects of the culture of an unknown country that interests you
8	Unit 4: Volunteering	Discussion about the advantages and disadvantages of volunteering
9	Unit 4: Japanese volunteerism	Presentations about the activities of a Japanese volunteer organization
10	Unit 5: Beliefs	Discussion about things that people believe in strongly
11	Unit 5: Controversial phenomena	Presentations about a controversial phenomenon
12	Unit 6: Ads and Commercials	Discussion about the ways that commercials affect our lives
13	Unit 7: The News	Discussion about sources of information about the world
14	Written Assignment 2	Write a 2 page essay describing a recent news event and your opinions about it

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around 1 hour a week for a one-credit course.

1. Be sure to read the class materials beforehand for advance learning. Students will be called upon in each class and are expected to be prepared.
2. Each week students should prepare for the next class by reading written materials, completing assigned homework, reviewing notes and materials from previous classes.
3. When participating in a discussion, students should summarize their thoughts beforehand and mull over other students' opinions and indications afterwards in order to deepen their thinking.
4. Students are expected to find and analyze information from various forms of English media independently as a means of increasing their vocabulary and general knowledge.

## 【テキスト（教科書）】

“The English Course Discussion Book Two”, Gary Ireland and Max Woolerton, Kabushikigaisha The English Company, 2019. ISBN: 978-4-9902962-6-1; price 2500 yen.

## 【参考書】

Students are recommended to have an electronic English-Japanese dictionary.

## 【成績評価の方法と基準】

Assessment will consist of classroom participation (40%), group presentations (30%), and 2 written assignments (30%).

\*\*Class attendance is a course requirement.

Students are allowed no more than three absences in the semester.

## 【学生の意見等からの気づき】

In consideration of student responses in the class evaluation, more emphasis will be placed upon the preparation and creation of the first written assignment in class 7.

**【その他の重要事項】**

The instructor reserves the right to modify this course syllabus if necessary.

**【Outline (in English)】**

In order to prepare second year students for their extended period of study in an English-speaking country in the subsequent semester, this course aims to enhance students' abilities to understand and analyze a variety of materials in English and form sophisticated opinions around them which are expressed both orally and in writing. The course will be run as an ongoing, varied discussion, from time to time facilitated by the students themselves. The instructor will introduce a variety of issues and discussion topics, in relation to which students will have discussions and then produce considered oral and written responses in the target language of English.

LANe200LA

## 英語 8

2017 年度以降入学者

MARK D BURNS

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 2/Thu.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The primary objective of this class is to develop both spoken and written communication skills, and confidence to prepare them for study abroad placement. The course provides practice in conversation, essay writing, and presentation in clear communicative English. Students will engage with a wide range of subjects but communicative activities will be based around the students' own experiences and ambitions.

## 【到達目標】

This subject aims to improve learners' overall confidence in communicating in English through a wide range of communicative activities. It will review useful grammar and provide ample opportunity to practice both spoken and written language.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

Classes will be conducted in English and will cover each unit of the textbook. Students will be expected to participate fully in weekly conversational activities. Students will also be required submit the occasional written assignment and prepare a presentation. Submission of assignments and feedback will be on the Learning Management System.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】  
なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Orien- tation	Overview of the course and warm up	Overview of the English 8 subject and explaining rules for participation and assignment submissions.
Unit 1a	Life Experiences 1	Review the use of present perfect and simple past tenses
Unit 1b	Life Experiences 2	Presentations focusing on old hobbies or club activities
Unit 2a	Events 1	Review the use of simple past and past continuous
Unit 2b	Events 2	Writing a 2-paragraph story about how you met a good friend
Unit 3a	Opinions 1	Review the use of too and enough with adjectives and nouns
Unit 3b	Opinions 2	Presentations focusing on suggestions for new rules
Unit 4a	Customs 1	Review the use of it & infinitives and gerunds as subjects
Unit 4b	Customs 2	Writing a 3-paragraph essay on customs

Unit 5a	Professions and skills 1	Review the use of how long, since and for with present perfect tense
Unit 5b	Professions and skills 2	Presentations focusing on your ideal job
Unit 6a	Recent activities 1	Review the use of the present perfect continuous tense
Unit 6b	Recent activities 2	Writing an instructional article
End- term Pre- sen- ta- tions	Final presentations	Final presentations

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. Students will be expected to complete weekly homework (prepare for six short in-class unit review tests, and submit three short written assignments in addition to the academic written assignment and final presentation preparation.)

## 【テキスト（教科書）】

Stretch Multi-pack 3A Susan Stempleski Oxford University Press ISBN 978-0-19-460330-0

## 【参考書】

A good Japanese-English dictionary and the Hosei English 8 Academic Writing Guide (which will be provided)

## 【成績評価の方法と基準】

Assessment will consist of in-class participation (40%), academic written assignment (30%) and final presentation (30%)

## 【学生の意見等からの気づき】

The three short presentations have been dropped so more time can be spent on the final presentations. Students can participate via Zoom in emergencies.

## 【学生が準備すべき機器他】

Please bring a laptop.

## 【その他の重要事項】

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

## 【Outline (in English)】

The primary objective of this class is to develop both spoken and written communication skills, and confidence to prepare them for study abroad placement. The course provides practice in conversation, essay writing, and presentation in clear communicative English. Students will engage with a wide range of subjects but communicative activities will be based around the students' own experiences and ambitions.

LANe200LA

英語 8

2017 年度以降入学者

ROBIN F WEICHERT

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Practice writing essays in English. Learn a process approach to writing academic texts, from single paragraphs to longer assignments.

【到達目標】

The course provides students with essential tools and procedures for essay writing. Students learn to analyze and write the types of paragraphs that commonly occur in academic contexts. They gain an understanding of how to organize the paragraph coherently and use appropriate vocabulary, grammar, and transitional devices in the paragraph body. By acquiring a set of strategies of how to develop a thesis, organize an outline, and write effective introductions and conclusions, students will eventually become competent in writing longer essays on assigned topics and in test situations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This course will be conducted partly as an on-demand class using Google Classroom and partly in the classroom. In the course, students complete a series of tasks that guide them to effective essay writing in a step-by-step manner. Students will first work on recognizing and identifying key writing structures from model paragraphs and essays. They then manipulate the structures in short and manageable tasks, and finally apply them to their own writing. Students will work individually, with a partner and with a group. Students are expected to submit one full-length essay based on their work by the end of the term. Feedback will be given individually and to the whole class online and in the classroom.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction.	What is "process writing"?
2	Pre-writing	Gathering and organizing ideas.
3	The structure of a paragraph.	Parts of a paragraph, topic sentences.
4	The development of a paragraph.	Paragraph support & concluding sentences, peer editing.
5	Descriptive paragraphs.	Organizing and writing descriptive paragraphs, connecting words.
6	Opinion paragraphs.	Expressing opinion and arguments, transition words.
7	Comparison/Contrast Paragraphs.	Comparing and contrasting, writing about advantages and disadvantages of a topic.
8	Problem/Solution paragraphs.	Using real conditionals, writing a two-paragraph paper.

9	The structure of an essay.	Formatting an essay, writing a thesis statement.
10	Outlining an essay.	Writing an outline.
11	Introductions and conclusions.	The purpose of an introduction/ a conclusion
12	Unity and coherence.	Editing an essay for unity.
13	Peer-editing the final essay.	Revising, rewriting, proofreading.
14	Semester review.	Essay submission.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

For this course, students are expected to check notes and review previous exercises in the textbook, as well as complete writing assignments.

【テキスト（教科書）】

Dorothy E. Zemach, Lisa A. Ghulldu. Writing Essays: From Paragraph to Essay (Student Book). Macmillan Education.

【参考書】

George Davidson (ed.) Roget's Thesaurus of English Words and Phrases (Penguin Reference). Penguin UK.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on assignments and quizzes (50%), and on a final essay (50%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

none in particular

【Outline (in English)】

Practice writing essays in English. Learn a process approach to writing academic texts, from single paragraphs to longer assignments.

The course provides students with essential tools and procedures for essay writing. Students learn to analyze and write the types of paragraphs that commonly occur in academic contexts. They gain an understanding of how to organize the paragraph coherently and use appropriate vocabulary, grammar, and transitional devices in the paragraph body. By acquiring a set of strategies of how to develop a thesis, organize an outline, and write effective introductions and conclusions, students will eventually become competent in writing longer essays on assigned topics and in test situations.

Students are expected to check notes and review previous exercises in the textbook, as well as complete writing assignments. University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

Grading will be based on assignments and quizzes (50%), and on a final essay (50%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

LANe200LA

## 英語 8

2017 年度以降入学者

ROBIN F WEICHERT

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Practice writing essays in English. Learn a process approach to writing academic texts, from single paragraphs to longer assignments.

## 【到達目標】

The course provides students with essential tools and procedures for essay writing. Students learn to analyze and write the types of paragraphs that commonly occur in academic contexts. They gain an understanding of how to organize the paragraph coherently and use appropriate vocabulary, grammar, and transitional devices in the paragraph body. By acquiring a set of strategies of how to develop a thesis, organize an outline, and write effective introductions and conclusions, students will eventually become competent in writing longer essays on assigned topics and in test situations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

This course will be conducted partly as an on-demand class using Google Classroom and partly in the classroom. In the course, students complete a series of tasks that guide them to effective essay writing in a step-by-step manner. Students will first work on recognizing and identifying key writing structures from model paragraphs and essays. They then manipulate the structures in short and manageable tasks, and finally apply them to their own writing. Students will work individually, with a partner and with a group. Students are expected to submit one full-length essay based on their work by the end of the term. Feedback will be given individually and to the whole class online and in the classroom.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction.	What is "process writing"?
2	Pre-writing	Gathering and organizing ideas.
3	The structure of a paragraph.	Parts of a paragraph, topic sentences.
4	The development of a paragraph.	Paragraph support & concluding sentences, peer editing.
5	Descriptive paragraphs.	Organizing and writing descriptive paragraphs, connecting words.
6	Opinion paragraphs.	Expressing opinion and arguments, transition words.
7	Comparison/Contrast Paragraphs.	Comparing and contrasting, writing about advantages and disadvantages of a topic.
8	Problem/Solution paragraphs.	Using real conditionals, writing a two-paragraph paper.

9	The structure of an essay.	Formatting an essay, writing a thesis statement.
10	Outlining an essay.	Writing an outline.
11	Introductions and conclusions.	The purpose of an introduction/ a conclusion
12	Unity and coherence.	Editing an essay for unity.
13	Peer-editing the final essay.	Revising, rewriting, proofreading.
14	Semester review.	Essay submission.

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

For this course, students are expected to check notes and review previous exercises in the textbook, as well as complete writing assignments.

## 【テキスト（教科書）】

Dorothy E. Zemach, Lisa A. Ghulldu. Writing Essays: From Paragraph to Essay (Student Book). Macmillan Education.

## 【参考書】

George Davidson (ed.) Roget's Thesaurus of English Words and Phrases (Penguin Reference). Penguin UK.

## 【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on assignments and quizzes (50%), and on a final essay (50%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

## 【学生の意見等からの気づき】

none in particular

## 【Outline (in English)】

Practice writing essays in English. Learn a process approach to writing academic texts, from single paragraphs to longer assignments.

The course provides students with essential tools and procedures for essay writing. Students learn to analyze and write the types of paragraphs that commonly occur in academic contexts. They gain an understanding of how to organize the paragraph coherently and use appropriate vocabulary, grammar, and transitional devices in the paragraph body. By acquiring a set of strategies of how to develop a thesis, organize an outline, and write effective introductions and conclusions, students will eventually become competent in writing longer essays on assigned topics and in test situations.

Students are expected to check notes and review previous exercises in the textbook, as well as complete writing assignments. University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

Grading will be based on assignments and quizzes (50%), and on a final essay (50%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

LANe200LA

**英語オーラル・コミュニケーション I** 2017 年度以降入学者

ALAN M NICHOLLS

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

レベル 2,3 / 定員制 (24 名)

その他属性：〈優〉

**【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】**

This is an elective course that will provide students with the opportunity to develop their oral communication skills from a pre-intermediate level.

Students will be encouraged to discuss contemporary issues related to current world events and future changes in technology and society. Additional activities will include pronunciation and use of rhythm and intonation to assist oral communication.

**【到達目標】**

Students will practice skills needed to make effective use of their voices to achieve more natural communication. Students will also practice speaking in "ideas" rather than words. The course will use TED Talks, BBC videos and current news articles to enable students become more effective and proficient in English.

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

Students will be able to practice and develop their speaking skills using A++, BOOST and Yes/No/Key/Or techniques. Students will practice listening using Shadowing. We will also practice speaking through making on-line presentations. All assignments will be distributed, submitted and returned to students digitally via Google Classroom. Written assignments will be returned with detailed comments on how students can improve their writing skills.

**【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】**  
あり/Yes

**【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】**  
なし/No

**【授業計画】** 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	Course Introduction	Outline of course, grading criteria and class policies. Access Google Classroom
2	Unit 1: Technology	Introduction of technology Generative applications; Practice A++ to encourage longer speaking.
3	Technology	Discussions of Technology: Building on Original statements (BOOST)
4	Technology: Reading	BBC Articles - Transport systems. Practice different questions Yes/No/Key/Or
5	Technology: Presentation skills	TED Talk: Presentation Analysis and Discussion; Presentation Skills
6	Unit 3: Culture	Introduction of Culture related Vocabulary; Oral Practice A++. Introduce Ballad

7	Culture	Theme Discussions. Build on Original Statement. Continue Ballad
8	Culture: Research a country	Theme-related topic study. Negative Questions and TAG questions. Prepare a short presentation on main elements of culture
9	Culture:	Presentation Skills: Present about another culture using presentation aids.
10	Unit 5: Beliefs	Introduce key vocabulary for Belief systems. Discuss beliefs and culture. Clancy ... cont.
11	Beliefs	Listening and Shadowing. Prepare a short presentation. Continue Ballad
12	Beliefs	Make a short presentation about beliefs
13	Presentation	Make small Group Ballad presentation.
14	Review and Recap	Watch a TED Presentation and evaluate for Academic or Social Style.

**【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】**

University guidelines suggest preparation and review are around 2 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

Class preparation; There will be some short worksheet assignments designed to test the students understanding of the ideas presented in the major themes of the course.

**【テキスト (教科書)】**

The English Course "Discussion Book Two" Gary Ireland and Max Woolerton. Available from < store.theenglishcompany.jp > . Look in the **カタログ** and search for DB2. A CD is not required but you might like to practice. If you purchase a book second-hand, you will need to pay The English Company 890 yen to access The Study Centre.

**【参考書】**

To be issued during semester.

**【成績評価の方法と基準】**

Reading: 10%  
In-Class Worksheets 20%  
Presentation: 10%  
Group/Pair/Class Participation 20%  
On-line Unit Tests: 18%  
On-Line Tasks/Exercises: 12%  
Word Puzzle: 10%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

**【学生の意見等からの気づき】**

2022: Change of textbook from previous years.  
2023: Use of generative AI applications in development of a presentation outline.

**【学生が準備すべき機器他】**

A device (Laptop or Tablet) that supports word processor software. (Smartphones are OK but are more difficult for students to use.) Students will be required to know their Hosi Gmail account details. Students may use voice recognition and generative AI software. Google Docs is the preferred format for submitting assignments.

**【その他の重要事項】**

We will use Google "Classroom" to send, submit and record all assignments. Students can download "Classroom" from the Google Web site. Students will be required to join the subject using "Classroom".

The Classroom Code for this subject will be advised via the university Hoppii system.

**【Outline (in English)】**

This is an elective course that will provide students with the opportunity to develop their oral communication skills from a pre-intermediate level.

Students will be encouraged to discuss contemporary issues related to current world events and future changes in technology and society. Additional activities will include pronunciation and use of rhythm and intonation to assist oral communication.



LANe200LA

英語オーラル・コミュニケーション 2017 年度以降入学者 II

ALAN M NICHOLLS

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

レベル 2,3 / 定員制 (24 名)

その他属性：〈優〉

**【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】**

This is an elective course that will provide students with the opportunity to develop their oral communication skills. The course will develop students ability for person to person communication and presentation skills.

The course will use TED Talks and Academic presentations to compare and contrast the different styles of presentations. Students will be required to make short presentations on a variety of topics including: alternative meat products, transport technology and climate change.

**【到達目標】**

The goal of this course is to further enhance students' oral communication skills. Students will practice making both formal and informal presentations. Students will practice using punctuation to join and separate ideas and using gesture to emphasize ideas. Students will practice techniques to increase eye contact during on-line presentations.

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

The level of the material should suit students at a pre-intermediate level.

Students will be able to practice and develop their speaking skills using A++, BOOST and Yes/No/Key/Or techniques. Students will practice listening using Shadowing. Students will gain critical thinking skills through comparison of different articles on the same topic. Students will also practice presentation skills including gesture, voice control, eye contact, using notes and timing of presentation.

All assignments will be distributed, submitted and returned to students digitally via Google Classroom. Written assignments will be returned with detailed comments on how students can improve their writing skills.

**【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】**  
あり/Yes

**【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】**  
なし/No

**【授業計画】** 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	Introduction & Review	Welcome New Students. Review Semester 1, Ground rules, Study Centre.
2	Unit 7: The News	Introduction of Theme-Vocabulary; Oral Practice A++, Boost.
3	The News	Shadowing. Generate presentation on Topic Unit 7,9 or 11
4	TED Talk - Julian Treasure	How to make people WANT to listen. Worksheet. Analysis and Discussion of Presentation Skills.

5	The News	Presentation of text generated in week 3.
6	Unit 9: Ecotourism	Introduction of Theme-related Vocabulary; Oral Practice A++ and Boost.
7	Ecotourism	Shadowing with Text Famous speech preparation.
8	Ecotourism	Presentation or Debate about Eco-Tourism. Famous speech Preparation
9	TED Talk - TMWM	Video Presentation TMWM. Analysis and Discussion; Presentation Skills
10	Unit 11: Environment	Introduction of Theme-related Vocabulary; Oral Practice A++, Boost
11	Environment	Environmental issues Discussions and Shadowing
12	Environment	BBC Articles - Soil and Water. Analyze video. Worksheet.
13	Famous speech Presentation	Presentation: Famous speech.
14	TED Talk - How not to be ignorant.	Video Presentation Analysis and Discussion; Presentation Skills

**【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】**

University guidelines suggest preparation and review are around 2 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

There will be a short written homework assignment designed to test the students understanding of the ideas presented in one of the major themes of the course.

**【テキスト (教科書)】**

The English Course "Discussion Book Two" Gary Ireland and Max Woolerton. Available from < store.theenglishcompany.jp > . Look in the [カタログ](#) and search for DB2. A CD is not required but you might like it to practice. If you purchase a book second-hand, you will need to pay The English Company 890 yen to access The Study Centre.

**【参考書】**

To be advised during course.

**【成績評価の方法と基準】**

Reading: 10%

In-Class Worksheets: 20%

Presentations: 20%

Pair/Group Participation: 20%

On-Line Tests: 18%

On-Line Tasks/Exercises: 12%

In principle, no more than 3 absences are allowed in order to gain a Credit grade.

**【学生の意見等からの気づき】**

Introduced generative AI to create a presentation outline.

**【学生が準備すべき機器他】**

A device (Laptop or Tablet) that supports word processor software. (Smartphones are OK but are more difficult for students to use because multiple windows are sometimes required). Students will be required to know their Hosei Gmail account details. Students may use voice recognition software. Google Docs is the required format for submitting written assignments.

**【その他の重要事項】**

We will use Google "Classroom" to send, submit and record all assignments. Students can download "Classroom" from the Google Web site. The Classroom Code for this subject will be advised via the university Hoppii system.

**【Outline (in English)】**

This is an elective course that will provide students with the opportunity to develop their oral communication skills. The course will develop students ability for person to person communication and presentation skills.

The course will use TED Talks and Academic presentations to compare and contrast the different styles of presentations. Students will be required to make short presentations on a variety of topics including: alternative meat products, transport technology and climate change.

LANe200LA

英語オーラル・コミュニケーション 2017 年度以降入学者  
I

ELIKO M KOSAKA

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

レベル 2,3 / 定員制 (24 名)

その他属性：〈優〉

**【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】**

教科書の各ユニットで紹介される会話内容を用いて、リスニング力、語彙力、読解力を向上させることを目的とする。更に英語発音を上達させ、会話に役立てる語彙やフレーズを理解し、使いこなすためのアクティビティを通して、練習する。

**【到達目標】**

①役に立つような英語運用能力を習得することが出来る。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

- ①各 Unit で使用される語彙の用法などを確認し、その語彙を用いた例文などを口頭・文章で表現する。
- ②英語の会話内容を効果的に聞き取り、内容を把握する。
- ③ダイアログ内容の要約・あるいは自分の意見をまとめ、口頭発表等を行う。
- ④授業内で指示された課題のフィードバックは、課題提出後におこなう。

**【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】**  
あり / Yes

**【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】**  
なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	①オリエンテーション, ② Unit 1(dialogue and drills)
第 2 回	Unit 1, continued.	① Vocabulary & grammar exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion/debate exercise
第 3 回	Unit 2	① Vocab quiz(単語テスト) and recitation (音読) ② Unit 2 (dialogue and drills)
第 4 回	Unit 2, continued.	① Vocabulary & grammar exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion/debate exercise
第 5 回	Unit 3	① Vocab quiz(単語テスト) and recitation (音読) ② Unit 3 (dialogue and drills)
第 6 回	Unit 3, continued	① Vocabulary & grammar exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion/debate exercise
第 7 回	Unit 4	① Vocab quiz(単語テスト) and recitation (音読) ② Unit 4 (dialogue and drills)

第 8 回 Mid-term exam  
目  
第 9 回 Unit 4, continued.  
目

- 1). mid-term exam
- 2). summary and feedback
- ① Vocabulary & grammar exercises
- ② Recitation exercise
- ③ Conversation/discussion/debate exercise

第 10 回 Unit 5  
目

- ① Vocab quiz(単語テスト) and recitation (音読)
- ② Unit 5 (dialogue and drills)

第 11 回 Unit 5, continued.  
目

- ① Vocabulary & grammar exercises
- ② Recitation exercise
- ③ Conversation/discussion/debate exercise

第 12 回 Unit 6  
目

- ① Vocab quiz(単語テスト) and recitation (音読)
- ② Unit 6 (dialogue and drills)

第 13 回 Unit 6, continued.  
目

- ① Vocabulary & grammar exercises
- ② Recitation exercise
- ③ Conversation/discussion/debate exercise

第 14 回 Final Exam  
目

- 1). Final exam
- 2). summary and feedback

**【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】**

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。  
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

**【テキスト (教科書)】**

著書：CitiPals in New York: New Edition of Survival English  
著者：Mary Tadokoro  
出版社：朝日出版社  
出版年：2018 年 第 5 刷発行  
ISBN：978-4-255-15492-3

**【参考書】**

授業時に伝える。

**【成績評価の方法と基準】**

**【評価方法】** 積極的な参加 20%、中間試験・期末試験 20%、提出課題 20%、小テスト 20%、音読・グループライティング 20%  
Active participation 20%, midterm and Finals 20%, homework 20%, quizzes 20%, recitations and group work 20%  
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

**【学生の意見等からの気づき】**

学生と教員がお互いに協調して、有意義な授業時間を実現するために積極的かつ生産的にコミュニケーションを取ることが肝心である。

**【Outline (in English)】**

Using the "CitiPals in New York" textbook as a base point, the aim of the course is to improve the learner's pronunciation through various in-class exercises, establish a stronger command of vocabulary necessary to engage in effective conversation and foster the learner's ability to become more flexible and adaptable to various social settings. This will enable the learner to flexibly and comfortably converse in a diverse range of social settings and situations.  
University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.  
Active participation 20%, midterm and Finals 20%, homework 20%, quizzes 20%, recitations and group work 20%

LANe200LA

**英語オーラル・コミュニケーション** 2017 年度以降入学者 II

ELIKO M KOSAKA

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

レベル 2,3 / 定員制 (24 名)

その他属性：〈優〉

**【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】**

教科書の各ユニットで紹介される会話内容を用いて、リスニング力、語彙力、読解力を向上させることを目的とする。更に英語発音を上達させ、会話に役立つ語彙やフレーズを理解し、使いこなすためのアクティビティを通して、練習する。

**【到達目標】**

①役に立つような英語運用能力を習得することが出来る。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

授業の進め方と方法

- ①各 Unit で使用される語彙の用法などを確認し、その語彙を用いた例文などを口頭・文章で表現する。
- ②英語の会話内容を効果的に聞き取り、内容を把握する。
- ③ダイアログ内容の要約・あるいは自分の意見をまとめ、口頭発表等を行う。
- ④授業内で指示された課題のフィードバックは、課題提出後におこなう。

**【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】**  
あり / Yes

**【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】**  
なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	Unit 8 目	①ガイダンス ② Unit 8 Airport (dialogue and drills)
第 2 回	Unit 8, continued. 目	① Vocabulary & grammar exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion/debate exercise
第 3 回	Unit 9 目	① Vocab quiz(単語テスト) and recitation (音読) ② Unit 9 (dialogue and drills)
第 4 回	Unit 9, continued 目	① Vocabulary & grammar exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion/debate exercise
第 5 回	Unit 10 目	① Vocab quiz(単語テスト) and recitation (音読) ② Unit 10 (dialogue and drills)
第 6 回	Unit 10, continued. 目	① Vocabulary & grammar exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion/debate exercise

第 7 回	Unit 11 目	① Vocab quiz(単語テスト) and recitation (音読) ② Unit 11 (dialogue and drills)
第 8 回	Mid-term exam 目	① 中間試験 ② まとめと解説
第 9 回	Unit 11, continued. 目	① Vocabulary & grammar exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion/debate exercise
第 10 回	Unit 12 目	① Vocab quiz(単語テスト) and recitation (音読) ② Unit 12 (dialogue and drills)
第 11 回	Unit 12, continued. 目	① Vocabulary & grammar exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion/debate exercise
第 12 回	Unit 13 目	① Vocab quiz(単語テスト) and recitation (音読) ② Unit 13 (dialogue and drills)
第 13 回	Unit 13, continued. 目	① Vocabulary & grammar exercises ② Recitation exercise ③ Conversation/discussion/debate exercise
第 14 回	Final Exam 目	① 期末試験 ② まとめと解説

**【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】**

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。  
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

**【テキスト (教科書)】**

著書：CitiPals in New York: New Edition of Survival English  
著者：Mary Tadokoro  
出版者：朝日出版社  
出版年：2018 年 第 5 刷発行  
I S B N : 978-4-255-15492-3

**【参考書】**

授業時に提示する

**【成績評価の方法と基準】**

**【評価方法】** 積極的な参加 20% , 中間試験・期末試験 20%、提出課題 20%、小テスト 20%、音読・グループライティング 20%  
Active participation 20%, midterm and finals 20%, homework 20%, quizzes 20%, recitations and group work 20%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

**【学生の意見等からの気づき】**

学生と教員がお互いに協調して、有意義な授業時間を実現するために積極的かつ生産的にコミュニケーションを取ることが肝心である。

**【Outline (in English)】**

Using the "CitiPals in New York" textbook as a base point, the aim of the course is to improve the learner's pronunciation through various in-class exercises, establish a stronger command of vocabulary necessary to engage in effective conversation and foster the learner's ability to become more flexible and adaptable to various social settings. This will enable the learner to flexibly and comfortably converse in a diverse range of social settings and situations.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Active participation 20%, midterm and finals 20%, homework 20%, quizzes 20%, recitations and group work 20%

LANe200LA

英語オーラル・コミュニケーション 2017 年度以降入学者 I

LASSEGARD JAMES

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

レベル 2,3 / 定員制 (24 名)

その他属性：〈優〉

**【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】**

Learning practical English for communicating in a global society.

**【到達目標】**

Although emphasis is on oral communication, students will practice and improve proficiency in all four language skills. Students will be able to comfortably express themselves clearly in discussions and during presentations.

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

This course will be given entirely in English and in principal all class sessions will be face to face. Students will participate in a variety of activities that encourage listening and speaking English. These activities include dialogues, pair and group discussions, and presentations given by students on various topics of interest.

Feedback on students' performance will be given in class, as well as through written assignments in class and online. Students may also correspond with the instructor using e-mail.

**【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】**  
あり / Yes

**【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】**  
なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course orientation	Getting to know each other; student introductions & class guidelines.
2	Unit 1: People and Events	Dialogue & textbook activities: grammar explanation. Pair & group work. Instructions on writing a short paragraph.
3	Unit 1 Video: Role models	Video Worksheet activities. Discussion and pair work. Reading homework.
4	Unit 2: Holidays and Festivals	Grammar review. Discussion. Review writing tips.
5	Unit 2: Celebrations	Video. Instructions on preparing for and giving presentations.
6	Unit 3: Trends and entertainment	Grammar review. Reading and discussion in small groups.
7	Unit 3: Trends pt. 2	Video content and worksheet: A hotel manager. Discussion. Quiz on Units 1-3.
8	Unit 4: Identity & Personality	Lecture: Describing people and their characteristics. Grammar review. Writing assignment.

9	Unit 4: Identity & Personality Pt. 2	Writing review. Video & worksheet Discussion
10	Student Presentations	Students will give short presentations in pairs/groups on topics from the previous 4 chapters.
11	Unit 5: Future Plans	Reading comprehension and vocabulary practice. Dialogue practice and writing.
12	Unit 5: Future Plans Pt.2	Students perform dialogues in class. Discussion about future goals and plans. Presentation preparations.
13	Unit 6: Changes & Life experiences	Reading and vocabulary review. Student give mini-presentations on topics TBA.
14	Unit 6 Changes & Life Experiences pt 2	Final quiz on Units 4-6. Course wrap up.

**【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】**

Students are expected to complete homework assignments prior to the next class session.

Approximately 1-2 hours of homework is required of students every week.

**【テキスト (教科書)】**

Speak Your Mind Level 2 (MacMillan publishing)

Other handouts and materials related to course content will be distributed in class. Students should have a notebook and/or loose sheets of paper to take notes and to hand in homework.

**【参考書】**

References: Always bring a dictionary to class (paper or electronic OK).

**【成績評価の方法と基準】**

Student Presentations: 60%

Quizzes, and other speaking and written assignments: 20%

Class Participation: 20%

**【学生の意見等からの気づき】**

Instructor will provide more online feedback when necessary for students.

**【その他の重要事項】**

Students are allowed up to 3 unexcused absences per semester. Students who are absent for a presentation day must provide documentation for their absence, such as a COVID certificate. Arriving late to class twice = one absence (except for a good reason, such as illness or late trains)

**【Outline (in English)】**

This course is designed to develop language skills necessary for students to express themselves in English. The emphasis is on oral communication, and we will practice listening and speaking skills. Students will make several presentations throughout the semester. Students may also be required to write paragraphs and short essays.

LANe200LA

## 英語オーラル・コミュニケーション 2017 年度以降入学者 II

LASSEGARD JAMES

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

レベル 2,3 / 定員制 (24 名)

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to develop practical oral communication skills for students to express themselves in English.

## 【到達目標】

Students will improve their ability to express themselves in English in order to participate effectively in discussion and will learn how to give presentations and are engaging and informative.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

This course will be given entirely in English and face to face. Students will participate in a variety of activities, but emphasis will be on listening and speaking. These activities include dialogues, pair and group discussions, and presentations based on short reading or audio-visual materials. Students are expected to come to class prepared by doing the assigned reading and other homework.

Feedback on students' performance will be given in class, as well as through written assignments in class and online the University LMS. Students may also correspond with the instructor using e-mail or visit during office hours.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 7: Work and Careers	Course introduction; Review of grammar using summer vacation reports. Reading and discussion on working lives.
2	Unit 7: Work & Careers Pt.2	Instructions and Practice in writing a resume or CV.
3	Unit 8: Hobbies and Pastimes	Video & Worksheet activities and discussion. Research assignment.
4	Unit 8 Pt. 2	Students report on research on holidays and celebrations in various countries.
5	Unit 9: Housing and Living arrangements	Reading assignment and discussion on types of housing. Next Presentation instruction.
6	Unit 9: Housing Pt. 2	Students give presentations on a city or country.
7	Unit 10: Health & Wellbeing	Feedback on presentations. Reading and discussion on study habits and work-life balance. Writing assignment

8	Unit 10: Wellbeing Pt. 2	Writing assignment due. Video content & worksheet. Discussion.
9	Unit 11: Recycling and the Environment	Lecture and discussion. Vocabulary practice. Pairwork: writing dialogues.
10	Unit 11: Environment Pt. 2	Students perform dialogue in class. Review tips on giving effective presentations.
11	Unit 12: Social Groups	Textbook Reading activities. Reading, Discussion in pair and groups
12	Unit 12 Social groups and Networking.	Video worksheet and supplemental activities; final essay assignment due and vocabulary review.
13	Student Presentations	Quiz on Units 9-12. Student presentations
14	Class wrap up—End of year celebration	Return all presentation feedback. Discussion

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to prepare by reading ahead in the textbook, looking up unfamiliar vocabulary, and completing other activities assigned in class.

Approximately 1-2 hours of weekly homework are required of students in this class.

## 【テキスト（教科書）】

Speak Your Mind level 2 (MacMillan)

Other handouts and materials related to course content will be distributed in class. Students must have a notebook/binder and/or loose sheets of paper.

## 【参考書】

Always bring a dictionary to class (paper or electronic dictionaries are acceptable).

## 【成績評価の方法と基準】

Student Presentations: 60%

Quizzes and other speaking activities: 20%

Class participation: 20%

In principle, students are allowed no more than 3 unexcused absences during the semester. Two late notices are treated as one absence (unless for a good reason—such as train delays, etc. Students who are absent on a presentation day must provide documentation, such as a COVID19 certificate.

## 【学生の意見等からの気づき】

Instructor will provide students with more detailed online feedback when necessary.

## 【学生が準備すべき機器他】

Students should have access to a computer to prepare their Power Point slides for presentations. Students may use the instructor's computer to give their presentation if they wish.

## 【Outline (in English)】

While some attention will be given to all four skills, the emphasis is on oral communication, and we spend considerable classroom time practicing listening and speaking skills. Students will engage in classroom discussions, dialogue practice, and give short presentations on topics of interest.

LANe200LA

ビジネス・イングリッシュ I 2017 年度以降入学者

JOHN REILLY

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：1 単位

レベル 3,4 / 定員制 (24 名)

その他属性：〈優〉

**【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】**

The business skills learned, along with more general English language instruction received, will help students to communicate clearly and effectively in both global business environments and within Japanese companies that conduct international business.

**【到達目標】**

Student will gain confidence to share information in English while conducting business.

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

Class activities will include pair work, group work and discussions. Some written homework will be assigned. Students will compare class assignment answers in pairs or small groups after which the instructor will provide the correct answers.

**【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】**  
あり / Yes

**【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】**  
なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Introduction	Review syllabus and textbook
2	Unit 1: Pleased to meet you (1-6)	Introducing people Pages 7-10
3	Unit 1: Pleased to meet you (7-12)	Introducing people Pages 10-13
4	Unit 2: Who do you work for? (1-6)	Describing companies Pages 15-18
5	Unit 2: Who do you work for? (7-12)	Describing companies Pages 18-21
6	Unit 3: What do you do? (1-6)	Describing occupations Pages 23-25
7	Unit 3: What do you do? (7-12)	Describing occupations Pages 26-29
8	Unit 4: Can I leave a message (1-6)	Phone conversations Pages 31-34
9	Unit 4: Unit 4: Can I leave a message (7-12)	Phone conversations Pages 34-36
10	Unit 5: It's tough managing my time (1-6)	Describing time and schedules Pages 39-42
11	Unit 5: It's tough managing my time (7-12)	Describing time and schedules Pages 42-46
12	Unit 6 What do you call that thing? (1-6)	Talking about difficult words Pages 49-51
13	Unit 6 What do you call that thing?	Talking about difficult words Pages 52-55

14 Student Pair Final Exam  
Speaking  
Examination

**【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】**

Students will be expected to prepare for classes by reviewing the next pages in the textbook and completing some assignments.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

**【テキスト (教科書)】**

Communication Spotlight: Business 2 (Alastair Graham-Marr / ABAX ELT Publishers)

**【参考書】**

Students will be given supplemental material from time to time to increase their knowledge.

**【成績評価の方法と基準】**

Students will be evaluated on a pair-speaking exam (75%) and class participation (25%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

**【学生の意見等からの気づき】**

Student feedback on class activities is encouraged.

**【学生が準備すべき機器他】**

None

**【その他の重要事項】**

None

**【Outline (in English)】**

The business skills learned, along with more general English language instruction received, will help students to communicate clearly and effectively in both global business environments and within Japanese companies that conduct international business.

LANe200LA

ビジネス・イングリッシュⅡ 2017年度以降入学者

JOHN REILLY

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：1 単位

レベル 3,4 / 定員制 (24 名)

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The business skills learned, along with more general English language instruction received, will help students to communicate clearly and effectively in both global business environments and within Japanese companies that conduct international business.

## 【到達目標】

Student will gain confidence to share information in English while conducting business.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

Class activities will include pair work, group work and discussions. Some written homework will be assigned. Students will compare class assignment answers in pairs or small groups after which the instructor will provide the correct answers.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Introduction	Review syllabus and textbook
2	Unit 7: How much is that in Korean Won? (1-6)	Talking about money Pages 57-59
3	Unit 7: How much is that in Korean Won? (7-12)	Talking about money Pages 59-62
4	Unit 8: You need to download a form (1-6)	Giving instructions Pages 65-67
5	Unit 8: You need to download a form (7-12)	Giving instructions Pages 68-72
6	Unit 9: Do you like Indonesian food? (1-6)	Describing food Pages 75-77
7	Unit 9: Do you like Indonesian food? (7-12)	Describing food Pages 77-81
8	Unit 10: Do you have the sales figures? (1-6)	Working with large numbers Pages 83-86
9	Unit 10: Do you have the sales figures? (7-12)	Working with large numbers Pages 86-91
10	Unit 11: Make sure you keep all receipts (1-6)	Giving advice / Business trips Pages 93-95

11	Unit 11: Make sure you keep all receipts (7-12)	Giving advice / Business trips Pages 96-99
12	Unit 12 When's the trade fair? (1-6)	Describing future plans Pages 101-103
13	Unit 12 When's the trade fair? (7-12)	Describing future plans Pages 103-108
14	Student Pair Speaking Examination	Final Exam

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students will be expected to prepare for classes by reviewing the next pages in the textbook and completing some assignments.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

## 【テキスト（教科書）】

Communication Spotlight: Business 2 (Alastair Graham-Marr / ABAX ELT Publishers)

## 【参考書】

Students will be given supplemental material from time to time to increase their knowledge of business topics.

## 【成績評価の方法と基準】

Students will be evaluated on a pair-speaking exam (75%) and class participation (25%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

## 【学生の意見等からの気づき】

Student feedback on class activities is encouraged.

## 【学生が準備すべき機器他】

None

## 【その他の重要事項】

None

## 【Outline (in English)】

The business skills learned, along with more general English language instruction received, will help students to communicate clearly and effectively in both global business environments and within Japanese companies that conduct international business.



LANe200LA  
**English Reading and Vocabulary** 2017 年度以降入学者  
 I  
 ウォルター・カズマー

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 3/Tue.3  
 単位数：1 単位  
 レベル 4 / 定員制 (36 名)  
 その他属性：〈グ〉〈優〉

**【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】**

Students will learn English using 4 skill areas (speaking, listening, reading, and writing). Discussion and short essay writing skills will be focused on.

**【到達目標】**

Students will read and learn 5-10 new vocabulary items per class.

Students will also acquire ability to handle discussions about some text topics related to economic, political, and current events related issues

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

Skimming, scanning, reading for detail, reading for deep comprehension, taking dictations with cloze exercises, and role-plays based on new vocabulary.  
 Feedback will be given in Google classroom comments, via email or in feedback sessions in Zoom classes.

**【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】**  
 あり / Yes

**【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】**

なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Introduction	Present basic goals of course with examples.	Cover syllabus and basic ground rules for regular classes and tests.
Sustainable communities I	Keeping the social peace	Examining social goals for societies. Exploring cultural bonds.
Sustainable communities II	Social peace	Deepening understanding of social boundaries and possible conflicts.
Dilemma for a responsible tourist I	Tourists and value they bring to societies	How tourism affects our lives in both positive and negative ways.
Dilemma for a responsible tourist II	New trends of tourism	Ponder tourism negatives and positive outcomes

Protecting our world heritage I	Protecting our cultural artifacts	How buildings are preserved and design shows our history
Protecting our world heritage I	Looking at historical buildings and the events they show	Why are these buildings important for remembering history?
No more Bananas I	Engineered food and possible consequences	Quiz 1 Researching food sources and why variety is important
No more Bananas I	Scientists develop strains and their goals	Science and its end goals and how they might ruin our health
Blowing whistles I	Corruption and its problems	Looking at corporate problems and how difficult they are to solve
Blowing whistles I	Witness to government waste	Trying to eliminate waste
Breaking the law I	Bad laws	Examining when do you have an obligation to protest
Breaking the law I	Well meaning laws	Quiz 2 Researching laws that don't cover all circumstances
Summary	Taking a look at useful words learned	Reviewing useful vocabulary and its parameters

**【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】**

Some reading and vocabulary review.  
 University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

**【テキスト (教科書)】**

Issues that matter - Kinseido  
 ISBN 9784764740617 or 1921082018006

**【参考書】**

N/A

**【成績評価の方法と基準】**

Class participation 33%  
 Homework 34%  
 Review quizzes 33%  
 For all English courses on Ichigaya campus, the guideline is as follows: "In principle, no more than 3 absences per term are allowed."

**【学生の意見等からの気づき】**

N/A

**【学生が準備すべき機器他】**

English to English dictionary or web dictionary, paper, smartphone or PC

**【その他の重要事項】**

Contact email  
 kasmersensei@gmail.com  
 or  
 walter.kasmer.y4@hosei.ac.jp

**【Outline (in English)】**

Students will learn English using 4 skill areas (speaking, listening, reading, and writing). Discussion and short essay writing skills will be focused on.

LANe200LA

English Reading and Vocabulary 2017 年度以降入学者 II

ウォルター・カズマー

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 3/Tue.3

単位数：1 単位

レベル 4 / 定員制 (36 名)

その他属性：〈グ〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Students will learn English using four skill areas (listening, speaking, writing, and reading). Students will focus on improving discussion and short essay writing.

【到達目標】

Students will read and learn 5-10 new vocabulary items per class.

Students will acquire discussion skills to handle discussions about economic, political, and current events topics.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Skimming, scanning, reading for detail, reading for deep comprehension, taking dictations with cloze exercises, and role-plays based on new vocabulary.

Feedback will be given in Google classroom comments, via email or feedback sessions in Zoom classes.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Introduction	Present basic goals of course with examples.	Cover syllabus and basic ground rules for regular classes and tests.
Food politics	Food politics	How do we get our food?
Food politics II	Sourcing our food	Positives and negatives of climate change on food sourcing
Food in-equality I	Food and its effects on society	Look at how inequalities affect our food
Recycling	recycling and government regulation	Show and discuss government regulations that try to reduce waste
Recycling II	Covering aspects of structure and use of waste	Looking at waste usage
Blowing whistles	Whistle blowing vs leaking	How whistle blowing affects us
Blowing whistles II	Consequences of leaking	Government actions vs leaking
Protesting	Protesting	Reasons why people protest

Protesting II	Handling protests	Why people protest and how governments handle it
Fake news	Where does fake news come from?	Talking about fake vs real news
Fake news II	Social media and fake news	Why social media is full of it
review of unit questions I	Review course of unit themes	Discussions of unit themes
review of unit issues and Summary	Review course of unit themes	Discuss course related themes.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Prepare presentation material and review vocabulary lists. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Issues that matter- Kinseido ISBN 978-4-7647-4061-7

【参考書】

N/A

【成績評価の方法と基準】

Class participation 33%

Homework 34%

Quizzes 33%

For all English courses on Ichigaya campus, the guideline is as follows: "In principle, no more than 3 absences per term are allowed."

【学生の意見等からの気づき】

Require more use of English by students

【学生が準備すべき機器他】

English to English dictionary or web dictionary, paper, writing instrument

【その他の重要事項】

Contact email

kasmersensei@gmail.com

or

walter.kasmer.y4@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

Students will learn English using four skill areas (listening, speaking, writing, and reading). Students will focus on improving discussion and short essay writing.

LANe200LA  
**English Reading and Vocabulary** 2017 年度以降入学者  
 I  
 ERIC J RITTER  
 開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 3/Wed.3  
 単位数：1 単位  
 レベル 4 / 定員制 (36 名)  
 その他属性：〈グ〉〈優〉

**【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】**

Students will improve their reading skills and vocabulary knowledge. Each lesson will be divided into learning new vocabulary and then practicing it via pair and group work. The vocabulary will be used in the readings that follow.

**【到達目標】**

1. Students will understand and utilize the writing process of planning, writing, and re-writing.
2. They will learn to understand the gist, details of short articles they read and summarize a magazine article.
3. Students will improve their reading speed and increase their vocabulary knowledge.

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

This will be an online class so students should be prepared to use Zoom. Students will learn new vocabulary from textbook and reinforce it via discussion and readings. Feedback will be given in class and via Google classroom.

**【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】**  
 あり / Yes

**【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】**  
 なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 1	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
2	Unit 2	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
3	Unit 3	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
4	Unit 4	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension.
5	Unit 5	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension.

6	Unit 6	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion Feedback
7	Midterm	
8	Unit 7	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
9	Unit 8	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
10	Unit 9	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
11	Unit 10	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
12	Unit 11	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
13	Unit 12	Learn new vocabulary. Reading story. Homework: prepare for final exam.
14	Final exam	feedback

**【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】**

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. Students will study vocabulary on Quizlet and read articles.

**【テキスト (教科書)】**

Paul Nation: 4000 Essentials Words Book 4 (2nd edition). Perfect Paperback

**【参考書】**

Book and Quizlet should be studied.

**【成績評価の方法と基準】**

50% quizzes and exams  
 25% writing exercises using new words  
 25% effort and participation  
 No more than 3 absences or missed assignments are allowed.

**【学生の意見等からの気づき】**

No feedback

**【学生が準備すべき機器他】**

Internet enabled device to participate in class with Zoom. Students should also be familiar with Google classroom and Hoppii.

**【Outline (in English)】**

Students will improve their reading skills and vocabulary knowledge. Each lesson will be divided into learning new vocabulary and then practicing it via pair and group work. The vocabulary will be used in the readings that follow.

LANe200LA

English Reading and Vocabulary 2017 年度以降入学者  
II

ERIC J RITTER

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：1 単位

レベル 4 / 定員制 (36 名)

その他属性：〈グ〉〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Students will improve their reading skills and vocabulary knowledge. Each lesson will be divided into learning new vocabulary and then practicing it via pair and group work. The vocabulary will be used in the readings that follow.

## 【到達目標】

1. They will learn to understand the gist, details of short articles they read and summarize a magazine article.
2. Students will improve their reading speed and increase their vocabulary knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

Students will learn new vocabulary from textbook and reinforce it via discussion and readings. Feedback will be given in class and via Google classroom.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 13	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
2	Unit 14	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
3	Unit 15	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
4	Unit 16	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
5	Unit 17	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
6	Unit 18	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion

7	Unit 19	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
8	Midterm Exam	Feedback
9	Unit 20	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
10	Unit 21	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
11	Unit 22	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
12	Unit 23	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
13	Unit 24	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
14	Final Exam	Review

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hour a week for a two-credit class for a 2 hour class and 1 hour a week for a 1 hour class. Students will study vocabulary on Quizlet and read articles for homework before class.

## 【テキスト（教科書）】

Paul Nation: 4000 Essentials Words Book 4 (2nd edition). Perfect Paperback

## 【参考書】

None

## 【成績評価の方法と基準】

50% quizzes and exams  
25% writing exercises using new words  
25% effort and participation  
In principle, no more than 3 absences are allowed.  
Feedback will be given in class and via Google classroom.

## 【学生の意見等からの気づき】

None

## 【Outline (in English)】

Students will improve their reading skills and vocabulary knowledge. Each lesson will be divided into learning new vocabulary and then practicing it via pair and group work. The vocabulary will be used in the readings that follow.

LANe200LA

English Academic Writing I 2017 年度以降入学者

PAUL K KALLENDER

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

レベル 4 / 定員制 (24 名)

その他属性：〈グ〉〈優〉

**【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】**

This is a pre-intermediate course focused on writing skills but also containing reading, aimed at using a CLIL approach toward building key basic writing skills, including the ability to write paragraphs and articles on topics using correct grammar and logical narrative structure. There will also be some chance to discuss the topics written about in the class.

**【到達目標】**

Students are expected to advance both their writing skills and also their reading skills, particularly however extra emphasis will be placed on writing skills.

Students are expected to

1. Improve their basic grammar
2. Develop the ability to write increasingly complex sentences
3. Understand and improve their ability to write paragraphs
4. Understand how to combine paragraphs to form coherent narratives
5. Improve not only their vocabulary but also cultural knowledge

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

Each week students will read a topic, answer vocabulary questions on it, write sentences on the topic, study several grammar points, practice those grammar points, and write short paragraphs on the topic. There will also be chances to talk about each week's topic.

The instructor will check the completion of student work, especially writing, in class. The instructor will give verbal feedback and make corrections to student work during each class. If the students have any difficulties, they may contact the instructor via the email address provided.

**【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】**  
あり / Yes

**【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】**  
なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Class 1	Introduction and general outline of the course: Special days	Skills: The sentence, capitalization; writing about holidays.
Class 2	Birthdays around the world:	Skills: The paragraph; writing about your birthday.
Class 3	Places 1	Skills: Adjectives; writing about a city.
Class 4	Places 2	Skills: Comparative & superlative adjectives; writing about Japan.
Class 5	Health 1	Skills: Using when; writing about sleep habits.

Class 6	Health 2	Skills: Adverbs; writing about laughing.
Class 7	Customs 1	Skills: Countable & uncountable nouns; writing about a special day.
Class 8	Customs 2 Mid-Term Writing Test	Prepositions and prepositional phrases; writing about a meal. Mid-Term Writing Test
Class 9	Food 1	Skills: Instructions; writing about favorite food.
Class 10	Food 2	Skills: The pronouns it and then; writing about a favorite drink.
Class 11	Inventors & their Inventions 1	Skills: Using as ... as ...; writing about technology.
Class 12	Inventors & their Inventions 2	Skills: Using too and very
Class 13	Amazing People 1	Skills: Questions and Prepositions; writing about a classmate.
Class 14	Amazing People 2 End-of-Term Writing Test	Skills: Writing about someone's life, different ways of expressing time. End-of-Term Writing Test

**【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】**

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students are expected to review and learn any unfamiliar vocabulary or grammar covered in the class and to preview vocabulary and grammar for the upcoming lesson. In particular, students are to review their paragraph writing assignments and prepare for the mid-term and end-of-term formal writing tasks so that their grammar, syntax, and narrative structure are at the appropriate level.

**【テキスト (教科書)】**

Required Textbook:  
Milada Broukal, Weaving It Together 1 (Fourth Edition), Cengage Learning. ISBN 978-1-305-25164-9

**【参考書】**

Supplied by the Instructor

**【成績評価の方法と基準】**

Mid-Semester Exam: 25%

This will be a timed writing exercise submitted to Hoppi

Final Exam: 25%

This will be a timed writing exercise submitted to Hoppi

In-Class Performance: 50%

This will be a textbook completion check and review

\*\*\*Students please note: No more than 3 absences per term are allowed.

**【学生の意見等からの気づき】**

None

**【学生が準備すべき機器他】**

1. Each student should bring a B5 notebook, sharp pencil, and eraser, and have an electronic dictionary ready.
2. The instructor will explain vocabulary upon request if another student does not know the answer.
3. The use of smartphones for social media, etc. not related to the academic work in the class is strictly prohibited.

**【その他の重要事項】**

1. Please address me as Mr. Kallender
2. Please always state your first name, family name, class name, and period name.

For Example:

Dear Mr. Kallender,

My name is Taro Suzuki.

I am a student in (Writing)(7)A

I could not attend today / cannot attend tomorrow (etc.)  
because of a fever.

I will bring a medical certificate next week.

**【Outline (in English)】**

Building on the English language skills acquired in prior required courses, students will work on developing the type of language skills they will need to begin to write steadily more advanced, grammatically correct sentences and small (5 paragraph, 700-word) articles.

LANe200LA

English Academic Writing II 2017 年度以降入学者

PAUL K KALLENDER

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

レベル 4 / 定員制 (24 名)

その他属性：〈グ〉〈優〉

**【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】**

Moving on from the first semester this course continues to use the same CLIL approach toward building key basic writing skills, including the ability to write paragraphs and articles on topics using correct grammar and logical narrative structure. There will also be some chance to discuss the topics written about in the class.

**【到達目標】**

Building on the English language skills acquired in prior required courses, students will work on developing the type of language skills they will need to begin to write steadily more advanced, grammatically correct sentences and small (5 paragraph, 700-word) articles.

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

Each week students will read a topic, answer vocabulary questions on it, write sentences on the topic, study several grammar points, practice those grammar points, and write short paragraphs on the topic. There will also be chances to talk about each week's topic.

The instructor will check the completion of student work, especially writing, in class. The instructor will give verbal feedback and make corrections to student work during each class. If the students have any difficulties, they may contact the instructor via the email address provided.

**【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】**  
あり / Yes

**【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】**  
なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Class 1	Course Introduction and Topic: Your Personality	READING 1 Right Brain, Left Brain SKILLS The Paragraph   Capitalization Rules   The Title
Class 2	Your Personality 2	READING 1 Right Brain, Left Brain SKILLS The Paragraph   Capitalization Rules   The Title
Class 3	Food 1	READING 1 Live a Little: Eat Potatoes! WRITING 1 SKILLS The Topic Sentence PRACTICE Writing about food or drink

Class 4 Food 2

READING 2  
Bugs, Rats, and Other Tasty Dishes  
WRITING 2  
SKILLS Supporting Sentences |  
Concluding Sentences  
PRACTICE Writing about a special food

Class 5 Celebrations and Special Days 1

SKILLS Supporting Sentences |  
Concluding Sentences  
PRACTICE Writing about a special food  
READING 2  
Celebrating a Fifteenth Birthday  
WRITING 2  
SKILLS Main and Dependent Clauses |  
Writing a Dependent Clause with  
before or after  
PRACTICE Writing about a celebration

Class 7 Amazing People 1

READING 1  
Barrington Irving's Dream to Fly  
WRITING 1  
SKILLS Unity | Irrelevant Sentences  
PRACTICE Writing about the qualities of  
a person or a pet

Class 8 Amazing People 2

Writing Test 1  
READING 2  
The Fearless Fiennes  
WRITING 2  
SKILLS Introducing Examples  
PRACTICE Writing about a person

Class 9 Nature Attacks! 1

Lightning  
WRITING 1  
SKILLS Writing a Narrative Paragraph  
with Time Words | The  
Comma (,)  
with Time and Place  
Expressions  
PRACTICE Writing about a frightening  
experience

Class 10 Nature Attacks! 2

READING 2  
Chasing Storms  
WRITING 2  
SKILLS Introducing Reasons  
with  
because  
PRACTICE Writing about  
dangerous  
weather

Class 11 Inventions 1

READING 1  
The GoPro Camera  
WRITING 1  
SKILLS Introducing Effects  
with so  
and therefore  
PRACTICE Writing about an  
invention

Class 12	Inventions 2	READING 2 What's in a Name? WRITING 2 SKILLS Writing Business Letters PRACTICE Writing a business letter
Class 13	Customs and Traditions 1	READING 1 Flowers, Dishes, and Dresses WRITING 1 SKILLS Comparing and Contrasting   Showing Contrast with however   Showing Similarity with similarly and likewise PRACTICE Writing about wedding customs
Class 14	Customs and Traditions 2	Writing Test 2 READING 2 What's in a Name? WRITING 2 SKILLS Writing Business Letters PRACTICE Writing a business letter

**【学生が準備すべき機器他】**

1. Each student should bring a B5 notebook, sharp pencil, and eraser, and have an electronic dictionary ready.
2. The instructor will explain vocabulary upon request if another student does not know the answer.
3. The use of smartphones for social media, etc. not related to the academic work in the class is strictly prohibited.

**【その他の重要事項】**

1. Please address me as Mr. Kallender
2. Please always state your first name, family name, class name, and period name.

For Example:

Dear Mr. Kallender,

My name is Taro Suzuki.

I am a student in (Writing)(7) B

I could not attend today / cannot attend tomorrow (etc.) because of a fever.

I will bring a medical certificate next week.

**【Outline (in English)】**

Building on the English language skills acquired in prior required courses, students will work on developing the type of language skills they will need to begin to write steadily more advanced, grammatically correct sentences and small (5 paragraph, 700-word) articles.

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。  
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. This is a one-credit course. Each class has a pre-reading assignment for homework and students are expected to discuss their answers in the following class. Students should make a note of unknown words or expressions in a B-5 notebook.

**【テキスト（教科書）】**

Milada Broukal, Weaving It Together 2, 4th Edition,  
センテージ ラーニング株式会社  
ISBN: 978-1-305-25165-6

**【参考書】**

Will be supplied by the instructor

**【成績評価の方法と基準】**

Mid-Semester Exam 20%

This is a practical writing class. Students are expected to complete, in class, an initial timed writing test comprising of a composition of one or several paragraphs, in which they are expected to demonstrate their understanding of the grammar and syntax taught. This will be a timed writing exercise submitted to Hoppi

Final Exam 20%

Students are expected to complete, in class, an initial timed writing test comprising a composition of at least three paragraphs, in which they are expected to demonstrate their understanding of the grammar and syntax taught.

In-Class Performance 50%

This class consists of the filling in of many sentences of writing, offering sustained writing practice. Students are expected to complete all assigned tasks demonstrating an understanding of the grammar and syntax being practiced while writing complete sentences. There are two textbook inspections, one during the mid-term, and one during the end-of-term test.

Other criteria 10%

\*\*\*Students please note: No more than 3 absences per term are allowed.

**【学生の意見等からの気づき】**

No changes



LANe200LA

English Academic Writing I 2017 年度以降入学者

MARK D BURNS

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

レベル 4 / 定員制 (24 名)

その他属性：〈グ〉〈優〉

**【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】**

The primary objective of this class is to develop basic paragraph writing skills. The course provides practice in writing, structuring and ordering paragraphs in clear communicative English. Students will compose short 2-paragraph to 5-paragraph papers on a wide range of subjects and purposes.

**【到達目標】**

This subject aims to equip learners with the basics of written communication in English. It will help learners become familiar with clear paragraph structure. Starting from writing short 2-paragraph papers, students will finally be able to write longer well-structured 5-paragraph pieces.

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

In this subject, classes will be conducted in English and will cover each unit of the textbook. Supplementary activities will be provided to increase familiarity with frequently used, but non-specific, academic language. Students will read and critique each others' essays and learn from the strengths of the best papers selected by the class. This will be done anonymously to prevent any embarrassment. Individual feedback will be provided.

**【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】**  
なし / No

**【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】**  
なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Ori-entation	Overview of the course and warm up	Overview of Academic Writing I subject and explaining rules for assignment submissions and how the best assignments will be selected.
Unit 1a	Writing a paragraph about me	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to write expository paragraphs and topic sentences
Unit 1b	Analysis of written assignment 1	Reading and selecting best paper. Focusing on paragraph format
Unit 2a	Writing a paragraph about another students possible career	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to write logical conclusions
Unit 2b	Analysis of written assignment 2	Reading and selecting best paper. Focusing on the use of conjunctions
Unit 3a	Writing a paragraph about your partner's future success	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to support topic sentences with facts and examples

Unit 3b	Analysis of written assignment 3	Reading and selecting best paper. Focusing on direct and indirect speech
Unit 4a	Writing a paragraph about an invention	Preparation, brainstorming main ideas, how to write definition paragraphs and attention getters
Unit 4b	Analysis of written assignment 4	Reading and selecting best paper. Focusing on avoiding repetition
Unit 5a	Writing a paragraph about an important event in your life	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to write cause-and-effect and introductory paragraphs
Unit 5b	Analysis of written assignment 5	Reading and selecting best paper. Focusing on cause-and-effect words
Unit 6a	Writing a paragraph about an exciting destination	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to write process paragraphs and make suggestions
Unit 6b	Analysis of written assignment 6	Reading and selecting best paper. Focusing on using modifiers
End-term assignment	Final assignment feedback	Final assignment feedback

**【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】**

Students are expected to edit, type up and print out a written assignment once every 2 weeks.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

**【テキスト (教科書)】**

Writing from Within 2 (2nd Edition) Curtis Kelly and Arlen Gargagliano Cambridge University Press ISBN 978-0-521-18834-0

**【参考書】**

A good Japanese-English dictionary

**【成績評価の方法と基準】**

Assessment will consist of in-class participation (40%), 7 written assignments (60%)

**【学生の意見等からの気づき】**

Supplementary activities have been added to increase familiarity with frequently used, but non-specific, academic language. Students can participate via Zoom in emergencies.

**【その他の重要事項】**

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

**【Outline (in English)】**

The primary objective of this class is to develop basic paragraph writing skills. The course provides practice in writing, structuring and ordering paragraphs in clear communicative English. Students will compose short 2-paragraph to 5-paragraph papers on a wide range of subjects and purposes.

LANe200LA

English Academic Writing II 2017 年度以降入学者

MARK D BURNS

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

レベル 4 / 定員制 (24 名)

その他属性：〈グ〉〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The primary objective of this class is to further develop basic paragraph writing skills. The course provides practice in writing, structuring and ordering paragraphs in clear communicative English. Students will compose short 2-paragraph to 5-paragraph papers on a wide range of subjects and purposes.

## 【到達目標】

This subject aims to equip learners with the basics of written communication in English. It will help learners become familiar with clear paragraph structure. Starting from writing short 2-paragraph papers, students will finally be able to write longer well-structured 5-paragraph pieces.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

In this subject, classes will be conducted in English and will cover each unit of the textbook. Supplementary activities will be provided to increase familiarity with frequently used, but non-specific, academic language. Students will read and critique each others' essays and learn from the strengths of the best papers selected by the class. This will be done anonymously to prevent any embarrassment. Individual feedback will be provided.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】  
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Ori-entation	Overview of the course and warm up	Overview of Academic Writing II subject and explaining rules for assignment submissions and how the best assignments will be selected.
Unit 7a	Writing a research report about your classmates	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to write classification and concluding paragraphs
Unit 7b	Analysis of written assignment 7	Reading and selecting best paper. Focusing on punctuation
Unit 8a	Writing an article about good and bad interview techniques	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to write comparison and contrast paragraphs
Unit 8b	Analysis of written assignment 8	Reading and selecting best paper. Focusing on giving advice
Unit 9a	Writing a letter to your future self about your goals	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to write persuasive paragraphs

Unit 9b	Analysis of written assignment 9	Reading and selecting best paper. Focusing on parallel construction
Unit 10a	Writing a composition about your own dorm design	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to write division paragraphs
Unit 10b	Analysis of written assignment 10	Reading and selecting best paper. Focusing on articles
Unit 11a	Writing a composition about an important person in your life	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to link paragraphs
Unit 11b	Analysis of written assignment 11	Reading and selecting best paper. Focusing on subject-verb agreement
Unit 12a	Writing a newspaper article	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to write in objective, persuasive or entertaining styles
Unit 12b	Analysis of written assignment 12	Reading and selecting best paper. Focusing on verb variety
End-term assignment	Final assignment	Analysis of end-term assignments

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to edit, type up and print out a written assignment once every 2 weeks.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

## 【テキスト（教科書）】

Writing from Within 2 (2nd Edition) Curtis Kelly and Arlen Gargagliano Cambridge University Press ISBN 978-0-521-18834-0

## 【参考書】

A good Japanese-English dictionary

## 【成績評価の方法と基準】

Assessment will consist of in-class participation (40%), 7 written assignments (60%)

## 【学生の意見等からの気づき】

Supplementary activities have been added to increase familiarity with frequently used, but non-specific, academic language. Students can participate via Zoom in emergencies.

## 【その他の重要事項】

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

## 【Outline (in English)】

The primary objective of this class is to further develop basic paragraph writing skills. The course provides practice in writing, structuring and ordering paragraphs in clear communicative English. Students will compose short 2-paragraph to 5-paragraph papers on a wide range of subjects and purposes.

LANe200LA

English Academic Writing I 2017 年度以降入学者

ALAN M NICHOLLS

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

レベル 4 / 定員制 (24 名)

その他属性：〈グ〉〈優〉

**【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】**

This course will enable the student to acquire and develop academic writing skills. Among the methods used will be sharing & discussing your own work with class members, in pairs or small groups. This course will emphasize "Academic Writing as a Process." Students will learn the structure of Academic paragraphs, different paragraph styles (Opinion, comparison, description) and appropriate formatting techniques and correct use of punctuation.

**【到達目標】**

The student will be able to prepare a paragraph with the basic structure of: Topic sentence (with Main Idea), supporting ideas and detail sentences.

Students will be able to communicate his/her thoughts, in written format, to an Academic audience. The course will cover: paragraph development, grammar structures for different paragraph styles and paragraph organization.

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

Students will work in pairs or groups to develop paragraphs. In-class worksheets and homework assignments will check the students understanding of the different paragraph styles. Videos of Academic presentations will be used to compare the similarities between written and oral presentations.

All assignments will be distributed, submitted and returned to students digitally via Google Classroom. Written assignments will be returned with detailed comments on how students can improve their writing skills.

**【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】**  
あり / Yes

**【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】**  
なし / No

**【授業計画】** 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1.	Introduction	Introductions Course overview Assessment Classroom Management
2.	Process Writing. Generative A.I.	Six Steps of Academic Writing. Using outlines. Using Generative A.I.
3.	Getting ready. TOEIC Test 1.	Choosing a Topic Brainstorming Editing Describing a photograph
4.	Paragraph structure	Topic Sentence Supporting sentences Concluding sentence

5.	Paragraph Development. Peer editing	Styles of support Detail, Explanation, Example. Give constructive feedback using on-line sharing.
6.	Descriptive Writing	Using Adjectives: describing people and places.
7.	Descriptive Paragraphs	Describing a process using connectors. Keeping ideas connected and in order
8.	TOEIC Test 2 Opinion Paragraphs.	Introduce opinion v.s. fact. Modal Auxiliary Verbs.
9.	Opinion Paragraphs	Convincing the reader. Causal Adverbs. Checking Punctuation.
10.	Compare and Contrast Paragraphs.	Comparative Structures.
11.	Advantages/Disadvantages	Block vs. Point by Point organization. Trend Verbs.
12.	Problem/Solution Paragraphs.	Using Conditional Structures.
13.	Present a paragraph.	Identify the key features of a paragraph.
14.	Presentation Worksheet 2	Summarize paragraphs, Review Worksheet units 1 to 7. Wrap up.

**【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】**

University guidelines suggest preparation and review are around 2 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

Homework assignments writing different styles of paragraph.  
Pre-reading of Text.

Worksheets related to Text.

All assignments written in digital format and submitted via Google Classroom.

To assist in providing feedback, Google Docs format is preferred.

**【テキスト (教科書)】**

"Writing Essays: From Paragraph to Essay" by Dorothy E Zemach and Lisa A Ghulldu MACMILLAN Writing Series.

**【参考書】**

To be advised

**【成績評価の方法と基準】**

Homework Assignments:30%

Worksheet Assignments: 20%

Pair and Group Participation: 10%

Presentation: 10%

Mini-tests: 20%

Word Puzzles:10%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

**【学生の意見等からの気づき】**

None

**【学生が準備すべき機器他】**

A device (Laptop or Tablet) that supports word processor software. Smartphones are OK but are more difficult for students to use. Students will be required to know their Hoseni Gmail account details. Students may use voice recognition software and will use Generative Artificial Intelligence applications. Google Docs is the required format for submitting written assignments.

**【その他の重要事項】**

We will use Google "Classroom" to send, submit and record all assignments. Please download Google Classroom to your device before our first class. The "Course Code is: quedeqp

**【Outline (in English)】**

This course will enable the student to acquire and develop academic writing skills. Among the methods used will be sharing & discussing your own work with class members, in pairs or small groups. This course will emphasize "Academic Writing as a Process." Students will learn the structure of Academic paragraphs, different paragraph styles (Opinion, comparison, description) and appropriate formatting techniques and correct use of punctuation.

LANe200LA

English Academic Writing II 2017 年度以降入学者

ALAN M NICHOLLS

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

レベル 4 / 定員制 (24 名)

その他属性：〈グ〉〈優〉

**【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】**

This course will enable the student to acquire and develop ACADEMIC ESSAY writing skills. This course will emphasize "writing as a process".

Students will learn the structure of Academic ESSAYS using different paragraph styles and appropriate formatting techniques. Students will learn cohesion and unity in an essay and the use of essay outlines. Finally, students will prepare and present an academic style Essay.

**【到達目標】**

This course will enable the student to acquire and develop academic writing skills for interview situations and written English tests (TOEIC/IELTS/TOFEL) where candidates have a limited time to prepare an essay. A final assignment will be a document suitable for submission as an academic essay. Students will use Generative Artificial Intelligence to generate an essay and then decompose the essay to its component parts.

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

Among the methods used will be sharing & discussing one's work with class members in pair work and small groups. Students will also practice using peer editing with online documents. In a final presentation, the student will demonstrate their understanding of the features of an academic essay.

All assignments will be distributed, submitted and returned to students digitally via Google Classroom. Written assignments will be returned with detailed comments on how students can improve their writing skills.

**【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】**  
あり / Yes

**【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】**  
なし / No

**【授業計画】 授業形態：オンライン/online**

回	テーマ	内容
1.	Introduction	Introduction Course Overview Assessment Classroom Management
2.	Applications for Essay writing	Greet New students. Voice recognition and Generative AI software.
3.	Writing to communicate opinions or new ideas.	Aim to make reading easy so the audience will accept ideas.
4.	The structure of a short Essay	Introduction, body paragraphs, conclusion. The Waffle Puzzle

5.	Introduction Paragraphs	The goal of the Introduction and Thesis statement. Homework 1.
6.	Prepare an Outline	Use the Thesis to develop body paragraphs. Using numbered lists.
7.	Introduce the TOEIC test 3.	What is the TOEIC Test 3?
8.	TOEIC Test 3 - In-class	Practice completing the TOEIC test 3 in-class. Review and discuss for weak points.
9.	Unity in Essays	Linking the paragraphs to achieve Unity.
10.	Introduce The TOEFL tests.	What is in the TOEFL Test? What do examiners want to see? Worksheet.
11.	TOEFL Test - In-class practice.	Take the TOEFL Test in-class. Review and discuss weak points.
12.	Cohesion in Writing.	Devices to increase Cohesion in Essays. Worksheet Units 10 and 11.
13.	The IELTS Test.	What is the IELTS test? How to achieve a good score. Worksheet.
14.	The IELTS Test.	Complete the IELTS test in-class. Review and discuss in-class.

**【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】**

University guidelines suggest preparation and review are around 2 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

Homework assignments will be set. There will also be short Worksheets based upon material presented during lessons and the Text.

**【テキスト (教科書)】**

"Writing Essays from Paragraph to Essay" by D.E. Zemach and Lisa A Ghulldu, MACMILLIAN Writing Series.

**【参考書】**

To be advised

**【成績評価の方法と基準】**

Homework assignments: 20%

Classroom Worksheets: 20%

Pair and Group Participation:20%

Writing Tests: 30%

Waffle Puzzle: 10%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

**【学生の意見等からの気づき】**

None

**【学生が準備すべき機器他】**

A device (Laptop or Tablet) that supports word processor software. Smartphones are OK but are more difficult for students to use when writing essays. Students will be required to know their Hosei Gmail account details. Students may use voice recognition software and will use Generative A.I. software. Google Docs is the preferred format for submitting assignments.

**【その他の重要事項】**

We will use Google "Classroom" to send, submit and record all assignments. Please download "Google Classroom" to your laptop or tablet at the start of semester. The Course Code is: dwd36fk

**【Outline (in English)】**

This course will enable the student to acquire and develop academic writing skills. This course will emphasize "writing as a process.

Students will learn the structure of academic ESSAYS using different paragraph styles and appropriate formatting techniques. Students will learn cohesion and unity in an essay and the use of essay outlines. Finally, students will prepare and present an academic style Essay.

LANe200LA

## 英語で学ぶ社会と文化 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：マスメディアで読む世界情勢

田中 邦佳

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 3/Tue.3

単位数：1 単位

レベル 2,3 / 定員制 (36 名)

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

ニューヨークタイムズ紙の記事の読解をします。授業のテーマの 1 つ目は、難解な英文になると把握が難しくなる文の主部・述部など英語のセンテンスの文法的構造を理解することです。2 つ目のテーマは、パラグラフ全体の内容を日本語にまとめて説明することです。1 文ずつの内容の把握だけではなく、より長い単位で記事の内容を把握し、他の人に説明できるようになることが授業の目標となります。

## 【到達目標】

- ・一文が長い英文や複雑な構造の英文を読解する
- ・ある程度まとまった量の英文の内容を人に伝わるような日本語で説明する
- ・様々な分野で用いられる英語の語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

テキストは目安として 2～3 回の授業で 1 章分というペースで進めることを目標とします。1 章毎に内容確認の小テストを実施する予定です。特に難解な文については解説を行います。一字一句全て訳していくようなことはしません。各適宜、グループワークを行い、参加者が自ら語彙・フレーズ・文法について確認し、パラグラフの要旨のまとめ方、提示された課題について考察します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。授業計画は授業の展開によって若干、変更する可能性があります。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	Introduction	授業の進め方、評価についての説明します。
第 2 回	A Life Without Plastic プラなし生活を始めよう (前半)	記事を講読します。
第 3 回	A Life Without Plastic プラなし生活を始めよう (後半)	記事を講読します。
第 4 回	Rwanda Is Winning War on Plastic Bags ルワンダ発：ビニール袋は使えません (前半)	記事を講読します。
第 5 回	Rwanda Is Winning War on Plastic Bags ルワンダ発：ビニール袋は使えません (後半)	記事を講読します。

第 6 回	An Epidemic of Overweight Africans ケニア発：食糧難の国で肥満率が急上昇 (前半)	記事を講読します。
第 7 回	An Epidemic of Overweight Africans ケニア発：食糧難の国で肥満率が急上昇 (後半)	記事を講読します。
第 8 回	課題の振り返り	これまでの課題から見られる困難点についてフィードバックを行う。
第 9 回	West's Toxic E-Waste Despoils Thai Countryside タイ発：危険なりサイクル (前半)	記事を講読します。
第 10 回	West's Toxic E-Waste Despoils Thai Countryside タイ発：危険なりサイクル (後半)	記事を講読します。
第 11 回	College Cheating, A Global Business 宿題はゴーストライターにお任せ (前半)	記事を講読します。
第 12 回	College Cheating, A Global Business 宿題はゴーストライターにお任せ (後半)	記事を講読します。
第 13 回	まとめ方を考察する	記事の内容をシンプルにまとめる方法を考察する。
第 14 回	試験・まとめと解説	試験・まとめと解説

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。具体的には、授業の前に予習として記事を読んでおく必要があります。わからない単語や表現があれば辞書などで調べることが必要です。また、記事で扱われている内容について馴染みがなければその分野について調べる必要があります。記事の内容について把握し、他の授業参加者と議論できる程度の予習が必要です。

## 【テキスト (教科書)】

・ニューヨークタイムズ世界見聞、喜多留女 / Keith Wesley ADAMS 編注、英宝社。(2,100 円 + 税)

## 【参考書】

なし

## 【成績評価の方法と基準】

以下の配分で評価する。  
平常点および課題 (60%)  
期末テスト (40%)

欠席回数が通算 4 回に達した者は原則として単位取得の資格を失う。授業開始のチャイムから 30 分以降の遅刻は欠席と見なす。遅刻の回数が 3 回に達するごとに 1 回の欠席とする。未予習で出席した場合、私語など授業に積極的に参加する姿勢がみられない場合、その日を欠席と同等の扱いとする。

## 【学生の意見等からの気づき】

単純な英文の読解からは達成感が得られにくいことがわかりました。英文の意味の把握を課題にするだけでなく、特に重点的に考えるべき項目を明示的に提示しようと考えています。

## 【その他の重要事項】

受講希望者が多数の場合、初回の授業時に選抜を行う可能性があります。

## 【Outline (in English)】

Course outline: The aim of this course is to help students improve skills for English reading comprehension and for summarizing the contents of paragraphs.

Learning Objectives: At the end of the course, students are expected to understand the contents and intentions of English articles and briefly explain contents of articles.

Learning activities outside of classroom: University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Grading Criteria /Policy: Class Assignments 60%, Final Assignment (exam) 40%



LANe200LA

## 英語で学ぶ社会と文化Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：マスメディアで読む世界情勢

田中 邦佳

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 3/Tue.3

単位数：1 単位

レベル 2,3 / 定員制 (36 名)

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

ニューヨークタイムズ紙の記事の読解をします。授業のテーマの 1 つ目は、難解な英文になると把握が難しくなる文の主部・述部など英語のセンテンスの文法的構造を理解することです。2 つ目のテーマは、パラグラフ全体の内容を日本語にまとめて説明することです。1 文ずつの内容の把握だけではなく、より長い単位で記事の内容を把握し、他の人に説明できるようになることが授業の目標となります。

## 【到達目標】

- ・一文が長い英文や複雑な構造の英文を読解する
- ・ある程度まとまった量の英文の内容を人に伝わるような日本語で説明する
- ・様々な分野で用いられる英語の語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

テキストは目安として 2～3 回の授業で 1 章分というペースで進めることを目標とします。1 章毎に内容確認の小テストを実施する予定です。特に難解な文については解説を行います。一字一句全て訳していくようなことはしません。可能であればグループワークを行い、参加者が自ら語彙・フレーズ・文法について確認し、パラグラフの要旨のまとめ方、提示された課題について考察します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。授業計画は授業の展開によって若干、変更する可能性があります。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】  
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】  
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	Introduction	授業の進め方、評価についての説明します。
第 2 回	In China, Daydreaming Students Are Caught on Camera 中国発：教室の映像、全国に生配信中 (前半)	記事を講読します。
第 3 回	In China, Daydreaming Students Are Caught on Camera 中国発：教室の映像、全国に生配信中 (後半)	記事を講読します。

第 4 回 Last Chance Travel' 記事を講読します。

As the World Changes  
失われゆく土地を目指す旅 (前半)

第 5 回 Last Chance Travel' 記事を講読します。

As the World Changes  
失われゆく土地を目指す旅 (後半)

第 6 回 Chinese Babies, 記事を講読します。

Born Into Canadian Citizenship  
カナダ発：出生地主義の土地に妊婦殺到 (前半)

第 7 回 Chinese Babies, 記事を講読します。

Born Into Canadian Citizenship  
カナダ発：出生地主義の土地に妊婦殺到 (後半)

第 8 回 課題の振り返り これまでの課題から見られる困難点についてフィードバックを行う。

第 9 回 Human Contact Is 記事を講読します。

Now a Luxury Good  
タブレットの中で猫を飼う (前半)

第 10 回 Human Contact Is 記事を講読します。

Now a Luxury Good  
タブレットの中で猫を飼う (後半)

第 11 回 With Cloning, Pet 記事を講読します。

Owners in China  
Need Never Say Goodbye  
中国発：あなたのペット、クローンで蘇ります (前半)

第 12 回 With Cloning, Pet 記事を講読します。

Owners in China  
Need Never Say Goodbye  
中国発：あなたのペット、クローンで蘇ります (後半)

第 13 回 まとめ方を考察する 記事の内容をシンプルにまとめる方法を考察する。

第 14 回 試験・まとめと解説 試験・まとめと解説

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。具体的には、授業の前に予習として記事を読んでくる必要があります。わからない単語や表現があれば辞書などで調べることが必要です。また、記事で扱われている内容について馴染みがなければその分野について調べる必要があります。記事の内容について把握し、他の授業参加者と議論できる程度の予習が必要です。

## 【テキスト (教科書)】

・ニューヨークタイムズ世界見聞、喜多留女 / Keith Wesley ADAMS 編注、英宝社。(2,100 円 + 税)

## 【参考書】

なし

## 【成績評価の方法と基準】

以下の配分で評価する。  
平常点および課題 (60%)  
期末テスト (40%)

欠席回数が通算 4 回に達した者は原則として単位取得の資格を失う。

授業開始のチャイムから 30 分以降の遅刻は欠席と見なす。遅刻の回数が 3 回に達するごとに 1 回の欠席とする。未予習で出席した場合、私語など授業に積極的に参加する姿勢がみられない場合、その日を欠席と同等の扱いとする。

**【学生の意見等からの気づき】**

単純な英文の読解からは達成感が得られにくいことがわかりました。英文の意味の把握を課題にするだけでなく、特に重点的に考えるべき項目を明示的に提示しようと考えています。

**【Outline (in English)】**

Course outline: The aim of this course is to help students improve skills for English reading comprehension and for summarizing the contents of paragraphs.

Learning Objectives: At the end of the course, students are expected to understand the contents and intentions of English articles and briefly explain contents of articles.

Learning activities outside of classroom: University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Grading Criteria /Policy: Class Assignments 60%, Final Assignment (exam) 40%

LANe200LA

## 英語で学ぶ社会と文化 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：社会と文化の諸相を知る

## 根本 怜奈

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

レベル 3,4 / 定員制 (36 名)

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

現代社会の日常生活に関わる、「ネット文化」・「メディア」・「自然環境」・「テクノロジー」などをトピックとした英文を読み、英語の読解力を身につける。テキストで扱われているトピックについて、自分の意見や考えをまとめ、基本的な英語で表現する。

## 【到達目標】

1. テキストの英文を読解し、関連する練習問題を解くことにより、英文の読解力、語彙力を高めることを目指す。
2. テキストの練習問題を通して、文法力を高めることを目指す。
3. テキストのリスニング問題を通して、リスニング力を高めることを目指す。
4. テキストの英文について自身の考えや意見をまとめ、基本的な英語で表現する力を身につけることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

テキストに沿って進める。英文を読んだ後に、テキストの練習問題を通して全体の内容を確認し、英文についての理解を深める。適宜小テストを実施するので、予習と復習をしっかりとすることが望まれる。Chapter が 3 つか 4 つ終わるごとに、ライティング演習を行う。自分が興味を持ったトピックについて基本的な英語でライティングし、提出する。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である。適宜授業内でもフィードバックを行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の概要と方法の説明 必要であれば、受講者の選抜をする
第 2 回	Chapter 1	Going Viral
第 3 回	Chapter 2	Tourist Traps
第 4 回	Chapter 3	Deal Me In
第 5 回	Chapter 1 ~ Chapter 3 のまとめ	Chapter 1 ~ Chapter 3 の中のいずれかについて、ライティング
第 6 回	Chapter 4	Full Contact
第 7 回	Chapter 5	Fake News
第 8 回	Chapter 6	Dead as a Dodo
第 9 回	Chapter 7	It's a Dry Heat
第 10 回	Chapter 4 ~ Chapter 7 のまとめ	Chapter 4 ~ Chapter 7 の中のいずれかについて、ライティングと授業内発表
第 11 回	Chapter 8	Man's Best Friend
第 12 回	Chapter 9	The Wild West
第 13 回	Chapter 10	Man versus Beast
第 14 回	学期末課題	期末課題の提出と期末のまとめ

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

各 Chapter の英文について、必ず予習をすること。適宜小テストを実施するので、復習もしっかりすること。語彙ノートを作成し、単語・熟語の定着を目指す。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

## 【テキスト (教科書)】

Getting Ready to Change the World (『グローバル時代を生き抜く変革への視点』) (François de Soete 他著、成美堂、2,000 円 (税別)) 配布プリントで授業を行うことがある。英和・和英辞書を持参すること。

## 【参考書】

英和・和英辞書 (電子辞書でも紙媒体でも可)

## 【成績評価の方法と基準】

期末課題 (50%)、授業態度・授業内に課した課題 (ライティング課題の提出を重視) や小テストと各回のコメントを含む平常点 (50%) によって総合的に評価する。

4 回以上欠席した場合は、成績評価の対象にならない。授業開始から 30 分以上の遅刻は欠席となる。遅刻 2 回は欠席 1 回分としてカウントする。

スマートフォンの不適切な使用や居眠りなど、授業中の不適切な態度によっては、減点もしくは程度により、出席していても出席と認めない場合がある。

## 【学生の意見等からの気づき】

英作文のクラス内発表を通して、クラスメイトの意見や発表の仕方を参考にしよう促す。英作文などの課題において、テキスト内に出てきた語彙や表現の使用を促す。授業内でのスマートフォンの使用は原則教員が使用を許可した場合のみとする。

## 【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

## 【その他の重要事項】

授業形態のオンラインか対面かは、状況に応じて変わる可能性があります。その際は、予め「学習支援システム」の「お知らせ」に掲載します。また、授業の初回にて、授業日用の課題や宿題についての詳細な「授業計画」を「学習支援システム」の「お知らせ」に掲載するので、必ず初回の授業時に確認をしてください。オンライン授業を取り入れている分、自分で計画的に予習や復習、課題を行う必要があります。各 Chapter の本文は 900words 程で、それを基本的に自力で読み解きます。課題の締め切りや提出条件を守ること、自主的な学習への姿勢が求められます。その点を考慮した上で受講を決めてください。受講者数に応じて選抜を行う可能性があります。受講を希望する場合は、必ず初回の授業の指示に従い、「学習支援システム」の「課題」ページから必要な課題を提出してください。初回の授業時に所定の課題が提出されない場合は、原則受講できません。

## 【Outline (in English)】

This course is held based on the textbook. The flow of the class is reading the sentence, explaining the sentence, answering some questions and making comments about the sentence. Mini test is held to review every lesson.

Some of the objectives of the course are:

1. Increase vocabulary
2. Improve grammatical skill
3. Improve listening skill
4. Learn to express your own opinions.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook and completed the required assignment. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grading will be decided based on the following:

Term-end examination (50%),

Class participation including in-class attitude, assignment, and mini test (50%).

LANe200LA

## 英語で学ぶ社会と文化Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：社会と文化の諸相を知る

## 根本 怜奈

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

レベル 3,4 / 定員制 (36 名)

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会の日常生活に関わる、「ネット文化」・「メディア」・「自然環境」・「テクノロジー」などをトピックとした英文を読み、英語の読解力を身につける。テキストで扱われているトピックについて、自分の意見や考えをまとめ、基本的な英語で表現する。

## 【到達目標】

1. テキストの英文を読解し、関連する練習問題を解くことにより、英文の読解力、語彙力を高めることを目指す。
2. テキストの練習問題を通して、文法力を高めることを目指す。
3. テキストのリスニング問題を通して、リスニング力を高めることを目指す。
4. テキストの英文について自身の考えや意見をまとめ、基本的な英語で表現する力を身につけることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

テキストに沿って進める。英文を読んだ後に、テキストの練習問題を通して全体の内容を確認し、英文についての理解を深める。適宜小テストを実施するので、予習と復習をしっかりとすることが望まれる。Chapter が 3 つか 4 つ終わるごとに、ライティング演習を行う。自分が興味を持ったトピックについて基本的な英語でライティングし、提出する。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である。適宜授業内でもフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の概要と方法の説明 必要であれば、受講者の選抜をする
第 2 回	Chapter 11	A Perfect World
第 3 回	Chapter 12	Modern Frankenstein
第 4 回	Chapter 13	Tinted Lenses
第 5 回	Chapter 11 ~ Chapter 13 のまとめ	Chapter 11 ~ Chapter 13 の中のいずれかについて、ライティング
第 6 回	Chapter 14	Get Well Soon
第 7 回	Chapter 15	The Need for Speed
第 8 回	Chapter 16	Time Travel
第 9 回	Chapter 17	The Great Unknown
第 10 回	Chapter 14 ~ Chapter 17 のまとめ	Chapter 14 ~ Chapter 17 の中のいずれかについて、ライティングと授業内発表
第 11 回	Chapter 18	The Endgame
第 12 回	Chapter 19	Heads Up
第 13 回	Chapter 20	Destination Mars
第 14 回	学期末課題	期末課題の提出と期末のまとめ

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各 Chapter の英文について、必ず予習をすること。適宜小テストを実施するので、復習もしっかりすること。語彙ノートを作成し、単語・熟語の定着を目指す。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

## 【テキスト（教科書）】

Getting Ready to Change the World (『グローバル時代を生き抜く変革への視点』) (François de Soete 他著、成美堂、2,000 円 (税別)) 配布プリントで授業を行うことがある。英和・和英辞書を持参すること。

## 【参考書】

英和・和英辞書（電子辞書でも紙媒体でも可）

## 【成績評価の方法と基準】

期末課題 (50%)、授業態度・授業内に課した課題 (ライティング課題の提出を重視) や小テストと各回のコメントを含む平常点 (50%) によって総合的に評価する。

4 回以上欠席した場合は、成績評価の対象にならない。

授業開始から 30 分以上の遅刻は欠席となる。遅刻 2 回は欠席 1 回分としてカウントする。

スマートフォンの不適切な使用や居眠りなど、授業中の不適切な態度によっては、減点もしくは程度により、出席していても出席と認めない場合がある。

## 【学生の意見等からの気づき】

英作文のクラス内発表を通して、クラスメイトの意見や発表の仕方を参考にしよう促す。英作文などの課題において、テキスト内に出てきた語彙や表現の使用を促す。授業内でのスマートフォンの使用は原則教員が使用を許可した場合のみとする。

## 【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

## 【その他の重要事項】

授業形態のオンラインか対面かは、状況に応じて変わる可能性があります。その際は、予め「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示します。また、授業の初回にて、授業日用の課題や宿題についての詳細な「授業計画」を「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示するので、必ず初回の授業時に確認をしてください。オンライン授業を取り入れている分、自分で計画的に予習や復習、課題を行う必要があります。各 Chapter の本文は 900words 程で、それを基本的に自力で読み解きます。課題の締め切りや提出条件を守ること、自主的な学習への姿勢が求められます。その点を考慮した上で受講を決めてください。受講者数に応じて選抜を行う可能性があります。受講を希望する場合は、必ず初回の授業の指示に従い、「学習支援システム」の「課題」ページから必要な課題を提出してください。春学期の初回の授業時に所定の課題が提出されない場合は、原則受講できません。

## 【Outline (in English)】

This course is held based on the textbook. The flow of the class is reading the sentence, explaining the sentence, answering some questions and making comments about the sentence. Mini test is held to review every lesson.

Some of the objectives of the course are:

1. Increase vocabulary
2. Improve grammatical skill
3. Improve listening skill
4. Learn to express your own opinions.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook and completed the required assignment. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grading will be decided based on the following:

Term-end examination (50%),

Class participation including in-class attitude, assignment, and mini test (50%).

LANe200LA

**英語で学ぶ社会と文化 I** 2017 年度以降入学者

サブタイトル：社会と文化の諸相を知る

萩原 眞一

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：1 単位

レベル 3,4 / 定員制 (36 名)

その他属性：〈優〉

**【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】**

大学生として必要とされる標準的な英語力を堅固なものにしながら、さらに向上させることを目標とします。

授業は 4 技能 (リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング) の学習を中心に行います。春学期と秋学期のリーディング、リスニングおよびスピーキングの教科書としては、3 分程度の BBC (英国放送協会) の映像ニュースから 15 本精選され、それぞれに Understanding Check や Making a Summary などの設問が付けられた形式のものを使用します。毎回授業中に DVD を視聴してもらい、母語話者が自然に話す英語に数多く触れてもらうことによって、リーディングとリスニングの能力の向上を図ります。適宜、Follow Up の設問を活用してスピーキングの能力を養成します。

また、春学期・秋学期を通じて、人文科学系の論文を書く上で役立つ表現法を習得してもらい、ライティングの能力の涵養も目指します。

**【到達目標】**

学生が教科書の英文記事および付属問題を容易に聴解できること。学生が教科書の英文記事を、パラグラフと文の構造に留意しながら、正確に読解できること。最終的には学生が 100 点満点に換算した成績評価の基準点において 60 点以上を獲得できること。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

毎授業、講義と演習を繰り返します。適宜、課題を出して遂行度を点検し、必要に応じて指導します。

**【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】**  
なし / No

**【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】**  
なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	Unit 1 "The Windows of Canterbury Cathedral"[歴史を彩るステンドグラス] ①	DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実なものとしす。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第 2 回	Unit 1 "The Windows of Canterbury Cathedral"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。
第 3 回	Unit 2 "West London's Community Garden"②	DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実なものとしす。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第 4 回	Unit 2 "West London's Community Garden"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。

第 5 回 Unit 3 "Two Generations Sharing a House"[若者と高齢者をつなぐ異世代ホームシェア] ①  
DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実なものとしす。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。

第 6 回 Unit 3 "Two Generations Sharing a House"②  
内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。

第 7 回 中間的な総括・試験  
主に教科書に準拠した試験を実施し、聴解力・読解力・文法力・語彙力・作文力の到達度を測定します。

第 8 回 Unit 4 "Cornwall's Lithium Mines"[地下に眠る国産の金属を探せ!] ①  
DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実なものとしす。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。

第 9 回 Unit 4 "Cornwall's Lithium Mines"②  
内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。

第 10 回 Unit 5 "How to Be Happy on Blue Monday"[ブルーな気分を吹き飛ばす方法] ①  
DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実なものとしす。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。

第 11 回 Unit 5 "How to Be Happy on Blue Monday"②  
内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。

第 12 回 Unit 6 "The New Brixham Banking Hub"[銀行の無い町を救うバンキング・ハブ] ①  
DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実なものとしす。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。

第 13 回 Unit 6 "The New Brixham Banking Hub"②  
内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。

第 14 回 全体的な総括・試験  
主に教科書に準拠した試験を実施し、聴解力・読解力・文法力・語彙力・作文力の到達度を測定します。まとめと解説を行います。

**【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】**

次回に行われる授業範囲を予習してください。授業中に強調した重要事項は必ず復習してください。適宜、課題を出します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

**【テキスト (教科書)】**

Timothy Knowles 他編著『British News Update 5—映像で学ぶイギリス公共放送の最新ニュース 5』(金星堂、2023 年) 2800 円(税別)

**【参考書】**

なし

**【成績評価の方法と基準】**

中間試験 (45 点) と期末試験 (45 点) を実施し、学期末に課す英語小エッセー (10 点) を勘案した上で、100 点満点に換算した基準点を割り出し、60 点以上を獲得した場合、合格とします。小エッセーに関しては初回授業などで説明します。各学期欠席が 4 回以上の場合、原則として単位修得を認めません。

**【学生の意見等からの気づき】**

直近の授業アンケートを踏まえながら、分かりやすい授業を行なうよう心がけます。

**【学生が準備すべき機器他】**

学習支援システムを利用するための機器 (パソコン、スマホ、iPad 等)

**【Outline (in English)】**

The purpose of this course is to encourage participants to develop their reading, listening, and speaking abilities by use of the interesting news given by the British Broadcasting Corporation. Participants can view the videos accessible online, gain an insight into the life and culture of Britain, and speak on various subject matters. This course also aims to improve participants' academic writing skill they will be asked to acquire as undergraduates.

By the end of the course, participants are expected to view the videos easily, comprehend the text accurately, and write in English their short essays in clear paragraphs.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Grading will be decided based on mid-term examination (45%), term-end examination (45%), and short essay (10%).

LANe200LA

## 英語で学ぶ社会と文化Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：社会と文化の諸相を知る

萩原 眞一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：1 単位

レベル 3,4 / 定員制 (36 名)

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

大学生として必要とされる標準的な英語力を堅固なものにしながら、さらに向上させることを目標とします。

授業は 4 技能 (リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング) の学習を中心に行います。春学期と秋学期のリーディング、リスニングおよびスピーキングの教科書としては、3 分程度の BBC (英国放送協会) の映像ニュースから 15 本精選され、それぞれに Understanding Check や Making a Summary などの設問が付けられた形式のものを使用します。毎回授業中に DVD を視聴してもらい、母語話者が自然に話す英語に数多く触れてもらうことによって、リーディングとリスニングの能力の向上を図ります。適宜、Follow Up の設問を活用してスピーキングの能力を養成します。

また、春学期・秋学期を通じて、人文科学系の論文を書く上で役立つ表現法を習得してもらい、ライティングの能力の涵養も目指します。

## 【到達目標】

学生が教科書の英文記事および付属問題を容易に聴解できること。学生が教科書の英文記事を、パラグラフと文の構造に留意しながら、正確に読解できること。最終的には学生が 100 点満点に換算した成績評価の基準点において 60 点以上を獲得できること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

毎授業、講義と演習を繰り返します。適宜、課題を出して遂行度を点検し、必要に応じて指導します。

## 【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	Unit 7 "Call to Clean Up London's Diesel Trains"	DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実なものとしす。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第 2 回	Unit 7 "Call to Clean Up London's Diesel Trains"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。
第 3 回	Unit 8 "The Impact of Covid on the Brain"[新型コロナウィルスで脳が縮む?] ①	DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実なものとしす。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第 4 回	Unit 8 "The Impact of Covid on the Brain"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。

第 5 回 Unit 9 "Women Learning Skills for Life after Prison"[再犯を防ぐ女性刑務所の取り組み] ①

DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実なものとしす。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。

第 6 回 Unit 9 "Women Learning Skills for Life after Prison"②

内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。

第 7 回 中間的な総括・試験

主に教科書に準拠した試験を実施し、聴解力・読解力・文法力・語彙力・作文力の到達度を測定します。

第 8 回 Unit 10 "A Space for Green Businesses" [環境保護を目指す起業家たちの集い] ①

DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実なものとしす。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。

第 9 回 Unit 10 "A Space for Green Businesses"②

内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。

第 10 回 Unit 11 "Diversity in the Workplace" [階級の壁に挑む大手企業の取り組み] ①

DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実なものとしす。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。

第 11 回 Unit 11 "Diversity in the Workplace"②

内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。

第 12 回 Unit 12 "Bringing Back Scottish Wetlands"[海面上昇の意外な活用法] ①

DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実なものとしす。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。

第 13 回 Unit 12 "Bringing Back Scottish Wetlands"②

内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。

第 14 回 全体的な総括・試験

主に教科書に準拠した試験を実施し、聴解力・読解力・文法力・語彙力・作文力の到達度を測定します。まとめと解説を行います。

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

次回に行われる授業範囲を予習してください。授業中に強調した重要事項は必ず復習してください。適宜、課題を出します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト (教科書)】

Timothy Knowles 他編著『British News Update 5—映像で学ぶイギリス公共放送の最新ニュース 5』(金星堂、2023 年) 2800 円 (税別)

## 【参考書】

なし

## 【成績評価の方法と基準】

中間試験 (45 点) と期末試験 (45 点) を実施し、学期末に課す英語小エッセー (10 点) を勘案した上で、100 点満点に換算した基準点を割り出し、60 点以上を獲得した場合、合格とします。小エッセーに関しては初回授業などで説明します。各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めません。

## 【学生の意見等からの気づき】

直近の授業アンケートを踏まえながら、分かりやすい授業を行なうよう心がけます。

## 【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムを利用するための機器 (パソコン、スマホ、iPad 等)

## 【Outline (in English)】

The purpose of this course is to encourage participants to develop their reading, listening, and speaking abilities by use of the interesting news given by the British Broadcasting Corporation. Participants can view the videos accessible online, gain an insight into the life and culture of Britain, and speak on various subject matters. This course also aims to improve participants' academic writing skill they will be asked to acquire as undergraduates.

By the end of the course, participants are expected to view the videos easily, comprehend the text accurately, and write in English their short essays in clear paragraphs.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Grading will be decided based on mid-term examination (45%), term-end examination (45%), and short essay (10%).



LANe200LA

英語で学ぶ社会と文化 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：マスメディアで読む世界情勢

余田 剛

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：1 単位

レベル 3,4 / 定員制 (36 名)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

英米の新聞、雑誌、テレビのニュースなどのメディアの英語に触れながら、英語の語学の学習をすることをテーマとする。法学部国際政治学科生への推奨科目であるため、政治問題を中心的に扱うが、趣旨に賛同できる場合は他学部・他学科の学生も歓迎する。

【到達目標】

この授業では、政治情勢をはじめとし、その他、世界各国における現代社会の様々な問題についての基礎知識を獲得し、より多くの一般的な語彙・語法とさらに高校レベルまでではなかなか出てこないような英語圏でよく使われる口語などの表現方法を覚え、使っているようで意外と有効に使えていない辞書の引き方やその他資料の集め方に関する基本的技能を身につけ、ニュースの概要をつかめる程の基本的なリスニング力を獲得し、そして今後につなげることを考えると最も大事な点であるが、辞書やその他必要な情報源を粘り強くそして適切に参照しながら、文字と音声によるより複雑な情報も自力で丁寧に理解しようとする、あらゆる分野の専門的研究を行う際に重要であると思われる態度を身につけることができることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The Japan News, Newsweek, The Guardian を扱う予定であるが、最新の記事をその都度選ぶため、授業計画に記した、メディアの種類、順番、記事の内容については変わる可能性がある。精読を重視するため進み方は遅い。授業では、1 パラグラフ程のまとまりで区切り、担当者に訳読、あるいは、要約してもらい、その後、確認が必要な場合は語彙、語法、フレーズなどについてこちらから質問をする。そのため受講者は十分予習をしておく必要がある。また、授業内の一定時間を用いて、ニュースなどの音声教材を使ったリスニングの演習を行う。

予習を課題とし、問題や訳し方の解答や解説をフィードバックとして口頭で示す。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の概要を説明 (選抜試験を行う場合もある。選抜を行う場合は選抜必修科目として履修する国際政治学科生を優先します。)
2	リスニング演習 + 記事 1 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + The Japan News のアジアあるいは中東に関する記事の序論部講読

3	リスニング演習 + 記事 1 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + The Japan News のアジアあるいは中東に関する記事の本論前半部講読
4	リスニング演習 + 記事 1 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + The Japan News のアジアあるいは中東に関する記事の本論後半部講読
5	リスニング演習 + 記事 1 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + The Japan News のアジアあるいは中東に関する記事の結論部講読
6	リスニング演習 + 記事 2 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + Newsweek のアメリカに関する記事の序論部講読
7	リスニング演習 + 記事 2 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + Newsweek のアメリカに関する記事の本論前半部講読
8	リスニング演習 + 記事 2 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + Newsweek のアメリカに関する記事の本論後半部講読
9	リスニング演習 + 記事 2 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + Newsweek のアメリカに関する記事の結論部講読
10	リスニング演習 + 記事 3 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + The Guardian のイギリスに関する記事の序論部講読
11	リスニング演習 + 記事 3 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + The Guardian のイギリスに関する記事の本論前半部講読
12	リスニング演習 + 記事 3 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + The Guardian のイギリスに関する記事の本論後半部講読
13	リスニング演習 + 記事 3 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + The Guardian のイギリスに関する記事の結論部講読
14	試験	授業で扱った内容を範囲とした授業内試験あるいはレポート、まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。辞書を使って記事をしっかりと読んでくること。

【テキスト (教科書)】

資料を配布する。

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

試験の成績 (60%) と平常点 (40%) とから総合的に評価する。欠席が 4 回に達した者は単位取得の資格を失う。遅刻は 3 回に達するごとに 1 回の欠席とカウントする。また、授業開始のチャイムから 30 分以降の遅刻は欠席と見なす。午前中の授業でもあることから、交通機関の遅れに注意し、時間には余裕を持って来ること。

【学生の意見等からの気づき】

授業時間外の学習時間において、週 30 分未満の割合が平均に比べ高く、予習のどこがどのように不十分であるかを授業中であてた際一人一人に具体的に指示したり、リスニングが自習できるような教材やインターネットのサイトを紹介することで、自習時間を増やす働きかけを心掛けたいと思います。

**【Outline (in English)】**

· This course teaches English using newspaper articles, magazine stories, and television programs, etc. The main thematic focus is on political issues, because this is a recommended course for the Law Faculty's Department of Global Politics. However, other students who are interested in these issues are also welcomed. The aim of this course is to help students improve English reading and listening skills, deepen the knowledge about political and other aspects of modern society in various countries, and acquire the habit of showing a diligent attitude toward more complex written or spoken information while trying to deal with what seems difficult for them to understand by referring to dictionaries or other necessary sources.

· Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant paragraphs from the designated articles. Required study time is at least one hour for each class meeting.

· Final grade will be decided based on term-end examination (60%) and in-class contribution (40%). In principle, four and more absences will not be permitted per semester to receive academic credit for the course. Students 30 minutes or more late will be considered absent. If they will come late three times, they will be considered absent one time.

LANe200LA

英語で学ぶ社会と文化Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：マスメディアで読む世界情勢

余田 剛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：1 単位

レベル 3,4 / 定員制 (36 名)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英米の新聞、雑誌、テレビのニュースなどのメディアの英語に触れながら、英語の語学の学習をすることをテーマとする。法学部国際政治学科生への推奨科目であるため、政治問題を中心的に扱うが、趣旨に賛同できる場合は他学部・他学科の学生も歓迎する。

【到達目標】

この授業では、政治情勢をはじめとし、その他、世界各国における現代社会の様々な問題についての基礎知識を獲得し、より多くの一般的な語彙・語法とさらに高校レベルまでではなかなか出てこないような英語圏でよく使われる口語などの表現方法を覚え、使っているようで意外と有効に使えていない辞書の引き方やその他資料の集め方に関する基本的技能を身につけ、ニュースの概要をつかめる程の基本的なリスニング力を獲得し、そして今後につなげることを考えると最も大事な点であるが、辞書やその他必要な情報源を粘り強くそして適切に参照しながら、文字と音声によるより複雑な情報も自力で丁寧に理解しようとする、あらゆる分野の専門的研究を行う際に重要であると思われる態度を身につけることができることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Newsweek, The Guardian, The New York Times を扱う予定であるが、最新の記事をその都度選ぶため、授業計画に記した、メディアの種類、順番、記事の内容については変わる可能性がある。精読を重視するため進み方は遅い。授業では、1 パラグラフ程のまとまりで区切り、担当者に訳読、あるいは、要約をしてもらい、その後、確認が必要な場合は語彙、語法、フレーズなどについてこちらから質問をする。そのため受講者は十分予習をしておく必要がある。また、授業内の一定時間を用いて、ニュースなどの音声教材を使ったリスニングの演習を行う。予習を課題とし、問題や訳し方の解答や解説をフィードバックとして口頭で示す。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の概要を説明（選抜試験を行う場合もある。選抜を行う場合は選抜必修科目として履修する国際政治学科生を優先します。）
2	リスニング演習 + 記事 1 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + Newsweek のアジアあるいは中東に関する記事の序論部講読
3	リスニング演習 + 記事 1 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + Newsweek のアジアあるいは中東に関する記事の本論前半部講読

4	リスニング演習 + 記事 1 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + Newsweek のアジアあるいは中東に関する記事の本論後半部講読
5	リスニング演習 + 記事 1 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + Newsweek のアジアあるいは中東に関する記事の結論部講読
6	リスニング演習 + 記事 2 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + The Guardian のイギリスに関する記事の序論部講読
7	リスニング演習 + 記事 2 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + The Guardian のイギリスに関する記事の本論前半部講読
8	リスニング演習 + 記事 2 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + The Guardian のイギリスに関する記事の本論後半部講読
9	リスニング演習 + 記事 2 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + The Guardian のイギリスに関する記事の結論部講読
10	リスニング演習 + 記事 3 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + The New York Times のアメリカに関する記事の序論部講読
11	リスニング演習 + 記事 3 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + The New York Times のアメリカに関する記事の本論前半部講読
12	リスニング演習 + 記事 3 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + The New York Times のアメリカに関する記事の本論後半部講読
13	リスニング演習 + 記事 3 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + The New York Times のアメリカに関する記事の結論部講読
14	試験	授業で扱った内容を範囲とした授業内試験あるいはレポート、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。辞書を使って記事をしっかりと読んでくること。

【テキスト（教科書）】

資料を配布する。

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

試験の成績（60%）と平常点（40%）とから総合的に評価する。欠席が 4 回に達した者は単位取得の資格を失う。遅刻は 3 回に達するごとに 1 回の欠席とカウントする。また、授業開始のチャイムから 30 分以降の遅刻は欠席と見なす。午前中の授業でもあることから、交通機関の遅れに注意し、時間には余裕を持って来ること。

【学生の意見等からの気づき】

授業時間外の学習時間において、週 30 分未満の割合が平均に比べ高く、予習のどこがどのように不十分であるかを授業中であてた際一人一人に具体的に指示したり、リスニングが自習できるような教材やインターネットのサイトを紹介することで、自習時間を増やす働きかけを心掛けたいと思います。

**【Outline (in English)】**

· This course teaches English using newspaper articles, magazine stories, and television programs, etc. The main thematic focus is on political issues, because this is a recommended course for the Law Faculty's Department of Global Politics. However, other students who are interested in these issues are also welcomed. The aim of this course is to help students improve English reading and listening skills, deepen the knowledge about political and other aspects of modern society in various countries, and acquire the habit of showing a diligent attitude toward more complex written or spoken information while trying to deal with what seems difficult for them to understand by referring to dictionaries or other necessary sources.

· Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant paragraphs from the designated articles. Required study time is at least one hour for each class meeting.

· Final grade will be decided based on term-end examination (60%) and in-class contribution (40%). In principle, four and more absences will not be permitted per semester to receive academic credit for the course. Students 30 minutes or more late will be considered absent. If they will come late three times, they will be considered absent one time.

LANe200LA

英語で学ぶ社会と文化 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：マスメディアで読む世界情勢

金谷 優子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

レベル 3,4 / 定員制 (36 名)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業では、TED TALKS のプレゼンテーションで繰り広げられた種々の独創的なアイデアに触れつつ、英語の 4 技能：読み、聴き、話し、書く-を総合的に身につけることを目標とします。グローバル化によって、ヒトやモノがますます流動的になっていくなか、世界中で様々な人々が独自の視点で現代社会を捉えて、自らの置かれた社会、そして文化、また人生と取り組んでいることを知ることは非常に重要です。本授業では、TED TALKS の英語のプレゼンテーションを聞き、理解を試みることによって英語コミュニケーションについての基本的な事柄の習得を目指す一方で、それぞれのプレゼンテーションの論理の組み立て方、独創性、着眼点について確認しつつ、受講者自らが現代社会、そして文化について自分なりの考察を進めてゆくことを促します。

【到達目標】

- ・まとまった長さの英文の論理展開を正確に把握すること
- ・複雑な構文や語句を理解すること
- ・英文パラグラフの構造を読解を通じて学び、その知識を生かして、みずから論理的な文章が書けるようになること
- ・英語の音声聴いて、必要な情報を得ること
- ・さまざまな意見を英語で理解し、それに対する自分の考えを英語で表現すること
- ・沢山の人の独自の考えを聞いて、世界のありようについて自分なりの見解を持つようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

【授業は Zoom にて行われます。また、毎回の授業についての詳細は Hoppii に掲示しますので、必ず確認して Zoom 授業に参加して下さい。】

各トピックについてそれぞれを 3 部構成とします。第 1 部: Lesson A では、扱われたトピックについての基礎知識、読解についての重要な技術 (Reading Skills) について学びます。第 2 部: Lesson B では、実際に TED TALK の発表を聴き、またその script を読んで、プレゼンテーションの概要や詳しい内容についての理解がなされたかを確認します。また、第 3 部として、第 1 部、第 2 部で学習した事柄をまとめ、更にリサーチを進め、TED talk に関する自分の考えを英語で表現する場を設けます。

受講者は第 1 部から第 3 部を通しての学習事項をチェックシートに書き、トピック毎に提出し、フィードバックを受けます。

【第 1 部】

第 2 週 Topic: Interdisciplinary

第 5 週 Topic: Business/ Leadership

第 8 週 Topic: Life Science

第 11 週 Topic: Sociology/ Fashion

【第 2 部】

第 3 週 : TED TALK by Matt Cutts : Try Something New for 30 days

[https://www.ted.com/talks/matt\\_cutts\\_try\\_something\\_new\\_for\\_30\\_days?language=ja](https://www.ted.com/talks/matt_cutts_try_something_new_for_30_days?language=ja)

第 6 週 : TED TALK by Tom Wujec : Build a Tower

[https://www.ted.com/talks/tom\\_wujec\\_build\\_a\\_tower?](https://www.ted.com/talks/tom_wujec_build_a_tower?language=ja)

language=ja

第 9 週 : TED TALK by David Gallo: Underwater Astonishments

[https://www.ted.com/talks/david\\_gallo\\_shows\\_underwater\\_astonishments/transcript](https://www.ted.com/talks/david_gallo_shows_underwater_astonishments/transcript)

第 12 週 : TED TALK by Jessi Arrington : Wearing Nothing New

[https://www.ted.com/talks/jessi\\_arrington\\_wearing\\_nothing\\_new?language=ja](https://www.ted.com/talks/jessi_arrington_wearing_nothing_new?language=ja)

【第 3 部】

第 4 週 : TED TALK by Matt Cutts : Try Something New for 30 days

[https://www.ted.com/talks/matt\\_cutts\\_try\\_something\\_new\\_for\\_30\\_days?language=ja](https://www.ted.com/talks/matt_cutts_try_something_new_for_30_days?language=ja)

第 7 週 : TED TALK by Tom Wujec : Build a Tower

[https://www.ted.com/talks/tom\\_wujec\\_build\\_a\\_tower?](https://www.ted.com/talks/tom_wujec_build_a_tower?language=ja)

language=ja

第 10 週 : TED TALK by David Gallo: Underwater Astonishments

[https://www.ted.com/talks/david\\_gallo\\_shows\\_underwater\\_astonishments/transcript](https://www.ted.com/talks/david_gallo_shows_underwater_astonishments/transcript)

第 13 週 : TED TALK by Jessi Arrington : Wearing Nothing New

[https://www.ted.com/talks/jessi\\_arrington\\_wearing\\_nothing\\_new?language=ja](https://www.ted.com/talks/jessi_arrington_wearing_nothing_new?language=ja)

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 週	Introduction	What is TED?
第 2 週	Unit 1: Life Changes	Lesson A Topic: Interdisciplinary Reading Skills: Understanding sequence words,... etc.
第 3 週	Unit 1: Life Changes	TED TALK by Matt Cutts Lesson B Academic Skills: Understanding main ideas,...etc.
第 4 週	Unit 1: Life Changes	Check sheet summarizing and stating opinions
第 5 週	Unit 2: Team Power	Lesson A Topic: Business Leadership Reading Skills: Identifying main ideas in paragraphs,...etc.
第 6 週	Unit 2: Team Power	TED TALK by Tom Wujec Lesson B Academic Skills: Understanding stages in a process, ...etc.
第 7 週	Unit 2: Team Power	Check sheet summarizing and stating opinions
第 8 週	Unit 3: Ocean Wonders	Lesson A Topic: Life Science Reading Skills: Identifying purpose/ referents
第 9 週	Unit 3: Ocean Wonders	TED TALK by David Gallo Lesson B Academic Skills: Understanding main ideas and key details,... etc.

第 10 週	Unit 3: Ocean Wonders	Check sheet summarizing and stating opinions	・ understand English sentences without translating into Japanese ・ identify main ideas
第 11 週	Unit 4: What We Wear	Lesson A Topic:Sociology/ Fashion Reading Skills: Making connections/ Understanding a process	・ clarify the structure of a paragraph ・ develop global and cross-cultural awareness ・ develop creative and critical thinking skills ・ effectively express their opinions on current issues
第 12 週	Unit 4: What We Wear	TED TALK by Jessi Arrington Lesson B Academic Skills: Recognizing point of view	[Learning activities outside of classroom] Students are expected to participate in the class fully prepared, having completed the vocabulary preview, listening, reading or writing tasks assigned the previous week.
第 13 週	Unit 4: What We Wear	Check sheet summarizing and stating opinions	University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
第 14 週	final test	final test	[Grading Criteria /Policy] Grading criteria for this course will be based on the following: Class participation: 40% (Zoom meeting activities + Unit quizzes) / assignment : 30 % / Final test: 30%

#### 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習：学生は、各 Unit で扱う TED talk についての予備知識を得るためにテキストを予習し、知らなかった語彙、表現、難しい文章などを特定し、checksheet に記入しておく。

復習：扱った TED talk の要約をし、checksheet に記入した事項を習得することができたか、確認する。

宿題：授業で扱った TED talk 関連で、適宜、授業時に示される課題を提出する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。以下が授業で扱う TED talk です。予習復習する際に聴いて下さい。

TED TALK by Matt Cutts : Try Something New for 30 days

[https://www.ted.com/talks/matt\\_cutts\\_try\\_something\\_new\\_for\\_30\\_days?language=ja](https://www.ted.com/talks/matt_cutts_try_something_new_for_30_days?language=ja)

TED TALK by Tom Wujec : Build a Tower

[https://www.ted.com/talks/tom\\_wujec\\_build\\_a\\_tower?language=ja](https://www.ted.com/talks/tom_wujec_build_a_tower?language=ja)

TED TALK by David Gallo: Underwater Astonishments

[https://www.ted.com/talks/david\\_gallo\\_shows\\_underwater\\_astonishments/transcript](https://www.ted.com/talks/david_gallo_shows_underwater_astonishments/transcript)

TED TALK by Jessi Arrington : Wearing Nothing New

[https://www.ted.com/talks/jessi\\_arrington\\_wearing\\_nothing\\_new?language=ja](https://www.ted.com/talks/jessi_arrington_wearing_nothing_new?language=ja)

#### 【テキスト（教科書）】

TED TALKS 21st Century Reading 1 (Cengage Learning), ISBN 978-1-305-26459-5

その他、配布資料

#### 【参考書】

<https://www.ted.com>

その他、授業中に適宜指示します。

#### 【成績評価の方法と基準】

評価基準：授業参加度（授業内での発言および check sheet）40 %、小テスト 30 %、期末テスト 30 %

4 回以上の欠席で単位取得資格は失われます。3 回遅刻すると 1 回欠席としてカウントされます。30 分以上の遅刻は欠席とみなされます。また、Zoom の授業に参加せずに課題のみの提出は出席と認められません。

#### 【学生の意見等からの気づき】

英語を用いる場をなるべく多く設けます。

#### 【学生が準備すべき機器他】

この授業は Zoom で行われますので、大学の教室で受講の際には、パソコン等の端末及びマイク付きのヘッドセットが必要です。

#### 【Outline (in English)】

This Online English course is designed to increase the students' ability to develop their overall English Language skills while learning about specific topics of TED Talks. Students are expected to improve their reading/listening skills as well as to broaden their understanding of current issues.

\* This course will be conducted using Zoom and Hoppii.

#### 【Overall Objectives】

To help students

- ・ increase vocabulary
- ・ improve their reading/listening comprehension skills

LANe200LA

英語で学ぶ社会と文化Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：マスメディアで読む世界情勢

金谷 優子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

レベル 3,4 / 定員制 (36 名)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期同様本授業では、TED TALKS のプレゼンテーションで繰り広げられた種々の独創的なアイデアに触れつつ、英語の 4 技能：読み、聴き、話し、書く—を総合的に身につけることを目標とします。グローバル化によって、ヒトやモノがますます流動的になっていくなか、世界中で様々な人々が独自の視点で現代社会を捉えて、自らの置かれた社会、そして人生と取り組んでいることを知ることは非常に重要です。本授業では、TED TALKS の英語のプレゼンテーションを聞き、理解を試みることによって英語コミュニケーションについての基本的な事柄の習得を目指す一方で、それぞれのプレゼンテーションの論理の組み立て方、独創性、着眼点について確認しつつ、受講者自らが現代社会について自分なりの考察を進めてゆくことを促します。

【到達目標】

- ・まとまった長さの英文の論理展開を正確に把握すること
- ・複雑な構文や語句を理解すること
- ・英文パラグラフの構造を読解を通じて学び、その知識を生かして、みずから論理的な文章が書けるようになること
- ・英語の音声聴いて、必要な情報を得ること
- ・さまざまな意見を英語で理解し、それに対する自分の考えを英語で表現すること
- ・沢山の人の独自の考えを聞いて、世界のありようについて自分なりの見解を持つようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

【授業は Zoom にて行われます。また、毎回の授業についての詳細は Hoppii に掲示しますので、必ず確認して Zoom 授業に参加して下さい。】

各トピックについてそれぞれを 3 部構成とします。第 1 部では、扱われたトピックについての基礎知識、読解についての重要な技術 (Reading Skills) について学びます。第 2 部では、実際に TED TALK の発表を聴き、またその script を読んで、プレゼンテーションの概要や詳しい内容についての理解がなされたかを確認します。また、 Semester 終盤には、第 3 部として、学習したトピックをひとつ選び、更によりサーチを進め、TED での発表に関する自分の考えを英語で表現する場を設けます。

受講者は第 1 部から第 3 部を通しての学習事項をチェックシートに書き、トピック毎に提出し、フィードバックを受けます。

【第 1 部】

第 2 週 Topic: Architecture and Design

第 5 週 Topic: Communication/ Sociology

第 8 週 Topic: Visual Arts/ Sociology

【第 2 部】

第 3 週 : TED TALK by Iwan Baan : Ingenious Homes in Unexpected Places

[https://www.ted.com/talks/iwan\\_baan\\_ingenious\\_homes\\_in\\_unexpected\\_places?language=ja](https://www.ted.com/talks/iwan_baan_ingenious_homes_in_unexpected_places?language=ja)

第 6 週 : TED TALK by Kevin Allocca: Why Videos Go Viral  
[https://www.ted.com/talks/kevin\\_allocca\\_why\\_videos\\_go\\_viral?language=ja](https://www.ted.com/talks/kevin_allocca_why_videos_go_viral?language=ja)

第 9 週 : TED TALK by Candy Chang: Before I die, I want to ...

[https://www.ted.com/talks/candy\\_chang\\_before\\_i\\_die\\_i\\_want\\_to?language=ja](https://www.ted.com/talks/candy_chang_before_i_die_i_want_to?language=ja)

【第 3 部】

第 4 週 : TED TALK by Iwan Baan : Ingenious Homes in Unexpected Places

[https://www.ted.com/talks/iwan\\_baan\\_ingenious\\_homes\\_in\\_unexpected\\_places?language=ja](https://www.ted.com/talks/iwan_baan_ingenious_homes_in_unexpected_places?language=ja)

第 7 週 : TED TALK by Kevin Allocca: Why Videos Go Viral  
[https://www.ted.com/talks/kevin\\_allocca\\_why\\_videos\\_go\\_viral?language=ja](https://www.ted.com/talks/kevin_allocca_why_videos_go_viral?language=ja)

第 10 週 : TED TALK by Cindy Chang: Before I die, I want to ...

[https://www.ted.com/talks/candy\\_chang\\_before\\_i\\_die\\_i\\_want\\_to?language=ja](https://www.ted.com/talks/candy_chang_before_i_die_i_want_to?language=ja)

第 11 週~13 週 : Your favorite TED Talk

<https://www.ted.com/>

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第 1 週	Introduction	授業の進め方についての説明 目標の確認
第 2 週	Unit6: Building Solutions	TED Talk by Iwan Baan Topic:Architecture and Design Lesson A Reading Skills: Organizing supporting details,... etc.
第 3 週	Unit6: Building Solutions	TED Talk by Iwan Baan Lesson B: Academic Skills: Understanding main ideas,summarizing ideas using a concept map,...etc.
第 4 週	Unit6: Building Solutions	TED Talk by Iwan Baan Expressing ideas on the topic
第 5 週	Unit 7: Roads to Fame	TED Talk by Kevin Allocca Topic:Communication/ Sociology Lesson A Reading Skills: Scanning for numbers,...etc.
第 6 週	Unit 7: Roads to Fame	TED Talk by Kevin Allocca Lesson B Academic Skills: Understanding main ideas,summarizing ideas using a concept map,...etc.
第 7 週	Unit 7: Roads to Fame	TED Talk by Kevin Allocca Expressing ideas on the topic
第 8 週	Unit 9: Community Voices	TED TALK by Candy Chang Lesson A Topic:Visual Arts / Sociology Reading Skills: Understanding a paragraph's purpose
第 9 週	Unit 9: Community Voices	TED TALK by Candy Chang Lesson B Topic:Visual Arts / Sociology Reading Skills: Understanding a paragraph's purpose
第 10 週	Unit 9: Community Voices	TED TALK by Candy Chang Expressing ideas on the topic
第 11 週	Your favorite TED talk	Finding your favorite TED talk.

第 12 週	Your favorite TED talk	The Summary of the talk
第 13 週	Your favorite TED talk	Your own idea on the talk
第 14 週	期末テスト	final test

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

準備学習：学生は、各 Unit で扱う TED talk についての予備知識（テキストに記載）を得るためにテキストを予習し、知らなかった語彙、表現、難しい文章などを特定し、**checksheet** に記入しておく。  
 復習：扱った TED talk の要約をし、**checksheet** に記入した事項を習得することができたか、確認する。

宿題：授業で扱った TED talk 関連で、適宜、授業時に示される課題を提出する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。以下が授業で扱う TED talk です。予習復習する際に聴いて下さい。

**TED TALK by Iwan Baan : Ingenious Homes in Unexpected Places**

[https://www.ted.com/talks/iwan\\_baan\\_ingenious\\_homes\\_in\\_unexpected\\_places?language=ja](https://www.ted.com/talks/iwan_baan_ingenious_homes_in_unexpected_places?language=ja)

**TED TALK by Kevin Allocca: Why Videos Go Viral**

[https://www.ted.com/talks/kevin\\_allocca\\_why\\_videos\\_go\\_viral?language=ja](https://www.ted.com/talks/kevin_allocca_why_videos_go_viral?language=ja)

**TED TALK by Cindy Chang: Before I die, I want to ...**

[https://www.ted.com/talks/candy\\_chang\\_before\\_i\\_die\\_i\\_want\\_to?language=ja](https://www.ted.com/talks/candy_chang_before_i_die_i_want_to?language=ja)

**【テキスト（教科書）】**

**TED TALKS 21st Century Reading 1 (Cengage Learning), ISBN 978-1-305-26459-5**

その他、資料配布

**【参考書】**

<https://www.ted.com>

その他、授業中に適宜指示します。

**【成績評価の方法と基準】**

評価基準：授業参加度（授業内での発言および **Hoppii quiz**）40 %、チェックシート 30 %、期末テスト 30 %

4 回以上の欠席で単位取得資格は失われます。3 回遅刻すると 1 回欠席としてカウントされます。30 分以上の遅刻は欠席とみなされます。また、**Zoom** の授業に参加せずに課題のみの提出は出席と認められません。

**【学生の意見等からの気づき】**

なるべく多く英語を使う場を設けます。

**【学生が準備すべき機器他】**

この授業は **Zoom** で行われますので、大学の教室で受講の際には、パソコン等の端末及びマイク付きのヘッドセットが必要です。

**【Outline (in English)】**

This Online English course is designed to increase the students' ability to develop their overall English Language skills while learning about specific topics of TED Talks. Students are expected to improve their reading/listening skills as well as to broaden their understanding of current issues.

\* This course will be conducted using **Zoom** and **Hoppii**.

**[Overall Objectives]**

To help students

- ・ increase vocabulary
- ・ improve their reading/listening comprehension skills
- ・ understand English sentences without translating into Japanese
- ・ identify main ideas
- ・ clarify the structure of a paragraph
- ・ develop global and cross-cultural awareness
- ・ develop creative and critical thinking skills
- ・ effectively express their opinions on current issues

**[Learning activities outside of classroom]**

Students are expected to participate in the class fully prepared, having completed the vocabulary preview, listening, reading or writing tasks assigned the previous week.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

**[Grading Criteria /Policy]**

Grading criteria for this course will be based on the following:  
 Class participation: 40% (Zoom meeting activities + Unit quizzes) / assignment : 30 % / Final test: 30%

Every week students are required to attend the zoom session and submit an assignment to Hoppii. Just submitting the assignment (without participating in the Zoom session) will be counted as absence.

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.



LANe200LA  
**英語で学ぶ社会と文化 I** 2017 年度以降入学者  
 サブタイトル：社会と文化の諸相を知る  
 大曲 陽子  
 開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3  
 単位数：1 単位  
 レベル 2,3 / 定員制 (36 名)  
 その他属性：〈優〉

**【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】**

複数のパラグラフから成る記事を題材として、パラグラフの構造や、構文や文法などの知識を強化することを目的とする。それと同時に、今社会を取り巻くメディアと娯楽、環境保護問題や文化、などの多岐にわたるトピックを通して世界情勢への理解を深めることを目的とする。

6 回のオンライン授業は授業動画を配信するオンデマンド型とする。

**【到達目標】**

タイムリーなトピックを取り上げ、速読、精読などを通して、必要とする情報を効果的に読み取るスキルを学習する。リスニング、リーディング、ライティング学習を通して、英語資格試験などのためだけでなく、変化する社会情勢を的確に把握し、異なる意見を持つ人たちと対等に渡り合える英語力を身に付けていく。高い英語力だけでなく、批判的な視点の持ち方、自分の意見の持ち方及び歴史や教養などを身に付けることも目指す。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

本授業は全 14 回中 8 回を対面型授業、6 回をオンライン授業 (授業動画を配信するオンデマンド型) とする。

ほぼ 2 回の授業で 1 つの Chapter を学習する。1 回目の授業 (授業動画配信オンデマンド型) では先ず宿題として授業当該日前までに各自記事を読んで TF 内容問題に取り組み準備する。その後、授業動画を配信するオンデマンド授業を視聴して、指定の締め切り日までに Hoppii を通して課題を提出する。2 回目の授業 (対面) では、全員が内容に目を通していることを前提に問題演習を行い、教員が配布する記事を読んで自分の考えをまとめる。

Unit 一つ終了ごとに語彙の小テストを行う。

授業で取り上げる Chapter は以下の 6 つとする

Chapter 1,4,5,7,8,10

前半は速読を中心に大意をつかむためのリーディングスキルを学び、後半の授業では exercise を解きながら精読する。

適時グループワークを行い意見をまとめる課題がある。

課題等に対するフィードバック方法

毎週課題の提出があるので、授業動画配信オンデマンド型の時は Hoppii を通して指定の締め切り日までに提出し、それは Hoppii を通して返却される。対面授業の課題はその都度提出し、次回授業時に返却される。

小テスは採点返却される。

**【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】**  
 あり / Yes

**【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】**  
 なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	ここで履修者を決定するので、履修希望者は必ず初回アンケートに回答して LMS を通して提出すること。
4/10	履修者の決定	

2	Chapter 1	授業動画配信オンデマンド型
4/17	The Art of Persuasion: What is the key to making a good argument?	Vocabulary ,Comprehension Question
3	Chapter 1	本文内容の確認
4/24	The Art of Persuasion: What is the key to making a good argument?	テキスト後半 Putting it All Together, Point of Interest 主にグループワークで行う。
4	5/8 Chapter 4	授業動画配信オンデマンド型
	NintendoPower: How did Video games become so poplar?	Vocabulary ,Comprehension Question
5	Chapter 4	本文内容の確認
5/15	NintendoPower: How did Video games become so poplar?	テキスト後半 Putting it All Together, Point of Interest 主にグループワークで行う。
6	5/22 Chapter 5	授業動画配信オンデマンド型
	Striving for Greatness :what makes someone the greatest of all time?	Vocabulary ,Comprehension Question
7	5/29 Chapter 5	本文内容の確認
	Striving for Greatness :what makes someone the greatest of all time?	テキスト後半 Putting it All Together, Point of Interest 主にグループワークで行う。
8	6/5 Chapter 7	授業動画配信オンデマンド型
	Rise of the Machines: Are human Beings becoming obsolete?	Vocabulary ,Comprehension Question
9	6/12 Chapter 7	本文内容の確認
	Rise of the Machines: Are human Beings becoming obsolete?	テキスト後半 Putting it All Together, Point of Interest 主にグループワークで行う。
10	6/19 Chapter 8	授業動画配信オンデマンド型
	The Call of Tha Wild: Why do Humans and Dogs have such a special bond?	Vocabulary ,Comprehension Question
11	6/26 Chapter 8	本文内容の確認
	The Call of Tha Wild: Why do Humans and Dogs have such a special bond?	テキスト後半 Putting it All Together, Point of Interest 主にグループワークで行う。
12	7/3 Chapter 10	授業動画配信オンデマンド型
	The Mind's Eye: Is the World around us what it actually appears to be?	Vocabulary ,Comprehension Question
13	7/10 Chapter 10	本文内容の確認
	The Mind's Eye: Is the World around us what it actually appears to be?	テキスト後半 Putting it All Together, Point of Interest 主にグループワークで行う。

14 7/17 これまでのまとめ期 これまでのまとめ  
末試験 期末試験

class contribution 10%  
classroom quiz 30%  
term-end examination 50%

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。  
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

授業動画配信オンデマンド授業時には各自本文テキストを十分に読み込む。各 Unit の Key Vocabulary を必ず学習し、語彙の確認を徹底する。本文内容に沿った TF 問題に真剣に取り組む。(Key Vocabulary, TF は採点する。)本文を読み込む際、未知の語彙があれば調べておく。対面授業時では、内容を大まかにわかっていることを前提として授業を行い、内容理解についての課題をこなすので、オンライン授業の学習時間をきちんと確保した上で対面授業に臨むこと。

**【テキスト（教科書）】**

Rethinking The World -Dare To Know - 激動の現代社会を読み解く視点

Francois de Soete 著

成美堂 2200 円（税込み）

**【参考書】**

特になし。

辞書必携

**【成績評価の方法と基準】**

授業課題の提出

●授業動画配信オンデマンド授業時 課題提出 10%・・・Key Vocabulary 及び True or False は採点する。1 点×10 問 = 10 点 (Answer Sheet の空欄が全て解答されていることを条件とする)

●対面時 授業内課題提出 10%

●対面時小テスト 10 点×5 回分 50 点 30%

●期末試験 50%

\*欠席 4 回以上で、単位の修得は認められない。

\*オンライン授業の出欠規定・・・毎回 Answer Sheet の回答欄が全て記載されている（空欄の内容全て解答している）、及び毎回指定された課題提出締め切り日までに必ず提出されていて、その回を「出席」とする。

**【学生の意見等からの気づき】**

トピックに関連したプリントを配布する。

**【学生が準備すべき機器他】**

パソコン、スマートフォン使用。

課題にリスニングが含まれるので、教科書の QR コードから音声スマートフォンにダウンロードして聞くことになる。

**【その他の重要事項】**

欠席は 3 回までとする。

オンライン授業は授業動画を配信するオンデマンド型とする。

担当教員に質問などの連絡がある場合は、LMS の質問を利用するか、または以下のアドレスにメールで連絡をください。

yohko.ohmagari.3n@hosei.ac.jp

**【Outline (in English)】**

**【Course outline】**

The aim of this course is help students acquire an understanding the international situation, an environmental problem, natural disasters, culture and so on through the essays.

**【Learning Objectives】**

The goals of this course are to acquire high English proficiency, critical thinking and social skills through listening, reading, writing and speaking.

**【Learning activities and outside of classroom】**

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Before each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content and have read the relevant chapter and completed the assignments.

**【 Grading Criteria】**

Your overall grade in the class will be decided based on the following

submission assignments 10%

LANe200LA		2	Chapter 12	授業動画配信オンデマンド型
<b>英語で学ぶ社会と文化Ⅱ</b>		10/2	By the Sword: how did The Roman Republic turn into an empire?	Vocabulary ,Comprehension Question
サブタイトル：社会と文化の諸相を知る		3	Chapter 12	本文内容の確認
大曲 陽子		10/9	By the Sword: how did The Roman Republic turn into an empire?	テキスト後半 Putting it All Together, Point of Iterest 主にグループワークで行う。
開講時期：秋学期授業/Fall   曜日・時限：月 3/Mon.3		4	Chapter 13	授業動画配信オンデマンド型
単位数：1 単位		10/16	Democratic Ideals: What is democracy?	Vocabulary ,Comprehension Question
レベル 2,3 /定員制 (36 名)		5	Chapter 13	本文内容の確認
その他属性：〈優〉		10/23	Democratic Ideals: What is democracy?	テキスト後半 Putting it All Together, Point of Iterest 主にグループワークで行う。
<b>【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】</b>		6	Chapter 15	授業動画配信オンデマンド型
複数のパラグラフから成る記事を題材として、パラグラフの構造や、構文や文法などの知識を強化することを目的とする。それと同時に、今社会を取り巻くメディアと娯楽、環境保護問題や文化、などの多岐にわたるトピックを通して世界情勢への理解を深めることを目的とする。		10/30	Luck of the Draw: How Important is luck for success in life?	Vocabulary ,Comprehension Question
6 回のオンライン授業は授業動画を配信するオンデマンド型とする。		7	Chapter 15	本文内容の確認
<b>【到達目標】</b>		11/6	Luck of the Draw: How Important is luck for success in life?	テキスト後半 Putting it All Together, Point of Iterest 主にグループワークで行う。
タイムリーなトピックを取り上げ、速読、精読などを通して、必要とする情報を効果的に読み取るスキルを学習する。リスニング、リーディング、ライティング学習を通して、英語資格試験などのためだけでなく、変化する社会情勢を的確に把握し、異なる意見を持つ人たちと対等に渡り合える英語力を身に付けていく。高い英語力だけでなく、批判的な視点の持ち方、自分の意見の持ち方及び歴史や教養などを身に付けることも目指す。		8	Chapter 16	授業動画配信オンデマンド型
<b>【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】</b>		11/13	In the Bigning:What is the link between religion and cosmology?	Vocabulary ,Comprehension Question
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1		9	Chapter 16	本文内容の確認
<b>【授業の進め方と方法】</b>		11/20	In the Bigning:What is the link between religion and cosmology?	テキスト後半 Putting it All Together, Point of Iterest 主にグループワークで行う。
本授業は全 14 回中 8 回を対面型授業、6 回をオンライン授業 (授業動画を配信するオンデマンド型) とする。		10	Chapter 18	授業動画配信オンデマンド型
ほぼ 2 回の授業で 1 つの Chapter を学習する。1 回目の授業 (授業動画配信オンデマンド型) では先ず宿題として授業当該日前までに各自記事を読んで TF 内容問題に取り組み準備する。その後、授業動画を配信するオンデマンド 授業を視聴して、指定の締め切り日までに Hoppii を通して課題を提出する。2 回目の授業 (対面) では、全員が内容に目を通していることを前提に問題演習を行い、教員が配布する記事を読んで自分の考えをまとめる。		11/27	Condemned to be free: Is free will just an illusion?	Vocabulary ,Comprehension Question
Unit 一つ終了ごとに語彙の小テストを行う。		11	Chapter 18	本文内容の確認
授業で取り上げる Chapter は以下の 6 つとする		12/4	Condemned to be free: Is free will just an illusion?	テキスト後半 Putting it All Together, Point of Iterest 主にグループワークで行う。
Chapter 1,4,5,7,8,10		12	Chapter 20	授業動画配信オンデマンド型
前半は速読を中心に大意をつかむためのリーディングスキルを学び、後半の授業では exercise を解きながら精読する。		12/11	In the Grand Scheme of Things: What is the meaning of life?	Vocabulary ,Comprehension Question
適時グループワークを行い意見をまとめる課題がある。		13	Chapter 20	本文内容の確認
課題等に対するフィードバック方法		12/18	In the Grand Scheme of Things: What is the meaning of life?	テキスト後半 Putting it All Together, Point of Iterest 主にグループワークで行う。
毎週課題の提出があるので、授業動画配信オンデマンド型の時は Hoppii を通して指定の締め切り日までに提出し、それは Hoppii を通して返却される。対面授業の課題はその都度提出し、次回授業時に返却される。		14	これまでのまとめと期	Unit 20 語彙小テスト
小テスは採点返却される。		1/15	末試験	これまでのまとめ 期末試験
<b>【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】</b>		<b>【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】</b>		
あり /Yes		本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.		
<b>【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】</b>				
なし /No				
<b>【授業計画】</b> 授業形態：対面/face to face				
回	テーマ	内容		
1	Warming Up	ここで履修者を決定する時事問題		
9/25		プリント教材		

授業動画配信オンデマンド授業時には各自本文テキストを十分に読み込む。各 Unit の **Key Vocabulary** を必ず学習し、語彙の確認を徹底する。本文内容に沿った **TF** 問題に真剣に取り組む。(Key Vocabulary, TF は採点する。) 本文を読み込む際、未知の語彙があれば調べておく。対面授業時では、内容を大まかにわかっていることを前提として授業を行い、内容理解についての課題をこなすので、オンライン授業の学習時間をきちんと確保した上で対面授業に臨むこと。

#### 【テキスト (教科書)】

Rethinking The World -Dare To Know - 激動の現代社会を読み解く視点

Francois de Soete 著  
成美堂 2200 円 (税込み)

#### 【参考書】

特になし。  
辞書必携

#### 【成績評価の方法と基準】

授業課題の提出

- 授業動画配信オンデマンド授業時 課題提出 10%・・・Key Vocabulary 及び True or False は採点する。1 点×10 問= 10 点 (Answer Sheet の空欄が全て解答されていることを条件とする)
- 対面時 授業内課題提出 10%

●対面時小テスト 10 点×5 回分 50 点 30%

●期末試験 50%

\*欠席 4 回以上で、単位の修得は認められない。

\*オンライン授業の出欠規定・・・毎回 Answer Sheet の回答欄が全て記載されている (空欄の内容全てを解答している)、及び毎回指定された課題提出締め切り日までに必ず提出されていて、その回を「出席」とする。

#### 【学生の意見等からの気づき】

トピックに関連したプリントを配布する。

#### 【学生が準備すべき機器他】

パソコン、スマートフォン使用。

課題にリスニングが含まれるので、教科書の QR コードから音声スマートフォンにダウンロードして聞くことになる。

#### 【その他の重要事項】

欠席は 3 回までとする。

オンライン授業は授業動画を配信するオンデマンド型とする。

担当教員に質問などの連絡がある場合は、LMS の質問を利用するか、または以下のアドレスにメールで連絡をください。

yohko.ohmagari.3n@hosei.ac.jp

#### 【Outline (in English)】

##### 【Course outline】

The aim of this course is help students acquire an understanding the international situation, an environmental problem, natural disasters, culture and so on through the essays.

##### 【Learning Objectives】

The goals of this course are to acquire high English proficiency, critical thinking and social skills through listening, reading, writing and speaking.

##### 【Learning activities and outside of classroom】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Before each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content and have read the relevant chapter and completed the assignments.

##### 【 Grading Criteria】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

submission assignments 10%

class contribution 10%

classroom quiz 30%

term-end examination 50%

LANe200LA  
**English Presentation I** 2017 年度以降入学者  
 NADER Jamelea  
 開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 3/Wed.3  
 単位数：1 単位  
 レベル 4 / 定員制 (24 名)  
 その他属性：〈グ〉〈優〉

**【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】**

This course will help students to improve their ability to make presentations in English. Students will increase their confidence in English communication through researching, talking, reading, writing and presenting about a variety of personal, academic, business and cultural topics. Students will choose their presentation topics according to their own interests. Students will focus in particular on developing and explaining their topics in a clear and engaging manner. Students will make three presentations of about 5-10 minutes.

**【到達目標】**

You will become a better presenter. You will improve your ability to communicate in front of a group, including topic selection, generating ideas, organising, collecting supporting information, visual communication, consideration of your voice, and movement. You will have many opportunities to express your thoughts in a concise and logical manner. You will try various ways to make your opinions more persuasive.

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

In this class, you will work in pairs, small groups and individually. You will research and collect information for your topics outside of class. You will organize and arrange your ideas, and prepare visual materials (using PowerPoint or poster paper) to accompany your presentation. Preparation is vital to participate fully and get the most from class time. In class, you will explain your research and ideas. This will enable you to become familiar with your topic and less reliant on a script. Additionally, you will have chances to find the points of interest that need more development, and the places in your work that need further re-thinking and reorganisation. You will also practise a number of important academic skills through listening and note-taking of your own and classmates' topics. These include identifying the key points, re-organising ideas, summarising and reconstructing partner's talks from your notes as well as giving critical feedback. You may be asked to prepare discussion questions related to your topic, and of course, must be ready to answer questions from the audience about your own work. Please come to class ready to participate actively and positively. You may sometimes record your presentations using easy editing software on your phone or PC to share with the class. Teacher feedback will be given in the class and online as necessary.

**【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】**  
あり / Yes

**【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】**  
なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Orientation	An explanation of the class requirements. We will get to know each other.
2	First presentation: "How to..."	Teach us how to do something better. Look at examples. Generate ideas and select topics.

3	Developing your work	Show your ideas and make an outline. Basic presentation structure.
4	Developing your work	Revise and practise. Body language and gestures -examples and practise.
5	Final practise	Combine all the elements and review your speech. Make changes after feedback from classmates and teacher.
6	Presentation	Perform your presentation. Watch and review classmates. Self evaluation.
7	Second presentation: SWOT analysis	A SWOT analysis. What is it? Look at examples. Generate ideas and select topics
8	Developing your work:	A SWOT analysis. Show your first research and organise. Voicework - how to vary your voice to make your words have more impact.
9	Developing your work:	Show us your presentation draft and practise. Turn your draft into notecards. Asking and answering questions during a presentation.
10	Presentation	Perform your presentation. Watch and review classmates.
11	Third Presentation: Pechakucha	What is a pechakucha presentation? Explanation and examples. Topic planning.
12	Developing your work:	Practise. Speaking to time limits and on the spot transitions.
13	Final practise	Review and practise.
14	Presentation & Semester review	Perform your presentation. Watch and review classmates.

**【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】**

Students will be expected to find their own research materials, write presentations and prepare visual materials including Keynote or PowerPoint slides. Students will be asked to watch some speeches and share their impressions in class.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course

**【テキスト (教科書)】**

The above may change. Activities may change according to class size, students' interests and abilities. There is no textbook.

**【参考書】**

Recommended places to watch presentation examples are; the Pechakucha, TED and Jack Petchey Foundation websites.

**【成績評価の方法と基準】**

In-class performance\* and participation 25%

Presentations 45%

Self evaluation 10%

Outside class preparation 20%

\*Please remember university policy permits a maximum of 3 absences per semester.

**【学生の意見等からの気づき】**

Students wanted more time to prepare presentations.

**【学生が準備すべき機器他】**

The classes will be conducted face-to-face. If, however, there is a need to conduct one or more classes online, students will require access to zoom.

We will use Google Classroom for all class information, assignments and so on. You will need to use colour pens, large poster paper, slide making software such as PowerPoint or Keynote. You will need to access your smartphone, tablet, or PC to watch presentation examples and do quick research in class. You will need an English dictionary.

**【その他の重要事項】**

Please come to class ready to participate actively and positively.

**【Outline (in English)】**

**Make your speeches and presentations better.**

LANe200LA

English Presentation II

2017 年度以降入学者

NADER Jamelea

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：1 単位

レベル 4 / 定員制 (24 名)

その他属性：〈グ〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course will help students to improve their ability to make presentations in English. Students will increase their confidence in English communication through researching, talking, reading, writing and presenting about a variety of personal, academic, business and cultural topics. Students will choose their presentation topics according to their own interests. Students will focus in particular on developing and explaining their topics in a clear and engaging manner. Students will make three presentations of about 5-10 minutes.

【到達目標】

You will become a better presenter. You will improve your ability to communicate in front of a group, including topic selection, generating ideas, organising, collecting supporting information, visual communication, consideration of your voice, and movement.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

In this class, you will work in pairs, small groups and individually. You will research and collect information for your topics outside of class. You will organize and arrange your ideas, and prepare visual materials (using PowerPoint or poster paper) to accompany your presentation. Preparation is vital to participate fully and get the most from class time. In class, you will explain your research and ideas. This will enable you to become familiar with your topic and less reliant on a script. Additionally, you will have chances to find the points of interest that need more development, and the places in your work that need further re-thinking and reorganisation. You will also practise a number of important academic skills through listening and note-taking of your own and classmates' topics. These include identifying the key points, re-organising ideas, summarising and reconstructing partner's talks from your notes as well as giving critical feedback. You may be asked to prepare discussion questions related to your topic, and of course, must be ready to answer questions from the audience about your own work. Teacher feedback will be given in the class and online as necessary. Please come to class ready to participate actively and positively. You may sometimes record your presentation using easy editing software on your phone or PC to share with the class.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】  
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】  
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Orientation and a review of the Spring Semester. First presentation: "Inspired by a movie"	A cultural or social theme picked from a movie For example. "The Lego Movie" - a comparison of the education systems of Denmark and Japan. The role of propaganda in Vietnam War movies "The Devil wears Prada" - Karoshi - is work /life balance really possible? Discussing ideas and topic selection.

2	Developing your work	Sharing research. Making outlines and considering some rhetorical techniques such as the rule of 3 and repetition.
3	Developing your work	Sharing research. Using rhetorical techniques. Review of voice techniques.
4	Final practise	Making discussion questions. Practise and make changes after feedback from classmates and teacher.
5	Presentation	Perform your presentation. Watch and review classmates. Self evaluation.
6	Second presentation: Something I've learned that you should know	What knowledge have you gained in your university life that you think other people would benefit from knowing? generating ideas
7	Developing your work	Considering different narratives styles. Sharing ideas.
8	Developing your work	Sharing your ideas and using props in a speech.
9	Final practise	Practise your speech using a prop.
10	Presentation	Perform your presentation. Watch and review classmates. Self evaluation.
11	Third Presentation: A persuasive speech	A speech about something you feel strongly about. Make us believe how correct and important your opinion is.
12	Developing your work:	Adding passion and emotion to your words. Speaking with your whole body - examples and practise.
13	Final practise	Looking again at body language and voice.
14	Presentation & Semester review	Perform your presentation. Watch and review classmates. Self evaluation.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students will be expected to find their own research materials, write presentations and prepare visual materials including Keynote or PowerPoint slides. Students will be asked to watch some speeches and share their impressions in class. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course

【テキスト (教科書)】

The above may change. Activities may change according to class size, students' interests and abilities. There is no textbook.

【参考書】

Recommended places to watch presentation examples are; the peckakucha, TED and Jack Petchey Foundation websites.

【成績評価の方法と基準】

In-class performance\* and participation 25%

Presentations 45%

Self evaluation 10%

Outside class preparation 20%

\*Please remember university policy permits a maximum of 3 absences per semester.

【学生の意見等からの気づき】

Students requested more computer presentations.

【学生が準備すべき機器他】

The classes will be conducted face-to-face. If, however, there is a need to conduct one or more classes online, students will require access to zoom.

We will use Google Classroom for all class information, assignments and so on. You will need to use colour pens, large poster paper, slide making software such as PowerPoint or Keynote. You will need to access your smartphone, tablet, or PC to watch presentation examples and do quick research in class. You will need an English dictionary.

**【その他の重要事項】**

Please come to class ready to participate actively and positively.

**【Outline (in English)】**

Make your speeches and presentations better.



LANe200LA

English Presentation I 2017 年度以降入学者

JOHN REILLY

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 3/Tue.3

単位数：1 単位

レベル 4 / 定員制 (24 名)

その他属性：〈グ〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course teaches presentation skills through watching presentations, learning presentation techniques and making presentations on different topics.

【到達目標】

Students will be able to prepare and make presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Class activities will include individual work, group work and discussions. Students will be required to prepare presentation material outside of classes. Students will compare class assignment

answers in pairs or small groups after which the instructor will provide the correct answers.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】  
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】  
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Introduction	Review syllabus and textbook
2	Getting ready (Pages 2-7)	Give Self introduction
3	A good friend (Pages 8-11)	- Exploring the topic - Focusing on language
4	Unit 1 A good friend (Pages 12-15)	- Organizing ideas - Adding impact techniques
5	Unit 1 A good friend (Pages 16-17)	- Developing presentation techniques
6	Unit 1 A good friend (Pages 18-19)	Presentation "My friend"
7	Unit 2 A favorite place (Pages 20-23)	- Exploring the topic - Focusing on language
8	Unit 2 A favorite place (Pages 24-27)	- Organizing ideas - Adding impact
9	Unit 2 A favorite place (Pages 28-29)	- Developing presentation techniques
10	Unit 2 A favorite place (Pages 30-31)	Presentation - "My Favorite Place"
11	Unit 3 A prized possession (Pages 32-35)	- Exploring the topic - Focusing on language - Organizing ideas
12	Unit 3 A prized possession (Pages 36-41)	- Adding impact - Developing presentation techniques
13	Unit 3 (Pages 42-43)	Presentation - "My Prized Possession"

14	Make-up Presentations / Course Review	Finalize spring semester course
----	---------------------------------------	---------------------------------

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students will be expected to prepare for classes by reviewing the next pages in the textbook and completing some assignments.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Present Yourself 1 Experiences, Second Edition (Steven Gershon, Cambridge University

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

Students will be evaluated on two components:

- Presentations - 75% (Unit 1, 2 and 3 presentations are required.)
- Class participation - 25%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Student input and feedback is encouraged.

【学生が準備すべき機器他】

None

【Outline (in English)】

This course teaches presentation skills through watching presentations, learning presentation techniques and making presentations on different topics.

LANe200LA

## English Presentation II

2017 年度以降入学者

JOHN REILLY

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 3/Tue.3

単位数：1 単位

レベル 4 / 定員制 (24 名)

その他属性：〈グ〉〈優〉

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course teaches presentation skills through watching presentations, learning presentation techniques and making presentations on different topics.

## 【到達目標】

Students will be able to prepare and make presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

Class activities will include individual work, group work and discussions. Students will be required to prepare presentation material outside of classes. Students will compare class assignment

answers in pairs or small groups after which the instructor will provide the correct answers.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】  
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Introduction	Review syllabus and textbook
2	Getting ready (Pages 2-7) Give Self introduction presentation	Give self introduction
3	Unit 4 A memorable experience (Pages 44-47)	- Exploring the topic - Focusing on language
4	Unit 4 A memorable experience (Pages 48-51)	- Organizing ideas - Adding impact
5	Unit 4 A memorable experience (Pages 52-53)	- Developing presentation techniques
6	Unit 4 A memorable experience (Pages 54-55)	Presentation: "My Memorable Experience"
7	Unit 5 I'll show you how (Pages 56-59)	- Exploring the topic - Focusing on language
8	Unit 5 I'll show you how (Pages 61-63)	- Organizing ideas - Adding impact
9	Unit 5 I'll show you how (Pages 64-65)	- Developing presentation techniques
10	Unit 5 I'll show you how (Pages 66-67)	Presentation: "How to..."
11	Unit 6 Screen magic (Pages 68-73)	- Exploring the topic - Focusing on language - Organizing ideas

12	Unit 6 Screen magic (Pages 73-77)	- Adding impact - Developing presentation techniques
13	Unit 6 Screen magic (Pages 78-79)	Presentation: Movie or TV Show Review
14	Make-up Presentations / Course Review	Finalize fall semester course

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students will be expected to prepare for classes by reviewing the next pages in the textbook and completing some assignments.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. one-credit course.

## 【テキスト (教科書)】

Present Yourself 1 Experiences, Second Edition (Steven Gershon, Cambridge University Press)

## 【参考書】

None

## 【成績評価の方法と基準】

Students will be evaluated on two components:

- Presentations - 75% (Unit 4, 5 and 6 presentations are required.)
- Class participation - 25%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

## 【学生の意見等からの気づき】

Student input and feedback is encouraged

## 【学生が準備すべき機器他】

None

## 【その他の重要事項】

None

## 【Outline (in English)】

This course teaches presentation skills through watching presentations, learning presentation techniques and making presentations on different topics.

LANe200LA

English Presentation I 2017 年度以降入学者

コートランド・デイビッド・スミス

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

レベル 4 / 定員制 (24 名)

その他属性：〈グ〉〈優〉

**【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】**

This course is designed primarily to improve students' presentation skills and thereby to develop their integrative English language proficiency. In spring the goal is to acquire basic presentations skills, including how to organize a presentation, supporting arguments with evidence, effective use of visual aids, and aspects of delivery such as eye contact or gesture. In the fall semester, students will focus on persuasive/argumentative presentations on topics of contemporary concern. Students base their presentations on the basic patterns taught and learn to speak from notes. The class is conducted in English.

**【到達目標】**

This course is designed primarily to improve students' presentation skills and thereby to develop their integrative English language proficiency. In spring the goal is to acquire basic presentations skills, including how to organize a presentation, supporting arguments with evidence, effective use of visual aids, and aspects of delivery such as eye contact or gesture. In the fall semester, students will focus on persuasive/argumentative presentations on topics of contemporary concern. Students base their presentations on the basic patterns taught and learn to speak from notes. The class is conducted in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたなどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

Online class. All classes will be taught using zoom. The content of the class will consist of practicing presentation techniques and delivering presentations. If time permits, there will be some discussion of the presentation topics. Student assignments will be reviewed during class time or submitted to instructor for evaluation by email.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】  
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】  
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1. Introductions HW/text pgs. 4-12	Talk about spring break. Getting started.
2	2. Text pgs. 13-14, 15-17, 18-22 HW/informative speech (pg. 17) with visuals, posture, eye contact, gestures	Watch sample presentation DVD.
3	3. Performance of informative speech HW/text pgs. 23-24, 28-29	Speech performance and feedback.

4	4. Text pgs. 30-38 HW/demonstration speech (pg. 38) with visuals, posture, eye contact, gestures, voice inflection	Demonstration speech.
5	5. Performance of demonstration speech HW/text pgs. 39-46	Student speech performances.
6	6. Text pgs. 47-48, pgs. 51-55 HW/country comparison (pgs. 49 & 56)	Prepare for country comparison speech.
7	7. Performance of country comparison HW/pgs. 57-59	Student speeches.
8	8. Text pgs. 60-67 HW/speech introduction (pg. 67)	Focus on speech introduction.
9	9. Performance of speech introduction HW/text pgs. 68-72	Speech introduction performances.
10	10. Text pgs. 73-85 HW/speech body (pg. 86)	Focus on speech body.
11	11. Performance of speech body HW/text pgs. 87-94 conclusion (pg. 95)	Student performances of speech body.
12	12. Presentation of conclusion HW/final presentation (pg. 99 steps 1,2,3)	Focus on speech conclusion.
13	Final presentations HW/None	Prepare and perform final presentations
14	Final presentations	End of term evaluation

**【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】**

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. Students will research and prepare their presentations before scheduled classes.

**【テキスト (教科書)】**

Speaking of Speech Level 2 Charles LeBeau MacMillan Education ISBN978-4-7773-6515-9 C3082

**【参考書】**

Students will use online resources to research and prepare their presentations.

**【成績評価の方法と基準】**

Presentations (50%)

Class participation (40%)

Final presentation (10%)

\*Students will be expected to attend a minimum of 80% of all classes in order to get credit for this course. This means that you can be absent no more than three times.

Three late arrivals are counted as one absence (up to 29 min.). More than 45 minutes late without a good reason will be counted as absent. Students who are absent or late for a good reason — serious train delays, injury, illness, etc. should provide some evidence to instructor.

**【学生の意見等からの気づき】**

None.

**【学生が準備すべき機器他】**

If classes are held online, Zoom and headset. Students may use assigned classroom for online classes.

**【その他の重要事項】**

Contact Email: smith.courtland.sc@hosei.ac.jp

**【Outline (in English)】**

Students will prepare and deliver presentations during class time.

LANe200LA  
**English Presentation II** 2017 年度以降入学者  
 コートランド・デイビッド・スミス  
 開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3  
 単位数：1 単位  
 レベル 4 / 定員制 (24 名)  
 その他属性：〈グ〉〈優〉

**【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】**

This course is designed primarily to improve students' presentation skills and thereby to develop their integrative English language proficiency. In spring the goal is to acquire basic presentations skills, including how to organize a presentation, supporting arguments with evidence, effective use of visual aids, and aspects of delivery such as eye contact or gesture. In the fall semester, students will focus on persuasive/argumentative presentations on topics of contemporary concern. Students base their presentations on the basic patterns taught and learn to speak from notes. The class is conducted in English.

**【到達目標】**

The goal of this course is to enable students to make effective presentations on a variety of topics. Students will learn to confidently deliver multimedia informative/descriptive speeches, as well as comparative, demonstrative and argumentative/persuasive presentations. Students will also learn to evaluate the quality and content of others' presentations, to take notes on presentation content, and to provide detailed feedback to help presenters to improve their presentation technique.

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

The content of the class will consist of practicing presentation techniques and delivering presentations. If time permits, there will be some discussion of the presentation topics. The fall semester of this course will concentrate on the preparation and delivery of persuasive, argumentative and rhetorical speeches. Student assignments will be reviewed during class time or submitted to instructor for evaluation by email.

**【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】**  
なし / No

**【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】**  
なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1. Summer vacation HW/prepare speech on summer vacation	Warm up presentation.
2	2. Presentations on summer vacation HW/read handout parts 1&2	Students deliver their summer vacation presentations.
3	3. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 1	Read background information and answer questions.

4	4. Presentations on topic 1 and discussion HW/read handout parts 1&2	Delivery of speeches.
5	5. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 2	Read background information and answer questions.
6	6. Presentations on topic 2 HW/read handout parts 1&2	Delivery of student speeches.
7	7. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 3	Read background information and answer questions.
8	8. Presentations on topic 3 HW/read handout parts 1&2	Delivery of student speeches.
9	9. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 4	Read background information and answer questions.
10	10. Presentations on topic 4 HW/read handout parts 1&2	Delivery of student speeches.
11	11. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 5	Read background information and answer questions.
12	12. Presentations on topic 5 HW/read handout parts 1&2	Delivery of student speeches.
13	13. Complete handout reading HW/prepare final presentations	Prepare for final presentations.
14	14. Final presentation	Final performance, summary and evaluation.

**【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】**

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. Students will research and prepare their presentations before scheduled classes.

**【テキスト (教科書)】**

Speaking of Speech Level 2 Charles LeBeau MacMillan Education ISBN978-4-7773-6515-9 C3082

**【参考書】**

Students will make use of a variety of online resources in the research and preparation of their speeches.

**【成績評価の方法と基準】**

Presentations (50%)

Class participation (40%)

Final presentation (10%)

\*Students will be expected to attend a minimum of 80% of all classes in order to get credit for this course. This means that you can be absent no more than three times.

Three late arrivals are counted as one absence (up to 29 min.). More than 45 minutes late without a good reason will be counted as absent. Students who are absent or late for a good reason — serious train delays, injury, illness, etc. should provide some evidence to instructor.

**【学生の意見等からの気づき】**

None.

**【学生が準備すべき機器他】**

If classes are held online, Zoom and a headset.

【その他の重要事項】

Contact Email: smith.courtland.sc@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

Students will prepare and deliver presentations during class time.

LANe200LA

English Presentation I 2017 年度以降入学者

MARK D BURNS

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 4/Thu.4

単位数：1 単位

レベル 4 / 定員制 (24 名)

その他属性：〈グ〉〈優〉

**【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】**

The primary objective of this class is to develop basic presentation skills. The course provides practice in structuring, and organizing presentations, designing effective visuals, and delivering presentations in clear communicative English. Students will prepare and deliver 7 presentations on a wide range of subjects and purposes.

**【到達目標】**

This subject aims to equip learners with the confidence and basic ability to deliver effective presentations in English. It will help learners become familiar with a number of presentation types and build confidence speaking in front of others. By the end of this course, students will be able to deliver an individual presentation followed by a question and answer session, while engaging the audiences in their topic. Furthermore, students will sharpen their listening skills by learning how to ask good questions and become active listeners.

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

In this subject, classes will be conducted in English and will cover each unit of the textbook. In presentation weeks students are required to actively listen to other learners' presentations in order to ask relevant questions in the Question & Answer Sessions, and also to complete specific Feedback Forms. Students will be able get direct feedback on their presentations from these forms.

**【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】**  
なし / No

**【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】**  
なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Orien- tation	Overview of the course and warm up	Overview of English Presentation I subject and explaining rules for assignment submissions and feedback
Unit 1	Posture	Learners prepare and present a presentation about a city they like
Unit 2	Gesture	Learners prepare and present a presentation describing the layout of an interesting place
Unit 3	Use of voice	Learners prepare and present a presentation about a recipe
Section review	Review of the physical message	Review of the physical message
Unit 4	Effective visuals	Learners prepare a presentation comparing two countries

Unit 5	Explaining visuals	Learners prepare clear explanations for slides and charts
Section review	Review of the visual message	Learners deliver a presentation comparing two countries
Unit 6	Introduction	Learners prepare and present the introduction to a product comparison presentation
Unit 7	Body	Learners prepare and present the the body a product comparison presentation
Unit 8	Conclusion	Learners prepare and present the conclusion to a product comparison presentation
Section review	Review of presentation structure	Review of presentation structure
Final perform- ance prepa- ration	Final performance preparation	Final performance preparation
Final perform- ance	Final performance	Final performance

**【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】**

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. Students are required to prepare visuals and rehearse 7 presentations over the course.

**【テキスト (教科書)】**

Speaking of Speech New Edition, David Harrington and Charles LeBeau, ISBN 978-4-7773-6271-4

**【参考書】**

A good Japanese-English dictionary

**【成績評価の方法と基準】**

Assessment will consist of in-class participation (40%), 7 presentation assignments (60%)

**【学生の意見等からの気づき】**

Personalised individual feedback will be provided. Students can participate via Zoom in emergencies.

**【その他の重要事項】**

In principle, no more than 3 absences per term are allowed. Lesson schedule may change depending on student number.

**【Outline (in English)】**

The primary objective of this class is to develop basic presentation skills. The course provides practice in structuring, and organizing presentations, designing effective visuals, and delivering presentations in clear communicative English. Students will prepare and deliver 7 presentations on a wide range of subjects and purposes.

LANe200LA

## English Presentation II

2017 年度以降入学者

MARK D BURNS

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 4/Thu.4

単位数：1 単位

レベル 4 / 定員制 (24 名)

その他属性：〈グ〉〈優〉

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

The primary objective of this class is to further develop basic presentation skills. The course provides practice in structuring, and organizing presentations, designing effective visuals, and delivering presentations in clear communicative English. Students will prepare and deliver 7 presentations on a wide range of subjects and purposes.

## 【到達目標】

This subject aims to equip learners with the basics of written communication in English. It will help learners become familiar with a number of presentation types and build confidence speaking in front of others. By the end of this course, students will be able to deliver an individual presentation followed by a question and answer session, while engaging the audiences in their topic. Furthermore, students will sharpen their listening skills by learning how to ask good questions and become active listeners.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

In this subject, classes will be conducted in English and will cover each unit of the textbook. In presentation weeks students are required to actively listen to other learners' presentations in order to ask relevant questions in the Question & Answer Sessions, and also to complete specific Feedback Forms. Students will be able to get direct feedback on their presentations from these forms.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】  
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】  
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Orien- tation	Overview of the course and warm up	Overview of English Presentation I subject and explaining rules for assignment submissions and feedback
Unit 1	What are the options?	Learners prepare option presentations
Unit 2	Performance 1	Option presentations and peer feedback.
Unit 3	Job hunting	Learners prepare a proposal presentation
Unit 4	Performance 2	Proposal presentations and peer feedback.
Unit 5	Have I got your attention?	Learners prepare sales presentations
Unit 6	Performance 3	Sales presentations and peer feedback.
Unit 7	Technical problems and solutions	Learners prepare technical presentations

Unit 8	Performance 4	Technical presentations and peer feedback.
Unit 9	Cite your sources	Learners prepare academic presentations
Unit 10	Performance 5	Academic presentations and peer feedback.
Unit 11	Creative innovations	Learners prepare team presentations
Unit 12	Performance 6	Team presentations and peer feedback.
End-term review	Final presentations	Final presentations

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. Students are required to prepare visuals and rehearse 7 presentations over the course.

## 【テキスト (教科書)】

Speaking of Speech Level 2, Charles LeBeau, ISBN 978-4-7773-6515-9

## 【参考書】

A good Japanese-English dictionary

## 【成績評価の方法と基準】

Assessment will consist of in-class participation (40%), 7 presentation assignments (60%)

## 【学生の意見等からの気づき】

Personalised individual feedback will be provided. Students can participate via Zoom in emergencies.

## 【その他の重要事項】

In principle, no more than 3 absences per term are allowed. Lesson schedule may change depending on student numbers.

## 【Outline (in English)】

The primary objective of this class is to further develop basic presentation skills. The course provides practice in structuring, and organizing presentations, designing effective visuals, and delivering presentations in clear communicative English. Students will prepare and deliver 7 presentations on a wide range of subjects and purposes.



LANe200LA  
**英語アカデミック・リーディング I** 2017 年度以降入学者  
 岩崎 博  
 開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4  
 単位数：1 単位  
 レベル 2,3 / 定員制 (36 名)  
 その他属性：〈優〉

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

パラグラフの論理的な構造に目を向け、その趣旨を的確につかむことによって、英文を正確に読みこなす能力を養います。授業では、トピックセンテンスを中心に、パラグラフの内容を理解する読みを実践します。美術、科学、文化、言語、環境、歴史など様々な分野を扱う興味深いエッセイを読み解くことによって、新しい視点、刺激的な世界観に触れてください。

**【到達目標】**

パラグラフリーディングの技術を習得する。  
 パラグラフの内容を正確に理解し、それを口頭で表現できるようになる。  
 パラグラフのトピックとそれを詳述する細部との関係を理解する。コンテキストを正しく捉える力を養う。  
 抽象的な表現を具体的に理解する読み方を身につける。  
 辞書が活用できるようになる。  
 英語の論文を効率的に読み解くことができるようになる。  
 クリティカル・リーディングの重要性を理解する。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

演習を中心に授業を行います。各パラグラフの内容を詳細に考察しますので、授業はかなりゆっくりと進んでいきます。一回の授業で扱うのはテキスト1ページほどです。授業では、学生がパラグラフの和訳、要約、または内容の説明を行い、それについてみんなで話し合います。不明な点や問題点があれば、全員で話し合い、できるだけ自分たちの力で解決していきます。また、各論文を読み終わった後、それに関する意見を発表しクラス全体で議論します。フィードバックに関しては、学生が発表するたびに教師がコメントを出し、さらにそのコメントについてクラスで話し合います。学期末試験の答案に解説・コメントをつけて返却します。

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**  
あり / Yes

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**  
なし / No

**【授業計画】 授業形態：対面/face to face**

回	テーマ	内容
1	授業の説明	授業に関する説明の後、パラグラフの構造について理解します。
2	Session 1 What a Painting Can Tell Us 本エッセイの展望	筆者は絵画に隠された物語を読み解いていきます。筆者は絵の中にどんな物語を読み込むのでしょうか？ このセッションでは、学生は各パラグラフの内容を自分の言葉で説明していきます。
3	Session 1 What a Painting Can Tell Us	パラグラフが主題文、指示文、結論文から成ることを理解し、実際の英文の中でその構造を確認します。これを理解した上で、トピックセンテンスを見つけ、それが何故トピックセンテンスなのか、自分の言葉で説明します。

4	Session 1 What a Painting Can Tell Us パラグラフリーディングの実践	トピックセンテンスと支持文の関連性を考え、それを自分の言葉で表現します。 <b>What a Painting Can Tell Us</b> に関して自分の意見を発表し、クラスで話し合います。
5	Session 2 Split-Brain Research 本エッセイの展望	右脳・左脳の機能の違いを世に知らしめた、有名な事例を紹介する論文を読みます。右脳と左脳の機能の違いに、言語がどのように関わっているのでしょうか？ このエッセイでは、学生はパラグラフのトピックに留意しつつ英文和訳を行います。
6	Session 2 Split-Brain Research イラストを頼りに実験の記述を読む	実験の模様を図解するイラストを参照しながら、実験の手順を記述する文章を正確に読む練習をします。
7	Session 2 Split-Brain Research イラストと記述を照応させる	図と英語の記述を対応させることによって、視覚情報が左右の脳にどのように伝わるのかを理解します。
8	Session 2 Split-Brain Research 記述内容を具体的に読む	実験の結果に関する記述が、具体的に実験の何を指し示すのかを理解します。抽象的な記述を具体的に理解し説明する読みを実践します。
9	Session 2 Split-Brain Research 文脈をたどる	ある文が意味をなすということは、文脈を理解することに他ならないことを学習します。 また、言語が左右の脳の機能の違いにどんな影響を及ぼしているのか理解します。
10	Session 9 On Speaking on Speaking 本エッセイの展望	<b>Split-Brain Research</b> に関する意見を発表し、クラスで話し合います。 <b>Session 9</b> では、言語の変化生成に関する仮説を扱う論文を読みます。言語は原初の形を痕跡として残しつつ絶えず変化し続けること、人間には言語を生み出す普遍的能力があることを学びます。子供は言語の生成・変化にどんな形で関わってきたのでしょうか？ このセッションでは、学生は各パラグラフの内容を自分の言葉で説明していきます。
11	Session 9 On Speaking on Speaking 言語の生成変化	言語が絶えず変化していることを学びます。 パラグラフにおける旧情報と新情報を識別し、パラグラフ間のつながりを考察します。
12	Session 9 On Speaking on Speaking 言語の生成変化 (様態・担い手)	言語はどのように変化するのか、また誰がそれを担うのかを学びます。 トピックセンテンスの言い換えの文から、パラグラフ全体の主張をより具体的に理解できることを学びます。 it の指示内容を識別する方法を学習します。
13	Session 9 On Speaking on Speaking Speaking のまとめ 春学期学習内容の総括	<b>On Speaking on Speaking</b> について各自の意見を発表します。 春学期に学習した内容で重要な箇所を振り返り、教師が学生からの質問に答えます。
14	学期末試験・解	学期末試験を行います。試験後、解答・解説を行います。

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。予習は、テキストの指定箇所（1 ページほど）を読み、パラグラフごとに簡単なメモを作成し、それを見ながら内容の要約・説明ができるようにします。特にトピックセンテンスと論証部分の関係性を自分の言葉で説明できるように準備します。

復習は、授業で扱った内容を確認し理解した上で、最低 5 回は読み返します。各エッセイを読み終えた後、自分の意見を発表できるように準備します。

**【テキスト（教科書）】**

『The Universe of English』東京大学英語教室編（東京大学出版会）

**【参考書】**

なし。

**【成績評価の方法と基準】**

授業参加 40 パーセント、試験 60 パーセントの比率で評価します。授業参加点は事前に指示された課題の発表の回数によって決まります。

一度休むごとに平常点から 2 点ずつ引いていきます。

4 回以上欠席の場合は、原則として単位修得を認めません。

オンライン授業では、課題の提出を持って出席とします。

**【学生の意見等からの気づき】**

できるだけ学生の発表を中心にして、授業を進行していきたいと思っています。

**【学生が準備すべき機器他】**

電子辞書を持っている人は電子辞書を持参してください。

**【その他の重要事項】**

教師と学生の対話を通して、適度に楽しくて為になる双方向の授業を目指したいと思っています。みなさんの積極的な参加、質問、発言を期待しています。

**【Outline (in English)】**

The aim of this course is to improve reading skills by understanding the basic logical structure of a paragraph in academic essays. Students will learn what kinds of connection a topic sentence and its supporting details make in each paragraph and describe what they have understood about it.

The goal of this course is for students to be able to read and understand academic articles correctly, and also to be able to express their critical views on them.

Students are expected to spend one hour reading assigned paragraphs of an article before the class and reviewing what they have learned after the class.

The final grade will be decided based on class-participation 40 % and term-end examination 60 %.

LANe200LA

**英語アカデミック・リーディング** 2017 年度以降入学者 II

岩崎 博

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

レベル 2,3 / 定員制 (36 名)

その他属性：〈優〉

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

パラグラフの論理的な構造に目を向け、その趣旨を的確につかむことによって、英文を正確に読みこなす能力を養います。授業では、トピックセンテンスを中心に、パラグラフの内容を理解する読みを実践します。美術、科学、文化、言語、環境、歴史など様々な分野を扱う興味深いエッセイを読み解くことによって、新しい視点、刺激的な世界観に触れてください。

**【到達目標】**

パラグラフリーディングの技術を習得する。  
 パラグラフの内容を正確に理解し、それを口頭で表現できるようになる。  
 パラグラフのトピックとそれを詳述する細部との関係を理解する。コンテキストを正しく捉える力を養う。  
 抽象的な表現を具体的に理解する読み方を身につける。  
 辞書が活用できるようになる。  
 英語の論文を効率的に読み解くことができるようになる。  
 クリティカル・リーディングの重要性を理解する。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

演習を中心に授業を行います。各パラグラフの内容を詳細に考察します。授業はかなりゆっくりと進んでいきます。一回の授業で扱うのはテキスト1ページほどです。授業では、学生がパラグラフの和訳、要約、または内容の説明を行い、それについてみんなで話し合います。不明な点や問題点があれば、全員で話し合い、できるだけ自分たちの力で解決していきます。また、各論文を読み終わった後、それに関する意見を発表しクラス全体で議論します。

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**  
あり/Yes

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**  
なし/No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業の説明	パラグラフの構造を理解します。
2	Session 17 Ecology 本エッセイの展望	エコロジーの入門書のエッセイを読みます。コンパクトながら、エコロジーの定義から始まり、生物圏の区分、食物連鎖、生物濃縮、生態遷移などに言及し、エコロジーの最も重要な分野をわかりやすく解説しています。また、生態学的知識を吸収することによって、現在我々を取り巻く環境問題を考えたいと思っています。
3	Session 17 Ecology 概念を定義するタイプの パラグラフ	エコロジーという概念の定義を行うパラグラフを読み、エコロジーとは何なのかを考察します。
4	Session 17 Ecology 抽象と具体	エコロジーという概念（抽象）とそれが示す具体像の間を行き来しつつ、エコロジーに対する理解を深めます。

5	Session 17 Ecology エコロジーが扱う領域 の外観	生態系・食物連鎖・生物濃縮・生態遷移とは何か、具体例を通して学びます。
6	Session 11 Disneyland: America's Sacred Land 本エッセイの展望	ディズニーランドの人気の理由を論じるエッセイを読みます。混沌とするアメリカ社会においてディズニーランドがどんな価値観を体現し、どんな役割を果たしているのか考察します。 このエッセイでは、学生は各パラグラフの内容を要約します。
7	Session 11 Disneyland: America's Sacred Land ディズニーランド人気の理由	ディズニーランドの人気を支える倫理観、歴史観、哲学を考察します。
8	Session 11 Disneyland: America's Sacred Land ディズニーランドの神話的意義	ディズニーランドが単なるテーマパークにとどまらず、旧約聖書に登場する「約束の土地」であるという筆者の主張を考察します。
9	Session 18 Columbus: From Hero to Fall Guy 本エッセイの展望	コロンブスが歴史上の偉人から、アメリカを侵略し破壊した悪人に評価が変わった理由を考察する論文を読みます。どうしてコロンブスは英雄から世紀の大悪人になってしまったのか、果たしてコロンブスを糾弾する者たちの真の意図とは何か？歴史とは何かを考えさせる実にスリリングなエッセイです。 このセッションでは、学生は各パラグラフの内容を自分の言葉で説明していきます。
10	Session 18 Columbus: From Hero to Fall Guy 視点的 視角	歴史的記述における視点の重要性を考えます。 主格関係と目的格関係を表す前置詞 of の用法を学び、名詞句の中に主語+述部動詞、あるいは主語+述部動詞+目的語と似た構造が存在することを学習します。
11	Session 18 Columbus: From Hero to Fall Guy 歴史とは何か	コロンブスの評価が英雄から人類最悪の男に凋落した理由として筆者が援用する歴史観について考察します。筆者が提示した理論を「アメリカ発見」の歴史に当てはめると何が読みとれるのか考えます。
12	Session 18 Columbus: From Hero to Fall Guy 反コロンブス神話とは	コロンブス以前のアメリカが理想郷として描き出されている現状の背後に隠された意図を考えます。
13	Session 18 Columbus: From Hero to Fall Guy コロンブスとは何なのか	コロンブスが「歴史的コマ」として、現代の政治ゲームの中でどのように利用されているか、具体的記述の中で理解します。「発見」された側がコロンブスを世紀の大悪人だと糾弾する本当の理由が明らかされます。 クラス全体でエッセイの問題点を指摘し、その内容を批判的に論じます。
14	試験日	秋学期試験を行う。まとめと解説

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**  
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

予習は、テキストの指定箇所（1 ページほど）を読み、パラグラフごとに簡単なメモを作成し、それを見ながら内容の要約・説明ができるようにします。特にトピックセンテンスと論証部分の関係性を自分の言葉で説明できるように準備します。

復習は、授業で扱った内容を確認し理解した上で、最低5回は読み返します。各エッセイを読み終えた後、自分の意見を発表できるように準備します。

#### 【テキスト（教科書）】

東京大学英語教室編『The Universe of English』（東京大学出版会）

#### 【参考書】

なし。

#### 【成績評価の方法と基準】

授業参加 40 パーセント、試験 60 パーセントの比率で評価します。授業参加点は事前に指示された課題の発表の回数によって決まります。

一度休むごとに平常点から 2 点ずつ引いていきます。

4 回以上欠席の場合は、原則として単位修得を認めません。

オンライン授業では、課題の提出を持って出席とします。

#### 【学生の意見等からの気づき】

学生が話し合って問題を解決する機会を増やします。

#### 【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を持っている人は電子辞書を持参してください。

#### 【その他の重要事項】

できるだけ教師と学生の対話を通して、知的に楽しくて為になる、双方向の授業を目指したいと思っています。みなさんの積極的な参加、質問、発言を期待しています。

#### 【Outline (in English)】

The aim of this course is to improve reading skills by understanding the basic logical structure of a paragraph in academic essays. Students will learn what kinds of connection a topic sentence and its supporting details make in each paragraph and describe what they have understood about it.

The goal of this course is for students to be able to read and understand academic articles correctly, and also to be able to express their critical views on them.

Students are expected to spend one hour reading assigned paragraphs of an article before the class and reviewing what they have learned after the class.

The final grade will be decided based on class-participation 40 % and term-end examination 60 %.

LANe200LA

英語検定試験対策 I

2017 年度以降入学者

久慈 美貴

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 2/Wed.2

単位数：1 単位

レベル 3,4 / 定員制 (36 名)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

TOEIC Test listening part の速度に慣れ、重要点（設問部分）をチェックできるよう練習したい。

自習用オーディオファイルを何度も聞いて、音と速さ、設問形式になじんでほしい。

授業外の学習時間 2 時間が必要。成績は授業時の提出物 20%、Final Report (TOEIC 形式の問題を提示)20%として最終評価する。

【到達目標】

TOEIC Test の listening part の速度に慣れ、単語ではなくフレーズの塊を聞き取れるようになる。

既習の文法事項を復習し再確認する。

ビジネス関連の語彙を増やす。

・ Get accustomed to the natural speed English conversations and announcement.

・ Listen to phrases, not each word, following the flow of announcements.

・ Review basic grammar.

・ Build up vocabulary related to business.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

対面授業を行います。

初回授業に出席（または初回授業までに事前登録）して登録を許可された方は、指定のテキストを購入して授業準備を始めてください。定員を超えた場合は、授業掲示板で連絡いたします。授業日にその回のテキスト問題及び単語テストを毎回提出してもらい、授業内で問題の解説をします。提出物が平常点となりますので、しっかり予習してください。提出物は次回授業で返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	preparation test	プリントを配布し TOEIC テストの形式を確認する
2	U.1 人称代名詞 Pronouns	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。自動詞と他動詞の使い方を復習する。
3	U.2 不定代名詞 Pronouns	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。動詞の時制に注意する。
4	U.3 現在・過去時制 Present/Past tense	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。完了形の復習。idiom review のプリントを配布。
5	U.4 現在完了 Present Perfect tense	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。形容詞と副詞の使い方に注意。review プリントを提出する。

6	U.5 前置詞 Prepositions	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。準動詞の意味と使い方に注意する。
7	U.6 前置詞 2 Prepositions 2	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。準動詞の名使用法を復習する。idiom review プリントを配布する。
8	U.7 形容詞 Adjectives	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。pp 形と ing 形の意味と使い方に注意する。review プリントを提出する。
9	U.8 自動詞と他動詞 Two kinds of verbs	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。分詞構文の使い方を復習する。
10	U.9 接尾辞 Suffix to make adverb	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。語形変化と強調語の使い方に注意。idiom review プリントを配布。
11	U.10 接尾辞 suffix to make adjective	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。不定代名詞の使い方に注意。review プリントを提出する。
12	U.11 & 12 分詞構文 と比較級 Participial construction / Comparative degree	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。基本の関係詞を復習する。
13	U.13 & 14 受動態と 関係代名詞 Passive voice / Relative pronouns	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。関係詞の特殊用法に注意する。idiom review プリントを配布。
14	Review for Spring Term	春期のまとめ review プリントを提出する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は併せて 1 時間を標準とします。かならず事前の語彙チェックをしましょう。毎回、ユニットの vocabulary build-up から vocabulary quiz を行います。

また、listening 練習用に音声ファイルがダウンロードできますので、繰り返し聞いて問題をチェックしてください。授業時には何度も音声チェックをする時間的な余裕がありませんので、事前にしっかり音を聞いてください。3 ユニット終了するごとに熟語のまとめプリントを配布し、宿題として提出していただきます。そのほか、必要に応じて文法プリントを配布します。

【テキスト（教科書）】

Best Practice for the TOEIC L&R Test (成美堂) 2500 円

【参考書】

特に指定しない。随時、リスニングスクリプトと文法プリントを配布する。

【成績評価の方法と基準】

毎回テキスト問題およびボキャブラリークイズの解答を提出し、この点数が平常点 (80%) となる。Review Test(20% TOEIC 形式の問題を予定)と併せて、最終評価する。ただし 4 回分以上課題を提出しない、あるいは 4 回以上欠席した場合、評価の対象としない。提出物の点が評価の大きな割合を占めるので、しっかり予習して点数を積み上げてほしい。テキストのリスニング問題は音声ストリーミング配信で聞くことができるので、何度も聞き、問題を解いてみよう。

ボキャブラリークイズは各ユニットの Vocabulary Build-up から問題を出すので、しっかり確認し、語義と発音をチェックしておくこと。

You will be assessed with Assignment paper (vocabulary quiz, answers for text questions and idiom review) you submit at the beginning of each class(80%) and the Review Test(20%).

If you don't attend the class 4 or more times or you don't submit 4 or more Assignment paper, you cannot get credit.

【学生の意見等からの気づき】

予習用にリスニングパートのスクリプトを配布していますが、何段階かに分けて使用していただければと思います。

まず音声ファイルのリスニングのみで問題を解いてみる、聞き取りにくい箇所をスクリプトを見ながら再度聞いてみる、スクリプトを見ながら音声ファイルと同時に声を出して読んでみる、というようにです。

じぶんで発音できれば、耳で聞いて意味をとりやすくなります。プリントは採点して返却しますので、疑問点があれば授業時に質問して下さい。歓迎します。

**【学生が準備すべき機器他】**

特に指定しない。ただし、辞書は必ず携帯してください（通信機器は使用しないでください）。

**【その他の重要事項】**

授業時は必ず辞書を携帯すること。

提出物の累計が平常点となるので、欠席しないよう注意してください。

**【Outline (in English)】**

Try to accustomed to each part of TOEIC questions and to the speed of announcement. You can download listening file on the publisher's website. Please get well-prepared for the class.

You are require to prepare for/review class activities at least one hour before each class.

You will be assessed with assignments (vocabulary quiz and answers for each Unit of the textbook) and Final Report (TOEIC-type test).

LANe200LA

英語検定試験対策Ⅱ

2017 年度以降入学者

久慈 美貴

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 2/Wed.2

単位数：1 単位

レベル 3,4 / 定員制 (36 名)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

音の脱落・連結音など聞き取りにくい音になじみ、より正確に設問の意図をつかむよう練習したい。  
必要に応じて文法プリントや追加の reading 問題を配布し、リーディングの基礎を固めていきたい。

【到達目標】

とくに Part III のように会話の流れと設問が前後するような問題でも、聞きながら情報を整理して、回答できるようにする。

Reading part では、設問から記事のポイントを押さえて、重要点を探せるようにする。

・ To get information necessary to make right answers while listening the announcements.

・ To make out the important parts in given articles from the questions.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

予習としてテキスト各ユニットの重要単語を使ったボキャブラリークイズ、テキストのリスニングおよびリーディングパートの解答および Mini Test の解答を毎回提出してもらい、平常点とします。そのほかに Idiom の復習プリントまたは Extra Questions のプリントを配布します。授業ではテキストの解説を行い、その際に質問等のフィードバックをします。対面授業を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	U.1 Travel	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。WH-question と名詞の使い方に注意する。
2	U.2 Dining Out	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。形容詞の使い方に注意。
3	U.3 Daily Life	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。副詞に注意する。idiom review プリントを配布。
4	U.4 Entertainment	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。代名詞の使い方に注意。
5	U.5 Purchasing	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。動詞の時制を復習する。
6	U.6 Offices	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。代名詞に注意する。Idiomu Review プリントを配布する。

7	U.7 Clients	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。態の選択に注意する。
8	U.8 Recruiting	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。動名詞と不定詞の用法に注意する。
9	U.9 Personnel	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。比較級の使い方。idiom review プリントを配布。
10	U.10 Advertising	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。前置詞の使い方に注意する。
11	U.11 Media	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。接続詞に注意する。
12	U.12 Finance	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。接続詞と前置詞に注意する。idiom review プリントを配布。
13	U.13 Meetings	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。関係代名詞に注意する。
14	U.14 Sales & Marketing / U.15 seminar & Workshop	学期のまとめ Mini Test を提出する。併せて Idiomu Review プリントを提出する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

【本授業の準備・復習時間は併せて 1 時間を標準とする。】毎回ボキャブラリークイズを行い、テキストの解答も提出してもらいます。事前にテキストの問題にしっかり目を通し、難解な語彙・語法をチェックしておいて下さい。また listening part のスクリプトを配布しますので、出版社のホームページから音声ファイルをダウンロードして、予習に役立ててください。また、テキストの問題に使われている熟語を復習する idiom review のプリントを宿題として配布し、提出してもらいます。（これらも評価点に含まれます。）

【テキスト（教科書）】

Giga Booster for the TOEIC L&R Test (金星堂) 2300 円

【参考書】

特に指定しない。随時、文法復習用のプリントを配布する。

【成績評価の方法と基準】

授業時の提出物 80 %、Mini Test(最終回提出物)20 %として評価する。

授業時の提出物には各ユニットのボキャブラリークイズ、テキスト問題の解答、宿題として idiom review のプリントが含まれる。平常の提出物の評価割合が大きいため、欠席しないよう気をつけましょう。4 回以上欠席した場合、評価の対象としません。

You will be assessed: Assignments (vocabulary quiz, answers to Mini Test of each Unit in the textbook and Idiom Review paper) 80%

Mini Tests at the last class (Unit 14&15) 20%

If you don't attend 4 or more classes, you will not get the credit. When you come late for the class 3times, it will be counted as one absence.

【学生の意見等からの気づき】

授業内でできるだけ多くの問題をこなしてもらいたいと考えていますが、もうすこし基本的な文法の復習と説明が必要かと考えています。Listening part の予習の際、何度も繰り返して聞く、スクリプトを参考にして音読する、という練習が必要だと思います。（聞き取るためには発音練習が必要です。）

また、Reading part、特に part VII では速読と重要語句のピックアップが必要になりますが、予習の際にはきちんと文を読み込む、できれば音読する、という準備が必要ではないかと思っています。

【学生が準備すべき機器他】

とくに使用しない。ただし、リスニングパートの音声は各自ダウンロードまたはストリーミング配信を利用して、予習に使用してください。授業時には CD で音声を流します。

**【その他の重要事項】**

授業時は辞書を携行してください。

授業開始時に、ボキャブラリークイズとテキスト問題の解答を提出していただきます。提出物の点数が平常点となりますので、提出漏れのないように、注意してください。

遅刻した場合、回数に応じて欠席にカウントされます。

Please carry dictionary in the class.

Take care not to fail to submit Assignments, for the scores of assignments take the most part of final estimation.

When you come late for the class 3 times, it will be counted as one absence.

**【Outline (in English)】**

We will try to get accustomed to reduction of sounds and to check out WHAT kind of answer we are supposed to make. In questions of Part III, the questions do not necessarily come to the order of the topic in the conversation. You have to get the information while listening and check up the choices on the page. Please listen to the listening file repeatedly and get accustomed to the reduction of pronunciation. You will be given additional Reading Parts questions in the class and practice quick reading. You are required to prepare for/review class activities for 1 hour. You will be assessed by the assignments (vocabulary quiz and answers for each units:80%) and final Test(20%).



LANe200LA

英語検定試験対策 I

2017 年度以降入学者

青山 恵子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：1 単位

レベル 3,4 / 定員制 (36 名)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

このクラスでは英検準 1 級と TOEFL の演習を行いながら「スピーキング・リスニング・リーディング・ライティング」の 4 つの能力の強化を目指します。英語検定試験受験予定者に加えて、英語の継続学習希望者の受講も歓迎します。

【到達目標】

- 1 Be able to read texts on a variety of topics with accuracy
- 2 Be able to understand main points of interview and lectures
- 3 Be able to talk about basic topics
- 4 Be able to write a multi-paragraphs essay with a basic structure

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing.(この授業の形態は演習です)

1. Clarifying objectives and goals (学習動機の明確化とゴール設定)
2. Explaining basic formats of two certificate tests and practicing (英検と TOEFL のテスト形式の紹介と演習)
3. News mini-presentation (視聴してきた News in Levels についてのプレゼンテーション)
4. Feedback for assignments and reaction papers (課題やリアクションペーパーに対するフィードバック)

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	Course Orientation	1 Explanation of the course 2 Clarifying objectives and goals
2 回	Introduction to Eiken	1 Explanation of the basic format of Eiken (英検について) 2 Reading & Listening practice to identify strength and weaknesses (弱点の特定化)
3 回	Eiken: Reading and Listening Practice	1 Reading practice 2 Listening practice
4 回	Eiken: Paragraph Reading Trainig	1 Learning Paragraph Structure 2 Paragraph reading practice 2 Listening practice
5 回	Eiken: Intensive Listening Training	1 Overlapping and shadowing 2 Listening practice 3 Paragraph reading practice
6 回	Eiken: Reading and Listening Practice	1 Overlapping and shadowing 2 Listening practice 3 Paragraph reading practice

7 回	Eiken: Essay Writing	1 Learning basic writing structures and analyzing model essays 2 Writing an essay
8 回	Eiken: Essay Writing (peer editing)	1 Peer Editing 2 Listening practice 3 Mini-presentation on News in Levels
9 回	Introduction to TOEFL Test	1 Explanation of the basic format of TOEFL (TOEFL について) 2 Reading practice 3 Listening practice
10 回	TOEFL: Intensive Reading Training	1 Close reading practice 2 Summarizing passages
11 回	TOEFL: Paragraph Reading Training	1 Reviewing paragraph structure 2 Paragraph reading practice
12 回	TOEFL: Intensive Listening Training	1 Overlapping and shadowing practice 2 Listening exercises 3 Mini-presentation on News in Levels
13 回	TOEFL: Listening and speaking Training	1 Overlapping and shadowing practice 2 Mini-presentation on News in Levels
14 回	Review and Test	Review and test

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は合わせて授業 1 回あたり 1 時間を標準とします)

- 1 Weekly speaking home assignments (Online News in Levels listening or TED watching for mini-presentation)
- 2 Weekly reading or writing home assignments

【テキスト (教科書)】

Materials will be provided. (プリントを配布します)

【参考書】

You will be provided a list of references. (授業中に指示します)

【成績評価の方法と基準】

Final test (50%)

Home assignment (20%)

In-class contribution, including mini-presentation (30%)

In principle, no more than 3 absences per semester are allowed. (各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】

I'm going to increase the opportunities for communication in the classroom.

【学生が準備すべき機器他】

Hoppii (学習支援システム)

Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline (in English)】

The course is for students who would like to improve their English skills through preparation for STEP Eiken and TOEFL tests. Students will practice paragraph reading, effective listening and speaking and well-organized writing skills. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class. The overall grade of the course will be determined by the final examination (50%), the home assignment (20%) and the contribution made in class (30%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA

## 英語検定試験対策Ⅱ

2017 年度以降入学者

青山 恵子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：1 単位

レベル 3,4 / 定員制 (36 名)

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

このクラスでは英検, TOEFL, IELTS の演習を行いながら「スピーキング・リスニング・リーディング・ライティング」の4つの能力の強化を目指します。英語検定試験受験予定者に加えて、英語学習の習慣化を希望する学生の受講も歓迎します。

## 【到達目標】

- 1 Be able to read texts on a variety of topics with accuracy
- 2 Be able to understand main points of interview and lectures
- 3 Be able to make a mini presentation
- 4 Be able to write a multi-paragraphs essay with a basic structure

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing.(この授業の形態は演習です)

1. Clarifying objectives and goals (学習動機の明確化とゴール設定)
2. Explaining basic formats of three certificate tests and practicing (英検, TOEFL, IELTS 各テスト形式の紹介と演習)
3. TED mini-presentation (視聴してきた TED の内容等についてのプレゼンテーション)
4. Feedback for assignments and reaction papers (課題やリアクションペーパーに対するフィードバック)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	Course Orientation	1 Explanation of the course 2 Clarifying objectives and goals
2 回	Introduction to Eiken	1 Explanation of the basic format of Eiken (英検について) 2 Reading & Listening practice to identify strength and weaknesses (弱点の特定化)
3 回	Eiken: Paragraph Reading Training	1 Paragraph reading practice 2 Listening practice
4 回	Eiken: Intensive Listening Training	1 Overlapping and shadowing 2 Listening practice 3 Paragraph reading practice
5 回	Eiken: Reading and Listening Practice	1 Overlapping and shadowing 2 Listening practice 3 Paragraph reading practice
6 回	Eiken: Essay Writing	1 Learning basic writing structures and analyzing model essays 2 Writing an essay

7 回	Eiken: Essay Writing (peer editing)	1 Peer Editing 2 Listening practice
8 回	Introduction to TOEFL Test	1 Explanation of the basic format of TOEFL (TOEFL テストについて) 2 Reading practice 3 Listening practice
9 回	TOEFL: Intensive Listening Training	1 Overlapping and shadowing 2 Listening practice
10 回	TOEFL: Learning presentation skills	1 Learning an effective presentation 2 Making a presentation
11 回	Introduction to IELTS	1 Explanation of the basic format of IELTS (IELTS について) 2 Reading practice 3 Listening practice
12 回	IELTS: Reading and Listening Practice	1 Reading practice 2 Listening practice 3 TED mini-presentation
13 回	IELTS: Intensive Listening Training	1 Overlapping and shadowing 2 Listening practice 3 TED mini-presentation
14 回	Review and Test	Review and test

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は合わせて授業 1 回あたり 1 時間を標準とします)

- 1 Weekly speaking home assignments (Online News in Levels listening or TED watching for mini-presentation)
- 2 Weekly reading or writing home assignments

## 【テキスト（教科書）】

Materials will be provided. (プリントを配布します)

## 【参考書】

You will be provided a list of references. (授業中に指示します)

## 【成績評価の方法と基準】

Final test (50%)

Home assignment (20%)

In-class contribution, including mini-presentation (30%)

In principle, no more than 3 absences per semester are allowed. (各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

## 【学生の意見等からの気づき】

I'm going to increase the opportunities for communication in the classroom.

## 【学生が準備すべき機器他】

Hoppii (学習支援システム)

Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

## 【Outline (in English)】

The course is for students who would like to improve their English skills through preparation for STEP Eiken, TOEFL and IELTS tests. Students will practice paragraph reading, effective listening and speaking and well-organized writing skills. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class. The overall grade of the course will be determined by the final examination (50%), the home assignment (20%) and the contribution made in class (30%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA

英語検定試験対策 I

2017 年度以降入学者

宮崎 早季

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：1 単位

レベル 2,3 / 定員制 (36 名)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、TOEIC Listening & Reading Test600 点以上を目指し、主にリーディングとリスニングの解答テクニックの習得を目標とします。また、600 点の取得に必要な語彙力と文法の基礎知識を学び、実践力を養うことを目標とします。この授業では予習よりも復習が大切です。反復学習を行う中で自分のミス进行分析し、解決のアプローチを探す訓練をします。

【到達目標】

- ・ TOEIC Listening & Reading Test を受験し、600 点以上をとる。
- ・ TOEIC 受験に向けた学習の中で自分の苦手进行分析することができる。
- ・ 苦手に対して、解決のアプローチを考え実行することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回単語テストを行います。テキストに沿って、リスニング問題や長文読解問題などを授業中に解き、解説を行います。授業終了後、解説・フィードバックを受けて適宜自分のミスを復習し、単語の暗記を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction/Goal Setting	授業の進め方の紹介を行う。また、受講者の自己紹介を行い、各自この授業での目標を立てる。
2	Unit 1	Vocabulary quiz < Listening part > Restaurant
3	Unit 1 cont.	Vocabulary quiz < Reading part > Restaurant
4	Unit 2	Vocabulary quiz < Listening part > Department Store
5	Unit 2 cont.	Vocabulary quiz < Reading part > Department Store Unit 1 & 2 Test
6	Unit 3	Vocabulary quiz < Listening part > Train Station
7	Unit 3 cont.	Vocabulary quiz < Reading part > Train Station
8	Unit 4	Vocabulary quiz < Listening part > Transportation

9	Unit 4 cont.	Vocabulary quiz < Reading part > Transportation Unit 3 & 4 Test
10	Unit 5	Vocabulary quiz < Listening part > Post Office
11	Unit 5 cont.	Vocabulary quiz < Reading part > Post Office
12	Unit 6	< Listening part > Bank
13	Unit 6 cont.	< Reading part > Bank Unit 5 & 6 Test
14	Final	期末試験を実施する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

第 2 回から第 11 回までは毎回授業で単語クイズを行います。単語練習をして授業に参加すること。授業で間違った箇所を分析し、復習をすること。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

教科書：『ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R Test』（石井隆之他著）成美堂

単語帳：『TOEIC L & R TEST 出る単特急 金のフレーズ』（TEX 加藤）朝日新聞出版

【参考書】

辞書を使用する。辞書は紙でも電子でもウェブでもアプリでもいいが、品詞や意味のほかにも用法、類語などが調べられるものを用意すること。

また必須テキストとして指定する『TOEIC L & R TEST 出る単特急 金のフレーズ』が難しい者は、『TOEIC L&R TEST 出る単特急 銀のフレーズ』、物足りない者は『TOEIC L&R TEST 超上級単語特急 暗黒のフレーズ』を用意することもすすめる。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (25%), Weekly Vocabulary Quiz (25%), 期末試験 (50%)  
原則として、学期期間中に 4 回以上欠席した場合は単位習得を認めない。

遅刻は授業開始時刻から 30 分までとし、30 分以上の遅刻は欠席とする。

遅刻 2 回で欠席 1 回とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

毎週の単語テストと授業への参加を成績評価のそれぞれ 25 % を占めるように変更し、全体の評価における毎回の授業への貢献をより重視するよう改善しました。

【Outline (in English)】

【授業の概要 (Course outline)】 This course is for students who aim to achieve 600+ points on TOEIC Listening & Reading Test. The course provides students the vocabulary and grammatical lessons. Students are expected to review their mistakes and improve their weaknesses.

【到達目標 (Learning Objectives)】 There are three goals for this course. 1) Achieve 600+ points at TOEIC Listening & Reading Test. 2) Analyze your own mistakes and weaknesses. 3) Come up with a solution to improve your weaknesses.

【授業時間外の学習 (Learning activities outside of the classroom)】 University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【成績評価の方法と基準 (Grading Criteria /Policy)】 Class Participation (25%), Weekly Vocabulary Quiz (25%), Final Exam (50%)

In principle, no more than four absences per semester are allowed.

Late arrivals are considered up to 30 minutes after the class starts, and late arrivals of 30 minutes or more are considered absent.

Two late arrivals will be counted as one absence.

LANe200LA

## 英語検定試験対策Ⅱ

2017 年度以降入学者

宮崎 早季

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：1 単位

レベル 2,3 / 定員制 (36 名)

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、TOEIC Listening & Reading Test600 点以上を目指し、主にリーディングとリスニングの解答テクニックの習得を目標とします。また、600 点の取得に必要な語彙力と文法の基礎知識を学び、実践力を養うことを目標とします。この授業では予習よりも復習が大切です。反復学習を行う中で自分のミス进行分析し、解決のアプローチを探す訓練をします。春学期の「英語検定試験対策Ⅰ」受講による自身の到達度を確認し、より効果的な学習プランを立てましょう。

## 【到達目標】

- ・ TOEIC Listening & Reading Test を受験し、600 点以上をとる。
- ・ TOEIC 受験に向けた学習の中で自分の苦手进行分析することができる。
- ・ 苦手に対して、解決のアプローチを考え実行することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

毎回単語テストを行います。テキストに沿って、リスニング問題や長文読解問題などを授業中に解き、解説を行います。授業終了後、解説・フィードバックを受けて適宜自分のミスを復習し、自宅学習用教材を使ってトレーニングを進めてください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction/Goal Setting	授業の進め方の紹介を行う。受講者は自分の前期到達度を確認し、後期の自己目標を立てる。
2	Unit 7	Vocabulary quiz < Listening part > Airport
3	Unit 7 cont.	Vocabulary quiz < Reading part > Airport
4	Unit 8	Vocabulary quiz < Listening part > Hotel
5	Unit 8 cont.	Vocabulary quiz < Reading part > Hotel Unit 7 & 8 Test
6	Unit 9	Vocabulary quiz < Listening part > Hospital
7	Unit 9 cont.	Vocabulary quiz < Reading part > Hospital
8	Unit 10	Vocabulary quiz < Listening part > Events and Performances
9	Unit 10 cont.	Vocabulary quiz < Reading part > Events and Performances Unit 9 & 10 Test

10	Unit 11	Vocabulary quiz < Listening part > College
11	Unit 11 cont.	Vocabulary quiz < Reading part > College
12	Unit 12	< Listening part > Office
13	Unit 12 cont.	< Reading part > Office Unit 11 & 12 Test
14	Final	期末テスト

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

第 2 回から第 11 回までは毎回授業で単語クイズを行います。単語練習をして授業に参加すること。授業で間違った箇所を分析し、復習をすること。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。  
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

## 【テキスト（教科書）】

教科書：『ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R Test』（石井隆之他著）成美堂

単語帳：『TOEIC L & R TEST 出る単特急 金のフレーズ』（TEX 加藤）朝日新聞出版

## 【参考書】

辞書を使用する。辞書は紙でも電子でもウェブでもアプリでもいいが、品詞や意味のほかにも用法、類語などが調べられるものを用意すること。

また必須テキストとして指定する『TOEIC L & R TEST 出る単特急 金のフレーズ』が難しい者は、『TOEIC L&R TEST 出る単特急 銀のフレーズ』、物足りない者は『TOEIC L&R TEST 超上級単語特急 暗黒のフレーズ』を用意することもすすめる。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 (25%), Weekly Vocabulary Quiz (25%), 期末試験 (50%)  
原則として、学期期間中に 4 回以上欠席した場合は単位習得を認めない。

遅刻は授業開始時刻から 30 分までとし、30 分以上の遅刻は欠席とする。

遅刻 2 回で欠席 1 回とみなす。

## 【学生の意見等からの気づき】

毎週の単語テストと授業への参加を成績評価のそれぞれ 25 % を占めるように変更し、全体の評価における毎回の授業への貢献をより重視するよう改善しました。

## 【Outline (in English)】

【授業の概要 (Course outline)】 This course is for students who aim to achieve 600+ points on TOEIC Listening & Reading Test. The course provides students the vocabulary and grammatical lessons. Students are expected to review their mistakes and improve their weaknesses.

【到達目標 (Learning Objectives)】 There are three goals for this course. 1) Archive 600+ points at TOEIC Listening & Reading Test. 2) Analyze your own mistakes and weaknesses. 3) Come up with a solution to improve your weaknesses.

【授業時間外の学習 (Learning activities outside of the classroom)】 University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【成績評価の方法と基準 (Grading Criteria /Policy)】 Class Participation (25%), Weekly Vocabulary Quiz (25%), Final Exam (50%)

In principle, no more than four absences per semester are allowed.

Late arrivals are considered up to 30 minutes after the class starts, and late arrivals of 30 minutes or more are considered absent.

Two late arrivals will be counted as one absence.

LANe200LA		5	第 2 課 Dining Out-1	第 1 課小テスト リスニング Part 1 人物の動作② 2 人のパターン Part 2 WH 疑問文② Where で始まる疑問文 Part 3 会話が行われている場所を特定する Part 4 トークが行われている場所を特定する
英語検定試験対策 I			2017 年度以降入学者	
高橋 佳江		6	第 2 課 Dining Out -2	リスニング Part 5 品詞②形容詞 Part 6 語彙問題② 難しめの語彙 Part 7 詳細情報に関する問題① 設問のキーワードを参考に 第 2 課小テスト リスニング Part 1 人物の動作③ 3 人以上のパターン Part 2 WH 疑問文③ When で始まる疑問文 Part 3 会話から話し手の働いている場所や部門を推測する Part 4 トークから話し手の働いている場所や部門を推測する
開講時期：春学期授業/Spring   曜日・時限：木 3/Thu.3		7	第 3 課 Daily Life-1	リスニング Part 5 品詞③副詞 Part 6 語彙問題③まとめ Part 7 推測させる問題① キーワードを参考に情報を読み取る 第 3 課小テスト リスニング Part 1 光景①受動態が使われるパターン Part 2 WH 疑問文④ Why で始まる疑問文 Part 3 会話内の質問・依頼を聞き取る Part 4 トーク内の質問・依頼を聞き取る
単位数：1 単位		8	第 3 課 Daily Life-2	リスニング Part 5 品詞③副詞 Part 6 語彙問題③まとめ Part 7 推測させる問題① キーワードを参考に情報を読み取る 第 3 課小テスト リスニング Part 1 光景①受動態が使われるパターン Part 2 WH 疑問文④ Why で始まる疑問文 Part 3 会話内の質問・依頼を聞き取る Part 4 トーク内の質問・依頼を聞き取る
レベル 2,3 / 定員制 (36 名)		9	第 4 課 Entertainment-1	リスニング Part 5 品詞③副詞 Part 6 語彙問題③まとめ Part 7 推測させる問題① キーワードを参考に情報を読み取る 第 3 課小テスト リスニング Part 1 光景①受動態が使われるパターン Part 2 WH 疑問文④ Why で始まる疑問文 Part 3 会話内の質問・依頼を聞き取る Part 4 トーク内の質問・依頼を聞き取る
その他属性：〈優〉		10	第 4 課 Entertainment-2	リスニング Part 5 品詞③副詞 Part 6 語彙問題③まとめ Part 7 推測させる問題① キーワードを参考に情報を読み取る 第 3 課小テスト リスニング Part 1 光景①受動態が使われるパターン Part 2 WH 疑問文④ Why で始まる疑問文 Part 3 会話内の質問・依頼を聞き取る Part 4 トーク内の質問・依頼を聞き取る
【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】		11	第 5 課 Purchasing-1	リスニング Part 1 人物の位置・場所① 1 人のパターン Part 2 WH 疑問文⑤ How で始まる疑問文 Part 3 会話内の提案・申し出を聞き取る Part 4 トークの話題を聞き取る
TOEIC(R)650 点を目標として、文法事項、リスニングを中心として学んでいく。従って、予習することが前提となるが、復習に重点を置いてもらいたい。特に、リスニングは毎日自宅学習すること。自分で勉強計画を立て、成果がわかるよう、最低 1 回は受験して、勉強計画を修正する。また、その結果をレポートにまとめる。そのためには、できれば通年受講が望ましい。		12	第 5 課 Purchasing-2	リスニング Part 5 時制 (現在・過去・未来) Part 6 代名詞②所有格 Part 7 意図問題①話の展開を意識する 第 5 課小テスト リスニング Part 1 人物の位置・場所② 2 人のパターン Part 2 WH 疑問文⑥ How+ a で始まる疑問文 Part 3 会話の流れから話し手の発言の意図をくみ取る Part 4 直前のトークの展開から話し手の発言の意図をくみ取る
この授業を受講する学生は、必ず第一回目の授業に出席すること。		13	第 6 課 Offices-1	リスニング Part 1 人物の位置・場所② 2 人のパターン Part 2 WH 疑問文⑥ How+ a で始まる疑問文 Part 3 会話の流れから話し手の発言の意図をくみ取る Part 4 直前のトークの展開から話し手の発言の意図をくみ取る
【到達目標】		14	授業時試験	授業で学んだことを試験する。まとめと解説
英語の文法力・読解力・聴解力を鍛え、TOEIC650 点を目標にしていく。				
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】				
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1				
【授業の進め方と方法】				
毎回自発的に発言してもらい、また、こちらからも、適宜、発表を求める。従って、毎回必ず予習することを前提として、復習に重点をおいてもらいたい。教科書のほかに辞書 (電子辞書可)、授業用ノート必ず持ってくる。また、授業用ノートのほかに、自宅学習用の単語帳、練習帳を用意すること。				
対面授業の際はその都度フィードバックを行う。				
【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】				
あり / Yes				
【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】				
なし / No				
【授業計画】 授業形態：対面/face to face				
回	テーマ	内容		
1	ガイダンス	授業の進み方を詳しく説明している 初回は受講者数が不確定であるため (オンライン授業です)		
2	文法説明 第 1 課 Travel-1	TOEIC(R) で必要とする基礎的文法の説明		
3	第 1 課 Travel-2	リスニング Part 1 人物の動作①。 1 人のパターン Part 2 WH 疑問文① Who で始まる疑問文 Part 3 会話の話題を聞き取る Part 4 トークの話題を聞き取る		
4	第 1 課 Travel-3	リーディング Part 5 品詞①名詞 Part 6 語彙問題① やさしめの語彙 Part 7 概要に関する問題①目的 や概要は冒頭で述べられる		

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。  
リスニング（教科書付属の CD その他）  
NHK 語学講座・単語帳作成・単語・熟語のチェックなど行ってください。

**【テキスト（教科書）】**

Giga Booster for the TOEIC L&R Test 金星堂 2300 円  
ISBN 978-4-7647-4183-6

**【参考書】**

学校語彙で学ぶ TOEIC テスト [単語集]  
成美堂 (1700 円)

**【成績評価の方法と基準】**

期末試験 60 %  
小テスト 10 %  
レポート課題・発言点 20 %  
平常点 10 %

欠席する場合は、必ず諸届けを提出すること。

遅刻は 3 回で欠席 1 回に換算される。

各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。  
平常授業が行われる場合は、シラバスに記入されている方法にて評価を行う予定です。

**【学生の意見等からの気づき】**

オンライン時でも連絡を密に取りたいです。

**【Outline (in English)】****Course outline**

The aim of this course is to acquire the reading and listening skills for the TOEIC L&R Test. Students will learn the basic knowledge of vocabulary and grammar which is necessary for the TOEIC TEST.

**Learning Objectives**

This course will focus on grammar and listening skills with the goal of achieving a TOEIC(R) score of 650. Therefore, students are expected to prepare for the course, but are also expected to place emphasis on reviewing. In particular, students are expected to study listening at home every day. Students are expected to make their own study plans and take at least one exam to see the results and revise their study plans. Also, write a report on the results. For this purpose, it is desirable to take this class throughout the year if possible.

Students who take this class must attend the first class.

**Learning activities outside of classroom**

The standard preparation and review time for this class is one hour.

Please use the NHK language course, make a vocabulary book, check words and phrases, etc.

**Grading Criteria/Policy**

Final exam 60%

Quiz: 10%.

Report assignment and remarks: 20%.

Ordinary points 10%.

If you are going to be absent, you must submit a report of your absence.

Three tardies will count as one absence.

In principle, students who are absent more than 4 times per semester will not be allowed to earn credits.

<p>LANe200LA 英語検定試験対策Ⅱ 高橋 佳江</p>	<p>2017 年度以降入学者</p>	<p>5</p>	<p>第 8 課 Recruiting-1</p>	<p>第 7 課小テスト リスニング Part 1 光景②現在進行形が使われるパターン Part 2 Yes/No 疑問文② Yes/No で答えないパターン Part 3 会話から話し手・聞き手の職業を判断する Part 4 トークから話し手・聞き手の職業を判断する リーディング Part 5 動名詞・不定詞 Part 6 時制②適切な時制を選ぶ Part 7 概要に関する問題②文書全体に共通して述べられていることを見つけ出す 第 8 課単語テスト リスニング Part 1 人物の動作④身につけているものに関するパターン Part 2 Yes/No 疑問文③関係疑問文 Part 3 会話から話し手たちの間で起きている問題を把握する Part 4 トークから話し手が報告している問題を把握する リーディング Part 5 比較 Part 6 時制③まとめ Part 7 詳細情報に関する問題②問われている箇所を文書から探し出す 第 9 課単語テスト リスニング Part 1 光景③位置関係の表現パターン Part 2 付加疑問文 Part 3 3 人の会話の中で 2 人の共通点を見つける Part 4 トークの目的を理解する リーディング Part 5 前置詞 Part 6 接続表現①前後の文の内容を理解する Part 7 推測させる問題②言い換えを意識する 第 10 課小テスト リスニング Part 1 人物の動作⑥抽象的な言い換えパターン Part 2 否定疑問文 Part 3 会話内の特定の情報をキャッチする Part 4 推測させる問題②言い換えを意識する リーディング Part 5 接続詞 Part 6 接続表現②話の流れに合う表現を選ぶ Part 7 同義語問題 本文で使われている意味を理解する 第 11 課小テスト リスニング Part 1 光景④抽象的な言い換えパターン Part 2 依頼・許可 Part 3 会話の内容の理由・原因を理解する Part 4 トークの内容の理由・原因を理解する</p>														
<p>開講時期：秋学期授業/Fall   曜日・時限：木 3/Thu.3 単位数：1 単位 レベル 2,3 / 定員制 (36 名) その他属性：〈優〉</p>	<p>6</p>	<p>第 8 課 Recruiting-2</p>	<p>第 9 課 Personnel-1</p>															
<p><b>【授業の概要と目的（何を学ぶか）】</b> TOEIC(R)650 点を目標として、文法事項、リスニングを中心として学んでいく。従って、予習することが前提となるが、復習に重点を置いてもらいたい。特に、リスニングは毎日自宅学習すること。自分で勉強計画を立て、成果がわかるよう、最低 1 回は受験して、勉強計画を修正する。また、その結果をレポートにまとめる。そのためには、できれば通年受講が望ましい。 この授業を受講する学生は、必ず第一回目の授業に出席すること。</p>	<p>7</p>	<p>第 9 課 Personnel-2</p>	<p>第 10 課 Advertising-1</p>															
<p><b>【到達目標】</b> 英語の文法力・読解力・聴解力を鍛え、TOEIC650 点台の英単語を目標にしていく。</p>	<p>8</p>	<p>第 10 課 Advertising-2</p>	<p>第 11 課 Media-1</p>															
<p><b>【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】</b> 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1</p>	<p>9</p>	<p>第 11 課 Media-2</p>	<p>第 12 課 Finance-1</p>															
<p><b>【授業の進め方と方法】</b> 毎回自発的に発言してもらい、また、こちらからも、適宜、発表を求める。従って、毎回必ず予習することを前提として、復習に重点をおいてもらいたい。教科書のほかに辞書（電子辞書可）、授業用ノート必ず持ってくる。また、授業用ノートのほかに、自宅学習用の単語帳、練習帳を用意すること。 対面授業の際はその都度フィードバックを行う。</p>	<p>10</p>	<p>第 12 課 Finance-2</p>	<p>第 13 課 Finance-3</p>															
<p><b>【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】</b> あり / Yes</p>	<p>11</p>	<p>第 13 課 Finance-4</p>	<p>第 14 課 Finance-5</p>															
<p><b>【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】</b> なし / No</p>	<p>12</p>	<p>第 14 課 Finance-6</p>	<p>第 15 課 Finance-7</p>															
<p><b>【授業計画】</b> 授業形態：対面/face to face</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>テーマ</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ガイダンス</td> <td>春学期に引き続き授業を進めていく 初回は受講者数が不確定であるため（オンライン授業です）</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第 6 課 Offices-2</td> <td>リーディング Part 5 主語と動詞の一致 Part 6 代名詞③まとめ Part 7 文挿入問題①キーワードや文全体の意味を手がかりにする</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第 7 課 Clients-1</td> <td>第 6 課小テスト リスニング Part 1 人物の位置・場所③ 3 人以上のパターン Part 2 Yes/No 疑問文① Yes/No で答えるパターン Part 3 図表問題①会話の内容と図表の情報を関連させる Part 4 図表問題①選択肢に並んでいない情報を特定する</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第 7 課 Clients-2</td> <td>リーディング Part 5 能動態・受動態 Part 6 時制①前後の文の内容から判断する Part 7 複数の文書に関する問題 ① 2 つの情報を組み合わせる</td> </tr> </tbody> </table>	回	テーマ	内容	1	ガイダンス	春学期に引き続き授業を進めていく 初回は受講者数が不確定であるため（オンライン授業です）	2	第 6 課 Offices-2	リーディング Part 5 主語と動詞の一致 Part 6 代名詞③まとめ Part 7 文挿入問題①キーワードや文全体の意味を手がかりにする	3	第 7 課 Clients-1	第 6 課小テスト リスニング Part 1 人物の位置・場所③ 3 人以上のパターン Part 2 Yes/No 疑問文① Yes/No で答えるパターン Part 3 図表問題①会話の内容と図表の情報を関連させる Part 4 図表問題①選択肢に並んでいない情報を特定する	4	第 7 課 Clients-2	リーディング Part 5 能動態・受動態 Part 6 時制①前後の文の内容から判断する Part 7 複数の文書に関する問題 ① 2 つの情報を組み合わせる	<p>13</p>	<p>第 15 課 Finance-8</p>	<p>第 16 課 Finance-9</p>
回	テーマ	内容																
1	ガイダンス	春学期に引き続き授業を進めていく 初回は受講者数が不確定であるため（オンライン授業です）																
2	第 6 課 Offices-2	リーディング Part 5 主語と動詞の一致 Part 6 代名詞③まとめ Part 7 文挿入問題①キーワードや文全体の意味を手がかりにする																
3	第 7 課 Clients-1	第 6 課小テスト リスニング Part 1 人物の位置・場所③ 3 人以上のパターン Part 2 Yes/No 疑問文① Yes/No で答えるパターン Part 3 図表問題①会話の内容と図表の情報を関連させる Part 4 図表問題①選択肢に並んでいない情報を特定する																
4	第 7 課 Clients-2	リーディング Part 5 能動態・受動態 Part 6 時制①前後の文の内容から判断する Part 7 複数の文書に関する問題 ① 2 つの情報を組み合わせる																

14 授業時試験 授業で学んだことを試験する。まとめと解説

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。  
リスニング（教科書付属の CD その他）  
NHK 語学講座・単語帳作成・単語・熟語のチェック等など行ってください。

**【テキスト（教科書）】**

Giga Booster for the TOEIC L&R Test 金星堂 2300 円  
ISBN 978-4-7647-4183-6

**【参考書】**

学校語彙で学ぶ TOEIC テスト [単語集]  
成美堂（1700 円）

**【成績評価の方法と基準】**

期末試験 60 %  
小テスト 10 %  
レポート課題・発言点 20 %  
平常点 10 %

欠席する場合は、必ず諸届けを提出すること。  
遅刻は 3 回で欠席 1 回に換算される。  
各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

**【学生の意見等からの気づき】**

オンライン時でも連絡を密に取りたいです。

**【その他の重要事項】**

秋学期のみ登録予定の学生も、教科書は春学期に購入すること

**【Outline (in English)】**

Course outline

The aim of this course is to acquire the reading and listening skills for the TOEIC L&R Test. Students will learn the basic knowledge of vocabulary and grammar which is necessary for the TOEIC TEST.

Learning Objectives

This course will focus on grammar and listening skills with the goal of achieving a TOEIC(R) score of 650. Therefore, students are expected to prepare for the course, but are also expected to place emphasis on reviewing. In particular, students are expected to study listening at home every day. Students are expected to make their own study plans and take at least one exam to see the results and revise their study plans. Also, write a report on the results. For this purpose, it is desirable to take this class throughout the year if possible.

Students who take this class must attend the first class.

Learning activities outside of classroom

The standard preparation and review time for this class is one hour.

Please use the NHK language course, make a vocabulary book, check words and phrases, etc.

Grading Criteria/Policy

Final exam 60%

Quiz: 10%.

Report assignment and remarks: 20%.

Ordinary points 10%.

If you are going to be absent, you must submit a report of your absence.

Three tardies will count as one absence.

In principle, students who are absent more than 4 times per semester will not be allowed to earn credits.



LANe200LA

Oral Communication I

2017 年度以降入学者

板橋 美也

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：1 単位

Intermediate / 定員制 (20 名)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この科目では、「ソーシャルメディア」「ビジネス」「ストーリー」にまつわるトピックについて、楽しみながら英語で聞き、読み、話す練習をし、それぞれの授業の終わりには、その日のトピックについて自信を持って英語で話せるようになることを目指します。（ソーシャルメディアやビジネスについての知識は必要ありません。）

【到達目標】

日常生活やビジネスで役立つ英語の表現をおぼえ、スピーキング力を向上させることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

毎回、その日のトピックについて、まずはリスニングとリーディングを通して主要な語彙や言い回しに慣れ親しみます（＝インプット）。その後、音読やリテリング（自分の言葉で説明する）などのアクティビティを通してインプットした表現を定着させ、最終的に自分が考えた内容を英語で自信を持って話せるようにします（＝アウトプット）。これらを、随時ペアワークによって行います。

課題提出後の授業、または学習支援システムにおいて、提出された課題からいくつかポイントを取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方についての説明。
第 2 回	Unit 1 What is important to you?	SNS で自分の大切なものを紹介する、という設定で英語を話す練習をします。
第 3 回	Unit 2 My morning routine	動画サイトでモーニングルーティンを紹介する、という設定で英語を話す練習をします。
第 4 回	Unit 3 Your recommended restaurant	グルメサイトでおすすめのレストランを紹介する、という設定で英語を話す練習をします。
第 5 回	Unit 4 The best film ever	映画レビューサイトでお気に入りの映画を紹介する、という設定で英語を話す練習をします。
第 6 回	Unit 5 What is a true friend?	Q&A サイトで悩み相談に答える、という設定で英語を話す練習をします。
第 7 回	Unit 6 The best pizza in town	新メニュー開発に向けてユニークなピザを紹介する、という設定で英語を話す練習をします。
第 8 回	Unit 7 An ideal private tour plan	ニーズに合わせたツアープランを企画する、という設定で英語を話す練習をします。
第 9 回	Unit 8 Useful apps for your smartphone	あったらいいなと思うアプリの機能をプレゼンする、という設定で英語を話す練習をします。

第 10 回	Unit 9 A proposal for new flavors	データをもとにヒット商品の新しい味を提案する、という設定で英語を話す練習をします。
第 11 回	Unit 10 A great figure in the business world	ビジネス界の偉人を紹介する、という設定で英語を話す練習をします。
第 12 回	Unit 11 Cheese for Uncle David	クスッと笑える小噺を英語で話す練習をします。
第 13 回	Unit 12 The baby sitter	英語でストーリーの展開を予測して伝える練習をします。
第 14 回	期末試験とまとめ	授業でおぼえた表現を用いた試験を行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の Unit で解説したポイントをよく復習して、期末試験でどの Unit のテーマでも自信をもって話せるように声に出して練習してください。予習や宿題は、それぞれの Unit の内容に応じて適宜指示します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Speaking Steps『スピーキング・ステップ～英語を話すための 3 ステップ～』（金星堂）

【参考書】

必要に応じて指示します。

【成績評価の方法と基準】

授業への取り組みの積極度 (50%) と期末試験 (50%) から総合的に評価します。欠席 4 回で単位取得資格を失いますが、その回数に至らなくても、欠席回数が多くなればその分授業への取り組みの評価に影響します。期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】

英語を楽しんでいただけて、うれしいです。

【Outline (in English)】

In this course, students listen to, read and speak English on various enjoyable topics regarding 'social media', 'business' and 'stories' so that they can speak confidently about a specific topic in English by the end of each class. The goal of this course is learning useful expressions for daily life and business and improving speaking skills in English. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Grades will be decided based on participation (50%) and the final exam (50%).

LANe200LA

## Oral Communication II

2017 年度以降入学者

板橋 美也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：1 単位

Intermediate / 定員制 (20 名)

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この科目では、様々な架空の設定やトピックで英語を楽しく話すアクティビティを行うことで、日常会話で役立つ英語表現に慣れ親しみ、様々なトピックについて英語で自信をもって話せるようになることを目指します。

## 【到達目標】

日常生活や旅行で役立つ英語の表現をおぼえ、スピーキング力を向上させることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

それぞれの回のテーマに沿った架空の設定で英会話を行えるような、様々なアクティビティをペアワークやグループワークを取り入れながら行います。その際、随所で簡単なライティングを取り入れながら日常会話や旅行で使える便利な表現をおぼえることで、様々なトピックについて自信をもって英語で話せるようにします。課題提出後の授業、または学習支援システムにおいて、提出された課題からいくつかポイントを取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方についての説明。
第 2 回	Unit 1 You and your classmates	自己紹介・他己紹介に関連した英会話の練習をします。
第 3 回	Unit 2 You, going out to eat	外食に関連した英会話の練習をします。
第 4 回	Unit 3 You, shopping	買い物に関連した英会話の練習をします。
第 5 回	Unit 4 You, out on the town	街での外出に関連した英会話の練習をします。
第 6 回	Unit 5 You, planning a trip	旅行の計画に関連した英会話の練習をします。
第 7 回	Unit 6 You, hotel guest	ホテル滞在に関連した英会話の練習をします。
第 8 回	Unit 7 You, world traveler	海外旅行に関連した英会話の練習をします。
第 9 回	Unit 8 You, living with others	ホームステイやシェアハウスに関連した英会話の練習をします。
第 10 回	Unit 9 You, job hunting	就職活動に関連した英会話の練習をします。
第 11 回	Unit 10 You, giving good advice	誰かに助言をする際の英会話の練習をします。
第 12 回	Unit 11 You, solving world problems	世界の諸問題に関連した英会話の練習をします。
第 13 回	Unit 12 You, inventor for the future	画期的な発明に関連した英会話の練習をします。
第 14 回	期末試験とまとめ	授業でおぼえた表現を用いた試験を行います。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の Unit で解説したポイントをよく復習して、期末試験でどの Unit のテーマでも自信をもって話せるように声に出して練習してください。予習や宿題は、それぞれの Unit の内容に応じて適宜指示します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

## 【テキスト（教科書）】

Starting off with role play and discussion『これからの英語コミュニケーション講座』（南雲堂）

## 【参考書】

必要に応じて指示します。

## 【成績評価の方法と基準】

授業への取り組みの積極度 (50%) と期末試験 (50%) から総合的に評価します。欠席 4 回で単位取得資格を失いますが、その回数に至らなくても、欠席回数が多くなればその分授業への取り組みの評価に影響します。期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失います。

## 【学生の意見等からの気づき】

英語を楽しんでいただけて、うれしいです。

## 【その他の重要事項】

前学期の Oral Communication I を取っていないなくても受講可能です。

## 【Outline (in English)】

In this course, students speak English in various role-plays in imaginary situations and discussions on enjoyable topics so that they can familiarize themselves with useful daily life expressions in English and speak confidently about various topics in English. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Grades will be decided based on participation (50%) and the final exam (50%).

LANe200LA

English through Movies and Drama I 2017 年度以降入学者

井上 紗央里

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 3/Tue.3

単位数：1 単位

定員制 (20 名)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

映画教材を使用し、リーディング、リスニング、スピーキング、ライティングの演習を行います。特にスピーキングやライティングを通して自分の意見を英語でアウトプットできるようになることを重視します。

【到達目標】

1. 映画の視聴を通して英語の音声に慣れリスニング力を強化する。
2. 映画スクリプトの読解を通して英語の文法、語彙力を強化する。
3. 映画で使用される会話表現を身に着けることで自分の意見を英語で述べられるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

授業形態は講義と演習形式。授業では、英語の発音練習、語彙、演習問題の答え合わせ、リスニング練習、映画のスクリプトの読解、会話練習を行います。演習の答え、ニュースの内容などについて適宜受講生に質問をするので、その質問に答えられるように事前に予習が必要です。適宜学習支援システム (Hoppii) から課題を出題します。フィードバックには Hoppii と E-mail を使用します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方の説明と評価について、テキストの紹介
2	Unit 1 Forming the Band, Queen ①	映画視聴, P9-10 Vocabulary, Plot Synopsis, Reading
3	Unit 1 Forming the Band, Queen ②	P11-12 Reading Comprehension, Expressions, Dictation
4	Unit 1 Forming the Band, Queen ③ Unit 2 Bohemian Rhapsody ①	P13-15 Listening Comprehension, Discussion, Writing Unit 2 映画視聴, Movie Review, Vocabulary
5	Unit 2 Bohemian Rhapsody ②	P16-17 Reading, Reading Comprehension, Expressions
6	Unit 2 Bohemian Rhapsody ③	P18-20 Dictation, Listening Comprehension, Discussion, Writing
7	Unit 3 Drifting Apart Queen ①	P21-22 Unit 3 映画視聴, Movie Review, Vocabulary
8	Unit 3 Drifting Apart Queen ②	P22-24 Reading, Reading Comprehension, Expressions, Dictation
9	Unit 3 Drifting Apart Queen ③ Unit 4 The Truth Comes Out ①	P24-26 Listening Comprehension, Discussion, Writing, Unit 4 映画視聴

10	Unit 4 The Truth Comes Out ②	P27-29 Background Information, Vocabulary, Reading, Reading Comprehension
11	Unit 4 The Truth Comes Out ③	P30-32 Listening Comprehension, Discussion, Writing
12	Unit 5 Performing in Live Aid ①	P33-35 Unit 5 映画視聴, Background Information, Vocabulary, Reading, Reading Comprehension, Expressions
13	Unit 5 Performing in Live Aid ②	P36-38 Listening Comprehension, Subtitling, Discussion, Writing
14	期末試験とまとめ	第 1 回から 13 回までの授業内容を試験範囲とします。春学期全体のまとめ

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

テキストの演習問題や Reading Script を事前に予習してきてください。受講者が予習をしていることを前提にスクリプトのディクテーション、内容理解、演習問題の答え合わせなどを進めていきます。各ユニットの演習問題の一部を宿題として Hoppii から出題します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

Active English through Movies アクティブ・ラーニング型 映画で学ぶ英語 4 技能 塩見佳代子 / Matthew Coomber / 宮林賀奈子 著 (金星堂 2021) 2000 円 (税別) ISBN 978-4-7647-4125-6

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

試験 50 %、平常点 (予習、授業内での発言等の貢献度、授業支援システムの課題提出) 50 % で評価します。欠席が 4 回以上になった受講生は原則として単位取得の資格を失います。遅刻、早退も減点対象となります。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】

授業連絡、課題の出題、フィードバック等はすべて学習支援システムを通じて行います。課題提出の際に PC、タブレット PC、スマートフォン等インターネットに接続できるデバイスが必要です。

【その他の重要事項】

学習支援システムの授業ページに教員のメールアドレスを掲載するので連絡や質問がある場合はメールで連絡をお願いします。メールを送る際は法政のアドレスから送り「授業曜日、時限、学籍番号、氏名」を件名に明記してください。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to improve students' reading, speaking, writing, and listening skills through watching movies in English. At the end of the course, participants are expected to acquire basic English skills for outputting their opinions in English. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting. Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination (50%), In-class contribution and assignment submissions (50%).

LANe200LA

## English through Movies and Drama II 2017 年度以降入学者

井上 紗央里

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 3/Tue.3

単位数：1 単位

定員制（20 名）

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

映画教材を使用し、リーディング、リスニング、スピーキング、ライティングの演習を行います。特にスピーキングやライティングを通して自分の意見を英語でアウトプットできるようになることを重視します。

## 【到達目標】

1. 映画の視聴を通して英語の音声に慣れリスニング力を強化する。
2. 映画スクリプトの読解を通して英語の文法、語彙力を強化する。
3. 映画で使用される会話表現を身に着けることで自分の意見を英語で述べられるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

授業形態は講義と演習形式。授業では、英語の発音練習、語彙、演習問題の答え合わせ、リスニング練習、映画のスクリプトの読解、会話練習を行います。演習の答え、ニュースの内容などについて適宜受講生に質問をしますので、その質問に答えられるように事前に学習が必要です。学習支援システム (Hoppii) から課題を出題します。フィードバックには Hoppii と E-mail を使用します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方の説明と評価について、テキストと後期の映画の紹介
2	Unit 6 Applying for a Senior Internship ①	Unit 6 映画視聴, P41-42 Vocabulary. Plot Synopsis, Reading
3	Unit 6 Applying for a Senior Internship ②	P43-44 Reading Comprehension, Expressions, Note Taking
4	Unit 6 Applying for a Senior Internship ③ Unit 7 The Working Environment at ATF ①	P45-47 Note Taking, Listening Comprehension, Discussion, Writing Unit 7 映画視聴 Movie Review, Vocabulary
5	Unit 7 The Working Environment at ATF ②	P48-49 Reading, Reading Comprehension, Expressions
6	Unit 7 The Working Environment at ATF ③	P50-52 Note Taking, Listening Comprehension, Discussion, Writing
7	Unit 8 The Problems ATF Faces ①	P53-54 Unit 8 映画視聴, Movie Review, Vocabulary, Reading
8	Unit 8 The Problems ATF Faces ②	P55-56 Reading Comprehension, Expressions, Note Taking

9	Unit 8 The Problems ATF Faces ③ Unit 9 Working Women & Work Life Balance ①	57-59 Listening Comprehension, Discussion, Writing, Unit 4 映画視聴
10	Unit 9 Working Women & Work Life Balance ②	P59-61 Background Information, Vocabulary, Reading, Reading Comprehension, Expressions
11	Unit 9 Working Women & Work Life Balance ③	P62-64 Listening Comprehension, Note Taking, Discussion, Writing
12	Unit 10 The Possibility of Hiring a New CEO ①	P65-67 Unit 10 映画視聴, Background Information, Vocabulary, Reading, Reading Comprehension, Expressions
13	Unit 10 The Possibility of Hiring a New CEO ②	P68-70 Note Taking, Listening Comprehension, Subtitling, Discussion, Writing
14	期末試験とまとめ	第 1 回から 13 回までの授業内容を試験範囲とします。秋学期全体のまとめ

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの演習問題や Reading Script を事前に予習してきてください。受講者が予習をしていることを前提にスクリプトのディクテーション、内容理解、演習問題の答え合わせなどを進めていきます。各ユニットの演習問題の一部を宿題として Hoppii から出題します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

Active English through Movies アクティブ・ラーニング型映画で学ぶ英語 4 技能 塩見佳代子 / Matthew Coomber / 宮林賀奈子 著 (金星堂 2021) 2000 円 (税別) ISBN 978-4-7647-4125-6

## 【参考書】

なし

## 【成績評価の方法と基準】

試験 50 %、平常点（予習、授業内での発言等の貢献度、授業支援システムの課題提出）50 % で評価します。欠席が 4 回以上になった受講生は原則として単位取得の資格を失います。遅刻、早退も減点対象となります。

## 【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

## 【学生が準備すべき機器他】

授業連絡、課題の出題、フィードバック等はすべて学習支援システムを通じて行います。課題提出の際に PC、タブレット PC、スマートフォン等インターネットに接続できるデバイスが必要です。

## 【その他の重要事項】

学習支援システムの授業ページに教員のメールアドレスを掲載するので連絡や質問がある場合はメールで連絡をお願いします。メールを送る際は法政のアドレスから送り「授業曜日、時限、学籍番号、氏名」を件名に明記してください。

## 【Outline (in English)】

The aim of this course is to improve students' reading, speaking, writing, and listening skills through watching movies in English. At the end of the course, participants are expected to acquire basic English skills for outputting their opinions in English. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting. Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination (50%), In-class contribution and assignment submissions (50%).

LANe200LA

English through Movies and Drama I 2017 年度以降入学者

舟橋 美香

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

定員制（20 名）

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ヒュー・グラント主演のイギリスのコメディ映画『アバウト・ア・ボーイ』を見て、そのスクリプトと問題の載ったテキストを使い、映画を見てから、CD でスクリプトを聞き、テキストでスクリプトを読み、問題を解くことで、英語の表現を学び、語彙能力をアップし、リスニング能力の向上を目指す。

【到達目標】

映画を見て、英語特有の表現を学び、スクリプトの音源の CD を聞き、リスニング能力を向上させ、内容については、テキストで問題を解き、スクリプトを読むことで、理解を深めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

教科書の英文を読み、各エクササイズに答えてもらいます。予習を前提にした授業を行う。教科書の問題を解き、スクリプトを読むことで、理解を深める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	学習支援システム（ホッピー）にアップされている Youtube の予告編を見る。	予告編を何度も見て、どんな映画か想像する。テキストを買っておく。
2	Unit 1 A Boy and a Man 以降、教科書があるという前提で授業する。	ふたりの男子。テキストの予習復習をする。
3	Unit 2 Will joins SPAT	ウィル SPAT に入会。テキストの予習復習をする。
4	Unit 3 You Need a Backup	支えが要るんだ。テキストの予習復習をする。
5	Unit 4 Will and Marcus Become Mates	ウィルとマーカスの奇妙な友情。テキストの予習復習をする。
6	Unit 5 Marcus's Fashion Makeover	マーカスを変身させよう。テキストの予習復習をする。
7	Unit 6 Will's First Real Christmas	初めての本物のクリスマス。テキストの予習復習をする。
8	Unit 7 The Boys Get Crushes	ふたりが同時に恋をした。テキストの予習復習をする。
9	Unit 8 Lies, Half-truths & Honesty	「ウソ」と「半端なホント」と「ホントのホント」。テキストの予習復習をする。
10	Unit 9 Marcus's Gift to Mum	お母さんへの贈り物。テキストの予習復習をする。
11	Unit 10 No Man Is an Island	人は孤島ではない。テキストの予習復習をする。
12	Unit 1-5 復習	英語字幕で、映画の前半を復習する。

13	Unit 6-10 & Unit 1 冒頭	英語字幕で、映画の後半を、復習する。その後、日本語字幕で、映画の最初の場面を復習する。
14	Unit 1 途中から Unit 10	日本語字幕で、Unit 1 の先週の続きから、最後まで、一気に見て復習する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。テキストの予習復習をする。予習として、テキストの問題を解き、辞書を引きながらスクリプトに目を通して、注を読んでおく。

【テキスト（教科書）】

Peter Hedges/ Chris Weitz & Paul Weitz, 神谷久美子、Kim R.Kanel 『About a Boy』 松柏社

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

各時間の発表、授業への貢献度を含めた平常点を 50%、学期末のレポートを 50% で採点する。課題未提出、欠席が 4 回以上の場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

学生は楽しんでいましたようです。

【学生が準備すべき機器他】

辞書

【Outline (in English)】

Develop English skills through watching a film called About a Boy, and learn English expressions and what's going on in the film using its textbook.

Study textbook, through reading each script and solving questions for each week, using a dictionary before and after each class. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. The grade is given from the total of class activity 50% and the final paper 50%.

LANe200LA  
English through Movies and Drama II 2017 年度以降入学者

舟橋 美香

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

定員制 (20 名)

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

マイク・ニューウェル監督、ヒュー・グラント、アンディ・マクドゥウェル主演のイギリスのラブコメディ映画『Four Weddings and a Funeral』を見て、そのスクリプトと問題の載ったテキストを使い、映画を見てから、テキストでスクリプトを読み、問題を解くことで、英語の表現を学び、語彙能力をアップし、リスニング能力の向上を目指す。

## 【到達目標】

映画を見て、英語特有の表現を学び、リスニング能力を向上させ、内容については、スクリプトを読み、テキストで問題を解くことで、理解を深めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

予習を前提にした授業を行う。各章のスクリプトと問題をあらかじめ予習している状態で、映画の一部を見て、テキストのスクリプトを読み、問題を解いて理解を深める。なお、最初の課題レポートと、最後のレポート課題は、Hoppii に提出していただきます。フィードバックは、Hoppii から行います。

## 【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし/No

## 【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	Hoppii にアップされている映画のトレーラー (Youtube) を見て、それについて意見を交換する。テキストを買っておく。
2	Week 1 Prologue	Wedding 1 へ。テキストの予習復習をする。
3	Week 2 Reception	披露宴。テキストの予習復習をする。
4	Week 3 After the reception	披露宴後。テキストの予習復習をする。
5	Week 4 Wedding 2	2つ目の結婚式。テキストの予習復習をする。
6	Week 5 Reception	2つ目の結婚式の披露宴。テキストの予習復習をする。
7	Week 6 A Day Off	休日。テキストの予習復習をする。
8	Week 7 Wedding 3	3つ目の結婚式。テキストの予習復習をする。
9	Week 8 Funeral	葬式。テキストの予習復習をする。
10	Week 9 Wedding 4 (1)	4つ目の結婚式の前半。テキストの予習復習をする。
11	Week 10 Wedding 4 (2)	4つ目の結婚式の後半 & Epilogue。テキストの予習復習をする。
12	映画の前半を通して見る。	英語字幕付きで、映画の前半を通して見て復習する。テキストの予習復習をする。

- 13 映画の後半を通して見る。& 日本語字幕で、英語字幕付きで、映画の後半を通して見て復習する。テキストの予習復習をする。日本語字幕で、映画の最初の部分を復習する。
- 14 日本語字幕で、映画を最後まで復習する。テキストの最初から最後まで復習しておく。授業の後、まとめのレポートを書いてもらい、ホッピーで提出してもらいます。

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。テキストの予習復習をする。予習として、辞書を引きながら、テキストのスクリプトに目を通して、各課の問題を解いておく。

## 【テキスト (教科書)】

Richard Curtis ed. & notes by Tomoko Otani, 『Four Wedding and a Funeral』 松柏社

## 【参考書】

なし

## 【成績評価の方法と基準】

各時間の発表、授業への貢献度を含めた平常点を 50%、学期末のレポートを 50% で採点する。各課題未提出、欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

## 【学生の意見等からの気づき】

学生は楽しんでいましたようです。

## 【学生が準備すべき機器他】

辞書

## 【Outline (in English)】

Develop English skills through watching a film called *Four Weddings and a Funeral*, and learn English expressions and what's going on in the film using its textbook.

Study textbook, through reading each script and solving questions for each week, using a dictionary before and after each class. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. The grade is given from the total of class activity 50% and the final paper 50%.

LANe200LA

TOEIC(R) I

2017 年度以降入学者

井上 紗央里

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：1 単位

Intermediate / 定員制 (20 名)

その他属性：〈優〉

**【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】**

この授業では TOEIC(R) でのスコア取得に必要な語彙、文法、リスニング、リーディング等の演習を通して英語力を身につけることを目的とします。

**【到達目標】**

1. テキストの演習問題を通して TOEIC (R) の出題形式に慣れる。
2. TOEIC (R) の試験や日常生活に必要な英語のリスニング力を強化する。
3. 演習問題を通して英語の語彙、文法を習得する。
4. TOEIC (R) で多く出題される分野の英文を読み、英語の読解力を高める。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

**【授業の進め方と方法】**

授業時間内にテキストの演習問題を解き、受講生全員で答え合わせをしながら解説を行います。理解度を確認するため適宜内容理解の課題を提出してもらいます。テキスト以外の英文記事や音声なども使用します。フィードバックは授業内での解説や学習支援システム (Hoppii)、E-mail を使用して行います。

**【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】**  
なし / No

**【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】**  
なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	授業の説明、模擬授業、TOEIC(R) について
2	Unit 1 ①	Daily Life ① Listening (photographs, question-response, conversation, talks)
3	Unit 1 ②	Daily Life ② Reading (grammar, text completion, single and multiple passages)
4	Unit 2 ①	Shopping ① Listening (photographs, question-response, conversation, talks)
5	Unit 2 ②	Shopping ② Reading (grammar, text completion, single and multiple passages)
6	Unit 3 ①	Parties & Events ① Listening (photographs, question-response, conversation, talks)
7	Unit 3 ②	Parties & Events ② Reading (grammar, text completion, single and multiple passages)
8	Unit 4 ①	Traffic & Travel ① Listening (photographs, question-response, conversation, talks)

9	Unit 4 ②	Traffic & Travel ② Reading (grammar, text completion, single and multiple passages)
10	Unit 5 ①	Office Work ① Listening (photographs, question-response, conversation, talks)
11	Unit 5 ②	Office Work ② Reading (grammar, text completion, single and multiple passages)
12	Unit 6 ①	Marketing & ICT ① Listening (photographs, question-response, conversation, talks)
13	Unit 6 ②	Marketing & ICT ② Reading (grammar, text completion, single and multiple passages)
14	Review Test	Review Test と春学期のまとめ

**【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】**

受講者は授業時に指示された箇所を復習し、Hoppii から指定の課題を提出する必要があります。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

**【テキスト (教科書)】**

『SEIZE THE KEYS OF THE TOEIC (R) L&R TEST TOEIC (R) L&R テスト攻略の鍵』(金星堂 2020) 安丸雅子 / 渡邊晶子 / 砂川典子 / 高森暁子 / 十時康 / Andrew Zitzmann 著 価格 1900 円 (税別) ISBN 978-4-7647-4110-2

**【参考書】**

とくになし

**【成績評価の方法と基準】**

平常点 (予習、発言等授業への貢献度、学習支援システムの課題提出) 70 %, Review Test 30%. 欠席回数が 4 回を超えた場合は単位認定の資格を失います。遅刻、早退も減点対象となります。

**【学生の意見等からの気づき】**

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

**【学生が準備すべき機器他】**

授業連絡、課題の出題、フィードバック等はすべて学習支援システムを通じて行います。課題提出の際に PC、タブレット PC、スマートフォン等インターネットに接続できるデバイスが必要です。

**【その他の重要事項】**

学習支援システム (Hoppii) のクラスページに教員のメールアドレスを記載するので、連絡がある場合はメールでお願いします。メールは必ず大学のアドレスを使用し、本文に受講曜日と時限、学籍番号、フルネームを明記してください。

**【Outline (in English)】**

The aim of this course is to acquire the skills necessary to achieve a high score on the TOEIC (R). At the end of the course, participants are expected to acquire basic English skills for getting their target score. Before each class meeting, students will be expected to have studied the relevant chapter from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting. Your overall grade in the class will be decided based on the following: Review test (30%), In-class contribution and assignment submissions (70%).

LANe200LA

TOEIC(R) II

2017 年度以降入学者

井上 紗央里

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：1 単位

Intermediate / 定員制 (20 名)

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では TOEIC(R) でのスコア取得に必要な語彙、文法、リスニング、リーディング等の演習を通して英語力を身につけることを目的とします。

## 【到達目標】

1. テキストの演習問題を通して TOEIC (R) の出題形式に慣れる。
2. TOEIC (R) の試験や日常生活に必要な英語のリスニング力を強化する。
3. 演習問題を通して英語の語彙、文法を習得する。
4. TOEIC (R) で多く出題される分野の英文を読み、英語の読解力を高める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

授業時間内にテキストの演習問題を解き、受講生全員で答え合わせをしながら解説を行います。理解度を確認するため適宜内容理解の課題を提出してもらいます。テキスト以外の英文記事や音声なども使用します。フィードバックは授業内での解説や学習支援システム (Hoppii)、E-mail を使用して行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】  
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	授業の説明、TOEIC(R) について
2	Unit 7 ①	Production & Logistics ① Listening (photographs, question-response, conversation, talks)
3	Unit 7 ②	Production & Logistics ② Reading (grammar, text completion, single and multiple passages)
4	Unit 8 ①	Employment ① Listening (photographs, question-response, conversation, talks)
5	Unit 8 ②	Employment ② Reading (grammar, text completion, single and multiple passages)
6	Unit 9 ①	Personnel ① Listening (photographs, question-response, conversation, talks)
7	Unit 9 ②	Personnel ② Reading (grammar, text completion, single and multiple passages)
8	Unit 10 ①	Business ① Listening (photographs, question-response, conversation, talks)

9	Unit 10 ②	Business ② Reading (grammar, text completion, single and multiple passages)
10	Unit 11 ①	Health & Environment ① Listening (photographs, question-response, conversation, talks)
11	Unit 11 ②	Health & Environment ② Reading (grammar, text completion, single and multiple passages)
12	Unit 12 ①	Finance ① Listening (photographs, question-response, conversation, talks)
13	Unit 12 ②	Finance ② Reading (grammar, text completion, single and multiple passages)
14	Review Test	Review Test と秋学期のまとめ

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

受講者は授業時に指示された箇所を復習し、Hoppii から指定の課題を提出する必要があります。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

『SEIZE THE KEYS OF THE TOEIC (R) L&R TEST TOEIC (R) L&R テスト攻略の鍵』（金星堂 2020）安丸雅子 / 渡邊晶子 / 砂川典子 / 高森暁子 / 十時康 / Andrew Zitzmann 著 価格 1900 円 (税別) ISBN 978-4-7647-4110-2

## 【参考書】

とくになし

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（予習、発言等授業への貢献度、学習支援システムの課題提出）70 %、Review Test 30%。欠席回数が 4 回を超えた場合は単位認定の資格を失います。遅刻、早退も減点対象となります。

## 【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

## 【学生が準備すべき機器他】

授業連絡、課題の出題、フィードバック等はすべて学習支援システムを通じて行います。課題提出の際に PC、タブレット PC、スマートフォン等インターネットに接続できるデバイスが必要です。

## 【その他の重要事項】

学習支援システム (Hoppii) のクラスページに教員のメールアドレスを記載するので、連絡がある場合はメールでお願いします。メールは必ず大学のアドレスを使用し、本文に受講曜日と時限、学籍番号、フルネームを明記してください。

## 【Outline (in English)】

The aim of this course is to acquire the skills necessary to achieve a high score on the TOEIC (R). At the end of the course, participants are expected to acquire basic English skills for getting their target score. Before each class meeting, students will be expected to have studied the relevant chapter from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting. Your overall grade in the class will be decided based on the following: Review test (30%), In-class contribution and assignment submissions (70%).



LANe200LA

TOEIC(R) I

2017 年度以降入学者

板橋 美也

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

Intermediate / 定員制 (20 名)

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本人が苦手とするリスニングのポイントや読解に必要な文法事項の確認をしながら TOEIC®形式の問題演習を行うことで、リスニング力・読解力の向上を目指します。

## 【到達目標】

TOEIC®の出題形式に慣れながら英語のリスニング力と読解力を磨き、TOEIC®スコア向上を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

1 週ごとにリスニングとリーディングのレッスンを交互に行います。教科書の問題演習と解説を行いながら、日本人が苦手とするリスニングのポイントや、読解に必要な文法事項の確認をします。同時に、TOEIC®の傾向と対策をおさえていきます。課題提出後の授業、または学習支援システムにおいて、提出された課題からいくつかポイントを取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の内容、進め方、TOEIC®の概要
第 2 回	教科書 Lesson 1 Headhunting	「音の消失」を含む英語のリスニング練習（破裂音同士）
第 3 回	教科書 Lesson 2 The Internet	動詞にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
第 4 回	教科書 Lesson 3 Weddings	「音の消失」を含む英語のリスニング練習（破裂音と鼻音、s, th 等）
第 5 回	教科書 Lesson 4 Corporate Culture	時制にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
第 6 回	教科書 Lesson 5 Music	応答の予測をしながらのリスニング練習
第 7 回	教科書 Lesson 6 Movies	形容詞にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
第 8 回	教科書 Lesson 7 Sightseeing	「音の同化」を含む英語のリスニング練習
第 9 回	教科書 Lesson 8 Recruiting	名詞にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
第 10 回	教科書 Lesson 9 Shopping	「音の短縮」を含む英語のリスニング練習
第 11 回	教科書 Lesson 10 Forecasts	分詞構文にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
第 12 回	教科書 Lesson 11 Customs	「音の連結」を含む英語のリスニング練習
第 13 回	教科書 Lesson 12 Crime	不定詞にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
第 14 回	期末試験とまとめ	授業で勉強した内容に基づいた試験を行います。試験結果に応じてフィードバックを行います。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎週、授業で学んだ内容をよく復習してください。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

Navigator for the TOEIC® Test（南雲堂）

## 【参考書】

必要に応じて指示します。

## 【成績評価の方法と基準】

授業への取り組み（50%）と期末試験（50%）から総合的に評価します。欠席 4 回で単位取得資格を失いますが、その回数に至らなくても、欠席回数が多くなればその分授業への取り組みの評価に影響します。期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失います。

## 【学生の意見等からの気づき】

時間配分に気を付けます。

## 【Outline (in English)】

In this course, students will improve their listening and reading skills in English through preparing for TOEIC®. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Grades will be decided based on participation (50%) and the final exam (50%).

LANe200LA

TOEIC(R) II

2017 年度以降入学者

板橋 美也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

Intermediate / 定員制 (20 名)

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本人が苦手とするリスニングのポイントや読解に必要な文法事項の確認をしながら TOEIC®形式の問題演習を行うことで、リスニング力・読解力の向上を目指します。

## 【到達目標】

TOEIC®の出題形式に慣れながら英語のリスニング力と読解力を磨き、TOEIC®スコア向上を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

1 週ごとにリスニングとリーディングのレッスンを交互に行います。教科書の問題演習と解説を行いながら、日本人が苦手とするリスニングのポイントや、読解に必要な文法事項の確認をします。同時に、TOEIC®の傾向と対策をおさえていきます。課題提出後の授業、または学習支援システムにおいて、提出された課題からいくつかポイントを取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の内容、進め方、TOEIC®の概要
第 2 回	教科書 Lesson 13 New Products	「音の連結」を含む英語のリスニング練習
第 3 回	教科書 Lesson 14 Global Matters	動名詞にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
第 4 回	教科書 Lesson 15 Health	「無声化する音」を含む英語のリスニング練習
第 5 回	教科書 Lesson 16 Parties	時制の一致や主語・動詞の一致にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
第 6 回	教科書 Lesson 17 Skiing	「有声化する音」を含む英語のリスニング練習
第 7 回	教科書 Lesson 18 Travel	関係詞にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
第 8 回	教科書 Lesson 19 Dating	「音の弱化」を含む英語のリスニング練習
第 9 回	教科書 Lesson 20 Hospitals	接続詞にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
第 10 回	教科書 Lesson 21 Advertising	音の弱形と強形に注意しながらのリスニング練習
第 11 回	教科書 Lesson 22 Opportunities	仮定法にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
第 12 回	教科書 Lesson 23 Employment	類音語に注意しながらのリスニング練習
第 13 回	教科書 Lesson 24 Banking / Finance	否定にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
第 14 回	期末試験とまとめ	授業で勉強した内容に基づいた試験を行います。試験結果に応じてフィードバックを行います。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎週、授業で学んだ内容をよく復習してください。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

Navigator for the TOEIC® Test（南雲堂）

## 【参考書】

必要に応じて指示します。

## 【成績評価の方法と基準】

授業への取り組み（50%）と期末試験（50%）から総合的に評価します。欠席 4 回で単位取得資格を失いますが、その回数に至らなくても、欠席回数が多くなればその分授業への取り組みの評価に影響します。期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失います。

## 【学生の意見等からの気づき】

時間配分に気を付けます。

## 【その他の重要事項】

前学期の「TOEIC I」を取ってなくても受講可能です。

## 【Outline (in English)】

In this course, students will improve their listening and reading skills in English through preparing for TOEIC®. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Grades will be decided based on participation (50%) and the final exam (50%).

LANe200LA

英語検定試験対策 I

2017 年度以降入学者

青山 恵子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3  
 単位数：1 単位  
 定員制（20 名）/2018 年度までに「英検準備 I」の単位を修得済みの場合、履修不可  
 その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

このクラスでは英検準 1 級と TOEFL の演習を行いながら「スピーキング・リスニング・リーディング・ライティング」の 4 つの能力の強化を目指します。英語検定試験受験予定者に加えて、英語の継続学習希望者の受講も歓迎します。

【到達目標】

- 1 Be able to read texts on a variety of topics with accuracy
- 2 Be able to understand main points of interviews and lectures
- 3 Be able to talk about basic topics
- 4 Be able to write a multi-paragraph essay with a basic structure

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing. Feedback for assignments and reaction papers will be given in each class. (この授業の形態は演習です。授業毎に課題やリアクションペーパーに対するフィードバックを行います)

1. Clarifying objectives and goals (学習動機の明確化とゴール設定)
2. Explaining basic formats of two certificate tests and practicing (英検と TOEFL のテスト形式の紹介と演習)
3. News mini-presentation (視聴してきた News in Levels についてのプレゼンテーション)
4. Feedback for assignments and reaction papers (課題やリアクションペーパーに対するフィードバック)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	Course Orientation	1 Explanation of the course 2 Clarifying objectives and goals
2 回	Introduction to Eiken	1 Explanation of the basic format of Eiken (英検について) 2 Reading & Listening practice to identify strength and weaknesses (弱点の特定化)
3 回	Eiken: Reading and Listening Practice	1 Reading practice 2 Listening practice
4 回	Eiken: Paragraph Reading Trainig	1 Learning Paragraph Structure 2 Paragraph reading practice 2 Listening practice
5 回	Eiken: Intensive Listening Training	1 Overlapping 2 Prosodic shadowing 3 Contents shadowing
6 回	Eiken: Reading and Listening Practice	1 Overlapping and shadowing 2 Listening practice 3 Paragraph reading practice

7 回	Eiken: Essay Writing	1 Learning basic writing structures and analyzing model essays 2 Writing an essay
8 回	Eiken: Essay Writing (peer editing)	1 Peer Editing 2 Listening practice 3 Mini-presentation on News in Levels
9 回	Introduction to TOEFL Test	1 Explanation of the basic format of TOEFL (TOEFL について) 2 Reading practice 3 Listening practice
10 回	TOEFL: Intensive Reading Training	1 Close reading practice 2 Summarizing passages
11 回	TOEFL: Paragraph Reading Training	1 Reviewing paragraph structure 2 Paragraph reading practice
12 回	TOEFL: Intensive Listening Training	1 Overlapping and shadowing practice 2 Listening exercises 3 Mini-presentation on News in Levels
13 回	TOEFL: Listening and speaking Training	1 Overlapping and shadowing practice 2 Mini-presentation on News in Levels
14 回	Review and Test	Review and test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は合わせて授業 1 回あたり 1 時間を標準とします)

- 1 Weekly speaking home assignments (Online News in Levels listening or TED watching for mini-presentation)
- 2 Weekly reading or writing home assignments

【テキスト（教科書）】

Materials will be provided. (プリントを配布します)

【参考書】

You will be provided a list of references. (授業中に指示します)

【成績評価の方法と基準】

Final test (50%)  
 Home assignment (20%)  
 In-class contribution, including mini-presentation (30%)  
 In principle, no more than 3 absences per semester are allowed. (各学期欠席が 4 回以上の場合、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】

I'm going to increase the opportunities for communication in the classroom.

【学生が準備すべき機器他】

Hoppii (学習支援システム)  
 Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline (in English)】

The course is for students who would like to improve their English skills through preparation for STEP Eiken and TOEFL tests. The goal of this course is to develop skills in paragraph reading, effective listening and speaking, and well-structured writing. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class. The overall grade of the course will be determined by the final examination (50%), the home assignment (20%) and the contribution made in class (30%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA

## 英語検定試験対策Ⅱ

2017 年度以降入学者

青山 恵子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

定員制（20 名）/2018 年度までに「英検準備Ⅱ」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

このクラスでは英検、TOEFL、IELTS の演習を行いながら「スピーキング・リスニング・リーディング・ライティング」の 4 つの能力の強化を目指します。英語検定試験受験予定者に加えて、英語学習の習慣化を希望する学生の受講も歓迎します。

## 【到達目標】

- 1 Be able to read texts on a variety of topics with accuracy
- 2 Be able to understand main points of interviews and lectures
- 3 Be able to make a mini presentation
- 4 Be able to write a multi-paragraph essay with a basic structure

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing. Feedback for assignments and reaction papers will be given in each class. (この授業の形態は演習です。授業毎に課題やリアクションペーパーに対するフィードバックを行います)

1. Clarifying objectives and goals (学習動機の明確化とゴール設定)
2. Explaining basic formats of three certificate tests and practicing (英検、TOEFL、IELTS 各テスト形式の紹介と演習)
3. TED mini-presentation (視聴してきた TED の内容等についてのプレゼンテーション)
4. Feedback for assignments and reaction papers (課題やリアクションペーパーに対するフィードバック)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	Course Orientation	1 Explanation of the course 2 Clarifying objectives and goals
2 回	Introduction to Eiken	1 Explanation of the basic format of Eiken (英検について) 2 Reading & Listening practice to identify strength and weaknesses (弱点の特定化)
3 回	Eiken: Paragraph Reading Training	1 Paragraph reading practice 2 Listening practice
4 回	Eiken: Intensive Listening Training	1 Overlapping 2 Prosodic shadowing 3 Contents shadowing
5 回	Eiken: Reading and Listening Practice	1 Overlapping and shadowing 2 Listening practice 3 Paragraph reading practice
6 回	Eiken: Essay Writing	1 Learning basic writing structures and analyzing model essays 2 Writing an essay

7 回	Eiken: Essay Writing (peer editing)	1 Peer Editing 2 Listening practice
8 回	Introduction to TOEFL Test	1 Explanation of the basic format of TOEFL (TOEFL テストについて) 2 Reading practice 3 Listening practice
9 回	TOEFL: Intensive Listening Training	1 Overlapping and shadowing 2 Listening practice
10 回	TOEFL: Learning presentation skills	1 Learning an effective presentation 2 Making a presentation
11 回	Introduction to IELTS	1 Explanation of the basic format of IELTS (IELTS について) 2 Reading practice 3 Listening practice
12 回	IELTS: Reading and Listening Practice	1 Reading practice 2 Listening practice 3 TED mini-presentation
13 回	IELTS: Intensive Listening Training	1 Overlapping and shadowing 2 Listening practice 3 TED mini-presentation
14 回	Review and Test	Review and test

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は合わせて授業 1 回あたり 1 時間を標準とします)

- 1 Weekly speaking home assignments (Online News in Levels listening or TED watching for mini-presentation)
- 2 Weekly reading or writing home assignments

## 【テキスト（教科書）】

Materials will be provided. (プリントを配布します)

## 【参考書】

You will be provided a list of references. (授業中に指示します)

## 【成績評価の方法と基準】

Final test (50%)

Home assignment (20%)

In-class contribution, including mini-presentation (30%)

In principle, no more than 3 absences per semester are allowed. (各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

## 【学生の意見等からの気づき】

I'm going to increase the opportunities for communication in the classroom.

## 【学生が準備すべき機器他】

Hoppii (学習支援システム)

Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

## 【Outline (in English)】

The course is for students who would like to improve their English skills through preparation for STEP Eiken, TOEFL and IELTS tests. The goal of this course is to develop skills in paragraph reading, effective listening and speaking, and well-structured writing. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class. The overall grade of the course will be determined by the final examination (50%), the home assignment (20%) and the contribution made in class (30%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA

Business Communication I 2017 年度以降入学者

今井 澄子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

定員制（20 名）

その他属性：〈優〉

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

国際ビジネスで使われる英語を学ぶことで、人間関係、および、取引関係を築く上で必要とされるコミュニケーションの取り方を音声、文書の両面で習得する。

**【到達目標】**

英語で行われる国際ビジネス場面の話題について大まかな理解をもち、口頭および文書でコミュニケーションできるようにする。また、企業内の書類、商業通信文について英和ともに知識を習得し、英語でビジネスをする力を身に着ける。具体的には、基本的なビジネス英語の聴解や読解ができ、英語による口頭表現や E メール、英文レターなど自ら発信する文章を書くことができるようになる。これにより、TOEIC® Listening/Reading のみならず、TOEIC® Speaking/Writing にも対応できる。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

**【授業の進め方と方法】**

授業始めに Listening 小テストを毎回行う。メイン教材としては、まず TOEIC® 実問題によりビジネス英語に慣れ、その後にビジネス DVD 視聴、英文書類、E メール作成と添削指導を行う。このほか小テスト、課題はすべて授業内での解答解説などの方法でフィードバックする。

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**  
あり/Yes**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**  
なし/No**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	Academic English と Business English	Business Communication に必要な英語について概説する
第 2 回	TOEIC® Listening Test	TOEIC® の Listening 問題を一回分 (100 問) 解き、答え合わせを行う
第 3 回	Listening 1 TOEIC® Grammar 問題 1	英語音声聴解 文法問題を解きながらビジネス英語に慣れる 1 (文法)
第 4 回	Listening 2 TOEIC® Grammar 問題 2	英語音声聴解 文法問題を解きながらビジネス英語に慣れる 2 (語彙)
第 5 回	Listening 3 TOEIC® Reading 問題 1	英語音声聴解 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる 1 (単一文書単語補充)
第 6 回	Listening 4 TOEIC® Reading 問題 2	英語音声聴解 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる 2 (単一文書読解)
第 7 回	Listening 5 TOEIC® Reading 問題 3	英語音声聴解 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる 3 (複数文書の関連付け)
第 8 回	Listening 6 TOEIC® Reading 問題 4	英語音声聴解 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる 4 (図表・伝票を含む複数文書)

第 9 回	Listening 7 英文帳票作成	英語音声聴解 Leave Request Domestic/Oversea Travel Form
第 10 回	Listening 8 社内文書作成	英語音声聴解 Interoffice Memo Notice
第 11 回	Listening 9 社交文書作成 1	英語音声聴解 会合連絡への返信英文メール作成
第 12 回	Listening 10 社交文書作成 2	英語音声聴解 礼状、悔やみ状などの英文レター作成
第 13 回	就職活動文書作成	履歴書作成 応募カバーレター 紹介状・推薦状
第 14 回	期末試験	試験・まとめと解説

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。  
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

和訳担当を割り当てられたときは、必ず自宅で辞書で単語を引きながら読み、問題の答えを考えてくることが必要。授業では PC を使ってメールやレターのやりとりをするので、問題や添付ファイル等を受け取り、作業ができるメールアドレスが必要。

**【テキスト（教科書）】**

TOEIC® 問題、Listening 問題、英文レター・メール等の Writing 問題はプリントを使用する。英文伝票・貿易書類作成問題は実際の書式をもとに作成したオリジナル問題である。

**【参考書】**

授業で Writing 例文集、貿易書類サンプル、各種英語文書解説など、必要なプリントを配布するため、特に参考書は指定しない。

**【成績評価の方法と基準】**

期末試験 60%、平常点 40%。平常点は授業参加度 10%、リスニング小テスト平均点 10%、課題等 20% を原則とする。よって、評価点は試験 60 点、平常点 40 点の合計 100 点とし、60% 以上の得点で合格。授業始めのリスニング小テスト終了後は遅刻と認めず欠席とし、小テストも 0 点となる。割り当てられた課題を遂行しない、担当のある日に無断欠席などは課題点がマイナスになり、たいへん不利になる。欠席が 4 回以上になった者は原則として単位修得の資格を失う。

**【学生の意見等からの気づき】**

昨年度は「英字新聞の政治・経済記事を読んでディスカッションに備えたい」という学生の希望があり、従来実施している内容に追加して取り入れた。また、実際の場면을収録したビジネス DVD を視聴し、英語の使われる実際の場面についても学習した。これらを導入しても TOEIC 問題一回分が十分に終わり、充実した内容となった。今年度も基本的内容は変わらないが、ご要望にはできる限りこたえたい。

**【学生が準備すべき機器他】**

英和辞書。英文メール&レター Writing を行う際、備付 PC のない教室が割り当てられた場合は各自のモバイル PC を持ち込むことになる。PC の都合がつかない学生には PC 貸与を受けるなど方策をとるので、PC の有無で受講を控える必要はない。なお、授業で扱う TOEIC 実問題が難しいと不安な場合は、Hoppii に解説パワーポイントスライドをアップするので予習に活用していただきたい。

**【その他の重要事項】**

受講希望者は初回授業に出席し、ガイダンスを受けること。

**【Outline (in English)】**

This class develops communication skills in both spoken and written English needed to succeed in international business and enlarge knowledge of the international business world. At the beginning of every class, students take a short exam of dictation of English sentences frequently used in a business correspondence. There are twenty chapters and the chapter themes follow the real trading process such as Inquiry, Quotations, Offers, Discounts, Orders, Contracts, Opening L/C, Insurance, Shipment, Customs Clearance, Drafts, and so on, and students can have a knowledge of international business flow. Additionally, the main part of class has two phases: listening and reading of business related materials in TOEIC<sup>®</sup>, and writing business letters and e-mails. The former activity enables students to imagine a business scene and know the basic format of various documents and English expression used in a business world, and based on these knowledge, they try the latter activity — business correspondence. Beginning from writing formats such as “Leave Request,” “Cash-advanced Request,” “Expense Report,” and documents used in import/export, the final step is writing a business letter with a company letterhead and sending/receiving a business e-mail. All these writings are proofread and returned to students. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant part from the text. However, they need not to prepare for the listening-mini test and all the writing tasks are performed only in class. Every student's overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60%, mini-listening test average score 10%, and in class contribution 30%.

LANe200LA

Business Communication II 2017 年度以降入学者

今井 澄子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

定員制 (20 名)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

国際ビジネスで使われる英語を学ぶことで、人間関係、および、取引関係を築く上で必要とされるコミュニケーションの取り方を音声、文書の両面で習得する。

【到達目標】

英語で行われる国際ビジネス場面の話題について大まかな理解をもち、口頭および文書でコミュニケーションできるようにする。また、企業内の書類、商業通信文について英和ともに知識を習得し、英語でビジネスをする力を身に着ける。具体的には、基本的なビジネス英語の聴解や読解ができ、英語による口頭表現や E メール、英文レターなど自ら発信する文章を書くことができるようになる。これにより、TOEIC® Listening/Reading のみならず TOEIC® Speaking/Writing にも対応できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

授業始めに Listening 小テストを毎回行う。メイン教材としては、まず TOEIC® 実問題によりビジネス英語に慣れ、その後ビジネス DVD 視聴、英文書類、E メール作成と添削指導を行う。このほか小テスト、課題はすべて授業内での解答解説などの方法でフィードバックする。なお、春学期とは別の問題を使って授業を進めるため、秋学期からの履修も可能で不利は一切ない。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	Business English と TOEIC® 等各種資格試験	Business Communication に必要な英語と TOEIC®, ビジネス英語検定試験等について解説する
第 2 回	TOEIC® Listening Test	TOEIC® の Listening 問題を一回分 (100 問) 解き、答え合わせを行う
第 3 回	Listening 1 TOEIC® Grammar 問題 1	英語音声聴解 文法問題を解きながらビジネス英語に慣れる 1(文法)
第 4 回	Listening 2 TOEIC® Grammar 問題 2	英語音声聴解 文法問題を解きながらビジネス英語に慣れる 2(語彙)
第 5 回	Listening 3 TOEIC® Reading 問題 1	英語音声聴解 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる 1(単一文書単語補充)
第 6 回	Listening 4 TOEIC® Reading 問題 2	英語音声聴解 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる 2(単一文書読解)
第 7 回	Listening 5 TOEIC® Reading 問題 3	英語音声聴解 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる 3(複数文書の関連付け)

第 8 回	Listening 6 TOEIC® Reading 問題 4	英語音声聴解 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる 4(図表・伝票を含む複数文書)
第 9 回	Listening 7 英文帳票作成 1	英語音声聴解 Cash Advanced Payment, Expense Report, Cash Payment Request
第 10 回	Listening 8 英文帳票作成 2	英語音声聴解 Receipt を使った経費申告
第 11 回	Listening 9 貿易書類作成	英語音声聴解 Packing List, Invoice
第 12 回	Listening 10 英語電話メモ作成	英語音声聴解 英語電話の聴解と英語による伝言メモ作成 1
第 13 回	国際ビジネス文書	ビジネス取引に関する英文レター作成
第 14 回	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. 和訳担当を割り当てられたときは、必ず自宅で辞書で単語を調べながら読み、問題の答えを考えてくる必要がある。授業では PC を使ってメールやレターのやりとりをするので、問題や添付ファイル等を受け取り、作業ができるメールアドレスが必要。

【テキスト (教科書)】

TOEIC® 問題、Listening 問題、英文レター・メール等の Writing 問題はプリントを使用。英文伝票・貿易書類作成問題は実際の書式をもとに作成したオリジナル問題。

【参考書】

授業で Writing 例文集、貿易書類サンプル、各種英語文書解説など、必要なプリントを配布するため、特に参考書は指定しない。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60%、平常点 40%。平常点は授業参加度 10%、リスニング小テスト平均点 10%、課題等 20% を原則とする。よって、評価点は試験 60 点、平常点 40 点の合計 100 点とし、60% 以上の得点で合格。授業始めのリスニング小テスト終了後は遅刻と認めず欠席とし、小テストも 0 点となる。割り当てられた課題を遂行しない、担当のある日に無断欠席などは課題点がマイナスになり、たいへん不利になる。欠席が 4 回以上になった者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度は「英字新聞の政治・経済記事を読んでディスカッションに備えたい」という学生の希望があり、従来実施している内容に追加して取り入れた。また、実際の場面を収録したビジネス DVD を視聴し、英語の使われる実際の場面についても学習した。これらを導入しても TOEIC 問題一回分が十分に終わり、充実した内容となった。今年度も基本的内容は変わらないが、ご要望にはできる限りこたえたい。

【学生が準備すべき機器他】

英和辞書。英文メール&レター Writing を行う際、備付 PC のない教室が割り当てられた場合は各自のモバイル PC を持ち込むことになる。PC の都合がつかない学生には PC 貸与を受けるなどの方策をとるので、PC の有無で受講を控える必要はない。なお、授業で扱う TOEIC 実問題が難しいと不安な場合は、Hoppii に解説パワーポイントスライドをアップするので予習に活用していただきたい。

【その他の重要事項】

受講希望者は初回授業に出席し、ガイダンスを受けること。

**【Outline (in English)】**

This class develops communication skills in both spoken and written English needed to succeed in international business and enlarge knowledge of the international business world. At the beginning of every class, students take a short exam of dictation of English sentences frequently used in a business correspondence. There are twenty chapters and the chapter themes follow the real trading process such as Inquiry, Quotations, Offers, Discounts, Orders, Contracts, Opening L/C, Insurance, Shipment, Customs Clearance, Drafts, and so on, and students can have a knowledge of international business flow. Additionally, the main part of class has two phases: listening and reading of business related materials in TOEIC<sup>®</sup>, and writing business letters and e-mails. The former activity enables students to imagine a business scene and know the basic format of various documents and English expression used in a business world, and based on these knowledge, they try the latter activity — business correspondence. Beginning from writing formats such as “Leave Request,” “Cash-advanced Request,” “Expense Report,” and documents used in import/export, the final step is writing a business letter with a company letterhead and sending/receiving a business e-mail. All these writings are proofread and returned to students. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant part from the text. However, they need not to prepare for the listening-mini test and all the writing tasks are performed only in class. Every student's overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60%, mini-listening test average score 10%, and in class contribution 30%.



LANe200LA

ニュース英語 I

2017 年度以降入学者

塩谷 幸子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

定員制 (20 名)

その他属性：〈優〉

**【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】**

世界を取り巻く様々な状況を英語で正確に理解して、それを批判的に読み解き、その上で自国の社会や文化についても客観的、多面的な視点で捉えることのできる教養豊かな国際人を養成する。

**【到達目標】**

ニュース英語を正確に読み取る力、聴き取る力を養う。特に、シャドーイングの訓練とライティング (機械翻訳) を中心にリーディング・リスニング・スピーキング・ライティングの技能を高めていく。シャドーイングのトレーニングを通して 1) 音声知覚力の向上 2) 発音・発話の流暢さ 3) 読解力の速さ・正確さが獲得できる。教科書のニュース記事を読みながら、批判的・論理的思考力を鍛えて、自分の意見を発信する力を向上させる。ライティングは今注目を浴びている機械翻訳を利用する。Google や DeepL などのニューラル機械翻訳の登場により、翻訳精度は格段に向上したが、それでも正しい翻訳結果を導き出すにはコツや論理的思考力、そして英語力が必要である。翻訳リテラシーを身につけて、さらにそれをスピーキングへと繋げていく。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

**【授業の進め方と方法】**

授業は教科書を中心に進める。ペア/グループワークを多用し、主体的に、対話的に、そしてより深く学び合う参加型 (= 協働学習) の授業を行う。シャドーイングのパフォーマンスチェックや英作文のドラフトチェックなどもグループやペアで行う。使用する CALL (コンピュータ支援の語学学習) 教室の特性を活かして、様々な学習ツール (グループワーク機能、音声 & 文字チャット、音声録音など) を利用しながらクラスメートと共に効率よく学習する。提出課題に対しては、個別またはクラス全体のフィードバックを行う。

**【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】**  
あり / Yes

**【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】**  
なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業方針の解説とプレテスト
第 2 回	Unit 1: Before You Read	Vocabulary / Reading
第 3 回	Unit 1: Comprehension	Pros and Cons / Listening
第 4 回	Unit 2: Before You Read	Vocabulary / Reading
第 5 回	Unit 2: Comprehension	Pros and Cons / Listening
第 6 回	Unit 3: Before You Read	Vocabulary / Reading
第 7 回	Unit 3: Comprehension	Pros and Cons / Listening
第 8 回	Unit 4: Before You Read	Vocabulary / Reading
第 9 回	Unit 4: Comprehension	Pros and Cons / Listening
第 10 回	Unit 5: Before You Read	Vocabulary / Reading

第 11 回	Unit 5: Comprehension	Pros and Cons / Listening
第 12 回	Unit 6: Before You Read	Vocabulary / Reading
第 13 回	Unit 6: Comprehension	Pros and Cons / Listening
第 14 回	プレゼンテーション & 期末試験 (筆記)	まとめ & ポストテスト

**【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】**

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 60 分程度を標準とする。  
・教科書の予習や英文のチャンク分け、シャドーイング練習を続けることによって、自律的な学習習慣を身につけて欲しい。

**【テキスト (教科書)】**

< I > Let's Work with AI! < I > (三修社, 2022)

**【参考書】**

Grammar in Use Intermediate, 3rd Edition (Cambridge U. P., 2010)

Practical English Usage (Oxford U. P., 2005)

その他の参考書や参考サイトについては授業時に適宜紹介する。

**【成績評価の方法と基準】**

期末試験 (筆記) 50 % + プレゼンテーション 20 % + 提出課題 20 % + 平常点 10 % によって評価する。成績評価は 100 点満点とし、60 点以上を合格点とする。

欠席が 4 回以上になった場合は単位修得の資格を失う (ただし、忌引きや登校停止を必要とする流行性疾患は除く)。遅刻・早退 3 回で欠席 1 回の扱いとする。授業開始後 30 分以上の遅刻、および授業終了 30 分以前の退出は欠席とみなす。

**【学生の意見等からの気づき】**

引き続きペア・グループワークを取り入れる。

**【学生が準備すべき機器他】**

初回授業から学内ネットワークを利用するので、受講生は ID とパスワードを確認しておくこと。

**【その他の重要事項】**

コンピュータを利用して授業を行うが、機器類の使い方については授業時に詳しく説明するので、パソコン操作が苦手な学生でも問題なく受講できる。

**【Outline (in English)】**

This course is designed to nurture well-educated global citizens who can accurately understand various situations surrounding the world today and also grasp the society and culture of their own countries from an objective and multifaceted viewpoint.

The main focus of this class is to improve students' reading speed and accuracy through phrase reading and oral reading / shadowing practice. Shadowing is a language learning technique in which you listen to a model and repeat what you hear with as little delay as possible. The main benefits of this training are 1) improved speech perception, 2) fluency in pronunciation and speech, and 3) enhanced speed and accuracy in reading comprehension.

This course will cover a wide range of significant issues confronting the world today. It expects students to gain an increased critical understanding of them in order to become responsible global citizens.

- ・ Students will learn to read and listen efficiently.
- ・ Students will develop critical reading and thinking skills.
- ・ Students will acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English.

Students are required to practice phrase reading and shadowing at least for 60 minutes a week outside of class.

Grading Criteria: Final Exam (50%) + Presentation (20%) + Assignments (20%) + Participation (10%)

LANe200LA

ニュース英語Ⅱ

2017 年度以降入学者

塩谷 幸子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

定員制（20 名）

その他属性：〈優〉

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

世界を取り巻く様々な状況を英語で正確に理解して、それを批判的に読み解き、その上で自国の社会や文化についても客観的かつ多面的な視点で捉えることのできる教養豊かな国際人を養成する。

**【到達目標】**

ニュース英語を正確に読み取る力、聴き取る力を養う。特に、シャドーイングの訓練とライティング（機械翻訳）を中心にリーディング・リスニング・スピーキング・ライティング 4 技能を高めていく。シャドーイングのトレーニングを通して 1) 音声知覚力の向上 2) 発音・発話の流暢さ 3) 読解力の速さ・正確さが獲得できる。教科書のニュース記事を読みながら、批判的・論理的思考力を鍛えて、自分の意見を発信する力を向上させる。ライティングは今注目を浴びている機械翻訳を利用する。Google や DeepL などのニューラル機械翻訳の登場により、翻訳精度は格段に向上したが、それでも正しい翻訳結果を導き出すにはコツや論理的思考力、そして英語力が必要である。翻訳リテラシーを身につけて、さらにそれをスピーキングへと繋げていく。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

**【授業の進め方と方法】**

授業は教科書を中心に進める。ペア/グループワークを多用し、主体的に、対話的に、そしてより深く学び合う参加型（＝協働学習）の授業を行う。シャドーイングのパフォーマンスチェックや英作文のドラフトチェックなどもグループやペアで行う。使用する CALL（コンピュータ支援の語学学習）教室の特性を活かして、様々な学習ツール（グループワーク機能、音声&文字チャット、音声録音など）を利用しながらクラスメートと共に効率よく学習する。提出課題に対しては、個別またはクラス全体のフィードバックを行う。

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**  
あり/Yes

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**  
なし/No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業方針の解説とプレテスト
第 2 回	Unit 7: Before You Read	Vocabulary / Reading
第 3 回	Unit 7: Comprehension	Pros and Cons / Listening
第 4 回	Unit 8: Before You Read	Vocabulary / Reading
第 5 回	Unit 8: Comprehension	Pros and Cons / Listening
第 6 回	Unit 9: Before You Read	Vocabulary / Reading
第 7 回	Unit 9: Comprehension	Pros and Cons / Listening
第 8 回	Unit 10: Before You Read	Vocabulary / Reading
第 9 回	Unit 10: Comprehension	Pros and Cons / Listening
第 10 回	Unit 11: Before You Read	Vocabulary / Reading

第 11 回	Unit 11: Comprehension	Pros and Cons / Listening
第 12 回	Unit 12: Before You Read	Vocabulary / Reading
第 13 回	Unit 12: Comprehension	Pros and Cons / Listening
第 14 回	プレゼンテーション & 期末試験（筆記）	まとめ & ポストテスト

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 60 分程度を標準とする。  
・教科書の予習や英文のチャンク分け、シャドーイング練習を続けることによって、自律的な学習習慣を身につけて欲しい。

**【テキスト（教科書）】**

< I > Let's Work with AI! < I >（三修社, 2022）

**【参考書】**

*Grammar in Use Intermediate, 3rd Edition* (Cambridge U. P., 2010)

*Practical English Usage* (Oxford U. P., 2005)

その他の参考書や参考サイトについては授業時に適宜紹介する。

**【成績評価の方法と基準】**

期末試験（筆記）50% + プレゼンテーション 20% + 提出課題 20% + 平常点 10% によって評価する。成績評価は 100 点満点とし、60 点以上を合格点とする。

欠席が 4 回以上になった場合は単位修得の資格を失う（ただし、忌引きや登校停止を必要とする流行性疾患は除く）。授業開始後 30 分以上の遅刻、および授業終了 30 分以前の早退は欠席とみなし、遅刻・早退 3 回で欠席 1 回の扱いとする。

**【学生の意見等からの気づき】**

引き続きペア・グループワークを取り入れる。

**【学生が準備すべき機器他】**

初回授業から学内ネットワークを利用するので、受講生は ID とパスワードを確認しておくこと。

**【その他の重要事項】**

コンピュータを利用して授業を行うが、機器類の使い方については授業時に詳しく説明するので、パソコン操作が苦手な学生でも問題なく受講できる。

**【Outline (in English)】**

This course is designed to nurture well-educated global citizens who can accurately understand various situations surrounding the world today and also grasp the society and culture of their own countries from an objective and multifaceted viewpoint.

The main focus of this class is to improve students' reading speed and accuracy through phrase reading and oral reading / shadowing practice. Shadowing is a language learning technique in which you listen to a model and repeat what you hear with as little delay as possible. The main benefits of this training are 1) improved speech perception, 2) fluency in pronunciation and speech, and 3) enhanced speed and accuracy in reading comprehension.

This course will cover a wide range of significant issues confronting the world today. It expects students to gain an increased critical understanding of them in order to become responsible global citizens.

- ・ Students will learn to read and listen efficiently.
- ・ Students will develop critical reading and thinking skills.
- ・ Students will acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English.

Students are required to practice phrase reading and shadowing at least for 60 minutes a week outside of class.

Grading Criteria: Final Exam (50%) + Presentation (20%) + Assignments (20%) + Participation (10%)

LANe200LA

Practical English (オーラル・コミュニケーション) A-I 2017 年度以降入学者

RICHARD SHEEHAN

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

定員制 (25 名)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course is designed to improve students listening, speaking and writing skills through a series of in-class activities and outside assignments to allow them to become more competent and confident English communicators.

【到達目標】

Students should be able to communicate in a variety of English speaking situations that they may encounter when living or studying abroad, as well as express their ideas and opinions, both verbally and in writing, in a coherent and concise fashion.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This will be a real-time class at the Ichigaya campus. Each class will incorporate short lectures supplemented by textbook exercises, class discussions and group activities. Students will be required to share and support their opinions with each other and to prepare a short speech on a given topic. Students will receive feedback and comments on homework assignments and in class activities throughout the term either in person or through email.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】  
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】  
あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Class 1	Class overview	Explanation of class rules & objectives and self-introductions
Class 2	Textbook unit 1 Extreme Sports	Formulating and supporting opinions
Class 3	Textbook unit 1 Extreme Sports	Group discussion Team vs. Individual Sports
Class 4	Textbook unit 2 Identity Theft	Asking for and giving advice
Class 5	Textbook unit 2 Identity Theft	Group discussion How to avoid identity theft
Class 6	Writing Workshop	Writing clear and concise sentences
Class 7	Unit 3 Space Exploration	Making and confirming predictions
Class 8	Unit 3 Space Exploration	Group discussion Future of space tourism
Class 9	Unit 4 Being Persuasive	Using logical and emotional appeals
Class 10	Unit 4 Being Persuasive	Group discussion Comparative advertising
Class 11	Individual speech (3-5 min)	What makes you different from other people? or What makes Japan different from other countries?

Class 12 Individual speech (3-5 min) What makes you different from other people? or What makes Japan different from other countries?

Class 13 Final exam review Vocabulary & listening practice

Class 14 Final exam units 1-4 In-class exam

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

NorthStar 3 Listening & Speaking 4th edition (Pearson) ISBN 978-0-13-404981-6 (¥3,564)

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

30%-Classroom activities

40%-Outside assignments\*

30%-Final exam

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

\*Assignment 1 — Keep a weekly journal of English activities being done outside of class (at least one activity per week)

\*Assignment 2 — Prepare a 3-5 speech on

a. What makes you different from other people? or,

b. What makes Japan different from other countries?

【学生の意見等からの気づき】

None

【Outline (in English)】

Classes will integrate short lectures with listening exercises and group speaking activities with the aim of improving oral communication skills. Students will also be expected to complete outside reading and writing assignments with the aim of improving their written communication skills.

LANe200LA

## Practical English (オーラル・コミ ユニケーション) A-II

2017 年度以降入学者

RICHARD SHEEHAN

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

定員制 (25 名)

その他属性：

### 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course is designed to improve students listening, speaking and writing skills through a series of in-class activities and outside assignments to allow them to become more competent and confident English communicators

### 【到達目標】

Students should be able to communicate in a variety of English speaking situations that they may encounter when living or studying abroad, as well as express their ideas and opinions, both verbally and in writing in a coherent and concise fashion.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部： DP1

### 【授業の進め方と方法】

The class will incorporate short lectures supplemented by textbook exercises, class discussions and group activities. Students will be required to share and support their opinions with each other and to prepare a short speech on a given topic. Students will receive feedback and comments on homework assignments and in class activities throughout the term either in person or through email.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】  
あり / Yes

### 【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

あり / Yes

### 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Class 1	Class overview	Explanation of class rules & objectives and student interviews
Class 2	Unit 5 Careers	Using follow-up questions to extend conversations
Class 3	Unit 5 Careers	Job interview role play
Class 4	Unit 6 Tourism	Considering all sides of an issue
Class 5	Unit 6 Tourism	Design a tour campaign for a local Japanese site
Class 6	Writing workshop	Writing a paragraph with topic and supporting sentences
Class 7	Unit 7 Marriage	Using polite expressions to agree & disagree
Class 8	Unit 7 Marriage	Group discussion Pros & cons of marriage
Class 9	Unit 8 Climate change	Analyzing & explaining (presenting) data
Class 10	Unit 8 Climate change	Group discussion Ways to address climate change
Class 11	Individual speech (3-5 min)	What would you like to change about yourself? or What would you like to change about Japan?

Class 12	Individual speech (3-5 min)	What would you like to change about yourself? or What would you like to change about Japan?
Class 13	Final exam review	Vocabulary and listening practice
Class 14	Final exam (units 4-8)	In-class exam

### 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

### 【テキスト (教科書)】

NorthStar 3 Listening & Speaking 4th edition (Pearson)  
ISBN 978-0-13-404981-6 (¥3,564)

### 【参考書】

None

### 【成績評価の方法と基準】

30%-Classroom activities  
40%-Outside assignments\*  
30%-Final exam

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

\*Assignment 1 — Keep a weekly journal of English activities being done outside of class (at least one activity per week)

\*Assignment 2 — Prepare a 3-5 min speech on

a. What would you like to change about yourself? or,

b. What would you like to change about Japan?

### 【学生の意見等からの気づき】

None

### 【Outline (in English)】

Classes will integrate short lectures with listening exercises and group speaking activities with the aim of improving oral communication skills. Students will also be expected to complete outside reading and writing assignments with the aim of improving their written communication skills.

LANe200LA

Practical English (オーラル・コミ ユニケーション) B- I 2017 年度以降入学者

RICHARD SHEEHAN

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

定員制 (25 名)

その他属性：

**【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】**

This course is designed to improve students' understanding and use of business phrases and terms to become more proficient when using English at work.

**【到達目標】**

Students should be able to communicate in a variety of business situations they may encounter when working with English-speaking people.

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

This will be a real-time class at the Ichigaya campus. Each class will incorporate short lectures supplemented by textbook exercises, class discussions and group activities. Students will receive feedback and comments on homework assignments and in class activities throughout the term either in person or through email.

**【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】**  
あり / Yes

**【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】**  
あり / Yes

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Class 1	Class overview	Course goals Expectations of students Introductions
Class 2	Unit 1 Careers	Business phone calls
Class 3	Unit 1 Careers	You Juice case study
Class 4	Unit 2 Companies	Describing companies
Class 5	Unit 2 Companies	Dino Conti case study
Class 6	Unit 3 Selling	Negotiating
Class 7	Unit 3 Selling	Negotiation role play
Class 8	Unit 4 Great Ideas	Conducting a successful meeting
Class 9	Unit 4 Great Ideas	PB Technologies role play
Class 10	Unit 5 Stress	Participating in discussions
Class 11	Unit 5 Stress	Davies-Miller case study
Class 12	Unit 6 Entertaining	Socializing, greetings & small talk
Class 13	Final exam review	Listening & vocabulary exercises
Class 14	Final exam units 1-6	In-class exam

**【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】**

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

**【テキスト (教科書)】**

Pre-Intermediate Market Leader 3rd edition (Pearson)  
ISBN: 978-1-4082-3737-6

**【参考書】**

None

**【成績評価の方法と基準】**

30%-Classroom activities  
40%-Outside assignments  
30%-Final exam

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

**【学生の意見等からの気づき】**

None

**【Outline (in English)】**

Classes will integrate short lectures with listening exercises and group speaking activities with the aim of improving oral communication skills. Students will also be expected to complete outside reading assignments.

LANe200LA

**Practical English (オーラル・コミ  
ュニケーション) B-II** 2017 年度以降入学者

RICHARD SHEEHAN

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

定員制 (25 名)

その他属性：

**【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】**

This course is designed to improve students understanding and use of business phrases and terms to become more proficient when using English at work.

**【到達目標】**

Students should be able to communicate in a variety of business situations they may encounter when working with English-speaking people.

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

This will be a real-time class at the Ichigaya campus. Each class will incorporate short lectures supplemented by textbook exercises, class discussions and group activities. Students will receive feedback and comments on homework assignments and in class activities throughout the term either in person or through email.

**【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】**  
あり / Yes

**【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】**  
あり / Yes

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Class 1	Class overview	Course goals Expectations of students Introductions
Class 2	Unit 7 New Business	Economic terms
Class 3	Unit 7 New Business	Shimizu Cycle case study
Class 4	Unit 8 Marketing	Marketing framework
Class 5	Unit 8 Marketing	Bicycle Light case study
Class 6	Unit 9 Planning	Interrupting and clarifying
Class 7	Unit 9 Planning	Planning role play
Class 8	Unit 10 Managing People	Socializing and entertaining
Class 9	Unit 10 Managing People	Wendy Peterson case study (part 1)
Class 10	Unit 11 Conflict	Addressing the root causes of conflict
Class 11	Unit 11 Conflict	Wendy Peterson case study (part 2)
Class 12	Unit 12 Products	Describing and presenting a product
Class 13	Final exam review	Listening & vocabulary practice
Class 14	Final exam units 7-12	In-class exam

**【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】**

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

**【テキスト (教科書)】**

Pre-Intermediate Market Leader 3rd edition (Pearson)  
ISBN: 978-1-4082-3737-6

**【参考書】**

none

**【成績評価の方法と基準】**

30%-Classroom activities  
40%-Outside assignments  
30%-Final exam

In principle, no more than 3 absences per term are allowed

**【学生の意見等からの気づき】**

None

**【Outline (in English)】**

Classes will integrate short lectures with listening exercises and group speaking activities with the aim of improving oral communication skills. Students will also be expected to complete outside reading assignments.

LANe200LA

English for Study Abroad I 2017 年度以降入学者

高井 美紀子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：1 単位

定員制 (25 名)

その他属性：

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業は、短期留学・語学研修で必要になる基礎的な英語力を身に付けることを目標とした授業です。出発前から帰国までの場面別に、多様なタスクを通じて重要表現の定着や総合的な英語力の育成を目指します。外国語でのコミュニケーションにおいて大切なことは「シンプルで表現で」「正しく伝える」ことです。1 回のレッスン内で、リスニングアクティビティとスピーキングアクティビティに取り組みます。スピーキングアクティビティはペアワークやグループワークで行います。また、様々は場面を想定したロールプレイやプレゼンテーションなども行います。これらの学習を通して、様々な場面で必要とされる英語がスムーズに思い浮かび、英語で円滑なコミュニケーションを取れる力を養います。

## 【到達目標】

本授業を通して学生は以下の能力を身に付けます。

- ①日常生活における様々な英語表現を覚えて実際に使えるようになる。
- ②英語で自己紹介、他己紹介ができるようになる。
- ③入国審査やオリエンテーションの場で、英語での指示や説明が理解できる。
- ④学生同士で英語だけで日常会話をするができる。
- ⑤身の回りにある日常の事物について、英語で表現することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業は演習形式です。学生は授業内でリスニングやシャドウイング、英文暗唱などのアクティビティに取り組みます。

テキストレッスンを 2 週やった後、3 週目にショートプレゼンテーションを行います。このショートプレゼンテーションでは学生がグループやペアになって、実際の場面を想定した英語によるロールプレイや、発表を行います。ショートプレゼンテーションは、ターム内で 4 回行われ、評価対象として大きな割合を占めます。最終授業日に Final Exam を行います。こちらはスピーキングの実技試験です。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
4 月 11 日	ガイダンス	授業の方針説明 自己紹介
4 月 18 日	Unit 1: Introduction Yourself	英語で自己紹介をする
4 月 25 日	Unit 2: A Geography Lesson	英語で地理や旅の移動に関する内容を話す
5 月 9 日	Unit 3: Arriving Short Presentation ①	学生による英語でのプレゼンテーション
5 月 16 日	Unit 4: People	自分の家族について話す。
5 月 23 日	Unit 5: House Rules	ホストファミリーとの会話。
5 月 30 日	Unit 6: Orientation Unit 7: First Lesson Day	大学のオリエンテーション、最初の授業に必要な英語。
6 月 6 日	Unit 8: Activity and Trips	学生による英語でのプレゼンテーション

6 月 6 日 Unit 8: Activity and Trips 旅行や余暇、家での活動について話す。

6 月 13 日 Unit 9: Housework Drink Unit 11: Money and Shopping

6 月 20 日 Short Presentation ③ 学生による英語でのプレゼンテーション

6 月 27 日 Unit 12: Safety on Campus トラブル対応の英語。

Unit 13: Talking about Your Hometown 自分の故郷を紹介する。

7 月 4 日 Unit 14: Information 英語の連絡事項。

Unit 15: Farewell 別れの席での英語。

7 月 11 日 Short Presentation ④ 学生による英語でのプレゼンテーション

7 月 18 日 Final Exam 学習理解度確認のための実技試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

毎回の予習復習はとくに指定しませんが、3 週間に 1 度の頻度で行われる Short Presentation は成績評価において大きな割合を占めますので、しっかりと事前の準備して臨んでください。

## 【テキスト (教科書)】

【テキスト】 Ready for Takeoff!: English for Study Abroad

【著者名】 Alan Jackson, Hiroko Uchida

【出版社】 金星堂

【出版年】 2020 年

【価格】 1900 円 (税抜き)

## 【参考書】

特に指定しません。

## 【成績評価の方法と基準】

成績評価の内訳は以下の通りです。

Short Presentation 60 %

Final Exam 40 %

合計 100 点満点で、60 点以上で合格となります。

正当な理由のない欠席が 4 回を超えると単位取得不可となります。

病欠や部活動の試合、就職活動、忌引き等の欠席は公欠となりますので、メール等で連絡をください。

## 【学生の意見等からの気づき】

オーラルやスピーキングの時間を増やしてほしいという意見を踏まえ、プレゼンテーションの時間を増やし、最終試験をスピーキングの実技試験とすることにしました。

## 【学生が準備すべき機器他】

レポートなどの課題の受け渡しは、Hoppii の学習支援システムを利用して行います。また初回授業を Zoom で行います。授業は基本的に対面授業で行いますが、場合に応じて Zoom 授業を行うことがあります。その場合、授業支援システムを通じて授業前に連絡しますので、授業支援システムのチェックをお願いします。パソコン、インターネット環境の準備をしてください。

## 【その他の重要事項】

特になし。

## 【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students acquire valuable English skills required in study abroad. This course introduces listening activities and speaking activities to students. Students work on these listening and speaking activities in pairs or groups. In addition, students do role play and give presentation in English every three weeks.

At the end of the course, students are expected to learn by heart various English words and expressions used in daily scenes, to communicate smoothly in English, to make themselves understood in English, to hear and understand various instructions given in various scenes.

Students will be expected to prepare well for every-third-week Short Presentation. Your required preparation time is at least two hours.

Grading will be decided based on Short Presentation: 60%,  
Term-end examination: 40%.



LANe200LA

English for Study Abroad II 2017 年度以降入学者

北 文美子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：1 単位

定員制 (25 名)

その他属性：

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

さまざまなトピックの英文を読むことで、国内外の時局をより広い視野から見直し、英語の読解力ならびに語彙力の向上をはかります。それぞれの内容について英語で自分の意見を述べることもできるよう、語学力に加えて、思考力ならびに批判力を涵養します。

**【到達目標】**

速読による多読を基本とし、大意を捉えて内容を咀嚼する思考力、批判能力を養います。また、さまざまな文章を読むことのできる語彙力を身につけます。また、各自の意見を適切にまとめることができるよう表現力も養います。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

授業ではテキストの内容の把握に加えて、テキスト内の単語・慣用表現などの類義語、類似表現を確認し、読解力の向上とともに、語彙力ならびに表現力の拡充をはかります。また、読んだ内容の理解を深めるため、それぞれのテーマについて英語で内容をまとめる練習をします。また、英文を書く上で必要なスキルを、各自が実際に英文を書き、教室でフィードバックします。対面授業を予定しています。

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**

あり / Yes

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし / No

**【授業計画】 授業形態：対面/face to face**

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方の解説
2	言語と文化（1）	異文化理解
3	言語と文化（2）	文化の衝突
4	言語と文化（3）	英語公用語化
5	社会と環境（1）	環境破壊
6	社会と環境（2）	民族差別
7	中間試験 まとめ	これまで履修したテキスト及び解説から出題
8	経済と社会（1）	南北問題
9	経済と社会（2）	国際紛争
10	経済と社会（3）	児童労働
11	技術と人間（1）	臓器移植
12	技術と人間（2）	遺伝子組み換え
13	技術と人間（3）	インターネット中毒
14	学期末試験、まとめ	履修したテキストと解説から出題

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

毎週テキストの英文を読み、わからない単語・表現がある場合には必ず事前に辞書を使って調べておくようにしてください。授業の復習・予習に一時間以上必要です。

**【テキスト（教科書）】**

適宜プリントを使用します。

**【参考書】**

その都度紹介します。

**【成績評価の方法と基準】**

平常点、課題の提出 40 %

試験（中間・期末） 60 %

この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の 60%以上を達成した者を合格とする。尚、欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

**【学生の意見等からの気づき】**

英作文の例を紹介します。

**【Outline (in English)】**

(Course Outline)

This course aims to improve reading and writing skills in English, and to prepare students to develop critical thinking skills through widely ranged texts.

(Learning Objectives)

By the end of the semester, students are expected to deepen their understanding about the command of the English language.

(Learning activities outside of classroom)

Students must read the course material before each class, and spend more than one hour preparing for each lesson.

(Grading Criteria/Policy)

Assignments 30% Mid-term and Final Exams 70%

LANe200LA

## Practical English (ビジネス・コミュニケーション) A-I

2017 年度以降入学者

戸嶋 まゆみ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

定員制 (25 名)

その他属性：

### 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

実社会で用いられている英語を読んで理解し、発信できるようにすることが到達目標となります。現代社会では、インターネット時代に必要かつ基本的な知識を得られるような英文に接し、コミュニケーションの道具として英語を使いこなすことが必要だと考えられます。本講義では、比較的平易な英語で書かれたテキストや動画を用い、実際に使われることを想定したロール・プレイングを行うことでアウトプットできるようにしていきます。

### 【到達目標】

大学生として抑えておきたいグローバルな知識を含んだ英文が理解でき、英語で発信する基礎力をつけることです。また、プレゼンテーション (グループ・プレゼンテーションを含む) に慣れることも目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

### 【授業の進め方と方法】

○最初は、テキストを読み、書かれている英語を理解し、その英文について英語で説明し、意見を述べたり書いたり話したりする作業およびロール・プレイングが中心となります。自分の意見を英語で述べる練習もします。中盤以降は、グループで学習し、発表ができるように学んでいきます。授業時の指示は、状況に応じて、日本語と英語で行います。

○課題等に対するフィードバックは、授業時に口頭あるいはプリント等を用いて行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 講	ガイダンス	授業に関するガイダンス
第 2 講	Unit 1 Friends	関連動画の観賞及び内容の確認と発音練習
第 3 講	Unit 2 Hobbies	関連動画の観賞及び内容の確認と発音練習
第 4 講	Unit 3 Commuting	関連動画の観賞及び内容の確認と発音練習
第 5 講	Unit 4 Fashion	内容の理解、要約、意見のまとめ (1)
第 6 講	Unit 5 Personality	内容の理解、要約、意見のまとめ (2)
第 7 講	Unit 6 Sleep	内容の理解、要約、意見のまとめ (3)
第 8 講	Unit 7 Travel	内容の理解、要約、意見のまとめとグループ学習もしくはプレゼンテーションのプランニング (1)
第 9 講	Unit 8 Diets	内容の理解、要約、意見のまとめとグループ学習もしくはプレゼンテーションのプランニング (2)
第 10 講	Unit 9 Money	内容の理解、要約、意見のまとめとグループ学習もしくはプレゼンテーションのリハーサル (1)

第 11 講	Unit 10 E-books	内容の理解、要約、意見のまとめとグループ学習もしくはプレゼンテーションのリハーサル (2)
第 12 講	プレゼンテーション	プレゼンテーション
復習	全体の復習	全体の復習
総括	総括	全体の総括

### 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。予習及びプレゼンテーションのための時間が必要です。具体的には、テキストを読んで、内容を日本語と英語でまとめておくことと、プレゼンテーション等発表の計画をし、必要であればグループで集まり、発表の内容を考え、発表の練習をすることです。

### 【テキスト (教科書)】

Companion to English Communication, Esther Waer 他著、南雲堂、2021 年、ISBN 978-4-523-17924-5

### 【参考書】

授業時に指示します。

### 【成績評価の方法と基準】

毎回の教場練習への参加程度 (80%)、プレゼンテーション (20%) を全て考慮し、評価します。ペーパーテストを行う予定はありません。各学期欠席が 4 回以上の場合、原則として単位修得を認めません。

### 【学生の意見等からの気づき】

プレゼンテーションは楽しいが準備が大変だったという意見があります。しかし、必ず人生において役に立ちます。一人一度以上はプレゼンテーションの機会を設けてありますので、ぜひみなさんには頑張っていたいただきたいと思います。

### 【学生が準備すべき機器他】

毎回、テキスト、ノート、辞書類を持参して下さい。また、授業の進行に伴って、あらかじめ映画や動画の視聴を求められることがあります。内容については、教場指示とします。

### 【その他の重要事項】

1. 授業時以外の時間の学習が必要です。また、プレゼンテーションでは、グループ発表の場合はグループ性と一人 1 分以上の英語を原稿なしで話すことが求められます。

### 【Outline (in English)】

#### 【Course Outline】

The target of this course will be to improve students reading and outputting ability in English. Especially it is going to be essentially important for Japanese university students to strongly improve their English skills in order to successfully function in the future as the members of the society of the internet era. I hope that this course will help guide all of my class students to get used to joining in group working activities through reading the articles about business and everyday life.

#### 【Learning Objectives】

The goal of this course is to read English texts efficiently (to get information from written things without any problems).

#### 【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each.

#### 【Grading Criteria/Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

In-class contribution: 40%, Presentations: 30%, Reports: 30%, No term-end examinations

LANe200LA

Practical English (ビジネス・コミュニケーション) A-II 2017 年度以降入学者

戸嶋 まゆみ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

定員制 (25 名)

その他属性：

**【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】**

実社会で用いられている英語を読んで理解し、発信できるようにすることが到達目標となります。現代社会では、インターネット時代に必要かつ基本的な知識を得られるような英文に接し、コミュニケーションの道具として英語を使いこなすことが必要だと考えられます。本講義では、比較的平易な英語で書かれたテキストや動画を用い、実際に使われることを想定したロール・プレイングを行うことでアウトプットできるようにしていきます。

**【到達目標】**

大学生として抑えておきたいグローバルな知識を含んだ英文が理解でき、英語で発信する基礎力をつけることです。また、プレゼンテーション(グループ・プレゼンテーションを含む)に慣れることも目標とします。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

The goal of this course is to use English texts efficiently (to get information from written things without any problems and to give appropriate presentations).

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

○最初は、テキストを読み、書かれている英語を理解し、その英文について英語で説明し、意見を述べたり書いたり話したりする作業およびロール・プレイングが中心となります。自分の意見を英語で述べる練習もします。中盤以降は、グループで学習し、発表ができるように学んでいきます。授業時の指示は、状況に応じて、日本語と英語で行います。

○課題等に対するフィードバックは、授業時に口頭あるいはプリント等を用いて行います。

**【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】**  
あり / Yes

**【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】**

なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 講	ガイダンス	授業に関するガイダンス
第 2 講	Unit 11 Online Friends	文法理解のスキル (1)
第 3 講	Unit 12 Productivity	文法理解のスキル (2)
第 4 講	Unit 13 Pets	ライティングのスキル (1)
第 5 講	Unit 14 Made by Hand	動画鑑賞とスピーチ
第 6 講	Unit 15 Writing	動画鑑賞とスピーチ原稿
第 7 講	Unit 16 Food Culture	スピーチ原稿作成方法
第 8 講	Unit 17 Stress	スピーチ題材の選択
第 9 講	Unit 18 Ghosts	動画鑑賞とプレゼンテーション (1)
第 10 講	Unit 19 Housing	動画鑑賞とプレゼンテーション (2)

第 11 講 Unit 20 Gender Equality

ライティング (2)

第 12 講 Unit 11-20 の復習

スピーチ、プレゼンテーション、ライティングの復習

第 13 講 全体の復習

全体の復習

第 14 講 総括

全体の総括

**【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】**

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。  
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

**【テキスト (教科書)】**

Companion to English Communication, Esther Waer 他著、南雲堂、2021 年、ISBN 978-4-523-17924-5

**【参考書】**

授業時に指示します。

**【成績評価の方法と基準】**

毎回の教場練習への参加程度 (80%)、プレゼンテーション (20%) を全て考慮し、評価します。ペーパーテストを行う予定はありません。各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めません。

**【学生の意見等からの気づき】**

プレゼンテーションは楽しいが準備が大変だったという意見があります。しかし、必ず人生において役に立ちます。一人一度以上はプレゼンテーションの機会を設けてありますので、ぜひみなさんには頑張ってくださいと思っています。

**【学生が準備すべき機器他】**

毎回、テキスト、ノート、辞書類を持参して下さい。また、授業の進行に伴って、あらかじめ映画や動画の視聴を求められることがあります。内容については、教場指示とします。

**【その他の重要事項】**

授業時以外の時間の学習が必要です。また、プレゼンテーションでは、グループ発表の場合はグループ性と一人 1 分以上の英語を原稿なしで話すことが求められます。

**【Outline (in English)】****【Course Outline】**

The target of this course will be to improve students reading and outputting ability in English. Especially it is going to be essentially important for Japanese university students to strongly improve their English skills in order to successfully function in the future as the members of the society of the internet era. I hope that this course will help guide all of my class students to get used to joining in group working activities through reading the articles about business and everyday life.

**【Learning Objectives】**

The goal of this course is to read English texts efficiently (to get information from written things without any problems).

**【Learning activities outside of classroom】**

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each.

**【Grading Criteria /Policies】**

Your overall grade in the class will be decided based on the following

In-class contribution: 80%, Presentations: 20%, No term-end examinations

LANe200LA

## Practical English (ビジネス・コミュニケーション) B-I

2017 年度以降入学者

Kregg Johnston

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 2/Thu.2

単位数：1 単位

定員制 (25 名)

その他属性：

### 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Business communication skills: to develop the skills necessary for effective communication for a variety of common business or workplace situations.

### 【到達目標】

This course aims to develop the student's vocabulary and ability to discuss key business concepts and engage in realistic problem solving discussions. Topics such as Data management, Etiquette, and Success will be covered in the course. Special emphasis will be placed on vocabulary, listening and speaking skills. After group discussions, the students will be required write short memos or email messages to communicate in written form.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

### 【授業の進め方と方法】

Students will study business communication skills and practice these by engaging in pair work, group work, and discussion/problem solving activities. Students will also discuss a business case at the end of each unit and report discussion results in class. Some brief written assignments will also be given.

Feedback on submitted assignments and quizzes will be given at the beginning of the following class.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Course Introduction & level check Introduce Unit 7	Ice breakers and introduction to course; level assessment
Week 2	Unit 7 Field of Dreams: vocabulary & reading	Describing future plans & intentions; Future forms
Week 3	Unit 7 Field of Dreams: Activities: listening & discussing	Multi-part verb Making appointments Making suggestions Responding to suggestions
Week 4	Quiz: Unit 7 Unit 7: Dilemma & Decision discussion	Quiz Unit 7 Discuss unit 7 case & write summary of decision
Week 5	Unit 8 Job-seeking: vocabulary & reading	Online job search Working situations The application process
Week 6	Unit 8 Job-seeking: listening & discussing	Reviewing job ads Using the imperative Explaining steps in a process
Week 7	Quiz: unit 8 Unit 8: Dilemma & Decision discussion	Quiz Unit 8 Discuss Unit 8 case & write summary of decision

Week 8	Unit 9 Selling: vocabulary & reading	Methods of promotion Marketing to students Word forms
Week 9	Unit 9 Selling: listening & discussing	Product launch Modals of obligation Making suggestions
Week 10	Quiz: unit 9 Unit 9: Dilemma & Decision discussion	Quiz Unit 9 Discuss unit 9 case & write summary of decision
Week 11	Unit 10 Pushing down prices: vocabulary & reading	Stating price trends Company performance Verbs: transitive & intransitive
Week 12	Unit 10 Pushing down prices: listening & discussing	Stating trends Describing graphs The present perfect tense
Week 13	Quiz: unit 10 Unit 10: Dilemma & Decision discussion	Quiz Unit 10 Discuss unit 10 case & write summary of decision
Week 14	Review: Units 7-10 Quiz units 7-10	Review: Units 7-10 Quiz units 7-10

### 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students should prepare for the class by completing the assigned exercises in the textbook & completing and submitting assignments posted in Google Classroom. Students should check Google classroom every week to confirm the assigned exercises.

Students should prepare for quizzes by reviewing exercises in the textbook and what we have covered in class.

All writing assignments will be given and collected in Google Classroom

### 【テキスト (教科書)】

Intelligent Business Coursebook, Pre-Intermediate, Christine Johnson; Pearson/Longman  
ISBN 0-582-84801-6

### 【参考書】

Intelligent Business Workbook, Pre-Intermediate, Christine Johnson; Pearson/Longman  
ISBN- 0-582-84695-1  
[http://www.pearsonlongman.com/intelligent\\_business/www.economist.com](http://www.pearsonlongman.com/intelligent_business/www.economist.com)  
<http://www.better-english.com/vocabulary.htm>  
<https://quizlet.com/KreggJ>  
<https://www.memrise.com/>

### 【成績評価の方法と基準】

Course grades will be based on the following components:  
Quizzes-50%

Homework from textbook or handouts-20%

Participation-15%

Unit ending discussions & written summaries (typed)-15%

In principle, no more than three absences per term are allowed.

### 【学生の意見等からの気づき】

Increased emphasis on accurate use of business terminology and participation in English discussions

### 【学生が準備すべき機器他】

Students should purchase the textbook

Students should join Google Classroom for this course.

Information for joining the Google Classroom for this course will be posted on HOPII(学習支援システム)

### 【その他の重要事項】

Students may take this course in either Spring semester, Fall semester, or both.

This course is suitable for students having a TOEIC score between 400 and 550.

**【Outline (in English)】**

Develop spoken and written competence in a variety of business situations and on a variety of business topics

LANe200LA

**Practical English (ビジネス・コミュニケーション) B-II** 2017 年度以降入学者

Kregg Johnston

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 2/Thu.2

単位数：1 単位

定員制 (25 名)

その他属性：

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

The goal of the course is to develop the student's English communication skills for a variety of situations encountered in business.

## 【到達目標】

This course aims to develop the student's vocabulary and ability to discuss key business concepts and engage in realistic problem solving discussions. Topics such as service, productivity, creativity, and motivation will be covered in the course. Special emphasis will be placed on vocabulary, listening and speaking skills. After group discussions, the students will be required write short memos or email messages to communicate what their groups have decided in written form.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

Students will study business communication skills and practice these by engaging in pair work, group work, and discussion/problem solving activities. Students will also present group discussion results in class. Some brief written assignments will also be given as homework as a follow up to the group discussions.

Feedback on submitted assignments and quizzes will be given at the beginning of the following class.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Course Introduction & level check Introduce Unit 13 Productivity	Ice breakers and introduction to course; level assessment
Week 2	Unit 13 Productivity: vocabulary & reading	Car manufacturing & Productivity, Production diagram word forms
Week 3	Unit 13 Productivity: listening & discussing	Adjectives & adverbs Work efficiency Time management
Week 4	Quiz: Unit 13 Unit 13: Dilemma & Decision discussion	Quiz Unit 13 Discuss unit 13 case & write summary of decision
Week 5	Unit 14 Creativity: vocabulary & reading	Creative solutions Multi-part verbs Suffixes
Week 6	Unit 14 Creativity: listening & discussing	2nd Conditional Evaluating & defining solutions Expressing disagreement

Week 7	Quiz: Unit 14 Unit 14: Dilemma & Decision discussion	Quiz Unit 14 Discuss unit 14 case & write summary of decision
Week 8	Unit 15 Motivation: vocabulary & reading	Young employees Personal qualities Multi-part verbs
Week 9	Unit 15 Motivation: listening & discussing	Present perfect vs simple past Worker motivation Giving reasons
Week 10	Quiz: Unit 15 Unit 15: Dilemma & Decision discussion	Quiz Unit 15 Discuss unit 15 case & write summary of decision
Week 11	Unit 11 Insurance: listening & discussing	Problems Insurance vocabulary Fraud
Week 12	Unit 11 Insurance: vocabulary & reading	Honesty Passive voice Expressing arguments
Week 13	Quiz: Unit 11 Unit 11: Dilemma & Decision discussions	Quiz Unit 11 Discuss unit 11 case & write summary of decision
Week 14	Review: Units 11, 13-15 Quiz: Units 11, 13-15	Review: Units 11, 13-15 Quiz: Units 11, 13-15

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students should prepare for the class by completing the assigned exercises in the textbook & completing and submitting assignments posted in Google Classroom. Students should check Google classroom every week to confirm the assigned exercises.

Students should prepare for quizzes by reviewing exercises in the textbook and what we have covered in class.

All writing assignments will be given and collected in Google Classroom

## 【テキスト (教科書)】

Intelligent Business Coursebook Pre-Intermediate, Christine Johnson; Pearson/Longman  
ISBN 0-582-84801-6

## 【参考書】

Intelligent Business Workbook Pre-Intermediate, Christine Johnson; Pearson/Longman  
ISBN 0-582-84695-1

[http://www.pearsonlongman.com/intelligent\\_business/www.economist.com](http://www.pearsonlongman.com/intelligent_business/www.economist.com)

<http://www.better-english.com/vocabulary.htm>

<https://quizlet.com/KreggJ>

<https://www.memrise.com/>

## 【成績評価の方法と基準】

Course grades will be based on the following components:

Quizzes-50%

Homework from textbook or handouts-20%

Participation-15%

Unit ending discussions & written summaries (typed)-15%

In principle, no more than three absences per term are allowed.

## 【学生の意見等からの気づき】

Increased emphasis on accurate use of business terminology and participation in English discussions

## 【学生が準備すべき機器他】

Students should purchase the textbook

Students should join Google Classroom for this course.

Information for joining the Google Classroom for this course will be posted on HOPII(学習支援システム)

**【その他の重要事項】**

Students may take this course in either Spring semester, Fall semester, or both.

This course is suitable for students having a TOEIC score between 400 and 550.

**【Outline (in English)】**

For each topic covered, the students will learn the vocabulary and grammar to equip them to express their opinions, participate in short discussions, and write up typed summaries of their discussions in email messages or memos.

LANe200LA

**Practical English (英語検定試験対策) A- I** 2017 年度以降入学者

大和久 悌一郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

定員制 (25 名)

その他属性：

**【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】**

国際社会の中で、専門的な学問領域のみならず、一般的な時事問題・日常生活においても英語運用能力は、現在、重要になってきている。そうした社会の中で用いられている英語に対応するために必要な英語運用能力を図る基準の一つが TOEIC(R) のスコアであり、本授業ではいわゆる英語資格試験のスコアアップを目指して、語彙力や文法の理解をより確実に身につけるとともに、海外の社会のあり方についての理解も深めながら、英語運用能力の充実に取り組むことを目指したい。

**【到達目標】**

語彙力を増やし、社会問題や時事問題に関する英文に対応できるだけの読解力とリスニング能力を身につける。また日常生活の中でも必要とされる表現や文章を得ることで、英語によるコミュニケーション能力の向上をはかる。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

テキストを用いて、リーディング及びリスニングの練習をおこなう。テキスト 1 章分を、2 回の授業で扱うこととする。また補助資料として、適宜プリントで、時事問題やエッセイ、短編小説など、英語の新聞雑誌記事を読むこととする。毎回出欠の確認をする。授業にあたっては該当ページについての予習をおこなうこと。各回で質疑応答についてのアンケートを行い、次の授業回で回答する。

**【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】**  
あり / Yes

**【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】**

なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の目的、方針、進め方について説明する。
2	Unit 1	Unit 1 Daily Life [基本 5 文型] (精読、内容理解)
3	Unit 1	Unit 1 Daily Life [基本 5 文型] (再読、リスニング、質疑応答)
4	Unit 2	Unit 2 Eating Out & Leisure Activities [品詞] (精読、内容理解)
5	Unit 2	Unit 2 Eating Out & Leisure Activities [品詞] (再読、リスニング、質疑応答)
6	Unit 3	Unit 3 Cooking & Purchasing [名詞・主語と動詞の一致] (精読、内容理解)
7	Unit 3	Unit 3 Cooking & Purchasing [名詞・主語と動詞の一致] (再読、リスニング、質疑応答)
8	Unit 4	Unit 4 Traffic & Travel [形容詞・副詞] (精読、内容理解)
9	Unit 4	Unit 4 Traffic & Travel [形容詞・副詞] (再読、リスニング、質疑応答)

10	Unit 5	Unit 5 Advertising & ICT [時制] (精読、内容理解)
11	Unit 5	Unit 5 Advertising & ICT [時制] (再読、リスニング、質疑応答)
12	Unit 6	Unit 6 Production & Logistics [接続詞・前置詞] (精読、内容理解)
13	Unit 6	Unit 6 Production & Logistics [接続詞・前置詞] (再読、リスニング、質疑応答)
14	Unit 7	Unit 7 Business & Economics [助動詞] (精読、内容理解)

**【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】**

事前に該当ページについての予習をおこなうこと。また単語、熟語、慣例表現については復習しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

**【テキスト (教科書)】**

安丸雅子、砂川典子、秋好礼子、十時康、渡邊晶子、Andrew Zitzmann 著『TOEIC® テスト コアをつかんで完全攻略』金星堂、2015 年

**【参考書】**

授業内で適宜指示します。

**【成績評価の方法と基準】**

平常点 (出席・予習・小テスト等) 60%、期末試験 40% で評価します。30 分以上の遅刻は欠席とみなし、また 3 回の遅刻は 1 回の欠席とみなします。4 回以上の欠席者は成績評価の対象から外すので注意すること。

**【学生の意見等からの気づき】**

特になし。

**【その他の重要事項】**

春学期、秋学期で連続して履修することが原則となります。II (秋学期) のみを履修する場合でも、その II に対応する I の科目の 4 月の春学期第 1 回目の授業に出席し、受講許可を得て 9 月に履修登録を行ってください。定員を超える場合、選抜を行うことがあります。その際には、春学期に受講許可を得た人を優先します。

**【Outline (in English)】**

[Learning Objectives] To develop abilities to read, listen to, speak, and write in English in every day life, such as reading newspapers, listening to and discussing news broadcasting. [Learning activities outside of classroom] Reading and listening textbook before and after class. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. [Grading Criteria/Policy] Activities in class (attendance, question, and discussion) : 60%, Term-end exam : 40%.



LANe200LA

**Practical English (英語検定試験対策) A-II** 2017 年度以降入学者

大和久 悌一郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

定員制 (25 名)

その他属性：

**【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】**

国際社会の中で、専門的な学問領域のみならず、一般的な時事問題・日常生活においても英語運用能力は、現在、重要になってきている。そうした社会の中で用いられている英語に対応するために必要な英語運用能力を図る基準の一つが TOEIC(R) のスコアであり、本授業ではいわゆる英語資格試験のスコアアップを目指して、語彙力や文法の理解をより確実に身につけるとともに、海外の社会のあり方についての理解も深めながら、英語運用能力の充実に努めることを目指したい。

**【到達目標】**

語彙力を増やし、社会問題や時事問題に関する英文に対応できるだけの読解力とリスニング能力を身につける。また日常生活の中でも必要とされる表現や文章を得ることで、英語によるコミュニケーション能力の向上をはかる。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

テキストを用いて、リーディング及びリスニングの練習をおこなう。テキスト 1 章分を、2 回の授業で扱うこととする。また補助資料として、適宜プリントで、時事問題やエッセイ、短編小説など、英語の新聞雑誌記事を読むこととする。毎回出欠の確認をする。授業にあたっては該当ページについての予習をおこなうこと。各回で質疑応答についてのアンケートを行い、次の授業回で回答する。

**【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】**  
あり / Yes

**【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】**  
なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の目的、方針、進め方について説明する。
2	Unit 8	Unit 8 Employment & Personnel [受動態] (精読、リスニング、内容理解)
3	Unit 8	Unit 8 Employment & Personnel [受動態] (再読、質疑応答)
4	Unit 9	Unit 9 Office Work & Correspondence [分詞・分詞構文] (精読、リスニング、内容理解)
5	Unit 9	Unit 9 Office Work & Correspondence [分詞・分詞構文] (再読、質疑応答)
6	Unit 10	Unit 10 Health & the Environment [不定詞・動名詞] (精読、リスニング、内容理解)
7	Unit 10	Unit 10 Health & the Environment [不定詞・動名詞] (再読、質疑応答)
8	Unit 11	Unit 11 Finance & Banking [代名詞・関係詞] (精読、リスニング、内容理解)

9	Unit 11	Unit 11 Finance & Banking [代名詞・関係詞] (再読、質疑応答)
10	Unit 12	Unit 12 Law & Administration [比較構文] (精読、リスニング、内容理解)
11	Unit 12	Unit 12 Law & Administration [比較構文] (再読、質疑応答)
12	Review Test 1	Review Test 1 を解く。リスニング問題とその解説。
13	Review Test 1	Review Test 1 を解く。長文読解問題とその解説。
14	Review Test 2	Review Test 2 を解く。リスニングと長文読解問題、その解説。

**【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】**

事前に該当ページについての予習をおこなうこと。また単語、熟語、慣例表現については復習しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

**【テキスト (教科書)】**

安丸雅子、砂川典子、秋好礼子、十時康、渡邊晶子、Andrew Zitzmann 著『TOEIC® テスト コアをつかんで完全攻略』、金星堂、2015 年

**【参考書】**

授業内で適宜指示します。

**【成績評価の方法と基準】**

平常点 (出席・予習・小テスト等) 60%、学期末試験 40% で評価します。アンケートについて、期限を過ぎた場合は遅刻とみなし、また 3 回の遅刻は 1 回の欠席とみなします。4 回以上の欠席者は成績評価の対象から外すので注意すること。

**【学生の意見等からの気づき】**

特になし。

**【その他の重要事項】**

春学期、秋学期で連続して履修することが原則となります。II (秋学期) のみを履修する場合でも、その II に対応する I の科目の 4 月の春学期第 1 回目の授業に出席し、受講許可を得て 9 月に履修登録を行ってください。定員を超える場合、選抜を行うことがあります。その際には、春学期に受講許可を得た人を優先します。

**【Outline (in English)】**

[Learning Objectives] To develop abilities to read, listen to, speak, and write in English in every day life, such as reading newspapers, listening to and discussing news broadcasting. [Learning activities outside of classroom] Reading and listening textbook before and after class. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. [Grading Criteria/Policy] Activities in class (attendance, question, and discussion) : 60%, Term-end exam : 40%.

LANe200LA

**Practical English (英語検定試験対策) B-I** 2017 年度以降入学者

光野 昭雄

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

定員制 (25 名)

その他属性：

**【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】**

学生諸君が英検準 1 級以上の級に合格することを目的とする。

**【到達目標】**

語彙、表現、構文、文法等できるだけ細かく説明し、学生諸君があらゆる点で必要な知識を習得し、希望の級に合格できる様に指導する。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

プリントを使用し必要な説明をした後に、実際に学生諸君に問題を解いてもらう。最後に詳しい解説を行う。リアクションペーパー等における良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かす。

**【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】**

なし / No

**【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】**

なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第一回	句、節、文、5 文型	説明
第二回	句、節、文、5 文型	問題演習
第三回	句、節、文、5 文型	解答と解説
第四回	不定詞	説明
第五回	不定詞	問題演習
第六回	不定詞	解答と解説
第七回	動名詞	説明
第八回	動名詞	問題演習
第九回	動名詞	解答と解説
第十回	分詞	説明
第十一回	分詞	問題演習
第十二回	分詞	解答と解説
第十三回	熟語と表現	問題演習
第十四回	熟語と表現	解答と解説

**【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】**

授業後に必ずその日学習した重要語句、文法事項を覚えることを各学生諸君に求める。本授業の準備学習・復習時間は 1 時間を標準とする。

**【テキスト (教科書)】**

プリント使用

**【参考書】**

学生諸君の力に合った英検問題集を購入し、できるだけ多くの問題を解く。

**【成績評価の方法と基準】**

平常点 20 %、期末試験 80 %

各学期欠席が 4 回以上の場合、原則として単位修得は認めない。

**【学生の意見等からの気づき】**

明瞭な説明を求められるので、できるだけ分かりやすく説明する。

**【その他の重要事項】**

春学期、秋学期で連続して履修することが原則となります。Ⅱ (秋学期) のみを履修する場合でも、そのⅡに対応するⅠの科目の 4 月の春学期 1 回目の授業に出席し、受講許可を得て 9 月に履修登録を行なって下さい。定員を超える場合は、選抜を行う場合があります。その際には、春学期に受講許可を得た人優先します。

**【Outline (in English)】**

This class will show you how your comprehensive English skill can be developed. One hour is required for learning before and after class. The goals of this course is to develop your reading, writing skill.

Grading Criteria test 80 % attitude 20 %

LANe200LA

**Practical English (英語検定試験対策) B-II** 2017 年度以降入学者

光野 昭雄

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

定員制 (25 名)

その他属性：

**【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】**

環境宣言を英文で読みながら、時事英語読解力をつける。文法や表現も併せて学習する。(準 1 級以上の英語力養成を目指す。)

**【到達目標】**

受動的に英文を読むのではなく、正確に英文を理解して、自分に必要な情報を入手し、それを基に自分の考えを述べられるようにする。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

環境宣言とそれに関する英文記事を読む。単に英文を和訳するのではなく、その背景を説明しながら和訳する。必要に応じて関係資料を配布する。和訳した内容について自分の意見を書いてもらうこともある。リアクションペーパー等における良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かす。

**【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】**

なし / No

**【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】**

なし / No

**【授業計画】 授業形態：対面/face to face**

回	テーマ	内容
第 1 回	東京宣言	東京宣言に関する英文記事その① (自然環境)
第 2 回	東京宣言	東京宣言に関する英文記事その② (責任)
第 3 回	東京宣言	東京宣言に関する英文記事その③ (天然資源)
第 4 回	東京宣言	東京宣言に関する英文記事その④ (アメリカンモデル)
第 5 回	東京宣言	東京宣言に関する英文記事その⑤ (プッシュ政権)
第 6 回	東京宣言	東京宣言に関する英文記事その⑥ (アメリカの無能さ)
第 7 回	東京宣言	東京宣言に関する英文記事その⑦ (日本の例)
第 8 回	東京宣言	宣言文その① (戦後期の日本)
第 9 回	東京宣言	宣言文その② (自然尊重)
第 10 回	東京宣言	宣言文その③
第 11 回	東京宣言	宣言文その④ (日本社会の変化)
第 12 回	東京宣言	宣言文その⑤ (愛知和夫の希望)
第 13 回	東京宣言	宣言文その⑥ (日本の行動)
第 14 回	総復習	1-3 回までの内容の復習

**【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】**

必ず分からない単語の意味を調べ、授業前に一読しておく事。復習を中心に最低 1 時間の学習が求められる。

**【テキスト (教科書)】**

人間環境宣言 (鳳書房)

**【参考書】**

沈黙の春 (レイチェル・カーソン)

**【成績評価の方法と基準】**

試験 80 % 平常点 20 %

各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位取得は認めない。

**【学生の意見等からの気づき】**

説明の明瞭性を求められるので、できるだけ分かりやすく説明したい。

**【Outline (in English)】**

This class will show you how your English reading skill on environment can be developed. One hour is required for learning before and after class. The goals of this course is to make you understand complicated English.

Grading Criteria test 80 % attitude 20 %

LANj100LA

## 日本語 1 I

2017 年度以降入学者

尾形 太郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

大学での講義、ゼミ、口頭発表などで必要なアカデミックスキルの養成を目的とし、主にインプット（読む・聴く）能力を高める。また、読解や聴解を通して理解した内容について、口頭で説明するとともに、他者と意見を交換する。

## 【到達目標】

- (1) ノート・テイキングができるようになること
- (2) 読解・聴解を通して理解したことの概要を口頭で説明すること
- (3) 読解・聴解を通して理解したことについて、自らの意見を述べる
- (4) 5 分程度のまとまりのある発表を行うこと

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

1. メモを取りながら読解または聴解を行う
  2. メモをもとにアウトラインを作成する
  3. アウトラインに基づき、口頭で内容を説明する
- 各回の課題へのフィードバックは、授業中に口頭で行うか、Hoppiを用いて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の目的、内容についての紹介
2	短い文章を読み、内容の構造を示すメモを作成	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。
3	聴解練習①「バイオトイレ」に関するミニ講義を聞く／アウトライン作成	「バイオトイレ」に関するミニ講義をメモを取りながら聞く課題を行い、内容のアウトラインを作成する。
4	聴解練習②「丁重語」に関するミニ講義を聞く／アウトライン作成	「丁重語」に関するミニ講義をメモを取りながら講義を聞く課題を行い、内容のアウトラインを作成する。
5	「丁重語」に関する口頭発表の準備／発表で用いる表現、特にメタ言語を学ぶ	第 4 回授業で作成したミニ講義「丁重語」のアウトラインに基づく口頭発表の準備を行う。発表で用いる表現（特にメタ言語）を学ぶ。
6	口頭発表練習①「丁重語」に関するミニ発表を行う	「丁重語」に関する口頭発表を行う。
7	聴解練習③「フェアトレード」に関するミニ講義を聞く／アウトライン作成	「フェアトレード」に関するミニ講義をメモを取りながら聞く課題を行い、内容のアウトラインを作成する。
8	口頭発表練習②「フェアトレード」に関するミニ発表を行う	第 7 回授業で作成したアウトラインに基づき、「フェアトレード」に関する口頭発表を行う。

9	聴解練習④「ガラスの天井」に関するミニ講義を聞く／アウトライン作成	「ガラスの天井」に関するミニ講義をメモを取りながら聞く課題を行い、内容のアウトラインを作成する。
10	口頭発表練習③「ガラスの天井」に関するミニ発表を行う	第 9 回授業で作成したアウトラインに基づき、「ガラスの天井」に関するミニ口頭発表を行う。
11	聴解小テスト	ミニ講義を聞き、アウトラインを作成する試験を行う。
12	自由発表①自国の教育をテーマに見に発表を行う	自国の教育に関するミニ発表を行う。
13	自由発表②自国の社会問題をテーマにミニ発表を行う	自国の社会が抱える問題についてミニ発表を行う。
14	期末発表（期末試験）	自由発表①か②からテーマを選択し、発表を行う。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

適宜、事前に配布したテキストに関する事前課題または事後課題を行う。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

授業中にハンドアウトや資料を配布する。

## 【参考書】

特になし。

## 【成績評価の方法と基準】

各回の課題：50 %  
聴解試験：20 %  
期末口頭発表：30 %

## 【学生の意見等からの気づき】

学生の興味・関心を考慮した教材を用いる。

## 【学生が準備すべき機器他】

特になし。

## 【Outline (in English)】

The purpose of this course is to develop students' ability of reading and listening comprehension for research activities. Students are expected to learn text structures, grammatical structures and expressions in academic Japanese.

Goal : Improve listening comprehension, note-taking and presentation skills; the students are required to become able to make a small, but well-structured presentation at the end of the semester.

Work to be done outside of class: One hour

Grading criteria: Assignments(50%), Final exam of listening comprehension(20%), Final presentation(30%)

<p>LANj100LA 日本語 1 II 尾形 太郎</p>	<p>2017 年度以降入学者</p>	<p>4 教材 1 (本田 2015) 著者のいう「戦後日本型循環モデル」の第 3 節の読解・検討</p>
<p>開講時期：秋学期授業/Fall   曜日・時限：金 4/Fri.4 単位数：1 単位 その他属性：</p>		<p>「断断」について説明する。「戦後日本型循環モデル破綻」が「1970 年代半ば以降に生まれた世代」に与えた影響を文脈に即し挙げる。 「この見田の認識は正しいのだろうか」(15 段落)：見田の認識に対する著者の考えを 15～19 段落におけるデータの分析から考える。</p>
<p><b>【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】</b> 大学での講義、ゼミ、口頭発表などで必要なアカデミックスキルの養成を目的とし、主にインプット(読む・聴く)能力を高める。また、読解を通して理解した内容について、口頭で説明するとともに、他者と意見を交換する。 今学期は、現代日本社会を分析する 2 つの文献を読む。</p>		<p>5 教材 1 (本田 2015) 第 4 節の読解・検討</p>
<p><b>【到達目標】</b> (1) 大学生以上を想定して書かれた日本社会を分析する文章を読むようになること (2) 読解・講義を通して理解したことについて、自らの意見を述べる</p>		<p>「家事・育児・介護に差し支えない範囲で働く」、「女性が男性に対して経済的に従属する」ことは「大きな問題」、「男は仕事」という従来からの役割を首尾よく果たせない男性」「従来からの性別役割分業意識が～男性にとっても強い呪縛となって」「人材の「吸引力」を都市が発揮してしまっている」「社会内部の「否定」の総量が増えていく」等の文言が具体的に意味することを考える。</p>
<p><b>【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】</b> 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1</p>		<p>6 教材 1 (本田 2015) 第 5 節・6 節の読解・検討、文章全体のまとめ</p>
<p><b>【授業の進め方と方法】</b> 1. 初回の授業で教材と併せて読解課題(教材の特定の部分に関する質問、教材の内容に関連したテーマについて調べる課題等)のリストを配布する 2. 学生は事前に指定された箇所を読み、課題を行ってくる 3. 授業では、学生は、教材の音読(漢字の読み方の確認を含む)、読解課題の解答の発表、議論を行う 各回の課題へのフィードバックは、授業中に口頭で行うか、Hoppi を用いて行う。</p>		<p>7 教材 2 (宇野 2011) の「はじめに」の読解・検討</p>
<p><b>【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】</b> あり/Yes</p>		<p>「市民」(4 段落)の意味、「矛盾」(8 段落)の内実、「(私)が(私)であること」が「つらいこと」でもある(9 段落)のはなぜか考える。 「これまで人々を縛りつけてきた伝統の拘束や人間関係」(13 段落)の具体例を挙げる。 「近代(化)」にはどのような特徴があり、「デモクラシー」とどのように関わると著者は考えているのか検討する。</p>
<p><b>【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】</b> なし/No</p>		<p>8 教材 2 (宇野 2011) 第 1 章第 1 節の前半部(1～8 頁)の読解・検討</p>
<p><b>【授業計画】</b> 授業形態：対面/face to face</p>		<p>9 教材 2 (宇野 2011) 第 1 章第 1 節の後半部(9～15 頁)の読解・検討</p>
<p>回 テーマ 内容 1 ガイダンス 授業の目的、内容についての紹介 教材 1 (本田 2015) と教材 2 (宇野 2011) を読むための背景知識を学ぶ 2 教材 1 (本田 2015) の第 1 節の読解・検討 「～にすぎず」「に達する」「際立って色濃い」等の表現の読み取り、「閉塞感」をキーワードにした段落の要約、「親世代と比較して、「地位上昇」を実感できないという現状と労働市場の劣悪化の関係の考察、「経済や雇用、賃金の面で閉塞を感じざるを得ない状況」、「1990 年代よりも前の時期」の日本社会状況やその特徴について検討。</p>		<p>10 教材 2 (宇野 2011) 第 1 章第 2 節の前半部(16～21 頁)の読解・検討</p>
<p>3 教材 1 (本田 2015) の第 2 節の読解・検討 「日本という社会の歴史的経緯の独特さ」を「近代」という言葉を使い説明する。 「合計特殊出生率」「一億総中流社会」「ジャパン・アズ・ナンバーワン」「日本型雇用慣行」について調べる。 「会社人間」「空洞化する『マイホーム』」が何を指すか考える。</p>		<p>「主流派の言語や文化」(3 段落)として、どのようなものが挙げられるか、著者がプレジンスキーの「グローバルな政治的覚醒」論とザカリアの「多数の台頭」説を紹介している意図は何か(なぜ紹介しているのか)考える。 著者によるトクヴィルの「平等」概念の説明を、当時の時代状況から理解する。 なぜ著者は現代社会の分析にトクヴィルの「平等」概念と「想像力の変容」という考えを用いているのか考える。 「閉じられた共同体的空間」「想像力」「階層に基づく不平等(の可視化)」といったキーワードに着目しつつ、戦後日本の教育分野における「平等」をめぐる議論を、著者はトクヴィルの平等論に依拠しながらどのように分析しているか考える。</p>

- 11 教材 2 (宇野 2011) の第 1 章第 2 節の後半部 (21~28 頁) の読解・検討 「垂直的な格差を抑制する」「社会の特定部分への優遇に対する批判」「中間集団」「中間集団からはじき出された個人」の意味を具体例を挙げ考える。  
「現代における不平等を自分一人で受け止めていくしかないのか」(30 段落)と考えるとするのはなぜか、かつては、何が「平等の参照空間」(30 段落)として機能していたのか考える。
- 12 教材 2 (宇野 2011) の第 1 章第 3 節の前半部 (28~35 頁) の読解・検討 平等意識の変化と時間感覚の変化という観点から、日本社会における平等意識の変化について著者がどう分析している考える。  
戦後日本における「不平等感の消失」効果について「持続する経済成長」と「代理としての子供」という考えとの関連から説明し、またトクヴィルの考えとの類似性を説明する。
- 13 教材 2 (宇野 2011) の第 1 章第 3 節の後半部 (35~41 頁) の読解・検討 「団塊」「団塊の世代」「貧乏くじを引く(ひく)」という表現の意味を調べる。  
年功賃金という「制度」、および近年におけるその機能不全が人々の平等意識にどのように影響しているのか、著者の主張を把握する。
- 14 期末試験 期末考査・まとめと解説

**【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】**

適宜、事前に配布したテキストに関する事前課題または事後課題を行う。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

**【テキスト (教科書)】**

日本社会の現状に概観を与える以下の文献を読む予定である。

本田由紀 (2015) 「分断」 本田由紀編著『現代社会論 — 社会学で探る私たちの生き方』有斐閣

宇野重規 (2011) 『〈私〉時代のデモクラシー』岩波書店 (第 1 章のみ)

受講生は文献を購入する必要はない。

**【参考書】**

特になし。

**【成績評価の方法と基準】**

各回の課題 50 %、期末考査 50 %

欠席が 4 回以上の学生に対しては原則として成績評価を行わない。

**【学生の意見等からの気づき】**

学生の興味・関心を考慮した教材を用いる。

**【学生が準備すべき機器他】**

特になし。

**【Outline (in English)】**

The purpose of this course is to develop students' ability of reading and listening comprehension for research activities. Students are expected to learn text structures, grammatical structures and expressions in academic Japanese.

Goal : (1)To improve reading comprehension skills so that students can read texts analyzing Japanese society written for university undergraduates and above. (2)To express your own opinion on what you understand through reading and lectures. Work to be done outside of class (preparation, etc.) : One hour

Grading criteria : Assignments(50%), Final examination(50%)

LANj200LA

日本語 3 I

2017 年度以降入学者

尾形 太郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 4/Thu.4

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

レポートや論文の執筆などの研究活動に必要な読解力の向上を目的とする。また口頭発表に必要な基本的な技術を身につける。

【到達目標】

1. 学生は、まとまった長さの文章が速く正確に読める。
2. 学生は、読んで理解したことをポイントを押さえ、レジュメにまとめることができる。
3. 学生は、読んだ文章の内容の概要を口頭で説明し、自分の意見を述べるができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

1. 文章を一人で読みレジュメを作成する
  2. グループで各自のレジュメを検討する
  3. 文章の内容をグループで発表する
  4. 文章のトピックに関するディスカッションを行う
- 各回の課題へのフィードバックは、授業中に口頭で行うか、Hoppiを用いて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション	授業の進め方・成績評価について説明する。 読解教材（出口真紀子（2021）、塩原良和（2021））を読むために必要な背景知識を学ぶ
②	教材 1 の第 1～5 段落目までの読解とレジュメ作成①	出口真紀子（2021）序論と本論冒頭の読解+レジュメ作成
③	教材 1 の第 6～11 段落の読解とレジュメ作成②	出口真紀子（2021）の本論前半の読解+レジュメ作成
④	教材 1 の第 12～17 段落の読解とレジュメ作成③	出口真紀子（2021）の本論後半と結論の読解+レジュメ作成
⑤	教材 2 の読解とレジュメ作成	各自で塩原良和（2021）を読み、レジュメを作成する
⑥	グループ発表の準備（レジュメ作成）	各自が作成した塩原良和（2021）のレジュメをグループ内で共有し、グループ発表用のレジュメを作成する
⑦	グループ発表の準備（発表練習・発表で用いる表現を学ぶ）	塩原良和（2021）を紹介するグループ発表の練習を行う/発表で用いる表現（特にメタ言語と間接引用表現）を学ぶ
⑧	グループ発表の準備（発表のリハーサル）	塩原良和（2021）を紹介するグループ発表のリハーサルを行い、担当教員からフィードバックを受ける

- |   |                            |   |
|---|----------------------------|---|
| ⑨ | 文献紹介発表（文献 2 の紹介）           | 文献（塩原良和 2021）紹介発表（グループ発表）を行う                        |
| ⑩ | 第 9 回授業での発表のふりかえり          | 第 9 回授業での発表をふりかえり期末に行う文献（指定された文献から選択）紹介発表で紹介する文献を選ぶ |
| ⑪ | 文献紹介発表（グループ発表）の準備（レジュメの作成） | 文献紹介発表用のレジュメをグループのメンバーで分担して作成する                     |
| ⑫ | 文献紹介発表の準備（レジュメの検討）         | 各自が作成したレジュメを共有し、グループで検討し、レジュメを完成させる                 |
| ⑬ | 文献紹介発表の準備（発表の練習）           | 文献紹介発表の練習を行う  |
| ⑭ | 期末試験：文献紹介発表（グループ発表）        | 期末試験として文献紹介発表（グループ発表）を行う                            |

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次の授業で扱う文章の読解を予習として課す予定です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

出口真紀子（2021）「みえない「特権」を可視化するダイバーシティ教育とは？」岩淵功一編著『多様性との対話』青弓社、pp. 165-174.  
塩原良和（2021）「多文化共生がヘイトを超えるために」岩淵功一編著『多様性との対話』青弓社、pp. 59-67.

その他

受講生は文献を購入する必要はない。

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

各回の課題 50 %、口頭発表 50 %  
具体的な方法と基準は、初回の授業で提示する。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【Outline (in English)】

The objective of this class is to develop reading comprehension and presentation skills for research activities.

Goal:(1)To be able to accurately read texts written for undergraduates and above. (2)To be able to summarize what you have read and understood in a resume. (3)To be able to explain what you have read and to be able to express your own opinions.

Work to be done outside of class (preparation, etc.) : One hour  
Grading criteria: Assignments(50%), Final presentation(50%)

LANj200LA

## 日本語 3 II

2017 年度以降入学者

尾形 太郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 4/Thu.4

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

レポートや論文の執筆などの研究活動に必要な読解力と読解内容の概要を口頭で説明する能力の向上を目的とする。

## 【到達目標】

1. 学部生以上を想定して書かれた文章を正確に読めるようになること。
2. 読んで理解したことをポイントを押さえてレジュメにまとめられるようになること。
3. 読んだ文章の内容を口頭で説明し、また、自分の意見を述べるができるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

1. 文章を読む
  2. グループで内容を確認
  3. 文章の概要をレジュメにまとめる
  4. 文章の内容を口頭で説明する
  5. 文章の内容に関し、自分の意見を述べる
- 各回の課題へのフィードバックは、授業中に口頭で行うか、Hoppiを用いて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】  
なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	ミニ発表の準備を行う	「培養肉」に関する文献調査を行う
②	ミニ発表を行う	「培養肉」に関するミニ発表を行う
③	「培養肉」をテーマとした読解・議論	「培養肉」に関する論説を読み、著者の意見をまとめる・自分の意見を述べる
④	「動物倫理」をテーマとした読解・議論	「動物倫理」に関する論文を読み、著者の意見をまとめる・自分の意見を述べる
⑤	発表テーマを決定する	「ベーシックインカム」「気候工学」「代理出産」「労働分野におけるジェンダー格差」に関する文献を読み、どのテーマで発表を行うか決める
⑥	発表テーマに関連する文献調査を行う	様々なツールを用い、文献調査を行い文献リストを作成する
⑦	発表の概要をグループで話し合う	各自で作成した文献リストを共有し、発表の概要について話し合う
⑧	発表の本論の構成を決める	本論の具体的な構成を決定し、発表概要を提出する
⑨	発表資料（スライドまたはレジュメ）を作成する	発表資料（スライドまたはレジュメ）を作成し、提出する
⑩	発表資料（スライドまたはレジュメ）を完成させる／発表のリハーサルを行う	発表のリハーサルを撮影し、動画を提出する

- |   |                                 |   |
|---|---------------------------------|---|
| ⑪ | 発表資料を修正する・発表資料の最終版を提出する／発表練習を行う | 発表資料の最終版を提出する／発表のリハーサルを行う                   |
| ⑫ | 期末発表①                           | 期末発表を行う                                     |
| ⑬ | 期末発表②                           | 期末発表を行う                                     |
| ⑭ | 期末発表を振り返る                       | 担当教員からのフィードバック、発表に対する学生からのコメントをもとに期末発表を振り返る |

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次の授業で扱う文章の読解を予習として課す予定です。  
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

授業で配布する。

## 【参考書】

特になし

## 【成績評価の方法と基準】

各回の課題 30 %、期末発表 40 %、期末レポート 30 %  
具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

## 【学生の意見等からの気づき】

特になし

## 【学生が準備すべき機器他】

特になし

## 【Outline (in English)】

The objective of this class is to develop reading comprehension and presentation skills for research activities.

Goal:(1)To be able to accurately read texts written for undergraduates and above. (2)To be able to summarize what you have read and understood in a resume. (3)To be able to explain what you have read and to be able to express your own opinions.

Work to be done outside of class (preparation, etc.) : One hour  
Grading criteria: Assignments(30%), Final presentation(40%), Report(30%)



LANj200LA

日本語 3 I

2017 年度以降入学者

尾形 太郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 1/Wed.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

レポートや論文の執筆などの研究活動に必要な読解力の向上を目的とする。また口頭発表に必要な基本的な技術を身につける。

【到達目標】

1. 学生は、まとまった長さの文章が速く正確に読める。
2. 学生は、読んで理解したことをポイントを押さえ、レジュメにまとめることができる。
3. 学生は、読んだ文章の内容の概要を口頭で説明し、自分の意見を述べるができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

1. 文章を一人で読みレジュメを作成する
  2. グループで各自のレジュメを検討する
  3. 文章の内容をグループで発表する
  4. 文章のトピックに関するディスカッションを行う
- 各回の課題へのフィードバックは、授業中に口頭で行うか、Hoppiを用いて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション	授業の進め方・成績評価について説明する。 読解教材（出口真紀子（2021）、塩原良和（2021））を読むために必要な背景知識を学ぶ
②	教材 1 の第 1～5 段落目までの読解とレジュメ作成①	出口真紀子（2021）序論と本論冒頭の読解+レジュメ作成
③	教材 1 の第 6～11 段落の読解とレジュメ作成②	出口真紀子（2021）の本論前半の読解+レジュメ作成
④	教材 1 の第 12～17 段落の読解とレジュメ作成③	出口真紀子（2021）の本論後半と結論の読解+レジュメ作成
⑤	教材 2 の読解とレジュメ作成	各自で塩原良和（2021）を読み、レジュメを作成する
⑥	グループ発表の準備（レジュメ作成）	各自が作成した塩原良和（2021）のレジュメをグループ内で共有し、グループ発表用のレジュメを作成する
⑦	グループ発表の準備（発表練習・発表で用いる表現を学ぶ）	塩原良和（2021）を紹介するグループ発表の練習を行う／発表で用いる表現（特にメタ言語と間接引用表現）を学ぶ
⑧	グループ発表の準備（発表のリハーサル）	塩原良和（2021）を紹介するグループ発表のリハーサルを行い、担当教員からフィードバックを受ける

- |   |                            |   |
|---|----------------------------|---|
| ⑨ | 文献紹介発表（文献 2 の紹介）           | 文献（塩原良和 2021）紹介発表（グループ発表）を行う                        |
| ⑩ | 第 9 回授業での発表のふりかえり          | 第 9 回授業での発表をふりかえり期末に行う文献（指定された文献から選択）紹介発表で紹介する文献を選ぶ |
| ⑪ | 文献紹介発表（グループ発表）の準備（レジュメの作成） | 文献紹介発表用のレジュメをグループのメンバーで分担して作成する                     |
| ⑫ | 文献紹介発表の準備（レジュメの検討）         | 各自が作成したレジュメを共有し、グループで検討し、レジュメを完成させる                 |
| ⑬ | 文献紹介発表の準備（発表の練習）           | 文献紹介発表の練習を行う  |
| ⑭ | 期末試験：文献紹介発表（グループ発表）        | 期末試験として文献紹介発表（グループ発表）を行う                            |

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次の授業で扱う文章の読解を予習として課す予定です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

出口真紀子（2021）「みえない「特権」を可視化するダイバーシティ教育とは？」岩淵功一編著『多様性との対話』青弓社、pp. 165-174.  
塩原良和（2021）「多文化共生がヘイトを超えるために」岩淵功一編著『多様性との対話』青弓社、pp. 59-67.

その他

受講生は文献を購入する必要はない。

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

各回の課題 50 %、口頭発表 50 %  
具体的な方法と基準は、初回の授業で提示する。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【Outline (in English)】

The objective of this class is to develop reading comprehension and presentation skills for research activities.

Goal:(1)To be able to accurately read texts written for undergraduates and above. (2)To be able to summarize what you have read and understood in a resume. (3)To be able to explain what you have read and to be able to express your own opinions.

Work to be done outside of class (preparation, etc.) : One hour  
Grading criteria: Assignments(50%), Final presentation(50%)

LANj200LA

## 日本語 3 II

2017 年度以降入学者

尾形 太郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 1/Wed.1

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

レポートや論文の執筆などの研究活動に必要な読解力と読解内容の概要を口頭で説明する能力の向上を目的とする。

## 【到達目標】

1. 学部生以上を想定して書かれた文章を正確に読めるようになること。
2. 読んで理解したことをポイントを押さえてレジュメにまとめられるようになること。
3. 読んだ文章の内容を口頭で説明し、また、自分の意見を述べるができるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

1. 文章を読む
  2. グループで内容を確認
  3. 文章の概要をレジュメにまとめる
  4. 文章の内容を口頭で説明する
  5. 文章の内容に関し、自分の意見を述べる
- 各回の課題へのフィードバックは、授業中に口頭で行うか、Hoppiを用いて行う。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	ミニ発表の準備を行う	「培養肉」に関する文献調査を行う
②	ミニ発表を行う	「培養肉」に関するミニ発表を行う
③	「培養肉」をテーマとした読解・議論	「培養肉」に関する論説を読み、著者の意見をまとめる・自分の意見を述べる
④	「動物倫理」をテーマとした読解・議論	「動物倫理」に関する論文を読み、著者の意見をまとめる・自分の意見を述べる
⑤	発表テーマを決定する	「ベーシックインカム」「気候工学」「代理出産」「労働分野におけるジェンダー格差」に関する文献を読み、どのテーマで発表を行うか決める
⑥	発表テーマに関連する文献調査を行う	様々なツールを用い、文献調査を行い文献リストを作成する
⑦	発表の概要をグループで話し合う	各自で作成した文献リストを共有し、発表の概要について話し合う
⑧	発表の本論の構成を決める	本論の具体的な構成を決定し、発表概要を提出する
⑨	発表資料（スライドまたはレジュメ）を作成する	発表資料（スライドまたはレジュメ）を作成し、提出する
⑩	発表資料（スライドまたはレジュメ）を完成させる／発表のリハーサルを行う	発表のリハーサルを撮影し、動画を提出する

- ⑪ 発表資料を修正する・発表資料の最終版を提出する／発表資料のリハーサルを行う
- ⑫ 発表練習を行う 発表資料の最終版を提出する／発表資料のリハーサルを行う
- ⑬ 期末発表① 期末発表を行う
- ⑭ 期末発表② 期末発表を行う
- ⑮ 期末発表を振り返る 担当教員からのフィードバック、発表に対する学生からのコメントをもとに期末発表を振り返る

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次の授業で扱う文章の読解を予習として課す予定です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

授業で配布する。

## 【参考書】

特になし

## 【成績評価の方法と基準】

各回の課題 30 %、期末発表 40 %、期末レポート 30 %  
具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

## 【学生の意見等からの気づき】

特になし

## 【学生が準備すべき機器他】

特になし

## 【Outline (in English)】

The objective of this class is to develop reading comprehension and presentation skills for research activities.

Goal:(1)To be able to accurately read texts written for undergraduates and above. (2)To be able to summarize what you have read and understood in a resume. (3)To be able to explain what you have read and to be able to express your own opinions.

Work to be done outside of class (preparation, etc.) : One hour  
Grading criteria: Assignments(30%), Final presentation(40%), Report(30%)

LANj200LA

## 日本語 3 I

2017 年度以降入学者

中沢 佐企子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

読解練習や聴解練習後にその内容をまとめたり、それに対する意見を表現したりする作業を通して、大学におけるアカデミック・スキルの向上を目指す。要約や意見を書くだけでなく、発表することにより、口頭発表に必要な技術を身につける。

## 【到達目標】

学生は読解教材や聴解教材の内容を正確に理解することができるようになる。また、その内容をまとめたり内容について自分の意見を述べたりすることができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

- 1 読解教材を読む。あるいは、聴解教材を見る。
- 2 読んだり見たりした内容について、グループで確認・検討をする。
- 3 確認した内容をまとめ、グループで発表する。
- 4 発表した内容を書く。
- 5 教材の内容について、確認する。
- 6 教材の内容についてディスカッションを行う。
- 7 自分の意見をまとめ、発表する。
- 8 自分の意見を書く。

なお、授業で扱う教材の数と授業の予定は、学生の人数によって変わる。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	授業について説明する。短い発表を行う。
第 2 回	教材 1 の読解	教材 1 を読み、内容についてグループで確認・検討し、内容をまとめる。
第 3 回	教材 1 についてグループで発表、内容の確認	教材 1 について、グループでまとめた内容を発表する。教材 1 の内容について確認する。
第 4 回	教材 1 についてディスカッション、発表	教材 1 について、内容についてディスカッションを行う。日本と母国を比較し、自分の意見をまとめ、発表する。
第 5 回	教材 2 の聴解	教材 2 を見て、内容についてグループで確認・検討し、内容をまとめる。
第 6 回	教材 2 についてグループで発表、内容の確認	教材 2 について、グループでまとめた内容を発表する。発表の仕方等についても気を配る。教材 2 の内容について確認する。
第 7 回	教材 2 についてディスカッション、発表	教材 2 について、内容についてディスカッションを行う。自分の意見を序論・本論・結論の形でまとめ、発表する。

第 8 回	教材 3 の読解	教材 3 を読み、内容について日本の社会・文化に関する文章を読む。クリティカルリーディングの練習をする。
第 9 回	教材 3 についてグループで発表、内容の確認	教材 3 について、グループでまとめた内容を発表する。グループでの分担等に気を配る。教材 3 の内容について確認する。
第 10 回	教材 3 についてディスカッション、発表	教材 3 について、ディスカッションを行う。自分の意見をまとめ、容認と主張のパターンを使い、発表する。
第 11 回	教材 4 の聴解	教材 4 を見て、内容について専門家による講義形式の番組を見る。内容の要点をまとめる練習を行う。
第 12 回	教材 4 についてグループで発表、内容の確認	教材 4 について、グループでまとめた内容を簡潔にまとめ、発表する。教材 4 の内容について確認する。
第 13 回	教材 4 についてディスカッション、発表	教材 4 について教材 3 についてディスカッションを行う。自分の意見をまとめ、構成に気を配りながら発表する。
第 14 回	期末課題	課題を読み、自分の意見をまとめ、発表する。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

読解教材は、教材を予習として課す場合もある。本授業の準備学習・予習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

## 【テキスト（教科書）】

なし。

読解は、プリント教材を配布する。時事的なテーマを扱う予定である。

## 【参考書】

特になし。

## 【成績評価の方法と基準】

課題 40 %、口頭発表 40 %、平常点（授業への出席・積極性や協調性などの参加度）20 %

なお、口頭発表は基本的にその時の授業に出席していなければならない。

また、課題の提出が締め切りを過ぎてしまった場合、点数は - 20 % で計算する。

## 【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

## 【学生が準備すべき機器他】

なし。

## 【その他の重要事項】

- ・発表のまとめ方や仕方については、授業でその都度説明する。
- ・発表する学生は基本的にその時に授業に出席していなければならない。特に、グループでの発表時に欠席した場合、後でその発表を行うことは認められない。

## 【Outline (in English)】

・ Students aim to improve their academic skills at university through the work of summarizing and expressing opinions after reading and listening practice. They will also acquire the skills necessary for oral presentations not only by writing summaries and opinions, but also by presenting them.

・ Students will be able to accurately understand the contents of reading and listening materials. In addition, they will be able to summarize the contents and express their own opinions about the contents.

・ The standard time for preparation, homework, and review for this class is 1 hour in total.

・ Grading criteria: Assignment 40%, Presentations 40%, Normal score(class participations and attitude) 20%

LANj200LA

## 日本語 3 II

2017 年度以降入学者

中沢 佐企子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

学生が自分で調べたことの発表と質疑応答を通して、大学におけるアカデミック・スキルの向上を目指す

## 【到達目標】

学生は自分で調べたことについてまとめ、発表することができるようになる。見やすいパワーポイントを作成することができるようになる。質疑応答で、わかりやすく説明したり答えたりすることができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

発表者：

- 1 発表をする
- 2 質疑応答で説明したり答えたりする
- 3 発表の内容についてレポートを書く。

発表は基本的に2回行う予定である。短い発表と長い発表である。長い発表ではパワーポイントを使って発表する。発表のルールや仕方については、1回目の授業で詳しく説明する。なお、学生の人数によって発表や質問の回数が変わる。

発表者以外の学生は、発表後に必ず質問しなければならない。また、コメントシートを書かなければならない。

なお、発表者がいない場合は、ディスカッションをしたりミニ発表をしたりする予定である。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	授業について説明する。発表のルールや仕方、質問の聞き方等について詳しく説明する。発表の日を決める。
第2回	発表1と質疑応答①	発表の構成を考え、序論・本論・結論にまとめる。
第3回	発表1と質疑応答②	具体例を入れ、聞き手に分かりやすい発表を行う。
第4回	発表1と質疑応答③	選んだものの内容を紹介するだけでなく、自分の考えも具体的に述べる。
第5回	発表1と質疑応答④	発表に選んだ理由を具体的に述べ、質問に対して、簡潔にわかりやすく説明する。
第6回	発表2と質疑応答①	発表者はパワーポイントを作成し、発表する。聞き手は質疑応答で質問し、コメントシートを書く。

第7回	発表2と質疑応答②	発表者はパワーポイントを作成し、内容を聞き手に分かりやすくまとめ、発表する。聞き手は質疑応答で質問し、コメントシートを書く。
第8回	発表2と質疑応答③	発表者はパワーポイントを作成し、発表する。パワーポイントの見やすさ等についても気を配る。聞き手は質疑応答で質問し、コメントシートを書く。
第9回	発表2と質疑応答④	発表者はわかりやすいパワーポイントを作成し、内容を聞き手に分かりやすくまとめ、発表する。聞き手は質疑応答で質問し、コメントシートを書く。
第10回	発表2と質疑応答⑤	発表者はパワーポイントを作成し、内容の構成に気を付けながら、発表する。聞き手は質疑応答で質問し、コメントシートを書く。
第11回	発表2と質疑応答⑥	発表者はグラフ等のデータをパワーポイントで示しながら発表する。聞き手は質疑応答で質問し、コメントシートを書く。
第12回	発表2と質疑応答⑦	発表者はパワーポイントを作成し、発表する。その際、自分の考えも述べる。聞き手は質疑応答で質問し、コメントシートを書く。
第13回	発表2と質疑応答⑧	発表者はパワーポイントを作成し、全体の構成に気を配りながら、発表する。聞き手は質疑応答で質問し、コメントシートを書く。
第14回	発表についてのフィードバック、口頭発表、まとめ	今後の発表のために、発表やパワーポイントのの注意点をフィードバックする。最後の発表を行う。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習時間は、合わせて2時間を標準とする。

## 【テキスト（教科書）】

なし。

## 【参考書】

特になし。

## 【成績評価の方法と基準】

口頭発表 40 %、質疑応答（質問に答える）20 %、レポート・コメントシート 10 %、  
質疑応答（質問をする）15 %  
平常点（準備をした発表以外のディスカッションやミニ発表、授業での態度、積極性や協調性などの参加度）15 %  
なお、口頭発表は基本的に予定した日にしなければならない。

## 【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

## 【学生が準備すべき機器他】

なし。

## 【その他の重要事項】

・発表する学生は、基本的に1回目の授業で決めた予定日に発表を行わなければならない。

## 【Outline (in English)】

・Students will improve their academic skills through their presentations and question-and-answer sessions.  
・Students will be able to summarize and present what they researched. They will be able to create an easy-to-read power point. In the question and answer session, they will be able to explain and answer in an easy-to-understand manner.  
・The total preparatory study time for this class is standardized as 2 hours.

・ Grading criteria: Presentations 40%, Questions and Answers(asking questions 15%, answering questions 20%, Report and Comment sheets 10%, Normal score(class participations and attitude) 15%

LANj200LA

## 日本語 4 I

2017 年度以降入学者

戸村 佳代

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

文法、語彙の拡充を図りながら、まとまった量の文章を読みとり、その内容を的確に口頭で説明できるようになるための訓練を行う。また、テキストの内容を批判的に読み、それに基づくディスカッションを行う。

## 【到達目標】

1. まとまった長さの文章を読み、文章の構成を捉えながら要点をつかんで理解することができる。
2. わかりやすい配付資料をもとに、自分の意見を発表する。
3. 日本の社会問題について議論するために必要な語彙・表現を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

各回の授業計画の変更や受講者が必要な準備については学習支援システムの「お知らせ」または Slack でその都度提示する。

オンライン授業が必要な場合は双方型 Web 会議システム (ZOOM) を利用する。

授業形態（対面授業・オンライン授業）にかかわらず、Slack および Google クラウドルームを利用する。

以下の内容で授業を進めるが、授業の実施状況をみながら変更の可能性はある。

- (1) 予習確認テスト（漢字・語彙、表現、簡単な文章内容理解チェック）  
⇒ 結果は即時フィードバックされる。
- (2) 担当者による口頭報告  
⇒ 報告用のパワーポイントのファイルと配付資料は授業 3 日前までに提出  
添削を受けて修正したファイルを使用して報告する
- (3) 文章の内容把握チェック  
⇒ 結果は即時フィードバックされるものの他、採点後にフィードバックされる場合がある。
- (4) ディスカッション  
※ 予習を前提に授業を進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	イントロダクション	1. 通信環境確認 2. 授業参加の注意点 3. ウォーミングアップとアイスブレイキング 3. 授業の進め方 4. 成績評価について 5. 発表分担確認
②	授業の準備の仕方 発表練習	1. わかりやすく見やすいパワーポイントファイルのポイント 2. 練習

- |   |   |   |
|---|---|---|
| ③ | ・〔教育の国際化〕<br>・口頭発表のための表現<br>・発表資料の作り方<br>・課題 PPT ファイル、ハンドアウトの確認 | ■発表分担（チーム）の再確認・調整<br>1. 語彙・表現リストの利用方法、予習の仕方<br>2. 見やすい発表資料の作り方<br>・発表用ファイルのピア評価<br>・PPT ファイルとハンドアウトのチェックポイント整理<br>・予習チェックテスト<br>・口頭報告<br>・読解（内容理解の確認）<br>・ディスカッション：日本型採用と欧米型採用のメリット・デメリット |
| ④ | 〔日本型採用〕<br>読解・応用練習<br>・「誤解を正す」ための文章展開                           | ・予習チェックテスト<br>・口頭報告<br>・読解（内容理解の確認）<br>・ディスカッション：日本の受動喫煙対策  |
| ⑤ | 〔たばこ政策〕<br>読解・応用練習<br>・「報道」を導入部として使った文章展開                       | ・予習チェックテスト<br>・口頭報告<br>・読解（内容理解の確認）<br>・ディスカッション：日本の外国語教育は“英語偏重”か   |
| ⑥ | 〔英語学習〕<br>読解・応用練習<br>・「問い」を導入部とする文章展開                           | ・予習チェックテスト<br>・口頭報告<br>・読解（内容理解の確認）<br>・ディスカッション：日本の外国語教育は“英語偏重”か   |
| ⑦ | 〔睡眠〕<br>読解・応用練習<br>・データの説明                                      | ・予習チェックテスト<br>・口頭報告<br>・読解（内容理解の確認）<br>・ディスカッション：「睡眠負債」の有無をチェックする   |
| ⑧ | 前半のまとめ  | 中間テスト<br>復習   |
| ⑨ | 〔女性医師〕<br>読解・応用練習<br>・「問題の所在」がどこで明らかにされているかを読み取る                | ・予習チェックテスト<br>・口頭報告<br>・読解（内容理解の確認）<br>・ディスカッション：女性は戦力になりやすいか？  |
| ⑩ | 〔災害〕<br>読解・応用練習<br>・分類して情報を整理する                                 | ・予習チェックテスト<br>・口頭報告<br>・読解（内容理解の確認）<br>・ディスカッション：災害に備えて何ができるか<br>・身近な場所のハザードマップを確認する  |
| ⑪ | 〔サマータイム〕<br>読解・応用練習<br>・「賛否両論」のテーマで自分の意見を明らかにする                 | ・予習チェックテスト<br>・口頭報告<br>・読解（内容理解の確認）<br>・ディスカッション：サマータイムにメリットがあるか  |
| ⑫ | 〔働き方〕<br>読解・応用練習<br>・問題点を整理して原因を探る                              | ・予習チェックテスト<br>・口頭報告<br>・読解（内容理解の確認）<br>・ディスカッション：日本人の働き方は「サービス過剰」？ それとも「おもてなし」？   |
| ⑬ | 〔認知症〕<br>読解・応用練習<br>・「危険因子」「予防因子」を読み取る<br>・「推計値」の妥当性を理解する       | ・予習チェックテスト<br>・口頭報告<br>・読解（内容理解の確認）<br>・ディスカッション：「ヤングケアラー」「介護離職」を考える  |
| ⑭ | まとめ   | 漢字、語彙・表現、読解のテスト   |

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回、次のような予習と準備をする。

1. 「語彙・表現リスト」を用い、漢字の読み方を確認した上で分からない単語の意味を調べ、内容を理解する。（全員）
  2. 報告担当者 2 名は、配付資料（ハンドアウト）と発表用パワーポイントを分担して作成する。また、作成したファイルを授業 3 日前までに提出し、添削を受ける。
- 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とする。

### 【テキスト（教科書）】

コピー教材

### 【参考書】

『2023 年の論点 100』文藝春秋社

※その他、授業時に適宜紹介します。

### 【成績評価の方法と基準】

平常点 30 %

(小テスト、内容理解チェックテスト、授業への取り組み)

課題・授業での発表 30 %

試験・レポート 40 %

※やむを得ない理由による場合を除き、欠席・遅刻をした場合は、その回の小テストは 0 点とする。

※ 30 分以上の遅刻は欠席とみなす場合がある。

※遅刻 2 回を欠席 1 回とみなす。

※以下の条件をすべて満たすものを評価の対象とする

- (1) 欠席回数が 4 回以下であること
- (2) 授業での口頭報告（発表）を行っていること
- (3) 学期末試験を受験していること

### 【学生の意見等からの気づき】

※効率的な予習が可能になるように、授業支援システムにより「語彙・表現リスト」を担当教員が作成・配布します。

### 【学生が準備すべき機器他】

○ ZOOM を利用してリアルタイム配信型のオンライン授業を実施する場合があります。受講にはスマホやタブレットよりも PC を使用することを推奨します。また、通信環境を整えてください。

○ ZOOM によるリアルタイム配信型オンライン授業に備え、大学が発行した ZOOM のアカウントを使えるようにしてください。

○ Google クラウドルームを利用します。

○大学が発行したメールアドレスを使用し、定期的にメールチェックしてください。

○資料配付、課題提出に学習支援システムを利用します。

### 【その他の重要事項】

※読解テキストの語彙・表現リストの受け渡しを、学習支援システムと Google クラウドルームによって行います。

初回授業が履修登録の前になる場合には、必ず学習支援システムで仮登録をしてください。

学習支援システムの登録に基づき、Google クラウドルームへの登録方法を案内します。

学生同士、学生と担当教員との情報交換、質問などに Slack を利用します。

登録方法や利用方法は初回授業で説明します。

重要事項の説明を初回授業で行いますので、かならず 1 回目の授業から出席してください。

### 【Outline (in English)】

#### 【Course outline】

This class aims to improve your ability of Japanese, focusing on reading, oral presentation, and discussion.

#### 【Learning Objectives】

You should be able to:

- ・ identify the essay structure and paragraph structures of various types of Japanese essays, and grasp the gist of them.
- ・ summarize what you have read and explain it to the rest of the class, using your own words.
- ・ actively discuss a variety of topics of Japanese

#### 【Learning activities outside of classroom】

You are expected to

- ・ learn words and expressions (incl. Kanji readings) on the list offered by your teacher
- ・ prepare PowerPoint files for your presentation
- ・ prepare handouts for your presentation
- ・ take online test (comprehension test) after each lesson

#### 【Grading Criteria /Policy】

- ・ active class participation and quizzes (30%)
- ・ presentation and discussion in the class (30%)
- ・ final examination (40%)

LANj200LA

日本語 4 II

2017 年度以降入学者

戸村 佳代

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一定のテーマについての必要な情報を収集し、的確に理解・整理した上で、説得力のあるプレゼンテーションを行う訓練を行う。文法、語彙の拡充のみならず、情報発信のために必要な表現方法を学びながらディスカッション・ディベートなどを行う。

【到達目標】

1. まとまった長さの文章を読み、文章構造と論理展開に注目することにより、要点を押さえて理解することができる。
2. わかりやすい配付資料をもとに、自分の意見を発表する。
3. 日本の社会問題について議論するために必要な語彙・表現を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

各回の授業計画の変更や受講者が必要な準備については学習支援システムの「お知らせ」または Slack でその都度提示する。オンライン授業が必要な場合は双方向型 Web 会議システム (ZOOM) を利用する。

授業形態（対面授業・オンライン授業）にかかわらず、Slack および Google クラウドルームを利用する。

以下の内容で授業を進めるが、授業の実施状況をみながら変更の可能性がある。

- (1) 予習確認テスト（漢字・語彙、表現、簡単な文章内容理解チェック）  
⇒ 結果は即時フィードバックされる。
- (2) 担当者による口頭報告  
⇒ 報告用のパワーポイントのファイルと配付資料は授業 3 日前までに提出  
添削を受けて修正したファイルを使用して報告する
- (3) 文章の内容把握チェック  
⇒ 結果は即時フィードバックされるものの他、採点後にフィードバックされる場合がある。
- (4) ディスカッション  
※ 予習を前提に授業を進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	イントロダクション	1. ウォーミングアップ 2. テキスト配布 3. 授業の進め方と受講上の注意点 4. 成績評価について 5. 口頭発表用資料の作り方（説明と練習）
②	【ダイエット】 読解・応用練習 ・「経緯」の説明～問題点の指摘	・予習チェックテスト ・口頭報告練習 ・読解（内容理解確認） ・ディスカッション：BMI に基づく「肥満」の判断を信頼できるか

③	【鉄道ビジネス】 読解・応用練習 ・文章の「導入部」に注目する	・予習チェックテスト ・口頭報告練習 ・読解（内容理解確認） ・ディスカッション：日本の鉄道ビジネスがグローバル展開するために必要なこととは？
④	【待機児童】 読解・応用練習／ ・「自問自答」による文章展開 ・接続表現（また、では、このように）に注目する	・予習チェックテスト ・口頭報告練習 ・読解（内容理解確認） ・ディスカッション：「適正な規模」の財政支出とは何か
⑤	【移民】 読解・応用練習／ 「事実上」⇔「形式上」を比較する	・予習チェックテスト ・口頭報告練習 ・読解（内容理解確認） ・ディスカッション：「移民国家日本」の現実」にどう対処すべきか
⑥	【映像配信】 読解・応用練習／ ・「自問自答」による文章展開 (2) ・「接続表現」に注目した読み取り 「また」「そして」「しかし」 「ただし」「一方」「それに対して」	・予習チェックテスト ・口頭報告練習 ・読解（内容理解確認） / 「問い」の設定と答え・「問い」の再設定と答え ・ディスカッション：日本の映像配信の実態と今後を考える
⑦	【デジタルライゼーション】 読解・応用練習 ・読者に「問い」を投げかける文章展開 ・「問い」に対する「答え」を大きく読み取る前半のまとめ	・予習チェックテスト ・口頭報告練習 ・読解（内容理解確認） ・ディスカッション：デジタルライゼーションで正社員の仕事はなくなるか？
⑧		・中間テスト ・復習
⑨	【プラスチックごみ】 読解・応用練習 ・EU の対応と日本の現状を比較する	・予習チェックテスト ・口頭報告練習 ・読解（内容理解確認） ・ディスカッション：SDGs～プラごみ削減のために自分ができることは何か
⑩	【カジノ】 読解・応用練習 ・比喩表現～比喩の中身を考える ・「問い⇒答え」から問題提起する ・根拠に基づく主張の文章展開	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認） ディスカッション：日本はギャンブル天国か？
⑪	【プログラミング】 読解・応用練習 ・「結論」先行型の文章展開 ・抽象的表現の「言い換え」に注目する	・予習チェックテスト ・口頭報告練習 ・読解（内容理解確認） ・ディスカッション：義務教育としての「プログラミング」を考える
⑫	【クールジャパン】 読解・応用練習 ・「問題解決型」の文章展開	・予習チェックテスト ・口頭報告練習 ・読解（内容理解確認） ・ディスカッション：「クールジャパン」は本当に「クール」？
⑬	【太陽光発電】 読解・応用練習 ・「問題提起型」の文章展開	・予習チェックテスト ・口頭報告練習 ・読解（内容理解確認） ・ディスカッション：日本の再生可能エネルギー
⑭	まとめ	漢字、語彙・表現、読解のテスト



### 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回、次のような予習と準備をする。

1. 「語彙・表現リスト」を用い、漢字の読み方を確認した上で分からない単語の意味を調べ、内容を理解する。（全員）
2. 報告担当者2名は、配付資料（ハンドアウト）と発表用パワーポイントを分担して作成する。また、作成したファイルを授業前にメール添付で教員に送り、添削を受ける。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。

### 【テキスト（教科書）】

コピー教材

### 【参考書】

文藝春秋社『2023年の論点100』

※その他、授業時に適宜紹介します。

### 【成績評価の方法と基準】

平平常点 30%

（小テスト、内容理解チェックテスト、授業への取り組み）

課題・授業での発表 30%

試験・レポート 40%

※やむを得ない理由による場合を除き、欠席・遅刻をした場合は、その回の小テストは0点とする。

※遅刻2回を欠席1回とみなす。

※30分以上の遅刻は欠席とみなす場合がある。

※以下の条件をすべて満たすものを評価の対象とする

- (1) 欠席回数が4回以下であること
- (2) 授業での口頭報告（発表）を行っていること
- (3) 学期末試験を受験していること

### 【学生の意見等からの気づき】

※効率的な予習が可能になるように、授業支援システムにより「語彙・表現リスト」を担当教員が作成・配布します。

### 【学生が準備すべき機器他】

○ ZOOM を利用してリアルタイム配信型のオンライン授業を実施する場合があります。受講にはスマホやタブレットよりも PC を使用することを推奨します。また、通信環境を整えてください。

○ ZOOM によるリアルタイム配信型オンライン授業に備え、大学が発行した ZOOM のアカウントを使えるようにしてください。

○ Google クラウドを利用します。

○ 授業には PC を利用します。

○ 資料配付、課題提出に授業支援システムと Google クラウド、Slack を利用します。

### 【その他の重要事項】

※読解テキストの語彙・表現リストの受け渡しを、授業支援システムまたは Google クラウドによって行います。授業開始前に必ず Google クラウドに登録をしてください。

※学生同士、学生と担当教員との情報交換、質問などに Slack を利用します。

※初回の授業で詳しい授業進行予定と語彙・表現リスト作成・口頭発表の分担を決めますので、必ず出席してください。

※最初の授業でテキスト（コピー教材）を配布します。

### 【Outline (in English)】

#### 【Course outline】

This class aims to improve your ability of Japanese, focusing on reading, oral presentation, and discussion.

### 【Learning Objectives】

You should be able to:

- ・ identify the essay structure and paragraph structures of various types of Japanese essays, and to grasp the gist of them.
- ・ summarize what you have read and explain it to the rest of the class, using your own words.
- ・ actively discuss a variety of topics of Japanese

### 【Learning activities outside of classroom】

You are expected to

- ・ learn words and expressions (incl. Kanji readings) on the list offered by your teacher
- ・ prepare PowerPoint files for your presentation
- ・ prepare handouts for your presentation
- ・ take online test (comprehension test) after each lesson

### 【Grading Criteria /Policy】

- ・ active class participation and quizzes (30%)
- ・ presentation and discussion in the class (30%)
- ・ final examination (40%)

LANj200LA

## 日本語 4 I

2017 年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

小説を教材に読解力を身につける。

語彙を増強する。

内容は学生の様子を見て適宜変更する。

## 【到達目標】

- 1 物語の大意を取る
- 2 語彙力をつける
- 3 時代、社会背景を理解しながら、登場人物の気持ちや展開を考える

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

- 1 小説を事前に読み、わからない語彙・表現を調べる。
- 2 担当者が小説の内容について質問シートを作成する。
- 3 担当者以外は質問の答えを質問シートに書き提出する。
- 4 クラスで意見交換しながら課題のフィードバックをする。
- 5 語彙練習をする。
- 6 漢字の読みテストを実施する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	GO 1章 前半	ガイダンス 在日朝鮮人の歴史
2	GO 1章 後半	語彙、表現、 大意確認、討論 登場人物、背景について
3	GO 2章 前半	漢字クイズ 語彙、表現、 大意確認、討論 日本の学校での友人、家族関係について
4	GO 2章 後半	語彙、表現、 大意確認、討論 主人公同士の出会いについて
5	GO 3章 前半	漢字クイズ 語彙、表現、 大意確認、討論 民族学校、在日朝鮮人の職業、指紋押捺制度について
6	GO 3章 後半	語彙、表現、 大意確認、討論 在日朝鮮人と韓国について
7	GO 4章 前半	漢字クイズ 語彙、表現、 大意確認、討論 日本人の在日朝鮮人理解について
8	GO 4章 後半	語彙、表現、 大意確認、討論 差別について

9	GO 5章 前半	漢字クイズ 語彙、表現、 大意確認、討論 在日朝鮮人と日本人の若者について
10	GO 5章 後半	語彙、表現、 大意確認、討論 在日朝鮮人の若者の苦悩について
11	GO 6章	漢字クイズ 語彙、表現、 大意確認、討論 父親との関係について
12	GO 7章 GO 映画 1	結末への意見交換
13	GO 映画 2	小説と映画 比較
14	期末試験	漢字・語彙・読解 まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない語彙・表現を調べ小説を読んでくる。  
担当者は小説の内容について質問シートを作成してくる。  
漢字の読み・語彙を覚える。  
課題提出、小試験準備に毎週 2-3 時間

## 【テキスト（教科書）】

『GO』金城一紀 角川文庫 572 円

## 【参考書】

プリント

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 20 %、課題 40 %、テスト 40 %  
4 回以上欠席で単位は出ない

## 【学生の意見等からの気づき】

小説自体の面白さで最後まで楽しく読めたという意見がありました。  
学生が問いかけ考える授業形態にしたいと思います。

## 【学生が準備すべき機器他】

パソコンかタブレット

## 【その他の重要事項】

小説をあらかじめ購入しておくこと。初日から使用する。紙の本が望ましい。海外から参加する学生は、Zoom と Google classroom を使用する。学習支援システムで詳細を確認すること。  
授業形態を変更する可能性もあるため、毎週授業前に大学の Gmail を確認すること。

## 【Outline (in English)】

【Course outline and learning objectives】

The purpose of this class is to improve reading comprehension skills.

Students read Japanese novel and increase vocabulary.

【Learning activities outside of classroom】

Students are expected to study 2-3 hours at home for assignments and quizzes.

【Grading criteria /policy】

Participation20%, Assignments40%, Exam40%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANj200LA

日本語 4 II

2017 年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

小説を教材に読解力を身につける。

語彙力を高める。

内容は学生の様子を見て適宜変更する。

【到達目標】

- 1 語彙力をつける
- 2 物語の大意を取る
- 3 物語の展開を理解する
- 4 物語を創作する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

- 1 小説を事前に読み、わからない語彙・表現を調べる。
- 2 小説の内容について質問シートを完成させ提出する。
- 3 クラスで意見交換しながら課題のフィードバックをする。
- 4 物語を創作する。
- 5 語彙練習をする。
- 6 漢字の読みテストを実施する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	短編小説 「夏の葬列」 山川方夫 (やまかわまさお) 1	ガイダンス 語彙確認
2	「夏の葬列」 2	登場人物、物語の現在と過去を把握する。
3	「夏の葬列」 3	登場人物の心情、展開を理解し、結末を予想する。
4	「夏の葬列」 4	結末を創作、批評する。
5	短編小説「来訪者」 阿 刀田高 (あとうだたかし) 1	漢字クイズ 語彙確認、時代の説明
6	「来訪者」 2	登場人物の心情を描写から理解する。
7	「来訪者」 3, 4	漢字クイズ 展開・結末を予想する。
8	「来訪者」 5, 6	結末について討論
9	長編小説 『阪急電車』 有川 浩 (ありかわひろ) 1	漢字クイズ 関西弁について
10	『阪急電車』 2	登場人物の心情、大意を把握する。結婚式の習慣について
11	『阪急電車』 3	漢字クイズ 登場人物の心情の変化とその理由、街の特徴について
12	『阪急電車』 4	登場人物の関係性・心情・性格・行動を理解する デート暴力について 語彙練習

13	『阪急電車』 5	漢字クイズ 会話から登場人物の関係性について理解する 語彙練習
14	期末試験	漢字・語彙・読解 まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない語彙、表現を予習する  
小説を読む  
質問シートを完成させ提出する  
漢字・語彙を覚える  
2-3 時間必要

【テキスト（教科書）】

『阪急電車』 有川 浩（ありかわひろ）幻冬舎文庫 649 円

【参考書】

『夏の葬列』 集英社文庫  
『阿刀田高傑作短編集』 集英社文庫

【成績評価の方法と基準】

平常点 20 %、課題 40 %、テスト 40 %  
欠席 4 回以上で単位は出ない

【学生の意見等からの気づき】

さまざまな短編・長編小説の展開を想像しながら読むのが楽しいという声がありました。展開・結末が面白いものを選びました。

【学生が準備すべき機器他】

パソコンかタブレット

【その他の重要事項】

海外から参加する学生は、ZOOM と Google classroom を使用する。授業形態は、変更の可能性はある。詳細は学習支援システムで確認すること。

【Outline (in English)】

[Course outline and learning objectives]

The purpose of this class is to improve reading comprehension skills.

Students read Japanese novel and increase vocabulary.

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 2-3 hours at home for assignments and quizzes.

[Grading criteria /policy]

Participation20%, Assignments40%, Exam40%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANj200LA

## 日本語 4 I

2017 年度以降入学者

板井 美佐

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

語彙をビルドアップする。

小説を教材として精読の力を伸ばす。

## 【到達目標】

1 語彙力をつける

2 小説の時代背景を理解しながら、登場人物の気持ちや小説の展開を把握し、議論する力をつける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

1 事前に小説を読み、わからない語彙・表現を調べてくる。

2 教師はタスクを使って、文章の社会背景、内容、表現などに関して質問を行い、学生は読んで理解した内容を話す。

3 発表担当を決め、担当者は小説の内容について質問シートを作成し、質問の答えを発表する。

4 全員で読んだ内容をもとに討論をする

5 学期中に数回小テストを実施する。

課題に対するフィードバックは、次の授業の開始 10 分間で行う。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	テキストの読解 夏目漱石の生い立ちと作品	テキストの読解と内容に関する質疑応答 夏目漱石の生い立ちと作品内容との関係
2	テキストの読解 坊ちゃんの家族関係	テキストの読解と内容に関する質疑応答 家族関係を表わす表現
3	テキストの読解 坊ちゃんの四国行き	テキストの読解と内容に関する質疑応答 新たな環境への戸惑いを表わす表現・文型
4	テキストの読解 坊ちゃんと同僚の関係	テキストの読解と内容に関する質疑応答 同僚の複雑な関係を示す表現・文型
5	テキストの読解 坊ちゃんに対する同僚の嫌がらせ	テキストの読解と内容に関する質疑応答 嫌がらせを表わす表現・文型
6	テキストの読解 坊ちゃんと同僚の確執	テキストの読解と内容に関する質疑応答 衝突が確執へと変化する際の表現・文型
7	テキストの読解 坊ちゃんと山嵐の関係	テキストの読解と内容に関する質疑応答 第一印象がどのように変化していくかを示す表現・文型
8	テキストの読解 マドンナ登場	テキストの読解と内容に関する質疑応答 憧れの女性を示す表現

9	テキストの読解 マドンナと赤シャツ	テキストの読解と内容に関する質疑応答 2 人の関係悪化の経緯を示す表現・文型
10	テキストの読解 赤シャツの策略	テキストの読解と内容に関する質疑応答 練られた策略を示す表現・文型
11	テキストの読解 送別会の舞台裏	テキストの読解と内容に関する質疑応答 表面的なやりとりからはわからない舞台裏を想起させる表現・文型
12	テキストの読解 映画 1 喧嘩の原因	テキストの読解・映画の内容に関する質疑応答 喧嘩をめぐる表現・文型
13	テキストの読解 映画 2 坊ちゃん、東京へ戻る	テキストの読解・映画の内容に関する質疑応答 エピソードの印象的な表現・文型
14	期末試験 期末試験	漢字・読解問題

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない語彙・表現を調べ、小説を読んでくる。

タスクシートは授業支援システムにアップロードするので、それをダウンロード、印刷した上で、解答を書いてくる。

発表担当者は小説の内容について質問シートを作成し、クラスで全員（教師も含む）に配布する。

漢字の読み・語彙を暗記する。

## 【テキスト（教科書）】

『坊ちゃん』 夏目漱石 集英社 286 円

## 【参考書】

プリント

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 20 %、課題 40 %、テスト 40 %

4 回欠席で落第

\*以下の条件全てを評価の対象とする。

1 欠席回数が4回以下であること

2 授業で課題・小テストを受け、提出していること

3 学期末試験を受けていること

## 【学生の意見等からの気づき】

応用力がつくような授業にしたいと思います。

## 【学生が準備すべき機器他】

パソコンかタブレットかスマホ。

パソコンかタブレットが望ましい。

## 【その他の重要事項】

初日から使用するので、小説を事前に購入しておくこと。

出席を重視し、平常点では、予習、授業への積極性、取り組み意識の高さを重視する。

タスクシートは授業支援システムにアップロードしてあるので、配布は行なわない。毎回持参すること。

## 【Outline (in English)】

This course introduces building up your vocabulary, developing the ability to read carefully using novels as teaching materials. The goals of this course are to understand the historical background of the novel, grasp the feelings of the characters and develop the ability to discuss.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours to understand the course contents

Final grade will be calculated according to the following process Term-end report (40%), assignment(40%), and usual performance score(20%)

LANj200LA

日本語 4 II

2017 年度以降入学者

板井 美佐

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

語彙をビルドアップする。  
小説を教材として精読の力を伸ばす。

【到達目標】

- 1 語彙力をつける。
- 2 小説の時代背景を理解しながら、登場人物の気持ちや小説の展開を把握し、議論する力をつける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

- 1 事前に小説を読み、わからない語彙・表現を調べてくる。
  - 2 教師はタスクを使って、文章の社会背景、内容、表現などに関して質問を行い、学生は読んで理解した内容を話す。
  - 3 発表担当を決め、担当者は小説の内容について質問シートを作成し、質問の答えを発表する。
  - 4 全員で読んだ内容をもとに討論をする
  - 5 学期中に数回小テストを実施する。
- 課題に対するフィードバックは、次の授業の開始 10 分間で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	テキストの読解 太宰治の生い立ちと作品（人間失格）	テキストの読解と内容に関する質疑応答 作品（人間失格）を太宰治の生い立ちから考える
2	テキストの読解 主人公の幼年時代	テキストの読解と内容に関する質疑応答 主人公の幼い頃の苦悩を示す表現・文型
3	テキストの読解 主人公の幼年時代と二面性	テキストの読解と内容に関する質疑応答 主人公の二面性を示す表現・文型
4	テキストの読解 主人公の学生生活	テキストの読解と内容に関する質疑応答 主人公の学生時代の変化を追う表現・文型
5	テキストの読解 主人公と堀木との関係	テキストの読解と内容に関する質疑応答 堀木の複雑な性格を表わす表現・文型
6	テキストの読解 主人公の放蕩生活と情死事件	テキストの読解と内容に関する質疑応答 放蕩生活を匂わせる表現・文型
7	テキストの読解 主人公の逃避的生活	テキストの読解と内容に関する質疑応答 現実逃避を表わす表現・文型
8	テキストの読解 情死事件の前後	テキストの読解と内容に関する質疑応答 主人公が生きていけないと感じるまでの心の動きを示す表現・文型

9	テキストの読解 主人公とヒラメ	テキストの読解と内容に関する質疑応答 ヒラメの性格や考え方の変化を具体的に示した表現・文型
10	テキストの読解 主人公と喪失感	テキストの読解と内容に関する質疑応答 主人公と堀木の関係、喪失感を示す表現・文型
11	テキストの読解 主人公の地獄と天国	テキストの読解と内容に関する質疑応答 地獄と天国の話をつまえた心の動きを示す表現・文型
12	テキストの読解 映画 1 主人公と堀木の関係	テキストの読解と映画の内容に関する質疑応答 複雑な心の動きを示す表現
13	テキストの読解 映画 2 エピソード	テキストの読解と映画の内容に関する質疑応答 エピソードを印象的にしている表現・文型
14	期末試験 期末試験	漢字・読解問題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない語彙・表現を調べ、小説を読んでくる。  
タスクシートは授業支援システムにアップロードするので、それをダウンロード、印刷した上で、解答を書いてくる。  
発表担当者は小説の内容について質問シートを作成し、クラスで全員（教師も含む）に配布する。  
漢字の読み・語彙を暗記する。

【テキスト（教科書）】

『人間失格』 太宰治（集英社文庫） 286 円

【参考書】

プリント

【成績評価の方法と基準】

平常点 20 %、課題 40 %、テスト 40 %

4 回欠席で落第

\*以下の条件全てを評価の対象とする。

- 1 欠席回数が4回以下であること
- 2 授業で課題・小テストを受け、提出していること
- 3 学期末試験を受けていること

【学生の意見等からの気づき】

応用力がつくような授業にしたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

パソコンかタブレットかスマホ。  
パソコンかタブレットが望ましい。

【その他の重要事項】

初日から使用するので、小説を事前に購入しておくこと。  
出席を重視し、平常点では、予習、授業への積極性、取り組み意識の高さを重視する。  
タスクシートは授業支援システムにアップロードしてあるので、配布は行なわない。毎回持参すること。

【Outline (in English)】

This course introduces building up your vocabulary, developing the ability to read carefully using novels as teaching materials. The goals of this course are to understand the historical background of the novel, grasp the feelings of the characters and develop the ability to discuss.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours to understand the course contents

Final grade will be calculated according to the following process Term-end report (40%), assignment(40%), and usual performance score(20%)

ARSe200LA

## 日本語の世界 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

尾形 太郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：2 単位

定員制 (30 名)

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

日本語、特に日本語の文法について考え、学ぶ授業です。普段とは違う観点から日本語を見つめなおし、私たちの日常的な日本語運用の中に隠れているメカニズムに迫ります。その際、日本語学、認知言語学、語用論などの知見を参照しますので、これら学問の基本的な考え方 (のいくつか) についても学ぶことができます。ただし、受講に当たって言語学の知識は全く必要ありません。日本の大学で日本語で学ぶに十分な日本語能力さえあれば、どんな人でも受講可能です。

## 【到達目標】

1. 日本語文法への理解を深める。
2. 日本語学におけるいくつかの基本的概念や理論を学ぶ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

資料を用いた学習・議論⇒課題

各回の課題へのフィードバックは、授業中に口頭で行うか、Hoppiを用いて行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	授業ガイダンス	授業ガイダンス
②	日本語における格 「♪私だけ愛してた」 ～誰が誰を愛してた?	日本語における格を考える
③	「大学へ行った」は○、「へ」「に」「で」から場所に関連 「風呂へ入った」は△、 「電車へ乗った」は ×	する助詞の機能の違いを考える
④	「新しい i ●●、また 売り切れだっ」「え、 昨日、ヨドバシ }に/ で} あったよ。」～こ ういう場合、デでも O K なんですかね?	場所を表す助詞二とデの違いを考 える
⑤	「(i ●●) ヨドバシで あったよ」とは言えて も、「(i ●●)、ノート PC コナーの隣であっ たよ」とは言えないの はなぜ?	場所を表す助詞二とデの違いを考 える
⑥	「あ、お湯がわいて (い)る」vs「あ、お 湯がわいた」は同じ出 来事を表している?	「てい(る)」と「た」の違いから 日本語における出来事の様相の捉 え方を考える

- ⑦ 「あ、レポート、今日 「た」から日本語の時間認識を考  
までだった!」～今日 える  
のことなのに何でタッ  
て言うの?
- ⑧ 「犯人はルパンだ」vs 「は」と「が」の機能の違いを考  
「犯人がルパンだ」、 える  
「ルパンが犯人だ」vs  
「ルパンは犯人だ」
- ⑨ で、「は」と「が」っ 日本語学習者に「は」と「が」の  
てどうやって使いわけ 違いを教えるにはどうすればいい  
ればいいのか? か考える
- ⑩ 「あ～何だか体がだる 「はずだ」の意味と機能を考える  
い。風邪を引いたはず  
だ。」とは言えないの  
はなぜ?
- ⑪ 学生「先生、「あー」「あー」と「えーと」の機能を  
の意味ってなんで 考える  
すか?」  
先生「えーと、「あ  
ー」の意味はです  
ね、あー…」
- ⑫ 「あ、0 点」vs 「え、0 感動詞が表す「心の働き」を考え  
点」vs 「お、0 点」 る
- ⑬ A「この授業、退屈 「でも」と「ところが」の違いを  
だね」 考える  
B「うん。|でも/??と  
ころが、試験は簡単  
らしいよ。」
- ⑭ 学期のまとめ まとめと期末課題の説明

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

日本語の文法を観察・内省し、自分なりの問いを立てること。本授業の準備学習・復習時間は、1 時間を標準とします。

## 【テキスト (教科書)】

授業中にハンドアウトを配布します。

## 【参考書】

授業中に紹介します。

## 【成績評価の方法と基準】

授業への参加 (毎回の課題、事前課題) 50%、期末課題 50%で、評価を決める。  
期末課題は選択制 (複数の課題の中から 2 つ選び、授業内容を踏まえ解答する)。

## 【学生の意見等からの気づき】

「普段は意識せずに使っている日本語について、深く知ることができた」「過去を表すタなど、ひとつの文法が色々な機能を持っていることがわかり興味深かった」「文法が、私たちが出来事を体験する仕方や認識する仕方と関連していることがわかり、面白かった」「授業で学んだことを生かして、外国人の友達に日本語を教えたい」と言った肯定的なコメントを踏まえ、更に授業の内容を充実させていきたいと思っています。  
また、異なる国籍、文化の人たちと話し合えることが好評なので、毎回ディスカッションを実施していく予定です。

## 【その他の重要事項】

普段とは違う観点から日本語を見つめなおし、日本語の中に隠れているメカニズムに好奇心を持って迫ってみてください。  
言語学や日本語学についての特別な知識は必要ありません。  
日本語をさらに深く習得したい留学生、自分の母語について少し詳しく知りたい日本語母語話者、日本語教育に携わりたい人などにとって興味深い授業となるよう努めます。  
言語学を学んだことがある人ももちろん歓迎します。  
なお、授業計画は、一部変更することがあります。

## 【Outline (in English)】

This class is an introduction of the Japanese linguistics, which especially treats some grammatical topics. Students are required to approach mechanisms hidden in our ordinary use of Japanese.

Because some ideas of Japanese linguistics, cognitive linguistics and pragmatism are introduced through the task, students can learn some basic ideas in these fields.

Goal : (1) Deepen understanding of Japanese grammar  
(2) Learn some basic concepts and theories in the field of the Japanese linguistics

Work to be done outside of class (preparation, etc. : one hour

Grading criteria : Participation (50%), Final report (50%)

ARSe200LA

## 日本語の世界 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

尾形 太郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：2 単位

定員制 (30 名)

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

日本語、特に日本語の文法について考え、学ぶ授業です。普段とは違う観点から日本語を見つめなおし、私たちの日常的な日本語運用の中に隠れているメカニズムに迫ります。その際、日本語学、認知言語学、語用論、日本語教育学などの知見を参照しますので、これら学問の基本的な考え方 (のいくつか) についても学ぶことができます。ただし、受講に当たって言語学の知識は全く必要ありません。日本の大学で日本語で学ぶに十分な日本語能力さえあれば、どんな人でも受講可能です。

## 【到達目標】

- 1) 日本語文法への理解を深める
- 2) 日本語学におけるいくつかの基礎的な概念や理論について学ぶ

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

課題 → 教材を用いた学習・議論 → 課題

各回の課題へのフィードバックは、授業中に口頭で行うか、Hoppiを用いて行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	授業ガイダンス 世界の言語の中の日本語①	授業の進め方の説明 今までに学んだ言語と日本語を比べる / 先学期と今学期の授業内容の紹介
②	「彼女にふられた (涙)」 vs 「彼女は私をふった」 ～日本人は受身がち?	ヴォイス (態) について「視点」概念から考える
③	～「あ、黒猫が黒猫を追いかけてる」 vs 「あ、黒猫が黒猫に追いかけてる」 ～能動/受動はどのように使い分けられているのか	ヴォイス (態) について「人称階層」概念から考える
④	A「ここ、涼しいね」 B「うん、ここ、涼しい」 / A「ここ、涼しいね」 B「え、そこ、涼しいの? ここは暑いよ」～	「こそあ」の「対立型」「融合型」について考える

- ⑤ (壁に飾られた絵を見て「こそあ」について「注意」概念  
ている B に A が話し かけるから考える  
かける)  
A「|その/あの| 絵、  
私が描いたんです。」  
～「その」と「あの」  
のあいまいな (?) 境界
- ⑥ 「昨日、キャンパスで「こそあ」について「知識説」「体  
験/概念」説から考える  
の人、リクルートス  
ーツを着てるのに、頭は  
モヒカン刈りなんだ  
よ。」の「あの人」に違和  
感を感じませんか?
- ⑦ 孫「おじいちゃんが学「こそあ」について複数の心的領  
生の時ってどんなだった 域説から考える  
た?」祖父「学生の頃  
か…、|あの/?? そ  
の| 頃はな…」～なぜ  
アは自然、ソは不自然  
なのか～
- ⑧ 「あ、(私の猫がみかん「V ている」の意味と機能を分類  
を) 食べてる」が、 する  
My cat is eating an  
orange. を意味しない  
のはどんな時?
- ⑨ (科学者が実験室の明「V ている」の意味と機能を「証  
かりを消して)「さあ、 拠性」の観点から考える  
これで何も |見えませ  
ん/見えていません|  
～「ている」が使える  
のはどんな時?
- ⑩ 車内放送で「この電車「つもり」の意味と機能を分類す  
は終点東京まで各駅に る  
止まるつもりです。」  
と言われたら、ちょっ  
と心配になってしまう  
のはなぜ?
- ⑪ 先生「A さん、予習し 発話における「つもり」の機能を  
ましたか?」 語用論的に考える  
学生 A「はい、しま  
した。」  
先生「ふーん、それで  
したつもりですか。」  
～「～つもりですか」  
と言われると責められ  
ている気がするのでは  
なぜ?
- ⑫ 学生「先生、すみませ 無助詞の機能を「は」との比較か  
ん、これ、先週締め切 ら考える  
りのレポートです。」  
vs 「先生、すみませ  
ん、これは、先週締め  
切りのレポートです。」  
～「は」がないほうが  
いいように感じません  
か?
- ⑬ 「そうですね」 vs 「そ 終助詞の機能の違いをグループで  
うですよ」 vs 「そうで 議論し、仮説を立てる  
すよね」
- ⑭ ヨとネには色々な説が 終助詞の機能の違いを「情報の管  
あります |よ/ね| ～ 理権限」から考える  
諸説を検討する

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

日本語の文法を観察・内省し、自分なりの問いを立てること。本授業の準備学習・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

## 【テキスト (教科書)】

授業中にハンドアウトを配布します。



**【参考書】**

授業中に紹介します。

**【成績評価の方法と基準】**

授業への参加（討論での発言、リアクション・ペーパーなど）60%、  
期末レポート 40%で、評価を決める。  
出席率が 70%以上であることを単位取得の条件とする。

**【学生の意見等からの気づき】**

「普段は意識せずに使っている日本語について、深く知ることができた」「過去を表すタなど、ひとつの文法が色々な機能を持っていることがわかり興味深かった」「文法が、私たちが出来事を体験する仕方や認識する仕方と関連していることがわかり、面白かった」「授業で学んだことを生かして、外国人の友達に日本語を教えたい」と言った肯定的なコメントを踏まえ、更に授業の内容を充実させていきたいと思っています。

また、異なる国籍、文化の人たちと話し合えることが好評なので、毎回ディスカッションを実施していく予定です。

**【その他の重要事項】**

普段とは違う観点から日本語を見つめなおし、日本語の中に隠れているメカニズムに好奇心を持って追ってみてください。

言語学や日本語学についての特別な知識は必要ありません。

日本語をさらに深く習得したい留学生、自分の母語について少し詳しく知りたい日本語母語話者、日本語教育に携わりたい人などにとって興味深い授業となるよう努めます。

言語学を学んだことがある人ももちろん歓迎します。

なお、授業計画は、一部変更することがあります。

**【Outline (in English)】**

This class is an introduction of the Japanese linguistics, which especially treats some grammatical topics. Students are required to approach mechanisms hidden in our ordinary use of Japanese.

Because some ideas of Japanese linguistics, cognitive linguistics and pragmatism are introduced through the task, students can learn some basic ideas in these fields.

Goal : (1) Deepen understanding of Japanese grammar  
(2) Learn some basic concepts and theories in the field of the Japanese linguistics

Work to be done outside of class (preparation, etc. : one hour

Grading criteria : Participation (50%), Final report (50%)

ARSe200LA

## 日本の文化と社会 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

尾形 太郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 2/Wed.2

単位数：2 単位

定員制 (30 名)

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

今学期は、「生 (生命・生活)」をテーマに、安楽死、障害者差別、を取り上げます。授業では、例えば、「(積極的) 安楽死の是非」「障害」は「障害者」の能力 (の不足・欠如) の問題なのか」といった問いについて議論し、文献を読み (ドキュメンタリーを視聴することも考えています)、更に議論を含めることで、現代日本社会が直面する具体的な問題への認識を深めます。

授業で扱う問題に関する知識がなくとも授業に参加することは可能です。授業を通して基本的な知識を身に付けること、また、問題への関心を深めることが授業の目的の一つです。(扱う問題は、参加者の関心に応じて変更する場合があります。)

また、ディスカッションを通して様々な意見に触れ、視野を広げること、複眼的に問題を考える姿勢を身に付けることもこの授業の目的です。

## 【到達目標】

1. 問題について基本的な知識を身に付けること、問題への関心を深め探求すること。
2. 異なる意見に触れ、自らとは異なる視点から問題を考える態度を身に付けること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

- ①トピックに関する議論を行う。(グループ・ディスカッション)
  - ②トピックに関連する文献紹介を行う/聞く
  - ③②を踏まえ、再度議論を行う。
- 学期末の授業回では、②を学生が担当します。  
各回の課題へのフィードバックは、授業中に口頭で行うか、Hoppiを用いて行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション	授業の進め方を説明する。安楽死・尊厳死について現段階にどう考えるか意見を共有する
②	安楽死の分類、歴史的背景、安楽死と尊厳死との違い	安楽死・尊厳死についての基本的な知識を学ぶ
③	「安楽死=よい死」「延命治療 → 悪い死」というイメージについて	「よい死」「悪い死」とは？「延命治療」は悪いもの？
④	死の自己決定について	死の「自己決定」にもとづく安楽死肯定論について考える
⑤	「日本社会」「日本の医療文化」と安楽死・尊厳死	日本の医療文化や社会の特徴から「死ぬ権利」を考える

- ⑥ 安楽死がもたらすリスクについて 安楽死は社会にどのようなリスクをもたらすか考える
- ⑦ 社会的弱者にとつての安楽死 社会的弱者へのリスクという観点から安楽死の法制化に反対する議論への反論を考える
- ⑧ ここまでの授業内容の振り返り/障害者差別について事例から考える 障害者に対する「乗車拒否？」の事例について考える
- ⑨ 障害の個人モデルと社会モデル 「障害」とは？ 「個人モデル」と「社会モデル」について考える
- ⑩ 障害者差別解消法と合理的配慮 障害者差別解消法と合理的配慮の基本理念について理解を深める
- ⑪ みえない特権とは何か 「健全者」は「特権」を持っている？ 「みえない特権」論を考える
- ⑫ 自由発表 (文献紹介) 安楽死または障害者差別に関する文献を受講生が紹介する
- ⑬ 自由発表 (文献紹介) 安楽死または障害者差別に関する文献を受講生が紹介する
- ⑭ 自由発表 (文献紹介) 安楽死または障害者差別に関する文献を受講生が紹介する

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、2 時間を標準とします。

## 【テキスト (教科書)】

各回資料を配布する。

## 【参考書】

(以下の資料を通読する、ということではなく、その一部を授業内で紹介するということなのでご安心ください。)

- 有馬 齊 (2019) 『死ぬ権利はあるか—安楽死、尊厳死、自殺補助の是非と命の価値』 春風社  
安藤泰至 (2019) 『安楽死・尊厳死を語る前に知っておきたいこと』 岩波書店  
荒井祐樹 (2020) 『障害者差別を問いなおす』 筑摩書房  
川島聡他 (2016) 『合理的配慮』 有斐閣  
竹内章郎 (2020) 『いのちと平等をめぐる 13 章 優生思想の克服のために』 生活思想社  
立岩真也 (2008) 『よい死』 筑摩書房  
立岩真也 (2001) 『弱くある自由へ 自己決定・介護・生死の技術』 青土社  
西原和久他 (2021) 『マイノリティ問題から考える社会学・入門』 有斐閣  
松田純 (2018) 『安楽死・尊厳死の現在-最終段階の医療と自己決定』 中央公論社  
宮下洋一 (2017) 『安楽死を遂げるまで』 小学館  
その他、雑誌や新聞の記事

## 【成績評価の方法と基準】

各回の課題：30%  
発表 (文献紹介)：20%  
期末レポート：50%

## 【学生の意見等からの気づき】

「今まで考えたこともなかった問題について考えるきっかけを得ることができた」「議論の中で、自分の考えを言語化することで、今までぼんやりと考えていたことが整理できた」といったコメントを読み、とてもうれしく思います。  
今後も、この授業から少しでも多くの学生の皆さんが「気づき」「興味」「問題意識」を得る、あるいは深めることができるよう努力したいと思っています。  
また、グループ討論で異文化交流ができるという点が好評なので、多国籍のグループ構成ができるように努めます。

## 【その他の重要事項】

この授業は、留学生と日本人学生が議論し、交流を深める貴重な機会となっています。  
日本人学生と意見を交換したい留学生のみなさん、普段あまり留学生と話す機会がない日本人学生のみなさん、どちらもぜひこの機会を利用してもらえたらと思います。

**【Outline (in English)】**

The class will treat some actual problems we are confronting in Japanese society. We will discuss them from different viewpoints; international students' and Japanese students' ones. The class will provide students with opportunities to approach the problems through reading papers, presentations, and discussions with those who have different cultural and social backgrounds.

Goal:(1) Learn basic knowledge about the topics and inquire the issues with deep interest (2)Acquire an attitude to think about issues from different viewpoints by being exposed to different opinions.

Work to be done outside of class (preparation, etc.): Two hours  
Grading criteria : Assignments(30%), Presentation(20%), Final report(50%)

ARSe200LA

## 日本の文化と社会 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

尾形 太郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 2/Wed.2

単位数：2 単位

定員制 (30 名)

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

今学期は、ジェンダー格差、性的マイノリティ差別の問題を様々な観点から取り上げます。本授業は、学生間の議論や文献読解、また発表を通し、これらの問題への認識を深める機会を提供します。授業で扱う問題に関する知識がなくとも授業に参加することは可能です。授業を通して基本的な知識を身に付け、また、問題への関心を深めることが授業の目的の一つです。(扱う問題は、参加者の関心に応じて変更する場合があります。)

また、ディスカッションを通して様々な意見に触れ、視野を広げること、複眼的に問題を考える姿勢を身に付けることもこの授業の目的です。

## 【到達目標】

1. 問題について基本的な知識を身に付けること、問題への関心を深めること。
2. 異なる意見に触れ、自らとは異なる視点から問題を考える態度を身に付けること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

- ①トピックに関する議論を行う。(グループ・ディスカッション)
  - ②トピックに関連する文献紹介を行う／聞く
  - ③②を踏まえ、再度議論を行う。
- 各回の課題へのフィードバックは、授業中に口頭で行うか、Hoppiを用いて行う。

## 【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

## 【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション	授業の進め方を説明する。それぞれの興味関心を共有する。
②	ジェンダー格差／差別について、身近な言葉から考える	「〇〇男子/女子」という言い方は問題か？
③	ジェンダーステレオタイプとは何か	「男らしい」「女らしい」といった言葉を出発点にジェンダーステレオタイプ、ジェンダー規範について考える
④	ジェンダーステレオタイプについて、S. ポーヴォワールと I.M ヤングの議論から考える	「女らしさ／男らしさ」～「女の子みたいにボールを投げて」と言われたらどうする？
⑤	日本の労働領域におけるジェンダー格差の現状をデータから探る	日本社会におけるジェンダー格差の実際を統計資料から探る (グループ課題)
⑥	日本の雇用慣行から労働におけるジェンダー格差に迫る	日本型雇用慣行はジェンダー格差とどのように相関するのか探る

- |   |                                  |   |
|---|----------------------------------|---|
| ⑦ | 女性の管理職昇進を妨げる要因とは何か               | 女性は管理職に就くことを望んでいないことを示すデータの背景を考える         |
| ⑧ | 「性的マイノリティ」について、SOGI から考える        | SOGI 概念を理解し、性的マイノリティを考える上で必要な基本的な考え方を理解する |
| ⑨ | 「同性愛」概念の歴史を学ぶ                    | 「同性愛は大昔から存在した」は正しい？ 「同性愛」概念の変遷をたどる        |
| ⑩ | 「クローゼットから出る」とは？ 「カミングアウト」について考える | 「カミングアウト」とはどのような行為なのか、なぜ「カミングアウト」するのか     |
| ⑪ | 「アウトティング」とは何か、なぜそれは「暴力」なのか       | 「アウトティング」の暴力性について事例を通して考える                |
| ⑫ | 学生による発表①                         | 履修生が、学期中に扱ったテーマに関する文献紹介または自由発表・質疑応答を行う    |
| ⑬ | 学生による発表②                         | 履修生が、学期中に扱ったテーマに関する文献紹介または自由発表・質疑応答を行う    |
| ⑭ | 学生による発表③                         | 履修生が、学期中に扱ったテーマに関する文献紹介または自由発表・質疑応答を行う    |

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、2 時間を標準とします。

## 【テキスト (教科書)】

各回資料を配布する。

## 【参考書】

(以下の資料を全て読む、ということではなく、その一部を授業内で紹介するということなのでご安心ください。)

佐藤文香監修 (2019) 『ジェンダーについて大学生が真剣に考えてみた』 明石書店

加藤秀一 (2017) 『はじめてのジェンダー論』 有斐閣

大沢真知子編著 (2017) 『なぜ女性管理職は少ないのか 女性の昇進を妨げる要因を考える』 青弓社

稲原美苗他 (2020) 『フェミニスト現象学入門』 ナカニシヤ出版

森山至貴 (2017) 『LGBT を読みとくークィア・スタディーズ入門』 筑摩書房

砂川秀樹 (2018) 『カミングアウト』 朝日出版社

堀江有里 (2015) 『レズビアン・アイデンティティーズ』 洛北出版

杉山麻里子 (2016) 『ルポ同性カップルの子どもたち アメリカ「ゲイブーム」を追う』 岩波書店

その他、雑誌や新聞の記事

## 【成績評価の方法と基準】

各回の課題 (50%)、期末レポート (50%)  
出席率が 70 % 以上であることを単位取得の条件とする。

## 【学生の意見等からの気づき】

「今まで考えたこともなかった問題について考えるきっかけを得ることができた」「議論の中で、自分の考えを言語化することで、今までぼんやりと考えていたことが整理できた」といったコメントを読み、とてもうれしく思います。

今後も、この授業から少しでも多くの学生の皆さんが「気づき」「興味」「問題意識」を得る、あるいは深めることができるよう努力したいと思っています。

また、グループ討論で異文化交流ができるという点が好評なので、多国籍のグループ構成ができるように努めます。

## 【その他の重要事項】

この授業は、留学生と日本人学生が議論し、交流を深める貴重な機会となっています。

日本人学生と意見を交換したい留学生のみならず、普段あまり留学生と話す機会がない日本人学生のみならず、どちらもぜひこの機会を利用してもらえたらと思います。

**【Outline (in English)】**

The class will treat Gender disparity and sexual minority discrimination issues in Japanese society. We will discuss them from different viewpoints. The class will provide students with opportunities to approach the problems through reading papers, presentations, and discussions with those who have different cultural and social backgrounds.

Goal:(1) Learn basic knowledge about the topics and inquire the issues with deep interest (2)Acquire an attitude to think about issues from different viewpoints by being exposed to different opinions.

Work to be done outside of class (preparation, etc.): Two hours

Grading criteria : Assignments(30%), Presentation(20%), Final report(50%)

LANd200LA

## ドイツ語 3 I

2017 年度以降入学者

## JENS OSTWALD

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 1/Wed.1

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

読解力と文法の強化

ドイツの習慣や文化について書かれたテキストを通して、文法の強化と読解力を身につけます。また、ドイツの文化についても触れることで、総合的なドイツの理解を深めます。

## 【到達目標】

文法の理解と、読解力をつけることで基礎的なドイツ語を使えるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

ドイツ語の読解と文法の復習および強化。

課題等の提出・フィードバックは授業内あるいは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	オリエンテーション
第 2 回	文法・語彙復習	一年生の時に学んだドイツ語の復習
第 3 回	復習：簡単な会話	挨拶など・簡単な会話の復習・練習
第 4 回	簡単な自己紹介	簡単な自己紹介を言えるように。 疑問文の練習
第 5 回	自己紹介	自己紹介を言える、書ける、読めるように。 疑問文の練習
第 6 回	買い物	チラシを読む、買い物に必要な会話を習得する
第 7 回	食べ物・飲み物	食べ物・飲み物についての読書
第 8 回	旅行のドイツ語 I レストラン	メニューとレストランでの小会話
第 9 回	旅行のドイツ語 II ホテル	ホテルについての情報、予約 Web ページを読む
第 10 回	旅行のドイツ語 III 道を尋ねる	道を尋ねる会話
第 11 回	旅行のドイツ語 IV 交通機関	航空券、切符の購入など
第 12 回	旅行のドイツ語 V 観光案内	観光案内 簡単な会話、情報を読む
第 13 回	復習	語彙・文法・読解方法の復習
第 14 回	期末テスト	期末テスト 学期の締め

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宿題・復習。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

配布資料

## 【参考書】

独和辞典（詳細は一回目の授業時に話します）

## 【成績評価の方法と基準】

以下の割合を目安として総合的に評価する

小テスト 70%

平常点（授業参加度、宿題） 30%

## 【学生の意見等からの気づき】

教科書に沿った授業の進め方ではなく、受講生にあわせて配布プリントを活用する。

## 【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業に転換になる場合には Zoom で接続可能な機器が必要です。

## 【その他の重要事項】

学生の興味や理解度に順じてプログラムを変更することもあります。

## 【Outline (in English)】

Course outline:

German language course (vocabulary expansion and grammar review, readings and conversation)

Learning Objectives:

Students will strengthen their grammar and reading comprehension skills and deepen their overall understanding of German culture and society.

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to do homework and review the lessons. The study time will be more than one hour per week.

Grading Criteria /Policy:

Short tests: 70%, homework & in-class contribution 30%.

LANd200LA

## ドイツ語 3 II

2017 年度以降入学者

## JENS OSTWALD

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 1/Wed.1

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

読解力と文法の強化

ドイツの習慣や文化について書かれたテキストを通して、文法の強化と読解力を身につけます。また、ドイツの文化についても触れることで、総合的なドイツの理解を深めます。

## 【到達目標】

文法の理解と、読解力をつけることで基礎的なドイツ語を使えるようにします。

課題等の提出・フィードバックは授業内あるいは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

ドイツ語の読解と文法の復習および強化。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	復習	今まで学んだドイツ語の復習
第 2 回	環境問題 テーマ 1	環境問題についての資料を読む
第 3 回	環境問題 テーマ 2	環境問題についての資料を読んで 文法上の問題点を解説
第 4 回	広告のスローガン I	スローガンを読み解く
第 5 回	広告のスローガン II	スローガンを読み解く スローガン・宣伝のドイツ語の特徴を見る
第 6 回	童話 I	グリム童話を読む
第 7 回	童話 II	文法の解説
第 8 回	ドイツの詩	ゲーテ、国歌など、受講生の興味に合わせたドイツの詩・歌を読む
第 9 回	ドイツの歌	ゲーテ、国歌など、受講生の興味に合わせたドイツの詩・歌を読む
第 10 回	ドイツ憲法について	ドイツ憲法についての簡単な文を読む
第 11 回	ドイツ憲法	ドイツ憲法を部分的に読み解く
第 12 回	復習：語彙・文法	語彙・文法の復習・練習
第 13 回	復習：読解方法	復習：文を読み解く方法
第 14 回	期末テスト	期末テスト 纏め

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宿題・復習。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

配布資料

## 【参考書】

独和辞典（詳細は一回目の授業時に話します）

## 【成績評価の方法と基準】

以下の割合を目安として総合的に評価する

小テスト 70%

平常点（授業参加度、宿題） 30%

## 【学生の意見等からの気づき】

教科書に沿った授業の進め方ではなく、受講生にあわせて配布プリントを活用する。

## 【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業に転換になる場合には Zoom で接続可能な機器が必要です。

## 【その他の重要事項】

学生の興味や理解度に順じてプログラムを変更することもあります

## 【Outline (in English)】

Course outline:

German language course (vocabulary expansion and grammar review, readings and conversation)

Learning Objectives:

Students will strengthen their grammar and reading comprehension skills and deepen their overall understanding of German culture and society.

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to do homework and review the lessons. The study time will be more than one hour per week.

Grading Criteria /Policy:

Short tests: 70%, homework & in-class contribution 30%.

LANd200LA

## ドイツ語 3 I

2017 年度以降入学者

岡本 雅克

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、初級よりワンランク上の読解の技術を身につけると同時に、さまざまなドイツ事情について学習することを目的とする。

## 【到達目標】

初級で学んだ文法を復習しながら、より複雑な文章表現に慣れることによって、読解力を伸ばすことが、この授業の到達目標である。また、さまざまなドイツ事情に関する文章を読むことによって、ドイツやドイツ語圏の国々に興味を持つきっかけとなることを期待する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で行う。使用する教科書は 15 課からなり、各課とも文法、会話文、練習問題、読章から構成されている。文法をもう一度確認しながら、練習問題に取り組むと同時に、会話文やドイツ事情に関する文章を読む。

なおフィードバックは「学習支援システム」を通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	あいさつ表現
2	Lektion 1 自己紹介	動詞の位置
3	読章	Deutschland (ドイツ)
4	Lektion 2 私の家族	所有冠詞
5	読章	Familienbild (家族像)
6	Lektion 3 私の趣味	不規則動詞
7	読章	Deutsch (ドイツ語)
8	Lektion 4 キーム ゼーヘ	前置詞
9	Lektion 4 読章	Souvenirs aus Deutschland (ドイツのお土産)
10	Lektion 5 健康	人称代名詞、分離・非分離動詞
11	読章	Das Gesundheitswesen in Deutschland (ドイツの健康保険制度)
12	Lektion 6 買い物	話法の助動詞、命令形
13	読章	Einkaufen in Deutschland (ドイツの買い物)
14	試験	まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

与えられた課題に取り組んだ上で授業にのぞむこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

## 【テキスト（教科書）】

清野智昭、時田伊津子、牛山さおり『ドイツ語の時間〈ときめきコミュニケーション〉 コミュニカティブ版—マルチメディア—』（朝日出版社）ISBN9784255253909 ¥2600

## 【参考書】

その都度指示する。

## 【成績評価の方法と基準】

期末試験の得点を 70 %、平常点を 30 % の合計で評価する。平常点は、授業中に練習問題や和訳等にしっかり取り組むこと、あるいは、与えられた課題について予習をしてきた形跡が認められることを標準とする。

## 【学生の意見等からの気づき】

授業の進度については、学生たちの理解度に応じて、柔軟に対応する。

## 【学生が準備すべき機器他】

授業がオンラインに転換になった場合、Zoom で接続可能なデバイス。

## 【Outline (in English)】

In this course, we use a textbook on reading and aim to acquire the ability to read, write, listen and speak German. In addition, we cultivate a view of intercultural understanding through a comparison of German and English.

At the end of the course, students are expected to improve reading comprehension while reviewing grammar.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be one hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 70 %, Usual performance score: 30 %



LANd200LA

## ドイツ語 3 II

2017 年度以降入学者

岡本 雅克

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、初級よりワンランク上の読解の技術を身につけると同時に、さまざまなドイツ事情について学習することを目的とする。

## 【到達目標】

初級で学んだ文法を復習しながら、より複雑な文章表現に慣れることによって、読解力を伸ばすことが、この授業の到達目標である。また、さまざまなドイツ事情に関する文章を読むことによって、ドイツやドイツ語圏の国々に興味を持つきっかけとなることを期待する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で行う。文法をもう一度確認しながら、練習問題に取り組みと同時に、会話文やドイツ事情に関する文章を読む。

なおフィードバックは「学習支援システム」を通じて行う。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Lektion 7 ミュンヘン	前置詞
2	読章	München (ミュンヘン)
3	Lektion 8 休暇の後	現在完了形、過去形
4	読章	Urlaubstage in Deutschland und Japan (ドイツと日本の有給休暇)
5	資料配付	アットマークについて
6	Lektion 9 食事	定冠詞類、副文
7	読章	Knigge im Alltag in Deutschland (ドイツの日常のマナー)
8	Lektion 10 クリスマス	比較級と最上級、再帰表現
9	読章	Weihnachten in Deutschland (ドイツのクリスマス)
10	Lektion 11 ファッション	形容詞の格変化
11	読章	Mode in Deutschland?(ドイツのファッション?)
12	Lektion 12 私の夢	接続法第 2 式、zu 不定詞句
13	読章	Studium in Deutschland (ドイツの大学での勉強)
14	試験	まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

与えられた課題に取り組んだ上で授業にのぞむこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

## 【テキスト（教科書）】

清野智昭、時田伊津子、牛山さおり『ドイツ語の時間〈ときめきミュンヘン〉 コミュニカティブ版—マルチメディア—』（朝日出版社）ISBN9784255253909 ¥2600

## 【参考書】

その都度指示する。

## 【成績評価の方法と基準】

期末試験の得点を 70 %、平常点を 30 % の合計で評価する。平常点は、授業中に練習問題や和訳等にしっかり取り組むこと、あるいは、与えられた課題について予習をしてきた形跡が認められることを標準とする。

## 【学生の意見等からの気づき】

授業の進度については、学生たちの理解度に応じて、柔軟に対応する。

## 【学生が準備すべき機器他】

授業がオンラインに転換になった場合、Zoom で接続可能なデバイス。

## 【Outline (in English)】

In this course, we use a textbook on reading and aim to acquire the ability to read, write, listen and speak German. In addition, we cultivate a view of intercultural understanding through a comparison of German and English.

At the end of the course, students are expected to improve reading comprehension while reviewing grammar.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be one hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 70 %, Usual performance score: 30 %

LANd200LA

## ドイツ語 3 I

2017 年度以降入学者

外山 知子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語の向上を目指し、ドイツの文化を学びながら異文化理解を深める。

## 【到達目標】

1 年生で学習した文法事項、未学習の文法事項を復習したり新たに学んだりしながら、いろいろなタイプのドイツ語の文章を自分で楽しみながら読めるようになる。それにとどまらず語彙を増やし、構造を理解しながらドイツ語の総合力を高める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業形態は対面だが、Zoom によるオンラインになる回もあるの、「各回の授業形態」を見なさい。

学習支援システムに「お知らせ」をよく載せるので、常にチェックすること。特に初回の前は早めに「お知らせ」をチェックしなさい。さまざまなタイプのドイツ語で書かれた文章を味わいながら読む。各課ごとの練習問題を通して総合力を高める。

下の「その他の重要事項」を初回の授業の前によく読みなさい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習をかねての課題。	授業の進め方、勉強の仕方、勉強に役立つ情報などを聴いた後、感覚を取り戻すためにドイツ語に触れる。教科書を持ってくること。
2	Lektion 1 Brot Wurst DöKebab	Lektion 1 のテキストを読み、不規則変化する動詞、形容詞の語尾変化、形容詞の名詞化について学ぶ。
3	Lektion 1 の続き。	Lektion 1 の練習問題。
4	Lektion 2 Herr Böse und Herr Streit	Lektion 2 のテキストを読み、不規則変化する動詞、形容詞の語尾変化、形容詞の名詞化について学ぶ。
5	Lektion 2 の続き。	Lektion 2 の練習問題
6	Lektion 3 Berlin-Eine wunderbare Stadt	Lektion 3 のテキストを読み、再帰動詞、分離動詞、接続法第 2 式について学ぶ。
7	Lektion 3 の続き。	Lektion 3 の練習問題
8	Lektion 4 Der süße Brei	Lektion 4 のテキストを読み、指示代名詞、命令形について学ぶ。
9	Lektion 4 の続き。	Lektion 4 の練習問題。
10	Lektion 5 Wiener Kaffehauskultur	Lektion 5 のテキストを読み、関係代名詞、現在完了について学ぶ。
11	Lektion 5 の続き。	Lektion 5 の練習問題。
12	これまでの文法の補足。	これまで学んだことの他に重要な文法事項について学ぶ。
13	重要な事項の補足	特に重要な事項を詳しく学ぶ。
14	試験・まとめと解説。	試験と春学期のまとめをする。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業での指示に従うこと。

本文の講読は全体を予習した方が、練習問題は解きやすい。学んだことはなるべくその日のうちに復習しよう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

## 【テキスト（教科書）】

耕平耕平／畠山 寛／高本敬之著『ドイツ語トライアングル やさしい中級テキスト 9 章』同学社 4 版 2021 年 2000 円（税別）初回から持ってくる。

## 【参考書】

本郷建治著『ドイツ文法の要点』三修社  
中島悠爾他著『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』白水社

## 【成績評価の方法と基準】

出席は原則として 3 分の 2 以上を必要とする。配慮される場合については【その他の重要事項】を参照のこと。基本的には期末試験＋小テスト 60 %、授業参加度（宿題、課題をふくむ平常点）40 % の割合で総合評価する。遅刻 3 回で欠席 1 回にカウントされる。

## 【学生の意見等からの気づき】

緊張感を持って遅刻せず、積極的な授業参加を歓迎します。

## 【学生が準備すべき機器他】

Zoom ができる機器。なるべく画面の大きいもの。なければスマートフォンでもかまわない。周囲がうるさければヘッドセット。

## 【その他の重要事項】

楽しく、まじめに真剣に参加しよう。

公欠届、診断書などはきちんと出しなさい。コロナに関しては大学の指示に従いなさい。体調不良と書くだけでなく、症状も書くこと。教科書と独和辞典（電波の入る機器を辞書代わりに使うことは許可しない）を毎回手元に置き、使用すること。

対面とオンラインを何回目にやるかは授業の進度によって、少しずれることがある。学習支援システムの「お知らせ」にいつも気をつけていなさい。

休んだときは授業の前か終了後すぐに理由を連絡すること。正当な理由とみなされた場合のみ配慮される。何日も経ってから申告しても配慮対象にならない。

## 【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students improve in German and the mutual understanding of other cultures.

The goal is for students to improve in German and the understanding of a different culture.

Before each class meeting, students will be expected to have read the next chapter from the text.

Students will be expected have completed the required assignments after each class meeting.

Final grade will be calculated according to the following process  
Term-end examination(60%)and in-class cotribution(40%).

LANd200LA

ドイツ語 3 II

2017 年度以降入学者

外山 知子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語の向上を目指し、ドイツ文化を素材として異文化理解を深める。

【到達目標】

ドイツ語のいろいろなタイプの文章が自分で楽しみながら読めるようになる。それにとどまらず語彙を増やし、構造を理解しながらドイツ語の総合力を高める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業形態は対面だが、Zoom によるオンラインになる回もあるので、「各回の授業形態」を観なさい。

学習支援システムに「お知らせ」をよく載せるので、常にチェックすること。特に初回の前は早めに「お知らせ」をチェックしなさい。さまざまなタイプのドイツ語で書かれた文章を味わいながら読む。各課ごとの練習問題を通して総合力を高める。

舌の「その他の重要事項」を初回の授業の前によく読みなさい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入、ドイツ語の感覚	授業の進め方、勉強の仕方、勉強に役立つ情報などを聞いた後、感覚を取り戻すためにドイツ語に触れる。
2	Lektion 6 Abschlussprüfung Verdammt heißhier unten!	Lektion 6 のテキストを読み、現在完了形（2）、zu 不定詞、過去分詞の用法について学ぶ。
3	Lektion 6 の続き。	Lektio 6 の練習問題。
4	Lektion 7 Kurze Geschichte der Sonntagsruhe	Lektion 7 のテキストを読み、話法の助動詞、受動文について学ぶ。
5	Lektion 7 の続き。	Lektio 7 の練習問題。
6	Lektion 8 Geschichte der Gastarbeiter	Lektion 8 のテキストを読み、形容詞の比較表現、zu 不定詞（2）について学ぶ。
7	Lektion 8 の続き。	Lektio 8 の練習問題。
8	Lektion 9 Vom deutschen Stil	Lektion 9 のテキストを読み、定冠詞類、不定冠詞類、現在分詞の用法について学ぶ。
9	Lektion 9 の続き。	Lektio 9 の練習問題。
10	プリントなどで教科書 以外のドイツ語に触れる。	学生の希望と実力に応じた内容のテキストを読む。
11	プリントなどで教科書 以外のドイツ語に触れる。	引き続き、学生の希望と実力に応じた内容のテキストを読む。
12	プリントなどで教科書 以外のドイツ語に触れる。	なかなか授業で触れることのないタイプのドイツ語を読む。

13 重要事項の補足。特に重要な事項を詳しく学ぶ。

14 試験・まとめと補 試験と秋学期のまとめをする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

前回学んだことの復習とテキストの予習。

本文の講読は全体を予習した方が、練習問題は解きやすい。

学んだことはなるべくその日のうちに復習しよう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

荻原耕平／島山寛／高本敬之著 『ドイツ語トライアングル やさしい中級テキスト 9 章』 同学社 4 版 2021 年 2000 円（税別）

【参考書】

本郷建治著『ドイツ文法の要点』三修社

中島悠爾他著『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』白水社

【成績評価の方法と基準】

出席は原則として 3 分の 2 以上を必要とする。配慮される場合には [その他の重要事項] を参照のこと。具体的には授業中に話す。基本的には期末試験 60%、授業参加度（宿題、課題をふくむ平常点）40% の割合で総合評価する。遅刻 3 回で欠席 1 回にカウントされる。

【学生の意見等からの気づき】

積極的な授業参加を歓迎します。遅刻と出席には気をつけましょう。

【学生が準備すべき機器他】

Zoom ができる機器。なるべく画面の大きいもの。なければスマートフォンでもかまわない。周囲がうるさければヘッドセット。

【その他の重要事項】

楽しく、まじめに勉強しよう。

公欠届、診断書などはきちんとその都度すぐに提出すること。コロナに関しては大学の指示に従いなさい。

教科書と電波のつながらない独和辞典（電波の入る機器を辞書代わりに使うことは許可しない）を毎回手元に置き、使用すること。

対面とオンラインを何回目にやるかは授業の進度によって少しづれることがある。学習支援システムの「お知らせ」にいつも気をつけていなさい。

休んだときは授業の前か終了後すぐに理由を連絡すること。正当な理由とみなされた場合にのみ配慮される。何日も縦から申告しても配慮対象にならない。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students improve in German and the mutual understanding of other cultures.

The goal is for students to improve in German and the understanding of a different culture.

Before each class meeting, students will be expected to have read the next chapter from the text.

Students will be expected have completed the required assignments after each class meeting.

Final grade will be calculated according to the following process Term-end examination(60%)and in-class cotribution(40%).

LANd200LA

## ドイツ語 3 I

2017 年度以降入学者

小野間 亮子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級文法の復習を行いつつ、辞書を使って多彩なテーマに関する文章が読める力を養成する。  
日常会話に必要な語彙の定着を図り、ドイツ語による表現の方法を学ぶ。

## 【到達目標】

これまで学んできた初級ドイツ語よりも複雑かつ自然な表現を習得することができる。  
ドイツ語圏の生活や文化に関する基本的な知識を身に付けることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

読解、作文および会話の練習を通じて、総合的なドイツ語力の向上を図る。

履修生は授業時間内にドイツ語の発音・練習問題の解答・読解テキストの和訳を行い、その都度教員が確認する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	あいさつ	ドイツ語で自己紹介
第 2 回	ドイツ	ドイツを旅する魅力
第 3 回	ドイツ	数字で見るドイツ
第 4 回	ドイツ	クイズでドイツを知ろう
第 5 回	鉄道と自転車の旅	鉄道の旅
第 6 回	鉄道と自転車の旅	自転車の旅
第 7 回	鉄道と自転車の旅	電車の乗り方
第 8 回	メルヘンの森から	メルヘンの成立
第 9 回	メルヘンの森から	グリム童話を読む
第 10 回	メルヘンの森から	日本とドイツの昔話
第 11 回	ウィーン	カフェ文化
第 12 回	ウィーン	モーツァルトとサリエリ
第 13 回	ウィーン	ウィーン観光
第 14 回	試験・まとめ	春学期に学んだ内容を確認する

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各章の読解テキストについては、予習を行った上で授業に臨むこと。  
予習を授業中に行うことは一切認めない。  
また、練習問題やドイツ語作文の宿題を課す場合がある。  
本授業の準備・復習時間は合わせて 1 時間を標準とする。

## 【テキスト（教科書）】

『ファウストとメフィストと学ぶドイツ文化 8 章プラス・エクストラ』和泉雅人・三ツ石祐子・Ute Schmidt・Duppel-Takayama Mechthild 著、三修社（2022 年刊行）

## 【参考書】

『必携ドイツ文法総まとめ（改訂版）』中野悠爾・平尾浩三・朝倉巧著、白水社（2003 年刊行）

## 【成績評価の方法と基準】

授業（読解・文法練習問題・会話練習・作文）への取り組み 40 % 学期末試験 60 % を総合的に判断する。

なお成績評価の対象となるためには原則として授業実施回数 3 分の 2 以上の出席を必要とする。

## 【学生の意見等からの気づき】

ドイツの文化について調べたり紹介し合ったりする機会を増やしたい。

## 【学生が準備すべき機器他】

紙の辞書あるいは電子辞書を持参すること。  
教務システムや Zoom に接続可能なデバイスを用意すること。

## 【Outline (in English)】

The main aim of this course is the development of the students' language skills needed to communicate spontaneously and fluently by their German speaking, listening, reading and writing.

The goals of this course are to be able to deepen the knowledge and understanding of the contemporary German culture.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook.

Your required study time is about one hour for each class meeting.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination:60%

Class attendance and attitude in Class:40%

LANd200LA

## ドイツ語3Ⅱ

2017年度以降入学者

小野間 亮子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級文法の復習を行いつつ、辞書を使って多彩なテーマに関する文章が読める力を養成する。

日常生活に必要な語彙の定着を図り、ドイツ語による表現の方法を学ぶ。

## 【到達目標】

これまで学んできた初級ドイツ語よりも複雑かつ自然な表現を習得することができる。

ドイツ語圏の生活や文化に関する基本的な知識を身に付けることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

読解および作文を通じて、総合的なドイツ語力の向上を図る。

履修生は授業時間内にドイツ語の発音・練習問題の解答・読解テキストの和訳を行い、その都度教員が確認する。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	世界遺産	ドイツの世界遺産
第2回	世界遺産	世界文化遺産とは
第3回	世界遺産	世界遺産紹介
第4回	世界遺産	世界遺産レポート
第5回	アイディアの国、ドイツ	ドイツ人の発明
第6回	アイディアの国、ドイツ	ビルケンシュトック
第7回	アイディアの国、ドイツ	ドイツの有名企業
第8回	Die DDR	壁の崩壊
第9回	Die DDR	Ostalgie(オスタルギー)
第10回	Die DDR	ベルリン観光
第11回	第九	新しい音楽、新しい絵画
第12回	第九	日本初演
第13回	第九	第九の合唱
第14回	試験・まとめ	秋学期に学んだ内容を確認する

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各章の読解テキストについては、予習を行った上で授業に臨むこと。予習を授業中に行うことは一切認めない。

また、練習問題やドイツ語作文の宿題を課す場合がある。本授業の準備・復習時間は合わせて1時間を標準とする。

## 【テキスト（教科書）】

『ファウストとメフィストと学ぶドイツ文化8章プラス・エクストラ』和泉雅人・三ツ石祐子・Ute Schmidt・Duppel-Takayama Mechthild 著、三修社（2022年刊行）

## 【参考書】

『必携ドイツ文法総まとめ（改訂版）』中野悠爾・平尾浩三・朝倉巧著、白水社（2003年刊行）

## 【成績評価の方法と基準】

授業（読解・文法練習問題・会話練習・作文）への取り組み40% 学期末試験60%を総合的に判断する。

なお成績評価の対象となるためには原則として授業実施回数3分の2以上の出席を必要とする。

## 【学生の意見等からの気づき】

ドイツ語圏の文化について調べたり紹介し合ったりする機会を増やしたい。

## 【学生が準備すべき機器他】

紙の辞書か電子辞書を持参すること。

教務システムやZoomに接続可能なデバイスを用意すること。

## 【Outline (in English)】

The main aim of this course is the development of the students' language skills needed to communicate spontaneously and fluently by their German speaking, listening, reading and writing.

The goals of this course are to be able to deepen the knowledge and understanding of the contemporary German culture.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook.

Your required study time is about one hour for each class meeting.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination:60%

Class attendance and attitude in Class:40%

LANd200LA

## ドイツ語 3 I

2017 年度以降入学者

外山 知子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土 2/Sat.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語の向上を目指し、ドイツの文化を学びながら異文化理解を深める。

## 【到達目標】

1 年生で学習した文法事項、未学習の文法事項を復習したり新たに学んだりしながら、いろいろなタイプのドイツ語の文章を自分で楽しみながら読めるようになる。それにとどまらず語彙を増やし、構造を理解しながらドイツ語の総合力を高める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業形態は対面だが、Zoom によるオンラインになる回もあるの、「各回の授業形態」を見なさい。

学習支援システムに「お知らせ」をよく載せるので、常にチェックすること。特に初回の前は早めに「お知らせ」をチェックしなさい。さまざまなタイプのドイツ語で書かれた文章を味わいながら読む。各課ごとの練習問題を通して総合力を高める。

下の「その他の重要事項」を初回の授業の前によく読みなさい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習をかねての課題。	授業の進め方、勉強の仕方、勉強に役立つ情報などを聴いた後、感覚を取り戻すためにドイツ語に触れる。教科書を持ってくること。
2	Lektion 1 Brot Wurst DöKebab	Lektion 1 のテキストを読み、不規則変化する動詞、形容詞の語尾変化、形容詞の名詞化について学ぶ。
3	Lektion 1 の続き。	Lektion 1 の練習問題。
4	Lektion 2 Herr Böse und Herr Streit	Lektion 2 のテキストを読み、不規則変化する動詞、形容詞の語尾変化、形容詞の名詞化について学ぶ。
5	Lektion 2 の続き。	Lektion 2 の練習問題
6	Lektion 3 Berlin-Eine wunderbare Stadt	Lektion 3 のテキストを読み、再帰動詞、分離動詞、接続法第 2 式について学ぶ。
7	Lektion 3 の続き。	Lektion 3 の練習問題
8	Lektion 4 Der süße Brei	Lektion 4 のテキストを読み、指示代名詞、命令形について学ぶ。
9	Lektion 4 の続き。	Lektion 4 の練習問題。
10	Lektion 5 Wiener Kaffehauskultur	Lektion 5 のテキストを読み、関係代名詞、現在完了について学ぶ。
11	Lektion 5 の続き。	Lektion 5 の練習問題。
12	これまでの文法の補足。	これまで学んだことの他に重要な文法事項について学ぶ。
13	重要な事項の補足	特に重要な事項を詳しく学ぶ。
14	試験・まとめと解説。	試験と春学期のまとめをする。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業での指示に従うこと。

本文の講読は全体を予習した方が、練習問題は解きやすい。

学んだことはなるべくその日のうちに復習しよう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

## 【テキスト（教科書）】

耕平耕平／畠山 寛／高本敬之著『ドイツ語トライアングル やさしい中級テキスト 9 章』同学社 4 版 2021 年 2000 円（税別）初回から独和辞典とともに持ってくる。

## 【参考書】

本郷建治著『ドイツ文法の要点』三修社

中島悠爾他著『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』白水社

## 【成績評価の方法と基準】

出席は原則として 3 分の 2 以上を必要とする。配慮される場合については【その他の重要事項】を参照のこと。基本的には期末試験＋小テスト 60 %、授業参加度（宿題、課題をふくむ平常点）40 % の割合で総合評価する。遅刻 3 回で欠席 1 回にカウントされる。

## 【学生の意見等からの気づき】

緊張感を持って遅刻せず、積極的な授業参加を歓迎します。

## 【学生が準備すべき機器他】

Zoom ができる機器。なるべく画面の大きいもの。なければスマートフォンでもかまわない。周囲がうるさければヘッドセット。

## 【その他の重要事項】

楽しく、まじめに真剣に参加しよう。

公欠届、診断書などはきちんと出しなさい。コロナに関しては大学の指示に従いなさい。体調不良と書くだけでなく、症状も書くこと。教科書と独和辞典（電波の入る機器を辞書代わりに使うことは許可しない）を毎回手元に置き、使用すること。

対面とオンラインを何回目にやるかは授業の進度によって、少しずれることがある。学習支援システムの「お知らせ」にいつも気をつけていなさい。

休んだときは授業の前か終了後すぐに理由を連絡すること。正当な理由とみなされた場合のみ配慮される。何日も経ってから申告しても配慮対象にならない。

## 【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students improve in German and the mutual understanding of other cultures.

The goal is for students to improve in German and the understanding of a different culture.

Before each class meeting, students will be expected to have read the next chapter from the text.

Students will be expected have completed the required assignments after each class meeting.

Final grade will be calculated according to the following process  
Term-end examination(60%)and in-class cotribution(40%).

LANd200LA

ドイツ語 3 II

2017 年度以降入学者

外山 知子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土 2/Sat.2

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語の向上を目指し、ドイツ文化を素材として異文化理解を深める。

【到達目標】

ドイツ語のいろいろなタイプの文章が自分で楽しみながら読めるようになる。それにとどまらず語彙を増やし、構造を理解しながらドイツ語の総合力を高める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業形態は対面だが、Zoom によるオンラインになる回もあるので、「各回の授業形態」を観なさい。

学習支援システムに「お知らせ」をよく載せるので、常にチェックすること。特に初回の前は早めに「お知らせ」をチェックしなさい。さまざまなタイプのドイツ語で書かれた文章を味わいながら読む。各課ごとの練習問題を通して総合力を高める。

舌の「その他の重要事項」を初回の授業の前によく読みなさい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入、ドイツ語の感覚	授業の進め方、勉強の仕方、勉強に役立つ情報などを聞いた後、感覚を取り戻すためにドイツ語に触れる。
2	Lektion 6 Abschlussprüfung Verdammt heißhier unten!	Lektion 6 のテキストを読み、現在完了形（2）、zu 不定詞、過去分詞の用法について学ぶ。
3	Lektion 6 の続き。	Lektio 6 の練習問題。
4	Lektion 7 Kurze Geschichte der Sonntagsruhe	Lektion 7 のテキストを読み、話法の助動詞、受動文について学ぶ。
5	Lektion 7 の続き。	Lektio 7 の練習問題。
6	Lektion 8 Geschichte der Gastarbeiter	Lektion 8 のテキストを読み、形容詞の比較表現、zu 不定詞（2）について学ぶ。
7	Lektion 8 の続き。	Lektio 8 の練習問題。
8	Lektion 9 Vom deutschen Stil	Lektion 9 のテキストを読み、定冠詞類、不定冠詞類、現在分詞の用法について学ぶ。
9	Lektion 9 の続き。	Lektio 9 の練習問題。
10	プリントなどで教科書以外のドイツ語に触れる。	学生の希望と実力に応じた内容のテキストを読む。
11	プリントなどで教科書以外のドイツ語に触れる。	引き続き、学生の希望と実力に応じた内容のテキストを読む。
12	プリントなどで教科書以外のドイツ語に触れる。	なかなか授業で触れることのないタイプのドイツ語を読む。

13 重要事項の補足。特に重要な事項を詳しく学ぶ。

14 試験・まとめと補 試験と秋学期のまとめをする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

前回学んだことの復習とテキストの予習。

本文の講読は全体を予習した方が、練習問題は解きやすい。

学んだことはなるべくその日のうちに復習しよう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

荻原耕平／島山寛／高本敬之著 『ドイツ語トライアングル やさしい中級テキスト 9 章』三修社 4 版 2021 年 2000 円（税別）

【参考書】

本郷建治著『ドイツ文法の要点』三修社

中島悠爾他著『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』白水社

【成績評価の方法と基準】

出席は原則として 3 分の 2 以上を必要とする。配慮される場合には [その他の重要事項] を参照のこと。具体的には授業中に話す。基本的には期末試験 60%、授業参加度（宿題、課題をふくむ平常点）40%の割合で総合評価する。遅刻 3 回で欠席 1 回にカウントされる。

【学生の意見等からの気づき】

積極的な授業参加を歓迎します。遅刻と出席には気をつけましょう。

【学生が準備すべき機器他】

Zoom ができる機器。なるべく画面の大きいもの。なければスマートフォンでもかまわない。周囲がうるさければヘッドセット。

【その他の重要事項】

楽しく、まじめに勉強しよう。

公欠届、診断書などはきちんとその都度すぐに提出すること。コロナに関しては大学の指示に従いなさい。

教科書と電波のつながらない独和辞典（電波の入る機器を辞書代わりに使うことは許可しない）を毎回手元に置き、使用すること。

対面とオンラインを何回目にやるかは授業の進度によって少しづれることがある。学習支援システムの「お知らせ」にいつも気をつけていなさい。

休んだときは授業の前か終了後すぐに理由を連絡すること。正当な理由とみなされた場合にのみ配慮される。何日も縦から申告しても配慮対象にならない。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students improve in German and the mutual understanding of other cultures.

The goal is for students to improve in German and the understanding of a different culture.

Before each class meeting, students will be expected to have read the next chapter from the text.

Students will be expected have completed the required assignments after each class meeting.

Final grade will be calculated according to the following process Term-end examination(60%)and in-class cotribution(40%).

LANd200LA

## ドイツ語 3 I

2017 年度以降入学者

日中 鎮朗

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語の基本文法をひと通り学習した学生が対象です。基本文法を確認しながら語彙を増やし、ドイツ語表現を学ぶことがこの授業の目標です。

## 【到達目標】

ドイツ語の文法の確認ができます。  
ドイツ語で日常的な表現を身につけます。  
ドイツの生活・習慣・習俗・社会制度について知ることができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

文法説明等は講義形式になりますが、毎回、担当者を決めて訳読します。

回ごとのトピックや表現方法を取り上げながら、授業を進めます。映画や映像教材を使って、それを授業で見ることで、聞き取る能力をつけます。

これらと並行して、ドイツの歴史や文化に触れる視聴覚資料を利用していきます。

また、適宜、確認小テストを行う。

課題、また確認小テストのフィードバックを行う。

なお、オンライン授業を活用するなど、教育の多様化を意識した柔軟な運用を行う。授業支援システム、Hoppii をよく見ること。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	---オンラインによるイントロダクション---	---オンラインによるイントロダクションを行い、授業の進め方などの説明、および Lektion1 を行う---
第 2 回	Lektion1 相手について知る	動詞の位置と練習問題
第 3 回	Lektion2 Meine Familie 家族の紹介	名詞の性のまとめ
第 4 回	Lektion2 Meine Familie 家族の持ち物	所有冠詞と練習問題
第 5 回	Lektion3 Meine Hobbys 趣味について語る	不規則動詞のまとめ
第 6 回	Lektion3 Meine Hobbys ドイツ人の趣味	
第 6 回	確認小テストと質問受付	これまでの学習部分の文法的、解釈的確認と質問対応
第 7 回	Lektion4 Zum Chiemsee ドイツの名所	いくつかのテーマに従って、ドイツ語の表現を学ぶ
		名詞の複数形と練習問題

第 8 回 Lektion4 名詞の 3 格について

Zum Chiemsee

ドイツの名所

第 9 回 Lektion4 前置詞と練習問題

Zum Chiemsee

交通機関について

第 10 回 Lektion5 分離・非分離動詞のまとめ

Gesundheit

ドイツの保険・医療制度

第 11 回 Lektion5 時刻の表現と練習問題

Gesundheit

ドイツと日本の医療の比較

第 12 回 Lektion6 話法の助動詞のまとめ

Einkaufen

買い物の表現

第 13 回 確認小テストによる知識の定着と質問受付 これまでの学習部分の文法的、解釈的確認と質問対応

第 14 回 春学期で学んだ表現の振り返りと期末試験・振り返り期末試験・まとめと解説

春学期の文法事項から見た表現の振り返り期末試験・まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説

まとめと解説



LANd200LA

## ドイツ語 3 II

2017 年度以降入学者

日中 鎮朗

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語の基本文法をひと通り学習した学生が対象です。春学期に学習したことを確実にし、基本文法を確認しながら語彙を増やし、ドイツ語表現を学ぶことがこの授業の目標です。

## 【到達目標】

ドイツ語の文法の確認ができます。  
ドイツの生活・習慣・習俗・社会制度について知ることができます。  
日常生活についてドイツ語での表現法を身につけることができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

1 年時に学んだ文法事項を確認しながら、別角度で文法体系を見直します。

毎回、担当を決めて本文と Lesetext を訳読し、解説を加えます。また、適宜、確認小テストを行う。

課題、また確認小テストのフィードバックを行う。

なお、オンラインシステムを活用し、教育の多様化に対応するなどの運用を行う。

毎週、授業支援システム、Hoppii をよく見ること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション ミュンヘン 大都市の生活	シラバスの説明 3・4 格支配の前置詞の文章
第 2 回	ミュンヘン 文化と芸術	並列接続詞を使った文を学ぶ
第 3 回	Nach dem Urlaub ドイツの休暇制度	定冠詞類のまとめ
第 4 回	Nach dem Urlaub ドイツ人の休暇の過ごし方	過去形を使った文を学ぶ
第 5 回	Essen und Trinken ドイツの食習慣 テーブルマナーの比較	現在完了形の表現を学ぶ副文を使った表現を学ぶ
第 6 回	確認小テスト①	これまでの学習の内容や文法事項を確認する
第 7 回	Weihnachten ドイツのクリスマス	比較級と最上級を学ぶ
第 8 回	Weihnachten クリスマスの祝い	再帰代名詞と再帰動詞を学ぶ
第 9 回	Mode ドイツのファッション	形容詞の格変化のまとめ
第 10 回	Mode 日本・ドイツ・イタリアのモードの比較	天候の表現を学ぶ
第 11 回	Mein Wunsch 願望や仮定の表現	接続法第 2 式を使った文例を学ぶ
第 12 回	Mein Wunsch 留学生の生活 夢を語る表現	zu 不定詞を学ぶ es の用法を学ぶ

第 13 回 確認小テスト② これまでの学習の内容や文法知識の定着を確実にものにする

第 14 回 秋学期の総復習と試験、まとめと解説 文法や表現方法の要点確認と試験まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、1 回につき合わせて 1 時間以上を標準とします。

授業で習った知識を確実にするためにも、復習を行います。

次回に行く章や文章のわからない単語、語句を調べ、自分で訳を試みます。

自分の訳と授業での訳との違いの理由を確かめ、正確な理解に努めます。

テキストの毎回のテーマに関心を持ち、関連する本を読むとより興味をもって授業に臨め、理解も深めることができます。

## 【テキスト（教科書）】

ドイツ語の時間くときめきミュンヘン＞ 清野智明他著 朝日出版社

## 【参考書】

必要があれば適宜指示します。

## 【成績評価の方法と基準】

学期末に試験を行います。

期末試験 50 %

平常点（訳読などの課題発表・確認テストの成績累計、授業への積極的取組・参加）50 %

## 【学生の意見等からの気づき】

わかりやすい丁寧な説明を継続します。

ドイツについて新しい発見ができるように構成します。

## 【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業やハイフレックス型授業の場合必要な機器として Zoom で接続可能なデバイスを準備してください。

## 【その他の重要事項】

春学期・秋学期合わせての履修を推奨します。

## 【Outline (in English)】

【Course outline】 German for Ichigaya Liberal Arts Center (ILAC) Program.

This course provides advanced German expressions through reading and is open to the students who completed German 1 and German 2 in the ILAC Program.

【Learning Objectives】 By the end of the course, students should be able to:

- confirm German grammar.
- learn expressions of daily German conversation.
- know about the way of German lives, manners and customs of Germany and the social systems.

【Learning activities outside of classroom】 Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading criteria: Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Term-end examination: 50%、Short tests, an assignment and in-class contribution: 50%

LANd200LA

## ドイツ語 3 I

2017 年度以降入学者

岡本 雅克

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、初級よりワンランク上の読解の技術を身につけると同時に、さまざまなドイツ事情について学習することを目的とする。

## 【到達目標】

初級で学んだ文法を復習しながら、より複雑な文章表現に慣れることによって、読解力を伸ばすことが、この授業の到達目標である。また、さまざまなドイツ事情に関する文章を読むことによって、ドイツやドイツ語圏の国々に興味を持つきっかけとなることを期待する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で行う。使用する教科書は 15 課からなり、各課とも文法、会話文、練習問題、読章から構成されている。文法をもう一度確認しながら、練習問題に取り組むと同時に、会話文やドイツ事情に関する文章を読む。

なおフィードバックは「学習支援システム」を通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	あいさつ表現
2	Lektion 1 自己紹介	動詞の位置
3	読章	Deutschland (ドイツ)
4	Lektion 2 私の家族	所有冠詞
5	読章	Familienbild (家族像)
6	Lektion 3 私の趣味	不規則動詞
7	読章	Deutsch (ドイツ語)
8	Lektion 4 キーム ゼーヘ	前置詞
9	Lektion 4 読章	Souvenirs aus Deutschland (ドイツのお土産)
10	Lektion 5 健康	人称代名詞、分離・非分離動詞
11	読章	Das Gesundheitswesen in Deutschland (ドイツの健康保険制度)
12	Lektion 6 買い物	話法の助動詞、命令形
13	読章	Einkaufen in Deutschland (ドイツの買い物)
14	試験	まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

与えられた課題に取り組んだ上で授業にのぞむこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

## 【テキスト（教科書）】

清野智昭、時田伊津子、牛山さおり『ドイツ語の時間〈ときめきミュージック〉 コミュニカティブ版—マルチメディア—』（朝日出版社）ISBN9784255253909 ¥2600

## 【参考書】

その都度指示する。

## 【成績評価の方法と基準】

期末試験の得点を 70 %、平常点を 30 % の合計で評価する。平常点は、授業中に練習問題や和訳等にしっかり取り組むこと、あるいは、与えられた課題について予習をしてきた形跡が認められることを標準とする。

## 【学生の意見等からの気づき】

授業の進捗については、学生たちの理解度に応じて、柔軟に対応する。

## 【学生が準備すべき機器他】

授業がオンラインに転換になった場合、Zoom で接続可能なデバイス。

## 【Outline (in English)】

In this course, we use a textbook on reading and aim to acquire the ability to read, write, listen and speak German. In addition, we cultivate a view of intercultural understanding through a comparison of German and English.

At the end of the course, students are expected to improve reading comprehension while reviewing grammar.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be one hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 70 %, Usual performance score: 30 %

LANd200LA

## ドイツ語3Ⅱ

2017 年度以降入学者

岡本 雅克

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、初級よりワンランク上の読解の技術を身につけると同時に、さまざまなドイツ事情について学習することを目的とする。

## 【到達目標】

初級で学んだ文法を復習しながら、より複雑な文章表現に慣れることによって、読解力を伸ばすことが、この授業の到達目標である。また、さまざまなドイツ事情に関する文章を読むことによって、ドイツやドイツ語圏の国々に興味を持つきっかけとなることを期待する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で行う。文法をもう一度確認しながら、練習問題に取り組みと同時に、会話文やドイツ事情に関する文章を読む。

なおフィードバックは「学習支援システム」を通じて行う。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Lektion 7	ミュンヘン 前置詞
2	読章	München (ミュンヘン)
3	Lektion 8	休暇の後 現在完了形、過去形
4	読章	Urlaubstage in Deutschland und Japan (ドイツと日本の有給休暇)
5	資料配付	アットマークについて
6	Lektion 9	食事 定冠詞類、副文
7	読章	Knigge im Alltag in Deutschland (ドイツの日常のマナー)
8	Lektion 10	クリスマス 比較級と最上級、再帰表現
9	読章	Weihnachten in Deutschland (ドイツのクリスマス)
10	Lektion 11	ファッ ション 形容詞の格変化
11	読章	Mode in Deutschland?(ドイツのファッション?)
12	Lektion 12	私の夢 接続法第 2 式、zu 不定詞句
13	読章	Studium in Deutschland (ドイツの大学での勉強)
14	試験	まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

与えられた課題に取り組んだ上で授業にのぞむこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

## 【テキスト（教科書）】

清野智昭、時田伊津子、牛山さおり『ドイツ語の時間〈ときめきミュンヘン〉 コミュニカティブ版—マルチメディア—』（朝日出版社） ISBN9784255253909 ¥2600

## 【参考書】

その都度指示する。

## 【成績評価の方法と基準】

期末試験の得点を 70 %、平常点を 30 % の合計で評価する。平常点は、授業中に練習問題や和訳等にしっかり取り組むこと、あるいは、与えられた課題について予習をしてきた形跡が認められることを標準とする。

## 【学生の意見等からの気づき】

授業の進度については、学生たちの理解度に応じて、柔軟に対応する。

## 【学生が準備すべき機器他】

授業がオンラインに転換になった場合、Zoom で接続可能なデバイス。

## 【Outline (in English)】

In this course, we use a textbook on reading and aim to acquire the ability to read, write, listen and speak German. In addition, we cultivate a view of intercultural understanding through a comparison of German and English.

At the end of the course, students are expected to improve reading comprehension while reviewing grammar.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be one hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 70 %, Usual performance score: 30 %

LANd200LA

## ドイツ語 3 I

2017 年度以降入学者

## D. ハイデンライヒ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 5/Tue.5

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語の名言名句や文学作品を用いて、テキストを的確に把握して、内容を正確に理解できるようになることを目的とします。ドイツ語の基本文法をひと通り学習した学生が対象です。

## 【到達目標】

- ドイツ語で書かれた文章を読んで理解できる。
- 名言名句や文学作品に対する関心や理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

ドイツ語のテキストをさまざまな形で教材化したものを読み、問題を解きます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	シラバスを読み、授業内容を確認する。
2	諺（1）	ドイツ語の諺を読み、文法を確認し、意味と使い方を理解する。
3	諺（2）	ドイツ語の諺を読み、文法を確認し、意味と使い方を理解する。
4	諺（3）	ドイツ語の諺を読み、文法を確認し、意味と使い方を理解する。
5	諺物語（1）	ドイツ語の諺についての物語を読み、内容を正確に理解する。
6	諺物語（2）	ドイツ語の諺についての物語を読み、内容を正確に理解する。
7	諺物語（3）	ドイツ語の諺についての物語を読み、内容を正確に理解する。
8	寓話（1）	ドイツ語の寓話（教訓を含んだ短い文章）を読み、修辞や思想を探る。
9	寓話（2）	ドイツ語の寓話（教訓を含んだ短い文章）を読み、修辞や思想を探る。
10	寓話（3）	ドイツ語の寓話（教訓を含んだ短い文章）を読み、修辞や思想を探る。
11	歌謡曲（1）	ドイツ語の Schlager を聴き読み、ドイツ語特有の音声変化やリズムに慣れ親しむ。
12	歌謡曲（2）	ドイツ語の Schlager を聴き読み、ドイツ語特有の音声変化やリズムに慣れ親しむ。
13	歌謡曲（3）	ドイツ語の Schlager を聴き読み、ドイツ語特有の音声変化やリズムに慣れ親しむ。
14	試験・まとめ	春学期に学んだ内容を確認する。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で扱われたムビーなどを用いて個人で自己学習を進めることが望まれます。

「本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。」

## 【テキスト（教科書）】

テキストは使わず、学習支援システムに事前に授業資料をアップします。各自プリントアウトして授業に持参してください。

## 【参考書】

教室で指示する。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点：50%

学期末試験：50%

## 【学生の意見等からの気づき】

特になし。

## 【学生が準備すべき機器他】

Hoppiu 学習支援システムを利用するので、情報機器（パソコン、プリンター）などを準備して下さい。これらの環境を整えることが難しい場合は、大学の PC やプリンター、wifi を利用して下さい。

## 【Outline (in English)】

The purpose of this course is to enable students to accurately grasp the text and accurately understand the content using German quotes and literary works. For students who have learned basic German grammar.

- Can read and understand texts written in German.
- Deepen interest and understanding of quotes and literary works.

## Homework/review.

The total standard time for preparation and review for this class is 1 hour.

Normal score: 50%

Semester final exam: (50%)

LANd200LA

ドイツ語 3 II

2017 年度以降入学者

D. ハイデンライヒ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 5/Tue.5

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語の名言名句や文学作品を用いて、テキストを的確に把握して、内容を正確に理解できるようになることを目的とします。ドイツ語の基本文法をひと通り学習した学生が対象です。

【到達目標】

- ・ドイツ語で書かれた文章を読んで理解できる。
- ・名言名句や文学作品に対する関心や理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ドイツ語のテキストをさまざまな形で教材化したものを読み、問題を解きます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	シラバスを読み、授業内容を確認する。
2	広告のスローガン (1)	ドイツ語の広告スローガンを読み、ドイツ人の価値観などを理解する。
3	広告のスローガン (2)	ドイツ語の広告スローガンを読み、ドイツ人の価値観などを理解する。
4	広告のスローガン (3)	ドイツ語の広告スローガンを読み、ドイツ人の価値観などを理解する。
5	メルヘン (1)	ドイツ語のメルヘンを読み、ストーリーを追いながら全体の展開を把握する。
6	メルヘン (2)	ドイツ語のメルヘンを読み、ストーリーを追いながら全体の展開を把握する。
7	メルヘン (3)	ドイツ語のメルヘンを読み、ストーリーを追いながら全体の展開を把握する。
8	小説 (1)	ドイツ語の短い小説を読む。ストーリーを追いながら全体の構成、細部の表現などを把握する練習をする。
9	小説 (2)	ドイツ語の短い小説を読む。ストーリーを追いながら全体の構成、細部の表現などを把握する練習をする。
10	小説 (3)	ドイツ語の短い小説を読む。ストーリーを追いながら全体の構成、細部の表現などを把握する練習をする。
11	映画の台詞 (1)	映画の台詞を読み、本物の対話を覚える。
12	映画の台詞 (2)	映画の台詞を読み、本物の対話を覚える。

13 映画の台詞 (3) 映画の台詞を読み、本物の対話を覚える。

14 試験・まとめ 秋学期に学んだ内容を確認する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で扱われたムービーなどを用いて個人で自己学習を進めることが望まれます。

「本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。」

【テキスト（教科書）】

テキストは使わず、学習支援システムに事前に授業資料をアップします。各自プリントアウトして授業に持参してください。

【参考書】

教室で指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点：50%

学期末試験：50%

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

Hoppii 学習支援システムを利用するので、情報機器（パソコン、プリンター）などを準備して下さい。これらの環境を整えることが難しい場合は、大学の PC やプリンター、wifi を利用して下さい。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to enable students to accurately grasp the text and accurately understand the content using German quotes and literary works. For students who have learned basic German grammar.

- ・ Can read and understand written in German.
- ・ Deepen interest and understanding of quotes and literary works.

Homework, review.

The total standard time for preparation and review for this class is 1 hour.

Normal score: 50%

Semester final exam: 50%

LANd200LA

## ドイツ語 3 I

2017 年度以降入学者

ADAM D JAMBOR

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年間学んだドイツ語文法を復習しドイツ語の理解をより定着させ、ドイツ語の文章を使って読解力を強化する。ドイツ語で書かれた記事・エッセイ等の読解はドイツの日常・社会・文化をより理解するようになる。

## 【到達目標】

読解力をつけることで基礎的なドイツ語の文章を読めるようになる。辞書を使って、より複雑な文章も理解できるようになる。簡単な日常会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

文法の説明が終了後、教科書の練習問題を通して実際にその文法を使い、復習する。教科書以外のテキストを使って音読し、和訳する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	オリエンテーション	ドイツ語能力の確認 簡単な自己紹介 授業に関する説明
2 回	Lektion 1: 自己紹介	自己紹介の復習 天気に関する表現
3 回	Lektion 1: 天気予報	ドイツの地理・天気予報の読解
4 回	Lektion 2: 趣味	不規則動詞と格変化
5 回	Lektion 2: 祭り	ドイツの祭りについて学ぶ
6 回	Lektion 3: 持ち物	3 格・4 格と結びつく動詞
7 回	Lektion 3: 食べ物	ドイツの食文化（読解）
8 回	Lektion 4: 住居	2 格の用法・複数形
9 回	Lektion 4: ドイツの家族	ドイツの家族（読解）
10 回	Lektion 5: 自然	所有冠詞・命令形
11 回	Lektion 5: クラインガルテン	ドイツのクラインガルテン（読解）
12 回	Lektion 6: 街歩き	前置詞
13 回	Lektion 6: 案内	町の案内・市街図
14 回	復習	今学期で習った内容を復習する

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。前回の授業の文法を復習すること、単語を暗記すること、与えた課題・宿題に取り組むことが授業時間以外の主な学習です。

## 【テキスト（教科書）】

「ドライクラング・異文化理解のドイツ語」菅利恵著・大喜祐太著等、2020 年、郁文堂。3080 円  
ISBN：9784261012736  
読解の資料が配布される

## 【参考書】

新・独検合格 単語+熟語 1800、在間進・亀ヶ谷昌秀、第三書房、2010 年、2530 円  
ISBN：4808601451

## 【成績評価の方法と基準】

小テストの平均点数 70%、平常点 30%。

各 Lektion に関して小テストを行うため、全ての内容が問われる期末試験がありません。平常点において課題提出、出席、積極的な授業参加を総合的に評価

する。課題を行わない場合、平常点を減点する。

無断欠席が 4 回以上の場合、不合格とする。

## 【学生の意見等からの気づき】

全体的に教科書の評価が良くて、単語学習と 1 年の復習の役に立ったという意見もあれば、簡単すぎるという指摘もありました。1 年間ドイツ語を学習したクラスですが、クラス内の理解度について差があります。難度が高すぎるのも低すぎるのも学生の学習意欲にマイナスの影響を与えると考えられます。基礎的な復習しながらも、より難度の高い教材を求める履修者にドイツ語記事やワークシート等を提供するように工夫したいと思います。

## 【学生が準備すべき機器他】

独和辞典

教室で授業を行えない場合、Zoom に接続可能なデバイス（パソコンやタブレットが望ましい）とマイク付きイヤホン（ヘッドセット）

## 【Outline (in English)】

This lecture aims at strengthening the already learnt basic German grammar by using a textbook. Complementary texts will allow the students to deepen their reading and comprehension skills. By reading authentic articles and essays the students gain further insight into German society and culture.

Learning Objectives: By strengthening their reading skills students will gain the ability to read texts in basic German and will be able to read more complex texts with the help of a dictionary. Students will further be able to conduct basic oral communication.

Learning activities outside of classroom: The students are supposed to prepare and repeat the course contents for one hour per week. The main learning activities outside of classroom are repetition of the learnt grammar, memorizing vocabulary and doing homework or tasks, which are assigned by the teacher.

Grading Criteria /Policy: Point average of short tests 70%, course participation 30%. There will be a short test following the completion of every chapter. Therefore no final exam will be held. Course participation includes handing in homework and active participation during classes. If students fail to hand in their homework, points for the participation grade will be deducted. In case a student misses more than four classes without a reason, the student will not earn any credit for completing this course.

LANd200LA

## ドイツ語 3 II

2017 年度以降入学者

ADAM D JAMBOR

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

年間学んだドイツ語文法を復習しドイツ語の理解をより定着させ、ドイツ語の文章を使って読解力を強化する。  
ドイツ語で書かれた記事・エッセイ等の読解はドイツの日常・社会・文化をより理解するようになる。

## 【到達目標】

読解力をつけることで基礎的なドイツ語の文章を読めるようになる。  
辞書を使って、より複雑な文章も理解できるようになる。  
簡単な日常会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

文法の説明が終了後、教科書の練習問題を通して実際にその文法を使い、復習する。教科書以外のテキストを使って音読し、和訳する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	Lektion 7:交通	分離動詞・非分離動詞
2 回	Lektion 7:時間	一日の過ごし方に関する表現
3 回	Lektion 8:話法助動詞	話法助動詞・未来形を学習する
4 回	Lektion 8:旅の計画	非人称代名詞について学ぶ
5 回	Lektion 9:学校	再帰代名詞と再帰動詞を学ぶ
6 回	Lektion 9:接続詞	理由を述べる (weil)
7 回	Lektion 10:過去の出来事	現在完了形を学ぶ
8 回	Lektion 10:過去形	過去形を学ぶ
9 回	Lektion 10:ショートストーリー	ドイツのショートストーリー（読解）
10 回	Lektion 11:祝祭	形容詞の格変化・比較級・最上級
11 回	Lektion 11:クリスマス	ドイツのクリスマス（読解）
12 回	Lektion 12:政治・社会	関係代名詞
13 回	Lektion 12:想起の文化	想起の文化（読解）
14 回	復習・文法補足：受動態・接続法	受動態・接続法について学び、今学期で習った内容を復習する

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。  
前回の授業の文法を復習すること、単語を暗記すること、与えた課題・宿題に取り組むことが授業時間以外の主な学習です。

## 【テキスト（教科書）】

「ドライクラング・異文化理解のドイツ語」菅利恵著・大喜祐太著等、2020 年、郁文堂。3080 円

ISBN：9784261012736

読解の資料が配布される

## 【参考書】

新・独検合格 単語+熟語 1800、在間進・亀ヶ谷昌秀、第三書房、2010 年、2530 円

ISBN：4808601451

## 【成績評価の方法と基準】

小テストの平均点数 70%、平常点 30%。

各 Lektion に関して小テストを行うため、全ての内容が問われる期末試験がありません。平常点において課題提出、出席、積極的な授業参加を総合的に評価

する。課題を行わない場合、平常点を減点する。

無断欠席が 4 回以上の場合、不合格とする。

## 【学生の意見等からの気づき】

全体的に教科書の評価が良くて、単語学習と 1 年の復習の役に立ったという意見もあれば、簡単すぎるという指摘もありました。1 年間ドイツ語を学習したクラスですが、クラス内の理解度について差があります。難度が高すぎるのも低すぎるのも学生の学習意欲にマイナスの影響を与えると考えられます。基礎的な復習しながらも、より難度の高い教材を求める履修者にドイツ語記事やワークシート等を提供するように工夫したいと思います。

## 【学生が準備すべき機器他】

独和辞典

教室で授業を行えない場合、Zoom に接続可能なデバイス（パソコンやタブレットが望ましい）とマイク付きイヤホン（ヘッドセット）

## 【Outline (in English)】

This lecture aims at strengthening the already learnt basic German grammar by using a textbook. Complementary texts will allow the students to deepen their reading and comprehension skills. By reading authentic articles and essays the students gain further insight into German society and culture.

This lecture aims at strengthening the already learnt basic German grammar by using a textbook. Complementary texts will allow the students to deepen their reading and comprehension skills. By reading authentic articles and essays the students gain further insight into German society and culture.

Learning Objectives: By strengthening their reading skills students will gain the ability to read texts in basic German and will be able to read more complex texts with the help of a dictionary. Students will further be able to conduct basic oral communication.

Learning activities outside of classroom: The students are supposed to prepare and repeat the course contents for one hour per week. The main learning activities outside of classroom are repetition of the learnt grammar, memorizing vocabulary and doing homework or tasks, which are assigned by the teacher.

Grading Criteria /Policy: Point average of short tests 70%, course participation 30%. There will be a short test following the completion of every chapter. Therefore no final exam will be held. Course participation includes handing in homework and active participation during classes. If students fail to hand in their homework, points for the participation grade will be deducted. In case a student misses more than four classes without a reason, the student will not earn any credit for completing this course.

LANd200LA

## ドイツ語 3 I

2017 年度以降入学者

児島 由理

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

文法事項の確認・補足をしながら、ドイツ語力のステップアップを目指す。

様々な口頭・読解練習、ペアワークやグループワークを行うことで、ドイツ語を使う力を身につける。

## 【到達目標】

これまでのドイツ語の基礎知識をもとに、表現や語彙の幅を広げる。ドイツ語での実践的なコミュニケーション能力を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

教科書はリスニング・会話・読み物・文法問題等がバランスよく配置されています。文法や読解の説明は教員が行いますが、会話練習やリスニングに関しては、受講者の積極的な参加が望まれます。宿題は次の授業で確認します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	ガイダンス、挨拶、自己紹介
第 2 回	Lektion 1 (レストランで)	注文の仕方
第 3 回	Lektion 1 (レストランで)	話法の助動詞
第 4 回	Lektion 1 (レストランで)	支払い、数詞
第 5 回	Lektion 2 (ホテルで)	ホテルを探す、形容詞の比較級
第 6 回	Lektion 2 (ホテルで)	ホテルの予約
第 7 回	Lektion 2 (ホテルで)	ホテルに到着して、時刻の言い方
第 8 回	小テスト (中間テスト)	Lektion 1~2 の確認 道を尋ねる
	Lektion 3 (街で)	
第 9 回	Lektion 3 (街で)	定冠詞・不定冠詞
第 10 回	Lektion 3 (街で)	切手を買う、値段の表現
第 11 回	Lektion 4 (旅行と交通)	ドイツの交通機関について、列車の発車、到着時刻を尋ねる、現在完了形、過去形
第 12 回	Lektion 4 (旅行と交通)	駅で切符を買う、観光地について尋ねる、分離動詞
第 13 回	Lektion 4 (旅行と交通)	日本とドイツの交通機関の違い
第 14 回	期末試験	春学期に学習した内容のまとめと確認

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。毎回の授業の復習、課題学習を必ず行うこと。

## 【テキスト（教科書）】

佐藤修子・他『CD 付き スツェーネン 2 コンパクト 場面で学ぶドイツ語』三修社、2010 年、2970 円

## 【参考書】

1 年時に使用した教科書

## 【成績評価の方法と基準】

小テストと期末テスト：50%、平常点（授業への参加度、宿題・課題等）：50%

## 【学生の意見等からの気づき】

外国語を学ぶことは、コミュニケーションの手段や技術を習得するだけでなく、それを通じて自分たちは違う文化や社会について知り、それを理解する能力を身につけることです。

たしかに、大学で学んだからといって将来ドイツ語を使う職業に就くとは限りませんし、授業だけの学習量ではドイツ語が自由自在に操れるようにはなりません。

しかし、この授業に参加する皆さんは、ドイツ語の授業を通じて、今まで知らなかった新鮮で奥の深い世界がそこに広がっていることを知るでしょう。その世界をどのくらい知ろうとするかは皆さん次第です。ドイツ語は、他者理解・異文化理解へとつながる窓口なのです。

## 【学生が準備すべき機器他】

状況によりオンライン授業を実施します。自宅で Zoom に接続して授業を受けることができる環境を準備してください。教室で授業をする場合も、発音・会話や聞き取りの練習のために Zoom に接続してもらうことがあります。そのときはノート PC やタブレットを大学に持ってきてください。

## 【その他の重要事項】

独和辞典を必ず持参してください。

## 【Outline (in English)】

The aim of this course is to improve German language skills while reviewing and supplementing grammar items.

Students practice speaking and reading and perform pair work and group work to improve their ability to use German language.

They can expand the range of expressions and vocabulary based on the basic knowledge of German so far and develop practical communication skills in German.

All participants are required to attend continuously. They are also required to bring a dictionary and do their homework/prep work before attending.

The standard preparation and review time for this class is one hour in total. Be sure to review and study the assignments for each class.

Grading criteria: Final exam: 40%, normal points (class participation, homework, assignments, etc.): 60%.



LANd200LA

## ドイツ語 3 II

2017 年度以降入学者

児島 由理

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

文法事項の確認・補足をしながら、ドイツ語力のステップアップを目指す。

口頭・読解練習、ペアワークやグループワークを行うことで、ドイツ語を使う力を身につける。

## 【到達目標】

これまでのドイツ語の基礎知識をもとに、表現や語彙の幅を広げる。ドイツ語での実践的なコミュニケーション能力を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

教科書はリスニング・会話・読解・文法問題等がバランスよく配置されています。文法や読解の解説は教員が行いますが、会話練習やリスニングは参加者の積極的な参加が望まれます。宿題の確認は次の授業で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	ガイダンス、自己紹介、夏休みの思い出を話す（過去形、現在完了形）
第 2 回	Lektion 5 (天気)	天気・気温の表現、非人称の es
第 3 回	Lektion 5 (天気)	週末の予定を尋ねる、従属の接続詞
第 4 回	Lektion 6 (健康)	体の部位について
第 5 回	Lektion 6 (健康)	入浴・洗顔・歯磨き等の習慣
第 6 回	Lektion 6 (健康)	再帰の表現
第 7 回	小テスト（中間テスト）	Lektion 5～6 の確認
第 8 回	Lektion 8 (教育制度)	ドイツの教育制度、副文
第 9 回	Lektion 8 (教育制度)	憧れの職業、接続法 II 式
第 10 回	Lektion 8 (教育制度)	ドイツの幼稚園
第 11 回	Lektion 10 (祝日)	ドイツの祝祭と祝日
第 12 回	Lektion 10 (祝日)	イースターとカーニバルについて、受動文
第 13 回	Lektion 10 (祝日)	クリスマスと正月について尋ねる、関係文
第 14 回	期末試験	秋学期に学習した内容のまとめと確認

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。宿題は必ずやってくる。

## 【テキスト（教科書）】

佐藤修子・他『CD 付き スツェーネン 2 コンパクト 場面で学ぶドイツ語』三修社、2010 年、2970 円

## 【参考書】

1 年次に使用した教科書

## 【成績評価の方法と基準】

小テストと期末試験：50 %、平常点（授業参加度、宿題・課題等）：50 %

## 【学生の意見等からの気づき】

外国語を学ぶことは、コミュニケーションの手段や技術を習得するだけでなく、それを通じて自分たちとは違う文化や社会について知り、それを理解する能力を身につけることです。

たしかに、大学で学んだからといって将来ドイツ語を使う職業に就くとは限りませんし、授業だけの学習量ではドイツ語が自由自在に操れるようにはなりません。

しかし、この授業に参加する皆さんは、ドイツ語の授業を通じて、今まで知らなかった新鮮で奥の深い世界がそこに広がっていることを知るでしょう。その世界をどのくらい知ろうとするかは皆さん次第です。ドイツ語は、他者理解・異文化理解へとつながる窓口なのです。

## 【学生が準備すべき機器他】

状況によりオンライン授業を実施します。自宅で Zoom に接続して授業を受けることができる環境を準備してください。教室で授業をする場合も、発音・会話や聞き取りの練習のために Zoom に接続してもらうことがあります。そのときはノート PC やタブレットを大学に持ってきてください。

## 【その他の重要事項】

独和辞典を必ず持参すること。

## 【Outline (in English)】

The aim of this course is to improve German language skills while reviewing and supplementing grammar items.

Students practice speaking and reading and perform pair work and group work to improve their ability to use German language.

They can expand the range of expressions and vocabulary based on the basic knowledge of German so far and develop practical communication skills in German.

All participants are required to attend continuously. They are also required to bring a dictionary and do their homework/prep work before attending.

The standard preparation and review time for this class is one hour in total. Be sure to review and study the assignments for each class.

Grading criteria: Final exam: 40%, normal points (class participation, homework, assignments, etc.): 60%.

LANd200LA

## ドイツ語 4 I

2017 年度以降入学者

日中 鎮朗

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 2/Thu.2

単位数：1 単位

定員制 (30 名)

その他属性：

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

1 年次にドイツ語 1、2 を学習した学生が文法事項や構文上の学習知識を確かなものとし、さらに高めていくためにさまざまなシチュエーションのなかで必要な表現を学ぶことを目的とします。またドイツの若者の日常や関心などを会話表現を通して学びます。

## 【到達目標】

初級文法の知識を確かなものとすることができます。日常のさまざまなシチュエーションで使われる表現、使える会話表現を身につけることができます。ドイツの各州の特色、歴史、出来事、慣習を学ぶことができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

テキストをともに読み進めていきます。各回ごとにテキストを担当者を決めて訳読してもらい、そこに使われている文法事項を解説します。適宜、確認テストを行います。

1 年次の文法知識の復習を兼ねながら丁寧にわかりやすく説明します。

課題、また確認小テストのフィードバックを行う。訳読を行うにあたっては、精読 (close reading)・解釈力の養成・文法的知識の向上が必要となる。

第 1 回はオンラインで行う。Hoppii を見てください。教育の多様化に対応した運用を行うので、授業支援システム、Hoppii をよく見ること。

## 【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり / Yes

## 【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション Kapitel 1 シュレスヴィヒ・ホル シュタイン州	授業の進め方、 訳読と文法的説明を行う
第 2 回	Kapitel 1 シュレスヴィヒ・ホル シュタイン州	文法的解説:完了形 課題・読解を行う
第 3 回	Kapitel 2 Hamburg	テキストの Kapitel 1 表現を学ぶ この章の練習問題で内容確認と表現の練習・まとめ
第 4 回	Kapitel 2 受動形	Kapitel 2 訳読と受動形 の文法的説明を行う
第 5 回	Kapitel 2 ハンブルクの産業とメディア Kapitel 4 過去形のまとめと確認	テキストの Kapitel 2 の読解を行う テキストの Kapitel 4 の表現を学ぶ
第 6 回	確認小テスト①	確認テストで内容理解を確認し、 表現の方法について知識を定着させる

第 7 回	Kapitel 4 Bremen	Kapitel 4 の文法的説明を行う 訳読の解説
第 8 回	Kapitel 4 動詞の人称変化	テキストの読解を行う この章の練習問題で内容確認と表現の練習
第 9 回	Kapitel 4 この章のまとめと確認	プレーメンの文化と歴史
第 10 回	Kapitel 6 関係代名詞の用法	Kapitel 6 の文法的説明を行う 練習問題で表現の練習・まとめ
第 11 回	Kapitel 6 Brandenburg について	テキストの Kapitel 6 の読解を行う
第 12 回	Kapitel 6 に関連したビデオ学習 Kapitel 6 第二次大戦とポツダム	テキストの Kapitel 6 ポツダム会談、ヤルタ会談を中心としたドイツについて学ぶ Kapitel 6 の読解と文法的説明を行う。
第 13 回	確認小テスト (春学期 後半部分)	zu 不定詞の表現を学ぶ。 春学期後半部分の内容理解を確認し、表現の方法について知識を定着させる
第 14 回	試験、解説とまとめ	これまでに学んだ読解と文法的説明の振り返り 試験、解説とまとめ

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、1 回につき合わせて 1 時間以上を標準とします。

授業で習った知識を確実にするためにも、復習を行います。次回に行う章や文章のわからない単語、語句を調べ、自分で訳を試みておきます。

自分の訳と授業での訳との違いの理由を確かめ、正確な理解に努めます。

テキストに描かれている事柄 (例えば、各州の環境問題や歴史など) などに関心を持ち、そうした時事的な事柄に関して書かれた本を読むとより興味をもって授業に臨め、理解も深めることができます。

## 【テキスト (教科書)】

『ドイツ ところ変われば』(Deutschland nach der Wende)

R.Luscher 松本嘉久 著

朝日出版社

## 【参考書】

とくにありませんが、毎回、独和辞典を持ってきてください。

ドイツ語の作文を適宜行います。

また、テキストに描かれている事柄などに関して書かれた本を読むことも重要です。

## 【成績評価の方法と基準】

成績評価手法について

成績評価は期末試験 50 %、平常点 (確認テストの点数の累積、課題、授業への積極的な参加を含む) 50 %です。

## 【学生の意見等からの気づき】

ドイツやドイツ語の知識がついた、説明がわかりやすいというコメントなので、今後も丁寧な解説で説明しています。

また、ドイツの文化や歴史も学べるということで、ビデオも取り入れてゆく。

## 【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業やハイフレックス型授業の場合必要な機器として Zoom で接続可能なデバイスを準備してください。

## 【その他の重要事項】

春学期・秋学期合わせた履修を推奨します。

授業の進め方にも記載したが、訳読を行うにあたっては、精読 (close reading)・解釈力の養成・文法的知識の向上が必要となる。

第 1 回はオンラインで行う。Hoppii を見てください。

## 【Outline (in English)】

Course outline: German for Ichigaya Liberal Arts Center (ILAC) Program.

This course provides advanced German expressions on various topics through reading and with audio-visual aids and helps students to develop reading and listening skills.

It is open to the students who completed German 1 and German 2 in the ILAC Program.

Learning Objectives: By the end of the course, students should be able to:

- confirm German elementary grammar.
- learn expressions of daily German conversation.
- know about the history, events, the chief distinctive feature, culture, manners and customs of German states.

Learning activities outside of classroom: Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading criteria: Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Term-end examination: 50%、 Short tests, an assignment and in-class contribution: 50%

LANd200LA

## ドイツ語 4 II

2017 年度以降入学者

日中 鎮朗

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 2/Thu.2

単位数：1 単位

定員制 (30 名)

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に学んだことを踏まえて、1 年次にドイツ語 1、2 を学習した学生が文法事項や構文上の学習知識を確実なものとし、さらに高めていくために、ドイツの州の特色を通して、ドイツという国やさまざまな表現を身につけていくことを目的とします。

## 【到達目標】

初級文法の知識を確実なものとするができます。  
ドイツ語によるさまざまな表現方法や構文を学ぶことができます。  
ドイツの各州の特色、歴史、出来事、慣習を学ぶことができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたなどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

テキストをともに読み進めていきます。  
各回ごとにテキストを担当者を決めて訳読してもらい、そこに使われている文法事項を解説します。  
適宜、確認テストを行います。

1 年次の文法知識の復習を兼ねながら丁寧にわかりやすく説明します。

課題、また確認小テストのフィードバックを行う。  
訳読を行うにあたっては、精読 (close reading)・解釈力の養成・文法的知識の向上が必要となる。

なお、教育の多様化に対応した運用を行う。  
毎週、授業支援システム、Hoppii をよく見ること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】  
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	Introduction 授業の方法 Kapitel 7	Introduction 授業についての説明 成績評価の説明 Kapitel 7
第 2 回	Kapitel 7 Berlin	Kapitel 7 の訳読の解説を行う。
第 3 回	Kapitel 7 訳読 この Kapitel のまとめと確認	Kapitel 7 zu 不定詞について学ぶ。 練習問題で確認と応用
第 4 回	Kapitel 9 Nordrhein-Westfalen について	Kapitel9 の訳読と文法的説明を行う
第 5 回	Kapitel 9 ケルンについて Kapitel11 の訳読確認	Kapitel 9 ライン地方の産業とケルンの大聖堂 テキストの読解を行う Kapitel11 再帰代名詞の表現の説明を行う
第 6 回	確認小テストで理解の確認と応用	確認テストで内容理解を確認し、表現の方法について知識を定着させる
第 7 回	Kapitel 11 ゲーテとシラー	Kapitel 11 ドイツの古典文化とワイマール

第 8 回	Kapitel 11 ワイマール共和国	Kapitel 11 ドイツの戦後
第 9 回	Kapitel 16 Bayern を学ぶ	Kapitel 16 のテキストの表現の説明を行う 練習問題で確認と応用
第 10 回	Kapitel 16 接続法の人称変化と意味を学ぶ	Kapitel 16 訳読の解説と テキストの文法的説明を行う
第 11 回	Kapitel 16 バイエルンの産業	Kapitel 16 ジューゼンや BMW などドイツの工業について テキストの表現を学ぶ
第 12 回	Kapitel 16 ドイツ語の戦後についてのビデオ学習 Kapitel 16 Bayern 州 接続法の表現	Kapitel 16 第二次大戦後のベルリン分割やドイツの統一につて Kapitel 16 接続法
第 13 回	確認小テストで秋学期後半部分の理解の確認と応用	確認テストで内容理解を確認し、表現の方法について知識を定着させる
第 14 回	試験、解説とまとめ	表現と文法事項を中心とした振り返り 試験、解説とまとめ

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。  
授業で習った知識を確実にするために復習をします。  
次回に行う章や文章のわからない単語、語句を調べ、自分で訳を試みます。

自分の訳と授業での訳との違いの理由を確かめ、正確な理解に努めます。

テキストに描かれている事柄に関心を持ち、そうした時事的な事柄に関して書かれた本を読み、より興味をもって授業に臨み、理解を深めます。

## 【テキスト（教科書）】

『ドイツ ところ変われば』（Deutschland nach der Wende）

R.Luscher 松本嘉久 著

朝日出版社

## 【参考書】

とくにありませんが、独和辞典が必要。

## 【成績評価の方法と基準】

学期末に試験を行います。

期末試験 50 %

平常点（訳読などの課題発表・確認テストの成績累計、授業への積極的取組・参加）50 %

## 【学生の意見等からの気づき】

ドイツやドイツ語の知識がついた、説明がわかりやすいというコメントなので、今後も丁寧な説明に努めたい。  
また、ドイツの文化や歴史について学べるということなので、ビデオ学習も取り入れてゆく。

## 【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業やハイフレックス型授業の場合必要な機器として Zoom で接続可能なデバイスを準備してください。

## 【その他の重要事項】

春学期・秋学期合わせての履修を推奨します。  
授業の進め方にも記載したが、訳読を行うにあたっては、精読 (close reading)・解釈力の養成・文法的知識の向上が必要となる。

## 【Outline (in English)】

Course outline: German for Ichigaya Liberal Arts Center (ILAC) Program.

This course provides advanced German expressions on various topics through reading the text on Germany and helps students to develop reading and listening skills.

It is open to the students who completed German 1 and German 2 in the ILAC Program.

Learning Objectives: By the end of the course, students should be able to:

– confirm German elementary grammar.

- learn expressions of daily German conversation.
- know about the history, events, the chief distinctive feature, culture, manners and customs of German states.

Learning activities outside of classroom: Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading criteria: : Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Term-end examination: 50%、 Short tests, an assignment and in-class contribution: 50%

LANd200LA

## ドイツ語 4 I

2017 年度以降入学者

三ツ石 祐子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

定員制 (30 名)

その他属性：

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、秋学期の「ドイツ語 4-II」と併せて、中級レベルのドイツ語文法および表現を着実に身に付けることを目指します。

1 年次で学習した文法事項の確認をしながらドイツ語の文章を読むことによって、文法力の強化、構文・テキストを的確に把握する読解力や語彙力のレベルアップを図ります。

ドイツ語圏の文化を理解するために重要で興味深いテーマを扱っている教科書を使用するので、ひととおり読み終えたら、ドイツ語圏に関する知識と理解が深まっていることでしょう。

## 【到達目標】

- ・小数字や序数を使った表現ができる
- ・人称代名詞の格変化ができる
- ・話法の助動詞を使った表現ができる
- ・形容詞の強・弱・混合の格変化ができる
- ・形容詞と副詞の比較表現ができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

- ・法政大学の 2023 年度授業方針に従い、「対面」で授業します。
- ・決められた量のテキストを、辞書を引いて日本語に訳してきてもらい、それを授業で確認します。
- ・パートナー練習やグループワークを通じて、文法知識の定着を図ります。
- ・音読の練習を行います。
- ・授業内で行われたアウトプットに対しては、その場でコメントします。
- ・提出物などのフィードバックは適宜全体と、必要に応じて各自に向けて行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
01	Lektion 0	Selbstvorstellung
02	Lektion 1	Geographie und Klima
03	Grammatik 1	冠詞 (類) の格変化、基数と序数
04	Lektion 2	Essen und Trinken
05	Grammatik 2	前置詞の格支配、前置詞を含む熟語
06	Lektion 3	Deutsche Sprache
07	Grammatik 3	名詞の複数形
08	Lektion 4	Studium in Deutschland
09	Grammatik 4	話法の助動詞、不定代名詞 man
10	Lektion 5	Feiertage, Urlaub und Freizeitaktivitäten
11	Grammatik 5	形容詞の格変化、形容詞の名詞化
12	Lektion 6	Innere Sicherheit in Deutschland
13	Grammatik 6	比較表現、「最も・・・なものひとつ」
14	春学期の振り返り	学期末試験、まとめ

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

- ・毎授業ごと、予習・復習の課題を出します。必ず音読の練習もしてください。

・授業外でも積極的にドイツ語に触れるようにして下さい。

## 【テキスト (教科書)】

『知りたいドイツ語～読みながらステップアップ～』 Siegfried Kohlhammer / 斎藤太郎 共著、朝日出版、2021 年、第 5 刷、¥2300+税

## 【参考書】

必要に応じて指示します。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 (出席・パートナー練習やグループワークなどを含めた授業への積極的参加・課題等) 50% と期末試験 50% を合わせ、総合的に評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

特になし

## 【学生が準備すべき機器他】

独和辞典。紙媒体の辞書 (特に自宅での学習で) を強く薦めます。

## 【その他の重要事項】

- ・授業の順序や内容の一部は、クラスの状況により変更されることがあります。
- ・質問・相談などは授業の前後、または以下の連絡先でも随時受け付けます。

メールアドレス：yuko.mitsuishi.2x@hosei.ac.jp

## 【Outline (in English)】

[Learning Objectives]

Can use decimals and ordinal numbers.

Can use personal pronouns with case changes.

Can express using modal auxiliaries in speech.

Can use strong, weak and mixed case changes of adjectives.

Can express comparative adjectives and adverbs.

[Learning activities outside of classroom]

The standard preparation and review time for this class is one hour in total.

The preparation and review assignments will be given for each class.

Please make sure to practice reading aloud and try to be actively exposed to German outside of class.

[Grading Criteria/Policy]

A comprehensive evaluation is made by combining 50% of normal marks (attendance, active participation in class including partner practice and group work, assignments, etc.) and 50% of the final examination.

LANd200LA

## ドイツ語 4 II

2017 年度以降入学者

三ツ石 祐子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

定員制 (30 名)

その他属性：

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期の「ドイツ語 4-I」の後続授業という位置づけです。春学期に学習したことを踏まえ、引き続き中級レベルのドイツ語文法および表現を着実に身に付けることを目指します。

ドイツ語とドイツ語圏の文化に関する知識と理解力を深めることを通じて、日本をはじめ、他の文化圏に対する理解も深めます。

## 【到達目標】

- ・受動表現が使えるようになる
- ・過去の表現ができるようになる
- ・副文 (従属文) が使えるようになる
- ・副文 (関係文) が使えるようになる
- ・分詞の用法を理解することで冠飾句が使えるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

- ・法政大学の 2023 年度授業方針に従い、「対面」で授業します。
- ・決められた量のテキストを、辞書を引いて日本語に訳してきてもらい、それを授業で確認します。
- ・パートナー練習やグループワークを通じて、文法知識の定着を図ります。
- ・音読の練習を行います。
- ・授業内で行われたアウトプットに対しては、その場でコメントします。
- ・提出物などのフィードバックは適宜全体と、必要に応じて各自に向けて行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
01	これまでの振り返り	春学期の復習
02	Lektion 7	Schulsystem Deutschlands
03	Grammatik 7	分離動詞と非分離動詞、再帰代名詞と再帰動詞
04	Lektion 8	Politisches System Deutschlands
05	Grammatik 8	受動態、zu 不定句
06	Lektion 9	Deutsche Geschichte im Überblick
07	Grammatik 9	過去の表現
08	Lektion 10	Deutschland als Musikland
09	Grammatik 10	副文 (従属文)
10	Lektion 11	Religiöse Landschaft in Deutschland
11	Grammatik 11	(不) 定関係代名詞
12	Lektion 12	Die Teilung Deutschlands
13	Grammatik 12	分詞の用法、冠飾句
14	秋学期の振り返り	学期末試験、まとめ

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。  
・毎授業ごと、予習・復習の課題を出します。必ず音読の練習もしてください。

・授業外でも積極的にドイツ語に触れるようにして下さい。

## 【テキスト (教科書)】

『知りたいドイツ語～読みながらステップアップ～』 Siegfried Kohlhammer / 斎藤太郎 共著、朝日出版、2021 年、第 5 刷、¥2300+税

## 【参考書】

必要に応じて指示します。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 (出席・パートナー練習やグループワークなどを含めた授業への積極的参加・課題等) 50%と期末試験 50%を合わせ、総合的に評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

特になし

## 【学生が準備すべき機器他】

独和辞典。紙媒体の辞書 (特に自宅での学習で) を強く薦めます。

## 【その他の重要事項】

・授業の順序や内容の一部は、クラスの状況により変更されることがあります。

・質問・相談などは授業の前後、または以下の連絡先でも随時受け付けます。

メールアドレス：yuko.mitsuishi.2x@hosei.ac.jp

## 【Outline (in English)】

## [Course outline]

This course is positioned as a follow-up to German 4-I in the spring semester. The aim is to build on what has been learned in the spring semester and to continue to steadily acquire intermediate-level German grammar and expressions.

By deepening their knowledge and understanding of the German language and the cultures of German-speaking countries, students will also deepen their understanding of Japan and other cultural areas.

## [Learning Objectives]

Can use passive expressions.

Able to use expressions in the past.

Able to use sub-sentences (subordinate sentences).

Be able to use adverbial sentences (relational sentences).

To be able to use adverbial clauses by understanding the use of participles.

## [Learning activities outside of classroom]

The standard preparation and review time for this class is one hour in total.

The preparation and review assignments will be given for each class.

Please make sure to practice reading aloud and try to be actively exposed to German outside of class.

## [Grading Criteria/Policy]

A comprehensive evaluation is made by combining 50% of normal marks (attendance, active participation in class including partner practice and group work, assignments, etc.) and 50% of the final examination.

LANd200LA

## ドイツ語 4 I

2017 年度以降入学者

丸山 達也

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：1 単位

定員制 (30 名)

その他属性：

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

1 年次に学んだ初級文法を復習しながら、ドイツ語の文章に触れ、辞書を使いながら読解することを通じて、より広くドイツ語圏に関する文化の理解や知識を深めることを目指します。

## 【到達目標】

第一に、ドイツ語で書かれた文章の意味を大まかに読み取るのではなく、文法に即して文の構造をより正確に読み取る能力の向上を目指します。また、読解のために音読 (の練習) も重視します。

第二に、単に文章の表面的な理解だけでなく、文化的・歴史的背景と関連づけて読解する能力の向上を目指します。

## 【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

ドイツ語のテキスト読解を中心に、適宜文法事項を復習しながら進めます。読解にあたっては、毎回当該の文章を音読する担当と文の読解 (構造解説と日本語訳) する担当を割り振ります。ですので受講するためには、(最低限担当箇所の) 予習が必須となります。

内容に関する文化的・歴史的知識を深めるために、教科書以外のテキストや映像資料等を用いることもあります。

授業は原則的に対面で行います。感染状況等の影響により、対面での実施ができない場合には zoom を使ったオンライン (リアルタイム) 形式を用います。オンラインで実施する場合には、Hoppii を通じて連絡しますので、必ずご確認ください。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】  
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の進め方について 1 年次の学習事項の確認 簡単な復習 (発音の基礎)
2	Lektion 1	Deutsche Küche: Maultaschen 本文音読 読解の練習 (全体)
3	Lektion 1	Deutsche Küche: Maultaschen テキスト読解
4	プレゼンテーション	受講者による短いプレゼン発表
5	Lektion 2	Alkoholkonsum: Deutschland und Bier テキスト音読・読解
6	Lektion 2	Alkoholkonsum: Deutschland und Bier 文法：形容詞の格変化
7	Lektion 3	Der Maibaum テキスト音読・読解
8	Lektion 3	Der Maibaum 文法：関係代名詞
9	Lektion 4	Fernsehen/ Tatort テキスト音読・読解
10	Lektion 4	Fernsehen/ Tatort 文法：従属の接続詞

11	Lektion 5	Märchen: Der Sandmännchen テキスト音読・読解
12	Lektion 5	Märchen: Der Sandmännchen 文法：過去形
13	Lektion 6	Berufe: Schornsteinfeger テキスト音読・読解
14	Lektion 6	Berufe: Schornsteinfeger 文法：zu 不定詞

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

テキストの音読は必ず繰り返し行ってください。  
本文で当てられた箇所は必ず予習しておくこと。  
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト (教科書)】

樋口恵 / Camagna, Maurizio : 『読んで旅する現代ドイツ』三修社, 2023 年.

## 【参考書】

・中島悠爾ほか著『必携ドイツ文法総まとめ』(白水社、2003 年)  
・独和辞典 (アポロン独和辞典, アクセス独和辞典など)

## 【成績評価の方法と基準】

・授業への積極的な参加 (自分の担当箇所を責任を持ってやってくる) 40%  
・各課の提出課題・授業内での発表 40 %  
・授業内外での質問や自発的な発言 20%  
以上を総合的に評価する。

## 【学生の意見等からの気づき】

なし

## 【学生が準備すべき機器他】

・独和辞典 (電子辞書やアプリ版の辞書でも OK) を必ず持参してください。Google 翻訳や DeepL などのオンライン無料辞書では対応できないので原則使用しないこと。  
・1 年次に使用したドイツ語の教科書も持参してください。他の文法書でも可。  
・(オンライン形式で授業を行う場合) Zoom および Zoom に接続できる PC と接続可能な環境 (ファイル配布の観点からスマートフォンは推奨しません)

## 【その他の重要事項】

正しく理解することも大事ですが、同時に「楽しむ」ことも重要です。そのためには、自分にとって未知の世界や遠い存在に関心を抱く、自分から歩み寄る姿勢が大切なので、そのような意識を心がけましょう。  
また、分からないことを分からないまま放置せずに積極的に質問してください。

休んだときは授業の前か終了後すぐに理由を連絡すること。正当な理由とみなされた場合にのみ配慮されます。何日も経ってから申告しても配慮対象になりません。

春学期・秋学期合わせての履修を推奨します。

初回授業で学習支援システムでの仮登録者を対象に選抜を行う場合があります。その場合は学習支援システムの「お知らせ」欄で告知しますので、履修希望する学生は初回授業前までに仮登録をすること。仮登録をしていない学生は選抜対象になりません。授業初回時に抽選を行い、その結果を当日中に Hoppii の「お知らせ」欄、また「授業内掲示板」を通して周知します。抽選は必ず行われるわけではないので、それも含めて Hoppii には注意を払ってください。

## 【Outline (in English)】

Course outline:

German course for the intermediate levels. This course introduces elementary Grammar and vocabulary with reading Text in German. The aim of this course is to get basic knowledge of the German language, especially ability of reading and comprehension for general topics to talk about.

Learning Objectives:

Students will be able to read and understand German texts based on basic grammar and vocabulary.

They will be able to read texts not only in their superficial meaning, but also in relation to a variety of historical and cultural contexts.

Learning activities outside of classroom:



The total time required for preparation and revision for the class is one hour.

Participants should read the text aloud repeatedly.

Students are expected to have read the text in advance before reading it in class.

Grading Criteria /Policy:

Students are assessed on the basis of their active participation (80%) and contribution to the class (20%).

LANd200LA

## ドイツ語 4 II

2017 年度以降入学者

丸山 達也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：1 単位

定員制 (30 名)

その他属性：

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

1 年次に学んだ初級文法を復習しながら、ドイツ語の文章に触れ、辞書を使いながら読解することを通じて、より広くドイツ語圏に関する文化の理解や知識を深めることを目指します。

## 【到達目標】

第一に、ドイツ語で書かれた文章の意味を大まかに読み取るのではなく、文法に即して文の構造をより正確に読み取る能力の向上を目指します。また、読解のために音読 (の練習) も重視します。第二に、単に文章の表面的な理解だけでなく、文化的・歴史的背景と関連づけて読解する能力の向上を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

ドイツ語のテキスト読解を中心に、適宜文法事項を復習しながら進めます。読解にあたっては、毎回当該の文章を音読する担当と文の読解 (構造解説と日本語訳) する担当を割り振ります。ですので受講するためには、(最低限担当箇所の) 予習が必須となります。

内容に関する文化的・歴史的知識を深めるために、教科書以外のテキストや映像資料等を用いることもあります。

授業は原則的に対面で行います。感染状況等の影響により、対面での実施ができない場合には zoom を使ったオンライン (リアルタイム) 形式を用います。オンラインで実施する場合には、Hoppii を通じて連絡しますので、必ずご確認ください。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】  
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Einführung Lektion 7	Gesellschaftsspiele テキスト読解 (全体)
2	Lektion 7	Gesellschaftsspiele テキスト音読・読解 文法：接続詞的副詞
3	Lektion 8	FKK テキスト音読・読解
4	Lektion 8	FKK 文法：過去完了
5	Lektion 9	Das Flaschen- und Dosenpfand テキスト音読・読解
6	Lektion 9	Das Flaschen- und Dosenpfand 文法：不定関係代名詞と関係副詞
7	Lektion 10	Max und Moritz テキスト音読・読解
8	Lektion 10	Max und Moritz 文法：接続法 I 式 (間接話法)
9	Lektion 11	Adidas テキスト音読・読解
10	Lektion 11	Adidas 文法：受動態
11	Lektion 12	Karl Joseph Wilhelm Juchheim テキスト音読・読解

12	Lektion 12	Karl Joseph Wilhelm Juchheim 文法：形容詞の名詞化
13	Lektion 13	Nikolaustag テキスト音読・読解
14	Lektion 13	Nikolaustag 比較級・最上級

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

テキストの音読は必ず繰り返し行なってください。  
本文で当てられた箇所は必ず予習しておくこと。  
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト (教科書)】

樋口恵 / Camagna, Maurizio : 『読んで旅する現代ドイツ』三修社, 2023 年.

## 【参考書】

・中島悠爾ほか著『必携ドイツ文法総まとめ』(白水社、2003 年)  
・独和辞典 (アポロン独和辞典, アクセス独和辞典など)

## 【成績評価の方法と基準】

・授業への積極的な参加 (自分の担当箇所を責任を持ってやってくる) 40%  
・各課の提出課題・授業内での発表 40 %  
・授業内外での質問や自発的な発言 20%  
以上を総合的に評価する。

## 【学生の意見等からの気づき】

なし

## 【学生が準備すべき機器他】

・独和辞典 (電子辞書やアプリ版の辞書でも OK) を必ず持参してください。Google 翻訳や DeepL などのオンライン無料辞書では対応できないので原則使用しないこと。  
・1 年次に使用したドイツ語の教科書も持参してください。他の文法書でも可。  
・(オンライン形式で授業を行う場合) Zoom および Zoom に接続できる PC と接続可能な環境 (ファイル配布の観点からスマートフォンは推奨しません)

## 【その他の重要事項】

正しく理解することも大事ですが、同時に「楽しむ」ことも重要です。そのためには、自分にとって未知の世界や遠い存在に関心を抱く、自分から歩み寄る姿勢が大切なので、そのような意識を心がけましょう。

また、分からないことを分からないまま放置せずに積極的に質問してください。

休んだときは授業の前か終了後すぐに理由を連絡すること。正当な理由とみなされた場合にのみ配慮されます。何日も経ってから申告しても配慮対象になりません。

春学期・秋学期合わせての履修を推奨します。

## 【Outline (in English)】

Course outline:

German course for the intermediate levels. This course introduces elementary Grammar and vocabulary with reading Text in German. The aim of this course is to get basic knowledge of the German language, especially ability of reading and comprehension for general topics to talk about.

Learning Objectives:

Students will be able to read and understand German texts based on basic grammar and vocabulary.

They will be able to read texts not only in their superficial meaning, but also in relation to a variety of historical and cultural contexts.

Learning activities outside of classroom:

The total time required for preparation and revision for the class is one hour.

Participants should read the text aloud repeatedly.

Students are expected to have read the text in advance before reading it in class.

Grading Criteria /Policy:

Students are assessed on the basis of their active participation (80%) and contribution to the class (20%).

LANd200LA

## ドイツ語 (3) I

2017 年度以降入学者

ADAM D JAMBOR

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 2/Wed.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

1 年間学んだドイツ語文法を復習しドイツ語の理解をより定着させ、ドイツ語の文章を使って読解力を強化する。ドイツ語で書かれた記事・エッセイ等の読解はドイツの日常・社会・文化をより理解するようになる。

## 【到達目標】

読解力をつけることで基礎的なドイツ語の文章を読めるようになる。辞書を使って、より複雑な文章も理解できるようになる。簡単な日常会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

## 【授業の進め方と方法】

文法の説明が終えた後、教科書の練習問題を通して実際にその文法を使い、復習する。教科書以外のテキストを使って音読し、和訳する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	オリエンテーション	ドイツ語能力の確認 簡単な自己紹介 授業に関する説明
2 回	Lektion 1:自己紹介	自己紹介の復習 天気に関する表現
3 回	Lektion 1:天気予報	ドイツの地理・天気予報の読解
4 回	Lektion 2:趣味	不規則動詞と格変化
5 回	Lektion 2:祭り	ドイツの祭りについて学ぶ
6 回	Lektion 3:持ち物	3 格・4 格と結びつく動詞
7 回	Lektion 3:食べ物	ドイツの食文化 (読解)
8 回	Lektion 4:住居	2 格の用法・複数形
9 回	Lektion 4:ドイツの家 族	ドイツの家族 (読解)
10 回	Lektion 5:自然	所有冠詞・命令形
11 回	Lektion 5:クラインガ ルテン	ドイツのクラインガルテン (読 解)
12 回	Lektion 6:街歩き	前置詞
13 回	Lektion 6:案内	町の案内・市街図
14 回	復習	今学期で習った内容を復習する

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。前回の授業の文法を復習すること、単語を暗記すること、与えた課題・宿題に取り組むことが授業時間以外の主な学習です。

## 【テキスト (教科書)】

「ドライクラング・異文化理解のドイツ語」菅利恵著・大喜祐太著等、2020 年、郁文堂。3080 円  
ISBN：9784261012736  
読解の資料が配布される

## 【参考書】

新・独検合格 単語+熟語 1800、在間進・亀ヶ谷昌秀、第三書房、2010 年、2530 円  
ISBN：4808601451

## 【成績評価の方法と基準】

小テストの平均点数 70%、平常点 30%。

各 Lektion に関して小テストを行うため、全ての内容が問われる期末試験がありません。平常点において課題提出、出席、積極的な授業参加を総合的に評価

する。課題を行わない場合、平常点を減点する。無断欠席が 4 回以上の場合、不合格とする。

## 【学生の意見等からの気づき】

全体的に教科書の評価が良くて、単語学習と 1 年の復習の役に立ったという意見もあれば、簡単すぎるという指摘もありました。1 年間ドイツ語を学習したクラスですが、クラス内の理解度について差があります。難度が高すぎるのも低すぎるのも学生の学習意欲にマイナスの影響を与えられと考えられます。基礎的な復習しながらも、より難度の高い教材を求める履修者にドイツ語記事やワークシート等を提供するように工夫したいと思います。

## 【学生が準備すべき機器他】

独和辞典

教室で授業を行えない場合、Zoom に接続可能なデバイス (パソコンやタブレットが望ましい) とマイク付きイヤホン (ヘッドセット)

## 【Outline (in English)】

This lecture aims at strengthening the already learnt basic German grammar by using a textbook. Complementary texts will allow the students to deepen their reading and comprehension skills. By reading authentic articles and essays the students gain further insight into German society and culture.

Learning Objectives: By strengthening their reading skills students will gain the ability to read texts in basic German and will be able to read more complex texts with the help of a dictionary. Students will further be able to conduct basic oral communication.

Learning activities outside of classroom: The students are supposed to prepare and repeat the course contents for one hour per week. The main learning activities outside of classroom are repetition of the learnt grammar, memorizing vocabulary and doing homework or tasks, which are assigned by the teacher.

Grading Criteria /Policy: Point average of short tests 70%, course participation 30%. There will be a short test following the completion of every chapter. Therefore no final exam will be held. Course participation includes handing in homework and active participation during classes. If students fail to hand in their homework, points for the participation grade will be deducted. In case a student misses more than four classes without a reason, the student will not earn any credit for completing this course.

LANd200LA

## ドイツ語 (3) II

2017 年度以降入学者

ADAM D JAMBOR

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 2/Wed.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

年間学んだドイツ語文法を復習しドイツ語の理解をより定着させ、ドイツ語の文章を使って読解力を強化する。ドイツ語で書かれた記事・エッセイ等の読解はドイツの日常・社会・文化をより理解するようになる。

## 【到達目標】

読解力をつけることで基礎的なドイツ語の文章を読めるようになる。辞書を使って、より複雑な文章も理解できるようになる。簡単な日常会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

## 【授業の進め方と方法】

文法の説明が終えた後、教科書の練習問題を通して実際にその文法を使い、復習する。教科書以外のテキストを使って音読し、和訳する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	Lektion 7:交通	分離動詞・非分離動詞
2 回	Lektion 7:時間	一日の過ごし方に関する表現
3 回	Lektion 8:話法助動詞	話法助動詞・未来形を学習する
4 回	Lektion 8:旅の計画	非人称代名詞について学ぶ
5 回	Lektion 9:学校	再帰代名詞と再帰動詞を学ぶ
6 回	Lektion 9:接続詞	理由を述べる (weil)
7 回	Lektion 10:過去の出来事	現在完了形を学ぶ
8 回	Lektion 10:過去形	過去形を学ぶ
9 回	Lektion 10:ショートストーリー	ドイツのショートストーリー (読解)
10 回	Lektion 11:祝祭	形容詞の格変化・比較級・最上級
11 回	Lektion 11:クリスマス	ドイツのクリスマス (読解)
12 回	Lektion 12:政治・社会	関係代名詞
13 回	Lektion 12:想起の文化	想起の文化 (読解)
14 回	復習・文法補足：受動態・接続法	受動態・接続法について学び、今学期で習った内容を復習する

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。前回の授業の文法を復習すること、単語を暗記すること、与えた課題・宿題に取り組むことが授業時間以外の主な学習です。

## 【テキスト (教科書)】

「ドライクラング・異文化理解のドイツ語」菅利恵著・大喜祐太著等、2020 年、郁文堂。3080 円  
ISBN : 9784261012736  
読解の資料が配布される

## 【参考書】

新・独検合格 単語+熟語 1800、在間進・亀ヶ谷昌秀、第三書房、2010 年、2530 円  
ISBN : 4808601451

## 【成績評価の方法と基準】

小テストの平均点数 70%、平常点 30%。

各 Lektion に関して小テストを行うため、全ての内容が問われる期末試験がありません。平常点において課題提出、出席、積極的な授業参加を総合的に評価

する。課題を行わない場合、平常点を減点する。

無断欠席が 4 回以上の場合、不合格とする。

## 【学生の意見等からの気づき】

全体的に教科書の評価が良くて、単語学習と 1 年の復習の役に立ったという意見もあれば、簡単すぎるという指摘もありました。1 年間ドイツ語を学習したクラスですが、クラス内の理解度について差があります。難度が高すぎるのも低すぎるのも学生の学習意欲にマイナスの影響を与えると考えられます。基礎的な復習しながらも、より難度の高い教材を求める履修者にドイツ語記事やワークシート等を提供するように工夫したいと思います。

## 【学生が準備すべき機器他】

独和辞典

教室で授業を行えない場合、Zoom に接続可能なデバイス (パソコンやタブレットが望ましい) とマイク付きイヤホン (ヘッドセット)

## 【Outline (in English)】

This lecture aims at strengthening the already learnt basic German grammar by using a textbook. Complementary texts will allow the students to deepen their reading and comprehension skills. By reading authentic articles and essays the students gain further insight into German society and culture.

This lecture aims at strengthening the already learnt basic German grammar by using a textbook. Complementary texts will allow the students to deepen their reading and comprehension skills. By reading authentic articles and essays the students gain further insight into German society and culture.

Learning Objectives: By strengthening their reading skills students will gain the ability to read texts in basic German and will be able to read more complex texts with the help of a dictionary. Students will further be able to conduct basic oral communication.

Learning activities outside of classroom: The students are supposed to prepare and repeat the course contents for one hour per week. The main learning activities outside of classroom are repetition of the learnt grammar, memorizing vocabulary and doing homework or tasks, which are assigned by the teacher.

Grading Criteria /Policy: Point average of short tests 70%, course participation 30%. There will be a short test following the completion of every chapter. Therefore no final exam will be held. Course participation includes handing in homework and active participation during classes. If students fail to hand in their homework, points for the participation grade will be deducted. In case a student misses more than four classes without a reason, the student will not earn any credit for completing this course.

LANd200LA

ドイツ語7

2017 年度以降入学者

林 志津江

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 2/Thu.2  
単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

前年度の「ドイツ語1 (SA)」～「ドイツ語4 (SA)」の後続授業という位置付けです。SA ドイツ語圏での留学に対する事前準備として、ドイツ語とドイツ語圏の多様性に触れながら、ドイツ語圏の滞在に必要なドイツ語運用能力の獲得とさらなる向上を目指します。

【到達目標】

第一の目標は、ドイツ語の文章を文法に即し分析的に読む能力の向上です。これが一定のレベルに達しないうちは SA 先大学のドイツ語での授業についていけず、楽しいはずの日常も苦痛となってしまいかもしれません。

第二の目標は、大学生の知的な会話にふさわしい、抽象的なトピックに関する語彙を増やし、話題にふさわしいコメントをドイツ語で発する能力の獲得です。

第三の目標は、地域ごと異なる社会制度や文化慣習を、言語の特性と関連付けて理解できる能力の獲得です。SA 先であるドイツ・リューネブルクとそれに関わるの文化や社会に関する言説を知的に理解し楽しめれば、SA はより充実した体験になるはずだからです。以上を通じて、留学地での生活に適応するために必要な能力と心構えをしっかりと身につけます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ドイツ語のテキスト読解と、そのテキストに即した問いと答えをドイツ語で作文する作業を軸に進めます。並行して前年度「ドイツ語1」「ドイツ語3」で使用した教科書を用い、ドイツ語の初級文法の基礎固めを行います。初級文法の知識を固めドイツ語圏とヨーロッパについての知識を増やししながら、SA 先大学での授業の準備と積極的なドイツ語での発信を目指すとともに、活気ある授業とより良い理解にも配慮します。

・法政大学の 2023 年度授業方針に従い、感染症流行の状況が「レベル1」の場合は対面授業で、「レベル2」以上の場合はリアルタイムオンライン授業 (Zoom) で行います。

・LMS として、Hoppii のほか、Google Classroom をツールとして使用します。

・連絡手段として、学期を通じ法政 G メールをチェックしてください。

・授業内で行われたアウトプットに対しては授業の場でコメントします。提出物のフィードバックは適宜全体と各自に向けて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業全般について、1 年次の復習をまじえ教科書と既習事項の確認
2	一緒に出かけよう（復習1）	話法の助動詞と分離動詞：枠構造、時刻・天候の表現、現在完了：過去の自分の行動を説明する
3	自分の毎日・一日の行動（復習2）	再帰動詞と再帰表現、受動態を使った方が適切な場合：身体に関わる表現、お付き合いの仕方
4	補足1：話法の助動詞の補足・知覚動詞・不定詞と不定動詞	話法の助動詞に準じる動詞、「動詞を名詞に変えて使う」利点

5	もうすぐクリスマス（アドヴェント）	（文法の補足）定関係代名詞（1）：複文を徹底的に理解する
6	もうすぐクリスマス（クリスマスマーケット）	（文法の補足）定関係代名詞（2）及び関係副詞：複文を理解する、名詞、動詞及び副詞を区別し作文する
7	教会と信仰1 — クリスマスを祝う	（文法の補足）接続法（1）：法（Mode）の考え方、直説法・命令法・接続法の違い、接続法第 II 式の用法
8	教会と信仰2 — さまざまな風習	（文法の補足）接続法（2）：接続法第 II 式の用法、「引用する」とはそもそもどういう現象なのか
9	「ドイツ語」という言葉	ドイツ語を話す地域・様々な方言と多様な表現、「ドイツ語」の成立の背景にあったもの
10	教育と学校制度	義務教育で身に付けるもの、「自分で選択する」という自覚
11	"Bildung"という価値	大学あるいは職業教育という選択、大学は何のため？
12	働き方と住み方	働くのは何のため？ 人間関係と住まいの関係、くつろいだ気持ちを表すドイツ語
13	余暇と休暇（長期休暇・有給休暇）	自由な時間を謳歌する権利、有給休暇を消化する義務
14	まとめ	学期末最終試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。毎授業ごと、予習・復習の課題を出します。ドイツ語の文・テキストはどれも必ず音読をし、授業外でも積極的にドイツ語に触れられるようチャレンジして下さい。

【テキスト（教科書）】

・"Dreimal Deutsch" (Klett, 2000/2005/2009)  
・立教大学ドイツ語教育研究室編『シュトラーセ・ノイ・Ver3.』(朝日出版社、2017 年)

【参考書】

中島悠爾ほか著『必携ドイツ文法総まとめ』(白水社、2003 年)  
清野智昭『ドイツ語のしくみ<新版>』(白水社、2014 年)

【成績評価の方法と基準】

授業への積極的な参加 40 % (外部試験の受験結果含)、課題 30 %、学期末試験 30 %を合わせ、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

学生からは逐次ヒアリングを行い、相互の意志の疎通につとめます。

【学生が準備すべき機器他】

・独和辞典は必携です。紙媒体の辞書（特に自宅での学習で）を強く薦めます。

・法政大学の行動方針レベル（感染症の流行による）が「レベル2」以上の場合、リアルタイム型オンライン授業 (Zoom) となります。お手元に WiFi が利用可能なデジタルガジェット（スマートフォン、タブレット、PC のどれか）、また大学構内で受講する場合はイヤホン（マイク付きヘッドセット）も用意してください。

【その他の重要事項】

・授業の順序や内容の一部は変更されることがあります。  
・受講者には「ドイツ語技能検定試験（公益財団法人ドイツ語学文学振興会主催）」や「ドイツ政府公認ドイツ語能力検定試験（Goethe Zertifikat）」あるいは「オーストリア政府公認ドイツ語能力検定試験（ÖSD）」の受験を強く推奨します。特に「ドイツ語技能検定試験」の3級には積極的にチャレンジしてください。Goethe Zertifikat については割引料金適応が適用されるので、受験希望者はぜひ担当者に知らせて下さい。受験結果は上記「成績評価の方法と基準」のうち「授業への積極的な参加（35 %）」に加算されます（2023 年 7 月 20 日までに担当者に通知されたものに限る）。

**[Outline (in English)]**

German course for the intermediate levels (nearly A1. completed), exclusively for Participants of SA-Program in Germany (Leuphana Universität-Lüneburg) in the next semester (2019WS) held by the faculty of Intercultural Communication/Hosei University. This course introduces elementary Grammar and vocabulary with reading Text in German. The aim of this course is to get basic knowledge of the German language and German speaking world, especially ability of reading and composition for general topics to talk about.

**[Learning Objectives]**

- To develop an understanding of a wide range of topics relating to life, culture and society in German-speaking countries and to express and explain these in German.
- Able to express their own opinions and take part in discussions on abstract topics in German.
- Able to write texts of a certain length in German.

**[Work to be done outside of class (preparation, etc.)]**

- The standard preparation and revision time for this course is at least one hour each.
- There are prescribed preparation and review tasks.
- Assignments outside of class time will be given on a case-by-case basis.
- In addition to the above, please read the newspaper (daily) or listen to the news as much as possible. It is advisable to make effective use of the internet and social networking sites for German-speaking media.

**[Grading criteria]**

The course will be judged on the basis of a combination of 70% of ordinary marks (active participation and contribution to the class, presentations, submitted assignments) and 30% of end-of-term assignments (tests).

On the basis of this grading system, students who have achieved at least 60% of the objectives of this course will be considered to have passed the course.

LANd200LA

**ドイツ語 8**

2017 年度以降入学者

熊田 泰章

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

その他属性：

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

留学レベルのドイツ語を習得する。

留学において、授業を十分に理解し、留学生生活を支障なく過ごすことができるように、ドイツ語運用能力を高める。

**【到達目標】**

留学に際し、十分な成果を修めることができるようにするために不可欠なドイツ語運用能力を獲得する。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

留学に備えて、授業と生活に即したドイツ語運用の練習を行なう。留学に対応する教材を用い、語彙力、受話能力、発話能力を鍛錬する練習を行う。

毎回小テストと課題提出を行なう。

学習支援システムで提出された課題について、次回の授業でフィードバックを行う。

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**  
あり / Yes**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	留学で学ぶこと；授業と生活
2	ドイツ語圏の現在	データなどを用いて整理する
3	ドイツ語圏の特徴	ドイツ語圏の様々な特徴を知る
4	ドイツ語圏の歴史	歴史を深く学ぶ
5	ドイツ語圏と EU	EU の関係を知る
6	ドイツ語圏の都市	様々な都市を知る
7	ドイツ語圏の世界文化遺産	世界文化遺産を知る
8	ドイツ語圏の大学	大学を知る
9	ドイツ語圏の四季	四季を知る
10	ドイツ語圏の祝祭	祝祭を知る
11	ドイツ語圏と日本の対比	違いと同じを知る
12	日本	日本について深く知り、説明できるようにする
13	ドイツ語圏と多文化共生	多文化共生について深く知る
14	これまでのまとめ	これまでに学んだことを整理する

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

次回授業で使用する文献を用いて予習する。

復習として、授業内容を整理し、知識と語彙を確かにする。

宿題とする配布物を読み、内容を整理し、指定された課題に答える。本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

**【テキスト（教科書）】**

ドイツ語圏に関する資料を用いて必要なマテリアルを作成し、学習支援システムで配布する。

**【参考書】**

熊田泰章編『国際文化研究への道－連帯と共生を求めて－』彩流社、2013 年

**【成績評価の方法と基準】**

毎回の授業内での課題と期末試験によって評価する。

留学生活に必要な文化背景を理解する知識力と理解力、実践的なドイツ語の会話力・文法力・語彙力を獲得することがポイントである。毎回の課題 50 %・期末試験 50 %。この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の 60%以上を達成した者を合格とする。

**【学生の意見等からの気づき】**

受講者が積極的に発言する授業とするように努めています。

**【学生が準備すべき機器他】**

学習支援システムで教材提示と課題提出を行う。

**【Outline (in English)】****【Course outline】**

German course exclusively for participants of the SA-Program in Germany (Leuphana Universität-Lüneburg) held by the Faculty of Intercultural Communication/Hosei University. This course introduces elementary grammar, phonetic/pronunciation training and vocabulary with communication routines. Students learn German at the study abroad level, so that they can fully understand the lessons and spend their study abroad life without any problems.

**【Learning Objectives】**

At the end of the course, students are expected to master elementary grammar, phonetic/pronunciation training and vocabulary with communication routines of German language for study in Germany.

**【Learning activities outside of classroom】**

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

**【Grading Criteria /Policy】**

Final grade will be calculated according to short tests(50%) and term-end examination (50%).

LANd200LA

## ドイツ語 3 - I

2017 年度以降入学者

平松 英人

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語初級文法を一通り学習し終えた学生が対象となる。基本文法と基礎的な語彙を復習しながら、新たな文法規則や語彙を習得する。さらにドイツ語を読み、理解するだけでなく、ドイツ語を聞く、話す力を含む基礎的なコミュニケーション能力を身につけ、独検にも対応できるドイツ語能力を得ることが目標となる。

## 【到達目標】

1 年間の授業を通じて初級文法を復習しつつ、文法規則に関する習熟度や語彙力を発展させながら、場面や状況に即した基本的なドイツ語コミュニケーション能力を養う。ドイツ語技能検定試験（独検）3 級に合格できる語学力を身につけることが、この授業の到達目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で行う。使用する教科書は 12 課からなり、各課とも導入、会話、聞き取り、読解、文法問題、発音から構成されている。語彙や文法の説明をしながら、練習問題に取り組み、ドイツ語文章の読解や会話の練習を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Lektion 1 Ich hatte Fieber 1	イントロダクション 過去形①
2	Lektion 1 Ich hatte Fieber 2	名詞の 2 格と 2 格支配の前置詞
3	Lektion 2 Welcher Anzug gefällt Ihnen? 1	定冠詞類 副詞的 4 格
4	Lektion 2 Welcher Anzug gefällt Ihnen? 2	使役動詞 知覚動詞
5	Lektion 3 Früher gab es hier eine Apotheke 1	過去形②
6	Lektion 3 Früher gab es hier eine Apotheke 2	zu 不定詞 um zu, statt zu, ohne zu 不定詞 (句)
7	Lektion 4 Gestern habe ich ferngesehen 1	確認テスト 方向・場所を表す前置詞
8	Lektion 4 Gestern habe ich ferngesehen 2	現在完了形
9	Lektion 5 Ich wasche mir die Hände 1	再帰代名詞
10	Lektion 5 Ich wasche mir die Hände 2	再帰動詞

11	Lektion 6 Könnten Sie mir helfen? 1	命令形 接続法 2 式
12	Lektion 6 Könnten Sie mir helfen? 2	複合名詞
13	まとめと補足	春学期のまとめと補足
14	期末試験	期末試験

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

与えられた課題に取り組んだ上で授業にのぞむこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

新倉真矢子・正木晶子・中野有希子『シュピッツェ！ 2 コミュニケーションで学ぶドイツ語』（朝日出版社）ISBN978-4-255-25439-5 ¥2,700 + 税

## 【参考書】

必要に応じて指示する。

## 【成績評価の方法と基準】

中間の確認テストと期末テストの得点を 60 %、平常点を 40 % の合計点で評価する。平常点は、会話文や読章の和訳、練習問題に的確に解答あるいは提出すること。提出された課題は次の授業の冒頭で解説し、間違いやすいポイントや発展的な内容について説明を加える。

## 【学生の意見等からの気づき】

授業の進度については、学生たちの理解度に応じて、柔軟に対応する。

## 【学生が準備すべき機器他】

ブレイクアウトセッションを用いたグループワークなど、対面授業よりも高い学習効果が期待できる場合には、授業の進度と学生の理解度を考慮しながら、適宜（2～3 回程度）オンライン授業を実施する。オンライン授業には Zoom を利用するので、接続可能なデバイス（パソコンを推奨）を用意すること。

## 【Outline (in English)】

Course outline: In this course, we use a textbook for advanced learners and aim to acquire the ability to read, write, listen and speak German. In addition, we cultivate a view of intercultural understanding through a comparison of German and other languages.

Learning Objectives: At the end of this course students develop advanced communication skills to reach B2 level.

Learning activities outside of classroom: Students are expected to spend 1 hour to review the last lesson as well as prepare for the next lesson.

Grading Criteria: Overall grade in this course will be decided based on the following:

Homework and performance in class: 40%

Midterm and final exams: 60%



LANd200LA

ドイツ語 3 - II

2017 年度以降入学者

平松 英人

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語初級文法を一通り終えた学生が対象となる。基本文法と基礎的な語彙を復習しながら、新たな文法規則や語彙を習得する。さらにドイツ語を読み、理解するだけでなく、ドイツ語を聞く、話す力を含む基礎的なコミュニケーション能力を身につけ、独検にも対応できるドイツ語能力を得ることが目標となる。

【到達目標】

1 年間の授業を通じて初級文法を復習しつつ、文法規則に関する習熟度や語彙力を発展させながら、場面や状況に即した基本的なドイツ語コミュニケーション能力を養う。ドイツ語技能検定試験（独検）3 級に合格できる語学力を身につけることが、この授業の到達目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で行う。使用する教科書は 12 課からなり、各課とも文法、練習問題、会話文、読章から構成されている。文法の説明をしながら、練習問題に取り組み、文法事項を習得した上で、会話文や読章を読む。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Lektion 7 Ich lerne Fremdsprachen, weil ich eine Weltreise machen möchte 1	従属の接続詞と副文①
2	Lektion 7 Ich lerne Fremdsprachen, weil ich eine Weltreise machen möchte 2	従属の接続詞と副文②
3	Lektion 8 Ich schenke ihr einen roten Rock 1	形容詞
4	Lektion 8 Ich schenke ihr einen roten Rock 2	序数
5	Lektion 9 Welcher Koffer ist schwerer? 1	比較級
6	Lektion 9 Welcher Koffer ist schwerer? 2	最上級
7	Lektion 10 Wer ist der junge Mann, der Kaffee trinkt? 1	確認テスト 関係代名詞①

8	Lektion 10 Wer ist der junge Mann, der Kaffee trinkt? 2	関係代名詞②
9	Lektion 11 Ein Roman wird von ihm geschrieben 1	受動態
10	Lektion 11 Ein Roman wird von ihm geschrieben 2	分詞
11	Lektion 12 Wenn das Wetter schön wäre, könnten wir einen Spaziergang machen 1	接続法 2 式
12	Lektion 12 Wenn das Wetter schön wäre, könnten wir einen Spaziergang machen 2	接続法 1 式
13	まとめと補足	まとめと補足
14	期末テスト	期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

与えられた課題に取り組んだ上で授業にのぞむこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

新倉真矢子・正木晶子・中野有希子『シュピッツェ！ 2 コミュニケーションで学ぶドイツ語』（朝日出版社）ISBN978-4-255-25439-5 ¥2,700 + 税

【参考書】

必要に応じて指示する。

【成績評価の方法と基準】

中間の確認テストと期末テストの得点を 60 %、平常点を 40 % の合計点で評価する。平常点は、会話文や読章の和訳、練習問題に的確に解答あるいは提出すること。提出された課題は次の授業の冒頭で解説し、間違いやすいポイントや発展的な内容について説明を加える。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進度については、学生たちの理解度に応じて、柔軟に対応する。

【学生が準備すべき機器他】

ブレイクアウトセッションを用いたグループワークなど、対面授業よりも高い学習効果が期待できる場合には、授業の進度と学生の理解度を考慮しながら、適宜（2～3 回程度）オンライン授業を実施する。オンライン授業には Zoom を利用するので、接続可能なデバイス（パソコンを推奨）を用意すること。

【Outline (in English)】

In this course, we use a textbook for advanced learners and aim to acquire the ability to read, write, listen and speak German. In addition, we cultivate a view of intercultural understanding through a comparison of German and other languages.

Learning Objectives: At the end of this course students develop advanced communication skills to reach B2 level.

Learning activities outside of classroom: Students are expected to spend 1 hour to review the last lesson as well as prepare for the next lesson.

Grading Criteria: Overall grade in this course will be decided based on the following:

Homework and performance in class: 40%

Midterm and final exams: 60%

LANd200LA

## ドイツ語3-I

2017 年度以降入学者

## 辻 英史

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語の発展練習をします。

## 【到達目標】

この授業では、1 年間初級文法を学んできた人を対象に、さらに文法の知識や語彙の力を強化して、そこそこ難しいドイツ語の文章を読んだり聞きとったりできるようにすることを目標にします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

春学期は、文法の基礎事項を再確認しつつ、さらに高度な文法を学んでいきます。さらに応用練習として、ドイツ語圏やヨーロッパの社会やサステナビリティに関連するテキストの読解と、音声や映像の教材を用いた発音・聞き取りの練習を平行しておこないます。参加者は、必ず辞書を用意し、宿題・予習をして授業にのぞんで下さい。

宿題と小テスト（毎回実施）については、授業内および学習支援システムを用いてフィードバックをおこないます。そのほか確認テストと期末テストをおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	導入・第 1 回確認テスト	1 年次に学習した文法事項の確認テスト。
第 2 回	名詞と代名詞	基礎の文法の確認と発展。基本動詞・冠詞類・名詞について。
第 3 回	応用練習 1	テキスト読解をおこないます。
第 4 回	応用練習 2	テキスト読解、および音声・映像教材を使用します。
第 5 回	過去形と現在完了形	動詞の時制の確認をします。
第 6 回	応用練習 3	テキスト読解をおこないます。
第 7 回	応用練習 4	テキスト読解、および音声・映像教材を使用します。
第 8 回	第 2 回確認テスト	第 2～第 7 回の内容をテストします。
第 9 回	動詞のいろいろ	分離動詞・助動詞・再帰動詞について。
第 10 回	応用練習 5	テキスト読解をおこないます。
第 11 回	応用練習 6	テキスト読解、および音声・映像教材を使用します。
第 12 回	形容詞と分詞	形容詞・分詞とその名詞化、冠飾句について。
第 13 回	応用練習 7	テキスト読解、および音声・映像教材を使用します。
第 14 回	期末テスト	テストをおこないます。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回宿題を出します。また授業の最初に出席を取る際に小テストとして前回の内容をチェックする問題を出題します。予習復習に必要な時間は毎回 1 時間を目安とします。

## 【テキスト（教科書）】

プリントを配布します。

## 【参考書】

書名：『必携ドイツ文法総まとめ（改訂版）』

著者：中島悠爾／平尾浩三／朝倉巧共著

出版社：白水社

ISBN：978-4-560-00492-0

必ずしも購入の必要はありませんが、自宅学習の際などに持っているといふと便利です。

必要に応じてプリントを配布します。

## 【成績評価の方法と基準】

授業への参加 (30%)、確認テスト (30%)、期末テスト (40%)

## 【学生の意見等からの気づき】

外国語を学ぶことは、コミュニケーションの手段や技術を習得するだけではなく、それを通じて自分たちとは違う文化や社会について知り、それを理解する能力を身につけることです。

たしかに、大学で学んだからといって将来ドイツ語を使う職業に就くとは限りませんが、授業だけの学習量ではドイツ語が自由自在に操れるようにはなりません。

しかし、この授業に参加する皆さんは、ドイツ語の授業を通じて、今まで知らなかった新鮮で奥の深い世界がそこに広がっていることを知るでしょう。その世界をどのくらい知ろうとするかは皆さん次第です。ドイツ語は、他者理解・異文化理解へとつながる窓口なのです。

## 【学生が準備すべき機器他】

状況によりオンライン授業を実施します。自宅で Zoom に接続して授業を受けることができる環境を準備してください。教室で授業をする場合も、発音・会話や聞き取りの練習のために Zoom に接続してもらうことがあります。そのときはノート PC やタブレットを大学に持ってきてください。

## 【その他の重要事項】

独和辞書を必ず用意し、毎回持ってくること。

## 【Outline (in English)】

German Course for Students from A2 Level

This class is designed for those who have studied elementary grammar for a year and want to further strengthen their knowledge of grammar and vocabulary to be able to read and listen to some difficult German texts.

Homework will be assigned each time. There will also be a quiz at the beginning of each class to check the content of the previous class. The time required for preparation and review is approximately one hour each time.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Class participation (30%), confirmation test (30%), final exam (40%)

LANd200LA

## ドイツ語 3-II

2017 年度以降入学者

## 辻 英史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語の発展練習をします。

## 【到達目標】

この授業では、すでに 1 年間初級文法を学んできた人を対象に、さらに文法の知識や語彙の力を強化して、そこそこ難しいドイツ語の文章を読んだり書いたりできるようになることを目標にします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

秋学期では、より高度な文法事項をとりあげ、短い作文を書くことでそのニュアンスや使い方を練習します。さらに応用練習として、ドイツ語圏やヨーロッパの社会や環境問題に関連するドイツ語のテキストの読解と、音声や映像の教材を用いた会話の練習を平行しておこないます。

参加者は、必ず辞書を用意し、宿題・予習をして出席して下さい。

宿題と小テスト（毎回実施）については、授業内および学習支援システムを用いてフィードバックをおこないます。そのほか確認テストと期末テストをおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	導入・復習、第 1 回確認テスト	春学期の内容についての復習と内容確認。
第 2 回	関係代名詞について	関係代名詞とその用例について。
第 3 回	応用練習 1	テキスト読解および音声・映像教材を使用します。
第 4 回	応用練習 2	テキスト読解および音声・映像教材を使用します。
第 5 回	受動について	受動、自動詞の受動、状態受動文など。
第 6 回	応用練習 3	テキスト読解および音声・映像教材を使用します。
第 7 回	応用練習 4	テキスト読解および音声・映像教材を使用します。
第 8 回	第 2 回確認テスト	第 2～第 7 回の内容を確認します。
第 9 回	接続法 1	非現実話法と外交的接続法。
第 10 回	接続法 2	要求話法と間接話法。
第 11 回	応用練習 5	テキスト読解および音声・映像教材を使用します。
第 12 回	機能動詞	さまざまな機能動詞を用いた熟語について。
第 13 回	応用練習 6	テキスト読解および音声・映像教材を使用します。
第 14 回	期末テスト	テストをおこないます。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回宿題を出します。また授業の最初に出席を取る際に小テストとして前回の内容をチェックする問題を出題します。予習復習に必要な時間は毎回 1 時間を目安とします。

## 【テキスト（教科書）】

プリントを配布します。

## 【参考書】

書名：『必携ドイツ文法総まとめ（改訂版）』

著者：中島悠爾／平尾浩三／朝倉巧共著

出版社：白水社

ISBN：978-4-560-00492-0

必ずしも購入の必要はありませんが、自宅学習の際などに持っているといふと便利です。

必要に応じてプリントを配布します。

## 【成績評価の方法と基準】

授業への参加 (30%)、確認テスト (30%)、期末テスト (40%)

## 【学生の意見等からの気づき】

外国語を学ぶことは、コミュニケーションの手段や技術を習得するだけではなく、それを通じて自分たちとは違う文化や社会について知り、それを理解する能力を身につけることです。

たしかに、大学で学んだからといって将来ドイツ語を使う職業に就くとは限りませんし、授業だけの学習量ではドイツ語が自由自在に操れるようにはなりません。

しかし、この授業に参加する皆さんは、ドイツ語の授業を通じて、今まで知らなかった新鮮で奥の深い世界がそこに広がっていることを知るでしょう。その世界をどのくらい知ろうとするかは皆さん次第です。ドイツ語は、他者理解・異文化理解へとつながる窓口なのです。

## 【学生が準備すべき機器他】

状況によりオンライン授業を実施します。自宅で Zoom に接続して授業を受けることができる環境を準備してください。教室で授業をする場合も、発音・会話や聞き取りの練習のために Zoom に接続してもらうことがあります。そのときはノート PC やタブレットを大学に持ってきてください。

## 【その他の重要事項】

独和辞書を必ず用意し、毎回持ってくること。

## 【Outline (in English)】

German Course for Students from A2 Level

This class is designed for those who have studied elementary grammar for a year and want to further strengthen their knowledge of grammar and vocabulary to be able to read and listen to some difficult German texts.

Homework will be assigned each time. There will also be a quiz at the beginning of each class to check the content of the previous class.

The time required for preparation and review

is approximately one hour each time.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Class participation (30%), confirmation test (30%), final exam (40%)

LANd200LA

## ドイツ語コミュニケーション I 2017 年度以降入学者

## JENS OSTWALD

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：1 単位

定員制 (20 名)

その他属性：〈他〉〈優〉

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力 (聞く、話す、読む、書く) を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身に付け、さらに語彙を拡大する。単語や文法の説明は基本的に日本語で行います。

## 【到達目標】

ドイツ語の基礎的知識を習得することを目的とする。同時に、既存のイメージに対し新しい視点からドイツ事情を学び、異文化理解力と実用的なドイツ語を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

さまざまなシチュエーションを想定した対話やテキストを題材に、基礎的な語彙・文法をわかりやすく説明する。課題等の提出・フィードバックは授業内あるいは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】  
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】  
なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション 自己紹介 (簡単な表現・会話)	Einführung Zur Person (einfache Redemittel, Übungen)
②	自己紹介 (ほかの表現・練習)	Zur Person (weitere Redemittel, Übungen)
③	趣味 (簡単な表現・会話)	Hobbys (einfache Redemittel, Übungen)
④	趣味 (ほかの表現・練習)	Hobbys (weitere Redemittel, Übungen)
⑤	家族	Familie
⑥	食べ物・飲み物 (簡単な表現・会話)	Essen & Trinken (einfache Redemittel, Übungen)
⑦	食べ物・飲み物 (ほかの表現・練習)	Essen & Trinken (weitere Redemittel, Übungen)
⑧	総復習	Wiederholung (Wortschatz, Grammatik, Redemittel)
⑨	住居	Wohnung
⑩	時刻と日付 (簡単な表現・会話)	Uhrzeit und Datum (einfache Redemittel, Übungen)
⑪	時刻と日付 (ほかの表現・練習)	Uhrzeit und Datum (weitere Redemittel, Übungen)
⑫	文法のまとめ・補足	Grammatik: Zusammenfassung und Ergänzungen
⑬	練習	Übungen zur Wiederholung

⑭ 全体のまとめとテスト Zusammenfassung  
Test

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

文法・語彙などの復習 & 課題 (ワークブック・プリント・インターネット上の練習問題)

本授業の準備・復習時間は、計 1 時間を標準とします。

## 【テキスト (教科書)】

配布資料

## 【参考書】

独和辞典 (詳細は一回目の授業時に話します)

## 【成績評価の方法と基準】

テスト/レポート 50%

平常点 50%

## 【学生の意見等からの気づき】

特になし

## 【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業に転換になる場合には Zoom で接続可能な機器が必要です。

## 【Outline (in English)】

Course outline:

German language course (basic grammar and syntax, speech patterns and expressions for daily life; introduction to German culture and society)

Learning Objectives:

The purpose of this course is to acquire practical German language skills and cross-cultural understanding.

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to do homework and review the lessons. The study time will be more than one hour per week.

Grading Criteria /Policy: Term-end examination/report: 50%, in-class contribution 50%

LANd200LA

ドイツ語コミュニケーションⅡ 2017年度以降入学者

JENS OSTWALD

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：1 単位

定員制（20名）

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身に付け、さらに語彙を拡大する。

単語や文法の説明は基本的に日本語で行います。

【到達目標】

ドイツ語の基礎的知識を習得することを目的とする。同時に、既存のイメージに対し新しい視点からドイツ事情を学び、異文化理解力と実用的なドイツ語を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

さまざまなシチュエーションを想定した対話やテキストを題材に、基礎的な語彙・文法をわかりやすく説明する。課題等の提出・フィードバックは授業内あるいは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション	Einführung
②	春学期の復習	Wiederholung
③	旅行のためのドイツ語 1 道を尋ねる (簡単な表現)	Reisedeutsch (Wegbeschreibung - einfache Redemittel)
④	旅行のためのドイツ語 2 道を尋ねる (ほかの表現・会話の練習)	Reisedeutsch (Wegbeschreibung - weitere Redemittel, Übungen)
⑤	旅行のためのドイツ語 3 ホテルで (簡単な表現)	Reisedeutsch (Im Hotel - einfache Redemittel)
⑥	旅行のためのドイツ語 4 ホテルで (ほかの表現・会話の練習)	Reisedeutsch (Im Hotel - weitere Redemittel, Übungen)
⑦	旅行のためのドイツ語 5 レストランで (簡単な表現)	Reisedeutsch (Im Restaurant - einfache Redemittel)

- ⑧ 旅行のためのドイツ語 6  
レストランで  
(ほかの表現・会話の練習)
  - ⑨ 旅行のためのドイツ語 7  
駅にて  
(簡単な表現)
  - ⑩ 旅行のためのドイツ語 8  
駅にて  
(ほかの表現・会話の練習)
  - ⑪ 旅行のためのドイツ語 9
  - ⑫ 文法のまとめ・補足
  - ⑬ 復習
  - ⑭ 全体のまとめとテスト
- Reisedeutsch (Im Restaurant - weitere Redemittel, Übungen)
- Reisedeutsch (Verkehr - einfache Redemittel)
- Reisedeutsch (Verkehr - weitere Redemittel, Übungen)
- Reisedeutsch (Reiseziele)
- Grammatik:  
Zusammenfassung und Ergänzungen  
Übungen zur Wiederholung
- Zusammenfassung  
Test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

文法・語彙などの復習 & 課題（ワークブック・プリント・インターネット上の練習問題）  
本授業の準備・復習時間は、計1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

配布資料

【参考書】

独和辞典（詳細は一回目の授業時に話します）

【成績評価の方法と基準】

テスト/レポート 50%

平常点 50%

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業に転換になる場合には Zoom で接続可能な機器が必要です。

【Outline (in English)】

Course outline:

German language course (basic grammar and syntax, speech patterns and expressions for daily life; introduction to German culture and society)

Learning Objectives:

The purpose of this course is to acquire practical German language skills and cross-cultural understanding.

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to do homework and review the lessons. The study time will be more than one hour per week.

Grading Criteria /Policy: Term-end examination/report: 50%, in-class contribution 50%

LANd200LA

## ドイツ語表現法 I

2017 年度以降入学者

Schmidt Ute

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

定員制（20 名）

その他属性：〈他〉〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語を書いてみましょう：一言の文からまとまったテキストまで。

基礎文法を含むテキストを用い、授業を通じて「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能を総合的に体得することが目標ですが、書くことを重点的に練習します。身近なテーマや興味のある領域について、簡単な表現でまとまった内容を伝えることを習います。会話は苦手でも、ドイツ語で表現してみたいと思うならば是非トライしてみてください。ドイツ語圏の日常生活や文化に触れる機会も数多く設けたいと思います。

## 【到達目標】

受講者は以下のことができるようになります。

- 1) 発音のルールを知って、初見の単語や文章も発音できる。
- 2) 基本的な文法事項を習得する。
- 3) 辞書を使い、初級のテキストが理解できる。
- 4) 自分の経験や出来事を説明し、夢や希望、目標について述べるができる。
- 5) 自己紹介をはじめ、実用的な手紙、メール、コメントなどを書ける。
- 6) 想定された場面における基本的な口語表現が聞き取れる。
- 7) 想定された場面における基本的な口語表現を用いて簡単な会話ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業ではドイツ語圏の日常と文化について、テキストを読み、書くために必要な単語を学び、自分のことを説明したり、コメントしたり、または日本の事情を紹介します。一人で書くこともあります、パートナーと又はグループで力を合わせてテキストや物語を作成することもあります。

作文は必ず添削して返却されます。課題等の提出・フィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	Erste Schritte: Persönliche Angaben machen Sich selbst vorstellen	自己紹介を書く I 辞書の使い方 I
2.	Länder, Städte, Zahlen	自分の出身を紹介する 人を紹介する
3.	Meine Stadt beschreiben	方位と場所
4.	Mein Alltag	日常 時間を表す
5.	Tagesablauf	助動詞
6.	Hobby und Freizeit	分離動詞

7.	Freizeitangebote in der Stadt	場所と時間を表す
8.	Liebblingsdinge beschreiben	好きな「もの」を紹介する 冠詞と代名詞
9.	作文作成 2	発表
10.	Essen und Trinken	食生活についてと好み
11.	Im Restaurant	レストランのメニューと注文
12.	Süßigkeiten in Deutschland und Japan	日本のお菓子について書く
13.	Vor den Ferien I	不規則動詞 話法の助動詞
14.	Vor den Ferien II	休暇中の予定

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は 1 時間を標準とします。予習は特に必要ありませんが、授業で学習した内容の復習は必須です。特に単語は必ず覚えてください。宿題としては家で作文を書く、完成させる、修正することがあります。

## 【テキスト（教科書）】

初回授業で案内します。

## 【参考書】

『ドイツ語を書いてみよう！』清野智明

白水社

ISBN : 9784560064177

## 【成績評価の方法と基準】

授業中の課題に取り組む態度（50%）  
提出してもらったドイツ語の作文（50%）  
を総合的に評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

特になし

## 【学生が準備すべき機器他】

和独辞典が必要です。電子辞書可。

## 【その他の重要事項】

「授業計画」は、授業の進度により変更する可能性があります。

## 【Outline (in English)】

In this course students will focus on writing short texts, beginning with a self-introduction, e-mails or essays on every-day life topics. We will use a beginner textbook including all four areas of language skills, so that students can review and practice basic grammar and vocabulary. They will also have a chance to learn about cultural life in German speaking countries.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be about one hour for a class.

Grading will be decided based on class participation (50%) and written homework (50%).

LANd200LA

## ドイツ語表現法Ⅱ

2017 年度以降入学者

Schmidt Ute

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

定員制（20 名）

その他属性：〈他〉〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語を書いてみましょう：一言の文からまとまったテキストまで基礎文法を含むテキストを用い、授業を通じて「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能を総合的に体得することが目標ですが、書くことを重点的に練習します。身近なテーマや興味のある領域について、簡単な表現でまとまった内容を伝えることを習います。会話は苦手でも、ドイツ語で表現してみたいと思うならば是非トライしてみてください。ドイツ語圏の日常生活や文化に触れる機会も数多く設けたと思います。

## 【到達目標】

受講者は以下のことができるようになります。

- 1) 発音のルールを知って、初見の単語や文章も発音できる。
- 2) 基本的な文法事項を習得する。
- 3) 辞書を使い、初級のテキストが理解できる。
- 4) 自分の経験や出来事を説明し、夢や希望、目標について述べるができる。
- 5) 自己紹介をはじめ、実用的な手紙、メール、コメントなどを書く。
- 6) 想定された場面における基本的な口語表現が聞き取れる。
- 7) 想定された場面における基本的な口語表現を用いて簡単な会話ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業ではドイツ語圏の日常と文化について、テキストを読み、書くために必要な単語を学び、自分のことを説明したり、コメントしたり、または日本の事情を紹介します。一人で書くこともありますが、パートナーと又はグループで力を合わせてテキストや物語を作成することもあります。

作文は必ず添削して返却されます。課題等の提出・フィードバックは授業内または「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	Nach den Ferien	現在完了形
2.	Postkarte	Postkarte schreiben 手紙を書く
3.	Wohnen	前置詞
4.	Mein Traumhaus	住まいについて書く
5.	Wohnen in der Stadt oder auf dem Land ?	理由を表す
6.	Jahreskalender Datum und Monate Feiertage	年間行事 招待状を書く
7.	Feste feiern	複文
8.	An der Universität	大学について書く
9.	Meine Universität	グループワーク： 1 大学紹介を書く

10.	Meine Universität	グループワーク発表 2
11.	Eine Reise planen	旅行計画
12.	Sehenswürdigkeiten vorstellen	観光名所の紹介文を書く
13.	Erlebnisse und Erfahrungen	過去形 1 私の人生
14.	Erlebnisse und Erfahrungen	プレゼンテーション発表 2

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は 1 時間を標準とします。

予習は特に必要ありませんが、授業で学習した内容の復習は必須です。特に単語は必ず覚えてください。宿題としては家で作文を書く、完成させる、修正することがあります。

## 【テキスト（教科書）】

初回授業で案内します。

## 【参考書】

『ドイツ語を書いてみよう！』清野智明

白水社

ISBN：9784560064177

## 【成績評価の方法と基準】

授業中の課題に取り組む態度（50%）

提出してもらったドイツ語の作文（50%）

を総合的に評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

特になし

## 【学生が準備すべき機器他】

和独辞典が必要。電子辞書可。

## 【その他の重要事項】

「授業計画」は、授業の進捗により変更する可能性があります。

## 【Outline (in English)】

In this class we will focus on writing short texts, beginning with a self-introduction, e-mails or essays on every-day life topics. We will use a beginner textbook including all four areas of language skills, so that students can review and practice basic grammar and vocabulary. They also have a chance to learn about cultural life in German speaking countries.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be about one hour for a class.

Grading will be decided based on class participation (50 %) and written homework (50 %)

LANd200LA

## ドイツ語視聴覚 I

2017 年度以降入学者

## D. ハイデンライヒ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

定員制 (30 名)

その他属性：〈他〉〈優〉

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

ショートアニメと映画の台詞から学ぶドイツ語  
スイスにある、ドイツ語学校が作成している無料の Youtube 学習  
チャンネルの教材 (レベル A2 ~ B1) を用いて、コミカルなイラスト  
を楽しみ、語彙を増やし、日常のシーンで使えるドイツ語を学び  
ます。  
ドイツ語の基礎文法を一通り学び終えた方を対象に、中級への橋渡  
しを目的とする授業です。

## 【到達目標】

- アニメと映画で楽しくドイツ語の読解力やリスニング力などを向  
上させる。
- メディア・リテラシー (海外のメディアを効果的に活用する力な  
ど) を向上させる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された  
どの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針  
に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学  
部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国  
際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学  
部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

毎回違うテーマで5分～15分程度のショートアニメと映画の台詞  
を読み、新しい言葉の説明、内容を正確に翻訳する。様々な応用練  
習を行い、課題を出す。次の授業にて解説を実施する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】  
なし/No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	シラバスを読み、 授業内容を確認する。
2	「アニメ (Grammatik )」(1)	ショートアニメの台詞から文法 (レベル A2 ~ B1) への理解を深 める。
3	「アニメ (Grammatik )」(2)	ショートアニメの台詞から文法 (レベル A2 ~ B1) への理解を深 める。
4	「アニメ (Grammatik )」(3)	ショートアニメの台詞から文法 (レベル A2 ~ B1) への理解を深 める。
5	「アニメ (Grammatik )」(4)	ショートアニメの台詞から文法 (レベル A2 ~ B1) への理解を深 める。
6	「アニメ (Geschichten)」(1)	ショートアニメの台詞から日常の シーンで使えるドイツ語を学ぶ。
7	「アニメ (Geschichten)」(2)	ショートアニメの台詞から日常の シーンで使えるドイツ語を学ぶ。
8	「アニメ (Geschichten)」(3)	ショートアニメの台詞から日常の シーンで使えるドイツ語を学ぶ。
9	「アニメ (Geschichten)」(4)	ショートアニメの台詞から日常の シーンで使えるドイツ語を学ぶ。
10	「映画 (Kultfilm)」 (1)	映画の台詞を読み、本物のドイツ 語対話を覚える。
11	「映画 (Kultfilm)」 (2)	映画の台詞を読み、本物のドイツ 語対話を覚える。

- |    |                        |                             |
|----|------------------------|-----------------------------|
| 12 | 「映画 (Kultfilm)」<br>(3) | 映画の台詞を読み、本物のドイツ<br>語対話を覚える。 |
| 13 | 「映画 (Kultfilm)」<br>(4) | 映画の台詞を読み、本物のドイツ<br>語対話を覚える。 |
| 14 | まとめ                    | 春学期に学んだ内容を確認する。             |

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業で扱われたムービーなどを用いて個人で自己学習を進めることが  
望まれます。

「本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。」

## 【テキスト (教科書)】

テキストは使わず、学習支援システムに事前に授業資料をアップし  
ます。各自プリントアウトして授業に持参してください。

## 【参考書】

教室で指定する。

## 【成績評価の方法と基準】

数回の課題提出を含む平常点：100%

## 【学生の意見等からの気づき】

特になし。

## 【学生が準備すべき機器他】

Hoppii 学習支援システムを利用するので、情報機器 (パソコン、プ  
リントー) などを準備して下さい。これらの環境を整えることが難  
しい場合は、大学の PC やプリンター、wifi を利用して下さい。

## 【Outline (in English)】

Enjoy comical illustrations, increase your vocabulary, and  
learn German that can be used in everyday situations using  
the free Youtube learning channel materials (levels A2 to B1)  
created by a German language school in Switzerland.

This class is aimed at those who have finished learning basic  
German grammar, and aims to serve as a bridge to the  
intermediate level.

- Improve your German reading and listening skills in a fun  
way with anime and movies.
- Improving media literacy (the ability to effectively use  
foreign media, etc.).

Preparation and review.

The standard for preparatory study and review time for this  
class is 1 hour in total.

Ordinary score including assignment submission: 100%



LANd200LA

ドイツ語視聴覚Ⅱ

2017 年度以降入学者

D. ハイデンライヒ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1 単位

定員制 (30 名)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

ショートアニメと映画の台詞から学ぶドイツ語  
 スイスにある、ドイツ語学校が作成している無料の Youtube 学習  
 チャンネルの教材 (レベル B1 ~ B2) を用いて、コミカルなイラスト  
 を楽しみ、語彙を増やし、日常のシーンで使えるドイツ語を学び  
 ます。  
 春学期の授業に引き続き、中級への橋渡しを目的とする授業です。

【到達目標】

- アニメと映画で楽しくドイツ語の読解力やリスニング力などを向  
 上させる。
- メディア・リテラシー (海外のメディアを効果的に活用する力な  
 ど) を向上させる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された  
 どの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針  
 に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学  
 部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国  
 際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学  
 部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回違うテーマで5分～15分程度のショートアニメと映画の台詞  
 を読み、新しい言葉の説明、内容を正確に翻訳する。様々な応用練  
 習を行い、課題を出す。次の授業にて解説を実施する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】  
 なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	シラバスを読み、 授業内容を確認する。
2	「アニメ (Grammatik )」(1)	ショートアニメの台詞から文法 (レベル B1 ~ B2) への理解を深 める。
3	「アニメ (Grammatik )」(2)	ショートアニメの台詞から文法 (レベル B1 ~ B2) への理解を深 める。
4	「アニメ (Grammatik )」(3)	ショートアニメの台詞から文法 (レベル B1 ~ B2) への理解を深 める。
5	「アニメ (Grammatik )」(4)	ショートアニメの台詞から文法 (レベル B1 ~ B2) への理解を深 める。
6	「アニメ (Geschichten)」(1)	ショートアニメの台詞から日常の シーンで使えるドイツ語を学ぶ。
7	「アニメ (Geschichten)」(2)	ショートアニメの台詞から日常の シーンで使えるドイツ語を学ぶ。
8	「アニメ (Geschichten)」(3)	ショートアニメの台詞から日常の シーンで使えるドイツ語を学ぶ。
9	「アニメ (Geschichten)」(4)	ショートアニメの台詞から日常の シーンで使えるドイツ語を学ぶ。
10	「映画 (Kultfilm)」 (1)	映画の台詞を読み、本物のドイツ 語対話を覚える。
11	「映画 (Kultfilm)」 (2)	映画の台詞を読み、本物のドイツ 語対話を覚える。
12	「映画 (Kultfilm)」 (3)	映画の台詞を読み、本物のドイツ 語対話を覚える。

13 「映画 (Kultfilm)」 映画の台詞を読み、本物のドイツ  
(4) 語対話を覚える。

14 まとめ 秋学期に学んだ内容を確認する。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業で扱われたムービーなどを用いて個人で自己学習を進めることが  
 望まれます。

「本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。」

【テキスト (教科書)】

テキストは使わず、学習支援システムに事前に授業資料をアップし  
 ます。各自プリントアウトして授業に持参してください。

【参考書】

教室で指定する。

【成績評価の方法と基準】

数回の課題提出を含む平常点：100%

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

Hoppiii 学習支援システムを利用するので、情報機器 (パソコン、プ  
 リンター) などを準備して下さい。これらの環境を整えることが難  
 しい場合は、大学の PC やプリンター、wifi を利用して下さい。

【Outline (in English)】

Enjoy comical illustrations, increase your vocabulary, and  
 learn German that can be used in everyday situations using  
 the free Youtube learning channel materials (levels B1 to B2)  
 created by a German language school in Switzerland.  
 This class is aimed at those who have finished learning basic  
 German grammar, and aims to serve as a bridge to the  
 intermediate level.

◦ Improve your German reading and listening skills in a fun  
 way with anime and movies.

◦ Improving media literacy (the ability to effectively use  
 foreign media, etc.).

Preparation and review.

The standard for preparatory study and review time for this  
 class is 1hour in total.

Normal score including several assignment submissions: 100%

LANd200LA

## SDGs で学ぶドイツ語 I

2017 年度以降入学者

熊田 泰章

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

定員制 (30 名) /2021 年度までに「時事ドイツ語 I」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈他〉〈優〉〈S〉

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

世界共通のアジェンダである〈SDGs〉を取り上げ、ドイツ語を学びながら、〈SDGs〉に関するドイツ語圏の現況を把握します。すでに学んだ初歩的なドイツ語を用いて、〈SDGs〉についてドイツ語で書かれた文章を読み、ドイツ語の文法的な知識を再確認するとともに、文章としてまとまったものを読む力と自分から発言する力を育てます。

現在の世界の出来事を、ドイツ語圏ではどのようにとらえ、どのように対処しているのかについて、知識と理解を深めます。

## 【到達目標】

〈SDGs〉を取り扱う教材と資料を用いて、様々なドイツ語の文章の構成や書き方に慣れ、辞書を用いながら文章を読む力を養成することができます。

文法的には初級文法の知識を確実なものとすると同時に、さらに少し踏み込んだ文法内容も理解することができます。

それを通して、ドイツ語圏の現在について知ることができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

〈SDGs〉を取り扱う教材と資料を用いて、初級文法を確認しながら、「ドイツ語を学ぶ・ドイツ語で学ぶ」授業です。

教員が用意した〈SDGs〉を取り扱う教材と資料を、各回授業で少しずつ解きほぐしていきます。教材と資料に即して、基本的な文法事項を確認し、語彙や構文の復習を行いながら、受講者の理解度を高めていきます。毎回、あらかじめ教材と資料の範囲を決め、教員の説明と受講者の作業を行います。

理解の確認のためのワークシート、アクションペーパーを各回授業で適宜使います。必要に応じて小テストを行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション SDGs とは	授業のねらいと進め方、学習の仕方についてのガイダンス SDGs 概観
2	SDGs-Ziel 1:Armut in jeder Form und überall beenden 目標 1 貧困をなくそう	内容確認 文法の説明
3	SDGs-Ziel 2:Ernährung weltweit sichern 目標 2 飢餓をゼロに	内容確認 文法の説明
4	SDGs-Ziel 3:Gesundheit und Wohlergehen 目標 3 すべての人に健康と福祉を	内容確認 文法の説明

5	Ziel 4: Hochwertige Bildung weltweit 目標 4 質の高い教育を みんなに	内容確認 文法の説明
6	Ziel 5: Gleichstellung von Frauen und Männern 目標 5 ジェンダー平等 を実現しよう	内容確認 文法の説明
7	Ziel 6: Ausreichend Wasser in bester Qualität 目標 6 安全な水とトイ レを世界中に	内容確認 文法の説明
8	Ziel 7: Bezahlbare und saubere Energie 目標 7 エネルギーをみ んなに そしてクリー ンに	内容確認 文法の説明
9	Ziel 8: Nachhaltig wirtschaften als Chance für alle 目標 8 働きがいも経済 成長も	内容確認 文法の説明
10	Ziel 9: Industrie, Innovation und Infrastruktur 目標 9 産業と技術革新 の基盤をつくろう	内容確認 文法の説明
11	Ziel 10: Weniger Ungleichheiten 目標 10 人や国の不平 等をなくそう	内容確認 文法の説明
12	Ziel 11: Nachhaltige Städte und Gemeinden 目標 11 住み続けられ るまちづくりを	内容確認 文法の説明
13	Ziel 12: Nachhaltig produzieren und konsumieren 目標 12 つくる責任つ かう責任	内容確認 文法の説明
14	まとめ	これまでのまとめと振り返り 最終試験

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

各回の教材と資料を、各人が事前に読み、予習を行って授業に参加する。

SDGs に関するニュース解説などを読む。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト (教科書)】

教材と資料を学習支援システムで配布します。

## 【参考書】

Jens Martens und Bodo Ellmers : Agenda 2030: Wo steht die Welt? 5 Jahre SDGs - eine Zwischenbilanz. Global Policy Forum(Bonn), 2020

<https://www.2030agenda.de/sites/default/files/2030/>

zwischenbilanz/Agenda\_2030\_Zwischenbilanz\_online-2.pdf

Hauff, Michael : Nachhaltige Entwicklung. Grundlagen und Umsetzung. De Gruyter(Oldenburg), 3. Aufl. 2021

## 【成績評価の方法と基準】

授業の積極的な参加と貢献 30 %、小テスト 30 %、学期末試験 40 %。この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の 60%以上を達成した者を合格とする。

## 【学生の意見等からの気づき】

学生の要望に応じて、文法事項をわかりやすく説明する。

**【学生が準備すべき機器他】**

独和辞書を必ず持参してください。

**【その他の重要事項】**

学習支援システムを活用します。

秋学期の「SDGs で学ぶドイツ語Ⅱ」と合わせて履修してください。

**【Outline (in English)】**

**【Course outline】**

German for Ichigaya Liberal Arts Center(ILAC) Program.

This course provides advanced German sentences and expressions of its current news and topics including politics, economy, arts and so on through reading of the articles and is open to the students who completed German 1 and German 2 in the ILAC Program.

**【Learning Objectives】**

At the end of the course, students are expected to master elementary grammar, phonetic/pronunciation training and vocabulary with communication routines of German language and to understand current problems in society.

**【Learning activities outside of classroom】**

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

**【Grading Criteria /Policy】**

Final grade will be calculated according to contribution in each class meeting(30%), short tests(30%) and term-end examination (40%)

LANd200LA

## SDGs で学ぶドイツ語Ⅱ

2017 年度以降入学者

熊田 泰章

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

定員制（30 名）/2021 年度までに「時事ドイツ語Ⅱ」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈他〉〈優〉〈S〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

世界共通のアジェンダである〈SDGs〉を取り上げ、ドイツ語を学びながら、〈SDGs〉に関するドイツ語圏の現況を把握します。すでに学んだ初歩的なドイツ語を用いて、〈SDGs〉についてドイツ語で書かれた文章を読み、ドイツ語の文法的な知識を再確認するとともに、文章としてまとまったものを読む力と自分から発言する力を育てます。

現在の世界の出来事を、ドイツ語圏ではどのようにとらえ、どのように対処しているのかについて、知識と理解を深めます。

## 【到達目標】

〈SDGs〉を取り扱う教材と資料を用いて、様々なドイツ語の文章の構成や書き方に慣れ、辞書を用いながら文章を読む力を養成することができます。

文法的には初級文法の知識を確実なものとすると同時に、さらに少し踏み込んだ文法内容も理解することができます。

それを通して、ドイツ語圏の現在について知ることができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

〈SDGs〉を取り扱う教材と資料を用いて、初級文法を確認しながら、「ドイツ語を学ぶ・ドイツ語で学ぶ」授業です。

教員が用意した〈SDGs〉を取り扱う教材と資料を、各回授業で少しずつ解きほぐしていきます。教材と資料に即して、基本的な文法事項を確認し、語彙や構文の復習を行いながら、受講者の理解度を高めていきます。毎回、あらかじめ教材と資料の範囲を決め、教員の説明と受講者の作業を行います。

理解の確認のためのワークシート、アクションペーパーを各回授業で適宜使います。必要に応じて小テストを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション SDGs とは	授業のねらいと進め方、学習の仕方についてのガイダンス SDGs 概観 目標 1~12 の振り返り
2	SDGs-Ziel 13: Weltweit Klimaschutz umsetzen	内容確認 文法の説明 目標 13 気候変動に具体的な対策を
3	SDGs-Ziel14: Leben unter Wasser schützen	内容確認 文法の説明 目標 14 海の豊かさを 守ろう

4	SDGs-Ziel 15: Leben an Land 目標 15 陸の豊かさを 守ろう	内容確認 文法の説明
5	Ziel 16: Starke und transparente Institutionen fördern 目標 16 平和と公正を すべての人に	内容確認 文法の説明
6	Ziel 17: Globale Partnerschaft 目標 17 パートナー シップで目標を達成し よう	内容確認 文法の説明
7	オーストリアの SDGs ①	内容確認 文法の説明
8	オーストリアの SDGs ②	内容確認 文法の説明
9	オーストリアの SDGs ③	内容確認 文法の説明
10	スイスの SDGs ①	内容確認 文法の説明
11	スイスの SDGs ②	内容確認 文法の説明
12	スイスの SDGs ③	内容確認 文法の説明
13	大学の SDGs	内容確認 文法の説明
14	まとめ	これまでのまとめと振り返り 最終試験

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各回の教材と資料を、各人が事前に読み、予習を行って授業に参加する。

SDGs に関するニュース解説などを読む。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

教材と資料を学習支援システムで配布します。

## 【参考書】

Jens Martens und Bodo Ellmers : Agenda 2030: Wo steht die Welt? 5 Jahre SDGs – eine Zwischenbilanz. Global Policy Forum(Bonn), 2020

[https://www.2030agenda.de/sites/default/files/2030/zwischenbilanz/Agenda\\_2030\\_Zwischenbilanz\\_online-2.pdf](https://www.2030agenda.de/sites/default/files/2030/zwischenbilanz/Agenda_2030_Zwischenbilanz_online-2.pdf)

Hauff, Michael : Nachhaltige Entwicklung. Grundlagen und Umsetzung. De Gruyter(Oldenburg), 3. Aufl. 2021

## 【成績評価の方法と基準】

授業の積極的な参加と貢献 30 %、小テスト 30 %、学期末試験 40 %。この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の 60%以上を達成した者を合格とする。

## 【学生の意見等からの気づき】

学生の要望に応じて、文法事項をわかりやすく説明する。

## 【学生が準備すべき機器他】

独和辞書を必ず持参してください。

## 【その他の重要事項】

学習支援システムを活用します。

春学期の「SDGs で学ぶドイツ語Ⅰ」と合わせて履修してください。

## 【Outline (in English)】

## 【Course outline】

German for Ichigaya Liberal Arts Center(ILAC) Program.

This course provides advanced German sentences and expressions of its current news and topics including politics, economy, arts and so on through reading of the articles and is open to the students who completed German 1 and German 2 in the ILAC Program.

## 【Learning Objectives】

At the end of the course, students are expected to master elementary grammar, phonetic/pronunciation training and vocabulary with communication routines of German language and to understand current problems in society.

**【Learning activities outside of classroom】**

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

**【Grading Criteria /Policy】**

Final grade will be calculated according to contribution in each class meeting(30%), short tests(30%) and term-end examination (40%)

LANd100LA

## 入門ドイツ語 (SSI) I

2017 年度以降入学者

梶谷 雄二

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

定員制 (30 名)

その他属性：

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

初級文法を理解して、発音練習や簡単な日常会話の練習をして、ドイツ語に親しむことを目的とする。ドイツの文化と日本の文化も比較しながら理解する。

## 【到達目標】

一通りドイツ語の仕組みを理解し、読むこと、話すこと、書くことなど、ドイツ語に何らかの対応ができるようになることを目指す。

## 【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

2 回の授業で 1 つの課を学ぶ。テキストの各課は文法説明と会話文、練習問題に分かれている。1 回目の授業では会話文を解説しながら文法の説明を行い、練習問題の一部を解いて、文法の理解を目指します。2 回目の授業では会話文の発音練習をして、会話のシミュレーションを行います。

小テストなどの課題の提出を求めた場合、その結果は直接返却するか、または、hoppii を通して通知します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	発音の原則	アルファベットと発音の基本。数字の練習。
2	第 1 課 動詞の現在人称変化	会話文の解説と文法説明。練習問題。
3	第 1 課 動詞の現在人称変化	会話文の発音練習と会話のシミュレーション。
4	第 2 課 名詞の性と数と格/冠詞類/人称代名詞	会話文の解説と文法説明。練習問題。
5	第 2 課 名詞の性と数と格/冠詞類/人称代名詞	会話文の発音練習と会話のシミュレーション。
6	第 3 課 動詞の不規則変化/命令形	会話文の解説と文法説明。練習問題。
7	第 3 課 動詞の不規則変化/命令形	会話文の発音練習と会話のシミュレーション。
8	第 4 課 冠詞類/時刻の表現	会話文の解説と文法説明。練習問題。
9	第 4 課 冠詞類/時刻の表現	会話文の発音練習と会話のシミュレーション。
10	第 5 課 前置詞/ja, nein, doch/数詞	会話文の解説と文法説明。練習問題。
11	第 5 課 前置詞/ja, nein, doch/数詞	会話文の発音練習と会話のシミュレーション。
12	第 6 課 形容詞の格変化	会話文の解説と文法説明。練習問題。
13	第 6 課 形容詞の格変化	会話文の発音練習と会話のシミュレーション。
14	試験、まとめと解説	春学期のまとめと試験をします。

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

文法説明を読み、疑問点を整理しておくこと。復習は文法に関する問題を解答し提出すること。

## 【テキスト (教科書)】

特定のテキストは使用しない。毎回プリントを配布するので、これをテキストと同等のものと考えること。

## 【参考書】

独和辞典はもちろんだが、そのほかの参考書については授業中に指示する。

## 【成績評価の方法と基準】

授業への参加姿勢 40 % (主に出席と発音の習熟度で評価する)、数回の文法理解の小テストの平均 60 %。

## 【学生の意見等からの気づき】

授業の方針や授業の目的を受講生によく理解してもらうように丁寧に説明する。

## 【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業になったときのために、パソコン、または、モバイル機器を用意しておいてください。

## 【Outline (in English)】

The aim is to understand elementary grammar, to practice pronunciation and simple daily conversation, and to become familiar with German. Understand German culture and Japanese culture while comparing it.

Students will understand how German works and aim to be able to speak, speak, write, and so on.

Students should read grammar explanations and organize their questions. Review should be to answer and submit grammar questions. Preparation and review time is required for at least 1 hour in total per lesson.

No specific texts are used in this class. Students distribute prints every time, so think of this as equivalent to text.

In this class, students' attitudes in class are mainly evaluated by attendance and proficiency in pronunciation, 40% of the evaluation is included in grades, and 60% of the average scores of several grammar comprehension tests are included in the grades.

LANd100LA

## 入門ドイツ語 (SSI) II

2017 年度以降入学者

梶谷 雄二

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

定員制 (30 名)

その他属性：

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

初級文法を理解して、発音練習や簡単な日常会話の練習をして、ドイツ語に親しむことを目的とする。ドイツの文化と日本の文化も比較しながら理解する。

## 【到達目標】

一通りドイツ語の仕組みを理解し、読むこと、話すこと、書くことなど、ドイツ語に何らかの対応ができるようになることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

2 回の授業で 1 つの課を学ぶ。テキストの各課は文法説明と会話文、練習問題に分かれている。1 回目の授業では会話文を解説しながら文法の説明を行い、練習問題の一部を解いて、文法の理解を目指します。2 回目の授業では会話文の発音練習をして、会話のシミュレーションを行います。

小テストなどの課題の提出を求めた場合、その結果は直接返却するか、または、hoppii を通して通知します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】  
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】  
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	話法の助動詞 I	会話文の解説と文法説明。練習問題。
2	話法の助動詞 II	会話文の解説と文法説明。練習問題。
3	分離・非分離動詞 I / 接続詞 I	会話文の解説と文法説明。練習問題。
4	分離・非分離動詞 II / 接続詞 II	会話文の解説と文法説明。練習問題。
5	再帰代名詞・再帰動詞/zu 不定詞 I	会話文の解説と文法説明。練習問題。
6	再帰代名詞・再帰動詞/zu 不定詞 II	会話文の解説と文法説明。練習問題。
7	動詞の 3 基本形/過去形・現在完了形 I	会話文の解説と文法説明。練習問題。
8	動詞の 3 基本形/過去形・現在完了形 II	会話文の解説と文法説明。練習問題。
9	受動態/比較表現 I	会話文の解説と文法説明。練習問題。
10	受動態/比較表現 II	会話文の解説と文法説明。練習問題。
11	関係代名詞/関係副詞 I	会話文の解説と文法説明。練習問題。
12	関係代名詞/関係副詞 II	会話文の解説と文法説明。練習問題。
13	接続法	会話文の解説と文法説明。練習問題。
14	試験、まとめと解説	秋学期のまとめ都市圏をします。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

その週の授業で学んだ表現を繰り返し発音して、暗記すること。

## 【テキスト (教科書)】

プリントをテキストとして配布する

## 【参考書】

独和辞典はもちろんだが、そのほかの参考書については授業中に指示する。

## 【成績評価の方法と基準】

授業への参加姿勢 40 % (主に出席と練習問題への取り組み、発音の習熟度で評価する)、文法理解度チェックのための小テストの平均 60 %。

## 【学生の意見等からの気づき】

授業の方針や授業の目的を受講生によく理解してもらうように丁寧に説明する。

## 【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業になったときのために、パソコン、または、モバイル機器の用意をお願いします。

## 【Outline (in English)】

The aim is to understand elementary grammar, to practice pronunciation and simple daily conversation, and to become familiar with German. Understand German culture and Japanese culture while comparing it.

Students will understand how German works and aim to be able to speak, speak, write, and so on.

Students should read grammar explanations and organize their questions. Review should be to answer and submit grammar questions. Preparation and review time is required for at least 1 hour in total per lesson.

No specific texts are used in this class. Students distribute prints every time, so think of this as equivalent to text.

In this class, students' attitudes in class are mainly evaluated by attendance and proficiency in pronunciation, 40% of the evaluation is included in grades, and 60% of the average scores of several grammar comprehension tests are included in the grades.

ARSA200LA

## ドイツ語の世界 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

Schmidt Ute

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：2 単位

定員制 (60 名)

その他属性：〈他〉〈優〉

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、映画や文献を用いてドイツ語圏の歴史、社会、文化を探っていきます。各授業は講義で始まり、映画鑑賞、プレゼンテーション、ディスカッションという流れで行います。プレゼンテーションは映画の背景となった歴史や文化に関する発表をしてもらいます。(履修者の人数によってはグループでのプレゼンテーションになります。)

## 【到達目標】

- ・ドイツ語圏の生活、文化、社会、歴史など多様なテーマに関する理解を深める。
- ・各時代の思想的・文化的背景を理解する。
- ・映画の解釈方法を身につける。
- ・異文化理解能力を高める。
- ・テーマに応じた資料を収集し、読解する方法を身につける。
- ・プレゼンテーション技術をアップする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業はテーマへの導入、情報収集で始まり、映画鑑賞、プレゼンテーション、ディスカッションという流れで行う。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】  
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	オリエンテーション	授業の概説 発表の内容の取り決め
2.	ドイツ語圏の世界 1	地理, 言語, その他
3.	ドイツ語圏の世界 2	プレゼンテーション
4.	文学	ドイツ文学と言えばゲーテ？ 映画：ゲーテの恋 ～君に捧ぐ 「若きウェルテルの悩み」 Goethe! (2010) ディスカッション
5.	音楽	クラシック音楽の世界 Amadeus からクララ・シューマンまで
6.	オーストリアと日本	Sissi とミュージカル「エリザベート」
7.	スイスと日本	映画：ハイジ アルプスの物語 Heidi (2015) ハイジ in Japan
8.	世界を驚かせた話	カスパー・ハウザーの謎 (1974)
9.	戦争映画 I 第一次世界大戦	西部戦線異状なし (1930) 戦場のアリア (2005) ディスカッション

10.	ドイツと日本	ベートーヴェンの「第九」 プレゼンテーション 映画：バルトの楽園 (2006)
11.	映画の中のヒトラー I	ヒトラーと女性 ドキュメンタリー映画 レニ Die Macht der Bilder: Leni Riefenstahl 1993
12.	映画の中のヒトラー II	ヒトラー ～最期の 12 日間～ (2004)
13.	映画鑑賞	作品未定
14.	まとめ	ディスカッション

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

・文献を事前に読む。(資料の言語は主に日本語、履修者のレベルに応じて英語、ドイツ語)

・映画鑑賞

・自分担当のプレゼンテーションの準備とレジュメ作成

本授業の準備学習・復習時間は、計 4 時間を標準とします。

## 【テキスト (教科書)】

テキストを配布

## 【参考書】

・森井 裕一 (著, 編) 『ドイツの歴史を知るための 50 章』 (エリア・スタディーズ 151)

・宮田真治・畠山寛・濱中春 (編著) 『ドイツ文化 55 のキーワード』

・新野守広・飯田道子・梅田紅子 (編) 『知ってほしい国 ドイツ』

・スイス文学研究会 (編) 『スイスを知るための 60 章』 (エリア・スタディーズ 128)

・広瀬 佳一編著, 今井 顕編著他 ウィーン・オーストリアを知るための 57 章【第 2 版】 (エリア・スタディーズ 19)

## 【成績評価の方法と基準】

プレゼンテーションとレジュメ：50%

授業中のディスカッション参加とリアクションペーパー：50%

## 【学生の意見等からの気づき】

特になし

## 【その他の重要事項】

ドイツ語の知識やドイツ語学習歴の有無は問いません

「授業計画」は、授業の進度により変更する可能性があります。

質問・相談などは授業の前後、または以下の連絡先をお願いします。

ute.schmidt.yw@hosei.ac.jp

## 【Outline (in English)】

The core material used in this course will be recent German-language films. The content of the film will be used as the starting point to look into German history and society.

The goals of the course are getting a deeper understanding of daily life, culture, society, and history in German-speaking countries. Besides students will learn how to interpret movies, how to collect and read materials and improve presentation skills.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting (watching movies, research and read reference material etc.). Your study time will be about four hours for a class.

The Students' final grades will be based on presentation (50%) and active participation in class (50%)



ARSa200LA

ドイツ語の世界 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

Schmidt Ute

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：2 単位

定員制 (60 名)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、映画や文献を用いてドイツ語圏の歴史、社会、文化を探っていきます。各授業は講義で始まり、映画鑑賞、プレゼンテーション、ディスカッションという流れで行います。プレゼンテーションは映画の背景となった歴史や文化に関する発表をしてもらいます。(履修者の人数によってはグループでのプレゼンテーションになります。)

【到達目標】

- ・ドイツ語圏の生活、文化、社会、歴史など多様なテーマに関する理解を深める。
- ・各時代の思想的・文化的背景を理解する。
- ・映画の解釈方法を身につける。
- ・異文化理解能力を高める。
- ・テーマに応じた資料を収集し、読解する方法を身につける。
- ・プレゼンテーション技術をアップする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業はテーマへの導入、情報収集で始まり、映画鑑賞、プレゼンテーション、ディスカッションという流れで行う。

課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	戦後ドイツ	サッカーを通してみる戦後ドイツ : ベルンの奇跡 (2003)
2.	60 年代の東西ドイツ	ベルリンの壁ができるまで 映画：トンネル Der Tunnel (2001)
3.	70 年代の西ドイツ	極左のテロリズム バーダー・マインホフ/理想の果てに Der Baader Meinhof Komplex (2008)
4.	東ドイツ	東ドイツの秘密警察 (Stasi) 映画: 善き人のためのソナタ Das Leben der Anderen (2006) グンダーマン 優しき裏切り者の歌 Gundermann (2018)
5.	ドイツ統一	ベルリンの壁崩壊 映画：グッバイ、レーニン! Good Bye Lenin (2003) プレゼンテーション ディスカッション

6.	青春	児童文学の映画化
7.	青春	映画：50 年後のボクたちは Tschick (2016) プレゼンテーション ディスカッション
8.	ヒトラーについて笑っていいのか？	ヒトラーについて笑っていいのか？ 映画：帰ってきたヒトラー Er ist wieder da! (2015) プレゼンテーション ディスカッション
9.	ドイツ極右組織	ドイツ極右組織 NSU 映画：女は二度決断する Aus dem Nichts (2017) プレゼンテーション ディスカッション 映画鑑賞
10.	ドイツ極右組織	スイス映画・オーストリア映画と映画祭 難民問題
11.	ドイツ以外のドイツ語圏の映画	映画：初めてのおもてなし Willkommen bei Hartmanns (2016) プレゼンテーション ディスカッション
12.	移民国ドイツ	プレゼンテーション ディスカッション
13.	移民国ドイツ	映画鑑賞
14.	まとめ	

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

・文献を事前に読む (資料の言語は主に日本語、履修者のレベルに応じて英語、ドイツ語)

・映画鑑賞

本授業の準備学習・復習時間は、計 4 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

テキストを配布

【参考書】

・森井裕一 (著, 編集) 『ドイツの歴史を知るための 50 章』 (エリア・スタディーズ 151)

・宮田眞治・島山寛・濱中春 (編著) 『ドイツ文化 55 のキーワード』

・新野守広・飯田道子・梅田紅子 (編) 『知ってほしい国 ドイツ』

・スイス文学研究会 (編) 『スイスを知るための 60 章』 (エリア・スタディーズ 128)

・広瀬 佳一編著, 今井 顕編著他 ウィーン・オーストリアを知るための 57 章 【第 2 版】 (エリア・スタディーズ 19)

【成績評価の方法と基準】

プレゼンテーションとレジュメ：50%

授業中のディスカッション参加とリアクションペーパー：50%

【学生の意見等からの気づき】

特にありません

【その他の重要事項】

ドイツ語の知識やドイツ語学習歴の有無は問いません。

「授業計画」は、授業の進度により変更する可能性があります。

質問・相談などは授業の前後、または以下の連絡先をお願いします。

ute.schmidt.yw@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

The core material used in this course will be recent German-language films. The content of the film will be used as the starting point to look into German history and society.

The goals of the course are getting a deeper understanding of daily life, culture, society, and history in German-speaking countries. Besides students will learn how to interpret movies, how to collect and read materials and improve presentation skills.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting (watching movies, research and read material etc.). Your study time will be about four hours for a class.

The Students' final grades will be based on presentation (50%)  
and active participation in class (50%)

ARSA200LA

## ドイツの文化と社会 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

上田 知夫

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 2/Thu.2

単位数：2 単位

定員制 (30 名)

その他属性：〈他〉〈優〉

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

「ドイツ」と聞いて思い浮かべるイメージはなんでしょうか。ドイツについて全く知らない人でもいくつかのキーワードが思いつくのではないのでしょうか。

この授業ではそのようなすぐ気がつくキーワードから、ちょっと通なキーワードを集めて、それらがドイツ語圏の社会や文化で果たす役割について少しだけ深く考えて見ることにしたいと思います。ドイツ語の学習は前提しませんし、ドイツ語の文献を扱うこともありません。

## 【到達目標】

この授業では、ドイツ語圏の様々な文化を構成している制度を探求します。そのことを通じて、社会や歴史の要素について理解することを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

講義形式で授業を行います。しかし毎回のテーマについて皆さんが知っていることを積極的に伺いますので、対話に参加して下さることを期待します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	導入	ドイツとドイツ語圏について。
第 2 回	ドイツ語の歴史	ドイツ語の歴史について。
第 3 回	ドイツ語の地域性	さまざまな地域のドイツ語について。
第 4 回	ビールの現状	ドイツのビール産業の現状について。
第 5 回	ビールの歴史	ドイツ語圏のビールの歴史 (特にビール純粋令) について。
第 6 回	サッカー	ローカルパトリオリズムおよびナショナリズムについて。
第 7 回	ハイジのおんじ	スイスの歴史と傭兵輸出について。
第 8 回	ハイジの旅	スイスの鉄道網の発展と観光について。
第 9 回	アウトバーン	ドイツの自動車交通について。
第 10 回	ドイツの自動車産業	ドイツの工業化と自動車産業の展開について。
第 11 回	ドイツの教育制度	マイスターを生むドイツの教育制度について。
第 12 回	ドネルケバブ	ドイツの都市とそこにやってきた移民 (およびその子孫) たちについて。
第 13 回	休暇	ドイツの戦後復興と休暇について。

第 14 回 まとめ

これまでの話題について振り返り、期末レポートの書き方について確認します。

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

予習：次回のキーワードについて思いつくことをいくつか考えてから教室に来てください。

復習：レジュメを読み返してください。特に、レポートを書こうと思うテーマの回については、オフィスアワーを積極的に利用して教員と相談の上、参考文献を図書館で探してみてください。

## 【テキスト (教科書)】

教科書は指定しません。ハンドアウトを配布し、スライドを用いて授業します。

## 【参考書】

毎回異なる参考文献を参照するので、授業ごとに指示します。

## 【成績評価の方法と基準】

毎回の授業のリアクションペーパー：40%

授業への積極的参加：10%

期末レポート：50%

## 【学生の意見等からの気づき】

個々のキーワードをなるべく有機的につなげるように努力します。

## 【学生が準備すべき機器他】

資料は Hoppii を通じて配布しますので、ノートパソコン、スマートフォン、タブレットなど、インターネット通信環境のある機器があれば持参のこと (なおオンライン授業になる可能性がありますので、Zoom のインストールをお願いします)。

## 【その他の重要事項】

春学期と秋学期は独立して履修できるようにしてあります。

毎回参加者の皆さんに色々質問をしたいので、積極的に参加してください。

## 【Outline (in English)】

## 【Learning Objectives】

This lecture aims to get some basic understanding of German-speaking countries.

## 【Course outline】

This lecture is organized according to keywords that tend to be associated with these countries.

This lecture does not presuppose any knowledge of the German language.

## 【Learning activities outside of classroom】

This course presupposes 2hours of learning activities outside of the classroom.

Before the course: think about images you associate with the keyword of the next session.

After the course: review the handouts and answer the assignments.

## 【Grading Criteria /Policy】

Reaction papers : 40%

Active participation : 10%

Term paper : 50%

ARSA200LA

## ドイツの文化と社会 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

上田 知夫

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 2/Thu.2

単位数：2 単位

定員制 (30 名)

その他属性：〈他〉〈優〉

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業ではドイツ語圏の文化と社会の関係を、フランクフルトやウィーンの大学をめぐる社会制度や政治制度を手がかりに捉えることを目的にします。

その際に、20 世紀ドイツ語圏の大学における文化的営みや、

1. さまざまな歴史的社会的事情との関連で展開してきたこと、および、
2. 実際には 1 つの言語圏を超えて広がっていくということを理解したいと思います。

なお、この授業は日本語で行います。ドイツ語力は一切前提しません。また哲学に関わる人々が出てきますが、哲学的な議論は一切しません。哲学以外の分野の人々もなるべく取り入れたいと思います。

## 【到達目標】

- この授業を通じて、
- ・ 20 世紀から 21 世紀のドイツの社会問題とそれが大学 (およびそこで働く人々) にもたらした影響についての概観を得ることができます
  - ・ ドイツの社会思想について概観を得ることができます

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

この授業の中心部分は講義形式ですが、最後の 10 分程度全体でディスカッションしたいと思います。また毎回リアクションペーパーの提出を求めます。

また適宜、参加者に発言を求めることがあります。積極的な発言が、平常点の加算要因です。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】  
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】  
なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	導入：ドイツ語圏の 20 世紀の歴史の概観	ドイツ語圏の 20 世紀について、高校世界史の復習をします。
第 2 回	ワイマール共和国とフランクフルト学派	フランクフルト学派の第 1 世代の研究の背景を大戦間期のドイツの政治状況と関連付けます。
第 3 回	ナチスの台頭とドイツの大学	1933 年以降のドイツの政治状況を概観し、それがドイツの大学に与えた影響を考察します。
第 4 回	19 世紀から 20 世紀にかけてのウィーンの文化	ウィーン学団を生んだオーストリアおよびウィーンの歴史を概観します。
第 5 回	ウィーン学団	ウィーンの歴史を文化の側面から見たときのウィーン学団の位置について概観します。
第 6 回	亡命知識人の哲学 1: アメリカのフランクフルト学派	ナチスの台頭に伴い、多くの哲学者が亡命しました。アメリカ東部の亡命知識人の状況とその思想的展開を追います。

第 7 回	亡命知識人の哲学 1: アメリカのフランクフルト学派	フランクフルト学派が西部に移動したことを概観し、カルフォルニア地域の亡命知識人の状況について概観します。
第 8 回	亡命知識人の哲学 2: 英語圏の科学哲学	ウィーン学団の哲学者たちの亡命とその後の英語圏の哲学に与えた影響について概観します。
第 9 回	亡命知識人の哲学 2: 英語圏の科学哲学	ウィーンから渡米した哲学者たちが、アメリカに定住していく様子を概観します。
第 10 回	戦後のフランクフルト学派	第 2 次世界大戦後のドイツの学問状況を哲学者たちを事例に概観します。
第 11 回	68 年世代の学生運動とドイツ社会	ドイツの学生運動が隆盛を迎えた 1968 年代当時の哲学的状況を概観します。
第 12 回	歴史家論争	第 2 次世界大戦後のドイツが、第 2 次世界大戦をどのように振り返ってきたかについて歴史家論争を手がかりに概観します。
第 13 回	ナチス期にドイツの大学に残った人たち	亡命した研究者の残した空席を埋めた研究者について概観し、彼らの第 2 次世界大戦後を確認します。
第 14 回	まとめ	これまでの議論をまとめ、レポートの書き方について確認します。

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。この授業では復習を中心に学習してください。とりわけ興味を持った主題についてのレポートの準備を入念に行うことを求めたいと思います。そのためのオフィスアワーの積極的利用も推奨します。

## 【テキスト (教科書)】

教科書は指定しません。適宜、レジユメを配布します。

## 【参考書】

毎回異なる参考書を利用しますので、スライドでそれらを指示します。レポートを執筆しようと思う回については、それらを一読することをお勧めします。

## 【成績評価の方法と基準】

授業の際に提出するリアクションペーパー：50%  
レポート：50%

## 【学生の意見等からの気づき】

昨年度の学生の要望により、ウィーンやフランクフルトの都市の歴史を少し多めに授業しようと思います。

## 【学生が準備すべき機器他】

資料は Hoppii で配信しますので、ノートパソコン、スマートフォン、タブレットなど、インターネット通信環境のある機器があれば持参のこと (なおオンライン授業になる可能性がありますので、Zoom のインストールをお願いします)。

## 【その他の重要事項】

春学期と秋学期は独立して履修できるようにしてあります。ただし、春学期で学んだことは絶対に無駄になりませんので、春学期に履修した方の積極的な参加を期待します。

## 【Outline (in English)】

## 【Learning Objectives】

The theme of this lecture is the relationship between philosophical thoughts and their roles in society, especially, in German society.

## 【Learning activities outside of classroom】

This course presupposes 2 hours of learning activities outside of the classroom.

After the course: review the handouts and answer the assignments.

## 【Grading Criteria /Policy】

Reaction papers : 50%

Term paper : 50%

LANF200LA

## フランス語 3 I

2017 年度以降入学者

西川 純子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 4/Thu.4

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語で書かれた文章を読解し、フランス人のインタビュー動画を視聴することで、フランス語の四技能を高めて今後のフランス語学習の基礎となる礎を完成させる。

## 【到達目標】

1. 日常生活で使用される簡単なフランス語の文を読むことができるようになる。
2. 簡単なコミュニケーションをフランス語でスムーズに行うことができるようになる。
3. 簡単なフランス語をスムーズに書けるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

原則として対面で行う（しかし、感染症拡大状況により、授業開始後に授業形態に変更が生じる可能性もある。その場合は学習支援システム上に通知する）。教科書に沿って進める。また、1 年次に使用した教科書を使って文法項目を適宜学習する。客観的に把握できるように小テストを適宜行う。テスト返却時に解説を必ず行い、学生各位の理解を促進する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス 一年生の復習	授業方針を説明 基本的なフランス語の決まり事を確認 ・非人称構文・指示代名詞・疑問代名詞 （『un, deux, trois』第 8・9 課）
第 2 回	『Quoi de neuf?』第 1 課	・インタビュー動画視聴 ・代名動詞の復習 （『un, deux, trois』第 10 課）
第 3 回	『Quoi de neuf?』第 1 課	テキスト講読 会話練習
第 4 回	『un, deux, trois』第 10 課	未来の表現まとめ
第 5 回	『Quoi de neuf?』第 2 課	・インタビュー動画視聴 ・関係代名詞 （『un, deux, trois』第 8・13 課）
第 6 回	『Quoi de neuf?』第 2 課	テキスト講読 会話練習
第 7 回	『un, deux, trois』第 11 課	直接法大過去 過去の表現まとめ
第 8 回	『Quoi de neuf?』第 3 課	・インタビュー動画視聴 ・比較の復習 （『un, deux, trois』第 6 課）
第 9 回	『Quoi de neuf?』第 3 課	テキスト読解 会話練習
第 10 回	『un, deux, trois』第 12 課	条件法 接続法

第 11 回	『Quoi de neuf?』第 4 課	インタビュー動画視聴 ・代名詞の復習 （『un, deux, trois』第 9・11 課）
第 12 回	『Quoi de neuf?』第 4 課	テキスト読解 会話練習
第 13 回	まとめ	重要事項の確認と復習
第 14 回	試験	試験とその解説を行う。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の予習として、各課の対話文をわからない単語を辞書で調べながら読み、CD も聞いておくこと。復習として、授業中に出された課題を行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とします。とくに重要な項目を学習した後は小テストを行います。復習の際には、疑問点を残さないようにしてください。質問は授業の前後だけではなく、メールでも 24 時間受け付けます。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

『Quoi de neuf?』 Léa GIUNTA, Tomohiko KIYOOKA, Olivia BOISSEL、白水社。

『Un deux trois』 斎藤昌三、白水社。

## 【参考書】

『動詞宝典 308 初・中級編』久松健一著、駿河台出版社

『動詞宝典 466 中・上級編』久松健一著、駿河台出版社

## 【成績評価の方法と基準】

小テストと平常点で 50 %、学期末テスト 50 %。

学期内で小テストは 2 回行う予定です。適宜、単語テストや動詞活用テストも行います。

## 【学生の意見等からの気づき】

学生の苦手とする箇所を重点的に補うようにする。テストの回数が多いことで勉強する機会が増えたという意見をふまえて、重要ポイントは必ずテストを行って学生諸氏が自身の理解の度合いを客観的に理解できるようにする。

## 【学生が準備すべき機器他】

仏和と和仏の辞書を持っていることが望ましい。また、学習支援システムや教科書の web ページを利用するために、パソコン、タブレット、スマートフォン等の電子機器を持っていることが望ましい。

## 【その他の重要事項】

この授業についての質問は西川 (junko.nishikawa.54@hosei.ac.jp) までお願いします。

## 【Outline (in English)】

Extension of basic skills of communication in French language. The goals of this course are to be able to understand short text quite well. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class. Your overall grade in the class will be decided based on the following  
Term-end examination: 50%, Examinations in class : 30%, in class contribution in class: 20%.

LANf200LA

## フランス語 3 II

2017 年度以降入学者

西川 純子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 4/Thu.4

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語で書かれた文章を読解し、フランス人のインタビュー動画を視聴することで、フランス語の四技能を高めて今後のフランス語学習の基礎となる礎を完成させる。

## 【到達目標】

1. 日常生活で使用される簡単なフランス語の文を読むことができるようになる。
2. 簡単なコミュニケーションをフランス語でスムーズに行うことができるようになる。
3. 簡単なフランス語をスムーズに書けるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

原則として対面で行う。教科書に沿って進めるが、1 年次に使用した教科書を使って文法項目を適宜学習する。学生各位が自らの実力を客観的に把握できるように小テストを適宜行う。テスト返却時に解説を必ず行い、学生各位の理解を促進する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	第 5 課	動画視聴 1 過去の表現の復習
第 2 回	第 5 課	動画視聴 2 テキスト講読
第 3 回	第 6 課	動画視聴 1 受動態の復習
第 4 回	第 6 課	動画視聴 2 テキスト講読
第 5 回	第 7 課	動画視聴 1 現在分詞とジェロンディフの復習
第 6 回	第 7 課	動画視聴 2 テキスト読解
第 7 回	第 8 課	動画視聴 1 単純未来と強調構文の復習
第 8 回	第 8 課	動画視聴 2 テキスト読解
第 9 回	第 9 課	動画視聴 1 条件法と代名詞の復習
第 10 回	第 9 課	動画視聴 2 テキスト読解
第 11 回	第 10 課	動画視聴 1 指示代名詞と接続法の復習
第 12 回	第 10 課	動画視聴 2 テキスト読解
第 13 回	まとめと復習	重要事項の確認と復習
第 14 回	試験と解説	試験とその解説を行う。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の予習として、各課の対話をわからない単語を辞書で調べながら読み、CD も聞いておくこと。復習として、授業中に出された課題を行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とします。とくに重要な項目を学習した後は小テストを行います。復習の際には、疑問点を残さないようにしてください。質問は授業の前後だけではなく、メールでも 24 時間受け付けます。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

『Quoi de neuf?』 Léa GIUNTA, Tomohiko KIYOOKA, Olivia BOISSEL、白水社。

『Un deux trois』 斎藤昌三、白水社。

## 【参考書】

『動詞宝典 308 初・中級編』 久松健一著、駿河台出版社

『動詞宝典 466 中・上級編』 久松健一著、駿河台出版社

## 【成績評価の方法と基準】

小テストと平常点で 50 %、学期末テスト 50 %。

学期内で小テストは 2 回行う予定です。適宜、単語テストや動詞活用テストも行います。

## 【学生の意見等からの気づき】

学生の苦手とする箇所を重点的に補うようにする。テストの回数が多いことで勉強する機会が増えたという意見をふまえて、重要ポイントは必ずテストを行って学生諸氏が自身の理解の度合いを客観的に理解できるようにする。

## 【学生が準備すべき機器他】

仏和と和仏の辞書を持っていることが望ましい。また、学習支援システムや教科書の web ページを利用するために、パソコン、タブレット、スマートフォン等の電子機器を持っていることが望ましい。

## 【その他の重要事項】

この授業についての質問は西川 (junko.nishikawa.54@hosei.ac.jp) までお願いします。

## 【Outline (in English)】

Extension of basic skills of communication in French language. The goals of this course are to be able to understand short text quite well. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class. Your overall grade in the class will be decided based on the following  
Term-end examination: 50%、Examinations in class : 30%、in class contribution in class: 20%.

LANF200LA

## フランス語 3 I

2017 年度以降入学者

中村 美緒

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ひとつのテーマに対して、映像を見ながらインタビューを聞き取る力を養う部分と、フランス語で書かれた文章の正確な理解と内容についての考察を行う部分を同時に学習する授業です。さらに、テーマについてクラスで話し合いと発表も行います。

## 【到達目標】

フランス語のニュースやスピーチの内容をおおまかに把握できるようになること、さらに、単語の意味を調べれば、フランス語で書かれた簡単な新聞記事などを自力で読み解き意見をまとめることができるようになることを目標としています。

## 【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

2 回の授業で、6 ページ構成の 1 レッソンを終える速度で進みます。まずは、インタビューの聞き取りから内容把握や語彙の習得を行います。聞き取りに使用したスクリプトを読みながら確認も行います。次に、文法事項を確認しながら練習問題を解き、右ページにあるキーワードや短い質問を使ってグループで話し合いその結果を発表します。日本語だけではなく、フランス語でも簡単に自分の意見が言えるように練習しましょう。授業内に行う小テストはその場で答え合わせをします。ウェブ上に提出する課題については、プリントアウト後採点したものを教室で返却する予定です。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	Leçon 0 「授業の進め方」	グループ分け、音読練習
2 回目	Leçon 1 「ソーシャル・ワーキング」	インタビュー聞き取り、内容確認、音読練習
3 回目	Leçon 1 「300 万人のフォロワー」	仏文和訳、文法確認（疑問文、代名動詞）、ディスカッション
4 回目	Leçon 2 「住宅事情」	インタビュー聞き取り、内容確認、音読練習
5 回目	Leçon 2 「君のところに招待してくれる？」	仏文和訳、文法確認（関係代名詞）、ディスカッション
6 回目	Révision et Exposé 「L1 et L2」	文法復習、グループごとの発表
7 回目	Leçon 3 「エコロジー」	インタビュー聞き取り、内容確認、音読練習
8 回目	Leçon 3 「エコな若者たち」	仏文和訳、文法確認（比較級と最上級）、ディスカッション
9 回目	Leçon 4 「オーディオ・ビジュアル」	インタビュー聞き取り、内容確認、音読練習
10 回目	Leçon 4 「恋するシャンソン」	仏文和訳、文法確認（補語人称代名詞、中性代名詞）、ディスカッション
11 回目	Révision et Exposé 「L3 et L4」	文法復習、グループごとの発表
12 回目	Leçon 5 「お財布事情」	インタビュー聞き取り、内容確認、音読練習

13 回目 Leçon 5 「月末はつらいよ」 仏文和訳、文法確認（複合過去、半過去）、ディスカッション

14 回目 試験とまとめ 口頭・筆記試験

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。予習：ダウンロード音声による音読練習、辞書等で語彙を調べて訳しておく。(約 30 分)

復習：授業時に学習した文法事項を確認して、簡単な作文ができるようにしておく。(約 30 分)

## 【テキスト（教科書）】

『クワ・ドゥ・ヌフ？ Z 世代のリアル・フランス』レナ・ジュンタ、清岡智比古、オリヴィア・ボワセル著（白水社）

## 【参考書】

仏和・和仏の辞書があると便利です。(ネット上の翻訳機能も単語レベルでの使用可)

## 【成績評価の方法と基準】

成績評価：

平常点（授業への参加、ディスカッションと発表）50%

学期末テスト（授業最終日に実施される口頭・筆記試験）50%

試験方法：

この授業は「期間前試験」を行います。学期末試験は「試験期間中」ではなく、通常授業の最終日の授業時間内に実施します。試験実施方法は事情により変更される場合もあります。その際は都度お知らせいたします。

## 【学生の意見等からの気づき】

やむを得ない事情により教室で受講できない場合には、同時配信のオンラインで参加することもできます。

## 【Outline (in English)】

In this class, students simultaneously study the part that develops their ability to listen to 6 interviews while watching a video for a common theme to the part that accurately understands and considers the content of sentences written in French. In addition, the topic will be discussed and presented in class. In two lessons, you will progress at a speed that will complete one lesson consisting of 6 pages. First of all, we will grasp the content and learn vocabulary from listening to the interview. We will also check while reading the script used for listening. Next, students will solve practice questions while checking grammar items, and will discuss them in groups using keywords and short questions on the right page and present the results. Practice not only Japanese, but also in French so that you can easily express your opinion. Answers to test in class are checked on the place. Assignments posted on the web will be graded after printing out and returned in the classroom.

Grading:

Normal points (participation in classes, discussion and presentation) 50%

Final exam (oral and written exam held on the last day of classes): 50%

Test method:

This class is a "pre-term exam". Final exams are not held "during the examination period", but during the class hours on the last day of regular classes.

LANF200LA

## フランス語 3 II

2017 年度以降入学者

中村 美緒

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ひとつのテーマに対して、映像を見ながらインタビューを聞き取る力を養う部分と、フランス語で書かれた文章の正確な理解と内容についての考察を行う部分を同時に学習する授業です。さらに、テーマについてクラスで話し合いと発表も行います。

## 【到達目標】

フランス語のニュースやスピーチの内容をおおまかに把握できるようになること、さらに、単語の意味を調べれば、フランス語で書かれた簡単な新聞記事などを自力で読み解き意見をまとめることができるようになることを目標にしています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

2 回の授業で、6 ページ構成の 1 レッソンを終える速度で進みます。まずは、インタビューの聞き取りから内容把握や語彙の習得を行います。聞き取りに使用したスクリプトを読みながら確認も行います。次に、文法事項を確認しながら練習問題を解き、右ページにあるキーワードや短い質問を使ってグループで話し合いその結果を発表します。日本語だけではなく、フランス語でも簡単に自分の意見が言えるように練習しましょう。授業内に行う小テストはその場で答え合わせをします。ウェブ上に提出する課題については、プリントアウト後採点したものを教室で返却する予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	Leçon 6「差別」	インタビュー聞き取り、内容確認、音読練習
2 回目	Leçon 6「告発せよ」	仏文和訳、文法確認(受動態)、ディスカッション
3 回目	Révision et Exposé「L5 et L6」	文法復習、グループごとの発表
4 回目	Leçon 7「余暇」	インタビュー聞き取り、内容確認、音読練習
5 回目	Leçon 7「今晚何する？」	仏文和訳、文法確認(現在分詞とジェロンディフ)、ディスカッション
6 回目	Leçon 8「ファッション」	インタビュー聞き取り、内容確認、音読練習
7 回目	Leçon 8「ファッションの犠牲者たち」	仏文和訳、文法確認(単純未来、強調構文)、ディスカッション
8 回目	Révision et Exposé「L7 et L8」	文法復習、グループごとの発表
9 回目	Leçon 9「恋愛事情」	インタビュー聞き取り、内容確認、音読練習
10 回目	Leçon 9「恋に落ちるとき」	仏文和訳、文法確認(条件法、中性代名詞)、ディスカッション
11 回目	Leçon 10「仕事探し」	インタビュー聞き取り、内容確認、音読練習
12 回目	Leçon 10「メトロ、仕事、ねんね」	仏文和訳、文法確認(指示代名詞、接続法)、ディスカッション

13 回目 Révision et Exposé 文法復習、グループごとの発表「L9 et L10」

14 回目 試験とまとめ 口頭・筆記試験

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。予習：ダウンロード音声による音読練習、辞書等で語彙を調べて訳しておく。(約 30 分)

復習：授業時に学習した文法事項を確認して、簡単な作文ができるようにしておく。(約 30 分)

## 【テキスト（教科書）】

『クワ・ドゥ・ヌフ? Z 世代のリアル・フランス』レナ・ジュンタ、清岡智比古、オリヴィア・ボワセル著(白水社)

## 【参考書】

仏和・和仏の辞書があると便利です。(ネット上の翻訳機能も単語レベルでの使用可)

## 【成績評価の方法と基準】

成績評価：

平常点（授業への参加、ディスカッションと発表）50%

学期末テスト（授業最終日に実施される口頭・筆記試験）50%

試験方法：

この授業は「期間前試験」を行います。学期末試験は「試験期間中」ではなく、通常授業の最終日の授業時間内に実施します。試験実施方法は事情により変更される場合もあります。その際は都度お知らせいたします。

## 【学生の意見等からの気づき】

やむを得ない事情により教室で受講できない場合には、同時配信のオンラインで参加することもできます。

## 【Outline (in English)】

In this class, students simultaneously study the part that develops their ability to listen to 6 interviews while watching a video for a common theme to the part that accurately understands and considers the content of sentences written in French. In addition, the topic will be discussed and presented in class. In two lessons, you will progress at a speed that will complete one lesson consisting of 6 pages. First of all, we will grasp the content and learn vocabulary from listening to the interview. We will also check while reading the script used for listening. Next, students will solve practice questions while checking grammar items, and will discuss them in groups using keywords and short questions on the right page and present the results. Practice not only Japanese, but also in French so that you can easily express your opinion. Answers to test in class are checked on the place. Assignments posted on the web will be graded after printing out and returned in the classroom.

Grading:

Normal points (participation in classes, discussion and presentation) 50%

Final exam (oral and written exam held on the last day of classes): 50%

Test method:

This class is a "pre-term exam". Final exams are not held "during the examination period", but during the class hours on the last day of regular classes.



LANF200LA

## フランス語 3 I

2017 年度以降入学者

竹本 研史

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 2/Thu.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

法学部 2 年 T 組の学生を対象にして、2 年次以降の専門科目の学習に資するように、現代フランス語圏社会の諸問題についてのフランス語圏テキストの読解演習および聴解演習、発音演習を行う。

## 【到達目標】

法学部政治学科の学生が、各人の関心に応じた政治学研究を行うにあたって、簡単な内容のフランス語文献や新聞、雑誌記事を利用できるフランス語読解力をつけること、ならびに簡単な内容のテレビ、ラジオ、ネット動画などを視聴できる視聴能力を身につけることが目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

現代フランス語圏社会の諸問題についての初歩的なフランス語テキストを読んだり、音声を聴いたりする。

なお、学期の前半は未習部分の文法事項に関して 1 年次に使用した教科書を用いて学ぶ。

指定箇所の宿題（全訳）→音読練習→学生が発表→教員が既習文法事項を振り返りながら、内容を含め、関連画像・映像などを交え解説。

学生からの質問・意見や、提出物に対しては、基本的に授業時間内にフィードバックを行う。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業についての説明
第 2 回	第 1 課	"La passion du sport"
第 3 回	第 2 課	"La lutte contre le gaspillage"
第 4 回	第 3 課	"L'égalité femmes-hommes"
第 5 回	第 1-3 課のまとめ	第 1-3 課の文法事項の復習
第 6 回	第 4 課	"Pour ou contre les devoirs"
第 7 回	第 5 課	"Les bonnes manières à table"
第 8 回	第 6 課	"Vivement les vacances !"
第 9 回	第 4-6 課のまとめ	第 4-6 課の文法事項の復習
第 10 回	第 7 課	"Les petits noms amoureux"
第 11 回	第 8 課	"La philosophie pour tous"
第 12 回	第 7-8 課のまとめ	第 7-8 課の文法事項の復習
第 13 回	音読・聴き取りの練習	・音読試験 ・聴き取りの練習
第 14 回	春学期のまとめ	・筆記試験 ・筆記試験の解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各課の音読と全訳を行うこと。

予習に 1 時間半から 2 時間、復習に 1 時間は必要であろう。

## 【テキスト（教科書）】

Liliane LATTANZIO・澤田直『ヴレマン？ ―文法を深めながら発見するフランス 14 章 [第 2 版]』、三修社、2022 年。定価：2,100 円＋税

ISBN : 978-4-384-23213-4

## 【参考書】

\* 1 年次に用いていた「フランス語 1」の教科書

\* 仏和辞典

## 【成績評価の方法と基準】

「教科書の全訳 [30%] + 音読試験 [10%] + 筆記試験 [60%]」

## 【学生の意見等からの気づき】

なし

## 【その他の重要事項】

もちろん、この「フランス語 3」の授業だけでは、フランス語の運用能力を十全に身につけることは非常に困難である。本格的にフランス語の勉強を志すのであれば、選択外国語科目や総合科目のフランス語諸科目を積極的に受講してほしい。語学は筋トレである。併せて、フランス語圏地域文化を学ぶために、ILAC のリベラルアーツ科目のフランス語圏文化に関する科目や、総合科目のフランス語系の先生方主宰の「教養ゼミ」、それから国際文化学部のフランス語圏に関する他学部聴講科目をぜひ受講していただけたら幸いである。

## 【Outline (in English)】

## 【Course outline】

This course introduces the foundations of the reading books and newspaper articles in French on Sustainability to students taking this course.

## 【Learning Objectives】

The goals of this course are to read books and newspaper articles, to Watch TV and to listen to the radio etc. in simple French on Sustainability.

## 【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to translate the text before each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class.

## 【Grading Criteria /Policy】

Translation of the text : 30 %

Read-test : 10%

Term-end examination: 60%

LANF200LA

## フランス語 3 II

2017 年度以降入学者

竹本 研史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 2/Thu.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

法学部 2 年 T 組の学生を対象にして、2 年次以降の専門科目の学習に資するように、現代フランス語圏社会の諸問題についてのフランス語圏テキストの読解演習および聴解演習、発音演習を行う。

## 【到達目標】

法学部政治学科の学生が、各人の関心に応じた政治学研究を行うにあたって、簡単な内容のフランス語文献や新聞、雑誌記事を利用できるフランス語読解力をつけること、ならびに簡単な内容のテレビ、ラジオ、ネット動画などを視聴できる視聴能力を身につけることが目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

現代フランス語圏社会の諸問題についての初歩的なフランス語テキストを読んだり、音声を聴いたりする。

指定箇所の宿題（全訳）→音読練習→学生が発表→教員が既習文法事項を振り返りながら、内容を含め、関連画像・映像などを交え解説。

学生からの質問・意見や、提出物に対しては、基本的に授業時間内にフィードバックを行う。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	第 9 課	"Les nouvelles familles"
第 2 回	第 10 課	"La politique environnementale"
第 3 回	第 9-10 課のまとめ	第 9-10 課の文法事項の復習
第 4 回	第 11 課	"Le bricolage"
第 5 回	第 12 課	"La folie des soldes"
第 6 回	第 11-12 課のまとめ	第 11-12 課の文法事項の復習
第 7 回	第 13 課	"Le droit de grève"
第 8 回	第 14 課	"Il était une fois le cinéma"
第 9 回	第 13-14 課のまとめ	第 13-14 課の文法事項の復習
第 10 回	プリント (1)	教科書レベルを超えたフランス政治・社会に関する文章を読む (1)
第 11 回	プリント (2)	教科書レベルを超えたフランス政治・社会に関する文章を読む (2)
第 12 回	プリント (3)	教科書レベルを超えたフランス政治・社会に関する文章を読む (3)
第 13 回	音読・聴き取りの練習	・音読試験 ・聴き取りの練習
第 14 回	秋学期のまとめ	・筆記試験 ・筆記試験の解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各課の音読と全訳を行うこと。

予習に 1 時間半から 2 時間、復習に 1 時間は必要であろう。

## 【テキスト（教科書）】

Liliane LATTANZIO・澤田直『ヴレマン？ ―文法を深めながら発見するフランス 14 章 [第 2 版]』、三修社、2022 年。定価：2,100 円＋税

ISBN：978-4-384-23213-4

## 【参考書】

\* 1 年次に用いていた「フランス語 1」の教科書

\* 仏和辞典

## 【成績評価の方法と基準】

「教科書の全訳 [30%] + 音読試験 [10%] + 筆記試験 [60%]」

## 【学生の意見等からの気づき】

なし

## 【その他の重要事項】

もちろん、この「フランス語 3」の授業だけでは、フランス語の運用能力を十全に身につけることは非常に困難である。本格的にフランス語の勉強を志すのであれば、選択外国語科目や総合科目のフランス語諸科目を積極的に受講してほしい。語学は筋トレである。併せて、フランス語圏地域文化を学ぶために、ILAC のリベラルアーツ科目のフランス語圏文化に関する科目や、総合科目のフランス語系の先生方主宰の「教養ゼミ」、それから国際文化学部のフランス語圏に関する他学部聴講科目をぜひ受講していただけたら幸いである。

## 【Outline (in English)】

## 【Course outline】

This course introduces the foundations of the reading books and newspaper articles in French on Sustainability to students taking this course.

## 【Learning Objectives】

The goals of this course are to read books and newspaper articles, to Watch TV and to listen to the radio etc. in simple French on Sustainability.

## 【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to translate the text before each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class.

## 【Grading Criteria /Policy】

Translation of the text : 30 %

Read-test : 10%

Term-end examination: 60%

LANf200LA

## フランス語 3 I

2017 年度以降入学者

柴崎 秀穂

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランスの時事についての平易なエッセイを読むことを通じ、フランス語の文法、語彙、構文の理解を深めます。しかしその前に、基本文法の未習箇所を勉強しましょう。

## 【到達目標】

フランス語の基本文法の理解を完成し、辞書を引きつつ、平易な文章を読めるようになること。また、仏検 3 級レベルへの早期の到達を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

文法の授業はそれぞれの文法事項について、まず教師が説明し、その後学生が練習問題を解き、それについて教師が解説する、という形で授業を進めます。講読では指名された学生が音読・和訳し、それを教師が修正・解説します。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション。	授業の進め方。文法の総復習。
	文法（1）。	
第 2 回	文法（2）。	文法の総復習。
第 3 回	文法（3）。	半過去。複合過去と半過去との使い分け。
第 4 回	文法（4）。	疑問形容詞。疑問詞について総復習。
第 5 回	文法（5）。	条件法現在。
第 6 回	文法（6）。	条件法現在。現在分詞とジェロンディフ。
第 7 回	文法（7）。	ジェロンディフ。接続法現在。
第 8 回	文法（8）。	接続法現在。
第 9 回	講読・第 1 課。	「モン・サン・ミッシェル」
第 10 回	第 1 課。	「モン・サン・ミッシェル」
第 11 回	第 2 課。	「チュニジア」
第 12 回	第 2 課。	「チュニジア」
第 13 回	第 3 課／文法。	大過去（本文は読みません）
第 14 回	期末試験。	試験・まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講読の授業ではあらかじめ発表者を指名しますので、指名された学生は必ず準備した上で出席してください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

「アンフォ vol.5 フランス語でニュースを読む」、駿河台出版社。

## 【参考書】

仏和辞典は必ず持参すること。

## 【成績評価の方法と基準】

出席と発表の回数／内容 50 %、期末試験 50 % で総合的に評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

授業資料を、より分かりやすく効果的になるよう修正しました。

## 【その他の重要事項】

若いころ短期間ですが、日仏会館日本事務所に勤務していました。仕事で使うフランス語および外国語一般について、アドバイスができると思います。また、TOEIC のスコアも 975 点を持っていますので、英語との比較でフランス語を解説します。

## 【Outline (in English)】

・ Course outline

Reading easy essays about current affairs in France, you will improve your knowledge of French grammar and vocabulary.

・ Learning objectives

At the end of the course, students are expected to understand easy French books.

・ Lecture/Exercise

Before each class meeting, students will be expected to spend an hour to prepare for the course content.

・ Grading Criteria /Policies

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%、in-class contribution: 50 %

LANF200LA

## フランス語 3 II

2017 年度以降入学者

柴崎 秀穂

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランスの時事についての平易なエッセイを読むことを通じて、フランス語の文法、語彙、構文の理解を深めます。

## 【到達目標】

フランス語の基本文法の理解を完成し、辞書を引きつつ、平易な文章を読めるようになること。また、仏検 3 級レベルへの早期の到達を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

あらかじめ発表者を指名し、指名された学生がテキストの該当箇所を音読し、和訳します。それをもとに教師が修正・説明・和訳し、文法を再確認したり、構文を分析したりしながら、テキストを読み進めていきます。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	第 4 課。	サロン・デュ・ショコラ
第 2 回	第 4 課。	サロン・デュ・ショコラ
第 3 回	第 5 課。	エッフェル塔
第 4 回	第 5 課。	エッフェル塔
第 5 回	第 6 課。	ワートルローの戦い
第 6 回	第 7 課。	カレーのジャングル
第 7 回	第 8 課。	ラグビーと国籍
第 8 回	第 9 課。	抗議行動
第 9 回	第 10 課。	ルーブル美術館
第 10 回	第 11 課。	観光の女王
第 11 回	第 12 課。	ブレッグジット
第 12 回	第 13 課。	ニースのテロ事件
第 13 回	第 14 課。	カマンベール
第 14 回	期末試験。	試験・まとめと解説。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

指名された学生は、しっかりと準備してくる。それ以外の学生も、最低限、単語だけは調べてきてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

「アンフォ vol.5 フランス語でニュースを読む」、駿河台出版社。

## 【参考書】

仏和辞典は必ず持参すること。

## 【成績評価の方法と基準】

出席と発表の回数／内容 50 %、期末試験 50 % で総合的に評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

授業資料を、より分かりやすく効果的になるよう修正しました。

## 【その他の重要事項】

若いころ短期間ですが、日仏会館日本事務所に勤務していました。仕事で使うフランス語および外国語一般について、アドヴァイスができると思います。また、TOEIC スコアも「975 点」を持っていますので、英語との比較でフランス語を解説します。

## 【Outline (in English)】

・ Course outline

Reading easy essays about current affairs in France, you will improve your knowledge of French grammar and vocabulary.

・ Learning objectives

At the end of the course, students are expected to understand easy French books.

・ Lecture/Exercise

Before each class meeting, students will be expected to spend an hour to prepare for the course content.

・ Grading Criteria /Policies

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%、in-class contribution: 50 %

LANF200LA

## フランス語 3 I

2017 年度以降入学者

柴田 恵美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、フランス語 1 に引き続き、文法知識を深め、書く・読む・発音するといったフランス語の基礎的運用能力を身に付ける事を目的としています。文法事項を理解し、練習問題をこなした上で、自分自身で簡単なフランス語の文章を書き、それをフランス語で発話する力（会話力）、ひいては、副教材のプリントを用いつつ、フランスやフランス文化について書かれた文章を日本語で読み解く力をつけてゆくののです。

また、聞き取りや会話力の向上の為に、DVD や CD も活用します。

## 【到達目標】

- (1) フランス語の綴り字と発音の関係を理解し、ほぼ正確に発音できるようにする
- (2) 初級で学んだ文法知識に対する理解を深める
- (3) 辞書を片手に、フランス語で書かれた比較的平易な文章を解説したり、また、簡単な和文仏訳を行ったり、フランス人の話す簡単な会話を理解したりすることが出来る
- (4) フランス文化についての基礎的な知識の一端を知る

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

各課の文法事項に関しては、説明とその理解度を確認する問題を解き、解説を加えていくことが中心となりますが、仏作文、会話（発話）などに関しては特に、一方的な講義形式ではなく、学生参加型の授業を行います。

課題が出た場合は、基本的に次回授業時に解答・解説を行います。基本的に授業時間内にフィードバックを行います。LMS などを活用する場合もあります。

疑問点や理解しきれない点などが生じたら、ためらわずに質問してください。そして、分かることの喜びを実感しながら、一緒に楽しく勉強していきましょう。

また、時間が許せば、フランス語やフランス文化に関連した話題、映像などにも触れたいと考えています。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	今後の授業の進め方 1 年次に終了した文法事項等の確認
第 2 回	1 課 写真学校に入る	会話文の音読と和訳 文法の復習 受動態
第 3 回	1 課 フランスと写真術	文法の練習問題 文章読解
第 4 回	2 課 エッフェル等と自由の女神を見に行く	会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習 最上級 関係代名詞 qui, que
第 5 回	2 課 エッフェル等と自由の女神	文法の練習問題 文章読解

第 6 回 3 課  
ベルシー・ヴィラー  
ジュを訪れる

会話実践  
会話文の音読と和訳  
文法の復習  
関係代名詞 dont, où

第 7 回 3 課  
ベルシー・ヴィラー  
ジュ

3 課  
ベルシー・ヴィラー  
ジュ

会話文の音読と和訳  
文法の復習  
疑問代名詞  
文法の練習問題  
文章読解

第 8 回 4 課  
ルイ・ヴィトン財団美術館を訪れる

4 課  
ルイ・ヴィトン財団美術館

会話文の音読と和訳  
文法の復習  
疑問代名詞  
文法の練習問題  
文章読解

第 9 回 4 課  
ルイ・ヴィトン財団美術館

5 課  
電話をかける

会話実践  
会話文の音読と和訳  
文法の復習  
条件法

第 10 回 5 課  
電話をかける

5 課 フランスの電話事情

文法の練習問題  
文章読解

第 11 回 5 課 フランスの電話事情

仏検 4 級をめざして 1

会話実践  
文章読解

第 12 回 仏検 4 級をめざして 1

仏検 4 級をめざして 2

仏検 4 級の練習問題を解く

第 13 回 仏検 4 級をめざして 2

第 14 回 試験と総括

まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とします。事前学習としては、次回授業時に進む課の進出単語の意味と読み方を確認しておく、課題として出された練習問題を解いておく、事後学修としては、前回授業の内容を復習し、文章読解に関しては文章構造、言い回しをまとめ、記憶しておく等が挙げられます。

## 【テキスト（教科書）】

パリ・ブルゴーニュ（朝日出版社、2500 円）

副教材として用いるプリントは教員が配布いたします。

## 【参考書】

辞書としては、「プチ・ロワヤル仏和辞典」「ロワイヤル仏和中辞典」（旺文社）他

文法事項の確認の為に、一年次にフランス語 1 で使用した教科書を参考にしてください。

また、仏検の受験を希望する学生には、別に、参考書・問題集などを紹介致します。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点及び会話実践 40 %

期末試験の成績 (60%) により、評価します。

期末試験の方法、内容については、授業中に教員が指示をします。

## 【学生の意見等からの気づき】

「発音指導に重きを置き、シャドーイングを繰り返し練習することで、発音や意味、文法事項なども次第に定着する実感がありました」という意見が多かったため、来年度も今回の指導方法を続けていこうと思います。

## 【学生が準備すべき機器他】

教科書は勿論ですが、辞書は必須です

## 【その他の重要事項】

失敗を恐れず、明るく楽しく授業に参加してください。

疑問や分からないことがある場合は、すぐに質問してください。

連絡先としての教員メールは、emi.shibata.78@hosei.ac.jp です。

## 【Outline (in English)】

Further deepen and ascertain the acquired knowledge on the basis of grammatical concepts learned over the past 1 year. We will improve reading and speaking skills through reading comprehensions written in plain French and listening practice using DVDs/CDs.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 60%, in-class contribution and conversation test: 40%

LANF200LA

## フランス語 3 II

2017 年度以降入学者

柴田 恵美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、フランス語 1 に引き続き、文法知識を深め、書く・読む・発音するといったフランス語の基礎的運用能力を身に付ける事を目的としています。文法事項を理解し、練習問題をこなした上で、自分自身で簡単なフランス語の文章を書き、それをフランス語で発話する力（会話力）、ひいては、副教材のプリントを用いつつ、フランスやフランス文化について書かれた文章を日本語で読み解く力をつけてゆくののです。

また、聞き取りや会話力の向上の為に、DVD や CD も活用します。

## 【到達目標】

- (1) フランス語の綴り字と発音の関係を理解し、ほぼ正確に発音できるようにする
- (2) 初級で学んだ文法知識に対する理解を深める
- (3) 辞書を片手に、フランス語で書かれた比較的平易な文章を解読したり、また、簡単な和文仏訳を行ったり、フランス人の話す簡単な会話を理解したりすることが出来る
- (4) フランス文化についての基礎的な知識の一端を知る

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

各課の文法事項に関しては、説明とその理解度を確認する問題を解き、解説を加えていくことが中心となりますが、仏作文、会話（発話）などに関しては特に、一方的な講義形式ではなく、学生参加型の授業を行います。

課題が出た場合は、基本的に次回授業時に解答・解説を行います。基本的に授業時間内にフィードバックを行います。LMS などを活用する場合もあります。

疑問点や理解しきれない点などが生じたら、ためらわずに質問してください。そして、分かることの喜びを実感しながら、一緒に楽しく勉強していきましょう。

また、時間が許せば、フランス語やフランス文化に関連した話題、映像などにも触れたいと考えています。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	第 6 課 ディジョンに到着する	会話文の音読と和訳 文法の復習 代名動詞の複合過去
第 2 回	第 6 課 電車に乗る	文法の練習問題 文章読解
第 3 回	第 7 課 デジョンの街を散歩する	会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習 半過去
第 4 回	第 7 課 世界文化遺産の街ディジョン	文法の練習問題 文章読解
第 5 回	第 8 課 ブルゴーニュの名物料理を食べる	会話文の音読と和訳 文法の復習 接続法現在

第 6 回	第 8 課 ブルゴーニュの名物料理	文法の練習問題 文章読解
第 7 回	第 9 課 ボーンに行く	会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習 勧誘表現
第 8 回	第 9 課 世界文化遺産の街ボーン	文法の練習問題 文章読解
第 9 回	第 10 課 ワインを試飲する	文法の練習問題 文章読解
第 10 回	第 10 課 ワインを試飲	文法の練習問題 文章読解
第 11 回	4 級の過去問を解く	会話実践 文章読解
第 12 回	4 級の過去問を解く	補助教材 過去問の解答・解説
第 13 回	4 級の過去問を解く	補助教材 過去問の解答・解説
第 14 回	試験と総括	まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とします。事前学習としては、次回授業時に進む課の進出単語の意味と読み方を確認しておく、課題として出された練習問題を解いておく、事後学修としては、前回授業の内容を復習し、文章読解に関しては文章構造、言い回しをまとめ、記憶しておく等が挙げられます。

## 【テキスト（教科書）】

パリ・ブルゴーニュ（朝日出版社、2500 円）(フランス語 3I の教科書を継続使用)  
副教材として用いるプリントは教員が配布いたします

## 【参考書】

辞書としては、「プチ・ロワヤル仏和辞典」「ロワイヤル仏和中辞典」（旺文社）他  
文法事項の確認の為に、一年次にフランス語 1 で使用した教科書を参考にしてください。  
また、仏検の受験を希望する学生には、別に、参考書・問題集などを紹介致します。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点及び会話実践 40 %  
期末試験の成績 (60%) により、評価します。  
期末試験の方法、内容については、授業中に教員が指示をします。

## 【学生の意見等からの気づき】

「発音指導に重きを置き、シャドーイングを繰り返し練習することで、発音や意味、文法事項なども次第に定着する実感がありました」という意見が多かったので、来年度も今回の指導方法を続けていこうと思います。

## 【学生が準備すべき機器他】

教科書は勿論ですが、辞書は必須です

## 【その他の重要事項】

失敗を恐れず、明るく楽しく授業に参加してください。  
疑問や分からないことがある場合は、すぐに質問してください。  
連絡先としての教員メールは、emi.shibata.78@hosei.ac.jp です。

## 【Outline (in English)】

Further deepen and ascertain the acquired knowledge on the basis of grammatical concepts learned over the past 1 year. We will improve reading and speaking skills through reading comprehensions written in plain French and listening practice using DVDs/CDs.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 60%, in-class contribution and conversation test: 40%

LANF200LA

## フランス語 3 I

2017 年度以降入学者

稲垣 正久

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語の初級文法を復習しつつ、フランス語で書かれた簡単な文章を講読します。特に辞書の有効な使い方を徹底的に指導します。

## 【到達目標】

仏和辞典さえあれば、ある程度の文章は訳せるレベルの語学力を身に付けることを目標にします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

下記教科書をおおむね一回の授業で一課進みます。小テストや宿題などの提出物は添削後に返却し、解説を加えます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	vous にする？ tu にする？	直説法現在、所有形容詞、疑問文の種類
第 2 回	bise は何回？	非人称構文、関係代名詞 qui と que, 比較級と最上級
第 3 回	迷信を信じますか？	直説法半過去、指示形容詞、目的格の人称代名詞
第 4 回	不人気なのにやめられないサマータイム	準助動詞、直説法複合過去（1）、中性代名詞 le
第 5 回	復習 1；綴り字の読み方	発音練習
第 6 回	まとめ	第一回小テスト（予定）
第 7 回	エイプリルフールには背中に注意！	代名動詞、直説法複合過去（2）、指示代名詞
第 8 回	動物から学ぼう！	不定法構文、直説法単純未来、所有代名詞
第 9 回	ロボットはどこまで進化するのか？	人称代名詞の強勢形、直説法前未来、所有代名詞
第 10 回	君もフランコフォニーの一員	特殊な女性形と複数形、受動態、前置詞＋関係代名詞
第 11 回	復習 2	練習問題
第 12 回	まとめ	第二回小テスト（予定）
第 13 回	復習 2	練習問題
第 14 回	総括	期末試験・まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習の必要は特にありません。簡単な宿題が毎回出ます。必ずやって来て下さい。本授業の準備学習・復習時間は、併せて一時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

『読んで学ぶフランス語 初級文法総仕上げ』（朝日出版社）

## 【参考書】

授業中に指示します。

## 【成績評価の方法と基準】

期末試験が 100 点、二回の小テストが各 25 点、合計 150 点満点でつけます。この点数にいわゆる平常点（出席点ではない）を加算して、最終評価を下します。詳細は第 1 回の授業で説明します。

## 【学生の意見等からの気づき】

毎回指摘しているが、「気づき」という日本語は正確とは言えないし、何よりも美しくないと思います。せめて「気づいたこと」とすべきだと強く訴えます。

## 【学生が準備すべき機器他】

仏和辞典は毎回必ず持参してください。

## 【Outline (in English)】

Course outline; review of basic grammar, lecture of simple texts and how to use the dictionary

Learning objectives; understanding of french texts

Learning activity outside of classroom; homework (1hour)

Grading Criteria; 2 minitests(25/150x2),final teste (100/150)

LANF200LA

## フランス語 3 II

2017 年度以降入学者

稲垣 正久

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語の初級文法を復習しつつ、簡単なフランス語のテキストを訳読していきます。特に自署の使い方を徹底的に指導します。

## 【到達目標】

仏和辞典さえあれば、ある程度の文章は訳せるレベルの語学力を身につけることを目標にします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

下記教科書をおおむね一回の授業で一課進みます。小テストや宿題などの提出物は添削後に返却し、解説を加えます。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	復習 1	春学期のまとめ
第 2 回	左利きにも優しい社会	条件法現在、命令文、中性代名詞 en, y
第 3 回	簿記を学んだフランス王	疑問形容詞、関係代名詞 dont, 過去分詞
第 4 回	熊は友達	現在分詞、関係代名詞 ou, 強調構文
第 5 回	漫画が市民権を得るまで	近接未来・近接過去、ジェロンディフ、感嘆文
第 6 回	復習 2	第一回小テスト（予定）
第 7 回	指先で読むアルファベ	接続法現在、否定の表現（1）
第 8 回	フランス人も知らないワインの世界	理由・原因の表現、結果の表現、否定の表現（2）
第 9 回	パリの地下は秘密がいっぱい	時の表現、目的の表現、対立・譲歩の表現
第 10 回	プリント 1	文法問題
第 11 回	プリント 2	購読テキスト
第 12 回	復習 3	第二回小テスト（予定）
第 13 回	プリント 3	文法/購読
第 14 回	総括	期末試験・まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は特に必要ありません。簡単な宿題が毎回です。必ずやってきて下さい。本授業の準備学習・復習時間は、併せて一時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

『読んで学ぶフランス語 初級文法総仕上げ』（朝日出版社）

## 【参考書】

授業中に指示します。

## 【成績評価の方法と基準】

期末試験が 100 点、二回の小テストが各 25 点、合計 150 点でつけます。この点数にいわゆる平常点（出席点ではない）を加味して最終評価を下します。

## 【学生の意見等からの気づき】

「気づき」ではなく「気づいたこと」と表記してほしい。

## 【Outline (in English)】

Course outline; review of basic grammar, lecture of simple texts and how to use the dictionary

Learning objectives; understanding of french texts

Learning activity outside of classroom; homework(1hour)

Grading Criteria; 2 minitests (25/150x2), finaltest(100/150)



LANF200LA

## フランス語 3 I

2017 年度以降入学者

西川 純子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 5/Thu.5

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語で書かれた文章を読解し、フランス人のインタビュー動画を視聴することで、フランス語の四技能を高めて今後のフランス語学習の基礎となる礎を完成させる。

## 【到達目標】

1. 日常生活で使用される簡単なフランス語の文を読むことができるようになる。
2. 簡単なコミュニケーションをフランス語でスムーズに行うことができるようになる。
3. 簡単なフランス語をスムーズに書けるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

原則として対面で行う（しかし、感染症拡大状況により、授業開始後に授業形態に変更が生じる可能性もある。その場合は学習支援システム上に通知する）。教科書に沿って進める。また、1 年次に使用した教科書を使って文法項目を適宜学習する。客観的に把握できるように小テストを適宜行う。テスト返却時に解説を必ず行い、学生各位の理解を促進する。テスト返却時に解説を必ず行い、学生各位の理解を促進する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス 一年生の復習	授業方針を説明 基本的なフランス語の決まり事を確認
第 2 回	『Quoi de neuf?』第 1 課	自己紹介 ・インタビュー動画視聴 ・代名動詞の復習 (『Ma grammaire』 Leçon 16)
第 3 回	『Quoi de neuf?』第 1 課	テキスト講読 会話練習
第 4 回	『Ma grammaire』 Leçon 14,17,18,20	さまざまな時制の復習 接続法
第 5 回	『Quoi de neuf?』第 2 課	・インタビュー動画視聴 ・関係代名詞 (『Ma grammaire』 Leçon 15)
第 6 回	『Quoi de neuf?』第 2 課	テキスト講読 会話練習
第 7 回	『Ma grammaire』 Leçon 21	条件法
第 8 回	『Quoi de neuf?』第 3 課	・インタビュー動画視聴 ・比較の復習 (『Ma grammaire』 Leçon 10)
第 9 回	『Quoi de neuf?』第 3 課	テキスト読解 会話練習
第 10 回	『Quoi de neuf?』第 4 課	インタビュー動画視聴 ・代名詞の復習 (『Ma grammaire』 Leçon 13・17)

第 11 回	『Quoi de neuf?』第 4 課	テキスト読解 会話練習
第 12 回	まとめ 1	重要事項の確認と復習
第 13 回	まとめ 2	重要事項の確認と復習
第 14 回	試験	試験とその解説を行う。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の予習として、各課の対話をわからない単語を辞書で調べながら読み、CD も聞いておくこと。復習として、授業中に出された課題を行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とします。とくに重要な項目を学習した後は小テストを行います。復習の際には、疑問点を残さないようにしてください。質問は授業の前後だけでなく、メールでも 24 時間受け付けます。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

『Quoi de neuf?』 Léa GIUNTA, Tomohiko KIYOOKA, Olivia BOISSEL, 白水社。

『Ma grammaire』 小野ゆり子、村松マリ＝エマニュエル、白水社。

## 【参考書】

『動詞宝典 308 初・中級編』 久松健一著、駿河台出版社

『動詞宝典 466 中・上級編』 久松健一著、駿河台出版社

## 【成績評価の方法と基準】

小テストと平常点で 50 %、学期末テスト 50 %。

学期内で小テストは 2 回行う予定です。適宜、単語テストや動詞活用テストも行います。

## 【学生の意見等からの気づき】

学生の苦手とする箇所を重点的に補うようにする。テストの回数が多いことで勉強する機会が増えたという意見をふまえて、重要ポイントは必ずテストを行って学生諸氏が自身の理解の度合いを客観的に理解できるようにする。

## 【学生が準備すべき機器他】

仏和と和仏の辞書を持っていることが望ましい。また、学習支援システムや教科書の web ページを利用するために、パソコン、タブレット、スマートフォン等の電子機器を持っていることが望ましい。

## 【その他の重要事項】

この授業についての質問は西川 (junko.nishikawa.54@hosei.ac.jp) までお願いします。

## 【Outline (in English)】

Extension of basic skills of communication in French language. The goals of this course are to be able to understand short text quite well. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class. Your overall grade in the class will be decided based on the following  
Term-end examination: 50%, Examinations in class : 30%, in class contribution in class: 20%.

LANf200LA

## フランス語 3 II

2017 年度以降入学者

西川 純子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 5/Thu.5

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語で書かれた文章を読解し、フランス人のインタビュー動画を視聴することで、フランス語の四技能を高めて今後のフランス語学習の基礎となる礎を完成させる。

## 【到達目標】

1. 日常生活で使用される簡単なフランス語の文を読むことができるようになる。
2. 簡単なコミュニケーションをフランス語でスムーズに行うことができるようになる。
3. 簡単なフランス語をスムーズに書けるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

原則として対面で行う。教科書に沿って進めるが、1 年次に使用した教科書を使って文法項目を適宜学習する。学生各位が自らの実力を客観的に把握できるように小テストを適宜行う。テスト返却時に解説を必ず行い、学生各位の理解を促進する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	第 5 課	動画視聴 1 過去の表現の復習
第 2 回	第 5 課	動画視聴 2 テキスト講読
第 3 回	第 6 課	動画視聴 1 受動態の復習
第 4 回	第 6 課	動画視聴 2 テキスト講読
第 5 回	第 7 課	動画視聴 1 現在分詞とジェロンディフの復習
第 6 回	第 7 課	動画視聴 2 テキスト読解
第 7 回	第 8 課	動画視聴 1 単純未来と強調構文の復習
第 8 回	第 8 課	動画視聴 2 テキスト読解
第 9 回	第 9 課	動画視聴 1 条件法と代名詞の復習
第 10 回	第 9 課	動画視聴 2 テキスト読解
第 11 回	第 10 課	動画視聴 1 指示代名詞と接続法の復習
第 12 回	第 10 課	動画視聴 2 テキスト読解
第 13 回	まとめと復習	重要事項の確認と復習
第 14 回	試験と解説	試験とその解説を行う。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の予習として、各課の対話をわからない単語を辞書で調べながら読み、CD も聞いておくこと。復習として、授業中に出された課題を行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とします。とくに重要な項目を学習した後は小テストを行います。復習の際には、疑問点を残さないようにしてください。質問は授業の前後だけではなく、メールでも 24 時間受け付けます。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

『Quoi de neuf ?』 Léa GIUNTA, Tomohiko KIYOOKA, Olivia BOISSEL, 白水社。

『Ma grammaire』 小野ゆり子、村松マリ＝エマニュエル、白水社。

## 【参考書】

『動詞宝典 308 初・中級編』 久松健一著、駿河台出版社

『動詞宝典 466 中・上級編』 久松健一著、駿河台出版社

## 【成績評価の方法と基準】

小テストと平常点で 50 %、学期末テスト 50 %。

学期内で小テストは 2 回行う予定です。適宜、単語テストや動詞活用テストも行います。

## 【学生の意見等からの気づき】

学生の苦手とする箇所を重点的に補うようにする。テストの回数が多いことで勉強する機会が増えたという意見をふまえて、重要ポイントは必ずテストを行って学生諸氏が自身の理解の度合いを客観的に理解できるようにする。

## 【学生が準備すべき機器他】

仏和と和仏の辞書を持っていることが望ましい。また、学習支援システムや教科書の web ページを利用するために、パソコン、タブレット、スマートフォン等の電子機器を持っていることが望ましい。

## 【その他の重要事項】

この授業についての質問は西川 (junko.nishikawa.54@hosei.ac.jp) までお願いします。

## 【Outline (in English)】

Extension of basic skills of communication in French language. The goals of this course are to be able to understand short text quite well. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class. Your overall grade in the class will be decided based on the following  
Term-end examination: 50%、Examinations in class : 30%、in class contribution in class: 20%.

LANf200LA

## フランス語 3 I

2017 年度以降入学者

山口 雅敏

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 3/Tue.3

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語の初級文法を復習しながら、簡単なフランス語の文章を読んでいく。フランス語の読解力を養うことを目的とする。

## 【到達目標】

フランス語の、特に読解の面に絞ってレベル・アップを図る。履修した学生は、まじめに学習していけば、フランス語の平易な文章が読めるようになるはず。そのレベルまで、フランス語の力を伸ばすことを到達目標とする。

## 【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

毎回、出席者に、フランス語の文章を発音、訳読してもらう。そして、正しく訳せているか検討を加える。また、練習問題を出席者にやってもらい、答え合わせをしながら、文法的な解説をする。授業内容に関する質問は、授業内に随時受け付ける。また、メールでも質問を受け付ける。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の概要の説明など
第 2 回	第 1 課 vous にする？ tu にする？	vous と tu の使い分けについて書かれたフランス語の文章を訳読する
第 3 回	第 1 課 文法の復習	所有形容詞や疑問形の復習と、練習問題
第 4 回	第 2 課 bise は何回？	フランス人の挨拶について書かれたフランス語の文章を訳読する
第 5 回	第 2 課 文法の復習	非人称構文などの復習と、練習問題
第 6 回	第 3 課 迷信を信じますか	迷信について書かれたフランス語の文章を訳読する
第 7 回	第 3 課 文法の復習	半過去などの復習と、練習問題
第 8 回	第 4 課 不人気なのに止められないサマータイム	サマータイムについて書かれたフランス語の文章を訳読する。
第 9 回	第 4 課 文法の復習	複合過去などの復習と、練習問題
第 10 回	第 5 課 エイプリルフールは背中に注意	エイプリルフールについて書かれたフランス語の文章を訳読する。
第 11 回	第 5 課 文法の復習	代名動詞などの復習と、練習問題
第 12 回	第 6 課 動物から学ぼう	動物について書かれたフランス語の文章を訳読する。
第 13 回	第 6 課 文法の復習	単純未来などの復習と、練習問題
第 14 回	全体の復習	最後のまとめ

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

きちんと予習をして、授業に臨む。予習復習時間は各 2 時間以上を標準とする。

## 【テキスト（教科書）】

『読んで学ぶフランス語』久保田剛史ほか編著 朝日出版社 1900 円

## 【参考書】

一年次の文法テキストを参照してほしい。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（授業での発表など）を 50%、学期末テストの点数を 50% とし、それぞれの点数を合算して 60 点以上を合格とする。

## 【学生の意見等からの気づき】

フランス語を機械的に学んでいくだけだと、どうしても脱落してしまう学生がいるようなので、フランス語の学習を通じて、もっとフランスの社会や文化に興味を持ってもらえるように工夫していきたい。

## 【Outline (in English)】

## Course outline

While reviewing French beginner grammar, we read simple French sentences. It aims to cultivate French reading comprehension ability.

## Learning objectives

The goal is to be able to read long French sentences.

## Learning activities outside of classroom

Students prepare for about two hours and participate in the class.

## Grading criteria

The normal score is 50 points, and the final exam is 50 points.

In total, 60 points or more will pass.

LANf200LA

## フランス語 3 II

2017 年度以降入学者

山口 雅敏

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 3/Tue.3

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語の初級文法を復習しながら、簡単なフランス語の文章を読んでいく。フランス語の読解力を養うことを目的とする。

## 【到達目標】

フランス語の、特に読解の面に絞ってレベル・アップを図る。履修した学生は、まじめに学習していけば、フランス語の平易な文章が読めるようになるはず。そのレベルまで、フランス語の力を伸ばすことを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

毎回、出席者に、フランス語の文章を発音、訳読してもらう。そして、正しく訳せているか検討を加える。また、練習問題を出席者にやってもらい、答え合わせをしながら、文法的な解説をする。授業内容に関する質問は、授業内に随時受け付ける。また、メールでも質問を受け付ける。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	第 7 課 ロボットはどこまで進化するか	ロボットについて書かれたフランス語の文章を訳読する
第 2 回	第 7 課 文法の復習	前未来などの復習と、練習問題
第 3 回	第 8 課 君もフランコフォニーの一員	フランコフォニーについて書かれたフランス語の文章を訳読する
第 4 回	第 8 課 文法の復習	受動態などの復習と、練習問題
第 5 回	第 9 課 左利きにも優しい社会	左利きについて書かれたフランス語の文章を訳読する
第 6 回	第 9 課 文法の復習	条件法現在などの復習と、練習問題
第 7 回	第 10 課 食品ロスを解決するには	食品ロスについて書かれたフランス語の文章を訳読する
第 8 回	第 10 課 文法の復習	疑問形容詞などの復習と、練習問題
第 9 回	第 11 課 簿記を学んだフランス王	フランス王について書かれたフランス語の文章を訳読する
第 10 回	第 11 課 文法の復習	大過去などの復習と、練習問題
第 11 回	第 12 課 熊は友達	熊について書かれたフランス語の文章を訳読する
第 12 回	第 12 課 文法の復習	強調構文などの復習と、練習問題
第 13 回	第 13 課 漫画が市民権を得るまで	漫画について書かれたフランス語の文章を訳読する
第 14 回	全体の復習	最後のまとめ

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

きちんと予習をして授業に臨む。予習復習時間は各 2 時間以上を標準とする。

## 【テキスト（教科書）】

『読んで学ぶフランス語』久保田剛史ほか編著 朝日出版社 1900 円

## 【参考書】

一年次の文法テキストを参照してほしい。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（授業での発表など）を 50%、学期末テストの点数を 50% とし、それぞれの点数を合算して 60 点以上を合格とする。

## 【学生の意見等からの気づき】

フランス語を機械的に学んでいくだけだと、どうしても脱落してしまう学生がいるようなので、フランス語の学習を通じて、もっとフランスの社会や文化に興味を持ってもらえるように工夫していきたい。

## 【Outline (in English)】

## Course outline

While reviewing French beginner grammar, we read simple French sentences. It aims to cultivate French reading comprehension ability.

## Learning objectives

The goal is to be able to read long French sentences.

## Learning activities outside of classroom

Students prepare for about two hours and participate in the class.

## Grading criteria

The normal score is 50 points, and the final exam is 50 points.

In total, 60 points or more will pass.

LANF200LA

フランス語 3 I

2017 年度以降入学者

柴田 恵美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、フランス語 1 に引き続き、文法知識を深め、書く・読む・発音するといったフランス語の基礎的運用能力を身に付ける事を目的としています。文法事項を理解し、練習問題をこなした上で、自分自身で簡単なフランス語の文章を書き、それをフランス語で発話する力（会話力）、ひいては、副教材のプリントを用いつつ、フランスやフランス文化について書かれた文章を日本語で読み解く力をつけてゆくののです。

また、聞き取りや会話力の向上の為に、DVD や CD も活用します。

【到達目標】

- (1) フランス語の綴り字と発音の関係を理解し、ほぼ正確に発音できるようにする
- (2) 初級で学んだ文法知識に対する理解を深める
- (3) 辞書を片手に、フランス語で書かれた比較的平易な文章を解説したり、また、簡単な和文仏訳を行ったり、フランス人の話す簡単な会話を理解したりすることが出来る
- (4) フランス文化についての基礎的な知識の一端を知る

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各課の文法事項に関しては、説明とその理解度を確認する問題を解き、解説を加えていくことが中心となりますが、仏作文、会話（発話）などに関しては特に、一方的な講義形式ではなく、学生参加型の授業を行います。

課題が出た場合は、基本的に次回授業時に解答・解説を行います。基本的に授業時間内にフィードバックを行います。LMS などを活用する場合もあります。

疑問点や理解しきれない点などが生じたら、ためらわずに質問してください。そして、分かることの喜びを実感しながら、一緒に楽しく勉強していきましょう。

また、時間が許せば、フランス語やフランス文化に関連した話題、映像などにも触れたいと考えています。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	今後の授業の進め方 1 年次に終了した文法事項等の確認
第 2 回	1 課 写真学校に入る	会話文の音読と和訳 文法の復習 受動態
第 3 回	1 課 フランスと写真術	文法の練習問題 文章読解
第 4 回	2 課 エッフェル等と自由の女神を見に行く	会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習 最上級 関係代名詞 qui, que
第 5 回	2 課 エッフェル等と自由の女神	文法の練習問題 文章読解

第 6 回 3 課  
ベルシー・ヴィラー  
ジュを訪れる  
会話実践  
会話文の音読と和訳  
文法の復習  
関係代名詞 dont, où

第 7 回 3 課  
ベルシー・ヴィラー  
ジュ  
文法の練習問題  
文章読解

第 8 回 4 課  
ルイ・ヴィトン財団美術館を訪れる  
会話文の音読と和訳  
文法の復習  
疑問代名詞

第 9 回 4 課  
ルイ・ヴィトン財団美術館  
文法の練習問題  
文章読解

第 10 回 5 課  
電話をかける  
会話実践  
会話文の音読と和訳  
文法の復習  
条件法

第 11 回 5 課 フランスの電話事情  
文法の練習問題  
文章読解

第 12 回 仏検 4 級をめざして 1  
会話実践  
文章読解

第 13 回 仏検 4 級をめざして 2  
仏検 4 級の練習問題を解く

第 14 回 試験と総括  
まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とします。事前学習としては、次回授業時に進む課の進出単語の意味と読み方を確認しておく、課題として出された練習問題を解いておく、事後学修としては、前回授業の内容を復習し、文章読解に関しては文章構造、言い回しをまとめ、記憶しておく等が挙げられます。

【テキスト（教科書）】

パリ・ブルゴーニュ（朝日出版社、2500 円）  
副教材として用いるプリントは教員が配布いたします。

【参考書】

辞書としては、「プチ・ロワヤル仏和辞典」「ロワイヤル仏和中辞典」（旺文社）他  
文法事項の確認の為に、一年次にフランス語 1 で使用した教科書を参考にしてください。  
また、仏検の受験を希望する学生には、別に、参考書・問題集などを紹介致します。

【成績評価の方法と基準】

平常点及び会話実践 40 %  
期末試験の成績 (60%) により、評価します。  
期末試験の方法、内容については、授業中に教員が指示をします。

【学生の意見等からの気づき】

「発音指導に重きを置き、シャドーイングを繰り返し練習することで、発音や意味、文法事項なども次第に定着する実感がありました」という意見が多かったため、来年度も今回の指導方法を続けていこうと思います。

【学生が準備すべき機器他】

教科書は勿論ですが、辞書は必須です

【その他の重要事項】

失敗を恐れず、明るく楽しく授業に参加してください。  
疑問や分からないことがある場合は、すぐに質問してください。  
連絡先としての教員メールは、emi.shibata.78@hosei.ac.jp です。

【Outline (in English)】

Further deepen and ascertain the acquired knowledge on the basis of grammatical concepts learned over the past 1 year. We will improve reading and speaking skills through reading comprehensions written in plain French and listening practice using DVDs/CDs.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 60%, in-class contribution and conversation test: 40%

LANF200LA

## フランス語 3 II

2017 年度以降入学者

柴田 恵美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、フランス語 1 に引き続き、文法知識を深め、書く・読む・発音するといったフランス語の基礎的運用能力を身に付ける事を目的としています。文法事項を理解し、練習問題をこなした上で、自分自身で簡単なフランス語の文章を書き、それをフランス語で発話する力（会話力）、ひいては、副教材のプリントを用いつつ、フランスやフランス文化について書かれた文章を日本語で読み解く力をつけてゆくののです。

また、聞き取りや会話力の向上の為に、DVD や CD も活用します。

## 【到達目標】

- (1) フランス語の綴り字と発音の関係を理解し、ほぼ正確に発音できるようにする
- (2) 初級で学んだ文法知識に対する理解を深める
- (3) 辞書を片手に、フランス語で書かれた比較的平易な文章を解読したり、また、簡単な和文仏訳を行ったり、フランス人の話す簡単な会話を理解したりすることが出来る
- (4) フランス文化についての基礎的な知識の一端を知る

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

各課の文法事項に関しては、説明とその理解度を確認する問題を解き、解説を加えていくことが中心となりますが、仏作文、会話（発話）などに関しては特に、一方的な講義形式ではなく、学生参加型の授業を行います。

課題が出た場合は、基本的に次回授業時に解答・解説を行います。基本的に授業時間内にフィードバックを行います。LMS などを活用する場合もあります。

疑問点や理解しきれない点などが生じたら、ためらわずに質問してください。そして、分かることの喜びを実感しながら、一緒に楽しく勉強していきましょう。

また、時間が許せば、フランス語やフランス文化に関連した話題、映像などにも触れたいと考えています。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】  
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	第 6 課 ディジョンに到着する	会話文の音読と和訳 文法の復習 代名動詞の複合過去
第 2 回	第 6 課 電車に乗る	文法の練習問題 文章読解
第 3 回	第 7 課 デジョンの街を散歩する	会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習 半過去
第 4 回	第 7 課 世界文化遺産の街ディジョン	文法の練習問題 文章読解
第 5 回	第 8 課 ブルゴーニュの名物料理を食べる	会話文の音読と和訳 文法の復習 接続法現在

第 6 回	第 8 課 ブルゴーニュの名物料理	文法の練習問題 文章読解
第 7 回	第 9 課 ボーンに行く	会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習 勧誘表現
第 8 回	第 9 課 世界文化遺産の街ボーン	文法の練習問題 文章読解
第 9 回	第 10 課 ワインを試飲する	文法の練習問題 文章読解
第 10 回	第 10 課 ワインを試飲	文法の練習問題 文章読解
第 11 回	4 級の過去問を解く	会話実践 文章読解
第 12 回	4 級の過去問を解く	補助教材 過去問の解答・解説
第 13 回	4 級の過去問を解く	補助教材 過去問の解答・解説
第 14 回	試験と総括	まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とします。事前学習としては、次回授業時に進む課の進出単語の意味と読み方を確認しておく、課題として出された練習問題を解いておく、事後学修としては、前回授業の内容を復習し、文章読解に関しては文章構造、言い回しをまとめ、記憶しておく等が挙げられます。

## 【テキスト（教科書）】

パリ・ブルゴーニュ（朝日出版社、2500 円）(フランス語 3I の教科書を継続使用)  
副教材として用いるプリントは教員が配布いたします

## 【参考書】

辞書としては、「プチ・ロワヤル仏和辞典」「ロワイヤル仏和中辞典」（旺文社）他  
文法事項の確認の為に、一年次にフランス語 1 で使用した教科書を参考にしてください。  
また、仏検の受験を希望する学生には、別に、参考書・問題集などを紹介致します。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点及び会話実践 40 %  
期末試験の成績 (60%) により、評価します。  
期末試験の方法、内容については、授業中に教員が指示をします。

## 【学生の意見等からの気づき】

「発音指導に重きを置き、シャドーイングを繰り返し練習することで、発音や意味、文法事項なども次第に定着する実感がありました」という意見が多かったので、来年度も今回の指導方法を続けていこうと思います。

## 【学生が準備すべき機器他】

教科書は勿論ですが、辞書は必須です

## 【その他の重要事項】

失敗を恐れず、明るく楽しく授業に参加してください。  
疑問や分からないことがある場合は、すぐに質問してください。  
連絡先としての教員メールは、emi.shibata.78@hosei.ac.jp です。

## 【Outline (in English)】

Further deepen and ascertain the acquired knowledge on the basis of grammatical concepts learned over the past 1 year. We will improve reading and speaking skills through reading comprehensions written in plain French and listening practice using DVDs/CDs.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 60%, in-class contribution and conversation test: 40%

LANF200LA

## フランス語 3 I

2017 年度以降入学者

柴田 恵美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、フランス語 1 に引き続き、文法知識を深め、書く・読む・発音するといったフランス語の基礎的運用能力を身に付ける事を目的としています。文法事項を理解し、練習問題をこなした上で、自分自身で簡単なフランス語の文章を書き、それをフランス語で発話する力（会話力）、ひいては、副教材のプリントを用いつつ、フランスやフランス文化について書かれた文章を日本語で読み解く力をつけてゆくののです。

また、聞き取りや会話力の向上の為に、DVD や CD も活用します。

## 【到達目標】

- (1) フランス語の綴り字と発音の関係を理解し、ほぼ正確に発音できるようにする
- (2) 初級で学んだ文法知識に対する理解を深める
- (3) 辞書を片手に、フランス語で書かれた比較的平易な文章を解説したり、また、簡単な和文仏訳を行ったり、フランス人の話す簡単な会話を理解したりすることが出来る
- (4) フランス文化についての基礎的な知識の一端を知る

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

各課の文法事項に関しては、説明とその理解度を確認する問題を解き、解説を加えていくことが中心となりますが、仏作文、会話（発話）などに関しては特に、一方的な講義形式ではなく、学生参加型の授業を行います。

課題が出た場合は、基本的に次回授業時に解答・解説を行います。基本的に授業時間内にフィードバックを行います。LMS などを活用する場合もあります。

疑問点や理解しきれない点などが生じたら、ためらわずに質問してください。そして、分かることの喜びを実感しながら、一緒に楽しく勉強していきましょう。

また、時間が許せば、フランス語やフランス文化に関連した話題、映像などにも触れたいと考えています。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	今後の授業の進め方 1 年次に終了した文法事項等の確認
第 2 回	1 課 写真学校に入る	会話文の音読と和訳 文法の復習 受動態
第 3 回	1 課 フランスと写真術	文法の練習問題 文章読解
第 4 回	2 課 エッフェル等と自由の女神を見に行く	会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習 最上級 関係代名詞 qui, que
第 5 回	2 課 エッフェル等と自由の女神	文法の練習問題 文章読解

第 6 回 3 課  
ベルシー・ヴィラー  
ジュを訪れる

会話実践  
会話文の音読と和訳  
文法の復習  
関係代名詞 dont, où

第 7 回 3 課  
ベルシー・ヴィラー  
ジュ

3 課  
ベルシー・ヴィラー  
ジュ

会話文の音読と和訳  
文法の復習  
疑問代名詞  
文法の練習問題  
文章読解

第 8 回 4 課  
ルイ・ヴィトン財団美術館を訪れる

4 課  
ルイ・ヴィトン財団美術館

会話文の音読と和訳  
文法の復習  
疑問代名詞  
文法の練習問題  
文章読解

第 9 回 4 課  
ルイ・ヴィトン財団美術館

4 課  
ルイ・ヴィトン財団美術館

会話実践  
会話文の音読と和訳  
文法の復習  
条件法

第 10 回 5 課  
電話をかける

5 課  
フランスの電話事情

会話実践  
会話文の音読と和訳  
文法の復習  
条件法  
文法の練習問題  
文章読解

第 11 回 5 課 フランスの電話事情

5 課  
フランスの電話事情

会話実践  
文章読解

第 12 回 仏検 4 級をめざして 1

仏検 4 級をめざして 1

会話実践  
文章読解

第 13 回 仏検 4 級をめざして 2

仏検 4 級の練習問題を解く

第 14 回 試験と総括

まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とします。事前学習としては、次回授業時に進む課の進出単語の意味と読み方を確認しておく、課題として出された練習問題を解いておく、事後学修としては、前回授業の内容を復習し、文章読解に関しては文章構造、言い回しをまとめ、記憶しておく等が挙げられます。

## 【テキスト（教科書）】

パリ・ブルゴーニュ（朝日出版社、2500 円）  
副教材として用いるプリントは教員が配布いたします。

## 【参考書】

辞書としては、「プチ・ロイヤル仏和辞典」「ロワイヤル仏和中辞典」（旺文社）他  
文法事項の確認の為に、一年次にフランス語 1 で使用した教科書を参考にしてください。  
また、仏検の受験を希望する学生には、別に、参考書・問題集などを紹介致します。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点及び会話実践 40 %  
期末試験の成績 (60%) により、評価します。  
期末試験の方法、内容については、授業中に教員が指示をします。

## 【学生の意見等からの気づき】

「発音指導に重きを置き、シャドーイングを繰り返し練習することで、発音や意味、文法事項なども次第に定着する実感がありました」という意見が多かったため、来年度も今回の指導方法を続けていこうと思います。

## 【学生が準備すべき機器他】

教科書は勿論ですが、辞書は必須です

## 【その他の重要事項】

失敗を恐れず、明るく楽しく授業に参加してください。  
疑問や分からないことがある場合は、すぐに質問してください。  
連絡先としての教員メールは、emi.shibata.78@hosei.ac.jp です。

## 【Outline (in English)】

Further deepen and ascertain the acquired knowledge on the basis of grammatical concepts learned over the past 1 year. We will improve reading and speaking skills through reading comprehensions written in plain French and listening practice using DVDs/CDs.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 60%, in-class contribution and conversation test: 40%

LANF200LA

## フランス語 3 II

2017 年度以降入学者

柴田 恵美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、フランス語 1 に引き続き、文法知識を深め、書く・読む・発音するといったフランス語の基礎的運用能力を身に付ける事を目的としています。文法事項を理解し、練習問題をこなした上で、自分自身で簡単なフランス語の文章を書き、それをフランス語で発話する力（会話力）、ひいては、副教材のプリントを用いつつ、フランスやフランス文化について書かれた文章を日本語で読み解く力をつけてゆくののです。

また、聞き取りや会話力の向上の為に、DVD や CD も活用します。

## 【到達目標】

- (1) フランス語の綴り字と発音の関係を理解し、ほぼ正確に発音できるようにする
- (2) 初級で学んだ文法知識に対する理解を深める
- (3) 辞書を片手に、フランス語で書かれた比較的平易な文章を解読したり、また、簡単な和文仏訳を行ったり、フランス人の話す簡単な会話を理解したりすることが出来る
- (4) フランス文化についての基礎的な知識の一端を知る

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

各課の文法事項に関しては、説明とその理解度を確認する問題を解き、解説を加えていくことが中心となりますが、仏作文、会話（発話）などに関しては特に、一方的な講義形式ではなく、学生参加型の授業を行います。

課題が出た場合は、基本的に次回授業時に解答・解説を行います。基本的に授業時間内にフィードバックを行います。LMS などを活用する場合もあります。

疑問点や理解しきれない点などが生じたら、ためらわずに質問してください。そして、分かることの喜びを実感しながら、一緒に楽しく勉強していきましょう。

また、時間が許せば、フランス語やフランス文化に関連した話題、映像などにも触れたいと考えています。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	第 6 課 ディジョンに到着する	会話文の音読と和訳 文法の復習 代名動詞の複合過去
第 2 回	第 6 課 電車に乗る	文法の練習問題 文章読解
第 3 回	第 7 課 デジョンの街を散歩する	会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習 半過去
第 4 回	第 7 課 世界文化遺産の街ディジョン	文法の練習問題 文章読解
第 5 回	第 8 課 ブルゴーニュの名物料理を食べる	会話文の音読と和訳 文法の復習 接続法現在

第 6 回	第 8 課 ブルゴーニュの名物料理	文法の練習問題 文章読解
第 7 回	第 9 課 ボーンに行く	会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習 勧誘表現
第 8 回	第 9 課 世界文化遺産の街ボーン	文法の練習問題 文章読解
第 9 回	第 10 課 ワインを試飲する	文法の練習問題 文章読解
第 10 回	第 10 課 ワインを試飲	文法の練習問題 文章読解
第 11 回	4 級の過去問を解く	会話実践 文章読解
第 12 回	4 級の過去問を解く	補助教材 過去問の解答・解説
第 13 回	4 級の過去問を解く	補助教材 過去問の解答・解説
第 14 回	試験と総括	まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とします。事前学習としては、次回授業時に進む課の進出単語の意味と読み方を確認しておく、課題として出された練習問題を解いておく、事後学修としては、前回授業の内容を復習し、文章読解に関しては文章構造、言い回しをまとめ、記憶しておく等が挙げられます。

## 【テキスト（教科書）】

パリ・ブルゴーニュ（朝日出版社、2500 円）(フランス語 3I の教科書を継続使用)  
副教材として用いるプリントは教員が配布いたします

## 【参考書】

辞書としては、「プチ・ロワヤル仏和辞典」「ロワイヤル仏和中辞典」（旺文社）他  
文法事項の確認の為に、一年次にフランス語 1 で使用した教科書を参考にしてください。  
また、仏検の受験を希望する学生には、別に、参考書・問題集などを紹介致します。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点及び会話実践 40 %  
期末試験の成績 (60%) により、評価します。  
期末試験の方法、内容については、授業中に教員が指示をします。

## 【学生の意見等からの気づき】

「発音指導に重きを置き、シャドーイングを繰り返し練習することで、発音や意味、文法事項なども次第に定着する実感がありました」という意見が多かったので、来年度も今回の指導方法を続けていこうと思います。

## 【学生が準備すべき機器他】

教科書は勿論ですが、辞書は必須です

## 【その他の重要事項】

失敗を恐れず、明るく楽しく授業に参加してください。  
疑問や分からないことがある場合は、すぐに質問してください。  
連絡先としての教員メールは、emi.shibata.78@hosei.ac.jp です。

## 【Outline (in English)】

Further deepen and ascertain the acquired knowledge on the basis of grammatical concepts learned over the past 1 year. We will improve reading and speaking skills through reading comprehensions written in plain French and listening practice using DVDs/CDs.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 60%, in-class contribution and conversation test: 40%



LANF200LA

フランス語 3 I (インテンシブ) 2017 年度以降入学者

近江屋 志穂

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

その他属性：

**【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】**

フランス語を一年程度学習した経験があり、さらに高度なフランス語力を身につける意欲をもつ学生を対象とします。モチベーションが高い学習者向けです。

これまで習得した文法の知識を確認しながら総合的なフランス語能力を向上させることを目的とします。

**【到達目標】**

- ・辞書を引きながらフランス語の文章が読めるようになること。
- ・初級文法の知識を固めること。
- ・フランス語を正しく発音できるようになること。
- ・実用フランス語技能検定試験 (仏検) 3 級レベル、DELTA A1~A2 レベルに到達すること。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

**【授業の進め方と方法】**

テキストの各課は、課題文、長文の内容に関する質問、文法事項の確認、文法練習問題で構成されています。文法の復習をしながら、長文の訳読と音読を行います。

進度は授業計画に記載した通りですが、受講者の習熟度を見ながら調整します。

課題や試験へのフィードバックは授業内および学習支援システムを通じて行います。

**【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】**  
あり / Yes

**【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】**  
なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Texte 1 Vous ou tu?	直説法現在、所有形容詞、疑問文
2	Texte 1 Vous ou tu?	長文読解と問題
3	Texte 2 La bise, facile comme boujour?	非人称構文、関係代名詞、比較級と最上級
4	Texte 2 La bise, facile comme boujour?	長文読解と問題
5	Texte 3 Croire ou ne pas croire, telle est la question	半過去、指示形容詞、目的格の人称代名詞
6	Texte 3 Croire ou ne pas croire, telle est la question	長文読解と問題
7	Texte 4 À la bonne heure!	助動詞、複合過去、中性代名詞
8	Texte 4 À la bonne heure!	長文読解と問題
9	Texte 5 Premier avril!	代名動詞、指示代名詞
10	Texte 5 Premier avril!	長文読解と問題
11	Texte 6 La vérité sort de la bouche des animaux	単純未来、所有代名詞

12	Texte 6 La vérité sort de la bouche des animaux	長文読解と問題
13	Texte 7 Un robot venu du futur	長文と読解
14	期末テスト	筆記試験・まとめと解説

**【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】**

予習・復習 (宿題として指示します) を怠らないようにしてください。

インテンシブの授業ですので、宿題を行っていることを前提としますが、どうしても勉強する時間がないときでも、教科書で学んだ文章の音声聞き、発音練習をするようにしてください。

本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

**【テキスト (教科書)】**

久保田剛史、他『読んで学ぶフランス語 - 初級文法総仕上げ Culture & Actualité - Découvrons la France!』朝日出版社、2018 年 (1900 円 + 税)

**【参考書】**

森本英夫・三野博司『新・リュミエール フランス文法参考書』駿河台出版社、2008 年

**【成績評価の方法と基準】**

平常点 50 %、期末試験 50 %

**【学生の意見等からの気づき】**

特にありません。

**【学生が準備すべき機器他】**

仏和辞書

**【Outline (in English)】**

Intensive French course; developing the skills of listening, speaking, reading, and writing French in a cultural context.

The goal of this course is to obtain the level A1-A2 of CEFR.

Before each class, students will be expected to spend at least one hour to read the relevant chapter from the text.

The overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination : 50%, in class contribution : 50%

LANF200LA

## フランス語 3 II (インテンシブ) 2017 年度以降入学者

近江屋 志穂

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

フランス語を一年程度学習した経験があり、さらに高度なフランス語力を身につける意欲をもつ学生を対象とします。モチベーションが高い学習者向けです。

これまで習得した文法の知識を確認しながら総合的なフランス語能力を向上させることを目的とします。

## 【到達目標】

- ・フランス語の文章が読めるようになること。
- ・初級文法の知識を固めること。
- ・フランス語を正しく発音できるようになること。
- ・実用フランス語技能検定試験 (仏検) 3 級～準 2 級レベル、DELFA2 レベルに到達すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

テキストの各課は、課題文、長文の内容に関する質問、文法事項の確認、文法練習問題で構成されています。文法の復習をしながら、長文の訳読と音読を行います。

進度は授業計画に記載した通りですが、受講者の習熟度を見ながら調整します。

課題や試験へのフィードバックは授業内および学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Texte 8 Le français, une langue qui rassemble plusieurs pays	受動態、前置詞 + 関係代名詞
2	Texte 8 Le français, une langue qui rassemble plusieurs pays	長文読解と問題
3	Texte 9 Je suis gaucher, mais pas maladroit	条件法現在、中性代名詞
4	Texte 9 Je suis gaucher, mais pas maladroit	長文読解と問題
5	Texte 10 Tout n'est pas perdu	疑問形容詞、関係代名詞
6	Texte 10 Tout n'est pas perdu	長文読解と問題
7	Texte 11 Un roi calculateur	大過去、条件法過去
8	Texte 11 Un roi calculateur	長文読解と問題
9	Texte 12 Il ne faut pas vendre la peau de l'ours avant de l'avoir tué	現在分詞、関係代名詞、強調構文

10	Texte 12 Il ne faut pas vendre la peau de l'ours avant de l'avoir tué	長文読解と問題
11	Texte 13 Génération manga	近接未来・近接過去、ジェロンディフ、感嘆文
12	Texte 13 Génération manga	長文読解と問題
13	Texte 14 L'alphabet sur le bout des doigts	接続法現在、長文読解と問題
14	期末テスト	筆記試験・まとめと解説

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

予習・復習 (宿題として指示します) を怠らないようにしてください。

インテンシブの授業ですので、宿題を行っていることを前提としますが、どうしても勉強する時間がないときでも、教科書で学んだ文章の音声聞き、発音練習をするようにしてください。

本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

## 【テキスト (教科書)】

久保田剛史、他『読んで学ぶフランス語 - 初級文法総仕上げ Culture & Actualité - Découvrons la France!』朝日出版社、2018 年 (1900 円 + 税)

## 【参考書】

森本英夫・三野博司『新・リュミエール フランス文法参考書』駿河台出版社、2008 年

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 50 %、期末試験 50 %

## 【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

## 【学生が準備すべき機器他】

仏和辞書

## 【Outline (in English)】

Intensive French course; developing the skills of listening, speaking, reading, and writing French in a cultural context.

The goal of this course is to obtain the level A1-A2 of CEFR.

Before each class, students will be expected to spend at least one hour to read the relevant chapter from the text.

The overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination : 50%, in class contribution : 50%

LANF200LA

## フランス語 4 I

2017 年度以降入学者

江澤 健一郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 1/Wed.1

単位数：1 単位

その他属性：

### 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランスとフランス語圏の時事紹介文を読んで翻訳する。その歴史、社会、文化についての教養を身につけながら、初級文法の復習、中級文法や語彙の学習を行なう。

### 【到達目標】

フランスの時事についての文章を読み、簡単な文章が理解できるようになること。フランス語検定 3 級レベル程度の達成を目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

### 【授業の進め方と方法】

毎回、フランス文化や社会が紹介された文章を読む。音読をして、和訳をする。

### 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

### 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

### 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の説明
第 2 回	講読	1. La Ville Lumière
第 3 回	講読	1. La Ville Lumière
第 4 回	講読	2. La génération Z
第 5 回	講読	2. La génération Z
第 6 回	講読	3. Raymond Radiguet
第 7 回	講読	4. La pauvreté et la richesse
第 8 回	講読	5. L'élection présidentielle de 2022
第 9 回	講読	6. Le café
第 10 回	講読	7. La taxonomie verte européenne
第 11 回	講読	8. Les mangas en France
第 12 回	講読	9. La transidentité
第 13 回	講読	10. Les prix littéraires
第 14 回	期末試験	期末試験

### 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。事前に文章を読み、辞書で単語を調べてください。

### 【テキスト（教科書）】

石井洋二郎、ミシェル・サガズ『時事フランス語 2023 年度版』朝日出版社、1900 円

### 【参考書】

特になし

### 【成績評価の方法と基準】

平常点 50 パーセント + 期末試験 50 パーセント

### 【学生の意見等からの気づき】

急がずゆっくと進める。

### 【Outline (in English)】

The student will read and translate current affairs articles in France and the French-speaking world. While learning about history, society, and culture, students review elementary grammar and study intermediate grammar and vocabulary.

LANF200LA

## フランス語 4 II

2017 年度以降入学者

江澤 健一郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 1/Wed.1

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランスとフランス語圏の時事紹介文を読んで翻訳する。その歴史、社会、文化についての教養を身につけながら、初級文法の復習、中級文法や語彙の学習を行なう。

## 【到達目標】

フランスの時事についての文章を読み、簡単な文章が理解できるようになること。フランス語検定 3 級レベル程度の達成を目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

毎回、フランス文化や社会が紹介された文章を読む。音読をして、和訳をする。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	講読	11. La majorité
第 2 回	講読	11. La majorité
第 3 回	講読	12. La charge mentale
第 4 回	講読	12. La charge mentale
第 5 回	講読	13. Joséphine Baker
第 6 回	講読	13. Joséphine Baker
第 7 回	講読	14. La cohabitation intergénérationnelle
第 8 回	講読	15. La chasse
第 9 回	講読	16. Les jeux vidéo
第 10 回	講読	17. La Martinique
第 11 回	講読	18. L'activité physique et la santé
第 12 回	講読	19. Les oiseaux et la biodiversité
第 13 回	講読	20. Le cimetière du Père-Lachaise
第 14 回	期末試験	期末試験

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。事前に文章を読み、辞書で単語を調べてください。

## 【テキスト（教科書）】

石井洋二郎、ミシェル・サガズ『時事フランス語 2023 年度版』朝日出版社、1900 円

## 【参考書】

特になし

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 50 パーセント + 期末試験 50 パーセント

## 【学生の意見等からの気づき】

急がずゆっくと進める。

## 【Outline (in English)】

The student will read and translate current affairs articles in France and the French-speaking world. While learning about history, society, and culture, students review elementary grammar and study intermediate grammar and vocabulary.

LANF200LA

フランス語 4 I

2017 年度以降入学者

廣松 勲

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4  
 単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「フランス語圏（フランコフォニー）」をテーマにしたテキストを用いて、中級に向けたフランス語文法を学びつつ、簡単なフランス語の文章を読めるようになります。また、新しい文法事項を学ぶだけでなく、これまでに学習した文法事項を確りと記憶に定着させ、簡単な会話・文章を生産できるようになります。

【到達目標】

これまでに学習した文法事項を記憶に定着させ、仏検 4 級～3 級レベルの文法事項の習得を目指します。  
 世界のフランス語圏（フランコフォニー）に関する基礎的な知識を習得し、簡単にフランス語で説明できるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書『フランコフォニーへの旅（改訂版）』を用いて、既習事項の確認を行いつつ、新しい文法事項を学びます。同時に、簡単なフランス語の文章を読むことを通じて、少しずつ発音と読解の方法を身に付けられるようにします。

2 回の授業で 1 つの課を終えることを目標とします（10 課 + a）。授業中に触れられなかった練習問題などは「ミニ課題」として提出してもらいます。フィードバックとして、次回の授業までに添削した上で返却し、必要な箇所については授業内でも振り返りの解説をします。

最後の授業では、期末テストを行い、理解度・習熟度を測ります。同時に、授業全体の総括を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Leçon 0	・既習事項の確認 ・綴りと発音の関係、リズムとイントネーションの確認 ・フランス語圏（フランコフォニー）の概説
2	Leçon 1 Des villes francophones	会話文の読解・発音 文法事項の説明 (名詞の性数、冠詞、提示の表現など)
3	Leçon 1 Les francophones dans le monde	文章の読解・発音 文法事項の補足説明 (よく使う疑問詞と前置詞など)
4	Leçon 2 Nous sommes étudiants	会話文の読解・発音 文法事項の説明 (主語人称代名詞、être / avoir など)
5	Leçon 2 Les langues de France	文章の読解・発音 文法事項の補足説明 (形容詞、強勢形など)
6	Leçon 3 Elles travaillent beaucoup!	会話文の読解・発音 文法事項の説明 (ER 動詞、命令法など)

7	Leçon 3 Le français en Europe	文章の読解・発音 文法事項の補足説明 (疑問文・否定文、所有形容詞など)
8	Leçon 4 Qu'est-ce qu'on fait ce week-end ?	会話文の読解・発音 文法事項の説明 (IR 動詞、不規則動詞、部分冠詞、縮約など)
9	Leçon 4 Le français en Amérique du Nord ①	文章の読解・発音 文法事項の補足説明① (指示形容詞、近接未来・過去など)
10	Leçon 4 Le français en Amérique du Nord ②	文章の読解・発音 文法事項の補足説明② (既習の時制の確認、今後の時制との関係など)
11	Leçon 5 Quel pays francophone visiter ?	会話文の読解・発音 文法事項の説明 (不規則動詞、助動詞の疑問文・否定形など)
12	Leçon 5 Le français dans les Caraïbes ①	文章の読解・発音 文法事項の補足説明① (比較級と最上級など)
13	Leçon 5 Le français dans les Caraïbes ②	文章の読解・発音 文法事項の補足説明② (特殊な比較級と最上級など)
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合計 4 時間を標準とします。  
 ・教科書・配布資料の文章は、確りと読み込むこと。  
 ・教科書・配布資料の問題は、必ず予習・復習しておくこと。  
 ・意味や発音の分からない単語などは、必ず辞書で調べておくこと。

【テキスト（教科書）】

・小松祐子、ジル・デルメール著、『フランコフォニーへの旅（改訂版）』、駿河台出版社、2019 年。  
 ・以下の出版社サイトを介して、音声を開くこともできる。  
<https://www.e-surugadai.com/books/isbn978-4-411-00927-2>

【参考書】

・これまでに用いた教科書  
 ・久松健一著、『ケータイ「万能」フランス語文法』、駿河台出版社、2000 年。  
 ・森本英夫他著、『増補改訂版 新リュミエール』、駿河台出版社、2013 年。  
 ・曾我祐典著、『フランス語がわかる』、白水社、1995 年。  
 ・久保田剛史著、『フランス語動詞 60』、朝日出版社、2015 年。  
 ・『ディコ仏和辞典』、白水社。

【成績評価の方法と基準】

・平常点と期末テストに基づいて、総合的に評価する。  
 ①平常点（ミニ課題など）：30 %  
 ②期末テスト：70 %

【学生の意見等からの気づき】

・フランス語の発音についても、しっかりと確認できるように、発話してもらった時間を増やしたい。  
 ・教科書に登場する文法事項はそれほど多くないため、3 級レベルに到達できるように、追加で説明などを加えるようにしたい。

【Outline (in English)】

This course is designed for students who has already learned French language for one year at least. They will enhance their communication skills by reading rather easy texts and doing exercises while using a manual which deals with the French speaking regions (francophonie) around the world. This course focuses on reading and writing without neglecting listening or speaking.

The goals of this course are to understanding the intermediate French language and expressing in spoken and written language what they want to say. Before and after each class meeting, students will be expected to spend four hours to read the relevant chapter(s) and documents.

Your overall grade in the class will be decided based on the followings:  
in class contributions (mini-exercice, etc): 30%, term-end test: 70%.

LANF200LA

フランス語 4 II

2017 年度以降入学者

廣松 勲

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「フランス語 4 I」に引き続き、「フランス語圏（フランコフォニー）」をテーマにしたテキストを用いて、中級に向けたフランス語文法を学びつつ、簡単なフランス語の文章を読めるようになります。また、新しい文法事項を学ぶだけでなく、これまでに学習した文法事項を確りと記憶に定着させ、簡単な会話・文章を生産できるようになります。

【到達目標】

これまでに学習した文法事項を記憶に定着させ、仏検 4 級～3 級レベルの文法事項の習得を目指します。

世界のフランス語圏（フランコフォニー）に関する基礎知識を習得し、簡単にフランス語で説明できるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

「フランス語 4 I」に引き続き、教科書『フランコフォニーへの旅（改訂版）』を用いて、既習事項の確認を行いつつ、新しい文法事項を学びます。同時に、簡単なフランス語の文章を読むことを通じて、少しずつ発音と読解の方法を身に付けられるようにします。

2 回の授業で 1 つの課を終えることを目標とします（10 課 + a）。授業中に触れられなかった練習問題などは「ミニ課題」として提出してもらいます。フィードバックとして、次回の授業までに添削した上で返却し、必要な箇所については授業内でも振り返りの解説をします。

最後の授業では、期末テストを行い、理解度・習熟度を測ります。同時に、授業全体の総括を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Leçon 1-5 の総括	・春学期の学習事項の復習 ・秋学期の学習事項の紹介
2	Leçon 6 Un week-end à Bruxelles	会話文の読解・発音 文法事項の説明 (代名動詞、不規則動詞など)
3	Leçon 6 Le français au Maghreb	文章の読解・発音 文法事項の補足説明 (Il faut、2 つの人称代名詞など)
4	Leçon 7 Les grandes vacances	会話文の読解・発音 文法事項の説明 (複合過去、過去分詞形など)
5	Leçon 7 Le français en Afrique noire	文章の読解・発音 文法事項の補足説明 (受動態、否定の多様性など)
6	Leçon 8 Je n'habite pas en France	会話文の読解・発音 文法事項の説明 (半過去、使役・放任動詞など)
7	Leçon 8 Le français en Asie du Sud-Est	文章の読解・発音 文法事項の補足説明 (関係代名詞など)

8	Leçon 9 J'irai dans un pays africain	会話文の読解・発音 文法事項の説明 (単純未来、前未来など)
9	Leçon 9 Le français dans le Pacifique ①	文章の読解・発音 文法事項の補足説明① (ジェロンディフ、現在分詞など)
10	Leçon 9 Le français dans le Pacifique ②	文章の読解・発音 文法事項の補足説明② (中生代名詞など)
11	Leçon 10 Les voyages forment la jeunesse	会話文の読解・発音 文法事項の説明 (条件法現在と過去など)
12	Leçon 10 Les institutions de la Francophonie ①	文章の読解・発音 文法事項の補足説明① (接続法現在と過去など)
13	Leçon 10 Les institutions de la Francophonie ②	文章の読解・発音 文法事項の補足説明② (感嘆文など)
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合計 4 時間を標準とします。

- ・教科書・配布資料の文章は、確りと読み込むこと。
- ・教科書・配布資料の問題は、必ず予習・復習しておくこと。
- ・意味や発音の分からない単語などは、必ず辞書で調べておくこと。

【テキスト（教科書）】

- ・小松祐子、ジル・デルメール著、『フランコフォニーへの旅（改訂版）』、駿河台出版社、2019 年。
- ・以下の出版社サイトを介して、音声を聞くこともできる。  
<https://www.e-surugadai.com/books/isbn978-4-411-00927-2>

【参考書】

- ・これまでに用いた教科書
- ・久松健一著、『ケータイ「万能」フランス語文法』、駿河台出版社、2000 年。
- ・森本英夫他著、『増補改訂版 新リュミエール』、駿河台出版社、2013 年。
- ・曾我祐典著、『フランス語がわかる』、白水社、1995 年。
- ・久保田剛史著、『フランス語動詞 60』、朝日出版社、2015 年。
- ・『ディコ仏和辞典』、白水社。

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点と期末テストに基づいて、総合的に評価する。
  - ①平常点（ミニ課題など）：30 %
  - ②期末テスト：70 %

【学生の意見等からの気づき】

- ・フランス語の発音についても、しっかりと確認できるように、発話してもらった時間を増やしたい。
- ・教科書に登場する文法事項はそれほど多くないため、3 級レベルに到達できるように、追加で説明などを加えるようにしたい。

【Outline (in English)】

This course is designed for students who has already learned French language for one year at least. They will enhance their communication skills by reading rather easy texts and doing exercises while using a manual which deals with the French speaking regions (francophonie) around the world. This course focuses on reading and writing without neglecting listening or speaking.

The goals of this course are to understanding the intermediate French language and expressing in spoken and written language what they want to say.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend four hours to read the relevant chapter(s) and documents.

Your overall grade in the class will be decided based on the followings:

in class contributions (mini-exercice, etc): 30%, term-end test: 70%.

LANF200LA

## フランス語 5 I

2017 年度以降入学者

村松 マリ=エマニュエル

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

既に基礎が学んだがまだ初級レベルにある学生として、フランス語学習の土台を固める。特に発音やコミュニケーションに重点を置く

## 【到達目標】

DELFL A1（フランス国民教育省が認定した公式フランス語資格）レベルの到達を目指す。It is a course to prepare DELFL A1.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

教科書を使わず、プリント、ビデオなどを使う。会話のモデルを練習してから、学生同士で応用練習をする。また基本的に授業時間内に課題のフィードバックを行うが、メールなどを活用する場合もある

You will learn a model of conversation and practice with the other students.

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
回 1	自己紹介 Introducing yourself	自己紹介、連絡先を言う Introducing yourself, telling your address
回 2	第三者について Talking about persons	フランス語圏の国々 フランスのシャンソン歌手エディット・ピアフ Edith Piaf, a french singer
回 3	好きなアーティスト Present an artist	発表：好きなアーティストを紹介する Presentation : an artist that you like
回 4	道案内 Indicating the way	駅からあなたの家までの道を説明する Indicating the way from the station to your house.
回 5	あなたの家 Your house	家の間取りを説明する Talking among rooms and floors
回 6	日付と時間 date and time	電車のチケットを買う Buying a train ticket.
回 7	いつ、どこ、何をなどを説明する telling when, where, what	仕事状況について話す。 Talking among your work
回 8	趣味 Your hobbies a	趣味について話す Telling your hobbies.
回 9	あなたのリラックスする方法 Your relaxation way	スポーツ選手の時間割とリラックスする方法。 The schedule and relaxation way of a sport champion and
回 10	食事 Food	あなたの食生活について話す。 Telling what you eat.
回 11	過去の出来事 A passed event	過去の出来事について話す・意見を言う Talking about passed events, telling your opinion.

回 12 バリ際、クリスマスなど Bastille days celebrations, Christmas ... フランスの伝統的な祭りを説明する  
Talking about traditional festivals.

回 13 日本の祭り Japanese festivals 発表：日本の祭りの紹介を発表する。  
Presentation : Present a japanese festival.

回 14 前期のまとめ Summary 前期で習ったことについてのクイズ Quiz

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。復習として発音練習を行うことと宿題を必ず行うこと

You will have to make revisions of the lesson studied in the class and do some writing exercises.

## 【テキスト（教科書）】

教科書使わず、毎回プリントを配る。No text book, only prints.

## 【参考書】

特になし None

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 60 % + 提出する課題 40 % Average in the class 60 % + average of the submitted work40 %

## 【学生の意見等からの気づき】

特になし None

## 【学生が準備すべき機器他】

配られたプリントをしまうためのファイル Folder to file the prints

## 【その他の重要事項】

必要に応じて、上記のプログラムを少し変更することがある。I may change the program, in case of necessity.

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

## 【Outline (in English)】

You are not a complete beginner but you want to speak french. This class is a conversation class. You will do exercise for hearing, speaking and learning.

It is a course to prepare DELFL A1.

You will need about one hour for preparation and revision.

Average in the class 60 % + average of the submitted work40 %



LANf200LA

フランス語 5 II

2017 年度以降入学者

村松 マリ=エマニュエル

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春期に続いて、オーラル・コミュニケーションに重点を置いて、日常の生活の中でよくする話を練習する。

【到達目標】

DELFA1（フランス国民教育省が認定した公式フランス語資格）レベルの到達を目指す。It is a class to prepare the DELFA1.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書を使わず、プリントを配る。No text book, only prints. また基本的に授業時間内に課題のフィードバックを行うが、メールなどを活用する場合もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
回 1	禁止 Interdictions	禁止する、許可する Prohibit and authorize フランス社会のルールについてのクイズ
回 2	可能性、能力など Possibility, capacity, etc.	可能性、能力、意志、義務を言う Expressing possibility, capacity, will and duty
回 3	提案する Proposition	提案する Suggesting something
回 4	就職活動 Looking for a job	就職活動のアドバイス Advise before going to a work interview フランスの就活システム
回 5	あなたのレジャー Your leisure	レジャーについて話す Talking about your leisure フランス人のレジャー
回 6	利点と難点 Advantages and disadvantages	様々のライフスタイルの利点と難点をいう。Telling the advantages and disadvantages of your lifestyle.
回 7	比較する Compare	習慣を比較する。Comparing habits.
回 8	夏休み Summer vacation	あなたの理想的な夏休みを説明する。Telling the vacations you like the much.
回 9	子供の頃 Childhood	思い出話や子供の頃の話をする。Talking about your childhood.
回 10	過去の事項 A passed accident	事故について話す。Talking about a accident.
回 11	初めてした体験 A first experience	初めてした体験（愛、一人旅、など）を説明する。Telling a first experience.
回 12	予定 Projects	予定を立てる。Telling your projects.
回 13	条件 Conditions	条件を言う。Telling conditions.
回 14	後期のまとめ Summary	後期で習ったことについてのクイズ Quiz

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。復習として発音練習を行うことと宿題を必ず行うこと

You will have to make revisions of the lesson studied in the class and do some writing exercises.

【テキスト（教科書）】

教科書使わず、プリントを配る。No text book, only prints.

【参考書】

特になし None

【成績評価の方法と基準】

平常点 60 %+ 提出する課題の平均点 40 %

Average in the class 60 %+ submitted exercises 40 %

【学生の意見等からの気づき】

特になし None

【学生が準備すべき機器他】

配られたプリントをしまうためのファイル folder to file your prints

【その他の重要事項】

必要に応じて、上記のプログラムを多少変えることがある。I may change a little the above program, in case of nessecity.

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【Outline (in English)】

It is a class of oral communication following the class "French 2 I". You will learn in daily situations.

It is a class to prepare the DELFA1.

You will need about one hour for preparation and revision.

Average in the class 60 %+ submitted exercises 40 %

LANf200LA

## フランス語 4 I

2017 年度以降入学者

中村 美緒

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語で書かれた文章の正確な理解と内容についての考察を行う授業です。フランス語の文章を和訳しながら読んだあと、本文に含まれている文法事項を復習します。次に、関連事項をクラスで話し合い発表します。

## 【到達目標】

1 年間でフランス語検定 4 級レベルの文法を復習することができます。単語の意味を調べれば、フランス語で書かれた簡単な新聞記事などを自力で読み解き、意見をまとめることができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

2 回の授業で、4 ページ構成の 1 レッソンを終える速度で進みます。授業 1 回目は、語彙とコラムを参考にフランス語文を和訳しながら内容を理解します。授業 2 回目は、文法事項を確認しながら練習問題を解き、右ページにあるキーワードや短い質問を使ってグループで話し合いその結果を発表します。日本語だけではなく、フランス語でも簡単に自分の意見が言えるように練習しましょう。授業内に行う小テストはその場で答え合わせをします。ウェブ上に提出する課題については、プリントアウト後採点したものを教室で返却する予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	Leçon 0「授業の進め方」	グループ分け、発表順、音読練習方
2 回目	Leçon 1「何も無駄にしない」	音読練習、仏文和訳と解説
3 回目	Leçon 1「複合過去」	文法説明と練習問題、ディスカッション
4 回目	Leçon 2「服を着る」	音読練習、仏文和訳と解説
5 回目	Leçon 2「代名動詞 1」	文法説明と練習問題、ディスカッション
6 回目	Leçon 3「修復する」	音読練習、仏文和訳と解説
7 回目	Leçon 3「半過去」	文法説明と練習問題、ディスカッション
8 回目	Leçon 4「視られる」	音読練習、仏文和訳と解説
9 回目	Leçon 4「比較級と最上級」	文法説明と練習問題、ディスカッション
10 回目	Leçon 5「別の視点から世界を見る」	音読練習、仏文和訳と解説
11 回目	Leçon 5「条件法現在」	文法説明と練習問題、ディスカッション
12 回目	Leçon 6「ありのままの自分を受け入れる」	音読練習、仏文和訳と解説
13 回目	Leçon 6「関係代名詞」	文法説明と練習問題、ディスカッション
14 回目	試験とまとめ	筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

予習：ダウンロード音声による音読練習、辞書等で語彙を調べて訳しておく。(約 30 分)

復習：授業時に学習した文法事項を確認して、簡単な作文ができるようにしておく。(約 30 分)

【テキスト（教科書）】

『これ、どう思う？ 語りあうための中級フランス語読本』福田美雪、ジョルジュ・ヴェスイエール著（朝日出版社）

【参考書】

仏和・和仏の辞書があると便利です。(ネット上の翻訳機能も単語レベルでの使用可)

【成績評価の方法と基準】

成績評価：

平常点（授業への参加、ディスカッションと発表）50%

学期末テスト（授業最終日に実施される筆記試験）50%

試験方法：

この授業は「期間前試験」を行います。学期末試験は「試験期間中」ではなく、通常授業の最終日の授業時間内に実施します。試験実施方法は事情により変更される場合もあります。その際は都度お知らせいたします。

【学生の意見等からの気づき】

やむを得ない事情により教室で受講できない場合には、同時配信のオンラインで参加することもできます。

【Outline (in English)】

This is a class for students to accurately understand sentences written in French and consider their content. After reading the French text while translating it into Japanese, review the grammatical items included in the text. Then, discuss and present relevant matters in class. In two lessons, you will progress at a speed that allows you to finish one lesson of 4 pages. In the first class, students will understand the content by translating French sentences into Japanese with reference to vocabulary and columns. In the second class, students solve practice questions while checking grammar items, discuss them in groups using keywords and short questions on the right page, and present the results. Practice not only Japanese, but also in French so that you can easily express your opinion. Answers to test in class are checked on the place. Assignments posted on the web will be graded after printing out and returned in the classroom.

Grading:

Normal points (participation in classes, discussion and presentation) 50%

Final exam (oral and written exam held on the last day of classes): 50%

Test method:

This class is a "pre-term exam". Final exams are not held "during the examination period", but during the class hours on the last day of regular classes.

LANF200LA

## フランス語 4 II

2017 年度以降入学者

中村 美緒

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語で書かれた文章の正確な理解と内容についての考察を行う授業です。フランス語の文章を和訳しながら読んでみると、本文に含まれている文法事項を復習します。次に、関連事項をクラスで話し合い発表します。授業内に行う小テストはその場で答え合わせをします。ウェブ上に提出する課題については、プリントアウト後採点したものを教室で返却する予定です。

## 【到達目標】

1 年間でフランス語検定 4 級レベルの文法を復習することができます。単語の意味を調べれば、フランス語で書かれた簡単な新聞記事などを自力で読み解き、意見をまとめることができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

2 回の授業で、4 ページ構成の 1 レッソンを終える速度で進みます。授業 1 回目は、語彙とコラムを参考にフランス語文を和訳しながら内容を理解します。授業 2 回目は、文法事項を確認しながら練習問題を解き、右ページにあるキーワードや短い質問を使ってグループで話し合いその結果を発表します。日本語だけではなく、フランス語でも簡単に自分の意見が言えるように練習しましょう。授業内に行う小テストはその場で答え合わせをします。ウェブ上に提出する課題については、プリントアウト後採点したものを教室で返却する予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	Leçon 7「音を聴く」	音読練習、仏文和訳と解説
2 回目	Leçon 7「使役動詞と放任動詞」	文法説明と練習問題、ディスカッション
3 回目	Leçon 8「アルチュール・ランボー」	音読練習、仏文和訳と解説
4 回目	Leçon 8「現在分詞とジェロンディフ」	文法説明と練習問題、ディスカッション
5 回目	Leçon 9「他者とわかりあう」	音読練習、仏文和訳と解説
6 回目	Leçon 9「直接話法と間接話法」	文法説明と練習問題、ディスカッション
7 回目	Leçon 10「自分のリズムで生きる」	音読練習、仏文和訳と解説
8 回目	Leçon 10「中性代名詞」	文法説明と練習問題、ディスカッション
9 回目	Leçon 11「働く」	音読練習、仏文和訳と解説
10 回目	Leçon 11「接続法」	文法説明と練習問題、ディスカッション
11 回目	Leçon 12「つながる」	音読練習、仏文和訳と解説
12 回目	Leçon 12「代名動詞 2」	文法説明と練習問題、ディスカッション
13 回目	オリジナル記事	音読練習、仏文和訳と解説
14 回目	試験とまとめ	筆記試験

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。予習：ダウンロード音声による音読練習、辞書等で語彙を調べて訳しておく。(約 30 分)  
復習：授業時に学習した文法事項を確認して、簡単な作文ができるようにしておく。(約 30 分)

## 【テキスト（教科書）】

『これ、どう思う？ 語りあうための中級フランス語読本』福田美雪、ジョルジュ・ヴェスイエール著（朝日出版社）

## 【参考書】

仏和・和仏の辞書があると便利です。(ネット上の翻訳機能も単語レベルでの使用可)

## 【成績評価の方法と基準】

成績評価：

平常点（授業への参加、ディスカッションと発表）50%

学期末テスト（授業最終日に実施される筆記試験）50%

試験方法：

この授業は「期間前試験」を行います。学期末試験は「試験期間中」ではなく、通常授業の最終日の授業時間内に実施します。試験実施方法は事情により変更される場合があります。その際は都度お知らせいたします。

## 【学生の意見等からの気づき】

やむを得ない事情により教室で受講できない場合には、同時配信のオンラインで参加することもできます。

## 【Outline (in English)】

This is a class for students to accurately understand sentences written in French and consider their content. After reading the French text while translating it into Japanese, review the grammatical items included in the text. Then, discuss and present relevant matters in class. In two lessons, you will progress at a speed that allows you to finish one lesson of 4 pages. In the first class, students will understand the content by translating French sentences into Japanese with reference to vocabulary and columns. In the second class, students solve practice questions while checking grammar items, discuss them in groups using keywords and short questions on the right page, and present the results. Practice not only Japanese, but also in French so that you can easily express your opinion. Answers to test in class are checked on the place. Assignments posted on the web will be graded after printing out and returned in the classroom. Answers to test in class are checked on the place. Assignments posted on the web will be graded after printing out and returned in the classroom.

Grading:

Normal points (participation in classes, discussion and presentation) 50%

Final exam (oral and written exam held on the last day of classes): 50%

Test method:

This class is a "pre-term exam". Final exams are not held "during the examination period", but during the class hours on the last day of regular classes.

LANF200LA

## フランス語 4 I

2017 年度以降入学者

鈴木 正道

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、2 年生以上の学生を対象とします。1 年生の時に学んだ事項を復習しつつ、学びきれなかった重要項目（単純未来など）を学び、4 技能を身に付けることを目指します。

## 【到達目標】

1 年生で学んだ知識を定着させ、さらにまだ学んでいない基本事項を勉強して、フランス語の基本的な運用能力を身に付けます。フランス語の検定試験 4 級以上、CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）で A1 以上の力を身に付けることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

教科書は『クロワッサン 2』とあるように、『クロワッサン 1』という教科書の続編となっていて、2 年生から始めるのに都合よくできています。新しく学ぶ事項、あまり定着していない事項を対話文や文法のとめを通して学びます。さらに話したり書いたりする練習問題を行います。

皆さんは学期中に数回学習支援システムを通して課題を出すこととなります。私はそれを添削してやはり学習支援システムを通してお返しします。

学期末には試験を行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業の説明 第 1 課その 1 「君の名は？」	動詞の現在形と複合過去の復習： 対話と文法
2	第 1 課その 2 主語の書き換えと作文	動詞の現在形と複合過去の復習： 練習問題
3	第 2 課その 1 「彼女を紹介しましょう」	直接目的語と間接目的語、強勢形 ：対話と文法
4	第 2 課その 2 代名詞への書き換えと 作文	直接目的語と間接目的語、強勢形 ：練習問題
5	第 3 課その 1 「私は 6 時半に起きます」	代名動詞の現在形と複合過去形： 対話と文法
6	第 3 課その 2 主語の書き換えと作文	代名動詞の現在形と複合過去形： 練習問題
7	第 4 課その 1 「1 台貸してあげるよ」	中性代名詞と指示代名詞： 対話と文法
8	第 4 課その 2 受け答えと指示代名詞	中性代名詞と指示代名詞：練習問題
9	第 5 課その 1 「休み中何するの？」	単純未来と前未来（未来完了）： 対話と文法
10	第 5 課その 2 主語の書き換えと作文	単純未来と前未来：練習問題
11	第 6 課 「日本マニアのフランス人」	読む練習 1

12	文法補足 1-1	現在分詞と gérondif
13	授業内試験	授業内試験
	文法補足 1-2	過去分詞と受動態
14	試験の復習	試験の復習
	文法補足 1-3	所有代名詞

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

出版社の HP より音声ダウンロードして対話文や例文を聞いてください。教科書の例文は声を出して読んで予習復習してください。

1-2：1 課の対話文を聞いて読む。課の終わりにある表現を用いて複合過去の文を作る。複合過去の練習問題をやる。

3-4：2 課の対話文を聞いて読む。課の終わりにある表現を用いて人称代名詞を使った文を作る。人称代名詞の練習問題をやる。

5-6：3 課の対話文を聞いて読む。課の終わりにある表現を用いて代名動詞を使った文を作る。代名動詞の練習問題をやる。

7-8：4 課の対話文を聞いて読む。課の終わりにある表現を用いて中性代名詞や指示代名詞を使った文を作る。中性代名詞や指示代名詞の練習問題をやる。

9-10：5 課の対話文を聞いて読む。課の終わりにある表現を用いて単純未来や前未来の文を作る。単純未来や前未来の練習問題をやる。

11：6 課の文章を読み、練習問題をやる。

12：現在分詞を学ぶ。期末試験のための復習をする。

13：過去分詞と受動態を学ぶ。

14：試験の復習をする。所有代名詞を学ぶ。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

『クロワッサン 2 - もっと知りたいフランス語 *Croissant 2*』（『クロワッサン 1』を買わないように）、松村博史、バンドロム・エディ著、朝日出版社

## 【参考書】

『かんたんフランス文法小辞典』鈴木豊、久富健 著、朝日出版社

## 【成績評価の方法と基準】

課題の提出と授業に対する積極性（問いへの答え、発話、質問）が平常点になります。（50 %）

また期末試験を行います（50 %）

## 【学生の意見等からの気づき】

教室では互いに距離を取って座るために、口頭練習がなかなかうまくいきません。これを工夫する手立てを考えます。

## 【学生が準備すべき機器他】

1 年生の時に使った文法の本、もしくは上に挙げた文法の参考書を持ってきてください。

## 【Outline (in English)】

This course is designed for students who have studied French for at least one year. Reviewing what they have already learned, they will get new knowledge (among others future tense,) in order to enhance their abilities in reading, speaking, listening and writing.

At the end of this course, the students are expected to reach at least the fourth grade level of the APEF or A1 level of CEFR.

The students must prepare the classes and they also need to submit occasionally an assignment; these tasks will require one hour for each class.

The final grade will be calculated according to the total score of assignments (50%) and terminal examination (50%).

LANF200LA

フランス語 4 II

2017 年度以降入学者

鈴木 正道

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

その他属性：

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

この授業は、2 年生以上の学生を対象とします。春学期のフランス語 4 I を引き継いで 1 年生の時に学んだ事項を復習しつつ、学びきれなかった重要項目（半過去、条件法、接続法など）を学びつつ、4 技能を身に着けることを目指します。

**【到達目標】**

1 年生で学んだ知識を定着させ、さらにまだ学んでいない基本事項を勉強して、フランス語の基本的な運用能力を身に付けます。フランス語の検定試験 3 級程度、CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）で A2 程度の力を身に付けることを目指します。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

春学期に続いて、新しく学ぶ事項、あまり定着していない事項を対話文や文法のまとめを通して学びます。さらに話したり書いたりする練習問題を行います。

また学習支援システムを通して課題を時折出すことになります。私はそれを添削してやはり学習支援システムを通してお返しします。学期末には試験を行います。

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**  
あり / Yes

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**  
なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業の説明 第 7 課その 1 「祖父母のところへ行ったものでした」	複合過去と半過去、大過去：対話と文法
2	第 7 課その 2 主語の書き換えと作文	複合過去と半過去、大過去：練習問題
3	第 8 課その 1 「成功したかったら、真剣に勉強しなくてはだめだよ」	時、理由、条件を表す接続詞：対話と文法
4	第 8 課その 2 接続詞を使った練習	時、理由、条件を表す接続詞：練習問題
5	第 9 課その 1 「私があなただったらティラミスを食べてみるわよ」	条件法現在、条件法過去：対話と文法
6	第 9 課その 2 条件法を使った練習	条件法現在、条件法過去：練習問題
7	第 10 課その 1 「パリが一望できる場所よ」	関係代名詞、強調構文：対話と文法
8	第 10 課その 2 関係代名詞を使った練習 強調構文への書き換え	関係代名詞、強調構文：練習問題
9	第 11 課その 1 「僕になにをしてほしいんだい？」	接続法現在、接続法過去：対話と文法

10	第 11 課その 2 主語の書き換えと作文	接続法現在、接続法過去：練習問題
11	第 12 課 『ワッフルとムール貝 ポテトの国へ』	読む練習 2： 動詞や関係詞の練習
12	文法補足 2-1	話法と時制の一致
13	授業内試験 分法補足 2-2	授業内試験 疑問文や命令文の間接話法
14	試験の復習 分法補足 2-3	試験の復習 単純過去

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

出版社の HP より音声ダウンロードして対話文や例文を聞いてください。教科書の例文は声を出して読んで予習復習してください。

1-2：7 課の対話文を聞いて読む。課の終わりにある表現を用いて半過去の文を作る。半過去の練習問題をやる。

3-4：8 課の対話文を聞いて読む。課の終わりにある表現を用いて時、理由、条件を表す従属節を伴った文を作る。練習問題をやる。

5-6：9 課の対話文を聞いて読む。課の終わりにある表現を用いて条件法の文を作る。条件法の練習問題をやる。

7-8：10 課の対話文を聞いて読む。課の終わりにある表現を用いて関係代名詞を使った文や強調構文を作る。練習問題をやる。

9-10：11 課の対話文を聞いて読む。課の終わりにある表現を用いて接続法の文を作る。接続法の練習問題をやる。

11：読み物を読む。

12：話法と時制の一致を学ぶ。期末試験のための復習をする。

13：疑問文や命令文の間接話法を学ぶ。

14：単純過去を学ぶ。試験の復習をする。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

**【テキスト（教科書）】**

春学期で用いた教科書を引き続き使います：

『クロワッサン 2 - もっと知りたいフランス語 *Croissant 2*』（『クロワッサン 1』を買わないように）、松村博史、バンドロム・エディ著、朝日出版社

**【参考書】**

『かんたんフランス文法小辞典』鈴木豊、久富健 著、朝日出版社

**【成績評価の方法と基準】**

課題の提出と授業に対する積極性（問いへの答え、発話、質問など）が平常点になります。（50 %）

また期末試験を行います（50 %）

**【学生の意見等からの気づき】**

教室では互いに距離を取って座るために、口頭練習がなかなかうまくいきません。これを工夫する手立てを考えます。

**【学生が準備すべき機器他】**

1 年生の時に使った文法の本、もしくは上に挙げた文法の参考書を持ってきてください。

**【Outline (in English)】**

This course is designed for students who have studied French for at least one year. It is the continuation of the French 4 I (spring semester). Reviewing what they have already learned, the students will get new knowledge (imparfait, conditionnel, subjunctif etc.) in order to enhance their abilities in reading, speaking, listening and writing.

During this course, the students are expected to try to reach the third grade level of the APEF or A2 level of CEFR.

The students must prepare the classes and they also need to submit occasionally an assignment; these tasks will require one hour for each class.

The final grade will be calculated according to the total score of assignments (50%) and terminal examination (50%).

LANf200LA

## フランス語 (3) I

2017 年度以降入学者

コリンヌ ヴァリエンス

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、話す・聞く・書く・読むを目指します。教科書は基本的な文法のポイント、コミュニケーションに役立つ語彙、そしてモデルとなる文の構造を中心に構成されています。

## 【到達目標】

この授業では、話す・聞く・書く・読むを目指します。教科書は基本的な文法のポイント、コミュニケーションに役立つ語彙、そしてモデルとなる文の構造を中心に構成されています。自然な会話ができて、簡単な質問に答え、日常の話題について話合することができるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

## 【授業の進め方と方法】

基本的に授業時間内にフィードバックを行うが、Hoppi などを活用する場合もある。

このテキストの中から、日常生活やフランス文化に関する資料を選び、聞き取り、質疑応答、意見交換、文法の練習などの様々な練習問題に取り組みます。

## 【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり / Yes

## 【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	LEÇONS 1	(教科書の演習問題)
第 2 回	LEÇONS 2	(教科書の演習問題)
第 3 回	LEÇONS 3	(教科書の演習問題 - 会話)
第 4 回	LEÇONS 4	(教科書の演習問題)
第 5 回	LEÇONS 5	(教科書の演習問題)
第 6 回	LEÇONS 6	(教科書の演習問題 - 会話)
第 7 回	LEÇONS 7	(教科書の演習問題)
第 8 回	LEÇONS 8	(教科書の演習問題 - 会話)
第 9 回	LEÇONS 9	(教科書の演習問題)
第 10 回	LEÇONS 10	(教科書の演習問題 - 会話)
第 11 回	LEÇONS 11	(教科書の演習問題)
第 12 回	LEÇONS 12	(教科書の演習問題 - 会話)
第 13 回	レッスン 1~12 の復習	レッスン 1~12 の復習
第 14 回	まとめ / 試験 その他	まとめ / 試験 その他：課題 / 補講：課題 / 補講

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。各レッスン終了後に文法と語彙のポイントを復習します。

## 【テキスト (教科書)】

Maestro 1

Kitamura Ayako - Durrenberger Vincent

Editions Asahi

ISBN : 978-4-255-35307-4

## 【参考書】

なし

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 40 点、期末テスト 60 点

## 【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

## 【Outline (in English)】

This course is designed for beginners. Students will share the same textbook with a Japanese teacher. In this class, you will learn mainly simple conversation.

## GOAL :

Students will be able to read example sentences of conversation and then practice in pairs. The focus is on communication between students. Listening, reading, speaking, and writing skills are also practiced while doing exercises from the textbook.

## PREPARATION :

Homework. The standard preparation and review time for this class is one hour combined. You have to learn and memorise new vocabulary and grammar point studied during the lesson.

## GRADING CRITERIA :

Normal score: 40% (presence, participation and homework), final exam: 60%

LANF200LA

## フランス語 (3) II

2017 年度以降入学者

コリンヌ ヴァリエンス

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、話す・聞く・書く・読むを目指します。教科書は基本的な文法のポイント、コミュニケーションに役立つ語彙、そしてモデルとなる文の構造を中心に構成されています。

## 【到達目標】

自然な会話ができ、簡単な質問に答え、日常の話題について話し合うことができるようになる。

この授業では、話す・聞く・書く・読むを目指します。教科書は基本的な文法のポイント、コミュニケーションに役立つ語彙、そしてモデルとなる文の構造を中心に構成されています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

## 【授業の進め方と方法】

のテキストの中から、日常生活やフランス文化に関する資料を選び、聞き取り、質疑応答、意見交換、文法の練習などの様々な練習問題に取り組みます。

基本的に授業時間内にフィードバックを行うが、Hoppii などを活用する場合もある。

毎週の宿題です。宿題は授業の始めに添削します。授業中や「Hoppii」での質問も可能です。

## 【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり / Yes

## 【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	Leçon 13	(教科書の演習問題)
第 2 回	Leçon 14	(教科書の演習問題)
第 3 回	Leçon 15	(教科書の演習問題 - 会話)
第 4 回	Leçon 16	(教科書の演習問題)
第 5 回	Leçon 17	(教科書の演習問題)
第 6 回	Leçon 18	(教科書の演習問題 - 会話)
第 7 回	Leçon 19	(教科書の演習問題)
第 8 回	Leçon 20	(教科書の演習問題)
第 9 回	Leçon 21	(教科書の演習問題 - 会話)
第 10 回	Leçon 22	(教科書の演習問題)
第 11 回	Leçon 23	(教科書の演習問題)
第 12 回	Leçon 24	(教科書の演習問題 - 会話)
第 13 回	レッスン 13~24 の復習	レッスン 13~24 の復習
第 14 回	まとめ / 試験 その他	まとめ / 試験 その他：課題 / 補講 ：課題 / 補講

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。各レッスン終了後に文法と語彙のポイントを復習します。

## 【テキスト (教科書)】

Maestro 1

Kitamura Ayako - Durrenberger Vincent

Editions Asahi

ISBN : 978-4-255-35307-4

## 【参考書】

なし

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 40 点、期末テスト 60 点

## 【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

## 【Outline (in English)】

This course is designed for beginners. Students will share the same textbook with a Japanese teacher. In this class, you will learn mainly simple conversation.

## GOAL :

Students will be able to read example sentences of conversation and then practice in pairs. The focus is on communication between students. Listening, reading, speaking, and writing skills are also practiced while doing exercises from the textbook.

## PREPARATION :

Homework. The standard preparation and review time for this class is one hour combined. You have to learn and memorise new vocabulary and grammar point studied during the lesson.

## GRADING CRITERIA :

Normal score: 40% (presence, participation and homework), final exam: 60%

LANf200LA

## フランス語 7

2017 年度以降入学者

岡村 民夫

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

4名の教員で同じテキストを使い、フランス語の総合力を強化します。秋学期からの留学を控えた学生を対象とします。この授業では、主に文法を学習します。

## 【到達目標】

教科書『Le Nouveau Taxi 1!』で扱われている文法事項を確実に理解し運用できるようにします。

『Le Nouveau Taxi 1!』で扱われない文法事項は『フランス語トレーニングコース』を用いて学び、基礎文法全体の学習を終えるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

共通教科書『Le Nouveau Taxi 1!』の進度に沿い、『フランス語トレーニングコース』を用いて基礎文法を説明します。その後練習問題を解きます。適宜小テストも行います。テストの解説・講評は授業内に行います。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習	文法練習問題
2	Unité 6 L23	補語人称代名詞
3	Unité 7 L25	中性代名詞 <i>y, en</i>
4	・Unité 7 L26	中性代名詞 <i>le</i> 、所有代名詞
5	Unité 7 L27	代名動詞の現在形、複合過去形
6	・Unité 7 L27	疑問代名詞
7	Unité 8 L29	半過去形、大過去形
8	・Unité 8 L30	受動態、指示代名詞、非人称構文
9	・Unité 8 L31	現在分詞、ジェロンディフ
	・文法補足	
10	文法補足	前置詞 + 関係代名詞
11	Unité 9 L33	単純未来形、前未来形
12	・Unité 9 L34	条件法現在、条件法過去
	・文法補足	
13	期末試験	・筆記試験
14	補習	・期末試験の返却と答えあわせ ・不足箇所の補習

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業準備の時間は各回 1 時間以上を標準とします。

授業で扱った練習問題の復習、および教科書の各授業前に文法事項をしっかりと予習をしておいてください。

## 【テキスト（教科書）】

・『Le Nouveau Taxi 1!』, Hachette, 2009

・斎藤昌三『3段階チェック式フランス語トレーニング・コース』、白水社、2011

## 【参考書】

適宜支持します。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 50 %、期末試験 50 %

## 【学生の意見等からの気づき】

授業担当者変更によりフィードバックできません。

## 【学生が準備すべき機器他】

仏和辞書

## 【Outline (in English)】

## 【Course outline】

This course is designed for beginners who are learning basis French grammar.

## 【Learning Objectives】

Especially at the end of this course, students are expected to a good reading of the French text.

## 【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text. Your study time will be more than four hours for a class.

## 【Grading Criteria】

Your overall grade in the class will be based on the following. term-examination :50% and in class contribution:50%.



LANF200LA

フランス語 8

2017 年度以降入学者

ル・ルー清野 ブレンダン

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

秋学期からの留学を控えた学生を対象とするこの授業は「ヨーロッパ共通参照枠組み」に準拠した最も易しいレベル（A1）の達成を目指すための総合的フランス語入門コースの続きです。4 名の教員で同じテキストを使い、フランス語の総合力を強化します。特にフランス語を実践的に応用する、コミュニケーション重視の授業です。

【到達目標】

SA アンジェに備え、自分自身の日常生活や身近なテーマについて、簡単なフランス語で、相互に働きかけ合うことを目標とします。4 つの能力を総合的に練習し、「ヨーロッパ共通参照枠組み」で定められている A1 レベルを目指します。つまり、最低限必要なことを行うための、よく使われる日常的表現やごく簡単な言い回しを理解し、用いることができるようになることを目指します。自分や他人を紹介することができるように、個人的な事柄（住んでいる場所、知り合い、持ち物など）について質問をしたり、答えたりできるようにします。相手がゆっくり、はっきり話し、協力的であれば、簡単なやりとりができるようになります。

留学への出発までにはフランス語実用技能検定試験（仏検）3 級、DELF A1 合格に相当する語学力の習得をめざします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

フランス語母語話者の教員や他の学生との対話等を通じて、フランス語を自発的かつ気軽に話せるように、発音練習を交えたオーラル・コミュニケーションが主になる授業です。言語というものは、他の科目と違い、教科書や他人のメモを見るだけで覚えられないので、欠席すると大変なことになってしまいます。フランス語は自分で聞いて理解し、自分で口にし、はじめて身に付くものなので、毎回授業に積極的に参加し、質問をしたり質問に答えたり会話を作ったりすることは最も重要なことで成功への鍵です。この授業では、作文やリーディングマラソン（フランス語多読）のような課題も課せられますので、そのつもりでいて下さい。宿題や小テストに関するフィードバックは基本的に授業時間内に行いますが、hoppii を通じて行う場合もあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	授業の紹介 学生による自己評価	TCF
②	Unité 7 L25 Enquête	趣味、頻度、程度
③	Unité 7 L26 Quitter Paris	意見、異議
④	Unité 7 L27 Vivement les vacances!	休暇、趣味、助言
⑤	Unité 7 L28 Les Français en vacances	フランス人のバカンス 作文 1：日本人の休暇
⑥	Unité 8 L29 Enfant de la ville	近接過去、過去における状態・習慣

⑦	Unité 8 L30 Fait divers	過去の出来事、過去における状況
⑧	Unité 8 L31 Ma première histoire d'amour	時間の表現、目的の表現
⑨	Unité 8 L32 La 2CV	フランスの象徴 作文 2：初映画の思い出
⑩	Unité 9 L33 Beau fixe	予報（未来）、可能性、確実さ
⑪	Unité 9 L34 Projets d'avenir	計画（未来）
⑫	Unité 9 L35 Envie de changement	条件、意図と計画
⑬	Unité 9 L36 Le pain, mangez-en!	未来における結果 作文 3：留学の計画
⑭	まとめ	復習 最終テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

当然ながら、授業の内容を次の授業までに復習すること。復習・語彙・書き取り（Dictée）の小テストを頻繁に行います。本授業の準備・復習時間は、2 時間を標準とします。また、耳をできるだけ早くフランス語の音に慣れさせるために教科書についている音源等を各自聴くこと。音源をスマホなどに入れ、（長い）通学時間を賢く利用しましょう！

【テキスト（教科書）】

LE NOUVEAU TAXI 1, Robert Menand, Hachette

【参考書】

留学の際、仏和辞典が必携のアイテムになりますので、できるだけ早く入手しましょう。紙のものでも、電子辞書でも、スマホのアプリでも大丈夫です。

【成績評価の方法と基準】

- ・宿題、書き取り (Dictée)、その他の小テスト:約 20 %
- ・リーディングマラソン（フランス語多読）:約 20 %
- ・作文:約 20 %
- ・期末試験:約 20 %
- ・出席点:約 20%。尚、出席点に関しては減点方式をとり、4 回目の欠席で不合格となります。遅刻は 2 回で欠席扱いとなり、遅延証明は 2 回まで認めます。

【学生の意見等からの気づき】

（初めての授業なので、該当しない。）

【None】

none

【Outline (in English)】

French for beginners (3rd semester). This course focuses on developing mainly basic oral (and written) communication skills in French. Its main target is students motivated/selected for the Study Abroad program in France. It also prepares to the A1 level of French proficiency tests.

Depending on the tasks, revision and/or homework will require from one to three hours.

The grading criteria are as follows:

- ・Homework, short tests, etc: 20 %
- ・Reading marathon (Extensive reading):20 %
- ・Short essays:20 %
- ・Final exam:20 %
- ・Attendance:20%

LANf200LA

## フランス語 3-I

2017 年度以降入学者

柴崎 秀穂

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランスの時事についての平易なエッセイを読むことを通じ、フランス語の文法、語彙、構文の理解を深めます。

## 【到達目標】

フランス語の基本文法の理解を完成し、辞書を引きつつ、平易な文章を読めるようになること。また、仏検 3 級レベルへの早期の到達を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

最初の数回は文法の復習と未習箇所を勉強します（昨年の文法の教科書を持参してください）。それぞれの文法事項について、まず教師が説明し、その後学生が練習問題を解き、それについて教師が解説する、という形で授業を進めます。その後は講読の授業です。指名された学生が音読・和訳し、それを教師が修正・解説します。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション。	授業の進め方。文法の総復習。
		文法（1）。
第 2 回	文法（2）。	文法の総復習。
第 3 回	文法（3）。	文法の総復習。
第 4 回	文法（4）。	現在分詞とジェロンディフ。
第 5 回	講読（1）。	テキスト第 1 課を読む。
第 6 回	講読（2）。	テキスト第 1 課を読む。
第 7 回	講読（3）。	テキスト第 2 課を読む。
第 8 回	講読（4）。	テキスト第 2 課を読む。
第 9 回	講読（5）。	テキスト第 3 課を読む。
第 10 回	講読（6）。	テキスト第 3 課を読む。
第 11 回	講読（7）。	テキスト第 4 課を読む。
第 12 回	講読（8）。	テキスト第 4 課を読む。
第 13 回	講読（9）。	テキスト第 5 課を読む。
第 14 回	期末試験。	試験・まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

指名された学生は、しっかりと準備してくる。それ以外の学生も、最低限、単語だけは調べてきてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

「アンフォ vol.6 フランス語でニュースを読む」、駿河台出版社。

## 【参考書】

仏和辞典は必ず持参すること。

## 【成績評価の方法と基準】

期末テスト 50 点、平常点 50 点の合計点で評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

授業資料を、より分かりやすく効果的になるよう修正しました。

## 【その他の重要事項】

若いころ短期間ですが、日仏会館日本事務所に勤務していました。仕事で使うフランス語および外国語一般について、アドバイスができると思います。また、TOEIC のスコアも 975 点を持っていますので、英語との比較でフランス語を解説します。

## 【Outline (in English)】

・ Course outline

Reading easy essays about current affairs in France, you will improve your knowledge of French grammar and vocabulary.

・ Learning objectives

At the end of the course, students are expected to understand easy French books.

・ Lecture/Exercise

Before each class meeting, students will be expected to spend an hour to prepare for the course content.

・ Grading Criteria /Policies

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%、in-class contribution: 50 %

LANf200LA

## フランス語 3-II

2017 年度以降入学者

柴崎 秀穂

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランスの時事についての平易なエッセイを読むことを通じて、フランス語の文法、語彙、構文の理解を深めます。

## 【到達目標】

フランス語の基本文法の理解を完成し、辞書を引きつつ、平易な文章を読めるようになること。また、仏検 3 級レベルへの早期の到達を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

あらかじめ発表者を指名し、指名された学生がテキストの該当箇所を音読し、和訳します。それをもとに教師が修正・説明・和訳し、文法を再確認したり、構文を分析したりしながら、テキストを読み進めていきます。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	講読 (1)。	テキスト第 5 課を読む。
第 2 回	講読 (2)。	テキスト第 6 課を読む。
第 3 回	講読 (3)。	テキスト第 6 課を読む。
第 4 回	講読 (4)。	テキスト第 7 課を読む。
第 5 回	講読 (5)。	テキスト第 7 課を読む。
第 6 回	講読 (6)。	テキスト第 8 課を読む。
第 7 回	講読 (7)。	テキスト第 9 課を読む。
第 8 回	講読 (8)。	テキスト第 10 課を読む。
第 9 回	講読 (9)。	テキスト第 11 課を読む。
第 10 回	講読 (10)。	テキスト第 12 課を読む。
第 11 回	講読 (11)。	テキスト第 13 課を読む。
第 12 回	講読 (12)。	テキスト第 14 課を読む。
第 13 回	講読 (13)。	テキスト第 15 課を読む。
第 14 回	期末テスト。	試験・まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

指名された学生は、しっかりと準備してくる。それ以外の学生も、最低限、単語だけは調べてきてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

「アンフォ vol.6 フランス語でニュースを読む」、駿河台出版社。

## 【参考書】

仏和辞典は必ず持参すること。

## 【成績評価の方法と基準】

期末テスト 50 点、平常点 50 点の合計点で評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

授業資料を、より分かりやすく効果的になるよう修正しました。

## 【その他の重要事項】

若いころ短期間ですが、日仏会館日本事務所に勤務していました。仕事で使うフランス語および外国語一般について、アドバイスができると思います。また、TOEIC のスコアも 975 点を持っていますので、英語との比較でフランス語を解説します。

## 【Outline (in English)】

・ Course outline

Reading easy essays about current affairs in France, you will improve your knowledge of French grammar and vocabulary.

・ Learning objectives

At the end of the course, students are expected to understand easy French books.

・ Lecture/Exercise

Before each class meeting, students will be expected to spend an hour to prepare for the course content.

・ Grading Criteria /Policies

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%、in-class contribution: 50 %

LANF200LA

## フランス語 3 - I

2017 年度以降入学者

竹本 研史

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

人間環境学部 2 年 A-F 組の学生を対象にして、2 年次以降の専門科目の学習に資するような、サステナビリティを中心とした現代フランス語圏社会の諸問題についてのフランス語圏テキストの読解演習および聴解演習、発音演習を行う。

## 【到達目標】

人間環境学部の学生が、各人の関心に応じたサステナビリティ研究を行うにあたって、簡単な内容のフランス語文献や新聞、雑誌記事を利用できるフランス語読解力をつけること、ならびに簡単な内容のテレビ、ラジオ、ネット動画などを視聴できる視聴能力を身につけることが目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

サステナビリティを中心とした現代フランス語圏社会の諸問題についての初歩的なフランス語テキストを読んだり、音声を聴いたりする。

指定箇所の宿題（全訳）→音読練習→学生が発表→教員が既習文法事項を振り返りながら、内容を含め、関連画像・映像などを交え解説。

学生からの質問・意見や、提出物に対しては、基本的に授業時間内にフィードバックを行う。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業についての説明
第 2 回	第 1 課	「光の都市」
第 3 回	第 2 課	「Z 世代」
第 4 回	第 3 課	「レーモン・ラディゲ」
第 5 回	第 4 課	「貧困と富裕」
第 6 回	第 5 課	「2022 年大統領選挙」
第 7 回	第 1-5 課のまとめ	第 1-5 課の文法事項などの復習
第 8 回	第 6 課	「コーヒー」
第 9 回	第 7 課	「欧州グリーン・タクソミー」
第 10 回	第 8 課	「フランスにおける漫画」
第 11 回	第 9 課	「トランスアイデンティティ」
第 12 回	第 6-9 課のまとめ	第 6-9 課の文法事項などの復習
第 13 回	音読・聴き取り練習	・音読試験 ・聴き取り練習
第 14 回	春学期のまとめ	・期末試験 ・期末試験の解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各課の音読と全訳を行うこと。

予習に 1 時間半から 2 時間、復習に 1 時間は必要であろう。

## 【テキスト（教科書）】

石井洋二郎、ミシェル・サガズ『時事フランス語：2023 年度版』、朝日出版社、2023 年。定価：1,900 円＋税

ISBN：978-4-255-35343-2

## 【参考書】

\* 1 年次に用いていた「フランス語 1」の教科書

\* 仏和辞典

## 【成績評価の方法と基準】

「教科書の全訳 [30%] + 音読試験 [10%] + 筆記試験 [60%]」

## 【学生の意見等からの気づき】

なし

## 【その他の重要事項】

もちろん、この「フランス語 3」の授業だけでは、フランス語の運用能力を十全に身につけることは非常に困難である。本格的にフランス語の勉強を志すのであれば、選択外国語科目や総合科目のフランス語諸科目を積極的に受講してほしい。語学は筋トレである。併せて、フランス語圏地域文化を学ぶために、ILAC のリベラルアーツ科目のフランス語圏文化に関する科目や、総合科目のフランス語系の先生方主宰の「教養ゼミ」、それから国際文化学部のフランス語圏に関する他学部聴講科目をぜひ受講していただけたら幸いである。

## 【Outline (in English)】

## 【Course outline】

This course introduces the foundations of the reading books and newspaper articles in French on Sustainability to students taking this course.

## 【Learning Objectives】

The goals of this course are to read books and newspaper articles, to Watch TV and to listen to the radio etc. in simple French on Sustainability.

## 【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to translate the text before each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class.

## 【Grading Criteria /Policy】

Translation of the text : 30 %

Read-test : 10%

Term-end examination: 60%

LANF200LA

## フランス語 3 - II

2017 年度以降入学者

竹本 研史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

人間環境学部 2 年 A - F 組の学生を対象にして、2 年次以降の専門科目の学習に資するように、現代フランス語圏社会の諸問題についてのフランス語圏テキストの読解演習および聴解演習、発音演習を行う。

## 【到達目標】

人間環境学部の学生が、各人の関心に応じたサステイナビリティ研究を行うにあたって、簡単な内容のフランス語文献や新聞、雑誌記事を利用できるフランス語読解力をつけること、ならびに簡単な内容のテレビ、ラジオ、ネット動画などを視聴できる視聴能力を身につけることが目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

サステイナビリティを中心とした現代フランス語圏社会の諸問題についての初歩的なフランス語テキストを読んだり、音声を聴いたりする。

指定箇所の宿題（全訳）→音読練習→学生が発表→教員が既習文法事項を振り返りながら、内容を含め、関連画像・映像などを交え解説。

学生からの質問・意見や、提出物に対しては、基本的に授業時間内にフィードバックを行う。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	第 10 課	「文学賞」
第 2 回	第 11 課	「成人年齢」
第 3 回	第 12 課	「精神的負荷（シャルジュ・マンタル）」
第 4 回	第 13 課	「ジョゼフィン・ベイカー」
第 5 回	第 14 課	「異世代同居」
第 6 回	第 15 課	「狩猟」
第 7 回	第 10-15 課のまとめ	第 10-15 課の文法事項の復習
第 8 回	第 16 課	「ビデオゲーム」
第 9 回	第 17 課	「マルティニーク」
第 10 回	第 18 課	「運動と建国」
第 11 回	第 19 課	「鳥類と生物多様性」
第 12 回	第 20 課	「パール＝ラシェーズ墓地」
第 13 回	音読・聴き取りの練習	・音読試験 ・聴き取り練習
第 14 回	春学期のまとめ	・筆記試験 ・筆記試験の解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各課の音読と全訳を行うこと

予習に 1 時間半から 2 時間、復習に 1 時間は必要であろう。

## 【テキスト（教科書）】

石井洋二郎、ミシェル・サガズ『時事フランス語：2023 年度版』、朝日出版社、2023 年。定価：1,900 円＋税

ISBN：978-4-255-35343-2

## 【参考書】

\* 1 年次に用いていた「フランス語 1」の教科書

\* 仏和辞典

## 【成績評価の方法と基準】

教科書の全訳 [30%] + 音読試験 [10%] + 筆記試験 [60%]

## 【学生の意見等からの気づき】

なし

## 【その他の重要事項】

もちろん、この「フランス語 3」の授業だけでは、フランス語の運用能力を十全に身につけることは非常に困難である。本格的にフランス語の勉強を志すのであれば、選択外国語科目や総合科目のフランス語諸科目を積極的に受講してほしい。語学は筋トレである。併せて、フランス語圏地域文化を学ぶために、ILAC のリベラルアーツ科目のフランス語圏文化に関する科目や、総合科目のフランス語系の先生方主宰の「教養ゼミ」、それから国際文化学部のフランス語圏に関する他学部聴講科目をぜひ受講していただけたら幸いである。

## 【Outline (in English)】

## 【Course outline】

This course introduces the foundations of the reading books and newspaper articles in French on Sustainability to students taking this course.

## 【Learning Objectives】

The goals of this course are to read books and newspaper articles, to Watch TV and to listen to the radio etc. in simple French on Sustainability.

## 【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to translate the text before each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class.

## 【Grading Criteria /Policy】

Translation of the text : 30 %

Read-test : 10%

Term-end examination: 60%

ARSA200LA

## フランス語の世界 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

廣松 勲

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：2 単位

定員制 (40 名)

その他属性：〈他〉〈優〉

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業は、世界に広がる「フランス語圏 (フランコフォニー)」を知ることを主たる目的とします。そのような (フランス共和国を含めた) 広い地域をも対象としつつ、各地域にどのような地理・歴史的背景、社会状況、各種の文化 (言語、芸術、習慣、食生活など) が存在するのかについて検討する。

「フランス的なもの」がどのような要素で成り立っているのかを広く紹介しながら、新たな視点から「フランス語の世界」を把握できるようにすることを目指す。

なお、春学期は主にフランス共和国本土にある「地域圏」を中心として、それぞれの地域の特性について紹介・解説する。

## 【到達目標】

- 1) フランス共和国の各地域の紹介を介して、その差異と共通性の大枠を理解できる。
- 2) フランコフォニー (フランス語圏) の紹介を介して、フランス語の世界的拡がりについて理解できる。
- 3) 「フランス的なもの」が現在どのような要素によって成り立っているのかについて、簡単に説明ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業については、主に講義形式で進める。各回において一つの地域または国の歴史・地理・文化を概説しながら、フランス語の世界の多様性・複雑性を解説する。また、講義形式に加えて、映像資料や音楽の視聴も取り入れることで、少しでも具体的に各地域・国を想像できるように授業を進める。

授業ではコメントシートを提出してもらうことで、予習・復習のきっかけとしてももらう。期末レポートでは一つの地域または国について、選択したテーマから調査結果をまとめてもらうが、そのためにできるだけ参考資料の提示に努める。

提出されたコメントシートについて、できるだけ次回以降の授業に反映させる。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】  
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】  
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	・本授業の流れについて説明 ・国内の歴史、県・地域圏などの成立経緯
2	① Île-de-France	・イル＝ド＝フランス地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
3	② Bretagne	・ブルターニュ地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など

4	③ Normandie	・ノルマンディー地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
5	④ Hauts-de-France	・オー＝ド＝フランス地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
6	⑤ Grand-Est	・グラン＝テスト地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
7	⑥ Pays de la Loire	・ペイ＝ド＝ラ＝ロワール地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
8	⑦ Centre-Val de Loire	・サントル＝ヴァル＝ド＝ロワール地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
9	⑧ Bourgogne-Franche-Comté	・ブルゴーニュ＝フランシュ＝コンテ地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
10	⑨ Nouvelle-Aquitaine	・ヌーヴェル＝アキテーヌ地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
11	⑩ Auvergne-Rhône-Alpes	・オーヴェルニュ＝ローヌ＝アルプ地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
12	⑪ Occitanie	・オクシタニー地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
13	⑫ Provence-Alpes-Côte d'Azur (PACA)	・プロヴァンス＝アルプ＝コート＝ダジュール地域圏 (PACA) に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
14	⑬ Corse まとめ	・コルス地方公共団体に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など ・春学期授業のまとめ ・秋学期授業の予告：世界のフランコフォニー

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

- 1) 各地域圏に関する情報を、主に学術書や論文 (場合によっては各地域圏サイト) を参照しつつ、予習・復習を行って欲しい。
  - 2) 映像資料については、多くの場合、授業内で全てを見ることができないわけではないため、できるだけ個人的に視聴して欲しい。
  - 3) 期末レポートの執筆に向けて、各地域圏を調べる際の「きっかけ」となる「テーマや関心領域」を早めに決定して欲しい (或る程度、自分の「テーマや関心領域」を特定しないと、レポート執筆だけでなく、その準備も難しいと思われるため)。
  - 4) 期末レポートの執筆に向けて、レポート執筆の方法・手続き・注意点 (特に引用の仕方、参考文献の書き方) について確りと学習しておいて欲しい。
- ・本授業の準備学習・復習時間は、合計 4 時間を標準とします。

## 【テキスト (教科書)】

- ・教科書は、特になし
- ・原則、各回において資料を配布する予定

## 【参考書】

- I. 以下の 4 冊の参考書は、フランス共和国やフランコフォニーについて基礎知識が得られるため、簡単にでも参照するようにしてほしい。
  - 1) 剣持久木編著『よくわかるフランス近現代史』ミネルヴァ書房、2018 年。本体 2600 円＋税
  - 2) ジャック・レヴィ編 (土居佳代子訳)『地図で見るフランスハンドブック』原書房、2018 年。本体 2800 円＋税
  - 3) ジャン＝ブノワ・ナドー、ジュリー・パロウ著 (立花英裕監修・中尾ゆかり訳)『フランス語のはなし：もうひとつの国際共通語』大修館書店、2008 年。本体 2400 円＋税
  - 4) 鳥羽美鈴著『多様性の中のフランス語：フランコフォニーについて考える』関西学院大学出版会、2012 年。本体 3400 円＋税
- II. 以下の 2 冊の参考書はフランス語教科書であるが、比較的情報が充実しているため、フランス語学習者は参照してみたい。
  - 5) Fabienne Guillemin 著『Tour de France (フランス、地方を巡る旅)』駿河台出版社、2017 年。本体 1900 円＋税

6) 小松祐子, Gilles Delmaire 著『Destination francophonie: nouvelle édition (フランコフォニーへの旅：改訂版)』駿河台出版社, 2019 年. 本体 2300 円+税

**【成績評価の方法と基準】**

・平常点と期末レポートに基づき、総合的に評価する。

- ①平常点 (コメントシートなど) : 30 %
- ②期末レポート : 70 %

**【学生の意見等からの気づき】**

・歴史的要素の説明が多くなりがちであるため、もう少し他の社会文化的要素の説明にも時間をさけるように心がけたい。

**【その他の重要事項】**

・受講に当たって、フランス語に関する予備知識は必要ない。

**【Outline (in English)】**

This course introduces the foundations of the french speaking world (la francophonie) including the French republic. Students taking this course become able to understand in summary the situations of geography, history, (regional) langages and various cultures in each region or country.

The goals of this course are to unerstanding and explaining the socio-cultural situation of each French regions.

Before and after each class meeting,students will be expected to spend four hours to read the relevant documents.

Your overall grade in the class will be decided based on the followings:

in class contributions (discussion, reaction paper, etc): 30%,  
term-end report: 70%.

ARSa200LA

## フランス語の世界 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

廣松 勲

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：2 単位

定員制 (40 名)

その他属性：〈他〉〈優〉

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業は、世界に広がる「フランス語圏 (フランコフォニー)」を知ることを中心とする。そのような (フランス共和国を含めた) 広い地域をも対象としつつ、各地域にどのような地理・歴史的背景、社会状況、各種の文化 (言語、芸術、習慣、食生活など) が存在するのかについて検討する。

「フランス的なもの」がどのような要素で成り立っているのかを広く紹介しながら、新たな視点から「フランス語の世界」を把握できるようにすることを目指す。

なお、秋学期はフランス共和国本土以外の「地域圏」、そしてフランス共和国以外の「フランコフォニー」について扱い、それぞれの地域の特長について紹介・解説する。

## 【到達目標】

- 1) フランス共和国の各地域の紹介を介して、その差異と共通性の大枠を理解できる。
- 2) フランコフォニー (フランス語圏) の紹介を介して、フランス語の世界的拡がりについて理解できる。
- 3) 「フランス的なもの」が現在どのような要素によって成り立っているのかについて、簡単に説明ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業については、主に講義形式で進める。各回において一つの地域または国の歴史・地理・文化を概説しながら、フランス語の世界の多様性・複雑性を解説する。また、講義形式に加えて、映像資料や音楽の視聴も取り入れることで、少しでも具体的に各地域・国を想像できるように授業を進める。

毎回の授業において学生にはコメントシートを提出してもらうことで、予習・復習のきっかけとしてもらう。期末レポートでは一つの地域または国について、選択したテーマから調査結果をまとめてもらうが、そのためにできるだけ参考資料の提示に努める。

毎回の授業においてコメントシートを執筆・提出してもらい、できるだけ次回以降の授業に反映させる。

## 【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション：フランス共和国外にある地域圏、フランコフォニーの成立経緯	・本授業の流れについて説明 ・フランス共和国外にある県・地域圏について簡単に紹介 ・フランコフォニーの地理・歴史について簡単に紹介
2	カリブ地域の地域圏 Martinique et Guadeloupe	・カリブ地域の地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
3	南米大陸の地域圏 Guyane française	・南米大陸の地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など

4	インド洋の地域圏 Réunion et Mayotte	・インド洋の地域研に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
5	太平洋の海外領土 Nouvelle-Calédonie	・太平洋の海外領土に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
6	北米大陸のフランス語圏① Québec (Canada)	・北米大陸カナダにおけるフランコフォニーに関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
7	北米大陸のフランス語圏② Louisiane	・北米大陸アメリカ合衆国におけるフランコフォニーに関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
8	北アフリカのフランス語圏① Algérie	・マグレブ中央部のフランコフォニーに関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
9	北アフリカのフランス語圏② Maroc et Tunisie	・マグレブ西部および東部のフランコフォニーに関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
10	サハラ以南のフランス語圏① Sénégal	・サハラ以南アフリカのフランコフォニー (旧仏領) に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
11	サハラ以南のフランス語圏② Congo-Kinshasa et Congo-Brazzaville	・サハラ以南アフリカのフランコフォニー (旧仏領およびベルギー領) に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
12	サハラ以南のフランス語圏③ Rwanda	・サハラ以南アフリカのフランコフォニー (旧ベルギー領) に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
13	ヨーロッパのフランス語圏① Belgique	・西ヨーロッパのフランコフォニーに関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
14	ヨーロッパのフランス語圏② Suisse	・西ヨーロッパのフランコフォニーに関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など

まとめ

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

- 1) 各地域圏に関する情報を、主に学術書や論文 (場合によっては各地域圏サイト) を参照しつつ、予習・復習を行って欲しい。
  - 2) 映像資料については、多くの場合、授業内で全てを見ることができないわけではないため、できるだけ個人的に視聴して欲しい。
  - 3) 期末レポートの執筆に向けて、各地域圏を調べる際の「きっかけ」となる「テーマや関心領域」を早めに決定して欲しい (或る程度、自分の「テーマや関心領域」を特定しないと、レポート執筆だけでなく、その準備も難しいと思われるため)。
  - 4) 期末レポートの執筆に向けて、レポート執筆の方法・手続き・注意点 (特に引用の仕方、参考文献の書き方) について確りと学習しておいて欲しい。
- 本授業の準備学習・復習時間は、合計 4 時間を標準とします。

## 【テキスト (教科書)】

- ・教科書は、特になし
- ・原則、各回において資料を配布する予定

## 【参考書】

- I. 以下の 4 冊の参考書は、フランス共和国やフランコフォニーについて基礎知識が得られるため、簡単にでも参照するようにしてほしい。
  - 1) 剣持久木編著『よくわかるフランス近現代史』ミネルヴァ書房、2018 年、本体 2600 円 + 税
  - 2) ジャック・レヴィ編 (土居佳代子訳) 『地図で見るフランスハンドブック』原書房、2018 年、本体 2800 円 + 税
  - 3) ジャン＝ブノワ・ナドー、ジュリー・バーロウ著 (立花英裕監修・中尾ゆかり訳) 『フランス語のはなし：もうひとつの国際共通語』大修館書店、2008 年、本体 2400 円 + 税
  - 4) 鳥羽美鈴著『多様性の中のフランス語：フランコフォニーについて考える』関西学院大学出版会、2012 年、本体 3400 円 + 税
- II. 以下の 2 冊の参考書はフランス語教科書であるが、比較的情報が充実しているため、フランス語学習者は参照してみたい。
  - 5) Fabienne Guillemin 著『Tour de France (フランス、地方を巡る旅)』駿河台出版社、2017 年、本体 1900 円 + 税
  - 6) 小松祐子、Gilles Delmaire 著『Destination francophoneie: nouvelle édition (フランコフォニーへの旅：改訂版)』駿河台出版社、2019 年、本体 2300 円 + 税



**【成績評価の方法と基準】**

・平常点と期末レポートに基づき、総合的に評価する。

- ①平常点（コメントシート等）：30 %
- ②期末レポート：70 %

**【学生の意見等からの気づき】**

・歴史的要素の説明が多くなりがちであるため、もう少し他の社会文化的要素の説明にも時間をさけるように心がけたい。

**【その他の重要事項】**

・受講に当たって、フランス語に関する予備知識は必要ない。

**【Outline (in English)】**

This course introduces the foundations of the french speaking world (la francophonie) including the French republicque. Students taking this course become able to understand in summary the situations of geography, history, (regional) langages and various cultures in each region or country.

The goals of this course are to unerstanding and explaining the socio-cultural situation of each French regions.

Before and after each class meeting,students will be expected to spend four hours to read the relevant documents.

Your overall grade in the class will be decided based on the followings:

in class contributions (discussion, reaction paper, etc): 30%,  
term-end report: 70%.

LANF200LA

**フランス語コミュニケーション(初級) I** 2017年度以降入学者

ニコラ ガイヤール

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

定員制 (30 名)

その他属性：〈他〉〈優〉

**【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】**

初心者向けの会話の授業です。フランス人の日常生活に触れながら、フランス語のコミュニケーションの基礎を学ぶことができます。原則として、教室における対面授業を予定しています。ただし、大学から対面授業方針の変更が伝えられた場合はこの限りではありません。また、東京および日本全国における感染拡大状況を考慮に入れつつ、教室で行う対面授業の回数とオンラインで行う遠隔授業の回数は学期開始後に調整します。

**【到達目標】**

この授業の目的はフランス語でのベーシックコミュニケーション能力とフランスに対する好奇心や興味を高めることです。日常生活に必要な表現を取得することができます。その上、フランス語圏の文化や社会の面白いテーマを取り上げます。聞く、読む、話す、書くの4つの能力も鍛えます。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

音声で聞き取りをし、文法の練習問題を行います。その後、ペアになり会話のロールプレーをします。また、フランス文化に関するテーマについてディスカッションをし、フランス語で文章をまとめます。基本的に授業時間内にフィードバックを行うが、LMSなどを活用する場合もある

**【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】**  
あり / Yes

**【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】**

なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Demander des articles	パンを買う
2	Demander des articles	郵便局の会話
3	Parler des quantités	朝市での会話
4	Parler des quantités	スーパーで
5	Demander le prix	文房具を買う
6	Passer une commande	カフェで注文する
7	Faire une réservation	ホテルの予約
8	Faire une réservation	電車のチケットを買う
9	Faire des achats	服を買う
10	Faire des achats	靴を買う
11	Hésiter	何の花を買うのか躊躇う
12	Prendre rendez-vous	歯医者予約を取る
13	Prendre rendez-vous	医者予約を取る
14	Demander des renseignements	地下鉄の窓口の会話

**【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】**

前の授業の勉強したことを生かし会話を書いて提出します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

**【テキスト (教科書)】**

Communication progressive du français - Niveau débutant 出版社：CLE International 作者：Claire Miquel ISBN：978-2-09-038445-1

**【参考書】**

仏和・和仏の辞書があると便利です。

**【成績評価の方法と基準】**

平常点 100% (授業中の発言 50%及び宿題の提出 50%)。この授業は5回以上欠席する者は評価の対象外になりますので注意すること。

**【学生の意見等からの気づき】**

フランス人の生活の話をもっとします。

**【学生が準備すべき機器他】**

CD プレイヤー

**【その他の重要事項】**

感染症拡大状況により、授業開始後に授業形態に変更が生じる可能性もある。その場合は学習支援システム上に通知する。

**【Outline (in English)】**

This course introduces French conversation and culture to students taking this course at a beginner level. Students will improve their speaking, listening and writing skills. The goals of this course is to practice French conversation at beginner level and help students have a better knowledge of everyday life in France. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following :

- In class contribution and participation : 50%

- Homework : 50%

LANF200LA

**フランス語コミュニケーション(初級) II** 2017年度以降入学者

ニコラ ガイヤール

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

定員制 (30 名)

その他属性：〈他〉〈優〉

**【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】**

初心者向けの会話の授業です。フランス人の日常生活に触れながら、フランス語のコミュニケーションの基礎を学ぶことができます。

**【到達目標】**

この授業の目的はフランス語でのベーシックコミュニケーション能力とフランスに対する好奇心や興味を高めることです。日常生活に必要な表現を取得することができます。その上、フランス語圏の文化や社会の面白いテーマを取り上げます。聞く、読む、話す、書くの4つの能力も鍛えます。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

音声で聞き取りをし、文法の練習問題を行います。その後、ペアになり会話のロールプレーをします。また、フランス文化に関するテーマについてディスカッションをし、フランス語で文章をまとめます。基本的に授業時間内にフィードバックを行うが、LMSなどを活用する場合もある。

**【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】**  
あり / Yes

**【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】**  
なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Exprimer une obligation	区役所の会話
2	Autoriser et interdire	スキーリゾートの会話
3	Vérifier	プールの会話
4	Protester	クレームを言う
5	Exprimer des intentions et des projets	自転車レンタルの会話
6	Exprimer des intentions et des projets	銀行の会話
7	Localiser	デパートの会話
8	Localiser	道案内の会話
9	Localiser	紛失した物の会話
10	S'informer par téléphone	不動産屋の会話
11	Comparer	バカンスの場所を決める会話
12	Caractériser	パーティの準備
13	Exprimer une condition	天気によって計画を立てる
14	Parler d'un besoin	仕事に必要な物の話をする

**【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】**

前の授業の勉強したことを生かし会話を書いて、提出します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

**【テキスト (教科書)】**

Communication progressive du français - Débutant 出版社：CLE International 作者：Claire Miquel ISBN：978-2-09-038445-1

**【参考書】**

仏和・和仏の辞書があると便利です。

**【成績評価の方法と基準】**

平常点 (授業中の発言 50%や宿題の提出 50%)。この授業は5回以上欠席する者は評価の対象外になりますので注意すること。

**【学生の意見等からの気づき】**

フランス人の生活をもっと話します。

**【学生が準備すべき機器他】**

CD プレーヤー

**【その他の重要事項】**

感染症拡大状況により、授業開始後に授業形態に変更が生じる可能性もある。その場合は学習支援システム上に通知する。

**【Outline (in English)】**

This course introduces French conversation and culture to students taking this course at a beginner level. Students will improve their speaking, listening and writing skills. The goals of this course is to practice French conversation at beginner level and help students have a better of French grammar. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following :

- In class contribution and participation : 50%
- Homework : 50%

LANf200LA

## 時事フランス語 I

2017 年度以降入学者

大中 一彌

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 2/Wed.2

単位数：1 単位

定員制 (30 名)

その他属性：〈他〉〈優〉〈S〉

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Ce cours a pour but d'aider les étudiants à améliorer la compréhension sur les sociétés, la politique et les médias francophones. L'accent est mis sur la communication orale et l'utilisation du vocabulaire spécialisé. En participant aux activités proposées, ils se familiariseront avec les sites Web francophones d'actualités.

## 【到達目標】

Les objectifs à atteindre diffèrent selon le niveau de départ de l'étudiant.e.

\* Objectif d'apprentissage pour les faux-débutants et les apprenants au niveau intermédiaire : l'étudiante ou l'étudiant sera en mesure d'acquérir, à l'issue des deux semestres de « Jiji-Furansugo », une aptitude linguistique équivalente au niveau A2 du cadre européen de référence pour les langues ou au Futsuken jun 2 kyû.

\*\* Objectif pédagogique pour ceux qui maîtrisent déjà plus ou moins bien la langue française (les apprenants au niveau supérieur ainsi que les étudiants internationaux francophones) : l'étudiante ou l'étudiant sera capable de formuler des commentaires pertinents qui témoignent d'une compréhension solide des enjeux locaux et mondiaux.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

À chaque séance de cours, l'enseignant propose des ressources disponibles sur internet. Les apprenants seront invités à répondre à des questions posées et à en dégager les informations essentiels. Pour ce faire, ils ont le droit de consulter les ouvrages et les dictionnaires rédigés dans leur première langue (langue dite "maternelle") respective. Tous les participants doivent néanmoins tâcher de s'exprimer en langue française, et de contribuer à analyser ce qui se dit dans le matériel.

La langue d'enseignement en classe est en principe le français, tandis que les informations administratives seront fournies en japonais via LMS et par e-mail.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Séance 1	Pourquoi vous inscrire au cours de « Jiji-Furansugo » ?	Exposer l'intérêt de cours ; engager une conversation dans un français simple; Devinettes sonores - les transports; Nos langues et le français
Séance 2	Présenter le planning du semestre	Devinettes sonores - des sons étranges; Nadine se présente.

Séance 3	Réfléchir sur la parité Femmes/Hommes en politique ; Les symboles de la République française	« Une nouvelle cheffe de gouvernement en France » ; « Ici, en République »
Séance 4	Décrire un phénomène naturel ; Mondialisation et produits « made in France »	« Le volcan Mauna Loa se réveille » ; « Nous allons vivre à la française »
Séance 5	Parler d'un événement sportif ; S'imprégner dans un environnement interculturel	« Jeux olympiques d'hiver 2022 » ; « Guadeloupe, couleurs Caraïbes »
Séance 6	Culture Hip-hop et le français; S'informer sur les mouvements sociaux	« Manifestations en France » ; « Youtubeurs et engagés »
Séance 7	L'Europe de l'ouest suffoque ; Namur, c'est où ?	« Canicule en Europe » ; « La maison »
Séance 8	Familiariser avec le vocabulaire du milieu journalistique; le cinéma en France	« Ouverture du festival de Cannes » ; « Les professions »
Séance 9	Assimiler des expressions typiques dans une émission d'information; Découvrir l'ancienne région Rhône-Alpes	« La reine d'Angleterre, Elizabeth II, est décédée » ; « Grammaire : le présent de l'indicatif »
Séance 10	Préciser les différents types d'inégalité	« États-Unis: les salaires des grands patrons explosent » ; « Droits des femmes : à quand l'égalité ? »
Séance 11	Raconter un récit sportif; Égalité des genres	« Tour de France 2022 » ; « Où en sont les droits des LGBT dans le monde ? »
Séance 12	Analyser l'opinion sur l'écologie; Canada et coronavirus	« Football: scandale climatique pour le PSG » ; « Canada : la pandémie aggrave la crise sociale »
Séance 13	S'intéresser à la diplomatie linguistique	« Le 18e sommet de la Francophonie » ; « Destination Japon »
Séance 14	La République démocratique du Congo et le Royaume du Maroc	« Les gorilles du parc des Virunga en danger » ; « Des bénévoles mobilisés au Maroc »

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

1) Essayez d'exploiter vous-même le matériel pédagogique dont les adresses URL sont d'ores et déjà indiquées dans le Tableau de bord pour Jiji-Furansugo. [https://docs.google.com/spreadsheets/d/1oLZg\\_4YenDImlRj7Ftbb2Lj6BQ40OWN8v0hq3umN1q0/edit?usp=sharing](https://docs.google.com/spreadsheets/d/1oLZg_4YenDImlRj7Ftbb2Lj6BQ40OWN8v0hq3umN1q0/edit?usp=sharing) (accessible uniquement aux étudiant.e.s Hôsei)

2) Selon les Normes pour la création d'universités, le temps minimum de préparation et de révision requis pour obtenir deux crédits pour un cours ou un séminaire est de quatre heures par session.

## 【テキスト (教科書)】

1. Radio France Internationale - RFI Savoirs <https://savoirs.rfi.fr/fr>

2. TV5Monde - Apprendre le français <https://apprendre.tv5monde.com/fr>

**【参考書】**

1. Nexis Unis (Hosei University Library - E Database : Overseas Newspapers)
2. PressReader (Hosei University Library - E Database : Overseas Newspapers)
3. Cairn.info (Hosei University Library - E Database : Overseas articles)
4. Encyclopædia Universalis (Hosei University Library - E Database : Dictionaries/Encyclopedias)
5. Shogakukan Robert Grand Dictionnaire Français-Japonais (Hosei University Library - E Database : Dictionaries/Encyclopedias - « JapanKnowledge » )

Nota Bene : L'accès hors campus à ces bases de données requiert le VPN universitaire. Consultez le site Web du service informatique de Hôsei pour en savoir plus. URL <https://netsys.hosei.ac.jp/>

**【成績評価の方法と基準】**

L'évaluation se fait en contrôle continu. À chaque séance, elle sera effectuée sur deux éléments : assiduité (45%) et participation active en cours (45%). Les remarques sur les fautes commises par l'enseignant seront toujours les bienvenues et prises en compte en notation (10%).

**【学生の意見等からの気づき】**

Comment progresser en français ? Je répondrais que la question de la motivation est cruciale.

La plupart des compétences, et pas seulement celle des langues, nécessitent une certaine période de formation pour être acquises. En d'autres termes, vous devez rester motivé.e pendant un certain temps.

Pour rester motivé.e, vous devez avoir un objectif clair.

Afin d'aider à clarifier votre objectif, je vous invite à consulter le document ci-dessous. [https://docs.google.com/document/d/1ShEdsEhsbWQCchpimlVgmrF1p0exsJZeJVH0Caz3\\_mk/edit?usp=sharing](https://docs.google.com/document/d/1ShEdsEhsbWQCchpimlVgmrF1p0exsJZeJVH0Caz3_mk/edit?usp=sharing) (accessible uniquement aux étudiant.e.s Hôsei)

**【学生が準備すべき機器他】**

La connexion internet stable et illimité ainsi qu'un support informatique personnalisé comme ordinateur, tablette ou smartphone sont nécessaires. On utilise deux plateformes (« LMS » en anglais) dont (1) Google Classroom sert à partager les documents et que (2) les apprenants peuvent connaître une partie de notes en consultant son relevé des points sur le site Hoppii. En cas de cours en distanciel, on se servira de systèmes de visioconférence comme Zoom.

**【その他の重要事項】**

1) Si vous n'êtes pas sûr de votre niveau linguistique, essayez de passer un « test de placement » au niveau A1 sur le site Web de la RFI URL <https://savoirs.rfi.fr/fr/apprendre-enseigner/langue-francaise/test-de-placement-a1/1> Inscrivez-vous à ce cours si vous pouvez répondre correctement à plus de la moitié des questions.

2) Le planning communiqué ci-dessus est encore sujet à évolution.

**【Outline (in English)】**

**【Outline and objectives】**

This course aims to promote students' understanding of French society, politics, and news media. An emphasis is placed on oral communication and using specialized vocabulary. By participating in proposed activities, students will become familiar with French-speaking news websites.

**【Goal】**

The goals to be achieved differ according to the starting level of the student.

\* Learning objective for false beginners and intermediate learners: the student will be able to acquire, at the end of the two semesters of "Jiji-Furansugo", a linguistic ability equivalent to level A2 of the European Framework of Reference for Languages or to Futsuken jun 2 kyū.

\*\* Pedagogical goal for those who already have a more or less good command of the French language (learners at the higher level as well as French-speaking international students): the student will be able to formulate relevant comments that demonstrate a solid understanding of local and global issues covered by the French-speaking media.

**【Method(s)】**

In each class session, the teacher will suggest materials available on the Internet. Learners will be asked to identify the essential elements. To do so, they are allowed to consult books and dictionaries written in their respective first language (the "mother tongue"). However, all participants are expected to express themselves in French, and to contribute to the discussion on what is said in the material.

The language of instruction in the classroom is primarily French, while administrative informations will be provided in Japanese via LMS and e-mail.

**【Work to be done outside of class (preparation, etc.)】**

1) Try to make use of the learning materials yourself. The URLs for these materials are already listed in the Dashboard for Jiji-Furansugo.

2) According to the Standards for the Establishment of Universities, the minimum time of preparation and review required to earn two credits for a lecture or seminar is four hours per session.

**【References】**

1. Nexis Unis (Hosei University Library - E Database : Overseas Newspapers)
2. PressReader (Hosei University Library - E Database : Overseas Newspapers)
3. Cairn.info (Hosei University Library - E Database : Overseas articles)
4. Encyclopædia Universalis (Hosei University Library - E Database : Dictionaries/Encyclopedias)
5. Shogakukan Robert Grand Dictionnaire Français-Japonais (Hosei University Library - E Database : Dictionaries/Encyclopedias - « JapanKnowledge » )

Note: Off-campus access to these databases requires a connection through a Virtual Private Network ("VPN"). See the Hosei Network System Service website for information on how to connect to the university VPN. URL <https://netsys.hosei.ac.jp/>

**【Grading criteria】**

Evaluation is done on a continuous basis. At each session, it will be carried out on two elements: attendance (45%) and active participation in class (45%). The student's investment during the semester as well as remarks on mistakes made by the teacher will always be welcome and taken into account in the grading (10%).

**【Equipment student needs to prepare】**

A stable and unlimited internet connection as well as a personalized IT device such as a computer, tablet or smartphone are required. Two LMS platforms are used, of which (1) Google Classroom is mainly used to share documents and (2) learners can consult some notes on the Hoppii website. In case of remote courses, video conferencing systems such as Zoom or Google Meet will be used to ensure the educational continuity.

**【Others】**

1) If you are uncertain of your language level, try taking a "placement test" at the A1 level on the RFI website <https://savoirs.rfi.fr/en/apprendre-enseigner/langue-fran% C3%A7aise/test-de-placement-a1/1> Enroll in this course if you can answer more than half of the questions correctly.

2) The above schedule is still subject to change.

LANF200LA

## 時事フランス語Ⅱ

2017 年度以降入学者

大中 一彌

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 2/Wed.2

単位数：1 単位

定員制（30 名）

その他属性：〈他〉〈優〉〈S〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Ce cours a pour but d'aider les étudiants à améliorer la compréhension sur les sociétés, la politique et les médias francophones. L'accent est mis sur la communication orale et l'utilisation du vocabulaire spécialisé. En participant aux activités proposées, ils se familiariseront avec les sites Web francophones d'actualités.

## 【到達目標】

Les objectifs à atteindre diffèrent selon le niveau de départ de l'étudiant.e.

\* Objectif d'apprentissage pour les faux-débutants et les apprenants au niveau intermédiaire : l'étudiante ou l'étudiant sera en mesure d'acquérir, à l'issue des deux semestres de « Jiji-Furansugo », une aptitude linguistique équivalente au niveau A2 du cadre européen de référence pour les langues ou au Futsuken jun 2 kyû.

\*\* Objectif pédagogique pour ceux qui maîtrisent déjà plus ou moins bien la langue française (les apprenants au niveau supérieur ainsi que les étudiants internationaux francophones) : l'étudiante ou l'étudiant sera capable de formuler des commentaires pertinents qui témoignent d'une compréhension solide des enjeux locaux et mondiaux.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

À chaque séance de cours, l'enseignant propose des ressources disponibles sur internet. Les apprenants seront invités à répondre à des questions posées et à en dégager les informations essentiels. Pour ce faire, ils ont le droit de consulter les ouvrages et les dictionnaires rédigés dans leur première langue (langue dite "maternelle") respective. Tous les participants doivent néanmoins tâcher de s'exprimer en langue française, et de contribuer à analyser ce qui se dit dans le matériel.

Le retour d'information aux étudiants se fait en salle de classe, sur le LMS (Hoppii et Google Classroom) et par e-mail.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Séance 1	Pourquoi vous inscrire au cours de « Jiji-Furansugo » ?	Exposer l'intérêt de cours ; engager une conversation dans un français simple; « Devinettes sonores - les animaux » ; « Les langues de la classe (atelier 2 - français langue maternelle) »
Séance 2	Présenter le planning du semestre	« Devinettes sonores - les lieux » ; « Sous le ciel de Paris - Zaz »

Séance 3	Engager une conversation en français ; jouer au journaliste en classe	« Les voisins du 12 bis - épisode 1: Une arrivée mouvementée (partie1) » ; « Flash infos (12/16) »
Séance 4	Accompagner pour un accouchement; s'interroger sur les stéréotypes	« Les voisins du 12 bis - épisode 1: Une arrivée mouvementée (partie2) » ; « Un travail d'homme et de femme »
Séance 5	Comprendre le système de santé français; La vie scolaire - Cantine	« Les voisins du 12 bis   épisode 6: Au Décibel (partie1) » ; « À table (10/16) »
Séance 6	Se familiariser avec le milieu associatif; L'art de vivre	« Les voisins du 12 bis   épisode 7: La chambre de bonne (partie2) » ; « Les Français à table »
Séance 7	Raisonner par analogie; Découvrir des exercices au niveau A2	« Faire un portrait chinois de la Joconde » ; « Nous nous informons en français. »
Séance 8	Profiter d'une visite guidée dans un monument architectural; essayer de comprendre les gros titre d'une émission d'information	« Les titres du journal (2 janvier 2023) » ; « Le Paris des grands magasins »
Séance 9	Cultiver des légumes dans un jardin; Charm el-Cheikh capitale de la réflexion mondiale sur le climat	« Les titres du journal (7 novembre 2022) » ; « Un potager de champion »
Séance 10	Vocabulaires de base pour le journalisme politique (référendum, etc.); Le numérique à Abidjan	« Les titres du journal (6 juillet 2022) » ; « La presse et les médias : la Côte d'Ivoire - Mon horizon rêvé »
Séance 11	Vaccination contre le Covid-19; Construire des maisons en Afrique	« Les titres du journal (1er juin 2022) » ; « Burkina Faso : des toits en terre »
Séance 12	Populisme au Brésil; prendre l'habitude d'écouter les actualités en français	« Les titres du journal (3 mai 2022) » ; « Manifestations anti-confinement à Rio »
Séance 13	« Slava Ukraini. »	« Les titres du journal (7 décembre 2022) » ; « Destination Kiev (Ukraine) »
Séance 14	Politique de puissance ou démocratie entre les peuples ?; développement durable et identité festive	« Allemagne: un sapin de Noël controversé » ; « La procédure de nomination du secrétaire général de l'ONU »

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

1) Essayez d'exploiter vous-même le matériel pédagogique dont les adresses URL sont d'ores et déjà indiquées dans le Tableau de bord pour Jiji-Furansugo. [https://docs.google.com/spreadsheets/d/1oLZg\\_4YenDImIrlRj7Ftbb2Ij6BQ40OWN8v0hq3umN1q0/edit?usp=sharing](https://docs.google.com/spreadsheets/d/1oLZg_4YenDImIrlRj7Ftbb2Ij6BQ40OWN8v0hq3umN1q0/edit?usp=sharing) (accessible uniquement aux étudiant.e.s Hôsei)

2) Selon les Normes pour la création d'universités, le temps minimum de préparation et de révision requis pour obtenir deux crédits pour un cours ou un séminaire est de quatre heures par session.

**【テキスト (教科書)】**

1. Radio France Internationale - RFI Savoirs <https://savoirs.rfi.fr/fr>
2. TV5Monde - Apprendre le français <https://apprendre.tv5monde.com/fr>

**【参考書】**

1. Nexis Unis (Hosei University Library - E Database : Overseas Newspapers)
2. PressReader (Hosei University Library - E Database : Overseas Newspapers)
3. Cairn.info (Hosei University Library - E Database : Overseas articles)
4. Encyclopædia Universalis (Hosei University Library - E Database : Dictionaries/Encyclopedias)
5. Shogakukan Robert Grand Dictionnaire Français-Japonais (Hosei University Library - E Database : Dictionaries/Encyclopedias - « JapanKnowledge » )

Nota Bene : L'accès hors campus à ces bases de données requiert le VPN universitaire. Consultez le site Web du service informatique de Hôsei pour en savoir plus. URL <https://netsys.hosei.ac.jp/>

**【成績評価の方法と基準】**

L'évaluation se fait en contrôle continu. À chaque séance, elle sera effectuée sur deux éléments : assiduité (45%) et participation active en cours (45%). Les remarques sur les fautes commises par l'enseignant seront toujours les bienvenues et prises en compte en notation (10%).

**【学生の意見等からの気づき】**

Comment progresser en français ? Je répondrais que la question de la motivation est cruciale.

La plupart des compétences, et pas seulement celle des langues, nécessitent une certaine période de formation pour être acquises. En d'autres termes, vous devez rester motivé.e pendant un certain temps.

Pour rester motivé.e, vous devez avoir un objectif clair.

Afin d'aider à clarifier votre objectif, je vous invite à consulter le document ci-dessous. [https://docs.google.com/document/d/18FejuX\\_zKcrCqUimUfTyvKe6eS3eMtAzYQ7xr-tY3M/edit?usp=sharing](https://docs.google.com/document/d/18FejuX_zKcrCqUimUfTyvKe6eS3eMtAzYQ7xr-tY3M/edit?usp=sharing) (accessible uniquement aux étudiant.e.s Hôsei)

**【学生が準備すべき機器他】**

La connexion internet stable et illimitée ainsi qu'un support informatique personnalisé comme ordinateur, tablette ou smartphone sont nécessaires. On utilise deux plateformes (« LMS » en anglais) dont (1) Google Classroom sert à partager les documents et que (2) les apprenants peuvent connaître une partie de notes en consultant son relevé des points sur le site Hoppii. En cas de cours en distanciel, on se servira de systèmes de visioconférence comme Zoom.

**【その他の重要事項】**

1) Si vous n'êtes pas sûr de votre niveau linguistique, essayez de passer un « test de placement » au niveau A1 sur le site Web de la RFI URL <https://savoirs.rfi.fr/fr/apprendre-enseigner/langue-francaise/test-de-placement-a1/1> Inscrivez-vous à ce cours si vous pouvez répondre correctement à plus de la moitié des questions.

2) Le planning communiqué ci-dessus est encore sujet à évolution.

**【Outline (in English)】**

【Outline and objectives】

This course aims to promote students' understanding of French society, politics, and news media. An emphasis is placed on oral communication and using specialized vocabulary. By participating in proposed activities, students will become familiar with French-speaking news websites.

**【Goal】**

The goals to be achieved differ according to the starting level of the student.

\* Learning objective for false beginners and intermediate learners: the student will be able to acquire, at the end of the two semesters of "Jiji-Furansugo", a linguistic ability equivalent to level A2 of the European Framework of Reference for Languages or to Futsuken jun 2 kyū.

\*\* Pedagogical goal for those who already have a more or less good command of the French language (learners at the higher level as well as French-speaking international students): the student will be able to formulate relevant comments that demonstrate a solid understanding of local and global issues covered by the French-speaking media.

**【Method(s)】**

In each class session, the teacher will suggest materials available on the Internet. Learners will be asked to identify the essential elements. To do so, they are allowed to consult books and dictionaries written in their respective first language (the "mother tongue"). However, all participants are expected to express themselves in French, and to contribute to the discussion on what is said in the material.

The language of instruction in the classroom is primarily French, while administrative informations will be provided in Japanese via LMS and e-mail.

【Work to be done outside of class (preparation, etc.)】

1) Try to make use of the learning materials yourself. The URLs for these materials are already listed in the Dashboard for Jiji-Furansugo.

2) According to the Standards for the Establishment of Universities, the minimum time of preparation and review required to earn two credits for a lecture or seminar is four hours per session.

**【References】**

1. Nexis Unis (Hosei University Library - E Database : Overseas Newspapers)
2. PressReader (Hosei University Library - E Database : Overseas Newspapers)
3. Cairn.info (Hosei University Library - E Database : Overseas articles)
4. Encyclopædia Universalis (Hosei University Library - E Database : Dictionaries/Encyclopedias)
5. Shogakukan Robert Grand Dictionnaire Français-Japonais (Hosei University Library - E Database : Dictionaries/Encyclopedias - « JapanKnowledge » )

Note: Off-campus access to these databases requires a connection through a Virtual Private Network ("VPN"). See the Hosei Network System Service website for information on how to connect to the university VPN. URL <https://netsys.hosei.ac.jp/>

**【Grading criteria】**

Evaluation is done on a continuous basis. At each session, it will be carried out on two elements: attendance (45%) and active participation in class (45%). The student's investment during the semester as well as remarks on mistakes made by the teacher will always be welcome and taken into account in the grading (10%).

**【Equipment student needs to prepare】**

A stable and unlimited internet connection as well as a personalized IT device such as a computer, tablet or smartphone are required. Two LMS platforms are used, of which (1) Google Classroom is mainly used to share documents and (2) learners can consult some notes on the Hoppii website. In case of remote courses, video conferencing systems such as Zoom or Google Meet will be used to ensure the educational continuity.

[Others]

- 1) If you are uncertain of your language level, try taking a "placement test" at the A1 level on the RFI website <https://savoirs.rfi.fr/en/apprendre-enseigner/langue-fran%C3%A7aise/test-de-placement-a1/1> Enroll in this course if you can answer more than half of the questions correctly.
- 2) The above schedule is still subject to change.



ARSA200LA

フランスの文化と社会 L A 2017 年度以降入学者

サブタイトル：フランスの映画

鈴木 正道

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：2 単位

定員制 (30 名)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、映画を通して、フランスの社会の様々な面について考えます。フランスは世界有数の映画大国です。特に国家は映画製作に多額の補助を出しています。こうした映画を通して、フランスの人々の生活の様々な面、問題、喜びや悲しみ、苦しみが見えてきます。この授業では、フランス映画の特徴や歴史とともに、これらフランス社会の様々な面について考えます。フランスに関心のある学生を対象としています。フランス語を履修している必要はありません。

【到達目標】

フランスの映画に関する知識を増やし、アメリカや日本の映画、他のヨーロッパ映画やほかの地域の映画との違いに関して考えることを目標とします。さらに映画作品から見て取れる、フランスで暮らす人々 (フランス国籍を持つとは限りません) の生活、諸問題に関して考えることを目指します。そこから、日本さらには他の国との違いや共通点について考え、なぜそのような違いがあるのか、なぜ同じようなことになるのかを考えます。

「文化論」のようなものは「実用性がない」ように言われがちですが、「衣食足りて」、「モノ」から「コト」へと消費が移ってきた現在において、「文化大国」であるフランスに関する知識を身に付けることで、今後の職業生活に必要な「ネタ」を蓄え、さらには自ら探り当てる習慣を身に付けます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

誰でもが知っている大ヒット作、今では古典となったフランス映画の代表的作品、映画の歴史を創った作品、知る人ぞ知る映画などを扱います。テーマとなっている作品を鑑賞し、監督や製作者がそこに込めた意図、もしくは意識していないが見て取れる問題について考えます。また自分が製作者になった立場で場面の演出を考えてみましょう。

皆さんは学習支援システムを通して課題を数回出すことになります。私はやはり学習支援システムを通してお返しします。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	『アメリカ』1 2001 年の大ヒット作 パリという空間： モンマルトルからあちこちへ	空想に駆られる主人公： 他人の幸せのために
2	『アメリカ』2 なぜヒットしたか	空想から現実へ モンマルトルは理想郷？
3	『アメリカ』3 トットとカソヴィッツ	刑事とシャネル／監督と俳優

4	『太陽がいっぱい』1 名優アラン・ドロンの主演のフランス・イタリ ア合作映画	このタイトルはどういう意味か。 誤訳かわざとか。邦題タイトルに ついて。
5	『太陽がいっぱい』2	金持ちの傲慢青年と貧しき悪の天才青年。
6	『太陽がいっぱい』3 犯罪は「太陽の せい」？ 映画音楽	地中海の熱い太陽と哀愁の音楽。 映画を知らずとも音楽は聴いたことがある。
7	映画の始まり	世界初の映画上映：リュミエール兄弟。 初期の映画：『月世界探検旅行』 『ファントマス』
8	ヌーヴェル・ヴァーグ 『勝手にしやがれ』1	映画の「新しい波」 「邦題タイトルについて」その 2 ゴダールの代表作：原 題は「息切れ」
9	『勝手にしやがれ』2 おかしなカップル： ジャン＝ポール・ベル モンドとジーン・セ バーグ	これは犯罪映画か？
10	『勝手にしやがれ』3 モンパルナス	右岸のモンマルトルと左岸のモン パルナス シャンソンとジャズ
11	ヌーヴェル・ヴァーグ その 2： トリュフォー	アントワヌ・ドゥワネルのシ リーズ
12	『女優マルキーズ』1	ソフィー・マルソー演じる女優は 旅役者
13	『女優マルキーズ』2 ルイ 14 世の時代	太陽王の古典主義時代： モリエールとジャン・ラシーヌ
14	『女優マルキーズ』3 舞台上に死す	謎多き女優の生涯 ソフィー・マルソーとバルナ ール・ジロドー

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

取り上げる映画作品は授業内ではさわりの部分しか紹介できないので、興味のある人は AV ライブラリなどで借りて全体を観ておくといいかと思います。

- 1：モンマルトルについて調べる。
  - 2：アメリカの行く様々な地域について調べる。
  - 3：出演者の他の作品について調べる。
  - 4：フランス人にとっての地中海はどのようなものかを考える。
  - 5：「完全犯罪」は可能かを考える。
  - 6：フランス人および他の国の人々にとってアラン・ドロンとはどのような俳優かを考える。
  - 7：創世期の映画について調べる。
  - 8：外国映画の邦題について考える。
  - 9：『勝手にしやがれ』のどこが新しいのか考える。
  - 10：モンパルナスとモンマルトルの共通点と違いについて調べる。
  - 11：トリュフォーやその他のヌーヴェル・ヴァーグの監督について調べる。
  - 12：17 世紀の俳優について調べる。
  - 13：17 世紀の古典主義作家について調べる。
  - 14：出演者たちの他の作品について調べる。
- 本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

指定した教科書はありません。学習支援システムに資料を載せます。

【参考書】

『フランス映画史の誘惑』中条省平、集英社新書 0179  
『大学生のためのレポート・論文術』小笠原喜康、講談社現代新書 1603。  
『論文レポートの文章作法』古郡廷治、有斐閣新書 C164  
『著作権とは何か』、福井建築、集英社新書 0924A  
その他随時紹介します。

**【成績評価の方法と基準】**

テーマごとの作品の鑑賞と分析が一区切りついた時点で、400字ほどの書き物を学習支援システムの「課題」を通して出していただき、その評価の合計で成績を出します（100%）。

**【学生の意見等からの気づき】**

広い教室でまばらに座るために、「議論」が成り立ちにくいので、学習支援システムをもう少し有効に使う工夫をしようと考えています。

**【Outline (in English)】**

This course deals with various aspects of lives in France with the aide of movies. France is one of the most movie-loving countries. The French government gives a large sum of subsidies to movie-makers. Through films we see different aspects of lives in France, problems, people's joys, sorrows, and pains. In this course, the students not only learn characteristics and history of French movies but reflect on these subjects, which we can find in films.

The goals of this course are to get knowledge about French films and to analyze differences between them and films of other countries, as well as to reflect on various problems in the French society.

The students are expected to see a whole film, which we can see only partially during the class, and to make some researches on subjects concerning social or historical backgrounds of the film. After each film, the students must submit an assignment. This work will require two hours for each class.

Final grade will be calculated according to the total score of assignments (100%).

This course is designed for all students who are interested in France; the knowledge of the French language is not indispensable.

ARSa200LA

フランスの文化と社会 L B 2017 年度以降入学者

サブタイトル：フランスの映画

鈴木 正道

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：2 単位

定員制 (30 名)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期に続いて、この授業では、映画を通して、フランスの社会の様々な面について考えます。フランスは世界有数の映画大国です。特に国家は映画製作に多額の補助を出しています。こうした映画を通して、フランスの人々の生活の様々な面、問題、喜びや悲しみ、苦しみが見えてきます。この授業では、フランス映画の特徴や歴史とともに、これら社会の様々な面について考えます。フランスに関心のある学生を対象としています。フランス語を履修している必要はありません。

【到達目標】

フランスの映画に関する知識を増やし、アメリカや日本の映画、他のヨーロッパ映画やほかの地域の映画との違いに関して考えることを目標とします。さらに映画作品から見て取れる、フランスで暮らす人々 (フランス国籍を持つとは限りません) の生活、諸問題に関して考えることを目指します。そこから、日本さらには他の国との違いや共通点について考え、なぜそのような違いがあるのか、なぜ同じようなことになるのかを考えます。

「文化論」のようなものは「実用性がない」ように言われがちですが、「衣食足りて」「モノ」から「コト」へと消費が移ってきた現在において、「文化大国」であるフランスに関する知識を身に付けることで、今後の職業生活に必要な「ネタ」を蓄え、さらには自ら探り当てる習慣を身に着けます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

21 世紀に入って大ヒットしたいかにもフランスらしい？映画、アメリカのミュージカルのアンチテーゼのようなミュージカル映画、そして戦時中に創られた不朽の名作、さらに演劇の人気ナンバーワンのヒーローの映画化作品などを扱います。テーマとなっている作品を鑑賞し、監督や製作者がそこに込めた意図、もしくは意識していないが見取れる問題について考えます。また自分が製作者になった立場で場面の演出を考えてみましょう。皆さんは学習支援システムを通して課題を数回出すことになります。私はやはり学習支援システムを通してお返しします。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】  
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】  
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業の説明、 『最強のふたり』 1： 2011 年のヒット作	「ふたり」とはどんなひとたち？
2	『最強のふたり』 2： 格差社会と移民	パリの郊外とは？ 富裕層の多い区域は？
3	『最強のふたり』 3： 北の海岸での出会い	「介護者」と「パートナー」：助ける人とお膳立てする人

4	『シェルブールの雨傘』 1 フランスのミュージカル； 原題そのままの邦題は何を意味しているのか	誰もが聞いたことのあるミシェル・ルグランの音楽； 1960 年代のフランスの地方都市：やはり北の港町
5	『シェルブールの雨傘』 2 フランスにとっての 1960 年代はじめ	アルジェリア戦争：様々な分断
6	『シェルブールの雨傘』 3 Westside Story の向こうを張った？	「曖昧な」結末：雪のクリスマスでの再会と別れ
7	『天井桟敷の人々』 1 1945 年の大作 19 世紀のパリの下町という空間	伝説的名優勢ぞろい 「犯罪大通り」
8	『天井桟敷の人々』 2 庶民にとっての劇場	「言葉」の俳優とパントマイム役者
9	『天井桟敷の人々』 3 カーニバルという空間	またしても「曖昧な」結末：追いかけても追いつけない悪夢
10	『おかしなおかしな訪問者』 1 中世からのタイムスリップ。 ジャン・レノとクリスチャン・クラヴィエ共演	フランスのお笑い映画：フランス北部の中世と現代。名優たちの一人二役が見所
11	『おかしなおかしな訪問者』 2 めでたしめでたしの結末？	お笑い映画の定番的な演出と筋書。終わったようで終わらない？
12	『シラノ』 1： 17 世紀の実在の人物をモデルにした 19 世紀末の芝居	フランスのヒーロー人気ナンバーワン：剣にすぐれて弁もたつが、コンプレックスが恋を妨げる
13	『シラノ』 2： 17 世紀の宮廷と社会状況	préciosité とアラスの包囲
14	『シラノ』 3： 普遍的な価値	「型破り」と自己犠牲、「身を引く」美学

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

取り上げる映画作品は授業内ではさわりの部分しか紹介できないので、興味のある人は AV ライブラリなどで借りて全体を観ておくといいかと思います。

- 1：フランス映画に関する一般的なイメージについてまとめる。
  - 2：フランスの社会階層について調べる。
  - 3：なぜ『最強のふたり』がヒットしたのか考える。
  - 4：「ミュージカル」とは何であるかまとめる。
  - 5：アルジェリア戦争について調べる。
  - 6：『シェルブールの雨傘』の結末を他の作品の結末と比べて、その意味合いについて考える。
  - 7：『天井桟敷の人々』が公開された 1945 年ごろのフランスの状況について調べる。
  - 8-9：19 世紀前半のパリについて調べる。
  - 10：『おかしな訪問者』で紹介されるフランスの中世と現代の生活について調べる。
  - 11：主人公を演じた俳優たちの経歴について調べる。
  - 12：『シラノ・ド・ベルジュラック』の主人公のモデルとなった 17 世紀の人物について調べる。
  - 13：17 世紀当時のフランスの宮廷や社会の状況について調べる。
  - 14：なぜシラノという人物が時代と国を超えて人々を惹き付けるのかを考える。
- 本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

指定した教科書はありません。学習支援システムに資料を載せます。

【参考書】

『フランス映画史の誘惑』中条省平、集英社新書 0179

『大学生のためのレポート・論文術』小笠原喜康、講談社現代新書 1603.

『論文レポートの文章作法』古郡延治、有斐閣新書 C164

『著作権とは何か』、福井建策、集英社新書 0924A

その他随時紹介します。

#### 【成績評価の方法と基準】

テーマごとの作品の鑑賞と分析が一区切りついた時点で、400字ほどの書き物を学習支援システムの「課題」を通して出していただき、その評価の合計で成績を出します（100％）。

#### 【学生の意見等からの気づき】

広い教室でまばらに座るために、「議論」が成り立ちにくいので、学習支援システムをもう少し有効に使う工夫をしようと考えています。

#### 【Outline (in English)】

This course deals with a variety of aspects of lives in France with the aide of the movies. France is one of the most movie-loving countries. The French government gives a large sum of subsidies to movie-makers. Through films we see different aspects of lives in France, problems, people's joys, sorrows, and pains. In this course, the students not only learn characteristics and history of French movies but reflect on these subjects which we can find in films.

The goals of this course are to get knowledge about French films and to analyze differences between them and films of other countries, and to reflect on various problems in French society.

The students are expected to see a whole film, which we can see only partially during the class, and to make some researches on subjects concerning social or historical backgrounds of the film.

After each film, the students must submit an assignment. This work will require two hours for each class.

Final grade will be calculated according to the total score of assignments (100%).

This course is designed for all students who are interested in France; the knowledge of the French language is not indispensable.

ARSA200LA

フランス生活文化論 L A 2017 年度以降入学者

サブタイトル：

河村 英和

開講時期：サマーセッション/Summer Session | 曜日・時限：  
集中・その他/intensive・other courses

単位数：2 単位

定員制 (40 名)

その他属性：〈他〉〈優〉〈S〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、フランス語圏 (フランスだけでなく、スイス、ベルギーも) の観光資源の歴史を学ぶ。山、海、森、川、湖、温泉といった自然風景のジャンル・地域別の観光リゾート地の派生、その発展期である 19 世紀から 20 世紀初頭 (ベル・エポック期：1880-1914) にかけて好まれた建築様式や、愛国的なナショナリズムの高揚とともに増加する偉人像・モニュメントの数々、最後に余暇の発想源でもあるロクス・アモエヌス (心地良い場所) や幸福な島々、そして表裏一体としてのカタストロフ (破壊的事象) 的風景についても考える。

【到達目標】

フランスの観光リゾート地の派生・発展からみた文化史を、当時の社会思想を踏まえつつ、関連する芸術作品 (絵画、文学、音楽、建築) の事例から理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式。図像資料を紹介するためパワーポイントを使う。学期期間中、都内の美術館で開催されているフランス風景画展の見学を推奨する。意見や質問、提出物 (リアクションペーパー) に対するフィードバックは、基本的に次の授業時間内に行うが、LMS などを活用することもある。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】  
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】  
あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	フランス観光旅行のイメージと歴史的背景	イントロダクションとして、本講義のテーマであるフランス観光旅行の現状イメージを確認しつつ、その史的背景と全体像を概観する。
第 2 回	山へ	パルナッソス、ヴァントゥー山、プロヴァンスの山々
第 3 回	アルプスへ	シャモニーとモンブラン、グリオン、コー、レザン、モンタナ
第 4 回	学外授業、展覧会見学	上野の国立西洋美術館収蔵のフランス風景絵画の見学を予定
第 5 回	レマン湖	著名人たちゆかりのレマン湖畔の町 (ジュネーヴ、ローザンヌ、モントルー、ヴヴェ、ヴィルヌーヴ)
第 6 回	田園・田舎・牧歌的風景	フェット・シャンペートル、ミルク小屋、スイス風シャレー、アルカション
第 7 回	森と岩	ファンテーヌブローの森とバルビゾン派、芸術家たちを惹きつけた岩場の風景

第 8 回	海へ：ノルマンディーとコート・ダジュール	芸術家たちの題材となった海の風景と海浜リゾート・ノルマンディーと冬の避寒・結核転地療養地から夏の海水浴リゾートへの転身するコート・ダジュール
第 9 回	学外授業、展覧会見学	フランス 20 世紀絵画に関する展覧会 (於：アーティゾン美術館) の見学を予定
第 10 回	水辺と温泉	画家の題材となった川辺の風景、温泉リゾート (スバ、ヴィシー、エヴィアン)
第 11 回	中世復興、歴史主義と折衷主義のパリ	文化財保護の誕生、中世趣味の流行 (トゥルバドゥール様式絵画、ネオ・ロマネスク建築、ゴシック大聖堂の再評価)、古代ローマ風、ネオ・ルネサンス、ネオ・バロック建築で溢れる 19 世紀パリ大改造とグランド・ホテル
第 12 回	マリアンヌ、ジャンヌ、ヴィエルジュ	ナショナリズムが台頭する 19 世紀に、愛国のシンボルとして急増したマリアンヌ、ジャンヌ・ダルク、聖母 (ヴィエルジュ) 像について
第 13 回	国家の記念碑	ナポレオン像、偉人たちの墓、エッフェル塔など国家の威信をかけたモニュメント
第 14 回	楽園とカタストロフ	ロクス・アモエヌスとしての島々と破壊的事象 (カタストロフ) 的風景への関心

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

気になる (なった) ことを調べたり、授業で出てきた場所を、グーグルストリートビューで歩いてみる。  
本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

毎講義ごとに資料を配布する。Hoppi のお知らせ欄を毎週更新しながら pdf 版を配信。

【参考書】

河村英和『観光大国スイスの誕生 - 「辺境」から「崇高なる美の国」へ』平凡社新書、2013 年  
河村英和『タワーの文化史』丸善出版、2013 年

【成績評価の方法と基準】

授業参加で 30 点、レポート 70 点による総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

フランス語またはヨーロッパ言語を第 2 外国語としていない学生、フランスあるいはヨーロッパに行ったことのない学生も多く受講しており、随時ヨーロッパ文化の基礎知識から丁寧に説明する必要があります。

【その他の重要事項】

講義期間中に行う美術館見学は 2 種の展覧会 (各講義 1 回分相当、合計 2 回分相当で、現地集合現地解散) があり、一部観覧料 (1,000 円程度) の実費がかかる場合もあります。事情により展覧会見学に参加できない方には、代替レポート課題を授業中に指示します。

※定員は目安です。本授業は選抜は行いません。  
履修を希望する学生は、履修登録期間中に学生自身で履修登録してください。

※日程は以下のとおりです。

- 8 月 1 日 (火) 3~5 限：第 1~3 回 (対面)
- 8 月 2 日 (水) 3 限：第 4 回 (対面：美術館見学) 5・6 限：第 5・6 回 (オンライン)
- 8 月 3 日 (木) 3・4 限：第 7・8 回 (対面)
- 8 月 4 日 (金) 3 限：第 9 回 (対面：美術館見学) 5・6 限：第 10・11 回 (オンライン)
- 8 月 5 日 (土) 3~5 限：第 12~14 回 (オンライン)

**【Outline (in English)】**

**【Course outline】** In this course, we will study the history of tourism in French-speaking countries (not only in France, but also in Switzerland, and Belgium), including the tourist spot in the different genres of the natural landscape: mountains, seas, forests, rivers, lakes, and hot springs. Finally, we will consider the origin of the leisure idea, as locus amoenus: the Fortunate Isles, until its antithesis: the catastrophic landscapes.

**【Learning Objectives】** Understand the cultural history from the perspective of the derivation and development of tourist resorts in France with examples of related works of art (paintings, literature, music, architecture) based on the social ideas at that time.

**【Learning activities outside of classroom】** Find out what you're curious about, or walk around the places you came up with in class on Google Street View. The standard preparation and review time for this class is 1 hour each.

**【Grading Criteria / Policy】** Evaluation based on 30 percent for class participation and 70 percent for reports.

ARSA200LA

フランス生活文化論 L B 2017 年度以降入学者

サブタイトル：

河村 英和

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 4/Thu.4

単位数：2 単位

定員制 (40 名)

その他属性：〈他〉〈優〉〈S〉

**【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】**

「芸術の都パリ」という言い回しが普及する以前、ヨーロッパ人にとっての芸術の都はローマであり、ローマ留学を支援するフランス政府の権威ある奨学制度の「ローマ賞」は芸術家の登竜門だった。イタリア各地を旅したフランス人たちはその体験を数々の芸術作品(絵画、彫刻、文学、音楽、建築)に反映させてきた。この授業では、おもに 18～19 世紀のフランス人たちがいかにイタリアの風景や芸術・文化に魅せられ、影響を受けていたかを、絵画、彫刻、建築、音楽、文学といった複数のジャンルから学んでゆく。

**【到達目標】**

フランス文化に多大なる影響を与えたイタリアの風景・芸術・建築を、フランス人芸術家(文人、画家、彫刻家、建築家、作曲家)たちのイタリア滞在体験と関連作品を知ることによってその理解を深める。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

講義形式。画像資料を紹介するためパワーポイントを使う。意見や質問、提出物(リアクションペーパー)に対するフィードバックは、基本的に次の授業時間内に行うが、LMS などを活用することもある。

**【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】**  
あり/Yes

**【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】**

なし/No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	18～19 世紀のフランス人がイメージする旅行先としてのイタリアとは？
第 2 回	理想郷(アルカディア)	ローマ平原をモデルに理想風景を描く在ローマのフランス人画家たちとその作品
第 3 回	ローマの廃墟	ローマの廃墟に魅せられたフランス人芸術家たちとその作品
第 4 回	サド侯爵のイタリア	小説『ジュリエット、あるいは悪徳の栄え』で知られるサド侯爵が、イタリア旅行中に訪れたところと作品に生かされたスポット
第 5 回	ローマ平原とチョチャリア地方	ローマ平原とチョチャリア地方の風景と美しい民族衣装を描く 19 世紀のフランス人画家たちとその作品、この地を舞台にしたフランスオペラやバレエ
第 6 回	スタール夫人とスタンダールのイタリア	当時はイタリア観光ガイドブックのように読まれたスタール夫人の小説『コリヌス』に描かれるローマとナポリ、『バルムの僧院』で知られるスタンダールのイタリア滞在中のオペラ通いやローマ散歩について

第 7 回 ヴェスヴィオ噴火とナポリの漁師

ヴェスヴィオ火山の噴火シーンを専門とするフランス人画家、オペールのオペラ『ボルティチの囁娘』、若きナポリの漁師を描くフランス人画家や彫刻家

第 8 回 デュマのナポリ

ナポリに滞在していたアレクサンドル・デュマの旅行記『コリッコロ』、歴史小説『寵愛された女性の思い出』など、数々の著作に描かれる当時のナポリとは

第 9 回 幸あるカンパーニア

イスキア、プロチダ、カプリ、ソレント、アマルフィの海浜風景と民族衣装の娘に魅せられたフランス人芸術家たちとその作品

第 10 回 ヴェネツィア

ジョルジュ・サンド、アルフレード・ミュセ、ブルースト、レニエ、モネなど、水都ヴェネツィアに魅せられた文人・芸術家とその作品、オッフェンバックのオペラ『ホフマン物語』など

第 11 回 中世・ルネサンスの再発見ーローマ・フィレンツェ

ダンテやルネサンス時代のイタリア美術をテーマにしたフランス人による芸術作品、ペルリオーズのオペラ『ペンバヌート・チェッリーニ』など

第 12 回 ローマ賞とフランスのイタリア風建築

ローマ留学あるいはイタリア旅行経験のあるフランス人建築家がフランスに残したイタリア風建築について

第 13 回 ゴラ、ロマン・ロラン、ジイドのイタリア

エミール・ゴラ『ローマ』、ロマン・ロラン『ローマの春』、アンドレ・ジイド『背徳者』『法王庁の抜け穴』に描かれるイタリア(とくにローマ)とは

第 14 回 総括

過去の講義のテーマに沿った類似・追加事例を各自で紹介

**【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】**

復習として 30 分程度、気になる(なった)こと(人名、建物名、地名、固有名詞)を調べたり、授業で出てきた場所を、グーグルストリートビューで歩いてみる。

**【テキスト(教科書)】**

毎講義ごとにプリント資料を配布する。オンライン授業のさいは、Hoppi のお知らせ欄を毎週更新しながら pdf 版を配信。

**【参考書】**

河村英和『イタリア旅行ー「美しい国」の旅人たち』中公新書、2011 年  
河村英和『カプリ島ー地中海観光の文化史』白水社、2008 年  
佐藤直樹編『ローマ(西洋近代の都市と芸術 1)』竹林舎、2013 年

**【成績評価の方法と基準】**

平常点 30 点、レポートあるいは試験 70 点による総合評価

**【学生の意見等からの気づき】**

フランス語またはヨーロッパ言語を第 2 外国語としていない学生、フランスあるいはヨーロッパに行ったことのない学生も多く受講しており、随時ヨーロッパ文化の基礎知識から丁寧に説明する必要がある。

**【その他の重要事項】**

諸事情により、オンライン回と対面回の入替え変更(対面 7 回の規程は保持)がありえます。

**【Outline (in English)】**

**【Course outline】** Before the Paris reputation as the "City of Art" became widespread, the city of art for Europeans was Rome, and the "Prix de Rome", the prestigious scholarship system of the French government to support studying in Rome, was the gateway to become a great artist. French artists who have traveled through Italy have reflected their Italian experiences in their masterpieces (paintings, sculptures, literature, music, architecture). In this course, we will learn how French people of the 18th and 19th centuries were fascinated by and influenced by the Italian landscape, art and culture.

**【Learning Objectives】** Understand the Italian landscape, art, and architecture, which had a significant influence on French culture, by learning about the experiences of French artists staying in Italy, with their related works of literature, painters, sculptors, architects, composers.

**【Learning activities outside of classroom】** Find out what you're curious about, or walk around the places you came up with in class on Google Street View.

**【Grading Criteria /Policy】** Evaluation based on 30 percent for class participation and 70 percent for reports.



ARSa200LA

## フランス生活文化論 L A 2017 年度以降入学者

サブタイトル：

梶谷 彩子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：2 単位

定員制 (40 名)

その他属性：〈他〉〈優〉〈S〉

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、19 世紀～20 世紀フランスの食文化を中心に、そのあり方を学びます。「フランスの食文化」という表現から、どのようなことをイメージするでしょうか。「華やか・おしゃれ」、あるいは「特別な日の料理」など様々な印象があると思いますが、実は、現代の私たちがフランス料理に対して持つイメージのルーツの多くは、近代のフランスにあります。空腹を満たす以上の価値を自国の食に見出していったフランス。なぜそうなったのか？ その背景を知って、フランス文化への理解を深めていきましょう。

## 【到達目標】

フランスの食文化について、歴史の流れとともに理解できるようになること。また、意見の記述やディスカッションを通して資料を自分なりに考察し、知見をまとめることができるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

講義形式。イメージを描きやすいようできるだけ図像を用意して進めていきます。映像資料も見ると予定です。

原著の資料を見ることもありますが、解説をしますのでフランス語の知識はなくても大丈夫です。

毎回授業後にコメントカードを提出していただき、そこで出た質問には次回の授業でできる限りフィードバックします。授業中に皆さんの意見を聞くこともありますので、小さなことだと思っても、気づきはぜひ言葉にして表現してみましょう。

最終課題は、期末レポートの作成です。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の進め方、参考資料の紹介。日本においてフランスの食文化はどのように紹介されているかについても解説。
第 2 回	テーブルに「映える」料理	テーブルに「映える」料理はなぜ必要だったか？ / 宮廷料理について
第 3 回	「華やかな食卓」の特徴の変遷	「映える」料理から「味で魅せる」料理へ / 18 世紀までの価値観と、19 世紀からの価値観
第 4 回	美食を支える背景	パリの美食を支えた市場 / 給仕の変化
第 5 回	「美食」は誰のものか：レストラン	「おいしい」が皆のものになる時代：レストラン興隆史
第 6 回	「美食」は誰のものか：「おいしい」の基礎の誕生	「おいしい」を評価するということ：ガストロノミー (前編)

第 7 回 「美食」は誰のものか：情報が生み出す「美食」

第 8 回 資料で見るフランスの美食

第 9 回 ディスカッション

第 10 回 高級料理の変遷

第 11 回 文化としての「郷土料理」

第 12 回 郷土料理でめぐるフランス

第 13 回 映像資料で見るフランスの美食その 2

第 14 回 まとめ・レポート作成の手引き

「おいしい」の評価の変遷：ガストロノミー (後編)

フランスの美食についての映像資料を視聴し、その後感想等の意見をまとめてもらいます。

第 8 回授業の映像資料についての感想や意見を全員に発表してもらいます。疑問に感じたことも互いに交換しましょう。

ヌーヴェル・キュイジーヌの誕生と、その後

フランスにおける郷土料理の位置 / 郷土料理 = 文化的遺産という視点の原点

フランスの代表的な地方の位置の確認・その土地に根差した郷土料理

映像資料の視聴 (第 2 回) その後感想や意見を書く時間を設けます。

資料の尺によっては前半と後半に分け、第 14 回にまたぐことがあります。

現代から見た、近代フランスの食文化の重要性 / レポートの書き方案内

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。下記参考書のうち、①を読み切ること。

【テキスト (教科書)】

教科書は使用せず、資料配布を行いません。資料はすべて Hoppin を通じての配信となります。授業中に使いますので、各自手元に用意の上出席してください。

【参考書】

①池上俊一『お菓子でたどるフランス史』、岩波書店、岩波ジュニア新書、2013 年。

②ジャン・ピエール＝プーラン、エドモン・ネランク『フランス料理の歴史』、山内秀文訳・解説、角川ソフィア文庫、2017 年。

③北山晴一『世界の食文化⑩ フランス』、農村漁村文化協会、2008 年。

【成績評価の方法と基準】

平常点 50%、期末レポート 50%による総合評価

【学生の意見等からの気づき】

講義形式であるため、授業中はどうしても教員から伝えることが多くなってしまいますが、可能な限り皆さんからのご質問にお答えすることを心掛けてきました。今年度も継続していきたいと思いますので、コメントカードは、ぜひ存分に活用してください。

【学生が準備すべき機器他】

資料は配信による事前配布が主となりますので、授業開始までに各自対応してください。印刷した資料か、資料をダウンロードした PC、タブレット端末等を持参すること。原則として教室内での紙媒体配布はいたしません。

【その他の重要事項】

履修申請者が 41 人を超えてしまった場合、定員が 40 人の授業であるため、履修者を抽選とします。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to study the gastronomic culture of modern France. The goals of this course are to understand this culture and have own view through studying and discussion.

Students will be expected to read the references as below. Your study time will be more than 2 hours for a class.

Final grade will be calculated according to the following process:

in-class contribution(50%) and term-end report(50%).

ARSA200LA

## フランス生活文化論 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

梶谷 彩子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：2 単位

定員制 (40 名)

その他属性：〈他〉〈優〉〈S〉

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、フランスの食文化史を学びます。「美食の国」として名高いフランスはどのようにその食生活を営んできたのでしょうか。古代からの料理術の変遷を中心に、歴史の動きと連動させながら学びます。後半には、日本がフランスの食に与えた影響についても触れてゆきます。

## 【到達目標】

フランスの食文化について理解を深めること。また、意見の記述やディスカッションを通して資料を自分なりに考察し、知見をまとめることができるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

講義形式。イメージを描きやすいようできるだけ図像を用意して進めていきます。

原著の資料を見ることもありますが、解説をしますのでフランス語の知識はなくても大丈夫です。

毎回最後にコメントカードを提出していただき、そこで出た質問には次回の授業でできる限りフィードバックします。授業中に皆さんの意見を聞くこともありますので、小さなことだと思っても、気づきはぜひ言葉にして表現してみましょう。

月 1 回程度、皆さんの興味関心を共有する「ミニ発表会」を予定しています。

最終課題は、期末レポートの作成です。

## 【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり/Yes

## 【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の進め方、参考資料の紹介／現在のフランス食文化の最前線についての解説
第 2 回	古代から中世まで	何をどのように食べてきたのか／香辛料について
第 3 回	ルネサンス	マナーの確立／イタリアとの関わり
第 4 回	17 世紀	グランド・キュイジーヌの誕生／「過剰」からの脱却と洗練
第 5 回	18 世紀	宮廷料理の最盛期／「豪華な料理」とは？
第 6 回	フランス革命～19 世紀初頭	「レストラン」とは何か／「ガストロノミー」の誕生／「スターシェフ」の出現
第 7 回	19 世紀後半～19 世紀末	19 世紀後半～世紀末のレストラン／現代フランス料理の基礎の時代
第 8 回	20 世紀初頭	第一次世界大戦とフランスの食文化／新しい「ガストロノミー」

第 9 回	20 世紀半ば	全国的美食を求めて一ガストロノミーとツーリズム／「美食ガイドブック」の誕生
第 10 回	20 世紀半ば～20 世紀末	ヌーヴェル・キュイジーヌー健康と美食
第 11 回	日本食文化のフランス食文化への影響	美しさを求めるということ／日本的味覚の広がり
第 12 回	フランス食文化の日本食文化への影響	「洋食」誕生物語
第 13 回	まとも・ミニデイスカッション	「美食の国 フランス」のイメージはいかにして形成されたか／これまでの授業を受けて、各自一言ずつのまともを発表。
第 14 回	レポート作成の手引き	レポート作成の手引きを行いません。残った時間で、フランスの食文化に関わる映像資料を視聴します。

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。参考書のうち②を授業期間中に読み切ること。授業中にも、おすすめの図書を紹介いたします。

## 【テキスト (教科書)】

教科書は使用しませんが、適宜、資料を主に Hoppii を通じて配信します。授業開始までに、各自手元に用意してきてください。

## 【参考書】

- ①池上俊一『お菓子でたどるフランス史』、岩波書店、岩波ジュニア新書、2013 年。
- ②ジャン・ピエール＝プーラン、エドモン・ネランク『フランス料理の歴史』、山内秀文訳・解説、角川ソフィア文庫、2017 年。
- ③北山晴一『世界の食文化⑩ フランス』、農村漁村文化協会、2008 年。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 50%、期末レポート 50%による総合評価

## 【学生の意見等からの気づき】

講義形式であるため、どうしても教員から伝えることが多くなってしましますが、可能な限り皆さんからのご質問にお答えすることを心掛けてきました。今年度も継続していきますので、ぜひ、コメントカードを存分に活用してください。

## 【学生が準備すべき機器他】

資料は配信による事前配布が主となりますので、授業開始までに各自対応してください。印刷した資料か、資料をダウンロードした PC、タブレット等を持参すること。原則として教室での紙媒体配布はいたしません。

## 【その他の重要事項】

履修申請者が 41 名を超えてしまった場合、定員が 40 人の授業であるため、履修者を抽選とします。

## 【Outline (in English)】

The purpose of this course is to learn the historical background of the gastronomic culture of France. The goals of this course are to understand this culture and have own view through studying and discussion.

Students will be expected to read the references as below. Your study time will be more than 2 hours for a class.

Final grade will be calculated according to the following process:

in-class contribution(50%) and term-end report(50%).

LANr200LA

## ロシア語 3 I

2017 年度以降入学者

## 木部 敬

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級で学習した文法事項を前提としつつ、基本的な文法の学習を継続する（具体的には、動詞の完了体と完了体、関係代名詞および関係副詞）。その上で、標準的なロシア語の文章を読解する基礎を養う。

## 【到達目標】

学習した文法事項を的確に運用することによって、やや複雑な構造のロシア語の文章を理解し、正しい日本語に訳せる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

文法学習のポイントとなるのは、動詞の「体」（完了体と完了体）、関係代名詞と関係副詞です。

文法事項を解説し、練習問題で理解を定着させる実習型の授業となります。

学習支援システムで課題を提示し、授業時間内に小テストを行います。また、これらの答案を採点の上返却したり、解説を加えながら正解を示したりすることによって、各自で自身の理解の程度を確認できるようにします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	既習文法の復習	名詞の性・数・格、動詞の時制、運動の動詞など
2	第 12 課：動詞の体のペア	ペア（完了体と完了体）の 3 パターン
3	第 12 課：動詞の体の意味	完了体の意味（動作の事実、継続・進行、反復、同時性など）／完了体の意味（動作の完了・結果、一回性・具体性、連続性など）
4	第 12 課：動詞の体と時制	完了体の過去形・現在形・未来形／完了体の過去形・未来形（非過去形）
5	第 12 課：動詞の体のテキスト	テキストの音読・読解・日本語訳（翻訳）
6	第 12 課：動詞の体の会話	会話文の音読・読解・暗唱
7	第 12 課：動詞の体のロシア語作文	日本語文のロシア語訳
8	第 13 課：関係代名詞の変化（性・数・格変化）	関係代名詞の変化＝形容詞の硬変化 A
9	第 13 課：関係代名詞の用法	二つの文の結合の仕方（主節と従属節の形成）
10	第 13 課：関係副詞	疑問詞から派生する関係副詞、二つの文の結合の仕方（守拙と従属節の形成）
11	第 13 課：関係代名詞・関係副詞のテキスト	テキストの音読・読解・日本語訳

12	第 13 課：関係代名詞・関係副詞の会話	会話文の音読・読解・暗唱
13	第 13 課：関係代名詞・関係副詞のロシア語作文	日本語文のロシア語訳
14	期末試験	文法問題、ロシア語文の日本語訳、日本語文のロシア語訳、それらの解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は 2 時間を標準とします。ロシア語を声に出す準備学習と復習に加えて、辞書で単語を引き、ロシア語の文章の意味を自分の力で理解する練習をしましょう。

## 【テキスト（教科書）】

『初級ロシア語 法政大学ロシア語担当教員編』（2020/2021 年度版、2018/2019 年度版、両者の内容はまったく同一なので、どちらでも可）。辞書を持参すること。

## 【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法（改訂版）』白水社。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（課題、小テスト）20%、期末試験 80%。適宜、既習の内容を復習するための課題の提示や小テストを行います。期末試験はこれら課題や小テストを総括するテストです。

ロシア語は、文法学習の積み上げが特に大事な言語です（1 年次に学習した名詞の性・数・格を理解していないと、関係代名詞が分からない等）。一步一步確実にマスターしながら前進することが高い評価につながります。

## 【学生の意見等からの気づき】

音声教材をより一層利用するよう努める。

日本語訳（翻訳）の作成を課する。

授業外の準備学習や復習に学習支援システムからの課題提出を活用する。

## 【Outline (in English)】

Elementary Russian 3 (Part1).

This is a course for students who mastered the Russian elementary grammar for the first grade. The purpose of this course is to learn the rest of the introductory grammar (perfective and imperfective verbs, relative pronoun and relative adverb), and also to develop the basics to read standard Russian texts.

At the end of this course, students should be able to understand and translate into Japanese slightly complicated Russian texts. Before/after each class meeting, students will be expected to spend 2 hours to understand and master the course content.

Final grade will be decided based on the following: short tests 20%, term-end examination 80%.

LANr200LA

## ロシア語 3 II

2017 年度以降入学者

木部 敬

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級で学習した文法事項を前提としつつ、基本的な文法を一通り終える（具体的には、数詞の用法、比較級と最上級、仮定法）。その上で、ロシア語の文章を読解する基礎を養う。

## 【到達目標】

学習した文法事項を的確に運用することによって、やや複雑な構造のロシア語の文章を理解し、正しい日本語に訳せる。

## 【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

文法学習のポイントとなるのは、数詞の表現（個数・時間・年月日・年齢・値段）、形容詞・副詞の比較級と最上級、仮定法（過去・現在・未来）です。

文法事項を解説し、練習問題で理解を定着させる実習型の授業となります。

学習支援システムで課題を提示し、授業時間内に小テストを行います。また、これらの答案を採点の上返却したり、解説を加えながら正解を示したりすることによって、各自で自身の理解の程度を確認できるようにします。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「ロシア語 3 I」(春学期)の復習	動詞の完了体・完了体、関係代名詞・関係副詞
2	第 14 課：個数詞と名詞の結合	個数詞一覧、個数詞（主格）と名詞の結合（1 + 単数主格 / 2 ~ 4 + 単数生格 / 5 ~ + 複数生格）
3	第 14 課：時間の表現、年月日の表現	「何時（に）？」・「どのくらいの時間？」、「何日（に）？」・「何月（に）？」・「何年（に）？」・「何年何月何日（に）？」
4	第 14 課：年齢の表現、値段の表現	「何歳？」、「いくら？」
5	第 14 課：数詞のテキスト	テキストの音読・読解・日本語訳（翻訳）
6	第 14 課：数詞の会話	会話文の音読・読解・暗唱
7	第 14 課：数詞のロシア語作文	日本語文のロシア語訳
8	第 15 課：形容詞・副詞の比較級	合成比較級、単一比較級、比較の対象の表わし方
9	第 15 課：形容詞・副詞の最上級	合成最上級、単一最上級、比較級を利用した最上級
10	第 15 課：仮定法	仮定法 = 過去形 + б ы
11	第 15 課：形容詞・副詞の比較級と最上級および仮定法のテキスト	テキストの音読・読解・日本語訳（翻訳）
12	第 15 課：形容詞・副詞の比較級と最上級および仮定法の会話	会話文の音読・読解・暗唱

13 第 15 課：形容詞・副

詞の比較級と最上級お

よび仮定法のロシア語

作文

14 期末試験

文法問題、ロシア語文の日本語

訳、日本語文のロシア語訳、それ

らの解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は 2 時間を標準とします。

ロシア語を声に出す準備学習と復習に加えて、辞書で単語を引き、ロシア語の文章の意味を自分の力で理解する練習をしましょう。

## 【テキスト（教科書）】

『初級ロシア語 法政大学ロシア語担当教員編』（2020/2021 年度版、2018/2019 年度版、両者の内容はまったく同一なので、どちらでも可）。

辞書を持参すること。

## 【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法（改訂版）』白水社。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（課題、小テスト）20%、期末試験 80%。適宜、既習の内容を復習するための課題の提示や小テストを行います。期末試験はこれら課題や小テストを総括するテストです。

ロシア語は、文法学習の積み上げが特に大事な言語です（名詞や形容詞の性・数・格を覚えていないと、数詞の表現や比較級・最上級は理解できない）。一步一步確実にマスターしながら前進することが高い評価につながります。

## 【学生の意見等からの気づき】

音声教材をより一層利用するよう努める。

日本語訳（翻訳）の作成を課する。

授業外の準備学習や復習に学習支援システムからの課題提出を活用する。

## 【Outline (in English)】

## Elementary Russian 3 (Part2).

This is a course for students who mastered the Russian elementary grammar for the first grade. The purpose of this course is to finish learning the elementary grammar (use of numerals, the comparative and the superlative, subjunctive mood), and also to develop the basics to read standard Russian texts.

At the end of this course, students should be able to understand and translate into Japanese slightly complicated Russian texts.

Befor/after each class meeting, students will be expected to spend 2 hours to understand and master the course content.

Final grade will be decided based on the following: short tests 20%, term-end examination 80%.

LANr200LA

## ロシア語 3 I

2017 年度以降入学者

小西 昌隆

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 1/Thu.1

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次にロシア語を学んだ学生を対象とする授業です。ロシア語 1 と 2 で学んだ文法事項を復習してから、教科書にそって未習の文法事項を学びます。基礎文法をひとつおろし学習し、その定着をはかりながら、ロシア語の文章の読解に必要な力を養います。

## 【到達目標】

学んだ文法事項を正確に理解し、運用できるようになること。比較的平易なロシア語の文章を読解し、日本語に訳せるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

教科書を用いて、文法事項の解説、練習問題の答え合せと解説、テキストや対話の読解と解説、というかたちで授業を進めます。また知識の定着や習熟度の確認のために、定期的に課題や小テストを課します。添削したものは、次回の授業時に返却しますが、「学習支援システム」を通して返却する場合があります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	既習文法の復習	既習文法の確認と復習
2	動詞の体の用法①	動詞の完了体、完了体の練習
3	動詞の体の用法②	動詞の体を意識したテキストの読解
4	関係代名詞	関係代名詞の説明と練習
5	関係副詞	関係代名詞、関係副詞が含まれるテキストの読解
6	数詞を含む表現①	数詞と名詞の結びつきの説明、時間の表現
7	数詞を含む表現②	年齢と年月日の表現の練習
8	数詞を含む表現③	数詞が含まれるテキストの読解
9	形容詞、副詞の比較級	形容詞、副詞の比較級の用法
10	形容詞、副詞の最上級	形容詞・副詞の最上級の用法
11	仮定法	仮定法の説明と用法
12	形容詞・副詞のまとめ	形容詞、副詞関連の総復習
13	まとめと練習	既習事項のまとめと練習
14	期末試験	試験・まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は予習・復習が大切です。事前に新出単語を調べ、授業で学んだことを復習しましょう。格変化形は格変化表を繰り返し見て覚えるようにしましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

『初級ロシア語』法政大学ロシア語担当教員編 [2020/2021 年度版、2018/2019 年度版 いずれでも可]

## 【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社  
露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）50 %、期末試験 50 % の総合評価。

## 【学生の意見等からの気づき】

個々の学生の習熟度を念頭においた授業を心がけます。

## 【その他の重要事項】

授業計画は、授業の進度によって若干の変更があり得ます。

## 【Outline (in English)】

## 【Course outline】

This is a course for students who finished learning Russian for the first grade. The aim of this course is to finish basic grammar. And also strengthen the foundations for reading and understanding Russian texts.

## 【Learning Objectives】

The goals of this course are to acquire basic grammar and strengthen the foundations for reading and understanding Russian texts.

## 【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

## 【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50 %、in class contribution: 50 % the foundations for reading and understanding Russian texts.

LANr200LA

## ロシア語3Ⅱ

2017 年度以降入学者

小西 昌隆

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 1/Thu.1

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

基礎文法の学習を終えた学生を対象とした授業です。ロシア語の文章を構文を把握しながらじっくりと読んでいきます。その過程で、これまでに学んだ文法事項を確認し、さらに未習の文法事項を学びます。語彙を増やし読解力を身につけることによって、自分の力でロシア語の情報を得られるようになることを目指します。

## 【到達目標】

辞書を用いて文章を読解し、日本語に翻訳する作業を通して、ロシア語の文章に慣れ親しむこと。また語彙を増やし、構文を正確に把握できるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

プリント教材を用いて、文章読解、文法解説、というかたちで授業を進めますが、未習の文法事項についてはあらかじめ説明や練習を行います。各自の日本語訳をチェックするので、事前準備が必要となります。また知識の定着や習熟度の確認のために、定期的に課題や小テストを課します。添削したものは、次回の授業時に返却しますが、「学習支援システム」を通して返却する場合があります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習	春学期に学んだことの復習
2	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（格変化の復習）
3	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（関係代名詞の復習）
4	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（時間表現の復習）
5	運動の動詞の復習	文法解説と練習
6	運動の動詞と接頭辞	文法説明と練習
7	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（運動の動詞と接頭辞の復習）
8	副動詞、動詞の体の用法の復習	文法解説と練習
9	能動形動詞	文法解説と練習
10	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（能動形動詞の復習）
11	被動形動詞	文法解説と練習
12	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（被動形動詞の復習）
13	総復習	これまでに学んだことの確認と復習
14	期末試験	試験・まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業内で示される課題（日本語訳等）は必ずやってくる。格変化の形は何度も復習して定着させましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

プリント教材を授業で配布します。

『初級ロシア語』（法政大学ロシア語教員編）[2020/2021 年度版、2018/2019 年度版 いずれでも可] を持参すること。

## 【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社  
露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）50%、期末試験 50% の総合評価。

## 【学生の意見等からの気づき】

皆さんが質問や発言をしやすい授業を心がけます。

## 【その他の重要事項】

授業計画は、授業の進捗によって若干の変更があり得ます。

## 【Outline (in English)】

## 【Course outline】

This is a course for students who have completed learning basic grammar of Russian. We read Russian texts carefully, understanding the syntax. Through reading comprehension, we review what we have learned so far and learn grammar that we haven't learned yet.

## 【Learning Objectives】

The goal of this course is to increase vocabulary and reading skills in order to get information in Russian by ourselves.

## 【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

## 【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%、in class contribution: 50%

LANr200LA

## ロシア語 3 I

2017 年度以降入学者

小西 昌隆

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 4/Wed.4  
単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ロシア語の基本的な文法の学習を終え、かんたんなロシア語テキストの講読を行う。

## 【到達目標】

新聞やネットなどのロシア語短文にも挑戦できる力をつける。辞書を用いて読解できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

テキストを通じロシア語を読み、書き、そして簡単な会話ができるように、音読に力を入れます。適宜小テストを行い、採点の上、次回授業で返却します。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習 1	これまでの復習（運動の動詞、名詞の前置格、対格、生格）
2	復習 2	これまでの復習（名詞の与格と造格）
3	第 1 2 課 動詞の完了体、不完了体	完了体と不完了体の文法説明
4	第 1 2 課 動詞の体と時制	第 12 課の「体と時制」、テキストの読解と文法説明
5	第 1 2 課	会話の読解と練習問題の答え合わせ、文法の復習
6	第 1 3 課 関係代名詞、関係副詞	関係代名詞と関係副詞の文法説明
7	第 1 3 課	テキストと会話の読解
8	第 14 課 数詞と時間	文法：数詞と名詞の結びつき、個数詞と順序数詞を覚える
9	第 14 課 数詞と時間（年月日の表現、年齢の表現など）	年月日の表現、年齢の表現などの文法説明、テキストの読解
10	第 14 課 会話と練習問題	会話の読解、練習問題の答え合わせ、文法説明
11	第 15 課 比較級、最上級、仮定法	比較級、最上級、仮定法の文法説明
12	第 15 課 テキスト、会話、練習問題	テキスト、会話の読解、練習問題の答え合わせ、文法説明
13	春期の総復習	春期に学んだ範囲の総復習
14	春学期試験	教場試験・まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

ネットなどを用いてロシア語に関する新聞・雑誌等の記事を読み、ロシア語だけでなく、ロシアのことに関心を持ちましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

『初級ロシア語』法政大学ロシア語担当教員編 [2020/2021 年度版、2018/2019 年度版 いずれでも可]

## 【参考書】

『入門ロシア語文法』和久利誓一著、白水社

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、予習、復習、課題提出、小テスト等）40 %、学期末試験 60 % の総合評価。

## 【学生の意見等からの気づき】

みなさんが積極的に参加できる授業にしたいと思います。

## 【Outline (in English)】

## Course Outline

The aim of this course is to help students acquire the basics of Russian grammar.

## Learning Objectives

At the end of the course, students are expected to acquire Russian words, grammar and expressions dealt in the textbook, and to read simple Russian texts.

## Learning Activities Outside of Classroom

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

## Grading Criteria / Policies

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 60%; standard score (short tests, in-class contribution, etc.): 40%

LANr200LA

## ロシア語3Ⅱ

2017 年度以降入学者

小西 昌隆

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

基本的な文法を終えたので、配布するテキストの講読に入ります。今まで学んだ文法を復習しつつ、より高度な文法事項を学びます。

## 【到達目標】

新しい単語や文法の学習。会話にも慣れる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

辞書を用いてテキストの読みと訳を確実にできるようにするため、多くのテキストを精読していきます。適宜小テストを行い、採点の上、次回授業で返却します。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習 1	春学期の復習（12 課～13 課）数詞と順序数詞の復習
2	復習 2	春学期の復習（14 課～15 課）数詞と順序数詞の復習・暗記
3	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。既習文法のまとめ
4	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。形容詞短語尾形について
5	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。形動詞について
6	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。能動形動詞現在と過去
7	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。能動形動詞の現在と過去
8	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。能動形動詞過去単語尾形について
9	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。副動詞について
10	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。既習文法の総まとめ
11	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。既習文法の確認
12	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。既習文法の練習
13	秋学期の総復習	もう一度困難な文章などを復習する
14	秋学期試験	教場試験・まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

ロシア語に関する新聞・雑誌等の記事に慣れ親しむ。ロシアのニュースや文化に関心を持つ。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

プリントを配布します。

## 【参考書】

『入門ロシア語文法』和久利誓一著、白水社

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、予習、復習、課題提出、小テスト等）40 %、学期末試験 60 % の総合評価。

## 【学生の意見等からの気づき】

みなさんが積極的に参加できる授業にしたいと思います。

## 【Outline (in English)】

## Course Outline

The aim of this course is to help students acquire advanced Russian grammar.

## Learning Objectives

At the end of the course, students are expected to acquire Russian words, grammar and expressions dealt in the textbook, and to read various Russian texts.

## Learning Activities Outside of Classroom

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

## Grading Criteria / Policies

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 60%; standard score (short tests, in-class contribution, etc.): 40%



LANr200LA

ロシア語 4 I

2017 年度以降入学者

木部 敬

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：1 単位

その他属性：〈他〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

既習の初級文法を全面的に復習し、加えて未習の文法事項を学習する（特に、名詞・形容詞・所有代名詞の複数形の前置格・対格・生格）。また、標準的なロシア語の文章を読解する能力を養う。

【到達目標】

学習した文法事項を的確に運用することによって、やや複雑な構造のロシア語の文章を理解し、正しい日本語に訳せる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

文法事項を解説し練習問題で理解を定着させ、またテキストを読解し翻訳する、実習型の授業となります

学習支援システムで課題を提示したり、授業時間内に小テストを実施したりします。また、これらの答案を採点の上返却したり、解説を加えながら正解を示したりすることによって、各自で自身の理解の程度を確認できるようにします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	動詞の現在形、名詞の複数形、形容詞の性・数変化	動詞の現在形（第 1 変化）、男性名詞・女性名詞・中性名詞の規則的な複数形と不規則的な複数形、形容詞の性・数変化の 6 パターン（硬変化 A・硬変化 B・軟変化／混合変化 A・混合変化 B・混合変化 C）
2	名詞の前置格	名詞の前置格のパターン（単数形・複数形）、名詞の前置格の用法
3	形容詞・所有代名詞の前置格	形容詞・所有代名詞の前置格のパターン（単数形・複数形）
4	名詞・形容詞・所有代名詞の前置格	様々な形容詞・所有代名詞の前置格と様々な名詞の前置格の結合
5	動詞の現在形、名詞の対格	動詞の現在形（第 2 変化）、名詞の対格のパターン（単数形・複数形）、名詞の対格の用法
6	形容詞・所有代名詞の対格	形容詞・所有代名詞の対格のパターン（単数形・複数形）
7	名詞・形容詞・所有代名詞の対格	様々な形容詞・所有代名詞の対格と様々な名詞の対格の結合
8	名詞の生格	名詞の生格のパターン（単数形・複数形）、名詞の生格の用法
9	形容詞・所有代名詞の生格	形容詞・所有代名詞の生格のパターン（単数形・複数形）
10	名詞・形容詞・所有代名詞の生格	様々な形容詞・所有代名詞の生格と様々な名詞の生格の結合
11	с я 動詞、動詞の過去形、形容詞の短語尾形	с я 動詞の現在形、動詞（с я 動詞も含む）の過去形、形容詞の短語尾形の作り方と用法
12	形容詞と名詞の格変化	形容詞と名詞（単数形・主格）の（単数形・複数形）前置格・対格・生格への変化

13 所有代名詞と名詞の格変化 所有代名詞と名詞（単数形・主格）の（単数形・複数形）前置格・対格・生格への変化

14 期末試験 文法問題、ロシア語テキストの日本語訳、それらの解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、1 回につき 2 時間を標準とする。練習問題については、授業前に解答を用意し、授業中に答えなければならない、また、授業後に復習し、小テストに備えなければならない。

テキスト読解に関しては、自分で辞書を引き、文法的な事項を勘案しながら、文章の意味を正確に理解し、日本語訳（翻訳）を各自で提出しなければならない。

【テキスト（教科書）】

『ロシア語初級』法政大学ロシア語教員編（2020/2021 年度版、2018/2019 年度版、両者の内容はまったく同一なので、どちらでも可）。

また、別のテキストをプリントで配布する。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』白水社。

【成績評価の方法と基準】

平常点 20 %、文法の知識と読解力を問う期末テスト 80 %。

平常点は課題の提出、小テストの評価。

【学生の意見等からの気づき】

音声教材をより一層利用するよう努める。

日本語訳（翻訳）の作成を課する。

授業外の準備学習や復習に学習支援システムからの課題提出を活用する。

【Outline (in English)】

Elementary Russian 4 (Extra lesson) (Part1).

The aim of this course is to review, in a short term, the elementary grammar totally, and to learn the unlearned grammar (especially, the prepositional, accusative and genitive cases of nouns, adjectives and possessive pronouns in the plural) and also to develop further ability to read standard Russian texts.

At the end of this course, students should be able to understand and translate into Japanese slightly complicated Russian texts. Before/after each class meeting, students will be expected to spend 2 hours to understand and master the course content.

Final grade will be decided based on the following: short tests 20%, term-end examination 80%.

LANr200LA

## ロシア語 4 II

2017 年度以降入学者

## 木部 敬

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：1 単位

その他属性：〈他〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

既習の初級文法の復習を継続し、加えて未習の文法事項を学習する（特に、名詞・形容詞・所有代名詞の複数形の与格・造格）。また、標準的なロシア語の文章を読解する能力を養う。

## 【到達目標】

学習した文法事項を的確に運用することによって、複雑な構造のロシア語の文章を理解し、正しい日本語に訳せる。

書籍、新聞や雑誌、ネット上の文章から、最低限の情報を得ることができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

文法事項を解説し練習問題で定着させ、またテキストを読解し翻訳する、実習型の授業になります。

学習支援システムで課題を提示したり、授業時間内に小テストを実施したりします。また、これらの答案を採点の上返却したり、解説を加えながら正解を示したりすることによって、各自で自身の理解の程度を確認できるようにします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	形容詞と名詞の格変化（復習）	形容詞と名詞（単数形・主格）の（単数形・複数形）前置格・対格・生格への変化
2	所有代名詞と名詞の格変化（復習）	所有代名詞と名詞（単数形・主格）の（単数形・複数形）前置格・対格・生格への変化
3	名詞の与格	名詞の与格のパターン（単数形・複数形）、名詞の与格の用法
4	形容詞・所有代名詞の与格	形容詞・所有代名詞の与格のパターン（単数形・複数形）
5	名詞・形容詞・所有代名詞の与格	様々な形容詞・所有代名詞の与格と様々な名詞の与格の結合
6	動詞の未来形、無人称文	動詞の合成未来形の作り方、無人称文の特徴、無人称文の現在形・過去形・未来形
7	動詞の命令形、否定の表現	動詞の命令形の 3 パターン、否定生格、「何も～ない」
8	名詞の造格	名詞の造格のパターン（単数形・複数形）、名詞の造格の用法
9	形容詞・所有代名詞の造格	形容詞・所有代名詞の造格のパターン（単数形・複数形）
10	名詞・形容詞・所有代名詞の造格	様々な形容詞・所有代名詞の造格と様々な名詞の造格の結合
11	形容詞と名詞の格変化	形容詞と名詞（単数形・主格）の（単数形・複数形）与格・造格への変化
12	所有代名詞と名詞の変化	所有代名詞と名詞（単数形・複数形）の（単数形・複数形）与格・造格への変化

13 形容詞・所有代名詞と名詞の格変化 形容詞・所有代名詞と名詞（単数形・主格）の（単数形・複数形）前置格・対格・生格・与格・造格への変化

14 期末試験 文法問題、ロシア語テキストの日本語訳、それらの解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は 2 時間を標準とする。

練習問題については、授業前に解答を用意し、授業中に答えなければならない、また、授業後に復習し、小テストに備えなければならない。

テキスト読解に関しては、自分で辞書を引き、文法的な事項を勘案しながら、文章の意味を正確に理解し、日本語訳（翻訳）を各自で提出しなければならない。

## 【テキスト（教科書）】

『ロシア語初級』法政大学ロシア語教員編（2020/2021 年度版、2018/2019 年度版、両者の内容はまったく同一なので、どちらでも可）。

また、別のテキストをプリントで配布する。

## 【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』白水社。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 20 %、文法の知識と読解力を問う期末テスト 80 %。

平常点は課題の提出、小テストの評価。

## 【学生の意見等からの気づき】

音声教材をより一層利用するよう努める。

日本語訳（翻訳）の作成を課する。

授業外の準備学習や復習に学習支援システムからの課題提出を活用する。

## 【Outline (in English)】

Elementary Russian 4 (Extra lesson) (Part2).

The aim of this course is to review the elementary grammar totally, and to learn the unlearned grammar (especially, the dative and instrumental cases of nouns, adjectives and possessive pronouns in the plural) and also to develop further ability to read standard Russian texts.

At the end of this course, students should be able to understand and translate into Japanese slightly complicated Russian texts. Before/after each class meeting, students will be expected to spend 2 hours to understand and master the course content.

Final grade will be decided based on the following: short tests 20%, term-end examination 80%.

LANr200LA

## ロシア語 4 I

2017 年度以降入学者

上野 理恵

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

その他属性：〈他〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次のロシア語学習を終えた学生を対象とする授業です。既習の文法事項を復習してから、教科書やプリント教材を用いて、未習の文法事項を学びます。基礎文法をひとつおひとひと学習し、その定着をはかりながら、ロシア語の文章の読解に必要な力を養います。要望があれば、ロシア語能力検定試験に対応する勉強も行います。

## 【到達目標】

学んだ文法事項を正確に理解し、運用できるようになること。比較的平易なロシア語の文章を読解し、日本語に訳せるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

教科書やプリント教材を用いて、文法事項の解説、練習問題の答え合せと解説、テキストや対話の読解と解説、というかたちで授業を進めます。また知識の定着や習熟度の確認のために、定期的に課題や小テストを課します。添削したものは、次回の授業時に返却しますが、「学習支援システム」を通して返却する場合があります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	既習文法の復習（1）	格変化の復習（名詞）
2	既習文法の復習（2）	格変化の復習（所有代名詞、形容詞など）
3	動詞（1）	動詞関連の文法事項の確認
4	動詞（2）	動詞の完了体・不完了体
5	複文（1）	関係代名詞を含む複文の読解
6	複文（2）	接続詞を含む複文の読解
7	数詞（1）	数詞と時間の表現
8	数詞（2）	年齢の表現など
9	数詞（3）	年月日の表現
10	数詞（4）	数詞を含むその他の表現
11	形容詞・副詞の比較級	形容詞・副詞の比較級
12	形容詞・副詞の最上級	形容詞・副詞の最上級
13	仮定法	仮定法を用いた表現
14	期末試験	試験・まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

新出単語は事前に辞書で意味を確認し、授業で学んだことは復習しましょう。格変化形や動詞の活用は意識して覚えましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

『初級 ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員 編）[2020/2021 年度版、2018/2019 年度版 いずれでも可]

その他、適宜プリント教材を配布します。

## 【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社  
露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）50 %、期末試験 50 % の総合評価。

## 【学生の意見等からの気づき】

個々の学生の習熟度を念頭においた授業を心がけます。

## 【その他の重要事項】

授業計画は、授業の進度によって若干の変更があり得ます。

## 【Outline (in English)】

## 【Course outline】

This is a course for students who finished learning Russian for the first grade. The aim of this course is to finish basic grammar. And also strengthen the foundations for reading and understanding Russian texts.

## 【Learning Objectives】

The goals of this course are to acquire basic grammar and strengthen the foundations for reading and understanding Russian texts.

## 【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

## 【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50 %, in class contribution: 50 %

LANr200LA

## ロシア語 4 II

2017 年度以降入学者

上野 理恵

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

その他属性：〈他〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

基礎文法の学習を終えた学生を対象とした授業です。さまざまなテーマのテキストの読解を通して、既習の文法事項を復習しながら、未習の文法事項を学びます。ロシア語の文章に慣れ親しみ、基礎文法の応用レベルでの定着を目指します。また、学期の後半には視聴覚教材を用いて、生のロシア語に触れる機会を作ります。教材を通してロシアに対する理解を深めることも目的の一つです。要望があれば、ロシア語能力検定試験に対応する勉強も行います。

## 【到達目標】

辞書を用いて文章を読解し、日本語に翻訳する作業を通して、ロシア語の文章に慣れ親しむこと。また語彙を増やし、構文を正確に把握できるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

プリント教材を用いて、文章読解、文法解説、というかたちで授業を進めますが、未習の文法事項についてはあらかじめ説明と練習を行います。各自の日本語訳をチェックするので、事前準備が必要となります。視聴覚教材を用いる場合は、音読、書き取り、リスニングなどを行います。また知識の定着や習熟度の確認のために、定期的に課題や小テストを課します。添削したものは、次回の授業時に返却しますが、「学習支援システム」を通して返却する場合があります。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	文法事項の確認	既習文法事項の確認
2	文章読解（1）	副動詞が含まれる文章の読解
3	文章読解（2）	能動形動詞が含まれる文章の読解
4	文章読解（3）	被動形動詞が含まれる文章の読解
5	文章講読（1）	歴史に関する文章を読む
6	文章講読（2）	社会に関する文章を読む
7	文章講読（3）	文化に関する文章を読む
8	文章講読（4）	ロシアの昔話を読む
9	視聴覚教材（1）	テキストの音読と書き取り
10	視聴覚教材（2）	テキストの音読と書き取り
11	視聴覚教材（3）	リスニングの問題に挑戦する
12	視聴覚教材（4）	スキットのセリフを聞き取る
13	まとめ	これまでに学んだことの確認と復習
14	期末試験	試験・まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業内で示される課題（日本語訳等）は必ずやってくる。格変化や動詞の活用は意識して覚えましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

プリント教材を授業で配布します。

『初級 ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員 編）[2020/2021 年度版、2018/2019 年度版 いずれでも可] を持参すること。

## 【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社

露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）50 %、期末試験 50 % の総合評価。

## 【学生の意見等からの気づき】

皆さんが質問や発言をしやすい授業を心がけます。

## 【その他の重要事項】

授業計画は、授業の進度によって若干の変更があり得ます。

## 【Outline (in English)】

## 【Course outline】

This is a course for students who have completed learning basic grammar of Russian. We read Russian texts carefully, understanding the syntax. Through reading comprehension, we review what we have learned so far and learn grammar that we haven't learned yet.

## 【Learning Objectives】

The goals of this course are to get used to Russian texts with various themes and master Russian basic grammar.

## 【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

## 【Grading Criteria / Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50 %, in class contribution: 50 %

LANr200LA

## ロシア語 5 I

2017 年度以降入学者

エレナ 三神

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

その他属性：〈他〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日常的に使われるロシア語を場面ごとに学び、ロシア語のコミュニケーション能力を高める授業です。ロシア語の文法知識を口頭表現、聴解、作文などの練習をとおして実践的な能力として定着させます。

## 【到達目標】

日常場面においてロシア語の簡単な会話ができることを目指します。ロシア旅行などの場合にロシア語を使って、ロシア人とのコミュニケーションをとれることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

一年に通じて日常的なコミュニケーションに使う文型・語彙・表現を学びます。テキストのもとで表現を学習し、聞き取り練習と会話の実践を行います。ロシア語を使うことによって単語、表現、文法も覚えます。

宿題提出や単語学習などのために学習支援システムと各オンライン学習アプリケーションを使います。課題などに対する教員のフィードバックは、授業時や学習支援システム経由で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	紹介：名前、出身、職業	リスニング、会話練習
2	家族の話	リスニング、会話練習
3	趣味	リスニング、会話練習
4	一日の流れ	リスニング、会話練習
5	一日の流れ（続き）	リスニング、会話練習
6	時間、スケジュール	リスニング、会話練習
7	国、言語、国籍	リスニング、会話練習
8	天気、季節	リスニング、会話練習
9	行ったことがある所	リスニング、会話練習
10	休暇の過ごし方	リスニング、会話練習
11	週の予定	リスニング、会話練習
12	好きな事、好きなもの	リスニング、会話練習
13	春学期の復習	リスニング、会話練習
14	春学期末テスト	聴解・筆記と解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回宿題があります。単語の暗記も必要です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

学習支援システムにてプリント教材を配布します。プリント教材はロシア語のみですが、その和訳文も別紙で配布します。

## 【参考書】

『初級ロシア語』法政大学

## 【成績評価の方法と基準】

学期末テスト 50 %、出席、宿題、授業への取り組み 50 %

## 【学生の意見等からの気づき】

ロシア語のみの教材に和文解説をつけるようになりました。

## 【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムにアクセスできる端末（PC やタブレットなど）、Zoom 授業になる場合には、Wi-Fi 通信環境が必要になります。

## 【その他の重要事項】

実際の授業状況や履修者の能力に応じて授業のペースやスケジュールは変更できます。ご質問などは elena.mikami.66@hosei.ac.jp までお問い合わせください。

## 【Outline (in English)】

(Course outline)

The main objective of the course is to enable students to develop the basic ability to communicate in Russian in everyday situations. The students will develop an understanding of practical Russian grammar and widely improve their Russian listening and conversation skills.

(Learning Objectives)

At the end of the course, students are expected to be able to carry out simple conversations in Russian in everyday situations or when traveling in Russia.

(Learning activities outside of classroom)

There is homework for every lesson. Memorization of vocabulary is also required. The standard preparation and revision time for this class is one hour.

(Grading Criteria /Policy)

Term-end examination: 50%, in class contribution (including homework and words test): 50%

LANr200LA

## ロシア語 5 II

2017 年度以降入学者

エレナ 三神

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

その他属性：〈他〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日常的に使われるロシア語を場面ごとに学び、ロシア語のコミュニケーション能力を高める授業です。ロシア語の文法知識を口頭表現、聴解、作文などの練習をとおして実践的な能力として定着させます。

## 【到達目標】

日常場面においてロシア語の簡単な会話ができることを目指します。ロシア旅行などの場合にロシア語を使って、ロシア人とのコミュニケーションをとれることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

一年に通じて日常的なコミュニケーションに使う文型・語彙・表現を学びます。テキストのもとで表現を学習し、聞き取り練習と会話の実践を行います。ロシア語を使うことによって単語、表現、文法も覚えます。

宿題提出や単語学習などのために学習支援システムと各オンライン学習アプリケーションを使います。課題などに対する教員のフィードバックは、課題内容によって授業時や学習支援システム経由や提出した課題につけたコメントのリンク送信などの方法で行います。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	モスクワを歩く	リスニング、会話練習
2	私の街	リスニング、会話練習
3	お買い物	リスニング、会話練習
4	食べ物、お食事	リスニング、会話練習
5	家と部屋	リスニング、会話練習
6	映画	リスニング、会話練習
7	いつも通うところ	リスニング、会話練習
8	乗り物で行く	リスニング、会話練習
9	空港で	リスニング、会話練習
10	ロシアの年行事	リスニング、会話練習
11	ToDo リスト	リスニング、会話練習
12	電話、メール	リスニング、会話練習
13	秋学期の復習	リスニング、会話練習
14	秋学期末テスト	聴解・筆記と解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回宿題があります。単語の暗記も必要です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

授業時および学習支援システムにてプリントを配布します。プリント教材はロシア語のみですが、その和訳文も別紙で配布します。

## 【参考書】

『初級ロシア語』法政大学

## 【成績評価の方法と基準】

学期末テスト 50 %、出席、宿題、授業への取り組み 50 %

## 【学生の意見等からの気づき】

ロシア語のみの教材に和訳解説をつけるようになりました。

## 【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムにアクセスできる端末（PC やタブレットなど）、Zoom 授業になる場合には、Wi-Fi 通信環境が必要になります。

## 【その他の重要事項】

実際の授業状況や履修者の能力に応じて授業のペースやスケジュールは変更できます。ご質問などは elena.mikami.66@hosei.ac.jp までお問い合わせください。

## 【Outline (in English)】

(Course outline)

The main objective of the course is to enable students to develop the basic ability to communicate in Russian in everyday situations. The students will develop an understanding of practical Russian grammar and widely improve their Russian listening and conversation skills.

(Learning Objectives)

At the end of the course, students are expected to be able to carry out simple conversations in Russian in everyday situations or when traveling in Russia.

(Learning activities outside of classroom)

There is homework for every lesson. Memorization of vocabulary is also required. The standard preparation and revision time for this class is one hour.

(Grading Criteria /Policy)

Term-end examination: 50%, in class contribution (including homework and words test): 50%

LANr200LA

## ロシア語7

2017 年度以降入学者

佐藤 千登勢

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次に学んだロシア語文法を復習しながら、新たな文法事項（数詞、比較級・最上級、形動詞・副動詞）を学んでいき、ロシア語文法の基礎をひとつおりの完成させることになります。

## 【到達目標】

辞書があればロシア語の文章を読めるようになるレベルを目指すべく長文を読む機会を多くもつけ、文法の基礎力の充実と語彙力の増大に努めます。コミュニケーションの上でも、文法力と語彙力は不可欠です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

まだ学習していないロシア語文法のいくつかの事項を練習問題を重ねつつ、学んでいきます。その後、ロシアの生活習慣や行事、文化をテーマとした長文の読解に入っていきます。ロシア語の文法、文章の構造を確認しながら読み進め、同時に、ロシアの文化についても知識を得て、読解の楽しみを味わいましょう。課題と小テストのフィードバックは次週の授業で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンスとロシア語文法の復習	既習文法の復習を練習問題を通して行う。
第 2 回	数詞を使った表現	時間の表現、年月日の表現など数詞の使い方を学ぶ。練習問題とテキスト読解。
第 3 回	数詞、比較級	数詞の表現の復習。比較級の暗記、比較級を使った表現について。練習問題。
第 4 回	最上級、仮定法	比較級の復習。最上級と仮定法の概説。テキスト読解と練習問題。
第 5 回	副動詞	副動詞（不完了体・完了体）の説明。練習問題。
第 6 回	副動詞と形動詞	副動詞の復習。形動詞（能動形動詞・現在、過去）の説明。
第 7 回	形動詞（受動形動詞現在）	能動形動詞（現在、過去）の復習。受動形動詞（現在）の説明。
第 8 回	形動詞（受動形動詞過去）	受動形動詞現在の練習問題と復習。受動形動詞過去の説明。
第 9 回	形動詞のまとめ	受動形動詞過去の確認と練習問題。
第 10 回	長文読解：ロシアの祝日について（1）	ロシアの国民の祝日や宗教行事について知る文章を文法、文の構造、語彙に留意しながら丁寧に読んでいく。
第 11 回	長文読解：ロシアの祝日について（2）	行事について知る文章の続き。副動詞、形動詞に着目して読む。
第 12 回	長文読解：ロシア人のマナーや慣習について（1）	ロシア人のマナーや慣習について知る文章を文法、文の構造、語彙に留意しながら読んでいく。

第 13 回 長文読解：ロシア人のマナーや慣習について（2）

第 14 回 学期末試験

ロシア人のマナーや慣習について知る文章を文法、文の構造、語彙に留意しながら読んでいく。  
ロシア語文法の総復習をかねて、試験を行う。まとめと解説。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

配付プリントの予習。適宜、課題も出すので必ず提出してください。また、長文読解に際しては、辞書を引く労を惜まずに「自分の単語帳」を作って語彙力の増大に励んで下さい。本授業の予習・復習時間は、1 回につき 1.5 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

『初級 ロシア語』（法政大学ロシア語教員 編）  
その他、教場で配付、もしくは学習支援システムを介してプリントを配付します。

## 【参考書】

和久利誓一 『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社  
木村彰一 他編『博友社ロシア語辞典』博友社

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（50 %）、期末試験（25 %）、小テスト（25 %）。この成績評価をもとに本授業の到達目標の 60 % 以上を達成した学生を合格とします。

## 【学生の意見等からの気づき】

習得に困難な文法事項を学び、文法の総仕上げをする授業となりますが、平易に教えるよう努めます。電子辞書やネット上の辞書ではなく、紙辞書（木村彰一 他編『博友社ロシア語辞典』博友社）を必ず入手して辞書を引く習慣をつけてください。

## 【Outline (in English)】

## ● Coures outline

This course proceeds in close contact with course: Russian 8.  
In this course, we will acquire basics of Russian grammar: numbers, comparatives, superb, and participles.

## ● Learning objectives

With a dictionary, you will be able to read some level of Russian text. Improve the basics of grammar and increase vocabulary.

## ● Learning activities outside of classroom

Preparation for the next lesson takes about 1.5 hours.

## ● Grading Criteria/ Policy

Final grade will be calculated according to the following process: Usual performance (50 %), term-end exam(25 %) and quizzes(25 %). To pass, students must earn at least 60 points out of 100.

LANr200LA

## ロシア語 8

2017 年度以降入学者

上野 理恵

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 4/Thu.4

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ロシア語の基礎文法の学習を終えた人を対象にした授業です。練習問題を解きながら、これまでに学んだ文法事項を復習し、知識の定着をはかります。さらに基礎文法では学ばなかった文法事項の説明と練習も行います。また、そうした学習と同時に、最重要単語の習得も目指します。

## 【到達目標】

ロシア語の基礎文法だけでなく、基礎文法を学ぶ際には採り上げられることが少ない、細かい文法事項も習得すること。最重要単語を覚えること。文法に関しては、ロシア語能力検定試験の4級・3級レベルを軽くこなせる力をつけましょう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

毎回の授業で単語テストを行います。授業は、基本的に、単語テスト、練習問題の答え合せと解説、あるいは未習の文法事項の説明と練習、というかたちで行います。また必要に応じて課題を課します。添削した単語テストや課題は、次回の授業時に返却しますが、「学習支援システム」を通して返却する場合があります。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	格の用法（1）	格の用法と形の復習
2	格の用法（2）	格の用法と形の復習
3	形容詞と副詞	形容詞と副詞、比較級・最上級の復習
4	運動の動詞	定動詞／不定動詞の復習
5	運動の動詞と接頭辞	文法説明と練習
6	動詞の体の用法	動詞の体の用法の復習
7	関係代名詞、関係副詞	関係代名詞、関係副詞の復習
8	能動形動詞	文法解説と練習
9	被動形動詞	文法解説と練習
10	被動形動詞短語尾形副動詞	文法解説と練習
11	数詞を伴う表現	数詞を伴う表現の復習
12	時間表現	時間表現の復習
13	まとめ	これまでに学んだことの確認と復習
14	期末試験	試験・まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

単語テストの範囲については前の週の授業で指定するので、覚えておくようにしてください。授業内で提示される課題は必ずやってきてください。本授業の準備学習・復習時間は、各1時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

プリント教材を授業で配布します。

『初級 ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員 編）[2020/2021 年度版、2018/2019 年度版 いずれでも可] を持参すること。

## 【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社

露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）50 %、期末試験 50 % の総合評価。

## 【学生の意見等からの気づき】

皆さんが質問や発言をしやすい授業を心がけます。

## 【その他の重要事項】

授業計画は、授業の進捗によって若干の変更があり得ます。

## 【Outline (in English)】

## 【Course outline】

This is a course for students who have completed learning basic grammar of Russian. Through answering Russian practice exercises, we review what we have learned so far and learn grammar that we haven't learned yet.

## 【Learning Objectives】

The goals of this course are to master Russian basic grammar and increase vocabulary.

## 【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

## 【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50 %, in class contribution: 50 %



LANr200LA

## ロシア語3-I

2017 年度以降入学者

## 木部 敬

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次に学んだロシア語文法を復習しながら、新たな文法事項（動詞の体／関係代名詞／比較級・最上級）を学んでいき、ロシア語文法の基礎を完成させることとなります。また、ロシア人と簡単なコミュニケーションがとれるレベルを目指しましょう。

## 【到達目標】

この授業では、数詞の表現、関係代名詞、仮定法、比較級を重点的に学ぶことで、ロシア語文法の基礎を固め、文法と読解の領域ではロシア語能力検定試験3級取得が可能なレベルに到達します。また、会話表現を身につけることで、ロシア語で自己紹介をしたり、簡単な日常会話ができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

一年次に終えていない文法事項を、練習問題を解いたり読解を行うことでしっかりと身につけます。その後、ロシア語の実用的な表現をまとめた教材を利用して、文法事項を定着させながら、口語表現を身につける反復練習とトレーニングをおこないます。予習が必須となりますが、その内容は授業内でフィードバックします。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業や教材について。 一年次の文法の復習を実施。
第 2 回	動詞の体と時制	動詞の体（完了体、不完了体）と時制について概説、練習問題
第 3 回	完了体と不完了体	練習問題、テキスト読解
第 4 回	関係代名詞	関係代名詞の概説と練習問題
第 5 回	関係副詞、接続詞の用法	関係副詞、接続詞 <i>чтобы</i> の概説、練習問題
第 6 回	関係代名詞、関係副詞、接続詞のまとめ	関係代名詞、関係副詞、接続詞の練習問題
第 7 回	数詞	個数詞と順序数詞の音読と筆記、反復練習
第 8 回	数詞と名詞の結合	数詞の小テスト、数詞と名詞の結合について概説、練習問題
第 9 回	数詞を使った表現	時間、年月日、年齢、値段の表現の概説と練習問題
第 10 回	比較級	比較級、比較の対象の表現の概説、練習問題
第 11 回	最上級、仮定法	最上級、仮定法の概説と練習問題
第 12 回	Немногосо себе	自己紹介の定型文を覚えて実践する。自分について作文し、覚える。
第 13 回	Мой день 自分の 1 日のスケジュールを語る	時間の表現、行動や出来事の表現の定型を確認し、自分について作文。音読練習。
第 14 回	学期末試験	ロシア語文法の確認と自己紹介の実践をかねた試験を実施。まとめと解説。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1.5 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

『初級 ロシア語』（法政大学ロシア語教員 編）  
他に、教場で適宜、教材のプリントを配付します。

## 【参考書】

博友社 ロシア語辞典（木村彰一編）

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（50 %）、期末試験（25 %）、小テスト（25 %）。この成績評価をもとに本授業の到達目標の 60 % 以上を達成した学生を合格とします。

## 【学生の意見等からの気づき】

つねに復習をしながら、文法事項を平易に説明するよう心がけます。

## 【Outline (in English)】

## ● Course outline

In this course, learning new grammatical items (verb body/relative pronoun/ comparative/ superlative), We will complete the basic grammar of Russian. We will be able to read easy texts and have simple conversations in Russian.

## ● Learning objectives

Learn the basics of Russian grammar and reach a level of the Russian Language Proficiency Test Level 3 in grammar and reading comprehension.

## ● Learning activities outside of classroom

Preparation for the next lesson takes about 1.5 hours.

## ● Grading Criteria/ Policy

Final grade will be calculated according to the following process: Usual performance (50 %), term-end exam(25 %) and quizzes(25 %). To pass, students must earn at least 60 points out of 100.

LANr200LA

## ロシア語3-II

2017年度以降入学者

## 木部 敬

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

これまでに学んだロシア語文法を踏まえて、日常を描写する実用的な表現のテキストを読み、日常の定型的な表現を覚えるトレーニングを行います。ロシア人と簡単な日常会話ができるようにします。

## 【到達目標】

街を歩いている時、買い物をする時、外食をする時、大学や施設の説明をする時など、日常で想定される様々な場面に応じた実用的な表現を身につけて、個別のケースで応用がきくようにします。ロシア語で簡単な日常会話ができるようになることが目標ですが、ロシア語運用能力としては、ロシア語能力検定試験3級レベル、TPK II基礎レベル（CEFR A2）と同等の力を身につけ、本学の派遣留学制度（ロシア語圏）に合格できる力の獲得を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

日常で想定される様々な場面を描写したテキストを読み、記憶すべき表現をトレーニングして覚えていきます。定型文を使って自分のケースを作文し、次週までに暗記しましょう。次回の授業冒頭で簡単なチェックを行い、フィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	今後の授業について。 使用教材配付。ロシア語の動画視聴。
第2回	Дом и квартал ира	自分の家と近所について語る。物の位置情報の表現を覚える。
第3回	Дом и квартал ира	物や建物の位置情報の表現を覚える。
第4回	В супермар кете	食料品の名称を覚える 買い物をする時の表現を覚える
第5回	В супермар кете	食料品の数え方や単位を覚える
第6回	В супермар кете	食料品、飲料品の数え方や単位を覚える
第7回	В кафе カフェで食事1	料理やデザートの内容を知る
第8回	В кафе カフェで食事2	料理やデザートの内容を知る
第9回	В кафе カフェで食事3	注文の表現や料理について尋ねる表現を覚える
第10回	В гостини це	フロントでのやりとりの表現を覚える
	ホテルに泊まる1	

第11回	В гостини це	ホテルの施設について覚えて語る
第12回	В больни це	身体の部位の名称を覚える
第13回	В больни це	身体の部位の名称を覚え、病状を伝える
第14回	学期末試験	13回の授業の内容を活かした試験（筆記とロシア語口述）。まとめと解説。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1.5時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

決まった教科書は使用しません。

教場、もしくは学習支援システムを通して教材のプリントを配付します。

## 【参考書】

『博友社 ロシア語辞典』（木村彰一 編）

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（50%）、期末試験（25%）、小テスト（25%）。この成績評価をもとに本授業の到達目標の60%以上を達成した学生を合格とします。

## 【学生の意見等からの気づき】

つねに復習をしながら、文法事項を平易に説明するよう心がけます。

## 【Outline (in English)】

## ● Course outline

In this course, we will acquire basics of Russian grammar. We will be able to read easy texts and have simple conversations in Russian.

## ● Learning objectives

Learn the basics of Russian grammar and reach a level of the Russian Language Proficiency Test Level 3 and TORFL-BL (CEFR A2).

## ● Learning activities outside of classroom

Preparation for the next lesson takes about 1.5 hours.

## ● Grading Criteria/ Policy

Final grade will be calculated according to the following process: Usual performance (50%), term-end exam(25%) and quizzes(25%). To pass, students must earn at least 60 points out of 100.

ARs200LA

## ロシア語の世界 L A

2017 年度以降入学者

## 木部 敬

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：2 単位

定員制 (60 名)

その他属性：〈他〉〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ロシアの歴史および文化（言語、民族、宗教、文学、思想など）を概観し、ロシアという国がどのような国なのか、その特質を理解する。それによって、ロシア語の背景をなす「レアリア」の基本を獲得する。

ロシア語を履修していなくても受講可能。

## 【到達目標】

一般の日本人にとっては理解しにくいロシアという国について、明確なイメージを持つことができる。

また、そうしたロシアの歴史や文化に関する理解を背景知識として利用することで、ロシア語の学習をより効果的に進めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

講義型の授業となる。

毎回授業に関する感想や質問を提出してもらい、それらに対しては学習支援システムを通じて回答したり、授業中にテーマとして取り上げたりする。

学期末に、授業で取り上げたテーマに関するレポートを作成する。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	9 世紀半ばから 13 世紀の歴史	建国伝説、「キエフ・ルーシ」
第 2 回	13 世紀から 16 世紀の歴史	「タタールの軛」、モスクワ大公国から「ロシア」へ（イヴァン 3 世とイヴァン 4 世）
第 3 回	17 世紀の歴史	「動乱」、ロマノフ朝の成立
第 4 回	18 世紀前半の歴史	ピョートル 1 世、「ロシア帝国」
第 5 回	18 世紀後半の歴史	エカチェリーナ 2 世、ポーランド分割、「新ロシア」とクリミア半島、ウクライナ
第 6 回	19 世紀初めの歴史	アレクサンドル 1 世、ナポレオン戦争、デカブリストの乱
第 7 回	19 世紀半ばの歴史	ニコライ 1 世、クリミア戦争、アレクサンドル 2 世、農奴解放
第 8 回	19 世紀終わりの歴史	アレクサンドル 3 世、産業革命
第 9 回	20 世紀初めの歴史 (0 年代～20 年代)	ニコライ 2 世、第 1 革命、第 1 次世界大戦、ロシア革命、「ソ連」、レーニン
第 10 回	20 世紀半ばの歴史 (30 年代～40 年代)	スターリン、第 2 次世界大戦
第 11 回	20 世紀半ばの歴史 (50 年代～60 年代)	冷戦、フルシチョフ
第 12 回	20 世紀終わりの歴史 (70 年代～80 年代)	停滞からベレストロイカへ、ゴルバチョフ
第 13 回	20 世紀末の歴史 (90 年代)	ソ連崩壊、「ロシア連邦」、エリツィン
第 14 回	21 世紀初めの歴史	プーチン、ウクライナ戦争

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。参考文献を事前に読む。授業後数日以内に感想や質問を書く。学期末には、授業で取り上げたテーマに関するレポートを準備する。

## 【テキスト（教科書）】

プリントを配布する。

## 【参考書】

『新版世界各国史 22 ロシア史』山川出版社、2002 年。

『新版ロシアを知る事典』平凡社、2004 年。

『ロシア文化事典』丸善出版、2019 年。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（感想や質問の提出）40 %、期末レポート 60 %。

## 【学生の意見等からの気づき】

学生の発言や発表の機会をより増やす。

## 【Outline (in English)】

The aim of this course is to survey history and culture (languages, nations religions, literature, thought etc.) of Russia, as the background of Russian language. We will understand what kind of country Russia is and its special characteristics

Students will be expected to have written a short report after every class work. Your study time will be more than two hours for a class.

Your final grade will be decided based on the following.

Term-end report(40%), Short reports(40%), and in-class contribution(20%).

ARSA200LA

## ロシア語の世界 L B

2017 年度以降入学者

木部 敬

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：2 単位

定員制 (60 名)

その他属性：〈他〉〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中・東欧、ロシア、およびそれらの周辺国（旧ソ連圏の国々など）の歴史および文化（言語、民族、宗教など）を概観することによって、ロシア語の背景をなす「レアリア」を獲得する。より広い視野においてロシアという国を理解する。ロシア語を履修していなくても受講可能。

## 【到達目標】

一般の日本人にとってなじみのない中・東欧、ロシア、およびそれらの周辺地域について明確なイメージを持ち、これらの国や地域の持つ世界史的な意義を理解できる。

また、そうした国や地域の歴史や文化に関する理解を背景知識として利用することで、ロシア語の学習をより効果的に進めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

講義型の授業となる。

毎回授業に関する感想や質問を提出してもらい、それらに対しては学習支援システムを通じて回答したり、授業中にテーマとして取り上げたりする。

学期末に、授業で取り上げたテーマに関するレポートを作成する。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	中・東欧、ロシア、それらの周辺地域の個別史（その 1）	ロシアの歴史
第 2 回	中・東欧、ロシア、それらの周辺地域の個別史（その 2）	北欧の歴史
第 3 回	中・東欧、ロシア、それらの周辺地域の個別史（その 3）	バルト三国とポーランドの歴史
第 4 回	中・東欧、ロシア、それらの周辺地域の個別史（その 4）	ウクライナの歴史
第 5 回	中・東欧、ロシア、それらの周辺地域の個別史（その 5）	中央アジア五国とコーカサス三国の歴史
第 6 回	中・東欧、ロシア、それらの周辺地域の個別史（その 6）	トルコの歴史
第 7 回	スラヴ人の起源、スラヴ人国家の形成	スラヴ人の故地、分化と移住、ブルガリアの形成、西スラヴと東スラヴにおける国家の形成
第 8 回	スラヴ民族によるキリスト教の受容	東西両教会の対立とスラヴ民族教化、モラヴィア、ブルガリア、セルビア、ボヘミア、ポーランド、ロシア

第 9 回	東ローマ帝国（ビザンツ帝国）とスラヴ民族	東ローマ帝国と南スラヴ族、東ローマ帝国の継承者としてのロシア
第 10 回	ゲルマン民族とスラヴ民族	ゲルマン民族と西スラヴ族、ボヘミア、ポーランドとリトアニア、ロシア、スロヴェニア、クロアチア
第 11 回	スラヴ民族と周辺諸民族	バルト民族、ウラル系諸民族、ユーラシアの遊牧民、中央アジア、コーカサス、ルーマニア、アルバニア、ユダヤ人、ジプシー
第 12 回	オスマン帝国とスラヴ民族	バルカン半島のトルコ化・イスラム化、トルコ・イスラム文明、バルカン民族の覚醒
第 13 回	民族の独立と汎スラヴ主義	スラヴ・メシアニズムと汎スラヴ主義、ロシア、ポーランド、チェコ・スロヴァキア、クロアチア、セルビア、ブルガリア、マケドニア
第 14 回	ソ連とスラヴ民族	スターリンの民族抑圧、反ソ動乱、ソ連崩壊以後

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

参考文献を事前に読む。授業後数日以内に感想や質問を書く。

学期末には、授業で取り上げたテーマに関するレポートを準備する。

## 【テキスト（教科書）】

プリントを配布する。

## 【参考書】

『民族の世界史 10 スラヴ民族と東欧ロシア』山川出版社。

森安達也『ビザンツとロシア・東欧』講談社。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（感想や質問の提出）40%、期末レポート 60%。

## 【学生の意見等からの気づき】

学生の発言や発表の機会をより増やす。

## 【Outline (in English)】

The aim of this course is to survey history and culture ( languages, nations, religions ) of Central and Eastern Europe, Russia and their surrounding areas ( countries of the former Soviet Union area etc.), as the background of Russian language. We will understand the specifics of Russia from a broader perspective.

Students will be expected to have written a short report after every class work. Your study time will be more than two hours for a class.

Your final grade will be decided based on the following. Term-end report(40%), Short reports(40%), and in-class contribution(20%).

ARs200LA

## ロシアの文化と社会 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

佐藤 千登勢

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：2 単位

定員制

その他属性：〈他〉〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ロシアに興味をもつ学生であれば、ロシア語を学習していなくても履修できます。なお、SA ロシアの事前学習も兼ねるので、SA ロシアの2年生は必ず履修してください。ロシアは、峻厳で美しい自然、深く豊かな芸術（文学、音楽、美術、映画、アニメ、演劇、バレエ、建築など）に満ちた国、また、繊細で優美、神秘的でありながら素朴でパワフルという両極端な感覚に引き裂かれた、なんとも魅力溢れる国です。また、アジアとヨーロッパの文化的融合、社会主義から資本主義へのイデオロギー的・体制的移行、多民族の共生など、複雑で多面的な様相も興味深いものです。こうしたロシアのさまざまな側面を映像・レジュメ資料・概説を通して紹介していくのがこの授業ですが、これら多様な側面を統合して、ロシアの像を結んでいく作業を行うのはみなさん一人ひとりです。

## 【到達目標】

この授業は、受動的に講義を聴いたり映像を鑑賞するのではなく、多数の情報から自身の感想や見解を導くこと、そして教員が提起した問題に対して意見を短時間のうちに適切な文章でまとめる力をコメントシートを通して養うことも目的としています。つねに問題意識や批判的観点を抱きながら、授業に臨んでほしいと思います。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

教場で資料を配付し、随時、映像資料を共有しながら講義を行います。コメントシートについては、興味深い視点を示したものを選択して次週の授業でみなさんと共有し、教員からコメントを加えるかたちでフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス：ロシアについて	ガイダンス。今日のロシア社会、地理的環境、歴史的キーワード、ソ連・ロシアの国歌を通してロシアの概略を示す。
第 2 回	モスクワ観光スポット（美術館、博物館、教会、劇場、世界遺産）	ロシアの首都モスクワ。歴史、地理を概観するとともに、世界遺産や街並み、地下鉄、美術館、建築、観光スポットを紹介。
第 3 回	サンクト・ペテルブルクの名所（美術館、劇場、博物館、教会）	ロシア第2の都市サンクト・ペテルブルグ。歴史、地理を概観するとともに、世界遺産や街並み、美術館、観光スポットを紹介。

第 4 回 民俗文化とロシア正教、国民の祝日

ロシア正教を国教とするロシア。その影響力は政治と結びついて大きなものとなっているが、キリスト教受容以前の異教との習合現象としての二重信仰の伝統もロシアに独特の文化を育んできた。異教、正教、社会主義というイデオロギーなど常に信仰の対象を抱き続ける信心深いロシア人の民俗文化やこれに基づく祝祭、宗教的行事、祝日について紹介。

第 5 回 ロシア・バレエの世界

バレエ・リュスからソ連時代のバレエ史に名を残すダンサー、そして現代の国際的ダンサーまで、ロシア・バレエの粋を紹介すると同時に、政治的に抑圧を受けたバレエ界の事象、亡命したダンサーについて概観。

第 6 回 ロシア・バレエの世界 前回の授業を踏まえて、政治とバレエの問題を考える。

第 7 回 ロシアの音楽：グリニカ、チャイコフスキー、ムソルグスキー

ロシア・クラシック音楽の歴史を概観。グリニカからムソルグスキーまでの音楽を、指揮者ゲルギエフ、現代ロシアのソリストのパフォーマンスを通して紹介。

第 8 回 ロシアの音楽：政治と音楽（ショスタコーヴィチ、ラフマニノフ）

19世紀末からロシア革命時の音楽を概観。また、ショスタコーヴィチ、ストラヴィンスキー、ラフマニノフらを通して音楽と政治の問題を考える。

第 9 回 ロシアの音楽：政治と音楽（テルミン、肋骨レコード）

反体制派と呼ばれたソリスト、抑圧された音楽について。

第 10 回 ロシア文学：イーゴリ軍記から 19 世紀前半

『イーゴリ軍記』における異教性、カラムジンの感傷主義、プーシキンのロマン主義とリアリズムの融合について。《余計者》の確立。ゴーゴリのグロテスクな手法、《小さな人間》について、ドストエフスキーの超人思想、神人について。

第 11 回 ロシア文学：19 世紀後半～（ゴーゴリ、ドストエフスキー）

トルストイの「性愛・肉欲の否定」と聖愚者の賞揚。チャーホフの創作方法について。《異化》の概念について。政治と文学について。

第 12 回 ロシア文学：19 世紀後半～ 20 世紀（トルストイ、チャーホフ、アヴァンギャルド、フォルマリズム）

亡命作家を通してみる政治と文学の問題。検閲から自由になった現代作家の営みを概観。ロシア文学と日本文学との影響関係について。

第 13 回 ロシア文学：亡命作家から現代（ソルジェニーツィン、プロツキー、ペレーヴィン）／日本文学との影響関係

ロシアの領土拡大とオリエンタリズムの歴史と現代の民族問題

第 14 回 民族問題とナショナリズムの歴史と現代の民族問題

ロシアの領土拡大とオリエンタリズムについて。ソ連時代の民族統合が現代に残した問題。チェチェン紛争、グルジア紛争、現代ロシアで高まるナショナリズム。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業でとりあげたテーマについて、ネットや文献、映像資料、映画などを通して調べましょう。ソ連・ロシア映画の鑑賞に際しては、AVライブラリーの活用を勧めます。期末レポートの作成には1週間程度の時間が必要となります。

## 【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。教場で教員が作成する資料を配付します。

## 【参考書】

参考文献については教場もしくは学習支援システムで、随時、紹介します。

**【成績評価の方法と基準】**

平常点 (25%)、コメントシート (25%)、期末レポート (50%) として総合的に判断します。本授業の到達目標の 60%以上を達成した学生は合格となります。

**【学生の意見等からの気づき】**

みなさんとロシアの多様な魅力を新たに発見するような気持ちで、時事的な話題も含めながら講義を進めたいと思います。

**【Outline (in English)】****● Course outline**

In this course, students will know about the culture and arts of Russia through the lecture and visual materials. Themes of this lecture: Tourist spots Moscow and Saint Peter's burg, Russian ballet, music and literature.

**● Learning Objectives**

While watching videos about Russia and Eastern Europe, students will be expected to develop the ability to put together appropriate sentences in a short time on the problems raised by the teacher. Students should to attend classes with an awareness of problems and a critical perspective.

**● Learning activities outside of classroom**

Find out about the themes covered in class through the internet, literature, video materials, and movies. When watching Soviet / Russian movies, we recommend using the AV library. Students should spend a week preparing the term-end report.

**● Grading Criteria /Policy**

Final grade will be calculated according to the following process: Usual performance score(25 %),Short reports(25 %) and term-end reports(50 %). To pass, students must earn at least 60 points out of 100.

ARs200LA

## ロシアの文化と社会 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

佐藤 千登勢

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：2 単位

定員制

その他属性：〈他〉〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ロシアの歴史、映画、アニメ、美術の領域からロシアの文化の多様性を見ていきます。本講義では映像資料を多用して概説を行います。多くの情報を統合してロシアの像をまとめていく作業は学生のみなさん一人ひとりが行うことになります。

## 【到達目標】

この授業は、受動的に講義を受けたり映像を鑑賞するのではなく、多数の情報から自身の感想や見解を導き、教員が提起した問題に対して能動的に意見や主張をまとめる力を養うことを目標としています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

教場で資料を配付し、随時、映像資料を共有しながら講義を行います。コメントシートについては、興味深い視点を示したものを選択して次週の授業でみなさんと共有し、教員からコメントを加えるかたちでフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス／ロシアの歴史 1：キエフルーシ、タタールの軀、イワン雷帝	ロシアの歴史：キエフルーシ、タタールの軀、イワン雷帝について。
第 2 回	ロシアの歴史 2	ピョートル大帝、エカテリーナ女帝、大黒屋光太夫、祖国戦争について映像資料を交えて概観。
第 3 回	ロシアの歴史 3	農奴解放、近代化、テロリズム、日露戦争について映像資料を交えて概観。
第 4 回	ロシアの歴史 4	ロマノフ王朝の崩壊、ロシア革命、スターリニズムについて映像資料を交えて概観。
第 5 回	ロシアの歴史 5	雪解けから停滞へ、ベレストロイカ、チェルノブイリ原発事故、ソ連邦崩壊、新生ロシアまでを映像資料を交えて概観。
第 6 回	ソ連映画 1	映画黎明期からモンタージュ派（エイゼンシュテイン、ヴェルトフ）、文芸映画を鑑賞しつつ、とりわけ政治的背景と映画の手法について着目する。
第 7 回	ソ連映画 2	雪解け期から停滞の時代までに制作された文芸映画を、社会的背景、政治的体制、手法の観点から見ていく。

第 8 回 ソ連映画 3

反体制の烙印を押された監督の作家性、手法、映像美を堪能する。また、SF 映画を概観するとともに、ベレストロイカ期に多く制作された不条理作品、諷刺コメディを通して、政治と映画の問題を確認する。

第 9 回 ロシア映画 4

検閲から自由になった映画として、芸術性と映像実験を重ねるソクラロフの作品、また、大国ロシアを再び謳い上げる戦争映画、エンターテインメント、社会派ドラマと多様化する映画界の現状を概観する。

第 10 回 ロシア映画 5

前回に引き続き、戦争映画、エンターテインメント、社会派ドラマと多様化する映画界の現状と傾向を概観する。

第 11 回 ロシア・アニメ 1

黎明期からプロパガンダ・アニメ、児童アニメ（タレーヴィチ、アタマノフ、ヒトルーク、カチャーノフ）の概説と作品の鑑賞。

第 12 回 ロシア・アニメ 2

アート・アニメ（ノルシュテイン、ペトロフらの作品）の概説と作品鑑賞。

第 13 回 ロシア美術 1

イコン（聖像画）の機能について、移動派の活動、パトロンの役割について。

第 14 回 ロシア美術 2

マレーヴィチ、カンディンスキー、シャガールの絵画について。ロシア・アヴァンギャルド期の建築について紹介。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業でとりあげたテーマについて、ネットや文献、映像資料、映画などを通して調べましょう。ソ連・ロシア映画の視聴には、AV ライブラリーの利用を勧めます。期末レポートの作成には 1 週間程度の時間を要することになります。

## 【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。教員が作成した資料を教場で配付するか、もしくは学習支援システムにアップします。

## 【参考書】

教場や学習支援システムで適宜、紹介します。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（25%）、コメントシート（25%）、期末レポート（50%）として、総合的に判断します。本授業の到達目標の 60% 以上を達成した学生が合格となります。

## 【学生の意見等からの気づき】

今学期はロシアの歴史、映画が中心となりますが、時事的な話題もとりこみながら講義をおこないます。

## 【Outline (in English)】

## ● Course outline

In this course, students will know about the culture and arts of Russia through the lecture and visual materials. Themes of this lecture: Russian history, and films, pictures and animations.

## ● Learning Objectives

While watching videos about Russia and Eastern Europe, students will be expected to develop the ability to put together appropriate sentences in a short time on the problems raised by the teacher. Students should attend classes with an awareness of problems and a critical perspective.

## ● Learning activities outside of classroom

Find out about the themes covered in class through the internet, literature, video materials, and movies. When watching Soviet / Russian movies, we recommend using the AV library. Students should spend a week preparing the term-end report.

## ● Grading Criteria /Policy

Final grade will be calculated according to the following process: Usual performance score(25 %),Short reports(25 %) and term-end reports(50 %). To pass, students must earn at least 60 points out of 100.



LANe200LA

## 中国語 3 I

2017 年度以降入学者

李 維涛

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 1/Thu.1

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級で学んだ基礎知識を織り交ぜてそれを復習しながら中級の学習を進めて行く。  
「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実戦活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

## 【到達目標】

初級で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。

たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、様々な場面を想定して実戦活動を行い、学んだ知識のアウトプットによる円滑なコミュニケーションを行えることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業の進め方と方法については、基本的に、教室にて対面形式で授業を行うことを想定して、具体的に下記通りの行い方で進めて行きます。

\*状況によってオンライン形式で行うことを余儀なくされる場合、状況に即して具体的に対応し、授業内容によって資料配信・オンデマンド動画配信・双方向同時型と複数の授業形式を使い分けて行うことにする。具体的な行い方とスケジュールなどは事前に、「授業支援システム」を利用して提示し、周知する。

具体的に授業は以下の進め方と方法で行うものとする。

授業は、教科書を使つての勉強、コミュニケーション活動、課題と、3つのブロックに分けて行なう。

## 【教科書】

初回はレベルチェックテストを行い、その結果に応じて、初級で学んだ基礎知識の復習・練習を、最初の3回にわたって行なう。4回目以後教科書を使つての学習に入る。

基本的に1課を2回に分けて、1回目は主に言葉の学習と文法の解説や練習・応用などを、2回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実戦活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。

課毎に、語彙・文法テストを行う。

予習・復習は必須。

## 【コミュニケーション活動】

教科書で学習した内容とシチュエーションの実践活動として、グループまたはペアワークによるコミュニケーション活動を行なう。活動中に能動的且つ積極的に参加し、自己表現することを望む。

## 【課題】

教科書の学習とリンクする形で、学期毎に課題を一回課す。

春学期の課題は自由作文。

テーマ決め → 執筆 → 提出 → リライト → プレゼンテーションという流れで行なう。

課題等へのフィードバックについて

フィードバックが必要な課題に関して、課題が実施した直後の授業時間内か、添削が必要な場合は、添削後の返却時に授業時間内か、授業支援システムなどのツールを利用して行う。

授業スケジュールは、状況に応じて、変更する場合がある。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション レベルチェックテスト	①授業目標、教材、授業の進め方、スケジュール、履修上の注意事項などについて説明。 ②授業用語と挨拶の確認・復習 ③授業アンケート ④レベルチェックテスト
第2回	初級基礎復習 I コミュニケーション活動(1)	①初級基礎知識点検・復習・練習 I ②活動(1) 私、そして、私の家族
第3回	初級基礎復習 II コミュニケーション活動(2)	①チェックテスト【初級復習 I】 ②初級基礎知識点検・復習・練習 II ③活動(2) 私の一日、あなたの一日
第4回	初級基礎復習 III コミュニケーション活動(3)	①チェックテスト【初級復習 II】 ②初級基礎知識点検・復習・練習 III ③活動(3) 趣味について ④語彙導入【1 課】
第5回	声をかける・挨拶をする(1) 基本語彙と表現	①チェックテスト【初級復習 III・1 課語彙】 ②■方位詞 ■動作・行為の同伴者 ■動詞の重ね型
第6回	声をかける・挨拶をする(2) 応用活動	①チェックテスト【1 課文法】 ②既習文型応用・実戦練習 ③語彙導入【2 課】
第7回	初対面の自己表現(1) 基本語彙と表現	①チェックテスト【2 課語彙】 ②■推測・判断 ■行為の積極性 ■状態補語
第8回	初対面の自己表現(2) 応用活動	①チェックテスト【2 課文法】 ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動(4) 声をかける・自己紹介する ④語彙導入【3 課】
第9回	伝聞による話題について話す(1) 基本語彙と表現	①チェックテスト【3 課語彙】 ②■伝聞 ■全否定 ■結果補語
第10回	伝聞による話題について話す(2) 応用活動	①チェックテスト【3 課文法】 ②可能補語 ③既習文型応用・実戦練習 ④課題作文について説明
第11回	「伝聞」の応用活動 課題：作文	①コミュニケーション活動(5) 伝聞による話題について話す ②課題作文：テーマ決め・ストーリー作り ③語彙導入【4 課】
第12回	買物について話す：基本語彙と表現	①チェックテスト【4 課語彙】 ②■動詞文：現在進行形 ■目的を表現する ■原因・理由についての訊ね方 ③課題作文提出
第13回	買物について話す：応用活動	①チェックテスト【4 課文法】 ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動(6) 買物情報を交換する
第14回	春学期の総まとめ・期末試験【筆記】	①課題作文リライト提出 ②期末試験

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課毎に、言葉クイズ、文法クイズを行う。  
授業で学習した内容をしっかりと復習・予習することが必須。  
復習と予習はそれぞれ 1-1.5 時間を要する。  
授業外の課題を課された場合、作業時間は授業時間外になるが、きちんと締め切りを守って提出する。

**【テキスト（教科書）】**

『中国語へのアプローチⅡ』

楊凱栄・張麗群 著

朝日出版社 2010年

ISBN978-4-255-45142-8

**【参考書】**

- 中日・日中辞典類 [紙媒体、電子辞書、APP の何れも可。電子辞書を推奨する]

- 『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂など 同 学社

- 『中国語生活図解辞典』 遠藤雅裕 小学館

**【成績評価の方法と基準】**

授業貢献度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。

チェックテスト [語彙・文法] 35%

期末テスト [筆記+口述] 25%

活動・口頭表現 20%

課題 10%

授業貢献度・学習態度など 10%

※上記テストについて、授業形式が遠隔になった場合、オンラインテストか課題に切り替えることにする。

※評価方法は、受講者の学習状況、授業の実施形態などに応じて、教員によって微調整し、変更する場合があります。

**【学生の意見等からの気づき】**

■授業では口頭練習と活動がたくさん行われるが、どうしても耳だけでは不安で随一板書して欲しいとの学生からの意見があった。今後の授業では、口頭活動の内容を、板書かスクリーンを利用して可能な限り文字でも提示するように心掛ける。

■授業課題は Hoppii を利用して行うことがある。Hoppii の使い方や、音声課題の場合のレコーディング方法などの、技術的な問題が出ており、今後該当する課題がある場合、授業では具体的に操作方法を提示して共有する。

**【学生が準備すべき機器他】**

学習内容に応じて、教室に備えてある機器、または PC などを使う。また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

**【その他の重要事項】**

授業中、学習用具類以外、机上に置かないこと。

特に、携帯電話、飲み物類は、鞆等にしまうこと。

教科書を持参せずの受講は欠席と見なし、必ず教科書、授業関連資料を持って授業に臨むこと。

**【授業に臨む心構え】**

其の一 勉強する意欲と意識を高く持つこと

其の二 しっかり予習・復習してこること。

其の二 教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持つてこること。

**【Outline (in English)】**

[auto translated]

**■ 【Outline and objectives】**

Interweaving the basic knowledge you have learned in elementary level and reviewing progress and advance intermediate level learning.

Considering the balance of the four skills "listen" "read" "talk" "write", improve communication skills by Chinese through actual battle activities etc.

**■ 【Work to be done outside of class (preparation, etc.)】**

A word quiz and a grammar quiz will be given for each lesson. It is essential to thoroughly review and prepare for what you have learned in class.

Review and preparation each take 1-1.5 hours.

If you are assigned an assignment outside of class, the work time will be outside of class, but you must meet the deadline and submit it.

**■ 【Grading criteria】**

Evaluation is mainly based on tests, activities, and tasks, taking into consideration the degree of class contribution and participation attitude.

Quiz [vocabulary / grammar] 35%

Final test [speaking + writing] 25%

Activity / oral expression 20%

Tasks 10%

Class contribution, learning attitude, etc. 10%

\* Regarding the above test, if the lesson format becomes remote, we will switch to the online test or assignment.

\* The evaluation method may be fine-tuned and changed by the instructor depending on the learning situation of the students and the embodiment of the lesson.

LANe200LA

## 中国語 3 II

2017 年度以降入学者

李 維涛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 1/Thu.1

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級と中級前半で学んだ基礎知識を織り交ぜて復習しながら中上級を目指して学習を進めて行く。

「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実戦活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

## 【到達目標】

初級と中級前半で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級後半の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。

たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、学んだ知識のアウトプットを重視し、様々な場面を想定して実戦活動を行なう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業の進め方と方法については、基本的に、教室にて対面形式で授業を行うことを想定して、具体的に下記通りの行い方で進めて行きます。

\*状況によってオンライン形式で行うことを余儀なくされる場合、状況に即して具体的に対応し、授業内容によって資料配信・オンデマンド動画配信・双方向同時型と複数の授業形式を使い分けて行うことにする。具体的な行い方とスケジュールなどは事前に、「授業支援システム」を利用して提示し、周知する。

授業は、教科書を使つての勉強、コミュニケーション活動、課題と、3つのブロックに分けて行なう。

## 【教科書】

初回は初級と中級前半で学んだ知識をチェックするテストを行い、その結果に応じて、既習基礎知識の復習・練習を、最初の2回にわたって行なう。3回目以後教材を使っての学習に入る。

基本的に1課を2回に分けて、1回目は主に文法の解説や練習や応用などを、2回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実戦活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。

課毎に、語彙・文法テストを行う。

予習・復習は必須。

## 【コミュニケーション活動】

教科書で学習した内容・テーマ・シチュエーションに応じて、授業では、グループワークまたはペアワークによるコミュニケーション活動を行なう。

活動中には能動的に参加し、積極的に中国語による自己表現をすることを望む。

## 【課題】

秋学期の課題は二つ。作文と当該年度の中国語の新語・流行語のリサーチレポート。

何れも下記の流れで行なう。

テーマ決め → 執筆 → 提出 → リライト → プレゼンテーション

課題等へのフィードバックについて

フィードバックが必要な課題は、課題が実施した直後の授業時間内か、添削が必要な場合は、添削後の返却時に授業時間内か、授業支援システムなどのツールを利用して行う。

授業スケジュールは、受講者の学習状況、授業実施形態などに応じて、変更する場合がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	春学期学習内容を確認・復習	①中級春学期学習内容チェックテスト ②秋学期授業内容・進め方・スケジュールなどについて説明 ③活動(1)絵と言葉で表現する私の夏休み[前半]
第2回	■春学期学習内容を確認・復習。後期学習への準備。 ■コミュニケーション活動で新学期のウォームアップをする。	・チェックテストを返却・FB ①春学期学習内容を総括・復習 ②活動(1)絵と言葉で表現する私の夏休み[後半] ③語彙導入[5課]
第3回	天気について話す[5課]	①チェックテスト[5課語彙] ②■確認 ■比較[否定] ■能願動詞:可能性や見込み
第4回	天気について話す[5課]	①チェックテスト[5課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動(2):天気について話す ④語彙導入[6課]
第5回	初めての経験について話す[6課]	①チェックテスト[6課語彙] ②■感想・考え・意見を述べる表現 ■能願動詞:「喜んで～する」
第6回	初めての経験について話す[6課]	③課題(1)課題作文について説明 ①チェックテスト[6課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動(3)カフェでおしゃべり ④語彙導入[7課]
第7回	買物について話す[7課]	①チェックテスト[7課語彙] ②■選択:二者択一 ■能願動詞:「～しなければならない」
第8回	買物について話す[7課]	③課題(1)提出 ①チェックテスト[7課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③課題(1)を返却・FB
第9回	書いた物を、声に出して表現する。	①課題(2)課題(1)をプレゼンテーション ②語彙導入[8課]
第10回	会食をプランニングする[8課]	①チェックテスト[8課語彙] ②■全否定/全肯定 ■例外の表し方 ■既定条件
第11回	会食をプランニングする[8課]	①チェックテスト[8課文法] ②能願動詞:総括・復習 既習文型の応用練習
第12回	日常生活における食事の場面でのコミュニケーションを学ぶ。	①活動(4):食事の誘い、食事をする ②語彙導入[9課] ③課題(3)中国語の新語・流行語をリサーチ
第13回	二つのものを比べて表現する[9課]	①チェックテスト[9課語彙] ②■動詞文:持続形 ■推測・判断[肯定] ③課題(3)ピア活動
第14回	■期末テスト前復習・質疑応答 ■期末テスト[筆記]	①授業アンケート ②期末テスト前復習・質疑応答 ③期末テスト[筆記]

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課毎に言葉クイズ・文法クイズを行う。

授業で学習した内容をしっかりと復習・予習すること。

復習と予習はそれぞれ1-1.5時間を要する。

課題などの準備は授業時間外の作業となるが、提出締切など時間を守ることに。

#### 【テキスト（教科書）】

『中国語へのアプローチⅡ』

楊凱栄・張麗群 著

朝日出版社 2010 年

ISBN978-4-255-45142-8

#### 【参考書】

- 中日・日中辞典類 [紙媒体、電子辞書、App の何れも可。電子辞書を奨める]
- 『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂など 同 学社
- 『中国語生活図解辞典』 遠藤雅裕 小学館

#### 【成績評価の方法と基準】

授業参加度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。

チェックテスト [語彙・文法] 35%

期末テスト [筆記+口述] 25%

活動・口頭表現 20%

課題 10%

授業貢献度・学習態度など 10%

\* 上記テストについて、授業形式が遠隔になった場合、オンラインテストか課題に切り替えることにする。

\* 評価方法は、教員によって微調整し、変更する場合がある。

#### 【学生の意見等からの気づき】

■ 授業中に、コミュニケーション活動など、口頭表現する活動が多く行われて来た。学生から、口頭表現の内容を板書して提示してほしいとの要望があった。今後の授業では、これらの口頭活動の内容を、板書かスクリーンを利用して可能な限り文字資料でも提示するように心掛ける。

■ 授業課題は Hoppii を利用して行うことがある。Hoppii の使い方や、音声課題の場合のレコーディング方法などの、技術的な問題が出ており、今後該当する課題がある場合、授業では具体的に操作方法を提示して共有する。

#### 【学生が準備すべき機器他】

学習内容に応じて、教室に備えてある機器、または PC などを使う。また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

#### 【その他の重要事項】

授業中、学習用具類以外、机上に置かないこと。

特に、携帯電話、飲み物類は、鞆等にしまうこと。

教材 [教科書、授業関連資料] を持参せずの受講は欠席と見なすこと。

#### 【授業に臨む心構え】

其の一 勉強する意欲と意識を高く持つこと

其の二 しっかり予習・復習してくること。

其の三 教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持つてくること。

#### 【Outline (in English)】

[auto translated]

##### ■ 【Outline and objectives】

While interwoven with the basic knowledge learned in the first half and intermediate class, we review progress and aim for middle advanced class while going forward with learning.

Considering the balance of the four skills "listen" "read" "talk" "write", improve communication skills by Chinese through actual battle activities etc.

##### ■ 【Learning activities outside of classroom】

Give a word quiz and a grammar quiz for each lesson.

Thoroughly review and prepare for what you have learned in class.

Review and preparation each take 1-1.5 hours.

Preparations such as assignments will be done outside of class hours, but be sure to keep time such as submission deadlines.

##### ■ 【Grading Criteria /Policy】

Evaluation is mainly based on tests, activities, and tasks, taking into consideration the degree of class participation and participation attitude.

Check test [vocabulary / grammar] 35%

Final test [written + dictation] 25%

Activity / oral expression 20%

Challenge 10%

Class contribution, learning attitude, etc. 10%

\* Regarding the above test, if the lesson format becomes remote, we will switch to the online test or assignment.

\* The evaluation method may be fine-tuned and changed by the faculty member.

LANe200LA

## 中国語 3 I

2017 年度以降入学者

## 祝 振媛

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語 1、中国語 2 で学習した内容を基礎とし中国語 1、次のステップへ進む。

## Class outline

Based on what you learned in Chinese 1 and Chinese 2, go to the next step in Chinese 1.

## 【到達目標】

- ・中国語による基本的な日常会話を聞いて理解できる。
- ・基礎的な中国語を使って自分の意思を伝えることができる。
- ・中国の歴史、文化に対する関心を養う。
- ・Can listen to and understand basic daily conversations in Chinese.
- ・You can communicate your intentions using basic Chinese.
- ・Foster interest in Chinese history and culture.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

本講義は授業の形態として、原則には面接授業を実施する。状況に応じて時には zoom の授業をも行う。進度として 1 課を 2 回の授業で進める。毎回の授業は概ねに次のように進める。1) 小テスト (約 25 分) 2) テキストの学習 (約 40 分) 3) 文法に関する問題演習、会話の練習など (約 35 分)。外国語を身につけるために継続的な学習が必要なので、毎回授業の始めに小テストを設ける。またこの授業は教室の中での学習と自宅での学習を組み合わせる展開することができる。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。

This lecture is a form of lesson, and in principle, an interview lesson is conducted. A book that sometimes gives zoom lessons depending on the situation. As a progress, one lesson is advanced in two lessons. Each lesson generally proceeds as follows. 1) Quiz (about 25 minutes) 2) Text learning (about 40 minutes) 3) Grammar-related problem exercises, conversation practice, etc. (about 35 minutes). Because continuous learning is required to acquire a foreign language, a quiz will be set up at the beginning of each class. In addition, this lesson can be developed by combining learning in the classroom and learning at home. Feedback on assignments, etc. will be given through class hours or email.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業概要の説明
2	第一課 『北京に到着』 連動文	1 原因、結果の表現 2 動詞句主語 3 数字に関して
3	第一課 『北京に到着』 本文暗唱	文法問題の演習
4	第二課 『道を尋ねる』 疑問文の使い方	1 動詞の完了表現 2 反復疑問文

5	第二課 『道を尋ねる』 本文暗唱	文法問題の演習/会話
6	第三課 『買い物』 数量補語	形容詞と比較の表現に関して
7	第三課 『買い物』 本文の暗唱	文法問題の演習/会話
8	文法問題の演習	第一課～第三課の勉強した内容の復習、確認
9	第四課 『バスに乗る』 1 名詞の修飾語 2 副詞に関して	1 結果補語 2 人民元に関して
10	第四課 『バスに乗る』 本文の暗唱	文法問題の演習/会話
11	第五課 『新しい友達』 様態補語	1 完了の「了」に関して 2 変化の「了」に関して
12	第五課 『新しい友達』 本文の暗唱	文法問題の演習/会話
13	第六課 『外食』 1 経験に関する助詞 2 依頼に関する動詞	1 主述述語文 2 能願動詞
14	第六課 『外食』 本文暗唱	第一課～第六課勉強した内容の復習、文法問題の演習、確認

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は復習が重要なので、授業後は音声を聞いたり、単語帳を作ったりするなど既習した内容をしっかり復習してほしい。また、付属の教材 CD や <http://fic.xsrv.jp/hosei/> を活用し、習った内容をしっかり身につけるように努めてほしい。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。Since review is important for language learning, I would like you to thoroughly review what you have already learned, such as listening to audio and making vocabulary books after class. Also, please make use of the attached teaching material CD and <http://fic.xsrv.jp/hosei/> and try to acquire what you have learned. The standard preparatory study / review time for this class is one hour in total.

Feedback on assignments, etc. will be given through class hours or email.

## 【テキスト（教科書）】

『2 年生のコミュニケーション中国語』

塚本慶一 劉穎 著

白水社

## 【参考書】

中国語辞書を必ず 1 冊用意すること（電子辞書可）

『ポイント学習中国語初級』東方書店

## 【成績評価の方法と基準】

毎回授業の最初に行う小テスト及び授業の参加度は成績評価の 60 % とし、中間と期末の試験はそれぞれ成績の 20 % とします。平均点数が 60 点以上の人を合格とする。

The quiz and class participation at the beginning of each lesson will be 60% of the grades, and the mid-term and final exams will be 20% of the grades respectively. Those with an average score of 60 or more are considered to pass.

## 【学生の意見等からの気づき】

学生とコミュニケーションを取りながら授業を展開することが評価されたので、今後も続けて行く。

It was highly evaluated that the lessons were developed while communicating with the students, so I will continue to do so in the future.

## 【学生が準備すべき機器他】

中国語の発音を聞く必要があるため、PC や CD を用意してほしい。

**【その他の重要事項】**

本講義は面接授業、あるいは zoom の授業を実施しますので、全回の出席が成績評価の前提である。出席率の 70 % に達していない者、課題を提出しない者に関しては、E と判定します。やむを得ない事情（健康不良など）があれば、各種の証明書の提出など、各自で然るべき対応を取ること。尚、毎回の授業の最初に小テストをするので、遅刻は厳禁。

Since this lecture will be an interview class or a zoom class, attendance at all times is a prerequisite for grade evaluation. Those who have not reached 70% of the attendance rate and those who do not submit the assignment will be judged as E. If there are unavoidable circumstances (such as poor health), take appropriate measures such as submitting various certificates. In addition, since a quiz is given at the beginning of each class, it is strictly forbidden to be late.

**【Outline (in English)】**

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

[Learning activities outside of classroom]

The standard preparatory study / review time for this class is one hour in total.

[Grading Criteria]

The quiz and class participation at the beginning of each lesson will be 60% of the grades, and the mid-term and final exams will be 20% of the grades respectively.

LANc200LA

中国語 3 II

2017 年度以降入学者

祝 振媛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語 1、中国語 2 で学習した内容を基礎とし、次のステップへ進む。  
Based on what you learned in Chinese 1 and Chinese 2, proceed to the next step.

【到達目標】

- ・中国語による基本的な日常会話を聞いて理解できる。
- ・基礎的な中国語を使って自分の意思を伝えることができる。
- ・Can listen to and understand basic daily conversations in Chinese.
- ・You can communicate your intentions using basic Chinese.
- ・Foster interest in Chinese history and culture. 中国の歴史、文化に対する関心を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された  
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針  
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部  
・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：  
DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本講義は授業の形態として、原則には面接授業を実施する。状況に  
応じて時には zoom の授業をも行う。進度として 1 課を 2 回の授業  
で進めていく。単語などの小テストを行う。新出単語・文法事項を  
確認しながら、本文の和訳、中訳、発音練習などを行う。毎回会話  
練習をする。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを  
も通じて行う。

This lecture is a form of lesson, and in principle, an interview  
lesson is conducted. A book that sometimes gives zoom lessons  
depending on the situation. As a progress, one lesson is  
advanced in two lessons. Each lesson generally proceeds as  
follows. 1) Quiz (about 25 minutes) 2) Text learning (about 40  
minutes) 3) Grammar-related problem exercises, conversation  
practice, etc. (about 35 minutes). Because continuous learning  
is required to acquire a foreign language, a quiz will be set up  
at the beginning of each class. In addition, this lesson can be  
developed by combining learning in the classroom and learning  
at home. Feedback on assignments, etc. will be given through  
class hours or email.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】  
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習	第一課～第六課の復習
2	第七課 『約束』 伝聞に関する動詞	「可～了」に関して 能願動詞：打算
3	第七課 『約束』 本文の暗唱	文法、表現、語彙に関する練習/ 会話
4	第八課 『友達に電話 する』 方向補語	使役文、兼語
5	第八課 『友達に電話 する』 本文の暗唱	文法、表現、語彙に関する練習/ 会話
6	第九課 『郵便局』 慣用句： 「如果～」	方向補語の「到」

7	第九課 『郵便局』 本文の暗唱	文法、表現、語彙に関する練習/ 会話
8	まとめ、復習	第七課～第九課の復習、勉強した 内容の確認
9	第十課 『医者に 行く』 1 「有一点」に関して	1 能願動詞の「要」 2 一～就
10	第十課 『医者に 行く』 本文の暗唱	文法、表現、語彙に関する練習/ 会話
11	第十一課 『家庭訪問』 1 助動詞「用」 2 進行形	「就是」の使い方
12	第十一課 『家庭訪問』 本文の暗唱	文法、表現、語彙に関する練習/ 会話
13	第十二課 『謝恩会』 可能補語	1 変化を表す「了」 2 「就要～了」
14	第十二課 『謝恩会』 本文の暗唱	第七課～第十二課の復習、勉強し た内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・付属の CD を繰り返し返して聴く。
- ・単語の意味を必ず事前に調べる。
- ・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。語学は復習が重要なので、授業後は音声を聞いたり、単語帳を作ったりするなど既習した内容をしっかり復習してほしい。また、付属の教材 CD や <http://fic.xsrv.jp/hosei/> を活用し、習った内容をしっかり身につけるように努めてほしい。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。Since review is important for language learning, I would like you to thoroughly review what you have already learned, such as listening to audio and making vocabulary books after class. Also, please make use of the attached teaching material CD and <http://fic.xsrv.jp/hosei/> and try to acquire what you have learned. The standard preparatory study / review time for this class is one hour in total. Feedback on assignments, etc. will be given through class hours or email.

【テキスト（教科書）】

『二年生のコミュニケーション中国語』  
塚本慶一 劉穎 著  
白水社

【参考書】

中国語辞書を必ず 1 冊用意すること（電子辞書可）  
『ポイント学習中国語初級』東方書局

【成績評価の方法と基準】

毎回授業の最初に行う小テスト及び授業の参加度は成績評価の 60 %  
とし、中間と期末の試験はそれぞれ成績の 20 % とします。平均点  
数が 60 点以上の人を合格とする。

The quiz and class participation at the beginning of each lesson  
will be 60% of the grades, and the mid-term and final exams  
will be 20% of the grades respectively. Those with an average  
score of 60 or more are considered to pass

【学生の意見等からの気づき】

学生とコミュニケーションを取りながら授業を展開することが評価  
されたので、今後も続けて行く。

It was highly evaluated that the lessons were developed while  
communicating with the students, so I will continue to do so in  
the future.

【学生が準備すべき機器他】

中国語の発音を聞く必要があるため、PC や CD を用意してほしい。

**【その他の重要事項】**

本講義は面接授業、あるいは zoom の授業を実施しますので、全回の出席が成績評価の前提である。出席率の 70 % に達していない者、課題を提出しない者に関しては、E と判定します。やむを得ない事情（健康不良など）があれば、各種の証明書の提出など、各自で然るべき対応を取ること。尚、毎回の授業の最初に小テストをするので、遅刻は厳禁。

Since this lecture will be an interview class or a zoom class, attendance at all times is a prerequisite for grade evaluation. Those who have not reached 70% of the attendance rate and those who do not submit the assignment will be judged as E. If there are unavoidable circumstances (such as poor health), take appropriate measures such as submitting various certificates. In addition, since a quiz is given at the beginning of each class, it is strictly forbidden to be late.

**【Outline (in English)】**

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

[Learning activities outside of classroom]

The standard preparatory study / review time for this class is one hour in total.

[Grading Criteria]

The quiz and class participation at the beginning of each lesson will be 60% of the grades, and the mid-term and final exams will be 20% of the grades respectively.



LANe200LA

## 中国語 3 I

2017 年度以降入学者

## 劉 湯水

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 1/Thu.1

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

教科書には、会話体の文章が集められています。これらの文章を読解しながら、初級文法の復習を行うとともに、中級レベルより高度な文法と語彙を学習します。更に中国への関心と理解も深めるために、教科書で触れているトピックスに関連させながら中国の社会や文化についても紹介を行います。

## 【到達目標】

学んだ基礎的な中国語運用能力を伸ばし、とくに中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させることが目標です。中検3級を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

音読、ヒアリング、会話、暗唱などの練習を繰り返し行い、中国語によるコミュニケーション能力を磨きます。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。本授業はハイブリッド（オンラインと対面を併用）で行います。授業についての詳細は学習支援システムでお知らせします。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業イントロダクション
2	第1課	文法・本文
3	第1課	応用練習
4	第2課	文法・本文
5	第2課	応用練習
6	第3課	文法・本文
7	第3課	応用練習
8	第4課	文法・本文
9	第4課	応用練習
10	第5課	文法・本文
11	第5課	応用練習
12	第6課	文法・本文
13	第6課	応用練習
14	授業の総まとめとテスト	授業の総まとめと期末テスト

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

「もっと話そう 異文化おもしろ体験 中級中国語」 陳淑梅・胡興智・劉湯水  
(朝日出版社)

## 【参考書】

必要に応じて指示する。

## 【成績評価の方法と基準】

課題提出 授業への参加度 30 % 期末レポート課題試験 70 %

## 【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

## 【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を受講するための通信環境、PC等を準備して下さい。

## 【Outline (in English)】

Textbooks are a collection of conversational texts. While reading these sentences, you will review beginner grammar and learn more advanced grammar and vocabulary than the intermediate level. In order to deepen interest and understanding in China, we will also introduce Chinese society and culture in relation to the topics mentioned in the textbook. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANe200LA

## 中国語 3 II

2017 年度以降入学者

劉 湯水

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 1/Thu.1

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

教科書には、会話体の文章が集められています。これらの文章を読解しながら、初級文法の復習を行うとともに、中級レベルより高度な文法と語彙を学習します。更に中国への関心と理解も深めるために、教科書で触れているトピックスに関連させながら中国の社会や文化についても紹介を行います。

## 【到達目標】

学んだ基礎的な中国語運用能力を伸ばし、とくに中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させることが目標です。中検3級を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

音読、ヒアリング、会話、暗唱などの練習を繰り返し行い、中国語によるコミュニケーション能力を磨きます。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業イントロダクション
2	第7課	文法・本文
3	第7課	応用練習
4	第8課	文法・本文
5	第8課	応用練習
6	第9課	文法・本文
7	第9課	応用練習
8	第10課	文法・本文
9	第10課	応用練習
10	第11課	文法・本文
11	第11課	応用練習
12	第12課	文法・本文
13	第12課	応用練習
14	授業のまとめとテスト	授業のまとめと期末テスト

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

「もっと話そう 異文化おもしろ体験 中級中国語」 陳淑梅・胡興智・劉湯水  
(朝日出版社)

## 【参考書】

必要に応じて指示する。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（授業態度、小テスト）30%、試験70%。

## 【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

## 【その他の重要事項】

授業形態は大学の方針に従い変更する場合があります。

## 【Outline (in English)】

Textbooks are a collection of conversational texts. While reading these sentences, you will review beginner grammar and learn more advanced grammar and vocabulary than the intermediate level. In order to deepen interest and understanding in China, we will also introduce Chinese society and culture in relation to the topics mentioned in the textbook. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following

Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANe200LA

## 中国語 3 I

2017 年度以降入学者

木村 佳代子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、「中国語 1」で学修した基礎文法の要点を復習しながら、より実践的な語学力を身に付けつけます。「読む、話す、書く、訳す」技術の向上と、ことばの背景にある中国文化、中国事情の知識を深めることで、発信力と受信力を蓄えてゆきます。

## 【到達目標】

1. 中国語の中級レベルの語彙、文法を学修し、運用することができる。
2. ことばの背景にある中国文化、中国事情について学び、自国との比較を通じて、正しく日中対訳ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

中国社会を反映した全 12 課のテキストを使用し、一つの課を複数回に分け、本文の発音練習、訳文練習、会話練習、作文練習、テキスト内の練習問題の解答を行います。課題等へのフィードバックは授業中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	第 1 課（助動詞、主述	新出単語、本文音読練習、訳文。述語文の用法）
第 2 回	第 1 課（トレーニング 1）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 3 回	第 2 課（”的”の用法、「原因・理由」の表現、文末助詞）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 4 回	第 2 課（トレーニング 2）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 5 回	第 3 課（連動文、”是～的”の文、疑問詞）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 6 回	第 3 課（トレーニング 3）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 7 回	第 1 課～第 3 課の復習	日文中訳・中文日訳の練習。
第 8 回	第 4 課（”了”の 3 つの用法、副詞”就”）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 9 回	第 4 課（トレーニング 4）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 10 回	第 5 課（様態補語、推量の表現、「仮定」の表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 11 回	第 5 課（トレーニング 5）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 12 回	総合練習（第 1 課～第 3 課）	期末試験に向けた復習と練習。
第 13 回	総合練習（第 4 課、第 5 課）	期末試験に向けた復習と練習。
第 14 回	授業内試験・まとめ	朗読試験、ヒヤリング・筆記試験

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

事前学修、事後学修は、付属の CD を活用し、発音練習や書き取り練習を繰り返しおこなってください。

## 【テキスト（教科書）】

『中国語つぎへの一步』尹景春・竹島毅 白水社  
2200 円+税

## 【参考書】

『中国語さらなる一步』尹景春・竹島毅 白水社  
2200 円+税

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 60 %、期末試験 40 %を総合して評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

授業では、学生の個別指導を強化し到達度チェックを図ってゆきます。

## 【学生が準備すべき機器他】

情報機器、音声教材を聞くことができる機器が必要です。

## 【その他の重要事項】

関連科目

200 番台選択科目：中国語コミュニケーション初級 I・II 2 年~1~3 級（HSK 到達目標）／資格中国語初級 I・II 2 年~1~3 級（HSK 到達目標）

300 番台総合科目：中国語コミュニケーション中級 A・B 2 年~3・4 級（HSK 到達目標）／資格中国語中級 A・B 2 年~3・4 級（HSK 到達目標）／中国語講読 A・B 2 年~3~5 級（HSK 到達目標）

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

## 【Outline (in English)】

- ・ To review important point of Chinese grammar.
- ・ Improve reading, speaking, writing, and translating skills.
- ・ Learning Chinese cultures and social changes to enable to express thoughts and opinions in Chinese.
- ・ Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.
- ・ Term-end examination: 40%, in class contribution: 60%

LANe200LA

## 中国語 3 II

2017 年度以降入学者

木村 佳代子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、引き続き、「中国語 1」で学修した基礎文法の要点を復習しながら、より実践的な語学力を身に付けつけます。「読む、話す、書く、訳す」技術の向上と、ことばの背景にある中国文化、中国事情の知識を深めることで、発信力と受信力を蓄えてゆきます。

## 【到達目標】

1. 中国語の中級レベルの語彙、その用法を学修し、運用することができる。
2. ことばの背景にある中国文化、中国事情について学び、自国との比較を通じて、正しく日中対訳ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

中国社会を反映した全 12 課のテキストを使用し、一つの課を複数回に分け、本文の発音練習、訳文練習、会話練習、作文練習、テキスト内の練習問題の解答を行います。

課題等へのフィードバックは授業中またはメールを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	第 6 課（結果補語（1）、副詞”有点”の用法）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 2 回	第 6 課（トレーニング 6）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 3 回	第 7 課（存現文、主述句の主語、二つの”了”）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 4 回	第 7 課（トレーニング 7）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 5 回	第 8 課（状態の持続を表す“着”、副詞”再”、疑問詞の不定用法）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 6 回	第 8 課（トレーニング 8）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 7 回	第 6 課～第 8 課の復習	日文中訳、中文日訳を中心とした練習
第 8 回	第 9 課（方向補語、使役表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 9 回	第 9 課（トレーニング 9）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 10 回	第 10 課（可能補語、強調表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 11 回	第 10 課（トレーニング 10）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 12 回	総合練習（第 6 課～第 8 課）	期末試験に向けた復習と練習。
第 13 回	総合練習（第 9 課、第 10 課）	期末試験に向けた復習と練習。
第 14 回	試験・まとめ	朗読試験、ヒヤリング、筆記試験。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。事前学修、事後学修は、付属の CD を活用し、発音練習や書き取り練習を繰り返しおこなってください。

## 【テキスト（教科書）】

『中国語つぎへの一歩』尹景春・竹島毅 白水社  
2200 円＋税

## 【参考書】

『中国語さらなる一歩』尹景春・竹島毅 白水社  
2200 円＋税

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 60 %、期末試験 40 パーセントを総合して評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

授業では、学生の個別指導を強化して到達度チェックを図ってゆきます。

## 【学生が準備すべき機器他】

情報機器、音声教材を聞くことができる機器が必要です。

## 【その他の重要事項】

関連科目

200 番台選択科目：中国語コミュニケーション初級 I・II 2 年～1～3 級（HSK 到達目標）／資格中国語初級 I・II 2 年～（HSK 到達目標）

300 番台総合科目：中国語コミュニケーション中級 A・B 2 年～3・4 級（HSK 到達目標）／資格中国語中級 A・B 2 年～3・4 級（HSK 到達目標）／中国語講読 A・B 2 年～3～5 級（HSK 到達目標）

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

## 【Outline (in English)】

This course is continued from Spring semester.

・ To review important point of Chinese grammar.

・ Improve reading, speaking, writing, and translating skills.

・ Learning Chinese cultures and social changes to enable to express thoughts and opinions in Chinese.

・ Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

・ Term-end examination: 40%, in class contribution: 60%

LANe200LA

中国語 3 I

2017 年度以降入学者

陳 瀟瀟

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語初級レベルの知識を踏まえ、中級レベルの語彙、文法、表現を学び、中国文化、中国事情及び中国人の考え方を理解した上、中国語の運用能力を向上させることを目的とする。

【到達目標】

- ・初級（中国語 1 と中国語 2）で習った内容を定着させる。
- ・ピンインを頼りにしなくても中国語を読む習慣を身につける。
- ・短い文章を聴く・話す・読む能力を高める。
- ・中国文化・風習について理解を深める。
- ・身の回りのことを積極的に中国語で表現できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストの内容を中心に、各課ごとに単語 → 文型 → 本文 → 練習問題の順で進めてゆく。

グループでの会話練習・ディスカッションがある。課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行う。

※対面授業。授業形態に変更がある場合は大学の方針が確定された後、学習支援システム Hoppii でその都度知らせる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス 発音復習・練習	・授業の計画と進め方、成績評価の方法と基準などの説明 ・中国語発音の練習、文法の復習と練習
第 2 回	第一課 自我介绍	・ウォーミングアップ ・自己紹介の表現 ・前置詞「在」、「跟」 ・「動詞+動詞」を活用
第 3 回	第一課 自我介绍	・本文 ・読解練習 ・実践会話：自我介绍
第 4 回	第二課 李军有很多爱好	・ウォーミングアップ ・趣味に関する表現 ・「比如」の使い方 ・「打算」の使い方 ・前置詞「对」、「从」
第 5 回	第二課 李军有很多爱好	・本文 ・読解練習 ・実践会話：我的兴趣爱好
第 6 回	第三課 赵大妈的一天	・ウォーミングアップ ・一連の動作の表現 「先」「然后」「再」「完」の活用 ・副詞「就」の使い方 ・仮定表現「要是……就……」 ・程度補語の活用 「主語+動詞+得+形容詞」
第 7 回	第三課 赵大妈的一天	・本文 ・読解練習 ・実践会話：周末怎么过?

第 8 回	第四課 许芳的苦恼	・ウォーミングアップ ・復習：動詞+方向補語（来/去） ・副詞「又」「挺」 ・前置詞「给」
第 9 回	第四課 许芳的苦恼	・本文 ・読解練習 ・実践会話：「你有苦恼吗？」
第 10 回	第五課 我们是去年认识的	・ウォーミングアップ ・復習：「是……的」構文 ・「因为……所以……」の活用 ・副詞「总是」の使い方 ・動詞「成」の使い方
第 11 回	第五課 我们是去年认识的	・本文 ・読解練習 ・実践会話：我和我的朋友
第 12 回	第六課 你知道“汉语桥”吗?	・ウォーミングアップ ・復習：「快要……了」 ・前置詞「由」の使い方 ・助数詞（量詞）の概観 ・接続詞「可是」の活用 ・助動詞「要」の使い方
第 13 回	第六課 你知道“汉语桥”吗?	・本文 ・読解練習 ・実践会話：比赛
第 14 回	授業のまとめ・期末試験	・筆記試験&口頭試験 ・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の予習・復習・宿題時間は、1 回につき 4 時間を標準とする。

【予習】ウォーミングアップ、単語、本文の予習が必要

【復習】単語の暗記、文型の理解、構文練習、読む練習など

【宿題】宿題・練習

【テキスト（教科書）】

王安・楊川・王欣・孫樹林著『標準中国語 読解力 UP 編』朝日出版社（2200 円+税、ISBN978-4-255-45215-9C1087）

【参考書】

- ・中国語辞書（電子辞書可）
- ・相原茂・石田知子・戸沼市子著『WHY?にこたえるはじめての中国語の文法書』同社（2500 円+税）
- ・尹景春・竹島毅著『中国語つぎへの一歩』白水社（2200 円+税）
- ・大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香他著『ポイント学習中国語初級 改訂版』東方書店（2900 円+税）

※その他の資料は必要に応じて授業で提示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 50 %、平常点（授業中の取り組み姿勢、課題と小テストの完成度など）50 %を総合して評価する。  
成績評価は 100 点満点とし、60 点以上が合格となる。

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

【学生が準備すべき機器他】

（授業時間外 予習・復習用）音声教材の CD 再生できる機器が必要。

【その他の重要事項】

質問がある場合は、shosho.chin.48@hosei.ac.jp までご連絡ください。

【Outline (in English)】

This is a Chinese Course for intermediate learners. The goals of this Course are to help learners to improve their listening, reading, speaking and writing skills in Chinese, as well as their communication skills in Chinese.

【Learning Objectives】

- ・ Help students to approach an intermediate level in Chinese.
- ・ Express their opinions and experiences in Chinese.
- ・ Having a better understanding of Chinese culture, things and Chinese ways of thinking through this course.

【Learning activities outside of classroom】

Before and after each lesson, students are expected to have 4 hours to preview, review and practice.

【Grading Criteria /Policy】

Term-end exam:50%

In-class contribution:50%

LANe200LA

## 中国語 3 II

2017 年度以降入学者

陳 瀟瀟

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中級レベルの語彙、文法、表現を学び、中国文化、中国事情及び中国人の考え方を理解した上、中国語の運用能力を向上させることを目的とする。

## 【到達目標】

- ・中国語 1～中国語 3 I で習った内容を定着させる。
- ・中国語を読む習慣を身につける。
- ・聴く・話す・読む能力を高める。
- ・身の回りのことを積極的に中国語で表現できる。
- ・中国語で日常会話のコミュニケーションができる。
- ・中国文化・慣習について理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

テキストの内容を中心に、各課ごとに単語 → 文型 → 本文 → 練習問題の順で進めてゆく。

グループでの会話練習・ディスカッションがある。

課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行う。

※対面授業。授業形態に変更がある場合は大学の方針が確定された後、学習支援システム Hoppii でその都度知らせる。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	前期内容の復習 第七課 汉语中的外来語	・前期内容を復習 ・会話練習 ・中国語における外来語 ・助動詞「得」の発音・使い方 ・「些」の使い方
第 2 回	第七課 汉语中的外来語	・本文 ・読解練習 ・日本語の外来語と中国語の外来語
第 3 回	第八課 大学就是一个小社会	・接続詞「或」「由于」 ・助動詞「可以」 ・「除了……以外」 ・中国大学の寮生活について
第 4 回	第八課 大学就是一个小社会	・本文 ・読解練習 ・実践会話：我的大学生活
第 5 回	第九課 年轻人追求时尚	・単語の説明 ・助動詞「会」 ・前置詞「为了」 ・「不仅……而且」構文
第 6 回	第九課 年轻人追求时尚	・本文 ・読解練習 ・中国の若者文化 ・実践会話：你喜欢什么?
第 7 回	第十課 日本动漫的影响力	・前置詞「通过」 ・「欢迎」と「受欢迎」 ・「越来越……」 ・接続詞「并且」

第 8 回	第十課 日本动漫的影响力	・本文 ・読解練習 ・「动漫」について ・実践会話： 我想告诉大家的日本文化
第 9 回	第十一課 北京欢迎你	・「既……又……」構文 ・復習&補充：使役表現 ・本文 ・読解練習 ・実践会話：东京的魅力
第 10 回	第十二課 饮食与中国	・中国の食文化 ・接続詞「不过」 ・「不管……还是……」 ・復習&補充：比較表現「比」 ・復習&補充：受け身表現「被」
第 11 回	第十二課 饮食与中国	・本文 ・読解練習 ・実践会話：日本の美食 ・「这个词中文怎么说？」
第 12 回	第十三課 中国的民族	・「动词+着」構文 ・復習&補充：「把」構文 ・「动词+一下」の使い方 ・本文&練習
第 13 回	第十四課 过春节	・「一边……一边……」構文 ・「有的……有的……」構文 ・中国の春節
第 14 回	授業のまとめ・期末試験	・筆記試験&口頭試験 ・まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の予習・復習・宿題時間は、1 回につき 4 時間を標準とする。

【予習】ウォーミングアップ、単語、本文の予習が必要

【復習】単語の暗記、文型の理解、構文練習、読む練習など

【宿題】宿題・練習

## 【テキスト（教科書）】

王安・楊川・王欣・孫樹林著『標準中国語 読解力 UP 編』朝日出版社（2200 円＋税、ISBN978-4-255-45215-9C1087）

## 【参考書】

- ・中国語辞書（電子辞書可）
- ・相原茂・石田知子・戸沼市子著『WHY?にこたえるはじめての中国語の文法書』同社（2500 円＋税）
- ・尹景春・竹島毅著『中国語つぎへの一歩』白水社（2200 円＋税）
- ・大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香他著『ポイント学習中国語初級 改訂版』東方書店（2900 円＋税）

※その他の資料は必要に応じて授業で提示する。

## 【成績評価の方法と基準】

期末試験 50 %、平常点（授業中の取り組み姿勢、課題と小テストの完成度など）50 % を総合して評価する。  
成績評価は 100 点満点とし、60 点以上が合格となる。

## 【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

## 【学生が準備すべき機器他】

（授業時間外 予習・復習用）音声教材の CD 再生できる機器が必要。

## 【その他の重要事項】

質問がある場合は、shosho.chin.48@hosei.ac.jp までご連絡ください。

## 【Outline (in English)】

This is a Chinese Course for intermediate learners. The goals of this Course are to help learners to improve their listening, reading, speaking and writing skills in Chinese, as well as their communication skills in Chinese.

## 【Learning Objectives】

- ・ Help students to approach an intermediate level in Chinese.
- ・ Express their opinions and experiences in Chinese.
- ・ Having a better understanding of Chinese culture, things and Chinese ways of thinking through this course.

## 【Learning activities outside of classroom】

Before and after each lesson, students are expected to have 4 hours to preview, review and practice.

## 【Grading Criteria /Policy】

Term-end exam:50%

In-class contribution:50%

LANe200LA

## 中国語 3 I

2017 年度以降入学者

## 耿 函

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語（現代漢語）の基礎を固めながら、学生生活や日常生活の様々な場面における実用性の高い中国語を学びます。

## 【到達目標】

既習文法・文型が定着し、テキストに出ている様々な場面に応じて会話のやりとりができることを目指します

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

基本的に1課を2回にわたって進めていきます。1回目は会話文に出ている語彙や文法要点や文型を学習・理解します。2回目は主に聞く・話す・読む・書くなどの応用練習を通じて、語彙や文法・文型の定着・応用力の向上に重点を置きます。復習のために文づくりや会話の発表を取り入れます。フィードバックは授業または「学習支援システム」を通じて行います。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション 第1課、第2課	発音・基礎文法の復習
2	第3課（1）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
3	第3課（2）	応用練習・課題の発表
4	第4課（1）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
5	第4課（2）	応用練習・課題の発表
6	第5課（1）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
7	第5課（2）	応用練習・課題の発表
8	第6課（1）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
9	第6課（2）	応用練習・課題の発表
10	第7課（1）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
11	第7課（2）	応用練習・課題の発表
12	第8課（1）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
13	第8課（2）	応用練習・課題の発表
14	期末試験	第3課～第8課までの試験・まとめ・解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業は会話を中心に学ぶため、テキストの音声ファイルを携帯電話にダウンロードし、十分に活用し、通学時間にも音楽の代わりにヘッドホンステレオで何度も聴くなどの努力を重ね、例文・会話文・短文の音読・暗記・暗唱を行い、フレーズが自然に口について出てくるくらいになることが望ましいです。また、与えられた文づくり及び会話の課題についても真面目に取りこんでほしいです。予習と復習の時間は合わせて1時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

「話そう 実践中国語」宮本大輔・温琳著 朝日出版社 2012年 2200円+税

## 【参考書】

「中国語文法の基礎」守屋宏則著 東方書店

## 【成績評価の方法と基準】

期末筆記テストを50%、小テストと課題をそれぞれ20%、また平常点を10%にし、総合的に評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

学生が楽しみながら使える中国語を習得できるように様々な工夫をしていきたい

## 【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end examination:50%, quiz:20%, homework:20%, in class contribution:10%

LANe200LA

## 中国語 3 II

2017 年度以降入学者

## 耿 函

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語（現代漢語）の基礎を固めながら、学生生活や日常生活の様々な場面における実用性の高い中国語を学びます。

## 【到達目標】

既習文法・文型が定着し、テキストに出ている様々な場面に応じて会話のやりとりができることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

基本的に1課を2回にわたって進めていきます。1回目は会話文に出ている語彙や文法要点や文型を学習・理解します。2回目は主に聞く・話す・読む・書くなどの応用練習を通じて、語彙や文法・文型の定着・応用力の向上に重点を置きます。また、復習のため、文づくりや会話の発表なども取り入れます。フィードバックは授業または「学習支援システム」を通じて行う予定です。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習	春学期末試験の総括・既習の内容の復習
2	第9課（1）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
3	第9課（2）	応用練習・課題の発表
4	第10課（1）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
5	第10課（2）	応用練習・課題の発表
6	第11課（1）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
7	第11課（2）	応用練習・課題の発表
8	第12課（1）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
9	第12課（2）	応用練習・課題の発表
10	第13課（1）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
11	第13課（2）	応用練習・課題の発表
12	第14課（1）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
13	第14課（2）	応用練習・課題の発表
14	期末試験	第9課～第14課の試験・まとめ・解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業は会話を中心に学ぶため、テキストについての音声ファイルを携帯電話にダウンロードし、十分に活用し、通学時間にも音楽の代わりにヘッドホンステレオで何度も聴くなどの努力を重ね、例文・会話文・短文の音読・暗記・暗唱を行い、フレーズが自然に口について出てくるくらいになることが望ましいです。また、与えられた課題についても真面目に取り込んでほしいです。本授業の予習と復習の時間は合わせて1時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

「話そう 実践中国語」宮本大輔・温琳著 朝日出版社 2012年 2200円+税

## 【参考書】

「中国語文法の基礎」守屋宏則著 東方書店

## 【成績評価の方法と基準】

期末筆記テストを50%、小テストと課題をそれぞれ20%、また平常点を10%にし、総合的に評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

引き続き学生全員に高い意欲をもって授業に参加してもらうように工夫していきたい。

## 【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end examination:50%, quiz:20%, homework:20%, in class contribution:10%



LANe200LA

## 中国語 3 I

2017 年度以降入学者

李 維涛

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 2/Thu.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級で学んだ基礎知識を織り交ぜてそれを復習しながら中級の学習を進めて行く。  
「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実戦活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

## 【到達目標】

初級で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。

たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、様々な場面を想定して実戦活動を行い、学んだ知識のアウトプットによる円滑なコミュニケーションを行えることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業の進め方と方法については、基本的に、教室にて対面形式で授業を行うことを想定して、具体的に下記通りの行い方で進めて行きます。

\*状況によってオンライン形式で行うことを余儀なくされる場合、状況に即して具体的に対応し、授業内容によって資料配信・オンデマンド動画配信・双方向同時型と複数の授業形式を使い分けて行うことにする。具体的な行い方とスケジュールなどは事前に、「授業支援システム」を利用して提示し、周知する。

具体的に授業は以下の進め方と方法で行うものとする。

授業は、教科書を使つての勉強、コミュニケーション活動、課題と、3つのブロックに分けて行なう。

## 【教科書】

初回はレベルチェックテストを行い、その結果に応じて、初級で学んだ基礎知識の復習・練習を、最初の3回にわたって行なう。4回目以後教科書を使つての学習に入る。

基本的に1課を2回に分けて、1回目は主に言葉の学習と文法の解説や練習・応用などを、2回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実戦活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。

課毎に、語彙・文法テストを行う。

予習・復習は必須。

## 【コミュニケーション活動】

教科書で学習した内容とシチュエーションの実践活動として、グループまたはペアワークによるコミュニケーション活動を行なう。活動中に能動的且つ積極的に参加し、自己表現することを望む。

## 【課題】

教科書の学習とリンクする形で、学期毎に課題を一回課す。

春学期の課題は自由作文。

テーマ決め → 執筆 → 提出 → リライト → プレゼンテーションという流れで行なう。

課題等へのフィードバックについて

フィードバックが必要な課題に関して、課題が実施した直後の授業時間内か、添削が必要な場合は、添削後の返却時に授業時間内か、授業支援システムなどのツールを利用して行う。

授業スケジュールは、状況に応じて、変更する場合がある。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション レベルチェックテスト	①授業目標、教材、授業の進め方、スケジュール、履修上の注意事項などについて説明。 ②授業用語と挨拶の確認・復習 ③授業アンケート ④レベルチェックテスト
第2回	初級基礎復習 I コミュニケーション活動(1)	①初級基礎知識点検・復習・練習 ②活動(1) 私、そして、私の家族
第3回	初級基礎復習 II コミュニケーション活動(2)	①チェックテスト【初級復習 I】 ②初級基礎知識点検・復習・練習 II ③活動(2) 私の一日、あなたの一日
第4回	初級基礎復習 III コミュニケーション活動(3)	①チェックテスト【初級復習 II】 ②初級基礎知識点検・復習・練習 III ③活動(3) 趣味について ④語彙導入【1 課】
第5回	声をかける・挨拶をする(1) 基本語彙と表現	①チェックテスト【初級復習 III・1 課語彙】 ②■方位詞 ■動作・行為の同伴者 ■動詞の重ね型
第6回	声をかける・挨拶をする(2) 応用活動	①チェックテスト【1 課文法】 ②既習文型応用・実戦練習 ③語彙導入【2 課】
第7回	初対面の自己表現(1) 基本語彙と表現	①チェックテスト【2 課語彙】 ②■推測・判断 ■行為の積極性 ■状態補語
第8回	初対面の自己表現(2) 応用活動	①チェックテスト【2 課文法】 ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動(4) 声をかける・自己紹介する ④語彙導入【3 課】
第9回	伝聞による話題について話す(1) 基本語彙と表現	①チェックテスト【3 課語彙】 ②■伝聞 ■全否定 ■結果補語
第10回	伝聞による話題について話す(2) 応用活動	①チェックテスト【3 課文法】 ②可能補語 ③既習文型応用・実戦練習 ④課題作文について説明
第11回	「伝聞」の応用活動 課題：作文	①コミュニケーション活動(5) 伝聞による話題について話す ②課題作文：テーマ決め・ストーリー作り ③語彙導入【4 課】
第12回	買物について話す：基本語彙と表現	①チェックテスト【4 課語彙】 ②■動詞文：現在進行形 ■目的を表現する ■原因・理由についての訊ね方 ③課題作文提出
第13回	買物について話す：応用活動	①チェックテスト【4 課文法】 ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動(6) 買物情報を交換する
第14回	春学期の総まとめ・期末試験【筆記】	①課題作文リライト提出 ②期末試験

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課毎に、言葉クイズ、文法クイズを行う。

授業で学習した内容をしっかりと復習・予習することが必須。

復習と予習はそれぞれ 1-1.5 時間を要する。

授業外の課題を課された場合、作業時間は授業時間外になるが、きちんと締め切りを守って提出する。

**【テキスト（教科書）】**

『中国語へのアプローチⅡ』

楊凱栄・張麗群 著

朝日出版社 2010 年

ISBN978-4-255-45142-8

**【参考書】**

- 中日・日中辞典類 [紙媒体、電子辞書、APP の何れも可。電子辞書を推奨する]
- 『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂など 同 学社
- 『中国語生活図解辞典』 遠藤雅裕 小学館

**【成績評価の方法と基準】**

授業貢献度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。

チェックテスト [語彙・文法] 35%

期末テスト [筆記+口述] 25%

活動・口頭表現 20%

課題 10%

授業貢献度・学習態度など 10%

※上記テストについて、授業形式が遠隔になった場合、オンラインテストか課題に切り替えることにする。

※評価方法は、受講者の学習状況、授業の実施形態などに応じて、教員によって微調整し、変更する場合がある。

**【学生の意見等からの気づき】**

■授業では口頭練習と活動がたくさん行われるが、どうしても耳だけでは不安で随一板書して欲しいとの学生からの意見があった。今後の授業では、口頭活動の内容を、板書かスクリーンを利用して可能な限り文字でも提示するように心掛ける。

■授業課題は Hoppii を利用して行うことがある。Hoppii の使い方や、音声課題の場合のレコーディング方法などの、技術的な問題が出ており、今後該当する課題がある場合、授業では具体的に操作方法を提示して共有する。

**【学生が準備すべき機器他】**

学習内容に応じて、教室に備えてある機器、または PC などを使う。また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

**【その他の重要事項】**

授業中、学習用具類以外、机上に置かないこと。

特に、携帯電話、飲み物類は、鞆等にしまうこと。

教科書を持参せずの受講は欠席と見なし、必ず教科書、授業関連資料を持って授業に臨むこと。

**【授業に臨む心構え】**

其の一 勉強する意欲と意識を高く持つこと

其の二 しっかり予習・復習してこること。

其の二 教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持つてこること。

**【Outline (in English)】****■ 【Outline and objectives】**

Interweaving the basic knowledge you have learned in elementary level and reviewing progress and advance intermediate level learning.

Considering the balance of the four skills "listen" "read" "talk" "write", improve communication skills by Chinese through actual battle activities etc.

**■ 【Work to be done outside of class (preparation, etc.)】**

A word quiz and a grammar quiz will be given for each lesson.

It is essential to thoroughly review and prepare for what you have learned in class.

Review and preparation each take 1-1.5 hours.

If you are assigned an assignment outside of class, the work time will be outside of class, but you must meet the deadline and submit it.

**■ 【Grading criteria】**

Evaluation is mainly based on tests, activities, and tasks, taking into consideration the degree of class contribution and participation attitude.

Quiz [vocabulary / grammar] 35%

Final test [speaking + writing] 25%

Activity / oral expression 20%

Tasks 10%

Class contribution, learning attitude, etc. 10%

\* Regarding the above test, if the lesson format becomes remote, we will switch to the online test or assignment.

\* The evaluation method may be fine-tuned and changed by the instructor depending on the learning situation of the students and the embodiment of the lesson.

LANe200LA

## 中国語 3 II

2017 年度以降入学者

李 維涛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 2/Thu.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級と中級前半で学んだ基礎知識を織り交ぜて復習しながら中上級を目指して学習を進めて行く。「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実戦活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

## 【到達目標】

初級と中級前半で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級後半の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、学んだ知識のアウトプットを重視し、様々な場面を想定して実戦活動を行なう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業の進め方と方法については、基本的に、教室にて対面形式で授業を行うことを想定して、具体的に下記通りの行い方で進めて行きます。

\*状況によってオンライン形式で行うことを余儀なくされる場合、状況に即して具体的に対応し、授業内容によって資料配信・オンデマンド動画配信・双方向同時型と複数の授業形式を使い分けて行うことにする。具体的な行い方とスケジュールなどは事前に、「授業支援システム」を利用して提示し、周知する。

授業は、教科書を使つての勉強、コミュニケーション活動、課題と、3つのブロックに分けて行なう。

## 【教科書】

初回は初級と中級前半で学んだ知識をチェックするテストを行い、その結果に応じて、既習基礎知識の復習・練習を、最初の2回にわたって行なう。3回目以後教材を使っての学習に入る。

基本的に1課を2回に分けて、1回目は主に文法の解説や練習や応用などを、2回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実戦活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。

課毎に、語彙・文法テストを行う。

予習・復習は必須。

## 【コミュニケーション活動】

教科書で学習した内容・テーマ・シチュエーションに応じて、授業では、グループワークまたはペアワークによるコミュニケーション活動を行なう。

活動中には能動的に参加し、積極的に中国語による自己表現をすることを望む。

## 【課題】

秋学期の課題は二つ。作文と当該年度の中国語の新語・流行語のリサーチレポート。

何れも下記の流れで行なう。

テーマ決め → 執筆 → 提出 → リライト → プレゼンテーション

課題等へのフィードバックについて

フィードバックが必要な課題は、課題が実施した直後の授業時間内か、添削が必要な場合は、添削後の返却時に授業時間内か、授業支援システムなどのツールを利用して行う。

授業スケジュールは、受講者の学習状況、授業実施形態などに応じて、変更する場合がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	春学期学習内容を確認・復習	①中級春学期学習内容チェックテスト ②秋学期授業内容・進め方・スケジュールなどについて説明 ③活動(1)絵と言葉で表現する私の夏休み[前半]
第2回	■春学期学習内容を確認・復習。後期学習への準備。 ■コミュニケーション活動で新学期のウォームアップをする。	・チェックテストを返却・FB ①春学期学習内容を総括・復習 ②活動(1)絵と言葉で表現する私の夏休み[後半] ③語彙導入[5課]
第3回	天気について話す[5課]	①チェックテスト[5課語彙] ②■確認 ■比較[否定] ■能願動詞:可能性や見込み
第4回	天気について話す[5課]	①チェックテスト[5課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動(2):天気について話す ④語彙導入[6課]
第5回	初めての経験について話す[6課]	①チェックテスト[6課語彙] ②■感想・考え・意見を述べる表現 ■能願動詞:「喜んで～する」
第6回	初めての経験について話す[6課]	③課題(1)課題作文について説明 ①チェックテスト[6課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動(3)カフェでおしゃべり ④語彙導入[7課]
第7回	買物について話す[7課]	①チェックテスト[7課語彙] ②■選択:二者択一 ■能願動詞:「～しなければならない」
第8回	買物について話す[7課]	③課題(1)提出 ①チェックテスト[7課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③課題(1)を返却・FB
第9回	書いた物を、声に出して表現する。	①課題(2)課題(1)をプレゼンテーション ②語彙導入[8課]
第10回	会食をプランニングする[8課]	①チェックテスト[8課語彙] ②■全否定/全肯定 ■例外の表し方 ■既定条件
第11回	会食をプランニングする[8課]	①チェックテスト[8課文法] ②能願動詞:総括・復習 既習文型の応用練習
第12回	日常生活における食事の場面でのコミュニケーションを学ぶ。	①活動(4):食事の誘い、食事をする ②語彙導入[9課] ③課題(3)中国語の新語・流行語をリサーチ
第13回	二つのものを比べて表現する[9課]	①チェックテスト[9課語彙] ②■動詞文:持続形 ■推測・判断[肯定] ③課題(3)ピア活動
第14回	■期末テスト前復習・質疑応答 ■期末テスト[筆記]	①授業アンケート ②期末テスト前復習・質疑応答 ③期末テスト[筆記]

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課毎に言葉クイズ・文法クイズを行う。

授業で学習した内容をしっかりと復習・予習すること。

復習と予習はそれぞれ1-1.5時間を要する。

課題などの準備は授業時間外の作業となるが、提出締切など時間を守ることに。

#### 【テキスト（教科書）】

『中国語へのアプローチⅡ』

楊凱栄・張麗群 著

朝日出版社 2010 年

ISBN978-4-255-45142-8

#### 【参考書】

- 中日・日中辞典類 [紙媒体、電子辞書、App の何れも可。電子辞書を奨める]
- 『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂など 同 学社
- 『中国語生活図解辞典』 遠藤雅裕 小学館

#### 【成績評価の方法と基準】

授業参加度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。

チェックテスト [語彙・文法] 35%

期末テスト [筆記+口述] 25%

活動・口頭表現 20%

課題 10%

授業貢献度・学習態度など 10%

\* 上記テストについて、授業形式が遠隔になった場合、オンラインテストか課題に切り替えることにする。

\* 評価方法は、教員によって微調整し、変更する場合がある。

#### 【学生の意見等からの気づき】

■ 授業中に、コミュニケーション活動など、口頭表現する活動が多く行われて来た。学生から、口頭表現の内容を板書して提示して欲しいとの要望があった。今後の授業では、これらの口頭活動の内容を、板書かスクリーンを利用して可能な限り文字資料でも提示するように心掛ける。

■ 授業課題は Hoppii を利用して行うことがある。Hoppii の使い方や、音声課題の場合のレコーディング方法などの、技術的な問題が出ており、今後該当する課題がある場合、授業では具体的に操作方法を提示して共有する。

#### 【学生が準備すべき機器他】

学習内容に応じて、教室に備えてある機器、または PC などを使う。また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

#### 【その他の重要事項】

授業中、学習用具類以外、机上に置かないこと。

特に、携帯電話、飲み物類は、鞆等にしまうこと。

教材 [教科書、授業関連資料] を持参せずの受講は欠席と見なすこと。

#### 【授業に臨む心構え】

其の一 勉強する意欲と意識を高く持つこと

其の二 しっかり予習・復習してこること。

其の三 教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持つてこること。

#### 【Outline (in English)】

[auto translated]

##### ■ 【Outline and objectives】

While interwoven with the basic knowledge learned in the first half and intermediate class, we review progress and aim for middle advanced class while going forward with learning.

Considering the balance of the four skills "listen" "read" "talk" "write", improve communication skills by Chinese through actual battle activities etc.

##### ■ 【Learning activities outside of classroom】

Give a word quiz and a grammar quiz for each lesson.

Thoroughly review and prepare for what you have learned in class.

Review and preparation each take 1-1.5 hours.

Preparations such as assignments will be done outside of class hours, but be sure to keep time such as submission deadlines.

##### ■ 【Grading Criteria /Policy】

Evaluation is mainly based on tests, activities, and tasks, taking into consideration the degree of class participation and participation attitude.

Check test [vocabulary / grammar] 35%

Final test [written + dictation] 25%

Activity / oral expression 20%

Challenge 10%

Class contribution, learning attitude, etc. 10%

\* Regarding the above test, if the lesson format becomes remote, we will switch to the online test or assignment.

\* The evaluation method may be fine-tuned and changed by the faculty member.

LANc200LA

中国語 3 I

2017 年度以降入学者

陳 瀟瀟

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語初級レベルの知識を踏まえ、中級レベルの語彙、文法、表現を学び、中国文化、中国事情及び中国人の考え方を理解した上、中国語の運用能力を向上させることを目的とする。

【到達目標】

- ・初級（中国語 1 と中国語 2）で習った内容を定着させる。
- ・ピンインを頼りにしなくても中国語を読む習慣を身につける。
- ・短い文章を聴く・話す・読む能力を高める。
- ・中国文化・風習について理解を深める。
- ・身の回りのことを積極的に中国語で表現できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストの内容を中心に、各課ごとに単語 → 文型 → 本文 → 練習問題の順で進めてゆく。

グループでの会話練習・ディスカッションがある。課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行う。

※対面授業。授業形態に変更がある場合は大学の方針が確定された後、学習支援システム Hoppii でその都度知らせる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス 発音復習・練習	・授業の計画と進め方、成績評価の方法と基準などの説明 ・中国語発音の練習、文法の復習と練習
第 2 回	第一課 自我介绍	・ウォーミングアップ ・自己紹介の表現 ・前置詞「在」、「跟」 ・「動詞+動詞」を活用
第 3 回	第一課 自我介绍	・本文 ・読解練習 ・実践会話：自我介绍
第 4 回	第二課 李军有很多爱好	・ウォーミングアップ ・趣味に関する表現 ・「比如」の使い方 ・「打算」の使い方 ・前置詞「对」、「从」
第 5 回	第二課 李军有很多爱好	・本文 ・読解練習 ・実践会話：我的兴趣爱好
第 6 回	第三課 赵大妈的一天	・ウォーミングアップ ・一連の動作の表現 「先」「然后」「再」「完」の活用 ・副詞「就」の使い方 ・仮定表現「要是……就……」 ・程度補語の活用 「主語+動詞+得+形容詞」
第 7 回	第三課 赵大妈的一天	・本文 ・読解練習 ・実践会話：周末怎么过?

第 8 回	第四課 许芳的苦恼	・ウォーミングアップ ・復習：動詞+方向補語（来/去） ・副詞「又」「挺」 ・前置詞「给」
第 9 回	第四課 许芳的苦恼	・本文 ・読解練習 ・実践会話：「你有苦恼吗？」
第 10 回	第五課 我们是去年认识的	・ウォーミングアップ ・復習：「是……的」構文 ・「因为……所以……」の活用 ・副詞「总是」の使い方 ・動詞「成」の使い方
第 11 回	第五課 我们是去年认识的	・本文 ・読解練習 ・実践会話：我和我的朋友
第 12 回	第六課 你知道“汉语桥”吗?	・ウォーミングアップ ・復習：「快要……了」 ・前置詞「由」の使い方 ・助数詞（量詞）の概観 ・接続詞「可是」の活用 ・助動詞「要」の使い方
第 13 回	第六課 你知道“汉语桥”吗?	・本文 ・読解練習 ・実践会話：比赛
第 14 回	授業のまとめ・期末試験	・筆記試験&口頭試験 ・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の予習・復習・宿題時間は、1 回につき 4 時間を標準とする。

【予習】ウォーミングアップ、単語、本文の予習が必要

【復習】単語の暗記、文型の理解、構文練習、読む練習など

【宿題】宿題・練習

【テキスト（教科書）】

王安・楊川・王欣・孫樹林著『標準中国語 読解力 UP 編』朝日出版社（2200 円+税、ISBN978-4-255-45215-9C1087）

【参考書】

- ・中国語辞書（電子辞書可）
- ・相原茂・石田知子・戸沼市子著『WHY?にこたえるはじめての中国語の文法書』同社（2500 円+税）
- ・尹景春・竹島毅著『中国語つぎへの一歩』白水社（2200 円+税）
- ・大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香他著『ポイント学習中国語初級 改訂版』東方書店（2900 円+税）

※その他の資料は必要に応じて授業で提示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 50 %、平常点（授業中の取り組み姿勢、課題と小テストの完成度など）50 %を総合して評価する。  
成績評価は 100 点満点とし、60 点以上が合格となる。

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

【学生が準備すべき機器他】

（授業時間外 予習・復習用）音声教材の CD 再生できる機器が必要。

【その他の重要事項】

質問がある場合は、shosho.chin.48@hosei.ac.jp までご連絡ください。

【Outline (in English)】

This is a Chinese Course for intermediate learners. The goals of this Course are to help learners to improve their listening, reading, speaking and writing skills in Chinese, as well as their communication skills in Chinese.

【Learning Objectives】

- ・ Help students to approach an intermediate level in Chinese.
- ・ Express their opinions and experiences in Chinese.
- ・ Having a better understanding of Chinese culture, things and Chinese ways of thinking through this course.

【Learning activities outside of classroom】

Before and after each lesson, students are expected to have 4 hours to preview, review and practice.

【Grading Criteria /Policy】

Term-end exam:50%

In-class contribution:50%

LANe200LA

## 中国語 3 II

2017 年度以降入学者

陳 瀟瀟

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中級レベルの語彙、文法、表現を学び、中国文化、中国事情及び中国人の考え方を理解した上、中国語の運用能力を向上させることを目的とする。

## 【到達目標】

- ・中国語 1～中国語 3 I で習った内容を定着させる。
- ・中国語を読む習慣を身につける。
- ・聴く・話す・読む能力を高める。
- ・身の回りのことを積極的に中国語で表現できる。
- ・中国語で日常会話のコミュニケーションができる。
- ・中国文化・慣習について理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

テキストの内容を中心に、各課ごとに単語 → 文型 → 本文 → 練習問題の順で進めてゆく。

グループでの会話練習・ディスカッションがある。

課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行う。

※対面授業。授業形態に変更がある場合は大学の方針が確定された後、学習支援システム Hoppii でその都度知らせる。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	前期内容の復習 第七課 汉语中的外来語	・前期内容を復習 ・会話練習 ・中国語における外来語 ・助動詞「得」の発音・使い方 ・「些」の使い方
第 2 回	第七課 汉语中的外来語	・本文 ・読解練習 ・日本語の外来語と中国語の外来語
第 3 回	第八課 大学就是一个小社会	・接続詞「或」「由于」 ・助動詞「可以」 ・「除了……以外」 ・中国大学の寮生活について
第 4 回	第八課 大学就是一个小社会	・本文 ・読解練習 ・実践会話：我的大学生活
第 5 回	第九課 年轻人追求时尚	・単語の説明 ・助動詞「会」 ・前置詞「为了」 ・「不仅……而且」構文
第 6 回	第九課 年轻人追求时尚	・本文 ・読解練習 ・中国の若者文化 ・実践会話：你喜欢什么?
第 7 回	第十課 日本动漫的影响力	・前置詞「通过」 ・「欢迎」と「受欢迎」 ・「越来越……」 ・接続詞「并且」

第 8 回	第十課 日本动漫的影响力	・本文 ・読解練習 ・「动漫」について ・実践会話： 我想告诉大家的日本文化
第 9 回	第十一課 北京欢迎你	・「既……又……」構文 ・復習&補充：使役表現 ・本文 ・読解練習 ・実践会話：东京的魅力
第 10 回	第十二課 饮食与中国	・中国の食文化 ・接続詞「不过」 ・「不管……还是……」 ・復習&補充：比較表現「比」 ・復習&補充：受け身表現「被」
第 11 回	第十二課 饮食与中国	・本文 ・読解練習 ・実践会話：日本の美食 ・「这个词中文怎么说?」
第 12 回	第十三課 中国的民族	・「动词+着」構文 ・復習&補充：「把」構文 ・「动词+一下」の使い方 ・本文&練習
第 13 回	第十四課 过春节	・「一边……一边……」構文 ・「有的……有的……」構文 ・中国の春節
第 14 回	授業のまとめ・期末試験	・筆記試験&口頭試験 ・まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の予習・復習・宿題時間は、1 回につき 4 時間を標準とする。

【予習】ウォーミングアップ、単語、本文の予習が必要

【復習】単語の暗記、文型の理解、構文練習、読む練習など

【宿題】宿題・練習

## 【テキスト（教科書）】

王安・楊川・王欣・孫樹林著『標準中国語 読解力 UP 編』朝日出版社 (2200 円 + 税、ISBN978-4-255-45215-9C1087)

## 【参考書】

- ・中国語辞書（電子辞書可）
- ・相原茂・石田知子・戸沼市子著『WHY?にこたえるはじめての中国語の文法書』同社 (2500 円 + 税)
- ・尹景春・竹島毅著『中国語つぎへの一歩』白水社 (2200 円 + 税)
- ・大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香他著『ポイント学習中国語初級 改訂版』東方書店 (2900 円 + 税)

※その他の資料は必要に応じて授業で提示する。

## 【成績評価の方法と基準】

期末試験 50 %、平常点（授業中の取り組み姿勢、課題と小テストの完成度など）50 % を総合して評価する。  
成績評価は 100 点満点とし、60 点以上が合格となる。

## 【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

## 【学生が準備すべき機器他】

（授業時間外 予習・復習用）音声教材の CD 再生できる機器が必要。

## 【その他の重要事項】

質問がある場合は、shosho.chin.48@hosei.ac.jp までご連絡ください。

## 【Outline (in English)】

This is a Chinese Course for intermediate learners. The goals of this Course are to help learners to improve their listening, reading, speaking and writing skills in Chinese, as well as their communication skills in Chinese.

## 【Learning Objectives】

- ・ Help students to approach an intermediate level in Chinese.
- ・ Express their opinions and experiences in Chinese.
- ・ Having a better understanding of Chinese culture, things and Chinese ways of thinking through this course.

## 【Learning activities outside of classroom】

Before and after each lesson, students are expected to have 4 hours to preview, review and practice.

## 【Grading Criteria /Policy】

Term-end exam:50%

In-class contribution:50%

LANe200LA

中国語 3 I

2017 年度以降入学者

桑島 道夫

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級の文法事項を押さえながら、中国語の日常会話や常用表現を身につけます。大学生にとって興味のある話題や身近に起こる出来事を通して、現代中国への理解を深めます。

【到達目標】

- ・初級の文法事項の理解
- ・中国語の日常会話や常用表現の習得

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・発音練習
- ・新出単語の確認
- ・文法事項の確認
- ・教科書に載っている日常会話・常用表現を使った応答練習
- ・教科書の表現を使った応用練習
- ・授業時の課題は、皆さんから課題提出のあった次の授業でご返答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】  
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	発音（1）	声調、単母音
第 2 回	発音（2）	複合母音、子音
第 3 回	発音（3）	鼻音、声調の変化
第 4 回	日常用語ほか	日常生活で必須の挨拶表現
第 5 回	“是” 構文、名前の言い方	“是” 構文は、日本語の「～は～だ」に相当します。
第 6 回	副詞“也”の用法、副詞“都”の用法	中国語の副詞は動詞や形容詞の前に置いて、動詞や形容詞を修飾します。
第 7 回	存在を表す動詞“在”、所有・存在を表す動詞“有”	“在”は特定または既知の人や物がある場所にいる・あることを表します。“有”は所有と存在を表します。
第 8 回	接続詞“不☒”の用法、“有的～、有的～”	“不☒”は前に述べた事柄を部分的に修正したりする場合に用いられます。“有的～、有的～”は「～もあれば、～もある」という表現です。
第 9 回	動詞述語文、前置詞“在”と“跟”の用法	動詞述語文は動詞を述語とする構文です。“在”は動詞の用法のほかに前置詞としての用法もあります。
第 10 回	連動文、文法のまとめ 1	連動文は「図書館に行って勉強する」のように、動作の行われる順に動詞／動詞句が連用されて述語となる構文です。
第 11 回	形容詞述語文、主述述語文	形容詞述語文は形容詞／形容詞句を述語とする構文です。主述述語文は日本語の「彼は目が大きい」のように述語のなかにさらに主語と述語がある構文です。

- 第 12 回 接続詞“但是”の用法、“但是”は日本語の「しかし、でも」に相当する逆説の表現です。
- 第 13 回 “快要……了”、“正在……(呢)” “快要……了”は動作や状況の発生が近いことを表します。“正在……(呢)”は動作行為が進行中であることを表します。
- 第 14 回 動詞／動詞句+“的”+名詞、助動詞“得”の用法 中国語では動詞／動詞句が名詞を修飾する際、そのあいだに“的”を入れる必要があります。“得”は（道理や事実から）義務や必要性を表します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

于康ほか著『多角度新感覚キャンパスストーリー 【中国語入門】』、好文出版、2750 円

【参考書】

守屋宏則著『やさしくくわしい中国語文法の基礎 改訂新版』、東方書店、2640 円  
小学館『中日辞典』第 3 版、8250 円（スマホの辞書アプリなら、日中辞典も併せて 4100 円）

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60 % + 平常点（小テスト）40 %

【学生の意見等からの気づき】

今年度から担当。

【Outline (in English)】

This course introduces Chinese Conversation.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to understand elementary grammar matters and to learn daily Chinese conversation and common expressions.

【Learning activities outside of the classroom】

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 60 %, in-class contribution: 40 %.

LANe200LA

## 中国語 3 II

2017 年度以降入学者

桑島 道夫

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級の文法事項を押さえながら、中国語の日常会話や常用表現を身につけます。大学生にとって興味のある話題や身近に起こる出来事を通して、現代中国への理解を深めます。

## 【到達目標】

- ・初級の文法事項の理解
- ・中国語の日常会話や常用表現の習得

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

- ・発音練習
- ・新出単語の確認
- ・文法事項の確認
- ・教科書に載っている日常会話・常用表現を使った応答練習
- ・教科書の表現を使った応用練習
- ・授業時の課題は、皆さんから課題提出のあった次の授業でご返答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】  
なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	完了を表す“了”の用法、否定の副詞“没”の用法	“了”は動詞の直後に置かれ、動作の実現・完了を表します。否定の副詞“没”はある動作・行為がまだ発生していないことを表します。
第 2 回	前置詞“从”の用法、動詞“送”の用法	“从”は空間や時間の起点を表します。“送”は二重目的語を取る動詞です。
第 3 回	文法まとめ 2（教科書通算）	ここまでの文法事項や要点を復習します。
第 4 回	助動詞“会”、“能”、“可以”の用法、文末の語気助詞“了”の用法	“会”、“能”、“可以”「～できる」ことを表します。文末に置く“了”は変化・新しい状況の発生やある出来事が実現したことを表します。
第 5 回	“是……的”構文、心理動詞“喜”、“”の用法	“是……的”はすでに実現された動作・行為について、時間・場所・手段・目的などを強調する表現です。心理動詞は形容詞のように程度副詞の修飾を受けられます。
第 6 回	慣用表現“又……，又……”の用法ほか	“又……，又……”は二つまたは二つ以上の動作・状態・状況が重なることを表します。
第 7 回	比較表現、前置詞“离”の用法	「A は B より～だ」という表現です。“离”は二地点のあいだの空間的・時間的な隔たりを表します。
第 8 回	“从……到……”の用法、交通手段の表し方	“从”は時間や空間の起点を表し、“到”は時間や空間の終点を表します。乗り物に乗ってある場所へ行く／来る表現です。

第 9 回	文法まとめ 3	ここまでの文法事項や要点を復習します。
第 10 回	助動詞“想”の用法、助動詞“打算”の用法	“想”は希望や願望を表し、形容詞のように程度副詞で修飾することができます。“打算”は「～するつもり」を表します。“想”と異なり、程度副詞で修飾することはありません。
第 11 回	経験を表す“”の用法、よく使われる接続詞	“”は過去の経験を表します。
第 12 回	“把”構文、貨幣の単位（数の数え方）	前置詞“把”は目的語を動詞の前に持ってくるすることができます。
第 13 回	受身文、“～极了”	日本語の「～に～される」のような表現です。
第 14 回	文法まとめ 4	ここまでの文法事項や要点を復習します。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

于康ほか著『多角度新感覚キャンパスストーリー 【中国語入門】』、好文出版、2750 円

## 【参考書】

守屋宏則著『やさしくくわしい中国語文法の基礎 改訂新版』、東方書店、2640 円  
小学館『中日辞典』第 3 版、8250 円（）

## 【成績評価の方法と基準】

期末試験 60 % + 平常点（小テスト）40 %

## 【学生の意見等からの気づき】

今年度から担当。

## 【Outline (in English)】

This course introduces Chinese Conversation.

## 【Learning Objectives】

The goals of this course are to understand elementary grammar matters and to learn daily Chinese conversation and common expressions.

## 【Learning activities outside of the classroom】

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

## 【Grading Criteria/Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 60 %, in-class contribution: 40 %.



LANe200LA

## 中国語 3 I

2017 年度以降入学者

木村 佳代子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、「中国語 1」で学修した基礎文法の要点を復習しながら、より実践的な語学力を身に付けつけます。「読む、話す、書く、訳す」技術の向上と、ことばの背景にある中国文化、中国事情の知識を深めることで、発信力と受信力を蓄えてゆきます。

## 【到達目標】

1. 中国語の中級レベルの語彙、文法を学修し、運用することができる。
2. ことばの背景にある中国文化、中国事情について学び、自国との比較を通じて、正しく日中対訳ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

中国社会を反映した全 12 課のテキストを使用し、一つの課を複数回に分け、本文の発音練習、訳文練習、会話練習、作文練習、テキスト内の練習問題の解答を行います。課題等へのフィードバックは授業中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	第 1 課（助動詞、主述	新出単語、本文音読練習、訳文。述語文の用法）
第 2 回	第 1 課（トレーニング 1）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 3 回	第 2 課（”的”の用法、「原因・理由」の表現、文末助詞）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 4 回	第 2 課（トレーニング 2）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 5 回	第 3 課（連動文、”是～的”の文、疑問詞）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 6 回	第 3 課（トレーニング 3）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 7 回	第 1 課～第 3 課の復習	日文中訳・中文日訳の練習。
第 8 回	第 4 課（”了”の 3 つの用法、副詞”就”）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 9 回	第 4 課（トレーニング 4）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 10 回	第 5 課（様態補語、推量の表現、「仮定」の表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 11 回	第 5 課（トレーニング 5）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 12 回	総合練習（第 1 課～第 3 課）	期末試験に向けた復習と練習。
第 13 回	総合練習（第 4 課、第 5 課）	期末試験に向けた復習と練習。
第 14 回	授業内試験・まとめ	朗読試験、ヒヤリング・筆記試験

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

事前学修、事後学修は、付属の CD を活用し、発音練習や書き取り練習を繰り返しおこなってください。

## 【テキスト（教科書）】

『中国語つぎへの一步』尹景春・竹島毅 白水社  
2200 円+税

## 【参考書】

『中国語さらなる一步』尹景春・竹島毅 白水社  
2200 円+税

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 60 %、期末試験 40 %を総合して評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

授業では、学生の個別指導を強化し到達度チェックを図ってゆきます。

## 【学生が準備すべき機器他】

情報機器、音声教材を聞くことができる機器が必要です。

## 【その他の重要事項】

関連科目

200 番台選択科目：中国語コミュニケーション初級 I・II 2 年~1~3 級（HSK 到達目標）／資格中国語初級 I・II 2 年~1~3 級（HSK 到達目標）

300 番台総合科目：中国語コミュニケーション中級 A・B 2 年~3・4 級（HSK 到達目標）／資格中国語中級 A・B 2 年~3・4 級（HSK 到達目標）／中国語講読 A・B 2 年~3~5 級（HSK 到達目標）

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

## 【Outline (in English)】

- ・ To review important point of Chinese grammar.
- ・ Improve reading, speaking, writing, and translating skills.
- ・ Learning Chinese cultures and social changes to enable to express thoughts and opinions in Chinese.
- ・ Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.
- ・ Term-end examination: 40%, in class contribution: 60%

LANe200LA

## 中国語 3 II

2017 年度以降入学者

木村 佳代子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、引き続き、「中国語 1」で学修した基礎文法の要点を復習しながら、より実践的な語学力を身に付けつけます。「読む、話す、書く、訳す」技術の向上と、ことばの背景にある中国文化、中国事情の知識を深めることで、発信力と受信力を蓄えてゆきます。

## 【到達目標】

1. 中国語の中級レベルの語彙、その用法を学修し、運用することができる。
2. ことばの背景にある中国文化、中国事情について学び、自国との比較を通じて、正しく日中対訳ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

中国社会を反映した全 12 課のテキストを使用し、一つの課を複数回に分け、本文の発音練習、訳文練習、会話練習、作文練習、テキスト内の練習問題の解答を行います。

課題等へのフィードバックは授業中またはメールを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	第 6 課（結果補語（1）、副詞”有点”の用法）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 2 回	第 6 課（トレーニング 6）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 3 回	第 7 課（存現文、主述句の主語、二つの”了”）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 4 回	第 7 課（トレーニング 7）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 5 回	第 8 課（状態の持続を表す”着”、副詞”再”、疑問詞の不定用法）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 6 回	第 8 課（トレーニング 8）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 7 回	第 6 課～第 8 課の復習	日文中訳、中文日訳を中心とした練習
第 8 回	第 9 課（方向補語、使役表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 9 回	第 9 課（トレーニング 9）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 10 回	第 10 課（可能補語、強調表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 11 回	第 10 課（トレーニング 10）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 12 回	総合練習（第 6 課～第 8 課）	期末試験に向けた復習と練習。
第 13 回	総合練習（第 9 課、第 10 課）	期末試験に向けた復習と練習。
第 14 回	試験・まとめ	朗読試験、ヒヤリング、筆記試験。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。事前学修、事後学修は、付属の CD を活用し、発音練習や書き取り練習を繰り返しおこなってください。

## 【テキスト（教科書）】

『中国語つぎへの一歩』尹景春・竹島毅 白水社  
2200 円＋税

## 【参考書】

『中国語さらなる一歩』尹景春・竹島毅 白水社  
2200 円＋税

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 60 %、期末試験 40 パーセントを総合して評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

授業では、学生の個別指導を強化して到達度チェックを図ってゆきます。

## 【学生が準備すべき機器他】

情報機器、音声教材を聞くことができる機器が必要です。

## 【その他の重要事項】

関連科目

200 番台選択科目：中国語コミュニケーション初級 I・II 2 年～1～3 級（HSK 到達目標）／資格中国語初級 I・II 2 年～（HSK 到達目標）

300 番台総合科目：中国語コミュニケーション中級 A・B 2 年～3・4 級（HSK 到達目標）／資格中国語中級 A・B 2 年～3・4 級（HSK 到達目標）／中国語講読 A・B 2 年～3～5 級（HSK 到達目標）

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

## 【Outline (in English)】

This course is continued from Spring semester.

・ To review important point of Chinese grammar.

・ Improve reading, speaking, writing, and translating skills.

・ Learning Chinese cultures and social changes to enable to express thoughts and opinions in Chinese.

・ Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

・ Term-end examination: 40%, in class contribution: 60%

LANe200LA

## 中国語 3 I

2017 年度以降入学者

王 翠莉

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、中国語 1 と中国語 2 を一通り終えた学生を対象とする授業です。

本授業では、中国語 1 と中国語 2 で学んだ基礎文法句型を生かし、教科書「優しいビジネス中国語」の内容を勉強することにより、中国語の応用表現を覚えます。

本講義の目的は、ビジネス上で必要な中国語の基本会話と文章表現を勉強し覚えることにより、中国語の応用力の向上を目指すことにあります。

## 【到達目標】

使用教科書「やさしいビジネス中国語」の内容は、とても実用的且つ充実した内容なので、そのビジネス上で必要な中国語の表現を勉強し覚えることにより、中国語の表現力と応用力が向上できます。到達目標とは、準中級レベルのビジネス上で必要な基本会話とビジネス関係の中国語文章の翻訳ができるようになることを目標とします。The content of the required textbook, “やさしいビジネス中国語,” is very practical and productive, so by learning and memorizing Chinese in these business scenes of the textbook, you will be able to improve your Chinese expression and ability to apply knowledge to new situations.

The goal is to be able to speak semi-intermediate level Chinese in business scenes and translate Chinese documents related to business.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

本授業の進め方と方法は、基本的には教科書を中心に授業を進めます。教科書の内容は、銀行、財務、商談、宴会のセッティング、労働待遇、アフタサービス、国際入札、コンテナ輸送など幅広い分野をカバーしていて、とても実用的で充実した内容です。

教科書の各課は、会話本文、文法と作文、書き換え練習、ヒアリング練習と参考表現からなっています。

授業の進め方は、まず、教科書の文法を説明の上、受講生たちと一緒に会話本文を読んだり翻訳したりします。難しい中国語の表現がある場合、例文を挙げて説明したりします。その次、書き換え練習、ヒアリング練習、参考表現を練習します。時間の余裕がある場合、音読と短文作りの練習をします。

授業中、単語小テストをしますが、小テストの点数を平常点に計上します。

授業中の練習方法としては、毎回の授業では音読と翻訳の練習をし、できるだけ、受講生全員に練習のチャンスを与えます。

課題等へのフィードバックは基本的には授業時間を通じて行います。本授業は、対面形式ですが、必要に合わせて、オンライン（ZOOM 形式）形態を実施することも可能です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	オリエンテーション	ZOOM 形式授業 本授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明し、使用教科書を紹介する。 ZOOM 授業の受講環境を確認する。
2 回目	第 1 課 オフィスを訪ねる	①会話本文「オフィスを訪ねる」 ②「文法と作文」 文法 1：「疑問詞+☒」構文； 文法 2：動詞の重ね方 ③置き換え練習 ④ヒアリング練習 ⑤参考表現
3 回目	質問応答と音読練習	ZOOM 授業 質問応答と音読練習
4 回目	第 2 課 レストランに食事に行く	①第 1 課の単語小テスト ②会話本文「レストランに食事に行く」 ③文法と作文 文法 3：「形容詞+了」構文 文法 4：選択疑問文「A ☒是 B？」 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
5 回目	第 3 課 銀行に行く	①第 2 課の単語小テスト ②会話本文「銀行に行く」 ③文法と作文 文法 5：助動詞「想」の用法 文法 6：結果補語「好」の用法 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
6 回目	質問応答と音読練習	ZOOM 授業 質問応答と音読練習
7 回目	第 4 課 商談をする	①第 3 課の単語テスト ②会話本文「商談をする」 ③文法と作文 文法 7：結果補語「到」 文法 8：程度補語 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
8 回目	第 5 課 宴会のセッティングする	①第 4 課の単語テスト ②会話本文「宴会のセッティング」 ③文法と作文 文法 9：数量述語文 文法 10：「把」+目的語+動詞」の構文 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
9 回目	質問応答と総合練習	ZOOM 授業 質問応答 音読練習 総合練習
10 回目	第 6 課 有給休暇を取る	①第 5 課の単語テスト ②会話本文「有給休暇をとる」 ③文法と作文 文法 11：助動詞「可以」の用法 文法 11：助動詞「可以」の用法 文法 12：「快～了」の用法 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現

11 回目	第 7 課 フライトを待つ	①第 6 課の単語テスト②会話本文「フライトを待つ」 ③文法と作文 文法 13：時間量を示す言葉の位置 文法 14：「被」の用法 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
12 回目	授業のまとめ	ZOOM 授業 質問応答 総合練習 期末試験について説明
13 回目	授業内口頭試験	対面形式 音読テスト
14 回目	授業内筆記試験	対面形式 授業内筆記試験

#### 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の授業内容と宿題をしっかりと練習しましょう。  
特に外国語の勉強にとっては、音読練習はとても重要なので、楽しく練習すれば、上手になります。  
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。  
オンライン授業を実施する場合、ちゃんと ZOOM 授業に参加し、毎回のレポート課題をしっかりとやりましょう。

Make sure to review after each class and do your homework. In learning a foreign language, reading aloud is very important. If you enjoy the process, you will be able to improve quickly. On average, it should take about 1 hour to prepare and review each class.

If the class is done online, make sure to participate in each Zoom class and do every assignment.

#### 【テキスト（教科書）】

『やさしいビジネス中国語』三瀧正道他著、朝日出版社、2007 年、2,200 + 税

#### 【参考書】

中国語辞書  
『商経学部生のための読む中国語』大羽りん・趙青著、白水社

#### 【成績評価の方法と基準】

成績評価は、平常点と期末試験の点数により構成されます。  
平常点は 30 %で、期末試験は 70 %。  
平常点には、受講態度、小テスト、課題の完成度、口頭試問等を含みます。  
期末試験の 70 %には、口頭試験は 20 %、筆記試験は 50 %。  
Grading criteria consists of participation points and a final exam. Participation points share 30% and final exam share 70% of the grade. Participation points include class attendance and attitude in each class, quizzes, level of completion of assignments, and oral tests. The final exam 70% includes oral examinations 20% and paper examination 50%.

#### 【学生の意見等からの気づき】

授業の終了時間をオーバーしないように気を付けます。

#### 【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を受講するための通信環境、PC などを準備してください。

#### 【Outline (in English)】

This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners. This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners to acquire the basic grammar and to learn how to use Chinese by the Book of "Friendly Business". The aim of this course We will improve the Chinese basic speaking, writing and applying ability.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANc200LA		2 回目	第 8 課 アフターサービス	①第 8 課のポイントを解説する 文法 15：「吧」の用法 文法 16：「V 〇〜」の用法 ②会話本文「アフターサービス」を勉強する ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現
中国語 3 II		3 回目	第 9 課 コンテナ輸送	①第 8 課の単語テスト②第 9 課のポイントの説明する 文法 17：「一〜就…」の構文 文法 18：「既〜又…」の構文 ③会話本文「コンテナ輸送」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現を説明する。
王 翠莉		4 回目	第 8 課、第 9 課の音読練習と質問解答	①音読練習 ②質問解答
開講時期：秋学期授業/Fall   曜日・時限：水 4/Wed.4 単位数：1 単位		5 回目	第 10 課 待遇	①第 9 課の単語テスト ②第 10 課のポイントの説明する 文法 19：「(只有) 〇、才能…」の用法 文法 20：「作〇〜」の用法 ③会話本文「待遇」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現
その他属性：		6 回目	第 11 課 病院にて	①第 10 課の単語テスト②第 11 課のポイントの説明する 文法 21：「先〜、然后…」の構文 文法 22：「不是〜、而是…」の構文 ③会話本文「病院にて」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現
<b>【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】</b> 本授業は、中国語 3 I の続きです。 春学期に使用した教科書「やさしいビジネス中国語」を引き続き勉強し、秋学期は第 8 課から勉強します。アフターサービス、流通業のコンテナ輸送、就職面接&待遇、病院で診察を受ける、国際入札、財務関係など、幅広く各分野にわたって中国語の表現を勉強します。本講義の目的は、ビジネス上で必要な中国語の基本会話と文章表現を勉強し覚えることにより、中国語の応用力の向上を目指すことにあります。		7 回目	第 10 課、第 11 課の音読練習と質問解答	①第 10 課、第 11 課の音読練習 ②質問解答
<b>【到達目標】</b> 使用教科書「やさしいビジネス中国語」の内容は、とても実用的且つ充実した内容なので、それらのビジネス上で必要な中国語の表現を勉強し覚えることにより、中国語の表現力と応用力が向上できます。到達目標とは、準中級レベルのビジネス上で必要な基本会話とビジネス関係の中国語文章の翻訳ができるようになることを目標とします。 The content of the required textbook, “やさしいビジネス中国語,” is very practical and productive, so by learning and memorizing Chinese in these business scenes of the textbook, you will be able to improve your Chinese expression and ability to apply knowledge to new situations. The goal is to be able to speak semi-intermediate level Chinese in business scenes and translate Chinese documents related to business.		8 回目	第 12 課 国際入札	①第 11 課の単語テスト ②第 12 課のポイントの説明する 文法 23：「听〜/听〇〜」の構文 文法 24：「有」を伴う 2 音節動詞 ③会話本文「国際入札」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現を説明する。
<b>【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】</b> 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1		9 回目	第 13 課 財務	①第 12 課の単語小テストをする。 ②第 13 課のポイントの説明する 文法 25：様態補語と可能補語 文法 26：助詞「地」の用法 ③会話本文「財務」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現を説明する。
<b>【授業の進め方と方法】</b> 本授業は、春学期と同様に基本的には教科書を中心にして授業を進めます。 授業の進め方は、まず、教科書の文法を説明の上、受講生たちと一緒に会話本文を読んだり翻訳したりします。難しい中国語の表現がある場合、例文を挙げて説明したりします。本文と文法を勉強した後、書き換え練習、ヒアリング練習、参考表現を練習します。時間の余裕がある場合、音読と短文作りの練習をします。 授業中、単語小テストをします。小テストの点数を平常点に計上します。 授業中の練習方法としては、毎回の授業では音読と翻訳の練習をし、できるだけ受講生全員に練習のチャンスを与えます。 課題等へのフィードバックは基本的には授業時間を通じて行います。		10 回目	第 12 課、第 13 課の音読練習と質問解答	①第 12 課、第 13 課の音読練習 ②質問解答
<b>【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施)】</b> なし/No		11 回目	秋学期の内容についての質問解答	秋学期の内容第 8 課〜第 13 課の内容について、受講生からの質問を解答する。
<b>【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】</b> なし/No		12 回目	総合復習練習	①授業内容のまとめと復習 ②期末テストについて説明する。
<b>【授業計画】</b> 授業形態：対面/face to face		13 回目	授業内音読テスト	音読テスト
回	テーマ	内容		
1 回目	①オリエンテーション ②総合復習	①秋学期の授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明する。 ②中国語で自己紹介文を書いて提出する。	14 回目	授業内筆記試験

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

授業内容を復習することはとても大切なことなので、宿題又は課題がある場合、ちゃんとやりましょう。

また、外国語の勉強にとっては、音読がとても重要なので、楽しく練習すればお上手になります。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

**Make sure to review after each class and do your homework. In learning a foreign language, reading aloud is very important. If you enjoy the process, you will be able to improve quickly.**

**On average, it should take about 1 hour to prepare and review each class.**

**If the class is done online, make sure to participate in each Zoom class and do every assignment.**

**【テキスト（教科書）】**

『やさしいビジネス中国語』三浦正道他著、朝日出版社、2007 年、2,200 円＋税

**【参考書】**

『商経学部生のための読む中国語』大羽りん・趙青著、白水社、2019 年 2 月

**【成績評価の方法と基準】**

成績評価は、平常点と期末試験の点数により総合評価を出す。

平常点は 30%、期末試験は 70%。

平常点には、出席、授業中の小テストと練習および学習態度等を含む。

期末試験には、音読テストは 20%、筆記試験は 50% 占める。

中国語検定試験 4 級以上の合格者には、期末筆記試験を免除する。

中国語検定試験の取得点数と期末口頭試験と平常点により評価をする。

\*無断欠席 4 回以上の受講生は評価対象にならない可能性がある。

**Grading criteria consists of participation points and a final exam. Participation points share 30% and final exam share 70% of the grade. Participation points include class attendance and attitude in each class, quizzes, level of completion of assignments, and oral tests. The final exam 70% includes oral examinations 20% and paper examination 50%.**

**【学生の意見等からの気づき】**

授業中の私語と中国語学習以外の携帯使用を禁止する！

授業の終了時間をオーバーしないように気を付ける。

**【Outline (in English)】**

This course is Chinese 1 of III which is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners. This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners to acquire the basic grammar and to learn how to use Chinese by the Book of "Friendly Business Chinese. The aim of this course We will improve the Chinese basic speaking, writing and applying ability.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following

Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANe200LA

中国語 3 I

2017 年度以降入学者

柴崎 公美子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 1/Tue.1  
単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、一年次に学んだ中国語の基礎文法を復習しながら、「読む、話す、書く、訳す」という四技能の向上をはかり、より実践的な語学力を身に付けつけることを目的とします。

【到達目標】

一年次の中国語学習において習得した内容を基盤として、以下の点を伸ばしていく。修了後には中国語検定 4 級および HSK 3 級を取得可能なレベルに到達することを目標とする。

- ・「漢字」に頼らない正確な中国語読解力
- ・「ピンイン」に頼らない中国語発音能力
- ・より幅広い語彙、文法を使いこなす表現能力
- ・やや複雑な表現も聞き取ることができるリスニング能力

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

指定テキストの内容について、ひとつの課を二部に分け 2 週にわたって学習します。進行の方法は以下の通り。

- ①単語の解説と音読 → ②その課の文法事項（ポイント）の解説 → ③練習問題の実施と解説（指名して回答してもらいます） → ④本文の解説と音読練習
- ・新出単語、補充単語、本文は予習、復習において何度も音読練習してください。
- ・練習問題は授業時間内に実施、解説します。
- ・指示された課題は必ず取り組んでください。
- ・課題等のフィードバックは授業時間または Hoppii を通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション・ガイダンス	授業の進め方・課題の取り組み方・評価の仕方・受講における決まり事などを説明します。中国語リテラシーについてもお話しします。
2	第 12 課 你是什么？ 候回來的？ Step1 の単語・文法学習 Step2 の会話・音読演習	強調構文、様態補語、疑問詞の不定・任意用法など
3	第 12 課 你是什么？ 候回來的？ Step 3 の単語・文法学習 Step 4 の長文読解・音読演習	その他の不定・任意用法、本文のリスニングと解釈

4	第 13 課 我正在写 告呢 Step1 の単語・文法学習 Step2 の会話・音読演習	結果補語、動作の進行、連勝修飾語「地」など
5	第 13 課 我正在写 告呢 Step 3 の単語・文法学習 Step 4 の長文読解・音読演習	その他の結果補語、本文のリスニングと解釈
6	第 14 課 下雨了 Step1 の単語・文法学習 Step2 の会話・音読演習	無主語文、動作・状態の持続、複合方向補語など
7	第 14 課 下雨了 Step 3 の単語・文法学習 Step 4 の長文読解・音読演習	「不能不～」「除了～以外……」、本文のリスニングと解釈
8	第 15 課 我 来 得 及 看 Step1 の単語・文法学習 Step2 の会話・音読演習	兼語文 (1)、可能補語、禁止文など
9	第 15 課 我 来 得 及 看 Step 3 の単語・文法学習 Step 4 の長文読解・音読演習	その他の可能補語、本文のリスニングと解釈
10	第 16 課 把以前的考 做一 Step1 の単語・文法学習 Step2 の会話・音読演習	形容詞の重ね形、完了の「 <input type="checkbox"/> 」、処置文など
11	第 16 課 把以前的考 做一 做 Step 3 の単語・文法学習 Step 4 の長文読解・音読演習	「越～越……」、「不管～」、本文のリスニングと解釈
12	第 17 課 小心！后 面来了一 Step1 の単語・文法学習 Step2 の会話・音読演習	存現文、疑問詞の呼応など
13	第 17 課 小心！后 面来了一 Step 3 の単語・文法学習 Step 4 の長文読解・音読演習	「差（一）点儿」、積極性を示す「来」と「去」、本文のリスニングと解釈
14	授業の総まとめと期末 試験	授業の総まとめと筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は予習・復習が習得の鍵です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とします。その具体的な内容は以下の通り。

【予習】

「Quizlet」によって単語、例文をあらかじめ確認し、練習問題を解いて授業中の指名に回答できるようにしておく。  
・会話および長文は、付属音声聴いて教科書本文を確認する。

【復習】

「Quizlet」によって単語、例文、練習問題を復習し、知識を定着させたくてテストに取り組む。これは課題となります。

【テキスト（教科書）】

『4 技能対応 ベーシック・チャイニーズ②』（早稲田中国語教育研究会編著、三修社）。

**【参考書】**

中日辞典を必ず用意すること（どこの出版社のものでも良い。電子辞書も可とする）。  
一年時に使用した『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）

**【成績評価の方法と基準】**

対面授業の場合、期末試験 50%、課題の達成度+平常点（予習の完成度、授業への参加意欲など）の合計 50%の割合で総合的に評価します。

（もしオンライン授業となった場合は上記の割合を試験 30%、課題+平常点 = 70%に変更し総合的に判断することとします）

提出課題についての注意：

オンラインドリル以外に提出課題を課すこともあります。その際は以下の点に注意してください。

- ①期限日までに必ず提出すること。締切日に遅れた場合、課題提出はできなくなり、評価材料にもなりません。
- ②なるべく完成度の高い回答を提出してください。課題の評価が低い=成績の低評価につながります。
- ③何の断りもなく締切日が過ぎた課題を他の課題と一緒に提出されても、評価はしません。
- ④フィードバック後の修正再提出は大歓迎です。評価ももちろん修正します。あらかじめ、ご連絡をくだされば再提出期限を設定します。
- ⑤オンラインドリルは授業終了後速やかに取り組むこと。積み残しすればするほど大変な思いをすることになります。

**【学生の意見等からの気づき】**

- ・スライド画面については多様性を鑑み、ユニバーサルデザインを心がけます。
- ・説明を簡潔に、わかりやすくするよういたします。
- ・受講について、こちらで考慮すべきご事情があれば遠慮せずご相談ください。できる限りお力になれるよういたします。

**【学生が準備すべき機器他】**

「Quizlet」というオンライン学習システムを使用しますので、各自でパソコンおよびスマートフォンなどインターネット学習ができる環境を整えておいてください。

**【その他の重要事項】**

受講において考慮すべきことがあれば遠慮なくご相談ください。

**【Outline (in English)】**

Based on the basic skills acquired in the first year, the course aims to improve the basic grammar, listening, speaking, and writing skills of the Chinese language.

Two hour is required for each lesson for preparation and review of this class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%, homework and in class contribution: 50%



LANe200LA

中国語 3 II

2017 年度以降入学者

柴崎 公美子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、一年次に学んだ中国語の基礎文法を復習しながら、「読む、話す、書く、訳す」という四技能の向上をはかり、より実践的な語学力を身に付けつけることを目的とします。

【到達目標】

一年次の中国語学習において習得した内容を基盤として、以下の点を伸ばしていく。修了後には中国語検定 4 級および HSK 3 級を取得可能なレベルに到達することを目標とする。

- ・「漢字」に頼らない正確な中国語読解力
- ・「ピンイン」に頼らない中国語発音能力
- ・より幅広い語彙、文法を使いこなす表現能力
- ・やや複雑な表現も聞き取ることができるリスニング能力

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

指定テキストの内容について、ひとつの課を二部に分け 2 週にわたって学習します。進行の方法は以下の通り。

- ①単語の解説と音読 → ②その課の文法事項（ポイント）の解説 → ③練習問題の実施と解説（指名して回答してもらいます） → ④本文の解説と音読練習
- ・新出単語、補充単語、本文は予習、復習において何度も音読練習してください。
- ・練習問題は授業時間内に実施、解説します。
- ・指示された課題は必ず取り組んでください。
- ・課題等のフィードバックは授業時間または Hoppii を通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 18 課 他的自行 被人撞坏了	受身文、意味上の受身文など Step1 の単語・文法 学習 Step2 の会話・音読演習
2	第 18 課 他的自行 被人撞坏了	「比」と様態補語、結果補語の 「成」「成」、本文のリスニングと Step 3 の単語・文法 学習 Step 4 の長文読解・ 音読演習
3	第 19 課 “ <input type="checkbox"/> 和” 和 “ 打工” 的性 <input type="checkbox"/> 不同	「算」、複合方向補語の派生義など Step1 の単語・文法 学習 Step2 の会話・音読演習

4	第 19 課 “ <input type="checkbox"/> 和” 和 “ 打工” 的性 <input type="checkbox"/> 不同	「不但～而且……」、本文のリスニングと解釈 Step 3 の単語・文法 学習 Step 4 の長文読解・ 音読演習
5	第 20 課 有人告 <input type="checkbox"/> 我 他生病了	兼語文 (2)、「只有～才……」など Step1 の単語・文法 学習 Step2 の会話・音読演習
6	第 20 課 有人告 <input type="checkbox"/> 我 他生病了	「有的～有的……」、本文のリスニングと解釈 Step 3 の単語・文法 学習 Step 4 の長文読解・ 音読演習
7	第 21 課 “胡同” 像 迷 <input type="checkbox"/> 一 <input type="checkbox"/>	さまざまな可能補語、「既然～就……」など Step1 の 単語・文法学習 Step2 の会話・音読演習
8	第 21 課 “胡同” 像 迷 <input type="checkbox"/> 一 <input type="checkbox"/>	「比」と動詞フレーズ、本文のリスニングと解釈 Step 3 の単語・文法 学習 Step 4 の長文読解・ 音読演習
9	第 22 課 春 <input type="checkbox"/> 的 <input type="checkbox"/> 票 既不宜又不好 <input type="checkbox"/>	「就是/即使～也……」、「既～又……」など Step1 の単語・文法 学習 Step2 の会話・音読演習
10	第 22 課 春 <input type="checkbox"/> 的 <input type="checkbox"/> 票 既不宜又不好 <input type="checkbox"/>	「并不」、「白」、本文のリスニングと解釈 Step 3 の単語・文法 学習 Step 4 の長文読解・ 音読演習
11	第 23 課 学分没有白 修的	復習 (その 1) 動詞述語文・形容詞述語文など Step1 の単語・文法 学習 Step2 の会話・音読演習
12	第 23 課 学分没有白 修的	復習 (その 2) 疑問文・アスペクト、本文のリスニングと解釈 Step 3 の単語・文法 学習 Step 4 の長文読解・ 音読演習
13	第 24 課 下次再会	復習 (その 3) 補語・さまざまな文型など Step1 の単語・文法 学習 Step 3 の単語・文法 学習
14	授業の総まとめと期末 試験	授業の総まとめと筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は予習・復習が習得の鍵です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とします。その具体的な内容は以下の通り。

【予習】「Quizlet」によって単語、例文をあらかじめ確認し、練習問題を解いて授業中の指名に回答できるようにしておく。

・会話および長文は、付属音声聴いて教科書本文を確認する。

【復習】「Quizlet」によって単語、例文、練習問題を復習し、知識を定着させたくてテストに取り組む。これは課題となります。

**【テキスト（教科書）】**

『4技能対応 ベーシック・チャイニーズ②』（早稲田中国語教育研究会編著、三修社）

**【参考書】**

中日辞典を必ず用意すること（どこの出版社のものでも良い。電子辞書も可とする）。

一年時に使用した『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）

**【成績評価の方法と基準】**

対面授業の場合、期末試験 50%、課題の達成度+平常点（小テスト、予習の完成度、授業への参加意欲など）の合計 50%の割合で総合的に評価します。

（もしオンライン授業となった場合は上記の割合を試験 30%、課題+平常点 = 70%に変更し総合的に判断することとします）

提出課題についての注意：

オンラインドリル以外に、提出課題を課すこともあります。その際は以下の点に注意してください。

- ①期限日までに必ず提出すること。締切日に遅れた場合、課題提出はできなくなり、評価材料にもなりません。
- ②なるべく完成度の高い回答を提出してください。課題の評価が低い=成績の低評価につながります。
- ③何の断りもなく締切日が過ぎた課題を他の課題と一緒に提出されても、評価はしません。
- ④フィードバック後の修正再提出は大歓迎です。評価ももちろん修正します。あらかじめ、ご連絡をくだされば再提出期限を設定します。
- ⑤オンラインドリルは授業終了後速やかに取り組むこと。積み残しすればするほど大変な思いをすることになります。

**【学生の意見等からの気づき】**

- ・スライド画面については多様性を鑑み、ユニバーサルデザインを心がけます。
- ・説明を簡潔に、わかりやすくするよういたします。
- ・受講について、こちらで考慮すべきご事情があれば遠慮せずご相談ください。できる限りお力になれるよういたします。

**【学生が準備すべき機器他】**

「Quizlet」というオンライン学習システムを使用しますので、各自でパソコンおよびスマートフォンなどインターネット学習ができる環境を整えておいてください。

**【Outline (in English)】**

Based on the basic skills acquired in the first year, the course aims to improve the basic grammar, listening, speaking, and writing skills of the Chinese language.

Two hour is required for each lesson for preparation and review of this class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%、homework and in class contribution: 50%

LANe200LA

## 中国語 3 I

2017 年度以降入学者

王 翠莉

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 5/Tue.5

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、中国語 1 と中国語 2 を一通り終えた学生を対象にする授業です。

本授業では、中国語 1 と中国語 2 で学んだ基礎文法文型を生かし、教科書「優しいビジネス中国語」の内容を勉強することにより、中国語の応用表現を覚えます。

本講義の目的は、ビジネス上で必要な中国語の基本会話と文章表現を勉強し覚えることにより、中国語の応用力の向上を目指すことにあります。

## 【到達目標】

使用教科書「やさしいビジネス中国語」の内容は、とても実用的且つ充実した内容なので、そのビジネス上で必要な中国語の表現を勉強し覚えることにより、中国語の表現力と応用力が向上できます。到達目標とは、準中級レベルのビジネス上で必要な基本会話とビジネス関係の中国語文章の翻訳ができるようになることを目標とします。The content of the required textbook, “やさしいビジネス中国語,” is very practical and productive, so by learning and memorizing Chinese in these business scenes of the textbook, you will be able to improve your Chinese expression and ability to apply knowledge to new situations.

The goal is to be able to speak semi-intermediate level Chinese in business scenes and translate Chinese documents related to business.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

本授業の進め方と方法は、基本的には教科書を中心に授業を進めます。教科書の内容は、銀行、財務、商談、宴会のセッティング、労働待遇、アフタサービス、国際入札、コンテナ輸送など幅広い分野をカバーしていて、とても実用的で充実した内容です。

教科書の各課は、会話本文、文法と作文、書き換え練習、ヒアリング練習と参考表現からなっています。

授業の進め方は、まず、教科書の文法を説明の上、受講生たちと一緒に会話本文を読んだり翻訳したりします。難しい中国語の表現がある場合、例文を挙げて説明したりします。その次、書き換え練習、ヒアリング練習、参考表現を練習します。時間の余裕がある場合、音読と短文作りの練習をします。

授業中、単語小テストをしますが、小テストの点数を平常点に計上します。

授業中の練習方法としては、毎回の授業では音読と翻訳の練習をし、できるだけ、受講生全員に練習のチャンスを与えます。

課題等へのフィードバックは基本的には授業時間を通じて行います。本授業は、対面形式ですが、必要に合わせて、オンライン（ZOOM 形式）形態を実施することも可能です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	オリエンテーション	ZOOM 形式授業 本授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明し、使用教科書を紹介する。 ZOOM 授業の受講環境を確認する。
2 回目	第 1 課 オフィスを訪ねる	①会話本文「オフィスを訪ねる」 ②「文法と作文」 文法 1：「疑問詞+☒」構文； 文法 2：動詞の重ね方 ③置き換え練習 ④ヒアリング練習 ⑤参考表現
3 回目	質問応答と音読練習	ZOOM 授業 質問応答と音読練習
4 回目	第 2 課 レストランに食事に行く	①第 1 課の単語小テスト ②会話本文「レストランに食事に行く」 ③文法と作文 文法 3：「形容詞+了」構文 文法 4：選択疑問文「A ☒是 B？」 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
5 回目	第 3 課 銀行に行く	①第 2 課の単語小テスト ②会話本文「銀行に行く」 ③文法と作文 文法 5：助動詞「想」の用法 文法 6：結果補語「好」の用法 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
6 回目	質問応答と音読練習	ZOOM 授業 質問応答と音読練習
7 回目	第 4 課 商談をする	①第 3 課の単語テスト ②会話本文「商談をする」 ③文法と作文 文法 7：結果補語「到」 文法 8：程度補語 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
8 回目	第 5 課 宴会のセッティングする	①第 4 課の単語テスト ②会話本文「宴会のセッティング」 ③文法と作文 文法 9：数量述語文 文法 10：「把」+目的語+動詞」の構文 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
9 回目	質問応答と総合練習	ZOOM 授業 質問応答 音読練習 総合練習
10 回目	第 6 課 有給休暇を取る	①第 5 課の単語テスト ②会話本文「有給休暇をとる」 ③文法と作文 文法 11：助動詞「可以」の用法 文法 11：助動詞「可以」の用法 文法 12：「快～了」の用法 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現

11 回目	第 7 課 フライトを待つ	①第 6 課の単語テスト②会話本文「フライトを待つ」 ③文法と作文 文法 13：時間量を示す言葉の位置 文法 14：「被」の用法 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
12 回目	授業のまとめ	ZOOM 授業 質問応答 総合練習 期末試験について説明
13 回目	授業内口頭試験	対面形式 音読テスト
14 回目	授業内筆記試験	対面形式 授業内筆記試験

#### 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の授業内容と宿題をしっかりと練習しましょう。  
特に外国語の勉強にとっては、音読練習はとても重要なので、楽しく練習すれば、上手になります。  
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。  
オンライン授業を実施する場合、ちゃんと ZOOM 授業に参加し、毎回のレポート課題をしっかりとやりましょう。

Make sure to review after each class and do your homework. In learning a foreign language, reading aloud is very important. If you enjoy the process, you will be able to improve quickly. On average, it should take about 1 hour to prepare and review each class.

If the class is done online, make sure to participate in each Zoom class and do every assignment.

#### 【テキスト（教科書）】

『やさしいビジネス中国語』三瀧正道他著、朝日出版社、2007 年、2,200 + 税

#### 【参考書】

中国語辞書  
『商経学部生のための読む中国語』大羽りん・趙青著、白水社

#### 【成績評価の方法と基準】

成績評価は、平常点と期末試験の点数により構成されます。  
平常点は 30 %で、期末試験は 70 %。  
平常点には、受講態度、小テスト、課題の完成度、口頭試問等を含みます。  
期末試験の 70 %には、口頭試験は 20 %、筆記試験は 50 %。  
Grading criteria consists of participation points and a final exam. Participation points share 30% and final exam share 70% of the grade. Participation points include class attendance and attitude in each class, quizzes, level of completion of assignments, and oral tests. The final exam 70% includes oral examinations 20% and paper examination 50%.

#### 【学生の意見等からの気づき】

授業の終了時間をオーバーしないように気を付けます。

#### 【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を受講するための通信環境、PC などを準備してください。

#### 【Outline (in English)】

This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners. This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners to acquire the basic grammar and to learn how to use Chinese by the Book of "Friendly Business". The aim of this course We will improve the Chinese basic speaking, writing and applying ability.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANc200LA		
<b>中国語 3 II</b>		2017 年度以降入学者
王 翠莉		
開講時期：秋学期授業/Fall   曜日・時限：火 5/Tue.5		
単位数：1 単位		
その他属性：		
<b>【授業の概要と目的（何を学ぶか）】</b>		
<p>本授業は、中国語 3 I の続きです。</p> <p>春学期に使用した教科書「やさしいビジネス中国語」を引き続き勉強し、秋学期は第 8 課から勉強します。アフターサービス、流通業のコンテナ輸送、就職面接&amp;待遇、病院で診察を受ける、国際入札、財務関係など、幅広く各分野にわたって中国語の表現を勉強します。本講義の目的は、ビジネス上で必要な中国語の基本会話と文章表現を勉強し覚えることにより、中国語の応用力の向上を目指すことにあります。</p>		
<b>【到達目標】</b>		
<p>使用教科書「やさしいビジネス中国語」の内容は、とても実用的且つ充実した内容なので、それらのビジネス上で必要な中国語の表現を勉強し覚えることにより、中国語の表現力と応用力が向上できます。到達目標とは、準中級レベルのビジネス上で必要な基本会話とビジネス関係の中国語文章の翻訳ができるようになることを目標とします。The content of the required textbook, “やさしいビジネス中国語,” is very practical and productive, so by learning and memorizing Chinese in these business scenes of the textbook, you will be able to improve your Chinese expression and ability to apply knowledge to new situations.</p> <p>The goal is to be able to speak semi-intermediate level Chinese in business scenes and translate Chinese documents related to business.</p>		
<b>【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】</b>		
<p>各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1</p>		
<b>【授業の進め方と方法】</b>		
<p>本授業は、春学期と同様に基本的には教科書を中心にして授業を進めます。</p> <p>授業の進め方は、まず、教科書の文法を説明の上、受講生たちと一緒に会話本文を読んだり翻訳したりします。難しい中国語の表現がある場合、例文を挙げて説明したりします。本文と文法を勉強した後、書き換え練習、ヒアリング練習、参考表現を練習します。時間の余裕がある場合、音読と短文作りの練習をします。</p> <p>授業中、単語小テストをします。小テストの点数を平常点に計上します。</p> <p>授業中の練習方法としては、毎回の授業では音読と翻訳の練習をし、できるだけ受講生全員に練習のチャンスを与えます。課題等へのフィードバックは基本的には授業時間を通じて行います。</p>		
<b>【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】</b>		
なし/No		
<b>【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】</b>		
なし/No		
<b>【授業計画】</b> 授業形態：対面/face to face		
回	テーマ	内容
1 回目	①オリエンテーション ②総合復習	①秋学期の授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明する。 ②中国語で自己紹介文を書いて提出する。
2 回目	第 8 課 アフターサービス	①第 8 課のポイントを解説する 文法 15：「吧」の用法 文法 16：「V 〇〜」の用法 ②会話本文「アフターサービス」を勉強する ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現
3 回目	第 9 課 コンテナ輸送	①第 8 課の単語テスト②第 9 課のポイントの説明する 文法 17：「一〜就…」の構文 文法 18：「既〜又…」の構文 ③会話本文「コンテナ輸送」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現を説明する。
4 回目	第 8 課、第 9 課の音読練習と質問解答	①音読練習 ②質問解答
5 回目	第 10 課 待遇	①第 9 課の単語テスト ②第 10 課のポイントの説明する 文法 19：「(只有) 〇、才能…」の用法 文法 20：「作〇〜」の用法 ③会話本文「待遇」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現
6 回目	第 11 課 病院にて	①第 10 課の単語テスト②第 11 課のポイントの説明する 文法 21：「先〜、然后…」の構文 文法 22：「不是〜、而是…」の構文 ③会話本文「病院にて」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現
7 回目	第 10 課、第 11 課の音読練習と質問解答	①第 10 課、第 11 課の音読練習 ②質問解答
8 回目	第 12 課 国際入札	①第 11 課の単語テスト ②第 12 課のポイントの説明する 文法 23：「听〜〇/听〇〜」の構文 文法 24：「有」を伴う 2 音節動詞 ③会話本文「国際入札」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現を説明する。
9 回目	第 13 課 財務	①第 12 課の単語小テストをする。 ②第 13 課のポイントの説明する 文法 25：様態補語と可能補語 文法 26：助詞「地」の用法 ③会話本文「財務」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現を説明する。
10 回目	第 12 課、第 13 課の音読練習と質問解答	①第 12 課、第 13 課の音読練習 ②質問解答
11 回目	秋学期の内容についての質問解答	秋学期の内容第 8 課〜第 13 課の内容について、受講生からの質問を解答する。
12 回目	総合復習練習	①授業内容のまとめと復習 ②期末テストについて説明する。
13 回目	授業内音読テスト	音読テスト
14 回目	授業内筆記試験	授業内試験

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

授業内容を復習することはとても大切なことなので、宿題又は課題がある場合、ちゃんとやりましょう。

また、外国語の勉強にとっては、音読がとても重要なので、楽しく練習すればお上手になります。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

**Make sure to review after each class and do your homework. In learning a foreign language, reading aloud is very important.**

**If you enjoy the process, you will be able to improve quickly.**

**On average, it should take about 1 hour to prepare and review each class.**

**If the class is done online, make sure to participate in each Zoom class and do every assignment.**

**【テキスト（教科書）】**

『やさしいビジネス中国語』三瀧正道他著、朝日出版社、2007 年、2,200 円＋税

**【参考書】**

『商経学部生のための読む中国語』大羽りん・趙青著、白水社、2019 年 2 月

**【成績評価の方法と基準】**

成績評価は、平常点と期末試験の点数により総合評価を出す。

平常点は 30%、期末試験は 70%。

平常点には、出席、授業中の小テストと練習および学習態度等を含む。

期末試験には、音読テストは 20%、筆記試験は 50%占める。

中国語検定試験 4 級以上の合格者には、期末筆記試験を免除する。

中国語検定試験の取得点数と期末口頭試験と平常点により評価をする。

\*無断欠席 4 回以上の受講生は評価対象にならない可能性がある。

**Grading criteria consists of participation points and a final exam. Participation points share 30% and final exam share 70% of the grade. Participation points include class attendance and attitude in each class, quizzes, level of completion of assignments, and oral tests. The final exam 70% includes oral examinations 20% and paper examination 50%.**

**【学生の意見等からの気づき】**

授業中の私語と中国語学習以外の携帯使用を禁止する！

授業の終了時間をオーバーしないように気を付ける。

**【Outline (in English)】**

This course is Chinese 1 of III which is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners. This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners to acquire the basic grammar and to learn how to use Chinese by the Book of "Friendly Business Chinese. The aim of this course We will improve the Chinese basic speaking, writing and applying ability.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following

Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANe200LA

## 中国語 3 I

2017 年度以降入学者

## 葉 進

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 2/Wed.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で習った初級をしっかりと復習しながら、日常をコミュニケーションできる中級レベルの中国語を目指しましょう。

## 【到達目標】

基礎段階を終えた学習者を対象に、より複雑な中国語の表現で日常生活における交流場面に対応できるように、読む・聞く・話す・書く能力を身につけることを目標とする。到達レベルは、中国語検定試験の 3 級合格可能な程度である。

## 【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

この授業の目的は、架空の中国生活ではなく、日本での日常について質問し、答えられるようにすることです。中国語のコミュニケーションは、他のコミュニケーションと同様に、送受信＝質問と答えのやり取りを基本としている。問いと答えを繰り返せば必ず話せるようになる。一年生で発音の基礎と基本的な表現を習得した学習者が、複文や接続詞などより複雑な表現を学び、日常生活における交流場面に対応する、比較的高度な中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。

授業形態は対面授業となります。対面授業では、課題の要点解説や文法事項の詳細な解釈及び質疑応答を行います。オンラインで予習・復習ができるように、『学習支援システム』において、各授業日における学習内容（テキスト及び説明（音声、ビデオ））は、『課題』フォルダで授業日別に提示し、学習終了後に課題を提出するための資料をアップロードしています。

課題等へのフィードバックは以下ようになります。

- (1) 対面授業時に説明します。
- (2) 「授業内掲示板」で随時受け付けて回答します。
- (3) 個別相談等は [shin.yaku.56@hosei.ac.jp](mailto:shin.yaku.56@hosei.ac.jp) で随時受け付けて回答します。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	第一課	初級の復習 (1)
2 回	第一課	初級の復習 (2)
3 回	第二課	初級の復習 (1)
4 回	第二課	初級の復習 (2)
5 回	第三課	ある動作を行う目的や方法を説明する表現
6 回	第四課	好き嫌い・心配の表現
7 回	復習	第一課～第四課の復習
8 回	第五課	動作の程度・状態を説明する表現
9 回	第六課	能力と可能性の表現
10 回	第七課	動作の結果を説明する表現
11 回	第八課	動作の方向を説明する表現
12 回	第九課	動作の結果と方向の可能性を表す表現
13 回	第十課	使役の表現
14 回	復習	I 期のまとめ

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学力は短期間で身につけられない。日々の積み重ねこそ大切である。初級に比べより高度な内容となるので、放課後の予習・復習を怠らないこと。付属の CD と DVD を活用して、また初級復習用に配布したプリントに基づく問答ができるよう（試験範囲内）、練習を繰り返し行い、毎回授業の初めに聞かれる質問に即答できるようにしていただきたい。

## 【テキスト（教科書）】

『日常のコミュニケーションができる中国語中級』株式会社シーエスピー出版部、PDF 版無償提供。

各授業日に使用される文字、音声、映像資料は『課題』の授業日別フォルダに記載または添付します。

あるいは授業内容を提示する文中においてリンクを貼る。

## 【参考書】

なし

## 【成績評価の方法と基準】

評価基準は、平常評価（中間のまとめと口語テスト）40 %、最終課題 60 % とする。

無断欠席・遅刻は回数分に応じて減点される。

検定試験 4 級合格者：I 期終了時合格は 15 点プラス。

検定試験 3 級合格者：I 期終了時合格は 100 点プラス。

## 【学生の意見等からの気づき】

書く練習をより多くしたいとの要望に応じていきたい。

## 【学生が準備すべき機器他】

PDF 版テキストは、授業支援システムより各自ダウンロードし、印刷する必要があります。

附属 CD・DVD も授業支援システムにて提供されます。

## 【Outline (in English)】

## 【Course outline】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

## 【Learning Objectives】

The goal is for learners who have completed the basic stage to acquire the ability to respond to interaction situations in daily life with more complicated Chinese expressions.

## 【Learning activities outside of classroom】

This class will practice questions and answers in Chinese about what you have already learned at the beginning of each lesson. Learners need preparation so that they can answer immediately.

## 【Grading Criteria /Policy】

The term-end evaluation is 40% for normal points and 60% for final assignments.

LANe200LA

## 中国語 3 II

2017 年度以降入学者

## 業 進

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 2/Wed.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で習った初級をしっかりと復習しながら、日常をコミュニケーションできる中級レベルの中国語を目指しましょう。

## 【到達目標】

基礎段階を終えた学習者を対象に、より複雑な中国語の表現で日常生活における交流場面に対応できるように、読む・聞く・話す・書く能力を身につけることを目標とする。到達レベルは、中国語検定試験の 3 級合格可能な程度である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

この授業の目的は、架空の中国生活ではなく、日本での日常について質問し、答えられるようにすることです。中国語のコミュニケーションは、他のコミュニケーションと同様に、送受信＝質問と答えのやり取りを基本としている。問いと答えを繰り返せば必ず話せるようになる。一年生で発音の基礎と基本的な表現を習得した学習者が、複文や接続詞などより複雑な表現を学び、日常生活における交流場面に対応する、比較的高度な中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。

授業形態は対面授業となります。対面授業では、課題の要点解説や文法事項の詳細な解釈及び質疑応答を行います。オンラインで予習・復習ができるように、『学習支援システム』において、各授業日における学習内容（テキスト及び説明（音声、ビデオ））は、『課題』フォルダで授業日別に提示し、学習終了後に課題を提出するための資料をアップロードしています。

課題等へのフィードバックは以下のようになります。

- (1) 対面授業時に説明します。
- (2) 「授業内掲示板」で随時受け付けて回答します。
- (3) 個別相談等は [shin.yaku.56@hosei.ac.jp](mailto:shin.yaku.56@hosei.ac.jp) で随時受け付けて回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	総括	I 期期末試験の解説
2 回	復習	春学期の復習
3 回	第十一課	受身の表現
4 回	第十二課	存在と出現を説明する表現
5 回	第十三課	対象への処理・処分を表す表現
6 回	第十四課	二つの動作の前後順・時間順の表現
7 回	復習	第十一課～第十四課の復習
8 回	第十五課	仮定の表現
9 回	第十六課	因果関係を表す表現
10 回	第十七課	逆接関係を表す表現
11 回	第十八課	付け加えの表現
12 回	第十九課	除外の表現
13 回	第二十課	何でもどこでも誰でも
14 回	復習	II 期のまとめ

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学力は短期間で身につけられない。日々の積み重ねこそ大切である。初級に比べより高度な内容となるので、放課後の予習・復習を怠らないこと。付属の CD と DVD を活用して、また初級復習用に配布したプリントに基づく問答ができるよう（試験範囲内）、練習を繰り返して、毎回授業の初めに聞かれる質問に即答できるようにしていただきたい。

## 【テキスト（教科書）】

『日常のコミュニケーションができる中国語中級』株式会社シーエスピー出版部、PDF 版無償提供

各授業日に使用されるテキストは『課題』の授業日別フォルダに記載または添付します。あるいは授業内容を提示する文中においてリンクを貼る。

## 【参考書】

なし

## 【成績評価の方法と基準】

評価基準は、平常評価（中間のまとめと口語テスト）40 %、最終課題 60 % とする。

無断欠席・遅刻は回数分に応じて減点される。

## 【学生の意見等からの気づき】

書く練習をより多くしたいとの要望に応じていきたい。

## 【学生が準備すべき機器他】

PDF 版テキストは、授業支援システムより各自ダウンロードし、印刷する必要があります。

附属 CD・DVD も授業支援システムにて提供されます。

## 【Outline (in English)】

## 【Course outline】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

## 【Learning Objectives】

The goal is for learners who have completed the basic stage to acquire the ability to respond to interaction situations in daily life with more complicated Chinese expressions.

## 【Learning activities outside of classroom】

This class will practice questions and answers in Chinese about what you have already learned at the beginning of each lesson. Learners need preparation so that they can answer immediately.

## 【Grading Criteria /Policy】

The term-end evaluation is 40% for normal points and 60% for final assignments.



LANe200LA

## 中国語 3 I

2017 年度以降入学者

周 重雷

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

比較的平易な文章で書かれた中国語を通じて、聞く、読む、訳す、書くなど総合的能力を高めると同時に、中国語及び中国事情を知る。より高度な語学力を身に付けるために段階的にレベルアップを図る。

## 【到達目標】

- ・中国語の発音と聞き取りの能力を高める。
- ・文法をきちんと理解し、中国語の文章を自然な日本語に訳せるようにする。
- ・簡単な会話と作文ができるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

- 1、文法の確認
- 2、聞き取りの練習
- 3、発音練習

課題などのフィードバックは授業時間に、もしくはメールにて行う。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	諸事情の確認	シラバスの配布、注意事項の伝達、及び簡単な自己紹介
2	第1課 発音	ピンインの復習
3	日常用語	あいさつなどの日常用語を練習する
4	第2課 人称代名詞と指示代名詞	人称代名詞と指示代名詞を確認する
5	第3課 述語	動詞と形容詞
6	第4課 受け答え	「是」その他
7	第5課 場所と方位	在と有
8	第6課 数量詞と連体修飾語	数量詞と連体修飾語について勉強する
9	第7課 疑問文	ものの尋ね方
10	第8課 連用修飾語	副詞と時間詞
11	第9課 完了と変化	「了」の様々な知る
12	第10課 助動詞と前置詞構造	助動詞と前置詞構造
13	第11課 三量補語	数量、時量、動量補語
14	まとめ	第1～11課の筆記テスト・まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各課の練習問題を解く。  
毎週1時間を用途に予習・復習をする。

## 【テキスト（教科書）】

教室にて配布する

## 【参考書】

日中・中日辞書（電子辞書も可）

## 【成績評価の方法と基準】

期末試験：60%

小テスト：40%

term-end test:60%

presentation:40%

## 【学生の意見等からの気づき】

基本は対面授業ですが、基礎疾患や遠隔地などの理由で参加できない人には講義をオンデマンド配信した上、SNS等を使って個別指導を行います。

出勤のピーク時を避けるために、授業開始時間を9時とします。その分きちんと講義の文章を予習してもらいます。

## 【学生が準備すべき機器他】

スマートフォンは必須

## 【その他の重要事項】

特になし。

## 【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese.

We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

We should prepare and review about one hour a week.

term-end test:60%

little test:40%

LANe200LA

## 中国語 3 II

2017 年度以降入学者

周 重雷

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

比較的平易な文章を通じて、聞く、読む、訳す、書くなど総合的な能力を高めると同時に、中国語及び中国事情を知る。より高度な語学力を身に付けるために段階的なレベルアップを図る。

## 【到達目標】

- ・中国語の発音と聞き取りの能力を向上させる。
- ・文法をきちんと理解し、中国語の文章を自然な日本語に訳せるようにする。
- ・簡単な会話と作文ができるようにする。

## 【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

- 1、文法の確認
- 2、聞き取りの練習
- 3、発音練習

課題などのフィードバックは授業時間に、もしくはメールにて行う。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1 2 課 持続態と進行形	持続態と進行形について勉強する
2	第1 3 課 程度補語	程度補語（様態補語）
3	第1 4 課 比較と連動	比較文と連動文
4	第1 5 課 構文分析	構文と助動詞の補説
5	第1 6 課 強調と重複	強調構文と重複表現
6	第1 7 課 方向補語	方向補語の用法
7	第1 8 課 複合方向補語	複合方向補語の派生的用法
8	第1 9 課 結果補語	結果補語の説明
9	第2 0 課 可能補語	可能補語の説明
10	第2 1 課 使役と受身	使役と受身を確認し、比較する
11	第2 2 課 処置と倒置	処置文と倒置文
12	第2 3 課 複文一	複文について勉強する
13	第2 4 課 複文二	接続詞を確認する
14	まとめ	第1 2～2 4 課の筆記テスト・解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各課の練習問題を解く。  
毎週1 時間を用途に予習・復習する。

## 【テキスト（教科書）】

教室にて教材を配布する

## 【参考書】

日中・中日辞書（電子辞書も可）

## 【成績評価の方法と基準】

期末テスト：60 %

小テスト：40 %

term-end test:60%

presentation:40%

## 【学生の意見等からの気づき】

基本は対面授業ですが、基礎疾患や遠隔地などの理由で参加できない人には講義をオンデマンド配信した上、SNS 等を使って個別指導を行います。

出勤ピーク時を避けるために、授業開始時間を 9 時とします。その分きちんと予習をしてもらいます。

## 【学生が準備すべき機器他】

スマートフォンは必須

## 【その他の重要事項】

特になし。

## 【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese.

We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

We should prepare and review about one hour a week.

term-end test:60%

little test:40%

LANe200LA

## 中国語 3 I

2017 年度以降入学者

李 維涛

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級で学んだ基礎知識を織り交ぜてそれを復習しながら中級の学習を進めて行く。  
「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実戦活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

## 【到達目標】

初級で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。

たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、様々な場面を想定して実戦活動を行い、学んだ知識のアウトプットによる円滑なコミュニケーションを行えることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業の進め方と方法については、基本的に、教室にて対面形式で授業を行うことを想定して、具体的に下記通りの行い方で進めて行きます。

\*状況によってオンライン形式で行うことを余儀なくされる場合、状況に即して具体的に対応し、授業内容によって資料配信・オンデマンド動画配信・双方向同時型と複数の授業形式を使い分けて行うことにする。具体的な行い方とスケジュールなどは事前に、「授業支援システム」を利用して提示し、周知する。

具体的に授業は以下の進め方と方法で行うものとする。

授業は、教科書を使つての勉強、コミュニケーション活動、課題と、3つのブロックに分けて行なう。

## 【教科書】

初回はレベルチェックテストを行い、その結果に応じて、初級で学んだ基礎知識の復習・練習を、最初の3回にわたって行なう。4回目以後教科書を使つての学習に入る。

基本的に1課を2回に分けて、1回目は主に言葉の学習と文法の解説や練習・応用などを、2回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実戦活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。

課毎に、語彙・文法テストを行う。

予習・復習は必須。

## 【コミュニケーション活動】

教科書で学習した内容とシチュエーションの実践活動として、グループまたはペアワークによるコミュニケーション活動を行なう。活動中に能動的且つ積極的に参加し、自己表現することを望む。

## 【課題】

教科書の学習とリンクする形で、学期毎に課題を一回課す。

春学期の課題は自由作文。

テーマ決め → 執筆 → 提出 → リライト → プレゼンテーションという流れで行なう。

課題等へのフィードバックについて

フィードバックが必要な課題に関して、課題が実施した直後の授業時間内か、添削が必要な場合は、添削後の返却時に授業時間内か、授業支援システムなどのツールを利用して行う。

授業スケジュールは、状況に応じて、変更する場合がある。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	①授業目標、教材、授業の進め方、スケジュール、履修上の注意事項などについて説明。 ②授業用語と挨拶の確認・復習 ③授業アンケート ④レベルチェックテスト
第2回	初級基礎復習 I	①初級基礎知識点検・復習・練習 I ②活動(1) 私、そして、私の家族
第3回	初級基礎復習 II	①チェックテスト【初級復習 I】 ②初級基礎知識点検・復習・練習 II ③活動(2) 私の一日、あなたの一日
第4回	初級基礎復習 III	①チェックテスト【初級復習 II】 ②初級基礎知識点検・復習・練習 III ③活動(3) 趣味について ④語彙導入【1課】
第5回	声をかける・挨拶をする(1) 基本語彙と表現	①チェックテスト【初級復習 III・1課語彙】 ②■方位詞 ■動作・行為の同伴者 ■動詞の重ね型
第6回	声をかける・挨拶をする(2) 応用活動	①チェックテスト【1課文法】 ②既習文型応用・実戦練習 ③語彙導入【2課】
第7回	初対面の自己表現(1) 基本語彙と表現	①チェックテスト【2課語彙】 ②■推測・判断 ■行為の積極性 ■様態補語
第8回	初対面の自己表現(2) 応用活動	①チェックテスト【2課文法】 ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動(4) 声をかける・自己紹介する ④語彙導入【3課】
第9回	伝聞による話題について話す(1) 基本語彙と表現	①チェックテスト【3課語彙】 ②■伝聞 ■全否定 ■結果補語
第10回	伝聞による話題について話す(2) 応用活動	①チェックテスト【3課文法】 ②可能補語 ③既習文型応用・実戦練習 ④課題作文について説明
第11回	「伝聞」の応用活動 課題：作文	①コミュニケーション活動(5) 伝聞による話題について話す ②課題作文：テーマ決め・ストーリー作り ③語彙導入【4課】
第12回	買物について話す：基本語彙と表現	①チェックテスト【4課語彙】 ②■動詞文：現在進行形 ■目的を表現する ■原因・理由についての訊ね方 ③課題作文提出
第13回	買物について話す：応用活動	①チェックテスト【4課文法】 ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動(6) 買物情報を交換する
第14回	春学期の総まとめ・期末試験【筆記】	①課題作文リライト提出 ②期末試験

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課毎に、言葉クイズ、文法クイズを行う。  
授業で学習した内容をしっかりと復習・予習することが必須。  
復習と予習はそれぞれ 1-1.5 時間を要する。  
授業外の課題を課された場合、作業時間は授業時間外になるが、きちんと締め切りを守って提出する。

**【テキスト（教科書）】**

『中国語へのアプローチⅡ』

楊凱栄・張麗群 著

朝日出版社 2010 年

ISBN978-4-255-45142-8

**【参考書】**

- 中日・日中辞典類 [紙媒体、電子辞書、APP の何れも可。電子辞書を推奨する]

- 『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂など 同 学社

- 『中国語生活図解辞典』 遠藤雅裕 小学館

**【成績評価の方法と基準】**

授業貢献度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。

チェックテスト [語彙・文法] 35%

期末テスト [筆記+口述] 25%

活動・口頭表現 20%

課題 10%

授業貢献度・学習態度など 10%

※上記テストについて、授業形式が遠隔になった場合、オンラインテストか課題に切り替えることにする。

※評価方法は、受講者の学習状況、授業の実施形態などに応じて、教員によって微調整し、変更する場合がある。

**【学生の意見等からの気づき】**

■授業では口頭練習と活動がたくさん行われるが、どうしても耳だけでは不安で随一板書して欲しいとの学生からの意見があった。今後の授業では、口頭活動の内容を、板書かスクリーンを利用して可能な限り文字でも提示するように心掛ける。

■授業課題は Hoppii を利用して行うことがある。Hoppii の使い方や、音声課題の場合のレコーディング方法などの、技術的な問題が出ており、今後該当する課題がある場合、授業では具体的に操作方法を提示して共有する。

**【学生が準備すべき機器他】**

学習内容に応じて、教室に備えてある機器、または PC などを使う。また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

**【その他の重要事項】**

授業中、学習用具類以外、机上に置かないこと。

特に、携帯電話、飲み物類は、鞆等にしまうこと。

教科書を持参せずの受講は欠席と見なし、必ず教科書、授業関連資料を持って授業に臨むこと。

**【授業に臨む心構え】**

其の一 勉強する意欲と意識を高く持つこと

其の二 しっかり予習・復習してこること。

其の二 教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持つてこること。

**【Outline (in English)】****■ 【Outline and objectives】**

Interweaving the basic knowledge you have learned in elementary level and reviewing progress and advance intermediate level learning.

Considering the balance of the four skills "listen" "read" "talk" "write", improve communication skills by Chinese through actual battle activities etc.

**■ 【Work to be done outside of class (preparation, etc.)】**

A word quiz and a grammar quiz will be given for each lesson.

It is essential to thoroughly review and prepare for what you have learned in class.

Review and preparation each take 1-1.5 hours.

If you are assigned an assignment outside of class, the work time will be outside of class, but you must meet the deadline and submit it.

**■ 【Grading criteria】**

Evaluation is mainly based on tests, activities, and tasks, taking into consideration the degree of class contribution and participation attitude.

Quiz [vocabulary / grammar] 35%

Final test [speaking + writing] 25%

Activity / oral expression 20%

Tasks 10%

Class contribution, learning attitude, etc. 10%

\* Regarding the above test, if the lesson format becomes remote, we will switch to the online test or assignment.

\* The evaluation method may be fine-tuned and changed by the instructor depending on the learning situation of the students and the embodiment of the lesson.

LANe200LA

## 中国語 3 II

2017 年度以降入学者

李 維涛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級と中級前半で学んだ基礎知識を織り交ぜて復習しながら中上級を目指して学習を進めて行く。

「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実戦活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

## 【到達目標】

初級と中級前半で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級後半の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。

たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、学んだ知識のアウトプットを重視し、様々な場面を想定して実戦活動を行なう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業の進め方と方法については、基本的に、教室にて対面形式で授業を行うことを想定して、具体的に下記通りの行い方で進めて行きます。

\*状況によってオンライン形式で行うことを余儀なくされる場合、状況に即して具体的に対応し、授業内容によって資料配信・オンデマンド動画配信・双方向同時型と複数の授業形式を使い分けて行うことにする。具体的な行い方とスケジュールなどは事前に、「授業支援システム」を利用して提示し、周知する。

授業は、教科書を使つての勉強、コミュニケーション活動、課題と、3つのブロックに分けて行なう。

## 【教科書】

初回は初級と中級前半で学んだ知識をチェックするテストを行い、その結果に応じて、既習基礎知識の復習・練習を、最初の2回にわたって行なう。3回目以後教材を使つての学習に入る。

基本的に1課を2回に分けて、1回目は主に文法の解説や練習や応用などを、2回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実戦活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。

課毎に、語彙・文法テストを行う。

予習・復習は必須。

## 【コミュニケーション活動】

教科書で学習した内容・テーマ・シチュエーションに応じて、授業では、グループワークまたはペアワークによるコミュニケーション活動を行なう。

活動中には能動的に参加し、積極的に中国語による自己表現をすることを望む。

## 【課題】

秋学期の課題は二つ。作文と当該年度の中国語の新語・流行語のリサーチレポート。

何れも下記の流れで行なう。

テーマ決め → 執筆 → 提出 → リライト → プレゼンテーション

課題等へのフィードバックについて

フィードバックが必要な課題は、課題が実施した直後の授業時間内か、添削が必要な場合は、添削後の返却時に授業時間内か、授業支援システムなどのツールを利用して行う。

授業スケジュールは、受講者の学習状況、授業実施形態などに応じて、変更する場合がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	春学期学習内容を確認・復習	①中級春学期学習内容チェックテスト ②秋学期授業内容・進め方・スケジュールなどについて説明 ③活動(1)絵と言葉で表現する私の夏休み[前半]
第2回	■春学期学習内容を確認・復習。後期学習への準備。 ■コミュニケーション活動で新学期のウォームアップをする。	・チェックテストを返却・FB ①春学期学習内容を総括・復習 ②活動(1)絵と言葉で表現する私の夏休み[後半] ③語彙導入[5課]
第3回	天気について話す[5課]	①チェックテスト[5課語彙] ②■確認 ■比較[否定] ■能願動詞:可能性や見込み
第4回	天気について話す[5課]	①チェックテスト[5課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動(2):天気について話す ④語彙導入[6課]
第5回	初めての経験について話す[6課]	①チェックテスト[6課語彙] ②■感想・考え・意見を述べる表現 ■能願動詞:「喜んで～する」
第6回	初めての経験について話す[6課]	③課題(1)課題作文について説明 ①チェックテスト[6課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動(3)カフェでおしゃべり ④語彙導入[7課]
第7回	買物について話す[7課]	①チェックテスト[7課語彙] ②■選択:二者択一 ■能願動詞:「～しなければならない」
第8回	買物について話す[7課]	③課題(1)提出 ①チェックテスト[7課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③課題(1)を返却・FB
第9回	書いた物を、声に出して表現する。	①課題(2)課題(1)をプレゼンテーション ②語彙導入[8課]
第10回	会食をプランニングする[8課]	①チェックテスト[8課語彙] ②■全否定/全肯定 ■例外の表し方 ■既定条件
第11回	会食をプランニングする[8課]	①チェックテスト[8課文法] ②能願動詞:総括・復習 既習文型の応用練習
第12回	日常生活における食事の場面でのコミュニケーションを学ぶ。	①活動(4):食事の誘い、食事をする ②語彙導入[9課] ③課題(3)中国語の新語・流行語をリサーチ
第13回	二つのものを比べて表現する[9課]	①チェックテスト[9課語彙] ②■動詞文:持続形 ■推測・判断[肯定] ③課題(3)ピア活動
第14回	■期末テスト前復習・質疑応答 ■期末テスト[筆記]	①授業アンケート ②期末テスト前復習・質疑応答 ③期末テスト[筆記]

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課毎に言葉クイズ・文法クイズを行う。

授業で学習した内容をしっかりと復習・予習すること。

復習と予習はそれぞれ1-1.5時間を要する。

課題などの準備は授業時間外の作業となるが、提出締切など時間を守ることに。

#### 【テキスト（教科書）】

『中国語へのアプローチⅡ』

楊凱栄・張麗群 著

朝日出版社 2010年

ISBN978-4-255-45142-8

#### 【参考書】

- 中日・日中辞典類 [紙媒体、電子辞書、App の何れも可。電子辞書を奨める]
- 『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂など 同 学社
- 『中国語生活図解辞典』 遠藤雅裕 小学館

#### 【成績評価の方法と基準】

授業参加度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。

チェックテスト [語彙・文法] 35%

期末テスト [筆記+口述] 25%

活動・口頭表現 20%

課題 10%

授業貢献度・学習態度など 10%

\* 上記テストについて、授業形式が遠隔になった場合、オンラインテストか課題に切り替えることにする。

\* 評価方法は、教員によって微調整し、変更する場合がある。

#### 【学生の意見等からの気づき】

■ 授業中に、コミュニケーション活動など、口頭表現する活動が多く行われて来た。学生から、口頭表現の内容を板書して提示して欲しいとの要望があった。今後の授業では、これらの口頭活動の内容を、板書かスクリーンを利用して可能な限り文字資料でも提示するように心掛ける。

■ 授業課題は Hoppii を利用して行うことがある。Hoppii の使い方や、音声課題の場合のレコーディング方法などの、技術的な問題が出ており、今後該当する課題がある場合、授業では具体的に操作方法を提示して共有する。

#### 【学生が準備すべき機器他】

学習内容に応じて、教室に備えてある機器、または PC などを使う。また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

#### 【その他の重要事項】

授業中、学習用具類以外、机上に置かないこと。

特に、携帯電話、飲み物類は、鞆等にしまうこと。

教材 [教科書、授業関連資料] を持参せずの受講は欠席と見なすこと。

#### 【授業に臨む心構え】

其の一 勉強する意欲と意識を高く持つこと

其の二 しっかり予習・復習してくること。

其の三 教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持つてくること。

#### 【Outline (in English)】

##### ■ 【Outline and objectives】

While interwoven with the basic knowledge learned in the first half and intermediate class, we review progress and aim for middle advanced class while going forward with learning.

Considering the balance of the four skills "listen" "read" "talk" "write", improve communication skills by Chinese through actual battle activities etc.

##### ■ 【Learning activities outside of classroom】

Give a word quiz and a grammar quiz for each lesson.

Thoroughly review and prepare for what you have learned in class.

Review and preparation each take 1-1.5 hours.

Preparations such as assignments will be done outside of class hours, but be sure to keep time such as submission deadlines.

##### ■ 【Grading Criteria /Policy】

Evaluation is mainly based on tests, activities, and tasks, taking into consideration the degree of class participation and participation attitude.

Check test [vocabulary / grammar] 35%

Final test [written + dictation] 25%

Activity / oral expression 20%

Challenge 10%

Class contribution, learning attitude, etc. 10%

\* Regarding the above test, if the lesson format becomes remote, we will switch to the online test or assignment.

\* The evaluation method may be fine-tuned and changed by the faculty member.

LANe200LA

中国語 3 I

2017 年度以降入学者

陳 瀟瀟

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語初級レベルの知識を踏まえ、中級レベルの語彙、文法、表現を学び、中国文化、中国事情及び中国人の考え方を理解した上、中国語の運用能力を向上させることを目的とする。

【到達目標】

- ・初級（中国語 1 と中国語 2）で習った内容を定着させる。
- ・ピンインを頼りにしなくても中国語を読む習慣を身につける。
- ・短い文章を聴く・話す・読む能力を高める。
- ・中国文化・風習について理解を深める。
- ・身の回りのことを積極的に中国語で表現できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストの内容を中心に、各課ごとに単語 → 文型 → 本文 → 練習問題の順で進めてゆく。

グループでの会話練習・ディスカッションがある。課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行う。

※対面授業。授業形態に変更がある場合は大学の方針が確定された後、学習支援システム Hoppii でその都度知らせる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス 発音復習・練習	・授業の計画と進め方、成績評価の方法と基準などの説明 ・中国語発音の練習、文法の復習と練習
第 2 回	第一課 自我介绍	・ウォーミングアップ ・自己紹介の表現 ・前置詞「在」、「跟」 ・「動詞+動詞」を活用
第 3 回	第一課 自我介绍	・本文 ・読解練習 ・実践会話：自我介绍
第 4 回	第二課 李军有很多爱好	・ウォーミングアップ ・趣味に関する表現 ・「比如」の使い方 ・「打算」の使い方 ・前置詞「对」、「从」
第 5 回	第二課 李军有很多爱好	・本文 ・読解練習 ・実践会話：我的兴趣爱好
第 6 回	第三課 赵大妈的一天	・ウォーミングアップ ・一連の動作の表現 「先」「然后」「再」「完」の活用 ・副詞「就」の使い方 ・仮定表現「要是……就……」 ・程度補語の活用 「主語+動詞+得+形容詞」
第 7 回	第三課 赵大妈的一天	・本文 ・読解練習 ・実践会話：周末怎么过?

第 8 回	第四課 许芳的苦恼	・ウォーミングアップ ・復習：動詞+方向補語（来/去） ・副詞「又」「挺」 ・前置詞「给」
第 9 回	第四課 许芳的苦恼	・本文 ・読解練習 ・実践会話：「你有苦恼吗？」
第 10 回	第五課 我们是去年认识的	・ウォーミングアップ ・復習：「是……的」構文 ・「因为……所以……」の活用 ・副詞「总是」の使い方 ・動詞「成」の使い方
第 11 回	第五課 我们是去年认识的	・本文 ・読解練習 ・実践会話：我和我的朋友
第 12 回	第六課 你知道“汉语桥”吗?	・ウォーミングアップ ・復習：「快要……了」 ・前置詞「由」の使い方 ・助数詞（量詞）の概観 ・接続詞「可是」の活用 ・助動詞「要」の使い方
第 13 回	第六課 你知道“汉语桥”吗?	・本文 ・読解練習 ・実践会話：比赛
第 14 回	授業のまとめ・期末試験	・筆記試験&口頭試験 ・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の予習・復習・宿題時間は、1 回につき 4 時間を標準とする。

【予習】ウォーミングアップ、単語、本文の予習が必要

【復習】単語の暗記、文型の理解、構文練習、読む練習など

【宿題】宿題・練習

【テキスト（教科書）】

王安・楊川・王欣・孫樹林著『標準中国語 読解力 UP 編』朝日出版社（2200 円+税、ISBN978-4-255-45215-9C1087）

【参考書】

- ・中国語辞書（電子辞書可）
- ・相原茂・石田知子・戸沼市子著『WHY?にこたえるはじめての中国語の文法書』同社（2500 円+税）
- ・尹景春・竹島毅著『中国語つぎへの一歩』白水社（2200 円+税）
- ・大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香他著『ポイント学習中国語初級 改訂版』東方書店（2900 円+税）

※その他の資料は必要に応じて授業で提示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 50 %、平常点（授業中の取り組み姿勢、課題と小テストの完成度など）50 %を総合して評価する。  
成績評価は 100 点満点とし、60 点以上が合格となる。

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

【学生が準備すべき機器他】

（授業時間外 予習・復習用）音声教材の CD 再生できる機器が必要。

【その他の重要事項】

質問がある場合は、shosho.chin.48@hosei.ac.jp までご連絡ください。

【Outline (in English)】

This is a Chinese Course for intermediate learners. The goals of this Course are to help learners to improve their listening, reading, speaking and writing skills in Chinese, as well as their communication skills in Chinese.

【Learning Objectives】

- ・ Help students to approach an intermediate level in Chinese.
- ・ Express their opinions and experiences in Chinese.
- ・ Having a better understanding of Chinese culture, things and Chinese ways of thinking through this course.

【Learning activities outside of classroom】

Before and after each lesson, students are expected to have 4 hours to preview, review and practice.

【Grading Criteria /Policy】

Term-end exam:50%

In-class contribution:50%

LANe200LA

## 中国語 3 II

2017 年度以降入学者

陳 瀟瀟

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中級レベルの語彙、文法、表現を学び、中国文化、中国事情及び中国人の考え方を理解した上、中国語の運用能力を向上させることを目的とする。

## 【到達目標】

- ・中国語 1～中国語 3 I で習った内容を定着させる。
- ・中国語を読む習慣を身につける。
- ・聴く・話す・読む能力を高める。
- ・身の回りのことを積極的に中国語で表現できる。
- ・中国語で日常会話のコミュニケーションができる。
- ・中国文化・慣習について理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

テキストの内容を中心に、各課ごとに単語 → 文型 → 本文 → 練習問題の順で進めてゆく。

グループでの会話練習・ディスカッションがある。

課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行う。

※対面授業。授業形態に変更がある場合は大学の方針が確定された後、学習支援システム Hoppii でその都度知らせる。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	前期内容の復習 第七課 汉语中的外来語	・前期内容を復習 ・会話練習 ・中国語における外来語 ・助動詞「得」の発音・使い方 ・「些」の使い方
第 2 回	第七課 汉语中的外来語	・本文 ・読解練習 ・日本語の外来語と中国語の外来語
第 3 回	第八課 大学就是一个小社会	・接続詞「或」「由于」 ・助動詞「可以」 ・「除了……以外」 ・中国大学の寮生活について
第 4 回	第八課 大学就是一个小社会	・本文 ・読解練習 ・実践会話：我的大学生活
第 5 回	第九課 年轻人追求时尚	・単語の説明 ・助動詞「会」 ・前置詞「为了」 ・「不仅……而且」構文
第 6 回	第九課 年轻人追求时尚	・本文 ・読解練習 ・中国の若者文化 ・実践会話：你喜欢什么？
第 7 回	第十課 日本动漫的影响力	・前置詞「通过」 ・「欢迎」と「受欢迎」 ・「越来越……」 ・接続詞「并且」

第 8 回	第十課 日本动漫的影响力	・本文 ・読解練習 ・「动漫」について ・実践会話： 我想告诉大家的日本文化
第 9 回	第十一課 北京欢迎你	・「既……又……」構文 ・復習&補充：使役表現 ・本文 ・読解練習 ・実践会話：东京的魅力
第 10 回	第十二課 饮食与中国	・中国の食文化 ・接続詞「不过」 ・「不管……还是……」 ・復習&補充：比較表現「比」 ・復習&補充：受け身表現「被」
第 11 回	第十二課 饮食与中国	・本文 ・読解練習 ・実践会話：日本の美食 ・「这个词中文怎么说？」
第 12 回	第十三課 中国的民族	・「动词+着」構文 ・復習&補充：「把」構文 ・「动词+一下」の使い方 ・本文&練習
第 13 回	第十四課 过春节	・「一边……一边……」構文 ・「有的……有的……」構文 ・中国の春節
第 14 回	授業のまとめ・期末試験	・筆記試験&口頭試験 ・まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の予習・復習・宿題時間は、1 回につき 4 時間を標準とする。

【予習】ウォーミングアップ、単語、本文の予習が必要

【復習】単語の暗記、文型の理解、構文練習、読む練習など

【宿題】宿題・練習

## 【テキスト（教科書）】

王安・楊川・王欣・孫樹林著『標準中国語 読解力 UP 編』朝日出版社（2200 円＋税、ISBN978-4-255-45215-9C1087）

## 【参考書】

- ・中国語辞書（電子辞書可）
- ・相原茂・石田知子・戸沼市子著『WHY?にこたえるはじめての中国語の文法書』同社（2500 円＋税）
- ・尹景春・竹島毅著『中国語つぎへの一歩』白水社（2200 円＋税）
- ・大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香他著『ポイント学習中国語初級 改訂版』東方書店（2900 円＋税）

※その他の資料は必要に応じて授業で提示する。

## 【成績評価の方法と基準】

期末試験 50 %、平常点（授業中の取り組み姿勢、課題と小テストの完成度など）50 % を総合して評価する。  
成績評価は 100 点満点とし、60 点以上が合格となる。

## 【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

## 【学生が準備すべき機器他】

（授業時間外 予習・復習用）音声教材の CD 再生できる機器が必要。

## 【その他の重要事項】

質問がある場合は、shosho.chin.48@hosei.ac.jp までご連絡ください。

## 【Outline (in English)】

This is a Chinese Course for intermediate learners. The goals of this Course are to help learners to improve their listening, reading, speaking and writing skills in Chinese, as well as their communication skills in Chinese.

## 【Learning Objectives】

- ・ Help students to approach an intermediate level in Chinese.
- ・ Express their opinions and experiences in Chinese.
- ・ Having a better understanding of Chinese culture, things and Chinese ways of thinking through this course.

## 【Learning activities outside of classroom】

Before and after each lesson, students are expected to have 4 hours to preview, review and practice.

## 【Grading Criteria /Policy】

Term-end exam:50%

In-class contribution:50%



LANe200LA

中国語 3 I

2017 年度以降入学者

ショウ イクテイ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 5/Thu.5  
単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年次の既習内容をベースにして、さらに基礎を固め、コミュニケーションに必要な語彙を増やし、レベルアップにつながる読解力、表現力などを培うことを目的とする。

【到達目標】

基礎的な文法に関するスキルを身に付ける。  
一般的な会話ができる。  
簡単な文章の内容を理解できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された  
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針  
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って、履修者のレベルに合わせてつづ、内容への理解をチェックしながら授業を進める。  
課題などへのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】  
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	復習	一年次に習った主な文法事項などの復習
②	第 1 課	新出単語・ポイント 除了～以外、様態補語、 一～就…、否定～疑問詞、要是～ (的話),(就) …
③	第 1 課	第 1 課の本文・練習問題
④	第 2 課	新出単語・ポイント 可不是嘛、不但～而且…、難到～ 嗎？ 比起～来、A 是 A～、不過…
⑤	第 2 課	第 2 課の本文・練習問題
⑥	第 3 課	新出単語・ポイント 使役文—讓、是～的、省得～、疑 問詞+都/也、 該/應該
⑦	第 3 課	第 3 課の本文・練習問題
⑧	第 4 課	新出単語・ポイント 会～的、結果補語、根据～、以～ 為…、只要～(就) …
⑨	第 4 課	第 4 課の本文・練習問題
⑩	第 5 課	新出単語・ポイント 連～都/也、不是～嗎？ 不是～就 是…、跟～不一樣、再～也…
⑪	第 5 課	第 5 課の本文・練習問題
⑫	第 6 課	新出単語・ポイント 既～也(又) …、不僅～而且…、 不管～都/也…、助動詞“得”、na 能～
⑬	第 6 課	第 6 課の本文・練習問題
⑭	復習、試験、まとめ	第 1～6 課の復習と確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業前に必ず復習と予習をすること。毎課の新出単語と文法事項を  
確実に理解したかどうかを必ず自己チェックをすること。

毎日最低 20 分ほどテキストの CD を聞きながら、発音練習を行う  
こと。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

王慧琴・植村麻紀子著 『中国語口語コンプリート』 朝日出版社

【参考書】

必要なものは授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 50 % と平常点 (学習態度、学習意欲、課題や小テストの  
提出及び完成度など)50 % に基づいて、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

前年度の学生のご意見やご要望が反映されるよう更なる改善を模索  
していく。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を用意することを勧める。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

Based on what you have learned in the first year, the purpose is to further solidify the basics and cultivate reading comprehension, expressiveness, etc. that will lead to level up.

Acquire basic grammar skills.

You can have a general conversation.

Can understand the contents of simple sentences.

Be sure to review and prepare before going to class. Make sure to remember the new words and points of each lesson and check if you understand them. Practice pronunciation while listening to the text CD for at least 20 minutes each day.

The standard preparatory study / review time for this class is 1 hour in total.

Comprehensive evaluation based on 50% of the final test and 50% of normal points (learning attitude, learning motivation, submission of assignments and quizzes, completeness, etc.). Based on this grade evaluation method, those who have achieved 60% or more of the achievement target of this class will be accepted.

LANe200LA

## 中国語 3 II

2017 年度以降入学者

## ショウ イクテイ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 5/Thu.5

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

文法事項の基礎を固めつつ、中国語のさらなるスキルアップを目標とする。

## 【到達目標】

日常会話ができる。  
簡単な文章を書ける。  
読解力や表現力などの更なるスキルアップを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

発音および読解の練習を中心としつつ、徐々に習熟度を高めるよう授業を進めていく。  
課題などへのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	復習	春学期期末テストの解説と復習
②	第 7 課	新出単語・ポイント 如果～就…、寧可～也…、可能補語、雖然～但是…、按照～
③	第 7 課	第 7 課の本文・練習問題
④	第 8 課	新出単語・ポイント 一点儿～都/也+否定形、与其～(還)不如…、要不然～、要麼～要麼…、即使～也…
⑤	第 8 課	第 8 課の本文・練習問題！
⑥	第 9 課	新出単語・ポイント 差点儿～、之所以～是因為…、自从～以後、無論如何～(也/都)、据说～
⑦	第 9 課	第 9 課の本文・練習問題
⑧	第 10 課	新出単語・ポイント 有的～有的…、只有～才…、難怪～、無論～都/也…、併不/併沒～
⑨	第 10 課	第 10 課の本文・練習問題
⑩	第 11 課	新出単語・ポイント 趁着～、至於～、疑問詞～疑問詞…、靠～、動詞+起来
⑪	第 11 課	第 11 課の本文・練習問題
⑫	第 12 課	新出単語・ポイント 非～不可、对～來說、一方面～另一方面…、除非～否則…、既然～(就)…、由～(來)
⑬	第 12 課	第 12 課の本文・練習問題
⑭	復習、試験、まとめ	第 7～12 課の復習と確認

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業前に必ず復習と予習をすること。毎課の新出単語と文法事項を確実に理解したかを必ず自己チェックをすること。  
毎日最低 20 分テキストの CD を聞きながら、発音練習を行うこと。  
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

王慧琴・植村麻紀子 『中国語口語コンプリート』 朝日出版社

## 【参考書】

必要なものは授業中に指示する。

## 【成績評価の方法と基準】

期末テスト（50%）と平常点（学習態度、学習意欲、課題や小テストの提出及び完成度など）50%に基づいて、総合的に評価する。

## 【学生の意見等からの気づき】

前年度の授業アンケートの結果が反映されるよう更なる改善を模索していく。

## 【その他の重要事項】

電子辞書を用意することを勧める。

## 【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

Aim to further improve Chinese skills while solidifying the basics of grammatical matters.

You can have daily conversation.

Can write simple sentences.

Aim to further improve reading comprehension and expressiveness.

Be sure to review and prepare before going to class. Make sure to remember the new words and points of each lesson and check if you understand them. Practice pronunciation while listening to the text CD for at least 20 minutes each day.

The standard preparatory study / review time for this class is 1 hour in total.

Comprehensive evaluation based on 50% of the final test and 50% of normal points (learning attitude, learning motivation, submission of assignments and quizzes, completeness, etc.). Based on this grade evaluation method, those who have achieved 60% or more of the achievement target of this class will be accepted.

LANe200LA

中国語 3 I

2017 年度以降入学者

王 翠莉

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 4/Tue.4

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、中国語 1 と中国語 2 を一通り終えた学生を対象にする授業です。

本授業では、中国語 1 と中国語 2 で学んだ基礎文法句型を生かし、教科書「優しいビジネス中国語」の内容を勉強することにより、中国語の応用表現を覚えます。

本講義の目的は、ビジネス上で必要な中国語の基本会話と文章表現を勉強し覚えることにより、中国語の応用力の向上を目指すことにあります。

【到達目標】

使用教科書「やさしいビジネス中国語」の内容は、とても実用的且つ充実した内容なので、そのビジネス上で必要な中国語の表現を勉強し覚えることにより、中国語の表現力と応用力が向上できます。到達目標とは、準中級レベルのビジネス上で必要な基本会話とビジネス関係の中国語文章の翻訳ができるようになることを目標とします。  
The content of the required textbook, “やさしいビジネス中国語,” is very practical and productive, so by learning and memorizing Chinese in these business scenes of the textbook, you will be able to improve your Chinese expression and ability to apply knowledge to new situations.

The goal is to be able to speak semi-intermediate level Chinese in business scenes and translate Chinese documents related to business.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業の進め方と方法は、基本的には教科書を中心に授業を進めます。教科書の内容は、銀行、財務、商談、宴会のセッティング、労働待遇、アフタサービス、国際入札、コンテナ輸送など幅広い分野をカバーしていて、とても実用的で充実した内容です。

教科書の各課は、会話本文、文法と作文、書き換え練習、ヒアリング練習と参考表現からなっています。

授業の進め方は、まず、教科書の文法を説明の上、受講生たちと一緒に会話本文を読んだり翻訳したりします。難しい中国語の表現がある場合、例文を挙げて説明したりします。その次、書き換え練習、ヒアリング練習、参考表現を練習します。時間の余裕がある場合、音読と短文作りの練習をします。

授業中、単語小テストをしますが、小テストの点数を平常点に計上します。

授業中の練習方法としては、毎回の授業では音読と翻訳の練習をし、できるだけ、受講生全員に練習のチャンスを与えます。

課題等へのフィードバックは基本的には授業時間を通じて行います。本授業は、対面形式ですが、必要に合わせて、オンライン（ZOOM 形式）形態を実施することも可能です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】  
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	オリエンテーション	ZOOM 形式授業 本授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明し、使用教科書を紹介する。 ZOOM 授業の受講環境を確認する。
2 回目	第 1 課 オフィスを訪ねる	①会話本文「オフィスを訪ねる」 ②「文法と作文」 文法 1：「疑問詞+☒」構文； 文法 2：動詞の重ね方 ③置き換え練習 ④ヒアリング練習 ⑤参考表現
3 回目	質問応答と音読練習	ZOOM 授業 質問応答と音読練習
4 回目	第 2 課 レストランに食事に行く	①第 1 課の単語小テスト ②会話本文「レストランに食事に行く」 ③文法と作文 文法 3：「形容詞+了」構文 文法 4：選択疑問文「A ☒是 B？」 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
5 回目	第 3 課 銀行に行く	①第 2 課の単語小テスト ②会話本文「銀行に行く」 ③文法と作文 文法 5：助動詞「想」の用法 文法 6：結果補語「好」の用法 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
6 回目	質問応答と音読練習	ZOOM 授業 質問応答と音読練習
7 回目	第 4 課 商談をする	①第 3 課の単語テスト ②会話本文「商談をする」 ③文法と作文 文法 7：結果補語「到」 文法 8：程度補語 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
8 回目	第 5 課 宴会のセッティングする	①第 4 課の単語テスト ②会話本文「宴会のセッティング」 ③文法と作文 文法 9：数量述語文 文法 10：「把」+目的語+動詞」の構文 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
9 回目	質問応答と総合練習	ZOOM 授業 質問応答 音読練習 総合練習
10 回目	第 6 課 有給休暇を取る	①第 5 課の単語テスト ②会話本文「有給休暇をとる」 ③文法と作文 文法 11：助動詞「可以」の用法 文法 11：助動詞「可以」の用法 文法 12：「快～了」の用法 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現

11 回目	第 7 課 フライトを待つ	①第 6 課の単語テスト②会話本文「フライトを待つ」 ③文法と作文 文法 13：時間量を示す言葉の位置 文法 14：「被」の用法 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
12 回目	授業のまとめ	ZOOM 授業 質問応答 総合練習 期末試験について説明
13 回目	授業内口頭試験	対面形式 音読テスト
14 回目	授業内筆記試験	対面形式 授業内筆記試験

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

毎回の授業内容と宿題をしっかりと練習しましょう。  
特に外国語の勉強にとっては、音読練習はとても重要なので、楽しく練習すれば、上手になります。  
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。  
オンライン授業を実施する場合、ちゃんと ZOOM 授業に参加し、毎回のレポート課題をしっかりとやりましょう。

Make sure to review after each class and do your homework. In learning a foreign language, reading aloud is very important. If you enjoy the process, you will be able to improve quickly. On average, it should take about 1 hour to prepare and review each class.

If the class is done online, make sure to participate in each Zoom class and do every assignment.

**【テキスト（教科書）】**

『やさしいビジネス中国語』三瀧正道他著、朝日出版社、2007 年、2,200 + 税

**【参考書】**

中国語辞書  
『商経学部生のための読む中国語』大羽りん・趙青著、白水社

**【成績評価の方法と基準】**

成績評価は、平常点と期末試験の点数により構成されます。  
平常点は 30 %で、期末試験は 70 %。  
平常点には、受講態度、小テスト、課題の完成度、口頭試問等を含みます。  
期末試験の 70 %には、口頭試験は 20 %、筆記試験は 50 %。  
Grading criteria consists of participation points and a final exam. Participation points share 30% and final exam share 70% of the grade. Participation points include class attendance and attitude in each class, quizzes, level of completion of assignments, and oral tests. The final exam 70% includes oral examinations 20% and paper examination 50%.

**【学生の意見等からの気づき】**

授業の終了時間をオーバーしないように気を付けます。

**【学生が準備すべき機器他】**

オンライン授業を受講するための通信環境、PC などを準備してください。

**【Outline (in English)】**

This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners. This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners to acquire the basic grammar and to learn how to use Chinese by the Book of “Friendly Business”. The aim of this course We will improve the Chinese basic speaking, writing and applying ability.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANc200LA		2 回目	第 8 課 アフターサービス	①第 8 課のポイントを解説する 文法 15：「吧」の用法 文法 16：「V 〇〜」の用法 ②会話本文「アフターサービス」を勉強する ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現
中国語 3 II		3 回目	第 9 課 コンテナ輸送	①第 8 課の単語テスト②第 9 課のポイントの説明する 文法 17：「一〜就…」の構文 文法 18：「既〜又…」の構文 ③会話本文「コンテナ輸送」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現を説明する。
王 翠莉		4 回目	第 8 課、第 9 課の音読練習と質問解答	①音読練習 ②質問解答
開講時期：秋学期授業/Fall   曜日・時限：火 4/Tue.4 単位数：1 単位		5 回目	第 10 課 待遇	①第 9 課の単語テスト ②第 10 課のポイントの説明する 文法 19：「(只有) 一、才能…」の用法 文法 20：「作〇〜」の用法 ③会話本文「待遇」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現
その他属性：		6 回目	第 11 課 病院にて	①第 10 課の単語テスト②第 11 課のポイントの説明する 文法 21：「先〜、然后…」の構文 文法 22：「不是〜、而是…」の構文 ③会話本文「病院にて」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現
【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】 本授業は、中国語 3 I の続きです。 春学期に使用した教科書「やさしいビジネス中国語」を引き続き勉強し、秋学期は第 8 課から勉強します。アフターサービス、流通業のコンテナ輸送、就職面接&待遇、病院で診察を受ける、国際入札、財務関係など、幅広く各分野にわたって中国語の表現を勉強します。本講義の目的は、ビジネス上で必要な中国語の基本会話と文章表現を勉強し覚えることにより、中国語の応用力の向上を目指すことにあります。		7 回目	第 10 課、第 11 課の音読練習と質問解答	①第 10 課、第 11 課の音読練習 ②質問解答
【到達目標】 使用教科書「やさしいビジネス中国語」の内容は、とても実用的且つ充実した内容なので、それらのビジネス上で必要な中国語の表現を勉強し覚えることにより、中国語の表現力と応用力が向上できます。到達目標とは、準中級レベルのビジネス上で必要な基本会話とビジネス関係の中国語文章の翻訳ができるようになることを目標とします。 The content of the required textbook, “やさしいビジネス中国語,” is very practical and productive, so by learning and memorizing Chinese in these business scenes of the textbook, you will be able to improve your Chinese expression and ability to apply knowledge to new situations. The goal is to be able to speak semi-intermediate level Chinese in business scenes and translate Chinese documents related to business.		8 回目	第 12 課 国際入札	①第 11 課の単語テスト ②第 12 課のポイントの説明する 文法 23：「听〜/听〇〜」の構文 文法 24：「有」を伴う 2 音節動詞 ③会話本文「国際入札」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現を説明する。
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1		9 回目	第 13 課 財務	①第 12 課の単語小テストをする。 ②第 13 課のポイントの説明する 文法 25：様態補語と可能補語 文法 26：助詞「地」の用法 ③会話本文「財務」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現を説明する。
【授業の進め方と方法】 本授業は、春学期と同様に基本的には教科書を中心にして授業を進めます。 授業の進め方は、まず、教科書の文法を説明の上、受講生たちと一緒に会話本文を読んだり翻訳したりします。難しい中国語の表現がある場合、例文を挙げて説明したりします。本文と文法を勉強した後、書き換え練習、ヒアリング練習、参考表現を練習します。時間の余裕がある場合、音読と短文作りの練習をします。 授業中、単語小テストをします。小テストの点数を平常点に計上します。 授業中の練習方法としては、毎回の授業では音読と翻訳の練習をし、できるだけ受講生全員に練習のチャンスを与えます。 課題等へのフィードバックは基本的には授業時間を通じて行います。		10 回目	第 12 課、第 13 課の音読練習と質問解答	①第 12 課、第 13 課の音読練習 ②質問解答
【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施)】 なし/No		11 回目	秋学期の内容についての質問解答	秋学期の内容第 8 課〜第 13 課の内容について、受講生からの質問を解答する。
【フィールドワーク (学外での実習等)の実施)】 なし/No		12 回目	総合復習練習	①授業内容のまとめと復習 ②期末テストについて説明する。
【授業計画】 授業形態：対面/face to face		13 回目	授業内音読テスト	音読テスト
回	テーマ	内容		
1 回目	①オリエンテーション ②総合復習	①秋学期の授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明する。 ②中国語で自己紹介文を書いて提出する。	14 回目	授業内筆記試験

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

授業内容を復習することはとても大切なことなので、宿題又は課題がある場合、ちゃんとやりましょう。

また、外国語の勉強にとっては、音読がとても重要なので、楽しく練習すればお上手になります。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

**Make sure to review after each class and do your homework. In learning a foreign language, reading aloud is very important.**

**If you enjoy the process, you will be able to improve quickly.**

**On average, it should take about 1 hour to prepare and review each class.**

**If the class is done online, make sure to participate in each Zoom class and do every assignment.**

**【テキスト（教科書）】**

『やさしいビジネス中国語』三瀧正道他著、朝日出版社、2007 年、2,200 円＋税

**【参考書】**

『商経学部生のための読む中国語』大羽りん・趙青著、白水社、2019 年 2 月

**【成績評価の方法と基準】**

成績評価は、平常点と期末試験の点数により総合評価を出す。

平常点は 30%、期末試験は 70%。

平常点には、出席、授業中の小テストと練習および学習態度等を含む。

期末試験には、音読テストは 20%、筆記試験は 50%占める。

中国語検定試験 4 級以上の合格者には、期末筆記試験を免除する。

中国語検定試験の取得点数と期末口頭試験と平常点により評価をする。

\*無断欠席 4 回以上の受講生は評価対象にならない可能性がある。

**Grading criteria consists of participation points and a final exam. Participation points share 30% and final exam share 70% of the grade. Participation points include class attendance and attitude in each class, quizzes, level of completion of assignments, and oral tests. The final exam 70% includes oral examinations 20% and paper examination 50%.**

**【学生の意見等からの気づき】**

授業中の私語と中国語学習以外の携帯使用を禁止する！

授業の終了時間をオーバーしないように気を付ける。

**【Outline (in English)】**

This course is Chinese 1 of III which is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners. This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners to acquire the basic grammar and to learn how to use Chinese by the Book of "Friendly Business Chinese. The aim of this course We will improve the Chinese basic speaking, writing and applying ability.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following

Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANc200LA

## 中国語 3 I

2017 年度以降入学者

## 康 鴻音

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級で学んだ中国語基礎を固め、正しい声調で、自然なリズムで話せること、そして中国語の文章が読めることと、簡単な文章が書けることを指導する。

## 【到達目標】

中国語の基礎を学んだ学生を対象に、習った文法、句型を復習しながら、さらに中国語のレベルアップを目指す。そして現代中国への理解を深められるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

新しい内容を予習してもらい、授業中にチェックします。必要に応じて授業後の指導もできます。

社会情勢に合わせてオンライン授業（リアルタイム）を実施する場合があります。その時、「学習支援システム」でお知らせします。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行います。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	第〇課	一年次の文法の復習
2 回	第一課	前置詞、動詞句による連体修飾語、様態補語などの勉強、本文と会話文への読解
3 回	第一課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
4 回	第二課	第二課副詞、逆説の表現、数量補語など、本文と会話文への読解
5 回	第二課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
6 回	第三課	前置詞、複文など、本文と会話文への読解
7 回	第三課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
8 回	第四課	形容詞句による連体修飾語、仮定条件文など、本文と会話文への読解
9 回	第四課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
10 回	第五課	結果補語、可能補語など、本文と会話文への読解
11 回	第五課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
12 回	第六課	因果関係文、追加・排他を表す表現、本文と会話文への読解

13 回 第六課

本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。

14 回 総復習など

いままでの復習・期末試験

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習、予習するよう。発音練習をたくさんしてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

『学ぶ中国語』初中級編 王亜新 劉素英 朝日出版社 2021 年 2200 円＋税

## 【参考書】

辞書を用意すること。

## 【成績評価の方法と基準】

授業への参加度、授業時の出来具合、宿題の完成度など（60 点）、試験（40 点）により総合評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

しっかりと読解できて、きれいに発音できることを目標にした。

## 【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を受講する場合、通信環境・PC の準備をしてください。

## 【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(40%), in-class contribution(60%).

LANc200LA

## 中国語 3 II

2017 年度以降入学者

## 康 鴻音

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の基礎を学んだ学生を対象に、習った文法、文型を復習しながら、さらにレベルアップを目指す。

## 【到達目標】

中国語の文章を流暢に読むことができること、簡単な文章を書くことができること、教科書の内容についての質問が聞き取れることを目標にする。また、中国についての知識を増やすことによって中国への理解を深めよう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

各課の新出単語をきれいに発音でき、文法を理解して読解を進めて行く。教科書の内容について聞き取りの練習をし、練習問題を解いて、着実に力をつけていけるようにする。そして習った文法で簡単な文章が書けるように指導する。

授業実施に関する変更は学習支援システムでお知らせします。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行います。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	復習	前期内容に対する復習、会話の練習とリスニングの練習
2 回	第七課	“是…的”の構文、動詞+“着”の用法など、本文と会話文への読解
3 回	第七課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
4 回	第八課	使役の表現、複文など、本文と会話文への読解
5 回	第八課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
6 回	第九課	疑問詞+副詞、慣用型など、本文と会話文への読解
7 回	第九課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
8 回	第十課	助動詞、副詞など、本文と会話文への読解
9 回	第十課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
10 回	第十一課	受動表現、反語表現など、本文と会話文への読解
11 回	第十一課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
12 回	第十二課	引用を表す表現、目的実現を表す言葉など、本文と会話文への読解

13 回	第十二課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
14 回	総復習	後期習った内容への復習・期末テスト

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず復習・予習してくる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

『学ぶ中国語』（朝日出版社）初中級編 王亜新 劉素英

## 【参考書】

辞書を用意すること。

## 【成績評価の方法と基準】

授業への参加度、授業時の出来具合、宿題の完成度など（60 点）、試験（40 点）により総合評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

しっかりと読解でき、きれいに発音できることを目標にしたい。

## 【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を受講する場合、通信環境・PC の準備をしてください。

## 【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(40%), in-class contribution(60%).



LANe200LA

中国語 3 I

2017 年度以降入学者

陳 瀟瀟

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語初級レベルの知識を踏まえ、中級レベルの語彙、文法、表現を学び、中国文化、中国事情及び中国人の考え方を理解した上、中国語の運用能力を向上させることを目的とする。

【到達目標】

- ・初級（中国語 1 と中国語 2）で習った内容を定着させる。
- ・ピンインを頼りにしなくても中国語を読む習慣を身につける。
- ・短い文章を聴く・話す・読む能力を高める。
- ・中国文化・風習について理解を深める。
- ・身の回りのことを積極的に中国語で表現できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストの内容を中心に、各課ごとに単語 → 文型 → 本文 → 練習問題の順で進めてゆく。

グループでの会話練習・ディスカッションがある。課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行う。

※対面授業。授業形態に変更がある場合は大学の方針が確定された後、学習支援システム Hoppii でその都度知らせる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス 発音復習・練習	・授業の計画と進め方、成績評価の方法と基準などの説明 ・中国語発音の練習、文法の復習と練習
第 2 回	第一課 自我介绍	・ウォーミングアップ ・自己紹介の表現 ・前置詞「在」、「跟」 ・「動詞+動詞」を活用
第 3 回	第一課 自我介绍	・本文 ・読解練習 ・実践会話：自我介绍
第 4 回	第二課 李军有很多爱好	・ウォーミングアップ ・趣味に関する表現 ・「比如」の使い方 ・「打算」の使い方 ・前置詞「对」、「从」
第 5 回	第二課 李军有很多爱好	・本文 ・読解練習 ・実践会話：我的兴趣爱好
第 6 回	第三課 赵大妈的一天	・ウォーミングアップ ・一連の動作の表現 「先」「然后」「再」「完」の活用 ・副詞「就」の使い方 ・仮定表現「要是……就……」 ・程度補語の活用 「主語+動詞+得+形容詞」
第 7 回	第三課 赵大妈的一天	・本文 ・読解練習 ・実践会話：周末怎么过?

第 8 回	第四課 许芳的苦恼	・ウォーミングアップ ・復習：動詞+方向補語（来/去） ・副詞「又」「挺」 ・前置詞「给」
第 9 回	第四課 许芳的苦恼	・本文 ・読解練習 ・実践会話：「你有苦恼吗？」
第 10 回	第五課 我们是去年认识的	・ウォーミングアップ ・復習：「是……的」構文 ・「因为……所以……」の活用 ・副詞「总是」の使い方 ・動詞「成」の使い方
第 11 回	第五課 我们是去年认识的	・本文 ・読解練習 ・実践会話：我和我的朋友
第 12 回	第六課 你知道“汉语桥”吗?	・ウォーミングアップ ・復習：「快要……了」 ・前置詞「由」の使い方 ・助数詞（量詞）の概観 ・接続詞「可是」の活用 ・助動詞「要」の使い方
第 13 回	第六課 你知道“汉语桥”吗?	・本文 ・読解練習 ・実践会話：比赛
第 14 回	授業のまとめ・期末試験	・筆記試験&口頭試験 ・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の予習・復習・宿題時間は、1 回につき 4 時間を標準とする。

【予習】ウォーミングアップ、単語、本文の予習が必要

【復習】単語の暗記、文型の理解、構文練習、読む練習など

【宿題】宿題・練習

【テキスト（教科書）】

王安・楊川・王欣・孫樹林著『標準中国語 読解力 UP 編』朝日出版社（2200 円+税、ISBN978-4-255-45215-9C1087）

【参考書】

- ・中国語辞書（電子辞書可）
- ・相原茂・石田知子・戸沼市子著『WHY?にこたえるはじめての中国語の文法書』同社（2500 円+税）
- ・尹景春・竹島毅著『中国語つぎへの一步』白水社（2200 円+税）
- ・大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香他著『ポイント学習中国語初級 改訂版』東方書店（2900 円+税）

※その他の資料は必要に応じて授業で提示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 50 %、平常点（授業中の取り組み姿勢、課題と小テストの完成度など）50 %を総合して評価する。  
成績評価は 100 点満点とし、60 点以上が合格となる。

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

【学生が準備すべき機器他】

（授業時間外 予習・復習用）音声教材の CD 再生できる機器が必要。

【その他の重要事項】

質問がある場合は、shosho.chin.48@hosei.ac.jp までご連絡ください。

【Outline (in English)】

This is a Chinese Course for intermediate learners. The goals of this Course are to help learners to improve their listening, reading, speaking and writing skills in Chinese, as well as their communication skills in Chinese.

【Learning Objectives】

- ・ Help students to approach an intermediate level in Chinese.
- ・ Express their opinions and experiences in Chinese.
- ・ Having a better understanding of Chinese culture, things and Chinese ways of thinking through this course.

【Learning activities outside of classroom】

Before and after each lesson, students are expected to have 4 hours to preview, review and practice.

【Grading Criteria /Policy】

Term-end exam:50%

In-class contribution:50%

LANe200LA

## 中国語 3 II

2017 年度以降入学者

陳 瀟瀟

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中級レベルの語彙、文法、表現を学び、中国文化、中国事情及び中国人の考え方を理解した上、中国語の運用能力を向上させることを目的とする。

## 【到達目標】

- ・中国語 1～中国語 3 I で習った内容を定着させる。
- ・中国語を読む習慣を身につける。
- ・聴く・話す・読む能力を高める。
- ・身の回りのことを積極的に中国語で表現できる。
- ・中国語で日常会話のコミュニケーションができる。
- ・中国文化・慣習について理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

テキストの内容を中心に、各課ごとに単語 → 文型 → 本文 → 練習問題の順で進めてゆく。

グループでの会話練習・ディスカッションがある。

課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行う。

※対面授業。授業形態に変更がある場合は大学の方針が確定された後、学習支援システム Hoppii でその都度知らせる。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	前期内容の復習 第七課 汉语中的外来語	・前期内容を復習 ・会話練習 ・中国語における外来語 ・助動詞「得」の発音・使い方 ・「些」の使い方
第 2 回	第七課 汉语中的外来語	・本文 ・読解練習 ・日本語の外来語と中国語の外来語
第 3 回	第八課 大学就是一个小社会	・接続詞「或」「由于」 ・助動詞「可以」 ・「除了……以外」 ・中国大学の寮生活について
第 4 回	第八課 大学就是一个小社会	・本文 ・読解練習 ・実践会話：我的大学生活
第 5 回	第九課 年轻人追求时尚	・単語の説明 ・助動詞「会」 ・前置詞「为了」 ・「不仅……而且」構文
第 6 回	第九課 年轻人追求时尚	・本文 ・読解練習 ・中国の若者文化 ・実践会話：你喜欢什么？
第 7 回	第十課 日本动漫的影响力	・前置詞「通过」 ・「欢迎」と「受欢迎」 ・「越来越……」 ・接続詞「并且」

第 8 回	第十課 日本动漫的影响力	・本文 ・読解練習 ・「动漫」について ・実践会話： 我想告诉大家的日本文化
第 9 回	第十一課 北京欢迎你	・「既……又……」構文 ・復習&補充：使役表現 ・本文 ・読解練習 ・実践会話：东京的魅力
第 10 回	第十二課 饮食与中国	・中国の食文化 ・接続詞「不过」 ・「不管……还是……」 ・復習&補充：比較表現「比」 ・復習&補充：受け身表現「被」
第 11 回	第十二課 饮食与中国	・本文 ・読解練習 ・実践会話：日本の美食 ・「这个词中文怎么说？」
第 12 回	第十三課 中国的民族	・「动词+着」構文 ・復習&補充：「把」構文 ・「动词+一下」の使い方 ・本文&練習
第 13 回	第十四課 过春节	・「一边……一边……」構文 ・「有的……有的……」構文 ・中国の春節
第 14 回	授業のまとめ・期末試験	・筆記試験&口頭試験 ・まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の予習・復習・宿題時間は、1 回につき 4 時間を標準とする。

【予習】ウォーミングアップ、単語、本文の予習が必要

【復習】単語の暗記、文型の理解、構文練習、読む練習など

【宿題】宿題・練習

## 【テキスト（教科書）】

王安・楊川・王欣・孫樹林著『標準中国語 読解力 UP 編』朝日出版社（2200 円＋税、ISBN978-4-255-45215-9C1087）

## 【参考書】

- ・中国語辞書（電子辞書可）
- ・相原茂・石田知子・戸沼市子著『WHY?にこたえるはじめての中国語の文法書』同社（2500 円＋税）
- ・尹景春・竹島毅著『中国語つぎへの一歩』白水社（2200 円＋税）
- ・大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香他著『ポイント学習中国語初級 改訂版』東方書店（2900 円＋税）

※その他の資料は必要に応じて授業で提示する。

## 【成績評価の方法と基準】

期末試験 50 %、平常点（授業中の取り組み姿勢、課題と小テストの完成度など）50 % を総合して評価する。  
成績評価は 100 点満点とし、60 点以上が合格となる。

## 【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

## 【学生が準備すべき機器他】

（授業時間外 予習・復習用）音声教材の CD 再生できる機器が必要。

## 【その他の重要事項】

質問がある場合は、shosho.chin.48@hosei.ac.jp までご連絡ください。

## 【Outline (in English)】

This is a Chinese Course for intermediate learners. The goals of this Course are to help learners to improve their listening, reading, speaking and writing skills in Chinese, as well as their communication skills in Chinese.

## 【Learning Objectives】

- ・ Help students to approach an intermediate level in Chinese.
- ・ Express their opinions and experiences in Chinese.
- ・ Having a better understanding of Chinese culture, things and Chinese ways of thinking through this course.

## 【Learning activities outside of classroom】

Before and after each lesson, students are expected to have 4 hours to preview, review and practice.

## 【Grading Criteria /Policy】

Term-end exam:50%

In-class contribution:50%

LANe200LA

## 中国語 3 I

2017 年度以降入学者

## 葉 会

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 4/Thu.4

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

自作テキスト『中国語（中級）』を使用し、『ポイント学習中国語』で学んできた基本語彙や初級文法を復習して受講者の習得状況を確認しながら授業を進めていきます。自己紹介の発表（発音矯正）・文法理解（翻訳練習）・聞き取りテストなどを授業内容とします。また、毎回の授業で 5 分間の動画で中国のエンターテイメント事情などを紹介し、リアルな中国を理解します。

## 【到達目標】

『ポイント学習中国語』で学んできた中国語の基礎を固めた上、より自由自在に「聞ける」・「話せる」・「読める」ことを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

自作テキスト『中国語（中級）』を使用します。毎回の授業では、自己紹介の発表と聞き取りテスト（翻訳練習と日常用語）などを行います。小テストのフィードバックは授業の中で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	第 1 課・自己紹介 I ①	動作の目的と方式を表わす表現
第 2 回	第 2 課・自己紹介 I ②	好き嫌い・心配を表わす表現
第 3 回	第 3 課・自己紹介 I ③	動作程度・状態を表わす表現（程度・様態補語）
第 4 回	第 4 課・自己紹介 I ④	可能・能力を表わす表現
第 5 回	復習とテスト	第 1 課～第 4 課・自己紹介 I ①～④の復習とテスト
第 6 回	第 5 課・自己紹介 I ⑤	動作の結果を表わす表現（結果補語）
第 7 回	第 6 課・自己紹介 I ⑥	動作の方向を表わす表現（方向補語）
第 8 回	第 7 課・自己紹介 I ⑦	動作の結果と方向を表わす表現（可能補語）
第 9 回	第 8 課・自己紹介 I ⑧	使役を表わす表現
10 回	復習とテスト	第 5 課～第 8 課・自己紹介 I ⑤～⑧の復習とテスト
第 11 回	第 9 課・自己紹介 I ⑨	受身を表わす表現
第 12 回	第 10 課・自己紹介 I ⑩	“把”の構文
第 13 回	総合復習	第 9 課～第 10 課・自己紹介 I ⑨～⑩の復習とテスト
第 14 回	期末試験	口頭試験：自己紹介 筆記試験：聞き取り 50 問・翻訳 20 問

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回授業の前に自己紹介文を hoppii にアップロードします。それを暗記してください。しっかりと授業に参加すれば、それ以外に予習や復習する必要がありません。

## 【テキスト（教科書）】

自作テキスト『中国語（中級）』

## 【参考書】

指定しません。

## 【成績評価の方法と基準】

自己紹介（15 %）と小テストの平常点（15 %）、期末試験の成績（70 %）などを総合して評価します

## 【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

## 【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), Speech tests (15%), Short tests(15%).

LANe200LA

## 中国語 3 II

2017 年度以降入学者

## 葉 会

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 4/Thu.4

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

自作テキスト『中国語（中級）』を使用し、これまで学んできた基本語彙や初級文法を復習して受講者の習得状況を確認しながら授業を進めていきます。自己紹介の発表（発音矯正）・文法理解（複文）・聞き取りテストなどを授業内容とします。また、毎回の授業で 5 分間の動画で中国のエンターテインメント事情などを紹介し、リアルな中国を理解します。

## 【到達目標】

これまで学んできた中国語の基礎を固めた上、より自由自在に「開ける」「話せる」「読める」ことを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

自作テキスト『中国語（中級）』を使用します。毎回の授業では、自己紹介の発表と聞き取りテスト（翻訳練習と日常用語）などを行います。小テストのフィードバックは授業の中で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	第 11 課・自己紹介 II ①	存在と出現を表わす表現（存現文）
第 2 回	第 12 課・自己紹介 II ②	動作の時間順・前後順を表わす表現
第 3 回	第 12 課・自己紹介 II ③	動作の時間順・前後順を表わす表現
第 4 回	第 13 課・自己紹介 II ④	因果関係を表わす表現
第 5 回	第 13 課・自己紹介 II ⑤	因果関係を表わす表現
第 6 回	復習とテスト	第 11 課～第 13 課・自己紹介 II ①～⑤の復習とテスト
第 7 回	第 14 課・自己紹介 II ⑥	仮定関係を表わす表現
第 8 回	第 14 課・自己紹介 II ⑦	仮定関係を表わす表現
第 9 回	第 15 課・自己紹介 II ⑧	逆接関係を表わす表現
10 回	第 15 課・自己紹介 II ⑨	逆接関係を表わす表現
第 11 回	第 16 課・自己紹介 II ⑩	累加関係を表わす表現
第 12 回	第 16 課・自己紹介 II ⑩	累加関係を表わす表現
第 13 回	復習とテスト	第 14 課～第 16 課・自己紹介 II ⑥～⑩の復習とテスト
第 14 回	期末試験	口頭試験：自己紹介 筆記試験：聞き取り 50 問・翻訳 20 問

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回授業の前に自己紹介文を hoppii にアップロードします。それを暗記してください。しっかりと授業に参加すれば、それ以外に予習や復習する必要がありません。

## 【テキスト（教科書）】

自作テキスト『中国語（中級）』

## 【参考書】

指定しません。

## 【成績評価の方法と基準】

自己紹介（15 %）と小テストの平常点（15 %）、期末試験の成績（70 %）などを総合して評価します

## 【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

## 【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), Speech tests (15%), Short tests(15%).

LANe200LA

## 中国語 3 I

2017 年度以降入学者

李 維涛

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土 2/Sat.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級で学んだ基礎知識を織り交ぜてそれを復習しながら中級の学習を進めて行く。  
「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実戦活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

## 【到達目標】

初級で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。

たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、様々な場面を想定して実戦活動を行い、学んだ知識のアウトプットによる円滑なコミュニケーションを行えることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業の進め方と方法については、基本的に、教室にて対面形式で授業を行うことを想定して、具体的に下記通りの行い方で進めて行きます。

\*状況によってオンライン形式で行うことを余儀なくされる場合、状況に即して具体的に対応し、授業内容によって資料配信・オンデマンド動画配信・双方向同時型と複数の授業形式を使い分けて行うことにする。具体的な行い方とスケジュールなどは事前に、「授業支援システム」を利用して提示し、周知する。

具体的に授業は以下の進め方と方法で行うものとする。

授業は、教科書を使つての勉強、コミュニケーション活動、課題と、3つのブロックに分けて行なう。

## 【教科書】

初回はレベルチェックテストを行い、その結果に応じて、初級で学んだ基礎知識の復習・練習を、最初の3回にわたって行なう。4回目以後教科書を使つての学習に入る。

基本的に1課を2回に分けて、1回目は主に言葉の学習と文法の解説や練習・応用などを、2回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実戦活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。

課毎に、語彙・文法テストを行う。

予習・復習は必須。

## 【コミュニケーション活動】

教科書で学習した内容とシチュエーションの実践活動として、グループまたはペアワークによるコミュニケーション活動を行なう。活動中に能動的且つ積極的に参加し、自己表現することを望む。

## 【課題】

教科書の学習とリンクする形で、学期毎に課題を一回課す。

春学期の課題は自由作文。

テーマ決め → 執筆 → 提出 → リライト → プレゼンテーションという流れで行なう。

課題等へのフィードバックについて

フィードバックが必要な課題に関して、課題が実施した直後の授業時間内か、添削が必要な場合は、添削後の返却時に授業時間内か、授業支援システムなどのツールを利用して行う。

授業スケジュールは、状況に応じて、変更する場合がある。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	①授業目標、教材、授業の進め方、スケジュール、履修上の注意事項などについて説明。 ②授業用語と挨拶の確認・復習 ③授業アンケート ④レベルチェックテスト
第2回	初級基礎復習 I	①初級基礎知識点検・復習・練習 I ②活動(1) 私、そして、私の家族
第3回	初級基礎復習 II	①チェックテスト【初級復習 I】 ②初級基礎知識点検・復習・練習 II ③活動(2) 私の一日、あなたの一日
第4回	初級基礎復習 III	①チェックテスト【初級復習 II】 ②初級基礎知識点検・復習・練習 III ③活動(3) 趣味について ④語彙導入【1課】
第5回	声をかける・挨拶をする(1) 基本語彙と表現	①チェックテスト【初級復習 III・1課語彙】 ②■方位詞 ■動作・行為の同伴者 ■動詞の重ね型
第6回	声をかける・挨拶をする(2) 応用活動	①チェックテスト【1課文法】 ②既習文型応用・実戦練習 ③語彙導入【2課】
第7回	初対面の自己表現(1) 基本語彙と表現	①チェックテスト【2課語彙】 ②■推測・判断 ■行為の積極性 ■状態補語
第8回	初対面の自己表現(2) 応用活動	①チェックテスト【2課文法】 ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動(4) 声をかける・自己紹介する ④語彙導入【3課】
第9回	伝聞による話題について話す(1) 基本語彙と表現	①チェックテスト【3課語彙】 ②■伝聞 ■全否定 ■結果補語
第10回	伝聞による話題について話す(2) 応用活動	①チェックテスト【3課文法】 ②可能補語 ③既習文型応用・実戦練習 ④課題作文について説明
第11回	「伝聞」の応用活動 課題：作文	①コミュニケーション活動(5) 伝聞による話題について話す ②課題作文：テーマ決め・ストーリー作り ③語彙導入【4課】
第12回	買物について話す：基本語彙と表現	①チェックテスト【4課語彙】 ②■動詞文：現在進行形 ■目的を表現する ■原因・理由についての訊ね方 ③課題作文提出
第13回	買物について話す：応用活動	①チェックテスト【4課文法】 ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動(6) 買物情報を交換する
第14回	春学期の総まとめ・期末試験【筆記】	①課題作文リライト提出 ②期末試験

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課毎に、言葉クイズ、文法クイズを行う。  
授業で学習した内容をしっかりと復習・予習することが必須。  
復習と予習はそれぞれ 1-1.5 時間を要する。  
授業外の課題を課された場合、作業時間は授業時間外になるが、きちんと締め切りを守って提出する。

**【テキスト（教科書）】**

『中国語へのアプローチⅡ』

楊凱栄・張麗群 著

朝日出版社 2010 年

ISBN978-4-255-45142-8

**【参考書】**

- 中日・日中辞典類 [紙媒体、電子辞書、APP の何れも可。電子辞書を推奨する]
- 『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂など 同 学社
- 『中国語生活図解辞典』 遠藤雅裕 小学館

**【成績評価の方法と基準】**

授業貢献度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。

チェックテスト [語彙・文法] 35%

期末テスト [筆記+口述] 25%

活動・口頭表現 20%

課題 10%

授業貢献度・学習態度など 10%

※上記テストについて、授業形式が遠隔になった場合、オンラインテストか課題に切り替えることにする。

※評価方法は、受講者の学習状況、授業の実施形態などに応じて、教員によって微調整し、変更する場合がある。

**【学生の意見等からの気づき】**

■授業では口頭練習と活動がたくさん行われるが、どうしても耳だけでは不安で随一板書して欲しいとの学生からの意見があった。今後の授業では、口頭活動の内容を、板書かスクリーンを利用して可能な限り文字でも提示するように心掛ける。

■授業課題は Hoppii を利用して行うことがある。Hoppii の使い方や、音声課題の場合のレコーディング方法などの、技術的な問題が出ており、今後該当する課題がある場合、授業では具体的に操作方法を提示して共有する。

**【学生が準備すべき機器他】**

学習内容に応じて、教室に備えてある機器、または PC などを使う。また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

**【その他の重要事項】**

授業中、学習用具類以外、机上に置かないこと。

特に、携帯電話、飲み物類は、鞆等にしまうこと。

教科書を持参せずの受講は欠席と見なし、必ず教科書、授業関連資料を持って授業に臨むこと。

**【授業に臨む心構え】**

其の一 勉強する意欲と意識を高く持つこと

其の二 しっかり予習・復習してくること。

其の二 教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持つてくること。

**【Outline (in English)】****■ 【Outline and objectives】**

Interweaving the basic knowledge you have learned in elementary level and reviewing progress and advance intermediate level learning.

Considering the balance of the four skills "listen" "read" "talk" "write", improve communication skills by Chinese through actual battle activities etc.

**■ 【Work to be done outside of class (preparation, etc.)】**

A word quiz and a grammar quiz will be given for each lesson. It is essential to thoroughly review and prepare for what you have learned in class.

Review and preparation each take 1-1.5 hours.

If you are assigned an assignment outside of class, the work time will be outside of class, but you must meet the deadline and submit it.

**■ 【Grading criteria】**

Evaluation is mainly based on tests, activities, and tasks, taking into consideration the degree of class contribution and participation attitude.

Quiz [vocabulary / grammar] 35%

Final test [speaking + writing] 25%

Activity / oral expression 20%

Tasks 10%

Class contribution, learning attitude, etc. 10%

\* Regarding the above test, if the lesson format becomes remote, we will switch to the online test or assignment.

\* The evaluation method may be fine-tuned and changed by the instructor depending on the learning situation of the students and the embodiment of the lesson.

LANe200LA

## 中国語 3 II

2017 年度以降入学者

李 維涛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土 2/Sat.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級と中級前半で学んだ基礎知識を織り交ぜて復習しながら中上級を目指して学習を進めて行く。「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実戦活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

## 【到達目標】

初級と中級前半で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級後半の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、学んだ知識のアウトプットを重視し、様々な場面を想定して実戦活動を行なう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業の進め方と方法については、基本的に、教室にて対面形式で授業を行うことを想定して、具体的に下記通りの行い方で進めて行きます。

\*状況によってオンライン形式で行うことを余儀なくされる場合、状況に即して具体的に対応し、授業内容によって資料配信・オンデマンド動画配信・双方向同時型と複数の授業形式を使い分けて行うことにする。具体的な行い方とスケジュールなどは事前に、「授業支援システム」を利用して提示し、周知する。

授業は、教科書を使つての勉強、コミュニケーション活動、課題と、3つのブロックに分けて行なう。

## 【教科書】

初回は初級と中級前半で学んだ知識をチェックするテストを行い、その結果に応じて、既習基礎知識の復習・練習を、最初の2回にわたって行なう。3回目以後教材を使っての学習に入る。

基本的に1課を2回に分けて、1回目は主に文法の解説や練習や応用などを、2回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実戦活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。

課毎に、語彙・文法テストを行う。

予習・復習は必須。

## 【コミュニケーション活動】

教科書で学習した内容・テーマ・シチュエーションに応じて、授業では、グループワークまたはペアワークによるコミュニケーション活動を行なう。

活動中には能動的に参加し、積極的に中国語による自己表現をすることを望む。

## 【課題】

秋学期の課題は二つ。作文と当該年度の中国語の新語・流行語のリサーチレポート。

何れも下記の流れで行なう。

テーマ決め → 執筆 → 提出 → リライト → プレゼンテーション

課題等へのフィードバックについて

フィードバックが必要な課題は、課題が実施した直後の授業時間内か、添削が必要な場合は、添削後の返却時に授業時間内か、授業支援システムなどのツールを利用して行う。

授業スケジュールは、受講者の学習状況、授業実施形態などに応じて、変更する場合がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	春学期学習内容を確認・復習	①中級春学期学習内容チェックテスト ②秋学期授業内容・進め方・スケジュールなどについて説明 ③活動(1)絵と言葉で表現する私の夏休み[前半]
第2回	■春学期学習内容を確認・復習。後期学習への準備。 ■コミュニケーション活動で新学期のウォームアップをする。	・チェックテストを返却・FB ①春学期学習内容を総括・復習 ②活動(1)絵と言葉で表現する私の夏休み[後半] ③語彙導入[5課]
第3回	天気について話す[5課]	①チェックテスト[5課語彙] ②■確認 ■比較[否定] ■能願動詞:可能性や見込み
第4回	天気について話す[5課]	①チェックテスト[5課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動(2):天気について話す ④語彙導入[6課]
第5回	初めての経験について話す[6課]	①チェックテスト[6課語彙] ②■感想・考え・意見を述べる表現 ■能願動詞:「喜んで～する」
第6回	初めての経験について話す[6課]	③課題(1)課題作文について説明 ①チェックテスト[6課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動(3)カフェでおしゃべり ④語彙導入[7課]
第7回	買物について話す[7課]	①チェックテスト[7課語彙] ②■選択:二者択一 ■能願動詞:「～しなければならない」
第8回	買物について話す[7課]	③課題(1)提出 ①チェックテスト[7課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③課題(1)を返却・FB
第9回	書いた物を、声に出して表現する。	①課題(2)課題(1)をプレゼンテーション ②語彙導入[8課]
第10回	会食をプランニングする[8課]	①チェックテスト[8課語彙] ②■全否定/全肯定 ■例外の表し方 ■既定条件
第11回	会食をプランニングする[8課]	①チェックテスト[8課文法] ②能願動詞:総括・復習 既習文型の応用練習
第12回	日常生活における食事の場面でのコミュニケーションを学ぶ。	①活動(4):食事の誘い、食事をする ②語彙導入[9課] ③課題(3)中国語の新語・流行語をリサーチ
第13回	二つのものを比べて表現する[9課]	①チェックテスト[9課語彙] ②■動詞文:持続形 ■推測・判断[肯定] ③課題(3)ピア活動
第14回	■期末テスト前復習・質疑応答 ■期末テスト[筆記]	①授業アンケート ②期末テスト前復習・質疑応答 ③期末テスト[筆記]

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課毎に言葉クイズ・文法クイズを行う。

授業で学習した内容をしっかりと復習・予習すること。

復習と予習はそれぞれ1-1.5時間を要する。

課題などの準備は授業時間外の作業となるが、提出締切など時間を守ることに。

#### 【テキスト（教科書）】

『中国語へのアプローチⅡ』

楊凱栄・張麗群 著

朝日出版社 2010 年

ISBN978-4-255-45142-8

#### 【参考書】

- 中日・日中辞典類 [紙媒体、電子辞書、App の何れも可。電子辞書を奨める]
- 『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂など 同 学社
- 『中国語生活図解辞典』 遠藤雅裕 小学館

#### 【成績評価の方法と基準】

授業参加度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。

チェックテスト [語彙・文法] 35%

期末テスト [筆記+口述] 25%

活動・口頭表現 20%

課題 10%

授業貢献度・学習態度など 10%

\* 上記テストについて、授業形式が遠隔になった場合、オンラインテストか課題に切り替えることにする。

\* 評価方法は、教員によって微調整し、変更する場合がある。

#### 【学生の意見等からの気づき】

■ 授業中に、コミュニケーション活動など、口頭表現する活動が多く行われて来た。学生から、口頭表現の内容を板書して提示して欲しいとの要望があった。今後の授業では、これらの口頭活動の内容を、板書かスクリーンを利用して可能な限り文字資料でも提示するように心掛ける。

■ 授業課題は Hoppii を利用して行うことがある。Hoppii の使い方や、音声課題の場合のレコーディング方法などの、技術的な問題が出ており、今後該当する課題がある場合、授業では具体的に操作方法を提示して共有する。

#### 【学生が準備すべき機器他】

学習内容に応じて、教室に備えてある機器、または PC などを使う。また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

#### 【その他の重要事項】

授業中、学習用具類以外、机の上に置かないこと。

特に、携帯電話、飲み物類は、鞆等にしまうこと。

教材 [教科書、授業関連資料] を持参せずの受講は欠席と見なすこと。

#### 【授業に臨む心構え】

其の一 勉強する意欲と意識を高く持つこと

其の二 しっかり予習・復習してくること。

其の三 教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持つてくること。

#### 【Outline (in English)】

##### ■ 【Outline and objectives】

While interwoven with the basic knowledge learned in the first half and intermediate class, we review progress and aim for middle advanced class while going forward with learning.

Considering the balance of the four skills "listen" "read" "talk" "write", improve communication skills by Chinese through actual battle activities etc.

##### ■ 【Learning activities outside of classroom】

Give a word quiz and a grammar quiz for each lesson.

Thoroughly review and prepare for what you have learned in class.

Review and preparation each take 1-1.5 hours.

Preparations such as assignments will be done outside of class hours, but be sure to keep time such as submission deadlines.

##### ■ 【Grading Criteria /Policy】

Evaluation is mainly based on tests, activities, and tasks, taking into consideration the degree of class participation and participation attitude.

Check test [vocabulary / grammar] 35%

Final test [written + dictation] 25%

Activity / oral expression 20%

Challenge 10%

Class contribution, learning attitude, etc. 10%

\* Regarding the above test, if the lesson format becomes remote, we will switch to the online test or assignment.

\* The evaluation method may be fine-tuned and changed by the faculty member.



LANe200LA

中国語 3 I

2017 年度以降入学者

後藤 淳一

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 4/Wed.4  
 単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年次に学んだ初級中国語の基礎を再確認しつつ、新たな単語・文法事項の学習を通して、各自の中国語運用能力を中級レベルに向上させる。

【到達目標】

- ・反復練習を通して、初級中国語の学習内容をしっかり定着させる。
- ・中国語のヒアリング能力を高める。
- ・ピンインに頼らずに中国語を読む習慣を身につけ、文章読解能力を高める。
- ・中国の文化について理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

指定テキストの内容に沿って授業を進める。多くの練習問題（リスニングを含む）をこなすことを通じて、各単語及び文法事項の運用パターンを身に付けてもらう。課題等へのフィードバックは授業時間を通じて行う。また、折に触れて授業内小テストを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】  
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション・ガイダンス	一年間の授業の進め方・方針・約束事などを説明し、併せて現在の華語圏の状況等を解説する。
2	第 12 課 你是什么？ 候回来的？ Step1・2	強調構文、様態補語、疑問詞の不定・任意用法など
3	第 12 課 你是什么？ 候回来的？ Step3・4	その他の不定・任意用法、本文のリスニングと解釈
4	第 13 課 我正在写 告呢 Step1・2	結果補語、動作の進行、連勝修飾語「地」など
5	第 13 課 我正在写 告呢 Step3・4	その他の結果補語、本文のリスニングと解釈
6	第 14 課 下雨了 Step1・2	無主語文、動作・状態の持続、複合方向補語など
7	第 14 課 下雨了 Step3・4	「不能不～」「除了～以外……」、本文のリスニングと解釈
8	第 15 課 我 来得及看 Step1・2	兼語文(1)、可能補語、禁止文など
9	第 15 課 我 来得及看 Step3・4	その他の可能補語、本文のリスニングと解釈
10	第 16 課 把以前的考 做一做 Step1・2	形容詞の重ね形、完了の「 <input checked="" type="checkbox"/> 」、処置文など
11	第 16 課 把以前的考 做一做 Step3・4	「越～越……」、「不管～」、本文のリスニングと解釈
12	第 17 課 小心！后面 来了一 Step1・2	存現文、疑問詞の呼応など
13	第 17 課 小心！后面 来了一 Step3・4	「差(一)点儿」、積極性を示す「来」と「去」、本文のリスニングと解釈

14 授業の総まとめと期末 授業の総まとめと筆記試験  
試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は必須。毎回、各課に出て来る単語・課文・例文の意味を、事前に調べておく。また、宿題として課される練習問題は付属 CD を何度も聴いて事前にやっておく。その際に未習の単語が出て来た場合は、必ず各漢字のピンインも調べて記しておく。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『4 技能対応 ベーシック・チャイニーズ②』（早稲田中国語教育研究会編著、三修社、2018、2700 円＋税）。また、一年時に使用した『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）を必ず授業時に持参すること。

【参考書】

中日辞典を必ず用意すること（どこの出版社のものでも良い。電子辞書も可とする）。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業内小テスト）20%  
 期末試験 80%

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

Preparation is required. Before each lesson, check the meaning of the words, sentences, and example sentences that appear in each lesson. Also, listen to the attached CD many times and do the practice problems assigned as homework in advance. If you come across an unlearned word, be sure to look up the pinyin for each kanji and write it down. The standard time for preparation and review for this class is 2 hours in total.

The method and criteria for grade evaluation are 20% for normal scores (mini tests) and 80% for final exams.

LANe200LA

## 中国語 3 II

2017 年度以降入学者

後藤 淳一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年次に学んだ初級中国語の基礎を再確認しつつ、新たな単語・文法事項の学習を通して、各自の中国語運用能力を中級レベルに向上させる。

## 【到達目標】

- ・反復練習を通して、初級中国語の学習内容をしっかり定着させる。
- ・中国語のヒアリング能力を高める。
- ・ピンインに頼らずに中国語を読む習慣を身につけ、文章読解能力を高める。
- ・中国の文化について理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

指定テキストの内容に沿って授業を進める。多くの練習問題（リスニングを含む）をこなすことを通じて、各単語及び文法事項の運用パターンを身に付けてもらう。課題等へのフィードバックは授業時間を通じて行う。また、折に触れて授業内小テストを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 18 課 他的自行 被人撞坏了	受身文、意味上の受身文など Step1・2
2	第 18 課 他的自行 被人撞坏了	「比」と様態補語、結果補語の Step3・4 「 <input type="checkbox"/> 」「成」、本文のリスニングと 解釈
3	第 19 課 “ <input type="checkbox"/> ”和“ <input type="checkbox"/> ” 打工”的性 <input type="checkbox"/> 不同	“ <input type="checkbox"/> ”和“ <input type="checkbox"/> ” 「算」、複合方向補語の派生義など Step1・2
4	第 19 課 “ <input type="checkbox"/> ”和“ <input type="checkbox"/> ” 打工”的性 <input type="checkbox"/> 不同	「不但～而且……」、本文のリスニ ングと解釈 Step3・4
5	第 20 課 有人告 <input type="checkbox"/> 我 他生病了	兼語文 (2)、「只有～才……」など Step1・2
6	第 20 課 有人告 <input type="checkbox"/> 我 他生病了	「有的～有的……」、本文のリスニ ングと解釈 Step3・4
7	第 21 課 “胡同”像 迷 <input type="checkbox"/> 一 <input type="checkbox"/> Step1・2	さまざまな可能補語、「既然～就 ……」など
8	第 21 課 “胡同”像 迷 <input type="checkbox"/> 一 <input type="checkbox"/> Step3・4	「比」と動詞フレーズ、本文のリス ニングと解釈
9	第 22 課 春 <input type="checkbox"/> 的 <input type="checkbox"/> 票 既便宜又不好 <input type="checkbox"/> Step1・2	「就是/即使～也……」、「既～又… …」など
10	第 22 課 春 <input type="checkbox"/> 的 <input type="checkbox"/> 票 既便宜又不好 <input type="checkbox"/> Step3・4	「并不」、「白」、本文のリスニン グと解釈
11	第 23 課 学分没有白 修的 Step1・2	復習 (その 1) 動詞述語文・形容詞 述語文など
12	第 23 課 学分没有白 修的 Step3・4	復習 (その 2) 疑問文・アスペク ト、本文のリスニングと解釈

- 13 第 24 課 下次再会 復習 (その 3) 補語・さまざまな文  
Step3・4 型など
- 14 授業の総まとめと期末 授業の総まとめと筆記試験  
試験

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は必須。毎回、各課に出て来る単語・課文・例文の意味を、事前に調べておく。また、宿題として課される練習問題は付属 CD を何度も聴いて事前にやっておく。その際に未習の単語が出て来た場合は、必ず各漢字のピンインも調べて記しておく。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とする。

## 【テキスト（教科書）】

『4 技能対応 ベーシック・チャイニーズ②』（早稲田中国語教育研究会編著、三修社、2018、2700 円＋税）。また、一年時に使用した『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）を必ず授業時に持参すること。

## 【参考書】

中日辞典を必ず用意すること（どこの出版社のものでも良い。電子辞書も可とする）。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（授業内小テスト）20%  
期末試験80%

## 【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

## 【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. Preparation is required. Before each lesson, check the meaning of the words, sentences, and example sentences that appear in each lesson. Also, listen to the attached CD many times and do the practice problems assigned as homework in advance. If you come across an unlearned word, be sure to look up the pinyin for each kanji and write it down. The standard time for preparation and review for this class is 2 hours in total. The method and criteria for grade evaluation are 20% for normal scores (mini tests) and 80% for final exams.

LANe200LA

## 中国語 3 I

2017 年度以降入学者

劉 湯水

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

教科書には、会話体の文章が集められています。これらの文章を読解しながら、初級文法の復習を行うとともに、中級レベルより高度な文法と語彙を学習します。更に中国への関心と理解も深めるために、教科書で触れているトピックスに関連させながら中国の社会や文化についても紹介を行います。

## 【到達目標】

学んだ基礎的な中国語運用能力を伸ばし、とくに中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させることが目標です。中検3級を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

音読、ヒアリング、会話、暗唱などの練習を繰り返し行い、中国語によるコミュニケーション能力を磨きます。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。本授業はハイブリッド（オンラインと対面を併用）で行います。授業についての詳細は学習支援システムでお知らせします。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業イントロダクション
2	第1課	文法・本文
3	第1課	応用練習
4	第2課	文法・本文
5	第2課	応用練習
6	第3課	文法・本文
7	第3課	応用練習
8	第4課	文法・本文
9	第4課	応用練習
10	第5課	文法・本文
11	第5課	応用練習
12	第6課	文法・本文
13	第6課	応用練習
14	授業の総まとめとテスト	授業の総まとめと期末テスト

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

「もっと話そう 異文化おもしろ体験 中級中国語」 陳淑梅・胡興智・劉湯水  
(朝日出版社)

## 【参考書】

必要に応じて指示する。

## 【成績評価の方法と基準】

課題提出 授業への参加度 30 % 期末レポート課題試験 70 %

## 【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

## 【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を受講するための通信環境、PC等を準備して下さい。

## 【Outline (in English)】

Textbooks are a collection of conversational texts. While reading these sentences, you will review beginner grammar and learn more advanced grammar and vocabulary than the intermediate level. In order to deepen interest and understanding in China, we will also introduce Chinese society and culture in relation to the topics mentioned in the textbook. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANe200LA

## 中国語 3 II

2017 年度以降入学者

劉 湯水

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

教科書には、会話体の文章が集められています。これらの文章を読解しながら、初級文法の復習を行うとともに、中級レベルより高度な文法と語彙を学習します。更に中国への関心と理解も深めるために、教科書で触れているトピックスに関連させながら中国の社会や文化についても紹介を行います。

## 【到達目標】

学んだ基礎的な中国語運用能力を伸ばし、とくに中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させることが目標です。中検3級を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

音読、ヒアリング、会話、暗唱などの練習を繰り返し行い、中国語によるコミュニケーション能力を磨きます。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業イントロダクション
2	第7課	文法・本文
3	第7課	応用練習
4	第8課	文法・本文
5	第8課	応用練習
6	第9課	文法・本文
7	第9課	応用練習
8	第10課	文法・本文
9	第10課	応用練習
10	第11課	文法・本文
11	第11課	応用練習
12	第12課	文法・本文
13	第12課	応用練習
14	授業のまとめとテスト	授業のまとめと期末テスト

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

「もっと話そう 異文化おもしろ体験 中級中国語」 陳淑梅・胡興智・劉湯水  
(朝日出版社)

## 【参考書】

必要に応じて指示する。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（授業態度、小テスト）30%、試験70%。

## 【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

## 【その他の重要事項】

授業形態は大学の方針に従い変更する場合があります。

## 【Outline (in English)】

Textbooks are a collection of conversational texts. While reading these sentences, you will review beginner grammar and learn more advanced grammar and vocabulary than the intermediate level. In order to deepen interest and understanding in China, we will also introduce Chinese society and culture in relation to the topics mentioned in the textbook. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following

Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANe200LA

## 中国語 3 I

2017 年度以降入学者

渡部 れい子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年時に学習した中国語から一歩進んで、教科書の本文の読解、練習問題を通じ、中級レベルの中国語を身につける。また、学習した内容に基づいて、自分について紹介したり、会話をする訓練を行う。

## 【到達目標】

テキストを学習することにより、中国語の語彙を増やし、文法事項の理解を一年時より深め、中級レベルの文章を正しく理解でき、また、日常会話に必要な基礎を身につけることを目標とする。また、発音は、単語レベルではなく、正しい発音で会話ができ、文章が読めるようになることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

本文を文法的にしっかり理解する。この時、一年時に学習した事項に関しても適宜復習する。次にテキストの問題を通じて中国語による表現の練習をし、学習した内容に基づいた会話練習、自己紹介などを行う。会話文の聴き取り練習も行う予定。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業中、またはメールなどで行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	一年時の復習	本授業の授業の進め方、成績評価の方法などについて説明する。
第 2 回	第一課	発音の総復習と、簡単に初級中国語文法を復習する。
第 3 回	第一課	ドリル、発音練習を中心に学習する。
第 4 回	第二課	助動詞“会”，動詞の重ね型、使役文について学習する。
第 5 回	第三課	近い未来、助動詞“应该”，“既～又…”について学習する。
第 6 回	第三課	ポイント（方位詞「上」など）の説明と本文の読解、発音練習。
第 7 回	第四課	時間量補語，“一点儿”+“也/都”+否定形，“一～就…”について学習する。
第 8 回	第五課	状態補語、前置詞“为了”，連用修飾語を作る“地”について学習する。
第 9 回	第六課	助動詞“可以”，“只要～，就…”，結果補語について学習する。
第 10 回	第七課	進の“在”“正”“正在”“无…～…是…，都～”，疑問詞の不定用法について学習する。
第 11 回	第八課	助動詞“要”，前置詞“离”，100 以上の数、金額の言い方について学習する。

第 12 回 第九課

持続の“着”，単純方向補，複合方向補，方向補語の派生的用法について学習する。

第 13 回 第十課

受け身文，“一辺（儿）～，一辺（儿）…”，“先～，然後ろ…”，“由于～，所以…”について学習する。

第 14 回 前期の総まとめ・試験 総復習・期末試験

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの「新出語句」などを用い、分からない単語などは調べて授業に臨んでください。定期的に小テストを行いますので、音声を聴いて本文を書き取るなど、授業内容を毎回復習してください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

『大学生のための中級中国語』

著者：杉野元子・黄漢青

出版社：白帝社 2021 年 3 月第 3 版

## 【参考書】

必要に応じて授業内で指示します。

## 【成績評価の方法と基準】

各期末テストに加え、授業内での小テスト、平常点（積極的に発言しているか、熱心に課題に取り組んでいるか、など）を総合的に判断し、評価します。

（期末テスト 70%、平常点（小テスト含む）30%）となります。また、各学期ごとに欠席が 6 回以上になった場合、期末テストを受けることができません。やむを得ない事情がある場合は、必ず申し出て下さい。

オンライン授業となった場合は、毎回の課題の実施状況、小テストの成績によって評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

アンケート結果では、多くの学生が授業を理解していたようで、今年度も分かりやすい授業を行えるよう工夫していきたいです。

## 【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

## 【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate level. By reading the textbooks and composition exercise and so on, we aim to acquire the intermediate communication skills of Chinese.

One hour is required for each lesson for preparation (researching the meaning of newly appeared word, etc.) and review (practicing listening to Chinese conversation, etc.) of this class.

Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term quiz(30%), term-end examination (70%), and in-class contribution.

LANe200LA

## 中国語 3 II

2017 年度以降入学者

渡部 れい子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年時に学習した中国語から一歩進んで、教科書の本文の読解、練習問題を通じ、中級レベルの中国語を身につける。また、学習した内容に基づいて、自分について紹介したり、会話をしている訓練を行う。

## 【到達目標】

テキストを学習することにより、中国語の語彙を増やし、文法事項の理解を一年時より深め、中級レベルの文章を正しく理解でき、また、自分の考えを中国語で伝えられるようになることを目標とする。発音は、単語レベルではなく、正しい発音で会話ができるようになることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

本文を文法的にしっかり理解する。この時、一年時に学習した事項に関しても適宜復習する。次にテキストの問題を通じて中国語による表現の練習をし、学習した内容に基づいた会話練習、自己紹介などを行う。会話文の聴き取り練習も行う予定。

課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業中、またはメールなどで行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	前期の総復習。	前期の学習事項の総復習を行う。
第 2 回	第 1 0 課	会話文と異なる長文の読み方の復習、長文読解による文法事項の復習。
第 3 回	第 1 1 課	本文についての練習問題、聴き取り、夏休みの過ごし方を紹介する。
第 4 回	第 1 2 課	比較(1)、比較(2)、可能補語について学習する。
第 5 回	第 1 3 課	“A 是 A，就是～”，“有点儿”と“一点儿”，処置文について学習する。
第 6 回	第 1 4 課	“要么～，要么…”，助動詞“得”，“不管～，都…”について学習する。
第 7 回	第 1 5 課	副詞“又”，副詞“就”と“才”，“除了～以外”，“～什么的”について学習する。
第 8 回	第 1 6 課	疑問詞+“都/也”，“要是/如果～的话，就…”離合動詞について学習する。
第 9 回	第 1 7 課	本文についての練習問題、聴き取り、会話の練習。
第 10 回	第 1 8 課	副詞“难怪”，存現文，存現文で表す自然現象について学習する。
第 11 回	第 1 9 課	疑問詞の呼応用法，反語の表現“哪能～”について学習し，補語について総復習する。

第 12 回 第 2 0 課

“对～来”，“连～都/也…”，“之所以～，是因为…”，“既然～，就…”，“不是～，而是…”について学習する。

第 13 回 第 2 0 課

会話文と異なる長文の読み方、長文読解による文法事項の復習を行う。

第 14 回 総復習

総復習・期末試験

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの「新出語句」などを用いて分からない単語などは調べて授業に臨んでください。定期的に小テストを行いますので、音声を聴いて本文を書き取るなど、授業内容を毎回復習してください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

『大学生のための中級中国語 2 0 回』

著者名：杉野元子 黄漢青 著

出版社名：白帝社 2 0 2 1 年 3 月 第 3 版発行

## 【参考書】

必要に応じて授業内で指示します。

## 【成績評価の方法と基準】

各期末テストに加え、授業内での小テスト、平常点（積極的に発言しているか、熱心に課題に取り組んでいるか、など）を総合的に判断し、評価します。

（期末テスト 7 0 %、平常点（小テスト含む）3 0 %）となります。また、各学期ごとに欠席が 6 回以上になった場合、期末テストを受けることができません。やむを得ない事情がある場合は、必ず申し出て下さい。

オンライン授業となった場合は、毎回の課題の実施状況、小テストの成績によって評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

アンケートの結果では、学生の皆さんに授業内容をしっかり理解していただけているようでした。今年度も引き続き分かりやすい授業ができるよう心掛けていきたいと思っております。

## 【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

## 【その他の重要事項】

特にありません。

## 【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

One hour is required for each lesson for preparation (researching the meaning of newly appeared word, etc.) and review (practicing listening to Chinese conversation, etc.) of this class.

Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term quiz(30%), term-end examination (70%), and in-class contribution.

LANe200LA

## 中国語 3 I

2017 年度以降入学者

三田村 圭子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の発音の基礎と基本文型、初級レベルの文法を復習しながら、文法項目の更なる基礎固めを行う。基礎の中国語で学習した事項をもとに、聞く・話す・読む・書くをバランスよく練習する。それによって、中級以上の中国語を学習する際に必要な事項を学習する。

## 【到達目標】

春学期終了時には中国語検定 4 級・HSK3 級程度の能力を確実に習得し、基本的な文法を用いて正確に書くことができ、生活中に必要なフレーズを口頭でも表現できることを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

この授業は対面で進みます。進行や課題は学習支援システム Hoppii でも伝達します。初回については基礎で学んだ事項について復習する。毎回、授業の始めに簡単な発音練習を行い本文へ進む。教科書は、文法の解説、発音練習、本文の訳、の順序で進める。その後、練習問題を行う。

【課題へのフィードバック】授業で回収した課題については誤答が多かった問題を参考に授業時に解説する。発音の誤りが多い部分に関して授業開始時に復習をする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	基礎で学習した発音と文型・時制に関する復習。	特にピンインと発音の確認。基礎文法事項の練習を行う。
第 2 回	大学生生活①動詞+在などの結果補語を復習する。	「不是～而是/都～」 「除了～以外～」の 2 つの構文の練習。
第 3 回	大学生生活②比較的難しい結果補語を習得する。	大学生生活に関して自分自身のことを表現する練習。
第 4 回	大学的作息時間①時制に関する表現を学ぶ。	「了」の応用練習と「因為～所以～」の構文の練習。
第 5 回	大学的作息時間②因果関係を示す表現を学ぶ。	理由を述べる構文の簡単な作文を書く。
第 6 回	早飯①「了」の 2 つの用法に関するまとめと方向補語の応用練習。	「了」について練習と「不但～而且～」の簡単な作文を行う。
第 7 回	早飯②より複雑な方向補語と「了」の組み合わせを学ぶ。	中国の朝食・自分自身の食事に関して表現する。
第 8 回	小テストと喝茶①の本文を読解する。	学習した事項を復習し、「特別是～」「以為～」を学習する。
第 9 回	喝茶②中国と日本の茶文化の違いについて理解する。	随著～」の練習と中国のお茶に関する中国語のヒアリング練習。
第 10 回	飲食①中国と日本の飲食に関する文章を読む。	「以～主」、接続詞「而且」「越来越～」の練習。

- 第 11 回 飲食②中華料理の菜系を確認し、特色を口頭で表現する。 本文に準じたヒアリング問題と質問に回答する。
- 第 12 回 生活習慣①処置文に関して学ぶ。「着」「把」構文の練習。「連～（也）」の構文の学習。
- 第 13 回 生活習慣②日中の習慣の違いについて閱讀する。 特に「把」構文の練習を行う。
- 第 14 回 最終的な到達度の確認。期末試験。 春学期に学んだ構文や文法事項に関しての確認。補語表現や把構文を主に復習する。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

時間のないときは音声教材だけでもよく聴いてくること。【予習】授業時に分担して回答してもらおうのでヒアリング問題は各自で行うこと。また自分の状況に合わせて答える問題は事前に文章を作成しておくこと。【復習】文法での疑問や誤答をした部分の確認。その回のヒアリング教材をよく聴くこと。【課題】音声教材付属のヒアリングの問題や進行状況に合わせた問題を行う。

## 【テキスト（教科書）】

『ことばと文化 一挙両得 中級中国語』陳淑梅・陸薇著 朝日出版社 2200 円+税 ISBN978-4-255-45289-0

## 【参考書】

授業開始以降に辞典や参考書について詳しく紹介する。

## 【成績評価の方法と基準】

期末試験 40 %、小テスト 30 %、課題（課題提出や暗誦、HSK 模擬試験）と平常点 30 % を総合して評価する。また、春学期においては HSK 3・4 級・中国語検定試験 4 級合格者には 10 % を上限として加点をする。点数が極めて良好な場合は期末試験の一部を免除する。

## 【学生の意見等からの気づき】

昨年度は対面で進行了ました。HSK の問題を 3 級まで行った分に関しては良好な反応でしたが誤答に関しての解説などが十分にされなかったことが改善点です。対面になっても発音練習が通常時のようにはできなかったことがありました。口頭練習も含まれる教科書ですので、発音ファイルの提出などで、引き続きこの部分は補うようにしたいと思います。

## 【学生が準備すべき機器他】

各自が最もヒアリング練習に便利な音声教材をダウンロードできる機器

## 【Outline (in English)】

## 【Course outline/Learning Objectives】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

## 【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting.

Before each class meeting, it is recommended that students listen to the hearing questions.

Your study time will be more than three hours for a class.

## 【Grading Criteria /Policy】

Final grade will be calculated according to the following process term-end examination (40%), mid-term examination (30%), and in-class contribution (30%).

LANe200LA

## 中国語 3 II

2017 年度以降入学者

三田村 圭子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

文法に関しては長めの会話文の学習を通じ、さまざまな中国語の表現を身につける。また、実際に作文や口頭の練習を行うことによって、新たに学習した構文の定着をはかり、HSK や中国語検定試験に対応しうる能力を養成する。

## 【到達目標】

より複雑な構文を習得し、自分の生活に関する事柄や仕事でも使用できる表現を明瞭に安定して運用できるようになる。文法に関しては中国語検定 3 級程度・HSK4 級 6 割程度の点数を取得できることを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

春学期よりも授業進行が若干速めになる。基本的には春学期の授業進行と同様、文法の解説、発音の練習、練習問題の順番だが、途中で応用問題を行う時間をとる。また、比較的難解な文法事項についてはプリントを使用しながら学習する。【課題へのフィードバック】造句は授業内で回収し添削し特に文法に関しては授業時間に回答を一覧にまとめたもので解説する。発音に関しては各回の授業開始時に誤りが多かったフレーズを練習する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	第 1 課から第 6 課までの復習と発音練習	発音練習と春学期に学習した事項と数字に関連する表現の復習。
	交通①の本文を読解する。	
第 2 回	交通②より複雑な比較文を確認し交通にまつわる表現を学ぶ。	「比～得多」と「一辺～一辺～」などの構文を練習する。
第 3 回	校園節①基本的な強調構文について学習する。	「在～下」「只～不過～」の構文について練習する。
第 4 回	校園節②大学祭に関する文章を閲読し要旨を把握する。	ヒアリング練習と大学の学園祭について簡単な文章を書く。
第 5 回	体育①受身文の復習と応用練習を行う。	「是～也是～」を学び「会」の代表的な用法に関する練習をする。
第 6 回	体育②日本の伝統的な武道と中国の武術に関して閲読する。	受身・使役文についてのまとめ。伝統的な運動について表現する。
第 7 回	小テストと既習分の復習。歌舞伎和京劇①の本文を読む。	新しい可能補語について学し「即使～也～」の構文を練習する。
第 8 回	歌舞伎和京劇②日本と中国の伝統芸能について	可能補語の練習。伝統芸能に関する質問に答える練習。
第 9 回	方言①中級で学ぶ構文のまとめ。	「好像～似的」「只要～就」「雖然～但是～」などの練習。

- 第 10 回 方言②普通話と方言に 全世界で学習されている「普通話」について中国語で説明する。
- 第 11 回 飯卓上の習慣①数量 数量補語と「先～然后～」「每～補語・時量補語・動量 都～」の構文の練習。補語の確認。
- 第 12 回 飯卓上の習慣②食事や 中国の食事マナーに関してのヒア お祝いの席での習慣に リング問題を行う。ついて。
- 第 13 回 「過年」旧暦の正月 伝聞の表現と条件関係を表す構文 「春節」についての文 についてのまとめ。章を読解する。
- 第 14 回 応用表現の総合復習と 半期で学習した項目の確認と解 期末試験 説。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

秋学期は内容も難しくなるので音声教材をよく聴くこと。また授業以外でも DVD を観るなど、幅広く興味を持ってほしい。【予習】本文の音声をあらかじめ聴いてヒアリング問題と回答問題を行うこと。【復習】自分のことに置き換えて習得した構文を書いてみる。【課題】自分のことに置き換えて表現する練習問題は授業内で指定し、時には授業内の決まった時間で行う。HSK 模擬試験の指定の部分を行う。

## 【テキスト（教科書）】

『ことばと文化 一拳兩得 中級中国語』陳淑梅・陸薇著 朝日出版社 2200 円+税 ISBN978-4-255-45289-0

## 【参考書】

秋学期授業時間開始以降に再度、辞典や参考書について紹介する。

## 【成績評価の方法と基準】

期末試験 40 %、小テスト 30 %、課題（HSK 模擬試験指定範囲と教科書の問題）を含む平常点 30 %を総合して評価する。3 分の 1 以上欠席した学生は評価の対象としない。また、遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。特に各自が行う課題に関しては採点の比重を重く置く。外部試験の点数が極めて良好な場合は期末試験の一部を免除し、中検 3 級合格者と HSK4 級以上の合格者は試験を免除し S の評価を与える。

## 【学生の意見等からの気づき】

昨年度は全て対面で実施しました。秋以降は進行に余裕のある学生が退屈になる場合もあったので、昨年同様、問題を追加し補充練習を行いたい。対面になってからは課題の添削と返却ができたことは良かった点である。問題数なども調整し、更に根本的改善を行うつもりでいる。

## 【学生が準備すべき機器他】

常に音声教材を聴ける機器、またはダウンロードできる機器。

## 【Outline (in English)】

## 【Course outline/Learning Objectives】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

## 【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting.

Before each class meeting, it is recommended that students listen to the hearing questions.

Your study time will be more than three hours for a class.

## 【Grading Criteria / Policy】

Final grade will be calculated according to the following process term-end examination (40%), mid-term examination (30%), and in-class contribution (30%).



LANe200LA

中国語 3 I

2017 年度以降入学者

王 安

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 2/Thu.2

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語初級～中級レベルに必要な語彙・文法・表現を総合的に習得し、中国の文化・習慣における基本知識を理解する。授業では、各課の内容を巡って、グループで会話をしたり、重要文法項目について作文をしたり、様々な練習問題をしたりすることによって、学んだ知識を確実に身につけていく。

【到達目標】

初級中国語を終えた学習者を対象に、初級中国語の内容を実際に運用できるように練習し、中級中国語の語彙、文法、構文を身につけることを目標とする。読解力のみならず、「話す」「聞く」「書く」などの能力もバランスよく訓練し、中国語総合能力の向上を目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業では先生と一緒に単語と本文を音読し、中国語の正しい発音を覚えていく。また、重要単語の意味と用法、文法項目及び関連知識を学習し、作文練習や補足練習を通して確実に身につける。さらに、各課のトピックに合わせて、グループで会話練習を行う。このように、授業は中国語の総合能力の向上を意識して進めていく。課題などに対するフィードバックは授業時間内で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	ガイダンス	発音の復習、中国語初級文法、構文などの復習
2 回	第 1 課 自我紹介	①自己紹介に関する重要表現、言い方を学習する。 ②重要文法項目：前置詞“在、跟”などの用法、動詞の重ね型。
3 回	第 1 課 自我紹介	実践練習： 自己紹介の仕方（自分の名前、故郷、家族構成、専攻、など）
4 回	第 2 課 李有很多好	①趣味を紹介する際に使う重要表現、言い方を学習する。 ②重要文法項目：前置詞“对”“从”の用法、助動詞“打算”の用法。
5 回	第 2 課 李有很多好	実践練習：様々な趣味の中国語の言い方を身につけ、自分や友人の趣味を人に紹介する。
6 回	第 3 課 大的一天	①一日の行動を述べる際の構文、表現を学ぶ。 ②重要文法項目： 連動文、様態補語、時間副詞の用法。
7 回	第 3 課 大的一天	実践練習： 連動文や時間副詞を用いて、自分の一日の行動を中国語で表現する。

8 回	第 4 課 芳的	①人の性格、特徴や仕事に関する言い方、表現を学習する。 ②重要文法項目：助動詞“能”の用法、方向補語、中国語の感情動詞など。
9 回	第 4 課 芳的	実践練習：中国語で自分の友人の性格、特徴などを紹介する。
10 回	第 5 課 我是去年的	①過去の出来事を述べる際に使用する表現、構文などを学ぶ。 ②重要文法項目：“是…的”構文、因果関係の複文、中国語の離合動詞。
11 回	第 5 課 我是去年的	実践練習： 中国語の“是…的”構文の機能、使い方を正しく理解し、“是…的”構文を使えるように練習する。
12 回	第 6 課 你知道“”？	①情報や知識を人に伝える際に使う表現、構文を学ぶ ②重要文法項目： 前置詞、逆接接続詞の使い方、“快要…了”の使い方、助動詞“要”の用法
13 回	第 6 課 你知道“”？	実践練習： 中国語である情報やニュースまたは知識を人に紹介する。
14 回	期末試験	筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- 1、事前に教科書を音読し、「warming up」を予習してください。
  - 2、授業で補足された内容を必ずメモし、授業後整理してください。
  - 3、授業後、復習を通してその日の語彙と構文を知識として定着させる。
- 本授業の準備学習・復習時間は各 4 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『標準中国語読解力 UP 編』王安・楊川・王欣・孫樹林 朝日出版  
2200 円＋税  
ISBN978-4-255-45215-9C1087

【参考書】

『WHY? にこたえるはじめての中国語の文法書』相原茂・石田知子・戸沼市子著 2,500 円（同学社）  
その他の資料は授業で随時紹介する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（課題 45 %）＋総合まとめ課題（55 %/2 回）＝100 点で評価します。

注意点：①課題の未提出は 8 点減点/一回  
②課題提出の遅れは 4 点減点/一回  
（提出が締め切りより遅れた場合、期間は締め切り日から一週間以内と限定します。一週間過ぎてからの提出は成績評価しません）

【学生の意見等からの気づき】

授業の雰囲気明るく、文法の説明が分かりやすいとの評価を頂いてうれしいです。今後もたくさんの用例を提示しながら丁寧に文法項目を説明し、様々な工夫をして学習効果を確実に上げていきたいと思えます。  
また、今後は学生同士の交流やコミュニケーションの機会を増やし、授業中のディスカッションがより活発にできるように工夫していきたい。

【学生が準備すべき機器他】

音声教材を日常的に聴くことができる機器が必要です。

【その他の重要事項】

質問がある場合は、annwang@hosei.ac.jp まで連絡してください。

【Outline (in English)】

This is a Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire intermediate-level communication skills in Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading, and writing by studying pronunciation, grammar, conversation, and composition.  
(Learning Objectives)

Comprehensive training in "speaking", "listening", "writing", and "reading" in order to improve Chinese comprehensive ability.

(Learning activities outside of classroom)

Before/after each class, students will be expected to spend 4 hours previewing the course content.

(Grading Criteria /Policy)

Overall grade in the class will be decided based on the following parts:

- assignments: 45%
- middle-test and final test: 55%

LANe200LA

## 中国語 3 II

2017 年度以降入学者

王安

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 2/Thu.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

前期に引き続き、中国語中級レベルに必要な語彙・文法・表現を総合的に習得し、中国の文化・習慣への理解を深める。授業では、各課の内容を巡って、グループで会話をしたり、重要文法項目について作文をしたり、様々な練習問題をしたりすることによって、学んだ知識を確実に身につけていく。

## 【到達目標】

初級～中級中国語を終えた学習者を対象に、これまで学んできた内容を実際に運用できるように練習し、中級中国語の語彙、文法、構文を身につけることを目標とする。読解力のみならず、「話す」「聞く」「書く」などの能力もバランスよく訓練し、中国語総合能力の向上を目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業では先生と一緒に単語と本文を音読し、中国語の正しい発音を覚えていく。また、重要単語の意味と用法、文法項目及び関連知識を学習し、作文練習や補足練習を通して確実に身につける。さらに、各課のトピックに合わせて、グループで会話練習を行う。このように、授業は中国語の総合能力の向上を意識して進めていく。課題などに対するフィードバックは授業時間内で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	第 7 課	①前期復習 ②中国語の外来語 ③重要表現、文法の説明 実践練習： 中国語の外来語や日中両言語の表記体系、外来語の相違を紹介する。
2 回	第 7 課	①中国の大学や大学生の生活に関する表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明 実践練習： 中国語で自分の大学や大学生活を紹介する。
3 回	第 8 課	①中国の若者文化、若者の生活に関する中国語表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明 実践練習： 中国の若者言葉を紹介し、日本語や日本の文化が中国の若者に与えた影響を紹介する。
4 回	第 8 課	①日本の“動漫”に関する中国語表現を学ぶ ②重要文法項目の説明 実践練習： 日本の“動漫”が中国に与えた影響を紹介し、映画やアニメに関する中国語表現を紹介する。
5 回	第 9 課	
6 回	第 9 課	
7 回	第 10 課	
8 回	第 10 課	

9 回	第 11 課	①北京に関する知識、北京生活に関する表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明。
10 回	第 11 課	実践練習： 北京の言葉、生活、文化などに関連する中国語表現を練習する。
11 回	第 12 課	①中国の飲食文化を紹介し、それに関連する表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明。
12 回	第 12 課 第 13 課	①飲食に関する中国語表現を用いて練習する。 ②中国の民族に関連する知識を紹介する
13 回	第 14 課	①中国の旧正月に関する知識、表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明。 ③まとめ
14 回	期末試験	筆記試験

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- 1、事前に教科書を音読し、「warming up」を予習してください。
- 2、授業で補足された内容を必ずメモし、授業後整理してください。
- 3、授業後、復習を通してその日の語彙と構文を知識として定着させる。

本授業の準備学習・復習時間は各 4 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

『標準中国語読解力 UP 編』王安・楊川・王欣・孫樹林 朝日出版 2200 円＋税

ISBN978-4-255-45215-9C1087

## 【参考書】

『WHY? にこたえるはじめての中国語の文法書』相原茂・石田知子・戸沼市子著 2,500 円（同学社）

その他の資料は授業で随時紹介する。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（課題 45 %）＋総合まとめ課題（55 %/2 回）＝100 点で評価します。

注意点：①課題の未提出は 8 点減点/一回

②課題提出の遅れは 4 点減点/一回

（提出が締め切りより遅れた場合、期間は締め切り日から一週間以内と限定します。一週間過ぎてからの提出は成績評価しません）

## 【学生の意見等からの気づき】

授業の雰囲気明るく、文法の説明が分かりやすいとの評価を頂いてうれしいです。今後もたくさんの用例を提示しながら丁寧に文法項目を説明し、様々な工夫をして学習効果を確実に上げていきたいと思っています。

また、今後は学生同士の交流やコミュニケーションの機会を増やし、授業中のディスカッションがより活発にできるように工夫していきたい。

## 【学生が準備すべき機器他】

音声教材を聴くことができる機器が必要です。

## 【その他の重要事項】

質問がある場合は、annwang@hosei.ac.jp まで連絡してください。

## 【Outline (in English)】

This is a Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire intermediate-level communication skills in Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading, and writing by studying pronunciation, grammar, conversation, and composition.

## 【Learning Objectives】

Comprehensive training in "speaking", "listening", "writing", and "reading" in order to improve Chinese comprehensive ability.

## 【Learning activities outside of classroom】

Before/after each class, students will be expected to spend 4 hours reviewing the course content.

## 【Grading Criteria / Policy】

Overall grade in the class will be decided based on the following parts:

- assignments: 45%
- middle-test and final test: 55%

LANe200LA

中国語 4 I

2017 年度以降入学者

三田村 圭子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

定員制 (30 名)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期は中国語の基礎を集中的に復習し定着させる。中国語検定試験 4 級・HSK3 級に照準をあてて「話す」・「読解できる」・「聴き取れる」の中国語中級への基礎事項の習得を目指す。

【到達目標】

春学期は中国語検定試験 4 級の合格レベル (6 月末) HSK3 級同程度の中国語文法を確実に運用できる。また、春学期終了時には基本的な文法を正確に使い、中国と日本の文化の違いについて読解でき、自分の生活や習慣・文化などについても具体的に話すことができるのが到達目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で行います。学ぶべき例文と文法の解説後、読解、発音練習を行う。毎回の授業では、一人ずつ発音をチェックしたうえでその後、学習した文法を使いながら本文に関する表現を反復練習する。最後に中心となる文法を使用して簡潔な作文を作成する。【課題へのフィードバック】文法に関しては授業時間に回答を例に挙げて解説する。各自が自由に書く課題については添削する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	基礎文法と発音 (ピンイン) の復習	プリントで基礎文法事項を含んだ例文を確認。
第 2 回	「談家庭」今まで学習した家族に関して使われる表現を把握する。	「都」と「也」、語気助詞の復習。併せて数字に関する表現の確認をする。
第 3 回	「談家庭」中国の家族に関して使われる表現を閲読する。	語気助詞、副詞の練習問題を行い、確認する。
第 4 回	「談方位」存在を表す動詞と方向の表現を理解する。	伝聞の表現と「既～又～」 「除～」の構文について学習する。
第 5 回	「談方位」中国の大学に関する文章を位置関係を正しく理解しながら閲読する。	「既～又～」の書き換え問題や伝聞の表現を用いた作文をする。
第 6 回	第 1 課・第 2 課の総合復習と到達点の確認。	各課の始めにある例文を復習し、学習した内容を使つての口頭表現の練習。
第 7 回	「談時間」時間に関連する表現を確認し、新しい表現を学習する。	離合詞・結果補語の確認と「了」を用いる場合の確認。
第 8 回	「談時間」待ち合わせや、スケジュールについて表現する。	「不但～而且～」 「一～就～」 「先～然后～」の構文を練習問題を行い、確認する。
第 9 回	「談愛好」趣味や過去に好んで行っていたことの表現を学ぶ。	動量補語・時量補語・様態補語の基礎的文法の確認をする。

第 10 回	「談愛好」趣味について書かれた文章を読解し回答する。	動量補語・時量補語・様態補語の実践練習を行う。
第 11 回	第 3 課・第 4 課の総合復習と到達点の確認。	存現文の復習「着」・出現の「了」・消失の「了」を学ぶ。
第 12 回	「談天気」天候や気象状況に関する表現を学ぶ	動詞の重ね型の確認と「因～所以～」 「只有～才～」などの構文を練習する。
第 13 回	「談天気」中国の都市の気候を閲読する。	学習した構文の復習と練習を行う。簡単なヒアリング問題を行う。
第 14 回	春学期の到達点の確認。試験と総合復習	構文のまとめと 4 種類の疑問文についての解説を行う。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

【予習】授業時に分担して翻訳してもらうので、教科書の本文・例文の翻訳は各自で行うこと。また作文も担当をあらかじめ決める回があるので、担当者は準備すること。

【復習】文法上での疑問点を確認すること。音声教材をよく聴いて発音を練習すること。【課題】ヒアリング問題・音声ファイルの提出を主とし、簡単な作文は授業内で行い授業終了後回収する。

【テキスト (教科書)】

『現代中国アラカルト』楊曉安著 音声ダウンロード ISBN978-4-261-01869-1 C1087 郁文堂 2500 + 税

【参考書】

中日辞典を持っていることが望ましいが、授業開始時にスマートフォンでも使用できる辞典についても詳しく紹介するので、辞典などの購入は説明後に検討してほしい。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 40 %、小テスト 30 %、課題 (暗誦や各課にある練習問題の提出・HSK 模擬試験) と平常点の 30 % を総合して評価する。中国語検定試験 4 級・HSK 3・4 級合格者は大きく加点する。中国語外部能力試験の点数によっては試験を免除とする。

【学生の意見等からの気づき】

このクラスは基礎を習得した学生が履修するが各学生の習得度はさまざまである。発音練習が昨年度は不足したので、今年度は短い頻出するフレーズが例文で載っている教科書にした。口頭での表現を確実に習得できるよう進行したい。造句に関しては授業内で回収し添削して返却できたことは良かった点である。対面では発音練習に時間がかかるので、数回に一度は課題にするなどの効率よくできる方法を工夫したい。

【学生が準備すべき機器他】

各自が便利な方法で辞典が利用できることと、付属の音声教材を日常的にヒアリングできる機器を準備して欲しい。

【その他の重要事項】

第 1 回めの授業時に履修者を決めることになるので、初回は必ず参加するように。

【Outline (in English)】

【Course outline/Learning Objectives】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one half hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policy】

Final grade will be calculated according to the following process term-end examination (40%), mid-term examination (30%), and in-class contribution (30%).

Points will be added if the student has passed Test of Chinese Proficiency or HSK.

LANe200LA

## 中国語 4 II

2017 年度以降入学者

三田村 圭子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

定員制 (30 名)

その他属性：

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

中級の文法の確立と応用練習を行う。中国語検定試験 3 級/HSK3～4 級に照準をあてて春学期よりも長めの文章を読解し、そのテーマに関する会話を聞き取り、簡単な質疑応答ができる能力を養成する。また、現代中国の文化や日常に関する比較的短い閱讀も並行して行う。

## 【到達目標】

秋学期終了時には中国語検定試験 3 級の合格 (11 月末)、あるいは HSK4 級の 6 割程度の文法を習得し、学習した句型を使い自分の考えを表現することができる。また、テーマに関するヒアリング問題を理解でき、より複雑な時制の表現や構文の習得を到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

始めに発音の練習をしすでに学習した例文を確認する。その後、各課の文法を解説し会話文・閱讀・実践問題と進行する。併せて「検定問題の一部などを使用しながら実践練習を行う。【課題へのフィードバック】造句や読解問題などは授業内で回収し、添削後返却する。文法は各自担当してもらった回答を一覧にし、授業時に解説を行う。発音に関しても音声ファイルの提出などでチェックした不明瞭な部分を授業時に確認する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	春学期の復習事項の確認とまとめ	中検 4 級程度の文法とヒアリングの練習問題を行う。また春学期の試験についての解説を行う。
第 2 回	「談体育」スポーツに関する文章を読解する。	進行・持続態の復習。方向補語・可能補語の新しい表現を学習する。
第 3 回	「談体育」スポーツの試合や自分が習慣にしている運動のことで表現する。	可能補語や方向補語を適切に使うための練習。また本文に準じた質問に中国語で回答する。
第 4 回	「談旅行」旅行に関する話題と名所旧跡にまつわる表現を閲読する。	語気助詞と介詞の練習と新しい表現「不如此」「没想到」「或者」を学ぶ。
第 5 回	「談旅行」の中国十大名所旧跡を読解し内容に準じた質問を行う。	自分自身がしたい旅行や過去の旅行について簡単な作文をする。併せて練習問題を行う。
第 6 回	「談飲食」中華料理の菜系について読解する。	几と多少の復習。「越来越～」「不是～而是～」などを使う表現練習を行う。
第 7 回	「談飲食」本文を参考に日本食についても話してみる。	自分の好きな料理や中国と日本の味の違いなどを簡潔に口頭で答える練習を行う。

第 8 回	第 8 課までの小テストと暗誦。	前半で学習した構文の確認と指定の文章の暗誦を行う。時間があれば HSK・中国語検定のヒアリングを行う。
第 9 回	「談交通」中国と日本の交通事情について把握する。	使役の表現の復習。仮定法について学習する。
第 10 回	「談交通」旅行先や日常での交通手段について本文を参考に回答する。	「就」「才」と「好+動詞」について練習を行う。
第 11 回	「談看病」身体の不具合や病院での表現を学ぶ。	「只要～就～」「除非～否～」「即～也～」「一来～二来」の構文を使った練習を行う。
第 12 回	「談購物」ネットショッピングについて本文を読解する。	「的」「得」「地」の復習と確認。介詞の「給」「為」を使った短文を書く。
第 13 回	「談購物」ネットショッピングについて本文を読解する。	秋学期に学んだ構文表現を整理し練習問題を行う。
第 14 回	最終到達度の確認。試験の実施と解説。	秋学期に学習した文法事項と聴き取り。時間があれば部分的に HSK や中国語検定の問題を行う。

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

まず基礎段階を終了しての応用練習なので、夏休みを利用して既習の内容を把握・予習していることが望ましい。【予習】授業では翻訳の確認を行うので各自で日訳を作成すること。作文も担当者を決めることがあるので、その場合は回答を準備すること。【復習】練習で行った疑問・問題を確認すること。音声教材・場合によっては教科書付属のヒアリングの問題を行う。【課題】HSK 模擬試験・教科書の練習問題を行う。

## 【テキスト (教科書)】

『現代中国アラカルト』楊曉安著 音声ダウンロード式 郁文堂 2500 円+税  
ISBN978-4-261-01869-1 C1087

## 【参考書】

毎年、HSK や中国語検定の外部試験を受験する学生がいるので、過去の学生から好評だった参考書をできるだけ授業内で紹介する。

## 【成績評価の方法と基準】

期末試験 40 %・小テスト 30 %・課題 (授業時に指定した HSK 模擬試験・作文や音声の提出) と平常点を合わせて 30 %とし、それらの総合評価。中国語検定試験 3 級・HSK4 級以上の合格者は期末試験を免除し評価を S とする。

## 【学生の意見等からの気づき】

文法については具体的な誤答例を授業で取り上げて解説できたものの、昨年度は通常時とは異なり、個別の発音の練習が十分ではありませんでした。発音の課題については根本的な改善したいと思います。この段階になると十分な予習なしでは円滑な進捗が難しくなるので、翻訳部分の担当者を決めるなどして聴く・話す・読むをバランス良く練習できる時間を確保するよう努めたいと考えています。

## 【学生が準備すべき機器他】

各自が一番便利な方法で辞典を参照できるように。また、教科書の音声教材が一番便利に聴くことができる機器を準備すること。

## 【Outline (in English)】

## 【Course outline/Learning Objectives】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

## 【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one half hour for each class meeting.

## 【Grading Criteria /Policy】

Final grade will be calculated according to the following process  
term-end examination (40%), mid-term examination (30%),  
and in-class contribution (30%).

Points will be added if the student has passed Test of Chinese  
Proficiency or HSK.

LANe200LA

## 中国語 4 I

2017 年度以降入学者

## 薬 会

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 5/Tue.5

単位数：1 単位

定員制 (30 名)

その他属性：

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

『ポイント学習中国語』で学んできた基本語彙や初級文法を復習して受講者の習得状況を確認しながら授業を進めていきます。発音の矯正 (自己紹介と単語)・唐詩暗誦・日常用語の暗記・文法理解 (翻訳練習)・聞き取りテストなどを授業内容とします。毎回の授業で 5 分間の動画で中国のエンターテインメント事情などを紹介し、リアルな中国を理解します。

## 【到達目標】

『ポイント学習中国語』で学んできた中国語の基礎を固めた上、より自由自在に「聞ける」「話せる」「読める」ことを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

『ポイント学習中国語』対応の自作プリント「中国語 4 I ①～⑤」を使用します。毎回の授業では、自己紹介の発表、唐詩暗誦、聞き取りテスト (翻訳練習と日常用語) などを行います。小テストのフィードバックは授業の中で行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】  
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】  
なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	自己紹介 I ①・「中国語 4 I ①」	「中国語 4 I ①」：唐詩・単語 20 語・日常用語 10 語・翻訳練習 15 問
第 2 回	自己紹介 I ②・「中国語 4 I ①」	「中国語 4 I ①」：唐詩・単語 20 語・日常用語 10 語・翻訳練習 15 問
第 3 回	自己紹介 I ③・「中国語 4 I ②」	「中国語 4 I ②」：唐詩・単語 20 語・日常用語 5 語・翻訳練習 20 問
第 4 回	自己紹介 I ④・「中国語 4 I ②」	「中国語 4 I ②」：唐詩・単語 20 語・日常用語 5 語・翻訳練習 20 問
第 5 回	復習とテスト	「中国語 4 I ①」と「中国語 4 I ②」の復習とテスト
第 6 回	自己紹介 I ⑤・「中国語 4 I ③」	「中国語 4 I ③」：唐詩・単語 20 語・日常用語 5 語・翻訳練習 20 問
第 7 回	自己紹介 I ⑥・「中国語 4 I ③」	「中国語 4 I ③」：唐詩・単語 20 語・日常用語 5 語。翻訳練習 20 文。
第 8 回	自己紹介 I ⑦・「中国語 4 I ④」	「中国語 4 I ④」：唐詩・単語 20 語・日常用語 5 語。翻訳練習 20 文。
第 9 回	自己紹介 I ⑧・「中国語 4 I ④」	「中国語 4 I ④」：唐詩・単語 20 語・日常用語 5 語。翻訳練習 20 文。
第 10 回	復習とテスト	「中国語 4 I ③」と「中国語 4 I ④」の復習とテスト

第 11 回 自己紹介 I ⑨・「中国語 4 I ⑤」

「中国語 4 I ⑤」：唐詩・単語 20 語。日常用語 5 語。翻訳練習 20 文。

第 12 回 自己紹介 I ⑩・「中国語 4 I ⑤」

「中国語 4 I ⑤」：唐詩・単語 20 語。日常用語 5 語。翻訳練習 20 文。

第 13 回 総合復習

唐詩 5 首・日常用語 30 語・聞き取り 50 問・翻訳練習 50 問。

第 14 回 期末試験

口頭試験：自己紹介・唐詩  
筆記試験：聞き取り 50 問・翻訳 25 問

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

毎回授業の前に自己紹介文を hoppii にアップロードします。それを暗記してください。外に唐詩などの暗誦もありますが、しっかりと授業に参加すれば、それ以外に予習や復習する必要がありません。

## 【テキスト (教科書)】

オリジナルプリントをテキストとして使用します。

## 【参考書】

指定しません。

## 【成績評価の方法と基準】

自己紹介 (15 %) と小テストの平常点 (15 %)、期末試験の成績 (70 %) などを総合して評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

## 【その他の重要事項】

特にありません。

## 【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), Speech tests (15%), Short tests(15%).



LANe200LA

中国語 4 II

2017 年度以降入学者

葉 会

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 5/Tue.5

単位数：1 単位

定員制 (30 名)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

これまで学んできた基本語彙や文法を繰り返し復習して受講者の習得状況を確認しながら授業を進めていきます。発音の矯正 (スピーチ)・唐詩暗誦・日常用語の暗記・文法理解 (複文の翻訳)・聞き取りテストなどを授業内容とします。毎回の授業で 5 分間の動画で中国のエンターテイメント事情などを紹介し、リアルな中国を理解します。

【到達目標】

これまで学んできた中国語の基礎を固めた上、さらに自由自在に「聞ける」「話せる」「読める」中国語の習得を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

自作プリント「中国語 4 II①～⑤」を使用します。毎回の授業では、複文中心の自己紹介の発表、唐詩暗誦、聞き取りテスト (翻訳練習と日常用語) などを行ないます。小テストのフィードバックは授業の中で行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	自己紹介 II①・「中国語 4 II①」	「中国語 4 II①」：唐詩・単語 20 語・日常用語 5 語・翻訳練習 20 問 複文理解：累加関係・逆接関係
第 2 回	自己紹介 II②・「中国語 4 II①」	「中国語 4 II①」：唐詩・単語 20 語・日常用語 5 語・俗語 5 語・翻訳練習 20 問 複文理解：累加関係・逆接関係
第 3 回	自己紹介 II③・「中国語 4 II②」	「中国語 4 II②」：唐詩・単語 20 語・日常用語 5 語・俗語 5 語・翻訳練習 20 問 複文理解：仮定関係
第 4 回	自己紹介 II④・「中国語 4 II②」	「中国語 4 II②」：唐詩・単語 20 語・日常用語 5 語・翻訳練習 20 問 複文理解：仮定関係
第 5 回	復習とテスト	「中国語 4 II①」と「中国語 4 II②」の復習とテスト。
第 6 回	自己紹介 II⑤・「中国語 4 II③」	「中国語 4 II③」：唐詩・単語 20 語・日常用語 5 語・翻訳練習 20 問 複文理解：譲歩関係
第 7 回	自己紹介 II⑥・「中国語 4 II③」	「中国語 4 II③」：唐詩・単語 20 語・日常用語 5 語・翻訳練習 20 問 複文理解：譲歩関係
第 8 回	自己紹介 II⑦・「中国語 4 II④」	「中国語 4 II④」：唐詩・単語 20 語・日常用語 5 語・俗語 5 語・翻訳練習 20 問 複文理解：因果関係

第 9 回 自己紹介 II⑧・「中国語 4 II④」

「中国語 4 II④」：唐詩・単語 20 語・日常用語 5 語・俗語 5 語・翻訳練習 20 問  
複文理解：因果関係

第 10 回 復習とテスト

「中国語 4 II③」と「中国語 4 II④」の復習とテスト。

第 11 回 自己紹介 II⑨・「中国語 4 II⑤」長文理解 (いろいろの表現)

「中国語 4 II⑤」：唐詩・単語 20 語・日常用語 5 語・翻訳練習 20 問

第 12 回 自己紹介 II⑩・「中国語 4 II⑤」復習とテスト

「中国語 4 II⑤」：唐詩・単語 20 語・日常用語 5 語・翻訳練習 20 問  
複文理解：色々の表現

第 13 回 総合復習

複文理解：色々の表現  
唐詩 5 首・日常用語 25 語・聞き取り 50 問・翻訳練習 50 問・複文表現 20 パターン

第 14 回 期末試験

口頭試験：自己紹介・唐詩・俗語  
筆記試験：聞き取り 50 問・翻訳 25 問

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

毎回授業の前に自己紹介文を [hoppii](http://hoppii.com) にアップロードします。それを暗記してください。外に唐詩・俗語などの暗誦もありますが、しっかりと授業に参加すれば、それ以外に予習や復習する必要がありません。

【テキスト (教科書)】

オリジナルプリントをテキストとして使用します。

【参考書】

指定しません。

【成績評価の方法と基準】

スピーチテスト (15%) と小テストの平常点 (15%)、期末試験の成績 (70%) などを総合して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), Speech tests (15%), Short tests(15%).

LANe200LA

## 中国語 4 I

2017 年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1 単位

定員制 (30 名)

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で学んだ中国語から一歩進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の内容を通して、中国とそこに住む人たちの生活や文化等についても学習します。

## 【到達目標】

準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課	新出単語とポイント（「一…就～」など6項目）の説明
2	第1課	「大学生的周末」本文の解説と練習問題
3	第2課	新出単語とポイント（「每…都～」など6項目）の説明
4	第2課	「食」本文の解説と練習問題
5	第3課	新出単語とポイント（「多/少」+動詞）など6項目の説明
6	第3課	「北京的交通」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第1課～第3課の内容の定着度チェック
8	第4課	新出単語とポイント（「兼語“有”」など6項目）の説明
9	第4課	「数字的喜好」本文の解説と練習問題
10	第5課	新出単語とポイント（「疑問詞の不定用法」など6項目）の説明
11	第5課	「大学生的打工状」本文の解説と練習問題
12	第6課	新出単語とポイント（「无…都/也～」など6項目）の説明
13	第6課	「集体生活的好」本文の解説と練習問題
14	期末試験	第4課～第6課の内容の定着度チェック

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

## 【テキスト（教科書）】

吉田泰謙・相原里美・葛婧『知っておきたい中国事情（改訂版・CD付）』、白水社

## 【参考書】

教場で指示します。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の態度や小テスト等）30%、中間試験30%、期末試験40%。

※中検準4級・4級とHSK2級・3級・4級の合格者に対して加点し、評価を上げますので、中国語語学試験を積極的に受けてください。

## 【学生の意見等からの気づき】

特になし。

## 【Outline (in English)】

This is the Chinese course for middle-level learner. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANe200LA

## 中国語 4 II

2017 年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1 単位

定員制 (30 名)

その他属性：

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

一年生で学んだ中国語から一歩進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の内容を通して、中国とそこに住む人たちの生活や文化等についても学習します。

## 【到達目標】

準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】  
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第7課	新出単語とポイント (「只要…就～」など6項目) の説明
2	第7課	「 <input type="checkbox"/> 价 <input type="checkbox"/> 价」本文の解説と練習問題
3	第8課	新出単語とポイント (「疑問詞の連用」など6項目) の説明
4	第8課	「送礼的 <input type="checkbox"/> 究」本文の解説と練習問題
5	第9課	新出単語とポイント (「 <input type="checkbox"/> …了」など6項目) の説明
6	第9課	「中国式 <input type="checkbox"/> 婚」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第7課～第9課の内容の定着度チェック
8	第10課	新出単語とポイント (「好在」など6項目) の説明
9	第10課	「双 <input type="checkbox"/> 工家庭」本文の解説と練習問題
10	第11課	新出単語とポイント (「不是…而是～」など6項目) の説明
11	第11課	「中国人的称呼」本文の解説と練習問題
12	第12課	新出単語とポイント (「随着～」など6項目) の説明
13	第12課	「理想 <input type="checkbox"/> 」本文の解説と練習問題
14	期末試験	第10課～第12課の内容の定着度チェック

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

## 【テキスト (教科書)】

吉田泰謙・相原里美・葛婧『知っておきたい中国事情 (改訂版・CD付)』、白水社

## 【参考書】

教場で指示します。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 (授業中の態度や小テスト等) 30 %、中間試験 30 %、期末試験 40 %。

※中検準4級・4級とHSK 2級・3級・4級の合格者に対して加点し、評価を上げますので、中国語語学試験を積極的に受けてください。

## 【学生の意見等からの気づき】

特になし。

## 【Outline (in English)】

This is the Chinese course for middle-level learner. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANe200LA

## 中国語 4 I

2017 年度以降入学者

## 余 瀾

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：1 単位

定員制 (30 名)

その他属性：

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

1 年次に学んだ中国語の基礎知識を土台とし、中国語会話の実践力を養成する。基本的な日常会話で構成されるテキストを用い、ネイティブ教師との会話練習を中心に授業を進めていく。毎回、2~3 個の基本的な文法を学習し、それが含まれている 4 行会話を覚え、その会話の置き換え練習や聴き取り練習などを通して、言葉がすんなり口から出てくるよう指導していく。簡単なフレーズや文を繰り返し練習することによって基本的な表現がしっかり身につくこと、またネイティブ教師の発音をたくさん聞くことによって耳が中国語に慣れることをこの講義の目的とする。

## 【到達目標】

学生の到達目標は次の 4 点とする。

- ①中国語の常用表現が聞き取れる力を身につけます。
- ②中国語の初級会話において的確な表現ができる力を身につけます。
- ③反応速度を上げる訓練を通し、既習項目に関して、中国語で聞かれたら、すぐに中国語で答えられるようにします。
- ④簡単な日常会話において、中国人と意思疎通ができるような会話力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

演習方式。単語、基本文型、置き換えなど幾つかのパターンを用いて、授業を進める。ロールプレと寸劇などにより、楽しく会話を身につけていく。

課題等へのフィードバックは授業内で行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】  
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】  
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	第 1 課	会話を学習する 文法を学習する 年月日の言い方 曜日の言い方
2 回	第 2 課	会話を学習する 文法を学習する 人称代名詞 <~の~>
3 回	第 3 課	会話を学習する 文法を学習する 時刻の言い方 変化する言い方
4 回	第 4 課	会話を学習する 文法を学習する 値段の言い方 数量表現 動詞述語文
5 回	第 5 課	会話を学習する 文法を学習する <是>の文 電話番号の言い方

6 回	第 6 課	会話を学習する 文法を学習する 指示代名詞 疑問詞<なに>
7 回	第 7 課	会話を学習する 文法を学習する 選択疑問文 連動文 前置詞<~で>
8 回	第 8 課	会話を学習する 文法を学習する <~が好きだ> <この~>の言い方
9 回	第 9 課	会話を学習する 文法を学習する 形容詞述語文 前置詞<~に>
10 回	第 10 課	会話を学習する 文法を学習する 比較文 <少しも~しない>の言い方
11 回	第 11 課	会話を学習する 文法を学習する 省略疑問文 <来+数量>の言い方
12 回	第 12 課	会話を学習する 文法を学習する 主述述語文
13 回	授業内期末筆記テスト	第 1 課~12 課を範囲に筆記テスト・まとめと解説
14 回	授業内期末口頭テスト	第 1 課~12 課を範囲に口頭テスト・まとめと解説

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備・復習時間は、1 時間を標準とする。授業の前と後は必ず CD を繰り返し聞き、まねして発音を練習すること。

## 【テキスト (教科書)】

『あなたが主役 演じる入門中国語』余瀾・中桐典子著、朝日出版社  
2019 年 2300 円

## 【参考書】

参考書は授業中に適宜指示する。

## 【成績評価の方法と基準】

成績評価は 100 点満点とし、60 点以上が合格となる。

配分は、毎回行なう小テスト (単語テスト、書き取りテスト、会話の発表など) が 30 %、期末口頭テストが 20 %、筆記テストが 50 % です。

## 【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

## 【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Term-end written exam(50%), Term-end oral exam(20%), in-class contribution(30%).

LANe200LA

中国語 4 II

2017 年度以降入学者

余 瀾

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 3/Wed.3

単位数：1 単位

定員制 (30 名)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

1 年間で学んだ中国語の基礎知識を土台とし、中国語会話の実践力を養成する。基本的な日常会話で構成されるテキストを用い、ネイティブ教師との会話練習を中心に授業を進めていく。「中国語 4 I」より少し難度の高い会話文を学ぶ。

授業の流れは「中国語 4 I」と同様で、基本的な文法、4 行会話、置き換え練習、聴き取り練習…と学習を進めていく。簡単なフレーズや文を繰り返し練習することによって基本的な表現がしっかり身につくこと、またネイティブ教師の発音をたくさん聞くことによって耳が中国語に慣れることをこの講義の目的とする。中国人との簡単な会話において、相手の言っていることを正確に聴き取り、的確に言葉が返せるレベルにまで到達できるよう指導していく。

【到達目標】

〔到達目標〕

学生の到達目標は次の 4 点とする。

- ①中国語の常用表現が聞き取れる力を身につけます。
- ②中国語の初級会話において的確な表現ができる力を身につけます。
- ③反応速度を上げる訓練を通し、既習項目に関して、中国語で聞かれたら、すぐに中国語で答えられるようにします。
- ④簡単な日常会話において、中国人と意思疎通ができるような会話力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

演習方式。単語、基本文型、置き換えなど幾つかのパターンを用いて、授業を進める。ロールプレイと寸劇などにより、楽しく会話力を身につけていく。

課題等へのフィードバックは授業内で行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	第 13 課	会話を学習する 文法を学習する 助動詞<～したい> 存在を現す<有>
2 回	第 14 課	会話を学習する 文法を学習する 存在を現す<在> <有>と<在>の区別
3 回	第 15 課	会話を学習する 文法を学習する 所有を現す<有> 疑問詞<どうですか>
4 回	第 16 課	会話を学習する 文法を学習する 疑問詞<どうやって> <好+動詞>

5 回	第 17 課	会話を学習する 文法を学習する 進行を現す言い方 禁止する言い方
6 回	第 18 課	会話を学習する 文法を学習する 疑問詞<なぜ> 結果補語
7 回	第 19 課	会話を学習する 文法を学習する 完了を現す言い方 前置詞<～から>
8 回	第 20 課	会話を学習する 文法を学習する 経験を現す言い方 <ちょっと>の言い方
9 回	第 21 課	会話を学習する 文法を学習する 方向補語
10 回	第 22 課	使役を現す言い方 会話を学習する 文法を学習する 連体修飾語
11 回	第 23 課	助動詞<できる> 会話を学習する 文法を学習する 様態補語
12 回	第 24 課	会話を学習する 文法を学習する 助動詞<できる> 時量補語
13 回	授業内期末筆記テスト	<～するつもりだ> 第 13 課～24 課を範囲に筆記テスト・まとめと解説
14 回	授業内期末口頭テスト	試第 13 課～24 課を範囲に口頭テスト・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備・復習時間は 1 時間を標準とする。授業の前と後は必ず CD を繰り返し聞き、まねして発音を練習すること。

【テキスト (教科書)】

『あなたが主演 演じる入門中国語』余瀾・中桐典子著、朝日出版社

【参考書】

授業中に適宜指示する。

【成績評価の方法と基準】

毎回行なう小テスト (単語テスト、書き取りテスト、会話の発表など) が 30 %、期末口頭テスト 20 %、筆記テストが 50 %。

【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Final grade will be calculated according to the following Term-end written exam(50%), Term-end oral exam(20%), in-class contribution(30%).

LANe200LA

## 中国語 4 I

2017 年度以降入学者

## ショウ イクテイ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

定員制 (30 名)

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の発音及び基礎的な文法事項を固めつつ、中国語のコミュニケーションに必要な知識を養成する。

## 【到達目標】

発音を固める。  
読解力を培う。  
日常会話ができる。  
簡単な文章を書ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

教科書に沿って、履修者のレベルを確認の上、内容への理解をチェックしながら、効果的に授業を進めていく。  
課題などへのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	復習	一年次に習った文法を復習する
第 2 回	第 1 課	名詞の前に置く“的”、動詞の前に置く“地”、助動詞“要”、連動文
第 3 回	第 1 課	第 1 課のチャレンジ・スキット
第 4 回	第 2 課	動態助詞の“了”、語気助詞の“了”、語気助詞の“吗”と“吧”
第 5 回	第 2 課	第 2 課のチャレンジ・スキット
第 6 回	第 3 課	経験・経過を表わす“过”、“怎么”の 2 つの用法、副詞“才”の用法
第 7 回	第 3 課	第 3 課のチャレンジ・スキット
第 8 回	第 4 課	動作の進行、動作・状態の持続を表わす“着”、動作を行う時間の長さ・動作の回数、“因为~所以…”
第 9 回	第 4 課	第 4 課のチャレンジ・スキット
第 10 回	第 5 課	近い未来“要~了”・“快~了”、反語の表現、副詞“就”の用法、“要是~就…”
第 11 回	第 5 課	第 5 課のチャレンジ・スキット
第 12 回	第 6 課	結果補語、感嘆文、副詞“还”の用法、“虽然~但是…”
第 13 回	第 6 課	第 6 課のチャレンジ・スキット
第 14 回	復習、試験、まとめ	ここまで習った内容を復習、確認する

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業前に必ず復習と予習をすること。  
毎課の新出単語と文法事項を確実に理解したかどうかを必ず自己チェックをすること。  
毎日最低 20 分テキストの CD を聞きながら、発音練習を行うこと。  
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

## 【テキスト（教科書）】

本間史・孟広学『2 年めの中国語ポイント 4 5』白水社

## 【参考書】

必要なものは授業中に指示する。

## 【成績評価の方法と基準】

期末テスト 50 % と平常点 (学習態度、学習意欲、課題や小テストの提出及び完成度など) 50 % に基づいて、総合的に評価する。

## 【学生の意見等からの気づき】

よりよい授業を目指すため、前年度の学生のご意見やご要望が反映されるようさらなる改善を模索していく。

## 【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を用意することを勧める。

## 【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

The standard preparatory study / review time for this class is 1 hour in total.

Comprehensive evaluation based on 50% of the final test and 50% of normal points (learning attitude, learning motivation, submission of assignments and quizzes, completeness, etc.).

LANe200LA

## 中国語 4 II

2017 年度以降入学者

## シヨウ イクテイ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

定員制 (30 名)

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の基礎的な文法事項の基礎を固めつつ、中国語のコミュニケーションに必要な知識を養成する。

## 【到達目標】

読解力や、表現力などのさらなるスキルアップを目指す。  
日常の中国語のコミュニケーションが取れる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

教科書に沿って、履修者のレベルに合わせて、内容への理解をチェックしながら、授業を進める。

課題などへのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	解説と復習	春学期の学習内容の復習
第 2 回	第 7 課	様態補語、比較の表現、形容詞の重ね型、“不但～而且…”
第 3 回	第 7 課	第 7 課のチャレンジ・スキット
第 4 回	第 8 課	方向補語、複合方向補語、強調表現“连～也…”、“一～就…”
第 5 回	第 8 課	第 8 課のチャレンジ・スキット
第 6 回	第 9 課	“把”構文、受身の表現、副詞“再”と“又”、“只要～就…”
第 7 回	第 9 課	第 9 課のチャレンジ・スキット
第 8 回	第 10 課	可能補語、“是～的”の構文、“只有～才…”
第 9 回	第 10 課	第 10 課のチャレンジ・スキット
第 10 回	第 11 課	“～得了” / “～不了”の可能補語、兼語文、“不是～而是…”
第 11 回	第 11 課	第 11 課のチャレンジ・スキット
第 12 回	第 12 課	存現文、同じ疑問詞の呼応、“不管～都…”
第 13 回	第 12 課	第 12 課のチャレンジ・スキット
第 14 回	復習、まとめ、試験	第 7～12 課の復習と試験、確認

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業前に必ず復習と予習をすること。  
毎課の新出単語と文法をしっかりと記憶し、理解したかどうかを必ず自己チェックをすること。  
毎日最低 20 分テキストの CD を聞きながら、発音練習を行うこと。  
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

## 【テキスト（教科書）】

本間史・孟広学『2 年めの中国語ポイント 4 5』白水社

## 【参考書】

必要なものは授業中に指示する。

## 【成績評価の方法と基準】

期末テスト 50 % と平常点 (学習態度、学習意欲、課題や小テストの提出及び完成度など) 50 % に基づいて、総合的に評価する。

## 【学生の意見等からの気づき】

よりよい授業を目指すため、前年度の学生のご意見やご要望が反映されるようさらなる改善を模索していく。

## 【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を用意することを勧める。

## 【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

The standard preparatory study / review time for this class is 1 hour in total.

Comprehensive evaluation based on 50% of the final test and 50% of normal points (learning attitude, learning motivation, submission of assignments and quizzes, completeness, etc.).

LANe200LA

## 中国語 4 I

2017 年度以降入学者

## 祝 振媛

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

定員制 (30 名)

その他属性：

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

中国語 1、中国語 2 で学習した内容を基礎とし、次のステップへ進む。

## Class outline

Based on

what you learned in Chinese 1 and Chinese 2, go to the next step in Chinese 1.

## 【到達目標】

- ・中国語による基本的な日常会話を聞いて理解できる。
- ・基礎的な中国語を使って自分の意思を伝えることができる。
- ・中国の歴史、文化に対する関心を養う。

Can listen to and understand basic daily conversations in Chinese.

- ・ You can communicate your intentions using basic Chinese.
- ・ Foster interest in Chinese history and culture.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

本講義は授業の形態として、原則には面接授業を実施する。状況に応じて時には zoom の授業をも行う。進度として、1 課を 2 回の授業で進める。毎回の授業は概ねに次のように進める。1) 小テスト (約 25 分) 2) テキストの学習 (約 40 分) 3) 文法に関する問題演習、会話の練習など (約 35 分)。外国語を身につけるために継続的な学習が必要なので、毎回授業の始めに小テストを設ける。またこの授業は教室の中での学習と自宅での学習を組み合わせる展開することができる。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。

This lecture is a form of lesson, and in principle, an interview lesson is conducted. A book that sometimes gives zoom lessons depending on the situation. As a progress, one lesson is advanced in two lessons. Each lesson generally proceeds as follows. 1) Quiz (about 25 minutes) 2) Text learning (about 40 minutes) 3) Grammar-related problem exercises, conversation practice, etc. (about 35 minutes). Because continuous learning is required to acquire a foreign language, a quiz will be set up at the beginning of each class. In addition, this lesson can be developed by combining learning in the classroom and learning at home. Feedback on assignments, etc. will be given through class hours or email.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業概要の説明
2	第一課 『換銭』	1 慣用句：挺+形容詞+的 2 助動詞：「要」 3 副詞：「点儿」 文法問題の演習/会話
3	第一課 『換銭』	1 「太+形容詞」 2 「就是」 文法問題の演習
	慣用句： 「除了 不用」	

4	第二課 『小学校 内前』	1 「什么的」 2 「等等」 文法問題の演習/会話
	存文： 所+出+存在	
5	第二課 『小学校 内前』	1 「着」：場所+動詞+着 2 「在」：在+動詞 家族の称呼に関して： 「奶奶」「姥姥」 「奶奶」「姥姥」
6	第三課 『早上的公 園』	健康についての諺を紹介、説明 文法問題の演習/会話
	感嘆文： 「多～啊」	
7	第三課 『早上的公 園』	1 「数詞+多」 2 「怎么」 1 「動詞+的」の名 詞化 2 「多+形容詞」
8	文法問題の演習	第一課～第三課の勉強した内容の 復習、確認
9	第四課 『年人的就 是』	「是」/「得」： 人や事物に対する見方 文法問題の演習/会話
	1 「了」：変化を表す 2 「又」：状況、動作 の累加	
10	第四課 『年人的就 是』	部分的な否定を表す慣用句 「不都是」 假定を表す表現： 「如果」
11	第五課 『相』	1 能願動詞： 「能」 2 推測の表現： 「听」
	1 解釈、説明する語彙 ：「就是」 2 体験を表す：「听」	
12	第五課 『相』	1 「就」の使い方 2 「很」の使い方 文法問題の演習/会話
	慣用句： 「无是～是」	
13	第六課 『外甥的 婚房』	1 「的」の使い方 2 「本」の使い方 3 「支」の使い方 文法問題の演習/会話
	1 副詞： 「竟」 2 慣用句：「就要～ 了」	
14	第六課 『外甥的婚房』	第一課～第六課勉強した内容の復 習、文法問題の演習、確認

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

語学は復習が重要なので、授業後は音声を聞いたり、単語帳を作ったりするなど既習した内容をしっかり復習してほしい。また、付属の教材 CD や <http://fic.xsrv.jp/hosei/> を活用し、習った内容をしっかり身につけるように努めてほしい。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。Since review is important for language learning, I would like you to thoroughly review what you have already learned, such as listening to audio and making vocabulary books after class. Also, please make use of the attached teaching material CD and <http://fic.xsrv.jp/hosei/> and try to acquire what you have learned. The standard preparatory study / review time for this class is one hour in total.

Feedback on assignments, etc. will be given through class hours or email.

1.

## 【テキスト (教科書)】

『日中いぶこみ 1 2 景』相原茂・蘇明 朝日出版社

## 【参考書】

中国語辞書を必ず 1 冊用意すること (電子辞書可)

『ポイント学習中国語初級』東方書店

康玉華 『漢語 301 句』北京言語大学出版社

佐藤富士雄 『中国語初級テキスト 緑さんの留学生活』白帝社



**【成績評価の方法と基準】**

毎回授業の最初に行う小テスト及び授業の参加度は成績評価の 60 % とし、中間と期末の試験はそれぞれ成績の 20 % とします。平均点数が 60 点以上の人を合格とする。

The quiz and class participation at the beginning of each lesson will be 60% of the grades, and the mid-term and final exams will be 20% of the grades respectively. Those with an average score of 60 or more are considered to pass.

**【学生の意見等からの気づき】**

学生とコミュニケーションを取りながら授業を展開することが評価されたので、今後も続けて行く。

It was highly evaluated that the lessons were developed while communicating with the students, so I will continue to do so in the future.

**【学生が準備すべき機器他】**

中国語の発音を聞く必要があるので、PC や CD を用意してほしい。

**【その他の重要事項】**

本講義は面接授業、あるいは zoom の授業を実施しますので、全回の出席が成績評価の前提である。出席率の 70 % に達していない者、課題を提出しない者に関しては、E と判定します。やむを得ない事情（健康不良など）があれば、各種の証明書の提出など、各自で然るべき対応を取ること。尚、毎回の授業の最初に小テストをするので、遅刻は厳禁。

Since this lecture will be an interview class or a zoom class, attendance at all times is a prerequisite for grade evaluation. Those who have not reached 70% of the attendance rate and those who do not submit the assignment will be judged as E. If there are unavoidable circumstances (such as poor health), take appropriate measures such as submitting various certificates. In addition, since a quiz is given at the beginning of each class, it is strictly forbidden to be late.

**【Outline (in English)】**

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

[Learning activities outside of classroom]

The standard preparatory study / review time for this class is one hour in total.

[Grading Criteria]

The quiz and class participation at the beginning of each lesson will be 60% of the grades, and the mid-term and final exams will be 20% of the grades respectively.

LANe200LA

## 中国語 4 II

2017 年度以降入学者

## 祝 振媛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

定員制 (30 名)

その他属性：

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学習した内容を基礎とし、次のステップへ進む。

Based on what you learned in the spring, proceed to the next step.

## 【到達目標】

- ・ 中国語による基本的な日常会話を聞いて理解できる。
- ・ 基礎的な中国語で自分の意思を伝えることができる。
- ・ 中国の歴史、文化に対する関心を養う。

Can listen to and understand basic daily conversations in Chinese.

- ・ You can communicate your intentions using basic Chinese.
- ・ Foster interest in Chinese history and culture.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

本講義は授業の形態として、原則には面接授業を実施する。状況に応じて時には zoom の授業をも行う。進度として、1 課を 2 回の授業で進めていく。毎回の授業を概ねに次のように進める。1) 小テスト (約 25 分) 2) テキストの学習 (約 40 分) 3) 文法に関する問題演習、会話の練習など (約 35 分)。外国語を身につけるためには、継続的な学習が必要なので、毎回授業の始めに小テストを設ける。またこの授業は教室の中での学習と自宅での学習を合わせて展開することができる。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。

This lecture is a form of lesson, and in principle, an interview lesson is conducted. A book that sometimes gives zoom lessons depending on the situation. As a progress, one lesson is advanced in two lessons. Each lesson generally proceeds as follows. 1) Quiz (about 25 minutes) 2) Text learning (about 40 minutes) 3) Grammar-related problem exercises, conversation practice, etc. (about 35 minutes). Because continuous learning is required to acquire a foreign language, a quiz will be set up at the beginning of each class. In addition, this lesson can be developed by combining learning in the classroom and learning at home. Feedback on assignments, etc. will be given through class hours or email.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習	第一課～第六課の復習
2	第七課 『婆媳关系』	口語的な表現：『照』 不特定の表現：書面的な表現：『按照』 「哪儿～哪儿？」
3	第七課 『婆媳关系』	前置詞： 気持ちを表す語彙：1 「从」 1 「幸福」 2 「到」 2 「愉快」 3 「心」

4	第八課 『川菜』	1 連詞：「就是」 慣用句：2 複合方向補語： 1 「既～又」 「出来」と「去」 2 「是…啊」
5	第八課 『川菜』	語彙の説明： 量詞：「排出去」の使い方 「家」の使う場合
6	第九課 『中…医』	1 比較と選択の表現： 慣用句：「是～是」 「在～之中」 2 否定の表現： 「没有」
7	第九課 『中…医』	解釈： 仮定の表現：1 「只是」 「～的」 2 「是」
8	文法のまとめ	第七課～第九課の復習、勉強した内容の確認
9	第十課 『九九重阳』	副詞： 1 「将」の使い方 1 前置詞「」の使い方 2 慣用句「跟～一起」
10	第十課 『九九重阳』	常用副詞のまとめ 1 「或者」 1 「三世同堂」の意味 2 「孝」の語彙に 2 「孝」の語彙に 3 「尽快」 内在する意味
11	第十一課 『旅游』	仮定の表現： 1 副詞の「」について 「如果…的」の使い方 2 慣用句の「～都」について
12	第十一課 『旅游』	パソコン関係の語彙 1 動詞の重ね「看看」 2 慣用句「是…的」 1 「」 2 「网址」 3 「短信」
13	第十二課 『除夕夜』	1 疑問詞の「怎么」 お祝いの言葉に関する 2 前置詞としての「」 紹介、説明
14	第十二課 『除夕夜』	「年夜饭」に関する説明 1 副詞「才」 第七課～第十二課の復習、勉強した内容の確認 2 慣用句としての 「有的」 文法に関するまとめ、 演習

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

語学は復習が重要なので、授業後は音声を聞いたり、単語帳を作ったりするなど既習した内容をしっかり復習してほしい。また、付属の教材 CD や <http://fic.xsrv.jp/hosei/> を活用し、習った内容をしっかり身につけるように努めてほしい。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。Since review is important for language learning, I would like you to thoroughly review what you have already learned, such as listening to audio and making vocabulary books after class. Also, please make use of the attached teaching material CD and <http://fic.xsrv.jp/hosei/> and try to acquire what you have learned. The standard preparatory study / review time for this class is one hour in total.

Feedback on assignments, etc. will be given through class hours or email.

## 【テキスト (教科書)】

『日中いぶこみ 1 2 景』相原茂・蘇明 朝日出版社

## 【参考書】

中国語辞書を必ず 1 冊用意すること (電子辞書可)

『ポイント学習中国語初級』東方書店

康玉華 『漢語 301 句』北京言語大学出版社

佐藤富士雄 『中国語初級テキスト 緑さんの留学生活』白帝社

**【成績評価の方法と基準】**

毎回授業の最初に行う小テスト及び授業の参加度は成績評価の 60 % とし、中間と期末の試験はそれぞれ成績の 20 % とします。平均点数が 60 点以上の人を合格とする。

The quiz and class participation at the beginning of each lesson will be 60% of the grades, and the mid-term and final exams will be 20% of the grades respectively. Those with an average score of 60 or more are considered to pass.

**【学生の意見等からの気づき】**

学生とコミュニケーションを取りながら授業を展開することが評価されたので、今後も続けて行く。

It was highly evaluated that the lessons were developed while communicating with the students, so I will continue to do so in the future.

**【学生が準備すべき機器他】**

中国語の発音を聞く必要があるので、PC や CD を用意してほしい。

**【その他の重要事項】**

本講義は面接授業、あるいは zoom の授業を実施しますので、全回の出席が成績評価の前提である。出席率の 70 % に達していない者、課題を提出しない者に関しては、E と判定します。やむを得ない事情（健康不良など）があれば、各種の証明書の提出など、各自で然るべき対応を取ること。尚、毎回の授業の最初に小テストをするので、遅刻は厳禁。

Since this lecture will be an interview class or a zoom class, attendance at all times is a prerequisite for grade evaluation. Those who have not reached 70% of the attendance rate and those who do not submit the assignment will be judged as E. If there are unavoidable circumstances (such as poor health), take appropriate measures such as submitting various certificates. In addition, since a quiz is given at the beginning of each class, it is strictly forbidden to be late.

**【Outline (in English)】**

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

[Learning activities outside of classroom]

The standard preparatory study / review time for this class is one hour in total.

[Grading Criteria]

The quiz and class participation at the beginning of each lesson will be 60% of the grades, and the mid-term and final exams will be 20% of the grades respectively.

LANe200LA

## 中国語 4 I

2017 年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 2/Thu.2

単位数：1 単位

定員制 (30 名)

その他属性：

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

一年生で学んだ中国語から一歩進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の内容を通して、中国とそこに住む人たちの生活や文化等についても学習します。

## 【到達目標】

準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】  
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課	新出単語とポイント (「一…就～」など6項目) の説明
2	第1課	「大学生的周末」本文の解説と練習問題
3	第2課	新出単語とポイント (「每…都～」など6項目) の説明
4	第2課	「食」本文の解説と練習問題
5	第3課	新出単語とポイント (「多/少」+動詞) など6項目) の説明
6	第3課	「北京的交通」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第1課～第3課の内容の定着度チェック
8	第4課	新出単語とポイント (「兼語“有”」など6項目) の説明
9	第4課	「数字的喜好」本文の解説と練習問題
10	第5課	新出単語とポイント (「疑問詞の不定用法」など6項目) の説明
11	第5課	「大学生的打工状」本文の解説と練習問題
12	第6課	新出単語とポイント (「无…都/也～」など6項目) の説明
13	第6課	「集体生活的好」本文の解説と練習問題
14	期末試験	第4課～第6課の内容の定着度チェック

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

## 【テキスト (教科書)】

吉田泰謙・相原里美・葛婧『知っておきたい中国事情 (改訂版・CD付)』、白水社

## 【参考書】

教場で指示します。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 (授業中の態度や小テスト等) 30 %、中間試験 30 %、期末試験 40 %。

※中検準4級・4級とHSK 2級・3級・4級の合格者に対して加点し、評価を上げますので、中国語語学試験を積極的に受けてください。

## 【学生の意見等からの気づき】

特になし。

## 【Outline (in English)】

This is the Chinese course for middle-level learner. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANe200LA

## 中国語 4 II

2017 年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 2/Thu.2

単位数：1 単位

定員制 (30 名)

その他属性：

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

一年生で学んだ中国語から一歩進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の内容を通して、中国とそこに住む人たちの生活や文化等についても学習します。

## 【到達目標】

準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】  
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第7課	新出単語とポイント (「只要…就～」など6項目) の説明
2	第7課	「 <input type="checkbox"/> 价 <input type="checkbox"/> 价」本文の解説と練習問題
3	第8課	新出単語とポイント (「疑問詞の連用」など6項目) の説明
4	第8課	「送礼的 <input type="checkbox"/> 究」本文の解説と練習問題
5	第9課	新出単語とポイント (「 <input type="checkbox"/> …了」など6項目) の説明
6	第9課	「中国式 <input type="checkbox"/> 婚」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第7課～第9課の内容の定着度チェック
8	第10課	新出単語とポイント (「好在」など6項目) の説明
9	第10課	「双 <input type="checkbox"/> 工家庭」本文の解説と練習問題
10	第11課	新出単語とポイント (「不是…而是～」など6項目) の説明
11	第11課	「中国人的称呼」本文の解説と練習問題
12	第12課	新出単語とポイント (「随着～」など6項目) の説明
13	第12課	「理想 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 」本文の解説と練習問題
14	期末試験	第10課～第12課の内容の定着度チェック

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

## 【テキスト (教科書)】

吉田泰謙・相原里美・葛婧『知っておきたい中国事情 (改訂版・CD付)』、白水社

## 【参考書】

教場で指示します。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 (授業中の態度や小テスト等) 30 %、中間試験 30 %、期末試験 40 %。

※中検準4級・4級とHSK 2級・3級・4級の合格者に対して加点し、評価を上げますので、中国語語学試験を積極的に受けてください。

## 【学生の意見等からの気づき】

特になし。

## 【Outline (in English)】

This is the Chinese course for middle-level learner. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANe200LA

## 中国語 (3) I

2017 年度以降入学者

## 取 函

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、一年次に学んだ中国語の基礎を復習しながら、学生生活や日常生活の様々な場面における実用性の高い中国語を学ぶと同時に、中国の文化や習慣などについて理解を深めることを目的とします。

## 【到達目標】

テキストに出ている身の回りの様々な場面の会話の学習と練習を通して、中国語の語彙を増やすとともに、文法の仕組みを理解し、また、学習した文法・文型を使った会話をするにより、中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

## 【授業の進め方と方法】

基本的に毎回 1 課ずつ進めていきます。本文に出ている語彙や文法・文型の学習、音読や聞き取りの練習のほかに、復習のために、学習した文法と文型を使った応用会話も取り入れます。なお、課題等のフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】  
なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション・復習	授業の進め方・課題の取り組み方・評価の仕方・受講における決まり事などの説明、一年次に学んだ発音・文法の復習
2	第 1 課	新出語句・文法・本文・ドリル
3	第 2 課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
4	第 3 課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
5	第 4 課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
6	第 5 課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
7	中間まとめ	第 1 課～第 5 課のテスト
8	第 6 課	新出語句・文法・本文・ドリル
9	第 7 課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
10	第 8 課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
11	第 9 課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
12	第 10 課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
13	授業の総まとめ (1)	第 6 課～第 10 課の復習
14	授業の総まとめ (2)	期末試験

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業は会話を中心に学ぶため、テキストについている音声ファイルを携帯電話にダウンロードし、十分に活用し、通学時間にも音楽の代わりにヘッドホンステレオで何度も聴くなどの努力を重ね、例文・会話文・短文の音読・暗記・暗唱を行い、フレーズが自然に口について出てくるくらいになることが望ましいです。また、与えられた課題についても真面目に取り込んでほしいです。本授業の予習と復習の時間は合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

『大学生のための中級中国語 20 回』杉野元子・黄漢青著、白帝社。

## 【参考書】

「中国語文法の基礎」守屋宏則著 東方書店

## 【成績評価の方法と基準】

期末試験を 50 %、中間テストと口頭テストをそれぞれ 20 %、平常点を 10 %にし、総合的に評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

学生の学習意欲を引き出し、使える中国語の習得を目指して様々な工夫を重ねていきたいです。

## 【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end examination: 50%, quiz: 20%, homework: 20%, in class contribution: 10%

LANe200LA

## 中国語 (3) II

2017 年度以降入学者

## 取 函

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業では、一年次に学んだ中国語の基礎を復習しながら、学生生活や日常生活の様々な場面における実用性の高い中国語を学ぶと同時に、中国の文化や習慣などについて理解を深めることを目的とします。

## 【到達目標】

テキストに出てくる身の回りの様々な場面の会話の学習と練習を通して、中国語の語彙を増やすとともに、文法の仕組みを理解し、また、学習した文法・文型を使った会話をするにより、中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

## 【授業の進め方と方法】

基本的に毎回 1 課ずつ進めていきます。本文に出てくる語彙や文法・文型の学習、音読や聞き取りの練習のほかに、復習のために、学習した文法と文型を使った応用会話も取り入れます。なお、課題等のフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の総括・復習	春学期末試験の解説・既習内容の復習
2	第 1 1 課	新出語句・文法・本文・ドリル
3	第 1 2 課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
4	第 1 3 課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
5	第 1 4 課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
6	第 1 5 課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
7	中間まとめ	第 1 1 課～1 5 課のテスト
8	第 1 6 課	新出語句・文法・本文・ドリル
9	第 1 7 課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
10	第 1 8 課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
11	第 1 9 課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
12	第 2 0 課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
13	授業の総まとめ (1)	第 1 6 課～第 2 0 課の復習
14	授業の総まとめ (2)	期末試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業は会話を中心に学ぶため、テキストについての音声ファイルを携帯電話にダウンロードし、十分に活用し、通学時間にも音楽の代わりにヘッドホンステレオで何度も聴くなどの努力を重ね、例文・会話文・短文の音読・暗記・暗唱を行い、フレーズが自然に口について出てくるくらいになることが望ましいです。また、与えられた課題についても真面目に取り込んでほしいです。本授業の予習と復習の時間は合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

『大学生のための中級中国語 20 回』 杉野元子・黄漢青著、白帝社。

【参考書】

「中国語文法の基礎」 守屋宏則著 東方書店

【成績評価の方法と基準】

期末試験を 50 %、中間テストや口頭テストをそれぞれ 20 %、平常点を 10 %にし、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

学生の学習意欲を引き出し、使える中国語の習得を目指して様々な工夫を重ねていきたいです。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end examination: 50%, quiz: 20%, homework: 20%, in class contribution: 10%

LANe200LA

## 中国語 (3) I

2017 年度以降入学者

## 取 函

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業では、一年次に学んだ中国語の基礎を復習しながら、学生生活や日常生活の様々な場面における実用性の高い中国語を学ぶと同時に、中国の文化や習慣などについて理解を深めることを目的とします。

## 【到達目標】

テキストに出ている身の回りの様々な場面の会話の学習と練習を通して、中国語の語彙を増やすとともに、文法の仕組みを理解し、また、学習した文法・文型を使った会話をするにより、中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

## 【授業の進め方と方法】

基本的に毎回 1 課ずつ進めていきます。本文に出ている語彙や文法・文型の学習、音読や聞き取りの練習のほかに、復習のために、学習した文法と文型を使った応用会話も取り入れます。なお、課題等のフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション・復習	授業の進め方・課題の取り組み方・評価の仕方・受講における決まり事などの説明、一年次に学んだ発音・文法の復習
2	第 1 課	新出語句・文法・本文・ドリル
3	第 2 課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
4	第 3 課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
5	第 4 課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
6	第 5 課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
7	中間まとめ	第 1 課～第 5 課の試験
8	第 6 課	新出語句・文法・本文・ドリル
9	第 7 課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
10	第 8 課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
11	第 9 課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
12	第 10 課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
13	授業の総まとめ (1)	第 6 課～第 10 課の復習
14	授業の総まとめ (2)	期末試験

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業は会話を中心に学ぶため、テキストについている音声ファイルを携帯電話にダウンロードし、十分に活用し、通学時間にも音楽の代わりにヘッドホンステレオで何度も聴くなどの努力を重ね、例文・会話文・短文の音読・暗記・暗唱を行い、フレーズが自然に口について出てくるくらいになることが望ましいです。また、与えられた課題についても真面目に取り込んでほしいです。本授業の予習と復習の時間は合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト (教科書)】

『大学生のための中級中国語 20 回』杉野元子・黄漢青著、白帝社。

## 【参考書】

「中国語文法の基礎」守屋宏則著 東方書店

## 【成績評価の方法と基準】

期末試験を 50 %、中間テストと口頭テストをそれぞれ 20 %、平常点を 10 %にし、総合的に評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

学生の学習意欲を引き出し、使える中国語の習得を目指して様々な工夫を重ねていきたいです。

## 【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end examination: 50%, quiz: 20%, homework: 20%, in class contribution: 10%



LANe200LA

## 中国語 (3) II

2017 年度以降入学者

## 取 函

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業では、一年次に学んだ中国語の基礎を復習しながら、学生生活や日常生活の様々な場面における実用性の高い中国語を学ぶと同時に、中国の文化や習慣などについて理解を深めることを目的とします。

## 【到達目標】

テキストに出てくる身の回りの様々な場面の会話の学習と練習を通して、中国語の語彙を増やすとともに、文法の仕組みを理解し、また、学習した文法・文型を使った会話をするにより、中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

## 【授業の進め方と方法】

基本的に毎回 1 課ずつ進めていきます。本文に出てくる語彙や文法・文型の学習、音読や聞き取りの練習のほかに、復習のために、学習した文法と文型を使った応用会話も取り入れます。なお、課題等のフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の総括・復習	春学期末試験の解説・復習
2	第 1 1 課	新出語句・文法・本文・ドリル
3	第 1 2 課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
4	第 1 3 課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
5	第 1 4 課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
6	第 1 5 課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
7	中間まとめ	第 1 1 課～第 1 5 課の試験
8	第 1 6 課	新出語句・文法・本文・ドリル
9	第 1 7 課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
10	第 1 8 課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
11	第 1 9 課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
12	第 2 0 課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
13	授業の総まとめ (1)	第 1 6 課～第 2 0 課の復習
14	授業の総まとめ (2)	期末試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業は会話を中心に学ぶため、テキストについている音声ファイルを携帯電話にダウンロードし、十分に活用し、通学時間にも音楽の代わりにヘッドホンステレオで何度も聴くなどの努力を重ね、例文・会話文・短文の音読・暗記・暗唱を行い、フレーズが自然に口について出てくるくらいになることが望ましいです。また、与えられた課題についても真面目に取り込んでほしいです。本授業の予習と復習の時間は合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

『大学生のための中級中国語 20 回』 杉野元子・黄漢青著、白帝社。

【参考書】

「中国語文法の基礎」 守屋宏則著 東方書店

【成績評価の方法と基準】

期末試験を 50 %、中間テストと口頭テストをそれぞれ 20 %、平常点を 10 %にし、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

学生の学習意欲を引き出し、使える中国語の習得を目指して様々な工夫を重ねていきたいです。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end examination: 50%, quiz: 20%, homework: 20%, in class contribution: 10%

LANe200LA

## 中国語7

2017 年度以降入学者

## 曾 士才

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 2/Wed.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語 1～6 で学んだことを基礎にして、中国語の読解能力と聞き取り能力を並行してトレーニングします。

## 【到達目標】

上海外国語大学での授業にスムーズに入れることを目標としています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

SAでの授業を念頭に置き、素材の対話文、長文だけでなく、解説もすべて中国語の音声教材を用います。教材の内容は中国の社会、歴史、民族、文化、風俗習慣、故事来歴など多彩です。毎回の授業では、中国語の音読練習、語句の使い方の説明と練習、日本語への翻訳を行います。具体的な授業の進め方については、初回の授業で説明します。

課題等へのフィードバックは授業時間または Hoppii の掲示板を通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の進め方と準備学習の説明と心構え、WEB 版教材の紹介をする。
第 2 回	教材 1 (1)	「上海的小吃」を用います。3 日前までに 51 行目まで聞き取ります。授業では、字幕の音読と翻訳を練習します。
第 3 回	教材 1 (2)	引き続き「上海的小吃」の 101 行目までを、事前に聞き取り、授業では翻訳する。
第 4 回	教材 1 (3)	「上海的小吃」の 157 行目までを、事前に聞き取り、授業では翻訳する。最後に全文を頭から再度聞き通してみよう。
第 5 回	教材 2 (1)	「高考」を用います。この日までに 59 行目までを聞き取ります。授業では、字幕を日本語に翻訳する。
第 6 回	教材 2 (2)	引き続き「高考」の 117 行目までを、事前に聞き取り、授業では翻訳する。
第 7 回	教材 2 (3)	「高考」の 163 行目までを、事前に聞き取り、授業では翻訳する。最後に全文を頭から再度聞き通してみよう。
第 8 回	教材 3 (1)	「中秋的」を用います。この日までに 54 行目までを聞き取ります。授業では、字幕を日本語に翻訳する。
第 9 回	教材 3 (2)	引き続き「中秋的」の 97 行目までを、事前に聞き取り、授業では翻訳する。

第 10 回 教材 3 (3)

「中秋的」の 142 行目までを、事前に聞き取り、授業では翻訳する。最後に全文を頭から再度聞き通してみよう。

第 11 回 教材 4 (1)

「不怕慢，就怕站」を用います。この日までに 41 行目までを聞き取ります。授業では、字幕を日本語に翻訳する。

第 12 回 教材 4 (2)

「不怕慢，就怕站」の 79 行目までを、事前に聞き取り、授業では翻訳する。最後に全文を頭から再度聞き通してみよう。

第 13 回 期末テスト

読解力を測定するテスト（中文日訳）の実施する。範囲は既習の 4 つのテキストです。

第 14 回 テストの講評

詳細は後日伝えます。期末テストの返却と講評を行う。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2～3 時間を標準とします。詳細は初回授業で説明します。

## 【テキスト（教科書）】

愛漢語播客 2010 年集 (iMandarin Pod.com) からセレクトした音声教材

## 【参考書】

各自使い慣れている辞書と文法書。

## 【成績評価の方法と基準】

準備学習 (20%) と期末に行う翻訳テスト (80%) によって評価する。この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の 60%以上を達成した者を合格とする。出席は成績評価の大前提である。

## 【学生の意見等からの気づき】

特になし。

## 【Outline (in English)】

## 【Course Outline】

The aim of this course is to help participants improve both reading and listening skills in Chinese, based on what you learned in Chinese 1-6.

## 【Learning Objectives】

At the end of the course, participants should be able to enhance the development of Chinese skill in reading and listening.

## 【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, participants will be expected to make audio materials into text and translate it to Japanese. After each class meeting, participants will be expected to check the text created by myself based on the translation example presented by the teacher. Your study time will be two or three hours.

## 【Grading Criteria/Policy】

Final grade will be calculated according to the following process: Learning activities outside of classroom (20%) and reading comprehension test conducted at the end of the semester (80%).

LANe200LA

## 中国語 8

2017 年度以降入学者

鈴木 靖

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

HSK のリスニング問題のディクテーションと過去問の練習を通じて、4 級合格に必要な 1200 語の語彙力と語法知識、リスニング力を身につけていく。

また、過去問のシミュレーターによる模擬試験によって、HSK の問題形式に慣れ、確実な合格をめざす。

## 【到達目標】

HSK4 級の合格に必要な 1200 語の語彙力と語法知識、リスニング力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業は、自宅での e-Learning による予習と教室での授業を組み合わせたブレンド型学習によって行う。具体的な授業の進め方は次のとおり。

【授業前の事前学習】

授業前にパソコンまたはスマートフォンを使い、HSK のリスニング問題のディクテーションを行う

【授業の進め方と方法】

- ①小テスト（前回の学習内容の復習テスト）
- ②リスニング問題と読解問題の解説
- ③過去問を使った模擬試験（期間中 2 回実施）

課題等に対するフィードバックの方法としては、受講生全員が参加する LINE のグループを用意し、これを通じて全員または個別に指導を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	はじめに	授業の目標と学習方法の解説
第 2 回	HSK3 級リスニング対策①	HSK3 級リスニング問題の第一部分の解説と過去問の練習
第 3 回	HSK3 級リスニング対策②	HSK3 級リスニング問題の第二部分の解説と過去問の練習
第 4 回	HSK3 級リスニング対策③	HSK3 級リスニング問題の第三部分の解説と過去問の練習
第 5 回	HSK3 級リスニング対策④	HSK3 級リスニング問題の第四部分（前半）の解説と過去問の練習
第 6 回	HSK3 級リスニング対策⑤	HSK3 級リスニング問題の第四部分（後半）の解説と過去問の練習
第 7 回	HSK3 級リスニング対策⑥	HSK3 級模擬試験
第 8 回	HSK4 級リスニング対策①	HSK4 級リスニング問題の第一部分（前半）の解説と過去問の練習
第 9 回	HSK4 級リスニング対策②	HSK4 級リスニング問題の第一部分（後半）の解説と過去問の練習
第 10 回	HSK4 級リスニング対策③	HSK4 級リスニング問題の第二部分（前半）の解説と過去問の練習
第 11 回	HSK4 級リスニング対策④	HSK4 級リスニング問題の第二部分（後半）の解説と過去問の練習
第 12 回	HSK4 級リスニング対策⑤	HSK4 級リスニング問題の第三部分（後半）の解説と過去問の練習

第 13 回 HSK4 級リスニング対策⑥ HSK4 級リスニング問題の第三部分（後半）の解説と過去問の練習

第 14 回 HSK4 級リスニング対策⑦ HSK4 級模擬テスト

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の前に下記の事前学習を行うこと。

パソコンまたはスマートフォンを使い、HSK リスニング問題のディクテーションを行う。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

文部科学省平成 24 年度グローバル人材育成推進事業の補助を受け開発した e-Learning 教材と HSK（漢語水平考試）の過去問データを使用する。

## 【参考書】

・劉月華ほか『実用現代漢語語法』（外語教学与研究出版社）

## 【成績評価の方法と基準】

①ディクテーション教材による宿題の実施状況（60 %）

② 3 級および 4 級の模擬試験の成績（40 %）

## 【学生の意見等からの気づき】

自宅にパソコンがない学生のため、スマートフォンでも利用できるよう教材を修正した。

HSK の必修単語を覚えるのが難しいという声が多く寄せられたため、単語とフレーズを記憶するための e-Learning を新たに開発した。

## 【Outline (in English)】

〔Course outline〕

Chinese 8 is a Chinese course designed specifically for the students who are going to study abroad in China in the next semester.

In this course, students will develop their language abilities in the following:

Vocabulary: We will learn 1200 words required for the HSK, Chinese Proficiency Test, level 4.

Grammar: We will learn the elementary grammar required for the HSK, Chinese Proficiency Test, level 4.

Students will improve their language skills by:

Expanding their vocabulary and improving their listening skills through the use of e-Learning and past exams.

〔Learning Objectives〕

The goal of this course is to develop the students' ability to understand and use the Chinese language at the level of HSK4.

〔Learning activities outside of the classroom〕

Students will be expected to have completed the required assignments before each class. These assignments are expected to require an hour or more for students to complete.

〔Grading Criteria / Policy〕

Grading will be decided based on short class examinations(60%) and class assignments(40%).

LANe200LA

## 中国語 3 - I

2017 年度以降入学者

日原 傳

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年次に学んだ初級中国語の基礎を固めつつ、中国語能力を中級レベルに向上させる。中国語の時事資料を読み、現代中国に対する理解を深める。

## 【到達目標】

- ・初級中国語の基礎をしっかりと定着させる。
- ・少し長めの中国語の文章に慣れる。
- ・中国語の書面語（文語）の表現に慣れる。
- ・中国語の文章を独力で読みこなす力をつける。
- ・時事資料の読解を通して、現代中国への理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

テキストに沿って授業を進める。各課ごとに、単語の確認 → 課文（音読・訳） → 解説の手がかり（文法の確認） → 練習問題の順で進めてゆく。

※対面授業を基本にし、状況によってオンライン授業を組み合わせる。それにとまう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。

※課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行なう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション・ガイダンス	一年間の授業の進め方の説明。テキスト・辞書の説明。
第 1 課	2022 年は中国の「スーパー宇宙年」	第 1 課（発音練習・訳）
第 2 回	第 1 課 2022 年は中国の「スーパー宇宙年」	第 1 課（発音練習・訳）
第 3 回	第 2 課 楼蘭を破らずんば終に還らじ	第 2 課（発音練習・訳）
第 4 回	練習（第 1 課・第 2 課）	文法の確認・応用問題課）
第 5 回	第 3 課 超クール！「閃光少女」	第 3 課（発音練習・訳）
第 6 回	第 4 課 国際ブーム、いまなお健在	第 4 課（発音練習・訳）
第 7 回	練習（第 3 課・第 4 課）	文法の確認・応用問題課）
第 8 回	第 5 課 「テント経済」に見る新たな消費トレンド	第 5 課（発音練習・訳）
第 9 回	第 6 課 北京冬季五輪のエピソード	第 6 課（発音練習・訳）
第 10 回	練習（第 5 課・第 6 課）	文法の確認・応用問題課）
第 11 回	第 7 課 文字は時代を映し出す	第 7 課（発音練習・訳）
第 12 回	第 8 課 飲食こぼれ話	第 8 課（発音練習・訳）

第 13 回 練習（第七課・第八 文法の確認・応用問題課）

第 14 回 授業の総まとめと期末 筆記・ヒアリング試験 まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・予習は必須です。分からない単語は辞書で調べ、テキストの本文と文法の例文を訳してから授業に臨んでください。
- ・テキストの「リスニング・トレーナー」アプリを使って各課の音声を繰り返し聴く。
- ・テキストの本文をスラスラ読めるまで音読の練習を繰り返す。
- ・本授業の準備・復習時間は、時間を合わせて 4 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

『時事中国語の教科書 2023 年度版』（三瀧正道・陳祖蓀・古屋順子著、朝日出版社、1900 円＋税）。

※一年時に使用した『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）を必ず授業時に持参すること。

## 【参考書】

中日辞典を必ず用意すること（どこの出版社のものでも良い。電子辞書も可）。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の取り組み姿勢・発音チェックテスト） 30 %

期末試験 70 %

## 【学生の意見等からの気づき】

発音チェックテストを 6～7 月に行ない、成績評価の基礎点に加えることにした。

## 【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANe200LA

## 中国語 3-II

2017 年度以降入学者

日原 傳

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年次に学んだ初級中国語の基礎を固めつつ、中国語能力を中級レベルに向上させる。中国語の時事資料を読み、現代中国に対する理解を深める。

## 【到達目標】

- ・初級中国語の基礎をしっかりと定着させる。
- ・少し長めの中国語の文章に慣れる。
- ・中国語の書面語（文語）の表現に慣れる。
- ・中国語の文章を独力で読みこなす力をつける。
- ・時事資料の読解を通して、現代中国への理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

テキストに沿って授業を進める。各課ごとに、単語の確認 → 課文（音読・訳） → 解説の手がかり（文法の確認） → 練習問題の順で進めてゆく。

※対面授業を基本にし、状況によってオンライン授業を組み合わせる。それにとまなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。

※課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行なう。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	第九課 若者は欲しがらず、老人は使いこなせないもの、なーんだ？	第九課 (発音練習・訳)
第 2 回	第十課 バンダの名前はどうか決める？	第十課 (発音練習・訳)
第 3 回	練習 (第九課・第十課)	文法の確認・応用問題
第 4 回	第十一課 デジタル化が市民生活の助けに	第十一課 (発音練習・訳)
第 5 回	第十二課 トウガラシ大王の「渡り鳥農業」	第十二課 (発音練習・訳)
第 6 回	練習 (第十一課・第十二課)	文法の確認・応用問題
第 7 回	第十三課 消費は時代の移り変わりを映す鏡	第十三課 (発音練習・訳)
第 8 回	第十四課 2000 年代生まれの職場改革	第十四課 (発音練習・訳)
第 9 回	第十五課 中国児童文学の父、百歳に	第十五課 (発音練習・訳)
第 10 回	練習 (第十三課・第十四課・第十五課)	文法の確認・応用問題
第 11 回	プリント教材①	中国の環境問題（水の汚染・水不足）
第 12 回	プリント教材②	中国の環境問題（大気汚染）
第 13 回	プリント教材③	中国の環境問題（砂漠化・森林消失）

第 14 回 授業の総まとめと期末 筆記・ヒアリング試験 まとめ  
試験 と解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・予習は必須です。分からない単語は辞書で調べ、テキストの本文と文法の例文を訳して授業に臨んでください。
- ・テキストの「リスニング・トレーナー」アプリを使って各課の音声を繰り返し聴く。
- ・テキストの本文をスラスラ読めるまで音読の練習を繰り返す。
- ・本授業の準備・復習時間は、合わせて 4 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

『時事中国語の教科書 2023 年度版』（三浦正道・陳祖蓓・古屋順子著、朝日出版社、1900 円＋税）

※一年時に使用した『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）を必ず授業時に持参すること。

## 【参考書】

中日辞典を必ず用意すること（どこの出版社のものでも良い。電子辞書も可）。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の取り組み姿勢・発音チェックテスト）30 %  
期末試験 70 %

## 【学生の意見等からの気づき】

発音チェックテストを 11～12 月に行ない、成績評価の基礎点に加えることにした。

## 【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANe200LA

## 中国語 3 - I

2017 年度以降入学者

王 翠莉

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、中国語 1 と中国語 2 を一通り終えた学生を対象にする授業です。

本授業では、中国語 1 と中国語 2 で学んだ基礎文法句型を生かし、教科書「優しいビジネス中国語」の内容を勉強することにより、中国語の応用表現を覚えます。

本講義の目的は、ビジネス上で必要な中国語の基本会話と文章表現を勉強し覚えることにより、中国語の応用力の向上を目指すことにあります。

## 【到達目標】

使用教科書「やさしいビジネス中国語」の内容は、とても実用的且つ充実した内容なので、そのビジネス上で必要な中国語の表現を勉強し覚えることにより、中国語の表現力と応用力が向上できます。到達目標とは、準中級レベルのビジネス上で必要な基本会話とビジネス関係の中国語文章の翻訳ができるようになることを目標とします。The content of the required textbook, “やさしいビジネス中国語,” is very practical and productive, so by learning and memorizing Chinese in these business scenes of the textbook, you will be able to improve your Chinese expression and ability to apply knowledge to new situations.

The goal is to be able to speak semi-intermediate level Chinese in business scenes and translate Chinese documents related to business.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

本授業の進め方と方法は、基本的には教科書を中心に授業を進めます。教科書の内容は、銀行、財務、商談、宴会のセッティング、労働待遇、アフタサービス、国際入札、コンテナ輸送など幅広い分野をカバーしていて、とても実用的で充実した内容です。

教科書の各課は、会話本文、文法と作文、書き換え練習、ヒアリング練習と参考表現からなっています。

授業の進め方は、まず、教科書の文法を説明の上、受講生たちと一緒に会話本文を読んだり翻訳したりします。難しい中国語の表現がある場合、例文を挙げて説明したりします。その次、書き換え練習、ヒアリング練習、参考表現を練習します。時間の余裕がある場合、音読と短文作りの練習をします。

授業中、単語小テストをしますが、小テストの点数を平常点に計上します。

授業中の練習方法としては、毎回の授業では音読と翻訳の練習をし、できるだけ、受講生全員に練習のチャンスを与えます。

課題等へのフィードバックは基本的には授業時間を通じて行います。本授業は、対面形式ですが、必要に合わせて、オンライン（ZOOM 形式）形態を実施することも可能です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	オリエンテーション	ZOOM 形式授業 本授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明し、使用教科書を紹介する。 ZOOM 授業の受講環境を確認する。
2 回目	第 1 課 オフィスを訪ねる	①会話本文「オフィスを訪ねる」 ②「文法と作文」 文法 1：「疑問詞+☒」構文； 文法 2：動詞の重ね方 ③置き換え練習 ④ヒアリング練習 ⑤参考表現
3 回目	質問応答と音読練習	ZOOM 授業 質問応答と音読練習
4 回目	第 2 課 レストランに食事に行く	①第 1 課の単語小テスト ②会話本文「レストランに食事に行く」 ③文法と作文 文法 3：「形容詞+了」構文 文法 4：選択疑問文「A ☒是 B？」 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
5 回目	第 3 課 銀行に行く	①第 2 課の単語小テスト ②会話本文「銀行に行く」 ③文法と作文 文法 5：助動詞「想」の用法 文法 6：結果補語「好」の用法 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
6 回目	質問応答と音読練習	ZOOM 授業 質問応答と音読練習
7 回目	第 4 課 商談をする	①第 3 課の単語テスト ②会話本文「商談をする」 ③文法と作文 文法 7：結果補語「到」 文法 8：程度補語 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
8 回目	第 5 課 宴会のセッティングする	①第 4 課の単語テスト ②会話本文「宴会のセッティング」 ③文法と作文 文法 9：数量述語文 文法 10：「把」+目的語+動詞」の構文 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
9 回目	質問応答と総合練習	ZOOM 授業 質問応答 音読練習 総合練習
10 回目	第 6 課 有給休暇を取る	①第 5 課の単語テスト ②会話本文「有給休暇をとる」 ③文法と作文 文法 11：助動詞「可以」の用法 文法 11：助動詞「可以」の用法 文法 12：「快～了」の用法 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現

11 回目	第 7 課 フライトを待つ	①第 6 課の単語テスト②会話本文「フライトを待つ」 ③文法と作文 文法 13：時間量を示す言葉の位置 文法 14：「被」の用法 ④置き換え練習 ⑤ヒアリング練習 ⑥参考表現
12 回目	授業のまとめ	ZOOM 授業 質問応答 総合練習 期末試験について説明
13 回目	授業内口頭試験	対面形式 音読テスト
14 回目	授業内筆記試験	対面形式 授業内筆記試験

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

毎回の授業内容と宿題をしっかりと練習しましょう。  
特に外国語の勉強にとっては、音読練習はとても重要なので、楽しく練習すれば、上手になります。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。  
オンライン授業を実施する場合、ちゃんと ZOOM 授業に参加し、毎回のレポート課題をしっかりとやりましょう。

Make sure to review after each class and do your homework. In learning a foreign language, reading aloud is very important. If you enjoy the process, you will be able to improve quickly. On average, it should take about 1 hour to prepare and review each class.

If the class is done online, make sure to participate in each Zoom class and do every assignment.

**【テキスト（教科書）】**

『やさしいビジネス中国語』三瀧正道他著、朝日出版社、2007 年、2,200 + 税

**【参考書】**

中国語辞書  
『商経学部生のための読む中国語』大羽りん・趙青著、白水社

**【成績評価の方法と基準】**

成績評価は、平常点と期末試験の点数により構成されます。  
平常点は 30 %で、期末試験は 70 %。  
平常点には、受講態度、小テスト、課題の完成度、口頭試問等を含みます。  
期末試験の 70 %には、口頭試験は 20 %、筆記試験は 50 %。

Grading criteria consists of participation points and a final exam. Participation points share 30% and final exam share 70% of the grade. Participation points include class attendance and attitude in each class, quizzes, level of completion of assignments, and oral tests. The final exam 70% includes oral examinations 20% and paper examination 50%.

**【学生の意見等からの気づき】**

授業の終了時間をオーバーしないように気を付けます。

**【学生が準備すべき機器他】**

オンライン授業を受講するための通信環境、PC などを準備してください。

**【Outline (in English)】**

This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners. This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners to acquire the basic grammar and to learn how to use Chinese by the Book of “Friendly Business”. The aim of this course We will improve the Chinese basic speaking, writing and applying ability.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANe200LA

## 中国語 3 - II

2017 年度以降入学者

王 翠莉

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、中国語 3 I の続きです。春学期に使用した教科書「やさしいビジネス中国語」を引き続き勉強し、秋学期は第 8 課から勉強します。アフタサービス、流通業のコンテナ輸送、就職面接&待遇、病院で診察を受ける、国際入札、財務関係など、幅広く各分野にわたって中国語の表現を勉強します。本講義の目的は、ビジネス上で必要な中国語の基本会話と文章表現を勉強し覚えることにより、中国語の応用力の向上を目指すことにあります。

## 【到達目標】

使用教科書「やさしいビジネス中国語」の内容は、とても実用的且つ充実した内容なので、それらのビジネス上で必要な中国語の表現を勉強し覚えることにより、中国語の表現力と応用力が向上できます。到達目標とは、準中級レベルのビジネス上で必要な基本会話とビジネス関係の中国語文章の翻訳ができるようになることを目標とします。The content of the required textbook, “やさしいビジネス中国語,” is very practical and productive, so by learning and memorizing Chinese in these business scenes of the textbook, you will be able to improve your Chinese expression and ability to apply knowledge to new situations.

The goal is to be able to speak semi-intermediate level Chinese in business scenes and translate Chinese documents related to business.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

本授業は、春学期と同様に基本的には教科書を中心にして授業を進めます。

授業の進め方は、まず、教科書の文法を説明の上、受講生たちと一緒に会話本文を読んだり翻訳したりします。難しい中国語の表現がある場合、例文を挙げて説明したりします。本文と文法を勉強した後、書き換え練習、ヒアリング練習、参考表現を練習します。時間の余裕がある場合、音読と短文作りの練習をします。

授業中、単語小テストをします。小テストの点数を平常点に計上します。

授業中の練習方法としては、毎回の授業では音読と翻訳の練習をし、できるだけ受講生全員に練習のチャンスを与えます。

課題等へのフィードバックは基本的には授業時間を通じて行います。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	①オリエンテーション ②総合復習	①秋学期の授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明する。 ②中国語で自己紹介文を書いて提出する。

2 回目	第 8 課 アフターサービス	①第 8 課のポイントを解説する 文法 15：「吧」の用法 文法 16：「V 〇〜」の用法 ②会話本文「アフターサービス」を勉強する ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現
3 回目	第 9 課 コンテナ輸送	①第 8 課の単語テスト②第 9 課のポイントの説明する 文法 17：「一〜就…」の構文 文法 18：「既〜又…」の構文 ③会話本文「コンテナ輸送」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現を説明する。
4 回目	第 8 課、第 9 課の音読練習と質問解答	①音読練習 ②質問解答
5 回目	第 10 課 待遇	①第 9 課の単語テスト ②第 10 課のポイントの説明する 文法 19：「(只有) 〇、才能…」の用法 文法 20：「作〇〜」の用法 ③会話本文「待遇」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現
6 回目	第 11 課 病院にて	①第 10 課の単語テスト②第 11 課のポイントの説明する 文法 21：「先〜、然后…」の構文 文法 22：「不是〜、而是…」の構文 ③会話本文「病院にて」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現
7 回目	第 10 課、第 11 課の音読練習と質問解答	①第 10 課、第 11 課の音読練習 ②質問解答
8 回目	第 12 課 国際入札	①第 11 課の単語テスト ②第 12 課のポイントの説明する 文法 23：「听〜〇/听〇〜」の構文 文法 24：「有」を伴う 2 音節動詞 ③会話本文「国際入札」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現を説明する。
9 回目	第 13 課 財務	①第 12 課の単語小テストをする。 ②第 13 課のポイントの説明する 文法 25：様態補語と可能補語 文法 26：助詞「地」の用法 ③会話本文「財務」を勉強する。 ④書き換え練習 ⑤ヒアリング練習、 ⑥参考表現を説明する。
10 回目	第 12 課、第 13 課の音読練習と質問解答	①第 12 課、第 13 課の音読練習 ②質問解答
11 回目	秋学期の内容についての質問解答	秋学期の内容第 8 課〜第 13 課の内容について、受講生からの質問を解答する。
12 回目	総合復習練習	①授業内容のまとめと復習 ②期末テストについて説明する。
13 回目	授業内音読テスト	音読テスト
14 回目	授業内筆記試験	授業内試験



**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

授業内容を復習することはとても大切なことなので、宿題又は課題がある場合、ちゃんとやりましょう。

また、外国語の勉強にとっては、音読がとても重要なので、楽しく練習すればお上手になります。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

**Make sure to review after each class and do your homework. In learning a foreign language, reading aloud is very important. If you enjoy the process, you will be able to improve quickly.**

**On average, it should take about 1 hour to prepare and review each class.**

**If the class is done online, make sure to participate in each Zoom class and do every assignment.**

**【テキスト（教科書）】**

『やさしいビジネス中国語』三瀧正道他著、朝日出版社、2007 年、2,200 円＋税

**【参考書】**

『商経学部生のための読む中国語』大羽りん・趙青著、白水社、2019 年 2 月

**【成績評価の方法と基準】**

成績評価は、平常点と期末試験の点数により総合評価を出す。

平常点は 30%、期末試験は 70%。

平常点には、出席、授業中の小テストと練習および学習態度等を含む。

期末試験には、音読テストは 20%、筆記試験は 50%占める。

中国語検定試験 4 級以上の合格者には、期末筆記試験を免除する。

中国語検定試験の取得点数と期末口頭試験と平常点により評価をする。

\*無断欠席 4 回以上の受講生は評価対象にならない可能性がある。

**Grading criteria consists of participation points and a final exam. Participation points share 30% and final exam share 70% of the grade. Participation points include class attendance and attitude in each class, quizzes, level of completion of assignments, and oral tests. The final exam 70% includes oral examinations 20% and paper examination 50%.**

**【学生の意見等からの気づき】**

授業中の私語と中国語学習以外の携帯使用を禁止する！

授業の終了時間をオーバーしないように気を付ける。

**【Outline (in English)】**

This course is Chinese 1 of III which is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners. This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners to acquire the basic grammar and to learn how to use Chinese by the Book of "Friendly Business Chinese. The aim of this course We will improve the Chinese basic speaking, writing and applying ability.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following

Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANe200LA

## 中国語 3 - I

2017 年度以降入学者

三田村 圭子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の発音の基礎と基本文型、初級レベルの文法を復習しながら、文法項目の更なる基礎固めを行う。基礎の中国語で学習した事項をもとに、聞く・話す・読む・書くをバランスよく練習する。それによって、中級以上の中国語を学習する際に必要な事項を学習する。

## 【到達目標】

春学期終了時には中国語検定 4 級・HSK3 級程度の能力を確実に習得し、基本的な文法を用いて正確に書くことができ、生活中に必要なフレーズを口頭でも表現できることを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

この授業は対面で進みます。進行や課題は学習支援システム Hoppii でも伝達します。初回については基礎で学んだ事項について復習する。毎回、授業の始めに簡単な発音練習を行い本文へ進む。教科書は、文法の解説、発音練習、本文の訳、の順序で進める。その後、練習問題を行う。

【課題へのフィードバック】授業で回収した課題については誤答が多かった問題を参考に授業時に解説する。発音の誤りが多い部分に関して授業開始時に復習をする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	基礎で学習した発音と文型・時制に関する復習。	特にピンインと発音の確認。基礎文法事項の練習を行う。
第 2 回	大学生活①動詞+在などの結果補語を復習する。	「不是～而是/都～」 「除了～以外～」の 2 つの構文の練習。
第 3 回	大学生活②比較的難しい結果補語を習得する。	大学生活に関して自分自身のことを表現する練習。
第 4 回	大学的作息時間①時制に関する表現を学ぶ。	「了」の応用練習と「因為～所以～」の構文の練習。
第 5 回	大学的作息時間②因果関係を示す表現を学ぶ。	理由を述べる構文の簡単な作文を書く。
第 6 回	早飯①「了」の 2 つの用法に関するまとめと方向補語の応用練習。	「了」について練習と「不但～而且～」の簡単な作文を行う。
第 7 回	早飯②より複雑な方向補語と「了」の組み合わせを学ぶ。	中国の朝食・自分自身の食事に関して表現する。
第 8 回	小テストと喝茶①の本文を読解する。	学習した事項を復習し、「特別是～」「以為～」を学習する。
第 9 回	喝茶②中国と日本の茶文化の違いについて理解する。	随著～」の練習と中国のお茶に関する中国語のヒアリング練習。
第 10 回	飲食①中国と日本の飲食に関する文章を読む。	「以～主」、接続詞「而且」「越来越～」の練習。

- 第 11 回 飲食②中華料理の菜系を確認し、特色を口頭で表現する。 本文に準じたヒアリング問題と質問に回答する。
- 第 12 回 生活習慣①処置文に関して学ぶ。「着」「把」構文の練習。「連～（也）」の構文の学習。
- 第 13 回 生活習慣②日中の習慣の違いについて閱讀する。 特に「把」構文の練習を行う。
- 第 14 回 最終的な到達度の確認。期末試験。 春学期に学んだ構文や文法事項に関しての確認。補語表現や把構文を主に復習する。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

時間のないときは音声教材だけでもよく聴いてくること。【予習】授業時に分担して回答してもらうのでヒアリング問題は各自で行うこと。また自分の状況に合わせて答える問題は事前に文章を作成しておくこと。【復習】文法での疑問や誤答をした部分の確認。その回のヒアリング教材をよく聴くこと。【課題】音声教材付属のヒアリングの問題や進行状況に合わせた問題を行う。

## 【テキスト（教科書）】

『ことばと文化 一挙兩得 中級中国語』陳淑梅・陸薇著 朝日出版社 2200 円+税 ISBN978-4-255-45289-0

## 【参考書】

授業開始以降に辞典や参考書について詳しく紹介する。

## 【成績評価の方法と基準】

期末試験 40 %、小テスト 30 %、課題（課題提出や暗誦、HSK 模擬試験）と平常点 30 % を総合して評価する。また、春学期においては HSK 3・4 級・中国語検定試験 4 級合格者には 10 % を上限として加点をする。点数が極めて良好な場合は期末試験の一部を免除する。

## 【学生の意見等からの気づき】

昨年度は対面で進行了。30 名以上のクラスでしたので添削した課題の返却が速やかにできなかったことと、発音練習が十分にできなかったことが改善点です。HSK の問題を各自のレベルに応じて級を選び行えたことと、基礎的な課題として 3 級まで進行してもらったことに関しては概ね良好な反応でした。

## 【学生が準備すべき機器他】

各自が最もヒアリング練習に便利な音声教材をダウンロードできる機器

## 【Outline (in English)】

## 【Course outline/Learning Objectives】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

## 【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting.

Before each class meeting, it is recommended that students listen to the hearing questions.

Your study time will be more than three hours for a class.

## 【Grading Criteria /Policy】

Final grade will be calculated according to the following process term-end examination (40%), mid-term examination (30%), and in-class contribution (30%).

LANc200LA

## 中国語 3 - II

2017 年度以降入学者

三田村 圭子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

文法に関しては長めの会話文の学習を通じ、さまざまな中国語の表現を身につける。また、実際に作文や口頭の練習を行うことによって、新たに学習した構文の定着をはかり、HSK や中国語検定試験に対応しうる能力を養成する。

## 【到達目標】

より複雑な構文を習得し、自分の生活に関する事柄や仕事でも使用できる表現を明瞭に安定して運用できるようになる。文法に関しては中国語検定 3 級程度・HSK4 級 6 割程度の点数を取得できることを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

春学期よりも授業進行が若干速めになる。基本的には春学期の授業進行と同様、文法の解説、発音の練習、練習問題の順番だが、途中で応用問題を行う時間をとる。また、比較的難解な文法事項についてはプリントを使用しながら学習する。【課題へのフィードバック】造句は授業内で回収し添削し特に文法に関しては授業時間に回答を一覧にまとめたもので解説する。発音に関しては各回の授業開始時に誤りが多かったフレーズを練習する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	第 1 課から第 6 課までの復習と発音練習	発音練習と春学期に学習した事項と数字に関連する表現の復習。
	交通①の本文を読解する。	
第 2 回	交通②より複雑な比較文を確認し交通にまつわる表現を学ぶ。	「比～得多」と「一辺～一辺～」などの構文を練習する。
第 3 回	校園節①基本的な強調構文について学習する。	「在～下」「只～不過～」の構文について練習する。
第 4 回	校園節②大学祭に関する文章を閲読し要旨を把握する。	ヒアリング練習と大学の学園祭について簡単な文章を書く。
第 5 回	体育①受身文の復習と応用練習を行う。	「是～也是～」を学び「会」の代表的な用法に関する練習をする。
第 6 回	体育②日本の伝統的な武道と中国の武術に関して閲読する。	受身・使役文についてのまとめ。伝統的な運動について表現する。
第 7 回	小テストと既習分の復習。歌舞伎和京劇①の本文を読む。	新しい可能補語について学し「即使～也～」の構文を練習する。
第 8 回	歌舞伎和京劇②日本と中国の伝統芸能について	可能補語の練習。伝統芸能に関する質問に答える練習。
第 9 回	方言①中級で学ぶ構文のまとめ。	「好像～似的」「只要～就」「雖然～但是～」などの練習。
第 10 回	方言②普通話と方言に関する文章を閲読する。	全世界で学習されている「普通話」について中国語で説明する。

第 11 回 飯卓上の習慣① 数量 数量補語と「先～然后～」「每～補語・時量補語・動量 都～」の構文の練習。

第 12 回 飯卓上の習慣②食事やお祝いの席での習慣について。中国の食事マナーに関してのヒアリング問題を行う。

第 13 回 「過年」旧暦の正月 「春節」についての文章を読解する。伝聞の表現と条件関係を表す構文についてのまとめ。

第 14 回 応用表現の総合復習と期末試験 半期で学習した項目の確認と解説。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

秋学期は内容も難しくなるので音声教材をよく聴くこと。また授業以外でも DVD を観るなど、幅広く興味を持ってほしい。【予習】本文の音声をあらかじめ聴いてヒアリング問題と回答問題を行うこと。【復習】自分のことに置き換えて習得した構文を書いてみる。【課題】自分のことに置き換えて表現する練習問題は授業内で指定し、時には授業内の決まった時間で行う。HSK 模擬試験の指定の部分を行う。

## 【テキスト（教科書）】

『ことばと文化 一挙兩得 中級中国語』陳淑梅・陸薇著 朝日出版社 2200 円+税 ISBN978-4-255-45289-0

## 【参考書】

秋学期授業開始以降に再度、辞典や参考書について紹介する。

## 【成績評価の方法と基準】

期末試験 40 %、小テスト 30 %、課題（HSK 模擬試験指定範囲と教科書の問題）を含む平常点 30 % を総合して評価する。3 分の 1 以上欠席した学生は評価の対象としない。また、遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。特に各自が行う課題に関しては採点の比重を重く置く。外部試験の点数が極めて良好な場合は期末試験の一部を免除し、中検 3 級合格者と HSK4 級以上の合格者は試験を免除し S の評価を与える。

## 【学生の意見等からの気づき】

昨年度は全て対面で実施しました。中国語での質疑応答の時間を確保して欲しいとの意見があった。30 名ほどのクラスでは最低限の準備があって口頭練習の時間が確保できることを了解欲しい。また教科書を全て終了してほしいとの要望があったので、この件については時間がかかる作文などは課題にして順調に進行できるように更に改善をしていきたい。昨年度も 1 月から 1 月にかけて外部試験を積極的に受験した学生がいた。そのような学生の要望のためにも中国語検定なども授業内で少しずつ行いたいと考えている。

## 【学生が準備すべき機器他】

常に音声教材を聴ける機器、またはダウンロードできる機器。

## 【Outline (in English)】

## 【Course outline/Learning Objectives】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

## 【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting.

Before each class meeting, it is recommended that students listen to the hearing questions.

Your study time will be more than three hours for a class.

## 【Grading Criteria /Policy】

Final grade will be calculated according to the following process term-end examination (40%), mid-term examination (30%), and in-class contribution (30%).

LANe200LA

## 中国語 3 - I

2017 年度以降入学者

## 薬 進

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で習った初級をしっかりと復習しながら、日常をコミュニケーションできる中級レベルの中国語を目指しましょう。

## 【到達目標】

基礎段階を終えた学習者を対象に、より複雑な中国語の表現で日常生活における交流場面に対応できるように、読む・聞く・話す・書く能力を身につけることを目標とする。到達レベルは、中国語検定試験の 3 級合格可能な程度である。

## 【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

この授業の目的は、架空の中国生活ではなく、日本での日常について質問し、答えられるようにすることです。中国語のコミュニケーションは、他のコミュニケーションと同様に、送受信＝質問と答えのやり取りを基本としている。問いと答えを繰り返せば必ず話せるようになる。一年生で発音の基礎と基本的な表現を習得した学習者が、複文や接続詞などより複雑な表現を学び、日常生活における交流場面に対応する、比較的高度な中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。

授業形態は対面授業となります。対面授業では、課題の要点解説や文法事項の詳細な解釈及び質疑応答を行います。オンラインで予習・復習ができるように、『学習支援システム』において、各授業日における学習内容（テキスト及び説明（音声、ビデオ））は、『課題』フォルダで授業日別に提示し、学習終了後に課題を提出するための資料をアップロードしています。

課題等へのフィードバックは以下ようになります。

- (1) 対面授業時に説明します。
- (2) 「授業内掲示板」で随時受け付けて回答します。
- (3) 個別相談等は [shin.yaku.56@hosei.ac.jp](mailto:shin.yaku.56@hosei.ac.jp) で随時受け付けて回答します。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	第一課	初級の復習 (1)
2 回	第一課	初級の復習 (2)
3 回	第二課	初級の復習 (1)
4 回	第二課	初級の復習 (2)
5 回	第三課	ある動作を行う目的や方式を説明する表現
6 回	第四課	好き嫌い・心配の表現
7 回	復習	第一課～第四課の復習
8 回	第五課	動作の程度・状態を説明する表現
9 回	第六課	能力と可能性の表現
10 回	第七課	動作の結果を説明する表現
11 回	第八課	動作の方向を説明する表現
12 回	第九課	動作の結果と方向の可能性を表す表現
13 回	第十課	使役の表現
14 回	復習	I 期のまとめ

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学力は短期間で身につけられない。日々の積み重ねこそ大切である。初級に比べより高度な内容となるので、放課後の予習・復習を怠らないこと。付属の CD と DVD を活用して、また初級復習用に配布したプリントに基づく問答ができるよう（試験範囲内）、練習を繰り返し行い、毎回授業の初めに聞かれる質問に即答できるようにしていただきたい。

## 【テキスト（教科書）】

『日常のコミュニケーションができる中国語中級』株式会社シーエスピー出版部、PDF 版無償提供。

各授業日に使用される文字、音声、映像資料は『課題』の授業日別フォルダに記載または添付します。

あるいは授業内容を提示する文中においてリンクを貼る。

## 【参考書】

なし

## 【成績評価の方法と基準】

評価基準は、平常評価（中間のまとめと口語テスト）40 %、最終課題 60 % とする。

無断欠席・遅刻は回数分に応じて減点される。

検定試験 4 級合格者：I 期終了時合格は 15 点プラス。

検定試験 3 級合格者：I 期終了時合格は 100 点プラス。

## 【学生の意見等からの気づき】

書く練習をより多くしたいとの要望に応じていきたい。

## 【学生が準備すべき機器他】

PDF 版テキストは、授業支援システムより各自ダウンロードし、印刷する必要があります。

附属 CD・DVD も授業支援システムにて提供されます。

## 【Outline (in English)】

## 【Course outline】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

## 【Learning Objectives】

The goal is for learners who have completed the basic stage to acquire the ability to respond to interaction situations in daily life with more complicated Chinese expressions.

## 【Learning activities outside of classroom】

This class will practice questions and answers in Chinese about what you have already learned at the beginning of each lesson. Learners need preparation so that they can answer immediately.

## 【Grading Criteria /Policy】

The term-end evaluation is 40% for normal points and 60% for final assignments.

LANe200LA

## 中国語 3 - II

2017 年度以降入学者

## 業 進

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で習った初級をしっかりと復習しながら、日常をコミュニケーションできる中級レベルの中国語を目指しましょう。

## 【到達目標】

基礎段階を終えた学習者を対象に、より複雑な中国語の表現で日常生活における交流場面に対応できるように、読む・聞く・話す・書く能力を身につけることを目標とする。到達レベルは、中国語検定試験の 3 級合格可能な程度である。

## 【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

この授業の目的は、架空の中国生活ではなく、日本での日常について質問し、答えられるようにすることです。中国語のコミュニケーションは、他のコミュニケーションと同様に、送受信＝質問と答えのやり取りを基本としている。問いと答えを繰り返せば必ず話せるようになる。一年生で発音の基礎と基本的な表現を習得した学習者が、複文や接続詞などより複雑な表現を学び、日常生活における交流場面に対応する、比較的高度な中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。

授業形態は対面授業となります。対面授業では、課題の要点解説や文法事項の詳細な解釈及び質疑応答を行います。オンラインで予習・復習ができるように、『学習支援システム』において、各授業日における学習内容（テキスト及び説明（音声、ビデオ））は、『課題』フォルダで授業日別に提示し、学習終了後に課題を提出するための資料をアップロードしています。

課題等へのフィードバックは以下ようになります。

- (1) 対面授業時に説明します。
- (2) 「授業内掲示板」で随時受け付けて回答します。
- (3) 個別相談等は [shin.yaku.56@hosei.ac.jp](mailto:shin.yaku.56@hosei.ac.jp) で随時受け付けて回答します。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	総括	I 期期末試験の解説
2 回	復習	春学期の復習
3 回	第十一課	受身の表現
4 回	第十二課	存在と出現を説明する表現
5 回	第十三課	対象への処理・処分を表す表現
6 回	第十四課	二つの動作の前後順・時間順の表現
7 回	復習	第十一課～第十四課の復習
8 回	第十五課	仮定の表現
9 回	第十六課	因果関係を表す表現
10 回	第十七課	逆接関係を表す表現
11 回	第十八課	付け加えの表現
12 回	第十九課	除外の表現
13 回	第二十課	何でもどこでも誰でも
14 回	復習	II 期のまとめ

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学力は短期間で身につけられない。日々の積み重ねこそ大切である。初級に比べより高度な内容となるので、放課後の予習・復習を怠らないこと。付属の CD と DVD を活用して、また初級復習用に配布したプリントに基づく問答ができるよう（試験範囲内）、練習を繰り返し行い、毎回授業の初めに聞かれる質問に即答できるようにしていただきたい。

## 【テキスト（教科書）】

『日常のコミュニケーションができる中国語中級』株式会社シーエスピー出版部、PDF 版無償提供

各授業日に使用されるテキストは『課題』の授業日別フォルダに記載または添付します。あるいは授業内容を提示する文中においてリンクを貼る。

## 【参考書】

なし

## 【成績評価の方法と基準】

評価基準は、平常評価（中間のまとめと口語テスト）40 %、最終課題 60 % とする。

無断欠席・遅刻は回数分に依りて減点される。

## 【学生の意見等からの気づき】

書く練習をより多くしたいとの要望に応じていきたい。

## 【学生が準備すべき機器他】

PDF 版テキストは、授業支援システムより各自ダウンロードし、印刷する必要があります。

附属 CD・DVD も授業支援システムにて提供されます。

## 【Outline (in English)】

## 【Course outline】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

## 【Learning Objectives】

The goal is for learners who have completed the basic stage to acquire the ability to respond to interaction situations in daily life with more complicated Chinese expressions.

## 【Learning activities outside of classroom】

This class will practice questions and answers in Chinese about what you have already learned at the beginning of each lesson. Learners need preparation so that they can answer immediately.

## 【Grading Criteria /Policy】

The term-end evaluation is 40% for normal points and 60% for final assignments.

LANe200LA

**中国語コミュニケーション初級 I** 2017 年度以降入学者

周 重雷

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

定員制（30 名）

その他属性：〈他〉〈優〉

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

中国語の発音及び基礎的な文法事項を固めつつ、中国語のコミュニケーションに必要な知識を養成する。

**【到達目標】**

構文をしっかり覚える。

発音を正確にする。

日常会話ができるようにする。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

教材を使って文法の勉強をする。また履修者のレベルを確認した上、様々な会話パターンを作って練習していく。

課題などのフィードバックは授業時間に、もしくはメールにて行う。

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**

なし / No

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	シラバスの配布と説明
第 2 回	発音	ピンインの復習
第 3 回	あいさつ	あいさつなどの日常用語の練習をする
第 4 回	人称代名詞と指示代名詞 会話（1）	文法を確認したのち、自己紹介の練習をする
第 5 回	述語 授業内発表（1）	文法を確認したのち、自己紹介を発表する
第 6 回	受け答え	「是」その他
第 7 回	場所と方位	在と有
第 8 回	数量詞と連体修飾語	数量詞と連体修飾語を学ぶ
第 9 回	疑問文 会話（2）	ものの尋ね方 レストランでの会話を作成する
第 10 回	連用修飾語 授業内発表（2）	副詞と時間詞を学ぶ 講師と一対一またはグループでレストランでの会話をする
第 11 回	完了と変化 会話（3）	「了」の様々を知る 買い物する時の会話パターンを作成する
第 12 回	助動詞と前置詞構造 授業内発表（3）	文法を確認したのち、講師と一対一またはグループで買い物のシミュレーションをする
第 13 回	三量補語	三量補語と離合詞
第 14 回	まとめ	口頭テストを行う

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

宿題や発表の準備など、毎回 1 時間ほどの予習・復習をする。

また、HSK や中国語検定の受験も推奨される。

**【テキスト（教科書）】**

教員による教材配布

**【参考書】**

日中・中日辞書（電子機器も可）

**【成績評価の方法と基準】**

期末テスト：60 %

発表：40 %

term-end test:60%

presentation:40%

**【学生の意見等からの気づき】**

基本は対面授業ですが、基礎疾患や遠隔地などの理由で参加できない人には講義をオンデマンド配信した上、SNS 等を使って個別指導を行います。

またそれぞれのレベルの差に配慮をする。

**【学生が準備すべき機器他】**

スマートフォンは必須

**【その他の重要事項】**

特になし。

**【Outline (in English)】**

This is the Chinese conversation course for intermediate learners. The aim of this course is to master intermediate level conversation skill. We will study basic vocabulary and grammar, and improve Chinese speaking skill.

We should talk the Chinese language by accurate pronunciation,

and talk the Chinese daily conversation well.

We should prepare and review about one hour a week.

It is better to take the test of HSK.

Term-end test:60%

Presentation:40%

LANe200LA

**中国語コミュニケーション初級Ⅱ** 2017 年度以降入学者

周 重雷

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

定員制（30 名）

その他属性：〈他〉〈優〉

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

中国語の基礎的な文法事項の基礎を固めつつ、中国語のコミュニケーションに必要な知識を養成する。

**【到達目標】**

「読む、書く、聞く、話す」を全体的にスキルアップを図る。  
日常の中国語のコミュニケーションが取れるようにする。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された  
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針  
に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

履修者のレベルに合わせ、文法を復習しつつ、会話の練習を強化していく。

課題などのフィードバックは授業時間に、もしくはメールにて行う。

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**

なし / No

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	持続態と進行形 作文	持続態と進行形を確認したのち、 「私の夏休み」を作成する
第 2 回	程度補語 作文の添削	程度補語を確認したのち、作文の 添削をする
第 3 回	比較と連動	比較文と連動文
第 4 回	構文分析	構文分析と助動詞の補説
第 5 回	強調と重複 会話（1）	強調文と重複表現 待ち合わせの会話を作る
第 6 回	方向補語 授業内発表（1）	方向補語の用法 待ち合わせの会話の発表
第 7 回	複合方向補語の用法	複合方向補語の派生的用法
第 8 回	結果補語	結果補語の説明
第 9 回	可能補語 会話（2）	可能補語の説明 道を尋ねる・教える会話の作成
第 10 回	使役と受身 授業内発表（2）	使役と受身の確認と比較 道を尋ねる・教える会話の発表
第 11 回	処置と倒置	処置文と倒置文
第 12 回	複文一	複文の様々を知る
第 13 回	複文二	複文の後半
第 14 回	まとめ	口頭による試験を行う まとめと 解説

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

毎週 1 時間を目途に予習・復習する。  
単語を調べて、オリジナルの長文及び会話文を作る。  
また、HSK や中国語検定の受験も推奨される。

**【テキスト（教科書）】**

教員による教材配布

**【参考書】**

日中・中日辞書（電子機器も可）

**【成績評価の方法と基準】**

期末テスト：60 %

発表：40 %

term-end test:60%

presentation:40%

**【学生の意見等からの気づき】**

基本は対面授業ですが、基礎疾患や遠隔地などの理由で参加できない人には講義をオンデマンド配信した上、SNS 等を使って個別指導を行います。

**【学生が準備すべき機器他】**

スマートフォンは必須

**【その他の重要事項】**

特になし。

**【Outline (in English)】**

This is the Chinese conversation course for intermediate learners. The aim of this course is to master intermediate level conversation skill. We will study basic vocabulary and grammar, and improve Chinese speaking skill.

We should do the exercise of reading, writing, listening and talking.

We should talk the chinese daily conversation well.

We should prepare and review about one hour a week.

It is better to take the test of HSK.

Term-end test:60%

presentation:40%

LANe200LA

## 中国語作文初級 I

2017 年度以降入学者

## 康 鴻音

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

定員制（15 名）

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義は初級で学んだ中国語の基礎を固め、読解力や翻訳力の向上を図ります。そして正しい声調で、自然なリズムで発音できるようにも指導します。

## 【到達目標】

中国語の基礎文法を一通り学ぶことによって一応の文章も読解でき、翻訳ができる段階まで力を付けることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

プリントを事前に配り、予習してもらいます。授業中にチェックします。必要に応じて授業後の指導もできます。

社会情勢に合わせてオンライン授業（リアルタイム）を実施する場合もあります。その時、「学習支援システム」でお知らせします。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行います。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	オリエンテーション	レベルチェック
2 回	数字の使い方（一）	例文解説
3 回	数詞の使い方（二）	翻訳の練習
4 回	「是」の使い方（一）	例文解説
5 回	「是」の使い方（二）、 一日の行動	翻訳の練習
6 回	連体修飾語+的+被修飾語	例文解説、翻訳の練習
7 回	「有」構文、「在」構文	例文解説、翻訳の練習
8 回	疑問詞の使い方	例文解説、翻訳の練習
9 回	介詞の使い方	例文解説、翻訳の練習
10 回	「比較」の表現	例文解説、翻訳の練習
11 回	程度補語の使い方	例文解説、翻訳の練習
12 回	アスペクト（一）	例文解説
13 回	アスペクト（二）	翻訳の練習
14 回	総復習	補足説明・期末試験

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず予習すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

授業にてプリント配布

## 【参考書】

辞書を必ず用意すること。

## 【成績評価の方法と基準】

授業への参加度、授業時の出来具合、宿題の完成度など（60 点）、試験（40 点）により総合評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

読解力と翻訳力を高めると共に発音も指導する方法を続けてやります。

## 【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を受講する場合、通信環境・PC の準備をしてください。

## 【その他の重要事項】

学生の様子によって、内容を調整する場合があります。

## 【Outline (in English)】

In this course, we will improve the writing skill of Chinese through reviewing the basic grammar.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(40%), in-class contribution(60%).



LANe200LA

## 中国語作文初級Ⅱ

2017 年度以降入学者

## 康 鴻音

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

定員制（15 名）

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義は初級で学んだ中国語の基礎を固め、読解力や翻訳力の向上を図ります。

## 【到達目標】

中国語の基礎文法を一通り学ぶことによって一応の文章も読解でき、翻訳できる段階まで力を付けることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

まず中国語作文の基礎を理解してもらい、基本的な文法事項や重要な文型について詳しく説明します。それを基に、単文を中心とした練習問題を解くことによって基礎的な作文能力を高めていきます。必要に応じて授業後の指導もできます。

社会情勢に合わせてオンライン授業（リアルタイム）を実施する場合があります。その時、「学習支援システム」でお知らせします。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行います。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	能願動詞の使い方	例文解説、翻訳の練習
2 回	方向補語	例文解説、翻訳の練習
3 回	結果補語	例文解説、翻訳の練習
4 回	可能補語	例文解説、翻訳の練習
5 回	兼語文	例文解説、翻訳の練習
6 回	受身文	例文解説、翻訳の練習
7 回	「是……的」構文	例文解説、翻訳の練習
8 回	存現文	例文解説、翻訳の練習
9 回	介詞の使い方	例文解説、翻訳の練習
10 回	「比較」の表現	例文解説、翻訳の練習
11 回	「把」構文	例文解説、翻訳の練習
12 回	動量補語・時量補語	例文解説、翻訳の練習
13 回	複文・「了」の使い方	例文解説、翻訳の練習
14 回	総復習	補足説明・期末試験

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず予習すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

プリント添付

## 【参考書】

辞書を必ず用意すること。

## 【成績評価の方法と基準】

対面授業の場合には期末試験を実施し、40 %にし、ふだんの成績は 60 %にします。オンラインの場合には、毎回の課題の出来具合によって評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

読解力と翻訳力を高めると共に発音も指導する方法を続けてやります。

## 【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を受講する場合、通信環境・PC の準備をしてください。

## 【その他の重要事項】

学生の様子によって内容を調整することがあります。

## 【Outline (in English)】

In this course, we will improve the writing skill of Chinese through reviewing the basic grammar.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(40%), in-class contribution(60%).

LANe200LA

## 中国語視聴覚初級 I

2017 年度以降入学者

## 劉 湯水

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 2/Thu.2

単位数：1 単位

定員制（35 名）

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国の様子を紹介する映像を見ながら、会話文や読解文を学習します。聞き取り・書き取り練習を通して、リスニング力を鍛えることを目的とします。同時に、中国文化への理解も深めます。

## 【到達目標】

1 年生で学んだ基礎的な中国語運用能力を伸ばし、とくに中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させることが目標です。中検3級を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

単語を習得し、文法を理解する。

DVD 教材を観ながら、聞き取り・書き取り練習を行う。

簡単な中国語作文・会話練習を行う。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。本授業はハイブリッド（オンラインと対面を併用）で行います。授業についての詳細は学習支援システムでお知らせします。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容に関するガイダンス
2	第1課	文法理解と応用
3	第1課	会話と応用
4	第1課	読解文の理解と応用
5	第2課	文法理解と応用
6	第2課	会話と応用
7	第2課	読解文の理解と応用
8	第3課	文法理解と応用
9	第3課	会話と応用
10	第3課	読解文の理解と応用
11	第4課	文法理解と応用
12	第4課	会話と応用
13	第4課	読解文の理解と応用
14	授業の総まとめと試験	試験・まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業前に単語の意味を調べる。教材の予習復習をする。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

洪潔清著『チャイニーズアドベンチャー～DVD で学ぶ中国文化～』金星堂

## 【参考書】

授業中に指示。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（授業態度、小テスト）30%、試験 70%。

## 【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

## 【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を受講するための通信環境、PC 等を準備して下さい。

## 【その他の重要事項】

授業形態は大学の方針に従い変更する場合があります。

## 【Outline (in English)】

In this course, we will use the basic audio-visual materials and improve the listening skill of Chinese.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following

Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANe200LA

## 中国語視聴覚初級Ⅱ

2017 年度以降入学者

劉 湯水

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 2/Thu.2

単位数：1 単位

定員制（35 名）

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国の様子を紹介する映像を見ながら、会話文や読解文を学習します。聞き取り・書き取り練習を通して、リスニング力を鍛えることを目的とします。同時に、中国文化への理解も深めます。

## 【到達目標】

1 年生で学んだ基礎的な中国語運用能力を伸ばし、とくに中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させることが目標です。中検3級を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

単語を習得し、文法を理解する。

DVD 教材を観ながら、聞き取り・書き取り練習を行う。

簡単な中国語作文・会話練習を行う。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス復習	授業内容に関するガイダンスと復習
2	第5課	文法理解と応用
3	第5課	会話と応用
4	第5課	読解文の理解と応用
5	第6課	文法理解と応用
6	第6課	会話と応用
7	第6課	読解文の理解と応用
8	第7課	文法理解と応用
9	第7課	会話と応用
10	第7課	読解文の理解と応用
11	第8課	文法理解と応用
12	第8課	会話と応用
13	第8課	読解文の理解と応用
14	授業の総まとめと試験	試験・まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業前に単語の意味を調べる。教材の予習復習をする。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

洪潔清著『チャイニーズアドベンチャー～DVD で学ぶ中国文化～』金星堂

## 【参考書】

授業中に指示。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（授業態度、小テスト）30%、試験70%。

## 【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

## 【その他の重要事項】

授業形態は大学の方針に従い変更する場合があります。

## 【Outline (in English)】

In this course, we will use the basic audio-visual materials and improve the listening skill of Chinese.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANe200LA

## 資格中国語初級 I

2017 年度以降入学者

青木 正子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

定員制 (40 名)

その他属性：〈他〉〈優〉

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

HSK (☑☑水平考☑) 1 級～3 級合格レベルの中国語を身につけることが、この授業の目的です。春学期中に 2 級、秋学期中に 3 級に合格できるよう指導します。

ただ、HSK のリスニングは難しいので、中国検定準 4 級程度からトレーニングを始めていきます。

向上心のある学生の参加を歓迎します。単位のためだけの履修は向きません。

中国語を 1 年以上履修していることが望ましいです。

中国語が好きな人が集まりますので、情報交換もできて、いつも楽しいクラスです。

## 【到達目標】

春学期は HSK 2 級に合格できるリスニング力と読解力を身につけてもらいます。

秋学期は HSK3 - 4 級合格を目指します。

毎年多くの学生が合格しており、不合格者は今まで 1 人もいません。

この授業には中国語が好きな学生が集まってきます。中華圏のアイドルの話で盛り上がることもあります。

リラックスした雰囲気の中、マイペースで学習してもらえるように工夫していきます。

ただストレスのない雰囲気なので、非常にストイックな人は向かないかもしれません。初回の授業に出てから履修を決めてください。

そのほか、1 年生のとき使用した教科書ポイント学習を復習しながら、初級中国語の基礎文法のしくみを解説します。みなさんの中国語が変わってくると思います。楽しみにしてください。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

HSK の過去問プリントを使って学習します。必要な単語と文法を学び、実際の過去問を解いて実践力を養います。

単語帳のテキストを使って、単語テストを行い、語彙力を高めてもらいます。

また、ポイント学習の教科書を使って初級中国語の文法の構造を把握し理解してもらいます。

フィードバックは授業内に行います。

緊急時はメールで対応します。

qingm@live.jp

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	レベルチェックテスト	メンバーのレベルをチェックします。
2	HSK 1 級単語	HSK 1 級単語を学びます。リスニング練習をします。
3	HSK 1 級単語復習	HSK 1 級単語リスニングテスト
4	HSK 1 級単語	HSK 1 級単語を学びます。リスニング練習をします。
5	HSK 1 級単語復習	HSK 1 級単語リスニングテスト
6	HSK 1 級過去問	HSK 1 級過去問を解きます。

7	HSK 1 級過去問	HSK 1 級過去問を解きます。
8	HSK 2 級単語	HSK 2 級単語を学びます。
9	HSK 2 級単語	HSK 2 級単語リスニングテスト。
10	HSK 2 級	HSK 2 級単語を学びます。
11	HSK 2 級単語	HSK 2 級単語リスニングテスト
12	HSK 2 級単語	HSK2 級単語を学びます
13	HSK 2 級単語	HSK 2 級単語リスニングテスト
14	春学期復習	復習テスト

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

良く復習すること。覚えた単語は忘れないようにすること。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト (教科書)】

過去問はプリントを配布します。

また以下のテキストを使用します。大学生協を通じて購入すると割引価格で購入できます。かなり安くなるので、生協からの購入をおすすめします。

初回授業では使用しません。履修を決めてから購入してください。

HSK/中検対応

『中国語基本単語帳』 早稲田大学商学部中国語教室 (編著) 朝日出版社

そのほか、ポイント学習中国語を毎回持参してください。

## 【参考書】

HSK 過去問、HSK 公式アプリ単語

## 【成績評価の方法と基準】

授業内テストの合計点で評価します。

積極的な学生には大いに加点します。

## 【学生の意見等からの気づき】

単語帳テキストを使って、単語テストを実施し、語彙力を高めます。

同時にリスニングのトレーニングを多く行います。

文法がもっとわかるようになりたいという要望が多いので、ポイント学習中国語を使って解説します。文法の基礎や構造を理解していただけるように工夫します。

## 【Outline (in English)】

The aim of this course is to pass 1st~2nd grade of HSK (Hanyu Shuiping Kaoshi) test. To achieve this aim, we will review the basic Chinese grammar and vocabulary, and do past HSK questions.

One hour is required for each lesson for preparation and review of this class.

The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANe200LA

## 資格中国語初級Ⅱ

2017 年度以降入学者

青木 正子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

定員制（40 名）

その他属性：〈他〉〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

HSK 3 級合格レベルの中国語を身につけることが目的です。この授業は春学期から継続しています。秋学期からの参加も歓迎しますが、春学期のシラバスを読んで、初回の授業に出てから履修を決めてください。

中国語が好きな、意欲的な学生の参加を歓迎します。

いつも楽しいクラスです。

全員が 3 級合格レベルに達しました。昨年度は 4 級に 3 名も合格しました。

## 【到達目標】

HSK 3 - 4 級合格以上を目指します。

毎年多くの人が合格しています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

プリント教材を使って、HSK 3 級の単語と文法を学びます。リスニング練習を重視します。そのほか単語帳とポイント学習中国語の教科書で初級文法の構造を解説します。

フィードバックは授業内に行います。

緊急時はメールで対応します。

qingm@live.jp

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	HSK 3 級過去問	HSK 3 級過去問を中心に
2	HSK 3 級過去問	HSK 3 級過去問
3	HSK 3 級過去問	HSK 3 級過去問
4	HSK 3 級過去問	HSK 3 級過去問
5	HSK 3 級過去問	HSK 3 級過去問
6	HSK 3 級過去問	HSK 3 級過去問
7	HSK 3 級過去問	HSK 3 級過去問
8	HSK 3 級過去問	HSK 3 級過去問
9	HSK 3 級過去問	HSK 3 級過去問
10	HSK 3 級過去問	HSK 3 級過去問
11	HSK 3 級過去問	HSK 3 級過去問
12	HSK 3 級過去問	HSK 3 級過去問
13	HSK 3 級過去問	HSK 3 級過去問
14	授業の総まとめと期末テスト	期末テスト

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で学んだことを忘れないように、よく復習すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

プリント教材を配布します。

プリント以外に、以下の単語帳テキストを使用します。

大学生協から購入すると大きな割引があるので、大学生協からの購入をおすすめします。

『中国語基本単語帳』 早稲田大学商学部中国語教室（編著）朝日出版社

そのほか毎回ポイント学習中国語を持参してください。

## 【参考書】

HSK3 級過去問、単語集

## 【成績評価の方法と基準】

期末テストで評価します。

HSK 3 級以上合格者は S ランクで評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

今年度から単語帳テキストを使用します。

またリスニング教材をより一層充実させ、総合的な力がつくように工夫します。

## 【Outline (in English)】

The aim of this course is to pass 1st~2nd grade of HSK (Hanyu Shuiping Kaoshi) test. To achieve this aim, we will review the basic Chinese grammar and vocabulary, and do past HSK questions.

One hour is required for each lesson for preparation and review of this class.

The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

ARSe200LA

## 中国の文化と社会 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

## 山本 律

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 2/Thu.2

単位数：2 単位

定員制 (60 名)

その他属性：〈他〉〈優〉

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

近年、台湾は日本人の旅行先として人気となっています。  
日本と台湾は長い歴史の中で深いかわりを持っています。  
本授業では映像資料を用いて日本と台湾の文化的関係についてみていきます。

## 【到達目標】

日本と台湾との文化的関係についての理解を深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された  
どの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針  
に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

講義形式で授業を行います。  
毎回コメントペーパーを出してもらいます。  
最終回には教場レポートを提出してもらいます。  
課題等のフィードバックは授業時間またはメールで行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】  
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】  
なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	授業の進め方について
第 2 回	映画で学ぶ中国の文化 と社会 1	映画『あの頃、君を追いかけた』 (第 1 回)
第 3 回	映画で学ぶ中国の文化 と社会 1	映画『あの頃、君を追いかけた』 (第 2 回)
第 4 回	映画で学ぶ中国の文化 と社会 1	映画『あの頃、君を追いかけた』 (第 3 回)
第 5 回	映画で学ぶ中国の文化 と社会 2	映画『私の少女時代』(第 1 回)
第 6 回	映画で学ぶ中国の文化 と社会 2	映画『私の少女時代』(第 2 回)
第 7 回	映画で学ぶ中国の文化 と社会 2	映画『私の少女時代』(第 3 回)
第 8 回	映画で学ぶ中国の文化 と社会 3	映画『海角七号』(第 1 回)
第 9 回	映画で学ぶ中国の文化 と社会 3	映画『海角七号』(第 2 回)
第 10 回	映画で学ぶ中国の文化 と社会 3	映画『海角七号』(第 3 回)
第 11 回	映画で学ぶ中国の文化 と社会 4	映画『KANO』(第 1 回)
第 12 回	映画で学ぶ中国の文化 と社会 4	映画『KANO』(第 2 回)
第 13 回	映画で学ぶ中国の文化 と社会 4	映画『KANO』(第 3 回)
第 14 回	授業の総まとめとレ ポート	授業の総まとめと試験 ポート

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

特になし。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 4 時間を標準とします。

## 【テキスト (教科書)】

使用しない。  
必要に応じて資料を配布する。

## 【参考書】

特になし。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 (出席、授業態度、コメントペーパー) 60 %、レポート 40 %

## 【学生の意見等からの気づき】

特になし。

## 【Outline (in English)】

In this course, we will learn about Chinese culture and society by using various materials such as movies.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Report(40%), in-class contribution(60%).

ARSe200LA

## 中国の文化と社会 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

山本 律

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 2/Thu.2

単位数：2 単位

定員制（60 名）

その他属性：〈他〉〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国の文化と社会について、中国映画や中国の映像資料を用い学んでいきます。

映画は、その国の文化と社会を映し出します。

今期では、2008 年に公開されて以降、人気を博しシリーズ化されたカンフーアクション映画を軸として中国文化についてみていきます。

## 【到達目標】

中国の文化と社会についての理解を深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

毎回講義形式で行います。

毎回課題としてコメントペーパーを出してもらいます。

最終回にはレポートを提出してもらいます。

課題等のフィードバックは授業時間またはメールで行います。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	授業の進め方について
第 2 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 2	映画『イップマン 序章』(第 1 回)
第 3 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 2	映画『イップマン 序章』(第 2 回)
第 4 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 2	映画『イップマン 序章』(第 3 回)
第 5 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 2	映画『イップマン 葉問』(第 1 回)
第 6 回	レポート映画で学ぶ中国の文化と社会 2	映画『イップマン 葉問』(第 2 回)
第 7 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 2	映画『イップマン 葉問』(第 3 回)
第 8 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 3	映画『イップマン 継承』(第 1 回)
第 9 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 3	映画『イップマン 継承』(第 2 回)
第 10 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 3	映画『イップマン 継承』(第 3 回)
第 11 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 4	映画『イップマン 外伝』(第 1 回)
第 12 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 4	映画『イップマン 外伝』(第 2 回)
第 13 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 4	映画『イップマン 外伝』(第 3 回)
第 14 回	授業の総まとめと試験	授業の総まとめと試験

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

特になし。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 4 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

使用しない。

必要に応じて資料を配布する。

## 【参考書】

特になし。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（課題提出）60 %、レポート 40 %

## 【学生の意見等からの気づき】

特になし。

## 【Outline (in English)】

In this course, we will learn about Chinese society and culture by using various materials such as movies.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Report(40%), in-class contribution(60%).

LANs200LA

## スペイン語 3 I

2017 年度以降入学者

若林 大我

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土 2/Sat.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、1 年次の学習内容を踏まえ、中級のスペイン語文法を学んでいく。

## 【到達目標】

履修生は今学期終了時までには、スペイン語の直説法点過去形、線過去形、および過去完了形の文を理解し、また作文できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

受講生各自による復習と予習を踏まえ、所定のテキストに基づいて、毎週の講義で少しずつスペイン語の文法構造を学んでいく。講義のあと、学んだことの確認、および会話の練習のため、口頭での質疑応答も行なう。授業はできる限りゆっくり、かつ丁寧に進行するよう心がけるが、効果的な学習のためには各自の予習と復習、特に後者が必須である。このため学期の途中で一度、理解度の確認のための中間テストを行う。ただし初回の授業は予習の必要はない。受講にあたっては、下記のテキストの他、西和辞典も持参すること。課題が出題された場合は、学習支援システムを通じて提出するものとする。課題に対するフィードバックも、学習支援システムを通じて行う。

本授業は基本的に教室内での対面形式で実施するが、キャンパスの混雑を避けるため、初回授業に限り Zoom を通じたりアルタイムでのオンライン形式とする。Zoom の URL は学期開始前に学習支援システム上で公開するので、必ず確認すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 直説法現在規則動詞 動詞 ser、estar、tener、ir、hacer、salir	授業の形態、進め方、評価方法の説明 直説法現在規則活用、及び動詞 ser、estar、tener、ir、hacer、salir の活用と用法復習 (テキスト：第 1 課)
2	語幹母音変化動詞 再帰動詞	直説法現在の語幹母音変化動詞、及び再帰動詞の復習 (テキスト：第 1 課)
3	動詞 conocer、saber、ver、poner、venir、oír 不定詞表現	動詞 conocer、saber、ver、poner、venir、oír の活用と用法、及び不定詞表現の復習 (テキスト：第 1 課)
4	現在分詞 現在分詞の用法 関係詞 que、donde	現在分詞、及び関係詞 que と donde の復習 (テキスト：第 2 課)
5	目的格人称代名詞	目的格人称代名詞の復習 (テキスト：第 3 課)
6	動詞 gustar gustar 型動詞	gustar 型動詞の復習 (テキスト：第 3 課)
7	中間試験 所有形容詞	中間試験 所有形容詞の復習 (テキスト：第 3 課)

8	比較級 最上級	比較表現の復習 (テキスト：第 4 課)
9	直説法点過去	直説法点過去（規則活用及び不規則活用）の復習 (テキスト：第 4 課)
10	直説法線過去 点過去と線過去	直説法線過去の復習 点過去と線過去の使い分け復習 (テキスト：第 4 課)
11	過去分詞 過去分詞の用法	過去分詞の復習 (テキスト：第 5 課)
12	直説法現在完了 直説法過去完了	直説法現在完了及び直説法過去完了の復習 (テキスト：第 5 課)
13	感嘆文 春学期の復習	感嘆文 (テキスト：第 5 課) 期末試験に備えた春学期の学習内容の振り返り
14	授業内期末試験	試験・まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学学習の性質上、自宅での予習や復習が必要となる。特に授業で言及した単語については、辞書を用いて各自反復学習すること。また時間の都合上、授業中に教科書内の全ての練習問題に取り組むことはできない。このため、授業の進行に合わせて各自が自主的に問題に取り組む、理解度を把握することが必須となる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

## 【テキスト（教科書）】

エウヘニオ・デル・ブラド、齋藤華子、仲道慎治『イメージ・スペイン語 2 (Español en imágenes 2)』（朝日出版）、2,500 円+税

## 【参考書】

外国語学習にあたっては、辞書が不可欠の要素である。本授業では特定の西和辞典の購入を義務付けないが、単語の正確な理解のためには『西和中辞典』（小学館）をお勧めする。真剣にスペイン語を身に付けたい受講生は、和西辞典も併用すると効果的である。また単語をスピーディに検索するには電子辞書も有用である。上記以外の西和辞典は、下記のウェブサイトでも探すことができる。  
<http://gaikoku.info/spanish/dictionary.htm>

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 30 %、中間テスト 30 %、期末テスト 40 %として総合的に評価する。

## 【学生の意見等からの気づき】

履修生諸君の理解度に合わせ、上記の授業計画は多少変更される可能性がある。

## 【Outline (in English)】

This course deals with the intermediate grammar of Spanish. By the end of the course, students should be able to understand and make Spanish sentences that include the following grammatical features:

- Indefinite past tense
- Preterite past tense
- Past perfect tense

Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours in total to understand the course content. Final grade will be calculated according to the following process:

- In-class contribution (30%)
- Mid-term exam (30%)
- Term-end exam (40%)



LANs200LA

スペイン語 3 II

2017 年度以降入学者

若林 大我

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土 2/Sat.2

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、1 年次の学習内容を踏まえ、中級のスペイン語文法を学んでいく。

【到達目標】

履修生は今学期終了時まで、スペイン語の接続法現在形の文及び命令文を理解し、また作文できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

受講生各自による復習と予習を踏まえ、所定のテキストに基づいて、毎週の講義で少しずつスペイン語の文法構造を学んでいく。講義のあと、学んだことの確認、および会話の練習のため、口頭での質疑応答も行なう。授業はできる限りゆっくり、かつ丁寧に進行するよう心がけるが、効果的な学習のためには各自の予習と復習、特に後者が必須である。このため学期の途中で一度、理解度の確認のための中間テストを行う。ただし初回の授業は予習の必要はない。受講にあたっては、下記のテキストの他、西和辞典も持参すること。課題が出題された場合は、学習支援システムを通じて提出するものとする。課題に対するフィードバックも、学習支援システムを通じて行う。

本授業は基本的に教室内での対面形式で実施するが、キャンパスの混雑を避けるため、初回授業に限り Zoom を通じたりアルタイムでのオンライン形式とする。Zoom の URL は学期開始前に学習支援システム上で公開するので、必ず確認すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 直説法未来	授業の形態、進め方、評価方法の説明 直説法未来の活用と用法 (テキスト: 第 6 課)
2	直説法過去未来	直説法過去未来の活用と用法 (テキスト: 第 6 課)
3	接続法現在規則動詞	接続法現在の概念 接続法現在規則活用 (テキスト: 第 7 課)
4	接続法現在不規則動詞	接続法現在不規則活用 (テキスト: 第 7 課)
5	接続法現在の名詞節における用法	名詞節での接続法現在の使い方 (テキスト: 第 7 課、第 8 課)
6	関係節における接続法	関係節（形容詞節）での接続法現在の使い方 (テキスト: 第 9 課)
7	中間試験 副詞節における接続法	中間試験 副詞節での接続法現在の使い方 (テキスト: 第 9 課)
8	独立文における接続法	独立文での接続法現在の使い方 (テキスト: 第 8 課)
9	不定語・否定語	主な不定語と否定語の種類と用法 (テキスト: 第 8 課)

10	2 人称に対する命令形	2 人称単数または複数に対する命令文の作り方 (テキスト: 第 6 課)
11	2 人称以外に対する命令形 命令表現での代名詞の位置	2 人称以外に対する命令文の作り方 命令文における目的格代名詞・再帰代名詞の位置 (テキスト: 第 6 課、第 11 課)
12	命令形の練習	命令形を用いた会話練習 (テキスト: 第 11 課)
13	数（1 から 1 千万） 秋学期の復習	1 から 1 千万までの数詞 (テキスト: 第 12 課) 期末試験に備えた秋学期の学習内容の振り返り
14	授業内期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学学習の性質上、自宅での予習や復習が必要となる。特に授業で言及した単語については、辞書を用いて各自反復学習すること。また時間の都合上、授業中に教科書内の全ての練習問題に取り組むことはできない。このため、授業の進行に合わせて各自が自主的に問題に取り組む、理解度を把握することが必須となる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

エウヘニオ・デル・ブラド、齋藤華子、仲道慎治『イメージ・スペイン語 2 (Español en imágenes 2)』（朝日出版）、2,500 円+税

【参考書】

外国語学習にあたっては、辞書が不可欠の要素である。本授業では特定の西和辞典の購入を義務付けないが、単語の正確な理解のためには『西和中辞典』（小学館）をお勧めする。真剣にスペイン語を身に付けたい受講生は、和西辞典も併用すると効果的である。また単語をスピーディに検索するには電子辞書も有用である。上記以外の西和辞典は、下記のウェブサイトでも探すことができる。  
<http://gaikoku.info/spanish/dictionary.htm>

【成績評価の方法と基準】

平常点 30 %、中間テスト 30 %、期末テスト 40 %として総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

履修生諸君の理解度に合わせ、上記の授業計画は多少変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

This course deals with the intermediate grammar of Spanish. By the end of the course, students should be able to understand and make Spanish sentences that include the following grammatical features:

- Present tense of the subjunctive mood
- Imperative mood

Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours in total to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process:

- In-class contribution (30%)
- Mid-term exam (30%)
- Term-end exam (40%)

LANs200LA

## スペイン語 3 I

2017 年度以降入学者

杉下 由紀子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 1/Thu.1

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語のコミュニケーション能力を高める

## 【到達目標】

基礎文法を習得し語彙を強化して、読む・書く・聴く・話す力を高める。スペイン語圏の世界遺産を通じて、地理・自然・歴史・宗教・文化等に関する知識を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

すべて対面で行う。対面が不可になった場合は Zoom によるリアルタイム双方向式で行う。教員が文法事項を説明し、履修生は、音声を聴いて発音練習、テキスト記載のスペイン語文の和訳、練習問題、グループで会話を行う。時々、テーマに関連した映像資料を鑑賞する。グループアクティビティや試験返却時に講評・解説をする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	自己紹介とオリエンテーション	スペイン語で自己紹介、授業の進め方や学習方法の説明、既修文法の確認
2	グラナダ（文法と読解）	ser, estar, hay、直説法現在、指示形容詞・指示代名詞
3	セビーリャ（文法と練習）	再帰動詞、目的格人称代名詞
4	セビーリャ（読解と応用）	スペインのイスラム文化
5	ハバナ（文法と練習）	現在分詞、所有形容詞
6	ハバナ（読解と応用）	大航海時代
7	中間試験、ふりかえり	春学期前半の学習事項に関する試験とふりかえり
8	ティオティワカン（文法と練習）	過去分詞、受動態、点過去
9	ティオティワカン（読解と応用）	多民族都市
10	ティカル（文法と練習）	線過去、時間の経過 hace、比較級・最上級
11	ティカル（読解と応用）	マヤ文明
12	マチュピチュ（文法と練習）	現在完了、過去完了、不定語・否定語、無人称表現
13	マチュピチュ（読解と応用）	インカ文明
14	期末試験、ふりかえり	春学期後半の学習事項に関する試験とふりかえり

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストに出てくる不明な単語や熟語は必ずあらかじめ辞書で調べ、スペイン語文の和訳と練習問題も自分で解いて授業に臨むこと。舞台となっている地域の場所は地図で確認し、その歴史や特徴なども調べて積極的な姿勢で取り組んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

禪野美帆／井上幸孝／ナカガワ・マルガリータ／平田和重『初級～中級スペイン語 世界遺産を訪ねて 改訂版』朝日出版社、2014 年

## 【参考書】

1 年次のスペイン語 1、2 で使用していた教科書  
小林一宏・清水憲男ほか『詳解スペイン語』上智大学出版会  
西川喬『わかるスペイン語文法』同学社  
その他、授業中に適宜紹介。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（50%）、中間試験（25%）、期末試験（25%）から総合的に評価。

## 【学生の意見等からの気づき】

受講者数が多いので、グループワークを取り入れ、学生が主体的に学び積極的に発言できるよう促したいと思います。

## 【学生が準備すべき機器他】

対面授業ができなくなった場合、パソコンと安定したインターネット環境が必要。

## 【その他の重要事項】

授業には辞書を必ず持参してください。

家で勉強する時は、紙媒体の辞書をお勧めします。西和辞典は白水社、三省堂、小学館、研究社など、和西辞典は白水社、三省堂などから出版されている中規模以上のものがよいと思います。

決して翻訳アプリに頼らないでください。

## 【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students improve the communication skill of Spanish.

The goals are to master basic Spanish grammar and improve reading, writing, listening and speaking skills and apprehend world heritage sites in Spanish-speaking countries.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process;

in class contribution 50%, mid-term examination 25%, term-end examination 25%.

LANs200LA

## スペイン語 3 II

2017 年度以降入学者

杉下 由紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 1/Thu.1

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語のコミュニケーション能力を高める

## 【到達目標】

基礎文法を習得し語彙を強化して、読む・書く・聴く・話す力を高める。スペイン語圏の世界遺産を通じて、地理・自然・歴史・宗教・文化等に関する知識を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

すべて対面で行う。対面が不可になった場合は Zoom によるリアルタイム双方向式で行う。教員が文法事項を説明し、履修生は、音声を聴いて発音練習、テキスト記載のスペイン語文の和訳、練習問題、グループで会話を行う。時々、テーマに関連した映像資料を鑑賞する。グループアクティビティや試験返却時に講評・解説をする。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	メキシコ市（文法と練習）	直説法未来、過去未来、関係詞
2	メキシコ市（読解と応用）	メキシコの歴史と文化
3	クスコ（文法と練習）	直説法未来完了、過去未来完了、間接話法
4	クスコ（読解と応用）	ペルーの歴史と文化
5	ポトシ（文法と練習）	接続法現在、知覚・使役
6	ポトシ（読解と応用）	ボリビアの歴史と文化
7	中間試験、ふりかえり	秋学期前半の学習事項に関する試験とふりかえり
8	サンティシマ・トリニダード・デパラナとヘスス・デ・タバランゲ（文法と練習）	命令文、再帰前置詞格人称代名詞
9	サンティシマ・トリニダード・デパラナとヘスス・デ・タバランゲ（読解と応用）	パラグアイの歴史と文化
10	ガラバゴス諸島（文法と練習）	接続法の用法
11	ガラバゴス諸島（読解と応用）	エクアドルの自然と文化
12	ラバ・ヌイ国立公園（文法と練習）	接続法過去、条件文
13	ラバ・ヌイ国立公園（読解と応用）	チリの自然と文化
14	期末試験、ふりかえり	秋学期後半の学習事項に関する試験とふりかえり

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストに出てくる不明な単語や熟語は必ずあらかじめ辞書で調べ、スペイン語文の和訳と練習問題も自分で解いて授業に臨むこと。舞台となっている地域の場所は地図で確認し、その歴史や特徴なども調べて積極的な姿勢で取り組んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

禪野美帆/井上幸孝/ナカガワ・マルガリータ/平田和重『初級～中級スペイン語 世界遺産を訪ねて 改訂版』朝日出版社、2014年

## 【参考書】

1年次のスペイン語1、2で使用していた教科書  
小林一宏・清水憲男ほか『詳解スペイン語』上智大学出版会  
西川喬『わかるスペイン語文法』同学社  
その他、授業中に適宜紹介。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（50%）、中間試験（25%）、期末試験（25%）から総合的に評価。

## 【学生の意見等からの気づき】

受講者数が多いので、グループワークを取り入れ、学生が主体的に学び積極的に発言できるよう促したいと思います。

## 【学生が準備すべき機器他】

対面授業ができなくなった場合、パソコンと安定したインターネット環境が必要。

## 【その他の重要事項】

授業には辞書を必ず持参してください。

家で勉強する時は、紙媒体の辞書をお勧めします。西和辞典は白水社、三省堂、小学館、研究社など、和西辞典は白水社、三省堂などから出版されている中規模以上のものがよいと思います。

決して翻訳アプリに頼らないでください。

## 【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students improve the communication skill of Spanish.

The goals are to master basic Spanish grammar and improve reading, writing, listening and speaking skills and apprehend world heritage sites in Spanish-speaking countries.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process;

in class contribution 50%, mid-term examination 25%, term-end examination 25%.

LANs200LA

## スペイン語 3 I

2017 年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。

## 【到達目標】

スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された  
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針  
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがある  
と思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足し  
てもらえるような方法をとりたい。

その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。

授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、  
状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども検討します。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	点過去形規則活用	ar 動詞 er/ir 動詞
2	点過去系不規則活用	不規則活用の種類
3	線過去形	線過去の用法
4	点過去・線過去の違い	考え方、使い方の整理
5	未来形	未来形活用・用法
6	過去未来形	過去未来形活用・用法
7	さまざまな時制の完了形	現在完了／過去完了／未来完了／過去未来完了
8	練習問題	1~7 まとめ
9	命令形	肯定文 (tu/vosotros)
10	疑問詞	用法、内容確認
11	関係詞	用法、内容確認
12	仮定法 si	用法、内容確認
13	テスト前確認・質疑応答	講義内容復習
14	試験・まとめと解説	試験の実施と、その解説を行い、今学期の学習内容のまとめを行う

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

各單元についてまとめたレジメを元に進めるため、指定の教科書は特になし

## 【参考書】

特になし。

## 【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点 35% で判定。

## 【学生の意見等からの気づき】

会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使用できる表現を、自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。  
また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

## 【Outline (in English)】

## 【Course Outline】

The aim of this course is to help students acquire basic-intermediate grammar of Spanish.

## 【Leaning Objectives】

Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill is required.

## 【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what you studied in classroom. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

## 【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 65%, and in-class contribution: 35%.

LANs200LA

スペイン語 3 II

2017 年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。  
スペイン語圏の文化に親しむこと。

【到達目標】

スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された  
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針  
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがある  
と思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足し  
てもらえるような方法をとりたい。

その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。

授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、  
状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども検討します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
対	接続法現在	考え方
面/face to face		
対	接続法現在規則活用	活用、用法
面/face to face		
対	接続法現在不規則活用	活用、用法
面/face to face		
対	接続法現在完了	活用、用法
面/face to face		
対	練習問題	授業内演習
面/face to face		
対	接続法過去	活用、用法
面/face to face		
対	接続法過去完了	活用、用法
面/face to face		
対	仮定法 si(2) 接続法使 用	用法、練習問題
面/face to face		
対	接続法文法 応用	実際の文章の中での使われ方
面/face to face		
対	練習問題（接続法過 去、仮定法ほか）	授業内演習
面/face to face		
対	文書読解（ニュースサ イト）	最新のニュースなど
面/face to face		

対 文書読解（SNS） SNS で見られるスペイン語の紹介

面/face

to face

対 テスト前、質疑応答 秋学期授業復習

面/face

to face

オンラ 試験・まとめと解説 試験の実施と、その解説を行い、  
イ ン 今学期の学習内容のまとめを行う  
/online

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合  
わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

各単元についてまとめたレジュメを元に進めるため、指定の教科書  
は特になし

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点 35% で判定。

【学生の意見等からの気づき】

会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使用できる表現を、  
自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。  
また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The aim of this course is to help students acquire basic-  
intermediate grammar of Spanish.

【Leaning Objectives】

Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill  
is required.

【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what  
you studied in classroom. Your required study time is at least  
one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on  
the following. Term-end examination: 65%, and in-class  
contribution: 35%.

LANs200LA

## スペイン語 3 I

2017 年度以降入学者

コルメナ ロメロ ロベルト

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

同講義の目的は、会話を通じてスペイン語圏の人々と簡単な意思の伝達ができる様に学んでいくと同時に、前年度から更に進んだ複雑な文章の構成、ヒアリングのレベルアップを図ります。

## 【到達目標】

この授業では、前年度に学んだポイントの復習も兼ねて、一段階上のレベルの表現が出来る様に教科書に従ってダイアログ・単語を学びながら文化についても習得していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解説し、実際に会話を行います。提出や課題等に対するフィードバック方法は Hoppii で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	新年度	自己紹介する、クラスメートについて知る。
2 回	昨年度	スペイン語を学習への興味、目的、学習方法について話す。
3 回	私の家族。	家族や友達のような人間関係について話す。
4 回	私の友人。	ある人が昔どのような人だったか記述する。
5 回	私の町。	大学生活と以前の生活に比べて、その違いについて話す。 過去の習慣について話す。
6 回	私の地区	ある場所の位置とそこへの行き方について、質問する、尋ねる。
7 回	ライティング中間テストと復習	ライティング中間テストと復習
8 回	休みの時	過去に行った事柄について話す、質問する。
9 回	休みの過ごし方	過去の記述をする、原因や結果について表現する。
10 回	前の旅行。	過去の旅行について、質問をする、話す。
11 回	昔の旅行。	旅行した時の色々な状況について話す、場所について記述する。 旅行に関して人に何かを進める。
12 回	食物	食習慣について話す。 近い過去の経験や行為について質問する、話す。
13 回	飲み物	料理の材料について話すそして人に勧める。
14 回	復習と口頭試験	復習と口頭試験

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。
- ・単語の意味調べを行い、授業に出る。
- ・授業中に出る宿題を必ず行うこと。

- ・毎回学んだことを確実に復習しておくこと。
  - ・努めて語彙を増やしていくこと。
  - ・スペイン語圏のニュースに注意している。
- 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

いいね！ スペイン語 2 朝日出版

## 【参考書】

なし

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 15 %・授業参加 15%、ライティング中間テスト 30 %+課題と学期口頭末試験 40 %で総合評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

## 【学生が準備すべき機器他】

西和和西辞典

## 【Outline (in English)】

The objective of this class is to communicate simple intentions to Spanish-speaking people. And, at the same time, try to improve the composition of more complicated sentences and improve the level of listening comprehension of the previous course.

In this class, you will also review the points you learned in the previous year and learn about culture while learning dialogue and words according to the textbook so that you can express at a higher level.

After explaining the intention of the conversation at the beginning of the lesson, we will decipher the grammar and context and then have a conversation. We will use Hoppii to provide feedback on submissions and assignments.

Be sure to review what you learned in the first year. Look up the meaning of the words and go to class. Be sure to do your homework. Make sure you review what you have learned each class. Strive to increase your vocabulary. Watch out for Spanish-speaking news. In total one hour of the standard preparatory study / review time for this class is preferably required.

Grading will be decided based on the following: Comprehensive evaluation with 15% of normal points, 15% of class participation, 30% of writing mid-term exams + assignments and 40% of oral final exams.

LANs200LA

**スペイン語 3 II**

2017 年度以降入学者

コルメナ ロメロ ロベルト

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1 単位

その他属性：

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

同講義の目的は、会話を通じてスペイン語圏の人々と簡単な意思の伝達ができる様に学んでいくと同時に、前年度から更に進んだ複雑な文章の構成、ヒアリングのレベルアップを図ります。

**【到達目標】**

この授業では、前年度に学んだポイントの復習も兼ねて、一段階上のレベルの表現が出来る様に教科書に従ってダイアログ・単語を学びながら文化についても習得していきます。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解説し、実際に会話を行います。提出や課題等に対するフィードバック方法は Hoppii で行います。

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**  
あり / Yes

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**  
なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	大学を卒業後、仕事を始めるでしょう。	将来何をしたいか、どうなりたいかについて話す。
2 回	大学を卒業後、新生活を始めるでしょう。	仕事についての意見交換する。
3 回	家に来ませんか。	希望を述べる、相手にアドバイスをする。
4 回	パーティーに来ませんか。	パーティーで会話する。社会の出来事や社会生活について質問する、話す。
5 回	海外留学	希望や好みを述べる、意見を言う、人に何かを進める。
6 回	海外旅行	ある国でやるべきではないことや、その国の習慣について、質問する、話す。
7 回	ライティング中間テストと復習	ライティング中間テストと復習
8 回	スペインの社会変化。	重要な社会の変化や問題点について質問する、答える。
9 回	イスパノアメリカの社会変化。	解決方法を提案する。
10 回	スポーツ	様々な種類のスポーツやスポーツ選手について、質問する、答える。
11 回	スポーツ選手	過去の出来事や行為について感情を示す評価判断を表現する。現在あるいは未来で、可能性の低いあるいは全くない条件を使って話す。
12 回	学年が終わる。	学期中に行ったところについて、質問する、話す。
13 回	大学が終わる。	クラスメートに別れの挨拶のメッセージを書く。
14 回	復習と口頭試験	復習と口頭試験

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。

- ・単語の意味調べを行い、授業に出る。
  - ・授業中に出る宿題を必ず行うこと。
  - ・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。
  - ・努めて語彙を増やしていくこと。
  - ・スペイン語圏のニュースに注意している。
- 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

**【テキスト（教科書）】**

いいね！ スペイン語 2  
朝日出版

**【参考書】**

なし

**【成績評価の方法と基準】**

平常点 15 %・授業参加 15%、ライティング中間テスト 30 %+課題と学期口頭末試験 40 %で総合評価します。

**【学生の意見等からの気づき】**

なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

**【学生が準備すべき機器他】**

西和和西辞典

**【Outline (in English)】**

The objective of this class is to communicate simple intentions to Spanish-speaking people. And, at the same time, try to improve the composition of more complicated sentences and improve the level of listening comprehension of the previous course.

In this class, you will also review the points you learned in the previous year and learn about culture while learning dialogue and words according to the textbook so that you can express at a higher level.

After explaining the intention of the conversation at the beginning of the lesson, we will decipher the grammar and context and then have a conversation. We will use Hoppii to provide feedback on submissions and assignments.

Be sure to review what you learned in the first year. Look up the meaning of the words and go to class. Be sure to do your homework. Make sure you review what you have learned each class. Strive to increase your vocabulary. Watch out for Spanish-speaking news. In total one hour of the standard preparatory study / review time for this class is preferably required.

Grading will be decided based on the following: Comprehensive evaluation with 15% of normal points, 15% of class participation, 30% of writing mid-term exams + assignments and 40% of oral final exams.

LANs200LA

## スペイン語 3 I

2017 年度以降入学者

コルメナ ロメロ ロベルト

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

同講義の目的は、会話を通じてスペイン語圏の人々と簡単な意思の伝達ができる様に学んでいくと同時に、前年度から更に進んだ複雑な文章の構成、ヒアリングのレベルアップを図ります。

## 【到達目標】

この授業では、前年度に学んだポイントの復習も兼ねて、一段階上のレベルの表現が出来る様に教科書に従ってダイアログ・単語を学びながら文化についても習得していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解説し、実際に会話を行います。提出や課題等に対するフィードバック方法は Hoppii で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	新年度	自己紹介する、クラスメートについて知る。
2 回	昨年度	スペイン語を学習への興味、目的、学習方法について話す。
3 回	私の家族。	家族や友達のような人間関係について話す。
4 回	私の友人。	ある人が昔どのような人だったか記述する。
5 回	私の町。	大学生活と以前の生活に比べて、その違いについて話す。 過去の習慣について話す。
6 回	私の地区	ある場所の位置とそこへの行き方について、質問する、尋ねる。
7 回	ライティング中間テストと復習	ライティング中間テストと復習
8 回	休みの時	過去に行った事柄について話す、質問する。
9 回	休みの過ごし方	過去の記述をする、原因や結果について表現する。
10 回	前の旅行。	過去の旅行について、質問をする、話す。
11 回	昔の旅行。	旅行した時の色々な状況について話す、場所について記述する。 旅行に関して人に何かを進める。
12 回	食物	食習慣について話す。 近い過去の経験や行為について質問する、話す。
13 回	飲み物	料理の材料について話すそして人に勧める。
14 回	復習と口頭試験	復習と口頭試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。
- ・単語の意味調べを行い、授業に出る。
- ・授業中に出る宿題を必ず行うこと。

- ・毎回学んだことを確実に復習しておくこと。
  - ・努めて語彙を増やしていくこと。
  - ・スペイン語圏のニュースに注意している。
- 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

いいね！ スペイン語 2 朝日出版

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点 15 %・授業参加 15%、ライティング中間テスト 30 % + 課題と学期口頭末試験 40 % で総合評価します。

【学生の意見等からの気づき】

なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

【学生が準備すべき機器他】

西和和西辞典

【Outline (in English)】

The objective of this class is to communicate simple intentions to Spanish-speaking people. And, at the same time, try to improve the composition of more complicated sentences and improve the level of listening comprehension of the previous course.

In this class, you will also review the points you learned in the previous year and learn about culture while learning dialogue and words according to the textbook so that you can express at a higher level.

After explaining the intention of the conversation at the beginning of the lesson, we will decipher the grammar and context and then have a conversation. We will use Hoppii to provide feedback on submissions and assignments.

Be sure to review what you learned in the first year. Look up the meaning of the words and go to class. Be sure to do your homework. Make sure you review what you have learned each class. Strive to increase your vocabulary. Watch out for Spanish-speaking news. In total one hour of the standard preparatory study / review time for this class is preferably required.

Grading will be decided based on the following: Comprehensive evaluation with 15% of normal points, 15% of class participation, 30% of writing mid-term exams + assignments and 40% of oral final exams.



LANs200LA

**スペイン語 3 II**

2017 年度以降入学者

コルメナ ロメロ ロベルト

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 3/Mon.3

単位数：1 単位

その他属性：

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

同講義の目的は、会話を通じてスペイン語圏の人々と簡単な意思の伝達ができる様に学んでいくと同時に、前年度から更に進んだ複雑な文章の構成、ヒアリングのレベルアップを図ります。

**【到達目標】**

この授業では、前年度に学んだポイントの復習も兼ねて、一段階上のレベルの表現が出来る様に教科書に従ってダイアログ・単語を学びながら文化についても習得していきます。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解説し、実際に会話を行います。提出や課題等に対するフィードバック方法は Hoppii で行います。

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**  
あり / Yes

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**  
なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	大学を卒業後、仕事を始めるでしょう。	将来何をしたいか、どうなりたかについて話す。
2 回	大学を卒業後、新生活を始めるでしょう。	仕事についての意見交換する。
3 回	家に来ませんか。	希望を述べる、相手にアドバイスをする。
4 回	パーティーに来ませんか。	パーティーで会話する。社会の出来事や社会生活について質問する、話す。
5 回	海外留学	希望や好みを述べる、意見を言う、人に何かを進める。
6 回	海外旅行	ある国でやるべきではないことや、その国の習慣について、質問する、話す。
7 回	ライティング中間テストと復習	ライティング中間テストと復習
8 回	スペインの社会変化。	重要な社会の変化や問題点について質問する、答える。
9 回	イスパノアメリカの社会変化。	解決方法を提案する。
10 回	スポーツ	様々な種類のスポーツやスポーツ選手について、質問する、答える。
11 回	スポーツ選手	過去の出来事や行為について感情を示す評価判断を表現する。現在あるいは未来で、可能性の低いあるいは全くない条件を使って話す。
12 回	学年が終わる。	学期中に行ったところについて、質問する、話す。
13 回	大学が終わる。	クラスメートに別れの挨拶のメッセージを書く。
14 回	復習と口頭試験	復習と口頭試験

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。

- ・単語の意味調べを行い、授業に出る。
  - ・授業中に出る宿題を必ず行うこと。
  - ・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。
  - ・努めて語彙を増やしていくこと。
  - ・スペイン語圏のニュースに注意している。
- 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

**【テキスト（教科書）】**

いいね！ スペイン語 2  
朝日出版

**【参考書】**

なし

**【成績評価の方法と基準】**

平常点 15 %・授業参加 15%、ライティング中間テスト 30 %+課題と学期口頭末試験 40 %で総合評価します。

**【学生の意見等からの気づき】**

なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

**【学生が準備すべき機器他】**

西和和西辞典

**【Outline (in English)】**

The objective of this class is to communicate simple intentions to Spanish-speaking people. And, at the same time, try to improve the composition of more complicated sentences and improve the level of listening comprehension of the previous course.

In this class, you will also review the points you learned in the previous year and learn about culture while learning dialogue and words according to the textbook so that you can express at a higher level.

After explaining the intention of the conversation at the beginning of the lesson, we will decipher the grammar and context and then have a conversation. We will use Hoppii to provide feedback on submissions and assignments.

Be sure to review what you learned in the first year. Look up the meaning of the words and go to class. Be sure to do your homework. Make sure you review what you have learned each class. Strive to increase your vocabulary. Watch out for Spanish-speaking news. In total one hour of the standard preparatory study / review time for this class is preferably required.

Grading will be decided based on the following: Comprehensive evaluation with 15% of normal points, 15% of class participation, 30% of writing mid-term exams + assignments and 40% of oral final exams.

LANs200LA

## スペイン語 3 I

2017 年度以降入学者

杉下 由紀子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語のコミュニケーション能力を高める

## 【到達目標】

基礎文法を習得し語彙を強化して、読む・書く・聴く・話す力を高める。スペイン語圏の世界遺産を通じて、地理・自然・歴史・宗教・文化等に関する知識を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

すべて対面で行う。対面が不可になった場合は Zoom によるリアルタイム双方向式で行う。教員が文法事項を説明し、履修生は、音声を聴いて発音練習、テキスト記載のスペイン語文の和訳、練習問題、グループで会話を行う。時々、テーマに関連した映像資料を鑑賞する。グループアクティビティや試験返却時に講評・解説をする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	自己紹介とオリエンテーション	スペイン語で自己紹介、授業の進め方や学習方法の説明、既修文法の確認
2	グラナダ（文法と読解）	ser, estar, hay、直説法現在、指示形容詞・指示代名詞
3	セビーリャ（文法と練習）	再帰動詞、目的格人称代名詞
4	セビーリャ（読解と応用）	スペインのイスラム文化
5	ハバナ（文法と練習）	現在分詞、所有形容詞
6	ハバナ（読解と応用）	大航海時代
7	中間試験、ふりかえり	春学期前半の学習事項に関する試験とふりかえり
8	ティオティワカン（文法と練習）	過去分詞、受動態、点過去
9	ティオティワカン（読解と応用）	多民族都市
10	ティカル（文法と練習）	線過去、時間の経過 hace、比較級・最上級
11	ティカル（読解と応用）	マヤ文明
12	マチュピチュ（文法と練習）	現在完了、過去完了、不定語・否定語、無人称表現
13	マチュピチュ（読解と応用）	インカ文明
14	期末試験、ふりかえり	春学期後半の学習事項に関する試験とふりかえり

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストに出てくる不明な単語や熟語は必ずあらかじめ辞書で調べ、スペイン語文の和訳と練習問題も自分で解いて授業に臨むこと。舞台となっている地域の場所は地図で確認し、その歴史や特徴なども調べて積極的な姿勢で取り組んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

禪野美帆／井上幸孝／ナカガワ・マルガリータ／平田和重『初級～中級スペイン語 世界遺産を訪ねて 改訂版』朝日出版社、2014 年

## 【参考書】

1 年次のスペイン語 1、2 で使用していた教科書  
小林一宏・清水憲男ほか『詳解スペイン語』上智大学出版会  
西川喬『わかるスペイン語文法』同学社  
その他、授業中に適宜紹介。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（50%）、中間試験（25%）、期末試験（25%）から総合的に評価。

## 【学生の意見等からの気づき】

受講者数が多いので、グループワークを取り入れ、学生が主体的に学び積極的に発言できるよう促したいと思います。

## 【学生が準備すべき機器他】

対面授業ができなくなった場合、パソコンと安定したインターネット環境が必要。

## 【その他の重要事項】

授業には辞書を必ず持参してください。

家で勉強する時は、紙媒体の辞書をお勧めします。西和辞典は白水社、三省堂、小学館、研究社など、和西辞典は白水社、三省堂などから出版されている中規模以上のものがよいと思います。

決して翻訳アプリに頼らないでください。

## 【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students improve the communication skill of Spanish.

The goals are to master basic Spanish grammar and improve reading, writing, listening and speaking skills and apprehend world heritage sites in Spanish-speaking countries.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process;

in class contribution 50%, mid-term examination 25%, term-end examination 25%.

LANs200LA

## スペイン語 3 II

2017 年度以降入学者

杉下 由紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語のコミュニケーション能力を高める

## 【到達目標】

基礎文法を習得し語彙を強化して、読む・書く・聴く・話す力を高める。スペイン語圏の世界遺産を通じて、地理・自然・歴史・宗教・文化等に関する知識を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

すべて対面で行う。対面が不可になった場合は Zoom によるリアルタイム双方向式で行う。教員が文法事項を説明し、履修生は、音声を聴いて発音練習、テキスト記載のスペイン語文の和訳、練習問題、グループで会話をを行う。時々、テーマに関連した映像資料を鑑賞する。グループアクティビティや試験返却時に講評・解説をする。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	メキシコ市（文法と練習）	直説法未来、過去未来、関係詞
2	メキシコ市（読解と応用）	メキシコの歴史と文化
3	クスコ（文法と練習）	直説法未来完了、過去未来完了、間接話法
4	クスコ（読解と応用）	ペルーの歴史と文化
5	ポトシ（文法と練習）	接続法現在、知覚・使役
6	ポトシ（読解と応用）	ボリビアの歴史と文化
7	中間試験、ふりかえり	秋学期前半の学習事項に関する試験とふりかえり
8	サンティシマ・トリニダード・デパラナとヘスス・デ・タバランゲ（文法と練習）	命令文、再帰前置詞格人称代名詞
9	サンティシマ・トリニダード・デパラナとヘスス・デ・タバランゲ（読解と応用）	パラグアイの歴史と文化
10	ガラバゴス諸島（文法と練習）	接続法の用法
11	ガラバゴス諸島（読解と応用）	エクアドルの自然と文化
12	ラバ・ヌイ国立公園（文法と練習）	接続法過去、条件文
13	ラバ・ヌイ国立公園（読解と応用）	チリの自然と文化
14	期末試験、ふりかえり	秋学期後半の学習事項に関する試験とふりかえり

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストに出てくる不明な単語や熟語は必ずあらかじめ辞書で調べ、スペイン語文の和訳と練習問題も自分で解いて授業に臨むこと。舞台となっている地域の場所は地図で確認し、その歴史や特徴なども調べて積極的な姿勢で取り組んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

禪野美帆／井上幸孝／ナカガワ・マルガリータ／平田和重『初級～中級スペイン語 世界遺産を訪ねて 改訂版』朝日出版社、2014年

## 【参考書】

1 年次のスペイン語 1、2 で使用していた教科書  
小林一宏・清水憲男ほか『詳解スペイン語』上智大学出版会  
西川喬『わかるスペイン語文法』同学社  
その他、授業中に適宜紹介。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（50%）、中間試験（25%）、期末試験（25%）から総合的に評価。

## 【学生の意見等からの気づき】

受講者数が多いので、グループワークを取り入れ、学生が主体的に学び積極的に発言できるよう促したいと思います。

## 【学生が準備すべき機器他】

対面授業ができなくなった場合、パソコンと安定したインターネット環境が必要。

## 【その他の重要事項】

授業には辞書を必ず持参してください。

家で勉強する時は、紙媒体の辞書をお薦めします。和辞典は白水社、三省堂、小学館、研究社など、和辞典は白水社、三省堂などから出版されている中規模以上のものがよいと思います。

決して翻訳アプリに頼らないでください。

## 【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students improve the communication skill of Spanish.

The goals are to master basic Spanish grammar and improve reading, writing, listening and speaking skills and apprehend world heritage sites in Spanish-speaking countries.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process;

in class contribution 50%, mid-term examination 25%, term-end examination 25%.

LANs200LA

## スペイン語 3 I

2017 年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 5/Thu.5

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。

## 【到達目標】

スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された  
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針  
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがある  
と思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足し  
てもらえるような方法をとりたい。

その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。

授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、  
状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども検討します。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	点過去形規則活用	ar 動詞 er/ir 動詞
2	点過去系不規則活用	不規則活用の種類
3	線過去形	線過去の用法
4	点過去・線過去の違い	考え方、使い方の整理
5	未来形	未来形活用・用法
6	過去未来形	過去未来形活用・用法
7	さまざまな時制の完了形	現在完了／過去完了／未来完了／過去未来完了
8	練習問題	1~7 まとめ
9	命令形	肯定文 (tu/vosotros)
10	疑問詞	用法、内容確認
11	関係詞	用法、内容確認
12	仮定法 si	用法、内容確認
13	テスト前確認・質疑応答	講義内容復習
14	試験・まとめと解説	試験の実施と、その解説を行い、今学期の学習内容のまとめを行う

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

各單元についてまとめたレジメを元に進めるため、指定の教科書は特になし

## 【参考書】

特になし。

## 【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点 35% で判定。

## 【学生の意見等からの気づき】

会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使用できる表現を、自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。  
また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

## 【Outline (in English)】

## 【Course Outline】

The aim of this course is to help students acquire basic-intermediate grammar of Spanish.

## 【Leaning Objectives】

Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill is required.

## 【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what you studied in classroom. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

## 【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 65%, and in-class contribution: 35%.

LANs200LA

**スペイン語 3 II**

2017 年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 5/Thu.5

単位数：1 単位

その他属性：

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。  
スペイン語圏の文化に親しむこと。

**【到達目標】**

スペイン語の基礎的な会話の習得。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された  
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針  
に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学  
部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：  
DP1、経営学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがある  
と思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足し  
てもらえるような方法をとりたい。

その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。

授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、  
状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども検討します。

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**

なし / No

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし / No

**【授業計画】 授業形態：対面/face to face**

回	テーマ	内容
1	接続法現在	考え方
2	接続法現在規則活用	活用、用法
3	接続法現在不規則活用	活用、用法
4	接続法現在完了	活用、用法
5	練習問題	授業内演習
6	接続法過去	活用、用法
7	接続法過去完了	活用、用法
8	仮定法 si(2) 接続法使 用	用法、練習問題
9	接続法文法 応用	実際の文章の中での使われ方
10	練習問題（接続法過 去、仮定法ほか）	授業内演習
11	文書読解（ニュースサ イト）	最新のニュースなど
12	文書読解（SNS）	SNS で見られるスペイン語の紹 介
13	テスト前、質疑応答	秋学期授業復習
14	試験・まとめと解説	試験の実施と、その解説を行い、 今学期の学習内容のまとめを行う

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

予習不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合  
わせて 1 時間を標準とします。

**【テキスト（教科書）】**

各單元についてまとめたレジュメを元に進めるため、指定の教科書  
は特になし

**【参考書】**

特になし。

**【成績評価の方法と基準】**

期末テスト 65%、平常点 35% で判定。

**【学生の意見等からの気づき】**

会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使用できる表現を、  
自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。

また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

**【Outline (in English)】**

**【Course Outline】**

The aim of this course is to help students acquire basic-intermediate grammar of Spanish.

**【Leaning Objectives】**

Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill is required.

**【Learning activities outside of classroom】**

Students don't have to prepare for next class but review what you studied in classroom. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

**【Grading Criteria/Policy】**

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 65%, and in-class contribution: 35%.

LANs200LA

## スペイン語 3 I

2017 年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 1/Thu.1

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。

## 【到達目標】

スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された  
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針  
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがある  
と思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足し  
てもらえるような方法をとりたい。

その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。

授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、  
状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども検討します。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	点過去形規則活用	ar 動詞 er/ir 動詞
2	点過去系不規則活用	不規則活用の種類
3	線過去形	線過去の用法
4	点過去・線過去の違い	考え方、使い方の整理
5	未来形	未来形活用・用法
6	過去未来形	過去未来形活用・用法
7	さまざまな時制の完了形	現在完了／過去完了／未来完了／過去未来完了
8	練習問題	1~7 まとめ
9	命令形	肯定文 (tu/vosotros)
10	疑問詞	用法、内容確認
11	関係詞	用法、内容確認
12	仮定法 si	用法、内容確認
13	テスト前確認・質疑応答	講義内容復習
14	試験・まとめと解説	試験の実施と、その解説を行い、今学期の学習内容のまとめを行う

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

各単元についてまとめたレジメを元に進めるため、指定の教科書は特になし

## 【参考書】

特になし。

## 【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点 35% で判定。

## 【学生の意見等からの気づき】

会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使用できる表現を、自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。  
また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

## 【Outline (in English)】

## 【Course Outline】

The aim of this course is to help students acquire basic-intermediate grammar of Spanish.

## 【Leaning Objectives】

Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill is required.

## 【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what you studied in classroom. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

## 【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 65%, and in-class contribution: 35%.

LANs200LA

## スペイン語 3 II

2017 年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 1/Thu.1

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。

スペイン語圏の文化に親しむこと。

## 【到達目標】

スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された  
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針  
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学  
部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：  
DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがある  
と思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足し  
てもらえるような方法をとりたい。

その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。

授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、  
状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども検討します。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	接続法現在	考え方
2	接続法現在規則活用	活用、用法
3	接続法現在不規則活用	活用、用法
4	接続法現在完了	活用、用法
5	練習問題	授業内演習
6	接続法過去	活用、用法
7	接続法過去完了	活用、用法
8	仮定法 si(2) 接続法使 用	用法、練習問題
9	接続法文法 応用	実際の文章の中での使われ方
10	練習問題（接続法過 去、仮定法ほか）	授業内演習
11	文書読解（ニュースサ イト）	最新のニュースなど
12	文書読解（SNS）	SNS で見られるスペイン語の紹 介
13	テスト前、質疑応答	秋学期授業復習
14	試験・まとめと解説	試験の実施と、その解説を行い、 今学期の学習内容のまとめを行う

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合  
わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

各單元についてまとめたレジュメを元に進めるため、指定の教科書  
は特になし

## 【参考書】

特になし。

## 【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点 35% で判定。

## 【学生の意見等からの気づき】

会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使用できる表現を、  
自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。

また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

## 【Outline (in English)】

## 【Course Outline】

The aim of this course is to help students acquire basic-  
intermediate grammar of Spanish.

## 【Leaning Objectives】

Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill  
is required.

## 【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what  
you studied in classroom. Your required study time is at least  
one hour for each class meeting.

## 【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on  
the following. Term-end examination: 65%, and in-class  
contribution: 35%.

LANs200LA

## スペイン語 3 I

2017 年度以降入学者

コルメナ ロメロ ロベルト

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

同講義の目的は、会話を通じてスペイン語圏の人々と簡単な意思の伝達ができる様に学んでいくと同時に、前年度から更に進んだ複雑な文章の構成、ヒアリングのレベルアップを図ります。

## 【到達目標】

この授業では、前年度に学んだポイントの復習も兼ねて、一段階上のレベルの表現が出来る様に教科書に従ってダイアログ・単語を学びながら文化についても習得していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解説し、実際に会話を行います。提出や課題等に対するフィードバック方法は Hoppii で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	新年度	自己紹介する、クラスメートについて知る。
2 回	昨年度	スペイン語を学習への興味、目的、学習方法について話す。
3 回	私の家族。	家族や友達のような人間関係について話す。
4 回	私の友人。	ある人が昔どのような人だったか記述する。
5 回	私の町。	大学生活と以前の生活に比べて、その違いについて話す。 過去の習慣について話す。
6 回	私の地区	ある場所の位置とそこへの行き方について、質問する、尋ねる。
7 回	ライティング中間テストと復習	ライティング中間テストと復習
8 回	休みの時	過去に行った事柄について話す、質問する。
9 回	休みの過ごし方	過去の記述をする、原因や結果について表現する。
10 回	前の旅行。	過去の旅行について、質問をする、話す。
11 回	昔の旅行。	旅行した時の色々な状況について話す、場所について記述する。 旅行に関して人に何かを進める。
12 回	食物	食習慣について話す。 近い過去の経験や行為について質問する、話す。
13 回	飲み物	料理の材料について話すそして人に勧める。
14 回	復習と口頭試験	復習と口頭試験

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。
- ・単語の意味調べを行い、授業に出る。
- ・授業中に出る宿題を必ず行うこと。

- ・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。
  - ・努めて語彙を増やしていくこと。
  - ・スペイン語圏のニュースに注意している。
- 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

いいね！ スペイン語 2 朝日出版

## 【参考書】

なし

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 15 %・授業参加 15%、ライティング中間テスト 30 % + 課題と学期口頭末試験 40 % で総合評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

## 【学生が準備すべき機器他】

西和和西辞典

## 【Outline (in English)】

The objective of this class is to communicate simple intentions to Spanish-speaking people. And, at the same time, try to improve the composition of more complicated sentences and improve the level of listening comprehension of the previous course.

In this class, you will also review the points you learned in the previous year and learn about culture while learning dialogue and words according to the textbook so that you can express at a higher level.

After explaining the intention of the conversation at the beginning of the lesson, we will decipher the grammar and context and then have a conversation. We will use Hoppii to provide feedback on submissions and assignments.

Be sure to review what you learned in the first year. Look up the meaning of the words and go to class. Be sure to do your homework. Make sure you review what you have learned each class. Strive to increase your vocabulary. Watch out for Spanish-speaking news. In total one hour of the standard preparatory study / review time for this class is preferably required.

Grading will be decided based on the following: Comprehensive evaluation with 15% of normal points, 15% of class participation, 30% of writing mid-term exams + assignments and 40% of oral final exams.



LANs200LA

**スペイン語 3 II**

2017 年度以降入学者

コルメナ ロメロ ロベルト

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

その他属性：

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

同講義の目的は、会話を通じてスペイン語圏の人々と簡単な意思の伝達ができる様に学んでいくと同時に、前年度から更に進んだ複雑な文章の構成、ヒアリングのレベルアップを図ります。

**【到達目標】**

この授業では、前年度に学んだポイントの復習も兼ねて、一段階上のレベルの表現が出来る様に教科書に従ってダイアログ・単語を学びながら文化についても習得していきます。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解説し、実際に会話を行います。提出や課題等に対するフィードバック方法は Hoppii で行います。

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**  
あり / Yes

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**  
なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	大学を卒業後、仕事を始めるでしょう。	将来何をしたいか、どうなりたかについて話す。
2 回	大学を卒業後、新生活を始めるでしょう。	仕事についての意見交換する。
3 回	家に来ませんか。	希望を述べる、相手にアドバイスをする。
4 回	パーティーに来ませんか。	パーティーで会話する。社会の出来事や社会生活について質問する、話す。
5 回	海外留学	希望や好みを述べる、意見を言う、人に何かを進める。
6 回	海外旅行	ある国でやるべきではないことや、その国の習慣について、質問する、話す。
7 回	ライティング中間テストと復習	ライティング中間テストと復習
8 回	スペインの社会変化。	重要な社会の変化や問題点について質問する、答える。
9 回	イスパノアメリカの社会変化。	解決方法を提案する。
10 回	スポーツ	様々な種類のスポーツやスポーツ選手について、質問する、答える。
11 回	スポーツ選手	過去の出来事や行為について感情を示す評価判断を表現する。現在あるいは未来で、可能性の低いあるいは全くない条件を使って話す。
12 回	学年が終わる。	学期中に行ったところについて、質問する、話す。
13 回	大学が終わる。	クラスメートに別れの挨拶のメッセージを書く。
14 回	復習と口頭試験	復習と口頭試験

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。

- ・単語の意味調べを行い、授業に出る。
  - ・授業中に出る宿題を必ず行うこと。
  - ・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。
  - ・努めて語彙を増やしていくこと。
  - ・スペイン語圏のニュースに注意している。
- 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

**【テキスト（教科書）】**

いいね！ スペイン語 2  
朝日出版

**【参考書】**

なし

**【成績評価の方法と基準】**

平常点 15 %・授業参加 15%、ライティング中間テスト 30 %+課題と学期口頭末試験 40 %で総合評価します。

**【学生の意見等からの気づき】**

なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

**【学生が準備すべき機器他】**

西和和西辞典

**【Outline (in English)】**

The objective of this class is to communicate simple intentions to Spanish-speaking people. And, at the same time, try to improve the composition of more complicated sentences and improve the level of listening comprehension of the previous course.

In this class, you will also review the points you learned in the previous year and learn about culture while learning dialogue and words according to the textbook so that you can express at a higher level.

After explaining the intention of the conversation at the beginning of the lesson, we will decipher the grammar and context and then have a conversation. We will use Hoppii to provide feedback on submissions and assignments.

Be sure to review what you learned in the first year. Look up the meaning of the words and go to class. Be sure to do your homework. Make sure you review what you have learned each class. Strive to increase your vocabulary. Watch out for Spanish-speaking news. In total one hour of the standard preparatory study / review time for this class is preferably required.

Grading will be decided based on the following: Comprehensive evaluation with 15% of normal points, 15% of class participation, 30% of writing mid-term exams + assignments and 40% of oral final exams.

LANs200LA

## スペイン語 3 I

2017 年度以降入学者

BARRIENTOS R J DAVID

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語で話し、聞き、書き、読むことを強化することを目標とする。日本の文化と比較し、スペイン語圏の文化の理解も深める。

## 【到達目標】

スペイン語で基本的なこと、更に自分の興味や関心事について、意思疎通ができるようになるよう目指す。また、スペイン語圏の文化に関する理解を深めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

この授業は対面で行う。授業は教科書に沿って進める。特にスペイン語の発音に重点を置き、コミュニケーションをはかる際に必要な会話の基本構造を学び練習する。課題等に対するフィードバックは授業時に口頭で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introducción; ¡ Vamos a saludar a los compañeros!	スペイン語の読み方を復習し、クラスメートとあいさつをし、自己紹介する
2	¡ Vamos a presentarnos!	名前、職業、国籍や出身地について話す
3	¡ Vamos a hablar de las cosas que haces! (1)	基本的な動詞を使って毎日の生活を話す (1)
4	¡ Vamos a hablar de las cosas que haces! (2)	基本的な動詞を使って毎日の生活を話す (2)
5	¡ Vamos a hablar de la familia!(1)	自分の家族のこと、名前、年齢、性格、容姿等を話す (1)
6	¡ Vamos a hablar de la familia!(2)	自分の家族のこと、名前、年齢、性格、容姿等を話す (2)
7	¿ Dónde está tu casa? ¿ Cómo es tu habitación? (1)	自分の部屋、家、住んでいるところについて話す (1)
8	¿ Dónde está tu casa? ¿ Cómo es tu habitación? (2)	自分の部屋、家、住んでいるところについて話す (2)
9	Repaso y examen (1) ¿ Qué te gusta? ¿ Qué no te gusta? (1)	1 回から 8 回の理解度の確認とまとめを行い、自分の好きなものやこと、嫌いなものやことを話す (1)
10	¿ Qué te gusta? ¿ Qué no te gusta? (2)	自分の好きなものやこと、嫌いなものやことを話す (2) 天気の説明をする
11	¡ Vamos a invitar a un amigo!(1)	友達を誘ったり、頼む表現を覚え、買い物や食事の際の会話を学ぶ (1)

12	¡ Vamos a invitar a un amigo!(2)	友達を誘ったり、頼む表現を覚え、買い物や食事の際の会話を学ぶ (2)
13	¡ Vamos a hablar de lo que haces en un día o en una semana!	時間や曜日の表現を覚え、1 日、一週間のスケジュールを話す
14	Repaso y examen (2)	9 回から 13 回までの理解度の確認とまとめを行う。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。復習、もしくは予習として、授業時に指定するテキストの文章を辞書を使って読む、または練習問題を解いておくこと。また、言語習得に音読は欠かせないため、テキストに載っている会話文や例文を音読すること。

## 【テキスト（教科書）】

浦真佐子、フランシスコ・バルティダ『¡ Imagínatelo! Nueva edición —イラストで楽しもう、スペイン語！ 改訂版』朝日出版社、2500 円

## 【参考書】

授業時に適宜紹介する。

## 【成績評価の方法と基準】

試験 (50%)、スピーキングテスト (25%)、授業参加および課題 (25%) で評価する。

## 【学生の意見等からの気づき】

特になし。

## 【Outline (in English)】

Course Outline: In this course you are going to improve your Spanish language skills to the intermediate level and learn the cultures of Spanish-speaking countries.

Learning Objectives: The main goals are to reinforce your Spanish skills (speaking, listening, writing and reading) and get a glimpse of cultural diversity in Spanish-speaking countries.

Learning Activities Outside of Classroom: Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to work on the textbook to grasp the key learning points of the next class/review the previous class. Also, it is important to read the sentences in the textbook aloud to improve Spanish pronunciation.

Grading Criteria: Grading will be decided based on written exams (50%), oral exams (25%) and class participation and assignments (25%).

LANs200LA

スペイン語 3 II

2017 年度以降入学者

BARRIENTOS R J DAVID

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語で話し、聞き、書き、読むことを強化することを目標とする。日本の文化と比較し、スペイン語圏の文化の理解も深める。

【到達目標】

スペイン語で基本的なこと、更に自分の興味や関心事について、意思疎通ができるようになるよう目指す。また、スペイン語圏の文化に関する理解を深めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で行う。授業は教科書に沿って進める。特にスペイン語の発音に重点を置き、コミュニケーションをはかる際に必要な会話の基本構造を学び練習する。課題等に対するフィードバックは授業時に口頭で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	¡ Vamos a repasar!	春学期の復習（テキストの Lección 1 - 7）
2	¿ Qué le regalamos?(1)	誕生日やクリスマスに友達にプレゼントを贈る際の会話やカードの書き方を学ぶ（1）
3	¿ Qué le regalamos?(2)	誕生日やクリスマスに友達にプレゼントを贈る際の会話やカードの書き方を学ぶ（2）
4	¿ Qué te pasa? ¿ Te sientes mal? (1)	痛み、病気、体調が悪い時の表現を覚え、症状について話す（1）
5	¿ Qué te pasa? ¿ Te sientes mal? (2)	痛み、病気、体調が悪い時の表現を覚え、症状について話す（2）
6	Perdón, ¿ puede enseñarme...? (1)	行ったことがある、食べたことがある等、経験を話し、道順や料理の作り方等について話す（1）
7	Perdón, ¿ puede enseñarme...? (2)	行ったことがある、食べたことがある等、経験を話し、道順や料理の作り方等について話す（2）
8	Repaso y examen (1) ¡ Vamos hablar del pasado!(1)	1 回から 8 回の理解度の確認とまとめを行い、過去にしたことや旅行について話す（1）
9	¡ Vamos hablar del pasado!(2)	過去にしたことや旅行について話す（2）
10	¡ Vamos a contar sobre la vida de un familiar!	身近な人物の一生について話す
11	¡ Hablamos de recuerdos!(1)	子供の頃のことや旅行の思い出を話す（1）
12	¡ Hablamos de recuerdos!(2)	子供の頃のことや旅行の思い出を話す（2）
13	¡ Hablamos de recuerdos!(3)	子供の頃のことや旅行の思い出を話す（3）

14 Repaso y examen (2) 8 回から 13 回までの理解度の確認とまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。復習、もしくは予習として、授業時に指定するテキストの文章を辞書を使って読む、または練習問題を解いておくこと。また、言語習得に音読は欠かせないため、テキストに載っている会話文や例文を音読すること。

【テキスト（教科書）】

浦真佐子、フランシスコ・パルティダ『¡ Imagínatelo! Nueva edición —イラストで楽しもう、スペイン語！ 改訂版』朝日出版社、2500 円

【参考書】

授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

試験（50%）、スピーキングテスト（25%）、授業参加および課題（25%）で評価する。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

Course Outline: In this course you are going to improve your Spanish language skills to the intermediate level and learn the cultures of Spanish-speaking countries.

Learning Objectives: The main goals are to reinforce your Spanish skills (speaking, listening, writing and reading) and get a glimpse of cultural diversity in Spanish-speaking countries.

Learning Activities Outside of Classroom: Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to work on the textbook to grasp the key learning points of the next class/review the previous class. Also, it is important to read the sentences in the textbook aloud to improve Spanish pronunciation.

Grading Criteria: Grading will be decided based on written exams (50%), oral exams (25%) and class participation and assignments (25%).

LANs200LA

## スペイン語 3 I

2017 年度以降入学者

## OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。また、スペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指す。

## 【到達目標】

自分の住環境、学習環境、労働環境について、評価または願望などをスペイン語で述べるができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業はテキストに沿って実習形式で進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、基本的には学生が会話をしたり、練習問題を解いたりして積極的に授業に参加することが期待される。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	スペイン語	南米にスペイン語を話す国々
2	スペイン語で自己紹介	目的人称代名詞、再帰代名詞
3	生活習慣、スペイン語圏の家族	現在進行形 / 現在分詞のその他の用法
4	人一生 / 家族	復習:直説法点過去。過去を表す副詞句。
5	中南米諸国への日本人移民	関係詞 I : 関係詞代名詞
6	町で	SER. ESTAR. HABER. TENER 直説法線過去:活用 / -mente で終わる副詞
7	昔と今	直説法線過去の用法 / 品質形容詞
8	旅行	直説法点過去と線過去 / 旅行: 活動と携行品
9	天候	色々な副詞節
10	余暇活動	過去分詞 / 直説法現在完了: 活用 / 余暇生活 / 勧誘表現
11	社会生活	直説法現在完了の用法 / 過去分詞のその他用法
12	未来を表す副詞	直説法未来: 活用 / 直説法未来の用法
13	推測	直説法未来完了: 活用と用法
14	まとめ	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習をしっかりとやること、十分な準備をすること。本授業の準備・復習時間は、あわせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Entre amigos 2, 2a. edición. 総合スペイン語コース中級 - 改訂版- Editorial Asahi

【参考書】

-SHOGAKUKAN DICCIONARIO ESPAÑOL-JAPONÉS Segunda edición

-スペイン語文法ハンドブック、上田博人

【成績評価の方法と基準】

授業内での口頭試験 50 %

小テスト 20 %、期末試験の結果 30 %

毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】

新規の担当科目のため、学生からの意見は今後授業改善に反映する。

【Outline (in English)】

In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

At the end of this course, students will be able to express their desires or aspirations in Spanish, and they will also evaluate their learning to project the Spanish language as a work tool in their future.

The standard preparation and review time for this class is 1 hour.

Grading will be decided based on exams (50%) and the active class participation of students (50%).

LANs200LA

## スペイン語 3 II

2017 年度以降入学者

## OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 4/Wed.4

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。また、スペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指す。

## 【到達目標】

自分の住環境、学習環境、労働環境について、評価または願望などをスペイン語で述べるができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業はテキストに沿って進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、会話練習や練習問題への取り組みが主要な時間を占める。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	家具	家具と調度品 / 直説法過去完了：活用と用法
2	調度品	直説法の時制：まとめ/関係詞 II
3	命令形	命令形 I: tu / vosotros に対する肯定命令 / 命令形の用法命令形と目的人称代名詞 / 再帰代名詞
4	食べ物/スポーツ	無人称表現 / 直説法過去未来の用法 II
5	意見	接続法現在：活用 / 接続法の用法 I: 名詞節過去形 II：
6	命令	usted/ustedes に対する肯定命令否定命令 / 願望、依頼、命令表す表現
7	数	接続法の用法 II：副詞節
8	環境問題	接続法の用法 III: 形容詞節/
9	自然と人間	接続法現在完了：活用と用法
10	願望表現	接続法の用法 I V：独立文 / 接続法過去：活用
11	スペイン語国々の映画	接続法過去 / 条件文 I
12	会話で用いられる表現	接続法過去完了: 活用 / 接続法過去完了の用法 / 直説法過去未来完了: 活用と用法
13	後悔	条件文 II
14	まとめ	期末テスト

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習をしっかりとやること、十分な準備をすること。本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

Entre amigos 2, 2a. edición. 総合スペイン語コース中級 - 改訂版- Editorial Asahi

## 【参考書】

-SHOGAKUKAN DICCIONARIO ESPAÑOL-JAPONÉS Segunda edición

-スペイン語文法ハンドブック、上田博人

## 【成績評価の方法と基準】

授業内での口頭試験 50 %

小テスト 20 %、期末試験の結果 30 %

毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

## 【学生の意見等からの気づき】

新規担当科目のため、学生からの意見は今後反映させる。

## 【Outline (in English)】

In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

At the end of this course, students will be able to express their desires or aspirations in Spanish, and they will also evaluate their learning to project the Spanish language as a work tool in their future.

The standard preparation and review time for this class is 1 hour.

Grading will be decided based on exams (50%) and the active class participation of students (50%).

LANs200LA

## スペイン語 3 I

2017 年度以降入学者

若林 大我

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、1 年次の学習内容を踏まえ、中級のスペイン語文法を学んでいく。

## 【到達目標】

履修生は今学期終了時まで、スペイン語の直説法点過去形、線過去形、および過去完了形の文を理解し、また作文できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

受講生各自による復習と予習を踏まえ、所定のテキストに基づいて、毎週の講義で少しずつスペイン語の文法構造を学んでいく。講義のあと、学んだことの確認、および会話の練習のため、口頭での質疑応答も行なう。授業はできる限りゆっくり、かつ丁寧に進行するよう心がけるが、効果的な学習のためには各自の予習と復習、特に後者が必須である。このため学期の途中で一度、理解度の確認のための中間テストを行う。ただし初回の授業は予習の必要はない。受講にあたっては、下記のテキストの他、西和辞典も持参すること。課題が出題された場合は、学習支援システムを通じて提出するものとする。課題に対するフィードバックも、学習支援システムを通じて行う。

本授業は基本的に教室内での対面形式で実施するが、キャンパスの混雑を避けるため、初回授業に限り Zoom を通じたりリアルタイムでのオンライン形式とする。Zoom の URL は学期開始前に学習支援システム上で公開するので、必ず確認すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 直説法現在規則動詞 動詞 ser、estar、tener、ir、hacer、salir	授業の形態、進め方、評価方法の説明 直説法現在規則活用、及び動詞 ser、estar、tener、ir、hacer、salir の活用と用法復習 (テキスト：第 1 課)
2	語幹母音変化動詞 再帰動詞	直説法現在の語幹母音変化動詞、及び再帰動詞の復習 (テキスト：第 1 課)
3	動詞 conocer、saber、ver、poner、venir、oír 不定詞表現	動詞 conocer、saber、ver、poner、venir、oír の活用と用法、及び不定詞表現の復習 (テキスト：第 1 課)
4	現在分詞 現在分詞の用法 関係詞 que、donde	現在分詞、及び関係詞 que と donde の復習 (テキスト：第 2 課)
5	目的格人称代名詞	目的格人称代名詞の復習 (テキスト：第 3 課)
6	動詞 gustar gustar 型動詞	gustar 型動詞の復習 (テキスト：第 3 課)
7	中間試験 所有形容詞	中間試験 所有形容詞の復習 (テキスト：第 3 課)

8	比較級 最上級	比較表現の復習 (テキスト：第 4 課)
9	直説法点過去	直説法点過去（規則活用及び不規則活用）の復習 (テキスト：第 4 課)
10	直説法線過去 点過去と線過去	直説法線過去の復習 点過去と線過去の使い分け復習 (テキスト：第 4 課)
11	過去分詞 過去分詞の用法	過去分詞の復習 (テキスト：第 5 課)
12	直説法現在完了 直説法過去完了	直説法現在完了及び直説法過去完了の復習 (テキスト：第 5 課)
13	感嘆文 春学期の復習	感嘆文 (テキスト：第 5 課) 期末試験に備えた春学期の学習内容の振り返り
14	授業内期末試験	試験・まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学学習の性質上、自宅での予習や復習が必要となる。特に授業で言及した単語については、辞書を用いて各自反復学習すること。また時間の都合上、授業中に教科書内の全ての練習問題に取り組むことはできない。このため、授業の進行に合わせて各自が自主的に問題に取り組む、理解度を把握することが必須となる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

## 【テキスト（教科書）】

エウヘニオ・デル・ブラド、齋藤華子、仲道慎治『イメージ・スペイン語 2 (Español en imágenes 2)』（朝日出版）、2,500 円+税

## 【参考書】

外国語学習にあたっては、辞書が不可欠の要素である。本授業では特定の西和辞典の購入を義務付けないが、単語の正確な理解のためには『西和中辞典』（小学館）をお勧めする。真剣にスペイン語を身に付けたい受講生は、和西辞典も併用すると効果的である。また単語をスピーディに検索するには電子辞書も有用である。上記以外の西和辞典は、下記のウェブサイトでも探すことができる。  
<http://gaikoku.info/spanish/dictionary.htm>

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 30 %、中間テスト 30 %、期末テスト 40 %として総合的に評価する。

## 【学生の意見等からの気づき】

履修生諸君の理解度に合わせ、上記の授業計画は多少変更される可能性がある。

## 【Outline (in English)】

This course deals with the intermediate grammar of Spanish. By the end of the course, students should be able to understand and make Spanish sentences that include the following grammatical features:  
- Indefinite past tense  
- Preterite past tense  
- Past perfect tense  
Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours in total to understand the course content. Final grade will be calculated according to the following process:  
- In-class contribution (30%)  
- Mid-term exam (30%)  
- Term-end exam (40%)

LANs200LA

スペイン語 3 II

2017 年度以降入学者

若林 大我

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、1 年次の学習内容を踏まえ、中級のスペイン語文法を学んでいく。

【到達目標】

履修生は今学期終了時まで、スペイン語の接続法現在形の文及び命令文を理解し、また作文できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

受講生各自による復習と予習を踏まえ、所定のテキストに基づいて、毎週の講義で少しずつスペイン語の文法構造を学んでいく。講義のあと、学んだことの確認、および会話の練習のため、口頭での質疑応答も行なう。授業はできる限りゆっくり、かつ丁寧に進行するよう心がけるが、効果的な学習のためには各自の予習と復習、特に後者が必須である。このため学期の途中で一度、理解度の確認のための中間テストを行う。ただし初回の授業は予習の必要はない。受講にあたっては、下記のテキストの他、西和辞典も持参すること。課題が出題された場合は、学習支援システムを通じて提出するものとする。課題に対するフィードバックも、学習支援システムを通じて行う。

本授業は基本的に教室内での対面形式で実施するが、キャンパスの混雑を避けるため、初回授業に限り Zoom を通じたりアルタイムでのオンライン形式とする。Zoom の URL は学期開始前に学習支援システム上で公開するので、必ず確認すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 直説法未来	授業の形態、進め方、評価方法の説明 直説法未来の活用と用法 (テキスト: 第 6 課)
2	直説法過去未来	直説法過去未来の活用と用法 (テキスト: 第 6 課)
3	接続法現在規則動詞	接続法現在の概念 接続法現在規則活用 (テキスト: 第 7 課)
4	接続法現在不規則動詞	接続法現在不規則活用 (テキスト: 第 7 課)
5	接続法現在の名詞節における用法	名詞節での接続法現在の使い方 (テキスト: 第 7 課、第 8 課)
6	関係節における接続法	関係節（形容詞節）での接続法現在の使い方 (テキスト: 第 9 課)
7	中間試験 副詞節における接続法	中間試験 副詞節での接続法現在の使い方 (テキスト: 第 9 課)
8	独立文における接続法	独立文での接続法現在の使い方 (テキスト: 第 8 課)
9	不定語・否定語	主な不定語と否定語の種類と用法 (テキスト: 第 8 課)

10	2 人称に対する命令形	2 人称単数または複数に対する命令文の作り方 (テキスト: 第 6 課)
11	2 人称以外に対する命令形 命令表現での代名詞の位置	2 人称以外に対する命令文の作り方 命令文における目的格代名詞・再帰代名詞の位置 (テキスト: 第 6 課、第 11 課)
12	命令形の練習	命令形を用いた会話練習 (テキスト: 第 11 課)
13	数（1 から 1 千万） 秋学期の復習	1 から 1 千万までの数詞 (テキスト: 第 12 課) 期末試験に備えた秋学期の学習内容の振り返り
14	授業内期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学学習の性質上、自宅での予習や復習が必要となる。特に授業で言及した単語については、辞書を用いて各自反復学習すること。また時間の都合上、授業中に教科書内の全ての練習問題に取り組むことはできない。このため、授業の進行に合わせて各自が自主的に問題に取り組む、理解度を把握することが必須となる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

エウヘニオ・デル・ブラド、齋藤華子、仲道慎治『イメージ・スペイン語 2 (Español en imágenes 2)』（朝日出版）、2,500 円+税

【参考書】

外国語学習にあたっては、辞書が不可欠の要素である。本授業では特定の西和辞典の購入を義務付けないが、単語の正確な理解のためには『西和中辞典』（小学館）をお勧めする。真剣にスペイン語を身に付けたい受講生は、和西辞典も併用すると効果的である。また単語をスピーディに検索するには電子辞書も有用である。上記以外の西和辞典は、下記のウェブサイトでも探すことができる。<http://gaikoku.info/spanish/dictionary.htm>

【成績評価の方法と基準】

平常点 30 %、中間テスト 30 %、期末テスト 40 %として総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

履修生諸君の理解度に合わせ、上記の授業計画は多少変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

This course deals with the intermediate grammar of Spanish. By the end of the course, students should be able to understand and make Spanish sentences that include the following grammatical features:

- Present tense of the subjunctive mood
- Imperative mood

Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours in total to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process:

- In-class contribution (30%)
- Mid-term exam (30%)
- Term-end exam (40%)

LANs200LA

## スペイン語 3 I

2017 年度以降入学者

コルメナ ロメロ ロベルト

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

同講義の目的は、会話を通じてスペイン語圏の人々と簡単な意思の伝達ができる様に学んでいくと同時に、前年度から更に進んだ複雑な文章の構成、ヒアリングのレベルアップを図ります。

## 【到達目標】

この授業では、前年度に学んだポイントの復習も兼ねて、一段階上のレベルの表現が出来る様に教科書に従ってダイアログ・単語を学びながら文化についても習得していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解説し、実際に会話を行います。提出や課題等に対するフィードバック方法は Hoppii で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回	新年度	自己紹介する、クラスメートについて知る。
2 回	昨年度	スペイン語を学習への興味、目的、学習方法について話す。
3 回	私の家族。	家族や友達のような人間関係について話す。
4 回	私の友人。	ある人が昔どのような人だったか記述する。
5 回	私の町。	大学生活と以前の生活に比べて、その違いについて話す。 過去の習慣について話す。
6 回	私の地区	ある場所の位置とそこへの行き方について、質問する、尋ねる。
7 回	ライティング中間テストと復習	ライティング中間テストと復習
8 回	休みの時	過去に行った事柄について話す、質問する。
9 回	休みの過ごし方	過去の記述をする、原因や結果について表現する。
10 回	前の旅行。	過去の旅行について、質問をする、話す。
11 回	昔の旅行。	旅行した時の色々な状況について話す、場所について記述する。 旅行に関して人に何かを進める。
12 回	食物	食習慣について話す。 近い過去の経験や行為について質問する、話す。
13 回	飲み物	料理の材料について話すそして人に勧める。
14 回	復習と口頭試験	復習と口頭試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。
- ・単語の意味調べを行い、授業に出る。
- ・授業中に出る宿題を必ず行うこと。

- ・毎回学んだことを確実に復習しておくこと。
  - ・努めて語彙を増やしていくこと。
  - ・スペイン語圏のニュースに注意している。
- 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

いいね！ スペイン語 2 朝日出版

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点 15 %・授業参加 15%、ライティング中間テスト 30 % + 課題と学期口頭末試験 40 % で総合評価します。

【学生の意見等からの気づき】

なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

【学生が準備すべき機器他】

西和和西辞典

【Outline (in English)】

The objective of this class is to communicate simple intentions to Spanish-speaking people. And, at the same time, try to improve the composition of more complicated sentences and improve the level of listening comprehension of the previous course.

In this class, you will also review the points you learned in the previous year and learn about culture while learning dialogue and words according to the textbook so that you can express at a higher level.

After explaining the intention of the conversation at the beginning of the lesson, we will decipher the grammar and context and then have a conversation. We will use Hoppii to provide feedback on submissions and assignments.

Be sure to review what you learned in the first year. Look up the meaning of the words and go to class. Be sure to do your homework. Make sure you review what you have learned each class. Strive to increase your vocabulary. Watch out for Spanish-speaking news. In total one hour of the standard preparatory study / review time for this class is preferably required.

Grading will be decided based on the following: Comprehensive evaluation with 15% of normal points, 15% of class participation, 30% of writing mid-term exams + assignments and 40% of oral final exams.



LANs200LA

**スペイン語 3 II**

2017 年度以降入学者

コルメナ ロメロ ロベルト

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

その他属性：

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

同講義の目的は、会話を通じてスペイン語圏の人々と簡単な意思の伝達ができる様に学んでいくと同時に、前年度から更に進んだ複雑な文章の構成、ヒアリングのレベルアップを図ります。

**【到達目標】**

この授業では、前年度に学んだポイントの復習も兼ねて、一段階上のレベルの表現が出来る様に教科書に従ってダイアログ・単語を学びながら文化についても習得していきます。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解説し、実際に会話を行います。提出や課題等に対するフィードバック方法は Hoppii で行います。

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**

あり / Yes

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし / No

**【授業計画】 授業形態：対面/face to face**

回	テーマ	内容
1 回	大学を卒業後、仕事を始めるでしょう。	将来何をしたいか、どうなりたいかについて話す。
2 回	大学を卒業後、新生活を始めるでしょう。	仕事についての意見交換する。
3 回	家に来ませんか。	希望を述べる、相手にアドバイスをする。
4 回	パーティーに来ませんか。	パーティーで会話する。社会の出来事や社会生活について質問する、話す。
5 回	海外留学	希望や好みを述べる、意見を言う、人に何かを進める。
6 回	海外旅行	ある国でやるべきではないことや、その国の習慣について、質問する、話す。
7 回	ライティング中間テストと復習	ライティング中間テストと復習
8 回	スペインの社会変化。	重要な社会の変化や問題点について質問する、答える。
9 回	イスマノアメリカの社会変化。	解決方法を提案する。
10 回	スポーツ	様々な種類のスポーツやスポーツ選手について、質問する、答える。
11 回	スポーツ選手	過去の出来事や行為について感情を示す評価判断を表現する。現在あるいは未来で、可能性の低いあるいは全くない条件を使って話す。
12 回	学年が終わる。	学期中に行ったところについて、質問する、話す。
13 回	大学が終わる。	クラスメートに別れの挨拶のメッセージを書く。
14 回	復習と口頭試験	復習と口頭試験

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。

- ・単語の意味調べを行い、授業に出る。
  - ・授業中に出る宿題を必ず行うこと。
  - ・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。
  - ・努めて語彙を増やしていくこと。
  - ・スペイン語圏のニュースに注意している。
- 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

**【テキスト（教科書）】**

いいね！ スペイン語 2

朝日出版

**【参考書】**

なし

**【成績評価の方法と基準】**

平常点 15 %・授業参加 15%、ライティング中間テスト 30 %+課題と学期口頭末試験 40 %で総合評価します。

**【学生の意見等からの気づき】**

なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

**【学生が準備すべき機器他】**

西和和西辞典

**【Outline (in English)】**

The objective of this class is to communicate simple intentions to Spanish-speaking people. And, at the same time, try to improve the composition of more complicated sentences and improve the level of listening comprehension of the previous course.

In this class, you will also review the points you learned in the previous year and learn about culture while learning dialogue and words according to the textbook so that you can express at a higher level.

After explaining the intention of the conversation at the beginning of the lesson, we will decipher the grammar and context and then have a conversation. We will use Hoppii to provide feedback on submissions and assignments.

Be sure to review what you learned in the first year. Look up the meaning of the words and go to class. Be sure to do your homework. Make sure you review what you have learned each class. Strive to increase your vocabulary. Watch out for Spanish-speaking news. In total one hour of the standard preparatory study / review time for this class is preferably required.

Grading will be decided based on the following: Comprehensive evaluation with 15% of normal points, 15% of class participation, 30% of writing mid-term exams + assignments and 40% of oral final exams.

LANs200LA

## スペイン語 3 I

2017 年度以降入学者

長谷川 悦夫

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次の初級文法で未修だった直説法線過去形、未来形、過去未来形、接続法現在形、過去形を学習する。学習した文法知識を用いて、聞き取り、読解、作文など、実用的なスペイン語を運用する能力の習得を目指す。

## 【到達目標】

点過去形と線過去形を用いて、過去の出来事について複雑な描写ができるようになる。未来形を用いて、未来の予測、現在の推量について述べるができる。過去未来形を用いて、過去から見た未来や反実仮想を表現できるようになる。接続法現在形を用いて、願望、命令、依頼、目的、条件、譲歩などを表す複文を作ることができるようになる。接続法過去形を用いて、事実と反する仮定とその帰結を述べるができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

教科書に沿って進める。前半の授業では、1 年次の教科書を用いて未習分野を学習する。後半は、接続法を重点的に学習する。また、毎回 Hoppii で課題の提出を求める。課題は、毎回の授業への質問・感想である。それについては、次回の授業でフィードバックを行う。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 第 1 課 (1)	本シラバスを用いた授業の説明。 直説法現在形のまとめ、 PARECER。
2	第 1 課 (2)	基本練習 (疑問詞の疑問文、SER、ESTAR、TENER、HABER)。 応用練習 (意見を言う、何をいつやる?)。
3	第 2 課 (1)	直説法点過去・規則活用、再帰動詞。
4	第 2 課 (2)	基本練習 (習慣的行動など)。 応用練習 (最後に~したのはいつ? 人生での出来事)。
5	第 3 課 (1)	直説法点過去・不規則活用、関係代名詞 QUE。
6	第 3 課 (2)	基本練習 (過去形の記事、関係代名詞)。 応用練習 (旅行の報告、友人の紹介など)。
7	理解度確認	中間試験を実施。
8	第 4 課 (1)	直説法線過去、間接話法、定冠詞 + 関係代名詞
9	第 4 課 (2)	基本練習 (過去の回想など)。 応用練習 (子供時代の習慣、小さいときに住んでいた家)。
10	第 5 課 (1)	点過去と線過去、現在分詞、関係代名詞の独立用法。

11	第 5 課 (2)	基本練習 (~が~したとき、~は~していた)。 応用練習 (一年生の時の思い出、現在進行中のこと)。
12	第 6 課 (1)	過去分詞、現在完了形、感嘆文。
13	第 6 課 (2)	基本練習 (今日、今週、今月~した、~したことがある、もう~した? いま~しているところ)。 応用練習 (体験を語る、今月したこと)。
14	理解度確認	期末試験を実施。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習、復習を必ずする。予習としては、少なくとも分からない単語の意味を辞書で調べておく。本授業の準備・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

## 【テキスト（教科書）】

四宮瑞枝『アクション! (ライト版 2) ステップアップ編』(2023) 朝日出版社。

ISBN: 978-4-560-09957-5

## 【参考書】

西和辞書は必携。

## 【成績評価の方法と基準】

授業への参加 30%、中間試験 30%、期末試験 40% とし、総合的に評価する。大幅な遅刻は欠席と見なす。欠席回数が 5 回に達すると、単位認定資格を失う。

授業への積極的な参加は成績評価に際して加点材料とする。欠席、遅刻は減点材料とする。また「その他の重要事項」で列挙した事項など、授業の妨げとなる行為、学習意欲の欠如の表れとみられる行為は減点材料となり得る。

## 【学生の意見等からの気づき】

丁寧な解説を心がける。受講生と双方向のコミュニケーションを心がける。

## 【その他の重要事項】

授業での積極的な発言 (質問・問いかけに対する応答) を評価する。授業中、以下の行為は慎むこと。これらの行為を行うと、成績評価に際して減点の材料となりうるので注意すること。

- ・無断で教室を出る。
  - ・飲食をする。
  - ・過度な私語をする。
  - ・授業と関係がない目的で携帯電話などの電子機器を使用する。
  - ・居眠りをする。
- 教員のメールアドレスは以下。  
etsuo.hasegawa.ye@hosei.ac.jp

## 【Outline (in English)】

In this class, we will learn the indicative past tense, future tense, subjunctive present tense and past tense, which we did not study in the elementary grammar of the first year. We aim to acquire the ability to use practical Spanish such as listening comprehension, reading, and writing using the learned grammar knowledge.

Students will be able to use the preterit and imperfect past tenses to describe complex past events. In addition, students will be able to use the future tenses to describe predictions about the future and speculations about the present and also will be able to use the simple conditional on telling the future viewed from the past and counterfactuals. Another purpose is to learn the subjunctive present tense to create complex sentences expressing desires, commands, requests, intentions, conditions, concessions, etc. Finally, students will be able to use the subjunctive past tense to untrue state assumptions and consequences.

Students should read the grammatical explanations in the textbook, work on conversations and exercises, and listen to the sound files to familiarize themselves with the rhythm and sounds of Spanish. The standard preparation and review time for this class is one hour in total.

The final grade will be calculated according to the following process; mid-term exam 30%, final exam 40%, class contribution 30%.

LANs200LA

## スペイン語 3 II

2017 年度以降入学者

長谷川 悦夫

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 5/Mon.5

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級文法で得た知識の復習に加えて、接続法を重点的に学ぶ。初級よりも、より複雑な内容の読解、聞き取り、作文など、実用的なスペイン語を運用する能力を習得することを目指す。

## 【到達目標】

この授業で、接続法をはじめ、発展的な文法事項をあらたに学習することによって、作文や会話でさらに幅広い表現ができるようになる。くわえて、DELE、B1 レベルの文法・語彙の試験で 70% 以上得点できる実力を身につける。聞き取り能力の向上も目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

教科書に沿って進める。一つの課は「語彙」「文法」「基本練習」「応用練習」の 4 ページから構成されている。一回の授業で「語彙」「文法」を学習し、その上で次週は「基本練習」「応用練習」を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 第 7 課 (1)	本シラバスを用いて授業についての説明。
2	第 7 課 (2)	直説法未来、直説法過去未来。基本練習 (将来の予想、願望)。応用練習 (将来の計画、未来予想)。
3	第 8 課 (1)	直説法と接続法、不定詞の用法。
4	第 8 課 (2)	基本練習 (意見を言う、依頼をする、願望を言う)。応用練習 (申し出と承諾・断り、校則についての意見)。
5	第 9 課 (1)	接続法現在、不規則活用と用法。
6	第 9 課 (2)	基本練習 (もっとたくさん走る車がほしい、もっと安全な地区に住みたい)。応用練習 (どんなものがほしいか、なにがしたいか)。
7	理解度確認	中間試験を実施。
8	第 10 課 (1)	肯定目入れ、否定命令、命令形と目的人称代名詞。
9	第 10 課 (2)	基本練習 (命令、依頼、願望、許可、禁止)。応用練習 (友人を家に招いたときの会話)。
10	第 11 課 (1)	接続法過去、活用と用法。
11	第 11 課 (2)	基本練習 (～に～してほしかった、～が～しますように)。応用練習 (久しぶりに会った友人どうしの会話)。
12	第 12 課 (1)	接続法現在完了と過去完了、条件文、直説法過去未来の用法。

13	第 12 課 (2)	基本練習 (実現不可能な仮定、～が～したのは～だと思う)。応用練習 (評価を表す表現、もっと～していたら楽しい旅行になったのに)。
14	理解度確認	期末試験を実施。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習・復習は必須。少なくとも、授業の前に意味の分からない単語を辞書で調べておくこと。本授業の準備・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

## 【テキスト（教科書）】

四宮瑞枝他『アクション！(ライト版 2) ステップアップ編』(2023) 朝日出版社。

ISBN: 978-4-560-09957-5

## 【参考書】

西和辞書は必携。

## 【成績評価の方法と基準】

授業への参加を 30%、中間試験を 30%、期末試験を 70% とし、総合的に評価する。

欠席回数が 5 回に達すると、単位認定資格を失う。

授業への積極的な参加は成績評価に際して加点材料とする。

欠席、遅刻は減点材料とする。また「その他の重要事項」で列挙した事項など、授業の妨げとなる行為、学習意欲の欠如の表れとみられる行為は減点材料となり得る。

## 【学生の意見等からの気づき】

丁寧な解説を心がける。受講生と双方向のコミュニケーションを心がける。

## 【その他の重要事項】

授業での積極的な発言（質問・問いかけに対する応答）を評価する。授業中、以下の行為は慎むこと。これらの行為を行うと、成績評価に際して減点の材料となりうるので注意すること。

- ・無断で教室を出る。
- ・飲食をする。
- ・過度な私語をする。
- ・授業と関係がない目的で携帯電話などの電子機器を使用する。
- ・居眠りをする。

教員のメールアドレスは以下。

etsuo.hasegawa.ye@hosei.ac.jp

## 【Outline (in English)】

In this class, students will be able to use a broader range of expressions in writing and conversation by learning new grammatical items, such as the subjunctive. In addition, the students will acquire the ability to score 70% or more on the DELE and B1 level grammar and vocabulary tests. It also aims to improve listening skills. Also we will learn about the culture of Spanish-speaking world.

The standard preparation and review time for this class is one hour in total.

The final grade will be calculated according to the following process; final exam 70%, class contribution 30%.

LANs200LA

## スペイン語 4 I

2017 年度以降入学者

## OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。

## 【到達目標】

自分の住環境、学習環境、労働環境について、評価または願望などをスペイン語で述べるができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

授業はテキストに沿って実習形式で進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、基本的には学生が会話をしたり、練習問題を解いたりして積極的に授業に参加することが期待される。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introducción al curso	スペイン語で紹介、挨拶、授業の説明
2	Elena se prepara para ir a verle	再帰動詞・代名詞
3	Elena se prepara para ir a verle	日常生活、習慣、日課
4	Ya ha llegado a Valencia	現在完了形・頻度を表す副詞・
5	Ya ha llegado a Valencia	近い過去・習慣について話す
6	Iremos a Peñíscola	未来形、関係代名詞、副詞
7	Iremos a Peñíscola	友人を紹介する、仮定の話をする、他'
8	El partido de fútbol. ¿ Qué está pasando?	比較級と最上級、現在進行形
9	El partido de fútbol. ¿ Qué está pasando?	アドバイス、同時進行する言動、今行っていることを話す
10	Antes todo era diferente	線過去、旅行しながら過去を思い出す
11	Antes todo era diferente	過去の状態、行動、日常について述べる
12	El año pasado fui a...	点過去、時を表す副詞
13	El año pasado fui a...	過去のある時点での出来事、過去の重要事項について話す
14	期末テスト	まとめ、試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習をしっかりやること、十分な準備をすること。本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Te Veo,nivel intermedio. Editorial DTP

楽しく覚えるスペイン語「改訂版」

スペイン語中級

【参考書】

-SHOGAKUKAN DICCIONARIO ESPAÑOL-JAPONÉS Segunda edición

-スペイン語文法ハンドブック、上田博人

【成績評価の方法と基準】

授業内での口頭試験 50 %

小テスト 20 %、期末試験の結果 30 %

毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】

新規の担当科目のため、学生からの意見は今後授業改善に反映する。

【Outline (in English)】

In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

At the end of this course, students will be able to express their desires or aspirations in Spanish, and they will also evaluate their learning to project the Spanish language as a work tool in their future.

The standard preparation and review time for this class is 1 hour.

Grading will be decided based on exams (50%) and the active class participation of students (50%).

LANs200LA

## スペイン語 4 II

2017 年度以降入学者

## OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。

## 【到達目標】

自分の住環境、学習環境、労働環境について、評価または願望などをスペイン語で述べるができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

授業はテキストに沿って進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、会話練習や練習問題への取り組みが主要な時間を占める。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり / Yes

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	¿ Dónde nos conocimos?	時を表す語句とそれに合った 3 つの過去（現在完了形・線過去・点過去）
2	¿ Dónde nos conocimos?	歴史上の出来事と伝記、レシピ、料理
3	La paella.Enséname	命令法
4	La paella.Enséname	命令・アドバイス・指示の仕方、待ち合わせをする、他
5	Ya había estado aquí.	過去完了形、時を表す副詞
6	Ya había estado aquí.	過去・大過去の出来事について話す、時の表現の復習
7	映像	ラテンアメリカの映画
8	Quiero que venga mucha gente	接続法現在
9	Quiero que venga mucha gente	願望・要求・許可・禁止
10	Un regalo para mi madre. ¿ Qué le comprarías?	過去未来形、接続法過去形
11	Un regalo para mi madre. ¿ Qué le comprarías?	願い・憧れ・夢について話す、洋服・プレゼントを買う
12	La fiesta. ¡ Dice que saques unas cervezas!	間接語法、金言・名言集
13	La fiesta. ¡ Dice que saques unas cervezas!	他者の言葉を再現する、他者のメッセージを伝える
14	期末テスト	まとめ、試験

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習をしっかりとやること、十分な準備をすること。本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

Te Veo. Nivel intermedio.Editorial DTP

スペイン語中級

楽しく覚えるスペイン語

## 【参考書】

-SHOGAKUKAN DICCIONARIO ESPAÑOL-JAPONÉS Segunda edición

-スペイン語文法ハンドブック、上田博人

## 【成績評価の方法と基準】

授業内での口頭試験 50 %

小テスト 20 %、期末試験の結果 30 %

毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

## 【学生の意見等からの気づき】

新規担当科目のため、学生からの意見は今後反映させる。

## 【Outline (in English)】

In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

At the end of this course, students will be able to express their desires or aspirations in Spanish, and they will also evaluate their learning to project the Spanish language as a work tool in their future.

The standard preparation and review time for this class is 1 hour.

Grading will be decided based on exams (50%) and the active class participation of students (50%).

LANs200LA

スペイン語 4 I

2017 年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。また、スペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指す。

【到達目標】

自分の住環境、学習環境、労働環境について、評価または願望などをスペイン語で述べるができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

授業はテキストに沿って実習形式で進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、基本的には学生が会話をしたり、練習問題を解いたりして積極的に授業に参加することが期待される。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Planteamiento del curso	イントロダクション/授業の説明/ 自己紹介 南米にスペイン語を話す国々
2	Lectura: El día a día de mi vida en Madrid	復習:直接法現在
3	Lectura: El día a día de mi vida en Madrid	規則動詞/不規則動詞
4	Diálogo: Presentarse	動詞 conocer, saber, poner, venir 不定詞表現 Las perífrasis
5	Diálogo: Hablar de sí mismo	現在分詞 現在分詞の用法 関係詞 que, donde
6	Diálogo: en una zapatería	目的格人称代名詞 動詞 gustar, otros verbos del grupo de gustar
7	Diálogo: En una farmacia	所有形容詞
8	Lectura: Mi vida en Madrid	比較級/最上級 直説法点過去
9	Lectura: Mi vida en Madrid	直説法点過去と直説法線過去
10	Diálogo: en una terraza	過去分詞/ 過去分詞の用法
11	Diálogo: en una terraza	直説法現在完了 直説法過去完了
12	Lectura: Nuestra vida en el futuro	直説法未来 直説法過去未来
13	Lectura: Nuestra vida en el futuro	命令表現（1）/命令表現での代名詞位置
14	まとめ	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習をしっかりとやること、十分な準備をすること。本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Español en imágenes2 イメージ・スペイン語 2

Editorial Asahi

【参考書】

-SHOGAKUKAN DICCIONARIO ESPAÑOL-JAPONÉS Segunda edición

-スペイン語文法ハンドブック、上田博人

【成績評価の方法と基準】

授業内での口頭試験 50 %

小テスト 20 %、期末試験の結果 30 %

毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】

新規の担当科目のため、学生からの意見は今後授業改善に反映する。

【Outline (in English)】

In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

At the end of this course, students will be able to express their desires or aspirations in Spanish, and they will also evaluate their learning to project the Spanish language as a work tool in their future.

The standard preparation and review time for this class is 1 hour.

Grading will be decided based on exams (50%) and the active class participation of students (50%).

LANs200LA

## スペイン語 4 II

2017 年度以降入学者

## OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。また、スペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指す。

## 【到達目標】

自分の住環境、学習環境、労働環境について、評価または願望などをスペイン語で述べるができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

授業はテキストに沿って進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、会話練習や練習問題への取り組みが主要な時間を占める。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり / Yes

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Diálogo: La fiesta de Año nuevo	接続法現在：規則動詞/不規則動詞
2	Diálogo: La fiesta de Año nuevo	名詞節における接続法
3	Diálogo: ¡ A los tiempos!	独立文における接続法 名詞節における接続法と直説法
4	Diálogo: ¡ A los tiempos!	不定語・否定語
5	Diálogo: Nuestros sueños	関係節における接続法
6	Diálogo: Nuestros sueños	副詞節における接続法
7	Lectura: Visita a Madrid y sus alrededores	接続法現在完了
8	Lectura: Visita a Madrid y sus alrededores	接続法過去
9	Lectura: Consejos para ser feliz	命令表現（2）
10	Lectura: Consejos para ser feliz	命令表現での代名詞の位置
11	Proyección de una película hispanoamericana	スペイン語圏の映画
12	Lectura: Visita al norte de España	現在の非現実的条件文（1）
13	Lectura: Visita al norte de España	直説法未来完了
14	まとめ	期末試験

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習をしっかりとやること、十分な準備をすること。本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

Español en imágenes 2 イメージ・スペイン語2

Editorial Asahi

## 【参考書】

-SHOGAKUKAN DICCIONARIO ESPAÑOL-JAPONÉS Segunda edición

-スペイン語文法ハンドブック、上田博人

## 【成績評価の方法と基準】

授業内での口頭試験 50 %

小テスト 20 %、期末試験の結果 30 %

毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

## 【学生の意見等からの気づき】

新規担当科目のため、学生からの意見は今後反映させる。

## 【Outline (in English)】

In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

At the end of this course, students will be able to express their desires or aspirations in Spanish, and they will also evaluate their learning to project the Spanish language as a work tool in their future.

The standard preparation and review time for this class is 1 hour.

Grading will be decided based on exams (50%) and the active class participation of students (50%).



LANs200LA

スペイン語 4 I

2017 年度以降入学者

宮田 絵津子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 2/Wed.2  
単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年生で学んだスペイン語の復習とさらに進んだ文法の習得とならんで、スペイン語圏の文化について、各国の文化遺産を通して学ぶ。初級、中級の文法を使って、「話す」「聞く」「理解する」「書く」ことを目標とする。

【到達目標】

スペイン語を用いて自分の意見を表現することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

基本的には対面授業だが、社会状況に応じてオンライン授業に切り替わる可能性もあるので学習支援を確認すること。テキストを使用して文法の学びを基本とし、練習問題を解いていくことでスペイン語を身につける。同時にスペイン語圏の文化についての理解を深める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	一年を通じてどのように授業を進めていくのか、授業の紹介、スペイン語の導入。
2	1 課前半	1 年で学んだ文法の復習。 ser,estar,hay の使い分けおよび直説法現在の動詞の活用。グラナダ（スペイン）について知る。
3	1 課後半	1 年で学んだ直説法現在の用法、指示形容詞、指示代名詞を学び、この、その、あの、これ、それ、あれ、という言い方の復習。グラナダ（スペイン）について知る。
4	2 課前半	再帰動詞、目的格人称代名詞。セビーヤ（スペイン）について知る。
5	2 課後半	不定詞と「弱い代名詞」。セビーヤ（スペイン）について知る。
6	3 課前半	現在分詞、進行形。ハバナ（キューバ）について知る。
7	3 課後半	現在分詞を用いた分詞構文、所有形容詞。ハバナ（キューバ）について知る。
8	4 課前半	過去分詞、受動態。テオティワカン（メキシコ）について知る。
9	4 課後半	結果状態、点過去。テオティワカン（メキシコ）について知る。
10	5 課前半	線過去、点過去と線過去の使い分け。ティカル（グアテマラ）について知る。
11	5 課後半	時間の経過を示す、比較表現、絶対最上級。ティカル（グアテマラ）について知る。
12	6 課前半	直説法現在完了、直説法過去完了。マチュ・ピチュ（ペルー）について知る。

13	6 課後半	不定語と否定語、無人称表現。マチュ・ピチュ（ペルー）について知る。
14	期末試験	春学期に学んだことの確認として期末テストを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Conociendo el Patrimonio de la Humanidad Segunda edición  
初級～中級スペイン語世界遺産を訪ねて 改訂版 朝日出版社

【参考書】

『クラウン西和辞典』（小学館）  
『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）  
『わかるスペイン語』（同学社）

【成績評価の方法と基準】

試験（60%）平常点（40%）。携帯電話の使用は減点の対象とする。欠席は 2 回まで。3 回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。期末テストでは 60% 取得しないと単位は取れない。

【学生の意見等からの気づき】

適宜リアクションペーパーを配布し、学生からの質問や要望に応える方針。質問したい単元や確認したい文法について記入してください。授業内で復習するなど質問に対する対応をします。

【学生が準備すべき機器他】

紙媒体の辞書

【その他の重要事項】

初回よりテキストを使用するので、前もって購入しておくこと

【Outline (in English)】

1.Learn basic grammars and carry on practices which are in the textbook. 2.In order to be able to learn intermediary Spanish, it is aimed to learn grammatical interpretation.3.Learning activities outside of classroom aiming to restudy what is learned in the class is required. Your required study time is at least one hour for each class meeting.4.Grading criteria: 40% is presence and participation, attitude during class and 60% is the exam points. In the exams, more than 60 points is required to obtain the credit.

LANs200LA

## スペイン語 4 II

2017 年度以降入学者

宮田 絵津子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 2/Wed.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年生で学んだスペイン語の復習とさらに進んだ文法の習得とならんで、スペイン語圏の文化について、各国の文化遺産を通して学ぶ。初級、中級の文法を使って、「話す」「聞く」「理解する」「書く」ことを目標とする。

## 【到達目標】

スペイン語を用いて自分の意見を表現することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

基本的に対面授業だが、社会状況に応じてオンライン授業に切り替わる可能性もあるので学習支援を確認すること。テキストを使用して文法の学びを基本とし、練習問題を解いていくことでスペイン語を身につける。同時にスペイン語圏の文化についての理解を深める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習（1 課～3 課）	春学期に学んだ教科書 1 課から 3 課までの復習
2	復習（4 課～6 課）	春学期に学んだ教科書 4 課から 6 課までの復習
3	7 課前半	直説法未来、直説法過去未来。メキシコ市（メキシコ）
4	7 課後半	直説法未来・過去未来の不規則活用。関係詞。メキシコ市（メキシコ）
5	8 課前半	直説法未来完了。クスコ（ペルー）について知る。
6	8 課後半	直説法過去未来完了、間接話法。クスコ（ペルー）について知る。
7	9 課前半	接続法現在の活用。ポトシ（ボリビア）について知る。
8	9 課後半	接続法の用法：独立分、知覚、使役の表現。ポトシ（ボリビア）について知る。
9	10 課前半	命令文（肯定命令）。ラ・サンティシマ・トリニダードとヘスス・デ・タバランゲ（パラグアイ）について知る。
10	10 課後半	命令文（否定命令）、再帰前置詞各人称代名詞。ラ・サンティシマ・トリニダードとヘスス・デ・タバランゲ（パラグアイ）について知る。
11	11 課前半	接続法の用法：名詞節。ガラパゴス諸島（エクアドル）について知る。
12	11 課後半	接続法の用法：形容詞節、接続法の用法：副詞節。ガラパゴス諸島（エクアドル）について知る。

13	1 2 課	接続法過去の活用と用法、条件文。ラパ・ヌイ国立公園（チリ）を知る
14	期末試験	秋学期に学んだことを確認。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

Conociendo el Patrimonio de la Humanidad Segunda edición  
初級～中級スペイン語世界遺産を訪ねて 改訂版 朝日出版社

## 【参考書】

『中級スペイン語文法』 山田善郎著 白水社  
『プログレッシブスペイン語辞典』 小学館  
『クラウン西和辞典』 三省堂  
『プエルタ新スペイン語辞典』 研究社  
紙媒体の辞書必携

## 【成績評価の方法と基準】

試験 60%、平常点 40%。  
携帯電話の使用は減点の対象とする。欠席は 3 回まで。3 回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。期末テストでは 60% 取得しないと単位は取れない。

## 【学生の意見等からの気づき】

適宜配布するリアクションペーパーに疑問点、要望などがあれば対応。質問したい単元や確認したい文法があれば記入してください。授業内で復習するなど対応します。

## 【学生が準備すべき機器他】

紙媒体の辞書

## 【Outline (in English)】

1. Learn intermediary grammars and carry on practices which are in the textbook. 2. In order to be able to learn basic Spanish, it is aimed to learn grammatical interpretation. 3. Learning activities outside of classroom aiming to restudy what is learned in the class is required. Your required study time is at least one hour for each class meeting. 4. Grading criteria: 40% is presence and participation, attitude during class and 60% is the exam points. In the exams, more than 60 points is required to obtain the credit.

LANs200LA

スペイン語 (3) I

2017 年度以降入学者

宮田 絵津子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 2/Tue.2  
単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

1 年生で学んだスペイン語の復習とさらに進んだ文法の習得とならんで、スペイン語圏の文化について、各国の文化遺産を通して学ぶ。初級、中級の文法を使って、「話す」「聞く」「理解する」「書く」ことを目標とする。

【到達目標】

スペイン語を用いて自分の意見を表現することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には対面授業を行う。社会状況に応じてオンライン授業に切り替わる可能性もあるので学習支援システムを確認すること。テキストを使用して文法の学びを基本とし、練習問題を解いていくことでスペイン語を身につける。同時にスペイン語圏の文化についての理解を深める。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	一年を通じてどのように授業を進めていくのか、授業の紹介、スペイン語の導入。
2	1 課前半	1 年で学んだ文法の復習。 ser,estar,hay の使い分けおよび直説法現在の動詞の活用。グラナダ (スペイン) について知る。
3	1 課後半	1 年で学んだ直説法現在の用法、指示形容詞、指示代名詞を学び、この、その、あの、これ、それ、あれ、という言い方の復習。グラナダ (スペイン) について知る。
4	2 課前半	再帰動詞、目的格人称代名詞。セビーヤ (スペイン) について知る。
5	2 課後半	不定詞と「弱い代名詞」。セビーヤ (スペイン) について知る。
6	3 課前半	現在分詞、進行形。ハバナ (キューバ) について知る。
7	3 課後半	現在分詞を用いた分詞構文、所有形容詞。ハバナ (キューバ) について知る。
8	4 課前半	過去分詞、受動態。テオティワカン (メキシコ) について知る。
9	4 課後半	結果状態、点過去。テオティワカン (メキシコ) について知る。
10	5 課前半	線過去、点過去と線過去の使い分け。ティカル (グアテマラ) について知る。
11	5 課後半	時間の経過を示す、比較表現、絶対最上級。ティカル (グアテマラ) について知る。
12	6 課前半	直説法現在完了、直説法過去完了。マチュ・ピチュ (ペルー) について知る。

13	6 課後半	不定語と否定語、無人称表現。マチュ・ピチュ (ペルー) について知る。
14	期末試験	春学期に学んだことの確認として期末テストを行う。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

Conociendo el Patrimonio de la Humanidad Segunda edición  
初級～中級スペイン語世界遺産を訪ねて 改訂版 朝日出版社

【参考書】

『プログレッシブスペイン語辞典』(小学館) 紙媒体の辞書必携  
『プエルタ新スペイン語辞典』(研究社)  
『わかるスペイン語』西川喬 (同人社)

【成績評価の方法と基準】

試験 (60%) 平常点 (40%)。携帯電話の使用は減点の対象とする。欠席は 3 回まで。3 回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。期末テストでは 60% 取得しないと単位は取れない。

【学生の意見等からの気づき】

適宜リアクションペーパーを配布し、学生からの質問や要望に応える方針。質問したい単元や確認したい文法について記入してください。授業内で復習するなど質問に対する対応をします。

【学生が準備すべき機器他】

紙媒体の辞書

【その他の重要事項】

初回よりテキストを使用するので、前もって購入しておくこと

【Outline (in English)】

1.Learn basic grammars and carry on practices which are in the textbook. 2.In order to be able to learn intermediate Spanish, it is aimed to learn grammatical interpretation.3.Learning activities outside of classroom aiming to restudy what is learned in the class is required. Your required study time is at least one hour for each class meeting.4.Grading criteria: 40% is presence and participation, attitude during class and 60% is the exam points. In the exams, more than 60 points is required to obtain the credit.

LANs200LA

## スペイン語 (3) II

2017 年度以降入学者

宮田 絵津子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

1 年生で学んだスペイン語の復習とさらに進んだ文法の習得とならんで、スペイン語圏の文化について、各国の文化遺産を通して学ぶ。初級、中級の文法を使って、「話す」「聞く」「理解する」「書く」ことを目標とする。

## 【到達目標】

スペイン語を用いて自分の意見を表現することを目標とする。スペイン語読解能力を伸ばしていくこと。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

## 【授業の進め方と方法】

基本的には対面授業だが、社会状況に応じてオンライン授業に切り替わる可能性もあるので学習支援を確認すること。テキストを使用して文法の学びを基本とし、練習問題を解いていくことでスペイン語を身につける。同時にスペイン語圏の文化についての理解を深める。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習 (1 課～3 課)	春学期に学んだ教科書 1 課から 3 課までの復習
2	復習 (4 課～6 課)	春学期に学んだ教科書 4 課から 6 課までの復習
3	7 課前半	直説法未来、直説法過去未来。メキシコ市 (メキシコ)
4	7 課後半	直説法未来・過去未来の不規則活用。関係詞。メキシコ市 (メキシコ)
5	8 課前半	直説法未来完了。クスコ (ペルー) について知る。
6	8 課後半	直説法過去未来完了、間接話法。クスコ (ペルー) について知る。
7	9 課前半	接続法現在の活用。ポトシ (ボリビア) について知る。
8	9 課後半	接続法の用法：独立分、知覚、使役の表現。ポトシ (ボリビア) について知る。
9	10 課前半	命令文 (肯定命令)。ラ・サンティシマ・トリニダードとヘスス・デ・タバランゲ (パラグアイ) について知る。
10	10 課後半	命令文 (否定命令)、再帰前置詞各人称代名詞。ラ・サンティシマ・トリニダードとヘスス・デ・タバランゲ (パラグアイ) について知る。
11	11 課前半	接続法の用法：名詞節。ガラパゴス諸島 (エクアドル) について知る。
12	11 課後半	接続法の用法：形容詞節、接続法の用法：副詞節。ガラパゴス諸島 (エクアドル) について知る。

13	1 2 課	接続法過去の活用と用法、条件文。ラパ・ヌイ国立公園 (チリ) を知る
14	期末試験	秋学期に学んだことを確認。

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト (教科書)】

Conociendo el Patrimonio de la Humanidad Segunda edición  
初級～中級スペイン語世界遺産を訪ねて 改訂版 朝日出版社

## 【参考書】

『中級スペイン語文法』 山田善郎著 白水社 紙媒体の辞書必携  
『プログレッシブスペイン語辞典』 小学館  
『プエルタ新スペイン語辞典』 研究社

## 【成績評価の方法と基準】

試験 60%、平常点 40%。

携帯電話の使用は減点の対象とする。欠席は 3 回まで。3 回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。期末テストでは 60% 取得しないと単位は取れない。

## 【学生の意見等からの気づき】

適宜配布するリアクションペーパーに疑問点、要望などがあれば対応。質問したい単元や確認したい文法があれば記入してください。授業内で復習するなど対応します。

## 【学生が準備すべき機器他】

紙媒体の辞書

## 【Outline (in English)】

1. Learn basic grammars and carry on practices which are in the textbook. 2. In order to be able to learn intermediate Spanish, it is aimed to learn grammatical interpretation. 3. Learning activities outside of classroom aiming to restudy what is learned in the class is required. Your required study time is at least one hour for each class meeting. 4. Grading criteria: 40% is presence and participation, attitude during class and 60% is the exam points. In the exams, more than 60 points is required to obtain the credit.

LANs200LA

## スペイン語 (3) I

2017 年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土 2/Sat.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。

## 【到達目標】

スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された  
どの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針  
に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

## 【授業の進め方と方法】

これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがある  
と思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足し  
てもらえるような方法をとりたい。

その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。

授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、  
状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども検討します。

学習支援システムを通じたヒアリングや各回実施する練習問題を通  
じて、

理解度を把握し、内容/進め方を適宜修正する。

## 【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	点過去形規則活用	ar 動詞 er/ir 動詞
2	点過去系不規則活用	不規則活用の種類
3	線過去形	線過去の用法
4	点過去・線過去の違い	考え方、使い方の整理
5	未来形	未来形活用・用法
6	過去未来形	過去未来形活用・用法
7	さまざまな時制の完了形	現在完了/過去完了/未来完了/ 過去未来完了
8	練習問題	1~7 まとめ
9	命令形	肯定文 (tu/vosotros)
10	疑問詞	用法、内容確認
11	関係詞	用法、内容確認
12	仮定法 si	用法、内容確認
13	テスト前確認・質疑応答	講義内容復習
14	試験・まとめと解説	試験の実施と、その解説を行い、 今学期の学習内容のまとめを行う

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

予習は不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合  
わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト (教科書)】

各単元についてまとめたレジュメを元に進めるため、指定の教科書  
は特になし

## 【参考書】

特になし。

## 【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点 35% で判定。

## 【学生の意見等からの気づき】

会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使用できる表現を、  
自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。

また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

## 【Outline (in English)】

## 【Course Outline】

The aim of this course is to help students acquire basic-  
intermediate grammar of Spanish.

## 【Leaning Objectives】

Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill  
is required.

## 【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what  
you studied in classroom. Your required study time is at least  
one hour for each class meeting.

## 【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on  
the following. Term-end examination: 65%, and in-class  
contribution: 35%.

LANs200LA

## スペイン語 (3) II

2017 年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土 2/Sat.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。  
スペイン語圏の文化に親しむこと。

## 【到達目標】

スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された  
どの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針  
に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学  
部・国際政治学科：DP1

## 【授業の進め方と方法】

これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがある  
と思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足し  
てもらえるような方法をとりたい。

その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。

授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、  
状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども検討します。

学習支援システムを通じたヒアリングや各回実施する練習問題を通  
じて、

理解度を把握し、内容/進め方を適宜修正する。

## 【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	接続法現在	考え方
2	接続法現在規則活用	活用、用法
3	接続法現在不規則活用	活用、用法
4	接続法現在完了	活用、用法
5	練習問題	授業内演習
6	接続法過去	活用、用法
7	接続法過去完了	活用、用法
8	仮定法 si(2) 接続法使 用	用法、練習問題
9	接続法文法 応用	実際の文章の中での使われ方
10	練習問題 (接続法過 去、仮定法ほか)	授業内演習
11	文書読解 (ニュースサ イト)	最新のニュースなど
12	文書読解 (SNS)	SNS で見られるスペイン語の紹 介
13	テスト前、質疑応答	秋学期授業復習
14	試験・まとめと解説	試験の実施と、その解説を行い、 今学期の学習内容のまとめを行う

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

予習不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合  
わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト (教科書)】

学生が使ってきた教科書を調査して決定。

## 【参考書】

特になし。

## 【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点 35% で判定。

## 【学生の意見等からの気づき】

会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使用できる表現を、  
自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。  
また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

## 【Outline (in English)】

## 【Course Outline】

The aim of this course is to help students acquire basic-  
intermediate grammar of Spanish.

## 【Learning Objectives】

Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill  
is required.

## 【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what  
you studied in classroom. Your required study time is at least  
one hour for each class meeting.

## 【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on  
the following. Term-end examination: 65%, and in-class  
contribution: 35%.

LANs200LA

**スペイン語Ⅶ**

2017 年度以降入学者

大西 亮

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1 単位

その他属性：

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

この授業は、SA に参加する 2 年生を対象とする授業である。1 年次に学んだスペイン語文法の知識を生かしながら、長文読解や作文、リスニング、スピーキングなどの技能の習得をめざす。また、おもにスペインの新聞記事や小説など、さまざまなジャンルの読み物に挑戦し、文章理解力の向上に努める。

**【到達目標】**

長文読解では、おもにスペインの新聞記事や小説など、さまざまなジャンルの読み物に挑戦し、文章理解力の向上に努める。そのほか、複雑な時制を含む和文西訳や、視聴覚教材を用いたリスニングなどにも取り組む。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

あらかじめ配布された講読資料をもとに、内容について詳しく見ていく。指名された学生は、スペイン語の文章の和訳を行なう。それについて、討議などを通じて全員で議論し、内容理解に努める。課題等に対するフィードバックは授業内で行い、必要に応じて「学習支援システム」も活用する。

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**  
あり / Yes

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**  
なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	直説法現在形	直説法現在形を用いた文章の読解を行なう。
2	直説法現在形（不規則）	直説法現在形（不規則）を用いた文章の読解を行なう。
3	直説法点過去	直説法点過去を用いた文章の読解を行なう。
4	直説法線過去	直説法線過去を用いた文章の読解を行なう。
5	直説法現在完了	直説法現在完了形を用いた文章の読解を行なう。
6	直説法未来形	直説法未来形を用いた文章の読解を行なう。
7	直説法過去未来形	直説法過去未来形を用いた文章の読解を行なう。
8	直説法過去完了	直説法過去完了形を用いた文章の読解を行なう。
9	接続法現在	接続法現在形を用いた文章の読解を行なう。
10	接続法現在完了	接続法現在完了形を用いた文章の読解を行なう。
11	接続法過去	接続法過去形を用いた文章の読解を行なう。
12	仮定法	仮定法を用いた文章の読解を行なう。
13	接続法独立用法	接続法（独立用法）を用いた文章の読解を行なう。
14	期末試験	試験・まとめと解説

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

授業で用いる教材について予習と復習の励行に努めること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

**【テキスト（教科書）】**

初回授業時に指示する。

**【参考書】**

初回授業時に指示する。

**【成績評価の方法と基準】**

平常点 (40%)、期末試験 (60 %) を総合的に勘案して評価する。

**【学生の意見等からの気づき】**

学生参加型の授業を心がける。

**【Outline (in English)】**

This course is intended for second-year students to participate in SA program. We will aim to improve students' reading, writing, listening and speaking skills in Spanish, by making the most of grammar they learned in their previous year. A further goal is to increase students' awareness and understanding of Spanish vocabulary and sentence-patterns, by reading newspaper-accounts, novels and other sundry books of all kinds.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following;

Term-end examination: 60%

in class contribution:40%

LANs200LA

## スペイン語 8

2017 年度以降入学者

佐々木 直美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語基礎文法の学習を終え、SA 出発に向けて準備を進める。1 年次に使用した教科書と新たに購入する講読テキストを併用しつつ、スペイン語読解力の向上とスペイン語を用いての討論に慣れることを目指す。

## 【到達目標】

スペイン語文法の「総仕上げ」を行う。スペイン語初級文法の全項目について一通りの知識を身につける。特にスペイン語の過去未来の用法と接続法の用法について理解し、使用することができるようになることを目指す。

また、スペイン語圏の文化について広く関心をひろげ、「祭り」を通じて文化の多様性を知らさまざまな価値観を尊重する心を培うことを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

中文読解の演習形式で行う。受講生はあらかじめテキストの日本語訳を準備し、全員で訳を確認しながら、適宜担当者が文法事項と文化的事象について解説を行う。

また、第 4 回目授業を目安に、受講生が各自で選んだ「祭り」について PPT を活用しながらスペイン語でプレゼンテーションを行う。プレゼン内容については、クラス内でスペイン語による質疑応答も実施する。授業期間内に一人 1 回はスペイン語でのプレゼンテーションをすることが必須となる。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業方法についての説明と 1 年次の復習 1 年次の教科書「プラサ・マヨール」を準備すること。
2	聖週間	スペイン語圏でひろく祝われる聖週間の儀式と祭りについて
3	パティオ祭り	コルドバのパティオ祭りについて
4	インティ・ライミ	1. ペルーの太陽の祭りについて 2. 学生によるプレゼン①
5	サン・フェルミン	1. スペインの牛追い祭りについて 2. 学生によるプレゼン②
6	花祭り	1. コロンビアの花祭りについて 2. 学生によるプレゼン③
7	独立記念日	1. メキシコの独立記念祭について 2. 学生によるプレゼン④
8	民族の日	1. コロンブスがアメリカ大陸に到着した日に関する記念について 2. 学生によるプレゼン⑤
9	死者の日	1. メキシコの死者の日について 2. 学生によるプレゼン⑥
10	クリスマス	スペイン語圏のクリスマスについて

11	主の御公現の祝日	三賢者の日の祝祭について
12	カーニバル	ボリビアのオルロのカーニバルについて
13	期末試験	期末試験
14	ブドウ収穫祭	アルゼンチンにおけるブドウ収穫祭について

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

文法については、予習・復習をしっかりと行うこと。

講読については、あらかじめ下訳を準備しておくこと。

ディスカッションについては、各回のテーマについて各自で調べて臨むこと。

なお、この授業の準備・復習時間は 1 回につき 1 時間以上である。

## 【テキスト（教科書）】

村上陽子・ナカガワ・マルガリータ『フィエスタ！ フィエスタ！ ー 解きながら読むスペイン語圏の 12 ヶ月』、朝日出版。

『レベル別スペイン語文法ドリル グリーン版』（1 年次で使用した「オレンジ版」ではありませんので、改めて購入してください。）

『プラサ・マヨール』（1 年次から使用しているテキスト）

## 【参考書】

必要に応じて授業内で指示する。

## 【成績評価の方法と基準】

授業内課題（スペイン語によるプレゼンテーション）40 % と期末課題 60 % によって評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

この授業はオンラインで行いますが、全員参加型の授業を目指します。

## 【その他の重要事項】

1. 授業内容は、受講生の理解度によって内容や順番を調整することがあります。
2. 辞書はかならず毎回持参してください。授業内でのオンライン辞書の使用はみとめません。
3. この授業は対面形式で実施しますが、状況によっては上限を 5 回としてオンラインで実施する場合があります。
4. 授業には「3 分の 2 以上」の出席がなければ、評価の対象にはなりません。

## 【Outline (in English)】

We will finish learning basic Spanish grammar. As preparations for participating in the SA program, practice reading and do discussion in Spanish.

< Learning Objectives >

By the end of the course, students should be able to do the followings:

Understand the Subjunctive Mood in Spanish.

Express your opinions about familiar topics in Spanish.

< Learning outside of classroom >

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

< Grading Criteria/ Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%, Short reports : 40%, in class contribution: 10%.



LANs200LA

## スペイン語 3 - I

2017 年度以降入学者

## OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。また、スペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指す。

## 【到達目標】

自分の住環境、学習環境、労働環境について、評価または願望などをスペイン語で述べるができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

授業はテキストに沿って実習形式で進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、基本的には学生が会話をしたり、練習問題を解いたりして積極的に授業に参加することが期待される。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	スペイン語の紹介	南米にスペイン語を話す国々
2	LLevo un año estudiando español	直説法現在：目的人称代名詞、再帰動詞
3	LLevo un año estudiando español	現在進行形、現在分詞
4	¿ Dónde naciste?	直接法点過去
5	¿ Dónde naciste?	関係詞 I、関係詞代名詞 que
6	¿ Y cómo era?	直説法線過去、活用
7	¿ Y cómo era?	ser, estar, haber, tener 動詞
8	Aunque hacía frío, subimos a la montaña	直説法点過去と線過去
9	Aunque hacía frío, subimos a la montaña	色々な副詞節
10	Ha sido una experiencia inolvidable	直説法現在完了：活用と用法
11	Ha sido una experiencia inolvidable	過去分詞
12	Todo irá sobre ruedas	直説法未来：活用と用法
13	Todo irá sobre ruedas	直説法過去未来：活用と用法
14	まとめ	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Entre amigos 2,2a. edición. 総合スペイン語コース中級 - 改訂版 - Editorial Asahi

## 【参考書】

-SHOGAKUKAN DICCIONARIO ESPAÑOL-JAPONÉS Segunda edición

-スペイン語文法ハンドブック、上田博人

## 【成績評価の方法と基準】

授業内での口頭試験 50 %

小テスト 20 %、期末試験の結果 30 %

毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

## 【学生の意見等からの気づき】

新規の担当科目のため、学生からの意見は今後授業改善に反映する。

## 【Outline (in English)】

In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

At the end of this course, students will be able to express their desires or aspirations in Spanish, and they will also evaluate their learning to project the Spanish language as a work tool in their future.

The standard preparation and review time for this class is 1 hour.

Grading will be decided based on exams (50%) and the active class participation of students (50%).

LANs200LA

## スペイン語 3 - II

2017 年度以降入学者

## OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。また、スペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指す。

## 【到達目標】

自分の住環境、学習環境、労働環境について、評価または願望などをスペイン語で述べるができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

授業はテキストに沿って進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、会話練習や練習問題への取り組みが主要な時間を占める。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	¡ Qué lío de tiempos !	直説法過去完了：活用と用法
2	¡ Qué lío de tiempos !	直接法の時制
3	¡ Qué lío de tiempos !	関係詞 II
4	Sal y diviértete	命令形 I: tú/vosotros に対する肯定命令
5	Sal y diviértete	命令形と目的人称代名詞・再帰動詞 直説法過去未来の用法 II
6	Problemas y más problemas	接続法現在 I：活用と用法
7	Problemas y más problemas	命令形 II: usted/ustedes に対する肯定命令 命令形 III: 否定命令
8	Cuidemos el medio ambiente	接続法現在の用法 II: 副詞節
9	Cuidemos el medio ambiente	接続法現在完了:活用と用法 III
10	¿ Sueño realidad?	接続法の用法 IV: 独立文
11	¿ Sueño realidad?	接続法過去:用法と活用
12	Si no hubiera estudiado español	接続法過去完了: 用法と活用 I
13	Si no hubiera estudiado español	接続法過去完了: 用法と活用 II
14	まとめ	期末試験

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習をしっかりやること、十分な準備をすること。本授業の宿題・復習時間は、あわせて1時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

Entre amigos 2,2a. edición. 総合スペイン語コース中級 - 改訂版 - Editorial Asahi

## 【参考書】

-SHOGAKUKAN DICCIONARIO ESPAÑOL-JAPONÉS Segunda edición

-スペイン語文法ハンドブック、上田博人

## 【成績評価の方法と基準】

授業内での口頭試験 50 %

小テスト 20 %、期末試験の結果 30 %

毎回新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

## 【学生の意見等からの気づき】

新規担当科目のため、学生からの意見は今後反映させる。

## 【Outline (in English)】

In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

At the end of this course, students will be able to express their desires or aspirations in Spanish, and they will also evaluate their learning to project the Spanish language as a work tool in their future.

The standard preparation and review time for this class is 1 hour.

Grading will be decided based on exams (50%) and the active class participation of students (50%).

LANs200LA

**スペイン語 3-I**

2017 年度以降入学者

大西 亮

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5  
単位数：1 単位

その他属性：

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

この授業は、基礎レベルのスペイン語を学び終えた 2 年生を対象とする授業である。1 年次に学んだスペイン語文法の知識を生かしながら、長文読解や作文、リスニング、スピーキングなどの技能の習得をめざす。また、おもにスペインの新聞記事や小説など、さまざまなジャンルの読み物に挑戦し、文章理解力の向上に努める。

**【到達目標】**

長文読解では、おもにスペインの新聞記事や小説など、さまざまなジャンルの読み物に挑戦し、文章理解力の向上に努める。そのほか、複雑な時制を含む和文西訳や、視聴覚教材を用いたリスニングなどにも取り組む。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

**【授業の進め方と方法】**

あらかじめ配布された講読資料をもとに、内容について詳しく見ていく。指名された学生は、スペイン語の文章の和訳を行なう。それについて、討議などを通じて全員で議論し、内容理解に努める。課題等に対するフィードバックは授業内で行い、必要に応じて「学習支援システム」も活用する。

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**  
あり / Yes

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**  
なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	直説法現在形	直説法現在形を用いた文章の読解を行なう。
2	直説法現在形（不規則）	直説法現在形（不規則）を用いた文章の読解を行なう。
3	直説法点過去	直説法点過去を用いた文章の読解を行なう。
4	直説法線過去	直説法線過去を用いた文章の読解を行なう。
5	直説法現在完了	直説法現在完了形を用いた文章の読解を行なう。
6	直説法未来形	直説法未来形を用いた文章の読解を行なう。
7	直説法過去未来形	直説法過去未来形を用いた文章の読解を行なう。
8	直説法過去完了	直説法過去完了形を用いた文章の読解を行なう。
9	接続法現在	接続法現在形を用いた文章の読解を行なう。
10	接続法現在完了	接続法現在完了形を用いた文章の読解を行なう。
11	接続法過去	接続法過去形を用いた文章の読解を行なう。
12	仮定法	仮定法を用いた文章の読解を行なう。
13	接続法独立用法	接続法（独立用法）を用いた文章の読解を行なう。
14	期末試験	試験・まとめと解説

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

授業で用いる教材について予習と復習の励行に努めること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

**【テキスト（教科書）】**

初回授業時に指示する。

**【参考書】**

初回授業時に指示する。

**【成績評価の方法と基準】**

平常点 (40%)、期末試験 (60 %) を総合的に勘案して評価する。

**【学生の意見等からの気づき】**

学生参加型の授業を心がける。

**【Outline (in English)】**

This course is intended for second-year students to participate in SA program. We will aim to improve students' reading, writing, listening and speaking skills in Spanish, by making the most of grammar they learned in their previous year. A further goal is to increase students' awareness and understanding of Spanish vocabulary and sentence-patterns, by reading newspaper-accounts, novels and other sundry books of all kinds.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following;

Term-end examination: 60%  
in class contribution:40%

LANs200LA

## スペイン語 3-II

2017 年度以降入学者

大西 亮

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、春学期にひきつづき、すでに基礎レベルのスペイン語を学び終えた 2 年生の学生を対象とする授業である。1 年次に学んだスペイン語文法の知識を生かしながら、長文読解や作文、リスニング、スピーキングなどの技能の習得をめざす。また、おもにスペインの新聞記事や小説など、さまざまなジャンルの読み物に挑戦し、文章理解力の向上に努める。

## 【到達目標】

長文読解では、おもにスペインの新聞記事や小説など、さまざまなジャンルの読み物に挑戦し、文章理解力の向上に努める。そのほか、複雑な時制を含む和文西訳や、視聴覚教材を用いたリスニングなどにも取り組む。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

あらかじめ配布された講読資料をもとに、内容について詳しく見ていく。指名された学生は、スペイン語の文章の和訳を行なう。それについて、討議などを通じて全員で議論し、内容理解に努める。課題等に対するフィードバックは授業内で行い、必要に応じて「学習支援システム」も活用する。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	直説法現在形	直説法現在形を用いた文章の読解を行なう。
2	直説法現在形（不規則）	直説法現在形（不規則）を用いた文章の読解を行なう。
3	直説法点過去	直説法点過去を用いた文章の読解を行なう。
4	直説法線過去	直説法線過去を用いた文章の読解を行なう。
5	直説法現在完了	直説法現在完了形を用いた文章の読解を行なう。
6	直説法未来形	直説法未来形を用いた文章の読解を行なう。
7	直説法過去未来形	直説法過去未来形を用いた文章の読解を行なう。
8	直説法過去完了	直説法過去完了形を用いた文章の読解を行なう。
9	接続法現在	接続法現在形を用いた文章の読解を行なう。
10	接続法現在完了	接続法現在完了形を用いた文章の読解を行なう。
11	接続法過去	接続法過去形を用いた文章の読解を行なう。
12	仮定法	仮定法を用いた文章の読解を行なう。
13	接続法独立用法	接続法（独立用法）を用いた文章の読解を行なう。
14	期末試験	試験・まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で用いる教材について予習と復習の励行に努めること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

初回授業時に指示する。

## 【参考書】

初回授業時に指示する。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 (40%)、期末試験 (60 %) を総合的に勘案して評価する。

## 【学生の意見等からの気づき】

学生参加型の授業を心がける。

## 【Outline (in English)】

This course is intended for second-year students to participate in SA program. We will aim to improve students' reading, writing, listening and speaking skills in Spanish, by making the most of grammar they learned in their previous year. A further goal is to increase students' awareness and understanding of Spanish vocabulary and sentence-patterns, by reading newspaper-accounts, novels and other sundry books of all kinds.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following;

Term-end examination: 60%  
in class contribution:40%

LANs200LA

## スペイン語コミュニケーション I 2017 年度以降入学者

瓜谷 アウロラ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 2/Wed.2

単位数：1 単位

定員制 (30 名)

その他属性：〈他〉〈優〉

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期はオンラインでの開講となる。ZOOM を使ってリアルタイムで行う。

身近な話題を相手に伝える練習をする。モデル文章を作って重要な表現解説と置き換え練習も行う。モデル文章を元に表現を置き換えて、自分の文章を書けるようになるのが目標である。

## 【到達目標】

身近な話題について文章で書き表し、それをベースに簡単なプレゼンテーションができるようになることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

この講座では身近な話題を相手に伝える練習を行う。モデル文章を作って重要な表現解説と置き換え練習も行う。その後、学んだ表現を暗記し、Break Out Room で仲間と練習する。次に暗記した表現を利用してモデル文章を書き換えて Break Out Room で発表する。学習した内容は次週の講義の最初に何人かに聞いて確認を行う。毎回暗記しなければいけない短文の数は 6 個程度である。

2 回で一つのテーマが終わると課題として自分について書いた文章を Hoppii で提出する。受け取った Feedback をよく読み、文書を暗記して、仲間に発表する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】  
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	Mi nombre 1	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
2	Mi nombre 2	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
3	Mi familia 1	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
4	Mi familia 2	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
5	Mi ciudad 1	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
6	Mi ciudad 2	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
7	Mi universidad 1	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
8	Mi universidad 2	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
9	Un día normal 1	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
10	Un día normal 2	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
11	Descripciones 1	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
12	Descripciones 2	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
13	春学期の総復習	春学期の総復習

## 14 春学期の理解度の確認 春学期の理解度の確認

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

前の週の復習から始まる。履修者は Break Out Room を使ってペアで練習を行うので、予習をしっかり行い、積極的に授業に参加することが求められる。事前学習として毎回送られてくるモデル文章とその日本語訳をよく理解しておくこと。事後学習は講義で暗記した 6 個程度の短文を次回の講義までに確認し、完璧に暗記すること。次回の授業で確認を行う。学習の目安は毎回 60 分程度である。

## 【テキスト (教科書)】

なし

## 【参考書】

なし

## 【成績評価の方法と基準】

平常点及び課題と期末試験から判断する。

平常点評価:30 %

授業内で指された時の返事に基づく点数。又、授業での態度や積極的な参加度など。平常点は積み重ねていくので、欠席があればその日の平常点はゼロになる。

課題:30 %

期末試験:40 %

## 【学生の意見等からの気づき】

今年度は「量が多すぎ」という学生たちの声があったので、量を少し減らしました。

## 【学生が準備すべき機器他】

ZOOM に滞りなく参加ができるように機器環境を整えること。

## 【その他の重要事項】

なし

## 【Outline (in English)】

In the spring term the course will be held online, in real time using ZOOM.

In this course students will practice communicating familiar topics to others. Model sentences will be created to explain important expressions and practice replacing them. The goal is to be able to write your own sentences by replacing expressions based on the model sentences.

## Grading criteria

Students will be judged on the basis of regular scores, assignments and final examinations.

Regular point evaluation: 30%.

A score based on the student's response when pointed out in class. Also, your attitude and active participation in class. Regular points will be accumulated, so if a student is absent, the regular points for that day will be zero.

Assignments: 30%.

Final exam: 40%.

In this course, students will practice communicating familiar topics to others. After replacing model sentences and memorize the expressions you have learned, you will practice them with your pairs in the Break Out Room. Next, rewrite the model sentences using the memorized expressions and present them in the Break Out Room. I will confirm what you have learned by asking some of you at the beginning of the next week's lecture. The number of short sentences to be memorized each time is about 6.

After two sessions on a single topic, the students will submit a piece of writing about themselves in Hoppii as an assignment. Read the Feedback you receive carefully, memorize the document, and present it to your peers.

Every week begins with a review of the previous week. Students will practice in pairs using the Break Out Room, so they are expected to prepare well and actively participate in class. Students are required to understand the model sentences and their Japanese translations well in advance of each class. For post-lesson study, students are expected to check about 6 short sentences memorized in the lecture and memorize them perfectly by the next lecture. Confirmation will be done in the next class. The estimated study time is about 60 minutes for each class.

LANs200LA

## スペイン語コミュニケーションⅡ 2017年度以降入学者

瓜谷 アウロラ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 2/Wed.2

単位数：1 単位

定員制（30名）

その他属性：〈他〉〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

秋学期はオンラインでの開講となる。ZOOM を使ってリアルタイムで行う。

身近な話題を相手に伝える練習をする。モデル文章を作って重要な表現解説と置き換え練習も行う。モデル文章を元に表現を置き換えて、自分の文章を書けるようになるのが目標である。

## 【到達目標】

身近な話題について文章で書き表し、それをベースに簡単なプレゼンテーションができるようになることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

この講座では身近な話題を相手に伝える練習を行う。モデル文章を作って重要な表現解説と置き換え練習も行う。その後、学んだ表現を暗記し、Break Out Room で仲間と練習する。次に暗記した表現を利用してモデル文章を書き換えて Break Out Room で発表する。学習した内容は次週の講義の最初に何人かに聞いて確認を行う。毎回暗記しなければいけない短文の数は 6 個程度である。

2 回で一つのテーマが終わると課題として自分について書いた文章を Hoppii で提出する。受け取った Feedback をよく読み、文書を暗記して、仲間に発表する。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	Mi mejor viaje 1	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
2	Mi mejor viaje 2	内容 リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
3	Mis gustos 1	内容 リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
4	Mis gustos 2	内容 リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
5	Mi mejor regalo 1	内容 リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
6	Mi mejor regalo 2	内容 リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
7	Mi personaje preferido 1	内容 リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
8	Mi personaje preferido 2	内容 リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
9	Después de mi graduación 1	内容 リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
10	Después de mi graduación 2	内容 リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
11	Navidad 1	内容 リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
12	Navidad 2	内容 リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習

13 秋学期の総合復習 秋学期の総合復習

14 秋学期の理解度の確認 秋学期の理解度の確認

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

前の週の復習から始まる。履修者は Break Out Room を使ってペアで練習を行うので、予習をしっかり行い、積極的に授業に参加することが求められる。事前学習として毎回送られてくるモデル文章とその日本語訳をよく理解しておくこと。事後学習は講義で暗記した 6 個程度の短文を次回の講義までに確認し、完璧に暗記すること。次回の授業で確認を行う。学習の目安は毎回 60 分程度である。

## 【テキスト（教科書）】

なし

## 【参考書】

なし

## 【成績評価の方法と基準】

平常点及び課題と期末試験から判断する。

平常点評価:30 %

授業内で指された時の返事に基づく点数。又、授業での態度や積極的な参加度など。平常点は積み重ねていくので、欠席があればその日の平常点はゼロになる。

課題:30 %

期末試験:40 %

## 【学生の意見等からの気づき】

今年度は「量が多すぎ」という学生たちの声があったので、量を少し減らしました。

## 【学生が準備すべき機器他】

ZOOM に滞りなく参加できるように機器環境を整えること。

## 【その他の重要事項】

なし

## 【Outline (in English)】

In the fall term the course will be held online, in real time using ZOOM.

We will practice communicating familiar topics to others. Model sentences will be created to explain important expressions and practice replacing them. The goal is to be able to write your own sentences by replacing expressions based on the model sentences.

## Grading criteria

Students will be judged on the basis of regular scores, assignments and final examinations.

Regular point evaluation: 30%.

A score based on the student's response when pointed out in class. Also, your attitude and active participation in class. Regular points will be accumulated, so if a student is absent, the regular points for that day will be zero.

Assignments: 30%.

Final exam: 40%.

In this course, students will practice communicating familiar topics to others. After replacing model sentences and memorize the expressions you have learned, you will practice them with your pairs in the Break Out Room. Next, rewrite the model sentences using the memorized expressions and present them in the Break Out Room. I will confirm what you have learned by asking some of you at the beginning of the next week's lecture. The number of short sentences to be memorized each time is about 6.

After two sessions on a single topic, the students will submit a piece of writing about themselves in Hoppii as an assignment. Read the Feedback you receive carefully, memorize the document, and present it to your peers.

Every week begins with a review of the previous week. Students will practice in pairs using the Break Out Room, so they are expected to prepare well and actively participate in class. Students are required to understand the model sentences and their Japanese translations well in advance of each class. For post-lesson study, students are expected to check about 6 short sentences memorized in the lecture and memorize them perfectly by the next lecture. Confirmation will be done in the next class. The estimated study time is about 60 minutes for each class.

LANs200LA

## 現代のスペイン語 I

2017 年度以降入学者

大西 亮

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

定員制（30 名）/2021 年度までに「時事スペイン語 I」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈他〉〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級の授業で習ったスペイン語文法の知識を生かしながら、まとまった長さの文章が読める程度の読解力を身につけることを目的とする。随時、初級文法の復習をおりませっていく。また、この授業では、スペイン語圏の文化や社会にも光をあてつつ、その歴史と現状について学んでゆく。スペイン語初級をすでに受講したことのある学生が対象となる。

## 【到達目標】

スペイン語圏の文化や社会に関する文章を、辞書を引きながら読解することのできるレベルをめざす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

教科書の内容に沿って、文法事項の復習を中心に見ていく。随時小テストを行なうことによって、学生の理解度の把握に努める。採点済みの答案用紙は返却し、答え合わせをしながら基本的な文法事項のふりかえりに努める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	春学期の授業の進め方に関する説明を行う。
2	初級文法の復習	過年度までにスペイン語初級の各クラスで学んだ文法事項の復習を行う。
3	直説法現在	直説法現在を使った文章を読解する。
4	再帰動詞	再帰動詞を使った文章を読解する。
5	現在分詞および進行形	現在分詞と進行形を使った文章を読解する。
6	過去分詞および点過去	過去分詞と点過去を使った文章を読解する。
7	線過去	線過去を使った文章を読解する。
8	直説法現在完了および過去完了	直説法現在完了と直説法過去完了を使ったペレーの古代遺跡マチュ・ピチュに関する文章を読解する。
9	指示詞と所有詞の復習	指示詞と所有詞を使った文章を読解する。
10	受動表現の復習	受動表現を使った文章を読解する。
11	比較表現の復習	比較表現を使った文章を読解する。
12	無人称表現の復習	無人称表現を使った文章を読解する。
13	春学期のまとめ	春学期に学んだ文法事項の復習を行う。

14 期末試験

試験・まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で用いるテキストの予習と復習は必須である。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

初回授業時に指示する。

## 【参考書】

初回授業時に指示する。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 30 %、期末試験 50 %、随時行う小テスト 20 %

## 【学生の意見等からの気づき】

学生参加型の授業を心がける。

## 【Outline (in English)】

A further goal is for students to improve their reading-ability, by enjoying rather long books through the use of their grammatical knowledge. This course is, therefore, designed for students who have completed elementary Spanish class.



LANs200LA

## 現代のスペイン語Ⅱ

2017 年度以降入学者

久木 正雄

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

定員制（30 名）/2021 年度までに「時事スペイン語Ⅱ」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈他〉〈優〉

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の初級クラスを履修済みの学生を対象として、すでに身につけている文法知識を活かしながら、まとまった長さの文章が読める程度の読解力を養うことを目的とする。特に、この授業では、現代のスペイン語圏の文化や社会といった諸相について、その歴史も踏まえながら学んでいく。

## 【到達目標】

スペイン語圏の文化や社会に関する文章を、辞書を引きながら読解することのできるレベルをめざす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

教員が各回のテーマに関する概説と文法事項に関する解説を行いながら、順番に指名された受講生が訳読を行う。課題等に対するフィードバックは授業内で行い、必要に応じて「学習支援システム」も活用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	秋学期の授業の進め方に関する説明を行う。
2	春学期の文法の復習	春学期で学んだ文法事項の復習を行う。
3	直説法未来	直説法未来を使った文章を読解する。
4	直接法過去未来	直接法過去未来を使った文章を読解する。
5	直説法未来完了と直説法過去未来完了	直説法未来完了と直説法過去未来完了を使った文章を読解する。
6	接続法現在（名詞節）	接続法現在（名詞節）を使った文章を読解する。
7	接続法現在（形容詞節・副詞節）	接続法現在（形容詞節・副詞節）を使った文章を読解する。
8	命令法	命令法を使った文章を読解する。
9	接続法過去	接続法過去を使った文章を読解する。
10	間接話法	間接話法を使った文章を読解する。
11	知覚・使役の表現	知覚・使役の表現を使った文章を読解する。
12	時制の復習	さまざまな時制を網羅的に使った文章を読解する。
13	法の復習	直説法と接続法を対比的に使った文章を読解する。
14	試験・まとめと解説	学期末試験を実施し、今学期の学習事項のまとめと解説を行う。

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの指定範囲の準備学習と復習とともに、提出・非提出の別を問わず宿題に取り組むこと。なお、本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

## 【テキスト（教科書）】

秋学期が始まるまでに「学習支援システム」で指示する。

## 【参考書】

授業内で適宜紹介する。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点：50 %、学期末試験：50 %。

## 【学生の意見等からの気づき】

学習事項の着実な修得のために、受講者一人ひとりの理解度をこまめに確認する。

## 【学生が準備すべき機器他】

特になし。

## 【その他の重要事項】

・履修希望者は春学期の「現代のスペイン語Ⅰ」で選抜を受けること。秋学期の本授業のみの履修を希望する場合も同様である。  
・辞書の活用を怠らないこと。

## 【Outline (in English)】

## 《Course outline》

This course will focus on various current topics in Spanish-speaking countries, by enjoying rather long Spanish texts through the use of your grammatical knowledge. This course is, therefore, designed for students who have completed elementary Spanish class.

## 《Learning Objectives》

Students will improve the reading ability in Spanish.

## 《Learning activities outside of classroom》

Students will be expected to have completed the required assignments before and after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

## 《Grading Criteria /Policy》

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Usual performance score (50%), and term-end examination (50%).

ARSa200LA

## スペイン語の世界 L A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

塩崎 公靖

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：2 単位

定員制 (40 名)

その他属性：〈他〉〈優〉

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

学生の興味関心を聞きながら、スペイン語圏の社会や文化について学ぶことで、それまでの角度とは異なる新たな視野を養える場としたい。

## 【到達目標】

本講義では、スペインおよびスペイン語圏の文化と社会について、講義や自らのプレゼンを通じて理解を深めることを目的とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

初回～第 3 回講義までは教員によるオリエンテーションと講義。また、初回講義において、学生から関心のあるテーマを聞き、担当者を決定、その後は各回の担当者がそのテーマを調べ、プレゼンテーションする形式を採る。

※本講義は基本的には、大学の方針に倣って対面形式で実施する予定です。

ただし、感染状況の推移により、オンラインに切り替えるなども検討します。

## 【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション (プレゼン担当決定)	スペイン語圏についての概説。各回の担当者を決定。
2	講義：スペイン概説①	地域から考える
3	講義：スペイン概説②	言語から考える
4	担当者によるプレゼンテーション (例：スペインの絵画)	具体的なテーマは学生と協議の上決定する
5	担当者によるプレゼンテーション (例：スペインのスポーツ)	具体的なテーマは学生と協議の上決定する
6	担当者によるプレゼンテーション (例：スペインの言語)	具体的なテーマは学生と協議の上決定する
7	担当者によるプレゼンテーション (例：食事に見られる地域性)	具体的なテーマは学生と協議の上決定する
8	担当者によるプレゼンテーション (例：スペインの観光業)	具体的なテーマは学生と協議の上決定する
9	担当者によるプレゼンテーション (例：EU とスペイン)	具体的なテーマは学生と協議の上決定する

10	担当者によるプレゼンテーション (例：Brexit のスペインへの余波)	具体的なテーマは学生と協議の上決定する
11	担当者によるプレゼンテーション (例：スペイン語とポルトガル語の違い)	担当者によるプレゼンテーション (例：スペイン語とポルトガル語の違い)
12	担当者によるプレゼンテーション (例：カタルーニャ州について)	具体的なテーマは学生と協議の上決定する
13	担当者によるプレゼンテーション (例：フラメンコの歴史)	具体的なテーマは学生と協議の上決定する
14	総括	ディスカッション

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

事前に資料が指定された場合には、授業内での議論参加のため必ず目を通しておくこと。

また、映画や展覧会など課外活動に出かけることを指示することもある。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

## 【テキスト (教科書)】

開講時に受講生各自の関心に従って決定。

## 【参考書】

テーマにそって授業内で指示する。

## 【成績評価の方法と基準】

授業内プレゼンは必須。その上で、プレゼンの内容 (70%) と平常点 (30%) で総合評価する。

## 【学生の意見等からの気づき】

本講義は、こちらから何かを教えるというよりも、皆さんの興味関心を十分に聞き取り、その関心に沿ったテーマについて学べるように、よりよい授業づくりをしていきたいと考えています。

## 【Outline (in English)】

## 【Course Outline】

This class aims at improving ability to understand how the world is, through learning hispanophone countries.

Wish the students in this course to have ambition to achieve new field of view.

## 【Learning Objectives】

To have more perspective to view not only in Spanish culture but all over the world.

## 【Learning activities outside of classroom】

Nothing required but hope to be interested in various issues regarding with Spanish and Latin American culture. Your required study time is at least four hours for each class meeting.

## 【Grading Criteria/Policy】

Presentation at class: 70%, class contribution: 30%

ARSa200LA

**スペイン語の世界 L B**

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

**塩崎 公靖**

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：2 単位

定員制 (40 名)

その他属性：〈他〉〈優〉

**【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】**

学生の興味関心を聞きながら、スペイン語圏の社会や文化について学ぶことで、それまでの角度とは異なる新たな視野を養える場としたい。

**【到達目標】**

本講義では、スペインおよびスペイン語圏の文化と社会について、講義や自らのプレゼンを通じて理解を深めることを目的とする。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

初回～第 3 回講義までは教員によるオリエンテーションと講義。また、初回講義において、学生から関心のあるテーマを聞き、担当者を決定、その後は各回の担当者がそのテーマを調べ、プレゼンテーションする形式を採る。

※本講義は基本的には、大学の方針に倣って対面形式で実施する予定です。

ただし、感染状況の推移により、オンラインに切り替えるなども検討します。

※各回に例としてあげたプレゼン内容はあくまで一例。自身が調べたいと思えるテーマを探してもらおう。

**【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】**  
なし / No

**【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】**  
なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	スペイン語圏についての概説。各 (プレゼン担当決定) 回の担当者を決定。
2	講義：スペイン概説①	国際関係の中のスペイン
3	講義：スペイン概説②	スペインと日本
4	担当者によるプレゼンテーション	具体的なテーマは学生と協議の上決定する (例：メキシコの映画産業)
5	担当者によるプレゼンテーション	具体的なテーマは学生と協議の上決定する (例：アルゼンチンのスポーツ事情)
6	担当者によるプレゼンテーション	具体的なテーマは学生と協議の上決定する (例：キューバの現在)
7	担当者によるプレゼンテーション	具体的なテーマは学生と協議の上決定する (例：ラテンアメリカの文学)
8	担当者によるプレゼンテーション	具体的なテーマは学生と協議の上決定する (例：フィリピンに残るスペイン語)

9	担当者によるプレゼンテーション	具体的なテーマは学生と協議の上決定する (例：日本のスペイン語話者)
10	担当者によるプレゼンテーション	具体的なテーマは学生と協議の上決定する (例：スペインのスタートアップ企業)
11	担当者によるプレゼンテーション	具体的なテーマは学生と協議の上決定する (例：スペイン語圏の中の日本企業)
12	担当者によるプレゼンテーション	具体的なテーマは学生と協議の上決定する (例：コスタリカについて)
13	担当者によるプレゼンテーション	具体的なテーマは学生と協議の上決定する (例：スペイン語圏での日本発サブカルチャーの受容)
14	総括	ディスカッション

**【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】**

事前に資料が指定された場合には、授業内での議論参加のため必ず目を通しておくこと。

また、映画や展覧会など課外活動に出かけることを指示することもある。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

**【テキスト (教科書)】**

開講時に受講生各自の関心に従って決定。

**【参考書】**

テーマにそって授業内で指示する。

**【成績評価の方法と基準】**

授業内プレゼンは必須。その上で、プレゼンの内容 (70%) と平常点 (30%) で総合評価する。

**【学生の意見等からの気づき】**

本講義は、こちらから何かを教えるというよりも、皆さんの興味関心を十分に聞き取り、その関心に沿ったテーマについて学べるように、よりよい授業づくりをしていきたいと考えています。

**【Outline (in English)】**

**【Course Outline】**

This class aims at improving ability to understand how the world is, through learning hispanophone countries.

Wish the students in this course to have ambition to achieve new field of view.

**【Learning Objectives】**

To have more perspective to view not only in Spanish culture but all over the world.

**【Learning activities outside of classroom】**

Nothing required but hope to be interested in various issues regarding with Spanish and Latin American culture. Your required study time is at least four hours for each class meeting.

**【Grading Criteria/Policy】**

Presentation at class: 70%, class contribution: 30%

LANk200LA

## 朝鮮語 3 A I

2017 年度以降入学者

梁 禮先

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

## 【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行います。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 1 課	語基の復習、話しことばと書きことば、接続形「～するから」、こそあどことばの用法
2	第 1 課	ビュブ不規則用言、「くださる」と「さしあげる」、「～してください」と「～してさしあげる」、よく用いられる謙讓形、「なる」の用法・その 1
3	第 2 課	動作終了後の「～している」、禁止形（勧誘と命令の否定形）、長い不可能形
4	第 2 課	他動詞と用いられる助詞「～に」、勧誘、命令をあらわすいいねいな形、漢数字の粒読み、選択をあらわす助詞「～に」、「なる」の用法・その 2
5	第 3 課	文中の疑問形「～する（の）か、～（の）か」、強調の表現「～のだ」、接続形「～するように」、存在詞と語尾の組み合わせ
6	第 3 課	感嘆をあらわすもう 1 つの形、方向をあらわす動詞、意思、推量をあらわす「～するつもりだから、～するはずだから」、助詞「～で、～に」
7	第 4 課	意思、推量をあらわすもう 1 つの形、接続形「～すると、～したら」、シオッ不規則用言、接続形「～～していて」、接続形「～してこそ」、形容詞から動詞をつくる・その 1、動詞のこそあどことば、「～したあとに、～してから」、やわらかい疑問詞疑問文、「～してしまう」、副詞をつくる語尾

8	第 5 課	用言の体言形・その 1、「～することはする、～するにはする」、「～することにする」、「～しようと思う」、「～という」の短縮形、変化をあらわす助詞「～に」、いくつかの助詞、「～する方だ」、「～な方だ」、「～に比べて、～に比べると」、長い否定形、長い不可能形の助詞挿入
9	第 6 課	「～しようと思う」と「～という」の話しことば、「～したりする、～だったりする」、「～に行く」と「～にくる」、疑問詞の不定詞的用法、「～という」の後半省略形、用言のこそあどことばの用法、根拠をもった推量「～するようだ、～のようだ」、過去形の過去形（大過去形）、推量をあらわす「～するはずだが」、助詞「～と」の話しことば、へヨ体の命令形、合成語の濃音化・その 1
10	第 7 課	もう 1 つの疑問形、確認や同意をあらわす形、「～して」をあらわす 2 つの形・その 1、接続詞「～ながら」、「～くなる、～するよう／～することになる」
11	第 7 課	指定詞の第Ⅲ語基のまとめ、指定詞の第Ⅲ語基のもう 1 つの形、用言の体言形を用いた表現・その 1、助詞「～から」の用法、勧誘形「～しよう」
12	第 8 課	もう 1 つの疑問形、確認や同意をあらわす形、「～して」をあらわす 2 つの形・その 1、接続詞「～ながら」、「～くなる、～するよう／～することになる」
13	第 8 課	指定詞の第Ⅲ語基のまとめ、指定詞の第Ⅲ語基のもう 1 つの形、用言の体言形を用いた表現・その 1、助詞「～から」の用法、勧誘形「～しよう」
14	テスト	テスト

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社

## 【参考書】

教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお勧めします。

## 【成績評価の方法と基準】

総合評価の成績によります（100%）。60 点以上が合格です。（詳細は、平常点・小テスト・課題など 30%、期末試験 70%。）また、三分の一以上の欠席時は、成績評価基準にかかわらず、不合格にすることがあります。

## 【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進度が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。

**【その他の重要事項】**

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」はそれぞれ3クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

**【Outline (in English)】**

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA

## 朝鮮語 3 A II

2017 年度以降入学者

## 梁 禮先

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

## 【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。

## 【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行います。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 9 課	ハンダ体、間接話法（引用形）・その 2、第Ⅲ語基と合成動詞、「～しはじめる」、書きことばでの接続形「～し」
2	第 9 課	態と受身形、助詞「～の」、話し手の主張をあらわす形、母音「エ」の省略
3	第 10 課	数量の強調や概数などをあらわす助詞、「～してから」、間接話法と第Ⅲ語基
4	第 10 課	特別な否定形をもつ用言の反語、疑問詞と「～も」、「～だと思う」、「～について、～に関して」、もう 1 つの過去連体形・その 1、用言の体言形を用いた表現・その 2
5	第 11 課	手段、状況をあらわす「～して」、「～そうにみえる」、「～のため、～のせい」、合成語の濃音化・その 2
6	第 11 課	漢字語の濃音化、「～ようだ」、意向をたずねる話しことば、タメグチ疑問形の話しことば、「～してから」
7	第 12 課	「～する考え、～するつもり」、「～と考える、～と思う」、「～のため」、婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その 1、「～して」の話しことば、親族名称とその尊敬形、助詞の尊敬形、「くれる、～してくれる」の間接話法、間接話法の話しことばと省略形、ハンダ体平叙形の用法、遠回しな希望の表現、「～とおりに、～するとおりに」

8	第 13 課	態と使役形、2 ケタの固有数字、「～わけだ、～ようなものだ」
9	第 13 課	漢字の音読みと訓読み、形容詞から動詞をつくる・その 2、疑問詞につく「～か」、もう 1 つの過去連体形・その 2、助詞「～から」、接続形「～するやいなや」
10	第 14 課	「～することになる」、副詞形を作る「～して」、「～を通過」、他動詞に用いられる「～して」、動作の経過をあらわす「～していく、～してくる」、「～のあいだ、～するあいだ」
11	第 14 課	婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その 2、単位とともに用いられる漢数字と固有数字、「～にあたいする」、体験をあらわす形・その 1、否定の表現いくつつか
12	第 15 課	動作の完了を強調する形、「～しよいかと思う」、体験をあらわす形・その 2、「～だけだ」、「～しなければならぬ」の短縮形
13	第 15 課	用言の体言形・その 2、選択をあらわす「～するか～する、～したり～する」、合成動詞と接続形の「～して」をともに用いる動詞、「する」の第Ⅲ語基の書きことば、年月日と週の言い方
14	テスト	テスト

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社

## 【参考書】

教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお勧めします。

## 【成績評価の方法と基準】

総合評価の成績によります（100%）。60 点以上が合格です。（詳細は、平常点・小テスト・課題など 30%、期末試験 70%。）また、三分の一以上の欠席時は、成績評価基準にかかわらず、不合格にすることがあります。

## 【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて今回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。

## 【その他の重要事項】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」はそれぞれ 3 クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

## 【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the spring semester.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA

## 朝鮮語 3 A I

2017 年度以降入学者

梁 禮先

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 1/Thu.1

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

## 【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行います。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 1 課	語基の復習、話しことばと書きことば、接続形「～するから」、こそあどことばの用法
2	第 1 課	ビョプ不規則用言、「くださる」と「さしあげる」、「～してくださる」と「～してさしあげる」、よく用いられる謙讓形、「なる」の用法・その 1
3	第 2 課	動作終了後の「～している」、禁止形（勧誘と命令の否定形）、長い不可能形
4	第 2 課	他動詞と用いられる助詞「～に」、勧誘、命令をあらわすいいねいな形、漢数字の粒読み、選択をあらわす助詞「～に」、「なる」の用法・その 2
5	第 3 課	文中の疑問形「～する（の）か、～（の）か」、強調の表現「～のだ」、接続形「～するように」、存在詞と語尾の組み合わせ
6	第 3 課	感嘆をあらわすもう 1 つの形、方向をあらわす動詞、意思、推量をあらわす「～するつもりだから、～するはずだから」、助詞「～で、～に」
7	第 4 課	意思、推量をあらわすもう 1 つの形、接続形「～すると、～したら」、シオッ不規則用言、接続形「～～していて」、接続形「～してこそ」、形容詞から動詞をつくる・その 1、動詞のこそあどことば、「～したあとに、～してから」、やわらかい疑問詞疑問文、「～してしまう」、副詞をつくる語尾

8	第 5 課	用言の体言形・その 1、「～することはする、～するにはする」、「～することにする」、「～しようと思う」、「～という」の短縮形、変化をあらわす助詞「～に」、いくつかの助詞、「～する方だ」、「～な方だ」、「～に比べて、～に比べると」、長い否定形、長い不可能形の助詞挿入
9	第 6 課	「～しようと思う」と「～という」の話しことば、「～したりする、～だったりする」、「～に行く」と「～にくる」、疑問詞の不定詞的用法、「～という」の後半省略形、用言のこそあどことばの用法、根拠をもった推量「～するようだ、～のようだ」、過去形の過去形（大過去形）、推量をあらわす「～するはずだが」、助詞「～と」の話しことば、へヨ体の命令形、合成語の濃音化・その 1
10	第 7 課	もう 1 つの疑問形、確認や同意をあらわす形、「～して」をあらわす 2 つの形・その 1、接続詞「～ながら」、「～くなる、～するよう／～することになる」
11	第 7 課	指定詞の第Ⅲ語基のまとめ、指定詞の第Ⅲ語基のもう 1 つの形、用言の体言形を用いた表現・その 1、助詞「～から」の用法、勧誘形「～しよう」
12	第 8 課	もう 1 つの疑問形、確認や同意をあらわす形、「～して」をあらわす 2 つの形・その 1、接続詞「～ながら」、「～くなる、～するよう／～することになる」
13	第 8 課	指定詞の第Ⅲ語基のまとめ、指定詞の第Ⅲ語基のもう 1 つの形、用言の体言形を用いた表現・その 1、助詞「～から」の用法、勧誘形「～しよう」
14	テスト	テスト

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社

## 【参考書】

教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお勧めします。

## 【成績評価の方法と基準】

総合評価の成績によります（100%）。60 点以上が合格です。（詳細は、平常点・小テスト・課題など 30%、期末試験 70%。）また、三分の一以上の欠席時は、成績評価基準にかかわらず、不合格になることがあります。

## 【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進度が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。



**【その他の重要事項】**

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」はそれぞれ3クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

**【Outline (in English)】**

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA

## 朝鮮語 3 A II

2017 年度以降入学者

## 梁 禮先

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 1/Thu.1

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

## 【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。

## 【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行います。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 9 課	ハンダ体、間接話法（引用形）・その 2、第Ⅲ語基と合成動詞、「～しはじめる」、書きことばでの接続形「～し」
2	第 9 課	態と受身形、助詞「～の」、話し手の主張をあらわす形、母音「エ」の省略
3	第 10 課	数量の強調や概数などをあらわす助詞、「～してから」、間接話法と第Ⅲ語基
4	第 10 課	特別な否定形をもつ用言の反語、疑問詞と「～も」、「～だと思う」、「～について、～に関して」、もう 1 つの過去連体形・その 1、用言の体言形を用いた表現・その 2
5	第 11 課	手段、状況をあらわす「～して」、「～そうにみえる」、「～のため、～のせい」、合成語の濃音化・その 2
6	第 11 課	漢字語の濃音化、「～ようだ」、意向をたずねる話しことば、タメグチ疑問形の話しことば、「～してから」
7	第 12 課	「～する考え、～するつもり」、「～と考える、～と思う」、「～のため」、婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その 1、「～して」の話しことば、親族名称とその尊敬形、助詞の尊敬形、「くれる、～してくれる」の間接話法、間接話法の話しことばと省略形、ハンダ体平叙形の用法、遠回しな希望の表現、「～とおりに、～するとおりに」

8	第 13 課	態と使役形、2 ケタの固有数字、「～わけだ、～ようなものだ」
9	第 13 課	漢字の音読みと訓読み、形容詞から動詞をつくる・その 2、疑問詞につく「～か」、もう 1 つの過去連体形・その 2、助詞「～から」、接続形「～するやいなや」
10	第 14 課	「～することになる」、副詞形を作る「～して」、「～を通過」、他動詞に用いられる「～して」、動作の経過をあらわす「～していく、～してくる」、「～のあいだ、～するあいだ」
11	第 14 課	婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その 2、単位とともに用いられる漢数字と固有数字、「～にあたいする」、体験をあらわす形・その 1、否定の表現いくつつか
12	第 15 課	動作の完了を強調する形、「～しようかと思う」、体験をあらわす形・その 2、「～ただけだ」、「～しなければならない」の短縮形
13	第 15 課	用言の体言形・その 2、選択をあらわす「～するか～する、～したり～する」、合成動詞と接続形の「～して」をともに用いる動詞、「する」の第Ⅲ語基の書きことば、年月日と週の言い方
14	テスト	テスト

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社

## 【参考書】

教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお勧めします。

## 【成績評価の方法と基準】

総合評価の成績によります（100%）。60 点以上が合格です。（詳細は、平常点・小テスト・課題など 30%、期末試験 70%。）また、三分の一以上の欠席時は、成績評価基準にかかわらず、不合格になることがあります。

## 【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて今回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。

## 【その他の重要事項】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」はそれぞれ 3 クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

## 【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the spring semester.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA

## 朝鮮語 3 A I

2017 年度以降入学者

梁 禮先

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

## 【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行います。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 1 課	語基の復習、話しことばと書きことば、接続形「～するから」、こそあどことばの用法
2	第 1 課	ビョプ不規則用言、「くださる」と「さしあげる」、「～してくださる」と「～してさしあげる」、よく用いられる謙讓形、「なる」の用法・その 1
3	第 2 課	動作終了後の「～している」、禁止形（勧誘と命令の否定形）、長い不可能形
4	第 2 課	他動詞と用いられる助詞「～に」、勧誘、命令をあらわすいねいな形、漢数字の粒読み、選択をあらわす助詞「～に」、「なる」の用法・その 2
5	第 3 課	文中の疑問形「～する（の）か、～（の）か」、強調の表現「～のだ」、接続形「～するように」、存在詞と語尾の組み合わせ
6	第 3 課	感嘆をあらわすもう 1 つの形、方向をあらわす動詞、意思、推量をあらわす「～するつもりだから、～するはずだから」、助詞「～で、～に」
7	第 4 課	意思、推量をあらわすもう 1 つの形、接続形「～すると、～したら」、シオッ不規則用言、接続形「～～していて」、接続形「～してこそ」、形容詞から動詞をつくる・その 1、動詞のこそあどことば、「～したあとに、～してから」、やわらかい疑問詞疑問文、「～してしまう」、副詞をつくる語尾

8	第 5 課	用言の体言形・その 1、「～することはする、～するにはする」、「～することにする」、「～しようと思う」、「～という」の短縮形、変化をあらわす助詞「～に」、いくつかの助詞、「～する方だ」、「～な方だ」、「～に比べて、～に比べると」、長い否定形、長い不可能形の助詞挿入
9	第 6 課	「～しようと思う」と「～という」の話しことば、「～したりする、～だったりする」、「～に行く」と「～にくる」、疑問詞の不定詞的用法、「～という」の後半省略形、用言のこそあどことばの用法、根拠をもった推量「～するようだ、～のようだ」、過去形の過去形（大過去形）、推量をあらわす「～するはずだが」、助詞「～と」の話しことば、へヨ体の命令形、合成語の濃音化・その 1
10	第 7 課	もう 1 つの疑問形、確認や同意をあらわす形、「～して」をあらわす 2 つの形・その 1、接続詞「～ながら」、「～くなる、～するよう／～することになる」
11	第 7 課	指定詞の第Ⅲ語基のまとめ、指定詞の第Ⅲ語基のもう 1 つの形、用言の体言形を用いた表現・その 1、助詞「～から」の用法、勧誘形「～しよう」
12	第 8 課	もう 1 つの疑問形、確認や同意をあらわす形、「～して」をあらわす 2 つの形・その 1、接続詞「～ながら」、「～くなる、～するよう／～することになる」
13	第 8 課	指定詞の第Ⅲ語基のまとめ、指定詞の第Ⅲ語基のもう 1 つの形、用言の体言形を用いた表現・その 1、助詞「～から」の用法、勧誘形「～しよう」
14	テスト	テスト

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社

## 【参考書】

教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお勧めします。

## 【成績評価の方法と基準】

総合評価の成績によります（100%）。60 点以上が合格です。（詳細は、平常点・小テスト・課題など 30%、期末試験 70%。）また、三分の一以上の欠席時は、成績評価基準にかかわらず、不合格になることがあります。

## 【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進度が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。

**【その他の重要事項】**

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」はそれぞれ3クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

**【Outline (in English)】**

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA

## 朝鮮語 3 A II

2017 年度以降入学者

## 梁 禮先

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

## 【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。

## 【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行います。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 9 課	ハンダ体、間接話法（引用形）・その 2、第Ⅲ語基と合成動詞、「～しはじめる」、書きことばでの接続形「～し」
2	第 9 課	態と受身形、助詞「～の」、話し手の主張をあらわす形、母音「エ」の省略
3	第 10 課	数量の強調や概数などをあらわす助詞、「～してから」、間接話法と第Ⅲ語基
4	第 10 課	特別な否定形をもつ用言の反語、疑問詞と「～も」、「～だと思う」、「～について、～に関して」、もう 1 つの過去連体形・その 1、用言の体言形を用いた表現・その 2
5	第 11 課	手段、状況をあらわす「～して」、「～そうにみえる」、「～のため、～のせい」、合成語の濃音化・その 2
6	第 11 課	漢字語の濃音化、「～ようだ」、意向をたずねる話しことば、タメグチ疑問形の話しことば、「～してから」
7	第 12 課	「～する考え、～するつもり」、「～と考える、～と思う」、「～のため」、婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その 1、「～して」の話しことば、親族名称とその尊敬形、助詞の尊敬形、「くれる、～してくれる」の間接話法、間接話法の話しことばと省略形、ハンダ体平叙形の用法、遠回しな希望の表現、「～とおりに、～するとおりに」

8	第 13 課	態と使役形、2 ケタの固有数字、「～わけだ、～ようなものだ」
9	第 13 課	漢字の音読みと訓読み、形容詞から動詞をつくる・その 2、疑問詞につく「～か」、もう 1 つの過去連体形・その 2、助詞「～から」、接続形「～するやいなや」
10	第 14 課	「～することになる」、副詞形を作る「～して」、「～を通過」、他動詞に用いられる「～して」、動作の経過をあらわす「～していく、～してくる」、「～のあいだ、～するあいだ」
11	第 14 課	婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その 2、単位とともに用いられる漢数字と固有数字、「～にあたいする」、体験をあらわす形・その 1、否定の表現いくつつか
12	第 15 課	動作の完了を強調する形、「～しよいかと思う」、体験をあらわす形・その 2、「～ただけだ」、「～しなければならぬ」の短縮形
13	第 15 課	用言の体言形・その 2、選択をあらわす「～するか～する、～したり～する」、合成動詞と接続形の「～して」をともに用いる動詞、「する」の第Ⅲ語基の書きことば、年月日と週の言い方
14	テスト	テスト

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社

## 【参考書】

教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお勧めします。

## 【成績評価の方法と基準】

総合評価の成績によります（100%）。60 点以上が合格です。（詳細は、平常点・小テスト・課題など 30%、期末試験 70%。）また、三分の一以上の欠席時は、成績評価基準にかかわらず、不合格になることがあります。

## 【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて今回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。

## 【その他の重要事項】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」はそれぞれ 3 クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

## 【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the spring semester.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA

## 朝鮮語 3 B I

2017 年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書く能力を総合的に向上させる。

## 【到達目標】

語彙・文型の知識が増強できる。  
正しい発音ができるようになる。  
native speaker（韓国人留学生）と簡単な会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

- 1 単語と文型を予習する。
- 2 文型練習をする。
- 3 会話練習をする。
- 4 自宅で作文、翻訳などの課題をする。
- 5 小テスト。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	一年次の復習 第 1 課	自己紹介
2	文型・会話練習 第 1 課	みましょうか・てください
3	文型・会話練習 第 1・2 課	ましょう・たい、たがる・から、歌
4	文型・会話練習 第 2 課	ウ不規則活用・できない
5	文型・会話練習 第 2 課	ことにする・電話番号
6	文型・会話練習 第 3 課	ば、たら、と
7	文型・会話練習 第 3 課	てみる・ますね、ですね
8	文型・会話練習 第 3・4 課	連体形
9	文型・会話練習 第 4 課	ようと・ばいい
10	文型・会話練習 第 4 課	でしょうか、みましょうか・んです
11	文型・会話練習 韓国人留学生との会話	ネイティブと会話
12	文型・会話練習 第 4 課	たあと・ますよ、ますからね
13	文型・会話練習 第 5 課	ピウップ不規則活用・んですが
14	文型・会話練習 期末試験	期末試験 まとめ

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。  
辞書を使って読解プリントを訳してくること。  
本文の暗記・発音・作文の練習をすること。

## 【テキスト（教科書）】

『韓国語を学ぼう 中級』李昌圭 朝日出版社 2300 円+税

## 【参考書】

韓日辞典 小学館

## 【成績評価の方法と基準】

テスト 70%（小試験 30%、期末試験 40%）、課題 10%、平常点 20%（参加度、積極性など）  
期末試験が 50 点以下の場合には単位が出ない。  
欠席 4 回以上で単位は出ない。

## 【学生の意見等からの気づき】

韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので行う予定です。

## 【学生が準備すべき機器他】

パソコンかタブレット

## 【Outline (in English)】

## [Course outline and learning objectives]

This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. The purpose of this class is to enhance overall Korean.

## [Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 1 hour at home for assignments and quizzes.

## [Grading criteria /policy]

Participation20%, Assignments10%, Exam70%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.



LANk200LA

## 朝鮮語 3 B II

2017 年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書けるようにする。

## 【到達目標】

語彙・文型の知識が増強できる。  
正しい発音ができるようになる。  
native speaker と簡単な会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

- 1 単語と文型を予習する。
- 2 文型練習をする。
- 3 会話練習をする。
- 4 自宅で作文、暗誦、読解の宿題をする。
- 5 小テスト。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習 第 5 課 文型・会話練習	夏休みの話 が、けれども・シオツ不規則活用
2	第 5 課 読解 文型・会話練習	ことができる・しない
3	第 6 課 文型・会話練習	するつもりです・でも
4	第 6 課 歌	ながら・まだしていな・にくい
5	第 6 課 文型・会話練習	するようだ・しそうだ
6	第 7 課 文型・会話練習	いようだ（推測）・そうだ（伝聞）
7	第 7 課 文型・会話練習	ますか（意志）・くなる
8	第 7・8 課 読解 文型・会話練習	仕方を知っている・したことがある ・ティグツ不規則活用
9	第 8 課 文型・会話練習	するから（意思）・ばいと思う
10	韓国人留学生との会話	ネイティブと 100 分会話する
11	第 8 課 文型・会話練習	ていて、する途中で
12	第 9 課 文型・会話練習	なければならない・てはいけない
13	第 9 課 文型・会話練習 ドラマ	ので・ている、とてもいい、ますが
14	期末試験	試験・まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。  
辞書を使って読解プリントを訳してくること。

本文の暗記・発音・作文の練習をすること。  
本授業の準備・復習時間は 1 時間を要する。

## 【テキスト（教科書）】

『韓国語を学ぼう 中級』李昌圭 朝日出版社 2300+税

## 【参考書】

韓日辞典 小学館 等

## 【成績評価の方法と基準】

テスト 70%（小試験、期末試験）、課題 10%、平常点 20%  
期末試験が 50 点以下の場合は単位が出ない。  
欠席 4 回以上で単位は出ない

## 【学生の意見等からの気づき】

韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので今学期も行う予定です。

## 【学生が準備すべき機器他】

パソコンかタブレット

## 【Outline (in English)】

[Course outline and learning objectives]

This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. The purpose of this class is to enhance overall Korean.

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 1 hour at home for assignments and quizzes.

[Grading criteria /policy]

Participation20%, Assignments10%, Exam70%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA

## 朝鮮語 3 B I

2017 年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「聞く・読む・書く・話す」の 4 技能を向上させるために、初級で学んだ知識を土台にした更なる文法の知識・語彙力を習得します。これらの知識を定着させ、会話力を高めることを目的としています。

## 【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）を身につけることが目標です。

## 【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業の初めに毎回小テストを実施します。

教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、発音の練習をおこないます。

オンライン授業は録画をしますので、繰り返し視聴することが可能です。またオンライン授業終了後に個別に質問する時間を設けますので、わからないところがあれば遠慮なく質問してください。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 1 課	語基の復習他
2	第 1 課	語基の復習他
3	第 1 課	語基の復習他
4	第 2 課	「～している」の 2 つの形、禁止形
5	第 2 課	長い不可能形、助詞「～に」の用法
6	中間試験	中間試験
7	第 3 課	文中の疑問形、強調表現
8	第 3 課	存在詞と語尾の組み合わせ、方向をあらわす動詞
9	第 4 課	もうひとつの意思・推量形、シオッ不規則用言
10	第 4 課	動詞のこそあどことは、副詞をつくる方法
11	第 5 課	用言の名詞形、「～することはする」
12	第 5 課	いくつかの助詞、「～という」の短縮形
13	春学期のまとめ	春学期のまとめ
14	期末試験	期末試験

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習の必要はありませんが、毎回小テストを実施しますので必ず復習してください。その際の復習時間の目安は 1 回につき 30 分以上となります。

## 【テキスト（教科書）】

『しくみで学ぶ中級朝鮮語』内山政春著、白水社

※第 1 回の授業から使用しますので、必ず購入しておいてください。

## 【参考書】

『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』内山政春著、白水社

※朝鮮語 1・2 で使用したこの教科書を授業のときに持参してください。

## 【成績評価の方法と基準】

小テスト 20%

中間試験 40%

期末試験 40%

## 【学生の意見等からの気づき】

音声教材の活用

## 【その他の重要事項】

・第 1 回の授業までに Hoppii に登録してください。お知らせやプリントを配布しますので、Hoppii はこまめにチェックしてください。

・感染症や忌引きで小テストを受けられない場合は欠席した翌週に追試を受けられます。登校時（欠席した翌週）の授業開始前に証明書を提出のうえ追試を申し出てください。

・5 回の欠席で評価対象外とします。3 回の遅刻で 1 回欠席としてカウントします。

感染症などの欠欠はこれに該当しません。

・シラバスは進捗状況によって変更される場合があります。

## 【Outline (in English)】

In order to improve the four skills of "listening, reading, writing, and speaking", it is necessary to have further knowledge of grammar and vocabulary based on the knowledge learned in the beginner's class.

The purpose of this course is to establish these knowledge and improve conversational skills.

## 【Learning Objectives】

The goal is to acquire the ability to read, write, and say out loud the sentences learned in class, as well as the ability to create sentences on their own (the ability to say what they want to say).

## 【Learning activities outside of classroom】

There is no need for preparation, but please be sure to review because there will be a quiz every time. In that case, the review time should be at least 30 minutes each time.

## 【Grading Criteria /Policy】

Quiz 20%

Midterm exam 40%

Final exam 40%

LANk200LA

**朝鮮語 3 B II**

2017 年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：1 単位

その他属性：

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

春学期に引き続き、「聞く・読む・書く・話す」の 4 技能を向上させるために、初級で学んだ知識を土台にした更なる文法の知識・語彙力を習得します。

これらの知識を定着させ、会話力を高めることを目的にしています。

**【到達目標】**

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）を身につけることが目標です。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

授業の初めに毎回小テストを実施します。

教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、発音の練習をおこないます。

オンライン授業は録画をしますので、繰り返し視聴することが可能です。またオンライン授業終了後に個別に質問する時間を設けますので、わからないところがあれば遠慮なく質問してください。

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**

なし / No

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 6 課	疑問詞の不定詞的用法など
2	第 6 課	大過去形など
3	第 6 課	へヨ体の命令形など
4	第 7 課	「～して」をあらわすふたつの形など
5	第 7 課	接続形「～ながら」、指定詞の第Ⅲ語基など
6	中間試験	中間試験
7	第 8 課	指定詞の否定形を用いた接続形など
8	第 8 課	間接話法その 1 など
9	第 9 課	ハンダ体、間接話法その 2 など
10	第 9 課	態と受身形など
11	第 10 課	概数の表現、間接話法と第Ⅲ語基など
12	第 10 課	「～について、関して」、もう 1 つの過去連体形など
13	秋学期のまとめ	秋学期のまとめ
14	期末試験	期末試験

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

予習の必要はありませんが、毎回小テストを実施しますので必ず復習してください。その際の復習時間の目安は 1 回につき 30 分以上となります。

**【テキスト（教科書）】**

『しくみで学ぶ中級朝鮮語』、内山政春著、白水社、2022 年、2600 円

**【参考書】**

『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』内山政春著、白水社  
※朝鮮語 1・2 で使用したこの教科書を授業のときに持参してください。

**【成績評価の方法と基準】**

小テスト 20%

中間試験 40%

期末試験 40%

**【学生の意見等からの気づき】**

ペアワークの時間を増やすこと。

**【その他の重要事項】**

・第 1 回の授業までに Hoppii に登録してください。お知らせやプリントを配布しますので、Hoppii はこまめにチェックしてください。  
・感染症や忌引きで小テストを受けられない場合は欠席した翌週に追試を受けられます。登校時（欠席した翌週）の授業開始前に証明書を提出のうえ追試を申し出てください。

・5 回の欠席で評価対象外とします。3 回の遅刻で 1 回欠席としてカウントします。

感染症などの公欠はこれに該当しません。

・シラバスは進捗状況によって変更される場合があります。

**【Outline (in English)】**

Continuing from the spring semester, in order to improve the four skills of "listening, reading, writing, and speaking", it is necessary to have further knowledge of grammar and vocabulary based on the knowledge learned in the beginner's class.

The purpose of this course is to establish these knowledge and improve conversational skills.

**【Learning Objectives】**

The goal is to acquire the ability to read, write, and say out loud the sentences learned in class, as well as the ability to create sentences on their own (the ability to say what they want to say).

**【Learning activities outside of classroom】**

There is no need for preparation, but please be sure to review because there will be a quiz every time. In that case, the review time should be at least 30 minutes each time.

**【Grading Criteria /Policy】**

Quiz 20%

Midterm exam 40%

Final exam 40%

LANk200LA

## 朝鮮語 3 B I

2017 年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書く能力を総合的に向上させる。

## 【到達目標】

語彙・文型の知識が増強できる。  
正しい発音ができるようになる。  
native speaker（韓国人留学生）と簡単な会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

- 1 単語と文型を予習する。
- 2 文型練習をする。
- 3 会話練習をする。
- 4 自宅で作文、翻訳などの課題をする。
- 5 小テスト。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	一年次の復習 第 1 課	自己紹介
2	文型・会話練習 第 1 課	みましょうか・ください
3	文型・会話練習 第 1・2 課	ましょう・たい、たがる・から、歌
4	文型・会話練習 第 2 課	てくて ウ不規則活用・できない
5	文型・会話練習 第 2 課	ことにする・電話番号
6	文型・会話練習 第 3 課	ば、たら、と
7	文型・会話練習 第 3 課	てみる・ますね、ですね
8	文型・会話練習 第 3・4 課	連体形
9	文型・会話練習 第 4 課	ようと・ばいい
10	文型・会話練習 第 4 課	でしょうか、みましょうか・んですよ
11	韓国留学生との会話	ネイティブと会話
12	文型・会話練習 第 4 課	たあと・ますよ、ますからね
13	文型・会話練習 第 5 課	ピウップ不規則活用・んですが
14	期末試験	期末試験 まとめ

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。  
辞書を使って読解プリントを訳してくること。  
本文の暗記・発音・作文の練習をすること。

## 【テキスト（教科書）】

『韓国語を学ぼう 中級』李昌圭 朝日出版社 2300 円+税

## 【参考書】

韓日辞典 小学館

## 【成績評価の方法と基準】

テスト 70%（小試験 30%、期末試験 40%）、課題 10%、平常点 20%（参加度、積極性など）  
期末試験が 50 点以下の場合は単位が出ない。  
欠席 4 回以上で単位は出ない。

## 【学生の意見等からの気づき】

韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので行う予定です。

## 【Outline (in English)】

## [Course outline and learning objectives]

This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. The purpose of this class is to enhance overall Korean.

## [Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 1 hour at home for assignments and quizzes.

## [Grading criteria /policy]

Participation20%, Assignments10%, Exam70%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA

## 朝鮮語 3 B II

2017 年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書けるようにする。

## 【到達目標】

語彙・文型の知識が増強できる。  
正しい発音ができるようになる。  
native speaker と簡単な会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

- 1 単語と文型を予習する。
- 2 文型練習をする。
- 3 会話練習をする。
- 4 自宅で作文、暗誦、読解の宿題をする。
- 5 小テスト。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】  
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】  
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習 第 5 課 文型・会話練習	夏休みの話 が、けれども・シオッ不規則活用
2	第 5 課 読解 文型・会話練習	ことができる・しない
3	第 6 課 文型・会話練習	するつもりです・でも
4	第 6 課 歌	ながら・まだしていな・にくい
5	第 6 課 文型・会話練習	するようだ・しそうだ
6	第 7 課 文型・会話練習	いようだ（推測）・そうだ（伝聞）
7	第 7 課 文型・会話練習	ますか（意志）・くなる
8	第 7・8 課 読解 文型・会話練習	仕方を知っている・したことがある ・ティグッ不規則活用
9	第 8 課 文型・会話練習	するから（意思）・ばいと思う
10	韓国人留学生との会話	ネイティブと 100 分会話する
11	第 8 課 文型・会話練習	ていて、する途中で
12	第 9 課 文型・会話練習	なければならない・てはいけない
13	第 9 課 文型・会話練習 ドラマ	ので・ている、とてもいい、ますが
14	期末試験	試験・まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。  
辞書を使って読解プリントを訳してくること。

本文の暗記・発音・作文の練習をすること。  
本授業の準備・復習時間は 1 時間を要する。

## 【テキスト（教科書）】

『韓国語を学ぼう 中級』李昌圭 朝日出版社 2300+税

## 【参考書】

韓日辞典 小学館 等

## 【成績評価の方法と基準】

テスト 70%（小試験、期末試験）、課題 10%、平常点 20%  
期末試験が 50 点以下の場合単位が出ない。  
欠席 4 回以上で単位は出ない

## 【学生の意見等からの気づき】

韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので今学期も行う予定です。

## 【Outline (in English)】

## 【Course outline and learning objectives】

This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. The purpose of this class is to enhance overall Korean.

## 【Learning activities outside of classroom】

Students are expected to study 1 hour at home for assignments and quizzes.

## 【Grading criteria /policy】

Participation20%, Assignments10%, Exam70%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA

## 朝鮮語 3 B I

2017 年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「聞く・読む・書く・話す」の 4 技能を向上させるために、初級で学んだ知識を土台にした更なる文法の知識・語彙力を習得します。これらの知識を定着させ、会話力を高めることを目的としています。

## 【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）を身につけることが目標です。

## 【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業の初めに毎回小テストを実施します。

教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、発音の練習をおこないます。

オンライン授業は録画をしますので、繰り返し視聴することが可能です。またオンライン授業終了後に個別に質問する時間を設けますので、わからないところがあれば遠慮なく質問してください。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 1 課	語基の復習他
2	第 1 課	語基の復習他
3	第 1 課	語基の復習他
4	第 2 課	「～している」の 2 つの形、禁止形
5	第 2 課	長い不可能形、助詞「～に」の用法
6	中間試験	中間試験
7	第 3 課	文中の疑問形、強調表現
8	第 3 課	存在詞と語尾の組み合わせ、方向をあらわす動詞
9	第 4 課	もうひとつの意思・推量形、シオッ不規則用言
10	第 4 課	動詞のこそあどことは、副詞をつくる方法
11	第 5 課	用言の名詞形、「～することはする」
12	第 5 課	いくつかの助詞、「～という」の短縮形
13	春学期のまとめ	春学期のまとめ
14	期末試験	期末試験

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習の必要はありませんが、毎回小テストを実施しますので必ず復習してください。その際の復習時間の目安は 1 回につき 30 分以上となります。

## 【テキスト（教科書）】

『しくみで学ぶ中級朝鮮語』内山政春著、白水社

※第 1 回の授業から使用しますので、必ず購入しておいてください。

## 【参考書】

『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』内山政春著、白水社

※朝鮮語 1・2 で使用したこの教科書を授業のときに持参してください。

## 【成績評価の方法と基準】

小テスト 20%

中間試験 40%

期末試験 40%

## 【学生の意見等からの気づき】

音声教材の活用

## 【その他の重要事項】

・第 1 回の授業までに Hoppii に登録してください。お知らせやプリントを配布しますので、Hoppii はこまめにチェックしてください。

・感染症や忌引きで小テストを受けられない場合は欠席した翌週に追試を受けられます。登校時（欠席した翌週）の授業開始前に証明書を提出のうえ追試を申し出てください。

・5 回の欠席で評価対象外とします。3 回の遅刻で 1 回欠席としてカウントします。

・感染症などの欠欠はこれに該当しません。

・シラバスは進捗状況によって変更される場合があります。

## 【Outline (in English)】

In order to improve the four skills of "listening, reading, writing, and speaking", it is necessary to have further knowledge of grammar and vocabulary based on the knowledge learned in the beginner's class.

The purpose of this course is to establish these knowledge and improve conversational skills.

## 【Learning Objectives】

The goal is to acquire the ability to read, write, and say out loud the sentences learned in class, as well as the ability to create sentences on their own (the ability to say what they want to say).

## 【Learning activities outside of classroom】

There is no need for preparation, but please be sure to review because there will be a quiz every time. In that case, the review time should be at least 30 minutes each time.

## 【Grading Criteria /Policy】

Quiz 20%

Midterm exam 40%

Final exam 40%

LANk200LA

**朝鮮語 3 B II**

2017 年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1 単位

その他属性：

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

春学期に引き続き、「聞く・読む・書く・話す」の 4 技能を向上させるために、初級で学んだ知識を土台にした更なる文法の知識・語彙力を習得します。

これらの知識を定着させ、会話力を高めることを目的にしています。

**【到達目標】**

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）を身につけることが目標です。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

授業の初めに毎回小テストを実施します。

教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、発音の練習をおこないます。

オンライン授業は録画をしますので、繰り返し視聴することが可能です。またオンライン授業終了後に個別に質問する時間を設けますので、わからないところがあれば遠慮なく質問してください。

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**

なし / No

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 6 課	疑問詞の不定詞的用法など
2	第 6 課	大過去形など
3	第 6 課	へヨ体の命令形など
4	第 7 課	「～して」をあらわすふたつの形など
5	第 7 課	接続形「～ながら」、指定詞の第Ⅲ語基など
6	中間試験	中間試験
7	第 8 課	指定詞の否定形を用いた接続形など
8	第 8 課	間接話法その 1 など
9	第 9 課	ハンダ体、間接話法その 2 など
10	第 9 課	態と受身形など
11	第 10 課	概数の表現、間接話法と第Ⅲ語基など
12	第 10 課	「～について、関して」、もう 1 つの過去連体形など
13	秋学期のまとめ	秋学期のまとめ
14	期末試験	期末試験

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

予習の必要はありませんが、毎回小テストを実施しますので必ず復習してください。その際の復習時間の目安は 1 回につき 30 分以上となります。

**【テキスト（教科書）】**

『しくみで学ぶ中級朝鮮語』、内山政春著、白水社、2022 年、2600 円

**【参考書】**

『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』内山政春著、白水社  
※朝鮮語 1・2 で使用したこの教科書を授業のときに持参してください。

**【成績評価の方法と基準】**

小テスト 20%

中間試験 40%

期末試験 40%

**【学生の意見等からの気づき】**

ペアワークの時間を増やすこと。

**【その他の重要事項】**

・第 1 回の授業までに Hoppii に登録してください。お知らせやプリントを配布しますので、Hoppii はこまめにチェックしてください。  
・感染症や忌引きで小テストを受けられない場合は欠席した翌週に追試を受けられます。登校時（欠席した翌週）の授業開始前に証明書を提出のうえ追試を申し出てください。

・5 回の欠席で評価対象外とします。3 回の遅刻で 1 回欠席としてカウントします。

感染症などの公欠はこれに該当しません。

・シラバスは進捗状況によって変更される場合があります。

**【Outline (in English)】**

Continuing from the spring semester, in order to improve the four skills of "listening, reading, writing, and speaking", it is necessary to have further knowledge of grammar and vocabulary based on the knowledge learned in the beginner's class.

The purpose of this course is to establish these knowledge and improve conversational skills.

**【Learning Objectives】**

The goal is to acquire the ability to read, write, and say out loud the sentences learned in class, as well as the ability to create sentences on their own (the ability to say what they want to say).

**【Learning activities outside of classroom】**

There is no need for preparation, but please be sure to review because there will be a quiz every time. In that case, the review time should be at least 30 minutes each time.

**【Grading Criteria /Policy】**

Quiz 20%

Midterm exam 40%

Final exam 40%

LANk200LA

## 朝鮮語 3 B I

2017 年度以降入学者

吉良 佳奈江

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次に学んだ内容を復習しながら、語彙、文法を積み上げていきます。

既習の 体や 体に加えて 体を学び、メールや SNS など短い文章を読みます。

テキストの文章を自分や身近な人に置き換え、簡単な文章を書きます。

## 【到達目標】

テキストで学んだ内容を生かして、実際のメールや SNS などを読み、発信できるようになります。

朝鮮・韓国文学に触れる朝鮮語 5A（講読）の前段階として、書き言葉を学び、また自分で簡単な文章を書くことを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

この授業は対面で行います。

授業の進め方は以下の通りです。

原則として予習なし、復習型で進みます。

・本文の音読を聞いて、どの程度理解できたか口頭で確認します。

・語彙と文法を学び、本文を確認して音読練習をします。

・本文の内容について、内容理解をチェックします。

・練習を通じて、学習事項を身につけます。

・2 課につき 1 度の確認テストを行います。

・学期中に数回、自分で書いた短作文を発表します。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の進め方
第 1 課	学生生活	逆説と並列
2	第 1 課	学生生活 ～んです ～しようと ～ので／～くて
3	第 2 課	アルバイト ～のせいで
4	第 2 課	アルバイト ～することにする ～できない
5	1, 2 課確認テスト	1, 2 課確認テスト
第 3 課	私の一日	～すれば ～しに（行く／来る）
6	第 3 課	私の一日 ～してあげる／くれる ～や、～でも
7	第 4 課	プレゼント ～でしょ？ ～じゃないですか／～でしょう？
8	第 4 課	プレゼント パンマル ～ですね／ますね
9	3, 4 課確認テスト	3, 4 課確認テスト
第 5 課	風邪	～く／～くように ～する？ / ～しますか？
10	第 5 課	風邪 ～しない／～するのをやめる ～だったらいいな
11	第 6 課	休日 ～している／～していらっしやる ～しますから

12	第 6 課	休日 体	～してみる ～しよう 体を学ぶ
13	5,6 課確認テスト	第 7 課	夏休み ～しなければ／～しよう ～しても
14	第 7 課	夏休み 第 7 課復習	～することができる ～してこそ

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本文の内容は繰り返し音読してください。

テキストの練習コーナーあるいは短作文を課題とします。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

『読んでみよう韓国語 中級読解コース』

金京子著、白水社、2018

## 【参考書】

朝鮮語辞書 小学館 など

## 【成績評価の方法と基準】

無断欠席が 4 回以上の学生は評価対象外とします。

確認テスト 60 %、授業の出席・参加度、課題提出 40 % を目安に総合的に評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

特になし。

## 【学生が準備すべき機器他】

テキストの音声ダウンロードしておくこと。

スマホやパソコンでハングルの入力ができることが望ましい。

## 【その他の重要事項】

作文に関して、翻訳機を使ったと判断した場合は課題提出と見なしません。

テキストを参考に自分の力で書いてみてください。

## 【Outline (in English)】

While reviewing what we learned in the first year, You will build up much vocabulary and grammar.

And read short sentences such as emails and social media.

You will practice writing some simple text using the sentence in the textbook.

Goal :

You will be able to read and send actual e-mails, SNS, etc. using what you have learned in the text messages.

The goal is to read the written language and write a simple sentence by yourself.

Work to be done outside of class :

The task is to practice the text section or to write a short essay. The preparatory study and review time for this class will be one hour in total.

Grading criteria :

Students with more than four unauthorized absences are excluded from the evaluation.

Based on 60% of the confirmation test, 40% of the class attendance and participation, and 40% of the assignment submission, we will evaluate it comprehensively.



LANk200LA

朝鮮語 3 B II

2017 年度以降入学者

吉良 佳奈江

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次に学んだ内容を復習しながら、語彙、文法を積み上げていきます。既習の 体や 体に加えて 体を学び、メールや SNS など短い文章を読みます。テキストの文章を自分や身近な人に置き換え、簡単な文章を書きます。

【到達目標】

テキストで学んだ内容を生かして、実際のメールや SNS などを読み、発信できるようになります。朝鮮・韓国文学に触れる朝鮮語 5A（講読）の前段階として、書き言葉を学び、また自分で簡単な文章を書くことを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で行います。授業の進め方は以下の通りです。原則として予習なし、復習型で進みます。  
 ・本文の音読を聞いて、どの程度理解できたか口頭で確認します。  
 ・語彙と文法を学び、本文を確認して音読練習をします。  
 ・本文の内容について、内容理解をチェックします。  
 ・練習を通じて、学習事項を身につけます。  
 ・2 課につき 1 度の確認テストを行います。  
 ・学期中に数回、自分で書いた短作文を発表します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	体復習 第 8 課 趣味	～（だ）と ～そうだ 動詞の現在連体形
2	第 8 課 趣味	形容詞の連体形 ～のだ
3	第 9 課 大学祭	動詞の過去連体形 ～したことがある／ない
4	第 9 課 大学祭	～した後で ～していた（+名詞）
5	8,9 課確認テスト 第 10 課 仕事	8,9 課確認テスト 動詞の未来連体形 ～だろう／～つもりだ
6	第 10 課 仕事	形容詞の過去連体形 ～すると
7	第 11 課 日記	～だが／のに ～く／になる
8	第 11 課 プレゼント	～したら／～すると ～ようだ
9	10, 11 課確認テスト 第 12 課 外国語の勉強	10, 11 課確認テスト 意志、推量 ～でも
10	第 12 課 外国語の勉強	～（するかの）ように ～（する）のに
11	第 13 課 天気	～しないで／～せずに ～する前に

12	第 13 課 休日	～するために／～するゆえに ～しそうだ
13	12.13 課確認テスト 第 14 課 人生相談	～してから ～したほうがいい
14	第 14 課 人生相談 14 課 復習	～だから／～ので ～するには／したければ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本文の内容は繰り返し音読してください。  
 テキストの練習コーナーあるいは短作文を課題とします。  
 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『読んでみよう韓国語 中級読解コース』  
 金京子著、白水社、2018

【参考書】

朝鮮語辞書 小学館 など

【成績評価の方法と基準】

無断欠席が 4 回以上の学生は評価対象外とします。  
 確認テスト 60 %、授業の出席・参加度、課題提出 40 % を目安に総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

テキストの音声ダウンロードしておくこと。  
 スマホやパソコンでハンゲルの入力ができることが望ましい。

【その他の重要事項】

作文に関して、翻訳機を使ったと判断した場合は課題提出と見なしません。  
 テキストを参考に自分の力で書いてみてください。

【Outline (in English)】

While reviewing what we learned in the first year, You will build up much vocabulary and grammar.

And read short sentences such as emails and social media.

You will practice writing some simple text using the sentence in the textbook.

Goal :

You will be able to read and send actual e-mails, SNS, etc. using what you have learned in the text messages.

The goal is to read the written language and write a simple sentence by yourself.

Work to be done outside of class :

The task is to practice the text section or to write a short essay. The preparatory study and review time for this class will be one hour in total.

Grading criteria :

Students with more than four unauthorized absences are excluded from the evaluation.

Based on 60% of the confirmation test, 40% of the class attendance and participation, and 40% of the assignment submission, we will evaluate it comprehensively.

LANk200LA

## 朝鮮語 3 B I

2017 年度以降入学者

吉良 佳奈江

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 2/Wed.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次に学んだ内容を復習しながら、語彙、文法を積み上げていきます。

既習の 体や 体に加えて 体を学び、メールや SNS など短い文章を読みます。

テキストの文章を自分や身近な人に置き換え、簡単な文章を書きます。

## 【到達目標】

テキストで学んだ内容を生かして、実際のメールや SNS などを読み、発信できるようになります。

朝鮮・韓国文学に触れる朝鮮語 5A（講読）の前段階として、書き言葉を学び、また自分で簡単な文章を書くことを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

この授業は対面で行います。

授業の進め方は以下の通りです。

原則として予習なし、復習型で進みます。

・本文の音読を聞いて、どの程度理解できたか口頭で確認します。

・語彙と文法を学び、本文を確認して音読練習をします。

・本文の内容について、内容理解をチェックします。

・練習を通じて、学習事項を身につけます。

・2 課につき 1 度の確認テストを行います。

・学期中に数回、自分で書いた短作文を発表します。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の進め方
第 1 課	学生生活	逆説と並列
2	第 1 課	学生生活 ～んです ～しようと ～ので／～くて ～のせいで
3	第 2 課	アルバイト
4	第 2 課	アルバイト ～することにする ～できない
5	1, 2 課確認テスト	1, 2 課確認テスト
第 3 課	私の一日	～すれば ～しに（行く／来る）
6	第 3 課	私の一日 ～してあげる／くれる ～や、～でも
7	第 4 課	プレゼント ～でしょ？ ～じゃないですか／～でしょう？
8	第 4 課	プレゼント パンマル ～ですね／ますね
9	3, 4 課確認テスト	3, 4 課確認テスト
第 5 課	風邪	～く／～くように ～する？ / ～しますか？
10	第 5 課	風邪 ～しない／～するのをやめる ～だったらいいな
11	第 6 課	休日 ～している／～していらっしやる ～しますから

12	第 6 課	休日 体	～してみる ～しよう 体を学ぶ
13	5,6 課確認テスト	第 7 課	夏休み ～しなければ／～しよう ～しても
14	第 7 課	夏休み 7 課復習	～することができる ～してこそ

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本文の内容は繰り返し音読してください。

テキストの練習コーナーあるいは短作文を課題とします。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

『読んでみよう韓国語 中級読解コース』

金京子著、白水社、2018

## 【参考書】

朝鮮語辞書 小学館 など

## 【成績評価の方法と基準】

無断欠席が 4 回以上の学生は評価対象外とします。

確認テスト 60 %、授業の出席・参加度、課題提出 40 % を目安に総合的に評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

特になし。

## 【学生が準備すべき機器他】

テキストの音声ダウンロードしておくこと。

スマホやパソコンでハングルの入力ができることが望ましい。

## 【その他の重要事項】

作文に関して、翻訳機を使ったと判断した場合は課題提出と見なしません。

テキストを参考に自分の力で書いてみてください。

## 【Outline (in English)】

While reviewing what we learned in the first year, You will build up much vocabulary and grammar.

And read short sentences such as emails and social media.

You will practice writing some simple text using the sentence in the textbook.

Goal :

You will be able to read and send actual e-mails, SNS, etc. using what you have learned in the text messages.

The goal is to read the written language and write a simple sentence by yourself.

Work to be done outside of class :

The task is to practice the text section or to write a short essay. The preparatory study and review time for this class will be one hour in total.

Grading criteria :

Students with more than four unauthorized absences are excluded from the evaluation.

Based on 60% of the confirmation test, 40% of the class attendance and participation, and 40% of the assignment submission, we will evaluate it comprehensively.

LANk200LA

朝鮮語 3 B II

2017 年度以降入学者

吉良 佳奈江

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 2/Wed.2

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次に学んだ内容を復習しながら、語彙、文法を積み上げていきます。既習の 体や 体に加えて 体を学び、メールや SNS など短い文章を読みます。テキストの文章を自分や身近な人に置き換え、簡単な文章を書きます。

【到達目標】

テキストで学んだ内容を生かして、実際のメールや SNS などを読み、発信できるようになります。朝鮮・韓国文学に触れる朝鮮語 5A（講読）の前段階として、書き言葉を学び、また自分で簡単な文章を書くことを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で行います。授業の進め方は以下の通りです。原則として予習なし、復習型で進みます。  
 ・本文の音読を聞いて、どの程度理解できたか口頭で確認します。  
 ・語彙と文法を学び、本文を確認して音読練習をします。  
 ・本文の内容について、内容理解をチェックします。  
 ・練習を通じて、学習事項を身につけます。  
 ・2 課につき 1 度の確認テストを行います。  
 ・学期中に数回、自分で書いた短作文を発表します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	体復習 第 8 課 趣味	～（だ）と ～そうだ 動詞の現在連体形
2	第 8 課 趣味	形容詞の連体形 ～のだ
3	第 9 課 大学祭	動詞の過去連体形 ～したことがある／ない
4	第 9 課 大学祭	～した後で ～していた（+名詞）
5	8,9 課確認テスト 第 10 課 仕事	8,9 課確認テスト 動詞の未来連体形 ～だろう／～つもりだ
6	第 10 課 仕事	形容詞の過去連体形 ～すると
7	第 11 課 日記	～だが／のに ～く／になる
8	第 11 課 プレゼント	～したら／～すると ～ようだ
9	10, 11 課確認テスト 第 12 課 外国語の勉強	10, 11 課確認テスト 意志、推量 ～でも
10	第 12 課 外国語の勉強	～（するかの）ように ～（する）のに
11	第 13 課 天気	～しないで／～せずに ～する前に

12	第 13 課 休日	～するために／～するゆえに ～しそうだ
13	12.13 課確認テスト 第 14 課 人生相談	～してから ～したほうがいい
14	第 14 課 人生相談 14 課 復習	～だから／～ので ～するには／したければ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本文の内容は繰り返し音読してください。  
 テキストの練習コーナーあるいは短作文を課題とします。  
 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『読んでみよう韓国語 中級読解コース』  
 金京子著、白水社、2018

【参考書】

朝鮮語辞書 小学館 など

【成績評価の方法と基準】

無断欠席が 4 回以上の学生は評価対象外とします。  
 確認テスト 60 %、授業の出席・参加度、課題提出 40 % を目安に総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

テキストの音声ダウンロードしておくこと。  
 スマホやパソコンでハンゲルの入力ができることが望ましい。

【その他の重要事項】

作文に関して、翻訳機を使ったと判断した場合は課題提出と見なしません。  
 テキストを参考に自分の力で書いてみてください。

【Outline (in English)】

While reviewing what we learned in the first year, You will build up much vocabulary and grammar.

And read short sentences such as emails and social media.

You will practice writing some simple text using the sentence in the textbook.

Goal :

You will be able to read and send actual e-mails, SNS, etc. using what you have learned in the text messages.

The goal is to read the written language and write a simple sentence by yourself.

Work to be done outside of class :

The task is to practice the text section or to write a short essay. The preparatory study and review time for this class will be one hour in total.

Grading criteria :

Students with more than four unauthorized absences are excluded from the evaluation.

Based on 60% of the confirmation test, 40% of the class attendance and participation, and 40% of the assignment submission, we will evaluate it comprehensively.

LANk200LA

## 朝鮮語 3 B I

2017 年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書く能力を総合的に向上させる。

## 【到達目標】

語彙・文型の知識が増強できる。  
正しい発音ができるようになる。  
native speaker（韓国人留学生）と簡単な会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

- 1 単語と文型を予習する。
- 2 文型練習をする。
- 3 会話練習をする。
- 4 自宅で作文、翻訳などの課題をする。
- 5 小テスト。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	一年次の復習 第 1 課	自己紹介
2	文型・会話練習 第 1 課	みましょうか・てください
3	文型・会話練習 第 1・2 課	ましょう・たい、たがる・から、歌
4	文型・会話練習 第 2 課	ウ不規則活用・できない
5	文型・会話練習 第 2 課	ことにする・電話番号
6	文型・会話練習 第 3 課	ば、たら、と
7	文型・会話練習 第 3 課	てみる・ますね、ですね
8	文型・会話練習 第 3・4 課	連体形
9	文型・会話練習 第 4 課	ようと・ばいい
10	文型・会話練習 第 4 課	でしょうか、みましょうか・んですよ
11	韓国留学生との会話	ネイティブと会話
12	文型・会話練習 第 4 課	たあと・ますよ、ますからね
13	文型・会話練習 第 5 課	ピウップ不規則活用・んですが
14	期末試験	期末試験 まとめ

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。  
辞書を使って読解プリントを訳してくること。  
本文の暗記・発音・作文の練習をすること。

## 【テキスト（教科書）】

『韓国語を学ぼう 中級』李昌圭 朝日出版社 2300 円+税

## 【参考書】

韓日辞典 小学館

## 【成績評価の方法と基準】

テスト 70%（小試験、期末試験）、課題 10%、平常点 20%（参加度、積極性など）  
期末試験が 50 点以下の場合には単位が出ない。  
欠席 4 回以上で単位は出ない。

## 【学生の意見等からの気づき】

韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので行う予定です。

## 【学生が準備すべき機器他】

パソコンかタブレット

## 【Outline (in English)】

## [Course outline and learning objectives]

This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. The purpose of this class is to enhance overall Korean.

## [Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 1 hour at home for assignments and quizzes.

## [Grading criteria /policy]

Participation20%, Assignments10%, Exam70%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA

## 朝鮮語 3 B II

2017 年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 3/Thu.3

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書けるようにする。

## 【到達目標】

語彙・文型の知識が増強できる。  
正しい発音ができるようになる。  
native speaker と簡単な会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

- 1 単語と文型を予習する。
- 2 文型練習をする。
- 3 会話練習をする。
- 4 自宅で作文、暗誦、読解の宿題をする。
- 5 小テスト。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習 第 5 課 文型・会話練習	夏休みの話 が、けれども・シオツ不規則活用
2	第 5 課 読解 文型・会話練習	ことができる・しない
3	第 6 課 文型・会話練習	するつもりです・でも
4	第 6 課 歌	ながら・まだしていな・にくい
5	第 6 課 文型・会話練習	するようだ・しそうだ
6	第 7 課 文型・会話練習	いようだ（推測）・そうだ（伝聞）
7	第 7 課 文型・会話練習	ますか（意志）・くなる
8	第 7・8 課 読解 文型・会話練習	仕方を知っている・したことがある る・ティグツ不規則活用
9	第 8 課 文型・会話練習	するから（意思）・ばいと思う
10	韓国人留学生との会話	ネイティブと 100 分会話する
11	第 8 課 文型・会話練習	ていて、する途中で
12	第 9 課 文型・会話練習	なければならない・てはいけない
13	第 9 課 文型・会話練習 ドラマ	ので・ている、とてもいい、ますが
14	期末試験	試験・まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。  
辞書を使って読解プリントを訳してくること。

本文の暗記・発音・作文の練習をすること。  
本授業の準備・復習時間は 1 時間を要する。

## 【テキスト（教科書）】

『韓国語を学ぼう 中級』李昌圭 朝日出版社 2300+税

## 【参考書】

韓日辞典 小学館 等

## 【成績評価の方法と基準】

テスト 70%（小試験、期末試験）、課題 10%、平常点 20%  
期末試験が 50 点以下の場合は単位が出ない。  
欠席 4 回以上で単位は出ない

## 【学生の意見等からの気づき】

韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので今学期も行う予定です。

## 【学生が準備すべき機器他】

パソコンかタブレット

## 【Outline (in English)】

[Course outline and learning objectives]

This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. The purpose of this class is to enhance overall Korean.

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 1 hour at home for assignments and quizzes.

[Grading criteria /policy]

Participation20%, Assignments10%, Exam70%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA

## 朝鮮語 3 B I

2017 年度以降入学者

## 梁 禮先

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次で学んだ朝鮮語の基礎の定着を図りつつ、それを活用して会話に導いていきます。また、発音にも力をいれて、きれいな発音で自信を持って会話ができるように反復します。

## 【到達目標】

ハンゲル検定 4 級のレベルに合わせて、文法、単語、会話に力を入れます。身近な会話ができることが学習到達目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

復習と作文。

読む練習と発音練習。

文法説明。

会話。

練習問題。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	授業の進め方について	授業の進め方についての説明の説明
2 回目	韓国語上手になりましたか？	読むと文型について。
3 回目	韓国語上手になりましたか？	練習問題について。
4 回目	今日の授業は何限までありますか？	読む、文型について。
5 回目	今日の授業は何限までありますか？	練習問題について。
6 回目	趣味は何ですか？	読む、文型について。
7 回目	趣味は何ですか？	文型について。
8 回目	趣味は何ですか？	練習問題について。
9 回目	今日韓国へ来てから一年になりますよね？	読む、文型について。
10 回目	今日韓国へ来てから一年になりますよね？	文型について。
11 回目	今日韓国へ来てから一年になりますよね？	練習問題について。
12 回目	家族は日本にいらっしゃいますよね？	読む、文型について。
13 回目	家族は日本にいらっしゃいますよね？	練習問題について。
14 回目	期末試験	試験・まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課題。

韓国文化など韓国についての知識。

韓国ドラマや K-POP を活用する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

教室用教材「中級韓国語－ハンゲル 4 級基準」 梁禮先

## 【参考書】

韓日・日韓辞典

## 【成績評価の方法と基準】

総合評価の成績によります（100%）。60 点以上が合格です。（詳細は、平常点・小テスト・課題など 30%、期末試験 70%。） また、三分の一以上の欠席時は、成績評価基準にかかわらず、不合格になることがあります。

## 【学生の意見等からの気づき】

発音と会話をもっとやることなど。

## 【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

## 【その他の重要事項】

授業の内容は変わることがある。

## 【Outline (in English)】

< Course outline > We will make sure to establish a foundation on the content covered in the first year as well as using it to guide the conversation in Korean. We will also pay close attention to pronunciation to be able to confidently have a conversation with correct pronunciation through repetition.

## &lt; Learning Objectives &gt;

The goal is to be able to read naturally and have simple daily conversations with correct pronunciation.

## &lt; Learning activities outside of classroom &gt;

I will give you an assignment every time. Repeat reading practice and so on. The students will be expected to spend one hour to understand the course content.

## &lt; Grading Criteria /Policy &gt;

Term-end examination (100%)

LANk200LA

**朝鮮語 3 B II**

2017 年度以降入学者

梁 禮先

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

その他属性：

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

春学期に続き、朝鮮語 1・2 で学んだ知識を利用し、実践的な練習を繰り返すことで朝鮮語を確実に身に付けることを目標にします。朝鮮語の会話をもっと自信を持って話すことができます。

**【到達目標】**

できれば、希望者はハングル検定 4 級に合格することも目標にしていきたいです。また、日常の簡単な会話ができることです。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

秋学期も春学期と同じ方法で、発音練習、作文練習、会話練習、読む練習などを毎回繰り返しながら授業を進めていきますが、もっと会話に力を入れます。

フィードバックなどは、学習支援システムなどを利用します。

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**  
あり / Yes

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 回目	秋学期授業の進め方などについて	春学期の復習と本文の説明。
2 回目	電話について	本文を読んで説明
3 回目	電話について	文法の詳しい説明
4 回目	電話について	会話と練習問題
5 回目	夏休みには日本へ帰りますか？	本文を読んで説明
6 回目	夏休みには日本へ帰りますか？	文法の詳しい説明
7 回目	夏休みには日本へ帰りますか？	会話と練習問題
8 回目	語学研修に行こうかと思えます	本文を読んで説明。
9 回目	語学研修に行こうかと思えます	文法の詳しい説明
10 回目	語学研修に行こうかと思えます	会話練習と練習問題
11 回目	この頃天気がいいですね	本文を読んで説明
12 回目	この頃天気がいいですね	文法の詳しい説明
13 回目	この頃天気がいいですね	会話と練習問題
14 回目	期末試験	試験・まとめと解説

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

作文・会話・ヒアリングの練習など。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

**【テキスト（教科書）】**

教室用教材『中級朝鮮語－ハングル検定 4 級基準』（梁禮先）

**【参考書】**

「朝鮮語辞書」－朝鮮語の辞書ならどちらのものでも良し。

**【成績評価の方法と基準】**

総合評価の成績によります（100%）。60 点以上が合格です。（詳細は、平常点・小テスト・課題など 30%、期末試験 70%。）また、三分の一以上の欠席時は、成績評価基準にかかわらず、不合格になることがあります。

**【学生の意見等からの気づき】**

会話練習をもっとやりたいなど。

**【学生が準備すべき機器他】**

特にありません。

**【その他の重要事項】**

授業内容は変わることがあります。

**【Outline (in English)】**

< Course outline > Following the spring semester, We aim to use the knowledge learned in Korean 1 and 2 to make sure to acquire solid Korean language skills through practice. It is important to have Korean conversations with confidence.

## &lt; Learning Objectives &gt;

The goal is to be able to speak everyday conversations naturally. In addition, it is to pass the Hangeul Nouryoku Kentei test level 4.

## &lt; Learning activities outside of classroom &gt;

I will give you an assignment every time. Repeat reading practice and so on. The students will be expected to spend one hour to understand the course content.

## &lt; Grading Criteria /Policy &gt;

Term-end examination (100%)

LANk200LA

## 朝鮮語 3 B I

2017 年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「聞く・読む・書く・話す」の 4 技能を向上させるために、初級で学んだ知識を土台にした更なる文法の知識・語彙力を習得します。これらの知識を定着させ、会話力を高めることを目的としています。

## 【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業の初めに毎回小テストを実施します。

教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、発音の練習をおこないます。

オンライン授業は録画をしますので、繰り返し視聴することが可能です。またオンライン授業終了後に個別に質問する時間を設けますので、わからないところがあれば遠慮なく質問してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 1 課	語基の復習他
2	第 1 課	語基の復習他
3	第 1 課	語基の復習他
4	第 2 課	「～している」の 2 つの形、禁止形
5	第 2 課	長い不可能形、助詞「～に」の用法
6	中間試験	中間試験
7	第 3 課	文中の疑問形、強調表現
8	第 3 課	存在詞と語尾の組み合わせ、方向をあらわす動詞
9	第 4 課	もうひとつの意思・推量形、シオッ不規則用言
10	第 4 課	動詞のこそあどことは、副詞をつくる方法
11	第 5 課	用言の名詞形、「～することはする」
12	第 5 課	いくつかの助詞、「～という」の短縮形
13	春学期のまとめ	春学期のまとめ
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習の必要はありませんが、毎回小テストを実施しますので必ず復習してください。その際の復習時間の目安は 1 回につき 30 分以上となります。

【テキスト（教科書）】

『しくみで学ぶ中級朝鮮語』内山政春著、白水社

※第 1 回の授業から使用しますので、必ず購入しておいてください。

【参考書】

『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』内山政春著、白水社

※朝鮮語 1・2 で使用したこの教科書を授業のときに持参してください。

【成績評価の方法と基準】

小テスト 20%

中間試験 40%

期末試験 40%

【学生の意見等からの気づき】

音声教材の活用

【その他の重要事項】

・第 1 回の授業までに Hoppii に登録してください。お知らせやプリントを配布しますので、Hoppii はこまめにチェックしてください。

・感染症や忌引きで小テストを受けられない場合は欠席した翌週に追試を受けられます。登校時（欠席した翌週）の授業開始前に証明書を提出のうえ追試を申し出てください。

・5 回の欠席で評価対象外とします。3 回の遅刻で 1 回欠席としてカウントします。

・感染症などの欠欠はこれに該当しません。

・シラバスは進捗状況によって変更される場合があります。

【Outline (in English)】

In order to improve the four skills of "listening, reading, writing, and speaking", it is necessary to have further knowledge of grammar and vocabulary based on the knowledge learned in the beginner's class.

The purpose of this course is to establish these knowledge and improve conversational skills.

【Learning Objectives】

The goal is to acquire the ability to read, write, and say out loud the sentences learned in class, as well as the ability to create sentences on their own (the ability to say what they want to say).

【Learning activities outside of classroom】

There is no need for preparation, but please be sure to review because there will be a quiz every time. In that case, the review time should be at least 30 minutes each time.

【Grading Criteria /Policy】

Quiz	20%
Midterm exam	40%
Final exam	40%



LANk200LA

## 朝鮮語 3 B II

2017 年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、「聞く・読む・書く・話す」の 4 技能を向上させるために、初級で学んだ知識を土台にした更なる文法の知識・語彙力を習得します。

これらの知識を定着させ、会話を高めることを目的にしています。

## 【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

授業の初めに毎回小テストを実施します。

教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、発音の練習をおこないます。

オンライン授業は録画をしますので、繰り返し視聴することが可能です。またオンライン授業終了後に個別に質問する時間を設けますので、わからないところがあれば遠慮なく質問してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 6 課	疑問詞の不定詞的用法など
2	第 6 課	大過去形など
3	第 6 課	へヨ体の命令形など
4	第 7 課	「～して」をあらわすふたつの形など
5	第 7 課	接続形「～ながら」、指定詞の第Ⅲ語基など
6	中間試験	中間試験
7	第 8 課	指定詞の否定形を用いた接続形など
8	第 8 課	間接話法その 1 など
9	第 9 課	ハンダ体、間接話法その 2 など
10	第 9 課	態と受身形など
11	第 10 課	概数の表現、間接話法と第Ⅲ語基など
12	第 10 課	「～について、関して」、もう 1 つの過去連体形など
13	秋学期のまとめ	秋学期のまとめ
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習の必要はありませんが、毎回小テストを実施しますので必ず復習してください。その際の復習時間の目安は 1 回につき 30 分以上となります。

【テキスト（教科書）】

『しくみで学ぶ中級朝鮮語』、内山政春著、白水社、2022 年、2600 円

【参考書】

『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』内山政春著、白水社  
※朝鮮語 1・2 で使用したこの教科書を授業のときに持参してください。

【成績評価の方法と基準】

小テスト 20%

中間試験 40%

期末試験 40%

【学生の意見等からの気づき】

ペアワークの時間を増やすこと。

【その他の重要事項】

・第 1 回の授業までに Hoppii に登録してください。お知らせやプリントを配布しますので、Hoppii はこまめにチェックしてください。  
・感染症や忌引きで小テストを受けられない場合は欠席した翌週に追試を受けられます。登校時（欠席した翌週）の授業開始前に証明書を提出のうえ追試を申し出てください。

・5 回の欠席で評価対象外とします。3 回の遅刻で 1 回欠席としてカウントします。

感染症などの公欠はこれに該当しません。

・シラバスは進捗状況によって変更される場合があります。

【Outline (in English)】

Continuing from the spring semester, in order to improve the four skills of "listening, reading, writing, and speaking", it is necessary to have further knowledge of grammar and vocabulary based on the knowledge learned in the beginner's class.

The purpose of this course is to establish these knowledge and improve conversational skills.

【Learning Objectives】

The goal is to acquire the ability to read, write, and say out loud the sentences learned in class, as well as the ability to create sentences on their own (the ability to say what they want to say).

【Learning activities outside of classroom】

There is no need for preparation, but please be sure to review because there will be a quiz every time. In that case, the review time should be at least 30 minutes each time.

【Grading Criteria /Policy】

Quiz 20%

Midterm exam 40%

Final exam 40%

LANk200LA

## 朝鮮語 4 A I

2017 年度以降入学者

内山 政春

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

## 【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行います。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 1 課	語基の復習、話しことばと書きことば、接続形「～するから」、こそあどことばの用法
2	第 1 課	ビュブ不規則用言、「くださる」と「さしあげる」、「～してくださる」と「～してさしあげる」、よく用いられる謙譲形、「なる」の用法・その 1
3	第 2 課	動作終了後の「～している」、禁止形（勧誘と命令の否定形）、長い不可能形
4	第 2 課	他動詞と用いられる助詞「～に」、勧誘、命令をあらわすいいねいな形、漢数字の粒読み、選択をあらわす助詞「～に」、「なる」の用法・その 2
5	第 3 課	文中の疑問形「～する（の）か、～（の）か」、強調の表現「～のだ」、接続形「～するように」、存在詞と語尾の組み合わせ
6	第 3 課	感嘆をあらわすもう 1 つの形、方向をあらわす動詞、意思、推量をあらわす「～するつもりだから、～するはずだから」、助詞「～で、～に」
7	第 4 課	意思、推量をあらわすもう 1 つの形、接続形「～すると、～したら」、シオッ不規則用言、接続形「～していて」、接続形「～してこそ」、形容詞から動詞をつくる・その 1、動詞のこそあどことば、「～したあとに、～してから」、やわらかい疑問詞疑問文、「～してしまう」、副詞をつくる語尾

8	第 5 課	用言の体言形・その 1、「～することはする、～するにはする」、「～することにする」、「～しようと思う」、「～という」の短縮形、変化をあらわす助詞「～に」、いくつかの助詞、「～する方だ」、「～な方だ」、「～に比べて、～に比べると」、長い否定形、長い不可能形の助詞挿入
9	第 6 課	「～しようと思う」と「～という」の話しことば、「～したりする、～だったりする」、「～に行く」と「～にくる」、疑問詞の不定詞的用法、「～という」の後半省略形、用言のこそあどことばの用法、根拠をもった推量「～するようだ、～のようだ」、過去形の過去形（大過去形）、推量をあらわす「～するはずだが」、助詞「～と」の話しことば、ヘヨ体の命令形、合成語の濃音化・その 1
10	第 7 課	もう 1 つの疑問形、確認や同意をあらわす形、「～して」をあらわす 2 つの形・その 1、接続詞「～ながら」、「～くなる、～するよう／～することになる」
11	第 7 課	指定詞の第Ⅲ語基のまとめ、指定詞の第Ⅲ語基のもう 1 つの形、用言の体言形を用いた表現・その 1、助詞「～から」の用法、勧誘形「～しよう」
12	第 8 課	もう 1 つの疑問形、確認や同意をあらわす形、「～して」をあらわす 2 つの形・その 1、接続詞「～ながら」、「～くなる、～するよう／～することになる」
13	第 8 課	指定詞の第Ⅲ語基のまとめ、指定詞の第Ⅲ語基のもう 1 つの形、用言の体言形を用いた表現・その 1、助詞「～から」の用法、勧誘形「～しよう」
14	テスト	テスト

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社

## 【参考書】

教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお勧めします。

## 【成績評価の方法と基準】

期末テストの成績によります（100%）。60 点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

## 【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進度が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずですよ。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。上の【成績評価の方法と基準】に書いたとおり成績は期末テストによるとはいえ、ふだん授業に出ないで期末テストだけを受ける、というような非常識な行動はやめてください。

**【その他の重要事項】**

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」はそれぞれ3クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

**【Outline (in English)】**

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA

## 朝鮮語 4 A II

2017 年度以降入学者

内山 政春

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

## 【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行います。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 9 課	ハンダ体、間接話法（引用形）・その 2、第Ⅲ語基と合成動詞、「～しはじめる」、書きことばでの接続形「～し」
2	第 9 課	態と受身形、助詞「～の」、話し手の主張をあらわす形、母音「エ」の省略
3	第 10 課	数量の強調や概数などをあらわす助詞、「～してから」、間接話法と第Ⅲ語基
4	第 10 課	特別な否定形をもつ用言の反語、疑問詞と「～も」、「～だと思う」、「～について、～に関して」、もう 1 つの過去連体形・その 1、用言の体言形を用いた表現・その 2
5	第 11 課	手段、状況をあらわす「～して」、「～そうにみえる」、「～のため、～のせい」、合成語の濃音化・その 2
6	第 11 課	漢字語の濃音化、「～ようだ」、意向をたずねる話しことば、タメグチ疑問形の話しことば、「～してから」
7	第 12 課	「～する考え、～するつもり」、「～と考える、～と思う」、「～のため」、婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その 1、「～して」の話しことば、親族名称とその尊敬形、助詞の尊敬形、「くれる、～してくれる」の間接話法、間接話法の話しことばと省略形、ハンダ体平叙形の用法、遠回しな希望の表現、「～とおりに、～するとおりに」

8	第 13 課	態と使役形、2 ケタの固有数字、「～わけだ、～ようなものだ」
9	第 13 課	漢字の音読みと訓読み、形容詞から動詞をつくる・その 2、疑問詞につく「～か」、もう 1 つの過去連体形・その 2、助詞「～から」、接続形「～するやいなや」
10	第 14 課	「～することになる」、副詞形を作る「～して」、「～を通過」、他動詞に用いられる「～して」、動作の経過をあらわす「～していく、～してくる」、「～のあいだ、～するあいだ」
11	第 14 課	婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その 2、単位とともに用いられる漢数字と固有数字、「～にあたいする」、体験をあらわす形・その 1、否定の表現いくつつか
12	第 15 課	動作の完了を強調する形、「～しよいかと思う」、体験をあらわす形・その 2、「～ただけだ」、「～しなければならぬ」の短縮形
13	第 15 課	用言の体言形・その 2、選択をあらわす「～するか～する、～したり～する」、合成動詞と接続形の「～して」をともに用いる動詞、「する」の第Ⅲ語基の書きことば、年月日と週の言い方
14	テスト	テスト

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社

## 【参考書】

教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお勧めします。

## 【成績評価の方法と基準】

期末テストの成績によります（100%）。60 点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

## 【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進捗に合わせるようにしてください。

・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずですよ。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。上の【成績評価の方法と基準】に書いたとおり成績は期末テストによるとはいえ、ふだん授業に出ないで期末テストだけを受ける、というような非常識な行動はやめてください。

## 【その他の重要事項】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」はそれぞれ 3 クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

## 【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the spring semester.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA

## 朝鮮語 4 A I

2017 年度以降入学者

内山 政春

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

## 【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行います。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 1 課	語基の復習、話しことばと書きことば、接続形「～するから」、こそあどことばの用法
2	第 1 課	ビュブ不規則用言、「くださる」と「さしあげる」、「～してくださる」と「～してさしあげる」、よく用いられる謙譲形、「なる」の用法・その 1
3	第 2 課	動作終了後の「～している」、禁止形（勧誘と命令の否定形）、長い不可能形
4	第 2 課	他動詞と用いられる助詞「～に」、勧誘、命令をあらわすいいねいな形、漢数字の粒読み、選択をあらわす助詞「～に」、「なる」の用法・その 2
5	第 3 課	文中の疑問形「～する（の）か、～（の）か」、強調の表現「～のだ」、接続形「～するように」、存在詞と語尾の組み合わせ
6	第 3 課	感嘆をあらわすもう 1 つの形、方向をあらわす動詞、意思、推量をあらわす「～するつもりだから、～するはずだから」、助詞「～で、～に」
7	第 4 課	意思、推量をあらわすもう 1 つの形、接続形「～すると、～したら」、シオッ不規則用言、接続形「～していて」、接続形「～してこそ」、形容詞から動詞をつくる・その 1、動詞のこそあどことば、「～したあとに、～してから」、やわらかい疑問詞疑問文、「～してしまう」、副詞をつくる語尾

8	第 5 課	用言の体言形・その 1、「～することはする、～するにはする」、「～することにする」、「～しようと思う」、「～という」の短縮形、変化をあらわす助詞「～に」、いくつかの助詞、「～する方だ」、「～な方だ」、「～に比べて、～に比べると」、長い否定形、長い不可能形の助詞挿入
9	第 6 課	「～しようと思う」と「～という」の話しことば、「～したりする、～だったりする」、「～に行く」と「～にくる」、疑問詞の不定詞的用法、「～という」の後半省略形、用言のこそあどことばの用法、根拠をもった推量「～するようだ、～のようだ」、過去形の過去形（大過去形）、推量をあらわす「～するはずだが」、助詞「～と」の話しことば、ヘヨ体の命令形、合成語の濃音化・その 1
10	第 7 課	もう 1 つの疑問形、確認や同意をあらわす形、「～して」をあらわす 2 つの形・その 1、接続詞「～ながら」、「～くなる、～するよう／～することになる」
11	第 7 課	指定詞の第Ⅲ語基のまとめ、指定詞の第Ⅲ語基のもう 1 つの形、用言の体言形を用いた表現・その 1、助詞「～から」の用法、勧誘形「～しよう」
12	第 8 課	もう 1 つの疑問形、確認や同意をあらわす形、「～して」をあらわす 2 つの形・その 1、接続詞「～ながら」、「～くなる、～するよう／～することになる」
13	第 8 課	指定詞の第Ⅲ語基のまとめ、指定詞の第Ⅲ語基のもう 1 つの形、用言の体言形を用いた表現・その 1、助詞「～から」の用法、勧誘形「～しよう」
14	テスト	テスト

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社

## 【参考書】

教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお勧めします。

## 【成績評価の方法と基準】

期末テストの成績によります（100%）。60 点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

## 【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進度が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずですよ。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。上の【成績評価の方法と基準】に書いたとおり成績は期末テストによるとはいえ、ふだん授業に出ないで期末テストだけを受ける、というような非常識な行動はやめてください。

**【その他の重要事項】**

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」はそれぞれ3クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

**【Outline (in English)】**

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA

## 朝鮮語 4 A II

2017 年度以降入学者

内山 政春

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

## 【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行います。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 9 課	ハンダ体、間接話法（引用形）・その 2、第Ⅲ語基と合成動詞、「～しはじめる」、書きことばでの接続形「～し」
2	第 9 課	態と受身形、助詞「～の」、話し手の主張をあらわす形、母音「エ」の省略
3	第 10 課	数量の強調や概数などをあらわす助詞、「～してから」、間接話法と第Ⅲ語基
4	第 10 課	特別な否定形をもつ用言の反語、疑問詞と「～も」、「～だと思う」、「～について、～に関して」、もう 1 つの過去連体形・その 1、用言の体言形を用いた表現・その 2
5	第 11 課	手段、状況をあらわす「～して」、「～そうにみえる」、「～のため、～のせい」、合成語の濃音化・その 2
6	第 11 課	漢字語の濃音化、「～ようだ」、意向をたずねる話しことば、タメグチ疑問形の話しことば、「～してから」
7	第 12 課	「～する考え、～するつもり」、「～と考える、～と思う」、「～のため」、婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その 1、「～して」の話しことば、親族名称とその尊敬形、助詞の尊敬形、「くれる、～してくれる」の間接話法、間接話法の話しことばと省略形、ハンダ体平叙形の用法、遠回しな希望の表現、「～とおりに、～するとおりに」

8	第 13 課	態と使役形、2 ケタの固有数字、「～わけだ、～ようなものだ」
9	第 13 課	漢字の音読みと訓読み、形容詞から動詞をつくる・その 2、疑問詞につく「～か」、もう 1 つの過去連体形・その 2、助詞「～から」、接続形「～するやいなや」
10	第 14 課	「～することになる」、副詞形を作る「～して」、「～を通って」、他動詞に用いられる「～して」、動作の経過をあらわす「～していく、～してくる」、「～のあいだ、～するあいだ」
11	第 14 課	婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その 2、単位とともに用いられる漢数字と固有数字、「～にあたいする」、体験をあらわす形・その 1、否定の表現いくつつか
12	第 15 課	動作の完了を強調する形、「～しよいかと思う」、体験をあらわす形・その 2、「～だけだ」、「～しなければならぬ」の短縮形
13	第 15 課	用言の体言形・その 2、選択をあらわす「～するか～する、～したり～する」、合成動詞と接続形の「～して」をともに用いる動詞、「する」の第Ⅲ語基の書きことば、年月日と週の言い方
14	テスト	テスト

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社

## 【参考書】

教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお勧めします。

## 【成績評価の方法と基準】

期末テストの成績によります（100%）。60 点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

## 【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進度が高いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずですよ。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。上の【成績評価の方法と基準】に書いたとおり成績は期末テストによるとはいえ、ふだん授業に出ないで期末テストだけを受ける、というような非常識な行動はやめてください。

## 【その他の重要事項】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」はそれぞれ 3 クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

## 【Outline (in English)】

< Course outline >



This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the spring semester.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA

## 朝鮮語 4 A I

2017 年度以降入学者

内山 政春

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

## 【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行います。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 1 課	語基の復習、話しことばと書きことば、接続形「～するから」、こそあどことばの用法
2	第 1 課	ビュブ不規則用言、「くださる」と「さしあげる」、「～してくださる」と「～してさしあげる」、よく用いられる謙譲形、「なる」の用法・その 1
3	第 2 課	動作終了後の「～している」、禁止形（勧誘と命令の否定形）、長い不可能形
4	第 2 課	他動詞と用いられる助詞「～に」、勧誘、命令をあらわすいいねいな形、漢数字の粒読み、選択をあらわす助詞「～に」、「なる」の用法・その 2
5	第 3 課	文中の疑問形「～する（の）か、～（の）か」、強調の表現「～のだ」、接続形「～するように」、存在詞と語尾の組み合わせ
6	第 3 課	感嘆をあらわすもう 1 つの形、方向をあらわす動詞、意思、推量をあらわす「～するつもりだから、～するはずだから」、助詞「～で、～に」
7	第 4 課	意思、推量をあらわすもう 1 つの形、接続形「～すると、～したら」、シオッ不規則用言、接続形「～していて」、接続形「～してこそ」、形容詞から動詞をつくる・その 1、動詞のこそあどことば、「～したあとに、～してから」、やわらかい疑問詞疑問文、「～してしまう」、副詞をつくる語尾

8	第 5 課	用言の体言形・その 1、「～することはする、～するにはする」、「～することにする」、「～しようと思う」、「～という」の短縮形、変化をあらわす助詞「～に」、いくつもの助詞、「～する方だ」、「～な方だ」、「～に比べて、～に比べると」、長い否定形、長い不可能形の助詞挿入
9	第 6 課	「～しようと思う」と「～という」の話しことば、「～したりする、～だったりする」、「～に行く」と「～にくる」、疑問詞の不定詞的用法、「～という」の後半省略形、用言のこそあどことばの用法、根拠をもった推量「～するようだ、～のようだ」、過去形の過去形（大過去形）、推量をあらわす「～するはずだが」、助詞「～と」の話しことば、ヘヨ体の命令形、合成語の濃音化・その 1
10	第 7 課	もう 1 つの疑問形、確認や同意をあらわす形、「～して」をあらわす 2 つの形・その 1、接続詞「～ながら」、「～くなる、～するよう／～することになる」
11	第 7 課	指定詞の第Ⅲ語基のまとめ、指定詞の第Ⅲ語基のもう 1 つの形、用言の体言形を用いた表現・その 1、助詞「～から」の用法、勧誘形「～しよう」
12	第 8 課	もう 1 つの疑問形、確認や同意をあらわす形、「～して」をあらわす 2 つの形・その 1、接続詞「～ながら」、「～くなる、～するよう／～することになる」
13	第 8 課	指定詞の第Ⅲ語基のまとめ、指定詞の第Ⅲ語基のもう 1 つの形、用言の体言形を用いた表現・その 1、助詞「～から」の用法、勧誘形「～しよう」
14	テスト	テスト

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社

## 【参考書】

教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお勧めします。

## 【成績評価の方法と基準】

期末テストの成績によります（100%）。60 点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

## 【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進度が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずですよ。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。上の【成績評価の方法と基準】に書いたとおり成績は期末テストによるとはいえ、ふだん授業に出ないで期末テストだけを受ける、というような非常識な行動はやめてください。

**【その他の重要事項】**

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」はそれぞれ3クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

**【Outline (in English)】**

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA

## 朝鮮語 4 A II

2017 年度以降入学者

内山 政春

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

## 【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。

## 【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行います。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 9 課	ハンダ体、間接話法（引用形）・その 2、第Ⅲ語基と合成動詞、「～しはじめる」、書きことばでの接続形「～し」
2	第 9 課	態と受身形、助詞「～の」、話し手の主張をあらわす形、母音「エ」の省略
3	第 10 課	数量の強調や概数などをあらわす助詞、「～してから」、間接話法と第Ⅲ語基
4	第 10 課	特別な否定形をもつ用言の反語、疑問詞と「～も」、「～だと思う」、「～について、～に関して」、もう 1 つの過去連体形・その 1、用言の体言形を用いた表現・その 2
5	第 11 課	手段、状況をあらわす「～して」、「～そうにみえる」、「～のため、～のせい」、合成語の濃音化・その 2
6	第 11 課	漢字語の濃音化、「～ようだ」、意向をたずねる話しことば、タメグチ疑問形の話しことば、「～してから」
7	第 12 課	「～する考え、～するつもり」、「～と考える、～と思う」、「～のため」、婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その 1、「～して」の話しことば、親族名称とその尊敬形、助詞の尊敬形、「くれる、～してくれる」の間接話法、間接話法の話しことばと省略形、ハンダ体平叙形の用法、遠回しな希望の表現、「～とおりに、～するとおりに」

8	第 13 課	態と使役形、2 ケタの固有数字、「～わけだ、～ようなものだ」
9	第 13 課	漢字の音読みと訓読み、形容詞から動詞をつくる・その 2、疑問詞につく「～か」、もう 1 つの過去連体形・その 2、助詞「～から」、接続形「～するやいなや」
10	第 14 課	「～することになる」、副詞形を作る「～して」、「～を通って」、他動詞に用いられる「～して」、動作の経過をあらわす「～していく、～してくる」、「～のあいだ、～するあいだ」
11	第 14 課	婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その 2、単位とともに用いられる漢数字と固有数字、「～にしたいする」、体験をあらわす形・その 1、否定の表現いくつつか
12	第 15 課	動作の完了を強調する形、「～しよいかと思う」、体験をあらわす形・その 2、「～ただけだ」、「～しなければならぬ」の短縮形
13	第 15 課	用言の体言形・その 2、選択をあらわす「～するか～する、～したり～する」、合成動詞と接続形の「～して」をともに用いる動詞、「する」の第Ⅲ語基の書きことば、年月日と週の言い方
14	テスト	テスト

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社

## 【参考書】

教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお勧めします。

## 【成績評価の方法と基準】

期末テストの成績によります（100%）。60 点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

## 【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進度が高いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずですよ。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。上の【成績評価の方法と基準】に書いたとおり成績は期末テストによるとはいえ、ふだん授業に出ないで期末テストだけを受ける、というような非常識な行動はやめてください。

## 【その他の重要事項】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」はそれぞれ 3 クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

## 【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the spring semester.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA

## 朝鮮語 (3) I

2017 年度以降入学者

李 英美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

このクラスでは中級レベルの基本文型の例文を増やし、それにとまなう新しい単語を習得することによって語彙力を養成します。また口頭による発音の直接伝授を繰り返していきます。

## 【到達目標】

朝鮮語の中級レベルの文法と語彙を確かなものにし、新しい語彙について正確な発音を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法文学部・国際政治学科：DP1

## 【授業の進め方と方法】

テキストに沿って進みますが、本文内容の理解を助けるために韓国の文化などを紹介する映像を適宜用います。

各課の「テーマ」を表現するために、「内容」にある文型を学んでいきます。

## 【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	自己紹介	連体形と時制
第 2 回	出会い	用言の縮約形、-してから、-になる、-だろう (か)・だよ・なさい
第 3 回	外国語	- くなる、- すること、- であること
第 4 回	学籍番号	数字の読み方と発音、- から・の、- しても・でも、- する・するよ
第 5 回	食べ物	- みたいだ・ようだ、- くて・なので、- できない
第 6 回	学生生活	- けれど (も)・から・のに・ね・か、- できる・できない、- する
第 7 回	小テスト	「語彙力の確認」
第 8 回	タクシー	- ねばならない、- かも知れない、- するか?・だろうか?
第 9 回	遅刻	- ようだ・そうだ・みたいだ・- していて・する途中で、- し(て)・で
第 10 回	コーヒーショップ	- か?・かな?・かい?。- からだ・ならば、- するが・だが
第 11 回	これまでの復習	「連体形と不規則用言のまとめ」
第 12 回	招待	- したところ。したと思ったら・だったが、- する、- だ、- すると・だと・からといって
第 13 回	礼儀	- したらすぐ・するままに、- するように・く・に、- してはじめて・してこそ・しなければ
第 14 回	まとめとテスト	これまでに学習してきたことのまとめと期末試験

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

復習に重点をおいて毎課の単語をその都度暗記すること。

テキスト付属の CD を毎日 15 分ずつ聞くこと。

## 【テキスト (教科書)】

高島淑郎『書いて覚える中級朝鮮語』白水社

## 【参考書】

随時必要な資料を配布

辞書は授業中に紹介

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 (出席率・小テスト) 50%・期末試験 50% を総合して評価

## 【学生の意見等からの気づき】

板書をきれいにすること

## 【学生が準備すべき機器他】

なし

## 【その他の重要事項】

・授業を 3 分の 1 以上欠席すると、原則として期末試験は受けられないものとする。

・期末試験を受けないと、単位はとれない。

・第 1 回目の授業はオンラインで実施します。ZOOM 情報は授業開始の前週までに HOPPI でお知らせします。

・第 2 回目以降の授業形態については、第 1 回目に伝えます。

・期末テストは最後の授業日に対面で実施します。

## 【Outline (in English)】

## 【授業概要 (Course outline)】

The aim of this course is to help students acquire intermediate-level vocabulary through the acquisition of new words and sentence patterns.

## 【到達目標 (Learning Objectives)】

The goals of this course are to ensure intermediate level grammar, vocabulary and correct pronunciation.

## 【授業時間外の学習 (Learning activities outside of classroom)】

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

## 【成績評価の方法と基準 (Grading Criteria /Policies)】

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 50%, Short reports : 20%, in class contribution: 30%

LANk200LA

## 朝鮮語 (3) II

2017 年度以降入学者

李 英美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 2/Tue.2

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期に続き秋学期を通しては、初級に続き、主に漢数詞と固有数詞・助詞などの品詞の使い方、用言の語尾の基本的変化（現在と過去、普通語と敬語、意志・推量・控え目と命令）について学びます。

## 【到達目標】

以上の授業内容を用いた基本文型をマスターし、簡単な文が作れることと基礎会話ができることを授業目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法文学部・国際政治学科：DP1

## 【授業の進め方と方法】

テキストに沿って毎回 1 課ずつ進みます。本文内容の理解を助けるために韓国の文化などを紹介する映像を適宜用います。

各課の「テーマ」を表現するために、「内容」にある文型を学んでいきます。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	露天街	－く見える、－とは・なんて、－いたす
第 2 回	植民地時代	－だろうよ・と思うよ、－として
第 3 回	仲直り	－ことで・で、－するならば・ならば。－しようかと思う・だろうかという
第 4 回	寝不足	－するのかと・のかと、－しようってば
第 5 回	ぞんざいな言葉	－するのか・なのか、－よ・さ・なの？・なのか？
第 6 回	占い	－することは～する・であることは～である、－することができ・できない、－であり得る・であり得ない、－するって・だって
第 7 回	俗語	－ね・な、－しに
第 8 回	小テスト	「語彙力のテスト」
第 9 回	思い出	－よ・ね・だったよ・だったね、－して・で
第 10 回	ベトナム	－しろって（さ）・するからって（さ）・かって（さ）・しようって（さ）
第 11 回	準備	－でも、－するつもりだから・だろうから・するはずだから・するから
第 12 回	軍隊	－するのか・なのか、－することになる・になる
第 13 回	日記	短い文の日本語訳、朗読
第 14 回	まとめとテスト	変速用言のまとめと期末テスト

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習に重点をおいて毎課の単語をその都度暗記すること  
テキスト付属の CD を毎日 15 分ずつ聞くこと

## 【テキスト（教科書）】

高島淑郎『書いて覚える中級朝鮮語』白水社

## 【参考書】

随時必要な資料を配布

辞書は授業中に紹介

## 【成績評価の方法と基準】

平常点（出席率・小テスト）50%、期末試験50%を総合して評価

## 【学生の意見等からの気づき】

板書をきれいにすること

## 【学生が準備すべき機器他】

なし

## 【その他の重要事項】

・授業を3分の1以上欠席すると、原則として期末試験は受けられないものとする。

・期末試験を受けないと、単位はとれない。

・第1回目の授業はオンラインで実施します。ZOOM 情報は授業開始の前週までに HOPPI でお知らせします。

・第2回目以降の授業形態については、第1回目に際して伝えます。

・期末テストは最後の授業日に対面で実施します。

## 【Outline (in English)】

## 【授業概要 (Course outline)】

The aim of this course is to help students acquire intermediate-level vocabulary through the acquisition of new words and sentence patterns.

## 【到達目標 (Learning Objectives)】

The goals of this course are to ensure intermediate level grammar, vocabulary and correct pronunciation.

## 【授業時間外の学習 (Learning activities outside of classroom)】

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

## 【成績評価の方法と基準 (Grading Criteria /Policies)】

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 50%, Short reports : 20%, in class contribution: 30%

LANk200LA

## 朝鮮語 7

2017 年度以降入学者

内山 政春

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1 年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

2 年次秋学期の S A に備えます。

## 【到達目標】

S A に通用する語学力の習得、具体的には韓国外国語大「韓国語文化教育センター」の「3 級」に編入できることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

「朝鮮語 7」「朝鮮語 8」「朝鮮語コミュニケーションⅡ」「朝鮮語コミュニケーションⅢ」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。一方でそれぞれの授業で独自の教材も併用します。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	前学期の復習と今学期の方針の説明をします。
2	第 9 課	ハンダ体と間接話法
3	第 10 課	間接話法と第Ⅲ語基
4	口頭練習	復習を兼ねた口頭練習を行ないます。
5	第 11 課	合成語と漢字語の濃音化
6	第 12 課	親族名称とその尊敬形
7	口頭練習	復習を兼ねた口頭練習を行ないます。
8	第 13 課	漢字の音読みと訓読み
9	第 14 課	「～して」のさまざまな用法
10	口頭練習	復習を兼ねた口頭練習を行ないます。
11	第 15 課	用言の体言形・その 2
12	口頭練習	復習を兼ねた口頭練習を行ないます。
13	よみもの	既習の文法・語彙知識を用いてある程度の長さの文章を読む練習を行ないます。
14	テスト	テスト

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

ポアソナードタワー 20 階の国際文化学部資料室には検定試験の問題集や韓国で出版されている各大学の語学テキストなどを多数取り揃えていますので活用してみましょう。

本授業の準備学習・復習時間は合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

共通テキスト：内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社

## 【参考書】

教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。辞書は中辞典として小学館の『韓日辞典（旧：朝鮮語辞典）』、語彙数は少ないが文法・発音説明が充実しているものとして白水社の『コスモス朝和辞典』をお薦めします。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【成績評価の方法と基準】

期末テストの成績によります（100%）。60 点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、この成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

## 【学生の意見等からの気づき】

・語学の勉強は授業時間内だけで完結するものではありません。日常生活のなかで「朝鮮語ではどう表現するのか?」ということを考える習慣をつけましょう。

・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずです。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。

## 【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar and vocabulary in detail on the premise what you learned in the spring semester have been mastered enough.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be able to learn complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination(100%)



LANk200LA

**朝鮮語 8**

2017 年度以降入学者

高柳 俊男

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 2/Fri.2

単位数：1 単位

その他属性：

**【授業の概要と目的（何を学ぶか）】**

1 年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

2 年次秋学期の SA に備えます。

**【到達目標】**

SA に通用する語学力の習得、具体的には韓国外国語大「韓国語文化教育センター」の「3 級」に編入できることを目標とします。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

「朝鮮語 7」「朝鮮語 8」「朝鮮語コミュニケーションⅡ」「朝鮮語コミュニケーションⅢ」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。一方でそれぞれの授業で独自の教材も併用します。

**【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】**

なし / No

**【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】**

なし / No

**【授業計画】 授業形態：対面/face to face**

回	テーマ	内容
1	導入	前学期の復習と今学期の方針の説明をします。
2	第 9 課	ハンダ体と間接話法
3	第 10 課	間接話法と第Ⅲ語基
4	口頭練習	復習を兼ねた口頭練習を行ないます。
5	第 11 課	合成語と漢字語の濃音化
6	第 12 課	親族名称とその尊敬形
7	口頭練習	復習を兼ねた口頭練習を行ないます。
8	第 13 課	漢字の音読みと訓読み
9	第 14 課	「～して」のさまざまな用法
10	口頭練習	復習を兼ねた口頭練習を行ないます。
11	第 15 課	用言の体言形・その 2
12	口頭練習	復習を兼ねた口頭練習を行ないます。
13	よみもの	既習の文法・語彙知識を用いてある程度の長さの文章を読む練習を行ないます。
14	テスト	テスト

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

語彙力を高めるよう自主的に努力してください。

BT20 階の国際文化学部資料室には検定試験の問題集や韓国で出版されている各大学の語学テキストなどを多数取り揃えていますので活用してみましょう。

本授業の準備学習・復習時間は合わせて 1 時間を標準とします。

**【テキスト（教科書）】**

共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語』を用います。

そのほか、この授業のみの + a 教材も使って、応用力を高めます。

**【参考書】**

初歩の内容で不十分な箇所があったら『しくみで学ぶ初級朝鮮語』に立ち返ってください。

**【成績評価の方法と基準】**

毎回の授業への貢献度 30 %、期末試験の成績 70 %をもとに判断します。60 点以上が合格です。

**【学生の意見等からの気づき】**

語学の勉強は授業時間内だけで完結するものではありません。日常生活のなかで「朝鮮語ではどう表現するのか?」ということを考える習慣をつけましょう。

**【Outline (in English)】**

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar and vocabulary in detail on the premise what you learned in the spring semester have been mastered enough.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be able to learn complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

In-class contribution 30%, and term-end exam 70%.

LANk200LA

## 朝鮮語 3 - I

2017 年度以降入学者

荻野 優子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級後半から中級レベルの基礎文法を着実に学び、「聞く、話す、読む、書く」能力の総合的な実力向上を目指します。

## 【到達目標】

語彙力を強化することで聞き取り能力の向上を図り、学んだ内容を使って簡単な会話ができるようになること、作文が書けるようになること、読む力をつけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

テキストにそって授業を進めます。わからない単語は調べて授業にのぞんでください。習った表現を使って会話練習をしたり、作文練習をしたりします。テキストの練習問題等は課題とし、授業内で答え合わせと解説をします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習 第1課	自己紹介 希望の表現、現在連体形
2	文法・会話練習 第1課	「～するのが/は/を」、過去連体形
3	文法・会話練習 第1課	未来連体形、本文、単語の確認
4	文法・会話練習 第2課	書き言葉の文体（ハンダ体）、平叙形
5	文法・会話練習 第2課	書き言葉の文体（ハンダ体）、疑問形、勧誘形、命令形
6	文法・会話練習 第2課	話し言葉の文体（へ体）、本文、単語の確認
7	文法・会話練習 第3課	平叙形の引用
8	文法・会話練習 第3課	疑問形、勧誘形、命令形の引用、引用連体形
9	文法・会話練習 第3課	練習問題、本文、単語
10	視聴覚教材	字幕付き映像を見ながら、話し言葉の特徴を探る
11	文法・会話練習 第4課	依頼の表現
12	文法・会話練習 第4課	授受表現、シオッ変格用言
13	文法・会話練習 第4課	本文、単語の確認、総まとめ
14	期末試験	試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

野間秀樹・金珍娥・高権旭著『はばたけ！韓国語2 初中級編』朝日出版社

【参考書】

「韓日辞典」小学館

【成績評価の方法と基準】

平常点：20%

課題、小テスト等：20%

期末試験：60%

出席が2/3に満たない場合は評価対象となりません。

【学生の意見等からの気づき】

覚えた単語を使って話したいという要望にこたえて、発言する機会を増やしたいと思います。

【Outline (in English)】

【授業の概要（Course outline）】

This intermediate course will focus on improving comprehensive ability, consisting of grammar items, vocabulary, composition, listening comprehension, and reading comprehension skills.

【到達目標（Learning Objectives）】

The specific goals of this course are to acquire intermediate composition, listening, and reading skills until the end of the course.

【授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. It is recommended strongly to study more than two hours per a week for a class.

【成績評価の方法と基準（Grading Criteria/Policy）】

Completing all required components of the course is necessary to pass the course. Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term report (20%), term-end examination (60%), and in-class contribution (20%).

LANk200LA

## 朝鮮語 3-II

2017 年度以降入学者

荻野 優子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級後半から中級レベルの基礎文法を着実に学び、「聞く、話す、読む、書く」能力の総合的な実力向上を目指します。

## 【到達目標】

春学期に使用したテキストの後半部分を進めていきます。語彙力を強化することで聞き取り能力の向上を図り、学んだ内容を使って簡単な会話ができるようになること、作文が書けるようになること、読む力をつけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

テキストにそって授業を進めます。わからない単語は調べて授業にのぞんでください。習った表現を使って会話練習をしたり、作文練習をしたりします。テキストの練習問題等は課題とし、授業内で答え合わせと解説をします。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第5課 文法、会話練習	復習 許可の表現、「～して」の類似表現の比較
2	第5課 文法、会話練習	話し手の意志、推量、理由と契機 本文、単語の確認
3	第6課 文法、会話練習	提案の表現、受け身（1）
4	第6課 文法、会話練習	当為の表現「～しなければならない」 本文、単語の確認
5	第7課 文法、会話練習	後悔と反省の表現、帰結の表現 「～するようになる」
6	第7課 文法、会話練習	使役の表現、印象描写「～みたいだ」
7	第7課 文法、会話練習	接続形語尾の復習 本文、単語の確認
8	第8課 文法、会話練習	書き言葉の文章を読む（1）、漢字語について（1）
9	第8課 文法、会話練習	結果状態の継続 本文、単語の確認
10	視聴覚教材（1）	ソウル言葉や方言について概観する
11	視聴覚教材（2）	ソウル言葉や方言について概観する
12	第9課 文法、会話練習	書き言葉の文章を読む（2）、受け身（2）、漢字語について（2）
13	第9課 文法、会話練習	本文、単語の確認 総まとめ
14	期末試験	試験、まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。

## 【テキスト（教科書）】

野間秀樹・金珍娥・高権旭著『はばたけ！韓国語 2 初中級編』朝日出版社

## 【参考書】

「韓日辞典」小学館

## 【成績評価の方法と基準】

平常点：20%

課題、小テスト等：20%

期末試験：60%

出席が2/3に満たない場合は評価対象となりません。

## 【学生の意見等からの気づき】

覚えた単語を使って話したいという要望にこたえて、発言する機会を増やしたいと思います。

## 【Outline (in English)】

## 【授業の概要（Course outline）】

This intermediate course will focus on improving comprehensive ability, consisting of grammar items, vocabulary, composition, listening comprehension, and reading comprehension skills.

## 【到達目標（Learning Objectives）】

The specific goals of this course are to acquire intermediate composition, listening, and reading skills until the end of the course.

## 【授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. It is recommended strongly to study more than two hours per a week for a class.

## 【成績評価の方法と基準（Grading Criteria/Policy）】

Completing all required components of the course is necessary to pass the course. Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term report (20%), term-end examination (60%), and in-class contribution (20%).

LANk200LA

## 朝鮮語 3-I

2017 年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書く能力を総合的に向上させる。

## 【到達目標】

語彙・文型の知識が増強できる。  
正しい発音ができるようになる。  
native speaker（韓国留学生）と簡単な会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

- 1 単語と文型を予習する。
- 2 文型練習をする。
- 3 会話練習をする。
- 4 自宅で作文、翻訳などの課題をする。
- 5 小テスト。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	一年次の復習 第 1 課	自己紹介
	文型・会話練習	
2	第 1 課	ましょうか・ください
	文型・会話練習	
3	第 1・2 課	ましょう・たい、たがる・から、
	歌	てくて
4	第 2 課	ウ不規則活用・できない
	文型・会話練習	
5	第 2 課	ことにする・電話番号
	文型・会話練習	
6	第 3 課	ば、たら、と
	文型・会話練習	
7	第 3 課	てみる・ますね、ですね
	文型・会話練習	
8	第 3・4 課	連体形
	文型・会話練習	
9	第 4 課	ようと・ばいい
	文型・会話練習	
10	第 4 課	でしょうか、ましょうか・んです
	文型・会話練習	よ
11	韓国留学生との会話	ネイティブと会話
12	第 4 課	たあと・ますよ、ますからね
	文型・会話練習	
13	第 5 課	ピウップ不規則活用・んですが
	文型・会話練習	
14	期末試験	期末試験 まとめ

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。  
辞書を使って読解プリントを訳してくること。  
本文の暗記・発音・作文の練習をすること。

## 【テキスト（教科書）】

『韓国語を学ぼう 中級』李昌圭 朝日出版社 2300 円+税

## 【参考書】

韓日辞典 小学館

## 【成績評価の方法と基準】

テスト 70%（小試験、期末試験）、課題 10%、平常点 20%（参加度、積極性など）

期末試験が 50 点以下の場合は単位が出ない。

欠席 4 回以上で単位は出ない。

## 【学生の意見等からの気づき】

韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので行う予定です。

## 【学生が準備すべき機器他】

パソコンかタブレット

## 【Outline (in English)】

## 【Course outline and learning objectives】

This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. The purpose of this class is to enhance overall Korean.

## 【Learning activities outside of classroom】

Students are expected to study 1 hour at home for assignments and quizzes.

## 【Grading criteria /policy】

Participation20%, Assignments10%, Exam70%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA

## 朝鮮語 3-II

2017 年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水 5/Wed.5

単位数：1 単位

その他属性：

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書けるようにする。

## 【到達目標】

語彙・文型の知識が増強できる。  
正しい発音ができるようになる。  
native speaker と簡単な会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

## 【授業の進め方と方法】

- 1 単語と文型を予習する。
- 2 文型練習をする。
- 3 会話練習をする。
- 4 自宅で作文、暗誦、読解の宿題をする。
- 5 小テスト。

## 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

## 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習 第 5 課 文型・会話練習	夏休みの話 が、けれども・シオッ不規則活用
2	第 5 課 読解 文型・会話練習	ことができる・しない
3	第 6 課 文型・会話練習	するつもりです・でも
4	第 6 課 歌	ながら・まだしていな・にくい
5	第 6 課 文型・会話練習	するようだ・しそうだ
6	第 7 課 文型・会話練習	いようだ（推測）・そうだ（伝聞）
7	第 7 課 文型・会話練習	ますか（意志）・くなる
8	第 7・8 課 読解 文型・会話練習	仕方を知っている・したことがある・ティグッ不規則活用
9	第 8 課 文型・会話練習	するから（意思）・ばいと思う
10	韓国人留学生との会話	ネイティブと 100 分会話する
11	第 8 課 文型・会話練習	ていて、する途中で
12	第 9 課 文型・会話練習	なければならない・てはいけない
13	第 9 課 文型・会話練習 ドラマ	ので・ている、てもいい、ますが
14	期末試験	試験・まとめと解説

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。  
辞書を使って読解プリントを訳してこること。  
本文の暗記・発音・作文の練習をすること。

本授業の準備・復習時間は 1 時間を要する。

## 【テキスト（教科書）】

『韓国語を学ぼう 中級』李昌圭 朝日出版社 2300+税

## 【参考書】

韓日辞典 小学館 等

## 【成績評価の方法と基準】

テスト 70%（小試験、期末試験）、課題 10%、平常点 20%  
期末試験が 50 点以下の場合単位が出ない。  
欠席 4 回以上で単位は出ない

## 【学生の意見等からの気づき】

韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので今学期も行う予定です。

## 【学生が準備すべき機器他】

パソコンかタブレット

## 【Outline (in English)】

## 【Course outline and learning objectives】

This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. The purpose of this class is to enhance overall Korean.

## 【Learning activities outside of classroom】

Students are expected to study 1 hour at home for assignments and quizzes.

## 【Grading criteria /policy】

Participation20%, Assignments10%, Exam70%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA

## 朝鮮語 4 B I (視聴覚)

2017 年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 2/Thu.2

単位数：1 単位

定員制 (30 名)

その他属性：〈他〉〈優〉

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

さまざまな映像・音声を通じ、聞く能力を向上させる。  
 スクリプトの翻訳を通して読解力を向上させ語彙を増強する。  
 韓国人留学生との会話も行う予定。

## 【到達目標】

- 1 韓国の小説・ドラマ・歌・アナウンスなどの聞き取りを通じ、音から朝鮮語を理解することに慣れる。
- 2 スクリプトの翻訳を通じ、語彙・文型・表現の知識を増強する。
- 3 発音練習・暗唱を行うことで自然で美しい発音をめざす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された  
 どの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針  
 に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

- 1 小説・ドラマの一場面を聞き、日本語訳する。
- 2 スクリプトを読み、日本語訳する。
- 3 語彙、文型を学び、発音練習をする。
- 4 翻訳・暗唱等の課題をする。
- 5 単語と暗唱の小テストをする。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】  
 あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】  
 なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	サランバンのお客さん とオモニ ①② シークレットガーデン	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
2	サランバンのお客さん とオモニ ③④ シークレットガーデン	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
3	サランバンのお客さん とオモニ ⑤⑥ シークレットガーデン	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
4	サランバンのお客さん とオモニ ⑦⑧ アナウンス	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
5	サランバンのお客さん とオモニ ⑨⑩ シークレットガーデン	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
6	歌など 小テスト	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
7	サランバンのお客さん とオモニ ⑪⑫ シークレットガーデン	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習

8	サランバンのお客さん とオモニ ⑬⑭ テスト	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
9	サランバンのお客さん とオモニ ⑮⑯ シークレットガーデン	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
10	サランバンのお客さん とオモニ ⑰⑱ 会話練習	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
11	留学生との会話	韓国人留学生と会話
12	サランバンのお客さん とオモニ ⑲⑳ シークレットガーデン	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
13	サランバンのお客さん とオモニ 最終回 シークレットガーデン	スクリプト聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
14	期末試験	期末試験

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

毎週、聞き取り・読解・暗記等の課題を行うこと。  
 本授業の準備・復習時間は各 2 時間を要する。

## 【テキスト (教科書)】

プリント配布

## 【参考書】

川口義一監修『耳から入る韓国語 1』学研  
 シークレットガーデン DVD

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 (参加度、積極性、課題) 40 %、テスト 60 %  
 4 回以上の欠席で単位は出ない

## 【学生の意見等からの気づき】

韓国人留学生との会話が大変有意義だったという意見が多かったため今学期も留学生との会話の時間を設けます。

## 【その他の重要事項】

課題が多いのでやる気のある学生の受講を希望します。  
 2 年生～4 年生が履修可能なクラスのため、朝鮮語 3 より受講生のレベルが高くなる傾向があります。  
 定員制のため履修希望者が多い場合は初回に抽選をします。初回の授業には必ず出席してください。

## 【Outline (in English)】

## [Course outline and learning objectives]

This class is designed for intermediate Korean learners. Students watch videos, listen to CDs, and translate scripts. The purpose of this class is to improve listening comprehension skills and increase vocabulary.

## [Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 2 hours at home for assignments and quizzes.

## [Grading criteria /policy]

Participation 20%, Assignments 20%, Exam 60%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANK200LA

**朝鮮語 4 B II (視聴覚)**

2017 年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木 2/Thu.2

単位数：1 単位

定員制 (30 名)

その他属性：〈他〉〈優〉

**【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】**

さまざまな映像・音声を通じ、聞く能力を向上させる。スクリプトの翻訳を通して読解力を向上させ語彙を増強する。韓国人留学生との会話も行う予定。

**【到達目標】**

- 1 韓国のドラマ・歌・アナウンス・スピーチなどの聞き取りを通し、音から理解することに慣れる。
- 2 スクリプトの翻訳を通じ、語彙・文型・表現の知識を増強する。
- 3 発音練習・音読を行うことで自然で美しい発音をめざす。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

- 1 ドラマ・ニュースなどを聞き、日本語訳する。
- 2 スクリプトを読み、日本語訳する。
- 3 文型・表現を学び、発音練習をする。
- 4 翻訳・暗唱等の課題をする。
- 5 単語と暗唱の小テストをする。

**【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】**  
あり / Yes

**【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】**  
なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	会話 自己紹介 華麗なる遺産 1	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
2	華麗なる遺産 2 歌	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
3	アナウンスなど	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
4	華麗なる遺産 3	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
5	華麗なる遺産 4 小テスト	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
6	アナウンスなど	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
7	華麗なる遺産 5 テスト	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
8	華麗なる遺産 6	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
9	アナウンスなど	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習

10	華麗なる遺産 7 会話練習	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
11	留学生との会話	韓国人留学生と会話
12	華麗なる遺産 8 小テスト	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
13	華麗なる遺産 9	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
14	期末試験	期末試験

**【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】**

毎週、スクリプト読解・音読・暗唱等の課題を行うこと。本授業の準備・復習時間は 2 時間を要する。

**【テキスト (教科書)】**

プリント配布

**【参考書】**

なし

**【成績評価の方法と基準】**

平常点 (参加度、積極性、課題) 40 %、テスト 60 %  
単語テストが 50 点以下の場合は、単位が出ない。  
4 回欠席の場合、単位が出ない。

**【学生の意見等からの気づき】**

留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので今学期も会話の時間を設ける予定です。

**【学生が準備すべき機器他】**

か tablet

**【その他の重要事項】**

2 年生～4 年生が履修可能なクラスのため、朝鮮語 3 より受講生のレベルが高くなる傾向があります。課題も多いのでやる気のある学生の受講を希望します。  
定員制のため履修希望者が多い場合は初回に抽選をします。初回の授業には必ず出席してください。

**【Outline (in English)】**

[Course outline and learning objectives]

This class is designed for intermediate Korean learners. Students watch videos, listen to CDs, and translate scripts. The purpose of this class is to improve listening comprehension skills and increase vocabulary.

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 2 hours at home for assignments and quizzes.

[Grading criteria /policy]

Participation, Assignments 40%, Exam 60%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA

## 朝鮮語 5 A I (講読)

2017 年度以降入学者

吉良 佳奈江

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

定員制 (30 名)

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、朝鮮語の基礎を身につけた学習者が現代の韓国文学に触れ、辞書を使って一人で読めるようになることを目的とする。短いエッセイから、短編までさまざまな作家の文章を幅広く読むとともに、作品の背景となっている現代の韓国社会や韓国の文化についても考察する。

日本で翻訳されている韓国文学と合わせ授業中に自ら原書のテキストを読むことで、各学習者が好きな韓国文学に出会えることを目標とする。

## 【到達目標】

1. 書き言葉と間接話法が用いられた朝鮮語の文章を正確に理解することができる
2. エッセイや小説などの様々なジャンルの朝鮮語の文章を、辞書を引きながら読解できる能力を身につける
3. 授業で扱うテキストの内容について議論しながら、韓国の社会問題や韓国文化についての理解を深める

## 【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

指定したエッセイや短編小説を、文法内容や関連語彙を確認しながら読み解いていきます。原則として、各自日本語訳した文章を授業内で確認する予習型です。

初回の授業では、韓国文学の文献リストを配布するとともに、韓国文学に関する互いの関心を共有します。

第 2・3 回の授業ではハムニダ体の文章を題材として、ストーリーのある文章を読みます。

第 4 回以降、エッセイや短編作品を中心に韓国語の文章を読みます。授業で取り上げた教材については、原書および同じ作家の日本語で読める作品も紹介し、韓国文学についての知識を深めます。

第 14 回 (最終授業) では、アクティブラーニングとして各履修者が印象に残った文章を音読、翻訳して発表します。

## 【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり / Yes

## 【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方、韓国文学の文献リストの配布
2	ハムニダ体の講読 (1)	ストーリーのある文章を読んで、読解に慣れる。
3	ハムニダ体の講読・ディスカッション (2)	ストーリーのある文章を読んで、読解に慣れる。
4	エッセイの講読・ディスカッション (1)	エッセイを読んで、内容について議論する
5	エッセイの講読・ディスカッション (2)	エッセイを読んで、内容について議論する
6	エッセイの講読・ディスカッション (3)	エッセイを読んで、内容について議論する
7	小説の講読・ディスカッション (1)	小説を読んで、内容について議論する

8	小説の講読・ディスカッション (2)	小説を読んで、内容について議論する
9	小説の講読・ディスカッション (3)	小説を読んで、内容について議論する
10	小説の講読・ディスカッション (4)	小説を読んで、内容について議論する
11	小説の講読・ディスカッション (5)	小説を読んで、内容について議論する
12	小説の講読・ディスカッション (6)	小説を読んで、内容について議論する
13	小説の講読・ディスカッション (7)	小説を読んで、内容について議論する
14	アクティブ・ラーニング 発表	課題・関心の共有

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。指定されたテキストの予習と復習を必ず行うこと。

## 【テキスト (教科書)】

チョン・イヒョン、イ・ギホ、キム・ジュンヒョク、チャン・リュジン、チェ・ウニョン、パク・サンヨン、チャン・ガンミョン、チョン・ソンテ、イ・ランなど日本でも翻訳されている作家を中心に、エッセイ、短編を扱う。

講読テキスト・参考資料はプリントで配布する。

## 【参考書】

『完全版 韓国・フェミニズム・日本』斎藤真理子編集 (2019、河出書房新社)

『シソンから』チョン・セラン著、斎藤真理子訳 (2021、亜紀書房)

『どきどき僕の人生』キム・エラン著、きむふな訳 (2013、クオン)

『マイスイートソウル』チョン・イヒョン著、清水由希子訳 (2007、講談社)

『韓国が嫌いで』チャン・ガンミョン著、吉良佳奈江訳 (2020、ころから)

『ショウコの微笑』チェ・ウニョン著、吉川 風監修、牧野 美加、横本 麻矢、小林 由紀 翻訳 (2018、クオン)

『まだまだという言葉』クォン・ヨソン著、斎藤真理子訳 (2020、河出書房)

## 【成績評価の方法と基準】

授業の出席・参加度 40%、課題 40%発表、アクティブラーニング 20%として評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

テキストだけでなく、映画やドラマの原作なども取り上げる予定です。

## 【学生が準備すべき機器他】

辞書、あるいは単語を調べられる端末を持参してください。

## 【その他の重要事項】

長い文章の講読は少しハードルが高いかもしれませんが、韓国で話題になっている本やエッセイを読むことは、韓国社会や韓国文化に対するより深い理解へとつながります。

初級・中級レベルの朝鮮語の学習を終えてエッセイや小説の読解に挑戦してみたいという学生の他に、韓国に留学したことがあって読解力をもっと高めたいという学生や、文学作品の翻訳に関心がある韓国の留学生の履修も歓迎します。

## 【Outline (in English)】

In the class, intermediate learners of Korean use dictionaries to read modern Korean literature.

The ultimate goal is to find out what Korean literature each learner likes by reading various Korean textbooks.

Goal :

You will be able to read and send actual e-mails, SNS, etc. using what you have learned in the text messages.

The goal is to read the written language and write a simple sentence by yourself.

Work to be done outside of class :

The task is to practice the text section or to write a short essay.

The preparatory study and review time for this class will be one hour in total.

Grading criteria :



Students with more than four unauthorized absences are excluded from the evaluation.

Based on 60% of the confirmation test, 40% of the class attendance and participation, and 40% of the assignment submission, we will evaluate it comprehensively.

LANk200LA

## 朝鮮語 5 A II (講読)

2017 年度以降入学者

吉良 佳奈江

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

定員制 (30 名)

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、朝鮮語の基礎を身につけた学習者が現代の韓国文学に触れ、辞書を使って一人で読めるようになることを目的とする。ドラマの原作や映画のシナリオなども扱い、さまざまな作家の文章を幅広く読むとともに、作品の背景となっている現代の韓国社会や韓国の文化についても考察する。

## 【到達目標】

1. 書き言葉と間接話法が用いられた朝鮮語の文章を正確に理解することができる。
2. エッセイや小説などの様々なジャンルの朝鮮語の文章を、辞書を引きながら読解できる能力を身につける。
3. 授業で扱うテキストの内容について議論しながら、韓国の社会問題や韓国文化についての理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

指定したエッセイや短編小説、長編小説の一部を、文法内容や関連語彙を確認しながら読み解いていきます。原則として、各自日本語訳した文章を授業内で確認する予習型です。

初回の授業では、春学期に読んだテキストを踏まえて、韓国文学に関する互いの関心を共有します。

第2回以降、短編作品を中心に韓国語の文章読解を進めますが、授業で取り上げた教材については、原書および同じ作家の日本語で読める作品も紹介し、韓国文学についての知識を深めます。

第14回 (最終授業) では、アクティブラーニングとして各履修者が印象に残った文章を音読、翻訳して発表します。

## 【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり / Yes

## 【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション エッセイの講読	関心の共有 エッセイを読んで、内容について議論する
2	小説の講読・ディスカッション (1)	小説を読んで、内容について議論する
3	小説の講読・ディスカッション (2)	小説を読んで、内容について議論する
4	小説の講読・ディスカッション (3)	小説を読んで、内容について議論する
5	小説の講読・ディスカッション (4)	小説を読んで、内容について議論する
6	小説の講読・ディスカッション (5)	小説を読んで、内容について議論する
7	小説の講読・ディスカッション (6)	小説を読んで、内容について議論する
8	小説の講読・ディスカッション (7)	小説を読んで、内容について議論する
9	小説の講読・ディスカッション (8)	小説を読んで、内容について議論する

10	小説の講読・ディスカッション (9)	小説を読んで、内容について議論する
11	小説の講読・ディスカッション (10)	小説を読んで、内容について議論する
12	小説の講読・ディスカッション (11)	小説を読んで、内容について議論する
13	小説の講読・ディスカッション (12)	小説を読んで、内容について議論する
14	アクティブ・ラーニング 発表	課題・関心の共有

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。指定されたテキストの予習と復習を必ず行うこと。

## 【テキスト (教科書)】

チョン・イヒョン、イ・ギホ、キム・ジュンヒョク、チャン・リュジョン、チェ・ウニョン、パク・サンヨン、チャン・ガンミョン、チョン・ソンテなど日本でも翻訳されている作家を中心に、エッセイ、短編を扱う。

講読テキスト・参考資料はプリントで配布する。

## 【参考書】

『完全版 韓国・フェミニズム・日本』斎藤真理子編集 (2019、河出書房新社)

『シソンから』チョン・セラン著、斎藤真理子訳 (2021、亜紀書房)

『どきどき僕の人生』キム・エラン著、きむふな訳 (2013、クオン)

『マイルスイートソウル』チョン・イヒョン著、清水由希子訳 (2007、講談社)

『韓国が嫌いで』チャン・ガンミョン著、吉良佳奈江訳 (2020、ころから)

『ショウコの微笑』チェ・ウニョン著、吉川 風監修、

牧野 美加、横本 麻矢、小林 由紀 翻訳 (2018、クオン)

『まだまだという言葉』クワン・ヨソン著、斎藤真理子訳 (2020、河出書房)

『大都會の愛し方』パク・サンヨン著、オ・ヨンア訳 (2020、亜紀書房)

## 【成績評価の方法と基準】

・授業の出席・参加度 40 %、課題 40 %、アクティブラーニング 20 % として評価します。

## 【学生の意見等からの気づき】

テキストだけでなく、映画やドラマの原作なども取り上げる予定です。

## 【学生が準備すべき機器他】

辞書、あるいは単語を調べられる端末を持参してください。

## 【その他の重要事項】

大学で朝鮮語を学んでいない学生も履修は可能です。レベルについては事前に教員に相談してください。

文学作品に関心のある留学生の履修も歓迎します。

## 【Outline (in English)】

In the class, intermediate learners of Korean use dictionaries to read modern Korean literature.

The ultimate goal is to find out what Korean literature each learner likes by reading various Korean textbooks.

Goal :

You will be able to read and send actual e-mails, SNS, etc. using what you have learned in the text messages.

The goal is to read the written language and write a simple sentence by yourself.

Work to be done outside of class :

The task is to practice the text section or to write a short essay.

The preparatory study and review time for this class will be one hour in total.

Grading criteria :

Students with more than four unauthorized absences are excluded from the evaluation.

Based on 60% of the confirmation test, 40% of the class attendance and participation, and 40% of the assignment submission, we will evaluate it comprehensively.

LANk200LA

## 朝鮮語 5 B I (表現法)

2017 年度以降入学者

神谷 丹路

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

定員制 (30 名)

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

朝鮮語で「聞く力」「話す力」「読む力」「書く力」の伸長を目指す。これまで学習してきた文法や語彙の定着を図り、簡単な日常会話スムーズにできるように練習をする。

韓国の時事ニュースに触れ、時事単語、リスニング力、漢字語の力をつける。中級レベルの新しい語彙、表現を増やし、会話の幅を広げる。学生のレベルに合わせて、導入用に朝鮮韓国の昔話など簡単な読み物を読み、伝統文化への理解も深めたりする。中級向けの授業である。

## 【到達目標】

実際にコミュニケーションの手段として使える朝鮮語の「聞く力」「話す力」を獲得し、また身のまわりの出来事を書いたりできるようにする。自らの体験や考えを朝鮮語で発表できるようにする。言語の背景に広がる文化的社会的な理解も深めていく。

## 【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

本授業の基本的な流れは、以下の通りである。毎回、ウォーミングアップとして、授業のはじめに、身の回りの出来事について、簡単な日常会話を交わす練習をすることで、話すことに慣れていく。慣れてきたら、PPT を作成してプレゼンテーションの練習も随時していきたい。後半は昔話や時事ニュースのテキストに沿って、聞く力の伸長、読む力、語彙力のアップを図り、隣国への幅広い理解へとつなげていく。質問は授業内、掲示板で対応し、発表については授業内で講評する。

## 【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり / Yes

## 【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	・授業の進め方の説明 ・レベルチェック ・自己紹介
2	「おひさまおつきさま」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
3	「トラと干し柿」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
4	『時事韓国語』 BTS、KPOP 再燃なるか。	会話、リスニング、リーディング、内容理解
5	『時事韓国語』 韓国映画 1000 万人、	会話、リスニング、リーディング、内容理解
6	『時事韓国語』 正月番組特集	会話、リスニング、リーディング、内容理解
7	『時事韓国語』 南北合同チーム初登場	会話、リスニング、リーディング、内容理解
8	『時事韓国語』 「シェアハウス人気」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
9	『時事韓国語』 「無人化加速」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
10	『時事韓国語』 「小 1 保護者 10 時出勤」	会話、リスニング、リーディング、内容理解

11	『時事韓国語』 「二つの母国語」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
12	『時事韓国語』 「高齢者 10 人に 1 人認知症」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
13	『時事韓国語』 「変わる採用試験場」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
14	学習のまとめ	プレゼンテーション

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

毎回、読み物課題を予習・復習すること。知らない単語を確認しておく。毎回、身近な話題について韓国語で話しますので、話題を準備すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト (教科書)】

授業時にプリントを配布。

## 【参考書】

小学館『朝鮮語辞典・日韓辞典』など。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 80 %、プレゼンテーション 20 %。

## 【学生の意見等からの気づき】

話すことに抵抗感がなくなるように、簡単な単語を駆使して伝える技術を身に付けられるようにします。

## 【その他の重要事項】

学生のレベルに合わせて、順序や内容に若干の変更のある場合があります。

## 【Outline (in English)】

&lt; Course outline &gt;

This course deals with Korean intermediate level.

&lt; Learning Objectives &gt;

At the end of the course, students are expected to enhance the development of the skill in reading, writing, listening and talking.

&lt; Learning activities outside of classroom &gt;

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

&lt; Grading Criteria/Policy &gt;

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Presentation : 20%, in class contribution: 80 %.

LANk200LA

## 朝鮮語 5 B II (表現法)

2017 年度以降入学者

神谷 丹路

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 3/Fri.3

単位数：1 単位

定員制 (30 名)

その他属性：〈優〉

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

朝鮮語で「聞く力」「話す力」「読む力」「書く力」の伸長を目指す。これまで学習してきた文法や語彙の定着を図り、簡単な日常会話スムーズにできるように練習をする。朝鮮韓国の昔話など簡単な読み物を読みながら、伝統文化についての理解を深めたり、時事ニュースに触れ、リスニング力、漢字語の力をつける。中級レベルの新しい語彙、表現を増やし、会話の幅を広げる。中級レベル向けの授業である。

## 【到達目標】

実際にコミュニケーションの手段として使える朝鮮語の「聞く力」「話す力」を獲得し、また身のまわりの出来事を書いたりできるようにする。自らの体験や考えを朝鮮語で発表できるようにする。言語の背景に広がる文化的社会的な理解も深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

毎回、ウォーミングアップとして、授業のはじめに、身の回りの出来事について、簡単な日常会話を交わす練習をする。言葉がすぐ出てくるよう、とにかく話すことに慣れること。その後は、時事ニュースのテキストに沿って、聞く力の伸長、読む力、語彙力のアップを図り、隣国への幅広い理解へとつなげていく。質問は授業内、掲示板で対応し、発表については授業内で講評する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	・授業の進め方の説明 『時事韓国語』 11「政府、原発新設白紙化問題」 ・レベルチェック ・自己紹介
2	『時事韓国語』	会話、リスニング、リーディング、内容理解 12「はじめて呼ぶお父さん、お母さん」、 13「国政の安定化、協力と統合」
3	『時事韓国語』	会話、リスニング、リーディング、内容理解 14「南北 65 年ぶり終戦宣言」 15「気候変動とウミガメ」
4	『時事韓国語』	会話、リスニング、リーディング、内容理解 16「日本の公衆トイレ」 17「米朝 70 年の対立に終止符」
5	18「監視カメラ」 19「5 G 先取り競争」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
6	20「気象ニュース」 21「ヨイドの桜」	会話、リスニング、リーディング、内容理解

7	22「珍道犬」 23「仮想通貨」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
8	『時事韓国語』 24「変わる採用試験現場」 25「不動産事情、ソウル、地方」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
9	『時事韓国語』 26「経済成長と就業者の増加」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
10	『時事韓国語』 31「ワールドカップ韓国サッカー旋風」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
11	『時事韓国語』 32「野球ニュースロッテ 5 連勝中」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
12	『時事韓国語』 33「ニュース解説、巨大な壁を打ち破った英雄」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
13	『時事韓国語』 34「ドラマの名所ソウル桂洞」 35「蚊を追い払う方法、ご存知？」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
14	36「そば粉パスタ、干しだらのカルグクス」 ●学習のまとめ	内容理解、プレゼンテーション

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

毎回、身近な話題について、簡単な会話をしますので、話題を準備しておくこと。毎回、課題の復習を十分すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

## 【テキスト (教科書)】

授業時にプリントを配布。

## 【参考書】

小学館『朝鮮語辞典・日韓辞典』など。

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 80 %、プレゼンテーション 20 %。

## 【学生の意見等からの気づき】

話すことに抵抗感がなくなるように、簡単な単語を駆使して伝える技術を身に付けられるようにします。

## 【その他の重要事項】

学生のレベルに合わせ、順序や内容に若干の変更のある場合があります。

## 【Outline (in English)】

< Course outline >

This course deals with Korean intermediate level.

< Learning Objectives >

At the end of the course, students are expected to enhance the development of the skill in reading, writing, listening and talking.

< Learning activities outside of classroom >

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Presentation : 20%, in class contribution: 80 %.

ARSe200LA

**朝鮮の文化と社会 L A**

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

**李 英美**

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 3/Tue.3

単位数：2 単位

定員制 (30 名)

その他属性：〈他〉〈優〉

**【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】**

この授業では韓国の映画をとおして朝鮮・韓国の文化と社会について学ぶ。

韓国の映画に描かれている韓国社会の特徴や変化を通じて、韓国の文化と社会に対する理解を深めることが授業の目的である。

**【到達目標】**

様々なテーマを取り扱う韓国映画から韓国・朝鮮の文化と社会について何を読み取るか、その力を養うことが本授業の目標となる。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

基本的には「授業計画」の順に沿った形で進める。ひとつのテーマについて2週連続で講義と映像の鑑賞といった形で進める。毎回のリアクションペーパーと2週に一度の感想文を提出する。

**【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】**  
なし/No

**【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】**  
なし/No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第 1 回	授業の目標と進め方の説明	授業の目的と進め方について説明し、テキストや参考書の使い方について説明する。
第 2 回	解説と映画鑑賞①-朝鮮半島の南北分断について	南北対立から理解へ-南北分断のリアル DMZ
第 3 回	解説と映画鑑賞②-朝鮮半島の南北分断について	新しい観点から南北分断を想像する-南北兵士の心理描写
第 4 回	韓国映画史-時代区分と特徴	韓国映画史について、全体的な流れと時代別の特徴を概観する。
第 5 回	解説と映画鑑賞③-激動の韓国現代史を生きる	激動の韓国現代史を生きる-「最も平凡な父の最も偉大な話」
第 6 回	解説と映画鑑賞④-激動の韓国現代史を生きる	「産業化世代」-朝鮮戦争後の韓国再建の主役であった家族愛の父親
第 7 回	韓国近現代史と映画-日本統治下の韓国・朝鮮	韓国近現代史における日本統治時代を抜きにして韓国映画史を語ることはできない。韓国映画の創成期に当たる当時について解説する。
第 8 回	解説と映画鑑賞⑤-日本統治下の韓国・朝鮮	上海、京城 (現ソウル) を舞台にした朝鮮人の朝鮮人暗殺を描写-親日派暗殺作戦
第 9 回	解説と映画鑑賞⑥-日本統治下の韓国・朝鮮	当時の街並み、ファッション、経済活動、居住空間、社交場など「モダン」の再現

第 10 回	最近の韓国の若者の恋愛観・結婚観と映画	時代の変化を反映する若者の恋愛観・結婚観を垣間見て、日本の若者との間の比較をとおして、韓国社会と日本社会の比較を試みる。
第 11 回	解説と映画鑑賞⑦-青春の思い出	初恋のロマンス、青春の思い出
第 12 回	解説と映画鑑賞⑧-青春の思い出	青春の多様な感情の描写、現代韓国社会の中で大人に成長していく過程を描写
第 13 回	映画と講義について	映画は学習手段のひとつとして有効か-韓国の文化、社会、歴史上の事象、特に抽象的な事柄を、より明確に理解可能なものにしてくれる。
第 14 回	春学期のまとめと期末レポートの提示	期末レポートの提示

**【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】**  
指定されたテキストと参考書を事前に読んでおくこと。

**【テキスト (教科書)】**

韓国映画100年史-その誕生からグローバル展開まで、鄭ゾンフア著、野崎彦彦・加藤知恵訳、明石書店、2017年、3520円

**【参考書】**

韓国映画で学ぶ韓国の社会と歴史、秋月望、キネマ旬報ムック、2015年、3680円

**【成績評価の方法と基準】**

平常点 (出席率、リアクションペーパー、感想文など) 50%、期末レポート50%をもって総合的に評価する。

**【学生の意見等からの気づき】**

授業の進む順番が前後する場合がある。

**【学生が準備すべき機器他】**

なし

**【その他の重要事項】**

- ・第1回目の授業はオンラインで実施します。ZOOM 情報は授業開始の前週までに HOPPI でお会知らせします。
- ・第2回目以降の授業の実施形態については第1回目の授業の際にお知らせします。

**【Outline (in English)】**

**【授業概要 (Course outline)】**

This course introduces Korean culture, Korean society and Korean films to students taking this course.

**【到達目標 (Learning Objectives)】**

At the end of the course, students are expected to develop insight and understanding of the characteristics and process of changes of Korean society and culture.

**【授業時間外の学習 (Learning activities outside of classroom)】**

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

**【成績評価の方法と基準 (Grading Criteria /Policies)】**

Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term report (50%), term-end report (50%), and in-class contribution.

ARSe200LA

## 朝鮮の文化と社会 L B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

李 英美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火 3/Tue.3

単位数：2 単位

定員制 (30 名)

その他属性：〈他〉〈優〉

## 【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では韓国の映画をととして朝鮮・韓国の文化と社会全般について学ぶ。

韓国の映画に描かれている韓国社会の特徴や変化を通じて、韓国の文化と社会に対する理解を深めることが授業の目的である。

## 【到達目標】

様々なテーマを取り扱う韓国映画から韓国・朝鮮の文化と社会について何を読み取るか、その力を養うことが本授業の目標となる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

## 【授業の進め方と方法】

基本的には「授業計画」の順に沿った形で進める。ひとつのテーマについて2週連続で講義と映像の鑑賞といった形で進める。毎回のリアクションペーパーと2週に一度の感想文を提出する。

## 【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし/No

## 【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

## 【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の進め方に関する説明、テキストや参考書の使い方に関する説明。	授業の目的と進め方に関する説明、テキストや参考書の使い方について説明。
第2回	解説と映画鑑賞①-外国原作の小説・漫画の韓国映画化	映画の中の人物を韓国人から人類へ一究極な状態に置かれた人々の動き
第3回	解説と映画鑑賞②-外国原作の小説・漫画の韓国映画化	映画の中の人類における各差と不平等、階級化をととして韓国社会をみる
第4回	現代韓国社会と映画-高齢化	現代韓国社会の特徴のひとつである高齢化社会をどのように描くか
第5回	解説と映画鑑賞③-老いに対する考え方	現代韓国社会の諸特徴-老いをどのように受け入れるか、どのように生きるか
第6回	解説と映画鑑賞④-老いに対する考え方	現代韓国社会の諸特徴-家族の愛情と世代間の価値観のギャップ
第7回	現代韓国社会と映画-犯罪被害者を描く	神に罪を告白し、許しを得た殺人犯について-被害者の家族は救われない。宗教、法、人間の関係を映画に投影する。
第8回	解説と映画鑑賞⑤-最高の価値は人間愛	人間愛は最高の価値-人間は人間を救うことができる。子供殺人被害者の母親。
第9回	解説と映画鑑賞⑥-宗教とは	宗教とは何か、人間とは何か-人間を救えない残酷な神の姿。神の許しとは。
第10回	映画に移る国家像	国家の危機管理能力について-2010年代韓国政府を実例に

- 第11回 解説と映画鑑賞⑦-ドキュメンタリー映画 国家とは何か。国家の存在理由-国民の生命・財産の保護。
- 第12回 解説と映画鑑賞⑧-ドキュメンタリー映画 真実究明と記者・言論の役割と力
- 第13回 韓国映画史を振り返る-100年史 創成期〜ルネサンス期まで
- 第14回 秋学期のまとめとレポートの提示 レポートの提示

## 【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

指定されたテキストと参考書を事前に読んでおくこと。

## 【テキスト (教科書)】

韓国映画100年史-その誕生からグローバル展開まで、鄭ソンファ著、野崎充彦・加藤知恵訳、明石書店、2017年、3520円

## 【参考書】

韓国映画で学ぶ韓国の社会と歴史、秋月望、キネマ旬報ムック、2015年、3680円

## 【成績評価の方法と基準】

平常点 (出席率、リアクションペーパー、感想文など) 50%、期末レポート50%をもって総合的に評価する。

## 【学生の意見等からの気づき】

授業の進む順番が前後する場合がある。

## 【学生が準備すべき機器他】

なし

## 【その他の重要事項】

- ・第1回目の授業はオンラインで実施します。ZOOM情報は授業開始の前週までにHOPPIでお知らせします。
- ・第2回目以降の授業の実施形態については第1回目の授業の際にお知らせします。

## 【Outline (in English)】

## 【授業概要 (Course outline)】

This course introduces Korean culture, Korean society and Korean films to students taking this course.

## 【到達目標 (Learning Objectives)】

At the end of the course, students are expected to develop insight and understanding of the characteristics and process of changes of Korean society and culture.

## 【授業時間外の学習 (Learning activities outside of classroom)】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

## 【成績評価の方法と基準 (Grading Criteria/Policies)】

Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term report (50%), term-end report (50%), and in-class contribution.

LANk200LA

**朝鮮語 4 C I (コミュニケーション)** 2017 年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

定員制 (30 名) /2022 年度までに「朝鮮語 3 C I」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

**【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】**

朝鮮語 1・2 で学んだ文法の知識を生かして、自分の言いたいことを朝鮮語で口頭発表できるようにすることがこの授業の目的です。そのために語彙を増やし、教科書にある会話文を正確な発音で言えるようにします。

**【到達目標】**

まず教科書にある会話文を文法的に理解したうえで、これを正確な発音で話すことができ、また自分の言いたいことに置き換えることができるようにすることが目標となります。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

授業開始時に筆記と口述の小テストを実施します。それから教科書の文法事項と語句を学び、次回的小テストに備えて会話文の発音の練習を行います。

オンライン授業は録画をしますので、繰り返し視聴することが可能です。

またオンライン授業終了後に個別に質問する時間を設けますので、わからないところがあれば遠慮なく質問してください。

**【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】**  
なし / No

**【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】**

なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 1 課	理由を表す語尾①
2	第 2 課	形容詞・指定詞の連体形
3	第 3 課	動詞・存在詞の連体形
4	第 4 課	逆接を表す語尾
5	第 5 課	未来連体形
6	第 1 課～第 5 課の復習	第 1 課～第 5 課の復習
7	第 6 課	「～したことがある」 「～することにする」
8	第 7 課	理由を表す語尾②
9	第 8 課	婉曲を表す語尾
10	第 9 課	「～し始める」 「～するなり」
11	第 10 課	「～しましょうか」
12	第 6 課～第 10 課の復習	第 6 課～第 10 課の復習
13	期末試験	筆記試験
14	期末試験	口述試験

**【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】**

授業では毎回筆記と口述の小テストを実施しますので、必ず復習してください。

授業の復習に要する時間は 40 分を標準としていますが、期末試験の口述試験のための原稿作成、筆記試験の準備には別途時間を要します。

**【テキスト (教科書)】**

『基礎から学ぶ韓国語講座中級改訂版』木内明著、国書刊行会、2015 年

**【参考書】**

『しくみで学ぶ初級朝鮮語改訂版』、内山政春著、白水社

**【成績評価の方法と基準】**

小テスト 30%

期末試験 70%

※小テスト、期末試験共に口述試験だけでは緊張してしまう人もいることを考慮し、それぞれ筆記試験も実施します。

**【学生の意見等からの気づき】**

音声教材の活用

**【その他の重要事項】**

・第 1 回の授業までに Hoppii に登録してください。お知らせやプリントを配布しますので、Hoppii はこまめにチェックしてください。  
・感染症や忌引きで小テストを受けられない場合は欠席した翌週に追試を受けられます。登校時 (欠席した翌週) の授業開始前に証明書を提出のうえ追試を申し出てください。

・5 回の欠席で評価対象外とします。3 回の遅刻で 1 回欠席としてカウントします。

感染症などの欠欠はこれに該当しません。

・シラバスは進捗状況によって変更される場合があります。

**【Outline (in English)】**

The purpose of this class is to make use of the knowledge of grammar learned in Korean 1 and 2 to be able to verbally present what you want to say in Korean. For that purpose, we will increase our vocabulary so that we can say the conversational sentences in the textbook with accurate pronunciation.

**【Learning Objectives】**

The goal is to first understand the grammar of the conversations in the textbook, then to be able to speak them with correct pronunciation and to be able to replace them with what you want to say.

**【Learning activities outside of classroom】**

There will be written and oral quizzes every class, so be sure to review them.

The standard time required for reviewing classes is 40 minutes, but extra time is required to prepare manuscripts for the oral examination of the final exam and to prepare for the written examination.

**【Grading Criteria /Policy】**

Quiz 30%

Final exam 70%

\* Considering that some students may get nervous just by taking the oral exam for both the quiz and the final exam, we will also conduct a written exam for each.

LANk200LA

**朝鮮語 4 C II (コミュニケーション)** 2017 年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 2/Mon.2

単位数：1 単位

定員制 (30 名) /2022 年度までに「朝鮮語 3 C II」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

**【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】**

春学期に引き続き、朝鮮語 1・2 で学んだ文法の知識を生かして、自分の言いたいことを朝鮮語で口頭発表できるようにすることがこの授業の目的です。そのために語彙を増やし、教科書にある会話を正確な発音で言えるようにします。

**【到達目標】**

まず教科書にある会話を文法的に理解したうえで、これを正確な発音で話すことができ、また自分の言いたいことに置き換えることができるようにすることが目標となります。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

**【授業の進め方と方法】**

授業開始時に筆記と口述の小テストを実施します。それから教科書の文法事項と語句を学び、次回的小テストに備えて会話文の発音の練習を行います。

オンライン授業は録画をしますので、繰り返し視聴することが可能です。

またオンライン授業終了後に個別に質問する時間を設けますので、わからないところがあれば遠慮なく質問してください。

**【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】**

なし / No

**【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】**

なし / No

**【授業計画】** 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第 11 課	「～したらいいんだけど」 「～のために」
2	第 12 課	「～するとき」 「～したとき」
3	第 13 課	「～したと」 「～するように」
4	第 14 課	「～くなる」 「～すれば～するほど」
5	第 15 課	「～して以来」 「～なんですよ」
6	第 11 課～第 15 課の復習	復習
7	第 16 課	「～ように見える」「～するようだ」
8	第 17 課	「～なのか」 「～そうです」
9	第 18 課	「～してから」 「～しておく」
10	第 19 課	「～しろと言う」 「～すると言う」
11	第 20 課	「～するなりすぐ」 「～するつもりだから」
12	第 16 課～第 20 課の復習	復習
13	期末試験 筆記	期末試験 筆記
14	期末試験 口述	期末試験 口述

**【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】**

授業では毎回筆記と口述の小テストを実施しますので、必ず復習してください。

授業の復習に要する時間は 40 分を標準としていますが、期末試験の口述試験のための原稿作成、筆記試験の準備には別途時間を要します。

**【テキスト (教科書)】**

『基礎から学ぶ韓国語講座中級改訂版』木内明著、国書刊行会、2015 年

**【参考書】**

『しくみで学ぶ初級朝鮮語改訂版』、内山政春著、白水社

**【成績評価の方法と基準】**

小テスト 30%

期末試験 70%

※小テスト、期末試験共に口述試験だけでは緊張してしまう人もいることを考慮し、それぞれ筆記試験も実施します。

**【学生の意見等からの気づき】**

音声教材の活用

**【その他の重要事項】**

・第 1 回の授業までに Hoppii に登録してください。お知らせやプリントを配布しますので、Hoppii はこまめにチェックしてください。

・感染症や忌引きで小テストを受けられない場合は欠席した翌週に追試を受けられます。登校時 (欠席した翌週) の授業開始前に証明書を提出のうえ追試を申し出てください。

・5 回の欠席で評価対象外とします。3 回の遅刻で 1 回欠席としてカウントします。

感染症などの公欠はこれに該当しません。

・シラバスは進捗状況によって変更される場合があります。

**【Outline (in English)】**

Continuing from the spring semester, the purpose of this class is to make use of the knowledge of grammar learned in Korean 1 and 2 to be able to verbally present what you want to say in Korean. For that purpose, we will increase our vocabulary so that we can say the conversational sentences in the textbook with accurate pronunciation.

**【Learning Objectives】**

The goal is to first understand the grammar of the conversations in the textbook, then to be able to speak them with correct pronunciation and to be able to replace them with what you want to say.

**【Learning activities outside of classroom】**

There will be written and oral quizzes every class, so be sure to review them.

The standard time required for reviewing classes is 40 minutes, but extra time is required to prepare manuscripts for the oral examination of the final exam and to prepare for the written examination.

**【Grading Criteria /Policy】**

Quiz 30%

Final exam 70%

\* Considering that some students may get nervous just by taking the oral exam for both the quiz and the final exam, we will also conduct a written exam for each.



